servicenow

Zurich プラットフォームアナリティクス

最終更新日: **2025**年**11**月**10**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

ビジネスプロセスの分析と最適化..... 5
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス..... 9
プラットフォームアナリティクス移行センター..... 12
ダッシュボード..... 28
データの可視化..... 191
フィルター..... 532
インジケーターライブラリ..... 564
アナリティクスセンター..... 567
プラットフォームアナリティクスページの作成..... 573
KPI 詳細..... 587
KPI シグナル..... 627
参照..... 650
プラットフォームアナリティクスでの Now Assist..... 664
プラットフォームアナリティクスNow Assistパネル内..... 665
クエリ生成..... 683
パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)..... 698
探索..... 699
Fundamentals を構成..... 709
高度な機能を構成する..... 920
参照..... 1040
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス..... 1064
探索..... 1066
構成..... 1071
使用方法..... 1086
参照..... 1110
プロセス最適化..... 1115
プロセス最適化 の探索..... 1116
プロセス最適化 をアクティブ化しています..... 1144
プロセス最適化の構成..... 1177
プロセス最適化 の使用..... 1188
プロセス最適化 に関する参照情報..... 1344
タスクマイニング..... 1366
探索..... 1368
構成..... 1379
使用方法..... 1385
参照..... 1396
のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI..... 1402
レポート..... 1405
コア UI のレスポンシブダッシュボード..... 1791

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブフィルター....1894
パフォーマンスアナリティクスウィジェット.... 1933
アナリティクスハブ....2051
インタラクティブアナリシス.... 2076
プラットフォームアナリティクスソリューション....2086
Automation Discovery....2109
オートメーションディスカバリーをインストール....2112
オートメーションディスカバリーレポートの作成....2115

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの分析と最適化

プラットフォームアナリティクスアプリケーションを使用してプロセスを最適化し、生産性を向上させます。これらのアプリケーションには、 レポート、 パフォーマンスアナリティクス、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、および プロセス最適化が含まれます。コア UIまたはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを通じてデータを表示します。

開始

これらのタイルのいずれかを選択すると、これらのアプリケーションの詳細を確認できます。これらのアプリケーションは、さまざまな種類のデータをさまざまな種類のユーザーに提供するのに役立ちます。

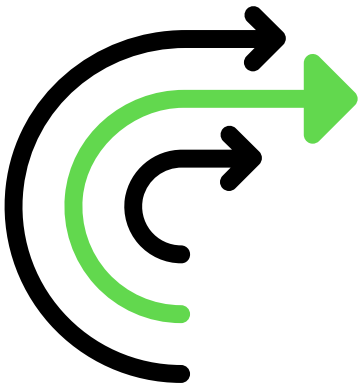
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

データ視覚化ツール、ダッシュボード、KPI を使用して分析を探索します。これらはすべて自然言語クエリからアクセスできます。

プラットフォームアナリティクスでの **Now Assist**

分かりやすい言葉でデータについて質問し、 プラットフォームアナリティクス データの可視化を含む AI を利用した応答を受け取ります。

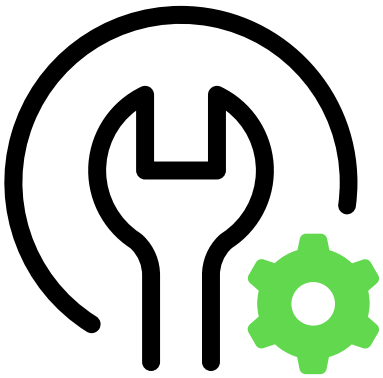
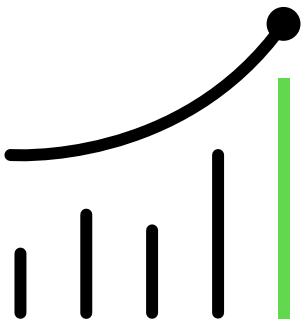
パフォーマンスアナリティクス



この一連のビジネス分析ツールを使用して、サービスデリバリー時間を短縮し、コストを削減します。

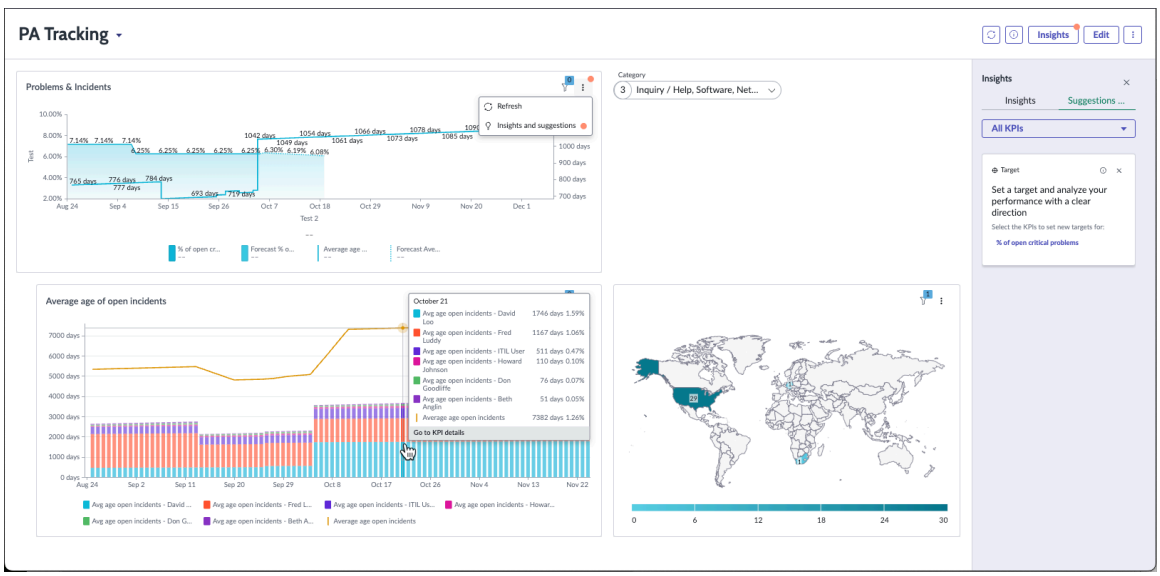
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	プロセス最適化	タスクマイニング
		
ユーザーが複数のServiceNow アプリケーションをどのように操作するかを示すダッシュボードビューを取得し、メトリクス、インタラクションなどの完全なビジュアルを表示します。	このアプリケーションを使用して自動化されたプロセスフローでデータを分析し、企業のワークフローの効率を向上させる方法を見つけます。	ワークステーションデータを収集して処理し、アクティビティとインタラクションに関するインサイトを提供することで、作業タスクの非効率性を特定します。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

データの可視化でデータを表示するためのさまざまなオプションをご覧ください。ダッシュボードを作成、変更、および共有します。ダッシュボードに表示されるデータをフィルタリングします。データ内の潜在的に重要なイベントに関するインサイトをダッシュボードで受け取ります。KPI 詳細でプロセス動作のインジケーターを探索し、KPI シグナルを通じてこれらのインジケーターの重要な変化に関するアラートを受け取ります。



プラットフォームアナリティクスでの **Now Assist**

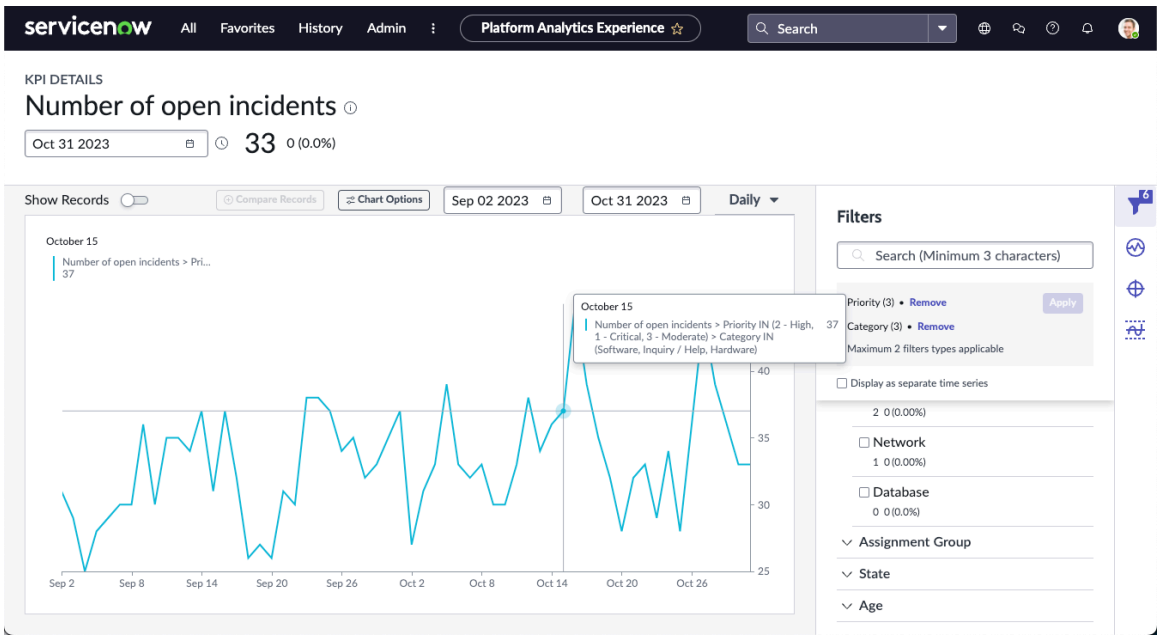
AI を活用してデータに関するインサイトを生成します。Now Assistパネルでデータの可視化を要求します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

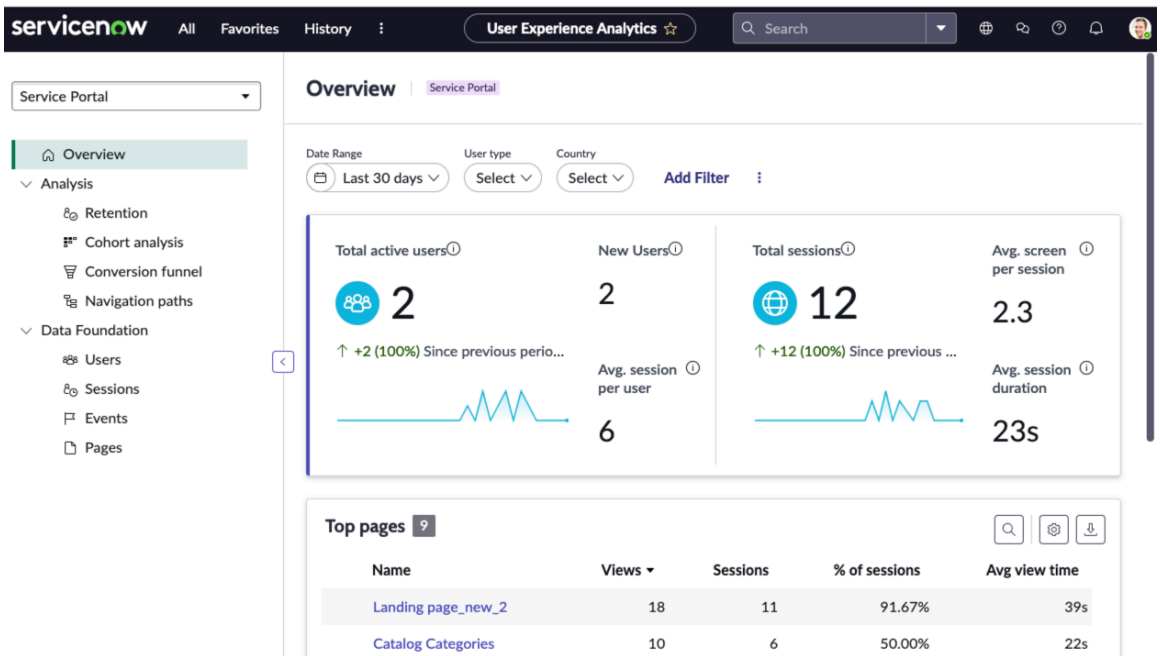
パフォーマンスアナリティクス インジケーター

ビジネスの継続的な改善を支援する方法を学びましょう。パフォーマンスアナリティクス Fundamentals を使用して重要業績評価指標を計画および実装します。さらに、高度な機能を構成し、管理者としてデータ構造を直接操作できるようにします。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

いくつかの ServiceNow アプリケーションの使用状況に関するダッシュボードベースのアナリティクスについて説明します。管理者は、ユーザー母集団、保持、動作など、モバイルアプリケーションと Web アプリケーションの両方でのユーザーエンゲージメントに関する情報を取得できます。



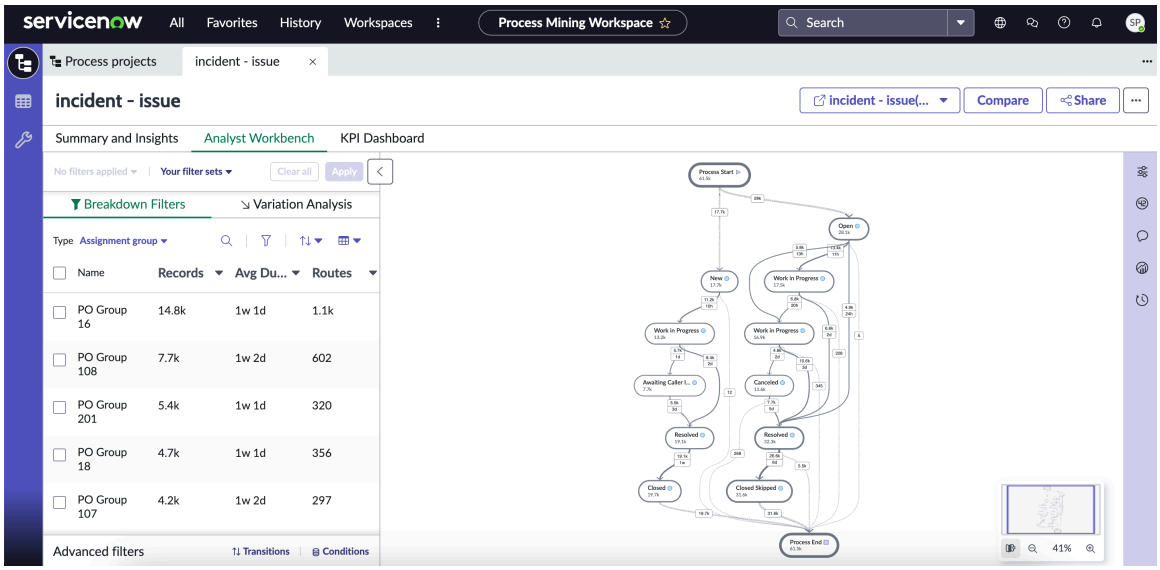
プロセス最適化

ビジネスを簡素化する方法の発見、ワークフローのボトルネックと逸脱の検出、プロセスのフィルターおよび比較などを実行します。主要な プロセス最適化 用語 の包括的なリストには、企業が効果

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

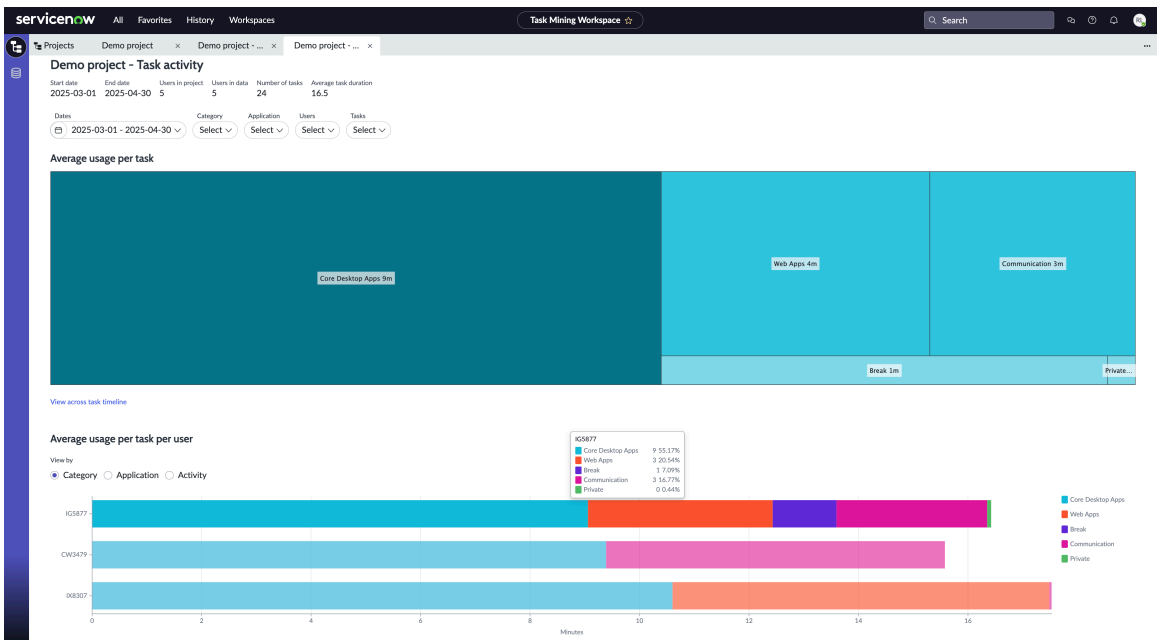
自動翻訳

的なパフォーマンスを最大限発揮するのに役立つ注目すべき用語とその定義がすべて記載されています。



での分析 タスクマイニング

プロセスオーナーがワークステーションアクティビティを収集および分析して、タスクの実行方法を理解し、非効率性を特定し、データに基づく意思決定を行うのに タスクマイニング がどのように役立つかについて説明します。

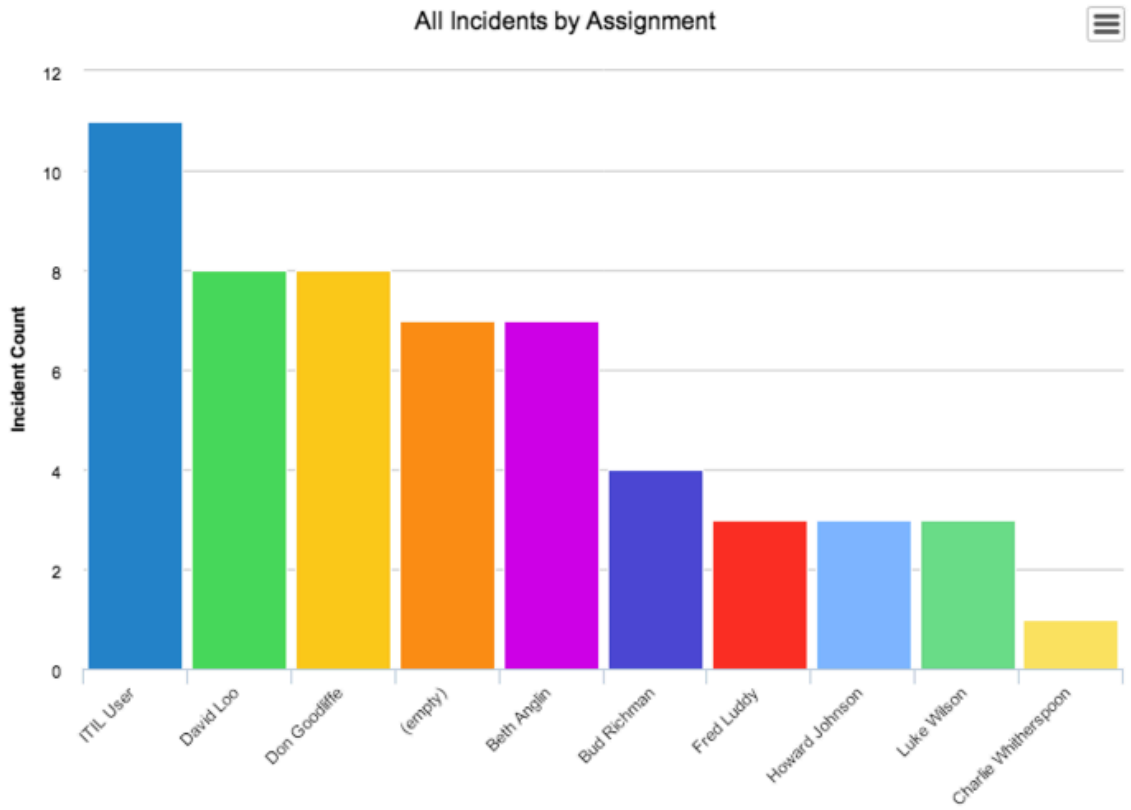


のレポートとダッシュボード コア **UI**

アドミニストレーターやその他のステークホルダーが、 コア UI ダッシュボードを使用してリアルタイムのデータレポートを操作し、傾向を分析できるようにします。データとビジネスゴールに合わせて、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを作成して定義し、それらの可視化を使用するクイックビューダッシュボードを構成します。アナリティクスハブ を使用して、オプションのアドオンとして詳細なデータ探索を実行し、アクティビティを経時的に調べ、スコアとベンチマークを比較し、その他のさまざまなターゲットや傾向を分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーションと機能

- プラットフォームアナリティクス移行センター
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス
-
- Now Assist パネルで会話型で可視化を作成
- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- インジケーターブレークダウン
- を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー
- KPI 詳細でインジケーターを探索
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
- プロセス最適化
- タスクマイニング
- のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI
- オートメーションディスカバリーによるワークフロー自動化の機会の特定

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

オプションのフィルターとともに、データの可視化とダッシュボードを通じて、プラットフォームアナリティクスを配布および消費します。KPI を検索し、データ内の重要なイベントに関するインサイトを受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスは、複数のデータソースのデータを可視化するための統一インターフェイスです。統一ナビゲーションでアクセス すべて > プラットフォームアナリティクス.

注: プラットフォームアナリティクスおよび移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスには、次の 2 つの主要なセクションがあります。

アナリティクスセンター

このページには、ブックマーク済みで会社認定済みのすべてのダッシュボードとデータの可視化が表示されます。さらにアナリティクス Q&A (自然言語を使用して質問することが可能で、関連するアナリティクスが可視化されて表示されるフィールド) も含まれます。

ライブラリ

ライブラリは、アクセスできるプラットフォームアナリティクスのビジュアルコンポーネントすべてと、これらのコンポーネントに適用されるユーティリティを一覧表示する一連のページです。独自のダッシュボード、データの可視化、およびフィルターを作成することもできます。適切なロールがあれば、作成したコンポーネントを共有ライブラリに追加できます。

注: ライブラリコンテンツのタブを含むアナリティクスセンターを独自の構成可能ワークスペースに追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

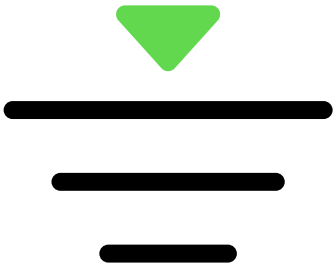
Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) ダッシュボード

自分がアクセス権を持つすべてのダッシュボードを表示し、自分が作成したダッシュボード、ブックマークしたダッシュボード、および認定されたダッシュボードでフィルタリングします。独自のダッシュボードを作成し、他のユーザーと共有することもできます。

データの可視化

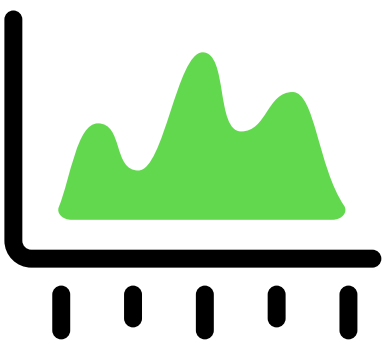
テーブル、インジケーター、またはその他のデータに基づいて可視化を作成、更新、認定、および共有して、他のユーザーと共有します。

プラットフォームアナリティクスフィルター



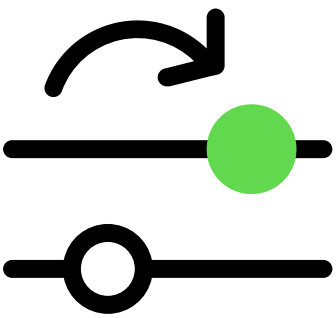
ダッシュボードのリストとデータの表示方法を、データ値、値が true か false、または日付でフィルタリングします。

KPI 詳細



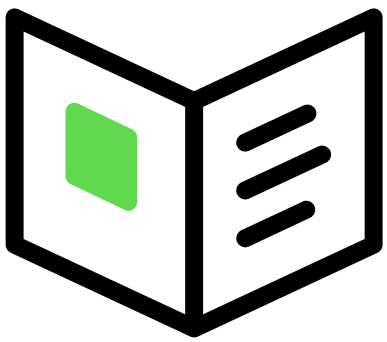
重要業績評価指標 (KPI) スコアの背後にある情報を掘り下げます。傾向、予測、および関連レコードを表示します。さまざまなブレークダウンと時間集計を試します。

KPI シグナル



ビジネスプロセスが予期しない動作をしたときに学習します。KPI スコアが大幅に変更された場合は、担当ユーザーに通知します。

参照



プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス全体のデータキャッシュ、ロール、およびテーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

developer.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

NowCreate

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://store.servicenow.com/store

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

自動翻訳

プラットフォームアナリティクス移行センター

コア UI データを移行すると、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクスに移動されます。移行をアクティブ化すると、結果として、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィルターが生成されます。

注:

プラットフォームアナリティクスおよび移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

ただし、 Zurich リリース以降、コア UI と プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの両方のダッシュボードと可視化が、 プラットフォームアナリティクス ライブラリに並べて配置されます。

移行が完了すると、コア UI レポート、PA ウィジェット、フィルターを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスダッシュボードに追加できなくなります。これらのダッシュボードには、移行されたコンテンツおよび プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成されたコンテンツのみを追加できます。

更新セットを使用してダッシュボードを移行することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行対象

移行プロセスでは、ダッシュボードのコンテンツを取得し、コア UI (クラシック環境のダッシュボードと可視化) から プラットフォームアナリティクス ライブラリに移行します。その後、統一ナビゲーションメニューからすべての分析にアクセスします。インジケーターを使用すると、重要な変更を警告するツールが表示されます。

注: リリースをアップグレードすると、移行センターは、以前は互換性がなかったコンテンツが互換性のあるものを自動的に移行します。

移行されないもの

簡単に言うと、ほとんどすべてが移行されます。ほとんどのコア UI ダッシュボードコンテンツがプラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでサポートされています。一部のコンテンツには、類似の プラットフォームアナリティクス 機能がありません。移行されていないコンテンツを含むダッシュボードで、iframe とも呼ばれるコンテナに移行されます。これを互換モードと呼びます。移行されないコンテンツの詳細については、「コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

移行プロセスとは

移行プロセスには、次の手順があります。

未使用のダッシュボードを削除

未使用のダッシュボードとレポートを削除して、プロセスを簡素化します。

- pa_dashboards.list に移動し、削除するダッシュボードを選択してから、 選択した行のアクション > 削除.
- 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > すべて、削除するレポートを選択し、 選択した行のアクション > 削除.

移行手順を実行します

この手順では、 プラットフォームアナリティクス に直接移行できるものと互換モードで移行できるものを識別します。

移行結果を確認

移行したくないダッシュボードやその他のコンテンツ (未使用のダッシュボード、古くなった可視化、期待どおりに機能しないフィルターなど) を特定できます。

移行のアクティブ化

移行するコンテンツの量によっては、アクティブ化に時間がかかる場合があります。

カスタムコンテンツの作成

UI ビルダーなどのツールを使用して、移行しないコンテンツのニーズを満たすカスタムコンテンツを作成できます。

メニューはどうなるか

移行前は、ユーザーは次の場所に移動していました セルフサービス > ダッシュボード ダッシュボードの概要を表示し、 部下 > 表示/実行 をクリックして、レポートのリストを表示します。移行を有効にすると、ダッシュボード、データの可視化、フィルター、KPI を含むすべてのアナリティクスコンテンツが プラットフォームアナリティクス > ライブラリー.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行オプションをブロック

[移動を開始] および [エクスペリエンスのアクティブ化] プラットフォームアナリティクス オプションを無効にすることができます。システムプロパティ com.glide.par.coreui.migration.enabled を作成し、 False に設定します。コンテンツを移行する前にプロパティを False に設定すると、両方のオプションが無効になります。コンテンツの移行後にプロパティを false に設定すると、[アクティブ化] ボタンのみが無効になります。

移行を開始し、互換モードのアーティファクトを表示し、問題を解決する場合は、移行の実行後にプロパティを False に設定して、エクスペリエンス プラットフォームアナリティクス アクティブ化されないようにします。移行プロセスを実行できない場合は、最初にプロパティを False に設定します。

詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

完全なデータ移行の実行

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

始める前に

必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化するには:admin。他のアドミンロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行センターにアクセスして移行を評価できます。

このタスクについて

このトピックでは、インスタンスがまったく新しい Xanadu、 Yokohama、または Zurich インスタンスではないことを前提としています。移行センターは、アップグレードするインスタンスでのみ使用できます。

単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。完全なテスト移行の結果に満足したら、本番インスタンスで移行を開始します。[コンテンツを試す] を選択して、限られた数のダッシュボードで出力をテストします。

注:

移行後にコア UI ダッシュボードを変更し、再度移行すると、変更されたダッシュボードによって元々移行されたダッシュボードが上書きされます。

移行された品目を非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

互換モードで移行されたダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

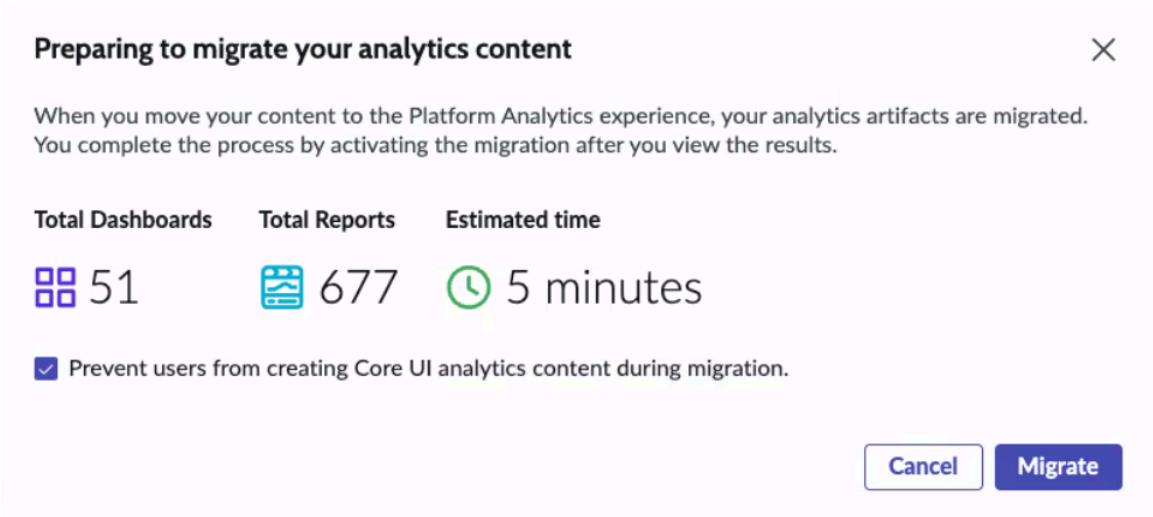
移行されたダッシュボードは、プラットフォームアナリティクスライブラリに表示されます。元のコア UI ダッシュボードへのリンクもライブラリにリダイレクトされます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 移行センター.
2. 「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの詳細」で、移行プロセスに関する情報を確認します。
   これらのタブには、移行プロセスに関する詳細情報と、 プラットフォームアナリティクスで期待できることが表示されます。
3. [移動を開始] を選択して、すべてのコンテンツを移行します。
   移行プロセスの長さは、インスタンスにあるダッシュボード、レポート、フィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの数によって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

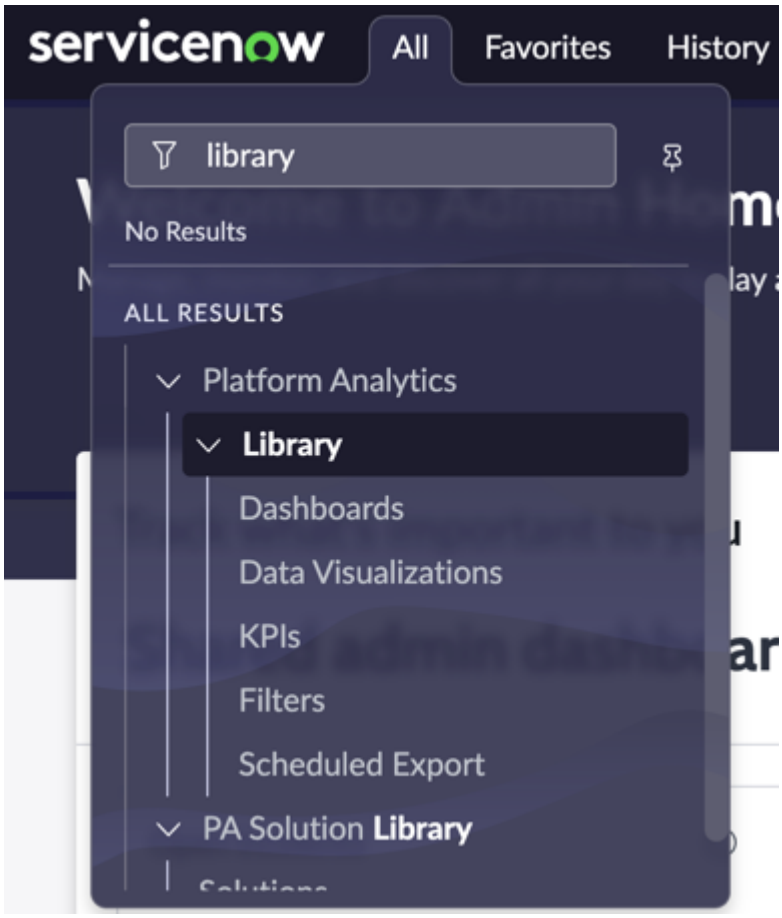


4. オプション: [移行中にユーザーがコア **UI** アナリティクスを作成できないようにする] を選択します。
   新しいコア UI アナリティクスコンテンツは、後で移行する必要がある場合があります。
5. [移行] を選択して、移行プロセスを開始します。
6. 結果を評価します。
7. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
   新しく移行されたコンテンツは、[アクティブ化] を選択するまで プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスで使用できません。以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続していたメニューアイテムは、新しい移行バージョンに自動的にリダイレクトされます。

結果
ダッシュボードとその他の移行されたコンテンツがライブラリの下に表示されるようになりました。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
完全なデータ移行を評価

完全なデータ移行を評価

移行プロセスが完了したら、結果を確認します。

始める前に
必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化するには:admin。他のアドミンロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行センターにアクセスして移行を評価できます。

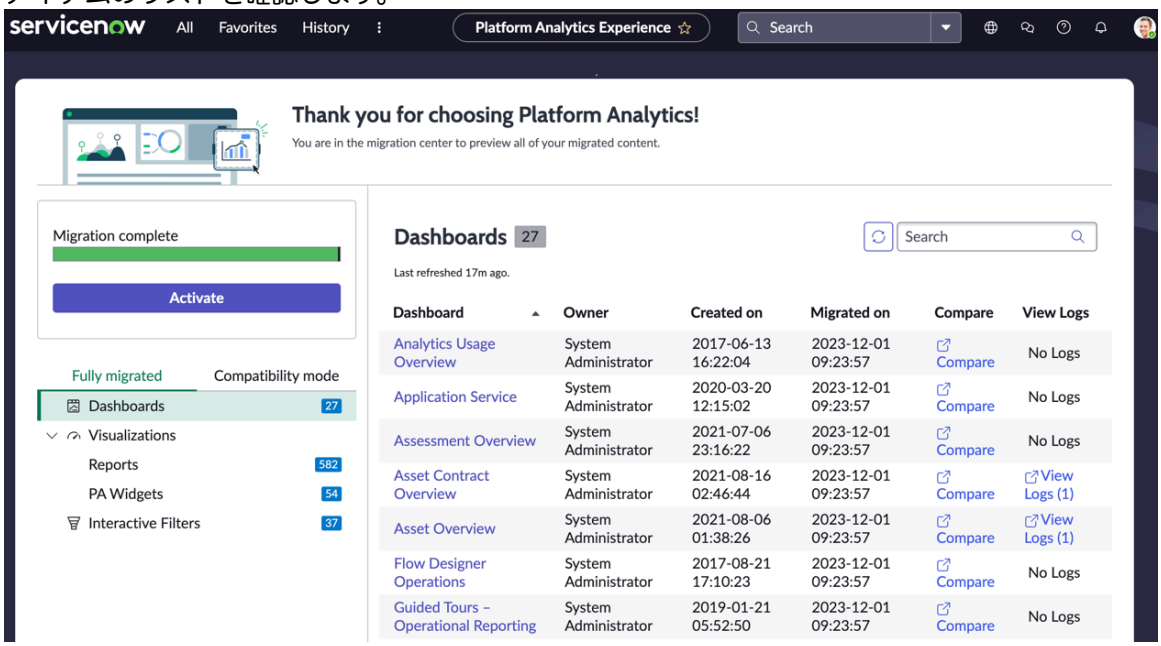
このタスクについて
データが移行されるとすぐに、移行の結果が表示されます。完全に移行されたコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを確認します。移行されたすべてのコンテンツを元のコア UI バージョンと比較できます。

自動翻訳

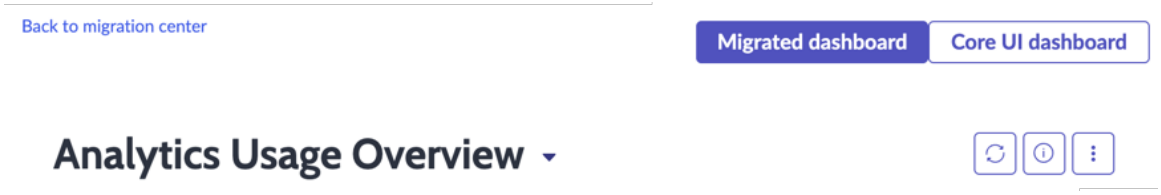
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移行センターで、[完全に移行済み] 列、[ダッシュボード]、[可視化]、[レポート]、[PA ウィジェット]、または [インタラクティブフィルター] からアイテムを選択して、移行されたすべてのアイテムのリストを確認します。



2. 任意のダッシュボードの [比較] リンクを選択すると、コア UI と移行されたコンテンツが連続して表示されます。



3. [互換モード] タブを選択して、コア UI ダッシュボードのコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを比較します。
4. [ログを表示] リンクを選択して、移行された各要素に関連する問題を確認します。
5. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
   以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続していたメニューアイテムは、新しい移行バージョンに自動的にリダイレクトされます。

   コア UI と プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの両方のダッシュボードと可視化は、 プラットフォームアナリティクス ライブラリに並べて配置されます。

データ移行の再起動

フルデータの後にコア UI コンテンツが変更された場合、および以前にサポートされていなかった機能が プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでサポートされるようになった場合に、移行を再開します。

このタスクについて

移行対象の変更されたアーティファクト、新しいコンテンツ、または新しくサポートされたコンテンツがある場合、移行センターにバナーと [再度移行] というラベルの付いたボタンが表示されます。

> **注:** リリースをアップグレードすると、移行センターは、以前は互換性がなかったコンテンツが互換性のあるものを自動的に移行します。

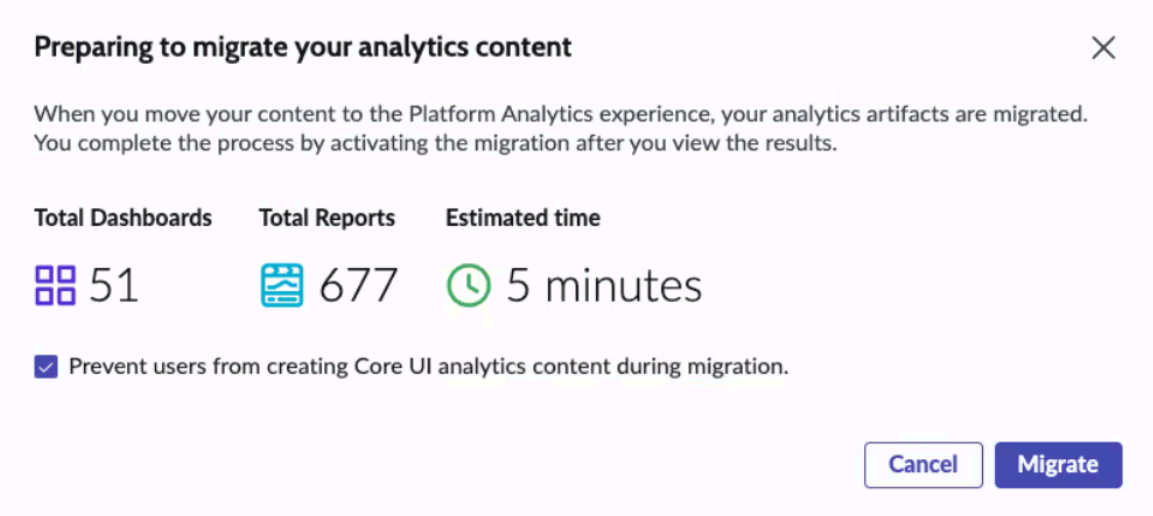
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 移行センター.
2. もう 一度 [移行] を選択します。
   移行プロセスの長さは、インスタンスにある新しいアーティファクトの数によって異なります。



3. オプション: [移行中にユーザーがコア **UI** アナリティクスを作成できないようにする] を選択します。

結果
変更されたコンテンツと新しいコンテンツは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。

次のタスク
新しく移行されたコンテンツを評価します。詳細については、「完全なデータ移行を評価」を参照してください。

アドミンのリダイレクトを設定する

移行されたレスポンシブダッシュボードは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスライブラリに自動的にリダイレクトされます。ただし、システムプロパティを設定して、sys_adminsのリダイレクトを指定することができます。

始める前に
必要なロール： sys_admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. ブールプロパティ *com.glide.par.coreui.migration.admin_redirection.enabled*を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sys_admin ロールを持つユーザーをレスポンシブダッシュボードから移行されたダッシュボードにリダイレクトするには、値を true に設定します。
- sys_admin ロールを持つユーザーがコア UI エクスペリエンスでレスポンシブダッシュボードを開くことができるようにするには、値を false に設定します。

  ブリッジングテーブルのダッシュボードが [アクティブなエクスペリエンス = 次へ] の場合、リダイレクトは移行されたバージョンのダッシュボードになります。

移行されたアーティファクトの場所

データ移行後、ダッシュボード、可視化、フィルターなどのアーティファクトはインスタンス内の別のテーブルに存在します。

admin、pa_admin、report_admin、または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、移行されたアーティファクトテーブルにアクセスできます。

これらのテーブルに加えて、スケジュール済みエクスポート UI フォーム用の仮想テーブルが snpar_sched_export_v_scheduled_export_visualizationです。

機能	コア **UI** テーブル	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンステーブル
ダッシュボード	pa_dashboards	par_dashboard
ダッシュボードグループ	pa_dashboards_group	analytics_category
部下	sys_report	par_visualization
PA ウィジェット	pa_widgets	par_visualization
インタラクティブフィルター	sys_ui_hp_publisher	par_component_filter
スケジュール済みレポート	sysauto_report	sysauto_par、par_export_visualization、par_

移行ログの場所

ブリッジングテーブルの各ダッシュボード、レポート、フィルター、およびダッシュボード要素 (ウィジェット) について、一連のログが保存されます。

admin、pa_admin、report_admin、または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、移行ログにアクセスできます。移行センター内からログを表示するか、関連するリストに移動してログを確認できます。

ログ	タイプ
par_coreui_migration_bridge_dashboard.list	ダッシュボードログ
par_coreui_migration_bridge_sysauto.list	スケジュール済みエクスポートログ
par_coreui_migration_bridge_widget.list	移行されたダッシュボード要素ログ
par_coreui_migration_bridge_component.list	ダッシュボードの外部に移行するときに、レポート、PA ウィジェット、およびフィルターに関連付けられるログ

注: 非互換性などの否定的なイベントのみがログに記録されるため、ログが空になることがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの部分的な移行の実行

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、パフォーマンスアナリティクスウィジェットの一部を プラットフォームアナリティクスに移行します。移行は、コンテンツの一部またはすべてを移行する場合でも同じように機能します。ただし、プロセスを評価するため、または多数のダッシュボードがありセグメント単位で移行する場合は、コンテンツの一部を移動できます。

始める前に

必要なロール:所有するすべてのダッシュボードを移行できます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードを移行できます。

このタスクについて

まず、単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。満足のいく結果が得られたら、本番インスタンスで移行を開始します。

注:

ダッシュボードのコンテンツが 1 つのダッシュボードでのみ使用されている場合、移行後はそのダッシュボードでのみ使用可能になります。複数のダッシュボードで使用される場合、そのコンテンツは プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスライブラリに移行されます。

移行後にコア UI ダッシュボードを変更し、再度移行すると、変更されたダッシュボードによって元々移行されたダッシュボードが上書きされます。

移行されたアーティファクトを非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

移行されたダッシュボードを削除した場合、インスタンスで完全な移行が実行されても、そのダッシュボードは移行されません。このトピックの手順を使用して、再度移行できます。コア UI ダッシュボードを再移行する場合は、ダッシュボードコンテンツが重複しないように、既存の移行済みダッシュボードを削除してください。

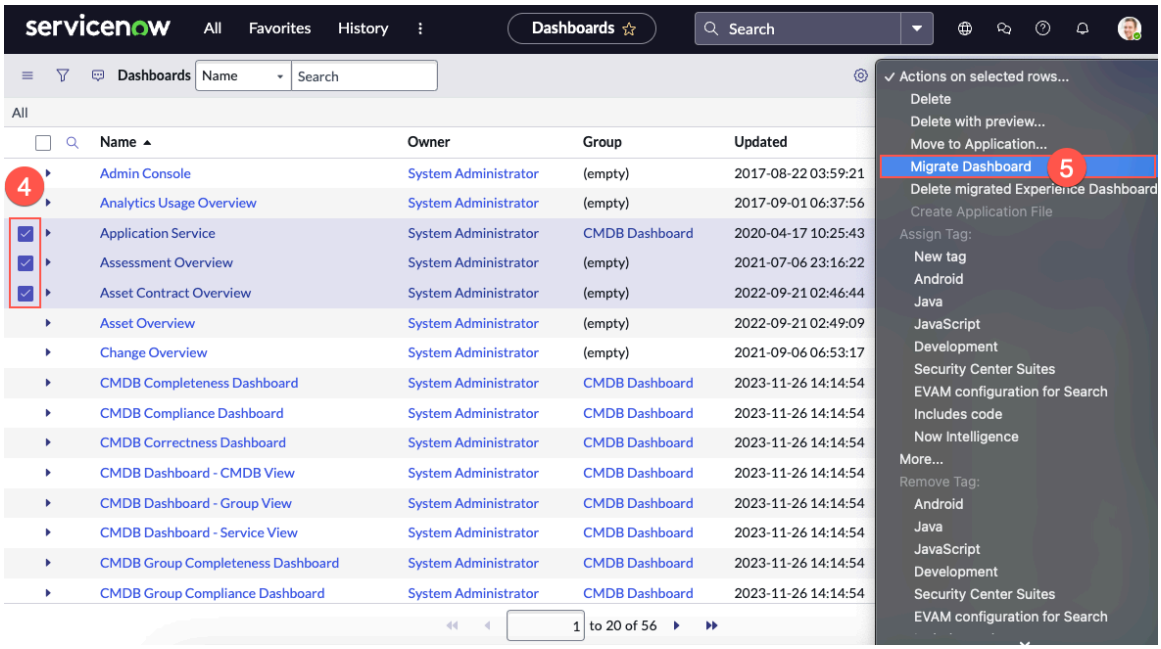
移行されたダッシュボードがプラットフォームアナリティクスライブラリに表示されます。元のコア UI ダッシュボードへのリンクもライブラリにリダイレクトされます。

手順

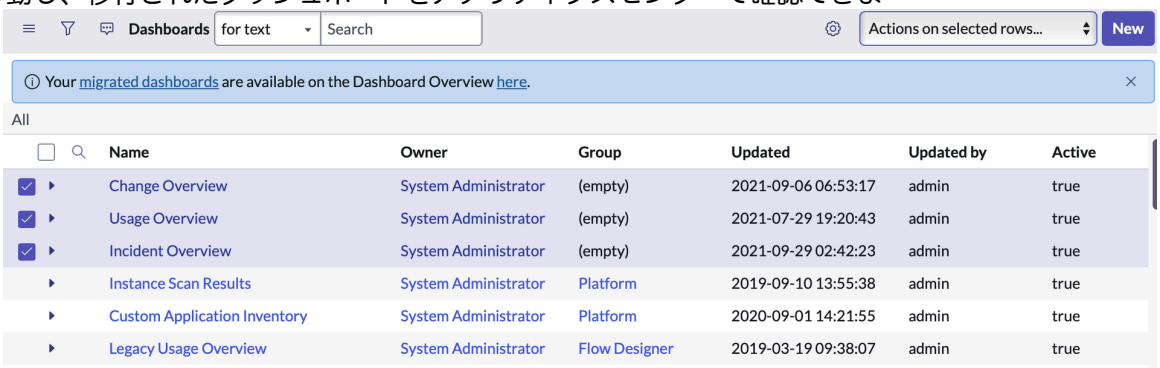
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 移行センター.
   移行プロセスに既に慣れている場合は、 pa_dashboards.list に移動し、ステップ 4 の指示に従います。
2. 「 プラットフォームアナリティクスの詳細」で移行プロセスに関する情報を確認します。
3. [コンテンツを試す] を選択して、 プラットフォームアナリティクスするデータのサブセットを選択します。
4. [ダッシュボード] リストで、移行するダッシュボードを選択します。
5. [選択した行のアクション] メニューから [ダッシュボードを移行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 移行が完了したら、バナーリンクを選択して、移行されたダッシュボードをダッシュボードの概要に表示します。
最初のリンクをクリックすると、PAR ダッシュボードリストに移動します。そこでダッシュボードのフォームを確認できます。2 つ目はダッシュボードの概要に移動し、移行されたダッシュボードをアナリティクスセンターで確認できます。



自動翻訳

次のタスク

移行されたダッシュボードに、完全に移行されたコンテンツまたは iFrame コンテンツとして、コア UI ダッシュボードのすべての機能が含まれていることを確認します。詳細については、「コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

所有しているダッシュボードを移行する

レポート、インタラクティブフィルター、パフォーマンスアナリティクスウィジェットなど、所有するダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

始める前に

必要なロール:所有するすべてのダッシュボードを移行できます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードを移行できます。

このタスクについて

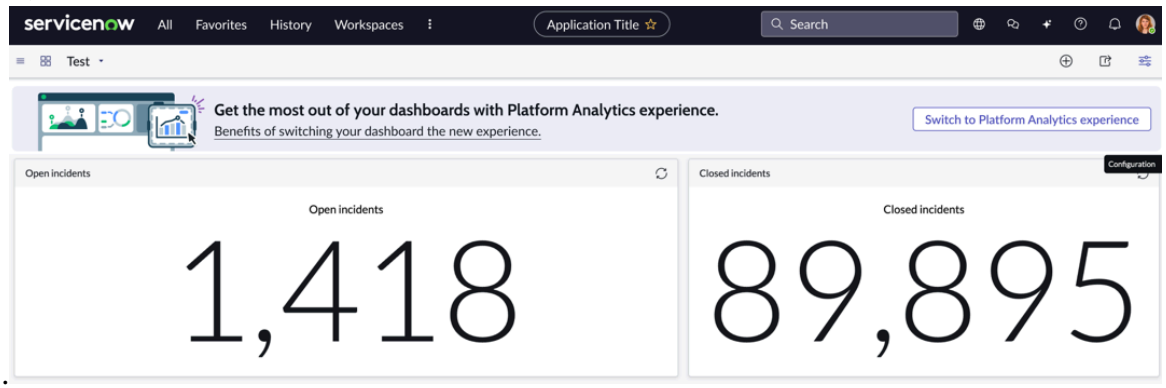
移行とそのメリットについては、「 プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ダッシュボードのコンテンツが 1 つのダッシュボードでのみ使用されている場合、移行後はそのダッシュボードでのみ使用可能になります。複数のダッシュボードで使用される場合、そのコンテンツは プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスライブラリに移行されます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード



ド.

2. 移行するダッシュボードを選択します。
3. [プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに切り替え] を選択します。
   これにより、ダッシュボードがコア UI から新しいエクスペリエンスに変換され、古いバージョンが非アクティブとしてマークされ、変換されたダッシュボードが開きます。

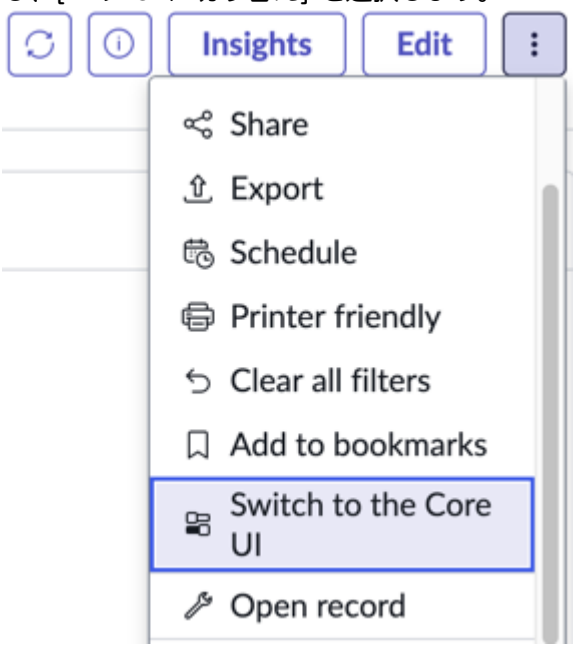
結果

移行されたダッシュボードがプラットフォームアナリティクスライブラリに表示されます。元のコア UI ダッシュボードへのリンクもライブラリにリダイレクトされます。

次のタスク

移行されたダッシュボードに、コア UI ダッシュボードのすべての機能が、完全に移行されたコンテンツまたは iframe コンテンツとして含まれていることを確認します。詳細については、「コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

移行されたダッシュボードをロールバックするには、[その他のアクション] メニュー ([⋮]) を選択し、[コア **UI** に切り替え] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一のダッシュボードの移行を無効にする

所有者が所有するダッシュボードを移行できるように、個々のダッシュボードのバナーを非表示にします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
システムプロパティを追加して、ユーザーが自分のダッシュボードを移行できないようにします。

手順

1. 移動先 **sys_properties.list**.
2. システムプロパティ *com.glide.par.coreui_single_migration*を追加します。
   詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。
3. *com.glide.par.coreui_single_migration* を false に設定します。

結果
個々のダッシュボードをコア UI からネクストエクスペリエンスに変換するボタンを含むバナーは非表示になっています。

選択したコア **UI** レポートを移行する

コア UI レポートの一部を プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

始める前に
必要なロール:admin、report_admin、または dashboard_admin

このタスクについて
ユーザーは、これらの移行されたレポートを プラットフォームアナリティクス ライブラリで見つけることができます。元のレポートには Active=False というラベルが付けられています。

> **注:** コア UI レポートを使用するダッシュボードでは編集目的でアクセスする必要があるため、コア UI レポートから移行されたデータ可視化への自動リダイレクトはありません。

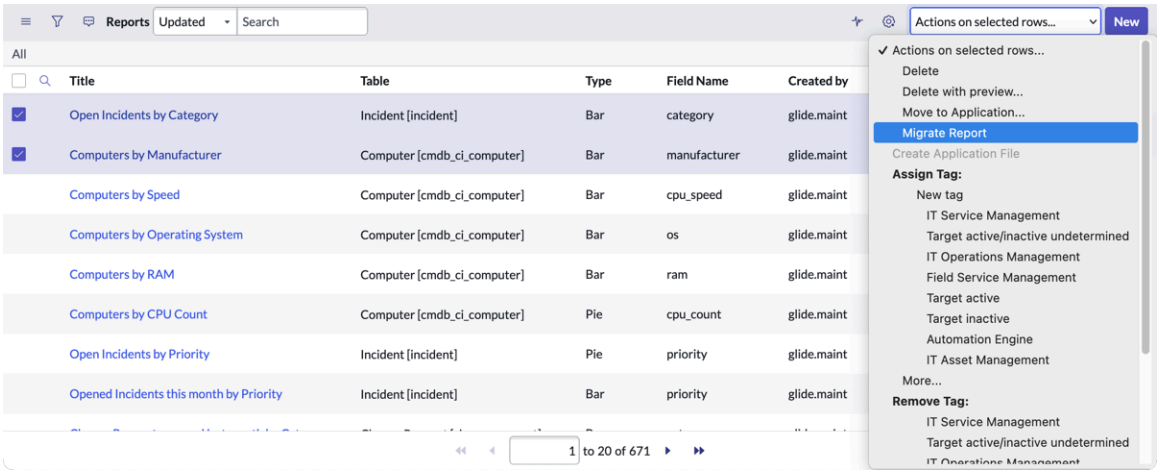
手順

1. sys_report.list に移動します。
2. [レポート] リストで、移行するレポートを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから、[レポートの移行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

互換性のないレポートがある場合は、「X / Y レポートを移行しています」というメッセージが表示されま



す。

4. 移行が完了したら、バナーリンクを選択して、 プラットフォームアナリティクス データ可視化ライブラリに移行されたレポートを表示します。

次のタスク

移行された可視化にコア UI レポートのすべての機能が含まれていることを確認します。詳細については、「コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました」を参照してください。

特定のアーティファクトの移行をブロック

完全移行を実行する前に、移行プロセスから除外するアーティファクトにフラグを付けることができます。

始める前に

必要なロール：admin。

手順

1. 次のいずれかのテーブルに移動して、アーティファクトを選択します。

テーブル	コンテンツ
sys_report.list	コア UI データの可視化 (レポート)
pa_widgets.list	パフォーマンスアナリティクスウィジェット
sys_ui_hp_publisher.list	インタラクティブフィルター
pa_dashboards.list	レスポンシブダッシュボード

2. [リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、リストに列を追加します。
3. 移動 [選択済み] 列に一括移行しないでください。
4. [一括移行は行わないでください] 列で、除外するアーティファクトのフラグを false から true に変更します。
   複数の連続するフィールドまたは連続していないフィールドを選択できます。詳細については、「リストエディターを使用したリスト内の複数のレコードの編集」を参照してください。
5. オプション: フラグを変更できない場合は、列のリストコントロールを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [一括移行しない] 列タイトルにカーソルを合わせ、 列オプション (列

を展開します。

b. 選択 構成 > リストコントロール.

c. [リスト編集タイプ] フィールドを [リスト編集の無効化] から [行ごとにデータを保存] に変更します。

d. **[Update** (更新)] を選択します。
これで、[一括移行しない **(Do not migrate in bulk**)] 列のフラグを変更できるようになりました。

結果
完全なデータ移行を実行すると、選択したアーティファクトは除外されます。完全移行をトリガーすると、除外されたコンテンツは関連リストに表示されません。

次のタスク
移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 移行センター して、インスタンス上の他のアーティファクトの移行を続行します。詳細については、「完全なデータ移行の実行」を参照してください。

コンテンツが移行されていないか、互換モードで移行されました

ほとんどのダッシュボードコンテンツは新しい プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。ただし、一部の可視化、可視化の側面、フィルター、および構成は移行できません。このコンテンツを含むダッシュボードは埋め込みコンテンツ (iframe) として移行され、互換モードとも呼ばれます。

注: 既に プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行している場合、移行センターは、リリースをアップグレードすると互換性が増えた、以前は互換性がなかったコンテンツを自動的に移行します。

移行されていません

移行されない唯一の汎用ダッシュボード構成は、ウィジェットタイトルの配置です。

移行されていないフィルター

- グループのフィルター
- デバッグ フィルター
- ダッシュボードからのユーザー設定のフィルタリング

移行されない可視化構成:

- 部分的な移行に関する別のレポートへのレポートのドリルダウン。

  完全移行時には、別のレポートへのレポートのドリルダウンがサポートされます。

- 簡易リストの可視化の完了率フィールドの進捗状況バー。
- 特定のロールへのダッシュボードアクセスの制限。

移行されないインジケーター/ブレークダウンスコアカード要素:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 配布を表示
- ブレットグラフを表示

移行されないカレンダーコンポーネント要素:

- 年次ビュー
- に基づくハイライト表示

互換モードの移行

互換モードでの移行とは、ダッシュボードの元のアーティファクトがすべて、iframe で移行されたダッシュボードに挿入されることを意味します。元のコンテンツは変更または移動されません。

すべてのカスタムインタラクティブフィルター、カスタムコンテンツブロック、ゲージ、ガジェットなど、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、レポート、またはインタラクティブフィルター以外のコンテンツを含むダッシュボードは、互換モードで iframe として移行されます。

注: 互換モードで移行されたダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

汎用構成

互換モードで移行された汎用可視化構成:

- ドット連結フィールドでソート
- 変数/質問に関するレポート
- レポートデザイナーで構成されたリストのデフォルトのドリルダウンビュー
- ブレークダウン要素 = 選択肢フィールドに基づくブレークダウンの場合は空
- 選択肢フィールドの順序に基づいてブレークダウン パフォーマンスアナリティクス ソート
- X 期間過去の比較による単一スコア
- 要素フィルターでのピボットスコアカードのサポート
- 期間フィールドに基づくグループ
- インジケータースコアカードと可視化の関連するインジケーターに対するさまざまなフォローフィルター
- フィルター/データの可視化での階層ブレークダウンのサポート

リストのスコアカード構成

互換モードで移行されたスコアカード構成のリスト:

- キーインジケーターを表示
- フィルター基準:パフォーマンスが最高、パフォーマンスが最低、改善、悪化
- 追加のインジケーターに対するさまざまなフォローフィルター

部下

互換モードで移行されたレポート:

- コントロール
- Trendbox グラフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ヒストグラム
- じょうごグラフ
- ピラミッドグラフ

パフォーマンスアナリティクス ウィジェット

パフォーマンスアナリティクス 互換モードで移行されたウィジェット:

- ワークベンチ
- テキストアナリティクス
- ツリーマップ
- 前期のチャート
- スパイダー
- じょうごグラフ
- ピラミッドグラフ
- 相対比較

移行されたダッシュボードをロールバック

移行された プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI ダッシュボードに戻します。

このタスクについて

変更されていない プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI 形式に戻すことはできますが、コンテンツは iframe 化されます。これは、ダッシュボードにカスタムチャート、カスタムコンテンツブロック、またはカスタムインタラクティブフィルターがある場合に便利です。

注: テクニカルダッシュボードをロールバックすることはできません。

始める前に

必要なロール:dashboard_admin

手順

1. par_dashboard.list に移動します。
2. リスト上のダッシュボード名の横にある 1 つ以上のボックスをオンにします。
   テクニカルダッシュボードは、[エクスペリエンス] 列のフレーズ Advanced Dashboards で識別されます。
3. [選択した行のアクション] メニューから [ロールバック] を選択します。

結果

ダッシュボードライブラリから表示されるロールバック済みダッシュボードのバージョンは、Next Experience バージョンではなくコア UI バージョンです。

レスポンシブでないダッシュボードを移行する

誰も開いていないレスポンシブでないダッシュボードは、タブが空の プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。移行する前に、コア UI でこれらのダッシュボードを開いて入力します。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

未オープンでレスポンシブでないダッシュボードには空のキャンバスページがあります。この問題は、ソリューションダッシュボードだけでなく、ユーザーが作成するダッシュボードにも影響します。ダッシュボードを開くと、移行センターが検索するキャンバスページが作成されます。キャンバスページを作成したら、移行を再トリガーして、ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスバージョンを作成します。

手順

1. pa_dashboards.list に移動します。
2. 問題のあるレスポンシブでないダッシュボードをそれぞれ開きます。
3. 完全なデータ移行の実行 をクリックして、これらのダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

プラットフォームアナリティクス移行テーブル

プラットフォームアナリティクス への移行プロセスでは、次のテーブルが使用されます。ブリッジングテーブルの各行には、移行タイプ (一括、所有者、リスト、またはアップグレード) が記載されています。

テーブル	説明
par_coreui_migration_bridge_component	ダッシュボードの外部に移行されたレポート、PA ウィジェット、フィルターが一覧表示されます。 • [一括] は、移行センターからの移行を示します。 • リストと所有者は部分的な移行を示します。 • アップグレードは、アップグレードのコンテキストでの一括移行でサポートされているダッシュボードを示します。
par_coreui_migration_bridge_dashboard	ダッシュボードの移行ログをリストします。
par_coreui_migration_bridge_sysauto	スケジュール済みエクスポートログをリストします。
par_coreui_migration_bridge_widget	移行されたダッシュボードの要素を一覧表示します。

のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

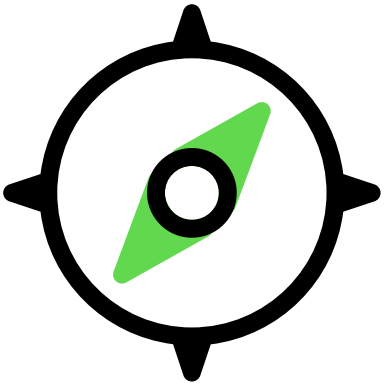
ダッシュボードは、データを視覚的に整理して共有するためのキャンバスです。これには、データの可視化、フィルター、およびその他の視覚要素が含まれています。

ライブラリコンテンツ、新しい可視化、フィルターを含むプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの作成と入力の概要。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

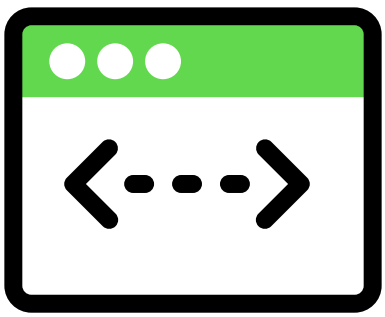
開始

探索



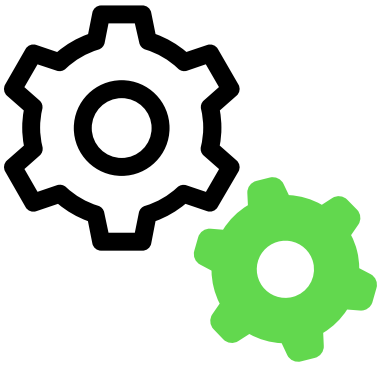
ダッシュボードのレイアウトとコンテンツ、およびライブラリ内でダッシュボードを見つける方法のガイド

作成、編集、共有



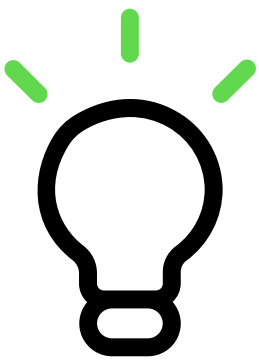
最も一般的なダッシュボードタスクを実行するための手順

構成



所有者またはアドミニストレーターとしてリフレッシュ期間およびその他の 1 回限りの設定を行います

プロアクティブなアナリティクスインサイト

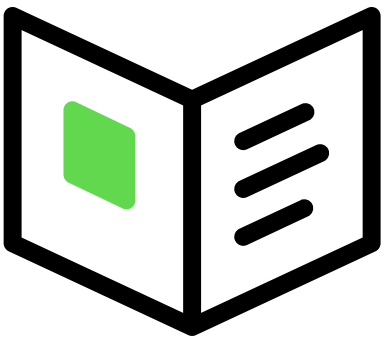


インジケーターデータソースからのインサイトの抽出を自動化する

テクニカルダッシュボード

ダッシュボードを UI ビルダー ページとして作成し、UI ビルダーすべてのカスタマイズ性と複雑さを備えています。開発者専用。

参照



ロールと翻訳可能フィールド

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- ダッシュボードや プラットフォームアナリティクス 一般的に ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細

プラットフォームアナリティクスダッシュボードを使用して、ビジュアル形式でデータにアクセスし、整理し、共有します。

ダッシュボードの概要

自分がアクセスする権限を持つすべてのダッシュボード、自分が所有しているダッシュボード、自分がブックマークしたダッシュボード、自分と共有されているダッシュボードを確認するには、次の場所に移動します。 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.

詳細については、「ライブラリ内のダッシュボード」を参照してください。

admin ロールを持つユーザーのダッシュボード

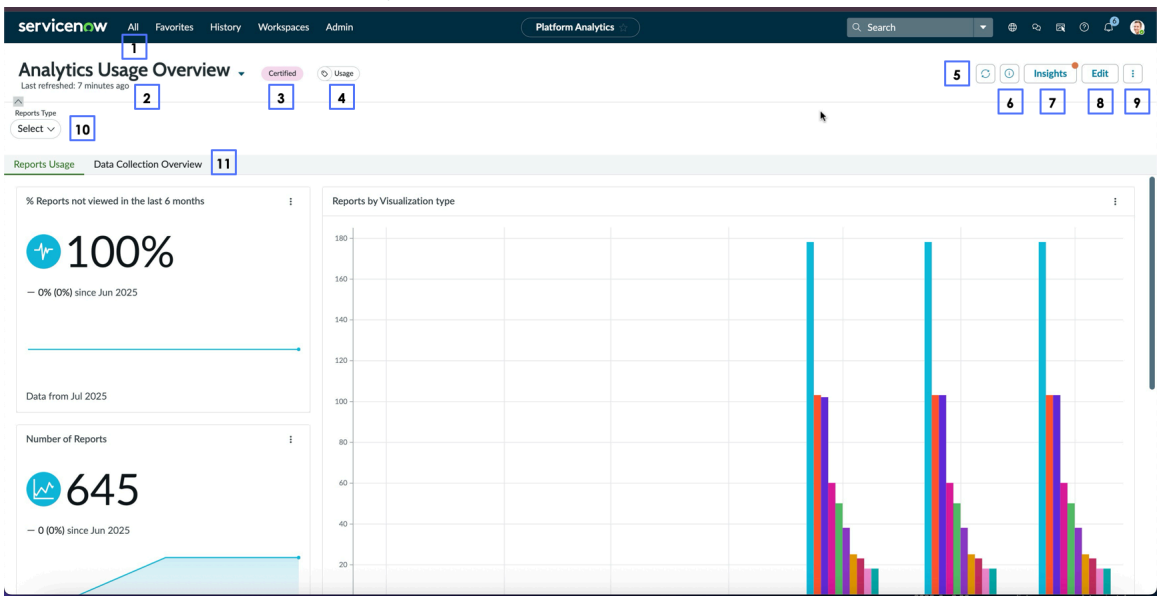
[ダッシュボード] ページの構成とデータアクセスは、ユーザーロールによって異なります。admin ロールを持たないユーザーは、admin ロールを持つユーザーと比較して制限された機能を持ちます。admin ロールを持つユーザーは、カテゴリの非アクティブ化、アクティブ化、削除、作成などのアクションを実行できます。

詳細については、「admin ロールを持つユーザーのダッシュボード」を参照してください。プラットフォームアナリティクス のアドミンロールのタイプの詳細については、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

ダッシュボードコンポーネント

ダッシュボードを開くと、コンポーネントを表示できます。

インラインダッシュボードコンポーネント



1. ダッシュボードタイトル

   ダッシュボードのタイトルを表示します。矢印を選択して、別のダッシュボードを選択します。

2. 情報をリフレッシュ

   ダッシュボードが最後に更新された時刻または期間が表示されます。admin ロールを持つユーザーは、リフレッシュ間隔を設定できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 認定バッジ

   ダッシュボードが会社によって承認され、使用が推奨されているかどうか。

4. カテゴリバッジ

   1 つ以上のダッシュボードカテゴリを説明する用語またはフレーズ。この情報は、ダッシュボード作成者またはanalytics_categories_adminによって提供されます。

5. [更新] ボタン

   ダッシュボードのすべての可視化を更新するためのボタン。

6. [詳細] ボタン

   所有権を表示し、ダッシュボードに関する情報を共有するためのボタン。ユーザー、グループ、ロール、およびアクセス権限を表示できます。詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

7. [インサイト] ボタン

   インサイトカードを表示するためのボタン。詳細については、「ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト」を参照してください。

8. [編集] ボタン

   ダッシュボードを編集するためのボタン。admin ロール、編集権限、およびダッシュボードの所有権を持つユーザーのみが、ダッシュボードのコンテンツを編集できます。

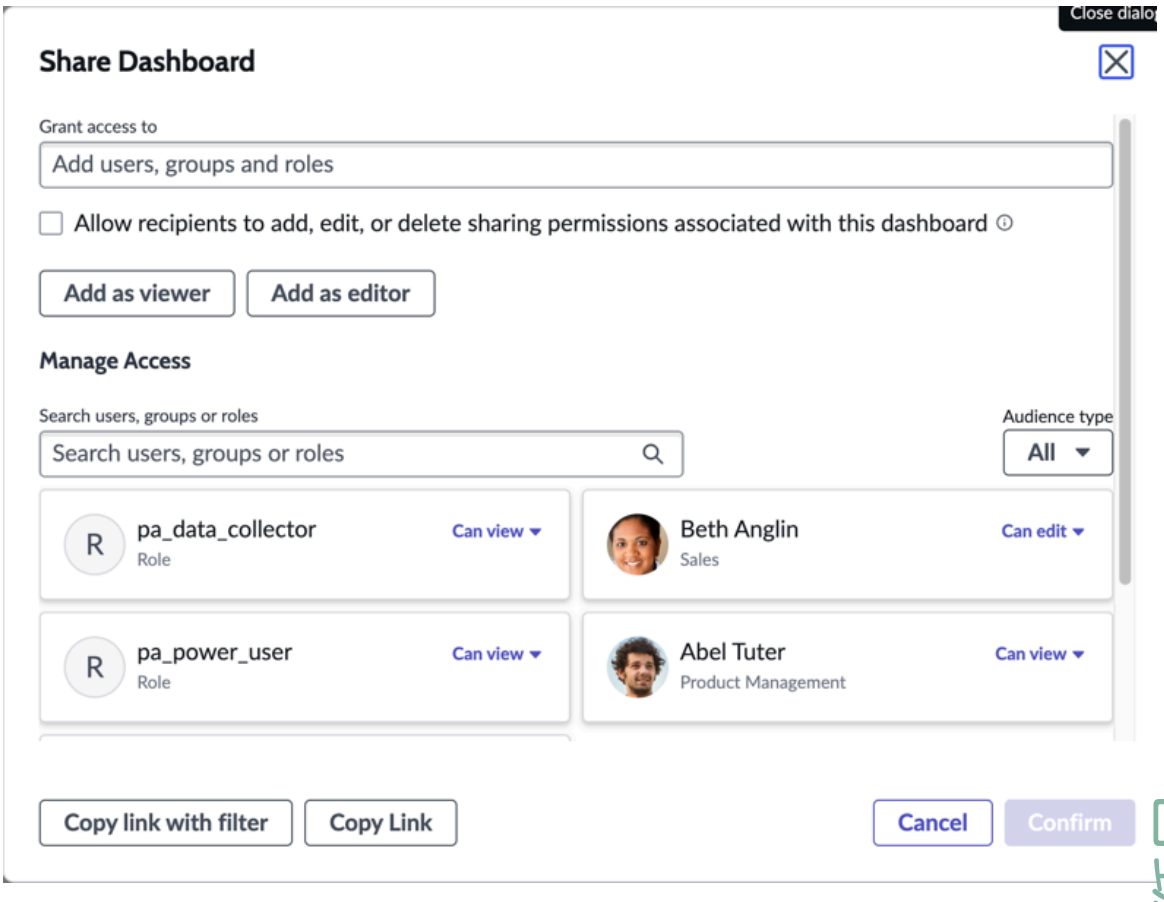
9. [その他のアクション] ボタン

   ダッシュボードの作成、複製、共有、印刷、ブックマーク、フィルターのクリア、または削除を行うためのボタン。ダッシュボード情報の共有の詳細については、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードを共有する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 共有



10. トップステージ

    どのタブにフォーカスがあるかに関係なく表示される要素。このセクションのフィルターは、すべてのタブの可視化に適用されます。

11. タブ

    ダッシュボードの情報を管理し、関連情報を同じ場所に保持するためのタブ。

ライブラリ内のダッシュボード

プラットフォームアナリティクスダッシュボードを使用して、ビジュアル形式でデータにアクセスし、整理し、共有します。ダッシュボードには、データの可視化、フィルター、およびその他の視覚要素が含まれています。

ダッシュボードの概要

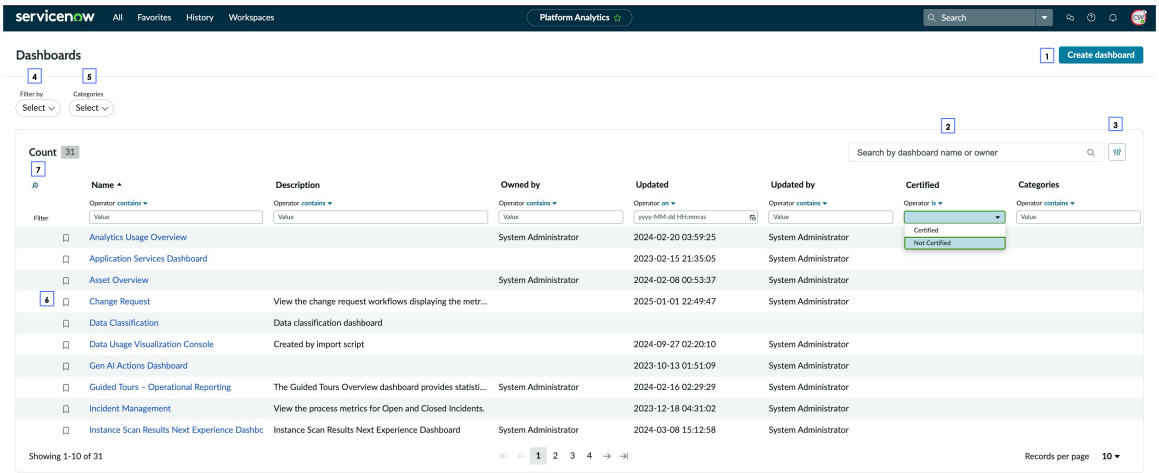
プラットフォームアナリティクス でダッシュボードを検索するには、次に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード. インスタンスに統一アナリティクスをインストールして有効にすると、プラットフォームアナリティクスダッシュボードライブラリにコア UIエクスペリエンスダッシュボードとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの両方を検索できます。

[ダッシュボード] ページの構成とデータアクセスは、ユーザーロールによって異なります。admin ロールを持たないユーザーは、admin ロールを持つユーザーに比べて制限された機能を持ちます。プラットフォームアナリティクス のアドミンロールのタイプの詳細については、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。admin ロールを持つユーザーのダッシュボードの詳細については、「 admin ロールを持つユーザーのダッシュボード」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、admin ロールを持たないユーザーのために プラットフォームアナリティクス ダッシュボードライブラリに表示される内容を示しています。

プラットフォームアナリティクス プラットフォームアナリティクスの **admin** ロールを持たないユーザー向けのダッシュボードライブラリ



次の表は、admin ロールを持つユーザーと持たないユーザーが [ダッシュボード] ページで表示できる共通の要素を示しています。画像内の番号付き吹き出しとその表の説明を参照してください。

admin ロールを持つユーザーと持たないユーザーの共通ダッシュボード要素

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
1	ダッシュボードの作成	ダッシュボードを作成するためのオプション。ダッシュボードの作成の詳細については、「インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。
2	検索	名前または所有者でダッシュボードを検索するためのオプション。
3	リストをカスタマイズ	[ダッシュボード] リストの列を追加または削除するためのオプション。
4	フィルター基準	ダッシュボードリストをフィルタリングして、次の条件に基づいてデータを表示するためのオプション。 • ブックマークされました。ブックマークされたダッシュボード。ダッシュボードをブックマークすると、それらを見つけることができます。ダッシュボードのブックマークの詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのブックマーク」を参照してください。 • 認定済み。アドミニストレーターによって認定されたダッシュボード (会社が承認し、使用を推奨している)。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。 • 私が所有しています。自分が所有するダッシュボード。 • 最近自分が開いた。最近開いたダッシュボード。 • 自分と共有しました。他のユーザーが自分と共有したダッシュボード。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

admin ロールを持つユーザーと持たないユーザーの共通ダッシュボード要素 (続く)

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
5	カテゴリ	ダッシュボードで利用可能および適用されたカテゴリを表示および選択するオプション。platform_analytics_admin権限を持つユーザーは、ダッシュボードのカテゴリを作成してカスタマイズできます。ダッシュボードカテゴリの作成の詳細については、「ダッシュボードカテゴリの作成」を参照してください。

6	ダッシュボードリスト	すべてのダッシュボードのリスト。リストをカスタマイズしたり、[名前]、[説明]、[ビュー]、および [認定] でソートしたりすることもできます。
		
		すべてのユーザー (admin ロールの有無にかかわらず) は、次の列を表示できます。
		• 名前:ダッシュボードの名前。
		• 説明:ダッシュボードの説明。
		• 所有者:ダッシュボードの作成者/所有者の名前。
		• 更新日時:ダッシュボードが最後に更新された日付とタイムスタンプ。
		• 更新者:ダッシュボードを最後に更新したユーザーの名前。
		• 認定済み:ダッシュボードの認定ステータス:
		  ○ 認定:ダッシュボードが会社で承認され、使用が推奨されている場合に選択されます。
		  ○ 未認定:ダッシュボードが会社によって承認されておらず、使用が推奨されていない場合に選択されます。
		• カテゴリ:ダッシュボードに関連付けられているカテゴリ。

7	列フィルター	ダッシュボードに列フィルターを表示して、指定された条件に基づいて列のデータをフィルタリングするためのオプション。デフォルトでは、 列フィルター はオフになっています。

admin ロールを持つユーザーのダッシュボード

プラットフォームアナリティクスダッシュボードを使用して、ビジュアル形式でデータにアクセスし、整理し、共有します。ダッシュボードには、データの可視化、フィルター、およびその他の視覚要素が含まれています。

ダッシュボードの概要

プラットフォームアナリティクス でダッシュボードを検索するには、次に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード. admin ロールを持つユーザーの場合、ダッシュボードページには、アドミニストレーターがダッシュボードを効率的に管理するのに役立つツールが含まれています。アドミニストレーターは、使用状況を監視し、ダッシュボードの削除や非アクティブ化などのダッシュボード固有のタスクを実行し、フィルターを使用して重要なインサイトを特定することもできます。

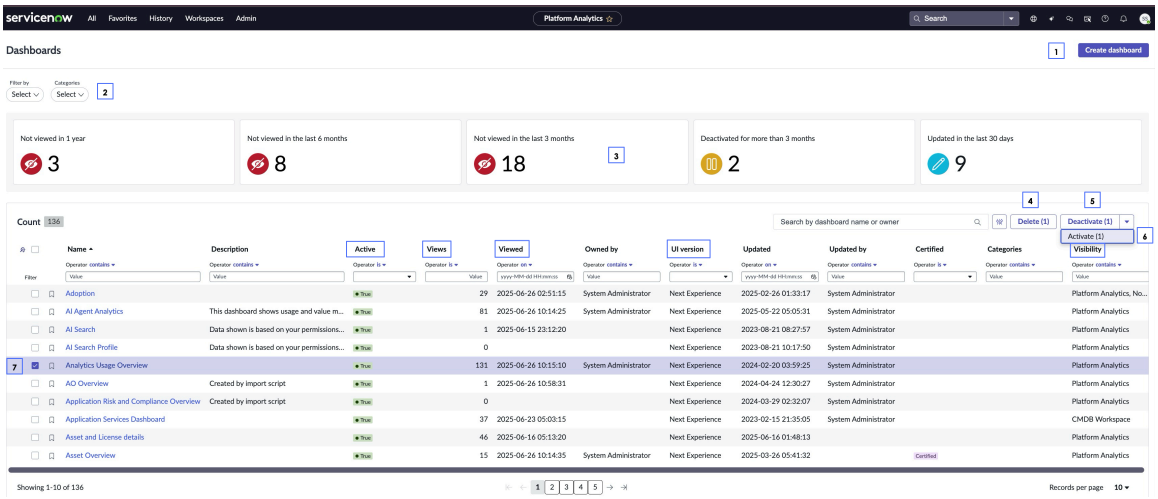
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

admin ロールを持つユーザーのダッシュボード

次の例は、admin ロールを持つユーザーにのみ表示されるすべての共通要素と追加要素を含むダッシュボードライブラリを示しています。説明 admin ロールを持つユーザー向けの追加のダッシュボード要素 表を参照してください。

プラットフォームアナリティクス admin ロールを持つユーザーのダッシュボードライブラリ



次の表は、[プラットフォームアナリティクス ダッシュボード] ページが admin ロールを持つユーザーに提供する機能を示しています。画像内の番号付き吹き出しとその表の説明を参照してください。

admin ロールを持つユーザー向けの追加のダッシュボード要素

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
1	ダッシュボードの作成	ダッシュボードを作成するオプション。 admin ロールを持つユーザーは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスが有効になっているインスタンスにコア UIダッシュボードを作成できます。
2	カテゴリ	ダッシュボードで利用可能で適用されたカテゴリ。 admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードのカテゴリを作成およびカスタマイズできます。ダッシュボードカテゴリの作成の詳細については、「 ダッシュボードカテゴリの作成」を参照してください。
3	ダッシュボードの単一スコア	ダッシュボードスコア。これらのスコアは、次のフィルター条件に基づく主要なダッシュボード統計情報を強調表示します。 • 1 年間未閲覧 • 過去 6 か月未閲覧 • 過去 3 か月未閲覧 • 3 か月以上非アクティブ • 過去 30 日間に更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

admin ロールを持つユーザー向けの追加のダッシュボード要素 (続く)

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
		スコアを選択してフィルタリングし、条件に一致するダッシュボードを表示します。
4	削除	選択したダッシュボードを削除するオプション。
5	非アクティブ化	選択したダッシュボードを非アクティブ化するオプション。
6	アクティブ化	選択したダッシュボードをアクティブ化するオプション。
7	ダッシュボード列	admin ロールを持つユーザーの場合に表示される追加の列: • アクティブなダッシュボード:ダッシュボードのステータス: ○ アクティブ ○ 非アクティブ • ビュー:ライブラリ内のダッシュボードのビュー数。 • 表示:ダッシュボードが最後に表示された日時。 • UI バージョン:ダッシュボードの UI バージョン: ○ ネクストエクスペリエンス ○ コア UI • 可視化:ダッシュボードを追加できるワークスペース。ワークスペースにダッシュボードを追加する方法の詳細については、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

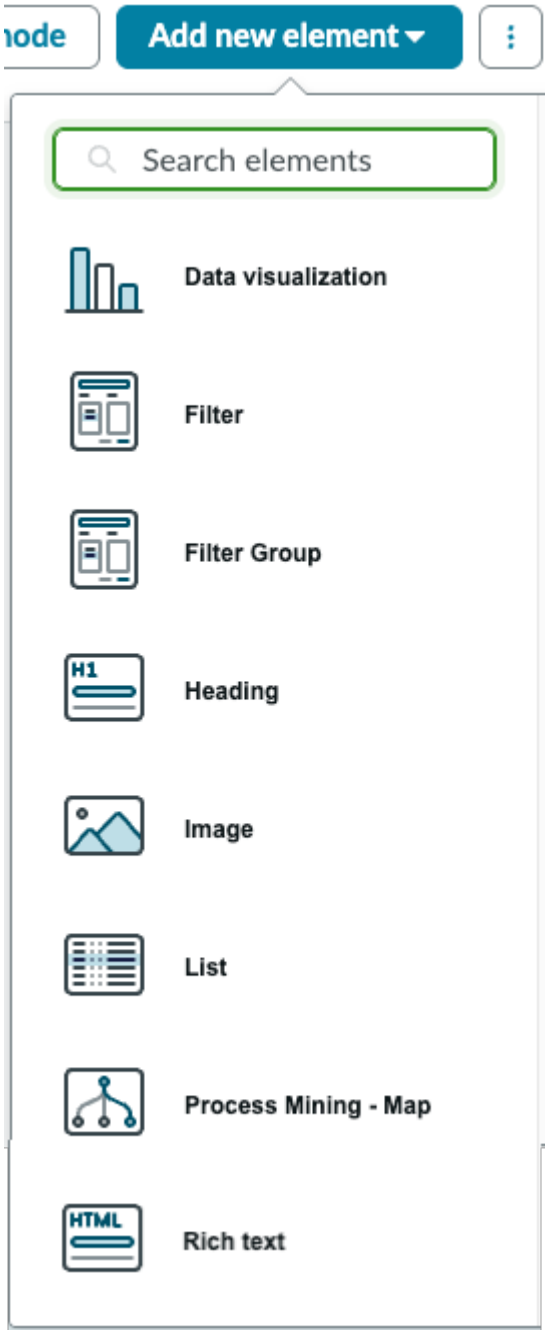
自動翻訳

ダッシュボード要素

要素とは、フィルターなど、ダッシュボードに配置できるビジュアルオブジェクトを指します。

ダッシュボードには、データを表示するビジュアル要素の組み合わせが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化

データの可視化を使用すると、現在のインスタンスデータまたはインポートした一時データを視覚的に表示できます。データの可視化には、ダッシュボードデザイナーで作成した可視化と、ライブラリからのデータの可視化が含まれます。

> **重要:** レポートまたは パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを プラットフォームアナリティクス ダッシュボードに配置することはできません。代わりに、データの可視化を作成する必要があります。

フィルター

フィルターを使用すると、ユーザーは指定された基準に基づいてダッシュボードの可視化をフィルタリングできます。個々のタブまたはタブの上にフィルターを配置して、すべてのタブの要素にフィルターを適用することができます。フィルターには、データフィルターとドメインフィルターの両方が含まれます。ダッシュボードデザイナーでフィルターを作成するか、ライブラリから選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターグループ

同時に適用できる一連のフィルター。複数の可視化を適用できるフィルターが複数ある場合に使用します。

見出し

見出しは、ダッシュボードの上部またはダッシュボードのセクションにテキストを配置する場所を提供します。見出しの書式設定は 6 つの見出しレベルに制限されています。

Image (画像)

画像要素は、ダッシュボード上の静止画像またはアニメーション画像を保持します。

プロセスマイニング：マップ

プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。既存の プロセス最適化 プロジェクトが必要です。

リスト

リストにはテーブルレコードが表示されます。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス フィルターとデータの可視化からのドリルダウンをサポートしています。

リッチテキスト

リッチテキスト要素には、フォント選択、テキストサイズ、強調表示、ハイパーリンクなど、テキストまたは html として書式設定できるテキストが保持されます。HTML マークアップで編集するには、[構成] パネルで HTML エディターを開き、コードタグアイコン< >を選択します。

デフォルトの要素寸法

各要素には、設定するステージに配置したときのデフォルトの高さと幅があります。要素のハンドルバーを選択してドラッグし、サイズを変更します。

フィルター

6 列 3 行

リスト、マルチピボット、およびインジケータースコアカードの可視化

48 列 x 18 行

他のすべてのコンポーネント

11 列 x 11 行

関連トピック

インラインダッシュボードへのビジュアル要素の追加

コア **UI**ダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い

統一アナリティクスプロパティを有効にすると、 コア UI ダッシュボードと プラットフォームアナリティクス のダッシュボードをインスタンスに共存させることができます。この参照を使用してそれらを区別します。

コア UI ダッシュボードと プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの両方で、共有可能なキャンバスにビジュアルコンポーネントを表示できます。*com.glide.par.unified_analytics.enabled*プロパティを有効にすると、すべてのダッシュボードを使用できます。

移行されたインスタンスでは、コア UI データ、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクス に移動されます。その結果、すべてのデータソースに対して単一の可視化セットと統合フィル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

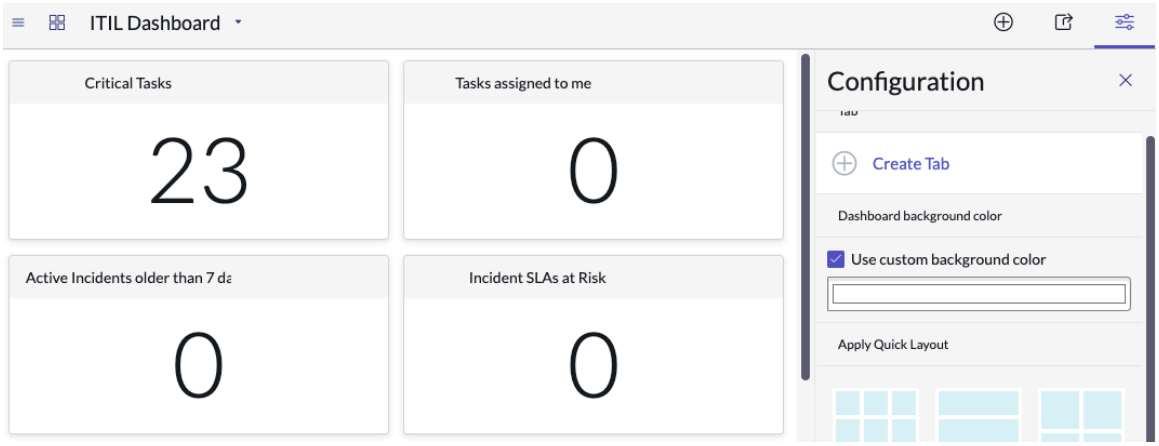
自動翻訳

ターが得られます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

コア UI ダッシュボード

コア UI ダッシュボードは、レポートデザイナーで作成された可視化と PA ウィジェットフォームを使用して作成された パフォーマンスアナリティクス コンテンツを特徴とするクラシック UI で作成されたダッシュボードです。

ダッシュボードの例



メニューパス

- プラットフォームアナリティクスが有効になっていない場合は、次に移動します すべて > セルフサービス > ダッシュボード.
- プラットフォームアナリティクスが有効になっている場合は、次に移動します プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.

コア UI ダッシュボードとそのコンテンツを編集する場合は、レポートデザイナーなどのコア UI ツールで編集します。詳細については、「のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI」を参照してください。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボード

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、UI ビルダーまたはインラインダッシュボードエディターのいずれかを使用して作成されます。これらのダッシュボードは、データの可視化、フィルター、リッチテキストなど、要素ライブラリ内のすべてのオブジェクトをサポートします。タブ付きダッシュボードでは、これらのコンテンツをタブ内またはタブの上に配置できます。タブの上に配置されたフィルターは、すべてのタブのコンテンツに適用されます。

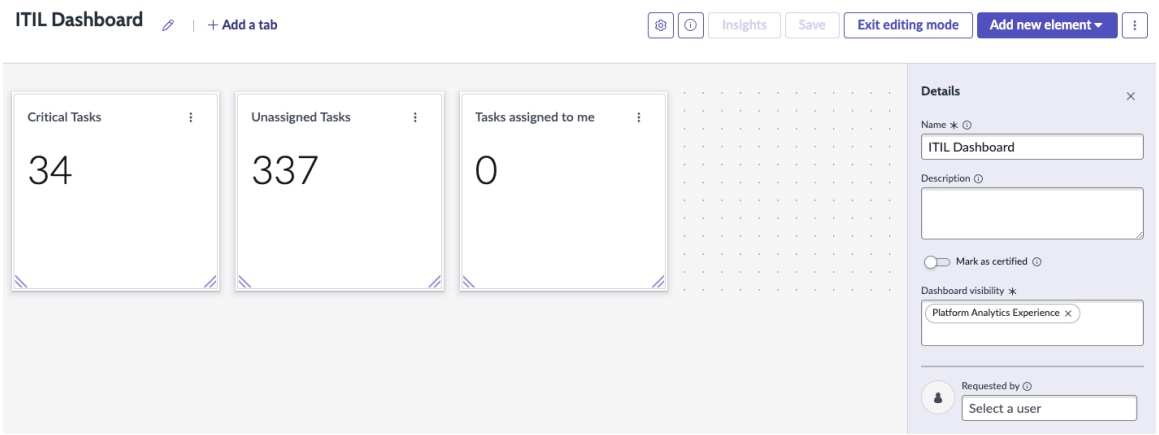
プラットフォームアナリティクスダッシュボードを作成するときに、権限を持つ既存の要素を追加することも、ダッシュボード内から新しい要素を作成することもできます。これらの要素には、インジケーター、テーブルデータ、メトリックベースデータ、および ユーザーエクスペリエンスアナリティクスに基づくデータに依存しない可視化が含まれます。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、より多くの情報に基づいた意思決定をサポートするプロアクティブなインサイトも提供します。インサイトは相関関係を調査し、問題に発展する前に潜在的な変更や問題を強調します。詳細については、「 ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト」を参照してください。

ダッシュボードの例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



メニューパス

すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード

ダッシュボードに対するさまざまなアプローチ

ニーズに応じて、データの可視化とフィルターのコレクションを表示する 4 つの異なる方法があります。

- データの可視化とダッシュボードはすべて プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成します。このアプローチには開発者ロールや特別な技術的知識は必要ないため、より複雑なソリューションを試す前に検討する必要があります。
- 汎用 UI ビルダー ページに、フィルターやその他のコンポーネントとともにデータビジュアル化コンポーネントを作成します。このアプローチでは、開発者として最も自由度が高くなりますが、最も多くの構成が必要になります。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス内にデータの可視化とダッシュボードを作成し、ダッシュボードページテンプレートを使用してダッシュボードをUI ビルダーページ内に配置します。このアプローチにより、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの利便性を利用して、独自のエクスペリエンス/ワークスペースでダッシュボード、データの可視化、フィルターを作成できます。また、ページ構成を部分的にカスタマイズすることもできます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。
- テクニカルダッシュボードを作成し、UI ビルダー内に入力します。このアプローチは、独自の UI ビルダー ページを最初から作成するのとほぼ同じですが、ダッシュボードはダッシュボードライブラリで使用でき、ダッシュボードの詳細があり、他のダッシュボードと同様に共有できます。詳細については、「テクニカルダッシュボード」を参照してください。

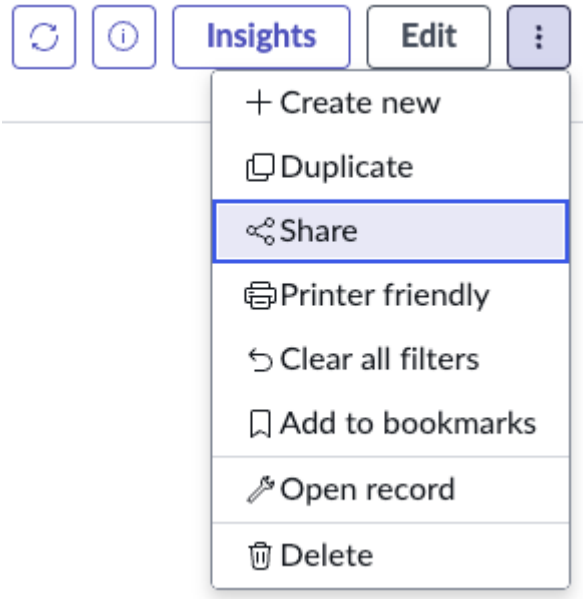
インラインエディターの一般的なダッシュボードタスク

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの作成、編集、共有、削除の方法と、その他の一般的なタスクについて説明します。ほとんどのタスクは同じメニューから起動されます。

ダッシュボードで実行する必要があるタスクの大部分は、ダッシュボードの [その他のアクション] メニューの [⋮](別のダッシュボードの作成など) で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



誰でも、アクセスできるダッシュボードを複製、印刷、またはブックマークできます。ダッシュボードにフィルターがある場合は、1 回のアクションですべての値をクリアできます。ダッシュボードを所有している場合は、共有または削除することもできます。ダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを共有しているユーザーにダッシュボードの編集や、より多くのユーザーとの共有を許可できます。ダッシュボードアドミニストレーター (dashboard_admin ロール) と ServiceNow AI Platform アドミニストレーターは、任意のダッシュボードでこれらのアクションを実行するか、基礎となる PAR ダッシュボード [par_dashboard] レコードを開くことができます。

インラインエディターを使用したダッシュボードの作成

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは、データの可視化、フィルター、その他の要素を使用して共有可能なダッシュボードを作成できます。インラインエディターから要素を作成したり、既存の要素を追加したりできます。

始める前に

作業内容を定期的に保存します。

必要なロール:内部ロールを持つすべてのユーザーは、インラインエディターを使用してダッシュボードを作成できます。

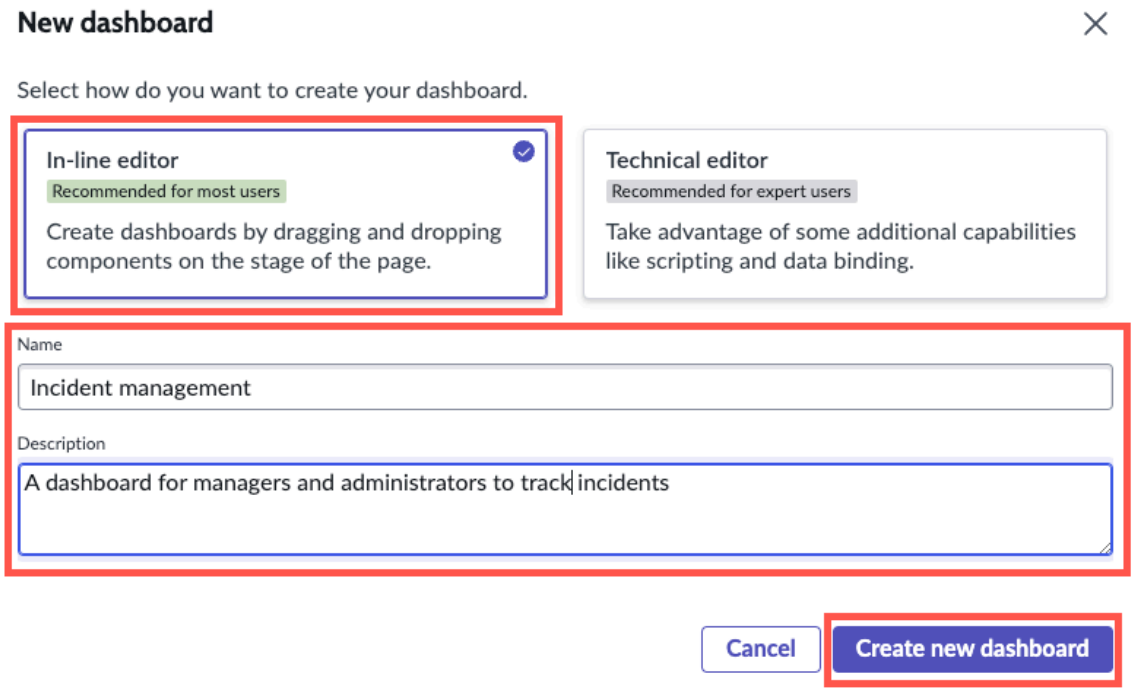
> **注:** テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. インラインエディタータイルを選択し、ダッシュボードに名前と説明を付けます。
   スクリプティング、データバインディング、およびその他の高度な機能を使用する場合は、[テクニカルエディター] タイルを選択して UI ビルダーを続行します。このエディターは、 UI ビルダー (ui_builder_admin ロール) にアクセスできるユーザーのみが使用できます。このロールがない場合は、手順 6 に進みます。テクニカルエディターの詳細については、「 テクニカルダッシュボード」を参照してください。
4. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。

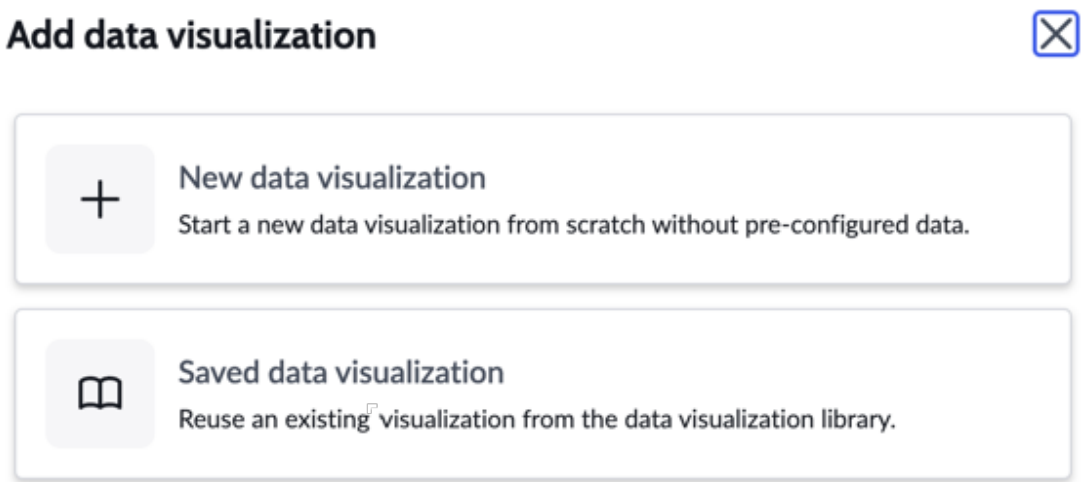
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [インラインエディター] を選択します。
   [テクニカルエディター] オプションを選択すると、UI ビルダーでダッシュボードとして扱われるページが開き、使用可能なコンポーネントのリストが表示されます。開発者には、UI ビルダーでのダッシュボードの作成をお勧めします。詳細については、「UI ビルダー と でのテクニカルダッシュボードの作成 UI ビルダー」を参照してください。
6. ダッシュボードにわかりやすい名前を付け、説明を付けます。
7. [新しい要素を追加] を選択して、ダッシュボードにコンテンツを追加します。
   ダッシュボードに追加できる内容については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細 」を参照してください。

   データの可視化を追加する場合は、[新しいデータの可視化] を選択して可視化を最初から作成するか、[保存済みデータの可視化] を選択してライブラリから選択します。フィルターを追加する場合は、[新しいフィルター] を選択して事前構成されたデータなしでフィルターを作成するか、[保存したフィルター] を選択して既存のフィルターを再利用します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 情報アイコン (ⓘ) を選択して [詳細] パネルを開き、ダッシュボードの名前と説明を入力します。
9. データをキャンバス上に配置して便利にします。
   要素の角をクリックしてドラッグすると、キャンバス上でサイズを変更できます。
10. 追加のタブの詳細については、[タブを追加] を選択して余地を作成します。
11. [早期に頻繁に 保存] を選択します。
    ダッシュボードのインラインエディターでは、ダッシュボードの作成時にダッシュボードが自動的に保存されることはありません。必ず定期的に作業内容を保存してください。

次のタスク

- インライン プラットフォームアナリティクス ダッシュボード要素の編集
- ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成

ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集

インラインエディターでダッシュボードとダッシュボードタブの情報を編集できます。ダッシュボードが共有されている場合、加えた変更はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのインラインエディターとテクニカルエディターで作成されたダッシュボードの詳細を編集できます。テクニカルエディターで作成されたダッシュボードの要素を編集すると、UI ビルダーにリダイレクトされます。

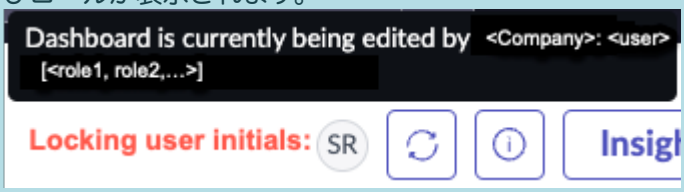
必要なロール：dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

自動翻訳

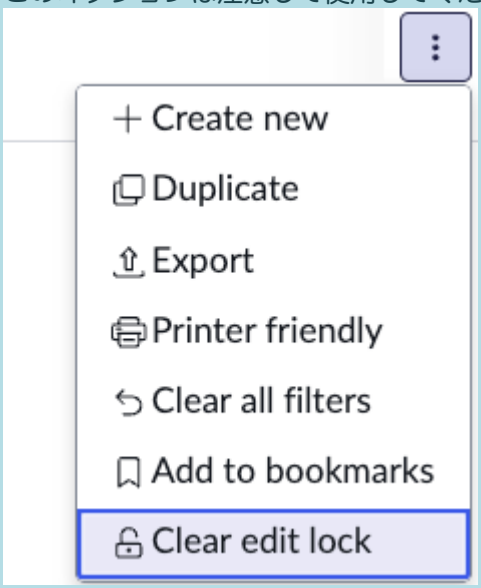
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要: デフォルトでは、ダッシュボードは編集ロックの対象となります。編集モードで同じダッシュボードを持つことができるのは、一度に 1 人のユーザーのみです。ロックされたダッシュボードを表示している場合は、編集権限があっても [編集] ボタンはありません。ロック中のユーザーのイニシャルが [ダッシュボードの詳細を リフレッシュ] アイコンと [表示] アイコンの横に表示されます。イニシャルにカーソルを合わせると、ユーザーの名前、会社、およびロールが表示されます。

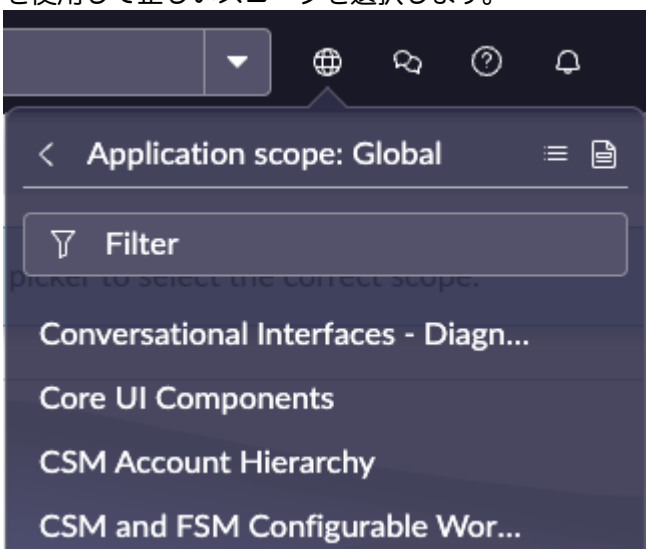


[その他のアクション] メニューには、編集ロックを解除するオプションが含まれています。このオプションは注意して使用してください。



手順

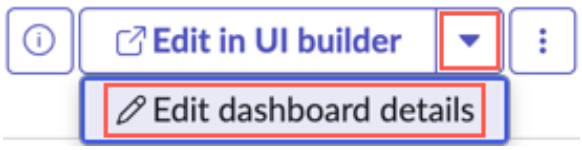
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 編集するダッシュボードを選択します。
   ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 次のいずれかのアクションを実行します。

アクション	ステップ
ダッシュボードの詳細を編集	インラインエディターで作成されたダッシュボードの詳細を編集するには、次の手順に従います。 **a.** 情報ボタン ( ) を選択します。 **b.** [編集] ボタン ([Edit]) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。 注: [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がないか、編集ロック中です。 **c.** ダッシュボードの詳細を編集し、[編集モードの終了] を選択します。 テクニカルダッシュボードの詳細を編集するには: **a.** 情報ボタン情報 を選択します。 **b.** [**UI** ビルダーで編集] ボタンの横にある矢印を選択し、[ダッシュボードの詳細を編集] を選択してダッシュボードを編集モードにします。 注: このオプションが表示されない場合、ダッシュボードを編集する権限がありません。  **c.** ダッシュボードの詳細を編集し、[編集モードの終了] を選択します。 詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。
ダッシュボードのレイアウトを設定する	要素のハンドルバーを選択してドラッグし、サイズを変更します。要素全体を選択してドラッグし、ダッシュボードレイアウト内で動かします。要素には、データの可視化、フィルター、およびその他のダッシュボードコンテンツが含まれます。
ダッシュボードにタブを追加	[タブを追加] を選択します。[無題] というラベルの付いたタブが、既存のタブの横に追加されます。最初のタブをダッシュボードに追加すると、タイトルの下とタブの上にレイアウトの新しい部分が表示されます。どのタブにフォーカスがあるかに関係なく表示されるタブの上に要素を追加します。 [鉛筆] アイコン ( ) を選択して、タブの名前を変更します。
ダッシュボードタブの順序変更	タブをドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。キーボード操作を使用してダッシュボードタブを並べ替えることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	a. [編集] ボタン ([Edit]) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。 注: [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がありません。 **b.** TAB キーを使用してフォーカスをダッシュボードタブに移動します。 **c.** 左右の矢印キーを使用して、移動するタブを選択します。 **d.** 選択したタブを左右に移動するには、Shift+左矢印または Shift+右矢印コマンドを使用します。 **e. [Save** (保存)] を選択します。
ダッシュボードタブの複製	現在のダッシュボードでタブを複製できます。 **a.** [編集] ボタン ([Edit]を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。 注: [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がありません。 **b.** タブ名の横にある [その他のアクション] メニューアイコン ([⋮] を選択し、[複製] を選択します。 複製されたタブと同じ内容の新しいタブが「無題」という名前で開きます。鉛筆アイコンを選択して、タブの名前を変更します。
ダッシュボードタブの削除	**a.** [編集] ボタン ([Edit]) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。 注: [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がありません。 **b.** タブ名の横にある [その他のアクション] メニューアイコン ([⋮] を選択し、[削除] を選択します。 注: 確認メッセージはありません。タブがダッシュボードに表示されなくなります。
タブ名の変更	**a.** タブを選択してアクティブにします。 **b.** タブ名をポイントし、[鉛筆] アイコン ( ) を選択します。 **c.** 新しい名前を入力して Enter キーを押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	注: 翻訳されたダッシュボードのタブの名前を変更すると、翻訳は新しい英語のタブ名に置き換えられます。新しい名前を翻訳するには、以下を実行します。 **a.** 移動先 ユーザーメニュー > 設定. **b.** [表示] タブで、ターゲット言語を選択します。 **c.** 翻訳されたダッシュボードで、タブの名前を新しい名前の翻訳に変更します。
リフレッシュ設定を構成	必要なロール：admin。 **a.** [編集] ボタン ([Edit) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。 注: [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がありません。 **b.** [ダッシュボード設定] ボタン ( ) を選択して [設定] パネルを開きます。 **c.** [リフレッシュ情報を表示] を選択すると、ダッシュボードのタイトルの下に前回のリフレッシュ時刻が表示されます。 **d.** [スケジュールされた繰り返し] を選択して、ダッシュボードを自動的に更新する分数を設定します。 最小更新間隔は 10 分です。
背景色の設定	**a.** [背景色] メニューを開くと、事前設定された色が表示されます。 **b.** 既存の色を選択するか、[カラーパレット] アイコン ( ) を選択してパレットを開きます。 16 進値または RGBA 値を指定するか、カラーピッカーから選択します。
インサイトの構成	[インサイト] セクションに表示するかどうか、またどのアナリティクスを表示するかを選択します。 [インサイトパネルを表示] を選択すると、ダッシュボードに [インサイト] ボタンが追加され、選択したアナリティクスオプションが表示されます。詳細については、「ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト」を参照してください。

インラインダッシュボードへのビジュアル要素の追加

データの可視化やフィルターなどのウィジェットの選択をダッシュボードに入力します。

始める前に

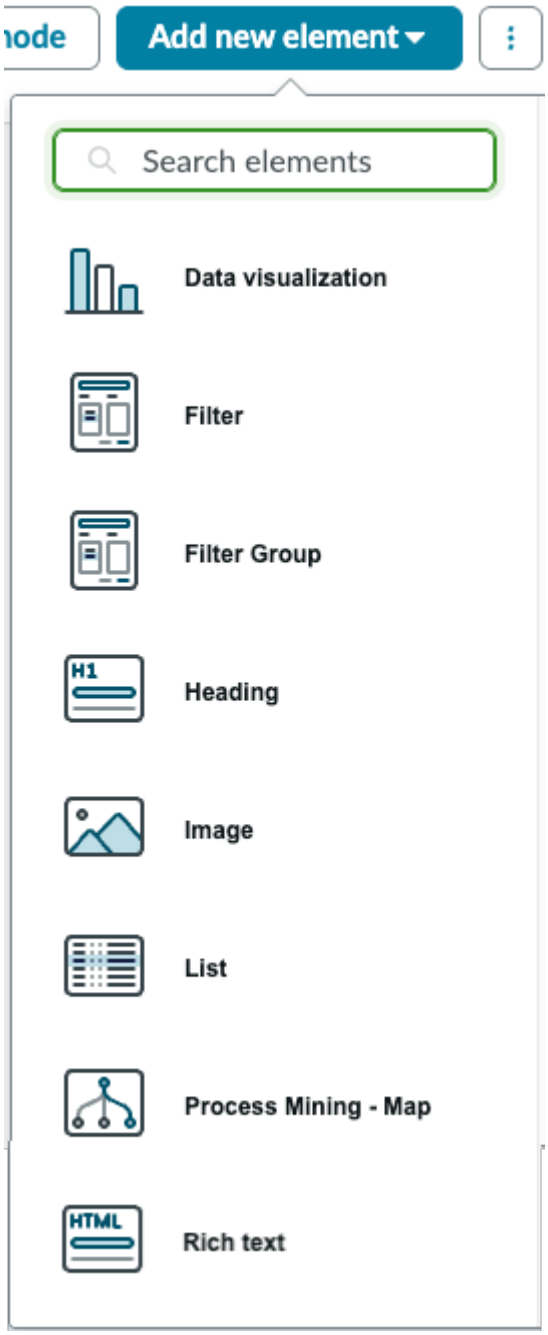
必要なロール：dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. ダッシュボードを作成するか、編集するダッシュボードを開きます。
3. ダッシュボードに [編集] ボタンがある場合は、それを押します。
   新しいダッシュボードは自動的に編集モードになります。テクニカルダッシュボードには、[編集] ボタンの代わりに **[UI** ビルダーで開く] ボタンがあります。テクニカルダッシュボードの詳細については、「 テクニカルダッシュボード」を参照してください。
4. [新しい要素を追加] を展開します。



5. 追加する要素を選択します。
   ダッシュボード要素の簡単な概要については、「 ダッシュボード要素」を参照してください。
6. データの可視化またはフィルターを追加する場合は、新しい要素を作成するか、関連するライブラリに保存されている要素を使用するかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 新しい要素を作成する場合は、次のいずれかのタスクに従って構成します。
   - データの可視化の作成
   - インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加
   - フィルターグループの作成
   - ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

インライン プラットフォームアナリティクス ダッシュボード要素の編集

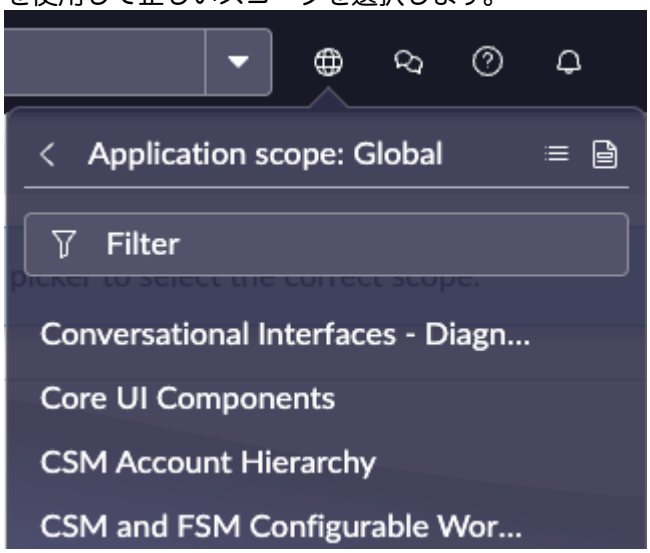
データの可視化やフィルターなど、ダッシュボードまたはダッシュボードタブのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

必要なロール：dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 編集するダッシュボードを開きます。
3. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
4. ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。

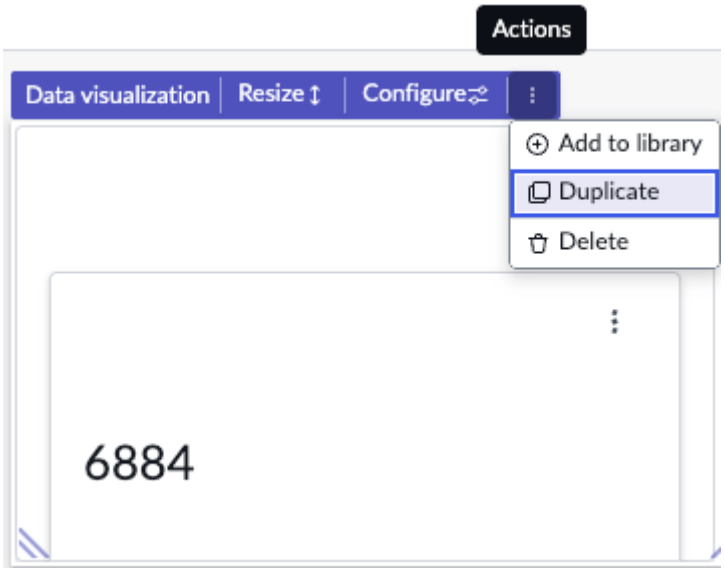


5. 編集する要素にフォーカスします。
   要素ヘッダーにメニューが表示されます。実行するアクションの選択は、ロールによって異なります。

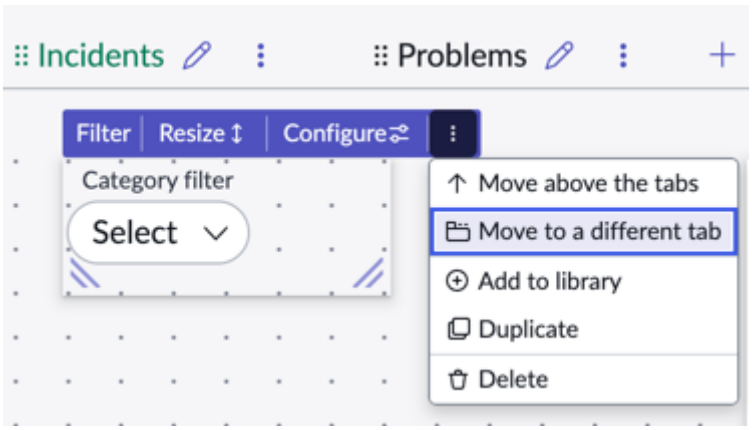
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

itil ユーザーのデータ可視化の [アクション] メニュー



アドミンユーザーのフィルターのアクションメニュー、マルチタブダッシュボード

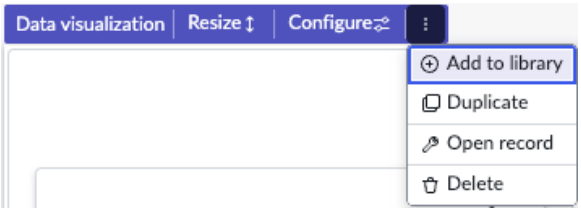
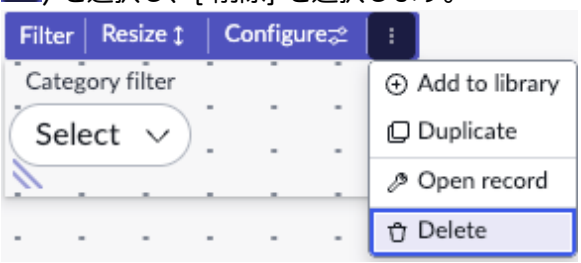


6. 要素に対して次のいずれかのアクションを実行します。

アクション	ステップ
要素を設定する	要素にフォーカスし、[構成] を選択します。構成パネルが開きます。 構成オプションは、要素タイプによって異なります。データの可視化とフィルターの場合も、それぞれ可視化またはフィルタータイプに依存します。詳細については、「データの可視化の作成」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。 **注:** ライブラリから共有されているコンポーネントを編集するには、ロールと所有権の要件があります。構成パネルに要素の編集を許可されていないというメッセージが表示された場合は、ライブラリにリンクされていないローカルバージョンを作成して編集できる場合があります。詳細については、「共有ダッシュボード要素のコピーを編集する」を参照してください。

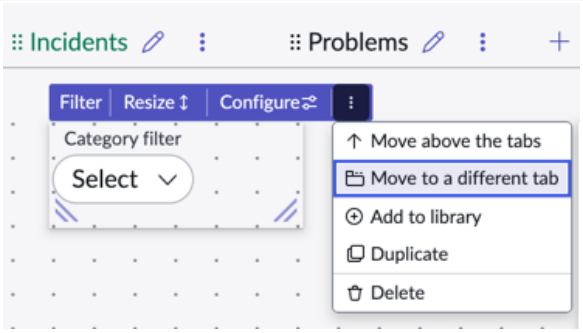
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
要素のサイズを変更	要素にフォーカスします。高さを大きくするには、[サイズ変更] を押します。高さを下げるには、**Shift-Resize**を押します。幅または全体のサイズを変更するには、要素の角を選択してドラッグします。
ライブラリへの要素の追加	データの可視化に必要なロール:itil、report_user、viz_creator 以上 フィルターに必要なロール:analytics_filter_admin 以上 **a.** 要素にフォーカスします。 **b.** ヘッダーの [その他のアクション] メニュー ([⋮) を展開し、[ライブラリに追加] を選択します。  **c.** ビジュアル化の名前と説明を入力します。 **d.** [ライブラリに追加] を選択します。 データの可視化は、他のダッシュボードで使用するために可視化ライブラリで使用できます。
ダッシュボードから要素を削除する	**a.** 削除する要素にフォーカスします。 **b.** ヘッダーで、[その他のアクション] メニューアイコン ([⋮) を選択し、[削除] を選択します。  **注:** 確認メッセージはありません。ウィジェットがダッシュボードに表示されなくなります。
タブ間またはタブ上の要素を移動する	複数のタブがある場合は、タブ間で、またはタブの上のペインに要素を移動できます。 **a.** 削除する要素にフォーカスします。 **b.** ヘッダーで、[その他のアクション] メニューアイコン ([⋮) を選択し、[タブの上に移動] または [別のタブに移動] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	 **c.** [別のタブに移動] を選択した場合は、タブを選択して [移動] を選択します。
フィルターに従うまたは従わないデータの可視化を構成します	データの可視化は、デフォルトでフィルターに従います。データの可視化は、それ自体と同じタブ内またはタブの上にあるフィルターに従います。データの可視化は、データソースをターゲットとするすべてのタブに従うか、まったく従わないかのどちらかです。 構成手順については、「フィルターに従うかどうかでデータの可視化を構成します」を参照してください。
ドリルダウンオプションの設定	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つを選択したときの動作を選択します。手順は、ダッシュボードのタイプによって異なります。プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスまたはその他のワークスペース/エクスペリエンスで開かれたダッシュボードからのデフォルトのドリルダウンは、コア UI アーティファクトです。 ○ インラインエディターで作成され、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスで表示されるダッシュボードの場合は、事前設定されたチャートインタラクションを選択します。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ インラインエディターで作成され、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス以外のワークスペース/エクスペリエンスで表示されるダッシュボードについては、「インラインダッシュボードからのカスタムリダイレクトの構成」を参照してください。ダッシュボードページへのダッシュボードの追加で説明したように、まずインラインダッシュボードを有効にしてから、ダッシュボードページテンプレートからビルドされたページから参照する必要があります。 ○ テクニカルダッシュボードについては、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加」を参照してください。

関連トピック

プラットフォームアナリティクスダッシュボードを共有する

自動翻訳

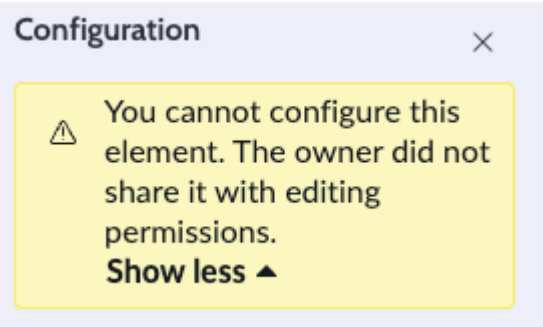
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有ダッシュボード要素のコピーを編集する

ライブラリからダッシュボードに追加した共有要素を構成するには、ライブラリにリンクされていないローカルコピーを作成します。これは、ライブラリ内のバージョンを編集する権限がない場合にのみ行う必要があります。

始める前に
必要なロール:任意

このタスクについて
編集権限を持つダッシュボードで、データの可視化またはフィルターを再構成する必要がある場合があります。ただし、ライブラリから共有されている可視化またはフィルターの場合は、他のユーザーが使用するライブラリのコピーを編集することになります。許可されていない可能性があります。この場合、所有者が編集権限を持つ要素を共有していないという通知が表示されます。

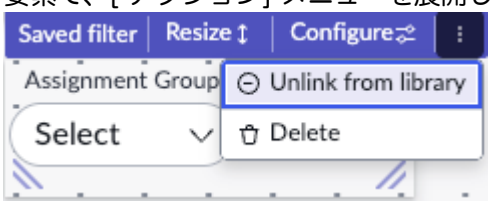


ただし、ダッシュボードを編集できる限り、ダッシュボード上の可視化をライブラリからリンク解除することはできます。その後、自由に編集できるローカルバージョンが作成されます。

> **注:** 共有要素を編集する権限がある場合は、ライブラリ内の構成を変更するか (その構成を含むすべてのダッシュボードに影響)、ローカルコピーを作成するかを選択できます。要素のリンクを解除する必要はありません。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード をクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. 編集する要素にフォーカスします。
4. 要素で、[アクション] メニューを展開します。



5. [ライブラリからリンクを解除] を選択します。

> **注:** フィルターまたは可視化を複製する権限がない場合でも、ライブラリからリンクを解除できます。

6. **[Configure]** を選択します。
7. 次のいずれかのトピックの説明に従って続行します。
   - データの可視化の作成
   - インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードカードに画像を追加

ダッシュボードの概要で、アップロードされた画像でカードを区別します。

始める前に

必要なロール:画像プレビューを有効にするui_builder_admin。dashboard_adminして画像を追加します。

このタスクについて

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの概要のカードに画像を追加します。

手順

1. ダッシュボード概要コンポーネントで画像プレビューを有効にします。

   a. 移動先 **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

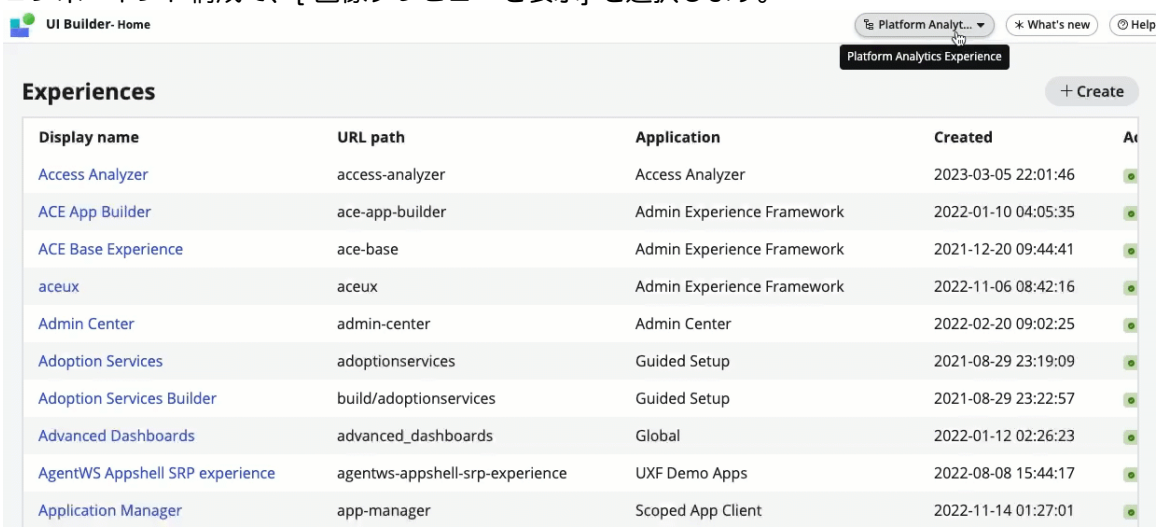
   b. アプリケーションスコープを プラットフォームアナリティクス に変更します。

   c. プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを選択します。

   d. ダッシュボードライブラリ (デフォルト) アイテムを開きます。

   e. アウトラインで、[ダッシュボードの概要 **1**] を選択します。

   f. コンポーネント構成で、[画像プレビューを表示] を選択します。



2. par_dashboard_user_metadata.list に移動します。

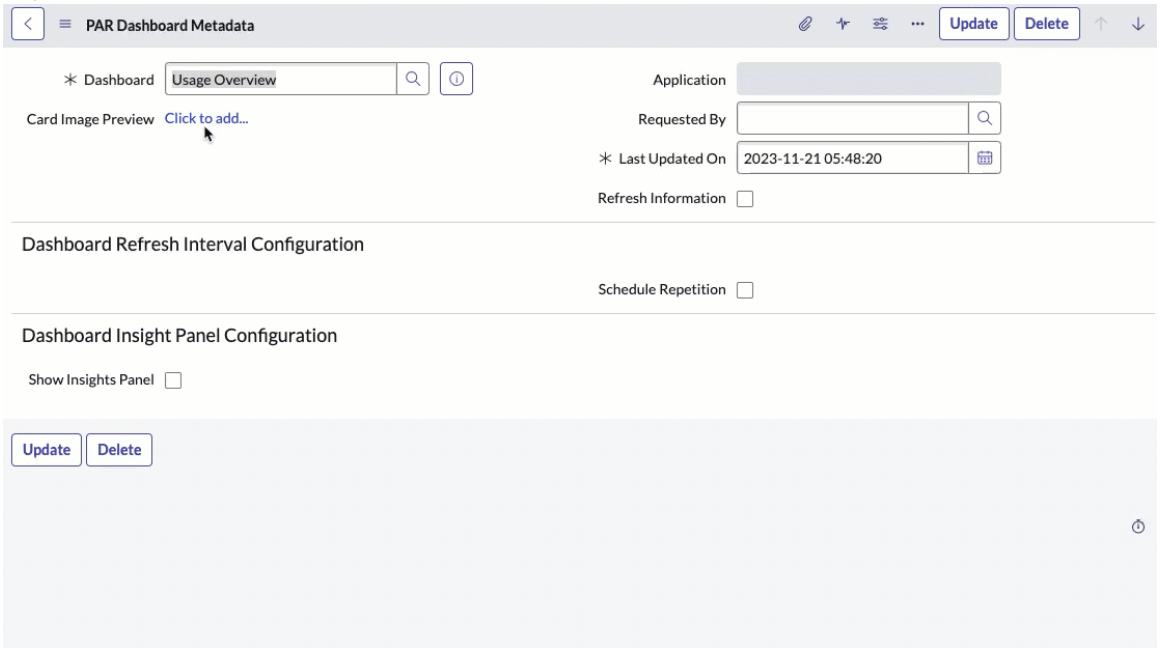
3. 画像を追加するダッシュボードの横にある [レコードをプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。

4. [レコードを開く **(Open Record)]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

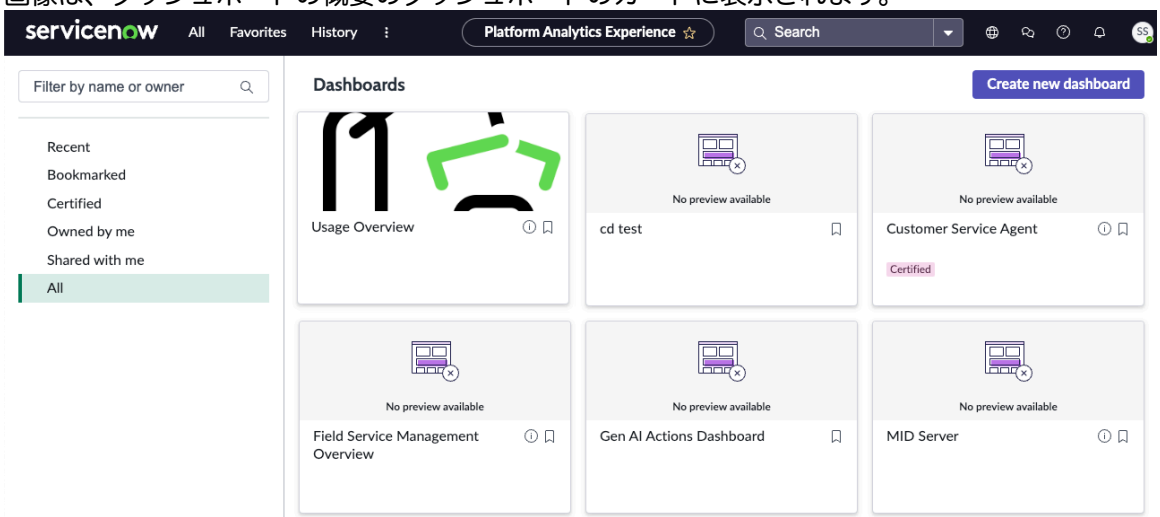
自動翻訳

5. [カード画像プレビュー] の横にある [クリックして追加] を選択し、カードの背景画像を選択します。
   アップロードできる画像のサイズに制限はありませんが、カードのサムネイル領域は幅 260 ピクセル、高さ 110 ピクセルです。
6. 画像ファイルを選択し、[**OK]** を選択します。
   画像がダッシュボードのフォームに表示されます。



7. **[Update** (更新)] を選択します。

結果
画像は、ダッシュボードの概要のダッシュボードのカードに表示されます。



プラットフォームアナリティクスダッシュボードを共有する

ダッシュボードを他のユーザー、グループ、またはロールと共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。表示権限を付与することも、表示権限と編集権限の両方を付与することもできます。

始める前に

https://player.vimeo.com/video/1062163149?h=25296c447d&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:作成したダッシュボードを共有できます。共有が許可されている場合は、自分と共有されているダッシュボードを共有できます。自分と共有されているダッシュボードを編集する権限がある場合は、共有しているユーザーにそのダッシュボードを渡すことができます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを共有できます。

ダッシュボードをロールと共有するには、ロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロールが必要です。

注: テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

ダッシュボードの共有によって付与された編集権限は、ダッシュボードの基礎となるデータの可視化には適用されません。付与された表示権限は、ダッシュボード自体以外のダッシュボードの可視化には適用されません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード
2. 共有するダッシュボードを選択します。
3. [その他のアクション] ボタン ([ ) を選択し、[共有] を選択します。
   [共有ダッシュボード] ダイアログが開きます。
4. [アクセス権 を付与] フィールドに、ダッシュボードを共有する 1 人以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。
   ダッシュボードをロールと共有するには、ロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権が必要です。
5. ダッシュボードを共有しているユーザーにもダッシュボードを共有できるようにする には、[受信者がこのダッシュボードに関連付けられた共有権限を追加、編集、または削除できるようにする] を選択します。
   ユーザー、グループ、またはロールをビューアーとして追加すると、ビューアーとしてのみダッシュボードを共有できます。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、ビューアーまたはエディターとしてダッシュボードを共有できます。

   重要: ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

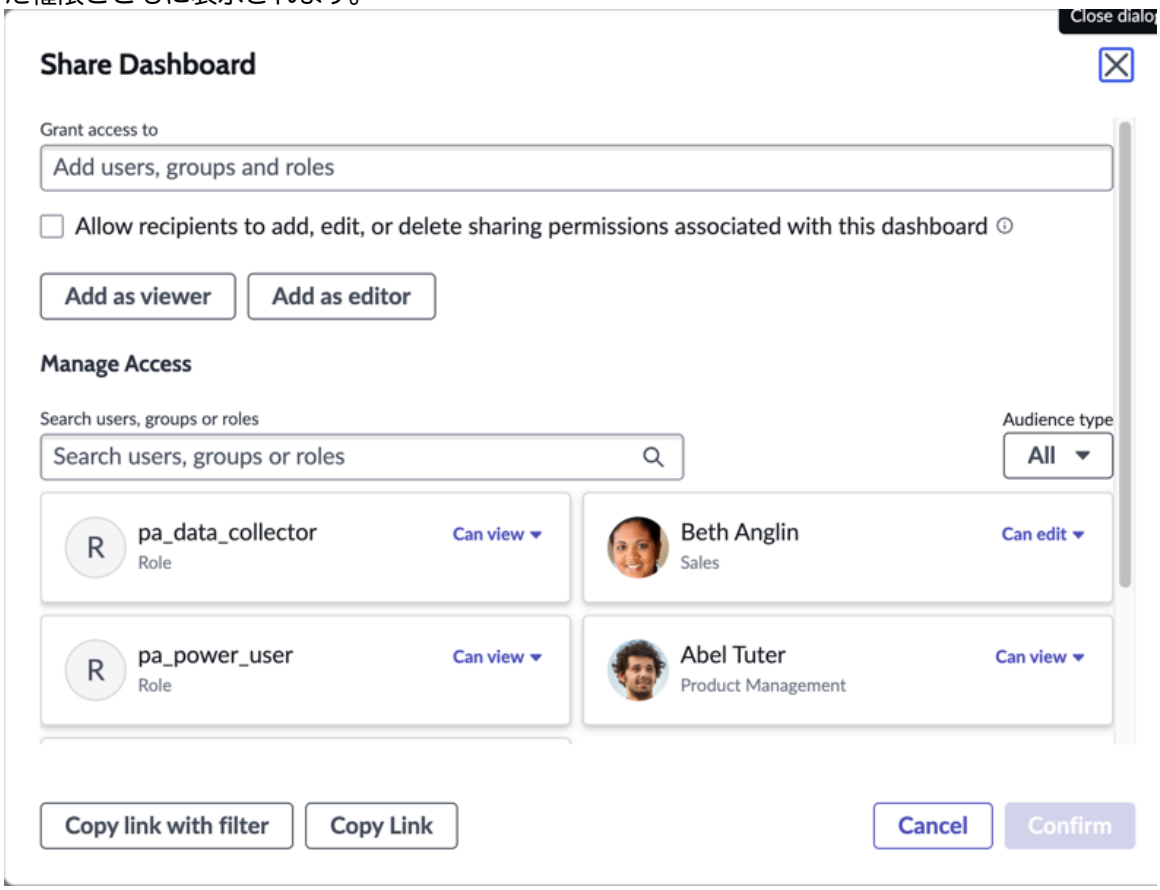
6. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
閲覧者として追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールにのみ表示権限を付与します。編集することはできません。
編集者として追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。 ユーザーをエディターとして追加するには、ダッシュボードと同じアプリケーションスコープ内にいる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

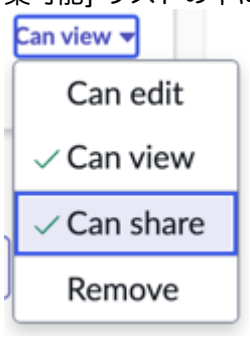
7. オプション: [フィルターを含むリンクをコピー] または [リンクをコピー] を選択して、ダッシュボードの URL をクリップボードにコピーします。
   この URL は、[共有ダッシュボード] ダイアログを開いたときに開いていたタブを指します。フィルターを含むリンクをコピーすると、ダッシュボードまたはダッシュボードタブで構成されているフィルターも適用されます。
8. [**Confirm** (確認)] を選択します。

結果
ダイアログを再度開くと、ダッシュボードを共有したロール、グループ、およびユーザーが、付与した権限とともに表示されます。



ヒント: ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、およびロールも、ダッシュボードの詳細に表示されます。詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

次のタスク
ダッシュボードを共有したユーザーの権限は、各ユーザー、グループ、またはロールの [表示可能/編集可能] リストの下にある [ダッシュボードを共有] ダイアログで変更できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの複製

インラインエディターで作成されたダッシュボードを複製して、変更したバージョンをさまざまなユーザーと共有できるようにします。

始める前に

必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合は任意。

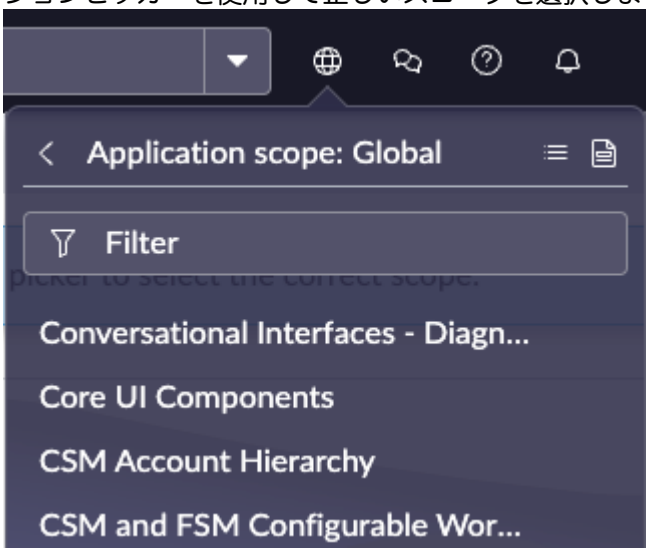
> **注:** このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「 UI ビルダー 」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードを複製すると、元のダッシュボードのすべての設定と詳細がコピーされます。元のダッシュボードにローカルに存在するコンテンツは、新しいダッシュボードに複製されます。元のダッシュボードに共有ビジュアル化など、ライブラリ内のコンテンツへの参照が含まれている場合、参照は複製されます。ライブラリ内の要素を編集するためのロール要件は、後者に適用されます。

手順

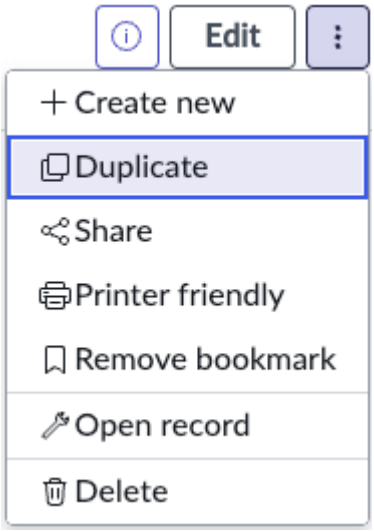
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



4. [その他のアクション] メニュー ([ ]) を開き、[複製] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 複製に一意の名前を付け、[**Duplicate** (複製)] を選択します。

結果
ダッシュボードが新しい名前でコピーされます。ダッシュボードの外観は元のものと同じです。

重要: 新しい複製は自動的に保存されます。

ダッシュボードタブの複製

関連する重要なコンテンツを追加できるように、インラインエディターで作成されたダッシュボードタブを複製します。最初のタブをダッシュボードに追加すると、タイトルの下とタブの上にレイアウトの新しい部分が表示されます。どのタブにフォーカスがあるかに関係なく表示されるタブの上に要素を追加します。

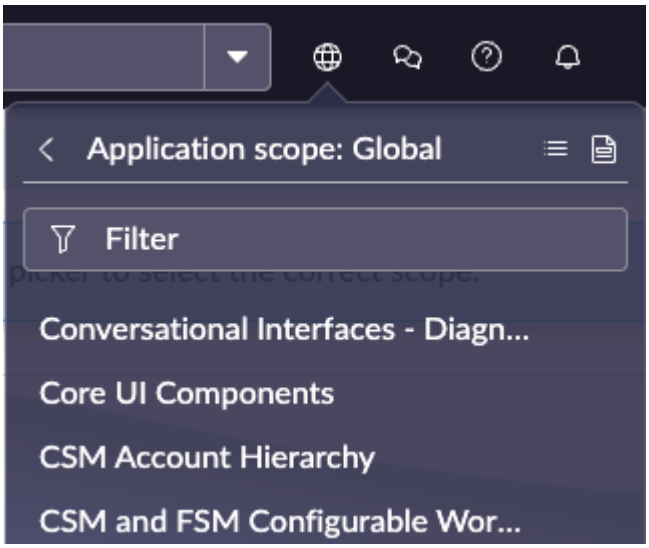
始める前に
必要なロール:任意ですが、ダッシュボードに対する編集権限が必要です。

注: このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「 UI ビルダー 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. 複製するタブのあるダッシュボードを選択します。
3. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [編集] ボタン ([Edit]) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
   [編集] ボタンが表示されない場合は、ダッシュボードを編集する権限がないか、編集ロック中です。
5. [タブを追加] を選択します。
   このリンクはダッシュボードのタイトルの横にあります。
6. 元のタブで [その他のアクション ⋮) を開き、[複製] を選択します。
   タブのコピーのデフォルト名は 「New Tab」です。鉛筆アイコン (編集) を選択して、タブの名前を変更します。
7. 複製に一意の名前を付けます。
8. [保存] を選択して、新しいタブでダッシュボードを保存します。

結果

ダッシュボードタブが新しい名前でコピーされます。ダッシュボードの他のすべての側面は同じままです。

重要: 新しい複製タブは自動的に保存されます。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを印刷する

ダッシュボードを印刷するには、印刷対応のコピーを作成し、そのコピーをブラウザーから印刷します。

始める前に

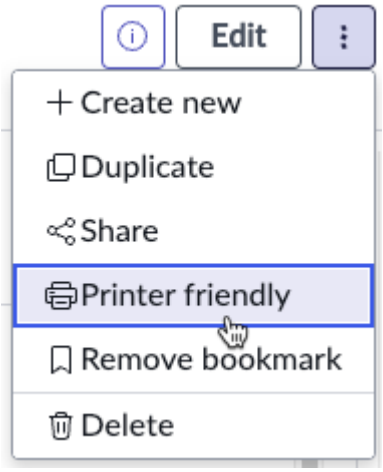
必要なロール:任意

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード
2. 印刷するダッシュボードを開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から、[プリンター対応] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの印刷対応コピーが新しいブラウザータブで開きます。

4. ブラウザー機能を使用して、印刷対応のダッシュボードコピーをエクスポートまたは印刷します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードを PDF または Microsoft PowerPoint にエクスポートします。

始める前に
必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合は任意。

注:

- このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。テクニカルダッシュボードの [その他のアクション] メニューに [エクスポート] オプションはありません。詳細については、「テクニカルダッシュボードとインラインダッシュボードの比較」を参照してください。
- ピボット、カレンダーレポート、ジオマップ、およびインジケータースコアカードの可視化は、エクスポートではサポートされていません。リストは PowerPoint へのエクスポートはサポートされていません。これらの可視化タイプは、エクスポートされたファイルには表示されません。
- サポートされているデータ可視化とリスト (PDF) のみがエクスポートされ、見出し、リッチテキスト、その他の要素はエクスポートされません。
- コンテンツは、必ずしもダッシュボードに表示される順序でエクスポートされるわけではありません。
- インスタンスに Pro Plus ライセンスがある場合は、 Now Assist パネルからダッシュボードを会話型でエクスポートできます。「ダッシュボードと可視化のエクスポートスキル」を参照してください。
- PowerPoint にエクスポートされたダッシュボードには、各可視化の上のタイトルと下の説明が編集可能な形式で含まれます (この情報がソースの可視化で提供されている場合)。
- 個々のデータ可視化をダッシュボードから PNG または JPEG ファイルにエクスポートすることもできます。詳細については、「ダッシュボードからデータの可視化をダウンロード」を参照してください。

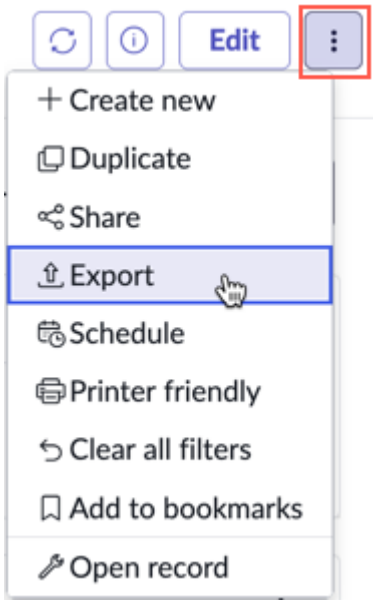
手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. エクスポートするダッシュボードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

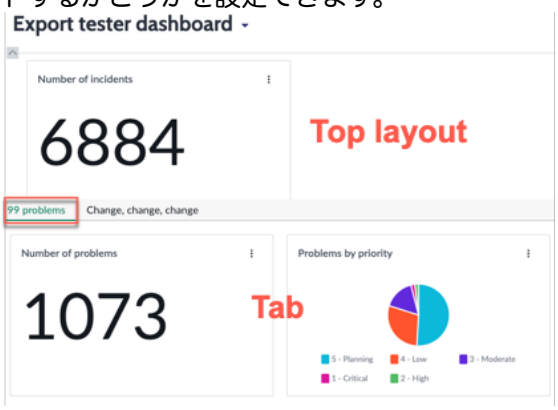
3. ダッシュボードの [その他のアクション] メニューの [⋮] を選択し、[エクスポート] を選択します。



4. [ファイルの種類] で、[PDF] または [PowerPoint] を選択します。

   a. PDF にエクスポートする場合は、ページの形式と向きを指定します。
   エクスポート時にダッシュボードで設定されたフィルター値は、エクスポートに適用されます。

   b. PowerPoint にエクスポートする場合は、次のオプションを設定できます。

オプション	説明
すべてのタブをエクスポート	ダッシュボードに複数のタブがある場合は、タブをすべてエクスポートするか、サブセットのみをエクスポートするかを選択できます。 デフォルト:オン
上部レイアウトのすべての可視化をエクスポート	ダッシュボードに複数のタブがあり、それらをすべてエクスポートしない場合は、タブの外側のレイアウトにある可視化をエクスポートするかどうかを設定できます。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
タブを選択:	すべてのタブをエクスポートしない場合は、各タブを選択してエクスポートします。
適用済みフィルターありでエクスポート	ダッシュボードのフィルターに設定された値をエクスポートに適用するかどうかを選択できます。たとえば、ダッシュボードにインシデントカテゴリフィルターと、インシデントの数を示す単一スコアの可視化があるとします。フィルターで何も選択されていない場合、可視化には 6884 件のインシデントが表示されます。フィルターで [ソフトウェア] カテゴリを選択すると、5278 件のインシデントのみが表示されます。次に、フィルターで選択されたソフトウェアを使用してダッシュボードをエクスポートします。[フィルターを適用してエクスポート] がオンの場合、その可視化のスライドには 5278 件のインシデントが表示されます。オフにすると、6884 と表示されます。 デフォルト:オン

注: PowerPoint の場合、エクスポートでは、ダッシュボードのタブごとに 1 枚のスライドではなく、ダッシュボード内の可視化ごとに個別のスライドが作成されます。

5. [ファイルのダウンロード] または [メールで送信] の配信方法を選択します。

配送方法	結果
ファイルのダウンロード	エクスポートが完了すると、エクスポートをダウンロードするように求められます。
メールで送信	送信先のユーザーを選択します。インスタンス上のユーザーのみを選択できます。セキュリティ上の制約により、メール送信が制限される場合があります。件名を指定する必要があります。メッセージを追加することもできます。

6. [Export (エクスポート)] を選択します。

結果

選択したタブとフィルターを含むダッシュボードが PDF または PowerPoint ファイルにエクスポートされ、選択した方法で配信されます。

ダッシュボードとデータの可視化のエクスポートをスケジュールします

ダッシュボードとデータの可視化のエクスポートとメール送信を自動化します。同僚がプレゼンテーションを作成したり、外部ユーザーと情報を共有したり、データを経時的に追跡したりできるように支援します。

始める前に

必要なロール:アクセス可能なダッシュボードまたは可視化のエクスポートをスケジュール設定するためのpar_scheduler、またはそれを含む任意のロール。par_scheduler_adminロールまたはそれを含むロールがある場合は、任意のデータ可視化のエクスポートをスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みエクスポートのリストを表示するには、次に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > スケジュール済みエクスポート. このリストには、コア UI ダッシュボードとレポート、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのダッシュボードとデータの可視化を含む、スケジュール設定済みのすべてのエクスポートが含まれています。

このタスクについて

複数のダッシュボードとデータの可視化を 1 つのスケジュール設定済みメールにまとめてエクスポートできます。サポートされているエクスポート形式は、エクスポートする内容、およびダッシュボードの一部としてエクスポートするかスタンドアロンのデータ可視化としてエクスポートするかによって異なります。

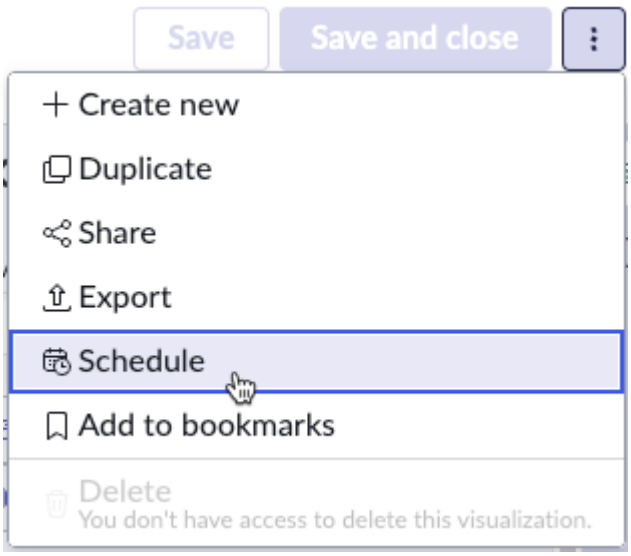
サポートされているエクスポート形式

データの可視化またはダッシュボード要素	サポートされているダッシュボードのエクスポート形式	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
カレンダーレポート、インジケータースコアカード、ピボットテーブル、ジオマップ	なし	なし
リスト	PDF	PDF、 Microsoft Excel (.xls または .xlsx)、埋め込みリスト、CSV
その他のデータの可視化	PowerPoint、PDF	PowerPoint、PDF、PNG、JPEG、埋め込み PNG
見出しなどの非データ可視化ダッシュボード要素	なし	適用外

注: このトピックは、ダッシュボードとデータ可視化ドキュメントの両方で利用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー をクリックし、[データの可視化] または [ダッシュボード] を選択します。
2. 定期的にエクスポートするアイテムを選択します。
   サポートされているエクスポート形式のリストを確認します。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮] から [スケジュール] を選択します。
   編集モードにはできません。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするためのすべてのオプションが表示されます。このオブジェクトをエクスポートしない場合は、[変更] を選択します。

4. ファイルタイプを選択します。
5. ダッシュボードまたはデータの可視化を PDF にエクスポートする場合、またはデータの可視化をグラフィックファイルにエクスポートする場合は、ページの形式と向きを選択します。
6. ダッシュボードを Power Point にエクスポートする場合は、次の手順を実行します。

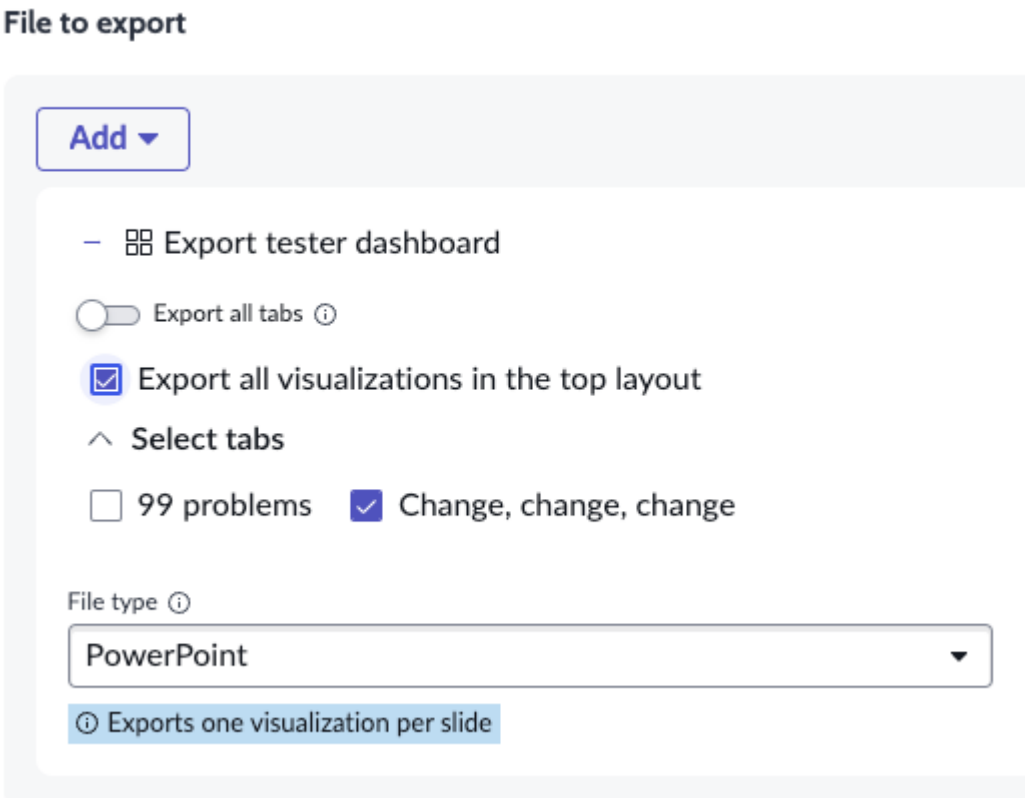
   a. すべてのタブをエクスポートするか、特定のタブのみをエクスポートするかを選択します。

   b. 特定のタブのみをエクスポートする場合は、エクスポートするタブと、上部レイアウトコンテンツを含めるかどうかを選択します。

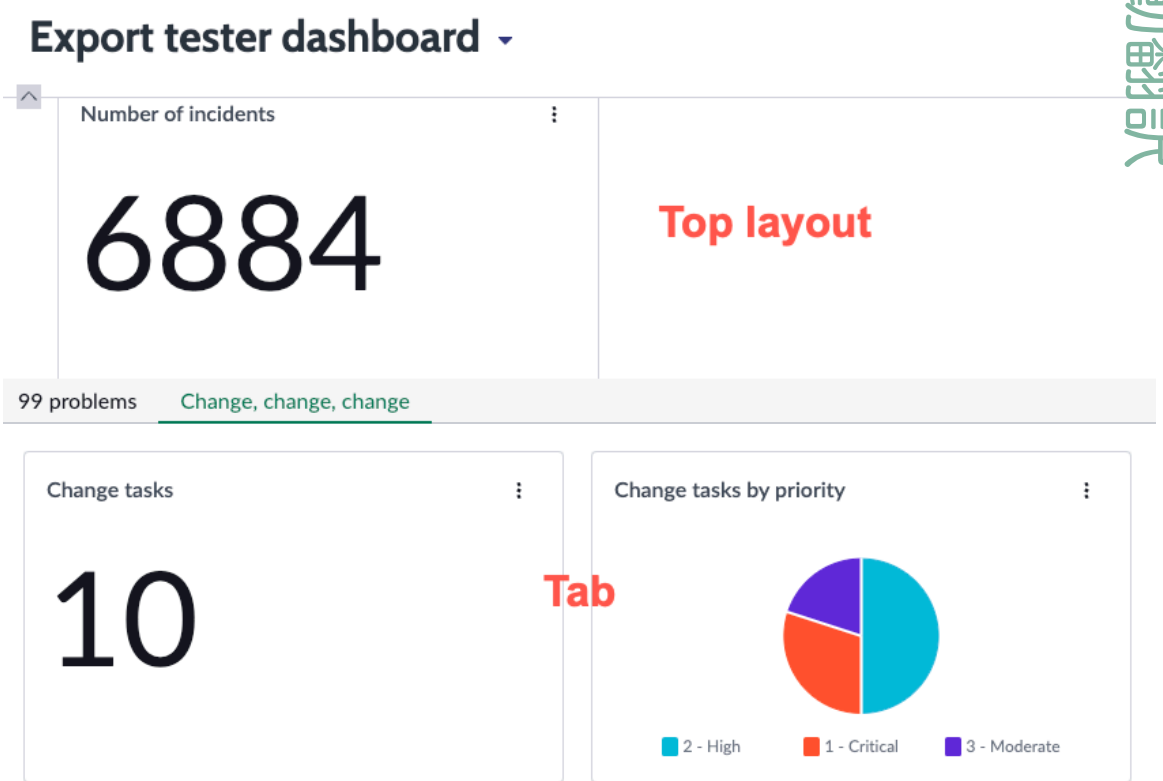
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードタブのエクスポートの構成



エクスポートされる可視化



7. エクスポートにダッシュボードまたはデータの可視化を追加するには、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追加] メニューを展開します。

b. [ダッシュボード] または [データの可視化] を選択します。

c. エクスポートするダッシュボードまたは可視化を 1 つ以上選択します。

d. ステップ 4 ～ 6 のように、追加された各ダッシュボードまたは可視化のエクスポート基準を設定します。

ダッシュボードとデータの可視化の両方を 1 つのエクスポートに追加できます。

8. 埋め込み外のエクスポートを ZIP ファイルとして送信するには、[**ZIP** ファイルとして送信] をオンにします。

9. [メールスケジュール] セクションで、メールを送信するタイミングと頻度を指定します。

フィールド	説明
アクティブ	オンにすると、スケジュール済みエクスポートメールの配信が有効になります。
再発	エクスポートメールを送信する頻度を選択します。
日、時刻、その他のカレンダーフィールド	メールを送信するタイミングを指定します。選択肢は、[繰り返し] でメールを送信する頻度によって異なります。時間フィールドは HH:MM:SS 形式です。
レコードがない場合は省略	空のメールが配布されないようにするにはオンにします。
使用条件	オンにして、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow AI Platform のスクリプトの詳細については、「スクリプト」 を参照してください。 ⚠ **警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。

10. [メールの詳細] セクションで、受信者とメールの件名を指定します。
インスタンスのユーザーとグループ、または許可された内部または外部のメールアドレスを入力できます。セキュリティ上の制約により、レポートの送信先が制限される場合があります。メッセージを追加することもできます。インスタンスに属していないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。「 送信メール設定 」を参照してください。

11. [保存] を選択してスケジュールを保存します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのブックマーク

ダッシュボードをブックマークして、 アナリティクスセンターで簡単に見つけられるようにします。

始める前に

必要なロール:任意 (ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. ブックマークするダッシュボードを選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から、[ブックマークに追加] を選択します。

結果
[ダッシュボードの概要] で、選択したダッシュボードが [ブックマーク済み] リストに表示されます。

次のタスク
ブックマークを削除するには、ブックマークされたダッシュボードを選択し、[その他のアクション] メニュー ([⋮]) から [ブックマークを削除] を選択します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードを削除

役に立たなくなったダッシュボードは削除できます。この アナリティクスセンター は、インスタンスからダッシュボードを削除する フローデザイナー を呼び出します。

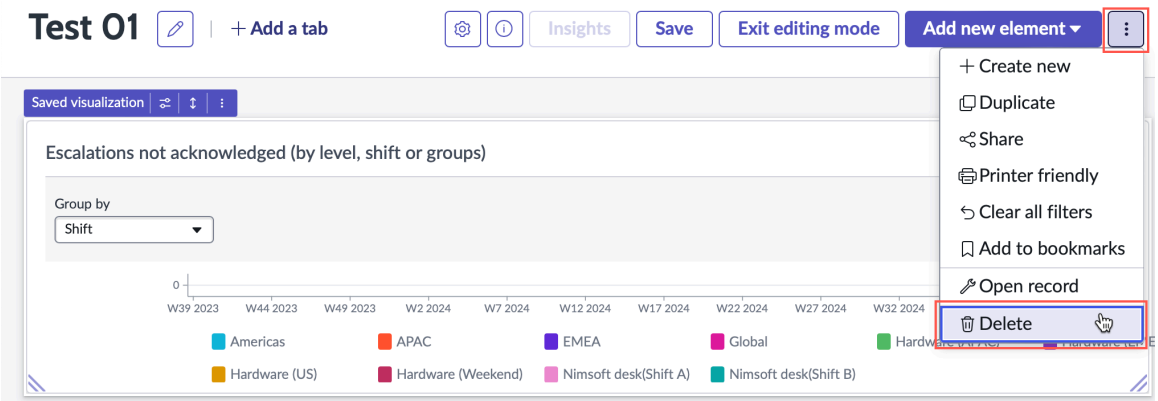
始める前に
ダッシュボードを削除していることを、ダッシュボードを表示できるすべてのユーザーに通知します。削除されたダッシュボードをブックマークしたユーザーが、ダッシュボードにアクセスしようとするとエラーが表示されます。

必要なロール:作成したダッシュボードはすべて削除できます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードを削除できます。

注: コア UI レスポンシブダッシュボードを削除する手順は異なります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から、[削除] を選択します。



4. 削除を確定します。
   このアクションを元に戻すことはできません。プラグインに関連付けられたダッシュボードを誤って削除してしまった場合、 システムアドミニストレーターはダッシュボードの元のバージョンを復元できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.

b. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

c. [その他のアクション] メニューボタンを選択し、[⋮ を選択し、[修復] を選択します。

d. [プラグインのアクティブ化] ウィンドウで [修復] を選択します。

でダッシュボードの削除アクションを構成する フローデザイナー

フローデザイナーを使用して、ダッシュボード削除プロセスにアクションを追加できます。アクションには、ダッシュボードのユーザーへのメールの送信や承認要求の生成が含まれます。

始める前に
フローを呼び出す前に、インスタンスはダッシュボードが存在し、開始ユーザーが正しいロールを持っているかどうかをチェックします。

必要なロール:作成したダッシュボードはすべて削除できます。admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを削除できます。アドミニストレーターは、ユーザーロールに基づいて フローデザイナー へのアクセスを許可および拒否できます。詳細については、「User access to Flow Designer (フローデザイナーへのユーザーアクセス) 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プロセス自動化 > フローデザイナー

2. [サブフロー] を選択します。

3. [ダッシュボードを削除] サブフローを選択します。

4. [**Add an Action, Flow Logic, or Subflow**] を選択します。
利用可能な可能性の詳細については、「 フローデザイナー 」を参照してください。

5. オプション:
アクション番号の横にあるハンドルを使用して、アクションを並べ替えます。

6. 追加したアクションでフローをテストします。
詳細については、「フローをテストする 」を参照してください。

7. フローを保存します。

結果
次の 3 つの出力が考えられます。

削除に成功しました

出力コード 1.削除プロセスが成功したことを示します。

削除に失敗しました

出力コード 2.削除に失敗したことを示します。

削除が開始されました

出力コード 3.削除プロセスは開始されたが、承認などの中間ステップが完了していないことを示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「アクションエラー評価」を参照してください。

ダッシュボードの構成

ダッシュボードを設定し、アドミンタスクを実行します。ほとんどのタスクは、ダッシュボードの詳細またはダッシュボード設定 UI のいずれかで実行されます。

一般的な構成タスク

次のタスクには特別なロールは必要ありませんが、ダッシュボードの所有者または編集権限を持つユーザーに制限される場合があります。

- ダッシュボードの名前または説明を変更する

  ダッシュボードの有益な説明を他のユーザーにも提供します。

- ダッシュボードの要求者を指定

  このダッシュボードの作成を要求したユーザーを指定します。ユーザーを指定すると、ダッシュボードの編集権限が自動的に付与されます。

- ダッシュボードの所有権の転送

  デフォルトでは、ダッシュボードの作成者はダッシュボードの所有者です。ダッシュボードの所有者である場合は、この所有権を別のユーザーまたはユーザーグループに譲渡できます。

- 背景色を設定

  ダッシュボードの 1 つ以上のタブの背景色を選択します。

- ダッシュボードの作成者を表示
- ダッシュボードが共有されているユーザーを表示する

アドミン構成タスク

次のタスクには、admin ロールでない場合、少なくとも dashboard_admin が必要です。

- データ更新オプションの設定

  ダッシュボードをスケジュールに従って更新するかどうか、およびデータキャッシュを使用するかどうかを設定します。dashboard_admin または admin ロールが必要です。詳細については、「プラットフォームアナリティクスのデータキャッシュ」を参照してください。

- ダッシュボードの認定

  ダッシュボードが組織で使用することが正式に承認されていることを証明します。admin ロールが必要です。

- ダッシュボードタブ プラットフォームアナリティクス キャッシュタイムアウトを構成する

  ダッシュボードタブのコンテンツが更新されるまで保持される時間 (分) を設定します。インスタンスのすべてのダッシュボードタブに適用されます。admin ロールが必要です。

- ダッシュボードを含めることが許可されているワークスペースを管理します

  このダッシュボードを追加できる プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス以外のインスタンスのワークスペースを指定します。admin または dashboard admin ロールが必要です。ワークスペースのダッシュボードの詳細については、「ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 更新セットを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの移動

  ダッシュボード構造を更新セットに移動し、別のインスタンスに配置できるようにします。ダッシュボードのコンテンツは含まれません。admin ロールが必要です。

プロセス最適化 統合タスク

- ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

  プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。

- プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成

  [インサイト] パネルには、作成する プロセス最適化 プロジェクトの提案を含めることができます。プロジェクトを作成するには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。

ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成

ダッシュボード名の変更、説明の追加、認定、可視化の構成、および要求者、所有者、所有者グループの指定を行うことができます。

始める前に

UI ビルダーで作成されたダッシュボードと、インラインエディターで作成されたダッシュボードの両方について、 ダッシュボードの詳細 を編集できます。

必要なロール：dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボードに展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。
2. [ダッシュボード の概要] で、構成するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [**Details** (詳細)] パネルを開きます。
   [詳細] パネルでは、ダッシュボードのいくつかの側面を編集できます。

   a. [名前] フィールドを編集して、アナリティクスセンターおよびダッシュボードの概要でのダッシュボードの表示方法を変更します。

   b. [説明] に入力して、ダッシュボードの目的に関する詳細なコンテキストを入力します。

   c. ダッシュボードを 認定 としてマークして、ダッシュボードが組織全体での使用が推奨されていることをユーザーに通知します。

      注: ダッシュボードを 認定としてマークするには、admin ロールが必要です。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。

   d. ダッシュボードの 可視化では、ダッシュボードを追加できるワークスペースを表示、追加、または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:** ここでワークスペースを指定しても、そのワークスペースにダッシュボードは表示されません。そのワークスペースにのみダッシュボードを追加できます。ワークスペースにダッシュボードを追加する方法の詳細については、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

e. 1 つ以上のダッシュボードカテゴリを指定します。
詳細については、「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードカテゴリ」を参照してください。

f. ダッシュボードを要求したユーザーを指定します。
このユーザーは責任ユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限で共有されます。

g. ダッシュボードの所有者を指定します。
デフォルトでは、所有者はダッシュボードの作成者ですが、作成者または所有者は別のユーザーに所有権を割り当てることができます。

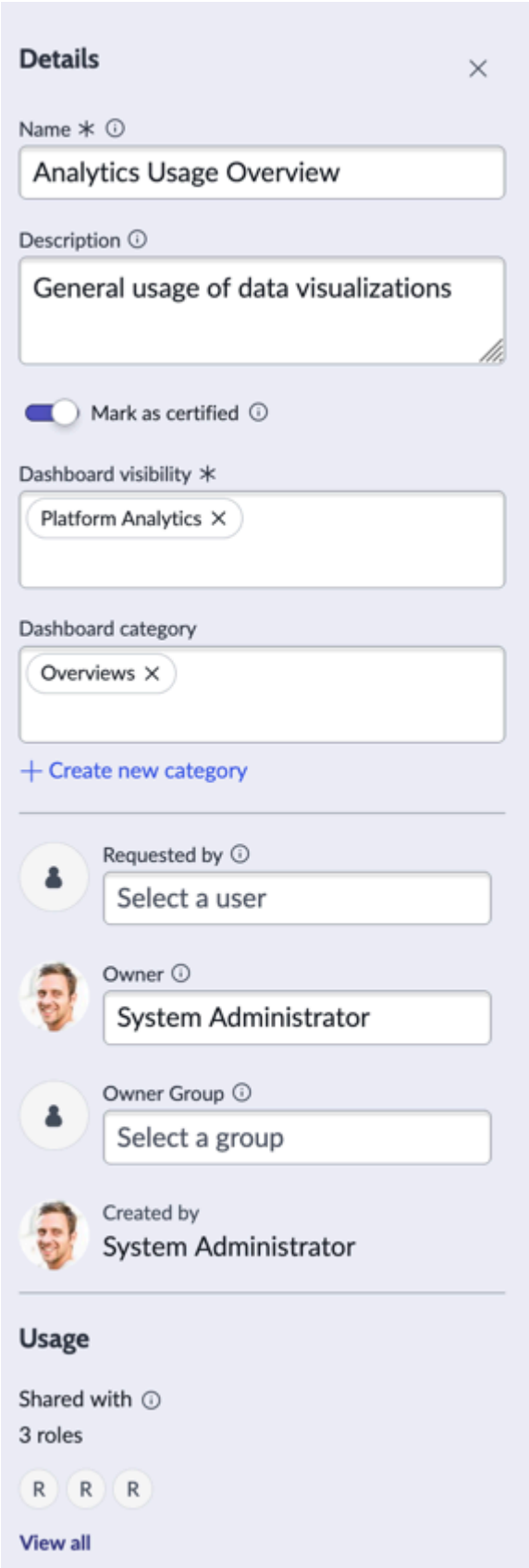
h. オーナーグループを指定します。
ダッシュボードの所有者は、1 人ではなくグループ全体にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. ダッシュボードの作成者を表示します。

j. ダッシュボードが共有されているユーザーを確認します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成

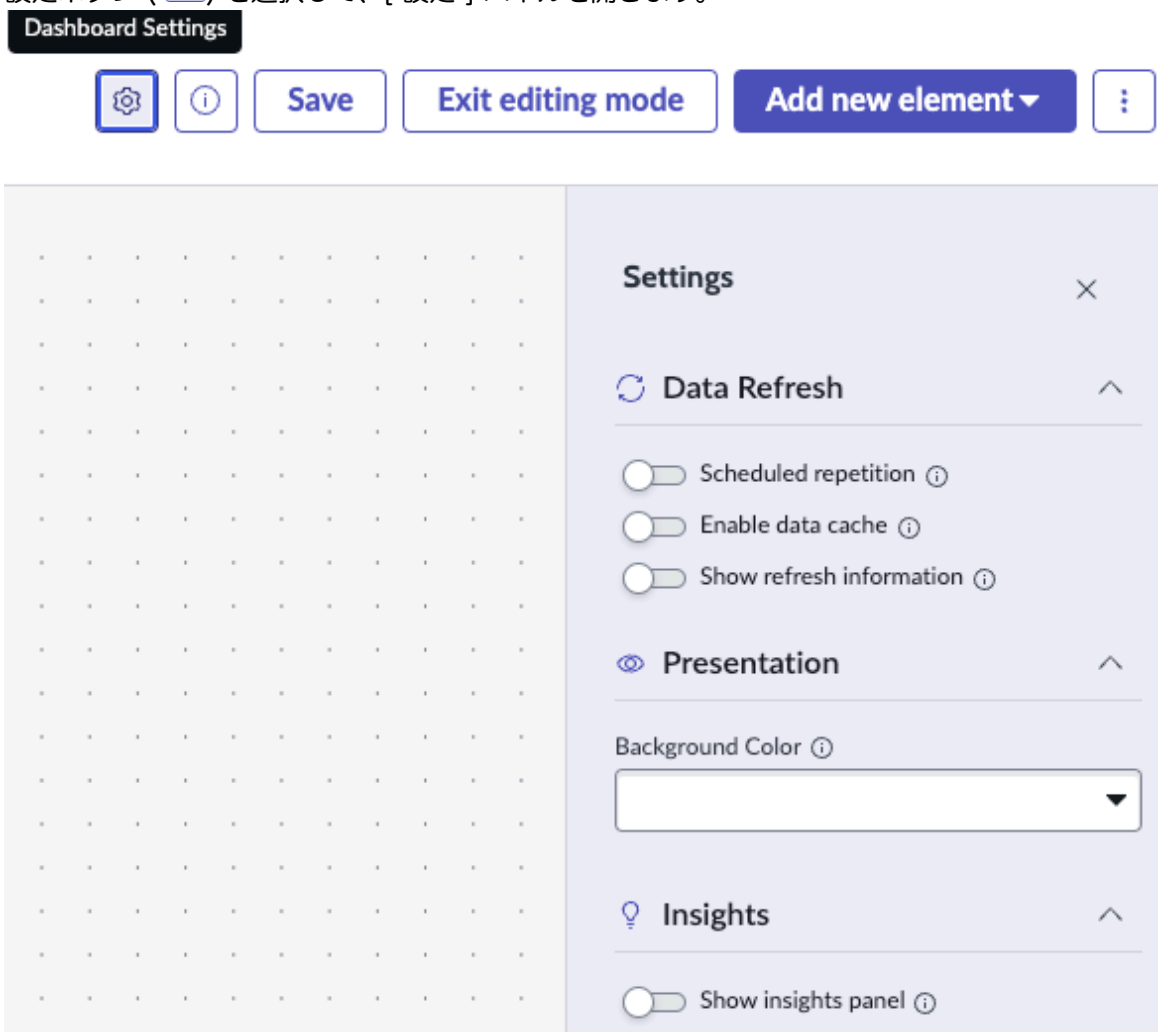
更新間隔の詳細と背景色を設定し、データキャッシュを有効にしてページの更新を高速化し、表示するインサイトカードを選択できます。

始める前に

必要なロール: dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。 さらに、自分が所有しているダッシュボードであっても自動リフレッシュをスケジュールするにはdashboard_adminが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボードに展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。
2. ダッシュボードライブラリで、構成するダッシュボードを選択します。
3. [編集] を選択して編集モードに入ります。
4. 設定ボタン ( ) を選択して、[設定] パネルを開きます。



5. 次のいずれかの設定を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [リフレッシュ] オプションを編集します。

  dashboard_admin 以上のロールを持つユーザーは、ダッシュボードの自動リフレッシュを設定できます。

  - [リフレッシュ情報を表示] を選択すると、ダッシュボードが最後にリフレッシュされた時刻がダッシュボードのタイトルの下に表示されます。この情報は、ダッシュボードが自動的に更新されたとき、およびユーザーが更新ボタン ( ) を選択したときに更新されます。
  - [スケジュールされた繰り返し] を選択して、ダッシュボードの再ロード頻度を分または時間単位で指定します。ダッシュボードが開いている間のみ適用されます。

    注: この設定を、データの可視化の [**X** 分間不在後にリフレッシュ] オプションと混同しないでください。この後者のオプションは、データの可視化を含むダッシュボードから同じワークスペースまたはエクスペリエンス内の別のページに移動した場合に有効になります。指定された分数経過後にダッシュボードに戻ると、データの可視化が自動的に更新されます。

  - [データキャッシュを有効にする] を選択すると、テーブルまたはインジケーターデータに基づくデータ可視化のページ更新のロード時間が短縮されます。データキャッシュはインジケータースコアカードにも適用されます。ダッシュボードは、ページの更新時にデータベースをクエリする代わりにキャッシュされたデータを使用します。

    注:

    - スケジュールされた繰り返しを有効にすると、データキャッシュが無効になり、その逆も同様です。
    - データ可視化で **X** 分間非アクティブになった後に [リアルタイム更新] または [リフレッシュ] を有効にすると、その可視化のキャッシュが上書きされます。このオプションを後で無効にすると、現在キャッシュされている値 (期限切れになっていなければ) が表示されます。

    データキャッシュには有効期限があります。ページが更新され、キャッシュされたデータの有効期限が切れると、新しいデータが照会されてキャッシュされます。データキャッシュが有効になっている場合、キャッシュされたデータが有効になるまでの時間を [キャッシュされた有効期限] で設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。

    ダッシュボード全体またはデータの可視化のキャッシュされたデータは、ダッシュボードまたは可視化のいずれかをそれぞれ更新することで手動で更新できます。

- [プレゼンテーション] セクションで、ダッシュボードの 1 つ以上のタブの背景色を編集します。

  事前設定された色のリストから色を選択するか、カラーパレットを使用して色を指定します。

- [インサイト] セクションに表示するかどうか、またどのアナリティクスを表示するかを選択します。

  [インサイトパネルを表示] を選択すると、[インサイト] ボタンがダッシュボードに追加されます。ビューアーがこのボタンを押すと、選択したアナリティクスオプションに対応するインサイトカードが表示されます。詳細については、「ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト」を参照してください。

ダッシュボードタブ プラットフォームアナリティクス キャッシュタイムアウトを構成する

ユーザーがタブ間を移動するたびにダッシュボードのコンテンツが更新されるわけではありません。ダッシュボードタブのコンテンツが更新されるまでにキャッシュされる時間 (分) を設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. プロパティ *next_experience.dashboard.tab.timeout*を開きます。
   このプロパティはデフォルトで有効になっています。
3. 値を編集します。
   タブコンテンツが更新されるまでのデフォルトの時間 (分) は 20 分です。
4. [Update (更新)] を選択します。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードカテゴリ

ダッシュボードカテゴリを使用すると、複数のダッシュボードに割り当てられた一般的な用語を使用してダッシュボードを検索およびフィルタリングできます。

注: コア UI ダッシュボードグループはカテゴリに移行されます。

platform_analytics_adminまたはanalytics_categories_adminを持つユーザーは、ダッシュボードカテゴリを作成、編集、削除できます。ユーザーは、作成したダッシュボードに 1 つ以上のカテゴリを適用し、ダッシュボードライブラリ内のダッシュボードをカテゴリ別にフィルタリングできます。

十分なカテゴリがある場合は、ダッシュボードの概要でカテゴリを検索できます。それ以外の場合は、ダッシュボードに割り当てられたすべてのカテゴリが [カテゴリでフィルター] に表示されます。ダッシュボードの情報パネルでアサインされていないカテゴリは、概要には表示されません。

すべてのカテゴリを表示するには、analytics_category.list に移動します。

ダッシュボードカテゴリの作成

ダッシュボードカテゴリユーザーは、ダッシュボードの概要で、作成者またはanalytics_categories_adminが提供するダッシュボードを説明する用語またはフレーズでダッシュボードをフィルタリングします。

始める前に
必要なロール:analytics_categories_admin

手順

1. オプション: アプリケーションスコープアイコン (アプリケーション) を選択し、カテゴリを適用するスコープを選択します。
   デフォルトのアプリケーションスコープは [グローバル] です。
2. 移動先 すべて > 使用状況とガバナンス > アナリティクスのカテゴリ.
   編集モードのダッシュボードの [詳細] ウィンドウで [新しいカテゴリを作成] を選択して、[カテゴリの新規レコード] フォームを開くこともできます。

3. **[New** (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. カテゴリの名前を入力します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
カテゴリは、[情報] パネルのダッシュボードに適用したり、ダッシュボードライブラリで検索したりできます。

ダッシュボードカテゴリのアサイン

カテゴリを使用すると、ユーザーはダッシュボードライブラリ内のダッシュボードをフィルタリングできます。各ダッシュボードに 1 つ以上のカテゴリをアサインできます

始める前に
必要なロール:ダッシュボードを作成できるユーザーは、既存のカテゴリをダッシュボードに割り当てることができます。analytics_categories_admin ロールを持つユーザーのみがカテゴリを作成できます。既存のダッシュボードにカテゴリを割り当てることができるのは、ダッシュボードの所有者またはanalytics_categories_adminロールとdashboard_adminロールを持つユーザーのみです。

ダッシュボードの情報パネルでダッシュボードカテゴリをアサインします。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボードに展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。
2. カテゴリを適用するダッシュボードを選択します。
3. [編集] ボタン ([Edit) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
4. [情報] ボタン ([ⓘ) を選択してダッシュボードの [情報] パネルを開き、適用するカテゴリを選択します。
   analytics_categories_adminロールを持つユーザーには、新しいカテゴリを作成するオプションもあります。
5. [編集モードの終了] を選択して、カテゴリをダッシュボードに適用します。

結果

- ライブラリ内のダッシュボードカードは、適用されるカテゴリを示します。
- ユーザーは、割り当てられたカテゴリでフィルタリングすることでダッシュボードを見つけることができます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定

ダッシュボードを認定して、会社によって承認され、使用が推奨されていることを示します。

始める前に
必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

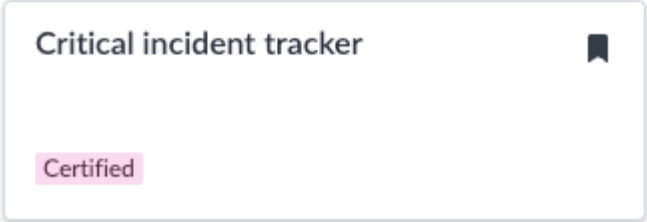
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード
2. 認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [Details (詳細)] パネルを開きます。
4. **[Edit** (編集)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [認定としてマーク **(Mark as certified)]** というラベルの付いたトグルを選択します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

結果
ダッシュボードの概要で、タイルは [認定済み] とマークされています。



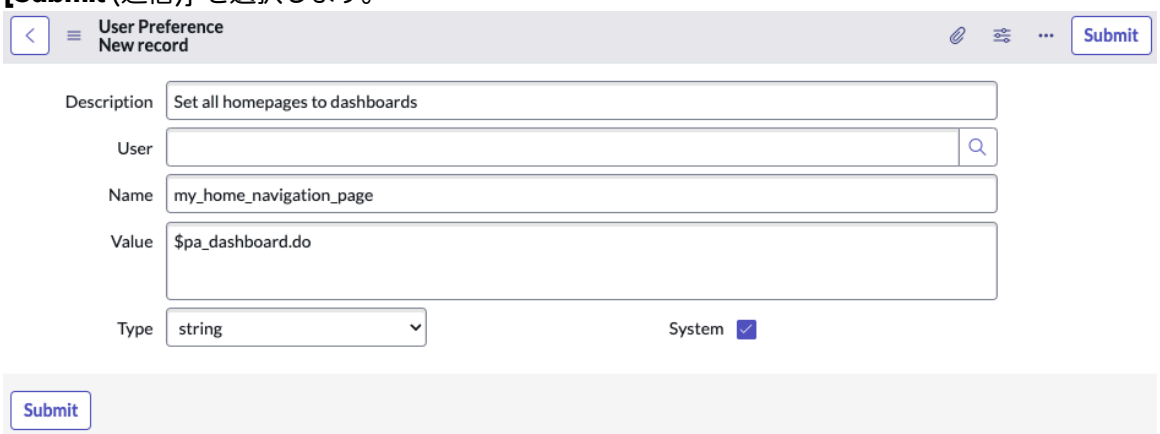
プラットフォームアナリティクスダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定できます。デフォルトでは、ユーザーがServiceNowにログインしたときに表示されるダッシュボードは、ユーザーが最後にアクセスしたダッシュボードです。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定.
2. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
3. 設定に説明を付ける すべてのホームページをダッシュボードに設定します。
4. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
5. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 4 と 5 では、設定をユニバーサルにします。
6. [タイプ] を 文字列に設定します。
7. 値を $pa_dashboard.do に設定します。
8. **[Submit** (送信)] を選択します。



結果
すべてのユーザーには、 ServiceNow にログインしたときに最後にアクセスしたダッシュボードが表示されます。

次のタスク
特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

特定の プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

ログイン時にすべてのユーザーに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を設定します。

始める前に
必要なロール：admin

> **注:** ホームとして設定するダッシュボードに移動し、URL からsys_idをコピーします。sys_id は、最後のスラッシュの後の最後の要素です。たとえば、この URL では、sys_idは 456CBA: https://my-instance.service-now.com/now/platform-analytics-workspace/dashboards/params/edit/false/sys-id/456CBA です。作成したシステム環境設定にコピーできるように、sys_idをテキストファイルに貼り付けます。

このタスクについて
構成したダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できるようにする必要があります。

手順

1. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
2. 設定に説明を付ける すべてのホームページをダッシュボードに設定します。
3. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
4. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 3 と 4 では、設定をユニバーサルにします。
5. 検索できるわかりやすい説明を設定に付けます。
6. [タイプ] を 文字列に設定します。
7. [値] フィールドに「 $pa_dashboard.do?sysparm_dashboard=dashboard_sys_id」と入力しますが、開始する前にコピーしたsys_id dashboard_sys_id に置き換えます。
8. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
すべてのユーザーが ServiceNowを開くと、同じダッシュボードが表示されます。

特定の プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを特定のユーザーのホームとして設定する

指定したユーザーがログインしたときに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を設定します。

始める前に
必要なロール：admin

> **注:** ホームとして設定するダッシュボードに移動し、URL からsys_idをコピーします。sys_id は、最後のスラッシュの後の最後の要素です。たとえば、この URL では、sys_idは 456CBA: https://my-instance.service-now.com/now/platform-analytics-workspace/dashboards/params/edit/false/sys-id/456CBA です。作成したシステム環境設定にコピーできるように、sys_idをテキストファイルに貼り付けます。

このタスクについて
構成したダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できるようにする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定.
2. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
3. ユーザーが検索できる ITIL ユーザーのホームダッシュボードを設定する など、設定にわかりやすい説明を入力します。
4. [ユーザー] フィールドで、このダッシュボードをホームとするユーザーを 1 人指定します。
5. [タイプ] を 文字列に設定します。
6. [値] フィールドに「 $pa_dashboard.do?sysparm_dashboard=dashboard_sys_id」と入力しますが、開始する前にコピーしたsys_id dashboard_sys_id に置き換えます。
7. **[Submit** (送信)] を選択します。
8. オプション: コンテキストメニュー ( ) を選択し、[挿入と維持] を選択します。
   このアクションにより、このダッシュボードのホームとなる別のユーザーを指定できるように、ユーザー設定が複製されます。重複レコードに別のsys_IDを指定することもできます。

結果
指定されたユーザーが ServiceNow を開くか会社のロゴを選択すると、指定されたダッシュボードが表示されます。

更新セットを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブは更新セットでは自動的に転送されません。[ダッシュボードのアンロード] 機能を使用して、ダッシュボードのコンポーネントをダッシュボードレコードから更新セットに追加できます。[ダッシュボードのアンロード] 機能は、関連するコンテンツを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボードの構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有の設定が含まれます。

この手順では、保存されたデータの可視化とフィルターを更新セットに追加します。他のコンテンツは移動されません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、更新セットにダッシュボードコンテンツを追加できます。

重要: ダッシュボードのコンテンツが、ダッシュボードレコードと同じ更新セットにあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になる場合があります。詳細については、「更新セット ID「グローバル」は更新セットスコープ ID とは異なります」を参照してください。

ヒント: この手順が難しい場合は、 カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

手順

1. 新しい更新セットを作成してアクティブ化します。
2. ソースインスタンスで、 par_dashboard_list.do に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
4. [他のアクション] アイコン ([≡) を選択し、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
   この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができてから、つまりすべてのコンテンツをタブに追加してから実行してください。
5. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。
6. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。
   詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
   [リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得したすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがないかどうかを確認します。エラーは、[取得済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] と呼ばれる関連リストに表示されます。

結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのキャッシュ

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのレイアウトに加えた変更は、par_dashboard_cacheテーブルに保存されます。ダッシュボードが呼び出されるたびに、このテーブルに新しいエントリが作成されます。このテーブルのエントリを削除して、トラブルシューティング用のキャッシュを再生成します。

ダッシュボードのレイアウトのトラブルシューティングのコンテキストで、par_dashboard_cache_list.do に移動して PAR ダッシュボードメタデータキャッシュテーブルを開きます。このテーブルのダッシュボードのレコードを削除して、キャッシュを再生成します。

これらのアクセス制御リスト (ACL) は、PAR ダッシュボードメタデータキャッシュ *par_dashboard_cache* テーブルに適用されます。

- admin のみのロール:report_on、report_view、create、write、delete
- 任意のログインユーザー:読み取り

プラットフォームアナリティクスダッシュボードに接続されたロールの完全なガイドについては、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのドメインセパレーション

ドメインセパレーションは、 プラットフォームアナリティクス全体でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

重要: 子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメインセパレーションと委任管理の両方を有効にする必要があります。

子ドメインのユーザーはダッシュボードを上書きできません。子ドメインユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメインセパレーションの仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

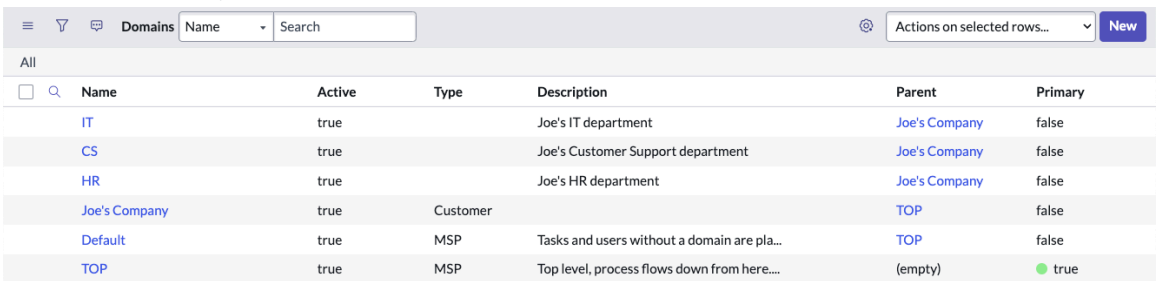
ドメインセパレーションされたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメインセパレーションによって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。このレポートは、IT ドメインのユーザーには表示されませんが、ウィジェットコンテナーは表示されます。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

次の図では、IT、CS、および HR ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメインセパレーションされたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連トピック

ドメインセパレーションの概要

サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス

ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。

始める前に

プロセス最適化およびプロセスプロジェクトに精通している必要があります。詳細については、「プロセス最適化」を参照してください。

関連するプロセスプロジェクトが既に存在している必要があります。

必要なロール：sn_process_optimization_analyst

このタスクについて

プロセス最適化マップコンポーネントを使用すると、分析対象の特定のデータセットに対してプロセスがどのように実行されているかを視覚化できます。たとえば、特定の日付範囲、ビジネスエリア、および地域のレコード数をユーザーに表示できます。

このコンポーネントは、 プロセス最適化 ワークスペースのプロセスマップから取得するダッシュボードで同様のコンテンツを提供します。プロセスマップの詳細については、「 プロセス詳細ページ」を参照してください。

手順

1. ダッシュボードを作成するか、編集が許可されているダッシュボードに移動します。
   詳細については、「インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。
2. [編集] を選択して編集モードに入ります。
3. [新しい要素を追加] を展開し、[プロセス最適化 - マップ] まで下にスクロールします。
   この要素を選択すると、ダッシュボードに追加され、構成パネルが開きます。
4. [ヘッダーと境界線] で、マップにヘッダーを表示するか境界線を表示するか、ヘッダーのチャートタイトルと説明を表示するかを設定します。
5. [プロセス最適化 - マップ構成] パネルの [データ] で、プロセス最適化プロジェクトを選択します。
   アクセスできる プロセス最適化 プロジェクトのみを選択できます。
6. マップでダッシュボードのフィルターに従うには、[フィルターに従う] を選択します。
   詳細については、「プロセスマイニングマップへのフィルターの適用」を参照してください。
7. 表示する接続の割合を設定します。
   接続は、マッピングされたプロセスのサブジェクトのステータスがどのように変化するかを示す線です。これらの線は、変更の方向を示す矢印で終わります。また、そのパスをたどったレコードの数と、移動前の以前のステータスで費やした平均時間を示すボックスもあります。たとえば、接続

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の中央にあるボックスに「505/5d」と表示されている場合、 では、505 レコードがこの状態の変化に従い、以前の状態の平均時間は 5 日間でした。

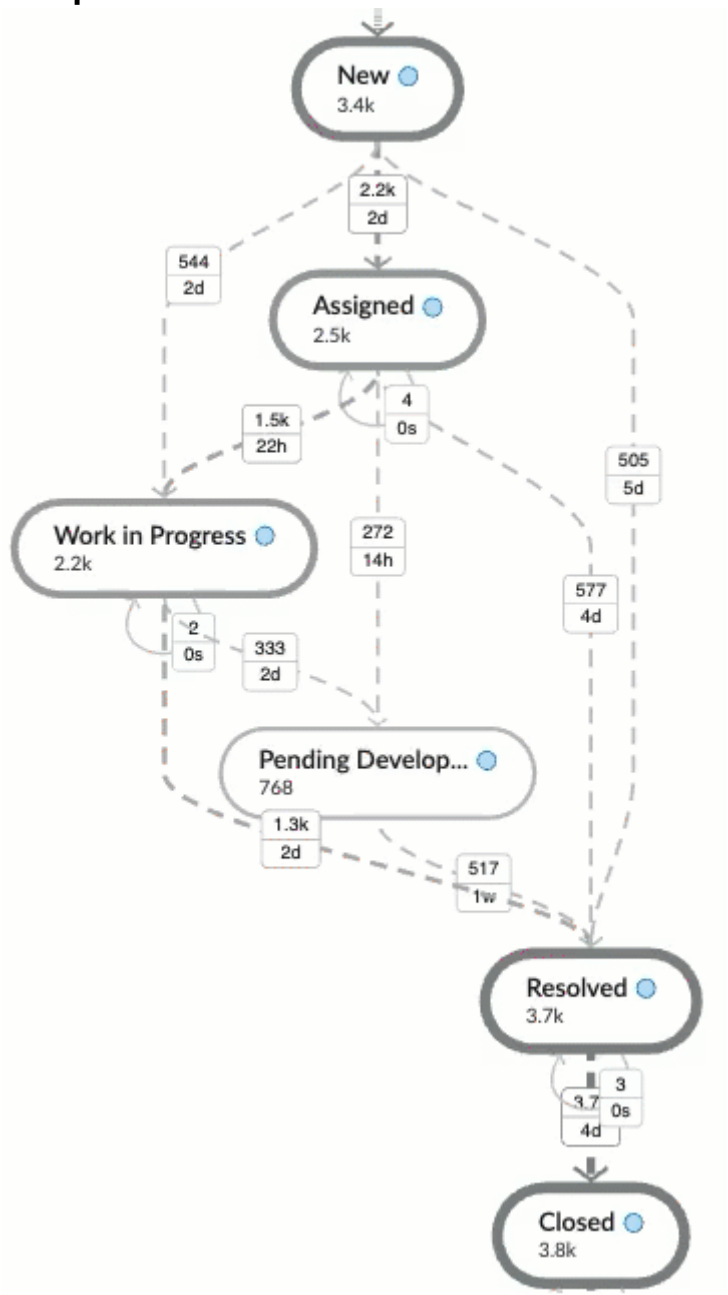
最も頻度の高い変更が最初に表示されます。したがって、デフォルトの 20% を受け入れると、ステータス間の最も頻度の高い 20% の変更のみが表示されます。数値が小さすぎると、マップに表示されるデータが少なすぎます。数値が大きすぎると、マップがスパゲッティの塊になり、州間で多くのまれな変化が起こり、気にしないかもしれません。

8. 表示するアクティビティの割合を設定します。
アクティビティ、またはノードは、プロセスのサブジェクトの可能なステータスです。たとえば、インシデントを表示している場合、インシデントは [アサイン済み] ステータスまたは [対応中] ステータスになります。アクティビティが多すぎるとマップが乱雑になることがありますが、通常はできるだけ多く表示します。
9. オプション: ケース フォローシミュレーションをオンにして、マップをアニメーション化します。
ケースフォローシミュレーションがアクティブな場合、接続の実線は移動破線に置き換えられます。ダッシュが移動する速度は、オブジェクトがある状態から次の状態に移動する速度を表します。ダッシュの太さは、相対的なトラフィック量を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



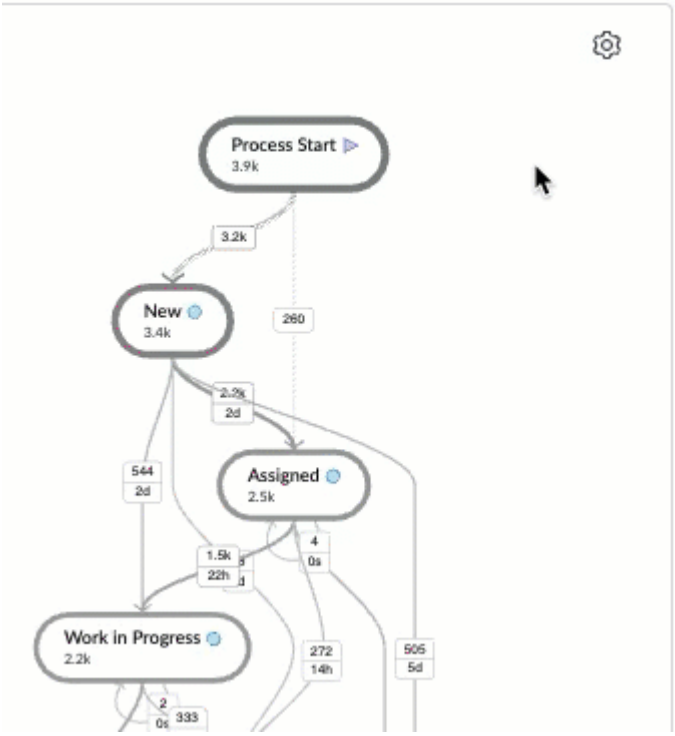
10. オプション: タイトルや説明など、ヘッダーと境界線の設定を指定します。

次のタスク

編集モード以外では、ユーザーはマップ上の の設定を展開できます。これらの設定では、接続とアクティビティの割合を調整したり、アニメーションのオンとオフを切り替えたりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連トピック

- プロセス最適化
- アナリストワークベンチページ
- プロセスマップの絞り込み

プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

ダッシュボードフィルターがプロセスプロジェクトのブレークダウンと同じテーブルにある場合、そのフィルターはそのプロジェクトの プロセス最適化 マップに適用できます。

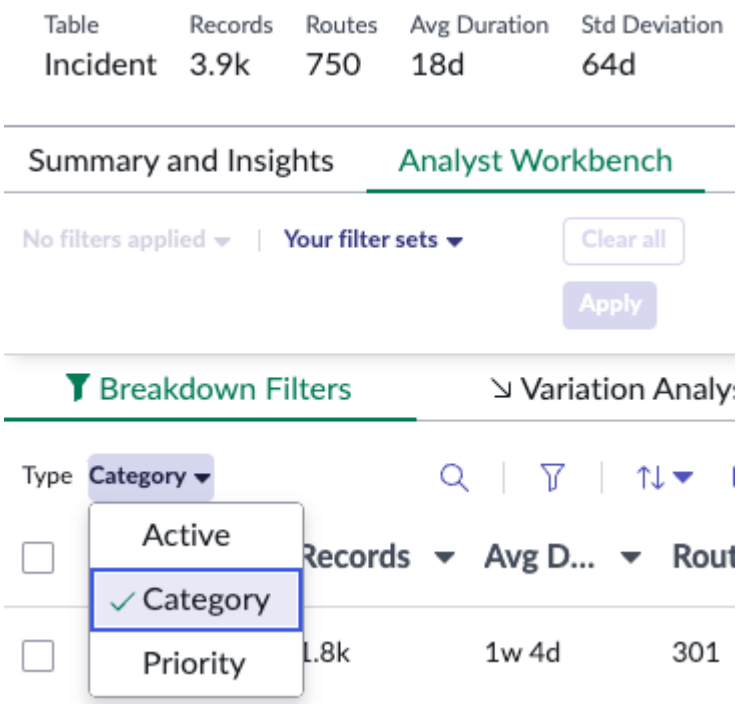
単一選択または true/false フィルターを プロセス最適化 マップに適用できます。

プロセス最適化マップでの単一選択フィルター

単一選択フィルターを プロセス最適化 マップに適用するには、フィルターソースとフィルタリングするデータの両方が、プロセスプロジェクトのテーブルと同じテーブルにある必要があります。さらに、プロセスプロジェクトのブレークダウンでもあるテーブルのフィールドに存在する必要があります。

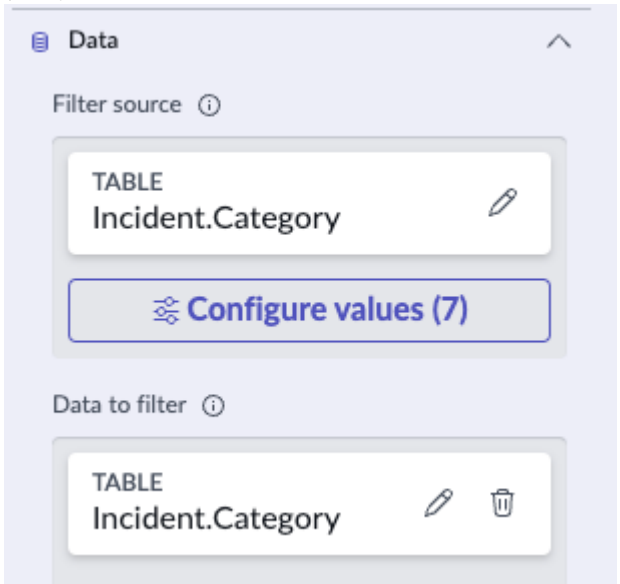
たとえば、インシデント [incident] テーブルのプロセスプロジェクトを考えてみましょう。このプロジェクトのブレークダウンフィルターには、[カテゴリ] フィールドが含まれています。プロセス最適化 ワークスペースでは、プロジェクトの Analyst Workbench の [ブレークダウンフィルター] 列にブレークダウンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



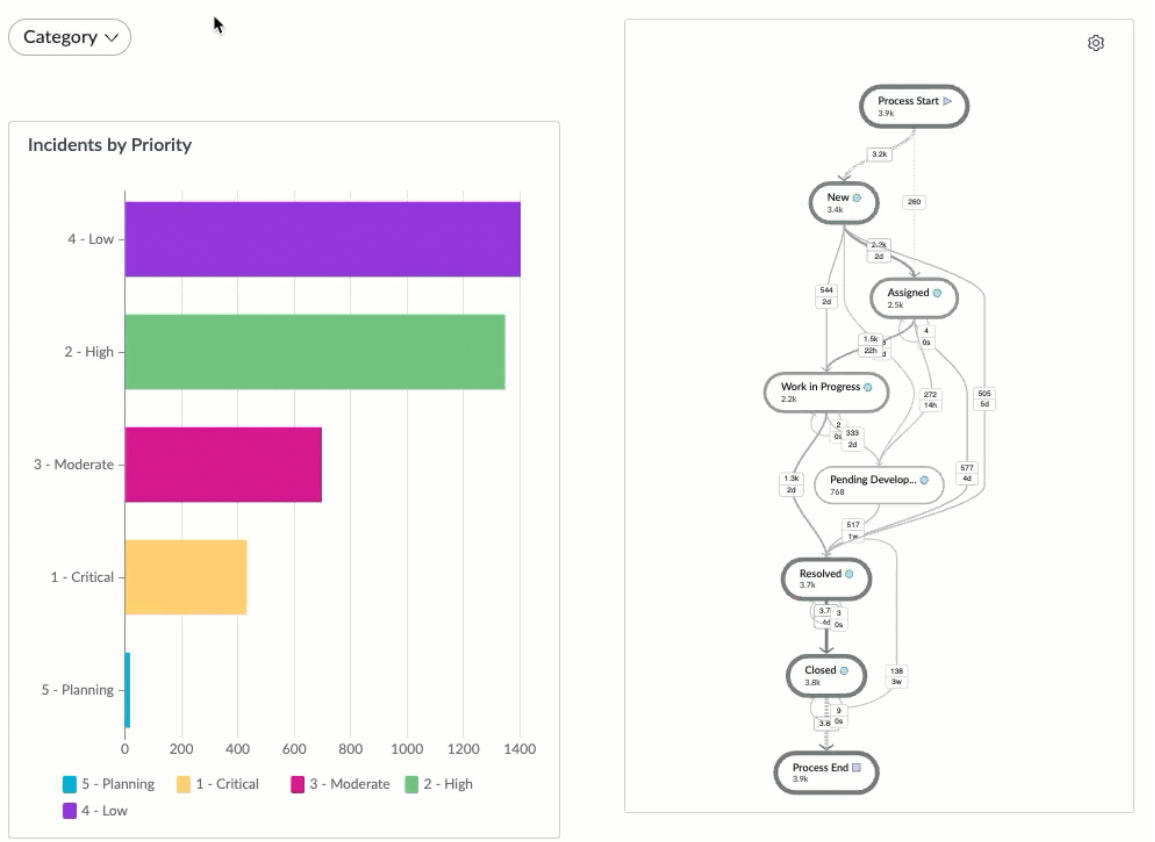
プロジェクトのテーブル設定レコードでブレークダウンを表示および変更することもできます。詳細については、「ブレークダウン定義の構成」を参照してください。

このプロジェクトの プロセス最適化 マップを追加したダッシュボードで、ユーザーがカテゴリ別にマップをフィルタリングできるようにします。カテゴリはプロセスプロジェクトのブレークダウンであるため、このようなフィルターを簡単に追加できます。フィルターを作成するときは、[インシデント] テーブル、および [カテゴリ] フィールドの順に選択します。この選択は、「 単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成」で説明されているように、フィルターソースとフィルターする日付の両方に自動的に適用されます。



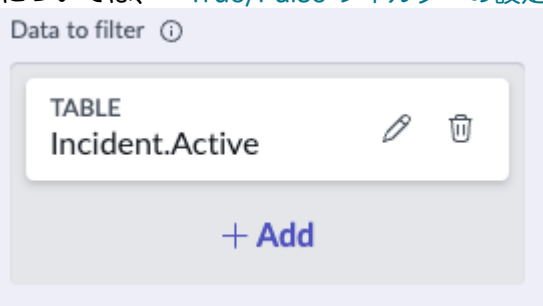
フィルターは、インシデントテーブルの棒グラフの可視化と同じように プロセス最適化 マップに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセス最適化マップの **True/False** フィルター

true/false フィルターでは、フィルタリングするデータのみを選択します。ここでも、プロセスプロジェクトのテーブルと、ブレークダウンとして使用するフィールドを選択します。単一選択フィルターの例からプロジェクトを続行します。アクティブは、ブレークダウンとして使用される true/false、つまりブーリアンフィールドです。したがって、true/false フィルターを設定して Incident.Active をフィルタリングすると、 プロセス最適化 マップがフィルタリングされます。詳細については、「True/False フィルターの設定」を参照してください。



繰り返しになりますが、フィルターはインシデントテーブルのデータ表示方法と プロセス最適化 マップの両方に影響します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

担当役員ダッシュボードの概要

エグゼクティブダッシュボードは、経営幹部の視点から見た業務のトップレベルの概要を提供します。

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボード

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボードは、エンドツーエンドのセキュリティオペレーションを一元的に表示します。

最高調達責任者 ダッシュボード

最高調達責任者ダッシュボードは、あらゆる組織の調達プロセスに関する重要なインサイトを提供します。

最高リスク責任者 ダッシュボード

最高リスク責任者ダッシュボードは、エンドツーエンドのガバナンス、リスク、コンプライアンスを一元化されたビューで表示します。

ゼネラルカウンシル ダッシュボード

ゼネラルカウンシルダッシュボードは、法務サービスの提供と運用に透明性を提供します。インサイトには、契約、法的要求、コンプライアンスの問題、デジタルフォレンジックの可視化が含まれます。

最高人事責任者 ダッシュボード

最高人事責任者 ダッシュボードダッシュボードは、人材リーダーシップがビジネスを運営し、価値を迅速に提供し、生産性を向上させてリスクを最適化するのに役立ちます。

最高財務責任者 ダッシュボード

最高財務責任者 ダッシュボードは、エンドツーエンドの財務運用を一元化されたビューで表示します。

最高デジタル責任者 ダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高デジタル責任者ダッシュボードは、会社のデジタルプロパティの健全性と生産性を可視化します。

最高顧客執行責任者 ダッシュボード

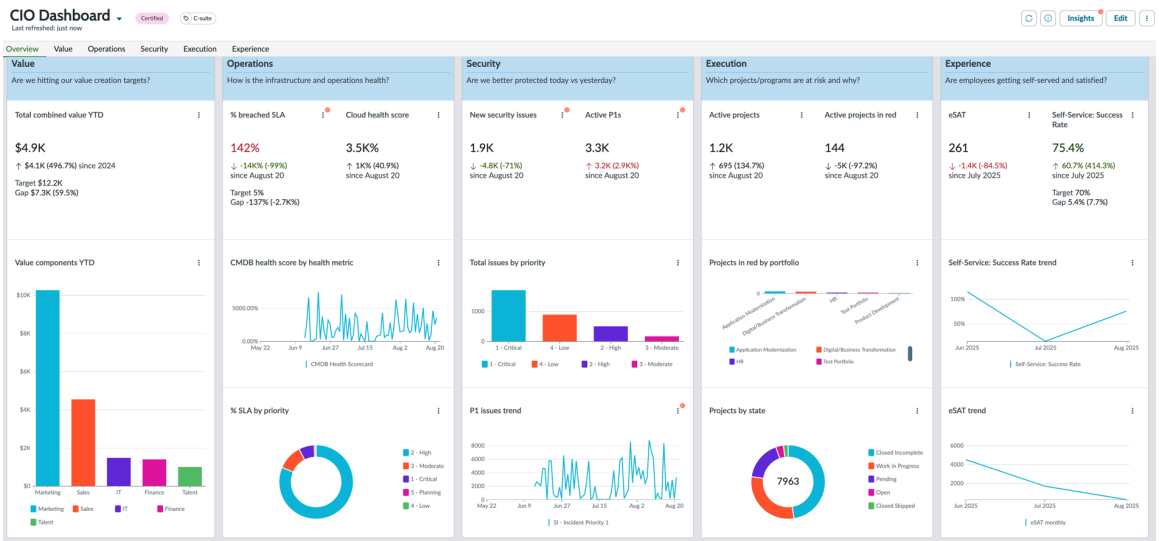
最高顧客執行責任者ダッシュボードは、カスタマーサポートと運用を可視化し、経営陣が運用を調整して有効性を高めるのに役立ちます。

最高情報責任者 ダッシュボード

CIO ダッシュボードは、重要な意思決定、重要な質問、および軌道に乗ってビジネスを拡大するために必要なインサイトを含む意思決定フレームワークを提供します。

CIO ダッシュボードは、日常レベルと戦略レベルの両方で組織にとって重要です。IT 組織全体で何が起こっているかを俯瞰し、より適切な意思決定を行うために必要な情報を提供します。

CIO ダッシュボードの中核は、ビジネスの最優先事項に対する IT パフォーマンスの共有ビューを提供し、CIO がビジネスのように IT を運営できるようにします。テクノロジー運用を戦略的な成果に合わせることで、リーダーがデータ主導の意思決定を行い、リスクと機会を特定し、組織の成長に対する IT の貢献を実証するのに役立ちます。CIO ダッシュボードは、価値、運用、セキュリティ、実行、エクスペリエンスの 5 つのコア領域にわたるリアルタイムのインサイトを IT リーダーに提供します。



CIO ダッシュボードのインストール

最高情報責任者 (CIO) ダッシュボードは、重要な意思決定、重要な質問、および順調に進み、ビジネスを拡大するためのインサイトのための意思決定フレームワークを提供します。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 cio_dashboard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: CIO ダッシュボードアプリケーションは ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。

- IT Service Management
- IT Operations Management
- IT Asset Management
- Security Operations (セキュリティオペレーション) (SecOps)
- Strategic Portfolio Management (戦略的ポートフォリオ管理) (SPM)

これらのプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。

これらのソリューションは、CIO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

プラグイン：

- com.snc.pa cmdb
- com.snc.pa.slacom.snc.pa
- com.snc.pa.itsm_dashboards
- com.snc.pa.sla
- com.snc.pa.request
- com.snc.pa.change
- com.snc.pa.premium.sam
- com.snc.pa.pmo_dashboards
- com.snc.pa.self_service_analytics

アプリケーション：

- sn_sir_analytics
- sn_vul_analytics
- sn_compliance
- sn_ppm_imd

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CIO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CIO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求の理由を入力し、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. CIO ダッシュボードプラグイン (sn_ciodashboard) を検索してインストールします。
6. CIO ダッシュボードを構成および表示するためのロールをアサインします。

   CIO ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_ciodashboard.ciodashboard_admin ロールをアサインします。

   注: このロールを持つユーザーのみが CIO ダッシュボードを構成できます。

   CIO ダッシュボードのエンドユーザー

   ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_ciodashboard.ciodashboard_user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高情報責任者 ダッシュボードタブ

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CIO は運用の安定性と長期的なイノベーションの両方に重点を置くことができます。

戦略の柱

タブ	フォーカスエリア	説明
概要	コア IT メトリクス	[概要] タブには、価値、運用、セキュリティ、実行、エクスペリエンスなど、主要な IT メトリクスの概要のリアルタイムスナップショットが表示されます。
値	ビジネスの成長	収益とコストのインサイトをリアルタイムで表示して、運用を主導し、組織の成長を促進します。
操作	インフラストラクチャとサービスデリバリ	インシデントの傾向、要求管理、クラウドガバナンス、資産の健全性を可視化します
セキュリティ	リスクとコンプライアンス	脆弱性、インシデントレスポンスメトリクス、およびコンプライアンスステータスを追跡する
実行	戦略的プログラム	プロジェクトの進捗状況、リソース割り当て、およびポートフォリオ管理に関するインサイトを提供します
エクスペリエンス	ユーザーと顧客満足度	ユーザーの感情とサービス品質を測定してエクスペリエンスを最適化します

[概要] タブ

目的

[概要] タブは戦略的コマンドセンターとして機能し、CIO に企業全体の IT サービスの健全性とパフォーマンスの簡潔でリアルタイムのスナップショットを提供します。重要なインジケーターを 1 つのビューに集約します。この単一のビューにより、リーダーは IT がビジネスゴールに沿っているかどうかを評価し、アクションが必要な場所を特定できます。

対象者

自動翻訳

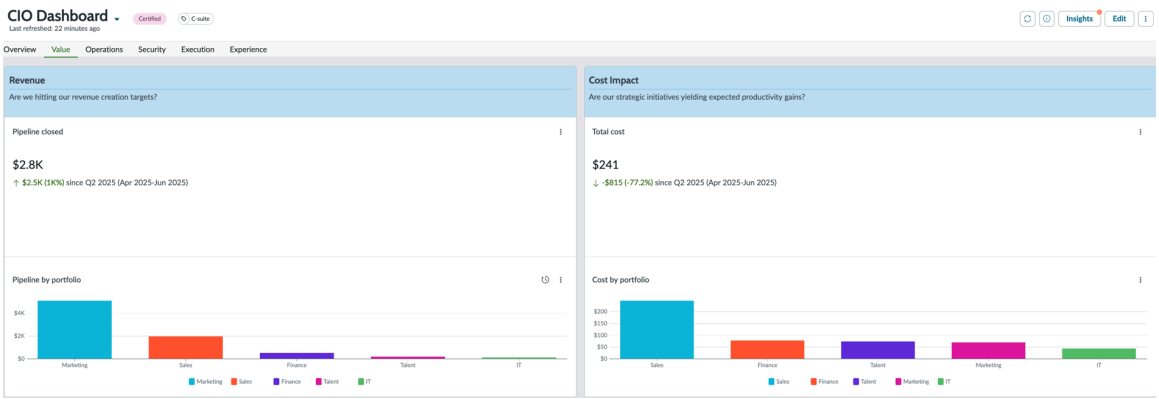
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブは、上級 IT リーダー (特に CIO) 向けに作成されており、企業の IT 健全性とパフォーマンスをリアルタイムで一目で把握し、日常業務を戦略的なビジネス目標に合わせることができます。

プライマリステークホルダー

- 最高情報責任者 (CIO)
- 最高経営責任者
- IT リーダーシップチーム
- 戦略的ビジネスステークホルダー
- ServiceNow アドミンとアナリティクスリード
- エグゼクティブレビュー担当者とボードメンバー

値



目的

[値] タブは、IT 投資が測定可能なビジネス成果をどのように促進するかを示すことに重点を置いています。これにより、CIO が投資収益率を理解し、支出を最適化し、テクノロジーイニシアチブを成長目標に合わせるのに役立つ、リアルタイムの収益とコストのインサイトが明らかになります。

対象者

[値] タブは、IT 投資がビジネスの成長とコスト効率をどのように促進するかについて、明確で定量化可能なインサイトを必要とするリーダー向けに設計されています。ROI、TCO、サービスあたりのコストなどの指標が表示され、戦略的な財務上の意思決定が可能になります。

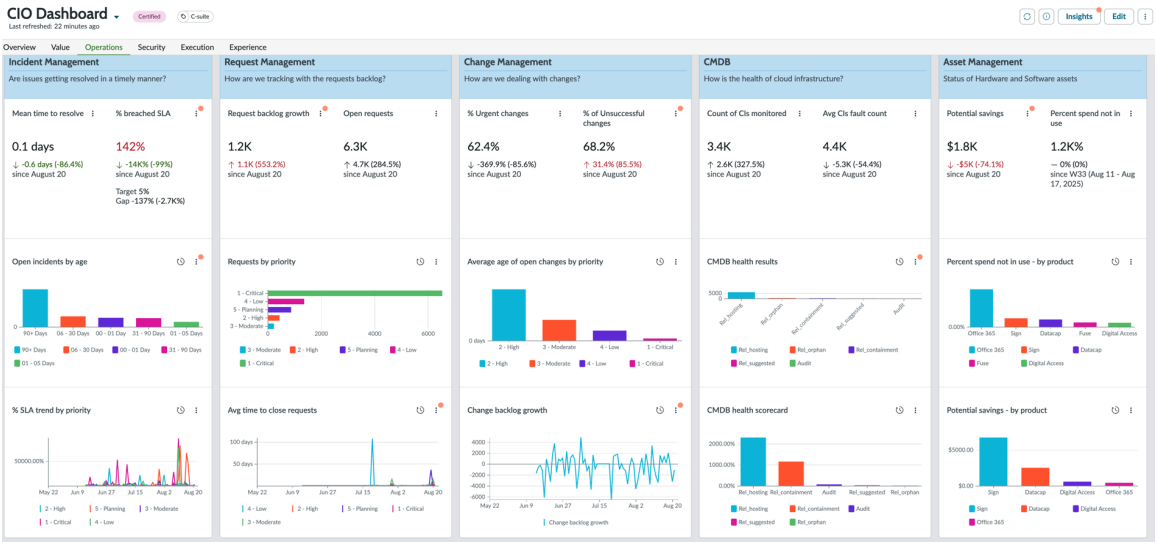
プライマリステークホルダー

- 最高情報責任者 (CIO)
- 最高財務責任者 (CFO)
- IT ファイナンスおよび予算マネージャー
- 戦略的ポートフォリオマネージャー
- 事業部門のリーダーと基幹業務オーナー
- IT 投資をサポートするファイナンスアナリスト
- コスト最適化に注力したエンタープライズアーキテクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

操作



目的

[運用] タブは、IT サービスとインフラストラクチャの安定性、信頼性、および効率性の確保に重点を置いています。CIO は、インシデント管理、要求の実行、変更プロセス、資産の健全性をリアルタイムで可視化し、アップタイムを維持し、リソース使用率を最適化します。

対象者

運用ピラーは、IT サービスのパフォーマンス、インフラストラクチャの健全性、およびプロセス効率に関するリアルタイムのインサイトを提供します。IT Service Management、IT Operations Management、および資産データから主要なメトリクスを集約し、チームがボトルネックを特定し、自動化を推進し、サービスの信頼性を維持するのに役立ちます。

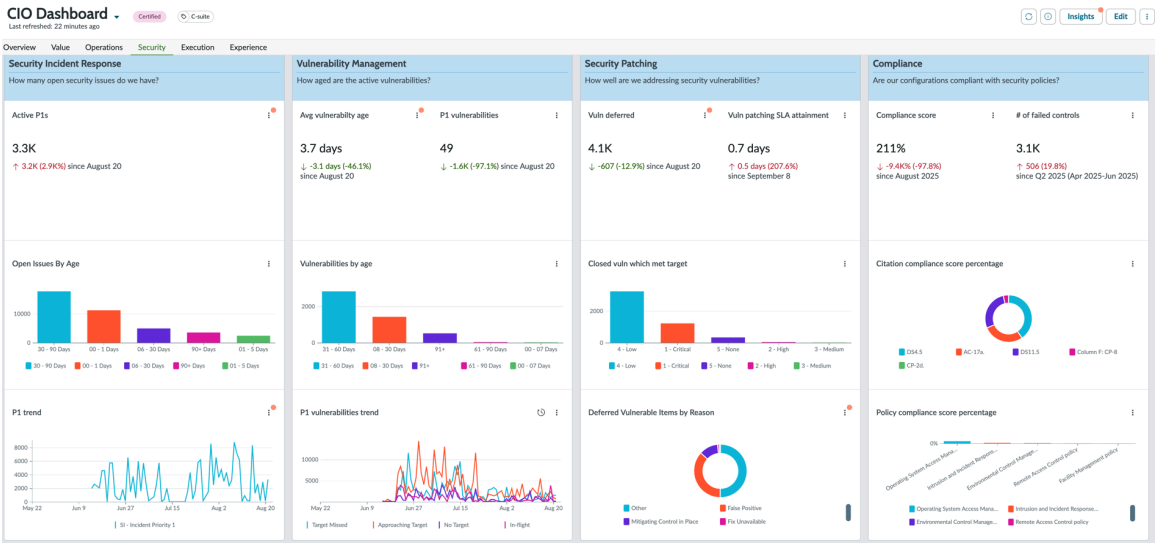
プライマリステークホルダー

- 最高情報責任者 (CIO)
- IT 運用マネージャーとディレクター
- サービスデリバリマネージャー
- インシデントおよび問題マネージャー
- 変更マネージャーおよびリリースマネージャー
- サービスデスクおよびサポートマネージャー
- インフラストラクチャおよびクラウド運用チーム
- IT Service Management (ITSM) プロセスオーナー
- サービスレベルおよび可用性マネージャー
- 運用アナリストと継続的改善リード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティ



目的

[セキュリティ] タブは、CIO にセキュリティオペレーションを一元的に表示し、脆弱性インテリジェンス、インシデント応答メトリクス、コンプライアンスインジケーターを統合して、サイバー脅威から組織を保護し、規制基準を確実に遵守できるようにします。

対象者

ServiceNow CIO ダッシュボードの [セキュリティ] タブは、組織のセキュリティ体制、インシデントレスポンス、コンプライアンスステータスの概要をリアルタイムで把握する必要がある上級セキュリティおよびリスク管理ステークホルダー向けに作成されています。

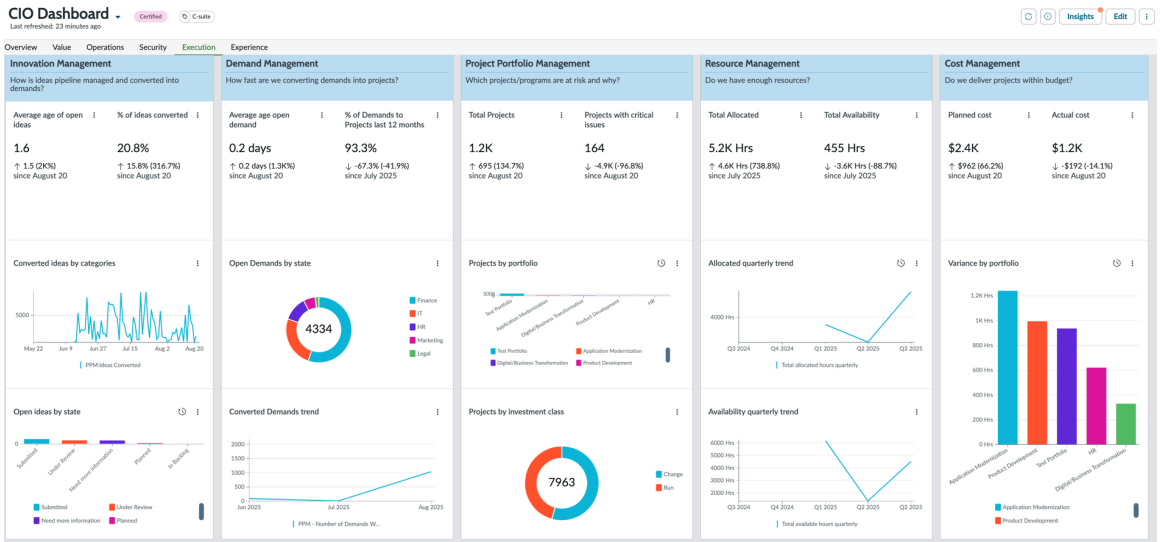
プライマリステークホルダー

- 最高情報セキュリティ責任者 (CISO) (CISO) および最高セキュリティ責任者 (CSO)
- Security Operations Center (SOC) のマネージャーとアナリスト
- IT リスクおよびコンプライアンスリード
- IT 監査およびガバナンスチーム
- セキュリティコントロールを監督するエンタープライズアーキテクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行



目的

実行の柱は、戦略的イニシアチブを追跡し、プロジェクトが順調に進んでいることを確認し、意図した成果を提供することに重点を置いています。ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) を利用したプロジェクトの進捗状況、リソース割り当てなどを可視化します。

対象者

[実行] タブでは、プロジェクトとプログラムのメトリクス (マイルストーンに対する進捗状況、リソース使用率、予算遵守、リスクインジケーター) を可視化できるため、IT リーダーは戦略的イニシアチブを主導し、デリバリーを最適化し、投資をビジネス成果に合わせることができます。

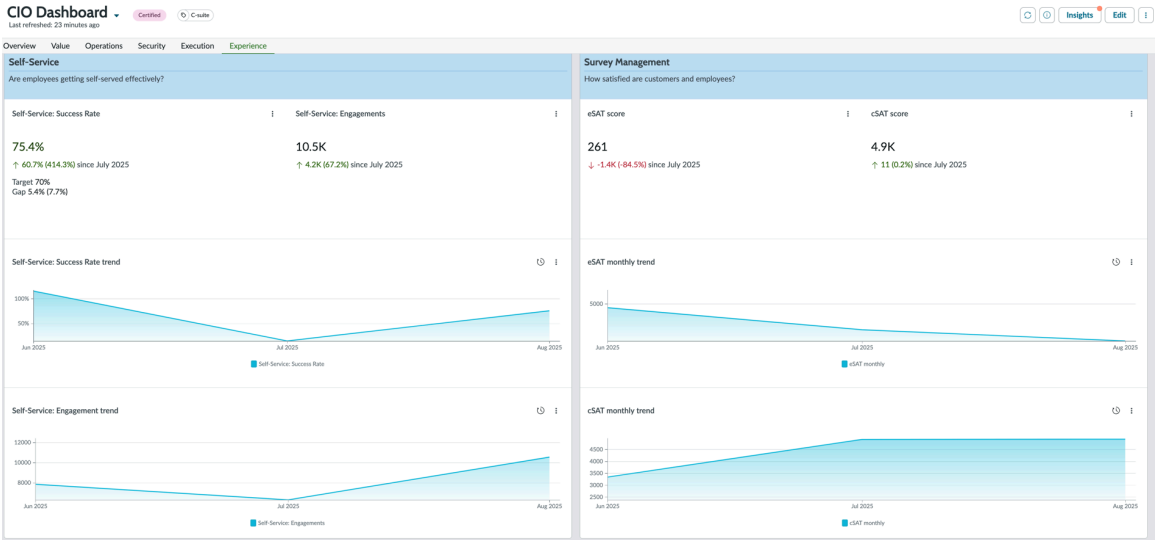
プライマリステークホルダー

- 最高情報責任者 (CIO)
- 戦略的ポートフォリオマネージャーと PMO ディレクター
- プログラムマネージャーとプロジェクトマネージャー
- リソースおよびキャパシティ計画マネージャー
- 事業部門リーダーとプログラムスポンサー
- ファイナンスビジネスパートナーと予算オーナー
- エンタープライズアーキテクトとソリューションアーキテクト
- リスクおよびガバナンス責任者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスペリエンス



目的

[エクスペリエンス] タブは、IT サービス全体のエンドユーザーの満足度とアダプションの全体像を CIO に提供し、フィードバック、エンゲージメント、および感情データをキャプチャしてデジタルエクスペリエンスの強化を導きます。

対象者

[エクスペリエンス] タブは、デジタルチャネル全体でユーザーの感情、満足度、エンゲージメントをキャプチャすることに重点を置いています。CSAT スコア、サーベイの回答率、セルフサービスの採用、デジタル従業員エクスペリエンスダッシュボードなどのメトリクスが表示されます。これらのインサイトは、チームがエンドユーザーエクスペリエンスを継続的に改善し、サービスのアダプションを促進するのに役立ちます。

プライマリステークホルダー

- 最高情報責任者
- 最高エクスペリエンス責任者または最高顧客責任者
- サービスデリバリおよびサポートマネージャー
- UX およびデジタル従業員エクスペリエンスリード
- ナレッジ管理 およびセルフサービスオーナー
- ヒューマンリソース (HR) および従業員エンゲージメントチーム
- 仮想エージェントとチャットボットのデザイナー
- 変更マネージャーとアダプションマネージャー
- IT Service Management プロセスオーナー
- サービスデスク および運用マネージャー

最高情報責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報がどのように使用されているかの概要と詳細ビューを取得します。

[概要] タブ

インジケーターデータソースの詳細については、「 最高情報責任者 ダッシュボードインジケーター」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
値	年初来の合計統合値	単一スコア	式インジケーター:年初来の合計値
値	年初来の値コンポーネント	垂直バー	式インジケーター:年初来の合計値
操作	SLA 違反の割合	単一スコア	式インジケーター:未解決で期限切れのインシデントアサインの割合
操作	クラウドヘルススコア	単一スコア	自動インジケーター:CMDB ヘルススコアカード
操作	ヘルスメトリクス別 CMDB ヘルススコア	線グラフ	自動インジケーター:CMDB ヘルススコアカード
操作	優先度別の SLA の割合	ドーナツグラフ	式インジケーター:時間内に解決されたインシデントの割合
セキュリティ	新しいセキュリティ問題	単一スコア	自動インジケーター:新規セキュリティインシデントの数
セキュリティ	アクティブ P1	単一スコア	自動インジケーター:SI:インシデント優先度 1
セキュリティ	優先度別の問題の合計	垂直バー	自動インジケーター:オープンセキュリティインシデントの数
セキュリティ	P1 問題の傾向	線グラフ	自動インジケーター:SI:インシデント優先度 1
実行	アクティブなプロジェクト	単一スコア	自動インジケーター:PPM - アクティブなプロジェクトの数
実行	赤色：アクティブプロジェクト	単一スコア	自動インジケーター:PPM - アクティブな赤いプロジェクトの数
実行	ポートフォリオ別のプロジェクト (赤色)	垂直バー	自動インジケーター:PPM - アクティブな赤いプロジェクトの数
実行	状況別のプロジェクト	ドーナツグラフ	自動インジケーター:PPM - アクティブなプロジェクトの数
エクスペリエンス	eSAT	単一スコア	自動インジケーター:月次 eSAT
エクスペリエンス	セルフサービス：成功率	単一スコア	式インジケーター:セルフサービス:成功率

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
エクスペリエンス	セルフサービス：成功率の傾向	線グラフ	式インジケーター:セルフサービス:成功率
エクスペリエンス	eSAT の傾向	線グラフ	自動インジケーター:月次 eSAT

[値] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
収益	パイプラインがクローズ	単一スコア	手動インジケーター:収益への影響
収益	ポートフォリオ別のパイプライン	垂直バー	手動インジケーター:収益への影響
コストへの影響	総額	単一スコア	手動インジケーター:コストへの影響
コストへの影響	ポートフォリオ別のコスト	垂直バー	手動インジケーター:コストへの影響

[操作] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
インシデント管理	平均解決時間	単一スコア	式インジケーター:インシデントの平均クローズ所要時間
インシデント管理	SLA 違反の割合	単一スコア	式インジケーター:未解決で期限切れのインシデントアサインの割合
インシデント管理	経過時間別のオープン中のインシデント	垂直バー	自動インジケーター:オープン中のインシデントの数
インシデント管理	優先度別の SLA 割合の傾向	線グラフ	式インジケーター:時間内に解決されたインシデントの割合
要求管理	要求バックログの増加	単一スコア	式インジケーター:要求バックログの増加
要求管理	未解決の要求	単一スコア	自動インジケーター:未解決の要求の数
要求管理	優先度別の要求	水平バー	自動インジケーター:未解決の要求の数
要求管理	要求をクローズするまでの平均時間	線グラフ	式インジケーター:要求の平均クローズ時刻
変更管理	緊急の変更の割合	単一スコア	式インジケーター:緊急の変更の割合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
変更管理	変更失敗の割合	単一スコア	式インジケーター:変更失敗の割合
変更管理	オープン中の優先度別変更の平均経過時間	垂直バー	式インジケーター:未解決の変更の平均経過時間
変更管理	変更バックログの増加	線グラフ	式インジケーター:変更バックログの増加
CMDB	監視対象の CI の数	単一スコア	自動インジケーター:監視対象構成アイテムの数
CMDB	CI 不具合発生回数の平均	単一スコア	自動インジケーター:CI 不具合発生回数の平均
CMDB	CMDB ヘルス評価結果	垂直バー	自動インジケーター:CMDB ヘルス結果
CMDB	CMDB ヘルススコアカード	垂直バー	自動インジケーター:CMDB ヘルススコアカード
資産管理	節減見込み	単一スコア	自動インジケーター:節減見込み
資産管理	使用されていない支出の割合	単一スコア	式インジケーター:使用されていない支出の割合
資産管理	使用されていない支出の割合：製品別	垂直バー	式インジケーター:使用されていない支出の割合
資産管理	節減見込み額：製品別	垂直バー	自動インジケーター:節減見込み

[セキュリティ] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
セキュリティインシデントレスポンス	アクティブ P1	単一スコア	自動インジケーター:SI:インシデント優先度 1
セキュリティインシデントレスポンス	経過時間別のオープン中の問題	垂直バー	自動インジケーター:オープンセキュリティインシデントの数
セキュリティインシデントレスポンス	P1 の傾向	線グラフ	自動インジケーター:SI:インシデント優先度 1
脆弱性管理	脆弱性の平均経過時間	単一スコア	式インジケーター:脆弱性一致アイテムの平均経過時間
脆弱性管理	P1 脆弱性	単一スコア	自動インジケーター:重大な脆弱なアイテム

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	可視化	可視化タイプ	データソース
脆弱性管理	経過時間別の脆弱性	垂直バー	自動インジケーター:未アサインの脆弱なアイテム
脆弱性管理	P1 脆弱性の傾向	線グラフ	自動インジケーター:重大な脆弱なアイテム
セキュリティパッチ適用	脆弱性保留	単一スコア	自動インジケーター:保留された脆弱なアイテム
セキュリティパッチ適用	脆弱性パッチ適用 SLA 達成	単一スコア	式インジケーター:脆弱性一致アイテムの平均修復時間
セキュリティパッチ適用	ターゲットを満たしたクローズ済み脆弱性	垂直バー	自動インジケーター:クローズされた脆弱性一致アイテム (ターゲット達成)
セキュリティパッチ適用	理由別の保留された脆弱性一致アイテム	ドーナツグラフ	自動インジケーター:保留された脆弱なアイテム
コンプライアンス	コンプライアンススコア	単一スコア	自動インジケーター:ポリシーコンプライアンススコア (%)
コンプライアンス	失敗したコントロールの数	単一スコア	自動インジケーター:失敗したコントロールインジケーターの #
コンプライアンス	引用コンプライアンススコア (%)	ドーナツグラフ	自動インジケーター:引用コンプライアンススコアの割合
コンプライアンス	ポリシーコンプライアンススコアの割合	垂直バー	自動インジケーター:ポリシーコンプライアンススコア (%)

[実行] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
イノベーション管理	オープン中のアイデアの平均経過時間	単一スコア	式インジケーター:PPM:未解決のアイデアの平均経過時間
イノベーション管理	変換されたアイデアの割合	単一スコア	式インジケーター:PPM:変換されたアイデアの割合
イノベーション管理	カテゴリ別の変換されたアイデア	線グラフ	自動インジケーター:PPM:変換されたアイデア
イノベーション管理	状況別のオープン中のアイデア	垂直バー	自動インジケーター:PPM:未解決のアイデア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
デマンド管理	オープン中のデマンドの平均経過時間	単一スコア	式インジケーター:PPM:未解決のアイデアの平均経過時間
デマンド管理	過去 12 か月のプロジェクトに対するデマンドの割合	単一スコア	PPM - プロジェクト過去 12 か月までのデマンドの割合
デマンド管理	状況別のオープンデマンド	ドーナツグラフ	自動インジケーター:PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みのオープンデマンド
デマンド管理	変換されたデマンドの傾向	線グラフ	自動インジケーター:PPM - 今月のプロジェクトでのデマンドの数
プロジェクトポートフォリオ管理	プロジェクトの合計	単一スコア	自動インジケーター:PPM - アクティブなプロジェクトの数
プロジェクトポートフォリオ管理	重要な問題のあるプロジェクト	単一スコア	自動インジケーター:PPM - 最重要な問題のあるプロジェクトの数
プロジェクトポートフォリオ管理	ポートフォリオ別のプロジェクト	垂直バー	自動インジケーター:PPM - アクティブなプロジェクトの数
プロジェクトポートフォリオ管理	投資クラス別のプロジェクト	ドーナツグラフ	自動インジケーター:PPM - アクティブなプロジェクトの数
リソース管理	割り当て合計	単一スコア	自動インジケーター:割り当て時間合計
リソース管理	合計可用性	単一スコア	自動インジケーター:利用可能な時間の合計
リソース管理	割り当てられた四半期ごとの傾向	線グラフ	式インジケーター:四半期ごとの割り当て合計時間
リソース管理	可用性の四半期ごとの傾向	線グラフ	式インジケーター:四半期ごとの利用可能な合計時間
コスト管理	計画コスト	単一スコア	自動インジケーター:PPM - 計画コスト
コスト管理	実績コスト	単一スコア	自動インジケーター:PPM - 実際のコスト
コスト管理	ポートフォリオ別の差異	垂直バー	式インジケーター:ポートフォリオ別の差異

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エクスペリエンス] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
セルフサービス	セルフサービス：成功率	単一スコア	式インジケーター:セルフサービス:成功率
セルフサービス	セルフサービス：エンゲージメント	単一スコア	式インジケーター:セルフサービス:エンゲージメント
セルフサービス	セルフサービス：成功率の傾向	エリア	式インジケーター:セルフサービス:成功率
セルフサービス	セルフサービス：エンゲージメントの傾向	エリア	式インジケーター:セルフサービス:エンゲージメント
サーベイ管理	eSAT スコア	単一スコア	自動インジケーター:月次 eSAT
サーベイ管理	月次 cSAT	単一スコア	自動インジケーター:月次 cSAT
サーベイ管理	eSAT 月次傾向	エリア	自動インジケーター:月次 eSAT
サーベイ管理	cSAT 月次傾向	エリア	自動インジケーター:月次 cSAT

最高情報責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

[概要] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
値	年初来の合計値	sn_compliance	計算式	([[コストへの影響 / 年別合計 +]]+[[収益への影響 / 年別合計 +]])
操作	未解決で期限切れのインシデント割り当ての割合	グローバル	計算式	([[期限切れのオープンインシデントアサインの数]] / [[時間内に応答しなければならないオープンイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
				ンシデントアサインの数]]) * 100
操作	CMDB ヘルススコアカード	グローバル	オートメーション	
操作	時間内に解決されたインシデントの割合	グローバル	計算式	([[時間内に解決されたインシデントの数]] / [[時間内に解決しなければならなかった解決済みのインシデントの数]]) * 100
セキュリティ	新規セキュリティインシデントの数	sn_sir_analytics	オートメーション	
セキュリティ	SI：インシデント優先度 1	sn_sir_analytics	オートメーション	
セキュリティ	オープンセキュリティインシデントの数	sn_sir_analytics	オートメーション	
実行	PPM - アクティブなプロジェクトの数	sn_ciodashboard	オートメーション	
実行	PPM - アクティブな赤いプロジェクトの数	sn_ciodashboard	オートメーション	
エクスペリエンス	月次 eSAT	sn_ciodashboard	オートメーション	
エクスペリエンス	セルフサービス：成功率	sn_ciodashboard	計算式	[[セルフサービス:完了エンゲージメント]] / [[セルフサービス:エンゲージメント]] * 100

[値] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
収益	収益への影響		マニュアル	
収益	コストへの影響		マニュアル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[操作] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
インシデント管理	インシデントの平均クローズ所要時間	グローバル	計算式	[[クローズされたインシデントの所要時間合計]]/[[クローズされたインシデントの数]]/24
インシデント管理	未解決で期限切れのインシデント割り当ての割合	グローバル	計算式	([[期限切れのオープンインシデントアサインの数]] / [[時間内に応答しなければならないオープンインシデントアサインの数]]) * 100
インシデント管理	オープン中のインシデントの数	グローバル	オートメーション	
インシデント管理	時間内に解決されたインシデントの割合	グローバル	計算式	([[時間内に解決されたインシデントの数]] / [[時間内に解決しなければならなかった解決済みのインシデントの数]]) * 100
要求管理	要求バックログの増加	グローバル	計算式	[[新規要求の数]] - [[クローズした要求の数]]
要求管理	未解決の要求の数	グローバル	オートメーション	
要求管理	要求の平均クローズ時刻	グローバル	計算式	[[クローズした要求の所要時間合計]]/[[クローズした要求の数]]/24
変更管理	緊急の変更の割合	グローバル	計算式	([[新規の緊急変更の数]] / [[新規変更の数]]) * 100
変更管理	失敗した変更の割合	グローバル	計算式	[[失敗した変更の数]] / [[クローズした変更の数]] * 100
変更管理	オープン中の変更の平均経過時間	グローバル	計算式	[[未解決の変更の合計経過時間]] / [[未解決の変更の数]] / 24

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
変更管理	変更バックログの増加	グローバル	計算式	[[新規変更の数]] - [[クローズした変更の数]]
CMDB	監視対象構成アイテム数	グローバル	オートメーション	
CMDB	CI 不具合発生回数の平均	グローバル	オートメーション	
CMDB	CMDB ヘルス評価結果	グローバル	オートメーション	
CMDB	CMDB ヘルススコアカード	グローバル	オートメーション	
資産管理	節減見込み	sn_ciodashboard	オートメーション	
資産管理	使用されていない支出の割合	sn_ciodashboard	計算式	([[節減見込み額]]+[[ライセンス供与過剰金額]])/[[ソフトウェア支出]]*100

[セキュリティ] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
セキュリティインシデントレスポンス	SI：インシデント優先度 1	sn_sir_analytics	オートメーション	
セキュリティインシデントレスポンス	オープンセキュリティインシデントの数	sn_sir_analytics	オートメーション	
脆弱性管理	脆弱なアイテムの平均経過時間	sn_vul_analytics	計算式	[[脆弱性一致アイテムの合計経過時間]]/[[脆弱性一致アイテム]]
脆弱性管理	重大な脆弱なアイテム	sn_vul_analytics	オートメーション	
脆弱性管理	未アサインの脆弱なアイテム	sn_vul_analytics	オートメーション	
セキュリティパッチ適用	保留された脆弱なアイテム	sn_vul_analytics	オートメーション	
セキュリティパッチ適用	脆弱性一般アイテムの平均修復時間	sn_vul_analytics	計算式	[[クローズされた脆弱なアイテムの合計期間]]/[[クローズされた脆弱なアイテム]]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
セキュリティパッチ適用	クローズされた脆弱性一致アイテム (ターゲット達成)	sn_vul_analytics	オートメーション	
コンプライアンス	ポリシーとコンプライアンススコア (%)	sn_compliance	オートメーション	
コンプライアンス	失敗したコントロールインジケーターの数	sn_compliance	オートメーション	
コンプライアンス	引用コンプライアンススコア (%)	sn_compliance	オートメーション	

[実行] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
イノベーション管理	PPM:未解決のアイデアの平均経過時間	sn_ciodashboard	計算式	[[PPM:オープンなアイデアの合計年齢]]/[[PPM:オープンなアイデア]]/24
イノベーション管理	PPM:変換されたアイデアの割合	sn_ciodashboard	計算式	([[PPM:変換されたアイデア数]]/[[PPM:アクティブなアイデア数]])*100
イノベーション管理	PPM：変換されたアイデア	sn_ciodashboard	オートメーション	
イノベーション管理	PPM：未解決のアイデア	sn_ciodashboard	オートメーション	
デマンド管理	オープン中のデマンドの平均経過時間	sn_ciodashboard	計算式	[[PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みステータスのオープンデマンドの合計経過時間]]/[[PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、または承認済みのオープンデマンド]]/24
デマンド管理	PPM - プロジェクト過去 12 か月までのデマンドの割合	sn_ciodashboard	計算式	([[PPM - 今月のプロジェクトでのデマンドの数 / 12 か月間分の合計]]/[[PPM - 今

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
				月の合計デマンドの数 / 12 か月間分の集計時]] * 100)
デマンド管理	PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みのオープンデマンド	sn_ciodashboard	オートメーション	
デマンド管理	PPM - 今月のプロジェクトでのデマンドの数	sn_ciodashboard	オートメーション	
プロジェクトポートフォリオ管理	PPM - アクティブなプロジェクトの数	sn_ciodashboard	オートメーション	
プロジェクトポートフォリオ管理	PPM：最重要な問題のあるプロジェクトの数	sn_ciodashboard	オートメーション	
リソース管理	割り当て時間合計	sn_ciodashboard	オートメーション	
リソース管理	利用可能時間の合計	sn_ciodashboard	オートメーション	
リソース管理	四半期ごとの割り当て合計時間	sn_ciodashboard	計算式	[[割り当て時間合計 / 四半期別合計+]]
リソース管理	四半期ごとの利用可能な合計時間	sn_ciodashboard	計算式	[[利用可能時間合計 / 四半期別合計+]]
コスト管理	PPM - 計画コスト	sn_ciodashboard	オートメーション	
コスト管理	PPM - 実際のコスト	sn_ciodashboard	オートメーション	
コスト管理	ポートフォリオ別の差異	sn_ciodashboard	計算式	([[PPM - 計画コスト]]-[[PPM - 実績コスト]]);

[エクスペリエンス] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
セルフサービス	セルフサービス：成功率	sn_ssa_pa	計算式	[[セルフサービス:完了エンゲージメント]] / [[セルフサービス:エンゲージメント]] * 100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
セルフサービス	セルフサービス：エンゲージメント	sn_ssa_pa	計算式	{{ナレッジ:今月表示された記事}} + {{Communities:今月の表示数}} + {{カタログ:今月の表示数}} + {{VA:今月の会話}}
サーベイ管理	eSAT スコア	sn_ciodashboard	オートメーション	
サーベイ管理	月次 cSAT	sn_ciodashboard	オートメーション	

最高情報責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_ciodashboard.ciodashboard_admin) は、CIO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネス上の質問の定義 (価値、運用、セキュリティなど)
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_ciodashboard.ciodashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高情報セキュリティ責任者 **(CISO)** ダッシュボード

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) (CISO) ダッシュボードは、エンドツーエンドのセキュリティ運用を一元化されたビューで表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

最高情報セキュリティ責任者 (CISO)ダッシュボードのインストール

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) (CISO) ダッシュボードは、エンドツーエンドのセキュリティ運用を一元化されたビューで表示します。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 sn_ciso_dashboard.admin

注: CISO ダッシュボードアプリケーションは、ServiceNow Store から無料で入手できます。 ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。

- Security Operations (セキュリティオペレーション) (SecOps)
- ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC)

これらのプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。

これらのソリューションは、CISO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

プラグイン:com.snc.vulnerability.analytics。

アプリケーション：

- sn_sir_analytics
- sn_vul_analytics
- sn_grc_pa_advanced
- sn_vulc_analytics

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CISO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CISO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求理由を入力し、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CISO ダッシュボードプラグイン (sn_cisodashboard) を検索してインストールします。
6. ロールをアサインして、CISO ダッシュボードを構成および表示します。

   CISO ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_ciso_dashboard.admin ロールを割り当てます。

   注: このロールを持つユーザーのみが CISO ダッシュボードを構成できます。

   CISO ダッシュボードのエンドユーザー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_ciso_dashboard.user を割り当てます。

ビューアー

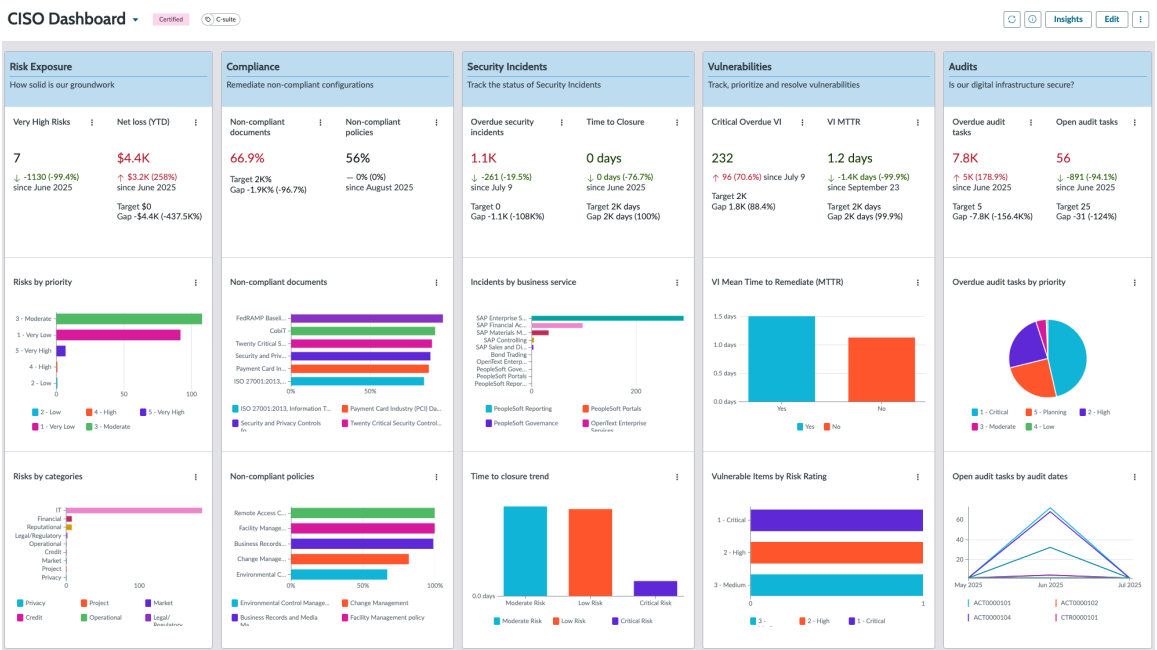
パフォーマンスアナリティクススコアを表示する必要があるユーザーにpa_viewer ロールをアサインします。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボードのピラー

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CISO が情報セキュリティに注力することが促進されます。

ピラー	フォーカスエリア
リスクエクスポージャー	リスクに立ち向かうための準備
コンプライアンス	非準拠構成
セキュリティインシデント	セキュリティインシデントのステータス
脆弱性	脆弱性に対処して解決する能力
監査	デジタルインフラストラクチャのセキュリティ



対象者とステークホルダー

このダッシュボードは、セキュリティオペレーションに関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高情報セキュリティ責任者 (CISO) やその他のユーザー向けです。

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報セキュリティがどのように対処されているかの概要と詳細ビューを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	可視化	可視化タイプ	データソース
リスクエクスポージャー	非常に高いリスク	単一スコア	合計リスク
リスクエクスポージャー	正味損失 (年初来)	単一スコア	純損失
リスクエクスポージャー	優先度別のリスク	水平バー	合計リスク
リスクエクスポージャー	カテゴリ別のリスク	水平バー	合計リスク
コンプライアンス	非準拠ドキュメント	単一スコア	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合
コンプライアンス	非準拠ポリシー	単一スコア	ポリシーとコンプライアンススコア (%)
コンプライアンス	非準拠ドキュメント	水平バー	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合
コンプライアンス	非準拠ポリシー	水平バー	ポリシーとコンプライアンススコア (%)
セキュリティインシデント	期限切れのセキュリティインシデント	単一スコア	期限切れのセキュリティインシデント
セキュリティインシデント	クローズまでの時間	単一スコア	[CISO] セキュリティインシデントの平均月間クローズ所要時間
セキュリティインシデント	ビジネスサービス別のインシデント	水平バー	SI：合計インシデント数
セキュリティインシデント	クローズまでの時間の傾向	垂直バー	[CISO] セキュリティインシデントの平均月間クローズ所要時間
脆弱性	重大な期限切れ VI	単一スコア	保留されていない期限切れの重大な脆弱なアイテム
脆弱性	VI MTTR	単一スコア	脆弱性一般アイテムの平均修復時間
脆弱性	VI 平均修正時間 (MTTR)	垂直バー	脆弱性一般アイテムの平均修復時間
脆弱性	リスク評価別の脆弱性一致アイテム	水平バー	脆弱性一致アイテム
監査	期限切れの監査タスク	単一スコア	期限切れの監査タスク
監査	監査タスクをオープン	単一スコア	監査タスクをオープン
監査	優先度別の期限切れ監査タスク	円グラフ	期限切れの監査タスク
監査	監査日別のオープン監査タスク	線グラフ	監査タスクをオープン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動インジケーターと式インジケーターを使用します。これらのインジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
リスクエクスポージャー	合計リスク	sn_ciso_dashboard	オートメーション	ソース:リスク 条件:アクティブ = true
リスクエクスポージャー	純損失	sn_ciso_dashboard	オートメーション	ソース:リスク • 条件:今年作成または今年の受け入れ終了日 • 計算:合計 (calculated_ale)
コンプライアンス	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合	sn_compliance	オートメーション	ソース:すべてのアクティブな権限ドキュメント (月次) 計算: 平均 (compliance_score)
コンプライアンス	ポリシーとコンプライアンススコア (%)	sn_compliance	オートメーション	ソース:すべてのアクティブなポリシー (月次) 計算: 平均 (compliance_score)
セキュリティインシデント	期限切れのセキュリティインシデント	sn_ciso_dashboard	オートメーション	アクティブなセキュリティインシデント 条件:expected_end<javascript:gs.beginningOfTo
セキュリティインシデント	[CISO] セキュリティインシデントの平均月間クローズ所要時間	sn_sir_analytics	計算式	計算:[[セキュリティインシデントの平均クローズ所要時間 / 月別合計 +]]
セキュリティインシデント	SI：合計インシデント数	sn_sir_analytics	オートメーション	ソース:SI:影響するサービス
脆弱性	保留されていない期限切れの重大な脆弱なアイテム	sn_vul_analytics	オートメーション	リスク評価 = 1:今日<重大および修復ターゲット、かつステータスが保留ではない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
脆弱性	脆弱性一般アイテムの平均修復時間	sn_vul_analytics	計算式	[[クローズされた脆弱なアイテムの合計期間]]/[[クローズされた脆弱なアイテム]]
脆弱性	脆弱性一致アイテム	sn_vul_analytics	オートメーション	ソース:VI.Active
監査	期限切れの監査タスク	sn_ciso_dashboard	オートメーション	ソース:オープンな監査タスク 条件:終了予定日が本日<
監査	監査タスクをオープン	sn_ciso_dashboard	オートメーション	ソース:オープンな監査タスク

最高情報セキュリティ責任者 (CISO) ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_ciso_dashboard.admin) は、CISO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および保守を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネス上の質問の定義 (価値、運用、セキュリティなど)
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_ciso_dashboard.user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高調達責任者 ダッシュボード

最高調達責任者ダッシュボードは、あらゆる組織の調達プロセスに関する重要なインサイトを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高調達責任者ダッシュボードのインストール

最高調達責任者ダッシュボードは、組織の調達プロセスに関する重要なインサイトを提供します。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 sn_cpro_dashboard.admin

注: CPRO ダッシュボードアプリケーションは、ServiceNow Store から無料で入手できます。 ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。

- 調達サービス管理向けパフォーマンスアナリティクスコンテンツパック
- Purchase Automation Integration with Risk Assessment
- 調達ケース管理
- Procurement Specialist Workspace
- 調達統合フレームワーク
- Finance Common Architecture (ファイナンスコモンアーキテクチャ)
- Service Delivery Common
- Purchase Modification Experience Pack for 調達ケース管理
- ソーシングと調達オートメーション
- 仮想エージェント Experience Pack for サービス管理調達
- Procurement Common アーキテクチャ
- プロジェクト管理の調達
- ShoppingHub Mobile
- ファイナンス - ERP 統合
- Procurement File Transfer Framework
- 調達サービス管理 NLU モデル

これらのプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。

これらのソリューションは、CPRO ダッシュボードのメトリクスで使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CPRO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CPRO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求の理由を入力し、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CPRO ダッシュボードプラグイン (sn_cpro_dashboard) を検索してインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. ロールをアサインして、CPRO ダッシュボードを構成および表示します。

   CPRO ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_cpro_dashboard.admin ロールをアサインします。

   注: このロールを持つユーザーのみが CPRO ダッシュボードを構成できます。

   CPRO ダッシュボードのエンドユーザー

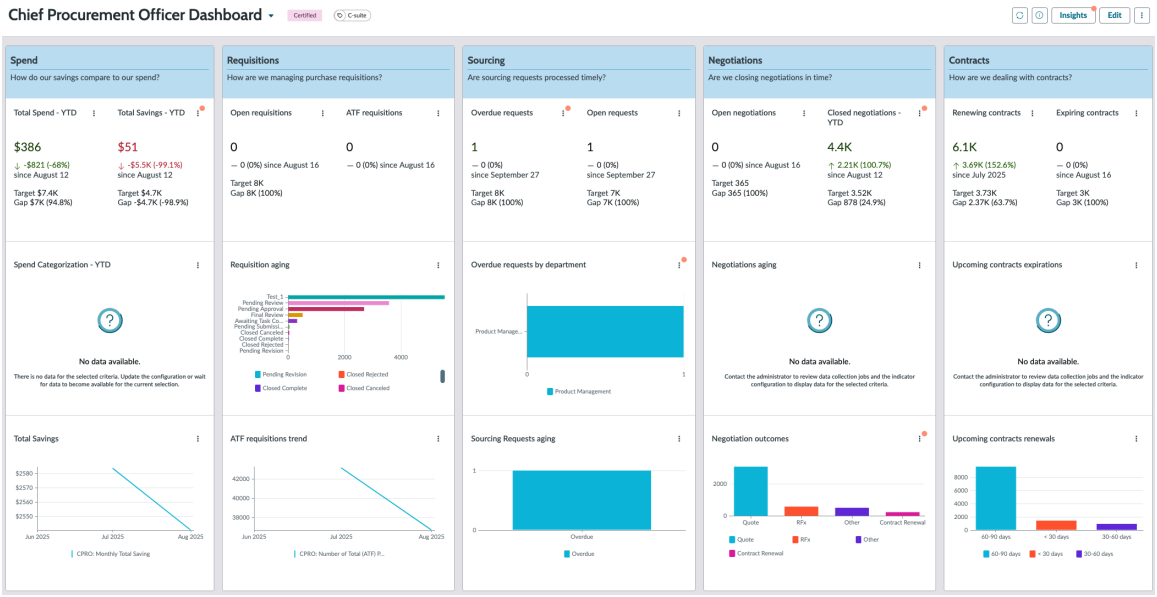
   ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_cpro_dashboard.user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高調達責任者 ダッシュボードのピラー

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CPRO は調達プロセスに集中できます。

ピラー	フォーカスエリア
支出	節減額と支出の比較
要求	購買要求の管理
調達	ソーシング要求の処理時間
交渉	交渉のタイムリーなクローズ
契約	契約取引



対象者とステークホルダー

このダッシュボードは、調達プロセスのリアルタイムインサイトを必要とする 最高調達責任者 やその他のユーザー向けです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

最高調達責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報セキュリティがどのように対処されているかの概要と詳細ビューを取得します。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
支出	合計消費量：年初来	単一スコア	CPRO：合計消費量：年初来
支出	合計削減額：年初来	単一スコア	CPRO：合計節減(額)：年初来
支出	支出のカテゴリ化：年初来	円グラフ	発注書：合計明細金額
支出	合計削減量	線グラフ	CPRO：月次合計節減(額)
要求	オープン中の要求	単一スコア	オープンな購買要求の数
要求	ATF 要求	単一スコア	購買要求の合計数(ATF)
要求	要求の経過時間	水平バー	CPRO：経過中の購買要求
要求	ATF 要求の傾向	線グラフ	CPRO：月次購買要求の合計数 (ATF)
調達	期限切れの要求	単一スコア	CPRO：期限切れの調達要求
調達	未解決の要求	単一スコア	オープンなソーシング要求数
調達	部門別の期限切れ要求	水平バー	CPRO：期限切れの調達要求
調達	調達要求の経過時間	垂直バー	オープンなソーシング要求数
交渉	オープン中の交渉	単一スコア	オープンな交渉数
交渉	クローズ済み交渉：年初来	単一スコア	CPRO：交渉結果：年初来
交渉	交渉の経過時間	垂直バー	オープンな交渉数
交渉	交渉結果	垂直バー	CPRO：交渉結果：年初来
契約	契約の更新	単一スコア	CPRO：契約の更新
契約	期限切れが間近の契約	単一スコア	期限切れが間近の契約数
契約	予定されている契約の有効期限	垂直バー	期限切れが間近の契約数
契約	予定されている契約更新	垂直バー	CPRO：契約の更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高調達責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動インジケーターと式インジケーターを使用します。これらのインジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
支出	CPRO：合計消費量：年初来	sn_cpro_dashboard	オートメーション	発注書.標準.すべて (発注書) 計算:合計 (total_amount)
支出	CPRO：合計節減(額)：年初来	sn_cpro_dashboard	オートメーション	発注明細.標準.すべて (発注明細)
支出	発注書：合計明細金額	sn_spend_pa	計算式	[[注文明細リビジョン後の明細金額]] - [[注文明細合計明細金額 (履歴明細)]]
支出	CPRO：月次合計節減(額)	sn_cpro_dashboard	計算式	[[CPRO:節減額合計 - YTD / 月別平均 +]]
要求	オープンな購買要求の数	sn_spend_pa	オートメーション	ソース:PurchaseRequisition.Open
要求	購買要求の合計数 (ATF)	sn_spend_pa	オートメーション	ソース:PurchaseRequisition.Created.Day
要求	CPRO：経過中の購買要求	sn_cpro_dashboard	オートメーション	ソース:PurchaseRequisition.Open (Purchase Requisition)
要求	CPRO：月次購買要求の合計数 (ATF)	sn_spend_pa	計算式	[[購買要求の合計数 (ATF) / 月別合計 +]]
調達	CPRO：期限切れの調達要求	sn_spend_pa	計算式	[[オープンなソーシング要求の数 > [PSM] 期日ブレークダウン = 期限切れ]]
調達	オープンなソーシング要求数	sn_spend_pa	オートメーション	ソース: ソーシング要求.オープン
交渉	オープンな交渉数	sn_spend_pa	オートメーション	ソース: Negotiation.Open
交渉	CPRO：交渉結果：年初来	sn_cpro_dashboard	オートメーション	ソース:Negotiation.Closed (Negotiation)
契約	CPRO：契約の更新	sn_spend_pa	オートメーション	出典:CPRO:更新契約
契約	期限切れが間近の契約数	sn_spend_pa	オートメーション	ソース:RequisitionToContract.Open

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高調達責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_cpro_dashboard_admin) は、CPRO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネスに関する質問の定義
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_cpro_dashboard.user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高リスク責任者 ダッシュボード

最高リスク責任者は、このダッシュボードを使用して、エンドツーエンドのガバナンス、リスク、コンプライアンスを一元化されたビューで把握します。

最高リスク責任者ダッシュボードのインストール

CRO ダッシュボードは、エンドツーエンドのガバナンス、リスク、コンプライアンスを一元的に表示します。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 sn_cro_dashboard.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: CRO ダッシュボードアプリケーションは ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。

- GRC
- GRC：Profiles
- GRC: Policy and Compliance
- 監査管理

これらのプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。

これらのソリューションは、CRO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

アプリケーションプラグイン:

- sn_grc
- sn_audit
- sn_compliance
- sn_risk

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CRO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CRO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求理由を入力し、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CRO ダッシュボードプラグイン (sn_cro_dashboard) を検索してインストールします。
6. CRO ダッシュボードを構成および表示するためのロールをアサインします。

   CRO ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_cro_dashboard.admin ロールを割り当てます。

   注: このロールを持つユーザーのみが CRO ダッシュボードを設定できます。

   CRO ダッシュボードエンドユーザー

   ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_cro_dashboard.user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

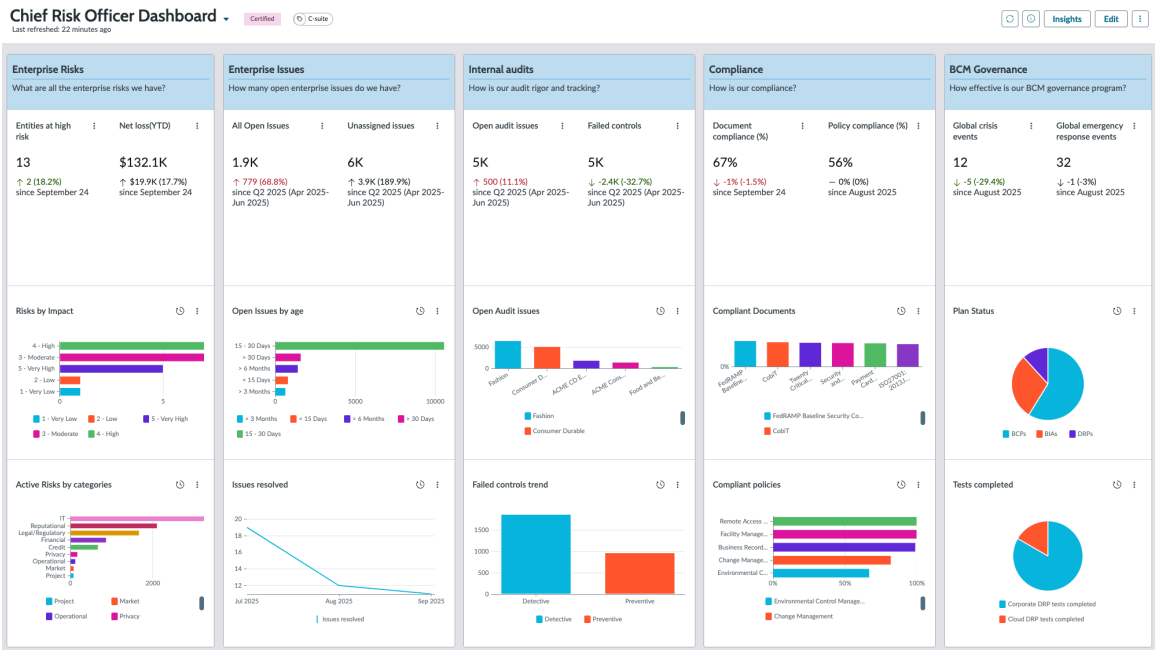
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高リスク責任者 ダッシュボードのピラー

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CRO は価値の迅速な提供、生産性の向上、リスクの最適化に注力できるようになります。

ピラー	フォーカスエリア
企業リスク	高レベルのエンタープライズリスク
企業に関する問題	企業内のオープン中の問題
内部監査人	監査プロセスにおける厳格さと追跡
コンプライアンス	ドキュメントおよびポリシーの遵守
BCM ガバナンス	事業継続性管理のガバナンス



対象者とステークホルダー

このダッシュボードは、ガバナンス、リスク、コンプライアンスに関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高リスク責任者 やその他のユーザー向けです。

最高リスク責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報セキュリティがどのように対処されているかの概要と詳細ビューを取得します。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
企業リスク	高リスクのエンティティ	単一スコア	リスクが最も高いエンティティ
企業リスク	正味損失 (年初来)	単一スコア	正味損失 (年初来)
企業リスク	影響度別リスク	水平バー	合計リスク
企業リスク	カテゴリ別のアクティブなリスク	水平バー	アクティブなリスク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
企業に関する問題	すべてのオープンな問題	単一スコア	すべてのオープンな問題
企業に関する問題	未アサインの問題	単一スコア	すべての未アサインの問題
企業に関する問題	経過時間別のオープン中の問題	水平バー	経過時間インジケーターの問題
企業に関する問題	解決された問題	線グラフ	解決された問題
内部監査人	オープンな監査問題	単一スコア	オープンな監査問題
内部監査人	失敗したコントロール	単一スコア	失敗したコントロール
内部監査人	オープン中の監査問題	垂直バー	オープンな監査問題
内部監査人	失敗したコントロールの傾向	垂直バー	失敗したコントロール
コンプライアンス	ドキュメントコンプライアンス (%)	単一スコア	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合 (日次)
コンプライアンス	ポリシーコンプライアンス (%)	単一スコア	ポリシーとコンプライアンススコア (%)
コンプライアンス	準拠ドキュメント	垂直バー	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合
コンプライアンス	準拠ポリシー	水平バー	ポリシーとコンプライアンススコア (%)
BCM ガバナンス	グローバル危機イベント	単一スコア	グローバル危機イベントの数
BCM ガバナンス	グローバル緊急対応イベント	単一スコア	グローバル緊急応答イベントの数
BCM ガバナンス	計画ステータス	円グラフ	計画ステータス
BCM ガバナンス	テスト完了	円グラフ	テスト完了

最高リスク責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- 手動インジケーター

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
企業リスク	リスクが最も高いエンティティ	sn_cro_dashboard	オートメーション	リスクが最も高いエンティティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
企業リスク	正味損失 (年初来)	sn_cro_dashboard	オートメーション	正味損失 (年初来) 計算:合計 (net_amount)
企業リスク	合計リスク	sn_cro_dashboard	オートメーション	合計リスク 条件：アクティブ = true
企業リスク	アクティブなリスク	sn_risk	オートメーション	アクティブ.リスク
企業に関する問題	すべてのオープンな問題	sn_grc	オートメーション	すべてのオープンな問題 (四半期)
企業に関する問題	すべての未アサインの問題	sn_grc	オートメーション	すべての問題 (四半期) 条件:[アサイン先] が空で、[この四半期に作成]
企業に関する問題	経過時間インジケーターの問題		オートメーション	すべてのオープンな問題 (四半期) 条件:実開始日が空でない、かつ実終了日が空でない、かつ実終了日が実開始日から 0 時間後
企業に関する問題	解決された問題	sn_grc	オートメーション	解決済みの問題
内部監査人	オープンな監査問題	sn_audit	オートメーション	すべてのオープンな問題 (四半期) 条件:トップタスク ENG で始まる番号
内部監査人	失敗したコントロール	sn_audit	オートメーション	[コントロール] [のある] [不合格] [コントロールテスト]
コンプライアンス	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合 (日次)	sn_compliance	オートメーション	GRC ドキュメントのコンプライアンスステータス • 条件:名前クラス = 各種法令・基準等および名前 機能ドメイン IT リスクとコンプライアンスを含む • 計算: 平均 (compliance_score)
コンプライアンス	ポリシーとコンプライアンススコア (%)	sn_compliance	オートメーション	すべてのアクティブなポリシー (月次) 計算: 平均 (compliance_score)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
コンプライアンス	各種法令・基準等のコンプライアンススコアの割合	sn_compliance	オートメーション	すべてのアクティブな権限ドキュメント (月次) 計算: 平均 (compliance_score)
BCM ガバナンス	グローバル危機イベントの数		マニュアル	
BCM ガバナンス	グローバル緊急応答イベントの数		マニュアル	
BCM ガバナンス	計画ステータス		マニュアル	
BCM ガバナンス	テスト完了		マニュアル	

最高リスク責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_cro_dashboard.admin) は、CRO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネス上の質問の定義 (価値、運用、セキュリティなど)
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_cro_dashboard.user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゼネラルカウンシル ダッシュボード

ゼネラルカウンセルダッシュボードは、法務サービスの提供と運用に透明性を提供します。インサイトには、契約、法的要求、コンプライアンスの問題、デジタルフォレンジックの可視化が含まれます。

GC ダッシュボードをインストールする

ゼネラルカウンセルの場合、このダッシュボードは法務サービスの提供と運用に透明性を提供します。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 sn_lsd_dashboard.gc_dashboard_admin

注: General Counsel Dashboard アプリケーションは、ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。 法務サービスデリバリ。このアプリケーションには プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれています。

これらのソリューションは、GC ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されます。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

アプリケーションプラグイン:

- sn_lg_ops
- sn_lg_matter
- sn_lg_lpa_core
- sn_lg_pa
- sn_lg_contracts
- sn_lg_coi
- sn_lg_forensics

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. GC ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの GC ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求理由を入力して、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. GC ダッシュボードプラグイン (sn_gcdashboard) を検索してインストールします。
6. GC ダッシュボードを構成および表示するためのロールをアサインします。

   GC ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_lsd_dashboard.gc_dashboard_admin ロールをアサインします。

   注: このロールを持つユーザーのみが GC ダッシュボードを構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GC ダッシュボードのエンドユーザー

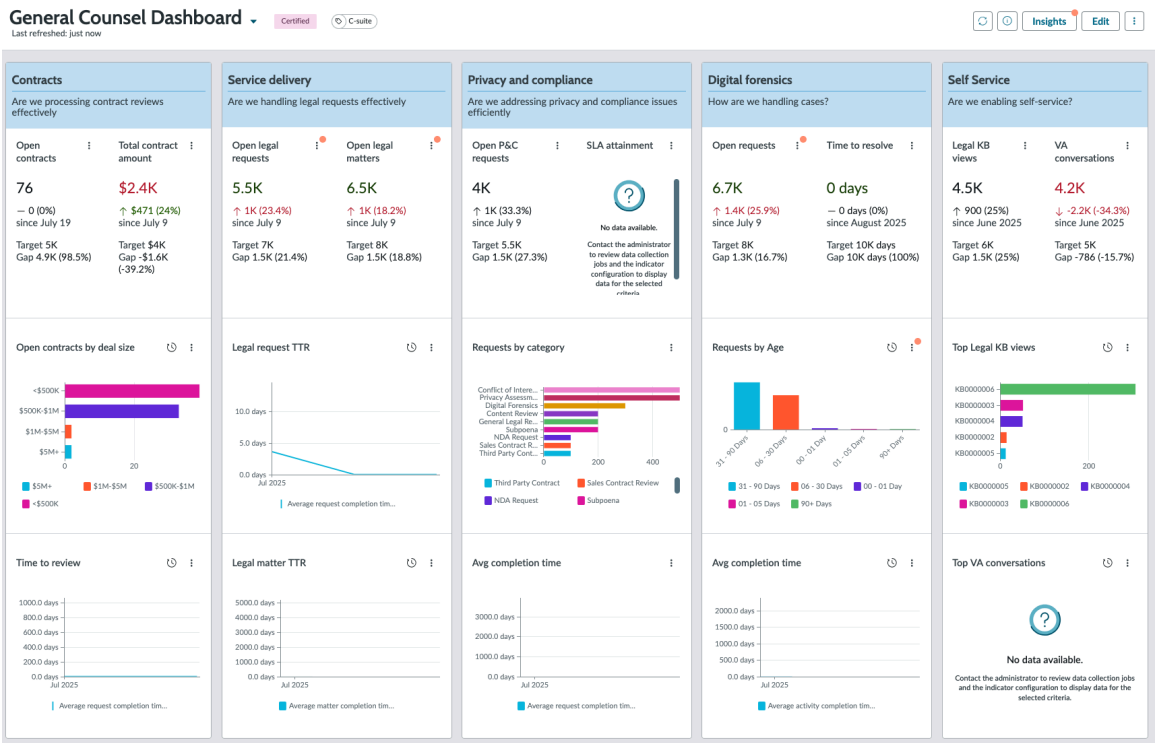
ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_lsd_dashboard.gc_dashboard_user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

ゼネラルカウンシル ダッシュボードのピラー

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、GC は契約、コンプライアンス、フォレンジック、サービスに重点を置くことができます。

ピラー	フォーカスエリア
契約	
サービスデリバリ	
プライバシーとコンプライアンス	
デジタルフォレンジック	
セルフサービス	



ゼネラルカウンシル ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で契約、プライバシー、デジタルフォレンジックがどのように対処されているかの概要と詳細ビューを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
契約	未対応の契約	単一スコア	オープン中のバックログ契約要求
契約	合計契約金額	単一スコア	オープン中の契約額
契約	取引規模別のオープン中の要求	水平バー	オープン中のバックログ契約要求
契約	レビュー時間	線グラフ	契約の平均要求完了時間
サービスデリバリ	オープン中の法務に関する要求	単一スコア	オープン中の法務に関する要求
サービスデリバリ	オープン中の法務事項	単一スコア	オープン中の法務事項
サービスデリバリ	法務要求 TTR	線グラフ	実務エリアごとの平均要求完了時間
サービスデリバリ	法務事項 TTR	列	実務エリアあたりの平均案件完了時間
プライバシーとコンプライアンス	オープン中の P&C 要求	単一スコア	オープン中のプライバシーおよびコンプライアンス要求
プライバシーとコンプライアンス	SLA の達成状況	単一スコア	SLA を満たしたプライバシーおよびコンプライアンス要求の割合
プライバシーとコンプライアンス	カテゴリ別の要求	水平バー	オープン中のプライバシーおよびコンプライアンス要求
プライバシーとコンプライアンス	平均完了時間	列	プライバシーとコンプライアンスの平均要求完了時間
デジタルフォレンジック	未解決の要求	単一スコア	オープン中のデジタルフォレンジック要求
デジタルフォレンジック	解決時間	単一スコア	デジタルフォレンジックのアクティビティの平均完了時間
デジタルフォレンジック	経過時間別の要求	垂直バー	オープン中のデジタルフォレンジック要求
デジタルフォレンジック	平均完了時間	列	デジタルフォレンジックのアクティビティの平均完了時間
セルフサービス	法務 KB ビュー	単一スコア	法務 KB 記事の閲覧回数
セルフサービス	VA 会話	単一スコア	法務に関する VA 会話の合計数
セルフサービス	上位の法務 KB ビュー	水平バー	法務 KB 記事の閲覧回数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
セルフサービス	上位の VA 会話	水平バー	法務に関する VA 会話の合計数

ゼネラルカウンシル ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
契約	オープン中のバックログ契約要求	• sn_lg_pa • sn_lg_contracts • sn_lg_ops	オートメーション	契約法務管理：有効
契約	オープン中の契約額	• sn_lg_pa • sn_lg_contracts • sn_lg_ops	オートメーション	契約法務管理：有効 計算:合計 (deal_size)
契約	契約の平均要求完了時間	• sn_lg_pa • sn_lg_contracts • sn_lg_ops	オートメーション	Legal.Closed.Requests • 他の条件:実務エリア = 契約およびタスクタイプ = 一般契約サポート • 計算:平均 (法務要求完了時間 (日数))
サービスデリバリ	オープン中の法務に関する要求	• sn_lg_pa • sn_lg_ops	オートメーション	法務.要求.オープン
サービスデリバリ	オープン中の法務事項	• sn_lg_pa • sn_lg_ops • sn_lg_matter	オートメーション	法務.事項.オープン
サービスデリバリ	実務エリアごとの平均要求完了時間	• sn_lg_pa • sn_lg_ops	オートメーション	Legal.Closed.Requests 計算:平均 (法務要求完了時間 (日数))

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
サービスデリバリ	実務エリアあたりの平均案件完了時間	• sn_lg_pa • sn_lg_ops • sn_lg_matter	オートメーション	Legal.Closed.Matters 計算:平均 (法務事項完了時間 (日数))
プライバシーとコンプライアンス	オープン中のプライバシーおよびコンプライアンス要求	• sn_lg_pa • sn_lg_ops	計算式	[[未解決の法的要求 >実務エリア = プライバシー]] + [[未解決の法的要求 >実務エリア = コンプライアンス]]
プライバシーとコンプライアンス	SLA を満たしたプライバシーおよびコンプライアンス要求の割合	• sn_lg_pa • sn_lg_ops	計算式	[[SLA 内で完了した要求]]/ [[SLA で完了した法務に関する要求の合計]] * 100
プライバシーとコンプライアンス	プライバシーとコンプライアンスの平均要求完了時間	• sn_lg_pa • sn_lg_ops	オートメーション	Legal.Closed.Matters • 他の条件:実務エリア = プライバシーまたは実務エリア = コンプライアンス • 計算:平均 (法務事項完了時間 (日数))
デジタルフォレンジック	オープン中のデジタルフォレンジック要求	• sn_lg_pa • sn_lg_ops • sn_lg_forensics	オートメーション	法務.事項.タスク.オープン
デジタルフォレンジック	デジタルフォレンジックのアクティビティの平均完了時間	• sn_lg_pa • sn_lg_ops • sn_lg_forensics	オートメーション	Legal.DigitalForensics.Closed.Matter.Tasks 計算:平均 (法務案件タスク完了時間(日数))
セルフサービス	法務 KB 記事の閲覧回数	com.snc.knowledge3	オートメーション	article.kb_knowledge_base=1ec18f62b31713 計算:合計 (times_viewed)
セルフサービス	法務に関する VA 会話の合計数	• sn_lg_va • sn_lg_ops	オートメーション	会話.新規 他の条件:トピックアプリケーション = 法務仮想エージェント会話

ゼネラルカウンシル ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_lsd_dashboard.gc_dashboard_admin) は、GC ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネス上の質問の定義 (価値、運用、セキュリティなど)
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_lsd_dashboard.gc_dashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

自動翻訳

最高人事責任者 ダッシュボード

CHRO ダッシュボードは、人材リーダーシップがビジネスを運営し、価値を迅速に提供し、生産性を向上させてリスクを最適化するのに役立ちます。

最高人事責任者ダッシュボードのインストール

CHRO ダッシュボードは、ピープルリーダーシップがビジネスを運営し、価値を迅速に提供し、生産性を向上させ、リスクを最適化するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 chro_dashboard_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: CHRO ダッシュボードアプリケーションは ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、HRSD (com.sn_hr_core) アプリケーションのプロフェッショナル資格が必要です。このプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスと、関連するアプリケーションのコンテンツパックソリューションが含まれます。

これらのソリューションは、CHRO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

プラグイン :

- sn_hr_er_pa
- sn_hr_le_pa
- sn_hr_pa

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CHRO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CHRO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求の理由を入力し、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CHRO ダッシュボードプラグイン (sn_chro_dashboard) を検索してインストールします。
6. ロールをアサインして、CHRO ダッシュボードを構成および表示します。

   CHRO ダッシュボードアドミン

   ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_chro_dashboard.chro_dashboard_admin ロールをアサインします。

   注: このロールを持つユーザーのみが CHRO ダッシュボードを構成できます。

   CxO ダッシュボードのエンドユーザー

   ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_chro_dashboard.chro_dashboard_user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高人事責任者 ダッシュボードタブ

これら 5 つの柱に関する洞察を整理することで、CHRO は運用の安定性と長期的なイノベーションの両方に重点を置くことができます。

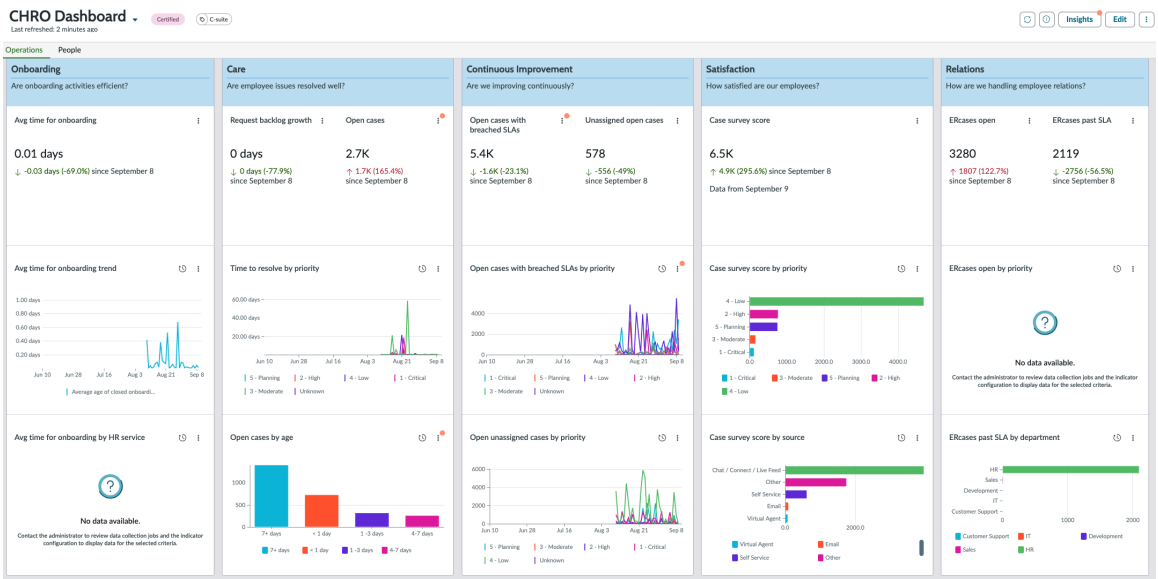
操作

[運用] タブの戦略的なピラーには、従業員のオンボーディングタスク、HR ケース、および満足度メトリクスに関連するメトリクスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピラー	フォーカスエリア
オンボーディング	オンボーディングアクティビティの効率性
ケア	従業員の問題の解決
継続的改善	HR プロセスの経時的な改善
満足度	ケースサーベイに反映された従業員の満足度
関連	SLA データによって反映された労務 (ER)



[運用] タブには、次の 5 つの戦略的な柱があります。

オンボーディング

「オンボーディングアクティビティは効率的ですか?」という質問に答えます。

ケア

「従業員の問題は適切に解決されていますか?」という質問に答えます。

継続的改善

「会社の HR プロセスは時間の経過とともに改善されていますか?」という質問に答えます。

満足度

「従業員はどの程度満足しているか?」という質問に答えます。

関連

「会社は労務 (ER) をどの程度うまく処理していますか?」という質問に答えます。

目的

[運用] タブには、従業員のオンボーディングタスク、HR ケース、および満足度メトリクスに関連するメトリクスがあります。

対象者

HR サービスのパフォーマンスと従業員の満足度に関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高人事責任者 やその他の人々。

プライマリステークホルダー

最高人事責任者

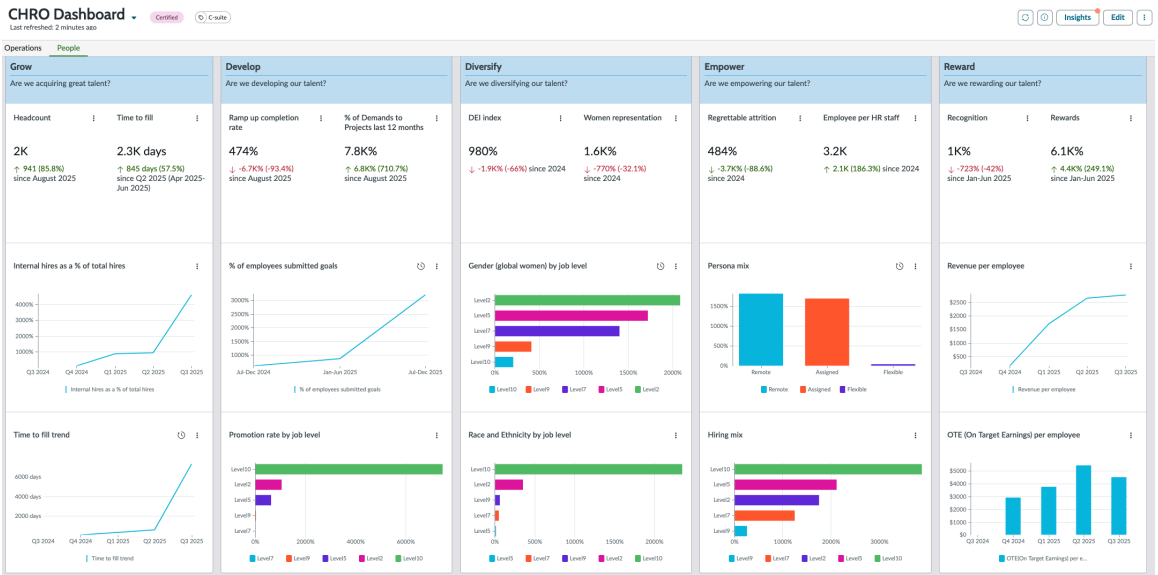
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

人

[人] タブの戦略的ピラーには、従業員の成長とエンパワーメント、認識、報酬への対応に関連するメトリクスが表示されます。

ピラー	フォーカスエリア
拡大	「人材の獲得に成功しているか?」という質問に答えます。
開発	「今の人材の育成にどの程度成功しているのか?」という質問に答えます。
多様化する	「人材の多様性を実現できているか?」という質問に答えます。
権限を与える	「従業員にどの程度適しているか」という質問に答えます。
報酬	「私たちは従業員をどの程度認識し、報酬を与えていますか?」という質問に答えます。



目的

[人] タブでは、CHRO に対してオンボーディング、ケア、継続的改善、満足度、労務 (ER) を一元表示し、組織の従業員満足度の向上に役立てることができます。

プライマリステークホルダー

- 最高人事責任者
- ヒューマンリソース (HR) およびマネジメントの他のメンバー

最高人事責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報がどのように使用されているかの概要と詳細ビューを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[操作] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
オンボーディング	オンボーディングの平均時間	単一スコア	クローズ済みオンボーディングケースの平均経過時間
オンボーディング	オンボーディングの平均時間の傾向	線グラフ	クローズ済みオンボーディングケースの平均経過時間
オンボーディング	HR サービス別のオンボーディングの平均時間	水平バー	クローズ済みオンボーディングケースの平均経過時間
ケア	要求バックログの増加	単一スコア	クローズ済みケースの平均経過時間
ケア	オープンケース	単一スコア	オープンケースの数
ケア	優先度別の解決時間	線グラフ	クローズ済みケースの平均経過時間
ケア	経過時間別のオープンケース	垂直バー	オープンケースの数
継続的改善	SLA 違反のオープンケース	単一スコア	SLA に違反しているオープンケースの数
継続的改善	アサインされていないオープンケース	単一スコア	アサインされていないオープンケースの数
継続的改善	優先度別の SLA 違反のオープンケース	線グラフ	SLA に違反しているオープンケースの数
継続的改善	アサインされていないケースを優先度別に開く	線グラフ	アサインされていないオープンケースの数
満足度	ケースサーベイスコア	単一スコア	平均ケースサーベイスコア
満足度	優先度別のケースサーベイスコア	水平バー	平均ケースサーベイスコア
満足度	ソース別ケースサーベイスコア	水平バー	平均ケースサーベイスコア
関連	オープン中の ER ケース	単一スコア	ERCases.Open
関連	SLA を過ぎた ER ケース	単一スコア	ERCases.PastSLA
関連	優先度別のオープン中の ER ケース	水平バー	ERCases.Open
関連	部門別の SLA を過ぎた ER ケース	水平バー	ERCases.PastSLA

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユーザー] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
拡大	人員	単一スコア	人員
拡大	入力までの時間	単一スコア	入力までの時間
拡大	全採用者に対する内部雇用の割合	線グラフ	全採用者に対する内部雇用の割合
拡大	採用プロセス完了までの時間の傾向	線グラフ	採用プロセス完了までの時間の傾向
開発	強化完了率	単一スコア	強化完了率
開発	過去 12 か月のプロジェクトに対するデマンドの割合	単一スコア	トレーニングの有効性
開発	目標を提出した従業員の割合 (%)	線グラフ	目標を提出した従業員の割合 (%)
開発	ジョブレベル別昇格率	水平バー	ジョブレベル別昇格率
多様化する	DEI インデックス	単一スコア	DEI インデックス
多様化する	女性の表現	単一スコア	女性の表現
多様化する	ジョブレベル別の性別 (グローバル女性)	水平バー	ジョブレベル別の性別 (グローバル女性)
多様化する	ジョブレベル別の人種と民族	水平バー	ジョブレベル別の人種と民族
権限を与える	望ましくない離職率	単一スコア	望ましくない離職率
権限を与える	HR スタッフあたりの従業員数	単一スコア	HR スタッフあたりの従業員数
権限を与える	ペルソナミックス	垂直バー	ペルソナミックス
権限を与える	採用ミックス	水平バー	採用ミックス
報酬	レコグニション	単一スコア	レコグニション
報酬	報酬	単一スコア	報酬
報酬	従業員一人あたりの収益	線グラフ	従業員一人あたりの収益
報酬	従業員一人あたりの OTE (目標達成時の年棒)	列	従業員一人あたりの OTE (目標達成時の年棒)

最高人事責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

[操作] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソースまたは式の計算
オンボーディング	クローズ済みオンボーディングケースの平均経過時間		計算式	[[ライフサイクルイベントタイプ.イベントタイプ = オンボーディング>クローズされたケースの所要時間合計]]/[[ライフサイクルイベントタイプ.イベントタイプ = オンボーディング >クローズされた HR ケースの数]]/24
ケア	クローズ済みケースの平均経過時間		計算式	[[クローズされたケースの所要時間合計]]/[[クローズされた HR ケースの数]]/24
ケア	オープンケースの数		オートメーション	HR.Case.Open
継続的改善	SLA に違反しているオープンケースの数		オートメーション	HR.Case.Open
継続的改善	アサインされていないオープンケースの数		オートメーション	HR.Case.Open 条件:[アサイン先] が空
満足度	平均ケースサーベイスコア		オートメーション	HR.Case.Survey.Metric 計算: 平均 (amr_actual_value)
関連	ERCases.Open		オートメーション	ERCases.Open 計算:個別のカウント (c_sys_id)
関連	ERCases.PastSLA		オートメーション	ERCases.Open 計算: SLA 期限は今日<

[ユーザー] タブ

このタブのすべてのインジケーターは手動です。つまり、関連するスコアシートに手動で入力したデータに基づいています。インジケーターの手動入力の詳細については、「インジケーターのスコアの手動での追加または編集」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
拡大	人員		マニュアル	
拡大	入力までの時間		マニュアル	
拡大	全採用者に対する内部雇用の割合		マニュアル	
拡大	採用プロセス完了までの時間の傾向		マニュアル	
開発	強化完了率		マニュアル	
開発	トレーニングの有効性		マニュアル	
開発	目標を提出した従業員の割合 (%)		マニュアル	
開発	ジョブレベル別昇格率		マニュアル	
多様化する	DEI インデックス		マニュアル	
多様化する	女性の表現		マニュアル	
多様化する	ジョブレベル別の性別 (グローバル女性)		マニュアル	
多様化する	ジョブレベル別の人種と民族		マニュアル	
権限を与える	望ましくない離職率		マニュアル	
権限を与える	HR スタッフあたりの従業員数		マニュアル	
権限を与える	ペルソナミックス		マニュアル	
権限を与える	採用ミックス		マニュアル	
報酬	レコグニション		マニュアル	
報酬	報酬		マニュアル	
報酬	従業員一人あたりの収益		マニュアル	
報酬	従業員一人当たりのOTE(目		マニュアル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	式の計算
	標達成時の年収)			

最高人事責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_chro_dashboard.chro_dashboard_admin) は、CHRO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネスに関する質問の定義
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_chro_dashboard.chro_dashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコードへのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高財務責任者 ダッシュボード

最高財務責任者 (CFO) ダッシュボードは、エンドツーエンドの財務運用を一元化されたビューで表示します。

最高財務責任者 ダッシュボードのピラー

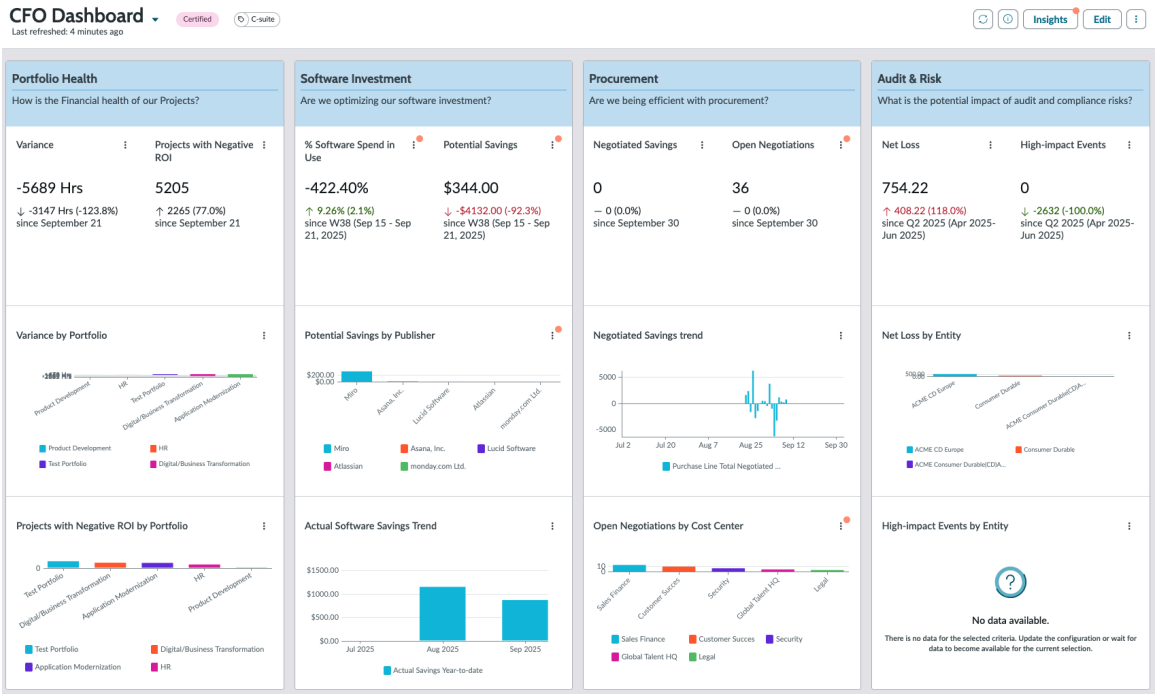
これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CFO は価値の迅速な提供、生産性の向上、リスクの最適化に集中できるようになります。

ピラー	フォーカスエリア
ポートフォリオの健全性	プロジェクトの財務健全性
ソフトウェア投資	ソフトウェア投資の最適化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピラー	フォーカスエリア
調達	調達効率化
監査とリスク	監査/コンプライアンスリスクの影響



対象者とステークホルダー

このダッシュボードは、会社のデジタルプロパティの健全性と生産性に関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高デジタル責任者 やその他のユーザー向けです。

最高財務責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織で投資、調達、および監査がどのように対処されているかの概要的で詳細なビューを取得します。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
ポートフォリオの健全性	差異	単一スコア	ポートフォリオ別の差異
ポートフォリオの健全性	負の ROI のあるプロジェクト	単一スコア	PPM - 負の ROI のあるアクティブなプロジェクトの数
ポートフォリオの健全性	ポートフォリオ別の差異	垂直バー	ポートフォリオ別の差異
ポートフォリオの健全性	ポートフォリオ別の負の ROI のあるプロジェクト	垂直バー	PPM - 負の ROI のあるアクティブなプロジェクトの数
ソフトウェア投資	使用中のソフトウェア支出 (%)	単一スコア	使用中の支出の割合
ソフトウェア投資	節減見込み	単一スコア	節減見込み

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	可視化	可視化タイプ	データソース
ソフトウェア投資	パブリッシャー別の節減(額) 見込み	垂直バー	節減見込み
ソフトウェア投資	ソフトウェア節減(額) 実績の傾向	列	節減実績の年度累計
調達	交渉済み節減(額)	単一スコア	交渉による購入明細の合計削減額
調達	オープン中の交渉	単一スコア	オープンな交渉数
調達	交渉済み節減(額) の傾向	列	交渉による購入明細の合計削減額
調達	コストセンター別のオープンな交渉	垂直バー	オープンな交渉数
監査とリスク	純損失	単一スコア	合計純損失
監査とリスク	影響度の高いイベント	単一スコア	影響度 > 1 M のイベント数
監査とリスク	エンティティ別の純損失	垂直バー	合計純損失
監査とリスク	エンティティ別の影響度の高いイベント	ドーナツグラフ	影響度 > 1 M のイベント数

最高財務責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- 手動インジケーター

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
ポートフォリオの健全性	ポートフォリオ別の差異		計算式	[[PPM - 計画コスト]]-[[PPM - 実績コスト]]
ポートフォリオの健全性	PPM - 負の ROI のあるアクティブなプロジェクトの数		オートメーション	PPM.プロジェクト.アクティブ 条件:計画 ROI % < 0
ソフトウェア投資	使用中の支出の割合		計算式	100-(([[節減見込み]]+[[ライセンス供与過剰金額]])/[[ソフトウェア支出]]*100)
ソフトウェア投資	節減見込み		オートメーション	週次の SAM 削除候補

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
				• 条件：アクティブ = true • 計算:合計 (potential_savings)
ソフトウェア投資	節減実績の年度累計		オートメーション	月次の SAM 非アクティブ削除候補 • 他の条件:ステータス = 完了してクローズおよび今月にクローズ • 計算:合計 (potential_savings)
調達	交渉による購入明細の合計削減額		計算式	[[交渉による購入明細の節約額]]:[[交渉による親明細の節約額]]
調達	オープンな交渉数		オートメーション	ソース: Negotiation.Open
監査とリスク	合計純損失		オートメーション	リスク.イベント.却下.されていない • 条件:イベントタイプ = 財務への影響 • 計算:合計 (net_amount)
監査とリスク	影響度 > 1 M のイベント数		オートメーション	リスク.イベント.却下.されていない 他の条件:イベントタイプ = 財務の影響および総損失 > $1,000,000.00

最高財務責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_cfo_dashboard.cfo_dashboard_admin) は、CFO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネスに関する質問の定義
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_chro_dashboard.chro_dashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコードへのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高デジタル責任者 ダッシュボード

最高デジタル責任者ダッシュボードは、会社のデジタルプロパティの健全性と生産性を可視化します。

CDO ダッシュボードのインストール

最高デジタル責任者 (CDO) ダッシュボードは...

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 cdo_dashboard_admin

> **注:** CDO ダッシュボードアプリケーションは ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。 IT Service Management。このプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。
>
> これらのソリューションは、CDO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。
>
> さらに、プロフェッショナルライセンスには com.snc.pa.premium.all_content アプリケーションプラグインが必要です。

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CDO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CDO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求理由を入力して、インスタンスを検証します。
4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CDO ダッシュボードプラグイン (sn_cdo_dashboard) を検索してインストールします。
6. CDO ダッシュボードを構成および表示するためのロールをアサインします。

   CDO ダッシュボードアドミン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_cdodashboard.cdo_dashboard_admin ロールを割り当てます。

> **注:** このロールを持つユーザーのみが CDO ダッシュボードを構成できます。

CDO ダッシュボードエンドユーザー

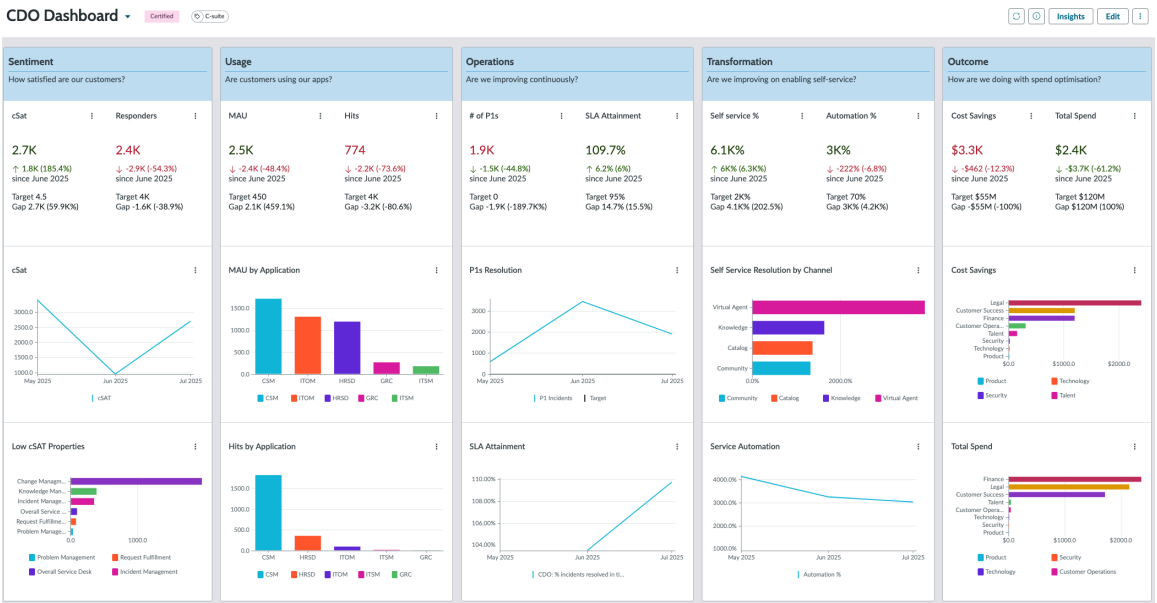
ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_cdodashboard.cdo_dashboard_user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高デジタル責任者 ダッシュボードのピラー

これら 5 つの柱に関するインサイトを整理することで、CDO は価値の迅速な提供、生産性の向上、リスクの最適化に注力できます。

ピラー	フォーカスエリア
感情	顧客満足度
使用状況	アプリ使用率
操作	継続的改善
変換	セルフサービスイネーブルメント
結果	支出の最適化



対象者とステークホルダー

このダッシュボードは、会社のデジタルプロパティの健全性と生産性に関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高デジタル責任者 やその他のユーザー向けです。

最高デジタル責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で顧客満足度、使用状況、および変換にどのように対処しているかの概要と詳細ビューを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	可視化	可視化タイプ	データソース
感情	cSAT	単一スコア	cSAT
感情	レスポンダ	単一スコア	レスポンダ
感情	cSAT	線グラフ	cSAT
感情	低 cSAT プロパティ	水平バー	cSAT
使用状況	MAU	単一スコア	MAU
使用状況	ヒット数	単一スコア	ヒット数
使用状況	アプリケーション別の月間アクティブユーザー数 (MAU)	垂直バー	MAU
使用状況	アプリケーション別のヒット数	垂直バー	ヒット数
操作	P1s の数	単一スコア	P1 インシデント
操作	SLA の達成状況	単一スコア	CDO：時間内に解決されたインシデント %
操作	P1s 解決	線グラフ	P1 インシデント
操作	SLA の達成状況	線グラフ	CDO：時間内に解決されたインシデント %
変換	セルフサービス %	単一スコア	セルフサービス %
変換	自動化 %	単一スコア	自動化 %
変換	チャネル別のセルフサービス解決	水平バー	セルフサービス %
変換	サービス自動化	線グラフ	自動化 %
結果	コスト節減	単一スコア	コスト節減
結果	合計支出	単一スコア	合計支出
結果	コスト節減	水平バー	コスト節減
結果	合計支出	水平バー	合計支出

最高デジタル責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
感情	cSAT		マニュアル	
感情	レスポンダ		マニュアル	
使用状況	MAU		マニュアル	
使用状況	ヒット数		マニュアル	
操作	P1 インシデント		オートメーション	ソース:インシデント 条件:今月クローズ済み、優先度 = 1:重大
操作	CDO：時間内に解決されたインシデント %		計算式	([[CDO:時間内に解決されたインシデントの数 / 月別合計 +]] / [[CDO:時間内に解決しなければならなかった解決済みインシデントの数 / 月別合計 +]]) * 100
変換	セルフサービス %		マニュアル	
変換	自動化 %		マニュアル	
結果	コスト節減		マニュアル	
結果	合計支出		マニュアル	

最高デジタル責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_cdodashboard.cdo_dashboard_admin) は、CDO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネス上の質問の定義 (価値、運用、セキュリティなど)
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_cdodashboard.cdo_dashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコード (インシデント、プロジェクト、セキュリティイベント) へのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート
- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

最高顧客執行責任者 ダッシュボード

最高顧客運用責任者ダッシュボードは、カスタマーサポートと運用を可視化し、リーダーシップが運用の有効性を微調整するのに役立ちます。

最高顧客執行責任者ダッシュボードのインストール

最高顧客運用責任者ダッシュボードは、カスタマーサポートと運用を可視化し、リーダーシップが運用の有効性を微調整するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール: admin、platform_analytics_admin、 sn_cco_dashboard.cco_dashboard_admin

注: CCO ダッシュボードアプリケーションは、ServiceNow Store から無料で入手できます。ただし、ダッシュボードのコンテンツには、次のアプリケーションに対するプロフェッショナル資格が必要です。 カスタマーサービス管理 (CSM)。これらのプロフェッショナル資格には、プラットフォームアナリティクスのライセンスが含まれます。

これらのソリューションは、CCO ダッシュボードの測定基準で使用されるプラットフォームアナリティクスインジケーターと関連するデータコレクションジョブで構成されています。前提条件となるライセンスがない場合は、インストールが続行されます。ただし、必要なプラグイン (アプリケーションマネージャーにあります) とアプリケーション (ServiceNow Store にあります) と基礎となるデータがないと、ダッシュボードには関連するメトリクスが表示されません。 ライセンスとエンタイトルメントについて質問がある場合は、アカウント担当役員にお問い合わせください。

アプリケーションプラグイン:

- com.sn_customerservice
- com.snc.pa.customer_service_advanced
- com.snc.proactive_cs_ops
- com.snc.self_service_analytics_core
- com.snc.pa.self_service_analytics_csm
- com.sn_communities
- com.glide.cs.chatbot

手順

1. https://store.servicenow.com にログインします。
2. CCO ダッシュボードアプリケーションを検索します。
3. [インストールを要求] ボタンを選択して、アプリのインストール要求を作成します。
   [要求] を選択して、指定されたインスタンスの CCO ダッシュボードアプリケーションプラグインを要求し、インスタンスの詳細と要求の理由を入力し、インスタンスを検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 移動先 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション.
5. CCO ダッシュボードプラグイン (sn_cco_dashboard) を検索してインストールします。
6. CCO ダッシュボードを構成および表示するためのロールをアサインします。

CCO ダッシュボードアドミン

ダッシュボードの構成権限を必要とするユーザーまたはグループに sn_cco_dashboard.cco_dashboard_admin ロールを割り当てます。

注: このロールを持つユーザーのみが CCO ダッシュボードを構成できます。

CCO ダッシュボードのエンドユーザー

ダッシュボードを表示する必要があるユーザーまたはグループにユーザーロール sn_cco_dashboard.cco_dashboard_user を割り当てます。

アドミンが新しいロールをアサインした後、ユーザーはログアウトして再度ログインし、新しいロールを有効にする必要があります。ユーザーロールの詳細については、「 ユーザー管理の詳細 」を参照してください。

最高顧客執行責任者 ダッシュボードタブ

これら 5 つの柱に関する洞察を整理することで、CCO は運用の安定性と長期的なイノベーションの両方に重点を置くことができます。

結果

ピラー	フォーカスエリア
感情	共有された顧客の感情
積極的	問題防止
セルフサービス	問題の自己解決
サービスヘルス	ケース処理
スポットライト	早急な対応が必要なもの

操作

ピラー	フォーカスエリア
スループット	処理ボリューム
可用性	機能停止の影響から顧客を守る
リスク	リスクのあるアカウントと製品
パフォーマンス	バックログコントロール

目的

[運用] タブには、リスクとパフォーマンスに関連するメトリクスがあります。

対象者

カスタマーサービスのパフォーマンスと顧客満足度に関するリアルタイムのインサイトを必要とする 最高顧客執行責任者 やその他の人々。

プライマリステークホルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最高顧客執行責任者

最高顧客執行責任者 ダッシュボードデータの可視化

これらのデータの可視化を使用して、組織内で情報がどのように使用されているかの概要と詳細ビューを取得します。

[結果] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
感情	cSAT	s.s.	CSAT
感情	満足している顧客	s.s.	満足している顧客の数 (CSAT)：CCO
感情	cSAT の傾向	線グラフ	cSAT の傾向
感情	事業部門別の cSAT	v.b.	事業部門別の CSAT
積極的	積極的重大ケース	s.s.	PCSO：重大に昇格された積極的なレポート済みケースの数
積極的	影響を受ける顧客	s.s.	PCSO：影響を受けるインストールベースアイテムの数
積極的	積極的ケース	線グラフ	積極的ケース
積極的	最も影響を受ける顧客	線グラフ	最も影響を受ける顧客
セルフサービス	成功率	s.s.	セルフサービス：成功率
セルフサービス	完了エンゲージメント	s.s.	セルフサービス：完了エンゲージメント
セルフサービス	成功率の傾向	線グラフ	セルフサービス：成功率
セルフサービス	完了エンゲージメントの傾向	線グラフ	セルフサービス：完了エンゲージメント
サービスヘルス	SLA の達成状況	s.s.	SLA 違反をしているクローズ済みケースの割合
サービスヘルス	平均解決時間	s.s.	ケースの平均解決時間
サービスヘルス	SLA 達成の傾向	V.B.	SLA 達成の傾向
サービスヘルス	経過時間バケット別のオープンケース	h.b.	オープンケースの平均経過時間
スポットライト	スポットライト状況のケース	s.s.	スポットライト状況のケース
スポットライト	未アサインのスポットライトケース	s.s.	スポットライト状況のケース：未アサイン
スポットライト	スポットライトケースの傾向	線グラフ	未アサインのスポットライトケースの傾向

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[操作] タブ

列	可視化	可視化タイプ	データソース
スループット	クローズ済みケース	s.s.	クローズされたケースの数
スループット	最初の応対での解決	s.s.	# 最初の問い合わせで解決されたケースの数
スループット	クローズされたケース：チャネル別	V.B.	クローズされたケースの数
スループット	クローズされたケース：製品別	H.B.	クローズされたケースの数
可用性	機能停止	s.s.	PCSO：機能停止の数
可用性	影響を受けた顧客	s.s.	PCSO：影響を受けた顧客の数
可用性	機能停止の傾向	線グラフ	機能停止の傾向
可用性	機能停止のタイプ	H.B.	PCSO：機能停止の数
リスク	リスクのあるアカウント	s.s.	リスクのあるアカウントを取得：見出し
リスク	リスクのある製品	s.s.	リスクのある製品を取得：見出し
リスク	リスクのあるアカウント：傾向	線グラフ	リスクのあるアカウント：傾向
リスク	リスクのある製品：傾向	線グラフ	リスクのある製品：傾向
パフォーマンス	オープンケースの経過時間	s.s.	オープンケースの平均経過時間
パフォーマンス	平均再アサイン数	s.s.	オープンケースの平均再アサイン回数
パフォーマンス	ケース経過時間の傾向	線グラフ	オープンケースの平均経過時間の傾向
パフォーマンス	再アサインの傾向	線グラフ	オープンケースの平均再アサイン数の傾向

最高顧客執行責任者 ダッシュボードインジケーター

インジケーターは、ダッシュボードのほとんどの可視化で使用されるデータを提供します。インジケーターはダッシュボード全体で使用されます。

このダッシュボードでは、自動、計算式、手動の 3 種類のインジケーターがすべて使用されます。インジケーターの設定の詳細については、次を参照してください。

- 自動インジケーター
- 手動インジケーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[結果] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
感情	CSAT	com.snc.pAutomated_customer_service_advanced	計算式	[[満足している顧客の数 (CSAT)]]/[[CSAT サーベイ回答者数]] * 100
感情	満足している顧客の数 (CSAT)：CCO	com.snc.pAutomated_customer_service_advanced	オートメーション	Metric_calculation 条件:メトリクスカテゴリ = カスタマーサービス満足度サーベイ、およびメトリクス = 全体的な顧客満足度とインスタンス関連レコード 1 != (空) および実際の値 >= 3
感情	cSAT の傾向		計算式	[[CSAT / 月別平均 +]]
感情	事業部門別の CSAT		計算式	[[満足している顧客の数 (CSAT) - CCO / 月別合計 +]]/[[CSAT サーベイの回答者数 - CCO / 月別合計 +]]*100
積極的	PCSO：重大に昇格された積極的なレポート済みケースの数	com.snc.proactive_cs_ops	オートメーション	PCSO.CaseInstallbaseitemSoldproduct.Creat • 条件:重大なケースのステータス = 承認済み • 計算:個別のカウント (cs_case)
積極的	PCSO：影響を受けるインストールベースアイテムの数		オートメーション	PCSO.CaseInstallbaseitemSoldproduct.Creat 計算:個別のカウント (aib_install_base_item)
積極的	積極的ケース	com.snc.proactive_cs_ops	計算式	[[PCSO:積極的ケースの数/月別合計 +]]
積極的	最も影響を受ける顧客	com.snc.proactive_cs_ops	計算式	[[PCSO:機能停止の数 / 月別合計 +]]
セルフサービス	セルフサービス：成功率	com.snc.self_service_analytics_core_components	計算式	[[セルフサービス: 完了エンゲージメント]] / [[セルフサービス: エンゲージメント]] * 100
セルフサービス	セルフサービス：完了エンゲージメント	com.snc.self_service_analytics_core_components	計算式	{{Communities:有用なフィードバック}} + {{カタログ要求の数}} + {{VA:成功した会話}}
サービスヘルス	SLA 違反をしているクローズ済みケースの割合	com.snc.pAutomated_customer_service_advanced	計算式	[[SLA に違反しているクローズ済みケースの数]]/[[クローズ済みケースの数]]) * 100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソース/計算式/追加条件
サービスヘルス	ケースの平均解決時間	com.snc.pAutomated customer	計算式	[[解決済みケースの合計期間]] / [[解決済みケースの数]] / 24
サービスヘルス	SLA 達成の傾向		計算式	[[SLA に違反しているクローズ済みケースの割合 / 月別平均 +]]
サービスヘルス	オープンケースの平均経過時間	com.snc.pAutomated customer	計算式	[[オープンケースの合計経過時間]] / [[オープンケースの数]] / 24
スポットライト	スポットライト状況のケース	com.sn_cco_dashboard	ダッシュボーションション	スポットライト状況のケース
スポットライト	スポットライト状況のケース：未アサイン	com.sn_cco_dashboard	ダッシュボーションション	スポットライト状況のケース：未アサイン
スポットライト	未アサインのスポットライトケースの傾向		計算式	[[スポットライト状況のケース - 未アサイン / 月別合計 +]]

[操作] タブ

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソースまたは式の計算
スループット	クローズされたケースの数	com.snc.pAutomated customer	ダッシュボーションション	Case_Closed
スループット	# 最初の問い合わせで解決されたケースの数	com.snc.pAutomated customer	ダッシュボーションション	Case_Closed
可用性	PCSO：機能停止の数	com.snc.proactive_ops	ダッシュボーションション	PCSO.OutageCaseInstallBase.Created
可用性	PCSO：影響を受けた顧客の数	com.snc.proactive_ops	ダッシュボーションション	PCSO.OutageCaseInstallBase.Created.ThisM
可用性	機能停止の傾向		計算式	[[PCSO:機能停止の数 / 月別合計 +]]
リスク	リスクのあるアカウントを取得：見出し		オートメーション	リスクのあるアカウントを取得：見出し
リスク	リスクのある製品を取得：見出し		オートメーション	リスクのある製品を取得：見出し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	インジケーター	ソースプラグイン	インジケータータイプ	インジケーターソースまたは式の計算
リスク	リスクのあるアカウント：傾向		計算式	[[リスクのあるアカウントを取得 - 見出し / 四半期別合計 +]]
リスク	リスクのある製品：傾向		計算式	[[リスクのある製品を取得 - 見出し / 四半期別合計 +]]
パフォーマンス	オープンケースの平均経過時間	com.snc.pAutomated	計算式	[[オープンケースの合計経過時間]] / [[オープンケースの数]] / 24
パフォーマンス	オープンケースの平均再アサイン回数	com.snc.pAutomated	計算式	[[オープンケースの再アサイン合計数]] / [[オープンケースの数]]
パフォーマンス	オープンケースの平均経過時間の傾向	com.snc.pAutomated	計算式	[[オープンケースの平均経過時間 / 月別合計 +]]
パフォーマンス	オープンケースの平均再アサイン数の傾向	com.snc.pAutomated	計算式	[[オープンケースの平均再アサイン数 / 月別合計 +]]

最高顧客執行責任者 ダッシュボードロール

このダッシュボードには 2 つのロールが関連付けられています。

プラットフォームアナリティクスアドミニストレーター

ダッシュボードアドミニストレーター (sn_cco_dashboard.cco_dashboard_admin) は、CCO ダッシュボードとその基礎となるコンテンツのインストール、構成、および管理を担当します。

主な職務は次のとおりです。

- プラグインのインストールと構成所有者への admin ロールの割り当て
- 業種とビジネスに関する質問の定義
- KPI/KRI の選択と調整、しきい値の設定、およびデータソースのマッピング
- プラットフォームアナリティクスインジケーター、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブの作成と検証
- 翻訳、プラグインのアップグレード、ベストプラクティステンプレートを管理して一貫性を確保する

ビジネスユーザー

ダッシュボードにアクセスするには、ユーザー (sn_cco_dashboard.cco_dashboard_user) ロールが必要です。

代表的なアクティビティ:

- 戦略的目標に沿ったリアルタイムスコアカードと可視化の表示
- フィルターの適用、期間の切り替え、基礎となるレコードへのドリルダウン
- エグゼクティブブリーフィングまたはステークホルダー向けプレゼンテーション用のチャートとレポートのエクスポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- メトリクスが定義されたしきい値を超えたときのアラートと通知の登録
- ダッシュボードの使いやすさとデータの関連性に関するフィードバックをアドミンチームに提供する

ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト

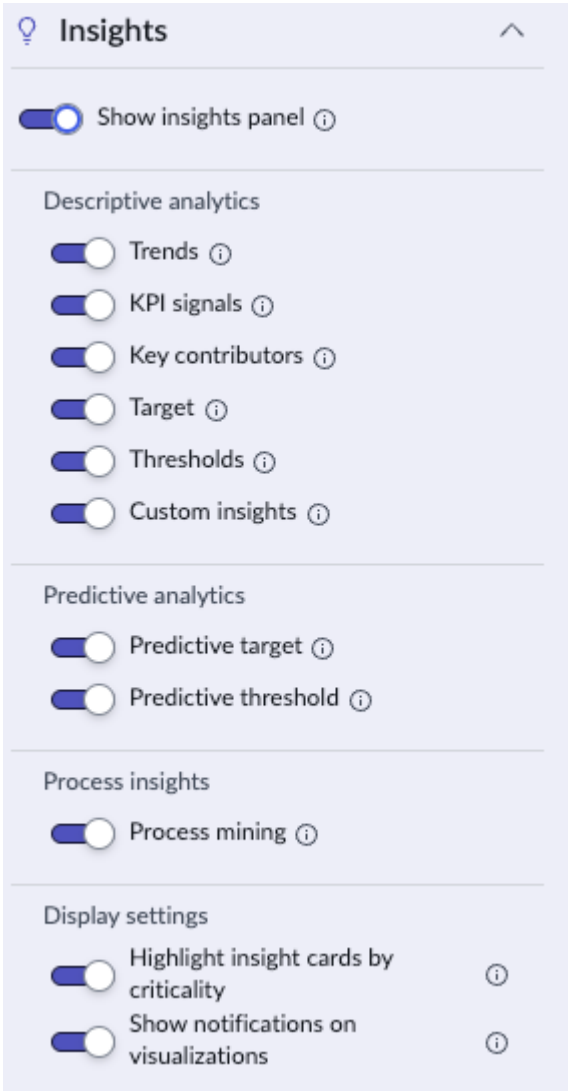
プロアクティブなアナリティクスは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのインサイトの抽出を自動化します。プラットフォームアナリティクス ダッシュボードで、プロセス内の潜在的に関心のある変更やイベントの通知を受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- プロアクティブインサイトは、プラットフォームアナリティクスダッシュボードのパフォーマンスアナリティクス インジケーターとともに使用するためのユーティリティです。この機能を利用するには、インジケーターを設定する必要があります。これらは、自分で作成したインジケーター、または プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションに含まれているインジケーターの場合があります。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)」を参照してください。
- プロアクティブアナリティクスを使用するには、 パフォーマンスアナリティクス にアクティブなサブスクリプションが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- プロアクティブアナリティクスをアクティブまたは非アクティブ化し、表示するインサイトカードのタイプを選択するには、ダッシュボード設定を開きます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。



- プロアクティブアナリティクスは、テクニカルダッシュボードを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードでのみ使用できます。互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたレスポンシブダッシュボードを含む、レスポンシブダッシュボードでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インサイト/アナリティクスのタイプ

プロアクティブアナリティクスは、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのインサイトカードで構成されています。システムはインジケーターを毎日チェックし、次のイベントのインサイトカードを生成します。

傾向

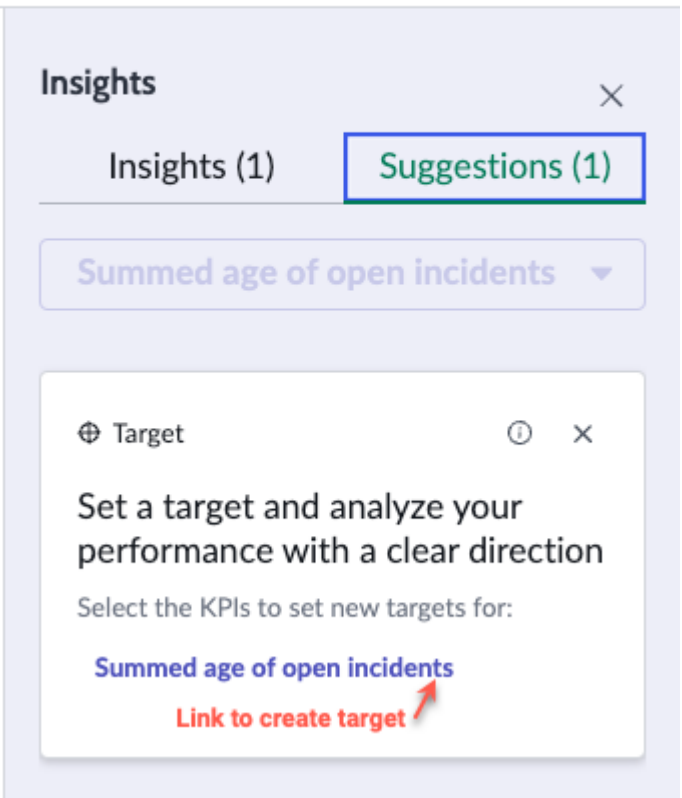
インジケーターが最大化または最小化に設定されているが、逆の方向に進んでいる場合は、インサイトカードが生成されます。

インジケーターのターゲットまたはしきい値イベント

次のイベントに対してインサイトカードが作成されます。

- パフォーマンスアナリティクスインジケーター (KPI) のターゲットが指定されていません。
- インジケーターのターゲットが欠落する可能性が高い (予測ターゲット)。
- インジケーターの しきい値 に違反しています。違反が史上最高値または安値である場合、この事実が言及されます。
- インジケーターのしきい値 (予測しきい値) に違反する可能性があります。

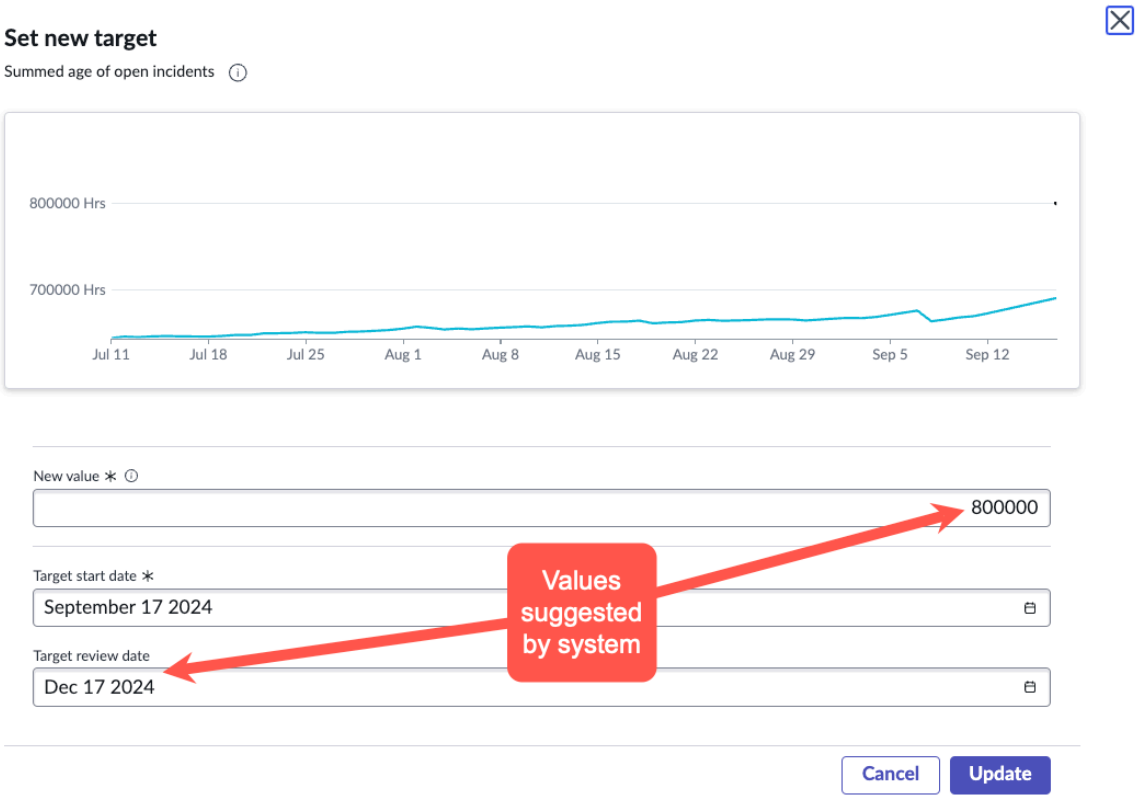
ターゲットインサイトをオンにしても、ダッシュボードに表示されるすべてのインジケーターにターゲットが設定されていない場合、またはすべてのターゲットにレビュー日が設定されていない場合は、[ターゲット提案] カードが生成されます。カードには各インジケーターのリンクがあります。



リンクを選択すると、そのインジケーターのターゲット値とレビュー日を設定するためのモーダルが開きます。値が自動的に提案されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーターのターゲットとしきい値の設定については、「パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。KPI 詳細ページでターゲットとしきい値を設定することもできます。

プロセスマイニング

プロセス最適化を使用している場合は、インジケーターに関連するプロセスフローの潜在的なボトルネックに対してインサイトカードを生成できます。これらのインサイトは、IT プロセスオーナーを支援することを目的としています。また、作成する プロセス最適化 プロジェクトの提案を受け取ることができ、そのようなプロジェクトからもインサイトが生成されます。詳細については、「プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成」を参照してください。

注:

- これらのインサイトを表示するには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。
- プロセスマイニングインサイトは、DA プロセスマイニングインサイトプラグインに含まれています。

KPI シグナルイベント

KPI シグナルで定義されているシグナルが生成されます。KPI シグナル では、標準の統計的なプロセス動作チャートを使用して、プロセスの重要な変化を特定します。次のシグナルはインサイトカードを生成します。

- 外れ値:3 標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるスコア。
- 短時間実行:4 つの連続したスコアがすべて平均値より大きいかすべて未満で、そのうちの 3 つのスコアが 2 標準偏差の範囲外。
- 長時間実行:7 つの連続したスコアがすべて平均値より大きい、またはすべて平均値より小さい。
- 「アンチシグナル」:インジケーターが長期間安定していることを示す情報メッセージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:** KPI シグナル インジケーターの KPI シグナル イベントを生成するには、インジケーターを設定する必要があります。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」と「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化」を参照してください。

主要貢献者ガイダンス

主要貢献者は、特定の影響があるとシステムが識別するパフォーマンスアナリティクスインジケーターのブレークダウンです。システムは KPI シグナル を使用してこの決定を行いますが、インジケーターの KPI シグナル を有効化する必要はありません。システムは独自の KPI シグナル 構成を使用します。

> **警告:** 主要な貢献者の識別がシステムで開始された後に パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ を変更する場合は注意が必要です。KPI シグナルベースラインまたは評価間隔、あるいはその両方を変更できます。その結果、インサイトに不整合が生じる可能性があります。このような不整合に気付いた場合は、影響を受けるインジケーターとブレークダウンの組み合わせの UUID を特定します。次に、対応するレコードを PA 相関アナライザーステータス [pa_correlation_analyzer_state] テーブルから削除します。詳細については、「KPI 詳細 UUID」を参照してください。

カスタムインサイト

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション または他のアプリケーションに含まれる一部のダッシュボードには、カスタムインサイトが含まれている場合があります。このようなインサイトの詳細については、関連する パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション またはアプリケーションのドキュメントを参照してください。

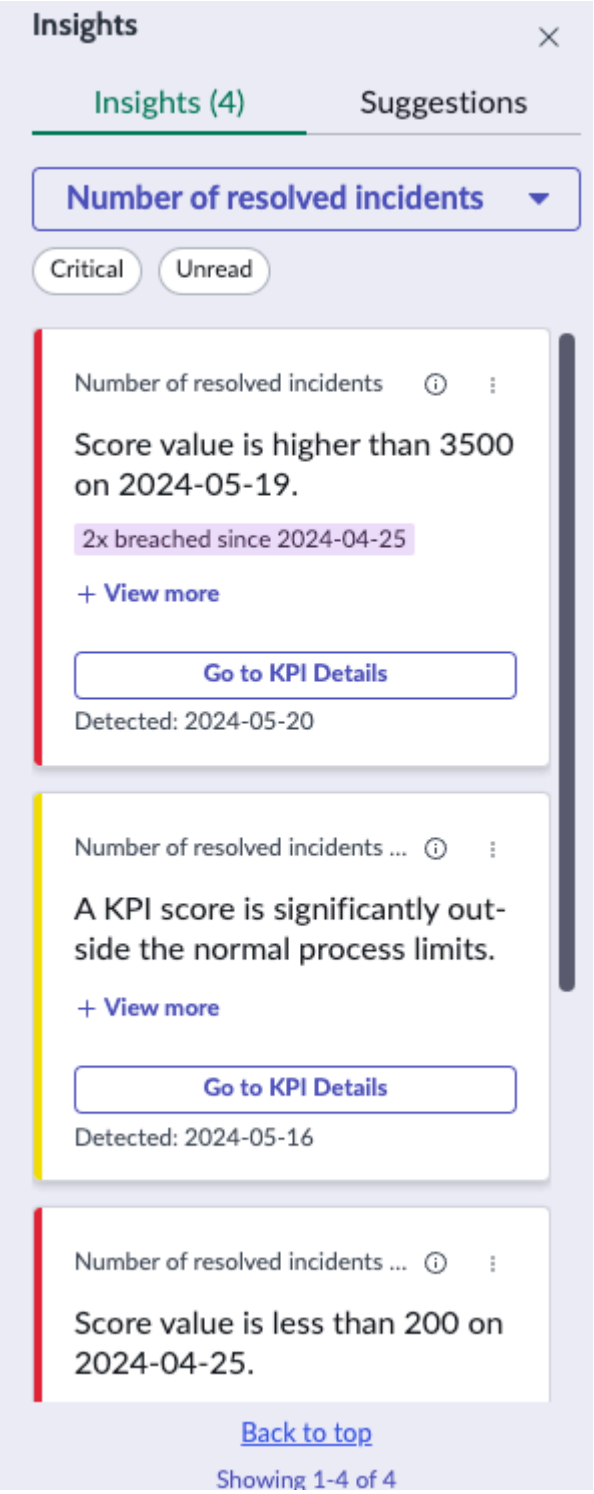
ダッシュボードでのインサイトカードの表示

インサイトカードを表示するには、[編集] ボタンの横にある [インサイト] ボタンを選択します。表示する新しいインサイトがある場合、ボタンはオレンジ色の円でマークされます。

パネルが開き、インサイトカードが表示されます。これらのカードの有効期間は 30 日間です。カードをスクロールできます。同じタイプのインサイトは 1 つのカードにグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



各カードには、発生したイベントのタイプとイベントの詳細が表示されます。各カードには、インサイトタイプに応じてフォローアップに適したページを開くボタンもあります。

インサイトタイプ	ページが開きました
ターゲットまたはしきい値	KPI 詳細
シグナル	[KPI シグナル] ペインが開いている KPI 詳細
主要貢献者	KPI 詳細 (主要貢献者のフィルターを手動で設定する必要があります)

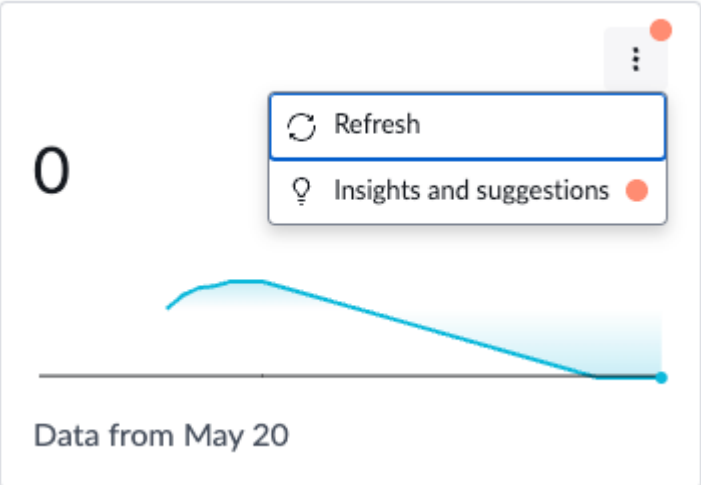
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インサイトタイプ	ページが開きました
プロセスマイニングの結果	アナリストワークベンチ

データ可視化のインサイト通知

ダッシュボードの [ビジュアル化に通知を表示] がオンになっている場合、その可視化に表示されるインジケーターに関連するインサイトがある場合、そのダッシュボードの可視化には通知アイコンが表示されます。その可視化の [その他のアクション] メニューから [インサイト] ペインを開くことができます。



グループ化されたインサイトカード

同じタイプの複数のインサイトが 1 つのカードに集約されます。カードの有効期限が切れる前 (14 日) にこのタイプのインサイトがさらに生成された場合、既存のカードに追加されます。ダッシュボードにトレンドインサイトとターゲットまたはしきい値インサイトの両方が表示される場合、ターゲットまたはしきい値のインサイトカードにトレンドが表示されます。この場合、個別のトレンドカードは生成されません。

制限事項と要件

プロアクティブアナリティクスの Zurich バージョンは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにのみ適用されます。

ターゲットおよびしきい値イベントは、インジケーターにターゲットまたはしきい値が設定されている場合にのみ表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。

KPI シグナル イベントは、 KPI シグナル がアクティブ化されたインジケーターに対してのみ表示されます。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化」を参照してください。

主要貢献者ガイダンスは、日次頻度のパフォーマンスアナリティクスインジケーターに対してのみ提供されます。

主要な貢献者イベントも KPI シグナルに基づいていますが、インジケーターで KPI シグナル を有効にする必要はありません。

関連トピック

- プロアクティブアナリティクストリガーを使用してフローを作成する
- のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成

プロセス最適化 でプロアクティブアナリティクスを使用している場合、プロアクティブアナリティクスは新しいプロセス最適化プロジェクトを提案できます。提案を 1 回クリックするだけで、プロジェクトが作成されて実行されます。

IT プロセスオーナーは、まだ作成されていない プロセス最適化 プロジェクトからメリットを得ることができます。プラットフォームアナリティクスダッシュボードに表示されるインジケーターを使用してプロセスをフォローしている場合、この機能は作成するプロセス最適化プロジェクトを提案できます。

この機能は、スケジュール済みジョブである PA インジケーターの推奨事項を通じて機能します。このジョブは、過去 15 日間の例外動作について パフォーマンスアナリティクス インジケーターをスキャンし、その動作を一連の変数と関連付けてスコアを生成し、par_indicator_modelテーブルに保存します。このジョブは、各インジケーターが使用されているダッシュボードの数に対してスコアを重み付けし、結果が 3 つ最も高いインジケーターの提案を生成します。提案との 1 回のインタラクションで プロセス最適化 プロジェクトが作成され、そのプロジェクトに基づいてインサイトが生成されます。ただし、いくつかの要件を満たす必要があります。

ダッシュボード側の要件

- DA プロセス最適化 Insights プラグインをインストールする必要があります。
- 関連する各ダッシュボードで、プロセスマイニングインサイトをオンにする必要があります。
- 関連するダッシュボードビューアーには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。

作成する提案の要件

- 監査ログを生成するには、関連するインジケーターのファクトテーブルを設定する必要があります。詳細については、「テーブルの監査の構成」を参照してください。
- 関連するインジケーターのファクトテーブルに対してプロセス構成が存在する必要があります。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成」を参照してください。
- インジケーターのファクトテーブルに固有のテーブル構成を持つテンプレートプロジェクトが存在する必要があります。このようなプロジェクトを作成するには、「 プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

新しいプロジェクトから作成するインサイトの要件

インジケーターが [影響を受ける **KPI**] フィールドを介してリンクされるようにするには、関連するプロセス構成内に自動検索定義が存在する必要があります。詳細については、「改善の機会の構成」を参照してください。

関連トピック

のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

提案からプロセスマイニングプロジェクトを作成する

インスタンスが要件を満たしている場合は、インサイトパネルの提案カードから プロセス最適化 プロジェクトを作成できます。このようなプロジェクトは、独自の洞察を生み出します。

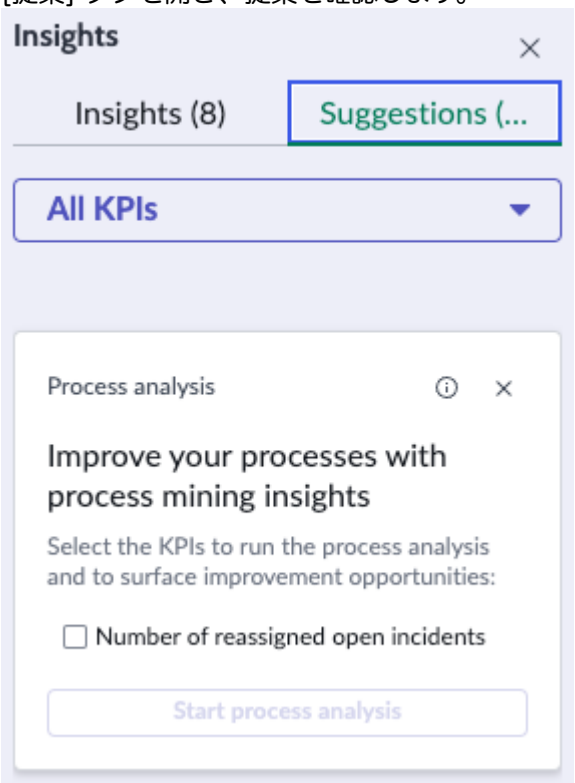
始める前に
必要なロール：sn_process_optimization_analyst

自動翻訳

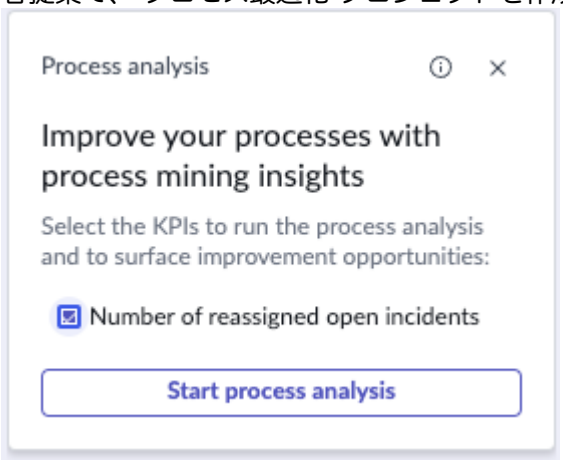
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 関連する プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを開きます。
3. [インサイト] を選択して [インサイト] パネルを開きます。
   インサイトは、互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたダッシュボードを含め、レスポンシブダッシュボードでは利用できません。
4. [提案] タブを開き、提案を確認します。



5. 各提案で、 プロセス最適化 プロジェクトを作成するすべてのインジケーターを選択します。



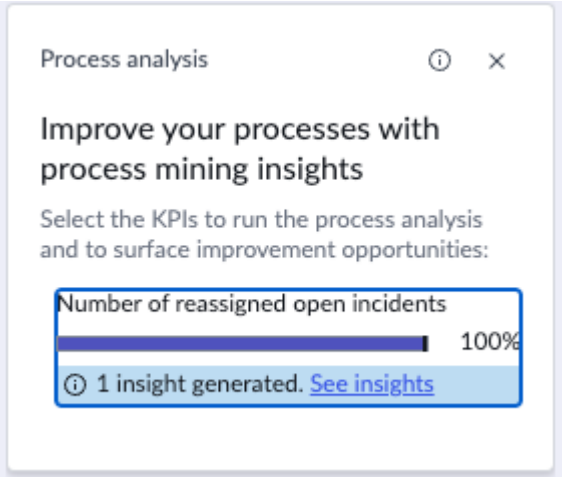
6. プロセス分析を開始します。

結果

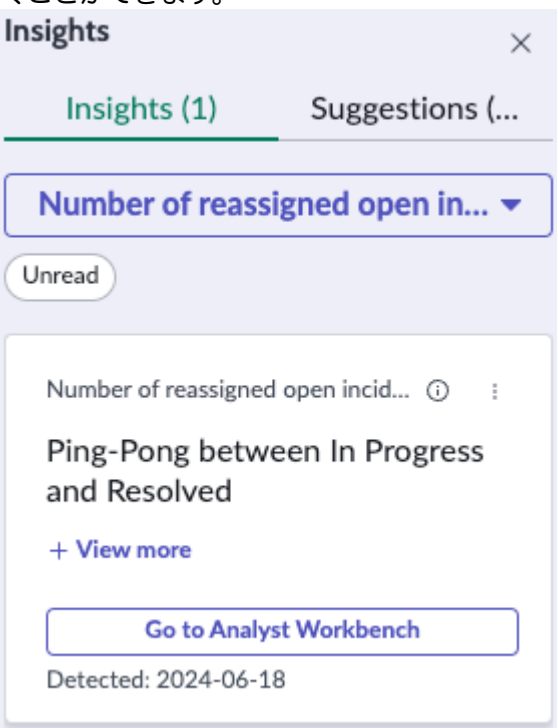
プロセス最適化 プロジェクトが生成されて実行されます。提案カードで進捗状況を確認できます。プロセスが完了すると、提案には、プロジェクトで作成されたインサイトへのリンクが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[インサイトを表示] を選択すると、プロジェクトで作成されたインサイトのカードが表示されます。このようなインサイトカードから、プロジェクトの プロセス最適化 Analyst Workbench を開くことができます。



プロアクティブなアナリティクスジョブ

プロアクティブアナリティクスのインサイトは、システムジョブ [sys_job] テーブルの複数のジョブを通じてアクティブ化され、生成されます。すべてのジョブは、スケジュールアイテム [sys_trigger] レコードに設定された時刻に毎日実行されます。

プロアクティブなアナリティクスジョブ

名前	**Java** クラス	ジョブ詳細	スケジュールされたアイテム **[sys_trigger]**
KPI シグナルアナリティクスジョブ	com.snc.pa.job.SignalsAnalytics.Job	アクティブなシグナルをインサイトイベントやプロアクティブアナリティ	KPI シグナルアナリティクスジョブ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブなアナリティクスジョブ (続く)

名前	Java クラス	ジョブ詳細	スケジュールされたアイテム [sys_trigger]
		クスフロートリガーイベントに変換します。	
PA 予測ジョブ	com.snc.pa.forecast.PAForecastJob	以前のターゲットを予測と照合し、トリガーされた通知を生成します。	PA Forecast Job Schedule (PA 予測スケジュール済みジョブ)
PATarget	com.snc.pa.job.PATargetCheckJob	ターゲット通知サマリーイベントを発生させます。	Check PA Targets (PA ターゲットの確認)
PAThreshold	com.snc.pa.job.PAThresholdCheckJob	各PAが満たされたしきい値ごとに、しきい値到達イベントを発生させます。	Check PA Thresholds (PA しきい値の確認)
トレンドインサイトジョブ	com.snc.pa.job.TrendAnalyticsJob	インジケーターの傾向を毎日分析し、過去 30 日以内の重大な逸脱にフラグを立てます。	トレンドインサイトのジョブスケジュール
トリガー定義プロアクティブアナリティクス	com.snc.pa.job.TriggerDefinitionProactiveAnalyticsJob	パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインが存在するかどうかを確認し、存在する場合は、sys_hub_trigger_definition でプロアクティブアナリティクストリガー定義をアクティブ化します。	プロアクティブアナリティクストリガー定義のアクティブ化ジョブ

プロアクティブアナリティクスのシステムプロパティ

インサイトカードの生成に影響するいくつかのシステムプロパティを使用できます。

これらのプロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在するか、作成できます。システムプロパティを設定するには、admin ロールが必要です。

注: システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロアクティブアナリティクスのプロパティ

プロパティ	説明
com.snc.pa.insights.query_limit	インサイト API への GET 応答で par_computed_insight テーブルのクエリを実行するときの行数を制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブアナリティクスのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：1000 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
com.snc.pa.insight.max_days_in_past	デフォルトでは、このプロパティで指定された過去の日数以内に作成されたインサイトを取得します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： システムプロパティを追加する
com.snc.pa.correlation.enable_insights	主要な貢献者インサイトカードの生成を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： システムプロパティを追加する
com.sys_par_insights_enabled	プロアクティブなアナリティクス機能を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： システムプロパティを追加する
com.snc.pa.xmr.processes.limit	KPI シグナル インサイトジョブによって評価できるKPI シグナル構成 (pa_xmr_processes) の最大数。この数のプロセスが評価されると、残りのプロセスは無視されます。 • タイプ: 整数 • デフォルト：1000 • 最大:10,000

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクニカルダッシュボード

インラインエディターで得られる機能よりも高度な機能やカスタマイズされた機能がダッシュボードに必要な場合は、ダッシュボードとして公開される UI ビルダー ページを作成できます。このようなページは、テクニカルダッシュボードと呼ばれます。

テクニカルダッシュボードの概要

テクニカルダッシュボードは、ダッシュボードエディターで作成します。ただし、インラインエディターでダッシュボードの内容を編集することはできません。[編集] ボタンの代わりに、[**UI** ビルダーで開く] ボタンがあります。UI ビルダーでは、UI ビルダーコンテナとコンポーネントの全範囲をダッシュボードに入力できます。手動データソースやローカルデータブローカーインスタンスを使用できるなど、いくつかの追加オプションがあります。また、フィルターのイベントハンドラーやデータ可視化のドリルダウンなど、より技術的な詳細を自分で構成する必要があります。

ui_builder_admin ロールを持つユーザーのみが、テクニカルダッシュボードの作成、そのコンテンツの編集、または UI ビルダー ページのオプションの構成を行うことができます。

他のダッシュボードの場合と同様に、ダッシュボードライブラリからダッシュボードエディターでテクニカルダッシュボードを開くことができます。エディターでは、ダッシュボードの共有、印刷可能なバージョンの作成、 またはダッシュボードの詳細の編集を行うことができます。ダッシュボードページへのダッシュボードの追加で説明されているように、複数のワークスペースでテクニカルダッシュボードを公開することもできます。

テクニカルダッシュボードは、「高度なダッシュボード」という名前の専用 UI エクスペリエンスに保持されます。ただし、テクニカルダッシュボードを詳細ダッシュボードエクスペリエンスから直接 UI ビルダー で開くよりも、ダッシュボードエディターで開いて **[UI** ビルダーで開く] ボタンを使用する方が適切です。

> ⚠ **警告:**
>
> 詳細ダッシュボードエクスペリエンスで直接テクニカルダッシュボードを作成しようとしないでください。作成した UI ビルダー ページはダッシュボードライブラリに表示されず、他の事前構成は含まれません。

その他のテクニカルダッシュボードトピック

テクニカルダッシュボードとインラインダッシュボードの比較

インラインエディターは、イベントとページプロパティが事前設定されたダッシュボードコンポーネントを生成します。テクニカルエディターでは、あらゆる UIB コンポーネントを使用できますが、より多くのバックエンド構成が必要です。

インラインで作成されたダッシュボード	テクニカルダッシュボード
任意のロールで作成できます。	ui_builder_admin ロールでのみ作成できます。
次のものを含めることができます。 • データの可視化 • フィルター • 見出し • イメージ • 簡易リスト • リッチテキスト	インラインで作成されたダッシュボードで利用可能なすべてのコンポーネントを含む、 UI ビルダー でサポートされている任意のコンポーネントを含めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インラインで作成されたダッシュボード	テクニカルダッシュボード
複製できます。	重複することはできません。
エクスポートできます。	エクスポートできません。
データの可視化とフィルターは、事前定義されたデータソースのみをサポートしています。	手動 JSON データソースとローカルデータインスタンスがサポートされています。(一般的に UI ビルダー ページの場合は True)。
ドリルダウンのイベント構成がありません。デフォルトおよび事前設定されたドリルダウンは、チャートインタラクションとして使用できます。	閲覧者が可視化からドリルダウンできるようにするには、その可視化でドリルダウンイベントを構成する必要があります。他のイベントの設定が必要になる場合があります。チャートのインタラクションは利用できません。
フィルターイベントは、ダッシュボード上の関連要素に影響を与えるように事前設定されています。	フィルターイベントハンドラーは手動で構成する必要があります。
ビューアーがフィルター値を選択してダッシュボードを離れた場合、ビューアーがダッシュボードを再度開いたときに、それらの値が事前に選択されます。	フィルター値はユーザーセッション間で保持されません。
共有者のロールと共有されている権限に応じて、編集権限の有無にかかわらず共有できます。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。
他のエクスペリエンスや構成可能なワークスペースでのダッシュボードの公開など、ダッシュボードの詳細を指定できます。ダッシュボードの詳細を編集する権限は、ダッシュボードアドミンとダッシュボード所有者に制限されています。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。

自動翻訳

関連トピック

- のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 UI ビルダー
- データ可視化でのグラフのインタラクション

でのテクニカルダッシュボードの作成 **UI** ビルダー

テクニカルエディターのオプションに従って、 UI ビルダー を使用してダッシュボードを作成します。UI ビルダーでは、スクリプティングやデータバインディングなど、インラインエディターよりも幅広い機能を使用できます。

始める前に

開発者には、UI ビルダーでのダッシュボードの作成をお勧めします。詳細については、「UI ビルダー」を参照してください。

テクニカルエディターでダッシュボードを作成する場合、 アナリティクスセンター でダッシュボードの詳細を編集することはできません。ただし、 アナリティクスセンターからテクニカルダッシュボードを共有することはできます。

注: テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

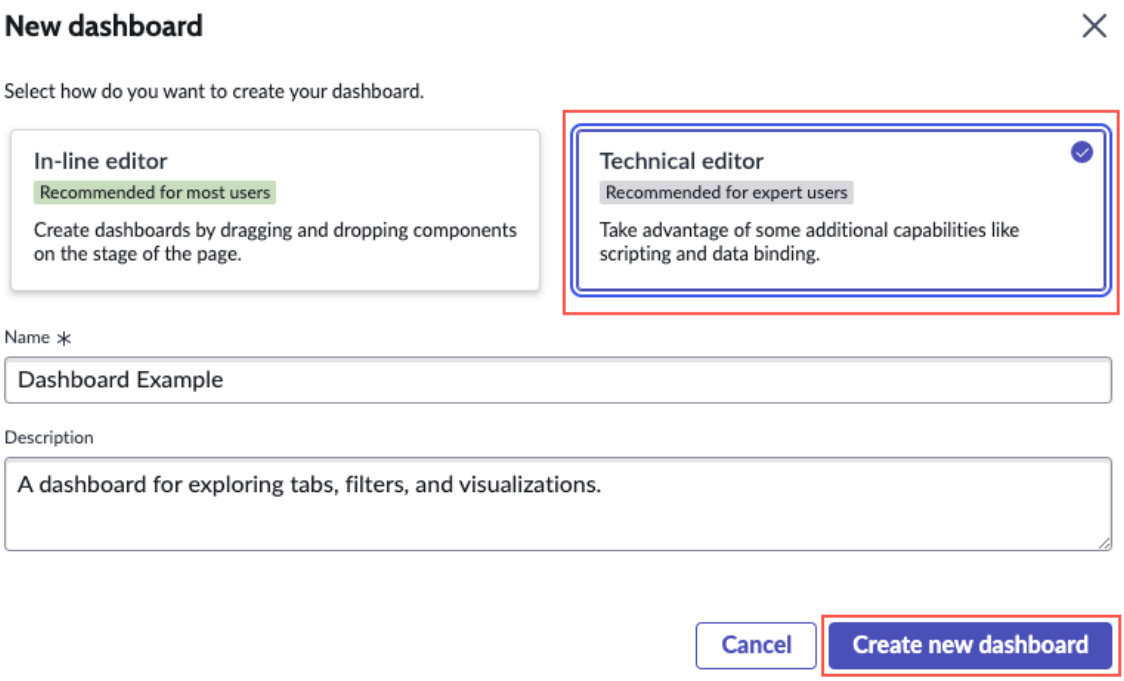
必要なロール：ui_builder_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テクニカルエディターを使用すると、 UI ビルダー コンポーネントをダッシュボードに追加できます。データリソース、クライアントスクリプト、構成プロパティのデータバインディングなど、他のすべての UI ビルダー 機能を使用することもできます。テクニカルエディターは、 UI ビルダーの [自分のエクスペリエンス] の下にある [詳細ダッシュボード] という名前の特別なワークスペースにダッシュボードを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. [テクニカルエディター] を選択します。



⚠ 警告: UI ビルダー の [詳細ダッシュボード] エクスペリエンスでダッシュボードを直接作成しないでください。常にプラットフォームアナリティクスライブラリからランタイムに開始します。ライブラリでテクニカルダッシュボードを開始すると、par_dashboardsテーブルに自動的に接続され、[ダッシュボードの概要] コンポーネントに一覧表示されます。

4. 作成するダッシュボードの名前と説明を入力し、[新しいダッシュボードを作成] を選択します。
テクニカルエディターオプションを選択すると、空のダッシュボードが開きます。
5. [**UI** ビルダーで編集] を選択します。
6. コンテンツツリービューで、レイアウトまたはコンテナコンポーネントを追加します。
コンテナには、データの可視化、静的テキストボックス、画像などのダッシュボードコンポーネントが保持されます。タブ付きダッシュボードを作成する場合は、各タブを親タブコンポーネントの下にコンテナとして作成できます。詳細については、開発者サイト のタブコンポーネントリファレンス を参照してください。
7. UI ビルダーの右側にある [スタイル] タブでレイアウトを選択します。

   レイアウトは、コンテナのコンテンツをパターンで整理します。

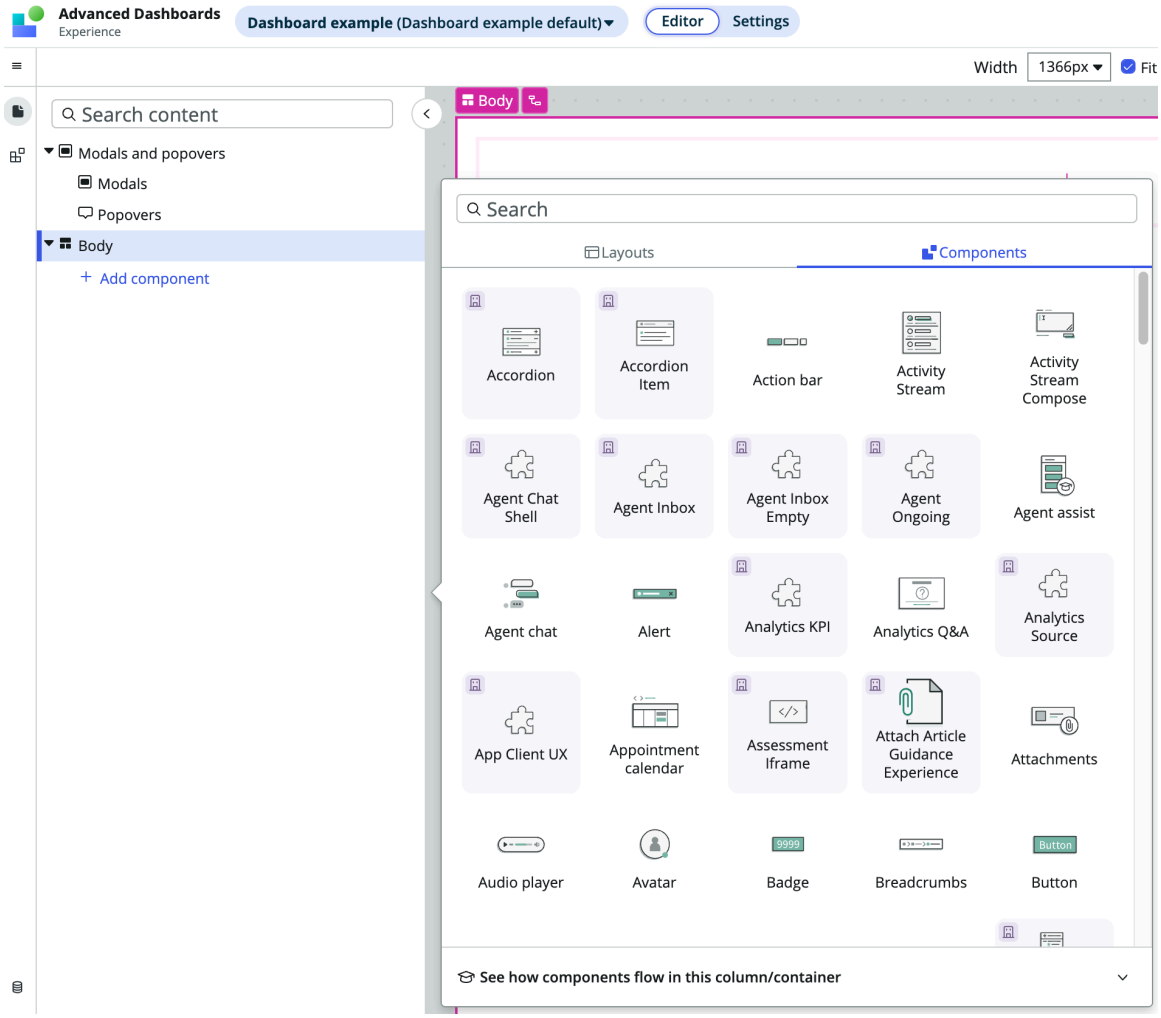
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [グリッド] を選択して、選択したコンテナの行数と列数を指定します。詳細については、「CSS グリッドレイアウトを使用したページのビルド」を参照してください。
- コンテナ間のレイアウトの柔軟性を高めるには、 **Flexbox** を選択します。詳細については、「UI ビルダー での Flexbox レイアウトの使用」を参照してください。

8. コンポーネントをコンテナに追加します。
左側の 「コンポーネント」 メニューから選択するか、ステージング領域の「コンテンツを追加」(+)アイコンをクリックします。

   右側の [構成] パネルでは、選択したコンポーネントを構成できます。



9. オプション: コンテナ、コンポーネント、および構成をさらに追加します。
10. データビジュアル化コンポーネントを追加し、ビューアーがそのコンポーネントからより詳細なデータビューにドリルダウンできるようにする場合は、「 テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加」の手順に従います。
11. [保存] をクリックして、ダッシュボードに加えた変更をいつでも保存できます。

関連トピック

でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

でのフィルター プラットフォームアナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

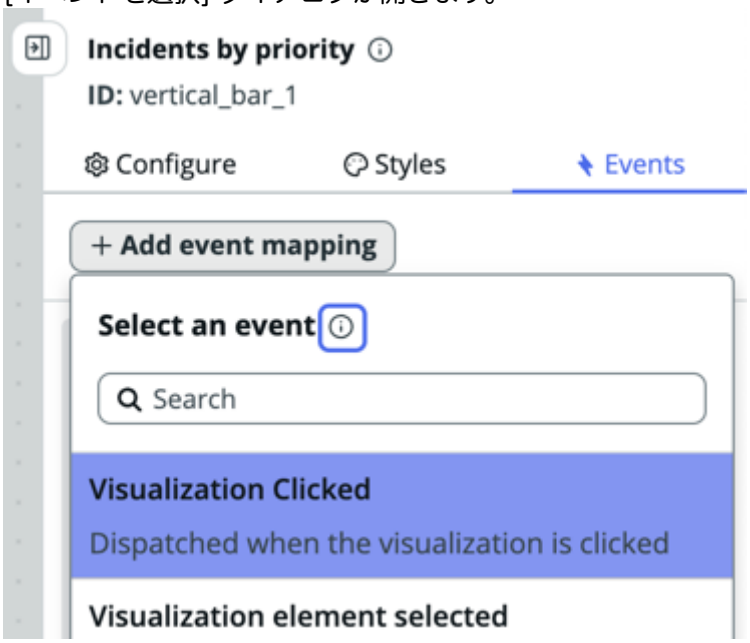
テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加

テクニカルダッシュボードは、データの可視化からドリルダウンするための事前設定された宛先をサポートしていません。ビューアーが可視化を操作するときにデータの詳細ビューを開く場合は、カスタムドリルダウンイベントを構成します。

始める前に
この手順は、テクニカルダッシュボードを既に作成し、データビジュアル化コンポーネントを設定していることを前提としています。
必要なロール:ui_builder_admin、テクニカルダッシュボードの編集権限

手順

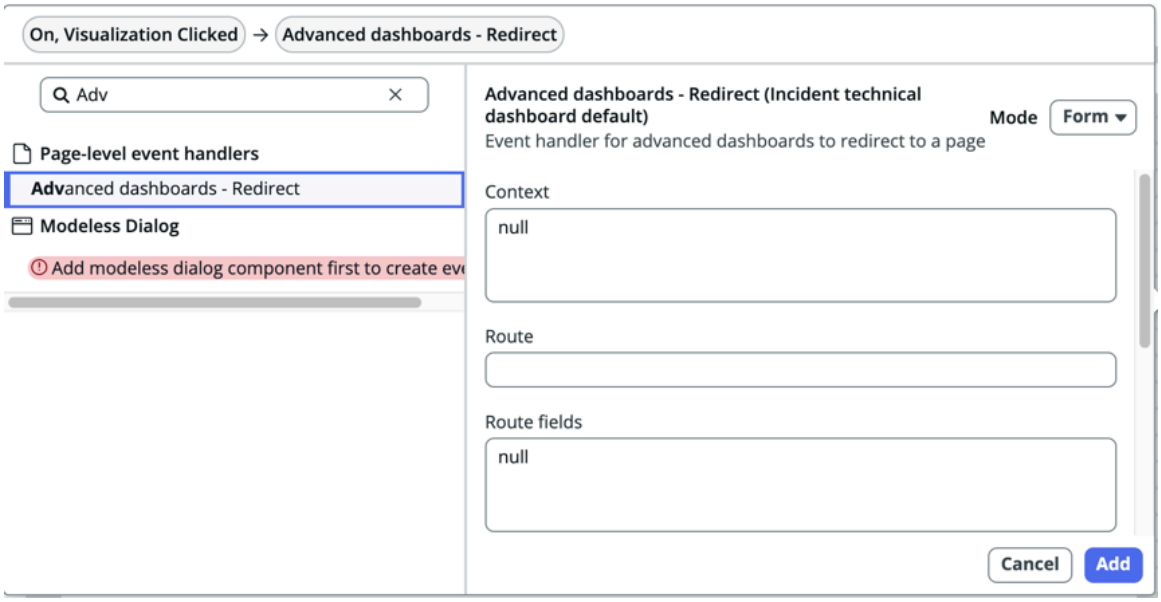
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 目的のテクニカルダッシュボードを見つけて開きます。
3. [**UI** ビルダーで編集] を選択します。
4. UI ビルダーで、ダッシュボードで目的のデータ可視化を選択します。
5. データ可視化の構成パネルで、[イベント] タブを開きます。
6. **[+** イベントマッピングを追加] を選択します。
   [イベントを選択] ダイアログが開きます。



7. [可視化がクリックされました] イベントを選択します。
   ダイアログが開き、利用可能なイベントハンドラーのリストが表示されます。
8. [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーを選択します。
   このイベントハンドラーの構成フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. イベントハンドラーを次のように構成します。

フィールド	説明
コンテキスト	宛先ページが存在するエクスペリエンスのパス。
ルーティング	宛先ページのルート名。
ルーティングフィールド	宛先ページの必須パラメーター。
オプションのパラメーター	宛先ページのオプションのパラメーター。

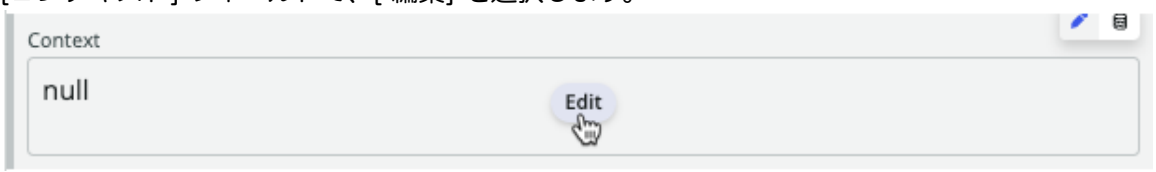
10. **[Add** (追加)] を選択します。

Example: テーブルデータソースのドリルダウン

インシデント [incident] テーブルのレコード数を優先度別にグループ化して表示する垂直方向のデータビジュアル化が表示されます。ビューアーがこの可視化を操作するときに、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでインシデントレコードのリストを開く必要があります。

1. 一般的な手順のステップ 1 ～ 8 に従うことで、垂直棒グラフの可視化の [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーの構成が開きました。

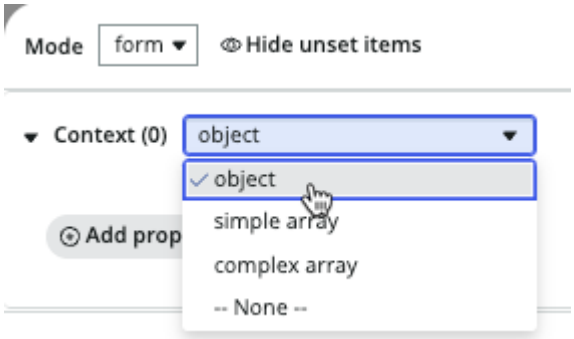
2. [コンテキスト] フィールドで、[編集] を選択します。



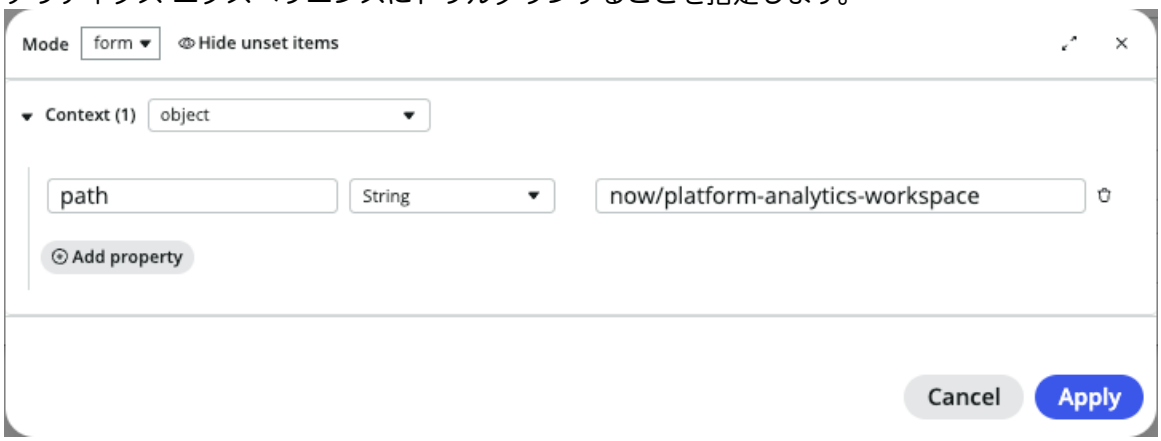
3. 編集ダイアログで、オブジェクトの JSON タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [プロパティを追加] を選択し、プロパティ名として path を入力し、プロパティ値として now/platform-analytics-workspace を入力します。これらの値は、ビューアーが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスにドリルダウンすることを指定します。



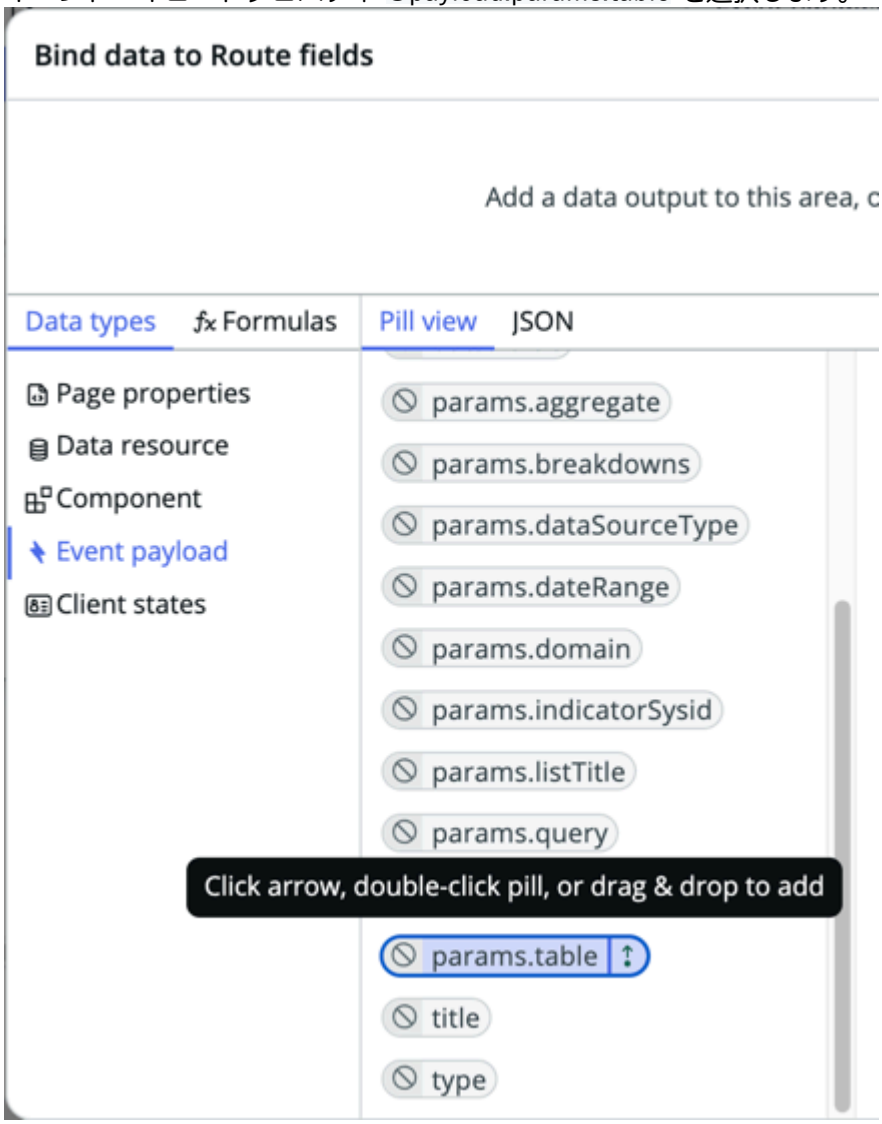
5. [適用] を選択し、次のフィールドに移動します。
6. [ルート] フィールドに「 simplelist」と入力します。このルートは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのシンプルリストページにつながります。
7. [ルート] フィールドでは、最初にデータのバインドを選択します。

8. 次に、 プロパティ {table: @payload.params.table} をフィールドに追加します。このプロパティは、可視化内のテーブルの名前を プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのシンプルリストページに渡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

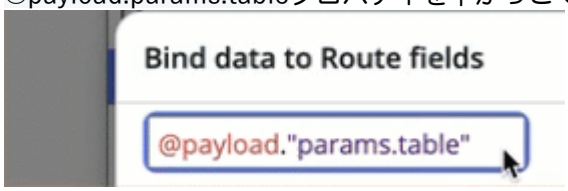
a. イベントペイロードプロパティ `@payload.params.table` を選択します。



b. ダブルクリックするか、ドラッグアンドドロップするか、矢印を選択して、エディターの上部領域にプロパティを追加します。

c. エディターの上部領域にあるプロパティをダブルクリックして、編集用に開きます。

d. `@payload.params.table`プロパティを中かっこで囲み、`table:` プロパティを追加します。

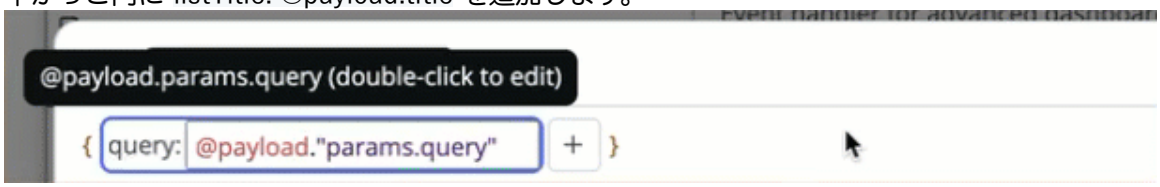


e. [適用] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. 同様に、[オプションのパラメーター] フィールドのデータをバインドし、 値 {query: @payload.params.query, listTitle: @payload.title} を設定することを選択します。
   a. [オプションのパラメーター] フィールドに、{table: @payload.params.table} の場合と同じように {query: @payload.params.query} を追加しますが、[適用] は選択しないでください。
   b. [別の入力を追加] (+) ボタンを選択します。
   c. 中かっこ内に listTitle: @payload.title を追加します。

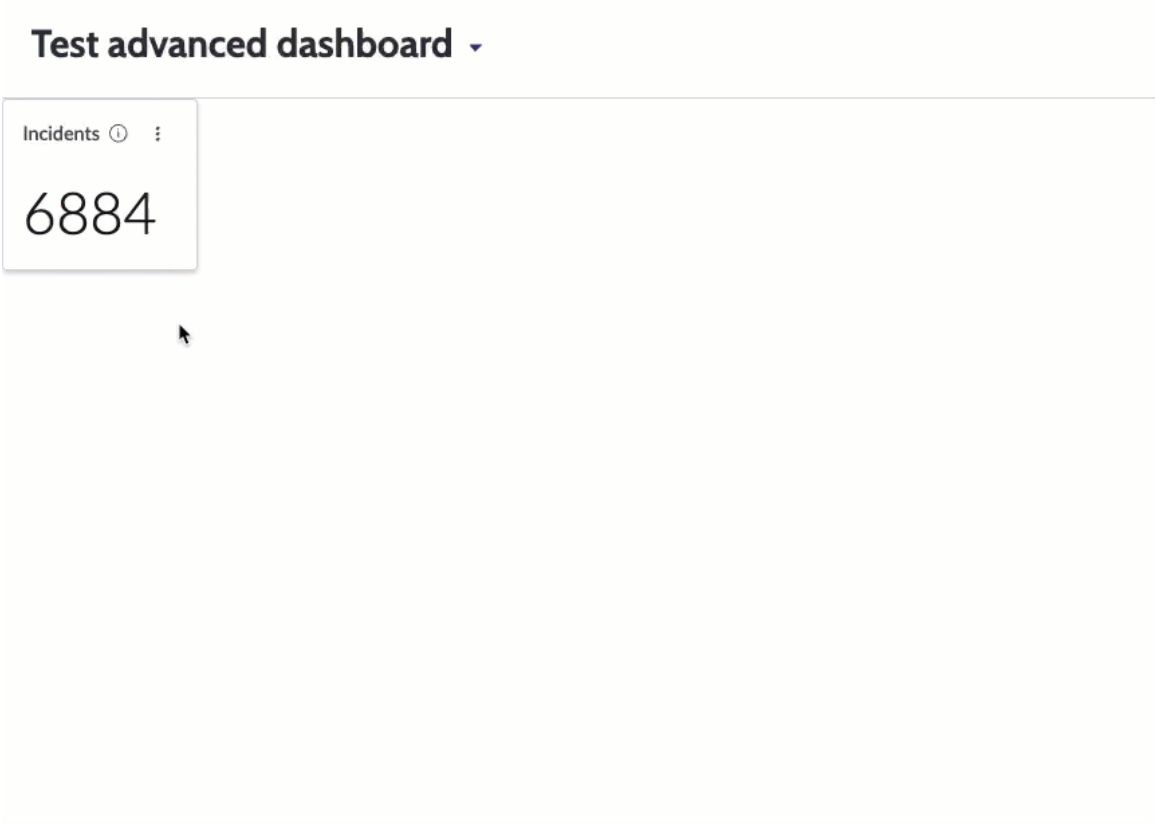


   d. [適用] を選択します。

[詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティが次のように表示されるようになりました。

フィールド	値
コンテキスト	{パス:now/platform-analytics-workspace}
ルーティング	シンプルリスト
ルーティングフィールド	{table:@payload.params.table}
オプションのパラメーター	{query:@payload.params.query, listTitle:@payload.title}

実行時に、ユーザーは可視化を操作してインシデントレコードのリストを開くことができます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: インジケーターデータソースのドリルダウン

インジケーター [オープン中のインシデントの数] の折れ線グラフデータの可視化があります。ビューアーがこの可視化を操作するときに、そのインジケーターの KPI 詳細 ページを開く必要があります。

1. テーブルデータソースの例の手順 1 から 5 を繰り返します。この場合も、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのページにドリルダウンするためです。
2. [ルート] に「 ac_kpi_details」と入力します。
3. [ルート] フィールドでは、最初にデータのバインドを選択します

次に、「 {uuid: @payload.params.indicatorSysid}」と入力します。このパラメーターは、インジケーターの ID (この場合はオープンインシデントの数) を [プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス KPI 詳細 ページに渡します。

   ヒント: まずオートコンプリートを使用してデータパラメーター @payload.params.indicatorSysid を追加し、次にそのパラメーターを中かっこで囲んで uuid: を追加します。

   [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティが次のように表示されるようになりました。

フィールド	値
コンテキスト	{"path":"now/platform-analytics-workspace"}
ルーティング	ac_kpi_details
ルーティングフィールド	{uuid:@payload.params.indicatorSysid}

4. 他のパラメーターは必要ないため、[追加] を選択し、[UI ビルダー ページを保存] を選択します。

実行時に、ビューアーは可視化を操作して、[オープンインシデント数] インジケーターの KPI 詳細を開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィルターコンポーネントのイベントハンドラーの構成

テクニカルダッシュボードで、フィルターコンポーネント用の特別なクライアントスクリプトベースのイベントハンドラーを構成して、その後に任意のリストやデータの可視化を続けられるようにします。インラインダッシュボードのフィルターのイベントハンドラーを構成する必要はありません。

始める前に
この手順では、次のタスクが完了していることを前提としています。

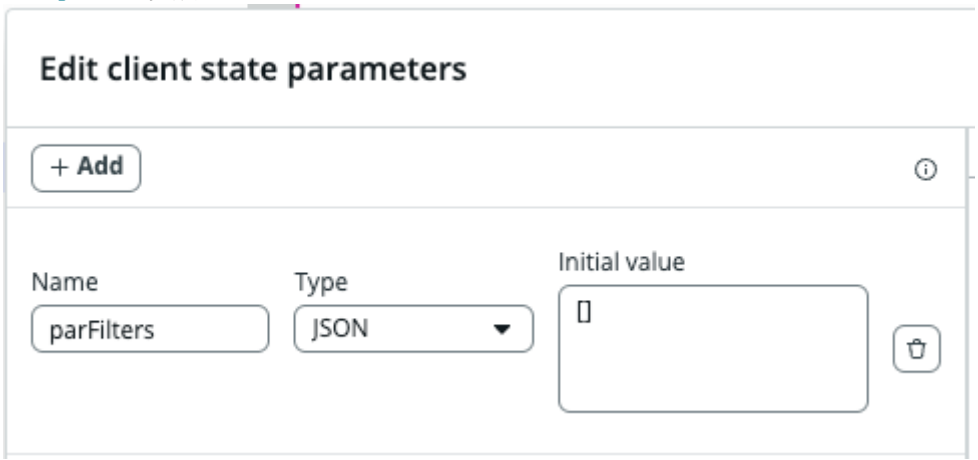
1. フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加し、少なくとも 1 つのデータ可視化コンポーネントまたはリストコンポーネントを追加しました。フィルターは、複数のデータ可視化またはリストに適用できます。
2. フィルターコンポーネントに対して、ソースへのフィルターとフィルタリングするデータを構成しました (該当する場合)。フィルターコンポーネントでリストをフィルタリングする場合は、リストコンポーネントがフィルタリングするデータとして表示するテーブルを指定しておきます。
3. データ可視化コンポーネントのデータソースを構成しました。
4. リストコンポーネントのテーブルを指定しました。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 関連する UI ビルダー ページを開きます。
   このページは技術ダッシュボードの場合があります。
2. [UI ビルダーステータス] セクションに移動し、単純なアレイの初期値 [] を持つ *JSON* タイプの *parFilters* という名前のステータス変数を追加します。
   詳細については、「 クライアントステータスパラメーターを作成してコンポーネントにバインドする」 を参照してください。



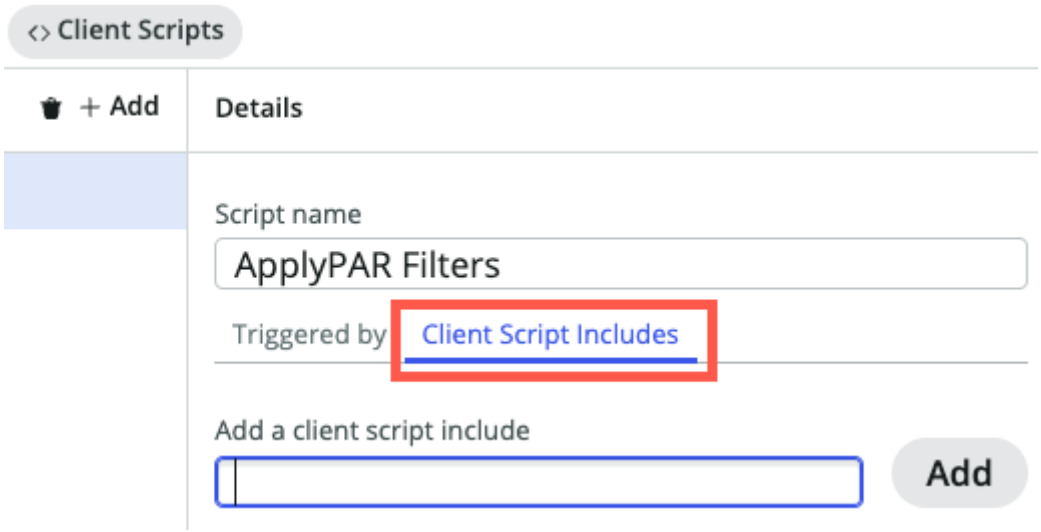
3. 初期値 {} を持つ、JSON タイプの *encodedQueries* という名前の 2 番目のステータス変数を追加します。
4. [クライアントスクリプト] セクションに移動し、「PAR フィルターの適用」などの名前と次のコンテンツ、またはそれらに相当する機能を持つカスタムスクリプトを作成します。

```
function handler({ api, event, helpers, imports }) {
 const mergePARFiltersV2 = imports["global.mergePARFilters"]().v2;
 const { appliedFilters } = event.payload;
 api.setState("parFilters", ({ currentValue, api }) => {
  const { parFilters, encodedQueries } = mergePARFiltersV2(
   currentValue,
   appliedFilters
  );
  api.setState("encodedQueries", encodedQueries);
  return parFilters;
 });
}
```

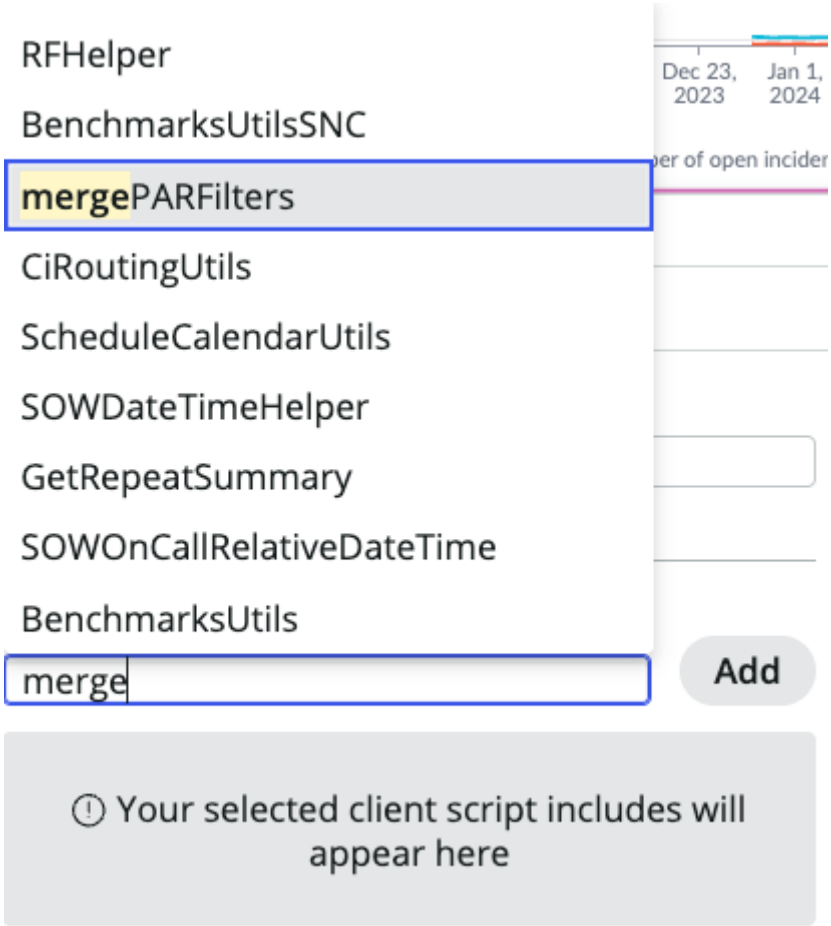
5. [クライアントスクリプト] セクションで、[クライアントスクリプトインクルード] タブを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



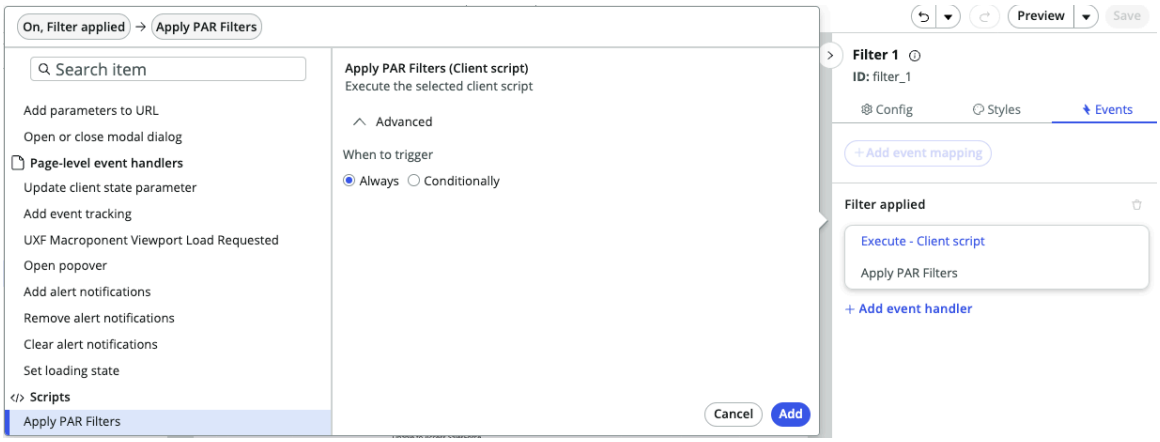
6. [スクリプトインクルードを追加] フィールドで、 mergePARFilters を選択し、[追加] をクリックします。



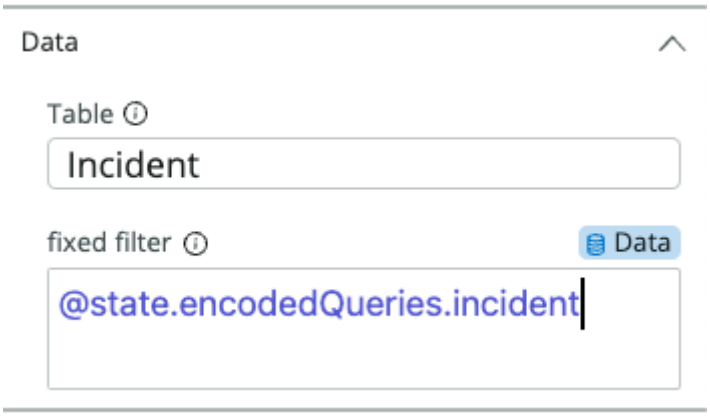
7. データ、クライアントステータス、およびクライアントスクリプトを構成するウィンドウを閉じます。
8. UI ビルダーで、フィルターコンポーネントを選択します。
9. 構成パネルで [イベント] タブを選択し、作成したページスクリプト (この例では [PAR フィルターの適用]) をイベントハンドラーとして追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. UI ビルダーで、リストコンポーネントを選択します (存在する場合)。
11. [固定フィルターを編集] を選択し、このプロパティ [fixedQuery] を動的バインディング式 @state.encodedQueries.<list-datasource> として設定します。
<list-datasource> をリストコンポーネントのデータソースに置き換えます。たとえば、リストにインシデント [incident] テーブルのレコードが表示されている場合は、「@state.encodedQueries.incident」と入力します。



12. 他のリストコンポーネントに対して前の 2 つの手順を繰り返します。
13. ページを保存します。

データ可視化でローカルデータインスタンスを使用

事前設定されたデータソースよりもデータソースをきめ細かく制御するには、ローカルデータインスタンスを作成します。次に、ローカルデータインスタンスをデータ可視化の *dataPassthrough* プロパティにバインドします。

始める前に

重要: これは高度な手順です。ローカルデータインスタンスが必要か、標準データソースを使用できるかは慎重に検討してください。

続行する前に、 UI ビルダーページでデータを動的に公開する (高度な機能) を確認してください。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

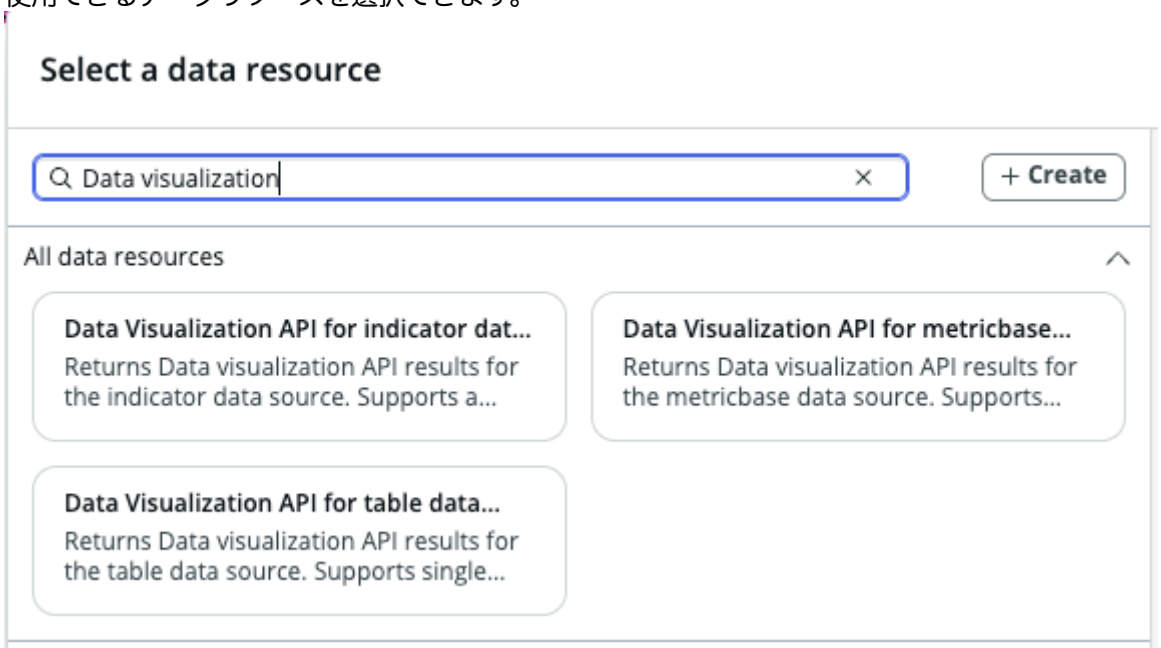
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. UI ビルダーでテクニカルダッシュボードまたはその他のUI ビルダーページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーの [データリソース] で、 [+ データリソースを追加] を選択します。

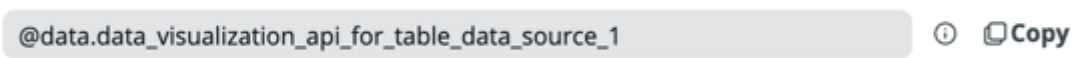
3. [データリソースを選択 (Select a data resource)] ウィンドウで、 [データの可視化 (Data visualization)] を検索します。
使用できるデータリソースを選択できます。



4. 表示するデータのタイプに一致するデータリソースを選択します。
5. 情報ペインに目を通し、構成の詳細をコピーまたはメモします。
6. **[Add** (追加)] を選択します。
7. このデータインスタンスを使用する予定の可視化のタイプに必要な構成オプションを入力します。同じデータを使用する可視化のタイプごとに、個別のローカルデータインスタンスを作成して構成します。たとえば、同じインジケーターからのスコアを表示する棒と時系列を計画している場合は、2 つのローカルデータインスタンスを作成します。これは棒グラフと時系列の可視化にそれぞれ 1 つずつですが、どちらも同じインジケーター上に作成します。

   ヒント: データの可視化をページに追加し、その構成パネルをローカルデータインスタンスのオプションと比較できます。

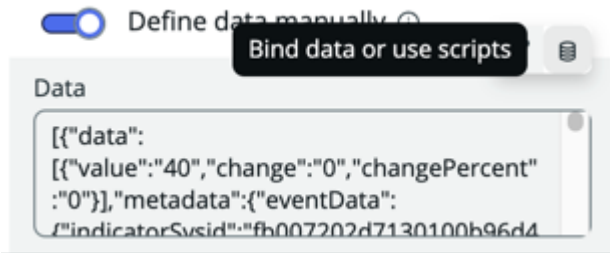
8. このデータソースの @data データバインドをコピーします。



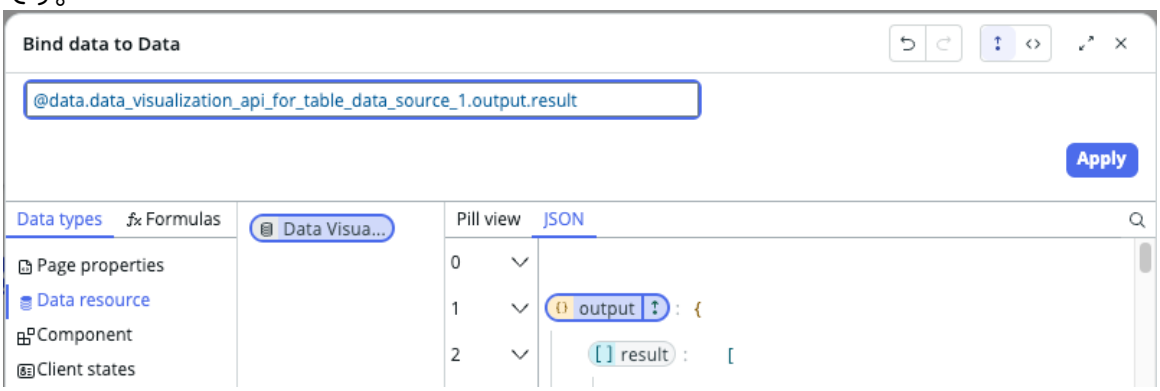
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 目的のデータ可視化コンポーネントをページに追加します。
10. そのデータ可視化の構成パネルの [データソース] セクションで、[データを手動で定義] をオンにします。
11. [データ] フィールドで、[データのバインドまたはスクリプトの使用] を選択します。



12. [データをデータにバインド] ダイアログの [データ型] で、[データリソース] を選択します。
13. [この領域にデータ出力を追加] セクションをダブルクリックし、ローカルデータインスタンスへのデータバインドを青色のボックスに貼り付けます。
14. データバインドの最後に .output.result を追加します。
たとえば、ローカルデータインスタンスdata_visualization_api_for_table_data_source_1への完了したデータバインドは、 @data.data_visualization_api_for_table_data_source_1.output.result です。



15. **[Apply** (適用)] を選択します。

結果
ローカルデータインスタンスを作成し、それをデータビジュアル化にバインドしました。これで、データの可視化の構成を完了できます。

ローカルデータインスタンスに適用するフィルターを有効にする

ビューアーがデータの可視化で表示するフィールド値またはブレークダウン要素を切り替えられるようにするには、フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加します。これらのフィルターをローカルデータインスタンスに適用するには、そのインスタンスを適宜構成します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

このタスクについて
ローカルデータソースにフィルターを適用できるようにするには、まず parFilters という名前のクライアントステータスパラメーターを作成し、そのステータスパラメーターをローカルデータインスタンスに追加する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. フィルタリングするローカルデータインスタンスとデータの表示方法を含む UI ビルダー ページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーで、[クライアントステータスパラメーター] を選択します。
3. **[+** 追加] を選択します。
4. [クライアントステータスパラメーターの編集 (Edit client state parameters)] ダイアログで、新しいパラメーターに「 parFilters」という名前を付け、JSON タイプを割り当てて、初期値 {} を設定します。

5. [クライアントステータスパラメーターの編集] ダイアログを閉じます。
6. [データとスクリプト (Data and scripts)] ドロワーの [データリソース] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
7. [<ローカルデータインスタンスの名前> の編集ダイアログで、[フィルター構成] フィールドまで下にスクロールします。
8. [フィルター構成] フィールドに「@state.parFilters」と入力し、データインスタンスエディターを閉じます。
9. このローカルデータリソースを使用するデータ可視化の構成パネルで、[データの更新] セクションの [フィルターに従う] をオンにします。
10. オプション: [フィルターを表示] アイコンをオンにします。
11. UI ビルダーページを保存します。

次のタスク
フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加し、ローカルデータインスタンスから関連する値用に構成します。

関連トピック

でのフィルター プラットフォームアナリティクス

ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする

データの可視化のロード時間を短縮するため、およびリアルタイムまたは非常に新しいデータが必要ない場合は、データソースでデータキャッシュを有効にします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. データをキャッシュするローカルデータインスタンスを含む UI ビルダー ページを開きます。
2. [データとスクリプト (Data and scripts)] ドロワーの [データリソース] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
3. [データキャッシュの使用] まで下にスクロールし、オンにします。
このデータソースを使用するすべてのデータ可視化では、データソースのキャッシュ設定が使用されます。可視化自体のデータキャッシュ設定が構成パネルから削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 必要に応じて、他のキャッシュプロパティを設定します。

プロパティ	説明
キャッシュ有効期限	一度作成されたキャッシュがキャッシュ更新ジョブで更新されるまで保持される期間。
キャッシュを無効にする	この設定を、作成した追加のロジックとともに使用して、キャッシュを無効にして新しいデータをフェッチします。たとえば、Button コンポーネントをページに追加し、そのイベントハンドラーをスクリプト化してキャッシュを無効にすることができます。
追加キー	このデータインスタンスで作成された各データキャッシュの一意のハッシュキーの生成に寄与する文字列を入力します。ローカルデータインスタンスごとに一意の追加キー値を使用します。

複数のデータを可視化するためのローカルデータインスタンス

複数のデータ可視化のデータを同時にフェッチするために、特別なデータ可視化 API データリソースを使用できます。このデータリソースにより、API 呼び出しの数が減るため、データフェッチを高速化できます。

使用するタイミング

次のシナリオでは、「複数のデータを可視化するためのデータ可視化 API」データリソースを使用できます。

- 同じタイプの複数のデータ可視化には同じデータソースがあります。たとえば、5 つの可視化があるとします。ここで、可視化タイプが単一スコアで、データソースはフィルター が active=true のインシデント [incident] テーブルです。同じタイプとデータソースを持つインジケーターのグループが複数ある場合は、グループごとに同じ複数可視化データリソースのインスタンスを作成できます。
- データの可視化には、同じデータソースを参照する複数のデータリソースがあります。たとえば、「オープンインシデントの数」インジケーターのデータリソースと、「オープンインシデントの平均経過時間」インジケーターの別のデータリソースを含む線グラフの可視化があるとします。これらのインジケーターはどちらも Incident.Open データソースを使用します。効率を上げるために、この可視化を 1 つのデータリソースのみを使用するように変換できます。

使用しない場合

- UI ビルダーページには 1 つのデータ可視化しかありません。
- ページのデータ可視化では、データのロードに時間がかかる可能性があります。その場合は、データのロードを別々のデータリソースに分割しておくことをお勧めします。

複数の可視化データリソースの設定

ユースケースが複数の可視化データリソースの基準を満たしている場合は、この手順に従うことができます。

始める前に

複数のデータを可視化するためのローカルデータインスタンス での複数の可視化について、単一のデータリソースのユースケースを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：ui_builder_admin、admin

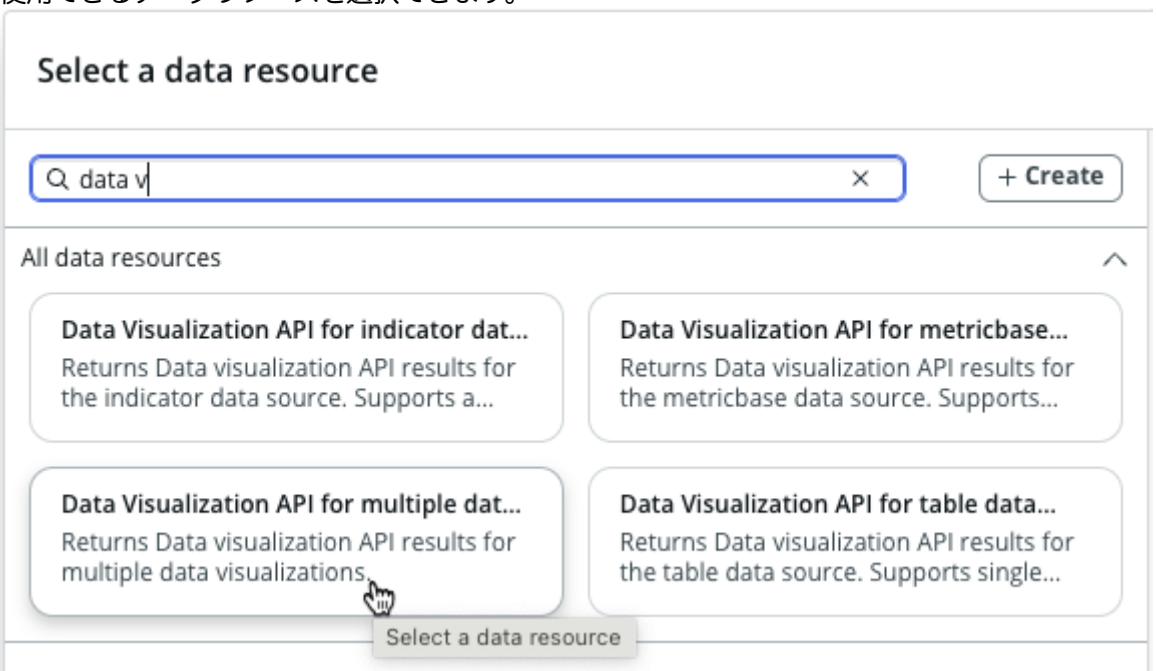
このタスクについて

重要: このデータリソースは、複数のコールを単一のコールに結合します。単一の呼び出しは、単一のスレッド上の単一のトランザクションとして実行されます。したがって、このデータリソースは、特に大量のデータを処理する場合は、トランザクションタイムアウトが発生する可能性があるため、特に注意して使用してください。データの量、ページのセットアップ、ターゲットとするユーザーエクスペリエンスによっては、個別のデータリソースを使用した方が良い結果が得られる場合があります。

手順

1. データの可視化が表示されているテクニカルダッシュボードまたは UIB ページに移動します。
2. ページのデータの可視化が 「使用するタイミング」の基準を満たしていることを確認します。たとえば、インシデントテーブルのデータソースに複数の Dial ビジュアル化があり、フェッチされるデータの量がそれほど多くありません。
3. [データとスクリプト] ドロワーの [データリソース] で、 [**+** データリソースを追加] を選択します。

4. [データリソースを選択 (Select a data resource)] ウィンドウで、 [データの可視化 (Data visualization)] を検索します。
使用できるデータリソースを選択できます。



5. 「複数のデータを可視化するためのデータ可視化 API」を選択します。
6. [タイプ] を [データ構成] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 要求フィールドに JSON を入力します。
   この手順の最後にある例を参照してください。
8. このデータリソースを使用する各データ可視化で、次のアクションを実行します。
   a. [データの可視化] を選択します。
   b. 構成パネルを開きます。
   c. [データを手動で定義] をオンにします。
   d. データバインディングを使用して、スクリプトを [データ] フィールドにバインドします。

Example: 同じデータソースを使用した **3** つの単一スコア可視化のデータリソース

この例では、3 つのデータ可視化コンポーネントを含む UIB ページから開始します。これらのコンポーネントはすべて単一スコアの可視化タイプであり、すべて同じデータソースを使用します。

手順 6 の一般的な手順に従います。これで、[ダッシュボード] ページに複数のデータを可視化するためのデータ可視化 API ができました。

次に、次のように要求の JSON を記述します。

```
[
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_1",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sourceType": "table",
          "dataCategory": "simple",
          "order": 0,
          "tableOrViewName": "incident",
          "aggregateFunction": "COUNT"
        }
      ]
    }
  },
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_2",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sourceType": "table",
          "dataCategory": "simple",
          "order": 0,
          "tableOrViewName": "incident",
          "aggregateFunction": "AVG",
          "aggregateField": "business_duration"
        }
      ]
    }
  },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_3",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sourceType": "table",
          "dataCategory": "simple",
          "order": 0,
          "tableOrViewName": "incident",
          "aggregateFunction": "AVG",
          "aggregateField": "priority"
        }
      ]
    }
  }
]
```

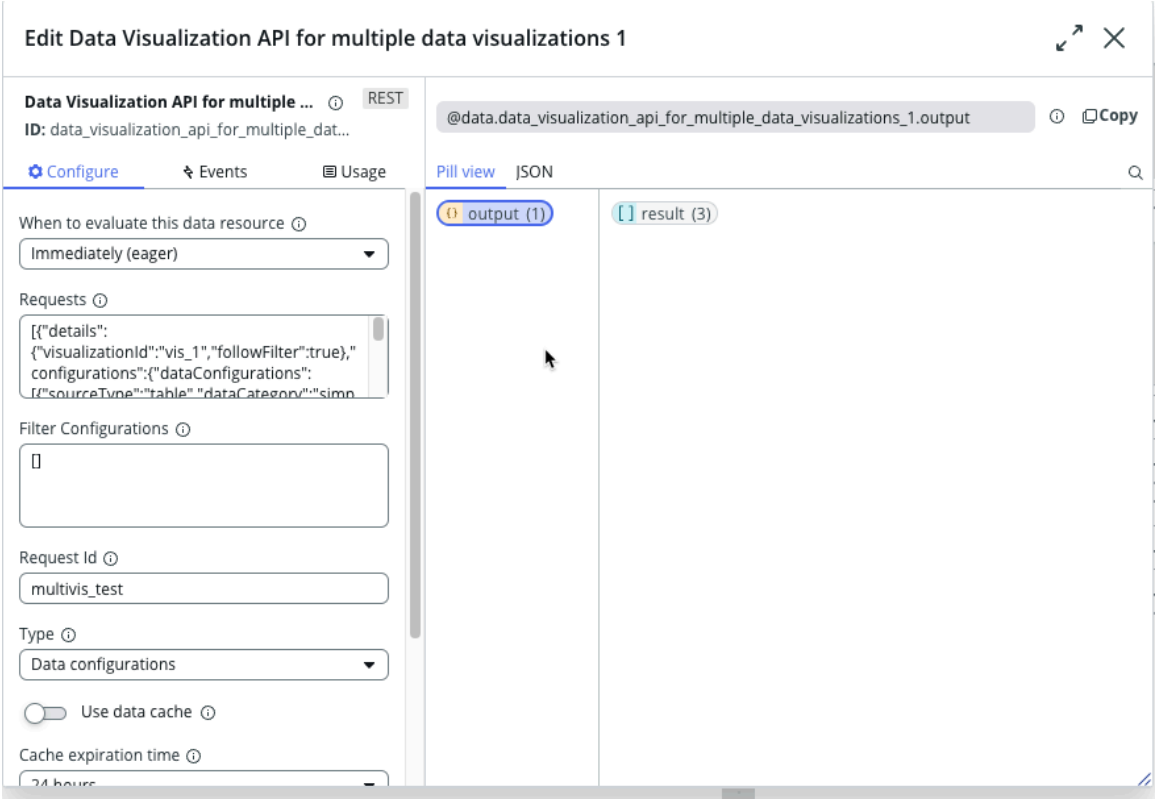
要求は、データの可視化ごとに 1 つずつ、オブジェクトのアレイです。各可視化には、*visualizationId*の任意の値と、可視化がページ上のフィルターコンポーネントに従うかどうかを設定するブール*followFilter*を持つ*details*プロパティがあります。この場合、3 つの可視化はすべてフィルターに従います。

各可視化には、*dataConfigurations* アレイのみを含む *configurations* プロパティもあります。すべての可視化は同じタイプの単一スコアであり、この可視化タイプでは単純な値のみが表示されるため、3 つの *dataCategory* プロパティはすべて「シンプル」です。同様に、すべての可視化で同じデータソースが使用されます。データソースはインシデント [incident] テーブルであるため、3 つの可視化はすべて「テーブル」の *sourceType* と「インシデント」の *tableOrViewName* を持ちます。可視化が変化する唯一の場所は、使用する集計です。ここでは、最初のものは COUNT アグリゲーションを使用し、2 番目のものは business_duration フィールドの平均集計を取得し、3 番目のものは優先度フィールドの平均を取得していることがわかります。

データリソースの最終的な構成は次のようになります

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、データの可視化ごとに、次のスクリプトをデータフィールドにバインドします。各可視化に指定した任意の *visualizationId* 値を、その可視化のスクリプトの vizId 値として使用します。

```
function evaluateProperty({api, helpers}) {
 const data = api.data.data_visualization_api_for_multiple_data_visualizations_1.output;
 if (!data) {
  return [];
 }
 const vizId = 'vis_1';
 const dataForViz = data.result.find(d => d.details.visualizationId === vizId);
  return dataForViz.dataResponses;
}
```

Example: インジケーターの **JSON** を要求

インジケーターの可視化の要求は、前のテーブルの例とは異なります。以下は、オープンインシデント数インジケーターの経時的な傾向を示す時系列可視化の JSON で、優先度ブレークダウン別にグループ化されています。

```
[
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis1",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sortBy": "choice",
          "sortOrder": "asc",
          "sourceType": "indicator",
          "dataCategory": "trend",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "order": 0,
            "splitView": false,
            "numberOfGroups": 2,
            "uuid": {
              "indicator": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
              "breakdowns": []
            },
            "trendBy": "anything",
            "trendInterval": "date",
            "groupBy": [
              "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
            ],
            "removeMissingIntervalData": false
          }
        ]
      }
    }
]
```


最初の明らかな違いは、 *sourceType* が「インジケーター」であり、 *dataCategory* が「トレンド」であることです。また、 *tableOrViewName* プロパティの代わりに、[オープンインシデント数] インジケーターの uuid と、そのインジケーターをフィルタリングするためのブレークダウンの uuid を保持できる空のアレイを持つ *uuid* オブジェクトがあることもわかります。この可視化はグループ別の値をサポートしているため、この場合は優先度ブレークダウンの uuid のみを含む *groupBy* アレイがあります。グループ別があるということはソートを意味し、ここでは *sortBy* が優先度ブレークダウンのデータタイプを反映する「選択肢」であり、 *sortOrder* が昇順であることがわかります。

ダッシュボード参照

参照トピックには、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのロールと翻訳可能なフィールドのリストが記載されています。

ダッシュボード要素の翻訳可能フィールド

[翻訳可能がオンになっている] バッジが表示されているフィールドの場合は、フィールド値の翻訳をメッセージ [sys_ui_message] テーブルに追加できます。

ServiceNow AI Platform® ユーザーインターフェイス (UI) 要素の翻訳は、翻訳テーブル で説明されているように、5 つのテーブルのいずれかに保存されます。ダッシュボード要素の構成パネルにフィールドが表示され、このフィールドで [翻訳可能] バッジがオンになっている場合は、フィールド値の翻訳をメッセージ [sys_ui_message] テーブルに追加できます。

メッセージテーブルのレコードには、キー、言語、およびメッセージフィールドがあります。キー値を元のテキストと同じに設定します。次に、言語を選択し、その言語での翻訳を [メッセージ] フィールドに入力します。これらのレコードを作成および編集できるのは、 ServiceNow AI Platform アドミンのみです。詳細については、「クライアントスクリプトメッセージの翻訳 」を参照してください。

> **注:** 翻訳可能フィールドのキーを格納する方法の詳細については、こちらを参照してください ServiceNow コミュニティ ブログ投稿 . この投稿には、ダッシュボードコンポーネントを含む、インスタンス上のすべての UI ビルダー コンポーネントのすべての翻訳可能フィールドを検索するローカリゼーションフレームワークのプロトタイプアーティファクトも含まれています。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードにはいくつかのロール制限があります。編集権限は、ロールに関係なく共有によって付与されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

任意のロールを持つユーザーは、ダッシュボードを作成し、グループ、ユーザー、およびロールと共有できます。これらのユーザーは、共有権限も付与されている場合、共有されているダッシュボードを共有できます。許可されている場合は、編集権限を渡すことができます。

dashboard_admin ロールを使用すると、ユーザーは、所有権や編集権限に関係なく、ダッシュボードを構成、編集、または削除できます。ダッシュボードの構成で説明されているように、特定の構成タスクにもdashboard_adminが必要です。

ダッシュボードを プロセス最適化 と統合するタスクには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。これらのタスクは ダッシュボードの構成 でリストされます。

analytics_categories_admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードカテゴリを作成、編集、または削除できます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードに接続されたロールの完全なガイドについては、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

ダッシュボードロール

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードを作成	任意のロール
ダッシュボードを共有	自分が作成した、または共有権限で共有されたデータの可視化を共有するための任意のロール。viz_admin ロール以上では、インスタンスで任意のデータの可視化を共有できます。データの可視化を共有するときに、その可視化をさらに共有するための権限を渡すことができます。また、編集権限で共有するか、表示権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を引き継ぐこともできます。 ダッシュボードを共有するdashboard_admin ロールを共有するロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロール
ダッシュボードを編集	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上 テクニカルダッシュボードにもui_builder_adminが必要です
ダッシュボードの複製	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。テクニカルダッシュボードを複製することはできません。
ダッシュボードの印刷対応コピーを作成する	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。
ダッシュボードのエクスポート	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードロール (続く)

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードのエクスポートをスケジュールする	自分が所有している、または自分と共有されているダッシュボードのpar_scheduler。 任意のダッシュボードで par_scheduler_admin 以上
ダッシュボードのブックマーク	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。
ダッシュボードを削除	ダッシュボードを作成した場合は任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードの詳細を構成	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
スケジュールされたリフレッシュを除くダッシュボード設定の構成	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードの更新をスケジュール	dashboard_admin 以上
ダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトを構成する	アドミン
ダッシュボードカテゴリの作成	analytics_categories_admin 以上
ダッシュボードへのカテゴリのアサイン	任意のロール (ダッシュボードを編集できる場合)。 analytics_categories_admin 以上で、任意のダッシュボードにカテゴリを割り当てることができます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのテーブル

次のテーブルは プラットフォームアナリティクス ダッシュボードに関連しており、スクリプトを使用してアクセスできます。

テーブル	説明
par_automated_kpi_promin_project	プラットフォームアナリティクスダッシュボードにあるプロセス最適化マップへの参照を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_computed_insight	標準的なプロアクティブアナリティクスインサイトをすべて含む
par_custom_insight_content	すべてのカスタムビルドされたプロアクティブアナリティクスのインサイトが含まれています
par_dashboard	ダッシュボードライブラリ内のすべてのダッシュボードが含まれます。テクニカルダッシュボードは、詳細ダッシュボードエクスペリエンスに属することで識別できます。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_cache	プラットフォームアナリティクスダッシュボードレイアウトに対するすべての変更を保存します。
par_dashboard_canvas	プラットフォームアナリティクスダッシュボードとダッシュボードタブの名前、説明、レイアウトを保存します。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_configuration	ダッシュボード内で作成できるデータ可視化の各タイプの macroponent 定義が含まれています。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_filter	プラットフォームアナリティクスダッシュボードのすべてのフィルターとダッシュボードの名前を一覧表示します。
par_dashboard_permission	ダッシュボードライブラリ内のすべてのダッシュボードのロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_tab	すべての プラットフォームアナリティクス ダッシュボードタブの名前、ドメイン、アプリケーションスコープ、および親ダッシュボードが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_user_metadata	ダッシュボードビューアーによって設定され、そのビューアーのユーザーセッション間で保持されるすべてのオプションが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_visibility	エクスペリエンスとワークスペースに含まれるライブラリ内のすべてのダッシュボードを相互参照します。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_widget	ダッシュボードキャンバスとライブラリコンポーネント (存在する場合) によってダッシュボードに表示されるすべてのコンポーネントを相互参照します。sys_metadata を拡張します。
par_export	スケジュール済みのすべてのダッシュボードとデータ可視化のエクスポートをリストします。
par_export_dashboard	スケジュール設定済みのすべてのダッシュボードエクスポートのエクスポート詳細を保存します。par_exportを延長します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_export_job	ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするすべての試行の詳細を保存します。
par_indicator_model	プロアクティブアナリティクスインサイトの パフォーマンスアナリティクス アナリティクスに関連する推奨事項が含まれています。
par_insight_user_actions	ビューアーがプロアクティブアナリティクスインサイトに対して実行したアクションを保存します。
par_notification	スケジュール済みダッシュボードとデータの可視化エクスポートのメール通知定義を一覧表示します。
par_notification_email	スケジュール済みダッシュボードおよびデータ可視化エクスポートメールの件名とメッセージ本文を保存します。par_notificationを延長します。
par_notification_email_recipients	スケジュール済みダッシュボードとデータ可視化エクスポートを含む通知メールを受信するグループとユーザーを保存します。
par_recommendation	作成する プロセス最適化 プロジェクトの推奨事項を保存します。これらの推奨事項は、 プロセス最適化 インサイトを通じて提供されます。
par_recommendation_user_action	ユーザーが プロセス最適化 インサイトの推奨事項を承認したか却下したかを格納します。

でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

データ可視化では、グラフィックを使用してテーブル、インジケーター、その他のデータを表示します。これらは、コア UIからレポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットの機能を組み合わせて拡張し、プラットフォームアナリティクスで置き換えます。

重要: レポートまたは パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを プラットフォームアナリティクス ダッシュボードに配置することはできません。代わりに、データの可視化を作成する必要があります。

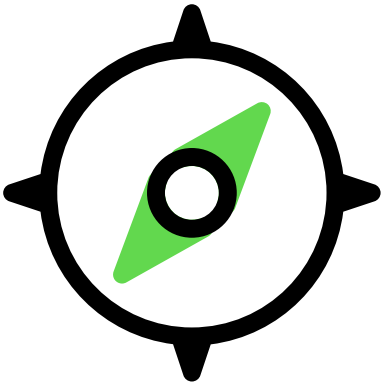
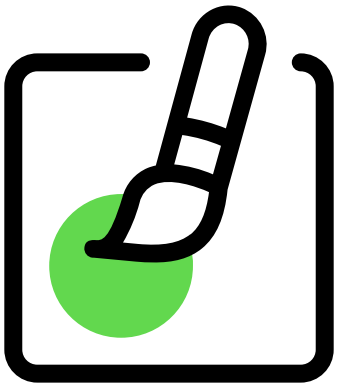
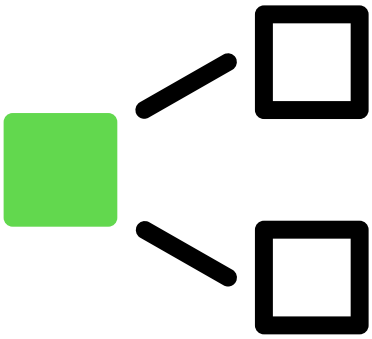
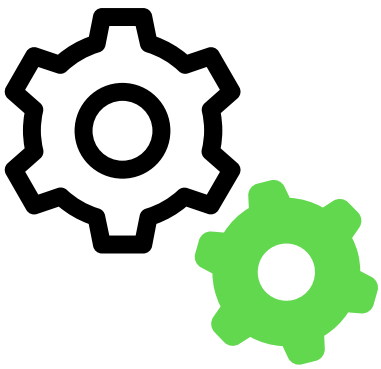
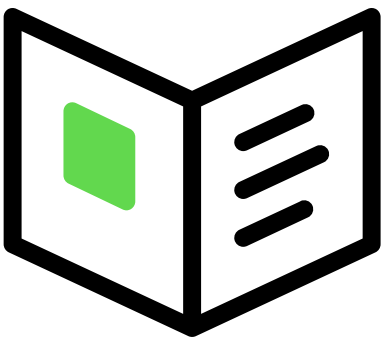
https://player.vimeo.com/video/1125354918?h=26cf18fff5&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

データの可視化にアクセスするには、次に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化. データの可視化の所有者は、その可視化にアクセスして共有できます。所有者が可視化を共有しているユーザーは、その可視化にアクセスできます。データにアクセスできるすべてのユーザーが、そのデータに基づいてデータの可視化を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開始

探索	データの可視化を作成	共有、編集、削除
		
Data Visualizations ライブラリのツアーを表示	さまざまなデータソースを使用してデータの可視化を作成する手順	最も一般的なデータ可視化タスクを実行する手順
表示	**構成**	**参照**
		
データの可視化を表示しながらビューアーが実行できるアクション	多くのデータ可視化タイプにある詳細構成オプションの詳細	ロールとデータソース

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- データの可視化や プラットフォームアナリティクス 一般的に ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

データ可視化ライブラリの詳細

データの可視化を プラットフォームアナリティクス データ可視化ライブラリで検索することで、データに関する情報をステークホルダーや他のユーザーと共有し、リアルタイムデータで傾向を評価できます。適切なロールがあれば、可視化を作成することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化ライブラリの概要

Zurichインスタンスでは、データ可視化ライブラリでコア UIレポートとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスデータ可視化の両方を見つけることができます。

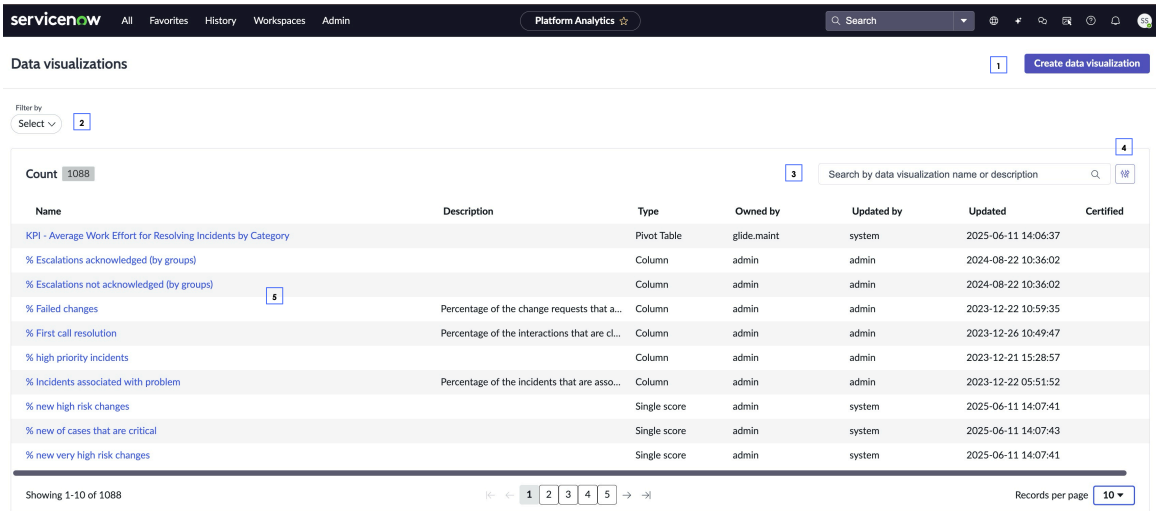
コア UIダッシュボードとそのコンテンツを編集する場合は、レポートデザイナーなどのコア UIツールで編集します。詳細については、「のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI」と「レポートの使用」を参照してください。

データ可視化ライブラリを開くには、 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化.

データの可視化ライブラリ要素

次の例は、Data Visualizations ライブラリ要素を示しています。

プラットフォームアナリティクス データ可視化ライブラリの機能



次の表に、Data Visualizations ライブラリ要素を示します。画像内の番号付き吹き出しとその表の説明を参照してください。

データの可視化ライブラリ要素

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
1	データ可視化を作成	データの可視化を作成するオプション。
2	フィルター基準	データの可視化リストをフィルタリングして、次の事前定義された条件に基づいてデータを表示するためのオプション。 • ブックマークされました。ブックマークされた可視化。アクセス可能なデータ可視化をブックマークして、簡単に見つけられるようにします。可視化をブックマークするには、「 で可視化をブックマークする 可視化デザイナー」を参照してください。 • 折り紙付きアドミニストレーターが認定した可視化。データの可視化を認定するには、「 でデータの可視化を認定する 可視化デザイナー」を参照してください。 • 私が所有しています。自分が所有または作成した可視化。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化ライブラリ要素 (続く)

番号：	フィールド (または) 要素名	説明
		• 自分と共有しました。ユーザー、グループのメンバー、またはロールとして共有されている可視化。データの可視化を共有するには、「 でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。
3	検索	データ可視化のリストを名前または説明でフィルタリングするためのリストフィルター付きの検索ボックス。たとえば、「データ」という単語を検索すると、[名前] 列または [説明] 列にデータを含む可視化のリストが表示されます。
4	リストをカスタマイズ	データ可視化リストの列を追加または削除するオプション (リスト)。
5	データの可視化リスト	すべてのデータ可視化のリスト。リストをカスタマイズしたり、[名前]、[説明]、[ビュー]、および [認定] でソートしたりすることもできます。

データの可視化の作成

さまざまなデータソースを使用してデータの可視化を作成する方法を参照してください。

https://player.vimeo.com/video/1056788508?h=5ed0de97fd&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

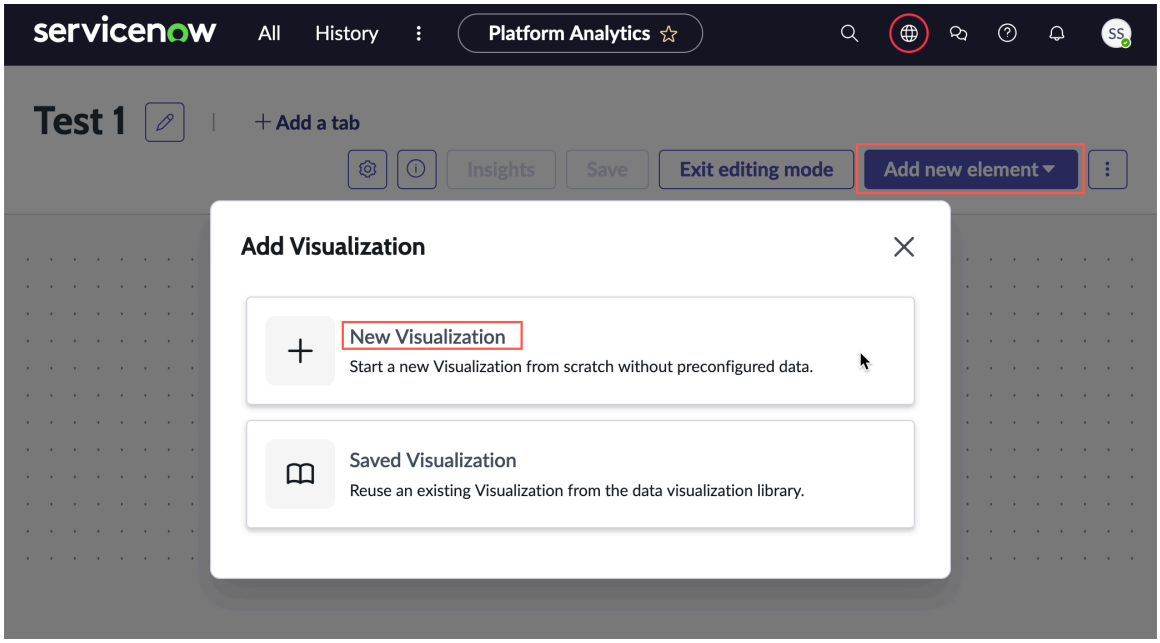
データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードエディターでのデータの可視化の作成

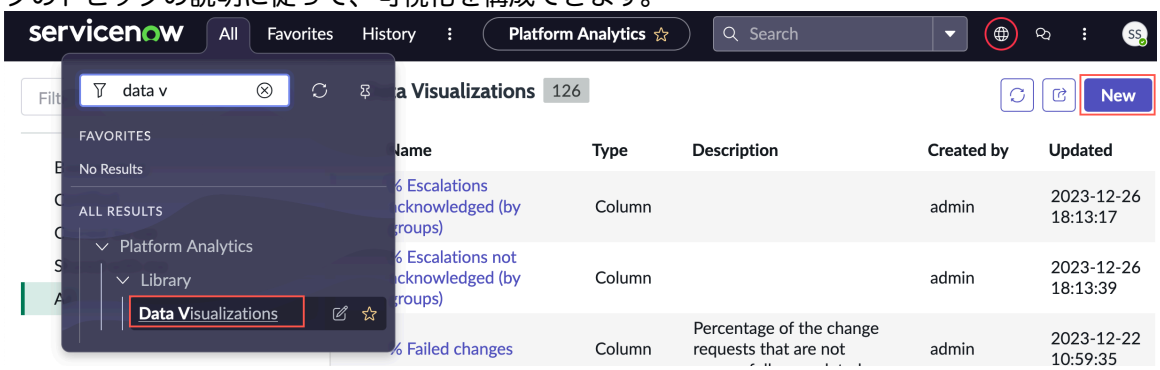
ダッシュボードからデータの可視化を作成するには、 [新しい要素の追加] を選択し、[新しい可視化] を選択します。その後、選択した可視化タイプのトピックの説明に従って、可視化を構成できま



す。

でのデータの可視化の作成 可視化デザイナー

可視化デザイナーでデータの可視化を作成するには、 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。その後、選択した可視化タイプのトピックの説明に従って、可視化を構成できます。



タイプ別のデータ可視化を作成する手順

データ可視化タイプの概要

データの可視化を作成するときは、表示する可視化のタイプを選択します。それぞれの可視化タイプは、異なるデータの表示に適しています。

スコアの可視化

このタイプのデータの可視化では、単一の値またはスコアが数値またはパーセンテージとして表示されます。スコアは、特定の値または測定基準がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されるかを示すためによく使用されます。進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりするのに役立ちます (たとえば、会社や部門の全体的なパフォーマンスを表示するなど)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
単一スコアの可視化 	単一スコアの可視化は、ビジネスにとって重要な単一のアグリゲート値を表示します。 単一スコアデータ可視化の例
目盛りの可視化 	目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。 目盛りの可視化の例
ゲージの可視化 	目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。 ゲージの可視化の例

自動翻訳

時系列の可視化

時系列の可視化では、経時的なデータが示されます。すべての時系列可視化タイプは構成オプションを共有します。データの傾向を強調するか、個々のデータポイント間の違いを強調するかによって、ユースケースが異なります。これらのユースケースの詳細については、「 時系列データの可視化を作成」を参照してください。

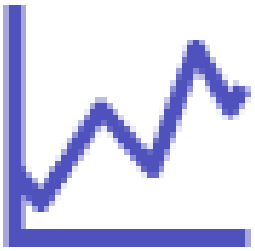
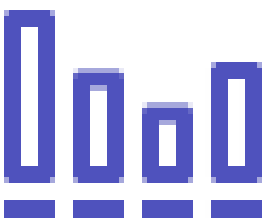
注: インスタンスおよびインポートされたデータソース内のデータに加えて、時系列の可視化でもメトリックベースデータを使用することができます。詳細については、「MetricBase アプリケーション 」を参照してください。

時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
線グラフ	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

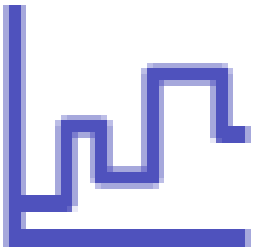
時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
	折れ線グラフの可視化は、時系列を表示するためのデフォルトの選択肢であると考えてください。どの可視化を使用するかわからない場合は、線を使用します。
スプライン 	一連のデータポイントを適合曲線で接続することで、1 つ以上の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。曲線は、個々のデータポイントよりも傾向を強調します。スプラインビジュアライズでは、既知のデータポイントと近似値のセットを取得できます。
拡散 	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。回線で役に立たないデータの拡散で使用します。
データソース内のスコアの比較	
列 	値を比例縦列として表示することで、時間の経過に伴うデータの変化を表示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。

自動翻訳

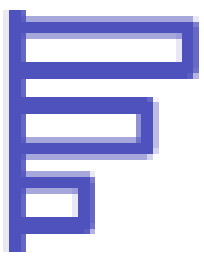
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
	
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
面 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

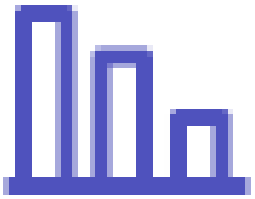
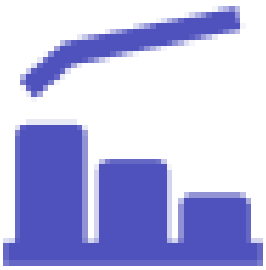
棒グラフの可視化

棒グラフの可視化により、データディメンション間でスコアを比較できます。水平バーおよび垂直バーの可視化タイプを利用できます。これらはすべての構成オプションを共有します。一般に、名義データまたはカテゴリデータには水平バーを使用します。順序データまたは連続データには垂直バーを使用します。異なるグループやカテゴリを区別するために、異なる色やパターンを使用します。詳細については、「水平または垂直バーのデータ可視化を作成」を参照してください。

可視化	説明
水平バーの可視化 	棒グラフの可視化では、一方の軸にラベル付けされたカテゴリともう一方の軸に値が表示されます。垂直バーを使用して序数データを比較します。特にバケットにグループ化された売上番号など、カテゴリが多すぎない場合は特に重要です。インシデントの重大度やアサイン先グループなどの名目上のデータを含む水平棒グラフを使用します。 • 水平棒グラフの可視化の例 • 垂直棒グラフによる可視化の例 パレート棒グラフの視覚化は、大規模なディメンションセットの中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。パレート図によるチャート化には棒グラフと線グラフの両方が含まれます。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。
垂直バーの可視化	

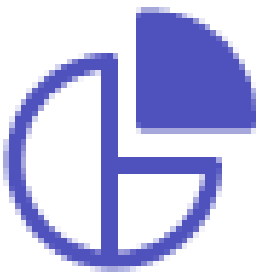
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
 パレート図による棒グラフの可視化 	

円グラフとドーナツグラフの可視化

円グラフとドーナツグラフの可視化は、データセットの一部と全体の関係を示します。これらの可視化のセグメントの合計は 100% になる必要があります。詳細については、「円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成」を参照してください。

可視化	説明
円グラフの可視化  ドーナツグラフの可視化 半ドーナツの可視化	円グラフの可視化は、合計が 100% の 5 ～ 7 個のセグメントを比較する場合、つまり互いに 10% 以内の値を持つセグメントが 2 つない場合に最適です。 ドーナツグラフの可視化は、互いに 10% 以内の値を持つ 2 つのセグメントがない場合に、合計が 100% の 5 つ以下のセグメントを比較するのに最適です。ドーナツの中央を使用して、追加情報を表示できます。 半ドーナツグラフの可視化は、互いに 10% 以内の値を持つ 2 つのセグメントがない場合に、合計が 100% の 4 つ以下のセグメントを比較するのに最適です。 • 円グラフの可視化の例 • ドーナツ可視化の例

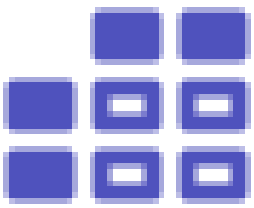
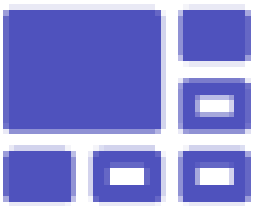
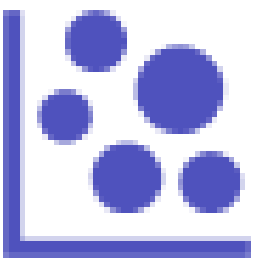
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明

マルチディメンションチャート

多次元の可視化を使用すると、複数の変数を 1 つのグラフに表示できるため、異なる変数間の関係を示すのに役立ちます。これらは、大量のデータがあり、すぐにはわからないパターンや傾向を見つける場合に役立ちます。また、3 つ以上の変数間の関係を示す場合にも適しています。

可視化	説明
ピボットテーブルの可視化 	ピボットテーブルでは、フィールド間でいくつかの種類の集計を行うことができます。データをフィルター処理することもできます。列は 1 つのフィールドまたは ブレークダウンを表し、行の階層は他の複数のフィールドまたはブレークダウンを表します。 ピボットの可視化の例
ヒートマップの可視化  >	ヒートマップは、2 つのテーブルフィールド間またはインジケーターブレークダウン間の関係を示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。 ヒートマップの可視化の例
バブルチャートの可視化 	バブルチャートは、xy 軸に沿ったさまざまなサイズの円です。x 軸と y 軸は、値や金額などのさまざまな数値フィールドを表します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。バブルチャートを使用して、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどのバイナリ質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。 バブルデータ可視化の例

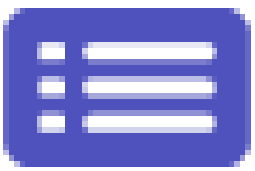
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
>	

その他のチャート化

データの可視化では、カレンダー、簡易リスト、インジケータースコアカード、および場所を表示することもできます。

可視化	説明
カレンダーレポートの可視化 	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。
インジケータースコアカード 	インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間のデータを視覚化して比較できます。 #unique_222
リスト 	テーブルレコードリストを表示します。
箱ひげ図 	箱ひげ図を使用して、数値データの中央値と下位四分位数および上位四分位数を外れ値とともに表示します。このデータのさまざまなグループの分布を比較することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
ジオマップ	データを国、都道府県、都市別にデータを表示します。ユーザーは、位置情報を含むテーブルデータを使用してグラフを可視化できます。

単一スコアデータの可視化を作成

単一のスコアを使用して、値を数値またはパーセンテージで表示します。値がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されているかを視覚化して、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの単一スコアの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーの単一スコアデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注: Workflow Data Fabric ソースは、単一スコア、目盛り、ゲージの可視化のリアルタイム更新をサポートしていません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. 単一スコア ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

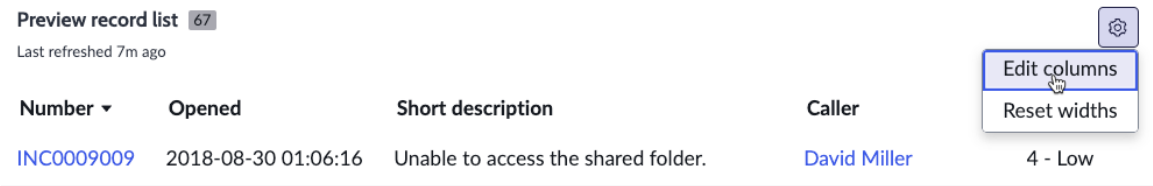
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[単一スコアの可視化のためのテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[単一スコアの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアデータ可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
スコアサイズ	スコアのサイズを設定します。次のオプションが含まれます。 ○ XS xs ○ S sm ○ M MD ○ L lg ○ XL XL ○ XXL xxl ○ 自動 自動:[追加設定] ですべての詳細を追加した後、ビューポートのサイズと使用可能なスペースに応じて、サイズが前のサイズの間で自動的に調整されます。
スコアアイコン	デザインシステムで提供されるいずれかのアイコンを選択して、スコアの前に表示されます。オプション。 注: 詳細については、「https://developer.servicenow.com/dev.do#!/reference/next-experience/xanadu/now-components/now-icon/gallery 」を参照してください。
アイコンスタイル	アイコンの背景に色を適用するには、[背景あり] を選択します。アイコン自体に色を適用するには、[背景なし] を選択します。
メトリクスラベルの位置	メトリクスラベルの位置。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ スコア を上回るトップ ○ スコア を下回る このプロパティは、[メトリクスラベルを表示] が true の場合に、テーブルデータソースにのみ適用されます。
スパークラインスタイル	スパークラインチャートのスタイル。次のオプションが含まれます。 ○ エリア 領域:スパークラインを、その点と横軸の間の領域が色分けされた線として表示するオプション。 ○ 線 グラフ:スパークラインを線として表示するオプション。 このプロパティは、[スパークラインを表示] が true の場合にのみインジケーターデータソースに適用されます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

Chart interactions (チャートのインタラクション)

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

単一スコアの可視化のためのテーブルデータオプション

単一スコア可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
データソース	単一スコアデータの可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
スコア更新時間を表示	最終更新時刻を表示するオプション。
相対スコア時間を使用	[スコア更新時間を表示] が選択されている場合に使用可能です。選択すると、スコアが最後に更新された時間が表示されます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にすると、リアルタイム更新がデータキャッシュよりも優先されます。 注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いため、リアルタイムのデータ更新が一時停止されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。 • リアルタイム更新は、リモートテーブルまたはワークフローデータファブリックテーブルに基づく単一スコア、目盛り、およびゲージの可視化ではサポートされていません。
データメッセージがありません このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

単一スコアの可視化のためのインジケーターデータオプション

単一スコア可視化のインジケーターデータソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	単一スコアデータの可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
変化を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化を表示します。
変化 % を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化率を表示します。
変更元を表示	前の値、前の集計期間、または期間の開始時の値からの変化を表示します。
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
ギャップ % を表示	現在の値とターゲットのパーセンテージの差を表示します。
スパークラインを表示	経時変化を表す線グラフを表示します。
スコア日を表示	スコアの日付を表示します。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。 **注:** • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、スクリプト化されていない自動インジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT 個別の集計はサポートされていません。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアデータ可視化のデータオプション

単一スコア可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (UXA) データを使用したプラットフォームアナリティクスデータの可視化をインラインダッシュボードに追加する場合、そのデータ可視化のデフォルトのドリルダウンでは、対応する UXA アナリティクスページが開きます。この機能を使用すると、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードから特定のユーザーの行動をすばやく効率的にドリルダウンして探索できます。

フィールド	説明
データ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データソース	単一スコアデータの可視化を作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
データメッセージがありません このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

単一スコアデータ可視化の例

単一の値またはメトリクス (全体的な収益やオープン中のインシデントの数など) を表示する場合は、単一スコアの可視化を使用します。基本スコアでは、単一の値がわかりやすい見出しと日付/タイムスタンプで視覚化されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

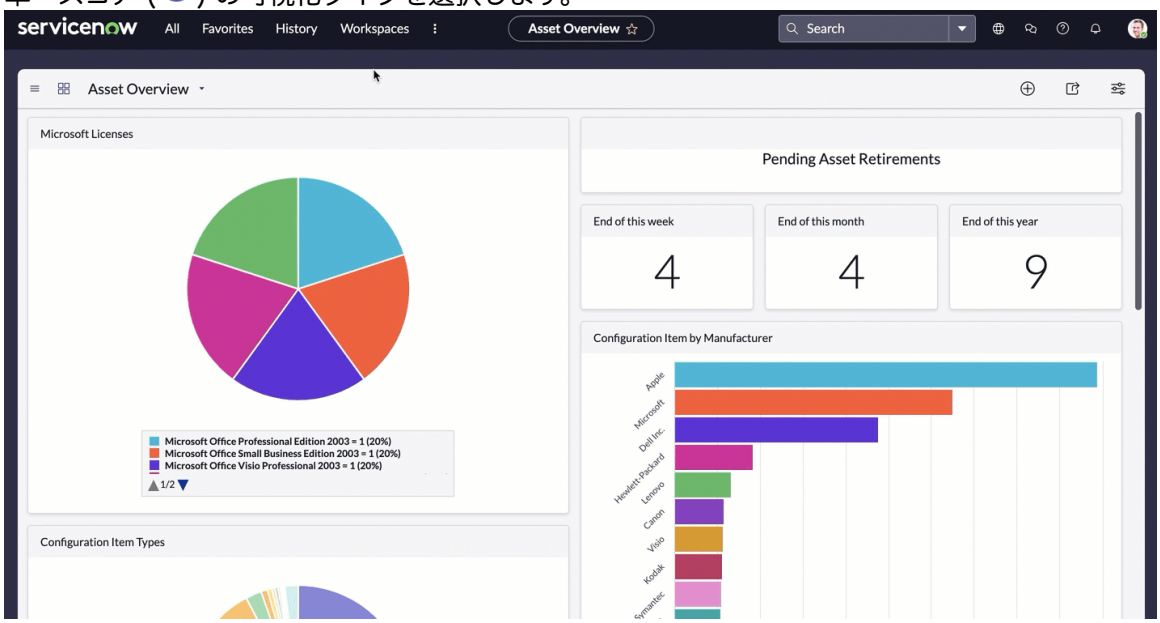
このタスクについて

単一スコアの可視化には、値がビジネスにとって良いものか、改善が必要かを示すために色分けできるという利点があります。たとえば、オープンインシデントの数は低く保つべき値です。一方、収益は高くなりたいものです。オープンインシデントの単一スコアを作成しましょう。

この例では、オープンインシデントの数を示す単一スコアの可視化を作成し、その可視化を色分けして値の望ましさを強調しています。

手順

1. 最初の手順に従って 単一スコアデータの可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。
   c. 単一スコア ( ) の可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [データソースを追加] を選択します。

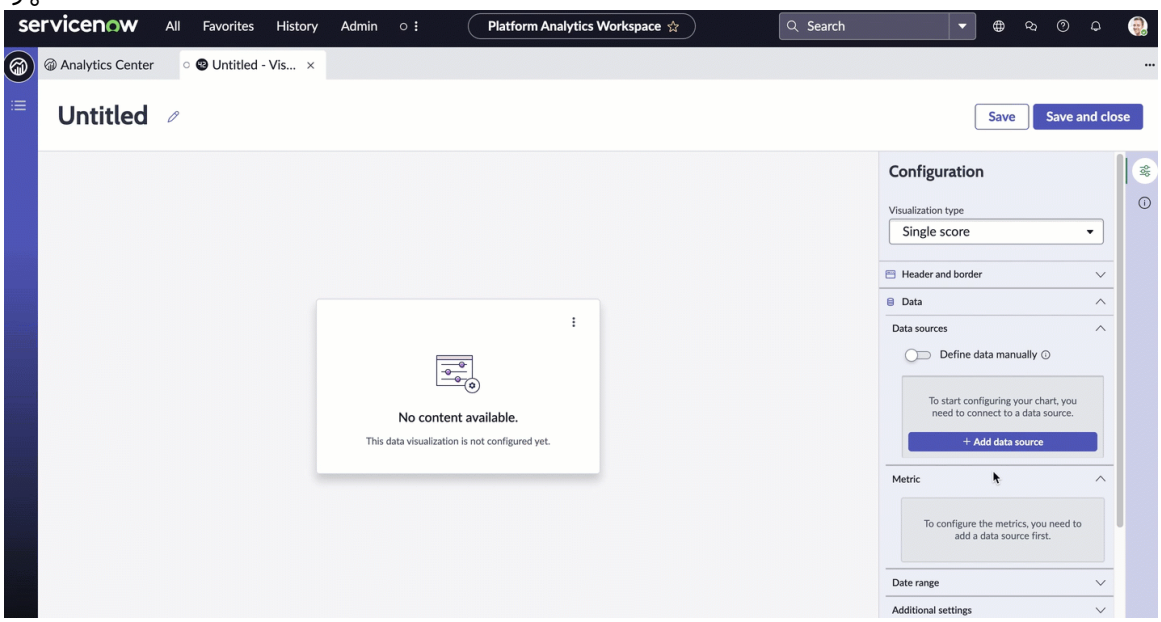
b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む単一のスコアデータ可視化が 可視化デザイナーに表示されます。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、タイトルの [オープンインシデントの数] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。
一部のデータ可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、単一スコア可視化はサポートしません。オープンインシデントの数のみを確認するため、デフォルトのメトリクスである [カウント] またはそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

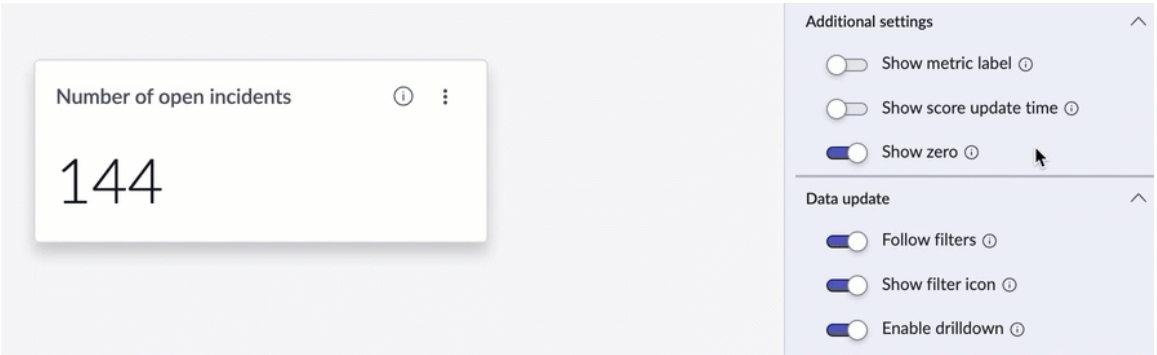
5. [追加の設定] で、可視化に関する追加情報を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [メトリクスラベルを表示] は未選択のままにします。
可視化の名前が [オープンインシデントの数] であるため、メトリクスラベル [インシデント] は冗長です。

b. [スコア更新時間を表示] を選択します。
このオプションは、単独でスコアが最後に更新された時刻を表示します。[相対スコア時間を使用] を選択して、前回の更新以降の経過時間 (たった今、5 分前など) を表示することもできます。



c. [ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコア値のサイズと基本色を構成します。

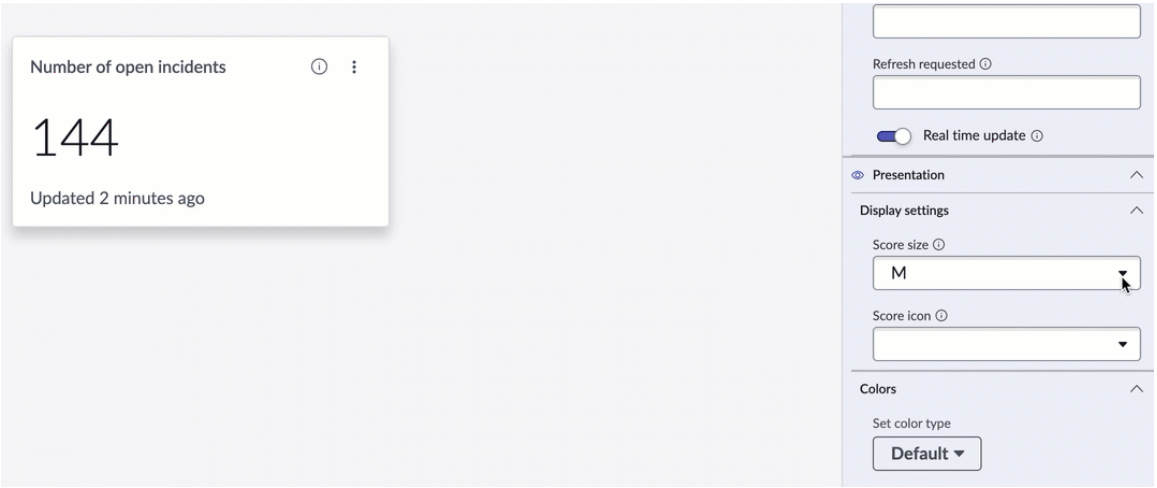
a. [表示設定] で、スコア サイズをデフォルトの M (中) から XL (特大) に変更して強調します。

b. スコアアイコンとアイコンスタイルを選択して、このデータ可視化を追加したダッシュボードで他のデータ可視化と区別します。
たとえば、背景付きの [アクティビティアウトライン] アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 色タイプ [単色] を選択します。



8. スコアの色ルールを設定します。
オープンインシデントの状態を強調するため、スコアの値に基づいて色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] カラータイプを選択します。

b. [色ルール] で、[**+** ルールを追加] を選択します。

c. 最初の色ルールで、[演算子] を選択し、[値 6] を入力して、色とアイコンの色の両方に [正の緑] を選択して、[適用] を選択します。

値は指定された数までですが、指定された数は含まれません。

順序 100 を保持します。

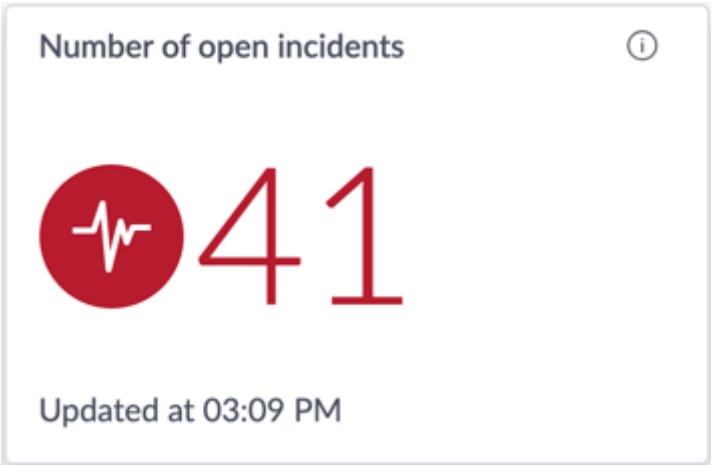
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. さらに注意が必要な値を示すには、[演算子] を [間] に値 5 と 25、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序 50 で 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意が必要な値を表示するには、[演算子] が [次の値より大きい (Operator greater than)]、[値 25]、[色とアイコンの色が 赤]、[順序 25] で 3 番目のルールを作成します。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



9. [Save (保存)] を選択します。

結果
単一のメトリクス、オープンインシデントに基づいて単一のスコアの可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、色、アイコン、色分けルールを構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

箱ひげ図データ可視化の作成

箱ひげ図を使用して、数値データの中央値と下位四分位数および上位四分位数を外れ値とともに表示します。このデータのさまざまなグループの分布を比較することもできます。

始める前に

重要: 箱ひげ図の可視化は、 ServiceNow® Store の最新のデータ可視化アプリケーションに含まれています。

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

箱ひげ図の可視化は、テーブルデータのみをサポートします。インジケーター、メトリックベース、および ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データはサポートされていません。

ダッシュボードでのボックスプロットの可視化の使用については、「 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーの箱ひげ図コンポーネントに関する情報を提供しますが、一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. ボックスプロット ( ) ビジュアライゼーションタイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースセレクターを開き、テーブルを選択します。
6. 「 箱ひげ図の可視化のためのテーブルデータオプション」の説明に従ってデータ設定を構成します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。に展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。

フィールド	説明
表示設定	
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[プライマリ軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、プロパティ yAxis1Title、yAxis2Title などを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションが含まれます。 ○ 左 ○ 右

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このプロパティは、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。垂直棒グラフの可視化に複数の Y 軸があるなど、複数の主軸がある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に対して垂直な細線のグリッドを表示します。これは、その軸に対して値を揃えるのに役立ちます。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:第 1 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:第 1 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] のデフォルト:第 1 軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Chart interactions (チャートのインタラクション)

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

箱ひげ図の可視化のためのテーブルデータオプション

箱ひげ図可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	箱ひげ図データ可視化の作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。 注: • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
メトリクス	
[テーブル] のフィールド	テーブルの Y 軸の数値フィールド。ビューアーは、このフィールドを別のグループ化フィールドに置き換えることはできません。
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えできます。 • 1 つのフィールドでのみ順序付けできます。[追加グループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

でのバブルデータの可視化の作成 可視化デザイナー

バブルの可視化を使用して、単一の可視化に複数の個別のメトリクスを表示したり、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどの二者択一の質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのバブルの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーのバブル可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

バブルの可視化では、X 軸、Y 軸、バブルサイズを使用して、3 つの異なるメトリクスにわたる情報をアグリゲートします。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. [バブル ( )] 可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   1 つ以上のテーブルを選択できます (ベースシステムで利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

   注: JSON でデータソースを手動で定義することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
「バブル可視化のテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。 [色] セクションで、色と色ルールを構成します。

フィールド	説明
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
凡例を表示	グループ化基準を設定する場合、または複数のメトリクスがある場合に使用できます。凡例を表示する場合に選択します。
凡例の位置	可視化に対する凡例の場所:上、下、右、または左。
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 注: プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- [その他のアクション] メニューアイコン ([ ]) を選択して、可視化を複製、共有、エクスポート、スケジュール、またはブックマークします。

バブル可視化のテーブルデータオプション

バブル可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	でのバブルデータの可視化の作成 可視化デザイナー でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス (バブルサイズ)	データを集計するための計算方法と、可視化のバブルのサイズを決定するフィールドを選択します。デフォルトの集計は [カウント] で、選択したレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ディメンション	
Y 軸	バブルチャートの Y 軸の値を含む数値テーブルフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
X 軸	バブルチャートの x 軸の値を含む数値テーブルフィールド。
グループごと	X 軸と Y 軸以外のテーブルフィールド。異なるグループはバブルの色によって区別されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
データメッセージがありません このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

自動翻訳

バブルデータ可視化の例

バブルデータの可視化は、フィールドを比較し、それらの関係を確認するために使用されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

バブルによる可視化を使用して、[優先度] や [経過時間] などの 2 つの序数フィールドを x-y 軸に沿って異なるサイズの円として表示します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。

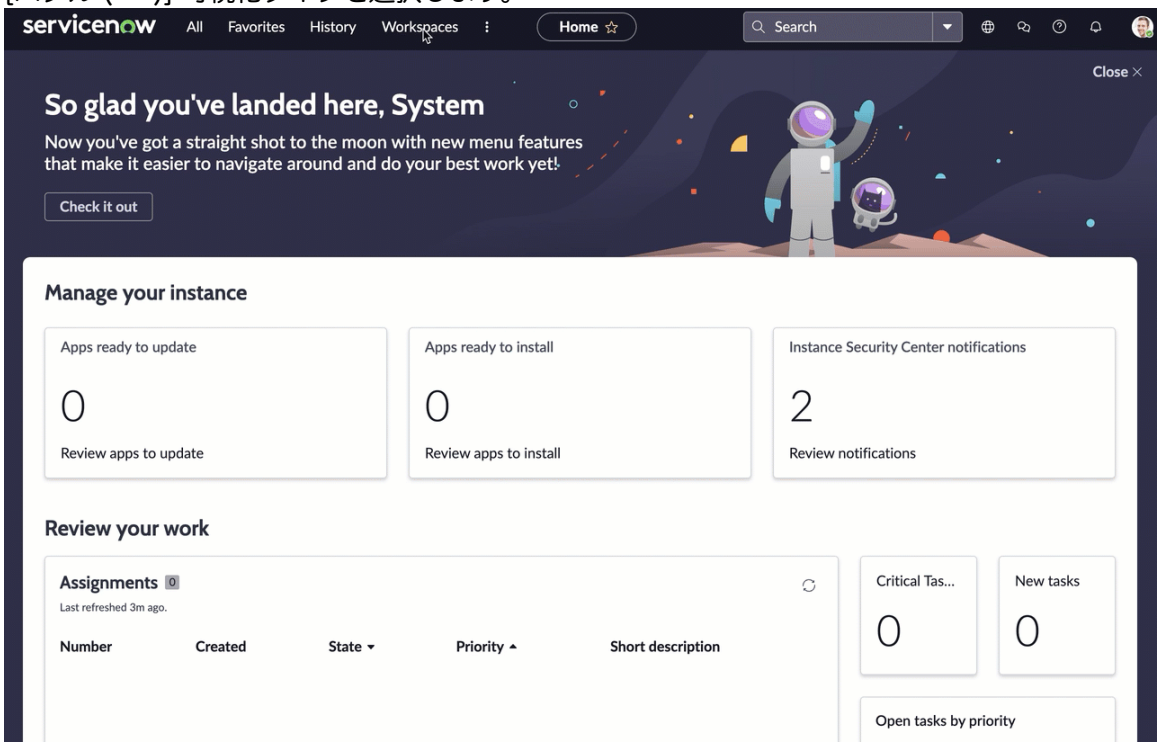
この例では、オープンインシデントの数を示すバブルチャートを作成し、そのチャート化を色分けして値の望ましさを強調しています。

手順

1. 最初の手順に従って でのバブルデータの可視化の作成 可視化デザイナーします。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [バブル ( )] 可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

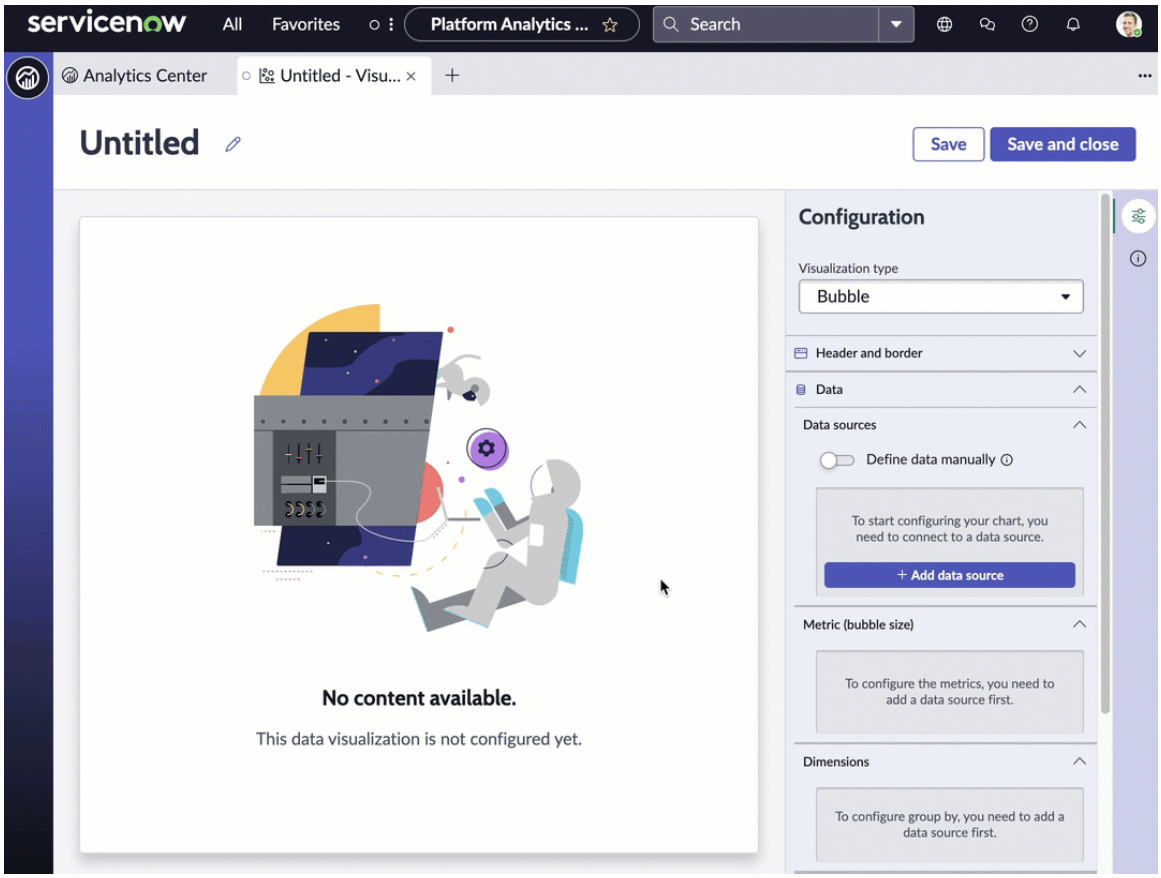
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むバブルの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [ヘッダーを表示] を選択し、可視化タイトル の [ステータス別の解決時間] を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

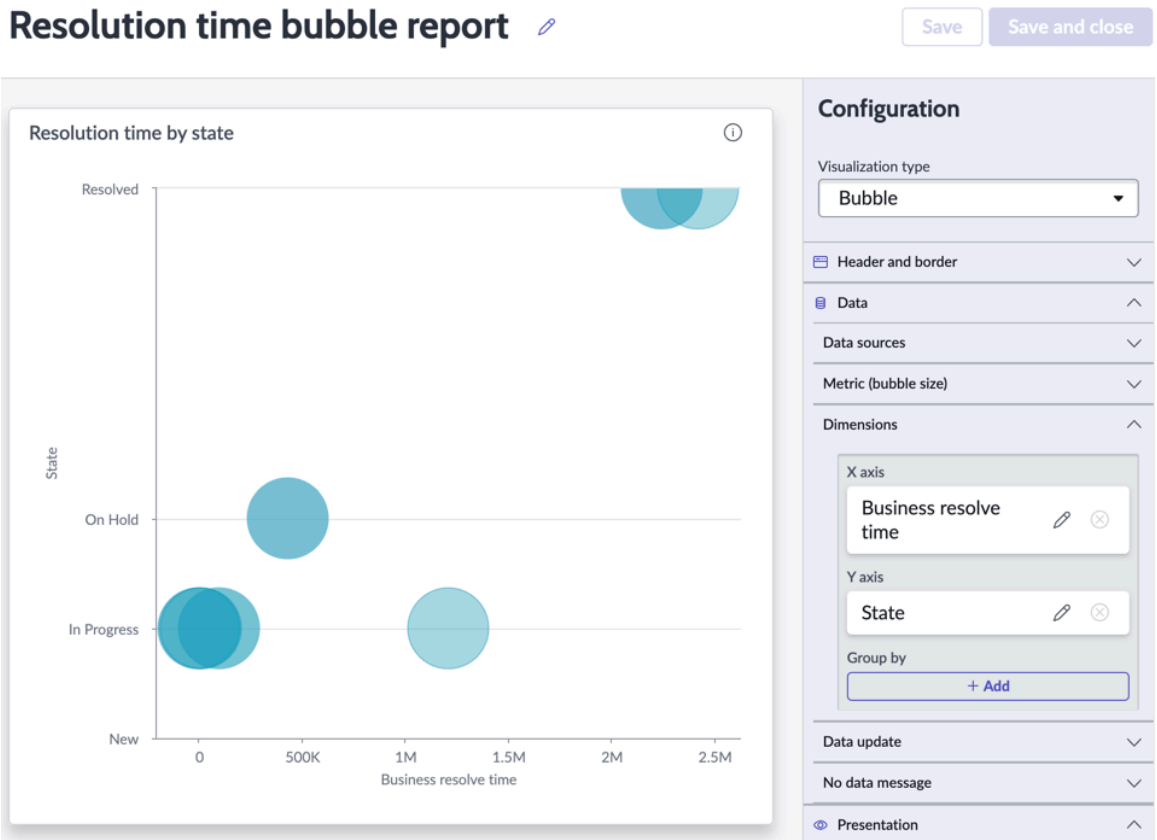
   c. 可視化の説明を入力します: インシデント解決時間をステータスとともに表示するバブルレポート。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [データソース] セクションをスキップ
   バブルレポートは複数のデータソースをサポートしていますが、ここではインシデントのみを扱っています。オープンインシデントの数のみを確認するため、デフォルトのメトリクスである [カウント] またはそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

5. ディメンション セクションで、X 軸フィールド [ビジネス解決時間] を保持し、Y 軸フィールドの [状態] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

7. 可視化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- [単一] は、バブルごとに同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

結果
2 つの値でソートされたバブルの可視化を作成しました。可視化の色も構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りデータ可視化を作成

目盛りの可視化を使用して、予想される最小値と最大値の間の値を示します。目盛りの可視化を使用して、値がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されているかを示したり、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの目盛りビジュアライゼーションの使用については、 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダー の Dial データ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注: Workflow Data Fabric ソースは、単一スコア、目盛り、ゲージの可視化のリアルタイム更新をサポートしていません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. 目盛り ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

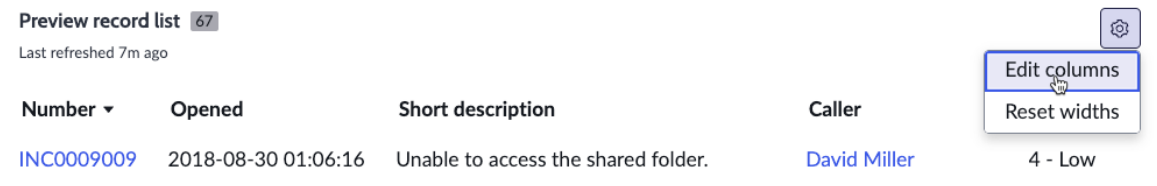
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[目盛り可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[目盛りデータの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛りデータ可視化のデータオプション] に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
値ラベルサイズ	動的サイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、または大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

目盛り可視化のテーブルデータオプション

目盛り可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
データソース	目盛りデータ可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にすると、リアルタイム更新がデータキャッシュよりも優先されます。 注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いため、リアルタイムのデータ更新が一時停止されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。 • リアルタイム更新は、リモートテーブルまたはワークフローデータファブリックテーブルに基づく単一スコア、目盛り、およびゲージの可視化ではサポートされていません。
データメッセージがありません このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

目盛りデータの可視化のためのインジケーターデータオプション

目盛り可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データソース	目盛りデータ可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、スクリプト化されていない自動インジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT 個別の集計はサポートされていません。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛りデータ可視化のデータオプション

目盛り可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データソース	目盛りデータ可視化を作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

目盛りの可視化の例

目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

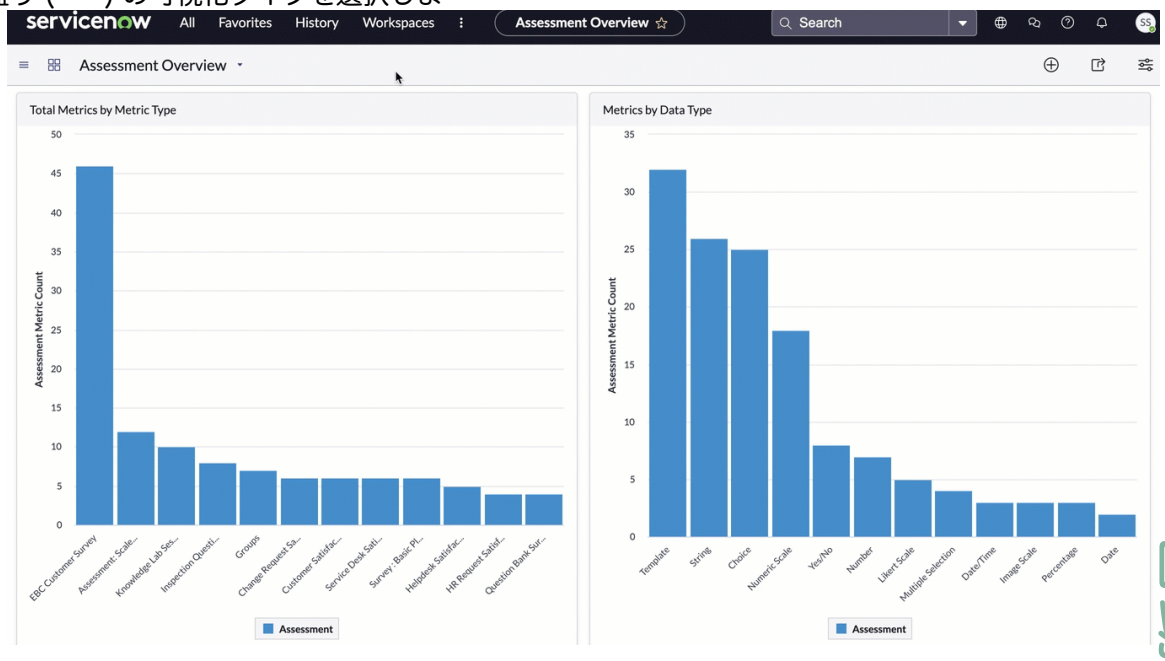
目盛りの可視化は、目標と比較した会社の売上など、現在の値をターゲットまたはベンチマークと比較する場合に使用します。目盛りの可視化を色付きで構成し、目標と比較して現在の値がどこにあるかを示すことができます。単一のスコアでは、値が正の範囲か負の範囲内にあるかを示すために色分けできます。目盛りを使用して、値を表す可視化の部分を色分けします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 最初の手順に従って 目盛りデータ可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。
   c. 目盛り ( ) の可視化タイプを選択します。

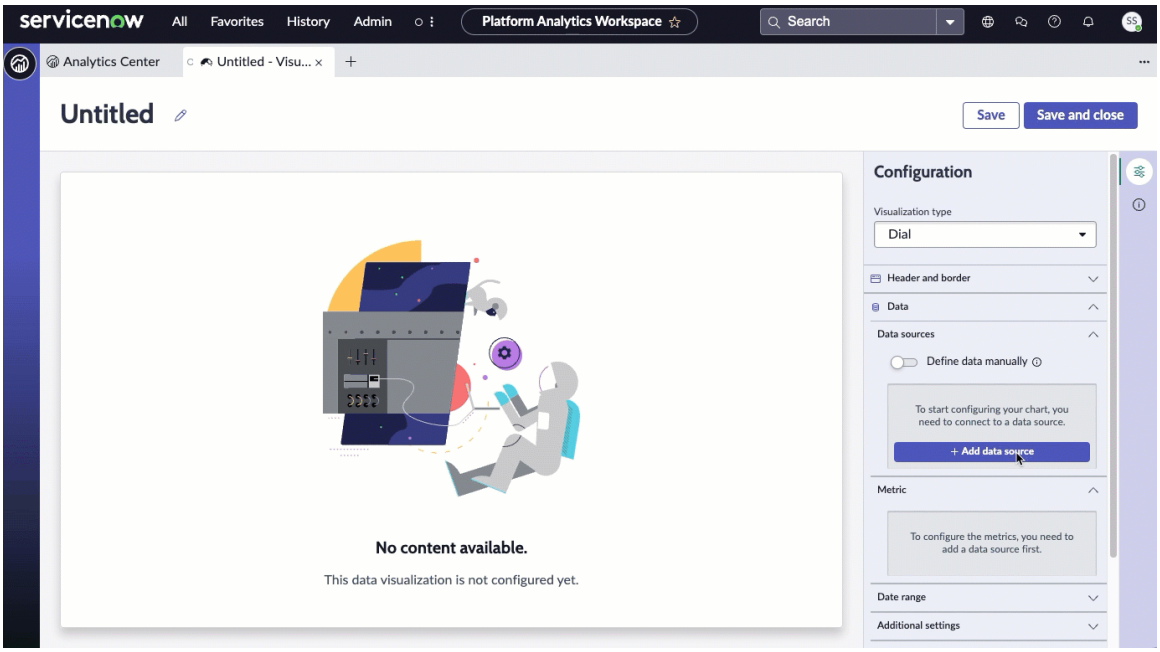


2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値による目盛りデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [ヘッダーを表示] を選択し、可視化タイトルの [オープンインシデント - ダイヤル] を指定します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。
   一部のデータ可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、目盛り可視化はサポートしていません。オープンインシデントの数のみを表示するため、デフォルトのメトリクスである [カウント] またはそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

5. [追加の設定] で、[メトリクスラベルの表示] をオフのままにして、[ゼロを表示] を選択します。
   可視化の名前が [オープンインシデントの数] であるため、メトリクスラベル [インシデント] は冗長です。

   場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコアのサイズと目盛り自体、および可視化の最小値と最大値を構成します。

a. [表示設定] で、スコア サイズをデフォルトの M (中) から L (大) に変更して強調します。

b. 目盛りの最小値と最大値を選択します。
デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープン中のインシデントがない場合は、最小値はゼロです。最大値のデフォルト値もそのままにしますが、独自の目盛りの可視化を作成する場合は現実的な最大値を考慮してください。

c. この例では、内半径パラメーターを無視します。
内側の半径は、可視化の内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

8. スコアの色ルールを設定します。
オープンインシデントのステータスを強調するため、値に基づいて文字盤の色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] カラータイプを選択します。

b. [色ルール] で、[**+** ルールを追加] を選択します。

c. 最初の色ルールで、[演算子] を選択し、[値 6] を入力して、色とアイコンの色の両方に [正の緑] を選択して、[適用] を選択します。

値は指定された数までですが、指定された数は含まれません。

順序 100 を保持します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

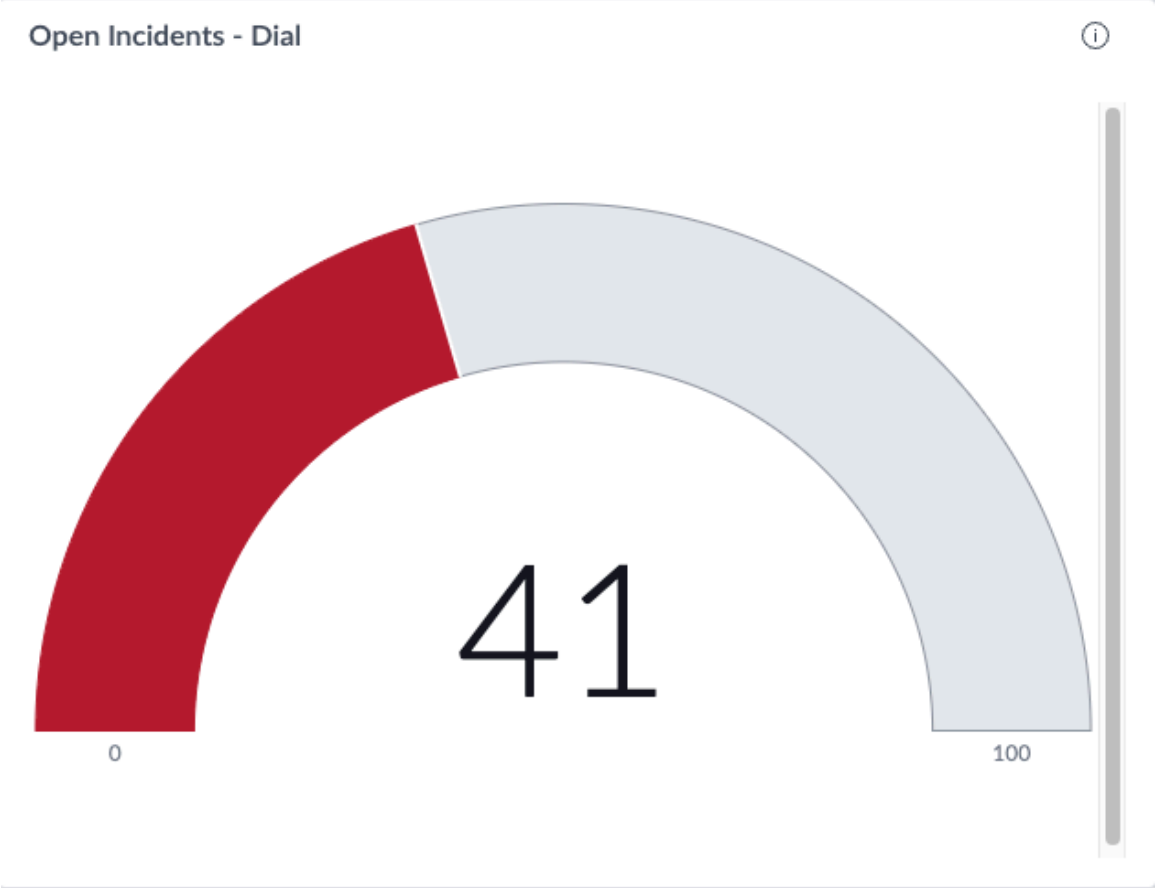
d. さらに注意が必要な値を示すには、[演算子] を [間] に値 5 と 25、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序 50 で 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意が必要な値を表示するには、 演算子が次の 値より大きい、値 が 25、色とアイコンの色が 赤、順序 が 25 の 3 番目のルールを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



結果
単一のメトリクス「オープンインシデント」に基づいて目盛りの可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、可視化のサイズと色分けルールも構成しました。

でのゲージデータの可視化の作成 可視化デザイナー

ゲージの可視化は、予想される最小値と最大値の間の値を示します。ゲージの可視化を使用して、色分けされた値の範囲で進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでのゲージ可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーのゲージデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注: Workflow Data Fabric ソースは、単一スコア、目盛り、ゲージの可視化のリアルタイム更新をサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. ゲージ ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

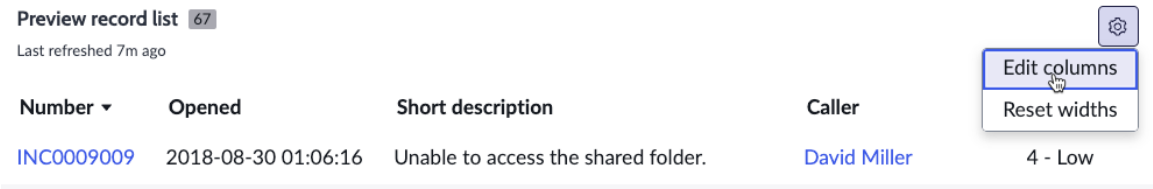
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

  構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

  カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ゲージデータを可視化するためのテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ゲージデータを可視化するためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージ可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
ゲージ円弧角度	ゲージのサイズの選択(度単位)。
値ラベルサイズ	動的サイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、または大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
範囲	
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
範囲の構成	ゲージを分割する範囲の数を指定します。デフォルトは 3 です。範囲の数、各範囲の開始値と終了値、ラベル、およびカラースペクトルを選択します。
伝説	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブ化されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	登録の表示方法のオプション。 ○ 水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を垂直に表示するオプション (最大 5 行)。 このプロパティは、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
ラベル	
スコアラベル [scoreLabel]	ゲージの中央にあるスコアのラベル: ○ ラベルなし (なし) ○ 可視化メトリクスと同じラベル (メトリクスラベル) ○ [範囲を構成] (範囲ラベル) で、スコアが該当する範囲に設定したラベル ラベルは無効になり、400% ズームで凡例に置き換えられます。
範囲制限を表示 [showRangeLimit]	true の場合、範囲に構成した制限が表示されます。範囲を設定しなかった場合は、デフォルトの最小値と最大値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
範囲ラベルを表示 [showRangeLabels]	true の場合、範囲に構成したラベルが表示されます。このプロパティは、範囲を設定し、ラベルを指定した場合にのみ使用できます。
ラベルをプライマリとして表示	スコアラベルが [範囲ラベル] として設定されている場合に使用できます。スコア値とラベルの位置を変更して、スコア値を小さくし、範囲値を強調します。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。チャートのインタラクションを許可する [chartInteractionEnabled] が true の場合にのみ適用されます。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 にレコードビューが開きます。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースは、対応する使用状況データに基づく適切なユーザー、セッション、ページ、イベントページにリダイレクトされます。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ゲージデータを可視化するためのテーブルデータオプション

ゲージ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	でのゲージデータの可視化の作成 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にすると、リアルタイム更新がデータキャッシュよりも優先されます。 注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いため、リアルタイムのデータ更新が一時停止されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。 • リアルタイム更新は、リモートテーブルまたはワークフローデータファブリックテーブルに基づく単一スコア、目盛り、およびゲージの可視化ではサポートされていません。
データメッセージがありません このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ゲージデータを可視化するためのインジケーターデータオプション

ゲージ可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データソース	でのゲージデータの可視化の作成 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
リアルタイム更新	リアルタイムでスコアを更新するオプション。 **注:** • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを持つ、スクリプト化されていない自動インジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT 個別の集計はサポートされていません。
情報メッセージ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージ可視化のデータオプション

ゲージ可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (UXA) データを使用したプラットフォームアナリティクスデータの可視化をインラインダッシュボードに追加する場合、そのデータ可視化のデフォルトのドリルダウンでは、対応する UXA アナリティクスページが開きます。この機能を使用すると、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードから特定のユーザーの行動をすばやく効率的にドリルダウンして探索できます。

フィールド	説明
データソース	でのゲージデータの可視化の作成 可視化デザイナー でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ゲージの可視化の例

目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。

始める前に

必要なロール: プラットフォームアナリティクスワークスペースを表示するためのロールは必要ありません。任意の内部ロールを使用してデータの可視化を作成できますが、可視化を可視化ライブラリに保存するには viz_creator ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

目標と比較した会社の売上高など、値をターゲットまたはベンチマークと比較する場合は、ゲージの視覚化を使用します。可視化を色付きで構成して、目標と比較して現在の値がどこにあるかを示すことができます。目盛りを使用して、値を表す可視化の部分を色分けします。ゲージの可視化では、範囲を色分けし、針でその値を指します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

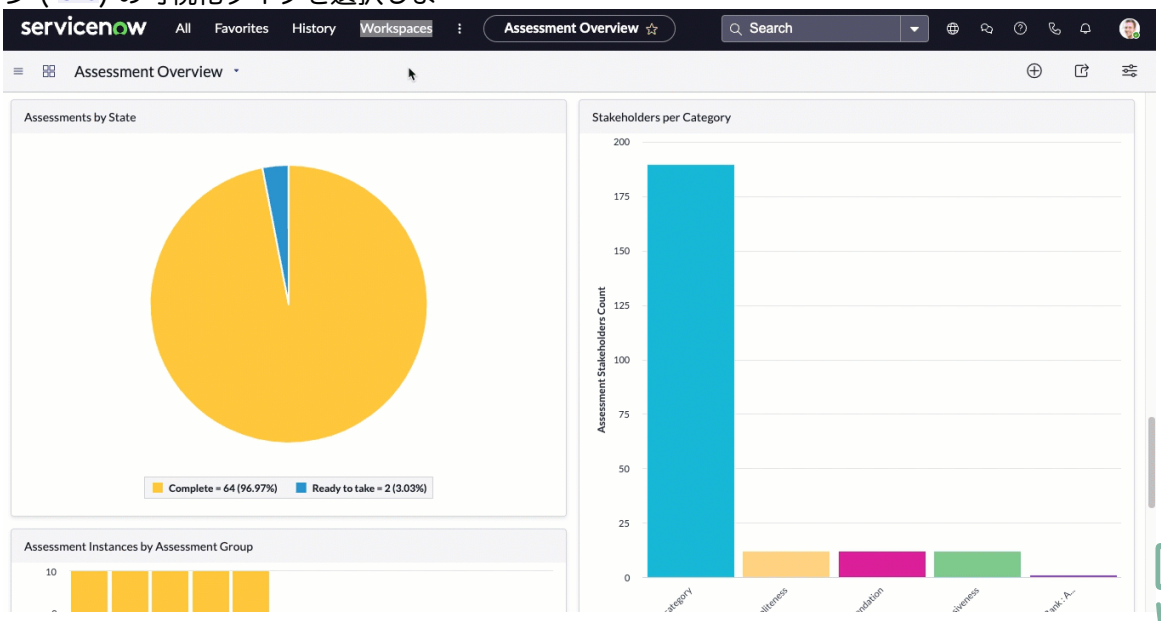
手順

1. 最初の手順に従って でのゲージデータの可視化の作成 可視化デザイナーします。

   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。

   b. [新規] を選択します。

   c. ゲージ ( ) の可視化タイプを選択しま



す。

2. 今のところ、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに進みます。

   a. [データソースを追加] を選択します。

   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

   c. [フィルター] セクションのオープン条件。
   この可視化にはオープンインシデントが表示されているため、インシデントを追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

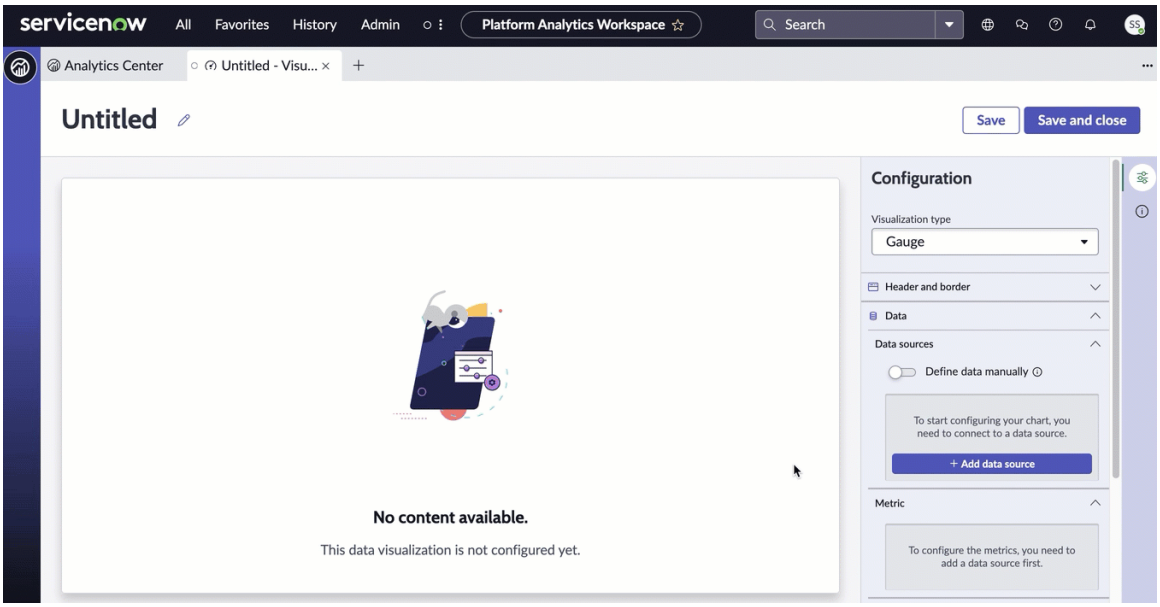
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含むゲージデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、可視化タイトル [オープン中のインシデント - ゲージ] を指定します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。タイトルは必ずしも可視化名と同じではありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。タイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [追加の設定] で、[ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。[ゼロを表示] を選択しない場合は、データがないときに表示するメッセージを構成するオプションがあります。

5. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

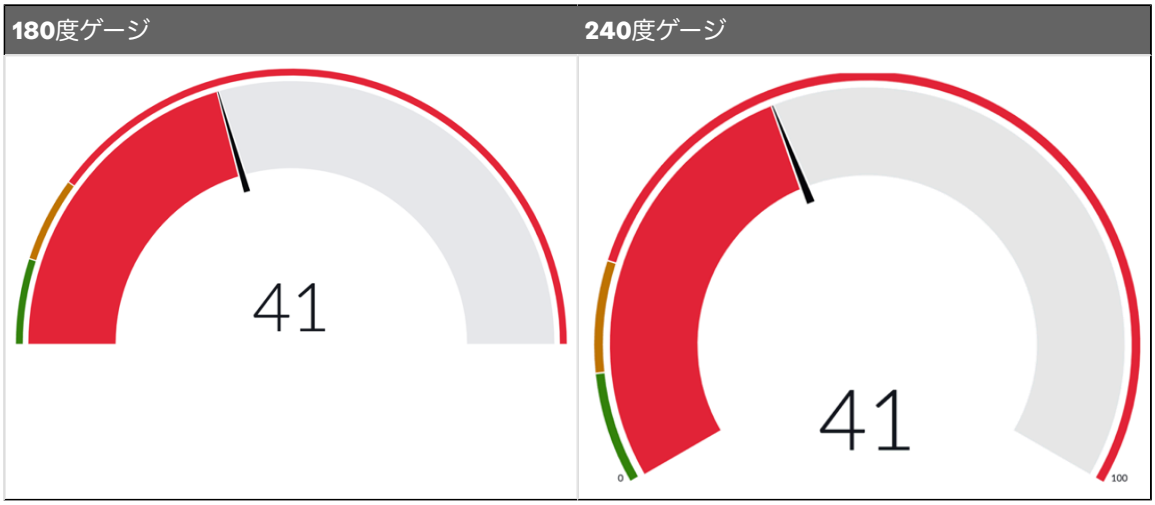
c. [ドリルダウンを有効にする] を選択して、閲覧者が関連するデータを別の方法で表示できるようにします。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [プレゼンテーション] で、ゲージの形状とゲージ値のサイズを構成します。

a. [表示設定] で、ゲージの円弧角度として [180 度] を選択します。
180度はゲージを半円として表示します。240 度は、ゲージを円の 4 分の 3 として示します。



b. スコアサイズをデフォルトの M (中) から L (大) に変更して強調します。

c. この例では、内半径パラメーターを無視します。
内側の半径は、可視化の内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

7. [範囲] で、ゲージの最小値と最大値を選択します。
デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープン中のインシデントがない場合は、最小値はゼロです。最大値のデフォルト値もそのままにしますが、独自のゲージの可視化を作成する場合は現実的な最大値を考慮してください。

8. [範囲を構成] を選択します。
範囲は、値が可視化に関連付けられた目標をどのように達成しているかを示すカラーバンドです。この例では、値を示す 3 つの範囲を設定します。

a. デフォルトの範囲数 (3) と、デフォルトのカラースキーム (緑から赤) を維持します。

b. 最初の範囲に「良好」のラベルを付け、5以下の値を指定します。

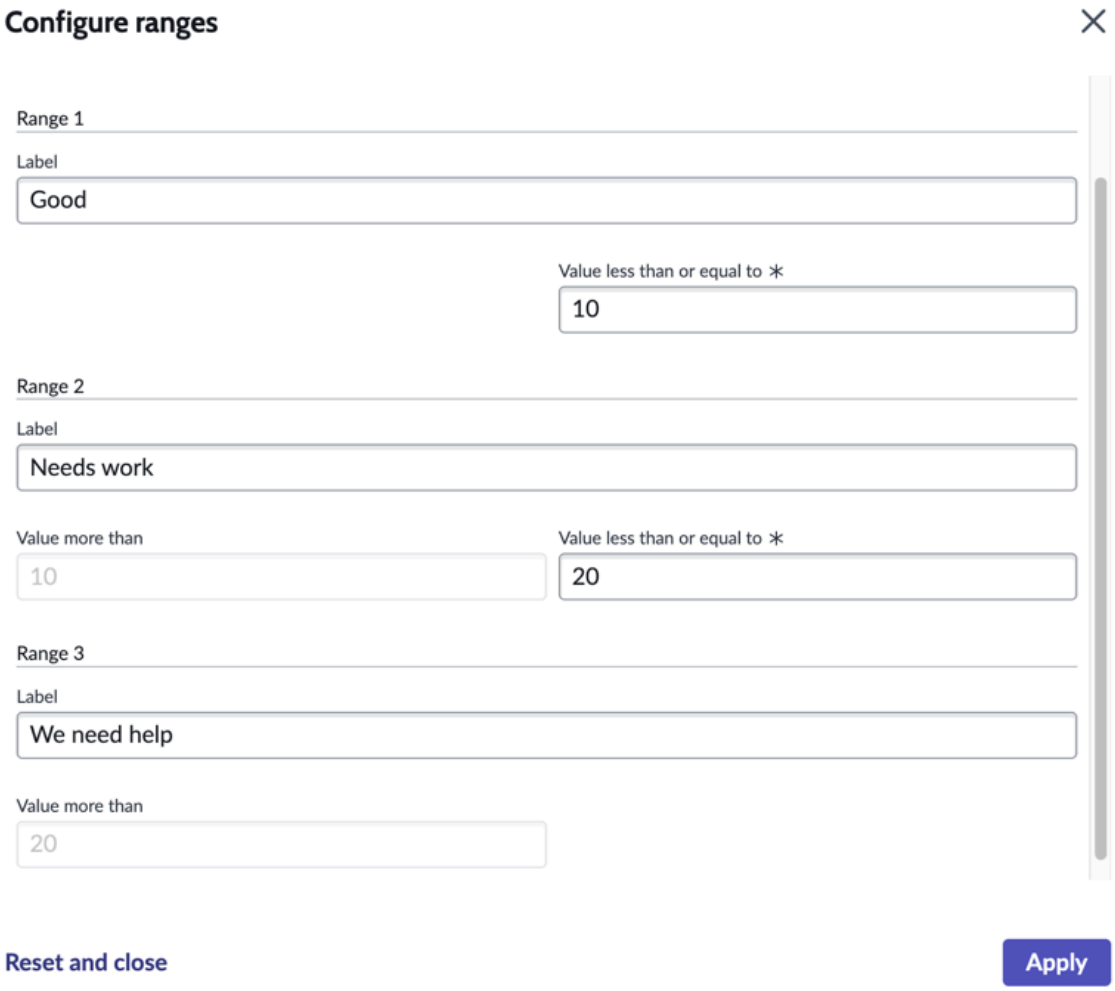
c. 2 番目の範囲に [Needs work (作業が必要)] のラベルを付け、20以下の値を指定します。
最初の範囲から小さい値が取得されます。

d. 3 番目の範囲にラベルを付ける 助けが必要です。
この範囲の値は、2 番目の範囲から取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [Apply (適用)] を選択します。



9. ゲージの ラベル を設定します。

a. スコアラベルの [なし] を選択します。
その他の選択肢は、[メトリクスラベル] と [範囲ラベル] です。メトリクスは可視化の名前にあるため、ゲージの値に「インシデント」というラベルを付けるのは冗長です。[範囲] ラベルには、ラベルを値ではなく可視化のプライマリテキストにするオプションがあります。

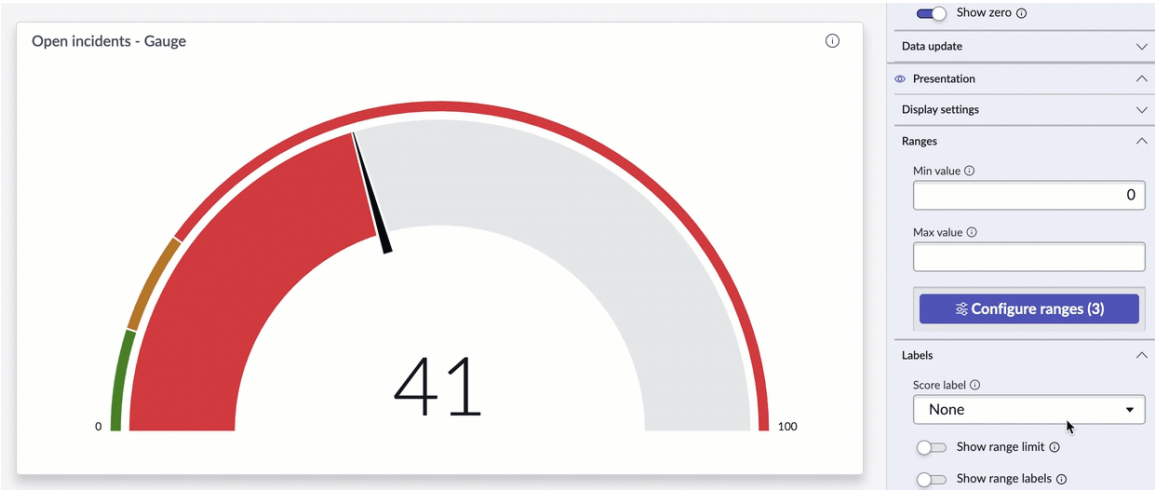
b. [範囲制限を表示] を選択します。
範囲制限では、各範囲の下限値とゲージの上限が可視化に追加されます。

c. [範囲ラベルを表示] を選択します。
構成した範囲ラベルにより、各範囲のコンテキストが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



結果

単一のメトリクス「オープンインシデント」に基づいて可視化したゲージが作成されました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、可視化のサイズ、ラベル付け、および範囲を構成しました。

ジオマップデータの可視化を作成

ジオマップの可視化は、世界、国、地域、または都道府県のデータの地理的分布を示します。ジオマップの使用 位置情報を含むテーブル データを使用します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのジオマップの可視化の使用については、「 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのジオマップ データ可視化コンポーネントに関する情報を提供しますが、一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. ジオマップの可視化タイプを選択します。
4. テーブルデータソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。
   a. マップ設定を構成します。
   b. ドリルダウンを有効にして、レベル間のマップナビゲーションとリストのリダイレクトを有効または無効にします。
5. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

6. データソースのオプションを設定します。
「ジオマップ可視化のテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
マップ	世界地図や国の地図などのデータをプロットするためにマップします。
データラベルの表示	データラベルを有効にします。
凡例	凡例を表示します。
凡例の位置	可視化に関連する凡例の場所。次のオプションが含まれます。 ○ 上 ○ 下 ○ 右 ○ 左
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル。これらの色は、一連のアイコンから、アイコンを含む色のリストから、または色名または 16 進値を検索して選択できます。色は色定義 [sys_report_color] テーブルから取得されます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ジオマップでは、[データビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、基になるレコードビューが開きます。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

ジオマップ可視化のテーブルデータオプション

ジオマップ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	ジオマップデータの可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	マップソースのジオマップにあるフィールドを選択します。デフォルトでは、選択できるフィールドは、[アサイン先] などの場所 [cmn_location] テーブルを指します。場所。マップソース [viz_map_source] テーブルに関連付けられたエントリがある [場所] などのテーブルを指す参照フィールドを選択する必要があります。メインレベルの 1 つのフィールドのみが場所テーブルを参照している場合、このフィールドはデフォルトで選択されます。 ジオマップのマップ ソースの作成方法などの詳細については、「ジオマップデータの可視化のためのマップソース」をご参照ください。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス ト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	リガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
データメッセージがありません	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ジオマップデータの可視化のためのマップソース

ジオマップ データの可視化は、特別なマップ ソースの場所テーブルに接続されます。

ジオマップのマップ ソースは、マップ ソース階層で編成されます。同じテーブルを参照するすべてのマップ ソースは、同じ階層にあります。マップソース階層は、親ソースと最大 4 レベルの子ソースで構成されます。親ソースはテーブルのみを参照し、子ソースはテーブルのフィールドを参照します。

デフォルトでは、インスタンスには、場所 [cmn_location] テーブルを参照するジオマップのマップソース階層があります。したがって、ジオマップに [位置] のフィールドを参照する [グループ] フィールドを含めることができます。[グループ] フィールドは、データソーステーブルの最上位レベルに配置することも、ドット連結で移動することもできます。カスタムロケーションテーブルを参照する追加のマップソース階層を作成できます。

データの可視化とレポートのマップソースの違い

コア UI のマップ レポートに精通している場合は、ジオマップのマップ ソースがマップ レポートのマップ ソースとは異なることに気付いたかもしれません。これらは、sys_report_map_sourceとviz_map_sourceが異なるマップソーステーブルにあるため、十分に異なります。最も重要な違いは、テーブルの参照方法です。

マップレポートでは、マップソースはインシデント [incident] などのファクトテーブルを参照します。マップソースには、場所テーブルを指す参照フィールドも含まれています。子マップソースは、場所テーブルのフィールドへのドット連結です。この構造により、マップのデータソースとして必要なデータテーブルごとに個別のマップソース階層が作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

マップレポートのマップソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Table: change_request (4)		
Change request by location	Change Request [change_request]	location
Change request by location (level 1)	Change Request [change_request]	location.country
Change request by location (level 2)	Change Request [change_request]	location.state
Change request by location (level 3)	Change Request [change_request]	location.city
Table: change_task (4)		
Change task by location	Change Task [change_task]	location
Change task by location (level 1)	Change Task [change_task]	location.country
Change task by location (level 2)	Change Task [change_task]	location.state
Change task by location (level 3)	Change Task [change_task]	location.city

ジオマップのマップソースは、場所テーブルを直接指しています。ファクトテーブルは参照されません。ファクトテーブルは、ジオマップデータの可視化でのみ指定されます。この構造により、表示されるデータに関係なく、インスタンス上のすべてのジオマップに対して 1 つのマップ階層を再利用できます。

ジオマップデータの可視化のためのマップソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Location mapping	Location [cmn_location]	
Location mapping (level 1)	Location [cmn_location]	country
Location mapping (level 2)	Location [cmn_location]	state
Location mapping (level 3)	Location [cmn_location]	city

自動翻訳

データ可視化マップソースの作成

ジオマップデータの可視化でカスタムロケーションテーブルを使用するには、テーブルにリンクするマップソースを定義します。階層のさまざまなレベルにマップ ソースを追加します。

始める前に

必要なロール:report_admin、viz_admin、pa_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. ブラウザーの [URL] フィールドでインスタンス URL に viz_map_source_list.do を追加します。

   Example
   たとえば、インスタンスが https://instance.example.com の場合は、「 https://instance.example.com/viz_map_source_list.do」と入力します。

2. 参照する場所テーブルがマップ ソースで既に使用されているかどうかを確認します。
   同じテーブルを参照するマップ ソースのセットは 、マップ ソース階層と呼ばれます。

3. 目的の場所テーブルを参照するマップソースがない場合は、そのテーブルのトップレベルのマップソースを作成します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。
      空のマップソース [viz_map_source] レコードが開きます。

   b. 次の情報を指定します。

フィールド	説明
名前	マップソースの名前を追加します。テーブルの内容を示すわかりやすい名前を使用します。この階層に作成する他のすべてのマップソースの名前の一部として、この名前を含めます。
テーブル	データの可視化マップソースでまだ使用されていない場所テーブルを選択します。また、選択するテーブルは、データ可視化マップソースで既に使用されているテーブル (cmn_location など) を参照してはなりません。

   c. **[Submit** (送信)] を選択します。

   これで、新しいマップソース階層の親マップソースが作成されました。階層にさらにレベルを追加できます。

4. テーブルのマップソース階層が存在する場合は、作成するマップソースの 1 レベル上のマップソースを開きます。

   注: トップレベルの親の下に設定できるマップソースのレベルは 4 つまでです。

5. [マップソース] 関連リストで、[新規] を選択します。
   新しいマップソース [viz_map_source] レコードが開き、[テーブル] フィールドと [親] フィールドが読み取り専用になります。

6. 次の情報を指定します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。通常、同じ階層内のすべてのマップソースに同じルー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ト名を付けます。ロケーションマッピング (レベル 2) やロケーションマッピング (レベル 3) など、レベルによってのみ区別します。
テーブル (読み取り専用)	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	表示しているマップよりも 1 レベル詳細な位置データのフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。 **注:** 市区町村は、マップレポートにドリルダウンするときに表示できる最も詳細な場所レベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。親マップソースのレベルより 1 レベル低いレベルを選択する必要があります。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。階層に同時に存在できるのは、同じレベルの 1 つのマップ ソースのみです。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

7. [データ変換] セクションで、次の情報を指定します。

フィールド	説明
データの使用方法	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ テーブルのデータを使用: ServiceNow AI Platform 内のデータを変換せずに使用します。データがマッピング先の JSON キー値と既に一致する場合は、このオプションを選択します。 ○ マッピングを使用:最も一般的なユースケース。マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 地域 と都道府県が 最下位レベルのマッピングであるため、このオプションは州/都道府県レベルの下のデータでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 緯度と経度を使用:レベル 3 などの最下位のマップレベルでは常にこのオプションを選択します。データに緯度と経度の値があることを確認します。 ⚠ 警告: [経度と緯度を使用] オプションはドリルダウンを無効にするため、階層の最下位レベルであるマップソースレベルでのみこのオプションを選択します。
次のマップピングを使用	[マップピングを使用] を選択した場合は 、使用するマップピング グループを選択します。マップピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマップピングの集まりです。マップピング グループ内のマップピングを確認するには、[場所マップピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **USA** を hc-key 値 **us** に変換する場合は、関連するキーと値のペアのマップピングが含まれている [国マップピング] を選択します。

8. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   すべてのジオマップには JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマップピングは、geoJSON hc-key および ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

9. **[Update** (更新)] を選択します。

ヒートマップデータの可視化を作成

ヒートマップによるビジュアル化を使用して、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウン間の関係を示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのヒートマップ可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのヒートマップデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供しています。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ヒートマップ ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

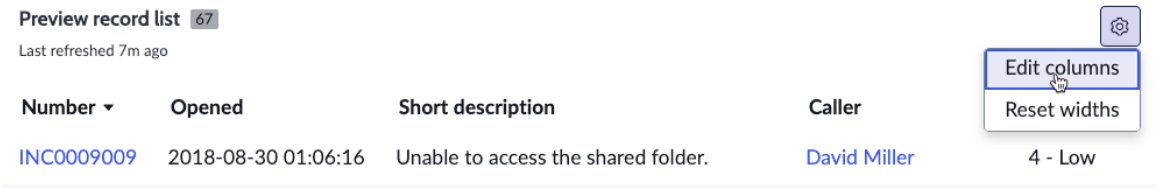
   ○ テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

   構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

   カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

  ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ヒートマップ可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ヒートマップ可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブ化されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ デフォルト:UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの色。特定の色は、UX テーマ [sys_ux_theme]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されているかによって異なります。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブル データソースのみをサポートしています。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

ヒートマップ可視化のテーブルデータオプション

ヒートマップ可視化のテーブルデータソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	ヒートマップデータの可視化を作成でテーブル データソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ツールヒントに元の数値を表示	書式設定されていない数値をポイントして表示するためのツールヒントを含めるオプション。 注: [カスタム書式を使用] と [略語形を有効にする] が true の場合にのみ使用できます。
列と行のグループ化	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。 注: • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、[その他] グループに集計されます。[その他の表示] オプションを使用して、その集計を表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data.max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	[グループの最大数] が設定され、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計は [その他] グループとして表示されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ヒートマップ可視化のインジケーターデータオプション

ヒートマップ可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	でピボットテーブルデータの可視化を作成する可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	をデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ヒートマップの可視化の例

ヒートマップデータの可視化は、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウン間の関係を、2 つの色の間の網掛けのスペクトルとして示します。軸に沿って移動する色が変化し、一方または両方のフィールドまたはブレークダウンの値のパターンを示します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

各軸でセルの色がどのように変化するかを観察することで、一方または両方の変数の値にパターンがあるかどうかを観察できます。

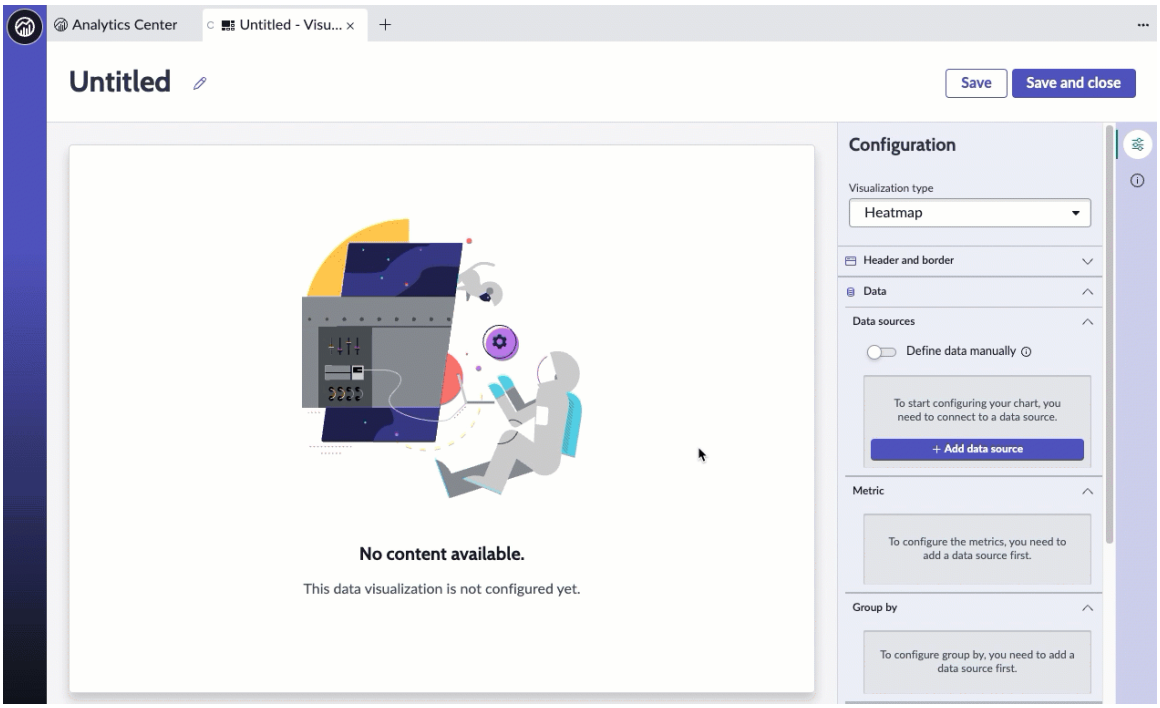
手順

1. 最初の手順に従って 目盛りデータ可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。
   c. ヒートマップ ( ) の可視化タイプを選択します。
2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化には完了したインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むヒートマップデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がクローズ済みインシデントを表すという情報のみが指定されているため、オープンインシデントを示すブロックは 1 つしか表示されません。次のステップで列と行を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、タイトル [オープンインシデント - 優先度とアサイン先グループ] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: 優先度とアサイン先グループ別にグループ化されたすべてのアサイン先グループのオープンインシデント。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートに「 ヒートマップ - オープンインシデント - 優先度とアサイン先グループ」というタイトルを付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] で 1 つの列と複数の行を追加して、複数の観点からデータを表示します。

a. [優先度] 列を追加して、情報のトップレベルを表示します。

b. 行ア サイン先グループを追加します。

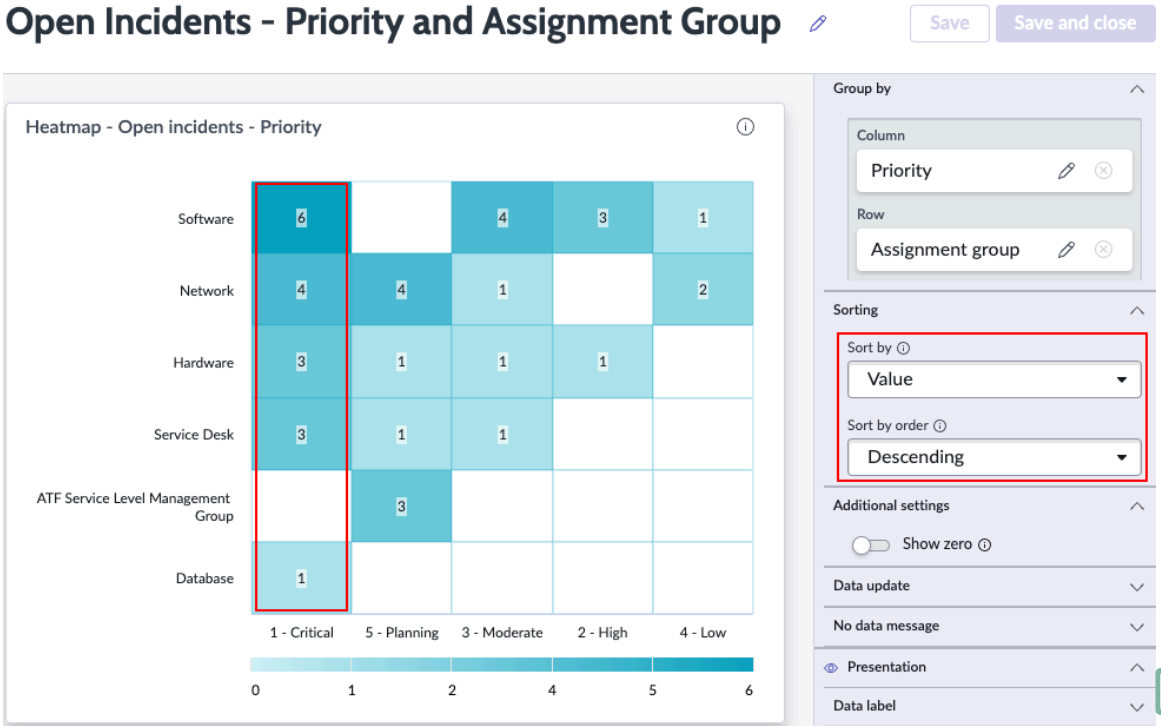
6. [ソート] で、ソートの基準となるフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

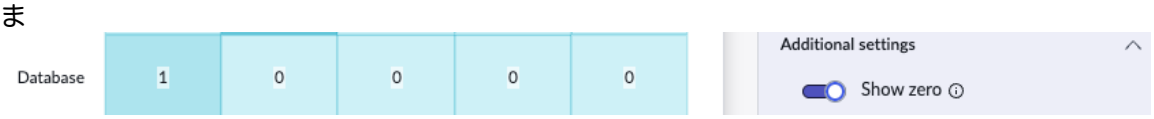
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 値でソートする場合に選択します。

b. ソート順に [降順] を選択します。
列は、インシデント数が最も多いアサイン先グループが一番上にあるように順序付けされます。



7. [追加の設定] で、[ゼロの表示] を選択します。
ゼロを表示すると、空のままになるセルはありません。オープンインシデントがないセルも色分けされます。



8. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. ヒートマップのセルが説明する内容を表示する方法を選択します。
   - [データラベルを表示] は、ヒートマップのセルに値を表示するかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効になっています。無効にすると、色のみがセルの相対的な値を把握できます。
   - [凡例を表示] では、可視化内の各セルの色分けとそれに関連する値の例を示します。凡例を表示するかどうか、および凡例を表示する場所を選択できます。

   a. 凡例オプションを有効にするには、[凡例を表示] を選択します。

   b. 可視化の上の凡例を配置する場所を試してみます。
   凡例を可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

10. 色の設定をいじる。
    デフォルトの色タイプの色合いは青です。また、上限値と下限値に色を指定して、カスタムの色範囲を選択することもできます。

結果
2 つの値でソートされたヒートマップ可視化を作成し、その値、ラベル、およびデータの更新を構成しました。可視化の色も構成しました。

水平または垂直バーのデータ可視化を作成

棒グラフの可視化を使用して、それらが表す値に比例したセグメントで情報を表示します。垂直棒グラフと水平棒グラフの可視化では、名義データまたは順序データのいずれかを表す数値が比較されます。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

この可視化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「棒グラフの可視化の概要」を参照してください。このサイトでは、 UI ビルダーの水平バーおよび垂直バーのデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

このタスクについて
一般に、水平バーを使用して、各アサイン先グループのユーザー数などの名義データをグラフ化します。垂直バーを使用して、さまざまな経過時間バケット内のオープンインシデントの数などの順序データをグラフ化します。ダッシュボードでの棒グラフの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト.

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. 水平棒グラフ ( ) または垂直棒グラフ ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

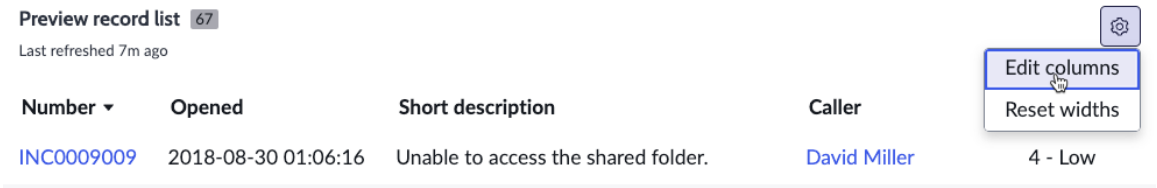
   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

> **注:** この可視化には複数のデータソースを選択できます。ただし、すべてのデータソースが同じタイプ (テーブル、インジケーター、または ユーザーエクスペリエンスアナリティクス) である必要があります。詳細については、「複数のデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[水平および垂直バーによる可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[水平および垂直棒グラフによる可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフの可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

> **注:** 水平棒グラフの可視化では、X 軸がプライマリです。垂直棒グラフの可視化では、Y 軸が主軸です。

フィールド	説明
表示設定	
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントにカーソルを合わせたデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ (ズームが 400% の場合を除き、自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
X 軸と Y 軸 (一部のオプションは、第 1 軸または第 2 軸でのみ使用できます。水平棒グラフの可視化では、X 軸がプライマリです。垂直棒グラフの可視化では、Y 軸がプライマリです)。	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
軸タイトル	X 軸または Y 軸に表示するタイトル。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションが含まれます。 ○ 左 ○ 右 このプロパティは、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。垂直棒グラフの可視化に複数の Y 軸があるなど、複数の主軸がある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に対して垂直な細線のグリッドを表示します。これは、その軸に対して値を揃えるのに役立ちます。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:第 1 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:第 1 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] のデフォルト:第 1 軸に線と目盛りを追加します。
ラベルを折り返す	長いラベルは 2 番目の軸で折り返します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	セカンダリ軸のラベルが折り返される、または切り捨てられる長さ (ピクセル単位)。
切り捨てタイプ	セカンダリ軸の長いラベルを切り捨てる場所を決定します。次のオプションが含まれます。 ○ 開始 開始 ○ 中央 ○ 終了 終了
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブ化されます。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例全体を収めるのに必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 可視化に複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	表示されます。このオプションでは、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] は、選択したセグメントの値 (該当する場合) によって、ダッシュボード上のすべてのデータ表示方法をフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターのデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 注: プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

水平および垂直バーによる可視化のテーブルデータオプション

水平棒グラフまたは垂直棒グラフによる可視化のテーブルデータソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。パレート図で定義できる グループ化基準 は 1 つだけです。代替グループ化は、パレート図による可視化に対して定義できます。 複数のデータソースを持つ垂直棒グラフ、水平棒グラフ、およびピボットレポートの場合:最初のソースを選択フィールドでグループ化する場合は、該当する任意の選択フィールドで 2 番目のソースをグループ化できます。 • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義され

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、[その他] グループに集計されます。[その他の表示] オプションを使用して、その集計を表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data.max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定され、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計は [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンにすると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
グループ	最初のグループによって、可視化の棒が決まります。積み上げ基準となる 2 番目の値を選択します。たとえば、最初に [優先度] を選択して各優先度のタスク数を表示し、[アクティブ] を選択して各優先度のアクティブなタスクと非アクティブなタスクを積み重ねます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えできます。 • 1 つのフィールドでのみ順序付けできます。[追加グループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス ト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	リガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

水平および垂直棒グラフによる可視化のインジケーターデータオプション

水平棒グラフまたは垂直棒グラフによるチャート化のインジケーターデータソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含む、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
グループ	最初のグループによって、可視化の棒が決まります。追加のグループ化要素を構成して、データ内の追加アイテムに基づいて表示できるようにします。 **注:** インジケーターデータに基づくデータ表示で棒を積み重ねることはできません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えできます。 • 1 つのフィールドでのみ順序付けできます。[追加グループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフの可視化のデータオプション

水平棒グラフまたは垂直棒グラフによる可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (UXA) データを使用したプラットフォームアナリティクスデータの可視化をインラインダッシュボードに追加する場合、そのデータ可視化のデフォルトのドリルダウンでは、対応する UXA アナリティクスページが開きます。この機能を使用すると、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードから特定のユーザーの行動をすばやく効率的にドリルダウンして探索できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのプロパティ。 注: イベントとセッションのメトリクスでのみ使用できます。この場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えできます。 • 1 つのフィールドでのみ順序付けできます。[追加グループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

メトリクスごとの次のフィルター

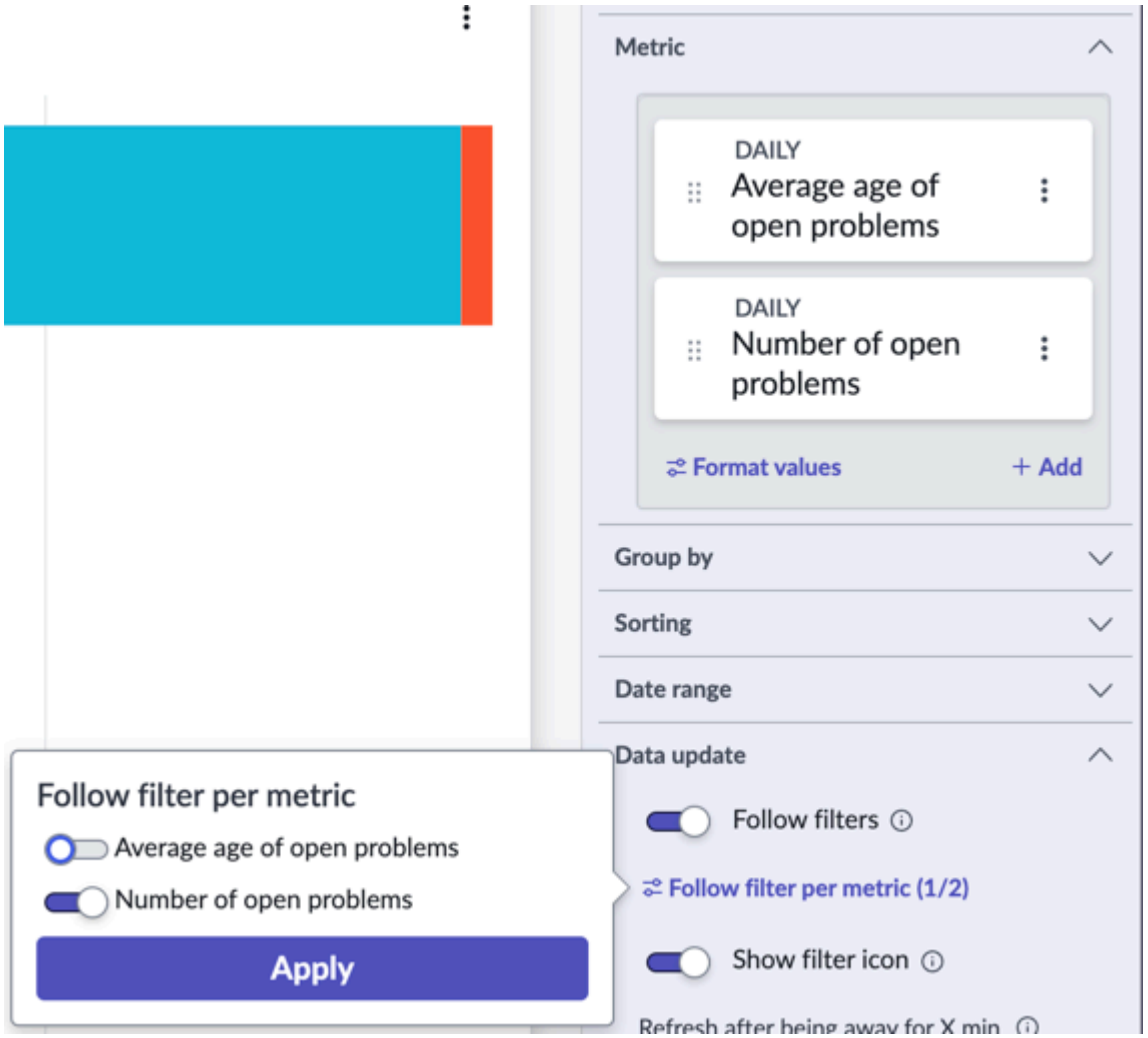
複数のメトリクスを水平棒グラフまたは垂直棒グラフで表示している場合は、ダッシュボードのフィルターを特定のメトリクスにのみ適用することができます。

複数のメトリクスを表示する時系列または棒グラフの可視化で [フィルターに従う] が有効になっている場合、構成パネルには [メトリクスごとのフィルターに従う **(Follow filters per metric)**] という展開可能なアイテムが表示されます。このアイテムを展開して、各メトリクスについて次のフィルターのオンとオフを切り替えます。

たとえば、未解決の問題の数と未解決の問題の平均経過時間を示す棒グラフによるビジュアライゼーションを考えてみます。この可視化を設定すると、未解決の問題の数がダッシュボードの適用可能なフィルターに従うが、問題の平均経過時間は従わないようにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



棒グラフによる可視化の例

棒グラフの可視化を使用すると、さまざまなカテゴリまたはグループの比較サイズや頻度 (たとえば、さまざまな地域や異なる期間の売上など) を表示できます。

水平バーのユースケース

水平バーを使用して、部門、機関、地域などの名前付き値別にデータを表示します。

垂直バーのユースケース

経過時間、金額の範囲、期間などの番号付きの値を表示するには、垂直バーを使用します。

水平棒グラフの可視化の例

水平棒グラフで表示すると、インシデントの優先度や営業グループなど、さまざまなカテゴリやグループの比較サイズや頻度を表示できます。アサイン先グループなど、棒グラフの可視化にグループ化や積み重ね基準を追加することもできます。

始める前に

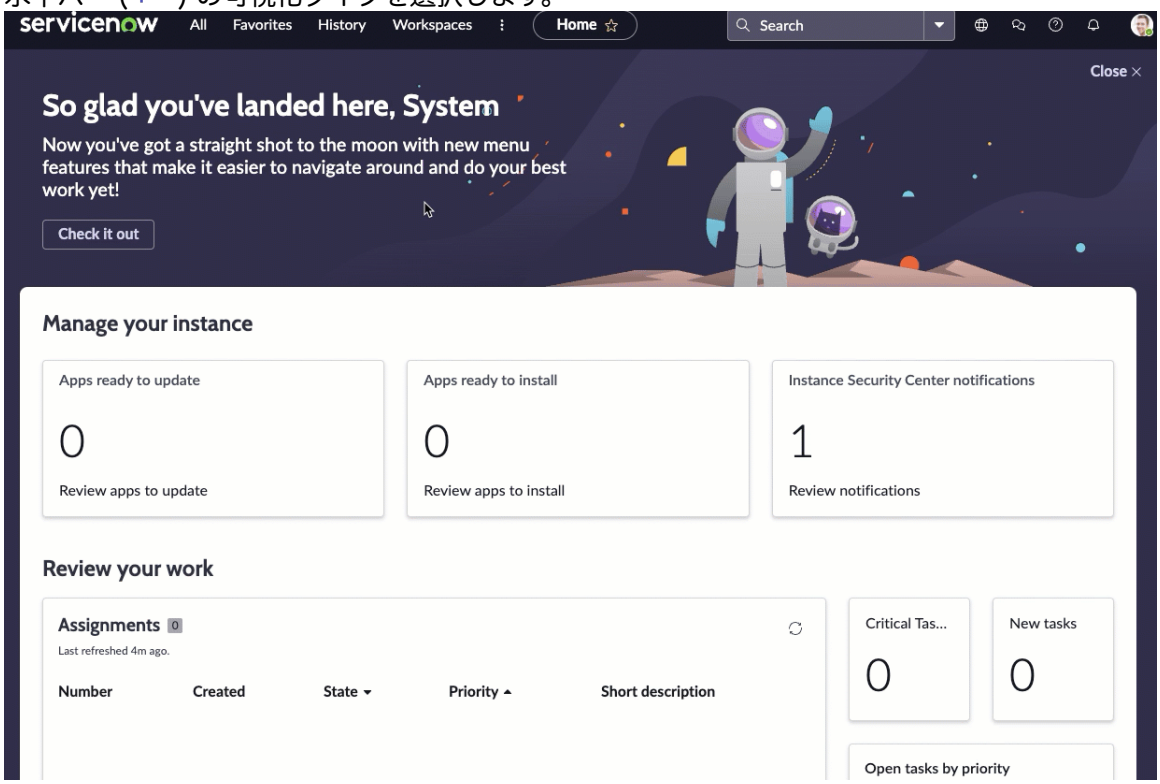
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
水平棒グラフの可視化タイプを使用して、さまざまなカテゴリまたはグループを比較し、データセットの分布を明確に示します。この例では、優先度別にインシデントを表示し、アサイン先グループ別に積み重ねます。

手順

1. 最初の手順に従って 水平または垂直バーのデータ可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。
   c. 水平バー ( ) の可視化タイプを選択します。

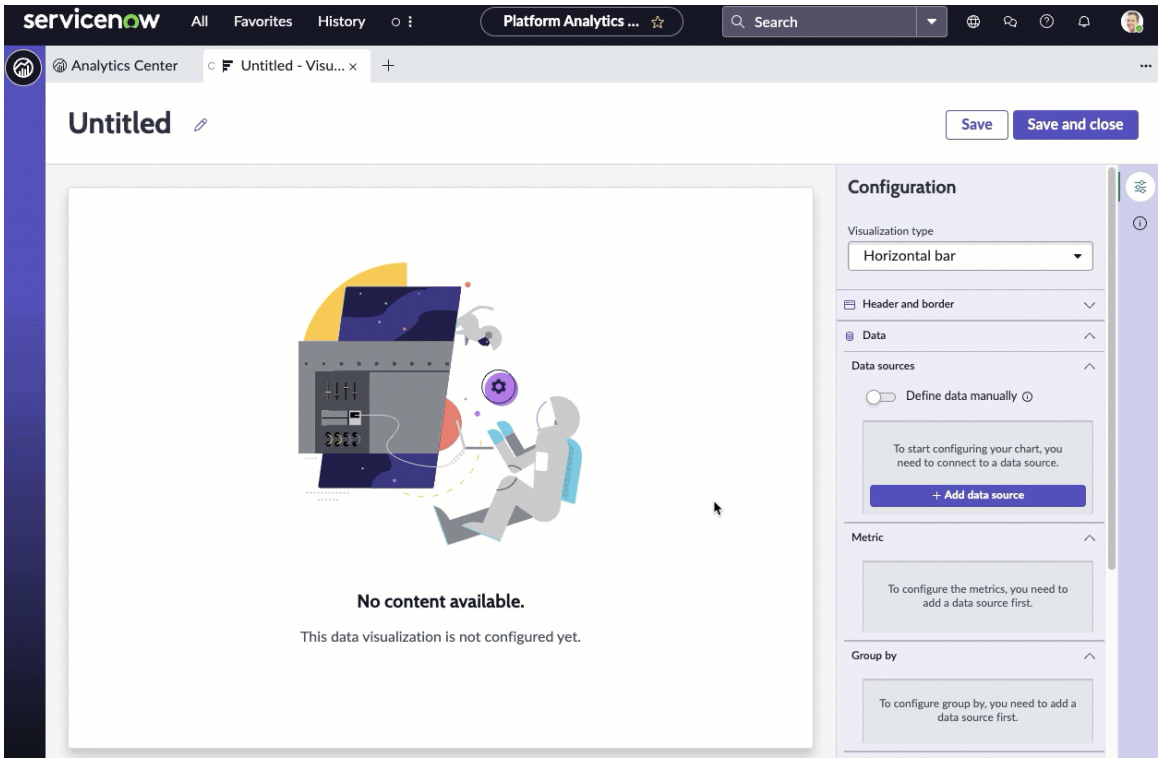


2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含む水平バーのデータ表示が 可視化デザイナーに表示されます。入力した情報は、可視化がアクティブなインシデントを表すもののみであるため、表示されるのは 1 つのブロックのみです。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、タイトル [オープンインシデントの数 - 優先度とアサイン先グループ] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: アサイン先グループ別にグループ化されたすべての優先度のオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートに「 水平バー - オープンインシデント」というタイトルを付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. グループ化基準を追加して、可視化で情報を区別します。
[グループ] で [アクティブ] を選択し、グループ化を [優先度] に変更します。

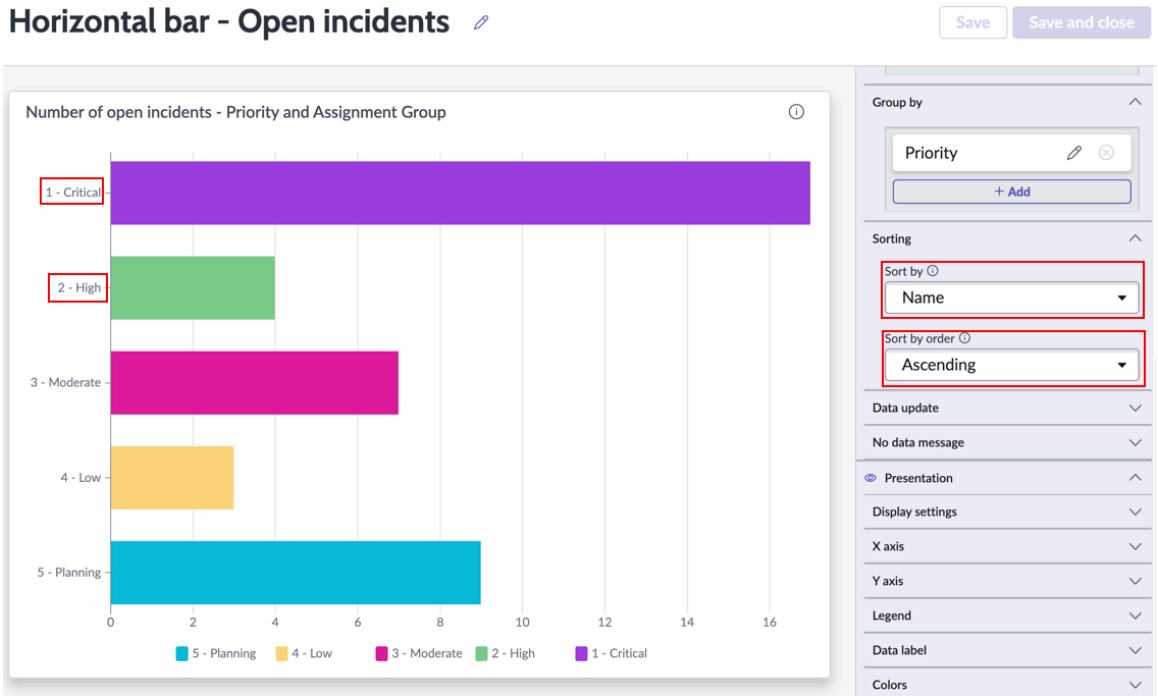
6. [ソート] で、ソートの基準となるフィールドとソートの順序を選択します。

a. 名前でソートする場合に選択します。
優先度名はそれぞれ数字で始まるため、バーは 1 - 重大、2 - 高などになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
バーは、1 - 重大が一番上、その後に 2 - 高、3 - 中などの順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

8. X 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、棒の比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示]を選択することもできます。

a. X 軸に「 `オープン中のインシデント` 」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. 軸範囲の [開始] 値の デフォルトの 0 のままにします。

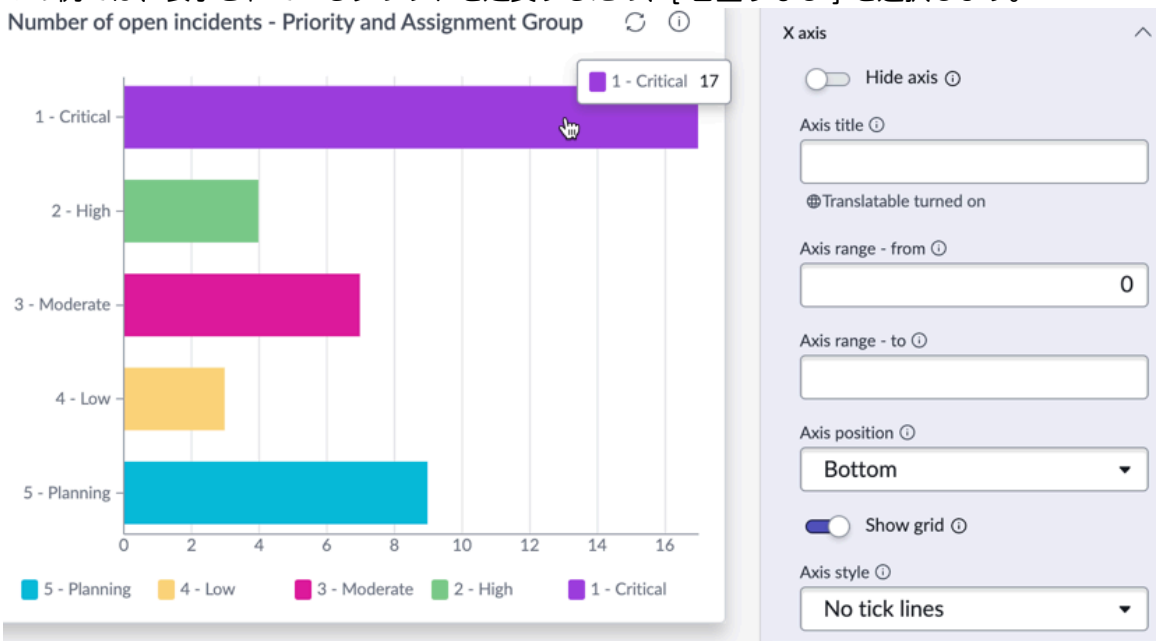
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

より大きな値が理にかなっている場合がありますが、欠点は、バーの相対的なサイズが精度が低下し、誤解を招く可能性があることです。

c. 軸範囲の 終了 値のデフォルトの空のままにします。
この値が空の場合、範囲内の最大値は可視化内の最大の棒の最大値と同じになります。この例では、この値は 17 です。

d. [グリッドを表示] オプションと [軸スタイル] オプションは、自分の好みに合わせて調整できる美的小さな変更です。
この例では、表示されているグリッドを延長するため、[目盛りなし] を選択します。



9. Y 軸を構成します。
Y 軸構成は、縦軸に対するラベルの表示方法に対応します。この例では、比較的短いラベルを使用しています。ただし、最大ラベルサイズがラベルより小さい場合は、ラベルテキストを切り捨てるか折り返すことができます。ラベルの先頭または末尾のテキストを切り捨てることができます。

a. Y 軸にタイトル「優先度」を付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[ラベルの最大サイズ] が 0 の場合は、最大のラベルがサイズを決定することを意味するため、ラベルの表示に変更はありません。

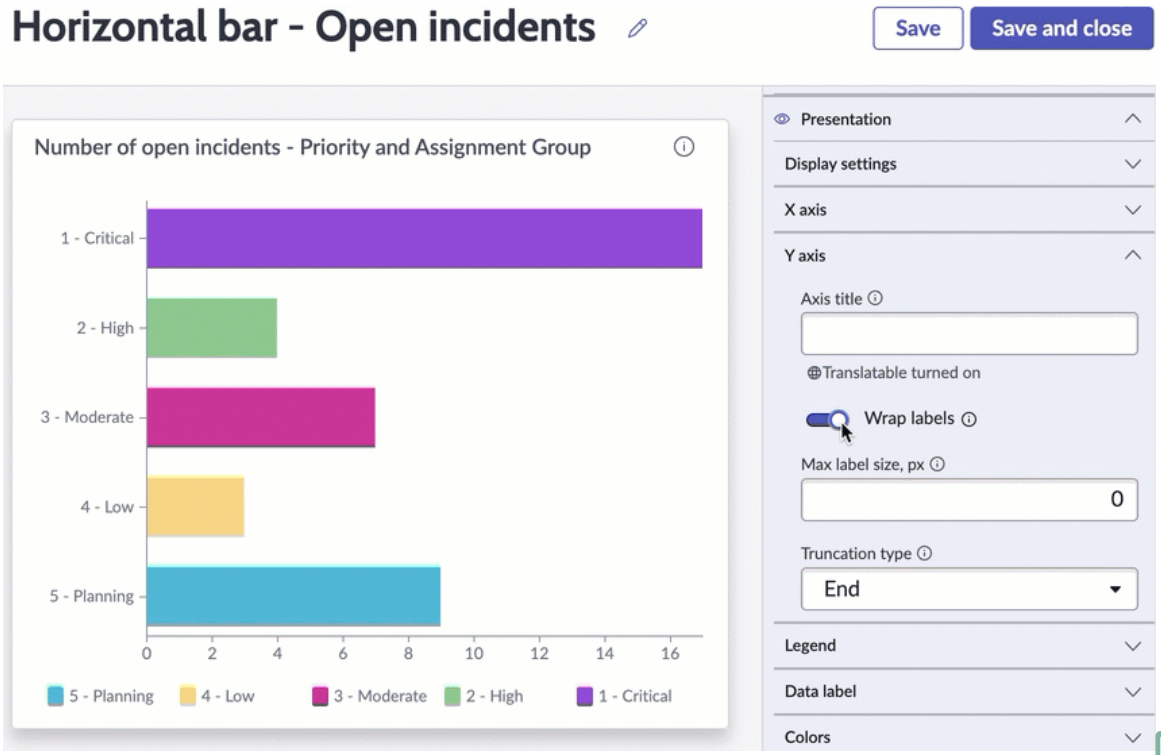
c. [最大ラベルサイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されているため、違いはありません。

d. [ラベルを折り返す] オプションをクリアします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

切り捨てタイプを変更すると、長いラベルの端が 3 つのドットに [End] で置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換わります。そして、中央を選択した場合も同じことが起こりま



す。

10. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、Y 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが多い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが多い場合は、上または下に配置します。

a. [凡例を表示] と [凡例値を表示] を選択します。
[凡例を表示] の値は 、メトリクスに関連付けられた数値を追加します。この場合、 **1 -** 重大 なインシデントの数が 1 - 重大なインシデントに 17 が追加されます。または、[データラベルを表示] ([データラベル] セクション内) を選択して、この値をバー自体に配置することもできます。

b. 凡例を可視化の上に配置します。
凡例を可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

c. [中央水平配置] を選択します。
開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、[開始] と [終了] は右と左です)。

d. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に余裕を増やしたり減らしたりします。

e. 凡例を垂直に展開 すると、凡例に追加の行が提供されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要はありません。
この例では、5 つのインシデント優先度に対して 1 行だけ必要です。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーがある可視化では、スクロールバーなしで凡例にさらに多くを表示することができます。

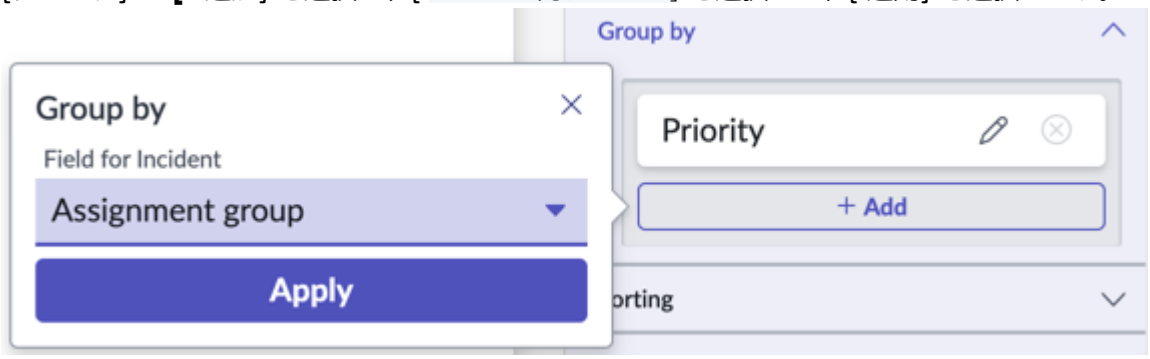
11. グループ化基準を追加して、可視化で詳細情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

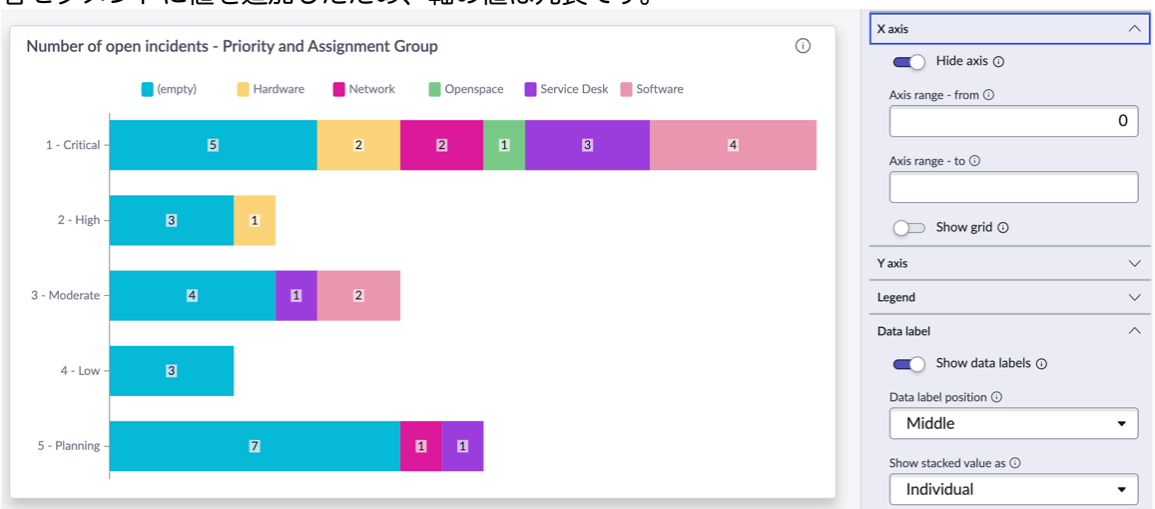
この可視化を呼び出したことを覚えておいてください オープン インシデントの数 - 優先度とアサイン先グループ。アサイン先グループを追加します。

a. [グループ] で **[+** 追加] を選択し、[アサイン先グループ] を選択して、[適用] を選択します。



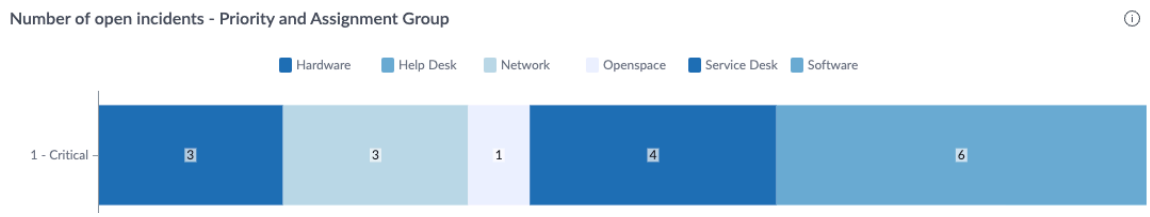
b. 中央にデータラベルを表示します。
追加のグループ化基準では、積み重ね値 (優先度の上位にアサイン先グループ) があります。データ値をアサイン先グループごとの個々のインシデント数として表示するか、累積値 (各セグメントを前の値に追加したもの)、または単に合計を表示するかを選択できます。[個々] を選択して、各セグメントの値を表示します。

c. X 軸を非表示にします。
各セグメントに値を追加したため、軸の値は冗長です。



12. 可視化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、青の光から暗などの同じ色の色相を使用します。



- 固定要素 は、ハードウェアインシデントなど、各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
2 つのフィールドにグループ化された水平棒グラフの可視化を作成しました。また、可視化のラベル付け、凡例、および範囲も構成しました。

垂直棒グラフによる可視化の例

縦棒グラフで表示すると、さまざまなカテゴリやグループの比較サイズや頻度 (たとえば、異なる地域や異なる期間の売上など) を表示できます。垂直の X 軸には、通常、年や日付範囲、経過時間範囲、給与範囲などの数値が表示されます。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
垂直棒グラフ表示タイプを使用して、さまざまなカテゴリまたはグループを比較し、データセットの分布を明確に示します。この例では、機能停止をタイプ別に表示しています。

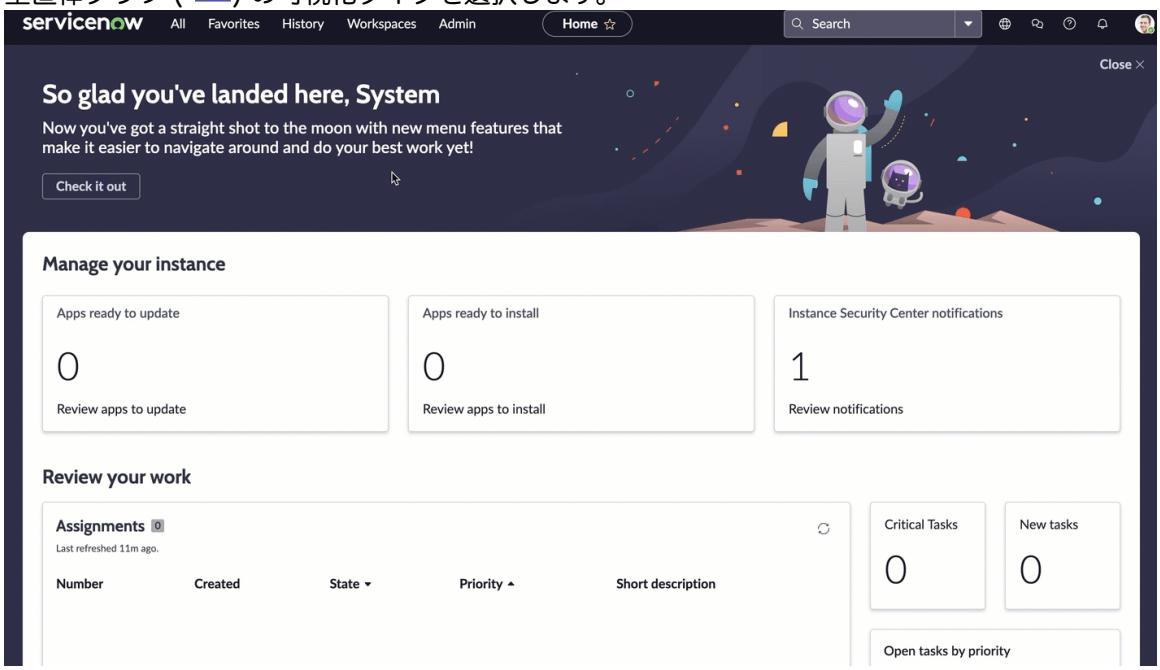
手順

1. 最初の手順に従って 水平または垂直バーのデータ可視化を作成します。

a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。

b. [新規] を選択します。

c. 垂直棒グラフ ( ) の可視化タイプを選択します。



2. 今のところ、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. 機能停止 [cmdb_ci_outage] テーブルを選択します。
この表には、さまざまなサービスの機能停止が一覧表示されます。

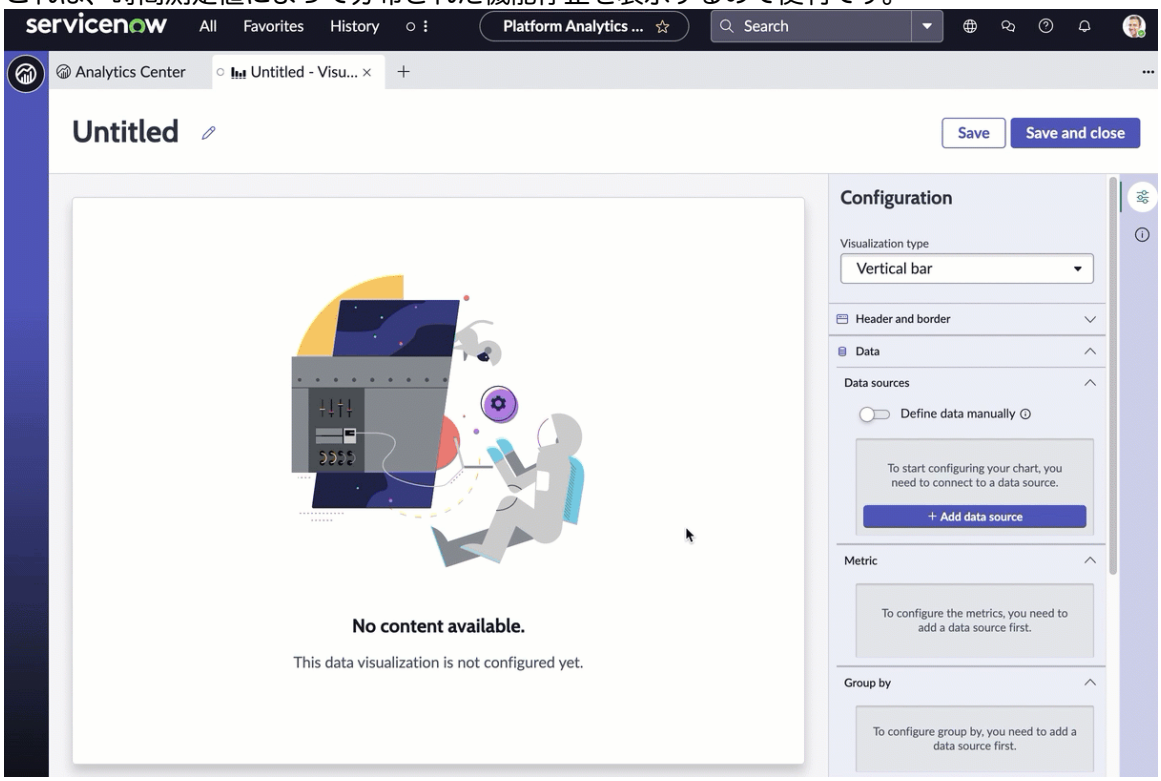
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

d. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む垂直棒グラフのデータ表示が 可視化デザイナーに表示されます。可視化は、テーブルの最初のフィールド (アルファベット順) [開始] でグループ化されます。これは、時間測定値によって分布された機能停止を表示するので便利です。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、タイトルとして [タイプ別の機能停止] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します:CMDB 機能停止を開始日別にグループ化し、タイプ別に積み重ねます。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

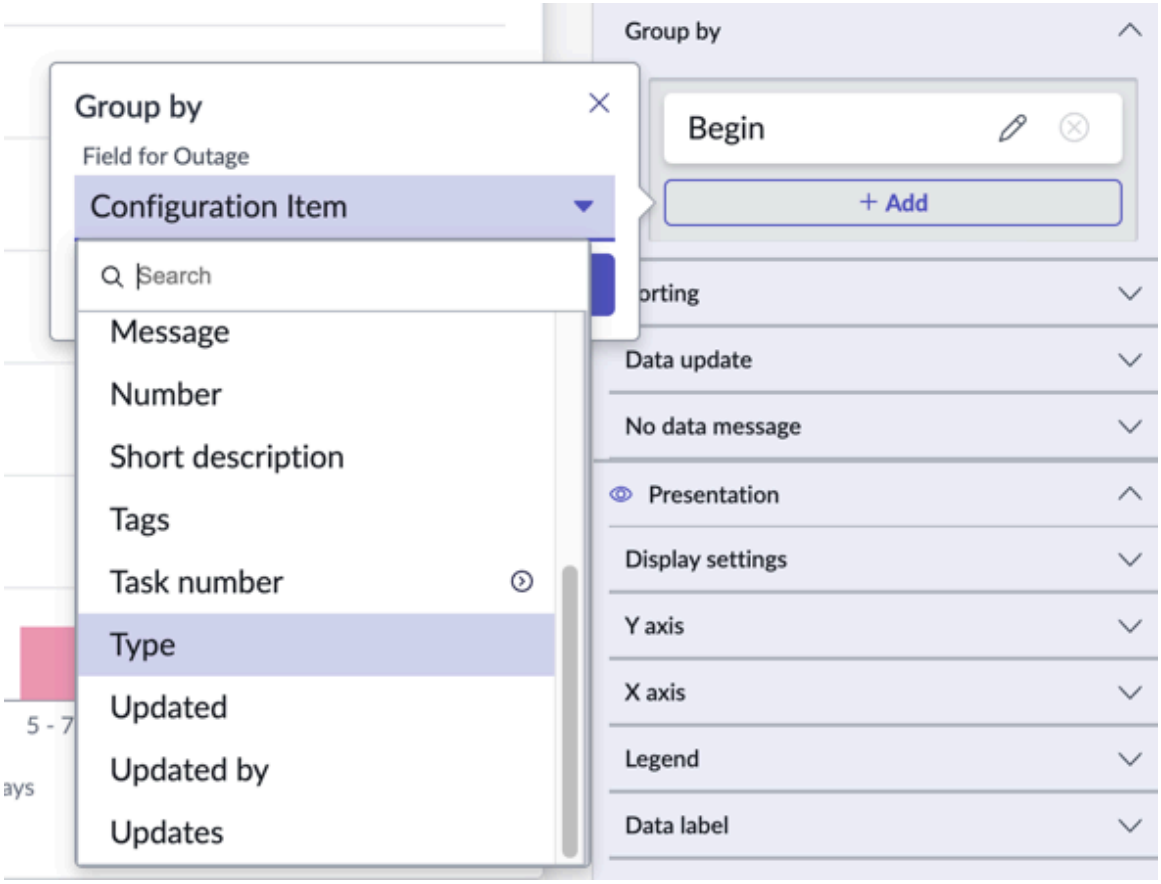
d. [保存] を選択し、レポートに「 垂直バー - CMDB 機能停止」というタイトルを付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] セクションで [追加] を選択して、可視化の情報を区別します。
[タイプ] を選択し、[適用] を選択します。さまざまなタイプの機能停止を区別するために、列にさまざまな色が表示されるようになりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [ソート] で、[ソート基準] の値 と [降順でソート] を維持し ます。
これらのオプションは、データを視覚化する 1 つの論理的な方法を示しています。ソートオプションを変更して、最適なものを確認します。
7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
   たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

   c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
   一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

   このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

8. バリエーションでは、次の 3 つの異なる方法でデータが表示されます。

   積み重ね

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

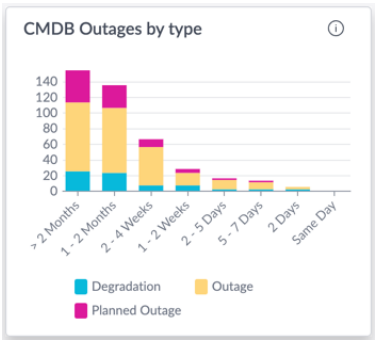
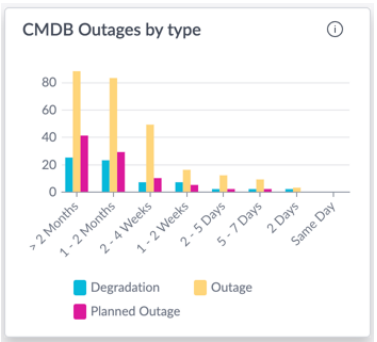
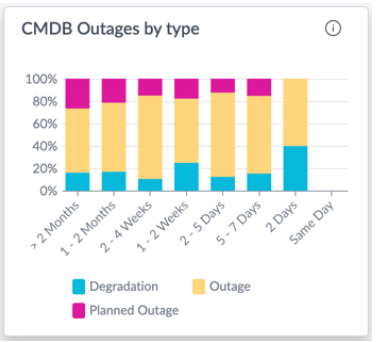
あるタイプの上に積み重ねられたグループ化された要素 (この場合はタイプ) を表示します。

並列表示

タイプごとに異なるバーを表示します。

正規化済み

各グループに同じ高さの積み重ねバーを表示し、色は全体のパーセンテージを示します。

積み重ね	並列表示	正規化済み
		

9. Y 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、棒の比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示]を選択することもできます。

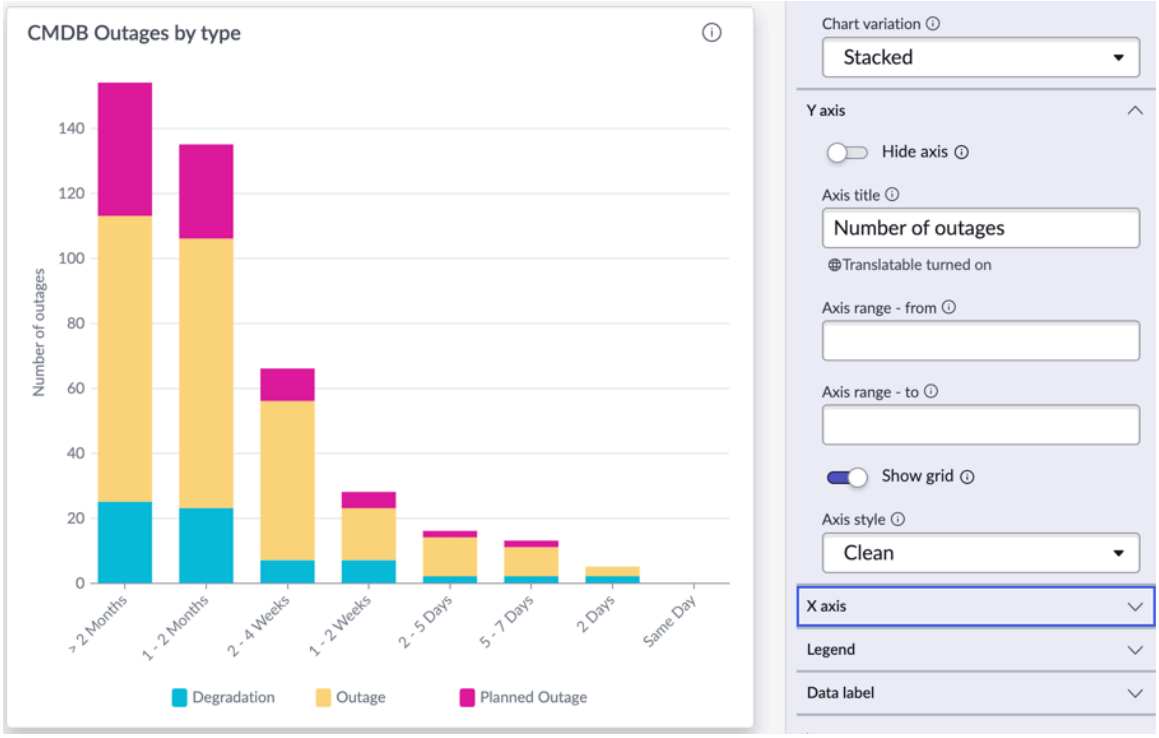
a. Y 軸に [機能停止数] というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. バーの範囲の下限と上限を指定できますが、これらの値は両方とも役に立つため、[軸の範囲 (開始)] と [軸範囲] は空のままにします。
From 値を大きくする方が理にかなっている場合がありますが、欠点は、バーの相対的なサイズが精度が低下することです。[終了] の値が空の場合、範囲の最大値は可視化内の最大の棒の最大値と同じになります。

c. [グリッドを表示] オプションと [軸スタイル] オプションは、自分の好みに合わせて調整できる美的小さな変更です。
この例では、[クリーン] を選択すると少しきれいになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [最大ラベルサイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されているため、違いはありません。

10. X 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。

X 軸構成は、縦軸でのラベルの表示方法に対応します。この例では、比較的短いラベルを使用しています。ただし、最大ラベルサイズがラベルより小さい場合は、ラベルテキストを切り捨てるか折り返すことができます。ラベルの先頭または末尾のテキストを切り捨てることができます。

a. X 軸に「 CMDB 機能停止」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[ラベルの最大サイズ] が 0 の場合は、最大のラベルがサイズを決定することを意味するため、ラベルの表示に変更はありません。

11. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、X 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが多い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが多い場合は、上または下に配置します。

a. [凡例を表示] と [凡例値を表示] を選択します。
凡例値を表示 選択したメトリクスに関連付けられた番号を追加します。または、[データラベルを表示] ([データラベル] セクション内) を選択して、これらの値をバー自体に配置することもできます。

b. 凡例を可視化の上に配置します。
凡例を可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

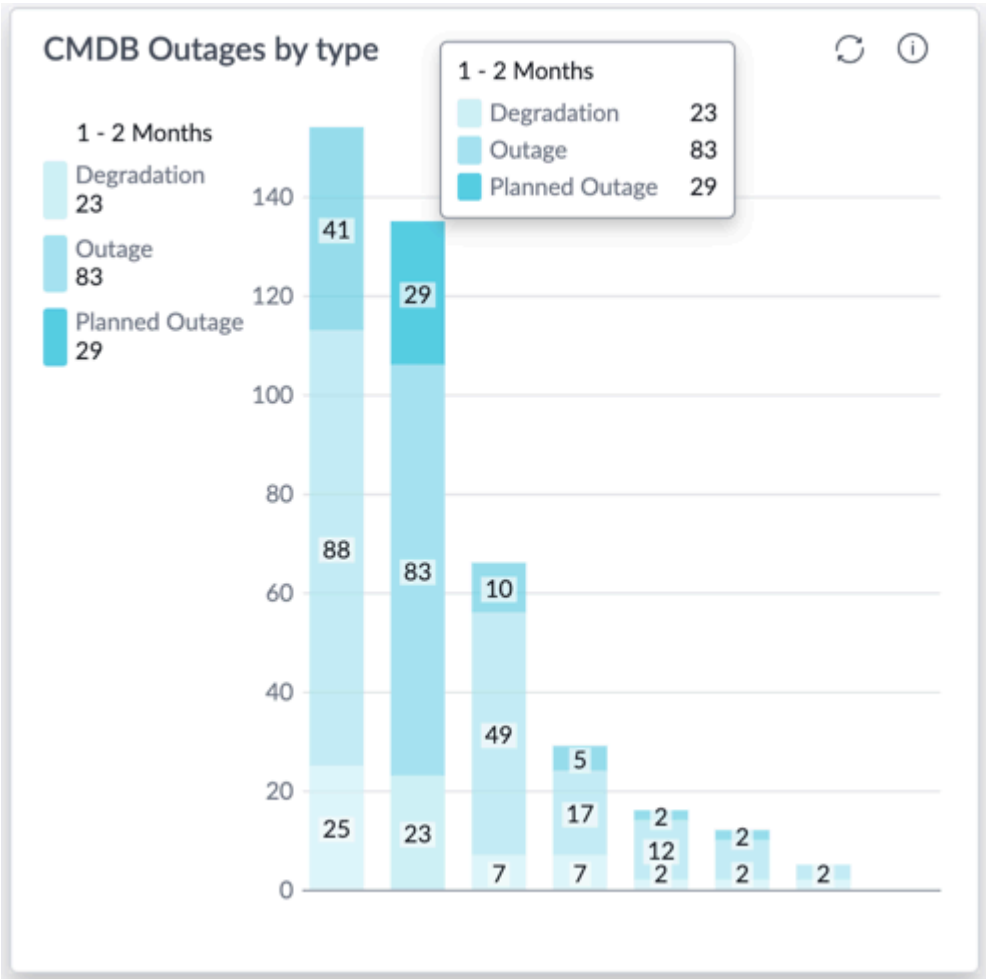
c. [中央水平配置] を選択します。
開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、[開始] と [終了] は右と左です)。

d. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に余裕を増やしたり減らしたりします。

e. 凡例を垂直に展開 すると、凡例に追加の行が提供されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要はありません。
この例では、3 つの機能停止タイプに対して 1 つの明細のみが必要です。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーがある可視化では、スクロールバーなしで凡例にさらに多くを表示することができます。

12. 可視化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (例:順次 - 青、明から暗)。



- 固定要素の色 は、ハードウェアインシデントなど、各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

結果
2 つのフィールドでグループ化された垂直棒グラフの可視化を作成しました。また、可視化のラベル付け、凡例、および範囲も構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成

円グラフ、ドーナツグラフ、半ドーナツグラフの可視化を使用して、データセットの一部のサイズを全体と比較します。これらの可視化のセグメントの合計は 100% になる必要があります。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

この可視化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「円/ドーナツ可視化の概要 」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの円グラフ、ドーナツグラフ、または半ドーナツグラフの可視化の使用については、「」を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーの円グラフおよびドーナツグラフのデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. 円グラフ ( )、ドーナツグラフ ( )、または半ドーナツグラフ ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

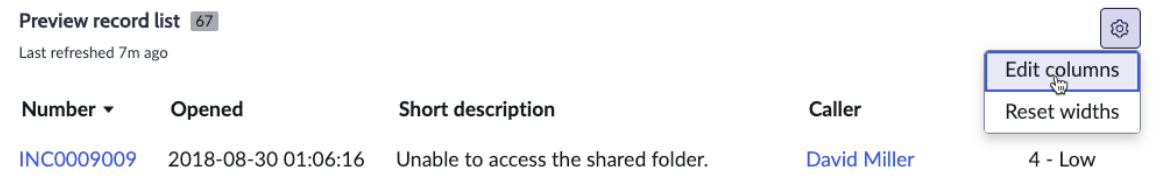
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[円グラフとドーナツグラフの可視化のためのテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[円グラフおよびドーナツグラフの可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、次に移動します ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフの可視化のデータオプション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブ化されます。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	登録の表示方法のオプション。 ○ 水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を垂直に表示するオプション (最大 5 行)。 このプロパティは、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例全体を収めるのに必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

チャートのインタラクション

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] は、選択したセグメントの値 (該当する場合) によって、ダッシュボード上のすべてのデータ表示方法をフィルタリングします。 **注:** [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターのデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

円グラフとドーナツグラフの可視化のためのテーブルデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフの可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
データソース	円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、[その他] グループに集計されます。[その他の表示] オプションを使用して、その集計を表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data.max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定され、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計は [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンにすると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	た時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
合計値を表示	全体の合計値を表示するオプション。幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、ドーナツに収まらない場合、値は非表示のままになります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

円グラフおよびドーナツグラフの可視化のインジケーターデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフの可視化のインジケーターデータソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含む、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
合計値を表示	全体の合計値を表示するオプション。幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、ドーナツに収まらない場合、値は非表示のままになります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフの可視化のデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフの可視化に ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択する場合は、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要: 円グラフとドーナツグラフの可視化は、イベントデータにのみ適しており、ユーザーやセッションには適していません。イベントのみに、グループ化の基準となる値があります。

フィールド	説明
データ	
データソース	円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのプロパティ。 **注:** イベントとセッションのメトリクスでのみ使用できます。この場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
構成別の拡張グループ	国、ロケール、ユーザー指定のディメンション、オペレーティングシステム、デバイスの解像度、Web ブラウザー、デバイスタイプ、モバイルデバイス、モバイルバージョン、モバイル接続、およびユーザーとセッションの複数グループ化 (少なくとも 2) ごとにグループ化をサポートします。
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 **注:** • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	アル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

自動翻訳

円グラフの可視化の例

円グラフのデータの可視化では、円形を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの割合またはパーセンテージを示します。円 (または「スライス」) の各部分は異なるカテゴリまたはグループを表し、各スライスのサイズは、それが表すグループまたはカテゴリのサイズに比例します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

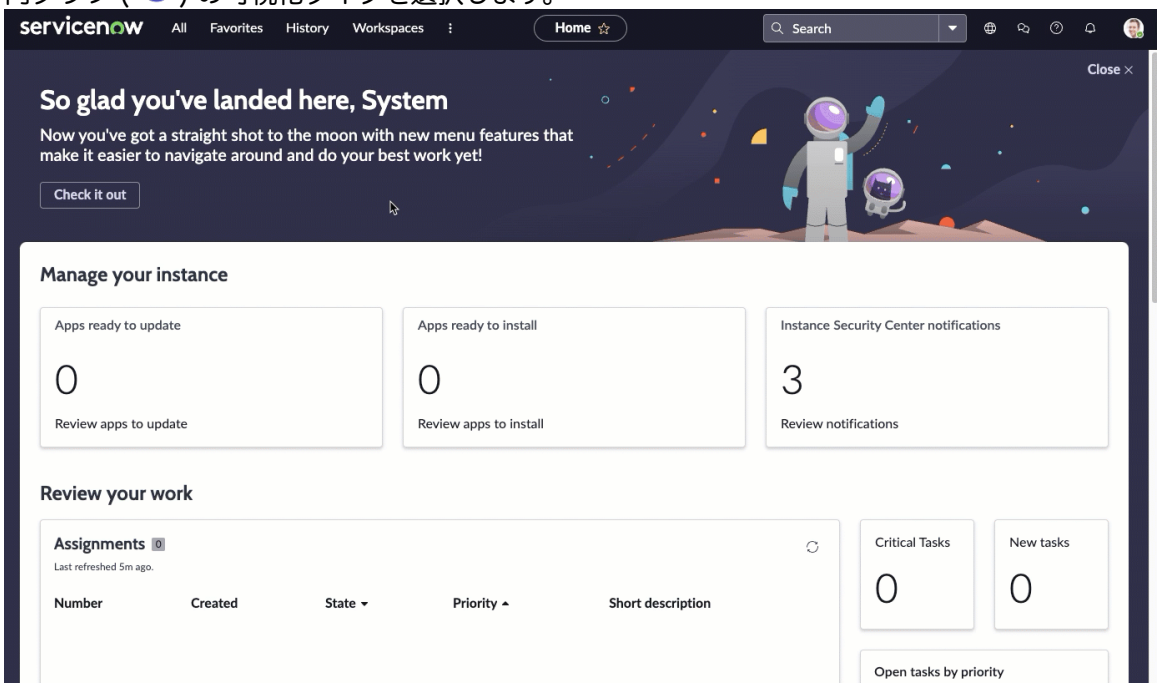
この可視化タイプを使用して、予算内の経費の配分やアサイン先グループ間のインシデントの配分など、全体を構成する部分の割合を表示します。

手順

1. 最初の手順に従って 円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 円グラフ ( ) の可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

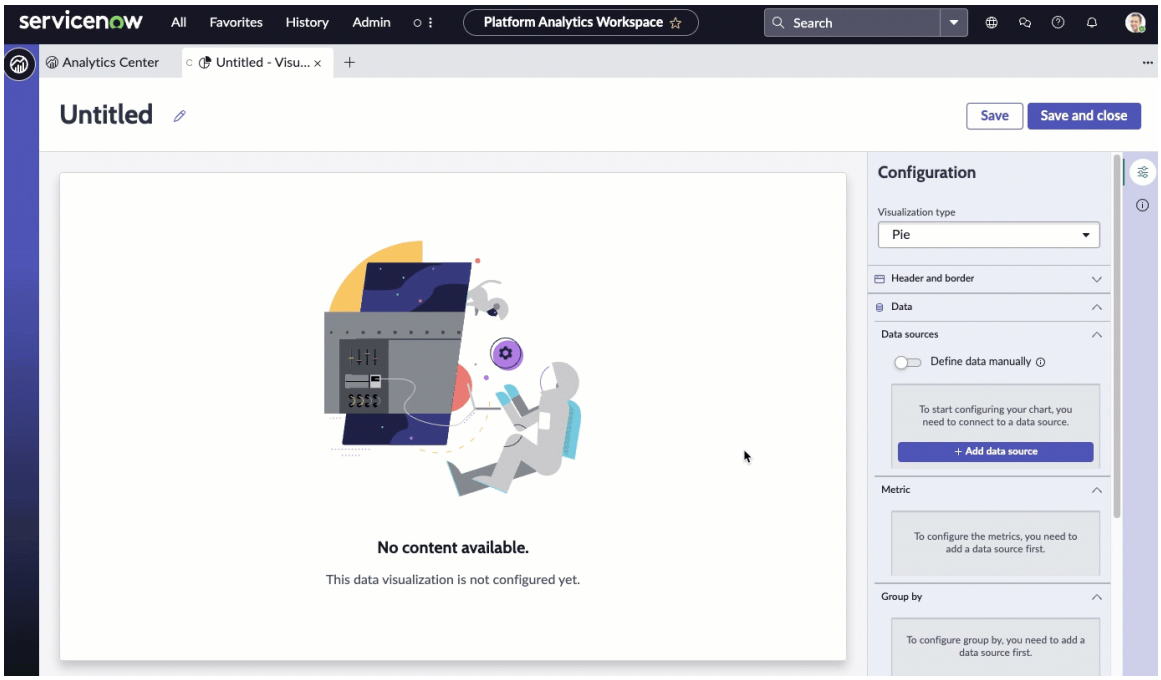
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む円グラフの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。表示方法がアクティブなインシデントを表すという情報のみであるため、Active=True と Active=False の 2 つのくさびしか表示されません。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [ヘッダーを表示] を選択し、タイトルとして [オープンインシデント - アサイン先グループ] を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します: アサイン先グループ別のすべての優先度のオープンインシデント。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

   d. [保存] を選択し、レポートに「 円グラフ - オープンインシデント」というタイトルを付けます。

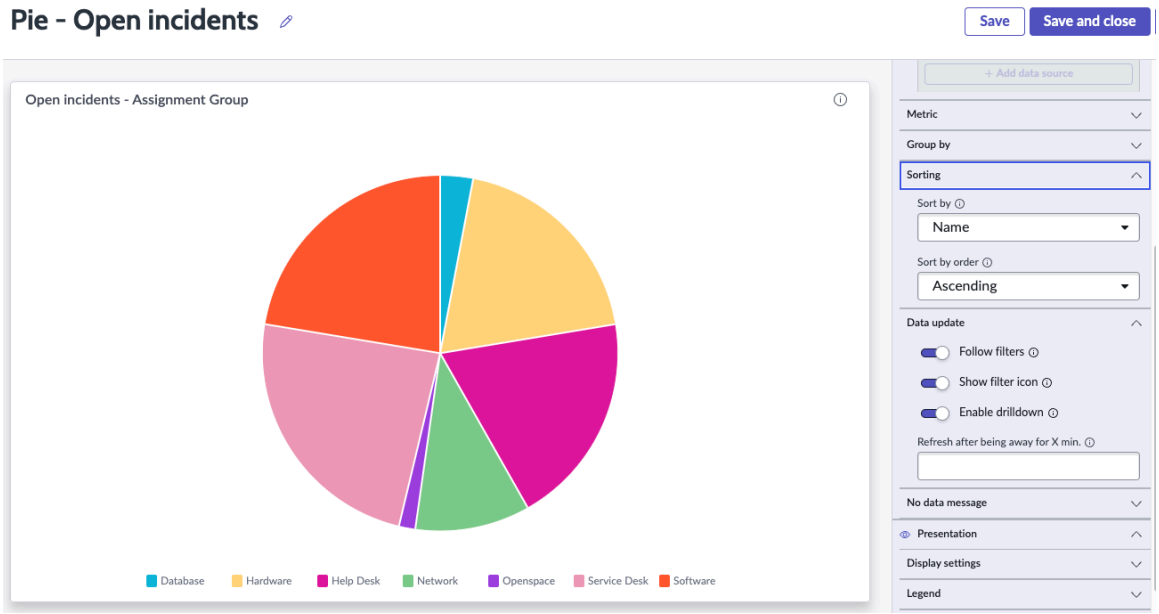
4. [メトリクス] セクションをスキップします。
5. グループ化基準を追加して、可視化で情報を区別します。
   [グループ] で [アクティブ] を選択し、グループ化を [アサイン先グループ] に変更します。
6. [ソート] で、ソートの基準となるフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートする場合に選択します。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
セグメントは、「データベース」、「ハードウェア」などで始まるアサイン先グループ名の順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

8. 円グラフのくさびが表す内容を表示する方法を選択します。

- [凡例を表示] は、可視化の各値の色分け例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが多い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが多い場合は、上または下に配置します。
- [データラベルを表示] では、可視化のセグメントの横にラベルと値の情報を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 凡例オプションを有効にするには、[凡例を表示] を選択します。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を追加します。この場合、 ネットワークアサイン先グループにアサインされたインシデントには 7 が追加されます。これはネットワークインシデントの数です。

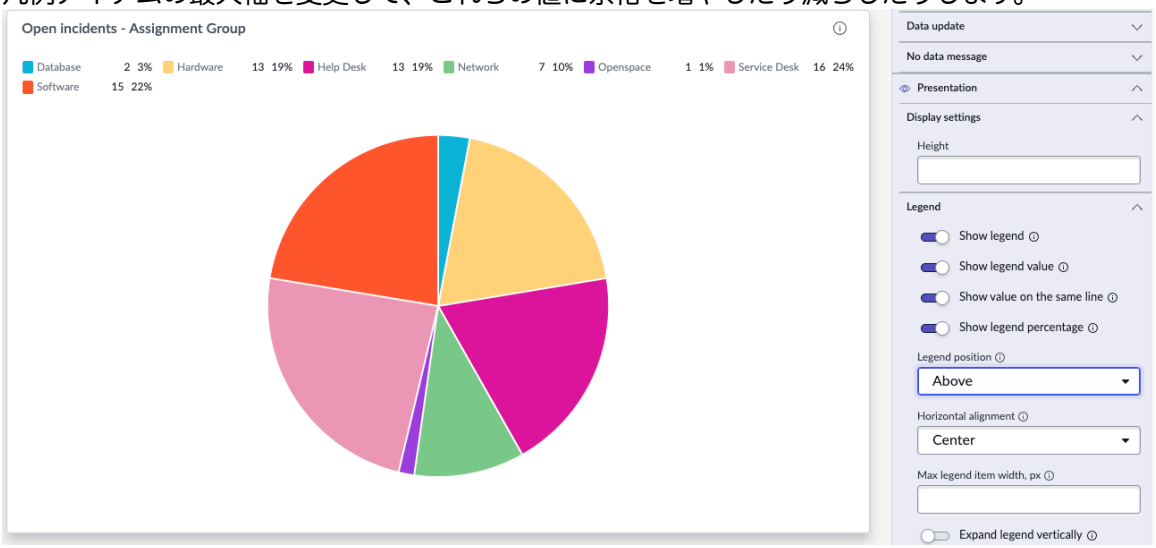
c. [同じ行に値を表示] を選択して、値をアサイン先グループ名と一緒に保持します。

d. [凡例の割合を表示] を選択して、値に関する詳細情報を提供します。

e. 可視化の上の凡例を配置する場所を試してみます。
凡例を可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央水平配置] を選択します。
凡例を可視化の右側または左側に配置すると、水平配置は使用できません。開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、[開始] と [終了] は右と左です)。

g. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に余裕を増やしたり減らしたりします。



9. [凡例を表示] をオフにして 、[データラベルを表示] を選択します。

a. [データラベルタイプ] を選択します。
ラベルの横に数字を表示するには [値]、値が表すパーセンテージを表示するには [パーセント]、両方を表示するには [値とパーセント] を選択できます。

b. [最大ラベルサイズ] を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されているため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをクリアします。
切り捨てタイプを変更すると、長いラベルの端が 3 つのドットに [End] で置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換わります。そして、中央を選択した場合も同じことが起こります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 可視化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。
    - デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
    - カラーパレット は、青の光から暗などの同じ色の色相を使用します。
    - 固定要素 は、ハードウェアインシデントなど、各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

結果
1 つの値でグループ化された円グラフの可視化を作成しました。また、可視化のラベル、凡例、色も構成しました。

ドーナツ可視化の例

ドーナツ可視化では、中空の円形を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの割合またはパーセンテージを表示します。半ドーナツの可視化では、完全な円ではなく半円を使用してドーナツと同じ作業を行います。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
サブカテゴリや追加のデータセットをシンプルでわかりやすい形式で比較する場合は、この可視化タイプを使用します。

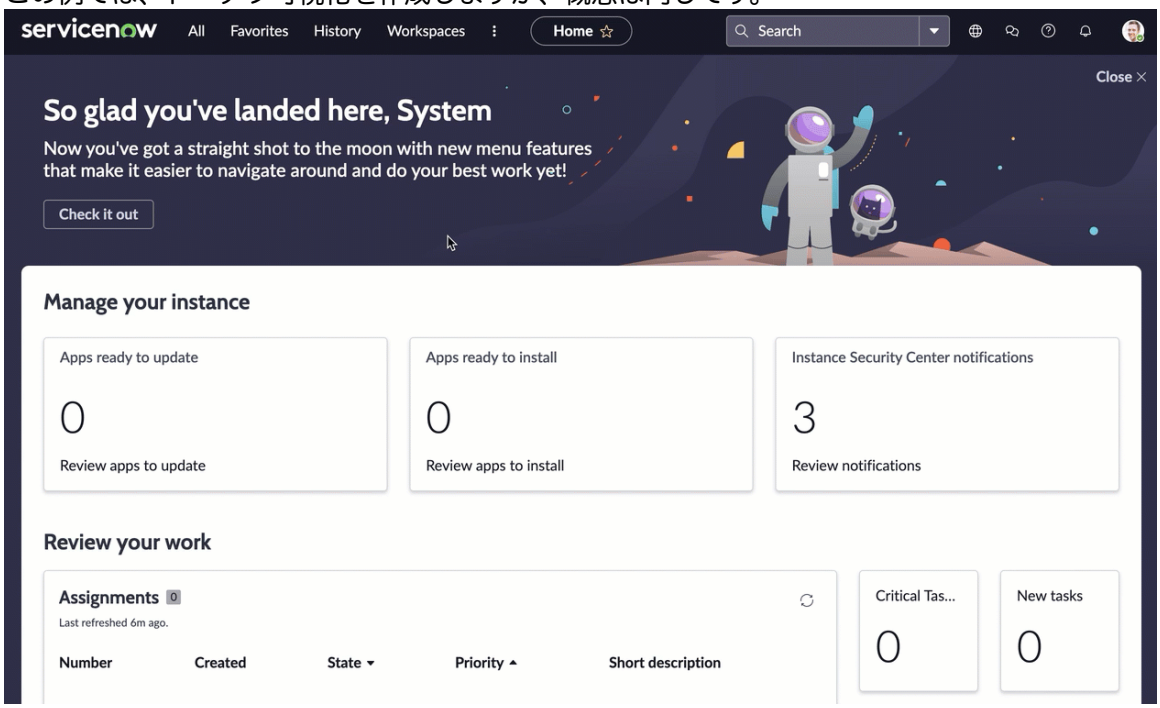
手順

1. 最初の手順に従って 円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成します。
   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
   b. [新規] を選択します。
   c. ドーナツグラフ (アイコン) または半ドーナツグラフ (可視化タイプのアイコン) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ドーナツ可視化を作成しますが、概念は同じです。



2. 今のところ、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

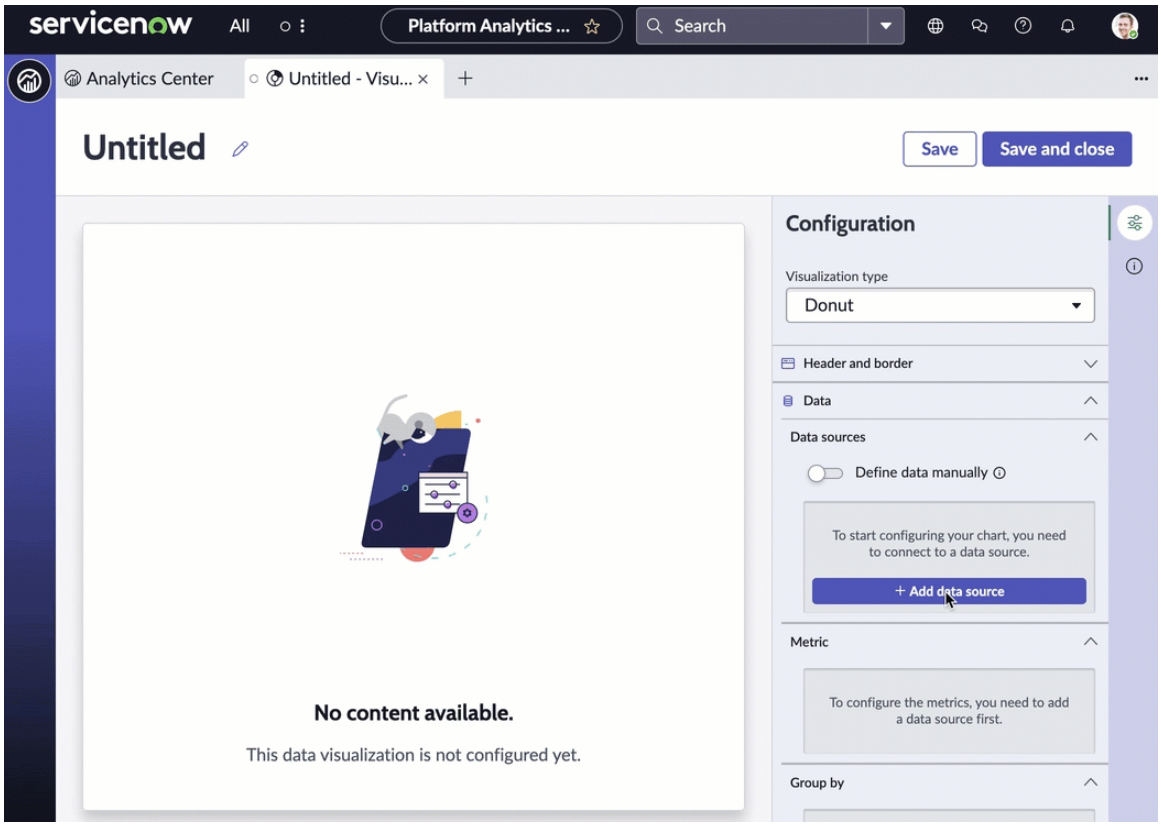
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む円グラフの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。表示方法がアクティブなインシデントを表すという情報のみであるため、Active=True と Active=False の 2 つのくさびしか表示されません。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [ヘッダーを表示] を選択し、可視化タイトルの [オープン中のインシデント - 優先度] を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度のオープンインシデント。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

   d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを [ドーナツグラフ - オープン中のインシデント] に付けます。

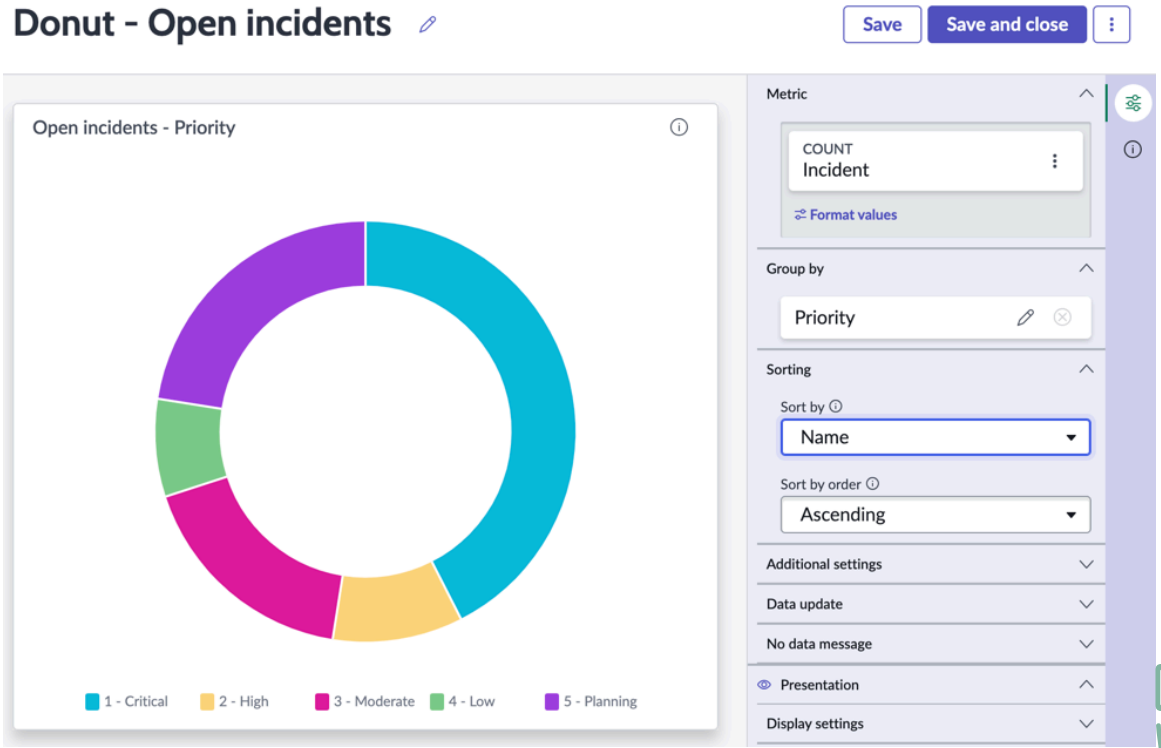
4. [メトリクス] セクションをスキップします。
5. グループ化基準を追加して、可視化で情報を区別します。
   [グループ] で [優先度] を選択します。
6. [ソート] で、ソートの基準となるフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートする場合に選択します。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
セグメントは、1 - 重大、2 - 高などから始まる優先度順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

8. ドーナツのセクションで説明されている内容を表示する方法を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [凡例を表示] は、可視化の各値の色分け例を示しています。凡例を表示するかどうか、配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースが多い場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースが多い場合は、上または下に配置します。
- [データラベルを表示] では、可視化のセグメントの横にラベルと値の情報を追加します。

a. 凡例オプションを有効にするには、[凡例を表示] を選択します。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を追加します。この場合、高優先度のインシデントの数が 4 であるため、高優先度のインシデントに加算されます。

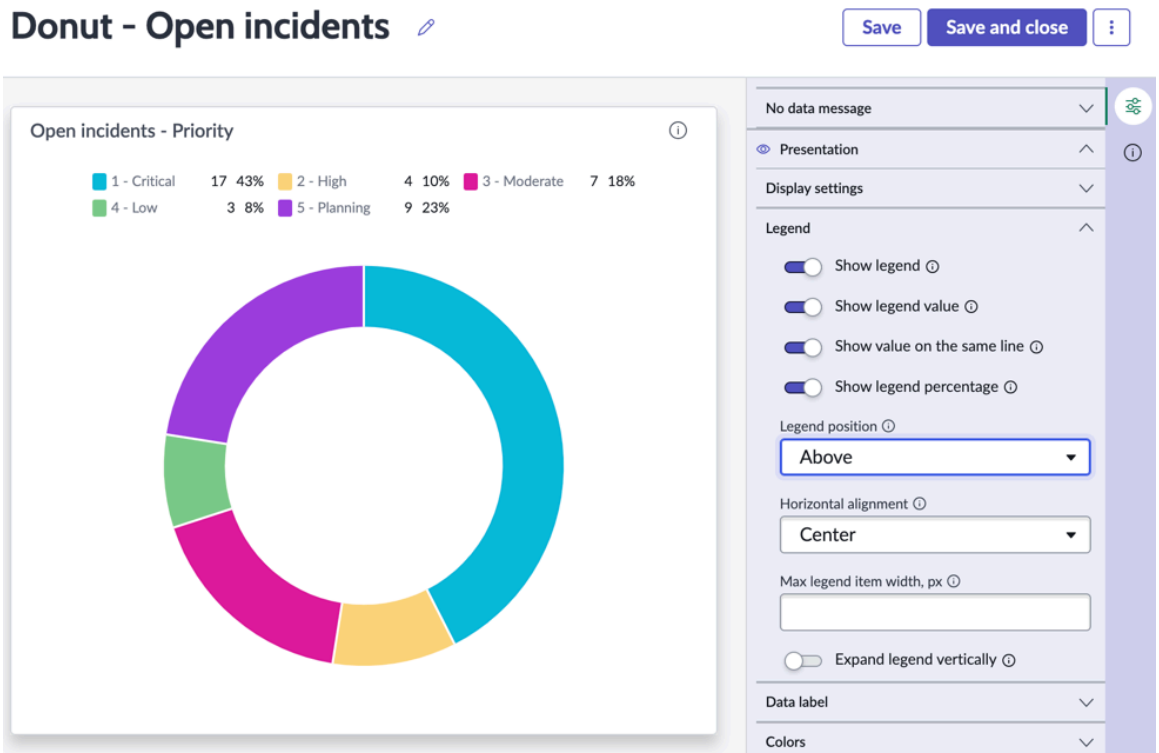
c. [同じ行に値を表示] を選択して、値をアサイン先グループ名と一緒に保持します。

d. [凡例の割合を表示] を選択して、値に関する詳細情報を提供します。

e. 可視化の上の凡例を配置する場所を試してみます。
凡例を可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央水平配置] を選択します。
凡例を可視化の右側または左側に配置すると、水平配置は使用できません。開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語の場合、[開始] と [終了] は右と左です)。

g. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に余裕を増やしたり減らしたりします。



9. [凡例を表示] をオフにして 、[データラベルを表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [データラベルタイプ] を選択します。
ラベルの横に数字を表示するには [値]、値が表すパーセンテージを表示するには [パーセント]、両方を表示するには [値とパーセント] を選択できます。

b. [最大ラベルサイズ] を `50` に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。切り捨てタイプは、ラベルが折り返されているため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをクリアします。
切り捨てタイプを変更すると、長いラベルの端が 3 つのドットに [End] で置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換わります。そして、中央を選択した場合も同じことが起こります。

10. 可視化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、青の光から暗などの同じ色の色相を使用します。
- 固定要素 は、ハードウェアインシデントなど、各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

結果

1 つの値でグループ化されたドーナツ可視化を作成しました。また、可視化のラベル、凡例、色も構成しました。

次のタスク

半ドーナツ可視化を作成します。

- [その他のアクション] ボタン (縦 ⋮) を選択し、[複製] を選択します。
- 新しい可視化に「 `半ドーナツ - オープンインシデント` 」という名前を付け、[複製] を選択します。
- [可視化タイプ] を [半ドーナツ] に変更し、[保存] を選択します。

半ドーナツはドーナツと同じ設定をすべて持っていますが、完全な円ではなく半円です。

パレート棒グラフデータの可視化を作成

パレート図バーの可視化を使用して、大規模なディメンションセットで最も重要なディメンションを特定します。パレート図によるチャート化棒グラフには、データが降順で表示されます。線には累積割合が表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの パレート図による棒グラフの可視化 の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのパレート棒グラフデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供しています。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. パレート図による棒グラフの可視化 ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

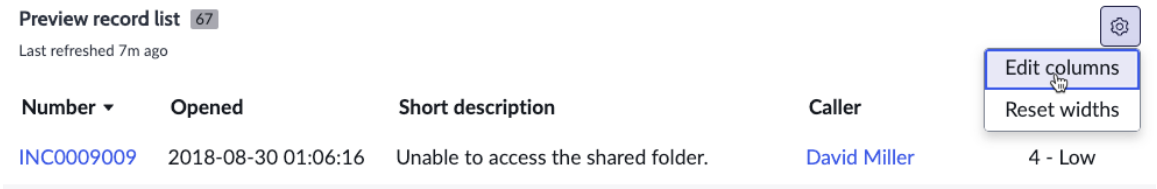
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

  構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

  カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

> **注:** この可視化には複数のデータソースを選択できます。ただし、すべてのデータソースが同じタイプ (テーブル、インジケーター、または ユーザーエクスペリエンスアナリティクス) である必要があります。詳細については、「複数のデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[パレート図による棒グラフの可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[パレート図による棒グラフの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図による棒グラフの可視化] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

   [表示設定] で、データテーブルを表示できます。このテーブルには、スクリーンリーダーで簡単にアクセスできるようにグラフと可視化データが表示されています。データ値にカーソルを合わせると、すべてのデータ値を含むツールヒントを開くか、選択したデータ値の詳細のみを表示するかを選択することもできます。

X 軸オプション

フィールド **[property]**	説明
軸を非表示	棒グラフメトリクスの Y 軸とパレート図 Y 軸の両方を非表示にします。
軸スタイル	X 軸のスタイル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド [property]	説明
	○ クリーンクリーン:X 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:X 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 のデフォルト:X 軸に線と目盛りを追加します。 注: 垂直棒グラフの可視化で [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。
軸タイトル (X 軸の場合)	可視化の横軸に表示するタイトル。
ラベルを折り返す	長いラベルを横軸で折り返します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	横軸の最大ラベルサイズ (ピクセル単位)。

Y 軸オプション

フィールド [property]	説明
軸を非表示	棒グラフメトリクスの Y 軸とパレート図 Y 軸の両方を非表示にします。
軸タイトル (Y 軸)	棒軸にのみ影響し、パレート図には影響しません。
グリッドを表示	ビジュアル化にグリッド線を追加します。このオプションは Y 軸にのみ適用されます。
軸スタイル	Y 軸のスタイル。 ○ クリーン クリーン:Y 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:Y 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 のデフォルト:Y 軸に線と目盛りを追加します。 注: 垂直棒グラフの可視化で [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。

凡例オプション

フィールド	説明
凡例を表示	凡例を表示するオプション。
凡例の位置	可視化に対する凡例の場所:上、下、右、または左

データラベルオプション

フィールド	説明
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
データラベルの位置	データラベルの場所:棒の上部、中央、または下部。 注: [データラベルを表示] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

色オプション

フィールド	説明
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [Save (保存)] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

パレート図による棒グラフの可視化のテーブルデータオプション

パレート図による棒グラフの可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。 **注:** パレート図による可視化では、一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 一度に 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。パレート図で定義できる グループ化基準 は 1 つだけです。代替グループ化は、パレート図による可視化に対して定義できます。 複数のデータソースを持つ垂直棒グラフ、水平棒グラフ、およびピボットレポートの場合:最初のソースを選択フィールドでグループ化する場合は、該当する任意の選択フィールドで 2 番目のソースをグループ化できます。 • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、[その他] グループに集計されます。[その他の表示] オプションを使用して、その集計を表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data.max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定され、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計は [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンにすると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図による棒グラフの可視化のためのインジケーターデータオプション

パレート図による棒グラフの可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でインジケーターまたはユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 注: 一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 注: 一度に 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含む、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
日付範囲を適用	このオプションをオンにすると、ダッシュボードまたは UIB ページの日付フィルターをこの可視化に適用できます。日付範囲は可視化で構成することもできますが、日付フィルターは可視化設定を上書きします。
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図による棒グラフの可視化

パレート図による棒グラフの可視化のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要: パレート図による可視化は、イベントデータにのみ適しており、ユーザーやセッションには適していません。イベントのみに、グループ化の基準となる値があります。

フィールド	説明
データ	
データソース	水平または垂直バーのデータ可視化を作成でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。 **注:** 一度にパレート図による可視化に対して定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 **注:** 一度に 1 つの パレート図による棒グラフの可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのプロパティ。 注: イベントとセッションのメトリクスでのみ使用できます。この場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	た時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	[日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。 選択した期間のスコアの表示方法に関するインジケーターアグリゲーションロジック (最新スコア、合計、平均など)。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

でピボットテーブルデータの可視化を作成する 可視化デザイナー

ピボットテーブルの可視化を作成して、大きなデータセットを 1 つのテーブルに複数のディメンションに分類して要約します。セルには、各行と列の値の組み合わせが表示され、小計を表示することもできます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ダッシュボードでのピボットの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのピボットデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. ピボットテーブル ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

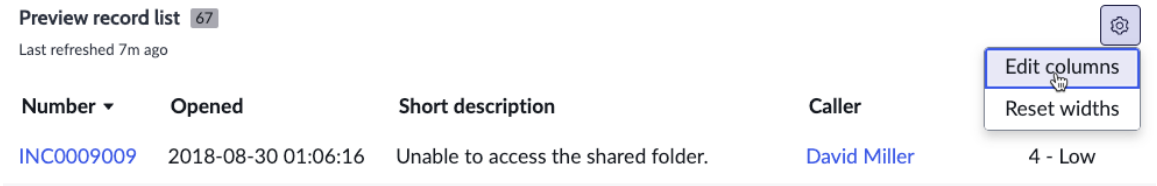
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注: この可視化には複数のデータソースを選択できます。ただし、すべてのデータソースが同じタイプ (テーブル、インジケーター、または ユーザーエクスペリエンスアナリティクス) である必要があります。詳細については、「複数のデータソース」を参照してください。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ピボットテーブルの可視化のためのテーブルデータオプション] に移動します。
   - 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[ピボットテーブルデータの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルデータの可視化のためのデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
行ヘッダーを固定	ユーザーが可視化の別の領域にスクロールするときに、ヘッダーを表示したままにできるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
行フッターを固定	ユーザーが可視化内の別の領域にスクロールするときに、フッターを表示したままにできるようにします。
最初の列を固定	スクロール中も最初の列を表示したままにします。
行の代替色を表示	可視化を読みやすくするために、代替行の背景色を切り替えます。
列の代替色を表示	可視化を読みやすくするために、代替列の背景色を切り替えます。
行の線を表示	行を区切るために境界線を表示します。
列の線を表示	列を区切るために境界線を表示します。
テーブルサイズ設定	
最初の列を切り捨てる [truncateFirstColumn]	true の場合、最初の列の幅が制限されます。この幅を超える最初の列の内容は切り捨てられます。最初の列ヘッダーは切り捨てられません。この幅制限を **1** 列目の最大幅 **(px)** で指定します。
最初の列の最大幅 (ピクセル)	最初の列の最大幅。これを超えると、その内容は切り捨てられます。この最大幅は、最初の列ヘッダーの幅より小さくすることはできません。最初の列ヘッダーの幅は切り捨てられることはありません。ヘッダー幅より小さい値は無視されます。 [最初の列を切り捨てる] がアクティブな場合にのみ有効になります。デフォルト値は 200px です。
列ヘッダーを折り返す	ヘッダーテキストをコンテンツ幅に一致する行に分割します (最小制限は 100px です)。最初の列には適用されません。 列ヘッダーを折り返したり切り捨てたりすることはできません。
列ヘッダーを切り捨てる	ヘッダーテキストをコンテンツ幅に一致する行に切り捨てます (最小制限は 100px です)。最初の列には適用されません。 列ヘッダーを折り返したり切り捨てたりすることはできません。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 単色/メトリクスごとの色:[値の色を設定] フィールドで単一の色を選択します。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、アイコンのセットまたはリストから色を選択できます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 可視化に複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションでは、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データの可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。 注: プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブル データソースのみをサポートしています。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

Example: 複数のデータソースを持つピボットテーブル

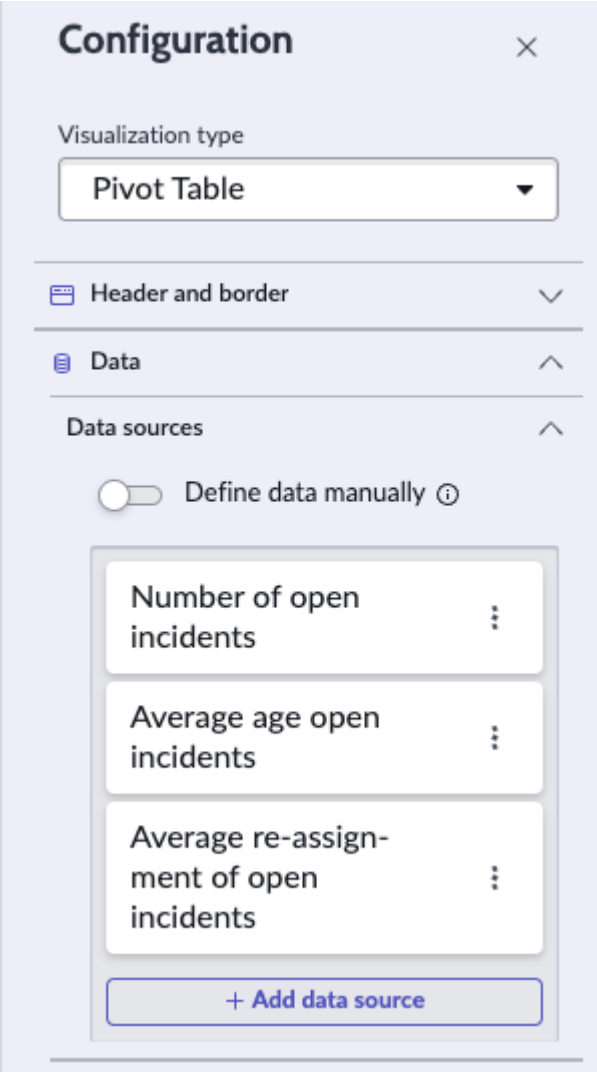
アサイン先グループごとに分割して次の情報を提示する場合を考えてみましょう。

- アサインされたオープンインシデントの数
- アサインされたオープンインシデントの平均経過時間
- インシデントが再アサインされた平均回数

この情報は単一のピボットテーブルに表示できます。各情報セットは、異なるデータソースから取得されます。この情報を含む 3 つのテーブルまたは 3 つの パフォーマンスアナリティクス インジケーターを見つける必要があります。異なるタイプのデータ ソース を混在させることはできません。さいわい、インスタンスには 3 つの適切なインジケーターが既に定義されています。それらをピボットテーブルのデータソースとして選択します。

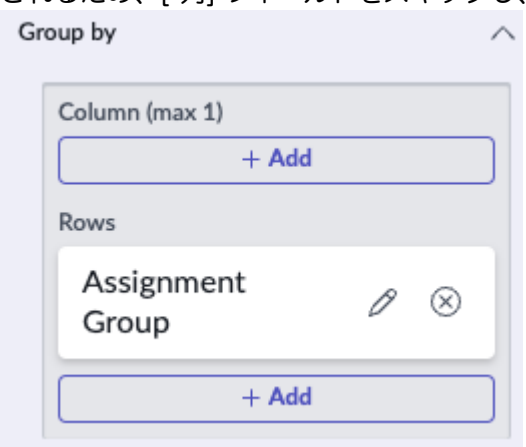
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



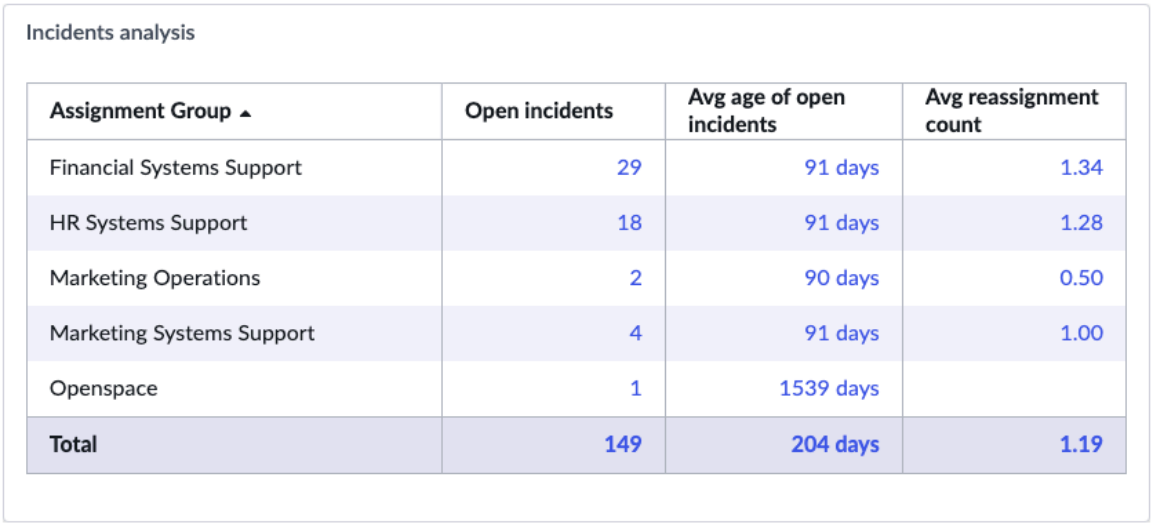
自動翻訳

これらのインジケータースコアをアサイン先グループ別に分類して表示する必要があります。したがって、[グループ] で [アサイン先グループ] を選択します。3 つのデータソースが 3 列として表示されるため、[列] フィールドをスキップし、[アサイン先グループ] を行として選択します。



これで完了です。データの可視化を保存して、ダッシュボードで使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。


Incidents analysis

Assignment Group ▲	Open incidents	Avg age of open incidents	Avg reassignment count
Financial Systems Support	29	91 days	1.34
HR Systems Support	18	91 days	1.28
Marketing Operations	2	90 days	0.50
Marketing Systems Support	4	91 days	1.00
Openspace	1	1539 days	
Total	**149**	**204 days**	**1.19**

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

ピボットテーブルの可視化のためのテーブルデータオプション

ピボットテーブルの可視化のためにテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	でピボットテーブルデータの可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列を選択	値がそれぞれ垂直列で表されるフィールド。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、[その他] グループに集計されます。[その他の表示] オプションを使用して、その集計を表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data.max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定され、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計は [その他] グループとして表示されます。
行	値が水平に表示されるテーブルフィールドの階層。
のフィールド <table>	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
行の合計を表示	各行の合計を含む最後の列を表示するオプション
列の合計を表示	各列の合計を含む最後の行を表示するオプション
親行の合計を表示	行に複数のフィールドの階層がある場合、このオプションは階層の上位のフィールドの小計を表示します。
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ピボットテーブルデータの可視化のためのインジケーターデータオプション

ピボットテーブルの可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	でピボットテーブルデータの可視化を作成する可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含む、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
ソート	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルデータの可視化のためのデータオプション

ピボットテーブルの可視化に ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要: ピボットテーブルの可視化は、イベントデータにのみ適しており、ユーザーまたはセッションには適していません。イベントのみに、グループ化の基準となる値があります。

フィールド	説明
データ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データソース	でピボットテーブルデータの可視化を作成する可視化デザイナー でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのプロパティ。 注: イベントとセッションのメトリクスでのみ使用できます。この場合は必須です。
行	値が水平に表示されるテーブルフィールドの階層。
イベントプロパティ	列または行に対して選択するデータソースのプロパティの選択肢。
行の合計を表示	各行の要素の合計値を表示します。
列の合計を表示	各列の下部に要素の合計値を表示します。
親行の合計を表示	行の階層の場合は、メトリクスのアグリゲーションに応じて、列ごとのすべての子行の合計を表示します。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	オンにすると、空の (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ピボットの可視化の例

ピボットテーブルには、データセットの複数のディメンションまたは変数が表示されます。この可視化では、行と列の値の組み合わせごとに個別のセルと、第 1 レベルの各行の列小計が表示されます。アグリゲート情報は左上に表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

単一の可視化に複数の変数を表示するには、この可視化タイプを使用します。さまざまな変数間の関係を示すのに役立ちます。この例では、アサイン先グループ、優先度、および場所別にグループ化されたクローズ済みインシデントを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

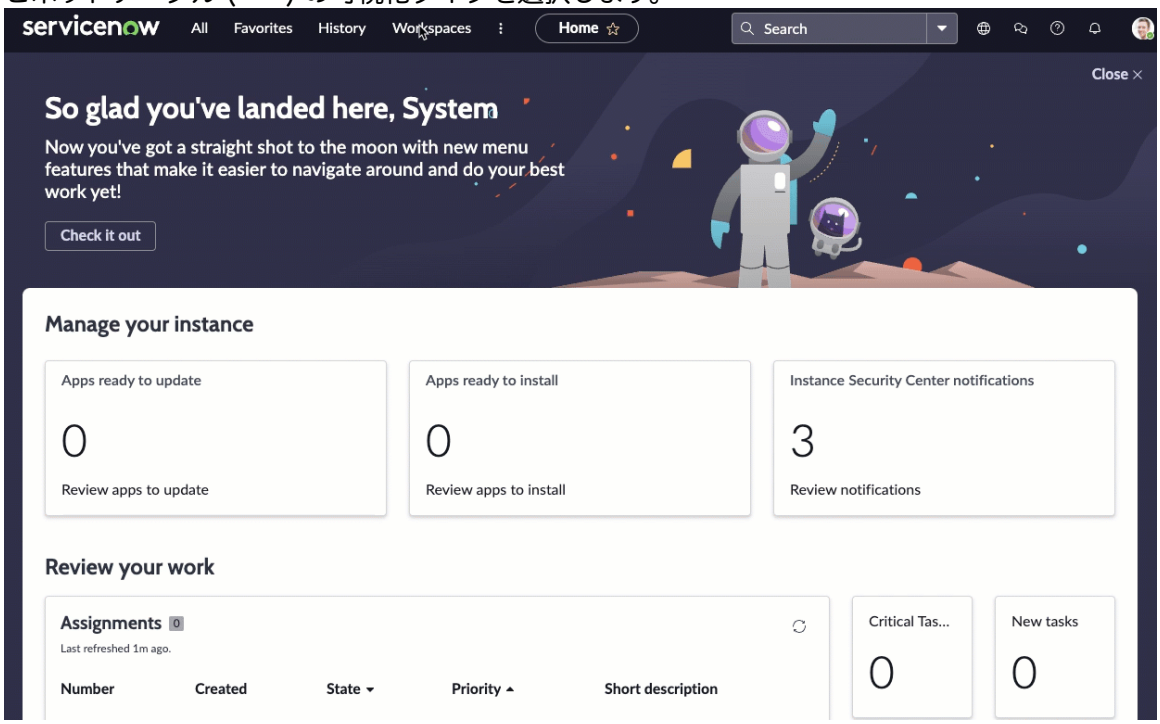
手順

1. でピボットテーブルデータの可視化を作成する 可視化デザイナーの最初の手順に従います。

   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。

   b. [新規] を選択します。

   c. ピボットテーブル ( ) の可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

   a. [データソースを追加] を選択します。

   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

   c. この可視化には完了したインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。

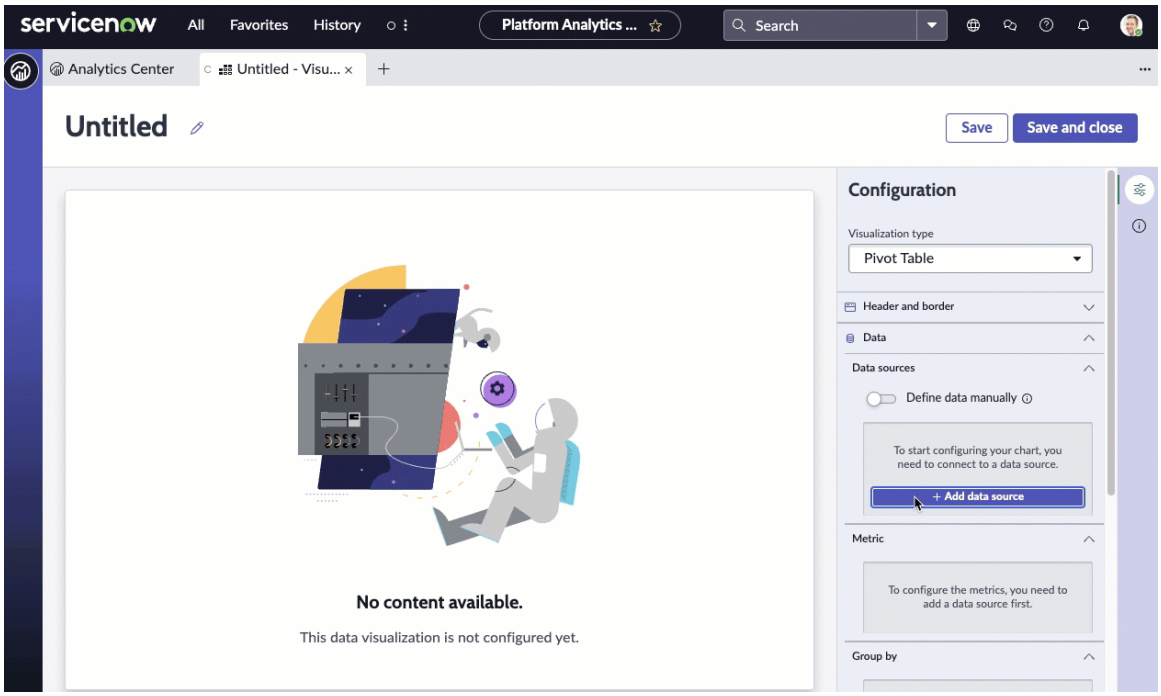
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むピボットデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。入力した情報は、可視化がクローズ済みのインシデントを表すもののみであるため、表示されるのは 1 行のみです。次のステップで列と行を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化されたことを確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、チャートタイトル [完了したインシデント - 優先度、場所、およびアサイン先グループ] を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名によって、 可視化デザイナー とリストで可視化が識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: 優先度と場所別にグループ化されたすべてのアサイン先グループのクローズ済みインシデント。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートに「 ピボット - クローズ済みインシデント」というタイトルを付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] で 1 つの列と複数の行を追加して、複数の観点からデータを表示します。

a. [アサイン先グループ] 列を追加して、トップレベルの情報を表示します。

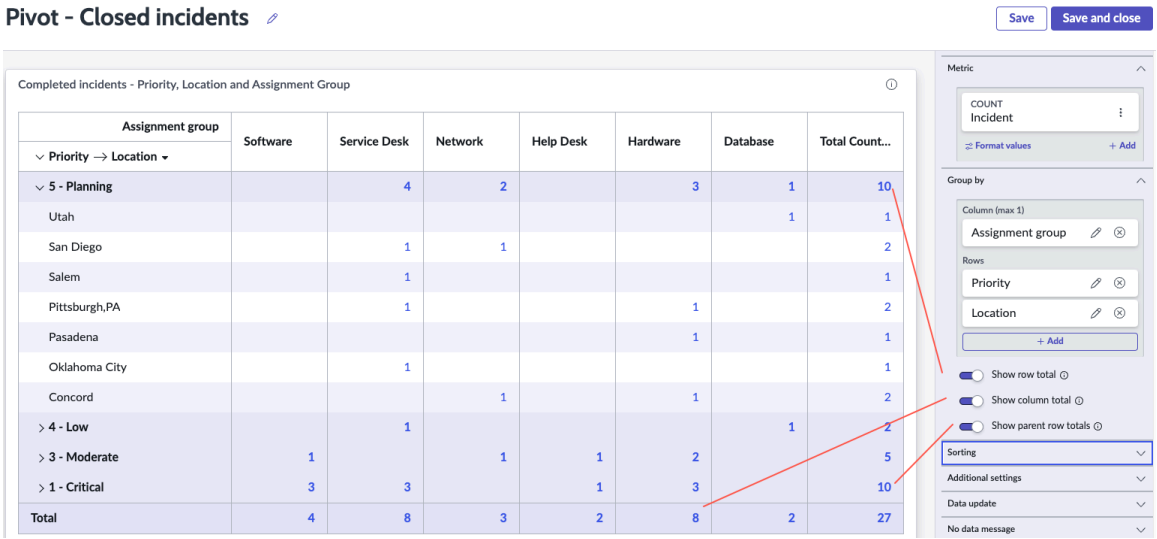
b. [優先度] と [場所] の 2 つの行を追加します。

c. すべての合計を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

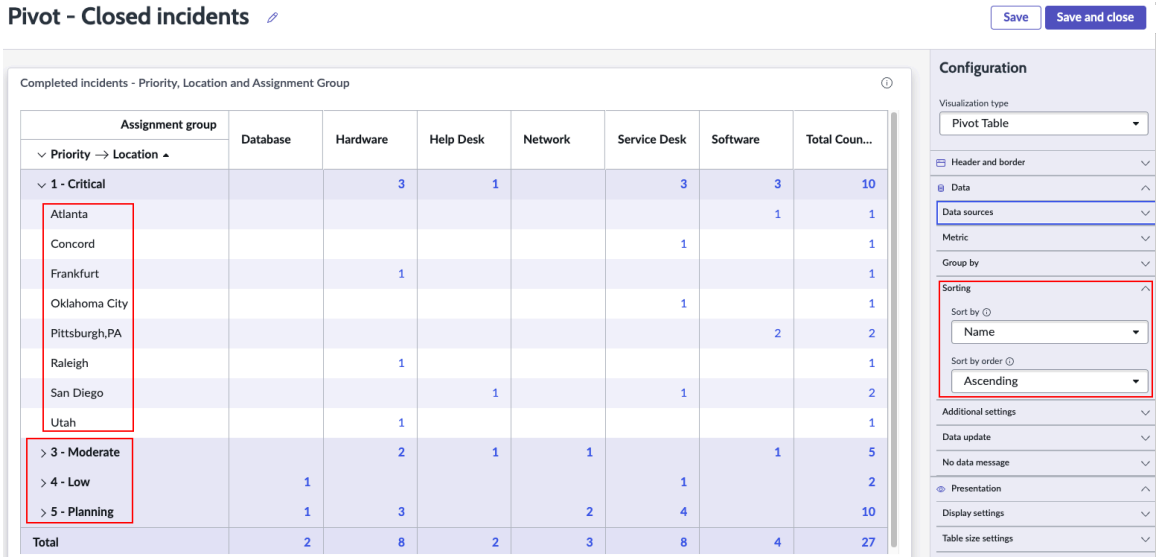
- [行の合計を表示] は、新しい列の各行の合計数を提供します。
- [列の合計を表示] は、新しい行の各列の合計を提供します。
- 親行の合計を表示 その下の要素の各最上位行の合計を表示します。たとえば、3 つの異なる場所に 1 つずつ、重大なハードウェアインシデントが 3 つあるとします。



6. [ソート] で、ソートの基準となるフィールドとソートの順序を選択します。

a. 名前でソートする場合に選択します。
優先度名はそれぞれ番号で始まるため、「1 - 重大」、「2 - 高」、「3 - 中」の順に表示されます。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
バーは、1 - 重大が一番上、その後に 2 - 高、3 - 中などの順に並べられます。また、場所もアルファベット順に表示されます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者がグラフ内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは 、[チャートのインタラクションを許可] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの移動先を選択することもできます。

8. ディスプレイ設定をいじる。
このセクションの設定を使用すると、行と列の固定、行と列の線と網掛け、テーブルを最初に表示したときに展開または縮小して、テーブルを読みやすくすることができます。

9. 色の設定をいじる。
[色タイプの設定] から [単色] を選択して、背景色の設定と色ルールの構成を有効にします。

10. 可視化の色ルールを構成します。
この例ではクローズ済みインシデントを扱っていますが、オープンインシデントの場合は、その値に基づいてスコアの色を変更する動的な色ルールを定義する必要があります。

a. [色ルール] で、[**+** ルールを追加] を選択します。

b. 最初の色ルールで、[次より小さい演算子] を選択し、[値 6] を入力して、緑色を選択して、[適用] を選択します。

値は指定された数までですが、指定された数は含まれません。

順序 100 を保持します。

c. さらに注意が必要な値を示すには、[演算子] を [間] に値 5 と 25、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序 50 で 2 番目のルールを作成します。

d. 最も注意が必要な値を表示するには、[演算子] が [次の値より大きい (Operator greater than)]、[値 25]、[色とアイコンの色が 赤]、[順序 25] で 3 番目のルールを作成します。

値が目的と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。

注: 色ルールは個々の値にのみ適用され、指定された色と背景色を保持する列と行の合計には適用されません。

時系列データの可視化を作成

経時的なデータの変化を表示します。さまざまな時系列の可視化を使用して、傾向や個々の値など、データのさまざまな側面を強調します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。次のビジネスケースは、時系列の使用法の一部です。

- データの傾向、パターン、および外れ値を識別します。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- データソース間の関係を評価します。

時系列の可視化を選択するときは、データの傾向を強調するか、データの特定の変化を強調するかを検討してください。また、1 つのデータソースを表示するか、複数の関連するデータソースを比較するかを検討します。

ダッシュボードでの時系列可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト .
このサイトでは、 UI ビルダーの時系列データ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

時系列の可視化の作成例については、「 時系列データの可視化の例」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
ラベルを折り返す	長い要素のラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 ピクセル
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

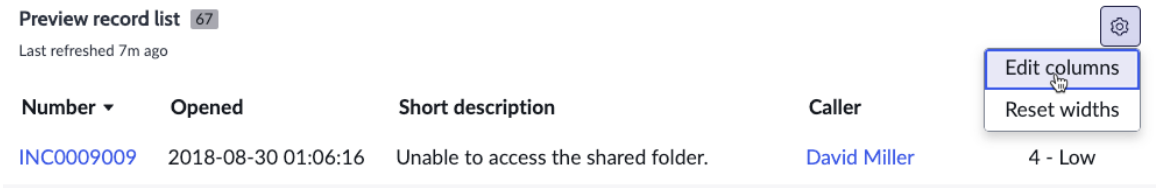
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
	ション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	タイトルのテキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。[ヘッダーの背景色] が選択されている場合にのみ使用できます。

4. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択するときは、カスタム条件または事前設定された条件でフィルタリングできます。カスタム条件には、質問またはサービスカタログ変数を含めることができます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、可視化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示するフィールドと列幅を変更できます。

   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。ブレークダウンとブレークダウンの要素を選択してインジケーターをフィルタリングすることができます。

     ブレークダウンソースで要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは [要素] フィールドで使用できます。ただし、データの可視化は、[カウント]、[最小化]、または [最大化] 集計を使用する自動インジケーターに対してのみ要素フィルターをサポートします。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

   - メトリックベース (メトリックベース が有効になっている場合に利用可能)。メトリックベースデータソースを選択するときは、テーブルデータソースと同様に、条件と関連リスト条件を使用してそのデータソースのカスタムフィルターを作成できます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注: この可視化には複数のデータソースを選択できますが、それらは同じタイプ (テーブル、インジケーター、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、または メトリックベース) である必要があります。詳細については、「複数のデータソース」を参照してください。

5. データソースのオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 可視化がテーブルデータを表す場合は、[時系列データの可視化のためのテーブルデータオプション] に移動します。
- 可視化がインジケーターデータを表す場合は、[時系列データの可視化のためのインジケーターデータオプション] に移動します。
- 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列データの可視化のためのデータオプション] に移動します。
- 可視化が メトリックベース データを表す場合は、[メトリックベース 時系列データの可視化のためのデータオプション] に移動します。

6. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定:エリアや列などの各可視化タイプには、異なる表示設定のセットがあります。「さまざまな時系列データの可視化の表示設定」を参照してください。	
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[プライマリ軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、プロパティ yAxis1Title、yAxis2Title などを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
グリッドを表示	第 1 軸に対して垂直な細線のグリッドを表示します。これは、その軸に対して値を揃えるのに役立ちます。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:第 1 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし noTicks:第 1 軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ [標準] のデフォルト:第 1 軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
グリッドを表示	有効にすると、グリッド線が可視化に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブ化されます。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールしなくても凡例全体を収めるのに必要なスペースを占めます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。 注: 単色は、 グループが 選択されていない場合にのみ使用できます。

7. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何らかが発生した場合にどうするかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントができるようにします。
アクション	ユーザーが可視化またはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化タイプとデータソースによって異なります。[チャートのインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 すると、関連するセグメントまたは可視化に関連するリストビュー、 KPI 詳細 ページ、または概要ページ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 開きます。テーブルデータの場合、 コア UI リストまたは プラットフォームアナリティクス リストのどちらを開くかは、システムプロパティによって決まります。詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。 ○ **[URL** に移動] で、指定された URL が開きます。この URL は、インスタンス上または外部の URL のいずれかになります。ツールヒントを使用した可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー のみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ表示方法を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは常にコア UI リストです。レコードはワークスペースの埋め込みリストで開きません。 チャートへのドリルダウン は、テーブル データソースのみをサポートしています。

8. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

さまざまな時系列可視化タイプのユースケース

時系列の可視化では、データの傾向やデータの特定の変化を強調できます。1 つのデータソースを表示することも、複数の関連するデータソースを比較することもできます。

時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
線グラフ	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。 線グラフによる可視化は、時系列を表示するための選択肢 (デフォルト) として考えてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
スプライン	一連のデータポイントを適合曲線で結び、1 つ以上の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。この曲線は、個々のデータポイントの傾向を強調しています。スプラインビジュアライズでは、既知のデータポイントと近似値のセットを取得できます。
拡散	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。線でうまく接続できない広がりのあるデータで使用します。
データソース内のスコアの比較	
列	比例する垂直列として表示して、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
	ソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ 	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
エリア 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

時系列データの可視化のためのテーブルデータオプション

次のデータ構成オプションは、テーブルデータのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

フィールド	説明
データ	
データソース	時系列データの可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスがある場合は、[チャートタイプの変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	平均、合計、または個別のカウント集計に対してメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、および分で表されます。 機能フィールドがレポートデザイナーでテーブルに対して作成されている場合は、ドロップダウンリストで使用できます。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。 注: • [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 • 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 時系列可視化のすべての要素のソート順は、最新の要素に基づきます。たとえば、月ごとのインシデントを優先度別にグループ化して表示する縦棒グラフでは、すべての月の優先度の順序は直近の月の優先度を反映します。 複数のグループ化基準が追加されていて、すべてのグループ化フィールドが選択したソートオプションをサポートしている場合、選択したソートオプションはすべてに適用されます。 選択したソートをサポートしていない一部のグループフィールドは、デフォルトで [名前] になります。インジケーター:日付/時刻フィールドの場合はグループバケットでソートされます (それ以外の場合は「経過時間」など) 要素の順序** 日付フィルターが適用されている場合、その期間が非表示になっていても、データは最新の期間でソートされます。
トレンドの基準	
集計期間	傾向を計算するために値を集計する期間。オプションは、標準カレンダーと、グレゴリオ暦などインスタンスで定義されているビジネスカレンダーから取得されます。
[テーブル] の日付フィールド	集計基準となるテーブルの日付フィールド。次のデータタイプのフィールドのみを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 日付 • 日付/時刻 • 期日 • 正確な時刻
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

時系列データの可視化のためのインジケーターデータオプション

次のデータ構成オプションは、インジケータースコアのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

フィールド	説明
データソース	時系列データの可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスがある場合は、[チャートタイプの変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	7 日間分の累計や月ごとの平均など、メトリクスに適用する時間アグリゲーション。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含む、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] に設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:フィールド名または要素名で値をアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値またはカウントでソートします。 • 要素の順序:選択肢 [sys_choice] テーブルのレコード別に直接、またはブレークダウンを通じてグループ化する場合、このオプションは [順序] フィールドの値に従ってグループをソートします。 • グループバケット:該当する場合、バケットグループで要素をソートします。インジケーターデータソースでのみ使用でき、[グループ] に使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルのフィールド値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、 および [グループ] に使用される テーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。このソートは、可能であれば代替のグループ化に適用されます。メインのグループ別に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化のソートはデフォルトで [値] になります。 • メインの グループ化基準 が設定されていないが、代替のグループ化が定義されている場合は、名前または値のみでソートできます。 • ソートは、パレート図による棒グラフの可視化では使用できません。パレート図は常に値で降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 時系列可視化のすべての要素のソート順は、最新の要素に基づきます。たとえば、月ごとのインシデントを優先度別にグループ化して表示する列の可視化の場合、すべての月の優先度の順序は直近の月の優先度を反映します。 一部のグループ化フィールドが選択したソートをサポートしていない場合、デフォルトでは [経過時間] などの日付/時刻フィールドのグループバケット別にソートされます。他のすべてのフィールドでは、デフォルトで要素の順序が使用されます。 日付フィルターが適用されている場合、データは最新の完了期間でソートされます。
日付範囲	
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーには一連の事前定義済みオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
追加の設定	
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。 注: 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列データ可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
トレンドを表示	インジケーターの移動方向、または時間の経過に伴う値の変化を表示するオプション。
信頼帯を表示	インジケータースコアが移動している帯域幅を表示するオプション。
しきい値を表示	最高値や最低値など、選択したインジケーターに設定されたアクティブなしきい値セットを表示するオプション。しきい値は、選択したインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
コメントを表示	データポイントに追加されたコメントを表示するオプション。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
フィルターを個別の系列として表示	オンに切り替えると、複数の要素を適用するフィルターがある場合、これらの要素はグラフに別々の線として表示されます。フィルターは、ダッシュボードまたは UIB ページに追加されたコンポーネントにすることも、データ可視化自体の「次のいずれか」フィルター条件にすることもできます。 この機能は、一度に 1 つのブレークダウンのみをサポートします。他のブレークダウンフィルターはグラフに影響しません。フィルターの優先順位は次のように機能します。 • データ可視化の最初の「is one of」フィルター条件は、他のすべてのフィルター条件とすべての単一/複数選択フィルターコンポーネントを上書きします。 • 「いずれか」のフィルター条件がない場合、最初に選択された複数選択フィルターが、他

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	のすべての単一/複数選択フィルターとすべてのフィルター条件を上書きします。 • 最初のフィルターがオフになっている場合は、別の複数選択フィルターが有効になる可能性があります。 デフォルト:オフ。すべての要素に対して 1 つの集計ラインが表示されます。 ServiceNow Store の最新のデータ可視化アプリケーションが必要です。 注: [グループ] が定義されていない場合にのみ使用できます。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列データの可視化のためのデータオプション

次のデータ構成オプションは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (UXA) データを使用したプラットフォームアナリティクスデータの可視化をインラインダッシュボードに追加する場合、そのデータ可視化のデフォルトのドリルダウンでは、対応する UXA アナリティクスページが開きます。この機能を使用すると、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードから特定のユーザーの行動をすばやく効率的にドリルダウンして探索できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データソース	時系列データの可視化を作成 でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスがある場合は、[チャートタイプの変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
メトリクス	
メトリクス	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前 (イベントまたはセッション) と同じです。 セッションの場合は、セッション数、平均セッション時間、セッションあたりの平均ページ数、またはユーザーあたりの平均セッション数を反映するようにメトリクスを設定できます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ [eventPropertyValue]	プロパティを持つ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス イベントソースに対して選択するプロパティのリスト。 注: イベントメトリクスにのみ適用されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
トレンドの基準	
集計期間 [trendByFrequency]	傾向を計算するために値を集計する期間。オプションは、標準カレンダーと、グレゴリオ暦などインスタンスで定義されているビジネスカレンダーから取得されます。
日付範囲	
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了日に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーには一連の事前定義済みオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクターが開かなくても閲覧者に表示されます。オフの場合、ビューアーは [その他のオプション] メニューで日付範囲セレクターを開く必要があります。 デフォルト:off (false)
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンスされた パフォーマンスアナリティクスが必要です。 注: 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列データ可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	アル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

メトリックベース 時系列データの可視化のためのデータオプション

次のデータオプションは、 メトリックベース データのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

フィールド	説明
データソース	時系列データの可視化を作成 でメトリックベースデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスがある場合は、[チャートタイプの変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、複数のメトリクスがある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスの Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
測定基準	測定基準は MetricBase データベースで決定されます。
変換	データに変換を適用するオプション。たとえば、[エンベロープ] を選択して、データセット内の最小値と最大値 (エンベロープ) を表示できます。詳細については、「 メトリックベース変換」を参照してください。
時間範囲に基づく動的期間	有効にすると、時間範囲に従って集計期間が設定されます。時間範囲 < 4 時間：分単位の集計。時間範囲 4 時間 - 3 日：時間単位の集計。3 日間>時間範囲:日次集計。 Transform が Resample の場合にのみ適用されます。
ラベル	変換に適用するラベル。 このプロパティは 、[変換] が [ラベル] の場合にのみ適用されます。
モデル	データの変換に使用する予測モデル。モデルがまだ存在しない場合は、作成できます。詳細については、「 予測モデルを使用したメトリックベースデータの異常の検出 」を参照してください。 このプロパティは 、[変換] が [予測] の場合にのみ適用されます。
カウント	メトリクスデータセットに表示する指定された値の数。 このプロパティは 、[変換] が [上] または [下] の場合にのみ適用されます。
被加数	データセット内のデータポイントに追加する指定された値。 このプロパティは 、[変換] が [追加] の場合にのみ適用されます。
減数	データセット内のデータポイントから減算する指定された値。 このプロパティは 、[変換] が [減算] の場合にのみ適用されます。
係数	データセット内のデータポイントに乗算する値。 このプロパティは 、[変換] が [乗算] の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
除数	データセット内のデータポイントの除算に使用する値。 このプロパティは 、[変換] が [除算] の場合にのみ適用されます。
期間	結果の計算に使用される新しいデータポイントの指定された期間。 このプロパティは 、[変換] が [補間] の場合にのみ適用されます。
小数部	新しいデータセットを作成するための基礎となるデータのパーセンタイル。 このプロパティは 、[変換] が [変位値] の場合にのみ適用されます。
関数	新しいデータセットを計算するために使用されるアグリゲーション関数。 このプロパティは、[変換] が [リサンプル]、[フィルター]、または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
期間	データセットに適用する新しい期間。 このプロパティは 、[変換] が [リサンプル] の場合にのみ適用されます。
ウィンドウ	新しいデータセットを作成するための指定された期間のスライディング時間枠。 このプロパティは 、[変換] が [フィルター] または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
ベース	パーティションウィンドウを配置するためのタイムスタンプ。 このプロパティは 、[変換] が [パーティション] の場合にのみ適用されます。
フォーマットの値	[値の書式設定] ダイアログを開く場合に選択します。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
書式設定	デフォルト、数値、または期間形式を選択
--数値形式	
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式設定を使用] オプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下 桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップアップ • 下 下 • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分アップ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数への丸め HALF_EVEN 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	カンマを使用して 1,000 単位のグループを区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
--期間形式	
単位形式	時間単位を短縮するか、完全な単語を使用するオプション
最大期間単位	表示する最大の時間単位
最小期間単位	表示する最小時間単位
期間が 1 分を超える場合は秒を非表示	秒が最小期間単位の場合、これをオンに切り替えると、期間が 1 分を超えると秒が非表示になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ツールヒントに元の値を表示	表示されているメトリクス値をポイントすると、ツールヒントにデフォルトの書式設定された値が表示されます。
例	書式設定されたメトリクス値の例
グループ	
グループ	グループ化の基準となるメトリックベースデータソースのフィールド。たとえば、監視可能アイテムのデータソースを可視化する場合は、[作成者]、[名前]、[プライマリ]、[タグ]、[タイプ]、または [更新者] でグループ化できます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 • 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
絶対期間を設定	絶対開始日と終了日を設定するオプション。 [日付範囲を適用] が選択されている場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間の設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間の設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付形式	X 軸の日付形式を定義します。 • デフォルト デフォルト • 日付 日付 • 月 月
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアーには一連の事前定義済みオプションを含む日付範囲セレクターコントロールが表示されます。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクターが開かなくても閲覧者に表示されます。オフの場合、ビューアーは [その他のオプション] メニューで日付範囲セレクターを開く必要があります。 デフォルト:off (false)
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンスされた パフォーマンスアナリティクスが必要です。 注: 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細について

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、「時系列データ可視化での予測の構成」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンの場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとにフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンの場合、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとの次のフィルター」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	データの可視化を含むダッシュボードから、次のような同じワークスペース内の別のページに移動するとプラットフォームアナリティクス トリガーされます。戻ったときに可視化が自動的に更新されるまでの、別のページにいる時間 (分) を設定します。 このプロパティをインラインダッシュボードの [繰り返しの予定] 設定と混同しないでください。後者のプロパティはダッシュボード全体を更新し、そのダッシュボードが開いている間にのみ適用されます。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

さまざまな時系列データの可視化の表示設定

時系列の可視化タイプごとに、表示設定のセットが異なります。

エリア可視化表示設定

フィールド	説明
行ストロークの幅	チャート上のアイテムの行ストローク幅をピクセル単位で設定します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントにカーソルを合わせたデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ (ズームが 400% の場合を除き、自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
マーカーを表示	特定の値を簡単に識別できるように、チャート上の各データポイントに記号を表示します。折れ線グラフ、スプライングラフ、面グラフ、およびステップグラフで使用できます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	選択したデータセットに値がない場合または構成に値がない場合に 0 を表示するかどうかを選択します。
実線を表示	利用可能な データが選択されていない場合は **0** を表示する 場合に使用可能。選択されていて特定の期間のデータがない場合、グラフにギャップがなく、連続行が表示されます。

散布図の可視化表示設定

フィールド	説明
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントにカーソルを合わせたデータポイントのみが表示されます。オフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	にすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ (ズームが 400% の場合を除き、自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示します	選択したデータセットに値がない場合または構成に値がない場合に 0 を表示するかどうかを選択します。

列の可視化表示設定

フィールド	説明
チャートのバリエーション	グループ別の値を積み上げ縦棒で表示するか、並べて表示するかを選択します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントにカーソルを合わせたデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ (ズームが 400% の場合を除き、自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。

スプライン、線、ステップの可視化表示設定

フィールド	説明
行ストロークの幅	チャート上のアイテムの行ストローク幅をピクセル単位で設定します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントにカーソルを合わせたデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ (ズームが 400% の場合を除き、自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて各値の合計に対するパーセンテージが含まれます。
マーカーを表示	特定の値を簡単に識別できるように、チャート上の各データポイントに記号を表示します。折れ線グラフ、スプライングラフ、面グラフ、およびステップグラフで使用できます。
実線を表示	選択されていて特定の期間のデータがない場合、グラフにギャップがなく、連続行が表示されます。

時系列データ可視化での予測の構成

時系列の可視化が予測を表示するように構成されている場合は、その可視化の予測を構成できます。

始める前に

この手順では、非テーブルデータソースの 時系列可視化 を作成し、その可視化の予測を構成することを前提としています。

> **注:** テーブルデータの時刻または曜日の集計はサポートされていません。

必要なロール:時系列の可視化を作成できる任意のロール。インジケーター以外のデータソースの場合は、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションも必要です。

このタスクについて

データの可視化で予測を構成すると、インジケーターなどのデータソースに設定された予測構成が上書きされます。上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。

手順

1. 時系列可視化の構成パネルを開きます。
2. [追加設定] で、[予測を表示] を有効にします。
   テーブルデータソースは予測をサポートしていません。
3. [予測の構成] を選択します。
   [予測の構成] ペインが開きます。
4. 以下のフィールドを入力します。

フィールド	説明
予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムで使用される統計手法。デフォルト値は [自動] で、データに最適な方法が選択される

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ことを意味します。詳細については、「予測方法」と「予測方法の自動選択」を参照してください。
期間の長さ	時系列でパターンを確立するために必要なデータポイントの数。 [デフォルトを使用] を選択した場合、期間の長さはデータソースの頻度によって異なります。たとえば、頻度が日次である時系列の期間の長さは、デフォルトでは 7 データポイントです。詳細については、「デフォルトの予測期間の長さ」を参照してください。
先読みする期間の数	スコアを予測する将来のデータ期間の数。
予測範囲の下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測の場合、代わりにこの値が表示されます。
予測範囲の上限	予測スコアの意味のある最大値。この値よりも高いスコアが予測されている場合は、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基礎となるデータを選択します。

オプション	説明
可視化日付範囲	可視化の日付範囲内のすべてのデータ
前の期間	予測の基礎となる現在の前のデータ期間の数。これらのデータ期間は、[期間の長さ] のデータ期間と同じ長さです。 前の期間を選択した場合は、[考慮する期間の数] フィールドにも期間の数を指定します。
特定の開始日付	開始日以降に収集されたすべてのスコア。[特定の開始日] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

⚠ **警告:** 予測を生成するのに十分なデータポイントがない場合、予測もメッセージも表示されません。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクススコア予測

予測方法

予測では、標準的な統計手法が使用されます。方法を選択することも、システムで自動的に選択させることもできます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メソッド	説明
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事 」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

予測方法の自動選択

統計の専門家であれば、予測方法を手動で選択できます。デフォルトでは、インスタンスは方法の適合性に基づいて最適な方法を自動的に選択します。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスは各予測方法と履歴データを使用して予測を生成します。インスタンスは、どの程度先の予測に基づいて、それらの予測を最新のデータと比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用する予測方法が変更される可能性があります。

日次頻度の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの時系列可視化を考えてみましょう。7 日間の期間を使用し、前の 2 つの期間に基づいて予測を行うように、ビジュアル化で予測を構成します。インスタンスは、各予測方法を 2 週間以上経過した履歴データに適用します。次に、インスタンスはそれらの予測を直近 2 週間分のデータと比較します。その後、直近 2 週間のデータに最も近い予測が、データセット全体を使用して再計算されます。可視化には、この最終計算の結果が表示されます。

デフォルトの予測期間の長さ

予測期間のデフォルトの長さは、データソースの頻度によって異なります。すべてのデータソースの頻度が同じというわけではありません。

すべてのデータソースに共通のデフォルトの期間の長さ

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

に固有のデフォルトの期間の長さ メトリックベース

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
毎分	100	動的、クエリに応じてデータソースによって制御される

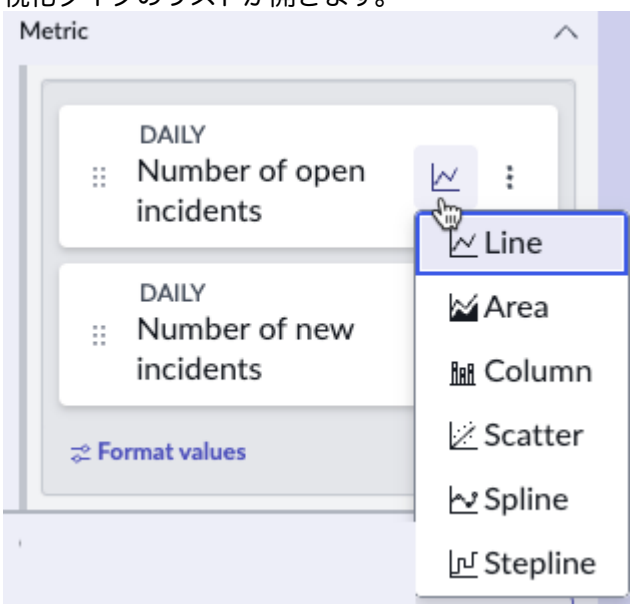
複数のメトリクスを使用した時系列データの可視化のオプション

時系列データの可視化で複数のメトリクスを表示している場合は、各メトリクスのグループ化、可視化タイプ、および Y 軸スケールを設定できます。ダッシュボードのフィルターを特定のメトリクスにのみ適用することもできます。

https://player.vimeo.com/video/1002743383?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

各メトリクスの個別の可視化

複数のデータソースを含むデータの可視化がある場合は、データソースごとに個別のメトリクスがあります。時系列データの可視化では、メトリクスごとに個別の可視化タイプを選択して、可視化を読みやすくすることができます。各 [メトリクス] タイルで可視化アイコンを選択すると、選択する可視化タイプのリストが開きます。

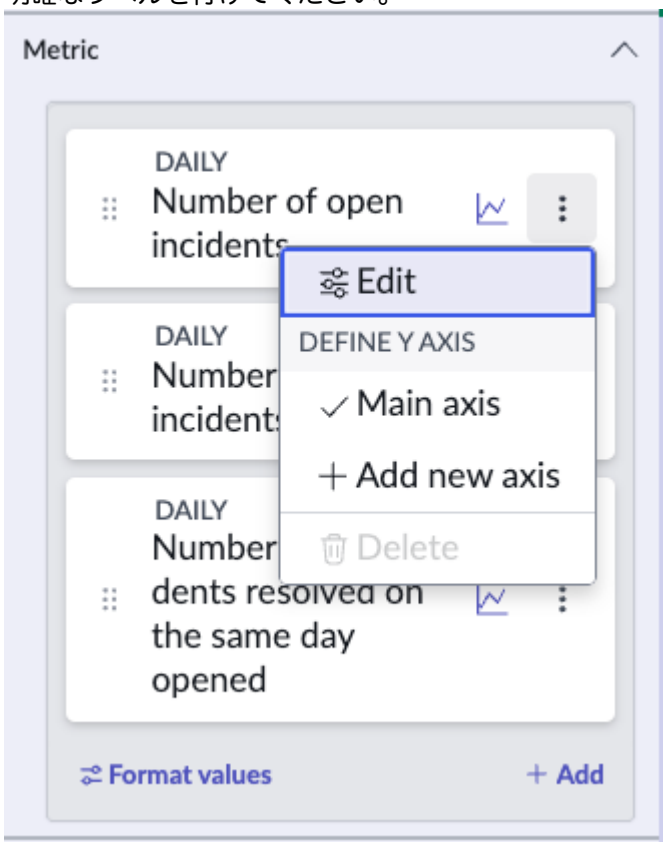


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

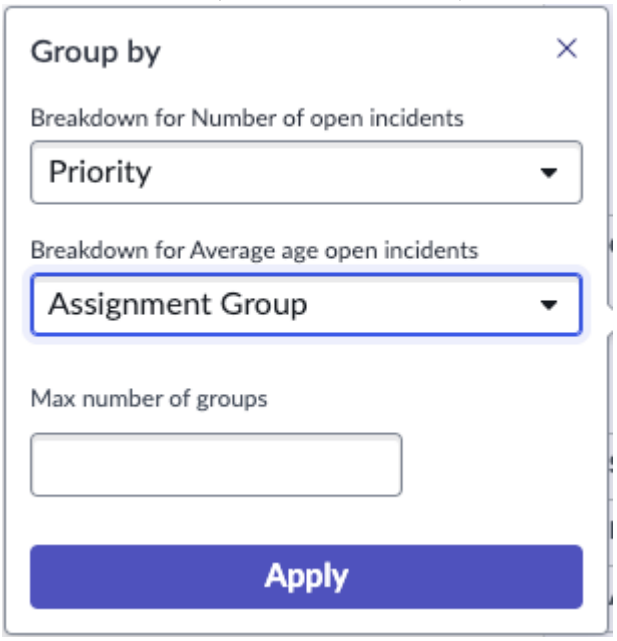
複数の Y 軸

時系列によっては、メトリクスが同じ Y 軸スケールを共有している場合、メトリクスの値の範囲が差があるためにメトリクスの読み取りが困難になります。この場合、メトリクスに個別の Y 軸スケールを使用できます。メトリクスタイルの [その他のオプション] アイコンを選択して、メトリクスの Y 軸を追加します。ただし、Y軸のスケールが多すぎるとビジュアライゼーションが読みにくくなるため、この関数は控えめにしてください。また、複数の Y 軸がある場合は、各 Y 軸に短くても明確なラベルを付けてください。



メトリクスごとのグループ化

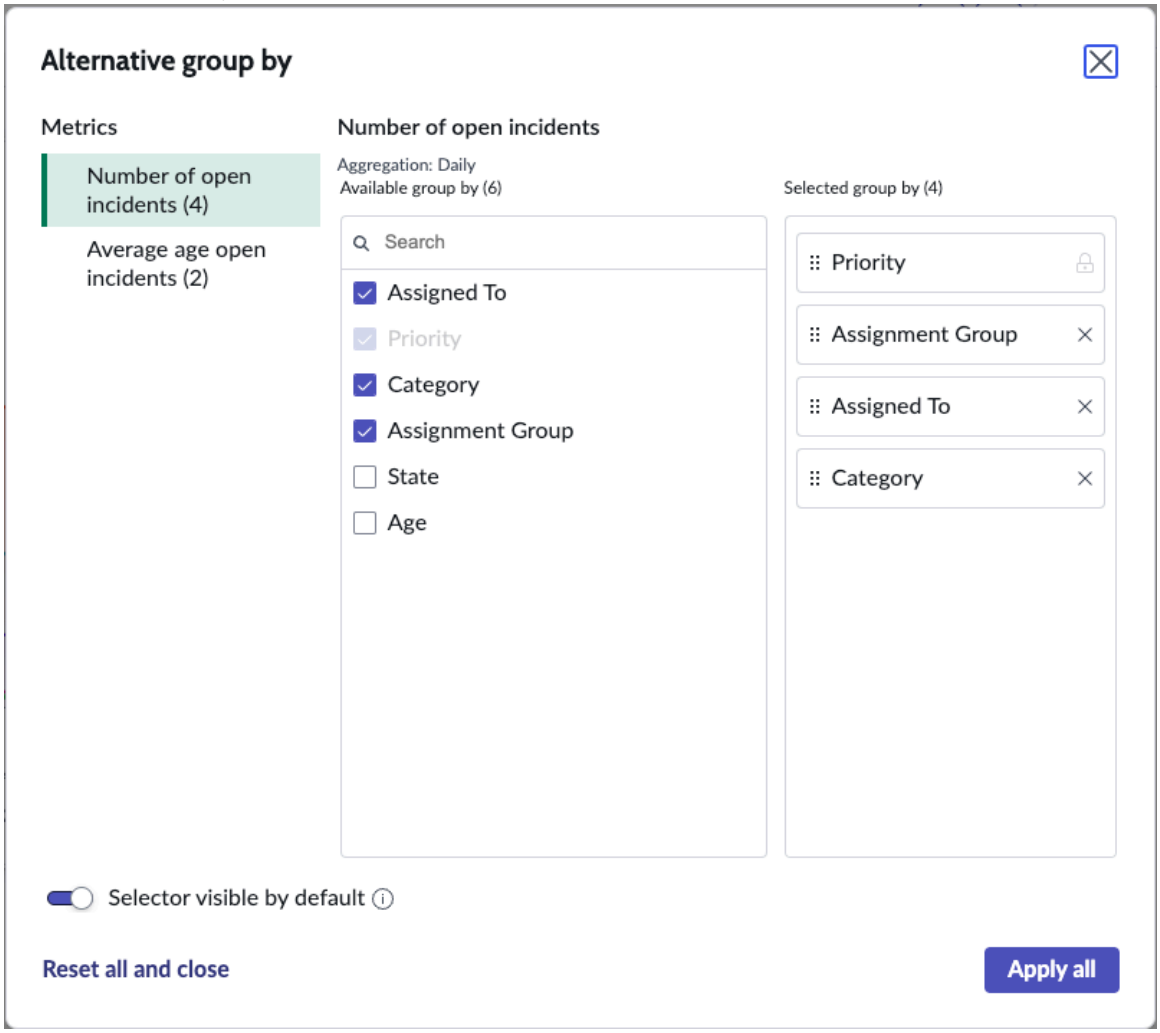
メトリクスごとに個別のグループ別の値を設定することもできます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メトリクスが 3 つ以下の場合は、代替のグループ化を設定することもできます。任意のメトリクスに適用できるフィールドまたはブレークダウンを選択できます。代替のグループ化を選択するダイアログには、各メトリクスに適用される選択内容の数が表示されます。実行時に、ビューアーは各メトリクスのグループ化を選択できますが、そのメトリクスに適用できる選択肢からのみ選択できます。

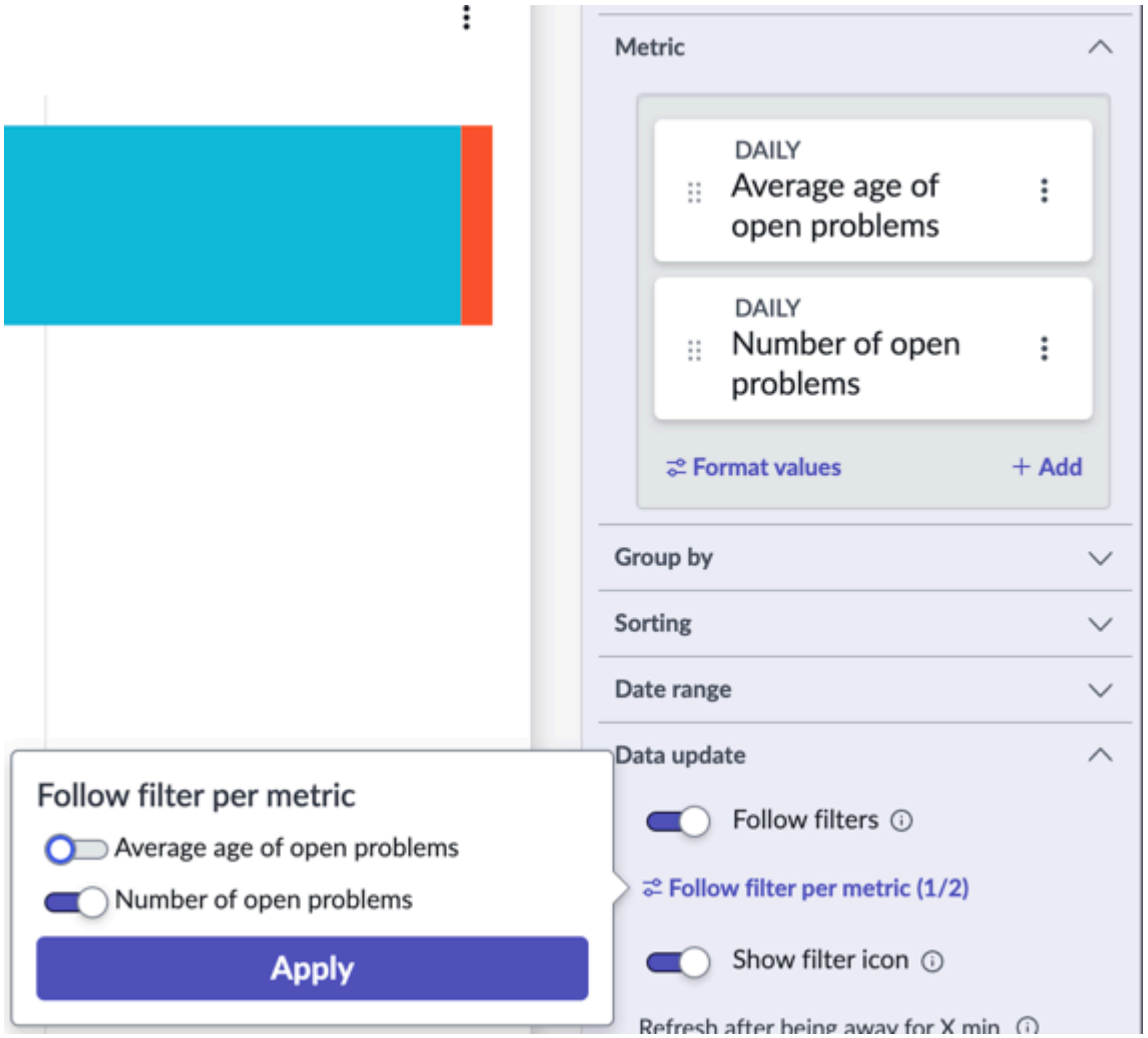


メトリクスごとのフィルターに従う

複数のメトリクスを表示する時系列または棒グラフの可視化で [フィルターに従う] が有効になっている場合、構成パネルには [メトリクスごとのフィルターに従う **(Follow filters per metric)**] という展開可能なアイテムが表示されます。このアイテムを展開して、各メトリクスについて次のフィルターのオンとオフを切り替えます。

たとえば、未解決の問題の数と未解決の問題の平均経過時間を示す棒グラフによるビジュアライゼーションを考えてみます。この可視化を設定すると、未解決の問題の数がダッシュボードの適用可能なフィルターに従うが、問題の平均経過時間は従わないようにすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

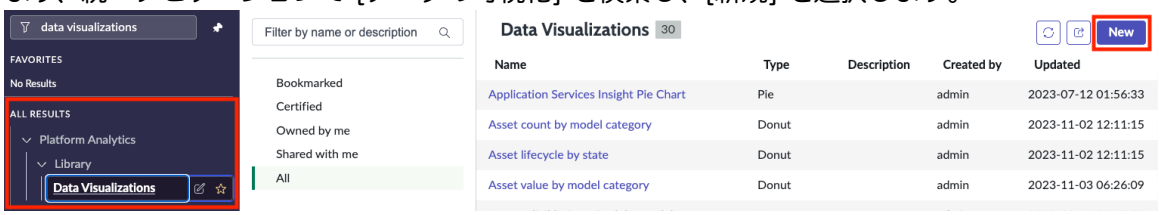


時系列データの可視化の例

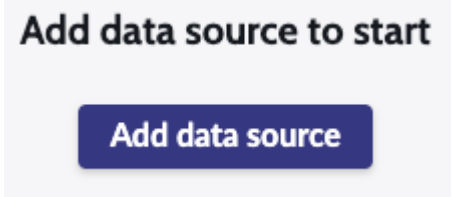
時系列の可視化には、時間の経過に伴うデータの変化が表示されます。この例では、単一のインジケーターデータソースから開始するため、複雑さが増します。

この例では、オープンインシデントの数の経時的な変化を示したいと考え始めています。次に、傾向を表示し、オープン中のインシデントの数を優先度別に分類します。最後に、オープンインシデントの数と新しいインシデントの数を比較します。

1. まず、統一ナビゲーションで [データの可視化] を検索し、[新規] を選択します。

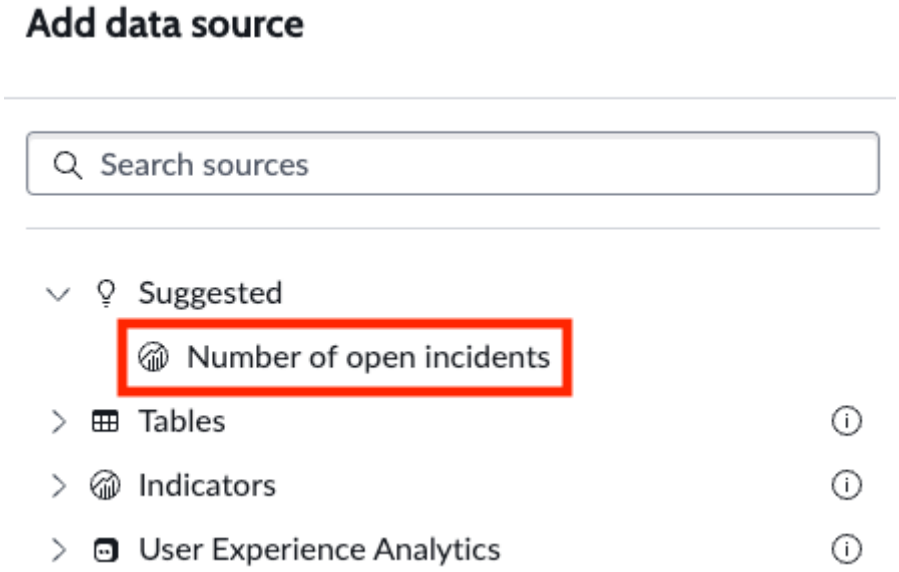


2. 空の新しいデータ可視化で、[データソースの追加] を選択します。

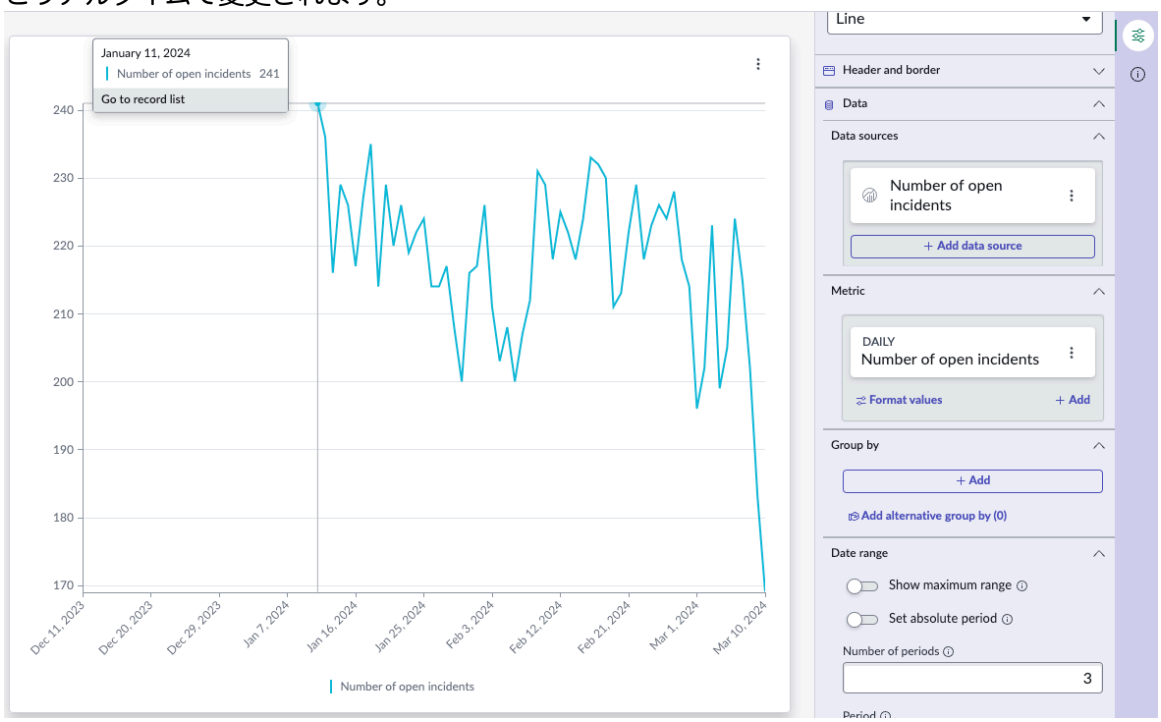


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. インジケーター [オープン中のインシデントの数] を使用します。幸いなことに、このインジケーターは以前に使用されており、[提案されたデータソース] にリストされているため、検索する手間が省けます。[オープンインシデント数] がインジケーターデータソースであることは、その横にある小さな列と傾向のアイコンからわかります。



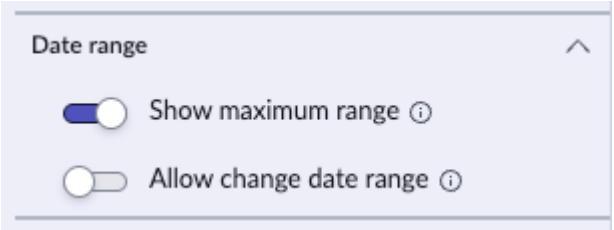
4. ビジュアル化に戻ると、デフォルトで [線タイプ] が選択されていることがわかります。折れ線グラフは最も一般的なタイプの時系列であり、時系列はインジケーターの通常の可視化です。また、線グラフの可視化の横に、このデータ可視化用の構成パネルが開いています。可視化は、構成するとリアルタイムで変更されます。



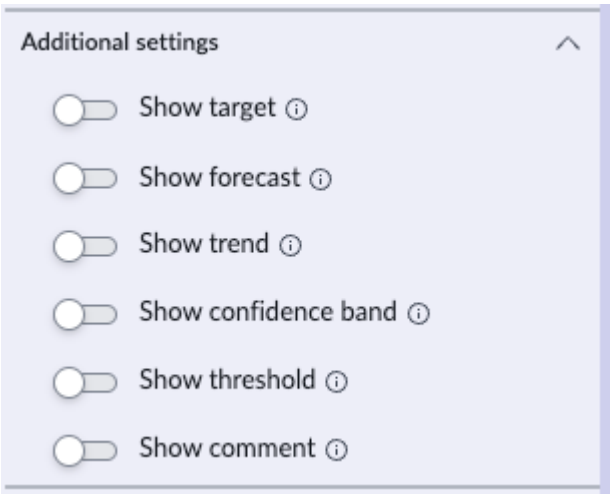
5. 1 月 11 日にインジケーターを作成したばかりであるため、データの表示はあまり良くありません。幸いなことに、[構成] パネルには、表示される日付をトリミングできる [日付範囲] セクションがあります。この場合、[最大範囲を表示] を選択すると、データがあるすべての日付が表示されますが、それらの日付のみが表示されます。

自動翻訳

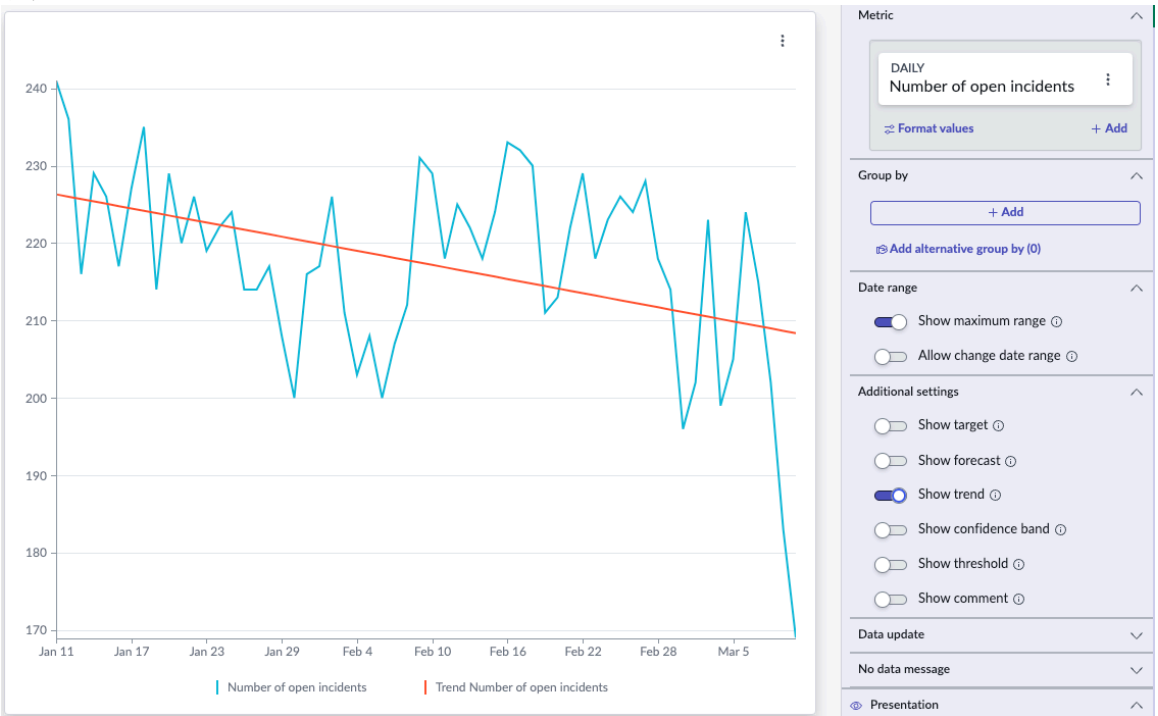
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. また、このデータについてどのような詳細情報を提供できるかを確認する必要があるため、[追加の設定] セクションを展開します。インジケーターの場合、これらの設定は KPI 詳細 グラフのオプションと同じです。詳細については、KPI 詳細ドキュメントのチャートオプション KPI 詳細を参照してください。必要なロールがある場合は、KPI 詳細でインジケーターのターゲットとしきい値を設定できます。



7. データの傾向を表示して、クリスマス休暇前にインジケーターがどこに向かっていたかを視聴者に提供することにしました。

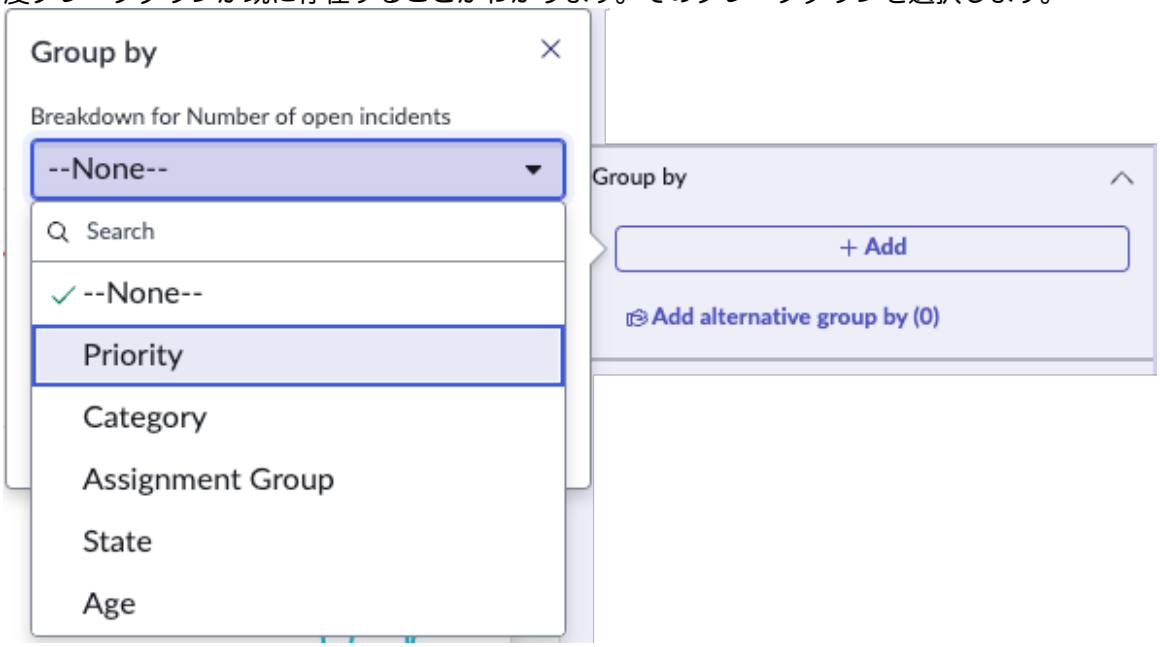


8. これで、このデータの可視化を複製し、優先度に従ってインシデントの数をグループに分割する新しいタスクがあります。[構成] パネルの [グループ] セクション で、時系列可視化でデータをグ

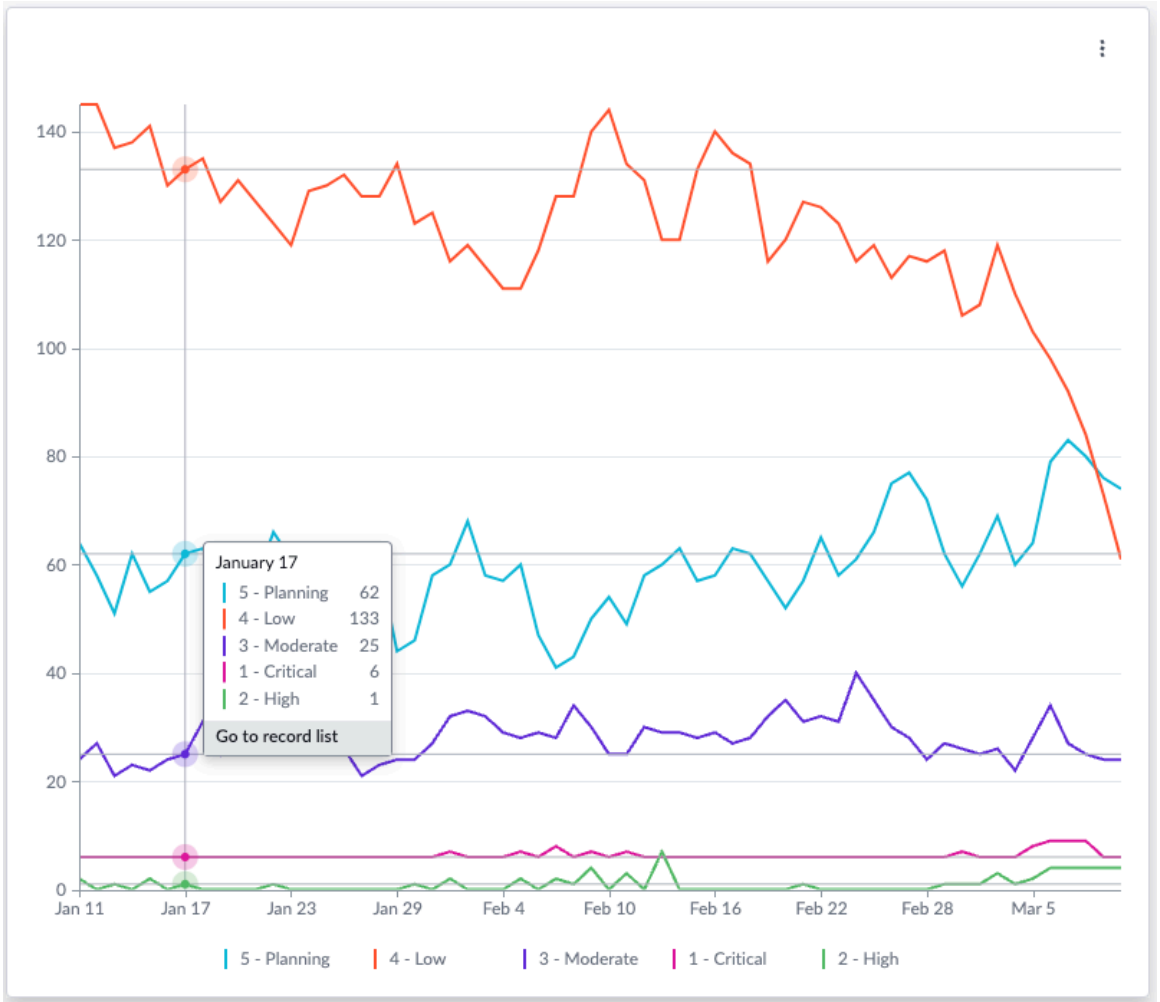
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ループ化します。そのセクションを展開すると、[オープンインシデント数] インジケーターの優先度ブレークダウンが既に存在することがわかります。そのブレークダウンを選択します。



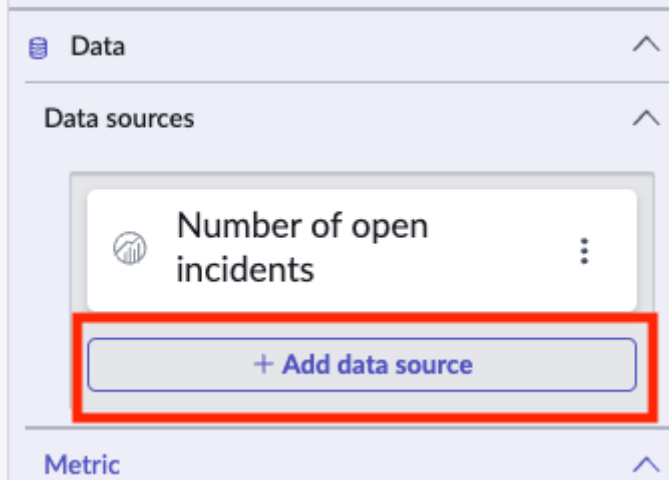
9. [グループ] の値ごとに個別の行が表示されます。ここでは、傾向を表示できなくなったことがわかります。[構成] パネルの [追加の設定] セクションを再度展開すると、[グループ] の 値を設定したため、予測以外の追加情報を表示できないことがわかります。



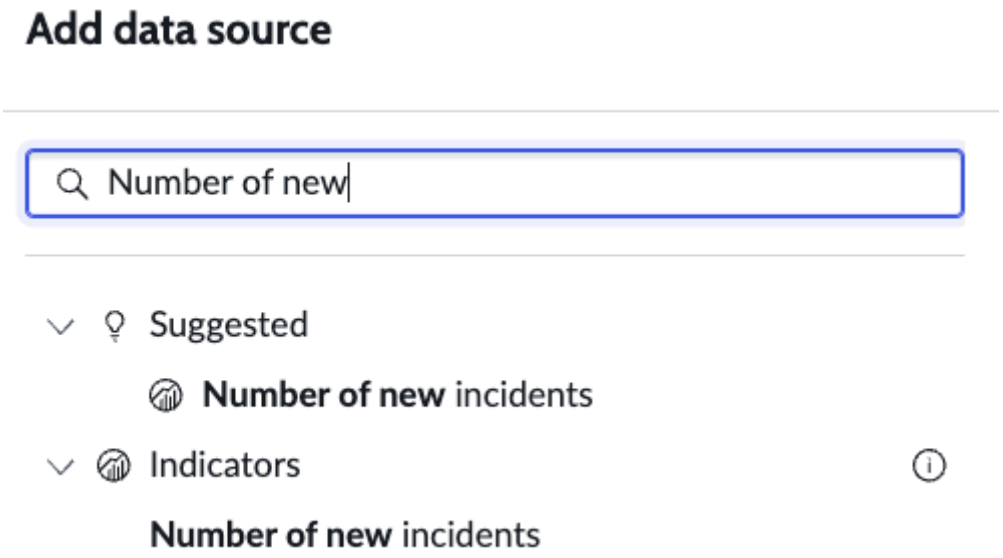
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. これで、比較のために同じ可視化で [新規インシデント数] インジケーターを表示するという追加の要件が追加されました。このインジケーターを表示するには、[構成] パネルの [データ] セクションを展開し、[データソース] で **[+** データソースを追加] を選択します。



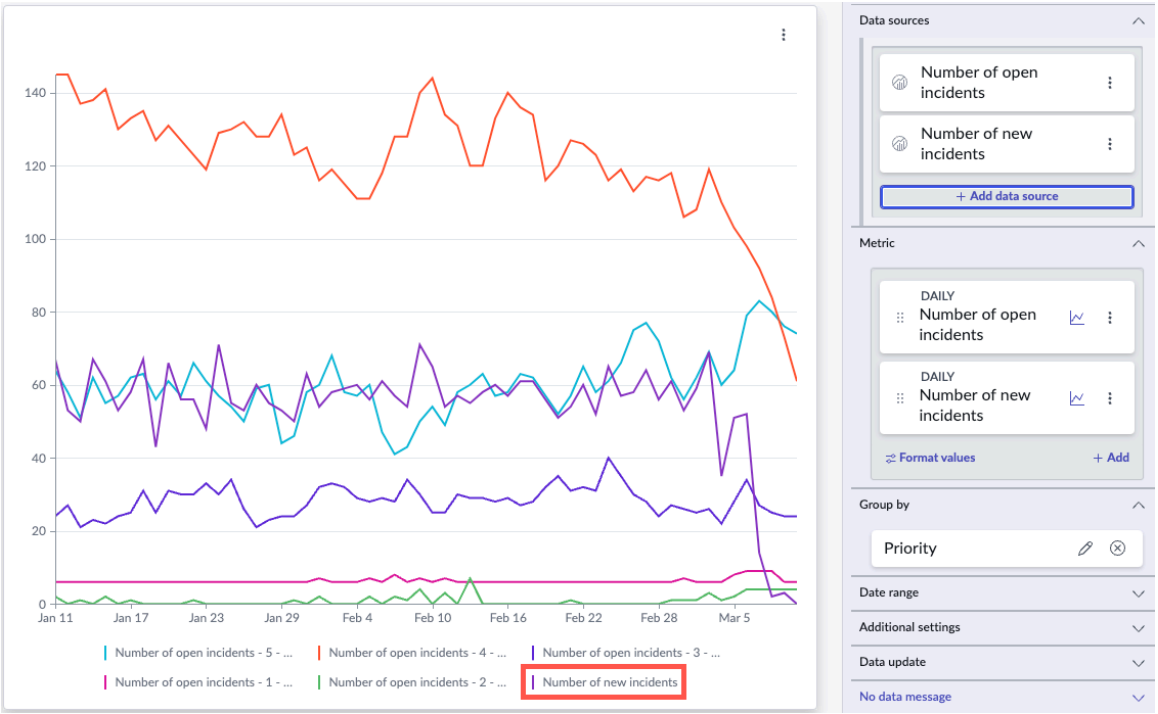
11. 次に、[新規インシデント数] インジケーターを検索して追加します。



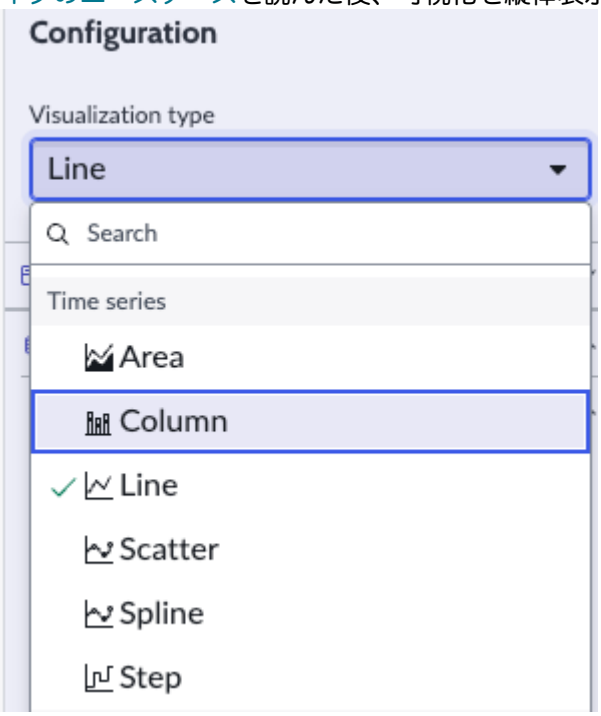
その結果、[新規インシデントの数] の可視化に新しい線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

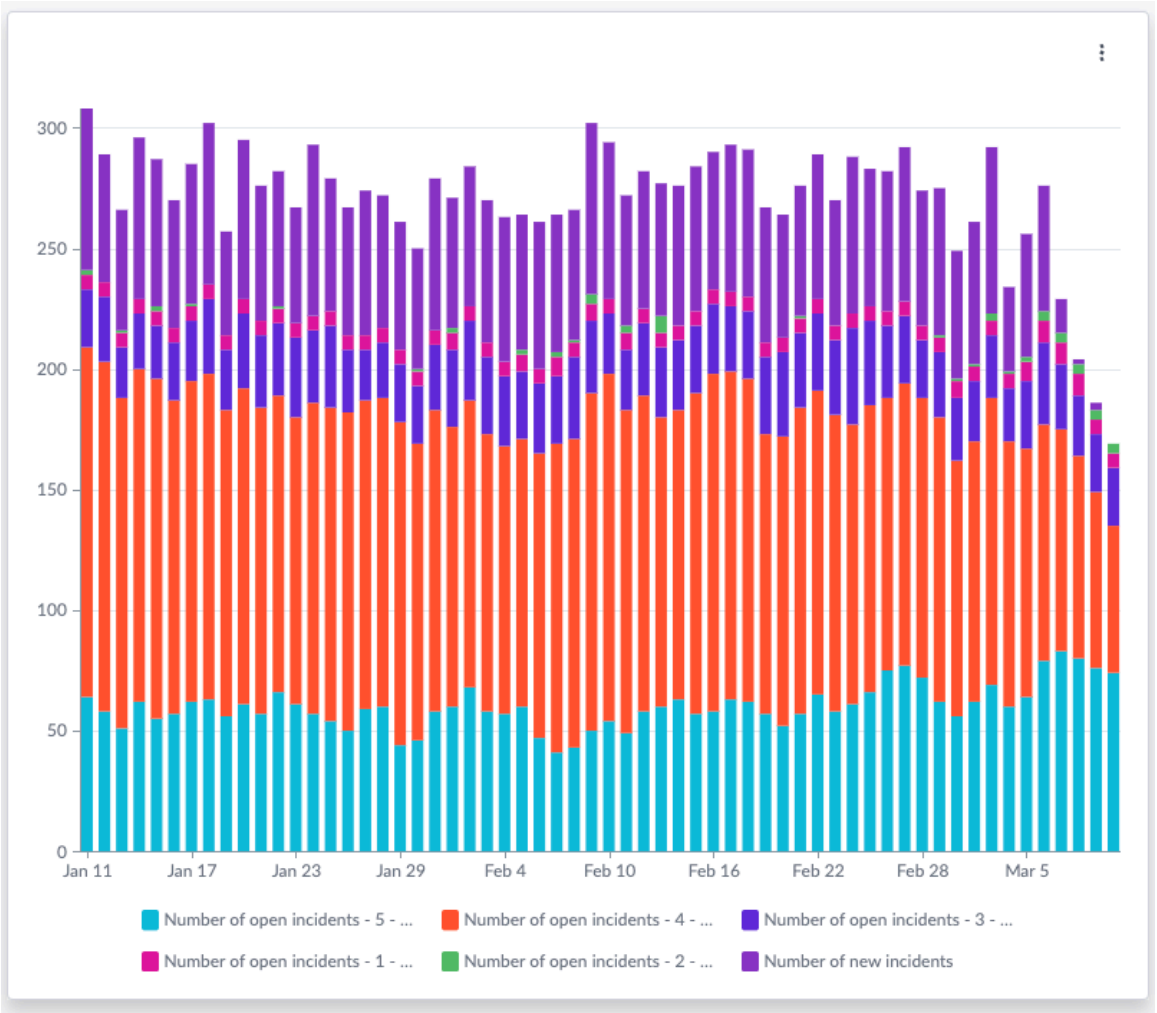


12. これは読みにくく、これが最適な可視化であるかどうかわかりません。さまざまな時系列可視化タイプのユースケースを読んだ後、可視化を縦棒表示に変更することにしました。

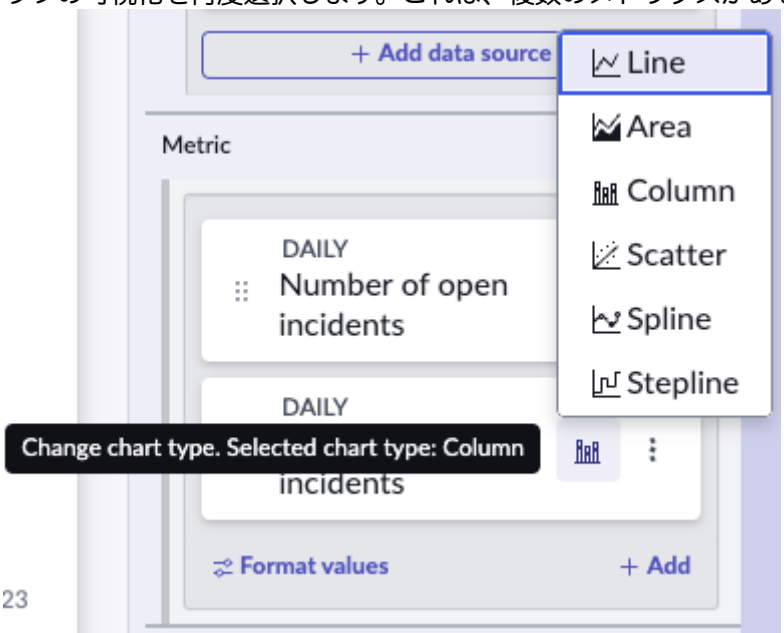


13. これは確かに改善ですが、まだもっとうまくやれると思います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



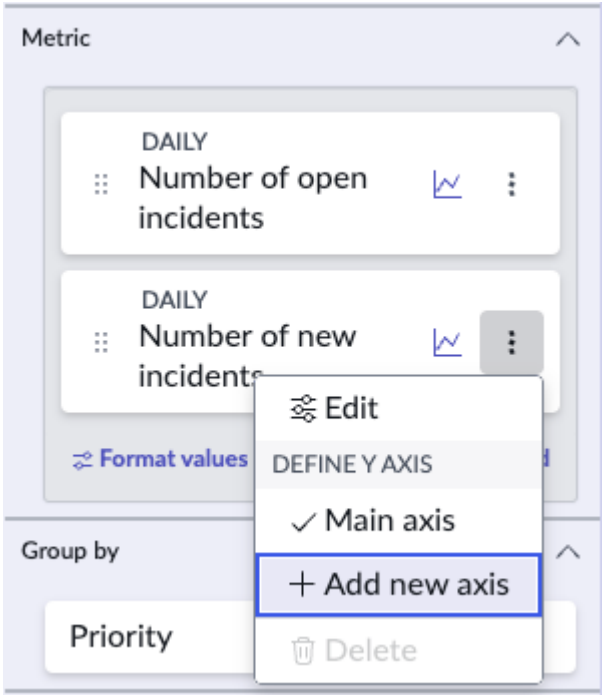
14. さいわい、メトリクスごとに異なる可視化タイプを設定できます。[メトリクス] タイルに移動し、[新規インシデント数] の可視化タイプアイコンの下にあるメニューを展開します。ここでは、線グラフの可視化を再度選択します。これは、複数のメトリクスがある場合にのみ実行できます。



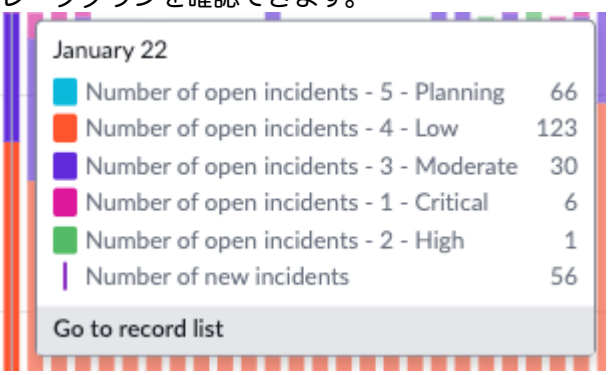
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

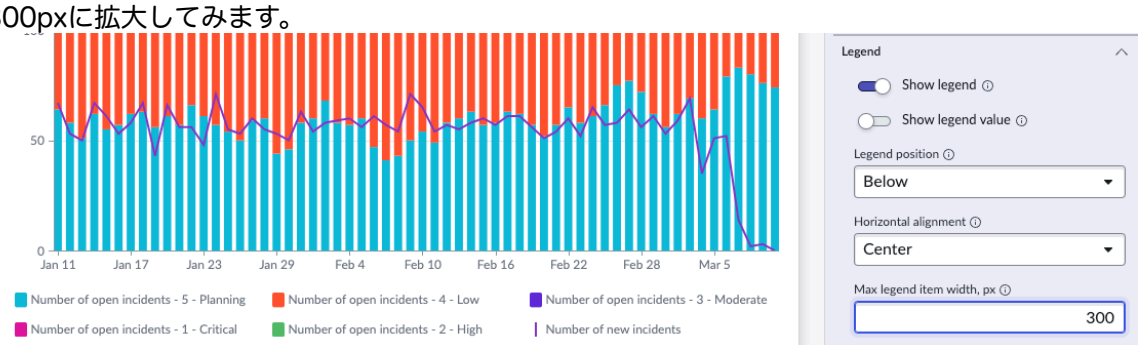
15. 各メトリクスタイルの [その他のオプション] メニューを使用して、[オープンインシデントの数] と [新規インシデントの数] に異なる Y 軸を設定するオプションもあります。ただし、2 つのデータソースのスケールは、これが役立つほど大きくありません。



16. 可視化はまだ少し忙しいですが、ビューアーはカーソルを列に合わせると、その日付のスコアのブレークダウンを確認できます。



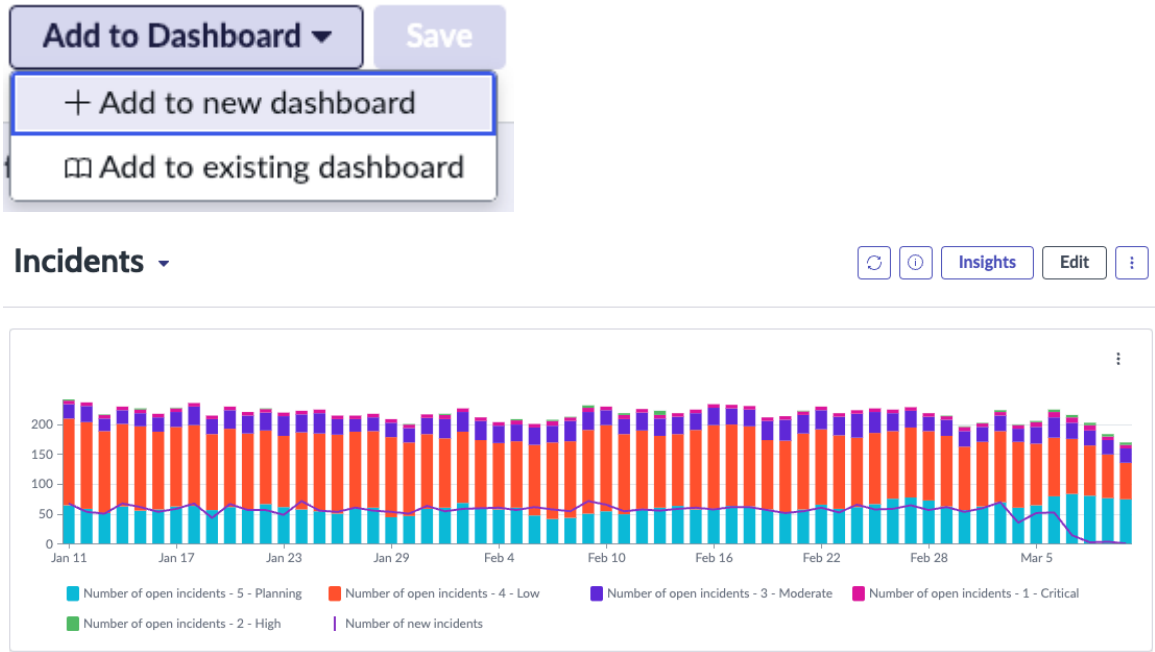
17. 最後に行うことは、凡例を読みやすくすることです。現在、視聴者がそれぞれの優先順位が実際に何であるかを確認する前に、エントリは切り捨てられています。そこで、凡例アイテムの幅を300pxに拡大してみます。



18. 上手くいきました。可視化を保存すると、ダッシュボードに追加する準備ができます。適切なロールがある場合は、他のダッシュボードデザイナーが使用できるように可視化をデータ可視化ライブラリに保存できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



カレンダーレポートのデータ可視化を作成

カレンダーレポートの可視化を作成して、日付駆動型のイベントを表示および強調表示します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

ダッシュボードでのカレンダーレポートの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーカレンダーレポートコンポーネントに関する情報を提供しています。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

このタスクについて

カレンダーの可視化は、ほとんどのデータ可視化よりも長い期間にわたるアクティビティを表示するために使用されます。日付固有の情報を小さなスペースに凝縮したい場合に使用します。

> **注:** コア UI から移行されるカレンダーの可視化では、[開始日] フィールドに開始時間、 [終了日] フィールドに終了時間が必要です。これらのフィールドは コア UIでは必須ではありませんが、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでは必須です。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. カレンダーレポート ( ) の可視化タイプを選択します。
4. オプション: 構成パネルで、 コンポーネントヘッダーを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンポーネントタイトル	共有されている情報を反映するカレンダーレポートの可視化のタイトル。
大きいフォントサイズを使用する	カレンダータイトルのレンダリングに使用するスタイルを定義します。true の場合、太字ではないタイトル (ターシャリ) フォントが使用されます。それ以外の場合は、太字のヘッダーセカンダリフォントが使用されます。 (Optional) デフォルト値：false
コンポーネントの説明	コンポーネントに入力する説明。このフィールドの文字数は 250 文字に制限されています。
説明を表示	可視化に情報アイコン (ⓘ) を追加します。このアイコンをクリックすると、コンポーネントの説明がポップアップで開きます。

5. [データ] セクションで、ソーステーブル、事前定義された条件、日付範囲、およびフィルターオプションを指定します。

データフィールド	説明
テーブル	カレンダーイベントをレポートするテーブルまたは データベースビュー を選択します。 デフォルト値:task
事前定義された条件	イベントレコードをフィルタリングするためのレポートソース [sys_report_source] テーブルの事前定義された条件。
フィルターテーブルを編集	イベントレコードをフィルタリングするための条件。このフィルターは、エンドユーザーがカレンダーを表示するときに適用されます。フィルターコンポーネントがページに追加されている場合、ユーザーはさらにフィルタリングできます。 **注:** このプロパティは、テーブルと事前定義された条件 (適用されている場合) に加えて、フィルター条件を追加します。
開始日フィールド	開始イベントとして表示するレコードのフィールド。日付フィールドを選択する必要があります。 デフォルト値:オープン
終了日フィールド	終了イベントとして報告するフィールド。日付フィールドを選択する必要があります。 デフォルト値:クローズ済み [closed_at]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データフィールド	説明
イベント表示フィールド	すべてのカレンダーイベントに表示するように選択する 1 つ以上のフィールド。 デフォルト値:number,short_description

6. [追加の設定] セクションには、いくつかのオプションがあります。

データフィールド	説明
フィルターに従う	有効にすると、同じダッシュボードタブまたはダッシュボード全体のすべてのフィルターが可視化に表示されます。
フィルターの概要を表示	フィルターパネルを開くフィルターアイコンを表示します。このパネルには、「アクティブが true」などの構成フィルターと、ダッシュボードで従うフィルターが表示されます。事前定義された条件は表示されません。
デフォルトビュー	デフォルトとして適用するカレンダービュー形式。以下から選択します。 ○ 日 ○ 週 ○ 作業週 ○ 月 デフォルト値:月

7. **[Save** (保存)] を選択します。
移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

でリストの可視化を作成する 可視化デザイナー

チャートのインタラクションからドリルダウンできるテーブルレコードの展開可能なリストを作成します。リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントレポートには、優先度名と、ユーザーが優先度を選択した場合に表示されるレコードの数のみが表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
Zurich リリースでは、このリストは単純なリストの可視化に置き換わります。移行時に、すべての簡易リストが新しいリストに移行されます。

注: リストの可視化にはスポットライト情報を含めることができます。スポットライト [spotlight] テーブルの情報を表示するようにリストを構成します。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト」を参照してください。スポットライト機能の一般的な情報については、「 スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. [その他] というラベルの付いたカテゴリからリスト (☰) の可視化タイプを選択します。
4. [データソースを追加] を選択します。
インシデント [incident] テーブルなどのテーブルデータソースのみを選択できます。
5. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てる省略記号を表示します。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ペア	データ表示の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。
ヘッダーの背景色	可視化のタイトルの背後にある色を指定します。
タイトル色	テキストの色を指定します。デフォルトのタイトル色は黒ですが、ヘッダーの背景とのコントラストが良い色を選択できます。
グループ	
グループ (オプション)	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
	ア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後でそのうちの 1 つでグループ化することができます。 **注:** ○ [タグ] フィールド別、または MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプ別にデータをグループ化または積み重ねることはできません。 ○ 日付や整数などの連続値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
代替グループ化基準を追加	この選択により、可視化内のデータをグループ化する際のその他のアイテムを選択するダイアログが開きます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する」を参照してください。 **重要:** ○ 代替のグループ化は、1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみをサポートしています。 ○ 代替のグループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
	使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
情報メッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示するカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含める図。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
見出しレベル	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキストサイズ。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。
プレゼンテーション	
列と行	
列	可視化で表示する列をテーブルから選択します
最大行	表示する最大行数を指定します。可視化の行数が多い場合は、ページに分割されます (表示設定で [リストのページネーションを許可] が選択されている場合)。
表示される列の数	列が多すぎるビューの場合は、表示される最大数を設定できます。
最大文字数	セルが切り捨てられる前にセルに表示する文字数を指定します。
列のパーソナライゼーションのオプションを表示	実行時にリスト内の列を追加、削除、および順序変更する機能を有効にします。
ドット連結を無効化	カスタマイズされたリストのドットウォーク機能を無効にします。[列をパーソナライズするオプションを表示] が選択されている場合にのみ使用できます。
列をドラッグアンドドロップするオプションを表示	ユーザーが実行時に列を並べ替えられるようにします。
レコードをグループ化するオプションを表示	ユーザーが実行時に列エントリ別にリストをグループ化できるようにします。
列のサイズ変更を表示	ユーザーが実行時に列幅を変更できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
列のフィルタリングを表示	ユーザーが実行時に列見出しからフィルターを適用できるようにします。
列のソートを表示	実行時に列の値を昇順または降順でソートできるようにします。
表示設定	
インライン編集を表示	インライン編集機能を有効にする場合に選択します
リンクを表示	リスト内のすべてのリンクを表示する場合に選択します。オフにすると、参照フィールドとリンクはプレーンテキストとしてレンダリングされます。
セルのコンテンツを折り返す	テーブル全体でセルごとに複数行のテキストを有効にします。[最大文字数] オプションの値に基づいて、テキストが切り捨てられる場合があります。
「すべて表示」フッターを表示	指定された最大数だけでなく、可視化内のすべての行を表示できるようにします。
リストのページネーションを許可	リストを複数のページに分割できるようにします。オフにすると、リストのページネーションは非表示になります。

自動翻訳

インジケータースコアカードの作成

インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間のデータを視覚化して比較できます。最後に収集されたスコア、前回のデータポイントからの変化、経時的な傾向、および達成すべきターゲットの値に関する情報が強調表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの インジケータースコアカード の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのインジケータースコアカードコンポーネントに関する情報を提供しています。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注: UI ビルダーの以前のスコアでソートすることはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. [インジケータースコアカード]) の可視化タイプを選択します。
4. オプション: ヘッダーと境界線を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
(Optional) 大きいフォントサイズで表示	(Optional) ヘッダータイトルを大きなフォントでレンダリングします
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化に関する簡単な概要。説明は、ユーザーが可視化を見つけるのに役立ちます。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨て省略記号を表示します。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
(Optional) ヘッダーの背景色	(Optional) テーマ、ブランディング、またはデザインの好みに合わせたヘッダーの背景色。選択した色は、この可視化のヘッダーにのみ適用されます。アクセシビリティを向上させるには、ヘッダーの背景とタイトルテキストの間に十分なコントラストを確保します。カラーピッカー内のコントラスト比チェッカーを使用して確認します。カスタム色を選択すると、テーマはサポートされないことに注意してください。
タイトルの背景色	ダッシュボードのテーマ、ブランディング、またはデザインの好みに合わせてチャートタイトルの色。選択した色は、可視化のタイトルにのみ適用されます。アクセシビリティを向上させるには、ヘッダーの背景とタイトルテキストの間に十分なコントラストを確保します。カラーピッカー内のコントラスト比を確認することで、これを確認できます。カスタム色を選択すると、テーマはサポートされないことに注意してください。

自動翻訳

5. インジケータースコアカードのフィルタリングおよびソート機能を設定します。

フィールド	説明
スコアカードタイプ	スコアカードタイプから選択するリスト。次のオプションが含まれます。 ○ リスト:インジケーターとメトリクスのリストを列として表示します。 ○ ピボット:インジケーターを行として表示し、ブレークダウンを列として表示するか、その逆を行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ヘッダーを表示	ヘッダーの表示と非表示を切り替えます。
タイトル	コンポーネントのタイトル。
説明	実行時に情報アイコンに表示されるコンポーネントの説明。
ソース定義	表示するインジケーターの設定方法を選択します。次のオプションが含まれます。 ○ 条件ベース:表示するインジケーターを決定する条件を設定できます。 ○ 手動で選択:[データソースを追加] ペインからインジケーターを手動で追加できます。 ブレークダウンと要素を選択して、手動で選択した各インジケーターのインジケーターをフィルタリングできます。 インジケーターを 1 つだけ選択した場合は、[ブレークダウンのみを表示] を設定して、インジケータースコアなしでそのインジケーターの要素を表示できます。 ○ インジケーターグループ:インジケーターグループをソースとして設定します。
フィルター	表示するインジケーターをフィルタリングするためのエンコードされたクエリ文字列。フィルターを静的に作成するには、提供されている条件ビルダーを使用します。 注: ソース定義が条件ベースの場合にのみ使用できます。
インジケーターグループ	リストのインジケーターグループに基づいてテーブルをフィルタリングします。 注: ソース定義が [インジケーターグループ] の場合にのみ使用できます。
ブレークダウン	表示するブレークダウンを選択します。ブレークダウンタイルをドラッグして並べ替えることができます。
グループの最大数	ブレークダウンに表示する要素の最大数。[要素のフィルター] に表示する要素を選択しない場合、表示される要素はブレークダウンソースと [ソート方向] の値によって異なります。たとえば、グループ [sys_group] テーブルの [名前] フィールドを使用するアサイン先グループブレークダウンを考えてみましょう。グループの最大数がデフォルトの 5 の場合は、ソートの方向が昇順か降順かに応じて、最初の 5 つのグループ名または最後の 5 つのグループ名のいずれかをアルファベット順に表示します。このような場合は、[要素をフィルター] フィールドで要素を選択することを検討してください。 デフォルト：5
要素をフィルター	関連するブレークダウンに表示する要素を選択します。要素を選択しない場合は、グループの最大数までのすべての要素が表示されます。
ブレークダウンを列として表示	true の場合、ブレークダウン要素はピボットテーブルに列として表示されます。false の場合、ブレークダウン要素は行として表示されます。1 つのブレークダウンのみをサポートし、ピボットスコアカードにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルト値：false
ブレークダウンのみを表示	true に設定すると、インジケーターの合計が非表示になり、ブレークダウン要素と選択したメトリクスのみが表示されます。ソース定義が 手動で選択 され、インジケーターが 1 つのみ選択されている場合、リストスコアカードでのみ使用できます。 デフォルト値：false
変更ブレークダウンを許可	true の場合、ビューアーは表示されるブレークダウンを変更できます。[ブレークダウンのみを表示] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
ブレークダウンの可視化セレクター	true の場合、ブレークダウンセレクターはスコアカードの閲覧者に表示されます。false の場合、ブレークダウンセレクターは [その他のオプション] メニューから開く必要があります。[ブレークダウンの変更を許可] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
メトリクス	インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。メトリクスタイルをドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。 デフォルト:lastScore、changeAndChangePercent、target、trend
時系列アグリゲーション	選択したすべてのインジケーターに適用する時系列アグリゲーション。時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。
ソート基準	インジケーターをソートするための列。 値:Name、Latest Score、Target、Change、changePercent、indicator_group 注: 以前のスコアでソートすることはできません。 デフォルト:名前
ソートの方向	インジケーターやブレークダウン要素のソート方向。ブレークダウン要素への影響は、ブレークダウンソースによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルのブレークダウン要素は [シーケンス] フィールドの値に従ってソートされ、グループ [sys_group] のブレークダウン要素は [名前] フィールドのアルファベット順にソートされます。 値:昇順 (昇順) または降順 (降順) デフォルト:Asc
追加の設定	
フィルターに従う	オンにすると、ダッシュボードに設定されたフィルターがインジケータースコアカードに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	デフォルト：true
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるダッシュボードフィルターの数を表示します。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。 デフォルト：true
ドリルダウンを有効にする	ユーザーがデータポイントを選択したときに、基礎となるデータにリダイレクトします。このインタラクションが行われないようにするには、オフに切り替えます。 デフォルト：true
フィルター要素を表示	適用されたフィルター要素をインジケーター名の横に表示するオプション。フィルターを可視化に適用できない場合、要素は表示されません。オフに切り替えると、フィルター要素が非表示になり、インジケーター名のみが表示されます。 デフォルト：true
ブックマークを表示	ブックマークの列の表示と非表示を切り替えます。オンにすると、ユーザーはインジケーターとブレークダウンを自分でブックマークできます。 デフォルト：true
インジケーター情報を表示	インジケーター情報アイコンの表示と非表示を切り替えます。インジケーター情報に表示される場合、最終収集日、収集頻度、および方向に関する情報が含まれます。 デフォルト：true
ブックマークされたアイテムのみを表示	オンに切り替えると、ブックマークされたインジケーターまたはブレークダウン要素のみが表示されます。 デフォルト値：false
表示設定	
ページあたりの最大要素数	ページに表示できるインジケーターまたはブレークダウン要素の最大数によって決定されるページサイズ。インクリメントは、10、20、50、および 100 のインジケーター/要素です。 デフォルト値：10
ターゲットのカラースキーム	ターゲットのカラースキームを選択します。デフォルトでは、[パフォーマンスアナリティクスプロパティ] ページの [デフォルトインジケーターターゲットのカラースキーム] プロパティで定義された値が適用されます。
行の色を交互に表示	行の色を変更します。
行の線を表示	行間に分割線を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
列の線を表示	列の間に分割線を追加します。
チャートのインタラクション	
チャートのインタラクションを許可	インジケーターの名前が選択されている場合、そのインジケーターの KPI 詳細 ページへのナビゲーションを有効にします。
アクション	[データビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、インジケーターが KPI 詳細で開きます。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー
- で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

リストからデータの可視化を作成

コア UIリスト内から、プラットフォームアナリティクス縦棒グラフまたは円グラフのデータの可視化を作成できます。データビジュアル化ロールを持っている場合は、ビジュアル化を保存、共有、エクスポート、または複製できます。

始める前に

必要なロール:リストへのアクセス権を付与するロールが必要です。ビジュアル化を保存、共有、エクスポート、または複製するには、itil、viz_creator、またはレポートロールなどのviz_creatorを含むロールが必要です。

このタスクについて

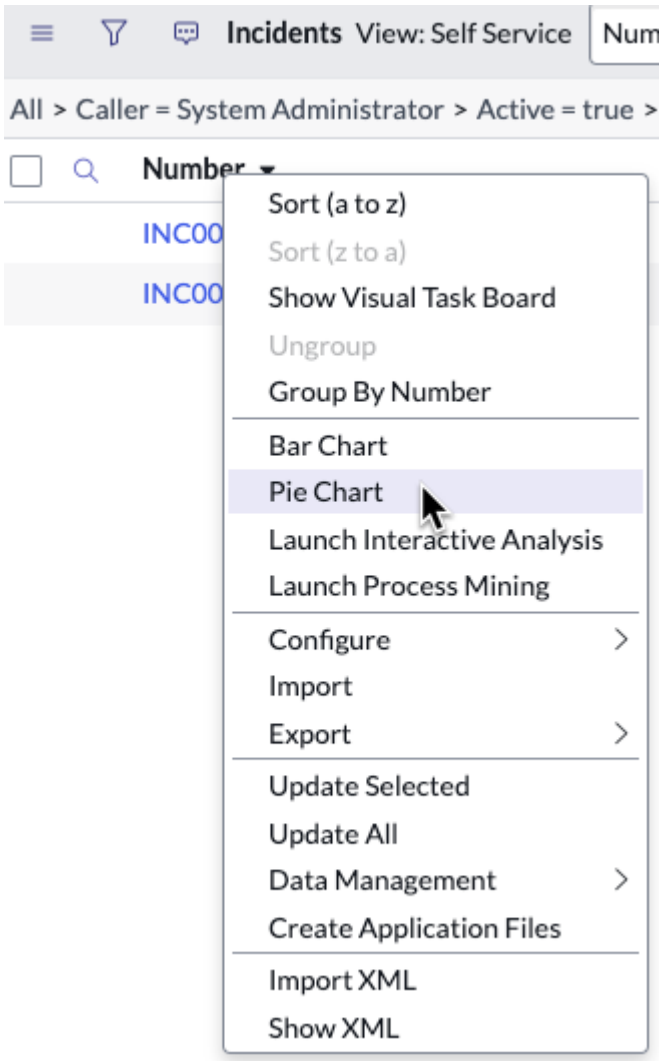
新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスを使用している場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、代わりに コア UI 円グラフまたは棒グラフレポートを作成します。この場合、「 リストからのレポートの実行」を参照してください。

手順

1. リストに移動します。
2. 可視化で棒またはスライスとして表示する値を含む列のヘッダーを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化が生成され、可視化デザイナーで開きます。

一般的なデータ可視化タスク

プラットフォームアナリティクスデータの可視化を編集、共有、複製、削除する方法と、その他の一般的なタスクをご覧ください。ほとんどのタスクは同じメニューから起動されます。

インラインダッシュボードでのデータの可視化の編集

インラインダッシュボードエディター内からデータの可視化を作成および編集できます。すべてのオプションが 可視化デザイナーと同じではありません。インラインエディターと 可視化デザイナーの間を移動できます。

インライン プラットフォームアナリティクス ダッシュボード要素の編集で説明したように、[新しい要素を追加] メニューからダッシュボードにデータの可視化を追加できます。ダッシュボードで可視化を編集するには、ダッシュボードを編集モードにして可視化を選択します。ただし、一部の動作は異なる場合があります。

- 可視化がライブラリにあり、それを所有している場合、それを編集するには itil、report_user、または viz_creator ロールが必要です。編集内容を保存するときに、ビジュアル化を表示するすべてのダッシュボードに影響を与える可視化をライブラリに保存するか、ダッシュボードのみのローカルコピーを保存するかを選択できます。
- 可視化がライブラリにあり、それを所有していない場合、それを編集するには viz_admin ロールまたは admin ロールが必要です。編集内容を保存すると、ビジュアル化を表示するすべてのダッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シュボードに影響するライブラリに可視化を保存するか、ローカルコピーを保存するかを選択できます。

- 可視化がライブラリにあり、それを編集するために必要なロールがない場合は、編集可能なローカルコピーを作成して可視化を「リンク解除」できます。詳細については、「共有ダッシュボード要素のコピーを編集する」を参照してください。
- 一部のオプションは、インラインエディターと 可視化デザイナーで異なる場合があります。たとえば、チャートのインタラクションでは、 可視化デザイナー内でのみ別の可視化にドリルダウンするようにデータ可視化を構成します。

重要: プラットフォームアナリティクスダッシュボードにコア UIレポートまたはパフォーマンスアナリティクスウィジェットを配置することはできません。代わりにデータの可視化を追加します。

可視化自体の [アクション] メニューには、エディターを変更するためのオプションがあります。ダッシュボードから可視化のサイズ 変更、 構成、 複製 、または 削除 を選択することもできます。viz_admin 以上のロールを持っている場合は、可視化の PAR ダッシュボードウィジェット [par_dashboard_widget] レコードを表示することもできます。

注: プラットフォームアナリティクスダッシュボードを appsee データとともに保存する場合、そのダッシュボードを 1 回クリックするだけで、対応する UXA ダッシュボードに自動的にリダイレクトされます。これにより、appsee アナリティクスから特定のユーザーの行動をドリルダウンして探索するための迅速かつ効率的な方法が提供されます。

その他のトピック

ライブラリにダッシュボードデータの可視化を追加する

ダッシュボードのデータ可視化を再利用可能にしたり、可視化デザイナーで編集できるようにするには、そのデータを可視化ライブラリに追加します。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、viz_creator 以上、およびダッシュボードを編集する権限

このタスクについて

インラインダッシュボードにローカルコピーとしてのみ存在するデータビジュアル化を、データビジュアル化ライブラリに追加できます。これは、データの可視化を他のダッシュボードに追加できるようにするために行うことができます。ダッシュボードから 可視化デザイナー で可視化を開くで説明されているように、可視化デザイナーでデータの可視化を編集できるようにすることもできます。

手順

1. 関連するダッシュボードを開いて編集します。
2. 関連するデータ可視化を検索または作成します。
   「データの可視化の作成」を参照してください。
3. データ可視化コンテキストメニューを展開します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ライブラリに追加] を選択します。
5. データ可視化の名前と説明を入力します。
6. [ライブラリに追加] を選択します

次のタスク
これで、データの可視化がデータ可視化ライブラリに存在します。ダッシュボードから 可視化デザイナー で可視化を開くの説明に従って編集できます。

ダッシュボードから 可視化デザイナー で可視化を開く

ダッシュボードエディターから、 可視化デザイナーでデータの可視化を開きます。さまざまなオプションのセットがあります。

始める前に
データの可視化は、データの可視化ライブラリに存在する必要があります。

必要なロール:itil、report_user、viz_creator 以上 (データの可視化を所有している場合)。データの可視化の場合は viz_admin 以上。ダッシュボードを編集する権限も必要です。

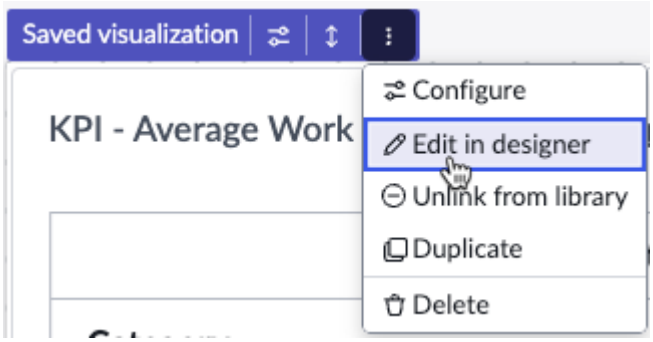
このタスクについて
ダッシュボードエディターで作業しているときに、ダッシュボードエディターではなく、 可視化デザイナーでのみ可能な方法でデータの可視化を再構成する必要がある場合があります。たとえば、[チャートへのドリルダウン] インタラクションを構成できます。データ可視化の [アクション] メニューを使用すると、あまり移動することなく、 可視化デザイナー 内の可視化を 1 ステップで開くことができます。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード をクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. データの可視化がまだない場合は追加します。
   詳細については、「インライン プラットフォームアナリティクス ダッシュボード要素の編集」を参照してください。
4. データの可視化で、[アクション] メニューを展開します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [デザイナーで編集] を選択します。

次のタスク
「 でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー」の説明に従って、データの可視化の編集に進みます。

でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー

データの可視化を作成した後、それに戻って、データの可視化の外観やその他の側面を編集できます。

始める前に
必要なロール:共有ビジュアル化でない限り、所有しているデータビジュアル化はライブラリ内で編集できます。データの可視化がライブラリにあり、それを所有している場合、それを編集するには itil、report_user、または viz_creator ロールが必要です。viz_admin ロール以上で任意のデータ可視化を編集できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. 編集する可視化を選択します。
3. 可視化デザイナーで、[構成] アイコン ( ) を選択して、ヘッダー、データ、およびプレゼンテーションオプションを編集します。
4. 情報アイコン ( ) を選択して、名前、説明、認定、および要求者の情報を編集します。

データの可視化の詳細

[詳細] ペインには、現在編集しているデータの可視化に関する重要な情報の概要が表示されます。

可視化デザイナーで [詳細] アイコン [ ] を選択して、編集中の可視化の詳細を表示します。次の情報が表示されます。

フィールド	説明
名前	名前は意味のあるものにする必要があります。編集権限がある場合は、ここで名前を変更できます。
説明	説明は、他のユーザーが可視化の性質と目的を理解するのに役立つ情報である必要があります。編集権限がある場合は、ここで説明を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認定としてマーク	組織で使用するデータの可視化を認定できるロールを持っている場合は、ここで可視化を認定または非認定します。詳細については、「でデータの可視化を認定する 可視化デザイナー」を参照してください。
要求者	インスタンスのユーザーがこの可視化の作成または編集を要求した場合は、ここでその人物の名前を指定できます。ユーザーは責任ユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限で共有されます。
作成者、最終更新者	この可視化を作成および最後に更新したユーザー
使用状況	
N 個のダッシュボード	可視化がいずれかのダッシュボードで使用されている場合、ダッシュボードの数がここに表示されます。 [ダッシュボードを表示] リンクをクリックすると、自分が作成した、または共有されたダッシュボードのうち、このデータ可視化が含まれているダッシュボードの簡単なリストが開きます。リストされるダッシュボードの数は、可視化を含むダッシュボードの合計数よりも少なくてもかまいません。
共有先	可視化を共有するすべてのユーザーのアイコン。アイコンをポイントすると、ユーザーのフルネームと共有の詳細が表示されます。詳細については、「でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

でデータの可視化を認定する 可視化デザイナー

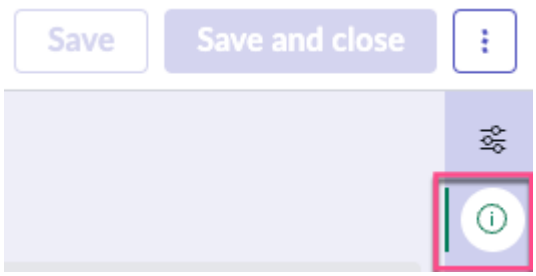
再利用が会社によって承認されていることを示すデータの可視化を認定します。

始める前に

必要なロール:admin、viz_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または [アナリティクスセンター]) ページと認定するダッシュボードがあるワークスペース。
2. [データの可視化] タブで、認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [Details (詳細)] パネルを開きます。



4. [認定としてマーク **(Mark as certified)]** というラベルの付いたトグルを選択します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

結果
認定バッジは、可視化デザイナーで可視化の名前の横に表示されます。

[データの可視化] タブの [認定済みデータの可視化] の下に可視化が一覧表示されます。可視化は、[認定済み] 列でも [True] とマークされます。この列は表示されない場合があります。[列を編集] アイコン ( ) を選択して追加します。

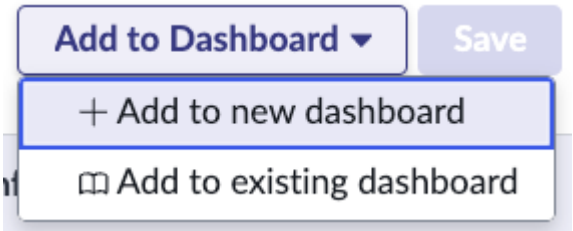
からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー

可視化デザイナーから新しいダッシュボードまたは既存のダッシュボードに可視化を追加します。

始める前に
必要なロール:可視化内のデータへのアクセスを許可するロールが必要です。可視化を所有するか、自分と共有する必要があります。可視化を追加するダッシュボードを編集する権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化.
2. データの可視化を作成するか、ダッシュボードに追加するデータの可視化を開きます。
3. [ダッシュボードに追加] を展開し、次のオプションから選択します。



オプション	結果
新しいダッシュボードに追加	インラインダッシュボードエディターで、無題の新しいダッシュボードが開きます。データの可視化は既にこのダッシュボードにあります。ダッシュボードを完成させ、さらに必要な要素を追加して名前を付けます。詳細については、「インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。
既存のダッシュボードに追加	[ダッシュボードを選択] ダイアログボックスが開きます。データの可視化を追加できるダッシュボードのリストを開くには、[ダッシュボードの選択] フィールドをクリックするか入力を開始します。編集可能なダッシュボードのみを使用できます。テクニカルダッシュボードは利用できません。 選択が完了したら、[ダッシュボードに追加] を選択します。さらに編集するために、ダッシュボードがインラインエディターで開きます。可視化は、ダッシュボードの最後の要素です。 ヒント: データの可視化が表示されない場合は、ブラウザーページを更新します。

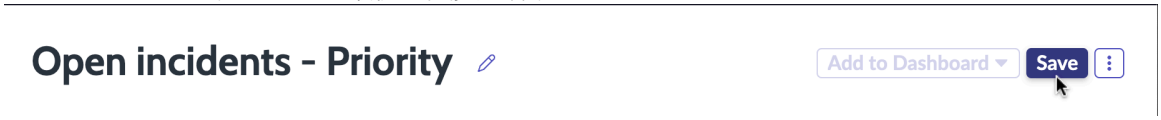
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

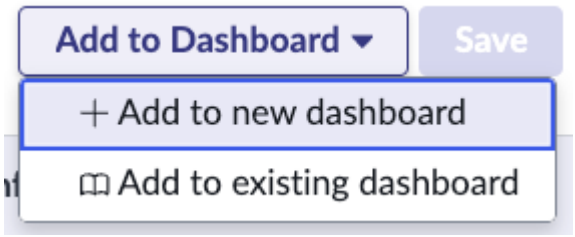
Example: 既存のダッシュボードへの可視化の追加

データの可視化「オープン中のインシデント - 優先度」の作成が完了しました。編集権限を持つダッシュボード [インシデントの概要] に追加する必要があります。

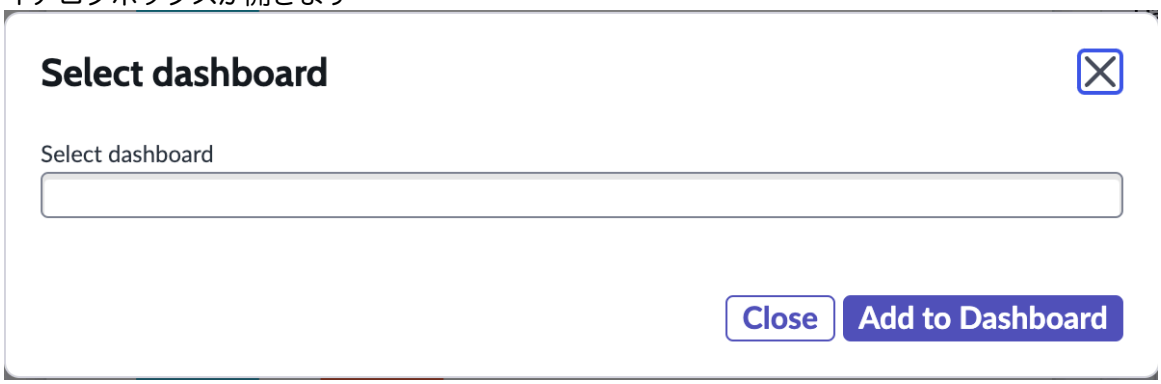
1. まず、ビジュアル化に対する最後の変更を保存します。



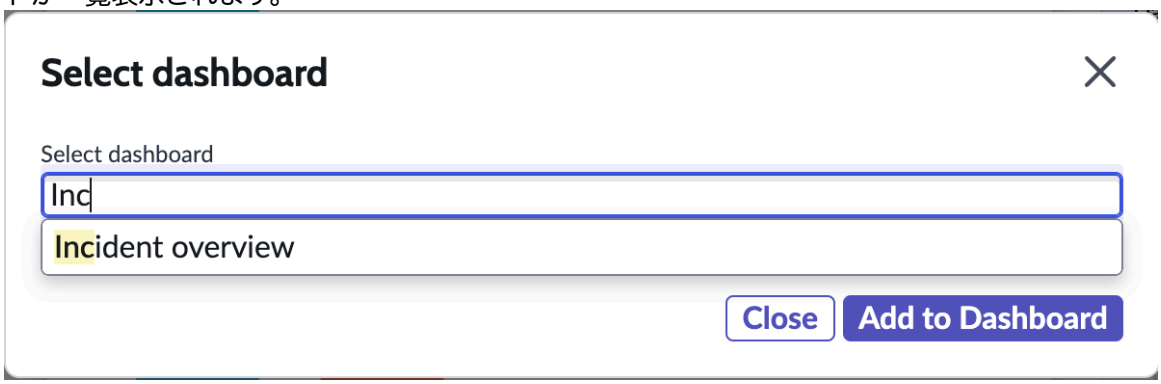
2. 保存すると、[ダッシュボードに追加] オプションが使用可能になります。



3. 既にダッシュボードを念頭に置いているため、[既存のダッシュボードに追加] を選択します。ダイアログボックスが開きます



4. [ダッシュボードの選択] フィールドに「Inc」と入力すると、[インシデントの概要] ダッシュボードが一覧表示されます。

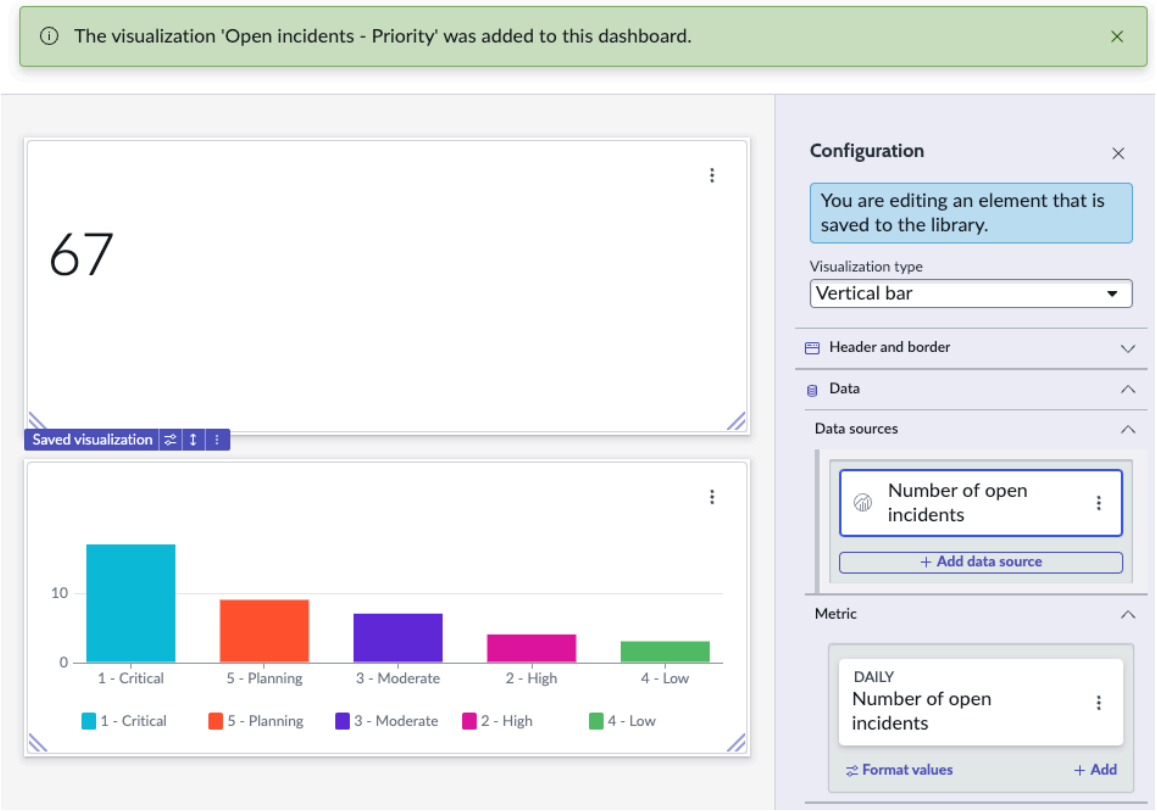


5. [インシデントの概要] ダッシュボードを選択し、[ダッシュボードに追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. インシデントの概要ダッシュボードがインラインエディターで開きます。ブラウザーページを更新すると、[オープンインシデント - 優先度] データ可視化が末尾に追加されます。



で可視化を複製する 可視化デザイナー

可視化のコピーでソースの側面を使用できるように、可視化を複製します。

始める前に
必要なロール：viz_creator

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [データの可視化] タブを選択します。
3. 複製する可視化を選択します。
4. [その他のアクション] メニュー ( ) から、[複製] を選択します。
5. 複製に一意の名前を付け、[**Duplicate** (複製)] を選択します。

結果
可視化が新しい名前でコピーされます。可視化の他のすべての側面は同じままです。

重要: 可視化の新しいコピーが自動的に保存されます。

でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー

可視化を共有して、ユーザー、グループ、またはロールに表示権限または編集権限を提供します。ユーザーは、元のインスタンスの任意のワークスペースで共有可視化にアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

重要: ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

必要なロール:作成したデータの可視化を共有できます。データの可視化を共有するときに、その可視化をさらに共有するための権限を渡すことができます。また、編集権限で共有するか、表示権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を引き継ぐこともできます。

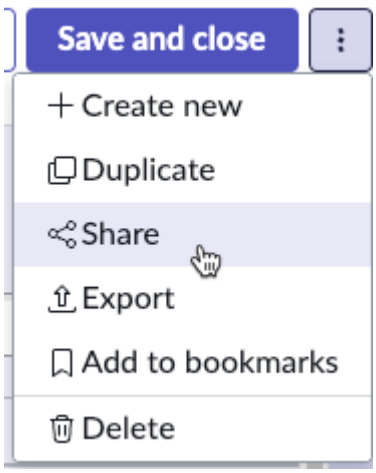
admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーは、すべてのデータの可視化を共有できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーのみが、データの可視化をロールと共有できます。

可視化をユーザー、グループ、またはロールと共有すると、その可視化が [データの可視化] 概要の [自分と共有] タブに追加されます。ロールを持つすべてのユーザーは、テーブルレベルで任意の可視化を一覧表示できます。アクセス制御リスト (ACL) Report_view、ユーザーが可視化にアクセスする方法に関係なく引き続き適用されますが、ACL を変更すると、UI ビルダーで使用されるデータの可視化が壊れる可能性があります。

データの可視化を共有することによって付与された編集権限は、ダッシュボードに配置した場合はその可視化には適用されず、可視化デザイナーにのみ適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、または自分が所有する可視化を含むワークスペースに移動します。
2. 共有する可視化を見つけて開きます。
3. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。



4. データの可視化を共有する 1 人以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。

   注:

   - 非アクティブなユーザーとデータの可視化を共有することはできません。
   - admin または viz_admin ロールを持つユーザーにのみ、可視化をロールと共有するオプションが表示されます。

5. データの可視化を共有するユーザーもそのデータの可視化を共有できるようにする には、[受信者に共有を許可] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー、グループ、またはロールをビューアーとして追加すると、ビューアーとしてのみ可視化を共有できます。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、ビューアーまたはエディターとしてダッシュボードを共有できます。

6. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
閲覧者として追加	可視化を共有するユーザー、グループ、またはロールにのみ表示権限を付与します。受信者は編集できません。
編集者として追加	可視化を共有するユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。

7. [**Confirm** (確認)] を選択します。

データ可視化アクセスの管理

データの可視化を共有するユーザーのアクセス権を変更できます。

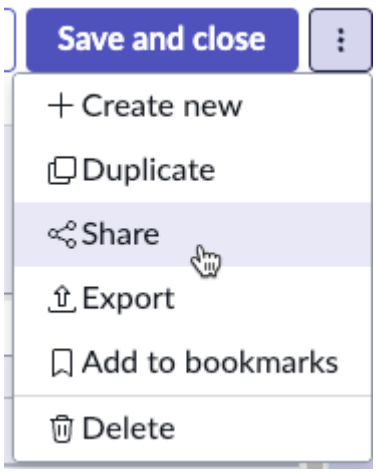
始める前に

重要: ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

必要なロール:ロールに関係なく、作成したデータ可視化へのアクセス権を変更できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーは、すべてのデータ可視化へのアクセス権を変更できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーのみが、データの可視化に対するロール関連のアクセス権を変更できます。デフォルトでは、すべてのユーザーがデータの可視化を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはアナリティクスセンターテンプレート ( ) に基づくコンポーネントと共有するデータの可視化を持つワークスペースに移動します。
2. [データの可視化] タブを開き、アクセスを管理するデータの可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。

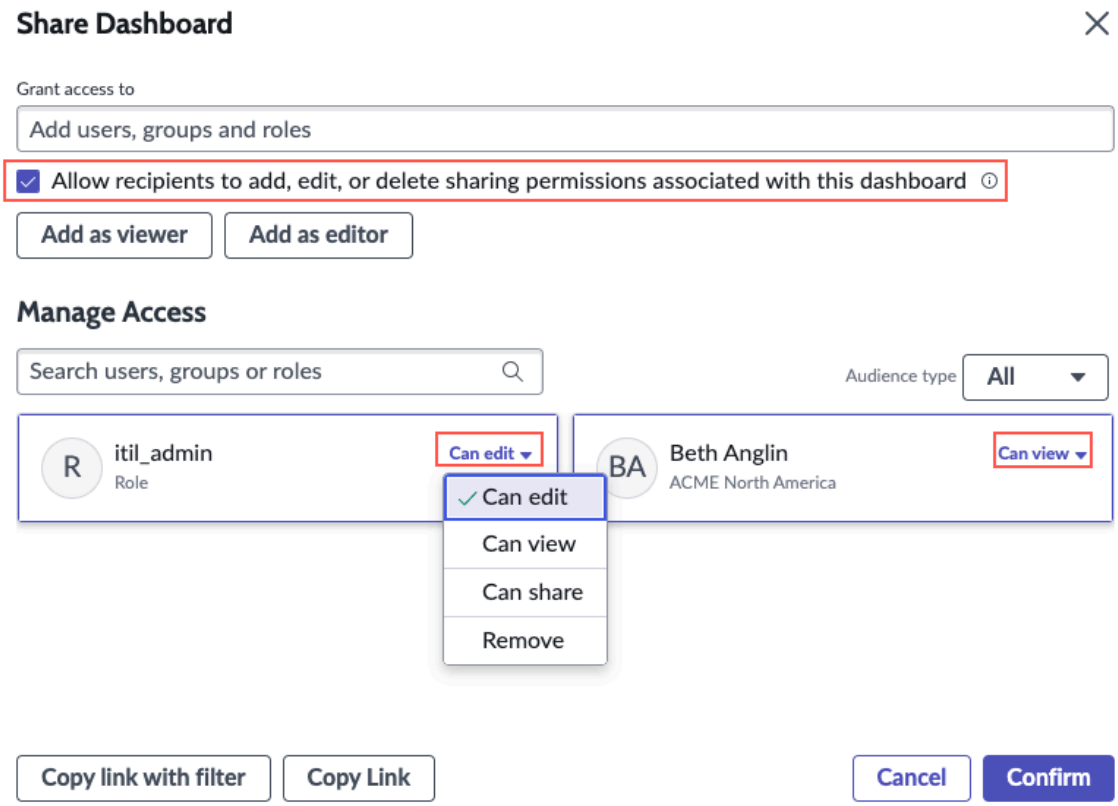


[アクセスの管理] の下に、データの可視化を共有するすべてのユーザー、グループ、またはロールのタイルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: ユーザータイルをフィルタリングします。
   a. [対象者タイプ] で、表示されるタイルをユーザーのみ、グループのみ、またはロールのみに制限します。
   b. 検索フィールドにユーザー、グループ、またはロールの一部の名前を入力します。
5. 目的のタイルを見つけたら、権限のリストを展開し、付与する権限を選択します。
   編集権限を付与することも、表示権限のみを付与することもできま
   す。データの可視化を共有する権利を譲渡または奪うことができま
   す。最後に、ユーザーを削除して、データの可視化を共有なくなりま



   す。

自動翻訳

からデータの可視化をエクスポートする 可視化デザイナー

個々のデータ可視化をさまざまな形式とサイズにエクスポートします。エクスポートをダウンロードするか、メールで共有します。

始める前に

必要なロール:自分が作成した可視化や共有した可視化をエクスポートできます。admin または viz_admin ロールを持つユーザーは、任意のデータの可視化をエクスポートできます。

このタスクについて

すべての可視化がすべての出力タイプをサポートしているわけではありません。可視化の UI に表示される一部のエクスポートオプションが有効でない場合があります。次の表を参照してください。

さまざまなデータ可視化でサポートされているエクスポート形式

	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
カレンダーレポート、インジケータースコアカード、ピボットテーブル、ジオマップ	なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなデータ可視化でサポートされているエクスポート形式 (続く)

	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
リスト	PDF、 Microsoft Excel (.xls または .xlsx)、埋め込みリスト、CSV
その他のデータの可視化	PowerPoint、PDF、PNG、JPEG、埋め込み PNG
見出しなどの非データ可視化ダッシュボード要素	適用外

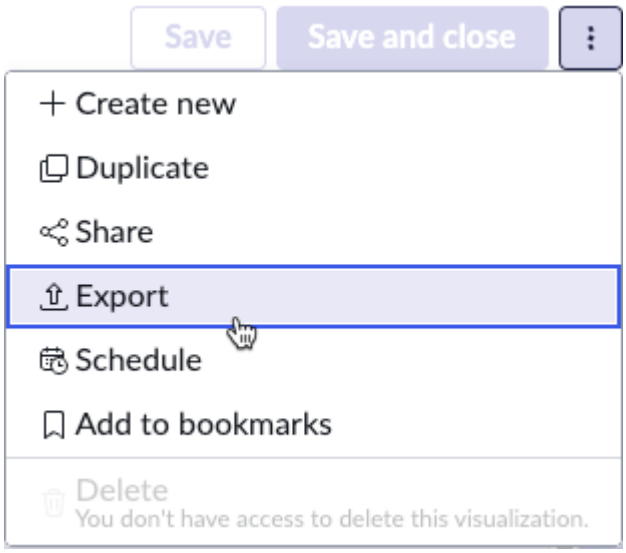
PowerPoint にエクスポートされたデータの可視化には、タイトルと説明が含まれます (この情報がソースの可視化で提供されている場合)。

注:

Now Assistアプリケーションがインストールされている場合は、Now Assistパネルからダッシュボードを会話形式でエクスポートできる可能性があります。「Now Assist パネルからダッシュボードとデータの可視化をエクスポートする」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. エクスポートする可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から、[エクスポート] を選択します。



4. [エクスポートするファイル] セクションで、次の情報を設定します。

フィールド	説明
ファイルタイプ	サポートされている形式のいずれかでデータの可視化をエクスポートします。(さまざまなデータ可視化でサポートされているエクスポート形式参照)エクスポートされたファイルを添付ファイルまたは ZIP として送信する代わりにメール本文に埋め込むには、[埋

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	め込み **PNG]** または [埋め込みリスト] を選択します。画像の周囲のメールを編集できます。
ページ形式	PDF、PNG、埋め込み PNG、および JPEG の場合は、印刷されるビジュアライゼーションの用紙寸法に対応する [レター]、[A4]、または [A3] を選択します。 リストをエクスポートするときにページ形式を設定することはできません。
向き	[縦向き] または [横向き] を選択します。Microsoft PowerPoint、Microsoft Excel、または CSV 形式にエクスポートする場合は使用できません。

5. [配信] で、[ファイルのダウンロード] または [ファイルをメールで送信] を選択します。
   - ファイルのダウンロードを選択すると、エクスポートの完了後に [ダウンロード] ボタンを使用できます。<visualization-name>.<filetype> という名前のファイルがデフォルトのローカル宛先にダウンロードされます。
   - ファイルをメールで送信する場合は、インスタンスのユーザーとグループ、または許可された任意のメールアドレスを選択できます。セキュリティ上の制約により、メール送信が制限される場合があります。また、件名を指定する必要があり、メッセージを追加することもできます。完了したら、[エクスポート] を選択します。

     注: インスタンスに属していないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。開発者サイトの送信メール設定 を参照してください。

データの可視化またはダッシュボードのエクスポートをスケジュールします

データの可視化のエクスポートとメール送信を自動化します。同僚がプレゼンテーションを作成したり、外部ユーザーと情報を共有したり、データを経時的に追跡したりできるように支援します。

始める前に

必要なロール:アクセス可能なダッシュボードまたは可視化のエクスポートをスケジュール設定するためのpar_scheduler、またはそれを含む任意のロール。par_scheduler_adminロールまたはそれを含むロールがある場合は、任意のデータ可視化のエクスポートをスケジュールできます。

スケジュール済みエクスポートのリストを表示するには、次に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > スケジュール済みエクスポート. このリストには、コア UI ダッシュボードとレポート、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのダッシュボードとデータの可視化を含む、スケジュール設定済みのすべてのエクスポートが含まれています。

このタスクについて

複数のダッシュボードとデータの可視化を 1 つのスケジュール設定済みメールにまとめてエクスポートできます。サポートされているエクスポート形式は、エクスポートする内容、およびダッシュボードの一部としてエクスポートするかスタンドアロンのデータ可視化としてエクスポートするかによって異なります。

サポートされているエクスポート形式

データの可視化またはダッシュボード要素	サポートされているダッシュボードのエクスポート形式	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
カレンダーレポート、インジケータースコアカード、ピボットテーブル、ジオマップ	なし	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

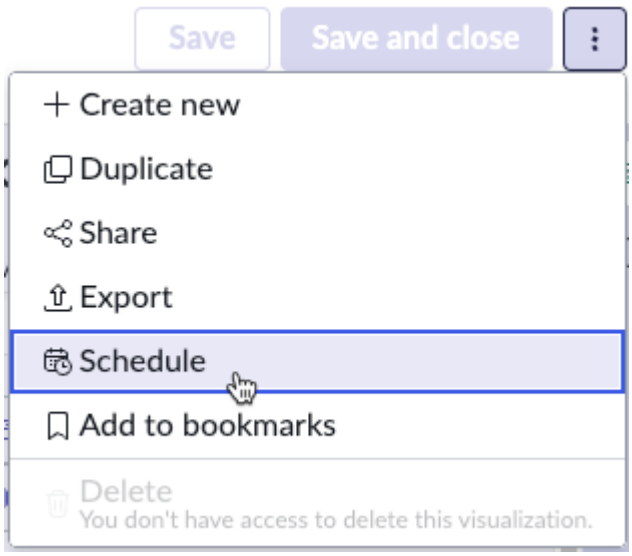
サポートされているエクスポート形式 (続く)

データの可視化またはダッシュボード要素	サポートされているダッシュボードのエクスポート形式	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
リスト	PDF	PDF、 Microsoft Excel (.xls または .xlsx)、埋め込みリスト、CSV
その他のデータの可視化	PowerPoint、PDF	PowerPoint、PDF、PNG、JPEG、埋め込み PNG
見出しなどの非データ可視化ダッシュボード要素	なし	適用外

注: このトピックは、ダッシュボードとデータ可視化ドキュメントの両方で利用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー をクリックし、[データの可視化] または [ダッシュボード] を選択します。
2. 定期的にエクスポートするアイテムを選択します。
   サポートされているエクスポート形式のリストを確認します。
3. [その他のアクション] メニュー ([⋮]) から [スケジュール] を選択します。
   編集モードにはできません。

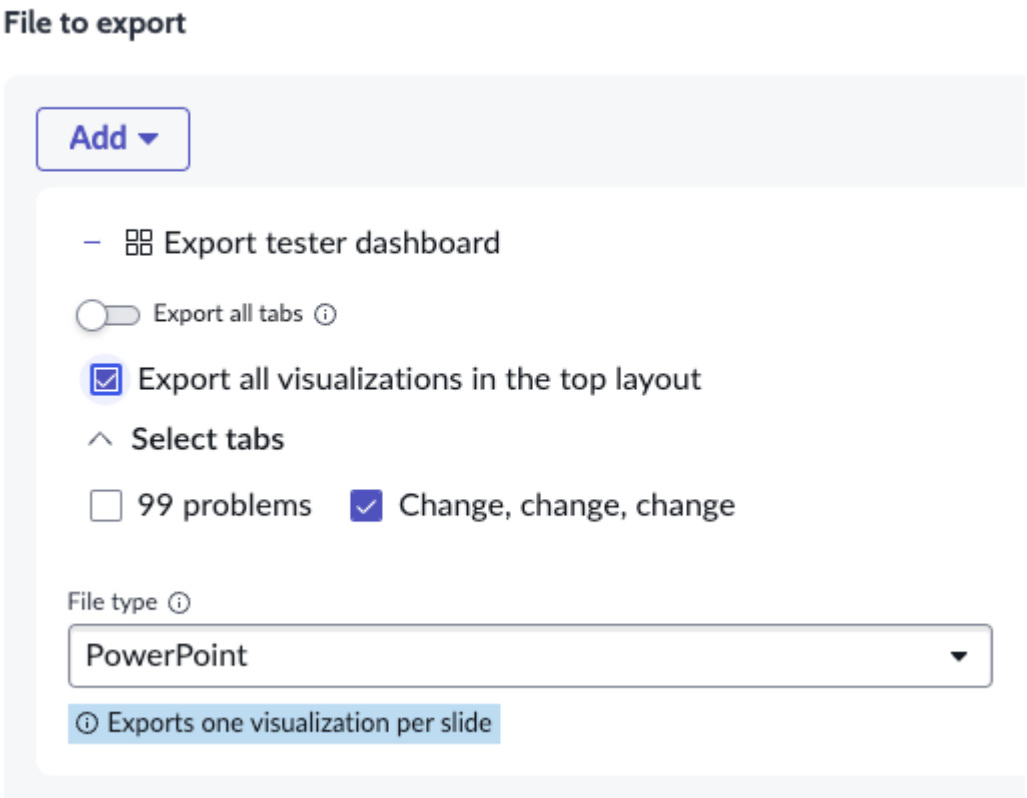


   ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするためのすべてのオプションが表示されます。このオブジェクトをエクスポートしない場合は、[変更] を選択します。
4. ファイルタイプを選択します。
5. ダッシュボードまたはデータの可視化を PDF にエクスポートする場合、またはデータの可視化をグラフィックファイルにエクスポートする場合は、ページの形式と向きを選択します。
6. ダッシュボードを Power Point にエクスポートする場合は、次の手順を実行します。
   a. すべてのタブをエクスポートするか、特定のタブのみをエクスポートするかを選択します。
   b. 特定のタブのみをエクスポートする場合は、エクスポートするタブと、上部レイアウトコンテンツを含めるかどうかを選択します。

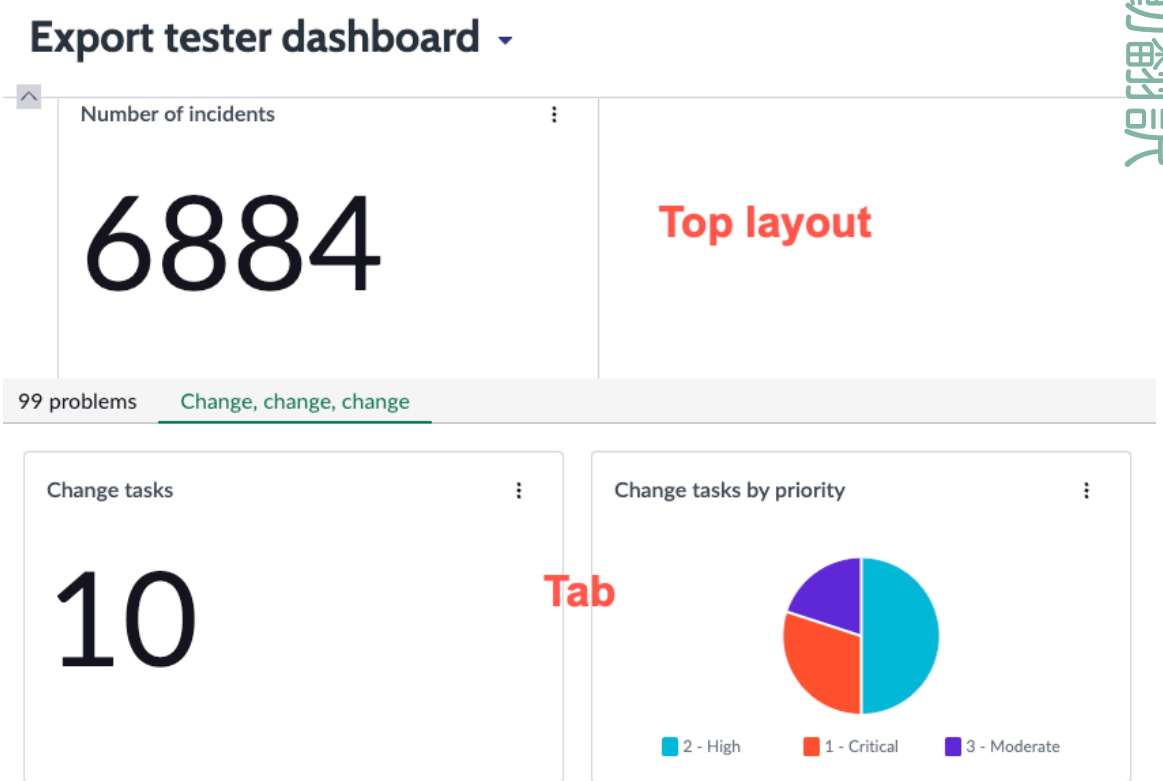
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードタブのエクスポートの構成



エクスポートされる可視化



7. エクスポートにダッシュボードまたはデータの可視化を追加するには、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追加] メニューを展開します。

b. [ダッシュボード] または [データの可視化] を選択します。

c. エクスポートするダッシュボードまたは可視化を 1 つ以上選択します。

d. ステップ 4 ～ 6 のように、追加された各ダッシュボードまたは可視化のエクスポート基準を設定します。

ダッシュボードとデータの可視化の両方を 1 つのエクスポートに追加できます。

8. 埋め込み外のエクスポートを ZIP ファイルとして送信するには、[**ZIP** ファイルとして送信] をオンにします。

9. [メールスケジュール] セクションで、メールを送信するタイミングと頻度を指定します。

フィールド	説明
アクティブ	オンにすると、スケジュール済みエクスポートメールの配信が有効になります。
再発	エクスポートメールを送信する頻度を選択します。
日、時刻、その他のカレンダーフィールド	メールを送信するタイミングを指定します。選択肢は、[繰り返し] でメールを送信する頻度によって異なります。時間フィールドは HH:MM:SS 形式です。
レコードがない場合は省略	空のメールが配布されないようにするにはオンにします。
使用条件	オンにして、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow AI Platform のスクリプトの詳細については、「スクリプト」 を参照してください。 ⚠ **警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。

10. [メールの詳細] セクションで、受信者とメールの件名を指定します。
インスタンスのユーザーとグループ、または許可された内部または外部のメールアドレスを入力できます。セキュリティ上の制約により、レポートの送信先が制限される場合があります。メッセージを追加することもできます。インスタンスに属していないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。「 送信メール設定 」を参照してください。

11. [保存] を選択してスケジュールを保存します。

での可視化の削除 可視化デザイナー

役に立たなくなったデータ可視化は削除できます。

始める前に

可視化を削除していることを表示できるすべてのユーザーに通知します。可視化がダッシュボードで使用されているかどうかを確認するための検証は実行されません。

必要なロール:自分で作成したデータ可視化は削除できます。admin または viz_admin ロールを持っている場合は、データの可視化を削除できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化.
2. 削除するデータビジュアル化を開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ([ ]) から、[削除] を選択します。
4. 削除を確定します。
   このアクションを取り消すことはできません。

で可視化をブックマークする 可視化デザイナー

可視化をブックマークして、データの可視化ライブラリで簡単に見つけられるようにします。

始める前に
必要なロール：なしデータの可視化にアクセスできるユーザーは誰でも自分でブックマークできます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. ブックマークする可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ([ ]) から、[ブックマークに追加] を選択します。

結果
[データの可視化] タブで、選択した可視化が [ブックマーク済み] リストに表示されます。

次のタスク
ブックマークを削除するには、ブックマークされた可視化を選択し、[その他のアクション] メニュー ([ ]) から [ブックマークを削除] を選択します。

データの可視化の表示

ダッシュボードビューアーには、実行時にデータの可視化が表示される内容に影響を与える方法がいくつかあります。

ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択する

データの可視化を表示するユーザーは、可視化内のデータをグループ化するための値を選択できます。

データの可視化が代替のグループ別値で構成されている場合、ビューアーは適用する値を選択できます。編集権限は必要ありません。サービスカタログデータを表示する可視化では、データの可視化におけるサービスカタログ変数で説明されているように、オプションにサービスカタログ変数を含めることができます。

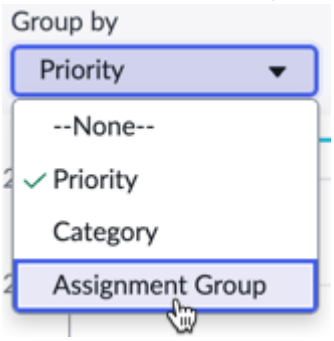
> **注:** 代替グループ化基準を設定する手順は、関連するデータ可視化のデータオプションのトピックに含まれています。

データの可視化の [その他のアクション] メニューで [グループ化基準の変更] を選択して、グループ別値のセレクターの表示を切り替えます。可視化のエディターは、セレクターをデフォルトで表示するか非表示にするかを設定できます。

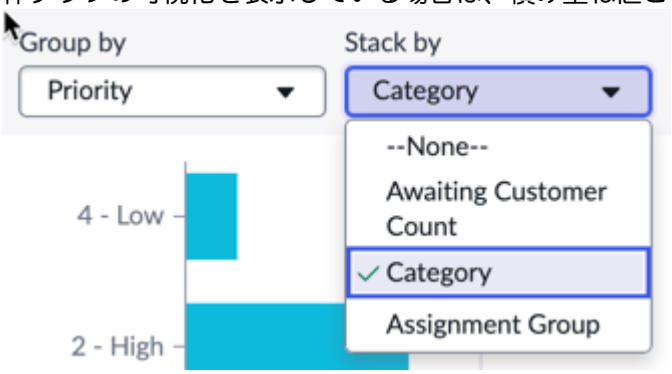
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化基準をサポートするすべてのデータ可視化では、ビューアーもグループ別の値を選択できます (ピボットテーブルを除く)。棒グラフの可視化を除くこのようなすべてのデータ可視化では、選択できるグループ別の値は 1 つだけです。

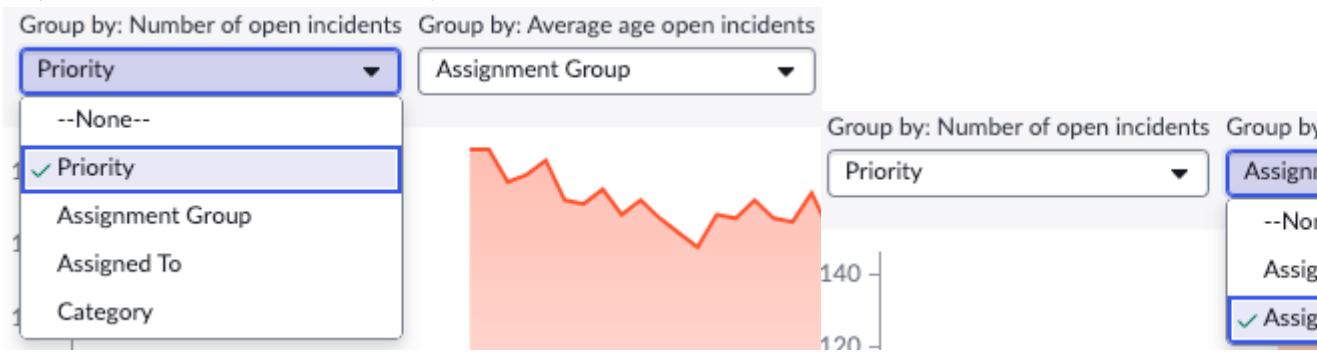


棒グラフの可視化を表示している場合は、積み重ね値とグループ別の値を選択できます。



複数のメトリクスを表示する時系列の可視化では、メトリクスごとにグループ化を選択するオプションがある場合があります。有効な選択肢のみが与えられます。

時系列の各メトリクスのグループ別値の選択



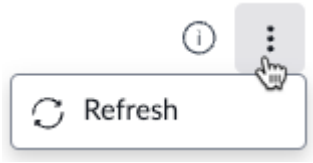
ビューアーとしてデータの可視化を更新する

データの可視化のビューアーは、ページを更新したり編集権限を持たずに、そのデータの可視化を更新したりできます。

データの可視化を表示しているユーザーは誰でも、可視化の [その他のアクション] メニューからその可視化を更新できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



ダッシュボードからデータの可視化をダウンロード

ビューアーは、ダッシュボードから個々のデータ可視化を PNG または JPEG ファイルとしてエクスポートします。リストの可視化にはさまざまなオプションがあります。

始める前に

重要: PNG/JPEG にダウンロードは、インジケータースコアカード、ピボットテーブル、単一スコアデータの可視化、またはカレンダーレポートをサポートしていません。

リストの可視化には、複数の形式を許可する完全なエクスポート機能がありますが、グラフィック ファイルは許可されません。

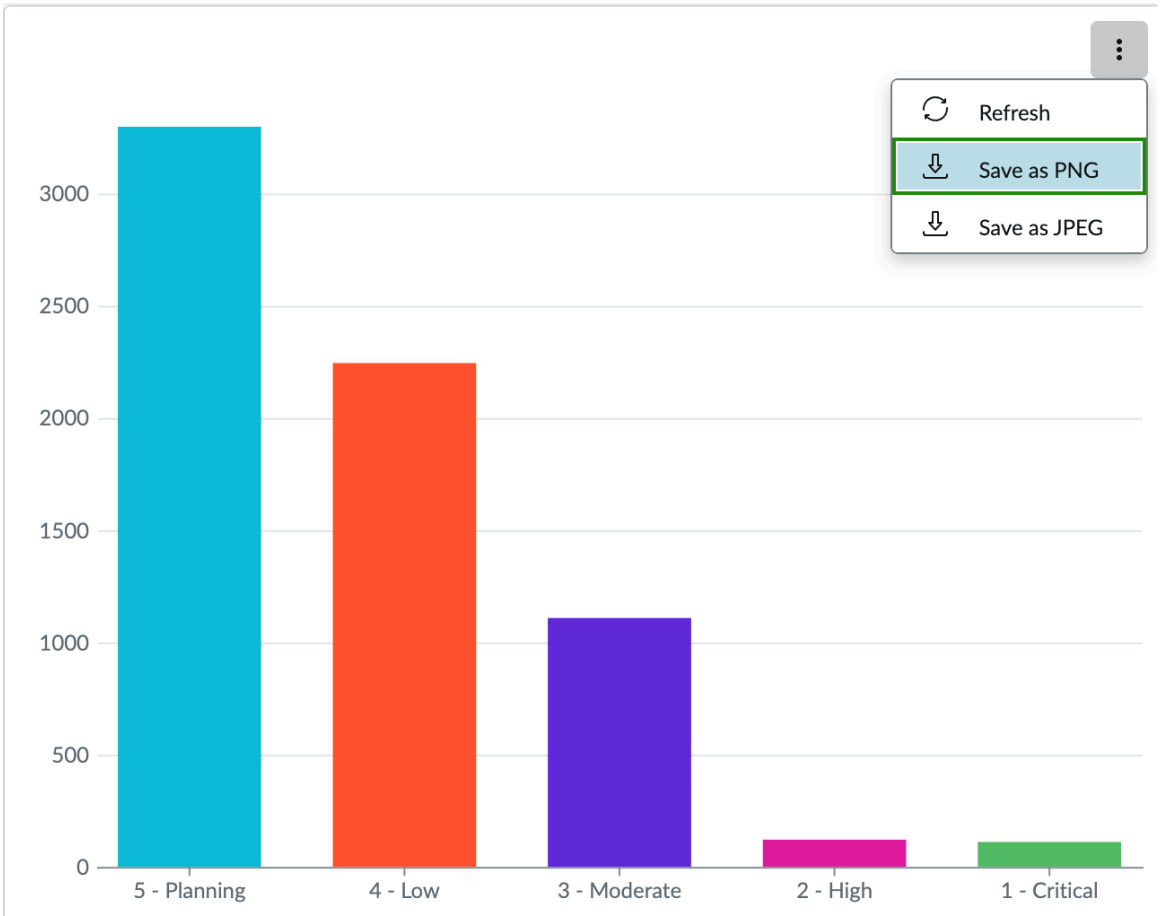
必要なロール:データの可視化を表示しているユーザーは誰でも、可視化の [その他のアクション] メニューを使用してダッシュボードからその可視化をエクスポートできます。

手順

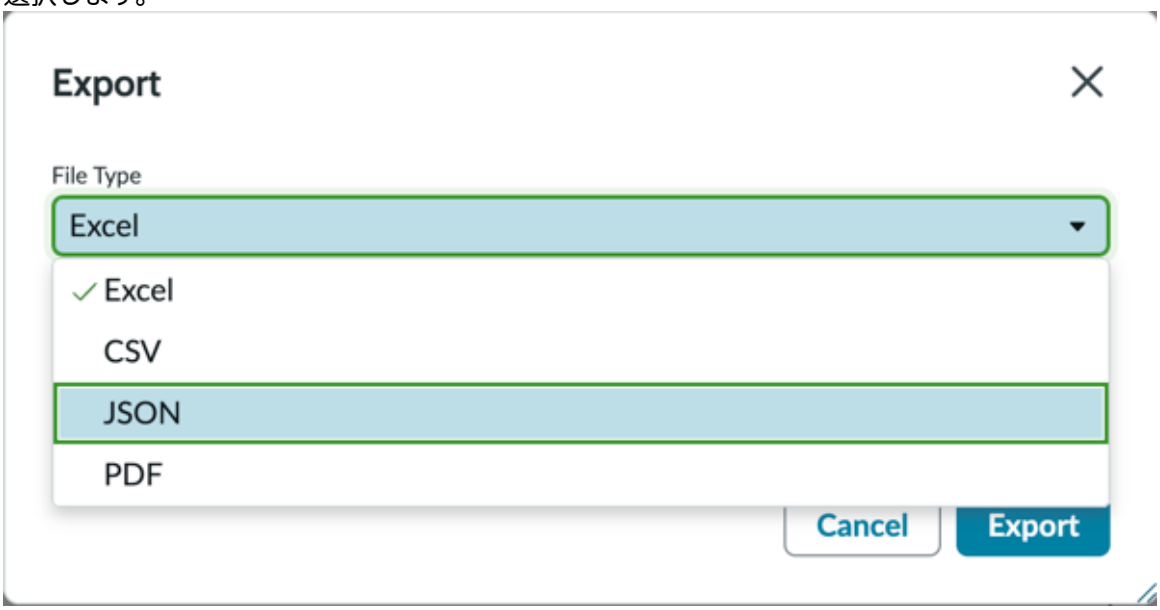
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 目的のダッシュボードを開きます。
3. 目的のデータ可視化を選択します。
4. コンテキストメニューを展開します。
5. リスト以外のサポートされているデータ表示方法については、[**PNG** として保存] または **[JPEG** として保存] のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. リストの場合は、[エクスポート] を選択し、 **Excel**、 **CSV**、 **JSON**、または **PDF** のいずれかを選択します。



結果
ファイルはブラウザーのダウンロードフォルダーに保存されます。

データの可視化の構成

詳細設定オプションについて詳しく学びます。ほとんどの構成オプションは、特定のタイプのデータ可視化を作成するコンテキストでのみ説明しますが、これらのオプションはより複雑で、すべての可視化タイプに共通する特性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ可視化のためのデータソースの選択

データ可視化の主な目的は、データを表示することです。したがって、データの視覚化を作成する上で最も重要なステップの 1 つは、表示するデータのソースを選択することです。

> **注:** このドキュメントでは、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターでのデータの可視化に焦点を当てています。この情報は UI ビルダーにも適用されますが、後者の環境では、カスタムデータソースや JSON データソースなど、より多くのオプションがあります。

データソースは、可視化タイプの直前または直後で、データの可視化用に選択する最初の 2 つのいずれかです。

> **警告:** データソースを選択してから、それらのデータソースをサポートしていない可視化タイプに変更すると、サポートされていないソースはクリアされます。後で元の選択をサポートする可視化タイプに切り替えても、元の選択は復元されません。その後、ソースを手動で再選択する必要があります。

データ可視化用のテーブルデータソースの選択

レコードを表示するテーブルを選択します。事前定義された条件またはカスタム条件でフィルタリングします。レコードリストをプレビューします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

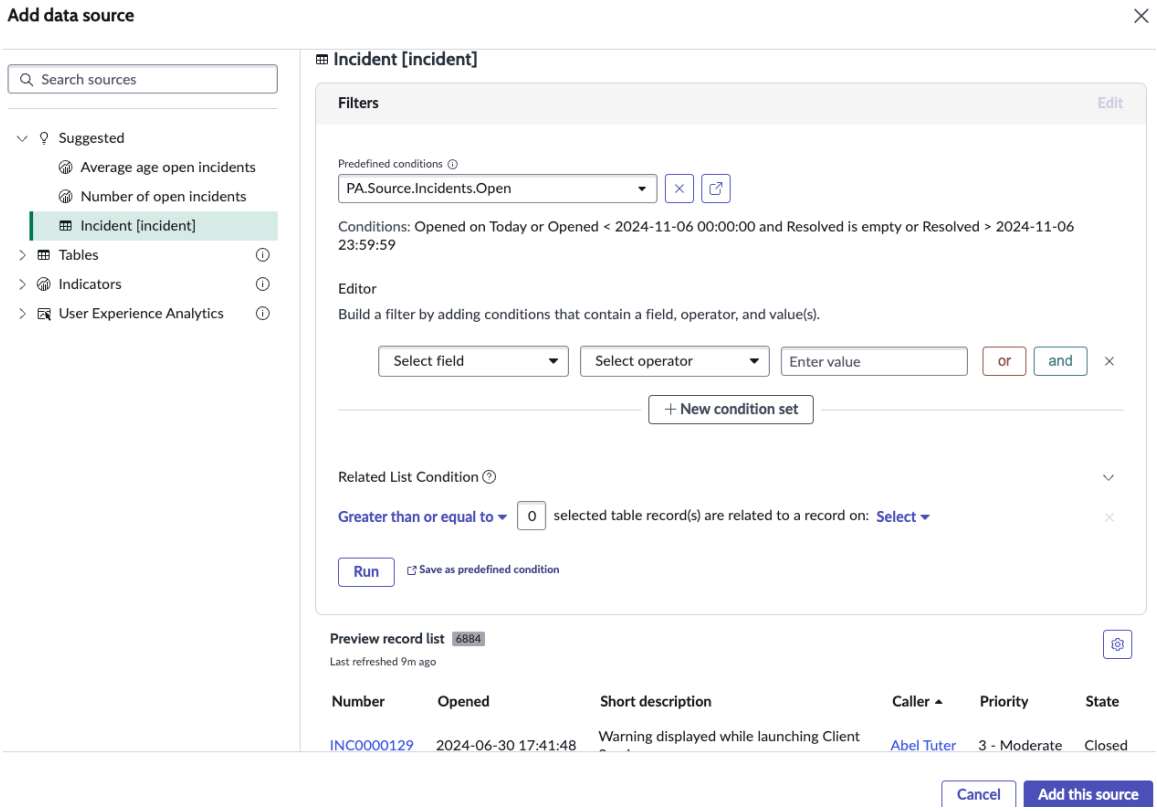
このタスクについて

この手順は、データの可視化を作成または編集中であり、データソースの選択に関する詳細情報が必要であることを前提としています。また、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターのいずれかで作業していることを前提としています。UI ビルダーではさらに多くのオプションを使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化へのテーブルデータソースの追加



手順

1. 新しいデータ可視化の作成を開始するか、既存の可視化を編集用に開きます。
   詳細については、「データの可視化の作成」を参照してください。
2. 次のいずれかを選択します。
   - 可視化タイプをまだ選択していない場合は、メインパネルから [データソースを追加] を選択します。
   - 可視化タイプを選択した場合は、構成パネルの [データソース] セクションから [データソースを追加] を選択します。
3. テーブルデータソースを選択するには、次のいずれかを選択します。
   - [検索ソース] フィールドにテーブル名または名前の最初の数文字を入力します。
   - [提案] リストでテーブルを見つけます。テーブルはテーブルアイコンで示されます。
   - [テーブル] リストを展開し、目的のテーブルに移動します。

   テーブルを選択すると、フィルターとプレビューリストが利用可能になります。
4. オプション: 事前定義フィルターを選択します。
   事前定義フィルターは、レポートソース [sys_report_source] テーブルで定義されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。
5. オプション: [+カスタム条件を追加] を選択し、 ServiceNow AI Platform 条件ビルダーでフィルターを構築します。
   詳細については、「条件ビルダー 」を参照してください。
6. [カスタム条件を追加] を開いた状態で、[関連リスト条件] を展開して、別のテーブルのフィールドとの関係を追加します。
   関連リスト条件のビルドの詳細については、「 関連リスト条件を追加 」を参照してください。
7. フィルタークエリを実行するか、レポートソーステーブルの事前定義された条件として保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [レコードのプレビュー] リストでレコードのフィルター済みリストを調べます。
   列ヘッダー行のリストを並べ替えたり、ソートしたり、サイズ変更したりすることができます。リストアクションで表示する列または元の幅を復元するかを選択できます 歯 。
9. [キャンセル] または [このソースを追加] を選択します。
   データ可視化エディターに戻ります。構成パネルでは、可視化タイプに応じて、[グループ] フィールドを追加し、他のデータプロパティを設定できます。

データ可視化のためのインジケーターデータソースの選択

データの可視化に表示する パフォーマンスアナリティクス インジケーター (KPI) を選択します。ブレークダウンでインジケータースコアをフィルタリングできます。

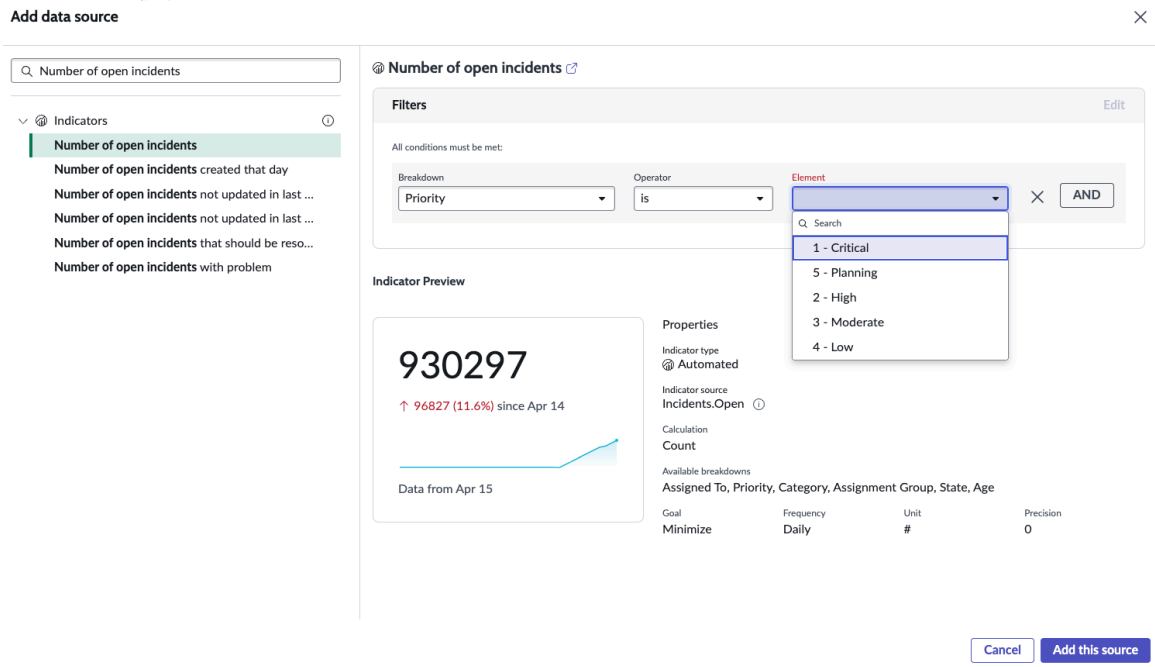
始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

この手順は、データの可視化を作成または編集中であり、データソースの選択に関する詳細情報が必要であることを前提としています。また、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターのいずれかで作業していることを前提としています。UI ビルダーではさらに多くのオプションを使用できます。

データの可視化へのインジケーターデータソースの追加



手順

1. 新しいデータ可視化の作成を開始するか、既存の可視化を編集用に開きます。
   詳細については、「データの可視化の作成」を参照してください。
2. 次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 可視化タイプをまだ選択していない場合は、メインパネルから [データソースを追加] を選択します。
- 可視化タイプを選択した場合は、構成パネルの [データソース] セクションから [データソースを追加] を選択します。

3. インジケーターデータソースを選択するには、次のいずれかを選択します。
   - [検索ソース] フィールドにインジケーター名または名前の最初の数文字を入力します。
   - [提案] リストでインジケーターを見つけます。インジケーターはインジケーターアイコンでマークされます。
   - [インジケーター] リストを展開し、目的のインジケーターに移動します。

   インジケーターを選択すると、ブレークダウンセレクターとプレビューリストが利用可能になります。
4. オプション: それぞれに演算子と 1 つ以上の要素がある 1 つ以上のブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素の数は制限されている場合があります。詳細については、「インジケーターブレークダウン」を参照してください。
5. インジケータープロパティとスコアを確認します。
6. [キャンセル] または [このソースを追加] を選択します。
   データ可視化エディターに戻ります。構成パネルでは、可視化タイプに応じて、[グループ] フィールドを追加し、他のデータプロパティを設定できます。

関連トピック

データの可視化の作成

インジケーター管理とパフォーマンスアナリティクス

データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース

データビジュアル化コンポーネントの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に関連するメトリクスを表示できます。使用可能なメトリクスは、可視化タイプによって異なります。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを可視化に追加するには、admin、analytics_admin、またはanalytics_viewerロールが必要です。

で利用可能な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション ServiceNow® Store は、いくつかのデータソースを提供します。

イベント

このデータソースは、アプリケーションでトリガーされたイベントを追跡します。可視化のデータソースとして [イベント] を選択する場合は、アプリケーションとイベントも選択する必要があります。これとは別に、イベント条件を選択し、イベントプロパティを指定することもできます。たとえば、国、マネージャー、部門、ロールなどに基づいてイベントをフィルタリングできます。棒グラフまたは円/ドーナツの可視化で、[グループ] フィールドを使用してイベントプロパティを選択します。その後、その単一のイベントプロパティの発生回数と値の分布を表示できます。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーション用に保存できるカスタムフィルターのデフォルトの最大数は 500 です。カスタムフィルターの数は、 uxa.query_builder.max_num_of_user_filter プロパティで変更できます。

ページ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このデータソースは、アプリケーション上の特定のページのページビューまたは使用状況メトリクスを追跡します。可視化のデータソースとして [ページ] を選択する場合は、アプリケーションとページも選択する必要があります。これとは別に、より正確な分析のためにデータをフィルタリングするカスタム条件を追加できます。

- ページビュー
- 平均表示時間
- 平均ロード時間

セッション

このデータソースは、アプリケーションでトリガーされたセッションの数を追跡します。

可視化でこのデータソースを選択する場合は、アプリケーションとカテゴリも選択する必要があります。単一スコアの可視化の場合のみ、カテゴリとして条件を選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。

- すべてのセッション:アプリケーションで作成されたすべてのセッションの数を表します。
- 新規セッション:最新の期間に作成されたセッションの数を表します。
- 復帰ユーザー:複数のセッションを作成したユーザー。
- 短いセッション:20 秒未満のセッションの数。
- 長いセッション:300 秒を超えるセッションの数。
- カスタム:このカテゴリを定義するには、少なくとも 1 つの条件を作成します。

ユーザー

アプリケーションを使用しているアクティブな一意のユーザーの数。可視化でこのデータソースを選択する場合は、アプリケーションとユーザーのカテゴリも選択する必要があります。単一スコアの可視化の場合のみ、カテゴリとして条件を選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。

- すべてのユーザー:アプリケーション内のすべてのユーザーの数を表します。
- 新規ユーザー：最初のセッションを実行したユーザーの数を表します。
- 戻らないユーザー:セッションを 1 つだけ作成したユーザー。
- マルチデバイスユーザー:複数のデバイスでセッションを作成したユーザー。
- カスタム:このカテゴリを定義するには、少なくとも 1 つの条件を作成します。

重要: すべての可視化タイプのすべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースの日付範囲を指定する必要があります。

次のデータ可視化は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートしていません。

- カレンダー
- ジオマップ
- ヒートマップ
- ピボットテーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 簡易リスト
- インジケータースコアカード

時系列とスコアデータの可視化は、すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートしています。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース

メトリクス	サポートされている可視化タイプ	グループ	応答
イベント	• スコア (単一スコア、ダイヤル、ゲージ) • 時系列 • パレート図を含むバー • 円とドーナツ • ピボットテーブル	棒グラフ、ピボットテーブル、および円グラフ/ドーナツグラフ:イベントのプロパティでサポートされます その他の可視化タイプ:サポート対象外	時系列:日付範囲内のイベントの数 スコア:イベントの発生回数 棒グラフ、円グラフ/ドーナツグラフ、ピボット:プロパティ別の日付範囲内のイベントのブレークダウン
セッション	• 時系列 • スコア • 円とドーナツ • 棒グラフ	グループと積み重ね基準をサポート	時系列:日付範囲内のセッション数 スコア:作成されたセッションの数。回答は条件でフィルタリングすることもできます。
ユーザー	• 時系列 • スコア • 円とドーナツ • 棒グラフ	グループと積み重ね基準をサポート	時系列:日付範囲内のアクティブユーザーまたは新規ユーザーの数 スコア:アクティブなユーザーまたは新規ユーザーの数。回答は条件でフィルタリングすることもできます。
ページ	• 時系列 • スコア	サポート対象外	時系列:日付範囲内のアクティブユーザーまたは新規ユーザーの数 スコア:アクティブなユーザーまたは新規ユーザーの数。回答は条件でフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のデータソース

複数のデータソースをサポートする可視化タイプもあれば、サポートしていないものもあります。データの可視化が複数のデータソースをサポートしている場合、データソースはすべて同じタイプ (すべてのテーブル、すべてのインジケーター、またはすべての別のタイプ) である必要があります。

可視化タイプ別の複数データソースのサポート

可視化タイプ	複数データソースのサポート
すべての時系列 (折れ線、縦棒、スプライン、面など)	サポート対象
すべてのスコア (シングルスコア、ダイヤル、ゲージ)	サポート対象外
すべてのバー (水平、垂直、パレート)	サポート対象
ヒートマップ	サポート対象外
円とドーナツ	サポート対象外
ピボットテーブル	サポート対象
バブル	サポート対象
箱ひげ図	サポート対象外
カレンダー レポート	サポート対象外
ジオマップ	サポート対象外
インジケータースコアカード	サポート対象外
アナリティクスリスト	サポート対象外

⚠ **警告:** 可視化に対して複数のデータソースを選択し、複数のデータソースをサポートしないタイプに可視化タイプを変更すると、最初のデータソースのみが保持されます。複数のデータソースをサポートする可視化タイプに切り替えても、以前に選択したデータソースは復元されません。

複数のデータソースに基づくデータ可視化の例

インジケーターテーブルと問題テーブルに基づくレポートの簡単な例を次に示します。

始める前に

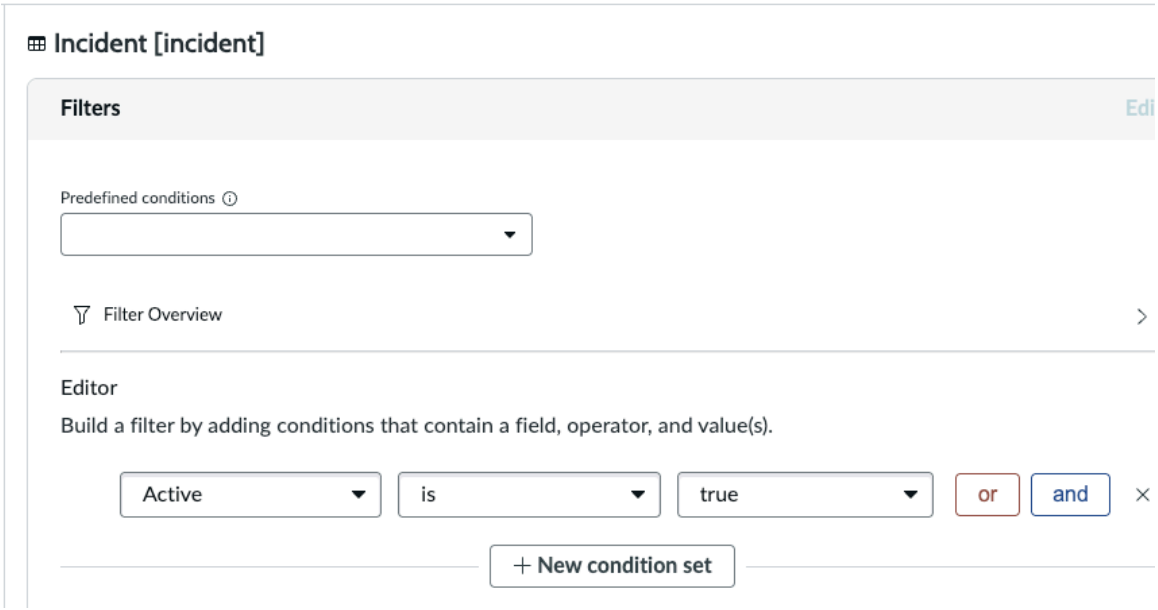
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、編集可能な任意のダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

手順

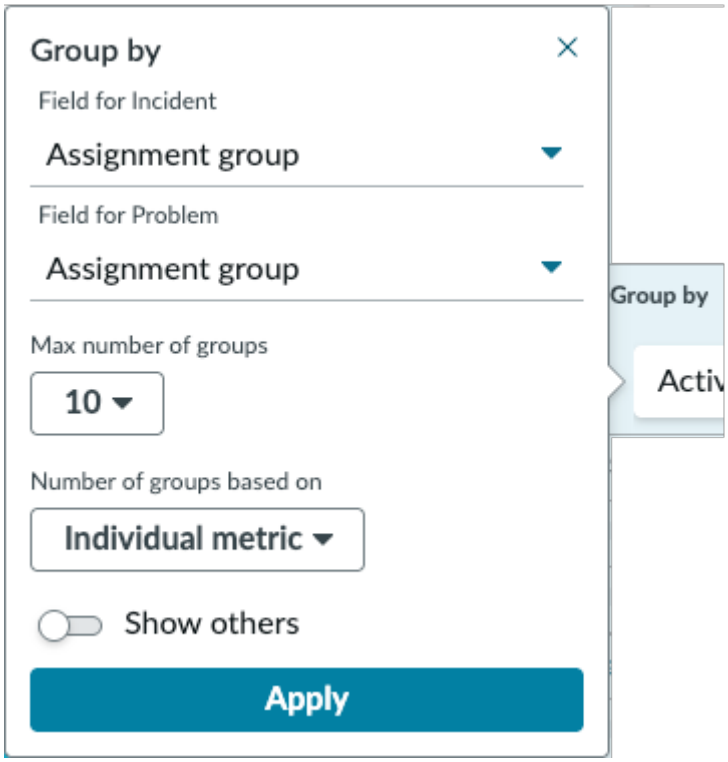
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. この例では、垂直棒グラフの可視化を作成します。
   詳細については、「水平または垂直バーのデータ可視化を作成」を参照してください。
4. [データ ソース] で、[**+** データ ソースの追加] を選択します。
5. カスタム条件 [アクティブ] を true にして、インシデント [incident] テーブルをデータソースとして追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. もう一度 **[+** データソースを追加] を選択し、問題 [problem] テーブルを追加します。条件も [アクティブ] が true です。
可視化のデータソースはすべて同じタイプである必要があります。ここにテーブルがあります。
7. 両方のデータソースをアサイン先グループ別にグループ化します。
2 番目のソースは、最初のソースと同じフィールドで自動的にグループ化されます。

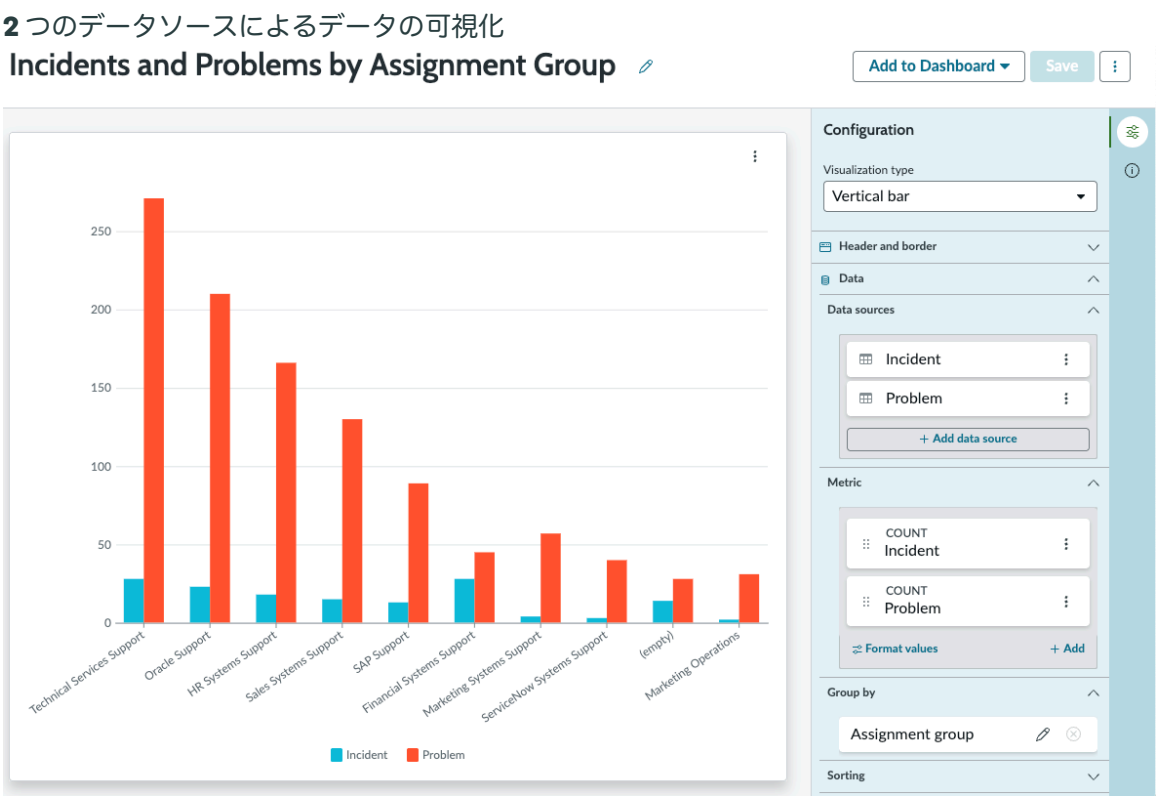


8. オプション: 視覚化を読みやすくするには、[チャートのバリエーション] で [並列表示] を選択します。
9. [保存] を選択し、可視化に「 Incidents and Problems by Assignment Group (アサイン先グループ別のインシデントと問題)」という名前を付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果



フィルターに従うかどうかでデータの可視化を構成します

データの可視化は、デフォルトでフィルターに従います。データの可視化は、それ自体またはタブの上にある同じダッシュボードタブにあるフィルターに従います。データの可視化は、データソースをターゲットとするすべてのタブに従うか、まったく従わないかのどちらかです。

始める前に

必要なロール:共有ビジュアル化でない限り、所有しているデータビジュアル化はライブラリ内で編集できます。データの可視化がライブラリにあり、それを所有している場合、それを編集するには itil、report_user、または viz_creator ロールが必要です。viz_admin ロール以上で任意のデータ可視化を編集できます。

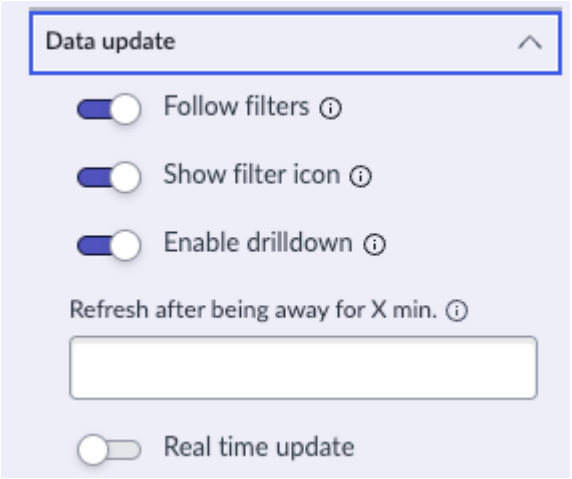
手順

1. ダッシュボードまたはライブラリでデータの可視化を見つけます。
2. 編集のために可視化を開きます。
   - データの可視化ライブラリにある場合は、可視化を選択して開きます。
   - ダッシュボードの場合は、ダッシュボードの [編集] を選択し、目的のデータ可視化にフォーカスして、可視化ヘッダーメニューの [構成] を選択します。
3. [データの更新] セクションで、[フィルターに従う] を選択または選択解除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. インタラクティブフィルターの後にいるときに、データ可視化でフィルターアイコン ( ) を表示または非表示にするには、[フィルターを表示] アイコン (デフォルトでオン) を切り替えます。



ロール別にデータソースの可用性を制御する

ユーザーがデータの可視化を作成できるデータソースをロール別に制限します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

デフォルトでは、すべてのロールがすべてのデータソースのデータ表示方法を作成できます。代わりに、許可リストによって利用可能なデータソースを制限できます。データソースの可視化データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] レコードを作成すると、指定したロールの少なくとも 1 つを持つユーザーのみが、そのデータソースのデータ可視化を作成できます。許可リストを作成する前に作成した可視化は引き続き存在します。ただし、可視化を作成したユーザーは、許可リストのいずれかのロールを持っていない限り、その可視化を編集できなくなります。

重要: データソースの可視化データソースの可視化レコードを 1 つだけ作成します。

手順

1. 可視化データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] テーブルに新しいレコードを作成します。
   たとえば、テーブルのリストビューに移動して [新規] を選択できます。
2. [**Viz** データソース] フィールドで、使用を制限するデータソースを選択します。
   選択肢には、Viz フレームワークデータソース [sys_viz_data_source] テーブルで作成したカスタムデータソースが含まれます。
3. [ロール] の横にある [ユーザーロールを編集] アイコン ( ) を選択します。
4. [利用可能] フィールドで、このデータソースのデータ可視化を作成できるロールをハイライト表示します。
   追加したロールを持つユーザーのみがデータソースにアクセスできます。このレコードを再オープンし、後でロールを追加または削除できます。削除されたロールを持つユーザーが、データソースに基づいて可視化を編集しようとすると、データソースにアクセスできないというメッセージが表示されます。
5. 右矢印>ボタンを選択して、ハイライト表示されたロールをレコードに追加します。
6. **[Done** (完了)] を選択します。
7. **[Submit** (送信)] を選択します。

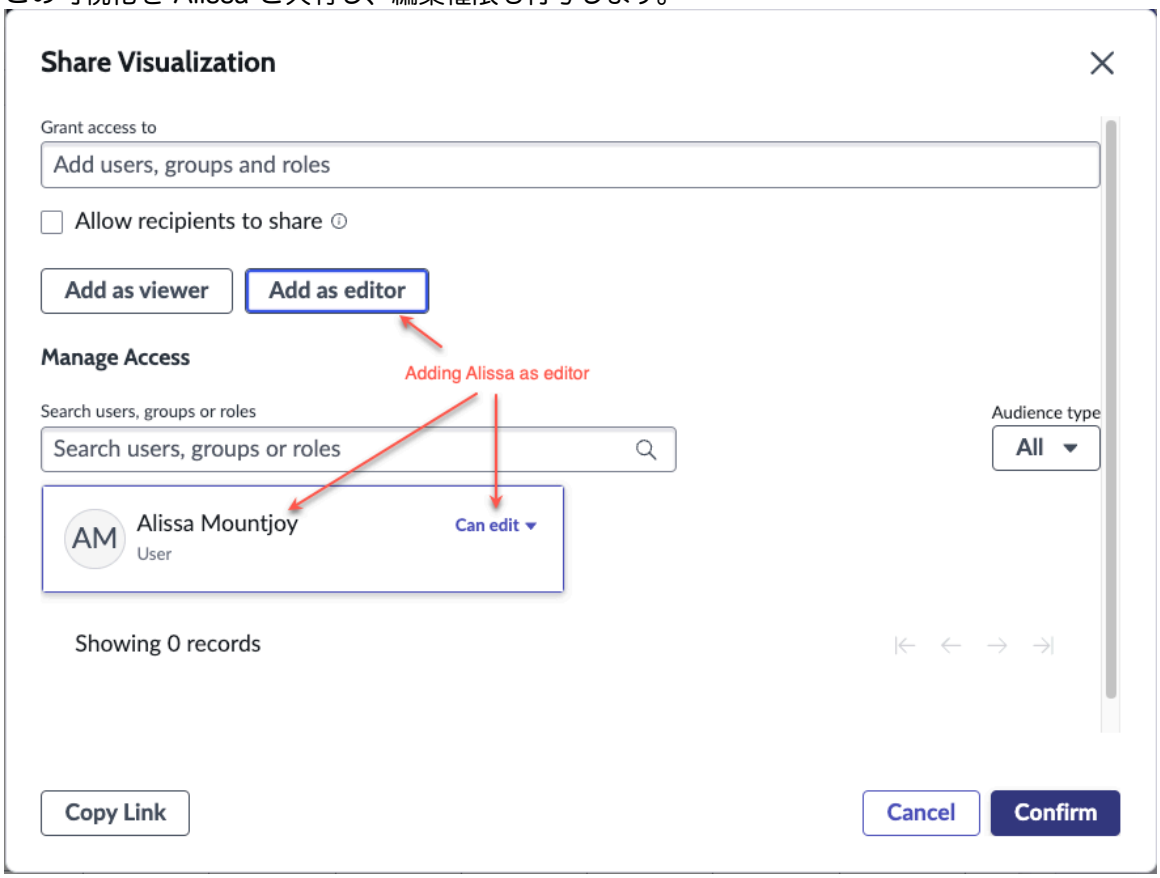
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: データソースをロール別に制限する場合の影響

アベル・テューターはトップビジネスアナリストです。Abel はpa_power_userロールを持ち、インジケーターを作成できます。Alissa Mountjoy は、インジケーターのデータ 収集ジョブ をスケジュールする技術エキスパートですが、ビジネスアナリストではなく、インジケーターの作成も行いません。アリッサはpa_data_collectorロールです。デフォルトでは、Abel と Alissa の両方がインジケーターに基づいてデータの表示方法を作成できます。

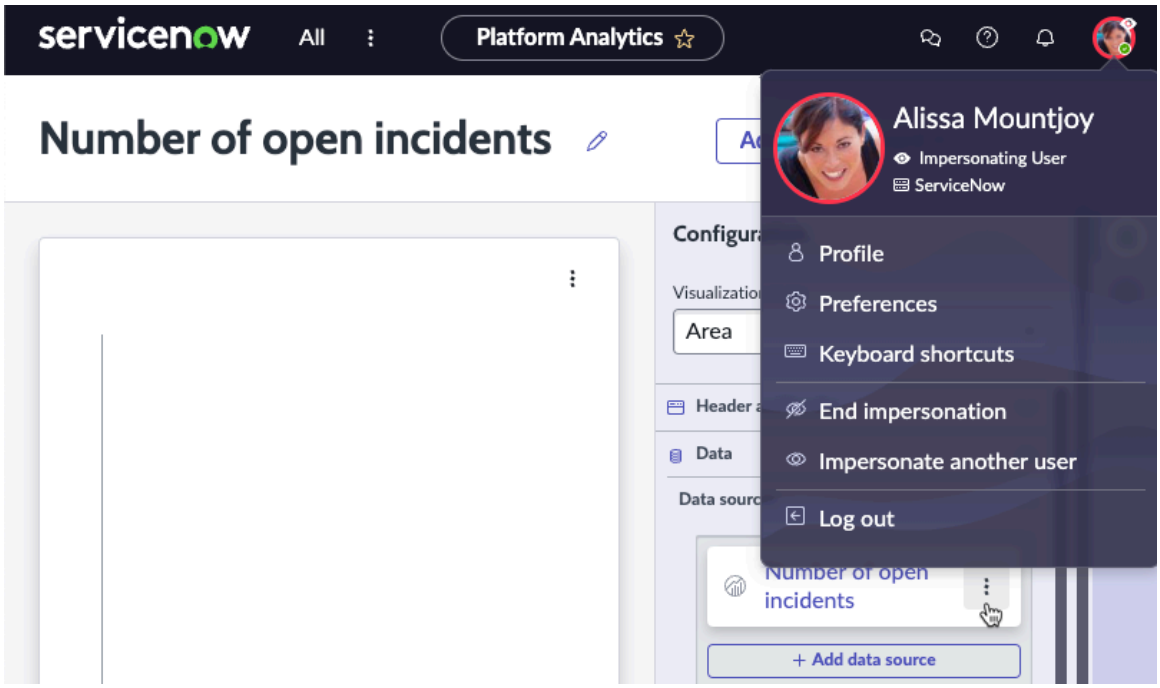
Abel は、[オープンインシデント数] インジケーターに時系列データの可視化を作成します。Abel はこの可視化を Alissa と共有し、編集権限も付与します。



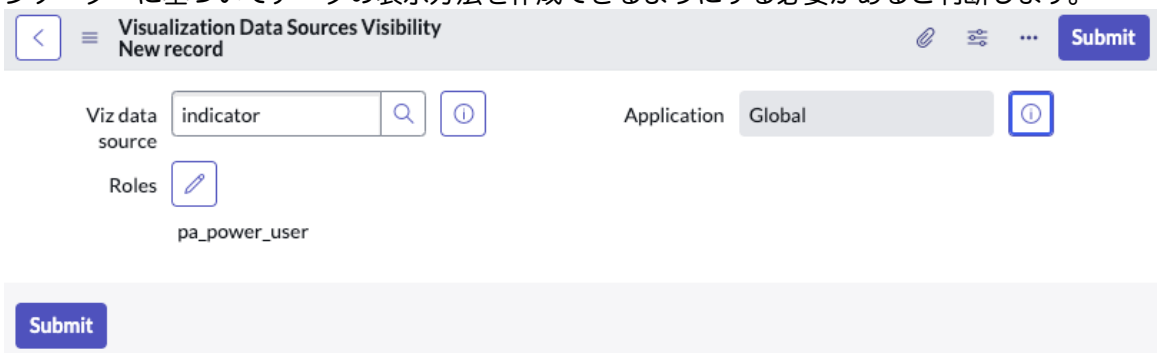
Alissa は、構成パネルにアクセスして、この可視化を編集モードで開くことができます。データソースを編集できます。また、インシデントデータソースを使用して可視化を自分で作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



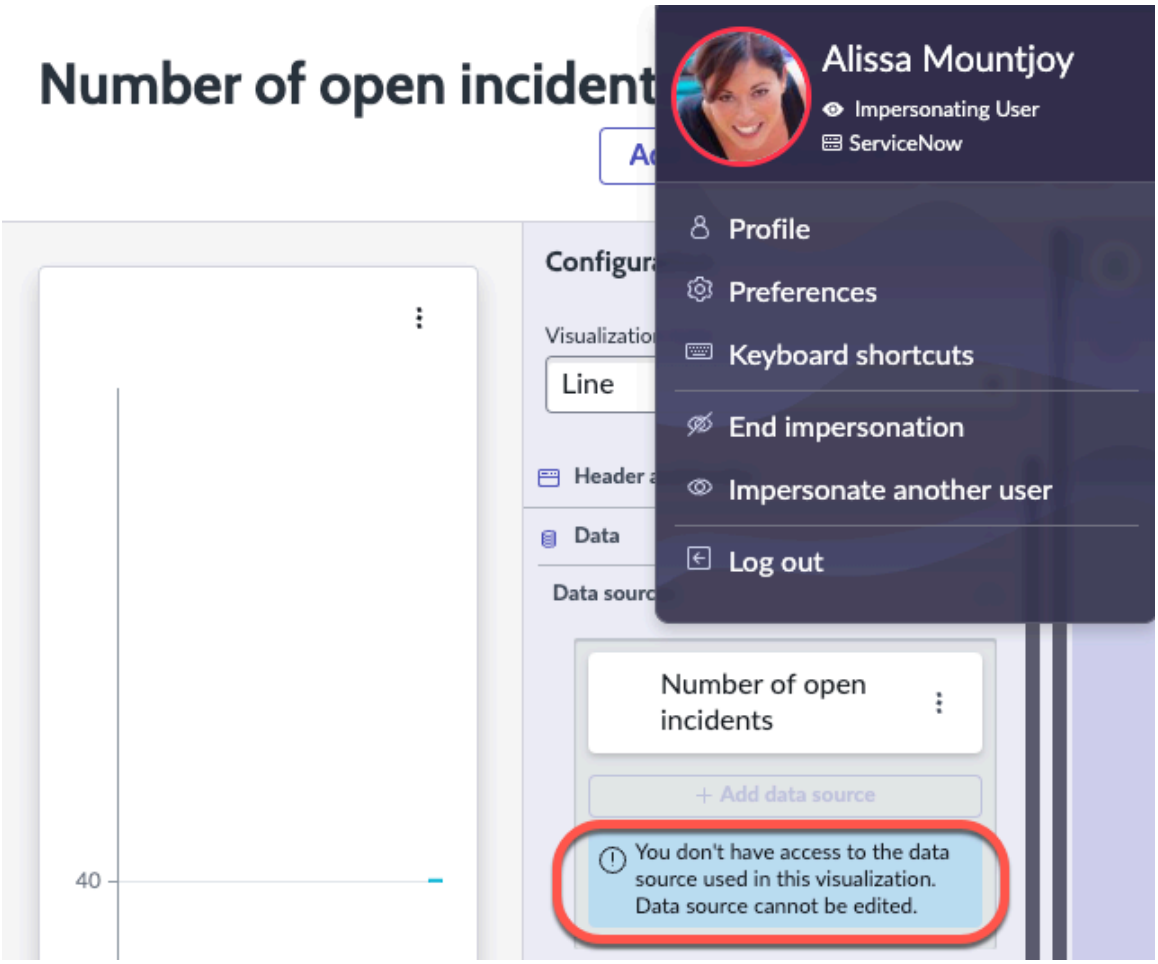
システムアドミニストレーターは、pa_power_user ロールを持つビジネスエキスパートのみがインジケーターに基づいてデータの表示方法を作成できるようにする必要があると判断します。



Alissa には引き続きデータ可視化の編集権限がありますが、データソースを編集できなくなりました。また、Alissa はインシデントデータソースを使用してデータの可視化を作成することもできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連トピック

データ可視化のデータソース

データの可視化における参照フィールドからのドット連結

ドット連結を使用すると、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドにアクセスでき、それらのテーブルのフィールドでデータの可視化を作成できます。

拡張テーブルの参照にアクセスするには、[構成] パネルの [メトリクス]、[グループ]/[積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向の基準] フィールドからアクセスするか、データソースを選択したときにカスタム条件を追加した場合にアクセスできます。[ソート] オプションを使用すると、拡張テーブルで適用可能な参照フィールドのソート順を構成することもできます。他のテーブルを参照するテーブルは、矢印 (▶) アイコンで示されます。

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 `incident.assigned_to.company` はインシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

注: ドット連結は、テーブルデータソースの可視化にのみ適用されます。

関連トピック

ドット連結の例

のドット連結フィールド 可視化デザイナー

テーブルデータのデータ可視化でテーブルフィールドをドット連結する方法について説明します。タスクなどの親テーブルから開始する方法と、インジケーターや問題などの拡張テーブルのデータを含めるドット連結する方法を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

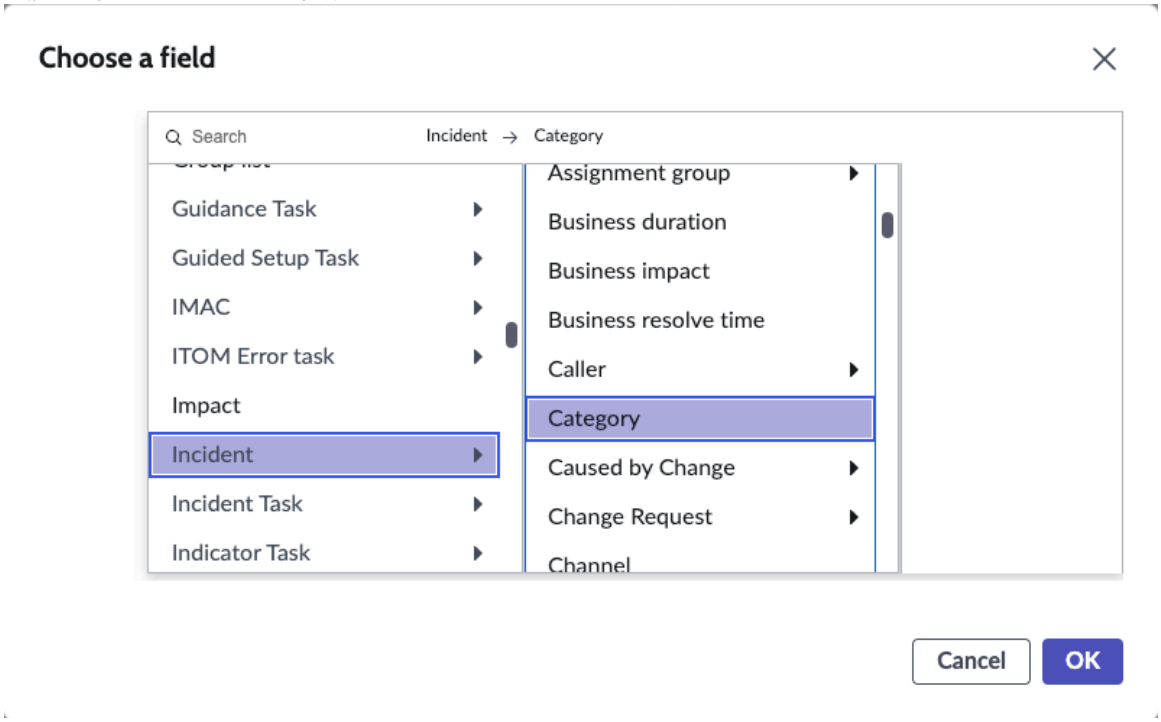
始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

このタスクについて

注: どのフィールドからもドット連結できない場合は、インスタンスでシステム UI プロパティ*glide.ui.list.allow_extended_fields*が有効になっているかどうかをServiceNow AI Platformアドミニストレーターに確認してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化、またはインラインダッシュボードを開いて [編集] を選択します。
2. [新しい可視化を作成] を選択します。
3. [データの可視化の作成] の下にリストされているデータの可視化のいずれかを作成し、テーブルデータソースを選択します。
4. 可視化タイプに応じて、[構成] タブの次のいずれかのセクションを開きます。
   - データソースで **[+** カスタム条件を追加] とともに開く条件ビルダー。
   - メトリクス
   - グループ
   - 傾向の基準
   - 列
5. セクションのアイテムを編集または追加します
   メトリクスには、[カウント] 以外のアグリゲーションを選択します。
6. [フィールド] で、目的の参照フィールドに移動します。
   参照フィールドには、 ▶ 展開矢印アイコンがあります。
7. 展開矢印を選択すると、参照フィールドが指すテーブル内のフィールドのリストが表示されます。



自動翻訳

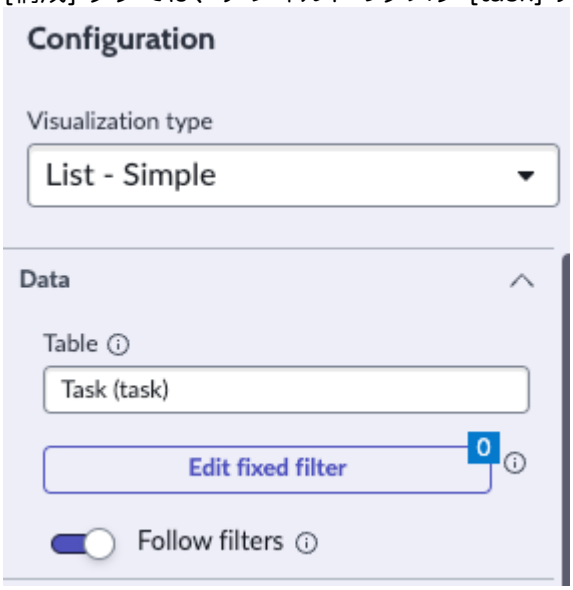
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. フィールドを選択するか、目的のフィールドが見つかるまで参照フィールドをドット連結します。
9. [**OK**] または [適用] を選択します。

Example: タスク **[task]** を拡張する **2** つのテーブルへのドット連結

この例では、タスクテーブルからデータの単純なリストを作成し、タスクを拡張するインジケーター [indicator] テーブルと問題 [problem] テーブルのフィールドを含めます。

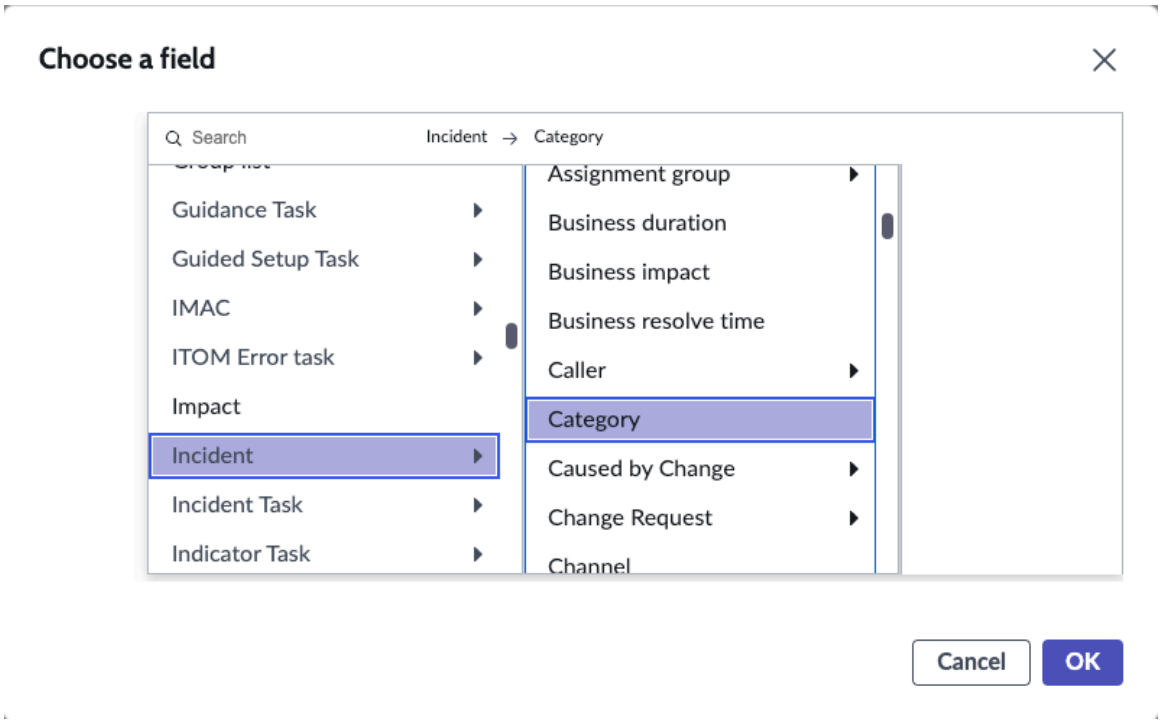
1. プラットフォームアナリティクスライブラリの [データの可視化] リストに移動し、[新規] を選択します。
2. [可視化タイプ] フィールドで、[簡易リスト ( )] を選択します。
3. [構成] タブでは、デフォルトのタスク [task] テーブルを保持します。



4. [列] フィールドで [+追加] を選択し、[インシデント] まで下にスクロールします。
5. [インシデント] の横に、ドット連結できることを示す 印アイコンが表示されます。この矢印をクリックし、インシデントテーブルのフィールドを下にスクロールして、選択した [カテゴリ] フィールドに到達します。

自動翻訳

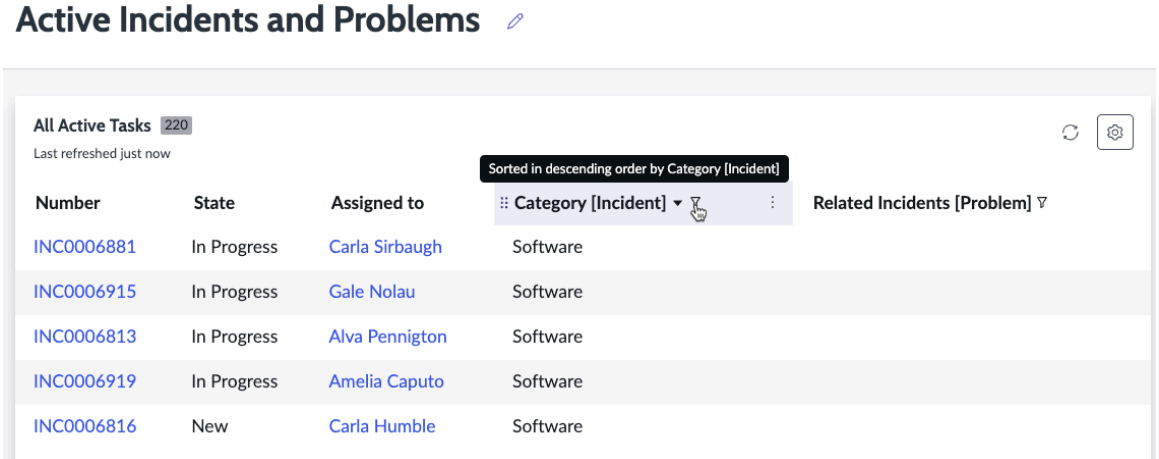
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. このプロセスを繰り返して、[Problem.Related incident] フィールドを追加します。
7. [番号]、[ステータス]、[アサイン先]、および [簡単な説明] フィールドを追加し、必要な順序に移動します。
8. 関連するエントリーのみを表示するには、次のフィルターを追加します。
   - アクティブが true かつ
   - カテゴリ [incident] が Null ではない、または
   - 関連インシデント [問題] が空ではない
9. ビジュアル化を保存し、「 アクティブなインシデントと問題」というタイトルを付けます。

最終的な可視化には、Incident.Category 値、Problem.Related Incidents 値、またはその両方が表示されます。

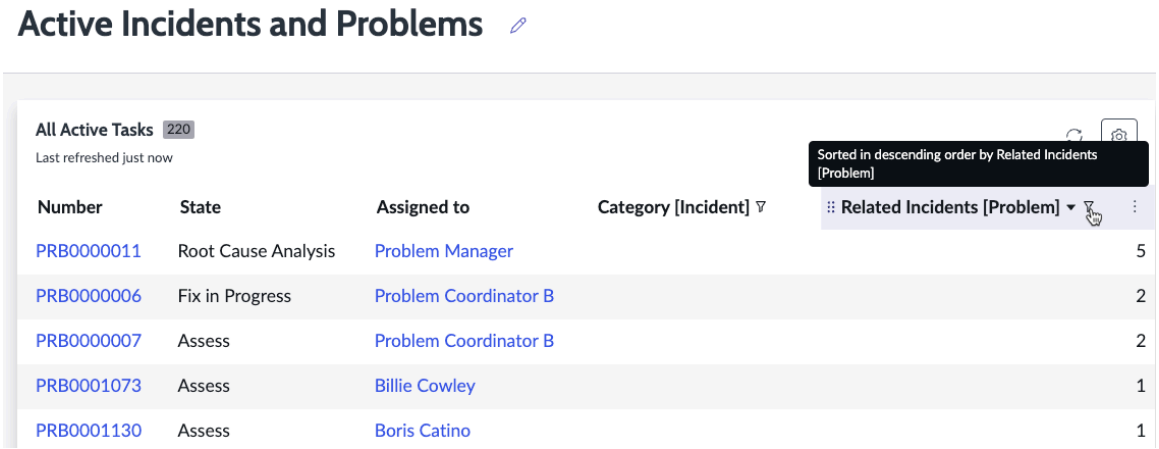
Incident.Category コンテンツを示すアクティブなインシデントと問題のデータの可視化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連インシデントを示すアクティブなインシデントと問題のデータの可視化。問題コンテンツ



データの可視化における値の書式設定

ほとんどのデータ可視化では、レポートを公開するときに数値がどのように見えるかを構成できます。

値の書式設定のタイプ

単位形式
: 時間フィールドの形式を d/h/m/s または日/時間/分/秒として表示します。

最大/最小期間単位
: 表示する最大単位または最小単位 (日、時、分、秒) を選択します。

単位が 1 分を超える場合は秒を非表示
: 期間値が 1 分を超える場合、秒の表示を削除します。最小期間単位として [秒] を選択した場合にのみ使用できます。

小数点以下桁数
: 表示する小数点以下の桁数 (小数点以下 0 桁から 4 桁まで)。

> **注:** 通貨フィールドでは小数点以下桁数はサポートされていません。

端数処理
: 1 分を超える値の場合は、数値をその値に近づけながら丸めることによって単純化します。次のセクション「丸めオプション」を参照してください。

3 桁ごとの区切り文字を使用
: 1,00 以上の値はカンマまたはピリオドで区切ります。

略語を有効化
: 1 文字で 1,00 以上の値を表示します。

> **注:** 通貨、価格、または FX 通貨値の省略形はサポートされていません。

ツールヒントの値を非表示
: 丸められていない省略されていない値は、ツールヒントに表示しないでください。

丸めオプション

1 分を超える値の場合、丸めオプションを使用すると数値が簡略化されますが、その値に近い値に保たれます。次の丸めオプションから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 最大 - 正の場合は次に大きい整数まで、負の場合は次に小さい整数まで。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は -2 の値を返します
- 下 - 正の場合は次に小さい整数に、負の場合は次に大きい整数にします。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は -1 の値を返します
- 天井 - 次に大きい整数に、正に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は -1 の値を返します
- フロア - 次に小さい整数に向かって、負に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は -2 の値を返します
- 半分まで - 最も近い近接する整数まで。両方の近傍が等距離である場合、次に大きい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 3 を返します
- 半分以下切り捨て - 最も近い近接整数まで。両方の近傍が等距離である場合、次に小さい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 2 を返します
- 半偶数 - 最も近い整数。両方の近傍が等距離である場合、最も近い偶数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -2.5 は -2 の値を返します

丸めオプションの概要:

指定された丸めモードで入力を **1** 桁に丸めた結果

入力番号	上	下	天井関数	フロア	四捨五入	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
5.5	6	5	6	5	6	5	6
2.5	3	2	3	2	3	2	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定された丸めモードで入力を 1 桁に丸めた結果 (続く)

入力番号	上	下	天井関数	フロア	四捨五入	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
1.6	2	1	2	1	2	2	2
1.1	2	1	2	1	1	1	1
1.0	1	1	1	1	1	1	1
-1.0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1.1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-1
-1.6	-2	-1	-1	-2	-2	-2	-2
-2.5	-3	-2	-2	-3	-3	-2	-2
-5.5	tinyint	-5	-5	tinyint	tinyint	-5	tinyint

データ可視化でのグラフのインタラクション

棒棒を選択するなどして、ユーザーが可視化を操作したときの動作を設定できます。URL への移動、別のデータ可視化を開く、選択した値によるダッシュボード上のすべての可視化のフィルタリングなどが考えられます。

https://player.vimeo.com/video/1003324543?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

データ可視化の構成パネルには、[チャートのインタラクション] というラベルの付いたセクションが含まれています。このセクションでは、いわゆる「クリック時の動作」を設定します。この用語は、ユーザーが値を表す可視化のセグメントを操作したときに何が起こるかを指します。例としては、時系列上のポイントや、円やドーナツのセグメントを選択するなどがあります。可視化のためにチャートのインタラクションを無効にすることもできます。

重要: テクニカルダッシュボードやその他の UI ビルダー ページでデータを可視化するためのチャートインタラクションを構成することはできません。カスタムのクリック時のイベントのみを有効にして設定できます。[ドリルダウンを有効にする] トグルを使用してクリックイベントのオンとオフを切り替え、それらのハンドラーを構成します。テクニカルダッシュボードでのデータの可視化からクリック時のイベントを構成する方法については、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加」を参照してください。

チャートのインタラクションでは、次のアクションを使用できます。

データビューに移動

データタイプに適したデータのビューを開きます。各データソースのビューの詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。

注: データビューに移動は、サポートされているすべてのデータソースのデフォルトのインタラクションです。

URL に移動

指定した URL を開きます。この URL は、インスタンス上またはインスタンスの外部に配置できます。必要に応じて、ツールヒントで開くページの名前を指定できます。[URL に移動] は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのデフォルトのインタラクションです。

フィルターとして適用

ダッシュボードで適用可能なすべてのデータ可視化を、選択したセグメントの値でフィルタリングします。[グループ] フィールドが期間の場合は適用されません。水平棒グラ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フと垂直棒グラフと円グラフ/ドーナツグラフの可視化、およびテーブルとインジケーターのデータソースでのみ使用できます。UI ビルダーでは利用できません。詳細については、「データの可視化をフィルターとして機能させる」を参照してください。

チャートへのドリルダウン

選択したデータによってフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアル化で各メトリクスのドリルダウンビジュアル化を追加できます。この新しいドリルダウン可視化は、チャートのインタラクションを構成するプロセスの一環としてシームレスに構成します。

注: チャートへのドリルダウンには次の制限があります。

- インラインダッシュボードエディターでは [チャートへのドリルダウン] を構成できません。 可視化デザイナーでのみ構成できます。
- チャートへのドリルダウンは、テーブルデータソースでのみ使用できます。
- カレンダー、ジオマップ、インジケータースコアカード、またはリストの可視化からチャートへのドリルダウンを設定することはできません。ただし、サポートされている可視化からテーブルデータを表示できる任意の可視化にドリルダウンできます。

異なる可視化インタラクションは、異なるデータソースとデータ可視化タイプをサポートしています。次の表は、サポートのマトリクスを示しています。

インタラクションサポート

アクション	サポートされているデータの可視化	サポートされているデータソース
データビューに移動	すべて	可視化がサポートするすべての機能
URL に移動	ジオマップとインジケータースコアカードを除くすべて	可視化がサポートするすべての機能
フィルターとして適用 (インラインダッシュボードエディターでのみ使用可能)	• 水平および垂直バー • 円とドーナツグラフ	テーブルとインジケーター
チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー でのみ使用可能)	カレンダー、インジケータースコアカード、リスト、およびジオマップを除くすべて	テーブル

可視化インタラクションの構成

編集中のデータ可視化のセクションを閲覧者が操作したときの動作を選択します。

始める前に

必要なロール:このオプションは、作成した任意の可視化で設定できますが、データの可視化を表示しているユーザーには、基礎となるデータを表示する権限が必要です。

このタスクについて

チャートのインタラクションは、 可視化デザイナー またはインラインダッシュボードエディターでのみ構成でき、 UI ビルダーでは設定できません。

手順

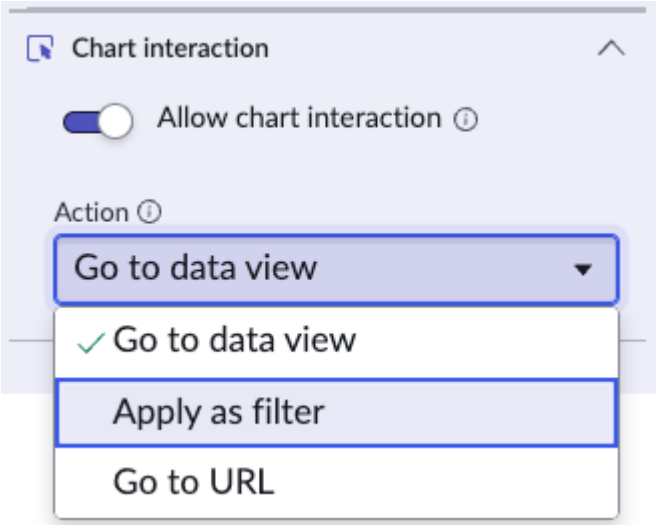
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化.
2. 構成する可視化を選択または作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [チャートのインタラクション] で、[チャートのインタラクションを許可] を有効にします。
4. [アクション] で、利用可能なチャートインタラクションから選択します。
   可能なインタラクションは次のとおりです。
   - データビューに移動
   - URL に移動
   - チャートにドリルダウン (可視化デザイナー内から利用可能):可視化の複数のレイヤーを追加して、可視化の各メトリクスからドリルダウンできます。
   - フィルターとして適用 (ダッシュボード内で編集する場合にのみ使用可能)

   インタラクションについては データ可視化でのグラフのインタラクションで説明しています。



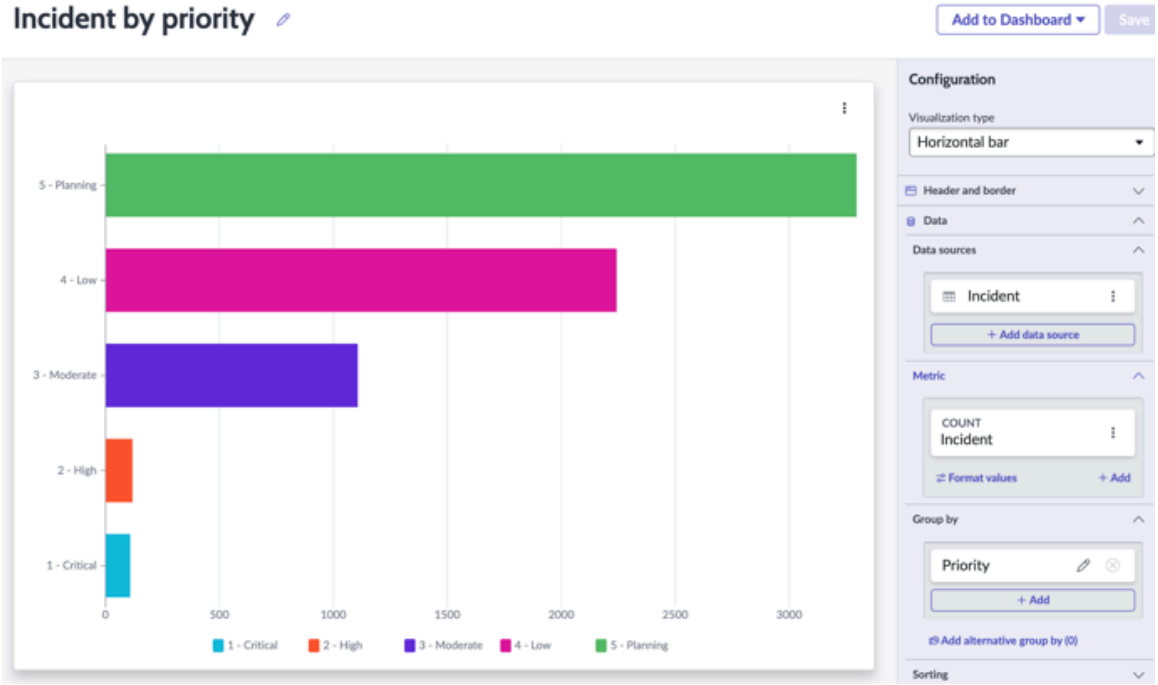
5. **[Save** (保存)] を選択します。

Example: チャートへのドリルダウン

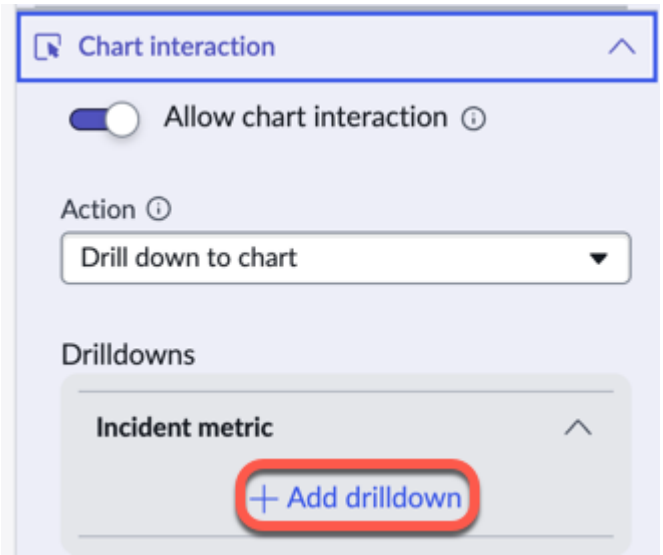
優先度別にグループ化されたインシデントテーブルのインシデント数を水平棒グラフで可視化します。ユーザーがこの可視化の値から、インシデントの合計数を示す単一スコアの可視化にドリルダウンする必要があると決定しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



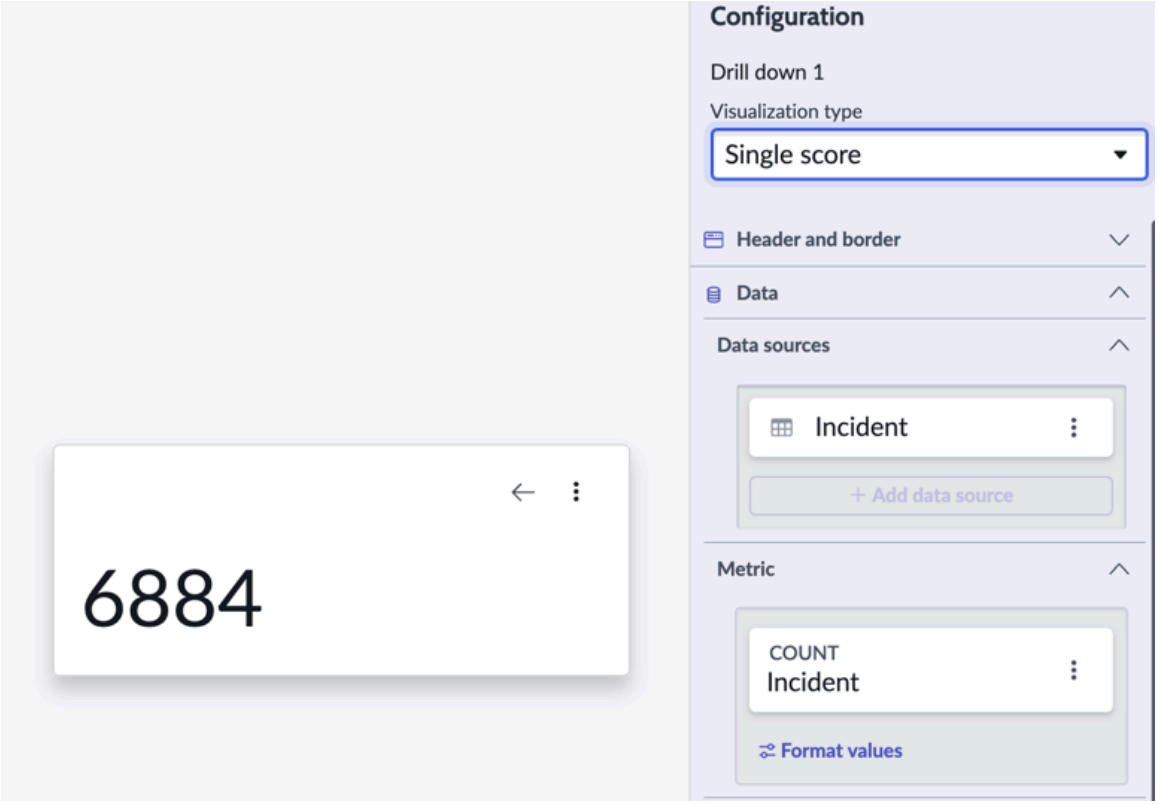
1. 構成パネルの [チャートのインタラクション] セクションに移動します。ここでは、アクションとして [チャートへのドリルダウン] を選択します。ビジュアル化の任意のメトリクスにドリルダウンチャートを追加できます。可視化ではインシデントメトリクスのみであるため、このメトリクスしか選択できません。



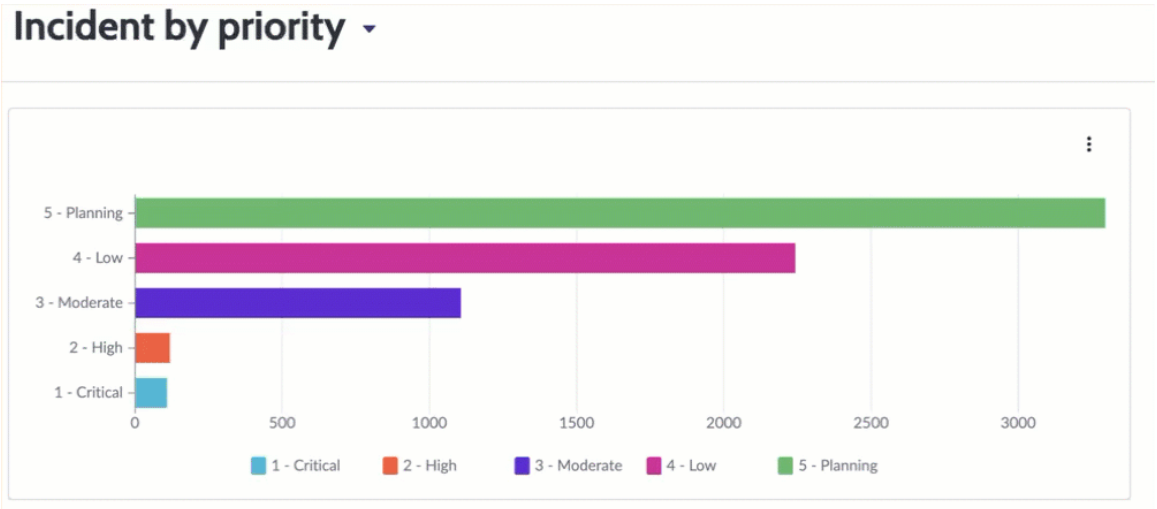
2. インシデントメトリクスに対して **[+** ドリルダウンを追加] を選択します。[ドリルダウン 1 (Drill down 1)] という新しい可視化の構成パネルが開きます。
3. インシデントテーブルのインシデントレコードの数を表す単一のスコアを表示するように可視化を構成し、可視化を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 作成した単一スコアの可視化からドリルダウンする別の可視化を追加することもできますが、これは必要ではないと考えています。
5. これで、ビューアーがダッシュボードでこの可視化を操作するときに、棒グラフの可視化から単一のスコアにドリルダウンして、元に戻ることができます。同様に、自分または可視化の別の編集者は、親と子の可視化の間を移動して、いずれかの構成を編集できます。



さまざまなデータソースのデータビュー

データ可視化のチャートインタラクションが [データに移動] に設定されている場合、可視化のデータ値を操作すると、データソースに応じて異なるページが開きます。

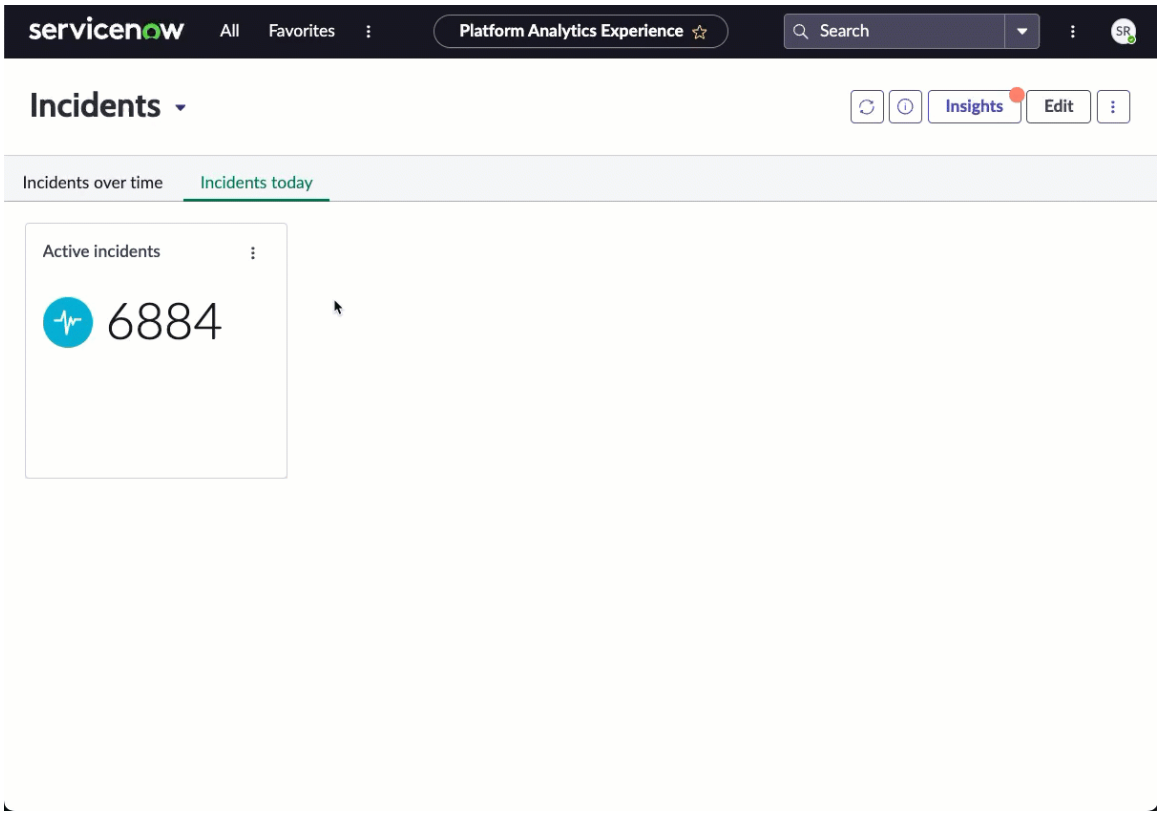
注: データの可視化に使用できるデータソースの概要については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルデータの可視化

データグラフに移動 テーブルからのインタラクション データの可視化 テーブルレコードの関連リストを開きます。システムプロパティ *com.glide.par.pae.drilldown_to_core_ui* が true の場合、リストは コア UI リストになります。false の場合、リストは プラットフォームアナリティクス リストになります。リストからドリルダウンする場合は、*com.glide.par.pae.drilldown_to_core_ui*に応じて コア UI または プラットフォームアナリティクス のいずれかでテーブルレコードを開きます。詳細については、「データ可視化プロパティ」を参照してください。

注: このシステムプロパティは、チャートのインタラクションの代わりに手動で構成されたイベントハンドラーを使用するテクニカルダッシュボードやその他の UIB ページのデータの可視化には適用されません。

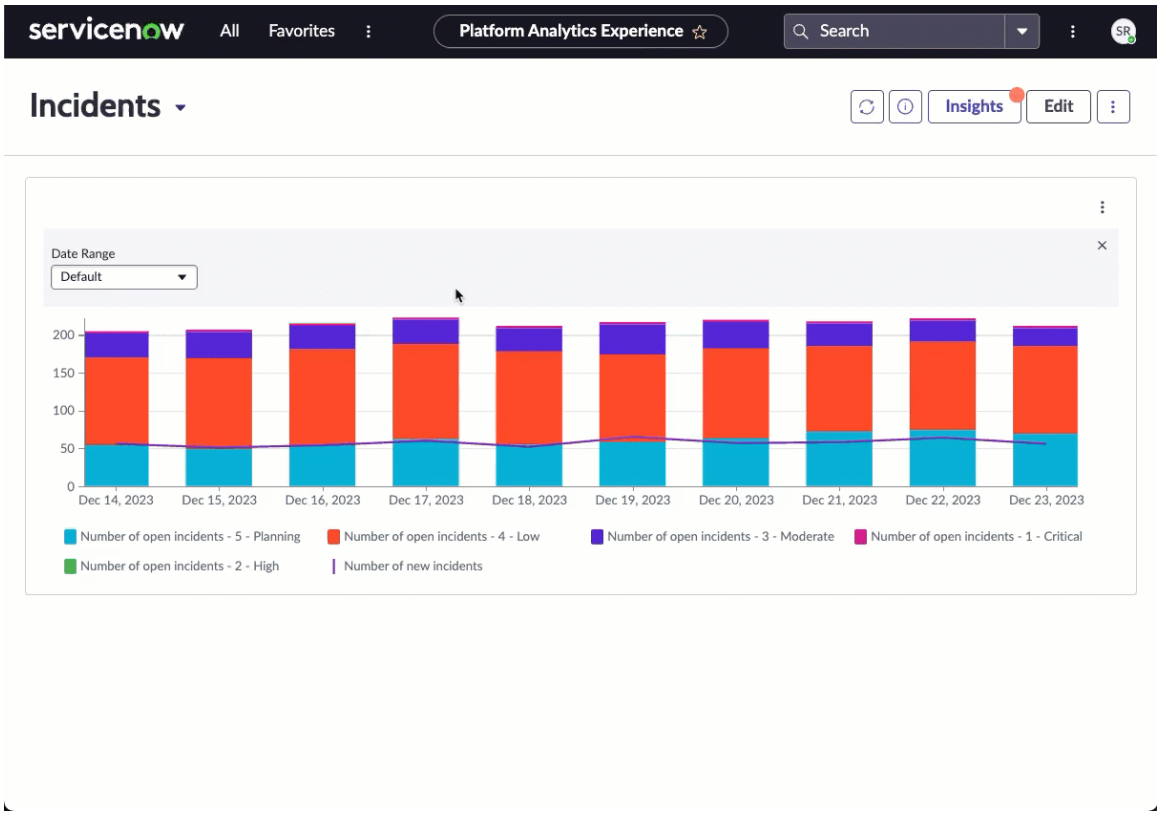


インジケーターの可視化

インジケーターの可視化からデータチャートインタラクションに移動 関連KPI 詳細ページを開きます。詳細については、「KPI 詳細」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 視覚 エフェクト

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス可視化からデータチャートインタラクションに移動 可視化で個々のアプリケーションの概要ページが開きます。データの可視化 (イベント、セッション、ユーザー、またはページデータ) に一致するデータ基盤ビューで概要が開きます。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのナビゲーション」を参照してください。

ヘルスログアナリティクス 視覚 エフェクト

データの可視化ヘルスログアナリティクスからデータチャートインタラクションに移動 ログビューアーを開きます。詳細については、「ヘルスログアナリティクス」を参照してください。

注: ヘルスログアナリティクス のデータの可視化は、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスから作成または編集することはできません。UI ビルダーからのみ作成または編集できます。

メトリックベース 視覚 エフェクト

メトリックベースビジュアライゼーションからデータチャートインタラクションに移動 Metrics Explorer を開きます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

重要: データグラフに移動 のインタラクション メトリックベース には Metric Explorer for Service Operations (sn_sow_metric_exp) プラグインが必要です。

データ可視化の質問

質問別にデータ可視化のテーブルデータをグループ化またはフィルタリングできます。テーブルは質問をサポートしている必要があります。

質問別にグループ化されたデータの可視化を作成すると、次のことに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 顧客の質問に回答が得られているかどうかを判断します。
- 要求プロセス中に顧客からより多くの情報を取得します。

データソースは、質問が関連付けられている非サービスカタログテーブルである必要があります。タスク [task] テーブルから拡張されたテーブル (たとえば、インシデント [incident] テーブルや問題 [problem] テーブル、またはレコードプロデューサーテーブル [sc_cat_item_producer] から質問をフィルタリングまたはグループ化できます。

カスタム条件を作成するときに質問を使用して、データソースをフィルタリングできます。データの可視化のタイプがサポートする [グループ] または [代替グループ] フィールドでも質問を使用できます。

注:

テーブルに関連付けられたレコードプロデューサーがある場合、そのレコードプロデューサーで定義された変数は、次の質問タイプを除き、データソースをフィルタリングするための条件ビルダーの質問として使用できます。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

レコードプロデューサー変数でグループ化することはできません。詳細については、「レコードプロデューサー」を参照してください。

データの可視化での質問の使用

テーブルのタスク [task] 階層からのデータの可視化では、テーブルに定義された質問を使用して、データをフィルタリングまたはグループ化できます。

始める前に

必要なロール:viz_creator 以上 (itil を含む)。データを表示するには、データソーステーブルの report_viewアクセス制御によって許可されるロールが必要です

このタスクについて

質問をフィルター、グループ化基準、または別のグループ化基準として使用します。

注: ボックスおよび Trendbox の可視化では、質問をグループ基準または代替のグループ基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダーレポート、およびジオマップの可視化では、どのフィールドのグループ化もサポートされていません。ピボットテーブルの可視化では、質問別に列または行としてのみグループ化できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、質問を追加する可視化を開きます。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
質問をフィルターとして使用	データソースを追加または編集し、[カスタム条件を追加] を選択します。カスタム条件が既に定義されている場合は、[+ 追加] を選択しま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

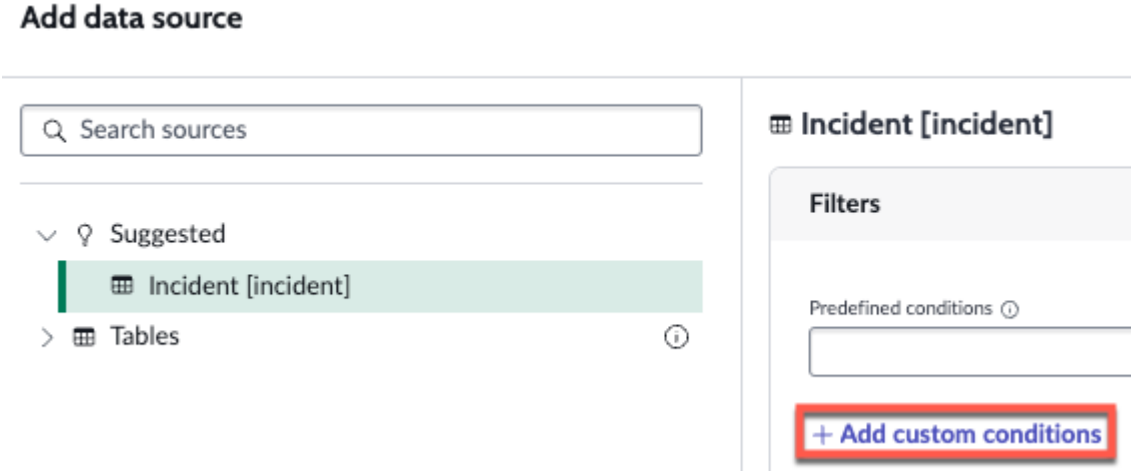
オプション	説明
	す。次に、フィールドリストの下部にある 質問 を選択します。
質問をグループとして追加	[グループ] で、[+ 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある 質問 を選択します。
質問を代替グループとして追加	[グループ化] で、[代替グループ化基準を追加] を選択します。次に 、[質問] を選択します。
質問を列または行としてピボットテーブルに追加する	[グループ] で、[列] または [行] に [+追加] を選択し、フィールド リストの下部にある [質問] を選択します。 **注:** ○ 質問をメインの [グループ] としてレポートを作成すると、質問は内部結合として動作します。 ○ プライマリグループ用の通常のフィールドと、質問のセカンダリグループ化を使用してレポートを作成すると、その質問は外部結合として機能します。

利用可能な質問が表示されます。グループ化値として利用可能なすべての質問が、代替のグループ化値としても使用できるわけではありません。

3. 目的の質問を選択します。
4. カスタム条件で質問を使用する場合は、演算子と値を選択します。
5. **[Apply** (適用)] を選択します。

Example: フィルターとしての質問

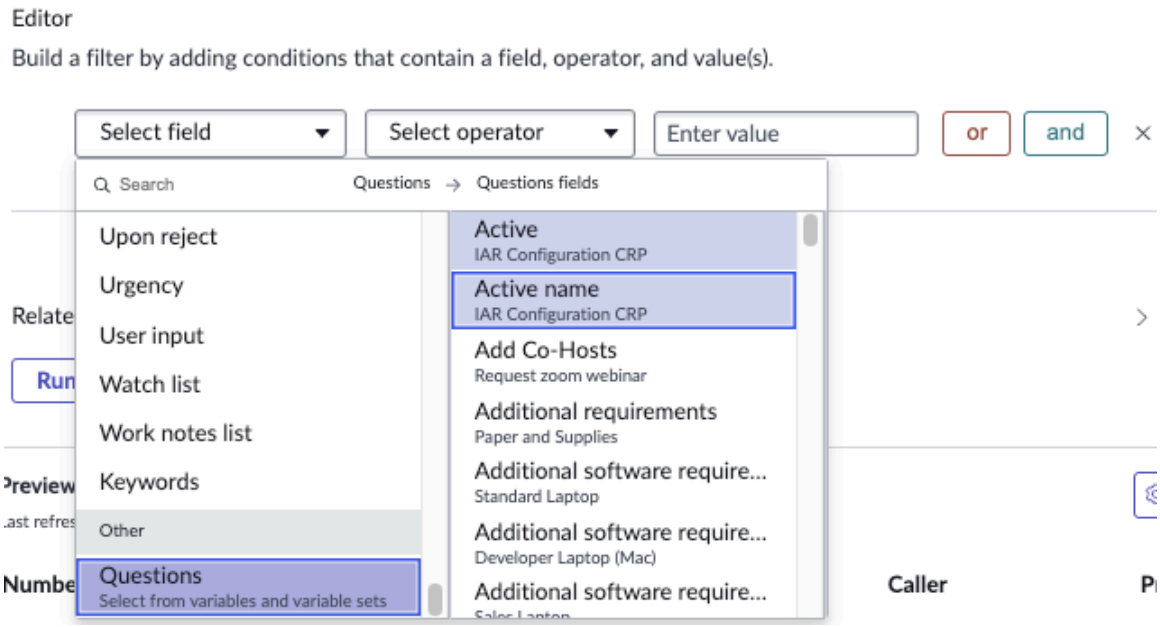
ここでは、データ可視化の [データソースを編集] ページを開きました。このデータ可視化にはカスタム条件が定義されていないため、[カスタム条件を追加] を選択します。



次に、質問するフィールドリストを下にスクロールして選択し、質問を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



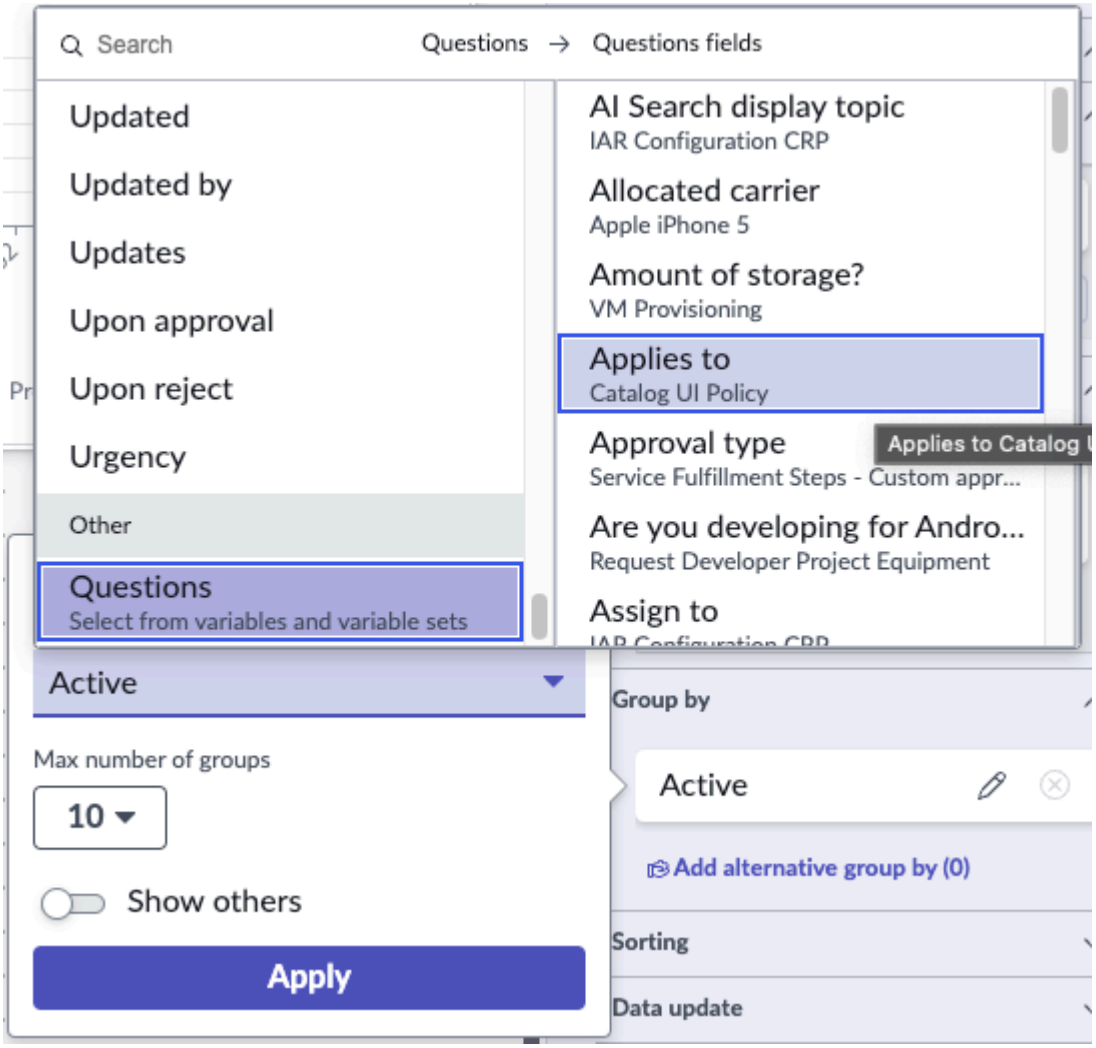
最後に、演算子と値を選択します (Is |A4をクリックし、[適用]を選択します。

Example: グループとしての質問

この場合、インシデントテーブルのデータを水平棒グラフで可視化します。[グループ分け基準] セクションで、グループ化基準を編集します。フィールドのリストの一番下までスクロールし、[アクティブ] フィールドを質問に置き換えて、質問を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



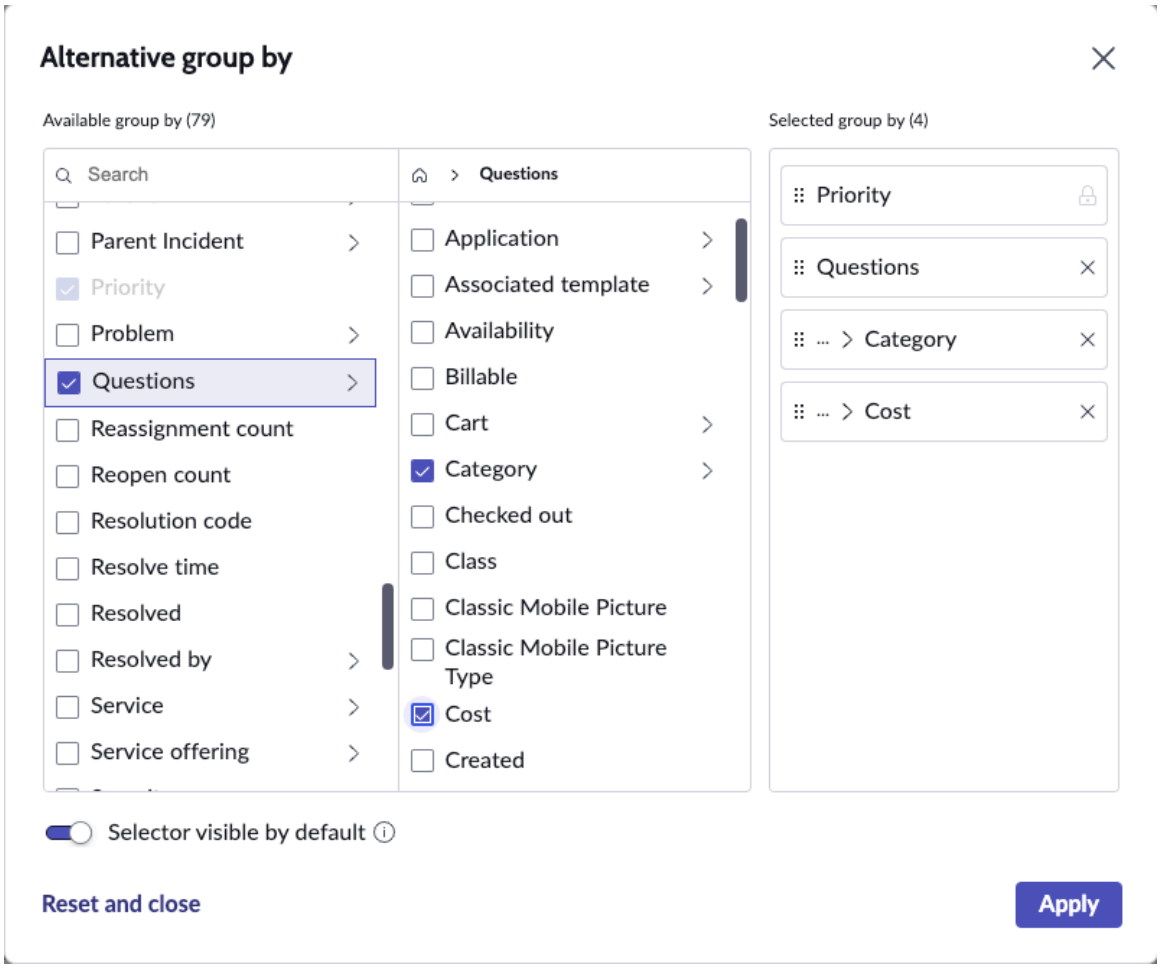
質問をピボットテーブルの行または列として追加する場合、エクスペリエンスはほぼ同じです。

Example: 代替グループとしての質問

別の質問を代替グループ化基準として作成します。[代替グループ化基準を追加] を選択し、[質問] までスクロールします。他のメニューとは異なり、その位置は下部ではなくアルファベット順です。[質問] を展開すると、リストが質問の選択に変わります。グループとして利用できたすべての質問が代替のグループ化基準として利用できるわけではありません。いずれにせよ、いくつかの質問を選択して [すべて適用] を押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化におけるサービスカタログ変数

選択したサービスカタログアイテムの変数によって、可視化のデータをグループ化またはフィルタリングします。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで役立つかどうかを判断するのに役立ちます。

さらに、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データの可視化でサービスカタログ変数を使用する

サービスカタログデータに基づくデータの可視化では、変数の積み重ねとグループ化で、変数をリストの列として、およびマルチレベルピボットテーブルの列と行として使用します。

始める前に
必要なロール:viz_creator 以上 (itil を含む)。データを表示するには、データソーステーブルの report_viewアクセス制御によって許可されるロールが必要です

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- viz_admin 以外のロールを持つユーザーは、アドミンとしてオプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルのアクセス制御リスト (ACL) にそのロールを追加すると、サービスカタログ変数を使用できます。
- 可視化のデータソースは、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、データの可視化の生成時にエラーが発生します。
- Oracle データベースの CLOB フィールドには、データの可視化で変数データを取得する機能がありません。4000 バイト未満の列文字列フィールドの場合は、列タイプを varchar2 に変更できます。小さいサイズの CLOB 列を比較するには、to_char() 関数を使用します。より大きなサイズの CLOB の場合は、dbms_lob.substr 関数を使用して比較用のサブ文字列を取得する必要があります。

このタスクについて
変数をフィルターとして使用するか、グループ化基準として使用するか、別のグループ化基準として使用します。

注: ボックスおよび Trendbox の可視化では、サービスカタログ変数をグループまたは代替のグループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダーレポート、およびジオマップの可視化では、どのフィールドのグループ化もサポートされていません。ピボットテーブルの可視化は、変数によって列または行としてのみグループ化できます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、変数を追加する可視化を開きます。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
変数をフィルターとして使用する	データソースを追加または編集し、[カスタム条件を追加] を選択します。カスタム条件が既に定義されている場合は、[+ 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。
変数をグループとして追加	[グループ] で、[+ 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。
変数を代替グループとして追加	[グループ化] で、[代替グループ化基準を追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。ビューアーは、ビューアーとしてデータ可視化でグループ別の値を選択するで説明されているように、実行時にこれらの変数のいずれかを選択できます。
変数を列または行としてピボットテーブルに追加する	[グループ] で、[列] または [行] に [+追加] を選択し、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。

自動翻訳

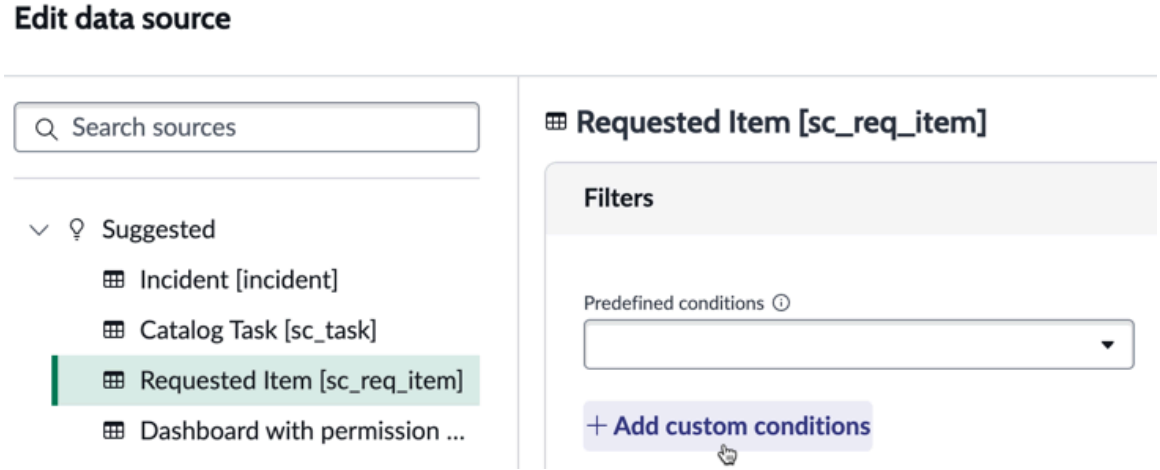
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: ○ 変数をメインの [グループ] としてレポートを作成すると、変数は内部結合として動作します。 ○ プライマリグループ用の標準フィールドと、変数のセカンダリグループ化を含むレポートを作成すると、変数は外部結合として機能します。

3. フィールドのリストの最後までスクロールし、[変数] を選択します。
   利用可能な変数が表示されます。グループ化値として使用できるすべての変数が、代替のグループ化値としても使用できるわけではありません。
4. 必要な変数を選択します。
5. サービスカタログ変数をフィルターとして使用している場合は、演算子と値を選択します。
6. **[Apply** (適用)] を選択します。

Example: フィルターとしての変数

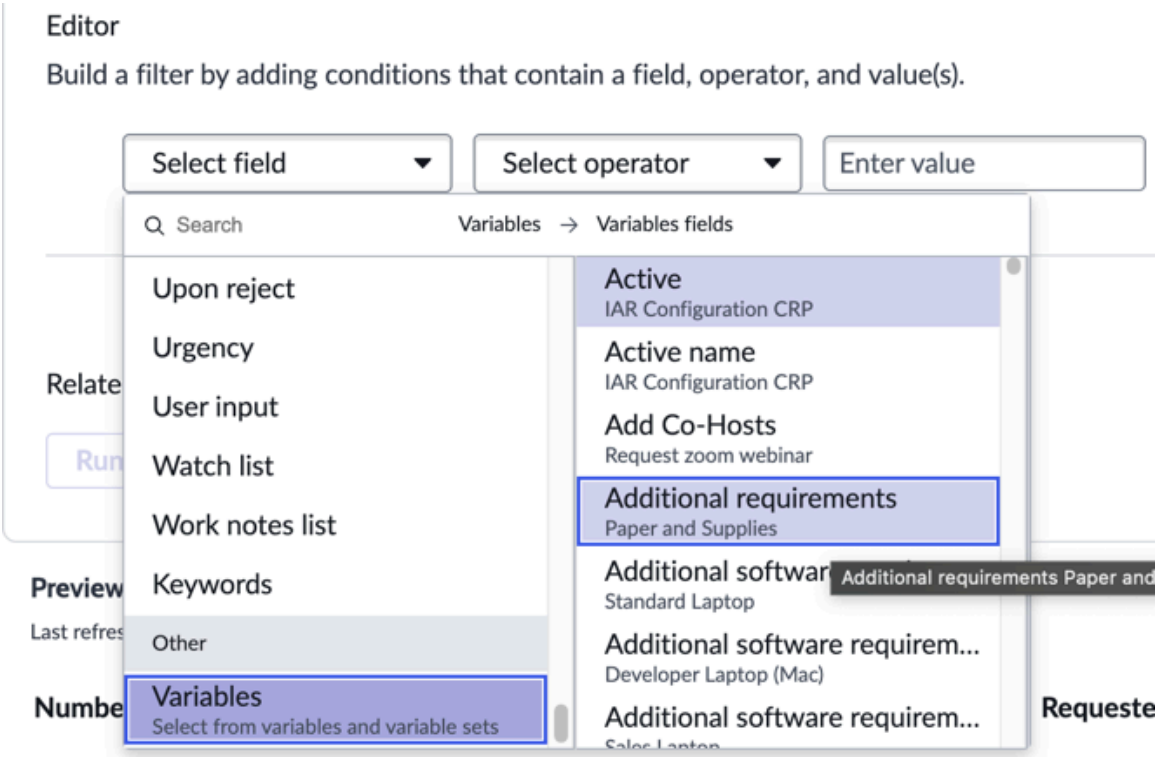
ここでは、データ可視化の [データソースを編集] ページを開きました。このデータ可視化にはカスタム条件が定義されていないため、[カスタム条件を追加] を選択します。



次に、[フィールドの選択] リストを下にスクロールして [変数] に移動し、それを選択して変数を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



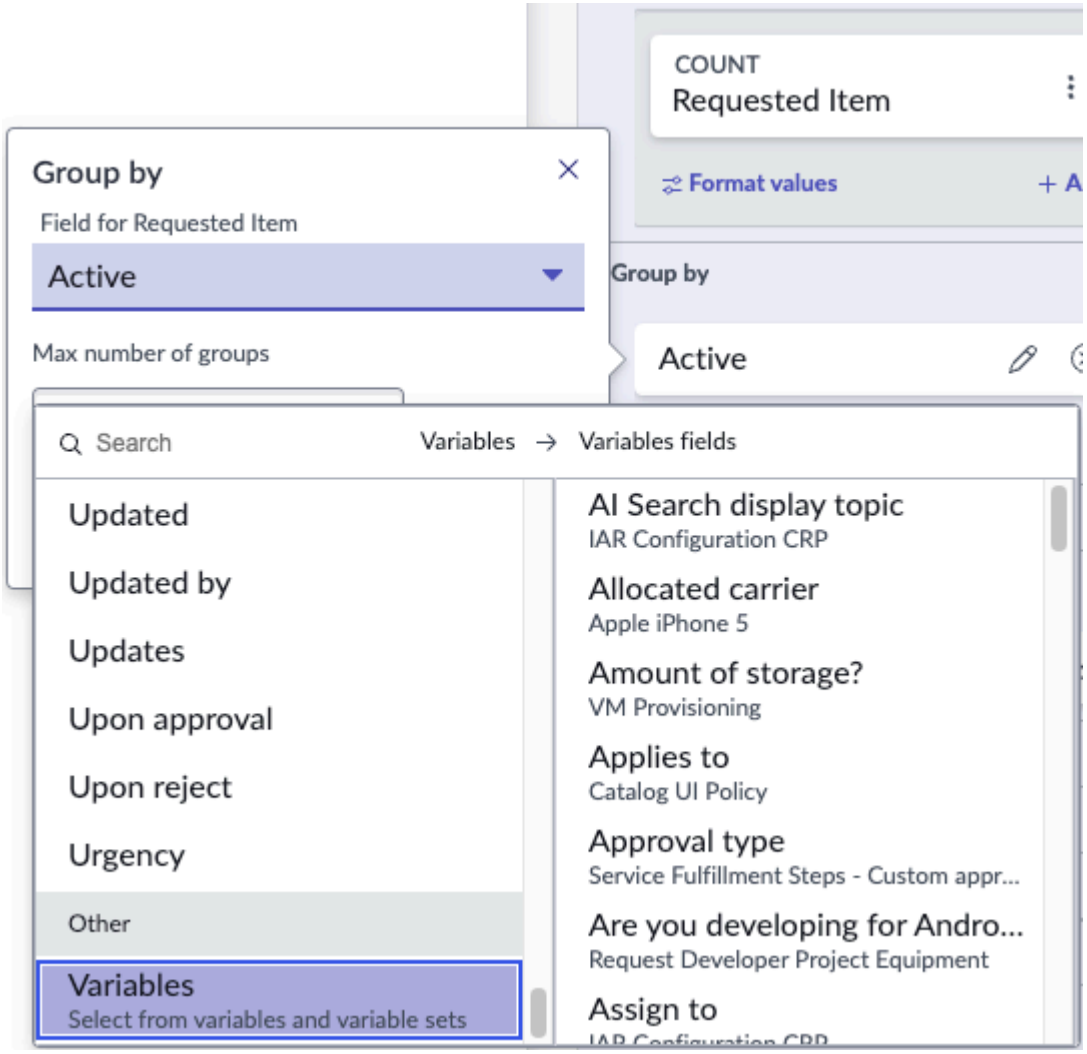
最後に、演算子と値を選択します (Is |A4をクリックし、[適用]を選択します。

Example: グループとしての変数

この場合、[要求アイテム] テーブルのデータを水平棒グラフで可視化します。[グループ分け基準] セクションで、グループ化基準を編集します。フィールドのリストの一番下までスクロールし、[アクティブ] フィールドを [変数] に置き換えて、変数を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



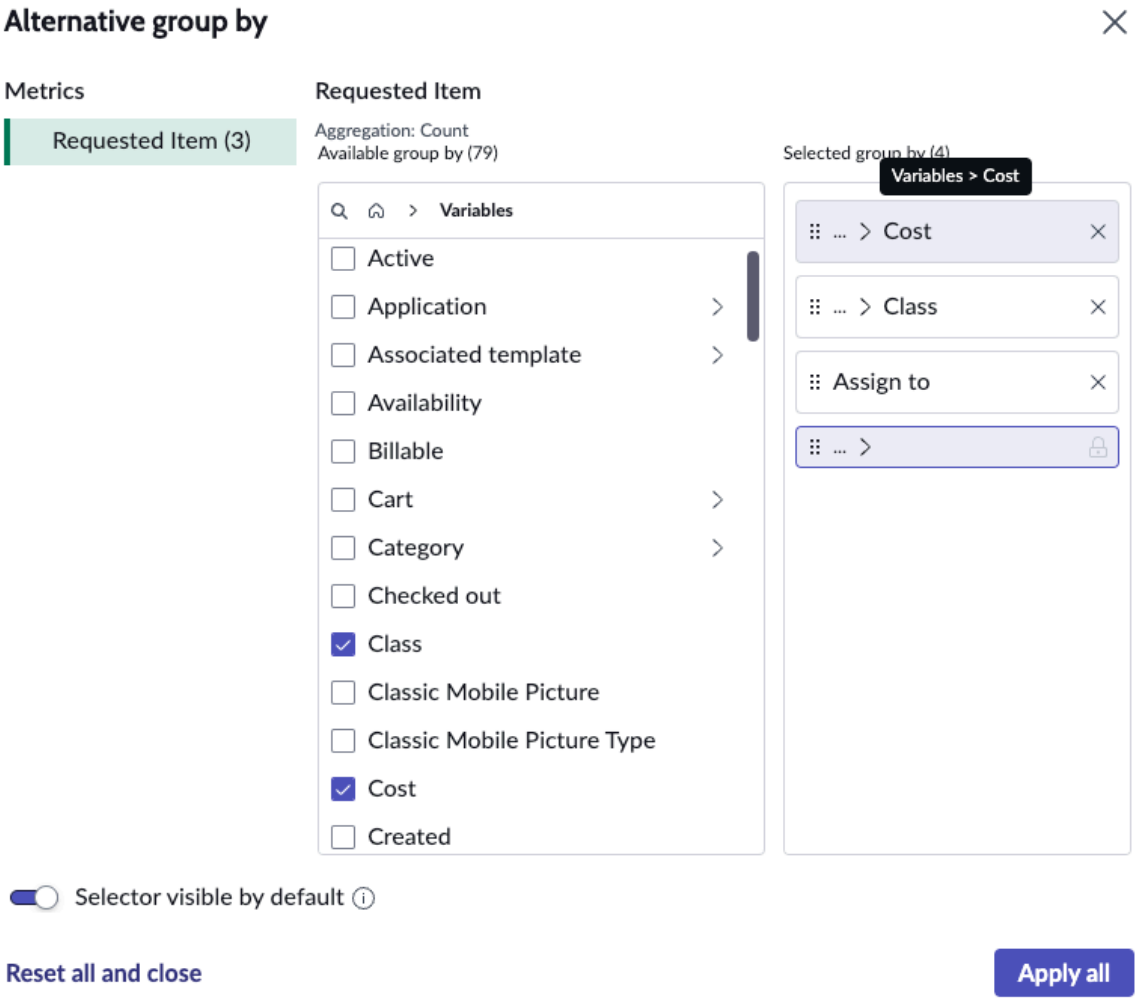
サービスカタログ変数をピボットテーブルの行または列として追加する場合、エクスペリエンスはほぼ同じです。

Example: 代替グループとしての変数

代替グループ化基準として別のサービスカタログ変数が必要です。[代替グループ化基準を追加] を選択し、一番下までスクロールします。[変数] を展開すると、リストが変数の選択項目に変わります。グループとして利用可能だったすべての変数が、代替のグループ化基準として利用できるわけではありません。いずれにせよ、いくつかの変数を選択して、[すべて適用] を押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

データ可視化のシステムテーブル

デフォルトでは、システムテーブルはデータの可視化から除外されます。ただし、システムテーブルを禁止対象外にすることはできます。一部のシステムテーブルは、デフォルトで制限から除外されています。これらのシステムテーブルでデータの可視化を作成するときは十分注意してください。

禁止されているシステムテーブルには、次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- ログ [syslog]
- トランザクションログ [syslog_transaction]
- 添付ファイル [sys_attachment]
- メール [sys_email]

システムテーブルについてレポートする必要がある場合は、それを *glide.ui.permitted_tables* システムプロパティに追加できます。デフォルトでは、いくつかのシステムテーブルがこのプロパティに一覧表示されます。アドミンユーザーのみが、このプロパティで許可されているテーブルに関するレポートを作成できます。

システムテーブルでレポートまたはデータの可視化を作成する場合は、十分に注意してください。レポートとデータの可視化でデフォルトで許可されている監査 [sys_audit] テーブルについて考えてみましょう。通常、このテーブルはどのインスタンスでも最大のテーブルです。中規模のインスタンスであっても、監査テーブルが数ギガバイトになることは珍しくありません。大規模な環境では、このテーブルが 50 GB 以上に及ぶこともあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムで Audit などのテーブルにアクセスすると、クエリパターンがどのようになるかがわかるため、クエリに一致する適切なデータインデックスを追加できます。たとえば、インシデントの履歴などを表示するときに、データベースでインデックスを使用することで、そのクエリに必要な数十行を効率的に取り出すことができます。

ただし、レポートやデータの可視化では、クエリパターンがどのようになるかを予測することはできません。`フィールド名`でグループ化したり、`古い値`でソートしたりしたい場合があります。したがって、クエリーがインデックス付きクエリーでない可能性があります。データベースに数ギガバイトのファイルをテーブルスキャンするように指示することになりますが、これは次の理由で不十分です。

- 速度が遅いため、レポートやデータの可視化の実行に許容できないほどの時間がかかります。
- データベースがテーブルをスキャンしている間、他のクエリーが必要なリソースを取得できないため、インスタンスの速度が低下したり、インスタンスが使用できなくなることもあります。

データの可視化の色

データの可視化に応じて、各 [グループ] 要素の固定色、事前定義されたカラーパレット、高い値と低い値にまたがるスペクトル、または単色など、さまざまな色を選択できます。

デフォルトでは、データの可視化は、インスタンスで使用される UX テーマ [sys_ux_theme] に設定されている色を使用します。これらの色は、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_properties] テーブルで定義されます。テーマの色は次のとおりです。

- デフォルトの単色
- デフォルトのカラーパレット
- 色範囲のデフォルトの色合いスペクトル

テーマを作成して、特定のユーザー用に選択するか、インスタンスのデフォルトテーマとして設定することができます。詳細については、「でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。

特定の可視化では、UX テーマで設定された色を上書きできます。可視化の構成パネルの [プレゼンテーション] セクションの [色] サブセクションで色を設定します。使用可能なオプションについては、「作成...」トピックを可視化タイプごとに作成します。

単一の値の色またはメトリクスごとの色の選択

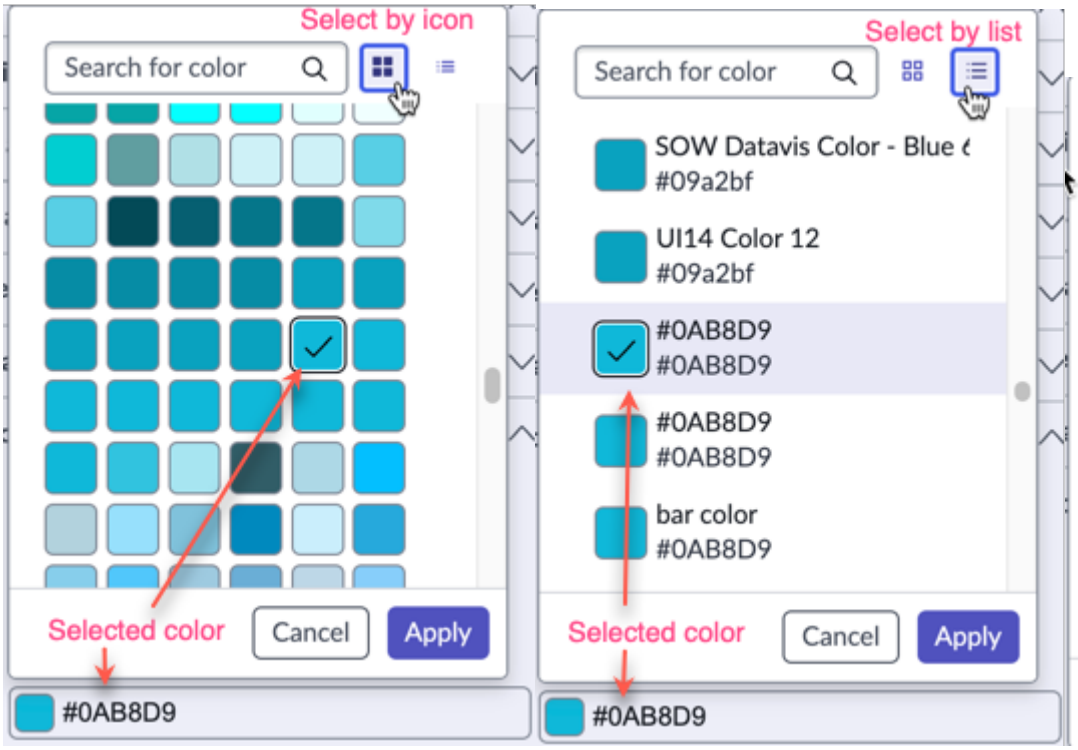
ゲージと円/ドーナツを除くすべての可視化に対して単一の値の色を選択できます。単一の色を選択すると、最初はデフォルトの色が提示されます。[値の色を設定] フィールドで代わりに色を選択できます。そのフィールドを操作するとセレクターが開き、色、アイコン、またはリストから色を選択できます。リストには、各エントリのアイコンも表示されます。セレクターには検索フィールドもあります。その検索フィールドに値を入力すると、検索用語でフィルタリングされた色のリストが表示されます。検索用語は、わかりやすい言葉でも、16 進コードの一部でもかまいません。

データの可視化に複数のメトリクスが表示されている場合は、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコンモードとリストモードのカラーセレクター



ピボットテーブル、目盛り、単一スコアの可視化の色ルール

単一スコア、ダイヤル、ピボットテーブルの可視化では、データが特定の条件を満たしたときに動的に設定される単色を使用できます。たとえば、25 未満の値に対してスコアを緑色で表示するルールを作成できます。詳細については、「データの可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

テーブルデータソースの値別にグループ化の色オプション

テーブルデータソースに基づいて可視化で値でグループ化する場合、次の 2 つの色の範囲オプションがあります。

カラーパレット

[グループ] 要素に適用される一連の色。色は、最大値から最小値の順に繰り返されます。色で順序を示す場合は、データの可視化でカラーパレットを使用します。同じパレットを使用する可視化は、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

カラーパレットは、[グループ] の値が定義されているデータ表示方法のデフォルトのカラーリングパターンです。カラーパレットを指定しない場合は、UX テーマのカラーパレットが使用されます。

デフォルト以外のカラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。カラーパレットを作成するには、admin または pa_admin ロールが必要です。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

次の例では、インシデントを示す 2 つのデータを可視化しています。1 つの可視化には優先度別にグループ化されたインシデントが表示され、もう 1 つの可視化にはカテゴリ別にグループ化されたインシデントが表示されます。どちらの可視化も、6 つの青の色合いを使用する [青 (暗から明) (6)] カラーパレットを使用します。どちらの可視化も、値は異なりますが、同じ値のランキングに対して同じ色で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カラーパレット:青 (明から暗)

固定要素の色

固定要素の色は、常に同じグループ化値または積み重ね値に適用します。異なる可視化の異なるグループ化と積み重ねの値が異なれば、色も異なります。たとえば、「優先度 > 1 - 重大」のような要素を常に同じ色にする場合は、固定要素の色を使用します。

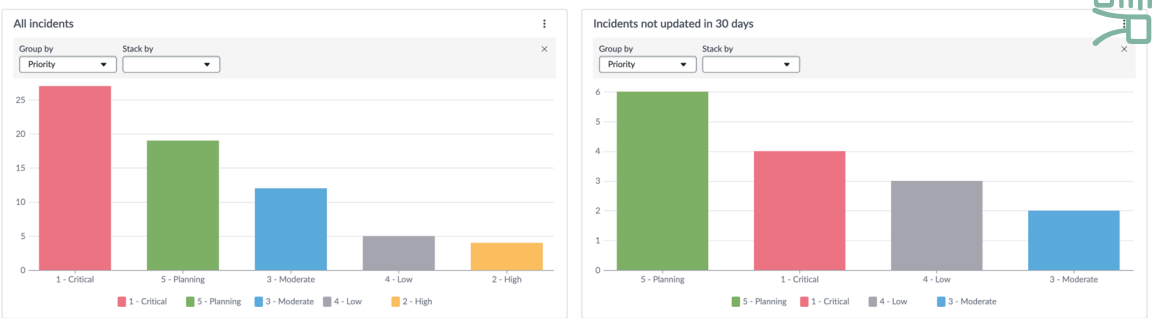
重要:

固定要素の色は、テーブルデータソースの可視化でのみ使用できます。

固定要素の色を使用するデータ可視化に要素が初めて表示されると、その要素に色が定義されます。その後、その要素は、それを示すすべてのデータ可視化で同じ色になります。色は、チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルの各要素に保存されます。要素に割り当てられた色を変更するには、admin または report_admin ロールが必要です。詳細については、「データカテゴリの色を定義」を参照してください。

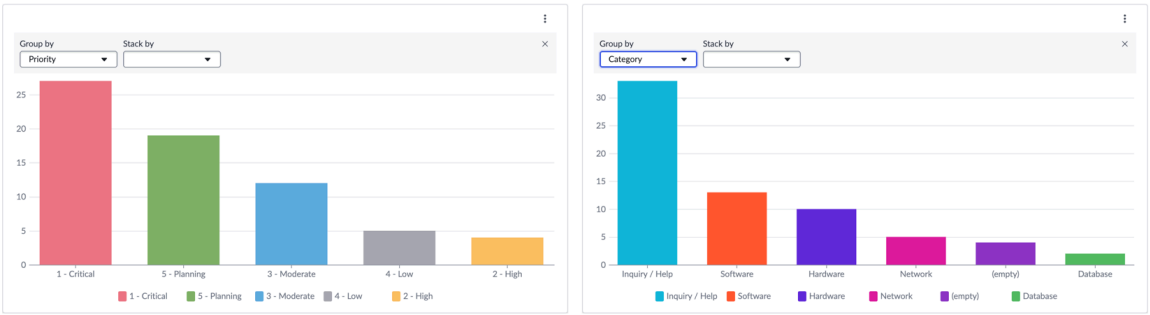
次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントを示す 2 つのデータが表示されています。どちらの可視化も固定要素の色を使用します。同じ優先度の値は、順序が異なっても同じ色になります。

固定要素の色:同じ要素、異なる順序



次の例では、データの可視化がさまざまなフィールドでグループ化され、固定要素の色が使用されています。各要素には固有の色があるため、バーは異なる色になっています。

固定要素の色:さまざまな要素



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

でのテーマの操作 ネクストエクスペリエンス

データの可視化の色分けルールの作成

数値の表示方法に関するルールを設定して、値が重要である理由を簡単に強調表示します。

始める前に
必要なロール:任意のロール、および可視化に対する編集権限

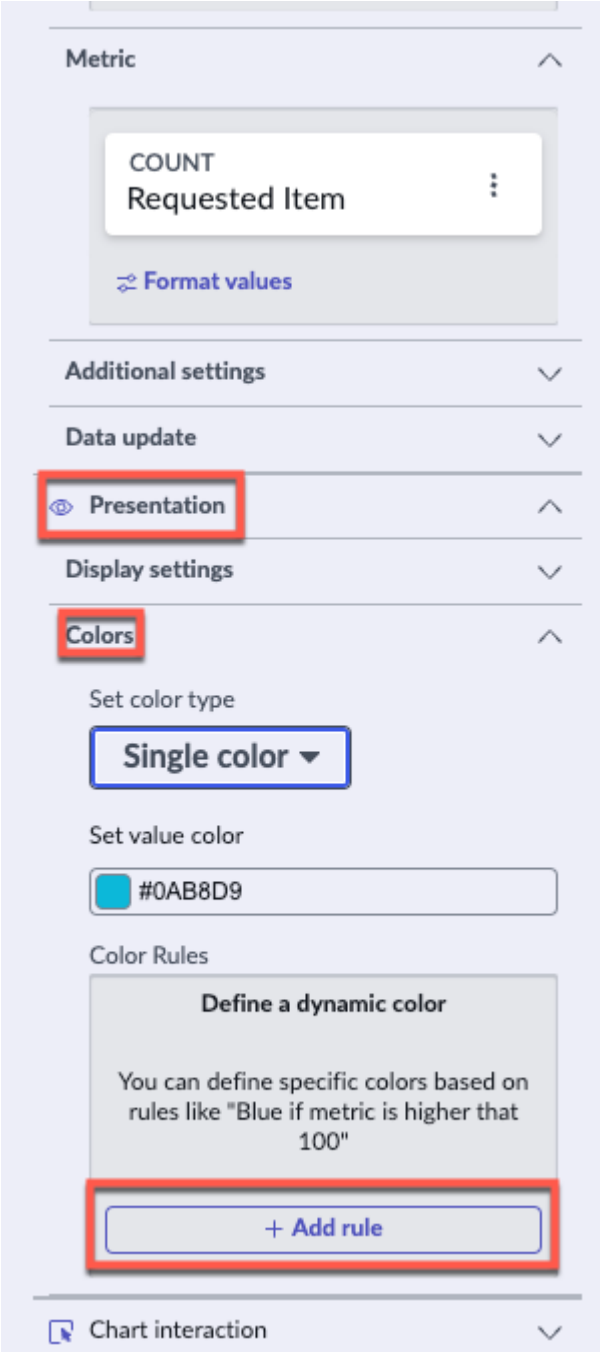
このタスクは、一部のデータ可視化の表示設定の構成の一部です。

手順

1. ダッシュボードのインラインエディターまたは可視化デザイナーで、編集のためにデータの可視化を開きます。
   詳細については、「インラインダッシュボードでのデータの可視化の編集」または「でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー」を参照してください。
2. 構成パネルの [プレゼンテーション] 領域で、[色] セクションを開きます。
3. [単色] タイプを選択し、[ルールを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。

色ルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	値を評価するときに使用される演算子 (「大なり」 や 「間」など)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[低く] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。
ルールの順序 (オプション)	ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つ目のルールで値 7 に青色を適用し、2 つ目のルールで 1 から 10 の値に赤色を適用するとします。7 を青色にするには、1 つ目のルールの [ルール オーダー] の値の方を大きくして、2 つ目のルールによって上書きされないようにします。 ルール オーダーを指定しない場合、カラーリング ルールは作成された順に適用されます。

5. [適用] を選択してルールを保存します。
   新しいルールを作成するか、 可視化デザイナーに戻ります。

ドメインセパレーションとデータの可視化

ドメインセパレーションはデータの可視化でサポートされており、データの可視化自体と表示されるデータに関連しています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

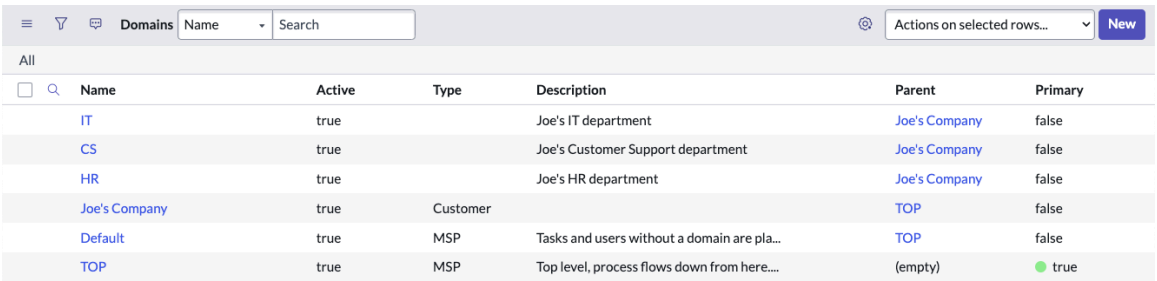
ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化におけるドメインセパレーションの仕組み

分離されたデータには、データ可視化デザインとデータ可視化コンテンツが含まれます。グローバルレベルで定義されたデータの可視化は、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。

- TOP ドメインで作成されたデータの可視化は、Joe's Company ドメインと Joe's Company の HR、CS、および IT の子ドメインのユーザーに表示されます。
- IT、CS、または HR の子ドメインのいずれかで作成されたデータの可視化は、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親 Joe's Company ドメインのユーザーに表示されます。
- 親 (Joe's Company) ドメインで作成されたデータの可視化は、そのドメイン内のユーザーのみが使用でき、子ドメインのユーザーは使用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

あるドメインでデータの可視化を作成して別のドメインにコピーする場合、データの可視化構造は同じままですが、データの可視化データはドメインに合わせて調整されます。たとえば、Active=true のインシデントテーブルのデータを使用したデータの可視化では、親グローバルドメイン内のユーザーにはすべてのアクティブなインシデントが表示されますが、IT ドメイン内のユーザーには IT インシデントのみが表示されます。

データの可視化リファレンス

参照トピックでは、データの可視化を操作するためのロール、変数、およびその他の情報について説明します。

データ可視化のデータソース

ワークスペースデータの可視化はそれぞれ、特定のデータソースを参照します。

データソース	利用可能	説明
テーブル	ベースシステム	テーブルデータソースは、データの現在のステータスをまとめて構成するデータベースレコードのコレクションです。テーブルの行はレコードに対応し、列はフィールドに対応します。データの可視化を構成するときは、多くの場合、テーブルとフィールドの両方を選択するか、フィールドごとにデータをグループ化します。テーブルデータのフィルタリングを選択すると、構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。
インジケーター	ベースシステム	インジケーターは重要業績評価指標 (KPI) とも呼ばれ、一定期間におけるテーブルデータの変更のレコードです。インジケーターを使用して傾向を判断し、将来を予測します。インジケーターは、アグリゲーションと条件をデータに適用します。たとえば、オープンインシデントの数インジケーターは、カウント集計をインシデントテーブルに適用し、その結果、多数のインシデントが生成されます。また、インシデントのステータスを [クローズ済み] または [キャンセル済み] であってはならず、[アクティブ] フィー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データソース	利用可能	説明
		ルドが True でなければならないという条件も適用されます。 多くの場合、インジケーターにはブレークダウンが適用されています。ブレークダウンは、インジケータースコアをフィルタリングするための定性的プロパティです。たとえば、インシデントデータの場合、インシデントの優先度、カテゴリ、およびアサイン先グループはすべて一般的に適用されるブレークダウンです。 詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	デフォルトでアクティブになっています。ただし、ビジュアル化にユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを含めるには、ServiceNow Store の PAR 統合アプリケーションにユーザーエクスペリエンスアナリティクスが必要です。	ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションは、Web アプリケーション、仮想エージェント、ServiceNow モバイル、サービスポータルアプリケーションの利用状況アナリティクスを監視するためのダッシュボードビューを提供します。測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスに関する一般的な情報については、「ユーザーエクスペリエンス分析」を参照してください。データの可視化に固有の詳細については、「 データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。
メトリックベース	別のサブスクリプションが必要であり、 ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	メトリックベースアプリケーションには、時系列データ (定期的にサンプリングされるデータ) が保存されます。保存されたデータをグラフ化するか、フローデザイナーを実行するトリガーで使用できます。メトリックベースは、大量の機械生成データを監視または処理するIoTベースのアプリケーションで作業する開発者を支援します。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。
Workflow Data Fabric	ベースシステム	ワークフローデータファブリックハブ は、データソースを参照し、接続を確立し、外部ソースからのデータへのアクセスを提供するデータファブリックテーブルを作成できるビューを提供します。 Workflow Data Fabric テーブルは、可視化を作成するときに他のテーブルと同じリストに表示されます。詳細については、「ワークフローデータファブリックハブ 」を参照してください。
ヘルスログアナリティクス	別のサブスクリプションが必要であり、 ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	ヘルスログアナリティクス アプリケーションは、ユーザーが影響を受ける前に IT の問題を防止するのに役立ちます。このアプリケーションによって、関連ログをトリアージして生データを分析できるようになり、その結果、問題の根本原因を特定できるようになります。詳細については、「ヘルスログアナリティクス 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データソース	利用可能	説明
		注: ヘルスログアナリティクスのデータ可視化は、UI ビルダーでのみ作成および編集できます。プラットフォームアナリティクス 可視化デザイナーまたはダッシュボードでは作成および編集できません。

インジケーター管理とパフォーマンスアナリティクス

インジケーターデータソースは、 パフォーマンスアナリティクス アプリケーションのアーキテクチャを通じて作成および管理されます。この機能は現在、 プラットフォームアナリティクス 管理の一部となっています。

ServiceNow AI Platform® を長期間使用している方は、パフォーマンスアナリティクス に精通しているかもしれません。パフォーマンスアナリティクス はインジケーター (KPI) を作成するためのアプリケーションです。これには、インジケーターのバックエンド、ブレークダウン、インジケーターとブレークダウンのソース、およびスケジュール設定済みデータ収集ジョブが含まれます。また、レスポンシブダッシュボードに表示される PA ウィジェットの コア UI フロントエンドと、インジケーターを詳細に調べるための アナリティクスハブ も含まれていました。

プラットフォームアナリティクスでは、古いパフォーマンスアナリティクスフロントエンドが置き換えられます。データの可視化は多くのデータソースに適用でき、PA ウィジェットとレポートの両方を置き換えます。新しいタイプのダッシュボードまたは UIB ページのいずれかに移動できます。KPI 詳細 は アナリティクスハブに置き換わります。

新規顧客の場合、またはプラットフォームアナリティクスに完全に移行した場合、パフォーマンスアナリティクスのバックエンド機能はプラットフォームアナリティクス管理下にグループ化されます。ただし、 パフォーマンスアナリティクス を参照する次の資料は、少なくともバックエンドに関して引き続き適用されます。

- トレーニング資料
- ServiceNow University つのコース
- ServiceNow コミュニティ 楨
- 製品ドキュメント

インスタンスをアップグレードしたが、まだ プラットフォームアナリティクス に完全に移行していない場合は、引き続きインスタンスのナビゲーション領域として パフォーマンスアナリティクス を使用できます。また、パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むサービスポータルページを管理するアドミニストレーターは、それらのページのコア UI パフォーマンスアナリティクスフロントエンドオブジェクトに引き続きアクセスできます。

データ可視化ロール

可視化デザイナーおよび可視化ライブラリにはいくつかのロールが関連付けられています。ロールによって、ユーザーが可視化で実行できることが制限されます。

ロール

任意のロール

任意のロールを持つユーザーは、編集権限を持つダッシュボードで可視化を作成できます。表示するデータにアクセスする必要がある。また、それらの可視化が共有されている場合は、ライブラリからダッシュボードに可視化を追加することもできます。また、可視化デザイナーから共有されている可視化をブックマークしたりエクスポートしたりすることもできます。共有権限で共有されている場合は、他のユーザーやグループと可視化を共有できます。可視化デザイナーで可視化を作成または編集するには、特定のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

viz_creator、itil、report_user

可視化デザイナーで可視化を作成し、データの可視化ライブラリで組織全体で利用できるようにします。共有されている可視化は削除できません。ライブラリ内の可視化を編集できるのは、ユーザーが作成した場合、または可視化が編集権限で共有されている場合のみです。グループおよびユーザーとのみ可視化を共有できます。

viz_admin、platform_analytics_admin

可視化デザイナーで可視化を作成し、データの可視化ライブラリで組織全体で利用できるようにします。可視化の編集、削除、共有、エクスポート、およびエクスポートのスケジュール設定を行います。ユーザーやグループだけでなく、ロールと可視化を共有できます。インスタンス上の任意のデータ可視化のエクスポートとメール送信をスケジュールできます。

report_admin、アドミン

viz_adminの権限を持ち、サービスポータルに関するレポートを含むすべてのコア UIレポートを管理することもできます。

par_scheduler

アクセスできる可視化のエクスポートとメール配信をスケジュールします。このロールを持つユーザーには、可視化を作成、編集、および共有する権限を付与する別のロールも必要です。

par_scheduler_admin

インスタンス上のデータの可視化のエクスポートとメール送信をスケジュールします。

データ可視化ロール

ユースケース	必要なロール
データの可視化を作成	データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。
データの可視化を編集	自分が作成した可視化、または編集権限で共有された可視化は、ライブラリにない場合は編集できます。ライブラリにある場合は、viz_creatorロールも必要です。 viz_admin 以上のインスタンスの可視化を編集します。
ライブラリからダッシュボードへの可視化の追加	任意のロール (可視化が共有されている場合)。 ライブラリから可視化を追加するviz_creator。
ダッシュボードで作成された可視化をライブラリに追加します	viz_creator以上とダッシュボードを編集する権限
ダッシュボードのデータの可視化をライブラリからリンク解除し、そのダッシュボードに対してローカルなバージョンを作成します。	可視化を含むダッシュボードを編集できる場合、任意のロール
で可視化を複製する 可視化デザイナー	viz_creator 以上
可視化をユーザーまたはグループと共有する	自分が作成した、または共有権限で共有されたデータの可視化を共有するための任意のロー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化ロール (続く)

ユースケース	必要なロール
	ル。viz_admin ロール以上では、インスタンスで任意のデータの可視化を共有できます。データの可視化を共有するときに、その可視化をさらに共有するための権限を渡すことができます。また、編集権限で共有するか、表示権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を引き継ぐこともできます。
データの可視化をロールと共有	viz_admin 以上
可視化のエクスポート	可視化デザイナーで可視化を表示できる任意のロール。
データの可視化のエクスポートをスケジュールする	編集可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールするには par_scheduler 以上。表示できるデータ可視化のエクスポートをスケジュールするには par_scheduler_admin 以上。
可視化を削除	任意のロール:自分が作成したデータの可視化を削除します。インスタンスのデータの可視化を削除するには、viz_admin以上。
ロール別にデータソースの可用性を制御する	アドミン
可視化インタラクションの構成	データの可視化を編集する権限がある場合は、任意のロール。ビューアーには、ドリルダウンしたデータを表示する権限が必要です。
データの可視化でサービスカタログ変数を使用する	viz_creator 以上
データの可視化の色分けルールの作成	データの可視化を編集する権限がある場合は、任意のロール。

自動翻訳

データ可視化プロパティ

データの可視化に表示できる内容を制限するいくつかのプロパティ。

これらの プラットフォームアナリティクス データ可視化プロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルで使用できます。

注: [システムのプロパティ] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「 sys_properties.list.do 」と入力します。

データ可視化のプロパティ

プロパティ	説明
com.glide.par.pae.drilldown_to_core_ui	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスにのみ適用されます。 true の場合、[テーブルの可視化のデータ チャートインタラクション に移動] で 、テーブルレコードの コア UI リストが開きま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	す。リストや可視化を開くリダイレクトは、一般的にリストや可視化 コア UI 開きます。 false の場合、テーブルの可視化のためのデータチャートインタラクション に移動 すると、テーブルレコードの プラットフォームアナリティクス リストが開きます。リストやチャートを開くリダイレクトは、一般的にリストやチャート プラットフォームアナリティクス 開きます。 詳細については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。 • タイプ：true | false (ブール値) • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_vis_config.data_source.can_select_indicator	[データの可視化] 構成パネルからインジケーターをデータソースとして選択できるロールを指定します（カンマ区切り形式）。空の場合、すべてのユーザーは、自身がアクセス権を持つインジケーターソースを選択できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：空 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_vis_config.live_refresh_rate_min_value	[データの可視化] 構成の [ライブリフレッシュレート] 設定の最小間隔を、秒単位で指定します。設定されていても、空または 0 の値にすることができます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 (秒) • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_viz.table_data.max_data_point	テーブルソースに基づくデータ可視化のデータポイントの最大数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：10000 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_viz.table_data.max_groups	[グループ化基準] を持つデータ可視化の maxNumberOfGroups プロパティで認識される最大設定。テーブルデータにのみ適用されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

データ可視化テーブル

次のテーブルは プラットフォームアナリティクス データの可視化に関連しており、スクリプトを使用してアクセスできます。

テーブル	説明
par_component	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化とフィルターライブラリ内のすべてのフィルターが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_component_permission	それぞれのライブラリ内のすべてのデータの可視化とフィルターに対するロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。
par_export	スケジュール済みのすべてのダッシュボードとデータ可視化のエクスポートをリストします。sys_metadata を拡張します。
par_export_job	ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするすべての試行の詳細を保存します。
par_export_visualization	スケジュール設定済みのすべてのデータ可視化エクスポートのエクスポートの詳細を保存します。par_exportを延長します。
par_metadata	各データ可視化タイプのメタデータを保存します。
par_notification	スケジュール済みダッシュボードとデータの可視化エクスポートのメール通知定義を一覧表示します。sys_metadata を拡張します。
par_notification_email	スケジュール済みダッシュボードおよびデータ可視化エクスポートメールのメタデータ (件名、メッセージなど) を保存します。par_notificationを延長します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_notification_email_recipients	スケジュール済みダッシュボードとデータ可視化エクスポートを含む通知メールを受信するグループとユーザーを保存します。メールの非メタデータ情報が含まれます。
par_visualization	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化が含まれます。par_componentを延長します。
par_visualization_permission	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化に対するロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。par_component_permissionを延長します。

でのフィルター プラットフォームアナリティクス

インラインまたはテクニカルダッシュボードでリストとデータの可視化をフィルタリングします。可能なデータ値、値が true か false か、または日付でフィルタリングします。

https://player.vimeo.com/video/1107575376?h=196e6f69ab&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

前のビデオでは、フィルター (この場合はテーブルデータの複数選択フィルター) を作成する方法を示しています。

インラインダッシュボードまたはテクニカルダッシュボードのいずれかのフィルターを作成できます。インラインダッシュボードは、インラインダッシュボードエディターで作成および入力されるダッシュボードです。テクニカルダッシュボードは UI ビルダー に入力され、より柔軟ですが、かなり多くの専門知識が必要になります。たとえば、テクニカルダッシュボードでは、リストまたはデータの可視化に適用するフィルターのカスタムイベントハンドラーを作成する必要があります。

注: プラットフォームアナリティクスダッシュボード内でユーザーエクスペリエンスアナリティクスフィルターを有効にすると、グローバルフィルターとして動作します。つまり、その効果は包括的であり、単一の可視化だけでなく、ダッシュボード全体のすべての可視化に影響を与えます。

注: ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーション用に保存できるカスタムフィルターのデフォルトの最大数は 500 です。カスタムフィルターの数は、uxa.query_builder.max_num_of_user_filter プロパティで変更できます。

互換モードで移行されたコア UI フィルターダッシュボードを編集する場合は、コア UI ツールで編集します。詳細については、「のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクス コア UI」を参照してください。

インラインダッシュボードのフィルター

インラインダッシュボードの場合は、インラインエディターを使用してダッシュボードに直接フィルターを作成するか、フィルターライブラリからダッシュボードにフィルターを追加します。いずれの場合も、特定のタブにフィルターを追加することも、ダッシュボード全体に適用することもできます。これらのアクションを実行するには、ダッシュボードを編集する権限のみが必要です。

analytics_filter_admin ロールを持っている場合は、フィルターデザイナーを使用してライブラリのフィルターを作成したり、既存のフィルターをライブラリにコピーしたりすることもできます。

フィルターは、フィルターのターゲットを含むデータの可視化およびリストコンポーネントに適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードに複数のフィルターを配置する場合は、フィルターグループを追加することを検討してください。フィルタグループでは、複数のフィルタを設定し、1 回のアクションで適用またはクリアし、データベースを 1 回呼び出すだけです。したがって、フィルターグループは、複数の個別のフィルターよりも効率的です。

フィルターを作成するときは、最初にフィルタータイプを指定します。それ以降の構成オプションはすべて、選択したタイプによって異なります。

重要: このドキュメントを使用する場合は、最初にフィルターを作成するためのトピックを選択してください。フィルターを作成してフィルタータイプを選択したら、該当するタイプのフィルターを設定するための適切なトピックに従ってください。

フィルター値の保持

インラインダッシュボードでは、フィルターはログインやページの更新後も値を保持します。ただし、これらの値は、フィルター構成が編集されると保持されなくなります。その後、フィルターは、次回のログイン時またはページの更新時に、すべてのユーザーのデフォルト値に戻ります。UI ビルダー で作成されたテクニカルダッシュボードおよびページでは、フィルターは、ログインまたは更新後は値を保持しません。例外については、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

インラインダッシュボードをエクスポートするときにフィルター値を保持することもできます。ダッシュボードを Microsoft PowerPointにエクスポートすると、フィルター値が自動的に適用されます。ダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、フィルター値を保持するかどうかを選択できます。テクニカルダッシュボードをエクスポートするときにフィルター値は保持されません。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート」を参照してください。

ドメインフィルター

ドメインセパレーションされたインスタンスでは、ドメイン別に可視化をフィルタリングできます。ドメインフィルタリングでは別のコンポーネントを使用します。詳細については、「ドメインフィルターの作成」を参照してください。

インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加

フィルターを作成するか、フィルターライブラリからフィルターを選択します。フィルターを作成するときは、名前を付けて、単一選択、複数選択、日付、または true/false フィルターを作成するかどうかを選択します。

始める前に

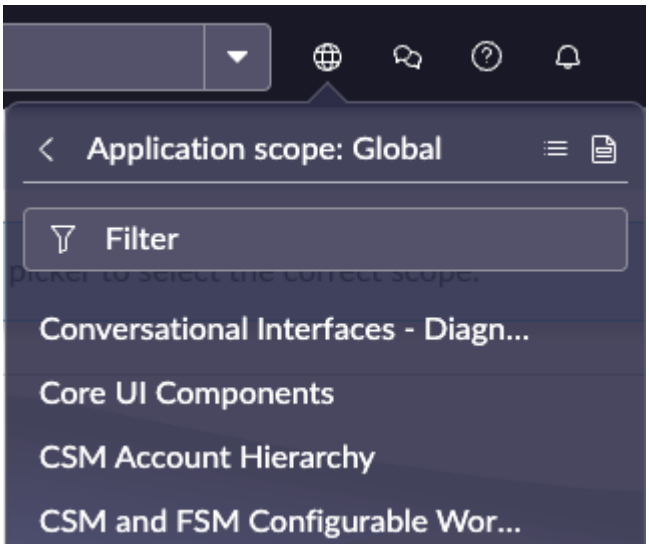
必要なロール：dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

手順

1. オープン すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけ、編集のために開きます。
   ダッシュボードがインラインエディターにある場合は、[編集] ボタンが表示されます。テクニカルダッシュボードの場合は、[**UI** ビルダーで編集] ボタンが表示されます。後者の場合は、 のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 UI ビルダーに移動します。
3. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



4. [編集] を選択して編集モードに入ります。
5. [新しい要素を追加] を選択します。
6. [フィルター] を選択してから、新しいフィルターまたは保存済みのフィルターを選択します。
   - フィルターを最初から作成するには、[新しいフィルター] を選択します。
   - ライブラリからフィルターを再利用するには、[**Saved filter** (保存済みフィルター)] を選択します。

   [新しいフィルター] を選択すると、選択したフィルターの [構成] パネルが開きます。[保存済みフィルター] を選択すると、既存のフィルターを選択してダッシュボードに追加できます。
7. 新しいフィルターを作成する場合は、フィルター処理するデータの種類を選択します。

   その他の構成オプションは、選択したデータタイプによって異なります。フィルタータイプを選択したら、リンク先ページの指示に従って構成を続行します。

   - 単一の選択:選択肢のセットからの単一の値。[Single select (単一選択)] はデフォルトのフィルターの種類です。
   - 複数選択:優先度「高」や「重大」など、一連の選択肢から複数の値
   - 日付:カレンダー日付。時間も設定できます。ページまたはタブ上のすべてのインジケーターデータに自動的に適用されます。
   - True/False:フィールド値が true か false か。また、値が 2 つしかない バケットグループ に基づくインジケーターブレークダウンでも使用できます。「true」と「false」のラベルはカスタマイズできます。ビューアーは 選択 (空) を選択して選択をクリアできます。
8. フィルター要素を選択します。
   要素オプションはフィルタータイプによって異なりますが、ピル、チェックボックス、先行入力などがあります。
9. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ユーザーに表示される名前です。
10. フィルターを配置します。
    ダッシュボードにタブがある場合、フィルターをタブに配置すると、そのタブの可視化にのみ影響します。ダッシュボードにタブがない場合、またはフィルターをタブの上に配置すると、ダッシュボード内のすべての可視化に影響します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

注: フィルター値は、ユーザーセッション中も保持されます。ビューアーがダッシュボードを再度開くと、ダッシュボードのフィルターに対して最後に選択した値が事前に選択されます。この機能は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用され、テクニカルダッシュボードには適用されません。

フィルターデザイナーでのフィルターの作成

フィルターデザイナーで プラットフォームアナリティクス フィルターを作成し、ライブラリに追加して再利用します。

始める前に

注: フィルターライブラリに保存されたフィルターは、テクニカルエディター (UI ビルダー) ではアクセスできません。

必要なロール:analytics_filter_admin、admin

手順

1. フィルターライブラリにフィルターを追加するには、 プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > フィルター をクリックし、[新規] を選択します。
   フィルターデザイナーが開きます。
2. フィルタリングするデータのタイプを選択します。

   その他の構成オプションは、選択したデータタイプによって異なります。

   - 単一の選択:選択肢のセットからの単一の値。[Single select (単一選択)] はデフォルトのフィルターの種類です。
   - 複数選択:優先度「高」や「重大」など、一連の選択肢から複数の値
   - 日付:カレンダー日付。時間も設定できます。ページまたはタブ上のすべてのインジケーターデータに自動的に適用されます。
   - True/False:フィールド値が true か false か。また、値が 2 つしかない バケットグループ に基づくインジケーターブレークダウンでも使用できます。
3. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ユーザーに表示される名前です。
4. フィルター要素を選択します。
   要素オプションはフィルタータイプによって異なりますが、ピル、チェックボックス、先行入力などがあります。
5. フィルターソースを選択します。
   次のオプションが含まれます。

   テーブル

   フィルタリングするテーブルを選択します。

   インジケーター

   フィルターとして使用するブレークダウンを選択します。

   ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

   フィルターを適用するユーザーエクスペリエンスアナリティクスプロパティを選択します。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスでのデータのフィルタリング」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
保存すると、フィルターはライブラリに保存され、すべてのユーザーが自分のダッシュボードに追加できます。

フィルターグループの作成

同時に適用できる一連のフィルターを作成します。複数のフィルターがある場合、それらをまとめて適用する方が、個別に適用するよりも速くなります。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限が共有されている場合は任意のロール。

このタスクについて
ダッシュボード上の多くの可視化に適用されるフィルターが多数ある場合、すべてのフィルターを適用するのに時間がかかることがあります。値を設定した各フィルターは、 ServiceNow AI Platformを個別に呼び出します。フィルターをグループに整理し、1 回の呼び出しで複数のフィルターを一度に適用することで、このプロセスの速度を上げることができます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ダッシュボード.
2. フィルターグループを追加するダッシュボードを見つけて開くか作成します。
   テクニカルダッシュボードはサポートされていません。フィルターグループは、インラインエディターのダッシュボードにのみ追加できます。詳細については、「ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。
3. [新しい要素を追加] を選択し、[フィルターグループ] 要素を追加します。
4. [**UI** 要素] セクションで、フィルターグループの外観を構成します

UI 要素設定

オプション	説明
フィルターグループラベルを表示	オンにすると、フィルターグループのラベルが表示されます。 デフォルト:オン
フィルターグループラベル	ユーザーに表示されるフィルターグループのわかりやすい名前。[フィルターグループラベルを表示] がオンの場合にのみ使用できます。 デフォルト:ラベル
フィルターグループレイアウト	フィルターを並べて表示するには、[水平] を選択します。列にフィルターを表示するには、[垂直] を選択します。 デフォルト:水平
フィルター間隔	フィルターの間隔を選択します。 オプション:S、M、L デフォルト値:S

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ピルに値を表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターについて、選択したフィルター要素がピル内に表示されます。 デフォルト:オン
境界線を表示	オンにすると、フィルターグループの周囲に線が表示されます。 デフォルト:オン
ペア	オンにすると、フィルターグループの周囲のパディングが削除され、よりコンパクトな配置が可能になります。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。 デフォルト:off
丸い角を表示	オンにすると、グループの境界線および半径が、ピルの境界線および半径と一致します。[ピルに値を表示] がオフで [境界線を表示] がオンの場合にのみ使用できます。 デフォルト:off

5. フィルターを追加します。
ドメインを除く任意のタイプのフィルターを追加できます。フィルター構成は、フィルターコンポーネントの場合と同じです。
   - 単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成
   - True/False フィルターの設定
   - インラインエディターでの日付フィルターの設定

   各フィルターの構成が完了したら、[グループ構成に戻る] を選択します。

6. 変更する追加設定を構成します。

追加の設定

オプション	説明
グループの適用を表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめて適用できます。無効にすると、グループ内の個々のフィルターへの変更がすぐに適用されます。 デフォルト:オン
グループのクリアを表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめてクリアできます。 デフォルト:オン
グループリセットを表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめてクリアできます。

自動翻訳

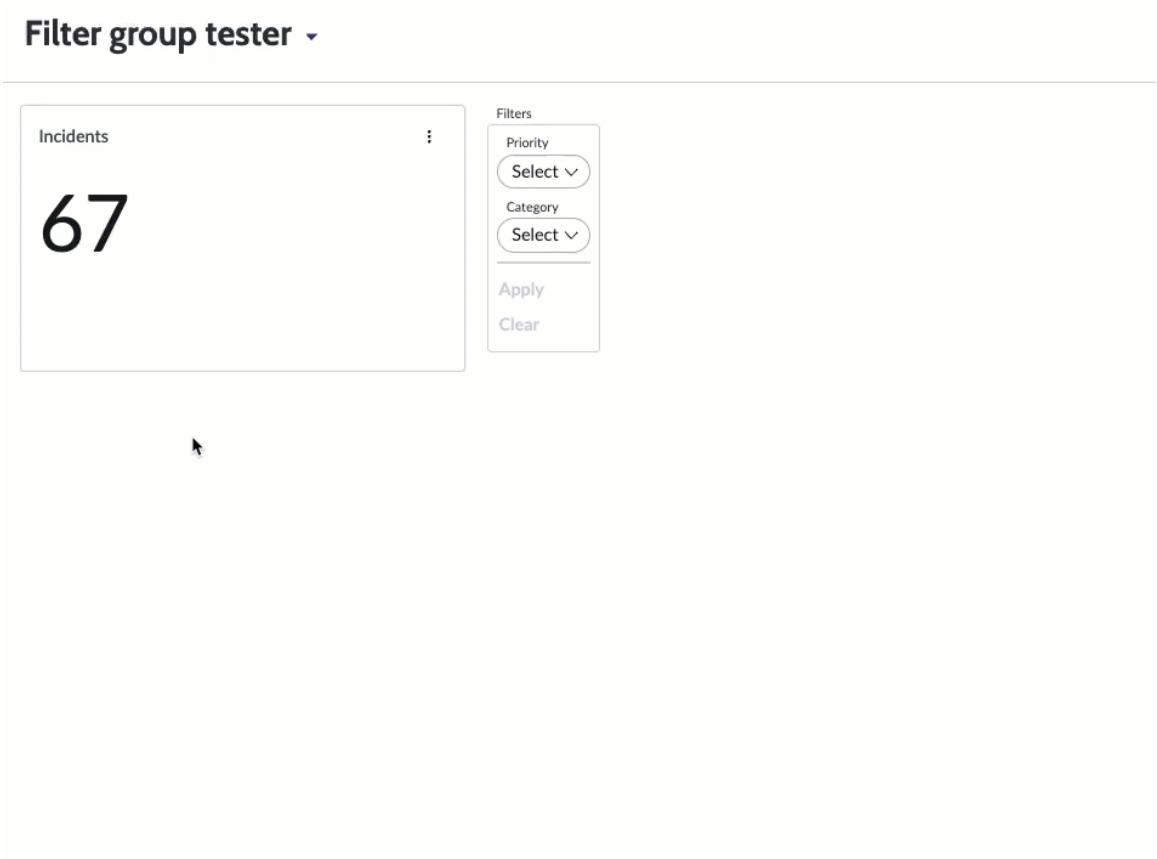
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	デフォルト:off
クリアとリセットを組み合わせる	オンにすると、[クリアしてリセット] が [その他のアクション ⋮ メニューに移動します。 [グループリセットを表示] がオンの場合にのみ使用できます。
セパレーターを表示	オンにすると、ダッシュボード上のフィルターと他のコンテンツの間に線が表示されます。 デフォルト:オン
フィルターアイテムの最大幅 (ピクセル)	グループ内の各フィルターに許可されるピクセル数を定義します。この制限よりも幅の広いテキストは、改行に折り返されます。

Example: フィルターグループの使用例

次の例は、データの可視化に適用されている 2 つのフィルターのグループを示しています。ここでは、わかりやすく簡潔にするために、簡単なユースケースを使用しています。実際には、複数の可視化とフィルターを含むフィルターグループを使用します。

簡易フィルターグループ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 UI ビルダー

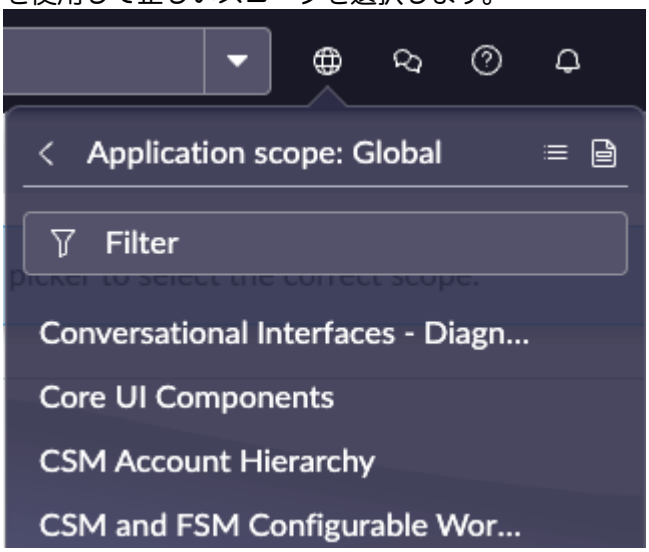
テクニカルダッシュボードでデータの可視化と簡易リストをフィルタリングするには、 UI ビルダーにフィルターコンポーネントを追加し、イベントハンドラーを構成します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけ、編集のために開きます。
   ダッシュボードがテクニカルダッシュボードの場合は、[**UI** ビルダーで編集] ボタンが表示されます。インラインエディターにある場合は、[編集] ボタンが表示されます。後者の場合は、 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加に移動します。
2. ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



3. [**UI** ビルダーで編集] を選択します。
4. コンポーネント の追加と構成 で説明されているように、レイアウト要素とフィルターコンポーネントを追加します。
5. 開発者サイト のフィルターコンポーネントリファレンス に記載されているように、フィルターを設定します。
   この参照には、各構成フィールドの説明と、 UI ビルダー ページ全般に適用される一般的な使用情報が含まれています。

> **重要:** イベントハンドラーとページスクリプトを設定して、フィルターを関連するデータの可視化またはリストにリンクしてください。

データの可視化をフィルターとして機能させる

データの可視化を含むダッシュボードでフィルターとして機能するように設定できます。テーブルまたはインジケーターデータのみをフィルタリングできます。

始める前に

データの可視化をフィルターとして使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- 可視化は、円/ドーナツまたは水平/垂直棒グラフタイプのみにすることができます。
- 可視化では、テーブルまたはインジケーターデータのみを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 可視化は、インラインエディターで作成されたダッシュボード上にある必要があります。可視化をテクニカルダッシュボードやその他の UI ビルダー ページのフィルターとして使用することはできません。
- 可視化は、期間に基づく値でグループ化することはできません。

必要なロール:任意の内部ロールと、可視化を使用してダッシュボードを編集する権限

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. データの可視化を含むダッシュボードを見つけて開きます。
3. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
   [編集] ボタンが表示されない場合
4. ダッシュボードでフィルターとして使用する円グラフ/ドーナツグラフまたは棒グラフの可視化を検索します。
5. 可視化の構成パネルを開きます。
6. [チャートインタラクション] セクションを見つけます。
7. [フィルターとして適用] を選択します。
8. 保存して編集モードを終了します。

関連トピック

データ可視化でのグラフのインタラクション

円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成

水平または垂直バーのデータ可視化を作成

単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成

ユーザーが、インシデントの優先度など、一連の選択肢から 1 つ以上の値でダッシュボードタブをフィルタリングできるようにします。単一または複数の選択フィルターをカスケード内の別のフィルターに従うようにすることができます。

始める前に

重要: この手順では、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、[単一選択] または [複数選択] フィルタータイプを使用してダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加」、「 フィルターデザイナーでのフィルターの作成」、または「 フィルターグループの作成」を参照してください。

必要なロール:インラインダッシュボードエディターで、次の操作を行います。 dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

フィルターデザイナーで (ライブラリー > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、admin

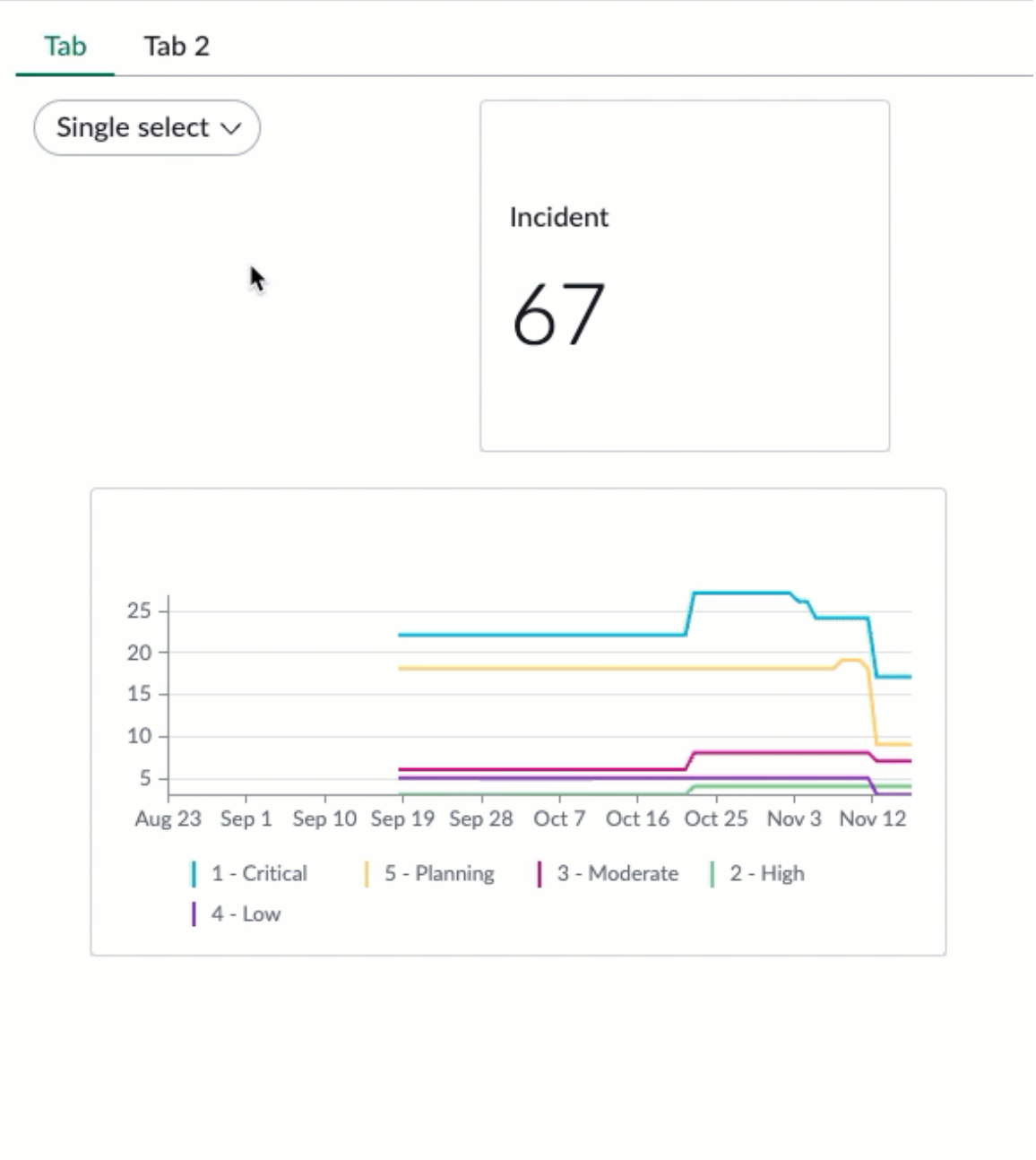
このタスクについて
フィルターは、データの可視化と簡易リストに適用されます。フィルターを特定のデータの可視化に適用するには、その可視化と同じテーブルまたはインジケーターのブレークダウンに基づいている必要があります。リストに適用するには、リスト内のフィールドをフィルタリングする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ付きダッシュボードでは、フィルターを単一のタブ内のアイテムまたはダッシュボード全体に適用できます。フィルターを単一のタブに適用するには、そのタブにフィルターを追加します。フィルターをダッシュボード全体に適用するには、タブの上にフィルターを追加します。

単一選択フィルターを使用すると、ユーザーは 1 つの値でアイテムをフィルタリングできます。



複数選択フィルターを使用すると、ユーザーはフィールドまたはブレークダウンの複数の値を選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加 」または「 フィルターデザイナーでのフィルターの作成」の説明に従って、フィルターを作成し、単一選択または複数選択フィルタータイプを選択します。
2. [フィルターソースタイプ] で、[テーブル]、[インジケーターブレークダウン]、または [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ソース] を選択します。
   メトリックベース および Workflow Data Fabric テーブルは [テーブル] で使用できます。
3. ソースタイプに応じて、フィルターソースを指定します。

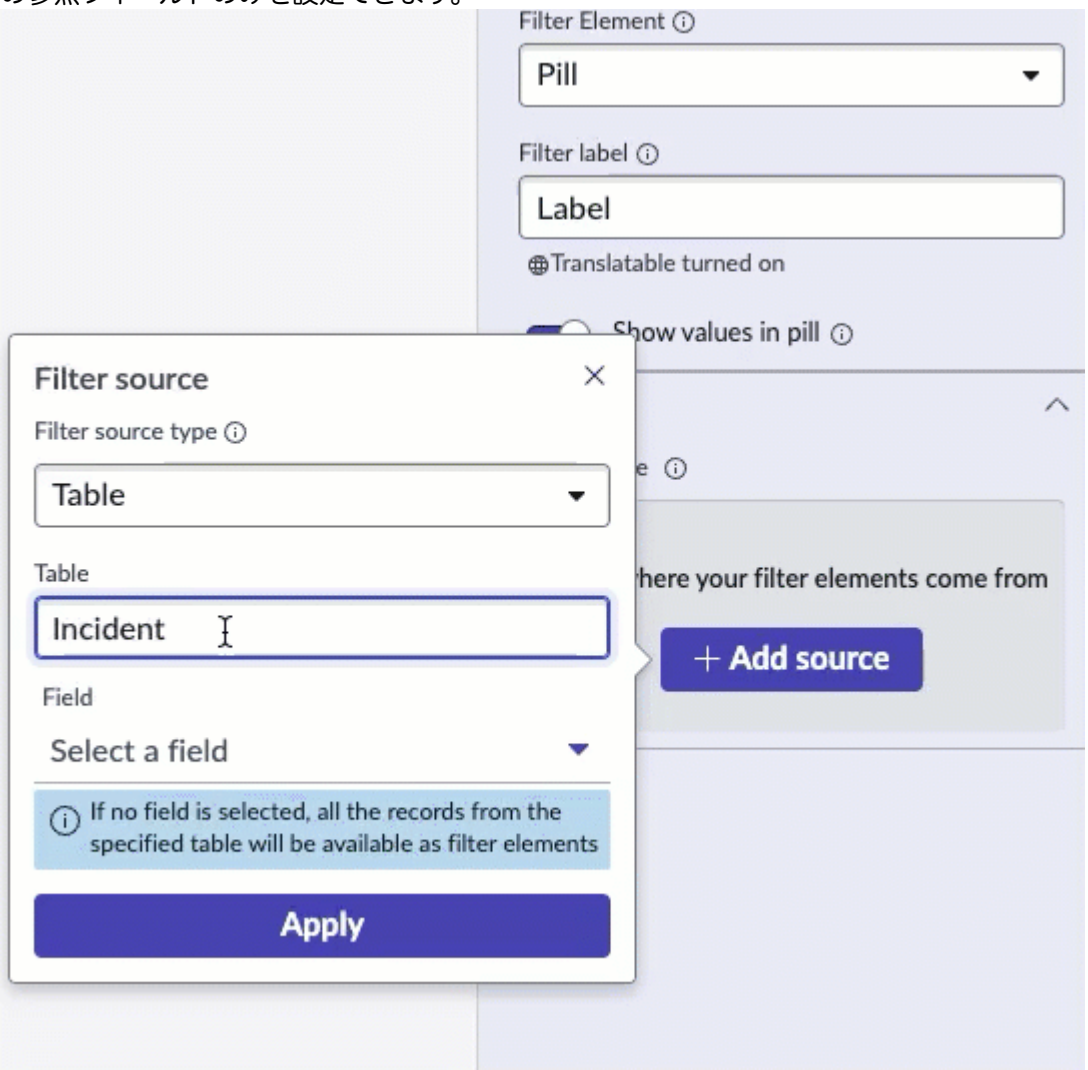
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [Table (テーブル)] タイプを選択した場合は、テーブルとフィールドを選択します。

  注:

  - 参照フィールドと選択リストのあるフィールドのみを選択できます。テーブルに非参照文字列フィールドと数値フィールドしかない場合、選択できるフィールドはありません。
  - フィールドを選択しない場合は、そのテーブルまたはそのテーブルを指す参照フィールドのデータしかフィルター処理できません。たとえば、フィルターソースとして Company (会社) テーブルを選択した場合、Company (会社) テーブルまたは会社を指す参照フィールド (Incident.Caller.Company や Incident.Location.Company など) のみをフィルター処理できます。
  - メトリックベーステーブルを選択する場合は、フィールドを選択しないでください。
  - 別のテーブルへの参照フィールドであるフィールドを選択すると、フィルターソースはリセットされ、フィールドが選択されていないテーブルを参照します。フィルタリングするデータは、最初に選択した参照フィールドに自動的に設定されます。フィルタリングする追加データとして、フィルターソースのテーブル、またはそのテーブルを指す他の参照フィールドのみを設定できます。



- [Indicator Breakdown (インジケーターブレークダウン)] タイプを選択した場合は、インジケーターブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 少なくとも 1 つのインジケーターで使用されているブレークダウンのみを選択できます。
- データの可視化でのスクリプト化されたブレークダウンはサポートされていません。
- インジケーターに同時に適用できるブレークダウンレベルは 2 つのみです。ダッシュボードでは、これは 2 つのフィルター、または 1 つのフィルターと、データの可視化で指定されたブレークダウンです。ただし、このインジケーターでデータスナップショットが有効になっている場合は、この制限は適用されません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

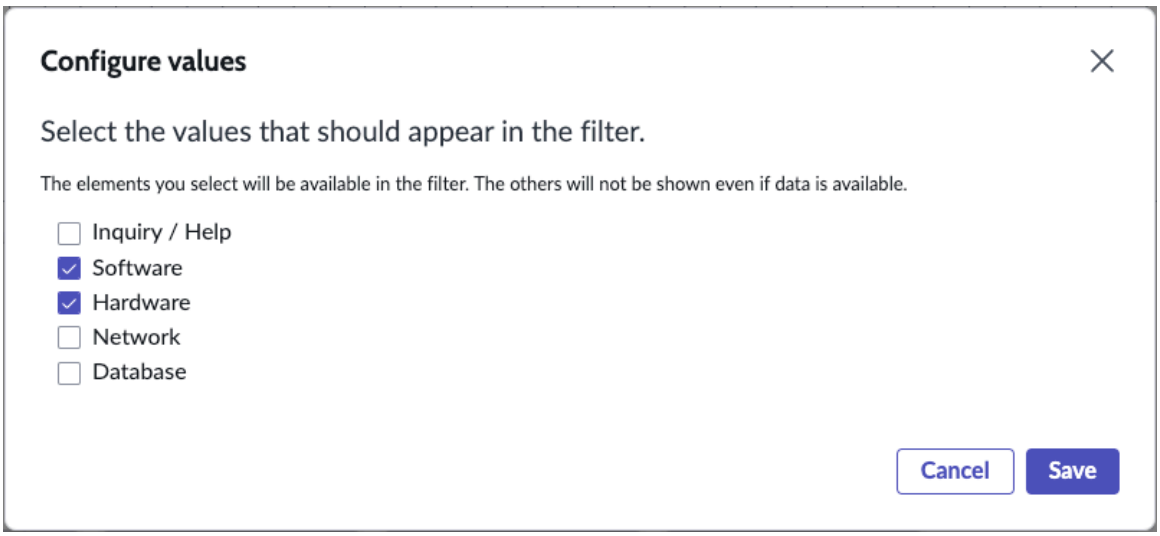
  - ユーザーエクスペリエンスアナリティクスフィルターを選択した場合は、UX アナリティクスプロパティを選択します。

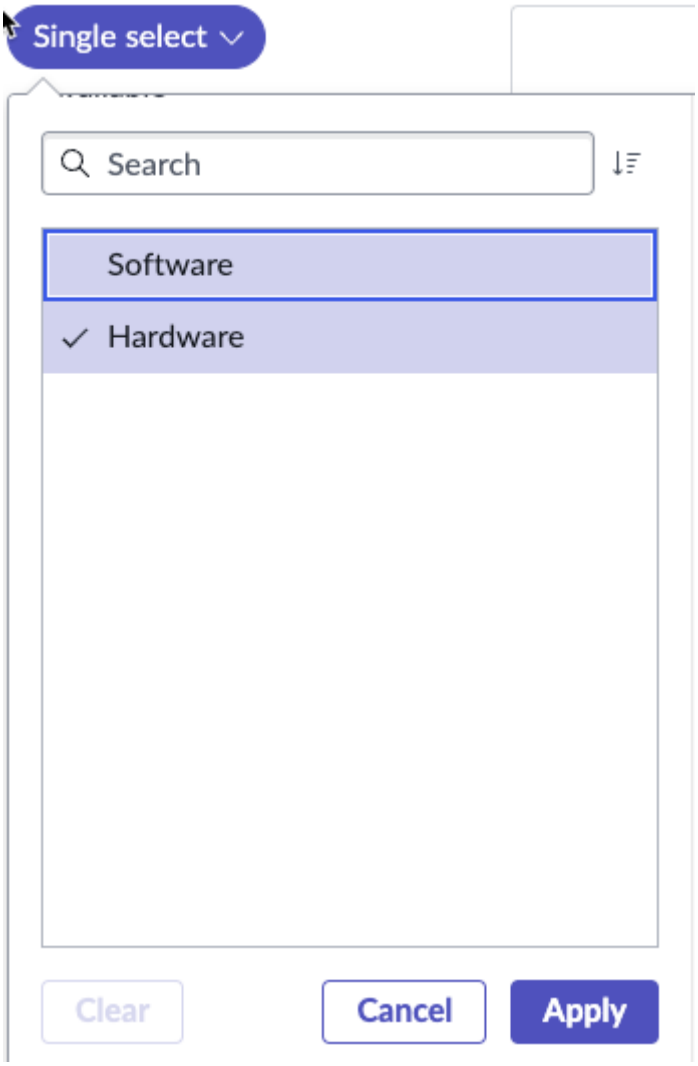
4. オプション: ランタイムユーザーがフィルター処理として選択できる値を制限するには、[値の構成 (数値)] を選択します。
   使用可能な値のリストが開きます。値をクリアして、ランタイムユーザーがフィルタリングできないようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行時の値リストと結果の選択肢を構成





自動翻訳

注: フィルターソースがテーブルへの参照である場合、構成する値のリストはありません。代わりに、条件を作成してフィルターの値を設定できます。関連リストの条件を設定することもできます。

5. オプション: フィルターのデフォルト値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーがダッシュボードを開くと、ダッシュボードはこれらの値を適用します。

6. オプション: フィルタリングするデータを選択します。
フィルターする一部のデータは、フィルターソースに応じて自動的に選択されます。たとえば、Incident.Category ブレークダウンソースからカテゴリインジケーターブレークダウンを選択した場合、フィルターはインシデントテーブルの [カテゴリ] フィールドと、カテゴリブレークダウンを含むインジケーターを自動的にフィルタリングします。自動データ選択を編集したり、フィルターするデータを追加したりできます。

   注: フィルターソースの選択は、フィルタリングできるデータに影響を与える可能性があります。詳細については、「ステップ 3」を参照してください。

7. [フォローするその他のフィルター] で、条件が満たされている場合は、現在のフィルターが階層内でフォローする別のフィルターを選択してカスケードを作成できます。

   注: [他のフィルター] は、 ダッシュボードでフィルターを構成する場合にのみ設定できます。フィルターデザイナーからは設定できません。

   別のフィルターに従うようにフィルターを設定すると、後続のフィルターで使用できる選択肢は、後続のフィルターで行われた選択肢によって制限されます。詳細については、 マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルター例を参照してください。

   条件:

   - Pill がそのフィルターの UI 要素である場合にのみ、フィルターに従うことができます。
   - カスケードフィルターをサポートするのは、テーブルとインジケーターのブレークダウンフィルターのみです。
   - 従うフィルターは、次のフィルターのフィルターソースと同じテーブルのデータをフィルターする必要があります。

   注:

   - 一部のフィルターには多対多の関係があり、両方のフィルターの値はもう一方のフィルターの複数の値と一致する可能性があります。このようなフィルターの 1 つは、接続テーブルを介してのみ別のフィルターに従うことができます。これらのカスケードフィルターを設定できるのはアドミンのみです。詳細については、「多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定する」を参照してください。
   - 2 つのフィルターを互いに続けることができますが、追加の要件があります。詳細については、「2 つのフィルターが互いに続く条件」を参照してください。

8. [ソートの方向] を選択します。
[昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。
9. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
10. オプション: 最初および各ページ更新時にロードされる要素の最大数を設定します。
デフォルト値は 500 です。
11. [保存] を選択します。

結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

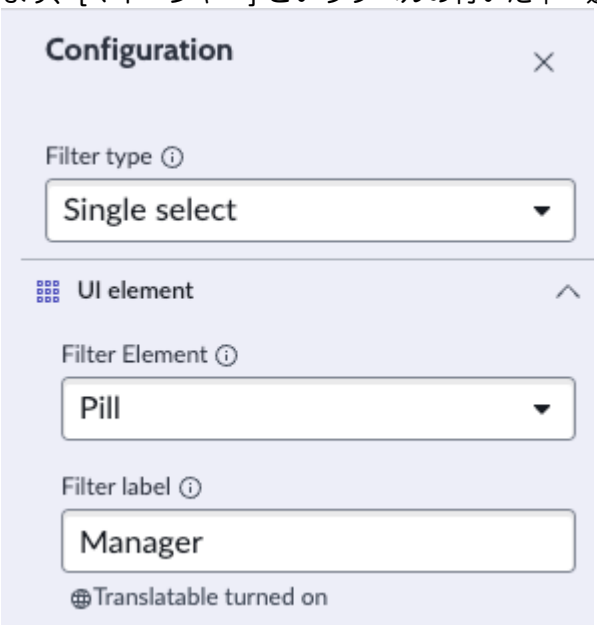
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

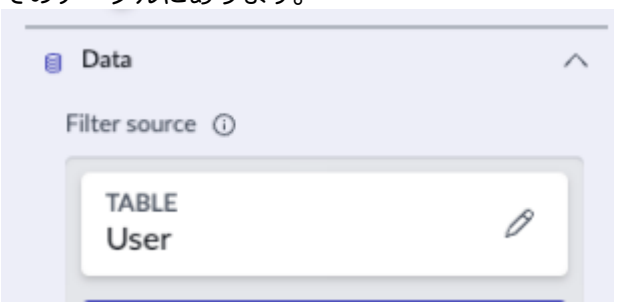
Example: マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルター

この例では、ユーザーがマネージャー別またはアサイン先グループ別にインシデントをフィルタリングできるようにします。また、2 番目のフィルターで使用可能なアサイン先グループを、最初のフィルターでマネージャーが選択されているアサイン先グループに制限するとします。

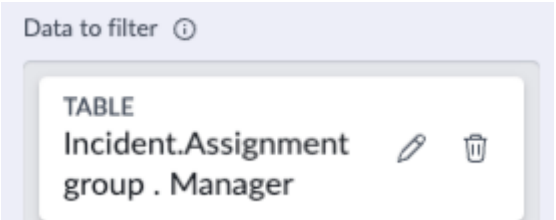
1. インシデント [incident] テーブルのインシデント数の単一スコアデータ可視化など、インシデントのデータの可視化を作成します。
2. アサイン先グループマネージャーでインシデントをフィルタリングするためのフィルターを作成します。
   a. まず、[マネージャー] というラベルの付いた単一選択フィルターを作成します。



   b. データソースとしてユーザー [sys_user] テーブルを選択します。[マネージャー] フィールドはそのテーブルにあります。



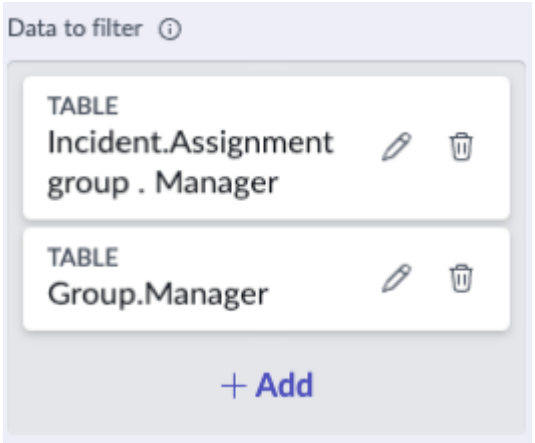
   c. インシデントテーブルデータのデータ可視化にこのフィルターを適用するため、[フィルターするデータ] フィールドを編集して、インシデントテーブルとドット連結された参照フィールドのアサイン先グループを指すようにします。支配人。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

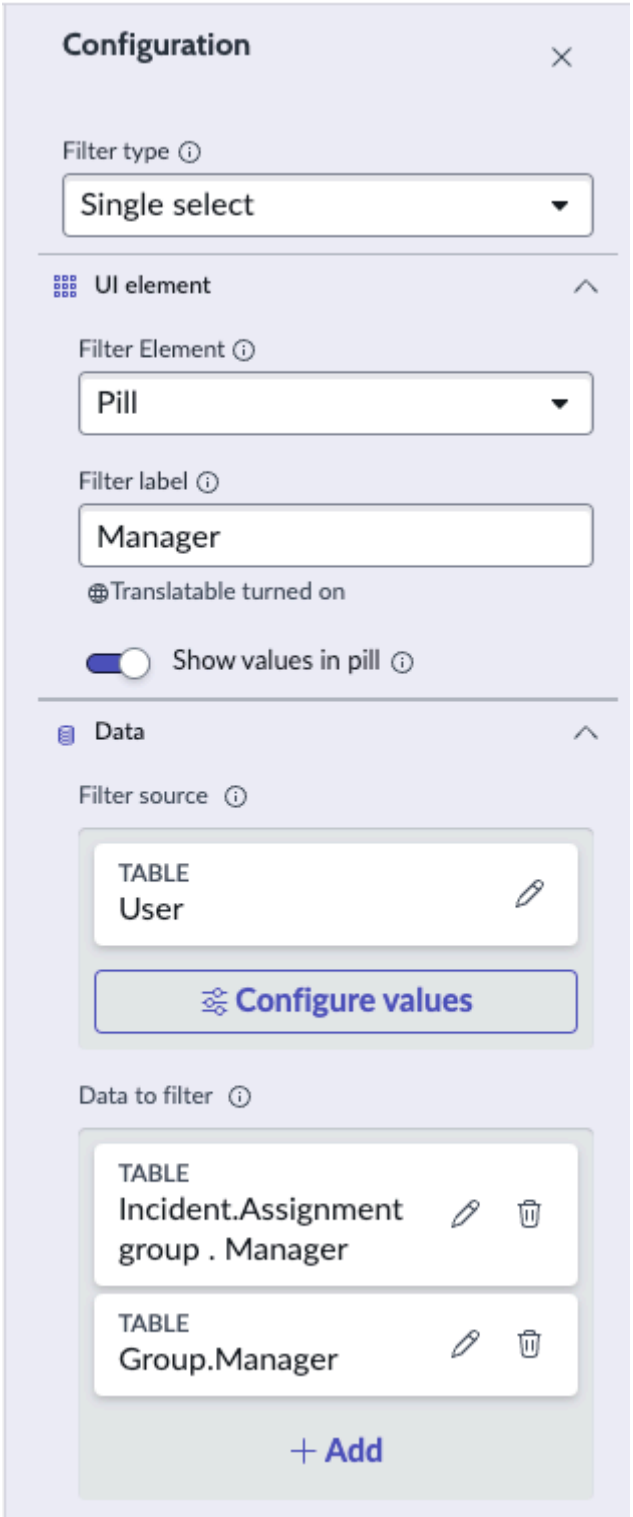
d. [フィルタリングするデータ] で [追加**+**] を選択し、グループ [sys_user_group] テーブルに [マネージャー] フィールドを追加します。このフィールドは、後でカスケードフィルターを設定するときに必要になります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マネージャーフィルターの構成が完了しました

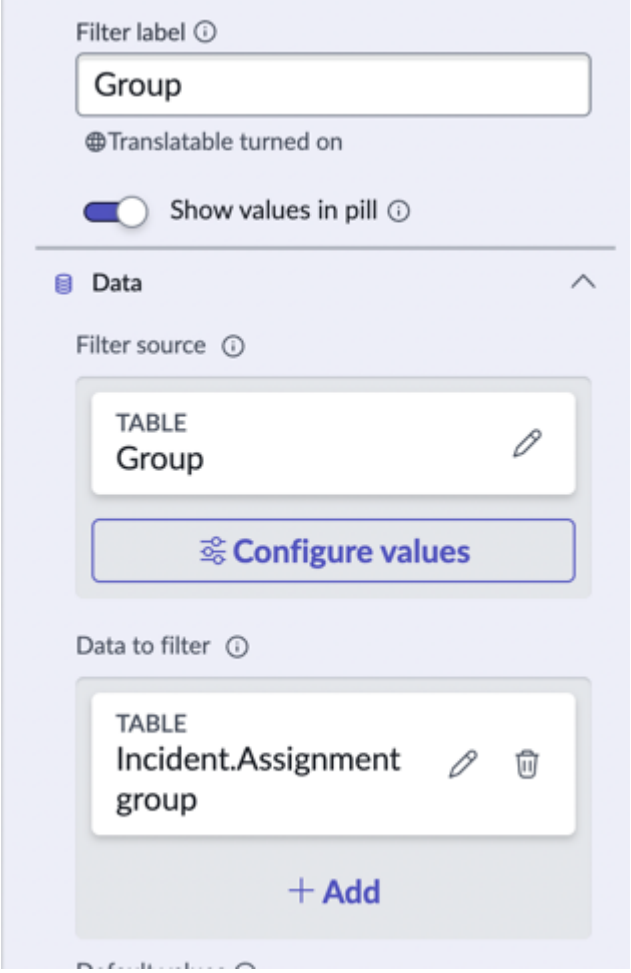


3. アサイン先グループ別にインシデントデータをフィルタリングするためのフィルターを作成します。
   a. まず、「グループ」というラベルの付いた複数選択フィルターを作成します。
   b. 次に、インシデント [incident] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドをフィルターソースとして選択します。

自動翻訳

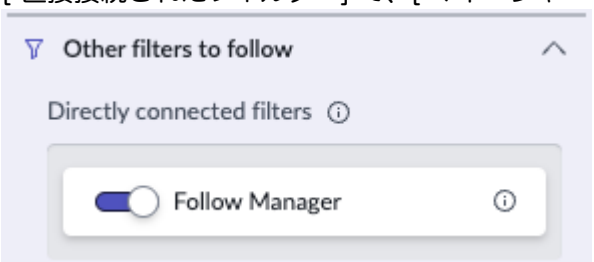
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アサイン先グループはグループ [sys_user_group] テーブルを参照する参照フィールドであるため、フィルターソースは自動的にグループテーブルにリセットされます。フィルタリングするデータは Incident.Assignment Group のままです。



4. グループフィルターの構成パネルを下にスクロールして、 フォローする [その他のフィルター] に移動します。

5. [直接接続されたフィルター] で、[マネージャーのフォロー] を選択します。



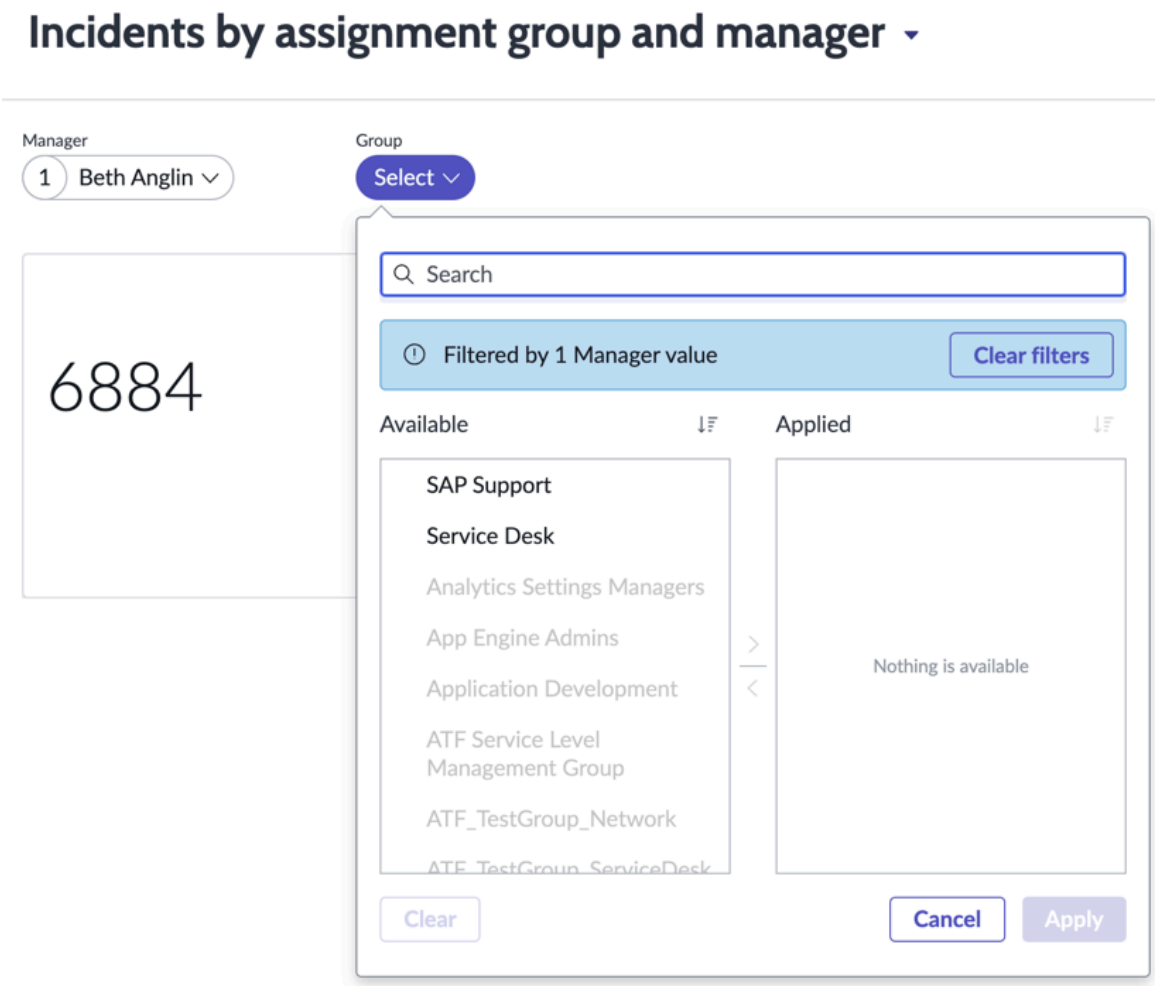
この選択肢は、インシデントテーブルだけでなくグループテーブルのデータをフィルタリングするようにマネージャーフィルターを設定したために表示されます。カスケードフィルターを使用するには、従うフィルター (この場合はマネージャー) が、次の処理を行うフィルターと同じテーブル (この場合は [グループ] テーブル sys_user_group) のデータをフィルタリングする必要があることに注意してください。

6. 保存して編集モードを終了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その後、ダッシュボードビューアーが [マネージャー] フィルターで [Beth Anglin] を選択します。グループフィルターでアサイン先グループを選択すると、Beth Anglin がマネージャーであるグループのみが使用可能になります。



次のタスク

必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「ダッシュボードでのプラットフォームアナリティクスフィルターの編集」を参照してください。

関連トピック

- プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定する

場合によっては、フィルターのペアの値が互いの複数の値を参照できます。そのようなフィルターの 1 つが別のフィルターに続くには、接続テーブルを通過する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ほとんどの場合、フィルターは 1 対 1 または 1 対多の関係で別のフィルターに従います。後者の場合、フィルターソースは参照フィールドです。ダッシュボードを編集できるユーザーは誰でも、直接接続して、そのようなフィルターの 1 つを設定して、そのダッシュボード上で別のフィルターをフォローすることができます。analytics_filter_admin ロールを持つユーザーは、フィルターライブラリでこのようなフィルターを作成することもできます。詳細については、「 単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成」の例を参照してください。

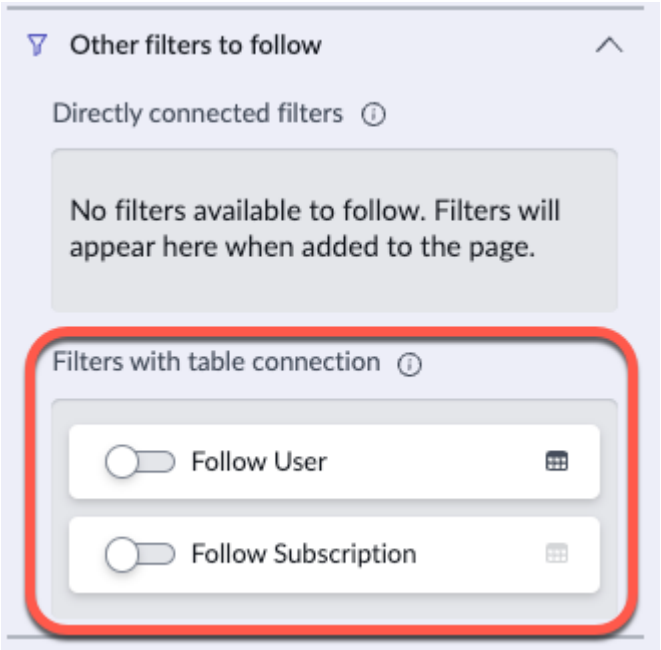
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各フィルターの値が他のフィルターの複数の値を参照できる場合 (多対多の関係)、接続テーブルを選択する必要があります。この接続テーブルには、2 つのフィルター間で考えられるすべての参照について一意のレコードがあります。2 つのテーブル間の接続テーブルは、コレクション [sys_collection] および多対多リレーション定義 [sys_m2m] テーブルで定義されます。これらのテーブルにアクセスできるのはアドミンのみです。

接続テーブルは、 ベースシステム または プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションに含まれるすべての関連テーブルに対して事前定義されています。ただし、多対多の関係でカスタムテーブルを使用する場合は、多対多の定義テーブルでその関係を定義する必要があります。詳細については、「多対多のテーブル関係の作成」を参照してください。

手順

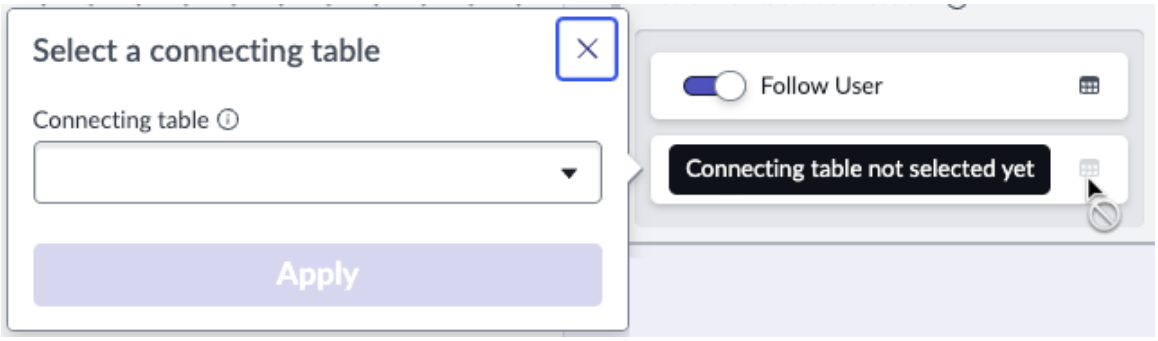
1. 関連するダッシュボードに少なくとも 2 つまたは複数の選択フィルターを追加します。
   ダッシュボードにフィルターを追加する方法の詳細については、「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加」を参照してください。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. 他のフィルターに従うフィルターの設定メニューを開きます。
   フィルターがダッシュボード上の他のフィルターに多対多の関係で従うことができる場合、これらのフィルターは [従うべきその他のフィルター] セクションの [テーブル接続を持つフィルター] に一覧表示されます。



4. このフィルターがフォローするフィルターのフォローをオンにします。
5. そのフィルターに対して接続テーブルが選択されていない場合は、接続テーブルを選択するためのダイアログが開きます。
   接続テーブルがまだ選択されていない場合、トグルの [テーブル] アイコンはグレー表示されます。

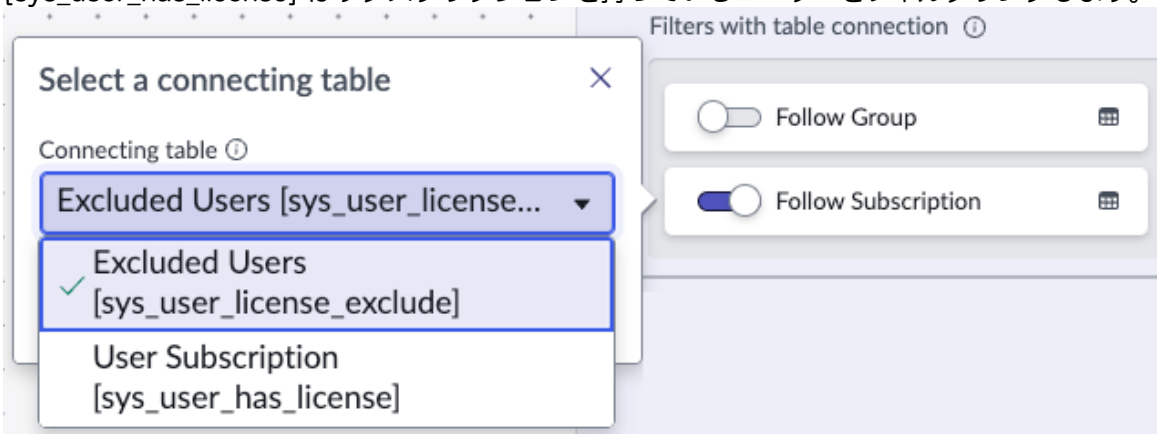
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



接続テーブルを設定した後、テーブルアイコンを選択して変更できます。

Example
複数の接続テーブルから選択できる場合は、接続テーブルの名前によって、どちらを選択するかが示唆されます。たとえば、除外されたユーザー [sys_user_license_exclude] はサブスクリプションを持っていないユーザーをフィルタリングし、ユーザーサブスクリプション [sys_user_has_license] はサブスクリプションを持っているユーザーをフィルタリングします。



6. ダッシュボードを保存し、編集モードを終了します。

2 つのフィルターが互いに続く条件

2 つのフィルターを設定して相互にフォローすることができます。ただし、いくつかの技術的な制限が適用されます。

単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成で説明されているように、2 つの単一/複数選択フィルターは、直接接続を介して相互にフォローできます。このトピックで説明されている条件は、両方のフィルターに適用されます。たとえば、両方のフィルターで、もう一方のフィルターソースのデータをフィルタリングする必要があります。

多対多の関係で別のフィルターに従うようにフィルターを設定するで説明されているように、2 つの単一/複数選択フィルターは、多対多の接続を介して相互にフィルタリングすることもできます。このような接続を設定できるのはアドミンのみです。

フィルターを別のフィルターの後に配置するための一般的な条件に加えて、次の条件も適用されます。

混合接続タイプは無効です

両方のフィルターは、直接接続または多対多接続のいずれかを介して相互にフォローする必要があります。一方のフィルターが他方のフィルターに直接続いて、多対多の接続を介して追跡することはできません。

多対多接続では同じ接続テーブルを使用する必要があります

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2 つのフィルターが多対多の接続で相互に続く場合、両方の接続で同じ接続テーブルを使用する必要があります。

True/False フィルターの設定

ユーザーが true/false フィールドとブレークダウン要素をフィルタリングできるようにします。たとえば、[アクティブ] フィールドが **true** に設定されているインシデントのみをユーザーが選択できるようにすることができます。

始める前に

重要: この手順では、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、True/False フィルタータイプでダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。詳細については、「インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加」または「フィルターデザイナーでのフィルターの作成」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードのインラインエディターで、次の操作を行います。dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

フィルターデザイナーで (ライブラリー > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、admin

このタスクについて

フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。

手順

1. 「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加 」または「 フィルターデザイナーでのフィルターの作成」で説明されているように、フィルターを作成し、True/False フィルタータイプを選択します。
2. オプション: 「True」や「False」の代わりに、「はい」や「いいえ」などのカスタム表示ラベルを設定します。
3. [フィルタリングするデータ] で、フィルタリングするテーブルフィールド、インジケーターブレークダウン、または ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プロパティを指定します。フィルターには任意の数のターゲットを追加できます。テーブルとフィールド、または特定のブレークダウンを持つすべてのインジケーターを選択します。テーブルを選択した場合は、関連するテーブルの階層 (親、子、兄弟、およびそのテーブルを含む データベースビュー) にフィルターを適用することもできます。

   メトリックベース および Workflow Data Fabric テーブルはフィルタリングでき、他のテーブルと一緒にリストされます。

   注:

   - テーブルを選択する場合は、少なくとも 1 つの true/false (ブーリアン) フィールドを選択する必要があります。true/false フィールドのみを選択できます。
   - true/false インジケーターブレークダウンのみを選択できるように、選択肢は 2 つの値のみを持つバケット [pa_buckets] に基づくブレークダウンに制限されています。ただし、インジケーターのブレークダウンが本当に真か偽かは確認できません。ブレークダウンがブール値であるかどうかを自分で判断する必要があります。ServiceNow AI Platformアドミニストレーターにサポートを依頼してください。
   - フィールドには空の (null) 値を使用できます。したがって、true 値と false 値の合計数は、レコードの合計数よりも少ない場合もあれば、レコードをカウントするインジケータースコアより少ない場合もあります。ビューアーは 、選択 (空) を選択して選択をクリアすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: デフォルト値の true または false を指定します。
   ダッシュボードを開くと、この値でフィルターが適用されます。デフォルト値を指定しない場合、フィルター値はデフォルトで空になります。
5. [ソートの方向] を選択します。
   [昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。
6. [保存] を選択します。

結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「ダッシュボードでのプラットフォームアナリティクスフィルターの編集」を参照してください。

関連トピック
プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

インラインエディターでの日付フィルターの設定

ユーザーが事前定義された期間を選択するか、ダッシュボードタブでデータのカスタムの開始日と終了日を指定できるようにします。

始める前に

重要: この手順は、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、日付フィルタータイプを使用してダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。手順については、「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加 」または「 フィルターデザイナーでのフィルターの作成」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードのインラインエディターで、次の操作を行います。
dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

フィルターデザイナーで (ライブラリー > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、admin

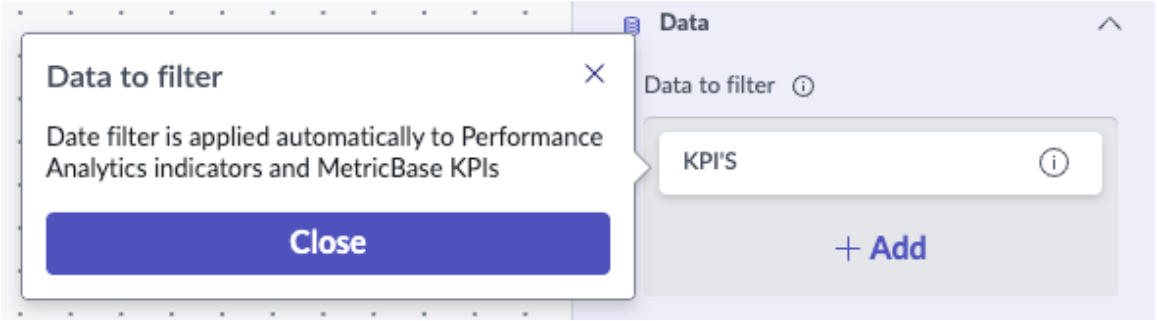
このタスクについて
日付フィルターは、スコア、時系列、棒グラフ、および円/ドーナツの可視化に適用されます。インジケーターデータの場合、可視化の構成パネルで [日付範囲を適用] オプションをオンにする必要があります (暗黙的に常にオンになっている時系列を除く)。フィルターは、フィルターと同じダッシュボードまたはダッシュボードタブ内のこのようなすべての可視化に適用されます。

手順
1. 「 インラインダッシュボードでのフィルターの作成または追加 」または「 フィルターデザイナーでのフィルターの作成」の説明に従って、フィルターを作成し、日付フィルタータイプを選択します。
2. フィルタリングするデータを指定します。

   フィルターは、タブまたはダッシュボードのすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーターと メトリックベース KPI に自動的に適用されます。

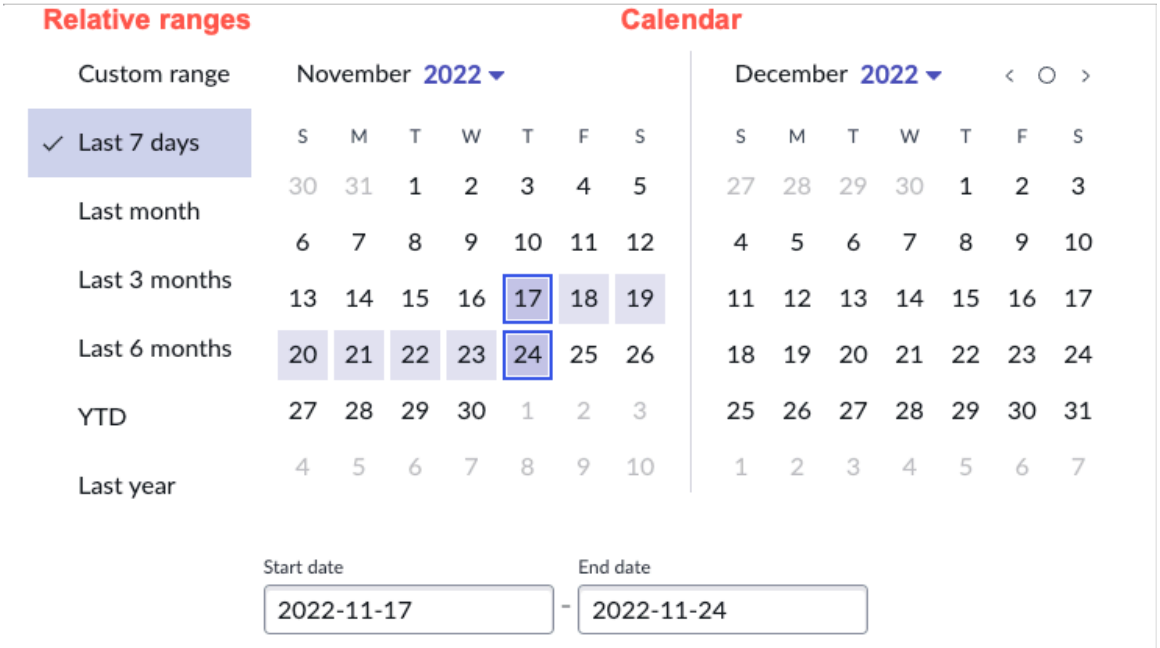
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



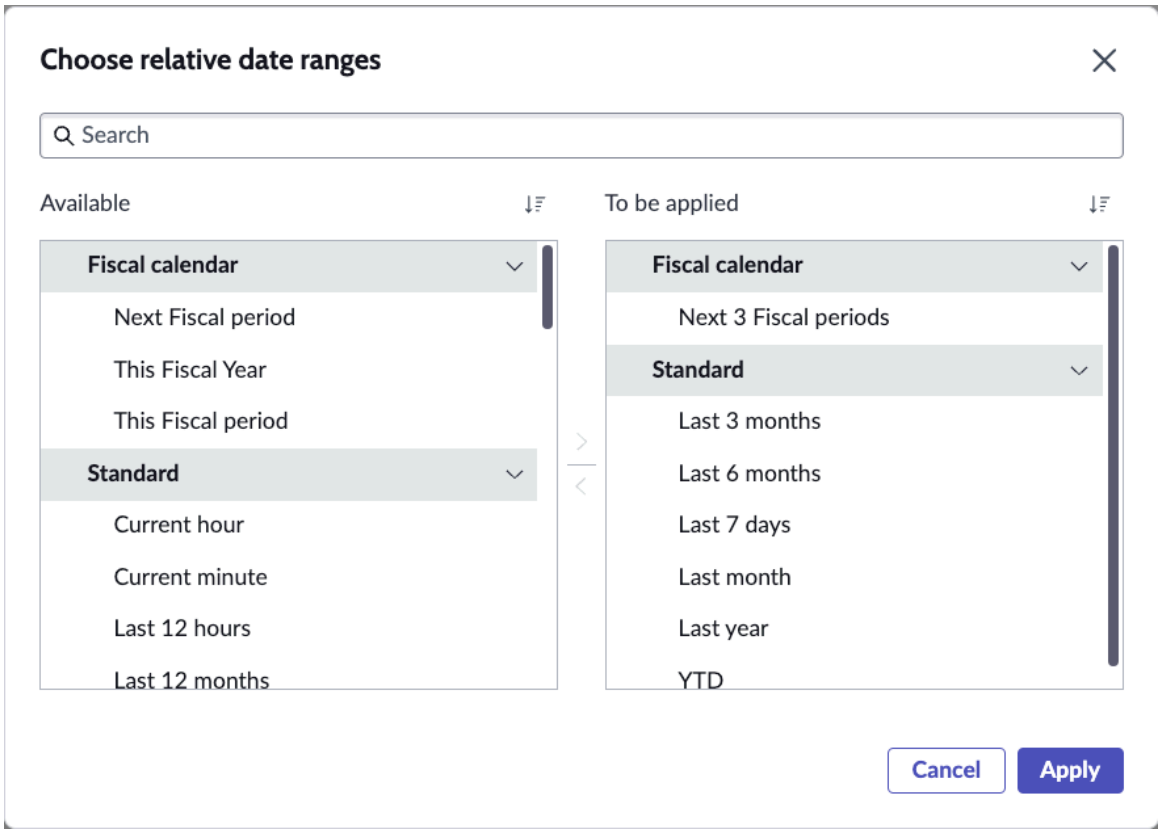
テーブルに任意の数の日付フィールドを追加したり、フィルターを適用する日付プロパティ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス したりできます。テーブルフィールドを追加する場合は、関連するテーブル (親、子、兄弟、およびそのテーブルを含むデータベースビュー) の階層にフィルターを適用することもできます。

3. [日付フィルター] ビューで、ランタイムユーザーが日付範囲を選択するためのオプションを選択します。
   - カレンダーと相対範囲 (7 日間や年度累計 (YTD) など) の両方
   - カレンダーのみ
   - 相対範囲のみ



4. オプション: ユーザーに相対範囲から選択させる場合は、[事前定義された範囲を選択] で選択できる相対範囲を選択できます。
   会計カレンダーがインストールおよび設定されている場合は、会計カレンダーの範囲から選択できます。詳細については、「会計カレンダーの定義」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ユーザーが日付だけでなく時間と分単位で時間をフィルタリングできるようにするには、[時間の選択を許可] を有効にします。
6. オプション: [デフォルト値] で、ダッシュボードを開いたときに自動的にフィルタリングする相対範囲を指定します。
7. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
8. [保存] を選択します。

結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「ダッシュボードでのプラットフォームアナリティクスフィルターの編集」を参照してください。

ドメインフィルターの作成

ドメインセパレーションされたインスタンス内のドメインでデータの表示方法をフィルタリングできるように、ドメインフィルターを作成します。ドメインフィルターを使用すると、ユーザーは 1 つ以上のドメインに関連付けられたデータを表示できます。

始める前に
ドメインフィルターは、ドメインセパレーションが有効になっているインスタンスで使用できます。デフォルトでは、ドメインフィルターは自動的に有効になりません。これらを有効にするには、次の 2 つのプラグインをインストールします。

- com.glide.domain.msp_extensions.installer
- com.snc.pa.domain_support

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「サービスプロバイダーのドメインセパレーション」を参照してください。ドメインフィルターは、フィルターコンポーネントとは異なるコンポーネントです。

必要なロール:ui_builder_admin または admin。

このタスクについて

ドメインフィルターは、インスタンスのドメインのリストと パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成の両方をサポートしています。ドメインリストに基づくフィルターは、ドメイン構成に基づくフィルターとは異なる結果を提供します。詳細については、「ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

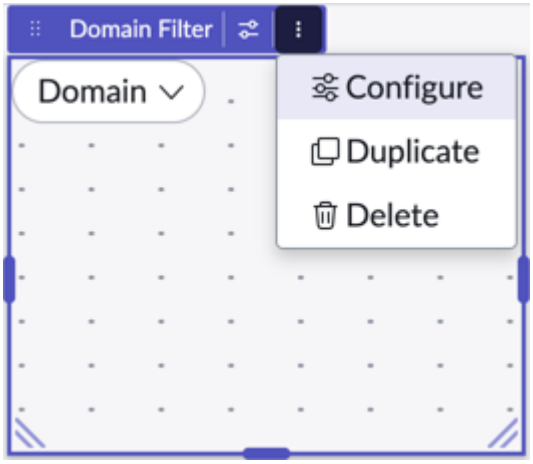
フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。 ダッシュボードタブのフィルターは、トップレベルのフィルターよりも優先度が高くなります。

手順

1. オープン すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.
2. ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけ、編集のために開きます。

   注: これらの手順は、インラインダッシュボードエディターを使用するためのものです。UI ビルダーでテクニカルダッシュボードを編集している場合は、開発者サイトのコンポーネントリファレンス を参照してください。

3. ドメインフィルターを追加するダッシュボードを作成するか、開きます。
   詳細については、「ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。
4. **[Edit** (編集)] を選択します。
5. [新しい要素を追加] メニューから [ドメインフィルター] を選択します。
   ドメインフィルターが、最初に使用可能なスペースのダッシュボードレイアウトに追加されます。この場所は、既存のダッシュボード要素の下にある場合があります。
6. ドメインフィルターの 3 ドットメニューを選択し、[構成] を選択します。

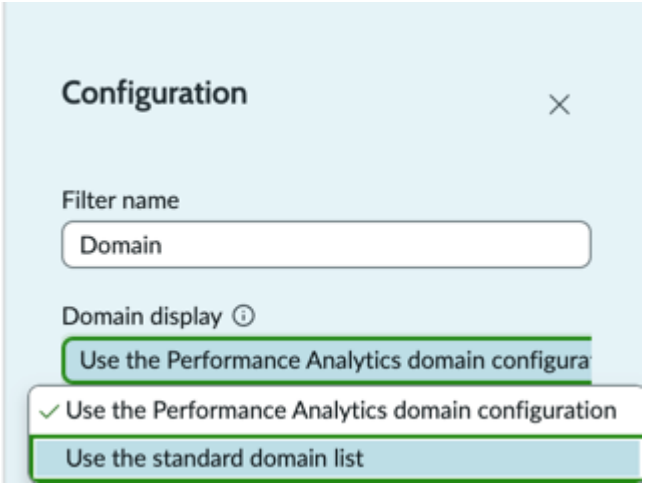


7. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ユーザーに表示される名前です。
8. フィルターに表示するデータを決定するには、ドメイン表示を構成し、ドメインデータを含めるかどうかを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ドメイン] 表示を選択します。
パフォーマンスアナリティクスドメイン構成または標準ドメインリストのいずれかでフィルタリングできます。



オプション	説明
パフォーマンスアナリティクスドメイン構成を使用する	ユーザーがドメイン構成に基づいて結果をフィルタリングできるようにします。ドメイン構成の詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。
標準ドメインリストを使用	ユーザーがドメインのリストに基づいて結果をフィルタリングできるようにします。リストには、アクティブなドメインのみが表示されます。集計は含まれません。

これらのプロパティがフィルターの結果にどのように影響するかの詳細については、「ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

b. グローバルドメインデータを含めるかどうかを選択します。
選択すると、フィルターにグローバルドメイン内のレコードの値が含まれます。通常、グローバルドメインには設定レコードのみが含まれます。

9. [保存] を選択します。

ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成に基づくドメインフィルターは、プラットフォームドメインのリストに基づくドメインフィルターとは異なる動作をします。

違いの概要

ドメインフィルタリングの結果は、子ドメインの存在とグローバルドメインの包含によって異なります。ドメイン構成を使用する場合、結果もアグリゲーションに依存します。

プラットフォームドメインリスト

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。値は、 データ収集ジョブ と手動入力の両方から取得できます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

グローバルドメインと選択したドメイン、および子ドメインまたは親ドメインの値を組み合わせます。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と子ドメインの値を組み合わせます。

パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成

ドメイン構成の詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化 」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でドメインをグループ化した後、その構成内のドメインをフィルタリングする際には、次の 2 つの考慮事項があります。

- ドメインには子がありますか、それともスタンドアロンドメインですか?
- データは集計されていますか?

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを、データ収集ジョブがそのドメインのインジケータースコアを収集した場合にのみ表示します。

集計スコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメイン、そのドメインの子ドメイン、およびグローバルドメインの値を含めます。

集計結果は、構成内のすべてのドメイン (その子ドメインを含む) とグローバルドメインから取得されます。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインは除外されます。

集計スコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と選択したドメインの子 (存在する場合) を含めます。グローバルドメイン値は含まれません。

集計結果は、ドメイン構成内のすべてのドメインと、その構成内のドメインの子から取得されます。グローバルドメイン値は含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ

ダッシュボードでのプラットフォームアナリティクスフィルターの編集

編集モードにしたダッシュボードでフィルターをハイライト表示すると、フィルターがダッシュボードに対してローカルであるか、ライブラリに保存されているかに応じて、いくつかの編集オプションが表示されます。

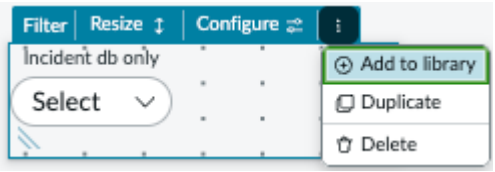
始める前に

必要なロール：dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

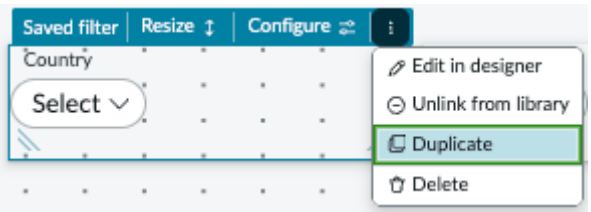
手順

1. 編集するフィルターが表示されているダッシュボードに移動します。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. 編集するフィルターを選択します。
   フィルターの周囲の境界線が表示され、さまざまな情報とオプションが表示されます。

ダッシュボードに対してローカルなフィルターのオプション



ライブラリから保存したフィルターのオプション



- フィルター |保存済みフィルター:フィルターがダッシュボードにローカルにのみ存在するか、フィルターライブラリに保存されているフィルターであるかを示します。2 つのフィルターのオプションは異なります。
- サイズ変更:フィルターの角をドラッグしてサイズを変更できます。フィルターの周囲に他のコンポーネントを追加することもできます。
- 構成:構成パネルでフィルターを開きます (まだ開いていない場合)。

> ⚠ **警告:** ダッシュボードで保存済みフィルターを編集するには、viz_admin 以上のロールが必要です。このロールがない場合は、要素を構成できないという警告が表示されます。analytics_filter_admin ロール以上 (dashboard_admin) を持っている場合は、フィルターライブラリからフィルターを開いて編集できます。または、[ライブラリからリンクを解除] を選択して、ダッシュボードにのみ存在するローカルバージョンにフィルターを変換することもできます。

フィルターの設定の詳細については、次のいずれかのトピックを参照してください。

- 単一/複数選択またはカスケードフィルターの構成
- インラインエディターでの日付フィルターの設定
- True/False フィルターの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: [アクション]) メニューを展開し、ローカルフィルターと保存済みフィルターで異なる次のアクションから選択します。

ローカルフィルターのアクション

アクション	説明
ライブラリに追加	すべてのユーザーが他のダッシュボードで使用できるように、フィルターをフィルターライブラリに追加します。analytics_filter_admin ロールが必要です。
複製	同じダッシュボードに編集用にフィルターのコピーを作成します。
レコードを開く	フィルターの JSON コードを調べて編集できるように、フォームを開きます。admin ロールが必要です。
削除	ダッシュボードからフィルターを削除します。

保存されたフィルターに対するアクション

アクション	説明
デザイナーで編集	構成用のフィルターデザイナーで、ダッシュボードの外側にフィルターを開きます。viz_admin ロールが必要です。
ライブラリからリンクを解除	保存済みフィルターを、このダッシュボードにのみ存在する同一のフィルターに置き換えます。元のフィルターはライブラリと他のダッシュボードに残ります。このローカルバージョンを編集するには、ダッシュボードの編集権限のみが必要です。
複製	同じダッシュボードとライブラリの両方に現在のフィルターのコピーを作成します。viz_admin ロールが必要です。
レコードを開く	フィルターの JSON コードを調べて編集できるように、フォームを開きます。admin ロールが必要です。
削除	ダッシュボードからフィルターを削除します。ライブラリと他のダッシュボードに残ります。

5. [保存] を選択して変更を保存して編集を続行するか、[編集モードを終了] を選択して編集を終了します。
共有フィルターへの変更を保存する場合、次の 2 つの選択肢があります。
   - 現在のダッシュボードの変更のみを保存します。

     このアクションにより、[ライブラリからリンクを解除] アクションなど、新しいバージョンのフィルターが作成されます。ライブラリ内のフィルターのバージョンは変更されません。

   - ライブラリに変更を保存します。

     この選択を行うと、新しいバージョンのフィルターが、それを使用するすべてのダッシュボードで有効になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルターのトラブルシューティング

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは、インジケーターが関連付けられていない移行されたブレークダウンフィルターの機能を拡張することはできません。

始める前に
必要なロール:ダッシュボードオーナー

このタスクでは、エラーに対処する方法について説明します。 関連するインジケーターなしでブレークダウンを更新しようとすると、 `指定されたフィルターソースではこのオプションを使用できません` 。

手順

1. 移動先 すべて > ライブラリー > ダッシュボード.
2. 問題のあるダッシュボードを開きます。
3. **[Edit** (編集)] を選択します。
4. フィルターを選択して、その構成を表示します。
5. [フィルタリングするデータ] オプションを選択します。
   エラー「 `このオプションは指定したフィルターソースに使用できません` (This option is not available for the specified filter source)」が表示されます。
6. [フィルターソース] の下にあるインジケーターブレークダウンの名前を識別します。
7. `pa_breakdowns.list` に移動し、ブレークダウンを開きます。
8. ブレークダウンレコードで、[関連リンク] の下にある [インジケーター] タブを開きます。
9. [編集] を選択し、ブレークダウンを適用するインジケーターを 1 つ以上選択します。
10. **[Update** (更新)] を選択します。

結果
フィルター構成の [フィルターするデータ] セクションを編集できます。

プラットフォームアナリティクスのフィルターテーブル

次のテーブルは プラットフォームアナリティクス フィルターに関連しており、スクリプトを使用してアクセスできます。

テーブル	説明
par_component	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化とフィルターライブラリ内のすべてのフィルターが含まれます。
par_component_filter	フィルターライブラリ内のすべてのフィルターが含まれます。すべてのダッシュボードコンポーネント (par_component) のテーブルを拡張します。
par_component_filter_permission	フィルターライブラリ内のすべてのフィルターのロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。par_component_permissionを延長します。
par_dashboard_filter	プラットフォームアナリティクスダッシュボードのすべてのフィルターとダッシュボードの名前を一覧表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

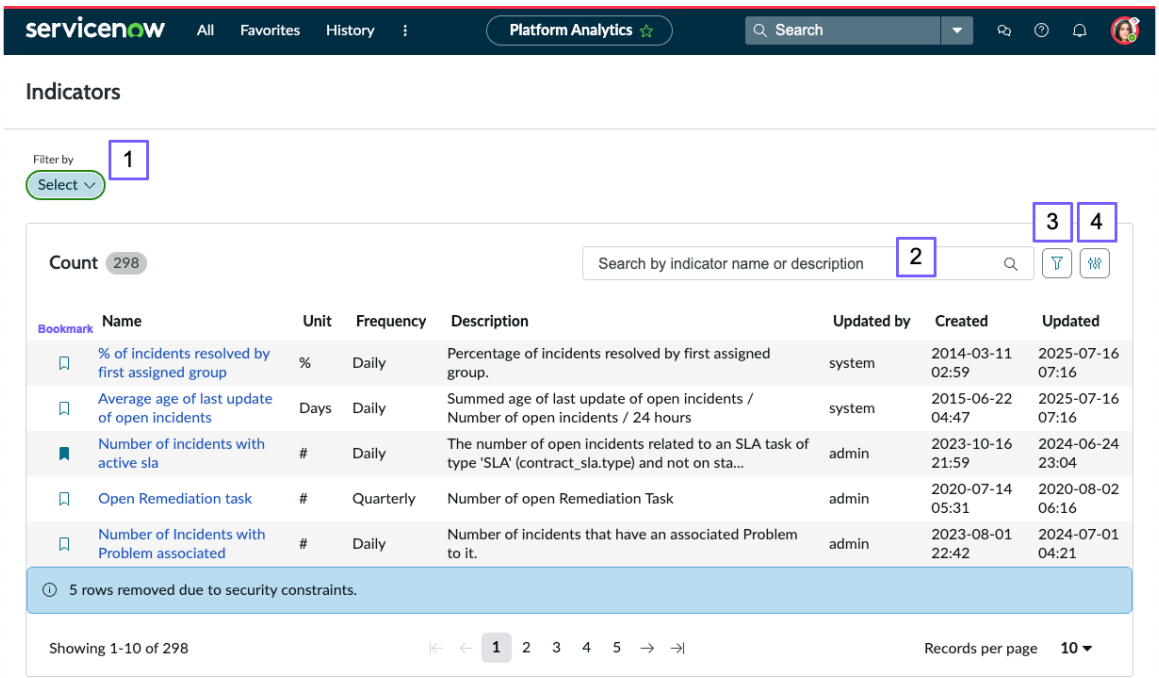
プラットフォームアナリティクスライブラリからのインジケーターの管理

インジケーターライブラリには、アクセスできるすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーター/KPI がリストされます。インジケーターまたは パフォーマンスアナリティクス 収集ジョブを作成または編集できるユーザーには、追加情報があります。

でインジケーターのリストを開く プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > インジケーター. [インジケーター] ページの構成とデータアクセスは、ロールによって異なります。少なくともインジケーターへの読み取りアクセス権を持つすべてのユーザーは、デフォルトビューに含まれる基本的なインジケーター管理機能を利用できます。

基本的なインジケーター管理

基本機能を備えたデフォルトのインジケーターライブラリビュー

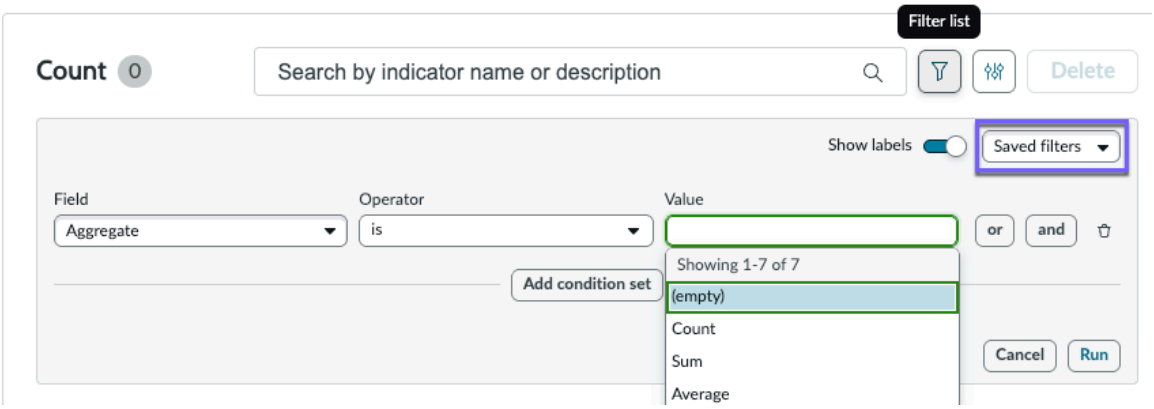


インジケーターレコードで [ライブラリに表示] が有効になっていて、自分がアクセスできる自動、式、外部、または手動のインジケーター (ベンチマークインジケーターを含む) を表示できます。インジケーターの名前を選択すると、新しいタブで KPI 詳細で開きます。

ライブラリに表示される内容をフィルタリングするためのオプションがいくつかあります。基本機能を備えたデフォルトのインジケーターライブラリビューの番号付き吹き出しは、次のリストの番号と一致します。

1. [フィルター基準] には、ブックマークされたインジケーターをフィルターするオプションがあります。インジケーターを作成する権限がある場合は、作成したインジケーターをフィルタリングすることもできます。
2. [検索] フィールドを使用して、インジケーターの名前または説明で検索します。
3. [フィルター] リスト を展開し、インジケーターをフィルタリングするための条件を追加します。[保存済みフィルター] では、現在開いているフィルターを保存し、後で再度開くことができます。フィルターフィールドのラベルのオンとオフを切り替えることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



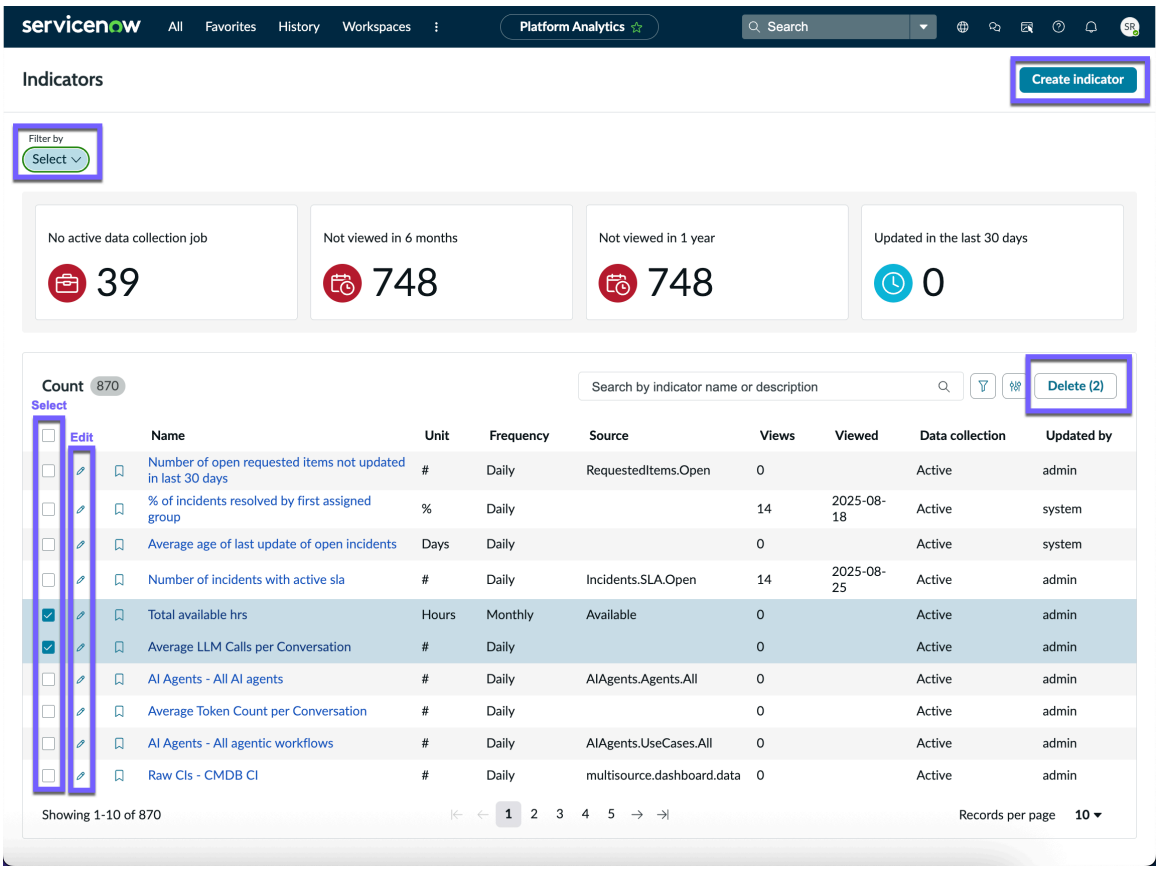
4. [列 編集] ダイアログを開き、リストに列として表示するインジケーターパラメーターを選択します。

列ラベルを選択して、列の値に従ってレコードをソートします。ラベルを繰り返し選択して、順方向と逆方向のソートを切り替えます。ソートのタイプは、テキストの英数字ソートや日付の日付ソートなど、列内のデータのタイプによって異なります。

インジケーターまたは収集ジョブを編集できるユーザーのインジケーター管理

注: このセクションの機能は、pa_power_user 以上pa_data_collectorロールを持つユーザーのみが使用できます。ユーザーは、前のセクションで説明したすべての基本機能も使用できます。

特権ユーザーのデフォルトのインジケーターライブラリビュー。データスナップショットは有効になっていません



特権ユーザーには、次の追加機能があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インジケーターの作成:[インジケーターを作成] を押して、空のインジケーターフォームを開きます。詳細については、「自動インジケーターの作成」または「式インジケーターの作成」を参照してください。
- インジケーターの編集:インジケーターの横にある鉛筆アイコンを選択して、そのインジケーターのレコードを開きます。セキュリティ上の制限が適用される場合があります。
- インジケーターを削除する: 行内のボックスにチェックを入れてインジケーターを 1 つ以上選択し、 **Delete** キーを押します。[削除] ボタンには、削除対象として選択されているインジケーターの数が表示されます。
- インジケーターの健全性:タイルの行には、アクティブな収集ジョブがない自動インジケーターや式インジケーターの数など、インジケーターの健全性に関する有用な統計情報が表示されます。[アクティブなデータ収集ジョブがありません]、[6 か月間未表示]、および [1 年以内に未表示] の各タイルは、削除できるインジケーターの数を示します。逆に、[過去 30 日間に更新] では、実際にアクティブなインジケーターの数がわかります。タイルを押すと、その統計情報でインジケーターリストがフィルタリングされます。

  注: 現在、インジケーターのリストのフィルターはタイルをフィルタリングしません。

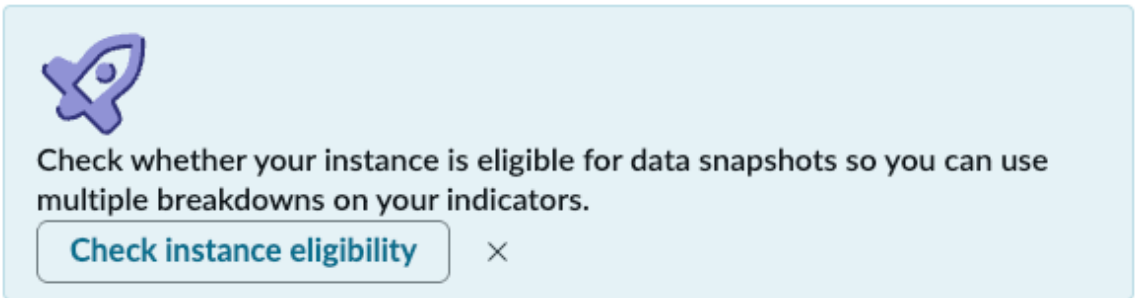
- 作成したインジケーター:作成したインジケーターのみを表示するための追加の [フィルター基準] オプションがあります。

特権ユーザーには、デフォルト列の異なるセットも表示されます。[説明] フィールドの代わりに、次の情報が表示されます。

- 各自動インジケーターのインジケーターソース
- データ収集ジョブのステータス
- インジケーターが最後に表示された時刻
- 前年の合計閲覧回数

データスナップショットを有効にしているアドミンユーザーのインジケーター管理

インスタンスでデータスナップショットを有効にしようとしていない場合は、 KPI 詳細上部にバナーが表示されます。



[インスタンスの適格性を確認] を押して、インスタンスがデータスナップショットの対象かどうか、およびそうでない場合はその理由を確認します。詳細については、「データスナップショットを有効にする」を参照してください。

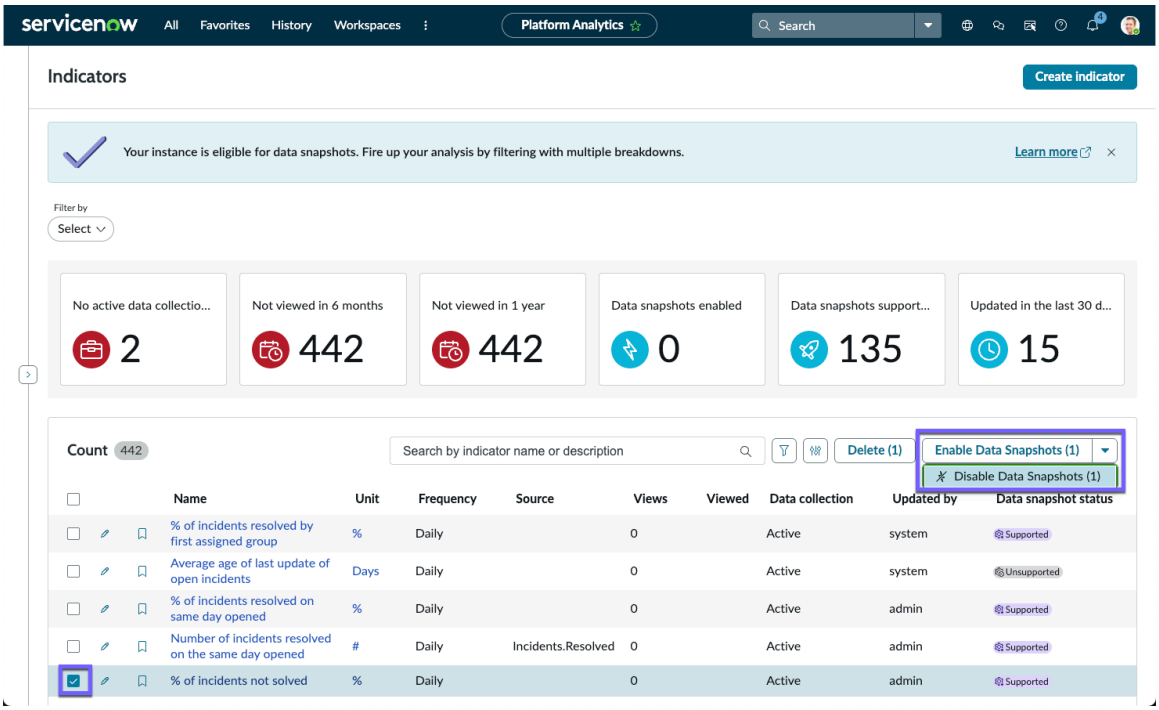
インスタンスがデータスナップショットの対象になると、このファクトを知らせるバナーと、[データスナップショットが有効] と [データスナップショットがサポート済み] の 2 つの新しいタイルが表示されます。リストでインジケーターを 1 つ以上選択し、[データスナップショットを有効にする] (選択したインジケーターの数) を押します。

ヒント: [データスナップショットステータス] 列を表示すると、どのインジケーターがデータスナップショットをサポートしているかを確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データスナップショットが有効になっている、特権ユーザーのデフォルトのインジケーターライブラリビュー



関連トピック

- KPI 詳細
- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- パフォーマンスアナリティクス Essentials トレーニング

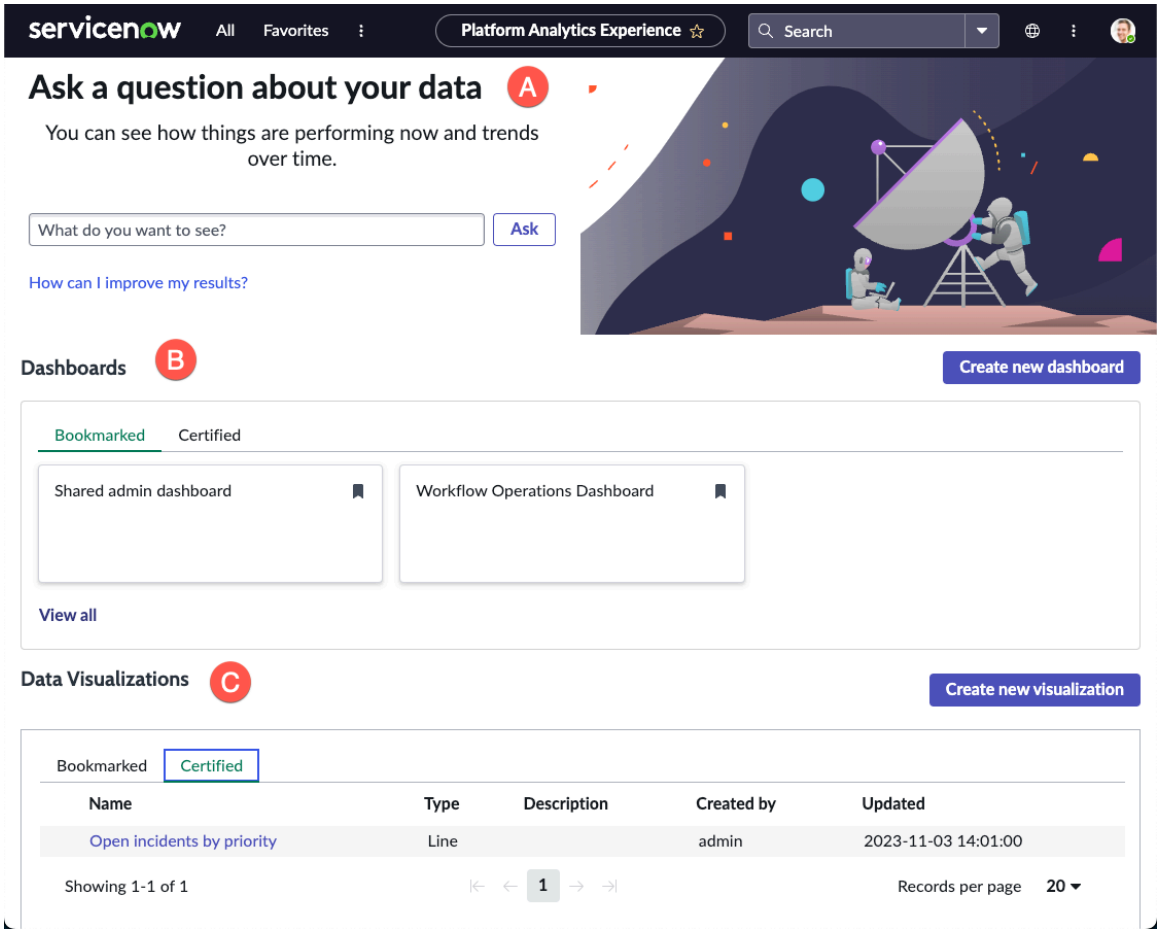
アナリティクスセンター

この アナリティクスセンター には、最も重要なダッシュボードとデータの可視化の概要と、アナリティクスについて質問する場所が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスセンター。



アナリティクスセンターにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > プラットフォームアナリティクス > アナリティクスセンター. 次のコンポーネントが含まれています。

A アナリティクス Q&A

プロセスの傾向と健全性について自然言語で質問できるフィールドです。(自然言語クエリ機能が必要です。)このコンポーネントの構成と使用の詳細については、開発者サイトのアナリティクス Q&A リファレンス を参照してください。

B ダッシュ ボード

ブックマーク済みのダッシュボードやアドミニストレーターが認定した各ダッシュボードの一連のタイル。タイルをクリックしてそのダッシュボードを開きます。アクセスできるすべてのダッシュボードを表示するには、[すべて表示] を選択します。このアクションにより、ダッシュボードライブラリが開きます。新しいダッシュボードの作成をすぐに開始するには、[新しいダッシュボードの作成] を選択します。このアクションにより、インラインダッシュボードエディター、またはロールに応じてインラインエディターまたはテクニカルエディターを選択できるダイアログが開きます。このコンポーネントの構成と使用の詳細については、「 のダッシュボード プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

C データの可視化

ロールに基づいてアクセスできる保存された可視化のリスト。ブックマーク済みの可視化、またはアドミニストレーターが認証した可視化を選択できます。さらにデータを可視化するには、[すべて表示] を選択します。このアクションにより、データ可視化ライブラリが開きます。新しいデータ可視化の作成をすぐに開始するには、 [新しい可視化の作成] を選択します。このアクションにより、可視化デザイナーが開きます。詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

別のエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースにアナリティクスセンターを追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

アナリティクス **Q&A**

アナリティクスセンターのアナリティクス Q&A から、インジケーター、テーブル、または列に関連する自然言語クエリを作成できます。

アナリティクス Q&A は次の言語をサポートしています。

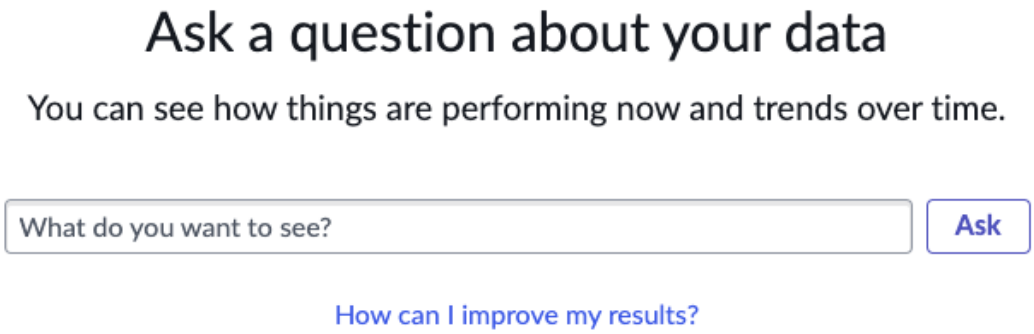
- 英語
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

注: アナリティクス Q&A は、クラシック環境のレポートデザイナーでも利用できます。詳細については、「アナリティクス Q&A を使用したレポートの作成」を参照してください

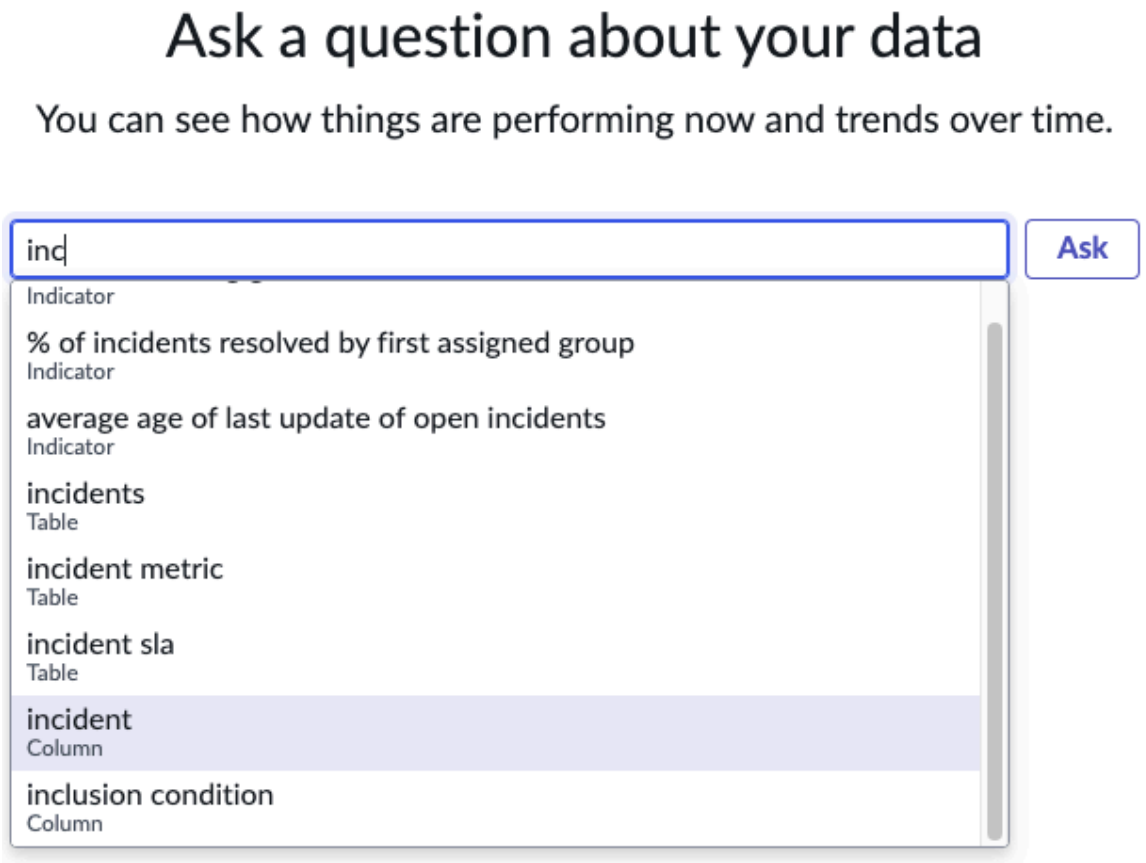
クエリの入力

クエリを入力する前のアナリティクス **Q&A**



クエリを入力すると、アナリティクス Q&A では、これまでに入力した内容と一致する最近の検索、インジケーター、テーブル、列が提案されます。アクセス権を持つテーブルと列のみが表示されます。

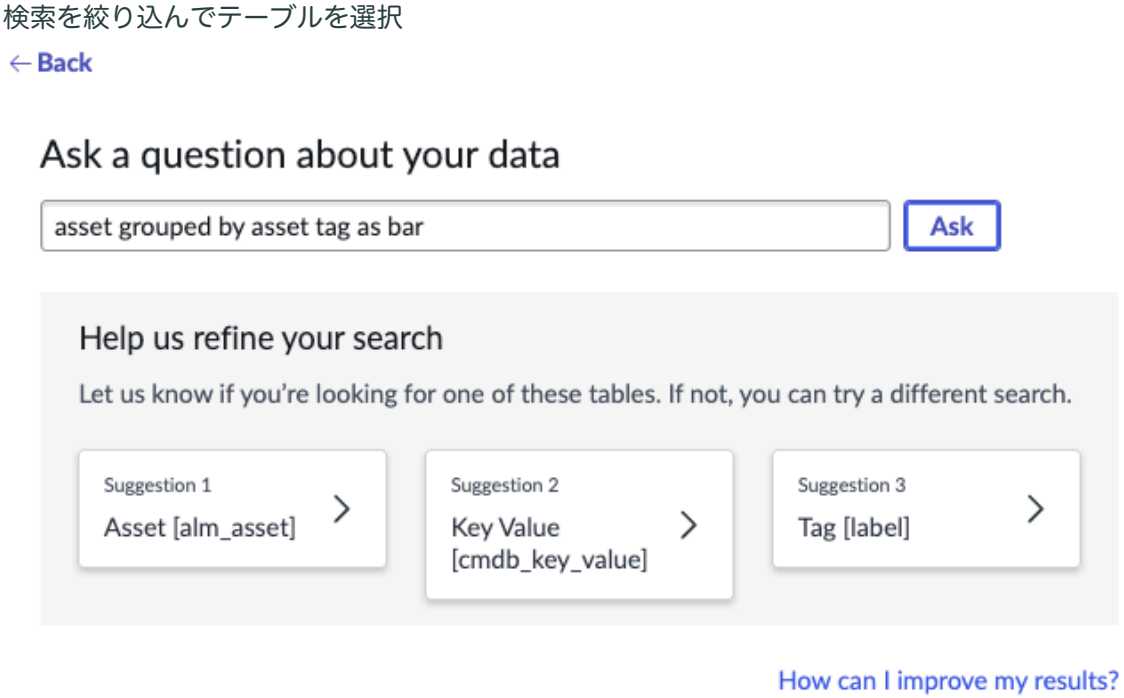
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



いくつかの可能性のあるテーブルから選択

アナリティクス Q&A で必要なテーブルを特定できない場合は、最大 3 つの可能性があるテーブルが表示されます。次のスクリーンショットでは、ユーザーが資産タグ別にグループ化され、棒グラフの可視化として表示された資産を要求しています。ただし、ユーザーが資産 [alm_asset]、キー値 [cmdb_key_value]、またはタグ [label] テーブルに関心を持っているかどうかを判断することはできません。

検索を絞り込んでテーブルを選択



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

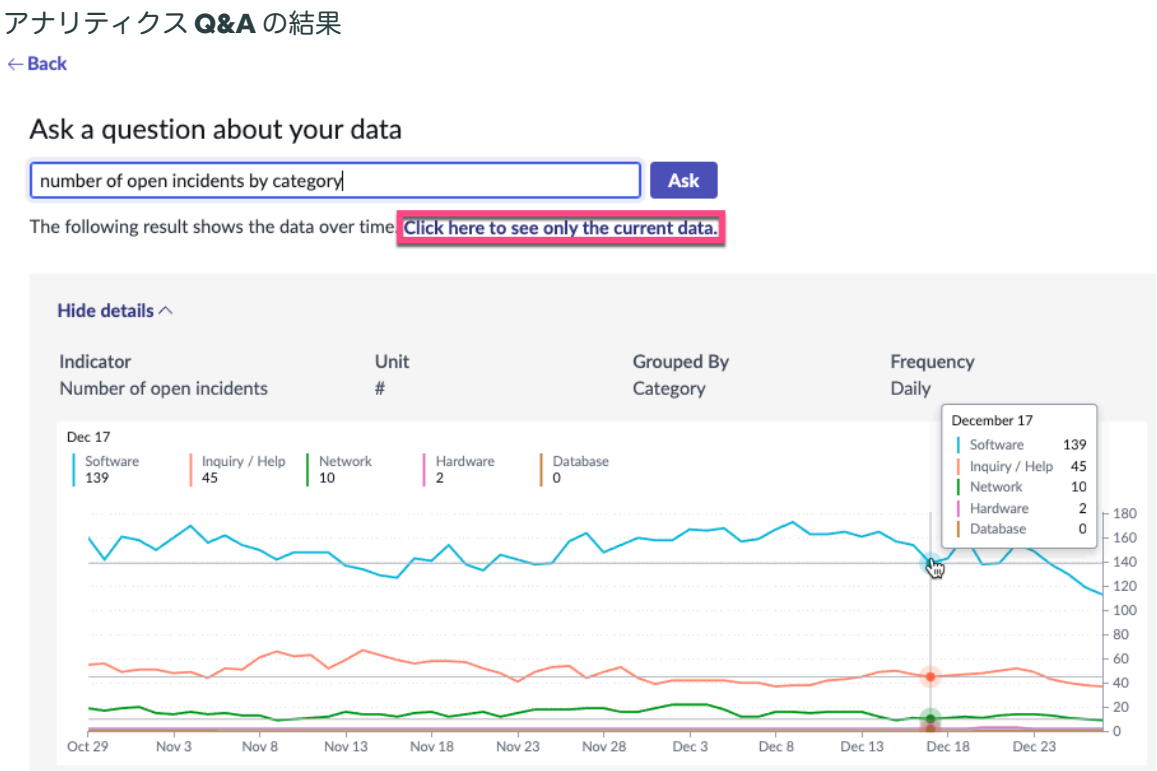
結果

クエリが成功すると、アナリティクス Q&A には、次に指定したいずれかの可視化として結果が表示されます。可視化を指定しない場合、アナリティクス Q&A によってどの可視化が最適かが判断されます。

- リスト
- 傾向図
- 単一スコア
- 棒グラフ
- 円グラフ

結果は、ロールに対する ACL セキュリティチェックの対象となります。テーブルに基づく可視化は、セキュリティ レポート に従います。パフォーマンスアナリティクスに基づく可視化は、PA セキュリティに従います。

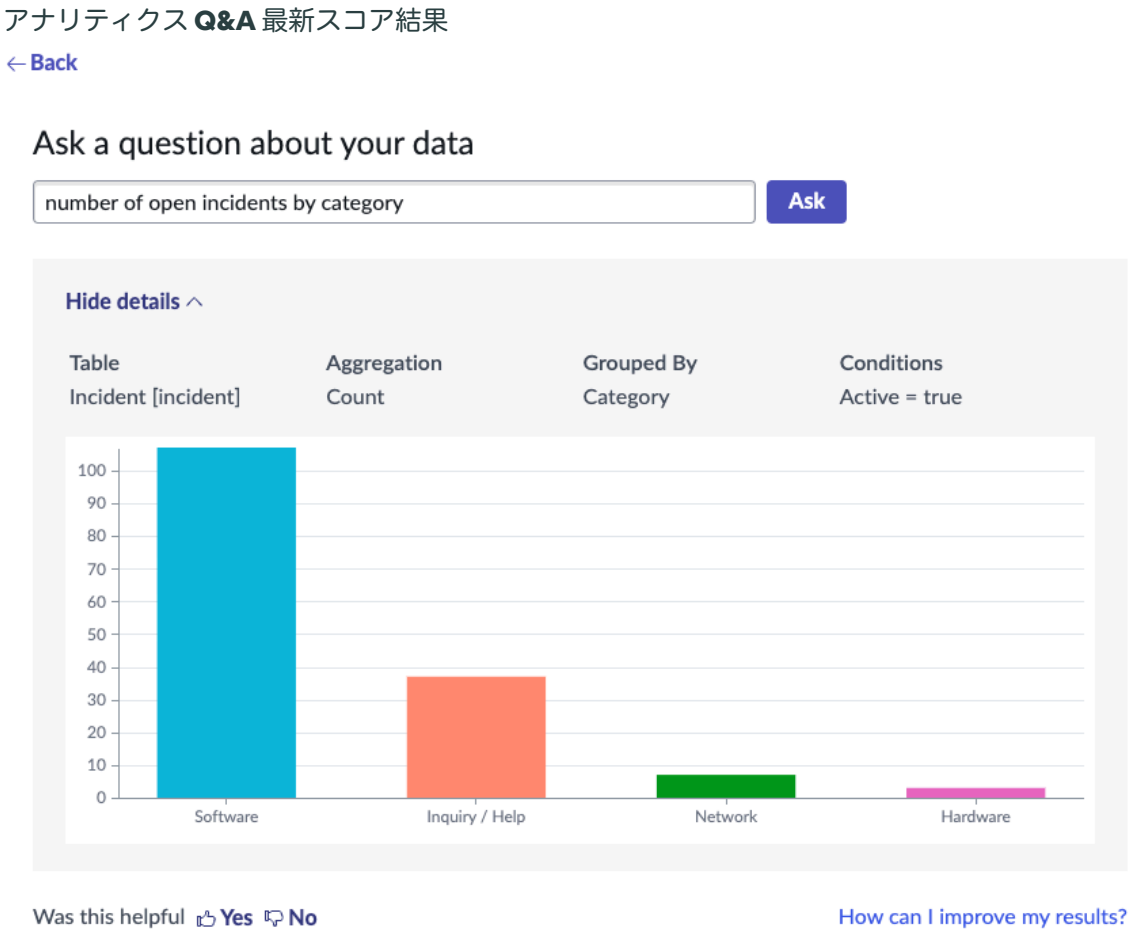
次の例は、結果をグループ化するためのブレークダウンを指定するクエリの結果を示しています。アナリティクス Q&A は、クエリがインジケーターと一致すると判断します。インジケーターは経時的な傾向を示すため、アナリティクス Q&A では傾向ラインが適切な可視化であると判断されます。



経時的なスコアの変化を確認したくない場合は、[ここをクリックして現在のデータのみを表示します] をクリックします。アナリティクス Q&A は、インジケータースコアではなく、基礎となるテーブルの現在の値を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チャート上でカーソルを合わせると、ブレークダウンに関する詳細情報が表示されます。時系列傾向では、選択した日のすべてのブレークダウンの値を取得します。最新スコアの縦棒グラフでは、選択したブレークダウンのスコアを取得します。結果がインジケーターの可視化である場合は、値をクリックしてインジケーターを KPI 詳細で開きます。

デフォルトでは、次の詳細も表示されます (適用される場合)。

- クエリしているテーブル
- 値の単位
- データ集計方法
- どの列でグループ化するか
- どの日付フィールドで、どの頻度で傾向を測定しますか
- クエリに適用する追加条件

最後に、[賛成] または [反対] を選択することで、クエリ結果に関するフィードバックを送信できます。

注: 提案、インジケーター、またはテーブルから 1 つのアイテムのみを選択すると、フィードバックオプションは使用できません。アイテムを 1 つだけ選択すると、クエリーパーサーは使用されません。クエリーパーサーを使用しない場合、クエリーログは作成されません。フィードバックはクエリログに添付されますが、ログは既に存在している必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいクエリ

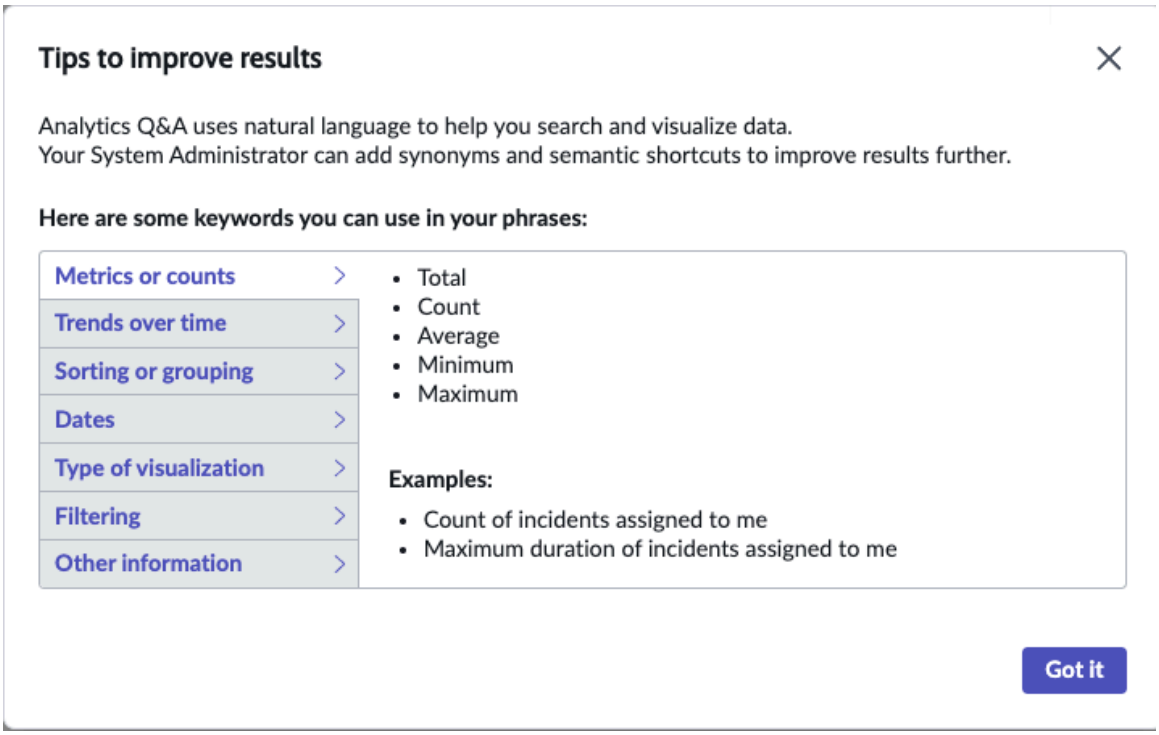
新しいクエリを作成したり、KPI のリストを表示したりするには、[戻る] をクリックします。アナリティクスセンターに戻ると、成功した直近 5 つのクエリのリストが更新されます。

有効なクエリを作成する方法

クエリを記述するときは、特別なキーワードを使用して、探している情報の種類と範囲、適用するフィルター、およびその他のパラメーターを示します。キーワードとその使用方法の完全なリストを確認するには、[結果を改善するにはどうすればよいですか?] をクリックします。

ServiceNow AI Platformアドミニストレーターに、キーワードの同義語とセマンティクスショートカットを追加するように依頼できます。詳細については、「 NLQ 同義語の作成 」および「 NLQ ショートカットの作成 」を参照してください。

キーワードガイド



独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成

App Engine Studioで事前設定されたプラットフォームアナリティクスページを使用して新しいワークスペースを作成するか、独自のワークスペースにプラットフォームアナリティクスページを追加できます。

ワークスペースに プラットフォームアナリティクス を追加する方法は次のいずれかです。これらのアプローチは、提供されるカスタマイズの程度が異なります。

- App Engine Studioからビルド済みワークスペース全体を追加します。
- UI ビルダーで提供されているページテンプレートを使用します。すべてのエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス 再作成することも、選択した部品のみを追加することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

からの プラットフォームアナリティクス ワークスペースの作成 App Engine Studio

App Engine Studioには、アプリケーションに追加できるビルド済みのワークスペースが含まれています。このワークスペースには、アナリティクスセンターページと、アナリティクスセンターがリンクしているページが含まれています。

ワークスペースのアナリティクスセンターコンポーネントのイベントハンドラーはすべて事前設定されています。たとえば、インジケータースコアカードでインジケーターを選択すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。

App Engine Studio を使用して Analytics Center でワークスペースを作成する方法の詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース

ページテンプレートを使用して、 アナリティクスセンター とその関連ページを独自のワークスペース/エクスペリエンスに追加します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

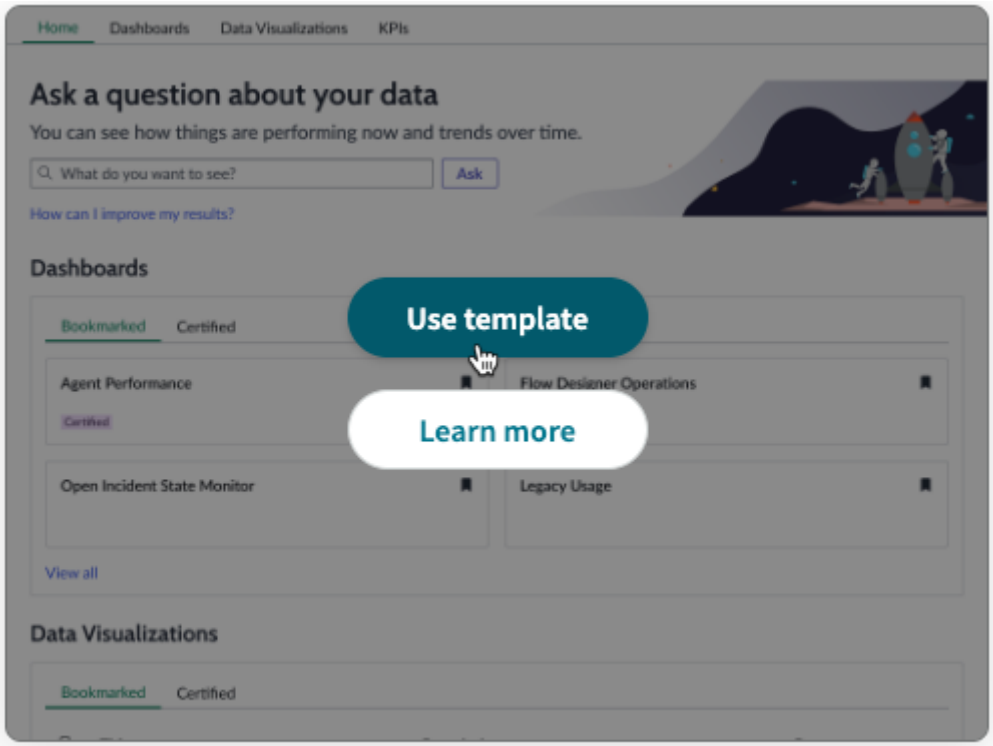
エクスペリエンスとワークスペースでは、 アナリティクスセンター は、 プラットフォームアナリティクスに関連する他のすべてのページのタブを含む中央ページを提供します。アナリティクスセンターを追加する必要はありませんが、この手順ではそのページを例として使用します。他の プラットフォームアナリティクス ページをテンプレートから追加する場合も、同じ手順が適用されます。これらのページの詳細については、このトピックの最後を参照してください。

手順

1. UI ビルダーでエクスペリエンスを開きます。
2. 目的のテンプレートまでスクロールします。
   この手順は、アナリティクスセンターテンプレートの設定方法を示していますが、手順はダッシュボードなどのどのテンプレートにも適用されます。
3. アナリティクスセンターテンプレートの上にカーソルを置き、[テンプレートを使用] を選択します。

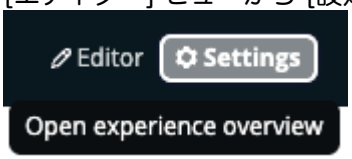
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

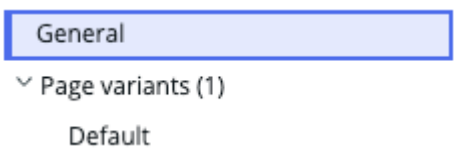


Analytics Center

4. ページの名前とパスを指定し、[続行] を押します。
5. [URL パラメーター] ページで、[問題なし] を押します。
6. オプション: バリアント名、対象者、および条件を指定します。
7. [作成] を押します。
   ページエディターが開きます。
8. [エディター] ビューから [設定] ビューに移動します。



9. [一般] バリアントを選択します。



10. [URL パラメーター] で、次のオプションのパラメーターを追加します。
    - タブ
    - フィルター

    これらのパラメーターにより、ページの更新時に、アナリティクスセンターの最後に開いたタブが確実に開きます。また、最後に選択したフィルター ([ブックマーク済み] など) も有効になります。

11. **[Save** (保存)] を押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
これで、すべてのコンポーネントを含む完全に構成された アナリティクスセンターを含むページが作成されました。ただし、他のページへのリンクは、それらのページが追加されて構成されるまで機能しません。

次のタスク
次のテンプレートを使用してページを作成します。アナリティクスセンターページの作成に使用したのと同じプロセスに従います。ページに次のパスとパラメーターを指定します。

注:

- デフォルトのイベントハンドラーは、このテーブルのパスを使用します。別のパスを指定する場合は、「 インラインダッシュボードからのカスタムリダイレクトの構成」の説明に従ってイベントハンドラーをカスタマイズする必要があります。
- 簡易リストとダッシュボードの概要は、アナリティクスセンターのような従来のページテンプレートです。これらのページのパラメーターは手動で指定する必要があります。新しいページテンプレートは、ページ作成の過程でパラメーターを提供します。
- プラットフォームアナリティクス モジュール式です。一部のページのみを作成し、それらのスタンドアロン機能を取得できます。たとえば、ダッシュボードのサポートまたは KPI 詳細のみが必要な場合は、その機能を備えたページを作成し、 アナリティクスセンターを作成しません。

テンプレート名	関数	必須パラメーター	オプションのパラメーター	パス
KPI 詳細	単一のインジケーターの詳細を表示します	uuid	scoreDate、ブレークダウン、ドメイン、アグリゲート	ac_kpi_details
簡易リスト	テーブルレコードリストを表示します	table	listTitle、query、disableInlineEditing、listView	list
標準レコード	テーブルレコードの詳細を表示します	table、sysId	query、extraParams、views、selectedTabIndex	record
ダッシュボードの概要	すべてのダッシュボードタイルを表示します	なし	なし	all-dashboards
ダッシュボード (ダッシュボードページへのダッシュボードの追加を参照)	ダッシュボード内のデータの可視化とともにダッシュボードを作成、編集、および表示するために使用されます。このページテンプレートは、ダッシュボードサポートの最小要件です。	なし	edit、sysId、tabSysId、filter	dashboard-element
可視化デザイナー	ダッシュボードエディターを使用せずに、ダッシュボードから独立し	sysid	なし	visualization-designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレート名	関数	必須パラメーター	オプションのパラメーター	パス
	てデータの可視化を作成および編集するために使用されます。			

重要: これらのパスは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのページと同じパスを使用する必要があります。ページ上の事前設定されたイベントハンドラーは、これらのパスを使用します。ページにこれらのパスを指定しないと、イベントハンドラーは機能しません。

関連トピック

テンプレートからのページの作成

ダッシュボードページへのダッシュボードの追加

ダッシュボードページへのダッシュボードの追加

テクニカルダッシュボードまたはインラインエディターで作成したダッシュボードのいずれかを、[ダッシュボード] ページテンプレートからビルドしたページに追加できます。そのページでダッシュボードコンポーネントを構成します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて
UI ビルダー のページにダッシュボードを追加するには、「への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース」の説明に従って、ダッシュボードページテンプレートからページを作成します。その後、インラインエディターでダッシュボードに入力するか、既存のダッシュボードを公開することができます。既存のダッシュボードは、テクニカルダッシュボードまたはインラインエディターで作成されたダッシュボードのいずれかにすることができます。ダッシュボード全体または選択したタブのみを公開できます。

手順

1. エクスペリエンスに表示する既存のダッシュボードがある場合は、そのダッシュボードの詳細にある [ダッシュボードの可視化] フィールドにエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースを追加します。
   ダッシュボードの詳細は、テクニカルダッシュボードであっても、インラインエディターから利用できます。詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

   注: 表示する既存のダッシュボードがない場合は、このステップを無視します。

2. 移動先 すべて > エクスペリエンス をクリックしてワークスペースを開きます。
3. ダッシュボードページテンプレートを使用してワークスペースにページを作成するか、テンプレートから作成された既存のページを開きます。
   詳細については、「テンプレートからのページの作成 」と「への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース」を参照してください。

   注: ダッシュボードコンポーネントをページに追加することはできません。ダッシュボードテンプレートからのみページを作成できます。このページにはダッシュボードコンポーネントが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これで、自分または別のユーザーがこのページに移動して開くことができるインラインダッシュボードエディターができました。

4. ページでダッシュボードコンポーネントを開き、構成パネルに移動します。
このページに既存のダッシュボードを表示するには、次の手順に進みます。このページを空のインラインダッシュボードエディターで開く場合は、ステップ 7 に進みます。
5. [デフォルトのダッシュボード] で、ページに追加するダッシュボードを選択します。
   - 表示する特定のダッシュボードが 1 つある場合は、ドロップダウンリストからそのダッシュボードを選択します。ダッシュボードがリストにない場合は、ステップ 1 で説明されているように、このワークスペースまたはエクスペリエンスに表示されていることを確認してください。
   - ビューアーがページで行った選択に従ってさまざまなダッシュボードを表示する場合は、データバインディングを使用して、@state変数に従ってダッシュボードを選択します。
   - ダッシュボードを動的に選択する他の方法については、スクリプトを記述します。

   注: インラインエディターで作成されたダッシュボードを選択した場合、フィルター構成を編集しない限り、そのダッシュボードのフィルターはログインまたはページの更新後もその値を保持します。
6. インポートされたダッシュボードの特定のタブのみを表示する場合は、 タブ **SysID** を指定します。
ダッシュボード自体と同様に、タブを指定したり、データバインディングまたはスクリプティングを使用して動的に選択したりできます。
7. ページの URL パラメーターから切り離してページ内でダッシュボードコンポーネントを使用する場合は、[埋め込みとして使用] を選択します。
つまり、オンにすると、URL パラメーターに関係なく、ダッシュボードに表示される内容を完全に制御できます。このような埋め込みダッシュボードでは、[URL のコピー] および [フィルターを使用して URL をコピー] オプションは使用できません。
8. ダッシュボードコンポーネントプロパティで説明されているように、他の構成オプションを設定します。

次のタスク

ダッシュボードは実行時に開き、インラインエディターで編集できます。編集権限を持つビューアーなら誰でも同じことができます。ビューアーにダッシュボードをライブラリに保存する権限がある場合は、ダッシュボードをローカルに保存するか、ライブラリ内の元のダッシュボードを プラットフォームアナリティクス で変更するかを選択できます。

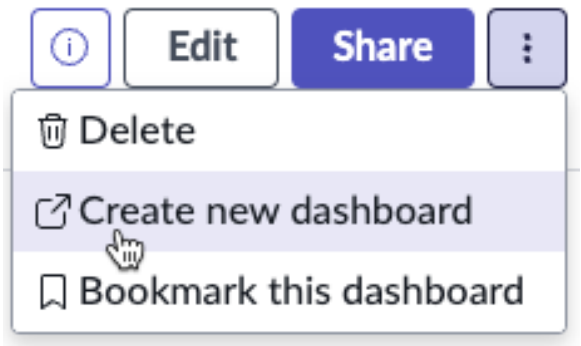
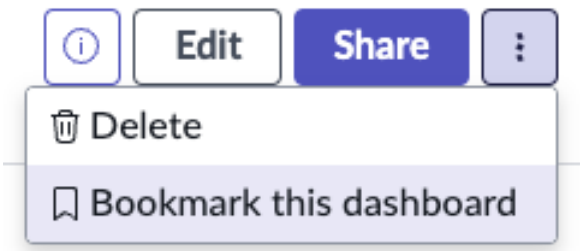
ダッシュボードコンポーネントプロパティ

これらのプロパティを使用して、ダッシュボードコンポーネントのランタイムユーザー機能を無効または有効にします。

フィールド	説明
タブ Sys ID [tabSysId]	既存のダッシュボードの 1 つのタブのみを表示する場合は、その SysID を指定します。[デフォルトのダッシュボード] でもダッシュボードを指定します。 ダッシュボードは、ステータス変数またはスクリプトを使用して、静的または動的に選択できます。
デフォルトのリダイレクトを使用 [defaultDrilldowns]	有効にすると、インラインエディターは、データ可視化のセグメントがクリックされたときのデフォルトの事前設定されたリダイレクトを追加します。カスタムドリルダウンを実装するには、このプロパティを false に設定してから、「イベント」セクションで説明されているように、ダッシュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ボードウィジェットがクリックされたイベントハンドラーを追加してカスタマイズします。 デフォルト：true
ヘッダー [hideHeader] 全体を無効にする	ビューアーにはダッシュボードヘッダーは表示されず、コンテンツのみが表示されます。
ダッシュボードピッカーを非表示 [hideDashboardPicker]	true の場合、ワークスペース内のすべてのダッシュボードでダッシュボードピッカーを非表示にします デフォルト値：false
共有を無効にする [hideShareButton]	すべてのダッシュボードの [共有] ボタンをすべてのユーザーから非表示にしますが、この値が設定されている [ダッシュボード] ページにのみ適用されます。 デフォルト値：false
編集を無効にする [hideEditButton]	すべてのダッシュボードの [編集] ボタンをすべてのユーザーから非表示にしますが、この値が設定されている [ダッシュボード] ページにのみ適用されます。 デフォルト値：false
ダッシュボードの作成を無効にする [hideCreateNewButton]	[ダッシュボード] ページのコンテキストメニューで [新規ダッシュボードを作成] オプションを非表示にします。ユーザーは、アナリティクスセンターまたはダッシュボードライブラリ (ダッシュボードの概要コンポーネント) からダッシュボードを引き続き作成できます。 false の場合:  true の場合:  デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
埋め込みとして使用 [useAsEmbedded]	開発者がページの URL パラメーターから切り離してページ内でダッシュボードコンポーネントを使用する場合は、true に設定します。つまり、URL パラメーターに関係なく、ダッシュボードに表示される内容を完全に制御する必要があります。このような埋め込みダッシュボードでは、[URL のコピー] および [フィルターを使用して URL をコピー] オプションは使用できません。 デフォルト値：false
デフォルトのダッシュボード [defaultDashboard]	このダッシュボードコンポーネントに表示する既存のダッシュボードを選択します。このもう 1 つのダッシュボードは、通常、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスにあります。そのダッシュボードを表示するには、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス構成」で説明したように、ダッシュボードの詳細の [ダッシュボードの可視化] フィールドにワークスペースまたはエクスペリエンスを含める必要があります。 ダッシュボードは、ステータス変数またはスクリプトを使用して、静的または動的に選択できます。
共有可能フィルター SysID [filterId]	ダッシュボードの永続化されたフィルター設定の sysId
グローバルフィルター [globalFilters]	ダッシュボード内の可視化のフィルター。これらのフィルターは、関連するすべてのデータ可視化に適用されます。globalFilter に渡される値の形式は、{encodedQueries: 'encoded-queries-string', filters: 'PAR-Filter'} の文字列化された形式です。encodedQueries とフィルターの両方が内部で PAR フィルターに変換され、ダッシュボードの既存のフィルターと結合されます。 encodedQueries、フィルター、またはその両方を指定できます。次の例では、同等の encodedQueries と filters の値は両方とも、ステータスフィールド値 1 または 2 に基づいてインシデント [incident] テーブルのレコードを表示する可視化をフィルタリングします。 `JSON.stringify({ encodedQueries: {incident: 'stateIN1,2'}, parFilters: [{ order: 0, apply_to: ['incident.state'], values: ['1', '2'] }] })`
コア UI へのドリルダウン [drilldownToCoreUI]	テーブルデータソースのドリルダウンをオンに切り替えると、テーブルレコードの コア UI リストにリダイレクトされます。オフにすると、ワークスペースに簡易リストが含まれている場合、ドリルダウンするとテーブルレコードの簡易リストコンポーネントが開きます。 テクニカルダッシュボードには適用されません。テクニカルダッシュボードのデータの可視化では、「可視化がクリックされました」イベントハンドラーがドリルダウン用に構成されている必要があります。 デフォルト:off
データブローカーを使用してデータをフェッチ [useDataBroker]	オンに切り替えると、ダッシュボードはデータブローカーを使用してダッシュボードのメタデータなどの静的 JavaScript をプリフェッチします。ダッシュボードデータブローカープリセットは、このプロパティを自動的にオンに切り替えます。プリセットがない場合、このプロパティはデフォルトでオフになっています。詳細については、「ダッシュボードデータブローカーの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ダッシュボードのデータブローカー応答 [data]	データブローカーが使用されるときの応答。ダッシュボードデータブローカープリセットは、このプロパティの JSON オブジェクトを自動的に設定します。どうしても必要な場合は、この値を上書きするか、プリセットをオンにせずに手動で設定できます。

ダッシュボードコンポーネントイベント

イベントハンドラーを選択して、ダッシュボードコンポーネントで提供されるアクション (イベント) を構成します。

[イベント] タブには、ダッシュボードコンポーネントで使用されるイベントが表示されます。利用可能なイベントを表示するには、[+ イベントマッピングを追加] を選択します。リスト内のイベントを選択して、1 つ以上のイベントハンドラーを追加します。

イベントハンドラー

イベントハンドラーはデータリソースと連携して、ユーザーに表示するデータにダッシュボードアクションをリンクします。リスト内のイベントを選択して、1 つ以上のイベントハンドラーを追加します。

イベントの説明

イベント	説明

ダッシュボードの概要ページに移動	ダッシュボードが閉じられ、ダッシュボードライブラリにリダイレクトされるとディスパッチされます。この動作をカスタマイズするには、[ダッシュボードリストにリダイレクト (Redirect to dashboard list)] クライアントスクリプトのルートとタイトルを変更します。クライアントスクリプトを開くには、ページのサイドバーにある<>アイコンを選択します。
	`* @param {params} params`
	`* @param {api} params.api`
	`* @param {any} params.event`
	`* @param {any} params.imports`
	`* @param {ApiHelpers} params.helpers`
	`*/`
	`function handler({api}) {`
	`  api.emit('SCREEN_STATUS_CHANGED', {status: 'closed'});`
	`  api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', {`
	`  route: 'dashboard-library',`
	`  title: 'Dashboard Library',`
	`  });`
	`}`

ダッシュボードウィジェットがクリックされました	ダッシュボードの可視化がクリックされたときのカスタム動作でデフォルトのドリルダウンを上書きする場合は、このイベントハンドラーを追加します。ダッシュボードウィジェットクリッククライアントスクリプトを使用します。カスタムドリルダウンを追加するには: **1.** defaultDrilldowns プロパティを false に設定します。 **2.** [ダッシュボードウィジェットがクリックされました] イベントハンドラーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント	説明
	3. ダッシュボードウィジェットがクリックされたクライアントスクリプトを開きます。クライアントスクリプトを開くには、ページのサイドバーにある<>アイコンを選択します。 4. コード `api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', payload);` を見つけ、カスタムリダイレクトロジックに合わせて `ペイロード` を更新します。

インラインダッシュボードからのカスタムリダイレクトの構成

ダッシュボードページテンプレートを使用してワークスペースにページを作成した場合は、インラインエディターで作成されたそのページのダッシュボードコンポーネントからクリック時のリダイレクトをカスタマイズできます。

始める前に

ダッシュボードページテンプレートから生成されたページを使用して、 UI ビルダー でワークスペースを作成しました。次に、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」で説明したようにダッシュボードを追加しました。ダッシュボードは、インラインエディターで作成されている必要があります。

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

重要: ここで説明する手順は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。テクニカルダッシュボードでは、データの可視化ごとにドリルダウンイベントによるリダイレクトを構成します。詳細については、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化へのドリルダウンイベントの追加」を参照してください。

手順

1. UI ビルダーでワークスペースを開きます。
2. 関連するページを開きます。
   このページは、Dashbords ページ テンプレートを使用してビルドしました。
3. ダッシュボードコンポーネントを選択します。
4. 構成パネルで、[デフォルトのリダイレクトを使用] をオフにします。

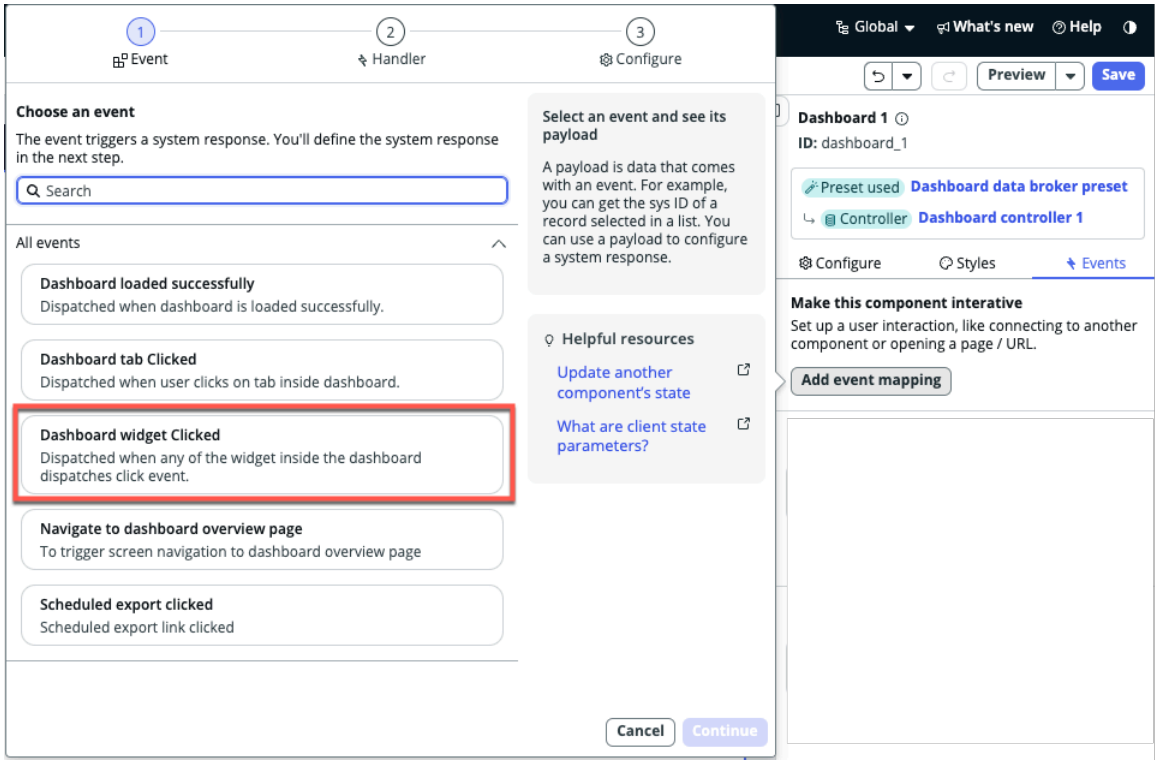
   リダイレクトをオフにしました。実行時に可視化をクリックしても、アクションはトリガーされません。
5. イベントパネルで、「ダッシュボードウィジェットがクリックされました」イベントハンドラーがあるかどうかを確認します。
6. 「ダッシュボードウィジェットがクリックされました」ハンドラーがない場合は、追加します。

自動翻訳

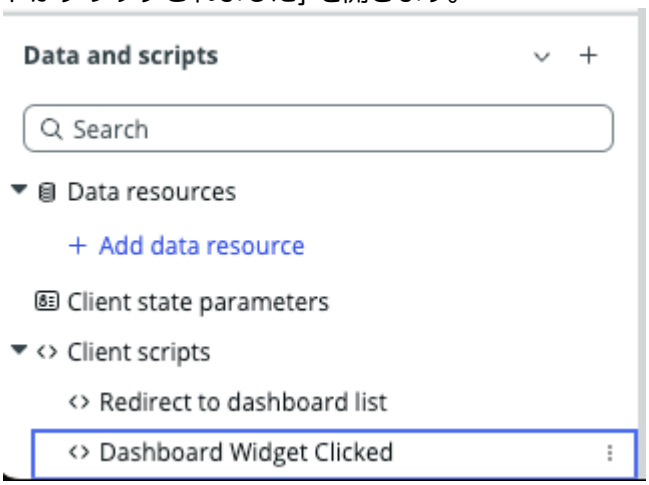
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. **[+** イベントマッピングを追加] を選択します。

b. 利用可能なイベントのリストから、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を選択します。



7. ページの [データとスクリプト] 領域の [クライアントスクリプト] で、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を開きます。



8. [クライアントスクリプトの編集] ペインで、 `api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', payload);` という行を見つけます。

9. カスタムリダイレクトロジックに合わせてペイロードを更新します。

結果
そのダッシュボードのデータ可視化からのすべてのリダイレクトは、指定したターゲットを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グローバルフィルターをダッシュボードページテンプレートに渡す

グローバルフィルターがダッシュボードに送信され、ダッシュボード内の可視化のフィルターとして機能します。これらのフィルターは、ダッシュボードの既存のフィルターと結合されます。

このタスクについて

グローバルフィルターは、ターゲットダッシュボードの可視化に適用されるフィルターです。これらのフィルターは、関連するすべてのデータ可視化に適用されます。globalFilter に渡される値の形式は、{encodedQueries: 'encoded-queries-string', filters: 'PAR-Filter'} の文字列化された形式です。encodedQueries とフィルターの両方が内部で プラットフォームアナリティクス フィルターに変換され、ダッシュボードの既存のフィルターと結合されます。

encodedQueries、フィルター、またはその両方を指定できます。次の例では、同等の encodedQueries と filters の値は両方とも、ステータスフィールド値 1 または 2 に基づいてインシデント [incident] テーブルのレコードを表示する可視化をフィルタリングします。

```
JSON.stringify({
    encodedQueries: {incident: 'stateIN1,2'},
    parFilters: [{ order: 0, apply_to: ['incident.state'], values: ['1', '2'] }]
})
```

UI ビルダーページにダッシュボードへのリンクを設定して、既にフィルタリングされているダッシュボードを開きます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. グローバルフィルターを追加する UI ビルダー ページに移動します。
2. 指定したsys_IDのダッシュボードを指すように、ページ上のハイパーリンクまたはボタン (またはその他のもの) の動作を構成します。
   この例では、sys_IDは 1238 です。

   showInfoMessage パラメーターが true の場合、フィルターが渡されると、リンクされたダッシュボードに構成された infoMessage が表示されます。

```
api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', {
      route: 'dashboards',
      params: {
         sysId: '1238',
         unifiedFilters: JSON.stringify({
            showInfoMessage: true, // default false
            infoMessage: 'custom info message', // if not passed and if showInfoMessage is
 true then the default message is displayed
            encodedQueries: {
               incident: 'priority=1'
            },
         })
      }
   });
```

ダッシュボードデータブローカーの構成

ダッシュボードデータブローカープリセットをアクティブ化し、一部のデータをプリフェッチすることでダッシュボードのロードを高速化する可能性があるようにデータブローカーを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

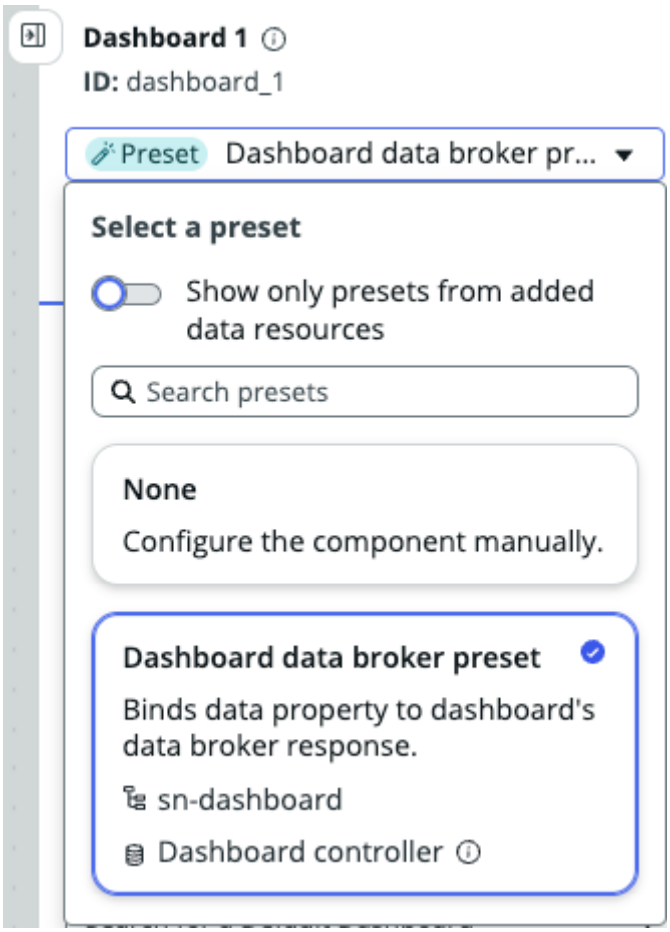
始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

このタスクについて
ダッシュボードには、ダッシュボードデータブローカープリセットが含まれています。このデータブローカーは、ダッシュボードに表示される可視化に必要なすべての静的 JavaScript 資産をプリフェッチします。このプリフェッチにより、このような資産が多数含まれる可視化のロードが高速化される可能性があります。

このデータブローカーは、ページの直接ロード時にのみデータをプリフェッチします。これは、別のページから URL リンクを選択してダッシュボードを開いたときなど、クリックスルーページの読み込みには適用されません。また、ダッシュボードが埋め込みコンポーネントとして使用されている場合も機能しません。

手順

1. ワークスペースを開き、ダッシュボードテンプレートからページを作成するか、そのテンプレートから既存のページに移動します。
2. ダッシュボードコンポーネントの構成パネルで [構成] タブを開きます。
3. ダッシュボードデータブローカープリセットがアクティブ化されているかどうかを確認します。プリセットはデフォルトで有効になっています。



4. ページの [データとスクリプト] セクションで、 データリソース > データコントローラー **1**. 必要に応じて、データリソースの名前を変更できます。
5. プロパティが正しいかどうかを確認します。

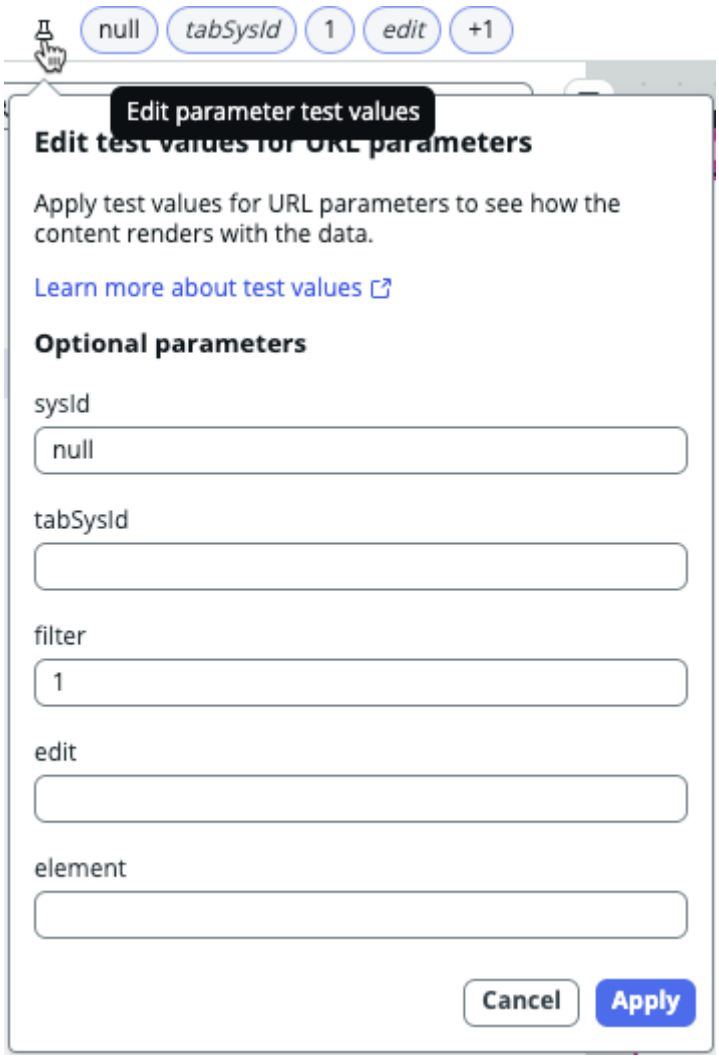
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	値
experienceId	appId >アプリ
dashboardSysId	sysId >プロパティ
filterId	フィルター>プロパティ

6. オプションのページパラメーターのデフォルト値を追加します。

パラメーター	値
sysId	null
フィルター	1



7. 構成パネルで、次のプロパティが正しく設定されているかどうかを確認します。

プロパティ	値
データブローカーを使用してデータをフェッチ	true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	値
データブローカーの応答	ダッシュボード>データ:({"success":false})

これらの値はカスタマイズできますが、おそらくカスタマイズする必要はありません。

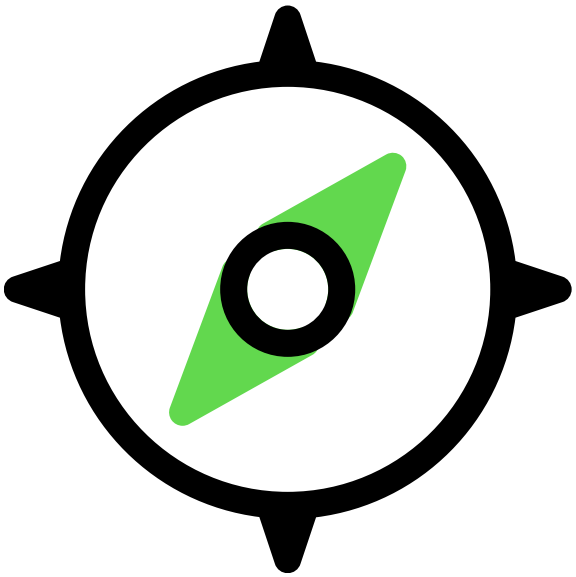
8. ページを保存し、実行時に開きます。

KPI 詳細

KPI 詳細 ページでは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーター (KPI) 内の情報を掘り下げることができます。

開始するには

探索



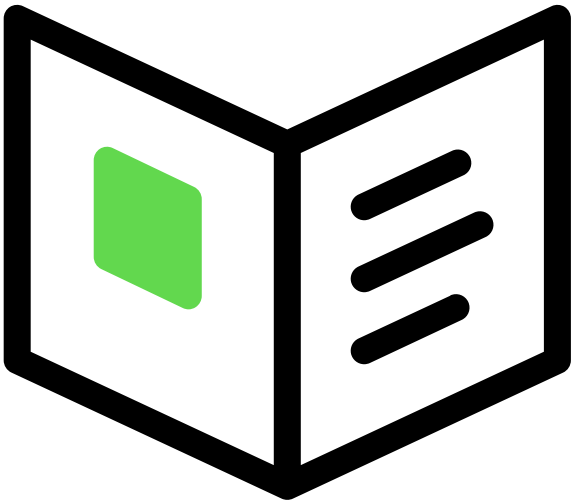
KPI 詳細の目的と開く方法を学ぶ

インジケーターを調査

を使用してインジケーターから
情報を抽出する方法 KPI 詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットとしきい値の設定	参照
	
インジケーター値の目標を定義し、制限を設定する	システムプロパティなど

トラブルシューティングとサポート

- インジケーターについて質問したり、他のリソースを調べたり、 KPI 詳細 および プラットフォームアナリティクス 一般的に ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

KPI 詳細の詳細

KPI 詳細 は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。

https://player.vimeo.com/video/1058665909?h=4d57780e26&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

KPI 詳細では、次のような質問に答えることができます。

- 「前回の更新以降、毎日新しい重大なインシデントは増加していますか?」
- 「重大なインシデントの増加は、P3 インシデントの増加よりも速いですか?」
- 「過去四半期に重大なインシデントが最も増加した上位 3 つのグループは何ですか?」
- 「先週のインシデントの急増に対応する具体的なインシデントは何ですか?」
- 「過去 3 週間の私の通常の新規インシデント数 (中央値/平均/合計) はどれくらいですか? 過去 2ヶ月?」

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI 詳細を使用して次のタスクを実行する方法について説明します。

- インジケーターの全体的な健全性を確認します。
- 任意のインジケーターの傾向を探索します。
- 任意の日付に対応する個々のレコードをレビューします。
- インジケーターの のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細 を管理します。

KPI シグナルの重要な傾向の通知を構成することで、KPI 詳細を強化します。

ヒント: KPI 詳細向けの無料トレーニングは、NOW Learning Center から入手できます。

注: 10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

KPI 詳細を表示

インジケーターのリストからインジケーターを選択し、その KPI 詳細 ページを開きます。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて
次のアクションが KPI 詳細開かれます。

手順

- プラットフォームアナリティクスライブラリの [KPI] ページでインジケーターを選択します。 プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > **KPI**.
  そのリストにインジケーターを表示するには、そのインジケーターレコードの [アクセス制御] タブの [ライブラリに表示] 設定を選択 (true) する必要があります。
- データの可視化でインジケーターのグラフ上のポイントを選択します。
  デフォルトではこれが開く KPI 詳細が、特定のデータ可視化はそうでない構成になっている場合があります。
- アナリティクス Q&A のクエリでインジケーターが返される場合は、インジケータースコアをクリックしてインジケーターを KPI 詳細で開きます。
- ネクストエクスペリエンスのコンポーネントでビルドされたアプリケーションでは、インジケータースコアカードなどのコンポーネントがKPI 詳細にリンクされる場合があります。

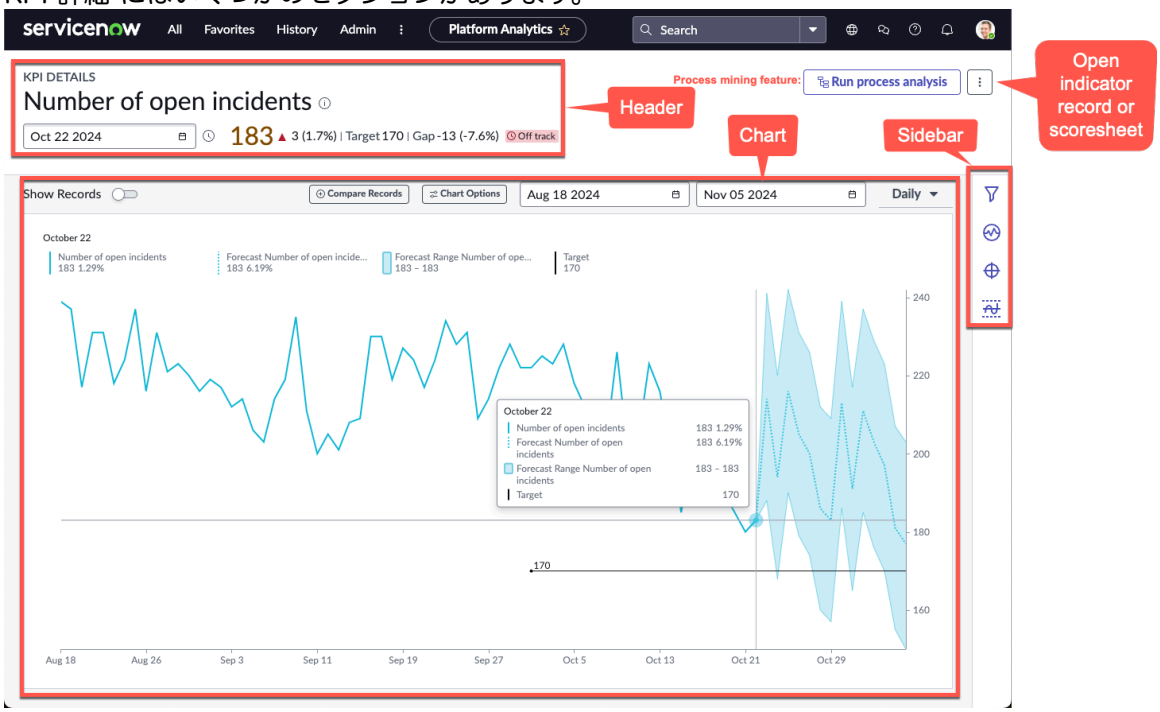
結果
選択したインジケーターの KPI 詳細 ページが開きます。

によるインジケーターの検査 **KPI** 詳細

KPI 詳細機能を使用すると、重要業績評価指標の背後にある情報を掘り下げることができます。予測、傾向、ターゲット、しきい値を適用します。ブレークダウン要素でフィルタリングするか、時系列アグリゲーションを適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI 詳細 にはいくつかのセクションがあります。



ヘッダー

ヘッダーには、インジケーターの名前、日付セレクター (デフォルト:前回のデータ収集)、およびその日付のスコアが含まれています。そのスコアと以前に収集されたスコアとの絶対差とパーセンテージの差が表示されます。インジケーターに [最大化] または [最小化] が設定されている場合、スコアの色とスコアの方向変更矢印は、スコアが改善しているか悪化しているかを示します。

日付セレクターは、インジケーターが使用するカレンダーを使用します。

インジケーターでリアルタイムスコアが有効になっている場合は、時計アイコンを使用して、ヘッダーでリアルタイムスコアを表示するかどうかを選択します。 リアルタイム 。このアイコンは、リアルタイムスコアが無効になっている場合は透明で、有効になっている場合は実線になります。 。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

選択した日付にターゲットが設定されている場合、ヘッダーにはターゲット値に加えて、その日付のスコアとターゲットとのギャップが絶対値とパーセンテージの両方で表示されます。のチャートオプション KPI 詳細 で設定されているターゲットと予測の両方が表示されている場合、レビュー日までにインジケーターがターゲットを達成できるかどうかがバッジで示されます。

警告: リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

インジケーターグラフ

インジケーターチャートには次の情報が表示されます。

- チャート オプション メニュー。詳細については、「のチャートオプション KPI 詳細」を参照してください。
- グラフ内の情報の日付範囲を選択する日付ピッカー。
- 経時的なインジケーターの時系列グラフィック表現。グラフ内の点をクリックすると、その日付の詳細が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 時系列アグリゲーションセレクター。詳細については、「で時間アグリゲーションを選択 KPI 詳細」を参照してください。
- [レコードを表示] トグルを選択すると、選択した日付のインジケータースコアに関連付けられたレコードが表示されます。詳細については、「KPI 詳細でのレコードの表示、比較、作成、編集」を参照してください。

警告: 第 2 レベルのブレークダウンを収集したときに、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。

重要: フィルターで「一致しない」ブレークダウン要素を選択すると、レコードはリストされません。

サイドバー

サイドバーコントロールを使用して、次の操作を行います。

- ブレークダウンと要素でフィルター 。
- インジケーターの KPI シグナル を表示します ( )。「KPI シグナル」を参照してください。
- インジケーターのターゲットまたはしきい値 ( ) を設定します。「のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細」を参照してください。

プロセス分析

これらの 3 つのセクションに加えて、[プロセス分析を実行] ボタンを使用すると、インジケーターの プロセス最適化 分析を開始できます。詳細については、「プロセス最適化」を参照してください。

その他のアクションメニュー

インジケーターレコードとスコアシートにアクセスできる [その他の] メニューアイコンもあります。詳細については、「KPI 詳細からインジケーターレコードまたはスコアシートにアクセスする」を参照してください。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

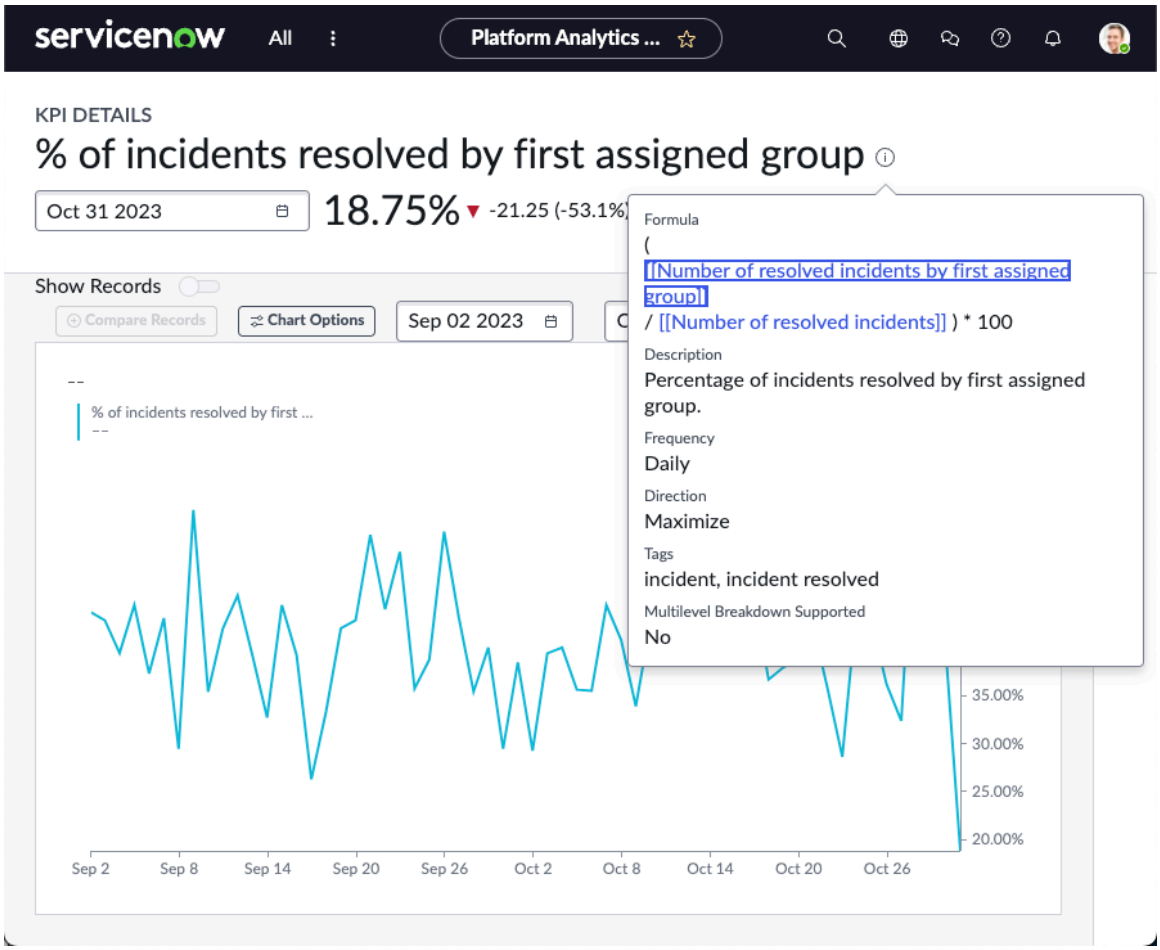
で式に寄与するインジケーターの表示 **KPI** 詳細

KPI 詳細 で式インジケーターを表示している場合は、その式に寄与するインジケーターを一覧表示できます。KPI 詳細構成に応じて、KPI 詳細で貢献インジケーターを開くことができます。

情報アイコン インジケーターの名前の横にある情報ペインが開きます。インジケーターが式インジケーターの場合、情報ペインには式が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UI ビルダーアドミンが表示しているKPI 詳細コンポーネントをどのように構成したかに応じて、貢献インジケーターの名前をクリックできます。クリック可能な場合、インジケーター名を選択すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。ここでも、構成に応じて、インジケーターは同じ KPI 詳細 タブまたは同じワークスペースの新しいタブのいずれかで開くことができます。

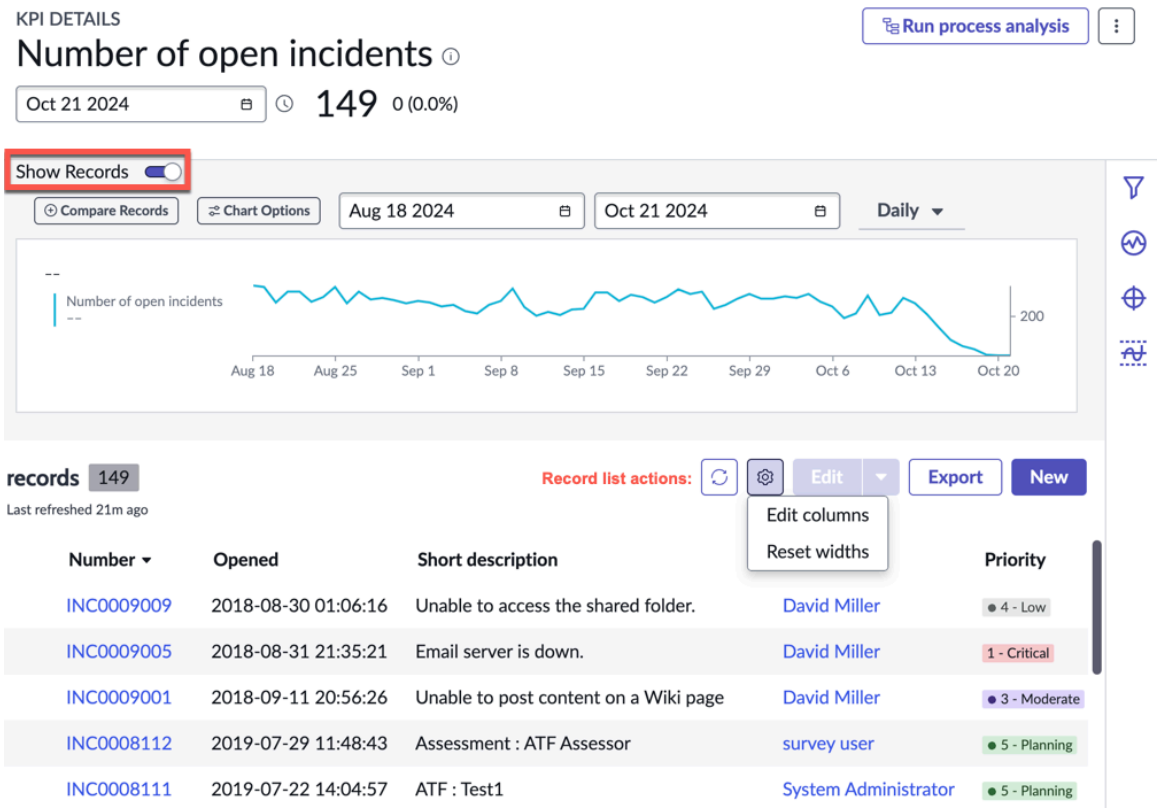
KPI 詳細でのレコードの表示、比較、作成、編集

インジケータースコアの基礎となるレコードのリストを表示できます。レコードの作成、個々のレコードの編集、またはレコードの比較を行うことができます。レコードリストをエクスポートすることもできます。

自動インジケーターのスコアは、テーブルレコードから収集された値に基づいています。KPI 詳細で自動インジケーターを表示している場合は、[レコードを表示] を切り替えて、インジケータースコアの基礎となるレコードのリストを表示します。選択した日付のスコアの背後にあるレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:

- レコードは、パーセンテージや平均を計算するインジケーターなどの 式インジケーターには使用できません。
- 表示されるレコードのリストビューは、次のいずれかの設定に従います (優先度順)。
  1. UI ビルダーのレコードリストビュー構成プロパティの値 (設定されている場合)
  2. インジケーターソースの [リストビュー] フィールドの値 (設定されている場合)
  3. デフォルトビュー

レコードの表示または編集

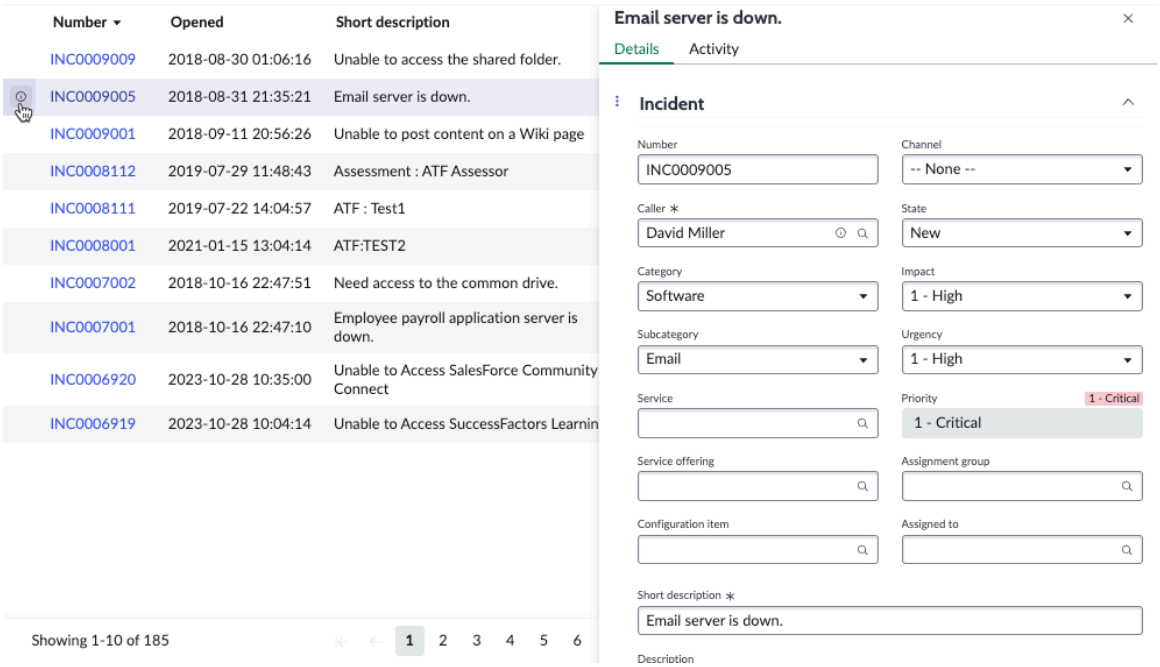
[レコードを表示] を有効にしている場合は、 KPI 詳細内からいずれかのレコードを編集できます。

KPI 詳細コンポーネントの構成方法に応じて、次のいずれかの方法でリストされたレコードを編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

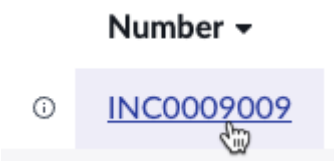
- クイックビューペイン内。レコードのクイックビューを開くには、レコードのリストエントリの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。レコードのアクティビティを表示したり、レコードを編集したりできます。完了したら、[更新] をクリックしま



す。

クイックビューペインは、 UI ビルダー でオンになっている場合にのみ使用できます。

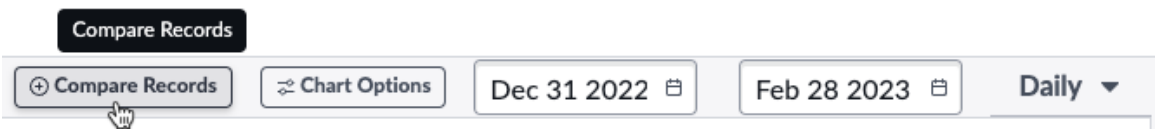
- レコードの別のタブにあります。新しいタブでレコードを開くには、そのリストエントリの最初の列の値をクリックします。



比較レコード

任意の 2 つの期間のインジケータースコアと基礎となるレコードを比較できます。これらの期間の間に移動済み、共有済み、または移動済みのレコードを一覧表示します。

可視化の上にある [レコードの比較] を選択して、レコード比較ビューを開きます。



日付を入力するか、カレンダーを使用して、比較する期間を選択します。日付は [Jan-Dec] DD YYYY 形式です。左側のピリオドは、右側のピリオドと同じかそれより前である必要があります。左側の後の期間または右側の前の期間を選択しようとすると、両方のスコアが選択した期間に切り替わります。

2 つのスコアの間には、これらの期間の間に移動、共有、または移動されたレコードの数が表示されます。これらの値はそれぞれボタンです。値を選択して、対応するレコードをリストします。

それぞれが 1 つの要素を持つ最大 2 つの ブレークダウンでフィルタリングされたレコードを比較できます。複数のレベル要素でフィルタリングされたレコードは比較できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

過去の期間のレコードをリアルタイムスコアと比較できます。リアルタイムスコアがオンになっている場合、デフォルトでは、最後に収集された期間のスコアとリアルタイムスコアが比較されます。

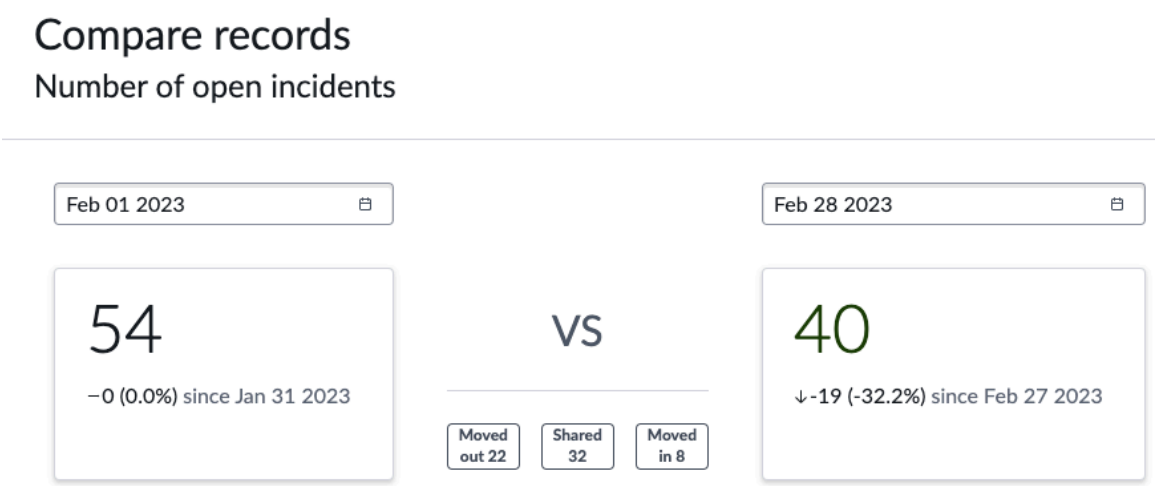
重要: レコード比較は、レコード収集がオンになっている自動インジケーターでのみ使用できます。また、時間アグリゲーションを適用すると、レコードではなくスコアのみを比較できます。

Example: レコードの比較中

この例では、2023 年 2 月 1 日のオープンインシデントレコードの数を 2 月 28 日のインシデントレコードの数と比較しています。次の変更が表示されます。

2 月 1 日	2月28日
54 レコード	40 レコード
1 月 1 日以降の 0% の変化	2月27日以降、レコードが19件減少(-32.2%)

- 移動済み (日付の間に削除): 22
- 共有 (両方の日付に出席): 32
- 移動済み (日付間に追加): 8



KPI 詳細のレコードリストアクション

基になるレコードを KPI 詳細に表示する場合は、リストを更新またはエクスポートしたり、表示する列を選択したり、新しいレコードを作成したりできます。

KPI 詳細 のレコードリストには、リスト上のアクション用の一連のボタンとアイコンがあります

- リフレッシュアクションの は、単にリストをリフレッシュするだけです。
- レコード - リストアクション アイコンコントロールを使用すると、リストに表示する列を選択できます。このアイコンを選択すると表示される [幅をリセット] オプションは、 KPI 詳細に対して有効になりません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- KPI 詳細では [編集] ボタンが有効になっていません。技術的な理由により、個々のレコードを編集するための別のメカニズムが提供されています。詳細については、「レコードの表示または編集」を参照してください。
- [エクスポート] ボタンをクリックするとダイアログが開き、レコードのリストを次のいずれかの形式でローカルファイルまたはメールの添付ファイルとしてエクスポートできます。
  - Microsoft Excel
  - CSV
  - JSON
  - PDF
- [新規] ボタンをクリックすると、レコードテーブルに空白のフォームが開きます。

のチャートオプション **KPI** 詳細

[KPI 詳細 チャートオプション] メニューを使用すると、インジケーターの可視化の表示、非表示、または変更を行えます。選択したチャートオプションは、各インジケーターについてユーザーごとに保持されます。チャートオプションは、分析、時系列、チャートタイプのオプションに分かれています。

アナリティクスオプション

注: インジケータースコアが複数の要素で集計される KPI 詳細 では、ターゲット、しきい値、傾向、およびコメントはサポートされません。

ターゲット

ターゲットは、インジケーターに求められているスコアです。可視化に インジケーターターゲット を表示する場合に選択します。インジケーターにターゲットが設定されていない場合、このオプションは使用できません。

しきい値

しきい値は、インジケーターのスコアについて正常と見なされる範囲を定義します。可視化に インジケーターのしきい値 を表示する場合に選択します。インジケーターにしきい値が設定されていない場合、このオプションは使用できません。

予測

既存のトレンドに基づいて将来のスコアを予測することができます。予測を構成するには、「 パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。インジケーターで予測が構成されていない場合、このチャートオプションは使用できません。

傾向図

選択した期間のスコア値の線形傾向を表示します。傾向は、複数の要素でフィルタリングされたインジケーターには使用できません。

コメント

アナリティクスハブ内のインジケーターに追加されたコメント、またはシステム計算によって生成されたコメントを表示する場合に選択します。システム計算には、しきい値を超えた場合の通知が含まれます。

ラベル

ラベルには、インジケーターの主な時系列値が表示されます。ターゲットやしきい値などの派生時系列ラインにはラベルは表示されません。

統計情報

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティブにすると、選択した日付範囲におけるインジケーターの統計情報セットが表示されます。詳細については、このトピックの「統計」セクションを参照してください。

統計情報

[統計チャート] オプションを有効にすると、チャートに表示される日付範囲全体 KPI 詳細 次の統計情報が表示されます。

スコア数
: 選択した時間範囲内のインジケータースコアの数。

最大
: 選択した時間範囲内の最高スコア値または最大スコア値。

最小
: 選択した時間範囲の最低スコア値。

合計
: 選択した時間範囲のスコアの合計。

平均
: 合計をスコア数で割って計算された、選択した時間範囲の平均スコア。外れ値がない、またはほとんどないスコアの正規分布がある場合は、平均値が中央値よりも望ましいです。

中央値
: スコア分布の中央の数字。スコアの半分がこの数よりも高く、半分のスコアが低くなります。スコアに 1 つ以上の外れ値 (系列 2、3、3、5、7、130 の 130 など) が含まれている場合は、中央値が平均よりも望ましいです。平均値と中央値の間に大きな差がある場合は、中央値の方が意味のある統計情報である可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更

選択した時間範囲内の最後のスコアと最初のスコアの差。

変更 %

選択した時間範囲内の最後のスコアと最初のスコアの差 (最初のスコアのパーセンテージ)。

標準偏差

選択した時間範囲内のスコア間の平均値からの偏差の量。標準偏差が低いということは、スコアが平均に近いことを意味します。母 KPI 詳細 の標準偏差ではなく、サンプルの標準偏差を計算します。

すべての統計がすべてのインジケーターに適用できるわけではありません。インジケーターレコードでは、適用されない統計情報を KPI 詳細 にも アナリティクスハブにも表示しないようにすることができます。たとえば、単位がパーセンテージのインジケーターでは、変更 % 統計情報を除外できます。詳細については、「詳細インジケーター設定」を参照してください。

[Time series (時系列)] オプション

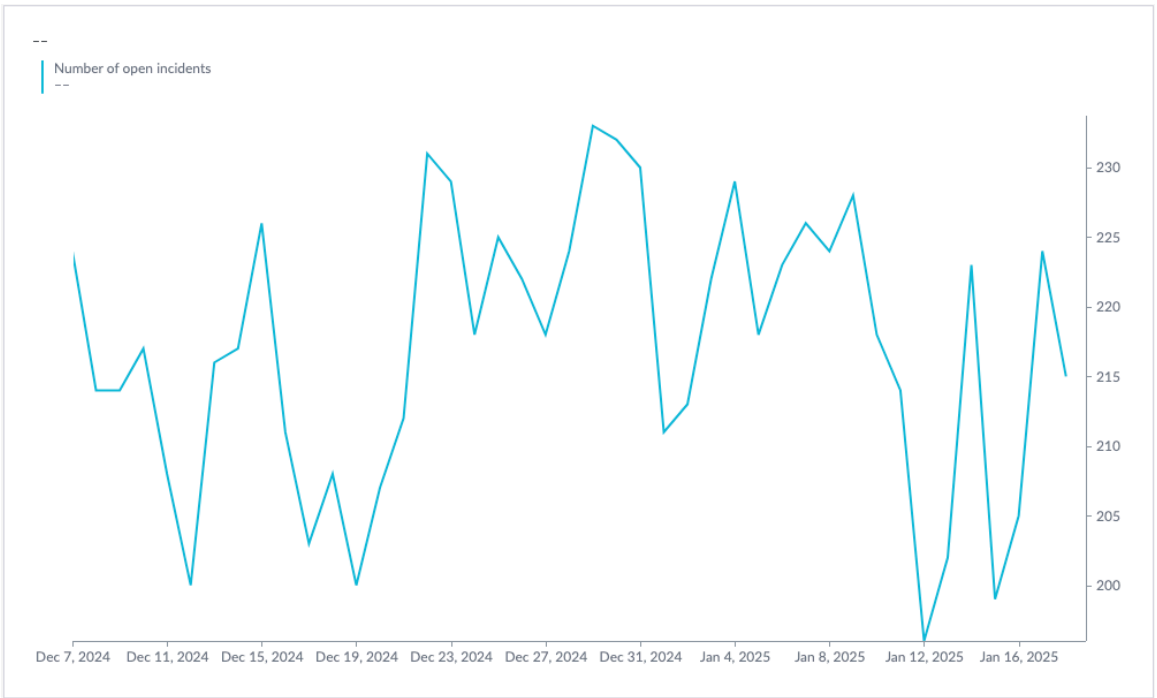
時系列オプションは、グラフに表示される測定値の種類を設定します。すべての測定値 一緒に表示できます。

- Score (スコア) (デフォルト)
- 変更
- 変更 %

[Chart type (チャートタイプ)] オプション

次のチャートの可視化から選択します。

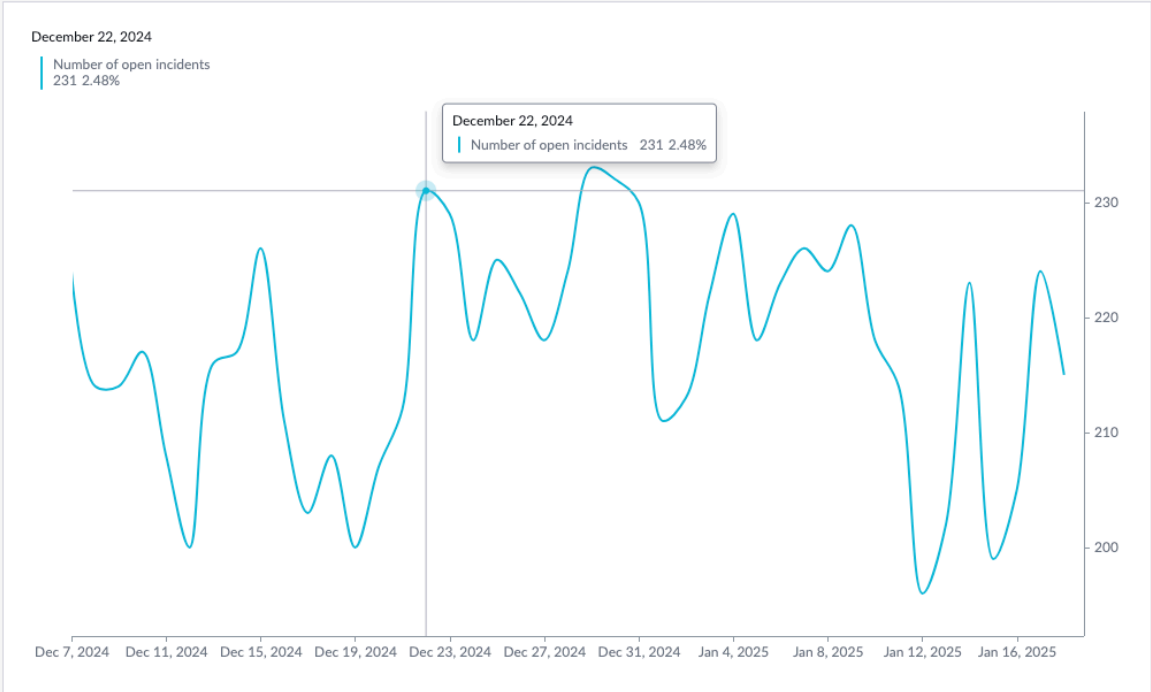
- 線 (デフォルト)。経時的な変化を追跡し、インジケータースコアの違いを確認するのに役立ちます。



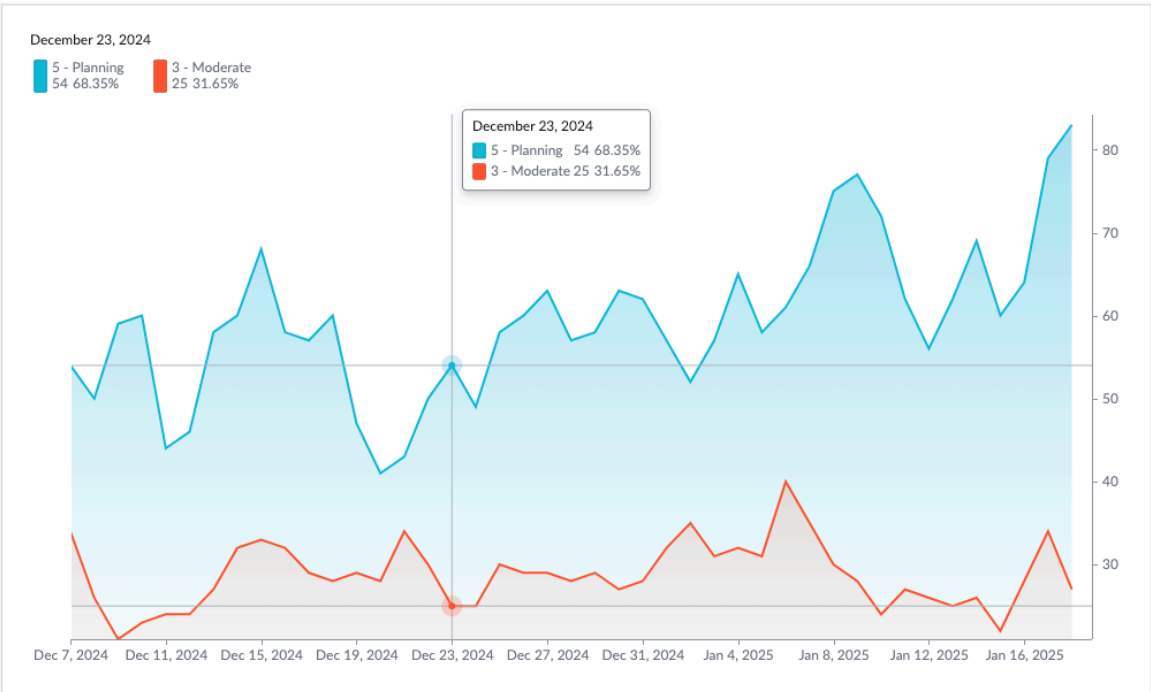
- スプライン。スムーズで段階的な変更を提案するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



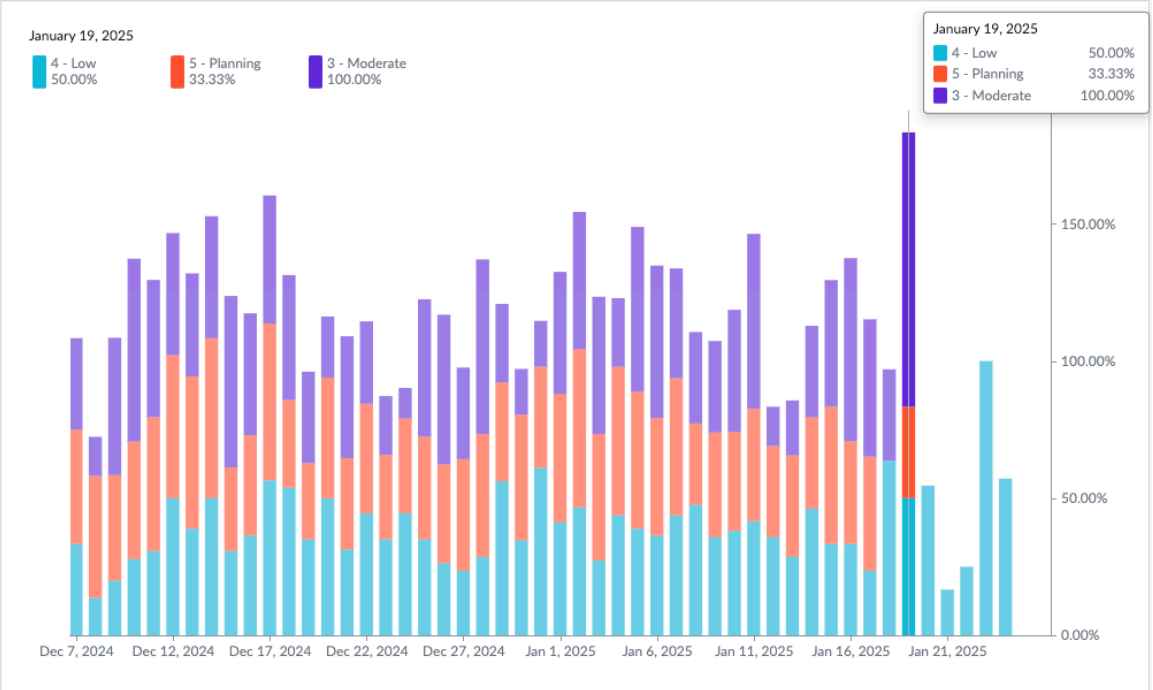
- 面積。[フィルター] で [個別の時系列として表示] が選択されている場合に、関連するブレークダウンに経時的な傾向を表示するのに役立ちます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コラム。[フィルター] で [個別の時系列として表示] が選択されている場合に、複数のブレークダウン要素を比較するのに役立ちます。



で時間アグリゲーションを選択 **KPI** 詳細

インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。時間集計は、[四半期ごと] などの時系列と組み合わせた平均または合計関数で構成されます。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて
インジケーターの別の時間面を調べるには、次のいずれかの時間集計を適用します。

実行中

傾向を明らかにするために、スパイクを滑らかにします。たとえば、日次インシデント数を見ると毎週末に減少していることがわかりますが、7 日間の実行平均を測定すると、その減少は平滑化されます。

期間

頻度の低い期間にデータをアグリゲートします。たとえば、P1 インシデントの数を毎日追跡したいが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎる場合があります。代わりに、「月別」の時系列を使用して月次レベルでターゲットを設定できます。

終了日

累積スコアを表示します。これらの時間集計は、達成する月次ターゲットがある場合に役立ちますが、月全体の速度を確認する必要もあります。

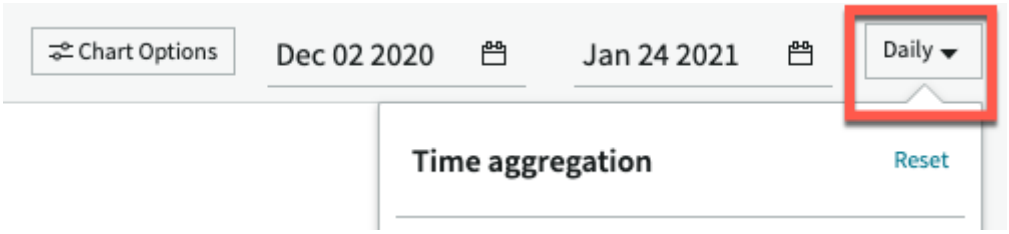
時間集計の使用、動作、および制限の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy のビデオをご覧ください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細で、インジケーターの可視化の時間アグリゲーションメニューを展開します。



> **注:** 時間アグリゲーションはリアルタイムスコアには使用できません。時間アグリゲーションを選択すると、リアルタイムスコアは無効になります。デフォルトの頻度に戻すと、リアルタイムスコアは再び有効になりますが、オフになります。必要に応じてオンにすることができます。

2. 構成するアグリゲーションを [実行中]、[期間]、または [終了日] のいずれかを選択します。
3. 期間を選択します。
   インジケーター頻度の無効な期間と除外された期間は有効になっていません。除外された期間の詳細については、「 インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。
4. 平均関数または合計関数を選択します。
5. 期間のアグリゲーションを選択した場合は、部分的な期間を含めるかどうかを決定します。
   期間の一部を含めると、まだ完了していない場合でも現在の期間のスコアが表示されます。部分的な期間を含めると平均が歪む可能性があるため、注意してください。

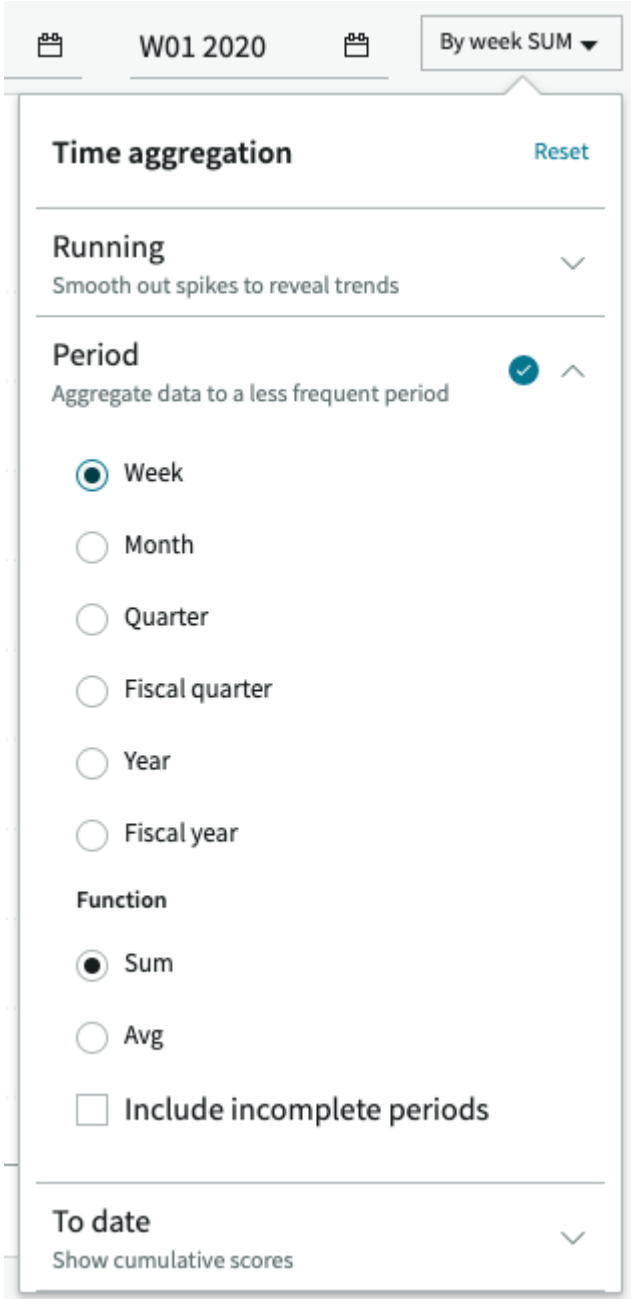
結果
インジケーターの可視化は、選択するたびに更新されます。選択内容を好きなだけ変更します。インジケーターのデフォルトの時間アグリゲーションに戻すには、[リセット] を選択します。

Example: 日次インジケーターの時間アグリゲーション

次の時間アグリゲーションメニューでは、日次インジケーター [オープンインシデントの数] が期間ごとに週次合計に集計されます。部分週は含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウン要素で **KPI** 詳細 フィルター

KPI 詳細では、[フィルター] サイドバーのインジケーターにブレークダウンと要素を適用します。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要な場合があります。

このタスクについて
インジケーターがサポートする数のブレークダウンを選択できます。インジケーターで ブレークダウンマトリクスの収集 を有効にすると、最大 2 つのレベルのブレークダウンを選択できます。また、最初のブレークダウンで複数の要素を選択できます。(インジケーターが式インジケーターの場合、貢献する自動インジケーターでブレークダウンマトリクスの収集を有効にする必要があります。)インジケーターで データスナップショット を有効にすると、いくつでもブレークダウンと要素を選択できます。

重要: フィルター条件は、 KPI 詳細 ページの更新間は保持されません。

自動翻訳

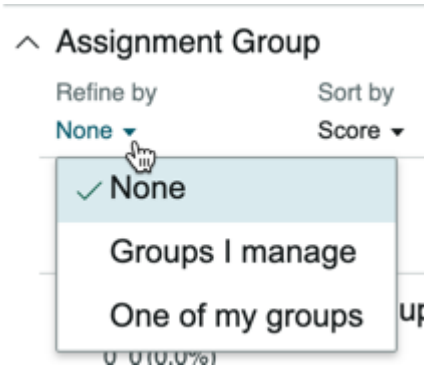
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細のサイドバーで、[フィルター] アイコンを選択します。
   このインジケーターのブレークダウンのリストが表示されます。
2. ブレークダウンを展開します。
   ブレークダウンの要素のリストが表示されます。
3. ブレークダウンの要素フィルターが存在する場合は、それを使用して要素のリストを絞り込むことができます。

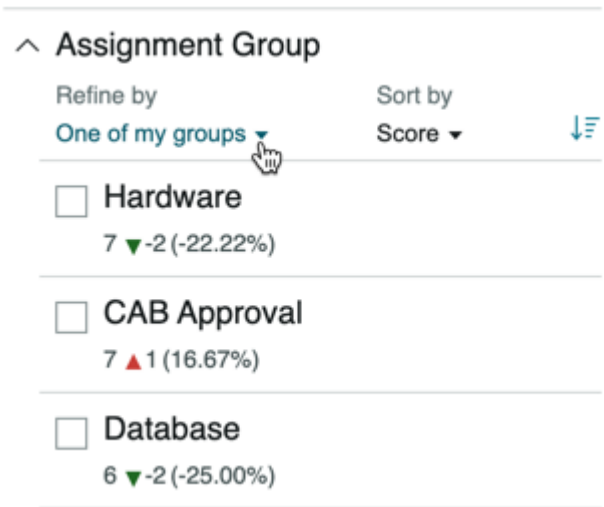
   a. [絞り込み基準] リストを展開して、利用可能な要素フィルターを表示します。

   Example
   この画像は、 ベースシステムのアサイン先グループのブレークダウンで使用できる [自分が管理するグループ] および [自分のグループの 1 つ] 要素フィルターを示しています。



   b. 要素フィルターを選択します。

   Example
   この画像では、「自分のグループの 1 つ」が選択されています。要素のリストには、ログオンしたユーザーが属するアサイン先グループのみが含まれるようになりました。



4. [ソート基準] メニューで、名前、選択した日付のスコア、または前の日付からの変更で要素をソートします。
   リアルタイムスコアがオンになっている場合は、名前によるソートのみを使用できます。
5. 1 つ以上の要素を選択します。

自動翻訳

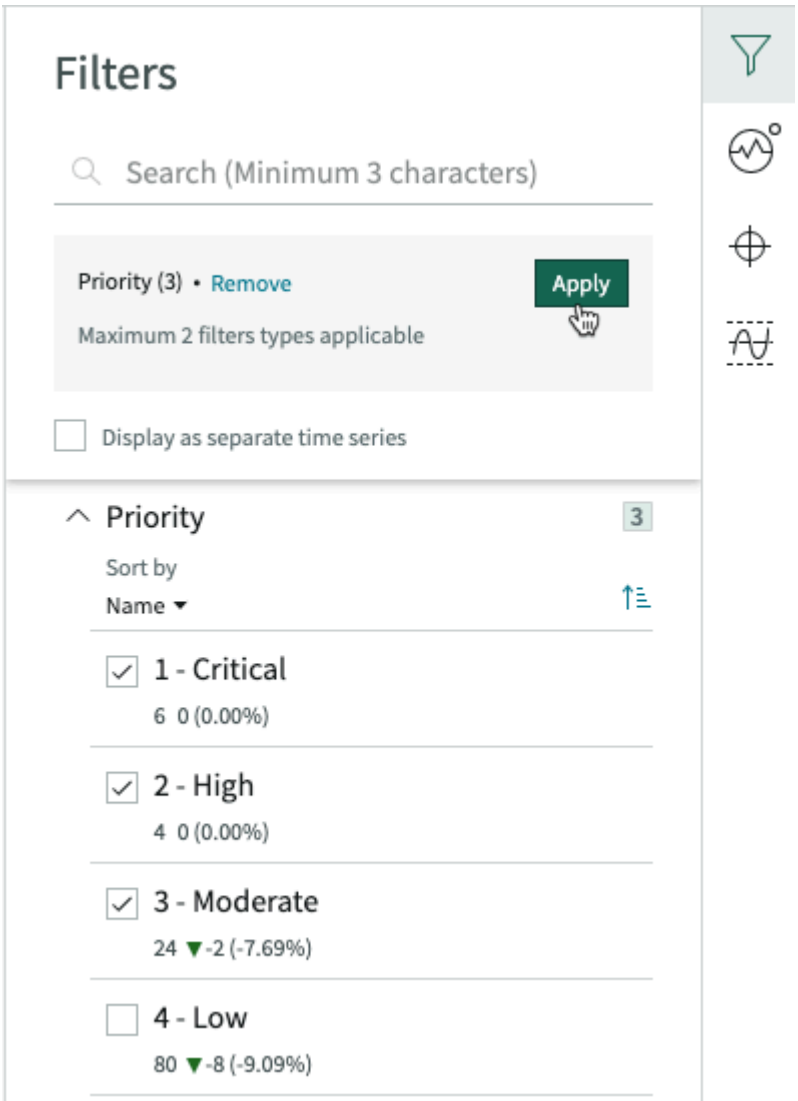
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素がスコアでソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の各ブレークダウン要素のスコアが表示されます。要素が変化でソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の前回の収集期間からの変化率が表示されます。リアルタイムスコアがオンになっている場合、プレビューは利用できません。

6. オプション: 第 2 レベルのブレークダウンを選択します。
   a. 2 番目のブレークダウンを展開します。
   b. 要素を 1 つだけ選択してください。
7. 複数の要素を選択した場合は、要素の表示方法を選択します。
   デフォルトでは、アグリゲートスコアが表示されます。各要素を個別に表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。アグリゲートスコア表示と個別スコア表示の両方が可能な場合にのみ選択できます。詳細については、「複数の要素のスコアをアグリゲート」を参照してください。
8. [**Apply** (適用)] をクリックします。

Example: フィルター基準となる要素の選択

この例では、フィルターサイドバーが開かれています。[優先度] ブレークダウンを展開し、[1 - 重大]、[2 - 高]、および [3 - 中] 要素を選択します。[適用] をクリックしようとしています。[個別の時系列として表示] を選択しなかったため、これらの要素の値は単一の集計として表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素のスコアをアグリゲート

複数のブレークダウン要素でインジケーターをフィルタリングすると、すべての要素の単一のアグリゲートスコアを表示することも、要素ごとに個別のスコアを表示することもできます。ただし、すべてのインジケーターが複数の要素のアグリゲートスコアをサポートしているわけではありません。

次のインジケーターは、複数の要素のアグリゲートスコアをサポートしています。

- データをカウント、合計、最小値、または最大値としてアグリゲートする自動インジケーター

  注: ここでは、「アグリゲート」という言葉が、複数のインジケータースコアのアグリゲートビューと、インジケーターに設定されたデータアグリゲーションの 2 つの異なる用途に使用されます。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで `SQL AVG()` または `SQL COUNT(DISTINCT...)` を使用しない外部インジケーター
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブの [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

注: ワークスペースエクスペリエンスのパフォーマンスアナリティクスウィジェットからKPI詳細に移動し、このウィジェットで複数の要素を返す要素フィルターが使用されている場合、最初の要素のみが適用されます。

インジケーターが複数の要素のビューをサポートしている場合、 KPI 詳細 [フィルター] サイドバーに [個別の時系列として表示] コントロールが表示されます。このコントロールの動作は、サポートされている複数の要素のビューによって異なります。

- インジケーターがアグリゲートビューと個別ビューの両方をサポートしている場合は、デフォルトでアグリゲートビューが表示されます。ブレークダウンの各要素に個別の線を表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。
- インジケーターが複数の要素を個別の行として表示することのみをサポートする場合は、[個別の時系列として表示] が選択され、この選択肢は無効になります。

注: [個別の時系列として表示] コントロールは、複数の要素を選択するまで有効になりません。

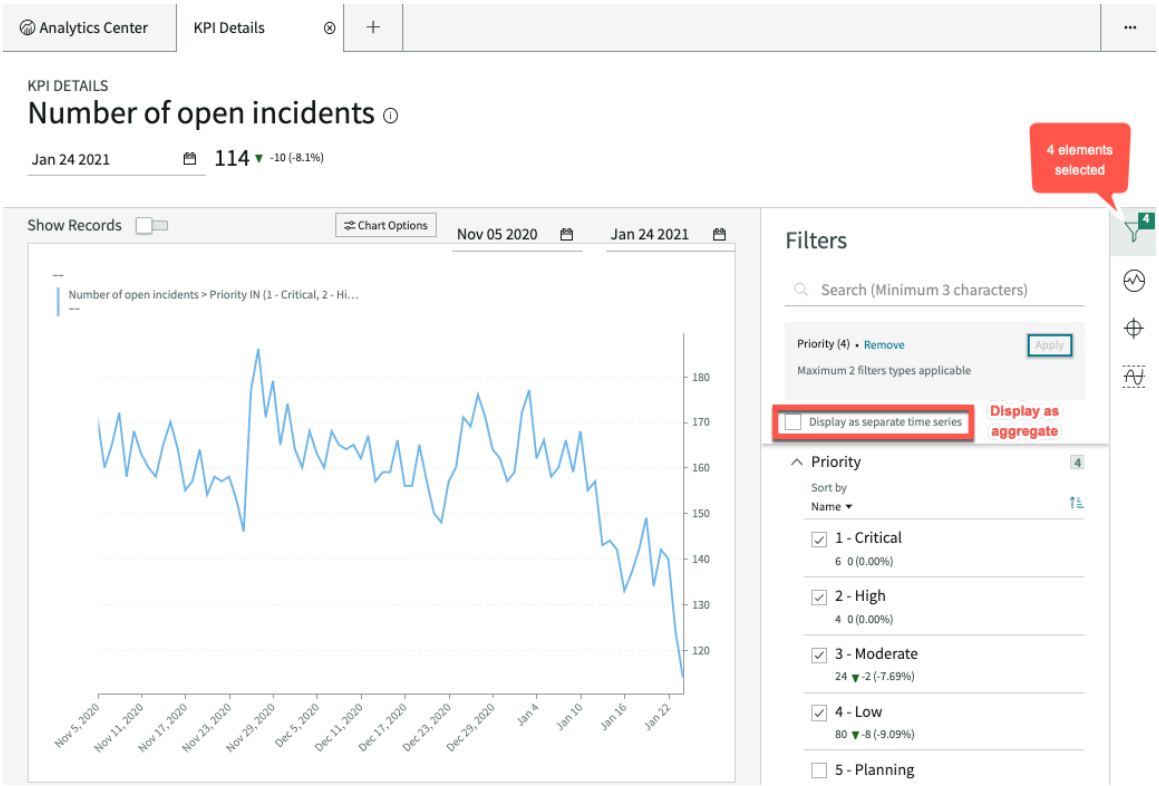
Example: 複数の要素の個別のビューと比較したアグリゲート

この例では、オープンインシデント数インジケーターはカウント別に集計されるため、複数の要素の集計ビューがサポートされています。アグリゲートビューと個別ビューの両方が表示されます。

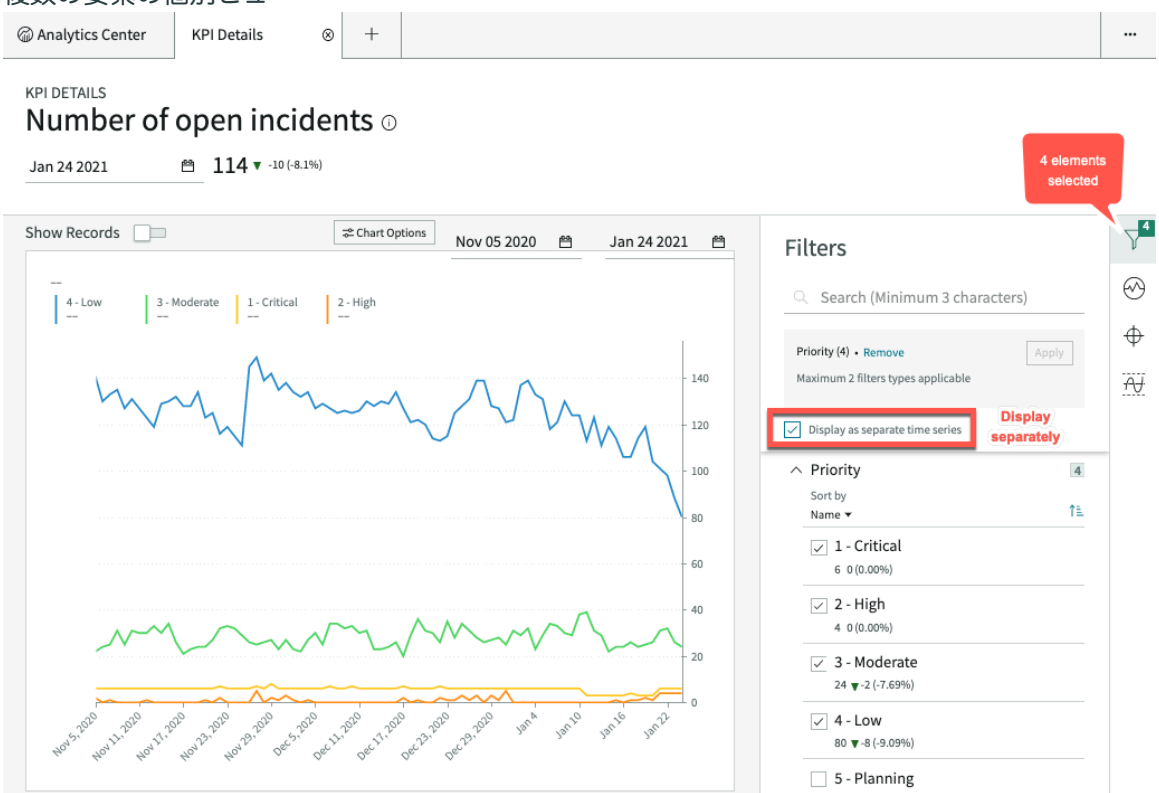
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素のアグリゲートビュー



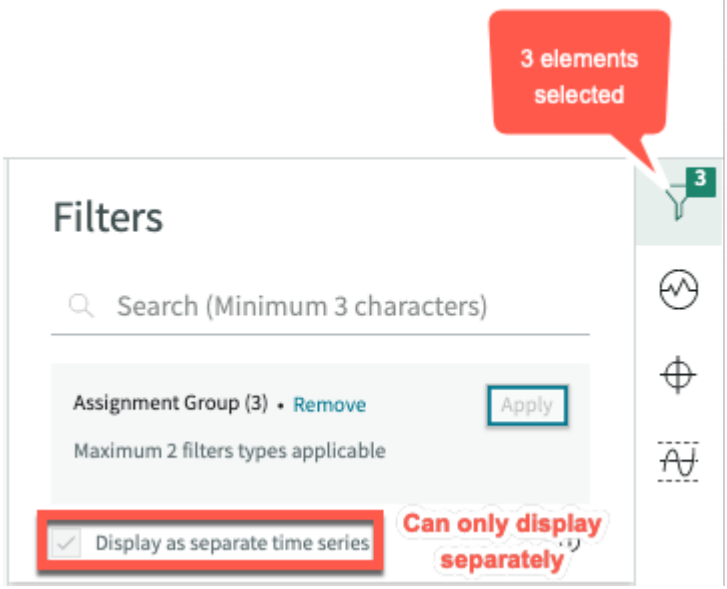
複数の要素の個別ビュー



次の式インジケーターでは、複数要素のアグリゲートビューが有効になっていません。[個別の時系列として表示] オプションは自動的に選択され、変更できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アグリゲートビューをサポートしていないインジケーターのフィルターサイドバー



関連トピック

インジケーターブレークダウン

KPI 詳細からインジケーターレコードまたはスコアシートにアクセスする

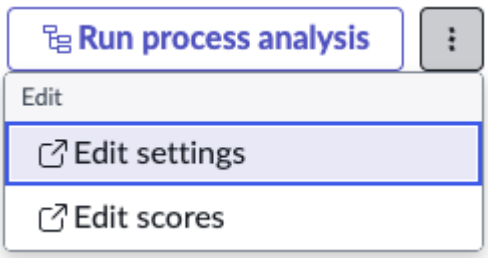
KPI 詳細 では、[その他のアクション] メニューで、表示しているインジケーターのレコードまたはスコアシートを開くことができます。

始める前に
この手順は、既に KPI 詳細 のインジケーターを調べていて、インジケーターレコードまたはスコアシートを表示または編集することを前提としています。KPI 詳細 を使用していない場合は、統一ナビゲーションからこれらのアイテムを直接開くことができます。

必要なロール:pa_power_user、pa_admin、または admin (レコード用)。スコアシートの pa_adminまたはアドミン

手順

1. KPI 詳細で、[その他のアクション]アイコン を展開します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
   - インジケーターレコードを開くには、[設定を編集] を選択します。
   - スコアシートを開くには、[スコアの編集] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

- 自動インジケーターの作成
- 式インジケーターの作成
- インジケーターのスコアの手動での追加または編集

のインジケーターターゲットとしきい値 **KPI** 詳細

ターゲットは、組織が達成したい目標です。特定の日付におけるインジケーターの目標スコアと実際のスコアの差を示します。 しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

インジケーター ターゲット

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人ターゲットは共有できないため、 KPI 詳細 と アナリティクスハブにのみ表示されます。グローバルターゲットは、時系列および単一スコアデータの可視化にも表示できます。ダッシュボードでは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを通じて、ターゲットに関連するイベントを閲覧者に警告できます。

インジケーター しきい値

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、メッセージは KPI 詳細から直接利用できます。

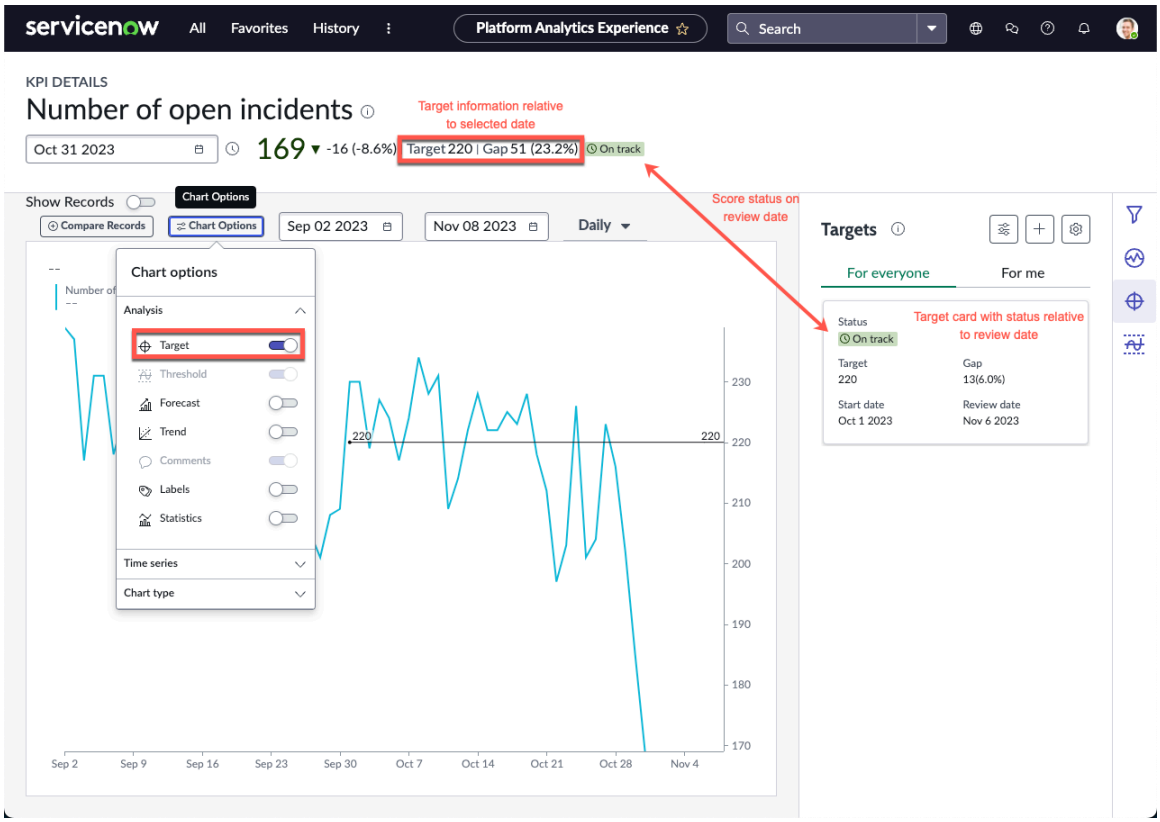
しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーにのみ表示されます。薄い灰色の点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は共有できないため、 KPI 詳細にのみ表示されます。グローバルしきい値は、時系列データの可視化にも表示できます。ダッシュボードでは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを使用して、しきい値に関連するイベントを閲覧者に警告できます。

Example: 現在のターゲットの **KPI** 詳細

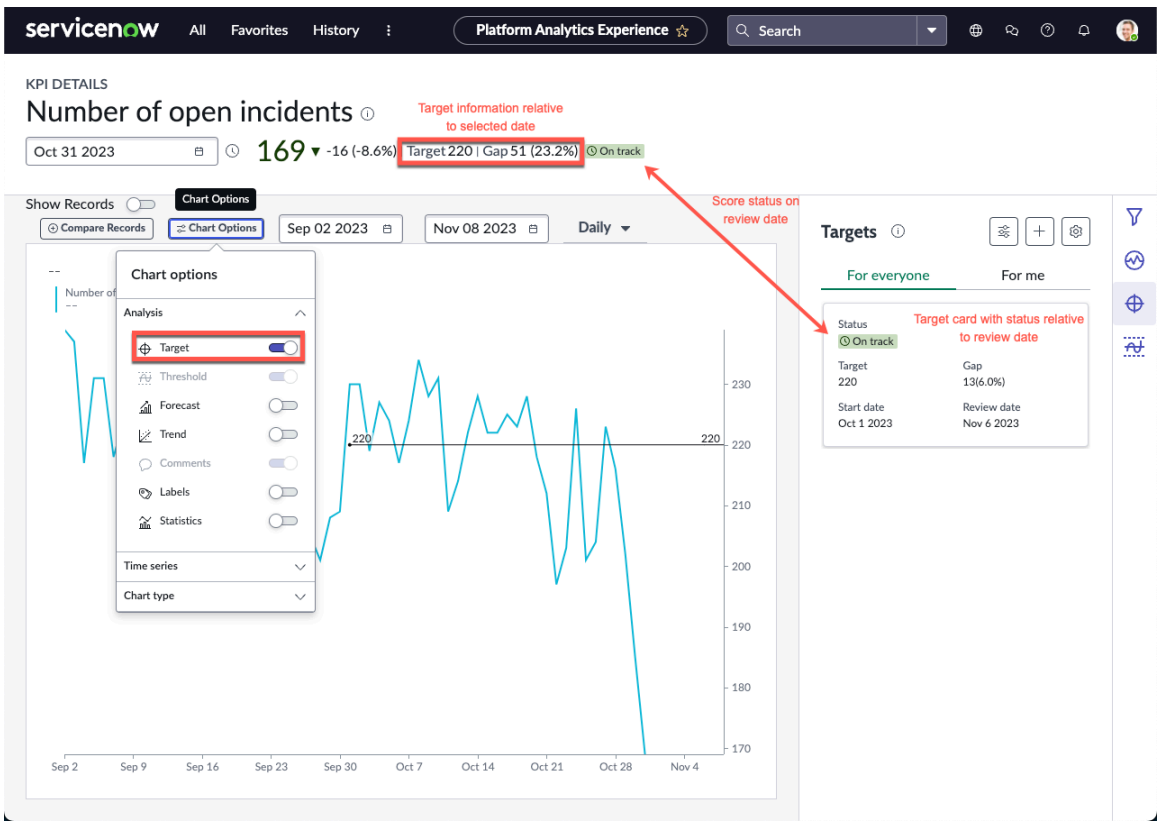
次の例では、インジケーターに 1 つのターゲットが設定されています。この目標は10月1日に設定され、見直し日は11月6日である。10月31日、スコアは169でした。3 月 15 日のギャップは、 ターゲット値 - 選択した日付のスコアとして計算されます。したがって、その差は51、つまり23.2%です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ターゲット] パネルのターゲットのカードには、異なるギャップ値が表示されます。このギャップは、 レビュー日のターゲット値 - 予測スコアに等しくなります。[チャートオプション] で [予測] を有効にすると、このギャップがどのように計算されるかをより明確に確認できます。次の例では、レビュー日の予測スコアが 29 で、ターゲットが 30 であることがわかります。したがって、タイルのギャップは 1 です。



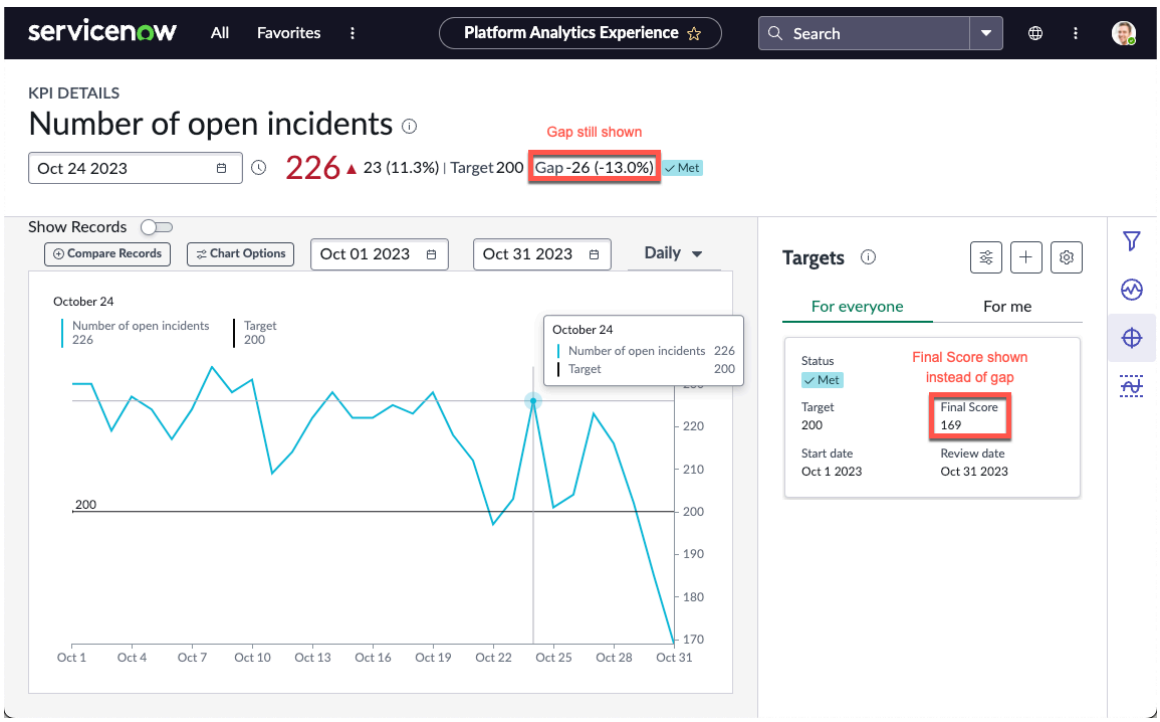
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコンに、[オントラック (On track)]、[オフトラック (Off track)]、または [追跡するには早すぎます] のステータスが表示されます。このアイコンは、チャートと [ターゲット] パネルの両方に表示されます。ステータスは、レビュー日に予測されるターゲットとスコアのギャップに基づいています。予測スコアがターゲットよりも優れているため、[オントラック (On track)] アイコンが表示されます。ターゲットよりも悪かった場合は、オフトラックアイコンが表示されます。ターゲットが達成されるかどうかを予測するのに十分なデータがなかった場合は、[追跡するには早すぎる] アイコンが表示されます。

Example: 過去のターゲットの **KPI** 詳細

目標がレビュー日に達すると、目標が達成されているかどうかがわかります。[オントラック]、[オフトラック]、および [トラックするには早すぎる] アイコンは適用されなくなりました。代わりに、[満たされている] アイコンまたは [満たしていない] アイコンが表示されます。次の例では、インジケーターはレビュー日にターゲットを 2 差で達成しました。カード上で、ギャップ情報はレビュー日の最終スコアに置き換えられます。このスコアは、チャートで選択されている日付に関係なく表示されます。グラフには、選択した日付のスコアとターゲットの差が引き続き表示されます。

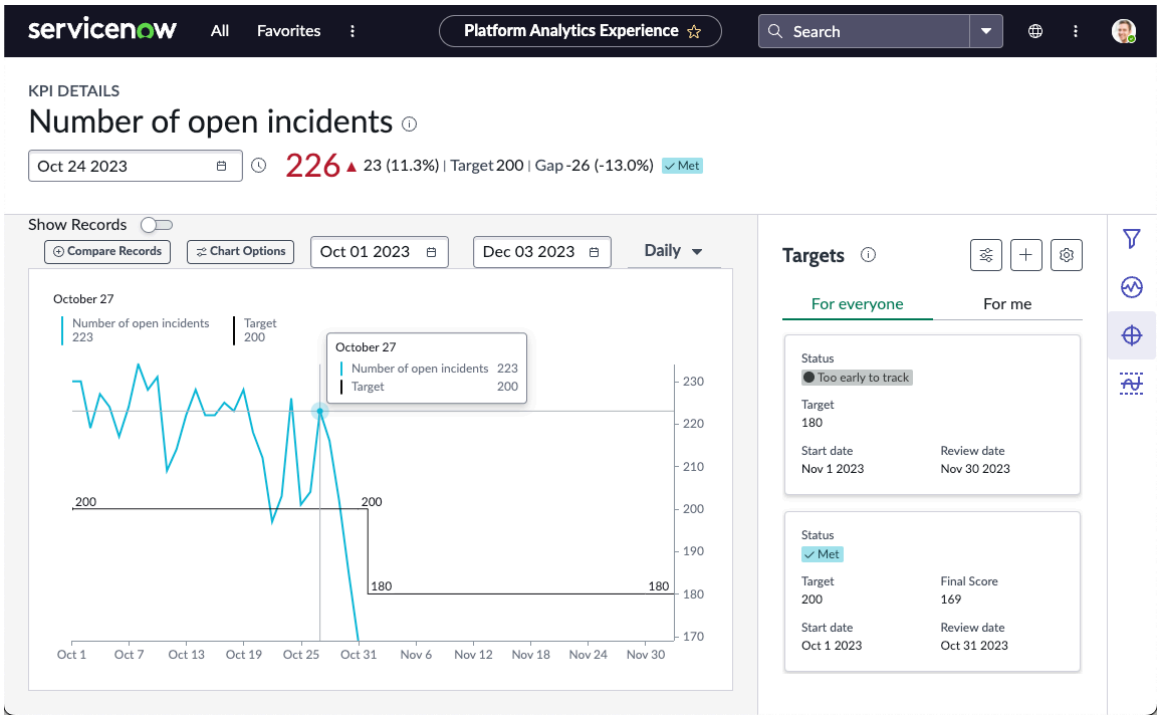


Example: 過去および現在のターゲット

ターゲットはレビュー日に達すると、アクティブではなくなります。通常は、新しいターゲットを有効にする必要があります。新しいターゲットを追加しても、期限切れのターゲットはチャートとカードの両方に表示されます。ここでは、前の例のターゲットの有効期限が切れた後に、新しいターゲットがインジケーターに追加されます。この目標は、「 でのターゲットの作成 KPI 詳細」で説明されているように、以前の目標に対する 10% の改善に基づいています。チャートには、選択した日付に有効になっているターゲットに関する情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



関連トピック

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

でのターゲットの作成 **KPI** 詳細

特定のブレークダウン要素と時系列集計にのみ適用されるインジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットは選択した日付から適用を開始し、次のターゲットを設定するまで適用を続けます。ターゲットに到達する予定の日付を設定し、その後に新しいターゲットを設定できます。

始める前に
必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成する pa_target_admin。KPI 詳細でインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示したり、個人ターゲットを作成したりできます。個人のターゲットとしきい値は、それらを作成したユーザーにのみ KPI 詳細 に表示されます。

担当ユーザーは、ロールに関係なく、担当するターゲットを置き換えるグローバルターゲットを作成できます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > インジケーター.
2. インジケーターを見つけてその名前を操作し、そのインジケーターの KPI 詳細 を起動します。
3. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、フィルターを開き、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。

   注: 複数のブレークダウン要素のターゲットを追加するには、「 での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

4. ターゲットを特定の時系列集計に適用する場合は、時系列を選択します。
   時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. ターゲット アイコン ( ) をクリックします。
[ターゲット] パネルが開きます。

6. [ターゲットを作成]) をクリックします。

7. [全員用] または [自分用] を選択します。
[全員向け] オプションを選択すると、グローバルターゲットが作成されます。[自分用] オプションを選択すると、個人ターゲットが作成されます。
このインジケーターには、選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列をインタラクティブに選択および選択解除でき、ターゲットのリストが更新されます。

   注: 新しいターゲットを作成する代わりに、これらの既存のターゲットの 1 つを編集できます。ターゲットのタイルを選択して、そのターゲットを編集します。変更できるのは、ターゲットの絶対値と開始日とレビュー日のみです。より詳細なターゲット編集については、「でのターゲットの編集 KPI 詳細」を参照してください。

8. [基準] フィールドで、[新しい値]、[平均スコア]、または [以前のターゲット] のいずれかを選択します。
新しい値は 、入力するターゲットの絶対値です。平均スコア は、平均スコアに対する改善としてターゲットを選択します。改善の量を設定します。平均は、グラフに示されている時間スパンにわたって計算されます。この平均値は、[平均値] フィールドに読み取り専用の値として表示されます。

   前のターゲットは 、前のターゲットが存在する場合にのみ使用できます。新しいターゲットは、アクティブなターゲットからの変更に基づいて計算された値です。アクティブなターゲットが読み取り専用の [参照値] フィールドに表示されます。

9. [新しい値] を選択した場合は、[新しい値] フィールドにターゲット値を入力します。

10. [平均スコア] または [前のターゲット]を選択した場合は、次のオプションを完了します。

オプション	説明
方向	[増加] または [減少] を選択します。増加はターゲットが平均スコアまたは以前のターゲットよりも高くなることを意味し、 減少 は低くなることを意味します。デフォルトでは、値はインジケーターの方向に対応しています。
変更	ターゲットを平均スコアまたは以前のターゲットと差分にする量を入力します。この値は、絶対単位またはパーセンテージで表すことができます。
% / 単位	変更が絶対単位かパーセンテージかを設定します。

   これらのフィールドに入力すると、計算されたターゲット値が読み取り専用の [新しい値] フィールドに表示されます。

11. 開始日を選択
将来の日付を設定できます。

12. レビュー日を選択します。
ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日まで適用されます (存在する場合)。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、ターゲットの変更を検討するリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、新しい将来のレビュー日を選択することを検討してください。

レビュー日を選択すると、その日にターゲットを達成できるかどうかを示すステータスアイコンがチャートに表示されます。

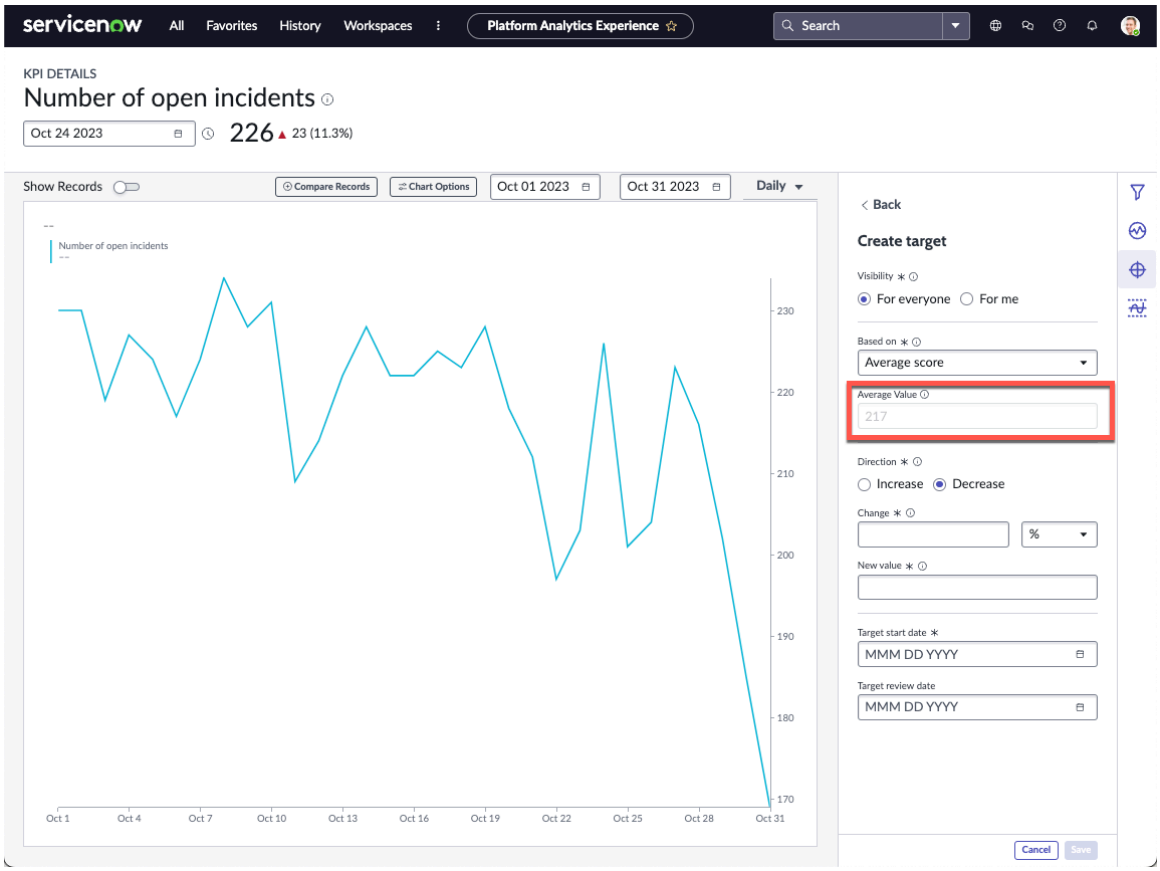
> **注:** KPI 詳細は、重複するターゲットをサポートしていません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

13. **[Save** (保存)] をクリックします。

Example: ターゲットの作成

今日は 11 月 1 日ですが、ネットワークカテゴリのオープンインシデントの数は先月とかなり異なり、最近は急激に減少しています。

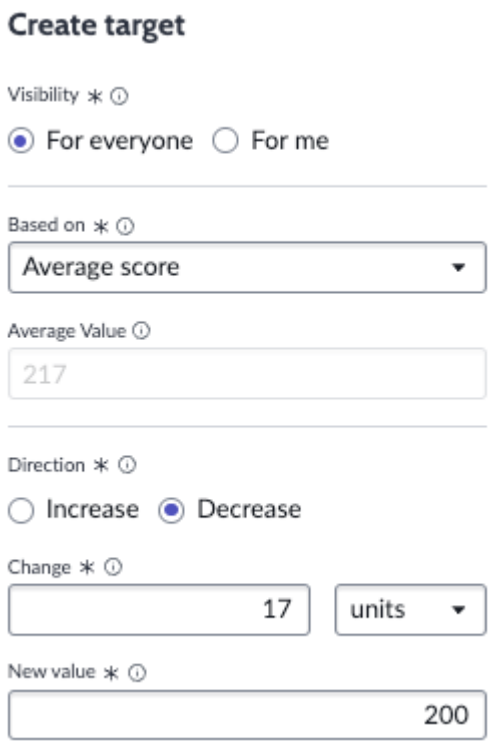
インシデントマネージャーは、オープンインシデントの数を減らしたいと考えています。スコアから、設定する適切なターゲットがわかりません。10月の平均を下回っていたら嬉しいでしょう。そのため、その月の平均スコアに基づいてターゲットを設定することから始めます。



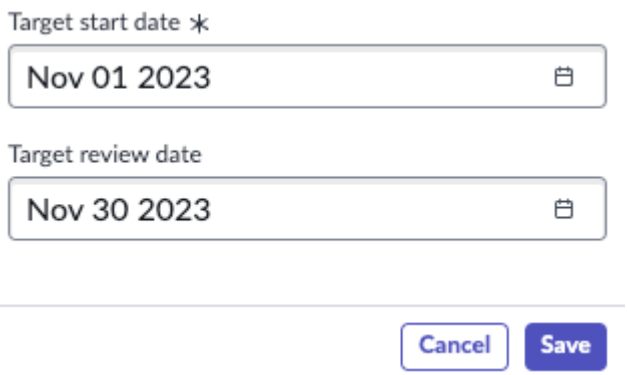
平均値が 217 であることがわかりますが、あなたは楽観主義者であり、チームがもう少しうまくやれるかもしれないと考えています。インシデントの数を減らしたいため、[減少] を選択したままにします。チャートの安値のほとんどは200前後だったので、それを新しいターゲットとして決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、翌月の初めに目標を有効にすることにしました。月末までにターゲットを達成したいため、月の最終作業日をレビュー日として設定します。



[保存] をクリックすると、ターゲットが作成されます。このようなターゲットが KPI 詳細 でどのように表示されるかの例については、「 のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細」を参照してください。

次のタスク

グローバルターゲットを作成したら、自分または別のユーザーにターゲットの維持を担当させます。「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

でのターゲットの編集 **KPI** 詳細

1 つ以上の既存のターゲットを終了して後日から新しいターゲットを開始するのではなく、開始日から遡及的に変更します。複数のターゲットを編集して、同じ値、同じ値の変更、または同じ日付にすることができます。

始める前に

必要なロール:すべてのグローバルターゲットを編集するpa_target_admin。個人ターゲットを持つすべてのユーザーがそのターゲットを編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

担当ユーザーは、ロールに関係なく、担当するグローバルターゲットを編集できます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

このタスクについて
同じインジケーターに複数のターゲットが設定されている場合、 KPI 詳細 の [ターゲット構成] パネルでは、同じ開始日、レビュー日、または値を持つように一括で設定できます。マネージャーは、この機能を使用して、一連のセグメントのターゲットを変更できます。

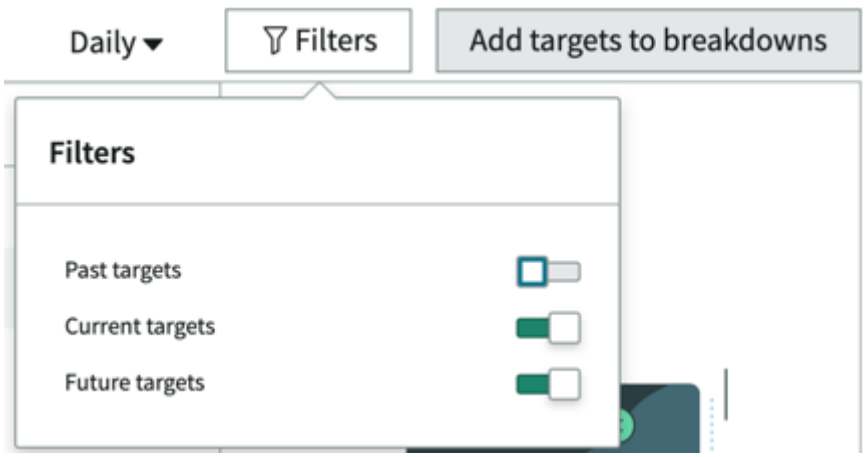
同一のターゲット値のみを新しい値に変更できます。異なる開始日とレビュー日を、新しい同一の開始日またはレビュー日に変更できます。ただし、ターゲットが適用される新しい期間は、同じフィルターに一致する他のターゲットの期間と重複することはできません。

注: 単一のターゲットをすばやく編集するための別のインターフェイスを使用できます。[ターゲット] パネルを開き、ターゲットのタイルを選択します。ターゲットの絶対値と開始日およびレビュー日を変更できます。ターゲットを編集するためのその他のオプション、または複数のターゲットを編集する場合は、代わりに次の手順を使用します。

手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコン 。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして、[ターゲット構成] ページを開きます。

   [ターゲット構成] ビューが開きます。
4. [フィルター] をクリックして、期限切れのターゲット、現在有効なターゲット、または将来有効になるターゲットを表示するかどうかを設定します。
   デフォルトでは、現在有効なターゲットと、今後有効になるターゲットが表示されます。

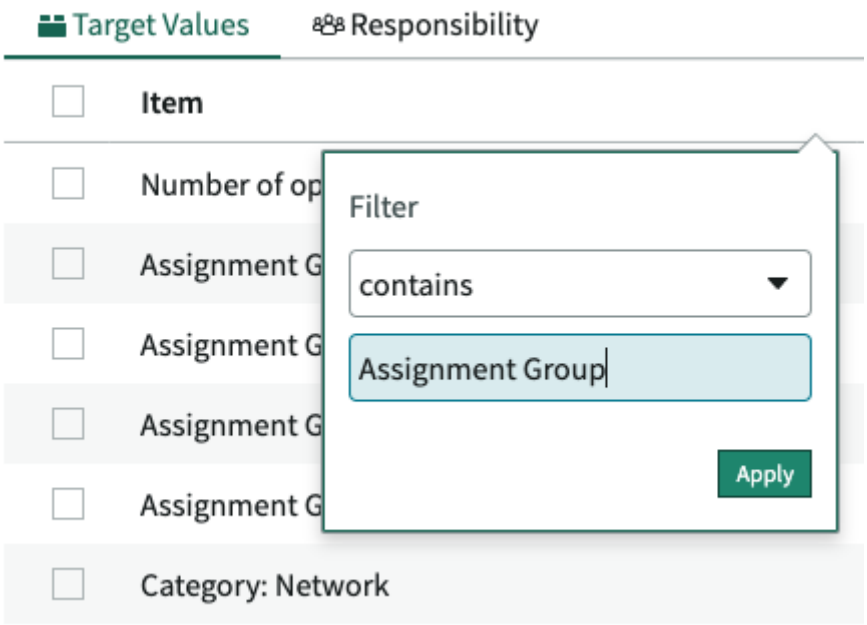


5. ターゲットの選択をさらにフィルタリングするには、各列ヘッダーの右側にある非表示のフィルターアイコンを選択します。
   アイテム名、値、開始日、またはレビュー日でフィルタリングまたはソートできます。次の例では、[アイテム] 列に優先 度を含む名前をフィルタリングしようとしています。優先度ブレークダウンのターゲットのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヒント: ブレークダウンまたは時間集計のアイテム名でフィルタリングできます。たとえば、 7 日間 でフィルタリングすると、週次の時間集計のターゲットのみが返されます。



6. 1 つ以上のターゲットを選択します。
7. 絶対値として、または計算を通じて、新しいターゲット値を設定します。
   - ターゲットの絶対値を設定するには、[ターゲット計算] で [なし] を選択し、[値] フィールドで絶対値を選択します。
   - 現在のターゲットから変更を選択するには、次を選択します。

フィールド	値
ターゲット計算	現在のターゲット (単位) または現在のターゲット (%)
方向	新しいターゲット値を現在のターゲットよりも高くするには [増加] を選択し、新しい値を現在のターゲットよりも低くするには [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために現在のターゲットに追加または減算された値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージのいずれかです。 たとえば、値が 20 と 5 の 2 つのターゲットを選択したとします。また、ターゲット計算として [現在のターゲット (単位)] を選択し、方向として [減少] を選択しました。[変更 (単位)] に 2 を入力すると、新しいターゲット値は 18 と 3 になります。代わりに、ターゲット計算として「現在のターゲット (%)」を選択し、「変更 (%)」に「25」と入力すると、新しいターゲット値は 15 と 4 になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

- 一定期間の平均スコアからの変更を選択するには、次を選択します。

フィールド	値
ターゲット計算	平均スコア (単位) または平均スコア (%)
最初のスコア	平均スコアを計算する期間の開始日
最後のスコア	平均スコアを計算する期間の終了日
方向	ターゲットが平均スコアより高くなる場合は [増加] を選択し、ターゲットが平均スコアより低い場合は [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために平均スコアに追加または減算された値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージのいずれかです。
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

8. 開始日、ターゲットが有効になる日、およびレビュー日を選択します。
   レビュー日までにターゲットを達成するか、少なくともその時点で進捗状況を確認することを期待している。

自動翻訳

でのしきい値の作成、変更、または削除 **KPI** 詳細

個人のしきい値を追加、変更、または削除します。必要なロールがあれば、すべてのユーザーのしきい値を追加、変更、削除することもできます。

始める前に

必要なロール:自分の個人のしきい値の任意のロール。グローバルしきい値および他のユーザーによって作成された個人しきい値のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)。

このタスクについて

注: 複数のブレークダウン要素が選択されている場合、しきい値は使用できません。

手順

1. 作業するインジケーターがあるワークスペースに移動します。
2. [アナリティクスセンター]) をクリックし、[KPI] タブに移動します。
3. しきい値アイコン ( ) をクリックします。
4. グローバルしきい値または個人しきい値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このインジケーターには、既存のグローバルしきい値または個人しきい値がすべて表示されます。

5. [しきい値の作成] ( ) をクリックするか、既存のターゲットを選択して編集します。
6. しきい値の可視化を [グローバル] または [パーソナル] から選択します。
7. しきい値タイプを選択または変更します。
   - 最大値
   - 最小値
   - 次の値未満

     インジケーターの値がしきい値を下回った場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
   - より大きい

     インジケーターの値がしきい値を超えた場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
8. しきい値を作成する場合は [保存] をクリックし、しきい値を変更する場合は [更新] をクリックします。

での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細

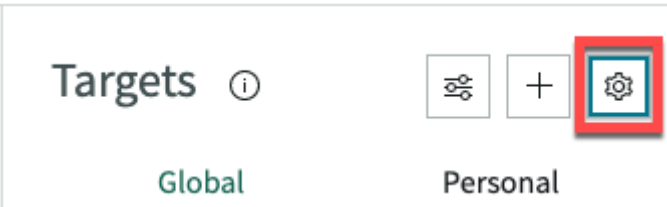
KPI 詳細ターゲット構成パネルで複数のブレークダウン要素を選択します。各要素にターゲットを追加します。この目標は、絶対値ではなくベースラインの改善にすることができます。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin

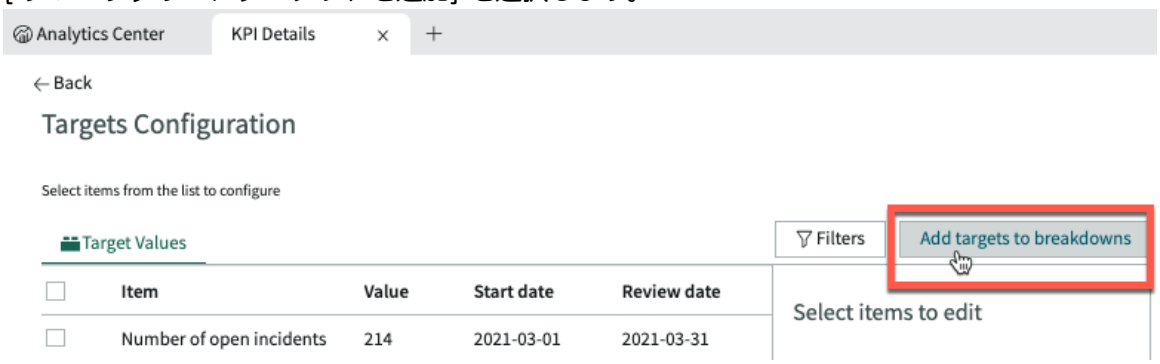
手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして、[ターゲット構成] ページを開きます。



[ターゲット構成] ビューが開きます。

4. [ブレークダウンにターゲットを追加] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

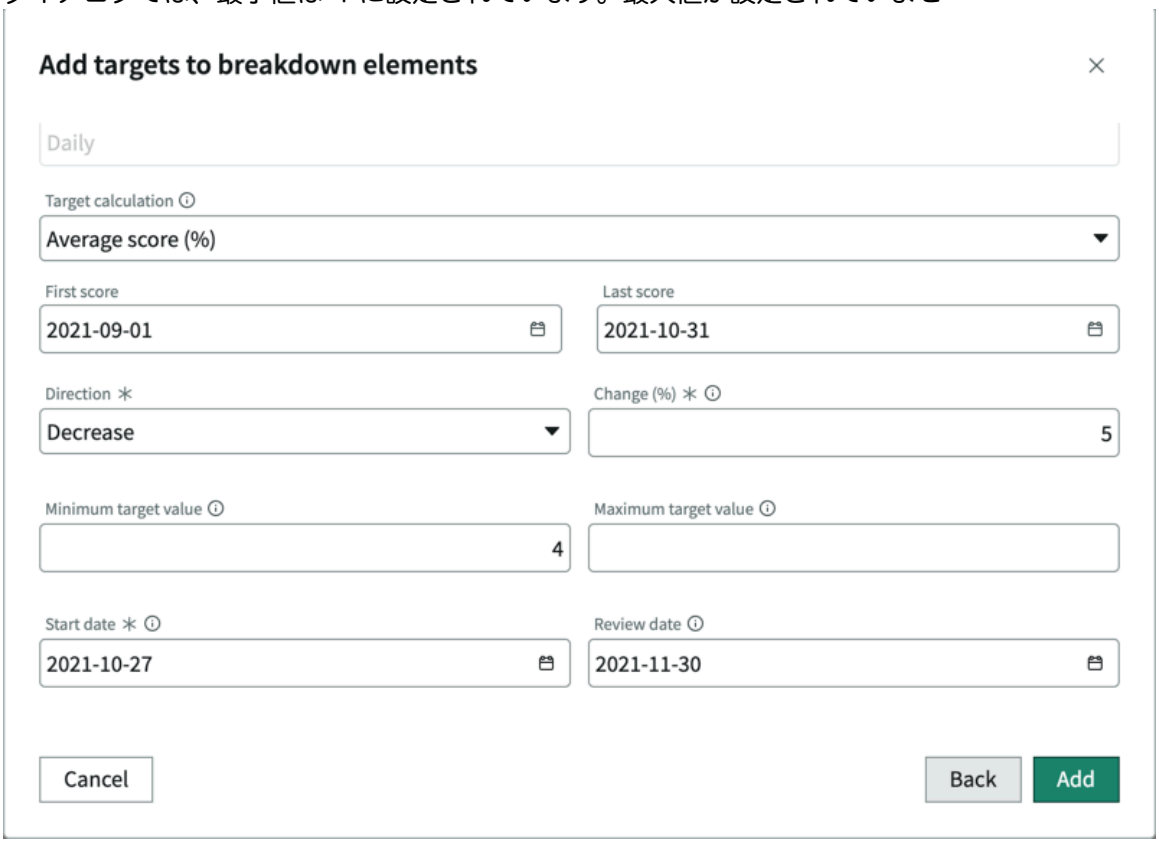
[ブレークダウン要素にターゲットを追加] ダイアログが開きます。

5. ブレークダウンのリストからインジケーターのブレークダウンを 1 つ選択します。
6. ブレークダウンの要素を任意の数選択し、[次へ] をクリックします。

   ヒント: スクロールする要素が多い場合は、いずれかの列の値でソートまたはフィルタリングします。[フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して選択を絞り込むこともできます。

7. でのターゲットの編集 KPI 詳細 のステップ 7 の説明に従って、要素のターゲットを設定します。
8. 開始日、ターゲットが有効になる日、およびレビュー日を設定します。
9. オプション: 平均スコアまたは以前のスコアからターゲットを計算しており、新しいターゲットを特定の値を上回ったり下回ったりしたくない場合は、最小値と最大値を設定します。

   Example
   このダイアログでは、最小値は 4 に設定されています。最大値が設定されていません。



10. **[Add** (追加)] を選択します。

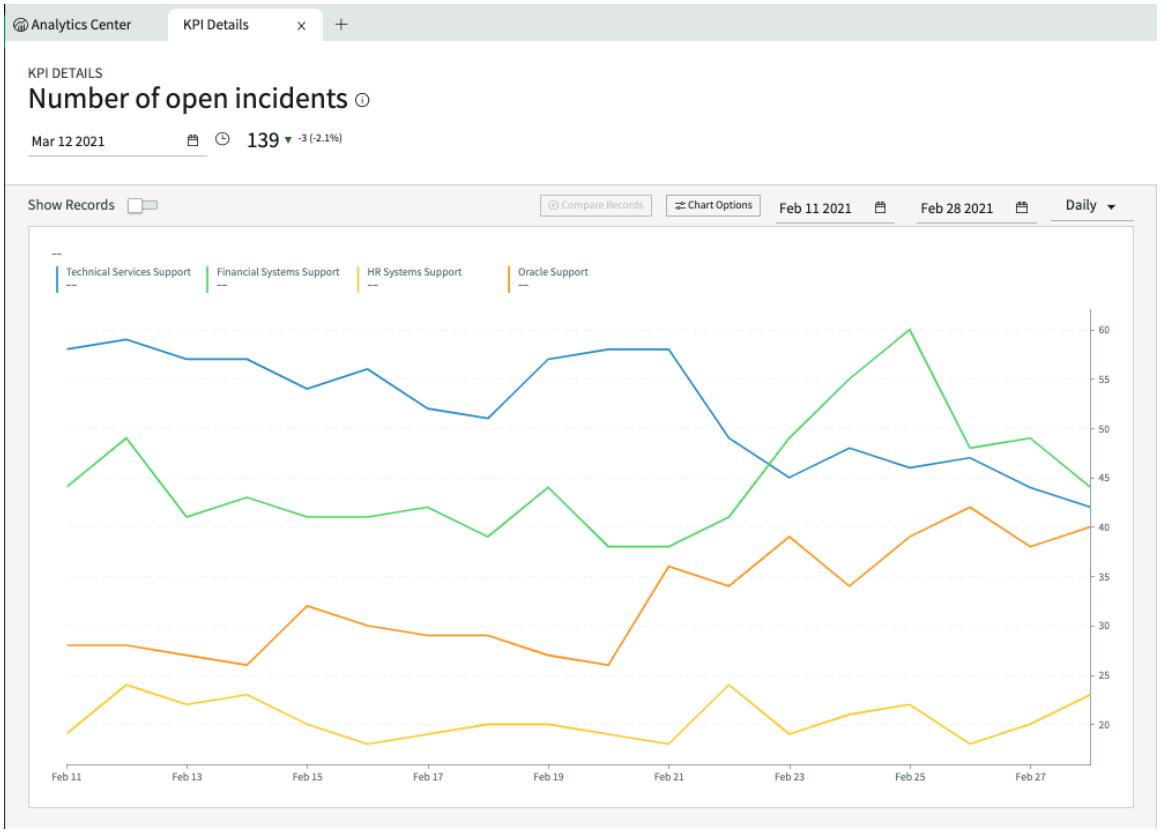
結果
バッチターゲットの作成は非同期に行われます。進捗状況バーが表示される場合があります。

Example: 複数の要素のターゲットの構成

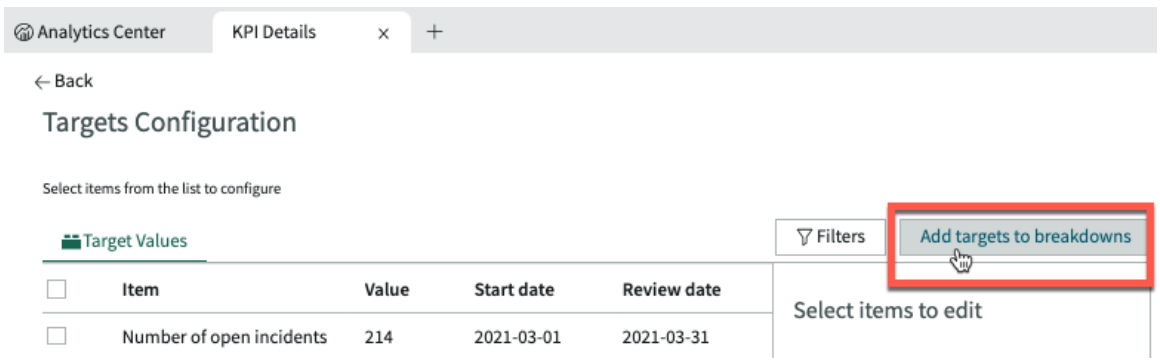
2 月 11 日より、貴社は各アサイン先グループのオープンインシデントの追跡を開始しました。月末までに、上位 4 つのグループにアサインされたオープンインシデントの数は 18 から 60 まで変化していました。傾向も大きく変動しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



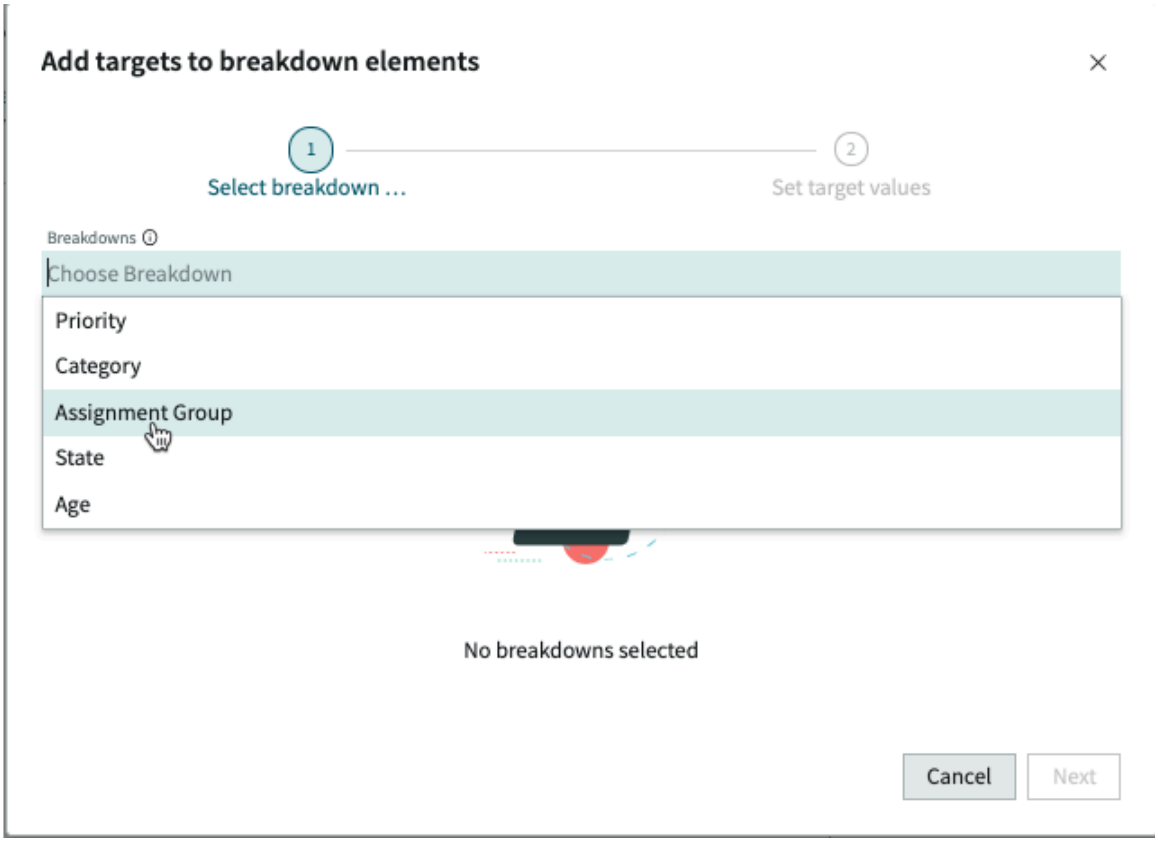
これら 4 つのグループ全体で一貫した改善が必要です。したがって、絶対値の違いにかかわらず、同等のターゲットを設定する必要があります。また、ターゲットを一緒に設定することもできます。この目的を達成するには、[ターゲット構成] ビューを開き、[ブレークダウンにターゲットを追加] をクリックします。



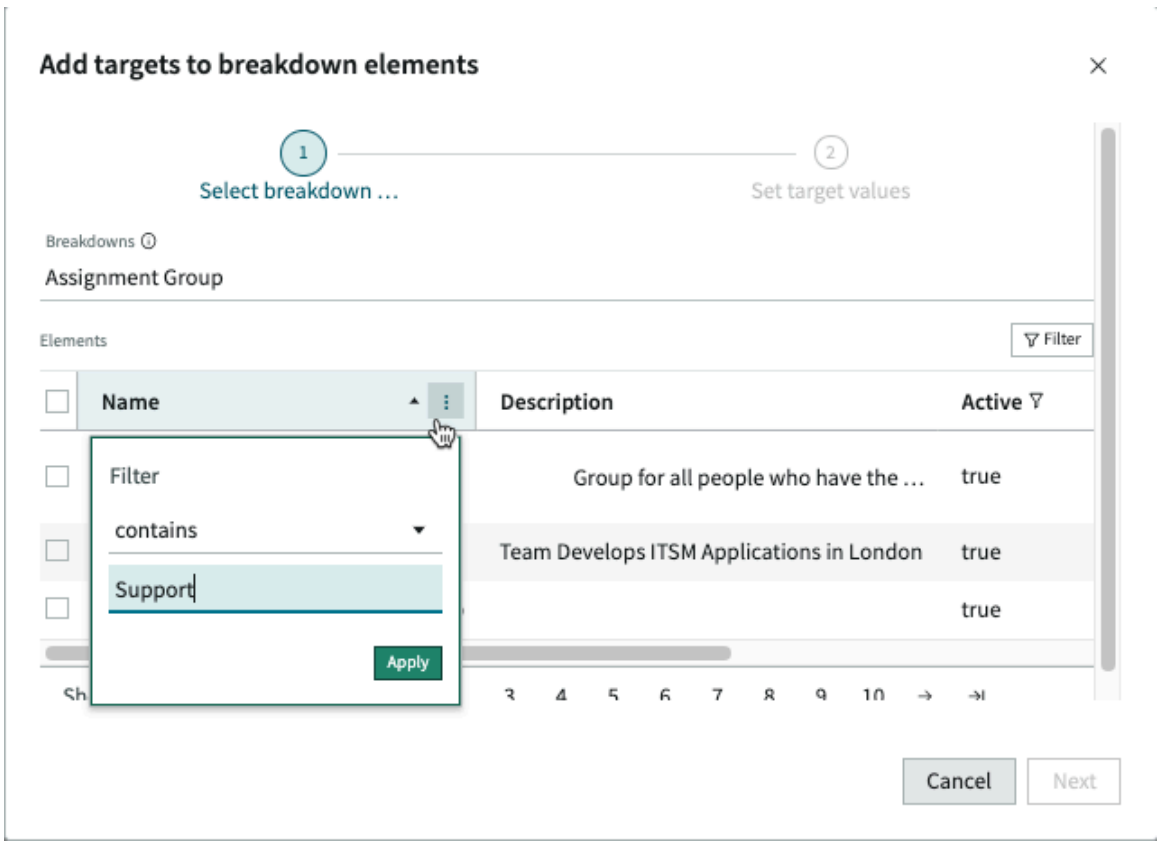
[アサイン先グループ] ブレークダウンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



アサイン先グループブレークダウンの要素のリストが表示されます。多くの要素があります。探している 4 つの要素はすべて名前に「サポート」が含まれているため、[名前] 列を「サポート」でフィルタリングします。



自動翻訳

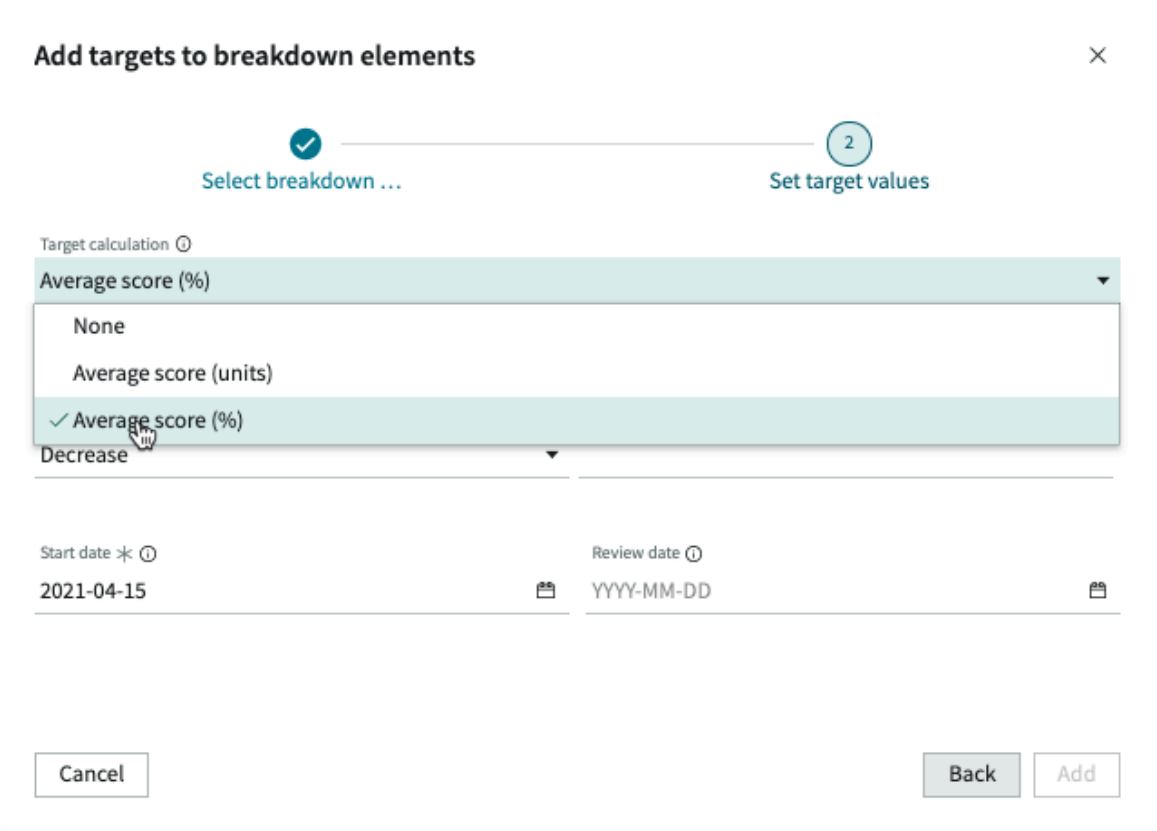
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターは参照する要素の数を 9 に減らします。その中で必要な 4 つを簡単に選択して [次へ] をクリックします。

ターゲット値は指定するか、計算に基づいて行うことができます。HR システムサポートと他の 3 つの要素の違いが大きすぎて、4 つの要素すべてに同じターゲット値を与えることはできません。したがって、各要素に適用される計算に基づいてターゲットを設定します。

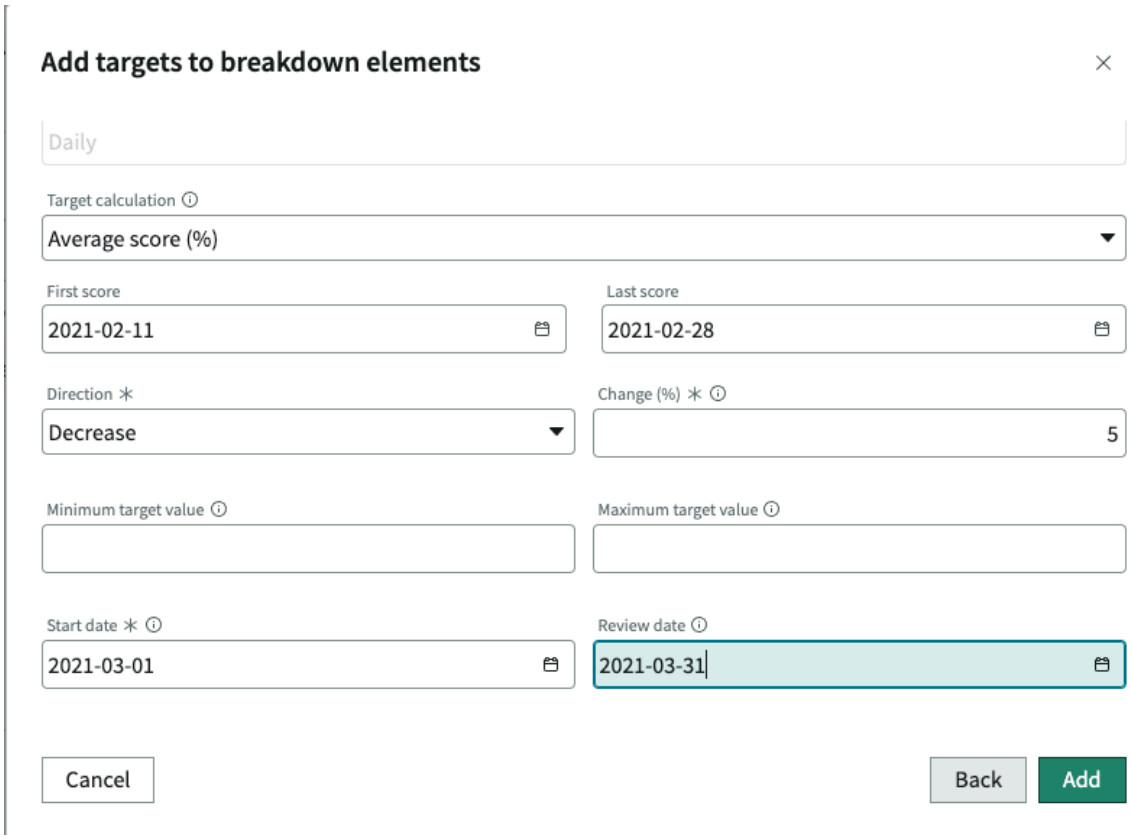
計算は、既存のターゲットまたは一定期間の平均スコアに対して行うことができます。これらの要素には既存のターゲットがないため、平均スコアを選択する必要があります。

ターゲットは、平均スコアに対する単位数の改善 (3 や 4.5 など) または改善のパーセンテージとして設定できます。スコアは、おそらく単位番号を使用できるほど近いです。ただし、目標は平均スコアの改善率として設定することにします。

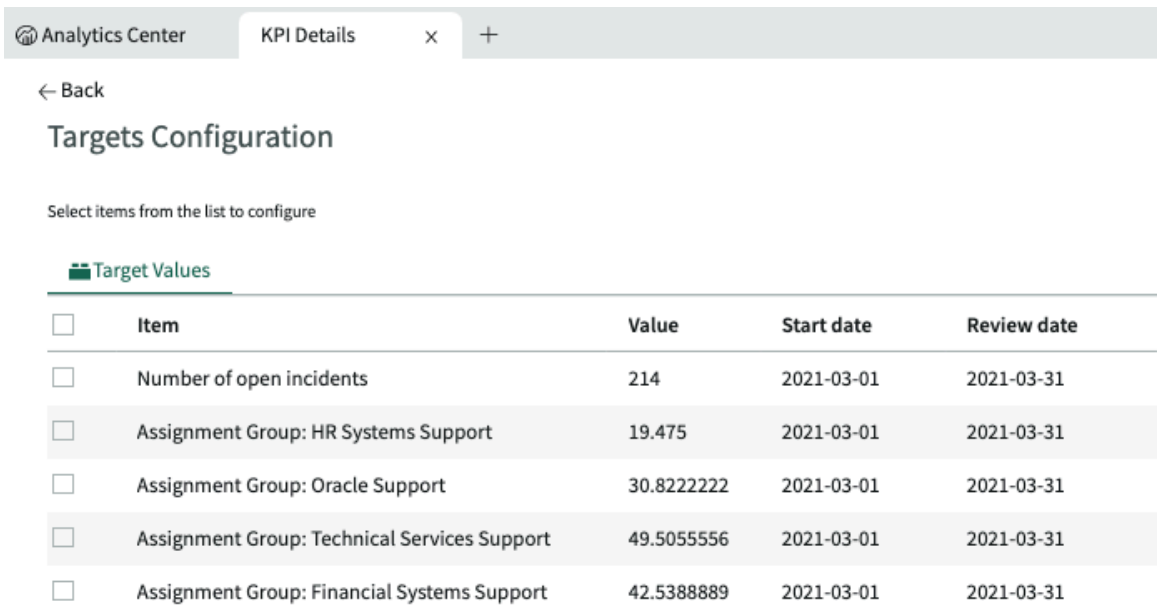


2 月 11 日から 2 月 28 日までの平均スコアを取ります。翌月の改善目標としては 5% が適切だと考えたため、目標を 3 月 1 日に開始し、3 月 31 日に見直すように設定します。ターゲット値を範囲内に制限したくないため、最大値または最小値は設定しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[追加] をクリックして成功メッセージを閉じると、作成した 4 つのターゲットが表示されます。



作成したターゲットとその値を示す表を示します。すべての目標は 3 月 1 日に発効し、3 月 31 日に見直される予定です。

ターゲット	値 (整数に丸め)
アサイン先グループ:HR システムサポート	20
アサイン先グループ:Oracle Support	31

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット	値 (整数に丸め)
アサイン先グループ:テクニカルサービスサポート	50
アサイン先グループ:財務システムサポート	43

グローバルインジケーターターゲットの責任

ユーザーは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス インジケーター/ブレークダウンの組み合わせ (KPI) のターゲットを担当できます。責任ユーザーは、ターゲットに向けた進捗状況を追跡し、KPI のターゲットを変更できます。

責任は、アクセス制御リスト (ACL) ベースのロールとは別のものです。pa_target_admin などのターゲットアドミンロールを使用すると、ユーザーは一意のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (ここでは KPI と呼びます) でグローバルターゲットを作成および編集できます。このような役割は通常、少数の パフォーマンスアナリティクス 専門家に限定されます。ただし、マネージャーなどのビジネスエリアの専門家は、特定の KPI に設定する適切なターゲットについて詳しく知っている可能性があります。逆に、 パフォーマンスアナリティクス エキスパートが組織内のすべての KPI に対して適切な目標を維持できる可能性は低いです。

ここで責任の概念が登場します。どのロールを持つユーザーでも、全員に表示される KPI のグローバルターゲットの管理を担当できます。 新しいターゲットを作成したり、担当する KPI のターゲットを編集したりできます。担当ユーザーは、 KPI 詳細 またはクラシック アナリティクスハブのいずれかでターゲットを作成または編集できます。ただし、この権利は、明示的に責任を負った KPI に対してのみあります。また、ACL でユーザーによる KPI の表示が禁止されている場合、ユーザーはその KPI に対して責任を負うことはできません。

グループではなく、ユーザーのみが責任を持つことができます。責任ユーザーは、KPI の責任を他のユーザーに割り当てたり、他のユーザーまたは自分自身の責任を削除したりできます。1 人のユーザーが複数の KPI のターゲットを担当することができ、1 つの KPI に複数のユーザーがそのターゲットを担当させることができます。

> **注:** ターゲットに対する責任は、シグナルに対する責任など、KPI に対する他の責任とは無関係です。

ターゲット admin ロールを持つユーザーは、KPI の最初のグローバル ターゲットを作成する必要があります。そのターゲットを作成した後、ユーザーが KPI を表示できる場合、任意のロールを持つ任意のユーザーに責任を割り当てることができます。責任ユーザーは、その後その KPI のターゲットを管理します。想定されるワークフローは次のとおりです。

1. ターゲットアドミニストレーターは、KPI に最初のグローバルターゲットを作成します。このターゲットは、意味のある値にすることも、責任ユーザーの変更が予想されるプレースホルダーにすることもできます。
2. ターゲットアドミニストレーターは、自分自身または別のユーザーに KPI のターゲットの責任を負わせます。
3. 責任のあるユーザーは、いつでも他のユーザーに責任を負わせるか、ユーザーから責任を取り除きます。
4. 担当ユーザーは、担当するターゲットを置換または編集します。

> **注:** KPI 詳細でのみターゲットに責任を割り当てることができます。KPI ターゲットコンポーネントから責任をアサインすることはできません。

ターゲットに責任をアサインする

アドミニストレーターがターゲットを作成した後、そのターゲットをレビューおよび編集する責任をビジネスエリアの該当分野のエキスパート (SME) にアサインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

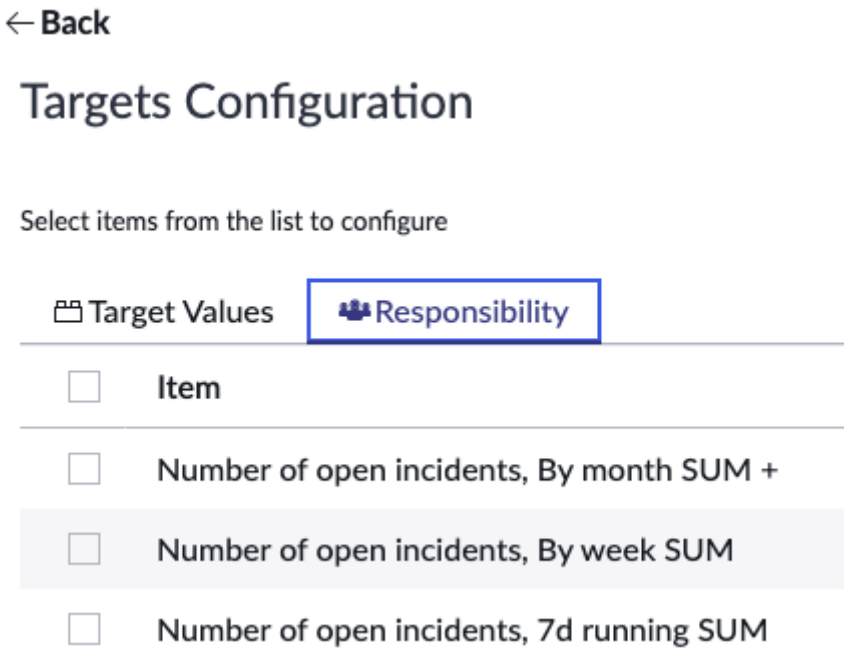
始める前に
必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin。

手順

1. ワークスペースでKPI 詳細を開きます。
2. いずれも：
   - でのターゲットの作成 KPI 詳細の説明に従って、ターゲットを作成します。
   - 「 でのターゲットの編集 KPI 詳細」の説明に従って、既存のターゲットを開きます。
3. 歯車をクリックして、[ターゲット構成] ページを開きます。

[ターゲット構成] ビューが開きます。

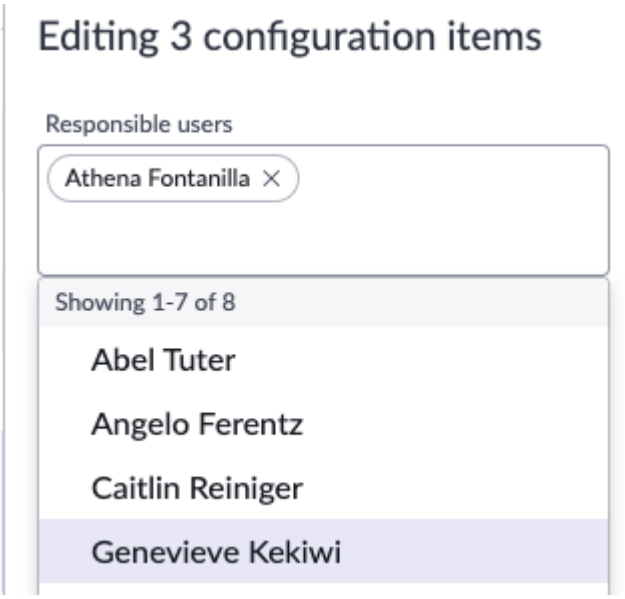
4. [責任] タブを開きます。



5. 一意のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (KPI) を 1 つ以上選択します。
6. [構成アイテムの編集 **(Editing configuration items**)] パネルで、責任を負うユーザーを 1 人以上選択します。
   一度に選択できるユーザーは 1 人だけですが、何度でも選択プロセスを繰り返すことができます。選択したすべての KPI を表示できるユーザーのみが利用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [Update (更新)] をクリックします。

結果
選択したユーザーが、選択した KPI の [責任ユーザー] 列に表示されます。

KPI 詳細について

KPI 詳細に関連付けられたシステムプロパティを表示します。UUID の形成方法も参照してください。

KPI 詳細 パフォーマンスアナリティクス プロパティ

KPI 詳細 は、いくつかの パフォーマンスアナリティクス プロパティをサポートしています。これらのシステムプロパティは、KPI 詳細のコンテキストでのパフォーマンスアナリティクス要素の動作を制御します。

プロパティを設定するには、 パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ または **sys_properties.list** に移動します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルト インジケーターのターゲット カラー スキーム
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements	KPI 詳細リスト内のブレークダウン要素の最大数。
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	[KPI 詳細 ターゲット構成] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットを一括で挿入または更新しているときにタイムアウトが発生した場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	傾向ラインやブレットグラフなど、 KPI 詳細ページとウィジェットのスコアの色です。
com.snc.pa.defaut_chart_target_color	チャート内のターゲットの色。
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	KPI 詳細ページに表示される個人ターゲットの線の色。
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	グラフの しきい値 の色。
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	KPI 詳細 ページに表示される個人のしきい値の線の色。

KPI 詳細 UUID

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインのすべての組み合わせには、一意の識別子 (UUID) があります。KPI 詳細 および KPI シグナル アプリケーションの動作を理解するには、これらの UUID がどのように構築されるかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ およびワークスペースの KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (スコアをアグリゲート)
- 時系列アグリゲーション
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターのsys_IDsとこれらの指定子のいずれかから次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

*indicator_sys_id*以外のすべての指定子はオプションですが、1 つの例外があります:*breakdown_sys_id*が指定されている場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*である必要があります。ブレークダウンを指定し、要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idは別のパラメーターに入力されます。例については、 この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定したブレークダウンのどの要素にも一致しないスコアを参照するには、文字列 unmatched が *element_sys_id*の代わりに使用されます。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ と KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列アグリゲーション、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、完全に指定された各インジケーターを UUID ごとに個別に監視します。

KPI シグナル

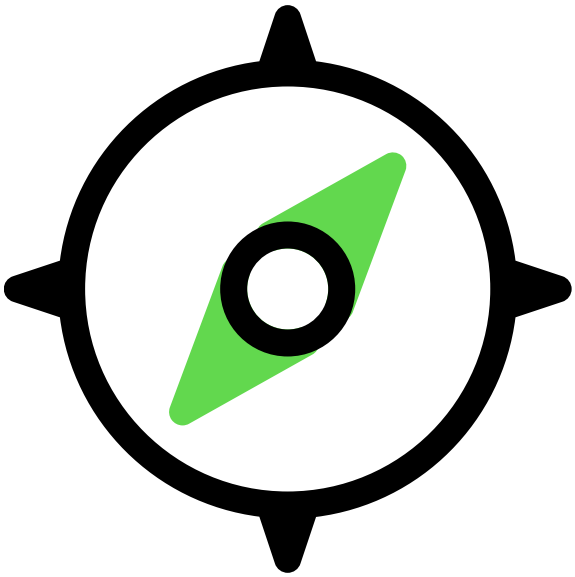
KPI シグナル は、プロセスの動作が大幅に変化したときに通知します。この機能は、標準的な統計プロセス動作チャートを パフォーマンスアナリティクス インジケーターに適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

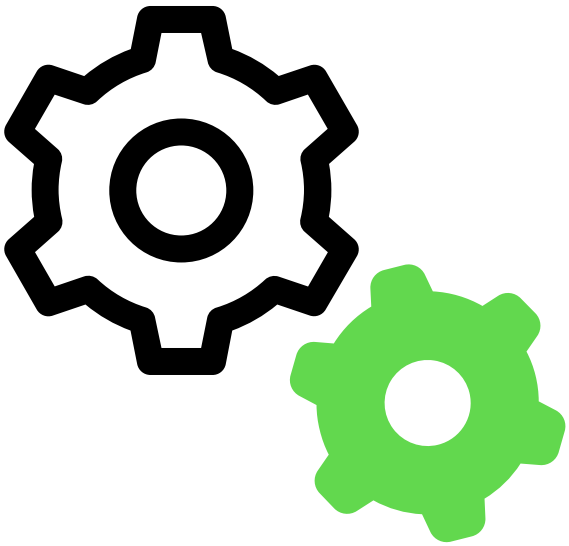
開始するには

探索



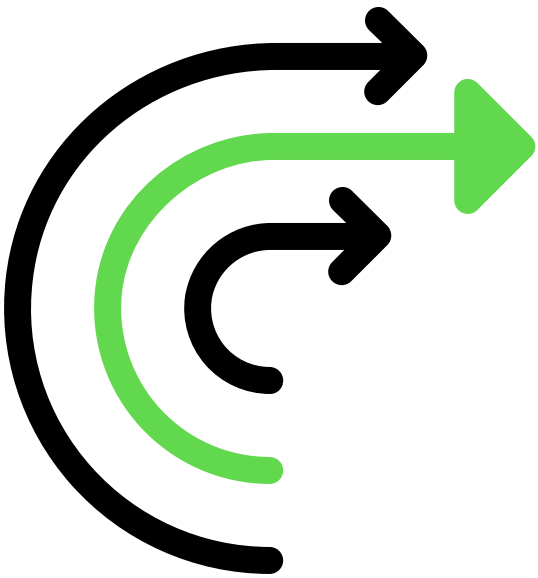
シグナル、アンチシグナル、およびシグナルがない場合の説明。

構成



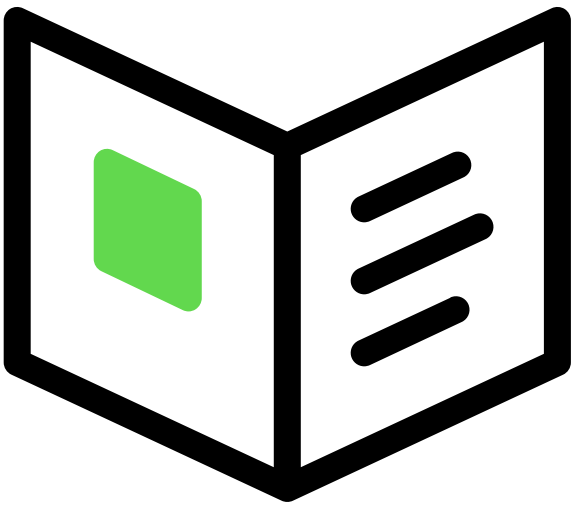
インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化し、シグナルの検出と通知を構成します。責任ユーザーを追加します。

使用方法



問題を修正してシグナルを却下するかベースラインをリセットすることで、 KPI シグナル 通知に応答します

ロールの参照



に関連するロール KPI シグナル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- インジケーターについて質問したり、他のリソースを調べたり、 KPI シグナル、および プラットフォームアナリティクス 一般的に ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

KPI シグナルの詳細

KPI シグナル は、プロセスの動作が大幅に変化したときに通知します。この機能は、標準的な統計プロセス動作チャートを パフォーマンスアナリティクス インジケーターに適用します。

KPI シグナルの概要

ヒント: KPI シグナル向けの無料トレーニングは、NOW Learning Center から入手できます。

すべてのプロセスにはバリエーションがあります。このバリエーションのほとんどは、通常のバリエーション、または名前に署名するたびに小さな違いがあるなどの「一般的な原因」のバリエーションです。知っておく必要があるのは、オフハンドでサインする場合など、異常な、または「特別な原因」の変化です。 KPI シグナル は、異常な変動が発生しているときに通知します。 KPI シグナル にはプロセス動作チャートが組み込まれています。これらのグラフは、標準的な統計手法を使用して、一般的な原因の変動のノイズから特殊な原因の変動のシグナルを抽出します。

KPI シグナル 標準の3シグマパラメータを使用します。「スリーシグマ」とは、プロセスのインジケータースコアがほとんどの場合、標準の3標準偏差以内にとどまると予想されることを意味します。グラフでは、パラメーターを計算するために少なくとも 5 つの連続したスコアが必要です。

KPI シグナル ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
プロセスオーナー	要求は、次の状況でのインジケーターの監視をシグナルで行います。 インジケーターは、プロセスオーナーが傾向が大幅に悪化しているかどうかを知りたいと考えており、そのことをプラットフォーム外で通知したいと考えているほど重要です。ただし、プロセスオーナーは傾向を継続的に追跡したくありません。代わりに、より詳しく調べる必要があるときにシステムから通知してもらいたいと考えています。あるいは、プロセスオーナーは、人間の目には明らかになるほど悪化する前に、プロセスの早い段階でトレンドをキャッチしたいと考えています。
KPI シグナル アドミニストレーター	プロセスオーナーの要求に応じてインジケーターの KPI シグナルを設定します。また、インジケーターの責任ユーザーをアサインします。通常はプロセスオーナーの要求に応じてもアサインします。
責任ユーザー	シグナル通知を受信し、それに基づいて行動します。通常、プロセスオーナーは主要な責任ユーザーですが、この責任を他のユーザーに委任することもできます。

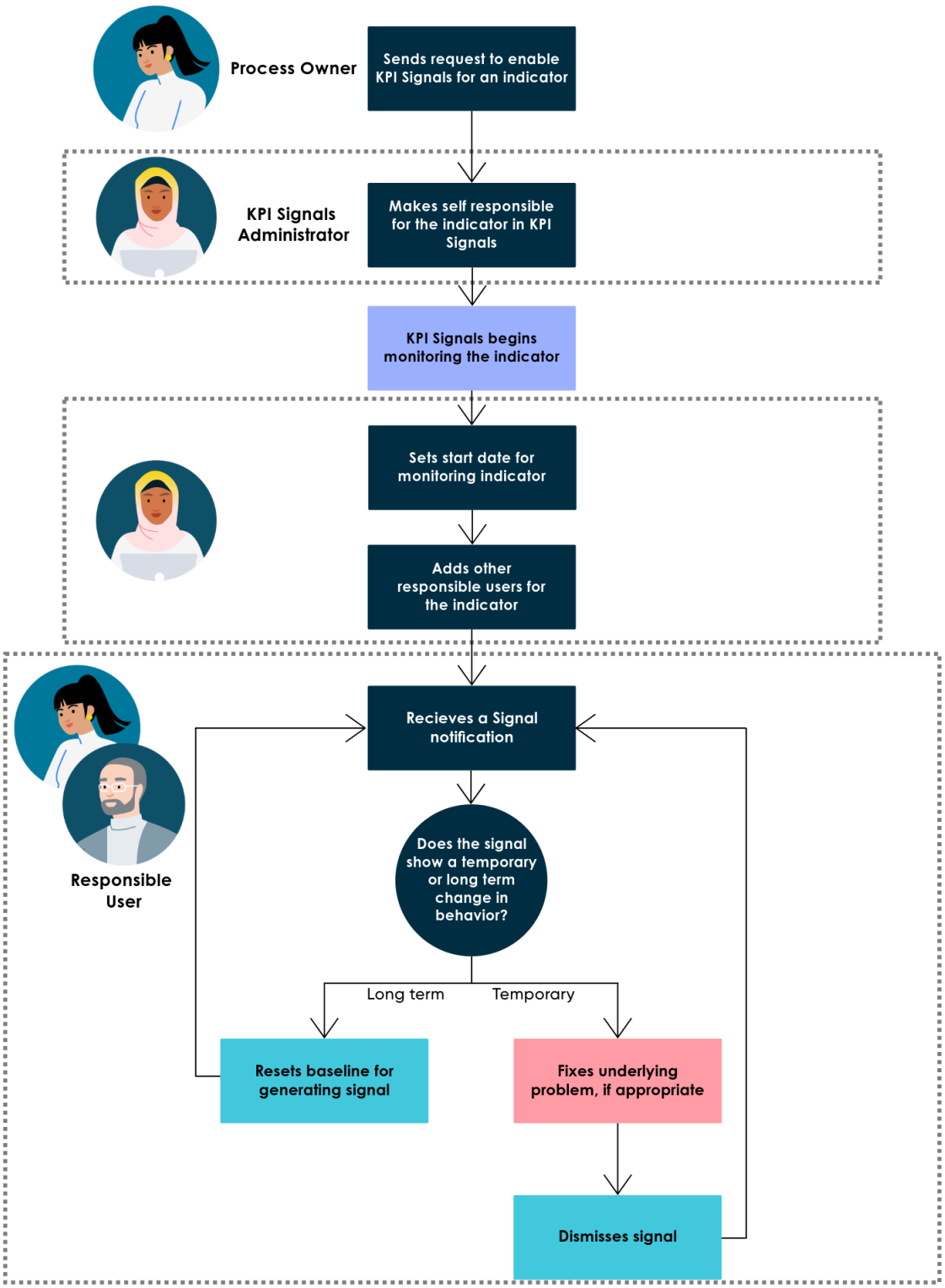
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナル のワークフロー

次の図は、パフォーマンスアナリティクスインジケーターのKPI シグナルを設定するワークフローと、シグナル通知に応答するワークフローを示しています。

のセットアップと使用 **KPI** シグナル



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. プロセスオーナーは、インジケーターの KPI シグナル を有効にするようアドミニストレーターに要求します。
2. アドミニストレーターは、自分自身をインジケーターの責任ユーザーにします。これにより、インジケーターの KPI シグナル 監視がアクティブになります。
3. アドミニストレーターは、モニタリングインジケーターの開始日を設定します。
4. アドミニストレーターが他の責任ユーザーを追加します。
5. 担当ユーザーは、インジケーターを調べる必要があるという通知を KPI シグナルから受け取ります。
6. 担当ユーザーは、シグナルがおそらく修正可能な問題が原因で一時的な変化を示しているのか、それともシグナルがプロセス動作の長期的な変化を示しているのかを判断します。
7. 変更が一時的なものである場合、担当ユーザーは必要に応じて根本的な問題に対処し、シグナルを却下します。
8. 変更が長期にわたる場合、担当ユーザーはシグナルを適切に生成するためのベースラインをリセットします。

その他の探索トピック

シグナル、シグナルなし、アンチシグナル

KPI シグナル が KPI のスコアの異常な変動を検出すると、シグナルが生成されます。KPI シグナルが長時間異常な変動を検出しない場合、「アンチシグナル」が生成されます。アンチシグナルにより、ワークフローが制御されていることがわかります。

信号の有無はどちらも情報を伝えます。

- シグナルの存在により、ワークフローが変更されたか、少なくとも統計的に安定していないことがわかります。
- シグナルが長期間存在しないということは、ワークフローが統計的に安定していることを示しています。この情報を使用して、たとえば、プロセス改善イニシアチブを開始することを決定できます。

注: デフォルトでは、 KPI シグナル が有効になっているインジケーターを表示するダッシュボードには、生成されるシグナルのインサイトカードがあります。詳細については、「ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト」を参照してください。

シグナル

KPI シグナルアプリケーションは、次の動作を考慮して、特殊な原因の変動を「シグナル」します。

外れ値
: 3 標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるすべてのスコア。

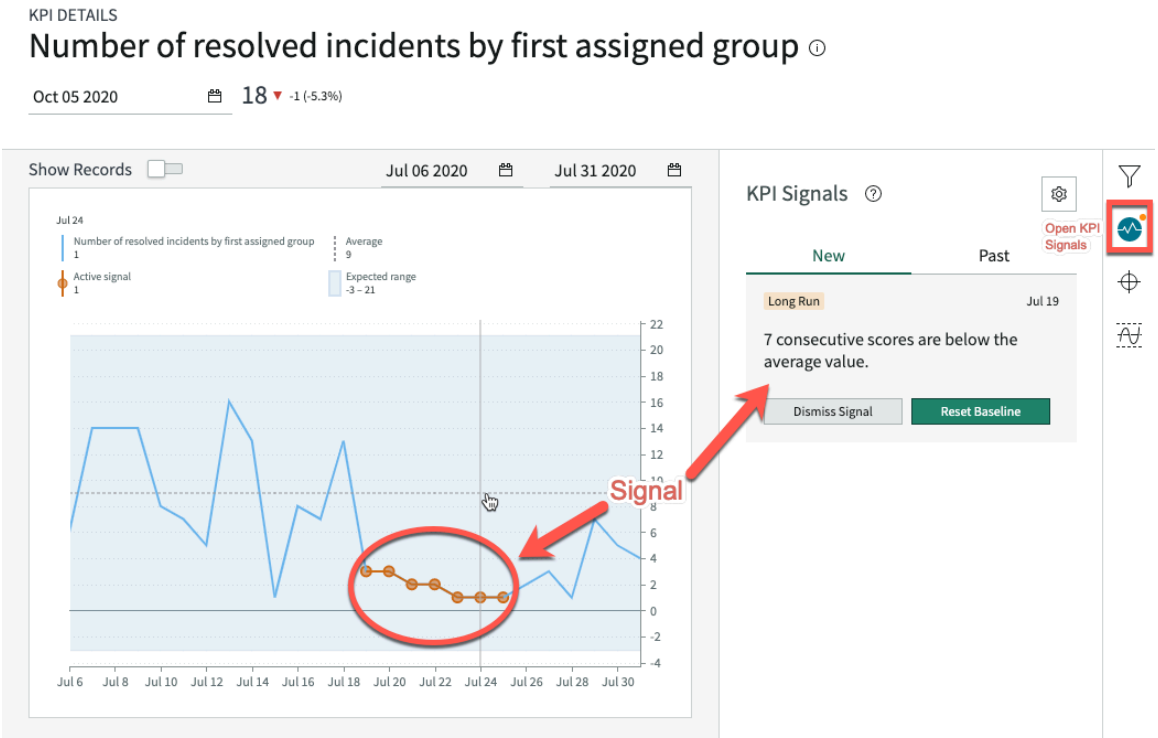
短時間実行
: 中心線の同じ側で 4 つの連続スコアがあり、そのうちの 3 つのスコアが上限または下限に近いスコア。「限界に近い」とは、2 標準偏差の範囲外と定義されます。

長時間実行
: 中央線の同じ側で7連続得点。つまり、7 つのスコアが連続してすべて平均値より大きいか、すべて平均値より小さい場合です。

注: KPI シグナルアプリは、短期実行または長期実行が発生したかどうかを計算するときに、外れ値 (却下されたかどうか) をカウントします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、「ロングラン」シグナル (中心線の上または下の 7 つの連続したスコア) が表示されています。



注: KPI シグナルアプリケーションは、第 1 レベルのブレークダウン要素が 1 つ以下のインジケーターのシグナルを検出できます。アプリケーションは、複数のブレークダウン要素または第 2 レベルのブレークダウンをサポートしていません。

アンチシグナル

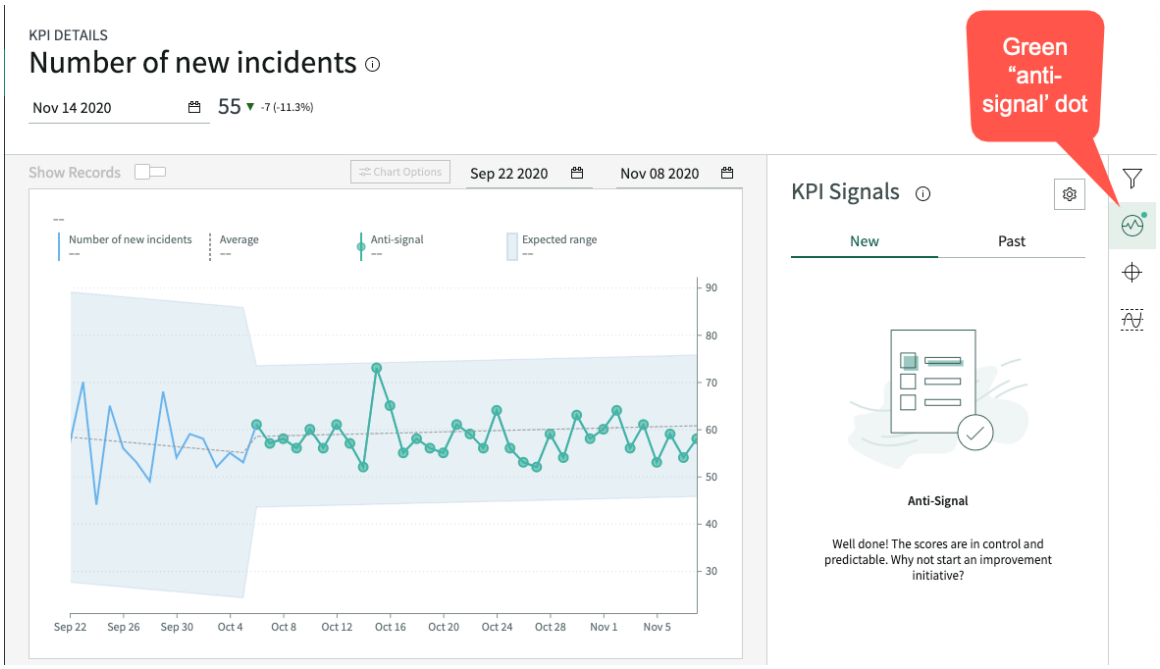
アプリケーションは、次の式に等しい時間にわたって信号を検出しなかった場合に、アンチシグナルを発行します。

```
Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor
```

アプリケーションでは、デフォルトで日次インジケーターのベースラインを計算するのに 14 日かかります。デフォルトのアンチシグナルファクターは 2 です。したがって、日次インジケーターでアンチシグナルを検出するデフォルトの期間は 28 日間です。ベースラインを計算する時間の設定の詳細については、「 シグナル検出を構成」を参照してください。アンチシグナルファクターの設定の詳細については、「 シグナル通知の構成」を参照してください。

この例では、デフォルトの構成値が日次インジケーターに適用されます。アプリケーションは 28 日間シグナルを検出していないため、28 日間のアンチシグナルが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

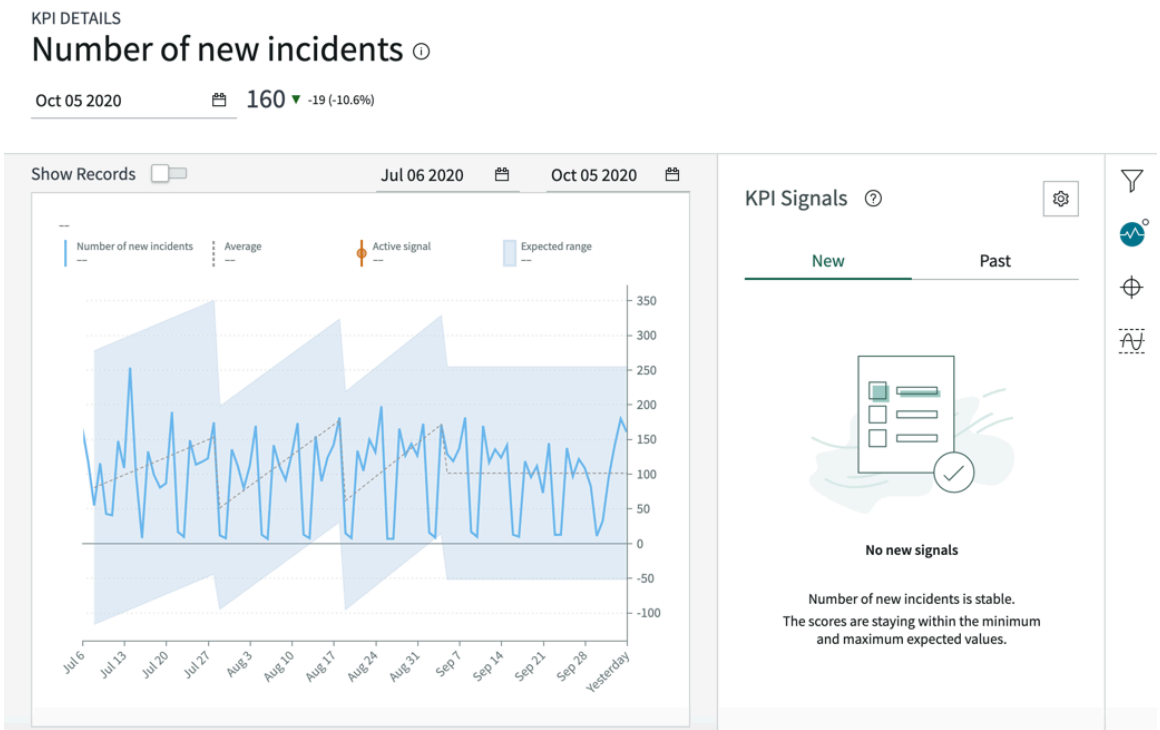


アンチシグナルが生成されると、担当ユーザーに通知されますが、アクションは必要ありません。

シグナルなし

通常、アンチシグナルを検出するのにかかる時間よりも短い時間で信号が検出されません。この場合、アプリケーションは単純な「シグナルなし」メッセージを表示します。通知は送信されず、アクションは必要ありません。

次の例では、ベースラインが最後にリセットされてから 5 日間、シグナルは検出されません。ベースラインは、表示されている期間に 3 回リセットされています。



KPI シグナルを表示

KPI 詳細ページからKPI シグナルにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:ワークスペースへのアクセスに必要なロール。インジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) も尊重されます。

手順

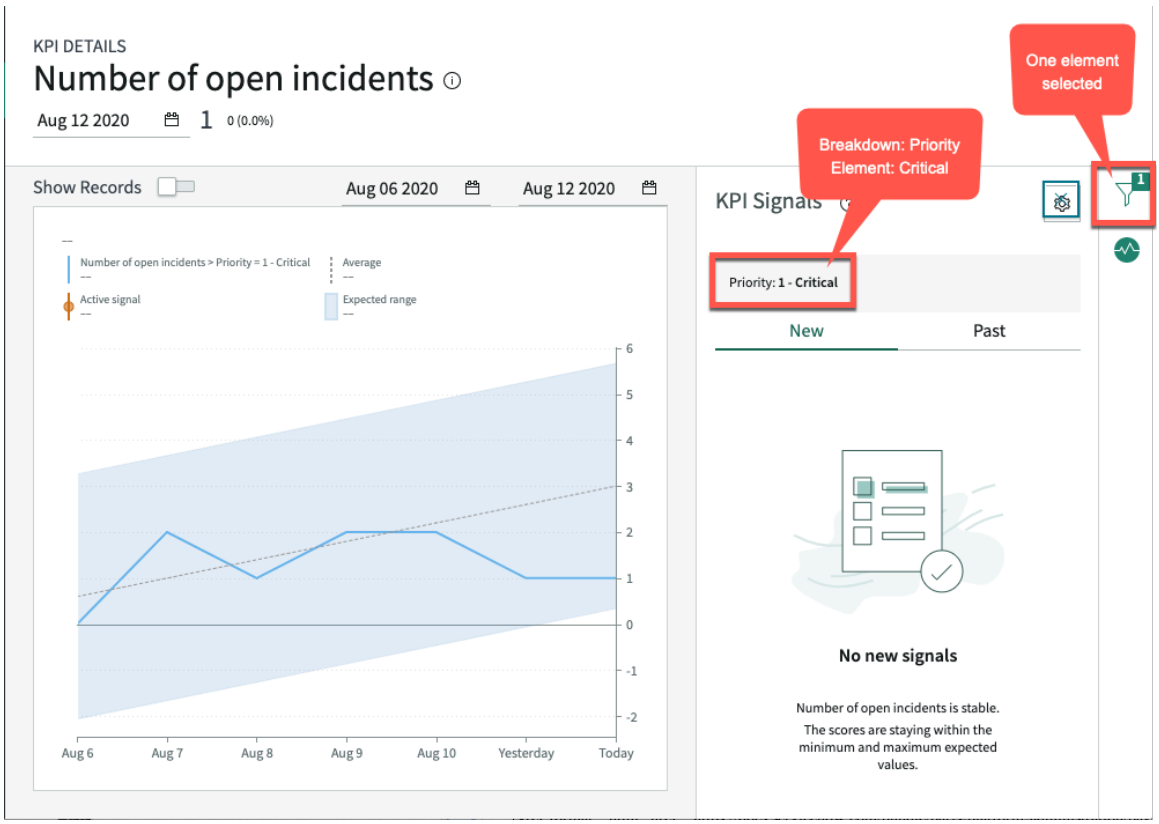
1. 「KPI 詳細を表示」で説明されているように、インジケーターのKPI 詳細を開きます。
2. オプション: [フィルター] ( ) パネルを開き、1 つのブレークダウンと 1 つの要素を選択します。
   KPI シグナル インジケーターに適用された各第 1 レベルのブレークダウンと要素を監視できます。第 2 レベルのブレークダウンは監視できません。

   注: KPI シグナル の文脈では、*KPI* という用語は、オプションで第 1 レベルのブレークダウンと要素を持つインジケーターを指します。

3. [KPI シグナル を開く] アイコンを選択します。
   KPI シグナルパネルが開きます。
4. この KPI に対して KPI シグナル モニタリングがアクティブでない場合は、「 インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化」の指示に従うことができます。
   KPI の KPI シグナル 監視をアクティブ化できるロールがない場合は、代わりにアドミニストレーターにお問い合わせください。

Example: ブレークダウン要素のある KPI シグナル

次の例では、[オープンインシデント数] インジケーターの KPI シグナル パネルが表示されています。このインジケーターは、[優先度:1 - 重大] ブレークダウン要素でフィルタリングされます。シグナルは検出されませんでした。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターの KPI シグナルの構成

インジケーターの KPI シグナル を有効にし、シグナル検出と通知を設定します。インジケーターの KPI シグナル 通知を受信して処理する責任をアサインします。

インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化

KPI シグナル はデフォルトではインジケーターを監視しません。個々のインジケーターのモニタリングをアクティブ化します。インジケーターの KPI シグナル を有効にすると、自分自身がそのインジケーターの責任ユーザーになります。

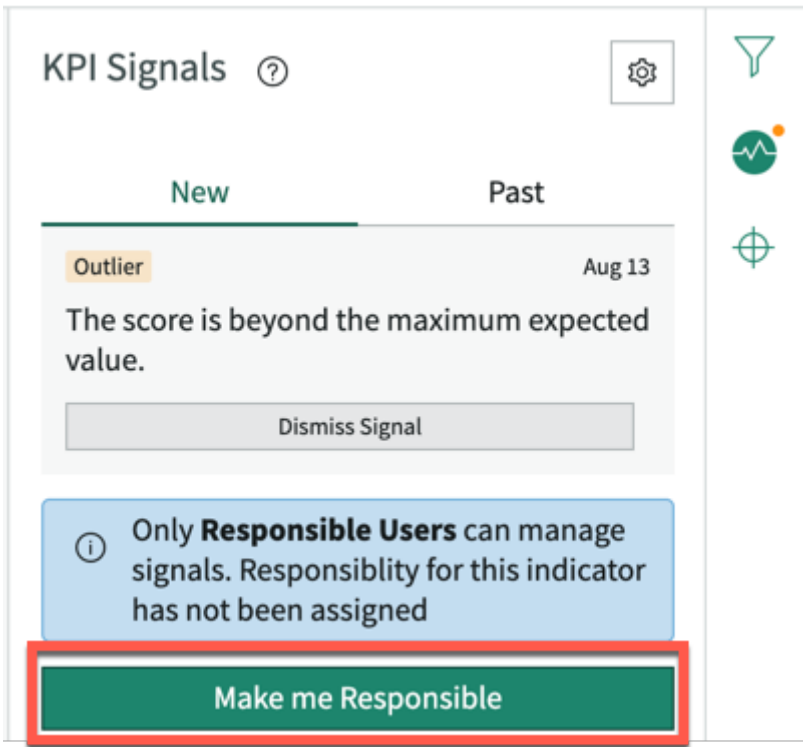
始める前に

重要: データスナップショットは KPI シグナルをサポートしていません。

必要なロール:pa_kpi_signal_admin、pa_admin、または admin

手順

1. 「KPI シグナルを表示」で説明されているように、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. インジケーターのKPI シグナルモニタリングが有効になっていない場合は、KPI シグナルパネルの [責任者にする] をクリックします。

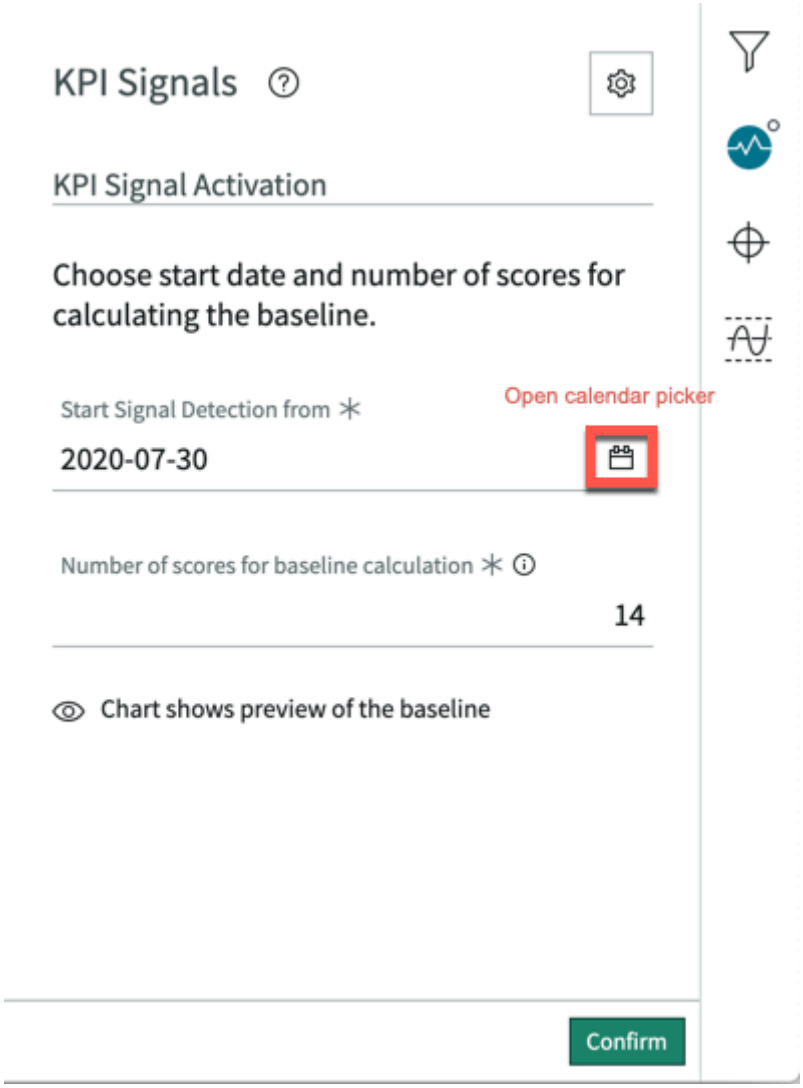


KPI シグナル 少なくとも 1 人の責任ユーザーがいない限り、インジケーターのモニタリングをアクティブにすることはできません。したがって、監視を有効にすると、自動的に責任あるユーザーになります。その後、責任を再アサインできます。詳細については、「KPI シグナルの責任の構成」を参照してください。

3. シグナルのインジケーターを評価する開始日を選択します。
デフォルトでは、インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化する 3 か月前からシグナルが計算されます。ベースラインを計算するための意味のあるデータがこの日付より前または後に開始された場合は、日付を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ベースラインの計算に使用するインジケータースコアの数を設定します。
ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
5. [確認] をクリックします。

次のタスク

インジケーターの KPI シグナル モニタリングをアクティブ化すると、次のことができます。

- インジケーターのモニタリングを非アクティブ化
- モニタリングが非アクティブ化されている場合は再アクティブ化
- ベースラインを計算するためのポイント数を再構成する
- ベースライン計算の開始日の変更
- ベースラインの傾向計算のタイプを変更する

詳細については、「シグナル検出を構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シグナル検出を構成

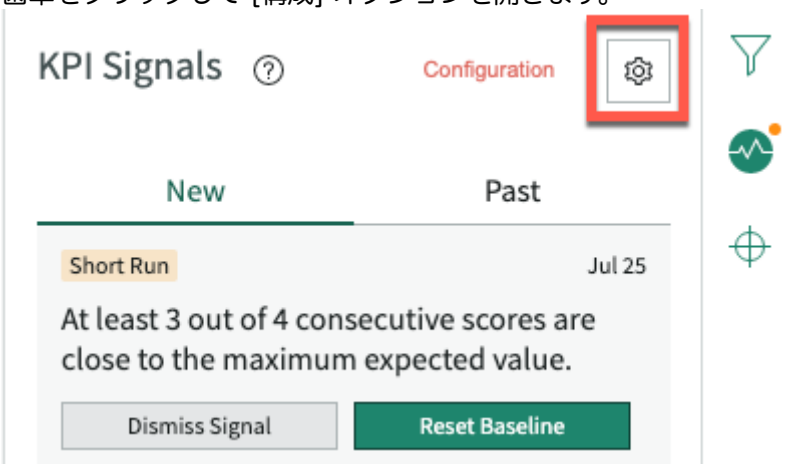
現在のベースライン計算の開始日、ベースラインの計算に使用されるスコアの数、および傾向方法を設定できます。KPI の KPI シグナル 監視を非アクティブ化または再アクティブ化することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります。

手順

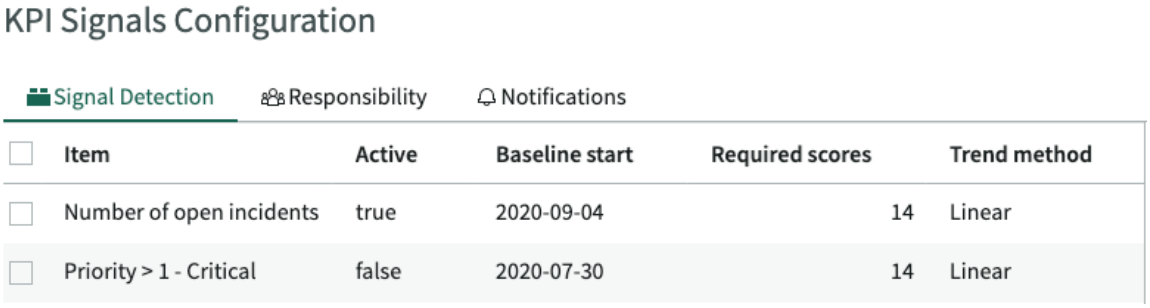
1. KPI の KPI シグナル を開きます。

2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。



3. [シグナル検出] タブを開きます。

この画像には、ブレークダウンのないオープンインシデントの数インジケーターと、優先度 = 1 - 重大のブレークダウンと要素がある同じインジケーターが表示されています。優先度 = 1 - 重大明細の KPI が非アクティブ化されました。ある時点でアクティブ化された KPI のみがこのリストに表示されます。



4. 編集する KPI を選択します。

5. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
アクティブ (チェックボックス)	KPI の KPI シグナル モニタリングを非アクティブ化する場合はオフにします。KPI はその後もリストに残ります。[後でアクティブ] を選択して、KPI のモニタリングを再アクティブ化します。KPI のモニタリングを再アクティブ化すると、モニタリングを再アクティブ化した日

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

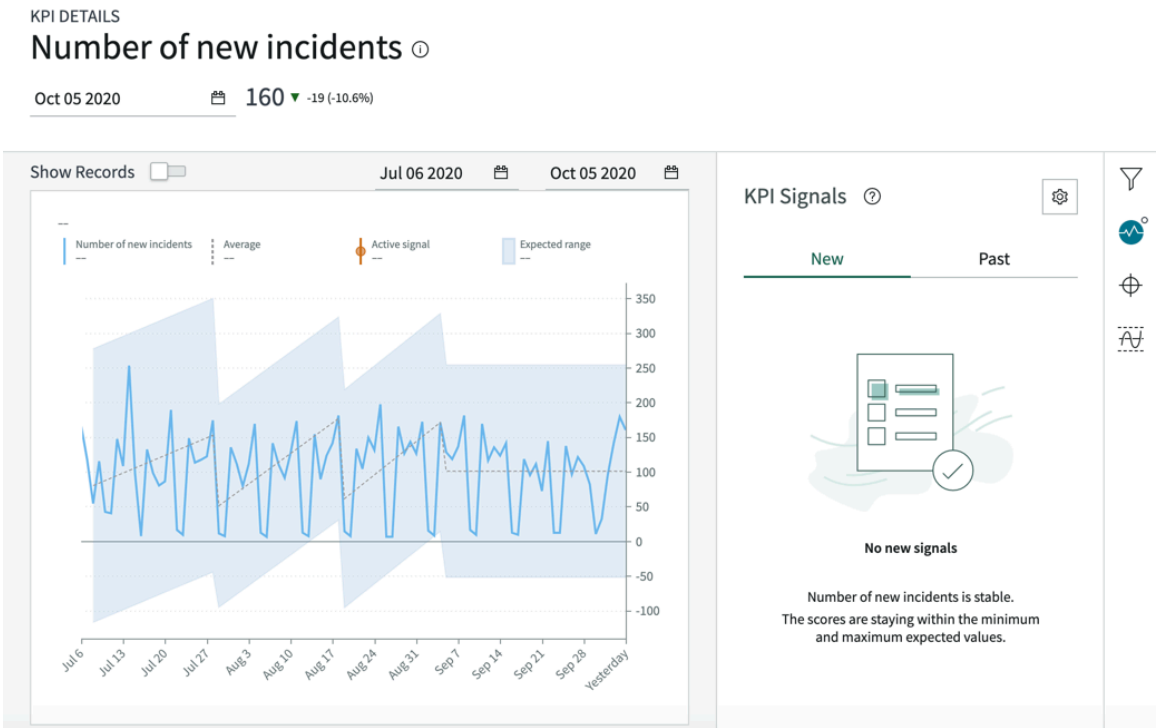
自動翻訳

フィールド	説明
	からではなく、非アクティブ化した日から開始されます。
ベースライン開始	ベースラインの計算に使用されるデータポイントの開始日。この日付は、最新の解決済みシグナルに基づいています。解決されたシグナルがなかった場合は、KPI の監視が最初にアクティブ化されたときに日付が設定されます。
ベースライン計算のスコア数	アプリケーションがベースラインを計算するために使用するスコアまたはデータポイントの数。 ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
トレンド手法	ベースラインを計算するための統計的手法。オプションは次のとおりです。 ○ 線形回帰によって計算された線形トレンド ○ 傾向はなく、平均スコアのみ

6. **[Save** (保存)] をクリックします。

Example: 線形トレンドとトレンドなし

次の例では、平均が安定しているにもかかわらず、最初の線形トレンドが引き続きシグナルを生み出しました。9月初旬の信号を受けて、信号検出は「無傾向」に変更されました。この変化の後、平均は安定しており、それ以上の信号は検出されませんでした。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナルの責任の構成

セキュリティアクセスに加えて、ユーザーにはシグナルに基づいて行動するための責任レベルが必要です。KPI シグナル アプリケーションが監視する個々のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (KPI) に対する責任が付与されます。

1 つの KPI には、複数の責任 ユーザーを含めることができます。

admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持つユーザーは、明示的に責任ユーザーになることなく、ベースラインをリセットしたり、シグナルを消去したりできます。他のロールを持つユーザーは、このようなアクションを実行する責任ユーザーになる必要があります。これらのユーザーには、関連するワークスペースへのアクセス権を付与するロールも必要です。

責任ユーザーには、次のメール通知が送信されます。

- 新しいシグナル
- 未解決のシグナル
- シグナルを解決するアクション
- KPI が長期的に安定していることを示す「アンチシグナル」

ワークスペースにアクセスできない責任あるユーザーでも、これらのメール通知を受け取ります。

関連トピック

シグナル通知の構成

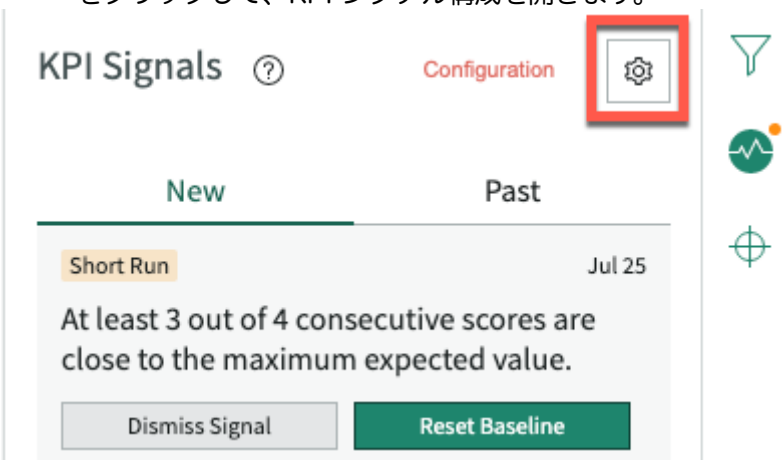
シグナルの責任のアサイン

KPI の KPI シグナル の責任を自分または他のユーザーにアサインできます。責任のアサインを解除することもできます。

始める前に
必要なロール:責任ユーザー、pa_adminまたはアドミニストレーターの場合は任意のロール

手順

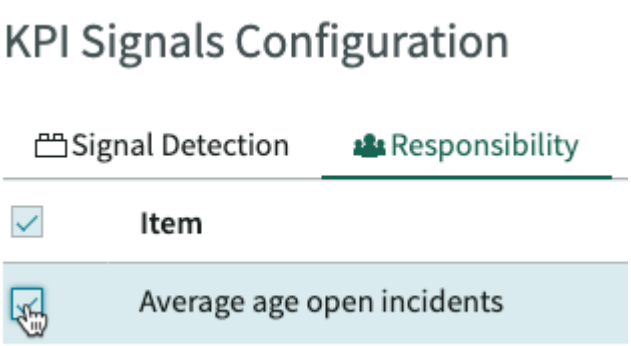
1. 「KPI シグナルを表示」で説明されているように、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. をクリックして、KPI シグナル構成を開きます。



3. [KPI シグナル構成] 画面で、[責任] タブを開きます。
4. 責任をアサインする KPI を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザーがシグナルを表示または処理するには、関連するワークスペースロールが必要です。ただし、これらのロールを持たない責任ユーザーは、未解決のシグナルまたはシグナルに対するアクションに関するメール通知を引き続き受け取ります。

5. [構成アイテムの編集] パネルで、ユーザーのリストを開き、責任をアサインするユーザーを選択します。
6. 責任のアサインを解除するには、ユーザーの名前の横にある [x] をクリックします。
7. **[Save** (保存)] をクリックします。

シグナル通知の構成

責任あるユーザーは、解決されていないシグナルに関するメールリマインダーを受信します。これらのリマインダーを受信する頻度と、シグナルに対して取得するリマインダーの最大数を設定できます。

始める前に
必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります

このタスクについて
責任ユーザーは、次の状況でメール通知を受信します。

- 担当している KPI で新しいシグナルが検出されました。
- KPI が長期的に安定していると見なされるほど長い間、KPI でシグナルが検出されていません (「アンチシグナル」)。
- 担当する KPI のシグナルが解決されました (ベースラインのリセットまたは却下)。
- 後続のシグナル収集ジョブに従って、担当する KPI のシグナルが解決されていません。

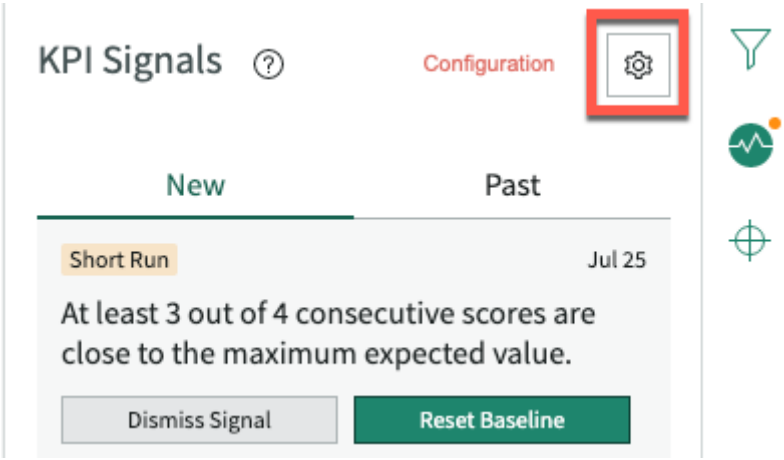
この最後のケースでは、KPI の解決をチェックする頻度を設定できます。受け取るリマインダーの最大数を設定することもできます。

手順

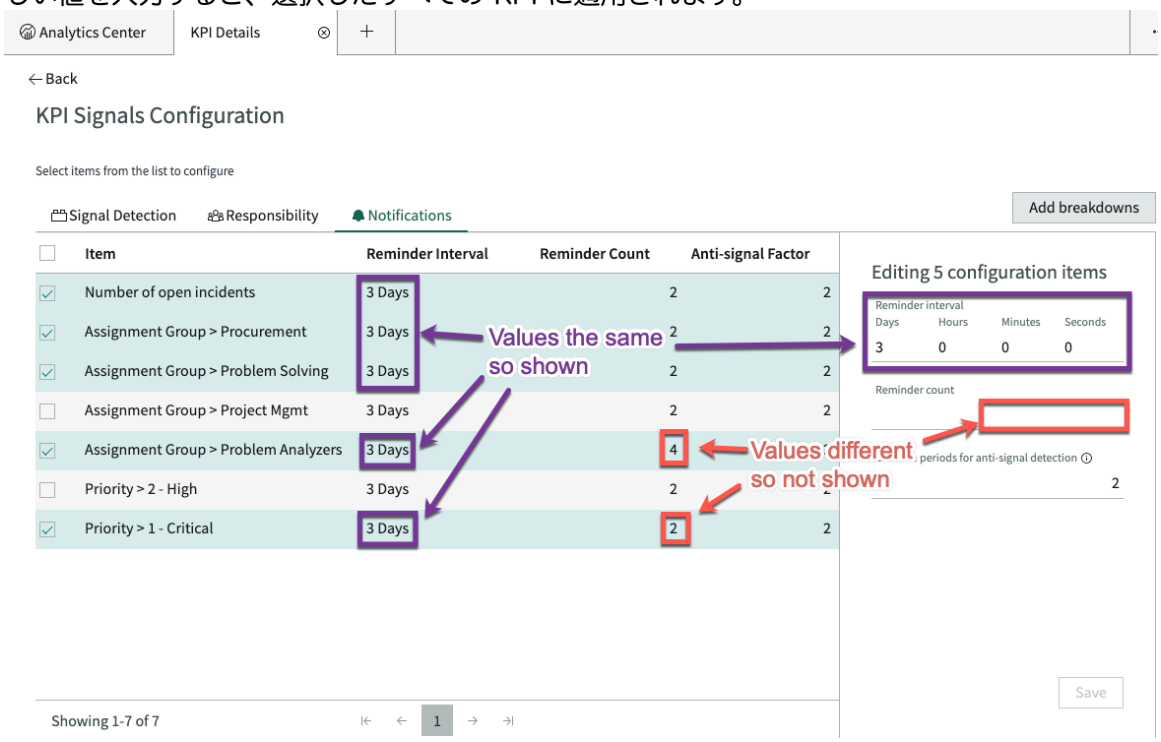
1. KPI の KPI シグナル を開きます。
2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [通知] タブを開きます。
   このインジケーターには、担当しているすべての KPI のリストが表示されます。*KPI* は、インジケーターとブレークダウン要素の組み合わせを指します。
4. 編集する KPI を選択します。
   1 つの KPI を選択すると、その設定が [構成アイテムの編集] パネルに表示されます。複数の KPI を選択すると、これらすべての KPI に同じ値のみがパネルに表示されます。そのパネルに新しい値を入力すると、選択したすべての KPI に適用されます。



5. 未解決のシグナルに関するリマインダーを取得する間隔を設定します。
6. 未解決のシグナルについて受信するリマインダーの最大数を設定します。
7. アンチシグナルファクターを設定します。
   この要素は、次の式に従って、KPI が「アンチシグナル」を生成できるほど安定しているタイミングを判断するのに役立ちます。

Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのアンチシグナルファクターは 2 です。変更する必要がある場合は、この要素を設定します。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。

8. [保存] をクリックします。

ブレークダウン要素のシグナルの構成

シグナル検出を構成し、1 つのインジケーターで複数のブレークダウンとブレークダウン要素の責任をアサインします。

始める前に

アドミニストレーターは、インジケーターの KPI シグナル を有効にする必要があります。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化」を参照してください。

必要なロール:インジケーターの責任ユーザーまたはアドミン。

このタスクについて

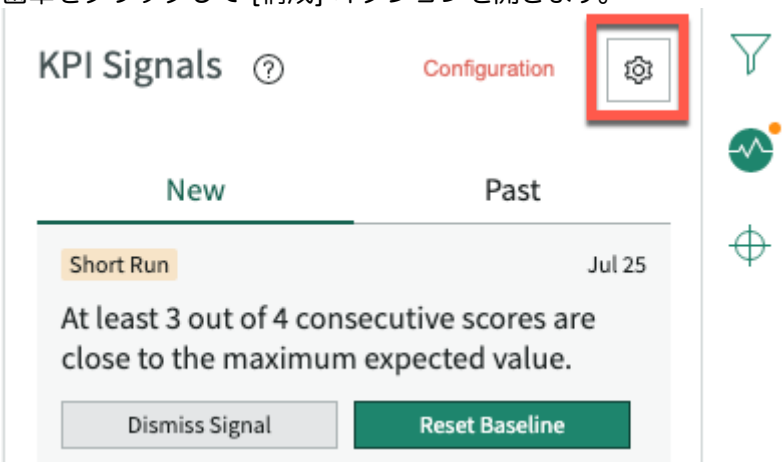
たとえば、 KPI シグナル 次のインジケーターとブレークダウンを同時に監視できます。

- オープン中のインシデントの数 (ブレークダウンなし)
- オープン中のインシデントの数、優先度 = 1:重大
- オープン中のインシデントの数、優先度 = 2 - 高
- オープンインシデントの数、カテゴリ = ソフトウェア

ただし、「オープンインシデントの数、優先度 = 1 - 重大、カテゴリ = ソフトウェア」 KPI シグナル 監視できませんでした。

手順

1. 最初にフィルタリングブレークダウンをKPI 詳細で選択せずに、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。

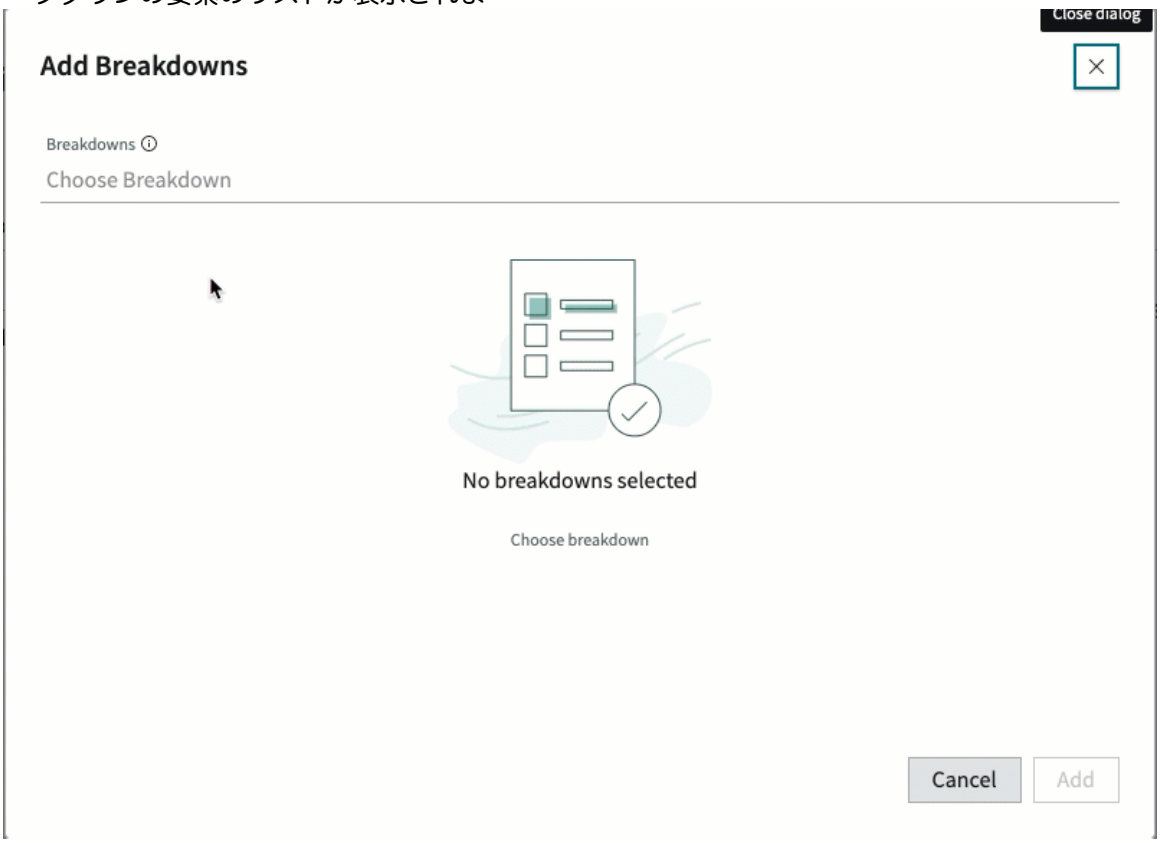


3. [ブレークダウンを追加] をクリックします。
   [ブレークダウンを追加] ダイアログが開きます。
4. [ブレークダウン] フィールドをクリックし、ブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの要素のリストが表示されま



す。

5. オプション: [フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して要素のフィルターを作成します。
6. 少なくとも 1 つの要素を選択し、[追加] をクリックします
7. 別のブレークダウンの要素のシグナルを監視するには、[ブレークダウンを追加] をもう一度クリックして、手順を繰り返します。
8. [シグナル検出] タブで、KPI のモニタリングをアクティブ化し、ベースラインの計算に必要なベースライン開始とスコア数を設定します。
   [シグナル検出] タブの設定の詳細については、「 シグナル検出を構成」を参照してください。
9. [責任] タブを開き、各 KPI に責任ユーザーをアサインします。
   責任ユーザーと [責任] タブの設定の詳細については、「 KPI シグナルの責任の構成」を参照してください。
10. [通知] タブを開き、未解決のシグナルについてユーザーがメール通知を受け取る頻度を設定します。
    未解決のシグナルに対して担当ユーザーが受け取るリマインダーの合計数を設定することもできます。また、アンチシグナルファクターも設定します。これは、シグナルのないアンチシグナルの結果であるスコアの数を計算するために使用されるものです。アンチシグナルの詳細については、「 シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。[通知] タブの設定の詳細については、「 シグナル通知の構成」を参照してください。

KPI シグナル自動検出ジョブ

KPI シグナルアプリケーションには、シグナルを自動的に検出するジョブが含まれています。これらのジョブは、担当ユーザーにアプリケーションを開かずに新しいシグナルを通知できるように実行されます。式インジケーターのシグナルのジョブには、スケジューリングが必要です。

KPI 詳細でインジケーターを表示してKPI シグナルパネルを開くと、そのインジケーターにシグナルがないかチェックされます。したがって、常に最新のシグナルを手に入れることができます。ただ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

し、 KPI シグナル アプリケーションには自動シグナル検出ジョブもあります。これらのジョブは、アプリケーションを開かなくても、登録済みユーザーにシグナルに関する通知を送信します。

自動インジケーターの場合、これらのジョブはデータ収集ジョブが実行されるたびに実行されます。KPI シグナル アプリケーションは、アクティブなすべてのインジケーターとブレークダウン要素の組み合わせをチェックします。データ収集ジョブはドメイン固有であるため、シグナルもドメイン固有です。

式インジケーターの場合は状況が異なります。式インジケーターの式は、他のインジケーターのスコアを使用します。これらの他のインジケーターは、 貢献インジケーターと呼ばれます。これらのインジケーターのスコアは、さまざまなデータコレクションジョブで収集できます。KPI シグナル計算では、直近に検出された貢献インジケータースコアが使用されることに注意してください。KPI シグナルジョブは、すべての貢献インジケーターのスコアが検出された後に実行する必要があります。

式インジケーターで適切なタイミングでシグナルがチェックされるように、 KPI シグナル アプリケーションにはスケジュール済みジョブ「PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブ」が付属しています。このジョブのデフォルト設定は 8 時間ごとに実行されますが、このタイミングを最適化することができます。

式インジケーターのシグナルを検出するジョブをスケジュールします

すべてのデータ検出ジョブが実行された後に実行するように、PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブを設定します。

始める前に

パフォーマンスアナリティクスデータ検出ジョブを確認します。これらのジョブが実行された後、式インジケーターのシグナルを検出する時間を決定します。

> **注:** この手順はオプションです。ジョブスケジュールを変更すると、式インジケーターの新しいスコアと新しいシグナルの間の遅延を防ぐことができます。ただし、8 時間ごとのデフォルトの信号検出ではエラーは発生せず、十分な場合があります。

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前に KPI シグナルが含まれるジョブのリストをフィルタリングします。
3. 「PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算」ジョブを開きます。
4. 次のフィールドを変更してジョブをスケジュールします。

フィールド	説明
実行	ジョブを実行する頻度。後続のフィールドの選択は、このフィールドの設定によって異なります。 デフォルトでは、ジョブは定期的に実行 されます。
日	スケジュール済みジョブを実行する日。 [実行] フィールドで [週次 **(Weekly)]** を選択した場合、このフィールドには曜日が表示されます。[実行] フィールドで [月次 **(Monthly)]** を

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した場合、このフィールドには月日が表示されます。
時刻	スケジュール済みジョブを開始する時間。
繰り返し間隔	スケジュール済みジョブが再度実行されるまでの日数と時間。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] を選択すると表示されます。 デフォルトでは、ジョブは 8 時間ごとに実行されます。
開始中	定期的な更新を開始する日時。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] を選択すると表示されます。

KPI シグナルの無効化

KPI シグナル は要求に応じて無効にできます。

KPI シグナル はデフォルトで有効になっています。この機能が必要ない場合は、 ServiceNow AI Platform アドミニストレーターにプロパティ *com.snc.pa.activate_kpi_signals* を *false* に設定するように依頼してください。このプロパティはデフォルトでは存在しないため、アドミニストレーターが追加する必要があります。システム プロパティの追加 を参照できます。

重要: KPI シグナルを再アクティブ化すると、シグナル検出は、機能を再アクティブ化した時点からではなく、最初に非アクティブ化した時点から再開されます。

KPI シグナルの使用

担当ユーザーは、シグナル通知を受信すると、シグナルを却下するか、ベースラインをリセットします。

KPI シグナル通知への応答の概要

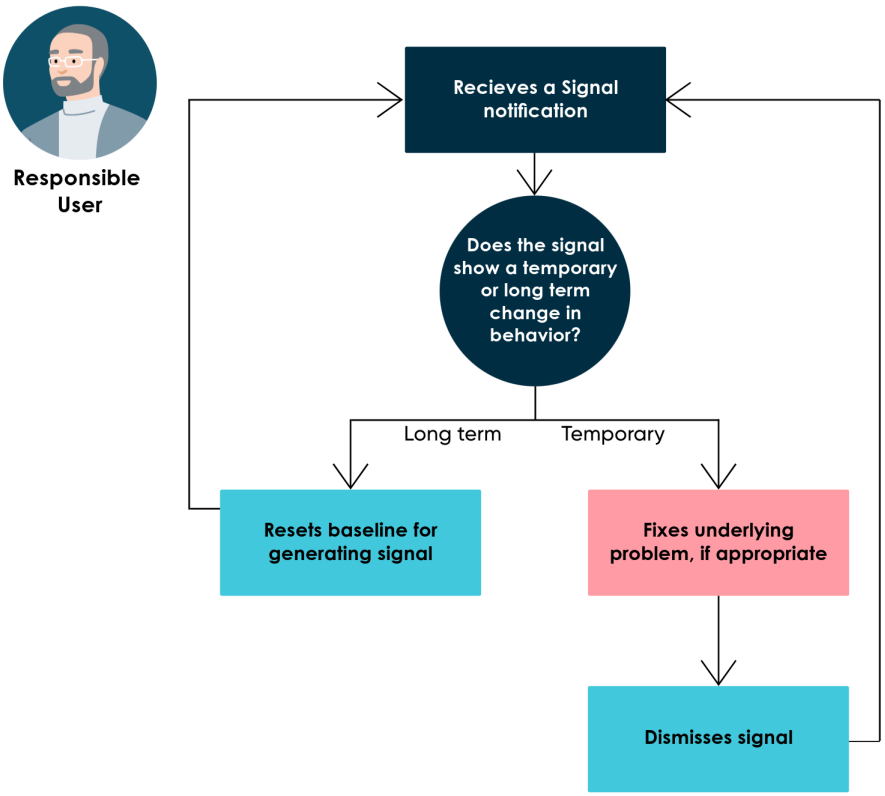
担当ユーザーが KPI シグナル 通知を評価します。根本的な問題が一時的な問題であると判断した場合は、必要に応じて問題を修正し、シグナルを消去します。通知の原因が基礎となるビジネスプロセスの動作の長期的な変化によるものであると判断した場合は、シグナルの生成に使用されるベースラインを更新します。

後で、シグナルを却下したりベースラインを更新したりすることが間違いだったと判断された場合、責任あるユーザーはそのアクションを元に戻すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナル通知への応答



1. KPI シグナルから、インジケーターを調べる必要があるという通知を受信します。
2. シグナルが、おそらく修正可能な問題が原因で一時的な変化を示しているのか、それともシグナルがプロセス動作の長期的な変化を示しているのかを判断します。
3. 変更が一時的なものである場合は、必要に応じて根本的な問題に対処し、シグナルを解除します。
4. 変更が長期的なものである場合は、シグナルを適切に生成するためのベースラインをリセットします。
5. 決定が間違っていることが判明した場合は、元に戻します。

その他の使用トピック

ベースラインをリセットまたはシグナルを却下

異常な変動が発生したというシグナルを取得した場合は、シグナルを無視するか、パラメーターを再計算します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持っていない限り、 責任あるユーザーである必要があります。

このタスクについて

ベースラインをリセットするかシグナルを消去するかを決定する前に、変動の理由を調査します。シグナルが「新しい常態」を表していると判断した場合は、ベースラインを再計算します。シグナルが一時的な状況の結果であると判断した場合は、シグナルを消去します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細からKPI シグナルを開きます。
   インジケーターの [KPI 詳細] ページの [KPI シグナル] タブに通知ドットが表示されます。このドットは、インジケーターのシグナルがあることを示しています。

   注: KPI シグナル は、1 つの第 1 レベルのブレークダウン要素でフィルタリングされたインジケーターのシグナルを検出できます。複数の要素または第 2 レベルのブレークダウンはサポートされていません。

2. シグナルを調べ、プロセス動作のこの変動の背後にあるビジネス上の理由を調査します。
   - シグナルの動作に一時的な変化があると判断した場合は、[シグナルを閉じる] をクリックします。一時的な動作の変化は、状況の一時的な変化が原因である場合もあれば、すぐに修正できる問題が原因である場合もあります。
   - シグナルがプロセス動作の長期的かつ実際の変化を示していると判断した場合は、[ベースラインをリセット] をクリックします。

3. ベースラインを再計算する場合は、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
日付からリセット	新しいベースラインの計算を開始する日付。デフォルトでは、この日付がシグナルの最初の日付です。シグナルが不規則である場合、または直後にさらに変動が続く場合は、開始日を遅くすることを検討してください。
ベースライン計算のスコア数	ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。

4. シグナルを却下するか、ベースラインをリセットするかにかかわらず、決定の理由を述べてください。
   [変更内容 **(What has changed?)]** というラベルの付いた必須フィールドが KPI シグナル パネルに表示されます。シグナルの調査結果を簡単に説明してください。

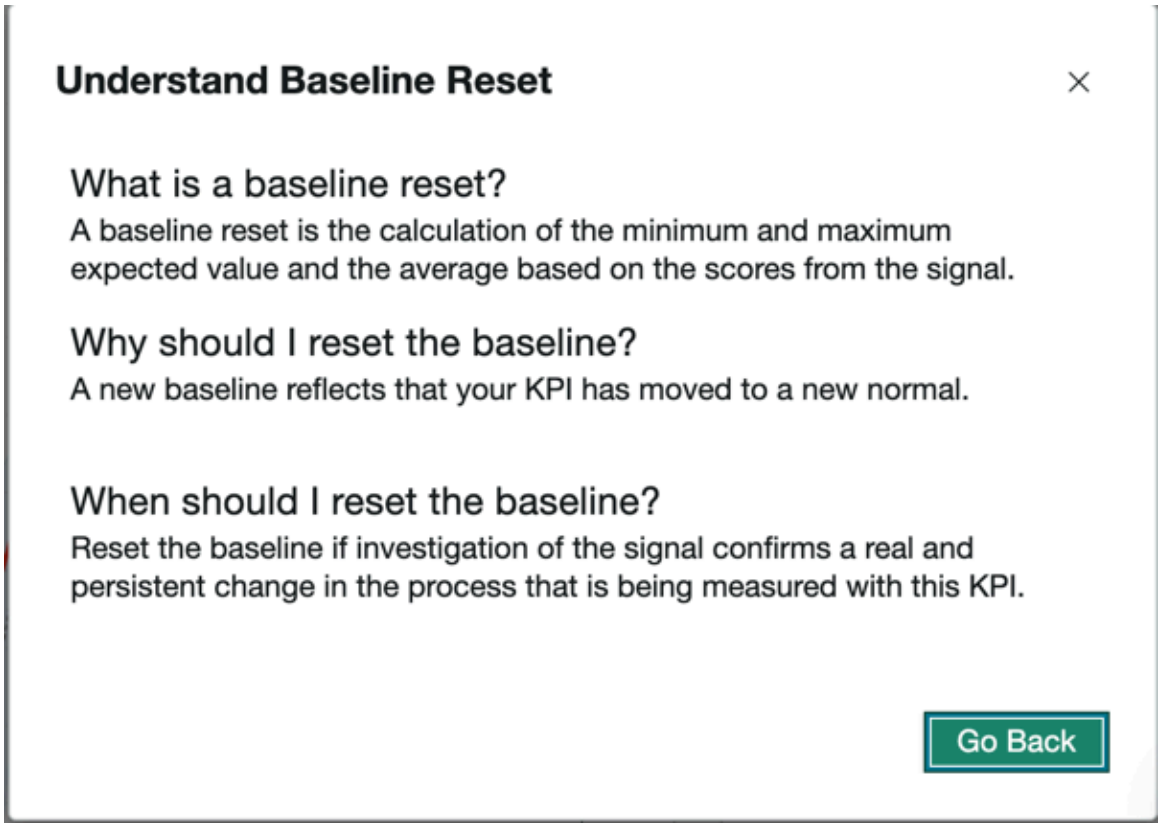
   過去のシグナルを表示すると、決定の理由が表示されます。これは、シグナル解除またはベースラインリセットのいずれを元に戻すかを決定するための重要な情報です。

5. [シグナルを却下] または [確認] のいずれかをクリックして、シグナルを却下するか、ベースラインをそれぞれリセットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインをリセットするためのダイアログで、まず [仕 組み] をクリックします。そうすると、ベースラインリセットとは何か、いつ実行するかに関する情報を含むウィンドウが開きます。



結果
ベースラインをリセットすると、ベースラインがリセットされたことを示すメッセージが表示されます。また、処理したシグナルよりも最近のシグナルがあるかどうかも確認できます。[過去] タブで、却下したシグナルとベースラインのリセットを確認できます。

ベースラインリセットを元に戻すか、却下をシグナルします

以前の意思決定をレビューして、 KPI シグナル ベースラインをリセットするか、シグナルを却下します。必要に応じて決定を元に戻します。

始める前に
KPI 詳細へのアクセス権が必要です。

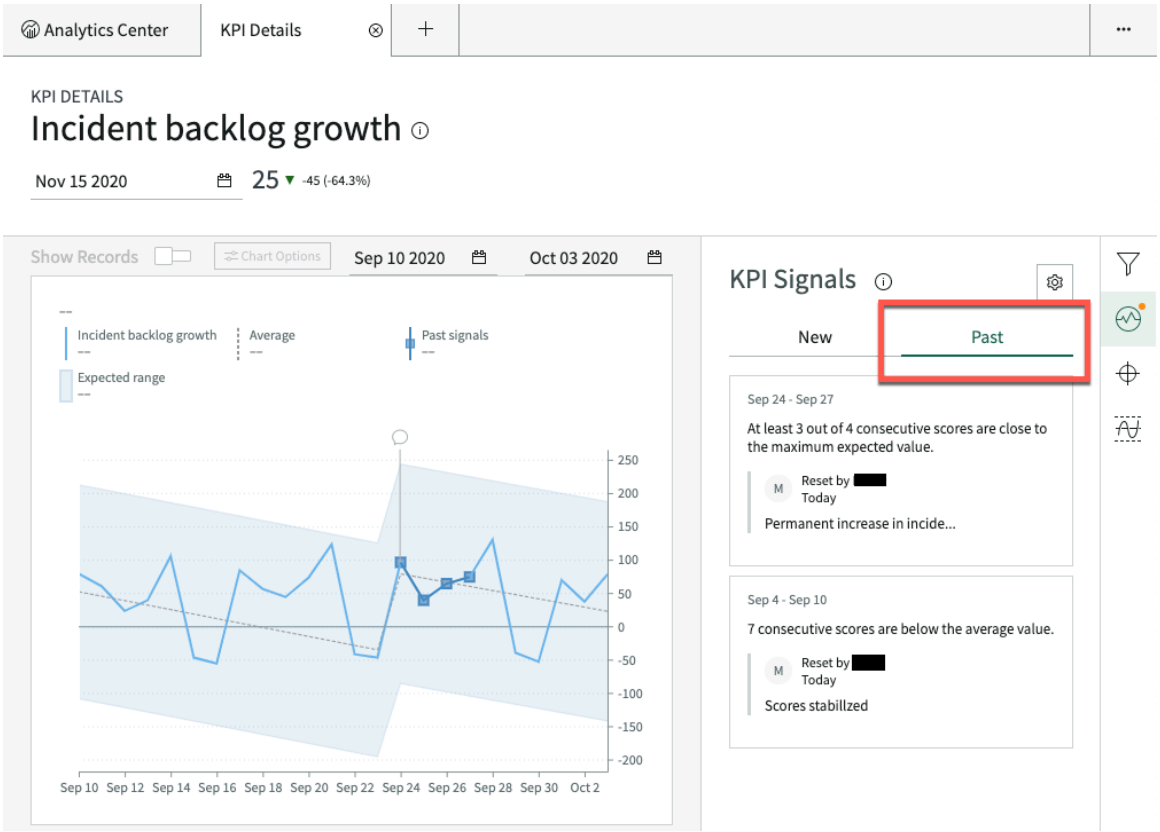
必要なロール:KPI の責任ユーザーであるか、admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持っている必要があります。

手順

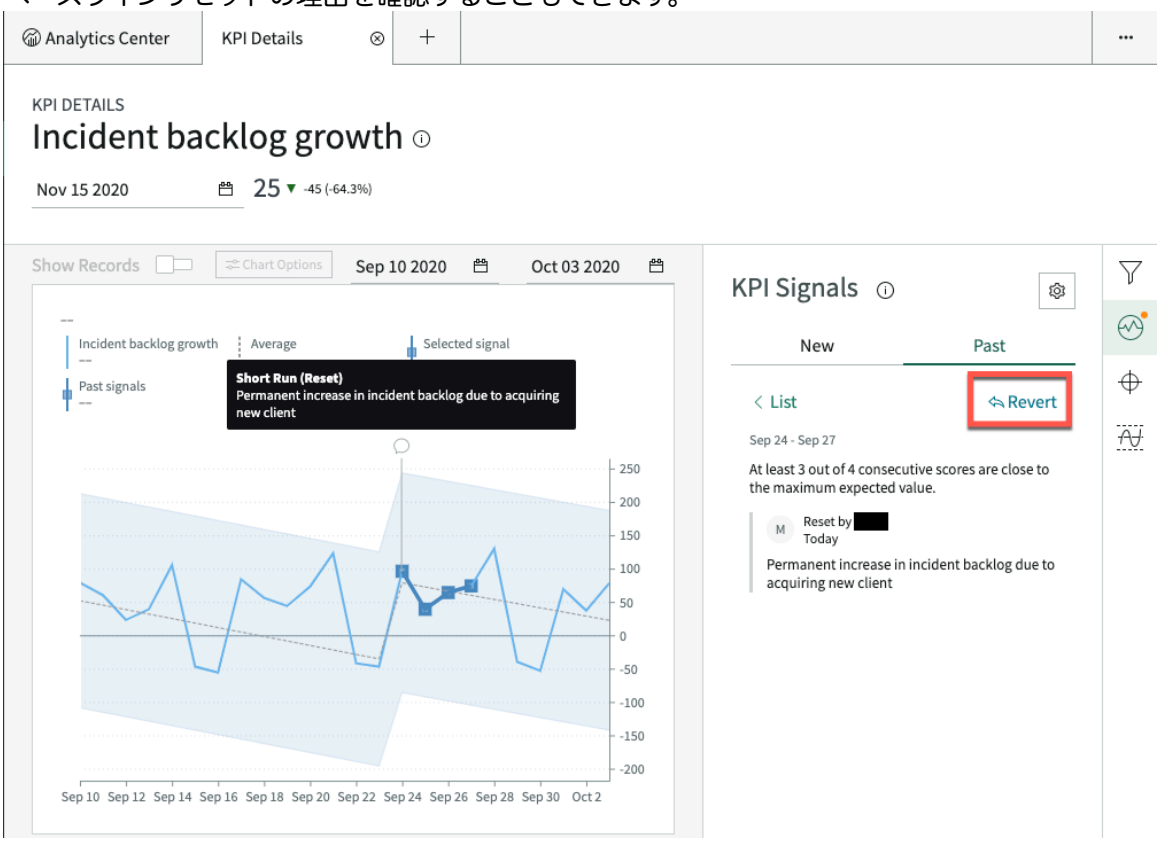
1. [KPI 詳細] から、 KPI シグナル パネルを開きます。
2. [過去] タブに切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



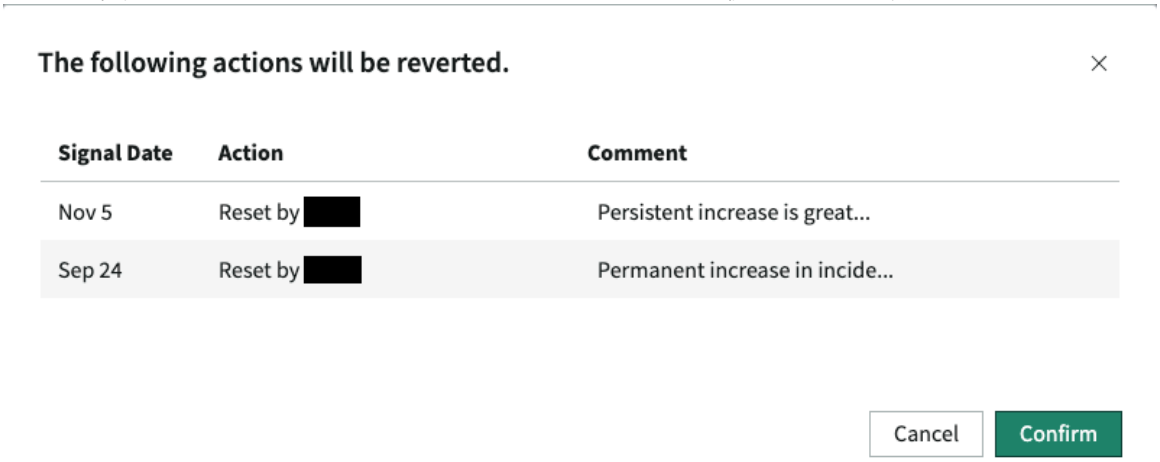
3. ベースラインリセットまたはシグナル却下にフォーカスするには、その意思決定のカードをクリックします。
シグナルの吹き出しをポイントして、その却下理由または
ベースラインリセットの理由を確認することもできます。



注: アンチシグナルを元に戻すことはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. シグナルを消去するかベースラインをリセットするかという以前の決定が間違っていたと判断した場合は、[戻す] をクリックします。
5. 元に戻すすべての意思決定のリストを確認します。
   シグナルの却下またはベースラインリセットを元に戻すと、その後のすべての決定も元に戻されます。



6. 決定を元に戻す場合は、[確認] をクリックします。

次のタスク
次に、決定を元に戻した最も古いシグナルに対して新しい決定を行います。次に、後続のシグナルを処理します。

KPI シグナルロール

次のロールは KPI シグナルに適用されます

任意のロール

任意のロールを持つユーザーに、特定のインジケーターのシグナル通知を受信して応答する責任を負わせることができます。このユーザーは、シグナル検出と通知を構成し、担当するインジケーターの責任をアサインすることもできます。また、インジケーターへのアクセス権も必要です。

pc_kpi_signals_admin

このロールを持つユーザー、またはこのロールを (pa_admin または admin を介して) 継承するユーザーは、インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化できます。また、シグナル検出と通知を構成し、インスタンスのインジケーターの責任を割り当てることもできます。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの参照

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのすべての機能とアプリケーションで共有されるリソース

プラットフォームアナリティクスのデータキャッシュ

データキャッシュは、利用可能な場合は古い応答を再利用することで、データの可視化の読み込みを高速化するのに役立ちます。ユーザーは、ダッシュボードを手動で更新することで、常に最新のデータを取得できます。

データキャッシュは、特に大規模なデータセットの場合、次の理由により、ダッシュボードとデータの可視化のロード時間を短縮する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- キャッシュを使用すると、データに変更がない場合に長い集計計算を回避できます。
- キャッシュを使用すると、同じ集計結果データにアクセスできるユーザーの集計計算を回避できます。
- キャッシュを使用すると、長時間実行される要求の積み重ねによるインスタンスへの負荷を軽減できます。
- キャッシュは、データの鮮度よりもダッシュボードのロード速度にユーザーが関心を持つユースケースに適している可能性があります。

サポートされているデータソース

テーブルとインジケーターデータはキャッシュをサポートしています。

データキャッシュのアクティブ化

データキャッシュを有効にする前に、プロパティ *glide.analytics.cache.enabled* を true に設定する必要があります。

インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードごとにデータキャッシュを有効または無効にできます。その後、キャッシュをサポートするデータソースを持つダッシュボード上のすべてのデータ可視化に適用されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

UI ビルダーでは、データの可視化ごとにデータキャッシュを有効または無効にできます。例については、「単一スコア UIB セットアップ」のテーブルまたはインジケーターデータソースの *useDataCache* プロパティを参照してください。

UI ビルダーでは、テーブルまたはインジケータータイプのローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にすることもできます。詳細については、「ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする」を参照してください。

デフォルトのダッシュボードキャッシュ

デフォルトでは、インラインエディターで作成する新しいダッシュボードではキャッシュは有効になっていません。前のセクションで説明したように、ダッシュボードごとにキャッシュを有効にする必要があります。ただし、デフォルトの動作を変更して、インラインエディターで作成するすべての新しいダッシュボードでキャッシュを有効にすることができます。これを行うには、プロパティ *glide.analytics.cache.enable_dashboard_default* を true に設定します。

新しいダッシュボードでキャッシュを有効にするようにデフォルトの動作を設定する場合は、デフォルトの有効期限を変更するかどうかを検討してください。デフォルトの有効期限のデフォルト値は 24 時間です。この値はプロパティ *glide.analytics.cache.dashboard_default_value*で設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。この値を設定するときは、データのプリフェッチへの影響を考慮してください。

UI ビルダーで作成されたデータ可視化のキャッシュをデフォルトで有効にすることはできません。

データのプリフェッチ

ダッシュボードの初回ロードには使用するキャッシュデータがないため、ロード時間が遅くなる可能性があります。たとえば、IT エージェントがその日に初めてログインすると、前日のキャッシュデータが期限切れになっているため、ダッシュボードがロードされる前にシステムがデータを取得するのを待つ必要があります。プリフェッチメカニズムは、キャッシュ有効期限が長い頻繁に使用されるダッシュボードやデータの可視化について、この問題に対処します。

プリフェッチでは、キャッシュの有効期限が近づくと、ユーザーの操作なしにデータを自動的に更新することで、キャッシュエントリを存続させます。スケジュール済みジョブは、エントリーが 30

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

分以内に期限切れになる予定の、プリフェッチが有効になっているキャッシュエントリーを検索します。ジョブは、そのようなすべてのレコードを収集し、更新するキューに入れます。リフレッシュ後、有効期限はリセットされます。このスケジュール済みジョブは 15 分ごとに実行されるため、まだ処理されていない有効なキャッシュエントリはテーブルクリーナーによって削除されません。

プリフェッチ設定とデフォルト

プリフェッチはデフォルトで有効になっており、システム負荷の最小化とユーザーへの価値の最大化のバランスを取るための設定が選択されています。アドミニストレーターはこれらの値を変更できますが、十分注意して、差し迫った理由がある場合に限り行う必要があります。

プロパティ	設定	値	メモ
glide.analytics.cache.prefetch.min_age_in_seconds	プリフェッチの対象となるデータのキャッシュ有効期限の下限 [cacheExpirationTime]	8 時間	8 時間は、プリフェッチされるキャッシュデータの最小安全有効期間です。この値は大きくする必要があるかもしれませんが、小さくしないでください。
glide.analytics.cache.prefetch.max_refresh_counter	このデータのプリフェッチが停止するまでにキャッシュヒットなしでデータが連続してプリフェッチされた回数	10	プリフェッチは、頻繁に使用されるデータ用です。システム負荷を軽減するために、ユーザーがデータを見ずにデータを 10 回連続してプリフェッチすると、プリフェッチは停止されます。その後、データはデフォルト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	設定	値	メモ
			のキャッシュ動作に従い、次回表示時にリロードされます。デフォルト値は週末をカバーするように選択されています。この値を減らす必要があるかもしれませんが、大きくしないでください。

プラットフォームアナリティクスのロール

プラットフォームアナリティクス には、一意のロールと、それに適用される他のアプリケーションからのロールの両方があります。

何らかのロールを持つユーザー

任意のロールを持つユーザーは、編集権限を持つダッシュボードで可視化を作成できます。表示するデータにアクセスする必要がある。共有されているデータの可視化をダッシュボードに追加できます。可視化デザイナーでは、そのような可視化をブックマークまたはエクスポートでき、共有権限を持つ可視化が共有されている場合は、他のグループやユーザーと共有できます。可視化デザイナーで可視化を作成または編集するには、特定のロールが必要です。

任意のロールを持つユーザーは、ダッシュボードを作成し、グループ、ユーザー、およびロールと共有できます。データの可視化が共有されている場合は、ライブラリからダッシュボードにこの可視化を追加できます。これらのユーザーは、共有権限も付与されている場合、共有されているダッシュボードを共有できます。許可されている場合は、編集権限を渡すことができます。

ユーザーグループ

個々のユーザーではなく、特定のペルソナに必要なすべてのロールを含むグループを作成することで、ユーザー管理を簡素化します。個々のユーザーをそれらのグループにアサインできます。ユーザーが新しいロールに移行したときは、そのグループメンバーシップを再アサインして、ユーザーが予期しないロールを保持するシナリオを回避できます。

ユーザー、グループ、およびロールの管理方法の詳細については、「ユーザー管理」を参照してください。

ロールの説明

次の表に、 プラットフォームアナリティクスに関連付けられた各ロールについての次の情報を示します。

ロール名

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロール [sys_user_role] テーブルの [名前] フィールドのロールの名前。

説明

ロールとその使用目的の説明。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

ロール別 (アドミンを除く)

admin 以外の、そのロールを含むすべてのロール。admin ロールにはすべてのロールが含まれています。

次の属性は、すべてのロールで共有されます。

- デフォルトでは、どのロールもグループにアサインされません。
- どのロールも、ユーザーを有料サブスクリプションの一部として割り当てる必要はありませんが、ほとんどの パフォーマンスアナリティクス 機能には有料サブスクリプションが必要です。
- どのロールも昇格されていないため、高セキュリティ設定へのアクセス権を付与するロールはありません。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス と プロセス最適化 にそれぞれ含まれている analytics_admin と sn_process_optimization_analyst を除き、すべてのロールがベースシステムに含まれています。

ヒント: それでも必要なアクセス権を提供する、最も包含性の低いロールをアサインするようにしてください。たとえば、ユーザーがライブラリでデータの可視化を作成してユーザーと共有できるようにするが、エクスポートをスケジュールしない場合は、そのユーザーにviz_adminではなくviz_creatorを付与します。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミン以外) に含まれる
アドミン	ダッシュボードを作成できます。可視化デザイナーでデータの可視化を作成できます。このデータの可視化は、ライブラリに自動的に保存されます。ダッシュボードとデータの可視化を編集、複製、共有、および削除できます。フィルターライブラリにフィルターを追加したり、フィルターを編集または削除したりできます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアドミニストレーター権限があります。	このテーブルの他のすべてのロール	適用外
platform_analytics_admin	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの管理権限のロール。このロール	• analytics_admin • analytics_categories_admin • analytics_filter_admin	なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミン以外) に含まれる
	には、パフォーマンスアナリティクスやユーザーエクスペリエンスアナリティクスなど、プラットフォームアナリティクスの一部である製品および機能の管理権限が含まれます。レポートを コア UI する権限を除く、ここにリストされているすべてのロール report_admin権限を持ちます。 セキュリティの観点からは、admin ロールに相当します。	• Dashboard_admin • pa_admin • par_scheduler • viz_admin	
analytics_admin	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス管理権限のロール	他のすべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス admin ロールとビューアーロール。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール」を参照してください。	platform_analytics_admin
analytics_categories_admin	ダッシュボードのカテゴリタグを作成、編集、または削除するためのロール。	なし	• platform_analytics_admin • Dashboard_admin
analytics_filter_admin	プラットフォームアナリティクスフィルターを編集または削除するためのロール。フィルターライブラリにフィルターを追加できます。詳細については、「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。	なし	• platform_analytics_admin • Dashboard_admin • pa_admin • report_admin • viz_admin
Dashboard_admin	任意のダッシュボードを作成、編集、複製、共有、および削除できます。これらの権限は、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードとレスポンシブダッシュボードの両方に拡張されま	• analytics_filter_admin • analytics_categories_admin • par_scheduler_admin • par_scheduler	platform_analytics_admim

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

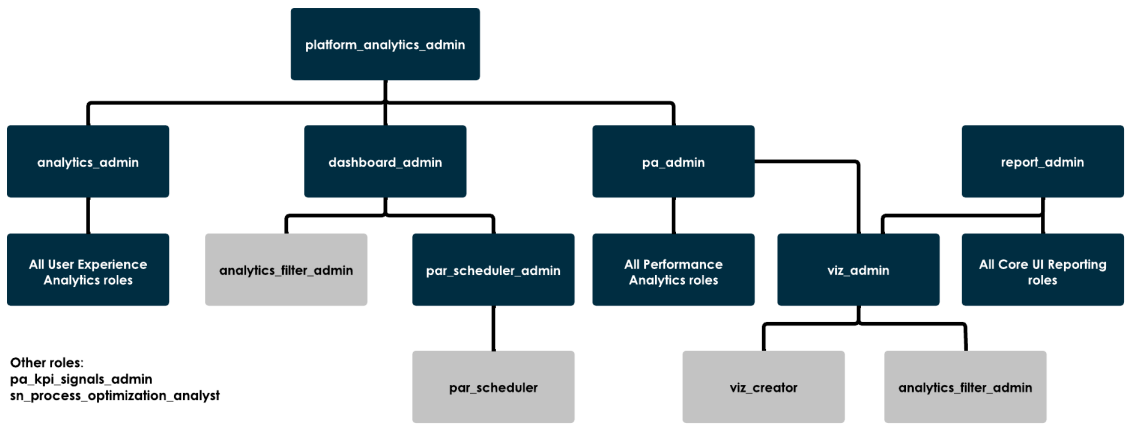
ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミン以外) に含まれる
	す。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。		
pa_kpi_signal_admin	インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化できます。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化」を参照してください。	なし	なしただし、pa_adminには同じ権限があります
pa_admin	パフォーマンスアナリティクス管理権限のロール。セキュリティの観点からは、admin ロールに相当します。	• viz_admin • analytics_filter_admin • 他のすべての パフォーマンスアナリティクス ロール。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ロール」を参照してください。	platform_analytics_admin
par_scheduler_admin	インスタンス上のダッシュボードまたはデータ可視化のエクスポートとメール配信をスケジュールできます	par_scheduler	• Dashboard_admin • viz_admin
par_scheduler	表示または編集できるダッシュボードまたはデータの可視化のメール配信をスケジュールできます	なし	par_scheduler_admin
sn_process_optimization_analyst	ダッシュボードに プロセス最適化 マップを構成できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。	なし	なし
viz_creator	可視化デザイナーでデータの可視化を作成し、ライブラリで利用できるようにします。また、 可視化デザイナーでデータの可視化を編集、エクスポート、および共有することもできます (その可	なし	• viz_admin (暗黙的) • itil • report_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミン以外) に含まれる
	視化を所有している場合、または関連する権限で共有されている場合)。自分が作成した可視化のみを削除できます。グループおよびユーザーとのみ可視化を共有できます。		
viz_admin	可視化デザイナーでデータの可視化を作成し、ライブラリで利用できるようにします。ライブラリ内のすべてのデータ可視化にアクセスして、ダッシュボードに追加するか、可視化デザイナーで開くことができます。任意の可視化で 可視化デザイナー 内のすべてのアクションを実行できます。グループ、ユーザー、またはロールと可視化を共有できます。可視化のエクスポートをスケジュールすることもできます。	• analytics_filter_admin • par_scheduler_admin viz_creator と同じ権限も含まれます	• platform_analytics_admin • pa_admin • pa_power_user
report_admin	viz_adminですが、サービスポータル上のレポートを含むすべてのコア UIレポートを作成、編集、削除、およびエクスポートすることもできます。	• viz_admin • analytics_filter_admin • report_user	

テーブル内のロール階層は、次の図にも示されています



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユースケースによるロールルックアップ

ダッシュボードロール

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードを作成	任意のロール
ダッシュボードを共有	自分が作成した、または共有権限で共有されたデータの可視化を共有するための任意のロール。viz_admin ロール以上では、インスタンスで任意のデータの可視化を共有できます。データの可視化を共有するときに、その可視化をさらに共有するための権限を渡すことができます。また、編集権限で共有するか、表示権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を引き継ぐこともできます。 ダッシュボードを共有するdashboard_admin ロールを共有するロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロール
ダッシュボードを編集	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上 テクニカルダッシュボードにもui_builder_adminが必要です
ダッシュボードの複製	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。テクニカルダッシュボードを複製することはできません。
ダッシュボードの印刷対応コピーを作成する	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。
ダッシュボードのエクスポート	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。
ダッシュボードのエクスポートをスケジュールする	自分が所有している、または自分と共有されているダッシュボードのpar_scheduler。 任意のダッシュボードで par_scheduler_admin 以上
ダッシュボードのブックマーク	任意のロール (ダッシュボードを表示できる場合)。
ダッシュボードを削除	ダッシュボードを作成した場合は任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードロール (続く)

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードの詳細を構成	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
スケジュールされたリフレッシュを除くダッシュボード設定の構成	ダッシュボードを自分で作成したロール、または編集権限で共有している場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードの更新をスケジュール	dashboard_admin 以上
ダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトを構成する	アドミン
ダッシュボードカテゴリの作成	analytics_categories_admin 以上
ダッシュボードへのカテゴリのアサイン	任意のロール (ダッシュボードを編集できる場合)。 analytics_categories_admin 以上で、任意のダッシュボードにカテゴリを割り当てることができます。

データ可視化ロール

ユースケース	必要なロール
データの可視化を作成	データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。
データの可視化を編集	自分が作成した可視化、または編集権限で共有された可視化は、ライブラリにない場合は編集できます。ライブラリにある場合は、viz_creatorロールも必要です。 viz_admin 以上のインスタンスの可視化を編集します。
ライブラリからダッシュボードへの可視化の追加	任意のロール (可視化が共有されている場合)。 ライブラリから可視化を追加するviz_creator。
ダッシュボードで作成された可視化をライブラリに追加します	viz_creator以上とダッシュボードを編集する権限

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化ロール (続く)

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードのデータの可視化をライブラリからリンク解除し、そのダッシュボードに対してローカルなバージョンを作成します。	可視化を含むダッシュボードを編集できる場合、任意のロール
で可視化を複製する 可視化デザイナー	viz_creator 以上
可視化をユーザーまたはグループと共有する	自分が作成した、または共有権限で共有されたデータの可視化を共有するための任意のロール。viz_admin ロール以上では、インスタンスで任意のデータの可視化を共有できます。データの可視化を共有するときに、その可視化をさらに共有するための権限を渡すことができます。また、編集権限で共有するか、表示権限のみで共有するかも決定します。データの可視化が共有権限と編集権限で共有されている場合は、編集権限を引き継ぐこともできます。
データの可視化をロールと共有	viz_admin 以上
可視化のエクスポート	可視化デザイナーで可視化を表示できる任意のロール。
データの可視化のエクスポートをスケジュールする	編集可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールするには par_scheduler 以上。表示できるデータ可視化のエクスポートをスケジュールするには par_scheduler_admin 以上。
可視化を削除	任意のロール:自分が作成したデータの可視化を削除します。インスタンスのデータの可視化を削除するには、viz_admin以上。
ロール別にデータソースの可用性を制御する	アドミン
可視化インタラクションの構成	データの可視化を編集する権限がある場合は、任意のロール。ビューアーには、ドリルダウンしたデータを表示する権限が必要です。
データの可視化でサービスカタログ変数を使用する	viz_creator 以上
データの可視化の色分けルールの作成	データの可視化を編集する権限がある場合は、任意のロール。

フィルターロール

ユースケース	ロール
ダッシュボードへのフィルターまたはフィルターグループの追加	ユーザーがダッシュボードの編集権限を持っている場合、任意のロール。 フィルターまたはフィルターグループを任意のダッシュボードに追加するには dashboard_admin 以上
ダッシュボードのフィルターの編集	ユーザーがダッシュボードの編集権限を持っている場合、ライブラリにないフィルターの任意のロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターロール (続く)

ユースケース	ロール
	フィルターがライブラリにある場合は、analytics_filter_admin 以上も必要です。または、ダッシュボードのフィルターをライブラリからデタッチして、ローカルコピーを編集することもできます。
ダッシュボードのローカルフィルターをライブラリに追加する	analytics_filter_admin 以上、およびダッシュボードへの編集権限
フィルターデザイナーでのフィルターの作成または編集	analytics_filter_admin 以上

その他のロール

ユースケース	ロール
ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成	sn_process_optimization_analyst
インジケーター (KPI) の KPI シグナル モニタリングのアクティブ化	pa_kpi_signal_admin
での探索の作成または編集 Now Assist エクスプローラー	now_assist_explorer_user

関連トピック

- パフォーマンスアナリティクス ロール
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール
- レポート ロール
- インラインエディターの一般的なダッシュボードタスク
- 一般的なデータ可視化タスク

プラットフォームアナリティクステーブル

次のテーブルは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化とダッシュボードに関連しており、スクリプトを使用してアクセスできます。

データ可視化テーブル

テーブル	説明
par_component	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化とフィルターライブラリ内のすべてのフィルターが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_component_permission	それぞれのライブラリ内のすべてのデータの可視化とフィルターに対するロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_export	スケジュール済みのすべてのダッシュボードとデータ可視化のエクスポートをリストします。sys_metadata を拡張します。
par_export_job	ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするすべての試行の詳細を保存します。
par_export_visualization	スケジュール設定済みのすべてのデータ可視化エクスポートのエクスポートの詳細を保存します。par_exportを延長します。
par_metadata	各データ可視化タイプのメタデータを保存します。
par_notification	スケジュール済みダッシュボードとデータの可視化エクスポートのメール通知定義を一覧表示します。sys_metadata を拡張します。
par_notification_email	スケジュール済みダッシュボードおよびデータ可視化エクスポートメールのメタデータ (件名、メッセージなど) を保存します。par_notificationを延長します。
par_notification_email_recipients	スケジュール済みダッシュボードとデータ可視化エクスポートを含む通知メールを受信するグループとユーザーを保存します。メールの非メタデータ情報が含まれます。
par_visualization	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化が含まれます。par_componentを延長します。
par_visualization_permission	可視化ライブラリ内のすべてのデータ可視化に対するロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。par_component_permissionを延長します。

ダッシュボードテーブル

テーブル	説明
par_automated_kpi_promin_project	プラットフォームアナリティクスダッシュボードにあるプロセス最適化マップへの参照を保存します。
par_computed_insight	標準的なプロアクティブアナリティクスインサイトをすべて含む
par_custom_insight_content	すべてのカスタムビルドされたプロアクティブアナリティクスのインサイトが含まれています
par_dashboard	ダッシュボードライブラリ内のすべてのダッシュボードが含まれます。テクニカルダッシュボードは、詳細ダッシュボードエクスペリエンスに属することで識別できます。sys_metadata を拡張します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_dashboard_cache	プラットフォームアナリティクスダッシュボードレイアウトに対するすべての変更を保存します。
par_dashboard_canvas	プラットフォームアナリティクスダッシュボードとダッシュボードタブの名前、説明、レイアウトを保存します。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_configuration	ダッシュボード内で作成できるデータ可視化の各タイプの macroponent 定義が含まれています。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_filter	プラットフォームアナリティクスダッシュボードのすべてのフィルターとダッシュボードの名前を一覧表示します。
par_dashboard_permission	ダッシュボードライブラリ内のすべてのダッシュボードのロール、グループ、およびユーザー権限が含まれています。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_tab	すべての プラットフォームアナリティクス ダッシュボードタブの名前、ドメイン、アプリケーションスコープ、および親ダッシュボードが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_user_metadata	ダッシュボードビューアーによって設定され、そのビューアーのユーザーセッション間で保持されるすべてのオプションが含まれます。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_visibility	エクスペリエンスとワークスペースに含まれるライブラリ内のすべてのダッシュボードを相互参照します。sys_metadata を拡張します。
par_dashboard_widget	ダッシュボードキャンバスとライブラリコンポーネント (存在する場合) によってダッシュボードに表示されるすべてのコンポーネントを相互参照します。sys_metadata を拡張します。
par_export	スケジュール済みのすべてのダッシュボードとデータ可視化のエクスポートをリストします。
par_export_dashboard	スケジュール設定済みのすべてのダッシュボードエクスポートのエクスポート詳細を保存します。par_exportを延長します。
par_export_job	ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするすべての試行の詳細を保存します。
par_indicator_model	プロアクティブアナリティクスインサイトの パフォーマンスアナリティクス アナリティクスに関連する推奨事項が含まれています。
par_insight_user_actions	ビューアーがプロアクティブアナリティクスインサイトに対して実行したアクションを保存します。

自動翻訳

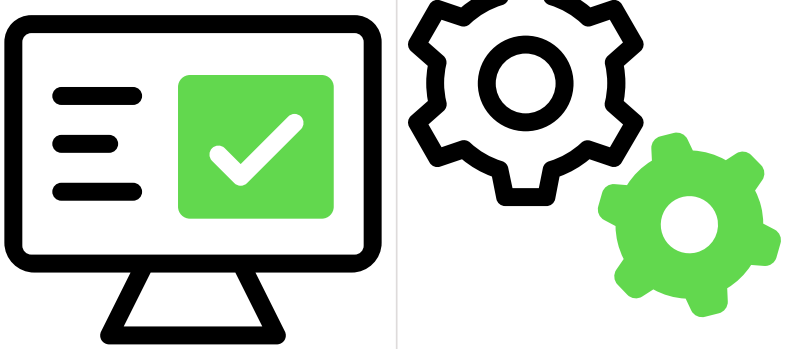
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
par_notification	スケジュール済みダッシュボードとデータの可視化エクスポートのメール通知定義を一覧表示します。
par_notification_email	スケジュール済みダッシュボードおよびデータ可視化エクスポートメールの件名とメッセージ本文を保存します。par_notificationを延長します。
par_notification_email_recipients	スケジュール済みダッシュボードとデータ可視化エクスポートを含む通知メールを受信するグループとユーザーを保存します。
par_recommendation	作成する プロセス最適化 プロジェクトの推奨事項を保存します。これらの推奨事項は、 プロセス最適化 インサイトを通じて提供されます。
par_recommendation_user_action	ユーザーが プロセス最適化 インサイトの推奨事項を承認したか却下したかを格納します。

プラットフォームアナリティクスでの **Now Assist**

プラットフォームアナリティクス には、AI を活用してデータに関するインサイトを生成するいくつかのアプリケーションが含まれています。

開始



役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

developer.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

NowCreate

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

ServiceNow

http://servicenow.com

ServiceNow Store

http://store.servicenow.com/store

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

[Now Assist] パネルでダッシュボードとデータの可視化を生成またはエクスポートします

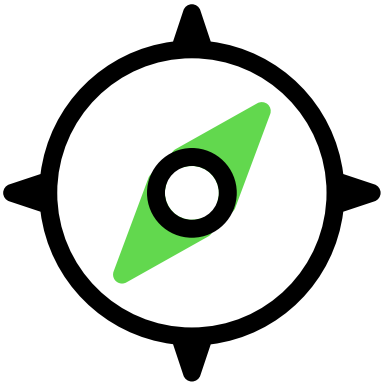
会話型インタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成してエクスポートします。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化します。次に、その可視化を PDF ファイルとしてエクスポートします。すべて [Now Assist] パネルで行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

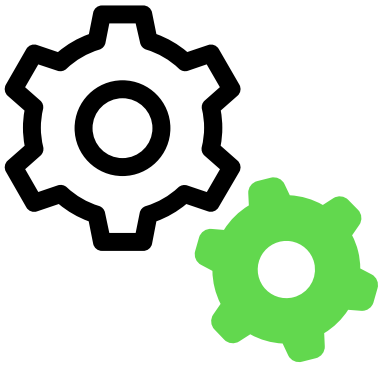
開始

探索



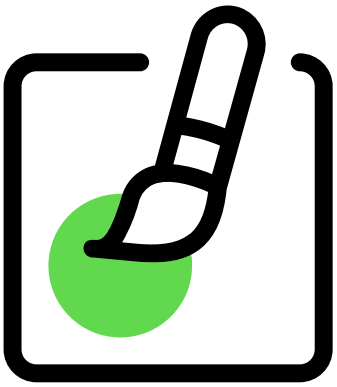
Now Assistパネルでプラットフォームアナリティクスを操作する方法の詳細

構成



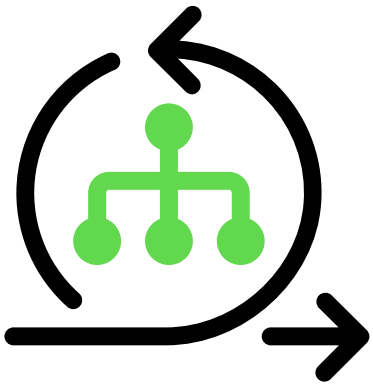
インスタンスの可視化の生成とエクスポートスキルの有効化

データの可視化を生成



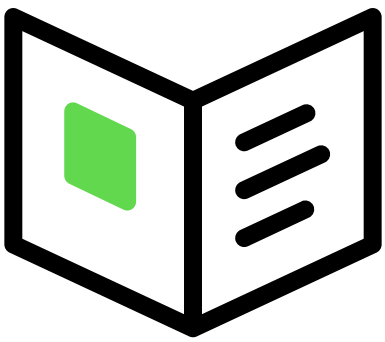
Now Assist パネルでデータの可視化を会話的に作成する方法

ダッシュボードとデータの可視化をエクスポート



AI を使用して、Now Assist パネルでダッシュボードとデータの可視化を会話型にエクスポートします

参照



データの可視化の生成スキルとエクスポートスキルに含まれるロールとテーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854 」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アナリティクスの生成に使用されるテーブルとインジケーターからの情報。たとえば、インシデントデータの可視化の要求について、インシデントテーブルまたはオープンインシデント数インジケーターからの情報を収集できます。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、 Now Assist ドキュメント .

[Now Assist] パネルでダッシュボードと可視化の生成またはエクスポートを確認します

会話型インタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成してエクスポートします。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化します。次に、その可視化を PDF ファイルとしてエクスポートします。すべて [Now Assist] パネルで行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキルの概要

Now Assistパネルでデータの可視化とダッシュボードを会話で操作するには、次の 2 つのスキルがあります。

データ可視化生成

自然言語の質問と利用可能なデータに基づいて、 プラットフォームアナリティクス と クエリ生成を活用して、関連する可視化を作成できます。可視化では、任意の ServiceNow AI Platform テーブルのデータを表示できます。ユーザーは可視化をダッシュボードに追加できます。このスキルにより、データの可視化の生成と構成のプロセスが簡素化され、効率が向上する可能性があります。

ダッシュボードと可視化のエクスポート

クエリ生成を利用して、既存のプラットフォームアナリティクスダッシュボードとデータの可視化を会話形式でエクスポートできます。使用可能な出力形式はエクスポートする内容によって異なりますが、通常は PDF と Microsoft PowerPoint が含まれます。

ロール

データの可視化生成スキルを使用するには、now_assist_panel_user に加えて、now_assist_analytics_generation または now.assist.creator とロールが必要です。ユーザーは、可視化を要求しているデータへのアクセス権も必要です。

ユーザーは、生成された可視化を、編集権限を持つ任意のダッシュボードに追加できます。

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルを使用するには、now_assist_panel_user ロールが必要です。エクスポートをスケジュールするには、ユーザーにpar_schedulerも必要です。

アクティベーション

データの可視化の生成、ダッシュボードおよび可視化のエクスポートスキルは、ServiceNow StoreのNow Assistアプリケーションの依存関係としてインストールされる 生成 AI コントローラー に含まれています。インストール後にスキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「プラットフォームアナリティクス用の Now Assist パネルスキルの構成」を参照してください。

サポート対象のユーザーインターフェイス

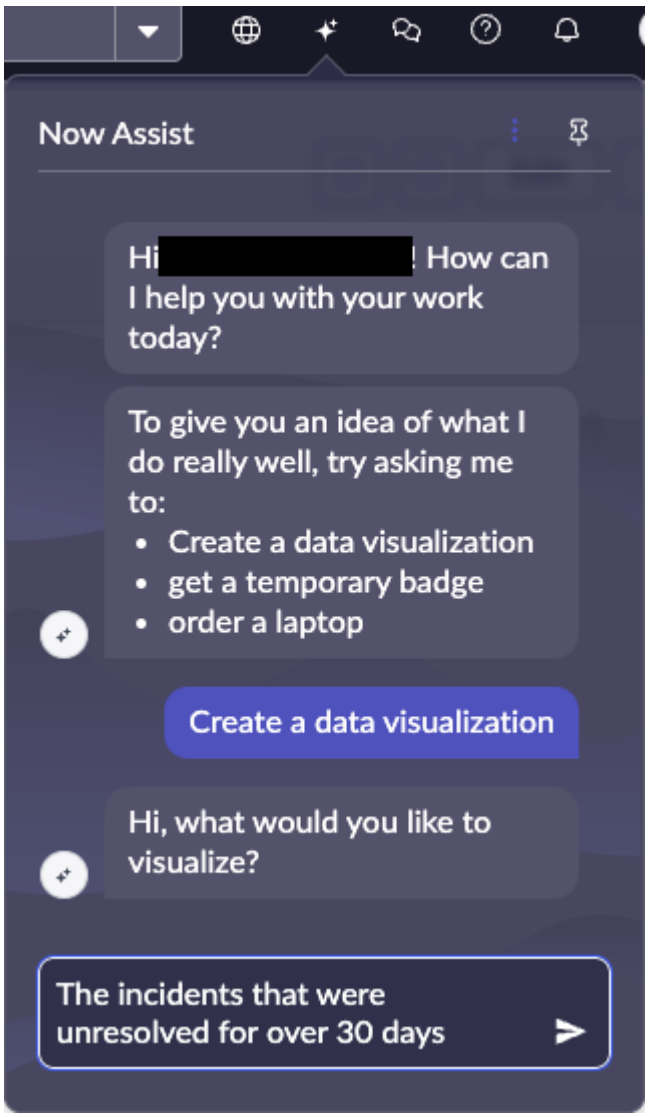
Now Assistパネルで会話を開始し、プラットフォームアナリティクステーブルから利用可能な情報を要求することで、データの可視化生成スキルにアクセスします。

同様に、ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルにアクセスするには、 Now Assist パネルで会話を開始し、特定の可視化またはダッシュボードをエクスポートするように依頼します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

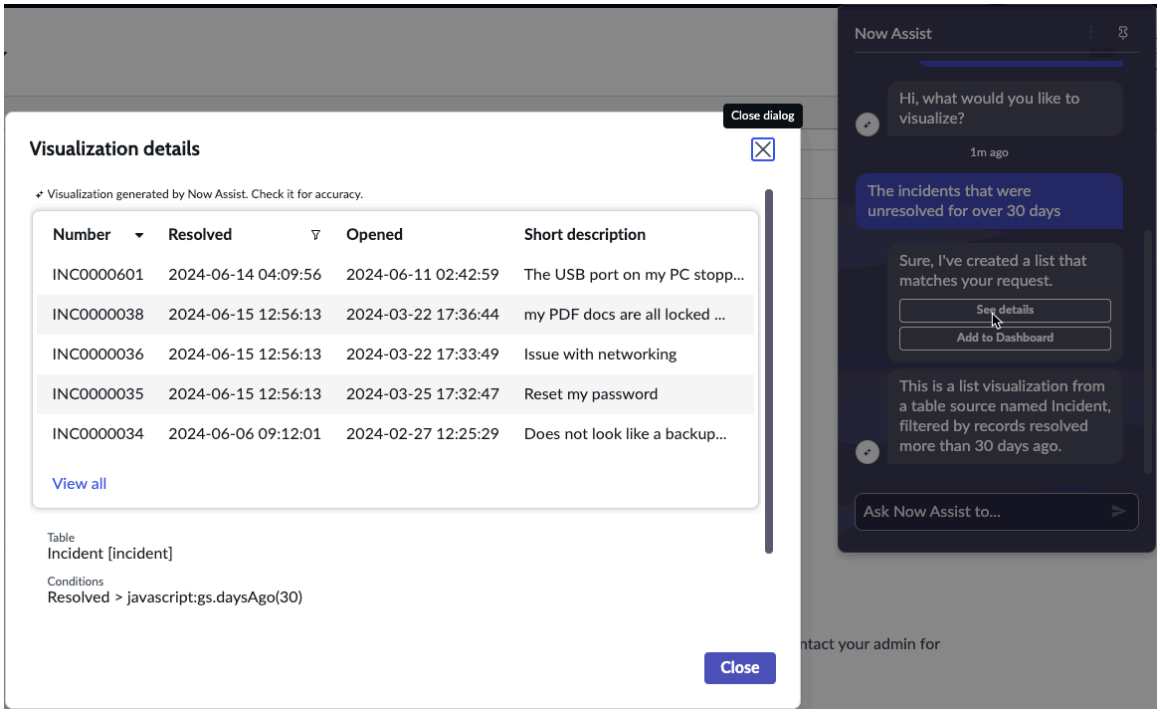
Now Assist にデータの可視化を依頼する



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたデータ可視化の例



プラットフォームアナリティクス用の **Now Assist** パネルスキルの構成

Now Assistパネルの会話からプラットフォームアナリティクスダッシュボードとデータの可視化を生成およびエクスポートするためのスキルをアクティブ化します。

データの可視化生成スキルは、 クリエーターの Now Assistの一部であるアナリティクス生成アプリケーションに含まれています。このアプリケーションに対する正しいエンタイトルメントがあるかどうかを確認します。

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルは、さまざまなユーティリティを含む 生成 AI コントローラー アプリケーションとプラグインに含まれています。このプラグインは、すべての Now Assist アプリケーションに含まれています。

クエリ生成スキル「アナリティクスクエリジェネレーター」と「アナリティクスインサイトの生成」もアクティブ化する必要があります。詳細については、「クエリ生成スキルのアクティブ化」を参照してください。

アナリティクス生成の構成

クリエーターの Now Assist アプリケーションでアナリティクス生成スキルを有効にして、アナリティクスを備えた生成 AI 機能をユーザーに提供します。

始める前に

クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールします。詳細については、「クリエーターの Now Assist をインストール」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

データの可視化の生成は、アナリティクスの生成で現在利用可能な唯一のスキルです。このスキルを使用すると、組織全体の開発者は プラットフォームアナリティクス データの可視化を会話形式で生成できます。

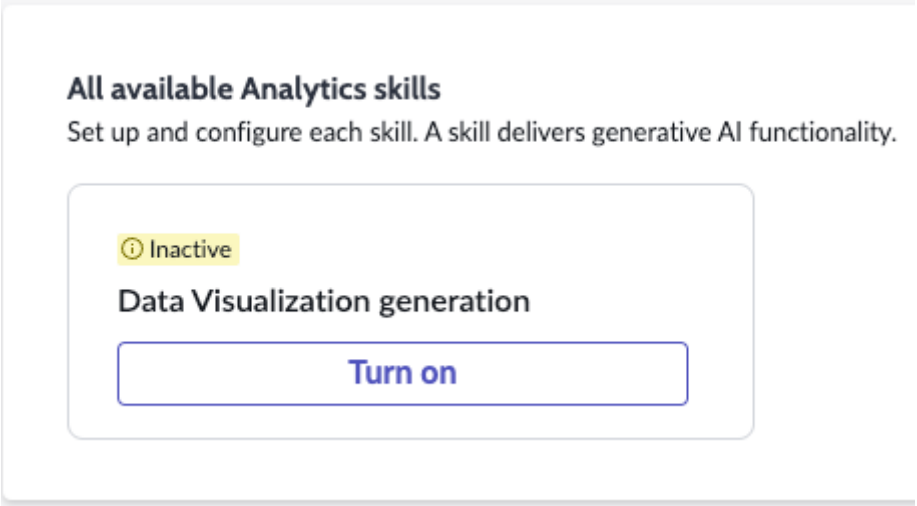
重要: アナリティクスの生成には、 クリエーターの Now Assistするための別のサブスクリプションが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.
   既に *Now Assist* アドミン コンソールが表示されている場合は、[Now Assist 機能] タブを選択します。
2. ナビゲーションパネルで、[**Creator** (クリエーター)] ワークフローを選択します。
3. [アナリティクスの生成] カードで、[詳細を表示] を選択します。
4. [利用可能なすべてのアナリティクススキル] で、データ可視化生成用のカードを見つけます。

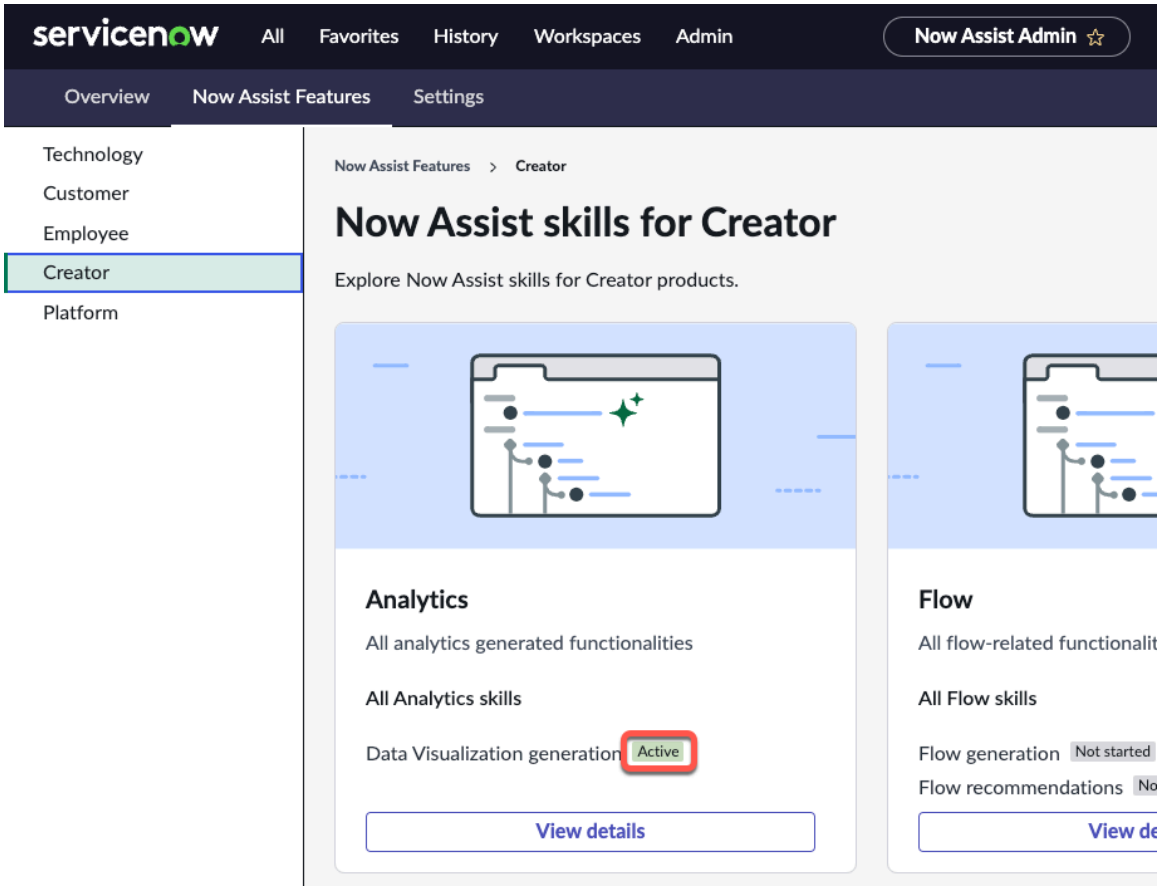


5. [オンにする] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
スキルが正常にアクティブ化された場合は、システムから通知されます。
また、作成者スキルに戻ると、スキルにはアクティブバッジが付けられま



す。

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルをアクティブ化する

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルをアクティブ化して、 Now Assist パネルからデータの可視化を作成するための生成 AI 機能をユーザーに提供します。

始める前に
ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルは、生成 AI コントローラーアプリケーションに含まれています。このアプリケーション/プラグインは、ServiceNow Store のNow Assistアプリケーションに含まれています。

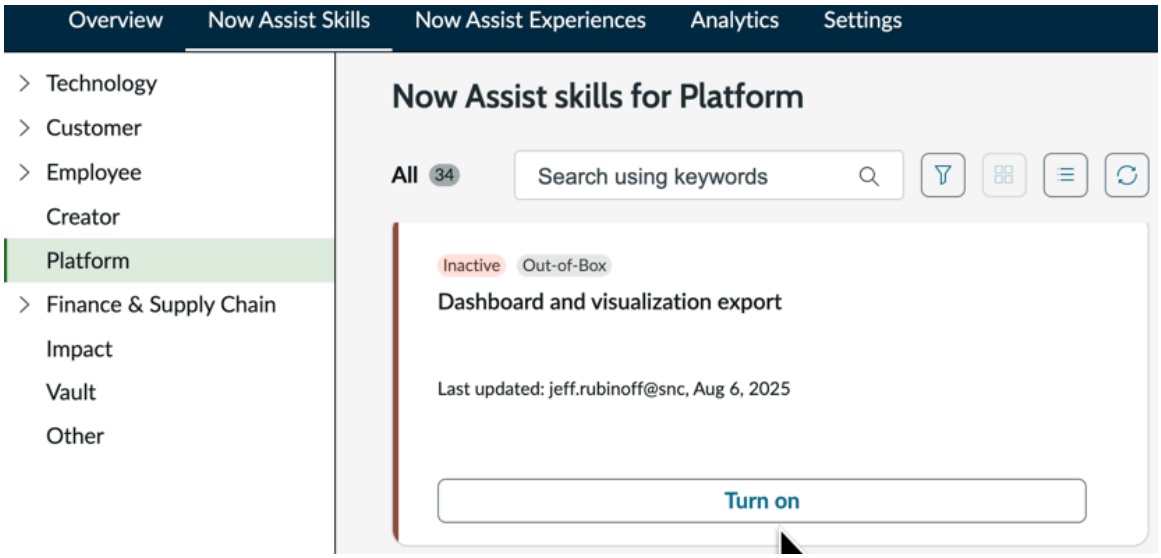
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > スキル.
2. 製品エリアペインで、[プラットフォーム] を選択します。
3. プラットフォーム向け Now Assist スキルで、ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [オンにする] を選択します。

結果
スキルが正常にアクティブ化された場合は、システムから通知されます。

Now Assistパネルでの可視化の生成

生成 AI に要求して、表示したいデータの可視化を作成します。編集可能なダッシュボードを使用している場合は、そのダッシュボードに可視化を追加できます。

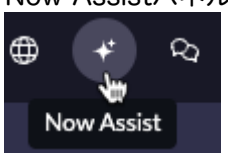
始める前に
必要なロール:now_assist_panel_userおよび now_assist_analytics_generation のいずれか、または now.assist.creator と now.assist.creator.analytics の両方。表示するデータにアクセスする必要があります。ダッシュボードに可視化を追加する場合は、そのダッシュボードに対する編集権限が必要です。

重要: このスキルと クエリ生成に対する適切なエンタイトルメントが必要です。

手順

1. 編集可能なダッシュボードに可視化を追加する場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード をクリックし、ライブラリからダッシュボードを開きます。

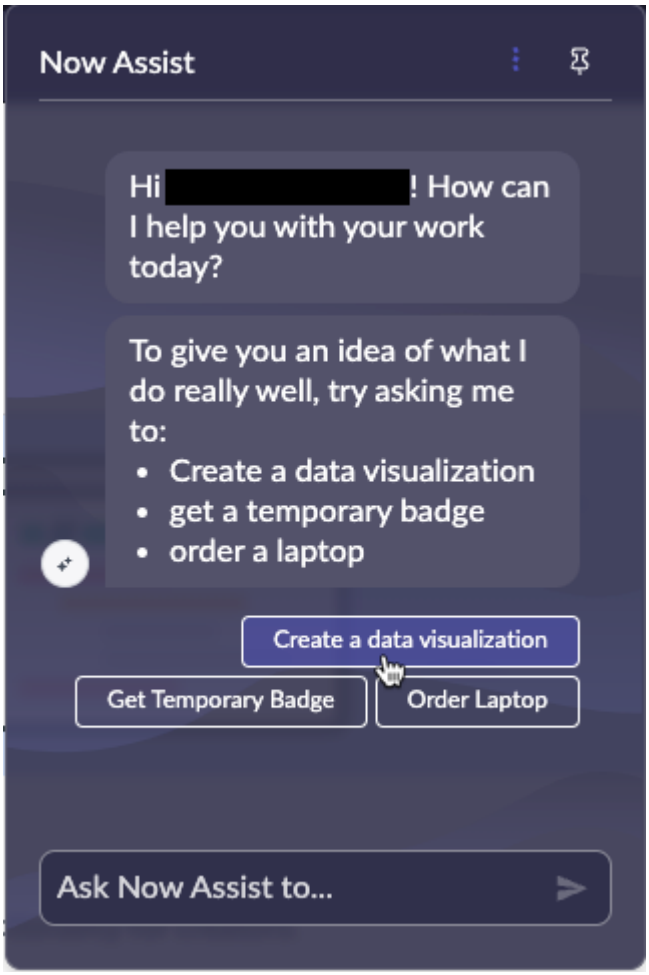
2. Now Assistパネルを開きます。



3. [データの可視化を作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



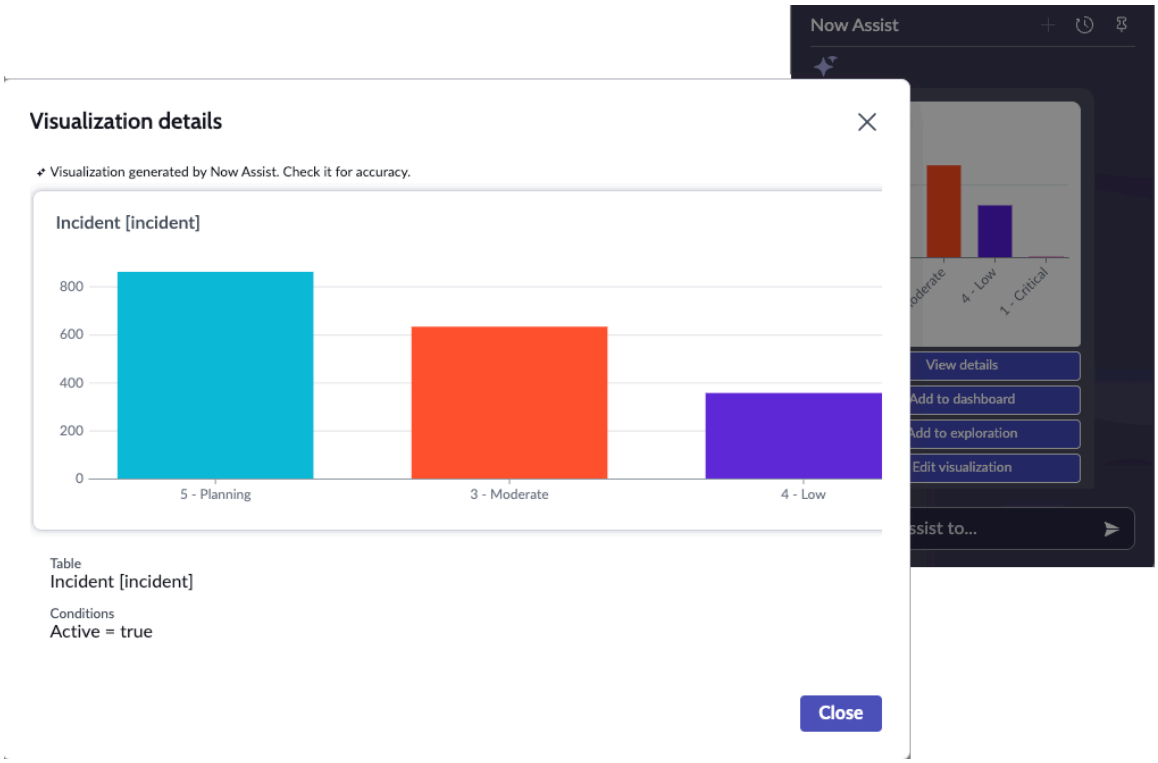
4. 表示するデータを要求します。
   たとえば、「オープンインシデントを優先度別に表示できますか?」と尋ねます。次に、active=true の場合に優先度ごとに分割されたインシデントの数が可視化されます。グラフの種類を指定することもできますが、すべてのグラフがサポートされているわけではありません。どのような質問ができるかについて詳しくは、「 ガイドラインと質問例 と データの可視化の生成に関する制限事項」を参照してください。

   注: アナリティクス生成は、セマンティック生成が有効になっているテーブル内のデータの可視化のみを返します。質問がある場合は、アドミンに以下のセマンティックテーブル構成 [sn_query_gen_table_config_list] を確認するように依頼してください クエリ生成 > アドミニストレーション > セマンティックテーブル構成.

5. テーブル名と条件を示す可視化の拡大ビューをポップアウト表示するには、[詳細を表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 可視化をダッシュボードに追加するには、 [ダッシュボードに追加] を選択します。
ペインが開き、編集可能なダッシュボードのいずれかを選択できます。新しいダッシュボードを作成して可視化を含めることもできます。テクニカルダッシュボードはサポートされていないことに注意してください。
7. 可視化を編集するには、[可視化の編集] を選択します。
viz_creatorロールを持っている場合は、可視化を Data Visualizations ライブラリに保存できます。詳細については、「でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー」を参照してください。
8. [次に何をしたいか] に、いくつかの提案が表示されます。

提案	説明	プロンプトの例
可視化のタイプまたは条件を変更	[グループ] などの構成フィールド、フィルター条件、または可視化タイプを変更します。	グループを優先度に変更します。
別のテーブルをデータソースとして使用する	テーブル名に従って、可視化するデータを変更します。[カウント] などの集計タイプの入力を求められる場合があります。	テーブルを [問題] に変更します。
このトピックから退出する	この可視化の作業を終了するには、このボタンを選択します	適用外

ガイドラインと質問例

このセクションでは、データの可視化を生成するために [Now Assist] パネルで尋ねることができるガイドラインと一般的な質問をいくつか示します。

Now Assistにデータの可視化の生成を依頼する場合は、次のガイドラインに従ってください。

質問は正確にしてください

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 「インシデント」や「変更要求」など、必要なデータの件名に正しい用語を使用します。テーブルの名前がわかっている場合は、その名前を質問に含めます。
- あなたの条件をできるだけ詳細かつ正確にしてください。「30 日以内に解決されなかったすべてのインシデント」ではなく、「作成から 30 日経ってもオープンだったすべてのインシデント」と言ってください。
- 特定の可視化タイプが必要な場合は、そう言ってください。

質問を試す

変更されたバージョンを含め、質問をどこかに保存します。質問を保存すると、結果を簡単に比較できます。

データの可視化を生成するときは、注意深く確認してください。あなたが知りたいことが本当に表示されているかどうかを確認してください。満足するまで質問を絞り込み続けてください。

例

オープン中のインシデントの数を優先度別に表示

[優先度] 列の値に従ってグループ化されたインシデントテーブルのレコードを可視化します。

タスク SLA を円グラフとして表示

ここでは、タスク SLA レコードの円グラフの可視化を求めていますが、レコードをグループ化するフィールドを指定していません。 Now Assist には、選択できるフィールドのリストが表示され、選択内容に基づいて円グラフで可視化されます。

アサイン先グループが空でない未解決の問題を表示

問題 [problem] テーブルのレコードリストを提供します。このリストは、[アサイン先グループ] フィールドの値を持つレコードのみを表示するようにフィルタリングされています。

高優先度のタスクの合計数を表示

優先度が 2 (高) のタスクテーブルの一意のレコード数 (個別のカウントアグリゲーション) を含む単一のスコアを可視化します。

今月作成されたタスク (優先度別にグループ化)

今月作成されたタスクテーブルのレコードを、[優先度] フィールドの値でグループ化して棒グラフで可視化します。

データの可視化の生成に関する制限事項

データの可視化の生成は、幅広いクエリとシナリオを処理するように設計されていますが、特定のケースはサポートされていないか、部分的にしかサポートされていません。

サポートされていないクエリ

クエリの内容	例	制限事項
可視化タイプ	「作成日別のオープンインシデントのヒートマップを表示」	次の可視化タイプのみがサポートされています。 • スコア:シングルスコア、ダイヤル、ゲージ • バー:水平バーと垂直バー • ドーナツグラフ、円グラフ、半ドーナツグラフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされていないクエリ (続く)

クエリの内容	例	制限事項
		• 時系列:面、折れ線、縦棒、散布図、スプライン、ステップ • リスト
データソース	「未対応の資産契約を表示」	セマンティックテーブル構成テーブルにリストされているテーブルデータソースのみがサポートされます。「セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加」を参照してください。
複数のグループ条件	「グループとステータス別のオープンインシデントを表示。」	データの可視化の生成によって結果が生成されますが、最初の「グループ」節 (グループ) のみが考慮されます。2 番目の「group by」句 (state) は、現在の出力では無視されます。
複数の期間	「先週、先月、および先年のオープンインシデントを表示します。」	現在、データの可視化生成では、複数の期間のデータを同時に要求するクエリを処理できません。一度に処理できる期間は 1 つだけです。
競合する条件または補足条件	「先週解決済みのケースと未解決のケースを表示してください。」	データの可視化生成では、[ステータス] 列の最初の条件 (解決済み) のみが検出されます。2 番目の条件 (未解決) は誤解されており、別の列に誤ってマップされているか、無視されている可能性があります。
複数のデータテーブル	「高優先度のインシデント、問題、変更を表示」	データの可視化生成では、最初のテーブルのみが識別され、他のテーブルは無視されます。
英語以外のクエリ	--	英語のみがサポートされています
テクニカルダッシュボード	--	データの可視化は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ追加できます。テクニカルダッシュボードはサポートされていません。

制限を回避する可能な方法

- 一度に 1 つの「グループ化」句に焦点を当てることで、クエリを簡素化します。
- クエリごとに単一の期間を指定します。
- 単一のクエリで複数の条件を使用することは避けてください。

Now Assist パネルからダッシュボードとデータの可視化をエクスポートする

プラットフォームアナリティクスユーザーインターフェイスを経由するのではなく、AI を介してダッシュボードとデータ可視化を会話形式でエクスポートまたはスケジュールします。

始める前に

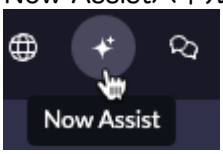
必要なロール:now_assist_panel_user エクスポートをスケジュールするには、par_schedulerも必要です。ダッシュボードまたは可視化データにアクセスする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

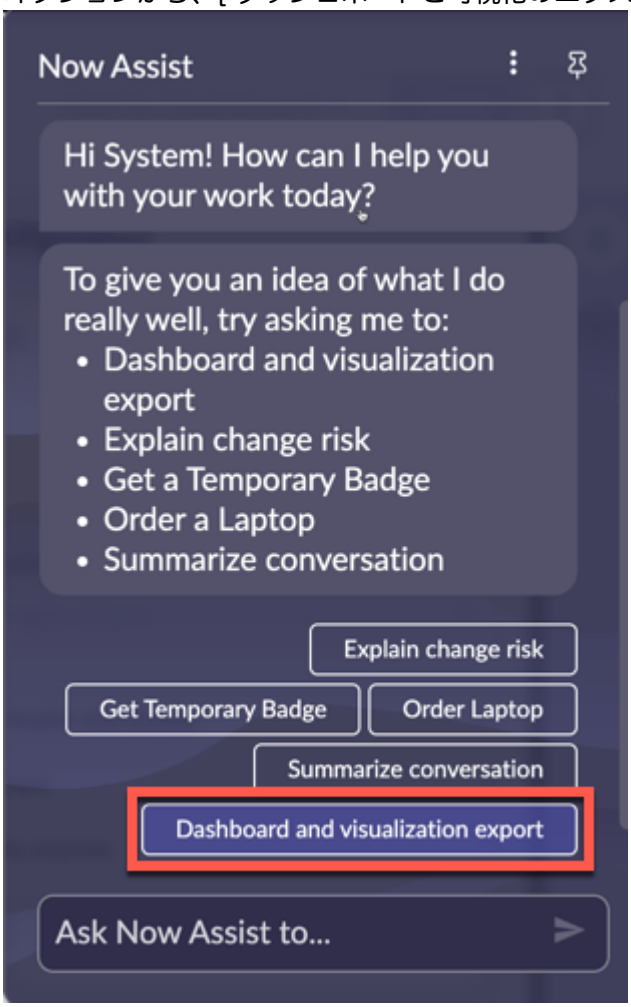
自動翻訳

手順

1. Now Assistパネルを開きます。



2. オプションから、[ダッシュボードと可視化のエクスポート] を選択します。



3. 必要なエクスポートが生成されるまで Now Assist 繰り返し会話を行います。
   - すぐにエクスポートする場合は、プロンプトで「エクスポート」という単語を指定します。エクスポートをスケジュールする場合は、[スケジュール] を指定します。
   - データの可視化またはダッシュボードの名前を指定します。
   - エクスポートする内容に応じて、「可視化」または「ダッシュボード」という単語を指定します。最良の結果を得るには、単語を複数回指定します。
   - 目的の出力タイプを指定します。
   - エクスポートをダウンロードするか、メールで送信するかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エクスポートできるのは、ライブラリに保存されているダッシュボードまたはデータの可視化のみです。
- ライブラリにある可視化のみを直接エクスポートできますが、ダッシュボードをエクスポートすると、ライブラリに保存されていない可視化を含め、そのダッシュボード上のすべての可視化がエクスポートされます。

詳細については、この手順の後にリンクされているトピックを参照してください。

次のタスク

ヒント: エクスポート要求が完了したら、新しい要求を開始する前に会話をリセットします。それ以外の場合、一部のオプションの選択が新しい要求に引き継がれる可能性があります。それでもこれが発生した場合は、ブラウザのキャッシュをクリアすることを検討してください。

関連トピック

からデータの可視化をエクスポートする 可視化デザイナー

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート

データの可視化またはダッシュボードのエクスポートをスケジュールします

サポートされているエクスポート出力タイプ

ダッシュボードと可視化の出力スキルは、一般 プラットフォームアナリティクス と同じデータの可視化に対して同じ出力をサポートします。

ダッシュボードは Microsoft PowerPoint ファイルまたは PDF ファイルとしてエクスポートできますが、すべてのダッシュボードコンポーネントがこれらの形式をサポートしているわけではありません。サポートされていないコンポーネントはエクスポートされません。データの可視化を直接エクスポートする形式も、可視化タイプによって異なります。

サポートされているエクスポート形式

データの可視化またはダッシュボード要素	サポートされているダッシュボードのエクスポート形式	サポートされているデータ可視化エクスポート形式
カレンダーレポート、インジケータースコアカード、ピボットテーブル、ジオマップ	なし	なし
リスト	PDF	PDF、 Microsoft Excel (.xls または .xlsx)、埋め込みリスト、CSV
その他のデータの可視化	PowerPoint、PDF	PowerPoint、PDF、PNG、JPEG、埋め込み PNG
見出しなどの非データ可視化ダッシュボード要素	なし	適用外

エクスポート先

Now Assistパネルでダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートする場合は、エクスポート先を指定する必要があります。

次のファイル保存先から選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ダウンロード
- メール
- スケジュール設定済みメール

メールの受信者を指定します。スケジュール設定済みメールを選択した場合は、メールの送信頻度も指定します。選択した頻度に応じて、詳細を尋ねられます。

注: [ダウンロード] を選択し、エクスポートに 10 秒以上かかる場合は、エクスポートはダウンロードではなくメールの添付ファイルとして届きます。したがって、エクスポートは非同期に完了し、 Now Assist パネルが解放されます。

ダッシュボードと可視化のエクスポートに関する制限事項

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルは、エクスポート用の一部のダッシュボードのみをサポートしています。エクスポート要求が常に正しく認識または理解されるとは限りません。

次の制限に留意してください。

- エクスポート対象として選択できるのは、それぞれのライブラリに保存されているダッシュボードまたはデータの可視化のみです。
- テクニカルダッシュボードはエクスポートできません。インラインダッシュボードエディターで作成されたダッシュボードのみをエクスポートできます。
- デフォルトでは、1 回の PowerPoint エクスポートで最大 150 個の可視化をエクスポートできます。さらにスライドが必要な場合は、ダッシュボードを個別のタブとしてエクスポートすることを検討してください。
- 要求コンテンツの認識が断続的に行われることがあります。要求で指定する内容が多ければ多いほど、すべてが認識されない可能性が高くなります。

一部のプロンプトがまったく認識されません。次のフレーズは避けてください。

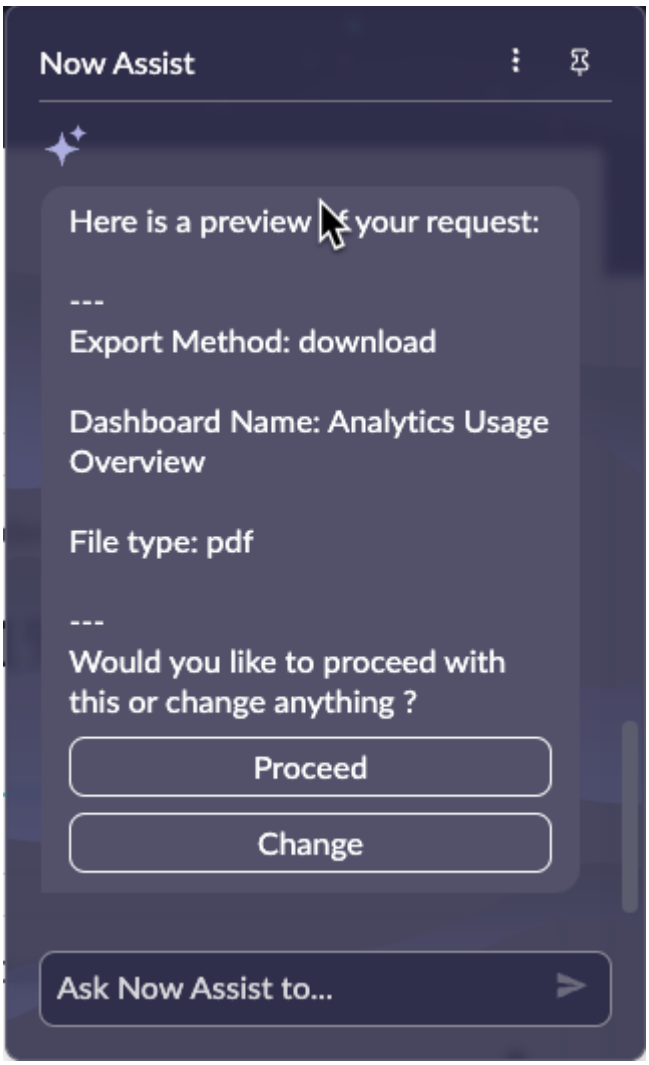
- 自分にメール
- 件名と本文を可視化/ダッシュボード名とするメール

エクスポートのガイドラインと例

ダッシュボードと可視化のエクスポートスキルのプロンプトでは、必要なエクスポートをさまざまな詳細で説明できます。不足している必要な情報の入力を求められます。エクスポートを実行する前に、要求を確認するように求められ、オプションを変更する機会が与えられます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスポート要求のレビュー



さまざまな状況で使用できるように、さまざまな詳細レベルの要求の例を次に示します。

この可視化を PowerPoint にエクスポート

ダッシュボードまたはデータの可視化を開いている場合は、名前を指定する必要はありません。 Now Assist はコンテキストを認識しています。この要求では、エクスポート方法を尋ねられます。

可視化のステータス別の資産ライフサイクルを PPT にエクスポート

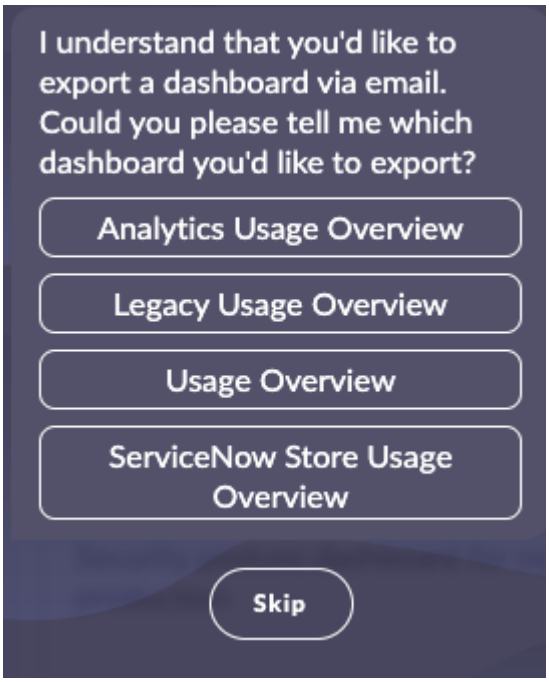
ダッシュボードまたは可視化を開いていない場合は、その名前を指定するか、リストから選択します。ダッシュボードと可視化のどちらをエクスポートするかを常に指定します。

エクスポートとメール使用状況の概要ダッシュボード

名前に使用状況の概要が付いたダッシュボードが複数あるため、どのダッシュボードをエクスポートするか尋ねられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



PowerPoint へのエクスポート アナリティクス使用状況の概要ダッシュボードの [レポートの使用状況] タブ

ダッシュボード全体または選択したタブを PowerPoint にエクスポートできます。ダッシュボード全体のみを PDF にエクスポートできます。

フィルターを適用してこのダッシュボードを PowerPoint にエクスポート

この場合、開いているダッシュボードをエクスポートし、ダッシュボード全体とタブにフィルターを適用します。フィルターが適用されたダッシュボードタブをエクスポートする場合は、トップレベルのダッシュボードフィルターとそのタブのフィルターのみが適用されます。フィルターは、PowerPoint にエクスポートする場合にのみ適用できます。

自動翻訳

ダッシュボードと可視化スキルの参照

データの可視化の生成とダッシュボードおよび可視化のエクスポートスキルに含まれるロール、テーブル、およびスケジュール済みジョブに関する情報。

データの可視化生成ロール

プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) がインストールされます。

インストールされているロール

ロール名	説明	含まれるロール
now_assist_analytics_generation	now_assist_panel_userと組み合わせて、所有者は Now Assist パネルでデータの可視化を生成できます。	sn_query_gen.user

インストールされるテーブル

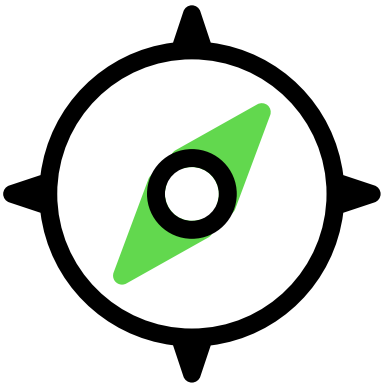
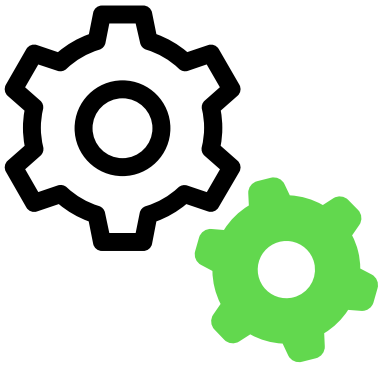
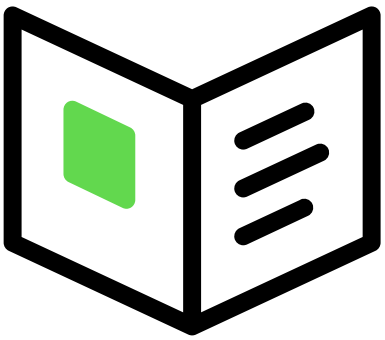
データの可視化生成には、独自のテーブルは含まれません。ただし、いくつかのテーブルを含む クエリ生成 バックエンドに依存しています。詳細については、「クエリ生成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ生成

クエリ生成は、プラットフォームアナリティクスアプリケーションのNow Assistが、分かりやすい言葉のユーザー質問をデータベースクエリに変換するために使用する共有バックエンドです。

開始するには

探索	構成	参照
		
クエリ生成とは何かの説明	特定のファクトテーブルの クエリ生成 の有効化とサポートの追加または削除	のテーブルのガイド クエリ生成

重要:

- 国内の SKU をお持ちのお客様は、すべてのモデルプロバイダーを利用できるわけではなく、一部の Now Assist 製品/機能は現在、国内のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベースの KB1584492 記事を参照してください。将来のリリースでモデルプロバイダーの可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854 」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは アナリティクスの生成に使用されるテーブルとインジケーターからの情報。たとえば、インシデントデータの可視化の要求について、インシデントテーブルまたはオープンインシデント数インジケーターからの情報を収集できます。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、 Now Assist ドキュメント .

クエリ生成 の探索

クエリ生成 は、ユーザーの質問を実行可能なクエリに変換し、結果を返す AI を利用したサービスです。実行可能クエリには、ユーザーの質問に最も適した回答となるデータソース、フィルター、集計、および可視化の手順が含まれています。結果には、テキストによる要約、データの可視化、フォローアップの提案が含まれます。

クエリ生成の概要

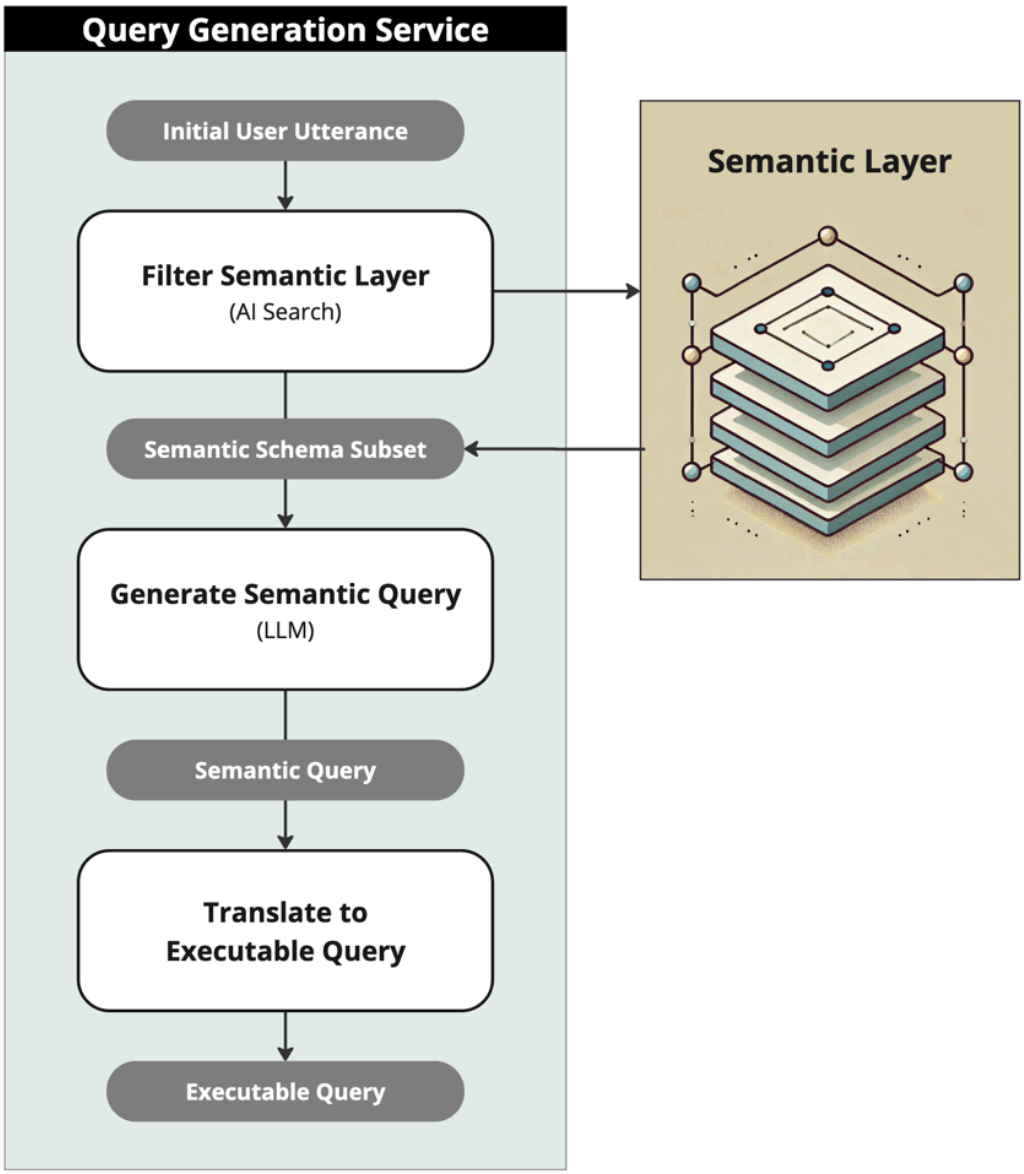
クエリ生成 は、セマンティックデータレイヤーに依存してクエリを生成します。セマンティックデータレイヤーは、クエリジェネレーターがユーザーの発言に関連する実際のファクトテーブルと列を見つけるために使用するテーブルとテーブル列のフラット表現です。具体的には、ファクトテーブルはエンティティレコードで表され、その列はディメンションレコードで表されます。

インスタンスが過負荷になるため、すべてのファクトテーブルが クエリ生成に含まれているわけではありません。どのファクトテーブルが含まれているかを確認するには、[セマンティックテーブル構成] リスト [sn_query_gen_table_config_list] を開き、存在し、[セマンティック生成の有効化] = true になっているテーブルをメモします。リストにさらにテーブルを追加できますが、パフォーマンスに影響する可能性があることに注意してください。詳細については、「セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ生成 の仕組み



クエリ生成 が LLM を呼び出す前に、インスタンススキーマをフィルタリングして、ユーザーの質問に答えるために必要な関連エンティティとディメンションのみに絞り込む必要があります。このろ過には次の 2 つの重要な目的があります。

- これは、利用可能なテーブルと列に関する真実の正確な根拠を LLM に提供し、存在しないデータ構造の幻覚を防ぎます。
- フォーカスされたコンテキストウィンドウが維持されるため、スキーマ全体を処理する場合と比較して LLM のパフォーマンスと精度が向上します。

クエリ生成 はセマンティックフィルターを使用して、エンティティ (ファクトテーブル) をユーザーの質問に最も近い 2 つに絞り込みます。次に、それらのエンティティから、ユーザーの質問に最も類似している 30 のディメンション (列) に絞り込みます。 クエリ生成 はこれらの結果を LLM に渡し、LLM はセマンティッククエリを生成します。構成子は、このセマンティッククエリを受け取り、実行可能なクエリに変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ生成 ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
ServiceNow AI Platform プラットフォームアナリティクスでの Now Assist を担当するアドミニストレーター [admin]	アドミニストレーターは、セマンティックデータレイヤーのテーブルを追加または削除できます。admin ロールを持つユーザーのみが クエリ生成 レコードの読み取りまたは変更を行うことができます。
プラットフォームアナリティクスアプリケーションでのNow Assistのユーザー	プラットフォームアナリティクスアプリケーションのNow Assistのユーザーは、それらのアプリケーションを介してクエリ生成呼び出しますが、クエリ生成は表示されません。仲介アプリケーションを使用するために付与されたロールを通じて、必要なクエリ生成 ユーザーロールを持っている必要があります。

次に探索する内容

クエリ生成を構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- クエリ生成の構成
- クエリ生成の参照

クエリ生成の構成

クエリ生成の対象となるテーブルを選択します。

構成の概要

クエリ生成スキルを使用するには、そのスキルをアクティブ化する必要があります。含めるテーブルを変更し、セマンティック生成を有効にすることもできます。

クエリ生成スキルのアクティブ化

ユーザーがプラットフォームアナリティクスアプリケーションでNow Assistで質問し、クエリ生成スキルをアクティブ化することで回答を受け取れるようにします。

始める前に
クエリ生成は 生成 AI コントローラー に含まれており、ServiceNow® Store の Now Assist アプリケーションに含まれています。アクティブ化して使用するには、適切なエンタイトルメントが必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて
アナリティクスクエリジェネレーターとアナリティクスインサイト生成のスキルをアクティブ化します。前者のスキルは、ユーザーの質問をデータベースクエリに変換します。後者のスキルは、クエリ結果を要約して簡潔なテキストを生成し、フォローアップの質問を生成します。

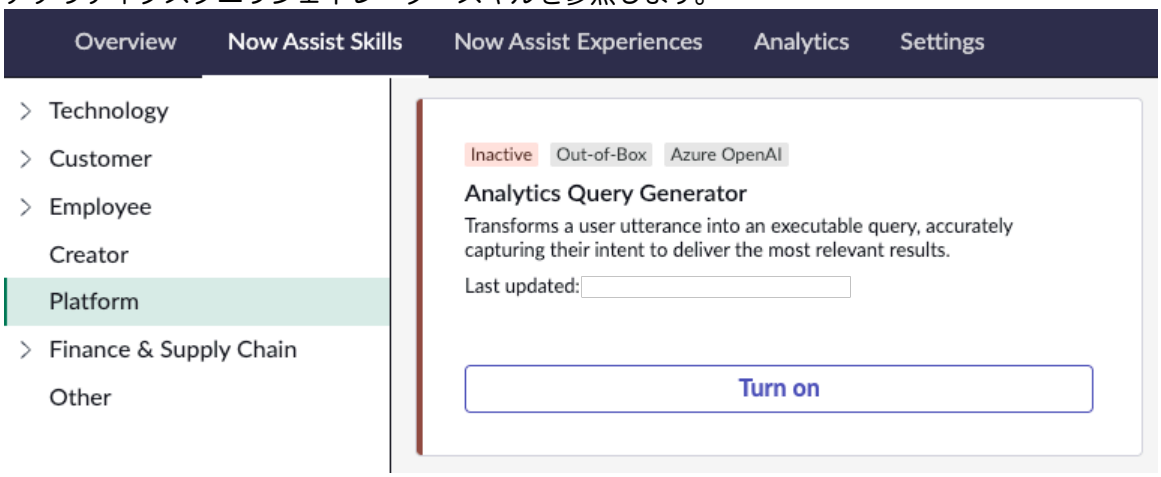
手順

1. 移動先 すべて > **Application Manager** にして、生成 AI コントローラープラグインをアクティブ化します。
   特に、Now Assist for Platform を依存関係として持つ Now Assist アプリケーションとプラグインをインストールしてアクティブ化した場合は、すでにアクティブ化されている可能性があります。
2. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > スキル.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 製品エリアペインで、[プラットフォーム] を選択します。
4. アナリティクスクエリジェネレータースキルを参照します。



5. [オンにする] を選択します。
6. アナリティクスインサイト生成スキルを参照します。
7. [オンにする] を選択します。

セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加

クエリ生成セマンティックレイヤーにテーブルを追加して、ユーザーがプラットフォームアナリティクスアプリケーションでNow Assistを使用してそれらのテーブルのデータについて質問できるようにします。

始める前に

⚠ **警告:** セマンティックデータレイヤーにテーブルを追加し、そのテーブルでセマンティック生成を有効にすると、 クエリ生成の初期ロード時間と実行時のパフォーマンスの両方に悪影響を与える可能性があります。

必要なロール

手順

1. 移動先 すべて > クエリ生成 > アドミニストレーション > セマンティックテーブル構成.
   正しいロールを持っているにもかかわらずこのナビゲーションパスがない場合は、必要なエンタイトルメントがない可能性があります。
2. [セマンティックテーブル構成] リストで、[新規] を選択します。
3. セッションアプリケーションスコープを、テーブルに必要なスコープと同じになるように設定します。
4. [テーブル名] リストからテーブルを選択します。
5. テーブルのセマンティック生成を有効にするかどうかを選択します。
   デフォルトでは、セマンティック生成は有効になっています。詳細については、「特定のテーブルのセマンティック生成を有効または無効にする」を参照してください。
6. 子テーブルの階層を含めるかどうかを選択します。
   デフォルトでは、子階層が含まれます。
7. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果

テーブルがリストに追加されます。セマンティック生成を有効にした場合、テーブルとその子テーブルのレコード (含まれている場合) はエンティティ [sn_query_gen_entities] テーブルに生成されま

自動翻訳

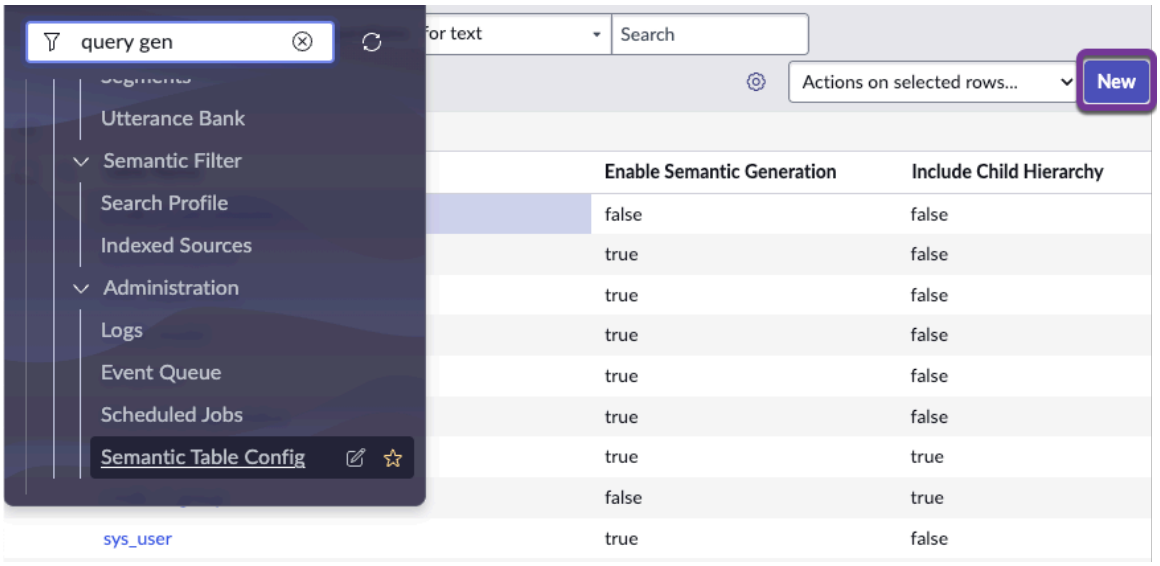
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。テーブル列のレコードは、ディメンション [sn_query_gen_dimensions] テーブルに生成されます。

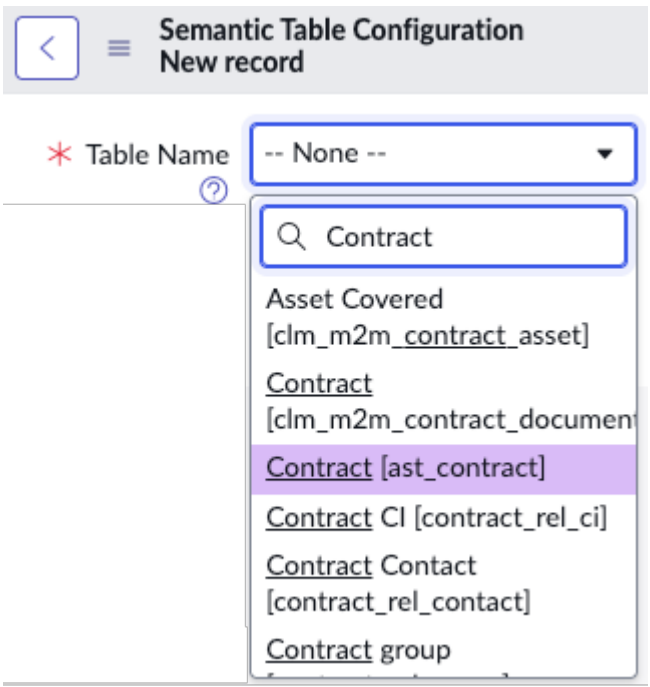
Example: 契約テーブル階層のセマンティックレイヤーへの追加

資産契約に関連するデータを探索して話し合う必要があるユーザーがいる場合は、契約 [ast_contract] テーブルをセマンティックレイヤーに追加する必要があります。このテーブル階層はデフォルトではサポートされていません。

1. まず、セマンティックテーブル構成リスト [sn_query_gen_table_config_list] を開き、[新規] ボタンを押します。

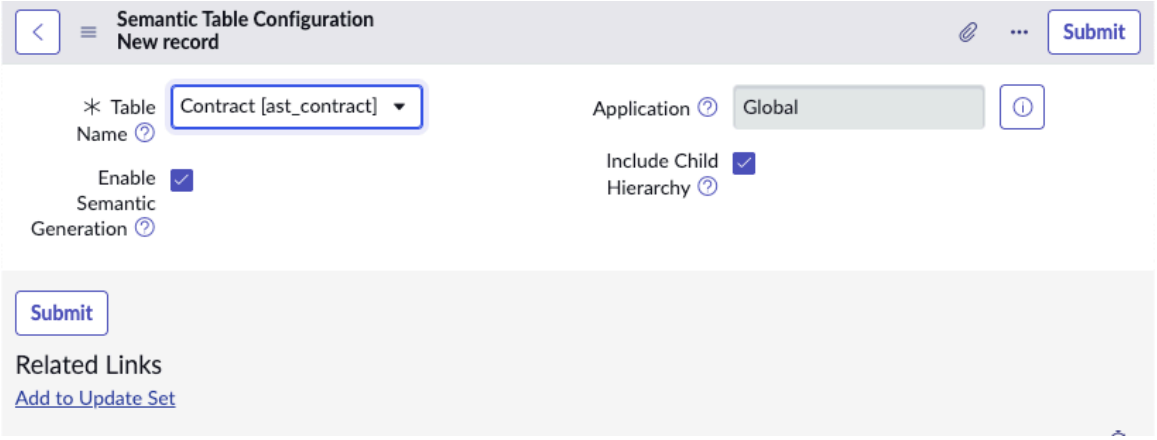


2. これで、新しいセマンティックテーブル構成レコードを作成するためのフォームが表示されました。契約 [ast_contract] テーブルを検索して選択します。



3. 契約テーブル階層全体でセマンティック生成を有効にするため、[セマンティック生成の有効化] および [子階層を含める] チェックボックスを選択したままにして 、[送信] を押します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 契約 [ast_contract] テーブルがセマンティックテーブル構成テーブルに追加され、その階層でセマンティック生成が有効になっていることがわかります。

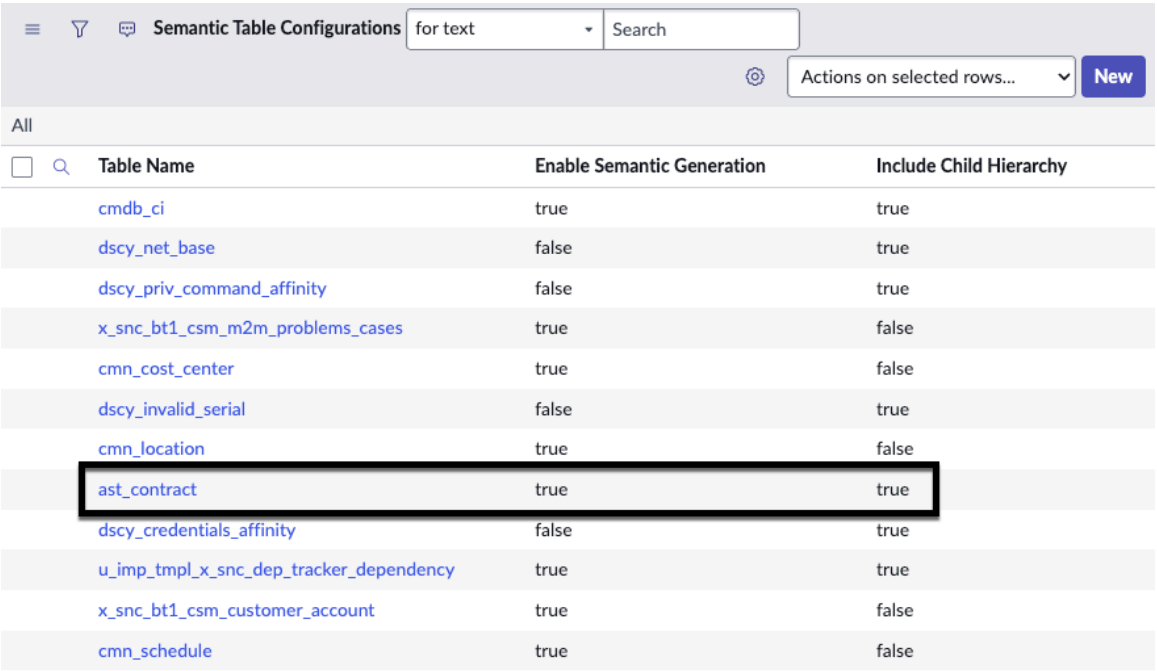
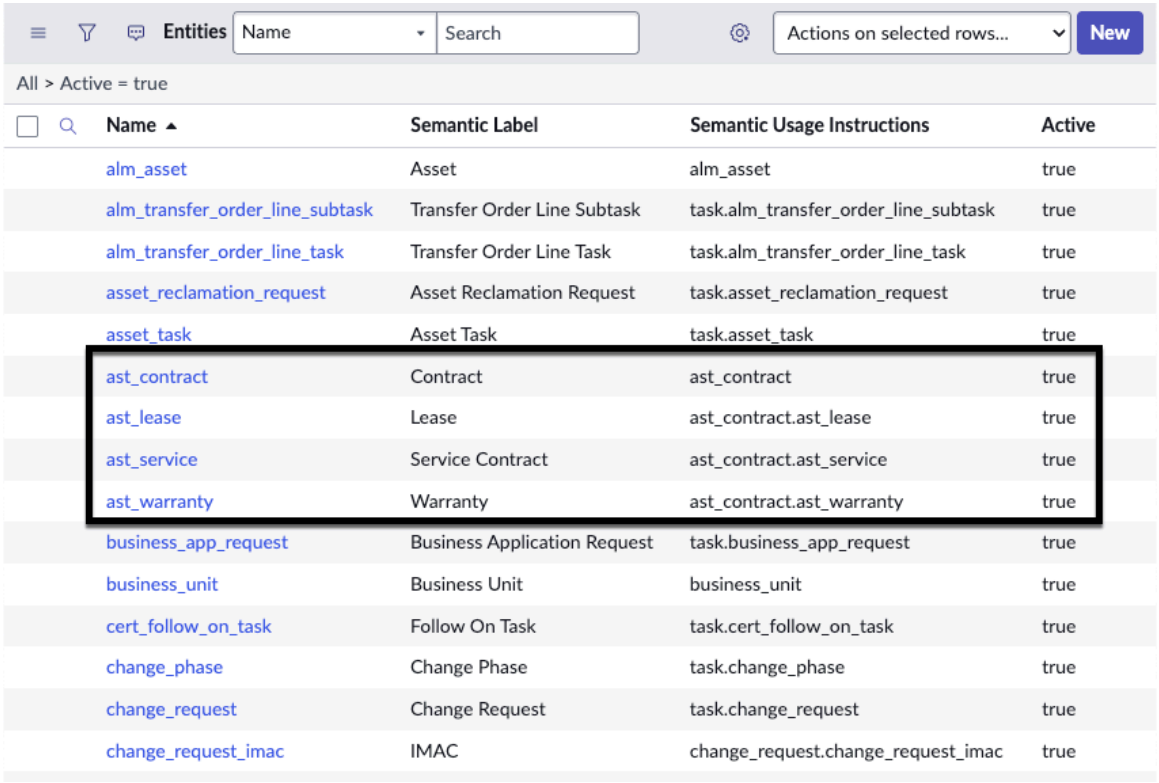


Table Name	Enable Semantic Generation	Include Child Hierarchy
cmdb_ci	true	true
dscy_net_base	false	true
dscy_priv_command_affinity	false	true
x_snc_bt1_csm_m2m_problems_cases	true	false
cmn_cost_center	true	false
dscy_invalid_serial	false	true
cmn_location	true	false
ast_contract	true	true
dscy_credentials_affinity	false	true
u_imp_tmpl_x_snc_dep_tracker_dependency	true	true
x_snc_bt1_csm_customer_account	true	false
cmn_schedule	true	false

5. エンティティリスト [sn_query_gen_entity_list] を開くと、契約テーブルとそのすべての子がエンティティレコードで表され、すべてのレコードがアクティブであることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

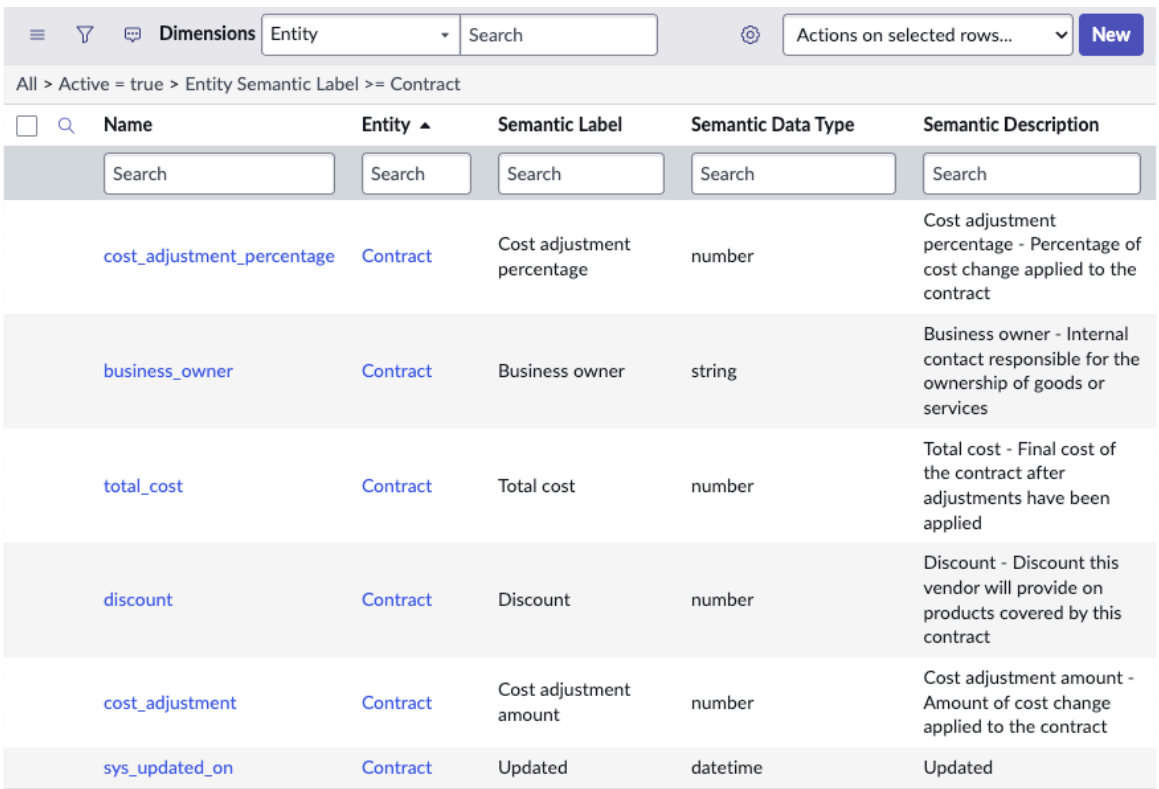


Entities | Name | Search | Actions on selected rows... | New

All > Active = true

Name ▲	Semantic Label	Semantic Usage Instructions	Active
alm_asset	Asset	alm_asset	true
alm_transfer_order_line_subtask	Transfer Order Line Subtask	task.alm_transfer_order_line_subtask	true
alm_transfer_order_line_task	Transfer Order Line Task	task.alm_transfer_order_line_task	true
asset_reclamation_request	Asset Reclamation Request	task.asset_reclamation_request	true
asset_task	Asset Task	task.asset_task	true
ast_contract	Contract	ast_contract	true
ast_lease	Lease	ast_contract.ast_lease	true
ast_service	Service Contract	ast_contract.ast_service	true
ast_warranty	Warranty	ast_contract.ast_warranty	true
business_app_request	Business Application Request	task.business_app_request	true
business_unit	Business Unit	business_unit	true
cert_follow_on_task	Follow On Task	task.cert_follow_on_task	true
change_phase	Change Phase	task.change_phase	true
change_request	Change Request	task.change_request	true
change_request_imac	IMAC	change_request.change_request_imac	true

6. ディメンションリスト [sn_query_gen_dimension_list] を見ると、契約テーブルの多くの列が表示されていることがわかり、テーブル階層がセマンティックレイヤーに正常に追加されたと確信できます。



Dimensions | Entity | Search | Actions on selected rows... | New

All > Active = true > Entity Semantic Label >= Contract

Name	Entity ▲	Semantic Label	Semantic Data Type	Semantic Description
Search	Search	Search	Search	Search
cost_adjustment_percentage	Contract	Cost adjustment percentage	number	Cost adjustment percentage - Percentage of cost change applied to the contract
business_owner	Contract	Business owner	string	Business owner - Internal contact responsible for the ownership of goods or services
total_cost	Contract	Total cost	number	Total cost - Final cost of the contract after adjustments have been applied
discount	Contract	Discount	number	Discount - Discount this vendor will provide on products covered by this contract
cost_adjustment	Contract	Cost adjustment amount	number	Cost adjustment amount - Amount of cost change applied to the contract
sys_updated_on	Contract	Updated	datetime	Updated

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のテーブルのセマンティック生成を有効または無効にする

テーブルはセマンティックテーブル構成に含めることができますが、セマンティック生成は無効にしています。セマンティック生成を有効にして、そのテーブルを クエリ生成に含めます。無関係なデータを非アクティブ化して結果を改善します。

始める前に
クエリ生成 をアクティブ化する必要があり、目的のテーブルにセマンティックテーブル構成レコードが必要です。詳細については、「クエリ生成スキルのアクティブ化」と「セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加」を参照してください。

必要なロール

このタスクについて
クエリが生成されると、エンティティ [sn_query_gen_entity] テーブルとディメンション [sn_query_gen_dimension] テーブルを調べて、テーブルとテーブル列が検索されます。クエリを作成する言語モデルのコンテキストとして提供する限定セットを選択します。未使用のエンティティまたはディメンションをオフにすることで、システムが最も重要なデータに集中できるようになり、クエリがより正確で有用になります。

一方、テーブルまたはテーブル階層はセマンティックテーブル構成 [sn_query_gen_table_config] テーブルに含まれていても、セマンティック生成は非アクティブ化される場合があります。たとえば、一部の CMDB テーブルはデフォルトでサポートされていますが、セマンティック生成が無効になっています。この場合、これらのテーブルを含めるとパフォーマンスに大きな影響が生じる可能性があり、必要に応じてのみこれらのテーブルのセマンティック生成をオンにすることができます。たとえば、テーブルのセマンティック生成のオンとオフを切り替えて、パフォーマンスへの影響をテストすることもできます。

次のように、セマンティックテーブル構成、エンティティ、ディメンションテーブルのどれを使用して制御するかに応じて、さまざまな粒度レベルでセマンティック生成を制御できます。

- セマンティックテーブル構成:セマンティック生成の有効化に対する変更は、メインテーブルとすべての子テーブル (含まれている場合) のエンティティに影響します。変更は、これらのテーブルのすべてのディメンションにも影響します。

  注: セマンティックテーブル構成レコードのセマンティック生成を無効にした後、影響を受けるテーブル階層内の個々のエンティティを再アクティブ化できます。これにより、そのエンティティとそのエンティティのみのディメンションが再アクティブ化されます。

- エンティティ:エンティティレコードをアクティブ化または非アクティブ化すると、その変更はそのテーブルにのみ影響し、その親テーブルまたは兄弟テーブルには影響しません。ただし、関連するすべてのディメンションはアクティブ化または非アクティブ化されます。
- ディメンション:ディメンションレコードを非アクティブ化すると、そのレコードのみが影響を受けます。

手順

1. 移動先 すべて > クエリ生成.
   正しいロールを持っているにもかかわらずこのナビゲーションパスがない場合は、エンタイトルメントがない可能性があります。
2. 次のいずれかのテーブルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

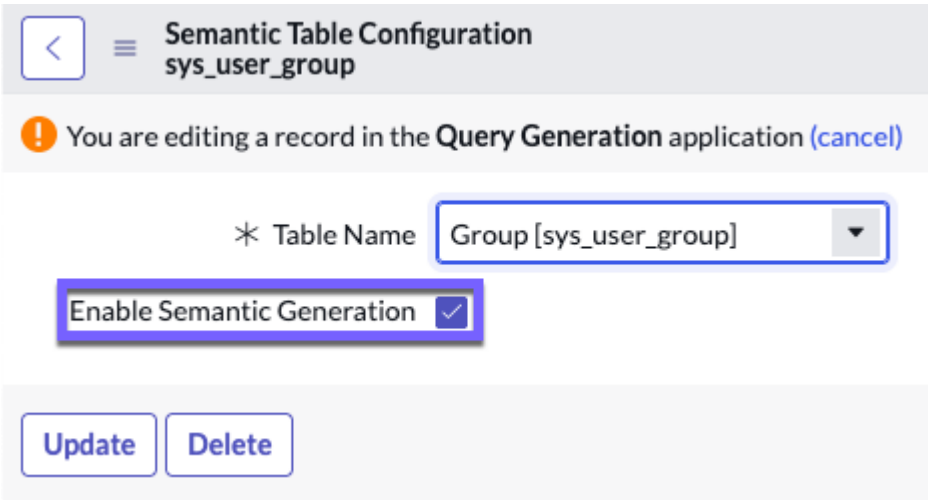
- テーブル階層全体のセマンティック生成を無効または有効にするには、 アドミニストレーション > セマンティックテーブル構成.
- 単一のテーブルとそのすべての列のセマンティック生成を無効または有効にするには、 セマンティックレイヤー > エンティティ.
- テーブルの個々の列のセマンティック生成を無効または有効にするには、 セマンティックレイヤー > ディメンション.

3. 目的のテーブルまたは列を見つけます。

ヒント:

- [セマンティックテーブル構成] テーブルでテーブルがリストにない場合は、「 セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加」の説明に従ってテーブルを追加することを検討してください。
- 非アクティブ化されたエンティティまたはディメンションを検索する場合は、リストフィルターから [アクティブ] = true 条件が削除されていることを確認してください。
- 階層内の子テーブルを表すエンティティを検索する場合は、親テーブルで始まるセマンティックな使用方法の説明エントリを探します。
- 特定のエンティティに関連付けられているディメンションレコードを探している場合は、そのエンティティ値を検索することを検討してください。

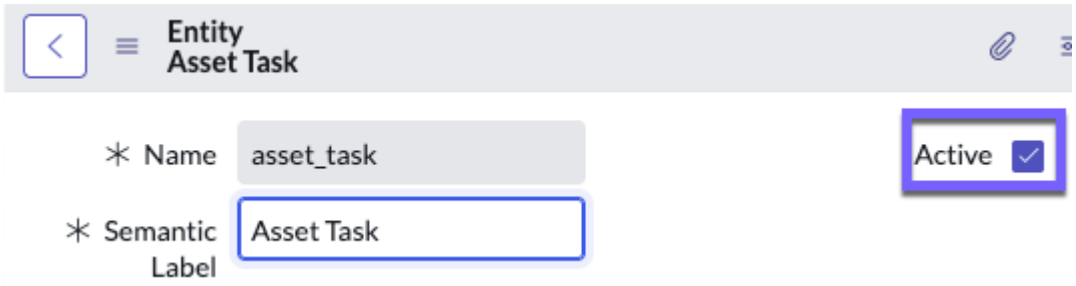
4. 目的のテーブル レコードを開きます。
5. セマンティック生成を切り替えます。
   - セマンティックテーブル構成レコードで、正しいアプリケーションスコープに変更し、[セマンティック生成の有効化] を選択または選択解除します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンティティまたはディメンションレコードで、[アクティブ] を選択または選択解除します。



6. **[Update** (更新)] を選択します。

セマンティックメタデータを編集

エンティティとディメンションのセマンティックメタデータをカスタマイズすることで、 クエリ生成 ユーザーの質問を理解し、より正確な結果を提供できるようにします。メタデータには、セマンティックな説明と使用方法が含まれます。

始める前に
必要なロール:sn_query_gen.admin 以上

手順

1. 移動先 すべて > クエリ生成 > セマンティックレイヤー および、次のいずれかの子オプションがあります。
   - テーブルメタデータを管理するには、[エンティティ] を開きます。
   - 個々の列のメタデータを管理するには、[ディメンション] を開きます。
   正しいロールを持っているにもかかわらずこのナビゲーションパスがない場合は、エンタイトルメントがない可能性があります。
2. 更新するエンティティまたはディメンションレコードを見つけて開きます。
3. [セマンティックな説明] と [セマンティックな使用方法の説明] というラベルの付いたフィールドを探します。
4. [セマンティック説明] フィールドに、ビジネスでの使用方法など、テーブルまたは列に関する有用な情報を入力します。
5. [セマンティックな使用方法の説明] フィールドに、含まれるレコードまたは値の種類の詳細を入力します。
6. 完了したら、[保存] を選択して変更を確定します。

クエリ生成の参照

クエリ生成に付属するNow Assistアプリケーションと、クエリ生成に含まれるテーブル、ジョブ、およびログのリスト。

クエリ生成 健全性ページ

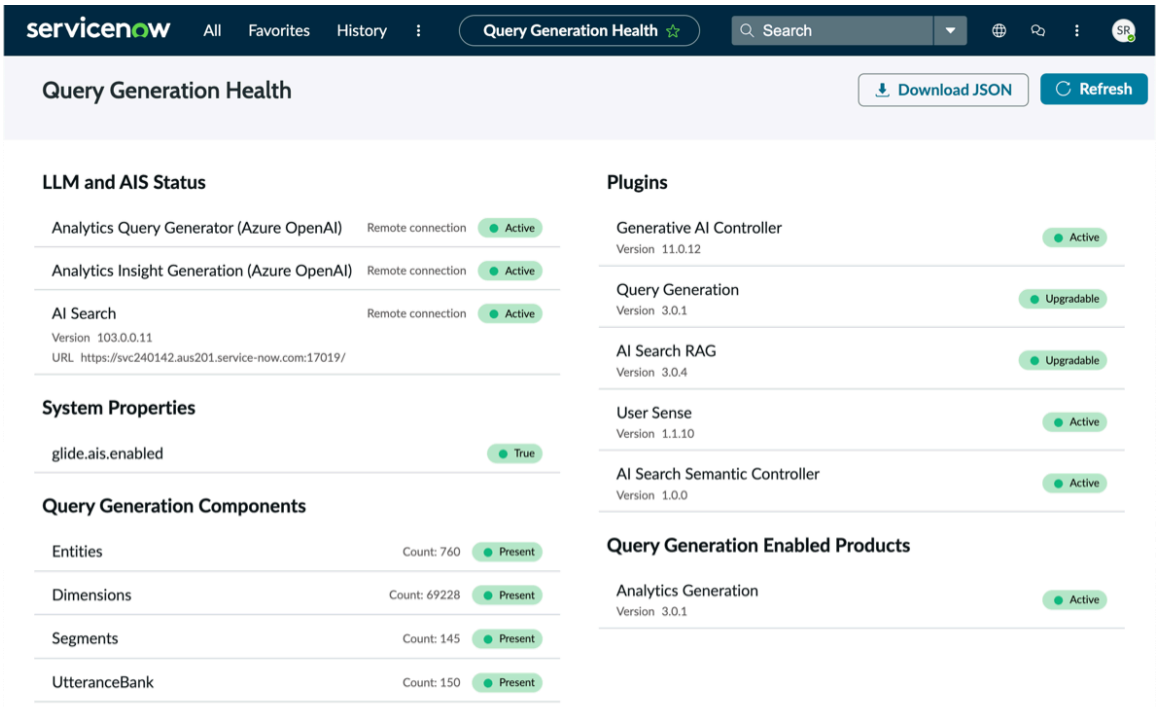
[健全性] ページには、 Now LLM と AI 検索のステータスに加え、 クエリ生成 システムプロパティ、有効な製品、および依存関係プラグインのステータスが表示されます。

健全性ページの概要

移動先 すべて > クエリ生成 > 健全性ページ 依存関係のステータスを確認する クエリ生成 。admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



クエリ生成 有効化された製品

このセクションでは、機能するために クエリ生成 が必要なインスタンス上の製品を一覧表示します。そのうちの 2 つの製品は生成 AI コントローラープラグインに匿名で含まれていますが、そのスキルは admin ロールを持つユーザーがアクティブ化できます。

次を使用する生成 **AI** コントローラー内のアプリケーション クエリ生成

非表示の製品	スキル
アナリティクスの生成	データ可視化生成
アナリティクスエクスポート	ダッシュボードと可視化のエクスポート

これらのスキルとその機能の詳細については、「[Now Assist] パネルでダッシュボードとデータの可視化を生成またはエクスポートします」を参照してください。

クエリ生成 で有効になる他の製品の詳細については、以下を参照してください。

-
- CMDB 向け Now Assist

サポートされているグラフのタイプ

クエリ生成 また、それを使用してデータの可視化を生成するアプリケーションは、これらの可視化タイプをサポートしています

- スコア:シングルスコア、ダイヤル、ゲージ
- バー:水平バーと垂直バー
- ドーナツグラフ、円グラフ、半ドーナツグラフ
- 時系列:面、折れ線、縦棒、散布図、スプライン、ステップ
- リスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされるクエリ操作

コンテキストオブジェクトの作成では、次のエンコードクエリ演算子がサポートされています。

- ">=": ">=",
- "!=": "!="
- "<=": "<=",
- "=": "=",
- ">": ">",
- "<": "<",
- "IS_NOT_NULL": "IS_NOT_NULL",
- "ISNOTEMPTY": "ISNOTEMPTY",
- "NOT_CONTAINS": "NOT_CONTAINS"、
- "EMPTYSTRING": "EMPTYSTRING",
- "STARTSWITH": "STARTSWITH",
- "ANYTHING": "ANYTHING",
- "ENDSWITH": "ENDSWITH",
- "ISEMPTY": "ISEMPTY",
- "IS_NULL": "IS_NULL",
- "CONTAINS": "CONTAINS",
- "NOT LIKE": "NOT_CONTAINS",
- "BETWEEN": "BETWEEN",
- "LIKE": "CONTAINS",
- "DYNAMIC": "動的",
- "NOT_IN": "NOT_IN"、
- "IN": "IN",
- "ON": "ON"

クエリ生成ログ

クエリジェネレーターに対するすべての呼び出しとその結果は、クエリ生成ログ [sn_query_gen_log] テーブルに記録されます。

クエリ生成ログ列

列	説明
作成日時	呼び出しのタイムスタンプ クエリ生成
ユーザー	コールを発信したユーザー
発言	ユーザーによって尋ねられた分かりやすい言葉での質問
ステータス	コールが成功したかどうか

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ生成ログ列 (続く)

列	説明
エラーメッセージ	ステータスが「エラー」の場合、これはユーザーに返されるエラーメッセージです。
合計時間	AI がクエリを処理して応答を返すまでにかかった時間 (ミリ秒)
「X」時間	各コンポーネント X がクエリの処理に費やした時間 (ミリ秒)
セマンティックフィルターの結果	クエリが参照するセマンティックレイヤーテーブル内のフィールド (JSON 形式)
発話バンクの結果	発話バンクで検出され、ユーザーの質問を解釈するために使用される、ユーザーの質問 (発言) に類似した質問 (JSON 形式)
応答	クエリに対する JSON 応答
エンティティ	クエリによって参照されるエンティティテーブル内のレコード。各レコードはファクトテーブルに対応しています。
クエリ構成子の出力	生成されるクエリの JSON
ソース	質問が寄せられたアプリケーション。アプリケーションの一部ではないページで質問が開かれているときに Now Assist パネルから質問された場合は、代わりにそのページの UUID が表示されます。
生成 AI ログ	クエリに使用される LLM

クエリ生成に含まれるロール、テーブル、およびスケジュール済みジョブ

テーブルやスケジュール済みジョブなど、いくつかのタイプのコンポーネントが クエリ生成とともにインストールされます。

含まれるロール

ロール名	説明	含まれるロール
sn_query_gen.user	このロールを持つユーザーが、使用しているアプリを介して クエリ生成 サービスを呼び出せるようにします。	なし。ただし、 クエリ生成 を呼び出すアプリケーションには、独自のユーザーロールにこのロールを含める必要があります。

インストールされるスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
セマンティックレイヤーを生成	セグメントを同期し、未使用のエンティティレコードとソースレコードをクリーンアップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インストールされるテーブル

すべてのテーブルにアクセスするには admin ロールが必要で、ナビゲーターの [クエリ生成] で使用できます。

テーブル	説明
エンティティ [sn_query_gen_entity]	セマンティックテーブル構成 [sn_query_gen_table_config] テーブルで (明示的に、または親テーブルを介して) セマンティック生成が有効になっているテーブルの表現。各エンティティレコードは、サポートされている 1 つのテーブルに対応します。エンティティレコードは自動的に生成されます。このテーブルは読み取り専用です。
ディメンション [sn_query_gen_dimension]	エンティティレコードが参照するすべてのテーブルのクエリ可能な列の表現。各レコードは 1 つの列に対応します。ディメンションレコードは自動的に生成されます。このテーブルは読み取り専用です。
セグメント [sn_query_gen_segment]	セマンティックレイヤーまたは LLM が正しいエンティティ、ディメンション、および値を選択するのに役立つ、自明でないコンテキストを提供する再利用可能な定義。たとえば、「オープンな緊急変更要求はいくつありますか?」という発言では、「オープン」が「アクティブ=true」を意味し、「緊急」が優先度ではなくタイプであることをセグメントが識別します。アドミンは、新しいセグメントの追加、既存のセグメントの削除、またはセグメント名と説明の編集を行うことができます。
発話バンク [sn_query_gen_utterance_bank]	データベースコンテキストとクエリにマップされた事前定義された文とフレーズ。ユーザーの質問は発話バンクと比較され、事前定義されたマッピングを適用できるかどうかが確認されます。アドミニストレーターは、発話バンクを作成、編集、および削除できます。
AI 検索検索プロファイル [ais_search_profile]	すべての検索エクスペリエンス構成のコンテナー。検索プロファイルは、アプリで公開する特定のエクスペリエンスにマッピングされます。検索プロファイルは検索ボックスにリンクされており、アプリケーション間で使用できます。アドミンは、検索プロファイルを作成、クローン作成、および公開できます。
AI 検索インデックス付きソース [ais_datasource]	このテーブルのレコードには、ユーザーが検索できるコンテンツが反映されます。コンテンツには、インスタンス上のテーブルまたは外部テーブルを使用できます。デフォルトで存在するレコードは クエリ生成 アプリケーションのレコードのみで、アドミニストレーターはレコードを作成、編集、または削除することはできません。
ログ [sn_query_gen_log]	クエリ生成 に対するすべてのコールのログ。詳細については、「クエリ生成ログ」を参照してください。
セマンティックテーブル構成 [sn_query_gen_table_config]	クエリ生成検索できるテーブルのリスト、そのテーブルに対してセマンティック生成が有効になっているかどうか、および子テーブルを含めるかどうか。アドミニストレーターは、これらのレコードを作成、編集、および削除できます。詳細については、「セマンティックデータレイヤーへのテーブルの追加」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

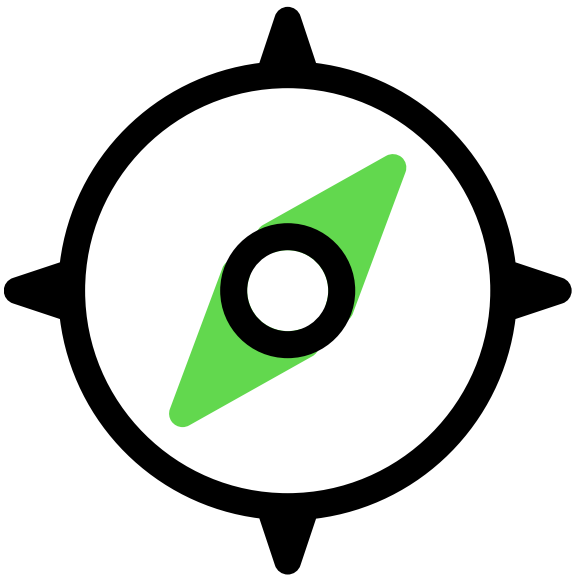
パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス は、インジケーター (KPI) を利用して重要なビジネス上の質問に回答する、プラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。 パフォーマンスアナリティクスは、品質の向上とサービスデリバリのコストの削減に役立ちます。

開始するには

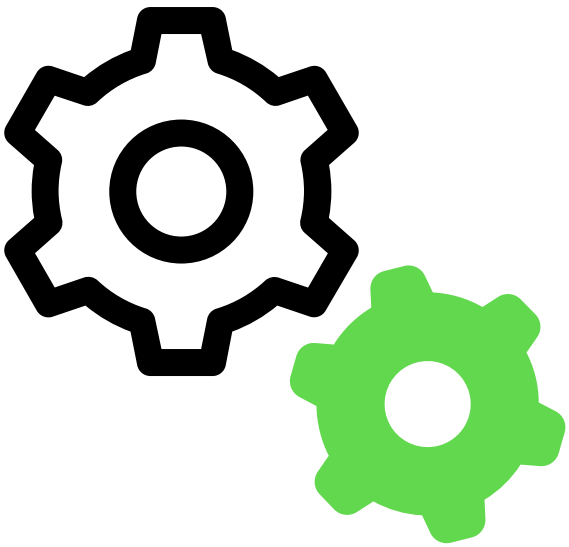
KPI Composer、KPI 詳細、スポットライトなどの パフォーマンスアナリティクス ツールを使用すると、管理者やその他のステークホルダーがリアルタイムデータを使用して現在のステータスに対処し、傾向を正確に評価できます。

パフォーマンスアナリティクス の探究



インジケーター、ブレークダウン、データ収集などの パフォーマンスアナリティクス 概念と機能について説明します。

パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成

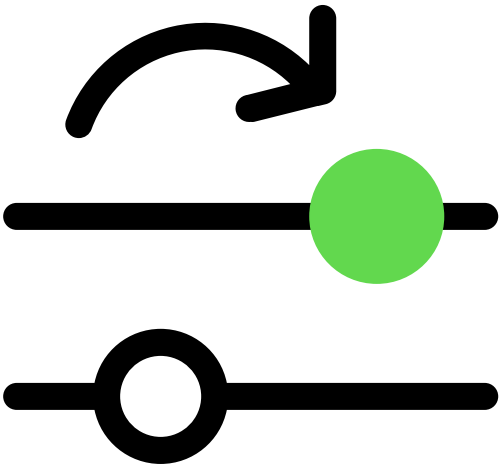


パフォーマンスアナリティクスソリューションを設計し、インジケーターとブレークダウンを設定し、集計を適用する方法を学びます。

自動翻訳

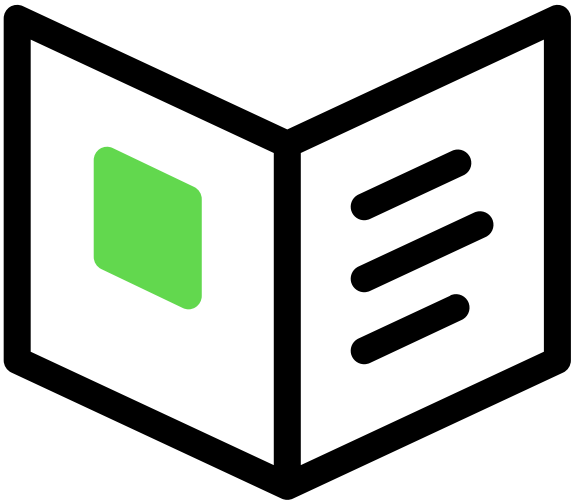
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細設定 パフォーマンスアナリティクス



スポットライト、診断、ログ記録などの高度な機能を詳しく調べます。

参照



ロール、システムプロパティ、および用語集

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、専門知識を共有してください ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート
- Performance Analytics トレーニング
  - Performance Analytics Essentials
  - Performance Analytics Fundamentals
  - Performance Analytics Advanced

パフォーマンスアナリティクス の探索

インジケーターデータソースのユースケース、コンポーネント、およびアーキテクチャを確認し、インジケーターの実装を開始します。

インジケーターは、企業が目標に対する進捗状況を設定、追跡、および分析できるようにすることで、ビジネス変革を推進します。より多くの人々をより短い時間でより良いデータに結び付け、本当に重要なことに集中できるようにします。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを使用してサンプルビジネスシナリオを解決する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1056082790?h=c51d5ad62a&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 最近では、 パフォーマンスアナリティクス は プラットフォームアナリティクスのインジケーターデータソースを指します。以前は、 パフォーマンスアナリティクス は独自の独立した製品であり、独自のフロントエンドは パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで構成されていました。そのフロントエンドは廃止され、代わりにインジケーターがユニバーサル プラットフォームアナリティクス データ可視化で表示されます。パフォーマンスアナリティクスという名前は歴史的な理由から保持されています。

インジケーターデータソースを使用するさまざまなダッシュボードが組織の ITSM 部門のさまざまなペルソナにどのように役立つかに関するビデオについては、「 ITSM サクセスダッシュボード インジケーター 」を参照してください。

インジケーターデータソースは、次の方法でパフォーマンスを向上させ、継続的サービス改善を促進します。

- 重要なプロセスのメトリクスと傾向を追跡する。
- 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。
- ロールベースのダッシュボードで履歴およびリアルタイムのプロセス健全性統計を継続的に視覚化し、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行えるようにします。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターを使用するメリットは次のとおりです。

インサイトを瞬時に提供

ユーザーは、データベースやスプレッドシートからデータをエクスポートする代わりに、ボタンをクリックするだけで、関連性のあるパーソナライズされたインサイトを得ることができます。すぐに古くなってしまうレポートを手動で作成する必要はありません。

単一の真実のバージョンの確立

可視化を定義し、一貫性のある正確なデータに基づいているようにすることで、チームが前向きな変化を推進するために使用できる単一の現実のバージョンを提供できます。

価値実現までの時間の短縮

パフォーマンスアナリティクス数か月ではなく数週間で実装し、データのインサイトをすばやく活用できます。

継続的改善を推進

パフォーマンスアナリティクス は、改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。主要なインジケーター、モバイル対応スコアカード、時間チャート、ドリルダウン、およびダッシュボードに基づいて行動します。

ヒント: パフォーマンスアナリティクス の使用方法については、「パフォーマンスアナリティクス Essentials 」コースを受講してください。

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

注: パフォーマンス分析は、ベンチマークなどの他のアプリケーションで使用されます。以下の情報は、パフォーマンス分析のコア機能について説明しています。パフォーマンス分析を使用するその他のアプリケーションについては、それらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

パフォーマンスアナリティクス には次の概念とコンポーネントが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

主要コンポーネント

Indicators (インジケーター)

(KPI) は、ビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡して、現在の状況を測定し、傾向を予測します。

技術的には、インジケーターは、データセットとデータ集計 (カウントなど) をオプションの条件と組み合わせます。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化と KPI 詳細で表示または分析できます。コア UIで、アナリティクスハブまたはダッシュボードのウィジェットで表示します。

利便性を向上させるために、インジケーターをテーマ別にインジケーターグループに整理することができます。

同義語：メトリック、ビジネス評価指標、KPI

ブレークダウンおよび要素

を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウンは、 アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

1 つのインジケーターに 2 つ以上のレベルのブレークダウンを適用することはできません。

同義語：様相、ドリルダウン

データコレクター

は、プロセステーブルの定期的なスナップショットを取得してスコアテーブルとスナップショットテーブルに保存するエンジンです。データコレクタージョブを設定することで、スケジュールに従って自動的に実行できます。通常、インジケーターソースの頻度と一致するスケジュール済みジョブを設定します。1 つのジョブは、通常、同じインジケーターソースを使用する複数のインジケーターのスコアを生成します。履歴ジョブなど手動で実行するジョブを設定し、新しいインジケーターのデータを収集するときにのみ実行することもできます。

その他の概念

集計/集計

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のいずれかの機能を参照できます。

- 時間に伴った集計、収集、インジケーター スコアの パフォーマンスアナリティクス機能。このインジケーター構成にはインジケーター スコアが収集される周期が含まれます。
- ある期間に集められたインジケーター スコアに適用される統計機能。例えば、インジケーター スコアに 3 か月の合計を適用することができます。集計関数は、インジケーターフォーム、または アナリティクスハブ かウィジェットの後のいずれかに追加できます。アナリティクスハブ またはウィジェットの集計関数は、時系列の名前が付けられます。

ブレークダウンマッピング

インジケーターソースへの関係または「マッピング」ブレークダウンを指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーターソースのフィールドを指定するか、インジケーターソースをクエリするスクリプトを指定します。後者はスクリプト化されたブレークダウンマッピングと呼ばれることがあり、このようなマッピングを使用するブレークダウンはスクリプト化されたブレークダウンと呼ばれます。

ブレークダウンソース

ブ レークダウン に含まれる一意の値 (ブレークダウン要素) を指定します。 ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウンソースを使用できます。たとえば、オープン中の変更数インジケーターのすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、ブレークダウンソースを設定することで、要素リストを変更プロセスの一部であるグループのみに制限できます。

バケットグループ

たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

日

パフォーマンスアナリティクスの 1 日は常に 24 時間で定義されます。パフォーマンスアナリティクス では「営業日」という概念を使用しません。

インジケーターソース

は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーターソースの条件には、通常、[オープン] [次の値に等しい **(=)]** [今日] のような日付関連のフィルターが含まれます。収集頻度の低いインジケーターでは、[クローズ済み] [次の値に等しい **(=)]** [今月] のような広い日付範囲を指定できます。

スクリプト化されたブレークダウン

スクリプトを使用してインジケーターソースをブレークダウンマッピングとしてクエリするブレークダウンです。

スナップショット

は、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

レコードのスナップショット/リストは、 アナリティクスハブ または KPI 詳細で取得できます。

スナップショットは、メインのインジケーターと最初のレベルのブレークダウン用に保持されます。ブレークダウレベル 2 のスナップショットは、ブレークダウンレベル 1 の 2 つのスナップショットリストの共通部分として派生されます。

レコードにスポットライトを当てる

スポットライト機能を使用して、見落としがちなレコードを照らします。

重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスはベース システムに含まれているパフォーマンスアナリティクスの限定版であり、これを使って機能に慣れることができます。パフォーマンスアナリティクス に登録すると、すべての機能を利用できます。

注: 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス を使用する代わりに、非本番インスタンスでサブスクリプションなしで パフォーマンスアナリティクス の全機能を備えたプラグインをアクティブ化することができます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス には次の機能と制限があります。

- パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールが含まれており、これを使用して パフォーマンスアナリティクス の全機能セットをアクティブ化することができます。
- インジケーターの追加や削除はできません
- 今日の日付から数えて、最大 180 日間の履歴スコアが可視化されます。
- グローバル ドメインでのみ使用可能です

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス試すには、次に移動します パフォーマンスアナリティクス > ガイド付きセットアップ をクリックし、インシデント管理のガイド付きセットアップを開始します。この設定では、インジケーター、ブレークダウン、ソース、データ収集、および結果表示のガイドが表示されます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスを使用してスポットライト機能を試すこともできます。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、作業を優先順位付けできるようにします。ライセンスがない場合は、スポットライトをインシデント・レコードでのみ使用でき、スポットライトのインタラクティブ分析にはアクセスできませ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ん。スポットライトを試すには、パフォーマンスアナリティクス - スポットライト - インシデント スポットライトプラグインをアクティブ化し、次の場所のガイド付きセットアップに従ってください スポットライト > ガイド付きセットアップ. プラグインを有効にするには admin ロールが必要です。

2 時間の無料コース Performance Analytics Essentials では、無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスで使用できる PA コンポーネントと概念を紹介しています。(登録が必要です。)

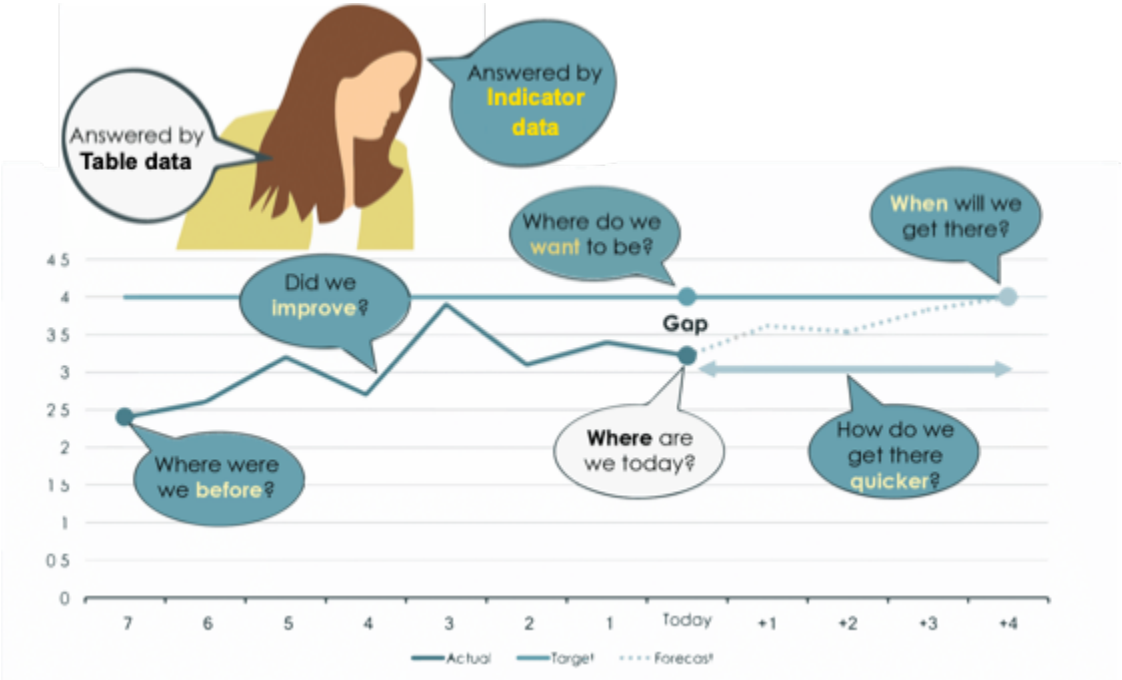
テーブルデータと比較したパフォーマンスアナリティクスインジケーター

インジケーターデータソースは、テーブルデータソースとは異なる一連のユースケースに対応します。

一般的に、テーブルデータは現在のステータスを示し、インジケーターは傾向を示します。テーブルデータの可視化は、レコードの管理に適しています。 パフォーマンスアナリティクス インジケーターはプロセスの管理に重点を置いています。両方が必要です。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで連続スナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、テーブルデータは「今日はどこにいるのか」という質問に答え、インジケーターは経時的に何が起こっているかという質問に答えます。

テーブルデータと パフォーマンスアナリティクス インジケーターに関する一般的なプロセスインサイトの質問



スナップショットから傾向を計算するだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスのメトリクスを使用して価値実現までの時間を短縮します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最後に、試行錯誤を通じてテーブルデータの可視化を開発できますが、パフォーマンスアナリティクスには機能の仕組みに関する背景知識が必要です。本番環境に実装する前に、 パフォーマンスアナリティクス ソリューションを慎重に計画し、テストする必要があります。

重要: トレーニングなしで パフォーマンスアナリティクス 構成を試みないでください。パフォーマンスアナリティクスソリューションの設計が不十分だと、パフォーマンスに重大な影響を与え、インスタンスが不安定になる可能性さえあります。最初のトレーニングである パフォーマンスアナリティクス Essentials は無料で受講できます。

関連トピック

- インジケーターの計画立案
- インジケーターを作成するためのワークフロー
- を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー

パフォーマンスアナリティクス の実装

次の手順に従って、 パフォーマンスアナリティクス の使用を開始してサービスレベルを向上させます。

パフォーマンスアナリティクスソリューションを適切に実装すると、社内の特定のユーザーのニーズに合わせて調整された一連のダッシュボードが得られます。例については、 ITSM サクセスダッシュボード インジケーター からリンクされているビデオを参照してください。

計画して準備する

改善を評価して推進するための目標と測定値を定義します。

1. 測定して改善するビジネスプロセスを特定します。
2. 特定したビジネスプロセスの健全性に影響を及ぼす要因と動作を特定する。
3. 測定する測定基準を決定する。

パフォーマンスアナリティクスソリューションの計画と準備に役立つツールについては、「を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー」を参照してください。

端を発する プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

新しいインジケーターを作成する前に、 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション で利用可能なビルトインダッシュボードとインジケーターを試してみてください。

重要: 本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション を設定してテストします。

1. ライセンスエンタイトルメントを確認してください。
2. インジケーターとブレークダウンのソースが正しいテーブルを参照していることを確認します。
3. 組織のニーズを満たすようにインジケーターとブレークダウンをカスタマイズします。

.

データの収集

収集ジョブは、希望する頻度で実行してアクティブ化するように構成する必要があります。

1. データコレクタージョブをスケジュールしてアクティブ化します。
2. 履歴データコレクタージョブをワンオフとして実行して、空のインジケーターを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

結果を共有

ビジネスプロセスのストーリーを伝え、目的とする視聴者に適切なレベルの情報を表示するアクション可能な KPI を表示します。

1. 利用可能な事前構成済みコンテンツを調べてデータの感じをつかみ、ダッシュボードのカスタマイズを決定する。
2. ステークホルダーにダッシュボードへのアクセス権を付与する。
3. 組み込みのリアルタイムアナリティクスにより、誰でもアクションを実行できるようにする。

インジケーターの計画立案

インジケーターを作成する前に、インジケーターで達成したい目標を明確にします。

インジケーターを作成する前に、次の質問を行ってください。

- 対象
  - 何を測定しますか? ビジネスゴールに向けた進捗状況に基づいて測定していますか? ビジネスゴールから始めて、何を測定するかを決定することを検討してください。次を使用できます: KPI コンポーザー あなたを助けるために。

    オープン中のインシデントの数などの単純なカウントが必要ですか、それともインシデントをクローズするための平均経過時間などのより詳細なカウントが必要ですか?
  - 多い方が良いですか、それとも少ない方が良いですか?

    たとえば、オープンインシデントの数はできるだけ少なくし、売上の数は増やしたいとします。
  - この数字に最も寄与している要因は何ですか?
  - この数字を歪める要因は何ですか?

    季節。人員数または構成の変化?
  - 数字が良いものから悪いものへと変化したらどうしますか?
- 対象者
  - このインジケーターの責任者は誰ですか?

    要求履行者? マネージャー?
  - この情報を表示してはいけないのは誰ですか?
- 理由
  - 次に尋ねる質問は何ですか?

    たとえば、オープンインシデントの数がわかったら、そのうち 30 日以上オープンになっているインシデントの割合を知りたい場合があります。
  - この数字は何が起こるかを予測していますか、それとも何が起こったかを示していますか?
- 方法
  - 今日はこれを測定しますか?
  - 「はい」の場合、それで何をしますか?
  - 「いいえ」なら、なぜそうしないのですか?
- 時期

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データの変化の速さはどのくらいですか?
- 見るべき有意義な期間とは何ですか?

  毎日の変更は意味がありますか、それとも騒がしすぎますか? 実際のトレンドを確立するにはどのくらいの時間がかかりますか?

- ユースケースに一致するインジケーターは既に存在しますか、それとも独自のインジケーターを構築する必要がありますか?
  - 対象領域の パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション はインストールされていますか? これらのソリューションには、多くの一般的なユースケースのインジケーターが含まれています。
  - インジケーターリストに、要件と一致する、またはほぼ一致するインジケーターはありますか? 既存のインジケーターを複製して微調整することはできますか?
  - 要件を満たす式インジケーターを既存のインジケーターから作成できますか?

関連トピック

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー

パフォーマンスアナリティクスデータフロー

パフォーマンスアナリティクスを始める前に、プラットフォーム内のデータフローを理解し、最終的にプロセスの改善を可視化できるようにします。

1. 日々の事業運営とデータ連携から生成されたデータが、それぞれのビジネスプロセスのテーブルに入力されます。

   例:新しいインシデントを送信すると、インシデントテーブルにレコードが作成されます。

2. アクティブなスケジュール済みジョブは定期的に実行され、プロセス動作のスナップショットを定期的に取得します。各 ジョブは、 PA インジケーターとブレークダウンのメタデータに基づいてインジケーター (KPI) スコアを計算します。時間の経過とともに、この継続的なスコアのストリームにより傾向が形成されます。

   例:収集ジョブは、インシデントテーブルのインシデントの数を毎日カウントします。1 か月後、約 30 のデータポイントを含む傾向を表示できるようになります。

3. データスナップショットとスコアは パフォーマンスアナリティクス データテーブルに保存されます。これらのテーブルは、すべての パフォーマンスアナリティクス 可視化のソースです。
4. ウィジェットは、傾向ラインや棒グラフなどの特定の形式でインジケータースコアを表示します。

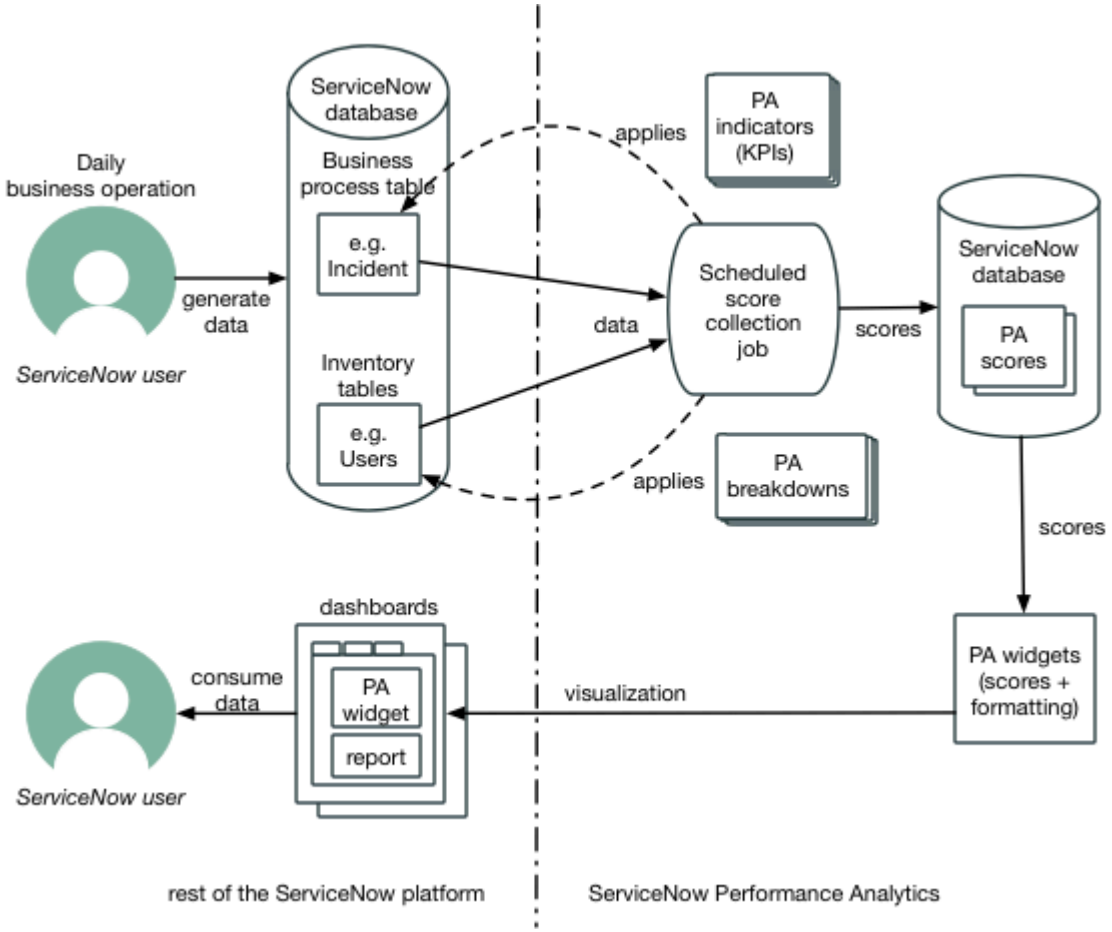
   例:新規インシデントの数は、追跡できるインジケーターです。このインジケーターは、適切なウィジェットを設定することで、単一のスコアまたは日次測定値の経時的な傾向として視覚化できます。

5. 複数の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが単一のダッシュボードビューに表示されるため、ステークホルダーは関連するすべてのビジネスプロセス情報を 1 か所で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスのデータフロー



パフォーマンスアナリティクスアーキテクチャ

パフォーマンスアナリティクスを使用する前に、アーキテクチャのレイヤーによって、生のデータベースエントリからダッシュボードの洞察に満ちたビジュアルにどのように移動するかを理解しておいてください。

レベル	コンポーネント	説明	作成者ペルソナ
0	ServiceNow データベーステーブル	パフォーマンスを評価するために分析する生データを含むビジネスプロセステーブル。例:インシデント [incident]、問題 [problem] ビジネスプロセステーブルのデータをフィルタリング、分類、または分類するために必要な情報を含むインベントリテーブル。例:ユーザー [sys_user]、選択肢 [sys_choice]	該当なし
1	インジケーターソース	メタデータオブジェクト。それぞれが複数のインジケーターのデータソースとして	パフォーマンスアナリティクス 少なくとも

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レベル	コンポーネント	説明	作成者ペルソナ
		機能します。インジケーターソースには次のものが含まれます。 • ビジネスプロセステーブルへの参照 • すべてのレコードに対して一意の値を持つテーブル上のフィールドへの参照 • テーブルのレコードをフィルタリングするための条件 • このソースが有効なインジケーターの頻度。インジケーター頻度は、インジケーターについてデータが収集される頻度です。インジケーターとインジケーターソースの頻度は一致する必要があります。	pa_data_collectorロールを持つ技術エキスパート。
1	ブレークダウンソース	メタデータオブジェクト。それぞれが複数のブレークダウンのデータソースとして機能します。ブレークダウンソースには次のものが含まれます。 • インベントリテーブルへの参照 • すべてのレコードに対して一意の値を持つテーブル上のフィールドへの参照 • テーブルのレコードをフィルタリングするための条件	パフォーマンスアナリティクス 少なくともpa_data_collectorロールを持つ技術エキスパート。

パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成

インジケーターとブレークダウンを作成および設定します。データを収集します。計算されたインジケータースコアを表示します。

パフォーマンスアナリティクスの重要な使用法の概要については、無料のトレーニング「パフォーマンスアナリティクスの基本」 を受講してください。

注: すべての可視化で、高スコアはメトリクスに従って省略されます。したがって、百万単位のスコアは M で省略され、(米国) 十億単位のスコアは G で表されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用したパフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー

KPI コンポーザー パフォーマンス管理戦略がビジネスゴールと一致し、エグゼクティブスポンサーからのサポートを受けていることを確認します。KPI コンポーザーを使用して、パフォーマンス測定戦略の定義と、パフォーマンスアナリティクス内からの戦略の実現との間のギャップを埋めます。ビジネスゴールから始めて、インジケーターを使用して最終的なダッシュボードに至るまですべてのコンポーネントを計画します。

KPI コンポーザー は、実装目標、望ましいビジネス成果、必要な技術的成果物を簡潔で視覚化することで、パフォーマンス管理要件を引き出し、ステークホルダーとの連携を促進します。この包括的なアプローチにより、実装者が技術的な成果物に時間をかけて取り組む前に、ステークホルダーが望ましい結果と要件について完全に連携できるようになります。準備ができると、パフォーマンスアナリティクスの実装者は、目標をサポートするために作成する必要があるもの (インジケーター、ブレークダウン、レポート、ダッシュボード) を正確に記載したタスクリストを取得し、KPI コンポーザーを使用して実装の進捗状況を追跡することもできます。

NOW Learning でKPI コンポーザーの無料トレーニングを受講できます。また、適切に設計された パフォーマンスアナリティクス ソリューションが組織内のさまざまなユーザーを ITSM サクセスダッシュボード インジケーター にどのように役立つかの例もご覧いただけます。

KPI コンポーザーのアクティブ化

KPI コンポーザー は ServiceNow Storeで利用できます。移動先 システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索をタップするか、ブラウザーで https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/homeを指定します。KPI コンポーザー という名前のアプリケーションを検索します。アプリケーションを本番インスタンスにダウンロードする場合は、 Now Support アカウントが必要です。

アプリケーションをダウンロードした後、次の場所に移動します システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.KPI コンポーザーアプリケーションを検索してインストールします。例については、次を参照してください。 のアクティブ化 ServiceNow Store application .

> **注:** KPI コンポーザーを最大限に活用するには、パフォーマンスアナリティクスを使用するための適切なエンタイトルメントが必要です。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス ロール

アクセス先：KPI コンポーザー

KPI コンポーザー へのアクセスレベルによって、ユーザーがKPI コンポーザープロジェクトを作成、編集、または表示できるかどうかが決まります。また、ユーザーがアクセスできるプロジェクトと、基になるレコードにアクセスできるか、UI のみにアクセスできるかも決定されます。

KPI コンポーザーへのアクセスは、単独で、または組み合わせて、次のものに依存します。

- ユーザーロール
- 責任
- 共有中に許可されるアクセス

ロールベースのアクセス

アドミニストレーターは、ユーザーに KPI コンポーザー アドミンまたはユーザーのロールを付与できます。KPI コンポーザーアドミンには、KPI コンポーザー のServiceNow AI Platformアドミンと同じ権限があります。KPI コンポーザーユーザーは自動的にすべてのプロジェクトにアクセスできる

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

わけではなく、インジケーターまたはブレークダウン定義を実際のパフォーマンスアナリティクスエンティティに関連付けることはできません。

のユーザーロール **KPI** コンポーザー

ロール	次の値を含む	説明
sn_kpi_composer.admin または admin	pa_viewer	• レコードを含む KPI コンポーザーのすべてのコンポーネントへのフルアクセス。 • すべてのプロジェクトへのフルアクセス。 • プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。 • インジケーターとブレークダウンの定義を パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンに関連付けることができます。
sn_kpi_composer.user	なし	• 作成したプロジェクトにのみアクセスできます。 • 自分が作成したプロジェクトの責任を共有またはアサインできます。 • これらのプロジェクトの設計タブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。 • パフォーマンスアナリティクスインジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加することはできません。 このロールを持つユーザーは、責任に基づいて、または共有されているプロジェクトに基づいて、より多くのプロジェクトにアクセスできます。

パフォーマンスアナリティクスでKPI コンポーザー設計を実装するには、適切なパフォーマンスアナリティクスロールも必要です。

プロジェクトの責任

担当ユーザーには、担当するプロジェクトへの次のアクセス権があります。

- プロジェクトを表示および編集できます。
- プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。
- これらのプロジェクトの設計タブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。
- パフォーマンスアナリティクスインジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加することはできません。

このアクセスレベルは、sn_kpi_composer.user ロールで付与されるアクセスレベルと同等です。また、編集権限を持つプロジェクトを共有するのと同じです。責任は、まず、どの役割からも独立して

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

いるという点で異なります。2 つ目の違いは、技術的なものではなく、手続き上のものであり、責任あるユーザーがプロジェクトの監督と実施を担当すると理解されています。したがって、プロジェクトの作成者でさえ、自動的にその責任を負うわけではありません。

責任ユーザーは、プロジェクトプロパティで指定されます。編集権限を持つユーザーは、責任ユーザーの名前を指定できます。責任ユーザーの名前指定の詳細については、「 プロジェクトのプロパティの定義」を参照してください。

共有プロジェクト

編集権限を持つすべてのユーザーがプロジェクトを共有できます。プロジェクトを共有する場合は、次の 2 つのレベルのいずれかのアクセス権を付与します。

アクセスを編集

このアクセスレベルは、技術的には、責任ユーザーまたは sn_kpi_composer.user ロールを持つユーザーのアクセスと同じです。1 つ目の違いは、ロールは不要であることです。2 つ目の違いは、プロジェクトを監督または実施する責任がないことです。

ビューアクセス

表示アクセス権を持つユーザーは、共有プロジェクトの設計タブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義を読み取ることができます。検索やフィルターなどのすべての表示ユーティリティを使用できます。ただし、プロジェクト内の何も変更することはできません。追加できるのはジャーナルエントリだけです。

詳細については、「KPI コンポーザープロジェクトの共有」を参照してください。

KPI コンポーザー プロジェクト

KPI コンポーザー は プロジェクトに基づいています。KPI コンポーザーの各プロジェクトは、重要業績評価指標 (KPI) ツリーと、それらのツリー内のすべてのアーティファクトの機能的および技術的な定義で構成されています。複数のプロジェクトを作成できます。

KPI コンポーザープロジェクト UI には、4 つのタブが並び、それぞれがプロジェクトのフェーズに対応しています。

分析

このフェーズでは、ビジネスゴール、重要成功要因、および測定 (または KPI) の階層ツリーを作成します。KPI を概念的に定義し、それらを目標と成功要因にマッピングすることで、必要なすべてのパフォーマンスアナリティクス構成の詳細な機能仕様が生成されます。この仕様はビジネススポンサーによって精査され、技術実装者に明確な方向性を提供します。

ダッシュボードデザイン

このフェーズでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの設計仕様を作成します。実装の早い段階でプレゼンテーションの [ダッシュボードの可視化] タブを使用してタイムリーなフィードバックを取得することで、プロジェクトが完了したときにダッシュボードの閲覧者が期待する可視化を取得できるようにします。

データの定義

このフェーズでは、分析中に定義した KPI に一致する パフォーマンスアナリティクス インジケーターの技術仕様を提供します。KPI は、既存のまたは後で作成する適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクできます。

レビュー

このフェーズでは、プロジェクトの設計コンポーネントを確認し、システム定義の健全性チェックを実行し、 パフォーマンスアナリティクスでプロジェクトを実装するためのタスクリストを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

KPI コンポーザーを使用する最初のステップとして、プロジェクトを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

手順

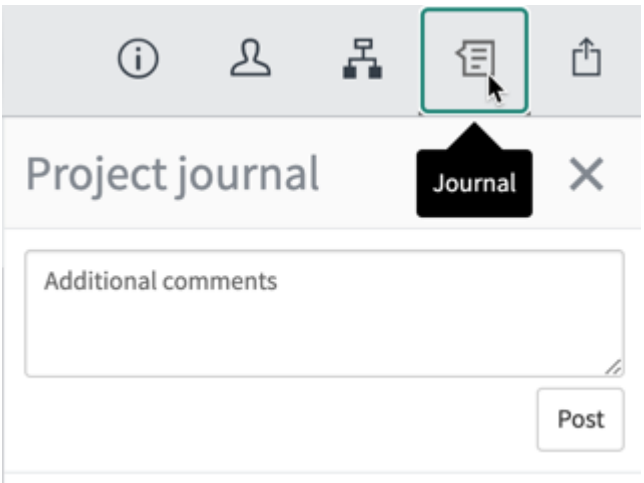
1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー > プロジェクト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [新規プロジェクトを作成] ダイアログで、プロジェクトにわかりやすい名前を付けて [保存] をクリックします。

結果

プロジェクトが作成され、[プロジェクト] ページに表示されます。

次のタスク

プロジェクトで作業しながら、プロジェクト仕訳帳で共同で追跡します。



プロジェクトのプロパティの定義

プロジェクトプロパティでは、ナレッジ記事、所有者、および連絡担当者をプロジェクトに関連付けることができます。

始める前に

注: プロジェクトプロパティは、アーティファクトプロパティの [情報] タブに似ています。スコープのみが異なります。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にある情報アイコン ( ) をクリックします。
3. プロジェクトにわかりやすい名前を付けます。
4. 他のユーザーがプロジェクトの目的を理解できるように、プロジェクトの詳細な説明を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. このプロジェクトで達成したい事業目標を指定します。
6. 次のいずれかの詳細を指定します。
   - プロジェクトに関連する情報を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。
   - 責任ユーザー。責任あるユーザーは完全な編集権限を持ちますが、プロジェクトの実装にも責任があることが期待されています。この責任により、責任ユーザーと、プロジェクトが編集権限で共有されているユーザーを区別します。
   - 連絡担当者

プロジェクトへのペルソナの追加

各プロジェクトには、設計している パフォーマンスアナリティクス ソリューションでさまざまなロールを持つ複数のペルソナがあります。ペルソナは、サービスデスクマネージャーやサービスオーナーなどの社内のロールです。

始める前に

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

手順

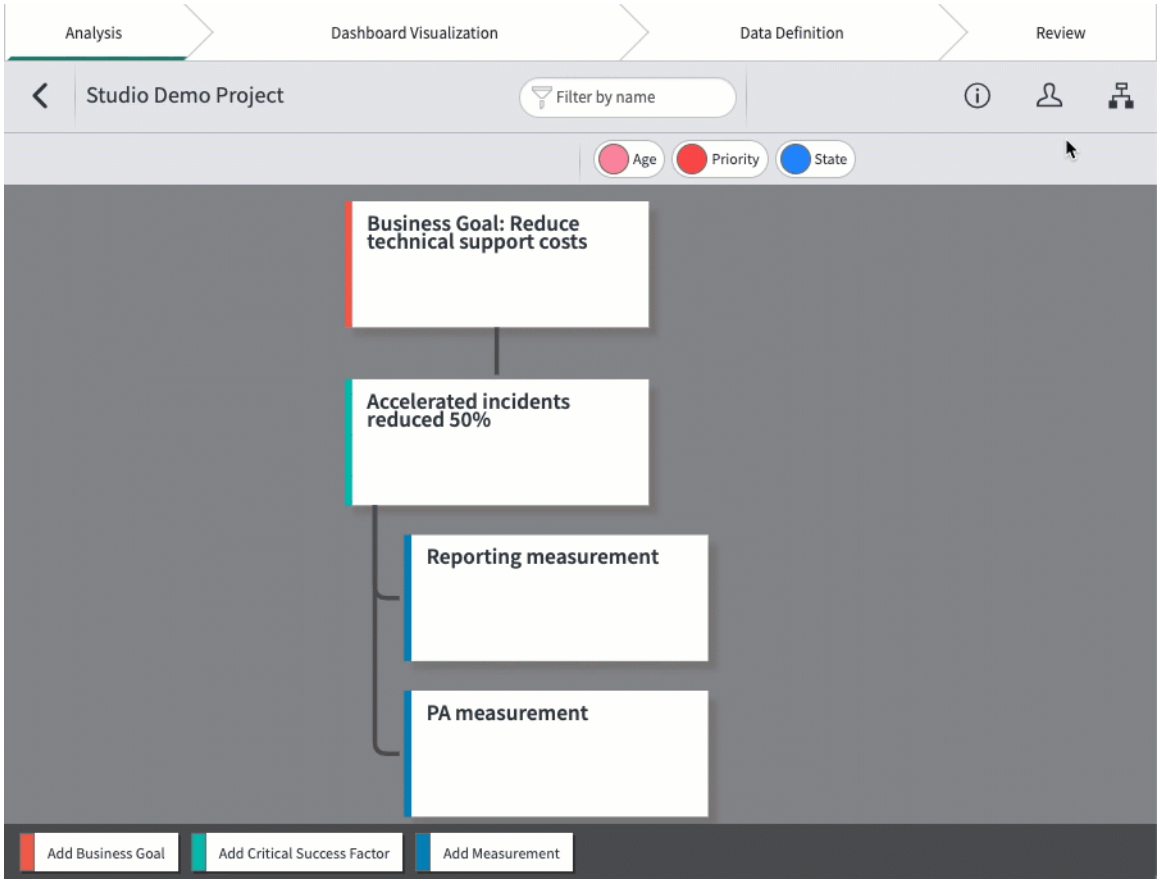
1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にあるペルソナアイコン ( ) をクリックします。
3. [ペルソナ] ダイアログで、[アイテムの追加] をクリックします。
4. 新しいペルソナの名前を入力し、テキストボックスの外側をクリックします。
   ペルソナは、KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。各ペルソナは、名前にある最初の 2 つの単語 (または 1 つの単語のみの場合は最初の 2 文字) に基づく 2 文字の識別子を自動的に取得します。
5. さらにペルソナを追加するには、これらの手順を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: KPI コンポーザープロジェクトへのペルソナの追加

次の短いアニメーションでは、ペルソナエージェントと CIO をプロジェクトに追加する方法を示しています。次に、CIO ペルソナをビジネスゴールに追加する方法を説明します。



次のタスク

ペルソナをキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグして、それらのアーティファクトに追加します。任意のアーティファクトに追加できるペルソナの数は無制限です。アーティファクトに 3 つ以上のペルソナがある場合、ペルソナのフルネームは非表示になります。フルネームを表示するには、ペルソナをポイントします。

Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらペルソナをアーティファクトにドロップすると、次の高度な機能が有効になります。

Ctrl キーを押しながらドロップ

ペルソナを、ドロップ先のアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトに追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

ドロップされているアーティファクトからペルソナを削除します。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップします

ドロップされているアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからペルソナを削除します。

ブレークダウン定義別のグループデータ

各プロジェクトには、KPI のデータをグループ化するために使用できる一連のブレークダウン定義を設定できます。これらのブレークダウン定義は、最終的に作成される パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンの仕様を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

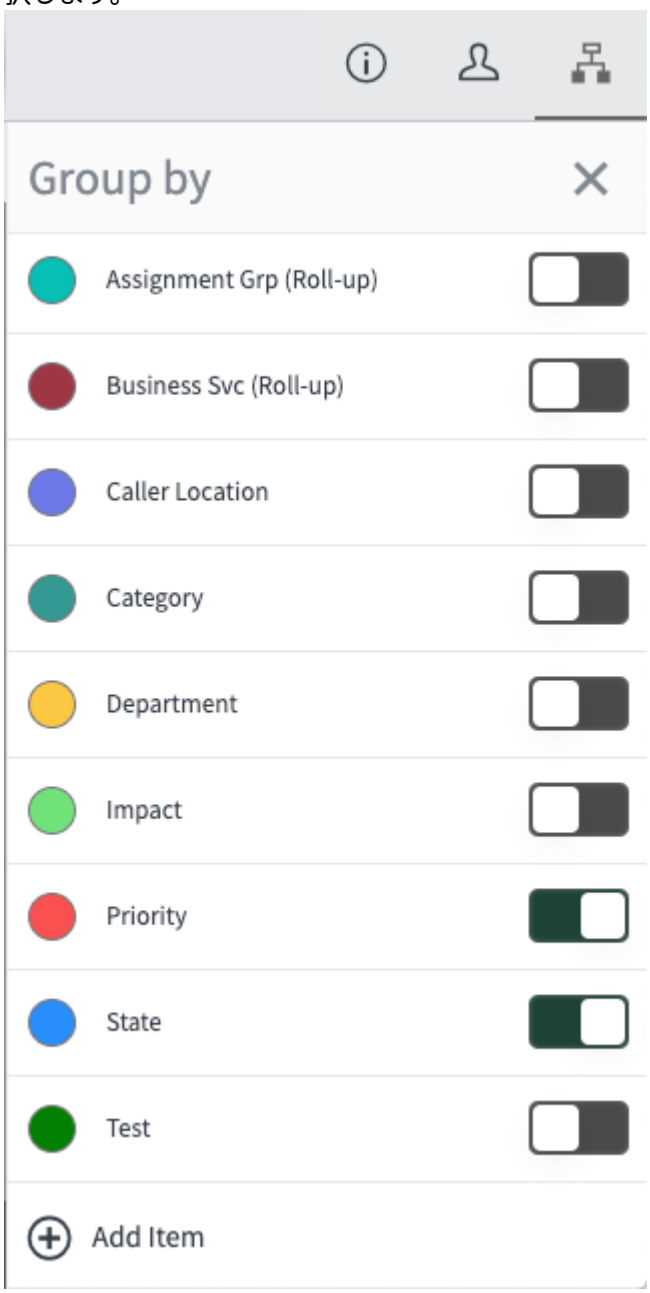
始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面右上にある [グループ] アイコン ( ) をクリックします。
3. [グループ] ダイアログで、スライダーを使用して、プロジェクトに含めるブレークダウン定義を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

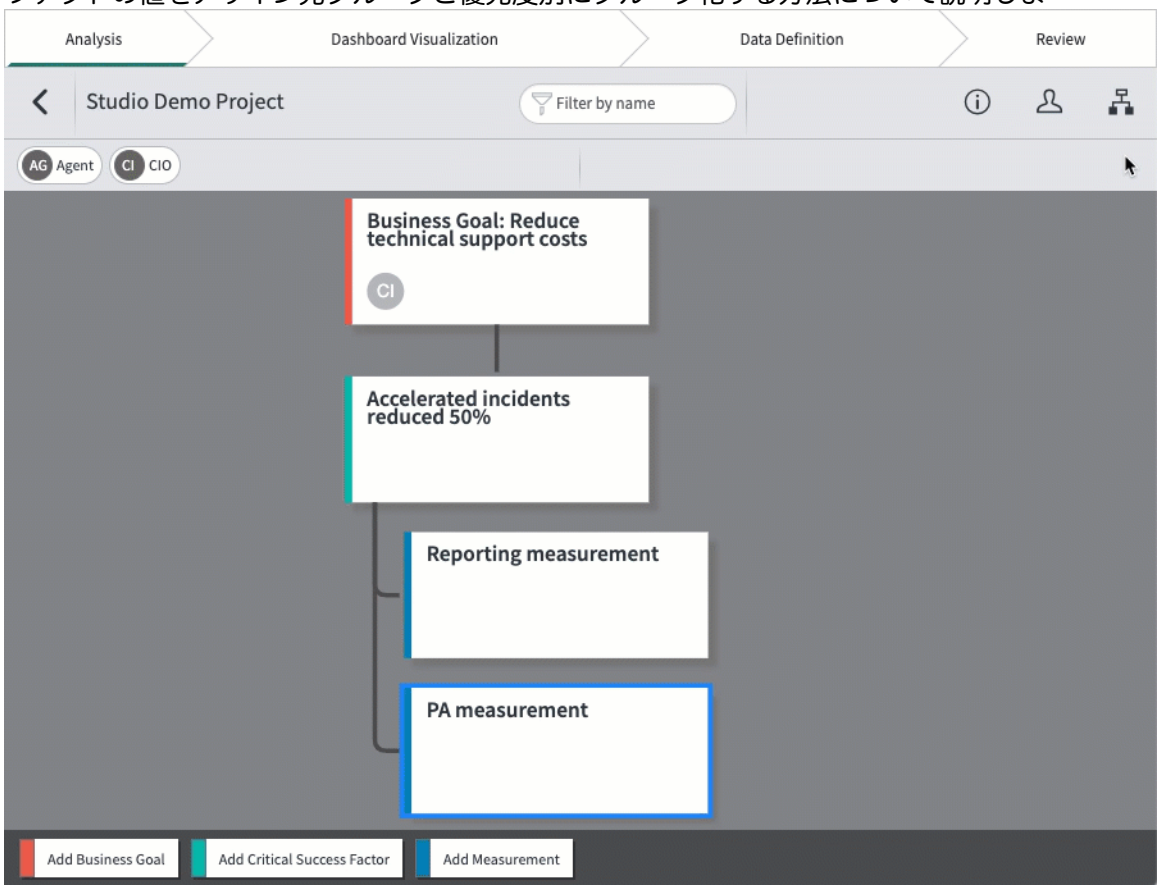
選択したブレークダウン定義が KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。ここから、アーティファクトにドラッグできます。

4. 新しいブレークダウン定義をプロジェクトに追加するには、[アイテムの追加] をクリックし、用語を入力します。

新しいアイテムが [グループ] リストに表示され、一致するブレークダウン定義レコードが作成されます。

Example: KPI コンポーザープロジェクトのブレークダウン定義の選択

次の短いアニメーションでは、プロジェクトに対するブレークダウン定義 [アサイン先グループ]、[影響度]、および [優先度] を選択する方法を示しています。次に、KPI ツリーアーティファクトの値をアサイン先グループと優先度別にグループ化する方法について説明します。



次のタスク

ブレークダウン定義 ([グループ] アイテム) をキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグします。アーティファクトに関連付けられたデータは、任意の数のブレークダウン定義でグループ化できます。アーティファクト上の色付きのドットは、アーティファクトがどのブレークダウン定義に基づいてグループ化されているかを示します。これらのブレークダウン定義の名前を表示するには、アーティファクト上のいずれかの色付きのドットをポイントします。

Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらブレークダウン定義をアーティファクトにドロップすると、次の詳細機能が有効になります。

Ctrl キーを押しながらドロップ

ブレークダウン定義を、ドロップ先のアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトに追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン定義がドロップされているアーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップします

ドロップされているアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

ブレークダウンの定義

ブレークダウン定義で実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンをビルドする方法の機能の説明を入力します。適切な パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンが存在する場合は、ブレークダウン定義でそのブレークダウンにリンクできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin (パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンにリンクするため)、admin。責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへのリンクを除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

KPI Composer プロジェクトに追加するブレークダウン定義は、実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンではありません。これらは、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンがどうあるべきかを説明するプレースホルダーにすぎません。KPI コンポーザーブレークダウン定義では、次のいずれかまたは両方の情報を指定します。

- パフォーマンスアナリティクスエキスパートが実際のブレークダウンを作成するために必要な詳細情報。
- 要件を満たす既存の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照。

手順

1. [分析] タブで、[グループ] アイコン ( ) をクリックします。
2. 定義するブレークダウンの名前をクリックします。
3. 次の情報を入力します。

フィールド	説明	メモ
PA ブレークダウン (sn_kpi_composer.admin および admin ロールに制限)	このインスタンスに存在する パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン。	ブレークダウン定義に パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照がない場合は、そのブレークダウンを作成することを検討してください。
ファクトテーブル	パフォーマンスアナリティクスブレークダウンのブレークダウンソースが参照する必要があるテーブル。	ブレークダウンを作成するための重要な情報。
条件	ブレークダウンソースまたはブレークダウン自体のファクトテーブルに適用するフィルター条件。	

プロジェクトのジャーナルエントリの書き込み

ジャーナルエントリを使用して KPI コンポーザー プロジェクトを追跡する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:表示アクセス権を含む、 KPI コンポーザー プロジェクトへのアクセス権を持つすべてのユーザーがジャーナルエントリを書き込むことができます。

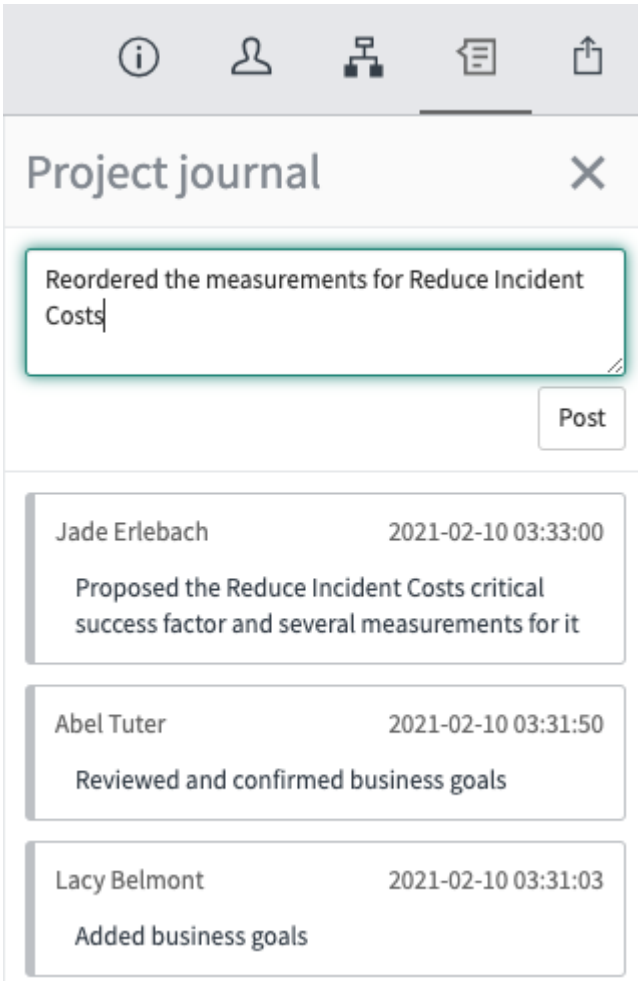
前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

手順

1. ジャーナルアイコン ( ) をクリックします。
2. ジャーナルエントリを書き込みます。
3. [**Post**] をクリックします。

結果
投稿されたすべてのジャーナルエントリは、降順で時系列順に表示されます。



KPI コンポーザープロジェクトの共有

自分が所有している、または担当している KPI コンポーザー プロジェクトを共有できます。ユーザーに読み取り/書き込みまたは読み取り専用のアクセス権を付与できます。

始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

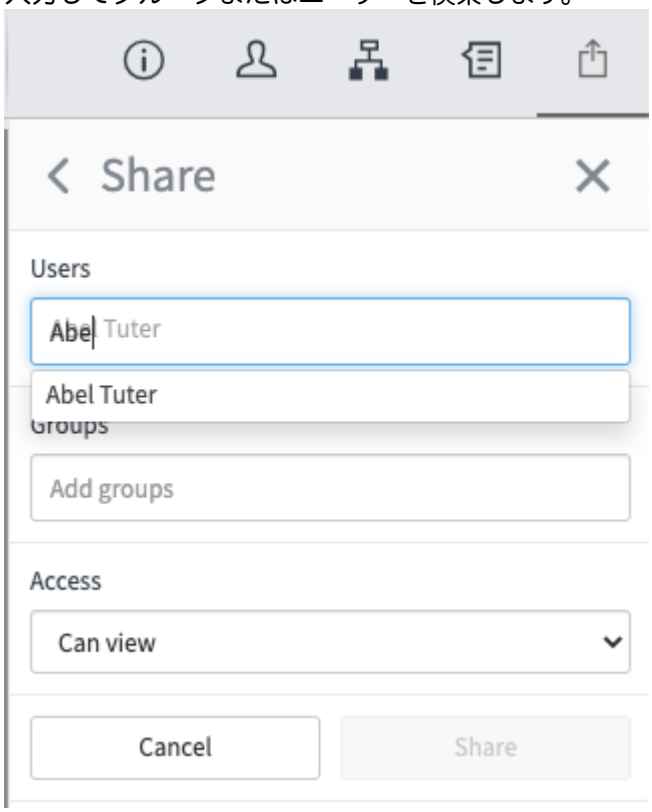
前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

このタスクについて
編集権限を持つプロジェクトを共有すると、そのユーザーは技術的には責任ユーザーと同じ権限を持ちます。違いはプロジェクト管理に関係しています: プロジェクトを共有しているユーザーはプロジェクトを編集するだけで、責任あるユーザーはプロジェクトの実装を成功させる責任があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. ツールバー ( ) の [共有] アイコンをクリックします。
3. [グループとユーザーを追加] をクリックします。
4. 入力してグループまたはユーザーを検索します。



5. [表示可能] または [アクセスを編集可能] のいずれかを選択します。
6. [共有] または [キャンセル] を選択します。

KPI コンポーザープロジェクトのエクスポート

インスタンス間で KPI コンポーザー プロジェクトをコピーするには、まずプロジェクトを JSON ファイルとしてエクスポートします。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

自動翻訳

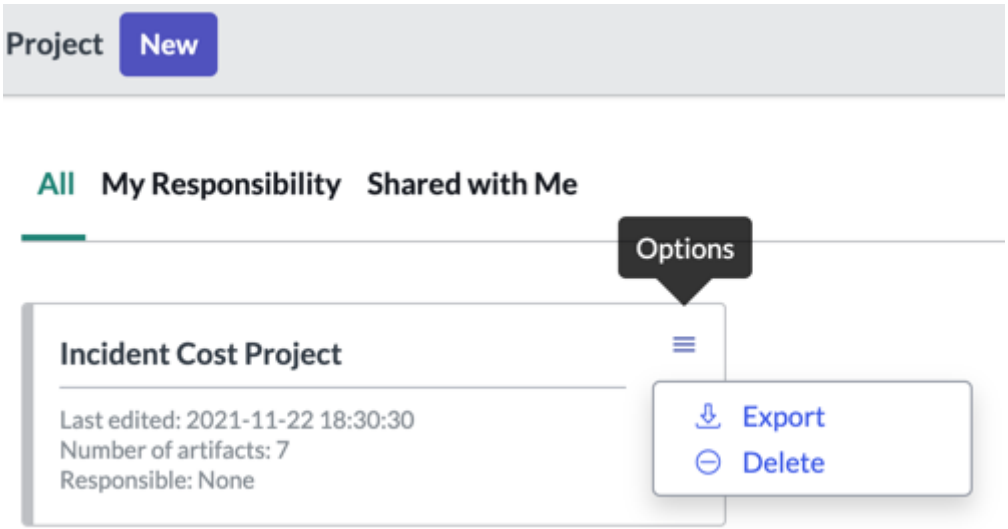
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
次のフィールドはプロジェクトとともにエクスポートされません。

- 責任ユーザー
- 連絡先
- プロジェクト仕訳
- ナレッジ記事への参照

手順

1. **KPI** コンポーザーに移動します。
   プロジェクトカードのページが開きます。
2. エクスポートするプロジェクトの 「オプション」 メニューから、「 エクスポート」を選択します。



3. エクスポートされないフィールドに関する通知をお読みください。
4. [ダウンロード] をクリックします。

結果
KPI コンポーザープロジェクトは、コンピューターのダウンロード先に JSON ファイルで保存されます。ファイル名の形式は ProjectExport です。Project_name]。[タイムスタンプ].json。たとえば、Incident Cost Project という名前のプロジェクトの場合、エクスポートファイル名は ProjectExport.Incident_Cost_Project.2021-11-22_19_13_20.json です。

KPI コンポーザープロジェクトのインポート

エクスポートされた KPI コンポーザー プロジェクトがある場合は、インスタンスにインポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI コンポーザー プロジェクトの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー > プロジェクトをインポート.
2. [ファイルを選択] を選択し、ファイルシステム内のエクスポートされたプロジェクトに移動します。
3. [インポート] を選択します。
   同じプロジェクトのコピーが既にある場合は、インポートによって上書きされます。

結果
これで、プロジェクトを KPI コンポーザーで開くことができます。

分析と **KPI** ツリー

KPI コンポーザーの [分析] タブで、KPI ツリーを設計します。ビジネスゴール、それに関連する重要な成功要因、およびそれらの要因に関連する測定値を指定します。これらの要素と、その要因を担当するペルソナとの論理関係をグラフ化します。

KPI ツリーには、次の階層的に関連する アーティファクトが含まれています。

ビジネスゴール

通常は、ビジネスゴールを KPI ツリーの一番上に配置します。この目標は、このプロジェクトから作成されたダッシュボードで達成したいことを表しています。ビジネスゴールには、「コスト効率」や「品質保証」などがあります。

重要な成功要因

これらの要素をビジネスゴールの下に配置して、ビジネスゴールを達成するために組織が行う必要があることを特定します。重要成功要因は、ビジネスゴールまたは他の重要成功要因の下に配置できます。

測定

重要な成功要因のパフォーマンスを測定する方法を決定します。測定は、KPI ツリー内で最も「インジケーターのような」アーティファクトです。測定方法の機能的な説明が含まれています。さらに、測定の責任者と、この測定がさまざまなプロジェクトで使用される場合に備えて誰に連絡するかを保存できます。

KPI ツリーには、次のドラッグアンドドロップアイコンが付いたヘッダーとフッターがあります。

- フッターの左側にあるアーティファクト
- ヘッダーの右側にあるブレークダウン定義 (ブレークダウン定義別のグループデータを参照)
- ヘッダーの左側にあるペルソナ (プロジェクトへのペルソナの追加 を参照)

フィルタリング

[分析] タブでは、次のフィルターオプションを使用できます。

- ペルソナでフィルタリングします。ヘッダーのペルソナアイコンを選択して、ペルソナにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のペルソナを選択できます。この場合、選択したペルソナの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトがハイライト表示されます。
- ブレークダウン定義でフィルタリングします。ヘッダーの [ブレークダウン定義] アイコンを選択して、ブレークダウンにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のブレークダウンを選択できます。この場合、選択したブレークダウンの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトがハイライト表示されます。
- テキストでフィルタリングします。フィルターフィールドにテキストを入力し、フィールドを終了します。テキストを含むすべてのアーティファクトが強調表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

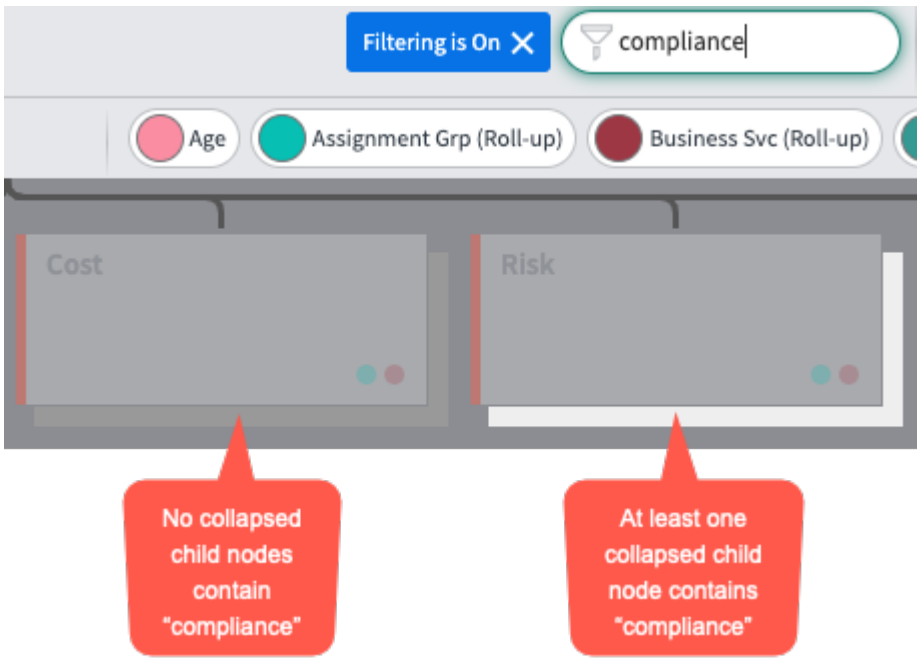
自動翻訳

すべてのフィルター機能を相互に使用できます。

ツリーノードの展開と折りたたみ

大きな KPI ツリーで作業する場合は、現在作業していないツリーの部分を閉じることができます。ツリーの一部を折りたたむには、子アーティファクトを持つアーティファクトのマイナス - アイコンをクリックします。折りたたまれたノードは、トップレベルのノードの下にシャドウとして表示されます。折りたたまれたノードを展開するには、プラス + アイコンをクリックします。

フィルターまたは検索が折りたたまれた非表示のアーティファクトと一致する場合、ツリーは展開されません。代わりに、「影」は白に変わりますが、最上位の要素はグレーのままです。



KPI ツリーにアーティファクトを追加する

プロジェクトキャンバスの下部にあるドラッグアンドドロップタイルを使用して、KPI ツリーにアーティファクトを追加します。

始める前に

プロジェクトに取り組む前に、ビジネス目標と重要な成功要因について考えてください。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

手順

1. **KPI** コンポーザーに移動し、プロジェクトを開くか作成してから、[分析] タブに移動します。
2. 画面の下部で KPI ツリーアーティファクトを見つけます。
   各
3. ビジネスゴールアイコンをプロジェクトの上部にドラッグします。
   計画をシンプルにするために、通常はプロジェクトごとに 1 つのビジネスゴールがありますが、ビジネスゴールを他のビジネスゴールの子として設定することもできます。
4. 「アーティファクトのプロパティ」の説明に従って、ビジネスゴールのプロパティを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

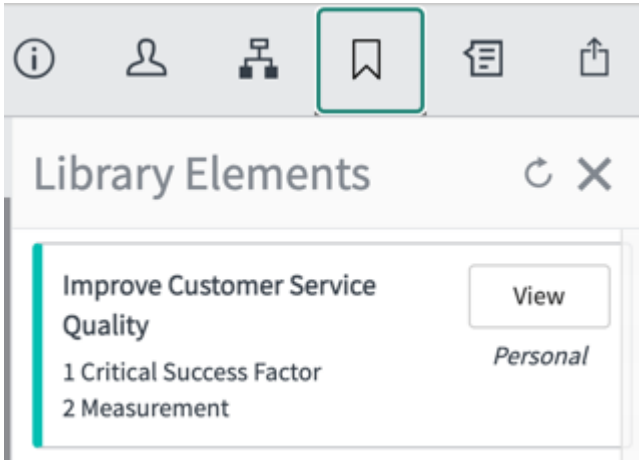
自動翻訳

これらのプロパティは、アーティファクトタイルの [編集] アイコン ( ) をクリックして後で編集できます。

5. 重要な成功要因と測定値でこのプロセスを繰り返します。
アーティファクトを別のアーティファクトの上にドロップして、新しいアーティファクトを既存のアーティファクトの子として表示します。重要成功要因は、ビジネス目標またはその他の重要成功要因の子にすることができます。測定は任意のアーティファクトの子にすることができます。
6. すべてのアーティファクトを作成して構成する代わりに、既存のライブラリ要素を追加できます。

   a. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。

   b. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。



詳細については、「プロジェクト間のライブラリ要素」を参照してください。

次のタスク
ツリー内の関係について気が変わった場合は、既存のアーティファクトを選択して別のアーティファクトにドラッグできます。アーティファクトの順序を変更することもできます。子アーティファクトを親にドラッグして、兄弟の中で一番上の位置に移動します。

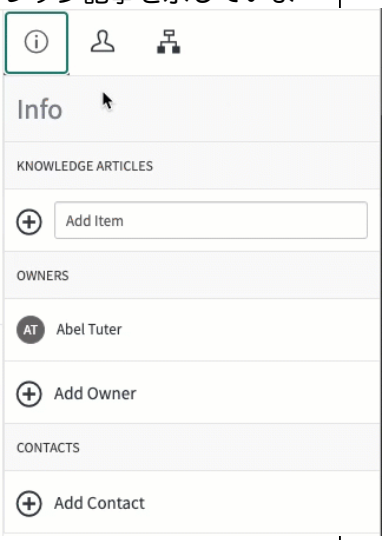
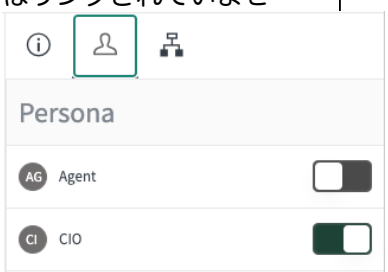
アーティファクトのプロパティ

KPI ツリー内の各アーティファクトは、ナレッジベース記事、ペルソナ、またはブレークダウン定義を参照できます。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	高品質で費用対効果の高いビジネス解決策 (ビジネスゴールの成果物の場合) インシデント解決の合計コスト (測定アーティファクトの場合)
説明	他のユーザーがその目的を理解し、冗長性を回避するためのアーティファクトの詳細な説明	推定給与および機会費用を含む、インシデントが報告されてから解決されるまでの総コスト
ターゲット	パフォーマンスアナリティクスに求められる将来のパフォーマンス向上。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだ	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% 削減されます。

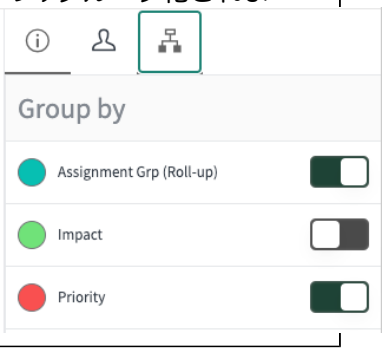
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
	ない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	
この要素をライブラリリンクに追加	このアーティファクトと KPI ツリー内の子アーティファクトを、マルチプロジェクトの再利用可能なライブラリ要素に追加します。	詳細については、「プロジェクト間のライブラリ要素」を参照してください。
情報	次のいずれかの詳細を指定します。 • アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。 • アーティファクト所有者 • 連絡担当者	この短いアニメーションは、アーティファクトに追加されるナレッジ記事を示しています。 
ペルソナ	現在プロジェクトにリンクされているペルソナ。アーティファクトプロパティでは、アーティファクトに対してペルソナを追加および削除することしかできません。ペルソナをプロジェクトに追加する方法については、「プロジェクトへのペルソナの追加」を参照してください。	この画像では、エージェントと CIO のペルソナがプロジェクトにリンクされています。CIO ペルソナはアーティファクトにリンクされていますが、エージェントペルソナはリンクされていません。 
グループ	プロジェクト用に選択された 1 つ以上のブレークダウン定義によって、アーティファクトに関連付けられたデータをグループ化します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「ブレークダウン定義別のグループデータ」を参照してください。	この画像では、アーティファクトの [アサイン先グループ]、[影響度]、および [優先度] ブレークダウン定義を使用できます。アーティファクト内のデータは、アサイン先グルー

自動翻訳

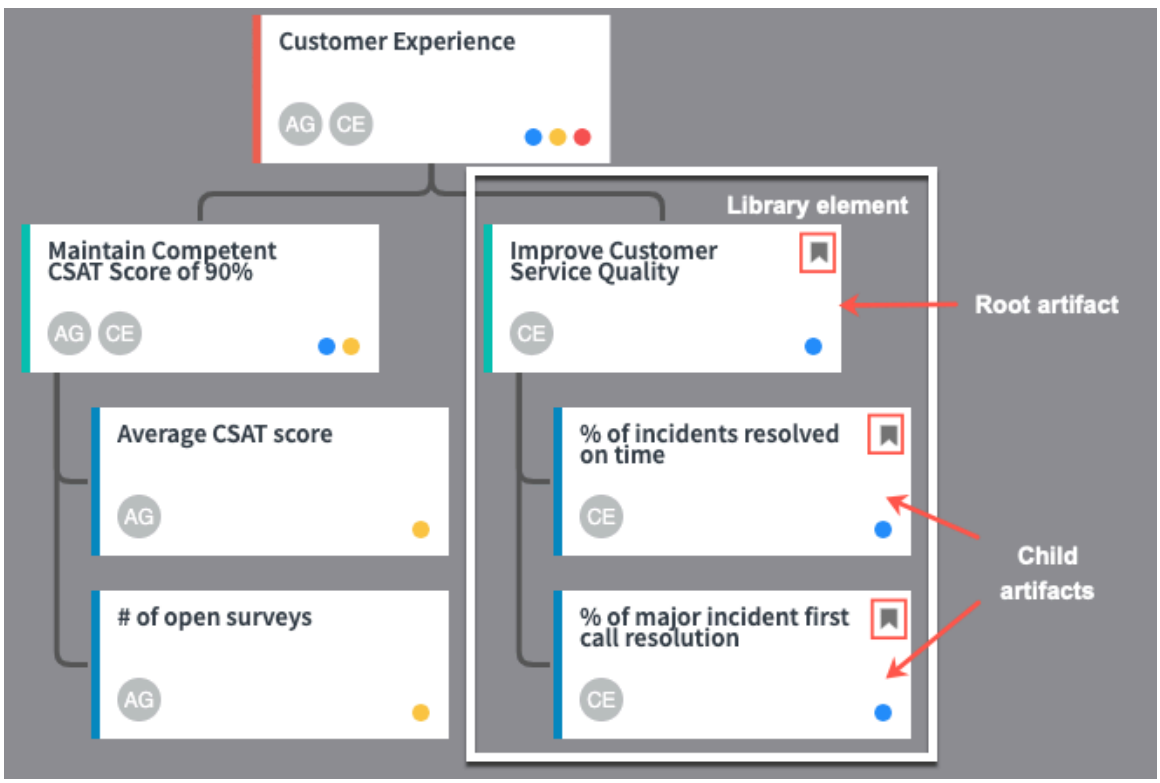
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
		プでのみグループ化されま  す。

プロジェクト間のライブラリ要素

ライブラリ要素は、複数のプロジェクトで再利用できる単一のアーティファクトまたはアーティファクトのツリーです。

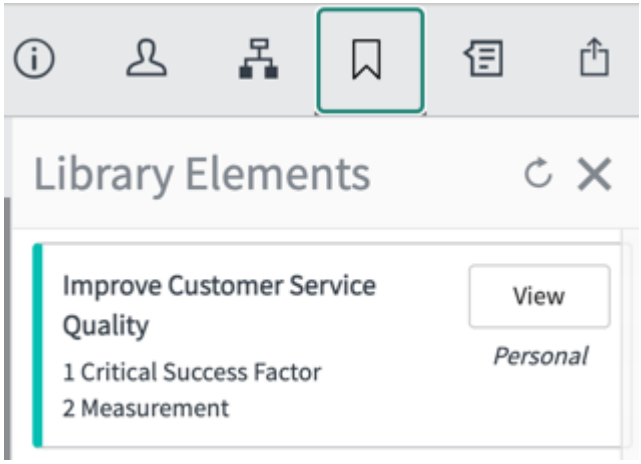
各ライブラリ要素には 1 つのルート アーティファクトがあります。そのアーティファクトのすべての子アーティファクトは、ライブラリ要素に含まれます。次の画像は、[カスタマーサービス品質の向上] の重要成功要因に基づくライブラリ要素を示しています。その子である 2 つの測定アーティファクトは、ライブラリ要素に自動的に含まれます。



任意のプロジェクトの [分析] タブの [ライブラリ要素] メニューから、ライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライブラリ要素の作成

KPI ツリー内のアーティファクトとその子を、 KPI コンポーザー プロジェクト間のライブラリ要素に変換します。

始める前に

少なくとも 1 つのアーティファクトを含む KPI ツリーを持つ既存のプロジェクトが必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

このタスクについて

注: ライブラリ要素をネストできます。つまり、子孫の中に別のライブラリ要素を含むアーティファクトからライブラリ要素を作成できます。元のライブラリ要素の要素は、新しい上位レベルの要素に含まれます。元のライブラリ要素はまだ存在し、単独で KPI ツリーに含めることができます。

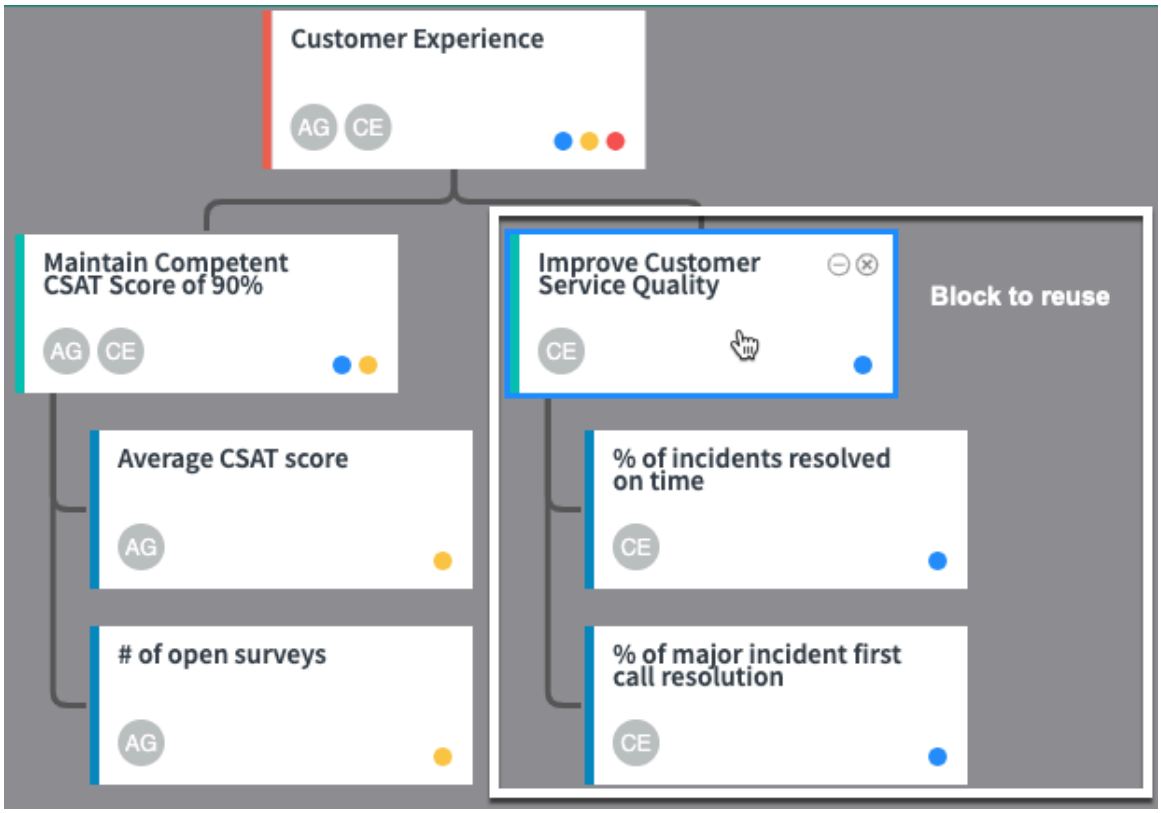
手順

1. KPI コンポーザープロジェクトの [分析] タブを開きます。
2. ツリーでアーティファクトを選択します。
   他のプロジェクトで再利用できるようにするアーティファクトを選択します。アーティファクトのグループを再利用する場合は、ルートアーティファクトを選択します。ルートアーティファクトのすべての子孫アーティファクトは、ライブラリ要素に含まれます。

   Example
   この例では、「カスタマーサービス品質の向上」という重要な成功要因を再利用します。これは、「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「最初のコールで解決された重大なインシデントの割合」という 2 つの子測定値とともに使用します。

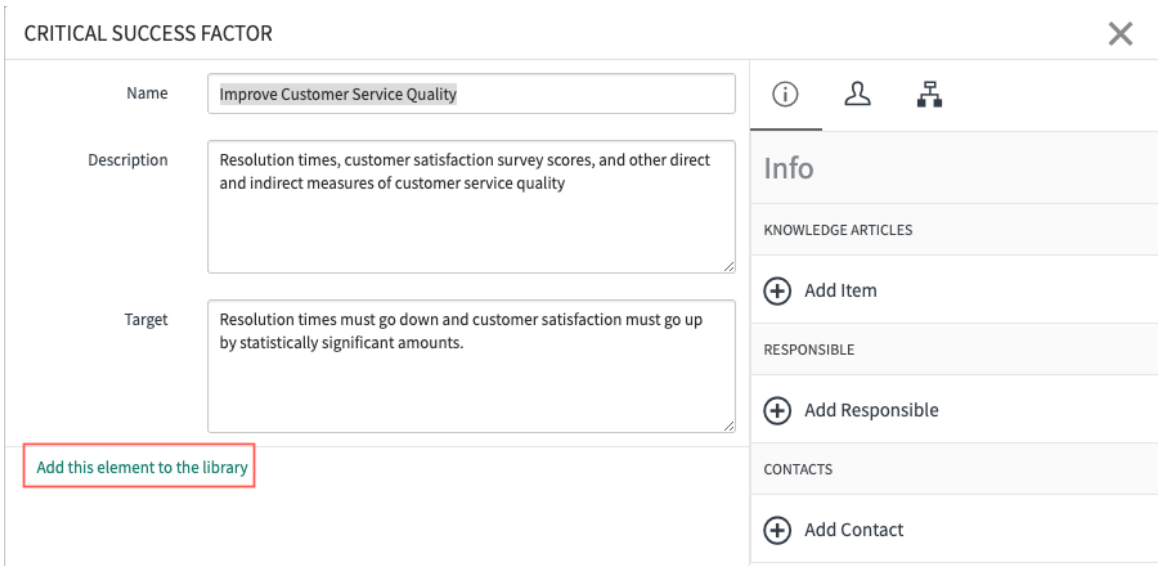
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. アーティファクトのプロパティウィンドウで、[この要素をライブラリに追加] を選択します。

Example
この例では、「カスタマーサービス品質の向上」アーティファクトのプロパティを開き、[この要素をライブラリに追加] をクリックしようとしています。

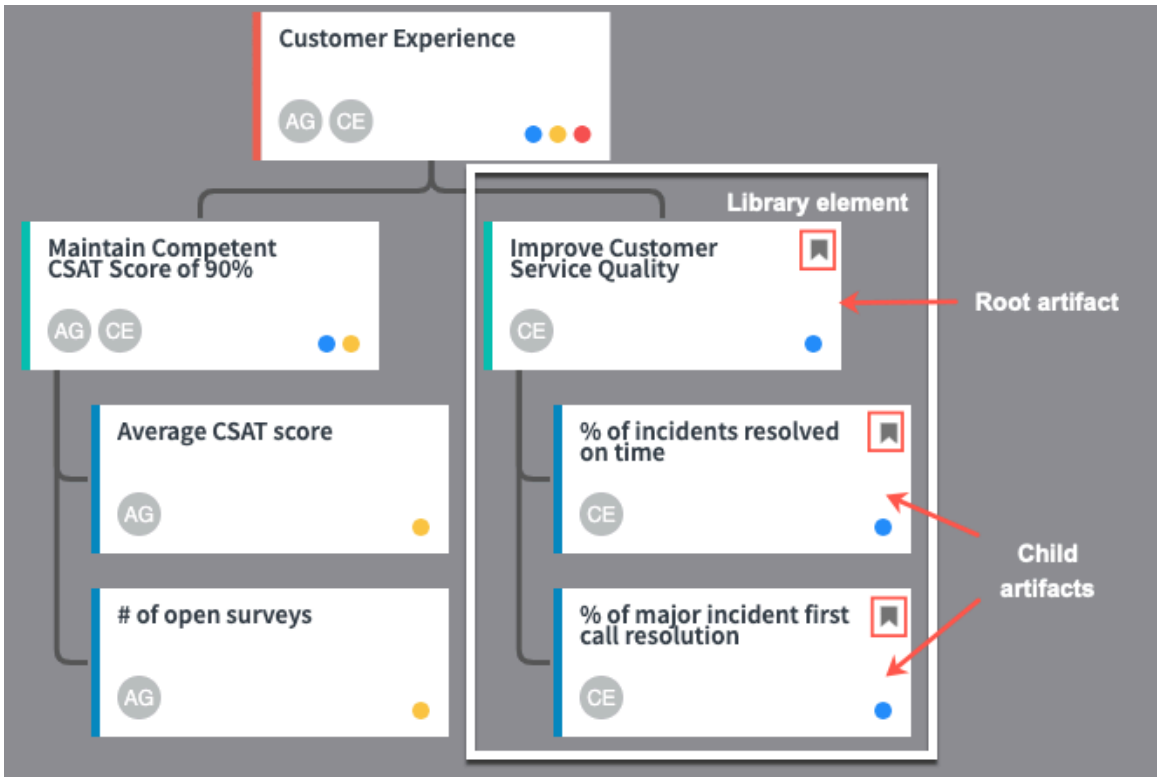


結果
選択したアーティファクトとその子孫がライブラリ要素に変換されます。ライブラリ要素に属していることを識別するために、ブックマークアイコンが各タイルに追加されます。元のプロジェクトでは編集できなくなりました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 「Improve **Customer Service Quality** (カスタマーサービス品質の向上)」ライブラリ要素

この例は、手順ステップの結果であるライブラリ要素を示しています。ルートアーティファクトは「カスタマーサービス品質の向上」です。ライブラリ要素は、これと、「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「重大なインシデントの最初のコール解決の割合」の 2 つの測定値で構成されます。



次のタスク
ライブラリ要素は、スコープ内の [個人] として開始されます。作成したユーザーのみが KPI ツリーに追加できます。admin または sn_kpi_composer_admin ロールを持っている場合は、ライブラリ要素のスコープを [グローバル] に変更できます。すべてのユーザーが、グローバルライブラリ要素を自分の KPI ツリーに追加できます。
プロジェクト内からライブラリ要素を編集することはできません。

ライブラリ要素の使用

任意の KPI コンポーザー プロジェクトの KPI ツリーにライブラリ要素を追加します。

始める前に
使用できるライブラリ要素が少なくとも 1 つ必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

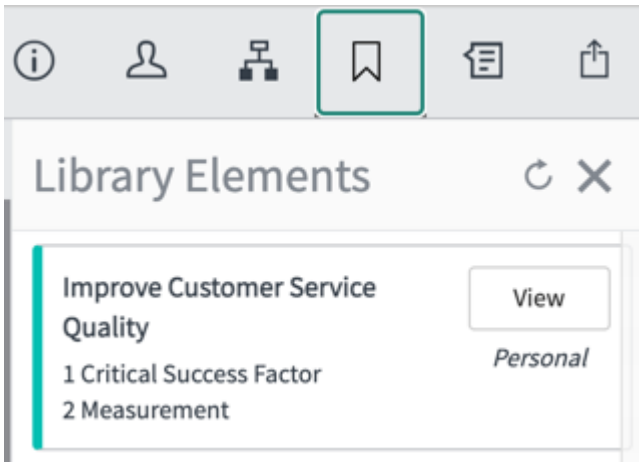
手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > モジュール.
2. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。
3. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライブラリ要素のタイルには、要素に含まれるアーティファクトの数とタイプが一覧表示されます。次の画像は、1 つの重要成功要因と 2 つの測定値を持つライブラリ要素のタイルを示しています。



4. KPI ツリーからライブラリ要素を削除するには、ルートアーティファクトを削除します。
   ライブラリ要素内の他のアーティファクトからの削除オプションはありません。

次のタスク
KPI ツリーに必要な数のライブラリ要素を追加できます。同じライブラリ要素は何度でも追加できます。

ライブラリ要素の編集または削除

ライブラリ要素にアーティファクトを追加したり、ライブラリ要素をプロジェクトベースのアーティファクトに戻したりすることができます。ライブラリ要素内のアーティファクトのデータ定義を編集することもできます。

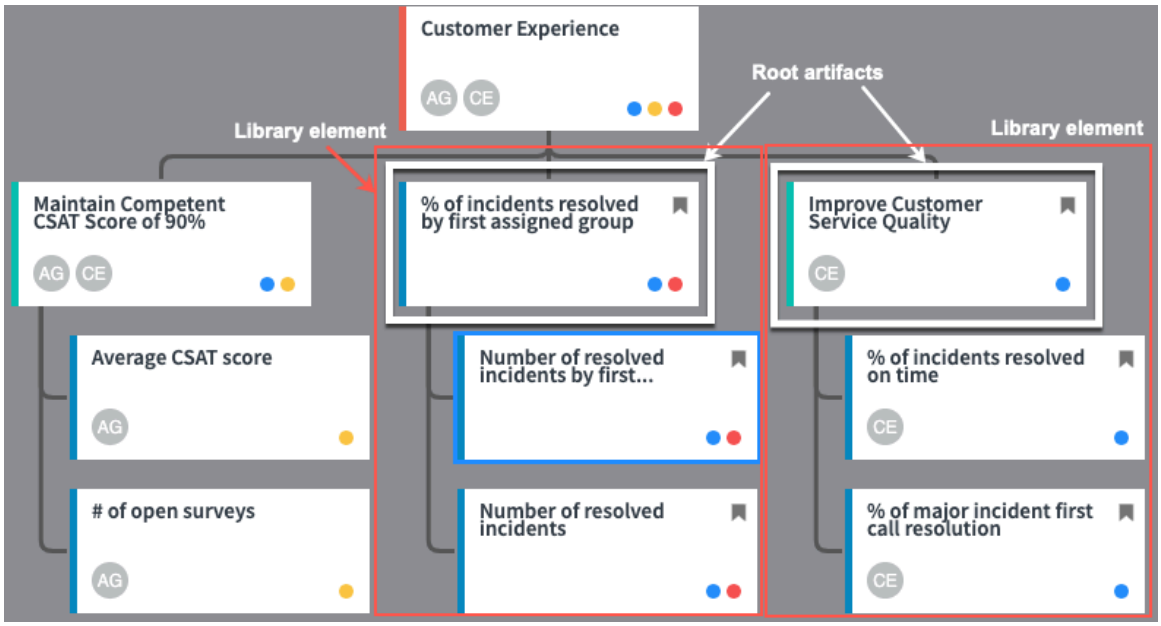
始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin または admin (完全な編集機能の場合)

手順

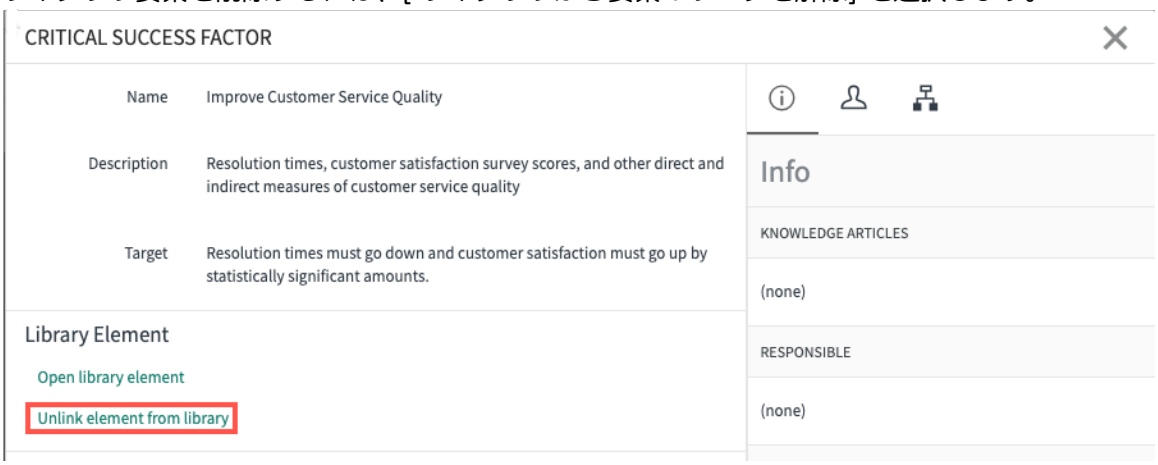
1. KPI コンポーザープロジェクトの [分析] タブを開きます。
2. KPI ツリーのいずれかのライブラリ要素のルートアーティファクトを選択して、そのプロパティを開きます。
   ブックマークアイコン ( ) は、ライブラリ要素内のアーティファクトを識別します。ルート アーティファクト (親アーティファクト) は、各ライブラリ要素の最上位のアーティファクトです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ライブラリ要素を削除するには、[ライブラリから要素のリンクを解除] を選択します。



アーティファクトは、そのライブラリ要素のメンバーではなくなりました。ただし、そのライブラリ要素を含むすべての KPI ツリーには引き続きこれらのアーティファクトが含まれていますが、各ツリー内の通常のアーティファクトの個別のセットとなっています。

4. ライブラリ要素を編集するには、[ライブラリ要素を開く] を選択します。

注:

- ルート アーティファクトだけでなく、その要素内の任意のアーティファクトからライブラリー要素を開くことができます。
- sn_kpi_composer.admin または admin ロールを持っている場合は、代わりに次の場所に移動できます **KPI** コンポーザー > ライブラリー をクリックし、ライブラリ要素タイルのセットからライブラリ要素を開きます。

5. ライブラリ要素にアーティファクトを追加するには、「KPI ツリーにアーティファクトを追加する」の手順に従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 新しいアーティファクトのプロパティで [この要素をライブラリに追加] をクリックする必要はありません。このリンクをクリックすると、このライブラリ要素内にネストされている新しいライブラリ要素に新しいアーティファクトが追加されます。
- 新しいアーティファクトを追加する代わりに、別のライブラリ要素を追加して、このライブラリ要素内にネストすることができます。詳細については、「ライブラリ要素の使用」を参照してください。

6. ライブラリ要素のアーティファクトにインジケーター定義とレポート定義を追加するには、[データ定義] タブを開き、 インジケーターとレポートの定義の指示に従います。
7. 情報アイコン ( ) を選択して、ライブラリ要素のスコープがグローバルか個人かなど、ライブラリ要素のプロパティを表示または編集します。
プロパティを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。それ以外の場合は読み取り専用です。

ライブラリ要素のプロパティ

各 KPI コンポーザー ライブラリ要素には、次のプロパティがあります。それらを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	デフォルトでは、名前は「カスタマーサービス品質の向上」などのルートアーティファクトの名前と同じです。
説明	他のユーザーがその目的を理解し、冗長性を防ぐために使用する、アーティファクトの詳細な説明	推定給与および機会費用を含む、インシデントが報告されてから解決されるまでの総コスト
達成目標	パフォーマンスアナリティクスに求められる将来のパフォーマンス向上。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% 削減されます。
グローバル はい |いいえ	[はい] の場合、すべてのユーザーがこのライブラリ要素を自分の KPI ツリーに追加できます。[いいえ] の場合、このライブラリ要素は個人用であり、作成したユーザーのみが使用できます。デフォルト:いいえ	該当なし
ナレッジ記事	ライブラリ要素に関する詳細な説明を含むナレッジベースの記事。次のいずれかの詳細を指定します。	KB0000006 スパイウェアとウイルスへの対処

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
	• アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。 • アーティファクト所有者 • 連絡担当者	
責任者	責任ユーザーには完全な編集権限がありますが、ライブラリ要素のメンテナンスも担当することが期待されます。詳細については、「アクセス先：KPI コンポーザー」を参照してください。	Abel Tuter
連絡先	ライブラリ要素に対して責任を負わないが、相談すべき利害関係者または関連する該当分野の専門家である人物。	エイブラハム・リンカーン

ダッシュボードの設計

[ダッシュボードの可視化] タブでは、[分析] タブのアーティファクトに対応する可視化を使用して、複数のダッシュボードのモックアップを作成できます。このモックアップのウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにリンクできます。

プロジェクトの最終出力は パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードであり、重要成功要因に対応する個別のダッシュボードまたは個別のタブと、測定値を表示するウィジェットがあります。パフォーマンスアナリティクス では、基礎となるすべてのインジケーターとブレークダウンが作成されるまで、これらのダッシュボードを作成することはできません。これらのインジケーターのウィジェットの設計もある程度技術的であり、少なくともpa_power_userロールが必要です。最終的なダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを必要とする閲覧者から、設計がニーズや期待に十分に応えられなかったというフィードバックが送られてくることがよくあります。

[KPI コンポーザー ダッシュボードの可視化] タブを使用すると、ワークフローのかなり早い段階でダッシュボードの設計を開始できます。[分析] タブに成功要因と測定値の概念ツリーしかない場合は、ビジュアル化の作業を開始できます。さらに、プロセスの早い段階で他のステークホルダーを関与させることもできます。プレゼンテーションの早い段階で KPI コンポーザーを使用してタイムリーなフィードバックを得ることで、プロジェクトが完了したときにダッシュボードの閲覧者が期待する視覚化を取得できるようにします。

ダッシュボードを追加

ダッシュボード設計の最初のステップとして、空のダッシュボードを [KPI コンポーザー ダッシュボードの可視化] タブに追加します。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI コンポーザー プロジェクトがある。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

自動翻訳

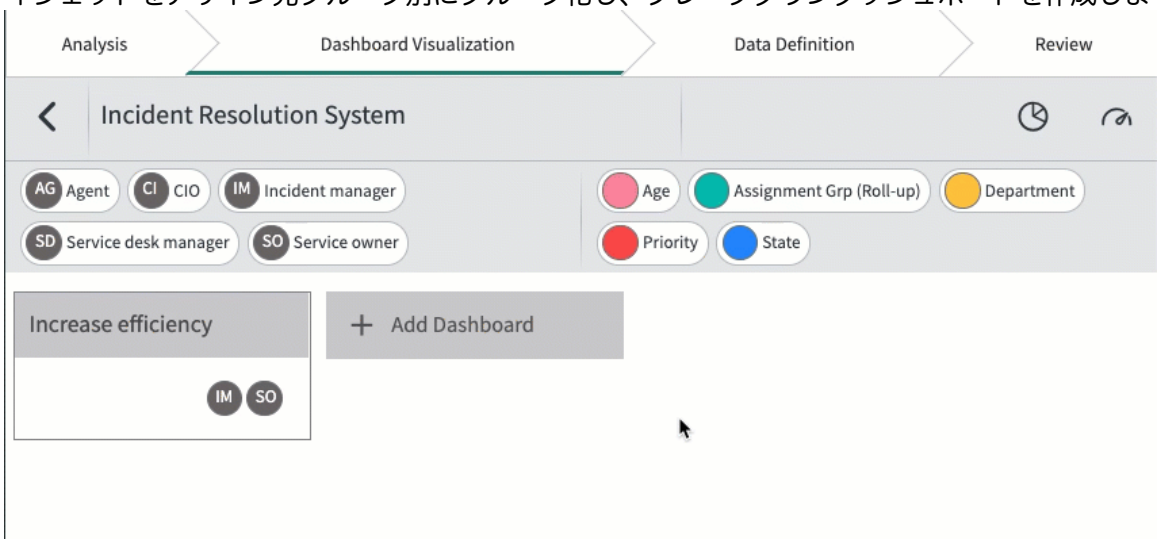
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
3. [**+** ダッシュボードを追加] をクリックします。
4. ダッシュボードにわかりやすい名前を付けます。これは、おそらく KPI ツリーのビジネスゴールまたはより高いレベルの重要成功要因に対応していると思われます。
5. オプション: ダッシュボードアーティファクトの [アイテムの編集] アイコン ( ) をクリックして、ダッシュボードのプロパティを編集します。
6. ダッシュボードを作成するすべてのビジネスゴールまたは重要成功要因に対して、このプロセスを繰り返します。

Example: カスタマーエクスペリエンスダッシュボードを [デザイン] タブに追加する

次の短いアニメーションでは、ユーザーが [重要成功要因] にちなんで [カスタマーエクスペリエンス] という名前のダッシュボードを作成しています。ユーザーは、ダッシュボードを表示することが想定されるエージェントと CIO のペルソナを追加します。ユーザーは、ダッシュボード上のすべてのウィジェットをアサイン先グループ別にグループ化し、ブレークダウンダッシュボードを作成します。

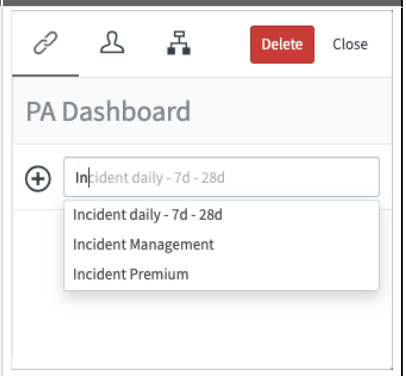
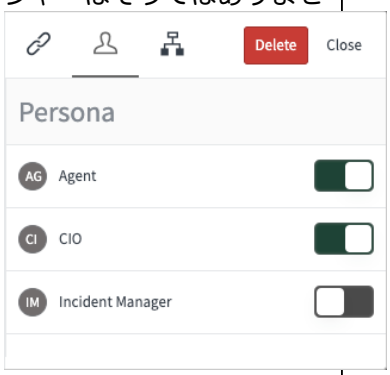
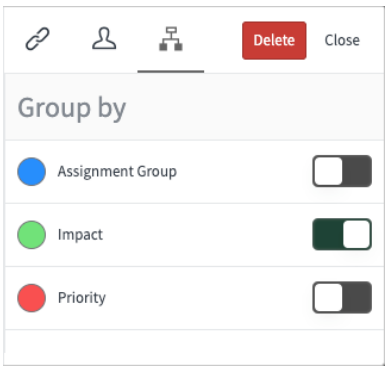


KPI コンポーザー ダッシュボードの詳細

各 KPI コンポーザー ダッシュボードモックアップは、プロジェクトペルソナまたは「グループ」カテゴリ、または既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを参照できます。

詳細	説明	例
PA ダッシュボード	既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードへのリンク。これは、ユースケースに対応する古いダッシュボードにすることも、この KPI コンポーザー 設計に基づいて作成した新しいダッシュボードにすることもできます。作成時にダッシュボードをリンクすること	この画像では、既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードが「インシデント」という単語でフィルタリングされていることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細	説明	例
	で、プロジェクトのステータスを追跡できます。	
ペルソナ	最終的なダッシュボードを表示する予定のペルソナ。現在プロジェクトにリンクされているペルソナから選択します。ペルソナをプロジェクトに追加する方法については、「プロジェクトへのペルソナの追加」を参照してください。 ペルソナをダッシュボードモックアップにリンクすると、それらのペルソナに関連付けられている [アナリティクス] タブのアーティファクトのみが使用可能になります。	この画像では、エージェント、CIO、およびインシデントマネージャーのペルソナがプロジェクトにリンクされています。エージェントと CIO のペルソナはダッシュボードにリンクされています。インシデントマネージャーはそうではありません。 
グループ	ダッシュボードに配置するすべてのウィジェットを、1 つ以上のブレークダウン定義でグループ化します。(結果のデザインは、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンダッシュボード用です)。プロジェクトに対して現在選択されているブレークダウン定義から選択します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「ブレークダウン定義別のグループデータ」を参照してください。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度ブレークダウンの定義をプロジェクトのダッシュボードで使用できます。ダッシュボードのデータは、影響度別にのみグループ化されます。 

関連トピック

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードへのタブと行の追加

KPI コンポーザーのダッシュボードモックアップでは、ビジュアルコンポーネントを追加する前にタブと行をレイアウトする必要があります。

始める前に

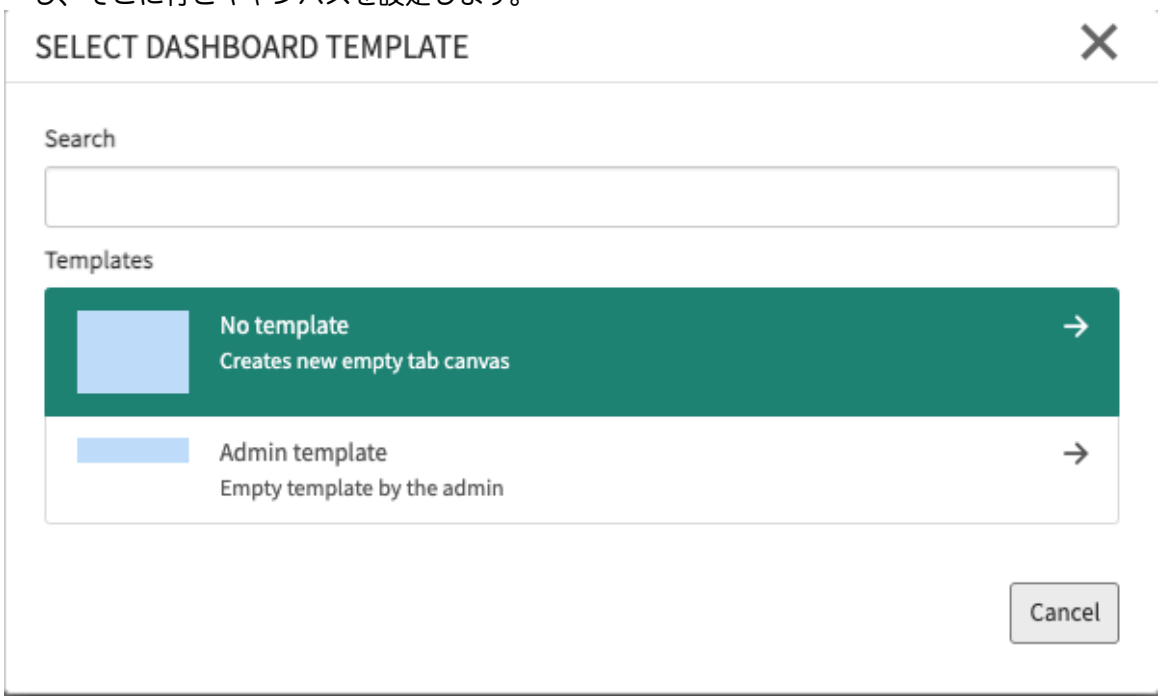
[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI コンポーザー プロジェクトがある。[ダッシュボードの可視化] タブでも少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されています。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

手順

1. を開く **KPI** コンポーザー プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
2. タブでいずれかのダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボードの下にある [+] アイコンをクリックして。

4. いずれも：
   - タブテンプレートを選択します。タブは、テンプレートから継承された名前、行、およびキャンバスで作成されます。行やキャンバスを追加する必要はありませんが、手持ちのものを編集することはできます。
   - [テンプレートなし] を選択します。この手順の残りの部分で説明するように、空のタブを作成し、そこに行とキャンバスを設定します。



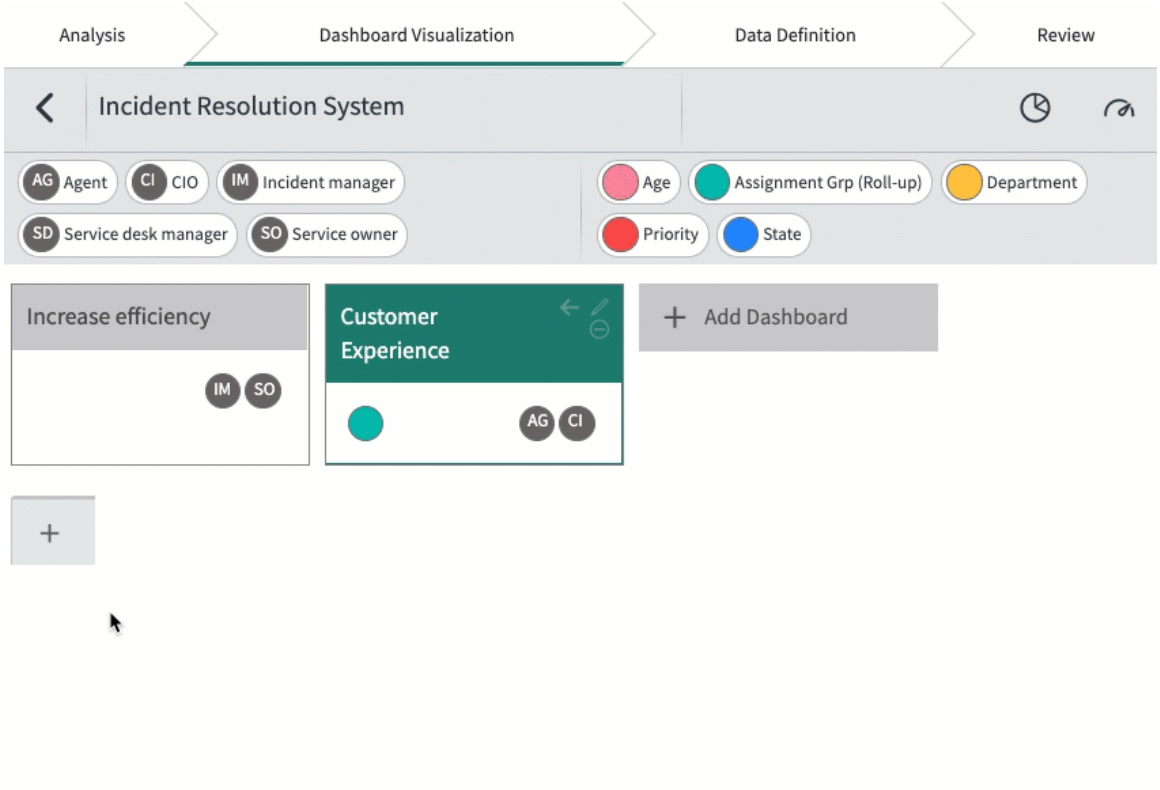
5. タブに、おそらく下位レベルの重要成功要因と一致するわかりやすい名前を付けます。
6. [行の追加] をクリックします。
   行は水平方向のデザイン領域です。各タブに少なくとも 1 つの行を追加します。
7. [行の詳細] ダイアログで、行内のキャンバスの数を選択します。
   ここでの「キャンバス」という用語は、ウィジェットを保持し、アーティファクトを参照するスペースを指します。行に水平に配置するキャンバスの数を決定します。キャンバスは最大 3 つ選択できます。この番号を変更するか、後で行を移動できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのタブと行の追加

次の短いアニメーションでは、カスタマーエクスペリエンスダッシュボードのモックアップに [サービス品質] タブを追加するユーザーの様子が示されています。ユーザーは、このタブの最初の行に 3 つのキャンバスを提供します。



す。

次のタスク
この手順に従って、行またはタブを追加します。または、作成した行にキャンバスを追加し、後で戻ってタブや行を追加することもできます。

キャンバスをダッシュボードタブに追加する

アナリティクスアーティファクトとウィジェットを組み合わせて、 KPI コンポーザー ダッシュボードのモックアップ上にキャンバスと呼ばれるビジュアルコンポーネントを作成します。「ウィジェット」には、レポート、インタラクティブフィルター、スポットライト、およびコンテンツブロックが含まれます。

始める前に
[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI コンポーザー プロジェクトがある。[ダッシュボードの可視化] タブでも少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されています。最後に、これらのダッシュボードの 1 つに少なくとも 1 つのタブがあり、少なくとも 1 つの行が含まれています。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

前提条件

ダッシュボードを追加

手順

1. を開く **KPI** コンポーザー プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
2. タブでいずれかのダッシュボードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

少なくとも 1 つのタブと空のキャンバススロットがある行があるダッシュボードを選択します。

3. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にある [アーティファクト] アイコン ( ) を展開します。
4. キャンバススロットに表示するアーティファクトを選択し、アーティファクトをスロットにドラッグします。
これらの アーティファクトは、以前に [分析] タブの KPI ツリーで定義しています。

   複数のアーティファクトを同じキャンバススロットにドロップできます。キャンバススロットにウィジェットを追加した後で、アーティファクトをキャンバススロットにドロップすることもできます。ただし、コンテンツブロックまたはインタラクティブフィルターウィジェットを含むキャンバススロットにアーティファクトをドロップすることはできません。

   アーティファクトを名前のないキャンバスにドラッグすると、アーティファクトの名前がキャンバスに付加されます。追加のアーティファクトをキャンバスにドラッグしても、名前は変更されません。

   ダッシュボードプロパティでペルソナを選択した場合は、それらのペルソナにリンクされているアーティファクトのみを使用できます。

5. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にあるウィジェットアイコン ( ) を展開します。
6. 以前に選択したアーティファクトのデータを表すウィジェットを決定し、同じキャンバススロットにドラッグします。
ウィジェットのデザインでは、実際のデータの可視化ではなく、静的な画像が使用されます。

   インタラクティブフィルターウィジェットは、同じダッシュボード上にあるレポートウィジェットにのみ影響します。

   スポットライトの「ウィジェット」は、通常、ダッシュボード上のレポートではなく共有 URL を介してアクセスされるスポットライトのインタラクティブ分析を表します。詳細については、「スポットライト対話型分析」を参照してください。

   キャンバス上のウィジェットを置き換えるには、別のウィジェットをその上にドラッグします。元のウィジェットのタイトルは、コンテンツブロックに置き換えない限り、そのまま残ります。ウィジェットを置き換えても、キャンバスに関連付けられたアーティファクトには影響しません。

   ウィジェットをドラッグすると、[キャンバスの詳細] ダイアログが開きます。
7. 次のようにキャンバスの詳細を入力します。

   注: 既存のウィジェットのキャンバスの詳細を変更するには、キャンバス上の鉛筆アイコン

   ( ) をクリックします。このアイコンは、キャンバスの右上隅をポイントすると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
ウィジェットタイプ	アーティファクトを表すウィジェットのタイプを選択します。既にウィジェットタイプを選択している場合は、そのタイプを変更できます。他のフィールドは、選択したウィジェットタイプによって異なります。
タイトル	ア サイン先グループあたりのインシデントの割合など、わかりやすいタイトルを入力します。
説明	式インジケーターに基づくウィジェットなどの内部使用のウィジェットに関する情報 ア サイン先グループ別のオープン中のインシデントの割合 . このエントリはウィジェットには表示されません。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ	要素を最もよく表す可視化を決定します。
要素をフォロー	このウィジェットが、ビューアーが パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンダッシュボードで選択したブレークダウン要素に従うかどうかを設定します。
時系列	日次、週次、または月次増分で結果を表示します。
測定	このウィジェットで測定されたアーティファクト。このフィールドでは、[測定] だけでなく、任意のアーティファクトを選択できます。
PA ウィジェット	このモックアップウィジェットに一致する既存の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを選択します。詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

コンテンツブロックウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
コンテンツブロック	既存のコンテンツブロックから選択します。詳細については、「 コンテンツブロック」 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブフィルターウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
UI コントロールタイプ	インタラクティブフィルターの UI スタイルを選択します。
インタラクティブフィルター	既存のインタラクティブフィルターを選択します。詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください

レポートウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ	要素を最もよく表す可視化を決定します。
インタラクティブフィルターに従う	ダッシュボードのインタラクティブフィルターでレポートをフィルタリングできるかどうかを設定します。[はい] を選択した場合は、インタラクティブフィルターウィジェットも含めます。
測定	このレポートに表示される測定アーティファクトを選択します。
レポート	既存のレポートを選択します。詳細については、「レポートの作成」を参照してください

スポットライトウィジェットのキャンバスの詳細オプション

フィールド	コンテンツ
測定	このレポートに表示される測定アーティファクトを選択します。
スポットライトグループ	既存のスポットライトグループを選択します。詳細については、「 スポットライトによるレコードのランキング」を参照してください。

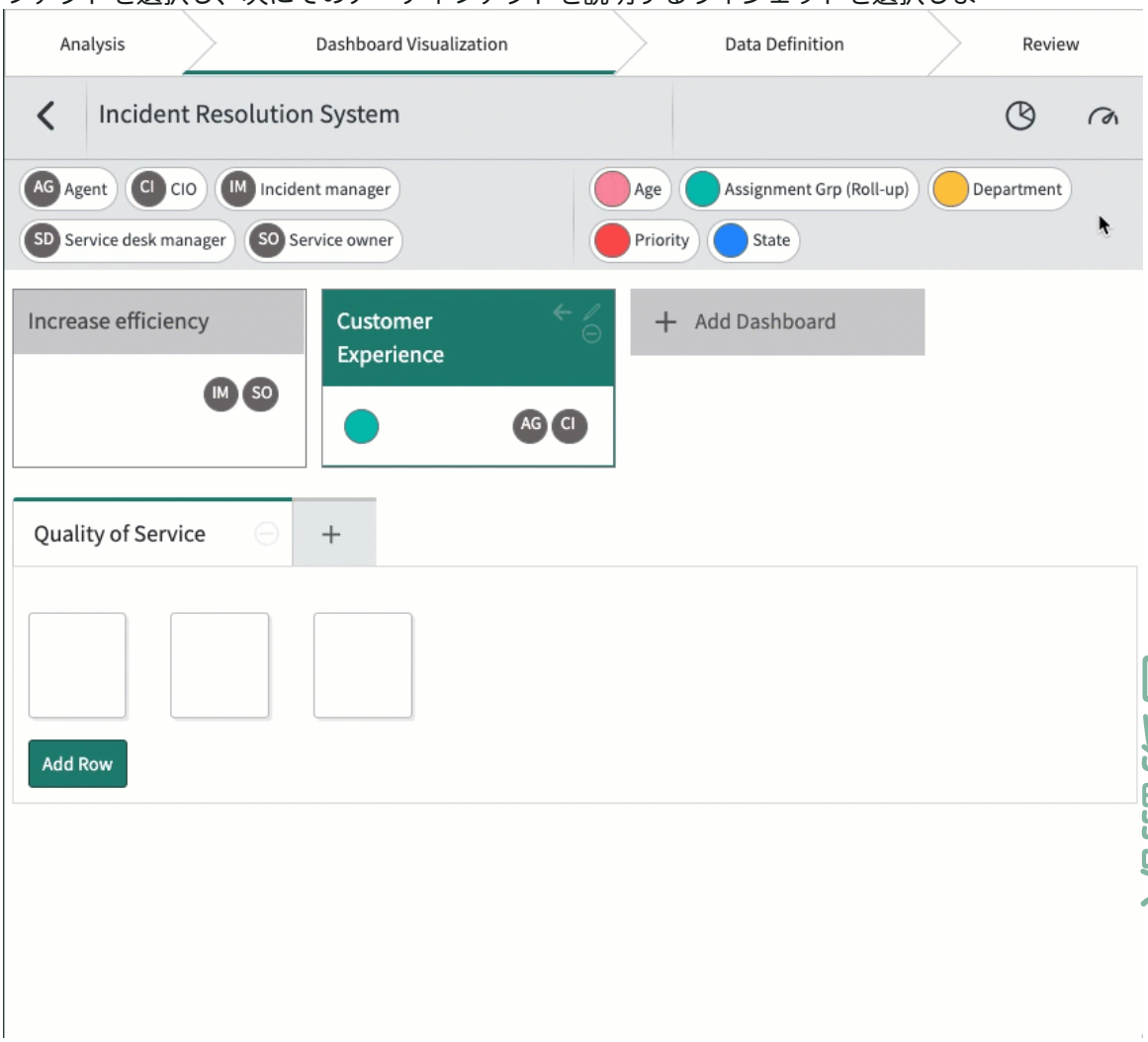
結果
分析からの アーティファクトと、ダッシュボード上にそのアーティファクトを説明するための可視化があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのキャンバスの追加

注: この短いアニメーションでは、カスタマーエクスペリエンスダッシュボードの [Quality of Service] タブにキャンバスが追加されています。ユーザーはまず KPI ツリーからアーティファクトを選択し、次にそのアーティファクトを説明するウィジェットを選択します。

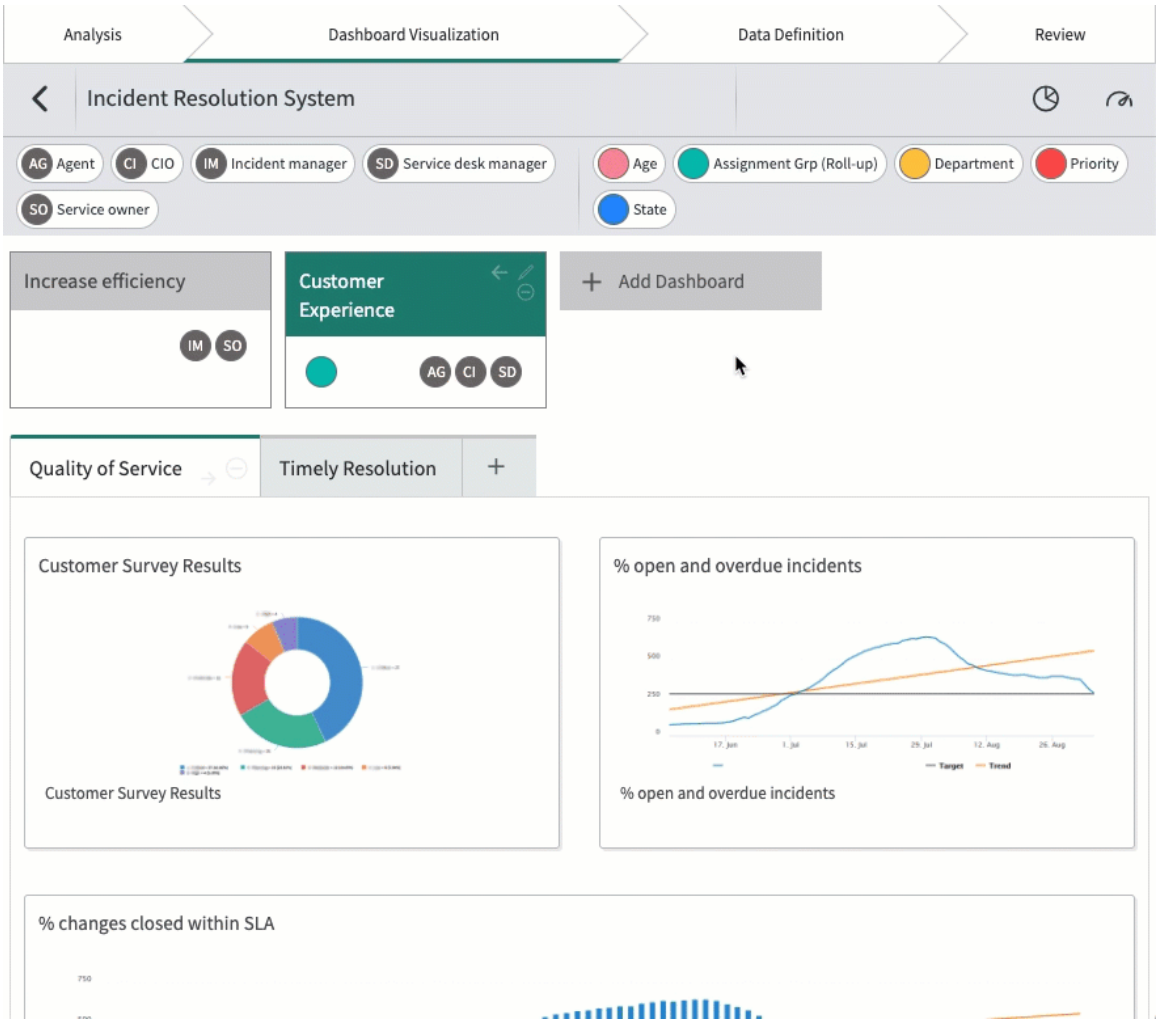


次のタスク

ダッシュボードに入力すると、アーティファクトバナーの行の順序、ウィジェットの順序、またはウィジェットのタイトルを変更できます。次の短いアニメーションは、ダッシュボードコンポーネントを移動する方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードタブテンプレートの作成

ダッシュボードのタブデザインを再利用するには、そのタブからテンプレートを作成します。

始める前に

キャンバスが入力されたタブを使用してダッシュボードを作成します。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーにはロールは必要ありません。

前提条件

ダッシュボードを追加

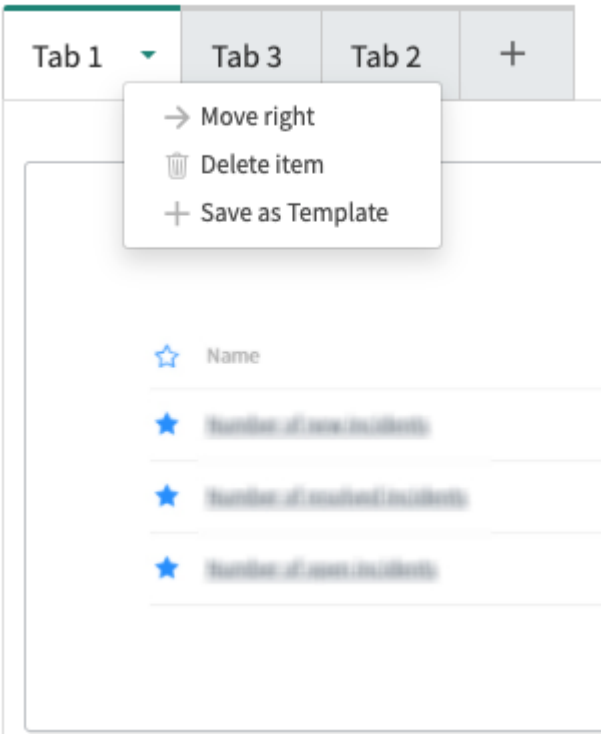
ダッシュボードへのタブと行の追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードタブのメニューを開き、[テンプレートとして保存] を選択します。



2. テンプレートにわかりやすいタイトルと説明を付けます。

3. [Save (保存)] を選択します。

結果
ダッシュボードに新しいタブを作成するために使用できる個人用テンプレートが作成されました。このテンプレートは編集できません。

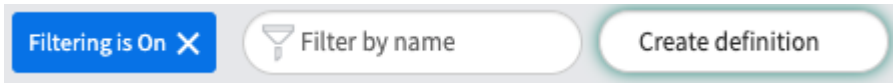
次のタスク
このテンプレートを他のユーザーが利用できるようにするには、 KPI コンポーザー アドミンにテンプレート のグローバル 値を `true` に設定するように依頼してください **KPI** コンポーザー > ダッシュボードタブテンプレート.

インジケーターとレポートの定義

[KPI コンポーザー データ定義] タブで、分析中に定義したアーティファクトをさらに指定し、それらをインジケーターおよびレポート定義にリンクします。

[データ定義] タブを開くと、[分析] タブで定義したのと同じ KPI ツリーが表示されます。ペルソナとブレークダウン定義を含むヘッダーと、新しいアーティファクトを含むフッターが表示されなくなりました。

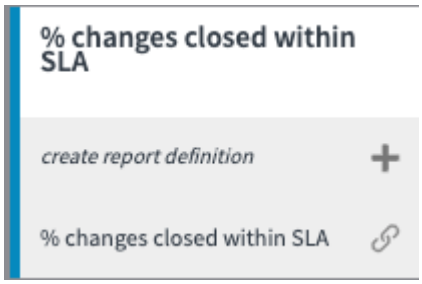
ダッシュボード可視化の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、インジケーター定義を参照する必要があります。レポート ウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、レポート定義を参照する必要があります。アーティファクトは、インジケーターとレポート定義の両方に関連付けることができます。定義がない場合は、クリック可能なプラス記号「+」が、定義を作成するためのメッセージとともに表示されます。アーティファクトがいずれかの定義にリンクされている場合は、各定義を開くためのハイパーリンクがあります。[定義を作成] でフィルタリングすると、定義がないアーティファクトの概要をすばやく把握できます。



自動翻訳

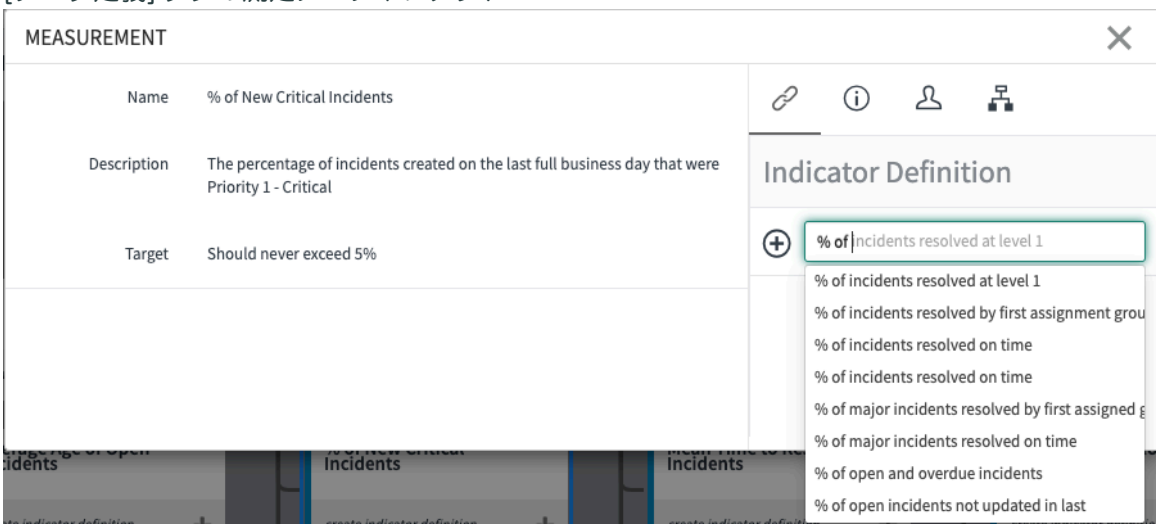
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、レポートとインジケーター定義の両方を必要とする測定アーティファクトを示しています。「SLA 内でクローズされた変更の割合」という名前のアーティファクト定義がリンクされています。アーティファクトにはまだレポート定義が必要です。



新しい定義を作成する前に、適切な定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックしてそのプロパティを開きます。[分析] タブに設定したプロパティの読み取り専用ビューが表示されます。アーティファクトを既存のインジケーターやレポート定義にリンクできます。入力を開始して、一致する定義のリストを入力します。既存の定義をリンクする方が、インジケーターまたはレポート定義レコードよりもプロパティダイアログの方が簡単です。

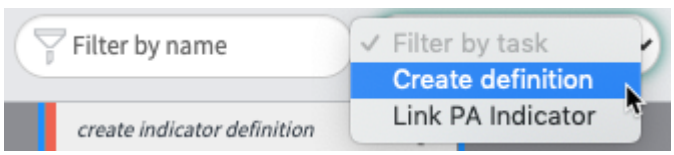
[データ定義] タブの測定アーティファクト



フィルタリング

[データ定義] タブでは、次のフィルターオプションを使用できます。

- 名前でフィルタリング:アーティファクト名に表示される 1 つ以上の単語でフィルタリングする場合
- タスクでフィルター
- インジケーターまたはレポート定義が必要かどうかでフィルタリングするための定義を作成します
- リンク PA インジケーター: パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクされていないインジケーター定義を持つアーティファクトでフィルタリングする場合



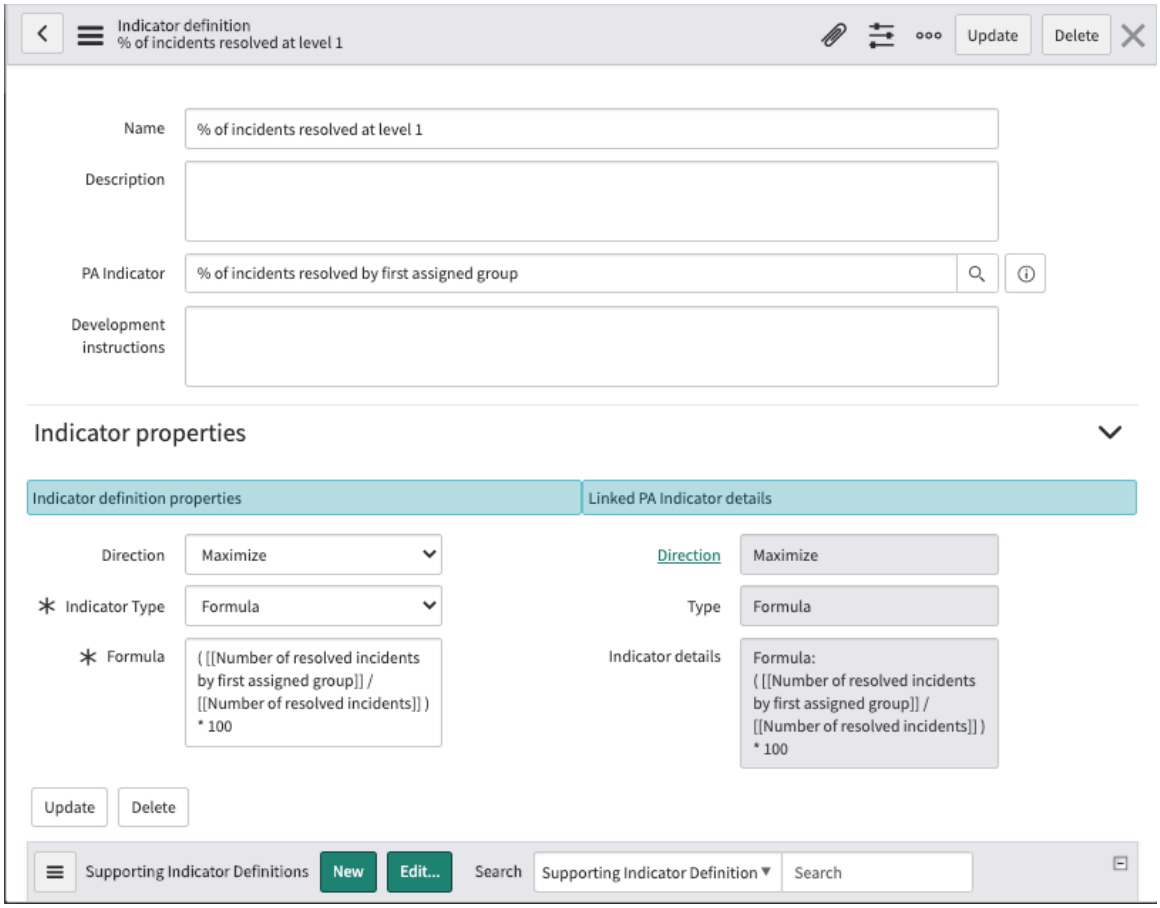
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター定義

インジケーター定義には、特定の パフォーマンスアナリティクス インジケーターを開発する方法の説明が含まれています。インジケーター定義自体は パフォーマンスアナリティクス インジケーターではありません。このインジケーター定義は、KPI ツリーの機能指向のアーティファクトと、パフォーマンスアナリティクス でのインジケーターの技術的実装を橋渡しします。

適切なインジケーター定義が存在しない場合は、アーティファクトタイルの [インジケーター定義の作成] リンクをクリックします。インジケーターに必要なプロパティを指定します。また、用意されたフィールドに開発手順を記述します。自動インジケーターを定義する場合は、インジケーターソースのファクトテーブルを指定します。また、インジケーター自体またはインジケーターソースの条件についても説明します。条件ビルダーの形式に従うのではなく、定性的に条件を記述できます。式インジケーターを定義する場合は、その貢献 インジケーターの定義を追加します。

適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターが存在する場合は、インジケーター定義でそのインジケーターへのリンクを追加できます。リンクされたインジケーターの技術的な詳細を確認できます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを正確に再現するか、変更されたバージョンを指定します。

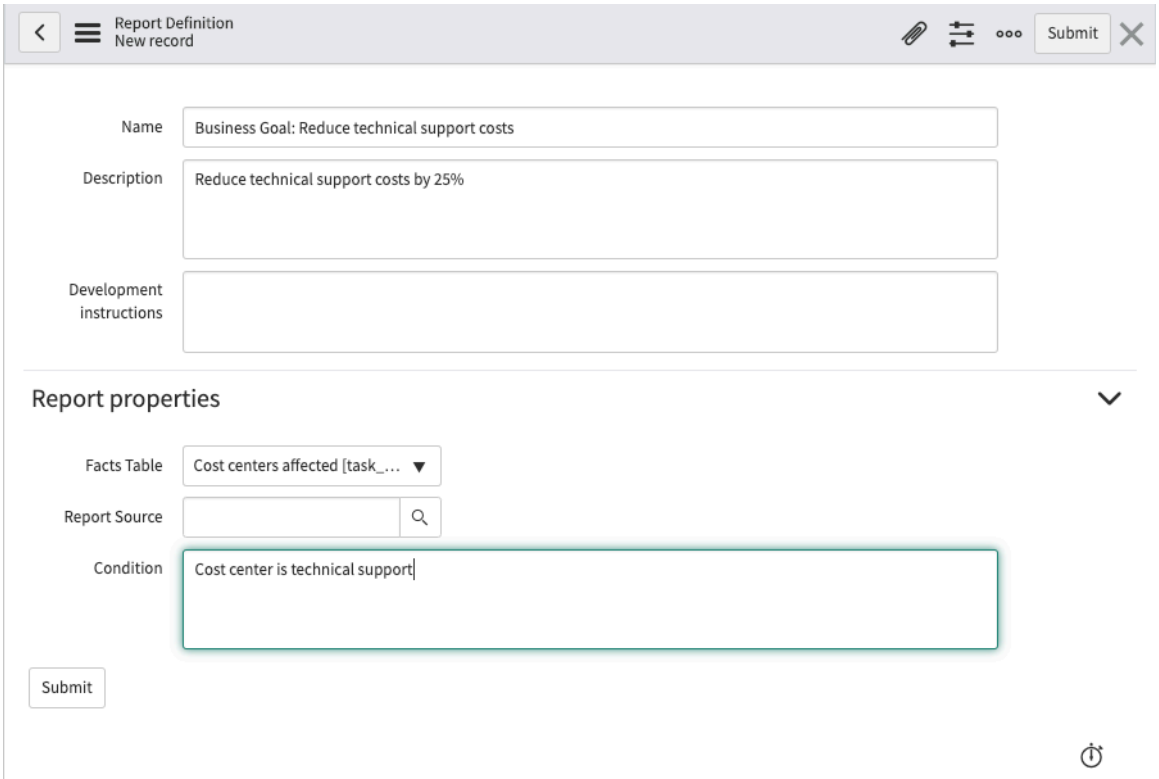


レポート定義

レポート定義には、レポートを作成するための説明が含まれています。重要な情報は、任意の条件とともにファクトテーブルまたはレポートソースです。条件を記述するときに技術的な形式に従う必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター定義の作成

[データ定義] タブの関連アーティファクトから、新しい KPI コンポーザー インジケーター定義を直接作成できます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを作成するために必要な情報をインジケーター定義に入力します。

始める前に

既存のものがある KPI コンポーザー プロジェクト [アナリティクス] タブに KPI ツリー の完全なドラフトが表示されます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターに関する技術的な知識も必要です。

必要なロール: パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能の場合は sn_kpi_composer.user。責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターへのリンクを除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられているかどうかに関係なく、プロジェクト内のすべてのアーティファクトに対してインジケーター定義を作成できます。1 つのアーティファクトに複数のインジケーター定義を追加することはできません。ただし、アーティファクトを式インジケーターにリンクすると、式内のすべての 貢献インジケーター に自動的にリンクされます。

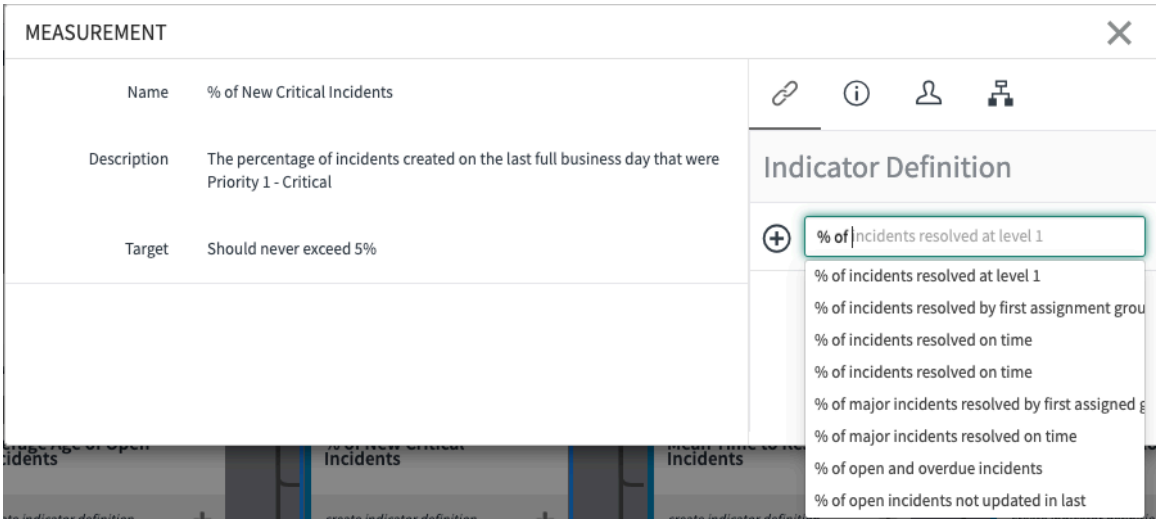
手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. インジケーターを定義するアーティファクト (おそらく測定) を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント: インジケーター定義の作成を続行する前に、適切なインジケーター定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックしてそのプロパティを開きます。次に、使用可能なインジケーター定義のリストを参照します。

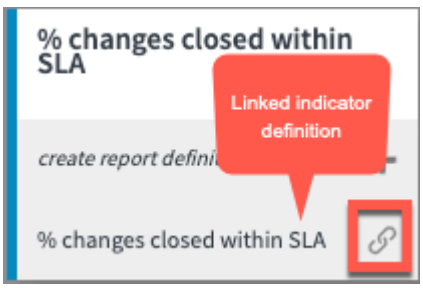


4. プラス記号「+」を選択します。
5. **[PA** インジケーター] フィールドで、このインスタンスの既存のパフォーマンスアナリティクスインジケーターを検索して、このインジケーター定義に一致するインジケーターがあるかどうかを確認できます。
パフォーマンスアナリティクスインジケーターを選択すると、そのプロパティは [リンクされた PA インジケーターの詳細] 列に読み取り専用で表示されます。この情報は、リンクされたインジケーターに基づいてインジケーター定義を作成するのに役立ちます。

   注: sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

   インジケーターは名前でのみ検索できます。

   リンクアイコンは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクされているインジケーター定義の名前の横にアーティファクトに表示されます。



6. [開発手順] フィールドに、フォームの残りの部分にない開発者向けの情報を入力します。
開発手順の情報は、社内の開発者のみが使用するためのものです。[説明] フィールドにインジケーターの詳細を入力することもできます。[説明] フィールドの情報は、結果のパフォーマンスアナリティクスインジケーターの [説明] フィールドに複製されます。
7. インジケーターの 方向 を決定します。

値	ユースケース
最大化	このインジケーター スコアの増加が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示す

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

値	ユースケース
	るインジケーターには [最大化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの増加が良いことであり、減少することが悪いことであることを反映しています。
最小化	このインジケーター スコアの減少が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最小化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの減少は良いことであり、増加することは悪いことであることを反映しています。
なし	このスコアの変更の方向が、ビジネスにとって重要でない場合に選択します。

8. 自動、式、手動のいずれのインジケーターがアーティファクトの情報を最もよく表しているかを決定します。

インジケータータイプ	説明
オートメーション	自動インジケーターは、インジケーターソースをデータセットとして使用します。インジケーターソースは、テーブルまたはデータベースのビュー、そのソースからのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。
計算式	式インジケーターを作成して、1 つ以上の他のインジケーターから新しい計算済みスコアを生成します。インジケータースコアに加えて、インジケータースコアとインジケーターターゲットの間のギャップなどの計算を式に含めることができます。
マニュアル	手動インジケーターは、インジケーター ソースに関連付けられていません。手動インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加することで、これらのインジケーターに入力します。 手動インジケーターは通常、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。データが第三者の営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。

9. 残りのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 手動インジケーターを定義する場合は、さらに情報を追加する必要はありません。
- 式インジケーターを定義する場合は、式の作成方法を パフォーマンスアナリティクス アドミニストレーターに明確に説明します。実際の式インジケーターの JavaScript 構文を使用する必要はありません。
- 自動インジケーターを定義する場合は、次の情報を含めます。

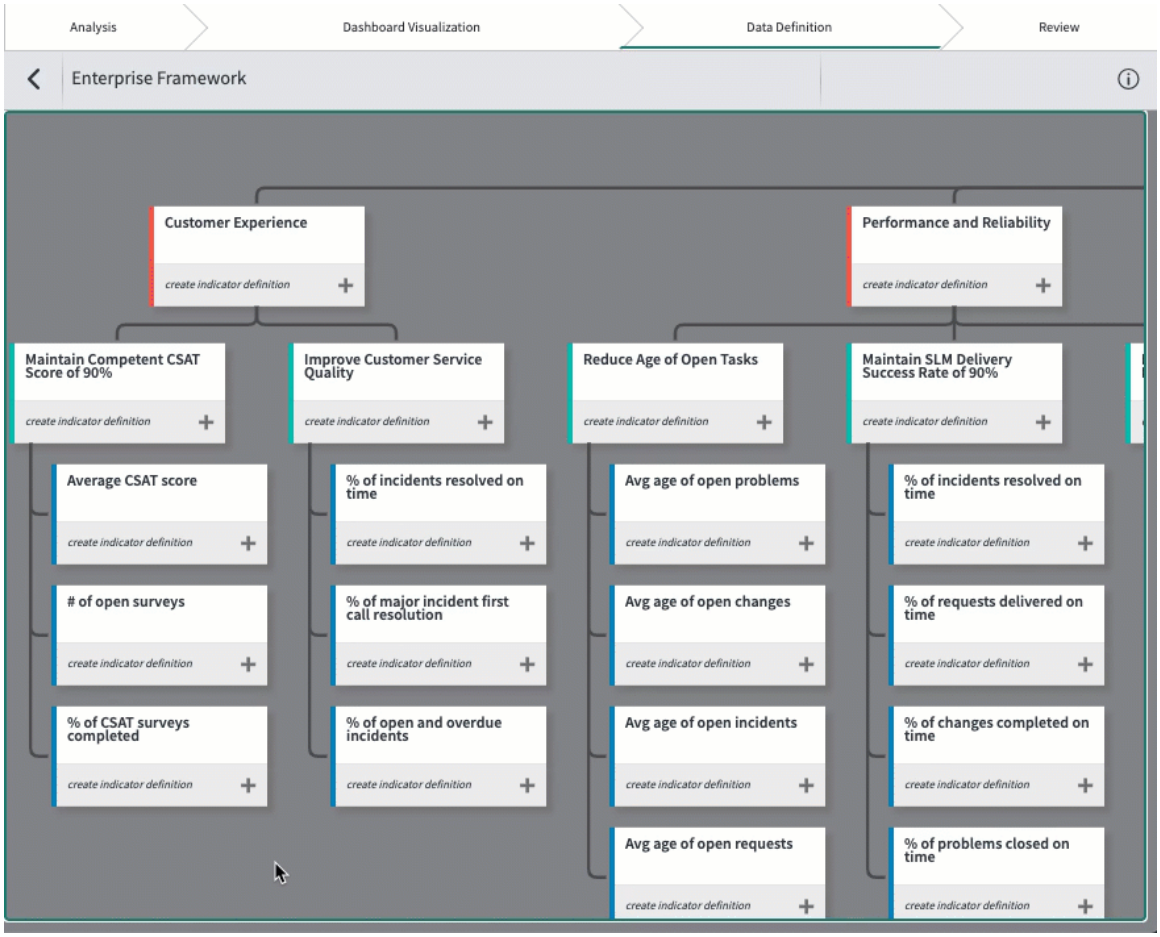
フィールド	説明
集計	インジケーターソースからのデータに適用する集計関数。
周期	データ収集の予想周期性。通常、インジケーター頻度はインジケーターソースの「有効な頻度」の値と一致します。
ファクトテーブル	インジケーターソースが参照するテーブル。
条件	ファクトテーブルからレコードをフィルタリングするための条件のテキスト説明。条件ビルダー構文を使用する必要はありません。

10. [送信] をクリックするか、サポートインジケーターを定義する場合は、コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。

Example: インジケーター定義の作成

次の短いアニメーションでは、ユーザーは「重大なインシデントの最初のコール解決の割合」を測定するための式インジケーターを定義しています。このインジケーターは、同様のパーセンテージを計算する既存の PA インジケーターに基づいていますが、優先度ではフィルタリングされません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連トピック

- 自動インジケーター
- インジケーターソース
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

貢献インジケーターの追加

KPI コンポーザー でインジケーター定義を作成した後、その定義に貢献インジケーターを追加できます。式インジケーター定義では、式に 1 つ以上の他のインジケーターが含まれており、貢献インジケーターが完了している必要があります。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI コンポーザー プロジェクトがある。このプロジェクトには、他のインジケーターへの参照を必要とするインジケーター定義が少なくとも 1 つあります。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターに関する技術的な知識が必要です。

必要なロール:インジケーター定義の作成と同じです

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ定義] タブの関連するアーティファクトで、インジケーター定義名をクリックしてインジケーター定義を開きます。

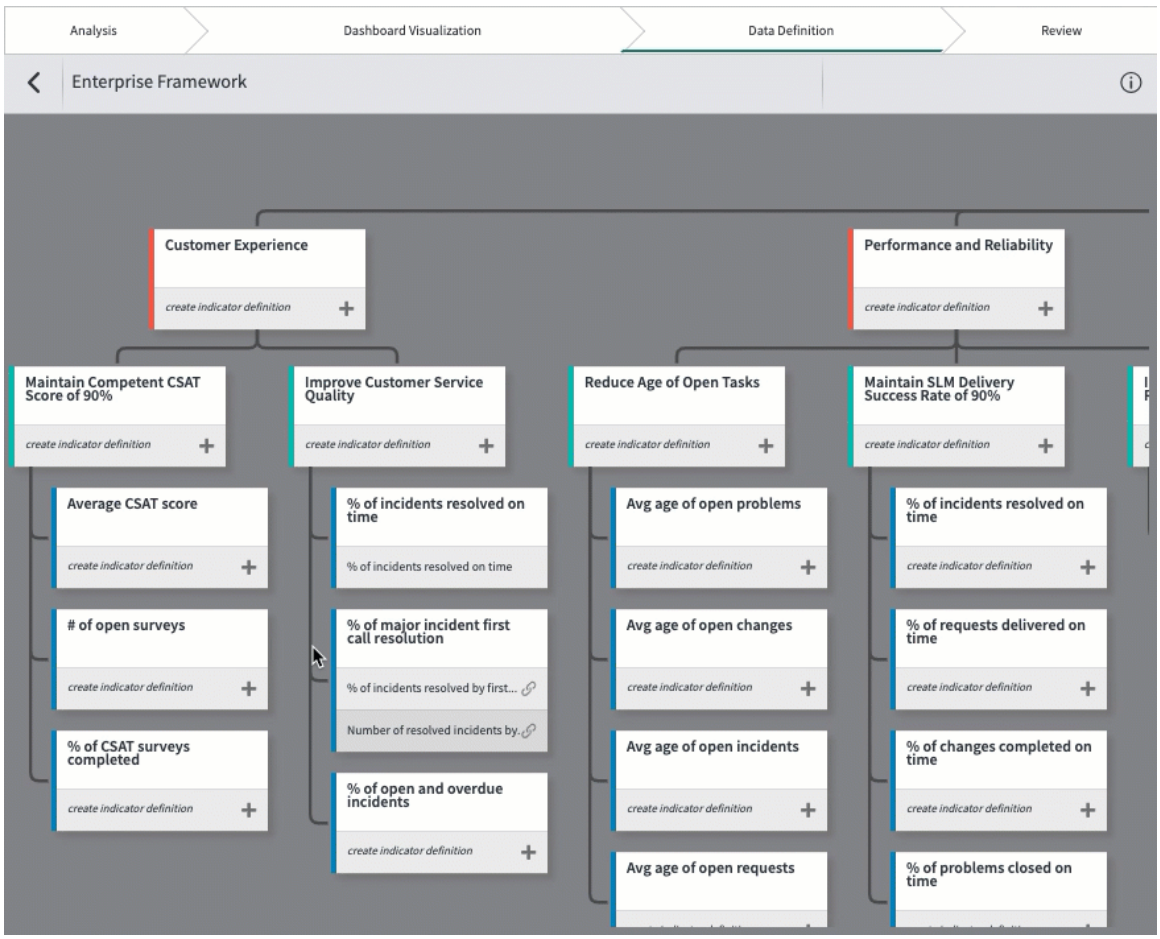
2. [サポートインジケーター定義] 関連リストで、次のいずれかのボタンをクリックします。
   - [新規] をクリックして、新しいインジケーター定義を作成します。インジケーター定義の作成と同じ手順に従います。
   - [編集] をクリックして、このプロジェクトの既存のインジケーター定義のリストを開きます。インジケーターは必要な数だけ選択できます。

   インジケーターが重複しないように、新しいインジケーター定義を作成する前に既存のインジケーター定義を検索します。

結果
変更を保存すると、[データ定義] タブのアーティファクトには、メインインジケーター定義の下に貢献 インジケーター 定義が背景が暗くなります。

Example: 貢献インジケーターの追加

この例では、貢献インジケーター [解決済みインシデントの数] が、重大なインシデントの最初の応対での解決の割合アーティファクトに追加されます。このインジケーターは、既存のインジケーター定義と一致します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート定義の作成

[データ定義] タブの関連するアーティファクトから、新しい KPI コンポーザー レポート定義を直接作成できます。レポート定義に、レポートの作成に必要な情報を入力します。

始める前に

既存のものがある KPI コンポーザー プロジェクト [アナリティクス] タブに KPI ツリー の完全なドラフトが表示されます。レポートに関する技術的な知識も必要です。

必要なロール:既存のレポートにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能の場合は sn_kpi_composer.user。責任ユーザーおよび編集アクセス権を持つユーザーは、既存のレポートへのリンク以外の機能も使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI** コンポーザー をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. [レポート定義を作成] リンクがあるアーティファクトを見つけて、そのリンクを開きます。
   [ダッシュボードの可視化] タブのレポートウィジェットに関連付けられたアーティファクトにのみ、レポート定義を作成するためのリンクがあります。
4. レポートの名前と説明を入力します。
   デフォルトでは、レポート定義はそれを含むアーティファクトと同じ名前です。このデフォルト名は、そのアーティファクトのインジケーター定義のデフォルトと同じであるため、それらを区別することを検討してください。
5. [開発手順] フィールドで、レポートプロパティ以外に必要な技術情報を開発者に提供します。
   [説明] フィールドには、ユーザーの情報が含まれている必要があります。[開発手順] フィールドには、開発者の内部情報が含まれている必要があります。
6. ファクトテーブルまたはレポートソースのいずれかを選択します。
7. [条件] フィールドで、レポートのフィルタリング条件を記述します。
   条件ビルダー構文の代わりにプレーンテキストで条件を記述できます。

プロジェクトのレビュー

作成された KPI コンポーザー プロジェクトアーティファクトと計画された パフォーマンスアナリティクス コンポーネントの両方を要約します。プロジェクトのコンテンツを検証します。計画 パフォーマンスアナリティクス コンポーネントをビルドするタスクを生成します。

いつでも [レビュー] タブに移動して、完了した設計作業と保留中のパフォーマンスアナリティクス構成の最新情報を確認できます。

[レビュー] タブには、次の 4 つの情報ボックスが表示されます。

サマリー

[分析] タブで定義されたアーティファクトとペルソナの数を合計します。アイテムタイプをクリックすると、アイテムのリストが開きます。

PA アーティファクト

プロジェクト内のインジケーター定義とブレークダウン定義の数を表示します。アーティファクトタイプをクリックすると、それらのアーティファクトのリストが開きます。

プロジェクト検証

新しい定義を追加するか、既存の定義を編集した後、[データをリフレッシュ] をクリックします。次のレベルの問題が特定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 警告:重要成功要因はインジケーター定義にリンクされていません。
- エラー:測定がインジケーター定義にリンクされていないか、インジケーターまたはブレークダウン定義がファクトテーブルにリンクされていません。

タスク

プロジェクトで定義した パフォーマンスアナリティクス および レポート 要素を作成するためのタスクを生成して一覧表示します。詳細については、「KPI コンポーザーでのタスクの生成」を参照してください。

KPI コンポーザーでのタスクの生成

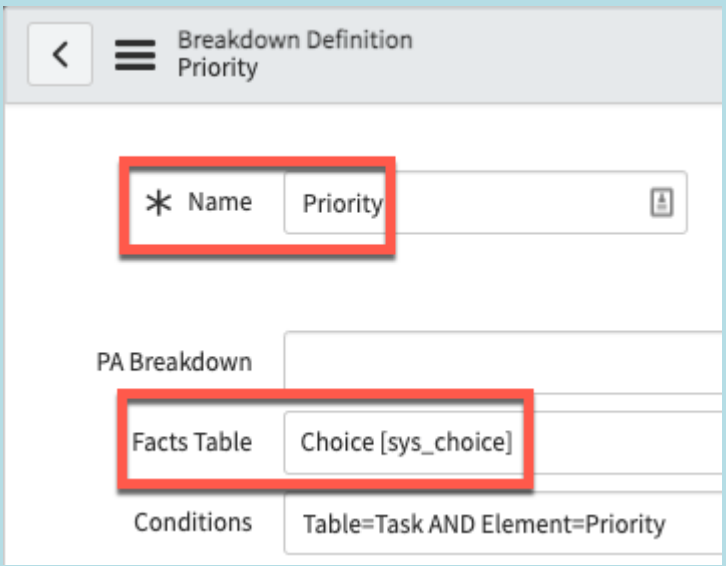
プロジェクト内の KPI コンポーザー アーティファクトごとに、タスクを生成して同等の パフォーマンスアナリティクス 要素を作成できます。すべてのタスクが 1 回のアクションで作成されます。タスクは、アナリティクス実装の担当グループに自動的にアサインされます。

タスクを生成して、KPI コンポーザープロジェクトの定義に基づいて次のパフォーマンスアナリティクスおよびレポート要素を作成できます。タスクは、次の順序で要素のタイプごとに生成されます。

- ブレークダウン
- 部下
- インタラクティブフィルター
- インジケーター
- ウィジェット
- スポットライトグループ
- コンテンツブロック
- ダッシュボード

重要: 要素を作成するタスクを生成するには、関連する KPI コンポーザー アーティファクト定義に必要なすべての情報が含まれている必要があります。たとえば、ブレークダウンまたは自動インジケーターを作成するタスクを生成するには、その定義で名前とファクトテーブルを指定する必要があります。

タスクに必要な情報を示す優先度ブレークダウンの定義



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI コンポーザータスクをアサイン

KPI コンポーザープロジェクトのタスクをグループにアサインします。デフォルトでは、タスクはアナリティクス実装者のアサイン先グループにアサインされます。このグループにユーザーとグループを追加することも、別のアサイン先グループを選択することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

このタスクについて

KPI コンポーザープロジェクトのすべてのタスクは、同じアサイン先グループにアサインされます。タスクを生成すると、グループは通常のワークフローでタスクを処理します。

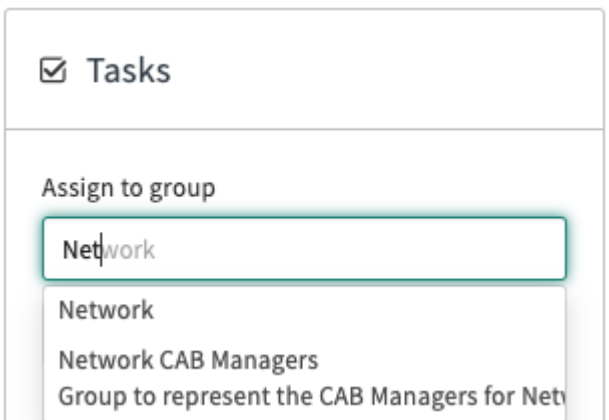
デフォルトでは、タスクは KPI コンポーザー で提供される [アナリティクス実装者] グループにアサインされます。このグループには、デフォルトで pa_admin ロールが含まれています。このグループに追加するすべてのユーザーには、このロールが付与されます。このグループへのアクセス元 ユーザー管理 > グループをクリックするか、[レビュー] タブの [タスク] タイルにある [アナリティクス実装者] リンクに従います。このグループを編集するには、user_admin ロールが必要です。このグループにユーザーを追加および削除する方法の詳細については、「 ユーザーグループの作成 」を参照してください。

アサイン先グループを変更するには、次の手順に従います。

手順

1. KPI コンポーザープロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. 現在のアサイン先グループの名前の横にある [クリア] アイコンを見つけて選択します。

5. アサイン先グループをクリアすることを確認します。
6. 必要なアサイン先グループの名前の入力を開始します。
   KPI コンポーザー は、予測される一致のリストを提供します。



7. グループを選択します。

次のタスク

タスクを生成して、選択したグループにアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクを生成

1 回のアクションで、十分に定義されたすべての KPI コンポーザー アーティファクトのタスクを生成します。

始める前に

- アナリティクス実装者グループにユーザーを入力します。
- KPI コンポーザープロジェクトの設計を完了します。必要なアーティファクトをすべて定義する必要があります。ただし、後で変更した場合は、タスクを再生成できます。タスクを再生成することは、タスクの完了を追跡する良い方法です。

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

手順

1. KPI コンポーザーに移動し、完全に定義されたプロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. [タスクを生成] を選択します。

結果

パフォーマンスアナリティクスおよびレポートのアーティファクトを作成するためのタスクを生成します。これらのタスクは、アナリティクス実装者のアサイン先グループに自動的にアサインされます。

次のタスク

自分が作成したタスクを表示します。[タスク] タイルには、アクティブなタスク、保留中のタスク、および完了したタスクへのリンクがあります。リンクをクリックすると、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] テーブルに移動します。

タスク定義レコード

KPI コンポーザー タスクは、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] レコードで定義されます。タスクを生成するときに、これらのレコードを作成するか、ステータスを更新します。

既存のタスク定義レコードには、[レビュー] タブの [タスク] タイルにあるリンクからアクセスできます。これらのリンクをクリックすると、次のようにフィルタリングされたレコードリストが表示されます。

リンク	フィルター
アクティブなタスク	• プロジェクト CONTAINS <プロジェクト名> • (作成、更新) のステータス • 依存関係を待機中 = false
保留中のタスク	• プロジェクト CONTAINS <プロジェクト名> • (作成、更新) のステータス • 依存関係を待機中 = true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リンク	フィルター
完了したタスク	• プロジェクト CONTAINS <プロジェクト名> • ステータス = OK

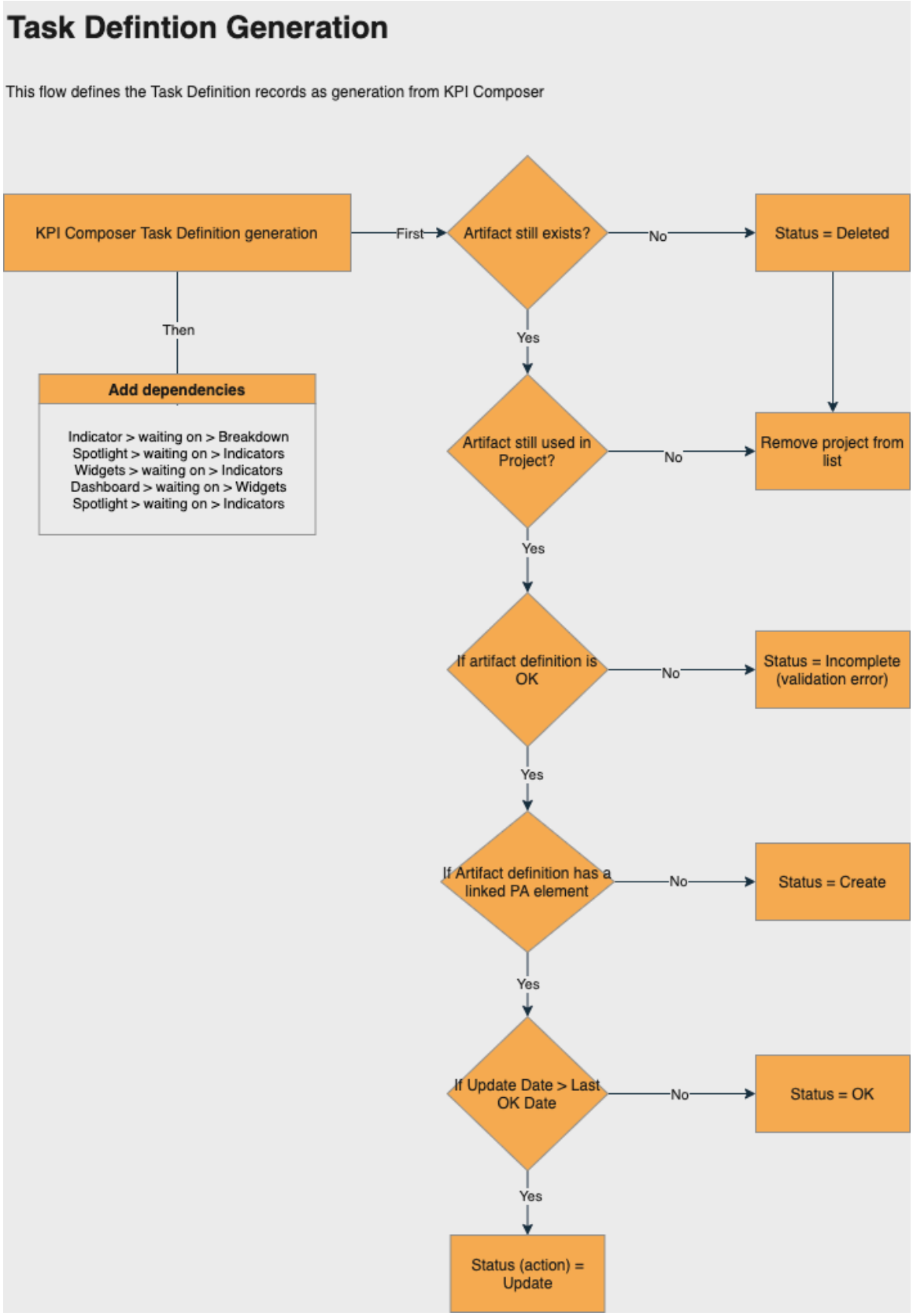
タスクステータス

タスクジェネレーターを実行すると、すべてのタスクのステータスが決定されます。タスク生成では、次のロジックを使用してタスクを作成し、そのステータスを設定します。

1. KPI コンポーザー アーティファクトはまだ存在しますか? 存在しない場合、ステータスは [削除済み] になります。
2. 既存の KPI コンポーザー アーティファクトに有効な定義がありますか? 該当しない場合、ステータスは [未完了] になります。
3. 有効なKPI コンポーザーアーティファクト定義は、パフォーマンスアナリティクスインジケーターや CMS コンテンツブロックなどの既存のServiceNow AI Platform要素にリンクされていますか? 該当しない場合、ステータスは [作成] です。
4. リンクされた要素が存在し、ステータスが以前に [OK] に設定されていた場合、アーティファクト定義は後で更新されましたか? その場合、ステータスは [更新] です。
5. それ以外の場合、リンクされた要素が存在する場合、ステータスは [OK] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アーティファクト更新の追跡

タスク生成では、ステータスが [OK] のタスク定義を含むすべてのタスク定義がチェックされます。タスクステータスが [OK] に設定された後にアーティファクト定義が変更された場合、次のタスク生成ジョブはタスクステータスを [更新] に変更します。変更がないかチェックされるアーティファク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ト定義のフィールドは、アーティファクトタイプによって異なります。他の関連するアーティファクトを変更すると、ステータスが [更新] に変更されることもあります。次の表に、フィールドと関連するアーティファクトを示します。

アーティファクト定義	フィールド	関連するアーティファクトの変更
ブレークダウン	条件	
	ファクトテーブル	
	名前	
インジケーター	集計	追加されたブレークダウン
	条件	削除されたブレークダウン
	方向	
	ファクトテーブル	
	計算式	
	周期	
	インジケータータイプ	
	名前	
レポート	集計	
	条件	
	説明	
	ファクトテーブル	
	名前	
	レポートソース	
	ソースタイプ	
インタラクティブフィルター	UI コントロールタイプ	
	タイトル	
	説明	
	インタラクティブフィルター	
PA ウィジェット	ウィジェットタイプ	
	ビジュアル化タイプ	
	タイトル	
	説明	
	要素をフォロー	
	時系列	
	アーティファクト	
スポットライト	タイトル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクト定義	フィールド	関連するアーティファクトの変更
	説明	
	アーティファクト	
ダッシュボード	名前	追加されたブレークダウン
	説明	削除されたブレークダウン
		変更されたキャンバスレイアウト:キャンバスの並べ替え/削除/追加

タスクフロー

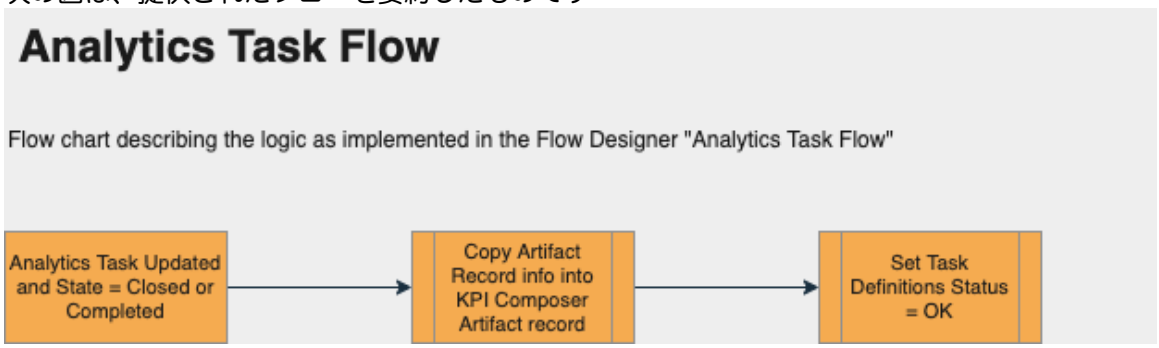
KPI コンポーザー タスクは、 ServiceNow AI Platform® フローデザイナーで作成されたフローを利用します。

KPI コンポーザー には、タスク状況間の移行を管理する 2 つのフローがあります。

- KPI コンポーザー:アナリティクスタスクフロー
- KPI コンポーザー - タスク定義フロー

これらのフローはどちらもフローデザイナーで変更できます。ただし、それらを直接変更するのではなく、フローをコピーしてコピーを変更する必要があります。コピーをアクティブにし、提供されたフローを非アクティブ化します。これを行うのは、 KPI コンポーザー の更新にフローの更新が含まれる可能性があるためです。提供されているフローを変更すると、それらのフローの更新が失敗することがあります。代わりに、更新後に、提供されたフローで変更を調べることができます。コピーしたフローにこれらの変更を組み込みます。

次の図は、提供されたフローを要約したものです

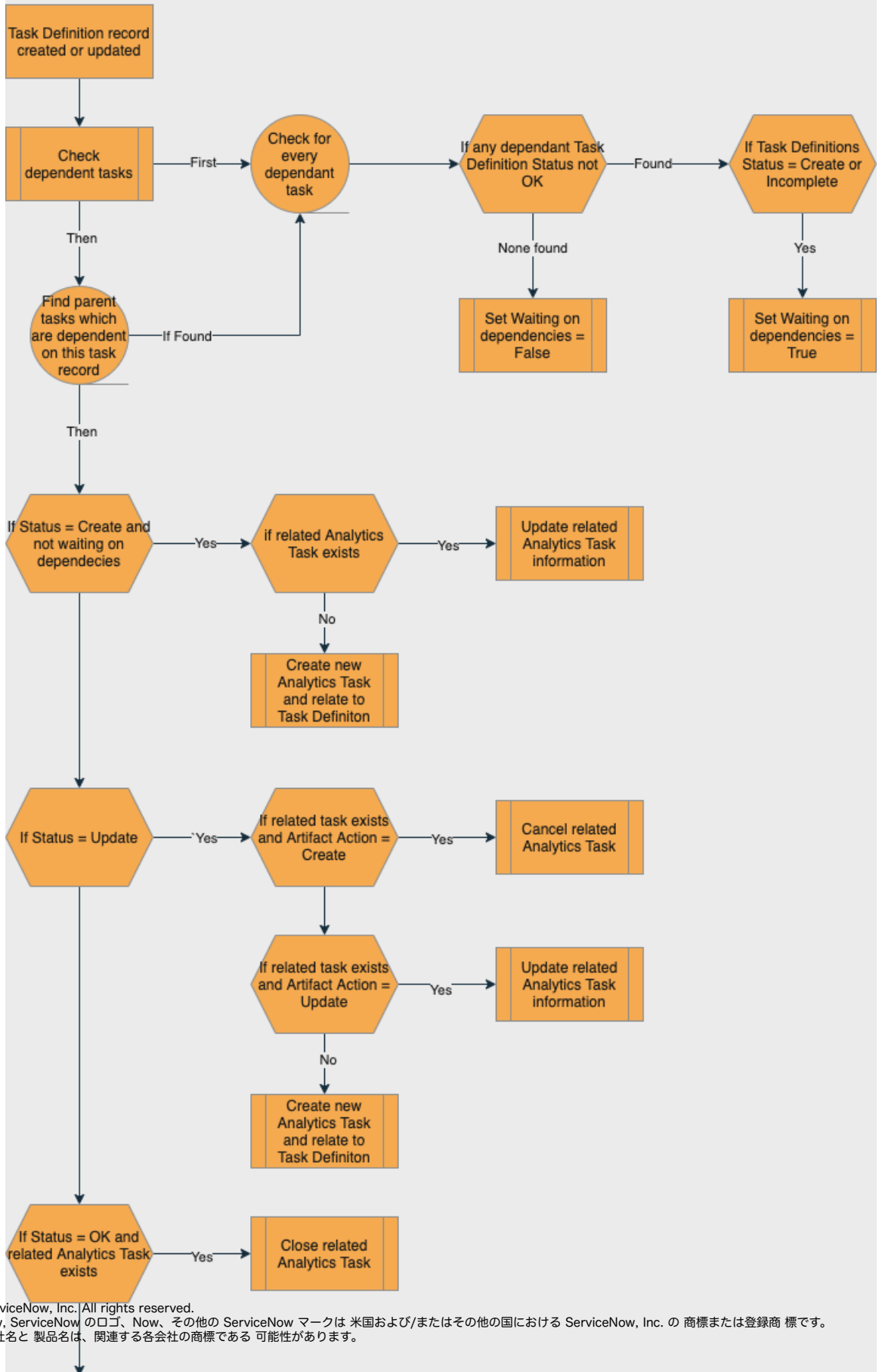


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Task Definition Flow

Flow chart describing the logic as implemented in the Flow Designer "Task Definition Flow"



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

フローデザイナー

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケーター (KPI) は、ビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。

https://player.vimeo.com/video/995194468?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

さまざまな種類のインジケーターとその作成方法の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化と KPI 詳細で表示または分析できます。コア UIで、アナリティクスハブまたはダッシュボードのウィジェットで表示します。

インジケーターソースに直接基づいているインジケーターは、最も一般的なタイプのインジケーターです。これらのインジケーターは 自動インジケーターと呼ばれます。他のインジケーターのスコアから式で計算されたインジケーターは、 式インジケーターと呼ばれます。スコアが手動で入力されるインジケーターは 、手動インジケーターと呼ばれます。手動インジケーターは、主にテスト目的で使用することを目的としています。最後に、高度な機能として、外部データソースからインジケーターを作成できます。

インジケーターの例については、 ベースシステムで提供されているオープンインシデント自動インジケーターの数を参照してください。このインジケーターは、毎日オープンになっているインシデントの数を測定し、これらの数値を経時的に保存します。KPI 詳細またはコア UI アナリティクスハブでインジケータースコアを調べることができます。pa_power_userロールを持っている場合は、[自動インジケーター] の下にインジケーターレコードが表示され、そのレコードからインジケーターソースに移動できます。

関連トピック

自動インジケーター

インジケーター (計算)

手動インジケーター

外部データとのパフォーマンス分析の使用

インジケーターを作成するためのワークフロー

ServiceNow AI Platformテーブルから始めて、ダッシュボードで共有できるスコア収集を使用して、完成したインジケーターに進んでいきます。

始める前に

KPI を作成する前に設計します。KPI コンポーザー を使用して、パフォーマンスアナリティクス で達成したいビジネス目標を決定することから始めます。ビジネスゴールごとに、そのゴールにとっての重要な成功要因を特定します。最後に、これらの重要な成功要因の進捗状況を確認するために行う必要がある測定を決定します。これらの測定値は、実装する必要がある KPI に対応しています。パフォーマンスアナリティクスソリューションの設計の詳細については、「 を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：なし

このタスクについて
必要な KPI がわかったら、インジケーターとブレークダウン、および必要に応じてそれらのデータソースの作成を開始できます。次のワークフローは、データベーステーブルからスコアを収集する KPI の実装である 自動インジケーターに適用 ServiceNow AI Platform 。(式インジケーターでは、操作を組み合わせて自動インジケーターに適用できることに注意してください。また、ServiceNow AI Platformデータベースをまったく参照しない手動インジケーターと外部インジケーターを使用することもできます)。

重要: パフォーマンスアナリティクスは、資格のある担当者が実装する必要があります。これで説明されているように、いくつかのトレーニングコースが利用可能です ServiceNow コミュニティ 記事 . このドキュメントは、トレーニングに代わるものではありません。

パフォーマンスアナリティクスの KPI の設計はトップダウンのプロセスですが、インジケーターの技術的な実装はボトムアップのプロセスです。

手順

1. 分析するデータがあるテーブルを特定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   KPI はどのテーブルを参照しますか? たとえば、KPI がインシデントに関するものである場合、情報はインシデント [incident] にあります。KPI が変更要求に関するものである場合、テーブルは変更要求 [change_request] です。KPI コンポーザー を使用して KPI を設計する場合は、この情報が既にあります。

2. KPI に関連するレコードのサブセットを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   ほぼ確実に、テーブルのすべてのレコードを参照する KPI はありません。代わりに、オープンインシデントの数、少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデント、オープンした日に解決されたインシデントなど、レコードのサブセットを参照する KPI があります。テーブルごとに、レコードの関連サブセットを定義するために使用できる条件 (「オープン」、「少なくとも 1 回再アサインされた」、「解決済み」、「オープン日に解決済みのステータス>」など、メモします。

   繰り返しになりますが、 KPI コンポーザー を使用して KPI を設計する場合は、この情報はすでにあります。

3. KPI に関連するレコードのサブセットを定義する条件に基づいて、必要なインジケーターソースを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   インジケーターソースは、ServiceNow テーブルと、そのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。インジケーターソースはできるだけ少なくする必要があります。この倹約の主な理由は効率です。データ収集では、各インジケーターではなく、インジケーターソースを共有するインジケーターのセットをデータベースに対してクエリします。インジケーターソースの数を最小限に抑えることは、インジケーター全体で信頼できる唯一の情報源を維持するのにも役立ちます。条件を変更する必要がある場合は、インジケーターソースで条件を変更し、この変更を関連するすべてのインジケーターに自動的に反映できます。

   インジケーターソースを設計するときに複数のインジケーターに適用できる一般的な条件を探します。次の KPI を考慮してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オープンなインシデントの数。
- 1 回以上再アサインされたオープンインシデントの数。
- 30 日以上オープンになっているインシデント。
- 「解決済み」とマークされたインシデント。
- オープンした日に解決されたインシデント。

これらすべての KPI について収集されたスコアを取得する 2 つのインジケーターソースを作成できます。

- 1 つはインシデントテーブルにあり、オープン中のインシデントをフィルタリングします。
- インシデントテーブルにあるもう 1 つのタスクで、解決済みのインシデントをフィルタリングします。

4. ニーズに合った既存のインジケーターとインジケーターソースを検索します。

   最小ロール:pa_data_collector、pa_power_user (インジケーターのみ)。

   冗長なインジケーターとインジケーターソースは一般的な問題です。適切なインジケーターまたはインジケーターソースが存在しないことを確認した場合にのみ、インジケーターとインジケーターソースを作成します。

   ニーズを満たすインジケーターソースが見つかる場合は、設計された KPI に一致するインジケーターがそれらのソースに既に存在するかどうかを確認します。

   注: KPI コンポーザー 既存の適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターの検索を設計プロセスに組み込みます。

5. 不足している必要なインジケーターソースを作成します。

   最小ロール:pa_data_collector

6. 必要な KPI に一致する、不足している自動インジケーターを作成します。

   最小ロール:pa_power_user

   インジケーターソースを取得すると、ビジネスアナリストなどのpa_power_userロールを持つユーザーが自動インジケーターを作成できます。

   インジケーターを作成するときは、 条件を追加します。これらの条件は 1 つまたは 2 つのインジケーターにのみ適用されるため、インジケーターソースのレベルで適用するのは効率的ではありません。インジケーターソースとインジケーターの間で条件を効率的に分割した場合、インジケーターソースの一部のインジケーターには追加の条件がありません。これらのインジケーターは、インジケーターソースの列の単なる集計です。

7. 関連するブレークダウンを新しいインジケーターに関連付けてマッピングします。

   最小ロール:pa_power_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターを設計するときは、インジケーターに適用するブレークダウンも設計しておく必要があります。ブレークダウン設計は KPI コンポーザーに含まれています。新しいブレークダウンまたはブレークダウンソースを作成する必要がある場合がありますが、これはこのワークフローの範囲外です。

8. ブレークダウンのマトリクスを収集して管理します。

   最小ロール:pa_power_user

   優先度とカテゴリの両方でブレークダウンするなど、複数のレベルのブレークダウンを収集する場合は、ブレークダウンマトリクスを設定します。不要または無意味なブレークダウンの組み合わせは必ず除外してください。

9. インジケーターのジョブを編集します。

   最小ロール:pa_data_collector

   1 つのスケジュール設定済みデータ収集ジョブと (通常は) 1 つのスケジュール設定されていないデータ収集ジョブをインジケーターに追加します。履歴データが存在する場合は、スケジュールされていないジョブを実行してインジケーターの履歴データを収集します。通常、このジョブはインジケーターの作成時にのみ実行され、二度と実行することはありません。スケジュール済みジョブをアクティブ化して、通常はインジケーターの頻度に従って定期的にデータを収集します。1 期間のみ収集します。たとえば、頻度が日次であるインジケーターがある場合は、前日 (最終完了した) 日を毎日収集するようにスケジュール済みジョブを設定します。

結果
このワークフローの最後には、データが入力される自動インジケーターが作成されます。この自動インジケーターは、KPI コンポーザーで設計した測定、重要成功要因、またはサポートインジケーターに対応します。

次のタスク
このインジケーターを式インジケーターに含めることができます。また、ウィジェットを設計してインジケーターを可視化し、ダッシュボードを作成して、これらの可視化を適切なステークホルダーと共有することもできます。

インジケーターソース

インジケーター ソース は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。

インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーター ソースの条件には、[オープン済み][日付][今日] のような日付関連のフィルタが含まれている必要があります。収集周期の低いインジケーターでは、[クローズ済み][日付][今月] のようなより広い日付範囲を指定できます。

注意深くインジケーター ソースを作成します。インジケーター ソースには複数のインジケーターがリンクされる可能性があるため、インジケーター ソースを作成した後に変更することは容易ではありません。さらに、インジケーターソースを変更すると、既に収集したスコアと乖離する可能性があります。

注: インジケーターを作成する前に、インジケーター ソースを作成する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターソースの定義

1 つ以上のインジケーターで評価できるレコードのフィルター済みデータセットを提供するには、インジケーターソースを作成します。

始める前に
次の理由から、インジケーターソースのリストを参照してください。

- 要件を満たすインジケーターソースが既に存在している可能性があります。インスタンスを維持するため、重複するインジケーターソースを作成しないでください。
- 作成するインジケーターソースには必ず一意の名前を付けてください。異なるインジケーターソースに同じ名前を付けると、紛らわしいことがあります。

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合は、 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ソース > インジケーターソース をクリックし、[新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクスに移行した場合は、次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > データソース > インジケーターソース をクリックし、[新規] を選択します。
2. インジケーターソースの使用目的を簡単に確認できる一意 の名前 (**Incidents.Open** など) を入力します。
3. 他のユーザーがこのインジケーターソースの使用と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な 説明 を追加します。
4. [カレンダー] フィールドで、インスタンスで定義されている標準カレンダーまたはビジネスカレンダーを選択します。

   ⚠ **警告:** ビジネスカレンダーを使用していて、後でそのビジネスカレンダーのエントリを変更すると、 パフォーマンスアナリティクス データが無効になります。エントリを変更する前に収集したスコアは、エントリを変更した後に収集したスコアと互換性がありません。この警告は、会計カレンダーのスケジュールにも適用されます。

   ビジネスカレンダーを使用する場合は、ビジネスカレンダー:エントリ開始時間またはビジネスカレンダー:エントリ終了時間で実行されるデータ収集ジョブを作成できます。

5. [有効な頻度] または [カレンダー頻度] フィールドのいずれかに入力します。
   - 標準カレンダーを選択した場合は、[頻度に対して有効 **(Valid for frequency**)] フィールドがあります。このフィールドでは、標準インジケーターの頻度を選択できます。デフォルトの選択は [日次] です。
   - ビジネスカレンダーを選択した場合は、[カレンダー頻度] フィールドが表示されます。このフィールドは必須です。選択したビジネスカレンダーによって、使用可能な頻度の範囲が決まります。

   このインジケーターソースに基づくインジケーターは、このフィールドの値をインジケーター頻度として使用します。デフォルトでは、インジケーターのスコア収集期間はこの頻度に従います。この動作はインジケーターレコードで上書きできます。

   設定する周期がわからない場合は、ビジネス サイクルの周期を基準にします。

6. 直接、またはレポートソースを再利用して、ファクトテーブルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ファクトテーブル	ファクト テーブルおよびそのテーブルのレコードをフィルタリングする条件を指定します。データベースビューをファクトテーブルとして指定できます。リモートテーブルと Workflow Data Fabric テーブルはサポートされていません。
レポートソース	再利用する既存のレポート ソースを指定します。レポート ソースでは、ファクト テーブルとフィルタリング条件を指定します。 レポート ソースが変更された場合、インジケーター ソースを表示したときに警告が表示されて、変更が通知されます。インジケーター ソースを更新するには、[レポートソース] フィールドの横にあるリフレッシュ ボタンをクリックします。

⚠ 警告:

- パフォーマンスアナリティクス はリモートテーブルをサポートしていません。
- パフォーマンスアナリティクス は Workflow Data Fabric テーブルをサポートしていません。
- データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

7. ファクトテーブルを直接選択する場合は、データがサブセットに含まれる前に満たす必要がある条件 を追加します。

Example
たとえば、条件 [有効][次の値に等しい (=)][true]、[作成日][次の値もしくはそれ以前（<=）][日付] などと設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:

- テキスト フィールドのインジケーター ソース条件では、大文字と小文字は区別されません。
- インジケーターソースとインジケーターに設定された条件がすべて適用されます。
- インジケーターにリアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーターソースのいずれかに条件を設定します。
- インジケーター ソースを再利用できるように、上位レベルの条件のみを使用してインジケーター ソース条件を定義してください。データをより深く理解するには、個々のインジケーターの詳細フィルタを使用します。
- インジケーターソースには、[作成日時][日][今日] など、少なくとも 1 つの日付条件が必要です。
- 通常、日付条件はインジケーターの頻度と同じ期間を参照する必要があります。たとえば、日数に関する条件は、日次インジケーターのみに設定する必要があります。月数に関する条件は、月次インジケーターのみにする必要があります。
- テーブルのsys_id値または表示値へのドット連結は避けてください。不要な結合を作成しないように、代わりに参照フィールドを単独で使用してください。
- インジケーターソース条件を適切に設計している場合、そのソースの少なくとも 1 つのインジケーターには独自の追加条件がありません。

条件のビルドに関する一般的な情報については、「 条件ビルダー」 を参照してください。

8. オプション: 関連リスト条件を定義して、別のテーブルとの関係をフィルターに含めます。
詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。
9. このインジケーターソースが返すレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。

警告:

プレビュー機能に表示されている内容に関係なく、収集されるレコードの上限を超える可能性があります。プレビュー機能では、データコレクターが実際にフェッチする数よりも少ない数のレコードが表示されます。データ収集ジョブは、レコードをフェッチするときに ACL とビジネスルールを無視しますが、プレビュー機能はそれらに従います。詳細については、「 KB0756238 」を参照してください。

10. [レコードビュー] タブのリスト ビューで、デフォルトビューを選択します。
デフォルトのビューは、ワークベンチウィジェットと、 アナリティクスハブ および KPI 詳細のこのインジケーターソースに対して収集されたレコードリストに適用されます。使用可能なビューは、ファクトテーブルによって異なります。
11. オプション: [レコード収集] タブで、ジョブが単一のインジケーターソースについて収集できるレコードの最大数を上書きします (このインジケーターソースについてのみ)。
[レコード収集の上書き] を選択し、[収集されるレコードの最大数] に値を入力します。プロパティ *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*に設定されているデフォルト値を上書きしています。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
12. コンテキストメニューを展開し、[保存] をクリックします。
13. オプション: ビジネスカレンダーを使用するようにこのインジケーターソースを構成した場合は、スコアとスナップショットを保持し、季節パターンを検索するための期間数を設定します。
これらの設定は、同じカレンダー頻度を使用するすべてのインジケーターソースとインジケーターに適用されます。インジケーターのオーナーは、そのインジケーターのこれらの設定を上書きでき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。インジケーターソースでこれらの値を設定しないと、このカレンダー頻度を使用して初めてインジケーターを作成したときに、これらの値を設定するように求められます。

a. 関連リンクで、[保存期間を構成] をクリックします。
PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

b. [季節性を確立するエントリの数] フィールドに、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、季節パターンを検索するために必要な期間の数を入力します。
ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

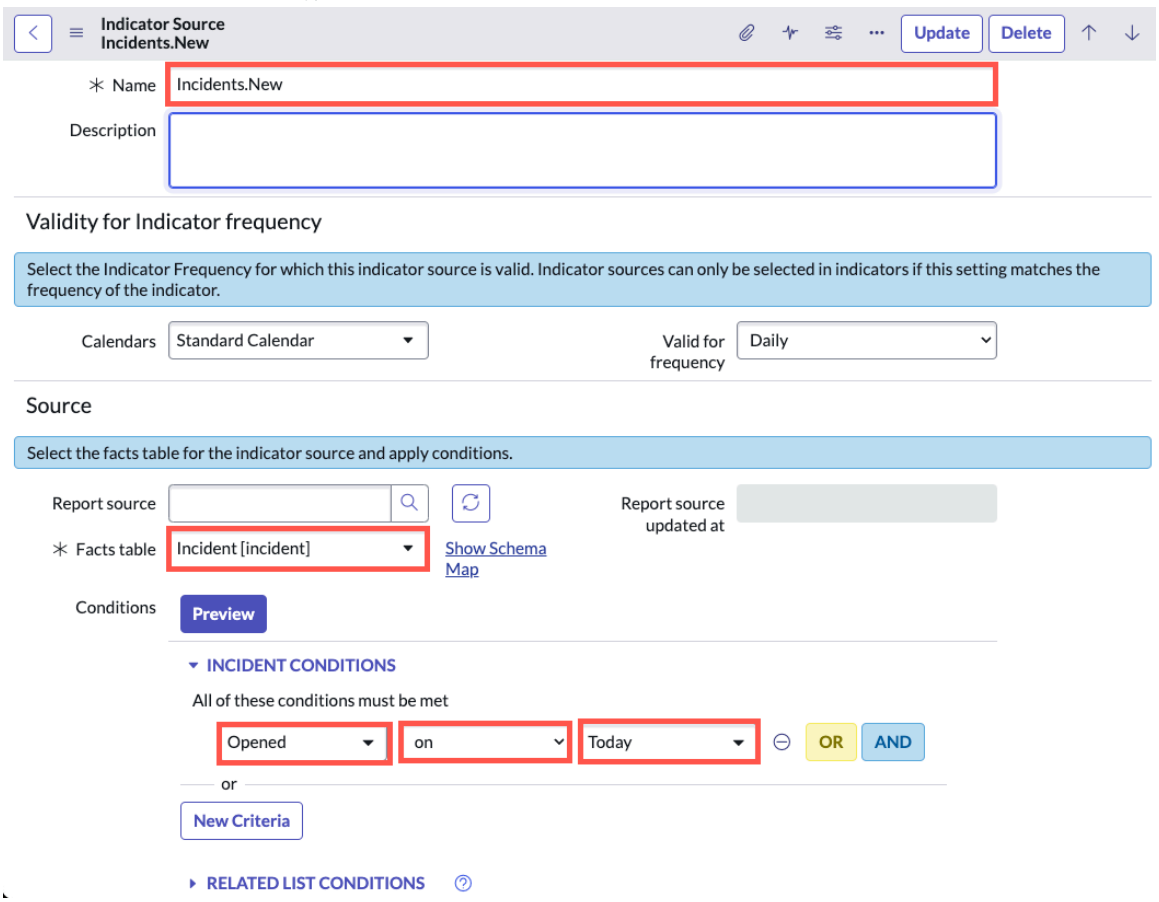
c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
デフォルト値の 1 が提供されていますが、変更することを検討する必要があります。

Example: シンプルなインジケーターソース

次の設定は、毎日新しいインシデントを収集するインジケーター ソースを作成します。

- [名前]：Incidents.New
- [周期]：日次
- [ファクトテーブル]：インシデント [incident]
- [条件]：[オープン済み][日付][今日]

インジケーター ソースの作成



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
インジケーターソースを作成したら、レコードの関連リストでテキストインデックス構成を定義できます。これらの構成を使用して、ワードクラウドを含む パフォーマンスアナリティクス テキストウィジェットを作成します。詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。

レポートソースを再利用している場合にレポートソースが変更されると、インジケーターソースレコードに警告が表示されます。レポートソースと一致するようにインジケーターソースを更新するには、[レポートソースを更新] をクリックします。[レポートソース] フィールドの横にある更新ボタンをクリックすることもできます。

読み取り専用の [レポートソース更新日時] フィールドにレポート ソースが最後に更新された時刻が表示されます。この日付と時刻は常に GMT タイムゾーンで表示されます。

関連トピック

- レポートソース
- ビジネスカレンダーの作成

インジケーター ソースでのデータベース ビューの使用

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択できます。データベース ビューを使用すると、デフォルトでは接続されていないServiceNowインスタンスのテーブルのデータを統合することができます。

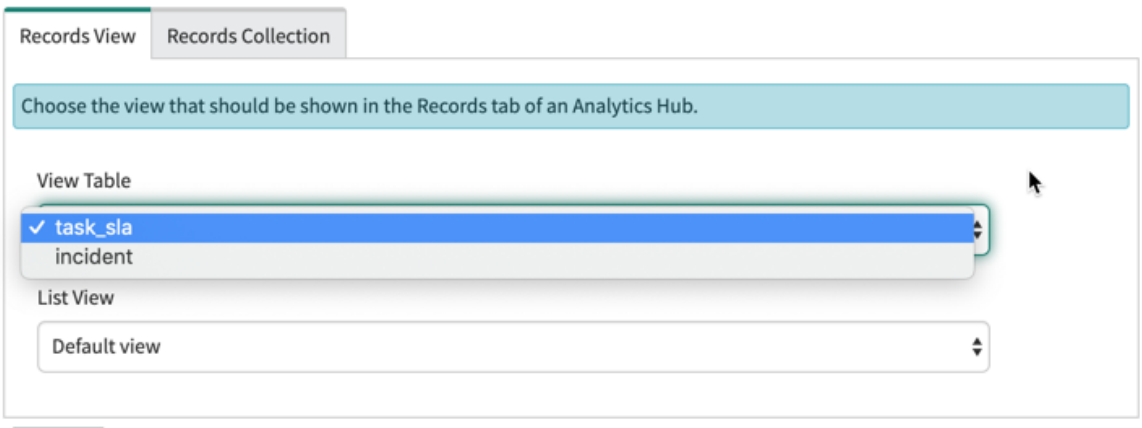
始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
データベースビューでテーブルを結合することで、ビューを呼び出して簡単にアクセスできます。次に、ビューに含まれる任意のテーブルからフィールドを選択できます。たとえば、違反した SLA の数をレポートする場合、SLA とインシデント テーブル両方のフィールドが必要です。

手順

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択した場合は、インジケーター ソース フォームの [レコードビュー] セクションで追加の構成を行います。

インジケーターソースフォームの [レコードビュー] セクション



フィールド	説明
ビューテーブル	レコードのスナップショットは、データベースビューの 1 つのテーブルからのみ収集されます。レコードを収集するテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

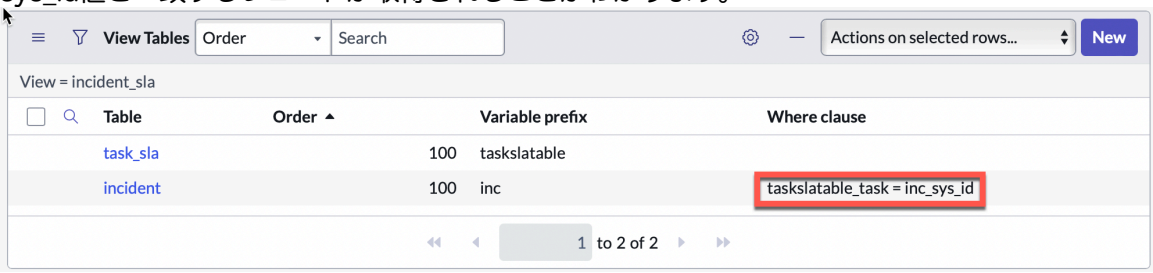
フィールド	説明
	重要: この値を変更すると、以前のすべてのスナップショットが事実上削除されます。この変更は、次回のデータ収集ジョブが実行されたときに有効になります。この変更は、履歴スコアには影響しません。
リストビュー	収集されたレコード セットの表示に使用するリスト ビューを選択します。デフォルトのビューが提案されますが、[ワークスペース] などの定義済みのビューを選択できます。

注: 一意のシステム ID を生成しないビューテーブルで第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。レコード数は一意でないsys_idsのアーティファクトであるため、間違っています。

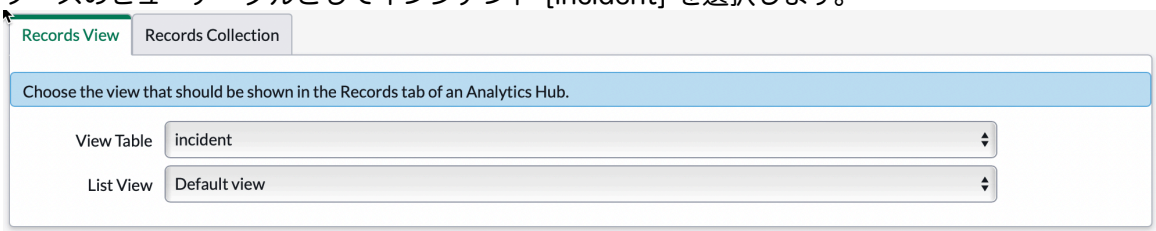
Example: データベースビューからのインジケーターソース

SLA に違反しているインシデントの数を追跡するインジケーターを作成するとします。ベースシステムには、タスク SLA [task_sla] テーブルとインシデント [incident] テーブルを結合する incident_sla というデータベースビューが既に含まれています。したがって、このデータベースビューを使用して新しいインジケーターソースを作成します。

データベースビューを見ると、タスク SLA テーブルのタスクがインジケーターテーブルの一意の sys_id値と一致するレコードが取得されることがわかります。



スナップショットは 1 つのテーブルからのみ取得できます。通常は、一意の値を持つフィールドを使用してテーブルのスナップショットを取得することをお勧めします。したがって、インジケーターソースのビューテーブルとしてインシデント [incident] を選択します。



関連トピック

データベースビュー

自動インジケーター

自動インジケーターは、インジケーターソースをデータセットとして使用します。インジケーターソースは、テーブルまたはデータベースのビュー、そのソースからのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動インジケーターは、最も頻繁に使用されるタイプのインジケーターであり、おそらく パフォーマンスアナリティクスの最も基本的なコンポーネントです。自動インジケーターを使用して、変更要求や HR ケースなどのビジネスプロセスに関する情報を格納するテーブルから一連のレコードのスコアを計算します。スコアは、インジケーターソースの頻度と同じ周期に従って、スケジュール設定済み データ収集ジョブで自動的に計算されます。また、手動で実行する 1 つ以上のデータ収集ジョブも設定します。たとえば、最初にインジケーターを作成するときに履歴データのスパンを収集します。

インジケーターを任意の数のブレークダウンに関連付けて、インジケータースコアをスライスまたはフィルタリングできます。たとえば、オープンインシデントの数を示すインジケーターがある場合は、このインジケーターを優先度ブレークダウンに関連付けて、優先度が「最重要」のインシデントの数を確認できます。インジケーターをカテゴリブレークダウンに関連付けて、ハードウェアとソフトウェアのインシデントの数を比較することもできます。

使用するインジケーターソースがあり、かなり簡単な自動インジケーターを作成する場合は、ウィザードを使用できます。インジケーターをより完全に指定する必要がある場合は、このセクションで説明されているフォームを使用します。ウィザードからのインジケーターの作成の詳細については、「 ウィザードを使用した自動インジケーターの作成」を参照してください。いずれかの方法でインジケーターを作成する前に、「 インジケーターの計画立案」の説明に従ってインジケーターを計画します。また、ベースライン パフォーマンスアナリティクス ソリューションコンテンツパックのいずれかで適切なインジケーターが既に利用可能かどうかも確認します。

自動インジケーターを式インジケーターへの入力として使用して、たとえば新規インシデントであるオープンインシデントの割合を計算することができます。

自動インジケーターの作成

ServiceNowテーブルに記録されているビジネスプロセスのパフォーマンスを分析するには、自動インジケーターを使用します。適切なインジケーターが パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションに指定されていない場合は、新しいインジケーターを作成します。

始める前に

自動インジケーターで説明したように、適切なインジケーターソースが必要です。また、「 を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI コンポーザー と インジケーターの計画立案」で説明されているように、KPI を作成する前に、ビジネス戦略の一部として KPI を設計する必要があります。また、 インジケーターを作成するためのワークフローについてもよく理解してください。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在存在するドメインに作成されます。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

このフォームには、自動インジケーターを作成するための多くのオプションがすべてあります。単純な自動インジケーターをすばやく作成するには、「ウィザードを使用した自動インジケーターの作成」を参照してください。ただし、インジケーターオプションの詳細とヒントについては、最初にこのトピックをお読みください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合は、 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) をクリックし、[新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクスに移行した場合は、次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (自動) をクリックし、[新規] を選択します。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. いずれも：
   - カレンダーと頻度を選択してからインジケーターソースを選択します。ステップ 4 に進み、ステップ 5 を実行します。
   - カレンダーや頻度を最初に選択せずにインジケーターソースを選択します。ステップ 4 をスキップして、ステップ 5 を実行します。

   カレンダーと頻度を手動で設定する場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーターソースのみを選択できます。カレンダーと頻度を設定しない場合は、任意のインジケーターソースを選択できます。後者の場合、インジケーターはそのインジケーターソースのカレンダーと頻度を継承します。

   注: このインジケーターのデータ スナップショット を有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度はすべて上書きされ、頻度は日次になります。

4. オプション: カレンダーと頻度を設定します。

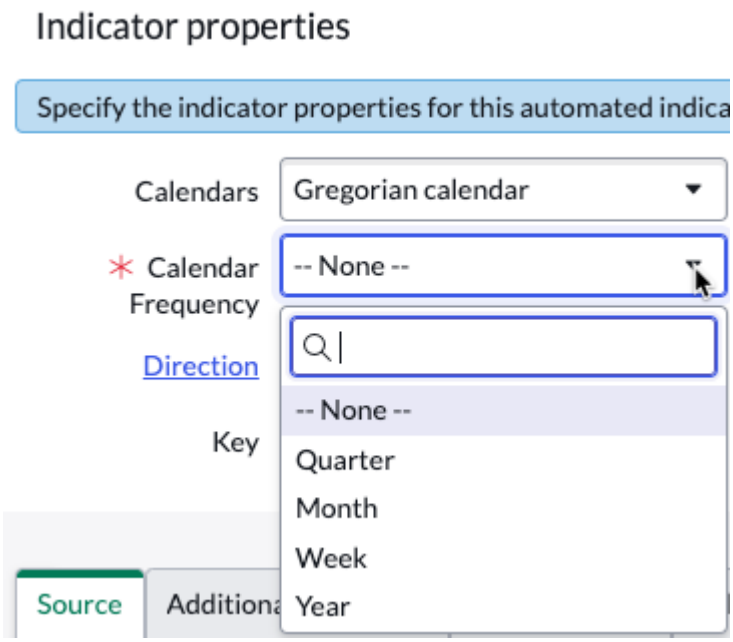
   a. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループのいずれかを選択します。

   b. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

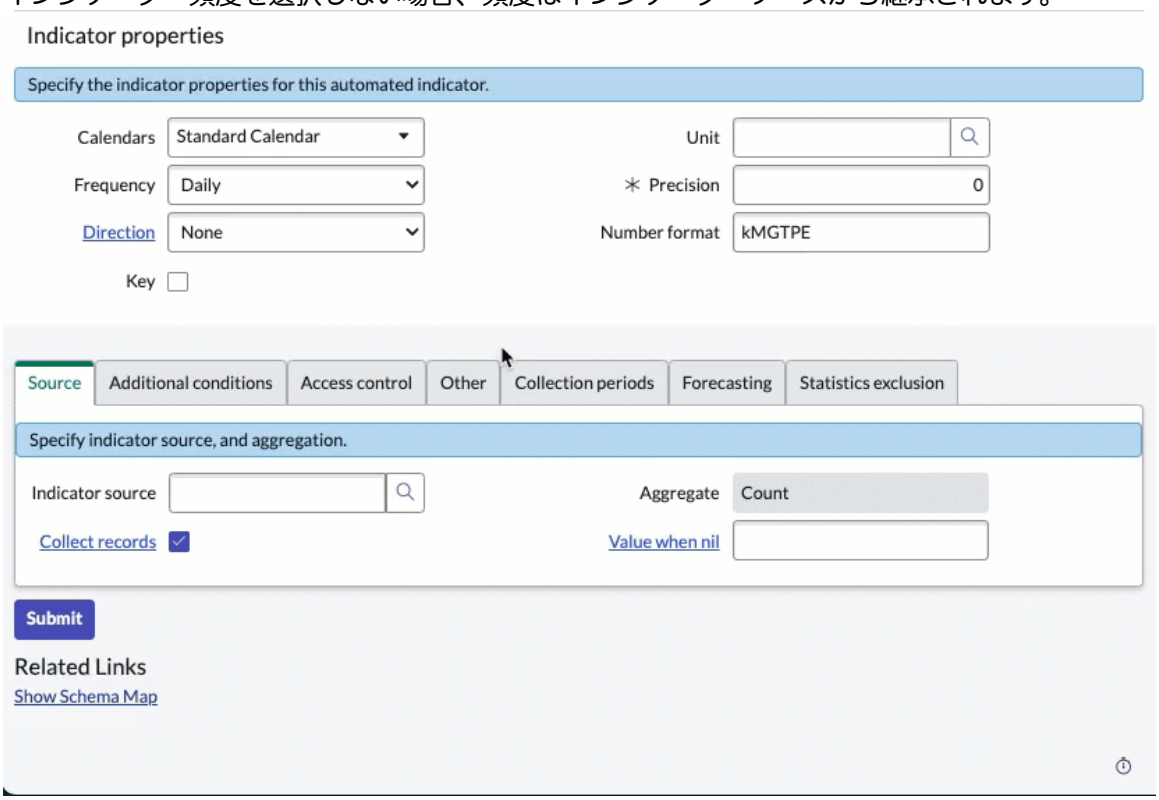
      Example
      たとえば、グレゴリオ暦には四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. オプション: 標準カレンダーを選択した場合は、インジケーターの頻度を選択できます。インジケーター頻度を選択しない場合、頻度はインジケーターソースから継承されます。



5. [ソース] タブまでスクロールし、[インジケーターソース] を選択します。フィールドに名前の一部を入力すると、それに応じて使用可能なインジケーター ソースのリストがフィルタリングされます。

ドメインセパレーションを使用している場合は、自分が可視化できるインジケーターソースのみを選択できます。

カレンダー頻度または頻度が指定されている場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーターソースからのみ選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [ソース] タブの [アグリゲート] フィールドで、インジケーターソースからのデータに適用するアグリゲート関数を選択します。

   [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。

   [合計]、[最小]、または [最大] アグリゲートを選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

   ヒント: 平均集計は時系列の使用を複雑にする可能性があるため、使用は避けるようにしてください。代わりに、合計自動インジケーターとカウント自動インジケーターを作成します。次に、合計インジケーターをカウントインジケーターで除算して平均を計算する式インジケーターを作成します。

7. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント: 可能な限り方向を設定してください。すべての主要なインジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

値	ユースケース
最大化	このインジケーター スコアの増加が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最大化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの増加が良いことであり、減少することが悪いことであることを反映しています。
最小化	このインジケーター スコアの減少が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最小化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの減少は良いことであり、増加することは悪いことであることを反映しています。
なし	このスコアの変更の方向が、ビジネスにとって重要でない場合に選択します。

8. [ソース] タブで、残りのフィールドを入力します。
   [集計] が [カウント] に設定されている場合、[レコードを収集] フィールドと [値がないとき] フィールドのみを使用できます。

   [ソース] タブのフィールド

フィールド	説明
レコードの収集	インジケーターが収集されたときに個々のレコード sys_ids が格納されているかどうかを示すチェック ボックス。このチェックボック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

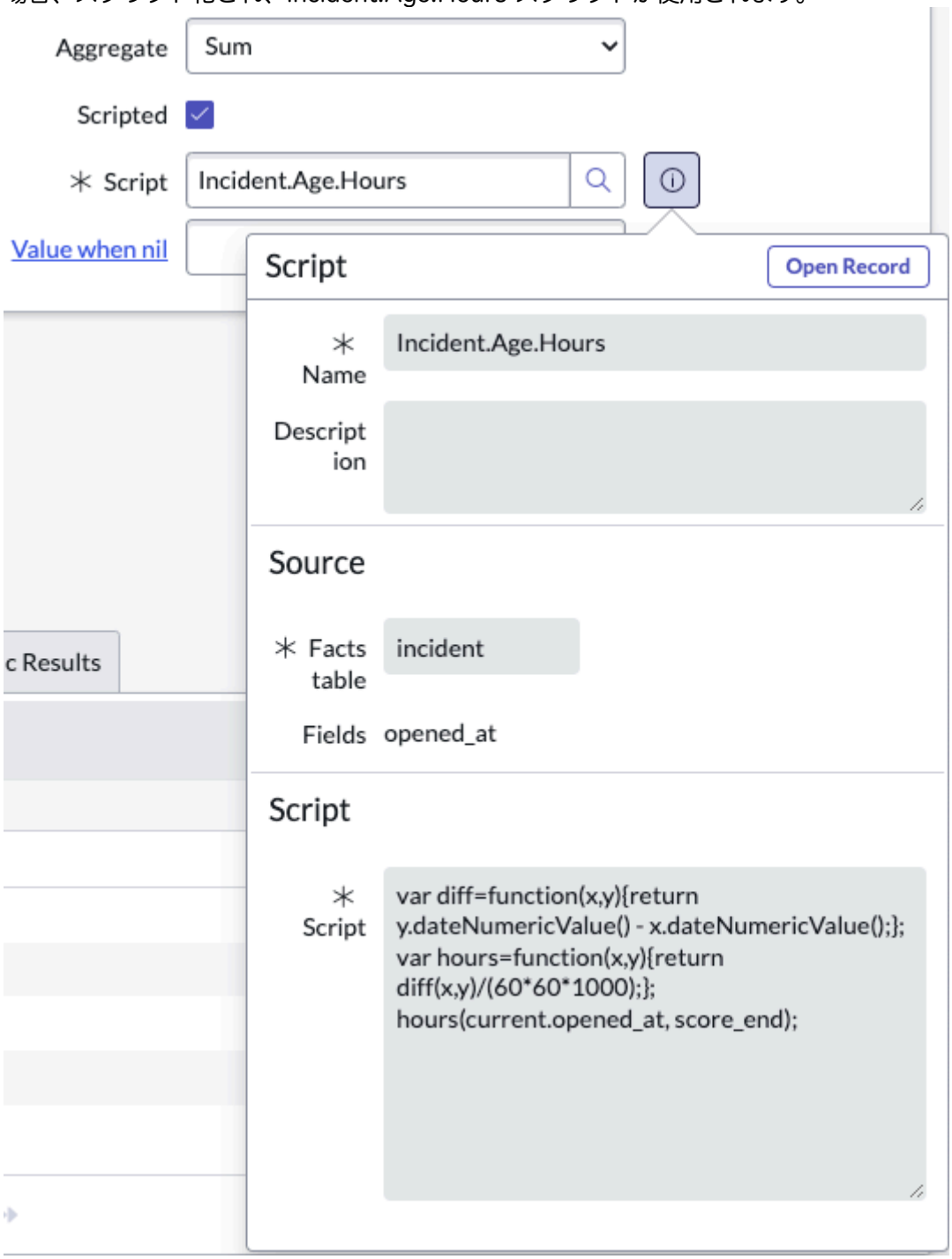
フィールド	説明
	スをオンにすると、 アナリティクスハブ とウィジェットでこれらの詳細にドリルダウンできます。利用可能な場合、収集されたレコードが [記録] タブに表示されます。 ヒント: 通常、カウントと合計以外の集計を含むレコードの収集は避けてください。ユーザーが最小または最大に入るレコードを表示することはめったになく、個別のカウント内のレコード数がスコアと異なる場合があります。これらの他の集計を使用してインジケーターのレコードを収集するのは、ユーザーから要求された場合にのみ行うことを検討してください。 スポットライトグループのメインインジケーターに対して、このオプションを有効にする必要があります。そうしないと、[スポットライト] グループは収集したレコードのスナップショットを評価できません。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。
スクリプト化	スクリプトに基づいて値を集計するかどうかを示すチェック ボックス。このオプションは、[集計] が [カウント] に設定されていない場合にのみ利用できます。[スクリプト化済み] チェック ボックスをクリアしてフィールドの値を集計します。
フィールド	集計操作を実行するフィールド。このフィールドは、[集計] で [カウント] ではなく [スクリプト化済み] を選択している場合にのみ表示されます。
スクリプト	アグリゲーションのスクリプトを選択するか、スクリプトを作成します。このオプションは、[スクリプト化済み] チェック ボックスが選択されている場合にのみ利用できます。 詳細については、「スクリプト： パフォーマンスアナリティクス」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。この値は、ブレークダウンが適用されるかどうかに関係なく挿入されます。 この値は、式や集計 (平均など) の計算には使用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

たとえば、[オープンインシデントの経過時間合計] インジケーターは、合計集計を使用します。この集計を使用するため、フィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。この場合、スクリプト化され、Incident.Age.Hours スクリプトが使用されます。



9. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターは次の場所で使用できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

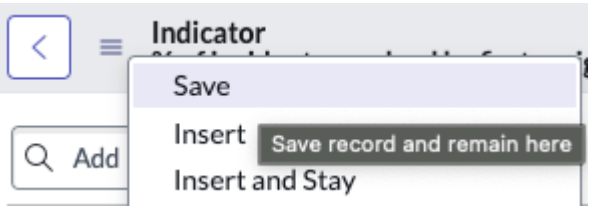
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
- KPI 詳細
- アナリティクスハブ、ただし完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでのみ有効です プラットフォームアナリティクス

10. 2 つ以上のレベルのブレークダウンをこのインジケーターに適用できるようにするには、[無制限のブレークダウンを有効にする] を選択します。

すべてのインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしているわけではありません。このインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしていない場合は、理由を示すメッセージが表示されます。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

複数のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされます。インジケーターは日次になります。

11. コンテキストメニューを展開し、[保存] をクリックします。



12. 次のいずれかの手順を実行します。
    - さらにアクションを実行するプロンプトが表示されず、インジケーターが要件を満たしている場合は、[ブレークダウンを管理] を選択してインジケーターにブレークダウンを追加します。詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。
    - さらにアクションを実行するように求められた場合、またはより複雑なインジケーターを設計した場合は、インジケーターの詳細設定を完了します。

関連トピック

インジケーター グループの作成

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

詳細インジケーター設定

必要な設定で自動インジケーターを作成した後、オプションの詳細設定を構成できます。

始める前に

自動インジケーターを作成して保存しました。
必要なロール：pa_power_user

手順

1. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択し、このインジケーターがこのカレンダー頻度で作成された最初のインジケーターである場合は、周期性を設定するように求められます。
   これらの設定は、[収集期間] タブの設定を上書きしない限り、同じカレンダー頻度を持つすべてのインジケーターに適用されます。詳細については、「ビジネスカレンダーを使用したインジケーター」セクションを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [関連リンク] セクションで、[周期性の設定] をクリックします。
PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

b. [季節性を確立するエントリの数] フィールドに、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、季節パターンを検索するために必要な期間の数を入力します。
ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
デフォルト値の 1 が提供されていますが、変更することを検討する必要があります。

2. [他の条件] タブで、インジケーターが評価するレコード セットを制限する条件を追加します。
インジケーター ソースの条件に加えてインジケーターの条件が適用されます。リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーターソースに条件を設定する必要があります。

ただし、次の演算子はインジケーターではサポートされていません。代わりに、インジケーターソース条件で次の演算子を使用できます。

- キーワード
- 次のフィールド値を超える **(>)**
- 次のフィールド値未満 **(<)**
- 次のフィールド値以上 **(>=)**
- 次の値以下フィールド

⚠ 警告: データ収集ジョブがエラーで完了しないようにするには、次の制限に従います。

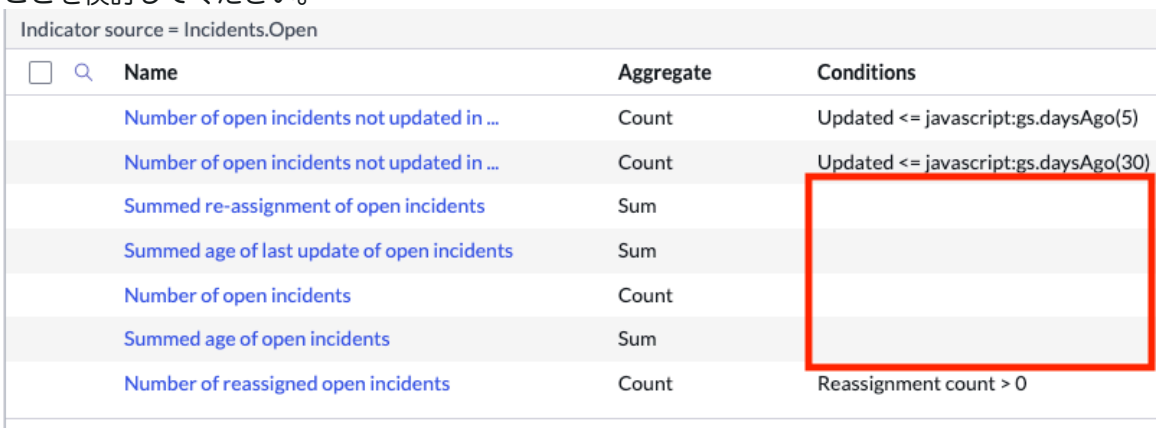
- インジケーターにロールを参照する条件を追加しないでください。ロールテーブルはインジケーターソースでのみ参照できます。
- ドット連結フィールドのみを参照する条件を定義する場合は、少なくとも 1 つのブレークダウンをインジケーターに関連付ける必要があります。

一般に、テーブルのsys_id値や表示値へのドット連結は避けるようにしてください。ドット連結すると不要なテーブル結合が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント: 条件が適切に設計されていることを検証するには、インジケーターソースのインジケーターを一覧表示し、ビューに [条件] フィールドを含めます。インジケーターソースの条件のみを使用するインジケーターが少なくとも 1 つ必要です。それ以外の場合は、インジケーターソースが未使用のデータを収集している可能性があります。この場合、共通条件をインジケーターからインジケーターソースに移動するか、インジケーターソースを分割することを検討してください。



3. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時]、および [分] で表示されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数値形式	数千からクインティリオンの多数の略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。でインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

4. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターのデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定すると、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取ることができます。 ServiceNow AI Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
順序	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。値が最も小さいインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。いくつかのインジケーターのみに数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くと、デフォルトのグラフタイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフタイプが変更された場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターのデータ行が途切れることなく表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータの場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、 KPI 詳細に時系列が設定されている場合、連続線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーター ソースに条件を設定する必要があります。

Example

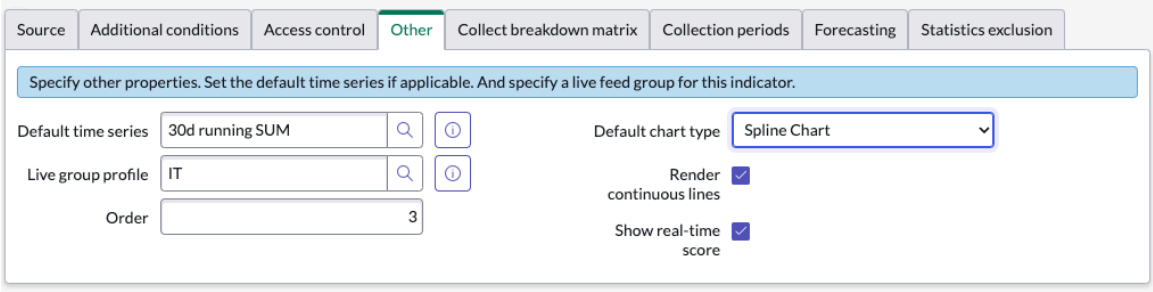
たとえば、[その他] タブでは、次のようにインジケーターを設定できます。

- デフォルトでは、ウィジェットには 30 日間移動合計のスコアが表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペース データの可視化で上書きできます。
- IT ライブグループにインジケーターの変更が通知されます。
- インジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストの 3 番目に表示されています。他のすべてのインジケーターにも、その位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフタイプは、 アナリティクスハブ と KPI 詳細の [スプライン] です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- データが欠落している場合でも、インジケーターのデータ行は途切れることなく表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



5. オプション: [ブレークダウンマトリクスフィールドを収集] タブで、インシデントを [優先度別カテゴリ別に開く] など、インジケーターのブレークダウンレベル 2 を有効にすることができます。ブレークダウンレベル 2 を有効にすると、パフォーマンスに重大な影響を与える可能性があります。詳細については、「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。
6. オプション: [収集期間] タブで、スコアとスナップショットが収集され、保持される今日までの最大期間数を設定するプロパティを上書きします。
7. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
8. オプション: [統計情報の除外] タブで、[KPI 詳細] または アナリティクスハブ に表示しない統計情報を選択します。

   Example
   たとえば、パーセンテージ単位でインジケーターの変更 % を表示したくない場合などです。
9. [ブレークダウンを管理] をクリックします。

ビジネスカレンダー付きインジケーター

ビジネスカレンダーと会計カレンダーには標準期間がありません。 パフォーマンスアナリティクスは、これらのカスタム期間に対応するためにいくつかのイノベーションを導入しました。それに応じて、インジケーターを作成するためのワークフローは異なります。

重要: 新規インジケーター作成ウィザードは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーに基づくインジケーターをサポートしていません。

期間の定義方法の違い

標準カレンダーとは異なり、ビジネスカレンダーにはビジネスカレンダーエントリに基づくカスタム期間があります。この違いに対応するために、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターでは、次のプロパティが異なる方法で定義されています。

- インジケーター頻度は、選択肢の静的リストからではなく、ビジネスカレンダーから導出されます。インジケーターレコードの [頻度] 列は無視されます。代わりに、[カレンダー頻度] 列が使用されます。
- 予測では、季節パターンを見つけるために必要な期間の数を指定する必要があります。この値は、標準カレンダーのようにカレンダー期間から自動的に決定することはできません。この値は、PA ビジネスカレンダー保持期間 [pa_calendars_retention] レコードで、各カレンダー頻度に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スコアと スナップショットを保持するカレンダー期間の数を設定する必要があります。データを保持するためのデフォルトのカレンダー期間の数を設定するシステムプロパティは無視されます。代わりに、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの各カレンダー頻度にこれらの数値を設定します。

PA ビジネスカレンダー保存期間レコードとその上書き

特定のカレンダー頻度を使用するインジケーターを初めて作成すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを完了するように求められます。そのカレンダー頻度で将来作成するインジケーターは、同じ PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを使用します。

特定のインジケーターの PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの設定を上書きできます。標準のカレンダーインジケーターの場合と同じように、インジケーターレコードの [収集期間] タブのデフォルトを上書きします。ただし、最初に [保存期間を上書き] を選択したときは、標準カレンダーの日次インジケーターのデフォルトの保持期間が表示されます。これらの値は表示アーティファクトのみであり、無視してかまいません。必要な値を入力すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの値が上書きされます。

注: PA ビジネスカレンダー保持期間レコードから 季節性値を確立するためのエントリ数 を上書きすることはできません。

ビジネスカレンダーグループ

[カレンダー] フィールドで標準カレンダー以外のエントリを選択すると、実際にはビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループが選択されます。ビジネスカレンダーと会計カレンダーの両方のグループが次の項目に一覧表示されます。 ビジネスカレンダー > ビジネスカレンダーグループ. 各ビジネスカレンダーグループまたは会計カレンダーグループには、カレンダー頻 度で選択する一連のビジネスカレンダーが含まれています。各ビジネスカレンダーには、それぞれビジネスカレンダーと会計カレンダーのビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリのいずれかのセットが含まれています。

会計カレンダーを生成するプロセスでは、会計カレンダーグループが自動的に作成されます。ビジネスカレンダーの場合、ビジネスカレンダーの作成者は、ビジネスカレンダーグループも手動で作成する必要があります。質問がある場合は、ビジネスカレンダーの作成を担当するアドミンにお問い合わせください。詳細については、「 ビジネスカレンダーグループの作成 」を参照してください。

式内の自動インジケーター

式インジケーターには、ビジネスカレンダーを使用する 自動インジケーター を含めることができます。式インジケーターは、少なくとも 1 つの貢献している自動インジケーターと同じビジネスカレンダーを使用する必要があります。詳細については、「式インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウンのアサインとマップ

インジケーターにアサインするブレークダウンを選択します。ブレークダウン ソースを参照するインジケーター ソースのフィールドをマップします。適切なフィールドがない場合は、スクリプトを指定してインジケーターとブレークダウン ソースを関連付けます。

始める前に

必要なブレークダウンが、ブレークダウン ソースで定義されている必要があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

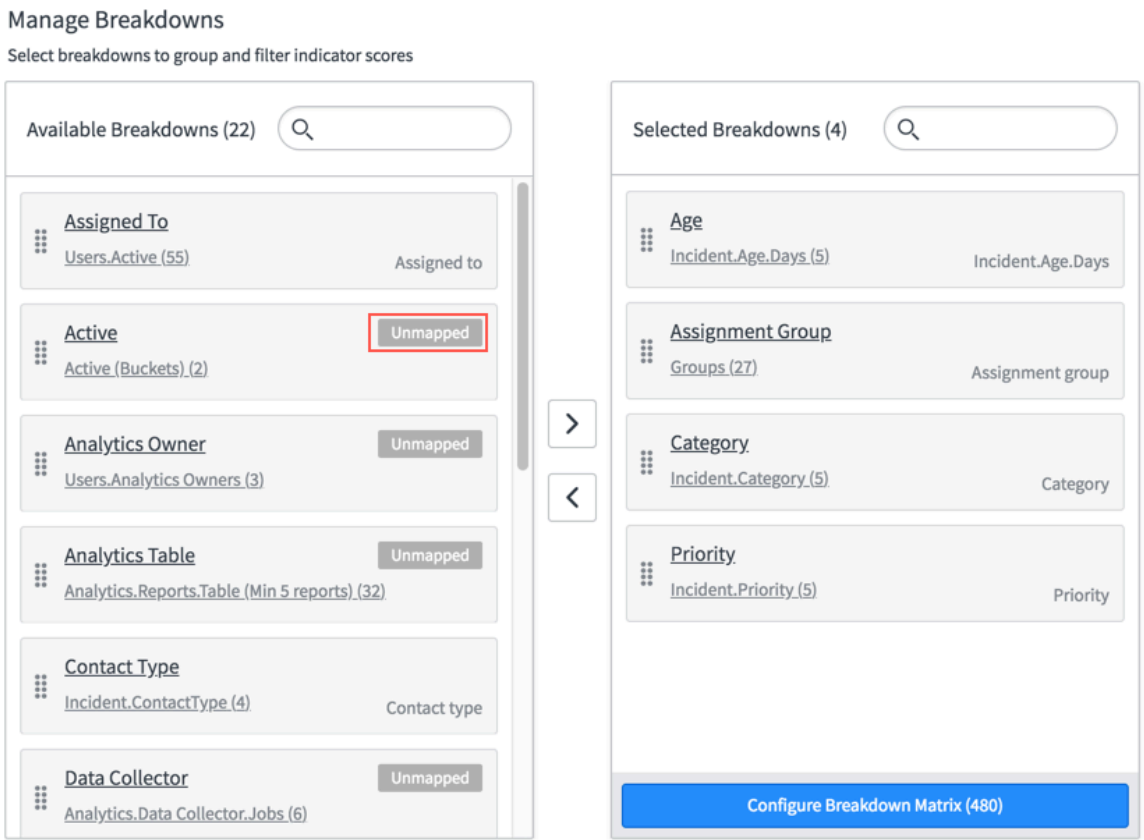
自動翻訳

注:

- ブレークダウンは自動インジケーターにのみマップできます。式インジケーターにブレークダウンをアサインする場合は、式の自動インジケーターに既にマッピングされているブレークダウンを選択するようにしてください。
- データ収集に含めることができる ブレークダウン要素 の最大数は、プロパティ *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* で設定されます。この値を超えると、ツールに警告が表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
- このページの手順では、グラフィカル ツールを使用します。代わりに、インジケーター フォームの [ブレークダウン] 関連リストでインジケーターのブレークダウンを選択できます。ブレークダウン フォームでインジケーター ソースのインジケーター フィールドまたはクエリをマップすることもできます。詳細については、「ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成」を参照してください。

手順

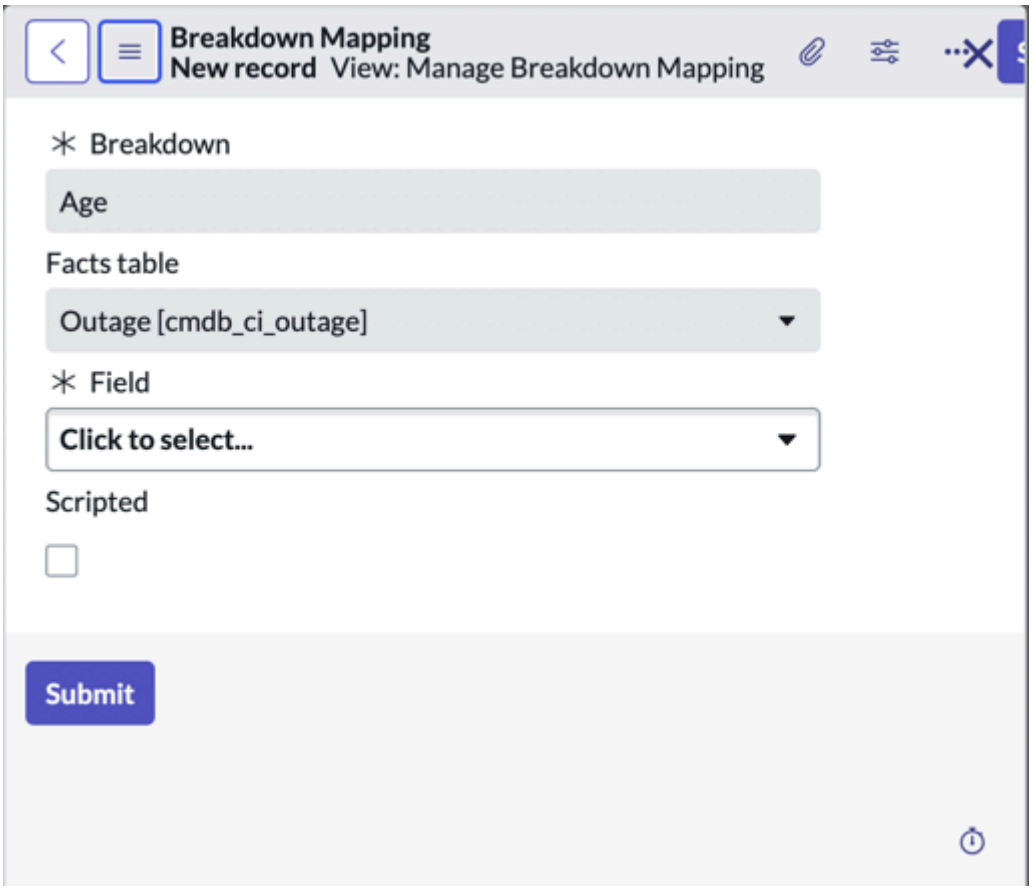
1. ブレークダウンをアサインするインジケーターに移動します。
2. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
3. [利用可能なブレークダウン] から [選択済みのブレークダウン] に、インジケーターにアサインするブレークダウンを移動します。



マップされていないブレークダウンを追加すると、[ブレークダウンマッピング] ダイアログが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: 式インジケーターにブレークダウンを割り当てている場合、[マップされていない] アイコンは表示されず、[ブレークダウンマッピング] ダイアログは表示されません。ブレークダウンを式インジケーターにマップすることはできません。ブレークダウンを式インジケーターに正常に適用するには、式内のすべての自動インジケーターにブレークダウンがマッピングされていることを確認します。式に他の式インジケーターが含まれている場合は、それらの式の自動インジケーターを確認します。再帰的に最後までチェックします。自動インジケーターがブ レークダウンを追跡できないようにする必要はない。

4. 次のようにブレークダウンマッピングを完了します。

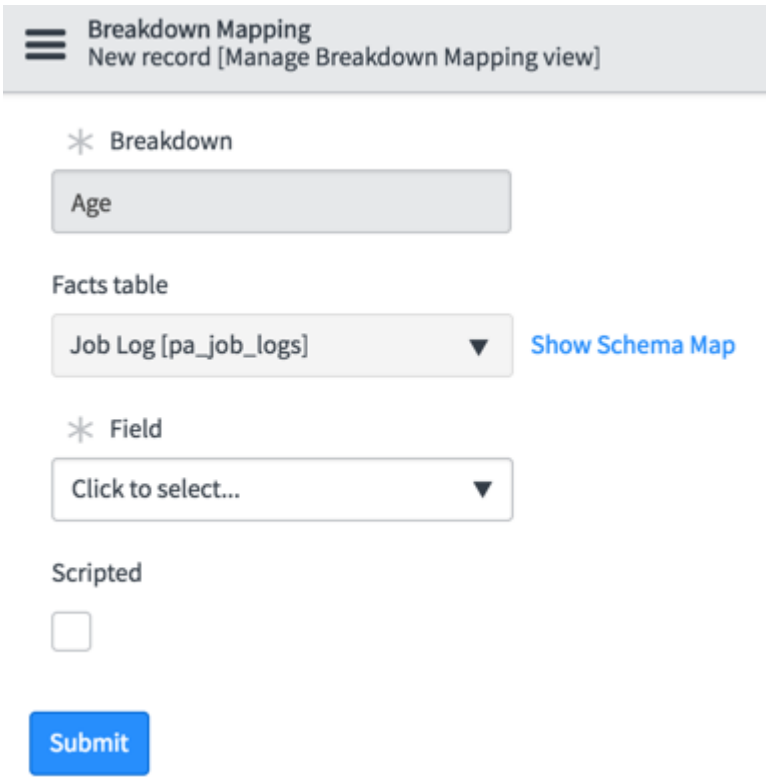
オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ケースは、ブレークダウンソースが バケットグループ で、スクリプトがバケットにインジケータースコアを割り当てる整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイムスコアを表示することはできません。 ヒント: [レベル 1 のマッピング & レベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分に等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうしないと、第 2 レベルのブレークダウンのスコアとレコード数が一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

注: [ファクトテーブル] 選択リストをクリックすると、選択リストが表示されますが、別のファクト テーブルを選択することはできません。



5. [送信] をクリックします。
6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
自動インジケーターに少なくとも 2 つのブレークダウンをアサインすると、2 つのブレークダウンの組み合わせを収集できます。そうすると、意味のない組み合わせのブレークダウンが収集されなくなり、システム リソースが節約されます。「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。

重要: インジケーターのデータスナップショットを有効にすると、2 つのブレークダウンの組み合わせに限定されず、インジケーターにはブレークダウンマトリクスがありません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

次のいずれかの方法でブレークダウンを適用します。クラシック環境の場合:

- で アナリティクスハブ
- ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェット を構成する場合
- ブレークダウンダッシュボード上
- ダッシュボードの ブレークダウンウィジェット 内

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス:

- で KPI 詳細
- インジケーターデータソースのデータ 可視化 を構成する場合

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの 2 つのブレークダウンの組み合わせのマトリクスを収集します。不必要な、または意味のないブレークダウンの組み合わせは収集から除外します。

始める前に
ブレークダウンにはインジケーターをアサインする必要があります。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

重要: インジケーターのデータスナップショットを有効にすると、2 つのブレークダウンの組み合わせに限定されず、インジケーターにはブレークダウンマトリクスがありません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
すべてのブレークダウンの組み合わせが有用な情報を提供しないこともあります。たとえば、[国, 地域] の組み合わせは、国ブレークダウンと同じスコアを返します。ブレークダウン マトリクスの除外を使用して、これらの無効な組み合わせのデータをインスタンスが収集しないようにすることができます。これらの除外は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、スコアシートには表示されません。また、ウィジェットまたはデータの可視化を作成するときに、除外されたブレークダウンの組み合わせを選択することはできません。

パフォーマンスの問題を防ぐために、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit` は、データ収集に含まれるブレークダウン接続の要素の数を制限します。この制限を超えると、マトリクス内の一部の組み合わせがグレー表示されます。一部のブレークダウンの組み合わせを除外することで、この制限を超えないようにすることができます。詳細については「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

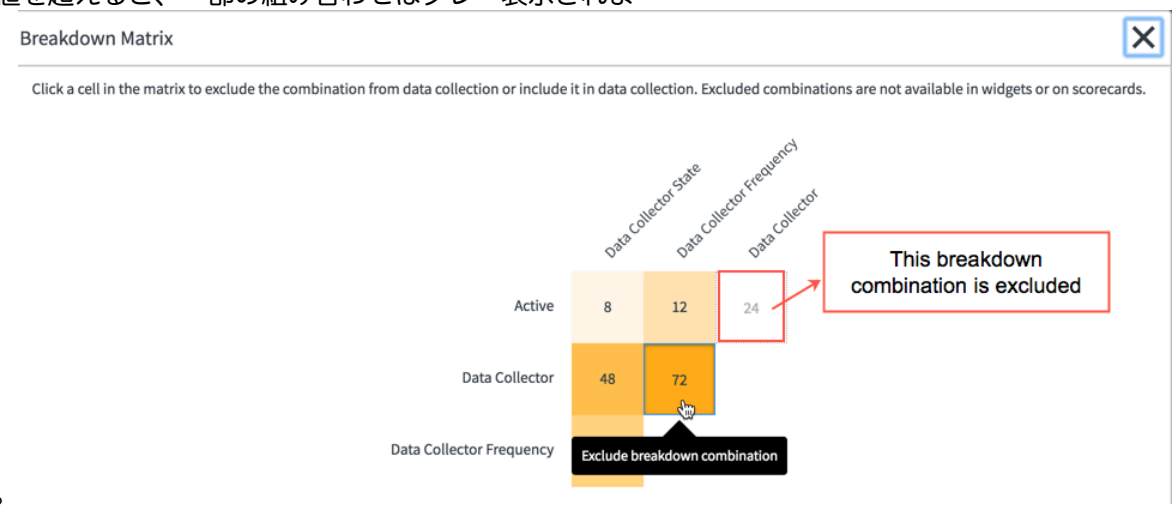
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- これらのブレークダウンの組み合わせが除外されても、個々のブレークダウンのスコアは収集されます。
- ブレークダウンの組み合わせの以前のジョブで収集されたスコアは、組み合わせが後で除外されても、削除されません。これらの組み合わせの新しいスコアは収集されません。
- 以下の手順は、グラフィカル ツールを使用してブレークダウン マトリクスの除外を管理するためのものです。ただし、インジケーター フォームの [ブレークダウンマトリクスの除外] タブで管理することもできます。

手順

1. 移動先 インジケーター (自動).
2. ブレークダウン マトリクスを構成する自動インジケーターを選択します。
3. [インジケータープロパティ] で、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブを選択します。
4. [ブレークダウンマトリクスを収集] チェック ボックスをオンにします。
5. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
6. [ブレークダウンマトリクスの構成] をクリックします。
   マトリクスには、2 つのブレークダウンの要素数を乗算して計算された、各ブレークダウンペアの要素の組み合わせの数が表示されます。組み合わせ数が多いブレークダウンのペアは濃い色で表示されるため、パフォーマンスのボトルネックの可能性を一目で特定できます。デフォルトでは、すべての組み合わせがデータ収集に含まれます。データ収集から除外する組み合わせを選択できます。
7. オプション: [ブレークダウンマトリクス] ポップアップで、 アナリティクスハブ およびダッシュボードウィジェットから除外するブレークダウンの組み合わせを選択します。
   ブレークダウン マトリクスで、含まれる組み合わせは網掛けされています。除外された組み合わせは白です。ブレークダウンの組み合わせの数が `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit` の値を超えると、一部の組み合わせはグレー表示されます。



8. オプション: インジケーター フォームで [ブレークダウンマトリクスの除外] タブを開き、除外されたブレークダウンの組み合わせを確認します。
   グラフィカル ツールを使用する代わりに、このタブで、除外するブレークダウンの組み合わせを管理できます。

インジケーターへの収集ジョブの追加

自動インジケーターのスコアを収集するには、そのインジケーターに収集ジョブを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

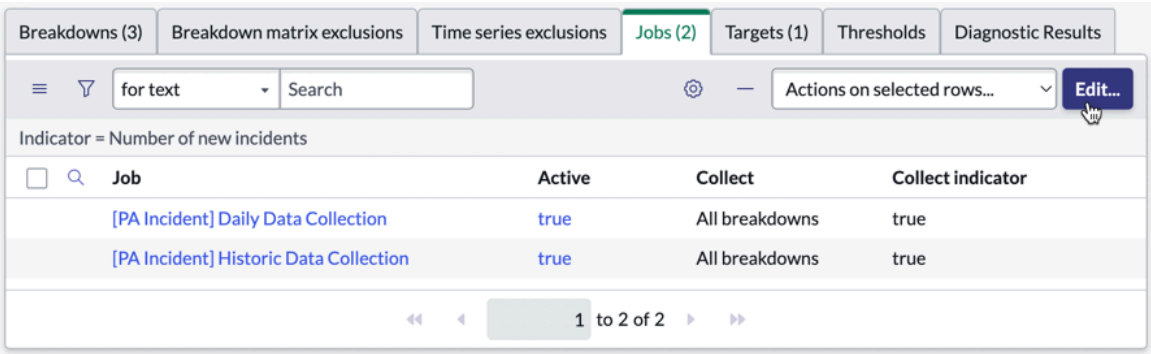
始める前に

注: この手順では、完全に構成されたデータ収集ジョブをインジケーター側から自動インジケーターに追加する方法を示します。データ収集ジョブを構成し、ジョブ側からインジケーターに追加する方法については、「 ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターなど、pa_data_collectorロールを持つユーザーのみがジョブインジケーターを設定できます。

必要なロール:pa_power_user または admin

手順

1. 既存の自動インジケーターを開きます。
2. [ジョブ] 関連リストで、[編集] をクリックします。



3. オプション: [フィルタを追加] および [フィルタ実行] を使用してジョブの選択を制限します。
4. [コレクション] または [ジョブリスト] で 1 つまたは複数のジョブを選択します。
   明確なユースケースがない限り、インジケーターに対してスケジュール済みジョブを 1 つ以下に選択することで、ジョブを管理しやすくします。関連する数の未スケジュールジョブを選択します。通常は、新しいインジケーターで 1 回だけ実行する履歴ジョブを 1 つ追加します。
5. 矢印ボタンを使用して、ジョブを他のリストに移動します。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。

パフォーマンスアナリティクススナップショット

スナップショットは、それらのレコードのスコアが収集される時点で収集されるレコード (sys_ids) のリストです。スナップショットを使用すると、ユーザーは パフォーマンスアナリティクス インジケーターの可視化からレコードにドリルダウンできます。

スナップショットを持つことができるのは、自動インジケーターのみです。スナップショットは、[レコードの収集] が有効になっている自動インジケーターに対してのみ作成されます。次の機能では、レコードを収集する必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットのスコアから個々のレコードにドリルダウンします。
- アナリティクスハブでレコードを表示しています。
- KPI 詳細でレコードを表示しています。

保存期間

デフォルトでは、スナップショットは 183 日間保持されます。この期間は、グローバルまたは特定のインジケーターのいずれかに変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グローバルスナップショットの保持期間を変更するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency*を編集します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
- インジケーターのスナップショット保持期間を変更するには、インジケーターフォームの [収集期間] タブで 収集期間を上書き します。詳細については、「詳細インジケーター設定」を参照してください。

ウィザードを使用した自動インジケーターの作成

ブレークダウン、ウィジェット、およびインジケーターのデータコレクションジョブを使用して、パフォーマンスアナリティクス自動インジケーターをすばやく作成します。このウィザードを使用するには、 パフォーマンスアナリティクス に関するトレーニングを受け、KPI を計画する必要があります。

始める前に

パフォーマンスアナリティクス コンセプトについて理解し、分析戦略の一環としてのみインジケーターを作成してください。での KPI の計画 KPI コンポーザー.インジケーターを作成するためのワークフローを研究します。

インジケーター ソース ファクト テーブルに少なくとも 1 つのインジケーター ソースとデータ収集ジョブがあることを確認してください。

警告: ウィザードは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用したインジケーターの作成をサポートしていません。

必要なロール：pa_contributor、pa_data_collector、pa_power_user、または pa_admin

このタスクについて

これらの手順は、ウィザードを使用して簡単な自動インジケーターを迅速に作成するためのものです。インジケーター パラメータの全範囲にアクセスする必要がある場合は、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

注: ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在存在するドメインに作成されます。

手順

1. 移動先 インジケーター > 新規作成.
2. [全般] タブに入力します。

[全般] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーター名	「 オープンインシデントの平均数」などのわかりやすい名前。
説明	インジケーターのオプションのテキスト説明。目的と内部ロジックを含めることができます。説明は、自分や他のユーザーがインジケーターの目的を覚えておくのに役立ちます。
方向	次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ なし:インジケーターに優先的な上昇トレンドまたは下降トレンドはありません。 ○ 最小化:インジケータースコアは時間とともに減少します。 ○ 最大化:インジケータースコアは時間とともに増加します。
単位	インジケーターのスコアの単位。可能な単位は次のとおりです。 ○ **#**:単純な数値 (デフォルト) ○ **$**:ドル ○ **%**:パーセント
グループ	インジケーターが属するインジケーターグループ (存在する場合)。

3. [次へ] をクリックし、[データソース] タブに入力します。

[データソース] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーターのソース	利用可能なインジケーターソースの選択。インジケーターソースは、 ServiceNow AI Platform テーブルと、そのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。ソースを選択したら、このインジケーターソースの [レコードをプレビュー] を選択できます。 ドメインセパレーションを使用している場合は、自分が可視化できるインジケーターソースのみを選択できます。
アグリゲート	インジケーターソースでインジケーターを計算するときに適用する集計関数。 [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。
フィールド/スクリプト	[カウント] 以外の集計の場合は、インジケーターソースが使用するテーブルのフィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。集計関数は、フィールドの値またはスクリプトが返す値のいずれかに適用されます。
条件	インジケーターソースが使用するテーブルのフィールドに適用する値と操作のリスト (オ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プション)。これらの条件は、インジケーターソースで指定された条件と重複します。 インジケーターの条件にはいくつかの制限があります。詳細については、「 自動インジケーターの作成」で条件を追加する手順を参照してください。

4. [ブレークダウン] タブで、このインジケーターに適用する利用可能なブレークダウンを選択します。
   2 つのレベルのブレークダウンを適用する場合は、[ブレークダウンマトリクスの収集] も選択します。
5. [データコレクション] タブで、このインジケーターのスコアを収集するデータコレクションジョブを選択します。
   スコアはジョブのスケジュールに応じて収集されます。ジョブを手動で実行することもできます。
6. 過去からスコアを収集して傾向を作成するには、[過去からデータを収集] を選択し、期間を指定します。
   このジョブは、インジケーターを作成するときに一度だけ実行されます。すべてのインジケーターで遡及的なスコア収集ができるわけではありません。または、履歴データ収集ジョブをインジケーターに手動で関連付けて実行します。
7. [ウィジェット] タブで、時系列、最後のスコア、およびブレークダウンウィジェットの任意の組み合わせを選択して作成します。
   既存のダッシュボードのタブにウィジェットを配置することもできます。このウィザードからのウィジェットの作成と表示の詳細については、「 インジケーター作成ウィジェットのオプション」を参照してください。
8. [サマリー] タブで変更を確認し、[適用] をクリックします。
   インジケーターが作成され、選択したインジケーター ソース、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブにリンクされます。インジケーターに関連付けられたウィジェットが作成され、指定したダッシュボード タブに追加されます。
9. オプション: [別のインジケーターを作成] をクリックして、新しいインジケーターでプロセスを再開します。

次のタスク

データ収集ジョブが過去のスコアを収集するように構成されている場合は、[実行] 値が **[1** 回] の一時的なデータ収集ジョブが作成されます。このジョブ レコードは、ジョブの実行後に削除できます。

関連トピック

- 自動インジケーターの作成
- インジケーターソース
- インジケータースコアの収集

インジケーター作成ウィジェットのオプション

インジケーターと関連レコードを作成するときにインジケーター データを表示するウィジェットを作成するためのオプションがいくつかあります。利用可能なウィジェットタイプのいずれかまたはすべてを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットオプション

フィールド	説明
時系列ウィジェットオプション	
時系列ウィジェット	インジケーター データを表示する時系列ウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
可視化	データの表示に使用するチャートの種類を選択します。[線]、[列] など。

最新スコアウィジェットオプション

フィールド	説明
最新のスコア ウィジェット	[チャート化] の値を [最新スコア] にしてインジケーター データを表示するスコア ウィジェットを作成する場合、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
期間を遡る	スコアを比較する期間の数を選択します。たとえば、[時系列] が [週別合計] の場合は、現在のスコアと過去 4 週間のスコアを比較するために [期間を遡る] の値に **4** を入力します。

ブレークダウンウィジェットオプション

フィールド	説明
ブレークダウンウィジェット	このインジケーターに適用された各ブレークダウンのスコアカードによる可視化を含むブレークダウンウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。

ウィジェットのダッシュボード表示オプション

フィールド	説明
ダッシュボードの新しいタブにウィジェットを配置	これらのウィジェットを追加するダッシュボードを選択します。ダッシュボードを選択しない場合、ウィジェットレコードは作成されますが、どのダッシュボードにも追加されません。
新しいタブ名	これらのウィジェットを表示するために作成される新しいタブの名前を入力します。このフィールドは、ダッシュボードを選択する場合に必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

インジケーター (計算)

式インジケーターは、他のインジケーターのデータを使用して新しいメトリクスを計算します。

自動インジケーターとは異なり、式インジケーターは、データ収集中に入力されるインジケーターソースに基づいていません。式インジケーターのスコアは、1 つ以上の他のインジケーターからのデータを含む計算式から計算されます。このデータは、インジケーターのスコアまたはインジケーターの `PAFormulaUtils()` 計算値にすることができます。たとえば、インジケーターのスコアと、アナリティクスハブ または KPI 詳細に設定されたインジケーターターゲット値とのギャップまたは差を式に含めることができます。

重要: 式インジケータースコアは、ユーザーがダッシュボード、 KPI 詳細 、または アナリティクスハブでインジケーターを表示するときに計算されます。

次の場合は、式インジケーターを作成します。

- 2 つのインジケーターの平均など、複数のインジケーターからスコアを計算します。
- `PAFormulaUtils()` API からインジケーターの計算値を抽出し、その値に対して操作を実行する。
- 複数の複合インジケーター (インデックスインジケーター) の全体的なターゲットとのギャップを測定します。

ヒント: 式インジケーターを作成して使用するためのトレーニングを利用できます。NOW Learning Center の コース「式インジケーターの概要」 を参照してください。

式インジケーターの作成

式インジケーターを作成して、1 つ以上の他のインジケーターから新しい計算済みスコアを生成します。インジケータースコアに加えて、インジケータースコアとインジケーターターゲットの間のギャップなどの計算を式に含めることができます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

多くの場合、式は以下の目的で使用されます。

- 比率とパーセンテージを計算する。
- 異なるアプリケーションのデータを結合する。
- 履歴パフォーマンスに基づいて予測インジケーターを構築する。

式インジケーターのフィールドは、自動インジケーターのフィールドに似ています。ただし、ソース、追加条件、およびコレクションプロパティの代わりに、式ステートメントが定義されています。式は、他のインジケーター、定数、変数、時系列、またはこれらの要素の任意の組み合わせで構成できます。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在存在するドメインに作成されます。

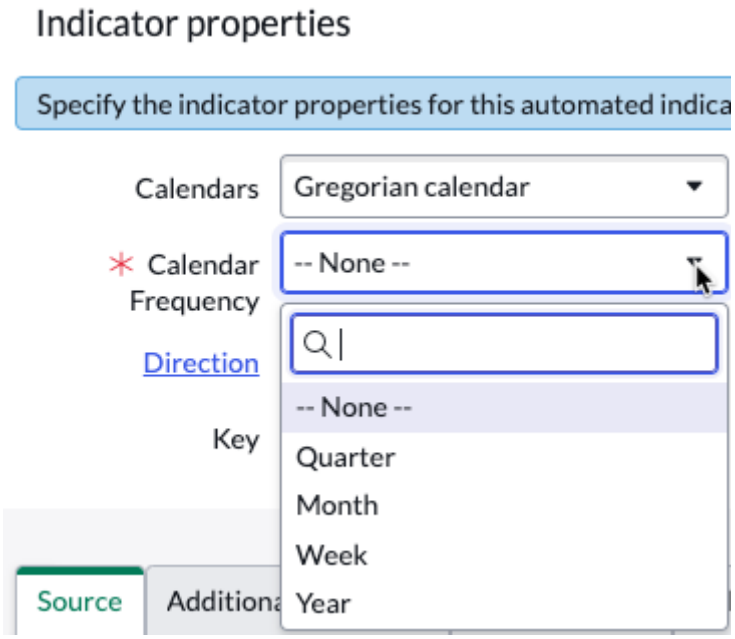
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合は、 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクスに移行した場合は、次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] を選択します。
2. [名前] フィールドで、「オープンインシデントの平均期間」などのわかりやすい名前をインジケーターに付けます。
3. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループのいずれかを選択します。
4. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。式内の少なくとも 1 つのインジケーターが、指定されたカレンダー頻度と一致する必要があります。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

   Example
   たとえば、グレゴリオ暦には四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。



5. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント: 可能な限り方向を設定してください。すべての主要なインジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

値	ユースケース
最大化	このインジケーター スコアの増加が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最大化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素

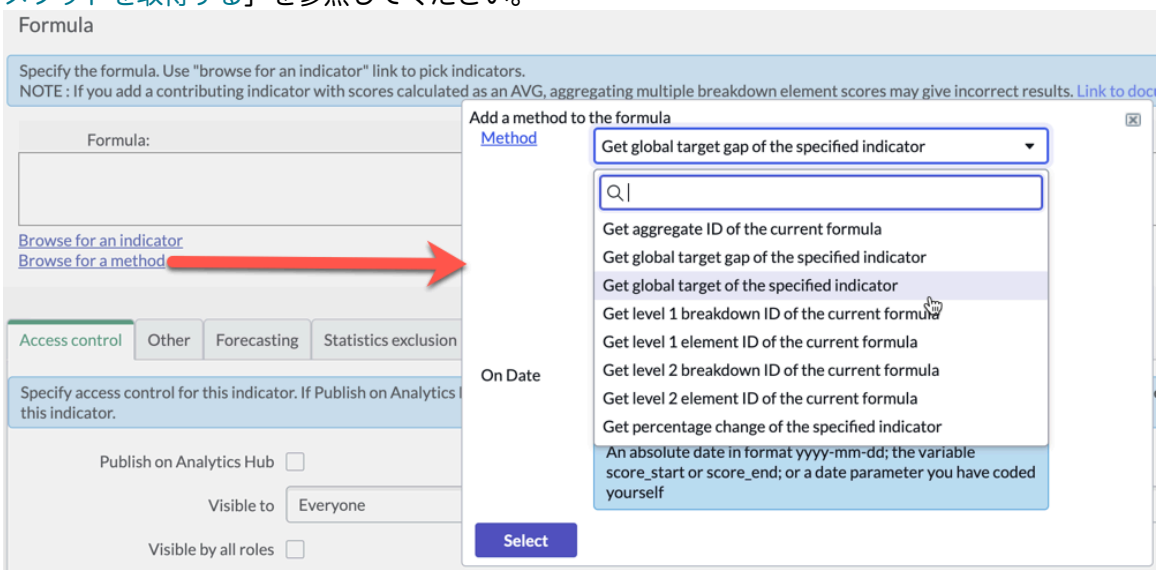
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

値	ユースケース
	は、このインジケータースコアの増加が良いことであり、減少することが悪いことであることを反映しています。
最小化	このインジケーター スコアの減少が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最小化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの減少は良いことであり、増加することは悪いことであることを反映しています。
なし	このスコアの変更の方向が、ビジネスにとって重要でない場合に選択します。

6. このインジケーターの式を定義します。

a. 計算値を式で使用するには、 メソッドの [参照 (繰り返し可能)] をクリックします。 *PAFormulaUtils()* のメソッドを式に挿入するためのダイアログが開きます。この API はインジケーターの計算値を返します。この API の使用の詳細については、「 式でアナリティクスメソッドを取得する」を参照してください。



b. インジケーターのスコアを式に入れるには、[インジケーターを参照] リンクをクリックし、ダイアログに入力します (繰り返し可能)。

インジケーター選択ダイアログ

フィールド	説明
インジケーター	貢献インジケーターとして式に挿入するインジケーター。 このインジケーターにビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用する場合、式内の少なくとも 1 つのインジケーターで、一致するカレンダーとカレンダー頻度を使用する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ブレークダウン、要素、第 2 レベルのブレークダウン、第 2 レベルの要素	インジケーターのスコアをフィルタリングするための最大 2 レベルのブレークダウンと要素。ブレークダウンを指定する場合は、そのブレークダウンの要素を指定する必要があります。これらのブレークダウンと要素は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。 この時系列は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
ブレークダウンを許可	式内の個々のインジケーターではなく、式インジケーター全体に適用されるブレークダウンを適用して、この貢献インジケーターに適用します。デフォルトで有効になっています。詳細については、「式の貢献インジケーターがブレークダウンを追跡できないようにする」を参照してください。 ブレークダウンは、インジケーターの保存後に使用可能な [ブレークダウンを管理 **(Manage breakdowns)]** ダイアログから式全体に追加されます。ステップ 11 を参照してください。
メソッドで使用します。	このインジケーターのスコアの代わりに一意の識別子を返します。式のメソッドにインジケーターを指定する場合は、このボックスを選択します。これらのメソッドは、 アナリティクスハブからインジケーターの計算値を取得します。これらのメソッドの使用の詳細については、「 式でアナリティクスメソッドを取得する」を参照してください。

インジケーターは手動で追加できます。ただし、 インジケーターの参照 機能を使用すると、インジケーターと ブレークダウン要素の適切な表記が確実になります。

式インジケーターを保存すると、式内のインジケーターが [貢献インジケーター] 関連リストに表示されます。式インジケーターを含めた場合は、それらに寄与するインジケーターも一覧表示されます。

c. 必要に応じて、 数 式に数学演算子と記号を追加します。

式に含める演算子や数値を入力します。+、-、/、%、>、< などの有効な演算子記号を使用します。式にインジケーターをさらに追加することもできます。たとえば、オープンインシデントの合計経過時間とオープンインシデントの数に基づいてオープンインシデントの平均経過時間を計算するには、次の式を使用します 。[[オープンインシデントの合計経過時間]] / [[オープンインシデント]] / 24

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

式でデータ収集期間を指定するには、変数 score_start と score_end を使用して、それぞれデータ収集期間の開始と終了を参照できます。ただし、 ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了が変更されましたの注意点を参照してください。

> ⚠ 警告: パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

7. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
8. [その他] タブで、その他のプロパティを設定します。
これらのプロパティは、式インジケーター全体に適用されます。

[その他] タブのフィールド

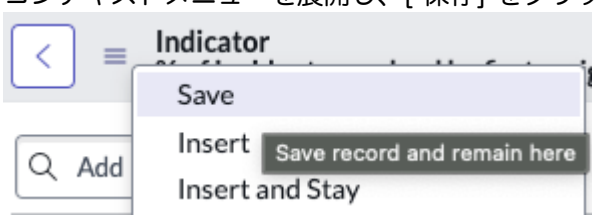
フィールド	説明
デフォルトの時系列	7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。[時系列を結果に適用] が設定されているかどうかに応じて、この時系列は、結果が計算される前の各コンポーネントインジケーターに適用することも、結果に適用することもできます。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定すると、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取ることができます。 ServiceNow AI Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
順序	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。値が最も小さいインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。いくつかのインジケーターのみに数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターのデータ行が途切れることなく表

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータの場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、 KPI 詳細に時系列が設定されている場合、連続線はレンダリングされません。
時系列を結果に適用	結果が計算される前に、各コンポーネントインジケーターではなく、式の計算結果に時系列アグリゲーションを適用します。このオプションは、ウィジェットまたは アナリティクスハブのインジケーターに対して選択された時系列に適用されます。インジケーターにデフォルトの時系列が指定されている場合、このオプションはその時系列にも適用されます。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
計算式コンポーネントが NULL となることを許可する	null スコアが含まれている場合でも計算式があります。トラブルシューティングに役立ちます。詳細については、「式にスコアのないインジケーターを検出する」を参照してください。
複数のブレークダウン要素のスコアのアグリゲーションを許可	ウィジェットでこのインジケーターの複数のブレークダウン要素の合計スコアを表示できるようにします。このフィールドが選択されている場合、このインジケーターを使用するブレークダウンダッシュボードのフォームで集計値または分離値のいずれかを選択できます。加算、減算、または乗算に基づく式は、一般に集計を可能にするための優れた候補です。パーセンテージの合計が 100% であれば、パーセンテージもサポートされます。一方、平均で要素を集計した結果、または関連していないパーセンテージの結果は、通常意味がありません。 ⚠ 警告: これらの集計では、数学的妥当性はチェックされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
10. コンテキストメニューを展開し、[保存] をクリックします。



11. 式インジケーター全体にブレークダウンを適用するには、ページの上部にある [ブレークダウンを管理] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトでは、式のすべての貢献インジケーターに対して構成されたブレークダウンのみを適用できます。

> **注:** この動作を制御するシステムプロパティ *com.snc.pa.formula_indicator_valid_breakdown* 。デフォルトでは true です。これを false に変更すると、少なくとも 1 つの貢献インジケーターがブレークダウンを使用する場合に、そのブレークダウンを式インジケーターに適用できます。ウィジェット、 アナリティクスハブ、または KPI 詳細 でサポートされていないブレークダウンのスコアを表示しようとすると、値ではなく警告メッセージが表示されます。

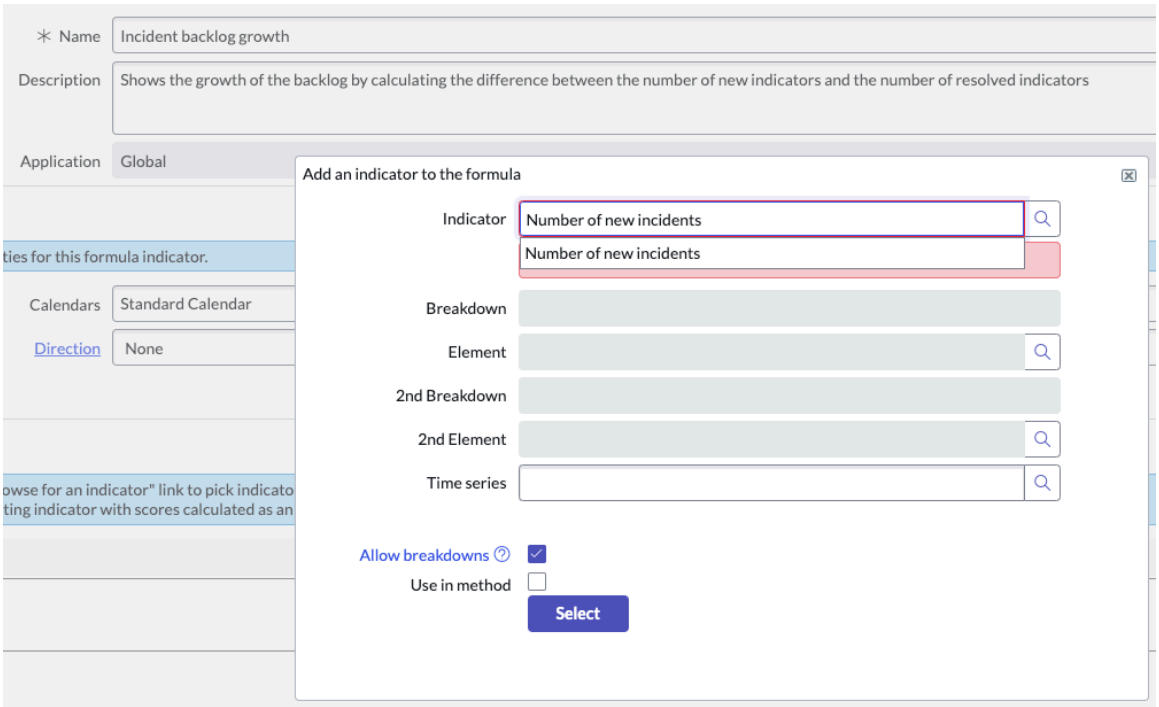
式インジケーターレコードのブレークダウン要素を選択することはできません。ブレークダウンを選択できます ブレークダウンは、インタラクティブでのみ使用できます。つまり、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、適切に構成されたウィジェット、およびブレークダウンダッシュボードでのみ使用できます。[ブレークダウンを管理] ツールの使用方法の詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

Example: インシデントバックログの増加

インシデントマネージャーは、インシデント解決の効率を向上させたいと考えています。新規インシデントと解決済みインシデントは、[新規インシデントの数] インジケーターおよび [解決済みインシデント数] インジケーターとして既に追跡されています。ただし、これらのインジケーターは、インシデント解決を改善するという目標を達成しているかどうかを示すものではありません。

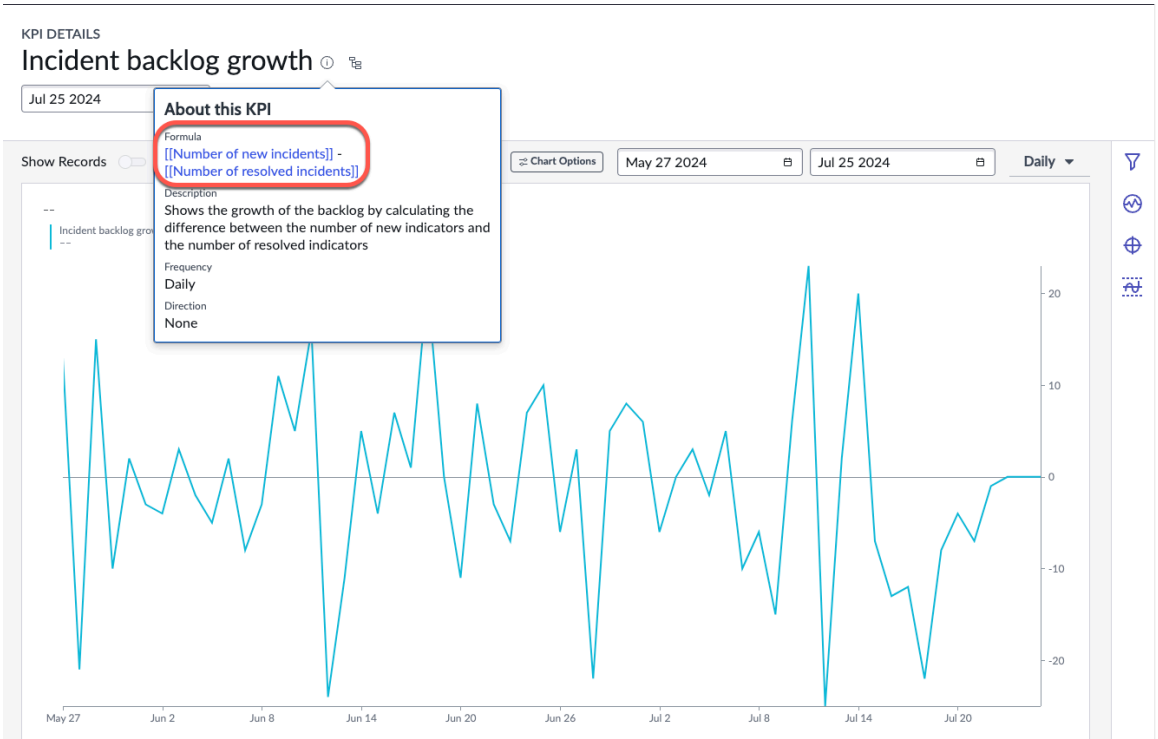
未処理のインシデントのボリュームを測定するには、新しいバックログの増加 KPI が必要です。この KPI を実装するには、次の式を使用して「インシデントバックログの増加」という名前の式インジケーターを作成します。

```
[[Number of new incident]] - [[Number of resolved incidents]]
```



[ライブラリに表示] をオンにすると、インジケーターが KPI 詳細に表示されます。KPI 詳細の情報パネルには、インジケーターで使用されている式が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



式でアナリティクスメソッドを取得する

アナリティクスハブの計算値を式に挿入するには、式内のメソッドを使用します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

アナリティクスハブで計算された値を式の入力として使用できます。この値は、現在の式インジケーター自体を含む、任意のインジケーターから取得できます。

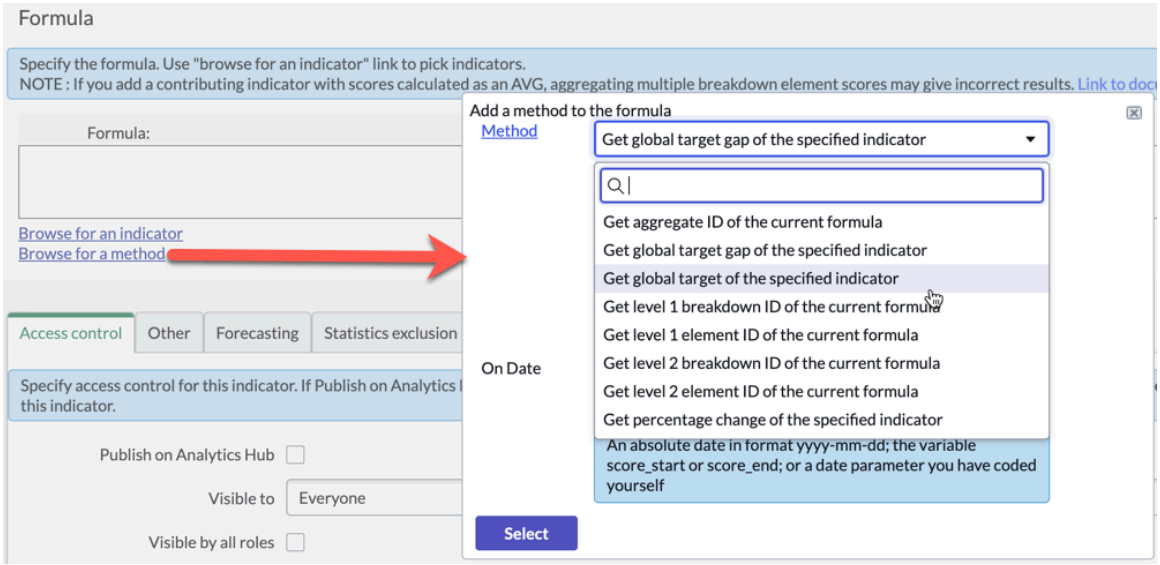
アナリティクスハブから値を取得するには、`PAFormulaUtils()` のメソッドを式に挿入します。これらのメソッドのいずれかを呼び出すには、 パフォーマンスアナリティクス 変数 pa を使用します。たとえば、 `PAFormulaUtils.getScore` メソッドを使用するには、 pa.getScore を呼び出します。詳細については、「PAFormulaUtils API」を参照してください。

手順

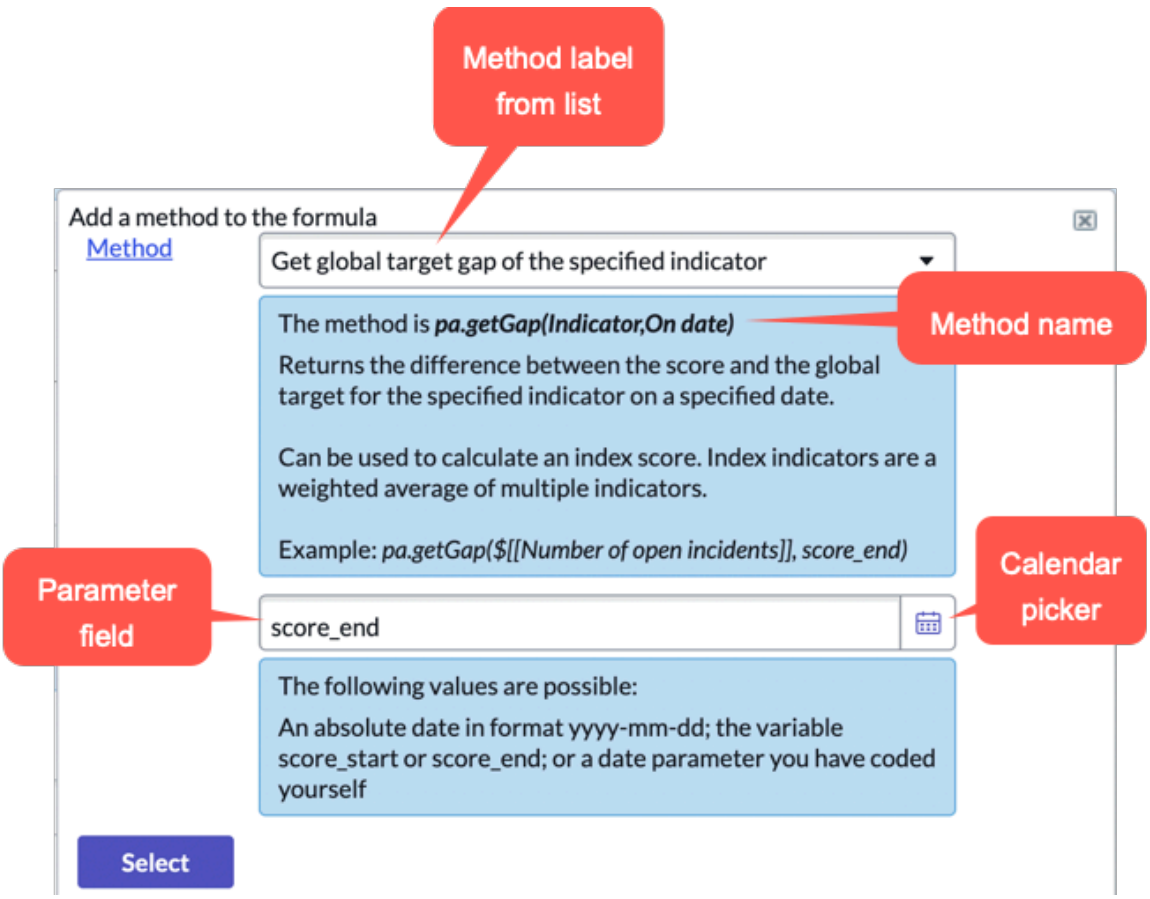
1. 式インジケーター レコードを開きます。
2. [数式] ボックスの下で、 メソッドの [参照] をクリックします。
   メソッドを選択できるダイアログボックスが開きます。
3. ニーズに合ったメソッドを参照します。
   メソッドは、編集中の現在の式、または指定する必要がある別のインジケーターのいずれかを参照します。リストには、メソッド名の代わりに各メソッドを説明するラベルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. メソッドを選択します。
メソッドを選択すると、メソッドの名前やパラメーターフィールドなどの説明が開きます。



日付フィールドには、次の値を指定できます。

- YYYY-MM-DD 形式の絶対日付 (2018-12-21 など)。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時間は、ユーザのタイムゾーンとデータベー

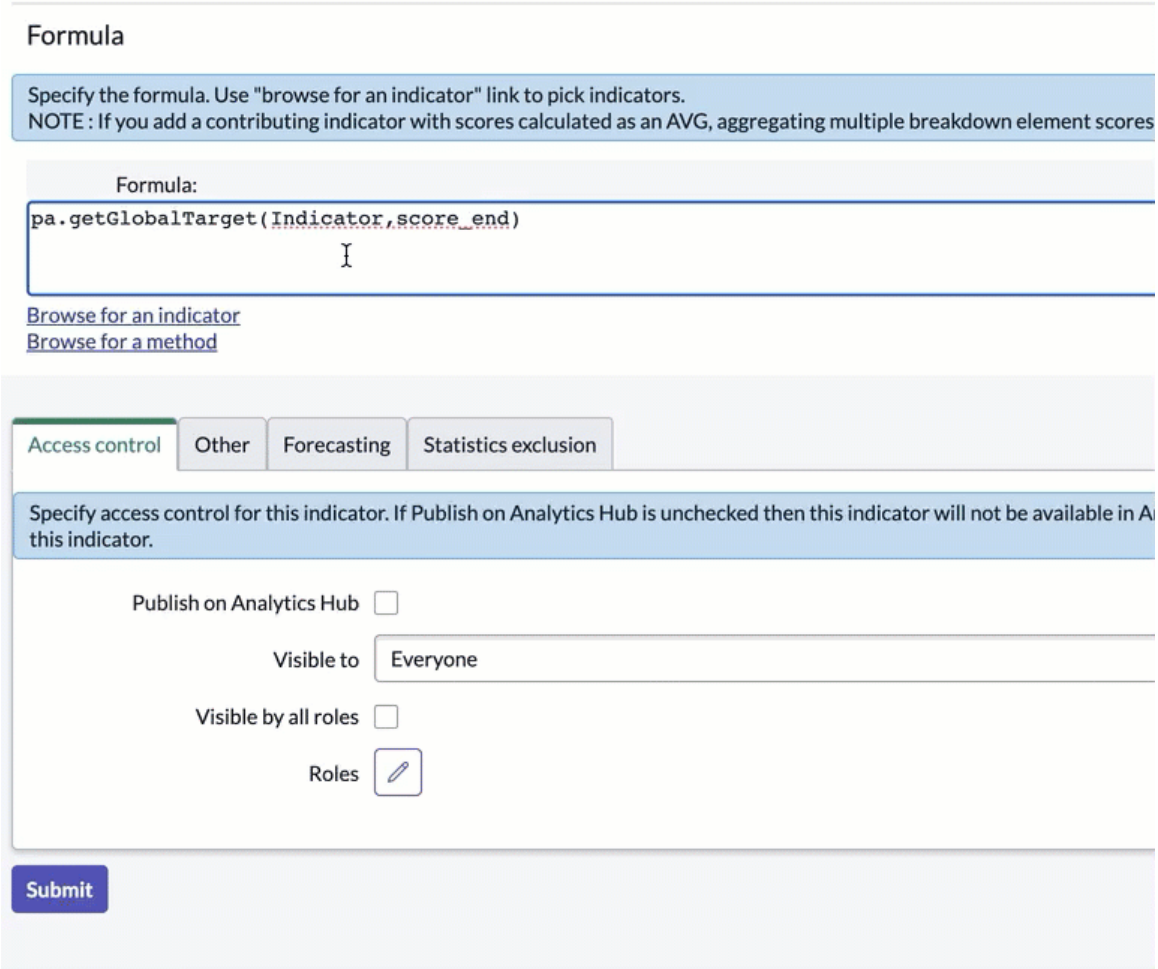
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スサーバのタイムゾーンの差 (GMT) から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了が変更されました」を参照してください。

- `GlideDate` または `GlideDateTime` API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

5. パラメーターを入力し、[選択] をクリックします。
   ダイアログが閉じ、インジケーターフォームの [式] フィールドにメソッドが表示されます。
6. メソッドでインジケーターを指定する必要がある場合は、カーソルで `インジケーター` パラメーターを選択し、[インジケーターの参照] をクリックします。
   インジケーター選択ダイアログが開きます。

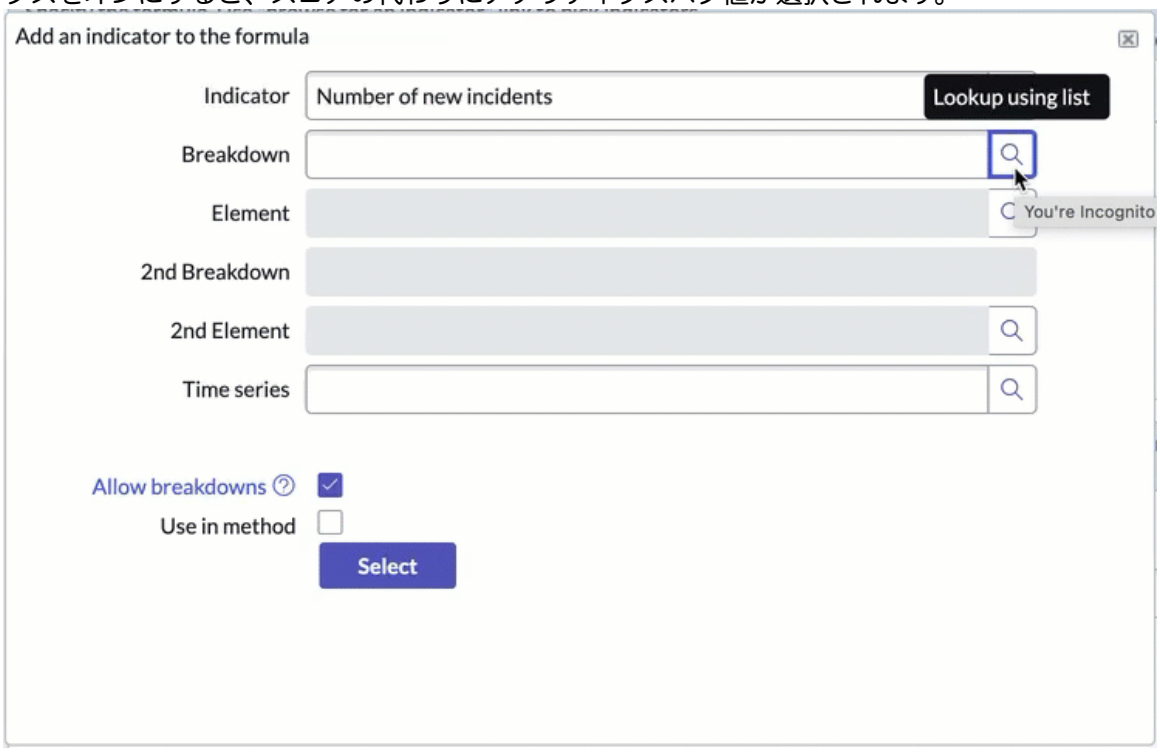


7. インジケーターを選択します。
8. オプション: ブレークダウンまたは要素と時系列アグリゲーションを選択します。
9. [メソッドで使用] を選択し、[送信]をクリックします。
   インジケーターが選択された状態で、メソッドが完了しました。インジケーターの前にはドル記号 $ が付いていることに注意してください。このドル記号は、インジケータースコアではなくインジ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーターの アナリティクスハブ 値が返されることを意味します。[メソッドで使用] チェックボックスをオンにすると、スコアの代わりにアナリティクスハブ値が選択されます。



Example: インデックスインジケーター

インデックスインジケーターは、複数のインジケーターを表す単一のスコアを生成するための式インジケーターのユースケースです。次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバルターゲットのギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、[方向] を [最大化] に設定して式インジケーターを作成します。すべてのインデックスインジケーターを最大化する必要があります。次に、[メソッドの参照 **(Browse for a method**)] 関数と [インジケーターの参照 **(Browse for an indicator**)] 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

Example: 変更自体にターゲットを設定する

インシデントバックログを前月比で 10% 削減するというチームの目標を設定したいと考えています。次の式で式インジケーターを作成し、 アナリティクスハブのこのインジケーターのターゲットを -10% に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYearUTC() + '-' +
 score_start.getMonthUTC() + '-01');
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod.addDaysUTC(-1),
 score_start);
```

Example: ブレークダウンと要素に基づいてスコアを除外する

優先度 = 1 - 重大のインシデントのスコアを除外する場合。

1. 優先度ブレークダウンと [1 - 重大] 要素の一意のレコード識別子を取得します。ブレークダウンレコードはブレークダウンテーブルにあります。要素レコードの場所はさまざまですが、ブレークダウンのブレークダウンソースで識別されます。この場合、要素は選択肢 [sys_choice] レコードです。一意のレコード識別子を取得する方法については、「 一意のレコード識別子 (sys_id) 」を参照してください。

   一意のレコード識別子は、優先度ブレークダウンの場合は baec0752bf130100b96dac808c0739ed、1 - 重大要素の場合は 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。

2. 次の式を使用してインジケーターを作成します。

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
{
res = 0;
}
res;
```

PAFormulaUtils API

PAFormulaUtils API を使用すると、 アナリティクスハブ で計算された値を取得し、その値を式の入力として使用できます。

`PAFormulaUtils` API を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- この API を使用する式インジケーターを作成するユーザーには、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールが必要です。

`PAFormulaUtils` パラメーターのインジケーター名の前にドル記号 $ が付きます。この例のオープンインシデントの数インジケーターのようになります。`pa.getGap($[[オープンインシデントの数]], score_end);`。このドル記号は、インジケータースコアではなく、インジケーターの計算された アナリティクスハブ 値が返されることを意味します。

`PAFormulaUtils` メソッドの日付パラメーターは、次のいずれかの形式を取ります。

- YYYY-MM-DD 形式の絶対日付 (2018-12-21 など)。
- 変数 `score_start` または `score_end`。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時間は、ユーザのタイムゾーンとデータベースサーバのタイムゾーンの差 (GMT) から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了が変更されました」を参照してください。
- *`GlideDate`* または *`GlideDateTime`* API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告: `PAFormulaUtils` API は式インジケーターでのみ使用でき、スクリプトでは使用できません。

`PAFormulaUtils` API には、次のメソッドが含まれています。

getChange(文字列インジケーター、オブジェクト fromDate、オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変更を計算するインジケーターの一意の識別子。
fromDate	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日。

戻り値

タイプ	説明
番号	指定されたインジケータースコアの 2 つの日付の差。

Example: 月の初めから最後の収集期間への変更

この例には、スコアが毎日収集されるオープンインシデントの数インジケーターがあります。fromDate パラメーターは、現在の月の最初の 1 秒で、前回の収集期間 (score_start) のタイムスタンプを取得し、タイムスタンプから年と月を抽出し、日を表す数字 01 を追加することによって構築されます。toDate パラメーターは、最後の収集期間の開始時のタイムスタンプであり、タイムゾーンの違いに応じて、前日の最初の 1 秒になります。

```
pa.getChange($[[Number of open incidents]], new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' +
 score_start.getMonth() + '-01'), score_start);
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getChangePercentage(文字列インジケーター、オブジェクト fromDate、オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化率を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変化率を計算するインジケーターの一意の識別子。
fromDate	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日

戻り値

タイプ	説明
番号	指定された 2 つの日付間の指定されたインジケーターの変化率。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例：

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod, score_start);
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getCurrentAggregateID()

現在の式のインジケーターから時系列集計識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブ での選択に応じて変化する現在の式のインジケーターからの動的な時系列アグリゲート ID。時系列アグリゲート ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentAggregateID() == '89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc')
  {
    res = 0;
  }
res;
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

この方法を使用して、特定のブレークダウンの式を変更するときにレベル 1 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 1 ブレークダウン ID。レベル 1 のブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownSysID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementSysID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

この方法を使用して、特定のブレークダウンの式を変更するときにレベル 2 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブの選択に応じて変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 2 ブレークダウン ID。レベル 2 のブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

PAFormulaUtils API

getCurrentElementID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、このメソッドを使用します。たとえば、クエリを実行するときに、変更されないグループからの変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするときにこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブの選択に応じて変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 1 ブレークダウン要素 ID。レベル 1 のブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
 {
 res = 0;
 }
res;
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getCurrentElementLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、このメソッドを使用します。たとえば、クエリを実行するときに、変更されないグループからの変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするときにこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択に応じて変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 2 ブレークダウン要素 ID。レベル 2 のブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getGap(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付に、指定されたインジケーターのグローバルターゲットギャップを返します。

ギャップは、指定された日付のスコアとターゲットの差です。[最大化] 方向のインジケーターの場合、ギャップはスコアからターゲットを引いた値として計算されます。方向が最小化または方向がないインジケーターの場合、ギャップはターゲットからスコアを引いたものとして計算されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	ギャップ情報を提供するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	ターゲットスコアとの比較に使用するスコアの日付。

戻り値

タイプ	説明
番号	指定された日付のスコアとグローバルターゲットスコアの差。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

PAFormulaUtils API

getGlobalTarget(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられたグローバルターゲットを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	グローバルターゲットを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのグローバルターゲット。

例：

```
pa.getGlobalTarget($[[% of open overdue incidents]],score_start);
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

getPersonalTarget(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられた個人ターゲットを返します。

個人インデックススコアを取得するには、この方法を使用します。「個人」とは、 アナリティクスハブを閲覧しているアクティブなユーザーを指します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	個人ターゲットを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターの個人ターゲット。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getPersonalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

PAFormulaUtils API

getScore(文字列インジケーター、オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのスコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	スコアを取得するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	スコアを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのスコア。

例：

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

関連トピック

PAFormulaUtils API

式の貢献インジケーターがブレークダウンを追跡できないようにする

ブレークダウンされないように式に寄与するインジケーターを選択できます。ユーザーが式インジケーターにブレークダウンを適用すると、これらのインジケーターにはブレークダウンは適用されません。

ブレークダウンダッシュボードなどの 式インジケーターにブレークダウンを適用すると、そのブレークダウンはすべての 貢献インジケーターに適用されます。{{Indicator}} という構文を使用して、貢献インジケーターが分解されないようにすることができます。[インジケーターの参照] ダイアログの [ブレークダウンを許可] チェックボックスをオフにすることで、貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにすることもできます。このダイアログは、作成時に開きます

たとえば、式 [[インシデント]] / [[顧客]] を考えてみます。このインジケーターに地域ブレークダウンを適用し、ブレークダウン要素として EU を指定すると、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = eu]] / [[顧客 > 地域 = eu]] を使用してスコアを返します。しかし、すべての地域のインシデントの合計数で割った EU のインシデント数を表示するために、式 [[インシデント]] / {{Customers}} を記述することができます。{{Indicator}} 形式を使用すると、顧客インジケーターはブレークダウンを無視します。この方法で、EU ブレークダウン要素で地域ブレークダウンを適用するしたときに、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = EU]] / [[顧客]] と等しくなります。

式インジケーター全体のブレークダウンに従わない貢献インジケーターのブレークダウンと要素を指定することもできます。計算式 [[Incidents]] / {{Customers > importance = high}} を考えてみます。この例では、式の分母は常に重要度の高い顧客のみを含むように分解されます。地域ブレークダウンなど、式インジケーターに適用されるブレークダウンは、顧客インジケーターには適用されません。

式インジケーターのブレークダウン マトリクス

式インジケーターは、式内のインジケーターからブレークダウン マトリクスを継承します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

式内のすべてのインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集する場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンを使用できます。式内のインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集しない場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンは使用できません。式内の一部のインジケーターだけがブレークダウン マトリクスを収集する場合、それらのインジケーターのみを第 2 レベルで分解することができます。

Example: 一方または両方のインジケーターについてブレークダウンマトリクスが計算される、2 つの貢献インジケーターを持つ式

「オープンインシデントの合計経過時間」および「オープンインシデントの数」インジケーターのブレークダウンマトリクスが収集されたケースを考えてみましょう。次に、次の式を使用してインジケーターを作成します。

```
[[Summed age of open incidents]]/[[Number of open incidents]]/24
```

特定の日、この式インジケーターのスコアは 170 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 2
Formula: 8152/2/24=170
```

ブレークダウンマトリクスが「オープンインシデントの合計経過時間」に対してのみ計算される場合はどうなりますか? この場合、「オープンインシデントの数」は優先度ではなくカテゴリ別にのみ分類されます。同じ日の同じ式インジケーターのスコアは 11 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software: 31
Formula: 8152/31/24=11
```

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

式インジケーターの場合、時系列アグリゲーションは、式内の各インジケーターに個別に適用することも、式の結果に適用することもできます。

[時系列を結果に適用] オプションを使用して、時系列アグリゲーションの適用方法を決定します。このオプションは、式インジケーターレコードの [その他の プロパティ] タブで選択または無効にできます。このオプションは、 コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェット と アナリティクスハブ、または でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクスでインジケーターに適用するすべての時系列アグリゲーションに適用されます。インジケーターに設定されている場合、このオプションはデフォルトの時系列にも適用されます。

注:

- デフォルトの時系列は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ適用されます。ウィジェットまたはデータの可視化で時系列集計を選択しない場合、デフォルトの時系列は適用されません。
- アナリティクスハブまたはKPI 詳細で設定を有効にするには、インジケーターにデフォルトの時系列が設定されていない場合は、実際のアグリゲートを選択する必要があります。時系列が単なるインジケーター頻度 (日次、週次など) の場合、[時系列を結果に適用] 設定は適用されません。

[時系列を結果に適用] がオンになっている場合、最初に式が評価され、次に選択した時系列が最終結果に適用されます。[時系列を結果に適用] がオフの場合、各 貢献インジケーター が評価され、デフォルトの時系列が適用されます。次に、式が評価されます。2 つの設定では、結果が大きく異なる場合があります。どちらの設定も間違っているわけではありませんが、選択する前に何を測定しているのかを慎重に考える必要があります。

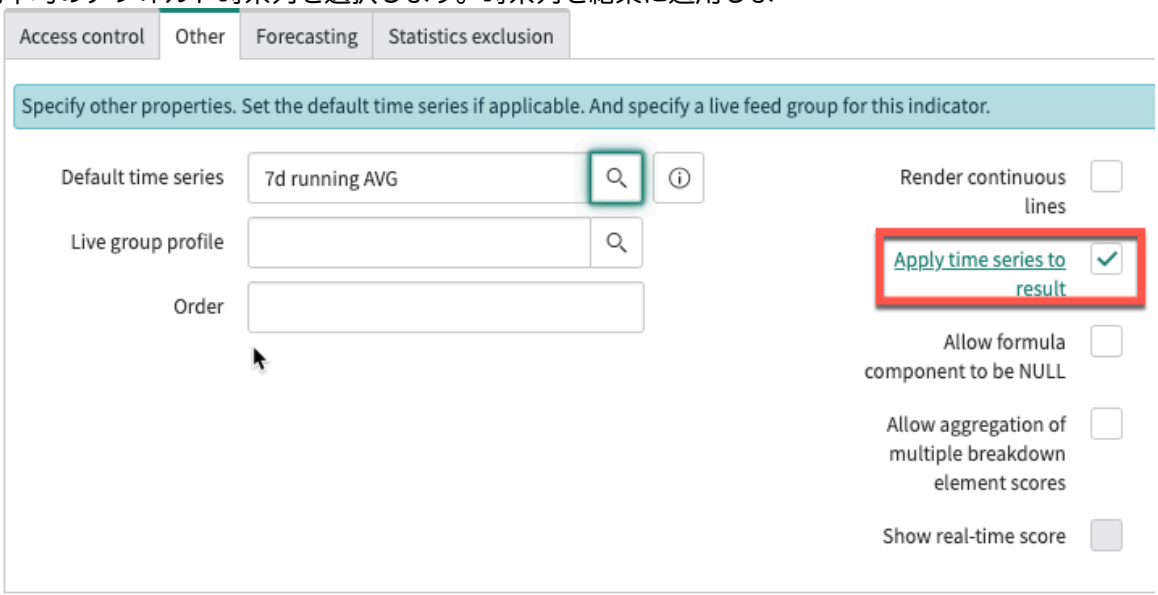
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 時系列を結果に適用する場合と貢献インジケーターに適用する場合の比較

式インジケーター「新規 P1 インシデントの割合」を考えてみましょう。このインジケーターは、毎日、優先度 1 - 重大の新規インシデントの割合を計算します。

([[新規インシデントの数 > 優先度 = 1 - 重大]] / [[新規インシデントの数]]) * 100

結果にデフォルトで 7 日間の実行平均を表示する アナリティクスハブにしました。インジケーターレコードの [その他] タブで、7 日間移動平均のデフォルト時系列を選択します。時系列を結果に適用します。



結果の計算では、式は毎日解決されます。次に、その日と過去 6 日間の結果の平均が取られます。

((新 P1/新$_{1\ 日目}$ * 100) + (新 P1/新$_{2\ 日目}$ * 100)+ ...(新 P1/新$_{7\ 日目}$ *100))/ 7

最終結果の 7 日間平均が必要か、各インジケーターの 7 日間平均が必要かわかりません。したがって、同じ時系列で前の式インジケーターをコピーしますが、[時系列を結果に適用] はオフです。これで、時系列は、[優先度 = 1 - 重大] と [新規インシ デントの数] >新規イン シデント の数に個別に適用され、式が解決されます。

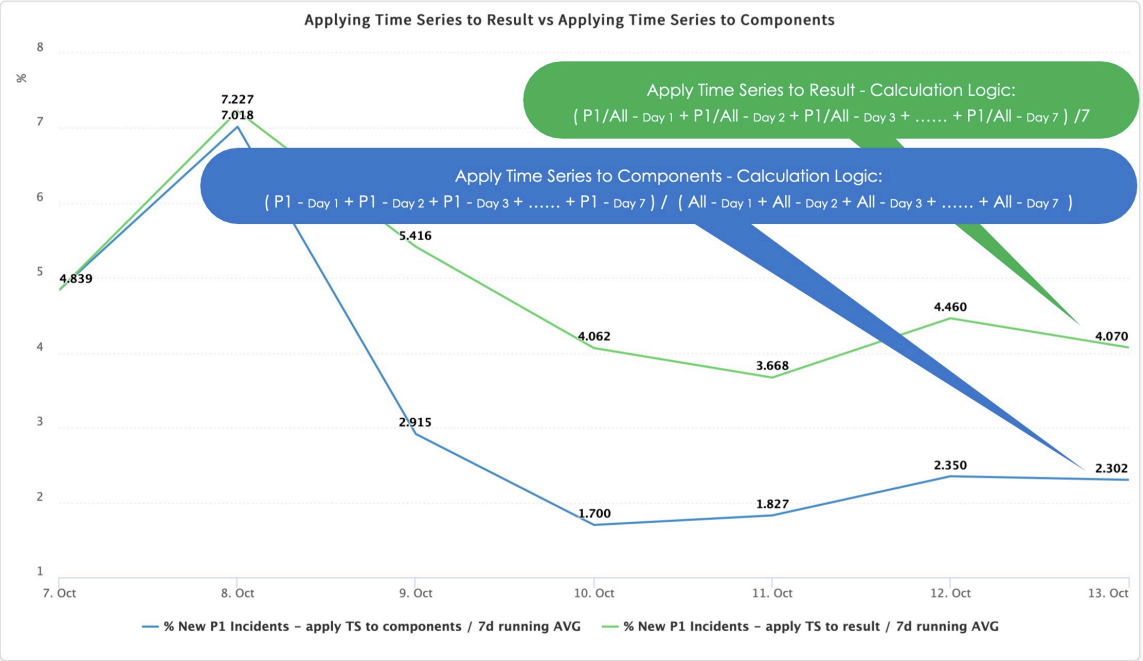
(新 P1$_{1\ 日目}$ + 新 P1$_{2\ 日目}$ + ...新P1 7$_{日目}$) / (新1$_{日目}$ + 2$_{日目}$ + ...すべて新しい$_{7\ 日目}$) * 100

時系列ウィジェットに両方の式インジケーターをプロットして、2 つの設定の結果の違いを確認します。デフォルトの時系列は アナリティクスハブにの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

み適用されるため、7 日間移動平均の時系列もウィジェットに追加します。



関連トピック

時系列集計の適用

式にスコアのないインジケーターを検出する

計算式の作成者は、スコアが null の貢献インジケーターを処理できます。最初に、null スコアが含まれている場合でも式を計算するように式インジケーターを設定します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

式インジケーターの式には通常、1 つ以上の他のインジケーターが含まれています。これらのインジケーターのいずれかにスコアがない場合、デフォルトでは式は計算されず、式インジケーターはスコアを返しません。ただし、式インジケーターが null を返すのではなく、スコアのないインジケーターを特定するためのユースケースがいくつか存在します。まず、式内のインジケーターにスコアがない場合に計算式が計算されるようにします。その後、スコアのないインジケーターに値を割り当てることができます。

手順

1. 対象の式インジケーターを開きます。
2. [計算式コンポーネントが **null** となることを許可する] を選択します。
3. [式] に、スコアがない場合にインジケーターに値を指定する `if{} else {}` ステートメントを追加します。

Example: [計算式コンポーネントが **null** となることを許可する] を含むフィールドインジケーター

クローズされたインシデントがない場合の収集期間について、次の式インジケーターを検討してください。そのため、クローズされたインシデントの数インジケーターにはスコアがありません。

フォーミュラ 1:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
[[Number of open incidents]] / [[Number of closed incidents]]
```

式 2:

```
[[Formula 1]] + 23
```

計算式 3:

```
if ([[Formula 1]] == null) { 23 } else { 11 }
```

式 4:

```
[[Formula 2]] || 64
```

計算式 5:

```
(([[Formula 1]] == null && [[Formula 2]] == null) ? 11 : 18)
```

いずれの式インジケーターに対して も [計算式コンポーネントを **null** にすることを許可する] が選択されていない場合、どのインジケーターにもスコアがありません。

すべての式インジケーターに対して [計算式コンポーネントを **null** にすることを許可する] が選択されている場合、スコアは次のとおりです。

- 計算式 1 = null
- 式 2 = 23
- 式 3 = 23
- 式 4 = 64
- 式 5 = 11

式 2、式 3、式 4、および式 5 は、null スコアを処理する 4 つの異なる方法を表します。

式内の複数のインジケーターのインデックス作成

複数の組み合わせたインジケーターの全体的なターゲットに対するギャップを測定する式を記述できます。このような式インジケーターは「インデックスインジケーター」と呼ばれます。

プロセス、サービス、グループ、およびその他のビジネスエンティティのパフォーマンスは、多くの場合、複数のインジケーターを使用して追跡および監視されます。これらのプロセス、ビジネスサービス、またはワークグループのパフォーマンスを表示および分析すると、全体像が複雑であいまいになる可能性があります。たとえば、次のようになります。

- 3 つのインジケーターのスコアはいくらか改善しましたが、そのうちの 2 つのスコアはまだターゲットを下回り、1 つのスコアはターゲットを上回っています。
- 1 つのインジケーターのスコアはほぼ同じままで、まだターゲットを下回っています。
- ある指標のスコアは大幅に低下しましたが、幸いなことに目標をわずかに上回っています。

この情報を見ると、次の質問に対する答えは明確ではありません。

- プロセス/サービス/グループの全体的なパフォーマンスは、依然として目的レベル以上でしょうか？
- 全体的なパフォーマンスは向上しましたか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インデックスインジケーターは、これらの質問に回答できます。インデックスインジケーターでは、複数のインジケーターのスコアが 1 つのスコアに集計されます。これは、いくつかのインジケーターの加重平均です。これらのインジケーターの加重合計が改善している場合、インデックス式の計算済みスコアは上昇します。他のインジケーターと同様に、インデックスインジケーターはスコアが良いかどうか、スコアが向上したかどうかを示します。

インデックスインジケーターの背後にある原則は、各インジケーターの 100 にインデックス付けされたスコア値を計算することです。これらのインデックス付きスコアがある場合は、数学的にそれらの全体の平均を計算できます。

インデックスインジケーターに含めるには、インジケーターに方向とターゲットが必要です。最大化方向を持つインジケーターのインデックス付きスコアを計算するための基本的な式は次のとおりです。

```
100 + (((actual score - target) / target) * 100)
```

最小 化 方向を持つインジケーターの場合、式は次のようになります。

```
100 - (((actual score - target) / target) * 100)
```

インジケーターに均等に重み付けする場合は、個々のインジケーターを 100 にインデックス付けする代わりに、最終的なアグリゲーションを 100 にインデックス付けできます。

PAFormulaUtils() API のメソッドを使用して、アナリティクスハブからインジケーターのスコアとターゲットの間のギャップを取得できます。詳細については、 式でアナリティクスメソッドを取得するを参照してください。

```
pa.getGap(indicator, On date) / pa.getGlobalTarget(indicator, On date)
```

方向ごとに演算子が異なるため、基礎となるインジケーターのスコアが改善 (上昇または下降) している場合、インデックスインジケーターのスコアは増加しています。したがって、インデックスインジケーターの方向は常に 最大化に設定してください。

インジケーターにターゲット値が設定されていない場合は、代わりに標準値を使用します。ターゲット値または標準値が 0 に等しいインジケーターは、0 で除算する必要があるため、インデックスインジケーターでは使用できません。

各インデックスインジケーターのターゲットを 100 に設定します。このターゲットは、基礎となるすべてのインジケーターの実際のスコアがそのターゲット値または標準値と等しい場合に、計算された総合インデックス付きスコアです。

インデックスインジケーターは、複数の複合インジケーターの全体的なターゲットに対するギャップを測定します。これは「目標達成率」を測定しています。

Example: PAFormulaUtils() メソッドを使用したインデックスインジケーター

次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバルターゲットのギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、次の手順に従ってインデックスインジケーターを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] をクリックします。インデックスインジケーターは、式インジケーターのユースケースです。
2. インジケーターに「 インシデントギャップの集計」などのわかりやすい名前を付けます。
3. インデックスインジケーターを作成するため、[方向] を [最大化] に設定します。
4. [式] フィールドで、[メソッドの参照] と [インジケーターの参照] 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

3 つのインジケーターは均等に重み付けされるため、アグリゲーションは個々のインジケーターではなく 100 にインデックス付けされます。

ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了が変更されました

式インジケーターの場合、変数 score_start と score_end の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を実行すると、score_start と score_end の値は変わります。

> ⚠ **警告:** 異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を表示すると、 score_start 変数と score_end 変数の日付値が変化する可能性があります。

式には、式が参照するインジケーターのパラメーターとして score_start 変数または score_end 変数を含めることができます。これらの変数は、参照先インジケーターに対して計算される特定の収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。score_start変数とscore_end変数の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンとデータベースサーバーのタイムゾーン (GMT) との差から計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するたびに式を実行します。その結果、異なるユーザーが同じ式を表示すると、収集期間の開始または終了の日付値がシフトする可能性があります。

Example: ユーザーのタイムゾーンごとに異なるscore_end値

日次頻度と次の式を持つ式インジケーターを考えてみましょう。

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

10 月 18 日に、3 人の異なるユーザーがこの式インジケーターを使用してダッシュボードウィジェットを表示しています。データベースサーバーは、10 月 18 日の score_end を 10 月 18 日の 23:59:59 GMT と見なします。

- 1 人のユーザーがヨーロッパ/ベルリンのタイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-18 21:59:59」で、日付 10 月 18 日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが米国/太平洋標準時ゾーンにいます。score_end値は「2019-10-19 06:59:59」で、日付 10 月 19 日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが GMT タイムゾーンにいます。これらの score_end 値はデータベースサーバー「2019-10-18 23:59:59」と一致し、日付 10 月 18 日のスコアが返されます。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス の変数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手動インジケーター

手動インジケーターは、データベースから収集されたスコアを使用しません。 手動インジケーターは通常、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。データが第三者の営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

手動インジケーターは、インジケーター ソースに関連付けられていません。手動インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加することで、これらのインジケーターに入力します。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在存在するドメインに作成されます。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合は、 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (手動) をクリックし、[新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクスに移行した場合は、次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (手動) をクリックし、[新規] を選択します。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. [周期] フィールドで、スコアが設定される周期を選択します。
   デフォルト値は [日次] です。

   注: 手動インジケーターの周期では、そのデータをチャート化する方法を指定します。たとえば、チャートで 1 日あたりまたは 1 か月あたりのデータ ポイントを設定した場合、この設定はスコアシートにも影響するため、日次または月次のどちらの値を入力できるかが決まります。

4. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント: 可能な限り方向を設定してください。すべての主要なインジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

値	ユースケース
最大化	このインジケーター スコアの増加が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最大化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの増加が良いことであり、減少することが悪いことであることを反映しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

値	ユースケース
最小化	このインジケーター スコアの減少が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最小化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの減少は良いことであり、増加することは悪いことであることを反映しています。
なし	このスコアの変更の方向が、ビジネスにとって重要でない場合に選択します。

5. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時]、および [分] で表示されます。システムプロパティ `glide.ui.duration.seconds.enabled` が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	数千からクインティリオンの多数の略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。でインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

6. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターは次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブ、ただし完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでのみ有効です プラットフォームアナリティクス
7. [アクセス制御] タブで、インジケーター スコア追加の権限を持つ貢献者になるユーザーを設定します。
pa_admin、pa_power_user、または pa_contributor ロールを持つユーザーのみを選択できます。
8. [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

フィールド	説明
デフォルトの時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターのデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定すると、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取ることができます。 ServiceNow AI Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。 この値はインジケーター スコアにのみ適用されます。ブレークダウン要素のスコアには影響しません。
順序	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。値が最も小さいイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。いくつかのインジケーターのみに数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターのデータ行が途切れることなく表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータの場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、 KPI 詳細に時系列が設定されている場合、連続線はレンダリングされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。

次のタスク
手動ブレークダウンを作成して、このインジケーターにアサインします。次に、手動でスコアを追加します。

関連トピック
- 手動ブレークダウン
- インジケーターのスコアの手動での追加または編集

インジケーターの削除

不要なインジケーターや未使用のインジケーターをインスタンスから削除します。インジケーターの削除にはリスクが伴うため、いくつかの制限があります。

始める前に
インジケーターを削除する前に、ロールに加えて、次の要件を満たしていることを確認してください。

- インスタンスには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションバージョンに対するアクティブなエンタイトルメントがあります。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- インスタンスがドメインセパレーションされている場合は、インジケーターと同じドメインを可視化できます。
- 削除するインジケーターが式インジケーターで使用されていません。そのように使用する場合は、最初にそれらの式インジケーターを削除できるかどうかを確認してください。
- インジケーターはベンチマークインジケーターではありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:pa_data_collector (インジケーターレコードがこのロールに表示される必要があります。外部インジケーターは削除できません)、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

⚠ 警告: インジケーターを削除すると、そのインジケーターのすべてのスコアが削除されます。インジケーターを削除する前に、データギャップが生じるリスクを考慮してください。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないインスタンスを使用している場合は、 すべて > > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > [インジケーターのタイプ]をクリックし、削除するインジケーターを見つけます。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスを使用している場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > [インジケーターのタイプ]をクリックし、削除するインジケーターを見つけます。
2. インジケーターレコードを開きます。
3. インジケーターと同じアプリケーションスコープ内にいることを確認してください。
4. [削除] を選択します。
   [削除] ボタンが表示されない場合は、インジケーターを削除するための要件を満たしていることを確認してください。
5. 確認する。

パフォーマンスアナリティクススコア予測

パフォーマンスアナリティクス を使用すると、過去の動作に基づいて将来のスコアを予測できます。時系列ウィジェット、時系列データの可視化、 KPI 詳細、および アナリティクスハブでスコアを予測できます。予測スコアは点線で表示されます。

予測は、インジケーター レコードの [予測] タブで設定します。予測に含まれるデータポイントの数は、インジケーターの頻度と、インジケーターに設定された 予測期間 の数によって異なります。期間は、インジケーターの頻度に基づいて設定されたスコア数です。設定や予測方法に関係なく、生成される予測データポイントは 2688 個以下です。

ℹ 注: 構成可能ワークスペースの時系列データの可視化では、インジケーターに設定されている予測構成を上書きできます。この上書きは、そのデータの可視化にのみ適用されます。

また、時系列データのビジュアル化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターの予測に限定されません。パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションバージョンを使用している場合は、テーブルを除くすべてのデータソースの予測を生成できます。詳細については、「時系列データの可視化を作成」を参照してください。

関連トピック

自動インジケーターの作成

インジケーターの予測の構成

自動インジケーターのレコードで、 アナリティクスハブ、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、および時系列データの可視化に表示される予測を構成します。

始める前に
必要なロール:pa_power_user、pa_admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > 自動インジケーター.
2. 予測を構成する自動インジケーターを開きます。
3. [予測] タブに移動します。
4. 以下の値を設定します:

フィールド	説明
使用した予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムで使用される統計手法。デフォルト値は [自動] で、データに最適な方法が選択されることを意味します。詳細については、「予測方法の選択」を参照してください。
予測期間	スコアを予測する将来のデータ期間の数。 注: 期間の長さは、インジケーターの頻度に基づいています。詳細については、「インジケーター予測期間」を参照してください。
予測下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測の場合、代わりにこの値が表示されます。
予測上限	予測スコアの意味のある最大値。この値よりも高いスコアが予測されている場合は、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基礎となるスコアを選択します。

オプション	説明
すべてのスコア	このインジケーターのために収集されたすべてのスコア
前の期間	予測の基礎となる現在の前のデータ期間の数。これらのデータ期間は、「 予測期間」のデータ期間と同じ長さです。 前の期間を選択した場合は、[期間] フィールドに期間の数も指定します。
開始日（固定）	開始日以降に収集されたすべてのスコア。[開始日を固定] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

予測方法の選択

統計の専門家であれば、予測方法を手動で選択できます。デフォルトでは、インスタンスは方法の適合性に基づいて最適な方法を自動的に選択します。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスは各予測方法と履歴データを使用して予測を生成します。インスタンスは、どの程度先の予測に基づいて、それらの予測を最新のデータと比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用する予測方法が変更される可能性があります。

たとえば、2 期間先に予測するように日次頻度のインジケーターを設定した場合、インスタンスは各予測方法を 2 週間より前の履歴データに適用します。次に、インスタンスはそれらの予測を直近 2 週間分のデータと比較します。その後、直近 2 週間のデータに最も近い予測が、データセット全体を使用して再計算されます。インスタンスは、この最終計算の結果を アナリティクスハブ または KPI 詳細で表示します。

予測方法

パフォーマンスアナリティクス では、次の標準的な予測方法を使用できます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事 」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

インジケーター予測期間

スコアの頻度に応じて、異なる期間の長さが選択されます。表を参照して、系列に使用される期間の長さを確認してください。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

予測とターゲット

インジケーターの予測が有効になっていて、グローバルターゲットが定義されている場合、予測にはターゲットにいつ到達するかが表示されます。

さらに、インスタンスは、ターゲットに達すると予想される 14 日前に通知を送信します。*pa.job.forecast.target.days_to_check* プロパティを設定することで、通知が送信される日数を変更できます。

この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。しきい値と個人のターゲットは、予測に関係しません。

関連トピック

- パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

時系列アグリゲーションによる予測

時系列アグリゲーションをインジケーターに適用すると、予測期間の長さが変更されます。変更は、時系列のタイプによって異なります。

予測期間に対する時系列アグリゲーションの影響

時間アグリゲート	予測期間への影響	例
実行中	期間内のポイント数は「範囲」フィールドの値に等しくなります。	7 日間の移動合計の場合、予測期間には 7 つのデータポイントがあります。28 日間の累計では、28 個のデータポイントがあります。
期間別	選択した期間は、インジケーター頻度であるかのように扱われます。	日次インジケーターに適用される「週別」の時間集計には、予測期間あたり 13 個のデータポイント (四半期) があります。この予測期間は、時間集計のない週次インジケーターの場合と同じです。
終了日	期間の長さは、集計の時間スパンと一致します。期間あたりのデータポイントの数は、この時間スパンとインジケーター頻度の積です。	このセクションの残りの部分を参照してください。

頻度が日次であるインジケーターの場合、これまでの集計の期間あたり次のデータポイント数があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

終了時刻アグリゲーションによる日次インジケーターの期間あたりのデータポイント

週度累計	月度累計	四半期累計	年度累計
7	30	91	365

1 つの例外を除き、頻度が日次以外のインジケーターでは、年初来の集計のうち、年度累計のみがサポートされます。月次インジケーターは例外です。また、四半期累計の時刻アグリゲーションもサポートされています。四半期累計集計の月次インジケーターには、期間ごとに 3 つのデータポイントがあります。年度累計集計によるさまざまなインジケーター頻度の予測期間あたりのデータポイント数は次のとおりです。

年度累計時系列集計の予測期間あたりのデータポイント数

インジケーターの周期	期間あたりのデータポイント、年度累計
日次	365
週次	52
4 週間ごと	13
隔週	26
四半期ごと (会計)	4

関連トピック

時系列集計の適用

インジケータースコア予測の表示

クラシック環境では、時系列ウィジェットまたは アナリティクスハブに予測を表示します。構成可能ワークスペースで、時系列データの可視化またはKPI 詳細で予測を表示します。

時系列ウィジェットに予測を表示するには、[ウィジェット] フォームの [表示設定] セクションで [予測を表示] を選択します。[予測範囲を表示] を選択すると、予測の 95% 信頼間隔を表示することもできます。詳細については、「時系列ウィジェット」を参照してください。

アナリティクスハブに予測を表示するには、チャート設定アイコン ( ) をクリックし、[予測] オプションを有効にします。同様に、 KPI 詳細で [チャートオプション] を開き、[予測] を有効にします。

時系列データの視覚化で予測を表示するには、追加設定 を展開し、 予測を表示 をオンにします。次に、予測範囲を表示するオプションがあります。[予測の構成] を開くことで、この特定のデータ可視化のインジケーターの予測構成を上書きできます。

インジケーターの予測を KPI 詳細に表示するには、 のチャートオプション KPI 詳細で予測をオンにします。

関連トピック

時系列ウィジェットの追加設定

アナリティクスハブ 特定のインジケーター用

時系列データの可視化のためのインジケーターデータオプション

によるインジケーターの検査 KPI 詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター グループの作成

利便性を高めるために、関連するインジケーターをインジケーターグループに整理できます。複数のインジケーターを表示する一部の可視化を構成するときに、個々のインジケーターの代わりにインジケーターグループを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
インジケーターグループを作成することで、最も役立つテーマに沿ってインジケーターを整理できます。インジケーターが同じタイプである必要はなく、インジケーターソースまたはデータコレクタージョブを共有している必要もありません。インジケーターグループを使用すると、次のオブジェクトを設定するときに、複数の個別のインジケーターを指定する手間が省けます。

- リストウィジェット
- 相対比較による可視化を使用した時系列ウィジェット
- インジケーターに関するメール通知
- セキュリティインシデントアナリティクスツリーマップ

インジケーターグループを作成したら、グループにインジケーターを追加したり、グループから削除したりできます。この変更は、インジケーターグループを使用するすべてのオブジェクトに伝播されるため、オブジェクトの構成を編集する必要はありません。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合は、 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーターグループ をクリックし、[新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクスに移行した場合は、次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーターグループ をクリックし、[新規] を選択します。
2. [**New**] をクリックします。
3. インジケーター グループの [ラベル] を入力します。
4. [他のアクション] メニュー (☰) を開き、[保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストが表示されます。
5. [インジケーター] 関連リストの [編集] をクリックし、インジケーターをグループに追加します。
6. [保存] をクリックしてインジケーターの追加を終了し、[更新] をクリックしてインジケーターグループレコードを終了します。

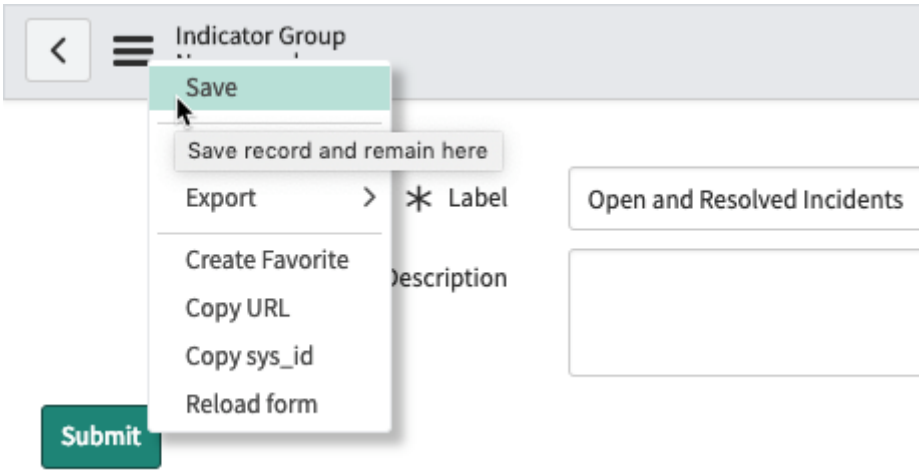
Example: 「オープンおよび解決済みインシデント」インジケーターグループの作成と使用

この例では、オープンまたは解決済みのインシデントを参照するすべてのインジケーターを含むインジケーターグループを作成します。インシデントはすべて、 パフォーマンスアナリティクスのデモデータに含まれています。インジケーターグループを作成したら、インジケーターグループを使用するリストウィジェットを作成し、ウィジェットをダッシュボードに追加します。

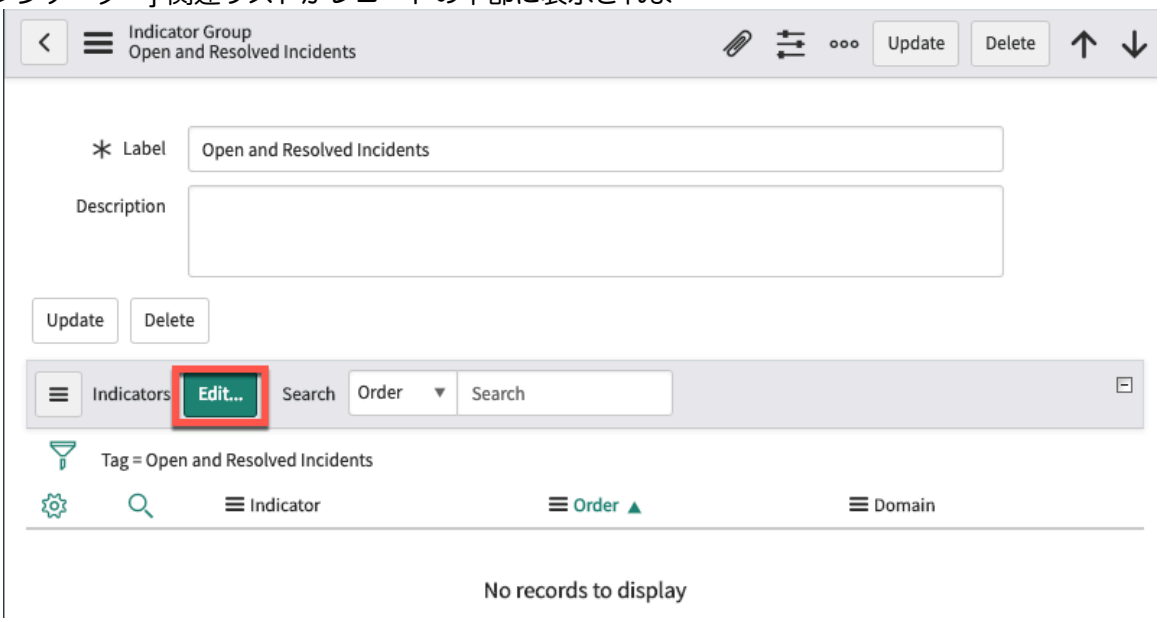
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. まず、に移動します パフォーマンスアナリティクス > インジケーターグループ をクリックし、[新規] をクリックします。空のインジケーターグループフォームが開きます。
2. インジケーターグループに [オープンインシデントと解決済みインシデント] ラベルを付け、[他のアクション] メニューからフォームを保存します。



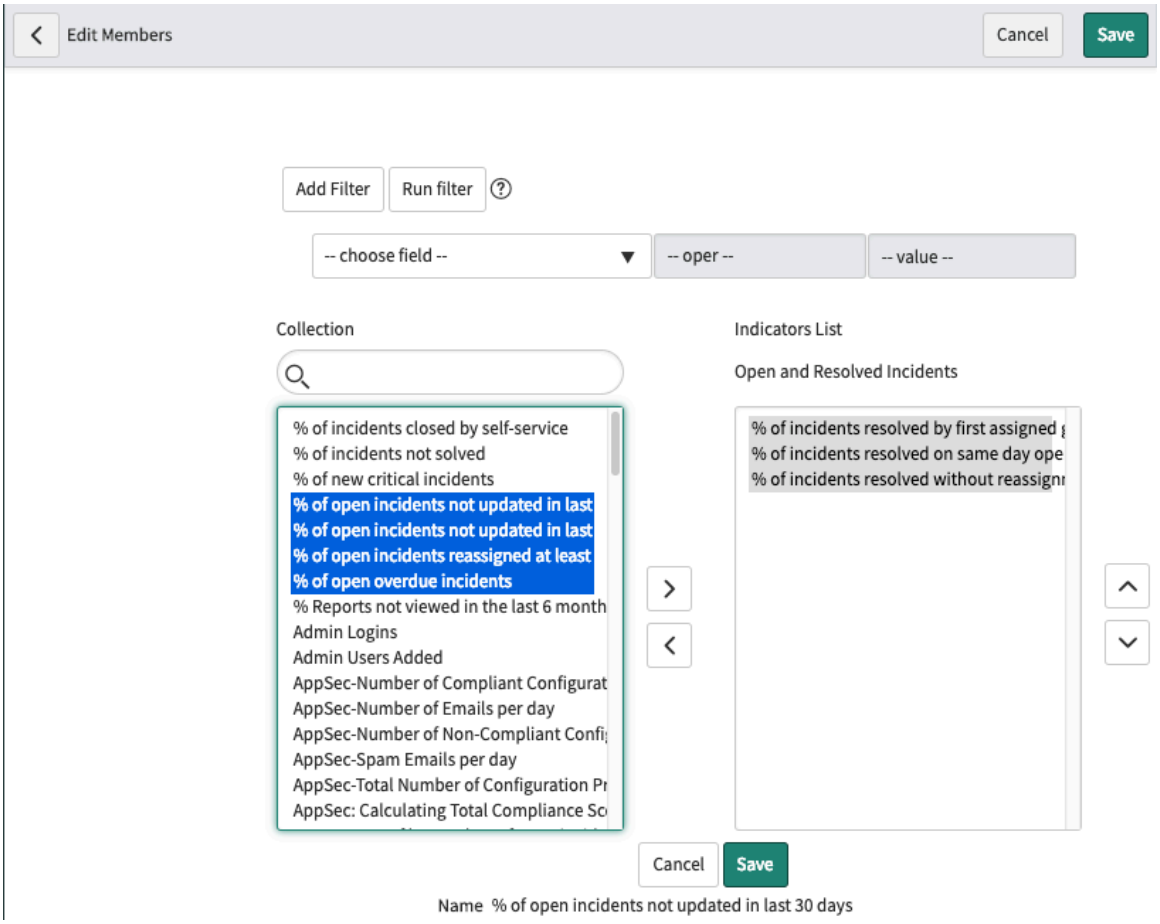
[インジケーター] 関連リストがレコードの下部に表示されます。



3. 「 編集」**(Edit)** をクリックすると、「メンバーの編集」(Edit Members) ダイアログが開きます。解決済みまたはオープンインシデントを含むすべてのインジケーターをグループ化するには、名前に「resolved」または「open」を含むすべてのインジケーターを追加します。インシデントバックログの増加インジケーターも追加します。

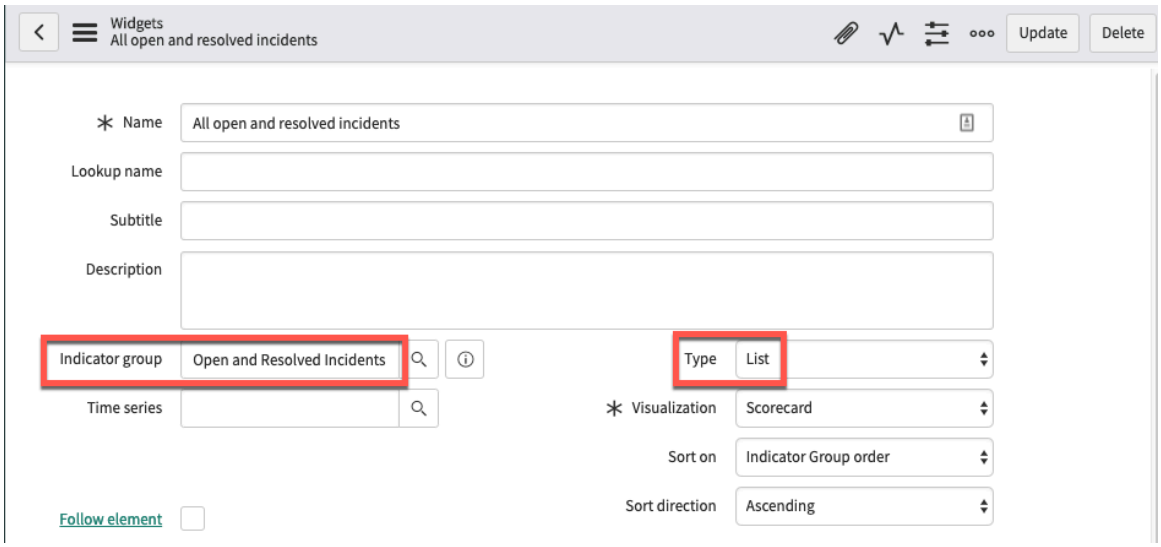
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

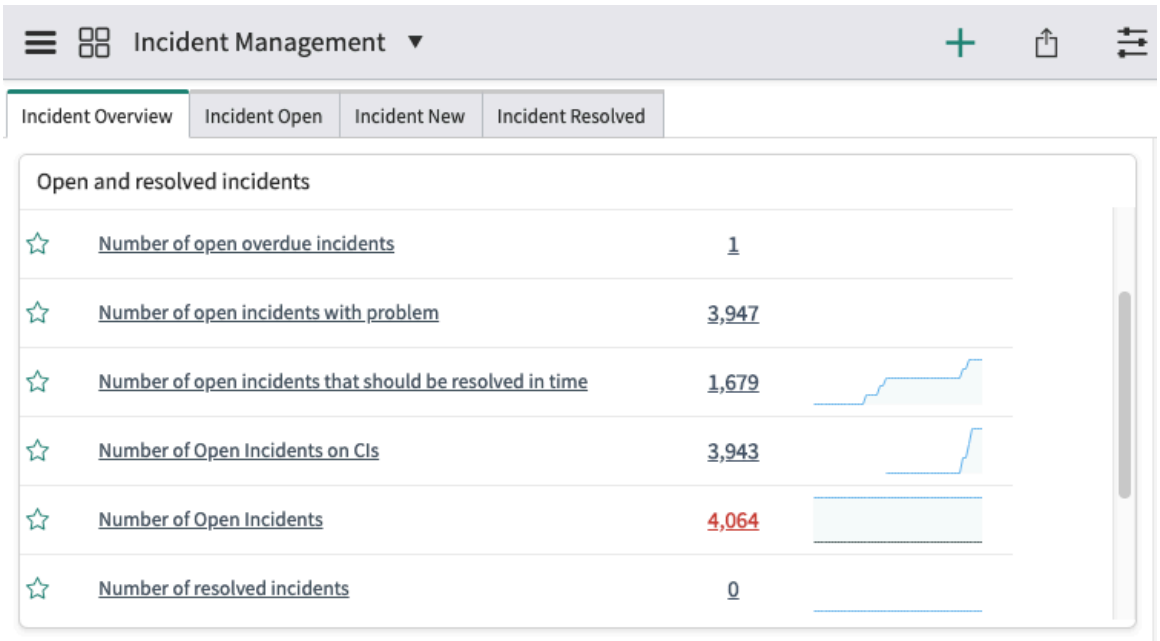


4. インジケーターグループが完了しました。[メンバーの編集] ダイアログで [保存] をクリックし、インジケーターグループレコードの [更新] をクリックします。
5. 次に、 パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットを作成し、[オープンおよび解決済みのインシデント] インジケーターグループを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. ウィジェットを他のユーザーと共有するには、ウィジェットをインシデント管理ダッシュボードに追加しま



す。

関連トピック

- リストウィジェット
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成
- インジケーターのメール通知を作成する
- ツリーマップカテゴリの作成または更新 (セキュリティインシデントアナリティクス)

インジケーターの丸めと精度

インジケーターは、インジケーター [精度] に応じて、「銀行家の丸め」または数学的な丸めを使用して、結果の小数部を丸めます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアが 10,000 未満

インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い偶数の整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケーターが値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。ただし、式が 2 + (5 / 2) を計算した場合、インジケーターは結果を 4 に丸めます。

インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。

10,000 を超えるスコア

インジケータースコアが 10,000 を超える場合、スコアは丸められ、次のように単位の省略形で表示されます。

大きな数の表示

番号	略称	例:precision=0	例:precision=1
10,000-999,999	最も近い 1,000 (k)	13,291 は 13 k として表示されます	13,291 が 13.3 k として表示されます
1,000,000-999,999,999	最も近い 100 万単位 (M)	17,824,391 は 18 M として表示されます	17,824,391 17.8 M として表示
1,000,000,000	最も近い 10 億、G	2,378,425,321 2 Gとして表示	2,378,425,321 は 2.4 G で表示
1,000,000,000,000	最も近い兆、T	3,456,398,231,094 3 Tとして表示	3,456,398,231,094 3.5 Tで表示
1,000,000,000,000,000	最も近い兆兆 (P) (ペタの場合)	18,103,456,398,231,094 は 18 P として表示されます	18,103,456,398,231,094 18.1 Pとして表示
1,000,000,000,000,000,000	最も近いキンティリオン、E (Exa の場合)	7,618,103,456,398,231,094 は 8 E として表示されます	7,618,103,456,398,231,094 は 7.6 E として表示されます

注:

- 10,000 未満の数値とは異なり、精度 = 0 の場合、大きな数値は最も近い偶数に丸められません。
- 単位の略称は設定できません。

例外

線グラフまたは縦棒グラフにプロットされた Y 軸の値は丸められません。チャート上の値をポイントすると表示されるスコアとツールヒントは、インジケーターの [精度] に基づいて丸められます。

注: 式インジケーターでは、丸めは式の結果にのみ適用されます。式内の値は丸められません。

参照通貨でのインジケータースコア

価格、通貨、または FX 通貨タイプの通貨フィールドの傾向を追跡できます。これらのフィールドのいずれかに基づくインジケーターのスコアは、参照通貨値で収集されます。

これらのスコアを収集するには、インジケーターの単位として [参照通貨を使用] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告: インジケーターの設定後にフィールドの参照通貨が変更されると、スコアは正しく収集されなくなります。

標準通貨に変換された金銭的な KPI をユーザーに提供する必要がある場合があります。多くの異なる元の通貨でプロジェクトコストを処理するグローバルプロジェクトマネージャーまたはCFOを考えてみましょう。グローバルな傾向に基づいて意思決定を行えるように、これらすべてのコストをグローバル企業通貨に変換する必要があります。そのようなユーザーに必要な KPI を提供するために、参照通貨建てのスコアを収集するように パフォーマンスアナリティクス インジケーターを設定できます。

参照通貨でインジケータースコアを収集するには、次の特性を持つインジケーターを作成します。

- インジケーターは 自動インジケーターであり、式または手動インジケーターではありません。
- アグリゲートが [カウント] または [個別のカウント] ではなく、インジケーターが スクリプト化されていません。
- アグリゲートする選択した フィールド のタイプは、価格、通貨、または FX 通貨です。
- スコアに対して選択された 単位 は [参照通貨を使用] です。

このようなインジケーターを作成する完全な手順については、「 自動インジケーターの作成」を参照してください。

ℹ 注:

- 通貨アドミニストレーターは、インジケーターで使用する前に、FX 通貨フィールドを設定する必要があります。
- [参照通貨を使用] が選択されている場合、[精度] フィールドはインジケーターフォームで使用できません。代わりに、精度は FX 通貨構成から継承されます。

スコアが収集されたら、 アナリティクスハブ でより深く調べたり、ウィジェットを介して共有したりできます。参照通貨の精度と記号は、すべての視覚要素 (スコア値、変更値、ターゲット、しきい値、およびツールヒント) で使用されます。

システム参照通貨参照

パフォーマンスアナリティクスエキスパートは、参照通貨を設定しません。通貨アドミニストレーターロールを持つユーザーがこのタスクを実行します。ただし、参照通貨が ServiceNow AI Platformでどのように機能するかを知りたい場合があります。リンク付きの簡単な概要を以下に示します。

価格または通貨フィールドの場合、システム参照通貨はローカリゼーションプロパティで設定された `glide.system.locale` の値です。このプロパティが設定されていない場合は、物理的な場所に基づくシステムデフォルトが使用されます。これらのフィールドの参照通貨の設定の詳細については、「 標準通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

ℹ 注: パフォーマンスアナリティクス インジケーターはセッション通貨の値を使用しません。

FX 通貨フィールドの場合、インジケータースコアは次の構成設定の階層に基づいています。

1. フィールドレベルの FX 通貨構成が設定されている場合、これらが優先されます。設定されていない場合...
2. グローバル FX 通貨構成が使用されます。グローバル構成が設定されていない場合...
3. `glide.system.locale`の設定が使用されます。このプロパティに値が設定されていない場合...
4. システムのデフォルトが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FX 通貨フィールドの構成の詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

単位の作成

パフォーマンス分析インジケーターのスコアが表示される単位を定義できます。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他のエンティティにすることができます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。

始める前に

必要なロール:pa_power_user (ナビゲーションなし)、pa_data_collector、pa_admin、または admin

重要: デフォルトで提供されている単位は削除しないでください。たとえば、[参照通貨単位を使用] を削除すると、インジケータースコアを参照通貨で表示できなくなります。

手順

1. [すべて] に移動し、[フィルター] フィールドで `pa_units_list.do` を検索します。
   このアプローチは、 プラットフォームアナリティクス 移行ステータスに関係なく、許可されたすべてのロールに対して機能します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 単位の名前を入力します。

   Example
   たとえば、`Gallon` と入力します。
4. 単位を書式設定する方法を指定します。

   Example
   たとえば、{0}Gal とすると、略語 Gal でガロン数が表現されます。通貨の場合、${0} のように数値の前に単位記号を置くことができます。
5. [送信] をクリックします。
   単位は、自動、手動、および式インジケーターで使用できます。

インジケーターからの時系列の除外

一部の時系列集計は、一部のインジケーターに適用するのに不適切です。自動、数式、および手動インジケーターでは時系列を除外できます。除外された時系列は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、またはウィジェットから選択できません。他の時系列は選択可能なままになります。

インジケーターから時系列を除外するには、インジケーターフォームの [時系列の除外] 関連リストで時系列を選択します。

時系列を除外するユースケースの 1 つは、インジケーターアグリゲーションと時系列アグリゲーションの間の論理関係です。たとえば、それ自体が平均であるインジケーターの合計または平均を取る時系列集計を許可したくない場合もあります。

インジケーターアグリゲーションに基づく時系列除外の可能性

インジケーターアグリゲート	時系列を除外することを検討してください。
平均	すべての合計、平均すべての部分ピリオド (+)。
合計	すべての合計
最小	すべての合計
最大	すべての合計

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターの単位タイプに基づいて時系列を除外することもできます。たとえば、スコアがパーセンテージ値であるインジケーターがある場合、これらのパーセンテージの SUM を表示したくない場合があります。同様に、それ自体が日、週、月、四半期、または年単位で測定されるインジケーターの時系列集計は、あまり意味をなさない可能性があります。

最後に、インジケーターの主題について考えてみましょう。一部の時系列集計は、定性的な理由からインジケーターとして適していない場合があります。

インジケーターへのアクセスの制御

特定のインジケーターに対して、どのユーザー ロールにアクセス権を付与するかを制御できます。インジケーターへのアクセスは、インジケーター レコードによって規制されます。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター (自動) または、該当する場合は 手動インジケーター または 式インジケーター 。
2. インジケーター レコードを選択します。
3. [アクセス制御] の選択で [全てのロールに公開] チェック ボックスをクリアします。
4. インジケーターへのアクセス権を付与する [ロール] を選択します。
5. **[Update** (更新)] をクリックします。

関連トピック

- ブレークダウン要素を表示する機能を制御する
- レスポンシブ ダッシュボードの共有

インジケーターのメール通知を作成する

パフォーマンスアナリティクスでは、1 つ以上のインジケーターのスコア、変更 %、ターゲット、およびスコアとターゲットのギャップ % を含むメールを自動的に生成できます。

始める前に

サマリーメールを使用する前に、メール通知を有効化して設定します。

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. [すべて] を展開し、ナビゲーターの検索フィールドに「sysauto_indicator_notifications_list.do」と入力し、**Enter** キーを押します。
2. [**New**] をクリックします。
3. サマリー メールの [名前] と [説明] を入力します。
4. [アクティブ] チェック ボックスをオンにすると、サマリー メールを作成する、スケジュール設定済みジョブが実行されます。
5. ジョブをいつ実行するかを選択します。
   - 日次
   - 週次
   - 月次
   - 定期的

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 1 回
- オンデマンド

6. 時、分、秒を変更して、ジョブを実行する時間を設定します (24 時間表記を使用)。
   デフォルトでは、ジョブは深夜に実行されます。
7. サマリーに含めるインジケーターを動的または手動で選択します。

   動的

   [条件別] チェック ボックスをオンにします。条件ビルダーを使用して、メール概要に含めるインジケーターを決定する条件を定義します。たとえば、条件を [Key] [is] [true] に設定することで、すべてのキーインジケーターを選択できます。

   手動

   [条件別] チェック ボックスをオフにします。スケジュール設定済みメールサマリーフォームを保存した後、[インジケーター] 関連リストでサマリーに含めるインジケーターを個別に選択 します 。

8. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
   関連リストが利用可能になります。
9. [ユーザー] 関連リストで任意の数のユーザーを選択します。
10. インジケーターを手動で選択する場合は、[インジケーター] 関連リストで選択 します 。

結果
サマリー メール ジョブは、設定したスケジュールに基づいて実行されます。[今すぐ実行] をクリックして、ジョブを手動で実行することもできます。

関連トピック

メール通知/SMS 通知

インジケーターのエクスポートと配布をスケジュールする

インジケーターにスケジュールを設定し、配布を自動化します。

始める前に
この機能を使用するには、パフォーマンスアナリティクス のライセンス バージョンが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > スケジュール設定済みインジケーター をクリックし、新しいレコードを作成します。

[スケジュール設定済みインジケーター] のフィールド

フィールド	説明
インジケーター	エクスポートするインジケーターを選択します。
ブレークダウン	ブレークダウンを選択して、インジケーターのスコアをフィルタします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
要素	ブレークダウンを選択した場合は、ブレークダウン要素を選択し、その要素に関連付けられたスコアのみを表示します。
チャート	このチェックボックスを選択すると、PDF にスコアのチャート化を含めることができます。可視化はインジケーター アナリティクスハブに表示されるものと同じです。
ブレークダウン	このチェックボックスを選択すると、PDF の下部の各テーブルにブレークダウンおよびブレークダウン要素のスコアを含めることができます。[ブレークダウン] および [要素] を選択した場合、PDF の下部に表示されるブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンになります。
ユーザー	インジケーターを受け取るユーザー。 インジケーターを受信するには、ユーザーにメール アドレスが定義されていてユーザー レコードの [通知] が [有効化] に設定されている必要があります。
グループ	インジケーターを受け取るグループ。
メール アドレス	インジケーターを受け取るが、システムにないユーザーのメール アドレス。
アクティブ	インジケーターのスケジューリングを有効 (選択) または無効 (クリア) にするチェックボックス。
実行	インジケーターをエクスポートする頻度。
時刻	インジケーターをエクスポートする時刻。
条件節	[条件節] フィールドを表示 (選択) するか、または非表示にする (クリア) チェック ボックス。このフィールドでは、インジケーターがエクスポートされる条件を指定できます。
条件	インジケーターをエクスポートする前に特定の条件が満たされているかどうかをチェックするユーザー作成のスクリプト。 このフィールドは、[条件節] が選択されている場合にのみ表示されます。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	インジケーターとともに提供される追加メッセージ。
一緒に含める	追加で送信するスケジュールされたインジケーター。
向き	横向きまたは縦向きで、ページの向きを選択します。
ZIP 出力	インジケーターを ZIP ファイルとして送信するには、このチェック ボックスをオンにします。

自動インジケーターのベンチマークへのリンク

インジケーターを ITSM および ITOM ベンチマークと比較できるようにするには、対応するベンチマーク KPI に自動インジケーターをリンクします。ベンチマーク KPI は 1 つのインジケーターにのみリンクできます。アナリティクスハブ内のリンクされたインジケーターを比較できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ServiceNow ベンチマークアプリケーションにオプトインする必要があります。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注: sn_bm_client.benchmark_admin ロールを持っている場合は、ベンチマークセットアップインターフェイスを使用してパフォーマンスアナリティクスインジケーターをベンチマークインジケーターにリンクできます。そのインターフェイスを介してインジケーターをリンクする方法については、「 ベンチマーク KPI をリンクまたはカスタマイズ する」を参照してください。

このタスクについて
ベンチマーキングと パフォーマンスアナリティクス を組み合わせて使用することで、企業の ITSM と ITOM を業界標準に照らして測定しながら、すべての重要なメトリクスの改善を促進できます。詳細については、「 ベンチマーク」 を参照してください。

手順

1. 自動インジケーターのリストまたは式インジケーターのリストで、どのベンチマークインジケーターをどの他のインジケーターにリンクするかを特定します。
   ベンチマークインジケーター名は「 ベンチマーク」という単語で始まります。
2. ベンチマークインジケーターとリンクされたインジケーターが互換性を持って構成されていることを確認します。
   具体的には、次のプロパティが両方のインジケーターで一致していることを確認します。
   - インジケーターソース
   - 単位
   - 式 (式インジケーター用)

   警告: プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションのインジケーターは、一致するベンチマークインジケーターと同じように構成されていません。
3. ベンチマークインジケーターレコードを開きます。
4. [インジケータープロパティ] の [リンクされたインジケーター] フィールドで、ベンチマークにリンクする自動インジケーターを選択します。

   注:
   - パフォーマンスアナリティクスの自動インジケーターと式インジケーターの完全なリストを表示するには、パフォーマンスアナリティクスの完全なライセンスバージョンをアクティブ化する必要があります。
   - [リンクされたインジケーター] フィールドを編集するには、レコードの上部にある、作業しているスコープ対象のアプリケーションを変更する必要がある場合があります。
   - ベンチマークインジケーターの名前とリンクするインジケーターの名前が一致しない可能性があります。

結果
ベンチマーク KPI レコードを更新した後、自動インジケーターのアナリティクスハブの [比較] タブでベンチマーク KPI と自動インジケーターを比較できます。詳細と例については、「 スコアを比較」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターブレークダウン

故障 を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウンは、 アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

ウィザードからブレークダウンを作成

ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびブレークダウンマッピングを作成し、ブレークダウンをインジケーターに関連付けます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_data_collector、または admin

注: pa_power_user ロールしかないユーザーは、ブレークダウン ソースを作成できません。

このタスクについて

既存のインジケーターに基づいて、単純なブレークダウンを作成します。複雑なフィルタを使用してデータ セットを制限するなど、より高度なブレークダウンやブレークダウン ソースを作成するには、ブレークダウンやブレークダウンのソース レコードを直接作成または更新します。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 新規作成.
2. ブレークダウンを作成するインジケーターを選択します。
   [テーブル] フィールドは、インジケーター ソース テーブルに基づいて自動的に入力されます。[インジケーターへのリンク] タブの同じソース テーブルを使用し、新しいブレークダウンを他のインジケーターに適用することができます。
3. どのフィールドに基づいてブレークダウンを作成するかを選択します。
   ブレークダウンでは、このフィールドの値をブレークダウン要素として使用し、各レコードのこのフィールドの値に基づいて収集されたデータに基づいてブレークダウンを作成します。
4. [次へ] をクリックします。
   [ブレークダウンを定義] タブには、指定したインジケーター、テーブル、およびフィールドのブレークダウン、ブレークダウン ソース、またはブレークダウンマッピングが存在するかどうかによって異なるデータが表示されます。
5. 次のいずれかの操作を実行します。

オプション	説明
ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびマッピングを作成する	指定したテーブルにブレークダウンまたはブレークダウン ソースが存在しない場合は、新しいブレークダウンの名前を入力します。選択したテーブルおよびフィールドのブレークダウン ソースおよびマッピングは、自動的に作成されます。[フィルタを表示して調整する] をクリッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	クし、ブレークダウン ソースに含まれるデータをフィルタします。
既存のブレークダウン ソースを使用してマッピングを作成する	指定したテーブルに少なくとも 1 つのブレークダウン ソースが存在し、ソースを使用する 1 つ以上のブレークダウンがある場合は、マッピングを作成するブレークダウンを選択します。 選択したソースを持つブレークダウンとインジケーター テーブルの親のフィールドとの間にマッピングが存在する場合は、マッピングを作成する既存のブレークダウンを選択するだけしかできません。そのような親テーブルのマッピングが存在しない場合は、既存のブレークダウンを選択するか、新しいブレークダウンを作成することができます。
既存のレコードを確認する	指定したテーブルのブレークダウンおよびブレークダウン ソースが存在し、指定したブレークダウンおよびフィールドのブレークダウン マッピングが存在する場合は、設定を確認します。何も変更する必要はありません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [インジケーターへのリンク] タブで、ブレークダウンを適用する追加のインジケーターを選択します。
   最初に選択したインジケーターと同じソース テーブルを持つ他のインジケーターにブレークダウンを適用できます。ブレークダウンが既にインジケーターに適用されている場合、そのインジケーターは表示されません。
8. [次へ] をクリックします。
9. [データコレクション] タブで、過去何日分のブレークダウンされたスコアおよびスナップショットを収集するかを選択します。または、[過去のデータを収集します] をクリアします。
10. [次へ] をクリックします。
11. 設定を確認し、正しいレコードが作成されたことを確認してから、[適用] をクリックします。
    作成後、各レコードの横にチェック マークが表示されます。すべてのレコードが作成されると、[別のブレークダウンを作成] ボタンが表示されます。

ブレークダウンソース

ブレークダウン ソース レークダウン に含まれる一意の値 (ブレークダウン要素) を指定します。

ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、オープン中の変更数インジケーターのすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、ブレークダウンソースを設定することで、要素リストを変更プロセスの一部であるグループのみに制限できます。

ブレークダウン ソースの定義

ブレークダウンのデータソースとして使用するファクトテーブルを指定します。条件を適用して、このブレークダウンソースの要素を指定します。

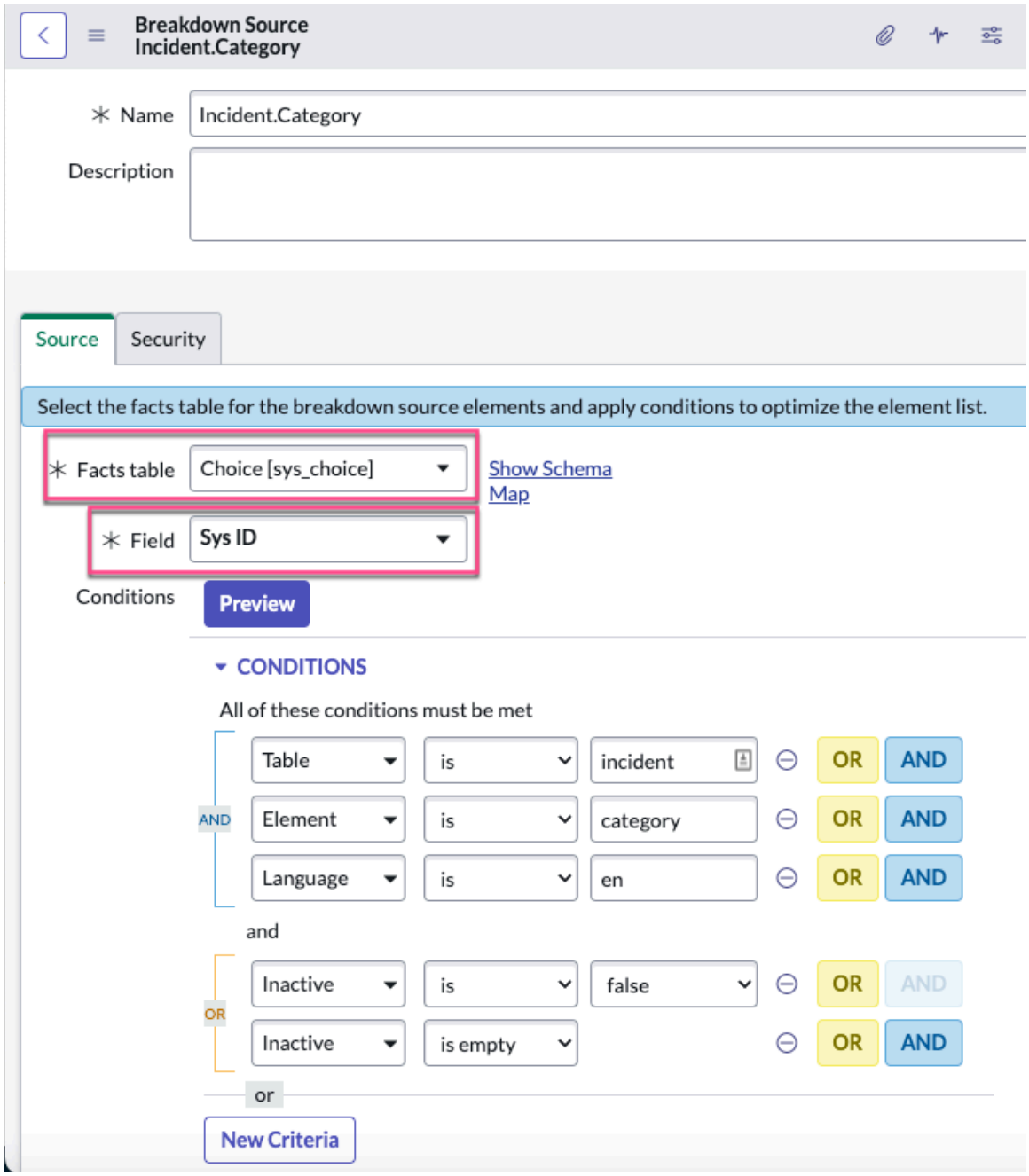
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_admin、または admin。ブレークダウン ソースの作成者には、インジケーター ソースが使用するテーブルおよび参照列へのアクセス権が必要です。

このタスクについて
レコードごとに一意の値があるフィールドを持ったファクト テーブルを常に使用します (通常は、**Sys ID**)。たとえば、Incident.Category ブレークダウン ソースは、[選択肢] テーブルから要素を取得します。その要素は、**[Sys ID]** フィールドによって特定されます。ブレークダウン ソースは、[インシデント] テーブル上に存在し、英語で、非アクティブでないものに、選択肢を絞り込みます。

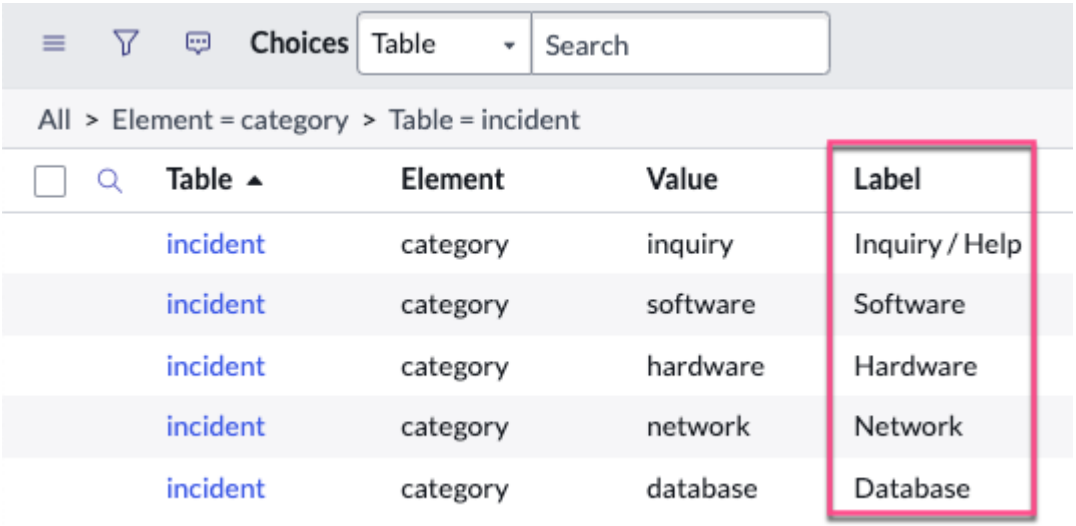
Workflow Data Fabricテーブルなどの一部のテーブルはサポートされていません。

ヒント: この例のように、ファクトテーブルに選択肢 [sys_choice] を使用する場合は、[テーブル]、[要素]、および [言語] フィールドに条件を設定します。また、非アクティブなレコードも除外します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンソースは、選択肢テーブルの次のレコードを使用します



注: [選択肢] テーブルには、すべてのテーブルからの可能な選択肢がすべて含まれています。そのため、[テーブル] 列と [要素] 列があります。ブレークダウン ソースに使用するその他のファクト テーブルは、ほとんどが単純です。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース をクリックし、[新規] をクリックします。
2. ブレークダウン ソースにわかりやすい名前を付けます。
3. 他のユーザーがこのブレークダウンソースの使用と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な 説明 を追加します。
4. ファクトテーブルでは、ブレークダウン ソースが要素を取得するテーブルを選択します。たとえば、ブレークダウン ソースでユーザー グループを要素として指定するには、グループ **[sys_user_group]** を選択します。

   警告: データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

5. [フィールド] テーブルで、各レコードの一意の値を含むフィールドを選択します。このフィールドは通常、**[Sys ID]** です。
6. 不要な要素を除外するための 条件 を設定します。選択肢 [sys_choice] をファクトテーブルとして設定する場合は、常にテーブル、要素、および言語でフィルタリングし、非アクティブなレコードを除外します。たとえば、次のようになります。

   [テーブル] [次の値に等しい **(=)**] [インシデント] および

   [要素] [次の値に等しい **(=)**] [カテゴリ] および

   [言語] [次の値に等しい **(=)**] **[en]** および

   [無効] [次の値に等しい **(=)**] **[false]** または

   [非アクティブ] [次の値に等しい **(=)**] [空]

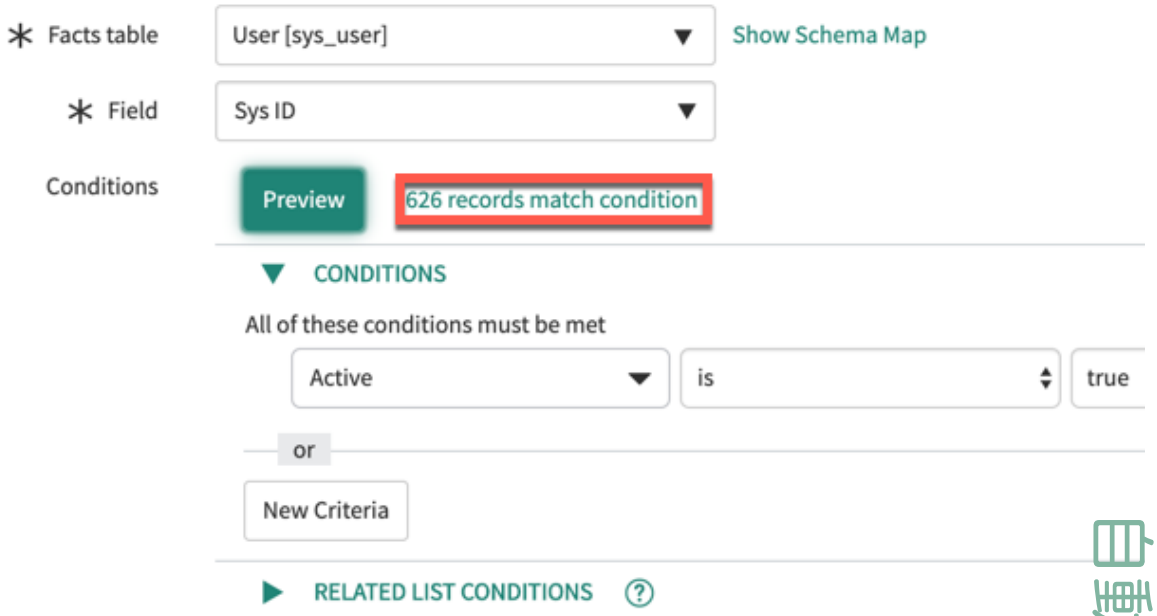
7. 選択した条件に一致するレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: 関連リスト条件を定義して、別のテーブルとの関係をフィルターに含めます。
詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。

Example
たとえば、構成アイテム (CI) マネージャーのブレークダウンソースを考えてみましょう。ファクトテーブルはユーザー [sys_user] ですが、このテーブルから適用できる唯一の条件は、アクティブなユーザーをフィルタリングすることです。テーブルのフィールドでは、CI マネージャーであるユーザーのみを選択できません。何百もの結果が得られます。

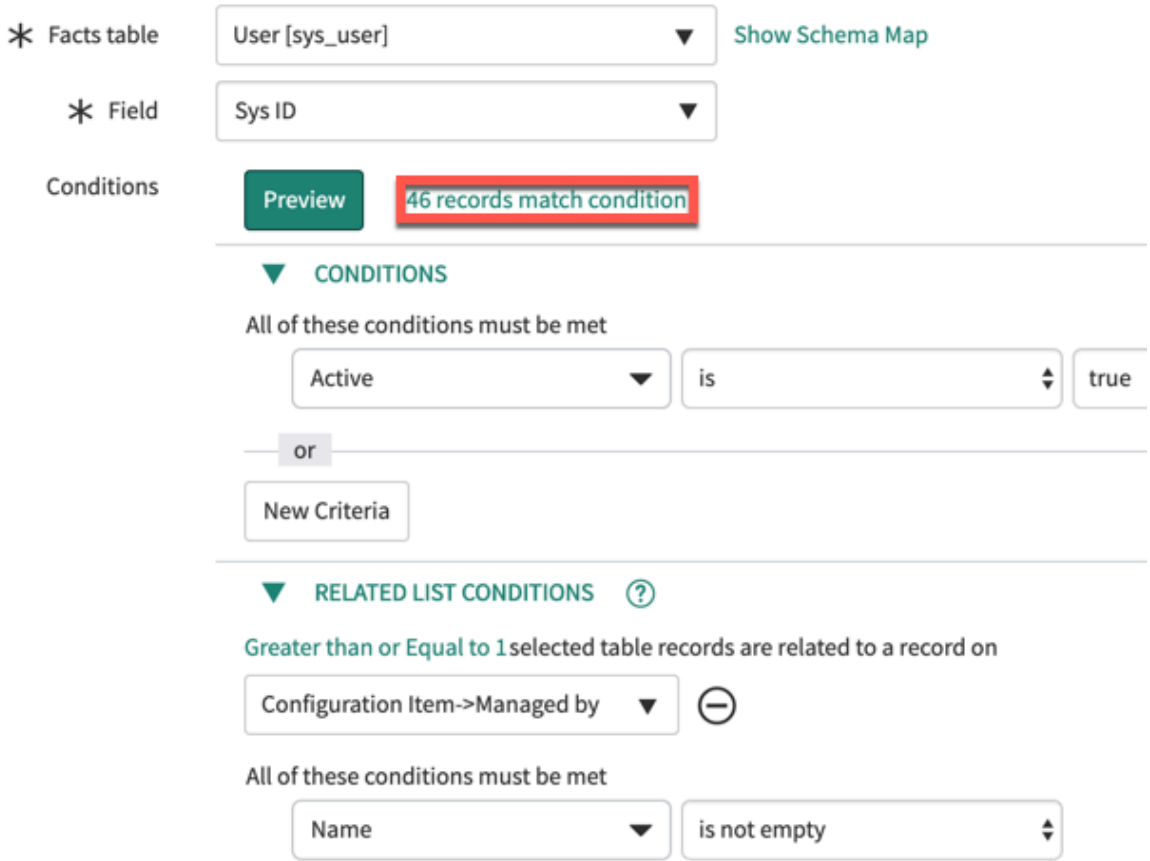


(Optional)

ユーザーレコードの名前が構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの [管理担当者] 列の少なくとも 1 つのエントリと一致する必要があるという条件を追加すると、ブレークダウンソースは CI マネージャーであるユーザーのみを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: [不一致のラベル] に、インジケーターソースレコードのマッピングされたフィールドの値がブレークダウンソースのどの要素とも一致しない場合に使用するカスタムラベルを書き込みます。
デフォルトのラベルは、[不一致] です。

   Example
   Incident.Category ブレークダウンソースは、[テーブル] フィールドの値がインシデントで、[要素] フィールドの値がカテゴリである選択肢 [sys_choices] テーブルのレコードを参照します。カテゴリブレークダウンには、Incident.Category ブレークダウンソースからインシデント [incident] テーブルの [カテゴリ] フィールドへのマッピングが含まれています。インシデントレコードの [カテゴリ] フィールドに null 値がある場合、このレコードにカテゴリブレークダウンを適用したときの値は、デフォルトで [不一致] になります。

10. [セキュリティ] タブで、要素のセキュリティリストに基づいて、ブレークダウン ソースの要素をロール別に除外するか、または含めるかを設定します。
詳細については、「要素のセキュリティ リストの定義」を参照してください。

次のタスク
このブレークダウンソースを使用するブレークダウンを作成します。[ブレークダウン] タブを開き、[新規] をクリックします。自動ブレークダウンの作成で説明したように、ブレークダウンフォームが開きます。このソースを使用するブレークダウンを作成すると、これらのブレークダウンが [ブレークダウン] タブに一覧表示されます。

ブレークダウンソースのバケットグループ

バケットグループ たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

関連トピック

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

フィールド値のバケットへのグループ化

スクリプトを使用しないブレークダウンマッピングを持つバケットグループを使用して、マッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化できます。

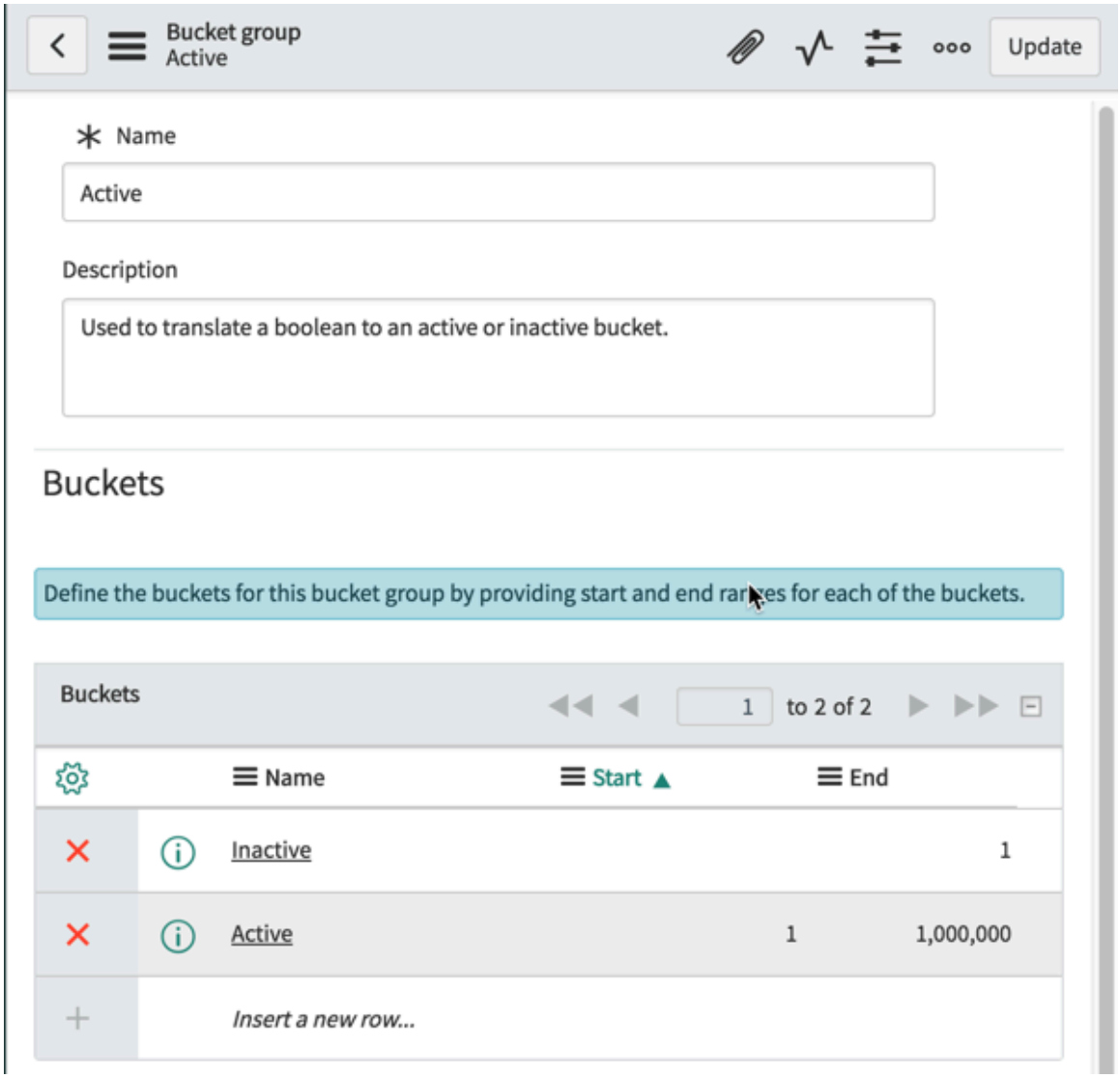
ユースケースは、ブール値の `true` 値と `false` 値を意味のあるラベルを持つ 2 つのバケットに変換するのと同じくらい簡単です。

Example: ブール値をバケットにソートする

ベース パフォーマンスアナリティクス インストールには、「アナリティクス使用率の概要」の一部として「アクティブ」ブレークダウンが含まれます。このブレークダウンでは、ジョブログ [pa_jobs_logs] テーブルの job.active ブール値フィールドへのマッピングを使用します。ブレークダウンソースは、ジョブ.アクティブの `true` 値はアクティブバケットにソートされ、 `false` 値は非アクティブバケットにソートされるバケットグループを使用します。`false` 値は数値的に 1 未満の値と見なされ、`true` 値は数値的に 1 以上であることに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

スクリプト結果のバケットへのグループ化

値の範囲を収集するブレークダウンマッピングスクリプトがある場合は、バケットグループを定義して、それらの値を個別のバケットに分割できます。

バケットグループを作成したら、バケットグループに基づいてブレークダウンソースを作成します。次に、そのブレークダウンソースを使用するブレークダウンを作成します。ブレークダウンのブレークダウンマッピングを作成するときは、マッピングのスクリプトを定義または選択します。ブレークダウンは、スクリプトがバケットグループのバケットに返す結果をグループ化します。例については、「例：スクリプト マッピング」を参照してください。

既存のスクリプト用にバケットグループを作成するか、最初にバケットグループを作成してからスクリプトを作成することができます。ブレークダウンを作成する前に、両方が存在している必要があります。

注: 同じスクリプトを任意の数のバケットグループで使用できます。また、同じ種類のデータを返すスクリプトは、原則として同じバケットグループで使用できます。

バケット グループの作成

データを再分類するバケットのグループを指定します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > バケットグループ.
2. [**New**] をクリックします。
3. バケット グループを明確に特定する名前 (経過範囲 (日数) など) を入力します。
4. [新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいバケットを追加します。
5. 最初のバケットに名前を入力し、Enter キーを押すか、緑のチェック アイコンをクリックします。
6. [開始] および [終了] 列をダブルクリックし、開始値と終了値を入力します。
   終了値と一致するレコードはバケットから除外されます。したがって、1 つのバケットの終了値と次のバケットの開始値を同じに設定します。その値と完全に一致するレコードは、その値を開始値とするバケットにソートされます。

   ⚠ 警告: 1 つのバケットの終了値が次のバケットの開始値と一致しない場合、レコードがどのバケットにも分類されない「穴」が発生します。たとえば、20 で終了するバケットがあり、次のバケットが 21 で始まる場合、スクリプトが 20.0000~ から 20.9999~ までの値を返すレコードは、どのバケットにもソートされません。

7. すべてのバケット範囲を定義した後、[送信] をクリックします。

Example: インシデント経過時間範囲バケットグループ

次のように、インシデントを経過時間別にグループ化する場合を考えてみましょう。

- 1 日未満
- 1 – 5 日
- 6 ～ 30 日
- 31 ～ 90 日
- 90 日を超える

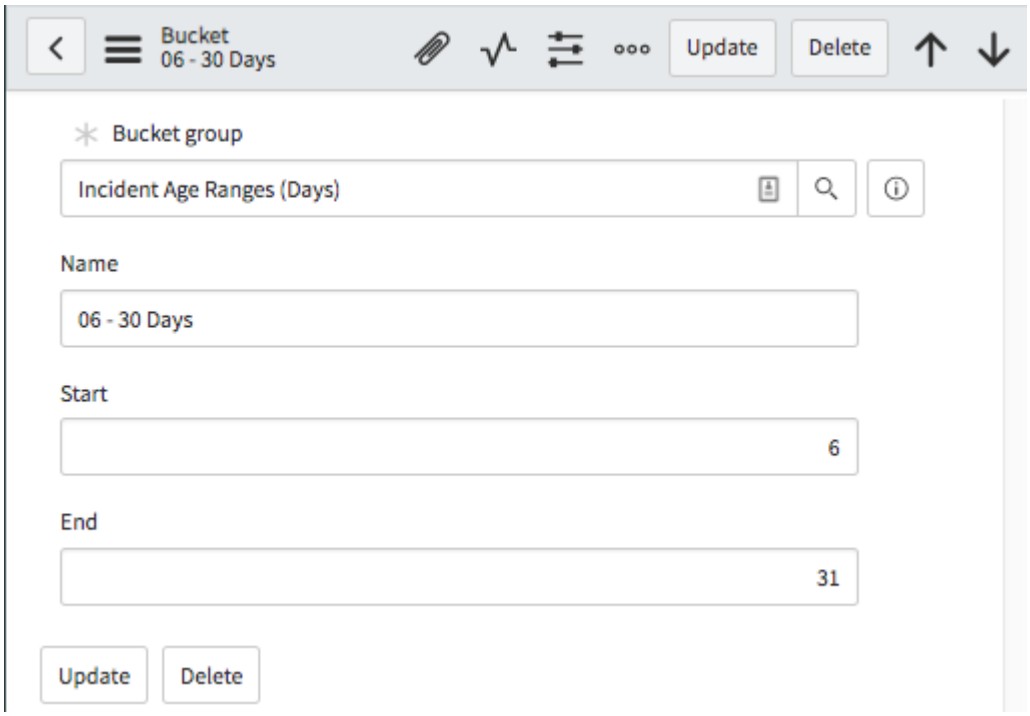
メンテナンス パフォーマンスアナリティクス > スクリプトには、Incident.Age.Days という名前のスクリプトが既にあります。このスクリプトは、インシデントの開始日とスコアが収集された最新の日付から、インシデントの経過時間 (日数) を導き出します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

[インシデント経過時間範囲 (日数)] という名前の新しいバケットグループを作成します。このバケットグループでは、希望の日付に開始し、次のバケットの開始時に終了するバケットのセットを定義します。たとえば、06 ～ 30 日のバケットは 6 日に始まり、31 で終了します。つまり、

自動翻訳

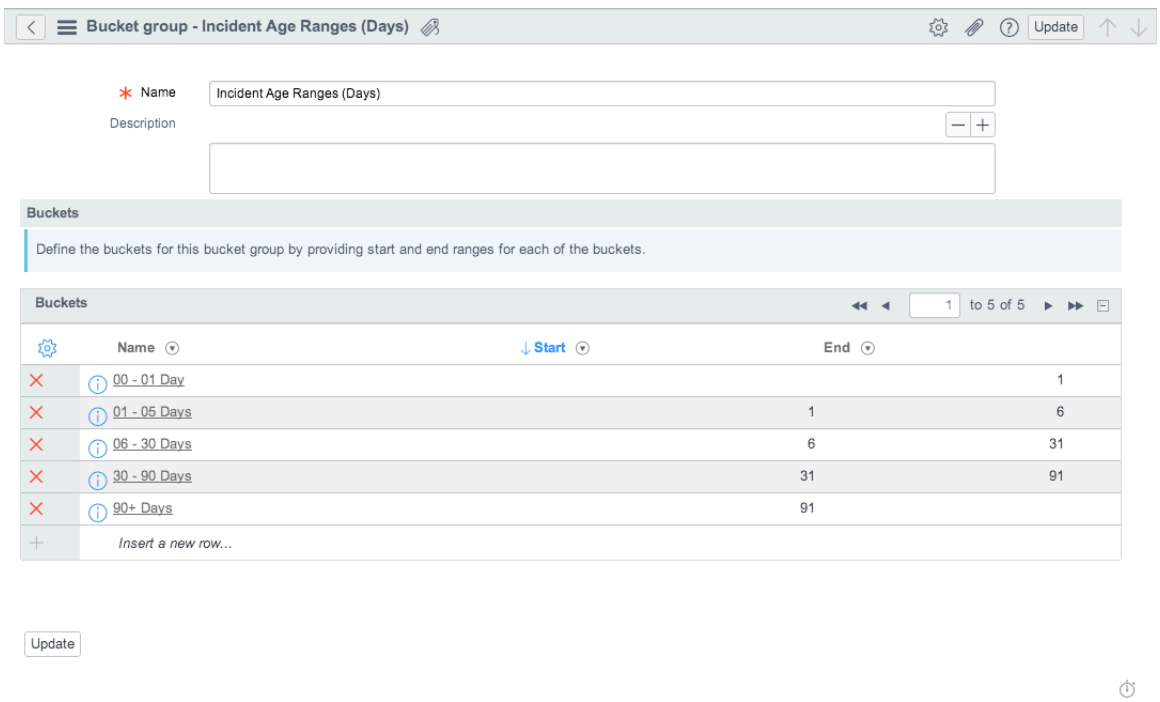
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



です

このバケットには、正確に 6 日から 30 日 23 時間 59 分 59 秒までのインシデントが含まれます。

最後に、インシデントを分割する年齢範囲に対応する 5 つのバケットを持つバケットグループが作成されます。



スクリプトマッピングの例は、このバケットグループとスクリプトを使用するブレークダウンを示しています。

次のタスク
バケット [pa_buckets] ファクトテーブル、[Sys ID] フィールド、条件 [バケットグループ] [次の値に等しい] [<作成したバケットグループの名前>] を使用するブレークダウンソースを作成します。次

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に、このブレークダウンソースを使用し、ブレークダウンマッピングに関連するスクリプトを使用するブレークダウンを作成します。

関連トピック

例：スクリプト マッピング

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

たとえば、[グループ] のブレークダウン ソースは、このグループの [sys_user_groups] テーブルからのレコードを含み、デフォルトで使用できます。このブレークダウン ソースはフィルタ [アクティブ] [次の値に等しい **(=)] [true]** を指定し、要素としてアクティブになっているグループのみを含みます。このブレークダウン ソースは、インシデントの [アサイン先グループ] フィールドなど、[グループ] テーブルを参照する他のテーブルのフィールドにマップできます。マップされたテーブルから収集されるスコアは、そのフィールドの値に基づいてグループ化されます。ハードウェアグループに割り当てられたインシデントのスコアのみを表示するなど、ブレークダウンと要素を選択することで、 アナリティクスハブ とダッシュボードのスコアをフィルタリングできます。

自動ブレークダウンの作成

自動ブレークダウンを作成するには、そのブレークダウン ソースを選択し、アクセス制限を適用します。次に、インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかをマップします。最後に、インジケーターをブレークダウンに割り当てます。

始める前に

ブレークダウン全般、また特に自動ブレークダウンについて、その定義と使用方法を理解してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。 既存のブレークダウン ソースを使用することも、新しいブレークダウン ソースを定義することもできます。

> **注:** このプロセスにより、完全にカスタマイズされたブレークダウンを作成することができます。簡単な自動ブレークダウンを作成するには、「ウィザードからブレークダウンを作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 自動ブレークダウン をクリックし、[新規] をクリックします。
2. わかりやすい名前を付けます。
   ブレークダウンの名前は、ブレークダウンマッピングで使用されているフィールドのラベルに基づいていることがよくあります。
3. [自動] タブで、[ブレークダウンソース] を選択します。
4. オプション: [デフォルトフィルタ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタを使用して、ユーザーが表示できる要素を制限します。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

5. オプション: [アクセス制御] タブで、ブレークダウンを表示できるユーザーを設定します。
これらの制限は、ブレークダウンのリストでのブレークダウンの表示、 アナリティクスハブ またはダッシュボードでのブレークダウンの表示、ウィジェットの作成時のブレークダウンの使用など、すべてのケースに適用されます。

表示対象の値	詳細設定
全員 (デフォルト)	表示はロール別に制限できます。[全てのロールに公開] の選択を解除し、ブレークダウンにアクセスする必要があるロールを選択します。
グループとユーザー	このブレークダウンにアクセスできるグループと個別のユーザーを選択します。リストからグループまたはユーザーを選択できます。また、メールアドレスでユーザーを選択することができます。

次のタスク
ブレークダウンマッピングを作成し、インジケーターをブレークダウンに関連付けます。これは、グラフィカルツールを使用してインジケーターから実行できます (ブレークダウンのアサインとマップを参照。

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかを指定します。適切なフィールドがない場合は、インジケーター ソースをクエリするためのスクリプトを指定します。

始める前に
マッピングを作成する前に、ブレークダウン ソースをブレークダウンに割り当てます。

必要なロール:ブレークダウンの作成と同じです。

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

> **注:** このページの手順では、ブレークダウン フォームの関連リストを使用しています。代わりに、インジケーター フォームからアクセスするグラフィカル ツールも使用できます。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

手順
1. 既存のブレークダウンにマッピングを追加する場合は、該当するリストのブレークダウンを見つけて開きます。
2. [ブレークダウンマッピング] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. [ファクトテーブル] を選択します。
このテーブルは、ブレークダウンを作成するインジケーター ソースです。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	[カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユースケースは、ブレークダウンソースが バケットグループ で、スクリプトがバケットにインジケータースコアを割り当てる整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイムスコアを表示することはできません。 ヒント: [レベル 1 のマッピング & レベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分に等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうしないと、第 2 レベルのブレークダウンのスコアとレコード数が一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

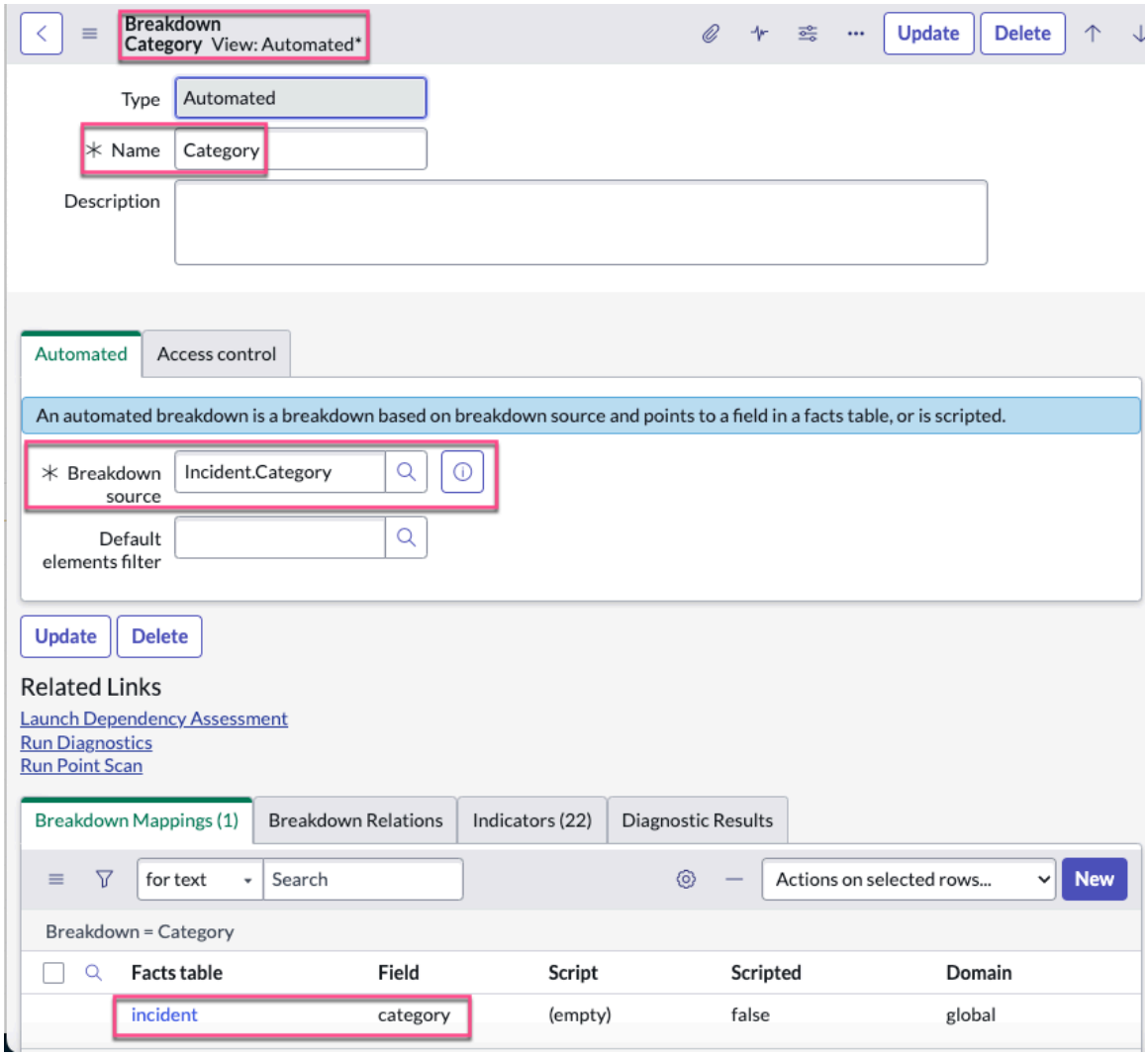
例：フィールド マッピング

[カテゴリ] ブレークダウンは、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドを Incident.Category ブレークダウン ソースにマップします。このブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルを参照します。

最初の画像では、Incident.Category ブレークダウン ソースとともに [カテゴリ] ブレークダウンが表示されています。このブレークダウンには、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドに対するブレークダウンマッピングがあります。

自動翻訳

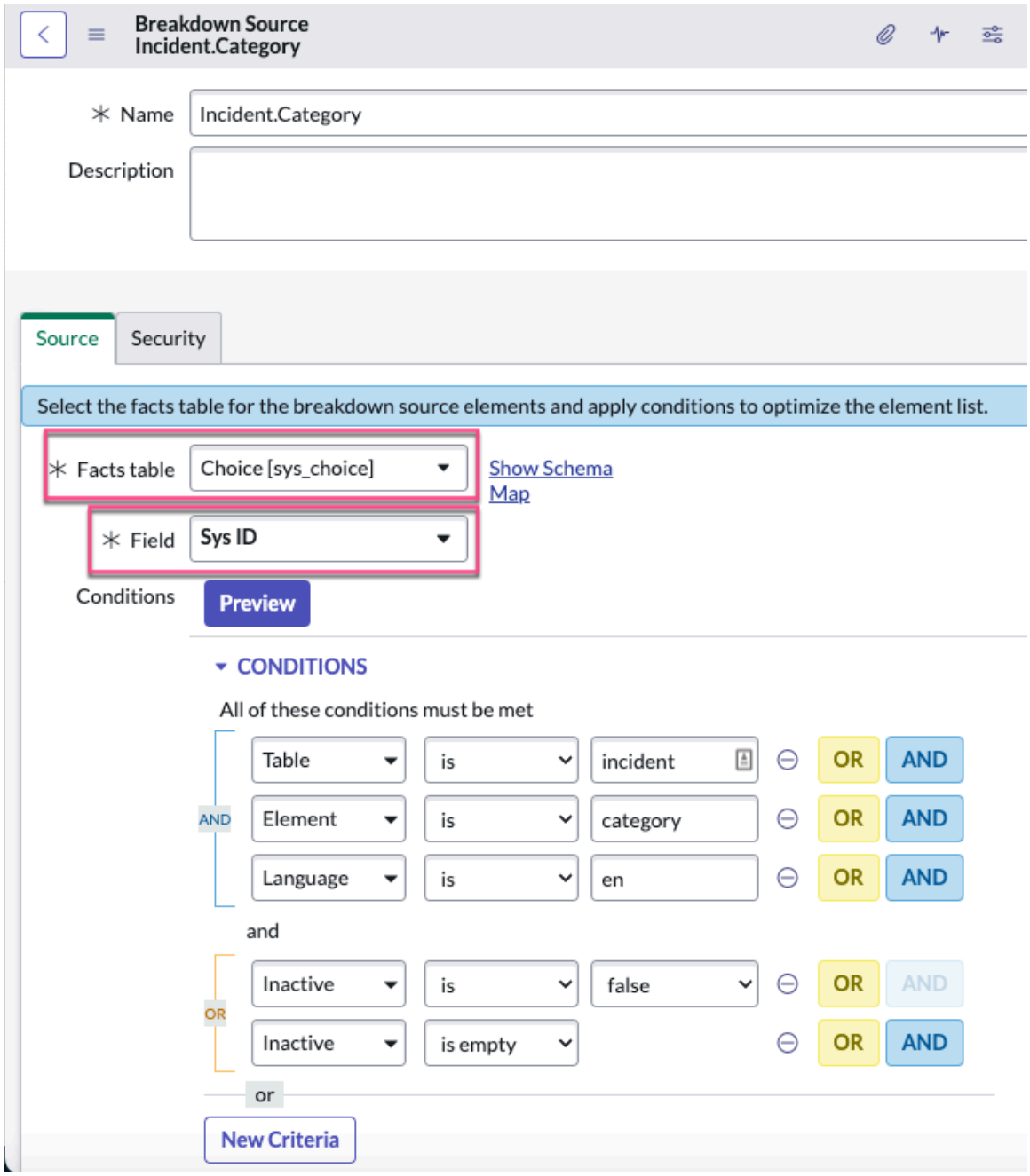
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Incident.Category ブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードを使用します。

自動翻訳

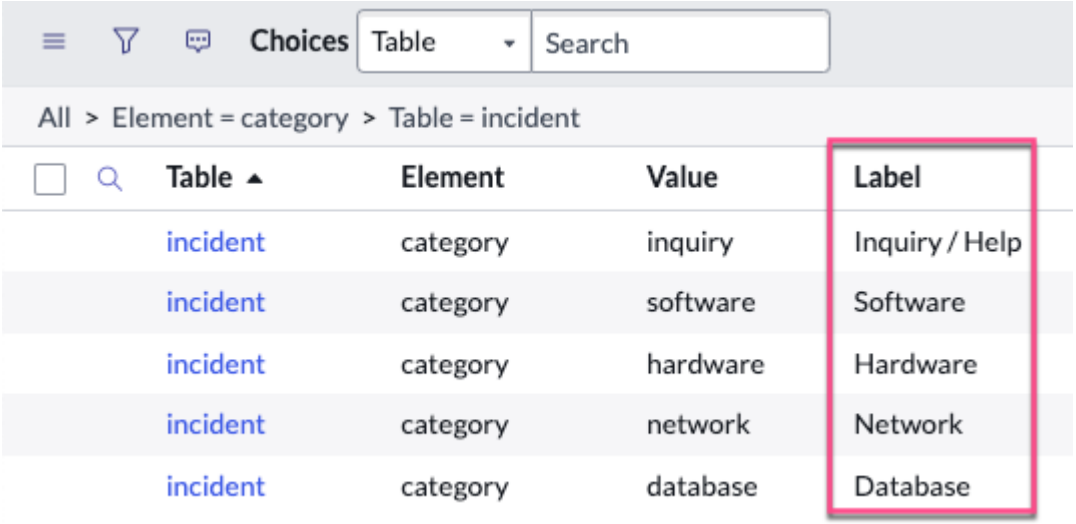
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



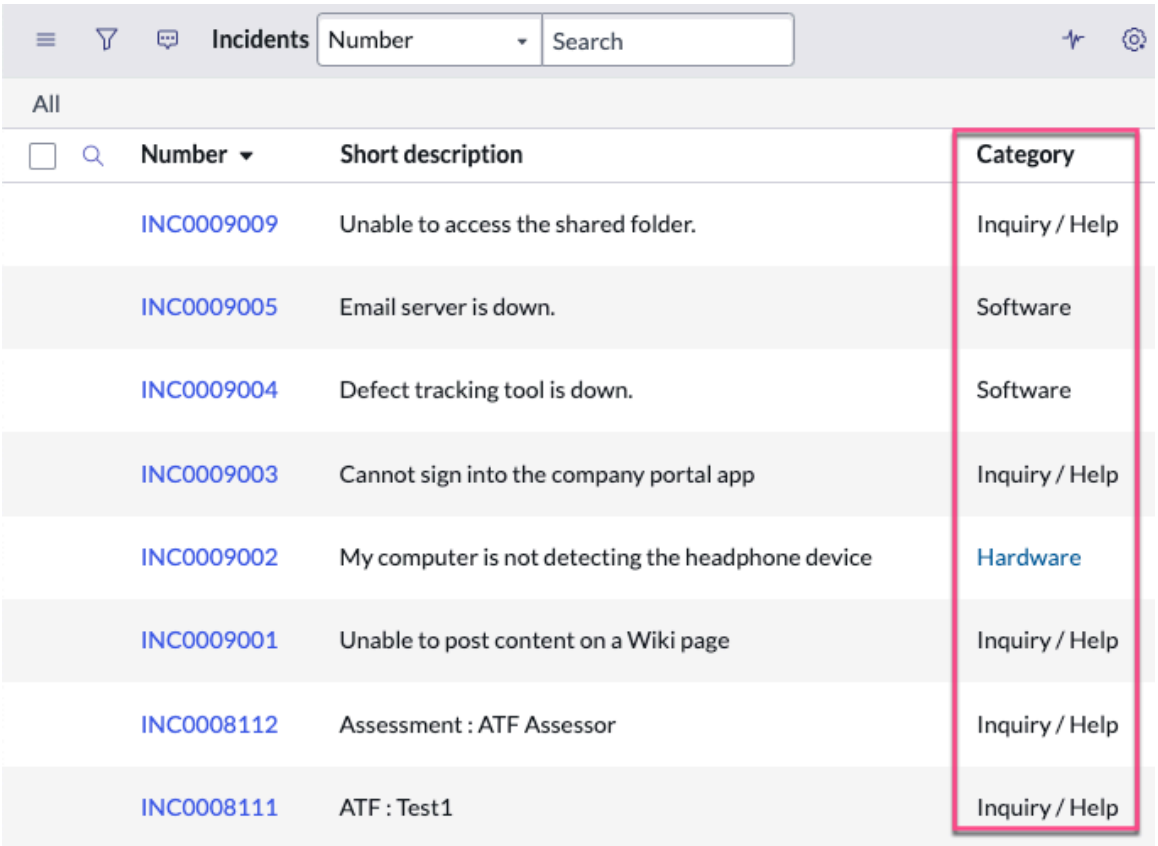
次の画像は、Incident.Category ブレークダウンソースで指定された条件を満たす選択肢 [sys_choice] テーブルレコードを示しています。[ラベル] フィールドの値に注目してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、[インシデント] テーブルのいくつかのレコードの [カテゴリ] フィールドが表示されます。このフィールドは [カテゴリ] ブレークダウンにマップされています。このフィールド値は、Incident.Category ブレークダウン ソースがフィルタリングする選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードの [ラベル] フィールドと一致します。



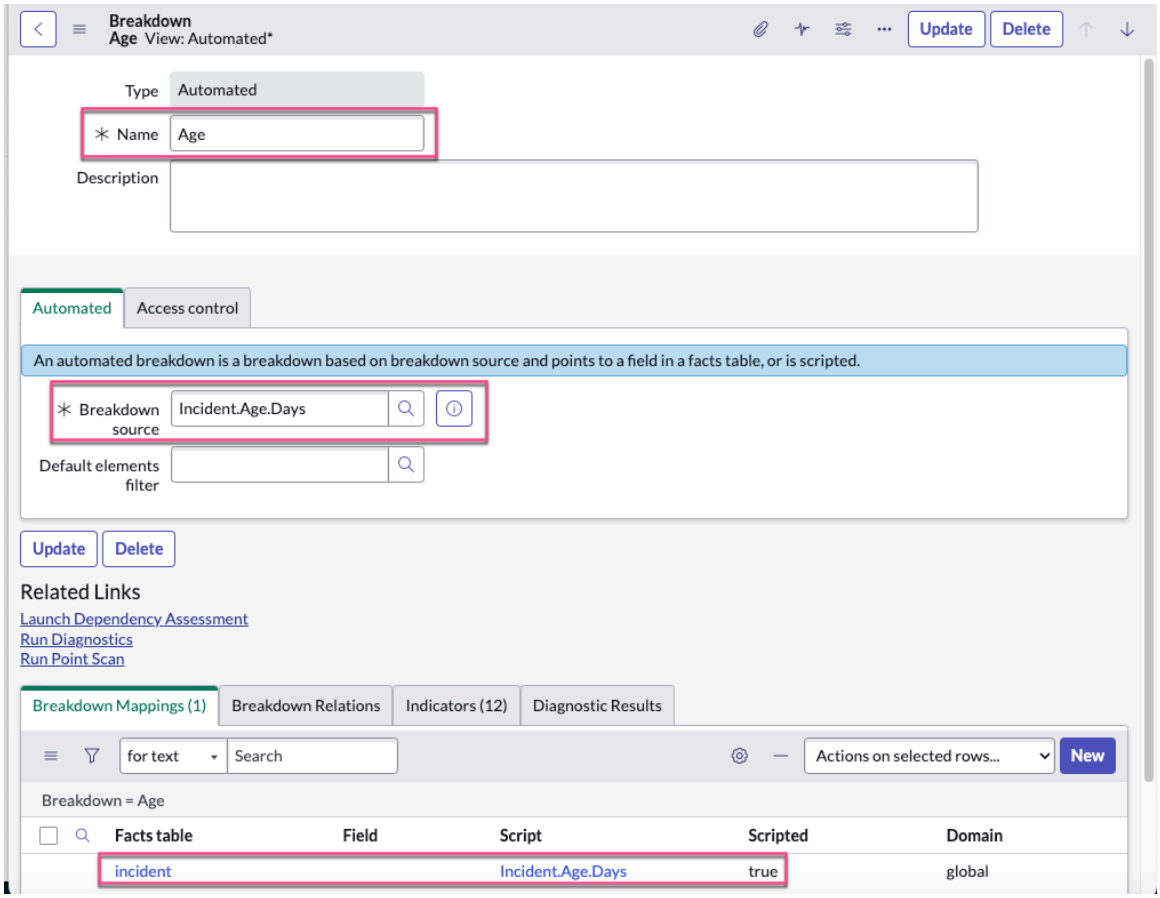
例：スクリプト マッピング

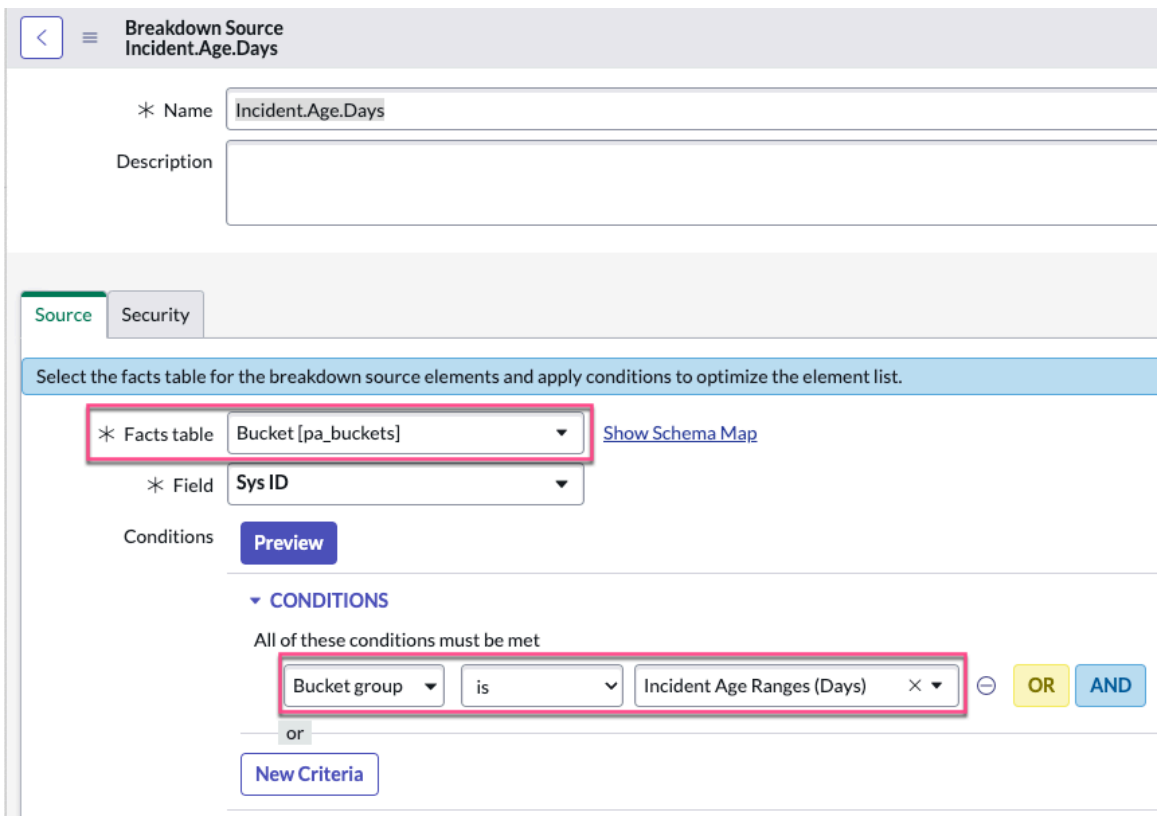
[経過時間] ブレークダウンでは、Incident.Age.Days スクリプトを使用してインシデントの日数を計算し、その値を [インシデント経過時間範囲] バケット グループにマップします。

最初の 2 つの画像では、[経過時間] ブレークダウンが表示されており、Incident.Age.Days ブレークダウン ソースと、ブレークダウンマッピング用の Incident.Age.Days スクリプトを使用しています。また、ブレークダウン ソースは、[インシデント経過時間範囲 (日数)] バケット グループを参照していることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





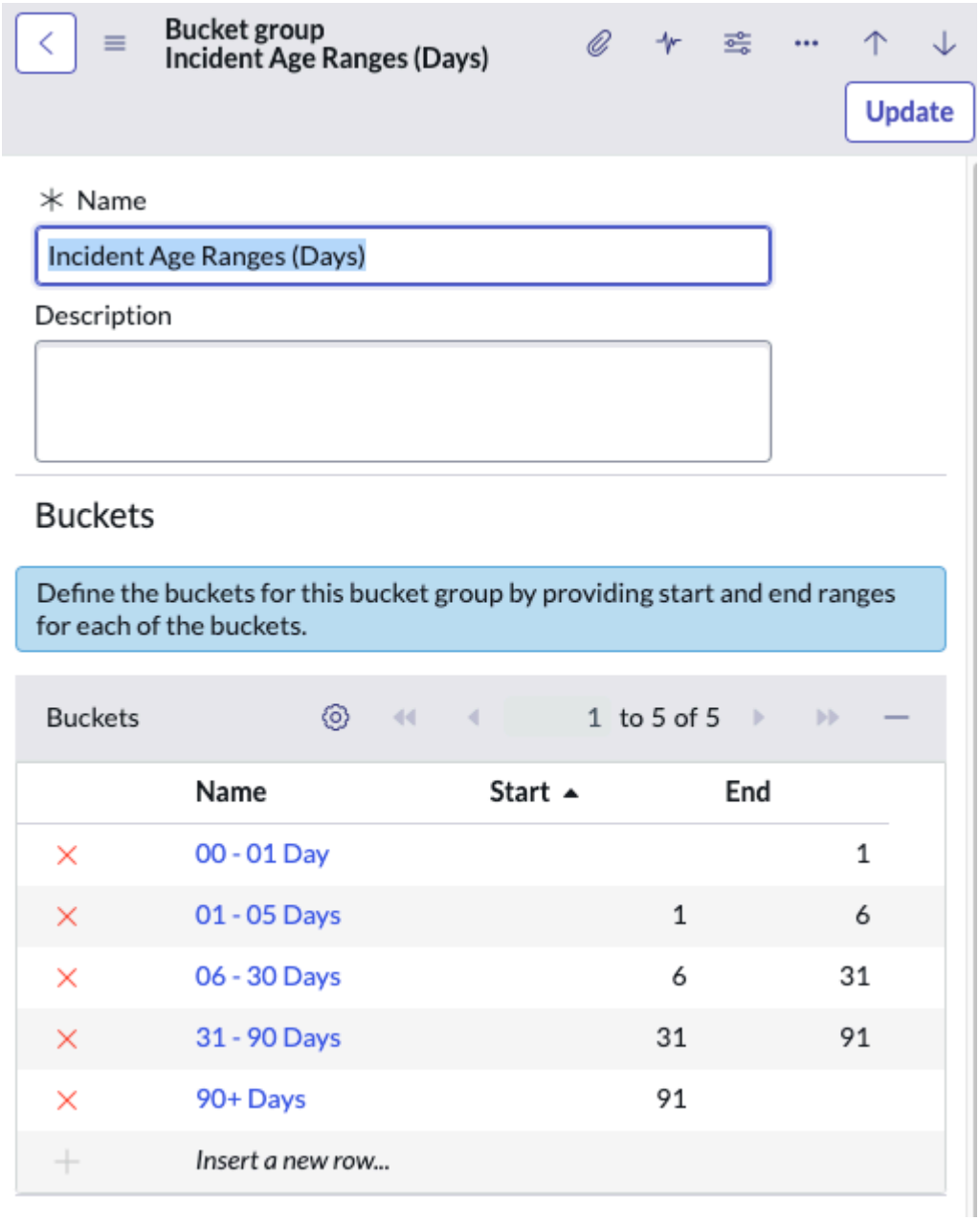
Incident.Age.Days スクリプトは、インシデントがインシデント テーブルからオープンになったときにタイムスタンプを取得し、これを収集期間の最後のタイム スタンプから差し引きます。スクリプトは、この値をミリ秒から日数に変換します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

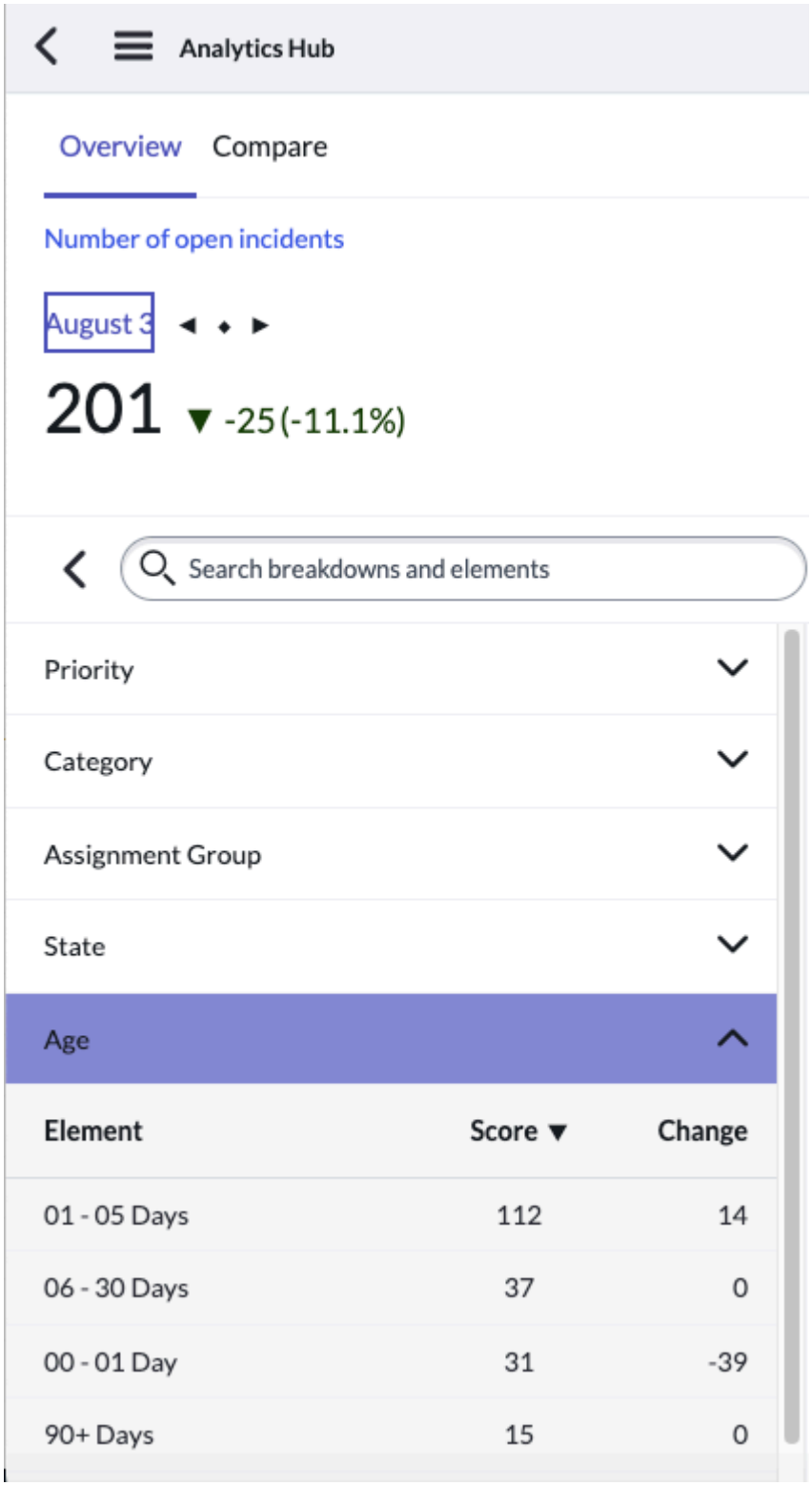
結果の日数は、バケット グループのバケットにソートされます。



以下に、オープン インシデント インジケーターの [番号] についてこのスクリプトを実行した結果を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連トピック

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウンへのインジケーターのを割り当て

自動または式インジケーターをブレークダウンに関連付けて、それらのインジケーターのブレークダウンされたスコアの収集を可能にします。

始める前に
ブレークダウンには、インジケーター ソース テーブルへのブレークダウンマッピングが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 自動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ およびダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合、ブレークダウンスコアはデータ収集中に入力されますが、ブレークダウンは アナリティクスハブ またはダッシュボードウィジェットでは選択できません。

次のタスク
インジケーターでデータ収集ジョブを実行して、新しいブレークダウンのスコアを収集します。

重要: すでにスコアがある既存のインジケーターにブレークダウンを追加する場合は、収集したスコアを上書きせずに新しいブレークダウンのスコアを収集するように注意してください。

この目的のために、特別なワンオフ収集ジョブを作成します。必要なだけさかのぼってデータを収集するようにジョブを設定します。このブレークダウンを追加したインジケーターのみを選択します。結果のジョブインジケーターを構成して、他のすべてのブレークダウンを除外します。ジョブインジケーターの [インジケーターを収集] オプションをクリアします。次に、ジョブを実行します。

ロールで収集ジョブの作成が許可されていない場合は、 パフォーマンスアナリティクス アドミンにお問い合わせください。

詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」と「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。

手動ブレークダウン

手動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースからのレコードを使用する代わりに、各要素のブレークダウン要素とインジケーターのスコアを手動で定義します。

自動ブレークダウンとは異なり、手動ブレークダウンはインジケーター ソース テーブルのどのフィールドにもマッピングしません。代わりに、ユーザーはブレークダウンしたスコアを手動で入力する必要があります。

手動ブレークダウンの作成

スコアを手動で追加するインジケーターのブレークダウンを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 手動ブレークダウン.
2. [**New**] をクリックします。
   [タイプ] が自動的に [手動] に設定されます。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [手動] セクションで、[新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいブレークダウン要素を追加します。
6. Enter を押すか、緑色のチェック マークをクリックしてエントリを保存します。
7. オプション: [順番] の値を変更します。
順序値が小さい要素は、アナリティクスハブやダッシュボードなど、要素のリストの上位に表示されます。
8. 手順 5 ～ 7 を繰り返して、さらにブレークダウン要素を追加します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
手動インジケーターをこのブレークダウンに関連付け、スコアシートを使用してスコアを入力します。

手動ブレークダウンへの手動インジケーターの割り当て

手動インジケーターを手動ブレークダウンに関連付けて、インジケーターのブレークダウン スコアを入力できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
注: 手動インジケーターのスコアは、一度に 1 つのブレークダウンのみでブレークダウンすることができます。手動インジケーターに第 2 レベルのブレークダウンを適用することはできません。

手順
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 手動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ およびダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
[表示] フィールドが false の場合、ブレークダウンスコアはデータ収集中に入力されますが、ブレークダウンは アナリティクスハブ またはダッシュボードウィジェットでは選択できません。

次のタスク
スコアシートを使用してインジケーターのブレークダウン スコアを入力します。

要素フィルタ

要素フィルターを使用すると、ビジュアル化で表示されるブレークダウン要素を指定または制限することができます。

要素フィルターは、条件付きフィルターまたは関連リスト条件と、条件が適用されるブレークダウンソースで構成されます。

ヒント: 動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連トピック

アナリティクスハブ

によるインジケーターの検査 KPI 詳細

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

要素フィルターを作成する

ブレークダウン ソースを選択し、そのブレークダウン ソースからブレークダウン要素をフィルタリングするフィルタ条件を選択します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

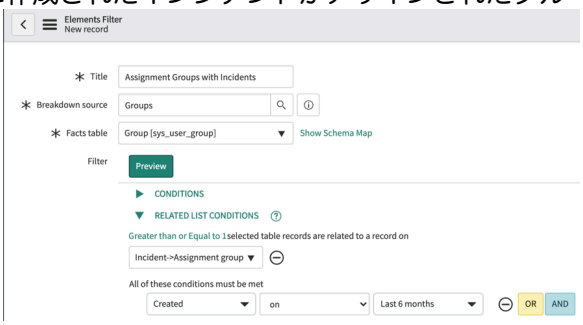
移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 要素フィルター をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明については表を参照)。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	要素フィルタを作成するブレークダウン ソースを選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	読み取り専用。ブレークダウン ソースのファクト テーブルを表示します。
フィルター	CONDITIONS:フィルター条件を指定して、使用可能な要素を制限します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 たとえば、ブレークダウンソースファクトテーブルがユーザー [sys_user] の場合、HR 部門のユーザーのみを含めるフィルター条件を追加できます。このフィルター条件は [部門] [次の値に等しい] [HR] です。 パーソナライズされたビジュアルの場合、フィルター条件の演算子は [次の条件に一致] である必要があります。
	関連リスト条件:条件に別のテーブルとの関係を含めます。たとえば、グループ [sys_user_group] テーブルを使用するグループブレークダウンソースに要素フィルターを作成できます。インシデント [incident]->アサイン先グループに関連リスト条件を追加した場合、インシデントがアサインされているグループのみが取得されます。この条件に [[作成日][日時][過去 6 か月]] が含まれている場合、過去 6 か月以

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	内に作成されたインシデントがアサインされたグループを取得しま  す。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。

次のタスク
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

この要素フィルターを使用するすべてのウィジェットインジケーターと、この要素フィルターに言及しているすべての診断結果が、要素フィルターレコードの下部に一覧表示されます。

可視化の要素フィルター

要素フィルターは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化または KPI 詳細で確認できます。コア UIでは、パフォーマンスアナリティクスウィジェットまたはアナリティクスハブで確認できます。いくつかの制限が適用されます。

さまざまなビジュアル化で、次の方法で要素フィルターを選択できます。

- コア UI アナリティクスハブ:ブレークダウンを選択するときに、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、そのリストが表示され、そこから選択できます。
- コア UI パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの場合:ウィジェットを設定するときは、[要素設定] タブの [要素フィルター] フィールドに入力します。ブレークダウン、時系列、およびスコアのウィジェットのみが要素フィルターをサポートしています。時系列ウィジェットとスコアウィジェットでは、要素フィルターが第 1 レベルのブレークダウン要素を置き換えます。ブレークダウンウィジェットの場合、要素フィルターは表示される要素を制限します。
- 時系列ウィジェットの コア UI ウィジェットインジケーターの場合: [要素設定] の [要素フィルター] フィールドでフィルターを選択します。まず、ブレークダウンソースで要素フィルターを使用してブレークダウンを選択する必要があります。

  注: 適用されるすべての要素の名前がインジケーターの名前またはラベルに追加されます。

- プラットフォームアナリティクスの KPI 詳細:[フィルター] ペインでブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、[絞り込み基準] の下に要素フィルターのリストが表示されます。
- プラットフォームアナリティクス データのビジュアル化：データのビジュアル化を設定するときに、インジケーターデータソース、ブレークダウン、および [is (dynamic)] 演算子を選択します。そのブレークダウンの要素フィルターが [要素] フィールドで使用できるようになります。Count、Min、Max のアグリゲートを使用した自動インジケーターのみがサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのいずれの場合も、ブレークダウンソースに少なくとも 1 つの要素フィルターがあるブレークダウンを最初に選択した場合にのみ、要素フィルターを選択できます。フィルターの構成によっては、要素フィルターを選択するために特定のロールが必要になる場合もあります。

ビジュアル化で要素フィルターを指定するだけでなく、ブレークダウンレコードに デフォルトの要素フィルター を指定することもできます。その要素フィルターは、任意の可視化のそのブレークダウンに対して自動的に選択されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でブレークダウンを表示するユーザーは、選択した要素フィルターを変更またはクリアできます。

注: ダッシュボードまたはワークスペースでビジュアルを表示するだけでは、ビジュアルのカスタマイズに使用される要素フィルターを変更することはできません。基になるウィジェットまたはデータの可視化を編集する権限を持つユーザーのみが、要素フィルターを変更できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

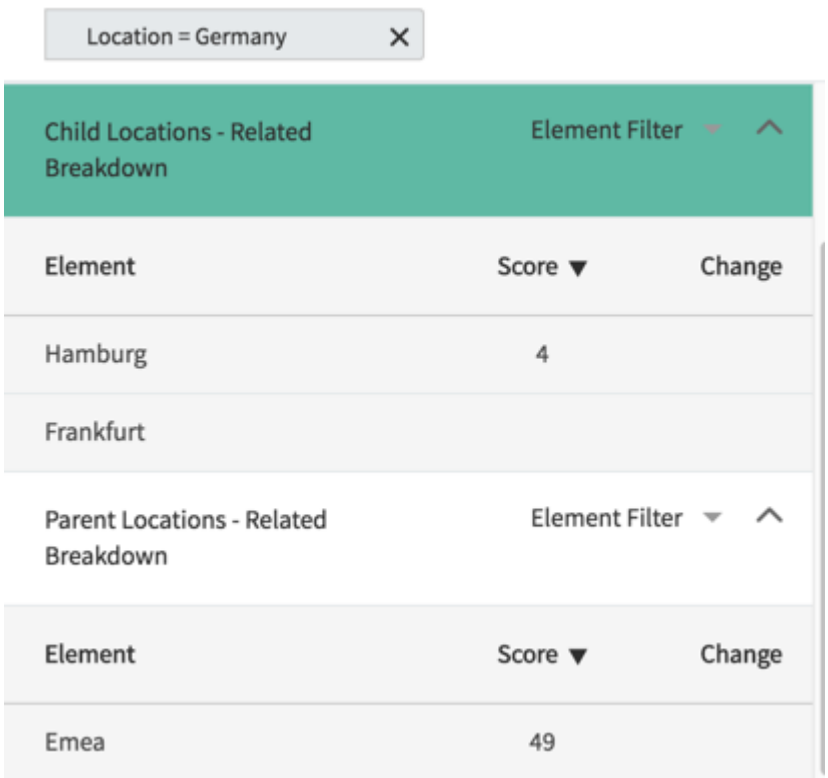
ブレークダウン関連のあるブレークダウン要素の移動

ブレークダウンの関連付けは、あるブレークダウン要素から別のブレークダウン要素に移動することで、ブレークダウンスコアを表示するための新しいナビゲーションパスを開きます。ブレークダウンの関係性は、異なるブレークダウンの要素間に存在することも、同じブレークダウン内の要素の階層構造内に存在することもできます。ブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ およびブレークダウンウィジェット内のナビゲーションに影響します。

重要: プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータの可視化などの機能は、ブレークダウンの関係をサポートしていません。

ブレークダウンの関連付けを使用して、階層関係にある単一のブレークダウンの要素間を移動できます。たとえば、場所ブレークダウンには「親」要素と「子」要素の階層があり、国を都市の親にすることができます。ブレークダウン関係を使用すると、 アナリティクスハブ ビューアーは、国から都市へ、都市から国へ、または同じ国の都市間を移動できます。

同じブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ を移動する

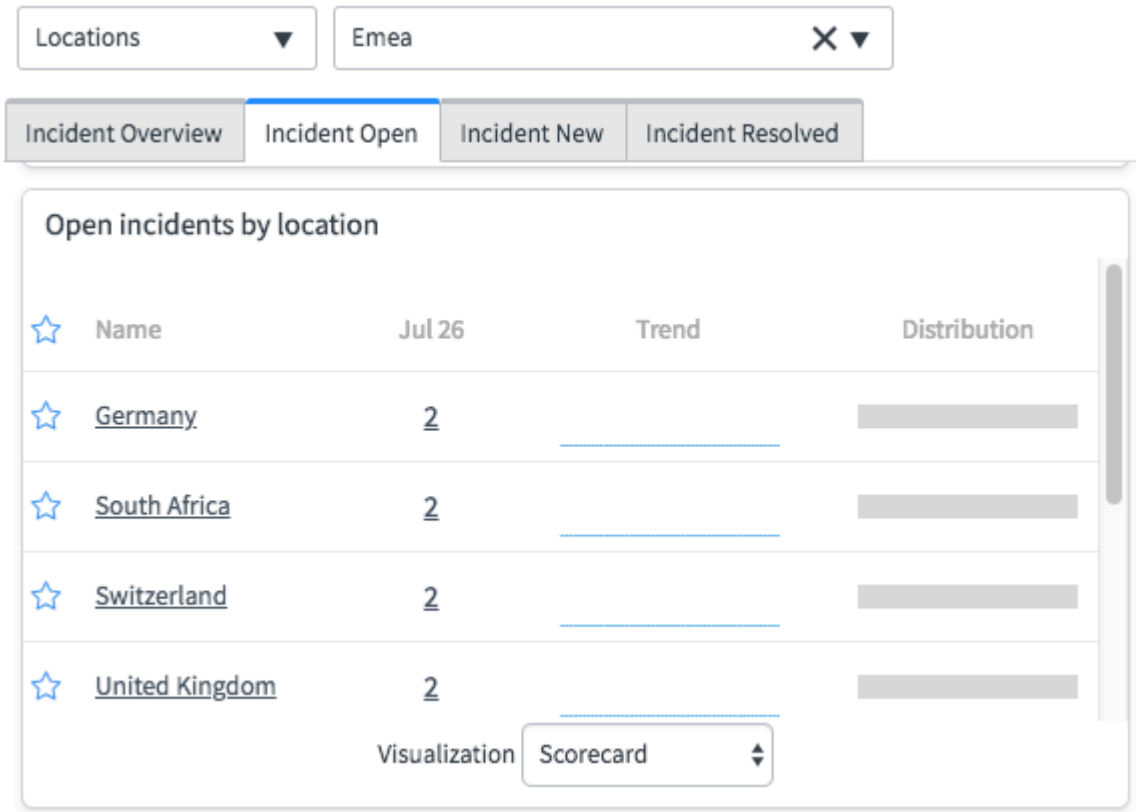


同様に、ブレークダウンウィジェットには、ブレークダウンダッシュボード用に選択された要素の親、子、または兄弟要素を表示できます。ブレークダウンダッシュボードでのブレークダウン関連

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

付けの使用の詳細については、「 ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

EMEA 要素の子を表示するブレークダウンダッシュボード

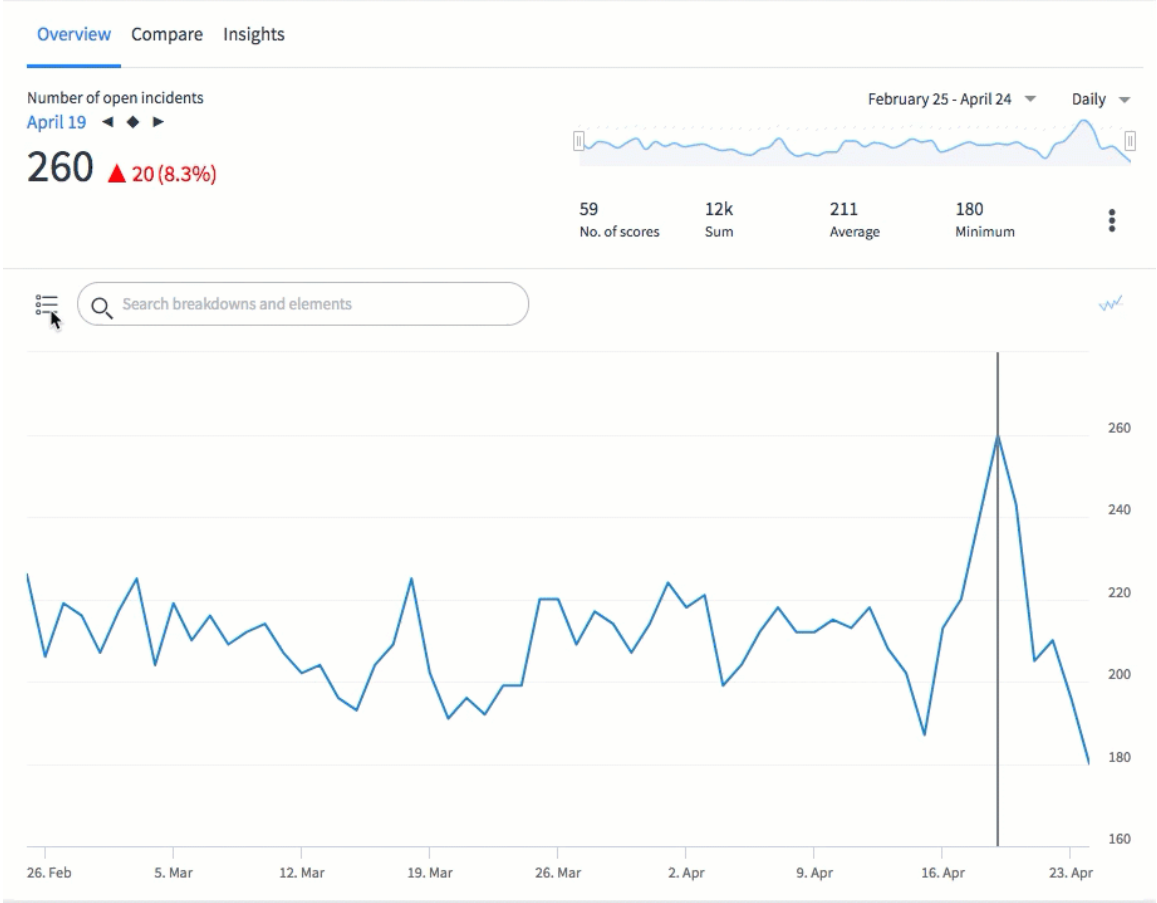


ブレークダウンの関連付けにより、異なる第 1 レベルのブレークダウンの要素間のナビゲーションも可能になります。たとえば、最初にアサイン先グループブレークダウンの要素を選択してから、メンバーブレークダウンの関係を確認します。この関係で、[アサイン先] ブレークダウンの要素に移動します。[アサイン先] の選択されたメンバーは、必ずしもアサイン先グループのメンバーである必要はありません。さらに、[アサイン先] のメンバーのアサイン数が、選択したアサイン先グループのアサイン数よりも多くなります。最初に選択されたアサイン先グループのアサインだけでなく、すべてのアサインの合計が表示されます。表示している第 1 レベルのブレークダウンを変更しているのであって、第 2 レベルのブレークダウンと要素にドリルダウンするわけではありません。繰り返しになりますが、このブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ とブレークダウンダッシュボードのブレークダウンウィジェットの両方で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ を移動する



ブレークダウン関係を使用するこれらのケースの詳細については、「ブレークダウン関係の作成に関するトピック」を参照してください。

ブレークダウン間のブレークダウン関連付けを作成

同じレベルの 2 つのブレークダウンの要素間の可視化ナビゲーションを設定するには、ブレークダウン間にブレークダウンの関連付けを作成します。両方のブレークダウンのレコードを参照するフィールドを持つテーブルが存在する必要があります。

始める前に

ブレークダウン関連のあるブレークダウン要素の移動 でのブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

重要: プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータの可視化などの機能は、ブレークダウンの関係をサポートしていません。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注: 通常はpa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、どのようなブレークダウン関係を作成するかを知っている可能性が最も高いですが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセス権が必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminに関係を作成させるか、pa_power_userとpa_data_collector間でコラボレーションを行うことを検討してください。

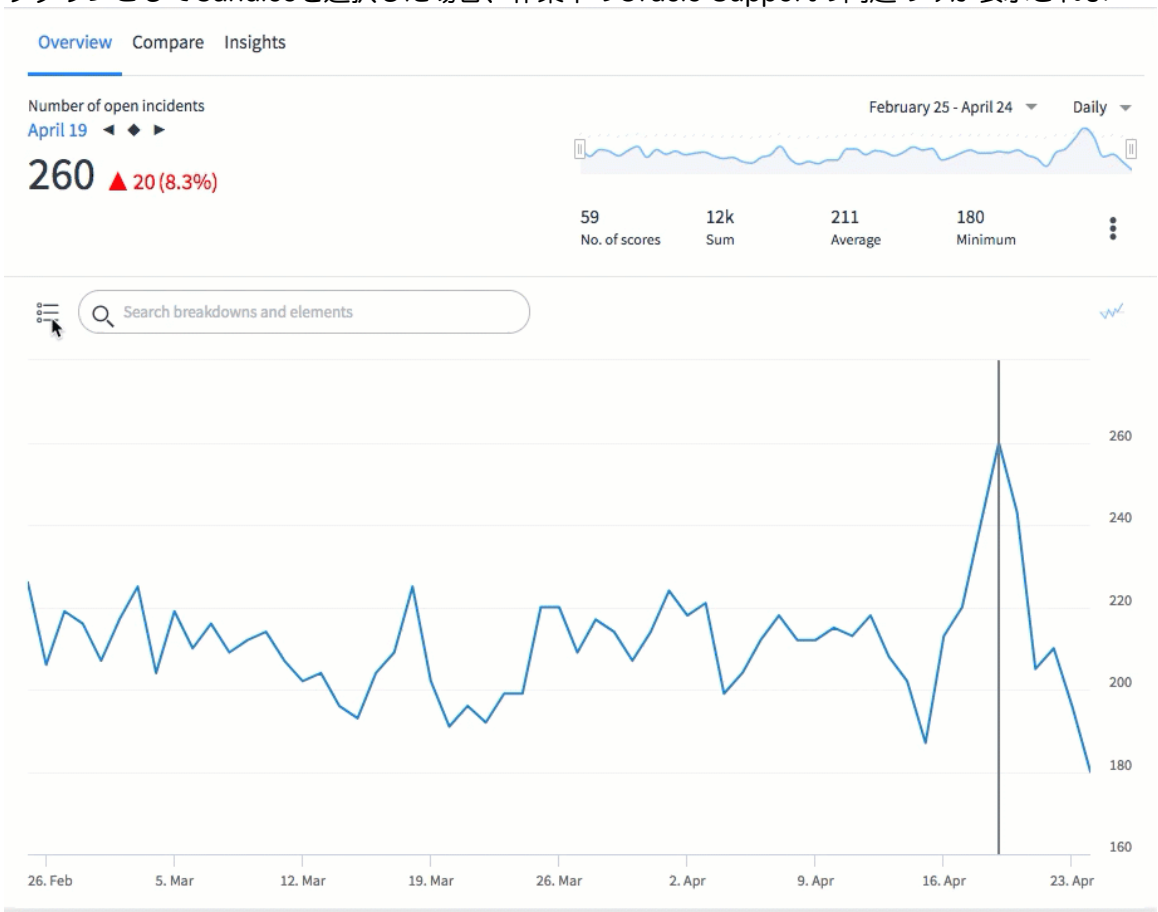
このタスクについて

論理的に関連する同じレベルの 2 つのブレークダウン間をすばやく移動できるようにしたいと考えています。このトピックで使用する例は、オープンインシデントの数インジケーターのアサイン先グループと担当者のブレークダウンに関係しています。次のアニメーションでは、Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Support グループにアサインされたインシデント数の表示と、Candace Bruckman にアサインされたインシデント数の表示に切り替えています。どちらのブレークダウンも第 1 レベルです。つまり、Oracle Support にアサインされたインシデントの合計数と Candace Bruckman にアサインされたインシデントの合計が表示されます。ブレークダウン関係ではなく、第2レベルのブレークダウンとしてCandiceを選択した場合、作業中のOracle Supportの問題のみが表示されます。



注: ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。双方向の関係を作成するには、複数のブレークダウン関係を定義します。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. 次のように、フォームのフィールドに入力します。

ブレークダウンの関連付けフォーム

フィールド	説明	例
ブレークダウン	この関係が属しているブレークダウンを選択します。このブレークダウンからのみ、関連付けられたブレークダウンにアクセスできます。	この例では、アサイン先グループを選択するときにグループメンバーの選択を表示する場合、 ブレークダウンはアサイン先グループです。
関連ブレー	最初のブレークダウンと関連付けるブレークダウンを選択します。	この例では、アサイン先グループメンバーを含む関連するブレークダウンは [アサイン先] です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明	例
クダウン		
テーブル	両方のブレークダウンのソースのファクトテーブルレコードを参照するフィールドを持つテーブルを選択します。多対多の関係の場合は、多対多のテーブルを選択します。1 対多の関係の場合は、ファクトテーブルを選択します。	アサイン先グループブレークダウンでは、グループデータが使用されます。[アサイン先] ブレークダウンはユーザーデータを使用します。アサイン先グループには多数のメンバーを含めることができ、ユーザーは複数のアサイン先グループのメンバーになることができるため、多対多の関係になります。したがって、グループとユーザーを結合する多対多テーブルであるグループメンバー [sys_user_grmember] テーブルを選択します。
明細フィールド	指定したテーブルから、移動元となるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[グループ] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、アサイン先グループブレークダウンの要素を識別します。
関連ブレークダウンフィールド	この関係を表示するときに移動できるブレークダウン要素を特定するフィールドを、指定されたテーブルから選択します。	この例では、[ユーザー] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、[アサイン先] ブレークダウンの要素を識別します。
共通フィールド	ブレークダウン間の関係を定義する場合は、このフィールドを空のままにします。	
条件	この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要があるその他の条件を定義します。	この例では、条件 **[User.Active] [is] [true]** を追加して、非アクティブなグループメンバーをフィルタリングします。

自動翻訳

結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションを使用できるようになります。最初に データ収集ジョブ を実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスにデフォルトで付属しているブレークダウンの関連付けの例を表示します。ここに示されている例は、 メンバー ブレークダウンの関係です。ブレークダウン関係 のメンバーは、アサイン先の要素から始めてアサイン先グループに移動する逆方向のナビゲーションを提供します。最後に、 マネージャー ブレークダウンの関係は メンバーと似ていますが、各アサイン先グループにはマネージャーが 1 人しかいないため、多対 1 の関係を示します。したがって、多対多テーブルの代わりにファクトテーブルを使用します。

1 つのブレークダウンの要素間に関係を作成する

ブレークダウンの関連付けを使用して、同じブレークダウン内の要素の階層間の アナリティクスハブ でのナビゲーションを設定します。ブレークダウンレコードのフィールドは、あるレコードと別のレコードの階層関係を識別する必要があります。

始める前に

ブレークダウン関連のあるブレークダウン要素の移動 でのブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータの可視化などの機能は、ブレークダウンの関係をサポートしていません。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注: 通常はpa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、どのようなブレークダウン関係を作成するかを知っている可能性が最も高いですが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセス権が必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminに関係を作成させるか、pa_power_userとpa_data_collector間でコラボレーションを行うことを検討してください。

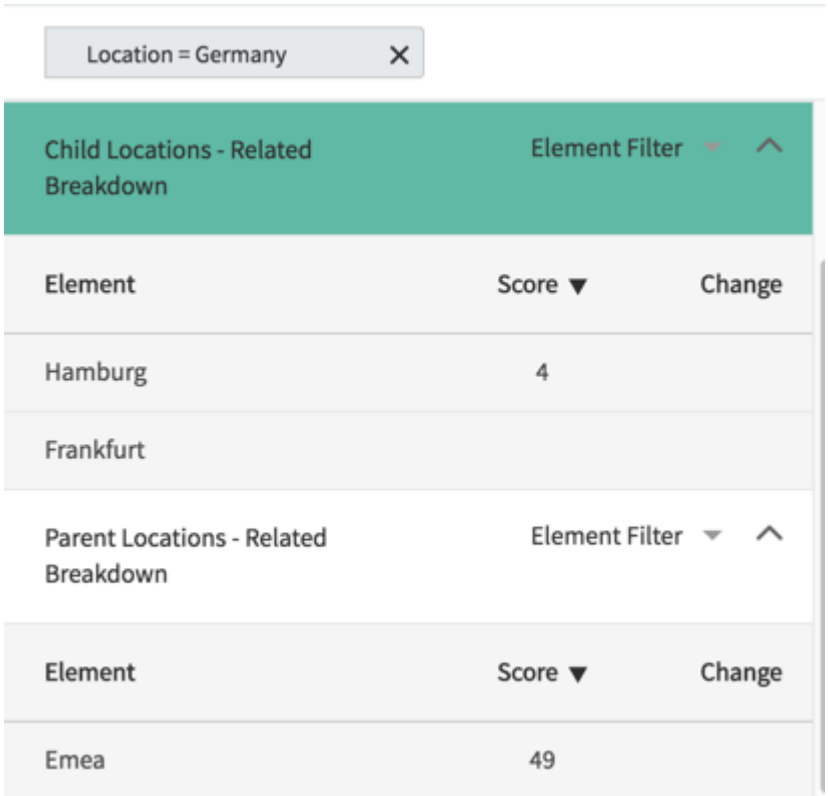
このタスクについて

ブレークダウンの関連付けを作成して、ブレークダウンの要素間の次の階層関係を移動できます。

- 親要素から子要素に移動するための子関係
- 親関係:子要素から親へ移動する場合
- 同じ親要素を共有する要素間を移動するための兄弟関係またはピア関係

要素間の階層関係があるブレークダウンでは、要素レコードの 1 つのフィールドが階層内の要素の位置を識別します。通常、このフィールドは親であり、親要素を識別します。1 つの要素の親である要素自体が親要素を持つことができ、このマルチレベル階層を アナリティクスハブ内で移動できます。

このトピックで使用される例は、オープンインシデント数インジケーターの場所のブレークダウンです。子関係と親関係は、地域から国、都市へ、またはその逆など、いくつかのレベルの階層を移動するために必要です。



注: ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。複数のブレークダウンを定義し、双方向の関係を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ブレークダウン] フィールドと [関連ブレークダウン] フィールドで、要素間を移動するブレークダウンを選択します。
   これらのフィールドは、同じブレークダウンの要素間の関係を作成するときに同じ値を持ちます。この例では、両方のフィールドで [場所] ブレークダウンを選択します。
3. [テーブル] フィールドで、ブレークダウンソースファクトテーブルと同じテーブルを選択します。
   この例では、[場所 **[cmn_location]** を選択します。
4. 作成する子、親、または兄弟/ピア関係のいずれを作成するかに応じて、フォームの残りの部分に入力します。

ブレークダウンの関連付けフォーム

フィールド	子関係	親関係	兄弟/ピア関係
明細フィールド	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで、[親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、[場所] ブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、[場所] ブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します
関連ブレークダウンフィールド	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、[場所] ブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで、[親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、[場所] ブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します
共通フィールド	空のままにします。	空のままにします。	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで、[親] を選択します。

5. [条件] で、この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要のある追加の条件を定義します。

結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションを使用できるようになります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスにデフォルトで付属しているブレークダウンの関連付けの例を表示します。場所ブレークダウンには、 子場所 と 親場所 ブレークダウンの関係が含まれます。兄弟グループブレークダウン関係は、兄弟またはピア関係の一例です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン要素を表示する機能を制御する

ユーザーのサブセットがインジケーターで表示できるブレークダウン要素を制限するには、要素セキュリティを実装します。要素セキュリティは、ウィジェット、ワークスペース、および アナリティクスハブ に適用されます。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
ブレークダウンの表示オプションはありません。代わりに、ブレークダウンへのアクセスは、ブレークダウン ソースの ACL によって制限されます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース.
2. アクセス権を設定するブレークダウンのブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [セキュリティタイプ] リストで、次の選択肢から選択します。

セキュリティタイプ	説明
拒否リスト	指定したロールを持つグループとユーザーを除外します。指定したブレークダウン要素のインジケータースコアは表示されません。これらのロールを持たないグループとユーザーは、要素のスコアを表示できます。
許可リスト	指定したロールを持つグループとユーザーを含めます。指定したブレークダウン要素のインジケータースコアを表示できるのは、そのユーザーのみです。これらのロールを持たないグループとユーザーは、要素のスコアを表示できません。

4. 要素セキュリティリストレコードを定義し、次のいずれかを行います。
   - リストの要素を選択します。
   - リストにどの要素を含ませるかを定義する条件を設定します。
5. 要素セキュリティリストが適用されるロールを指定します。

要素のセキュリティ リストの定義

要素のセキュリティリストは、ブレークダウン要素への不正アクセスを防ぎます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース.
2. 既存のブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [要素のセキュリティリスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
名前	要素のセキュリティ リストの記述名
説明	要素のセキュリティ リストの実行内容と、その目的の詳細な説明。
アクティブ	要素のセキュリティ リストをアクティブ (選択) にするか、または非アクティブ (クリア) にするためのチェック ボックス。
すべてのロール	リストがすべてのロールに適用されることを示す場合に選択します。この要素のセキュリティ リストに属するロールを指定するには、チェック ボックスをオフにして、ロック アイコンをクリックします。特定のロールを検索するには、検索ボタンを使用します。
セキュリティタイプ	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースのために選択されたセキュリティ タイプ。
様相	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択された様相。
ファクトテーブル	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択されたファクト テーブル。
要素の選択	このセキュリティリストが適用される要素を明示的に指定する場合に選択します。このオプションをオフにした場合は、[条件] を使用して、含める要素を決定します。
すべての要素	すべての要素を含めるセキュリティリストを選択します。このセキュリティリストの個々の要素を指定するには、オフにします。デフォルト:選択済み
空オプションを表示	ブレークダウンダッシュボードのユーザーがブレークダウン要素を指定せずにスコアを表示できるようにする場合に選択します。ブレークダウンダッシュボードのユーザーが自分のロールに表示されるブレークダウン要素のスコアのみを表示できるようにする場合はオフにします。 この設定は、ブレークダウンダッシュボード要素に従うウィジェットにのみ影響します。admin ロールを持つユーザーは、常にブレークダウンダッシュボードでフィルタリングされていないスコアを表示できます。
条件	セキュリティリストが適用されるブレークダウン要素を決定するための条件。たとえば、[**User.Manager] [is (dynamic)] [Me]** などです。条件は、ブレークダウンのソース条件で最優先のものとして適用されます。このフィールドは、[要素を選択] が選択されていない場合にのみ使用できます。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

拒否リストによるロール制限

ブレークダウンソースに拒否リストのセキュリティが指定されており、ユーザーのいずれかのロールがそのブレークダウンソースの要素セキュリティリストに含まれている場合、そのユーザーはそのセキュリティリストが適用される要素を表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

拒否リストセキュリティを備えたユーザーロール別のブレークダウン要素の可視化

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素のヴィジビリティ
ユーザーのどのロールも要素セキュリティリストに含まれていません。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーのロールはいずれも要素セキュリティリストに含まれています。	セキュリティリストが適用される要素はいずれも表示されません。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

許可リストによるロール制限

ブレークダウンソースに許可リストのセキュリティが指定されており、ユーザーのいずれかのロールがそのブレークダウンソースの要素セキュリティリストに含まれている場合、そのユーザーはそのセキュリティリストが適用される要素を表示できます。

許可リストセキュリティを使用したユーザーロール別のブレークダウン要素のヴィジビリティ

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素のヴィジビリティ
ユーザーのどのロールもセキュリティリストに含まれていません。	セキュリティリストが適用される要素はいずれも表示されません。
ユーザーのロールはいずれもセキュリティリストに含まれています。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加できます。ダッシュボードユーザーは、ブレークダウンソースと 1 つ以上のブレークダウン要素を選択して、ダッシュボード上の可視化でスコアをフィルタリングできます。

選択した要素は、次の条件に従うダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットをフィルタリングします。

- ウィジェットのインジケーターは、選択したブレークダウンソースに基づくブレークダウンを使用します。式インジケーターの場合、式内のすべての貢献インジケーターは、このソースに基づくブレークダウンを使用する必要があります。
- ウィジェットは、ブレークダウンダッシュボードの要素に従います。

選択した要素は、次の条件下でダッシュボードのレポートをフィルタリングします。

- ブレークダウンソースをインタラクティブフィルターとして使用するようにダッシュボードを構成しました。
- レポートは、ダッシュボードのインタラクティブフィルターに従います。

ダッシュボードユーザーが複数の要素を選択した場合、ウィジェットのタイプと構成に応じて、ウィジェットはそれらの要素のスコアを個別に表示したり、単一の集計を表示したりできます。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

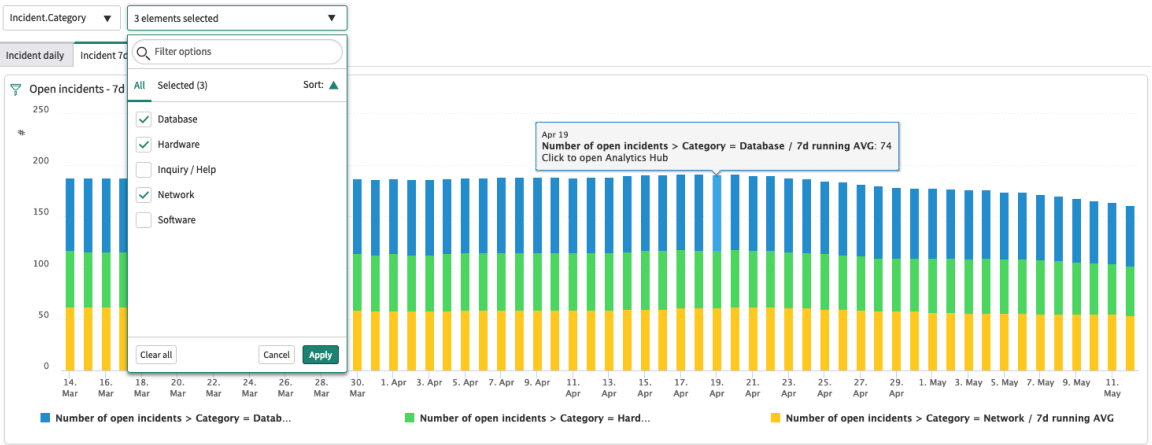
注: ウィジェットにブレークダウンの関連付けを表示する場合、そのウィジェットに複数の要素を表示することはできません。詳細については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、カテゴリブレークダウンの選択された各要素ごとに個別に与えられたスコアを含むブレークダウンウィジェットを示しています。ダッシュボードユーザーが Incident.Category ブレークダウンソースの 3 つの要素を選択しました。このユーザーが アナリティクスハブへのアクセス権を持っている場合は、任意のスコアをクリックして、 アナリティクスハブのスコアの傾向を表示できます。

ブレークダウンダッシュボードの時系列ウィジェット



注: ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

関連トピック

- パフォーマンスアナリティクスウィジェット
- インジケーターブレークダウン
- ブレークダウン ソースの定義
- アナリティクスハブ 特定のインジケーター用
- ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボードにブレークダウンソースを追加する

ダッシュボードユーザーがダッシュボードの可視化をブレークダウン要素でフィルタリングできるようにするには、ダッシュボードにブレークダウンソースを追加します。

始める前に

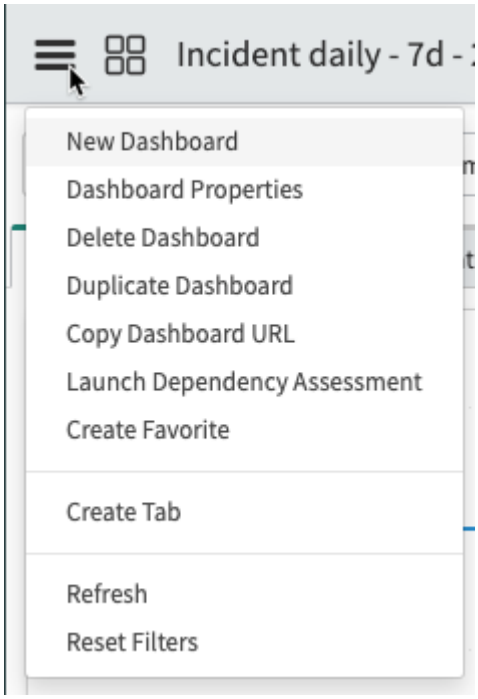
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

手順

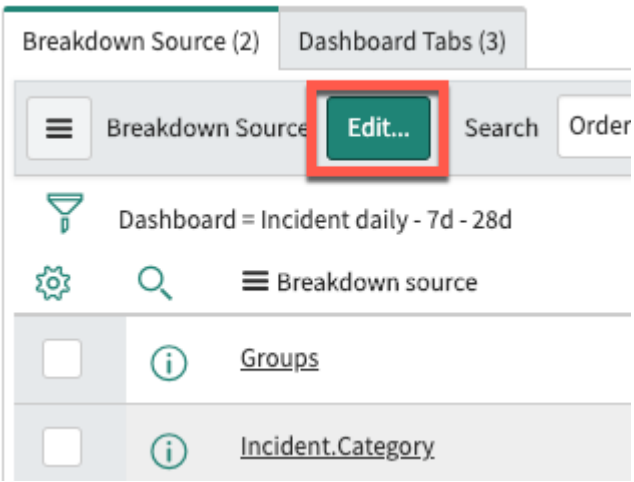
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 関連するダッシュボードを開きます。
3. コンテキストメニューから、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードレコードが開きます。

4. ブレークダウン ソース関連リストの [編集] をクリックします。



ダイアログが開き、ブレークダウンソースをリストとリストの内外に移動できます。

5. 適用するブレークダウン ソースをブレークダウン ソース リストに移動します。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。

結果
ブレークダウンソースはダッシュボードで利用できます。ユーザーは、選択した要素でダッシュボードをグループ化できます。

次のタスク

- ダッシュボードのレポートでブレークダウンソースをインタラクティブフィルターとして使用できるように、[ブレークダウンソース] 関連リストのエントリを構成できます。最初に、ブレークダウンソースと同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを作成します。詳細については、「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。

- ユーザーがダッシュボードのブレークダウン要素を選択してフィルタリングできるように、ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを構成します。詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成

ブレークダウンダッシュボードに表示される各ウィジェットを構成します。構成によって、ウィジェットがダッシュボードで選択された要素に従うかどうか、またその方法に従うことが決まります。一部のウィジェットとインジケーターでは、複数の要素値を個別に表示するか、集計して表示するかを選択できます。

始める前に

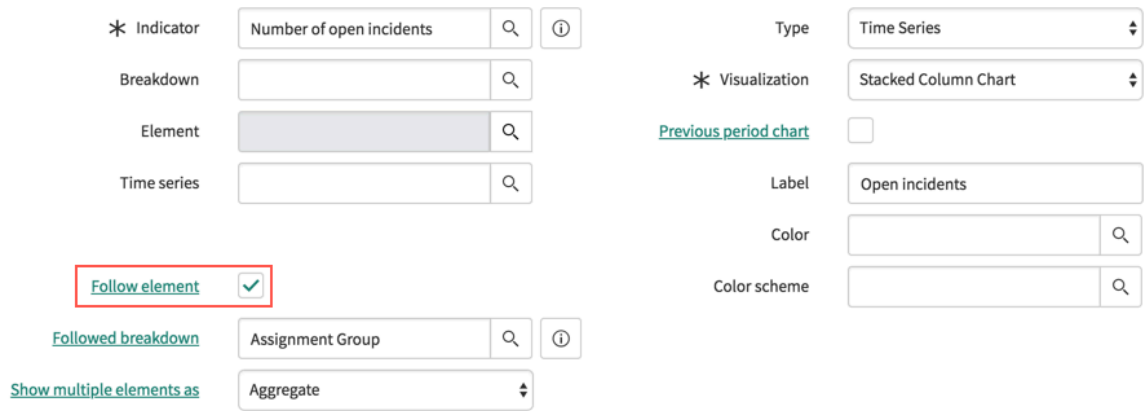
このタスクは、オープンブレークダウンダッシュボードから開始していることを前提としています。

必要なロール:pa_power_user、admin

手順

1. ブレークダウンダッシュボードで、プラス記号 ( ) をクリックしてダッシュボードを編集モードにします。
2. ウィジェットをポイントし、鉛筆アイコン ( ) をクリックします。
   ウィジェットレコードが開きます。
3. ウィジェットレコードの [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

オプションを表示するウィジェットレコード



ウィジェットの [要素をフォロー] を選択しない場合、そのウィジェットはダッシュボードで選択されたブレークダウン要素にフォローしません。[フォローしているブレークダウン] と [複数の要素を表示] オプションは表示されません。

ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターが、ダッシュボードで選択したブレークダウンソースをサポートしている必要があります。それ以外の場合、ウィジェットにスコアは表示されません。この場合、状況を知らせるメッセージが表示されます。

重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

4. ダッシュボードでいずれかのブレークダウンソースが複数のブレークダウンを使用している場合は、[フォローしているブレークダウン] でウィジェットに適用するブレークダウンを指定します。

Example

たとえば、オープン担当者、要求元、要求、アサイン先などのブレークダウンは、Users.Active ブレークダウン ソースを使用します。ダッシュボードに Users.Active を追加する場合は、そのダッシュボードにある各ウィジェットの [フォローしているブレークダウン] で関連するブレーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダウンを選択します。このオプションは、ダッシュボードに追加した他のブレークダウンソースには影響しません。

5. [複数の要素を表示] フィールドで、ダッシュボードビューアーが複数のブレークダウン要素を選択したときにスコアを表示する方法を選択します。
次の 2 つの可能性から選択します。

   - アグリゲート:選択したすべての要素の単一のアグリゲートスコアを表示します。
   - [分離]:選択した各要素を個別に表示します。

   すべてのウィジェットとインジケーターのタイプが両方のビューをサポートしているわけではありません。一部のタイプでは、複数の要素の選択がまったくサポートされていません。ウィジェットとインジケーターの組み合わせに対して複数の要素を選択できない場合は、フィールドに [利用不可] と表示されます。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する

ダッシュボードで複数の要素を選択すると、これらの要素に続くウィジェットにその値を個別に表示することも、集計として表示することもできます。

ウィジェットフォームで、[複数の要素を表示] フィールドを使用して、複数の要素を個別に表示するか、集計して表示するかを設定します。ビュータイプ が [分離] のウィジェットは、選択した ブレークダウン要素 ごとに異なる値を表示します。ビュータイプが [集計] のウィジェットには、選択したすべてのブレークダウン要素の集計値を表す単一の値が表示されます。

ウィジェットのタイプによって、集計ビュー、個別のビュー、またはその両方が利用可能かどうかが論理的に決まります。また、 式インジケーター は、集計ビューがインジケーターレコードで明示的に有効になっている場合にのみ、集計ビューをサポートします。たとえば、スコアウィジェットには集計ビューのみを表示できます。集計ビューが有効になっていないと、式インジケーターのスコアウィジェットを複数の要素でフィルタリングすることはできません。この場合、[複数の要素を表示 **(Show multiple element as)]** フィールドには [利用不可] と表示され、グレー表示されます。詳細については、「 複数の要素のアグリゲートをサポートするインジケーター」セクションを参照してください。

アグリゲートビューと個別ビューのウィジェットサポート

- 時系列ウィジェットは、アグリゲートビューと個別ビューをサポートしています。
- リストウィジェットは、アグリゲートビューと個別ビューをサポートしています。
- スコアウィジェットは、アグリゲートビューのみをサポートしています。
- ブレークダウンウィジェットは、アグリゲートビューのみをサポートしています。

注: ワークベンチまたはテキスト パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで複数の要素を選択することはできません。試行すると、選択したすべての要素が無視されます。この制限は、 プラットフォームアナリティクス データの可視化には適用されません。

複数の要素のアグリゲートをサポートするインジケーター

次のインジケーターは集計ビューをサポートしています。

- データをカウント、合計、最小値、または最大値としてアグリゲートする自動インジケーター

  注: ここでは、「アグリゲート」という言葉が、複数のインジケータースコアのアグリゲートビューと、インジケーターに設定されたデータアグリゲーションの 2 つの異なる用途に使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで SQL AVG() または SQL COUNT(DISTINCT...) を使用しない外部インジケーター
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブの [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

重要:

- データを平均または個別のカウントとしてアグリゲートするインジケーターは、アグリゲートビューをサポートしていません。
- [複数の要素を表示] の 値は、メインウィジェットとインジケーターウィジェットの両方に適用されます。[アグリゲート] が選択されていても、いずれかのインジケーターウィジェットが [アグリゲート] ビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従いません。代わりに、インジケーターはウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウンダッシュボードの要素に従い、それらの値の集計を示します。

アグリゲートビューを表示したときの結果

複数の要素のアグリゲートビューには、インジケーターのデータアグリゲーションに応じて異なる結果が表示されます。

自動インジケーターデータアグリゲーション	外部インジケーターの **SQL** ステートメント	ウィジェットで、複数の要素のアグリゲートビューに表示される内容
総数	SQL カウント ()	選択した要素のスコアの合計
合計	SQL SUM()	選択した要素のスコアの合計 (それ自体が合計)
最大	SQL MAX()	各時点で最も値が高かった要素
最小	SQL MIN()	各時点で値が最も低かった要素

アグリゲートビューを選択した場合、すべてのウィジェットで、またはユーザーがウィジェットからアナリティクスハブに移動したときに、すべての機能を使用できるわけではありません。

- アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。
- ターゲットとしきい値は、時系列ウィジェットでは使用できません。
- ターゲットとブレットグラフはリストウィジェットでは使用できません。

ウィジェットインジケーターとブレークダウンダッシュボード

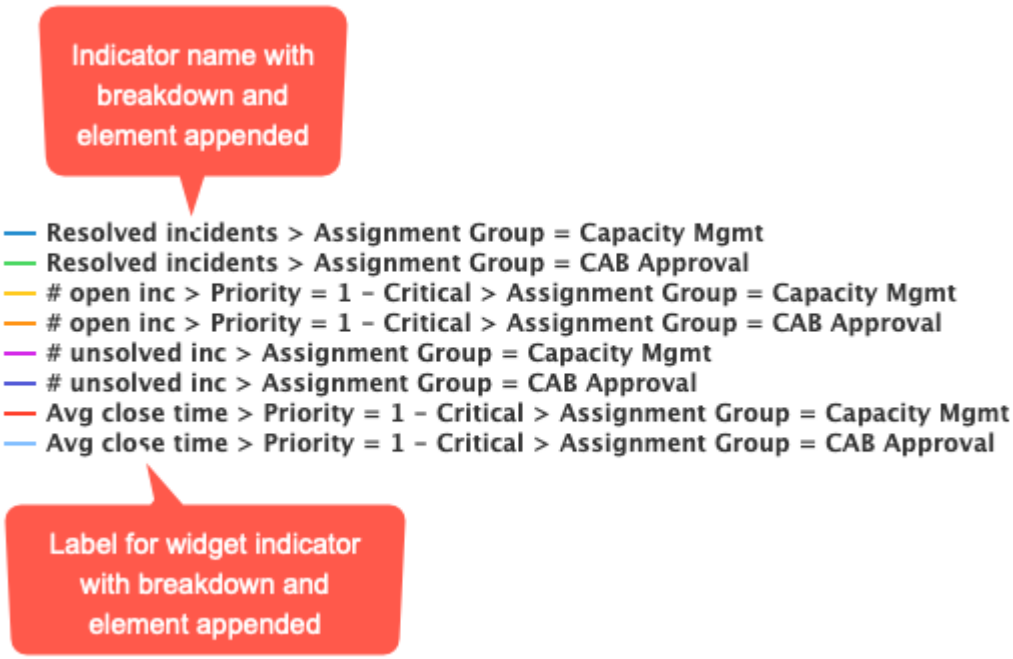
ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素が選択された個別のビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル



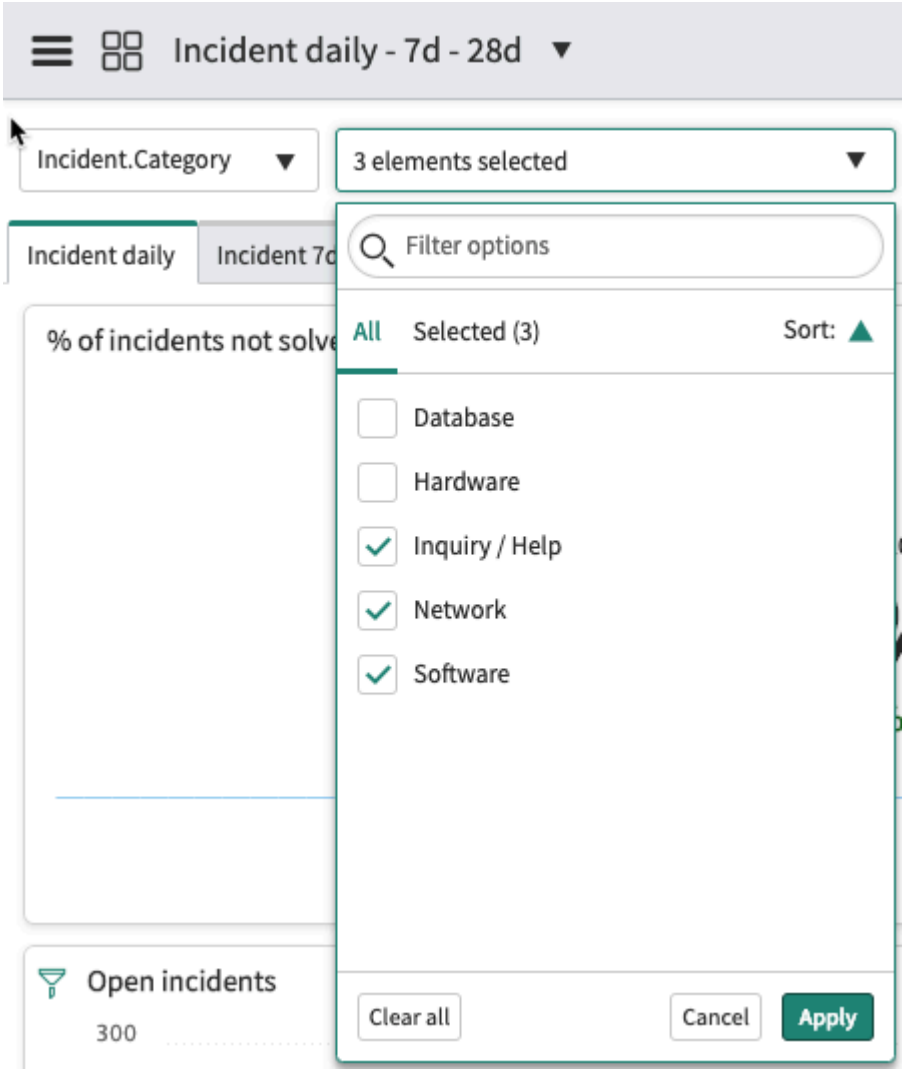
複数の要素が選択されたアグリゲートビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 複数の要素のアグリゲート値と個別値を含むオープンインシデント

Incident.Category ブレークダウンソースと、問い合わせ/ヘルプ、ネットワーク、ソフトウェアの 3 つの要素が選択されているブレークダウンダッシュボードを考えてみましょう。

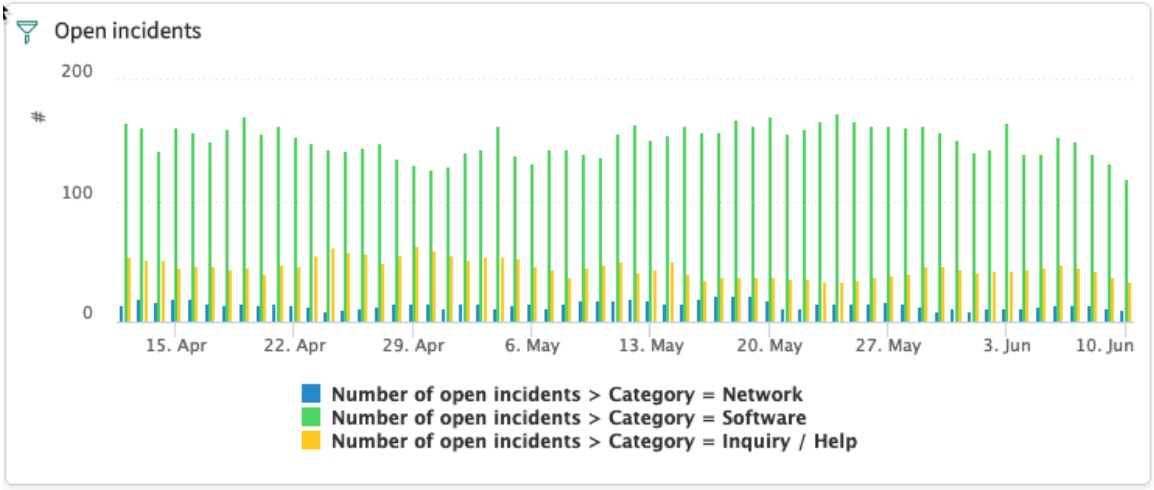


このダッシュボードには、[オープン中のインシデント] という時系列ウィジェットが含まれています。このウィジェットには、カウント集計を含むオープンインシデント数インジケーターが表示されます。ウィジェットは、ダッシュボードで選択された要素に従います。したがって、ウィジェットには、ダッシュボードで選択された複数の要素を個別に表示することも、集計値として表示することもできます。[複数の要素を表示] フィールドは [分離] に設定されています。

自動翻訳

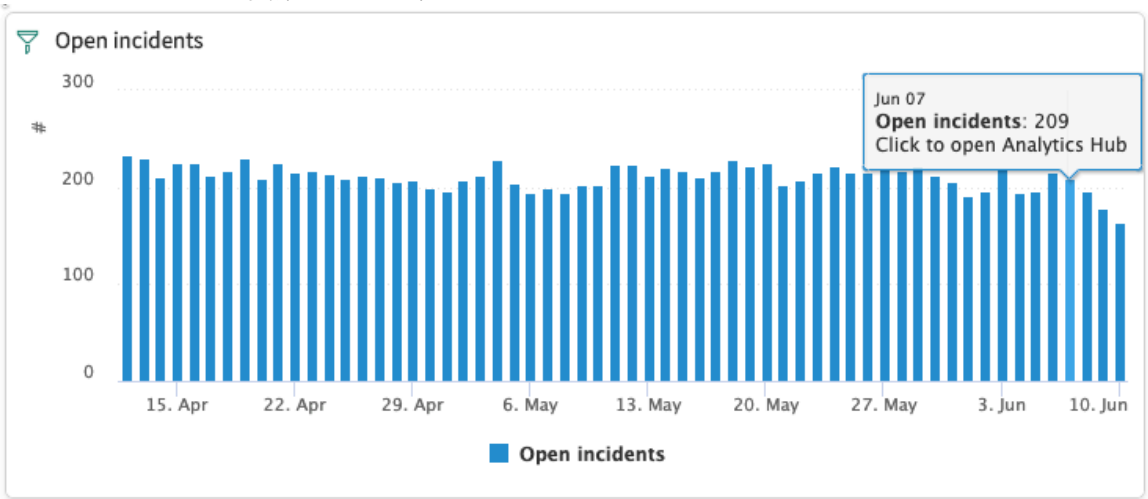
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードには、選択した 3 つの要素のそれぞれについて、日ごとに個別の列が表示されま



す。

[複数の要素をアグリゲートとして表示] フィールドを [アグリゲート] に設定すると、選択した 3 つの要素に対して単一のアグリゲートスコアが表示されま



す。

ウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウン

ウィジェットがダッシュボードと同じブレークダウンを使用する場合、ダッシュボード ブレークダウンは適用されません。

ウィジェットを設計するときは、そのウィジェットに適用するブレークダウンのレベルを最大 2 つ指定できます。その後、そのウィジェットをブレークダウンダッシュボードを含む任意のダッシュボードに追加できます。ダッシュボードのブレークダウンの 1 つがウィジェットのブレークダウンの 1 つと同じである場合、そのダッシュボード ブレークダウンはウィジェットに影響しません。そのブレークダウンの動作は、このウィジェットで [要素をフォロー] が無効にされた場合と同じになります。

インタラクティブにブレークダウンを選択できるブレークダウンタイプウィジェットをダッシュボードに追加する場合、この制限は完全には適用されません。ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

Example: ブレークダウンダッシュボードのブレークダウンウィジェット

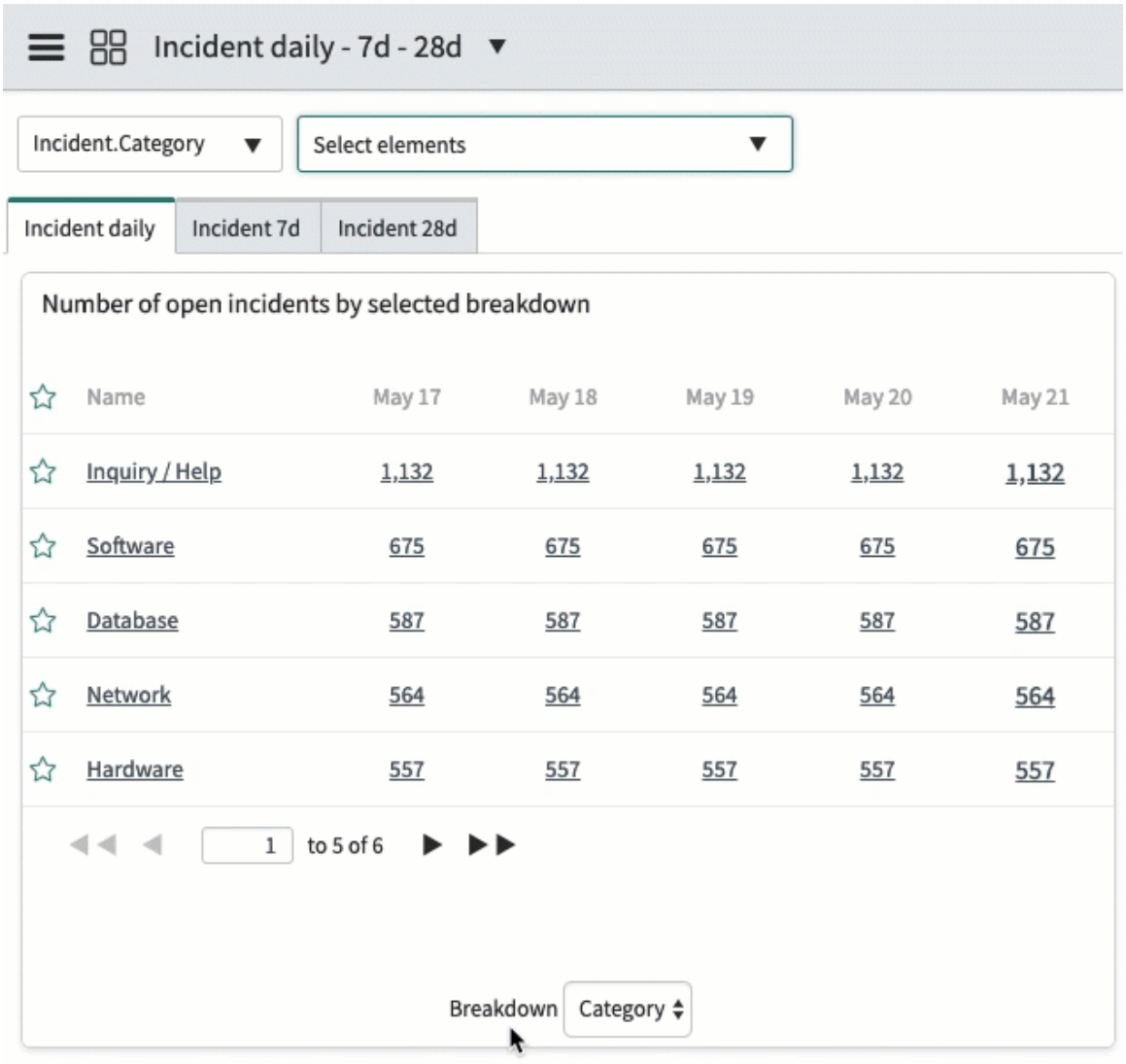
次のアニメーションでは、ブレークダウンダッシュボードにブレークダウンウィジェットがあります。ウィジェットの設定では [要素をフォロー] が 選択されています。ダッシュボードとウィジェットの両方が、カテゴリブレークダウンの要素を使用しています。ダッシュボード上の要素を選択し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ても、ウィジェットには影響しません。次に、ウィジェットで [緊急度ブレークダウン] を選択します。ダッシュボード上の要素を選択すると、ウィジェットに影響します。ウィジェットのブレークダウンではなくダッシュボードのブレークダウンソースを変更した場合、ダッシュボードの要素を選択してもウィジェットに影響します。

ブレークダウン ダッシュボードのインタラクティブなブレークダウン選択を持つウィジェット



ダッシュボードのブレークダウン関係の表示

ブレークダウン ウィジェットは、ダッシュボード用に選択された要素に関連する第 1 レベルのブレークダウン要素を表示できます。ウィジェットはブレークダウン ダッシュボード上になければなりません。そのダッシュボードには、関連するブレークダウンのブレークダウン ソースが含まれている必要があります。

注: ブレークダウンの関連付けを表示するウィジェットのダッシュボードで複数の要素を選択することはできません。

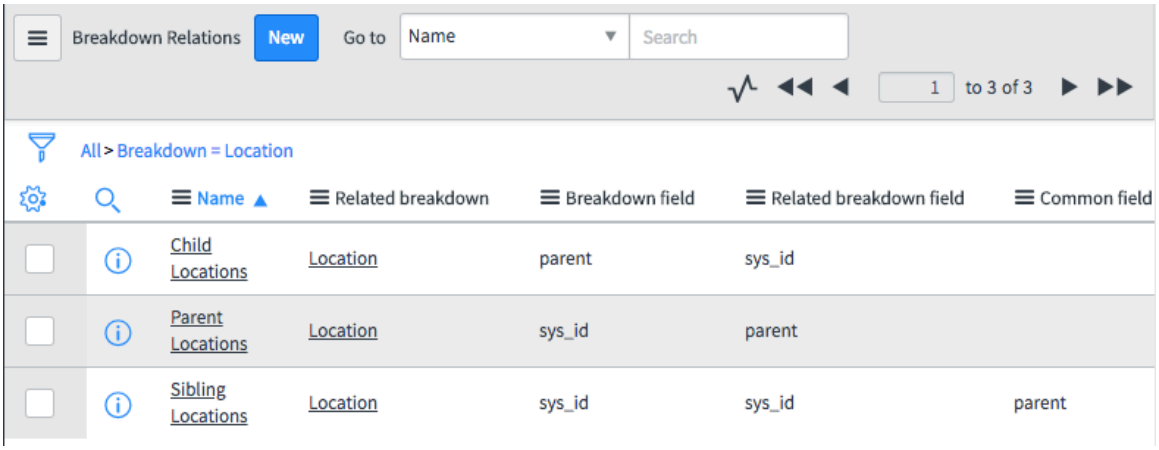
オープン インシデントの数などのインジケーターを考えてみましょう。このインジケーターは、場所ブレークダウンを使用します。場所ブレークダウンには、その要素間に 3 つのブレークダウン関係があります。場所の要素の場合、これらの関係は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

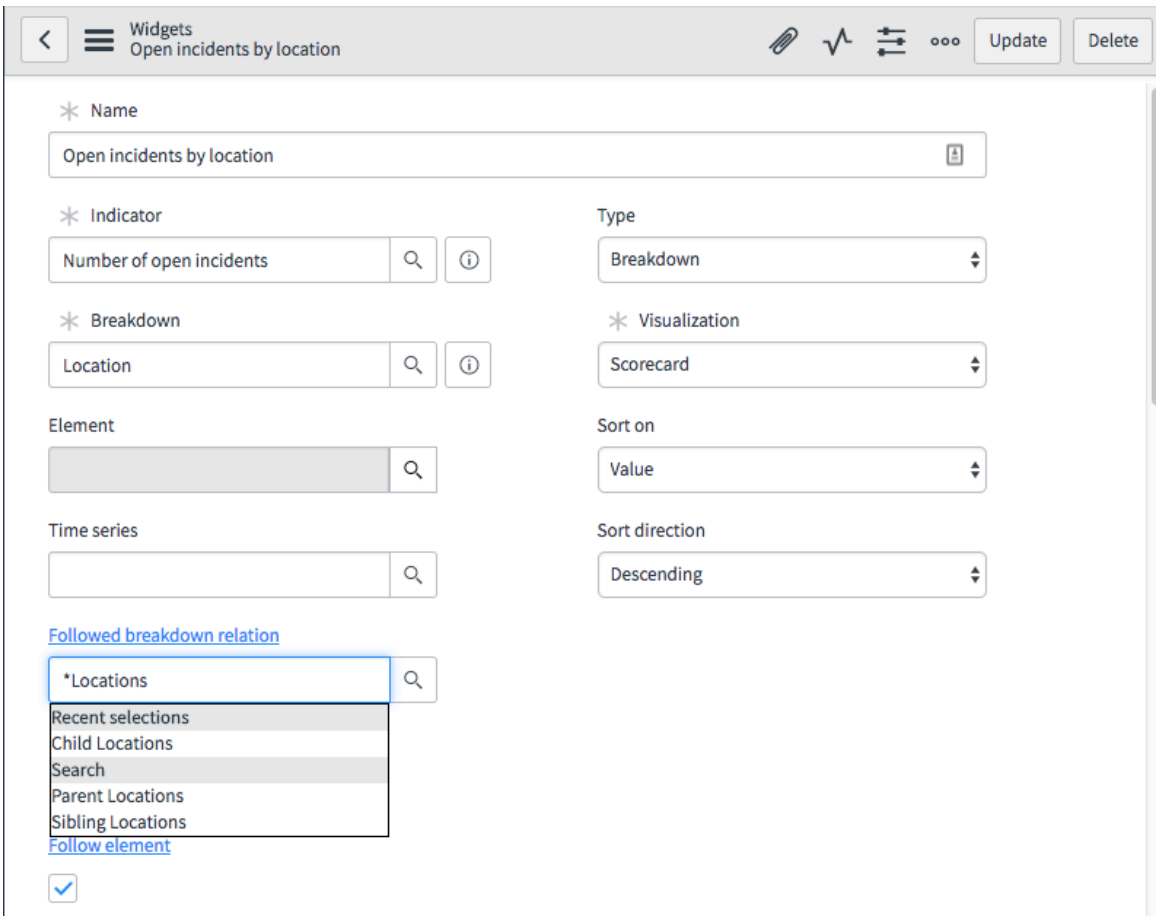
- 親場所。Sys ID 値が他の場所要素の [親] フィールドにあります。
- 子場所。その [親] フィールドの他の場所要素のSys ID 値を持ちます。
- 兄弟場所。[親] フィールドで同じ値を共有する場所要素で構成されます。

場所の要素間のブレークダウン関係



ここで、場所別にグループ化されたオープン インシデントの数インジケーター スコアを表示するウィジェットを考えてみましょう。ブレークダウン ダッシュボードで選択された要素をフォローするようにウィジェットを設定します。ここで、フォローするブレークダウン関係を選択する必要があります。

ブレークダウン関係別に要素を表示するウィジェットの設定



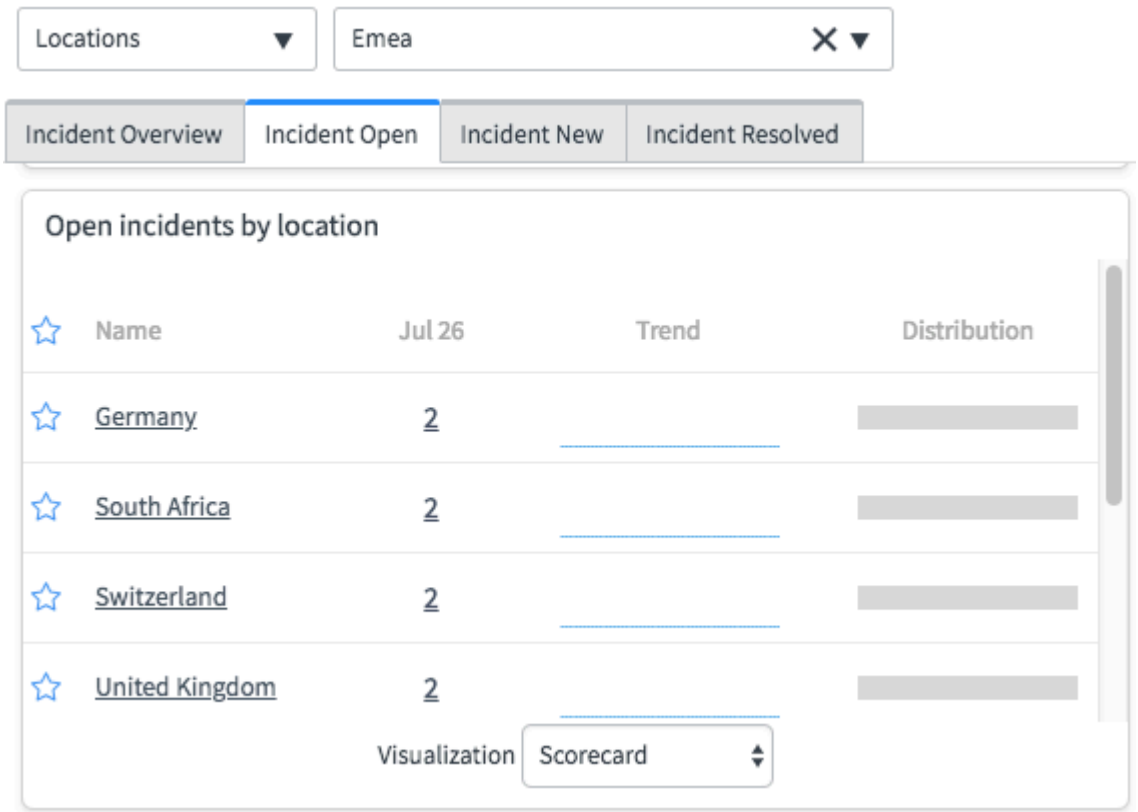
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、[スコアカード] のチャート化が選択されている場合にのみ機能します。ユーザーが他のチャート化でブレークダウン関係をフォローできるようにするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

子場所を選択します。これで、場所ブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードにウィジェットを配置しました。場所は場所ブレークダウンのブレークダウン ソースなので、ダッシュボードで場所の要素を選択することができます。[EMEA] を選択すると、ウィジェットには EMEA を親とする場所が表示されます。

ダッシュボード要素の子を表示するブレークダウン ダッシュボードのウィジェット

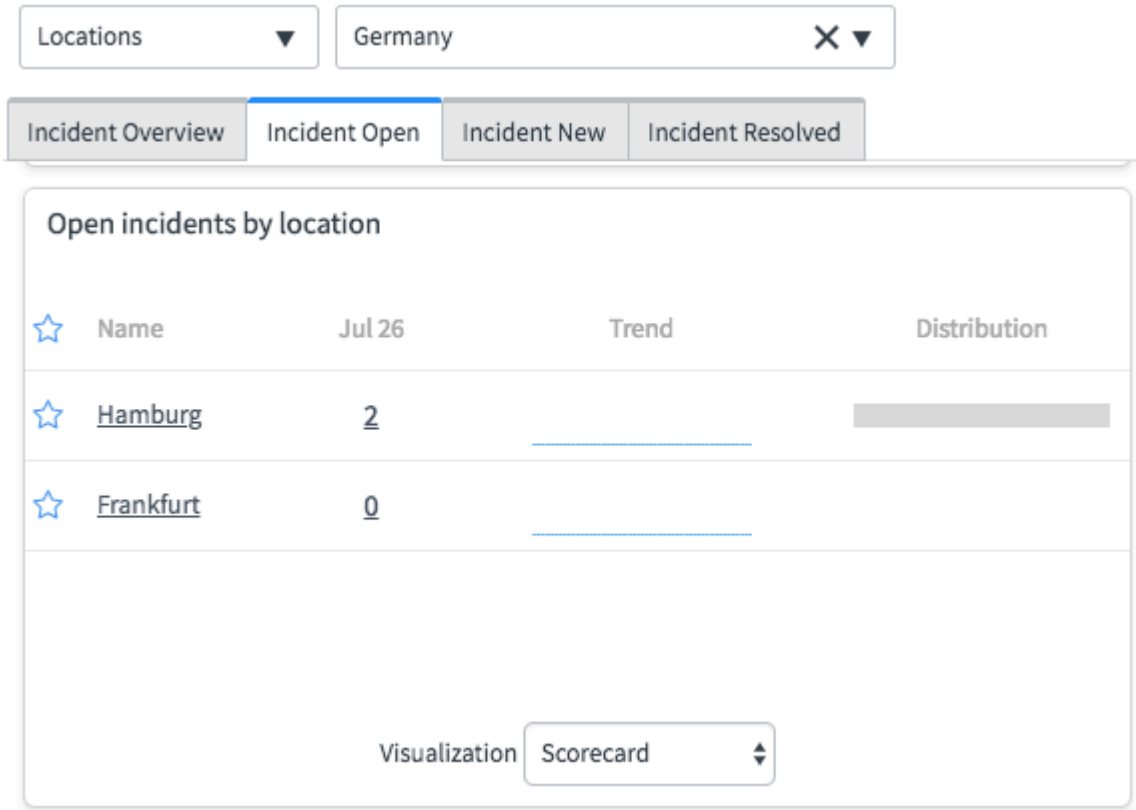


「孫」要素や「曾孫」要素まで、レベルを下げることができます。たとえば、ここではドイツの場所が選択されています。

自動翻訳

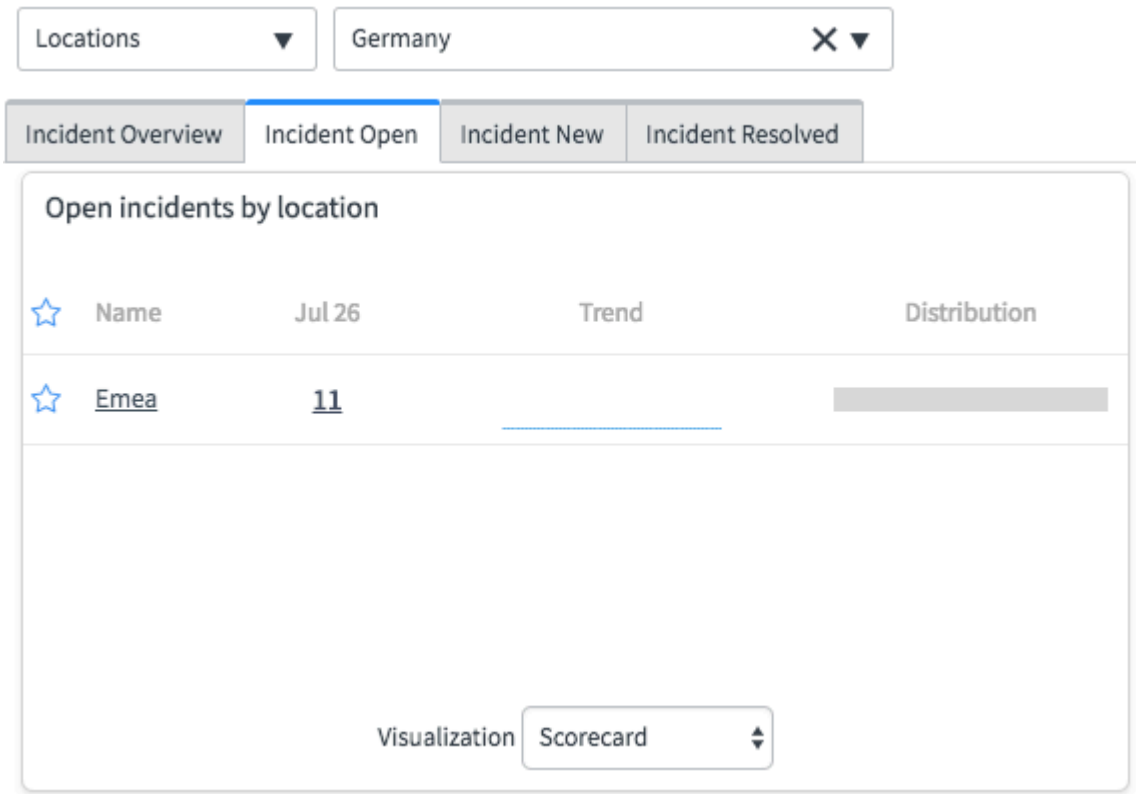
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA の子が選択されているブレークダウン ウィジェット



子場所の代わりに親場所を表示するようにウィジェットを編集し、ダッシュボードで再度ドイツを選択すると、ドイツの親場所が表示されます。

ダッシュボード要素の親を表示するブレークダウン ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

- ブレークダウン関連のあるブレークダウン要素の移動
- ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

データスナップショットと複数のブレークダウン

Platform Analytics のデータスナップショットでは、インジケーター (KPI) の分析中に複数のブレークダウンを行うことができます。このアーキテクチャでは、変更データキャプチャ (CDC) プロセスを使用します。このプロセスは、実行時にスコアと時系列を生成するために最適化された構成可能なテーブルからデータの変更をキャプチャします。

クラシック パフォーマンスアナリティクス では、常にマトリクスを介してインジケーターに適用される複数のブレークダウンを計算します。数学的には、計算の数はブレークダウンの数とともに幾何学的に増加します。実際には、このアプローチでは、インジケーターに同時に適用できるブレークダウンが最大 2 つに制限されます。

データスナップショットでは、ブレークダウンマトリクスは使用されません。代わりに CDC を使用することで、複数のブレークダウンレベルを適用できます。2 つ以上のレベルの内訳を適用できるため、 パフォーマンスアナリティクス の長年の問題点の 1 つに対処できます。この機能により、データ分析能力が深まり、 パフォーマンスアナリティクスを通じて得られるインサイトが広がります。

重要:

- データスナップショットでは、インスタンスで RaptorDB Professional データベースを使用する必要があります。
- ドメインセパレーションインスタンスはサポートされていません。
- データスナップショットを取得し、複数レベルのブレークダウンを有効にするには、データスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインを有効にします。パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションと admin ロールが必要です。データスナップショットを本番インスタンスでアクティブ化する前に、開発環境でテストすることを検討してください。
- データスナップショットプラグインをアクティブ化した場合でも、サポートされているインジケーターに対して有効にする必要があります。詳細については、「データスナップショットを有効にする」を参照してください。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスコンポーネント (KPI 詳細データの可視化) のみがデータスナップショットをサポートしています。PA ウィジェットやアナリティクスハブなどの コア UI コンポーネントには、2 レベルを超えるブレークダウンを表示することはできません。
- データスナップショット収集ジョブにより、 パフォーマンスアナリティクス別のストレージ使用量が増加する可能性があります。ジョブはソーステーブルのサブセットをコピーし、関連レコードの毎日の変更をすべて保存します。

次のインジケーターはデータスナップショットをサポートしています。

- スクリプト化されていない自動インジケーター
- スクリプト化されていない自動貢献インジケーターのみを持つ式インジケーター
- 他の式インジケーターを含む式インジケーター (最終的に基礎となるインジケーターがスクリプト化されておらず自動化されている場合に限ります)。

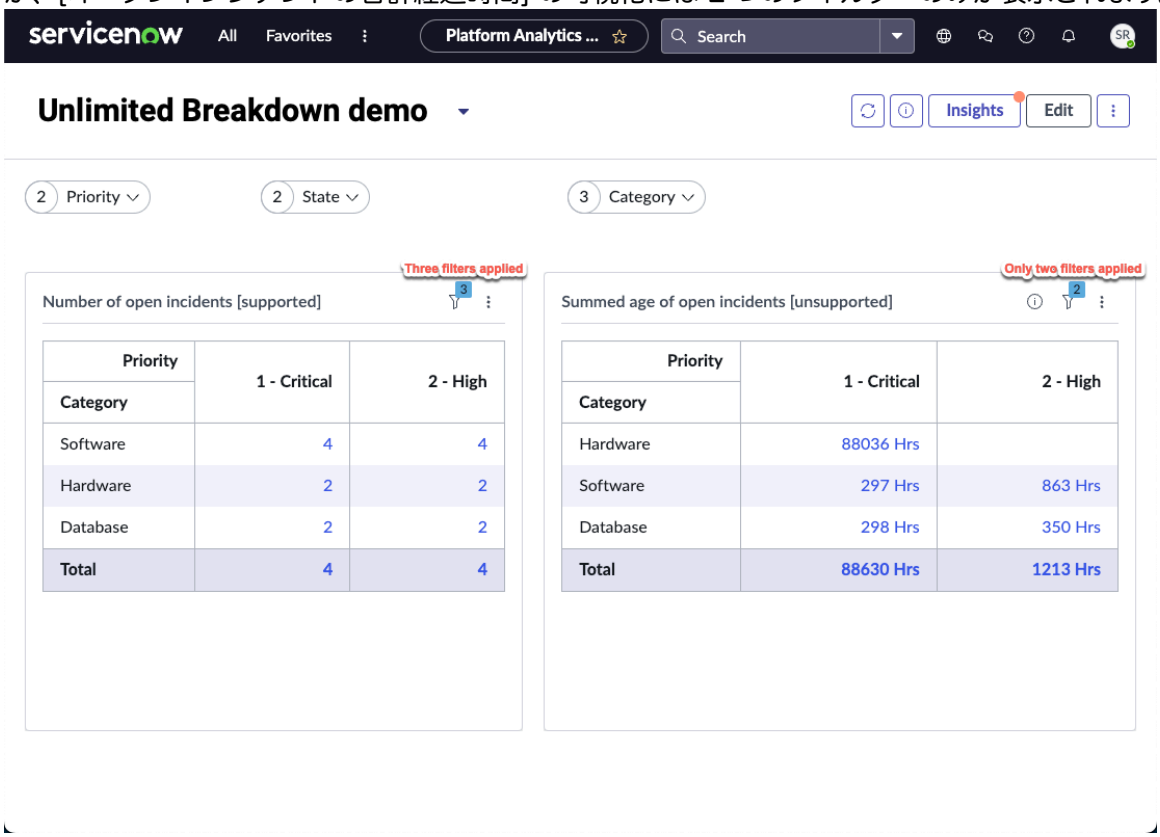
重要: 機能がアクティブ化される前に収集されたデータに複数のブレークダウンを適用することはできません。このようなデータには 2 つのレベルのブレークダウンのみを適用できます。さらにレベルのブレークダウンを適用しようとすると、結果は、データの可視化またはチャートのその日付範囲の領域が空 KPI 詳細 になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サポートされているインジケーターとサポートされていないインジケーター

フィルターは、複数のブレークダウンをサポートするインジケーターとサポートしていないインジケーターの可視化に異なる方法で適用されます。この例では、2 つのピボットテーブルデータを可視化したダッシュボードがあります。1 つのピボットテーブルには、オープンインシデントの数インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されないため、複数のブレークダウンをサポートします。もう一方のピボットテーブルには、[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターが表示されています。このインジケーターはスクリプト化されているため、複数のブレークダウンをサポートしていません。ダッシュボードには 3 つのフィルターがあり、それぞれが両方のインジケーターにあるブレークダウンをフィルタリングします。3 つのフィルターすべてが適用されています。フィルターは、最初に [優先度]、次に [カテゴリ]、[ステータス] の順に適用されました。[オープンインシデント数] の可視化には 3 つのフィルターが適用されていることが示されますが、[オープンインシデントの合計経過時間] の可視化には 2 つのフィルターのみが表示されます。



Priority / Category	1 - Critical	2 - High
Software	4	4
Hardware	2	2
Database	2	2
Total	4	4

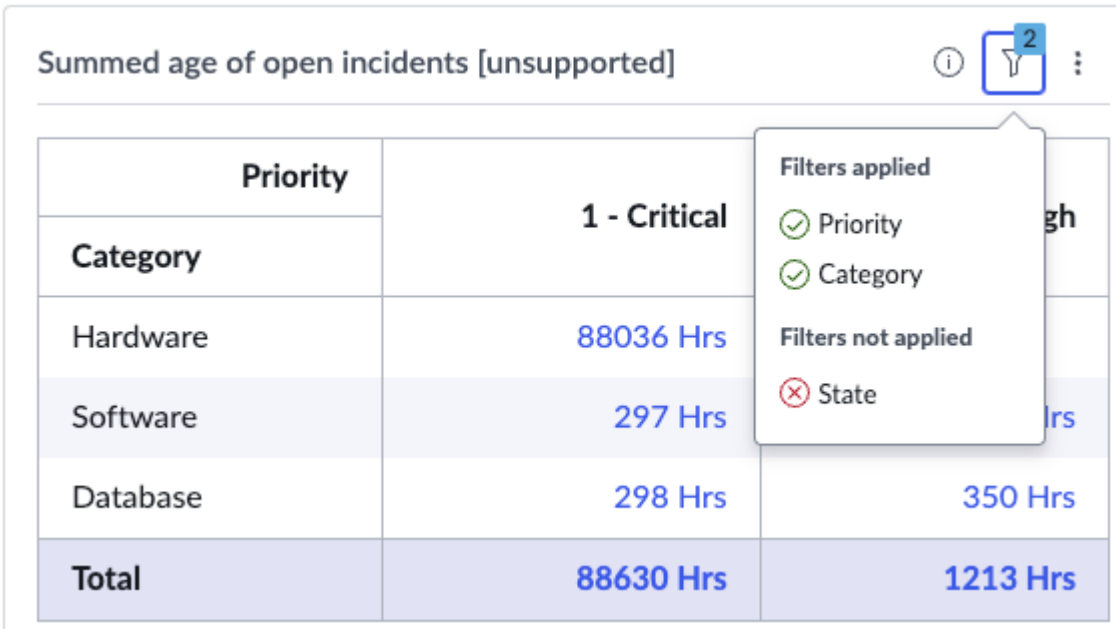
Priority / Category	1 - Critical	2 - High
Hardware	88036 Hrs	
Software	297 Hrs	863 Hrs
Database	298 Hrs	350 Hrs
Total	88630 Hrs	1213 Hrs

[オープンインシデント数] インジケーターに適用されているフィルターを調べると、3 つのフィルターがすべて適用されていることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターでは、ダッシュボードに適用された最初の 2 つのフィルターのみがこのインジケーターに適用されることがわかります。

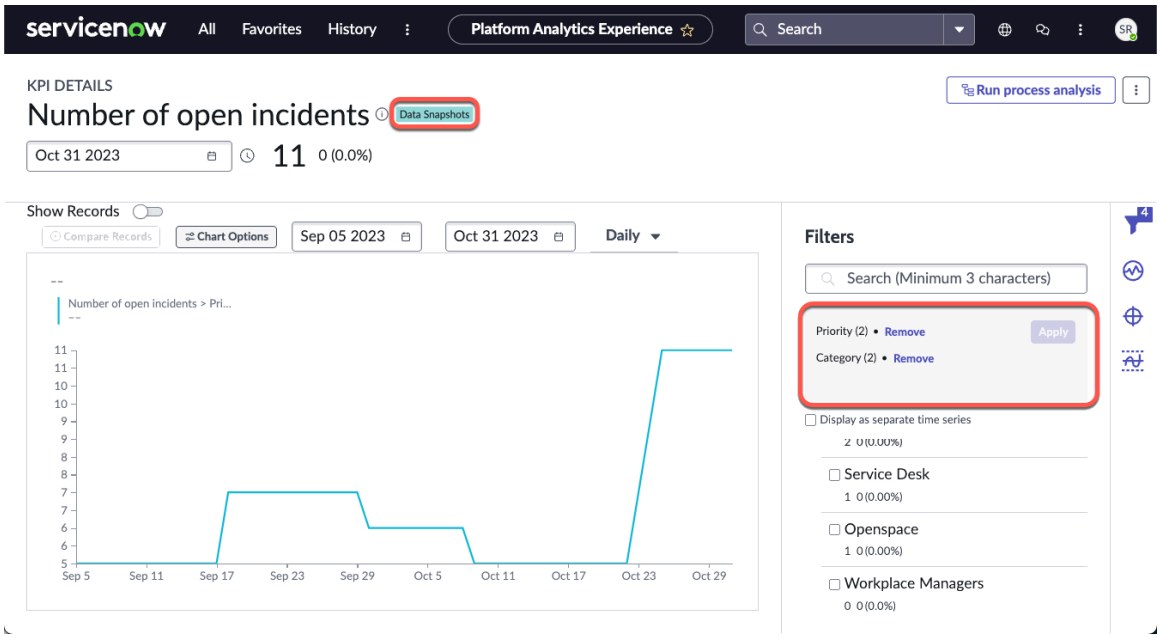


Example: データスナップショットを使用するインジケーターの **KPI** 詳細

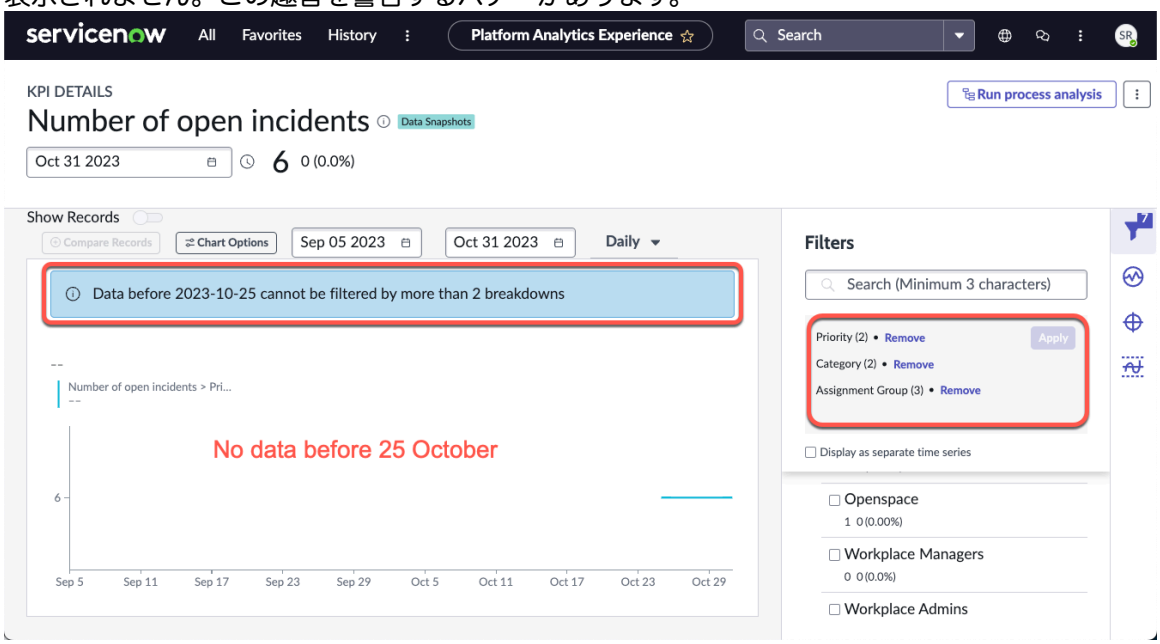
この例は、オープンインシデント数インジケーターの KPI 詳細 を示しています。ヘッダーのバッジで示されるように、インジケーターはデータスナップショットと複数のブレークダウンをサポートしています。2 つのブレークダウンが設定されており、それぞれに 2 つの要素があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3 番目のブレークダウンを選択できます。ただし、データスナップショットがこのインスタンスに実装されたのは数日前のことです。3 番目のブレークダウンを選択すると、この日付より前のデータは表示されません。この趣旨を警告するバナーがあります。



データスナップショットを有効にする

インスタンス全体とインスタンスの個々の既存のインジケーター (KPI) でデータスナップショットを有効にします。データスナップショットを有効にすると、インジケーターに複数のブレークダウンレベルを適用できます。

始める前に

次の要件を満たす必要があります。

- インスタンスで RaptorDB Professional データベースが実行されている必要があります。
- インスタンスでデータスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインを有効にする必要があります。
- 本番インスタンスでデータスナップショットを使用するには、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」で説明されているように、パフォーマンスアナリティクスサ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブスクリプションが必要です。非本番インスタンスで、いずれかの パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインを有効にします。

- インスタンスをドメインセパレーションすることはできません。

警告: データスナップショットプラグインが非アクティブ化されているか、ドメインセパレーションがアクティブ化されている場合、インスタンスでデータスナップショットは非アクティブ化されます。このようなインスタンスでデータスナップショットを再度アクティブ化する場合は、 Now Supportにお問い合わせください。

必要なロール:pa_data_collector 以上

このタスクについて
特定のインジケーターは、2 つ以上のレベルのブレークダウンをサポートしています。この機能は複数のブレークダウンと呼ばれ、データスナップショットの機能の 1 つです。この機能は、すべてのインジケーターで使用できるわけではありません。制限のリストについては、「データスナップショットの制限事項と要件」を参照してください。

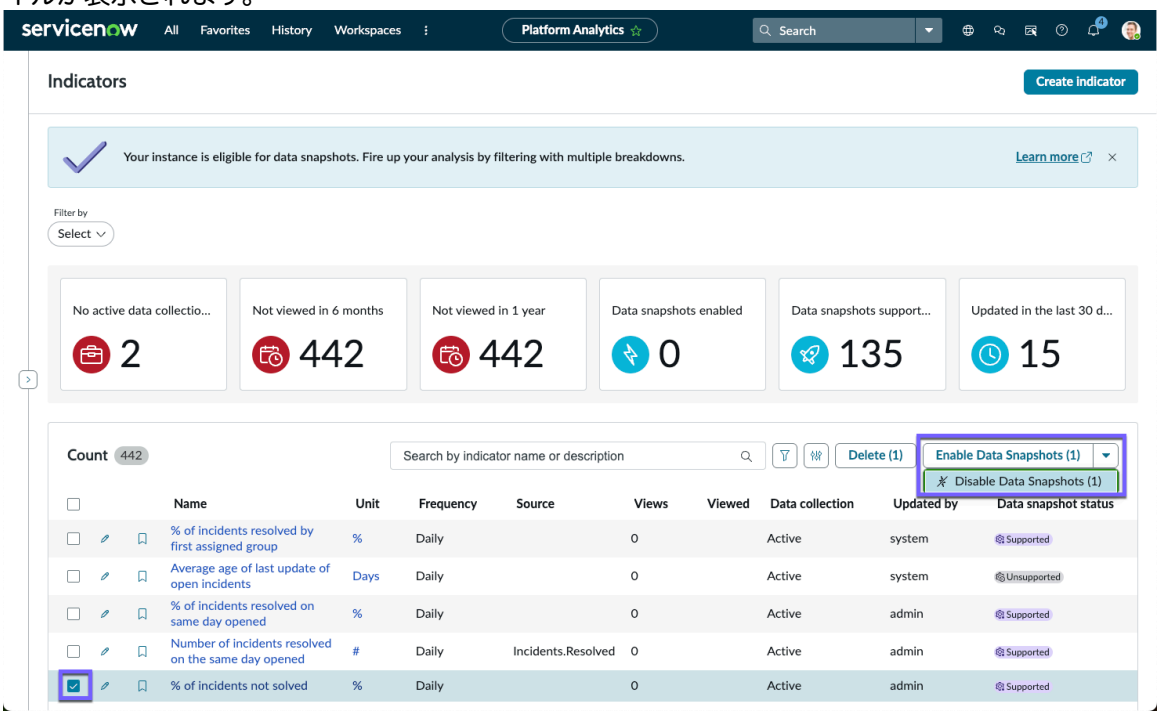
データスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインを有効にして、インスタンスのデータスナップショットを有効にする必要があります。その後、各インジケーターのデータスナップショットを一度に 1 つずつ、または一括でアクティブ化する必要があります。

重要: データスナップショットが有効になっているインジケーターで、クラシック パフォーマンスアナリティクス のデータ収集ジョブは引き続き並列で実行されます。データスナップショットが有効になっている間は、クラシックジョブが収集するスコアは使用されません。並列ジョブ収集により、必要に応じてスムーズなロールバックが保証されます。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > インジケーター.
2. [インスタンスの 適格性を確認] を押して、インスタンスがデータスナップショットの対象かどうか、およびそうでない場合はその理由を確認します。

   インスタンスがデータスナップショットの対象になると、このファクトを知らせるバナーと、[データスナップショットが有効] と [データスナップショットがサポート済み] の 2 つの新しいタイルが表示されます。

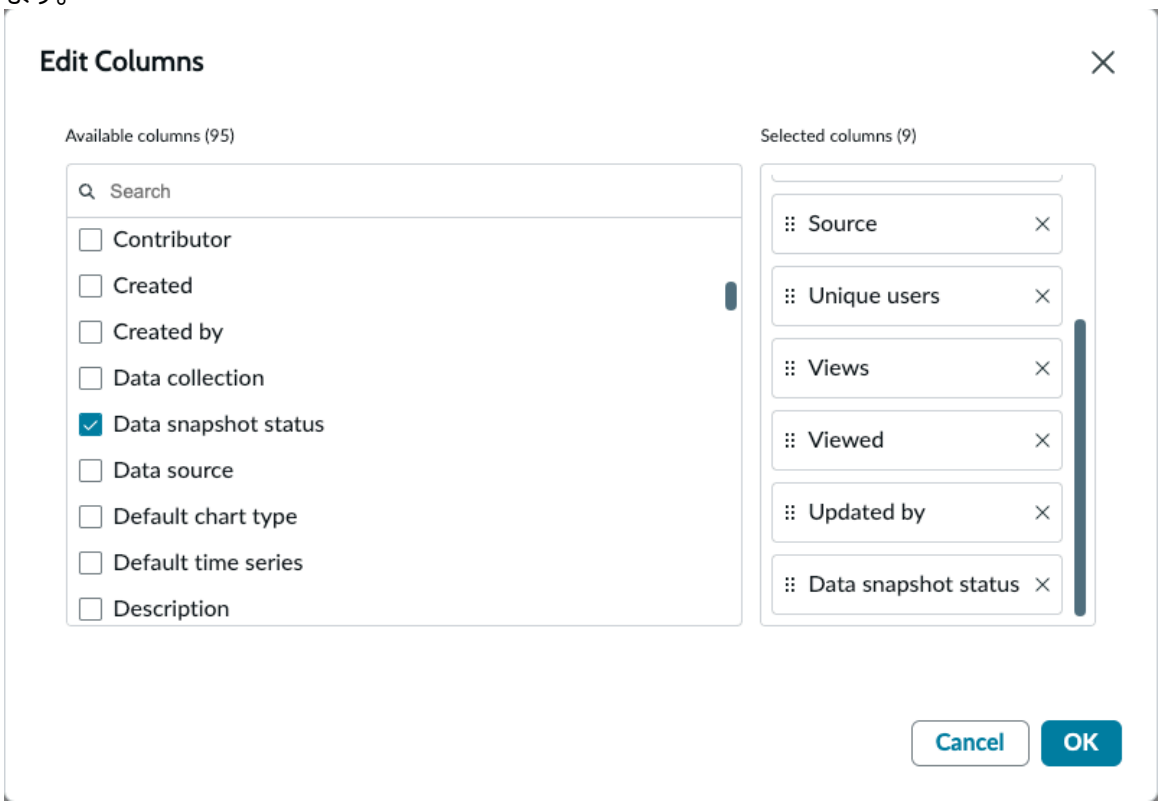


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 展開 [リスト列を編集]、[

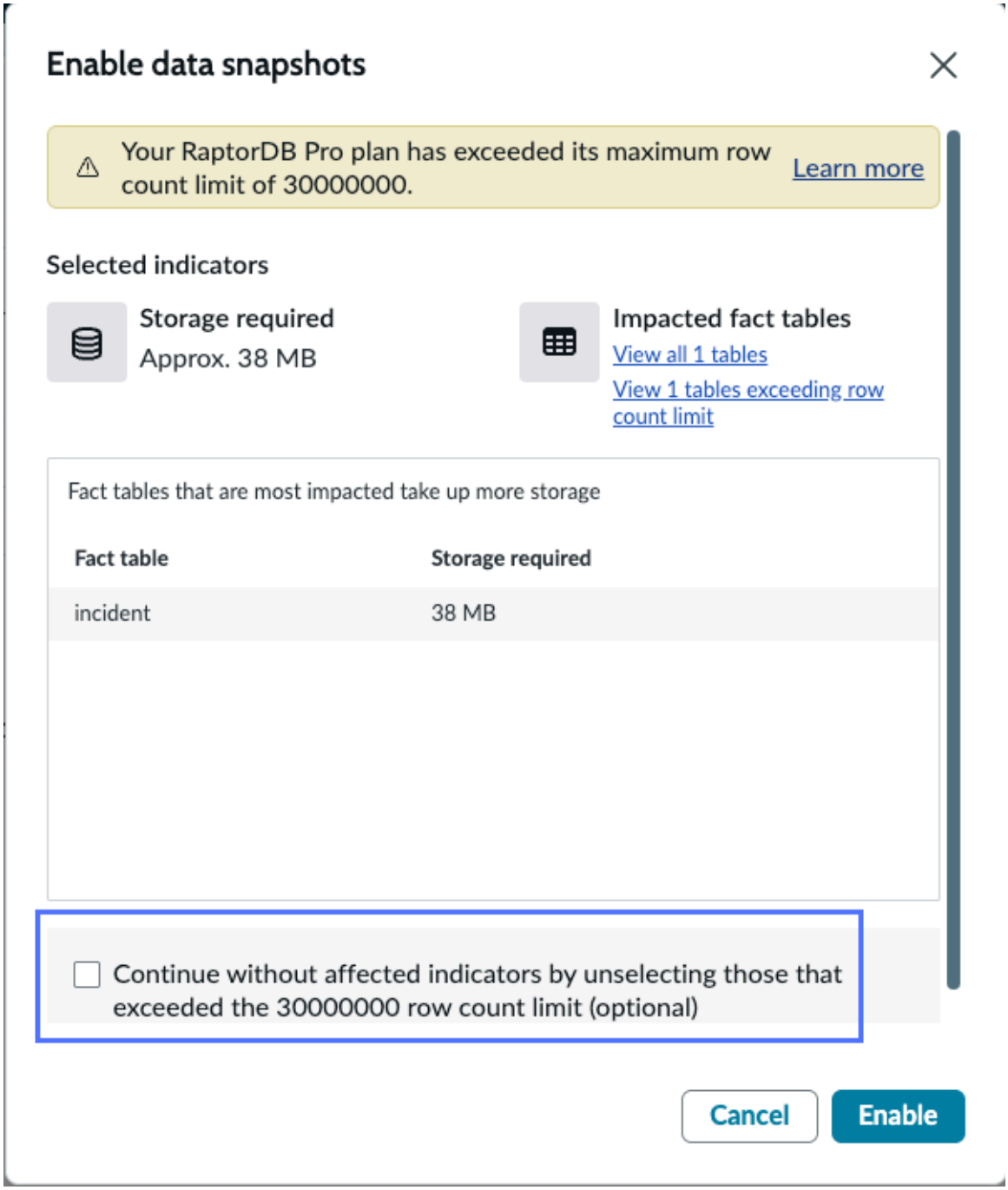
データスナップショットステータス] 列と [ファクトテーブルの行数] 列を追加します。
テーブルの行数がライセンス制限を超えた場合、 [ファクトテーブルの行数] 列の値は true になります。



4. リストをフィルタリングするには、[データスナップショットがサポートされている] タイルを選択します。
5. リストから 1 つ以上のインジケーターを選択し、[データスナップショットの有効化 (選択したインジケーターの数)] を押します。
インジケーターソーステーブルのサイズが、ライセンスまたは技術的なストレージ制限によって制限されている行数を超えると、警告が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. インジケーターソーステーブルサイズについて警告が表示された場合は、影響を受けるインジケーターを除外して、データスナップショットの有効化を続行できます。

結果
対象となるすべての選択されたインジケーターでデータスナップショットが有効になり、複数レベルのブレークダウンがサポートされます。

次のタスク
特定のインジケーターがデータスナップショットをサポートしていない (データスナップショットステータス = サポートされていない) 理由を確認するには、そのインジケーターレコードを調べます。
そのインジケーターの [ ] を選択して、レコードを開きます。インジケーターを変更するかどうかを決定し、そのデータスナップショットを有効にしてみてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

自動インジケーターの作成

式インジケーターの作成

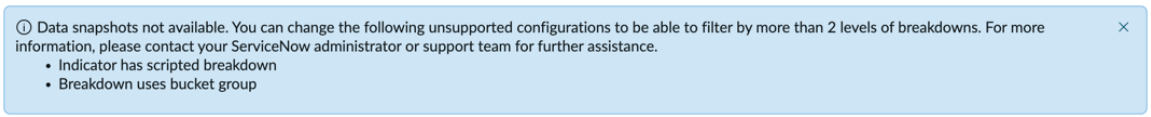
単一インジケーターのデータスナップショットのアクティブ化

インジケーターレコードを編集してインジケーターがデータスナップショットの対象となるようにし、レコードからそのインジケーターのデータスナップショットをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール:pa_data_collector 以上

手順

1. インジケーターライブラリでインジケーターを見つけます。
2. [編集] を選択してインジケーターレコードを開きます。
   以前にこのインジケーターのデータスナップショットを有効にしようとして失敗した場合は、インジケーターが認定されなかった理由を説明するメッセージが表示されます。



3. インジケーターがデータスナップショットの対象にならなかった理由に対処します。
4. [Save (保存)] を選択してインジケーターを保存します。
5. [データスナップショットを有効にする] を選択します。

   データスナップショットを有効にするプロセスを説明するモーダルが開きます。
   - インジケーターが適切な データスナップショットソース にリンクされること (存在する場合)
   - 適切なデータスナップショットソースが存在しない場合は、作成されます
   - データスナップショットのどの要件が満たされているか、または満たされていないか
   - レコードボリュームがライセンスの許容しきい値内かどうか
6. すべての要件を満たし、プロセスに同意する場合は、[続行] を選択します。

データスナップショットの制限事項と要件

インジケーターとブレークダウンの一部の機能は、データスナップショットおよび複数のブレークダウンではサポートされていません。

インスタンスレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
データベース要件	次を含むインスタンスのみ RaptorDB Professional (PostgreSQL) データベース はサポートされており、Oracle または MariaDB/MySQL はサポートされていません。(プラグインがアクティブ化されているときにチェックされます。)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
ドメインセパレーション	ドメインセパレーションインスタンスはサポートされていません。

テーブルレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
システムテーブル	システムテーブル (名前付き sys_*) はサポートされていません。
テーブルサイズに関する技術的な制限	変更データキャプチャ (CDC) は、変更されたデータ (「デルタ」) を判断および追跡することで機能します。インジケーターソースがデータスナップショットでデルタを追跡するには大きすぎる場合、そのインジケーターでは複数のブレークダウンはサポートされません。
テーブルサイズに関するライセンスの制限	3,000 万を超えるレコードを持つデータソースはサポートされていません。
大量の変更	データソースとして、またはブレークダウンや条件を通じてインジケーターに寄与するテーブルで、先月に 100 万件を超える変更があった場合、そのインジケーターのデータスナップショットは有効になりません。
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外

インジケーターレベルおよびブレークダウンレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外
条件のないインジケーター	サポート対象外
スクリプト化されたブレークダウンマッピング/集計	サポート対象外
文字列および数値タイプのフィールドのブレークダウン/集計はサポートされていません	従来の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンおよびインジケーターと同じ制限が適用されます。文字列または整数の選択肢フィールドのブレークダウンがサポートされています。純粋な文字列フィールドと数値フィールドのみはサポートされていません。たとえば、カテゴリは選択肢フィールドであるため、Incident.Category のブレークダウンがサポートされます。[簡単な説明] のブレークダウンは純粋に文字列であるため、サポートされません。
一部のクエリ演算子のみがサポートされています	ソースの各フィールドタイプでサポートされていない演算子:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
	• ブール/ChoiceTable/参照:ISEMPTYSTRING • SysClassName:INSTANCEOF • 文字列:MATCH_PATおよびMATCH_RGX • 通貨:NOT_EQUALS、LESS_THAN、GREATER_THAN、LESS • 相対日付:LESS_THAN、LESS_THAN_EQ、GREATER_THAN、GR
インジケーター (計算)	すべての 貢献インジケーターは 、データスナップショットをサポートする必要があります。
式のメソッド	式でメソッドを使用する式インジケーターはサポートされていません。
手動または外部のインジケーターまたはブレークダウン	自動インジケーター、式インジケーター、自動ブレークダウンのみがサポートされています。式インジケーターをサポートするには、式インジケーターのすべての貢献インジケーターがサポートされている必要があります。
データベースビューに基づくインジケーター	結合条件にsys_id以外のフィールドが含まれていない場合にのみサポートされます。
データベースビュープリフィックスの制限	インジケーターソースがデータベースビューで、データベースビューのプリフィックスに大文字が含まれている場合、このインジケーターはサポートされません。また、データベースビュー内の 2 つのテーブルのプリフィックスが同じ場合、このインジケーターはサポートされません。
ブレークダウン/アグリゲーションフィールドが 250 を超えるインジケーター	250 レベルのブレークダウンのみがサポートされています。
収集ジョブに複数のタイムゾーンがあるインジケーター	日次収集と 1 つのタイムゾーンのみがサポートされています。
履歴処理	イネーブルメント日より後に収集されたデータのみがサポートされます。2 つ以上のレベルのブレークダウンを古いデータに適用しようとしても、結果は返されません。
ブレークダウンマトリクス	適用外です。すべてのブレークダウンの組み合わせは設計上サポートされています。
データコレクターに設定された収集期間	すべてのコレクションは毎日行われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドレベルの制限 (インジケーター、ブレークダウン、ソース、およびデータコレクターの各フィールド)

制限またはサポートされていない機能	メモ
不適合時のラベル	ブレークダウンソースの [不一致のラベル] オプションは、データスナップショットでは無視されます。
値がない時の挿入値	自動インジケーターの [値がない時の値 **(Value when nil)**] オプションは、データスナップショットでは無視されます。
セキュリティタイプ	データスナップショットは、ブレークダウンソースで定義されたセキュリティタイプをサポートしていません。
データ収集ジョブの設定	開始/終了期間、特定の時間構成、およびその他の設定は、データスナップショットには影響しません。すべてのデータ収集は毎日行われます。データ収集レコードに設定されたタイムゾーンのみが影響します。
バケットグループ	サポート対象外
関連リスト条件	関連リスト条件はデータスナップショットには適用されません
ターゲットとしきい値	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
KPI シグナル	1 つのフィルターのみをサポートします。
インジケータースコアカードの可視化	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
スコアシート	データスナップショットに対して有効になっているインジケーターのスコアシートを手動で変更しても、効果はありません。
インジケーターまたはソース条件の文字列フィールド	4,000 文字の制限

インジケーターのデータスナップショットの非アクティブ化

インジケーターがデータスナップショットをサポートしている場合、インジケーターのデータスナップショットをオンまたはオンに戻すことができます。

始める前に

必要なロール:pa_data_collector 以上

このタスクについて

データスナップショットの制限により、インジケーターが使用できなくなる可能性があります。この場合、そのインジケーターのデータスナップショットを非アクティブ化できます。そのインジケーターのデータスナップショットは後で再アクティブ化できます。詳細については、「データスナップショットの制限事項と要件」を参照してください。

重要: アドミニストレーターは、システムプロパティ com.snc.pa.dm.enable.mlb を false に設定することで、インスタンス全体のデータスナップショットを無効にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > インジケーター > 自動インジケーター または すべて > インジケーター > インジケーター (計算)、インジケーターによって異なります。
2. 前のインジケーターに復元するインジケーターとブレークダウンソースとブレークダウンマトリクスを開きます。
3. [データスナップショットを無効にする] を選択します。
4. **[Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
今後、いつでもこの手順を元に戻すことができます。その後、インジケーターは、データスナップショットをサポートする新しいソースタイプに移動されます。アドミニストレーターがインスタンスのデータスナップショットを無効にしてから再度有効にすると、以前に有効にしていたインジケーターのデータスナップショットが自動的に再度有効になります。

データスナップショットのソースとコレクション

データスナップショットには、インジケータースコア収集のデータソースと、インジケーターとこれらのソース間のマッピングが含まれています。

データスナップショットソース

データスナップショットが正常にアクティブ化された自動インジケーターごとに、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンソースがデータスナップショットソースに置き換えられます。インジケーターライブラリ (プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > インジケーター) を開きます。ソースは [ソース] 列に指定されます。データスナップショットのステータスが [有効] の場合、このソースはデータスナップショットソースです。それ以外の場合は、従来のインジケーターソースです。データスナップショットのソース名は小文字で、個々の単語は下線で区切られます。

データスナップショットが有効になっている自動インジケーターと有効になっていない自動インジケーターのソース

Name	Unit	Frequency	Source	Views	Data collection	Data snapshot status
Number of open incidents	#	Daily	incident_dataset	0	Active	Enabled
Number of open changes	#	Daily	Changes.Open	0	Active	Unsupported

データスナップショットのデータソースとログ

データスナップショットソースは、pa_data_collector、pa_admin、または admin ロールを持つユーザーがデータスナップショット [pa_dm_analytics_source] テーブルで使用できます。データソースを開くには、次に移動します プラットフォームアナリティクス管理 > データソース > データスナップショット. レコードはほとんど読み取り専用ですが、[データ収集が有効] チェックボックスでデータスナップショットジョブを無効にすることができます。

⚠ 警告: データスナップショットジョブを再度有効にするには、 Now Supportにお問い合わせください。

データスナップショットソースレコードには、元のイネーブルメントのログと、そのデータソースに関連する後続のすべてのデータ収集ジョブが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データスナップショット収集ジョブ

データスナップショットジョブは、スケジュール設定済みデータ収集 [sysauto_dm_cdc_collector] テーブルにあり、pa_adminユーザーが読み取り専用でアクセスできます。ジョブを開くには、次に移動します プラットフォームアナリティクス管理 > データコレクター > データスナップショットジョブ.

クラシック パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブは、データスナップショットコレクションジョブと引き続き並行して実行されます。クラシックジョブのスコアは、データスナップショットが有効になっているインジケーターには使用されません。クラシックジョブは引き続き実行され、必要に応じてロールバックが簡素化されます。

データスナップショット収集ジョブは、ソーステーブルのサブセットをコピーします。これらのジョブでは、レコードのすべての日次変更のコピーも作成されます。したがって、これらのジョブにより、 パフォーマンスアナリティクスによるストレージ使用量が増加する可能性があります。

データスナップショットジョブログ

すべてのジョブログは、データスナップショット統計情報 [pa_dm_task_telemetry] テーブルにあります。でデータスナップショットジョブログを開く プラットフォームアナリティクス管理 > データコレクター > データスナップショットジョブログ. データスナップショットデータソースレコードにはそのデータソースに関連するジョブログのみが表示されますが、データスナップショット統計情報リストにはすべてのデータスナップショットジョブログが表示されます。

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

ターゲットとしきい値を使用すると、データ内の重要なポイントを定義し、スコアが特定のポイントに達したときに通知を行うことができます。

インジケーター ターゲット

ターゲットは、組織が達成したい目標です。ターゲットは、特定の日付の希望のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差異を示します。

KPI 詳細またはそれに相当するコア UIアナリティクスハブ にターゲットを作成できます。

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人ターゲットは共有できないため、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ表示されます。ターゲットの可視化のマトリクスは次のとおりです。

ターゲットを表示する機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルターゲットまたは個人ターゲット	表示または設定
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルおよびパーソナル	設定して表示
時系列 と 単一スコア プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル	表示のみ
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス ターゲットを示す時系列データまた	ターゲットを表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィ	グローバル	表示のみ

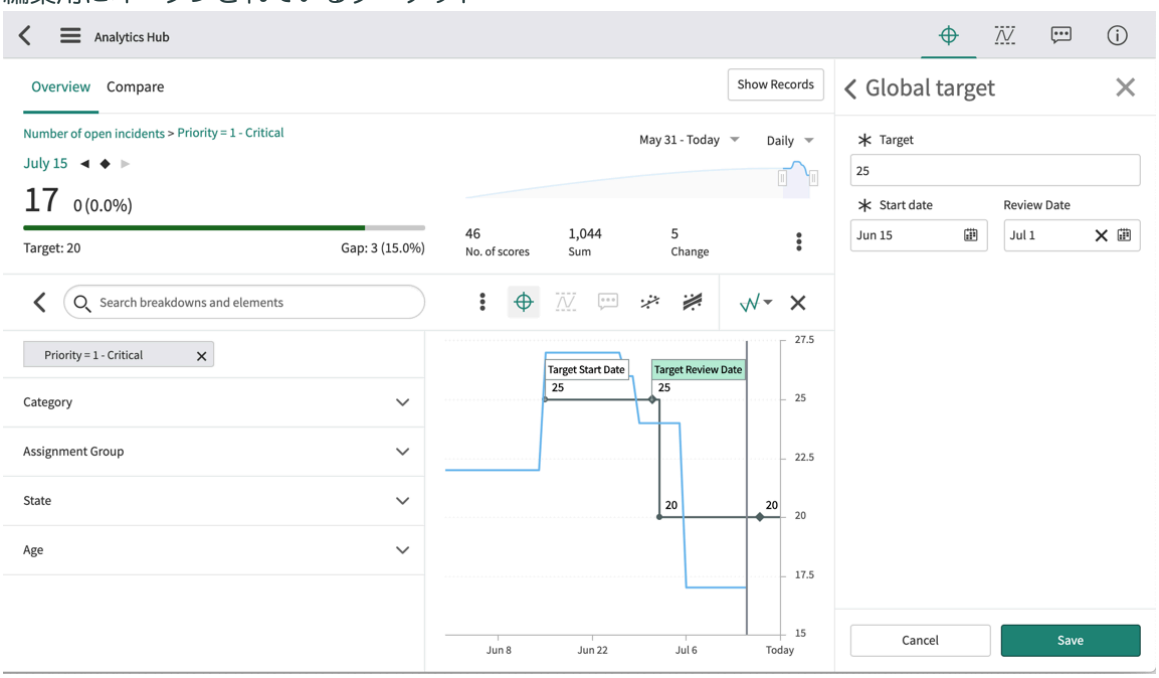
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットを表示する機能 (続く)

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルターゲットまたは個人ターゲット	表示または設定
は単一スコアデータの可視化が含まれています	ジェットを含むレスポンシブダッシュボード		
プラットフォームアナリティクスダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイトカードには、ターゲットの達成または違反が表示されます	同等のものはありません	グローバル	表示のみ
UI ビルダー ターゲットを表示する時系列データまたは単一スコアデータの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル	表示のみ

編集用にオープンされているターゲット



ターゲットの作成または編集

インジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットを特定のブレークダウン要素と時系列にのみ適用することができます。ターゲットは選択した日付から適用を開始し、次のターゲットを設定するまで適用を続けます。ただし、ターゲットを再検討するレビュー日を設定することはできます。

始める前に

必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成するpa_target_admin。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示して個人ターゲットを作成できます。pa_target_admin、pa_power_user、またはpa_adminは、任意のグローバルターゲットを編集できます。

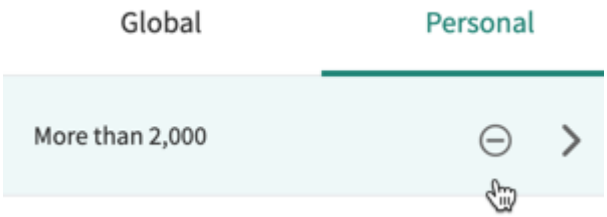
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. いずれも：
   - インジケーターの アナリティクスハブ を開きます。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスで作業している場合は、インジケーターのKPI 詳細を開きます。詳細については、「でのターゲットの作成 KPI 詳細」を参照してください。

     注: KPI 詳細 複数のブレークダウン要素に対してターゲットを一括で設定する追加オプションが提供されます。詳細については、「での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

2. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. ターゲットを特定の時系列 (7 日間の合計など) にのみ適用する場合は、時間集計を選択します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
4. [ターゲット] アイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
5. [ターゲット] パネルで、[グローバルターゲット] または [個人ターゲット] を選択します。
   このインジケーターには、選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列をインタラクティブに選択および選択解除でき、ターゲットのリストが更新されます。
6. 新しいターゲットを作成するか、既存のターゲットを編集または削除します。
   - ターゲットを作成するには、[+] プラス記号をクリックします。
   - 既存のターゲットを編集するには、「ターゲット」パネルでそのターゲットをクリックします。
   - アナリティクスハブ内の既存のターゲットを削除するには、削除アイコンをクリックします。



7. 次のいずれかの方法でスコアのターゲット値を入力します。
   - [ターゲット] に絶対値を入力するか、または
   - [ベースラインの改善としてターゲットを設定する] を選択します。このオプションを選択すると、次のフィールドが利用可能になります。

フィールド	説明
ターゲット計算	改善のパーセンテージまたはインジケーターの単位数を選択します。
方向	インジケーターに方向が定義されている場合、このフィールドは読み取り専用です。インジケーターの方向が変わると、このフィールドも変わります。それに応じてターゲットが再計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	インジケーターに方向がない場合は、ここでターゲットの方向を設定できます。ただし、通常はインジケーターで方向を定義することをお勧めします。たとえば、改善または悪化を示すスコアの色は、インジケーターで方向が定義されている場合にのみ機能します。
KPI のパーセンテージ/単位	ベースラインへのターゲット変更として必要な KPI のパーセンテージまたは単位数を入力します。
ベースライン	改善を既存のターゲットに適用するか、 アナリティクスハブ で選択した日付範囲の平均値に適用するかを決定します。既存の ターゲットを選択するには、別のターゲットが既に存在している必要があります。日付範囲の詳細については、「 アナリティクスハブのスコアの日付範囲」を参照してください。
ベースライン値	ターゲットの基礎として機能する読み取り専用の計算値。
ターゲット	この値は、ベースラインとターゲットの計算から計算されます。この値を調整できます。たとえば、10 進数をカウントの整数に変更します。ターゲットを調整すると、KPI のパーセンテージ/単位が再計算されます。

8. 開始日を選択
   将来の日付を設定できます。
9. レビュー日を選択します。
   ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日まで適用されます (存在する場合)。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、新しい将来のレビュー日を選択することを検討してください。

   注: ターゲットの重複は許可されていません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

10. **[Save** (保存)] をクリックします。

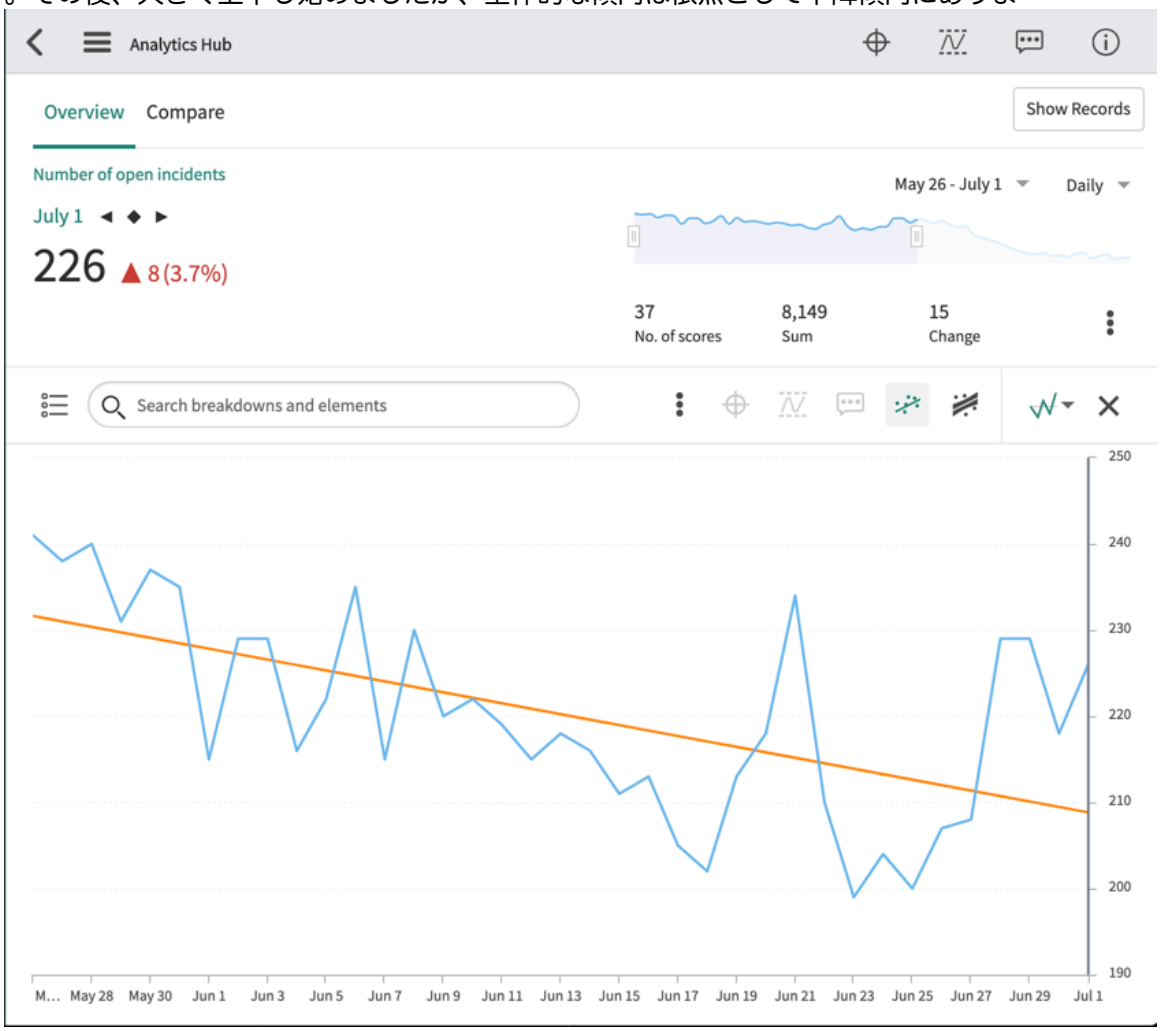
Example: ターゲットの作成、レビュー、および編集

ここでは、より高度なターゲット機能を見ていきます。現在 7 月 1 日で、オープンインシデントの数が 5 月下旬から 6 月中旬まで定期的に変化し、徐々に減少傾向にあるとし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。その後、大きく上下し始めましたが、全体的な傾向は依然として下降傾向にありま



す。

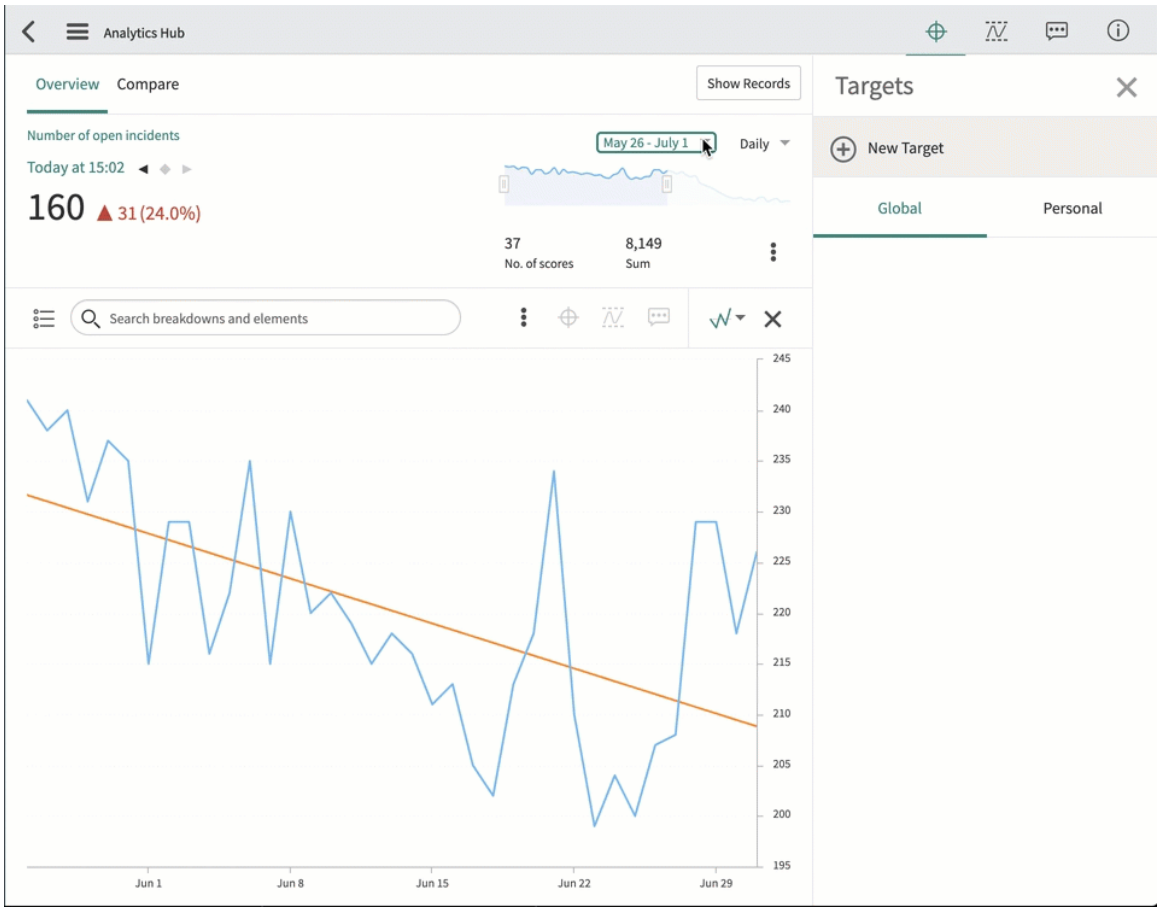
インシデントマネージャーは、オープンインシデントの数を減らしたいと考えています。スコアから、設定する適切なターゲットがわかりません。ただし、6月中旬までの数字は信頼できるように見えるため、それまでの平均スコアが10%減少することは妥当に思えます。そこで、チームの新しいグローバルターゲットを作成します。6 月 15 日までの日付範囲を選択し、その期間の平均を 10% 減らすことをターゲットとして設定します。今日ターゲットを開始し、7 月 15 日に評価することにします。

最初のターゲットのフィールド設定

フィールド	値
ターゲット計算	割合 (%)
パーセンテージ	10
ベースライン	選択した日付範囲の平均スコア (以前のターゲットが設定されていないため、選択肢のみ)
ターゲット	当初は 202.5 として計算されました。インシデント数には整数しか指定できないため、この値を 203 に丸めることにします。
開始/終了日	7月1日/7月15日

自動翻訳

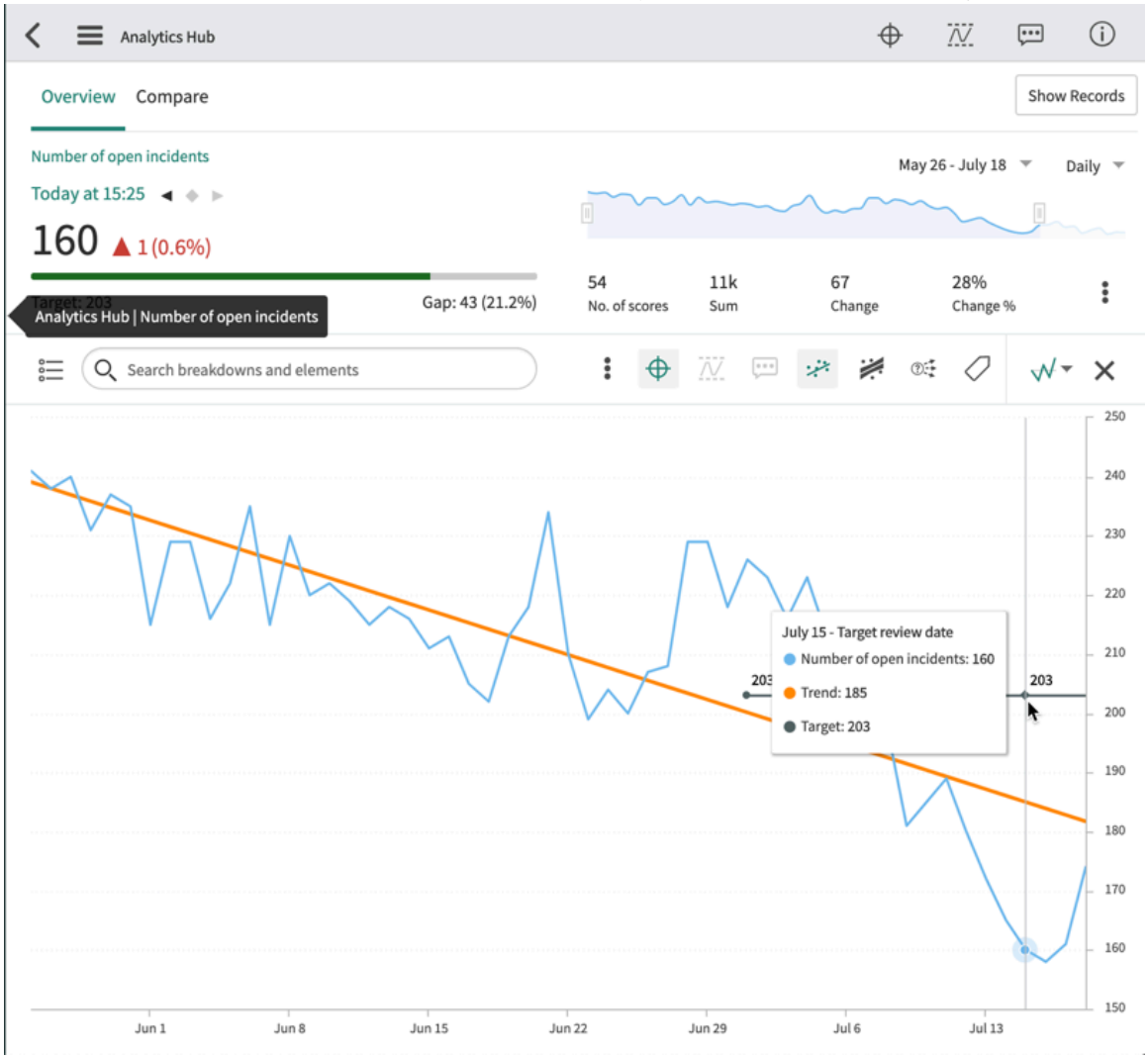
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7 月 15 日が近づき、チームがすべての予想を上回った場合や、顧客全員が休暇中でインシデントを報告していない。いずれにせよ、オープンインシデントの数はターゲットをはるかに下回っていま



す。

いくつかのオプションがあります。

- 既存のターゲットを編集します。新しいターゲット値と新しいレビュー日を設定します (例:160 と 8 月 15 日)。
- 別のターゲットを作成します。古いターゲットは、新しいターゲットの開始日に適用されなくなります。新しいターゲットは、再びベースラインの改善である可能性があります。古いターゲットを新しいターゲットのベースラインとして設定するオプションがあります。

次のタスク
通知を受け取るユーザーを選択します。ターゲットが達成されたか、14 日以内に達成が見込まれると、通知が送信されます。詳細については、「ターゲット通知を受信するユーザーの構成」を参照してください。

KPI 詳細のターゲットの責任ユーザーを指名することもできます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

関連トピック

KPI 詳細

ターゲットのカラー スキームの作成

ターゲットのカラー スキームを使用すると、ターゲットに対するインジケーター スコアの位置を可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
たとえば、オープンになっているインシデントの数をフィルタリングする場合、25% 増加のスコアは赤で、10% 増加のスコアはオレンジで、変化なしは黄色で表示することができます。一方、たとえば、25% の減少は暗緑色で示すことができます。パフォーマンス分析では、デフォルトで 3 色の信号と 5 色の信号の 2 つのターゲットのカラースキームが利用できます。

注: カラースキームはグローバルターゲットに対してのみ設定でき、個人ターゲットに対しては設定できません。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > システム > ターゲットのカラースキーム.
   ベースシステムには複数のターゲット配色が用意されています。
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] と [説明] を入力します。
4. 5 つの範囲のそれぞれとそれに関連する色を定義します。

   すべての範囲を使用しない場合は、複数の範囲の制限に対し、同じ範囲の色を使用できます。

   色定義 [sys_report_color] テーブルから色を選択します。その他の色を定義する方法については、「 アナリティクスのシステムの色を定義する」を参照してください。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

   デフォルトのインジケーターターゲットのカラースキームは、次で設定できます パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ. これは、インジケーター ターゲットにカラースキームが選択されていない場合に使用されます。

ブレークダウンのすべての要素へのターゲットの追加

ブレークダウンのあるインジケーターのデータの各サブセットに個別に適用されるターゲットを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin または admin

このタスクについて
たとえば、各アサイン先グループのスコアに個別に適用されるインシデント インジケーターにターゲットを設定することができます。

注: この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。[すべての要素] チェック ボックスは、個人のターゲットには表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ターゲット.
2. ターゲットを設定する [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] を選択します。
   [すべての要素] チェック ボックスはデフォルトで選択されています。このチェック ボックスをオフにしないでください。
4. オプション: [時系列] を選択します。
   たとえば、クローズされたインシデントを毎日測定し、クローズするインシデントの月間目標を設定することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: ターゲットの [カラースキーム] を選択します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいターゲットのターゲット値を定義します。

ターゲット通知を受信するユーザーの構成

ターゲットが達成されたときに通知を受け取るユーザーを制御できます。また、今後 14 日以内に目標が達成されると思われる場合にも通知が送信されます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin

このタスクについて
この機能はグローバル ターゲットにのみ適用されます。個人のターゲットの場合、ターゲットの所有者は自動的に通知を受け取ります。

手順
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ターゲット.
2. ターゲットを選択します。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. 通知するユーザーを [コレクション] 列から [ユーザーリスト] 列に移動します。
5. [保存] をクリックします。

次のタスク
通知は、ターゲットに達すると自動的に送信されます。通知を受信するユーザーは、その通知の登録を解除することができます。

関連トピック
通知

インジケーター しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、 アナリティクスハブ または KPI 詳細から直接メッセージを使用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーのみが表示でき、明るい灰色の点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は、 アナリティクスハブ と KPI の詳細にのみ表示されます。しきい値の可視化のマトリクスは次のとおりです。

しきい値を表示する機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルターゲットまたは個人ターゲット
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルおよびパーソナル
時系列 プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しきい値を表示する機能 (続く)

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルターゲットまたは個人ターゲット
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス しきい値を示す時系列データの可視化が含まれています	しきい値を表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル
プラットフォームアナリティクスダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイトカードには、違反しているしきい値が表示されます	同等のものはありません	グローバル
UI ビルダー しきい値を示す時系列データの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル

グローバルしきい値は、 パフォーマンスアナリティクス 時系列ウィジェット や データの可視化にも表示できます。 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードでは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを使用して、しきい値に関連するイベントを閲覧者に警告できます。

しきい値の作成または編集

正常と見なされるスコアの範囲を定義するためのしきい値を作成します。

始める前に

必要なロール:自分の個人のしきい値の任意のロール。グローバルしきい値および他のユーザーによって作成された個人しきい値のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)。

このタスクについて

しきい値は任意のインジケーターに設定できます。ブレークダウンと要素の組み合わせ、およびしきい値が適用される時系列集計を指定できます。

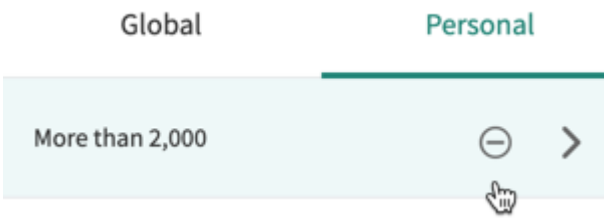
手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
   プラットフォームアナリティクスを使用していない場合は、代わりにアナリティクスハブを開きます。
2. しきい値をスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。インジケーターで データスナップショット が有効になっている場合は、さらにブレークダウンを選択できます。
3. しきい値をデータの特定のアグリゲーションにのみ適用する必要がある場合は、時系列アグリゲーションを選択します。
4. しきい値アイコン ( ) をクリックします。
   [しきい値] パネルが開きます。
5. [しきい値] パネルで、[グローバル] または [パーソナル] のしきい値を選択します。
   個人のしきい値は自分にのみ表示されますが、admin ロールを持つユーザーは編集または削除できます。個人のしきい値はウィジェットには表示されません。
6. 新しいしきい値を作成するか、既存のしきい値を編集または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- しきい値を作成するには、プラス + 記号をクリックします。
- 既存のしきい値を編集するには、[しきい値] パネルでそのしきい値をクリックします。
- アナリティクスハブ内の既存のしきい値を削除するには、削除アイコンをクリックします。



KPI 詳細内の既存のしきい値を削除するには、編集のために開き、[削除] をクリックします。

7. しきい値を作成または編集している場合は、しきい値通知をトリガーする条件を選択します。
スコアが過去最高に達した場合、またはスコアが特定の値を下回った場合を条件にすることができます。
8. **[Save** (保存)] をクリックします。

次のタスク
しきい値を作成したら、しきい値通知を設定します。

関連トピック
KPI 詳細

しきい値通知を受信するユーザーの構成
しきい値に達したときにメールを受信するユーザーを設定します。

始める前に
必要なロール:pa_threshold_admin ロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)

このタスクについて
この手順は、グローバルしきい値に適用されます。個人のしきい値の通知は、そのしきい値の所有者にのみ送信されます。

手順
1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > しきい値.
プラットフォームアナリティクス に完全に移行していない場合、パスは すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > しきい値
2. しきい値を開きます。
3. [ユーザー]関連リストで、[編集]をクリックします。
4. [メンバーの編集] 画面で、メンバーを選択して追加します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。

次のタスク
各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。詳細については、「しきい値の概要通知の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しきい値のコメントの設定

[PA しきい値のチェック] ジョブは、PA しきい値到達コメント スクリプト アクションをトリガーします。このアクションは、しきい値に達したインジケーターにコメントを追加します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インジケーターの KPI 詳細 または アナリティクスハブ を開くと、コメントが表示されます。異なるテキストを表示するには、しきい値コメントを設定します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > イベント > スクリプトアクション.
2. **[PA** しきい値到達コメント] を開きます。
3. スクリプト内の *`buildMessage`* 関数を変更します。
4. **[Update** (更新)] を選択します。

しきい値の概要通知の構成

各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、概要通知にアクセスし、通知を受け取るユーザーおよび通知の内容を変更する方法について説明します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > メール > 通知.
2. **[PA** しきい値通知] を選択します。
3. オプション: [受信者] セクションに、[ユーザー] または [グループ] のいずれかのロック アイコンをクリックしてから適切なユーザーまたはグループを選択し、追加します。
4. オプション: [メッセージ] フィールドを変更し、メッセージの内容を変更します。
5. [更新] をクリックします。

ターゲット/しきい値を一括削除するか、別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を削除します

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、一括で削除できます。同じプロセスを使用して、別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を削除します。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

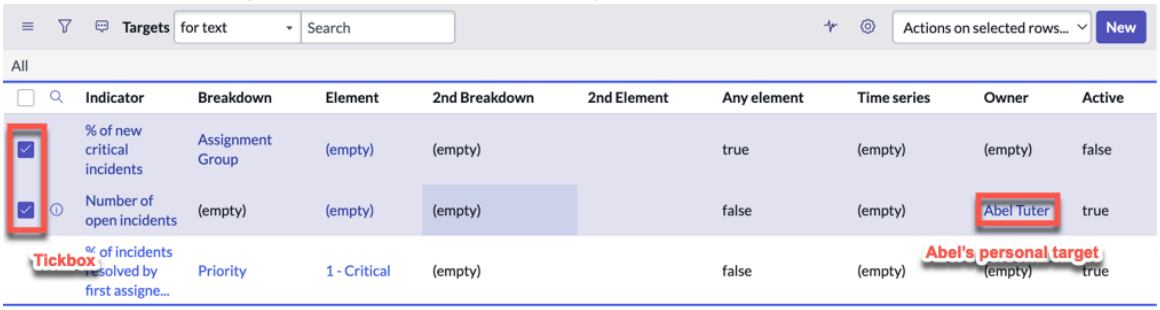
このタスクについて
ロールでグローバルターゲットまたはしきい値の作成が許可されている場合は、ターゲットまたはしきい値のリストから、個人ターゲットまたはしきい値を含む任意のターゲットまたはしきい値を削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ターゲット または パフォーマンスアナリティクス > しきい値.
2. 削除するターゲットまたはしきい値のチェックボックスを選択します。
   オーナーがターゲットまたはしきい値に指定されている場合、それはオーナーの個人ターゲットまたはしきい値です。



3. [選択した行のアクション...] リストを展開し、[削除] を選択します。
   確認ダイアログが開きます。
4. 確認ダイアログの警告に目を通し、安全であることが確実な場合は、[削除] を選択します。

別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を追加または変更します

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、任意のユーザーのパーソナルターゲットとしきい値を変更または追加できます。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

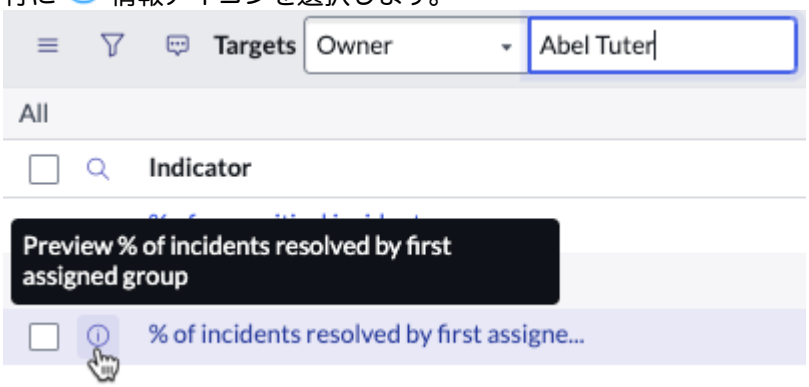
このタスクについて
ユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を検索するか、新しいターゲットまたはしきい値を作成してユーザーにアサインすることができます。

手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ターゲット または パフォーマンスアナリティクス > しきい値.
2. 変更する既存の個人のしきい値またはターゲットを開くには、次の手順に従います。

   a. 所有者でレコードを検索します。

   b. 変更するターゲットまたはしきい値が見つかったら、そのターゲットまたはしきい値レコードの行に ⓘ 情報アイコンを選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

そのターゲットレコードまたはしきい値レコードのプレビューが表示されます。

c. プレビューで、[レコードを開く] を選択します。
プレビューされたレコードが開きます。

3. 新しい個人のしきい値またはターゲットを作成するには、次の手順に従います。

a. [ターゲット] または [しきい値] リストで、[新規] を選択します。

b. 開いたターゲットフォームまたはしきい値フォームで、 所有者を指定します。
インジケーターの KPI 詳細 または アナリティクスハブでこのターゲットまたはしきい値が表示されるのは、所有者のみです。

しきい値では、単一の所有者を選択する代わりに、関連リストで複数のユーザーを指定できます。これらのすべてのユーザーには、インジケーターの KPI 詳細 と アナリティクスハブ にこのしきい値が表示されます。

4. インジケーターと、ターゲットまたはしきい値のブレークダウン、ブレークダウン要素、または時系列アグリゲーションを指定または変更します。
5. その他の関連フィールドに入力します。
6. 新しいターゲットを作成する場合は、保存します。
[ターゲット値] 関連リストが表示されます。
7. ターゲットの場合は、開始日、レビュー日、または既存のターゲット値の値を変更するか、[新規] を選択して新しいターゲット値を作成します。
複数のターゲット値を設定できますが、開始とレビューの日付範囲を重複させることはできません。

リアルタイムスコア

一部の パフォーマンスアナリティクス スコアは、最新のデータ収集ジョブからではなくリアルタイムで表示できます。リアルタイムスコアが有効になっている場合は、 KPI 詳細 および一部のデータの可視化で表示できます。

通常、可視化で表示できる最新のスコアは、正常に実行された最新の データ収集ジョブのスコアです。ただし、一部の可視化では、インジケータースコアをリアルタイムで表示できます。

次の基準を満たすインジケーターのリアルタイムスコアを表示できます。

- インジケーターは 自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースは データベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

次の可視化では、リアルタイムでスコアを表示できます。

- アナリティクスハブ。
- プラットフォームアナリティクス 単一スコアなどのリアルタイム更新をサポートするデータの可視化。
- KPI 詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パフォーマンスアナリティクス リアルタイム可視化によるスコアウィジェット
- ワークベンチウィジェット、メインインジケーター用

⚠ **警告:** リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

重要: アナリティクスハブ はリアルタイムスコアを自動的に更新しません。 アナリティクスハブ で最新のスコアを表示するには、ブラウザーページを更新します。ウィジェットと KPI 詳細 は自動的に更新されます。

関連トピック

- 自動インジケーターの作成
- アナリティクスハブ 特定のインジケーター用
- スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成
- 単一スコア レポート
- ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

時系列集計の適用

インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。これらの集計により、傾向をより簡単に確認したり、ターゲットに対する進捗状況を追跡したりすることができます。

時系列集計は、AVG や SUM などの数学関数と、[四半期ごと] などの時間式を組み合わせて構成されます。プラットフォームアナリティクス では、[KPI 詳細] でインジケーターを探索するとき、または時系列のビジュアル化などのインジケーターデータビジュアル化を作成するときに、アグリゲーションを選択できます。コア UIでは、次のいずれかで集計を選択できます アナリティクスハブ または、スコアウィジェットなどのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成する場合。

時系列の集計を理解するには、まず、毎日歩いた歩数を監視する時計、携帯電話、またはフィットネス トラッカーを検討してください。これらのデバイスはすべて、測定値を分単位で収集して保存します。ただし、多くの場合、アプリやレポートは、先週、先月、または昨年と比較してアクティビティの進捗状況を示すように設計されています。正午と午前 10 時のどちらがよりアクティブだったかを確認することは別のことです。ただし、本当に知りたいのは、時間の経過とともに改善を続けているかどうかです。ステップを週次、月次、および年次のスコアに集計すると、アクティビティの傾向を簡単に特定できます。

日次インジケータースコアは基本であり、ほとんどの場合望ましいものですが、週、月、または四半期ごとにスコアを利用できるようにしたい場合もあります。その他のケースでは、現在の時点までの累積進捗状況を示す月/四半期/年度累計の数値が必要です。複数のインジケーターソースとインジケーターを定義して各間隔を追跡する代わりに、 パフォーマンスアナリティクス ネイティブにデータを一度キャプチャしてからビューを調整できます。次のいずれかのシナリオで時系列集計を使用します。

- 期間の時系列を使用して、頻度の低い期間にデータを集計します。
- データの急増を滑らかにし、実行時系列で傾向を明らかにします。
- [終了日] 時系列を使用して、期間累計累積スコアを決定します。

注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットまたは アナリティクスハブ エントリでは、時系列アグリゲーションを設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy のビデオをご覧ください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス .

部分期間

一部の時系列には、不完全な収集期間のインジケーター スコアが含まれます。これらの期間には、現在の期間とデータ収集の開始からの期間を含めることができます。名前のプラス記号 + で、このような時系列を識別します。

部分期間のデータを含まない時系列には、期間の始めと終わりのデータが必要です。たとえば、 月ごとの合計 時系列集計では、月初から月末までのスコアが存在する必要があります。そうでない場合、その月は含まれません。[月別合計 +] などの部分的な期間のデータを含む時系列には、期間内の 1 日のデータのみが必要です。

警告: 部分期間は、平均などの特定の集計の結果を歪める可能性があります。

アグリゲーション定義

パフォーマンスアナリティクス には、デフォルトの SUM、AVG、およびその他の時系列アグリゲーション定義が付属しています。

危険: これらの定義を変更しないでください。新しい定義を追加しないでください。集計定義を変更すると、予期しない結果が生じる可能性があります。新しい定義を作成すると、データコレクタージョブが実行されなくなる可能性があります。

禁止されている時系列アグリゲーション

パーセンテージ % を単位とするインジケーターに SUM アグリゲーションを配置することはできません。パーセンテージを合計することは意味がありません。

時系列アグリゲーションの検証

時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

インジケーターの時系列集計の除外

時系列集計の中には、技術的には許可されていますが、インジケーターに適用するのに役に立たないものがあります。たとえば、パーセンテージ値の SUM では有用なインサイトが得られる可能性は低いです。これらの時系列集計をインジケーターから除外できます。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

日付範囲セレクターによる時系列集計の表示

ウィジェットで [月ごとの合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、予想よりも期間が 1 つ多くなることがあります。その理由は、日付範囲セレクターで 3m などの期間が選択されている場合、インスタンスはそれを 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示するためです。

関連トピック

- 結果または貢献インジケーターへの時系列の適用
- で時間アグリゲーションを選択 KPI 詳細
- アナリティクスハブでの時系列集計

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列データの可視化のためのインジケーターデータオプション
スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

時系列集計のユースケース

パフォーマンスアナリティクス には、4 つの異なるタイプの時系列があります。ユースケースを理解して、使用するタイプを把握します。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列のタイプごとのユースケースと例

タイプ	例	ユースケース
実行中	28 日間分の移動平均/合計 30 日間分の移動平均/合計 7 日間移動平均/合計 12 か月間分の平均/合計を実行 3 か月間分の平均/合計を実行 6 か月間分の平均/合計を実行 13 週間分の平均/合計を実行 4 週間分の移動平均/合計 4 四半期移動平均/合計	データのスパイクを滑らかにして、傾向を見つけやすくします。たとえば、日次インシデント数を見ると毎週末に減少することがわかりますが、7 日間の実行平均でその減少は滑らかになります。
終了日	会計四半期累計平均/合計 会計年度累計平均/合計 月度累計平均/合計 四半期累計平均/合計 週度初めの平均/合計 年度累計平均/合計	期間の累積スコアを表示します。これらの時系列集計は、毎月達成するターゲットがある場合に非常に役立ちますが、その月全体の速度も確認する必要があります。
期間別	週別平均/合計 月別平均/合計 会計四半期別の平均/合計 四半期別平均/合計 会計年度別の平均/合計 年別平均/合計	全期間の累積スコアを表示します。P1 インシデントの数を毎日追跡することもできますが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎます。代わりに、「月別」の時系列を使用して月次レベルでターゲットを設定できます。現在の期間は未完了であるため、結果に表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列のタイプごとのユースケースと例 (続く)

タイプ	例	ユースケース
期間別 (一部を含む)	週別 + 平均/合計 月別 + 平均/合計 会計四半期別 + 平均/合計 四半期別 + 平均/合計 会計年度別 + 平均/合計 年別 + 平均/合計	「別」時系列の「+」バージョンには部分的な期間が含まれているため、常に現在の期間のスコアが提供されます。

時系列アグリゲーションのインジケーター頻度制限

インジケーターのスコアが収集される周期で、適用可能な時系列が決まります。一部の時系列には、部分収集期間のデータが含まれます。

時系列アグリゲーションを選択すると、インジケータースコアが収集される頻度によって、選択できる時系列が制限されます。スコアが収集される頻度よりも頻繁にスコアに適用される時系列アグリゲーションを選択することはできません。たとえば、 週ごとの合計 時系列アグリゲーションは、日次頻度のインジケーターに適用できます。ただし、 週別合計 は、週次、月次、四半期ごと、または年次の頻度のインジケーターには適用できません。

注:

- 週次のインジケーターのみが **4** 週間分の実行時 系列と **13** 週間分の実行時 系列をサポートしています。週次インジケーターは、週次および年次の時系列のみをサポートしています。
- 隔月および年次のインジケーターは、時系列アグリゲーションをサポートしていません。

次の表は、どの時系列がどのインジケーター頻度でサポートされているかを示しています。これらの関係は、どの集計 (平均、合計、またはカスタム) が時系列と組み合わされるかに依存しないため、時系列のみが表示されます。

時系列および関連するインジケーター周期

時系列	インジケーター頻度			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
日次	はい	いいえ	いいえ	いいえ
7 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
28 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
30 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
4 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
13 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
3 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
6 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列および関連するインジケーター周期 (続く)

時系列	インジケーター頻度			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
12 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
四半期移動	いいえ	いいえ	いいえ	はい
週ごと、週ごと +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月ごと、月ごと +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
四半期別、会計四半期別、四半期別 +、会計四半期別 +	はい	いいえ	はい	いいえ
年別、会計年度別、年別 +、会計年度別 +	はい	はい	はい	はい
週度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ
四半期累計、会計四半期累計	はい	いいえ	はい	いいえ
年度累計、会計年度累計	はい	はい	はい	あり

パフォーマンスアナリティクスのインタラクティブアナリシス

インタラクティブアナリシスでは、可視化を使用して パフォーマンスアナリティクス データをすばやく探索できます。

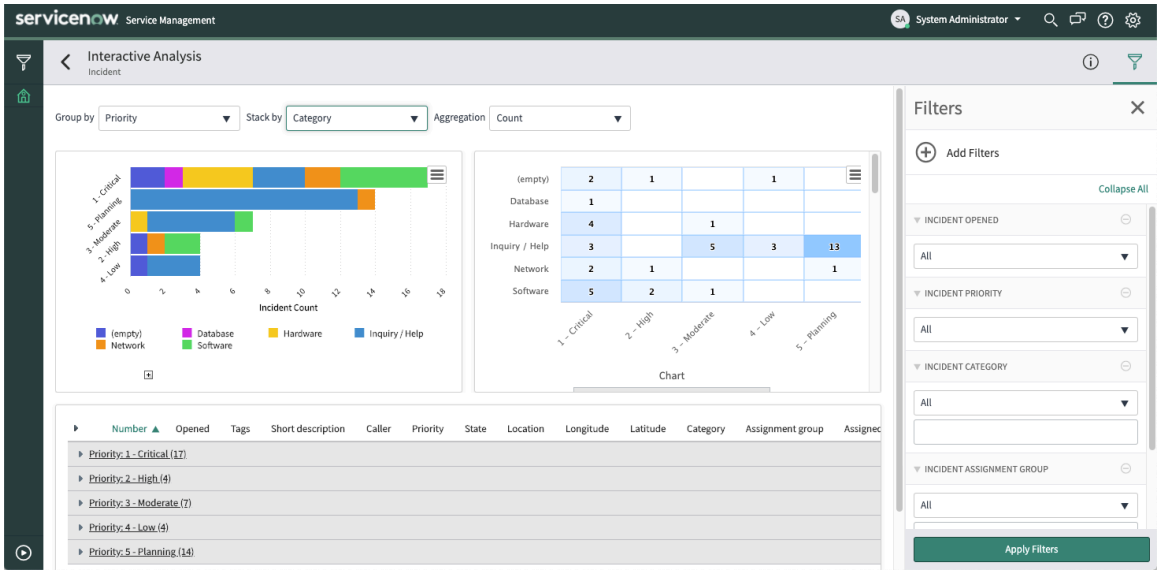
注: プラットフォームアナリティクス はインタラクティブアナリティクスをサポートしていません。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン ( ) をクリックし、ソース フィルタを編集して、適用されたフィルタのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブールフィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブアナリシスの起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

フォーム内分析

フォーム内アナリティクスは、パフォーマンスに関するインサイトをフォームに統合することで、ユーザーがコンテキスト内の重要なメトリクスにアクセスし、より適切な意思決定を行えるようにします。

フォーム内分析には、ブレークダウンに基づいてダッシュボードのビューを開くフォームの UI アクションが関係します。このブレークダウンダッシュボードは、フォームに入力しているユーザーに有用なパフォーマンスのインサイトを提供します。たとえば、サポートエンジニアがインシデントの作成中に、インシデントカテゴリに基づいてインシデントをクローズするまでの予定時刻を確認できるようにしたいとします。エンジニアがこの情報を表示できるようにするには、インシデントフォームのフォーム内アナリティクス UI アクションを作成します。この UI アクションは、インシデントを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開きます。インシデントのクローズ予定時間を表示するウィジェットを含むカテゴリブレークダウンダッシュボード。

重要: フォーム内アナリティクスは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。レスポンシブダッシュボード コア UI のみが開きます。プラットフォームアナリティクス への完全な移行後は、フォーム内分析は使用できなくなります。

インシデント:カテゴリフォーム内分析

フォーム内アナリティクスの UI アクションは、ブレークダウンを表すフォーム上のフィールドの横にあるアイコンによってアクティブ化されます。そのフィールドがフォームビューに表示されない場合、アイコンも表示されません。フォーム内分析を設定するときに、フォームに [関連アクション] リンクを含めることもできます。このリンクはいつでも利用できます。

関連トピック

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

UI アクション

フォームへのフォーム内分析の追加

ユーザーがフォームに入力しているときに関連するアナリティクスを表示できるようにする UI アクションを作成します。UI アクションは、フォームを使用するテーブル、そのテーブルで使用されるブレークダウン、およびブレークダウンダッシュボードを関連付けます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin パフォーマンス分析のロールに加えて、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにレコードを作成できる必要があります。

特定のテーブルとブレークダウンのフォーム内アナリティクスを追加する前に、そのテーブルとそのブレークダウンのブレークダウンソースを使用するブレークダウンダッシュボードを作成します。そのテーブルにレコードを作成するユーザーに最も有用な情報が目立つようにダッシュボードを設計します。ブレークダウンダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

フォーム内分析を作成するには、パフォーマンス分析を有効にする必要があります。

このタスクについて

手順

移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > フォーム内アナリティクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明については表を参照)。

フォーム内分析のフィールド

フィールド	説明
名前	UI アクションのわかりやすい名前。
テーブル	分析を表示するテーブル。このテーブルのフォームにページ内アイコンが表示されます。
ブレークダウン	テーブルを分析するためのブレークダウン。フィールドがフォームビューに含まれている場合、このブレークダウンに対応するフィールドの横に UI アクションアイコンが表示されます。

自動翻訳

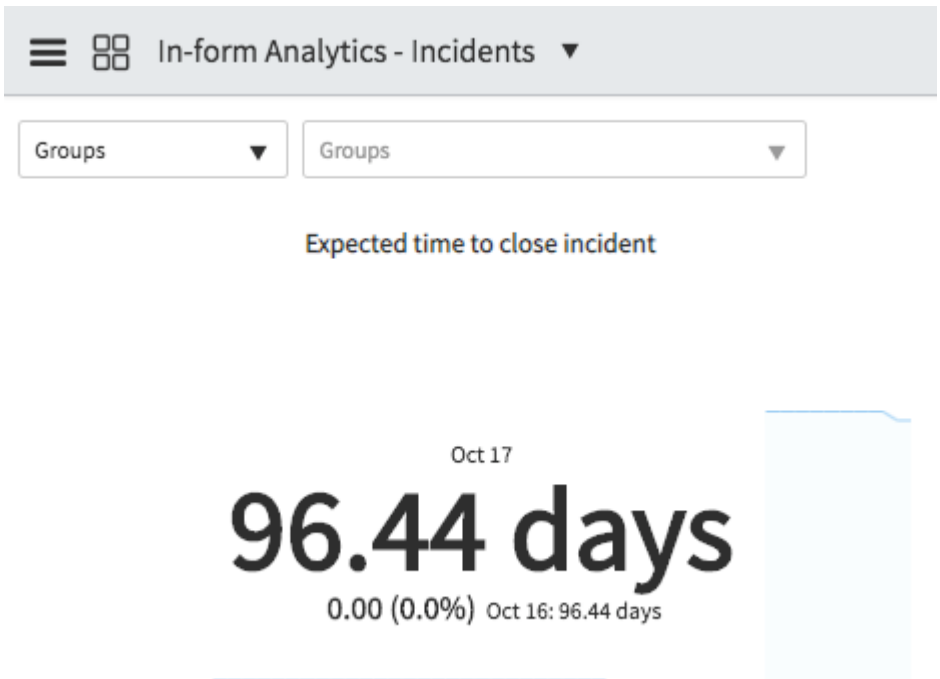
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ダッシュボード	表示するブレークダウン ダッシュボード。ダッシュボードでは、選択した テーブルと ブレークダウンのブレークダウンソースを使用する必要があります。
アイコン	フォームのブレークダウン関連フィールドの横に表示するアイコン。
アイコンの色	フォーム アイコンの色。
フォーム内リンクを作成	このチェックボックスをオンにすると、アイコンに加えてフォーム上に関連リンクを表示します。関連リンクはアイコンと同じダッシュボードに誘導します。

Example: インシデントアサイン先グループのフォーム内分析

インシデントを作成するサポートエンジニアが、アサイン先グループに基づいてインシデントをクローズする予定時刻を確認できるようにするケースを考えてみましょう。インシデントをクローズする予定時間を表示するウィジェットを設計しました。このウィジェットを、グループブレークダウンソースを使用するフォーム内アナリティクスブレークダウンダッシュボードに追加しました。「グループ」は、アサイン先グループブレークダウンのソースです。

ブレークダウン ダッシュボード

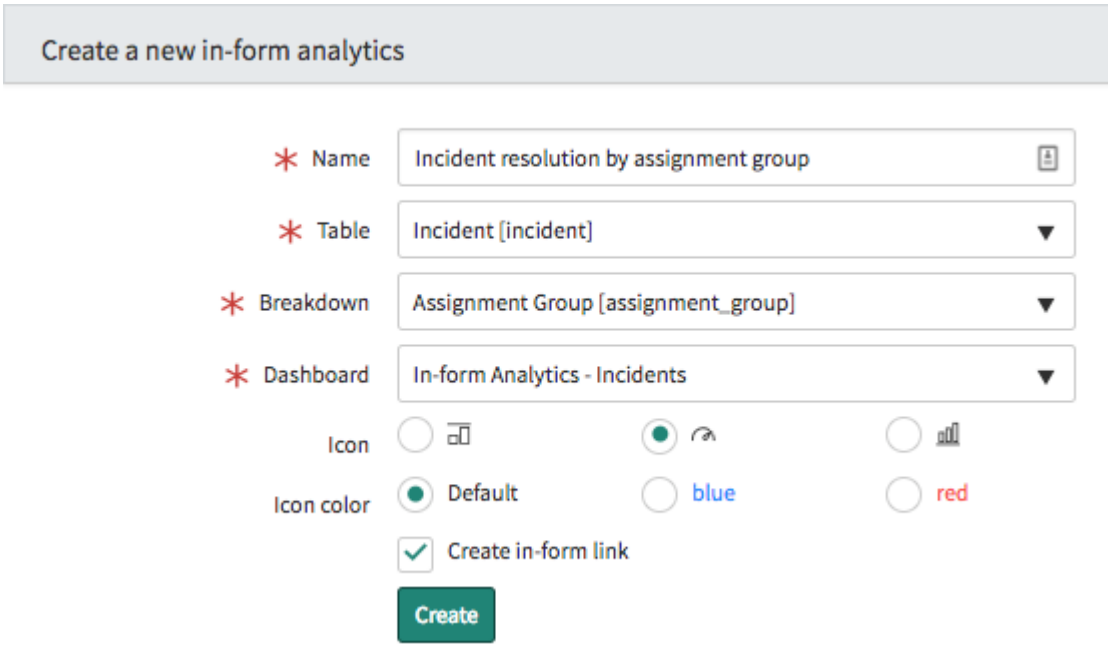


これで、インシデント [incident] テーブル、アサイン先グループブレークダウン、およびフォーム内アナリティクス - インシデントダッシュボードのフォーム内アナリティクスを作成します。UI アクションのアイコンを選択します。このアイコンは、[アサイン先グループ] フィールドの横に表示されます。また、ダッシュボードへの関連リンクを作成することにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内分析の作成



目盛りアイコンをクリックすると、ダッシュボードのポップアップビューが開きます。ポップアップウィンドウのタイトルは、ダッシュボード名の代わりに「[ブレークダウン名] の分析」であることに注意してください。

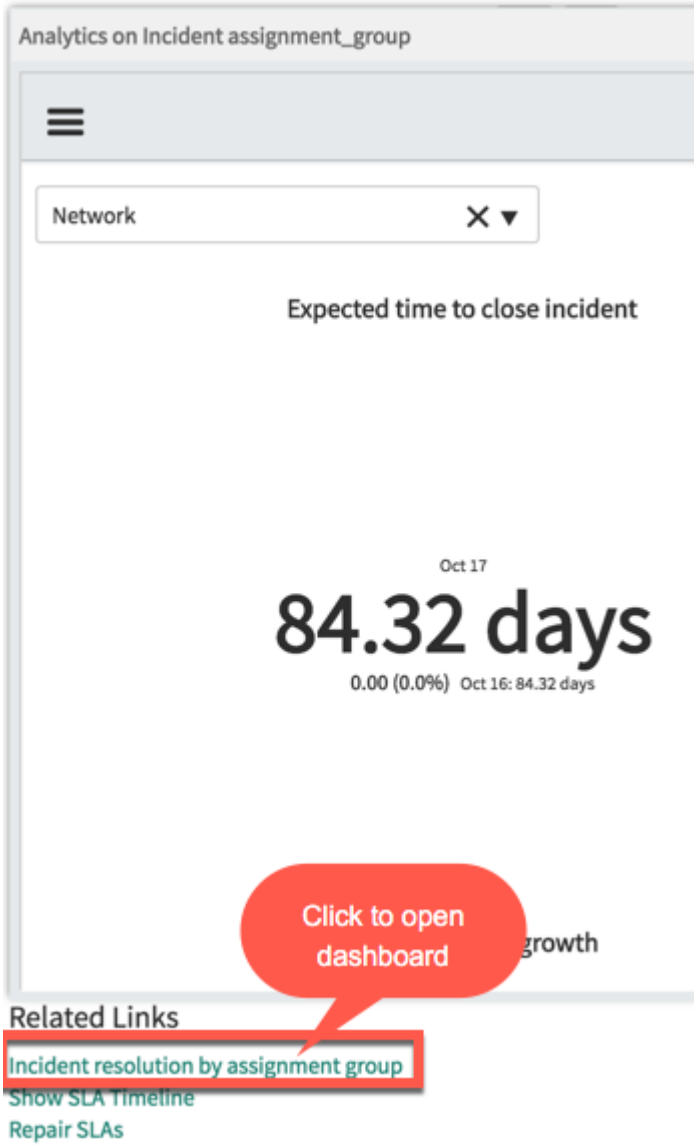
インシデントフォームからダッシュボードビューを開く

セルフサービスビューには、デフォルトでは [アサイン先グループ] フィールドは表示されません。この場合でも、[関連リンク] からアナリティクスを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスへの関連リンク



事前設定されたフォーム内アナリティクス

事前設定されたフォーム内アナリティクスは、いくつかのアプリケーションとそれに関連するテーブルおよびフォームのプラグインとして使用できます。

フォーム内アナリティクスプラグインと関連テーブル

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - 変更管理のためのコンテキスト依存アナリティクス	com.snc.pa.change.context_sensitive_analytic	変更要求 [change_request]
パフォーマンスアナリティクス - チャットのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.chat.context_sensitive_analytic	チャットキューエントリー [chat_queue_entry]
パフォーマンスアナリティクス - カスタマーサービスのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.cs.context_sensitive_analytic	ケース [sn_customerservice_case]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内アナリティクスプラグインと関連テーブル (続く)

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - インシデントのコンテキスト依存アナリティクス	com.snc.pa.incident.context_sensitive_analytic	incident (インシデント) [incident]
パフォーマンスアナリティクス - 問題管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.problem.context_sensitive_analytic	problem (問題) [problem]

パフォーマンスアナリティクス高度な機能を構成する

主要評価指標とスコアを生成するデータ構造を定義します。

このセクションのトピックは、主にデータ構造を直接扱う パフォーマンスアナリティクス アドミニストレーターを対象としています。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

有料の パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションがない場合、使用は 180 日間のデータ収集 (月次インジケーターの場合は 5 か月) と ServiceNow が提供する特定のインジケーターに制限され、データスナップショットを有効にすることはできません。すべての機能に無制限にアクセスするには、 パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションを購入してください。

サブスクリプションを購入した後、本番インスタンスでそのサブスクリプションに関連付けられているプラグインをアクティブ化する必要がある場合があります。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを使用すると、ベースシステム で利用可能な機能以外に次の機能を使用できます。

- カスタム パフォーマンスアナリティクス インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、またはその他の設定レコード
- インジケーターのデータスナップショットをアクティブ化する機能。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。
- 180 日間を超えて保存されたスコア (月次インジケーターの場合は丸 5 か月)
- テキストアナリティクスウィジェット (コア UI のみ)
- ダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイト

Professional または Enterprise オファリングを通じて パフォーマンスアナリティクス を購入した場合、次の状況では制限なく使用できます。

- 関連するサブスクリプションのテーブル (関連する ServiceNow ストアアプリを含む)
- 任意のプラットフォームと一般的なアプリ (ナレッジ管理、CMDB、カタログなど) を使用
- 有料のパートナーストアアプリと

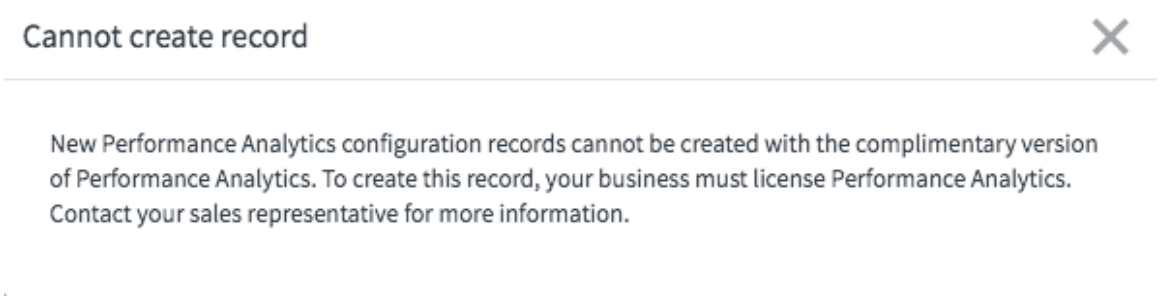
注: 無料のパートナーストアアプリのテーブルはカスタムテーブルと見なされ、 ServiceNow サブスクリプションにマッピングされます。これらのテーブルを パフォーマンスアナリティクス で使用する権限は、マッピングされたサブスクリプションを パフォーマンスアナリティクス する資格によって異なります。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションがない本番インスタンスでこれらのタスクを実行しようとすると、サブスクリプションが必要であるという警告が表示されます。

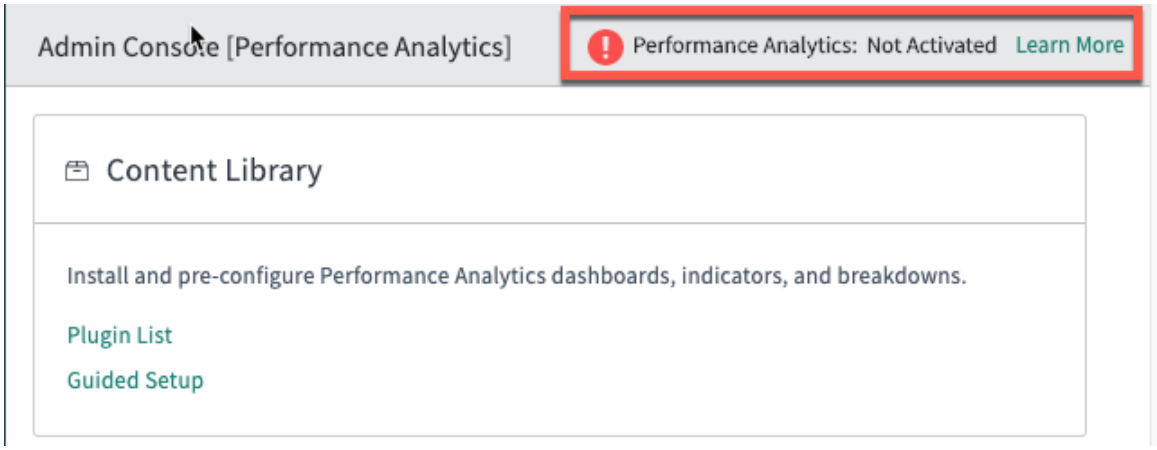
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブスクリプションが必要であるという警告



パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールは、インスタンスにフルバージョンの パフォーマンスアナリティクス がアクティブ化されていない場合にも警告を表示します。



パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプション管理

パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションでは、機能が自動的に有効になります。

Tokyo 以降、サブスクリプション管理がパフォーマンスアナリティクスに適用されます。サブスクリプション管理を使用する場合は、パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動でアクティブ化する必要はありません。このページの残りの部分では、サブスクリプションをアクティブ化するための古い手動システムについて説明します。

この機能は、ホストされたインスタンスでのみ使用できます。自己ホスト型インスタンスおよび非本番インスタンスでも、適切な パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動でアクティブ化する必要があります。詳細については、「 サブスクリプション管理 」を参照してください。

オンプレミスインスタンスで パフォーマンスアナリティクス するエンタイトルメントを特定する

パフォーマンスアナリティクス製品ラインを使用する資格があるかどうかを手動で確認します。有効になっている場合は、本番インスタンスで対応するプラグインをアクティブ化する資格があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

オンプレミスインスタンスには サブスクリプション管理 へのアクセス権がないため、エンタイトルメントを手動で確認する必要があります。それ以外の場合は、これは必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 サブスクリプション > アプリケーションエンタイトルメント または、subscription_entitlement_list.do を直接開きます。
2. [サブスクリプションエンタイトルメント] リストで、 パフォーマンスアナリティクスを含む名前のエンタイトルメントを検索します。

結果
本番インスタンスでは、これらのエンタイトルメントに対応する パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインをインストールできます。任意の パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインを非本番インスタンスにインストールできます。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのプラグインをアクティブ化する

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを購入し、関連するプラグインを特定したら、次のようにそのプラグインを有効にします。

始める前に

重要: 本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

必要なロール：admin

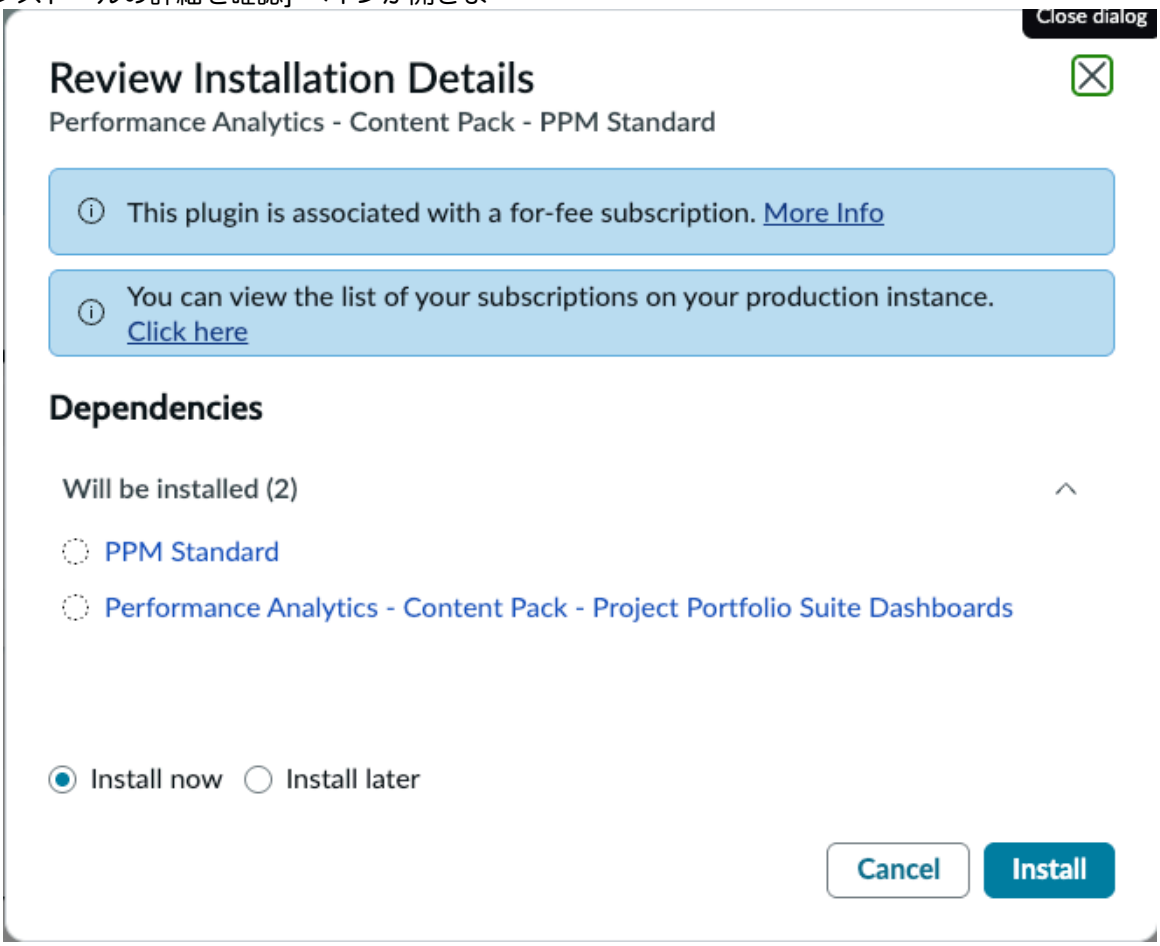
手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. [フィルター] で、[リスト] セクションを見つけて [プラグイン] を選択します。
3. 名前に パフォーマンスアナリティクスプレミアム が含まれているプラグインを検索します。
4. エンタイトルメントに一致する パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインを見つけて開きます。
5. **[Install** (インストール)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インストールの詳細を確認] ペインが開きま



す。

6. 依存関係を確認し、今すぐインストールするか後でインストールします。

結果
進捗状況バーには、プラグインの有効化の進捗状況が表示され、その後に表示内容を決めるオプションがいくつかあります。

次のタスク
スポットライトを有効にすることを検討してください。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、レコードを優先順位付けできるようにします。詳細については、「スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール

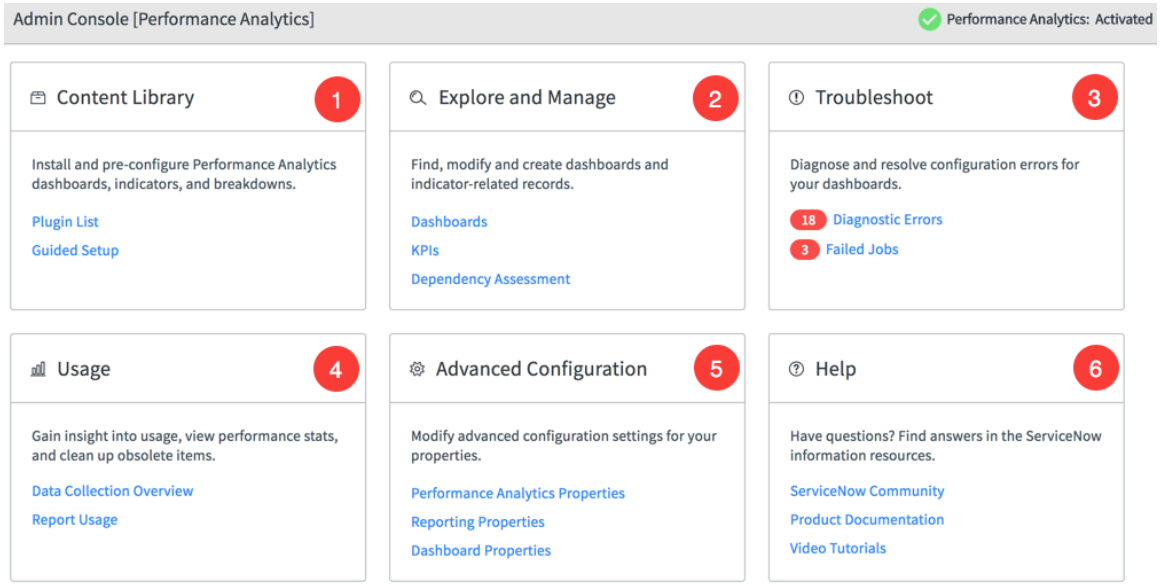
アドミニストレーターは単一のコンソールから、 パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション コンテンツの管理、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットとダッシュボードの管理、エラーの診断と解決、使用状況アナリティクスの表示、構成設定の変更、ヘルプへのアクセス ServiceNow 行うことができます。

重要: このアドミンコンソールは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクス ウィジェットとレスポンシブ ダッシュボードの情報のみが表示されます。

admin または pa_admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.パフォーマンスアナリティクスが有効になっていない場合は、[詳細] をクリックして有効にする方法を確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



1 コンテンツライブラリ

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション のガイド付きセットアップ。

[プラグインリスト] をクリックすると、非アクティブな プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションで使用可能なシステムプラグインのリストが表示されます。

注: プラグインのリストを表示するには、admin ロールが必要です。

[ガイド付きセットアップ] をクリックして、 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション のガイド付きセットアップを開始します。

2 探索および管理

1 か所で、自分のパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定して管理したり、変更の影響度を評価したりします。たとえば、フィールド名を変更した場合に影響を受ける、ダッシュボード グループ内のすべてのレポート、インジケーター、インタラクティブ フィルタを特定できます。

[ダッシュボード] をクリックすると、グループ別にソートされたインスタンス内のすべてのダッシュボードを探索できます。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。

[KPI] をクリックしてアナリティクスハブを開くと、インジケーターの探索的ビューが表示されます。

依存関係アセスメントを使用して、パフォーマンスアナリティクスコンポーネントを表示、分析、および管理します。

3 トラブルシューティング

[トラブルシューティング] パネルを使用すると、ServiceNowアプリケーションが提供する診断を利用して、エラー警告や失敗したデータ収集ジョブの原因となったテストを調査できます。すぐに使用できる診断はスケジュールに従って実行されますが、オンデマンドで実行することもできます。[スケジュールされたデータ収集] リストは、一度だけ実行されるジョブと、オンデマンドでのみ実行されるジョブを除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: [トラブルシューティング] カードのいずれかの数字が 0 より大きい場合、パフォーマンスアナリティクスの実装に何らかの問題がある可能性があります。

- [診断エラー] をクリックすると、[診断実行] リスト、実行された診断テストの数、および見つかった問題の数が表示されます。[状態] フィールドを使用して、解決された問題を追跡します。診断実行の詳細については、「アナリティクス診断」を参照してください。
- [失敗したジョブ] をクリックすると、[スケジュールされたデータ収集] リストが表示されます。失敗したジョブは、最新の完了した実行の状態が **collected_error** であるスケジュール設定済みジョブです。データ収集の詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのデータ収集とクリーンアップ」を参照してください。

4 使用率

データ収集ジョブに関する統計情報とレポートの使用率に関するダッシュボード。

- [データ収集の概要] ダッシュボードを使用して、データ収集を追跡および管理します。データ収集ジョブはデフォルトでは実行されないことに注意してください。ダッシュボードウィジェットには、関連するデータ収集ジョブを実行するまでデータは表示されません。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス」データの収集とクリーンアップを参照してください。
- [レポートの使用率] ダッシュボードを使用して、レポートの使用率を追跡および管理します。詳細については、「レポート統計」を参照してください。

5 詳細設定

詳細設定のクイック リンク。

- パフォーマンスアナリティクスプロパティ
- レポートのプロパティ
- レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

6 ヘルプ

コミュニティ、製品ドキュメント、およびServiceNow YouTube チャンネルのビデオチュートリアルでは、パフォーマンスアナリティクス機能を詳しく紹介しています。

関連トピック

インタラクティブ分析情報パネル

インジケータースコアの収集

パフォーマンスアナリティクス はデータ収集ジョブを使用して、スコアとスナップショットを収集して消去します。インジケータースコアを手動で設定することもできます。

既存のレコードのデータをすぐに収集するには、履歴データ収集ジョブを実行します。

進行中のデータ収集では、次のいずれかの方法を選択し、データの頻度と完全性に基づいてインジケーター スコアとスナップショットを収集します。

- インジケーターを 1 か月、四半期、または 1 年に 1 回測定する必要がある場合は、手動でスコアを入力するか、スコアをインポートします。
- インジケーターをより頻繁に測定する必要がある場合や、人間の関与を排除したい場合は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: パフォーマンスアナリティクス スナップショットは これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、プロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for*で指定されたスコアよりも古いスコアは収集しません。この値より古いスコアまたはスナップショットは、データ収集中に収集されません。

履歴データの収集

履歴データ収集ジョブを実行し、既存のレコードのスコアとスナップショットを収集します。新しいインジケーターなど、初めてのデータ収集では、履歴データ収集を 1 回実行して、既存のレコードのスコアとスナップショットを生成します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて

パフォーマンスアナリティクス は、継続的にデータからスコアを定期的に収集します。アプリケーションにパフォーマンスアナリティクスを最初にセットアップしたとき、または新しいインジケーターまたはインジケーター ソースを作成したときは、履歴データ収集を実行して既存のデータのスコアを収集します。履歴データ収集を使用すると、設定前に存在していたデータを分析できますパフォーマンスアナリティクス。

警告:

- 履歴収集ジョブを複数回実行することは避けてください。たとえば、新しいインジケーターを作成する場合は、既存のジョブに追加するのではなく、そのインジケーターの新しいデータ収集ジョブを作成することを検討してください。
- 履歴データ収集ジョブは、ジョブが対象とする期間およびインジケーターに対し、以前に収集したデータを削除します。その日付範囲外のデータやその他のインジケーターは削除されません。

履歴ジョブは、既存のデータのスナップショットも収集します。パフォーマンスアナリティクススナップショットは、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. [PA 変更] 履歴データ収集などの履歴データ収集ジョブを選択するか、新規履歴データ収集ジョブを作成します。
3. 履歴データ収集ジョブを作成または編集する場合は、データ収集ジョブの作成またはスケジュールの手順に従ってください。

   重要: 履歴データ収集ジョブの場合は、[実行] を [オンデマンド] に設定します。履歴データ収集ジョブを、固定のスケジュールで実行しないでください。

4. ジョブ インジケーターで、履歴収集期間中に値が変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは除外します。これについては、「ジョブ インジケーターの構成」で説明しています。
   たとえば、提供されている [PA インシデント SLA] 履歴データ収集ジョブでは、ジョブ インジケーター [未解決で期限切れのインシデントの数] には、[アサイン先グループ] と [状態] ブレーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダウンが含まれません。これらのブレークダウンの両方の値は、データ収集期間にわたって変化する可能性があり、その結果は無意味になります。

5. [今すぐ実行する] をクリックします。

次のタスク
履歴データを収集した後は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用し、定期的に新しいスコアを収集します。

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

パフォーマンスアナリティクスインジケータースコアとスナップショットを定期的に収集するデータ収集ジョブをスケジュールします。

始める前に
データ収集ジョブを定義する前に、インジケーター ソース、ブレークダウン ソース、およびインジケーターが定義されていることを確認してください。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。

必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて
データ収集ジョブを構成するときに知っておくべき重要な項目は、次のとおりです。

- 収集期間
- 収集タイムゾーン
- ドメインが使用される場合は、収集されるスコアのドメイン。
- コレクション ジョブは、どのような制限もなく実行されます。実行するユーザーの権限は使用しません。

データ収集ジョブは、スコアを収集するため、およびテキスト分析データを収集するために、異なるステップを実行します。デフォルトでは、ジョブは両方のタイプのデータを収集します。パフォーマンスを向上するため、スコアとテキスト分析データに別々のジョブをスケジュールすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ をクリックし、[新規] をクリックします。
   代わりに、ジョブの実行スケジュールを変更するなど、既存のデータ収集ジョブを編集することもできます。この場合、次の場所に移動します パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ をクリックし、ジョブ名をクリックします。
2. [名前] フィールドには、わかりやすい名前を付けます。
   [PA インジケーター] 日次データ収集や [PA インジケーター] 履歴データ収集など、データ コレクタ ジョブの命名のための標準形式に従います。
3. [演算子] フィールドで、データ収集を絶対時間でするのか、または相対時間でするのか選択します。

演算子の値	説明
期間指定	絶対時間のデータを収集します。
相対指定	ジョブが実行された時間を基準として特定期間のデータを収集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [期間指定] を演算子として選択した場合、[開始日（固定）] 日付と [終了日（固定）] 日付を選択します。
5. [相対] を演算子として選択した場合、データを収集する実行時間より前の間隔を指定します。

   a. [開始日（相対）] と [開始日指定（相対）] のフィールドで、データを収集する過去の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   b. [終了日（相対）] と [終了日指定（相対）] のフィールドで、データの収集を開始する過去の最後の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   ヒント:

   - ほとんどのインジケーター、つまりほとんどのデータ収集ジョブは、毎日実行されます。日次スケジュール済みジョブは、通常、最後に完了した日を収集する必要があります。したがって、1 日前の相対的な開始と相対的な終了の両方が必要です。収集期間が長い履歴データ収集ジョブは 1 回のみ実行します。
   - ビジネスカレンダーを使用するインジケーターでこのジョブを使用する場合は、 期間前の 間隔を考慮してください。この間隔は、ビジネスカレンダーに定義された期間に基づいています。

   Example
   たとえば、すべて同じインジケーターソースを使用して、日次頻度で複数の新しいインジケーターのセットのスコアを収集するとします。まず、2 か月前から昨日までのデータを収集する履歴データ収集ジョブを作成します。このジョブで、[開始日（相対）] に **60** を、[開始日指定（相対）] に日前を入力します。[終了日（相対）] に **2** を、[終了日指定（相対）] に日前を入力します。[実行] フィールドを [オンデマンド] に設定します。[今すぐ実行] をクリックし、このジョブを 1 回実行して最初のスコアを収集します。

   開始日 (相対) と終了日 1 日前で 2 番目のジョブを作成し、[実行] フィールドを [日次] に設定します。このジョブを有効化し、昨日のスコアと、そのジョブが実行される前日について、将来のスコアをすべて収集します。

6. 必要に応じて [ジョブパラメータ ー] を入力します。

ジョブパラメータ	説明
実行方法	ドメインセパレーションインスタンスの場合は、このジョブを実行するユーザーを選択します。このジョブは、グローバルドメインを持つか、このユーザーのドメイン内にあるファクトテーブルと パフォーマンスアナリティクス レコードからスコアを収集します。 データ収集ジョブは、このユーザーの権限ではなく、ドメインのみに従います。ACL とビジネスルールは、データ収集ジョブには適用されません。すべてのユーザーがジョブを実行できます。 重要: このジョブのドメイン構成を選択すると、[ユーザー として実行] が上書きされます。このトピックのステップ 9 を参照してください。
実行時	クエリがジョブから実行されるときに使用するタイムゾーンを選択します。会社のレポートタイムゾーンが存在する場合は、そのタイムゾーンを使用します。デフォルトでは、システムのタイムゾーンが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブパラメータ	説明
のタイムゾーン	このタイムゾーンは、[[オープン][on][今日]] などの条件の「今日」の日を決定します。
アクティブ	オンの場合、デフォルトではスケジュールされた日時にデータ収集が行われます。
実行	データを収集するスケジュールを選択します。選択肢は次のとおりです。 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 定期的 ○ 1 回 ○ オンデマンド ビジネスカレンダーを使用している場合は、ビジネスカレンダー期間の開始と終了に次のオプションもあります (ビジネスカレンダーエントリの定義 を参照)。 ○ ビジネスカレンダー:エントリ開始 ○ ビジネスカレンダー:エントリー終了 履歴データ収集ジョブを作成する場合は、オンデマンドで実行するようにジョブをスケジュールします。
曜日	○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 ○ [実行] が [月次] の場合は、日付を指定します。 月末に収集するには、1 日目に設定し、[時間] を [真 夜中過ぎ] に設定します。この設定では、月の長さに関係なく、完了した月のデータが収集されます。
繰り返し間隔	[実行] が [定期的] の場合は、スケジュールされるデータ収集の間隔を日数と時間数で指定します。
開始中	[実行] が [定期的] または **[1** 回] の場合、スケジュールされる最初のデータ収集の日時を指定します。
時刻	ジョブが実行される時刻 (24 時間制)。フィールドは 、[アクティブ] が選択された後に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブパラメータ	説明
	○ 時間は、 実行時のタイムゾーン ではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づいています。 ○ 通常、会社では真夜中から午前 6 時までの 1 時間に設定して、最後の完了期間を収集します。 たとえば、ニューヨークにいて、ロサンゼルス時間である会社の午前 5 時にデータを収集する場合は、時刻を 08:00:00 に設定します。
収集	データ収集ジョブには、スコア収集とテキスト分析の収集のために個別のステップがあります。次のいずれかを選択します。 ○ スコアのみ ○ テキストインデックスのみ ○ スコアとテキストインデックスの両方 (デフォルト) 詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。
条件節	オンにすると、特定の条件が満たされた場合にのみデータ収集が行われます。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。 ⚠ 警告: パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。 アップグレード後に、これらの許可されていない API コンポーネントを含む条件付きスクリプトがあるジョブは、「収集済み (エラーあり)」というメッセージが出て終了します。これらのジョブはスコアを収集しません。 com.snc.pa.dc.script.use.sandbox システムプロパティは、データ収集スクリプトがサンドボックスを使用するかどうかを制御します。このプロパティを有効化できるのは、security_admin ロールを持つユーザーに限られます。このプロパティをオフにするときは注意が必要です。false に設定すると、権限のないユーザーがインスタンスに対して悪意のあるアクションを実行する可能性があります。

7. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
8. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックし、このジョブがデータを収集するインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- ジョブのインジケーターを少なくとも 1 つ含めます。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。
- ジョブを保守しやすくするために、明確なユースケースがない限り、インジケーターを複数のアクティブな収集ジョブに関連付けないようにしてください。リアルタイムデータを取得しようとしている場合は、リアルタイムインジケーターの使用を検討してください。
- データ収集ジョブは、関連するインジケーターのインジケーターソースごとに 1 つのデータベースクエリーを生成します。したがって、インジケーターソースを共有するすべてのインジケーターのデータは同じ時点を表します。

9. ドメイン構成を有効にしている場合は、[ドメイン構成] 関連リストでこのジョブに関連付けるドメイン構成を選択できます。
ドメイン構成は、ユーザーグループまたはその他の条件に対する可視化に基づいてドメインをグループ化します。これらのグループ化には、親子関係を含めることができます。ジョブのドメイン構成を選択すると、ジョブはグローバルドメインを含む構成のドメイン内のレコードのスコアを収集します。ドメイン構成は 、[ユーザーとして実行] を上書きします。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

- デフォルトでは、各ジョブ インジケーターごとに、すべてのブレークダウンとインジケーター自体のデータが収集されます。インジケーターのこの設定を変更するには、「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。
- ドメイン サポートを有効にしている場合は、[ドメイン設定] という関連リストがあります。このタブで、[編集] をクリックし、既存のドメイン設定とこのジョブを関連付けます。または、[新規] をクリックして新しいドメイン設定を作成します。詳細については、「ドメイン構成の作成」を参照してください。

ジョブ インジケーターの構成

必要かつ合理的なデータのみを収集するようにジョブ インジケーターを構成することにより、データ収集の効率を向上させます。

始める前に

必要なロール：admin、pa_admin

このタスクについて

デフォルトでは、ジョブ インジケーターは、インジケーター自体のデータと、そのインジケーターに関連付けられているすべてのブレークダウンのデータを収集します。ただし、すべてのブレークダウンデータが特定の データ収集ジョブに適しているわけではありません。たとえば、アサイン先グループや状態など、収集期間中に変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは、通常、履歴ジョブから除外されます。多くの場合、ジョブはジョブの実行時にのみアサイン先グループとステータスの値を収集します。6 か月前のインシデントは、うまくいけば完了しましたが、6 か月の履歴全体で完了ステータスになる可能性があります。このような値は誤解を招きます。

あるいは、ブレークダウン データのみを収集する必要があり、インジケーター スコアを計算する必要がない場合もあります。不要なデータや無意味なデータを収集しないようにジョブ インジケーターを構成することで、ジョブのリソース消費を削減できます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ジョブ.
2. ジョブ インジケーターを構成するジョブを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ジョブ インジケーターは、ジョブ インジケーターを使用するジョブに固有のものです。

3. [インジケーター] タブで、構成するジョブ インジケーターの名前をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

フィールド	説明
ジョブ	ジョブ名から自動的にコピーされます。
インジケーター	関連付けられた自動インジケーター。スケジュール設定済みデータ収集レコードの [編集] ボタンを使用してジョブインジケーターを追加する場合は、自動インジケーターを選択します。
収集	[すべてのブレークダウン] を収集するか、[ブレークダウンなし] を選択するか、または特定のブレークダウンを除外するように選択します。
インジケーターの収集	インジケーター自体のデータを収集するには、このチェック ボックスをオンにします (デフォルト)。ブレークダウンのデータのみを収集する場合は、このチェック ボックスをオフにします。 ヒント: 既存のインジケーターにブレークダウンを追加した場合は、これらのインジケーターに対して 1 回限りの履歴収集ジョブを実行して、そのブレークダウンのスコアを取得することを検討してください。追加されたブレークダウンでのみ収集し、インジケーター自体については収集しません。

5. [収集] フィールドで **[1** ブレークダウン] を選択した場合は、除外するブレークダウンを選択します。

   a. コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。
   除外されたブレークダウンの関連リストが表示されます。

   b. [ブレークダウンを除外] リストで [編集] をクリックし、除外するブレークダウンを追加または削除します。

データ収集ジョブのキャンセル

ジョブがスコアを収集しないようにするには、アクティブなデータ収集ジョブをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector および schedule_admin、または admin

手順
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. キャンセルするジョブを選択します。
3. [ジョブのキャンセル] をクリックします。

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

自動インジケーターと手動インジケーターのスコアデータを手動で入力できます。自動インジケーターのスコアを編集するときは注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_contributor、pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
通常、月に 1 回以下の頻度でのみ更新が必要なインジケーターに対しては、手動でスコアを追加します。さらに、顧客などの一部のエンティティで自動的にデータを収集できない場合は、手動でデータを入力またはインポートすることができます。

ジョブが収集したデータは手動で上書きできます。ただし、次回このデータを収集するジョブが実行されると、今度は手動で入力したデータが上書きされます。

注:

- 監査では、スコアシートへの手動変更は追跡されません。すべてのpa_scoresテーブルに対して辞書レベルで監査が有効になっている場合でも、手動での挿入、更新、および削除は監査されません。
- 式インジケーターのスコアを手動で編集することはできません。

手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > スコアシート.
2. 手動スコアを入力するインジケーターを選択します。
3. オプション: 日付範囲の左または右の矢印をクリックし、選択されている日付を変更するか、日付範囲をクリックして新しい範囲を選択します。
4. [インジケータースコア] 行のインジケーターでメイン スコアを入力します。
   または、インジケーターにブレークダウンが含まれている場合は、ブレークダウン要素ごとにインジケータースコアを入力します。

   注: スコアの各列の上にあるパーセンテージバーは、スコアを含むブレークダウン要素の割合を示します。値 0 はスコアとしてカウントされます。値が存在しない場合のみ、空としてカウントされます。

   a. [スコアの集計] をクリックします。

   b. インジケーターの特定のブレークダウンのメイン スコアを計算するために、合計を使用するのか、平均を使用するのかを選択します。

   c. [優先度] など、集計するブレークダウンを選択し、[適用] をクリックします。

      そのブレークダウンのすべてのスコアが合計されるか、それらの平均が計算されます。

      第 2 レベルのブレークダウンを収集し、2 つ以上のブレークダウン ソースに基づく自動インジケーターの場合、複数レベルのブレークダウンをスコアシートに入力できます。たとえば、ワークグループ別の優先度によるオープン インシデントでは、ワークグループ (第 1 レベル) の要素と優先度 (第 2 レベル) の要素の両方のスコアを入力できます。これらのインジケーターの集計は、他の内訳と同じ方法で計算されます。

関連トピック

手動インジケーター

スポットライトでレコードをランク付けする

スポットライトを使用し、複数の重み付けされた基準に基づいて対象のレコードを特定してランク付けします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

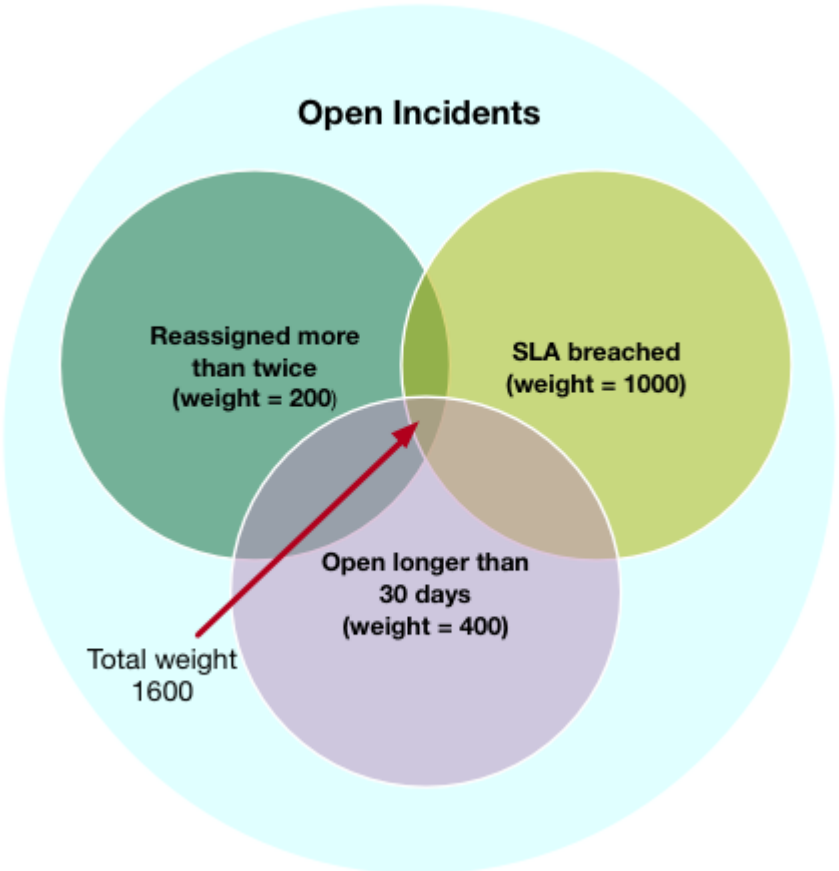
スポットライトにより、見逃しやすいレコードがわかりやすくなります。 重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

たとえば、インシデントの優先度が低い場合でも、インシデントが長期間オープンになっている場合や、インシデントが何度も再アサインされている場合に注意を喚起したい場合があります。このようなインシデントの中で、オープン期間が経過しており、複数回アサインされているインシデントを、オープン期間が経過していないインシデントよりも上位にランク付けしたい場合があります。

スポットライトは、レコードを評価するために実行されるスケジュール済みのジョブを使用します。これらのジョブの結果は、スポットライトの対話型分析で表示できます。スポットライトの結果を共有するには、分析の URL を pa_spotlight_viewer ロールを持つユーザーと共有します。

次の図は、スポットライトのスコアリングを示します。大きな円は、すべてのオープン インシデントの集合を表します。小さな円は、オープン インシデントのサブセットに適用される重み付けされたスポットライト条件を表します。

スポットライトの図



注: スポットライトを使用するには、アドミニストレーターがスポットライトプラグインを有効にする必要があります。

スポットライトの設定

評価して重要度別にランク付けするテーブル レコードのセットごとにスポットライトを設定します。レコードはインジケーターと関連付ける必要があります。

スポットライト グループを作成して評価するレコードを指定します。複数のスポットライト条件を作成し、レコードの重み付け方法を定義するグループと関連付けます。スポットライト グループ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で、スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要がある条件の重み付けの合計を設定します。

> **注:** スポットライトの使用を開始する前に、アドミニストレーターはスポットライトプラグインを有効にする必要があります。

スポットライト グループと複数のスポットライト条件を作成したら、スポットライト グループを有効にします。グループがアクティブ化されると、スポットライトグループジョブスケジュールに従ってスポットライトスコアが自動的に収集されます。アクティブなグループのスポットライトスコアは、いつでも手動で収集できます。スポットライトスコアがスポットライトグループのしきい値を超えるレコードに対してスポットライトが自動的に作成されるため、最も優先度の高い作業をすばやく特定できます。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

スポットライト グループの作成

スポットライト グループを作成して、評価するレコードを定義します。スポットライトの作成がトリガーされるためには、スポットライト グループで、レコードのスコアが超える必要のあるしきい値も設定します。

始める前に

アドミニストレーターは、スポットライトプラグインを有効にしておく必要があります。

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト グループでは、評価するレコードのセットおよびしきい値を指定します。データセット内のレコードのスコアがしきい値を超えると、このレコードに対してスポットライトが作成されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

評価するレコードのセットは パフォーマンスアナリティクスインジケーターと関連付ける必要があります。スポットライト グループはこのインジケーターを指定します。スポットライトグループは 1 つのファクトテーブルのみを参照できます。グループのメインインジケーターとすべてのスポットライト基準の両方が同じテーブルを参照する必要があります。

> **注:** 既存のスポットライトグループのメインインジケーターを変更できます。ただし、グループの基準を選択した後は、同じファクトテーブルを使用する別のインジケーターにのみメインインジケーターを変更できます。

ドメインセパレーションを有効にしている場合は、スポットライトグループの作成時にログインしているドメインにスポットライトグループを作成します。スポットライトグループを設定した後、 スポットライトグループをドメインにコピーするで説明されているように、複数のドメインにコピーできます。

> **警告:** グローバルドメインにスポットライトグループを作成すると、すべてのドメインがそのグループにアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライトグループ をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フィールドを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ フォーム

フィールド	説明
しきい値	スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要があるスポットライト条件の重み付けの合計。 スポットライト条件に重み付けを割り当てる場合は、この値を再検討します。
メイン インジケーター	このスポットライト グループを評価するレコードを収集するインジケーター。 メイン インジケーターは次の要件を満たしている必要があります。 ○ これは自動インジケーターである必要があります。 ○ インジケーターの collect_records プロパティを [true] に設定する必要がある。このプロパティはインジケーター フォームの [ソース] タブで設定する必要があります。 ○ インジケーターのインジケーター ソースは、データベース ビューではなく、実際のテーブルを参照する必要がある。 このスポットライト グループを評価するためのすべての条件は、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じファクト テーブルを使用します。

3. オプション: 評価するレコードをフィルタするには、[ブレークダウン] および [要素] を選択します。

重要: スポットライトグループの作成では、ブレークダウンソーステーブルのアクセス制御リスト (ACL) が優先されます。そのため、ACL によっては、アドミンロールがあっても、ブレークダウンの既存の要素の一部が表示されない場合があります。

スポットライトグループが完成したら、完成したスポットライトグループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。ブ レークダウンの [スポットライトグループをコピー] をクリックします。詳細については、「スポットライトグループをブレークダウン要素にコピーする」を参照してください。

4. [スコアの評価元 **(Evaluate scores from**)] フィールドで、スポットライトジョブがスナップショットまたはプラットフォームのどちらからスコアを評価するかを選択します。

オプション	説明
パフォーマンスアナリティクス スナップショット	関連する パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ が最後に実行されたときのレコードのスナップショット。
プラットフォームデータ	スポットライトジョブの実行時のプラットフォームからのデータ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

5. コンテキスト メニューで、[保存] を選択します。

結果

インジケーターとしきい値を持つスポットライトグループを作成し、スナップショットまたはプラットフォームデータに基づいてスコアを収集するかどうかを定義しました。

次のタスク

- スポットライト グループのスポットライト条件を作成し、スポットライト スコアを収集するスケジュールを設定します。「スポットライト条件の作成」を参照してください。
- ドメインセパレーションを使用している場合、スポットライトグループは、グループの作成時に存在するドメインに作成されます。条件とスケジュールを含むスポットライトグループの構成が完了したら、[ドメインにコピー] をクリックしてスポットライトグループを別のドメインにコピーできます。
- メインインジケーターのブレークダウンと要素を指定した場合は、スポットライトグループを同じブレークダウンの他の要素にコピーできます。これを行うには、[ブレークダウンのスポットライトグループをコピー]をクリックします。まず、基準とスケジュールを含むスポットライトグループを完了します。

注: スポットライトグループを他のドメインまたは他のブレークダウン要素にコピーすると、元のスポットライトグループに対して既に生成されたスポットライトジョブの結果はコピーされません。

関連トピック

スポットライトを使用したドメインセパレーション

スポットライト インタラクティブ分析

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケータースコアの収集

スナップショットまたはプラットフォームデータの評価

スポットライトジョブを実行すると、収集されたレコードのスナップショットを評価するか、プラットフォームから直接データを収集して評価します。

注: 新しいスポットライトスコアは、スコアがスナップショットからのものかプラットフォームデータからのものかにかかわらず、以前のスコアを上書きします。

スナップショット レコードの評価

デフォルトでは、新しいスポットライトグループはレコードのスナップショットを使用します。スナップショットが これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。 スポットライトグループのメインインジケーターと基準インジケーターのデータ パフォーマンスアナリティクス 収集ジョブ によってスナップショットが作成されます。スポットライト評価ジョブが実行される前に、これらのジョブを実行してレコードを収集する必要があります。

スナップショット レコードを使用するスポットライト グループの場合、データ収集とスポットライト評価ジョブは次の条件を満たす必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スポットライト グループの条件で使用されるメイン インジケーターおよびすべてのインジケーターでは、レコード収集が有効になっています。

  注: インジケーター フォームの [レコードの収集] オプションでは、自動インジケーターの作成の説明のとおりにレコード収集が有効になります。

- スポットライト グループ条件で使用されるメイン インジケーターとすべてのインジケーターで、同じデータ収集頻度を使用します。
- すべてのスポットライトグループインジケーターのデータコレクションジョブをできるだけ一緒に実行し、データを同期させた状態に保ちます。基準インジケーターのスナップショットの日付は、メインインジケーターの最終スコア日と同じである必要があります。メインインジケーターとすべての基準インジケーターが同じデータコレクションジョブ内にあると理想的です。
- スポットライト スコア収集ジョブは、ジョブの完了後にすぐにデータ収集ジョブと同じ頻度で実行します。スポットライト スコア収集をこの方法でスケジュールすると、最新で役立つ結果になります。

注: インジケーターベースのスポットライト基準のみがスナップショットレコードを評価します。スナップショットからのデータを評価するようにグループを設定した場合でも、クエリベースの基準は常にプラットフォームデータを評価します。

プラットフォームデータの評価

スポットライトでは、スポットライトジョブの実行時にプラットフォームから直接レコードを収集して評価できます。結果のスポットライトスコアは、最新のスポットライトジョブの時点でのプラットフォームのステータスを反映します。

プラットフォームデータに基づくスポットライトスコアは、実際には「リアルタイム」ではありません。プラットフォームでレコードが変更される可能性がありますが、スポットライトジョブが次回実行されるまで、レコードのスポットライトスコアにはこの変更が反映されません。

プラットフォームデータの評価では、スナップショットのレコードの評価に比べ、インジケーターデータをクエリするためにより多くのシステムリソースを必要とします。

また、スクリプト化されたブレークダウンが適用されている場合、インジケーターベースの基準を使用してプラットフォームデータを評価することはできません。特定の制限は次のとおりです。

- 基準のインジケーターが、スクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合は、この特定の条件を使用できません。プラットフォームデータの代わりにスナップショットを収集するか、インジケータベースの基準の代わりにクエリベースの基準を作成します。
- スポットライトグループのメインインジケータがスクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合、プラットフォームデータを評価することはできません。スナップショットのみに基づいてデータを収集するようにスポットライトグループを設定します。

スポットライト条件の作成

レコードの重み付けのタイミングと割り当てる重み付けを定義するスポットライト条件を作成します。

始める前に

スポットライト グループの作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト条件は、特定の属性に基づいてレコードに重みを付ける方法を定義します。各スポットライト条件はスポットライト グループと関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライト条件では、インジケーターを参照するか、ファクト テーブルに対して直接クエリを使用できます。前者の条件はインジケーターベースの条件と呼ばれ、後者はクエリベースの条件と呼ばれます。インジケーターベースの条件のインジケーターは、次の要件を満たす必要があります。

- 自動インジケーターである必要がある。
- レコードを収集するように設定する必要がある。
- これは、メインインジケーターのインジケーターソースの基準と同じテーブルに基づいている必要があります。このテーブルをデータベースビューにすることはできません。
- スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、インジケーターはスクリプト化されたブレークダウンを使用できません。

クエリーベースの基準は、メインインジケーターのインジケーターソースの基になっているのと同じテーブルをクエリーします。インジケーターベースおよびクエリベースの基準の適合性は、スポットライトグループがプラットフォームデータを評価するか、レコードのスナップショットを評価するかによっても異なります。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

一部の条件は他の条件よりも重要で、重み付けが高くなる場合があります。複数の条件の重み付けはスポットライト グループ内で累積されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

ドメインセパレーションを有効にしている場合:

- グローバルスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、ログインしているユーザーのドメインに条件が作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライトグループに対してスポットライト条件を作成すると、そのドメインにスポットライト条件が作成されます。

スポットライト条件を作成すると、ドメインの状況を知らせるメッセージが表示されます。詳細については、「スポットライトを使用したドメインセパレーション」を参照してください。

手順

1. スポットライトグループレコードで、[スポットライト条件] 関連リストを見つけて [新規] をクリックします。
2. この条件を満たすレコードに割り当てる [重み付け] を入力します。
   関連するスポットライトグループで設定されている しきい値を 再確認することを検討してください。グループとグループのしきい値のスポットライト条件を互いに比較して重み付けを最適化します。
3. [基準タイプ] を選択すると、指定した重み付けが割り当てられるレコードが特定されます。

オプション	説明
インジケーター	[インジケーター] を選択すると、このインジケーターに含まれるすべてのレコードに重み付けが割り当てられます。必要に応じて、1 つまたは 2 つのブレークダウンと要素を選択し、指定したブレークダウン要素値を含むレコードのみにレコードを制限します。
クエリ	[フィルタ条件] を設定します。指定した重み付けは、フィルタ条件と一致するファクト テーブルのすべてのレコードに割り当てられます。スポットライト グループのメイン インジケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ターのファクト テーブルは自動的に選択されます。

4. [送信] をクリックします。

結果
スポットライト グループの基準を使用します。

Example: 3 つの基準が含まれるスポットライト グループ

インジケーターを参照する次の 3 つの基準すべてが含まれるスポットライト グループを検討します。

- 30 日間更新されないオープン インシデントで、重み付けが 1000 である。
- 重み付け 800 で 3 回>再アサインします
- 説明が空で、重み付けは 300 です

この例では、4 回再アサインされ、[説明] フィールドが空のオープンインシデントの合計スコアは 1100 です。このインシデントは、合計スコアが 1000 の 30 日間更新されていないインシデントよりも優先されます。

次のタスク
手順を繰り返して、必要な数の基準を作成します。次にスコアを収集します。「スポットライト スコアの収集」を参照してください。

スポットライト スコアの収集

スポットライト スコアを収集するには、スコアの収集をスケジュールし、スポットライト グループを有効にします。また、アクティブなスポットライト グループのスコアを手動で収集することもできます。

始める前に

1. スポットライト グループの作成
2. スポットライト条件の作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて
スポットライトがスコアを収集する場合、スポットライトは、例外なく関連するスポットライト グループの古いスポットライト レコードもすべて削除します。

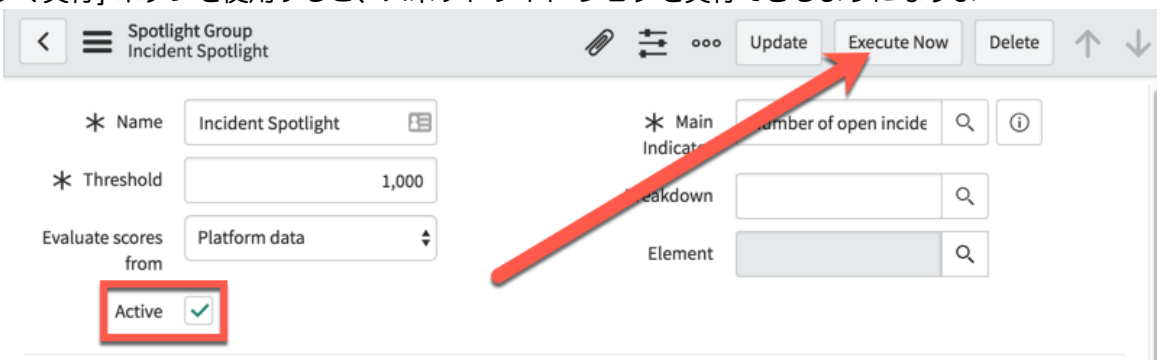
手順

1. スコアを収集するスコア グループを開きます。
2. まだ選択されていない場合は、チェックボックスで [有効] を選択し、スポットライト グループ フォームを保存します。
   デフォルトでは、新しいスポットライト グループは有効です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[今すぐ実行] ボタンを使用すると、スポットライト ジョブを実行できるようになりま



す。

3. スコアをすぐに収集するには、[今すぐ実行] をクリックします。
4. [スケジュール] セクションに移動し、[実行] フィールドでスポットライトスコアを収集する頻度を選択します。
5. スポットライト スコアを収集するタイミングの具体的な情報を入力します。
必要な情報は、[実行] フィールドで選択した期間に応じて異なります。たとえば、[日次] を選択した場合は、実行する日時を入力する必要があります。[月次] を選択した場合は、実行する月の日付と時刻を入力する必要があります。
6. ドメインセパレーションを使用している場合は、[実行方法] フィールドでユーザーを指定します。

   [実行ユーザー] を指定しない場合、スコアはグローバルドメインに対して評価されます。この場合、すべてのドメインのすべての一致するレコードに対してスポットライトスコアリングが実行されます。

   詳細については、「スポットライトを使用したドメインセパレーション」を参照してください。

結果

スポットライトでは、設定したスケジュールに従ってスコアの収集が開始されます。また、[今すぐ実行] をクリックすると、スコアをいつでも手動で収集することができます。スケジュールのトラブルシューティングが必要な管理者は、「スポットライトのスケジュール [sys_trigger] レコード」を参照してください。

次のタスク

スポットライト スコアに寄与する基準の詳細を確認できます。詳細については、「スポットライトスコアの詳細の確認」を参照してください。また、結果のインタラクティブな分析を確認および共有することもできます。

スポットライト スコアの詳細の確認

スポットライト スコアに寄与した重み付けの基準を確認するには、スポットライト レコードの詳細を確認します。

始める前に

必要なロール：pa_spotlight または admin

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライト または、スポットライトグループレコードのスポットライト 関連リストを表示します。
2. 目的のスポットライトを見つけて、情報アイコン をクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。

自動翻訳

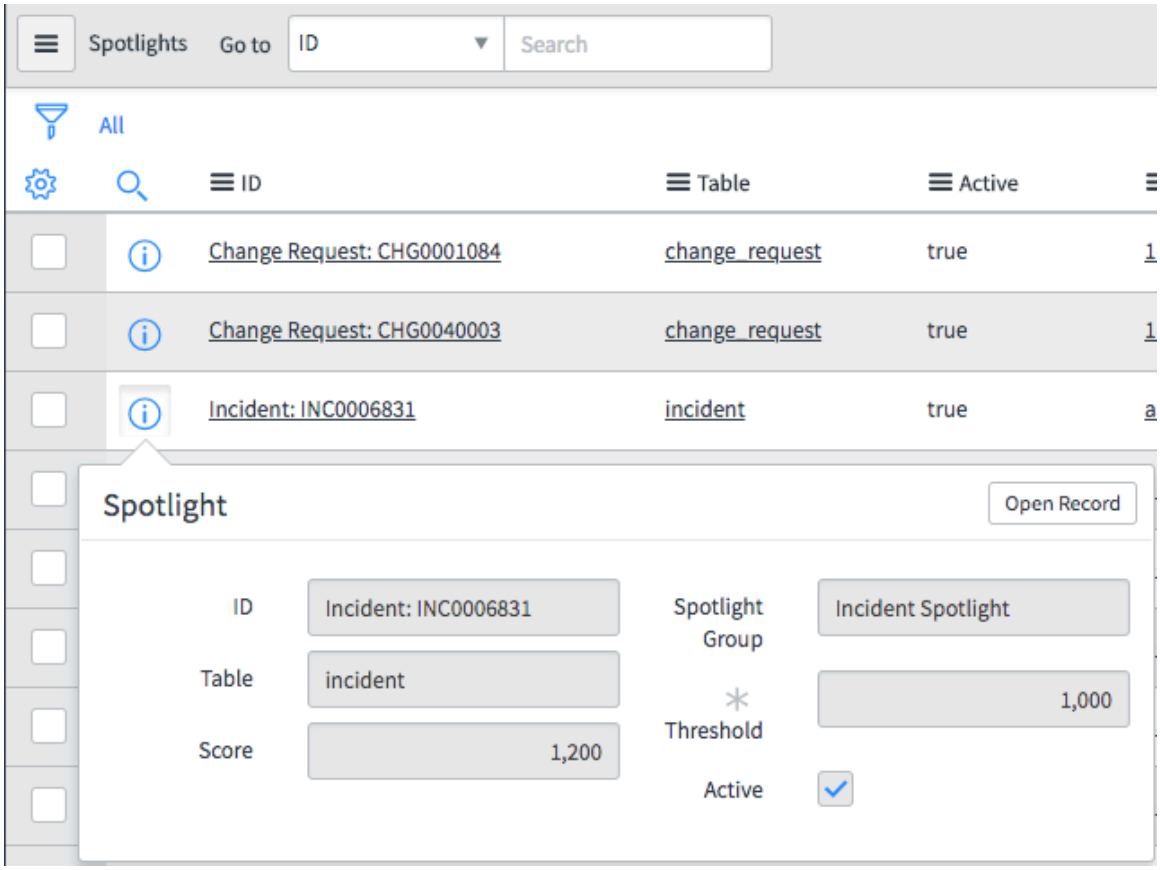
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
スポットライト レコードが開きます。スポットライト監査関連リストでは、レコードが一致したスポットライト基準と、合計スコアに対する各基準の寄与を確認できます。

Example: 合計スコアに寄与するスポットライト条件

しきい値 1,000 に対するスポットライト スコアが 1,200 のインシデント INC0006831 のスポットライト レコードを検討します。

選択したレコードのスポットライト リスト



スポットライト レコードを開くと、合計スコアに寄与する次の条件の重み付けが表示されます。

条件	重み付け
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000 日
28 日間より古いインシデント	25
7 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
14 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
合計スコア：	1,200

スポットライト インタラクティブ分析

スポットライト インタラクティブ分析は、スポットライト ジョブの重要な結果を示します。スポットライトグループレコードから分析にアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライトインタラクティブアナリシスを開くには、対象グループのスポットライトグループレコードを開き、「 インタラクティブアナリシスの起動」 関連リンクをクリックします。pa_spotlight または admin ロールが必要です。

> **注:** インタラクティブアナリシスでは、スポットライトデータベースビューを使用します。スポットライトは、グループを作成するときに各スポットライトグループのデータベースビューを作成します。データベースビューがない場合は、警告が表示されます。pa_spotlight ロールまたは admin ロールを持っている場合は、データベースビューを生成するためのリンクも表示されます。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インシデント以外のテーブルでインタラクティブ分析を使用するには、 完全に有効化されたサブスクリプションバージョンの パフォーマンスアナリティクスが必要です。パフォーマンス アナリティクスサブスクリプションの有効化を参照してください。

インタラクティブ分析 Interactive Analysis には、次の情報が含まれています。

- スポットライト レコードの数。また、この値は、スポットライト グループのしきい値を超えた対応するファクト テーブル レコードの数でもあります。
- スポットライトしきい値を超えた未アサインのファクトテーブルレコードの数。これらのレコードには、[アサイン先] 列に値がありません。
- スポットライト テーブルとメイン インジケーターのファクト テーブルを結合するデータベースビュー。このビューの各行には、スポットライト レコードの列と対応するファクト テーブル レコードが表示されます。

  > **注:**
  >
  > - ユーザーがこのテーブルの値を表示できない場合は、itil ロールを使用していることを確認します。
  > - ドメインセパレーションが有効になっている場合、ユーザーは自分のドメインに含まれている対応するファクトテーブルレコードのスポットライトレコードのみを表示できます。
  > - このデータベース ビューをデータソースとして使用すると、レポートを作成できます。これらのレポートをダッシュボードに含めることができます。各分析およびレポートのスポットライトソリューションには、このようなダッシュボードとレポートが含まれています。

  詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インタラクティブなフィルタを分析に適用できます。一致する列を含むファクト テーブルでは、次のフィルタが使用できます。

- ファクト テーブル レコードの [優先度] (タスクのみ)
- レコードが [オープン] である場合
- レコードの [経過時間]
- [アサイン先グループ] (タスクのみ)
- レコードの [状態]

これらのフィルターを追加または削除する方法については、「 インタラクティブ分析へのフィルタの追加 と インタラクティブ分析からのフィルタの削除」を参照してください。

> **注:** スポットライト インタラクティブ分析用のインタラクティブ フィルタを作成する場合は、関連するスポットライト データベース ビューの上部にフィルタを作成する必要があります。データベース ビューにアクセスするには、admin ロールが必要です。このロールを持っていない場合は、システム管理者に連絡してください。

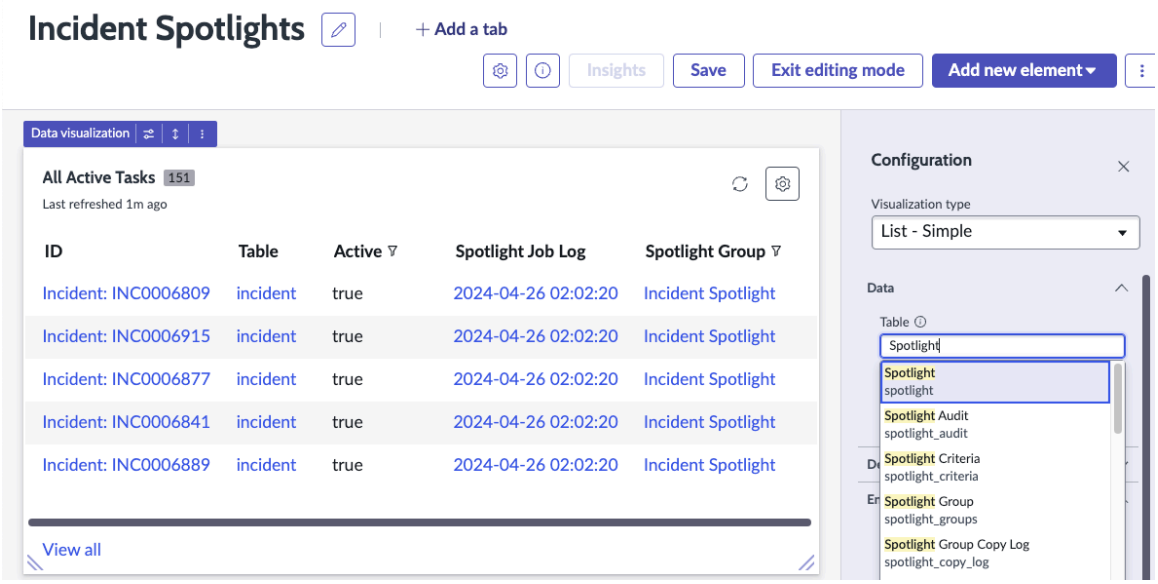
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ分析を共有するには、フィルタ情報から URL を共有します。インタラクティブ分析を共有するユーザーには、pa_spotlight_viewer ロールが必要です。フィルタ情報の詳細については、「インタラクティブ分析情報パネル」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト

スポットライトを一覧表示し、構成可能なワークスペースのダッシュボードに表示できます。

スポットライトを プラットフォームアナリティクスで表示するには、インラインエディターでダッシュボードを作成します。スポットライト [spotlight] テーブルのレコードを表示するダッシュボードにリストを追加します。スポットライトグループ (インシデントスポットライトなど) でフィルタリングできます。



関連トピック

- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- でリストの可視化を作成する 可視化デザイナー

スポットライトジョブログ

スポットライト ジョブの手順はログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

- 時間： スポットライト > スポットライトログ.
- 関連するスポットライトグループレコードの [スポットライトジョブログ] 関連リストとして。

スポットライト グループ フォームではなく、同じスポットライト ジョブ ログ リストは両方の場所で開き、リストはこのスポットライト グループによってフィルタリングされます。

スポットライト ジョブをデバッグするには、リストからジョブ ログを開き、ジョブ ログの行フィールドを調査します。

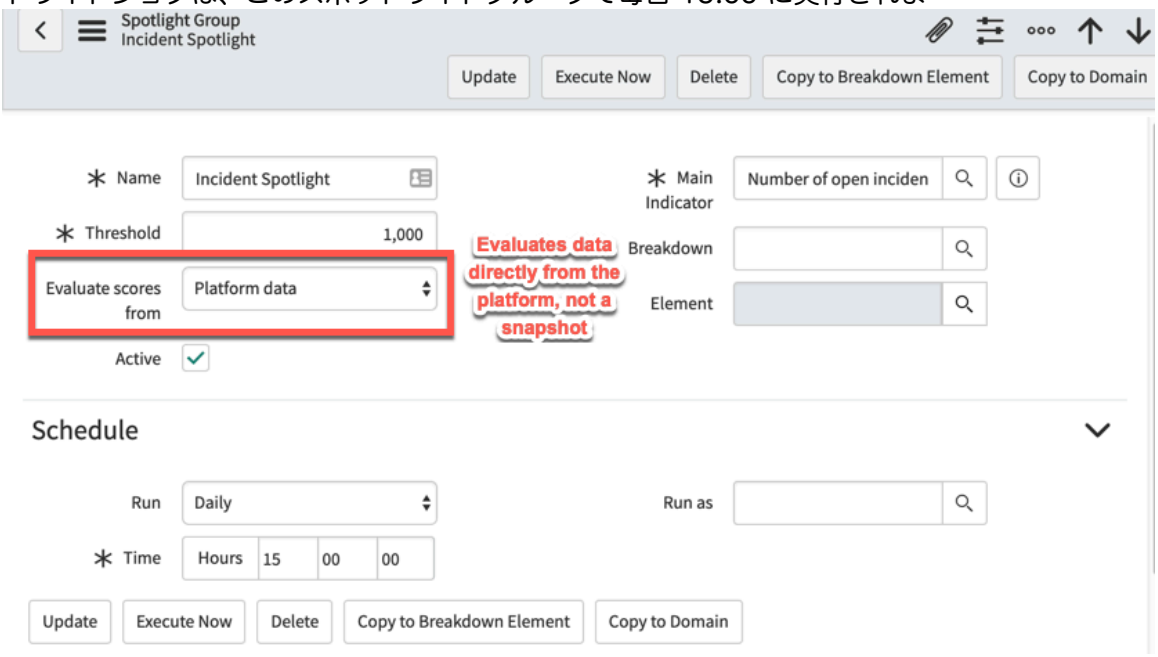
Example: スポットライト ジョブのデバッグ

インシデント [incident] テーブルのリアルタイムデータを評価するインシデントスポットライトグループについて考えてみましょう。このテーブルは、オープンインシデント数インジケーターのインジケーターソースが使用するテーブルです。ス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

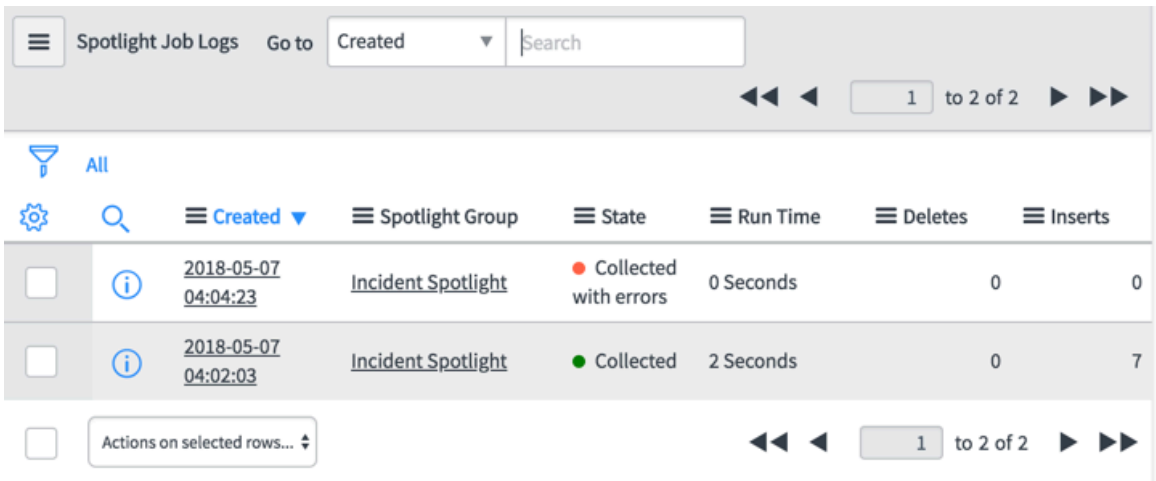
ポットライトジョブは、このスポットライトグループで毎日 15:00 に実行されま



す。

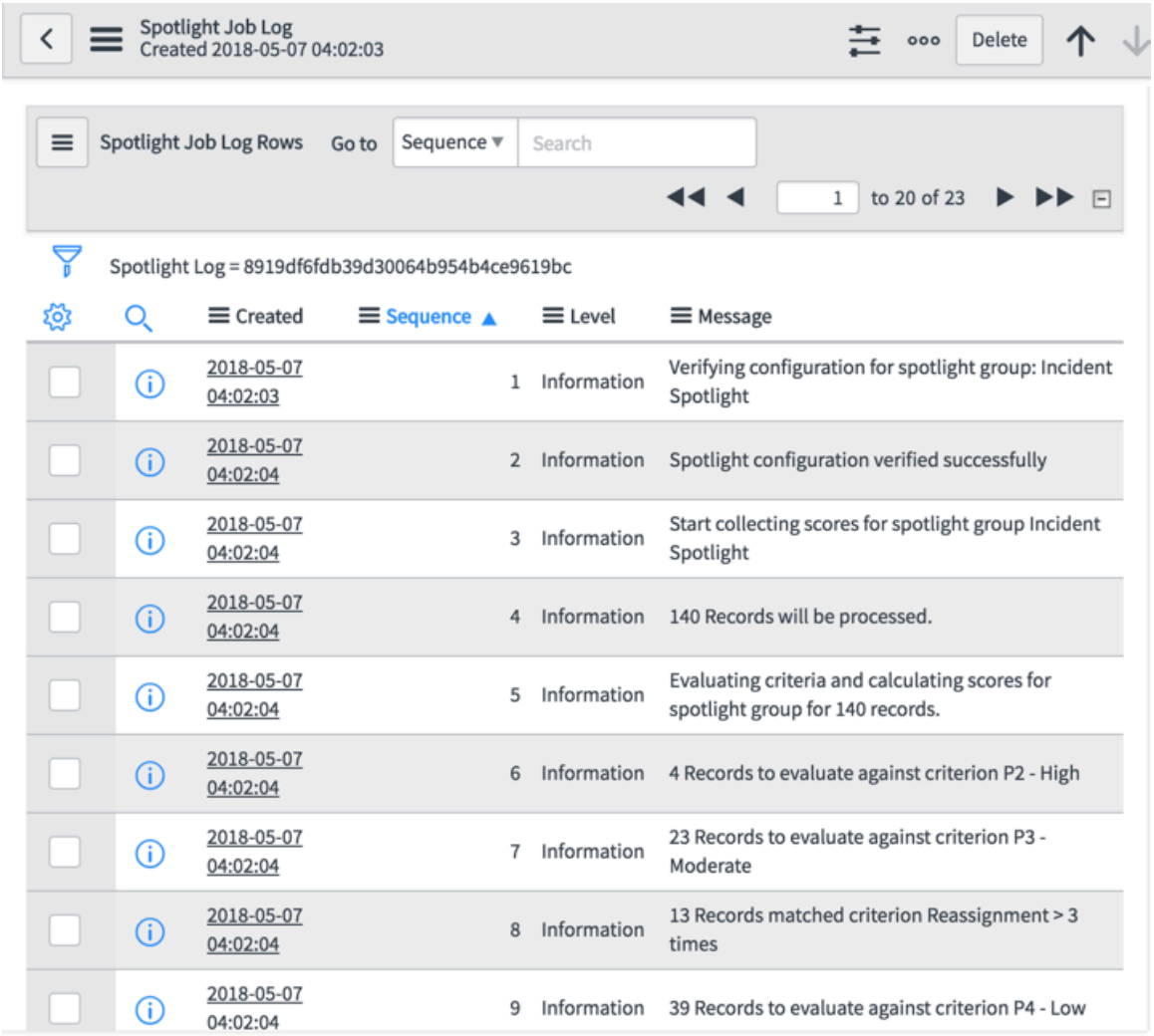
このグループのスポットライトジョブは、最新のジョブがエラーで完了したスポットライトジョブログの次のリストを生成します。

スポットライトジョブログ

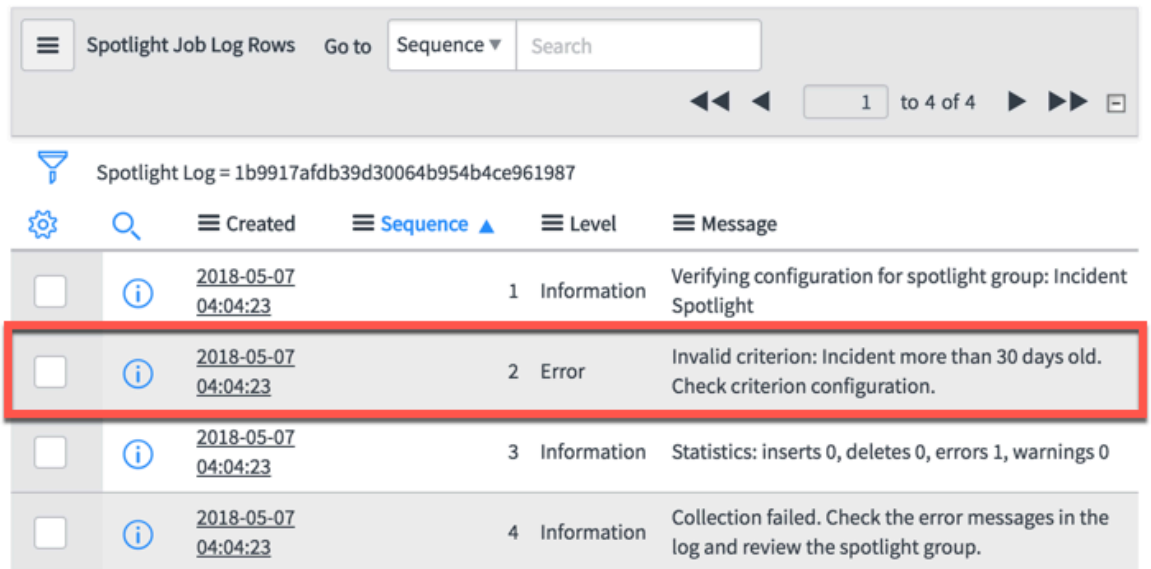


04:02:03 ジョブのタイムスタンプをクリックすると、情報メッセージのみを含む成功したジョブが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



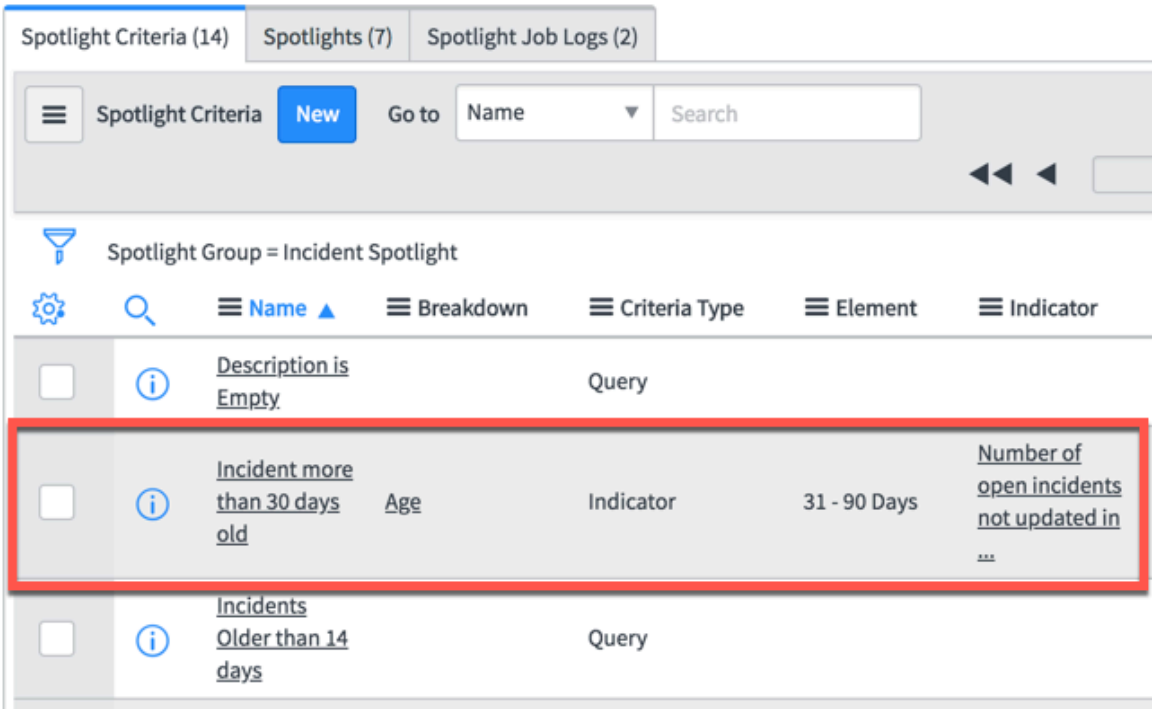
リストに戻り、エラーが発生したジョブのログを開くと、スポットライト基準 **[30** 日間より古いインシデント] は無効であることがわかります。



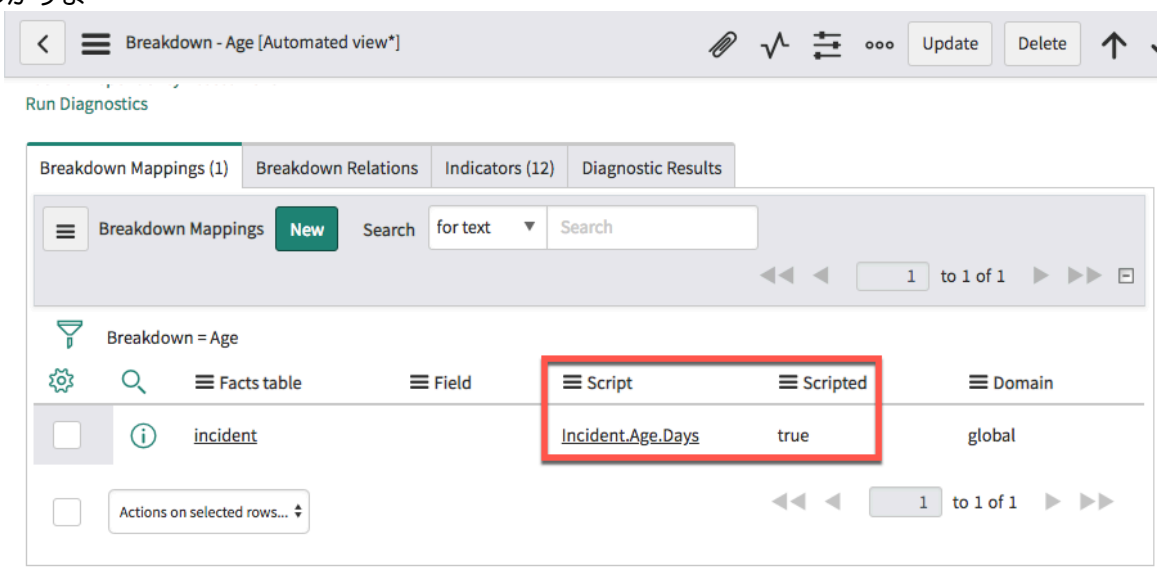
スポットライト基準に移動すると、**[30** 日間より古いインシデント] が経過時間ブレークダウンを使用するインジケーターベースの基準であることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



経過時間ブレークダウンを表示すると、ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用していることがわかりま



す。

上部に示すように、インシデントスポットライトグループはリアルタイムデータを評価します。したがって、グループはスクリプト化されたブレークダウンを使用する基準をサポートできません。ジョブをエラーなしで実行するには、この基準を、インジケーターとブレークダウンの代わりにクエリを使用する基準に置き換えます。たとえば、次の条件でインシデント [incident] テーブルを照会する基準を作成します。

- [[オープン][相対指定][当日以前][30][日間][前]]
- [[オープン][相対指定][当日以降][90][日間][前]]

詳細については、「スポットライト条件の作成」を参照してください。

スポットライトを使用したドメインセパレーション

ドメインセパレーションが有効になっている場合、スポットライトはスポットライトジョブ中にドメインセパレーションを適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライトグループのドメイン

スポットライトグループを作成するときは、グループの作成時と同様に、ログインしているユーザーのドメインにそのグループを作成します。たとえば、ACME 製品ドメインのユーザーがスポットライトグループを作成すると、そのグループは ACME 製品ドメインに作成されます。どのドメインのメンバーでもないユーザーとしてスポットライトグループを作成した場合、そのスポットライトグループはグローバルドメイン内にあります。

スポットライトグループは、「 ServiceNow AI Platform® ドメインセパレーション」で定義されているように、他のドメインにコピーできます。

セッションドメインとスポットライトグループドメイン

スポットライトグループのドメインとは異なるドメインにログインしている場合、そのスポットライトグループレコードを編集することはできません。この場合、スポットライトグループを別のドメインにのみコピーできます。

スポットライト条件ドメイン

- グローバルスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、ログインしているユーザーのドメインに条件が作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライトグループに対してスポットライト条件を作成すると、そのドメインにスポットライト条件が作成されます。

スポットライト条件を作成するときに、メッセージによってドメインの状況が通知されます。

ドメインセパレーションを使用したスコアの評価

スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、メインインジケーターとすべての基準は、 実行ユーザーの ドメインとドメインの可視化に従って照会されます。スポットライトグループがスナップショットのレコードを評価する場合、メインインジケーターとインジケーターベースの基準は、実行ユーザードメイン専用に収集されたパフォーマンスアナリティクス スナップショットを使用します。この場合、[実行ユーザー] ユーザーのドメインの可視化はインジケーターには適用されません。(スポットライトグループがスナップショットを評価するように構成されている場合でも、クエリベースの基準は常にプラットフォームデータを評価します。したがって、クエリーベースの基準は、常に 実行 ユーザーのドメインとドメインの可視化の両方に従います)。

注: 各インジケーターのスナップショットは、スナップショットを作成する パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ のドメイン構成によって異なる場合があります。

関連トピック

- スポットライト グループの作成
- スナップショットまたはプラットフォームデータの評価
- スポットライトグループをドメインにコピーする
- ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

スポットライトグループをドメインにコピーする

スポットライトグループを他のドメインにコピーして、ドメインごとにグループを手動で再現する手間を省くことができます。

始める前に
コピーするスポットライトグループの構成を終了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight_copy_domain

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
スポットライトグループを初めて作成すると、ログインしているドメインにスポットライトグループが作成されます。他のドメインに同じスポットライトグループを作成するには、コピー機能を使用します。コピー機能は、 ServiceNow AI Platform　ドメインセパレーションに従います。

手順

1. スポット ライトグループ リストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ドメインにコピー] をクリックします。
3. [スポットライトグループをコピー] ダイアログで、[名前設定] の値を選択します。

値	説明
名前は変更しないでください	すべてのコピーは、元のスポットライトグループと同じ名前になります。
名前を変更する	スポットライトグループのすべてのコピーに与えられる新しい名前を手動で書き込みます。
ドメイン名をプリフィックスとして新しい名前に追加	スポットライトグループのコピーごとに、スポットライトグループ名の先頭にドメイン名が追加されます。元のスポットライトグループのベース名を維持することも、新しい名前を指定することもできます。 [新しい名前] フィールドには、これらのプリフィックスは表示されません。
ドメイン名をサフィックスとして新しい名前に追加	スポットライトグループのコピーごとに、スポットライトグループ名の末尾にドメイン名が追加されます。元のスポットライトグループのベース名を維持することも、新しい名前を指定することもできます。 [新しい名前] フィールドには、これらのサフィックスは表示されません。

4. [スポットライトグループをコピー] ダイアログの残りのフィールドに次のように入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライトグループコピーの名前を表示する編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前の変更なし] 以外の [名前設定] を選択した場合に表示されます。[プリフィックスとして新しい名前にドメイン名を追加] または [サ フィックスとして新しい名前にドメイン名を追加] を選択しない限り、すべてのコピーが同じ名前になります。ドメイン名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ドメイン	任意の数のドメインを選択します。選択肢には、親ドメインとすべてのサブドメインが含まれます。選択したドメインごとにスポットライトグループのコピーが作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

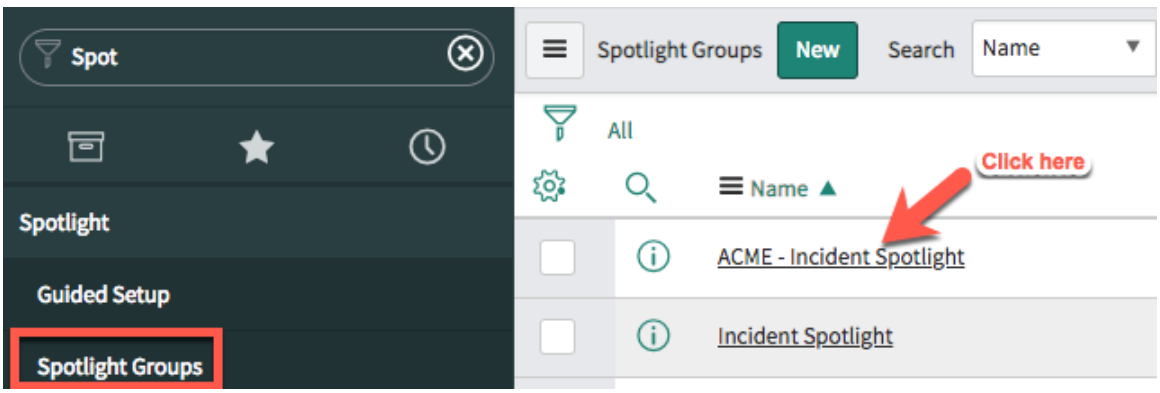
自動翻訳

5. **[OK]** をクリックします。
   スポットライトグループがコピーされます。コピーに成功すると、作成したスポットライトグループのリストが開きます。コピープロセス中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、スポットライトグループのコピーログをお読みください。
6. 作成した各スポットライトグループを開き、次の手順を実行します。
   a. 実行 ユーザーが スポットライトグループのドメインにアクセスできることを確認し、必要に応じてこのユーザーを変更します。
   b. スポットライトジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。
   c. スポットライトグループを有効にします。

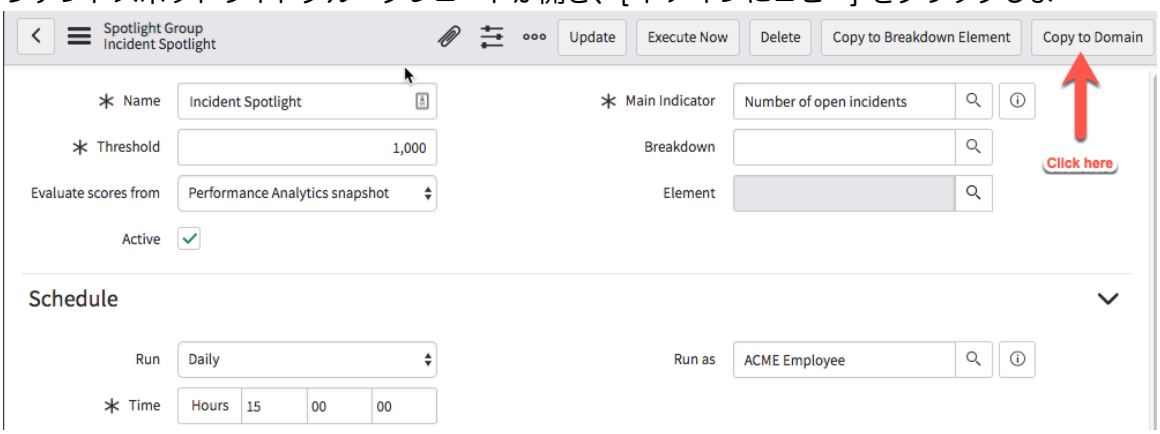
Example: スポットライトグループを複数のドメインにコピーする

この例では、ACME ドメインで作成された ACME - インシデントスポットライトグループが、ACME 社製品部門のサブドメインにコピーされます。

1. [スポットライトグループ] リストを開き、[**ACME -** インシデントスポットライト] をクリックします。



2. インシデントスポットライトグループレコードが開き、[ドメインにコピー] をクリックします。

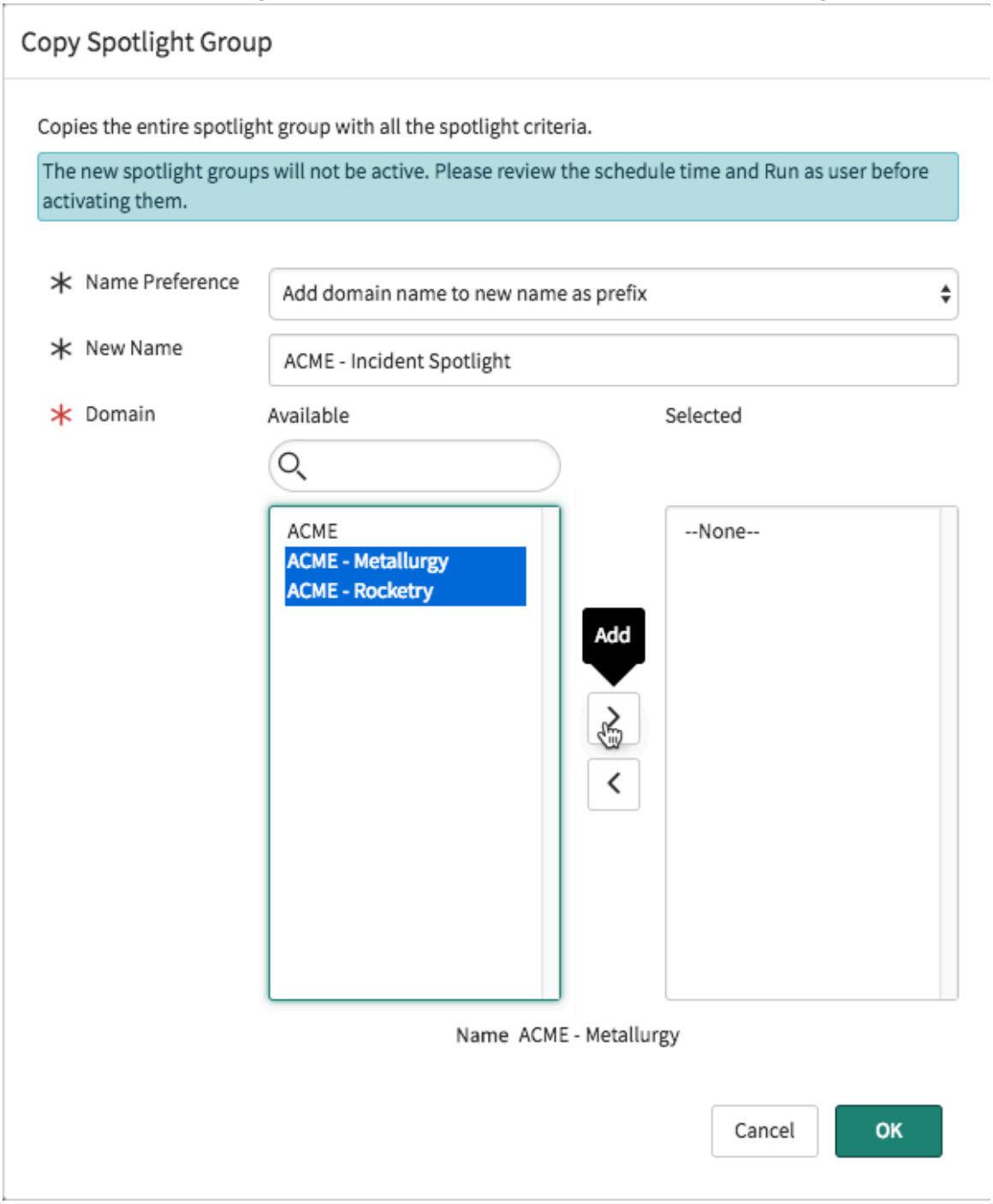


3. [スポットライト グループをコピー] ダイアログで、[ACME - 冶金] および [ACME - ロケット] サブドメインを選択します。元のスポットライトグループは ACME ドメインで作成されたため、ACME および ACME サブドメインのみを使用できます。ドメイン名をグループ名の先頭

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に表示する必要があるため、[新しい名前にドメイン名をプリフィックスとして追加] も選択しま

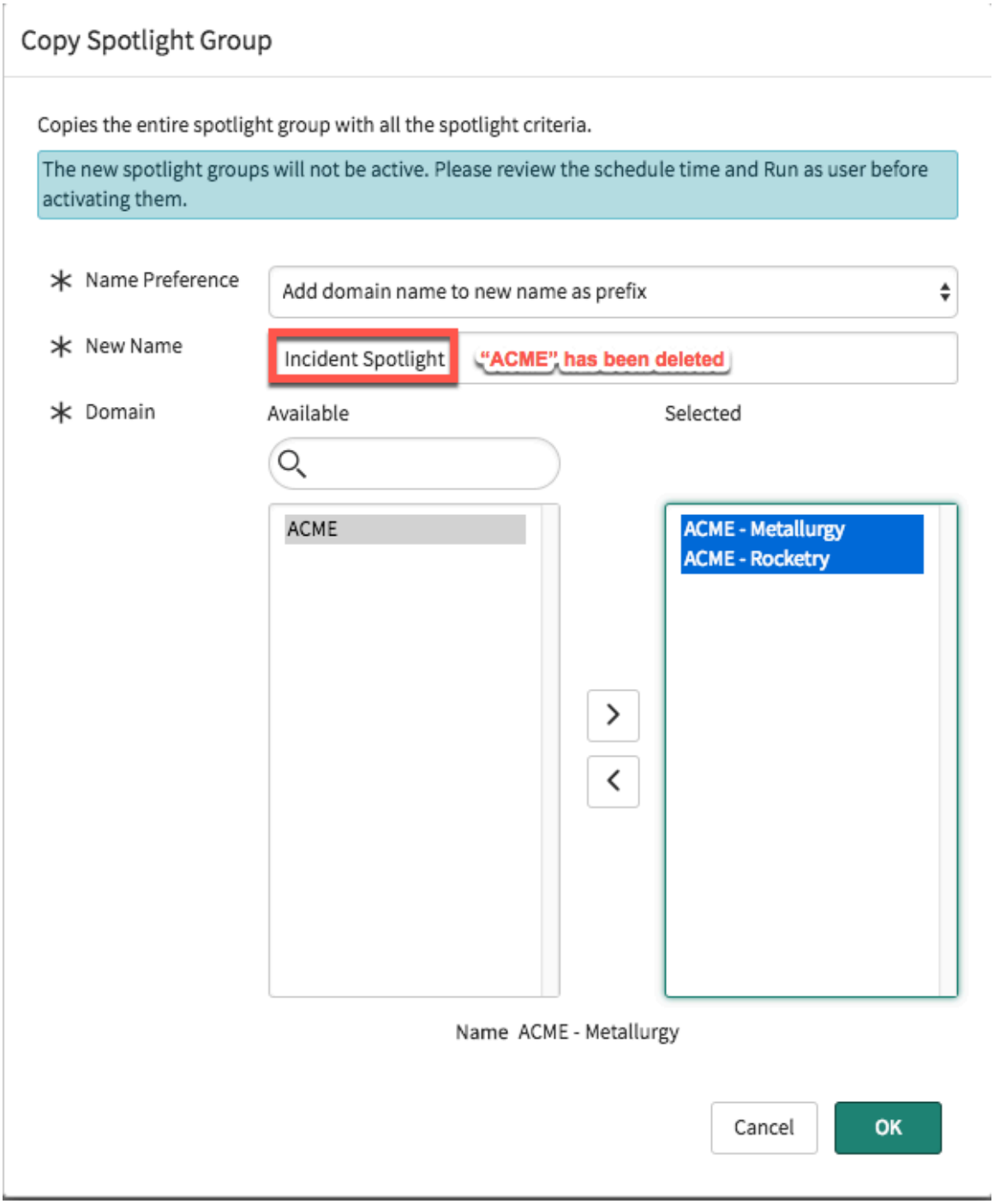


す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プリフィックスとして追加されるドメイン名は ACME で始まるため、グループのベース名に ACME は必要ありません。したがって、あなたはそれを削除しま



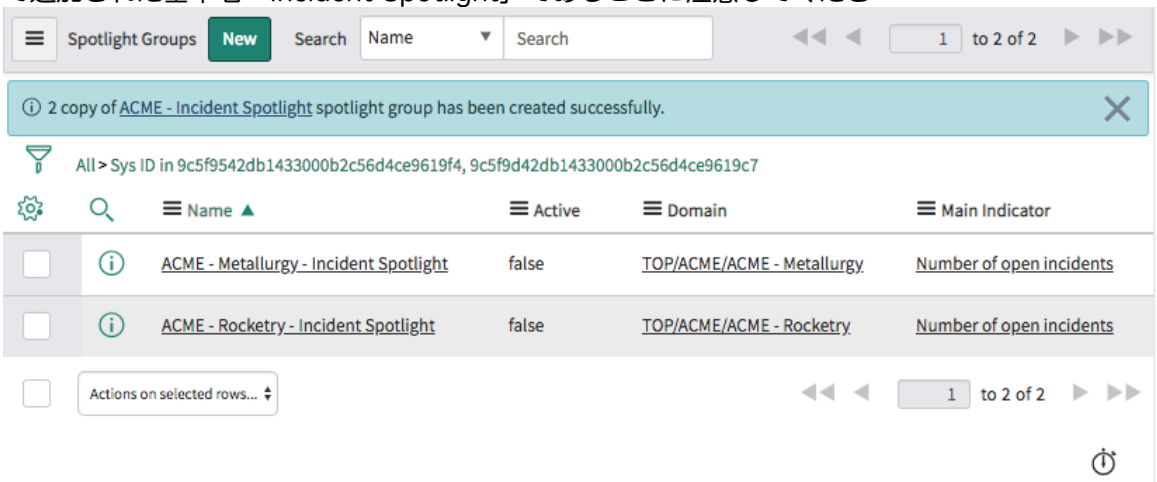
す。

5. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライトグループを示すリストが表示されます。どちらも、[スポットライトグループをコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに示されているように、ドメイン名がプリフィックス

自動翻訳

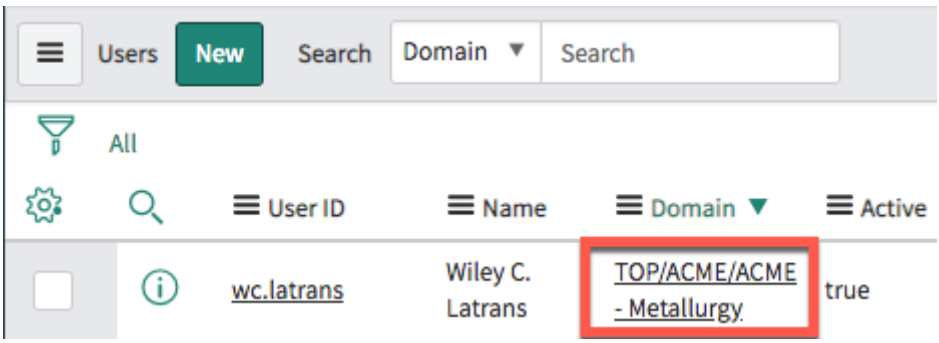
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

として追加された基本名「Incident Spotlight」であることに注意してくださ

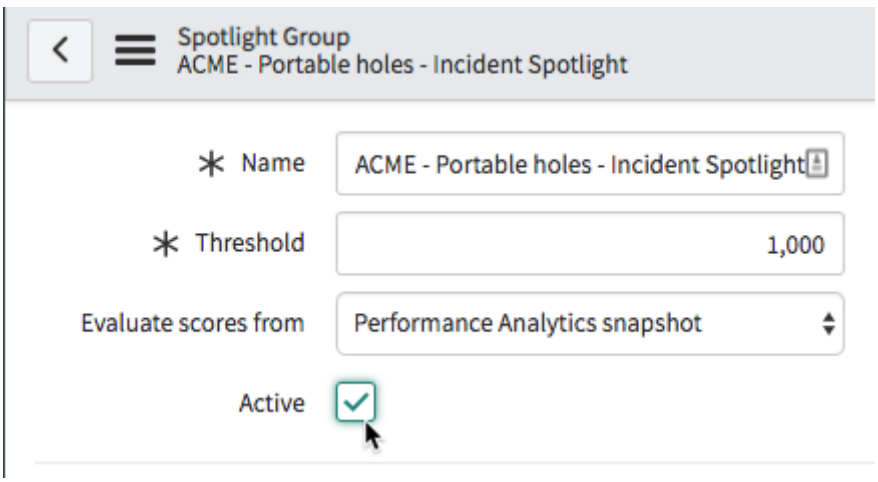


い。

6. [実行方法] フィールドで、ACME - 冶金ドメインのユーザーを参照し、[Wiley C. Latrans] を選択します。グローバルユーザーとスポットライトグループのドメイン内のユーザーのみが利用可能です。スポットライトジョブは、このドメインに表示されるレコードのみが評価されるため、スポットライトグループと同じドメイン 内の実行ユーザー により効率的に実行されます。



7. スポットライトジョブの実行スケジュールを確認し、スポットライトグループをアクティブ化します。



8. ACME - ロケット - インシデントスポットライトグループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク
コピープロセス中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、 スポットライトグループのコピーログをお読みください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライトグループをブレークダウン要素にコピーする

スポットライトグループは、単一のブレークダウンの複数の要素にまたがってコピーできます。

始める前に

コピーするスポットライトグループの構成を終了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight、pa_spotlight_copy_breakdown

このタスクについて

スポットライトグループを初めて作成するときは、1 つのブレークダウンの最大 1 つの要素に関連付けることができます。ブレークダウンの複数の要素に同一のスポットライトグループを作成するには、コピー機能を使用します。たとえば、 国 ブレークダウンの複数の要素に同じスポットライトグループ構成を使用する場合は、ある国のスポットライトグループを作成し、それを他の国にコピーします。

手順

1. スポット ライトグループ リストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。
3. [スポットライトグループをコピー] ダイアログで、[名前設定] の値を選択します。

値	説明
名前は変更しないでください	すべてのコピーは、元のスポットライトグループと同じ名前になります。
名前を変更する	スポットライトグループのすべてのコピーに与えられる新しい名前を手動で書き込みます。
要素名をプリフィックスとして新しい名前に追加	スポットライトグループのコピーごとに、 ブレークダウン要素 名がスポットライトグループ名の先頭に追加されます。元のスポットライトグループのベース名を維持することも、新しい名前を指定することもできます。 [新しい名前] フィールドには、これらのプリフィックスは表示されません。
要素名をサフィックスとして新しい名前に追加	スポットライトグループのコピーごとに、ブレークダウン要素名がスポットライトグループ名の末尾に追加されます。元のスポットライトグループのベース名を維持することも、新しい名前を指定することもできます。 [新しい名前] フィールドには、これらのサフィックスは表示されません。

4. [スポットライトグループをコピー] ダイアログの残りのフィールドに入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライトグループコピーの名前を表示する編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前の変更なし] 以外の [名前設定] を選択した場合に表示されます。[プリフィックスとして新しい名前に要素名を追

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	加] または [新しい名前に要素名をサフィックスとして追加] を選択しない限り、すべてのコピーに同じ名前が付けられます。要素名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ブレークダウン	元のスポットライトグループの作成時にブレークダウンを指定した場合、ブレークダウン名がこのフィールドに表示されます。それ以外の場合は、ブレークダウンを選択します。メインインジケーターに関連付けられているブレークダウンのみを使用できます。
要素	指定したブレークダウンの要素を任意の数選択します。選択した要素ごとにスポットライトグループのコピーが作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
   スポットライトグループがコピーされます。コピーに成功すると、作成した新しいスポットライトグループのリストが開きます。コピープロセス中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、 スポットライトグループのコピーログをお読みください。
6. 作成した各スポットライトグループを開き、次の手順を実行します。
   a. スポットライトジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。
   b. スポットライトグループを有効にします。

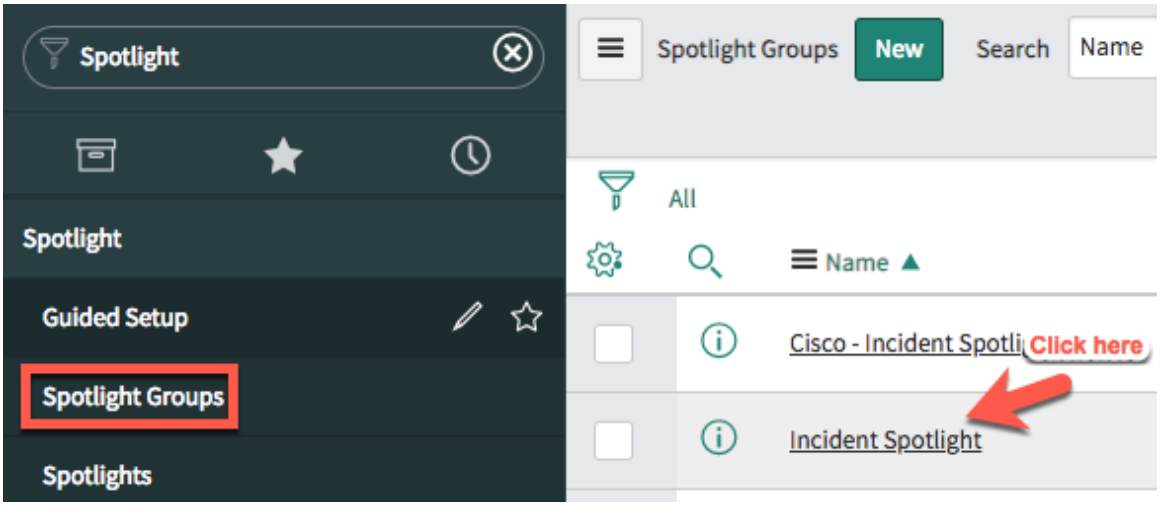
Example: 複数のブレークダウン要素のスポットライトグループのコピー

この例では、ブレークダウン要素 Category: Hardware および Category: Software のインシデントスポットライトグループをコピーします。

自動翻訳

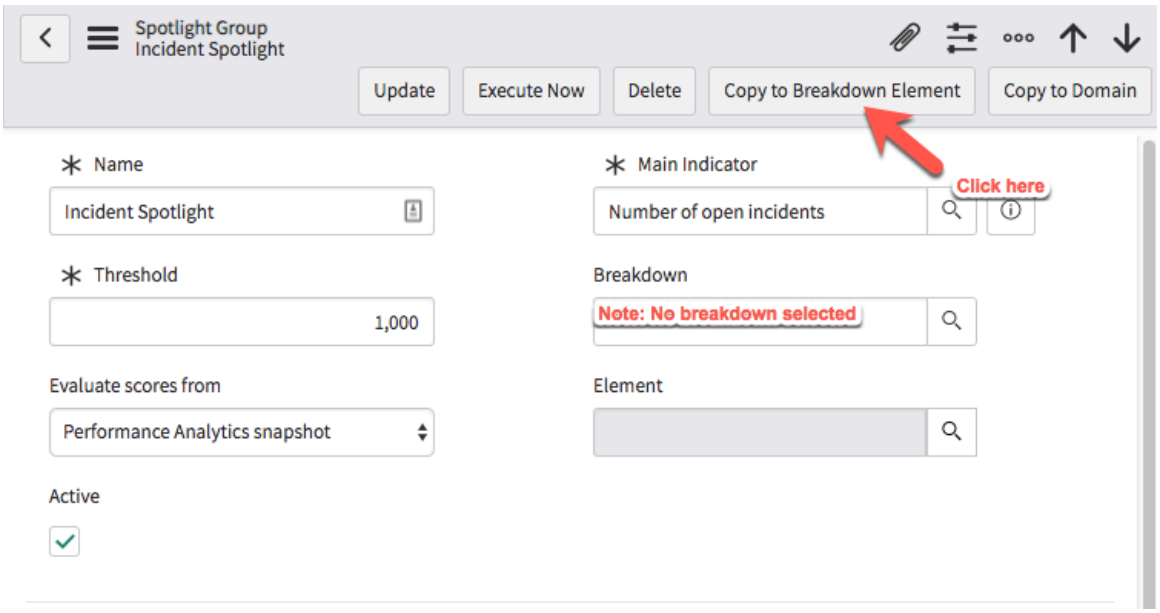
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [スポットライトグループ] リストを開き、[インシデントスポットライト] をクリックしま



す。

2. インシデントスポットライトグループレコードが開き、[ブレークダウン要素にコピー] をクリックしま



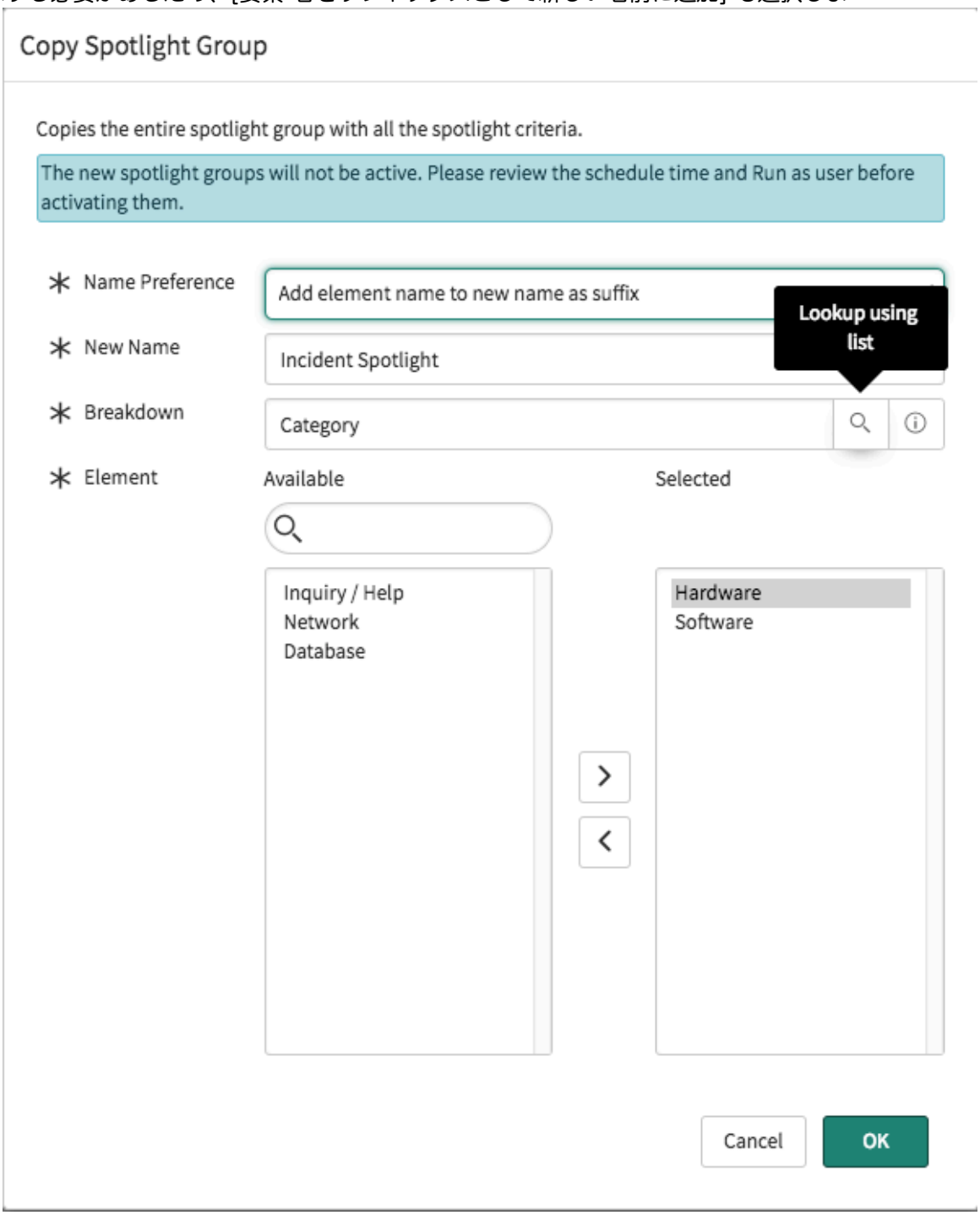
す。

3. [スポットライトグループをコピー] ダイアログで、[カテゴリ] ブレークダウンを指定し、[ハードウェア] 要素と [ソフトウェア] 要素を選択します。要素名をグループ名の末尾に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示する必要があるため、[要素 名をサフィックスとして新しい名前に追加] も選択しま



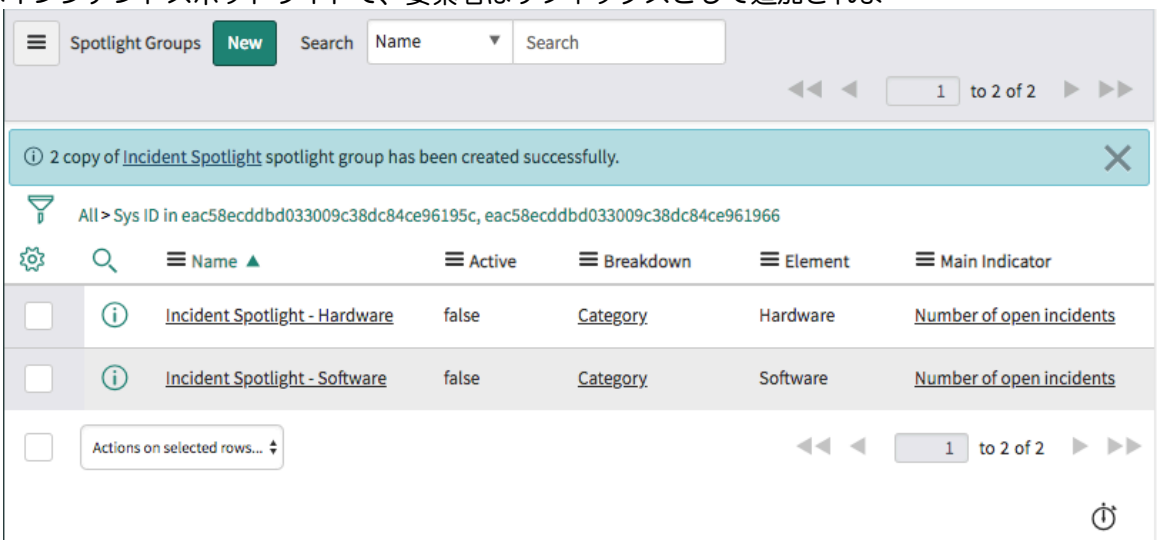
す。

4. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライトグループを示すリストに移動します。どちらのスポットライトグループも、[スポットライトグループをコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに示されているように、基本

自動翻訳

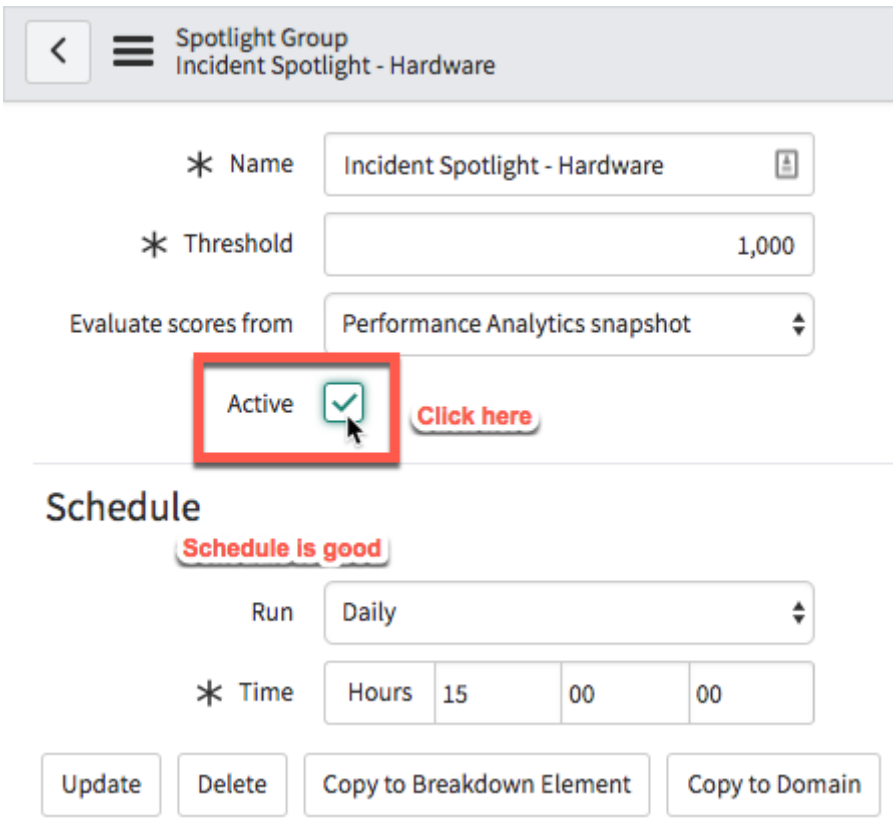
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名はインシデントスポットライトで、要素名はサフィックスとして追加されま



す。

5. [インシデントスポットライト - ハードウェア] グループを開きます。ここでは、スポットライトジョブのスケジュールが適切であることを確認し、グループをアクティブ化します。



6. インシデントスポットライト - ソフトウェアグループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク

コピープロセス中にエラーメッセージまたは警告が表示された場合は、 スポットライトグループのコピーログをお読みください。

スポットライトグループのコピーログ

スポットライトグループがコピーされると、コピープロセスのステップがログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

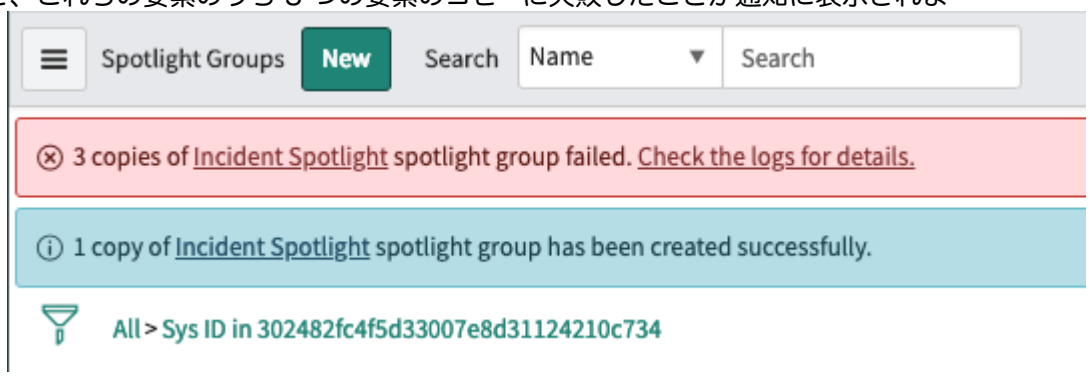
- 時間： スポットライト > スポットライトグループコピーログ.
- 関連するスポットライトグループレコードのスポットライトグループコピーログ関連リストとして。

両方の場所で同じスポットライトグループコピーログリストが開きますが、[スポットライトグループ] フォームでは、リストはそのスポットライトグループによってフィルタリングされます。

スポットライト グループ コピー ジョブをデバッグするには、リストからグループ コピー ログを開き、ログ行フィールドを調べます。コピージョブの最後に表示される通知からグループコピーログを開くこともできます。

Example: グループコピーログ (エラーあり)

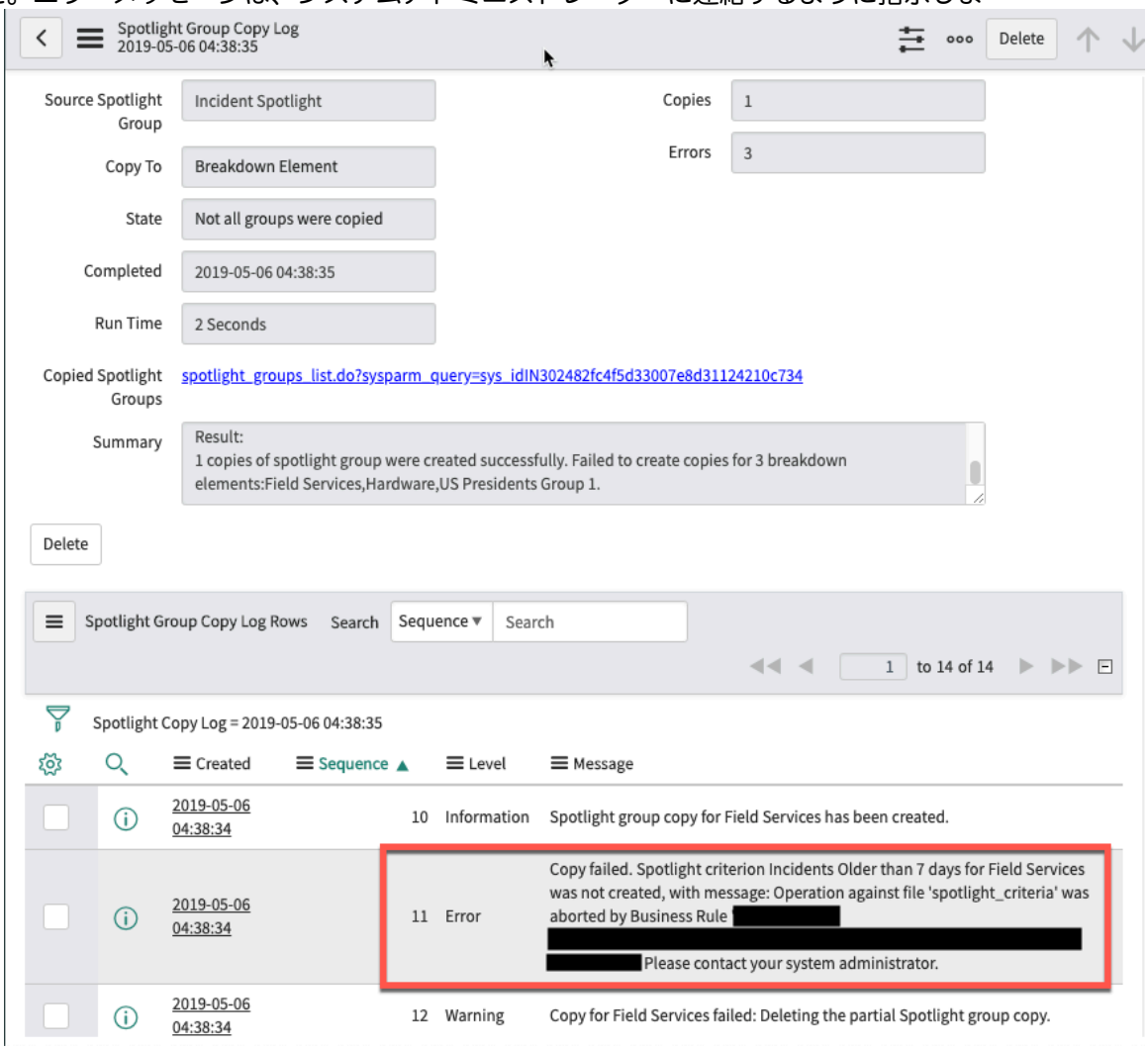
この例では、アサイン先グループブレークダウン要素 [データベース]、[フィールドサービス]、[ハードウェア]、および [米国大統領グループ 1] に対してインシデントスポットライトグループがコピーされています。ただし、コピージョブが完了すると、これらの要素のうち 3 つの要素のコピーに失敗したことが通知に表示されます。



[ログを確認] をクリックして詳細を確認すると、このコピージョブのスポットライトグループコピーログが開きます。このログでは、各エラーの原因となったエラーを見つけることができます。次の例では、ビジネスルール違反によりコピーを作成できませんで

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

した。エラーメッセージは、システムアドミニストレーターに連絡するように指示しま



す。

スポットライトの管理

admin ロールを持つユーザーは、スポットライトの下位コンポーネントにアクセスできます。

スポットライト データベース ビュー

スポットライトでは、データベース ビューがスポットライト グループで評価されるレコードのスポットライト [spotlight] テーブルとファクト テーブルを結合します。スポットライトインタラクティブ分析を使用するには、このデータベースビューが必要です。アドミニストレーターは、このデータベースビューにアクセスして、レポートの作成や問題の診断を行うことができます。

データベースビューを作成した後、スポットライトはスポットライトグループ [spotlight_groups] テーブルの関連するスポットライトグループレコードにそのビューへの参照を追加します。参照は、レコードの database_view 列にあるデータベースビューのプライマリキーフィールド値で構成されます。

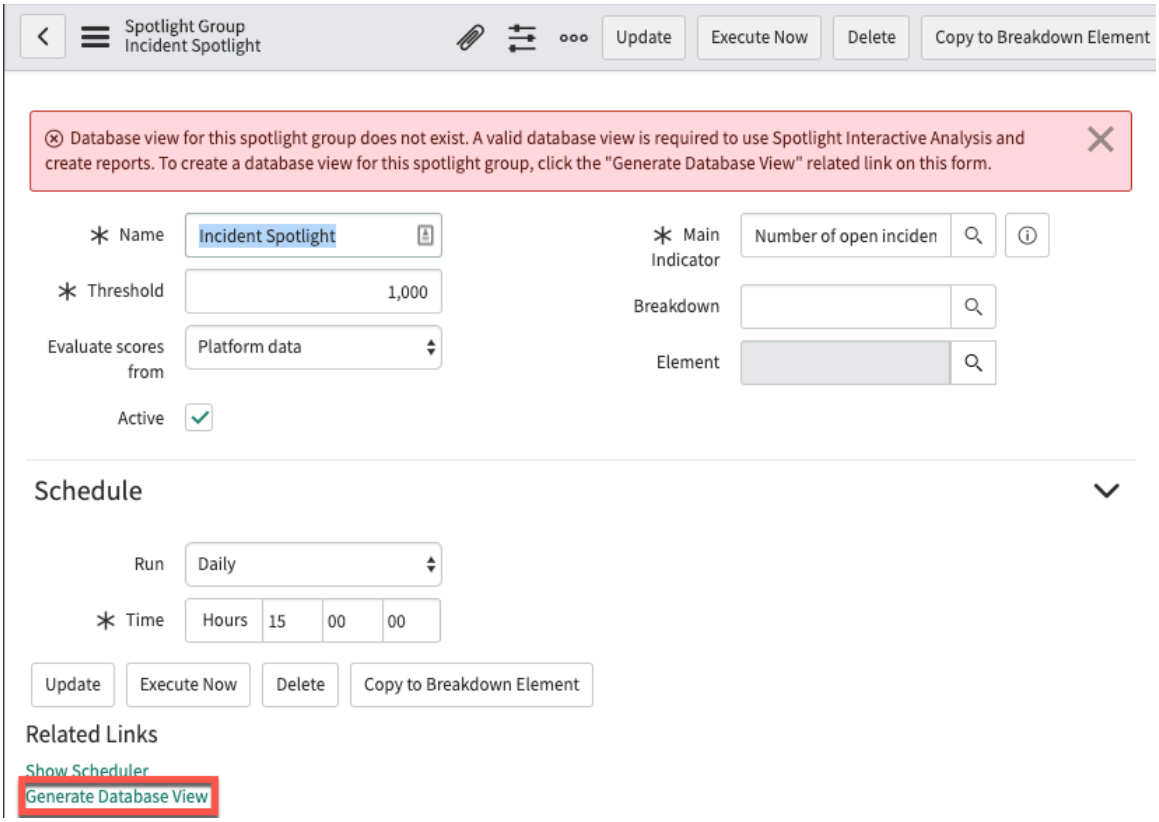
> **注:** London より前のバージョンからアップグレードする場合は、spotlight_groupsレコードの [database_view] 列の空のdatabase_view値から開始します。この空の列は影響を与えません。この列は、ユーザーがspotlight_groupsテーブルのレコードを変更すると入力されます。

管理者の場合は、データベース ビューに直接アクセスできます。スポットライト グループのデータベース ビューを表示するには、スポットライト グループ フォームの [データベースビューを表示] 関連リンクをクリックします。また、[データベースビュー] 列をスポットライト グループ リストにも追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データベースビューがないか無効である場合は、スポットライトグループレコードにエラーメッセージが表示されます。この場合、使用可能になる [データベースビューを生成] 関連リンクをクリックできます。その後、データベースの生成が成功したかどうかを知らせるメッセージが表示されます。

データベースビューがないスポットライトグループ



スポットライト グループを削除すると、安全に行うことができる場合、スポットライトはそのグループに関連付けられたデータベース ビューを削除します。データベースビューを削除しても安全かどうかを判断するために、スポットライトは次の条件を確認します。

- 他のスポットライト グループにそのデータベース ビューへの参照が含まれていますか？
- 削除しようとしているグループのメインインジケーターと同じファクトテーブルを使用するメインインジケーターで定義されている他のスポットライトグループはありますか?

どちらの条件も当てはまらない場合、Spotlight はデータベースビューを削除します。

データベース ビューを作成、変更、または削除する場合、スポットライトは次のビジネス ルールを実行します。

- データベース ビューの更新
- データベース ビューの削除
- 挿入時の DB ビューの設定

関連トピック

データベースビュー

スポットライトのスケジュール **[sys_trigger]** レコード

スポットライト グループを [有効] に設定すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが作成されます。管理者は、このレコードにアクセスしてスケジューリングをトラブルシューティングします。このレコードには、スポットライト グループで設定されたスケジュール情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ レコードのスケジュールを編集すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが新しいレコードに置き換えられます。スポットライト グループを無効または削除すると、スケジュール レコードが削除されます。スポットライト グループを再び有効にする場合は、新しいスケジュール レコードを作成します。

注: アドミニストレーター 、スポットライトグループフォームの [スケジューラーを表示] をクリックすると、スポットライトグループのスケジュールアイテム [sys_trigger] レコードにアクセスできます。

スケジュール [sys_trigger] レコードの作成、編集、および削除のプロセスでは、次のようなビジネス ルールが使用されます。

スポットライト グループの有効化、ビジネス ルール、スケジューリング

アクション	ビジネス ルール	スケジュール レコードへの影響
スポットライト グループの有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループ レコードのスケジュールの編集	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは、新しいスケジューリング情報を含む新しいレコードに置き換えられます。
スポットライト グループの無効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。
スポットライト グループの再有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループの削除	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。

データ収集プロセスとログ記録

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブはインジケータースコアを収集します。データ収集をデバッグするには、データ収集プロセスと、それがジョブログにどのように反映されるかを理解しておくと役立ちます。

管理者として、データ収集ジョブをデバッグする必要が生じることがあります。各ジョブはログを生成しますが、このログのエントリを理解するには、データ収集プロセスのどのステップでエントリが生成されたかを知る必要があります。 パフォーマンスアナリティクス には次の 3 つのレベルのログがあります。

- 実行されたジョブを示すジョブイベント。
- 実行された各ジョブの概要を示すジョブログ。
- 実行されたジョブの各ステップで何が起こったかを示すジョブログの詳細。

アドミンコンソールには、データ収集ジョブの日次、週次、月次の概要も表示されます。

データ収集の最適化

最適化された パフォーマンスアナリティクス データコレクターは、大きなデータセットを処理するための時間、メモリ、および CPU 使用率を削減します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最適化されたデータコレクターはTokyo以降のすべてのインスタンスデフォルトでアクティブになります。アップグレード時に有効になります。最適化されたコレクターを非アクティブ化するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.hsql* を作成し、 それを false に設定します。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

重要: Oracle データベースはサポートされていません。パフォーマンスアナリティクススコア [pa_scores] テーブルを引き続き使用する他のインスタンスもサポートされていません。最適化されたデータコレクターは、インジケータースコアがスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] の 2 つのテーブルにあるインスタンスのみをサポートします。詳細については、「インジケータースコアの移行」を参照してください。

最適化されたデータコレクターは、次の機能をサポートしています。

- パフォーマンスに悪影響を与えることなく 1,000 万件を超えるレコードを処理する能力。
- ブレークダウンマトリクスが有効になっている少なくとも 10 件のブレークダウンのサポート。ブレークダウンのサポートには次のものが含まれます。
  - ドット連結条件
  - 最大 100 万件のレコードを含む 2 つの大きなブレークダウン
  - ブレークダウンの関連付け
- インジケーターとブレークダウンに関する追加条件のサポート。
- 個別のカウントアグリゲーションの最適化。

注: データ収集を最適化するために、データ収集にインジケーターソースごとに許可されるデフォルトの最大レコード数が増加しました。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」の *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source* プロパティを参照してください。

最適化は、組み込みデータベースの使用から生じます。標準のデータ収集ジョブでは、ジョブ中にすべてのスコアがノードメモリに保存されます。ただし、最適化されたデータ収集ジョブは、スコアのパケットをディスク上の一時ストレージに移動します。ジョブの最後に、スコアがスコアテーブルに書き込まれ、一時データベースがクリアされます。

注: メモリ不足エラーを排除するために、遅延読み込みを使用したメモリ最適化が実装されました。ただし、このメモリ最適化により、CPU 使用率が増加し、大規模なジョブの処理時間が長くなる可能性があります。詳細については、 カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

データ収集ジョブのイベントの表示

ジョブ イベントは、パフォーマンス分析のために実行されたジョブと、ServiceNow インスタンスでどのようなアクション (通知やビジネス ルールなど) がトリガーされたかを示します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブイベント.
2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブ イベントの詳細を表示します。
   ジョブ イベントに関する追加情報が表示されます。

関連トピック

データ収集ジョブ履歴の表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ収集ジョブ履歴の表示

ジョブ履歴には、パフォーマンス分析のために実行されたデータ収集ジョブに関する情報が表示されます。ジョブ履歴を表示したり、イベントを作成したり、イベントレジストリを表示および編集したりできます。リスト ビューには、フィルタリングされていない限り、すべての履歴エントリが表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ履歴.
   履歴には、すべての履歴に関して次の情報が表示されます。

   データ収集ジョブ履歴

フィールド	説明
作成日時	データ収集ジョブが開始された日時。
ステータス	[収集中]、[収集済み]、または [収集済み (エラーあり)] のいずれかの値です。
名前	ジョブの名前。
完了	データ収集ジョブが終了した日時。
挿入	挿入された新規レコードの数。
更新	更新された既存のレコードの数。
警告	データ収集プロセス中に発生した警告の数。
エラー	データ収集プロセス中に発生したエラーの数。
実行時間	ジョブの所要時間。

2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブの詳細を表示します。
   ジョブ設定およびシーケンス ステップに関する追加情報が表示されます。通知が有効になっている場合は、データ収集結果に関するメールをユーザーに送信できます。

次のタスク
ジョブの詳細ログを表示するには、リスト内のジョブをクリックします。 個々のジョブ・ログの内容については、「 クラシックデータコレクターのログ詳細 」を参照してください。

注: ログで次のエラーが返される場合は、 java.lang.IllegalStateException: Sparse storage format には 1 つのフィールド sys_idがあります。 KB0550063 を参照してください。

関連トピック
データ収集ジョブのイベントの表示

最適化されたデータコレクターのログの詳細

Tokyo リリース以降、最適化された新しいデータコレクターを利用できます。このデータコレクターのログの詳細は、従来のデータコレクターのログの詳細とは異なります。

コレクションの概要

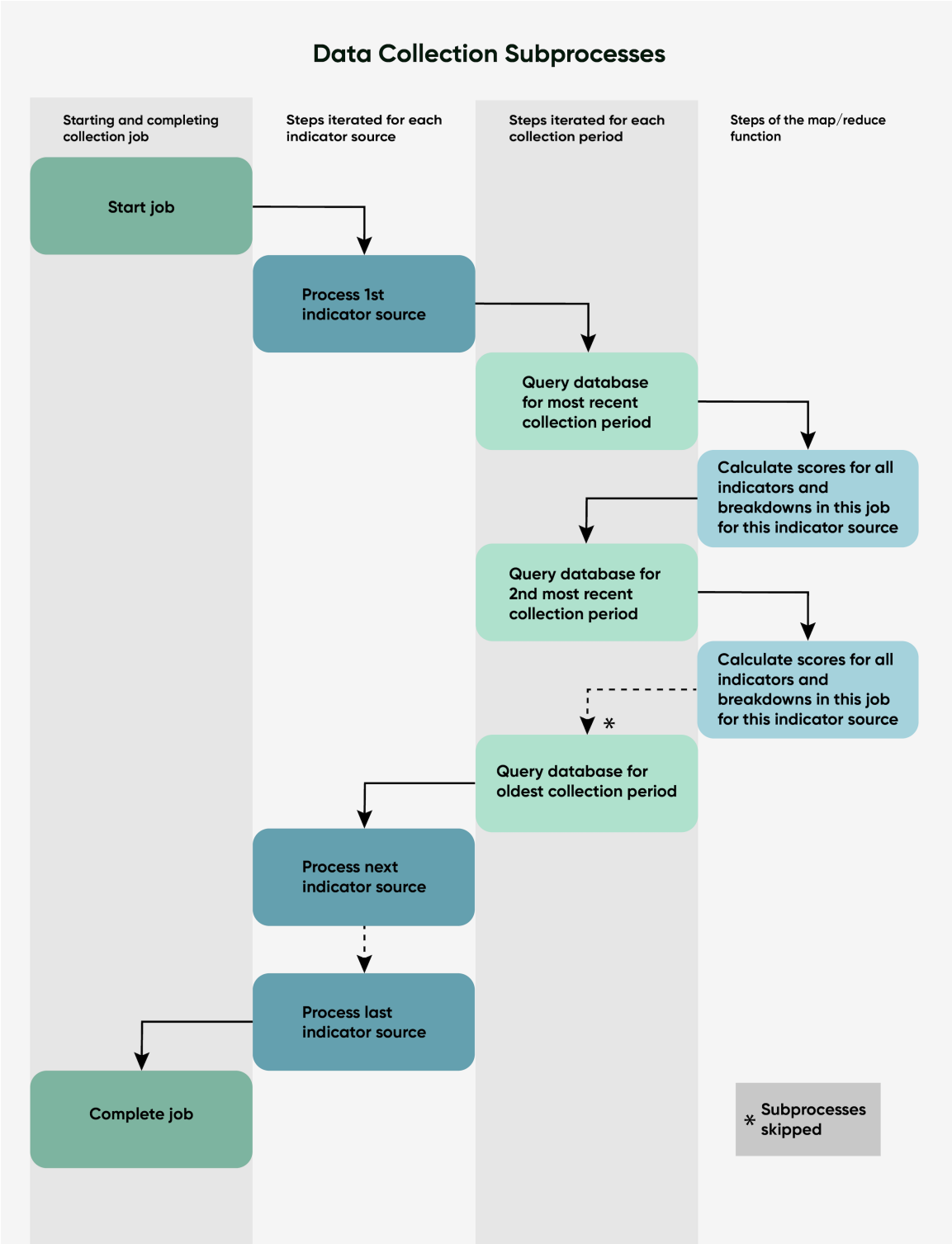
データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から終了日までのすべての収集時間に対して繰り返されます。その

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

後、次のインジケーターソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブログに記録されます。

データ収集ジョブの概要ビュー



収集ジョブの開始および完了

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、それぞれ独自のテーブルに分離されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このログは、「データ収集の最適化」で説明されているように最適化された HSQL データコレクター用です。*com.snc.pa.dc.hsql*が「false」の場合は、クラシックデータコレクターを使用しています。それ以外の場合は、最適化されたデータコレクターを使用しています。そのログの詳細については、「クラシックデータコレクターのログ詳細」を参照してください。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [ユーザーとして実行] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> はドメイングローバルに属しています
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージには、最適化された HSQL データコレクターが使用されていること、およびデバッグログが有効になっているかどうかも示されます。デバッグログを有効にできるのは カスタマーサービス & サポート のみです。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: HSQL データコレクターの使用:true デバッグログが有効:true ノード名:vsr007
スコアが収集されるドメインを表示します。ドメインに関するその他の関連する詳細も表示します。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト:3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregatはい、collectChildren?: はい、AggregateDomain: 名前:3d359877b77000106886e664de11a97c:SysID:d1659c7ドメイン:デフォルト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソースを、一意の ID を含めて一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New:b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケータープロパティを一覧表示します。 • レコードは スナップショットに収集されますか? • ブレークダウンは除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープン中のインシデントの数:de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケータープロパティ: collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされました 収集期間:いいえ、スクリプト化されましたか?:いいえ、ブレークダウンの組み合わせですか?:はい、除外されたブレークダウンの組み合わせ:組み合わせが除外されていません。
各インジケーターソースのステップを反復する	各 インジケーターソースに対して繰り返されるステップの表を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報を表示	統計情報:挿入 184、更新 0、削除 92、エラー 0、警告 0
ジョブを完了	収集が終了しました

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターソースごとに反復されたステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
最適化された HSQL データコレクターが使用されていることを繰り返します。	
インジケーターソースから継承された条件に加えて、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:アドミンログイン:[インジケーターのsys_id]、追加条件:ref_isc_login_event.login_type=login_admin、レコードの収集:true
収集期間ごとにステップを繰り返します。	表を参照してください 収集期間ごとに繰り返されるステップ
次のインジケーターソースを取得します。	処理インジケーターソース Incidents.New

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open での20191103の収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常は sys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合、テキストアナリティクスで使用されるインジケーターソースフィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group説明、優先度、カテゴリ」を取得しています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン][次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。2019 年 10 月 28 日のデータが収集されると、07:00:00 に開始するように定義された日の場合、ジョブは右側に SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
以前の結果を削除します。	インジケーターの以前の結果 1 を削除しました: 代理操作
map/reduce 関数を実行してインジケータースコアを計算します。	map/reduce 関数のステップの表を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中
	Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
次のいずれかのしきい値を超えると、オブジェクトは HSQL データベースにオフロードされます。 • スコア数 • スナップショットの数 • 個別のカウント値の合計数 オブジェクトのカテゴリごとにオフロード制限を超えた回数をログに記録します。1 つのカテゴリでオフロード制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトが HSQL 一時データベースストレージに移動されます。map/reduce 関数の最後に、残りのレコードがオフロードされます。通常、残りのレコード数はしきい値を下回り、このオフロードもログに記録されます。	オフロード制限がスコアのしきい値を超えた回数:275 スナップショットのオフロード制限がしきい値を超えた回数:0 オフロード制限が個別の値のしきい値を超えた回数:0 しきい値を超えなかったレコードのオフロードバッチ:1
インジケーターソースに対して新しく収集された結果の保存を開始します。	インジケーターソース Incidents.Resolved に対して収集された結果の保存
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって却下されたインシデントの数
結果の保存を終了します。	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519 の収集が完了しました
インジケーターに設定された追加の条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ/低減関数のステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成がないか無効であるために実行できない場合に警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーターソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計を追跡します。 結果のスコアまたはスナップショットの数が制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトが HSQL データベースにオフロードされます。オフロードは、map/reduce 関数が完了した後にログに記録されます。 各レコードの処理には次のものが含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです	処理済み 15.8% (3) 件のレコード 処理済み 31.6% (6) 件のレコード 処理済み 47.4% (9) 件のレコード 63.2% (12) 件のレコードを処理しました 78.9% (15) 件のレコードを処理しました 94.7% (18) 件のレコードを処理しました 100% (4) 件のレコードを処理済み、結果オブジェクトサイズ: 20 MB
マップ/削減関数が完了します。	適用されたマップ/低減関数

関連トピック

- データ収集の最適化
- データ収集ジョブ履歴の表示

クラシックデータコレクターのログ詳細

パフォーマンスアナリティクス スコア収集は、ここで説明するプロセスに従います。トラブルシューティングを支援するために、ジョブステップとログエントリの間のマッピングが提供されています。

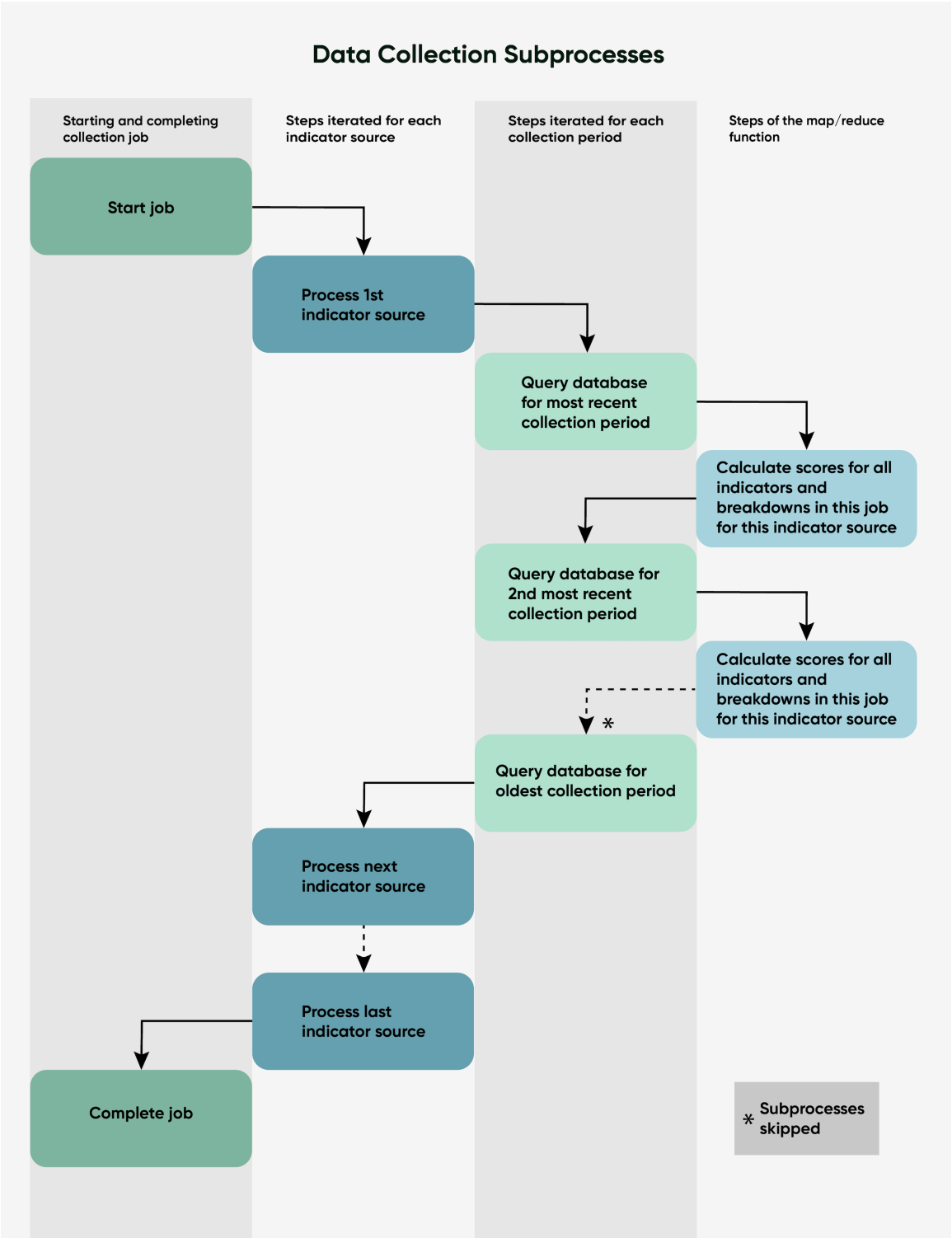
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から終了日までのすべての収集時間に対して繰り返されます。その後、次のインジケーターソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブログに記録されます。

データ収集ジョブの概要ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ログに表示される最適化プロパティ

データコレクターには、システムプロパティでオンまたはオフにできるいくつかの最適化があります。ジョブログの先頭には、これらのプロパティのステータスが含まれます。

注: これらの最適化プロパティを、最適化された新しいデータコレクターと混同しないでください。これらのプロパティは、クラシックデータコレクターにのみ適用されます。新しいデータコレクターは、より基本的なレベルで最適化されています。

データ収集最適化プロパティ

最適化	説明	システムプロパティ
ネストされたコレクション	フラットマッピングを置き換えて、冗長なオブジェクトを減らします。たとえば、そのインジケーターのすべてのブレークダウンと要素に対して同一のインジケーターオブジェクトを作成するのではなく、インジケーターに対して 1 つのオブジェクトのみが作成されます。	*com.snc.pa.dc.nested_collection* デフォルト：true
フラッシュスナップショット	ServiceNow AI Platformは、スナップショットをデータベースにオフロードする前に、最大数のパフォーマンスアナリティクス スナップショットをメモリに格納します。	*com.snc.pa.dc.flush_snapshot_c* デフォルト：1000
個別のカウントにハッシュコードを使用	個別のカウント集計を個別の値としてではなくハッシュコードとして格納します。	*com.snc.pa.dc.use_hashcode_for* デフォルト：true

収集ジョブの開始および完了

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、それぞれ独自のテーブルに分離されています。

注: このログは元のデータコレクター用です。インスタンスでこのデータコレクターを使用している場合、システムパラメーター *com.snc.pa.dc.hsql* は存在し、「false」です。それ以外の場合は、「 データ収集の最適化」で説明されているように最適化されたデータコレクターを使用しています。そのログの詳細については、「 最適化されたデータコレクターのログの詳細」を参照してください。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [ユーザーとして実行] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> はドメイングローバルに属しています
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージでは、データ収集最適化プロパティの設定も指定します。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: フラッシュスナップショット数:1,000 ネストされたコレクション:true 個別のカウントにハッシュコードを使用:true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
スコアが収集されるドメインを表示します。ドメインに関するその他の関連する詳細も表示します。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト:3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregat はい、collectChildren?: はい、AggregateDomain: 名前:3d359877b77000106886e664de11a97c:SysID:d1659c7 ドメイン:デフォルト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソースを、一意の ID を含めて一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New:b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケータープロパティを一覧表示します。 • レコードはスナップショットに収集されますか? • ブレークダウンは除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープン中のインシデントの数:de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケータープロパティ: collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされました 収集期間:いいえ、スクリプト化されましたか?:いいえ、ブレークダウンの組み合わせですか?:はい、除外されたブレークダウンの組み合わせ:組み合わせが除外されていません。
各インジケーターソースのステップを反復する	各 インジケーターソースに対して繰り返されるステップの表を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報を表示	統計情報:挿入 184、更新 0、削除 92、エラー 0、警告 0
ジョブを完了	収集が終了しました

インジケーターソースごとに反復されたステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
インジケーターソースから継承された条件に加えて、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:再アサインされたオープンインシデントの数 - ffb59561ff2302001e68ffffffffff33、他の条件:reassignment_count>0
スコア収集がフラットマッピングを使用するのではなく、ネストされたデータ構造に従っているかどうかを示します。ネストされたコレクションでは、メモリ内に作成される冗長なオブジェクトが少なくなります。	ネストされたコレクションの使用。 注意 - スコアのバッチ挿入は、ネストされたコレクションではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
ネストされていないコレクションは、スコアのバッチ処理をサポートします。	
収集期間ごとにステップを繰り返します。	表を参照してください 収集期間ごとに繰り返されるステップ
次のインジケーターソースを取得します。	処理インジケーターソース Incidents.New

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open での 20191103の収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常は sys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合、テキストアナリティクスで使用されるインジケーターソースフィールド (通常は short_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」を取得しています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン][次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。2019 年 10 月 28 日のデータが収集されると、07:00:00 に開始するように定義された日の場合、ジョブは右側に SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
map/reduce 関数を実行してインジケータースコアを計算します。	map/reduce 関数のステップの表を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
インジケーターソースに対して新しく収集された結果の保存を開始します。	保存するスコア:374,842 (遅延評価されたレベル 2 カウントインジケーター個別スコアを除く - ID - 3 つのブレークダウンすべてを含むすべてのインシデント)
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって却下されたインシデントの数
結果の保存を終了します。	保存されたスコア: 1,125,057
	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519 の収集が完了しました
インジケーターに設定された追加の条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

マップ/低減関数のステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成がないか無効であるために実行できない場合に警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースを使用するインジケーターとブレークダウンの以前のスコアを削除します。	インジケーターソース Incidents.Open の以前の結果を削除しています。
	インジケーターの以前の結果 38 を削除しました: 外部ログイン
	インジケーターの以前の結果 21 を削除しました:ログイン失敗
インジケーターソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの現在までの合計とメモリ使用率を追跡します。各レコードの処理には次のものが含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて：	18%% (1) 件のレコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ: 5 MB
	42% (2) 件のレコードを処理済み、結果 オブジェクトサイズ: 9 MB
	76% (3) 件のレコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ:14 MB
	100% (4) 件のレコードを処理済み、結果オブジェクトサイズ: 20 MB

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです	
マップ/削減関数が完了します。	適用されたマップ/低減関数

データ収集の使用法の表示

データ収集ジョブに関する統計を表示するには、パフォーマンスアナリティクス管理コンソールの [使用法] タイルにある [データ収集の概要] をクリックします。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

手順
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.
2. [使用法] タイルで、[データ収集の概要] をクリックします。

結果
次のウィジェットが表示されます。

- 新しいネット スコア、平均実行時間、および 1 日のエラー数
- 週次の新しいネット スコアと平均実行時間
- 経時的なデータ収集ジョブの挿入および削除の回数

次のタスク
デフォルトでは、週次の統計情報はデータコレクター別に分類された アナリティクスハブに表示されます。ウィジェット内のさまざまなチャート化とブレークダウンを選択できます。

パフォーマンス分析診断

無効なレコードについてデータベースで検証し、問題解決に向けた提案を提供するための事前定義されたスクリプトを使用して、構成の問題を特定、診断します。

各診断には、重大度コード、メッセージ テキスト、推奨されるソリューションを含むスクリプトまたはデータベース クエリが含まれます。診断は読み取り専用です。診断の作成や編集はできません。

適用可能なすべてのレコードに対して 1 つまたはすべての診断を実行したり、1 つのレコードに対して適用可能なすべての診断を実行したりできます。

⚠ **警告:** パフォーマンスアナリティクス 診断は プラットフォームアナリティクス アーティファクトには適用されません。たとえば、どのウィジェットでも使用されていないインジケーターが、 プラットフォームアナリティクス データの可視化で引き続き使用されていても、診断ではその使用を認識できない場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのレコードの診断を実行

構成の問題が パフォーマンスアナリティクス 実装に影響を与える可能性があるかどうかを判断するには、診断を実行します。1 つの診断を実行するか、すべての診断を実行するかを選択できます。診断では、論理的に適用される パフォーマンスアナリティクス レコードのサブセットを調べます。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 診断.
2. 実行する診断を選択します。
   すべてのアクティブな診断を実行するには、リストから [すべて実行] をクリックします。
3. [診断の実行] をクリックします。
   診断スクリプトは、実行に 2 分以上かかると自動的にキャンセルされます。
4. 診断が完了したら、[結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

1 つのレコードに対してすべてのアクティブな診断を実行する

レコードの設定詳細のいずれかがパフォーマンスアナリティクスの実装に影響するかどうかを判断するには、そのレコードに対して適用可能なすべての診断セットを実行します。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. [パフォーマンス分析] に移動し、インジケーター、インジケーター ソース、ブレークダウン、ブレークダウンソース、ウィジェットなどのコンポーネントのリストを開きます。
2. 対象のレコードを特定して開きます。
3. [診断を実行] リンクをクリックします。
   診断の進行状況を示すダイアログが開きます。
4. 診断実行が完了したら、進行状況ダイアログの [結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

依存関係アセスメント

依存関係アセスメントを使用すると、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどのパフォーマンス分析コンポーネントを単一のビューから表示、分析、編集できます。コンポーネントの階層とそれらの関係を表示することで、変更の影響を受けるユーザーと変更の影響をすぐに確認できます。

重要: 依存関係アセスメントは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、プラットフォームアナリティクスデータの可視化は分析しません。また、依存関係アセスメントは コア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係アセスメントは、いくつかのコンポーネントで構成されています。

トップダウン ツリー ビュー

トップダウン ツリー ビューは、パフォーマンス分析エンティティのコンポーネントを階層ビューで表示します。 ダッシュボードで依存関係アセスメントを開始すると、たとえばトップダウン ツリー ビューには各ダッシュボード タブのノードが表示されます。ダッシュボード タブを選択すると、ツリー ビューが展開され、ダッシュボード上の各ウィジェットを表すノードが表示されます。

ボトムアップ ツリー ビュー

ボトムアップ ツリー ビューは、インスタンスでパフォーマンス分析エンティティが使用されている場所を表示します。ツリー ビュー コンポーネントのコンテキスト メニューから [使用者を表示] を選択した場合、ツリー ビューにはそのエンティティが使用されているすべての場所が表示されます。リセットアイコン ( ) をクリックして、トップダウンツリービューに戻ります。

コンポーネントの概要

情報アイコン ( ) をクリックすると、コンポーネントの概要が表示されます。

その他のアクション

任意のコンポーネントでコンテキスト メニュー アイコン ( ) をクリックすると、そのコンポーネントで使用可能なアクションが表示されます。たとえばコンポーネントの編集、コンポーネントのスキーマ マップの表示、ウィジェットのプレビューなどがあります。

注: ツリー ビューは永続的です。依存関係アセスメントに戻ると、ツリービューには前回の訪問時と同じ構成が表示されます。

依存関係アセスメントを起動

依存関係アセスメントツリービューを使用して、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを単一のビューから表示および編集します。変更の影響はすぐに確認できます。

始める前に

必要なロール:pa_admin

重要: 依存関係アセスメントは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、プラットフォームアナリティクスデータの可視化は分析しません。また、依存関係アセスメントは コア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

このタスクについて

依存関係アセスメントツリービューは、起動したのと同じブラウザーウィンドウで開きます。編集ウィンドウはポップアップで開くため、ブラウザ ウィンドウ間を移動したりコンテキストを失ったりする必要はありません。このタスクでは、[ダッシュボード] リストから依存関係アセスメントを起動する方法について説明します。次の場所のいずれかに移動し、リストからアイテムを選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックする方法もあります。

- パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス > スクリプト
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動)
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (手動)
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > インジケーターソース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

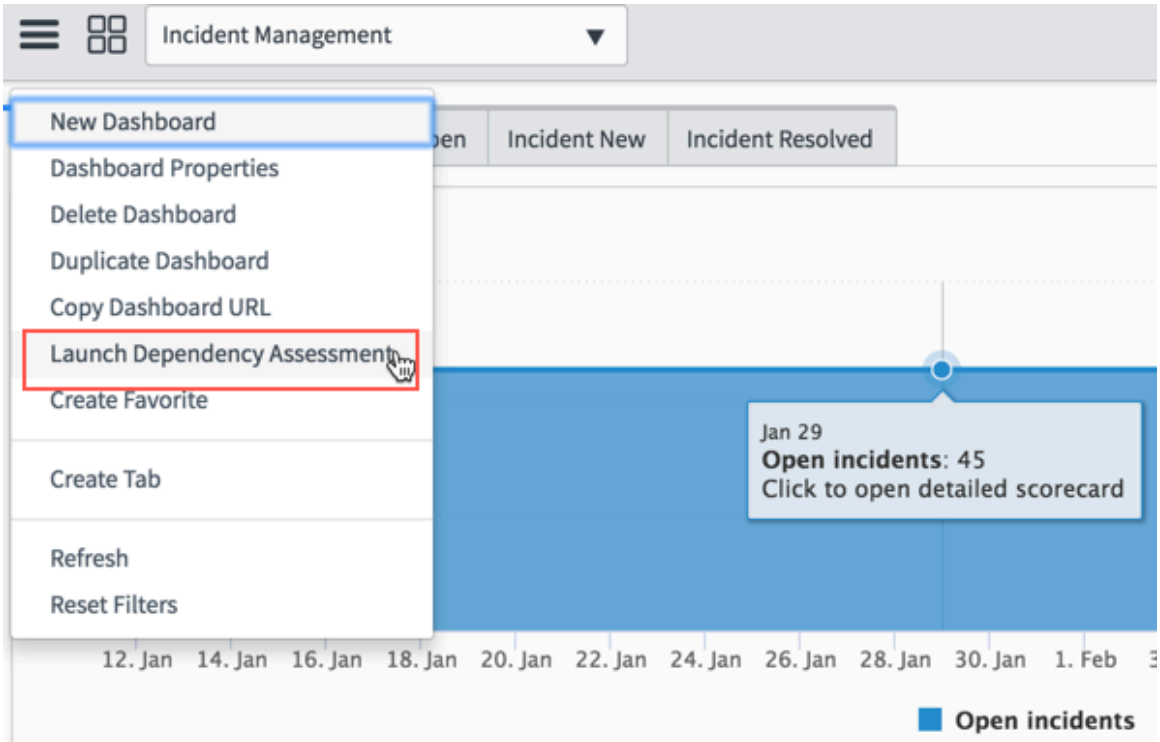
自動翻訳

- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 自動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 手動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > ブレークダウンソース
- パフォーマンスアナリティクス > スコアカード

> **注:** アナリティクスハブ からコンテキストメニューを選択し、[依存関係アセスメントを起動] を選択します。

手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード > または セルフサービス > ダッシュボード.
2. 分析するダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニューから、[依存関係アセスメントを起動] をクリックします。



また、[ダッシュボードプロパティ] を選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックすることもできます。

結果
選択したダッシュボードのツリー ビューが開きます。

依存関係アセスメントのツリー ビュー

ツリー ビューを使用すると、管理者ユーザーは PA エンティティ間の関係を確認したり、ツリー ビュー階層内の任意のノードに対する変更の影響を把握したりすることができます。

> **重要:** 依存関係アセスメントは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、プラットフォームアナリティクスデータの可視化は分析しません。また、依存関係アセスメントは コア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

自動翻訳

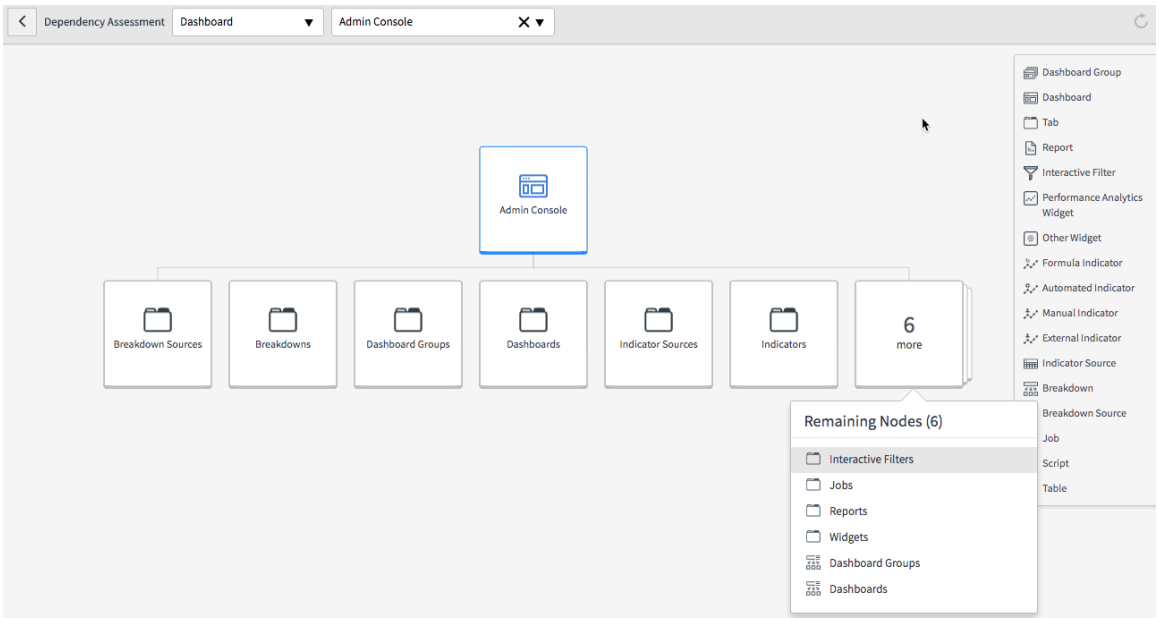
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係アセスメントのツリー ビューは、さまざまなノードと凡例から構成されています。ノードは、パフォーマンス分析エンティティを表します。ノードを指すと、ノードのタイプが凡例でハイライトされます。ツリー ビューでノードをクリックすると、子ノードが開きます。ツリー ビューのあるレベルに 8 つ以上のノードがある場合は、6 つが表示され、7 番目のノードには表示されていないノードの数が示されます。このノードをクリックすると、他のノードのリストが表示されます。

ツリー ビュー ヘッダーには、PA エンティティタイプと値を変更するための選択リストが含まれています。選択した内容に応じてツリー ビューが更新されます。 リセットボタン ( ) をクリックすると、ツリービューが最初のレベルの親ノードとその直接の子ノードのみの開始点に戻ります。

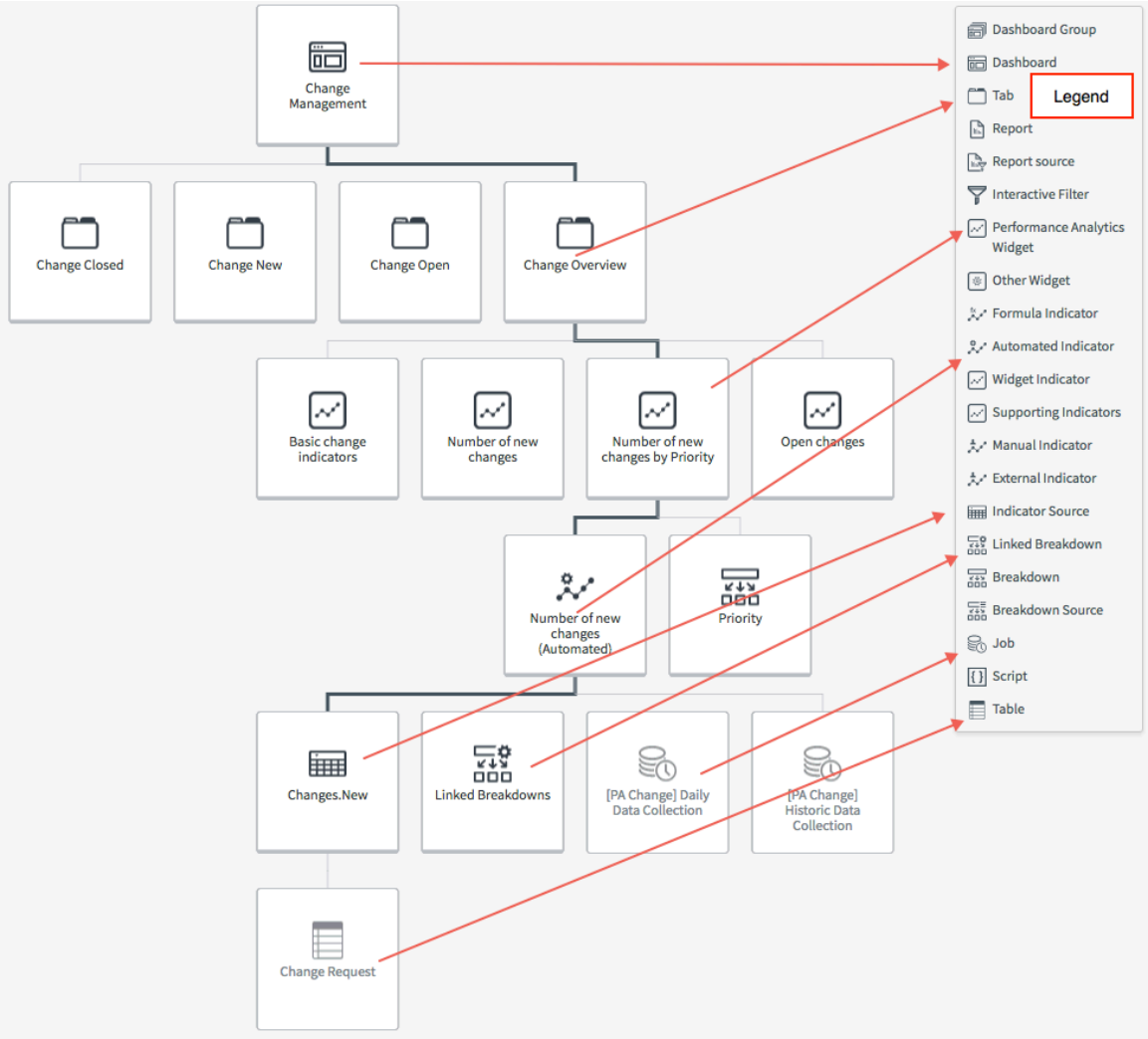
各ノードにはコンテキスト メニュー ( ) があり、いくつかのアクションから選択できます。[使用者を表示] を選択すると、ツリー ビューが変更され、インスタンスでノードが使用されている場所が表示されます。詳細については、「ボトムアップ ツリー ビュー」を参照してください。

依存関係アセスメントツリービュー



下の図は、トップダウン ツリー ビューの例を示しています。トップ レベルにダッシュボード、第 2 レベルにタブ、第 3 レベルにいずれかのダッシュボード タブのウィジェットがあります。この例のツリー ビューには、ブレークダウン フォームで定義されているすべてのブレークダウンとサポートされているインジケーターが表示されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連トピック

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

ボトムアップ ツリー ビュー

ツリー ビュー内で要素が使用されている場所を確認できます。これは、インジケーターやブレークダウンなどの要素を変更するときに、変更が他の PA 要素に及ぼす影響を確認する場合に便利です。

始める前に

必要なロール：admin

重要: 依存関係アセスメントは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、プラットフォームアナリティクスデータの可視化は分析しません。また、依存関係アセスメントは コア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

手順

1. 依存関係アセスメントを起動 (調査対象のパフォーマンス分析エンティティ上)。
   a. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
   b. 調査するダッシュボード、または調査対象のエンティティを使用するダッシュボードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

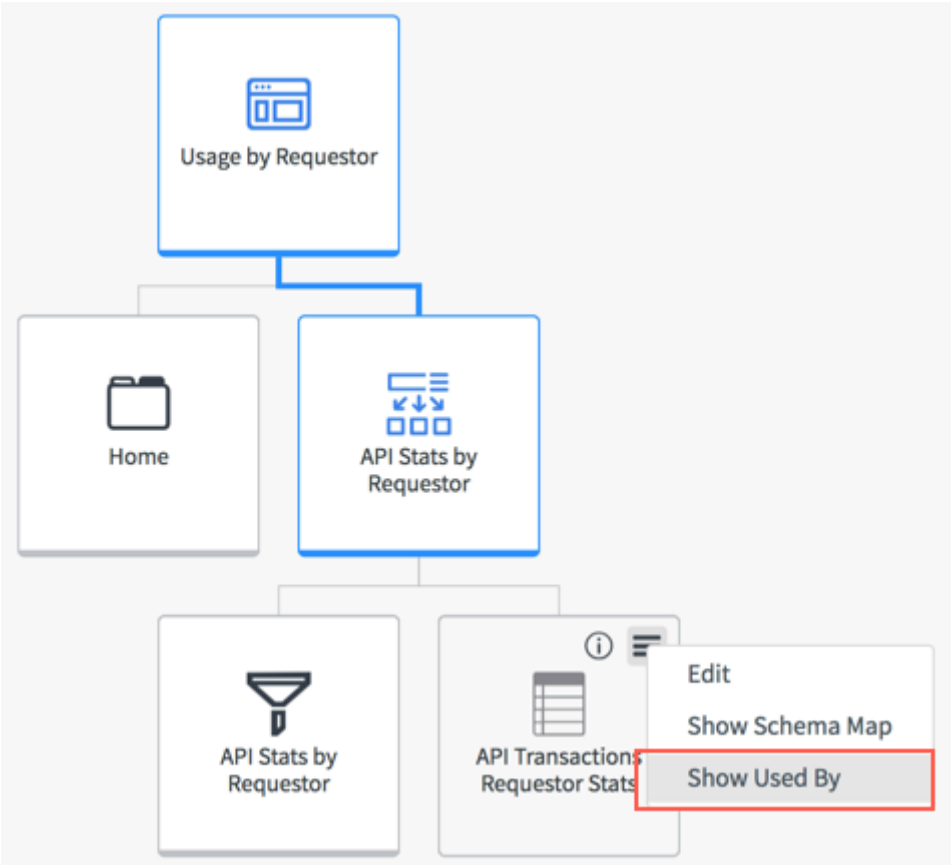
自動翻訳

この例では、[要求者別の使用率] ダッシュボードから始めます。

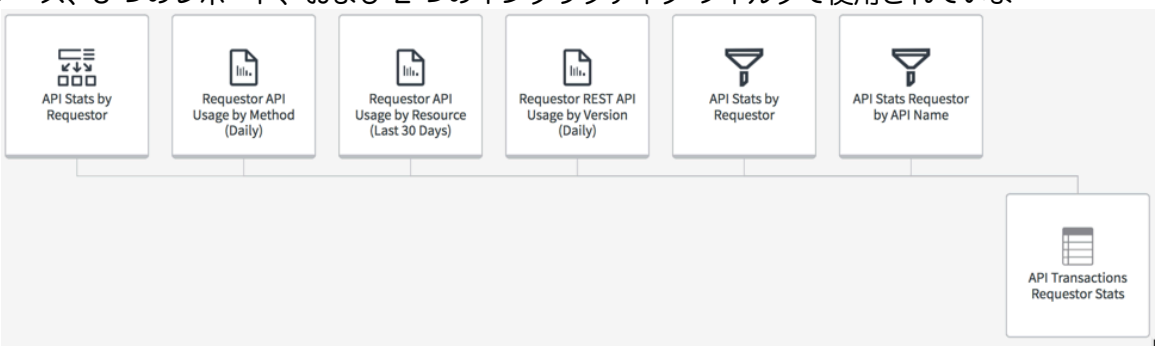
c. コンテキストメニュー ( ) から、[依存関係アセスメントを開始] を選択します。

2. ツリー ビューを展開して、調査対象のエンティティを探します。

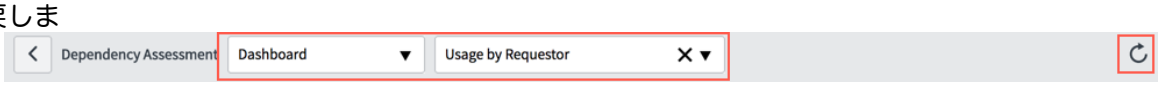
3. エンティティのコンテキストメニュー ( ) をクリックし、[使用者を表示] を選択します。



4. トップダウン ツリー ビューは、選択されたエンティティを使用するすべてのエンティティを表示するビューに置き換えられます。
この例では、[API トランザクション要求者の統計情報] テーブルは、1 つのブレークダウン ソース、3 つのレポート、および 2 つのインタラクティブ フィルタで使用されています。



5. リセットボタン ( ) をクリックして、ヘッダーに示されているようにツリービューをベース選択に戻します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツリー ビュー ナビゲーション

管理コンソールのツリー ビューを効果的にナビゲートするには、ツリー ビューのさまざまなアイコンやその他のビジュアル データの意味を理解しておくとよいでしょう。

重要: 依存関係アセスメントは プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、プラットフォームアナリティクスデータの可視化は分析しません。また、依存関係アセスメントは コア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

ツリービュー内を移動する

ツリービューをクリックしてドラッグすると、画面外にあるノードを表示できます。Ctrl+A を使用してから矢印キーを使用してツリー ビューを移動することもできます。ツリー内の最初のノードに戻るには、Tab キーを使用します。

ノードタイプ

ノードタイプには、 パフォーマンスアナリティクスのさまざまな機能が反映されています。ノードをクリックすると、ツリー ビューの次のレベルの子フィーチャに展開されます。

ダッシュボード関連のノード

ダッシュボード グループ ノードはダッシュボードが展開されます。ダッシュボードにタブが 1 つしかない場合でも、ダッシュボードはダッシュボード タブに展開されます。ダッシュボード タブは、タブの内容に展開されます。

ウィジェット

ウィジェットは、その構成要素を表示するノードを開きます。

インジケーター

すべてのインジケーターノードは、コンポーネントソース、ブレークダウン、ジョブ、およびスクリプトのノードに開かれます。インジケーターノードには、自動インジケーター、計算式インジケーター、ウィジェットインジケーター、手動インジケーター、外部インジケーター、およびサポートインジケーターが含まれます。

部下

レポートは、コンポーネント テーブルを表示するノードを開きます。

ブレークダウン

ブレークダウンは、ソースを表示するノードをオープンします。

ソース

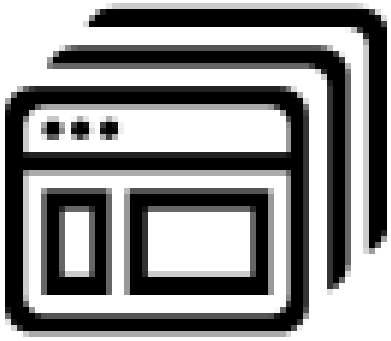
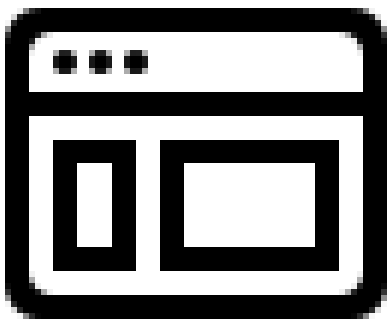
すべてのソース ノード (ブレークダウン、インジケーター、およびレポート ソース) は、ソース テーブルを表示するノードを開きます。

テキストウィジェットをクリックすると、基礎となるファイルがツリービュー上にポップアップとして表示されます。コンテキストメニューの選択肢もポップアップに表示されます。

自動翻訳

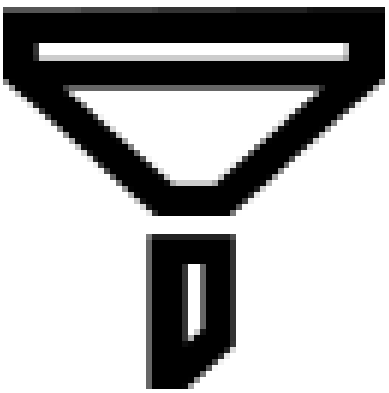
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ダッシュボード グループ	編集
	ダッシュボード	• 編集 • ダッシュボードを表示 [ダッシュボードを表示] を選択すると、ダッシュボードがツリー ビューの上にポップアップで表示されます。共有、レイアウト構成、ウィジェットの追加など、ダッシュボードのすべての機能を利用できます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ダッシュボード タブ	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

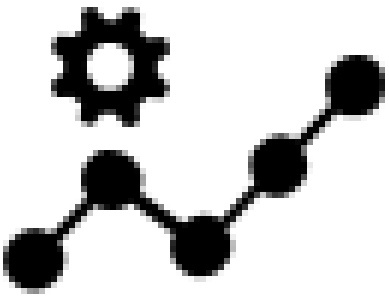
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	レポート	• 編集 レポート デザイナーのレポートをポップアップ ウィンドウに開きます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	レポート ソース	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	インタラクティブフィルター	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示

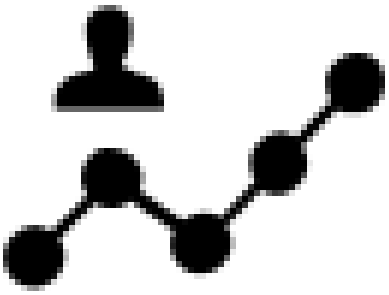
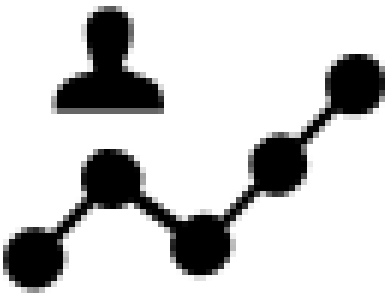
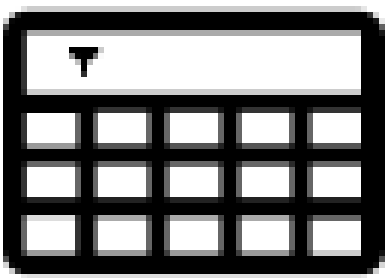
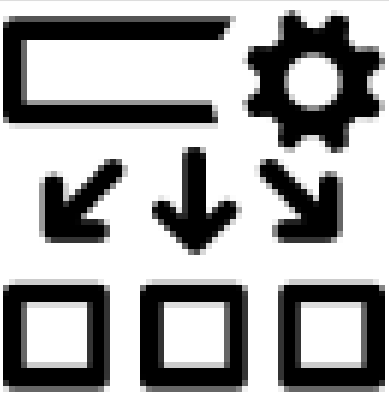
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
		このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	その他のウィジェット	コンテキスト メニューなし。
	式インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	自動インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • スコアを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ウィジェットインジケーター	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。

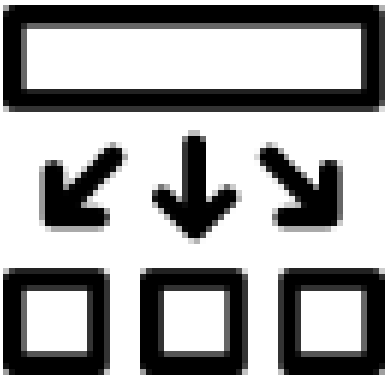
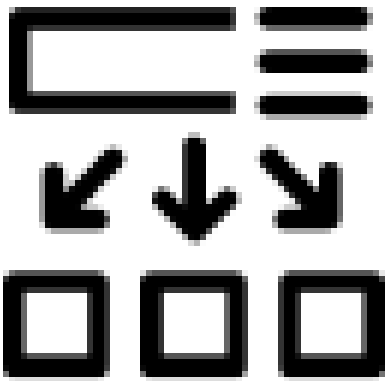
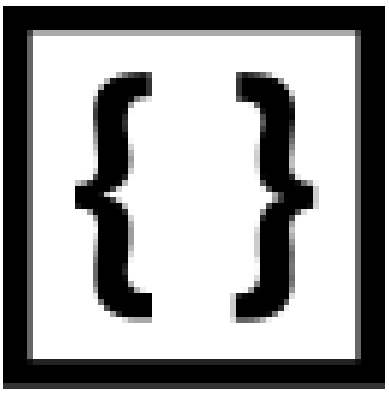
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	サポート インジケーター	編集
	手動インジケーター	編集
	外部インジケーター	編集
	インジケーターソース	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	リンクされているブレークダウン	コンテキスト メニューなし。タイルをクリックすると、関連するブレークダウンが表示されます。

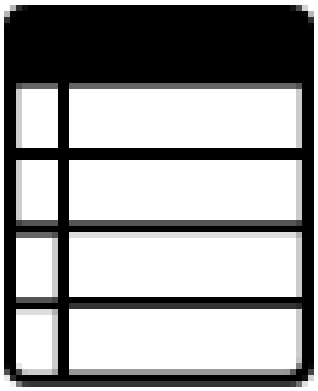
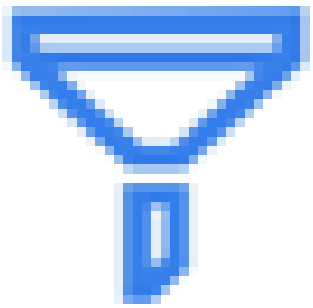
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ブレークダウン	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ブレークダウンソース	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ジョブ	• 編集 • 今すぐ実行 • すべてのログを表示 • 最後に実行されたログを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	スクリプト	編集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	テーブル	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ウィジェットをフィルタ	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

その他のビジュアル データ

各ノードには、これらのアイコンが 1 つ以上あります。ノードの右上隅をポイントすると表示されます。

情報ボタン [ ]

情報ボタンをクリックすると、ノードの詳細が表示されます。ノードの情報パネルには、ノードのタイプに応じて異なる情報が表示されますが、すべての情報パネルに [レコードを開く] ボタンがあります。[レコードを開く] をクリックして編集するレコードを開きます。

コンテキスト メニュー [ ]

コンテキスト メニュー アイコンをクリックすると、ノードのソースに対してさらにアクションを実行できます。

エラー インジケーター [ ]

問題を修正できるように、ノードが参照している要素を開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

ドメインセパレーションは パフォーマンスアナリティクス でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。 パフォーマンスアナリティクス は複数のドメインからのスコアの収集をサポートしており、ドメイン固有の管理を有効にするように構成できます。拡張ドメイン構成機能は、複雑なドメインを持つ顧客向けに利用できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックおよびスタンダードレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

要件

- ある 完全に有効化されたサブスクリプションバージョンの パフォーマンスアナリティクスが必要です。パフォーマンス アナリティクスサブスクリプションの有効化を参照してください。
- Domain Support - Domain Extension Installer プラグイン。

警告: 複数のサービスプロバイダー (MSP) によくあるように、多数のドメインを持つインスタンスでは、 パフォーマンスアナリティクス スコアを取得するときにパフォーマンスが低下する可能性があります。考えられる解決策については、「 KB1516963」 を参照してください。Now Supportへのアクセス権が必要です。

ドメインセパレーションへのアプローチ

パフォーマンスアナリティクス におけるドメインセパレーションには、次の 3 つのアプローチがあります。

グローバル

インジケーターやブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス レコードはすべてグローバルドメインにあります。データ収集ジョブは、インジケータースコアを収集するときに、インシデントなどのファクトテーブルレコードのドメインを尊重します。ユーザーには、自分がヴィジビリティを持つドメインのスコアのみが表示されます。 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション このアプローチを使用します。ほとんどの場合、これは最も適切なアプローチです。

ドメイン固有

パフォーマンスアナリティクスレコード自体はドメインセパレーションされています。各ドメインには、 パフォーマンスアナリティクスを管理するためのpa_adminおよびその他のロールを持つユーザーがいます。

ハイブリッド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターソースなどの低レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードはグローバルです。ウィジェットなどの高レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードは、ドメインセパレーションされています。pa_adminユーザーは、低レベルのグローバルレコードを管理します。各ドメインには、高レベルのレコードを管理するpa_power_userなどのロールを持つユーザーがいます。このアプローチは高度です。

詳細については、以下を参照してください。

- ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ
- マネージドサービスプロバイダーのパフォーマンスアナリティクス
- SPM プロジェクトポートフォリオ管理、ドメインセパレーション、マネージドサービスプロバイダー

複合ドメイン向けの拡張機能

管理が複雑なドメインを持つお客様向けに特別に設計された次の機能を使用して、 パフォーマンスアナリティクス のドメインセパレーションのサポートを拡張できます。

階層的なマルチドメイン構成

ユーザーグループに対する可視化またはその他の条件に基づいて、ドメインをグループ化します。これらのドメインの子ドメインの一部、すべて、またはまったくスコアを収集しません。子ドメインスコアを親ドメインにロールアップするかどうか、すべての子に対してロールアップするか、構成内で明示的に明示されている子のみに対してロールアップするかを決定します。

アグリゲートスコアを収集

ドメイン構成内の複数のドメインからのスコアを組み合わせて、スコアのアグリゲートを作成します。

ドメインによるダッシュボードのフィルタリング

ダッシュボードをフィルタリングして、ブレークダウンと同様に、ドメイン別またはドメイン集計別にスコアを表示します。

拡張機能は、パフォーマンスアナリティクス - ドメインセパレーションサポートプラグインで利用できます。パフォーマンスアナリティクスにおけるドメインセパレーションの一般的な要件も適用されます。

拡張機能は、ドメインセパレーションに対するグローバルアプローチのみをサポートしています。

この拡張機能の詳細については、以下を参照してください。 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

関連トピック

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ

ドメインセパレーションで パフォーマンスアナリティクス を使用すると、ドメイン固有のスコアを収集できます。グローバルまたはドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス テーブルレコード、またはその両方の組み合わせを使用できます。

グローバルなアプローチとドメイン固有のスコアの収集

インジケーター、ブレークダウン、ウィジェットなどのすべての パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインに保持できます。この場合、ドメイン固有の データ収集ジョブを通じてドメインセパレーションを適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ収集ジョブをドメイン固有に構成するには、[実行ユーザー] をジョブに追加します。[実行ユーザー] は、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを決定します。詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

ドメイン構成を指定することもできます。ドメイン構成は、ドメインサポート用の パフォーマンスアナリティクス プラグインの一部であり、複雑なドメイン管理を支援することを目的としています。詳細については、「データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

データ収集ジョブは、グローバルドメインのファクトテーブルレコードに対してスコアを収集します。このジョブは、[実行ユーザー] のドメイン内のレコードに対してもスコアを収集します。ジョブは、スコアを収集したドメインにスコアを保存します。データの可視化では、ユーザーには自分が可視化できるドメインのスコアのみが表示されます。

[ユーザー として実行] のみを指定した場合、すべての子ドメインのスコアが親にロールアップされます。ドメイン構成も指定する場合は、さらに多くのオプションを使用できます。子ドメインスコアの収集とロールアップのオプションの詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ジョブがスコアを収集するドメインの 1 つのメンバーである pa_admin ロールを持つユーザーのみが、ドメインセパレーションされたデータ収集ジョブを変更できます。pa_adminを持つグローバルユーザーは、任意のジョブを変更できます。

デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション グローバルアプローチを使用します。

> **注:** ドメイン構成には、ドメインセパレーションに対するグローバルなアプローチが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ドメイン固有のアプローチ

ドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス レコードを使用することで、ドメインユーザーにpa_adminロールを付与して、独自のドメイン固有のコンポーネントを作成できます。アドミニストレーターを含むユーザーは、自分のドメイン内でのみ パフォーマンスアナリティクス レコードを作成および編集できます。子ドメインのユーザーは、親ドメインの パフォーマンスアナリティクス レコードを読み込むことはできますが、編集することはできません。

そのドメインで使用するには、 パフォーマンスアナリティクス レコードのドメイン固有のコピーを作成する必要があります。たとえば、ドメイン固有の条件をインジケーターソースに追加するには、そのドメインにインジケーターとインジケーターソースのコピーを作成する必要があります。

インジケーター、ブレークダウン、および関連データを別のドメインからすばやくコピーできます。インジケーターフォームまたはブレークダウンフォームで 、[挿入と関係ありの維持] UI アクションを使用します。ブレークダウン、ブレークダウンの除外、または時系列の除外の関係もコピーされます。関連付けられているスケジュール設定済みジョブは、そのジョブの [実行ユーザー] が現在のユーザーの場合にのみコピーされます。

スコアを収集するには、ドメイン固有のインジケーターに関連付けられた新しいデータ コレクタ ジョブを作成します。

> **注:** ドメインユーザーは、`com.snc.pa` で始まるパフォーマンスアナリティクスプロパティを設定することはできません。グローバルドメインで admin ロールまたは pa_admin ロールを持つユーザーのみが、これらのプロパティを表示または設定できます。

ハイブリッドアプローチ

ハイブリッドアプローチでは、インジケーターソースなどの再利用可能な基盤 パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインまたは親ドメイン内に保持します。同時に、他のドメイ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンのアドミニストレーターは、インジケーターやウィジェットなどのドメイン固有の上位レベルのパフォーマンスアナリティクス レコードを作成します。

> **注:** ハイブリッドアプローチは高度なオプションです。ハイブリッドアプローチを使用する前に、グローバルアプローチまたはドメイン固有のアプローチのいずれかを正常に実装してください。

ハイブリッドアプローチを使用する場合、基盤レコードはグローバルドメインまたは親ドメイン内でのみ管理する必要があります。ウィジェットやインジケーターなどの他のすべての パフォーマンスアナリティクス レコードは、各子ドメイン内で個別に管理する必要があります。次のレコードタイプは基盤レコードと見なされます。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

ドメイン間での パフォーマンスアナリティクス レコードのコピー

複数のドメインで パフォーマンスアナリティクス レコードを再利用できます。`PADomainUtils` API は、アドミニストレーターがドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードを移動またはコピーできるようにする機能を提供します。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

特定のユーザーのドメインに対して パフォーマンスアナリティクス を構成する代わりに、再利用可能なドメイン構成を作成します。ユーザーのグループに表示されるドメインを選択するか、ドメインを直接フィルタリングします。ドメイン構成では、階層関係を定義し、複数のドメイン間でスコアをアグリゲートできます。

> **注:** パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成は、 パフォーマンスアナリティクス - ドメインセパレーションサポートプラグインで有効になります。プラグインの詳細については、「プラグインをアクティブ化 する」を参照してください。

これらのドメイン構成を特定のデータ収集ジョブおよびダッシュボードに関連付けて、関連するスコアをユーザーに提供します。同時に、インジケーター、ブレークダウン、それらのソースなどの パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインで維持します。

> **重要:** ドメイン構成が使用されているかどうかにかかわらず、 実行 ユーザーは常にデータ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを決定します。

構成内のすべてのドメインへのアクセス権を持つ パフォーマンスアナリティクス アドミンのみが、ドメイン構成が適用されているデータ収集ジョブを編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なアプローチ

ドメイン構成をサポートするのは、ドメインセパレーションを パフォーマンスアナリティクス するためのグローバルアプローチのみです。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ」を参照してください。

データテーブル、プロセステーブル、およびユーザーとして実行

[実行ユーザー] は、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを常に決定します。インシデント [incident] などのデータテーブルでのみスコアを収集する場合は、グローバルドメインのアドミニストレーターを [実行ユーザー] として設定します。このユーザーと、その下で実行されているデータコレクターは、すべてのデータテーブルレコードを完全に表示できます。

プロセスドメインでスコアを収集する場合は、別のアプローチが必要です。プロセスドメインでビジネスルールや SLA などのプロセスレコードを定義するのが一般的です。この場合、グローバルアドミニストレーターである 実行 ユーザーは、これらのテーブルのグローバルドメインレコードのみを表示できます。この制限は、contract_sla などの SLA テーブルへの結合が行われた場合など、データベースビューを通じて収集されたスコアにも影響します。このような場合は、関連するプロセスドメインに対する明示的な可視化を持つユーザーを [実行ユーザー] として設定します。

収集、ロールアップ、および集計オプション

ドメイン設定レコードは、ドメインレコードがスコアに寄与する方法に柔軟性をもたらします。ドメインサポートプラグインが利用可能になる前は、子ドメインのレコードが「ロールアップ」され、親ドメインのスコアに寄与していました。ドメインサポートプラグインは、子ドメインのレコードの処理方法に関する追加のオプションを提供します。

- 個々の子ドメインからスコアを収集するかどうかを選択します。
- 子ドメインから親ドメインスコアにスコアをロールアップするかどうかを選択します。子ドメインスコアは、個々のスコアの収集の有無にかかわらずロールアップできます。
- 子ドメインから親ドメインにスコアをロールアップする場合は、すべての子ドメインをロールアップするか、ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインのみをロールアップするかを選択します。
- 収集されたすべての個々のドメインスコアを合計してアグリゲートスコアにするかどうかを選択します。このスコアは別のドメインに保存されます。

次の表は、親ドメインと 3 つの子顧客ドメインを持つさまざまな構成について収集されるスコアを示しています。このテーブルには集計値も表示されます。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** に顧客が含まれています		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	アグリゲート
データ						
新しいインシデントレコード	30	100	50	20	0	-
結果						

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例 (続く)

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** に顧客が含まれています		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	アグリゲート
アグリゲートオプションなし	-	-	-	20	-	-
アグリゲートオプションなし + アグリゲート	-	-	-	20	-	20
子の収集	30	100	50	20	0	-
子の収集 + アグリゲート	30	100	50	20	0	200
子の収集 + 選択したドメイン (A および C) のみをロールアップ	30	100	50	100	80	-
子の収集 + 選択したドメイン (A および C) のみをロールアップ + アグリゲート	30	100	50	100	80	200
子の収集 + すべての子ドメインのロールアップ	30	100	50	200	180	-
子の収集 + すべての子ドメインのロールアップ + アグリゲート	30	100	50	200	180	380
選択したドメイン (A および C) のみをロールアップ	-	-	-	100	-	-
選択したドメインのみをロールアップ	-	-	-	100	-	100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例 (続く)

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** に顧客が含まれています		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	アグリゲート
(A および C) + アグリゲート						
すべての子ドメインをロールアップ	-	-	-	200	-	-
すべての子ドメインをロールアップ + アグリゲート	-	-	-	200	-	200

ドメイン設定レコード

パフォーマンスアナリティクス - ドメインセパレーションサポートプラグインは、ドメイン構成 [pa_domain_configurations] テーブルをインスタンスに追加します。各ドメイン構成の詳細は、これらのレコードのいずれかに保存されます。

インスタンス間でのレコードの転送

更新セットを使用して、インスタンス間でドメイン構成を転送します。ドメイン構成で [集計の収集] が有効になっている場合は、集計ドメインも個別に転送します。詳細については、「スコア集計を使用するドメイン構成の転送」を参照してください。

ドメイン構成の作成

ドメイン構成を作成して、スコアを収集するドメインと、ドメイン階層内にスコアを格納する方法を定義します。

始める前に

必要なロール:pa_admin または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ドメイン構成 をクリックし、新しいレコードを作成します。

フィールド	説明
構成タイプ	この構成に含めるドメインを決定する方法を指定します。 特定のグループに関連付けられた既存の可視化ドメインに基づいて、そのグループに表示されるすべてのドメインを含めるには、[可視化グループ] を選択します。 条件を使用してドメインを直接指定するには、[条件] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ヴィジビリティグループ	構成タイプが [ヴィジビリティグループ] の場合は、少なくとも 1 つのヴィジビリティドメインを持つグループ [sys_user_group] を選択または作成します。このグループで利用可能なすべてのヴィジビリティドメインが、このドメイン構成に含まれています。ヴィジビリティドメインの詳細については、「 ヴィジビリティドメイン」および「包含ドメイン」 を参照してください。
条件	[構成タイプ] が [条件] の場合に、この構成に含まれるドメインを決定する条件を指定します。選択した条件は、ドメイン [domain] テーブルに適用されます。たとえば、[[タイプ] [次の値に等しい][MSP]] を選択して、すべての管理対象サービスプロバイダードメインを選択します。
アグリゲートを収集	指定したドメイン階層からのスコアを集計します。集計スコアは、ドメイン階層の外にあり、スコアのみを含む別のドメインに格納されます。 [集計の収集] が選択されているドメイン構成ごとに 1 つの集計ドメインが作成されます。このドメインの名前は、読み込み専用の [集計ドメイン] フィールドに表示されます。 集計ドメインは、パフォーマンスアナリティクスの集計コンテナ ドメインの子として格納されます。
子の収集	指定したドメインの子からスコアを収集するには、このオプションを選択します。指定したドメインの直接の子のドメインだけでなく、すべての子ドメインからスコアが収集されます。 子ドメインから収集されたスコアは、そのドメインに格納されます。
ロールアップ	子ドメインの収集されたスコアを階層の最上位の親ドメインにロールアップするには、このオプションを選択します。
ロールアップタイプ	指定したドメインとそのすべての子ドメインからスコアをロールアップするには、[すべての子ドメイン] を選択します。[選択したドメインのみ] を選択して、ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインからのみスコアをロールアップします。ヴィジビリティグループの場合、子ドメインとその親ドメインがグループのヴィジビリティドメイン内にある場合、ドメイン構成には子ドメインが明示的に含まれます。条件の場合、条件で子ドメインとその親ドメインが選択されている場合、ドメイン構成には子ドメインが明示的に含まれます。

関連トピック

ドメインセパレーションのセットアップと管理

データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け

ドメイン構成で指定されたドメインから パフォーマンスアナリティクス インジケータースコアを収集するには、そのドメイン構成を収集ジョブに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要: ドメイン構成が使用されているかどうかにかかわらず、[実行ユーザー] によって データ収集ジョブ が実行されるドメインコンテキストが常に決定されます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ジョブ.
2. データ収集ジョブを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このジョブに関連付けるドメイン構成を選択します。
   構成に含まれるドメインごとに個別のデータ収集ジョブが実行されます。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: ドメイン構成の [順番] を変更します。
   複数のドメイン構成が収集ジョブに関連付けられている場合、含まれているドメインの重複が原因で、スコアが正しく収集されない場合があります。重複しているドメインでは、[順番] の値が最も大きいドメイン構成の収集されたスコアのみが保持されます。

   ヒント: 単一のジョブに複数のドメイン構成を使用する場合は、各ドメイン構成で一意のドメインのセットが指定されていることを確認します。

ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け

ダッシュボードにドメインピッカーを表示して、そのダッシュボードのユーザーが特定のドメインからのスコアを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

このタスクについて
ダッシュボードでドメイン固有のスコアを表示するには、ユーザーにドメイン構成内のすべてのドメインの可視化が必要です。

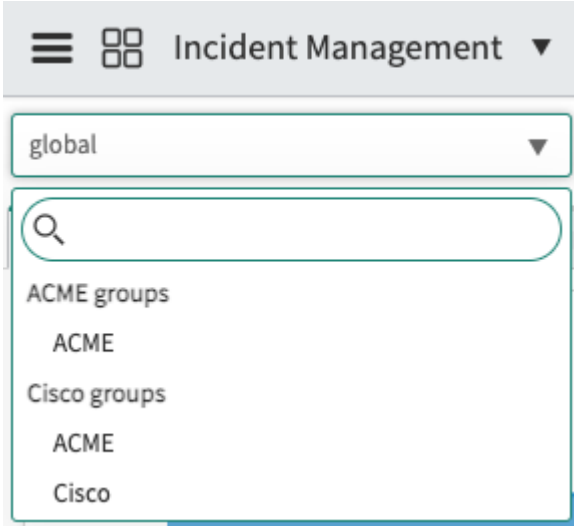
手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード管理.
2. ダッシュボードを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このダッシュボードに関連付けるドメイン構成を選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。

結果
アドミンなど、ドメイン構成内のすべてのドメインを表示できるユーザーは、ドメインを選択できます。ダッシュボードのレポートとウィジェットには、そのドメインのスコアと値のみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
ドメインピッカーを使用してダッシュボードから アナリティクスハブ を開くと、選択したドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

スコア集計を使用するドメイン構成の転送

スコアを集計するように構成されたパフォーマンスアナリティクスドメイン構成をインスタンス間で転送するには、構成と集計ドメインの両方を転送します。

始める前に
更新セットを使用してドメイン構成を転送します。更新セットを使用してインスタンス間で構成を転送する方法の詳細については、「 システムアップデートセット」 を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ドメイン構成の転送元のソース インスタンスに、admin としてログインします。
2. 移動先 データコレクター > ドメイン構成.
3. 更新セットで転送したドメイン構成レコードを開きます。
4. フォームのヘッダーを右クリックし、**[XML** 表示] を選択します。
5. aggregate_domain要素の値であるsys_idをコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.


```
<xml>
  <pa_domain_configurations>
    <aggregate_domain
    display_value="OpCos">676a49440fa8060094a9716ce1050e14</aggregate_domain>
    <aggregate_domain_parent display_value="PA aggregation
    container">a42da8e7d70022006ecfa3b20e61037f</aggregate_domain_parent>
    <collect_aggregate>true</collect_aggregate>
    <collect_children>true</collect_children>
    <conditions table="domain"/>
    <domain_table>domain</domain_table>
    <name>SILVA PA OPCOS</name>
    <roll_up>true</roll_up>
    <roll_up_type>roll_up_children</roll_up_type>
    <sys_class_name>pa_domain_configurations</sys_class_name>
    <sys_created_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_created_by>
    <sys_created_on>2018-02-15 12:11:40</sys_created_on>
    <sys_customer_update>true</sys_customer_update>
    <sys_id>1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7</sys_id>
    <sys_mod_count>4</sys_mod_count>
    <sys_name>SILVA PA OPCOS</sys_name>
    <sys_package display_value="Global" source="global">global</sys_package>
    <sys_policy/>
    <sys_replace_on_upgrade>false</sys_replace_on_upgrade>
    <sys_scope display_value="Global">global</sys_scope>
    <sys_update_name>
      pa_domain_configurations_1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7
    </sys_update_name>
    <sys_updated_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_updated_by>
    <sys_updated_on>2018-06-05 15:11:06</sys_updated_on>
    <type>visibility_group</type>
    <visibility_group display_value="SILVA PA OPCOS" name="SILVA PA
    OPCOS">e3bf9aa54f589300a02a4c318110c75d</visibility_group>
  </pa_domain_configurations>
</xml>
```


6. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
7. 転送されたドメイン構成からコピーした sys_id でドメインのリストをフィルタリングします。
8. フィルタリングされたドメインを開き、コンテキスト メニューからドメイン レコードを XML にエクスポートします。
9. ターゲット インスタンスに admin としてログインします。
10. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
11. コンテキスト メニューから、ドメイン レコードの XML ファイルをソース インスタンスからインポートします。

結果
転送されたドメインのデータ収集ジョブを実行できます。

PADomainUtils - グローバル

`PADomainUtils` API を使用すると、同じインスタンス上の異なるドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードをコピーできます。

サーバースクリプトでこの API を使用して、インジケーターやブレークダウン、ダッシュボードなどの パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。この API を使用すると、1 つのドメインに パフォーマンスアナリティクス レコードを作成し、そのレコードを任意の数の追加ドメインにコピーできます。

注: この API では、レコードをグローバル ドメインにコピーすることはできません。

警告: 構成レコードが別のドメインに移動されると、スコアにアクセスできなくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

`PADomainUtils` を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- スクリプトを実行するユーザーには admin ロールが必要です。
- インスタンスがドメインセパレーションを使用する必要があります。
- グローバル ドメインからスクリプトを実行する必要があります。
- レコードを移動またはコピーする場合は、ソース ドメインとターゲット ドメインが異なる必要があります。

PADomainUtils - PADomainUtils()

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、グローバルドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメイン以外のドメインからレコードを移動またはコピーする際は、代わりに PADomainUtils(文字列 `domainFrom)` コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
// PADomainUtils initialized with the global domain
var globalUtils = new SNC.PADomainUtils();
```

PADomainUtils - PADomainUtils(文字列 domainFrom)

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、指定したドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメインから移動またはコピーする際は、代わりに `PADomainUtils()` コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainFrom	文字列	レコードのコピー元のドメイン

```
// c90d4b084a362312013398f051272c0d is the sys id of the ACME domain
var acmeUtils = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
```

PADomainUtils - setFoundation(ブーリアン foundation)

ハイブリッドドメイン構成の基盤レコードのみを移動またはコピーするには、このメソッドを使用します。

レコードの一部のタイプを親ドメイン内で管理し、一部のタイプを子ドメイン内で管理することで、ハイブリッドアプローチを実施できます。通常、親ドメインには基盤レコードが入り、子ドメインにはウィジェットなどの上位レベルのレコードが入ります。基盤レコードとみなされるのは以下のタイプのレコードです。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

他の パフォーマンスアナリティクス のレコード (ウィジェットやインジケーターなど) は、基盤レコードではありません。これらの追加レコードも移動またはコピーするには、このメソッドを false に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
foundation	ブーリアン	この PADomainUtils オブジェクトで基盤レコードのみをコピーまたは移動する必要があるかどうかを示します。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils().setFoundation(true);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - setOverrides(ブール **overrides)**

レコードをコピーして新しいレコードの sys_override 値を元の親レコードに設定する前に、このメソッドを使用します。

このメソッドを使用すると、親ドメインのレコードを自動的に上書きできます。親レコードを上書きすることで、親レコードから子ドメインに影響を与えることはありません。レコードのコピー時にソースドメインがターゲットドメインの親でない場合は、sys_override 値を設定しても動作に影響はありません。レコードの移動時ではなく、レコードのコピー時にのみ上書きを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
overrides	ブーリアン	子ドメインのコピーされたレコードが、親ドメインのソースレコードを上書きする必要があることを示します。この値のデフォルトは true です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
pa.setOverrides(false);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - copy(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。

ダッシュボードまたはスケジュール設定済みジョブをコピーするには、「copyDashboard」および「copyJob」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードをコピーするドメインのユーザー。

戻り値

タイプ	説明
なし	

```
// copy all the Performance Analytics records from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copy('09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyJob(文字列 **paJob,** 文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ レコードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paJob	文字列	パフォーマンスアナリティクススケジュール済みデータ収集ジョブ [sysauto_pa] レコードのSys_id。
runAs	文字列	ジョブのコピー先のドメインのユーザー。

戻り値

タイプ	説明
文字列	エラーが発生した場合はエラーメッセージ、エラーがない場合は空の文字列。

```
// No source domain needs to be set
var pa = new SNC.PADomainUtils();
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// copy the '[PA Incident] Daily Data Collection job'
// set the 'run as' of the new record to be the 'acme.itil' user
// first argument is the sys_id of the sysauto_pa record
// the second is the sys_id of the acme.itil user record
pa.copyJob('82ba2023d7101100b96d45a3ce6103cd','797d14341f1310005a3637b8ec8b7010');
```

PADomainUtils - copyDashboard(文字列 **dashboardId,** 文字列 **runAs)**

ダッシュボードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dashboardId	文字列	コピーするダッシュボードのSys_id。
runAs	文字列	ダッシュボードのコピー先のドメインのユーザー。

戻り値

タイプ	説明
なし	

```
//Copy Incident Management dashboard from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copyDashboard('a64b7031d7201100b96d45a3ce610335','09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - move(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// move all the Performance Analytics records from the global to the customers domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.move('774190f01f1310005a3637b8ec8b70ef')
```

PADomainUtils - isWriteable(文字列 **table,** 文字列 **id)**

table と sys_id によって識別される特定のレコードに書き込むことができるかどうかを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	pa_indicators などの、クエリーするレコードを含むテーブルの名前。
ID	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに書き込めることを示します。レコードが現在のユーザーのドメイン内に存在する場合は true を返します。レコードが存在しないか、別のドメインにある場合は false を返します。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.isWriteable('pa_incidents','cd8125b5140012007665a83e633b028d');
```

パフォーマンスアナリティクス の統合

パフォーマンスアナリティクスを外部システムと統合して、リモートデータに基づいてスコアを収集したり、アナリティクスハブ情報を公開したりします。

REST API と Javascript API を使用してクエリを作成できます。

パフォーマンス分析 **API** の例

次の例では、cURL コマンドを使用して REST クエリを実行し、各コマンドで返されるデータを表示する方法を示しています。以前の例で返されるデータを使用した次の各例は、最後の例を基に作成されます。

に表示されているすべてのインジケーターを返します アナリティクスハブ

一意のレコード識別子を含む、アナリティクスハブ に表示されるすべてのインジケーターのリストを要求できます。

注: これらの例では、curl コマンドに macOS 構文を使用しています。Windows 構文は異なる場合があります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards"
```

次の応答は、このページの他の例で使用されている [オープンインシデントの数] インジケーターのみを表示するように短縮されています。

```
//{
  "result" : [
...

    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "period_title" : null,
    "gapperc" : null,
    "gap" : null,
    "target" : null,
    "period" : null,
    "target_formatted" : "",
    "favorite" : false,
    "direction_label" : "Minimize",
    "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "name" : "Number of open incidents",
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "changeperc_formatted" : "",
    "direction" : 2,
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "changeperc" : null,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  },
...

 ]
}
```


インジケーターの詳細を返す

sysparm_uuid パラメーターにインジケーター sys_id 値を指定することで、特定のインジケーターの アナリティクスハブ をクエリできます。この場合、アナリティクスハブ 内のすべてのインジケーターを取得したときに、最初の例で取得した [オープンインシデントの数] インジケーターの sys ID を使用します。


```
"uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
"name" : "Number of open incidents",
```


コマンド：


```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4"
```


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答：


```
{
 "result" : [
  {
   "change_formatted" : "",
   "key" : false,
   "value_unit" : "",
   "value_formatted" : "",
   "period_title" : null,
   "gapperc" : null,
   "gap" : null,
   "target" : null,
   "period" : null,
   "target_formatted" : "",
   "favorite" : false,
   "direction_label" : "Minimize",
   "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
   "name" : "Number of open incidents",
   "value_color" : "#000000",
   "frequency_label" : "Daily",
   "change" : null,
   "gap_formatted" : "",
   "gapperc_formatted" : "",
   "value" : null,
   "unit" : {
    "display_value" : "#",
    "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
    "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
   },
   "changeperc_formatted" : "",
   "direction" : 2,
   "frequency" : 10,
   "precision" : 0,
   "changeperc" : null,
   "indicator" : {
    "display_value" : "Number of open incidents",
    "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
   },
   "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  }
 ]
}
```


インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す

sysparm_include_available_breakdowns および *sysparm_include_available_aggregates* パラメーターを true に設定することで、インジケーターの利用可能なブレークダウンと集計のリストをクエリすることができます。

コマンド：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4&sysparm_include_available_breakdowns=true&sysparm_include_availa
ble_aggregates=true"
```

応答：

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "aggregates" : [
        {
          "display_value" : "7d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
          "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
        },
        {
          "display_value" : "28d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/4dfa4c11d7001100ba986
f14ce6103e2",
          "value" : "4dfa4c11d7001100ba986f14ce6103e2"
        },
        {
          "display_value" : "30d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/3e409011d7001100ba98
6f14ce610319",
          "value" : "3e409011d7001100ba986f14ce610319"
        },
        // Aggregates truncated for brevity

      ],
      "changeperc" : null,
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "value_unit" : "",
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value" : "#",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "breakdowns" : [
      {
       "display_value" : "Priority",
       "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d
45a3ce610399",
       "value" : "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      {
       "display_value" : "Category",
       "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d
45a3ce6103fe",
       "value" : "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
      },
      {
       "display_value" : "Assignment Group",
       "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96d
ac808c0739ed",
       "value" : "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      // Information for State and Age indicators truncated

    ],
    "changeperc_formatted" : "",
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "direction" : 2,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
   }
  ]
}
```


インジケータースコアの時系列集計を返す

sysparm_uuid 値と集計の sys_id を使用して、[7 日間分の集計を実行] 集計を アナリティクスハブ に適用できます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "aggregate" : {
        "display_value" : "7d running SUM",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
        "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
      },
      "gapperc" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
      "name" : "Number of open incidents / 7d running SUM",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの要素を返す

ブレークダウンの各要素に関連付けられたスコアを取得し、それらの要素の sys_id を取得するには、ブレークダウンの sys_id とともに *sysparm_breakdown* パラメーターを使用します。この例では、[オープンインシデントの数] インジケーターのアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。前の例では、[オープンインシデントの数] インジケーターの sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4 で、アサイン先グループブレークダウンの sys_id が baec0752bf130100b96dac808c0739ed になっています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
```

応答は一連の indicator オブジェクトで構成され、それぞれに 1 つの element オブジェクトが含まれています。element オブジェクトにはそれぞれ、オブジェクトの名前と sys_id が含まれています。インジケーターに関する情報は各 indicator オブジェクトで同じであるため、この例では最初の indicator オブジェクトのみが詳細に示されています。

応答：

```
{
  "result":[
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
        "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatche
d",
      "frequency":10,
      "gap":null,
      "value_unit":"14",
      "indicator_frequency":10,
      "value":14.0,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
      "name":"incident",
      "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
      "display_value":"Unassigned",      //Element name

 "link":"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/unmatched",
      "value":"unmatched"               //No sys_id for unmatched scores
    },
    "period_title":"Jul 22",
    "period":"Jul 22",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
Ropened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
      "type":"formatted",
      "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"14",           // Score where Assignment Group=Unassigned
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Unassigned",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
  },
  {"indicator": {

    "element": {
      "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4ba
f547aa7",
      "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"    // sys_id of element Software
    },
    ...

    "value_formatted":"6",                    // Score where Assignment Group: Software
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software",
    "gapperc":null,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {
    ...

    "element": {
     "display_value":"Service Desk",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/d625dccec0a8016700a222a0f
7900d06",
      "value":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06"   // sys_id of element Service Desk
    },

    ...

    "value_formatted":"5",                    // Score for Assignment Group: Service Desk
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Service Desk",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {

    ...

    "element": {
     "display_value":"Hardware",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a5055c9c61122780043563ef
53438e3",
      "value":"8a5055c9c61122780043563ef53438e3"   // sys_id for element Hardware
    },

    ...

    "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Hardware
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Hardware",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {

 ...

    "element": {
     "display_value":"Network",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ebd7da9fe198100f92cc8d1
d2154e",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value":"287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"},  // sys_id for element Network

...

    "value_formatted":"3",                        // Score for Assignment Group: Network
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Network",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   },
  ...
  ]
...
}
```

ブレークダウンと要素でフィルタリングされたインジケーターを返す

ブレークダウンを適用するには、ブレークダウンおよびブレークダウン要素 sys_id 値を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するためにデータがブレークダウンされています。優先度ブレークダウンの sys_id は 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 で、「インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す」の例にあります。「1：重大」要素の sys_id を取得するには、「ブレークダウンのすべての要素を返す」と同じコマンドを実行しますが、アサイン先グループではなく優先度ブレークダウンを使用します。「1：重大」要素の sys_id は 5f012106db5123003ee8f93baf9619bd です。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
```

応答：

```
{
// The request is made Dec 12. The
// score is 76, which is unchanged from
// Dec 11, and which exceeds the
// target of 70.
  "result": [
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"-6",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Priority",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce61
0399",
       "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
     },
     "personal_target":null,
     "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
     "value_color":"#ff8c00",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106
db5123003ee8f93baf9619bd",
     "frequency":10,
     "gap":-6.0,
     "value_unit":"76",
     "indicator_frequency":10,
     "value":76.0,
     "indicator_aggregate":1,
     "facts_table": {
       "name":"incident",
       "label":"Incidents"
     },
     "key":false,
     "indicator_frequency_label":"Daily",
     "direction":2,
     "element": {
       "display_value":"1 - Critical",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/5f012106db5123003ee8f93baf9619b
d",
       "value":"5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
     },
     "period_title":"Dec 12",
     "period":"Dec 12",
     "target_formatted":"70",
     "change":0.0,
     "gapperc_formatted":"-8.6%",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
ROpened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8^priority=1^EQ",
     "realtime_enabled":true,
     "changeperc":0.0,
     "target":70.0,
     "unit": {
       "display_value":"#",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
       "type":"formatted","value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
     "value_formatted":"76",
     "name":"Number of open incidents > Priority = 1 - Critical",
     "gapperc":-0.08571428571428572,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":true,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "personal_target_formatted":""
   }
  ]
}
```


場所別にブレークダウンしたインジケーターを返す

パフォーマンス分析 API は、利用可能な場合に位置情報データを返します。

コマンド：


```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=656d5662eb23310065deac6aa206fee7"
```


応答：


```
{
  "result": [
    {
      ...
      "element": {
        "display_value": "San Diego",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/108752c8c611227501d
4ab0e392ba97f",
        "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
        "longitude": -117.15726,
        "latitude": 32.71533
      },
      ...
    }
    {
      ...
      "element": {
        "display_value": "Florida",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/8e3e85f037d0200044e
0bfc8bcbe5d14",
        "value": "8e3e85f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
        "longitude": -95.71289,
        "latitude": 37.09024
      },
      ...
    }
  ]
}
```


第 **1** および第 **2** レベルのブレークダウンスコアを返す

sysparm_uuid パラメーターに 2 つのブレークダウンsys_idsを追加することで、2 つのレベルのブレークダウンを適用できます。この例では、優先度 1 インシデントを表示するために優先度別にデータをブレークダウンし、データベース インシデントを表示するためにカテゴリ別にデータをブレークダウンしています。

コマンド：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a
805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

応答：


```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a
3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": null,
      "value_color": "#000000",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": null,
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "name": "Number of open incidents / Priority / 1 - Critical / Category / Database",
      "value": null,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "1 - Critical",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/e590014020033100766597 82
99a805f3",
        "value": "e590014020033100766597829 9a805f3"
      },
      "precision": 0,
      "element_level2": {
        "display_value": "Database",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/9e418d402003310076659782
99a805c1",
        "value": "9e418d4020033100766597829 9a805c1"
      },
      "breakdown": {
        "display_value": "Priority",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d4
5a3ce610399",
        "value": "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "period": null,
      "favorite": false,
      "change_formatted": "",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "breakdown_level2": {
      "display_value": "Category",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
      "value": "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
    },
    "target": null,
    "changeperc": null,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d40200331007665978299a805c1",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


第 2 レベルのブレークダウンの日付の範囲のスコアを返す

すべての使用可能な日付の個々のスコアのリストを要求するには、*sysparm_include_scores* パラメーターを true に設定します。スコアの日付範囲を指定するには、*sysparm_from* パラメーターと *sysparm_to* パラメーターも使用します。この例では、第 1 レベルのブレークダウンと要素は [アサイン先グループ：ソフトウェア] (sys_id baec0752bf130100b96dac808c0739ed と 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7) です。第 2 レベルのブレークダウンと要素は [優先度：1：重大] (sys_id 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 と e590014020033100766597829 9a805f3) です。2018 年 11 月 30 日以降のスコアのみが返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "resttest:resttest" -H "Accept:application/json"
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3&sysparm_include_scores=true&sysparm_from=2018-11-30"
```

応答：


```
{
 "result": [
  { "indicator": {
      "display_value":"Number of open incidents",

"link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "scores": [
     { "end_at":"2018-12-04",
       "period":"Dec 04",
       "value_formatted":"2",
       "start_at":"2018-12-04",
       "value":2.0
     },
     ...

     { "end_at":"2018-11-30",
       "period":"Nov 30",
       "value_formatted":"0",
       "start_at":"2018-11-30",
       "value":0.0
     }
    ],
    "changeperc_formatted":"",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {                    //First-level breakdown
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73
c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597 8
299a805f3",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"2",
    "indicator_frequency":10,
    "value":2.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {                      //First-level breakdown element
     "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4ba
f547aa7",
      "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
    },
    "period_title":"Dec 04",
    "period":"Dec 04",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "target_formatted":"",
    "change":2.0,
    "gapperc_formatted":"",
    "realtime_enabled":false,
    "changeperc":null,
    "target":null,
    "unit":{
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"2",              //Second-level breakdown and element
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software > Priority =
 e590014020033100766597829 9a805f3",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"2",
    "favorite":false,
    "breakdown_level2": {
      "display_value":"Priority",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3c
e610399",
       "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "personal_target_formatted":""
  }
 ]
}
```


ブレークダウンと要素のブレークダウンの関連付けを返す

インジケーターに関連付けられたすべてのブレークダウンの関連付けの sys_id 値を取得するには、*sysparm_include_available_breakdowns* パラメーターを使用します。*sysparm_uuid* パラメーターには、第 1 レベルのブレークダウンの sys_id と、目的の関連付けを持っている要素を含めます。この例では、*sysparm_uuid* パラメーターには、アサイン先グループブレークダウンの sys_id とソフトウェア要素の sys_id が含まれています。アサイン先グループの sys_id は、すべてのブレークダウンと集計が返された例で取得されました。ソフトウェア要素の sys_id は、アサイン先グループのすべての要素が返された前の例で取得されました。アサイン先グループブレークダウンの sys_id は baec0752bf130100b96dac808c0739ed であり、ソフトウェア要素の sys_id は 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4である [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンの関連付けが取得されます。

注: [アサイン先グループ：未アサイン (Assignment Group: Unassigned)] など、ブレークダウンの要素値と一致しないインシデントのブレークダウンの関連付けを検索するには、要素 sys_id の代わりに文字列 unmatched を使用します。この場合、パラメーターは sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatchedになります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_include_available_breakdowns=true"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "value_formatted": "37",
   "indicator": {
    "display_value": "Number of open incidents",
    "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
   },
   "gapperc": null,
   "change": 9.0,
   "value_color": "#455464",
   "direction": 2,
   "target_formatted": "",
   "frequency": 10,
   "changeperc_formatted": "32.1%",
   "direction_label": "Minimize",
   "period_title": "Jul 22",
   "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
   "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Software",
   "value": 37.0,
   "key": false,
   "gap_formatted": "",
   "element": {
    "display_value": "Software",
    "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
    "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
   },
   "precision": 0,
   "breakdowns": [
    // Information about each breakdown

   ],
   "breakdown_relations": [
    {
     "display_value": "Child Groups",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/301fd511eb23310065deac6aa206fe31",
     "value": "301fd511eb23310065deac6aa206fe31"
    },
    {
     "display_value": "Parent Group",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c",
     "value": "790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c"
    },
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
        "display_value": "Sibling Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/15e15a12eb
233100871aac6aa206fe59",
        "value": "15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
      }
    ],
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b
96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "9",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f1
4ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.32142857142857145,
    "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112
278017a6a4baf547aa7",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "6",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


ブレークダウンの関連付けを使用してインジケーターを返す

ブレークダウンの関連付けを使用するには、*sysparm_uuid* パラメーターにインジケーター、ブレークダウン、および要素の sys_id 値を含め、*sysparm_breakdown_relation* パラメーターにブレークダウンの関連付けの sys_id を含めます。この例では、前の例の [アサイン先グループ：ソフトウェア] の兄弟グループ値が返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7&sysparm_breakdown_relation=15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
```

応答：


```
{
 "result": [
  {
```


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "indicator": {
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
      "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
       "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:0a52d3dc
d7011200f2d224837e6103f2",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"0",
    "indicator_frequency":10,
    "value":0.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
      "name":"incident",
      "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
      "display_value":"Application Development",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/0a52d3dcd7011200f2d224837
e6103f2",
       "value":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2"
    },
    "period_title":"Dec 03",
    "period":"Dec 03",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
ROpened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8^assignment_group=0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2^EQ",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
     "value_formatted":"0",
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Application Development",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   }
   // Followed by an indicator object with an element object for every element in the Sibling
 Group
 ]
}
```

ブレークダウンの要素のフィルタリングされたセットを返す

パフォーマンスアナリティクス要素フィルターレコードのsys_idとともに **sysparm_elements_filter** パラメーターを使用して、アナリティクスハブデータにフィルターを適用できます。

説明に従って、要素フィルターレコードから要素フィルターのsys_idを取得します。

この例では、要素フィルターが [[Parent][is][Database]] の条件でグループブレークダウンソースに適用されます。この要素フィルターの sys_id は 7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11 です。この例では、要素データベースを親として持つアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed&syspa
rm_elements_filter=7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "changeperc_formatted": "32.1%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database",
    "value": 37.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
     "display_value": "Database",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
      "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
     "display_value": "Assignment Group",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "9",
    "unit": {
     "display_value": "#",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.32142857142857145,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "37",
    "gap": null
   },
   {
    "value_formatted": "20",
    "indicator": {
     "display_value": "Number of open incidents",
     "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    // Database Atlanta
    "gapperc": null,
    "change": 4.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "25.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database Atlanta",
    "value": 20.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database Atlanta",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
      "value": "db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "4",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.25,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "20",
    "gap": null
  },
  {
    "value_formatted": "19",
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    ...

    // Database San Diego
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "gapperc": null,
    "change": 0.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "0.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database San Diego",
    "value": 10.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database San Diego",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53a9290a0a0a650091abebccf833c6",
      "value": "db53a9290a0a0a650091abebccf833c6"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"http://localhost:8080/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "0",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.0,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53a9290a0a0a650091abebccf833c6",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "10",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクスは、パフォーマンスアナリティクスデータのクエリのためのスクリプトと API で使用するための、いくつかのスクリプト オブジェクトを提供しています。このスクリプトはブレークダウンマッピングとして機能するか、インジケーターから値を計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトに関するヒント

- 一般に、スクリプトは、 score_start 変数と score_end 変数を使用して、日付処理による経過時間などのインジケーターをサポートする場合にのみ使用してください。
- 不要なフィールドを制限します。ドット連結フィールドを追加するたびに、クエリに結合が追加されます。
- パフォーマンスを向上させるために、手動ブレークダウンを データベースビュー に置き換えるようにしてください。
- 一般的な関数にはスクリプトインクルードを使用するようにしてください。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。
- レポートに必要な方法でデータが構造化されていない場合は、スクリプトを作成する代わりに運用テーブルに「レポートフィールド」を追加してみてください。詳細については、この コミュニティの投稿 を参照してください。
- パフォーマンスアナリティクススコアまたはスナップショットテーブルにクエリを実行するバックグラウンドスクリプトを実行している場合、そのアプリケーションに対する適切なロールがない限り、スコープ対象のアプリケーションに関するデータにアクセスすることはできません。

⚠ **警告:** パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

ブレークダウンマッピングとインジケータースクリプト

ブレークダウンマッピングスクリプトは、通常、ブレークダウン要素のsys_idまたはスコアをバケットに入れる整数のいずれかを返します。インジケーター スクリプトは、1 つ以上のフィールドから計算されたスコアを返します。同じスクリプトを、ブレークダウンマッピング スクリプトとインジケーター スクリプトの両方として機能させることができます。

Example: ブレークダウンスクリプト

たとえば、インシデントテーブルの opened_at フィールドを使用する Incident.Age.Days スクリプトについて考えてみます。このスクリプトは、インシデント経過時間範囲 (日数) バケットグループをブレークダウンソースとして使用する経過時間ブレークダウンのブレークダウンマッピングとして機能します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

この例では、 current.opened_at 現在評価されているレコードが開かれたときのタイムスタンプを取得します。score_end スクリプト変数はデータコレクターから取得され、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターを収集している場合、 score_end は月末です。ここでは、インシデントがオープンされたときのタイムスタンプが、収集期間の終わりのタイムスタンプから減算され、結果が日に変換されます。

この例には、このスクリプトの [フィールド] フィールドで指定されている Incident.opened_at フィールドが含まれています。フィールドフィールドで定義せずにscore_startとscore_endを使用できます。

関連トピック

- ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成
- サーバースコープ対象 API リスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンス分析でのスクリプトの作成

スクリプトを作成するには、まず、スクリプトを適用するファクト テーブルを選択し、明示的にフィールドを選択します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_adminパフォーマンスアナリティクステーブル内のスコープ対象アプリケーションのデータにアクセスするには、そのアプリケーションの適切な admin ロールも必要です。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > スクリプト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. スクリプトにわかりやすい [名前] を付けます。
3. スクリプトを適用する [ファクトテーブル] を選択します。
   これと同じファクト テーブルを使用するインジケーターのみが、このスクリプトを使用できます。
4. スクリプトで使用されるファクト テーブルの [フィールド] がある場合は、選択します。
   フィールドはラベルで選択します。
5. スクリプトを記述します。
   スクリプトは、次の関係と制限に従う必要があります。
   - このフォームとスクリプト変数で選択したフィールドのみを含めることができます。詳細については、パフォーマンスアナリティクス変数に関するセクションを参照してください。
   - スクリプトでフィールドを使用する場合は、列名を使用します。必要に応じて、ファクト テーブルの列名をルックアップします。
   - データベース ビューのフィールドを使用する場合は、プリフィックスを含める必要があります。たとえば、incident_sla データベース ビューには、taskslatable というプリフィックスを持つ task_sla テーブルが含まれています。task_sla には、business_duration 列が含まれています。incident_slaデータベースビューのbusiness_durationフィールドを使用するには、`taskslatable_business_duration`として書き込みます。データベース ビューにアクセスできない場合は、システム管理者にプリフィックスの検索を依頼してください。

次のタスク

スクリプトを作成したら、そのスクリプトを使用するブレークダウンマッピングまたはインジケーターを作成します。ブレークダウンマッピングまたはインジケーターフォームを開くには、ブレークダウンマッピングタブまたはインジケータータブのいずれかで [新規] をクリックします。このスクリプトを使用するブレークダウンマッピングとインジケーターが、これらのタブに一覧表示されます。

パフォーマンスアナリティクス の変数

いくつかの変数は、 パフォーマンスアナリティクス スクリプトと式インジケーターで使用できます。

パフォーマンスアナリティクススクリプトと式では、次の変数を使用できます。

- score_start:最初のインジケータースコア収集日の最初の 1 秒。スクリプトの場合、時間は、収集ジョブの実行ユーザーのタイムゾーンとデータベースのタイムゾーン (GMT) の差に基づいて計算されます。式の場合、時間は、式を実行したユーザーのタイムゾーンと GMT の差に基づいて計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示して式を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- score_end:最後のインジケータースコア収集の 1 日の最後の 1 秒。時間は score_startの場合と同じ方法で計算されます。
- pa: アナリティクスハブ 属性とメソッドのセットを提供する式変数で、スクリプトでは使用できません。

スクリプトでは、スコア収集の開始変数と終了変数は *GlideElementGlideObject* オブジェクトです。これらの変数から *GlideDateTime* オブジェクトを取得するには、次の例のように *getGlideObject()* を呼び出します。 gs.log("Score main = " + score_end.getGlideObject().getDayOfWeek());

式では、スコア収集の開始変数と終了変数は既に *GlideDateTime* オブジェクトです。したがって、次の例のように、 *getGlideObject()* を呼び出すことなく変数を直接使用できます。 gs.log("Score main = " + score_end.getDayOfWeek());

開始変数と終了変数の値は、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターを収集している場合、 score_end は月末です。

score_startとscore_endの値は、関連するユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。パフォーマンスアナリティクススクリプトの場合、これは収集ジョブの実行タイムゾーンです。式の場合、これは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するユーザーのタイムゾーンです。したがって、異なるタイムゾーンのユーザーは、式の score_start と score_end の日付が異なる場合があります。

関連トピック

GlideDateTime - スコープ指定

式でアナリティクスメソッドを取得する

ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了が変更されました

外部データとのパフォーマンス分析の使用

外部データソースに対するパフォーマンス分析により、ServiceNow インスタンスにないデータに対して詳細な分析を実行できます。

外部データのスコアを収集する場合、パフォーマンス分析は、インスタンスに外部データのスコアとブレークダウン要素を保存します。分析される生データは外部データソースに残り、インスタンスにはコピーされません。この機能を使用すると、基礎となるデータを複製せずにメトリックを分析および共有できます。

パフォーマンス分析の外部データ収集では、次の 3 つのタイプの構成レコードが使用されます。

- スコアを収集するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部インジケーター
- ブレークダウン要素を指定するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部ブレークダウン
- 外部インジケーターとブレークダウンの関係を定義する外部インジケーター ブレークダウンと、そのインジケーターの各ブレークダウン要素のスコアを収集するために使用される SQL ステートメント

外部データでサポートされているデータベース形式

パフォーマンスアナリティクス は、 ServiceNow がデフォルトでサポートするデータベース形式のみをサポートしています。顧客がサポートされていないデータベース形式の JDBC ドライバーを追加した場合、 パフォーマンスアナリティクス はそのデータベース形式を外部データソースとしてサポートしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているデータベース形式

SQL Server タイプ	ポート
MySQL	3306
Microsoft SQL Server	1433
Oracle	1521

関連トピック

JDBC タイプのデータソース

外部データのインジケーターの作成

外部インジケーターを作成して、評価するデータと、インジケーター スコアを決定するために使用される SQL ステートメントを定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター をクリックし、[新規] をクリックします。
2. インジケーターにわかりやすい [名前] を付けます。
3. [周期] フィールドに、[日次]、[週次]、または [月次] などの、インジケーターのデータ ポイントの周期を指定します。
4. [ソース] タブで、スコアを収集する [データソース] を選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データ ソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注: データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

5. スコア値を計算するために使用する **[SQL** ステートメント] を指定します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *value*を含む集計値を返す必要があり、日付フィールドに基づいてデータをフィルタリングする必要があります。

   重要: 集計の別名は、[値] である必要があります。

   Example
   単純なインジケーターの場合、SQL ステートメントは SELECT count(*) AS value FROM... のようになります。ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at})。

   より複雑なインジケーターでは、DATE が DATEADD が返す日付よりも前であるという条件も必要になる場合があります。ここで、複合データを含む月次インジケーターには、SQL ステートメント SELECT count(*) AS value FROM... WHERE DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) AND DATE(date_field) < DATEADD(month, 1, ${start_at})。

6. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント: 可能な限り方向を設定してください。すべての主要なインジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

値	ユースケース
最大化	このインジケーター スコアの増加が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最大化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの増加が良いことであり、減少することが悪いことであることを反映しています。
最小化	このインジケーター スコアの減少が求められている場合に選択します。例えば、収益を表示するインジケーターには [最小化] を選択することを考慮します。分析ツールとグラフィック要素は、このインジケータースコアの減少は良いことであり、増加することは悪いことであることを反映しています。
なし	このスコアの変更の方向が、ビジネスにとって重要でない場合に選択します。

7. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時]、および [分] で表示されます。システムプロパティ `glide.ui.duration.seconds.enabled` が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドにも秒が表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	数千からクインティリオンの多数の略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。でインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

8. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターは次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブ、ただし完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでのみ有効です プラットフォームアナリティクス
9. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターのデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定すると、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取ることができます。 ServiceNow AI Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

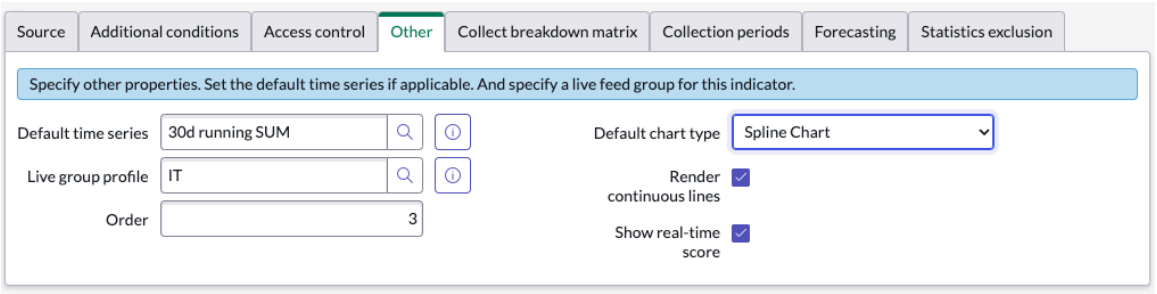
フィールド	説明
順序	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。値が最も小さいインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。いくつかのインジケーターのみに数値を入力すると、インジケーターが表示される順序が a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くと、デフォルトのグラフタイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフタイプが変更された場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターのデータ行が途切れることなく表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットを表示する場合や、在庫情報など定期的に更新されないデータの場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、 KPI 詳細に時系列が設定されている場合、連続線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーター ソースに条件を設定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、[その他] タブでは、次のようにインジケーターを設定できます。

- デフォルトでは、ウィジェットには 30 日間移動合計のスコアが表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースデータの可視化で上書きできます。
- IT ライブグループにインジケーターの変更が通知されます。
- インジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストの 3 番目に表示されています。他のすべてのインジケーターにも、その位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフタイプは、 アナリティクスハブ と KPI 詳細の [スプライン] です。
- データが欠落している場合でも、インジケーターのデータ行は途切れることなく表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



10. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
11. [Save (保存)] を選択してインジケーターを保存します。
12. [コレクションのテスト] を押します。
このアクションは、インジケーターのメインクエリをテストします。

次のタスク
インジケーターのブレークダウン スコアを収集する場合は、外部ブレークダウンを定義し、インジケーターに関連付けます。

外部データを使用したブレークダウンの作成

外部ブレークダウンを作成して、外部インジケーター スコアのブレークダウンに使用できる要素を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
デフォルトでは、外部ブレークダウンには最大で 5000 個の要素を含めることができます。この制限は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_external_elements` によって制御されます。

外部ブレークダウン要素は、pa_ext_elements テーブルに格納されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 外部ブレークダウン.
2. [**New**] をクリックします。
3. ブレークダウン要素として使用するレコードを含むデータソースを選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データ ソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注: データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

4. **[SQL** ステートメント] を指定して、ブレークダウン要素を選択します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *id* を含む各ブレークダウン要素の一意のキーと、エイリアス *name* を含む要素表示名 (例: SELECT guid AS id、user_name AS name FROM... など) を返す必要があります。

   重要: 一意のキーの別名は **[ID]**、表示名の別名は [名前] である必要があります。

5. ブレークダウンを保存します。
6. [コレクションのテスト] を押します。
   このアクションでは、ブレークダウン要素を選択するクエリをテストします。

次のタスク
ブレークダウン要素の収集方法を定義したら、外部ブレークダウンを 1 つ以上の外部インジケーターに関連付けます。

外部ブレークダウンを使用するための外部インジケーターの構成

外部インジケーターと外部ブレークダウンを関連付けて、インジケーターのブレークダウンスコアの収集方法を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター.
2. [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 外部の [ブレークダウン] を選択してこのインジケーターに適用します。
5. **[SQL** ステートメント] フィールドに、各ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントを入力します。
   SQL ステートメントには、COUNT などの、インジケーター SQL ステートメントと同じ集計関数を使用する必要があります。SQL ステートメントは、エイリアス *value* を含む集計値と、エイリアス **ID** を持つブレークダウン要素の一意のキーを返す必要があります。また、SQL ステートメントは、ブレークダウン要素の値を含む列でデータをグループ化する必要があります。

   たとえば、 SELECT count(*) AS value, guid as id FROM... WHERE DATE(date_field) >= DATE({$start_AT}) GUID でグループ化

   重要: 集計の別名は [値]、ブレークダウンの一意のキーの別名は **[ID]** である必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 変更内容を保存します。
7. [コレクションのテスト] を押します。
   このアクションは、ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントをテストします。

次のタスク
前の手順を繰り返して、インジケーターにブレークダウンを追加します。それぞれを追加した後、SQL ステートメントをテストします。

外部インジケーターとブレークダウンのテスト

外部インジケーターとブレークダウンをテストし、外部データソースに接続して期待するデータを収集できることを確認します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
インジケーターをテストして、そのインジケーターのクエリと、すべてのブレークダウン要素のクエリをテストします。ブレークダウンをテストして、利用可能なブレークダウン要素を決定するために使用されるクエリをテストします。

インジケーターまたはブレークダウンをテストするときは、スコアまたはブレークダウン要素は保存されません。

手順
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター または パフォーマンスアナリティクス > 外部ブレークダウン.
2. テストするインジケーターまたはブレークダウンを選択します。
3. [テスト] ボタンをクリックします。
   クエリが正常に実行されると、収集されるスコアまたはブレークダウン要素の数が表示されます。テスト中にエラーが発生すると、エラー メッセージが表示されます。

次のタスク
すべてのクエリが正常に実行され、期待するデータが返されることを確認したら、データ収集ジョブに外部インジケーターを追加して、スコアの収集を開始します。

日付による外部データのフィルタリング

外部データとともにパフォーマンス分析を使用する場合は、スコアを収集する SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要があります。

インジケーターおよびインジケーターブレークダウン SQL ステートメントでは、日付でクエリをフィルタリングします (例:`WHERE DATE(my_date_field) >= DATE(${start_at})`)。ブレークダウン SQL ステートメントは、スコアではなく要素のみを収集するため、ブレークダウン SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要はありません。

変数 ${start_at} には、収集される期間の日付が YYYYMMDD の形式で含まれます。日次インジケーターの場合、この値は常に収集される日付です。週次や月次などの、収集頻度の長いインジケーターの場合、この日付は収集期間の最初の日となります。データ収集ジョブが実行される日付は、この変数に影響しません。

インジケーターまたはブレークダウンをテストすると、${start_at} 変数は常に現在の日付に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部データとパフォーマンス分析を使用する場合の制限事項

外部データを測定するときは、特定のパフォーマンス分析機能が利用できません。

- スナップショットは収集できません。
- リアルタイム スコアは表示できません。
- 第 2 レベルのブレークダウンは適用できません。
- 外部データを持つ第 2 レベルのブレークダウンに依存するウィジェットのチャート化を使用することはできません。これには、ピボットやヒートマップによるチャート化が含まれます。
- スナップショットが利用できないため、収集されたレコードの変更を表示できません。

収集されたパフォーマンスアナリティクスデータのクリーニング

パフォーマンスアナリティクス のスコアとスナップショットは時間とともに増加する可能性があるため、最適なパフォーマンスと正確なデータを確保するために定期的にクリーニングする必要があります。

パフォーマンスアナリティクス は、スケジュール設定済みジョブを使用して古いスコアとスナップショットを削除します。

PA 収集のクリーニングのスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでアクティブであり、パフォーマンスに影響を与えません。デフォルトでは、このジョブは毎日実行されるため、削除する必要があるのは少量のデータのみです。

注: スコア (pa_scores、pa_scores_l1、pa_scores_l2) テーブルまたはスナップショット (pa_snapshots) テーブルのいずれかに対して属性が定義されている場合、nibble_sizeとnibble_sleepはコレクションクリーナージョブの動作に影響します。詳細については、「辞書属性を使用したテーブルとフィールドの変更」を参照してください。

関連トピック

辞書属性を使用したテーブルとフィールドの変更

KB0720725:パフォーマンスアナリティクススコアデータのクリア

PA 収集のクリーニング ジョブの変更

スケジュール設定済みジョブを変更して、パフォーマンス分析のスコアとスナップショットがいつクリーニングされるかを設定します。スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブは、データ収集ジョブの実行中は実行しないでください。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて

デフォルトでは、PA 収集のクリーニング ジョブは 05:00 に実行されます。これは、デフォルトのデータ収集ジョブを使用する場合に適切です。追加のデータ収集ジョブを作成する場合は、PA 収集のクリーニング ジョブの開始時間を変更する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 自動化 > スケジュール.
2. **[PA** 収集のクリーニング] ジョブを選択します。
3. 必要な変更を行います。
   たとえば、ジョブが実行される時間を変更するには、[実行時間] フィールドの値を変更します。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

スケジュール済みジョブ

KB0721309: パフォーマンスアナリティクス テーブルクリーナーの設定

インジケータースコアの移行

パフォーマンスアナリティクススコア [pa_scores] テーブルが 2 つのテーブルに分割されました。この構造は、多数のスコアを処理するのに役立ちます。スコア移行ツールを使用して、古いテーブル構造から新しいテーブル構造にスコアを移行できます。

警告: 新しいテーブル構造は Oracle データベースではサポートされていません。

Istanbul では、スコア [pa_scores] テーブルはスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] に分割されました。pa_scores_l2テーブルにはスコアの第 2 レベルのブレークダウンマトリクスが含まれ、pa_scores_l1テーブルには他のすべてのスコアが含まれます。このスコアの分離により、スコアの収集と分析時の最適なパフォーマンスが確保され、より大きなスコアセットが可能になります。Istanbulリリース以降で作成された新しいインスタンスは、デフォルトで新しいスコアテーブルを使用します。

Istanbulより前に作成されたインスタンスは、アップグレード後も元のスコア [pa_scores] テーブルを引き続き使用します。

重要: パフォーマンスアナリティクススコアを新しいテーブル構造に移行する方法の詳細については、「KB1294371」を参照してください。

移行モニター

移行を開始した後、次に移動して移行ステータスを追跡できます パフォーマンスアナリティクス > スコア移行モニター。

移行中にエラーが発生した場合は、問題を解決するためにカスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

スコア移行開始の遅延

次のプロセスのいずれかが実行されている場合、スコアの移行は停止するまで [待機中] ステータスのままになります。

- データ コレクタ ジョブ
- コレクションクリーナージョブ
- スコアシートの編集

パフォーマンス分析スコアの移行のスケジュール

自動化された移行プロセスをスケジュールして、既存のスコアを新しいテーブル構造に移動します。

始める前に

必要なロール：admin pa_admin ロールを持つユーザーは、移行モニター ページを表示できますが、移行をスケジュールすることはできません。

このタスクについて

スコアの移行により、パフォーマンスアナリティクスのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。移行はピーク時間外に実行する必要があります。

移行中はスコアの収集、変更、または削除を行うことはできません。スケジュール設定済みデータ収集ジョブは、移行中は実行されません。移行の完了後に、移行時に実行するようにスケジュール設定されたデータ収集ジョブを確認してください。これらのジョブは一時停止されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- スコアの数に応じて、スコアの移行には数時間かかる場合があります。非本番インスタンスでの移行をスケジュールしてから、本番インスタンスでの移行を慎重に計画します。
- 移行に成功してから 10 日後に元のスコア [pa_scores] テーブルが切り捨てられます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > スコアの移行モニター.
2. [スコアの移行のスケジュール] ボタンをクリックします。
   スコアの移行がスケジュールされます。このページには、移行の開始がスケジュールされた時間と、完了予定時間が表示されます。
3. オプション: 移行に関する追加情報を表示するには、[ログ] リンクまたは [アクティブジョブ] リンクをクリックします。
   移行を開始したときに実行中のデータ収集ジョブまたはクリーンアップ ジョブがある場合は、移行の開始前にそれらのジョブの完了が待機されます。移行中は、すべてのスケジュール設定済みの収集ジョブとクリーンアップ ジョブが一時停止されます。

次のタスク
何らかの理由で移行が失敗した場合は、カスタマーサービス & サポートに連絡してサポートを受けてください。既存のスコアはそのまま残ります。

(従来)タスクテーブルの パフォーマンスアナリティクス をすばやく構成する

構成ジェネレータを使用すると、パフォーマンスアナリティクスをすばやく構成して任意のタスクテーブルのデータを表示することができます。

注: 構成ジェネレーターは従来の機能です。

レポートするタスクベースのテーブルを指定することができ、構成ジェネレータによりインジケーター、ブレークダウン、計算、データ収集ジョブ、およびダッシュボードが自動的に作成されます。この構成ではパフォーマンスアナリティクスのインシデント解決と同じ要素が提供されますが、任意のタスク テーブル用です。ドメインセパレーションを使用する場合は、すべてのレコードが現在のユーザーのドメインに作成されます。

注: タスクを拡張するテーブルでのみ構成ジェネレータを使用できます。ジェネレーターによって作成されたファイルの使用を開始する前に、構成を微調整する必要がある場合があります。

構成ジェネレーターにアクセスするには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > 構成ジェネレータ.

選択したテーブルの構成を生成した後は、[設定レコードに移動]、[生成済みインジケーター]、および [生成済みジョブ] 関連リンクを使用して作成したレコードを表示できます。生成されたレコードは、必要に応じて標準のパフォーマンスアナリティクスの設定オプションを使用して変更できます。

パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータの有効化

管理者として、パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータ プラグイン (com.snc.pa.configurationgenerator) を有効にすることができます。

始める前に
必要なロール：admin
この手順を開始する前に、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス参照

参照トピックには、ロールとプロパティに関する情報が記載されており、用語集も含まれています。

パフォーマンスアナリティクス ロール

ユーザーが必要なすべてのアクションを確実に実行できるようにロールを割り当てます。

ロールとペルソナ

警告: セキュリティの観点から、pa_adminまたはpa_data_collectorロールを誰かに付与することは、アドミンを付与することと同じです。

ロール	認証	典型的なペ
ロールなし	• サービスポータルでパフォーマンス分析のビジュアルを表示します。 • このユーザーと共有されているダッシュボードを表示します。 HR エージェントダッシュボードのsn_hr_core_basicなど、一部のダッシュボードを表示するには、対象分野関連のロールが必要です。ダッシュボードの所有者と管理者は、ロールごとにダッ	結果の特定 視化以外の フォーマ ナリティ のアクセ 要としな 者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペ
	シュボードのアクセスを制限することもできます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	
任意のロール (パフォーマンスアナリティクスロールである必要はない)	• インジケーターライブラリを開く • ダッシュボードを作成します。 • ロールによるアクセスを作成したダッシュボードに制限します。 • 自分が所有するダッシュボードを共有します。	
pa_viewer 次のものに含まれる：pa_contributor 以外のすべてのロール	Quebec 以前は、このロールは次のアクションに必要でした。アップグレードされたインスタンスで引き続き必要な場合があります。 • アナリティクスハブ を表示します。 • インジケーターの個人のしきい値とターゲットを作成します。 • 作成したしきい値とターゲットを読み込み、更新、および削除します。 • ダッシュボード上のテキスト分析ウィジェットを表示します。	重要業績標の詳細とし、理いる要求
sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic 次のものに含まれる：pa_admin	• 診断テーブルから読み込みます。 • 診断を有効または無効にします。	特定のペはありまが、この は通常、ビジネストまた者のグル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペ
	• 診断を実行します。 • メッセージ レコードと診断ログを削除します。	割り当てます。
pa_contributor 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	ユーザーが貢献者として指定されたインジケーターの場合： • スコアシートのスコアを読み込んで更新します。 • アナリティクスハブを表示します。 このユーザーは、共有されているダッシュボードを読み込むこともできます。	特定のペはありまが、このルは通常ジケータコアを手定できる担当者まループに てられま
pa_kpi_signal_admin 次に含まれる:アドミン	ユーザーがシグナルを却下したり、KPI シグナルのベースラインをリセットしたりできるようにします。	パフォーアナリのトレグも受プロセー。paールもす。
pa_target_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• ターゲットを作成します。 • 所有していないターゲットを含め、すべてのターゲットを読み込み、更新、および削除します。 • ターゲットをインジケーターに割り当てます。	設定するゲットをているが以上の入い可能性マネージフォーマナリティ
pa_threshold_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• グローバルしきい値を作成します。 • 所有していないしきい値を含め、すべてのしきい値を読み込み、更新、	設定する値を知っが、それ入力がな性のあるジャ パフ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なへ
	および削除します。 • しきい値をインジケーターに割り当てます。	ンスアナクス
pa_analyst 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• テキスト分析のキーワード、フレーズ、ストップワードの CRUD 操作を実行します • インジケーターソースを読み込みます。	特定のペはありまが、この は、ワーウドのキド、フレストップドを専門個々の担たはグル割り当てす。
pa_power_user 次のものに含まれる：pa_admin pa_power_userロールに は、viz_admin、pa_viewer、pa_contributor、pa_target_admin、pa_analyst、およびpa_threshold_adminロールが含まれています。	• インジケーターとブレークダウンの CRUD 操作を実行します。 • ウィジェットの CRUD 操作を実行します • ダッシュボードにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加します。 • テキスト分析のテキスト インデックス構成の CRUD 操作を実行します。 • バケット グループの CRUD 操作を実行します。 • インジケーター グループの CRUD 操作を実行します	ビジネスリストお可視化デナー。パマンスアティクスケースジケーレークの要件をます。
pa_data_collector 次のものに含まれる：pa_admin	• データ収集ジョブの CRUD、スケジュール設定、および実行 • インジケーターとブレークダウンの	の基礎とデータベコード構解してい エキスパフォーマナリティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペ
	ソースの CRUD 操作を実行します • 一部のシステム プロパティを読み込みます • システム ユニットの CRUD 操作を実行します • スクリプトと自動通知の CRUD 操作を実行します • バケット グループの CRUD 操作を実行します • データスナップショットをアクティブ化または非アクティブ化	
pa_admin pa_admin ロールには、pa_power_user、sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic、viz_admin、および pa_data_collector ロールが含まれています。	• パフォーマンスアナリティクスプロパティを読み取ります。 • 管理コンソールにアクセスします • 依存関係アセスメントを起動	パフォーアナリテビジネス理解し技術エキ。
アドミン	システムアドミニストレーターロール。admin ロールを持つユーザーは、すべてのpa_admin 機能の実行、プロパティの編集、 データベースビューの作成、ダッシュボードの CRUD、ダッシュボードへの所有権のアサインを行うことができます。	システムニストレ

スポットライトロール

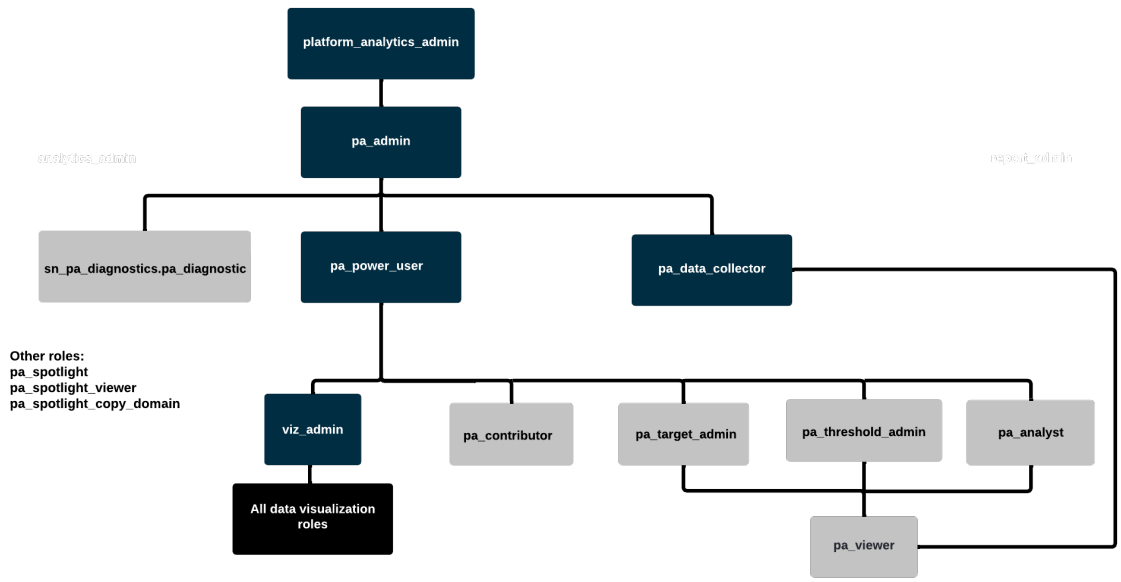
ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_spotlight	CRUD スポットライトのグループと基準。	リマインダーが必要なレコードのビジネスロジックを理解しているエキスパート。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
内容: pa_viewer、pa_spotlight_copy_breakdown		
pa_spotlight_viewer	アナリティクスおよびレポートのスポットライトソリューションからダッシュボードにアクセスします。	アクションが必要なレコードをリマインドするために、単純な優先度設定以上のものを必要とする履行者。
pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライトグループをブレークダウンの複数の要素にコピーできます。	ブレークダウン要素別のスポットライトグループの適用性を理解しているスポットライトの専門家またはビジネスアナリスト。
pa_spotlight_copy_domain	スポットライトグループを複数のドメインにコピーできます	パフォーマンスアナリティクス専門知識を持つドメインアドミニストレーター

ロール階層

pa_power_user や pa_admin などの特定のロールには、他のロールも含まれます。たとえば、pa_power_user には pa_contributor が含まれます。この図は、ロール階層を示しています。



アクションに必要なロール

モジュール	アクション	最低限必要なロール
管理コンソール	アクセス	pa_admin
アナリティクスハブ (スコアカード)	表示	Quebec 以降はありません。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
		pa_viewerが必要な場合があります。
自動インジケーター	CRUD	pa_power_user
自動化スケジュール	読み込みと削除 (他のセキュリティ制限が適用される可能性があります)	pa_data_collector
自動化スクリプト	CRUD	pa_data_collector
ブレークダウンと要素 (ブレークダウン関係を含む)	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
バケット グループ	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
チャートとターゲットのカラースキーム	CRUD	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	ダッシュボードを作成してください。ロールによるアクセスを制限するなど、作成したダッシュボードを更新します。	表示するデータにアクセスするために必要なロール、またはいずれかのロール
データスナップショット	アクティブ化または非アクティブ化	pa_data_collector
レスポンシブダッシュボード	自分が所有するレスポンシブダッシュボードに パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	共有されているダッシュボードを読み込みます	デフォルトではロールはありませんが、ダッシュボードにはデータを表示するためにロールが必要になる場合があります。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	自分が所有するダッシュボードを更新、削除、または共有します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	任意のダッシュボードを更新、削除、または共有します。ダッシュボードの所有権を再割り当てします。	admin (およびダッシュボードのロール dashboard_admin)
データ コレクタ ジョブ	読み込み、書き込み、実行します	pa_data_collector
依存関係アセスメント	インジケーターまたはブレークダウン フォームから依存関係アセスメントを開始します	pa_admin
外部インジケーターとブレークダウン	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
計算式およびマニュアル インジケーター	CRUD	pa_power_user
インジケーター グループ	CRUD	pa_power_user
ソース (インジケーターまたはブレークダウン)	CRUD	pa_data_collector
インジケーター ターゲット	自分が所有していないターゲットを読み込みおよび編集します	pa_target_administrator
インジケーター ターゲットまたはしきい値	新規作成します。自分が所有しているものを読み込みまたは編集します。	Quebec 以降はありません。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き pa_viewerが必要な場合があります。
インジケーター しきい値	自分が所有していないしきい値を読み込みおよび編集します	pa_threshold_administrator
フォーム内分析	CRUD	pa_power_user
KPI シグナル	ベースラインをリセットまたはシグナルを却下	pa_kpi_signal_admin
すべてのアプリケーション内のリスト	インタラクティブ分析にアクセスします	デフォルトでロールはありませんが、一部のインタラクティブ分析にはテーブルを表示するためのロールが必要です
診断の管理	読み込み、実行、削除します	sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic
スケジュール設定済みメール概要ジョブ	CRUD	pa_power_user
スコアシート	CRUD	pa_power_user
サービスポータル	パフォーマンス分析のビジュアルを表示します	ロールなし
システム プロパティ	編集	アドミン
システムプロパティ	読み込み	一部の pa_data_collector、pa_admin すべての人
システム ユニット	CRUD	pa_data_collector
テキスト分析	テキスト インデックス構成を設定します	pa_power_user
テキスト分析	ダッシュボード上にテキストウィジェットを表示します	Quebec 以降はありません。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続き pa_viewerが必要な場合があります。
テキスト分析のキーワード、フレーズ、またはストップ ワード	CRUD	pa_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
ニュース移動ルールと統計情報ジェネレータに関する情報	読み込みおよび編集します	pa_power_user
インジケーター情報を含む可視化	CRUD	pa_power_user

関連トピック

- ダッシュボード権限
- レポートの管理

パフォーマンスアナリティクスのプロパティ

これらのシステム プロパティがパフォーマンスアナリティクスの動作を制御します。

プロパティを設定するには、 パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ または sys_properties_list.do。

注: ここでは、[パフォーマンスアナリティクス プロパティ] ページのプロパティのみについて説明します。sys_properties.list ページには、パフォーマンスアナリティクスに影響する他のプロパティが含まれています。詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

コレクションのクリーンアップパフォーマンスアナリティクスプロパティ

いくつかのプロパティにより、パフォーマンスアナリティクスのスコアとスナップショットが、スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブにより削除される前に維持管理される期間が決まります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.keep_scores_for.frequency	スコアが収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスコアは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：732;105;53;40;60;30;20;20;20;10;10 • 場所： パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ
com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency	スコアに関連するレコードリスト (スナップショット) が収集され保持される、今日までの最大期間数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスナップショットは、データ収集中に収集されません。 注: このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：183;26;13;10;15;8;5;5;5;3;3 • 場所： パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ

会計年度 パフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、会社の会計年度と一致するようにパフォーマンスアナリティクスの年を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.fy_start	会社の会計年度の開始 範囲:1 (1 月) - 12 (12 月) デフォルト値：1

デフォルトのカラースキーム パフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、チャート全体とインジケーター ターゲットのデフォルトの色を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルトの インジケーターターゲット のカラースキーム デフォルト:3 色の信号
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム デフォルト:デフォルトの UI14

ブレークダウンとインジケーターのパフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、主に可視化のコンテキストで、ブレークダウン要素とインジケーターに制限を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.scoresheet.max_element	スコアシートに表示できるブレー クダウン要素 の最大数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	デフォルト：500
com.snc.pa.breakdown_element_cutoff	アナリティクスハブとKPI 詳細がスコアなしの要素を表示する場所でブレークダウンが保持できる要素の最大数。 要素は、次のいずれかの条件を満たすとスコアレスになります。 • リアルタイムスコアの場合、要素にはスコアがありません。 • 式インジケーターの場合、要素の 1 つ以上の貢献インジケーターでスコアがありません。 • 自動インジケーターの収集されたスコアについて、要素にはスコアがありません。ただし、まだ表示される要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* 値を超えた場合は、選択した日付のスコア値または変更値を持つ要素のみが表示されます。詳細と例については、「収集されたスコアとcom.snc.pa.breakdown_element_cutoff」を参照してください。 **注:** このパラメータは、一致しない要素が表示されるかどうかには影響しません。 デフォルト：50
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_element	アナリティクスハブリスト内のブレークダウン要素の最大数 デフォルト：1000 最大:10,000。10,000 を超える値は 10,000 として扱われます。 **ヒント:** この値がインジケーターに対して十分に高くない場合は、 パフォーマンス アナリティクス ソリューションを再設計することを検討してください。
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.max_row	チャート化のブレークダウン要素の数 デフォルト値：10
com.snc.pa.thresholds.frequency_intervals_in_the_past_limit	しきい値チェックジョブが分析する過去の頻度間隔の最大数 デフォルト値：2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.scorecard.max_record_num	単一インジケーターの アナリティクスハブ の [レコード] タブに自動的にロードされるレコードの数。レコードの数がこのプロパティの値を超えると、レコードは自動的にロードされません。この場合は、メッセージとすべてのレコードをロードするためのボタンがユーザーに表示されます。 デフォルト:50,000
com.snc.pa.breakdown_element_ui_max_records	アナリティクスハブ で使用廃止。ブレークダウンのためにフェッチされる要素数の制限。ルックアップフィールド (ブレークダウンダッシュボード、古い詳細スコアカードなど) に使用されます。 デフォルト：100
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	KPI 詳細にのみ適用：[ターゲット構成] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットを一括で挿入または更新しているときにタイムアウトが発生した場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100
com.snc.pa.widget.max_widget_indicators	ウィジェットに追加できるメインインジケーターを含むウィジェットインジケーターの最大数 デフォルト値：7
com.snc.pa.widgets.respect_acl	インジケーターとブレークダウンの ACL に従ってウィジェットのヴィジビリティを制限します。true|false です。 • 新しいインスタンスのデフォルト:true • Quebecより前のアップグレードされたインスタンスのデフォルト:false

パフォーマンスアナリティクスのチャートプロパティ

ここで グラフは 、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットまたは アナリティクスハブのグラフィカルコンポーネントを指します。これらのプロパティはコア UI にのみ適用され、構成可能なワークスペースの可視化には適用されません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	トレンドラインやブレットチャートなど、 アナリティクスハブ とウィジェットのスコアの色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.text.trendline_points_for.frequency	テキストアナリティクストレンド ラインに表示されるポイントの最大数 デフォルト値：30
com.snc.pa.default_chart_target_color	グラフ内のターゲットの色。 • 形式：16 進数 • デフォルト値:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	単一インジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人ターゲットの線の色。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	チャート内のしきい値の色。 • 形式：16 進数 • デフォルト値:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	単一インジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人しきい値の線の色。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_area_color0	グラフの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.default_chart_area_color1	グラフの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0
com.snc.pa.navigator_line_color	チャート ナビゲータの線の色。 • 形式：RGBA • デフォルト:106,183,239,1
com.snc.pa.navigator_area_color0	チャートナビゲーターの最初のグラデーション領域の色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.25
com.snc.pa.navigator_area_color1	チャートナビゲーターの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.5
com.snc.pa.navigator_mask_fill_color	アナリティクスハブで廃止されました。 チャート ナビゲータのマスク塗りつぶし色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0.25
com.snc.pa.spark_line_width	チャートの線のピクセル幅。ワークベンチ ウィジェットでのみ使用されます。 デフォルト値：1
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.name_max_length	ブレークダウン ウィジェットにある凡例の要素名の最大数。 デフォルト：27

データコレクターのパフォーマンスアナリティクスプロパティ

データ コレクタのプロパティを使用すると、パフォーマンスアナリティクスのデータ収集のさまざまな制限を設定できます。このプロパティは、データ収集プロセスを保護するために設定されます。デフォルト値はほとんどの環境に適しています。

注: これらの値を必要以上に増やさないようにしてください。実装によっては、これらの値を増やすとパフォーマンスに影響する場合があります。可能であれば、プロパティ値を増やすための代替ソリューションを見つけられる可能性のあるドメインエキスパートまたは実装パートナーに相談してください。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.script_timeout	インジケーター ソース スクリプトやブレークダウン スクリプトなどのスクリプトをデータ収集サイクル中に実行できる最大時間 (秒)。 この制限は、データ収集ジョブによって処理されるレコードごとに個別に適用されます。スクリプトがこの制限を超えると、データ収集ジョブは現在のレコードをスキップします。 スクリプトが頻繁にデフォルトの制限に達する場合は、このプロパティを変更する前にスクリプトを可能な限り簡素化してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：30
com.snc.pa.dc.query_time_limit	警告がログに記録される前にデータ収集ジョブの単一クエリを実行できる最大期間 (分)。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60
com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。デフォルトの条件である最適化されたデータ収集が有効になっている場合は、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_sou* 参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーターソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 150,000 レコード (各インジケーターソースから 50,000) を収集できます。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーターソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* の値よりも少なくても、個々のインジケーターソースが収集されない可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーターソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 300 万レコード (各インジケーターソースから 100 万) を収集できます。 San Diego より新しいバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータコレクターが有効になります。その後、このプロパティは *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*を上書きします。*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*の値が 100 万を超えない限り、新しいプロパティの値はデフォルトの 100 万に設定されます。後者の場合、元のプロパティ値は保持されます。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーターソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_s* の値よりも少なくても、個々のインジケーターソースが収集されない可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit	各ブレークダウンソースのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えている場合、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。データ収集を最適化するには、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* 参照してください。データ収集の最適化も参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのブレークダウンソースから 12 のブレークダウンのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 30,000 レコード (各ブレークダウンソースから 10,000) を収集できます。 **警告:** この制限を増やすと、ノードの処理負荷が増加します。 このプロパティは、ネストされたコレクションが有効かどうかに応じて処理が異なります。 ネストされたコレクションが有効になっている場合、null 以外のスコアを持つ要素のみがこの制限に対してカウントされます。このカウントは、データ収集ジョブの実行時に取得されます。スコアを含む要素の数がこの制限に達すると、ブレークダウンソースは無効になり、スコアはメモリからクリアされます。 ネストされたコレクションが有効になっていない場合、ブレークダウンソースのすべての要素が制限に対してカウントされます。スコアが収集される前にカウントされます。 100 万個の要素を含むブレークダウンソースにデフォルトの制限である 10,000 要素が適用され、そのうち 5,000 要素がスコア付きであるケースを考えてみましょう。ネストされたコレクションでは、ジョブはこれら 5,000 要素のスコアを収集します。ネストされた収集がオフの場合、ジョブはこのブレークダウンソースのスコアを収集しません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limit	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超え

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	ている場合、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 デフォルトでは、ブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、 カスタマーサービス & サポートに相談して制限を設定することを検討してください。 San Diego より新しいバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータ収集が有効になります。その後、このプロパティは *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* を上書きします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit	2 つのブレークダウンのマトリクスで許可されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、マトリクスのブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。データ収集を最適化するには、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_leve* 参照してください。データ収集の最適化も参照してください。 たとえば、デフォルトの制限が 100 万要素で、第 1 レベルのブレークダウンに 10,000 要素、第 2 レベルのブレークダウンに 500 要素がある場合、結果のマトリクスからなる 500 万要素は収集されません。第 1 レベルのブレークダウンに 1,000 個の要素しかない場合、結果の 500,000 個の要素が収集されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	注: この制限は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* プロパティの影響も受けます。ブレークダウンソースの 1 つがその制限を超える場合、ブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_level2_limit	2 つのブレークダウンのマトリクスで許可されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、ブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。「データ収集の最適化」を参照してください。 デフォルトでは、マトリクス内のブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、カスタマーサービス & サポートに相談して制限を設定することを検討してください。 **注:** この制限は、*com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* プロパティの影響を受ける可能性があります。この制限が設定されている場合、いずれかのブレークダウンソースがその制限を超えるブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_error_count	データ収集が停止されるまでに単一のデータ収集ジョブ実行で発生できるエラーの最大数。 データ収集中のエラーは、通常、無効なスクリプトやスクリプトのタイムアウト制限が原因で発生します。 この制限が適用された場合は、データ収集中に実行されるすべてのスクリプトを調べて、スクリプトが有効であり、想定どおりに機能することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 500
com.snc.pa.dc.max_records	単一のスナップショット [pa_snapshots] レコードに保存される Sys ID の最大数。収集されたスコアごとにスナップショットレコードが作成され、このレコードのフィールドには、スコアに寄与するレコードのすべての Sys ID が含まれます。この制限を超えると、最大レコード数のスナップショットレコードが作成されます。この制限は、インジケーターに [レコードの収集] が選択されている場合にのみ適用されます。 たとえば、デフォルトの制限である 5,000 を使用していて、5,010 のレコードがスコアに寄与するジョブを実行しているとします。[sys_id] フィールドの最初の 5,000 個の Sys ID のカンマ区切りリストを含むスナップショットレコードが作成されます。 一般には、デフォルトの限界値によって、収集されたレコードの十分な詳細が得られます。この制限を増やすと、データ収集中やスナップショットテーブルで操作を実行するときのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 5000

収集されたスコアと**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**

選択した日付に対して アナリティクスハブ と KPI 詳細 に表示されるブレークダウンの要素は、要素の数と *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*値によって異なります。

一般に、ブレークダウンの要素数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* を超えると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にはスコアが設定された要素のみが表示されます。

式インジケーターの場合は、これまでに貢献しているすべての自動インジケーターのスコアを持つ要素が表示されます。これらのスコアは同じ日付である必要はありません。要件は、貢献する 各インジケーターについて、ある日付に要素のスコアがあったことだけです。

自動インジケーターの収集されたスコア (つまり、リアルタイムスコア以外のすべてのスコア) には、次の 2 つの動作があります。

- スコアを持つ要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* で設定された制限より少ない場合、選択した日付についてこれらすべての要素がリストされます。選択した日付のスコアがない要素は、その日付について引き続きリストされます。この動作は、リアルタイムスコアの動作と同じです。
- スコアを設定した要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* で設定された制限より大きい場合は、選択した日付のスコアまたは変更値を持つ要素のみがその日付に対してリストされます。その日付のスコア値または変更値がない要素は、他の日付のスコアがあるかどうかに関係なく、リストされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

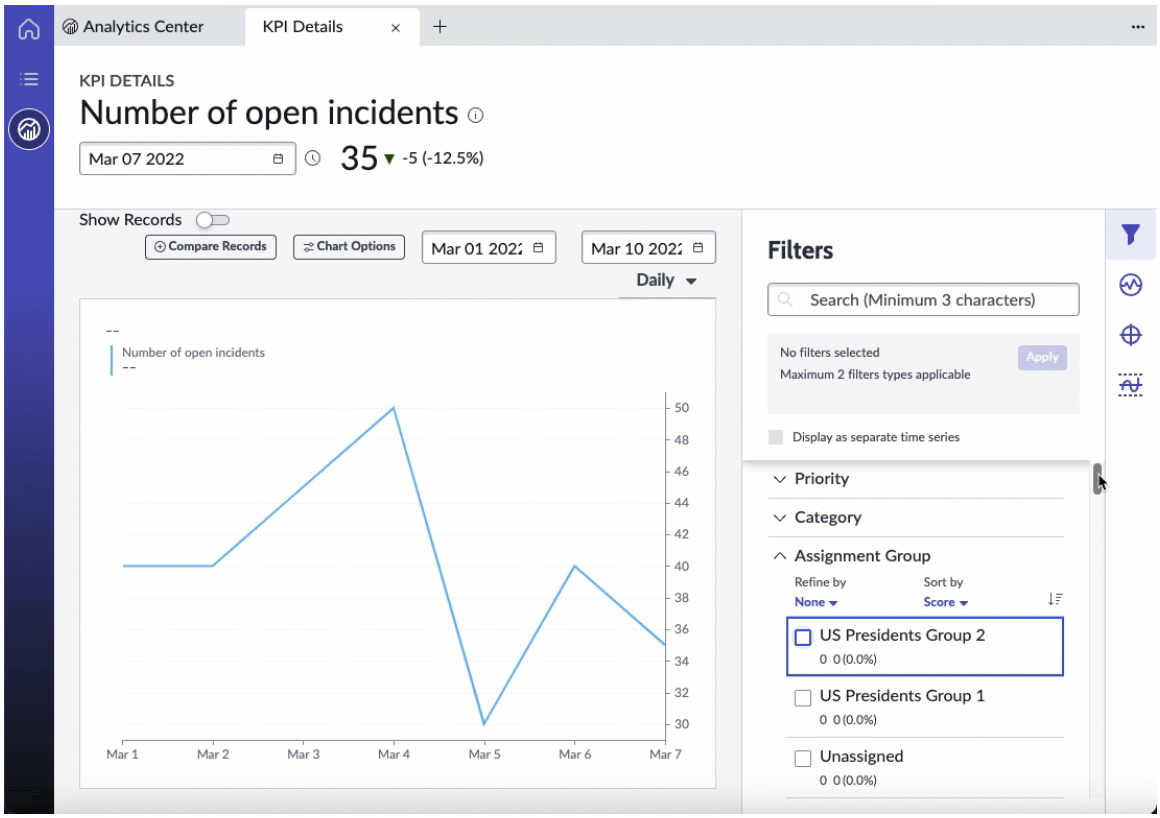
ヒント:

自動インジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 に null スコアの要素が表示されないようにするには、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*値を 0 や 1 など小さく設定することを検討してください。ただし、リアルタイムスコアと式インジケーターでは、null スコアを持つ要素が表示される場合があります。

Example: com.snc.pa.breakdown_element_cutoff の値が異なる自動インジケーターに表示されるスコア

この例では、 KPI 詳細 を使用して、[オープンインシデントの数] インジケーターのアサイン先グループのブレークダウンを調べます。例で使用されているインスタンスのアサイン先グループブレークダウンには、50 個弱の要素があります。

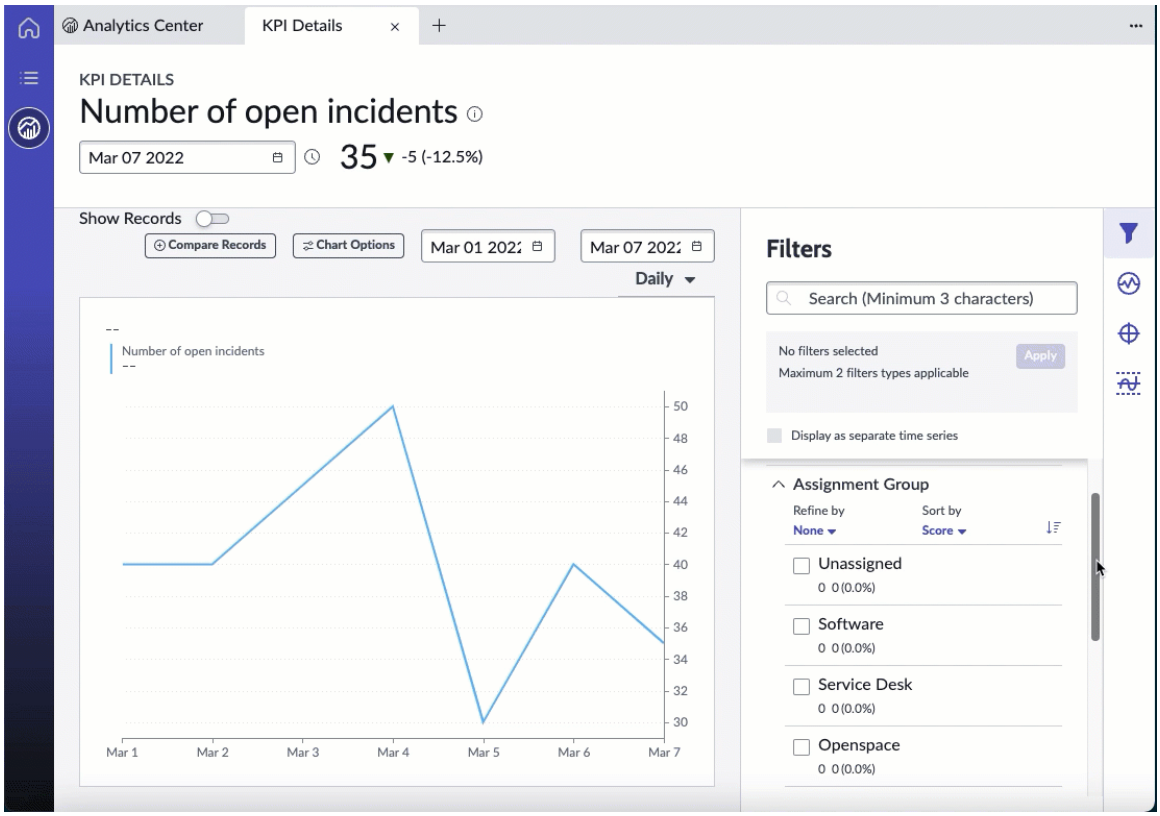
1 つ目はデフォルトのケースで、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=50 です。この値は、アサイン先グループの要素数よりも大きくなっています。したがって、選択した日付について、ブレークダウングループのすべての要素が表示されます。



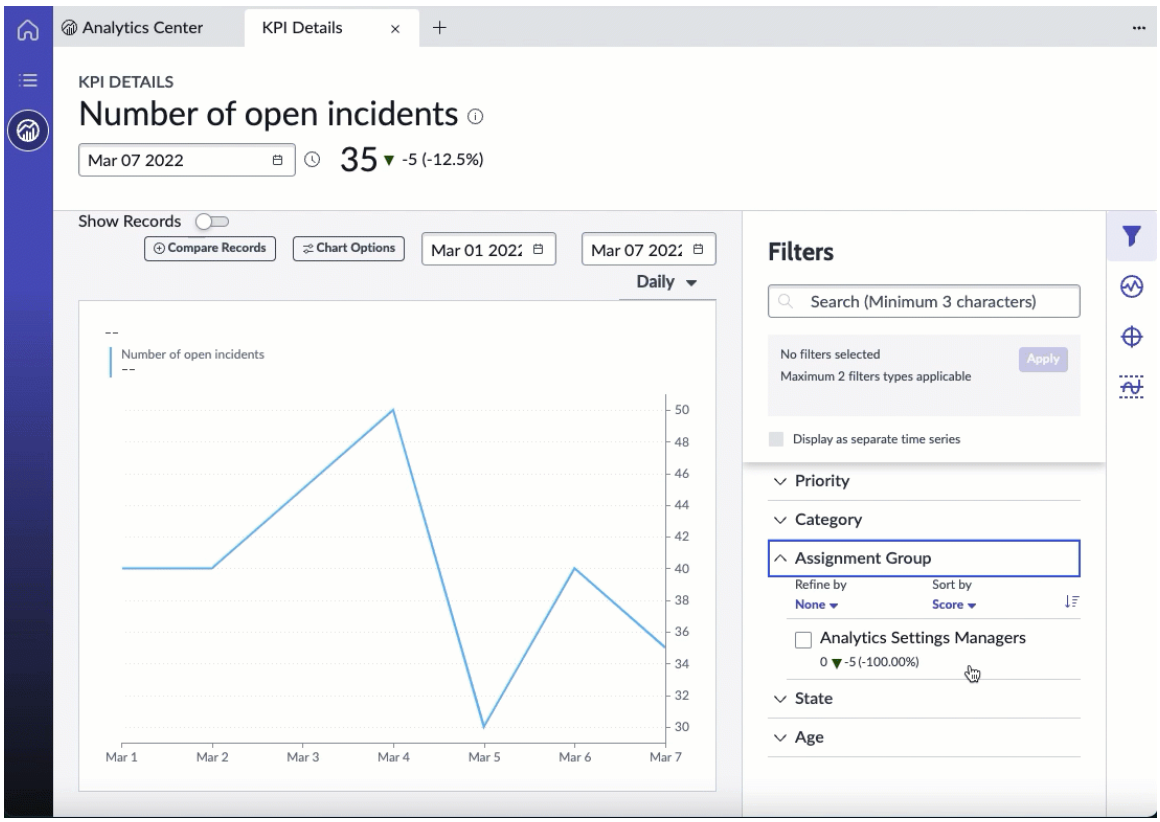
次のケースは、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=10 です。アサイン先グループブレークダウンの要素数が、この値を大幅に超えています。ただし、スコアが付けられたのは 8 つの要素だけです。この数値はカットオフ値の 10 よりも小さいため、どの日付でも、null であっても 8 つの要素すべてが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



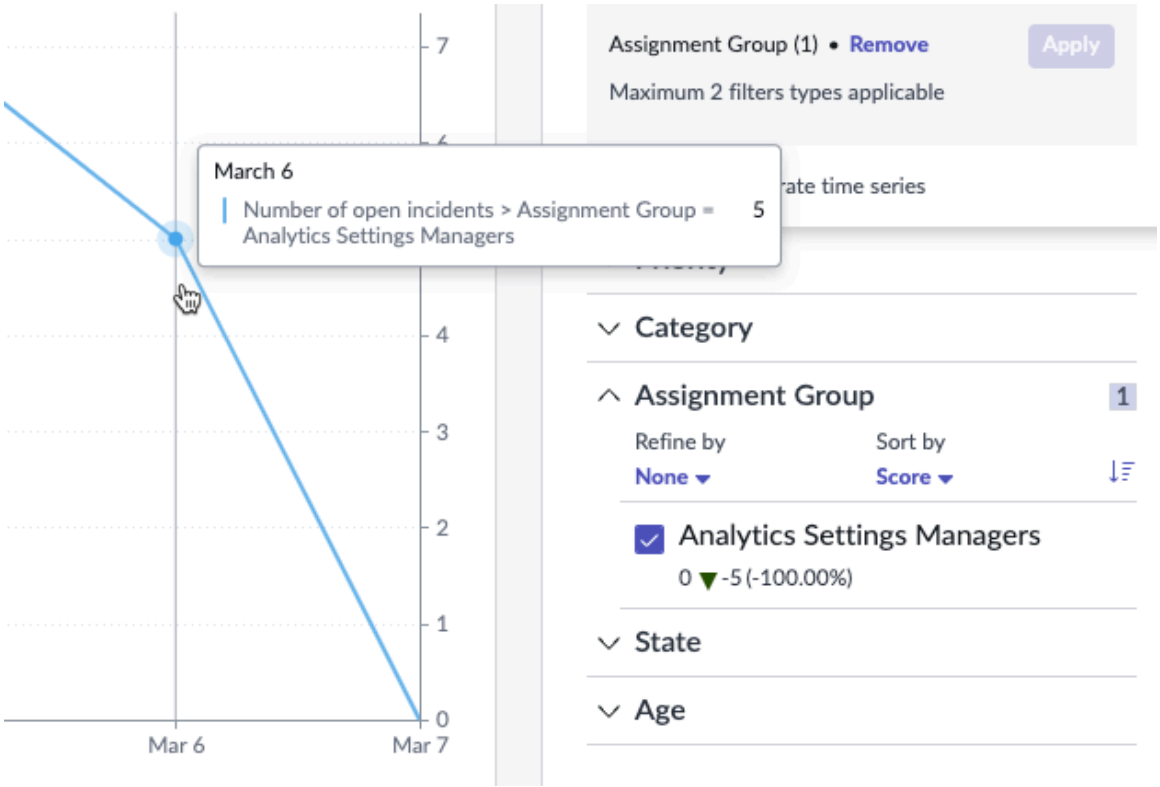
最後に、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=5 の場合があります。この数は、これまでにスコアを持つ要素の数よりも少なくなります。これで、選択した日付に null 以外の値または変更値を持つ要素のみがその日付に表示されます。したがって、異なる日付に対して異なる要素が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

アナリティクス設定マネージャー要素は、null 値であるにもかかわらず、3 月 7 日に表示されています。これは、前の収集期間の値が 5 であったため、3 月 7 日の変更値が -5 であるため表示されます。



パフォーマンスアナリティクス用語

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

自動インジケーター

自動インジケーターは、インジケーターソースをデータセットとして使用します。インジケーターソースは、テーブルまたはデータベースのビュー、そのソースからのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。このインジケーターは、データコレクションジョブと適用するブレークダウンも指定します。

関連トピック

- インジケーター (KPI)
- データベースビュー

ブレークダウン

優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性に基づくインジケータースコアのグループ化またはフィルター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

ブレークダウン要素

インジケーター (KPI)

ブレークダウン要素

ブレークダウンの値。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。

関連トピック

ブレークダウン

ブレークダウンマッピング

ブレークダウンマッピングは、ブレークダウンとインジケーターソースの関係を指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーターソースのフィールドまたはインジケーターソースをクエリするスクリプトのいずれかを参照します。

ブレークダウンソース

ブレークダウンソースの一意の値またはブレークダウン要素を構成する、テーブルビューまたはデータベースビューのレコードセット。バケットグループにすることができます。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。

関連トピック

ブレークダウン

ブレークダウン要素

バケットグループ

バケットグループ

ブレークダウン要素として使用できるテーブルフィールドがない場合に、連続データを個別のグループに収集します。たとえば、バケットグループは、タイムスタンプ間の差異を取得し、それらを時間単位の期間に分割することができます。

貢献インジケーター

式インジケーターの式で使用されるインジケーター。貢献インジケーターには、自動インジケーターまたは式インジケーターがあります。

データベースビュー

データベースビューでは、レポートの目的でテーブルの結合を定義します。

たとえば、データベースビューは、インシデントテーブルをメトリクス定義テーブルに結合できます。このビューはインジケーターソースに使用できます。

データコレクター、データコレクションジョブ

1 つ以上のインジケーターソースからデータを収集してインジケータースコアを生成するスケジュール済みジョブ。

式インジケーター

1 つ以上の他のインジケーターから計算済みインジケータースコアを生成します。インジケータースコアに加えて、インジケータースコアとインジケーターターゲットの間のギャップなどの計算を式に含めることができます。

インジケーター **(KPI)**

ビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値。これらのパフォーマンス測定値では、時間とともに一連のインジケータースコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡し、現在の状況を測定し、傾向を予測します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケータースコア

特定の収集期間のインジケーターの値。自動インジケーターの場合、この値はデータ収集ジョブで計算されます。式インジケーターの場合、この値は複数の自動インジケーターで操作を実行することによって計算されます。

インジケーターソース

[優先度] フィールドの値が重大であるなど、共通の特性を持つ一連のレコードを ServiceNow テーブルまたはデータベースビューから定義します。インジケーターは、インジケーターソースを使用してスコアを計算します。インジケータースコアは KPI 値です。インジケーターソースは、テーブル、フィルタリング条件、およびデータ収集頻度を指定します。

KPI

KPI は、インジケーターの同義語にすることも、特定のブレークダウン要素を持つインジケーターの一意の組み合わせを参照することもできます。

手動ブレークダウン

ブレークダウンソースのレコードを使用するのではなく、各要素のブレークダウン要素とインジケータースコアを手動で定義するプロセス。

手動インジケーター

インジケーターソースに関連付けられていないインジケーター。そのスコアは、データコレクションジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加して、これらのインジケーターに入力します。

スナップショット

これらのレコードのインジケータースコアが収集される時点で収集されるテーブルレコード (sys_ids) のリスト。

ターゲット

組織が達成したい目標を表す、将来期待されるインジケータースコア。ターゲットは、グローバルにすることも、1 人のユーザーにパーソナルにすることもできます。

テクニカルダッシュボード

ダッシュボードライブラリから利用可能な UI ビルダー ページ。ページはダッシュボードエディターで作成されますが、 UI ビルダーで入力されます。他のダッシュボードとは異なり、手動データソースとあらゆる種類の UIB コンポーネントをサポートしています。詳細については、「」を参照してください。

しきい値

インジケーターのスコアの標準範囲のユーザー定義の上限または下限。しきい値の違反とその方法を知らせるアラートを設定できます。たとえば、スコアが最高または最低に達したときに知らせるアラートを設定できます。

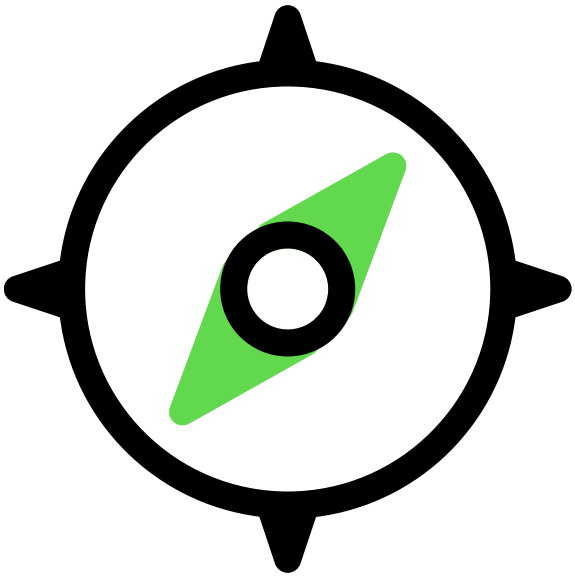
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを使用すると、ユーザーが ServiceNow Core UI、ネクストエクスペリエンス、ポータル、およびモバイルアプリケーションをどのように操作するかを監視できます。ユーザーがこれらのアプリケーションをどのように操作するかを知ることで、 ServiceNow インスタンスの管理方法を改善することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

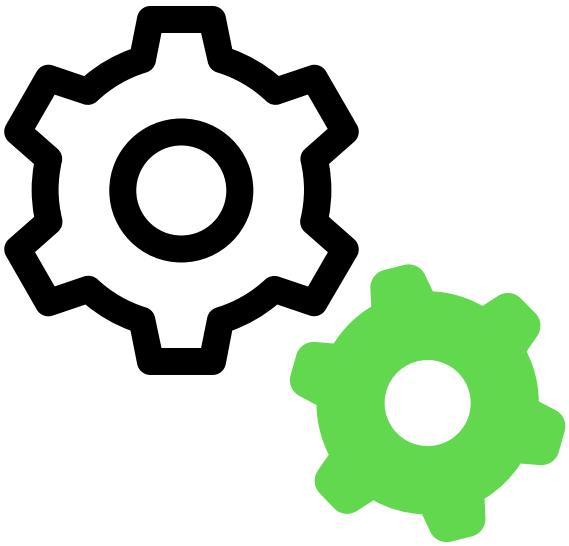
開始

探索



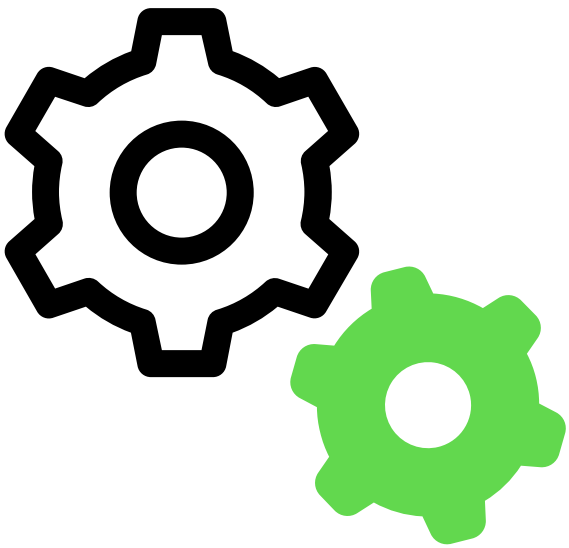
ユーザーエクスペリエンス
アナリティクス機能の詳細

構成



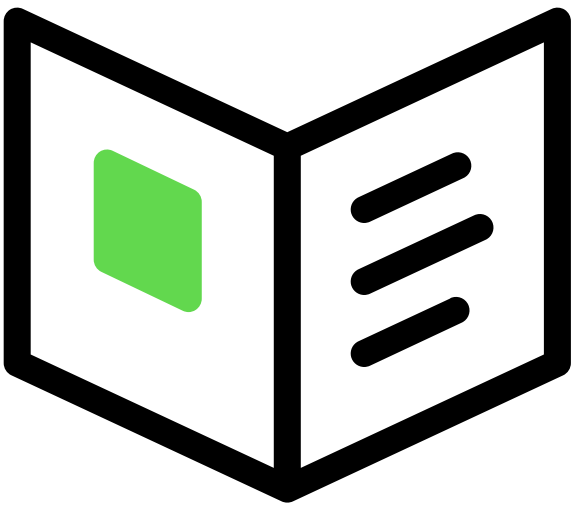
アプリケーショントラッキング
とユーザーの同意を有効にする

使用方法



機能と可能なカスタマイズを検出

参照



ユーザーロールと関連プロパティを理解する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- プラットフォームアナリティクスコミュニティ で質問したり、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの記事やビデオコンテンツを視聴したりできます。
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

追加の参照情報

- モバイルアプリケーション向け User Experience Analytics
- サービスポータル の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の探索

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを使用すると、ユーザーが ServiceNow コア UI、ネクストエクスペリエンス、モバイル、およびサービスポータルアプリケーションをどのように操作するかを監視できるため、製品マネージャーとアプリケーションオーナーは、使用状況と採用に関するインサイトを得ることができます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの機能

機能	利益
リテンションとコホート分析	ユーザー維持 と コホート分析 は、ユーザーがどのくらいの頻度で戻ってくるか、どのくらいの頻度でユーザーが事前に決められた一連のアクションを実行するかを把握するために役立ち、ユーザーが望ましい行動を示すかどうかを判断できます。
コンバージョンじょうごグラフ	コンバージョンじょうごグラフ を使用して、コンバージョンまでの時間、完了率とドロップオフ率、および集計されたユーザー行動の傾向を把握できます。これらのインサイトは、特定のアプリケーション内ユーザージャーニー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにするのに役立ちます。
ナビゲーションパス	ナビゲーションパス を使用すると、アプリケーションを使ったユーザーのジャーニーをすばやく理解できます。ユーザーが使用する最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパスと、それらを改善する方法を評価します。
ユーザー、セッション、イベント、およびページの分析	ユーザー、 セッション、 イベント (ユーザーインタラクション)、 およびページ は、ユーザーの行動を分離し、より深いインサイトを得るために使用できる基本的なデータ要素であり、製品と実装に関するより適切な意思決定に役立ちます。
カスタマイズ可能なユーザー同意管理	ユーザーのプライバシー、追跡、同意管理を使用すると、 すべてのアプリケーションでアナリティクス追跡設定を構成し、同意ポリシーを場所ごとにカスタマイズして、現地の法律や会社のポリシーに準拠できます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのナビゲーション

[すべてのアプリケーション] ビューや個々のアプリケーションビューなど、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションの操作方法を理解します。

自動翻訳

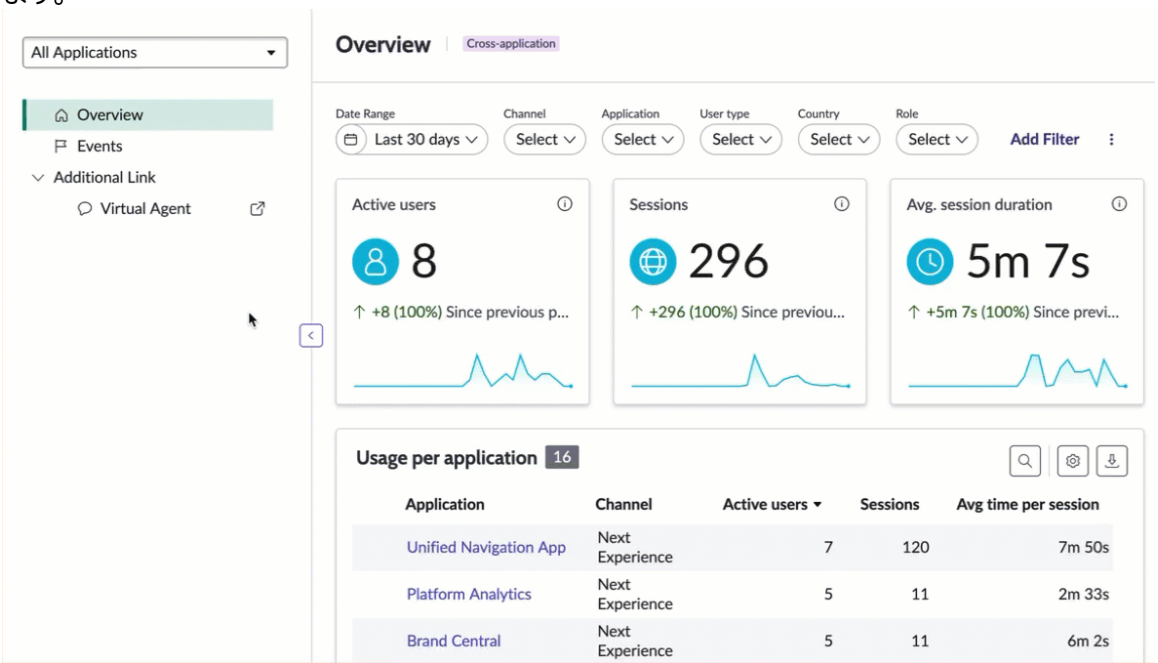
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスビューアーロールを持つユーザーは、次の場所に移動してアプリケーションにアクセスできます すべて > プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションでは、ユーザーが持つ権限が異なります。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール」を参照してください。

[すべてのアプリケーション] ビュー

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を起動すると、[概要] と [イベント] の 2 つのタブが表示されます。[概要] タブでは、追跡対象のすべてのアプリケーションについて、特定の期間内のアグリゲート使用状況を表示できます。アクティブなユーザー、セッション、平均セッション時間のスコア、および個々のアプリケーション別の使用状況を示すリストを表示するために構成できるフィルターが多数あります。[イベント] タブを使用すると、有効な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション全体で追跡されるユーザーインタラクションのリストをフィルタリングできます。

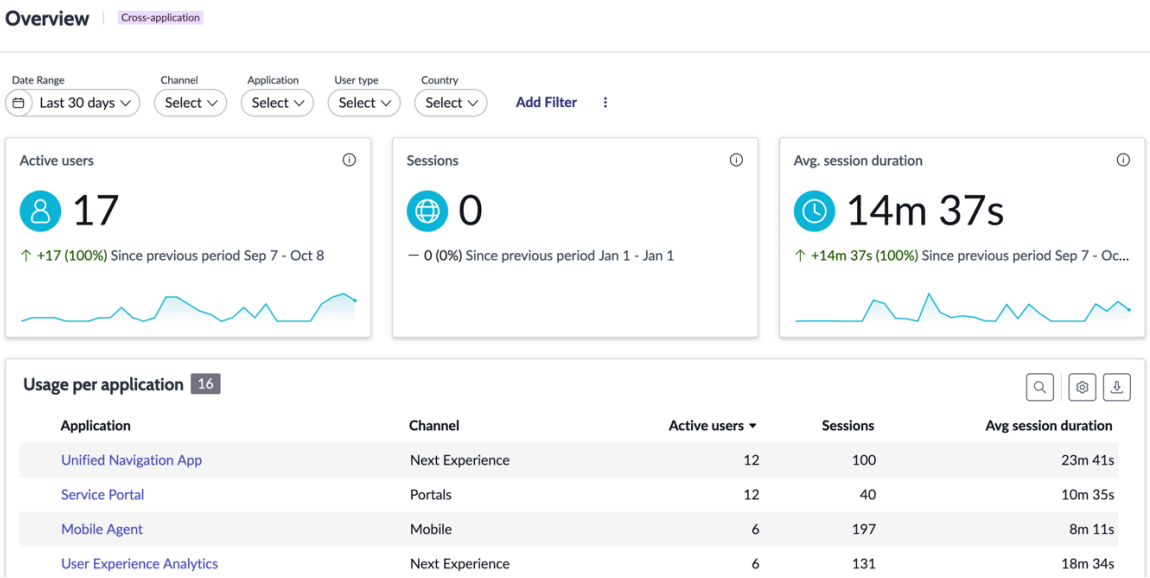


すべてのアプリケーションにわたるメトリクス

インスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的なアプリケーション使用状況とイベントの詳細を表示できます。これらのメトリクスを同時に表示するには、アプリケーションリストから [すべてのアプリケーション] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリ使用率 KPI

KPI	説明
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生した新規ユーザーを含むユーザーの合計数。
セッション	発生したセッションの合計数、および 1 日あたりの平均セッション数。
平均画面数/セッション	セッションあたりの平均表示ページ数または画面数および実行されたアクション数。
平均セッションの期間	すべてのユーザーのセッション間で費やされた平均時間。
合計セッション数	日次、週次、および月次で実行されたセッションの合計数。
ユーザー	日次、週次、月次のアクティブなユーザーと新規ユーザーの合計数。
新規ユーザー/復帰ユーザー	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの割合と、その後 2 番目のセッションを開始したユーザーの割合。
アプリケーションバージョン	選択したプラットフォームのユーザーによってインストールされたアプリのバージョン。
アプリバージョンのアダプション	アプリの異なるバージョン間のセッションセグメンテーションを表示します。たとえば、新しいアプリバージョンが昨日リリースされ、今日全アプリセッションの 10% が表示されている場合、新しいアプリバージョンの現在の採用率は 10% です。
セッションの期間	長さ/期間でセグメント化されたセッションの割合。
時間ごとの使用状況	1 日の特定の時間に発生したアプリ起動の平均数。

個々のアプリケーションビュー

個々のアプリケーションビューには、指定したアプリケーションのより詳細な情報が表示されます。

[分析] メニューアイテムは、リテンション、コホート分析、コンバージョンじょうごグラフ、およびナビゲーションパスの各モジュールへのアクセスを提供します。データ基盤メニューアイテムは、ユーザー、セッション、イベント、およびページモジュールへのアクセスを提供します。

自動翻訳

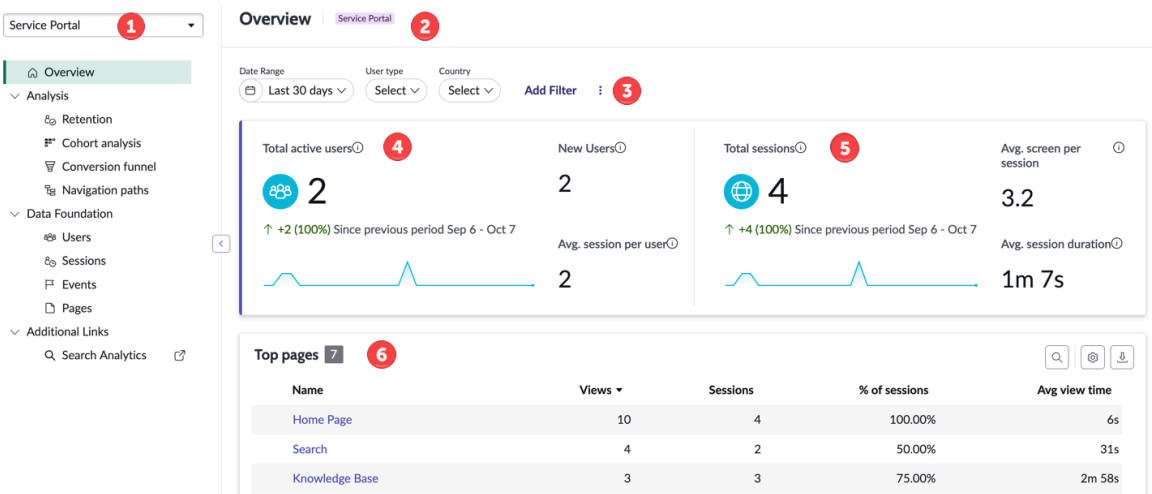
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分析

モジュール	説明
保持	新規ユーザーとそのリターン率、および訪問間隔を可視化します。詳細については、「ユーザー保持」を参照してください。
コホート分析	類似の特性またはアクションによって他のユーザーから分離されたユーザーのカスタムコホートまたはグループを作成および分析します。特定の一連のアクションを実行するユーザーの人数と、指定された時間内に指定されたアクションを実行するために戻る頻度を分析します。詳細については、「でのコホート分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。
コンバージョンじょうごグラフ	じょうごグラフレポートを作成して、特定のタスクのユーザー完了率を分析します。コンバージョン率、あるステップから次のステップに進んでいるユーザーの数、およびユーザーが各ステップに進んでじょうごグラフを完了するまでの平均時間を表示します。詳細については、「のじょうごグラフレポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。
ナビゲーションパス	アプリケーションを介したユーザーのジャーニーを可視化し、最も人気のあるパスと最も人気のないパスを見つけます。詳細については、「ナビゲーションパス」を参照してください。

データ基盤

モジュール	
ユーザー	フィルタリング、ドリルダウン、エクスポートが可能なユーザーのリスト。
セッション	フィルタリング、ドリルダウン、およびエクスポートが可能なセッションのリスト。
イベント	ページナビゲーションやクリックなど、フィルタリング、ドリルダウン、エクスポートが可能なユーザーインタラクションのリスト。
ページ	フィルタリング、ドリルダウン、エクスポートが可能な、インスタンス上のアクセス済みページのリスト。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンメニュー

特長エリア	UI コンポーネント	説明
1	アプリケーションリスト	登録済みの Web およびモバイルアプリケーションのリスト。次のビューから選択できます。 • [すべてのアプリケーション] (デフォルトのランディングページ) には、現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的な統計情報が表示されます。 • 個々のアプリケーションを選択すると、そのアプリケーションの使用状況に関するインサイトが詳細に表示されます。
2	選択したダッシュボードメニューアイテム	選択した [概要]、[分析]、または [データ基盤] アイテム。この例では、[概要] が選択されています。
3	フィルター	日付範囲、ユーザータイプ、場所など、データを制限するために使用できるデフォルトのフィルター。[フィルターを追加] オプションを使用して、ページにフィルターを追加します。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスでのデータのフィルタリング」を参照してください。
4	合計アクティブユーザー	アクティブユーザー、新規ユーザー、およびユーザーごとの平均セッション数を表示します。このセクションの任意の可視化を選択すると、アクティブユーザーの傾向分析が表示されます。
5	合計セッション数	セッションの合計数、セッションあたりの平均ページビュー、および平均セッション期間を表示します。このセクションの任意の可視化を選択すると、セッションの傾向分析が表示されます。
6	トップページ	最も閲覧数が多く、セッション数が最も多いページのリスト。リスト内の任意のエントリを選択して、ビューと関連情報を表示します。

注:

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。
- 国の追跡同意ポリシーが [無効] に設定されている場合、ユーザー測定基準は追跡されません。

カスタムデータの可視化での ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データの表示

ServiceNow Store から ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス 統合プラグインをインストールすると、カスタムネクストエクスペリエンスページとインラインダッシュボードでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータをグラフィカルに表現できます。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データは、 パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのデータソースとして選択できます。

利用可能なデータソースと可視化の詳細については、「 データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

手順

1. インスタンスで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン [com.glide.appsee] がアクティブ化されていることを確認します。
2. ServiceNow Storeに移動し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合を検索します。
3. ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合の最新バージョンを選択します。
   ストアは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 およびデータ構成ツールの更新をインストールします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成

アドミンは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションで追跡する ServiceNow アプリケーションと、ユーザー追跡同意ポリシーを構成できます。

構成の概要

追跡は、ネクストエクスペリエンス、モバイル、およびコア UI アプリケーションではデフォルトで有効になっています。サービスポータルでは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を有効にする必要がある場合があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン (com.glide.appsee) は、新規およびアップグレードされたインスタンスのServiceNow AI Platformでデフォルトでアクティブ化されています。このプラグインは次の役割を果たします。

- ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーに登録する新しいアプリケーションがないか 1 時間ごとに確認
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス機能へのアクセスを提供します。

> **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効にする

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プロパティで、すべてのアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効または無効にすることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はすべてのアプリケーションに対してデフォルトで有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定**>**プロパティ.
2. [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
   すべてのアプリケーションでオフにするには、チェックボックスをオフにします。

特定のアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を有効にする

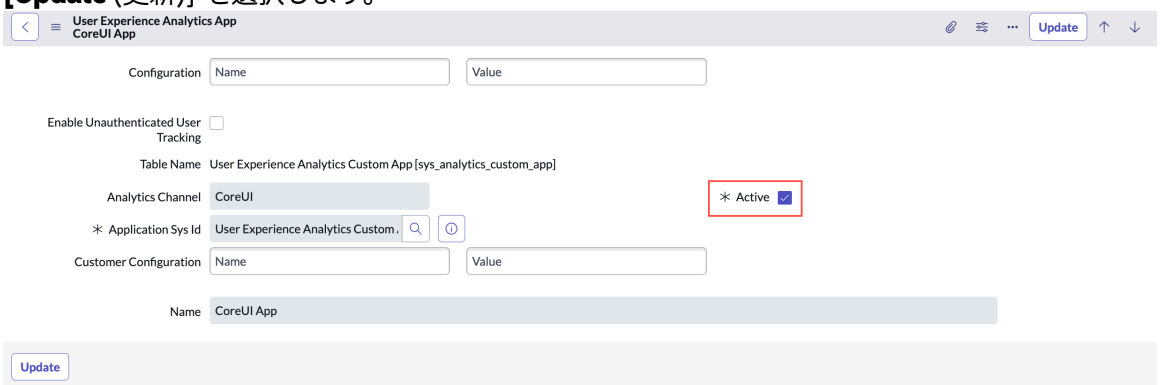
[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定] テーブルで、特定のコア UI、ネクストエクスペリエンス、およびモバイルアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効または無効にすることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

> **注:** これらの手順は、 コア UI、 ネクストエクスペリエンス、およびモバイルアプリケーションのみを対象としています。ポータルアプリケーションのアナリティクストラッキングを有効にする手順については、「 サービスポータル での ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 設定.
2. リストで、アナリティクス追跡を有効にするアプリケーションのレコードを見つけます。
   アプリケーション名が [名前] 列に一覧表示されます。
3. アプリケーションの名前を選択します。
4. フォームで、[アクティブ] を選択します。
5. **[Update** (更新)] を選択します。



> **注:** ServiceNow は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス が無効になっている場合でも、製品とサービスを改善するために基本的な使用状況データを収集します。

次のタスク
ユーザーに web_analytics_viewer ロールまたは portal_analytics_viewer ロールをアサインして、ユーザーが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを表示できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのユーザーのプライバシー、追跡、およびユーザーの同意管理 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザーアクティビティの追跡に依存して KPI のアダプション、維持、および使用状況を測定し、製品と実装の適切な意思決定を行うのに役立ちます。

でのユーザーの追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、 ServiceNow コア UI、 ネクストエクスペリエンス、ポータル、およびモバイルアプリケーション全体でユーザーの行動を追跡するために使用できます。Web およびモバイルアプリケーションで使用される ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザー自身に関する限定的な情報を収集します。代わりに、一意の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ユーザー ID とハッシュ化されたユーザー ID (sys_user ID からの一方向ハッシュ) を割り当てます。また、保存されていないユーザーの IP アドレスに基づいて市区町村レベルの場所を計算します。

アドミニストレーターは、ユーザーの同意管理 (UCM) を使用して、追跡対象のすべてのアプリケーションにわたってアナリティクス追跡設定を構成できます。この機能により、各国の同意ポリシーをカスタマイズし、ユーザーの場所を検出する方法を柔軟に選択できます。

ユーザーの同意管理で使用できるオプションの一部は次のとおりです。

- 国ごとに異なるトラッキング同意ポリシーを適用する。
- 特定のユーザーを追跡したり、特定のロールを持つユーザーを追跡したりします。
- ユーザーの場所を検出する方法を定義します。

注:

- デフォルトでは、各国の同意ポリシーは [同意不要] に設定されています。ただし、ユーザーはアプリケーションの設定で個別に ServiceNow アプリケーションをオプトインまたはオプトアウトできます。ユーザーがログインしたときにオプトインメッセージまたは通知を提供する場合は、追跡同意ポリシーを設定する必要があります。
- ある国の同意ポリシーが明示的な オプトイン または 通知に設定されている場合、個々のユーザーは毎年同意を求められます。既存の追跡設定は 365 日ごとに期限切れになります。
- 国の追跡同意ポリシーが [無効] に設定されている場合、ユーザーメトリクスは追跡されません。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。
- アナリティクスアドミニストレーターは、追加のユーザープロパティを保存することを選択できます。詳細については 、「ユーザープロパティをフィルターとしてユーザーエクスペリエンスアナリティクスに追加する」 を参照してください。

追跡同意ポリシーのタイプ

基本追跡

admin ロールを持つユーザーは、使用状況メトリクスのみを取得できます。この同意ポリシーは、ユーザーアクティビティを追跡および処理しますが、ハッシュ化されたユーザー ID を含む基本的なユーザーデータのみを保存し、セッション時間を含む部分的なセッションの詳細のみを保存します。

明示的なオプトイン

ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。

通知

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。

同意不要

ユーザーは自動的に追跡され、オプトイン/拒否のメッセージは表示されません。これは、すべてのユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

無効

どのユーザーエクスペリエンスアナリティクス追跡対象アプリケーションでもユーザーの追跡は行われません。使用状況メトリクスは、これらのユーザーからは取得されません。

でのトラッキングにユーザーが同意する方法 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

個人は、いつでも詳細追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス オプトインまたはオプトアウトを選択できます。

始める前に

必要なロール：ユーザー

このタスクについて

モバイルデバイス、 サービスポータル、または Web ベースの UI で詳細な追跡をオプトインまたはオプトアウトできます。オプトインまたはオプトアウトの選択は、詳細トラッキングが行われるすべてのエリアに適用 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。

手順

プラットフォームにアクセスして、モバイルアプリケーション、サービスポータル、または Web ベースの UI を介してユーザーエクスペリエンスアナリティクス詳細な追跡設定を構成します。

プラットフォームタイプ	アクション
モバイル アプリケーション	**a.** ナビゲーションバーの [その他] ( ) をタップします。 **b.** [設定] ( ) をタップします。 **c.** [設定] ページで、[アナリティクス] オプションをタップします。 **d.** [アナリティクスを有効にする] ボタンを有効にして詳細トラッキングをオプトインするか、[アナリティクスを有効にする] ボタンをオフにして詳細トラッキングをオプトアウトします。
Web ベースの UI	**a.** 移動先 すべて > 使用状況追跡の同意 > 追跡の有効化/無効化. **b.** [追跡を有効にする] を選択またはオフにして、詳細追跡をオプトインまたはオプトアウトします。 **c. [Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームタイプ	アクション
サービスポータル	**a.** ユーザーメニューを選択します。 **b.** 選択 プロファイル > ユーザー設定 **c.** [ユーザー設定] ページで、[アナリティクスを有効にする] を選択します。

ユーザーの同意追跡の選択を表示

ユーザーとその追跡選択設定に関する詳細を表示および分析します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて.
2. ナビゲーターで「 sys_analytics_user_consent_decision.list 」と入力して、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのユーザーの同意の決定] ページを開きます。
3. ユーザーの追跡選択に適用されるデータを確認します。
   このテーブルには、検出ポリシープロバイダーと、廃止されたテーブル [m2m_user_consent_info] からの移行日も含まれています。

   > **注:** ユーザーが明示的なオプトインモーダルまたは通知モーダルウィンドウを使用して詳細追跡に明示的に同意またはオプトアウトした場合、または追跡設定を手動で更新した場合は、対応するレコードがsys_analytics_user_consent_decisionテーブルに作成または更新されます。このレコードは、まだ存在しない場合にのみ作成されます。ただし、ユーザーが詳細追跡設定をアクティブに選択していない場合、レコードは作成されません。これは、 たとえば、同意不要 ポリシーがユーザーにアサインされていて、ユーザーがアプリケーション内で追跡設定を手動で調整しない場合に発生する可能性があります。

   明示的なオプトインまたは通知の同意ポリシーに該当するユーザーは、ユーザーの同意の決定レコードに設定された日付に基づいて、毎年オプトインまたは通知メッセージを受信します。

   ユーザーが手動で設定を更新する方法については、「 でのトラッキングにユーザーが同意する方法 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 」を参照してください。

通知および明示的なオプトインメッセージのテキストを定義

アドミニストレーターは、ユーザーの場所が 通知 または 明示的なオプトイン 同意ポリシーに割り当てられたときにモーダルウィンドウに表示されるテキストを編集できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて.
2. ナビゲーターで、「 sys_ui_message.list 」と入力して [メッセージ] ページを開きます。
3. [キー] フィールドに、次のいずれかを入力します。
   - glide.analytics.consent.text.notice
   - glide.analytics.consent.text.explicit_opt_in

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 編集する重要なメッセージを選択します。
5. メッセージ領域に、更新したテキストを入力し、[更新] を選択します。

プライバシーポリシーへのリンクの構成

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効にすると、ServiceNow サービスのプライバシーステートメントがデフォルトでリンクされます。ただし、アドミニストレーターは、組織のプライバシーポリシーを指すようにリンクを更新できます。

始める前に

必要なロール：admin

ユーザーは設定でトラッキングを有効または無効にすることを選択できます。追跡を有効にする方法の詳細については、「 でのトラッキングにユーザーが同意する方法 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

デフォルトのプライバシーステートメントの詳細については、「 ServiceNow サービスステートメント」 を参照してください。

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. *glide.analytics.privacy.link*システムプロパティを見つけます。
3. [*glide.analytics.privacy.link*] を選択します。
4. [値] フィールドで、既存の URL を会社のプライバシーステートメントの URL に置き換えます。
5. **[Update** (更新)] を選択します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ

個々の国に対して定義できる追跡同意ポリシーには 5 つのタイプがあります。このオプションを使用すると、国やユーザーやロールに応じて追跡ポリシーを柔軟に定義できます。

デフォルトの同意ポリシーは、すべての国/ユーザーのグループに対して [同意不要] に設定されています。ただし、アドミニストレーターはグループまたは個々の国の同意ポリシーを次のいずれかに更新できます。

基本追跡
: 基本追跡同意ポリシーでは、ユーザーセッションのタイムラインに詳細を表示せずに、合計ユーザーベースを反映するアグリゲートメトリクスが可能になります。この同意ポリシーはユーザーアクティビティを追跡および処理し、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内の集計メトリクスにのみ使用されます。この基本データには、ハッシュ化されたユーザー ID (情報が ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクスサーバーに送信される前にエンドユーザー識別子をハッシュするプロセス) が含まれます。

無効
: トラッキングが有効になっているすべてのアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス でユーザーが追跡されることはなくなります。

明示的オプトイン
: ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。

通知
: ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同意不要

ユーザーは自動的に追跡され、オプトインするか追跡を拒否するかを尋ねるメッセージは表示されません。このポリシーは、米国ユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

注: 同意ポリシーが更新されて通知を表示したりオプトインを要求したりすると、個々のオプトアウトが原因で詳細なユーザーおよびセッションデータのキャプチャが影響を受ける可能性があります。集計されたメトリクスには、個々のセッションの追跡をオプトアウトしたユーザーを含む、ユーザーベース全体が引き続き反映されます。

アサインされた同意ポリシーの表示

追跡同意ポリシーのリストを表示し、同意ポリシーを選択して、それにアサインされているすべての国を表示します。同意ポリシーリスト内で、すべての国に同じ追跡同意ポリシーを割り当てることも、すべての国をデフォルト値の「同意不要」にリセットすることもできます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin

このタスクについて

このタスクでは、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 同意ポリシー] ページで使用するさまざまな追跡同意ポリシーオプションを設定する方法について詳しく説明します。ポリシーをデフォルト値に戻すオプションがあります。デフォルトでは、すべての国が [同意不要] に設定されています。使用可能な同意ポリシーのタイプの詳細については、「 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 同意ポリシー. [ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの同意ポリシー (User Experience Analytics Consent Policies)] ページが表示されます。

   注: ポリシーを選択すると、選択したポリシーに関連付けられているすべての国のリストが表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

アクション	手順
すべての国に同じトラッキング同意ポリシーを適用します。	**a.** 適用するポリシーを右クリックします。 **b.** メニューから、[すべての国に同意ポリシーを適用] オプションを選択します。アラートメッセージが表示されます。 **c.** 確認チェックボックスをオンにして、[適用] を選択します。
デフォルト設定に戻ります。	**a.** [ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの同意ポリシー] ページの [デフォルト値にリセット] ボタンを選択します。アラートメッセージが表示されます。 **b.** 確認チェックボックスをオンにし、[リセット] を選択します。

個々の国の同意ポリシーの表示と更新

同意ポリシーがアサインされているすべての国のリストを表示し、既存のポリシーを更新する国を選択します。

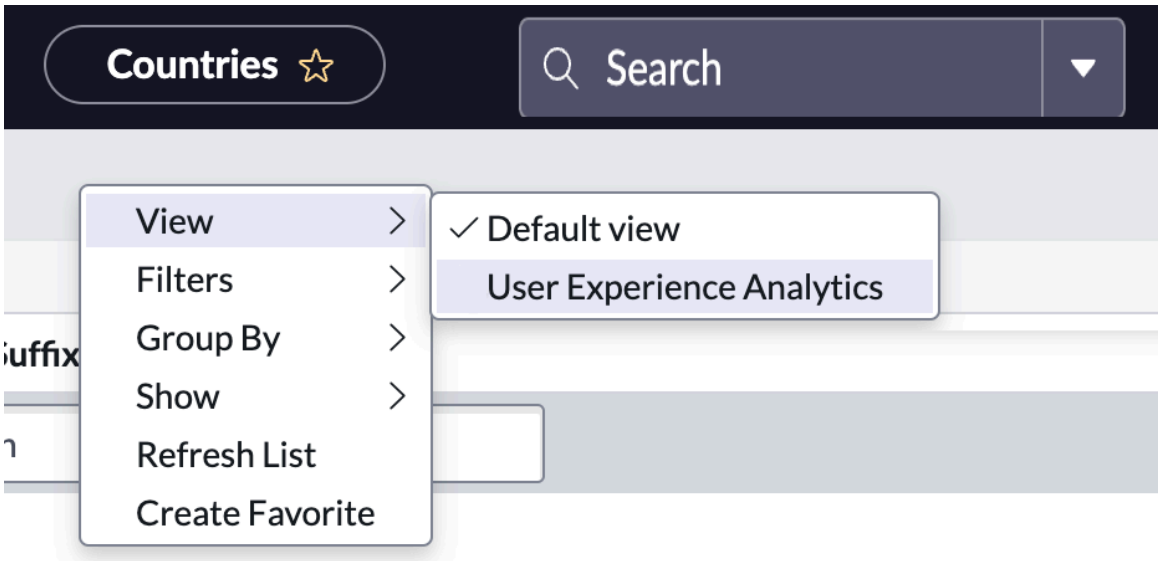
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > 国.
   [国] ページが表示されます。
2. ページヘッダーで、右クリックしてメニューを表示し、 表示 > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス



   選択したビューには、すべての国とその割り当てられた同意追跡ポリシーが表示されます。
3. 同意追跡ポリシーを更新する国名を選択します。
4. [国] ページの [アナリティクス同意ポリシー] フィールドで、検索アイコン (
5. 新しい アナリティクス同意ポリシーを選択します。
6. **[Update** (更新)] を選択します。

ユーザーの場所を検出する方法を定義します

検出ポリシーを選択して優先順位を付けることで、ユーザーの場所を検出します。これらのポリシーが適用される順序を定義することもできます。事前定義された検出ポリシーがありますが、カスタムスクリプトを作成して定義の柔軟性を高めることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

このタスクについて
ユーザーの場所を検出する方法は 4 つあります。[順序] フィールドを使用してメソッドに優先順位を付け、ポリシーを有効にするかどうかを選択します。

注: 検出プロバイダーがアクティブでない場合、またはスクリプトが応答を返さない場合は、明示的なオプトインのシステムデフォルトポリシーが実装されます。

利用可能な検出ポリシープロバイダーは次のとおりです。

ユーザーの国

ユーザーテーブル [sys_user] に格納されている国コード [country] 列を使用します。

国 顧客スクリプト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Platform にロードしてユーザーの場所を特定し、国の ISO 3166-2 コードを返すカスタムスクリプト。

> **注:** 顧客スクリプトが定義されていても [アクティブ] フィールドが選択されていない場合、順序テーブルの次の優先度がアクティブになります。

ポリシー顧客スクリプト

ユーザーの同意ポリシーを決定し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス同意ポリシーテーブル [sys_analytics_detection_policy_provider] からポリシー名の 1 つを返すために ServiceNow Platform にロードできるカスタムスクリプト。

> **注:** 顧客スクリプトが定義されていても [アクティブ] フィールドが選択されていない場合、順序テーブルの次の優先度がアクティブになります。

GeoIP

内部サービスを使用してユーザーの地理的な場所を識別する IP ベースの検出プロバイダー。検出ポリシーが選択されていない場合、このプロバイダーがデフォルトのオプションになります。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 検出ポリシープロバイダー.
   [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 検出ポリシープロバイダー] ページが表示されます。
2. いずれかの検出ポリシープロバイダーを選択してそのアクティブステータスを更新し、ポリシーが適用される順序を変更します。

   > **注:** ポリシーを適用するには、ポリシーがアクティブである必要があります。

3. オプション: [国の顧客スクリプト] または [ポリシー顧客スクリプト] のいずれかを選択し、ユーザーの場所またはユーザーの同意ポリシーを決定し、値を返すスクリプトを入力します。

   > **注:** システムプロパティ *glide.analytics.consent.script_timeout* を使用して、スクリプトの実行時間を定義できます。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ」を参照してください。

   スクリプトの使用の詳細については、「JavaScript シンタックスエディター」を参照してください。

追跡対象のアナリティクスフィールドと **cookie**

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、Web アナリティクスフィールドやモバイルアナリティクスフィールド、クライアント側 Cookie など、複数のソースからのデータを追跡します。

の追跡対象の **Web** アナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス Web アプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、追跡対象のフィールドが一覧表示されます。レポートとグラフはこれらのフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web セッションに従って収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (シーケンシャル ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_id の SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429abacf9f8c78d14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションのシーケンシャルインデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
デバイスタイプ	電話/タブレット/デスクトップ	電話
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone 12
OSType	デバイスのオペレーティングシステム	iOS
OSVersion	OS のバージョン	16.5
市区町村レベルの場所	市区町村の場所は、エンドユーザーの IP アドレスから変換されます。IP はデータベースに保存されません。IP は、市区町村レベルの位置の近似を提供するためにのみ使用されます。	カリフォルニア州ロサンゼルス
ブラウザタイプ	Web ブラウザのタイプ	Chrome
ブラウザバージョン	Web ブラウザのバージョン	(クロム) 30.0
ロケール	ユーザーロケール文字列	JA-JP

ページ訪問ごとに収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
説明	ページ訪問で収集されるデータに関する追加情報	ホームページ
ページ ID	ページの一意の識別子	ホーム
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

顧客イベント用に収集されるデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側の API を呼び出すことで追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	サンプル出力値
名前	イベントの名前	カタログ要求の送信
時刻	セッション開始からのイベント時間 (ミリ秒)	945

イベントプロパティのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
ページ ID	現在のページの ID	ホーム
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"バージョン" : "1.0", "アクティブ" : "false"}

オプションのプロパティ用に収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"言語" : "英語"}

の追跡対象モバイルアナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、モバイルデバイス上のモバイルアプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、モバイルアプリケーションで追跡されるフィールドが一覧表示されます。レポートとグラフはこれらのフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

モバイルアプリセッションに従って収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (シーケンシャル ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_id の SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429b185d12b14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	5a2b73857345abc3546243
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションのシーケンシャルインデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
アプリバージョン	アプリケーションのバージョン番号	3.4.0
デバイスタイプ	電話/タブレット	電話

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	サンプル出力値
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone X13 プロ
ROM のバージョン	ROMバージョン(Androidのみ)	4.3.9
オペレーティングシステムバージョン	デバイスのオペレーティングシステムのバージョン	iOS 16.5
ネットワーク接続	WiFi / 携帯電話	WiFi
市区町村 所在地	ユーザーの IP アドレスから変換された市区町村レベルの場所	カリフォルニア州ロサンゼルス

各画面訪問ごとに収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
画面名	データの収集元の画面の名前	ログイン
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

画面アクション用に収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
種類	UI アクションのタイプ (ボタンのタップ、リストの選択など)	ButtonTap
説明	UI アクションを説明するラベル	ログイン
開始時間	セッション開始時刻からの時間 (ミリ秒)	780

画面ジェスチャー用に収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
ジェスチャタイプ	ジェスチャのタイプ (タップ、スワイプなど)	蛇口
座標	タッチジェスチャの X、Y 座標	タップ (X=100、Y=200)
応答	ジェスチャーが応答したかどうかを示します	真
開始時間	ジェスチャー開始時間 (ミリ秒)	925
終了時間	ジェスチャー終了時間 (ミリ秒)	933

顧客イベント用に収集されるデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側の API を呼び出すことで追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	サンプル出力値
名前	イベントプロパティの名前 (文字列)	購入完了
時刻	イベントプロパティの値 (文字列、ブール値、日付、数値)	9456

イベントプロパティのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名	イベントプロパティの名前 (文字列)	記事名、言語
プロパティ値	イベントプロパティの値 (文字列、ブール値、日付、数値)	KB0050925

ユーザープロパティのために収集されたデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名	ユーザープロパティの名前 (文字列)	英語
プロパティ値	ユーザープロパティの値 (文字列、ブール値、日付、数値)	5

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス クライアント側ストレージ cookie

クライアント側のユーザー アクティビティを追跡するために、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は プラットフォームアナリティクス、 コア UI、および サービスポータル に埋め込まれている SNAnalytics JavaScript SDK を使用します。

SNAnalytics SDK では、セッション ストレージとローカル ストレージ変数の組み合わせを使用して、分析追跡を容易にするために必要な情報を追跡します。

セッションストレージとローカルストレージの詳細については、 JavaScript.Info ドキュメントを参照してください。

SNAnalytics SDK の詳細については、開発者コミュニティの「 SNAnalytics - クライアント と SNAnalytics – 」を参照してください。

キー構造

ローカルに保存されるすべてのキーは、`sn:{API_KEY}:{KEY NAME}` という構造を使用して格納されます。

追跡対象の各ポータルには、インスタンスに保存されている一意のAPI_KEYがあります。たとえば、API キー abcd とキー名タブがあるポータルの場合、ローカルキー値は sn:abc:tab になります

セッションストレージ

セッションストレージは、Web ページの更新とユーザーナビゲーションの間の情報フローを維持するために使用されます。セッションストレージ内の情報は一時的であり、現在のタブの有効期間中のみ使用できます。タブを閉じると、セッションストレージ情報が削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表には、セッションストレージに保存されているキーと値がリストされています。

キー	説明
SRT	サーバーの応答時間。SNAnalytics が前回 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーと正常に通信した時刻。
データ	バックエンドに定期的にフラッシュされる、一時保存されたアナリティクスデータポイントのキュー。
ページ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーによって自動的にキャプチャされる、現在のページの名前。
タブ	現在のタブに対してランダムに生成された一意の識別子。

ローカルストレージ

ローカルストレージは、追跡同意情報、ハッシュ化されたユーザーの識別 (同意が取り消されるとクリアされる)、およびランダムに生成されたブラウザーの識別子を維持するために使用されます。ローカルストレージ変数はローカルで永続的であり、ユーザーが閲覧データをクリアすると削除されます。

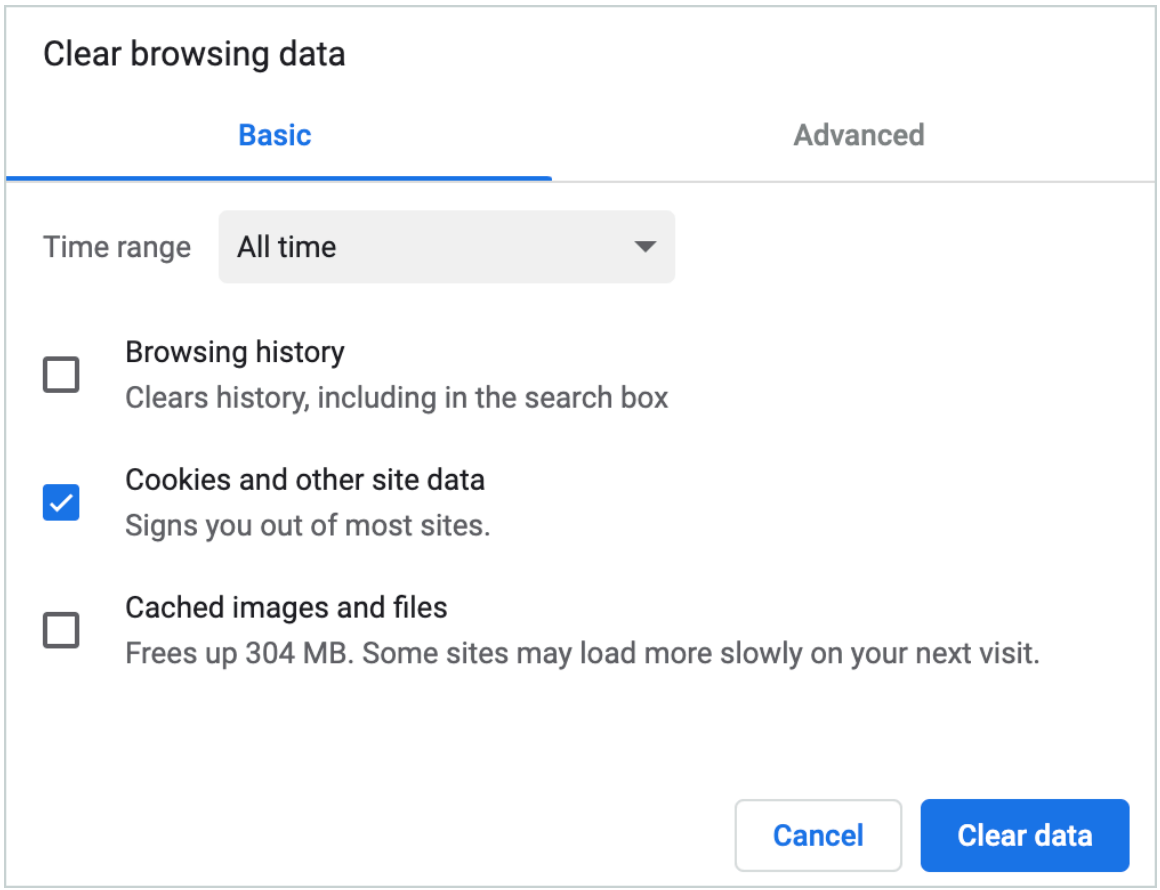
このテーブルには、ローカルストレージに保存されているキーと値が一覧表示されます。

キー	説明
ブラウザ	現在のブラウザに対してランダムに生成された一意の識別子。
クライアント	ブラウザーのキー値にマッピングされたサーバー割り当て ID。
user	顧客から提供されたハッシュ化されたユーザー ID。
同意	ユーザーが追跡に同意するかどうかを示すブール値 (はい/いいえ)。

ローカルストレージの削除

ローカルストレージ変数を削除するには、ユーザーはブラウザー内から閲覧データをクリアする必要があります。たとえば、Chrome ブラウザで、 履歴 > 履歴全体を表示 > 閲覧データをクリア. [閲覧履歴データの消去] ウィンドウで、[**Cookie** とその他のサイト データ] を選択し、[データの消去] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのページのデフォルトのフィルターに加えて、ユーザープロパティに基づいてフィルターを追加できます。これにより、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを効果的にセグメント化して、ユーザーとその使用パターンをより深く理解できます。ユーザープロパティベースのフィルターは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのすべてのページとオブジェクトのグローバルフィルターとしてサポートされています。

始める前に

必要なロール:admin または analytics_admin

> **注:** デフォルトで利用可能な [部門] フィールドと [ロール] フィールドを含む、最大 20 個のフィールドを追加できます。

手順

1. **sys_analytics_user_property_config.list** に移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フィルターを適用するユーザープロパティを持つテーブルを選択します。

   sys_user

   ブーリアン、選択肢、または参照タイプの任意のフィールドでフィルターを構成します。

   sys_user_grmember

   ユーザーが属するグループを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

sys_user_has_role
ユーザーが持つロールのリストを取得します。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
選択したフィールドは、単一およびクロスアプリケーションの概要、リテンション、コホート、じょうごグラフ、ページ、ユーザー、イベント、セッションなど、すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ページのオプションのフィルターとして追加されます。ユーザーはそれらを プラットフォームアナリティクス ダッシュボードに適用することもできます。

注: フィルターはすぐに表示されますが、データをフィルターと同期して便利にするには 24 ～ 48 時間かかります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用

ユーザーが ServiceNow Web およびモバイルアプリケーションでどのようにやり取りするかを監視します。

開始

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を使用してリテンション、コホート、コンバージョン率を追跡し、ユーザーがアプリケーションをどのように操作するかを解釈する方法について説明します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスでのデータのフィルタリング

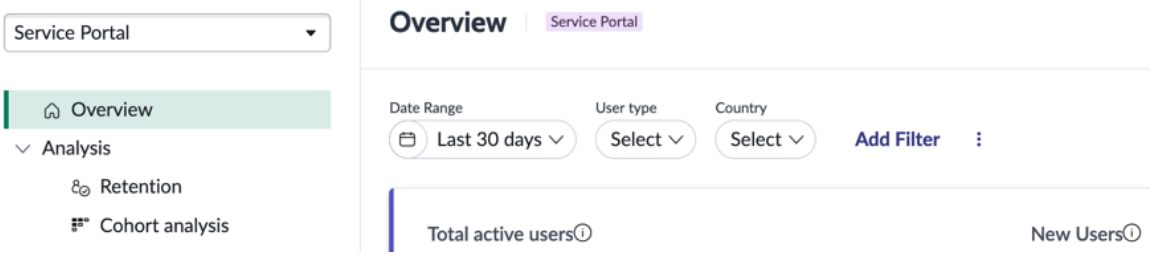
標準フィルターとカスタムフィルターを使用して使用状況データをドリルダウンします。

analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_experie
ロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるページをフィルタリングできます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのほとんどのページには、デフォルトのフィルターが表示され、他の標準フィルターを追加するオプションがあります。ユーザー関連のフィールドを追加するには、「 ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

デフォルトフィルター

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の各ページには、ページ上の情報を制約するためのデフォルトのフィルターがいくつかあります。ほとんどのページには、日付範囲、ユーザータイプ、および国のフィルターがあります。

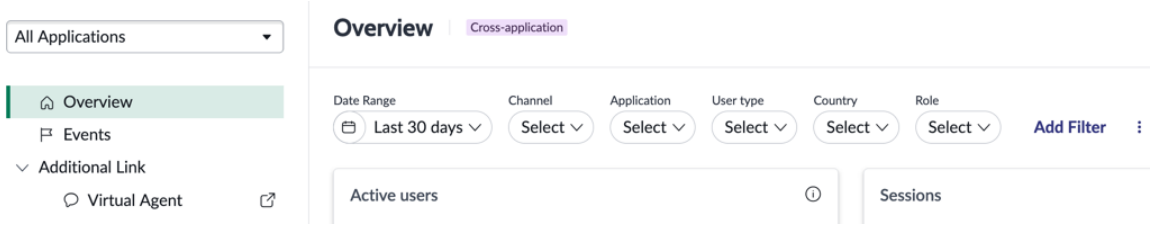


注: モバイルアプリケーションには、オペレーティングシステムとバージョンの追加のデフォルトフィルターがあります。

クロスアプリケーションの概要には、チャネル、アプリケーション、およびロールのフィルターもあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



追加のフィルター

[フィルターを追加] を選択して、アプリケーションに構成されている使用可能なフィルターから選択します。

> **注:** 追加のフィルターは、選択したデフォルトフィルターに AND 条件で結合されます。つまり、フィルターを適用するには両方のフィルター条件が true である必要があります。たとえば、[ユーザータイプ] = [戻ってくる] を選択し、[追加のフィルター] = [パスワードをリセットする必要があります] を選択します。パスワードをリセットする必要のあるリピーターがいない場合、両方の条件が当てはまる必要があるため、ページ上のすべての可視化が空になります。

使用可能な追加フィルターは次のとおりです。

- パスワードのリセット要請
- ロール
- 多要素認証を有効にする
- アクティブ
- 部門
- VIP

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのページのデフォルトのフィルターに加えて、ユーザープロパティに基づいてフィルターを追加できます。詳細については、「ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

ユーザー保持

ユーザー維持率レポートは、ユーザーがアプリケーションにアクセスする頻度を把握し、アプリケーションがユーザーのニーズと期待を満たしているかどうかをより深く理解するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

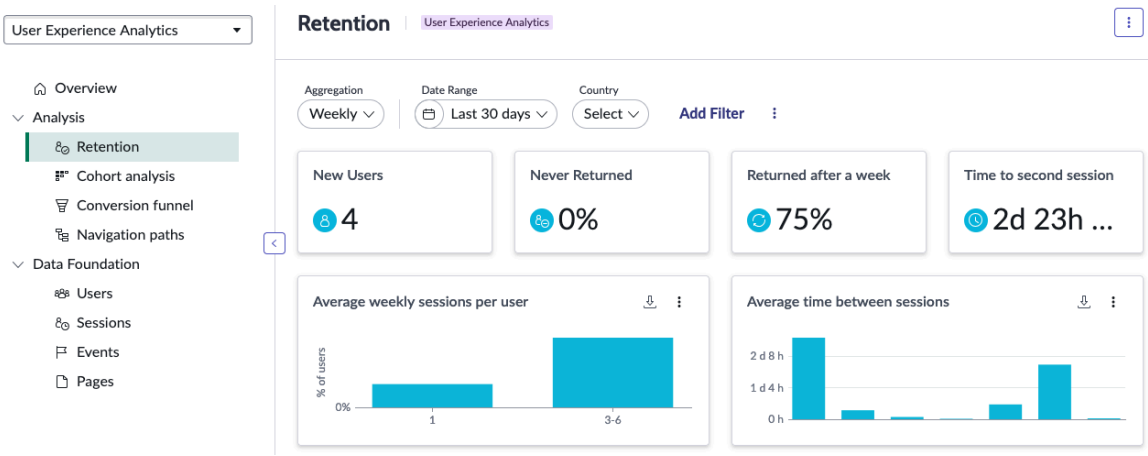
このタスクについて

新規ユーザーの数、戻ってこなかったユーザー数、翌日戻ってきたユーザー数などのデータを表示します。ユーザーリテンションデータには、特定のタイムバケットでのユーザーセッションの頻度とセッション間の平均時間も表示されます。ユーザー維持率分析は、たとえば次のように役立ちます。

- コホート分析を使用して、定着率の低い月、週、または日を特定します。
- バージョンとデバイス間でリテンションアナリティクスを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [すべてのアプリケーション] リストから保持を確認するアプリケーションを選択します。
3. データをフィルタリングします。
   デフォルトのフィルターは、[集計] (日次、週次、または月次)、 日付範囲、 および国です。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のフィルターの詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスでのデータのフィルタリング」を参照してください。

リテンション **KPI**

KPI	説明
新規ユーザー	指定されたタイムバケット内の新規ユーザーの数。
返却なし	最初のセッション後にアプリの使用に戻ることはなかったユーザーの割合。
日/週/月後に返されました	最初のセッション後、指定されたアグリゲーション期間内にアプリを使用したユーザーの数。
2 回目のセッションまでの時間	最初のセッションと 2 回目のセッション間の平均時間間隔。
セッション頻度	選択したタイムバケット (日次/週次/月次) 内のセッションの平均数を測定します。たとえば、ユーザーの 25% が 1 日に 2 回アプリを使用しています。
セッション間の平均時間	最初のセッションとその後のセッション間の平均時間。

4. さまざまなメトリクスを使用してリテンションコホートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リテンション率コホートは、指定された集計を使用して、指定された日付範囲内にアプリの使用を開始したユーザーの数またはパーセンテージを示すヒートマップです。この例では、[集計] は [週次]、[日付範囲] は [過去 30 日間]、[メジャー] は [パーセンテージ] です。

リテンションの計算方法

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス でユーザーとアクションの保持率を計算する方法を理解します。

ユーザー保持

ユーザー維持分析では、ユーザーの合計数ではなく新しいユーザーをグループ化します。コホートには、定義された期間と選択した日付バケット (日次/週次/月次) 内にアプリを使用するすべての新規ユーザーが含まれます。新しいユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。

たとえば、週次コホートを見る場合、リテンション率コホートレポートの上部にある <1 週間、第 1 週、第 2 週、および第 3 週とマークされた数値は、週次のバケットを示します。各週次バケットのパーセンテージは、その特定のバケット中にアプリケーションの使用に戻ったユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。**<1** 週間とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから最初の丸 1 週間より前の期間を示します。週の開始日は可視化の左側にあります。たとえば、ユーザーの最初のセッションが 11 月 16 日に開始され、最初の丸 1 週間が 11 月 18 日に開始される場合、その間の期間の保持情報は [<1 週間] 列に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションの保持

リテンション コホート分析では、アプリケーション ユーザーの合計数ではなく、コホートに定義された最初のアクションを実行したユーザーの数がグループ化されます。コホートには、アプリを使用し、定義された期間と日付バケット (日次/週次/月次) 内に最初のアクションを実行するすべてのユーザーが含まれます。

たとえば、週次コホートを見る場合、リテンションレポートの上部にある 1、2、3 とマークされた数字は週次バケットを示します。各週次バケットのパーセンテージは、アプリケーションの使用に戻り、その特定のバケット中に 2 番目のアクションを実行したユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日後の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、そのユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日間から 13 日間に延長されます。

新しいユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。たとえば、週次コホートがログインイベントに基づいている場合、少なくとも毎週 1 回ログインする顧客はすべてのコホートに表示されます。

ユーザーが 2 番目のアクションを実行すると、最新のアクションだけでなく、期間内に実行された最初のアクションごとにカウントされます。各コホートセルは一意です。ユーザーが同じバケット内で 2 番目のアクションを 2 回実行すると、1 回カウントされます。両方のステップが類似しているコホートを作成すると、すべてのアクションが最初のアクションと第 2 のアクションの両方として機能します。

たとえば、コホートが 2 つの類似したログインアクションを定義しているとします。ユーザーが日曜日、月曜日、火曜日の 3 回ログインした場合、月曜日に実行されたアクションは日曜日のログインの 2 番目のアクションとしてカウントされます。また、火曜日のアクションで完了する新しいコホートも開始されます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのコホート分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

コホートは、類似する特性またはアクションによって他のユーザーから分離されたユーザーのグループです。コホートを使用すると、一般的な動作に基づいてユーザーをグループ化し、特定の期間内に特定の事前定義されたアクションを完了したユーザーの数を分析できます。

コホート分析レポートは、あるアプリ内アクションが別のアクションにどのように関連しているかに関する情報を提供します。一連のアクションの間に経過した時間の測定値と、一定期間にわたるユーザーの行動とエンゲージメントの傾向を確認できます。

コホートを作成

各ステップのコンバージョン率を追跡できるように、ユーザーのグループが完了するアクションの事前定義順序を定義します。

始める前に

必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp のロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

このタスクについて

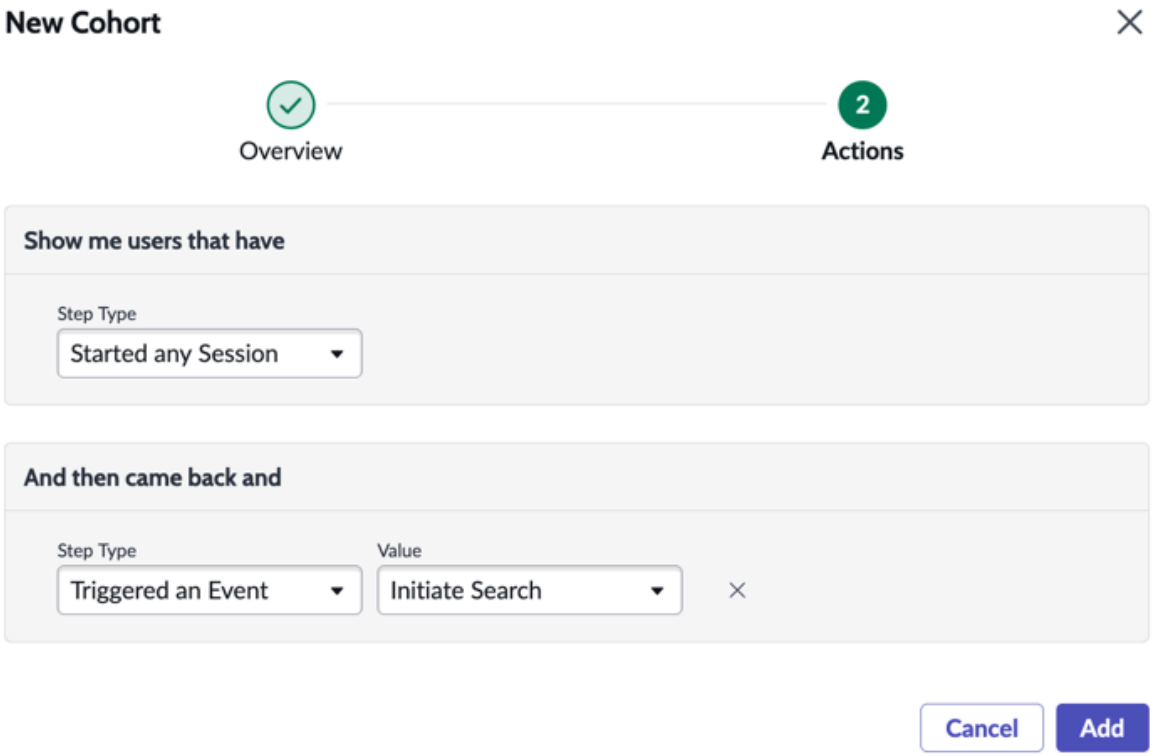
手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、コホートを作成するアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.
4. [新しいコホートを作成] ボタン ([+) を選択します。
5. 測定するプロセスの名前と説明を入力します。
6. 2 つのステップタイプとその値を選択し、[追加] を選択します。
   ステップタイプは次のとおりです。
   - 画面にアクセスしました
   - イベントをトリガーしました
   - アクションを実行しました
   - 任意のセッションを開始しました
   - 最初のセッションを開始しました

   アクションはステップタイプに依存します。

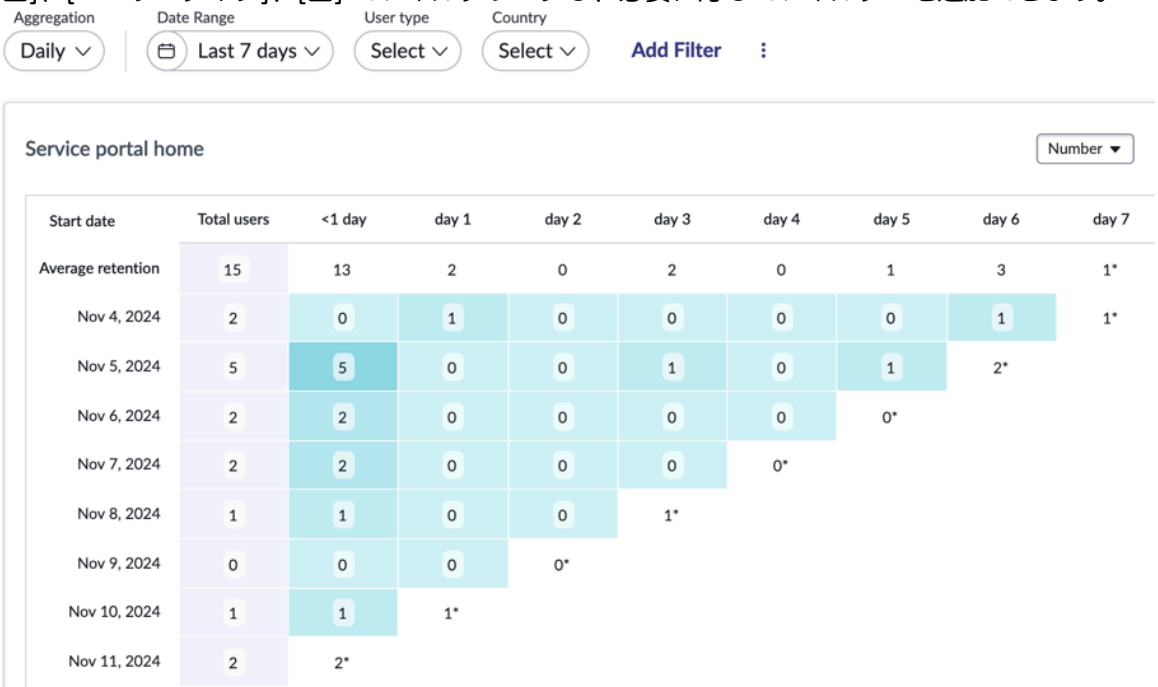
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [Save (保存)] を選択します。

次のタスク
コホートを表示して、最初に定義されたアクションを実行したユーザーのうち、2 番目のアクションを実行するために戻ったユーザーの数を確認します。コホートを表示するときに、[集計]、[日付範囲]、[ユーザータイプ]、[国] でフィルタリングし、必要に応じてフィルターを追加できます。



Start date	Total users	<1 day	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5	day 6	day 7
Average retention	15	13	2	0	2	0	1	3	1*
Nov 4, 2024	2	0	1	0	0	0	0	1	1*
Nov 5, 2024	5	5	0	0	1	0	1	2*	
Nov 6, 2024	2	2	0	0	0	0	0*		
Nov 7, 2024	2	2	0	0	0	0*			
Nov 8, 2024	1	1	0	0	1*				
Nov 9, 2024	0	0	0	0*					
Nov 10, 2024	1	1	1*						
Nov 11, 2024	2	2*							

注: コホート分析に示されたデータが最終的なものでない場合、遡及データがまだ処理されていることがメモで示されます。画面を更新して、最終データを含むレポートを表示します。

コホートを編集

分析に含めるコホートセッションデータを編集します。

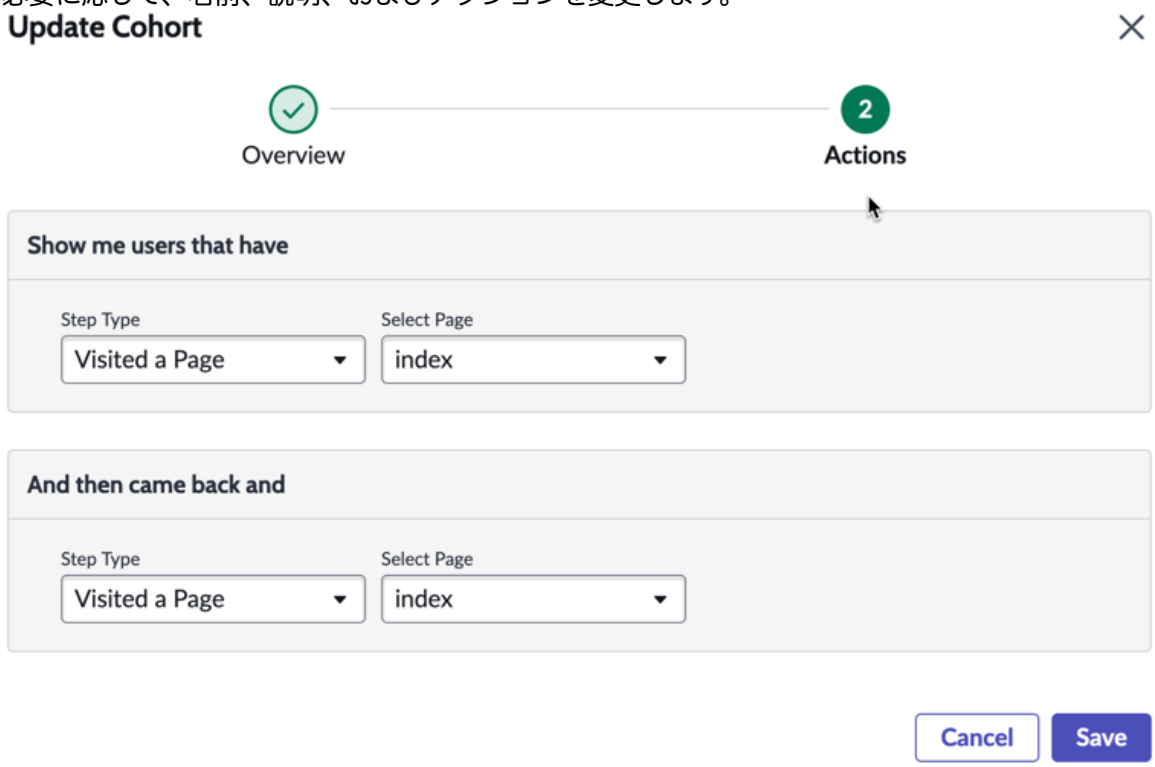
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp のロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、編集するコホートのアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.
4. 編集するコホートの [アクション] メニュー を選択し、[編集] を選択します。
5. 必要に応じて、名前、説明、およびアクションを変更します。



6. [保存] を選択して、コホート構成を更新します。

コホートを削除

コホートレポートを簡単に削除します。

始める前に
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp のロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

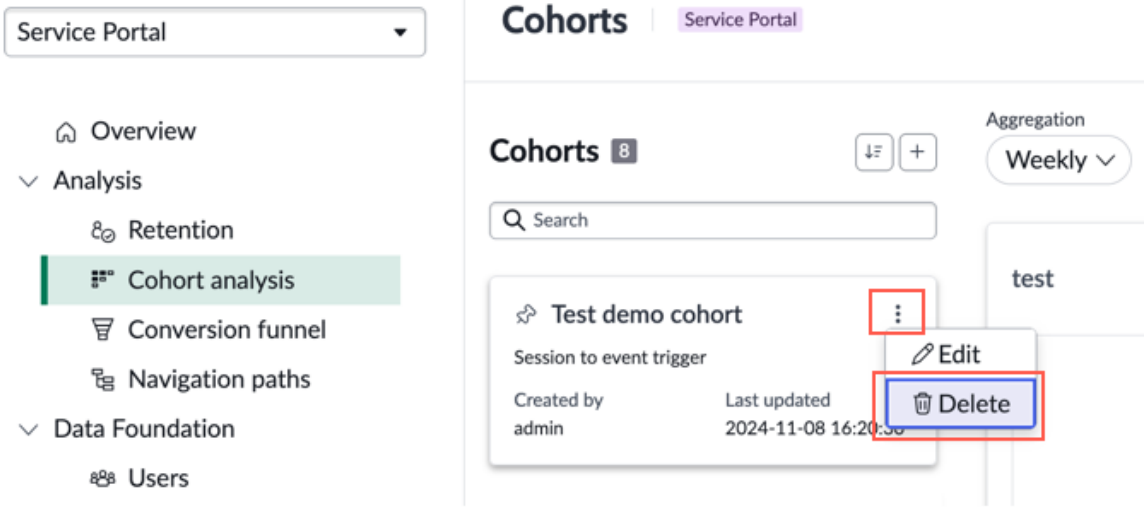
手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、削除するコホートのアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 編集するコホートの [アクション] メニュー ⋮ を選択し、[削除] を選択します。



5. [削除] を選択して選択を確定します。

のじょうごグラフレポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

コンバージョン ファネルはカスタマー ジャーニーを視覚的に表現し、特定の一連のアクションを追跡します。コンバージョンじょうごグラフを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスの完了率を測定して最適化するのに役立ちます。

じょうごグラフ分析では、オンボーディングの完了など、アプリケーションのクリティカルパスに沿って目的のアクションを完了したユーザーの割合が表示されます。また、ユーザーが離脱する理由を見つけることもできます。

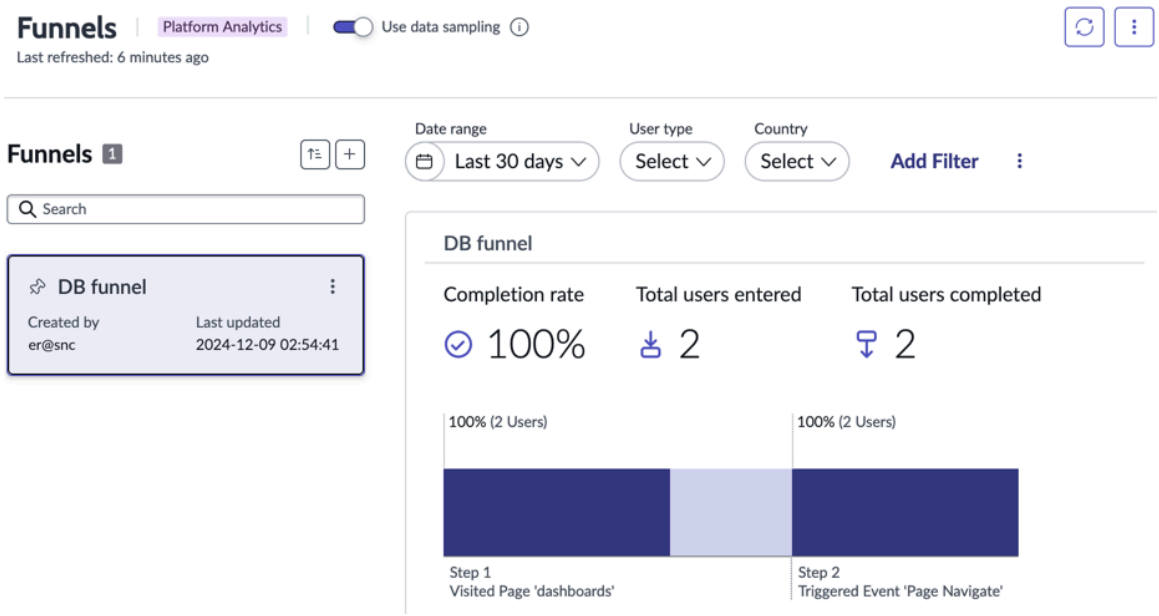
注: コンバージョンじょうごグラフ データは、完全なデータセットから分析されます。トグル [データサンプリングをオンにして **15** % のサンプルからデータを分析します。(Use data sampling on on to analyze the sample of 15%.)

じょうごグラフには、コンバージョンの成功または失敗につながるさまざまなアクションを含めることができます。ユーザーが目標を達成するためにたどるパスは複数ある可能性があるため、複数のコンバージョンじょうごグラフを構築して、ユーザーにとって最も関連性が高く効果的なゴールパスを判断することをお勧めします。特定の目標に対するユーザーのコンバージョン率を測定するために、次の 3 つの主要な指標を使用して、コンバージョン ファネルの全体的な効果のベースライン評価が得られます。

- あるステップから次のステップに進むユーザーの数
- 関連する換算率
- ユーザーが 1 つのステップから次のステップに進むまでにかかる平均時間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コンバージョンじょうごグラフを作成する

アグリゲートされたユーザー行動のコンバージョン率と傾向を表示して、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンじょうごグラフを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定して最適化するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセスできるアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

手順

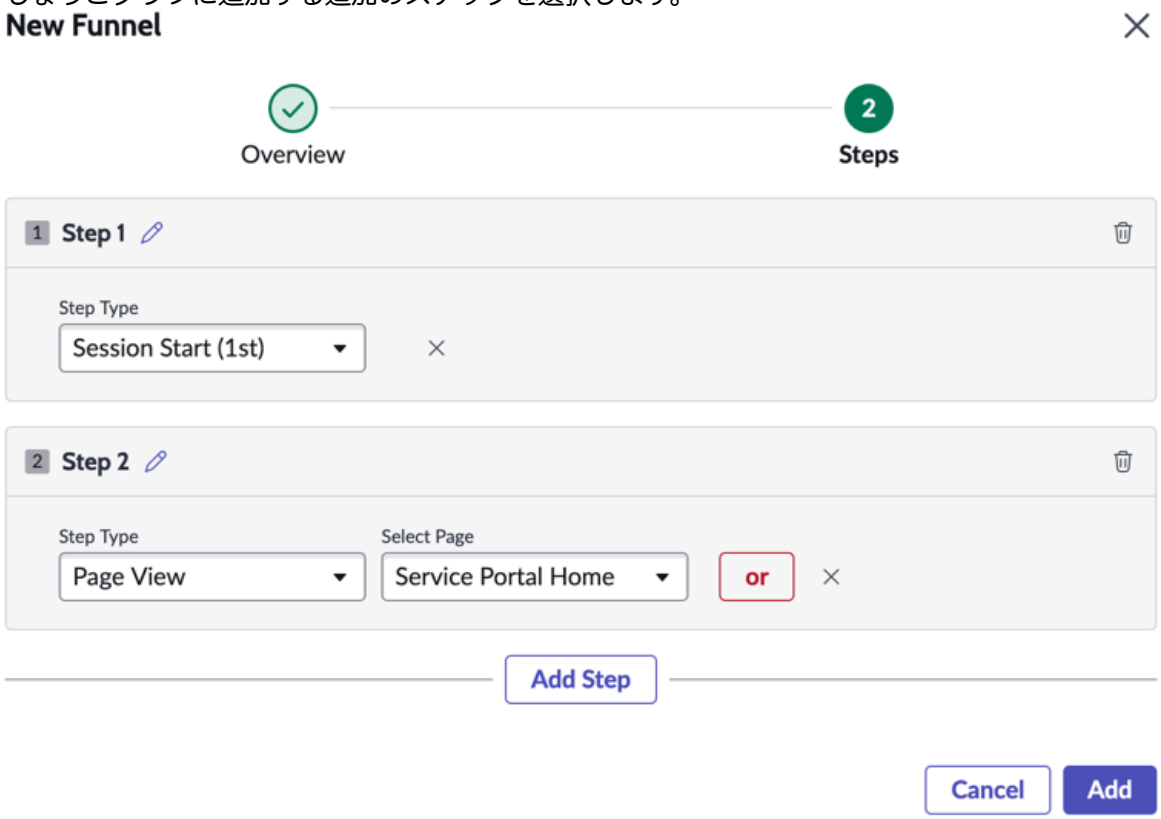
1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、コンバージョンじょうごグラフを作成するアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.
4. [新しいじょうごグラフを作成] ボタン ([+]) を選択します。
5. 測定する関連プロセスの名前を入力し、オプションで説明を入力し、[次へ] を選択します。
6. [ステップタイプ] オプションから、測定するステップを選択し、必要に応じて画面、イベント、またはアクションを選択します。

オプション	説明
イベントトリガー	測定する ユーザーアナリティクスイベント KPI を選択します。 選択したイベントを特定のプロパティで照合するには、[フィルタープロパティ] を選択し、ドロップダウンからプロパティを選択して、プロパティの値を入力します。
セッション開始 (初回)	ユーザーの最初のセッションを測定する場合に選択します。
セッション開始 (任意)	任意のユーザーセッションを測定する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 該当する場合は、[または] ボタンを選択して、パス内のそのポイントでユーザーが選択できる代替ステップタイプを追加します。
8. じょうごグラフに追加する追加のステップを選択します。



9. [追加] を選択してじょうごグラフを終了します。

コンバージョンじょうごグラフを編集する

収集するコンバージョンじょうごグラフデータや分析に含める手順を編集します。

始める前に

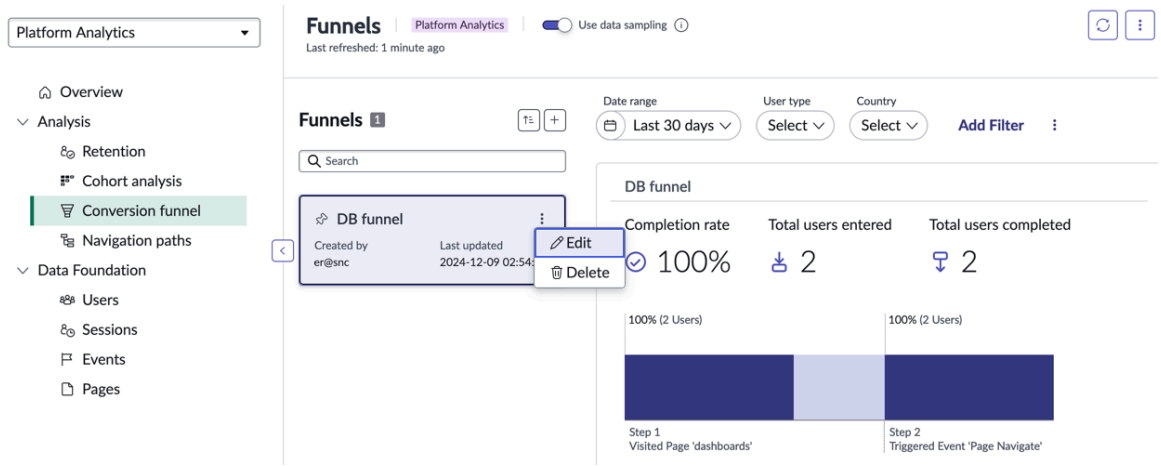
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセスできるアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、編集するじょうごグラフを含むアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.
4. 編集するじょうごグラフの [アクション] メニュー を選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. じょうごグラフの名前または説明を変更し、必要に応じてステップを編集または追加します。

6. [保存] を選択してじょうごグラフ構成を更新します。

コンバージョンじょうごグラフを削除する

じょうごグラフを簡単に削除できます。

始める前に
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセスできるアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

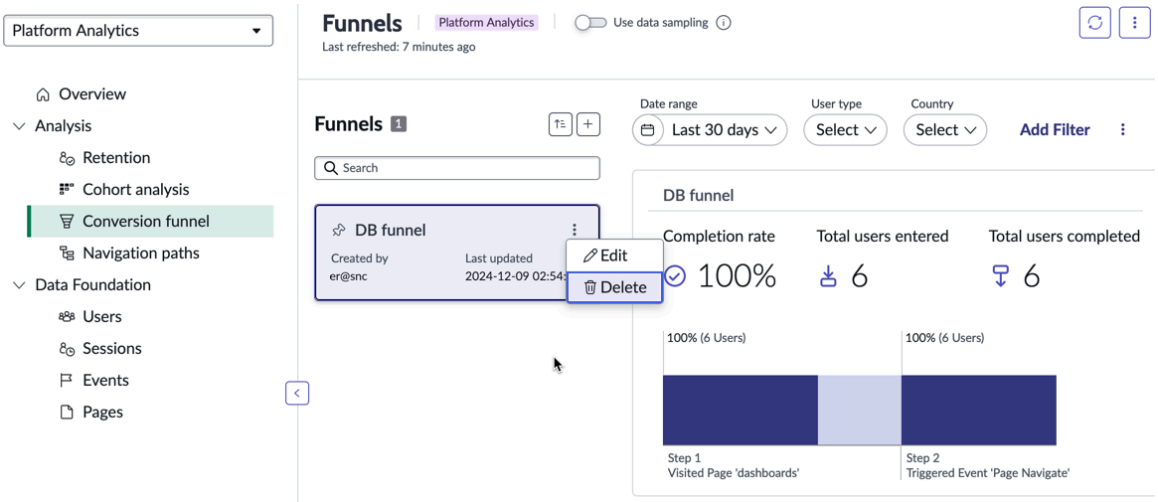
手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.

2. [アプリケーション] リストから、削除するじょうごグラフを含むアプリケーションを選択します。

3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.

4. 削除するじょうごグラフの [アクション] メニュー を選択し、[削除] を選択しま



す。

5. [削除] を選択して選択を確定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごグラフ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス どのように照合するか

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスが、目標を達成する前にユーザーに表示されると予想されるページのシーケンスとどのように一致するかについて説明します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、セッションではなく一意のユーザーに基づいてじょうごグラフの一致を行うため、セッション間でステップを一致させることができます。たとえば、ユーザーは最初のセッションでじょうごグラフの最初のステップを開始し、別のセッションで次のステップを続行できます。ユーザーは選択した時間範囲で 1 回のみカウントされ、ステップ完了はユーザーごとに 1 回のみカウントされます。

じょうごグラフは、30 日以内にじょうごグラフステップを完了したユーザーを測定するため、ユーザーは 1 月 1 日にステップ #2 を完了し、1 月 30 日にステップ #3 を完了してカウントできます。

じょうごグラフのステップは大まかに一致しています。ユーザーは、じょうごグラフを定義するステップ間で他のステップを実行できます。たとえば、次のようになります。

じょうごグラフ A > B > C の場合:

- A > B > C が一致します。
- A > B > D > C も照合されます。D は任意のユーザーアクションにすることができます。
- A > B > E が一致しない場合、ユーザーはステップ B のみを完了したと見なされます。

重複するステップが一致する場合、じょうごグラフ分析ではじょうごグラフを進行させる最初の発生が選択され、重複する発生は無視されます。たとえば、じょうごグラフ A > B > C の場合:A > B > B > C を実行するユーザーの場合、2 番目の B は無視されます。

時間範囲を選択すると、時間範囲内でじょうごグラフ全体を完了したユーザーのみが分析に表示されます。ユーザーが選択した時間範囲の前または後に最初のステップを開始した場合、そのユーザーはカウントされません。

じょうごグラフ分析では、重複するじょうごグラフの入口が優先されます。たとえば、じょうごグラフ A > B > C の場合、ユーザーは次のアクションを実行します。

A (日曜日) > B (月曜日) > A > (火曜日) > B (水曜日) > C (木曜日)

ユーザーが [日曜日 - 木曜日]、[月曜日 - 木曜日]、[火曜日 - 木曜日] を選択すると返されますが、[水曜日 - 木曜日] を選択した場合は返されません。

この動作は、個々のセッションの確認と集計されたユーザー数の両方に当てはまります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 無視された発生を除いて、選択したステップのじょうごグラフを進むすべてのセッションを表示し、ユーザーの複数のセッションを表示できます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

ナビゲーションパス

ナビゲーションパスを使用すると、Web またはモバイルアプリケーションを介したユーザーのジャーニーをすばやく把握して切り分けることができます。ユーザーが使用する最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパスと、それらを改善する方法を評価します。

ナビゲーションパスは、ユーザーがルート画面からたどるパスに関するインサイトを提供します。これらは以下に役立ちます。

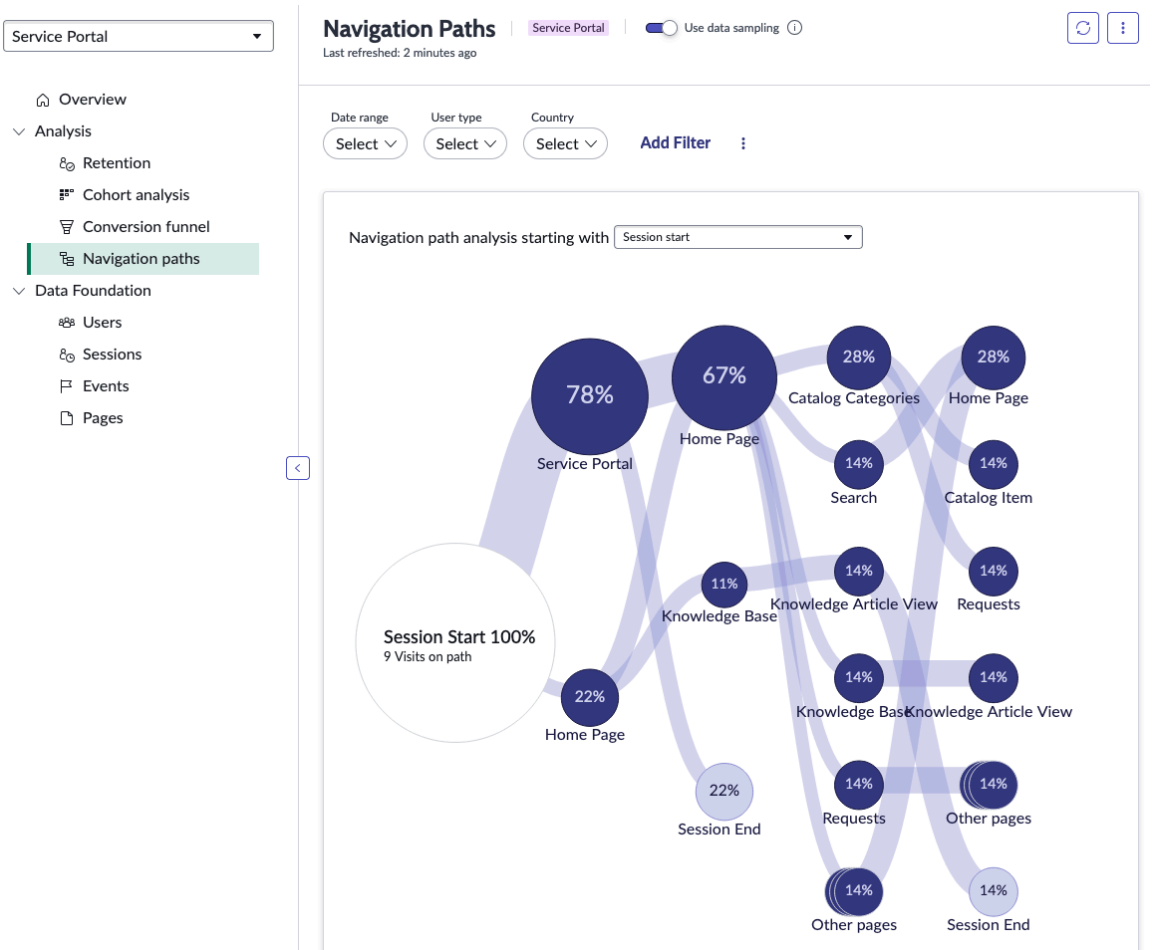
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 2 つの画面間の移動など、ユーザーの混乱を示すユーザージャーニーを特定します。
- 途中で終了する重要なジャーニーを特定します。
- ユーザーナビゲーションに対するポップアップの影響を理解します。

ナビゲーションパスには、アプリケーション内で特定の順序付けされたパスの頻度が表示され、ユーザーがたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内で複数回表示される場合があります。

注: ナビゲーションパスのデータは、デフォルトで 15% にサンプリングされます。トグル データサンプリングをオフにして 、データセット全体を分析します。



ナビゲーションパスの表示と操作

[ナビゲーションパス] 画面には、選択したアプリケーションに含まれるすべての画面のデータを含む初期可視化が表示されます。可視化の各円はナビゲーションレベルを表し、前の画面からのナビゲーションの数 (最大 5 レベル) を示します。すべてのユーザー、新規ユーザー、または復帰ユーザーのアナリティクスを使用して可視化を表示するかどうかを選択できます。

次の方法でナビゲーションパスを操作できます。

アクション	ステップ
ナビゲーションパスの可視化をフィルタリングする	[日付範囲]、[ユーザータイプ]、および [国] でフィルタリングすることを選択します。[フィルターを追加] を選択して、分析しているアプ

自動翻訳

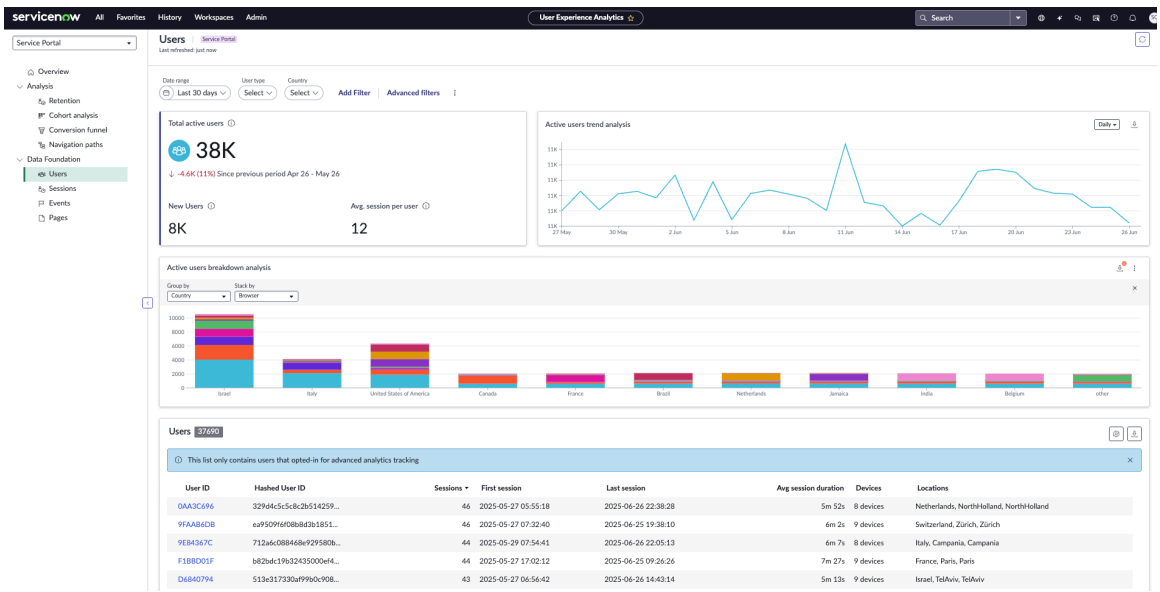
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	リケーションに適したフィルターを現在のセッションに追加します。 ユーザータイプフィルターでは、[新規] または [戻る] を選択できます。選択をクリアすると、すべてのユーザーのアナリティクスが表示されます。
ルート画面を変更して、その画面以降のナビゲーションパスを表示します。	ルート画面をいくつかの方法で変更します。 • [次で始まるナビゲーションパス分析] というラベルのリストからスタート画面を選択します。 • 任意のノードを選択し、もう一度選択して、そのノードをルートにします。 完全なナビゲーションパス分析に戻るには、[次で始まるナビゲーションパス分析] リストから [セッション開始] を選択します。

ユーザーアナリティクスの表示

データ基盤モジュール内の [ユーザー] ページを使用すると、アプリケーションを介した個々のユーザージャーニー (最初のセッションから定義された日付範囲内の最新のセッションまで) を表示できます。

タップやスワイプ、その他のタイムラインアクションなど、ユーザーのアナリティクスと動作を表示します。表示するユーザーを選択し、フィルターを設定し、個々のユーザーセッションにドリルダウンして、より詳細なインサイトを取得します。



ユーザーリスト

フィールド	説明
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスによって追跡される一意のユーザーに割り当てられた自動的に生成された番号。ユーザー ID を選

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーリスト (続く)

フィールド	説明
	択すると、ユーザーのセッションとアクティビティタイムラインが表示されます。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されません。代わりに、SHA-256 ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 注: ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
セッション	すべてのバージョンとデバイスでユーザーが実行したセッションの合計数。
最初のセッション	ユーザーがアプリケーションに初めてアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
平均セッション期間	すべてのバージョンとデバイスにおける、ユーザーがアプリケーションで費やした平均時間。
デバイス	ユーザーがアプリケーションをインストールしたすべての Web またはモバイルデバイス。
場所	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所の数。

注: ユーザーリストは、ユーザーインデックスによってのみ並べ替えることができます。

アクティブユーザーのブレークダウン分析

アクティブなユーザーを国、都道府県、デバイスタイプ、時間ごとの使用状況などでグループ化することで、アクティブなユーザーのブレークダウン分析を表示できるようになりました。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、および国でユーザーリストをフィルタリングできます。[フィルターを追加] オプションを使用すると、ロケール、部門、ロール、グループ、マネージャー、およびカスタムユーザーフィルターでフィルタリングできます。

注: [フィルターの追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果は、デフォルトのフィルターの条件と、可視化に含める追加フィルターの条件の両方を満たす必要があります。

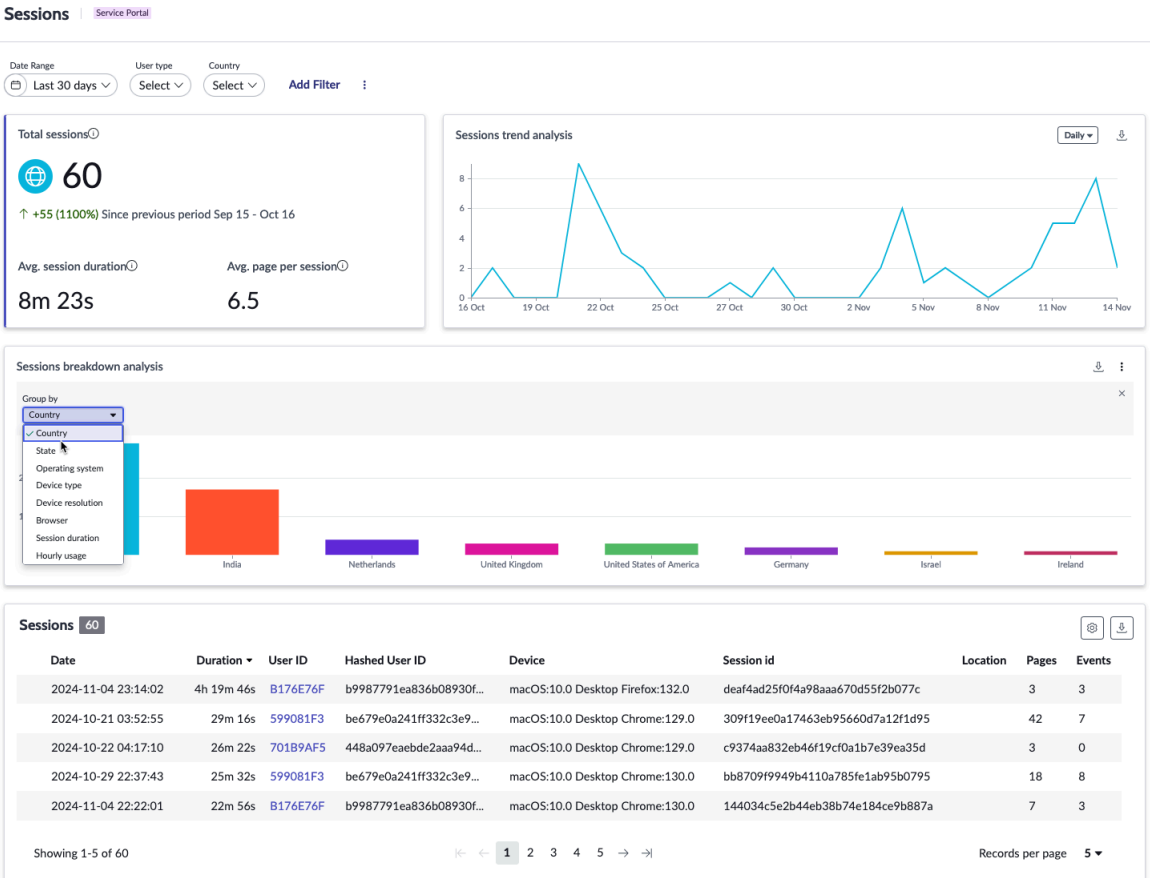
セッションアナリティクスの表示

データ基盤モジュールの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス セッション] ページには、より詳細なインサイトを得るためにドリルダウンできるフィルタリング可能なアプリケーションセッションが一覧表示されます。セッションリストを絞り込んで、アプリケーションに対して選択した画面やイベントなどのデータに焦点を当てます。

セッションの概要を表示するには、次に移動します プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、アプリケーションを選択し、 データ基盤 > セッション 移動します [セッション] リストでユーザー ID を選択して、そのユーザーのセッションを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



セッションリスト

フィールド	説明
日付	セッションが発生した日付。
期間	セッションが続いた時間の長さ。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、最大 4 時間のセッション長を追跡します。
ユーザー ID	アプリケーションバージョンの各一意のユーザーに割り当てられる自動的に生成された番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。ユーザー ID を選択すると、ユーザーのセッションとアクティビティタイムラインが表示されます。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されません。代わりに、SHA-256 ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
デバイス	ユーザーセッションが発生した特定のデバイス。
セッション ID	ユーザーの一意のセッション番号。ユーザーがセッションを開始するたびに、新しい連続したセッション番号が追跡されます。
場所	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションリスト (続く)

フィールド	説明
ページ	セッション中にユーザーがアクセスした画面数または表示したページ数。
イベント	セッション中にユーザーが実行したアクションの数。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、および国でユーザーリストをフィルタリングできます。[フィルターを追加] オプションを使用すると、ロケール、部門、ロール、グループ、およびマネージャーでフィルタリングできます。

注: [フィルターの追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果は、デフォルトのフィルターの条件と、可視化に含める追加フィルターの条件の両方を満たす必要があります。

セッションの詳細レコード

特定のユーザーセッションの統計情報とタイムラインの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ユーザーセッションレコードからセッション詳細レコードにアクセスします。

手順

1. 移動先 プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. アプリケーションを選択します。
3. [セッション] モジュールを選択します。
4. [セッション] リストでユーザー ID を選択して、そのユーザーのセッションを表示します。
5. セッションを選択します。

ユーザーセッションレコード

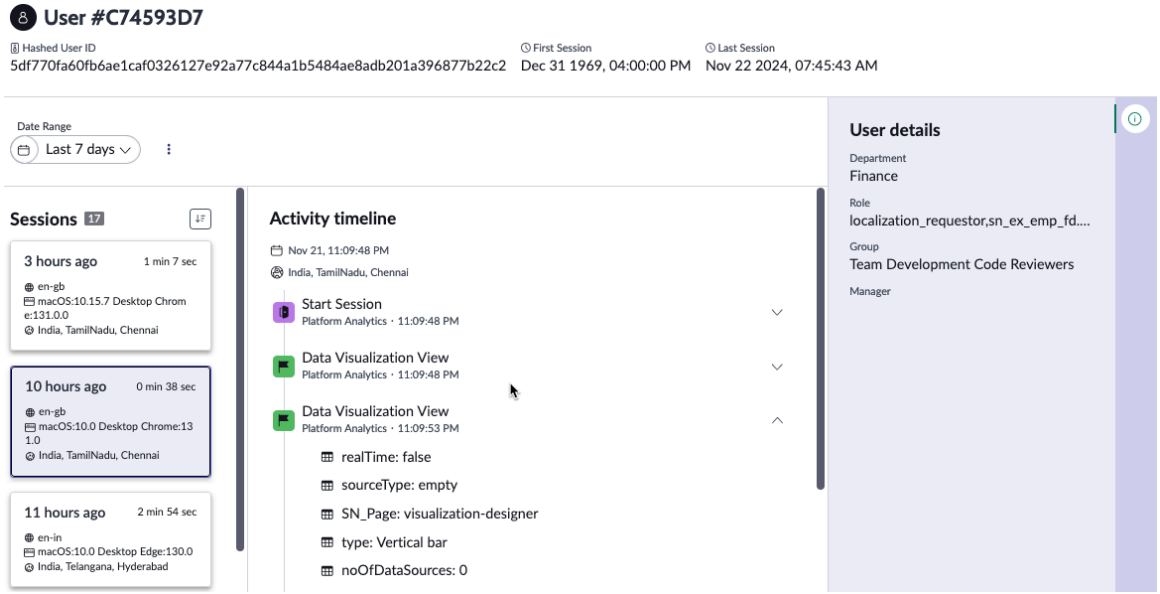
ユーザーの全体的なセッション統計情報と、ユーザーの特定のセッションのイベントタイムラインの詳細を表示します。

セッションまたはユーザーリスト画面からユーザーセッションレコードにアクセスできます。ハッシュ化されたユーザー ID を選択して、そのユーザーのセッションレコードを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開きます。セッションタイルを選択して、そのアクティビティタイムラインを表示しま
す。



フィールド	説明
ユーザー ID	
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
最初のセッション	ユーザーが最初にアプリケーションにアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
日付範囲	セッションリストに表示する日付の範囲を選択します。
ロケール	ユーザーがアプリケーションを表示した国、言語、地域。
デバイス	ユーザーが使用するブラウザの種類、デバイス、およびデバイスのバージョンを表示します。
セッション	次のセッションの詳細を表示します。 • セッションが発生してからの相対時間。 • 期間:セッションが続いた時間。 • セッションに使用されるオペレーティングシステム、バージョン、プラットフォーム、ブラウザ。 • 検索:選択したユーザーのセッションに固有のセッションリストに移動します。 日付、インデックス番号、セッション期間、またはアプリのバージョンでセッションを並べ替えることができます。
アクティビティタイムライン	ユーザーセッションのイベントのタイムラインを表示します。 イベントの詳細を表示するには ⌄ タイムライン上のイベントの横にある展開アイコンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーの詳細	ロール、部門、ユーザーがアクティブかどうかなど、ユーザーに関連付けられた関連する詳細。

関連トピック

セッションの詳細レコード

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスイベントを表示

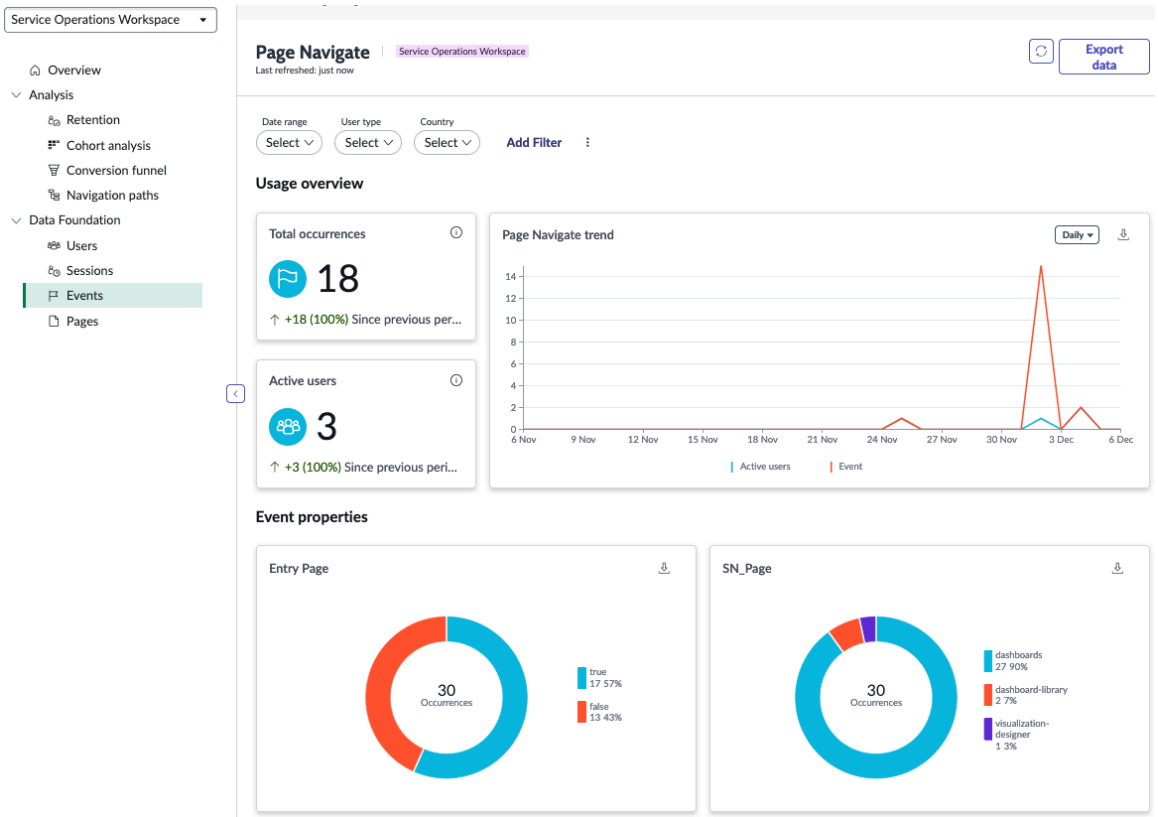
ユーザーアナリティクスイベントの発生を表示して、ビジネスプロセス内のコアステップの分析に役立ちます。

始める前に

必要なロール：ユーザー

このタスクについて

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、アプリケーション内のすべての画面、ジェスチャー、およびユーザーアクションを自動的に検出します。メニューの選択、ボタンのクリック、スワイプなど、ユーザーがトリガーしたイベントの発生を表示できます。



手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. イベントを分析するアプリケーションを選択します。
3. 検索アイコン を選択して [検索] フィールドを開き、[イベント] リストにフィルター処理するイベントの名前を入力するか、スクロールして [イベント] リストを検索します。
   すべてのアプリケーションのイベントを表示するには、アプリケーションリストから [すべてのアプリケーション] を選択し、[イベント] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアナリティクスイベント KPI

これらのイベント KPI は、Web およびモバイルプラットフォームで追跡されます。

イベント KPI

KPI	次の場合のイベントログ:
アプリ起動外部	ユーザーが通知またはディープリンクからアプリケーションを起動します。
ユーザーログイン	ユーザーが正常にログインしました。
アプリ/ALP を開く	ユーザーが ALP/画面をタップします。
アプレットを開く	ユーザーがアプレットを開きます。
音声検索がタップされました	ユーザーが [マイク] アイコンをタップします。
[サポートへの連絡] がタップされました	ユーザーが [サポートへの連絡] アイコンをタップします。
フィールドアクション	ユーザーが [通話] や [メール] などのボタンをタップします。
検索開始	検索アクションが開始されます。
検索完了	検索アクションが完了しました。この時間はミリ秒単位で記録されます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ページおよび画面用

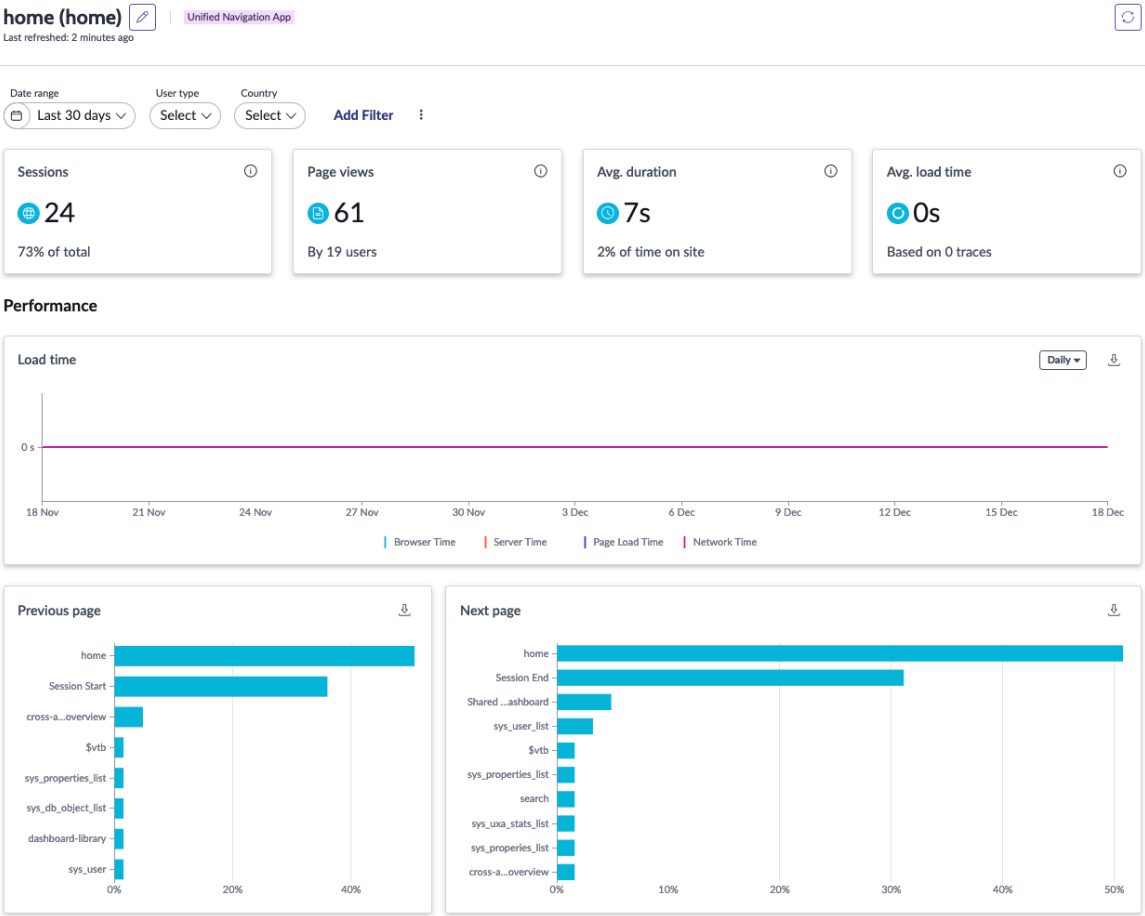
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の UI 分析のページモジュールは、ページの使用とナビゲーションに関して、Web ベースの UI 上のページに固有のアナリティクスを表示します。各 Web ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーションの詳細を表示して、ユーザーに問題が発生している可能性のあるページを特定し、それに応じてワークフローを最適化します。

モバイルアプリケーションの類似モジュールは Screens です。詳細については、「モバイルアプリケーション向け User Experience Analytics」を参照してください。

注: ページとリストのデータは、平均期間が使用されるたびに 15% にサンプリングされます。

自動翻訳

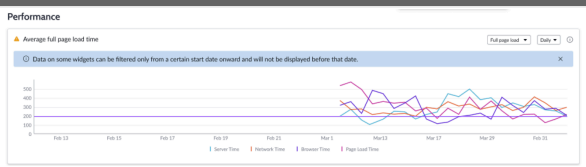
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アイテム	説明
ページ名	選択したページの名前。ページの名前を変更するには、編集アイコン 編集 を選択します。
セッション	指定されたページに含まれるセッションの数を表示します。セッション中にページが複数回開かれた場合は、1回のみカウントされます。
ページビュー	選択したページの閲覧回数と、そのページにアクセスしたユーザーの数を表示します。
平均期間	ページで費やされた平均時間と、セッション中にアプリ全体で費やされた時間に対するページで費やされた時間の割合を表示します。
平均ロード時間	ページの表示回数に基づいて、ページのロードに要する平均時間を表示します。
パフォーマンスグラフ	選択したトレースタイプの日次、週次、または月次のパフォーマンス傾向をグラフで表示します。メニュー矢印から、ブラウザー時間、サーバー時間、ページロード時間、ネットワーク時間のいずれかのトレースタイプを選択します。パフォーマンスグラフは、 Yokohama パッチ 1 のインストールからデータを収集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	
ページのロード時間	ブラウザーでページが完全にレンダリングされた時間からユーザーがページを要求した時間を差し引いた、ページの全体的な配信時間
サーバー時間	サーバーがトランザクションを処理するのにかかる時間
ネットワーク時間	ネットワークが要求を処理するのにかかる時間。ブラウザーでページのロードが開始された時間からユーザーの要求の時間を差し引き、さらにサーバーの処理時間を差し引いて計算されます。
クライアント時間	ブラウザーでページのロードを開始した時間から、ページが完全にレンダリングされた時間を差し引いた、ブラウザーがページを配信するためにかかった時間
ナビゲーション	
前のページ	ユーザーが選択したページにアクセスしたトップページを表示します。また、各ページへのナビゲーションの合計数に対する、各ページからのセッションの割合も表示されます。まれなアクションは省略される場合があります。
次のページ	選択したページからユーザーが移動したトップページを表示します。また、各ページからのナビゲーションの合計数に対する、各ページに移動するセッションの割合。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、国でページをフィルタリングできます。[フィルターを追加] オプションを使用すると、[ロケール] や [ロール] などの他のフィールドでフィルターを適用できます。

注: [フィルターの追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果は、デフォルトのフィルターの条件と、可視化に含める追加フィルターの条件の両方を満たす必要があります。

ページアナリティクスを表示

各ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーションアナリティクスを表示します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. アプリケーションを選択し、次を選択します。 データ基盤 > ページ.
   モバイルアプリケーションの場合は、次を選択します データ基盤 > スクリーニング.
3. ページリストをスクロールするか、検索アイコン (🔍) を使用してページを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

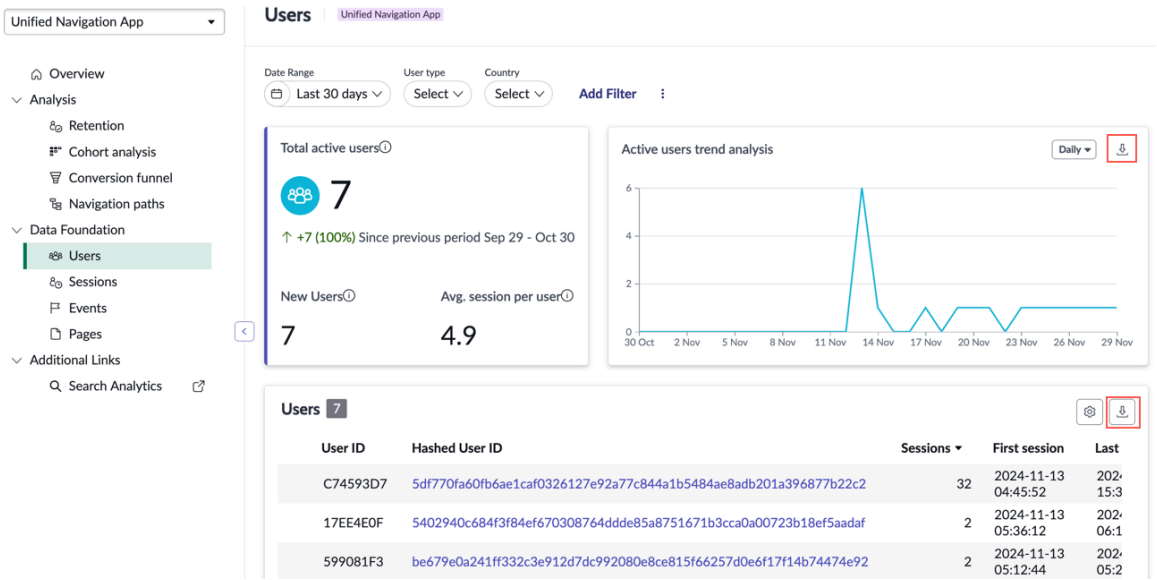
データのエクスポート

データレコードを CSV 形式にエクスポートできます。ユーザーリスト、セッションリスト、およびその他のアナリティクスデータを CSV にエクスポートするには、ダウンロードアイコン ( ) が表示されている場所であればどこでも使用できます。

注: ダウンロードアイコンのない可視化からデータをエクスポートすることはできません。ほとんどのイベントページで [データをエクスポート] ボタンを使用して、ページ全体のデータを CSV 形式でエクスポートします。

概要、保持、ユーザー、セッション、イベント、ページの各モジュールにはすべて、エクスポート可能なデータを含む可視化が含まれています。テーブルからのデータのエクスポートは 10,000 レコードに制限されています。

( ) を選択して、データの自動エクスポートを開始します。ダウンロード場所はブラウザの設定で指定します。



アクセスアナリティクスオーバーレイ

ユーティリティアイコンを使用してコンテキスト内のページ使用状況メトリクスをすばやく取得し、ページを離れることなくアナリティクスにすばやくアクセスできるようにします。

始める前に

必要なロール:ユーティリティアイコンを使用するには、次のいずれかのロールが必要です

- analytics_admin
- analytics_viewer

注: ユーティリティアイコンは、上記のいずれかのロールを持つユーザーのみに表示されます。

このタスクについて

注: この機能は、ポータルとワークスペース、およびメインプラットフォームナビゲーション (統一ナビゲーションアプリ) のみをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 作業するアプリケーションまたはポータルに移動します。
2. ポータル/アプリケーションページの左下にあるユーティリティアイコンを選択します。
   アプリケーション/ポータルページの右側にパネルが表示されます。アプリケーションページの主要な使用状況メトリクスがいくつかあります。

   注: パネル内の情報は、アプリケーション/ポータルに対してユーザーエクスペリエンスアナリティクスが追跡されている場合にのみ表示されます。

3. パネルに表示される次の使用状況インサイト情報を確認します。
   - ページビュー:選択したページのビューの数を表示します。
   - ユーザー:選択したページにアクセスした一意のユーザー (アクティブと新規の両方) の数。
   - 平均期間:すべてのバージョンとデバイスでユーザーがアプリケーションで費やした平均時間。
   - 平均読み込み時間:ページのロードにかかる平均時間を表示します。このデータはサンプリングされ、ページの合計読み込みの 5%〜10% に基づいています。
   - 上位 5 件のイベント:このページ内でトリガーされた上位 5 件のアクション。
4. オプション: ダッシュボードに包括的なデータ使用量情報を表示する場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクスで分析] を選択します。
   このオプションを選択すると、UXA ダッシュボードにリダイレクトされます。

   注: ダッシュボードでは、個々のアプリケーションまたはポータルページに加えて、アプリケーション全体を分析することでインサイトを得ることもできます。

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの参照

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロールとプロパティ。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール

さまざまなユーザーが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内で実行できるアクティビティを区別するために、いくつかのロールがインストールされています。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はこれらのロールを使用します。

注: アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

アナリティクスアドミン **[analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内の設定を表示し、各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内でじょうごグラフおよびコホートレポートを作成できます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- analytics_viewer
- chat_analytics_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- mobile_analytics_admin
- sdk_analytics_admin
- web_analytics_admin

- アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内の設定を表示できます。
- 各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御できます。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内でじょうごグラフおよびコホートレポートを作成できるようにするためのアドミンロール権限があります。

グループ

アナリティクスアドミン [analytics_admin] は、アナリティクス設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

モバイルアナリティクスアドミン **[mobile_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内の設定を表示し、各モバイルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内でじょうごグラフおよびコホートレポートを作成できるようにするためのアドミンロール権限があります。

ロールを含む

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] には、モバイルアナリティクスビューアー [mobile_analytics_viewer] ロールが含まれています。

グループ

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] は、モバイルアナリティクス設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

詳細については、「モバイルアプリケーション向け User Experience Analytics」を参照してください。

Web アナリティクスアドミン **[web_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] で設定を表示し、各 Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内からじょうごグラフおよびコホートレポートを作成するためのアドミンロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- core_ui_analytics_admin
- now_experience_analytics_admin
- portal_analytics_admin
- web_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスビューアー **[analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、モバイルアプリケーションおよび Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に対するビューアーロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- web_analytics_viewer
- mobile_analytics_viewer
- sdk_analytics_viewer
- chat_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

モバイルアナリティクスビューアー **[mobile_analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、モバイルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に対するビューアーロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

なし。

特別な考慮事項

なし

詳細については、「モバイルアプリケーション向け User Experience Analytics」を参照してください。

Web アナリティクスビューアー [web_analytics_viewer]

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のためのビューアーロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- portal_analytics_viewer
- core_ui_analytics_viewer
- now_experience_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

システムプロパティを使用して、プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の対話型アナリティクス領域でユーザーエクスペリエンスアナリティクスを構成します。

一般的な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の対話型アナリティクス領域で、次のシステムプロパティを使用します。

glide.analytics.enabled

ユーザーアナリティクスを追跡するオプションを有効にするかどうかを選択します。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：false

glide.analytics.user.consent.script_timeout

プロバイダーのカスタムスクリプトをトリガーするときに、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの同意ポリシーメカニズム中にスクリプトを実行できる最大時間 (ミリ秒)。最小値は 100 ミリ秒です。最大値は 5000 ミリ秒です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タイプ: 文字列
- デフォルト値：2000

サービスポータル の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

次のシステムプロパティは、 サービスポータル でのみ使用してください。

glide.analytics.tracking.force_allowed.portals

指定されたポータルのユーザーの同意ポップアップをオフにします。

- タイプ: 文字列
- デフォルト値：なし

glide.analytics.tracking.restricted.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡をオフにします。

このプロパティは *glide.sp.analytics.enabled.portals* プロパティを上書きします。ポータルを指定するには、その sys_id を [値] フィールドに貼り付けます。複数のポータルを指定するには、スペースを入れずにカンマ区切りのリストを入力します。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

glide.sp.analytics.enabled.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡を有効にします。デフォルトでは、ベースシステムのサービスポータルで追跡が有効になっています。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：81b75d3147032100ba13a5554ee4902b

期間の計算

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の期間には、特定の計算方法があります。これらの式を確認して、ページあたりの平均期間とサイト滞在時間の割合の値を把握します。

ページあたりの平均時間

ページあたりの平均期間は、ページの期間の合計を、そのページのインプレッション数からそのページからの離脱数を引いたもので割って計算されます。

たとえば、指定された日付範囲内にダッシュボードの概要が 10 回表示されているとします。彼らはページ上で合計 720 秒を費やします。これらの 4 つの外観で、ダッシュボードの概要はページでのインタラクションなしでセッションを終了しました。したがって、平均期間の計算は 720 / 10 - 4 = 120 秒です。

現地滞在時間の割合

サイト滞在時間の割合は、1 ページの期間の合計をすべてのページ期間の合計に 100 を掛けて割って計算されます。

たとえば、サービスポータルアプリケーションには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスによって追跡される [ホーム]、[ナレッジ]、および [要求] の 3 つのページが含まれています。指定された日付範囲内にホームページで費やされた合計時間は 900 秒です。[ナレッジ] ページでは 300

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

秒。[要求] ページで、300 秒。ホームページのパーセンテージ時間は、(900 / 900 + 300 + 300) * 100 = 60% として計算されます

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのドメインセパレーション

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションではドメインセパレーションはサポートされていません。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連トピック

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

プロセス最適化

プロセス最適化 は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。

データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。プロセス最適化では、次のことができます。

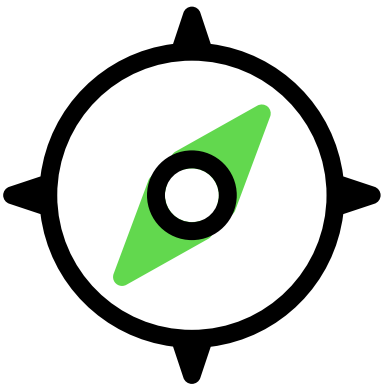
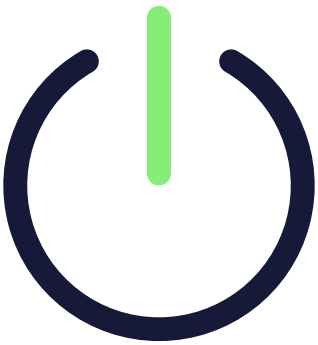
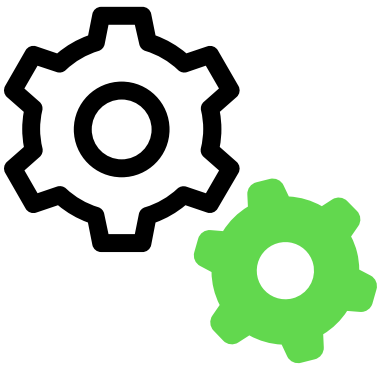
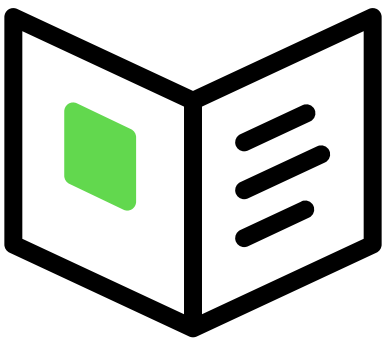
- プロセスの実行またはカスタマージャーニーを可視化し、採用およびユーザーエクスペリエンスについてのインサイトを提供します。詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。
- ボトルネックを特定し、重要業績評価指数に与える影響を確認して、根本原因となる問題を解決できるようにします。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- 複数のテーブルを 1 つのビューにマイニングすることで SLA に違反する理由を理解します。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。
- 自分が作成したプロジェクト、自分と共有しているプロジェクト、またはすべてのプロジェクトに基づいて、アナリストワークベンチにフィルターを適用します。詳細については、「プロジェクトデータのフィルタリング」を参照してください。
- プロセスの監査により、重要な変更や潜在的な問題がビジネスに悪影響を及ぼす前に、すぐに検出することができます。
- ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス および 継続的改善管理 と統合して、プロセスを改善する機会を見つけます。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」および「継続的改善管理 との統合」を参照してください。
- プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。
- メインの業務に影響しているものをより包括的に把握するために、連携しているプロセスをリンクします。詳細については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。
- アクティビティ移行を表示して、特定のメトリクス全体で最も貢献しているアクティビティ移行を確認します。詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 機械学習と AI の拡張性によって、高度な計算を実行します。
- 機械学習 (ML) ベースのクラスター分析を実行して、インスタンスまたはレコードの類似したグループまたはパターンを検索します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

開始

探索	アクティブ化	構成
		
プロセス最適化の概念と機能について説明します	アクティブ化する方法を学ぶ プロセス最適化	プロセス最適化 の構成
使用方法	**参照**	
		
使用方法を学ぶ プロセス最適化	主要な用語やコンポーネントインストール情報など、 プロセス最適化 の詳細を取得します	

プロセス最適化 の探索

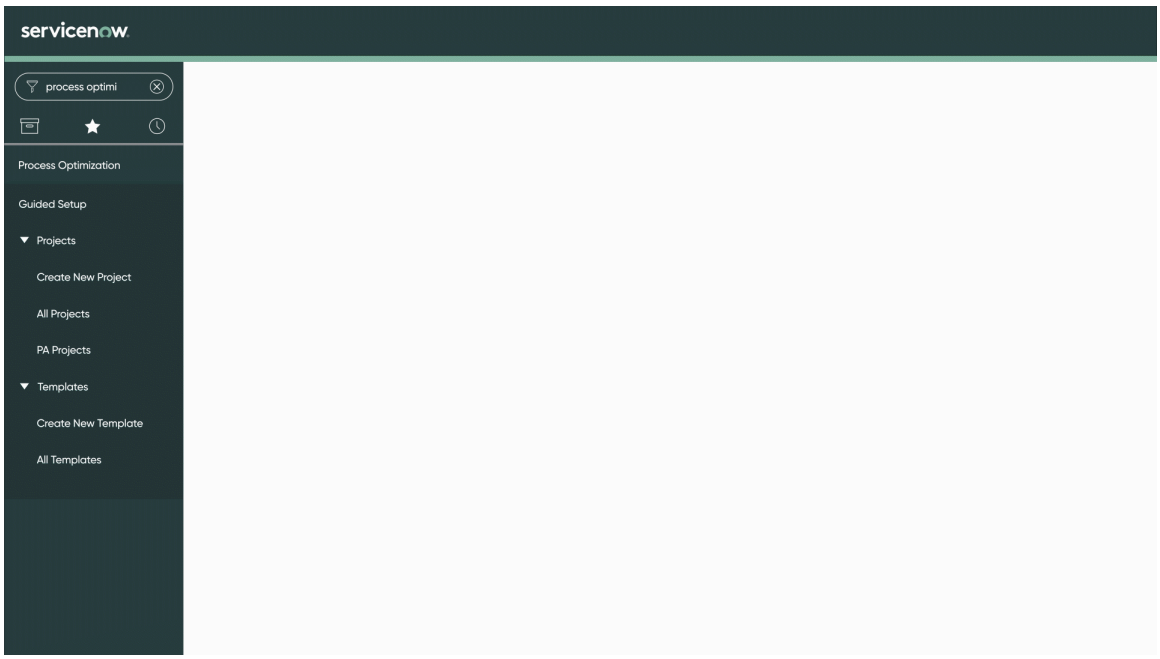
プロセス最適化を使用してビジネスプロセスを分析および最適化します。

プロセス最適化 を使用すると、次のようなプロセス改善の質問に対する答えを見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスで最も時間を費やしている、または無駄にしているのはどこですか?
- プロセスのパフォーマンスが遅い根本原因は何ですか?
- ビジネスでのプロセスの次のどこに自動化を適用すべきか?
- やり直しはどこで行われていますか?
- プロセス内の各アクティビティの推定コストと見込まれる節減額はどのくらいですか?
- ビジネスでは、そのプロセスにどの程度の逸脱が見られますか?



アナリストは次のことができます。

- ITSM CSM、 ファイナンシャルサービスオペレーション、および HR サービスデリバリ (HRSD) プロセスを積極的に評価して改善します。
- デジタルトランスフォーメーションを加速します。データとベストプラクティスコンテンツに基づいて、改善と自動化の領域を見つけます。

プロセスオーナーは、次のことができます。

- プロセスを可視化し、コラボレーションを開始します。
- プロセスのボトルネックを評価し、弱点のある領域を見つけて、最適化が可能な領域を見つけます。

プロセス最適化 の主な機能

このトピックでは、 プロセス最適化 の主な機能のいくつかを一覧表示します。

自動プロセスディスカバリー

プロセステーブル、およびマイニングするアクティビティとブレークダウンを選択して、プロジェクトを定義します。プロジェクトビルダーでプロジェクトを編集することもできます。

ビジネスプロセスのアクティビティ定義を少なくとも 1 つ構成します。アクティビティは、ビジネスプロセスの一部として発生する可能性のあるさまざまなステップを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターとして機能し、カテゴリのボリューム、速度、および適合率に関するインサイトを提供するブレークダウンを構成する必要があります。

[サマリーとインサイト] ページ

プロセスのパフォーマンスをすばやく理解します。[サマリーとインサイト] ページから、重要業績評価指標、改善の機会の概要、および改善の機会のリストを表示します。詳細については、「[サマリーとインサイト] ページ」を参照してください。

アナリストワークベンチページ

インタラクティブなプロセスマップ、探索的フィルターパネル、および事前に構築されたパフォーマンスメトリクスを使用して、ビジネスワークフローを視覚的に分析します。プロセスのバリエーション、ブレークダウン、ボトルネック分析、ML およびスマートルールベースのインサイトを確認できます。また、重複する監査がすべて削除され、グラフ内のすべてのセルフループが削除されます。詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。

簡単なコラボレーションと共有

プロジェクトをステークホルダーと共有し、プロジェクト内のメモやスクリーンショットを使用して共同作業を行います。プロジェクトの共有の詳細については、「 プロセス最適化プロジェクトの共有」を参照してください。メモの作成の詳細については、「プロジェクトへのメモの追加」を参照してください。

統合された継続的最適化

改善イニシアチブのステータスを作成および表示します。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスとベンチマークとの統合

- パフォーマンスアナリティクス統合を使用して、根本原因分析のためにパフォーマンスの低いインジケーターを分析します。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」を参照してください。
- ベストプラクティスに基づいた実装を使用します。事前定義された ITSM プロセス最適化 プロジェクトと改善イニシアチブにより、価値実現までの時間を短縮できます。詳細については、「のコンテンツパック ITSM」を参照してください。

プロセスの比較

プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。

多次元プロセス

多次元プロセスとは、テーブルの階層をマイニングすることを指します。これはマルチテーブルマイニングです。プロセスの依存関係をより包括的に表示するために使用されます。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。

ボトルネック分析

ボトルネック分析機能で定義したアクティビティ移行を表示します。詳細については、「ビジネスインサイトの表示」を参照してください。

ML ベースのクラスタリングを使用したプロセスの分析

類似したレコードを機械学習パターンで識別されたクラスターにグループ化します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

パフォーマンスインジケーターとレコードリストの背後にあるプロセスを迅速に分析する

不適切なサービスレベルアグリーメントや CSAT スコアなどのシナリオの背後にある、わかりやすいプロセス。任意のプラットフォームのリストまたはレポートから分析を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価 プロセス最適化

サポートされているいくつかのビジネスプロセスを使用して プロセス最適化 を評価します。

このセクションでは、次のセクションについて説明します。

プロセス最適化 の評価プロジェクト インシデント管理

プロセス最適化インシデント管理 の評価プロジェクトは、プロセス最適化 の限定バージョンです。プロセス最適化 プラグインの一部として出荷され、プロセス最適化 for ITSM の資格のない顧客も利用できます。これにより、 プロセス最適化 機能を使用してプロセスを改善することに慣れることができます。

ITSM顧客は、本番インスタンスでインシデント管理ビジネスプロセスを使用してプロセス最適化を評価できます。これを行うことができるのは、 プロセス最適化 プラグイン (sn_po) がすべての本番インスタンスでデフォルトで有効になっているためです。プロセス最適化を評価するために、独自のデータを使用して製品の機能に慣れる新しいプロジェクトタイプが導入されています。

> **注:** この新しいプロジェクトタイプでは、ITSM インシデント管理 KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセス最適化を評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトで プロセス最適化 評価して試すことができます。これらは、フルライセンスなしで プロセス最適化 機能を評価するための 2 つの代替補完的な方法です。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで機能します。インシデント管理評価プロジェクトについてはプロセス最適化次の点に注意してください。

- 過去 7 日間に解決された最大 3600 件のレコードに制限された、事前設定された プロセス最適化 プロジェクト構成にアクセスできます。過去 7 日間に解決されたレコードが 3600 件を超える場合、評価は最初の 3600 レコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、ステータスとアサイン先グループです (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

必要なロール (itil、snc_internal) がある場合は、ITSM インシデント管理 パフォーマンスアナリティクス KPI または プロセス最適化 ワークスペースを使用して、ITSM インシデント管理のプロセス最適化を評価できます。

プロジェクトを実行できるpromin.pa_integration_required_rolesが既に利用可能です。詳細については、「プロセス最適化 のプロパティ」を参照してください。

詳細については、「評価プロジェクト プロセス最適化 実行」を参照してください。

関連トピック

- インラインエディターを使用したダッシュボードの作成
- アナリティクスハブ

プロセス最適化 の評価プロジェクト カスタマーサービス管理 (CSM)

プロセス最適化カスタマーサービス管理 (CSM) の評価プロジェクト (CSM) は、プロセス最適化 の限定バージョンです。プロセス最適化 プラグインの一部として出荷され、プロセス最適化 for CSM の資格のない顧客も利用できます。これにより、 プロセス最適化 機能を使用してプロセスを改善することに慣れることができます。

CSM顧客は、本番インスタンスでCSMビジネスプロセスを使用してプロセス最適化を評価できます。これを行うことができるのは、 プロセス最適化 プラグイン (sn_po) がすべての本番インスタン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スでデフォルトで有効になっているためです。プロセス最適化を評価するために、独自のデータで製品の機能に慣れる新しいプロジェクトタイプが導入されています。

> **注:** この新しいプロジェクトタイプでは、CSM KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセス最適化を評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトで プロセス最適化 評価して試すことができます。これらは、フルライセンスなしで プロセス最適化 機能を評価するための 2 つの代替補完的な方法です。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで機能します。CSM評価プロジェクトについてはプロセス最適化次の点に注意してください。

- 過去 7 日間に解決された最大 3,600 件のレコードに制限された、事前設定されたCSMプロセス最適化プロジェクト構成にアクセスできます。過去 7 日間に解決されたレコードが 3600 件を超える場合、評価は最初の 3600 レコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、ステータスとアサイン先グループです (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

プロジェクトを実行できるpromin.pa_integration_required_rolesが既に利用可能です。詳細については、「プロセス最適化 のプロパティ」を参照してください。

詳細については、「評価プロジェクト プロセス最適化 実行」を参照してください。

関連トピック

- インラインエディターを使用したダッシュボードの作成
- アナリティクスハブ

プロセス最適化 ヒューマンリソース **(HR)** 評価プロジェクト

プロセス最適化 ヒューマンリソース (HR) の評価プロジェクト (HR) は、 プロセス最適化 の限定バージョンです。プロセス最適化 プラグインの一部として出荷され、プロセス最適化 for HR の資格のない顧客も利用できます。これにより、 プロセス最適化 機能を使用してプロセスを改善することに慣れることができます。

HR顧客は、本番インスタンスでHRビジネスプロセスを使用してプロセス最適化を評価できます。これを行うことができるのは、 プロセス最適化 プラグイン (sn_po) がすべての本番インスタンスでデフォルトで有効になっているためです。プロセス最適化を評価するために、独自のデータで製品の機能に慣れる新しいプロジェクトタイプが導入されています。

> **注:** この新しいプロジェクトタイプでは、HR KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセス最適化を評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトで プロセス最適化 評価して試すことができます。これらは、フルライセンスなしで プロセス最適化 機能を評価するための 2 つの代替補完的な方法です。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで機能します。HR評価プロジェクトについてはプロセス最適化次の点に注意してください。

- 過去 7 日間にクローズされた最大 3600 件のレコードに制限された事前設定された プロセス最適化 プロジェクト構成にアクセスできます。過去 7 日間にクローズされたレコードが 3600 件を超える場合、評価は最初の 3600 レコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、ステータスとアサイン先グループです (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

次の必要なロールがある場合は、[HR のプロセス最適化] アイコンまたは [パフォーマンスアナリティクス KPI] アイコンが表示されます。

- pa_threshold_admin
- sn_hr_core.admin
- sn_hr_core.manager
- sn_hr_core.report_creator
- sn_hr_onboarding.admin
- sn_hr_pa.admin
- sn_piwb_hr_content.admin

プロジェクトを実行できるpromin.pa_integration_required_rolesが既に利用可能です。詳細については、「プロセス最適化 のプロパティ」を参照してください。

詳細については、「評価プロジェクト プロセス最適化 実行」を参照してください。

関連トピック

インラインエディターを使用したダッシュボードの作成

アナリティクスハブ

評価プロジェクト プロセス最適化 実行

評価プロジェクトを実行しプロセス最適化プロセス最適化機能を使用してプロセスを改善する方法を理解します。

始める前に

必要なロール：なし

プロセス最適化評価プロジェクトを実行するための唯一の基準は、テーブルにアクセスできることです。テーブルにアクセスできなくても評価プロジェクトを実行できますが、その場合、空のプロジェクトになってしまいます。

評価プロジェクトは、 プラットフォームアナリティクス または プロセス最適化 ワークスペースから実行できます。

このタスクについて

評価プロジェクトは、 プラットフォームアナリティクス または プロセス最適化 ワークスペースから実行できます。

手順

1. 評価プロジェクトを プラットフォームアナリティクスから実行するには:

   a. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > **KPI**.

   b. KPI を選択します。

   c. [プロセス分析を実行] を選択します。
   KPI が ITSM、 CSM、または HR に関連している場合、サンプルマイニングが開始されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

過去 7 日間のレコードと最大 3,600 件のレコードを表示できます。

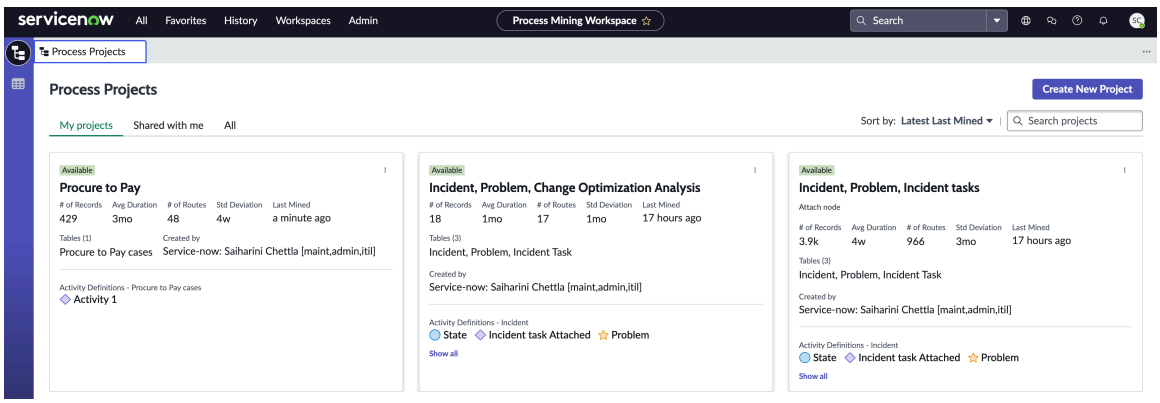
> **注:** プロセス最適化 で利用可能な評価プロジェクトの詳細については、「プロセス最適化 の評価プロジェクト インシデント管理」、「プロセス最適化 の評価プロジェクト カスタマーサービス管理 (CSM)」、および「プロセス最適化 ヒューマンリソース (HR) 評価プロジェクト」を参照してください。

2. プロセス最適化 ワークスペースから評価プロジェクトを実行するには:
   a. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   b. 評価プロジェクトの詳細ボタンから、 [サンプルマイニングの実行] を選択します。

プロセス最適化 ワークスペース

ビジネスプロセスとワークフローを プロセス最適化 ワークスペースから可視化して表示します。

プロセス最適化ワークスペースには、ビジネスプロセスの分析と最適化に役立つ詳細、サマリー、および可視化とともにプロジェクトが表示されます。インスタンスフィルターナビゲーターから プロセス最適化 ワークスペースにアクセスして開始します。



プロセス最適化ワークスペースには次の機能が含まれています。

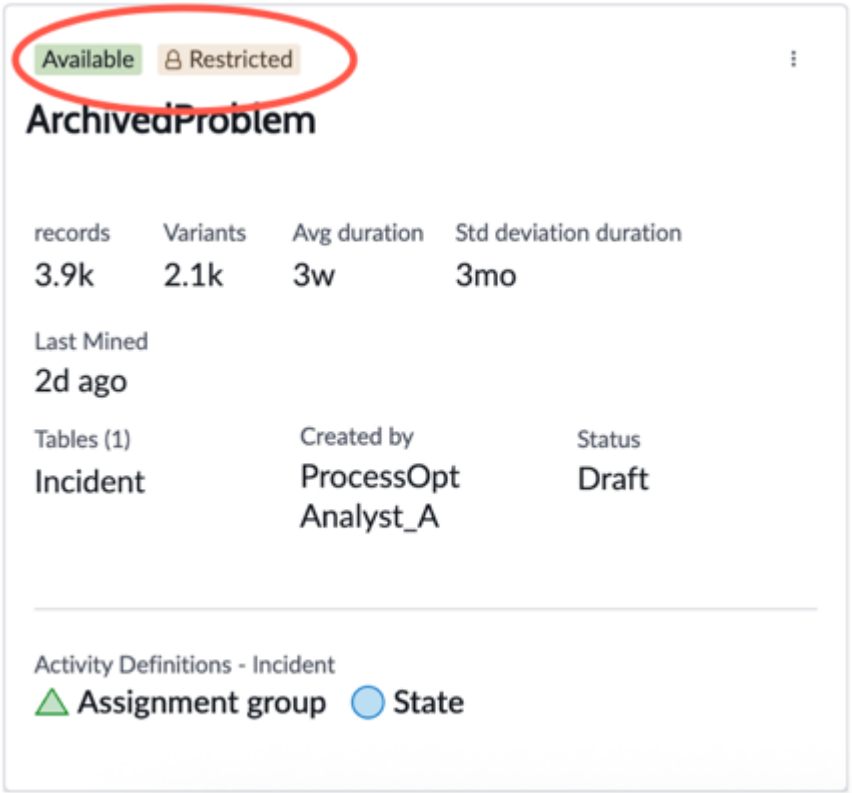
プロジェクトのランディングページ

プロセス最適化 のプロジェクトランディングページから、生成されたプロジェクト、ビジネスプロセスインサイト、およびアナリストワークベンチにアクセスできます。

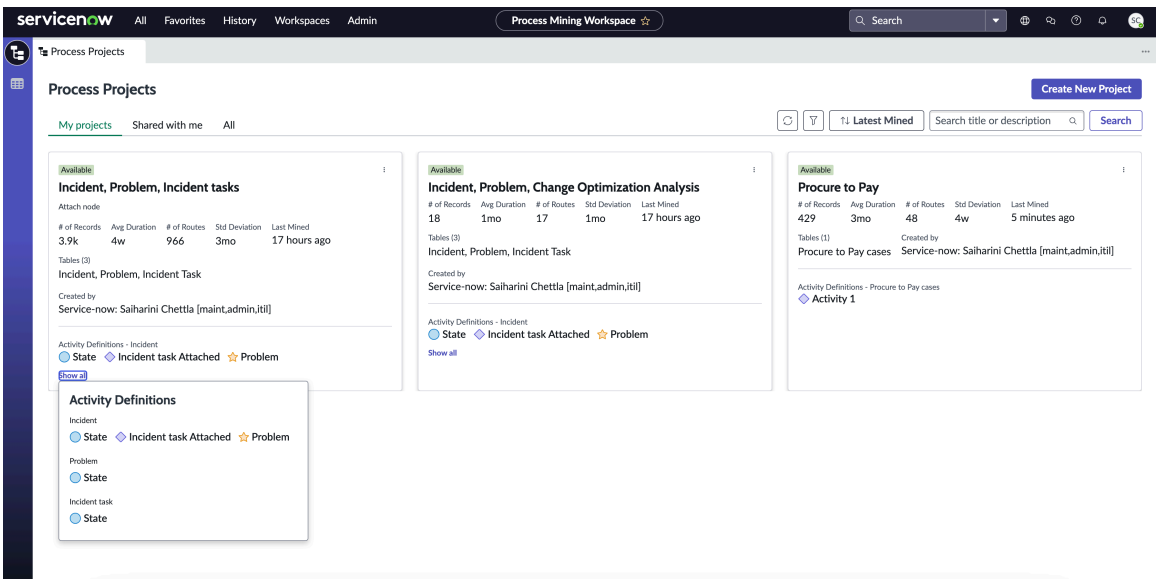
プロジェクトのランディングページには、作成された、または表示用に共有されたプロジェクトのプロジェクトカードが表示されます。作成されたがまだ生成されていないプロジェクトには、グレー表示されたタイトル ⚠ 警告アイコンが表示されます。この警告は、プロジェクトを表示できないことを示しています。

一部のプロジェクトは [Retricted] としてマークされる場合があります。所有者と、所有者が明示的に共有するユーザーは、制限付きプロジェクトにアクセスできます。アドミニストレーターとパワーユーザーは、プロジェクトが共有されない限り、マイニングされたデータにアクセスできません。所有者のみが [制限付き] フィールドをクリアできます。機密データを扱っており、アクセスを制限する必要がある場合は、このオプションを使用できます。詳細については、「 プロセス最適化プロジェクトの目標を設定する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロジェクトのランディングページ



プロジェクトカードには、マイニングされたプロジェクトの概要の詳細が表示されます。テーブル、作成者、プロジェクト、アクティビティ定義、名前、または簡単な説明でフィルタリングできます。

プロジェクトカードの詳細

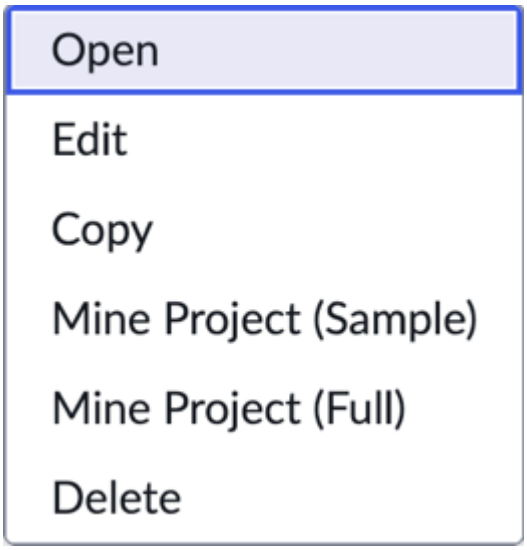
フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの名前。プロジェクト名を選択すると、アナリストワークベンチを開き、ビジネスに関する所見にアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトカードの詳細 (続く)

フィールド	説明
ステータス	プロジェクトの使用ステータスの指定。
プロジェクトの簡単な説明。	プロジェクトに関する簡単な説明が記載されています。
作成者	プロジェクトを作成したユーザー。
テーブル	プロジェクトがレポートする選択されたテーブル。
最終マイニング日	プロジェクトのデータが最後にマイニングされた日時 (日単位)。
レコード数	プロジェクトの選択されたデータテーブルとフィルター構成に適用されるレコードの数。
プロセスバリエーション	プロセスステップ不確実性パーセンテージプロファイル。例：複数のルートをたどっているユーザー数と目標への理想的なパスの比較。パーセンテージは、バリアントの数をレコードの数で割って算出されます。
平均時間	クローズされたすべてのフィルター済みレコードに関するオープンされてからクローズされるまでの平均時間。

プロジェクトカードから、関連するユーザーロールはカードのメニューを選択して次のタスクを実行できます。



プロジェクトカードのメニュー

メニュー項目	説明
オープン	プロジェクトを選択して開きます。
編集	プロジェクトを編集する場合に選択します。
コピー	構成をコピーしてプロジェクト定義を作成する場合に選択します。 プロジェクトをコピーすると、関連する改善の機会もコピーされます。
プロジェクトのマイニング (サンプル)	完全なデータ抽出を実行するのではなく、限られたデータを使用してサンプルプロジェクトをマイニングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトカードのメニュー (続く)

メニュー項目	説明
プロジェクトのマイニング (フル)	プロジェクトの完全なデータ抽出をマイニングします。
削除	プロジェクトを削除します。

プロセス詳細ページ

プロセス最適化 のプロセスの詳細ページでは、インタラクティブに可視化されたプロセスマップに加えて、高レベルのインサイトと機会にアクセスできます。

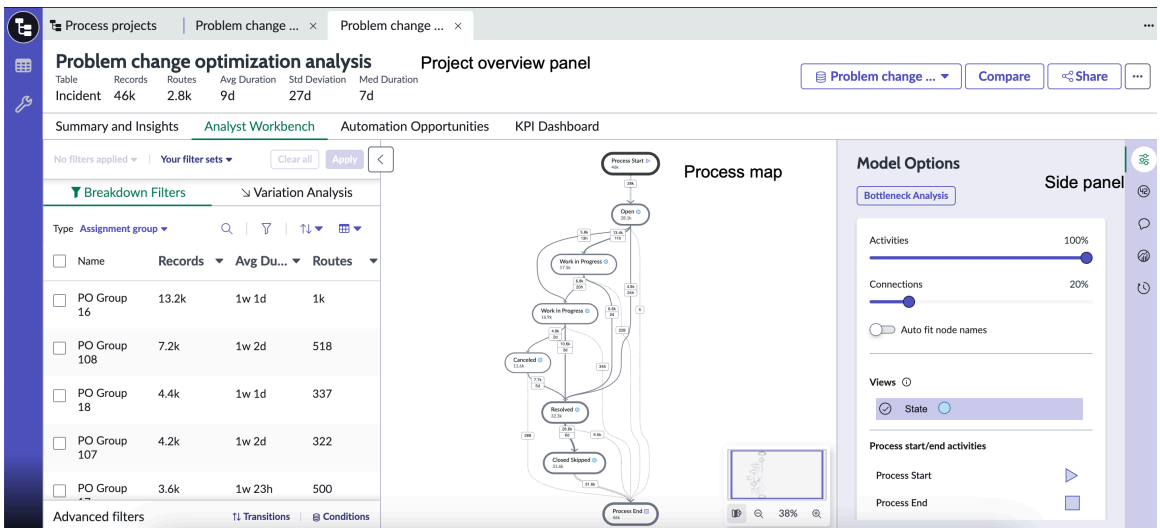
プロセスの詳細ページから、次の操作を実行できます。

- [サマリーとインサイト] タブを選択して、プロセスに影響を与える速度、品質、コストのインサイトを確認します。
- [機会の詳細] タブを選択して、改善の機会に関する詳細にアクセスします。
- [アナリストワークベンチ] タブを選択してプロジェクトダッシュボードにアクセスすると、プロジェクトの可視化されたプロセスマップを表示できます。
- [自動化機会] タブを選択し、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を見つけます。
- [**KPI** ダッシュボード] タブを選択して、プロジェクト構成で構成した KPI ダッシュボードを表示します。

注: すべてのプロジェクトカードを表示できるプロジェクトのランディングページに戻るには、[プロセスモデル] タブを選択します。

概要パネル

プロジェクトをマイニングして開くと、Analyst Workbench が開きます。



プロジェクトの概要パネルには、以下の概要の詳細と簡単なコンテキストメニューが表示されます。

UI 要素	説明
概要の詳細	プロジェクトに関する重要な情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI 要素	説明
	• プロジェクト名 • データがレポートするテーブル • 適用されたフィルターに基づくプロジェクトスコープ内の合計レコード • レコード内に表示されるルートの数 • レコードがクローズされるまでにかかった平均日数 • ルート期間平均値からの標準偏差の変動 • 期間中央値
メニューアイコン (...)	メニューにアクセスして、追加のオプションを確認します。 プロジェクトを編集 現在のプロジェクトを編集するには、このオプションを選択します。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。 バージョンを編集 プロジェクトバージョンの名前を変更するには、このオプションを選択します。詳細については、「プロジェクトバージョン名の変更」を参照してください。 CIM の作成 新しい改善イニシアチブを作成するには、このオプションを選択します。詳細については、「からの改善イニシアチブの作成 プロセス最適化」を参照してください。

プロジェクトパネル

プロジェクトビュー内のプロジェクトパネルには、ビジネスインサイト、データビューを絞り込むためのフィルターツール、およびルートの詳細へのアクセスが表示されます。

UI 要素	説明
[サマリーとインサイト] タブ	ビジネス目標、重要業績評価指標のサマリーインサイト、移行、およびルートのバリエーションを確認します。詳細については、「e[サマリーとインサイト] ページ」を参照してください。
アナリストワークベンチタブ	このタブを選択すると、以下にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
	• [ブレークダウン] タブ:フィルターセットを作成および削除し、詳細なフィルター条件を設定します。 • [バリアント] タブ:データセット内のレコードに分布したルートを表示します。 詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。
[自動化機会] タブ	ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。ITSM でのみ使用できます。詳細については、「自動化機会ページ」を参照してください。
KPI ダッシュボードタブ	プロジェクト構成で構成した KPI ダッシュボードを表示します。

プロセスマップ

プロセスマップには、可視化されたプロジェクトとルートが表示され、そのビューをフィルタリングしてドリルダウンするための次のツールが提供されます。プロセスマップには、[アナリストワークベンチ] タブからアクセスできます。

UI 要素	説明
メトリクス	プロセスマップに表示するプライマリメトリクスとセカンダリメトリクス。
絞り込む	マップ上のアクティビティと接続を調整します。このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [アクティビティ] タブ:プロセスマップ上のアクティビティの詳細ビューを拡大または縮小します。 • [接続] タブ:プロセスマップ上のアクティビティ間の接続の詳細ビューを増減します。
レコードを表示	選択した 1 つ以上のルートのレコードを表示します。
モデル統計情報	プロセスモデルの統計を使用して、全体的なモデル統計量と比較する際の視点を提供します。このタブには、フィルタリングされたレコードまたは選択したバリアントルートの次の統計情報が表示されます。 • メトリクス:合計、プロジェクト固有、または比較されたプロジェクト間のメトリクス値の差を示します。 • レコード:選択したルートをたどるフィルタリングされたレコードの数。 • ルート:フィルタリングされたレコードがたどったルートの数。 • 平均期間:フィルタリングされたレコードまたは選択したルートのレコードがクローズするまでにかかった平均日数。この値は、モデル内のすべてのレコードの平均日数と比較されます。 • 標準偏差:ルート平均期間値からの偏差。 • 期間中央値:ルートの中央期間の値。
ボトルネック分析	指定したメトリクスフィルターに基づいて上位の移行を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
アクティビティの凡例	定義されたプロジェクトアクティビティ。アクティビティカテゴリを示す記号とともにプロセスマップに表示されます。
プロセスマップ	プロセスのメトリクスを表示し、フィルター基準となるアクティビティ条件を追加し、その他のアクションを実行できるインタラクティブマップ。
任意の分析	グラフの任意の移行またはノードから、移行分析、作業メモ分析、根本原因分析、またはクラスター分析を実行できます。
Zoom	プロセスマップのビューを拡大または縮小します。

メモ、イニシアチブ、およびスケジュール設定済みタスクパネル

メモ、イニシアチブ、およびスケジュール設定済みタスクパネルには、メモ、スナップショット、および改善イニシアチブを作成および表示するためのツールが用意されています。スケジュールしたマイニングタスクのステータスを確認することもできます。

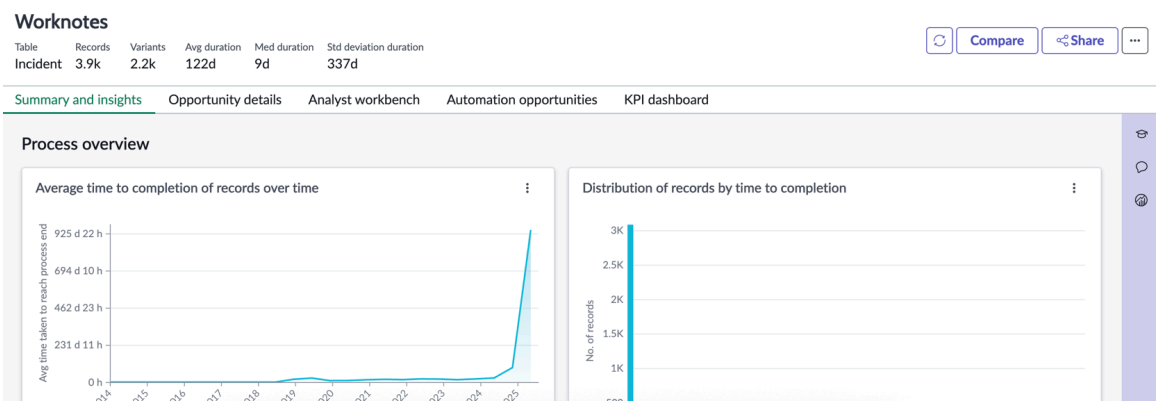
UI 要素	説明
モデルオプションアイコン ( )	ボトルネック分析の表示と使用。
グローバルメトリクスアイコン ( )	プライマリメトリクスとセカンダリメトリクスを表示します。
メモアイコン	メモリストを表示し、メモを作成し、メモを編集または削除します。
改善イニシアチブアイコン (イ)	イニシアチブリストの表示、新しいイニシアティブの作成、既存のイニシアティブへのリンク、またはイニシアチブの削除を行います。
[スケジュール設定済み)	スケジュールされたマイニング、フィルタリング、および要求されたクラスター分析タスクのステータスを表示します。

[サマリーとインサイト] ページ

[サマリーとインサイト] ページでは、プロセスを最適化する機会を確認できます。プロセス最適化プロジェクトからページにアクセスします。

プロセスの概要ダッシュボードを表示し、マイニングされたデータに関する初期情報を確認できます。これは、次の 2 つのグラフで示されます。

- 時系列グラフ:レコードの完了に要した平均時間を経時的に示す傾向ライン。
- ヒストグラム:プロセス終了までにかかった時間別のレコードの分布。

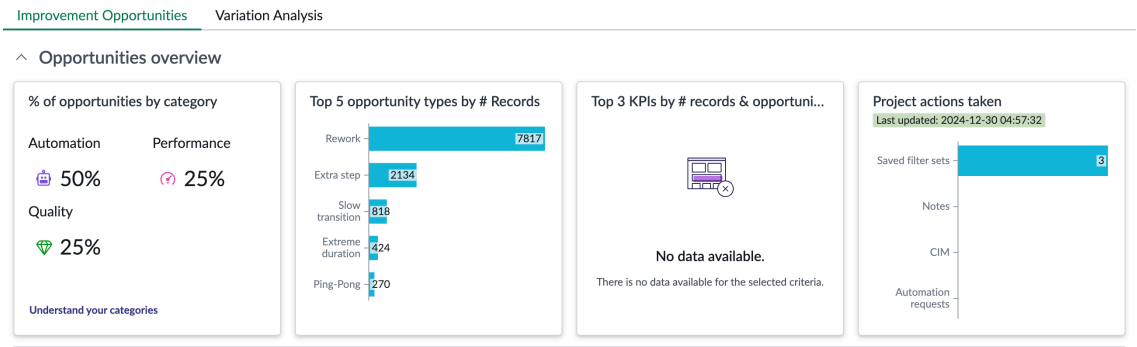


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

改善の機会の概要

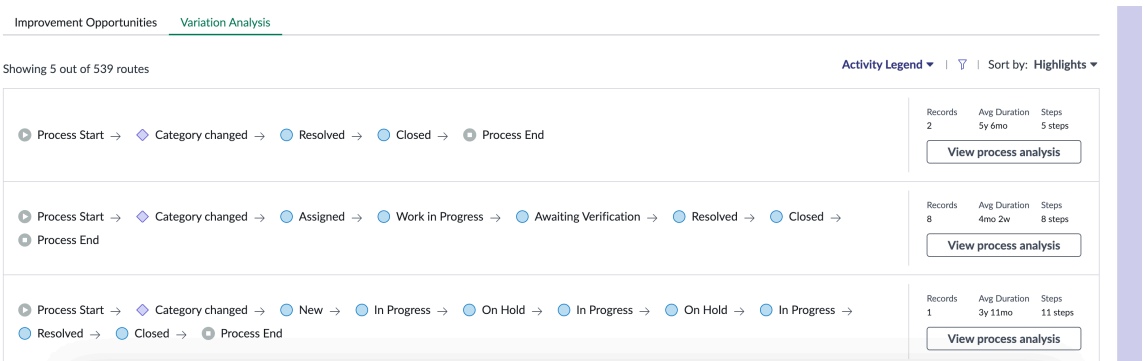
[サマリーとインサイト] ページで、改善の機会の概要を参照してください。ここでは、プロジェクトで生成されるプロジェクト関連の統計の概要を確認できます。



バリアント分析

[サマリーとインサイト] ページでは、データのバリアント分析を表示することもできます。

バリアント分析では、マイニングされたプロジェクトのさまざまなバリアントを比較し、選択したバリアントの分析を表示できます。

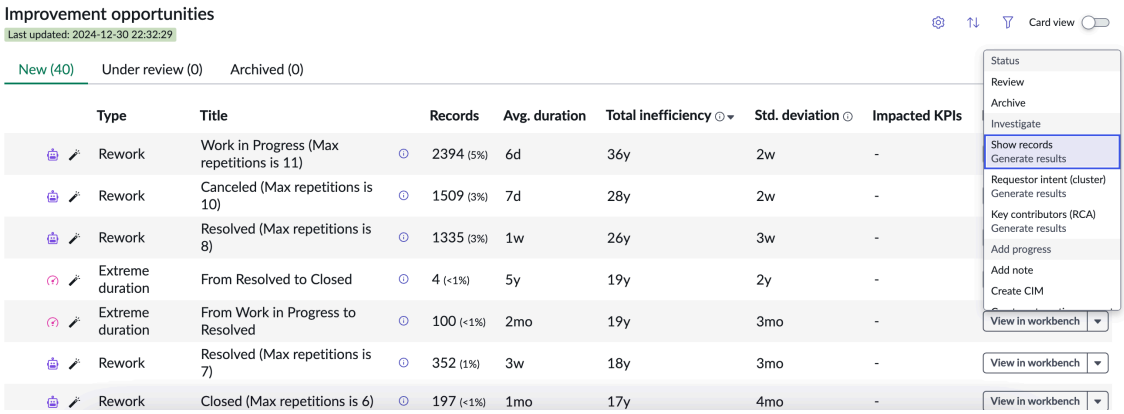


- フィルターアイコンを使用してルートをフィルタリングします。
- [ソート基準] リストを使用して結果をソートします。
- [プロセス分析を表示] を選択して、選択したバリアントのグラフをアナリストワークベンチに表示します。

機会

[機会] セクションでは、プロジェクトに関連付けられたルールベースの自動改善機会のリストを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の詳細を表示できます。

- 新規、レビュー中、およびアーカイブ済みの改善の機会。
- プロジェクトに関連付けられた改善の機会とすべての詳細のリスト。
- タイトルの横にある を選択すると、改善の機会に関する詳細が表示されます。
- [ワークベンチで表示] の横にあるリストを選択して、その他のオプションを取得します。
  - [新規]、[レビュー中]、および [アーカイブ済み] の状況を使用して、そこにリストされている改善の機会の進捗状況を追跡できます。作業が行われていない新しい改善機会は、[新規] ステータスになります。アクションが実行されると、改善の機会は [レビュー中] に移行します。何らかのアクションがバックグラウンドで実行されている場合は、改善の機会を手動で [レビュー中] に設定できます。関連性がなくなった場合は、アーカイブできます。ただし、改善の機会が [アーカイブ済み] ステータスの場合は、[新規] にしか移動できません。また、[新規] ステータスの改善の機会にメモ、CIM、または自動化要求を追加すると、改善の機会は自動的に [レビュー中] に移行します。
  - 根本原因分析の実行など、任意の調査アクションを開始できます。
  - メモの追加、CIM の作成、または自動化要求の作成を行うこともできます。
- 列を表示または非表示にするには、[を選択します。
- [を選択して列を並べ替えます。
- [ ] を選択して、改善の機会のリストをフィルタリングします。
- [カードビュー] トグルを選択して、改善の機会をカードビューで表示します。

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとの統合

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードを統合して、必要な KPI と可視化を含めます。ダッシュボードビルダーを使用すると、プロジェクト専用のカスタムウィジェット/KPI を使用して独自のダッシュボードを作成できます。これらのダッシュボードは、プロジェクトまたはプロセスの構成レベルでリンクできます。

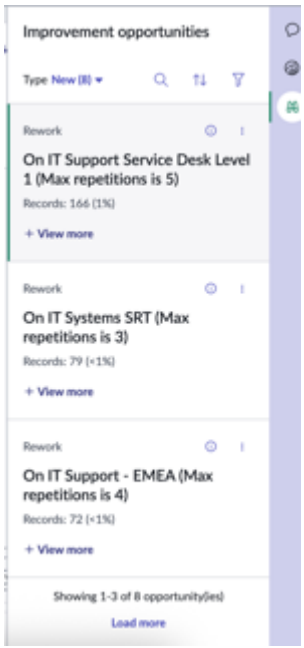
オポチュニティの詳細ページ

[機会の詳細] ページには、プロジェクトの改善の機会に関する詳細が表示されます。

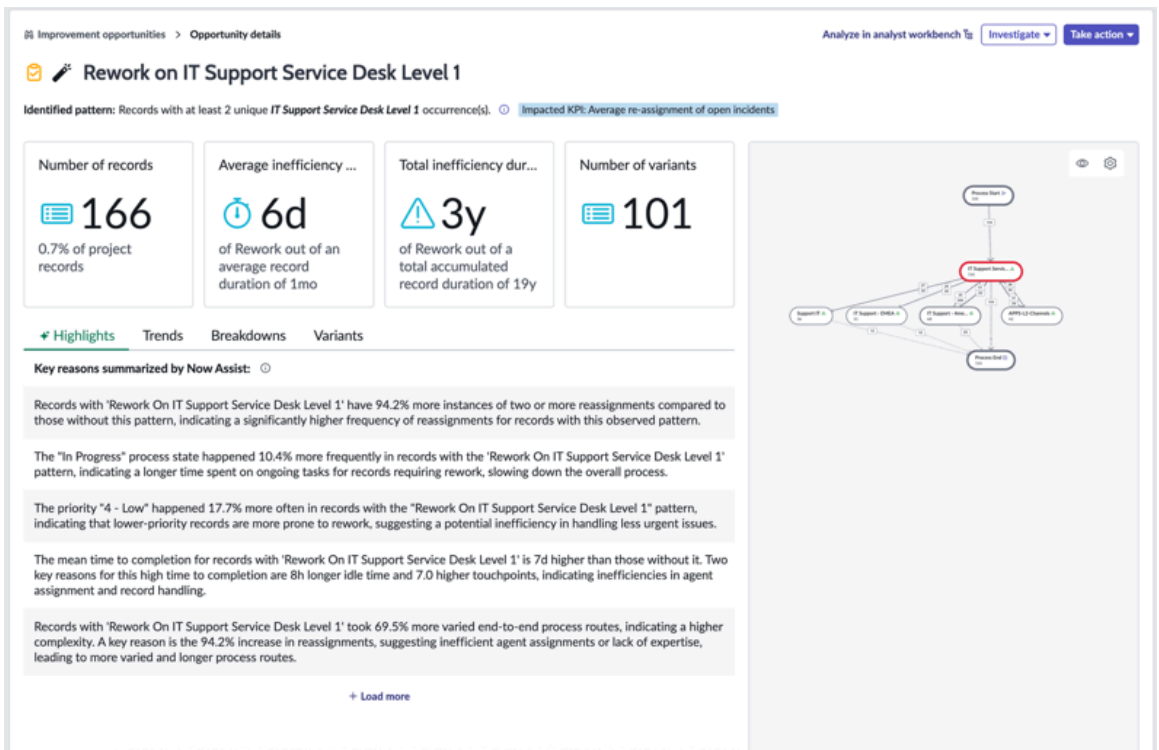
サイドパネルの [改善の) から、詳細に表示する改善の機会を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



改善の機会を選択すると、その改善の機会のすべての詳細が表示されます。



- 各改善の機会のメトリクスは上部に表示されます。
- プロセスグラフウィジェットでは、プロセス内の改善の機会パターンが赤で強調表示されます。

プロセスグラフウィジェットで強調表示される内容

改善の機会	説明	特徴	例
卓球	その間のノードとアークの両方をハイライト表示して、パターンがこれらのノードとアー	ノード:A、B、およびその間の円弧	**A-B-C-D-E-D-E-F**

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

改善の機会	説明	特徴	例
	クにのみ適用されることを明確にします。		
リワーク	指定されたノードのみをハイライト表示します。	ノード A	A-B-C-A-Z-A
極端な期間	ステップ間で移行が通常の期間よりも大幅に長くかかるパターン。したがって、ノードと遷移の両方が強調表示されます。	ノード A、B、およびその間の円弧	A-B-C-D-E
極端な繰り返し	ステップ間で移行が通常の繰り返し範囲よりも大幅に多く繰り返されるパターン。	ノード A、B、およびその間の円弧	**A-B-C-D-E-D-E-D-E-G-G**
追加ステップ	バリアント内の追加ステップを識別します。したがって、指定されたノードと着信アークが強調表示されます。	ノード A と受信アークと送信アーク	A-B-C-D-E-Z-F
移行が遅い	遅い移行は、あるチームから別のチームへの引き継ぎに適用されます。	ノード A、B、およびその間の円弧	A-B-C-D-E-F
繰り返しパターン	パターンをはっきりと強調表示するための円弧が含まれています。	ノード B、C、D、およびその間のアーク	A-B-C-D-B-C-D-E-F-G

自動翻訳

- [アナリストワークベンチで分析] を選択し、改善の機会のコンテキストでアナリストワークベンチを開きます。
- [調査] リストのオプションを選択して、レコードの詳細の表示、クラスター分析の実行、または根本原因分析の実行を行います。
- [アクションを実行] でいずれかのオプションを選択します。
  - 改善の機会のステータスを設定します。
  - 改善の機会に関するメモ、CIM、および自動化要求を作成します。

プロセスの非効率性のハイライト

ハイライトを生成して、非効率性の主な理由を表示できます。ハイライトを生成するには、作成者ロールの Now Assist と、インスタンスで [プロセスの非効率性のハイライト] スキルがアクティブ化されている必要があります。詳細については、「[プロセスの非効率性のハイライト] スキルをアクティブ化」を参照してください。

プロセスの非効率性のハイライトスキルがインスタンスでアクティブ化されていない場合、ハイライトオプションは使用できません。ただし、スキルがアクティブ化されていても、作成者ロールのプロセスマイニングがない場合は、そのロールを持つユーザーによって生成されたハイライトのみを表示できます。ハイライトは生成できません。ハイライトを生成する方法の詳細については、「 改善の機会のハイライトを生成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ハイライト] タブには、選択した改善の機会に関連する非効率性の主な理由が表示されます。選択した改善の機会の傾向、ブレークダウン、バリアントを表示することもできます。

主な理由は [ハイライト] セクションに一覧表示されます。これらの理由は、ServiceNow の Now Assist 機能を使用して自動的に計算されます。

詳細については、「プロセスの非効率性のハイライト」を参照してください。

ハイライトに加えて、選択した改善の機会の傾向、ブレークダウン、バリアントも表示されます。

プロセスの非効率性のハイライト

非効率の原因となっている領域を特定したら、問題の内容とその修正方法を正確に知る必要があります。これを手動で行うのは非常に時間がかかります。プロセスの非効率性のハイライトは、特定された改善の機会の正確な問題に関するインサイトを提供します。

非効率性を示すレコードを特定し、非効率性を示さないレコードと比較すると、ハイライトが表示されます。

たとえば、プロジェクトに 100 件のレコードがある場合、改善の機会に一致するレコードが特定されます。この例では、20 件のレコードが改善の機会と一致するとします。ここで、これら 20 件のレコードの 12 のメトリクスのそれぞれが、残りの 80 件のレコードのメトリクスと比較されます。

プロセスの非効率性のハイライトメトリクス

メトリクス	説明
プロセス変動性	プロセスに例外的な数の異なる解決パスがあるかどうかを判断します。非効率的なプロセスパターンを含むレコードのグループが、非効率的なプロセスパターンを含まないレコードグループの 1 つと比較されます。
平均完了時間 (MTTC)	プロセスに解決時間の極端な外れ値があるかどうかを判断します。解決時間の長さは、しきい値解決時間と比較されます。非効率的なプロセスパターンを含むレコードのグループが、非効率的なプロセスパターンを含まないレコードグループの 1 つと比較されます。
完了までの時間 (TTC) 標準偏差	非効率的なプロセスパターンを含むレコードグループの TTC 標準偏差を判定し、それを非効率的なプロセスパターンを含まないレコードグループの 1 つと比較します。
平均ステップ期間	プロセスに極端に長い時間がかかるステップがあるかどうかを判断します (たとえば、ステップが所定の時間しきい値よりも長くかかった場合)。
平均責任解決	プロバイダー、要求者、および外部プロセスの責任時間の差を決定します。 たとえば、ステータスが「新規」の場合、プロセスがアサインの責任を持つプロバイダーにあることを意味します。ステータスが「ユーザー情報待ち」の場合、責任は要求者にあります。問題となっているラップトップが外部ベンダーから調達されている場合は、外部プロセスの責任です。 プロバイダー、要求者、および外部プロセスのそれぞれが費やした責任時間が、非効率的なプロセスパターンを含まないレコードのグループと比較されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスの非効率性のハイライトメトリクス (続く)

メトリクス	説明
平均アイドル時間	プロセスに高レベルのアイドル時間が含まれているかどうかを判断します。たとえば、レコードがエージェントにアサインされずにアサイン先グループにとどまる場合などです。これは、非効率的なプロセスパターンを含まないレコードのグループと比較して、非効率的なプロセスパターンを含むレコードのグループのアイドル時間が大きく異なる場合に強調表示されます。
タッチポイント	プロセスに非常に多数の手動タスクがあり、遅延の原因となっているかどうかを判断します。多くの人やグループが関与していた場合、遅延や非効率の原因になっていた可能性があります。非効率的なプロセスパターンを持つレコードのグループのタッチポイントの数が、非効率的なプロセスパターンを含まないレコードのグループのタッチポイントの数と比較されます。
過大評価されたアクティビティ	この非効率性のないプロセスと比較して頻繁に発生するステップがあるかどうかを判断します。
過小評価されているアクティビティ	通常のプロセスと比較してステップがスキップされたか、実行されなかったかを判断します。たとえば、プロセスに非効率的なプロセスパターンが含まれていて、「承認」ステップが過小評価されている場合 (つまり、「承認」ステップが頻繁にスキップされる場合)、非効率的なプロセスパターンの原因となっている過小評価されているステップが特定されます。
再アサイン	このパターンを持たないレコードと比較して、非効率的なプロセスパターンに 2 回または 2 回以上の再アサインがあるかどうかを判断します。
過大評価されたブレークダウン	プロセスの速度を低下させるブレークダウンがあるかどうかを判断します。
サービスレベルアグリーメント (SLA) 違反率	SLA 違反が、このパターンを持たないレコードと比較して、非効率的なプロセスパターンで発生する可能性が高いかどうかを判断します。

アナリストワークベンチページ

プロジェクトのページから可視化を管理し、分析タスクを実行するためのツールを使用して、可視化されたプロセスマップを表示します。

アナリストワークベンチへのアクセス

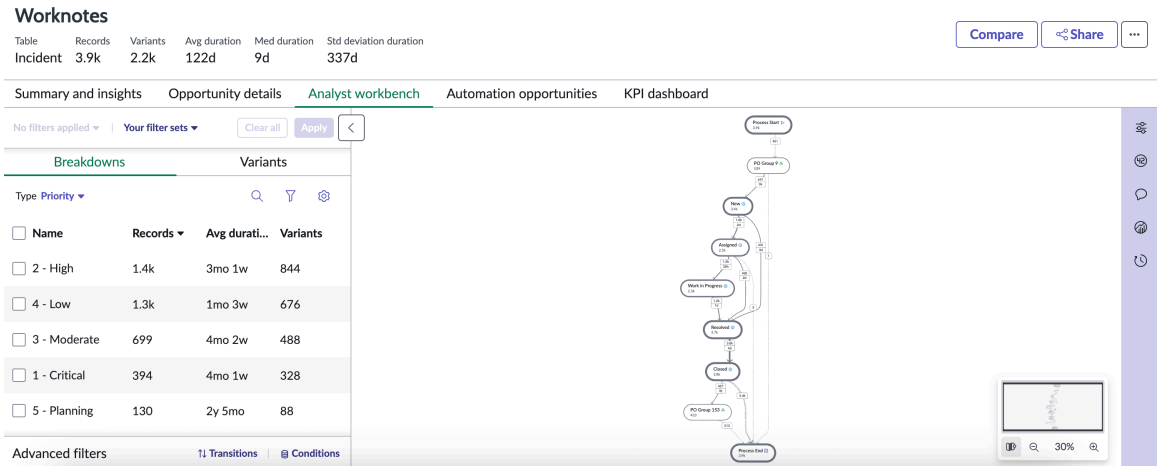
アナリストワークベンチから、可視化されたプロセスワークフローデータとデータを分析するためのツールにアクセスできます。

アナリストワークベンチにアクセスするには:

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを開き、アナリストワークベンチに移動します。

自動翻訳

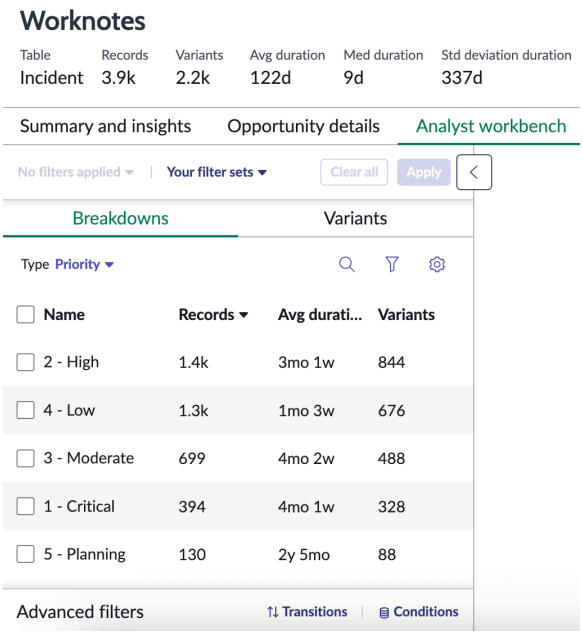
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



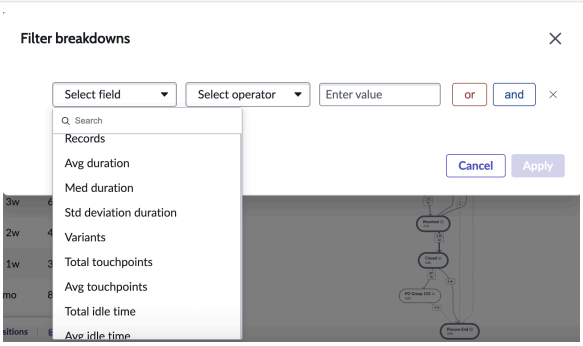
ブレークダウン

[ブレークダウン] タブを使用して、フィルターセットを作成および削除し、詳細なフィルター条件を設定します。

注: ブレークダウンフィルターは親テーブルにのみ適用できます。ただし、ブレークダウン統計は子テーブルと親テーブルの両方で使用できます。



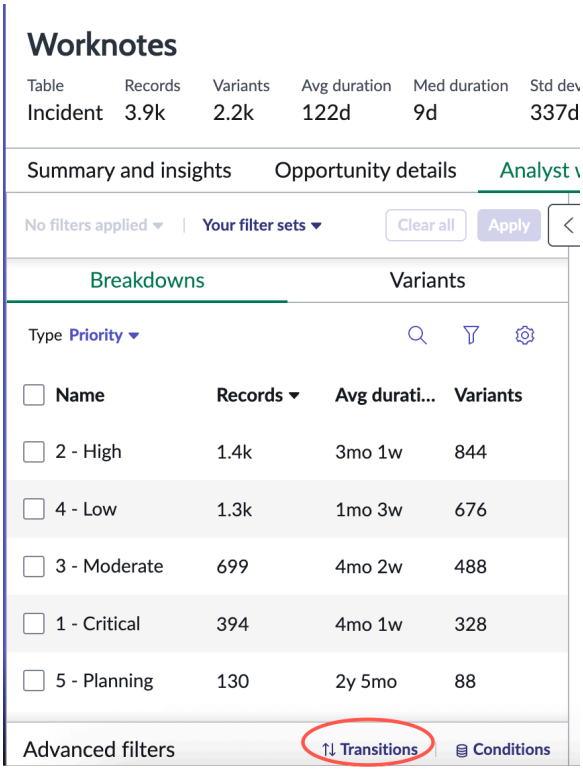
[ブレークダウンをフィルタリング] アイコン ([ ]) を使用して、次の項目で選択した基準に基づいてブレークダウンをフィルタリングします。



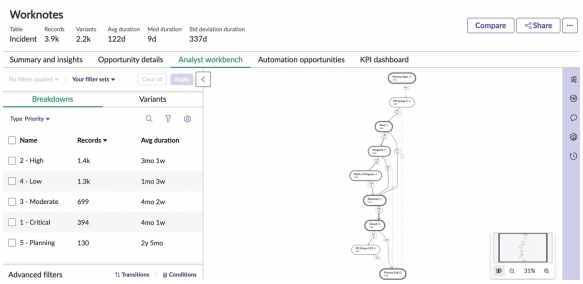
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

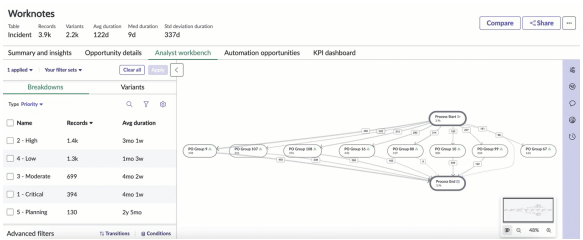
[トランジション] ボタンを使用して、トランジションの詳細フィルターを定義します。このプロセスの詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。



列を選択して、[ブレークダウン] タブからタッチポイントレコードの数を表示することもできます。



列を選択して、[ブレークダウン] タブからアイドル状態のケースレコードの数を表示することもできます。

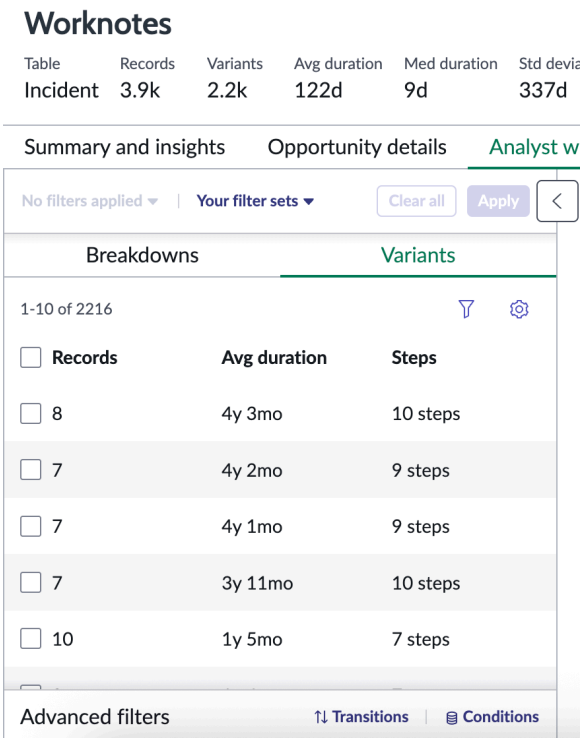


自動翻訳

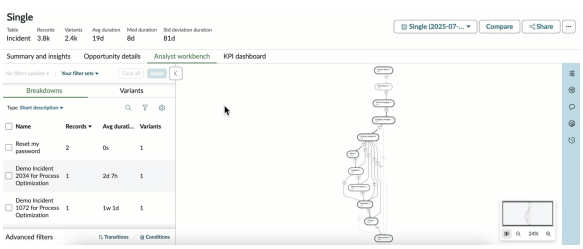
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリアント分析

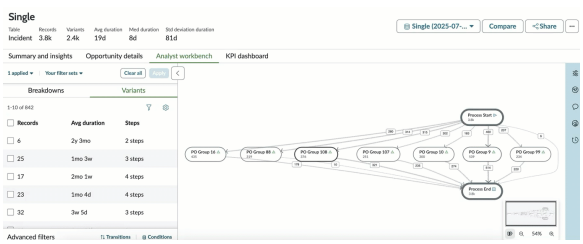
[バリエーション] タブを使用して、レコードがたどったルート、ケースの数、平均期間、および各ルートに含まれるステップ数を表示します。プロセスマップでルートをハイライト表示するルートを選択します。



列を選択して、[バリエーション] タブからタッチポイントの数を表示します。



列を選択して、[バリエーション] タブにアイドルケースレコードの数を表示します。

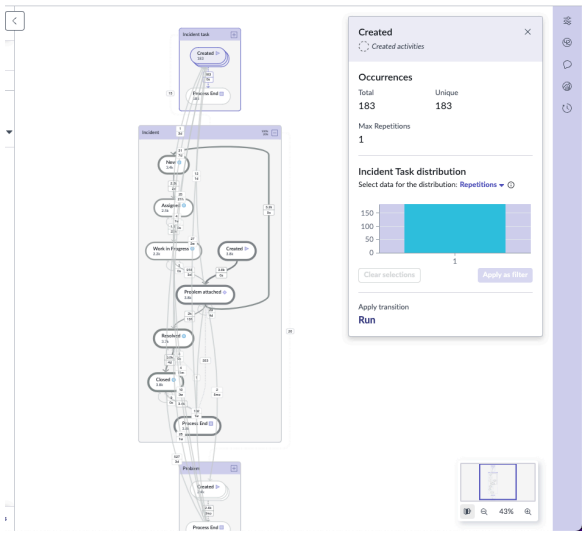


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマップ

プロセスマップを使用して、プロジェクトの可視化されたマップを表示します。マップ内では、ビジネスプロセスをドリルダウンして、よりよく理解して最適化できます。プロセスマップには、表示または測定する KPI に応じたルートも表示されます。



マップ内のノードまたは移行線を選択すると、選択したアイテムに関する詳細がモーダルウィンドウに表示されます。

これらのウィンドウには、追加情報を表示する棒グラフヒストグラムが含まれています。

- ノードを選択して、分布または繰り返し情報を表示します。
- 移行線を選択して、期間または繰り返し情報を表示します。

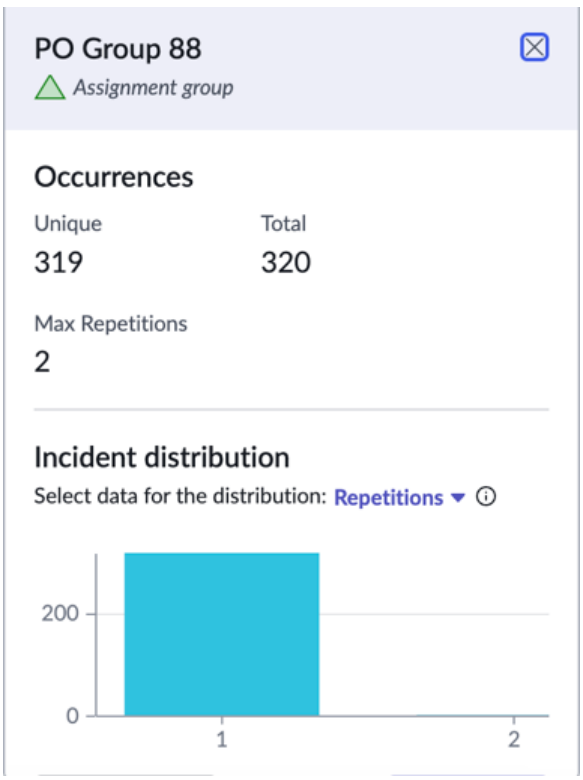
棒を選択し、[フィルターとして適用] を選択して、これらの結果でフィルタリングします。

このツールの使用の詳細については、「 プロセスマップの絞り込み」を参照してください。

ノードを選択すると、選択したノードを介したレコードの送信および受信の分布がモーダルウィンドウに表示されます。

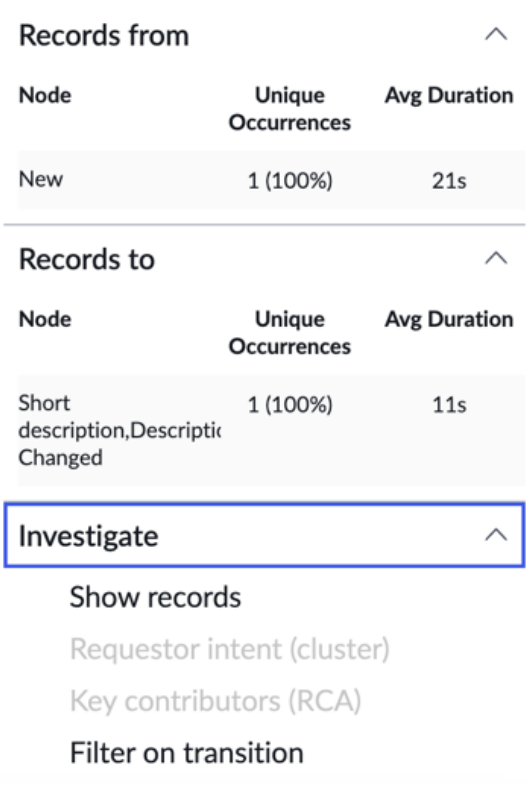
この情報は、[レコード元] セクションと [折りたたみ 可能なレコード] セクションに表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードの表示、クラスター分析、根本原因分析の実行、移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール済みタスクを使用して実行されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

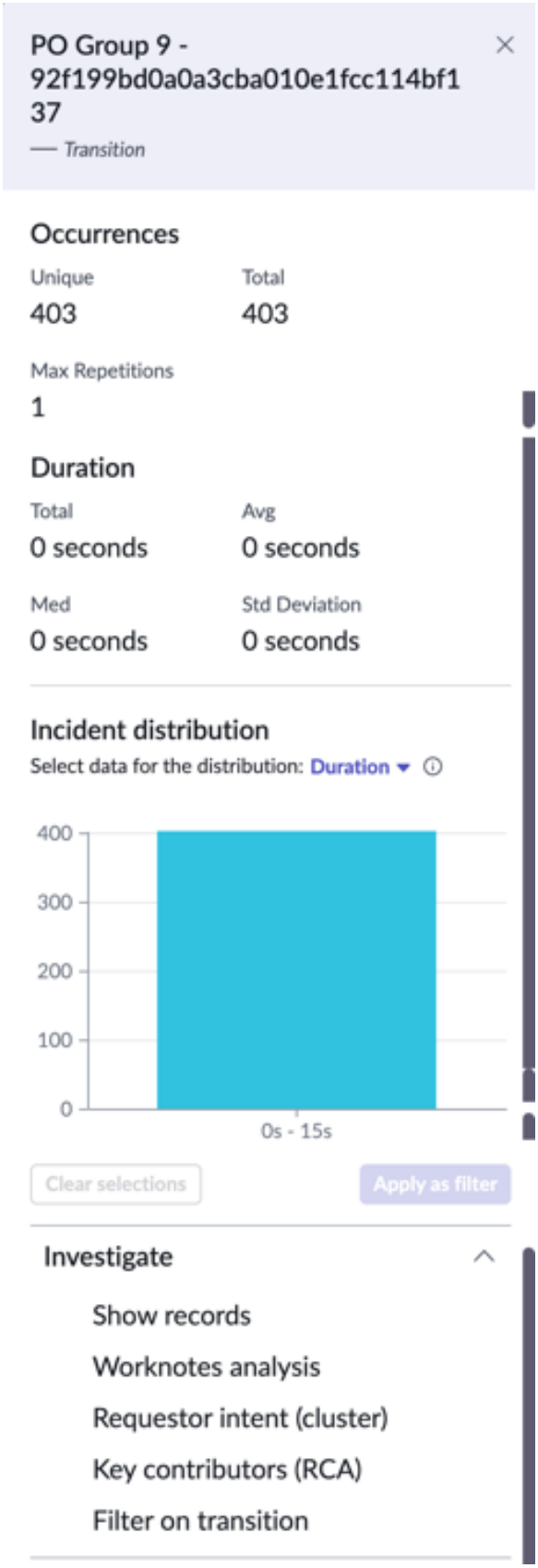
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行線を選択すると、モーダルウィンドウに移行の発生件数、繰り返し、および期間が表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードの表示、作業メモ分析、クラスター分析、根本原因分析の実行、移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール済みタスクを使用して実行されます。

各分析の詳細については、次のトピックを参照してください。

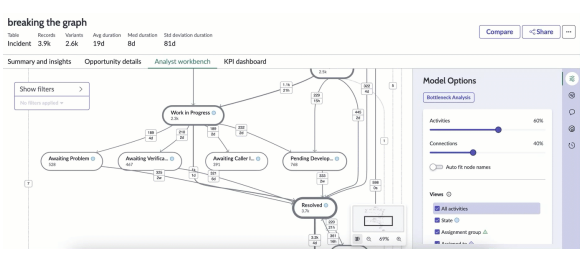
- クラスター分析
- 作業メモの分析
- 自動化された根本原因分析



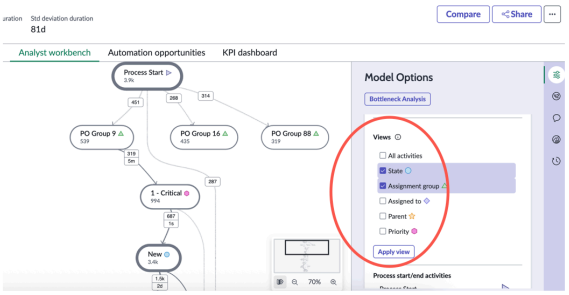
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ノード名が長くて切り捨てられている場合は、その完全な名前を表示できます。[モーダルオプション] ウィンドウの [ノード名の自動調整] オプション。



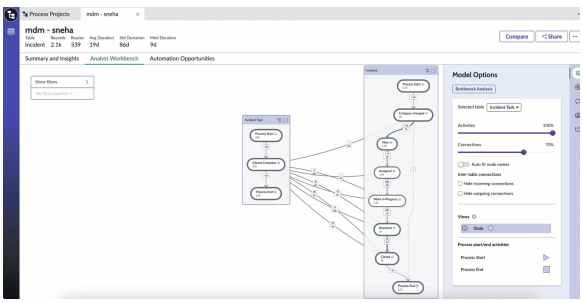
1 つのビューに複数のアクティビティ定義を適用できます。[ビュー] 領域から複数のアクティビティ定義を選択し、[ビューを適用] を選択します。



受信アークのみ、送信アークのみ、またはその両方を非表示にするかを選択できます。

[モーダルオプション] から、[受信接続を非表示にする]、[送信接続を非表示にする]、またはその両方を選択して、必要に応じて接続を表示します。

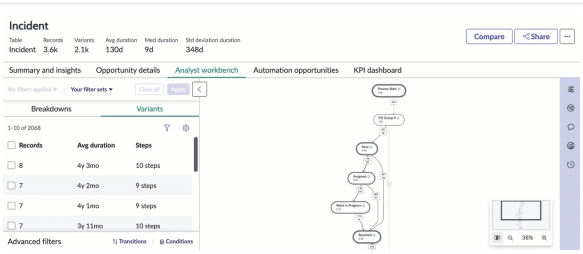
注: このオプションは、複数テーブルのプロジェクトでのみ使用できます。



プロセスマップからプロジェクトのタッチポイント数を表示できます。

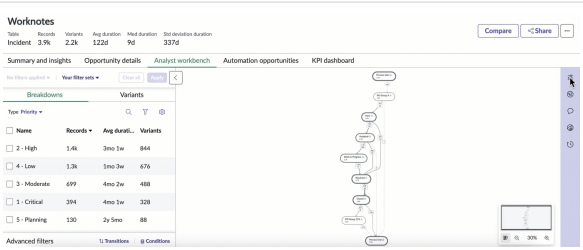
移行を選択し、詳細を表示して、選択したステップ間で発生したタッチポイントの数を確認します。

ノードを選択して詳細を表示し、レコードが次のステップに進むまでに発生したタッチポイントの数を確認します。ノード上のタッチポイントのヒストグラム分布を表示できます。



プロセスのアイドル時間ケースの数は、プロセスマップから表示できます。

モデルオプションから、チーム (可能であればアサイン先グループ) でビューをフィルタリングします。ノードを選択し、詳細を表示して合計アイドル時間ケースを確認します。ノードのアイドル時間のヒストグラム分布を表示できます。



注: 構成可能なワークスペースのダッシュボードで、プロセスマップのほとんどの機能を再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

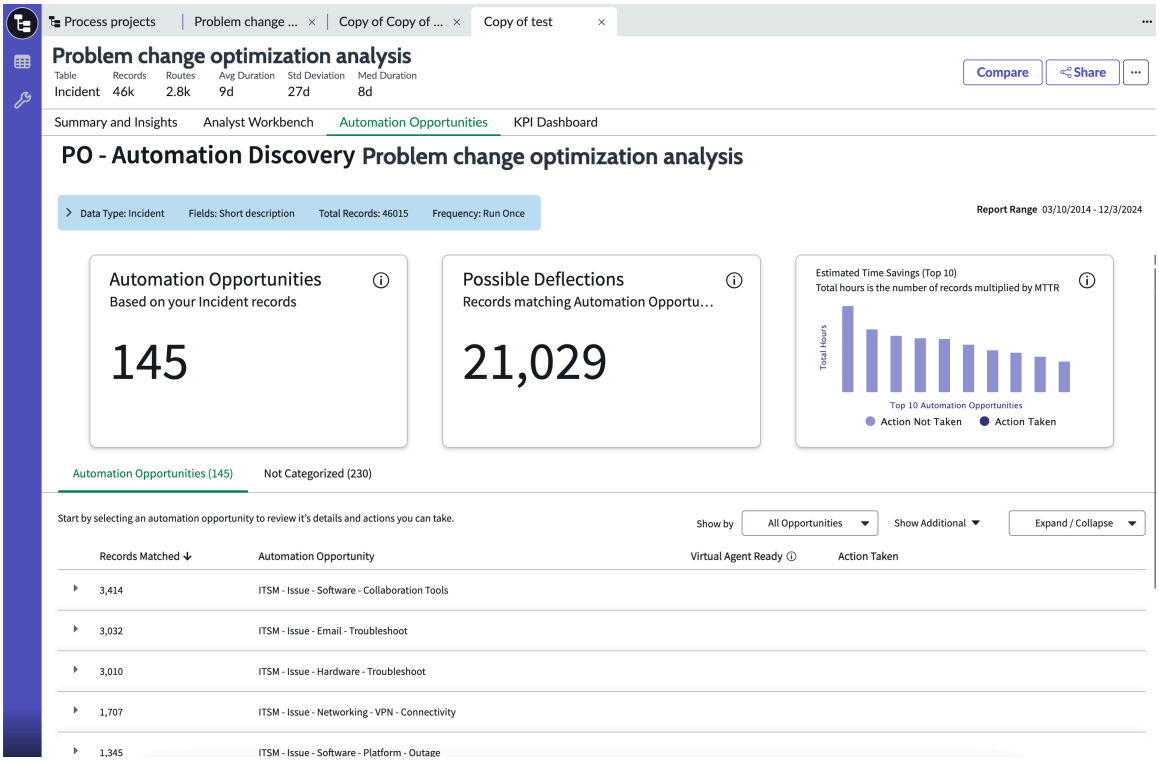
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化機会ページ

自動化機会ページを使用して、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を見つけます。

自動化機会ページ



サマリーカード

ページの上部に表示されるカードには、検出された機会の概要が簡単にわかります。概要には、影響を受けるレコードの数と、これらの自動化機会を使用して節約できる推定時間が表示されます。

自動化機会

[自動化機会] カードには、オートメーションディスカバリーによって検出された数が表示されます。このカードセクションの下にある [自動化機会] リストで、検出された機会を参照してください。

可能な回避

[可能な回避] カードには、検出された自動化機会の対象となるレコードの数が表示されます。この数は、このカードセクションの下にある [自動化機会] リストにも表示されます。

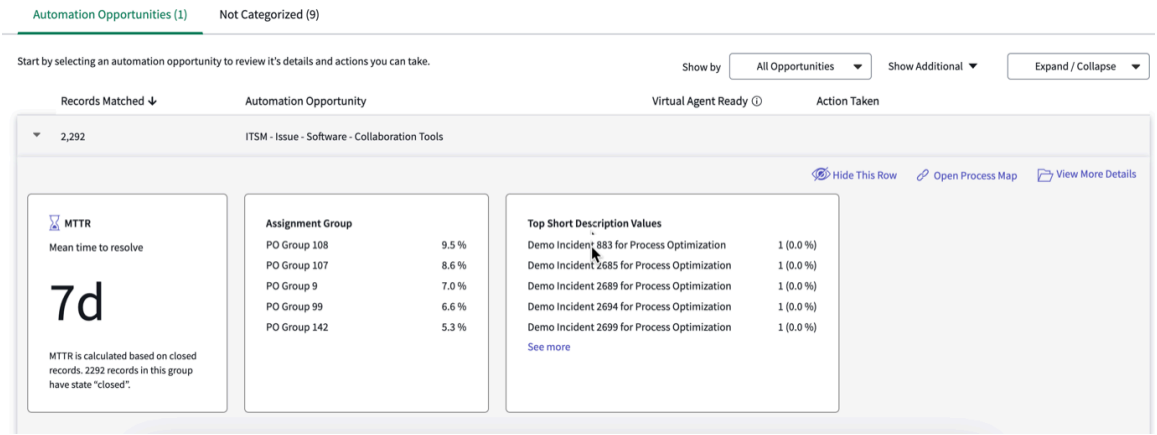
機会ボリューム

[機会ボリューム] カードには、上位 10 件の自動化機会の合計レコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化機会リスト



[自動化機会] リストを使用して、機会の概要、推定平均解決時間、およびこれらの自動化を実装するために実行できるアクションを確認します。

注: 自動化分類は、ITSM でのみ使用できます。

KPI ダッシュボードページ

KPI ダッシュボードページで、プロジェクト用に構成した KPI ダッシュボードを表示します。

ビジネスプロセスとユーザーのニーズに合わせてダッシュボードが構成されている場合は、これらのダッシュボードからクイックスナップショットを表示できます。

KPI ダッシュボードは、次の 2 つの場所から構成できます。

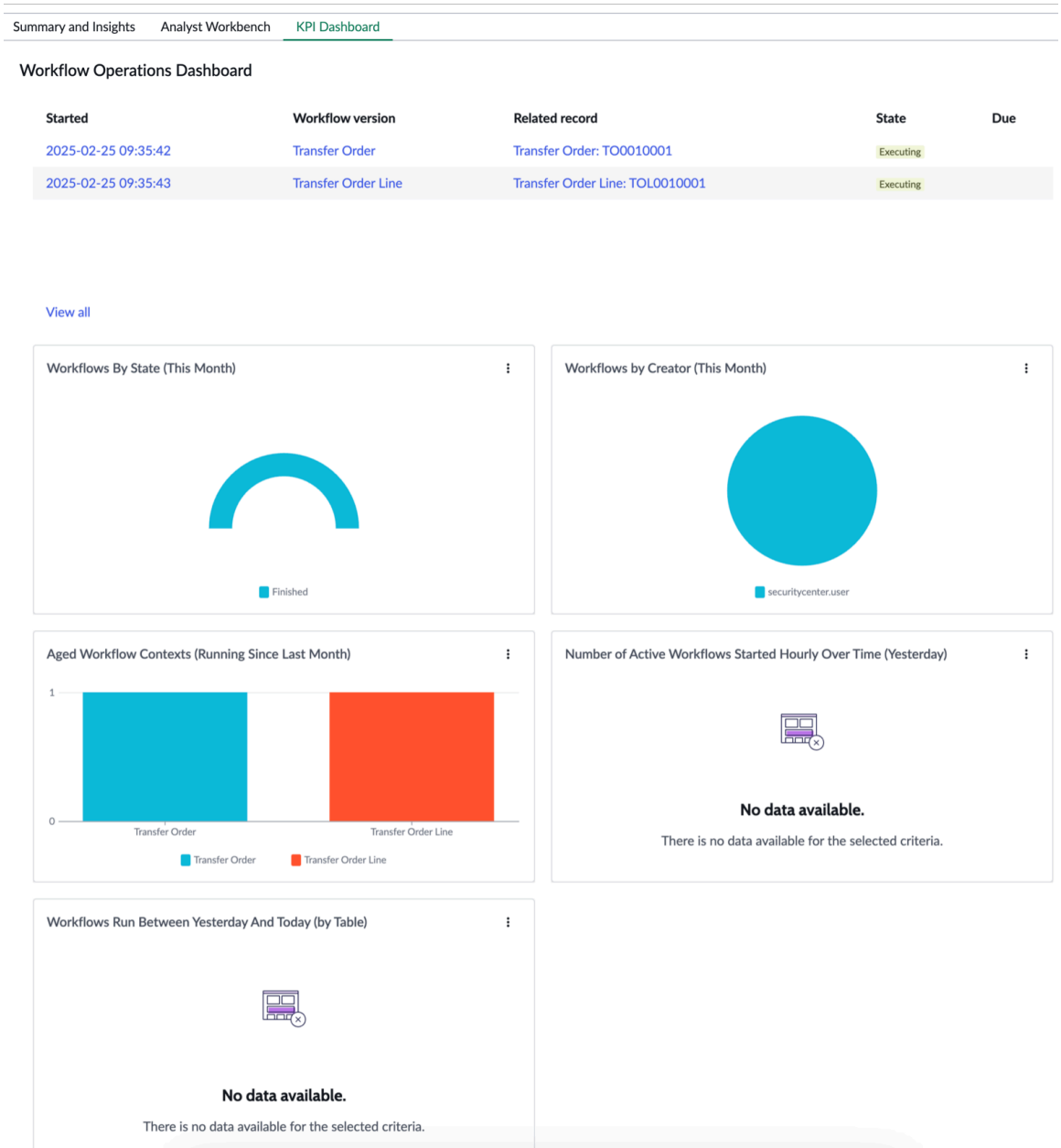
- プロジェクト構成から:プロジェクト用に構成された KPI ダッシュボードは、特定のプロジェクトでのみ使用できます。詳細については、「プロセス最適化プロジェクトの目標を設定する」を参照してください。
- プロセス構成から:プロセステーブル用に構成された KPI ダッシュボードは、デフォルトでそのテーブルに基づくすべてのプロジェクトで使用できます。詳細については、「影響度メトリクスの設定」を参照してください。

注: プロジェクト構成から KPI ダッシュボードを構成した場合、プロセス構成で構成された KPI ダッシュボードよりも優先されます。

次の図は、プロジェクト構成で設定されたアナリスト PM ダッシュボードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセス最適化 をアクティブ化しています

プロセス最適化をアクティブ化してアプリケーションを使用し、メリットを活用します。

プロセス最適化にアクセスします

プロセス最適化 は ServiceNow AI Platform で利用できます。無料版では、サンプルマイニングのみを行うことができます。フルマイニングを行うにはライセンスが必要です。

サブスクリプションを購入するには、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

注: サブスクリプションを購入する前に、ITSM、CSM、および HR で利用可能な プロセス最適化 評価プロジェクトを使用して機能を評価できます。詳細については、「評価 プロセス最適化」を参照してください。

プロセス最適化とともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「プロセス最適化とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要: プロジェクト、プロセス構成、改善の機会などの事前定義されたテンプレートを提供するコンテンツパックを探索できます。コンテンツパックをダウンロードしてインポートするには、「 コンテンツパックテンプレートを使用したプロセス構成の作成」を参照してください。

準本番インスタンスまたはクローンインスタンスで プロセス最適化 をアクティブ化して探索する場合は、コピー監査とログデータを使用して本番環境からクローンを作成します。これを行うには、[クローン作成時に 監査とログデータを除外] の選択を解除します。この手順を実行すると、監査ログを使用して プロセス最適化を使用して完全なプロセスマップを作成できるようになります。

外部データの要求プロセス最適化

外部データをインポートしてインスタンス内で操作するための外部データアプリケーションの プロセス最適化 を要求 ServiceNow 。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先: すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

3. **[Install** (インストール)] を選択します。

プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する

プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化して、ビジネスの特定領域向けの構築済みプロジェクトにアクセスします。

コンテンツパックで Jumpstart プロセス最適化

プロセス最適化 コンテンツパックには、ビジネスの特定の領域向けに、プロセスモデル定義、プロセス検索定義、および構築済みのプロセス改善に関するインサイトを含む、事前構築済みのプロジェクトが含まれています。

注: プロセス最適化コンテンツパックのアクティブ化はオプションの手順です。プロセス最適化 で利用可能なコンテンツパックを使用する場合は、このタスクを実行する必要があります。

利用可能なコンテンツパック

コンテンツパック	説明
のコンテンツパック ITSM	ITSM プロセス最適化 コンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセスの事前設定されたプロセス最適化モデルと改善イニシアチブを提供します。
のコンテンツパック SPM	デマンド向け 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセス最適化 コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立つ事前構成された プロセス最適化 プロジェクトを提供し、継続的なパフォーマンス向上の機会も提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なコンテンツパック (続く)

コンテンツパック	説明
のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション	ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) で プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)	カスタマーサービス管理 (CSM) 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。
通信事業注文のコンテンツパック	通信事業とメディア向け注文管理 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック HR サービスデリバリ (HRSD)	HR サービスデリバリ (HRSD) 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック セキュリティインシデントレスポンス	セキュリティインシデントレスポンス 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、セキュリティインシデントに関連するプロセスを分析し、それらに関連するボトルネックを特定できます。

自動翻訳

コンテンツパックのアクティブ化

インスタンスのアプリケーションリストからコンテンツパックをアクティブ化する

始める前に

必要なロール:sm_cim_requestor、アドミニストレーター

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得する ServiceNow 製品またはアプリケーション .

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、インストールする プロセス最適化 コンテンツパックを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツパックをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータは、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードです。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
5. **[Install** (インストール)] を選択します。

のコンテンツパック **ITSM**

ITSM プロセス最適化 コンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセスの事前設定されたプロセス最適化プロジェクトと改善イニシアチブを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ITSM プロセス最適化 コンテンツパック (sn_itsm_po) は、次のITSMプロセスに対してビルド済みプロセス最適化プロジェクト定義を追加します。

- インシデント管理
- 問題管理
- 変更管理
- 要求管理

このパックには、インシデントおよび変更プロセスの事前定義された 継続的改善管理 (CIM) イニシアチブも含まれています。改善イニシアチブと プロセス最適化 プロジェクトは自動的にリンクされます。

このコンテンツパックを有効にするには、 ServiceNow Storeに移動します。詳細については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

ダッシュボード

ITSM プロセス最適化 コンテンツパックのプロジェクトにはデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

関連トピック

- 構成可能なワークスペース内のダッシュボード
- ダッシュボード
- プロジェクト定義の作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ITSM 作業アイテムのクラスター分析構成

プロセス最適化 アプリケーションは、インシデント、問題、変更要求、および要求アイテムのソリューション定義を提供します。これらの定義を使用して、これらの作業アイテムのクラスター分析を構成できます。

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義構成

プロセス最適化アドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、ITSM 作業アイテムソリューション定義構成にアクセスするには、 予測インテリジェンス > クラスターリング > ソリューション定義.

注: デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドは [簡単な説明] に設定されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されます。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに設定されます。たとえば、インシデントクラスタリング定義はインシデントワードコーパスレコードに設定されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明データを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、次のテーブルにリストされている純度フィールドも含まれています。

クラスターリングソリューション定義	純度フィールド
インシデント	• アサイン先グループ • カテゴリ • 構成アイテム • サービス
問題	• アサイン先グループ • カテゴリ • 構成アイテム • CMDB CI • ビジネスサービス
変更要求	• アサイン先グループ • カテゴリ • モデル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターリングソリューション定義	純度フィールド
	• リスク • タイプ
要求アイテム	• アサイン先グループ • カテゴリアイテム • 要求元 • アサイン先

プロセス最適化アプリケーションからクラスター分析を実行する方法については、「クラスター分析の実行」を参照してください。

プロセス最適化ダッシュボードでの **ITSM** 作業アイテムの **KPI** の構成

[プロセス最適化 サマリーとインサイト] ページで、目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、ITSM 作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

始める前に

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. KPI を表示する ITSM 作業アイテムアプリケーションのプラグインを有効にします。
   インシデント管理プラグインはデフォルトで有効になっています。

このアプリケーションを有効にするには	このプラグインを有効にする
問題管理	パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - 問題管理 (com.snc.pa.problem)
変更管理	パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - 変更管理 (com.snc.pa.change)
要求管理	パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - 要求管理 (com.snc.pa.request)

2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
   以下のテーブルにリストされている KPI は、デフォルトで利用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテム	重要業績評価指標
インシデント	○ インシデントの解決に要する平均時間 ○ 最初のアサイン先により解決されたインシデントの割合
問題	○ 問題の平均クローズ時間 ○ 最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合
変更要求	○ 変更の平均クローズ時刻 ○ 新規の緊急変更の割合
要求アイテム	○ 要求アイテムの平均クローズ時間 ○ 却下された要求アイテムの割合

プロセス最適化ダッシュボードでのインサイトの構成

インシデント、問題、変更要求、または要求アイテムのルール定義を構成して、[サマリーとインサイト] ページでインサイトを検出します。

始める前に

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
   以下のテーブルにリストされているインサイトフィルターは、デフォルトで使用できます。

ITSM 作業アイテムのインサイトフィルター

作業アイテム	インサイトフィルター
インシデント	○ マルチホップ問題 ○ ソリューション却下の問題 ○ 保留中ステータスの誤用 ○ SLA 未達成の問題
問題	○ 問題はキャンセルされました ○ 問題リスクが受け入れられました ○ 解決済みの問題が再分析されました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテム	インサイトフィルター
	○ 問題の修正が完了していない ○ 問題が再オープンされました
変更要求	○ モデルがプロセスで変更される ○ 事前に承認された変更要求 ○ 失敗した変更要求
要求アイテム	○ RITM ステータスが未完了でクローズまたはスキップしてクローズ ○ マルチホップ:2 回以上の再アサインを行う RITM

検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションで確認できます。

3. [サマリーとインサイト] ページで、選択したインサイトについて:
   - プロセス分析を実行するには、[プロセス分析] を選択します。フィルターが適用された プロセス最適化 マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターを表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」を参照してください。

のコンテンツパック **SPM**

デマンド向け 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセス最適化 コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立つ事前構成された プロセス最適化 プロジェクトを提供し、継続的なパフォーマンス向上の機会も提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

ダッシュボード

SPM プロセス最適化 コンテンツパックのプロジェクトにはデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

SPM作業アイテムのクラスター分析構成

プロセス最適化 アプリケーションは、クラスター分析を構成するために使用できるデマンドのソリューション定義を提供します。

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義構成

プロセス最適化アドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動することで、SPM作業アイテムソリューション定義構成にアクセスできます すべて > 予測インテリジェンス > クラスターリング > ソリューション定義.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドは説明に構成されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されます。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに構成されます。たとえば、デマンドクラスタリング定義はデマンドワードコーパスレコードに構成されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明データを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、デマンドの純度フィールド (部門、business_unit、優先度) も含まれています。

プロセス最適化ダッシュボードで**SPM**作業アイテムの **KPI** を構成する

[プロセス最適化サマリーとインサイト] ページで、目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、SPM作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

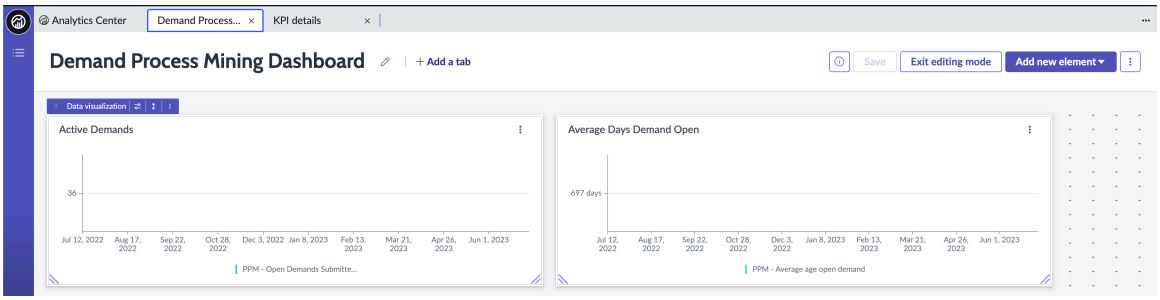
始める前に

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. プロジェクトポートフォリオ管理標準プラグインがインストールされていることを確認します。
2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
   デマンドの場合、KPI はアクティブなデマンドと平均デマンドオープン日数で



す。

プロセス最適化ダッシュボードでの**SPM**デマンドのインサイトの構成

[サマリーとインサイト] ページでインサイトを検出するためのデマンドのルール定義を構成します。

始める前に

重要: この機能は、 ServiceNow Store プロセス最適化 SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
   デフォルトでデマンドに使用できるインサイトフィルターは、次の表で定義されています。

   のデマンドに関するインサイト プロセス最適化

検索定義	認定されずに承認されたデマンド
	承認されずに次のステージに移動されたデマンド
自動検索定義	リワーク

   検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションで確認できます。
3. [サマリーとインサイト] ページで、選択したインサイトについて:
   - プロセス分析を実行するには、[プロセス分析] を選択します。フィルターが適用された プロセス最適化 マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターを表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」を参照してください。

のコンテンツパック セキュリティインシデントレスポンス

セキュリティインシデントレスポンス 向けのプロセスマイニングコンテンツパックを使用すると、セキュリティインシデントのライフサイクル全体にわたる非効率性を分析できます。この情報を使用して、セキュリティインシデントのプロセスを最適化できます。

SIR 向けプロセスマイニングコンテンツパックの有効化の詳細については、「 プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、アナリストワークベンチを使用して、可視化されたセキュリティインシデントワークフローデータや、セキュリティインシデントに関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。

- プロセスマイニングロール:sn_process_optimization_analyst
- セキュリティインシデントレスポンスロール:sn_si_read

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) で プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。

重要: Vancouver リリース以降、プロセス最適化アプリケーションの名前は プロセス最適化 に変更されました。

FSO プロセスマイニングコンテンツパックの有効化については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

最適化プロジェクト

コンテンツパックには、これらのファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーション用のビルド済みプロセス最適化プロジェクトモデル定義が追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ファイナンシャルサービスビジネスデポジットオペレーション
- ファイナンシャルサービスビジネスローンオペレーション
- ファイナンシャルサービスビジネスライフサイクル
- ファイナンシャルサービスカードオペレーション
- ファイナンシャルサービスクライアントライフサイクル
- ファイナンシャルサービス苦情管理
- ファイナンシャルサービス支払いオペレーション
- ファイナンシャルサービスパーソナルローンオペレーション
- ファイナンシャルサービスパーソナルデポジットオペレーション
- ファイナンシャルサービストレジャリーオペレーション
- Individual Life Servicing
- Group Life Servicing
- 企業保険請求
- 個人向け保険請求
- Intelligent Servicing for Fraud

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

自動翻訳

ロール

プロセス最適化アプリケーションを使用しているファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

ファイナンシャルサービスオペレーションの必要なロール プロセス最適化

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
ファイナンシャルサービスカードオペレーション	異議申し立て管理:sn_bom_credit_card.dispute_manager および sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービス支払いオペレーション	sn_bom_payment.payments_manager および sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービスビジネスローンオペレーション	sn_bom_loan_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービスパーソナルローンオペレーション	sn_bom_loan.b2c_manager および sn_process_optimization_analys
ファイナンシャルサービスビジネスライフサイクル	sn_bom_clo_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービスクライアントライフサイクル	sn_bom_clo_b2c.manager と sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービス苦情管理	sn_bom_compl.manager と sn_process_optimization_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイナンシャルサービスオペレーションの必要なロール プロセス最適化 (続く)

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
ファイナンシャルサービスビジネスデポジットオペレーション	sn_bom_deposit_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービスパーソナルデポジットオペレーション	sn_bom_deposit_b2c.manager と sn_process_optimization_analyst
企業保険請求	sn_ins_claim_cml.manager と sn_process_optimization_analyst
個人向け保険請求	sn_ins_claim_pers.manager と sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービストレジャリーオペレーション	sn_bom_treasury.admin および sn_process_optimization_analyst
Individual Life Servicing	sn_ins_indiv_life.manager と sn_process_optimization_analyst
Group Life Servicing	sn_ins_group_life.manager と sn_process_optimization_analyst
Intelligent Servicing for Fraud	sn_bom_fraud.manager と sn_process_optimization_analyst

関連トピック

の プロセス最適化 例 ファイナンシャルサービスオペレーション

の プロセス最適化 例 ファイナンシャルサービスオペレーション

ファイナンシャルサービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

例:金融サービスケースに関連付けられた現在のプロセスに関する分析を送信する必要がある金融機関のプロセスアナリストは、アナリストワークベンチを使用して、金融サービス支払業務、ローン業務、および苦情管理のプロジェクト定義のためにマイニングされたプロセスにアクセスできます。

ケースプロセスフローを分析し、次のワークフロー (**B2C** プロジェクト定義でのローン保留 など) を使用して、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。アナリストワークベンチが新しいタブで開きます。

   ローン返済猶予ケースレコードがクローズされるまでにかかる平均期間を確認できます。

2. プロセスマップのメトリクスを表示するには、[プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [一意の発生] と **[**平均期間] に設定します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示することで、プロセスマップを絞り込みます。

   状況移行とその期間を観察できます。

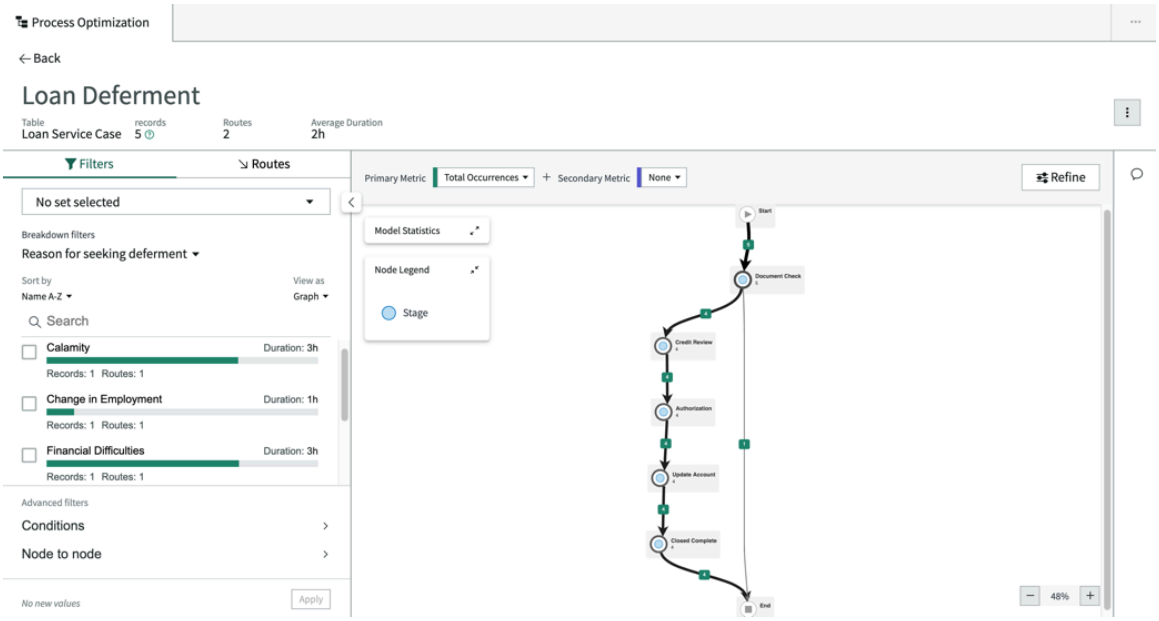
4. [フィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに含まれるステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内でそのルートがハイライト表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセス最適化 **B2C** でのローン返済猶予の場合



関連トピック

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 **(CSM)**

カスタマーサービス管理 (CSM) 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

プロセス最適化 CSM のコンテンツパックを有効にする方法の詳細については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、アナリストワークベンチを使用して、可視化されたプロセスワークフローデータと、カスタマーサービスケースに関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。

プロセス最適化 アプリケーションを カスタマーサービス管理 (CSM) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセス最適化 ロール	カスタマーサービス管理 (CSM) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_power_user	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_analyst	sn_customer_service_agent

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カスタマーサービスケースの最適化プロジェクト

プロセス最適化 CSM 用コンテンツパック (sn_csm_po) は、カスタマーサービスケースの事前定義されたカスタマーサービスケースプロジェクト定義を含む、ビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、カスタマーサービスケースプロジェクトは、過去 2 四半期のカスタマーサービスケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

カスタマーサービスケースプロジェクトには、カスタマーサービスケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、カスタマーサービスケースデータをさまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でフィルタリングできます。

カスタマーサービスケースの **SLA** 違反分析プロジェクト

プロセス最適化 CSM 用コンテンツパック (sn_csm_po) は、カスタマーサービスケースの事前定義された **SLA** 違反分析プロジェクト定義を含む、ビルド済みプロジェクトを追加します。詳細については、「 SLA 違反分析プロジェクト」を参照してください。

カスタマーサービスケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、アナリストワークベンチの CIM プロジェクトを使用して、カスタマーサービスケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセス最適化 プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

カスタマーサービスケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクスアプリケーションが有効になっている場合は、使用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づくパフォーマンスアナリティクス (PA) インジケーターからプロセス最適化アプリケーションを開くこともできます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

関連トピック

の プロセス最適化 例 CSM

の プロセス最適化 例 **CSM**

カスタマーサービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、ACME Corporation のプロセスアナリストとして、カスタマーサービスケースに関連付けられた現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、 カスタマーサービスケース プロジェクトのマイニングされたプロセスにアクセスします。

ケースプロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. カスタマーサービスケースプロジェクト定義から [ワークスペースに表示] を選択します。アナリストワークベンチが新しいタブで開きます。

   カスタマーサービスケースレコードがケースをクローズするまでに平均 16 日間かかることがわかりました。

2. プロセスマップのメトリクスを表示するには、[プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [一意の発生] と **[**平均期間] に設定します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示することで、プロセスマップを絞り込みます。

   [対応中:情報待ち] の移行ステータスに 2 日以上かかっていることがわかりました。

4. [フィルター] タブで、[ブレークダウンフィルター] リストを [アサイン先グループ] に設定し、アクティビティフィルターを使用して、[対応中 **-** 情報待ち] アクティビティと [対応中] アクティビティ間のプロセスフローを表示します。
5. [ルート] タブで、選択したアクティビティ間の平均期間 2 日よりも長くかかったすべてのレコードを表示する必要があるため、[ソート基準] リストで [ほとんどのレコード] を選択します。次に、プロセスパスを選択して、そのルートのケースを表示します。

   ほとんどのケースがメールに関連していることがわかります。

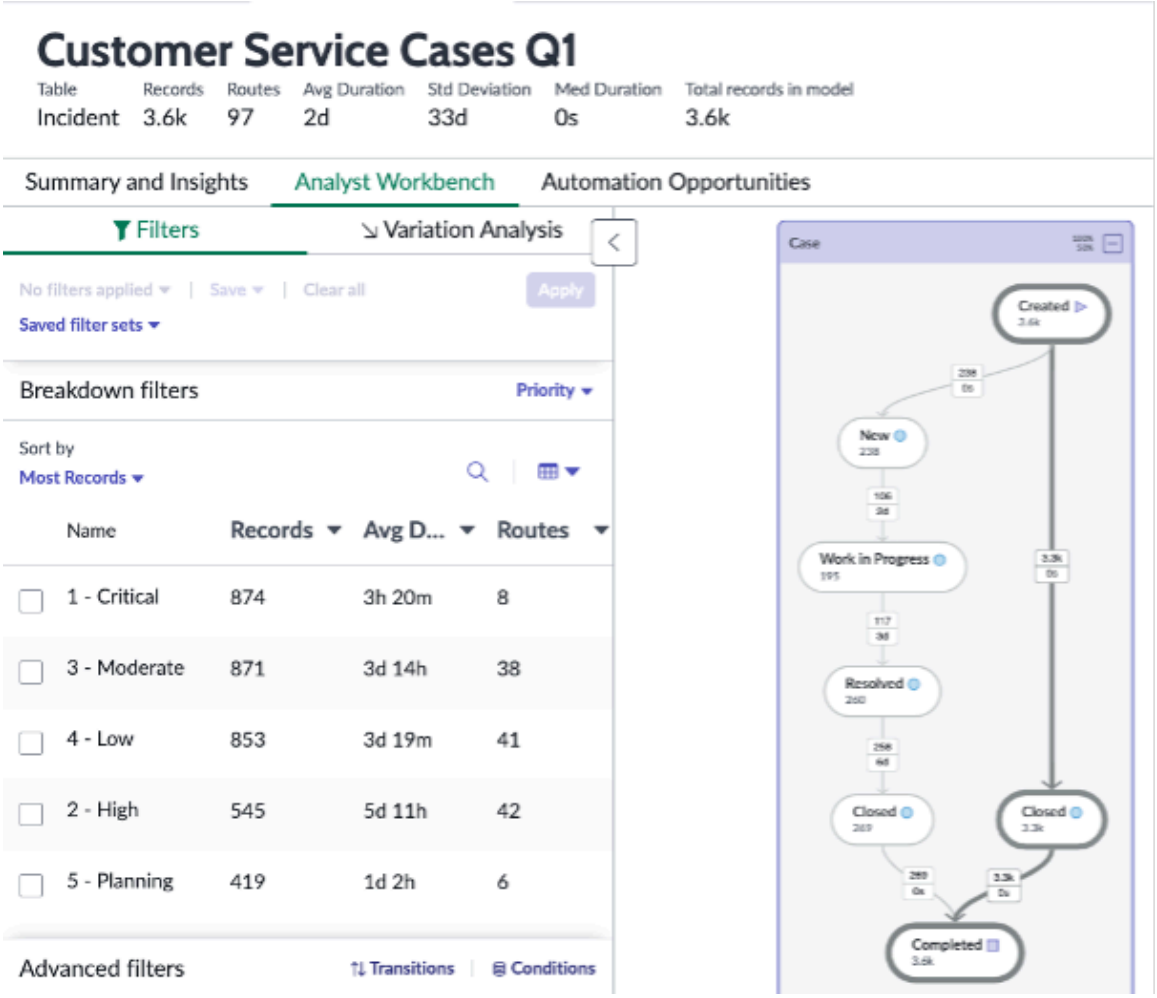
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、エージェントと顧客間のメールトランザクションを改善するために標準化されたテンプレートの使用を提案しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマーサービスケースの プロセス最適化



関連トピック

- プロセスインサイトの分析と取得
- のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)

SLA 違反分析プロジェクト

プロセスマイニングの SLA 違反分析プロジェクトを使用して、サービスレベルアグリーメント (SLA) に違反しているケースを特定および分析します。

SLA 違反分析プロジェクトでは、違反の根本原因に関するインサイトを提供し、ボトルネックを強調表示して、プロセスのパフォーマンスを最適化するための改善を推奨します。

SLA 違反分析の概要

次の表では、SLA 違反を特定して分析するためにシステムが実行する手順について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SLA 違反分析の概要

ステップ	説明	詳細
1	侵害の識別	• 事前定義されたしきい値に基づいて、SLA 違反を自動的に検出し、フラグを付けます。 • タイムスタンプ、期間、関連する SLA タイプなどの違反の詳細を表示します。
2	改善領域の表面化	• SLA 違反の一因となっている主要なプロセスの非効率性を特定します。 • 長いルーティング時間、長いアイドル時間、過度の待ち時間などの潜在的な根本原因を強調表示します。
3	親子テーブルのプロセスマップ	• ケーステーブル (親) とタスク SLA テーブル (子) の関係を可視化するプロセスマップを提供します。 • SLA イベントを対応するプロセスステップに明確にマッピングして、より詳細な分析を実現します。
4	チャネル、製品、アサイン先グループ別のブレークダウン	• 顧客とのやり取りチャネル (メール、電話、チャットなど) に基づくフィルタリングと分析を可能にします。 • ターゲットを絞ったプロセス改善のために、製品カテゴリ別の SLA 違反のブレークダウンをサポートします。 • アサイン先グループ別に違反をセグメント化して、説明責任と作業負荷分散を特定できます。

SLA 違反分析プロジェクトの使用

SLA 違反分析プロジェクトを使用して、顧客が SLA に違反している理由を分析し、根本原因を突き止めることができます。このプロジェクトは、 CSM のプロセスマイニングコンテンツパック (sn_csm_po) で利用できます。

SLA 違反分析プロジェクトにアクセスするには:

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. [すべて] を選択して、ユースケースプロジェクトを表示します。

3. SLA 違反分析プロジェクトを選択します。

4. [その他のオプション] メニューを選択します。

5. [プロジェクトのマイニング (フル)] を選択します。

6. [サマリーとインサイト] タブでは、次の情報を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- プロジェクトメトリクス:レコードが完了するまでの平均時間などのメトリクスデータを経時的に表示します。
- 改善の機会:メトリクスデータと、ピンポン (ケースの再アサイン) や極端な期間など、さまざまなタイプの SLA 違反のあるケースのリストを表示します。

7. ケースのプロセスマップを表示するには、[アクション] を選択し、[ワークベンチで表示] を選択して Analyst Workbench を表示します。

   このワークベンチを使用して、可視化されたプロセスワークフローデータとツールにアクセスし、SLA 違反に関連するデータを分析します。

   たとえば、ケースが複数のアサイン先グループに再アサインされた場合、次の情報を表示できます。

   - ケーステーブルマップ:プロセスの開始から終了までのさまざまなアサイン先グループを表示します。
   - タスク SLA マップ:ケースが SLA に違反しているポイントを表示します。

8. マップ内のノードまたは移行線を選択すると、選択したアイテムに関する追加の詳細がモーダルウィンドウに表示されます。

   ブレークダウンフィルターやプロセスマップなど、Analyst Workbench の使用の詳細については、「 Analyst Workbench 」トピックの詳細を参照してください。

通信事業注文のコンテンツパック

通信事業とメディア向け注文管理 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。

通信事業のプロセス最適化を有効にする方法については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、アナリストワークベンチを使用して、ビジュアル化されたプロセスワークフローデータと、通信オーダーに関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「プロセス最適化 ワークスペース」を参照してください。

プロセス最適化アプリケーションを使用している 通信事業 アプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

- 電気通信製品の注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信サービス注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 通信リソース注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、および sn_process_optmization_power_user
- 電気通信オーダータスクの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us

通信事業アプリケーションの最適化プロジェクト

コンテンツパックは、次の 通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションエンティティに対して、ビルド済みのプロセス最適化プロジェクト定義を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 製品注文
- サービス注文
- リソース注文
- 注文タスク

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

関連トピック

の プロセス最適化 例 通信事業

の プロセス最適化 例 通信事業

電気通信注文のプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、電気通信サービスプロバイダーのプロセスアナリストが、電気通信オーダーに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要がある場合は、アナリストワークベンチを使用して、電気通信製品オーダー、サービスオーダー、リソースオーダー、およびオーダータスクのプロジェクト定義のマイニングプロセスにアクセスできます。

電気通信プロジェクト定義の製品注文に次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。アナリストワークベンチが新しいタブで開きます。

   通信事業顧客の注文が履行されるまでにかかる平均期間を確認できます。

2. [プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [一意の発生] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示することで、プロセスマップを絞り込みます。

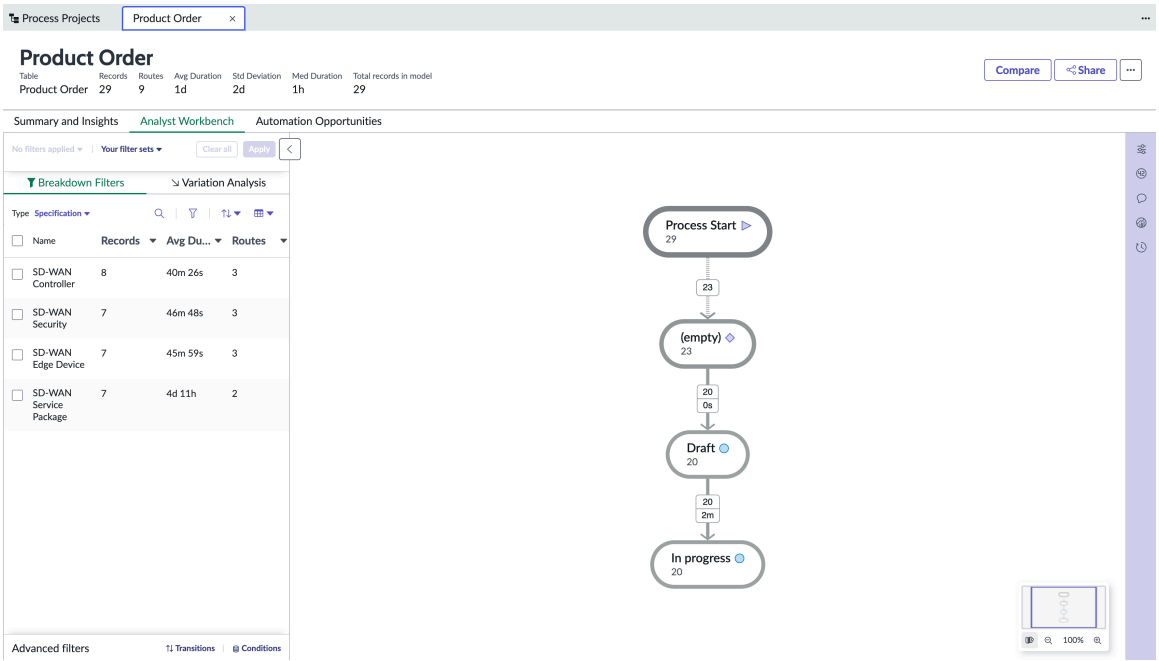
   状況移行とその期間を観察できます。

4. [フィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケースの数、平均期間、およびルートに含まれるステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内でそのルートがハイライト表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 電気通信事業の製品注文の場合



関連トピック

- プロセス最適化 ワークスペース
- プロセスインサイトの分析と取得
- 通信事業注文のコンテンツパック

のコンテンツパック **HR** サービスデリバリ **(HRSD)**

HR サービスデリバリ (HRSD) 用の プロセス最適化 コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。

HRSD プロセス最適化コンテンツパックを有効にする方法の詳細については、「プロセス最適化コンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、アナリストワークベンチを使用して、可視化されたプロセスワークフローデータと、カスタマーサービスケースに関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチページ」を参照してください。

プロセス最適化 アプリケーションを HR サービスデリバリ (HRSD) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセス最適化 ロール	HR サービスデリバリ (HRSD) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_hr_core.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールの組み合わせ (続く)

プロセス最適化 ロール	HR サービスデリバリ (HRSD) ロール
sn_process_optimization_power_user	sn_hr_core.case_writer
sn_process_optimization_analyst	sn_hr_core.basic

HR ケースの最適化プロジェクト

HRSD プロセス最適化コンテンツパック (com.sn_hr_process_optimization) は、事前定義された HR サービスケースと、インストールされている場合はライフサイクルイベントケースプロジェクト定義を含む、ビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、プロジェクトは過去 2 四半期のケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

プロジェクト定義には、ケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、さまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でケースデータをフィルタリングできます。

HR ケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、アナリストワークベンチの CIM プロジェクトを使用して、HR ケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアティブと プロセス最適化 プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

HR ケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づくパフォーマンスアナリティクスインジケーターからプロセス最適化アプリケーションを開くこともできます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

の プロセス最適化 例 HR サービスデリバリ (HRSD)

HR サービスのプロセスを分析するか、インストールされている場合はケースを ライフサイクルイベント してボトルネックを特定し、ケースフローの遅延を最小限に抑えてユーザーエクスペリエンスを向上させます。

HR オンボーディングプロセスアナリストがサービスデリバリの速度または品質を向上させたいと考えており、現在のケースプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、HR サービスのマイニングされたプロセスにアクセスし、インストールされている場合はケースプロジェクト定義 ライフサイクルイベント アクセスできます。

ケースのプロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案できます。たとえば、標準の HR サービスケースモデル定義では、次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。アナリストワークベンチが新しいタブで開きます。

   [すべて **(HR** サービス別)] タブでは、HR サービスケースレコードがクローズされるまでの時間を確認できます。

2. [プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [合計発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示することで、プロセスマップを絞り込みます。

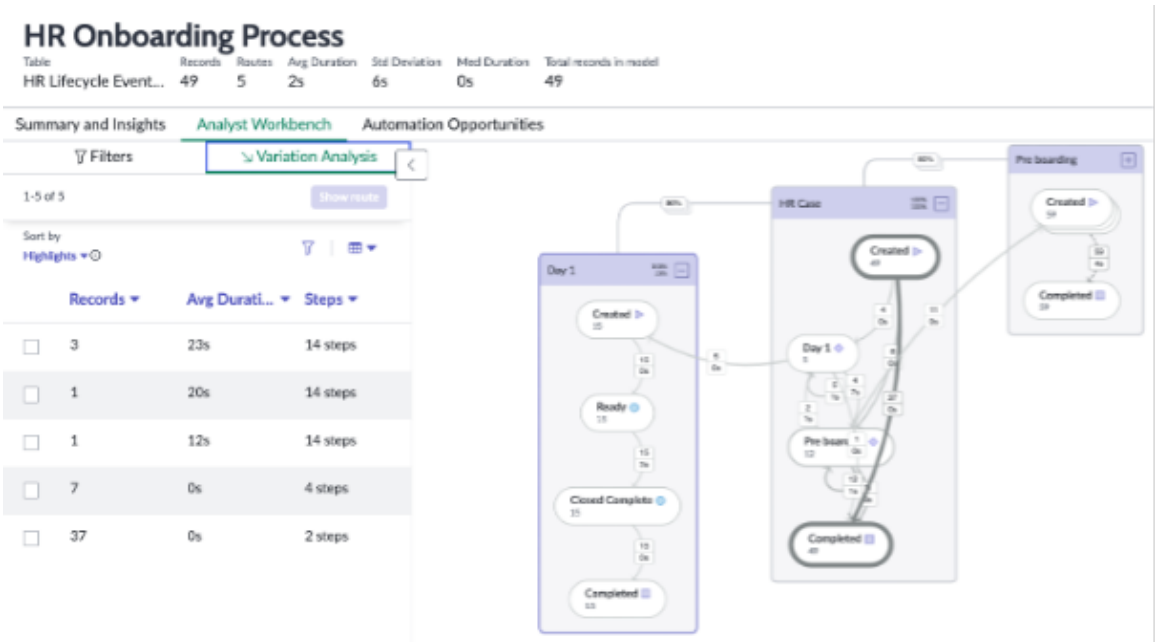
   状況移行とその期間を観察できます。

4. [ブレークダウン] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに含まれるステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内でそのルートがハイライト表示されます。

   注: 1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブにリストされているブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセス最適化 標準の **HR** サービスケースの場合



FSM のコンテンツパックの例

作業指示タスクのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してワークフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

この例では、ACME 社のプロセスアナリストとして、作業指示タスクに関連付けられた現在のプロセスに関する分析を送信する必要があります。アナリストワークベンチを使用して、 作業指示タスク プロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

作業指示プロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

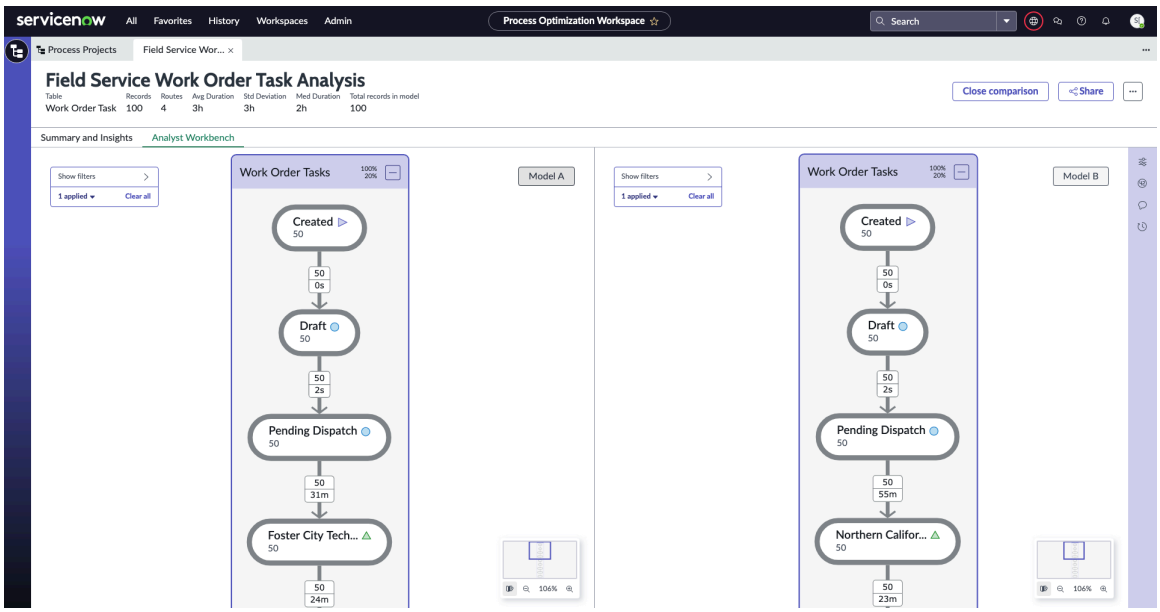
1. ア ナリストワークベンチを選択します。
2. [ブレークダウン] リストを [アサイン先グループ] に設定し、[適用] を選択して、プロセスマップ内のすべてのレコードのスタンドアロン分析を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示することで、プロセスマップを絞り込みます。

   タスクのスケジューリングが遅れる理由を確認し、分析します。
4. データをフィルタリングしてレコードを表示するには、次を選択します レコードを表示 > 表示.

   ほとんどのタスクがインストールに関連していることがわかります。
5. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、インストールタスクのディスパッチ時間が長い理由を確認することを提案しています。

プロセス最適化 フィールドサービス作業指示タスクの



関連トピック

フィールドサービス管理 (FSM) の プロセスマイニング

プロセス最適化 の統合

継続的改善ライフサイクル全体で プロセス最適化 を使用して、プロセスを一貫して正確に分析します。

アドミニストレーターは、継続的改善管理、パフォーマンスアナリティクス、ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM)、ファイナンシャルサービスオペレーション などの他のServiceNowアプリケーションとプロセス最適化統合できます。

改善の機会を見つけ、これらのステージを通じてプロセスの変更と進捗状況を監視します。

1. 特定: プロセス最適化 を使用して、現在のプロセスを積極的に評価し、改善の機会を見つけます。
2. 計画して実行:問題領域の根本原因を見つけ、新しいタスクや不足しているステップを発見します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 測定:最新のプロセスデータを監視します。

4. 結果を表示:プロセスを再分析し、測定可能な結果を示します。

自動翻訳

継続的改善管理 との統合

ServiceNow® 継続的改善管理 アプリケーションと統合すると、改善の機会を特定した後に要求を作成できます。

ServiceNow® 継続的改善管理 (CIM) アプリケーションとの統合により、プロセス改善関連のイニシアチブを要求および表示し、既存のイニシアチブにタスクを追加できます。

プロセス最適化 プラグイン (com.sn_po) は、プロセス最適化 アプリケーションと 継続的改善管理 アプリケーション間の統合を提供します。継続的改善管理 は、CIM (com.sn_cim) プラグインのアクティブ化と統合されます。

プロセス最適化から:プロセス最適化から改善イニシアチブを作成すると、プロジェクトへの参照が継続的改善レコードに追加されます。

継続的改善管理から:CIM から プロセス最適化 Analyst ワークベンチを起動します。

ロール

継続的改善管理 との統合では、プロセス最適化 ロールに追加のロールは追加されません。継続的改善管理機能を有効にするには、この機能を必要とするユーザーにagent_workspace_userロールを追加する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

を使用した 継続的改善管理 の例 プロセス最適化

継続的改善管理

Continual Improvement Management を要求する

CIM から プロセス最適化 を起動

CIM ワークベンチから プロセス最適化 を起動して、既存のプロセスを分析し、新たな改善の機会を見つけます。

始める前に
必要なロール:improvement_manager

継続的改善管理 プラグイン (com.sn_cim) と プロセス最適化 プラグイン (com.sn_po) をアクティブ化します。

手順

次のいずれかの方法でプロセス マイニング ワークベンチに移動します。

コピー元	ステップ
継続的改善ワークベンチ	**a.** 移動先 継続的改善 > ワークベンチ. **b.** 継続的改善ワークベンチのページヘッダーで、[移動] を選択しますプロセス最適化。 **c.** 既存のプロジェクトを分析するか、アセスメントのために新しい プロセス最適化 プロジェクト定義を作成します。 注: 詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。
改善イニシアチブ	**a.** 移動先 継続的改善 > すべて. **b.** レコードを開きます。 **c.** [プロセスマイニングに移動] 関連リンクを選択します。

を使用した 継続的改善管理 の例 プロセス最適化

改善要求を作成または追跡する方法を理解します。

改善マネージャーは、 継続的改善管理 ワークベンチダッシュボードを毎日使用して、運用作業と進行中のイニシアチブを表示します。インシデントプロセスを最適化し、平均解決時間 (MTTR) を短縮するためのオープンなイニシアチブがあります。

イニシアチブフォームから、[プロセスマイニングに移動] を選択します。このアクションにより、過去 3 か月間にクローズされたケースを示す プロセス最適化 Analyst Workbench 内の生成されたプロジェクトに移動します。

プロセスマイニングとの統合により、継続的改善をルーチンの一部にします

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンチマーク との統合

ITSM ベンチマーク と統合すると、KPI に関連するプロセスを分析し、関連するインシデントを作成および表示できます。

関連トピック

- を使用した ベンチマーク の例 プロセス最適化
- のコンテンツパック ITSM

ベンチマークダッシュボードからプロセス最適化を起動

ベンチマーク ダッシュボードから プロセス最適化 を起動して、パフォーマンスの低い KPI に関連するプロセスを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_bm_client.benchmark_recommendation_viewer

プロセス最適化 プラグイン (com.sn_po) を有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > ベンチマーク > ダッシュボード.
2. [プロセスマイニングに移動] アイコン ( ) を選択します。

   注: KPI で必要なプロセスモデルが利用できない場合は、ダッシュボードによって自動的に作成されます。

を使用した ベンチマーク の例 プロセス最適化

KPI に関連するプロセスを分析する方法を理解します。関連するインシデントのステータスを作成または表示します。

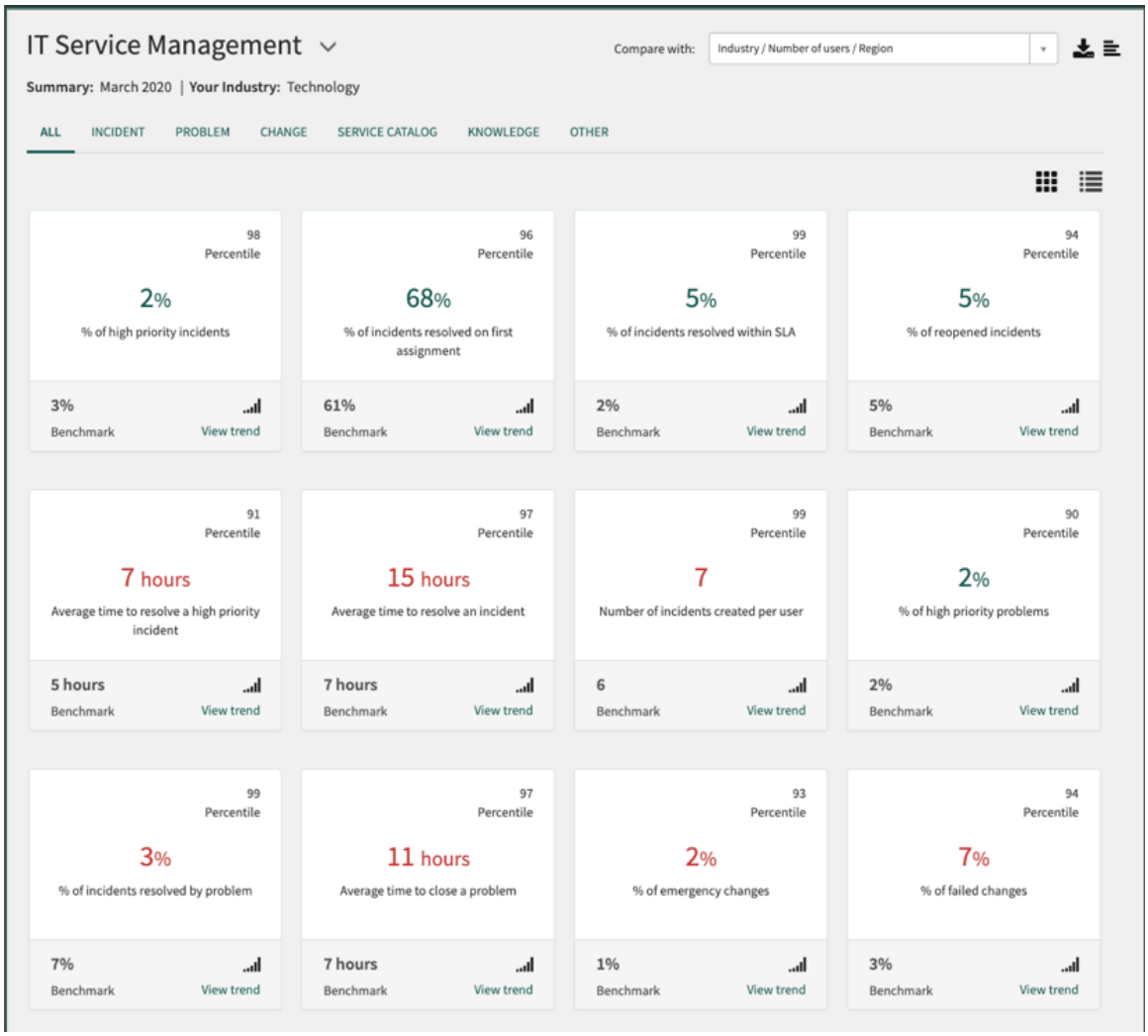
識別、分析、および制定:プロセス最適化 で簡素化 ServiceNow AI Platform

IT アナリストが月次 ベンチマーク レポートを確認します。彼らは、「高優先度インシデントの MTTR」KPI が同業他社と比較してパフォーマンスが低下していることに気付きました。CIO はその理由を理解したいと考えています。

アナリストは、ベンチマーク KPI から [プロセスマイニングに移動] アイコンを選択します。このアクションにより、新しいタブの プロセス最適化 Analyst Workbench に移動します。改善が必要な領域を迅速に発見し、CIM イニシアチブを送信します。CIM イニシアチブが完了すると、 ベンチマーク 業界同業他社比較チャートで改善を確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

インジケーターデータソース **(PA)** との統合

プラットフォームアナリティクスインジケーターデータソースでプロセス最適化を使用すると、インジケーターからデータ抽出を実行し、解決時間などの KPI に関連付けられたプロセスを分析できます。

プロセス最適化 プラグイン (com.sn_po) は、プロセス最適化 データソースとインジケーターデータソース間の統合を提供します。プロセス最適化 プラグインを有効にすると、統合が自動的に行われます。その後、インジケーターのKPI 詳細からプロセス最適化ワークベンチを開くことができます。

プロセス最適化 プラグインは、次のテーブルを使用するインジケーターソースのテンプレート構成を提供します。

- カスタマーサービスケース [sn_customerservice_case]
- Incident (インシデント) [incident]
- 問題 [problem]
- 変更 [change]
- 要求アイテム [sc_req_item]

他のテーブルに基づくインジケーターをサポートするには、それらのテーブルのテンプレートを作成します。詳細については、「テーブル構成の設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- プロセス最適化自動インジケーターのみをサポートしています。式インジケーターのKPI 詳細から引き続きプロセス最適化を開くことができますが、式に寄与する自動インジケーターの 1 つを選択する必要があります。
- プロセス最適化 は、 データベースビューに基づくインジケーターソースをサポートしていません。

ロール

インジケーターと統合しても、 プロセス最適化 ロールに追加されることはありません。統合機能を有効にするには、この機能を必要とする プロセス最適化 ユーザーに PA ビューアーロール (pa_viewer) を追加する必要があります。同様に、インジケーターを管理し、プロセス最適化機能を必要とするユーザーに適切なプロセス最適化ロールを追加します。

起動して使用 プロセス最適化

インジケーターと統合すると、[プロセス分析を実行] オプションが KPI 詳細 メニューに追加されます。ユーザーは次のことができます。

- KPI 詳細から特定のインジケーターのプロセス最適化を開きます。

- パフォーマンスアナリティクスインジケーターからのデータ抽出をスケジュールします。

インジケーターのデータ抽出を開始すると、抽出の進行状況が表示されます。完了すると、 プロセス最適化 Analyst ワークベンチからプロジェクトを表示できます。後で同じインジケーター設定で別の日付に抽出を開始した場合、新しい PA プロジェクトが プロセスマイニング > プロジェクト > **PA** プロジェクト の一番下に配置されます。

関連トピック

使用するインジケーターの例 プロセス最適化

KPI 詳細を使用したインジケーターの探索

使用するインジケーターの例 プロセス最適化

インシデント、問題、変更、カスタマーサービスケース、または要求プロセスデータに基づくインジケーターからデータを抽出する方法を理解します。

プロセスアナリストがダッシュボードを表示すると、[解決済みインシデントの数] インジケーターが過去 2 か月間に減少していることを確認できます。この種の測定基準が低下すると、顧客満足度が低下し、ビジネスコストが増加することを理解している。数値をさらに詳しく調べるには、インジケーターの KPI 詳細 を開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI 詳細 解決済みのインシデント数インジケーターの

KPI 詳細 の多くの分析ツールの中には、プロセス最適化 ワークベンチを開く機能があります。プロセス最適化を使用すると、このインシデントの増加を解決できる場合があります。

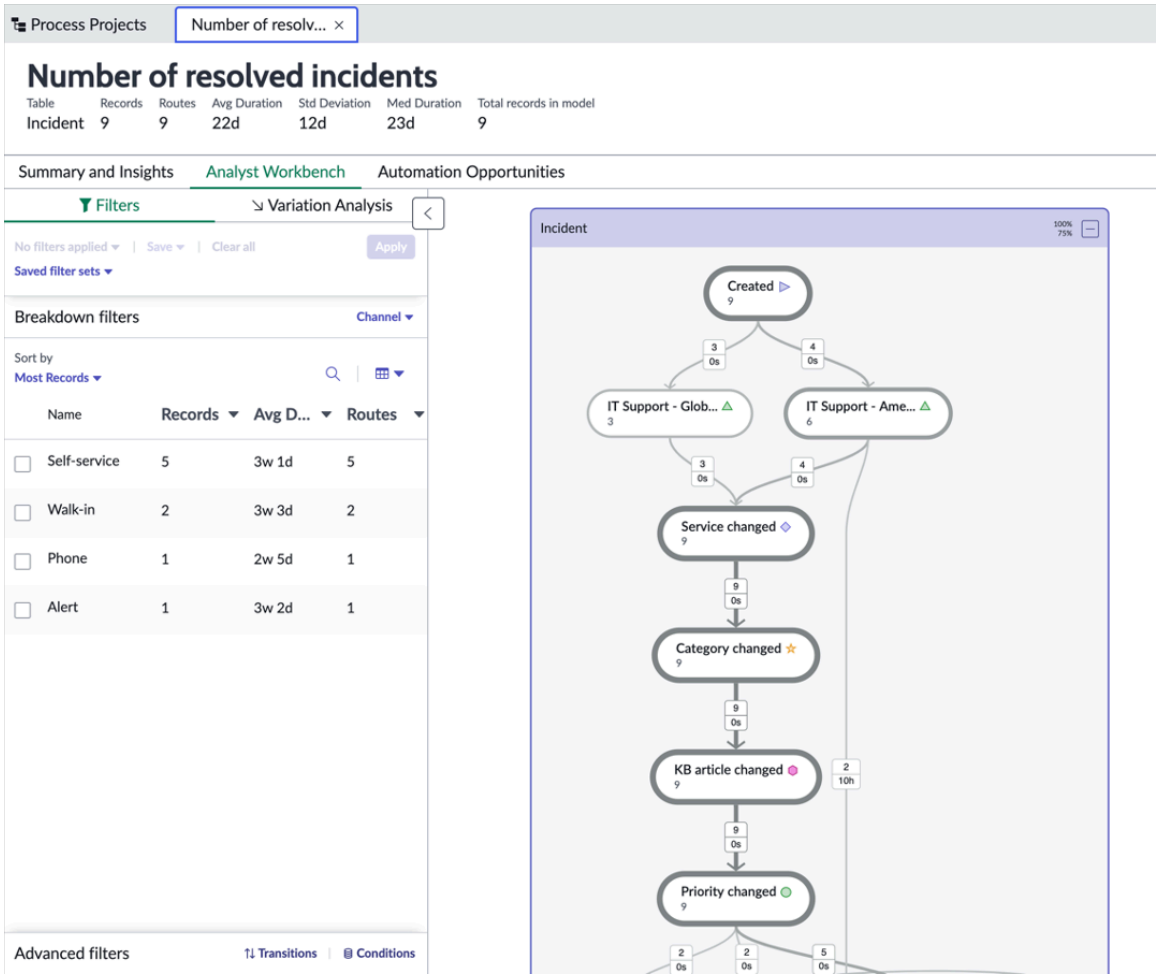
[プロセスマイニングで開く] アイコンを選択します。

このアクションにより、インジケーターのコンテキストでプロセスマップが自動的に作成されます。プロセス最適化 Analyst ワークベンチに移動して、根本原因を調査します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

解決済みのインシデント数インジケーターのアナリストワークベンチ



関連トピック

インジケーターデータソース (PA) との統合

オートメーションディスカバリー との統合

プロセス最適化内からオートメーションディスカバリーを実行します。

使用方法の概要

オートメーションディスカバリー はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このプロジェクトは、レコードから 180 を超える自動化の可能性のある機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

オートメーションディスカバリーの詳細については、「オートメーションディスカバリー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オートメーションディスカバリー の構成

オートメーションディスカバリー は、自動化のレコードと ID の機会を分析するのに役立ちます。

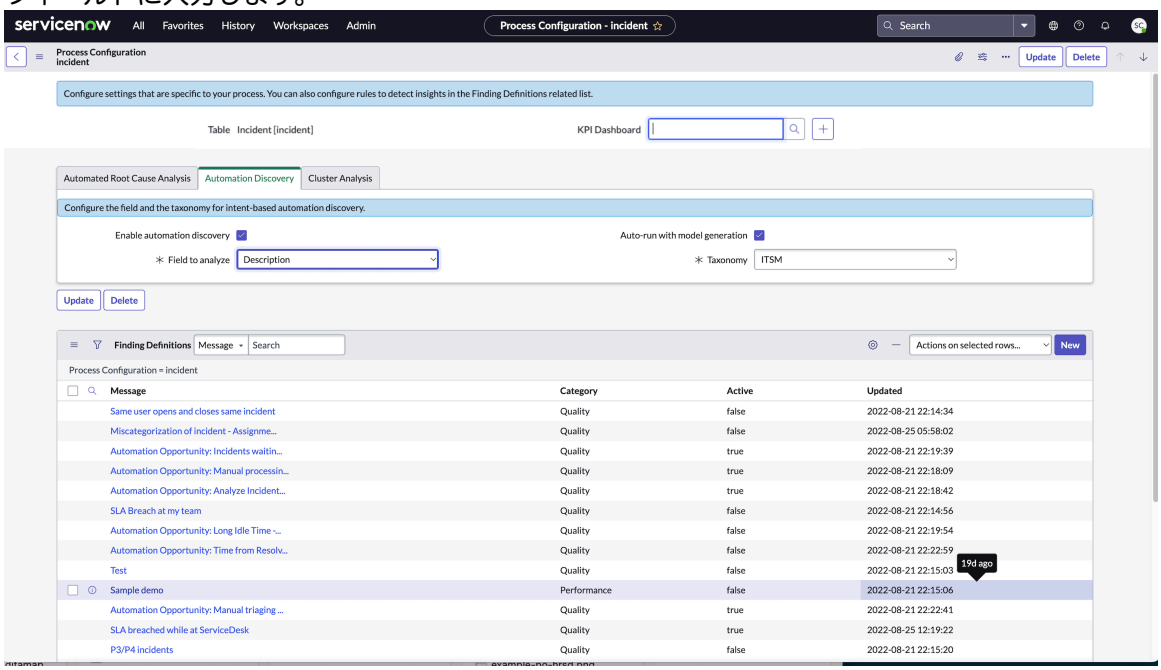
始める前に

構成する前に、 オートメーションディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールする必要があります。詳細については、「オートメーションディスカバリーをインストール」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. インシデントテーブル [incident] を選択します。
3. オプション: [**KPI** ダッシュボード] フィールドを使用して、このプロセス構成に関連付ける KPI ダッシュボードを選択します。
4. [オートメーションディスカバリー] タブに移動します。
5. [オートメーションディスカバリーを有効にする] と [モデル生成による自動実行] を選択し、必須フィールドに入力します。



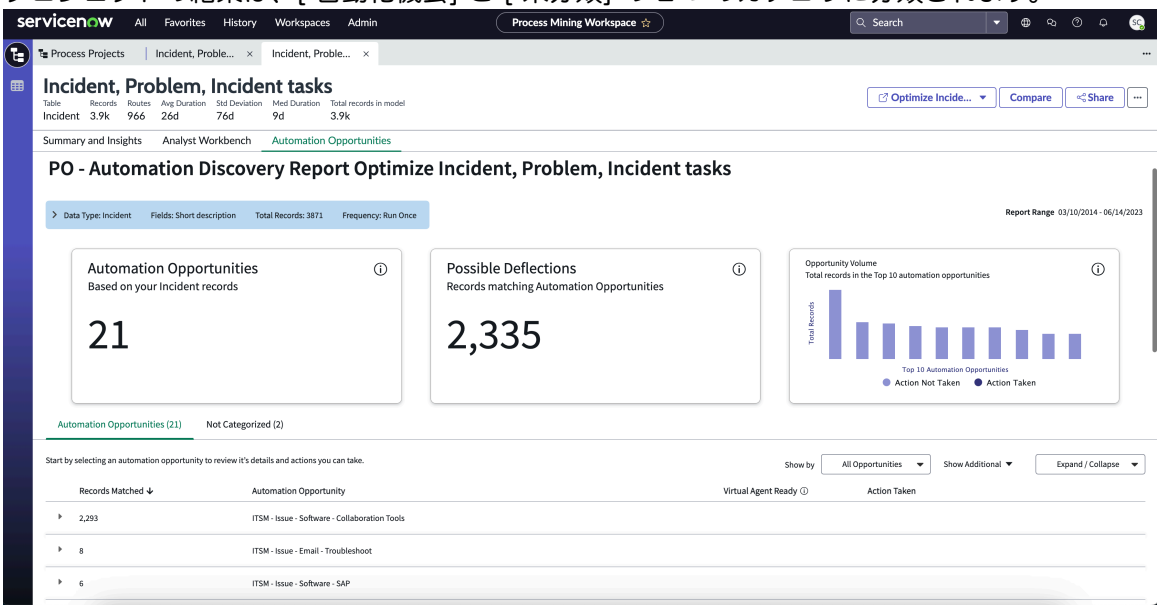
両方のオプションが選択されている場合、プロジェクトではオートメーションディスカバリーとモデル生成が自動的に実行されます。

6. **[Update** (更新)] を選択します。
7. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
   [プロセス最適化 ワークスペース] ページが開きます。
8. プロジェクトを開き、[**Automation Opportunities** (自動化機会)] を選択する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

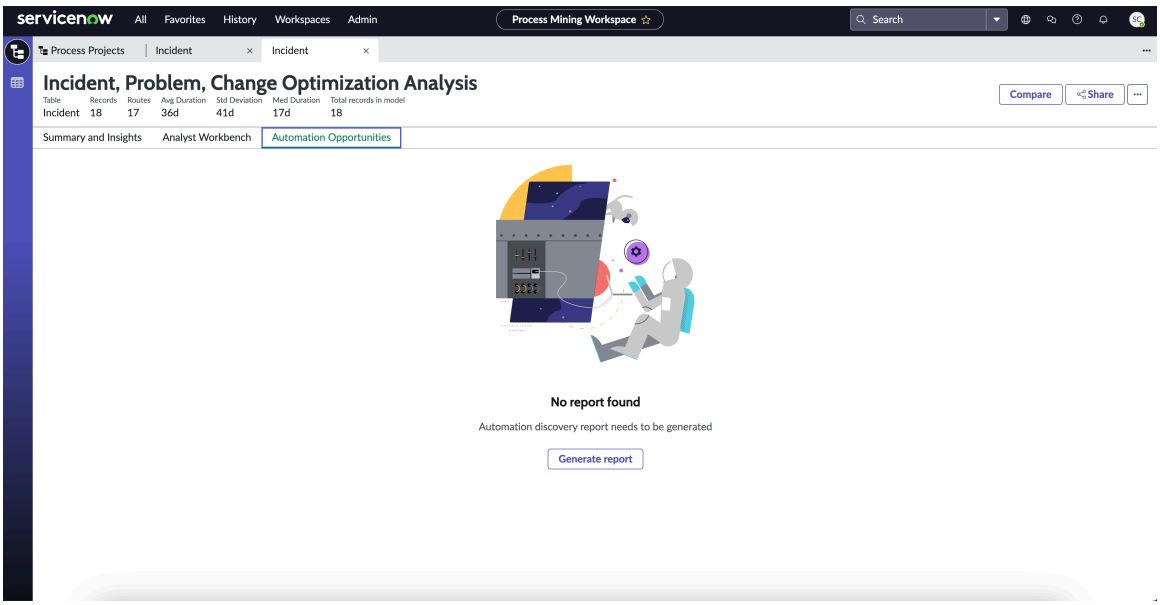
プロジェクトの結果は、[自動化機会] と [未分類] の 2 つのカテゴリに分類されます。



9. 追加情報のレコードを選択します。

[プロセスマップを開く] をポイントして、追加のマイニングをトリガーします。

[オートメーションディスカバリーを有効にする] または [モデル生成による自動実行] を選択しない場合、自動化機会は表示されません。アナリストワークベンチから、[レポートを生成] を選択してレポートを作成します。



必須フィールドに入力してレポートを作成します。

オートメーションセンター との統合

オートメーションセンター との統合により、オートメーションセンターワークスペースから自動化要求にアクセスできます。

プロセス最適化から、オートメーションセンターワークスペースで表示する自動化要求を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化アイデアの送信

プロセス最適化ワークスペースからさまざまなソースからの自動化要求を検出、優先順位付け、および管理します。

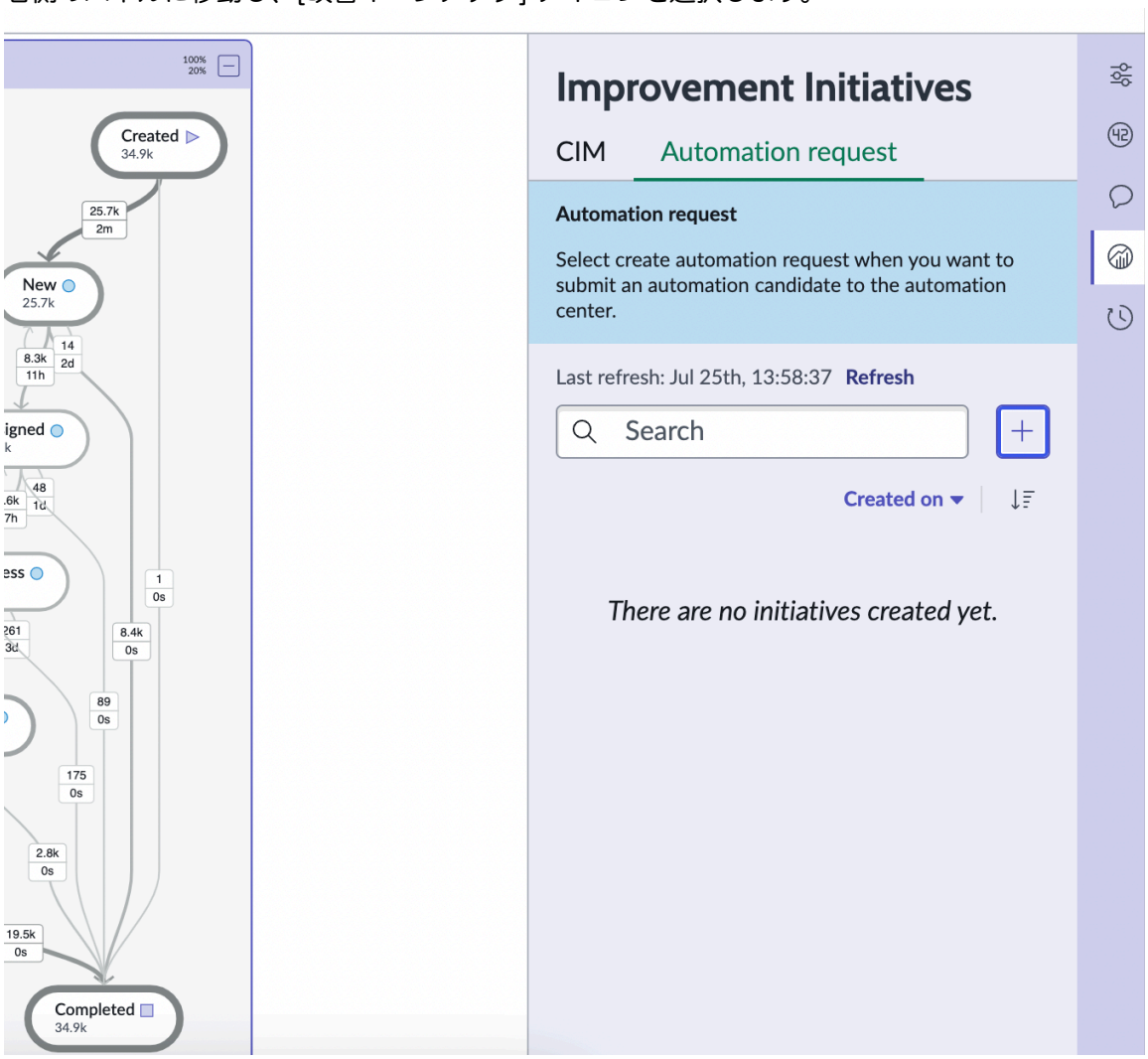
始める前に

構成する前に、オートメーションセンタープラグインをインストールして構成する必要があります。詳細については、「オートメーションセンター をインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. 右側のパネルに移動し、[改善イニシアチブ] アイコンを選択します。

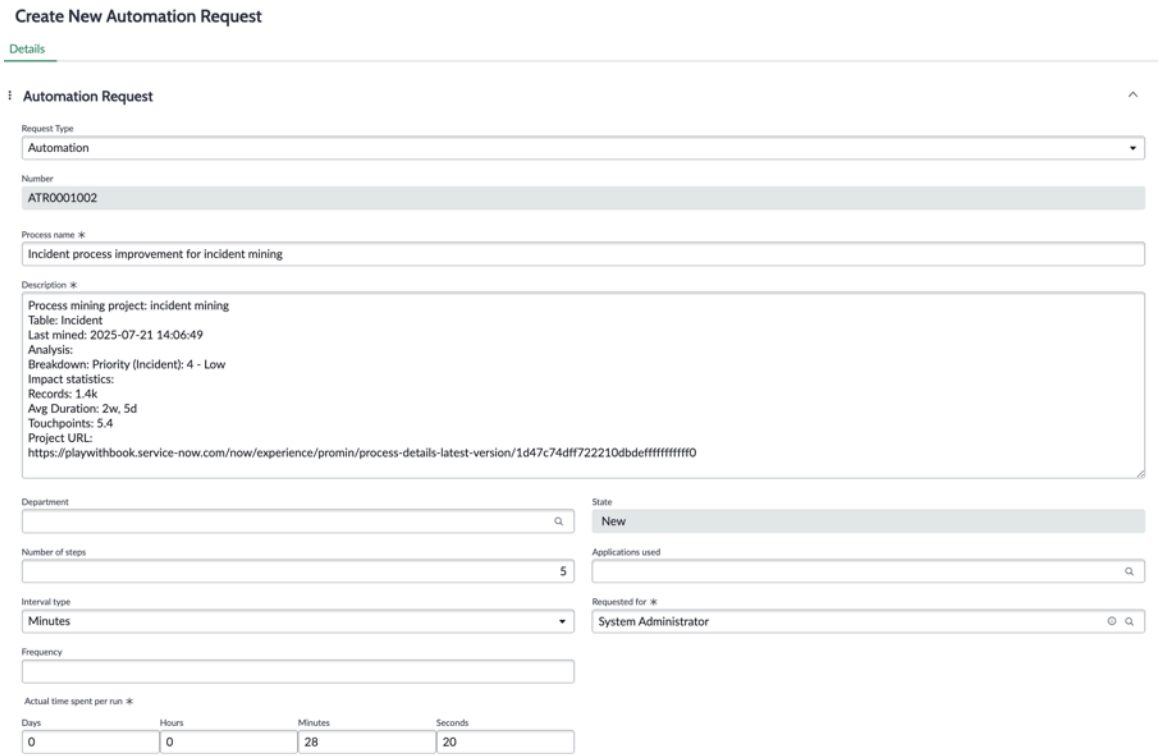


4. プラス記号を選択して、自動化のアイデアを作成します。
[新しい自動化要求の作成] ページが開きます。
5. 要求のフィールドに入力し、[送信] を選択します。

フォームのすべての必須フィールドは、使いやすさを考慮して事前に入力されています。

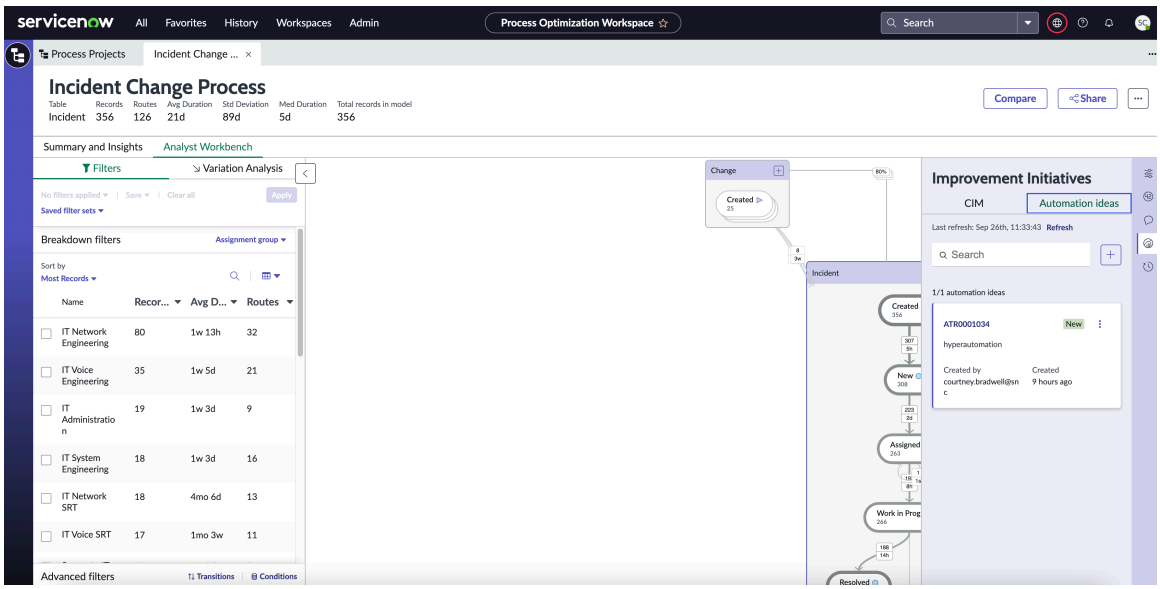
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「オートメーションセンター からの自動化要求フォーム」を参照してください。

結果
新しい要求が [改善イニシアチブ] パネルに表示されます。



プロセス最適化の構成

アドミニストレーターは、アナリストとマネージャーがアナリストワークベンチにアクセスし、プロジェクトを作成および管理できるように プロセス最適化 を設定できます。

注: プロセス最適化 は、インスタンスに 予測インテリジェンス 設定されている場合にのみオンプレミスインスタンスでサポートされます。自己ホスト環境の詳細については、 KB 記事 KB0782052 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 を設定するには：

- プロセス最適化 (com.sn_po) プラグインをアクティブ化します。
- ロールをアサインして、ユーザーがアプリケーションナビゲーターからプロジェクトを作成し、アナリストワークベンチからプロジェクトを表示または管理できるようにします。
- (オプション) プロセス最適化 を ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM) などの他のアプリケーション (ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM) ファイナンシャルサービスオペレーションなど) と統合する場合は、それぞれのコンテンツパックを有効にします。

ドメインセパレーションがサポートされている

このアプリケーションはドメインセパレーションをサポートしています。詳細については、「ドメインセパレーションと プロセス最適化」を参照してください。

アクセス制御

プロジェクトを生成または共有する際、 プロセス最適化 はテーブルのアクセス制御ルール (ACL) に従います。

プロジェクトの生成時、 プロセス最適化 はプロジェクトがレポートするテーブルの ACL を優先し、監査テーブルの ACL を無視します。promin_viewer ロールを持つユーザーには、読み取り専用アクセス権があります。

プロジェクトを共有する場合:

- アナリストワークベンチに表示されるすべてのデータは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。
- すべてのマイニング操作は、プロジェクト作成者の [sys_created_by] アクセスに従って実行されます。これには、より高い権限レベルを持つロールによって実行されるマイニングが含まれます。これにより、マイニングされるデータが少なくなる可能性があります。

[サマリーとインサイト] ページ:

- KPI は、関連する KPI にアクセスするために必要な権限を持つすべてのユーザーに表示されます。
- インサイトは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。

プロセス最適化 のプロパティ

プロセス最適化プロパティページには、プロセス最適化の構成オプションが表示されます。

データクリーンアッププロパティ

プロジェクト プロセス最適化 スケジュールされたクリーンアップジョブによって削除されるまでに維持される期間を決定するプロパティを設定します。

プロセス最適化データクリーンアップのプロパティ

プロパティ	説明
最終更新日から PA プロジェクト (プロジェクト定義) を保持する日数を定義します **promin.persist.pa_model**	プロセス最適化プロジェクトが最後に更新されてから保持される日数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値:30 日 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロセス最適化データクリーンアップのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
非アクティブ**promin.auto_retire_days**を理由にプロジェクトを廃止する日数を定義します	プロジェクトが廃止されるまでの非アクティブ日数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値:90 日 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
廃止されたプロジェクトをクリーンアップする日数を定義 します **promin.auto_clean_days**	廃止後、プロジェクトがクリーンアップされるまでの日数を設定します。ただし、プロジェクト構成は保持されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値:90 日 • 場所：プロセス最適化 システム プロパティ

関連トピック

使用するインジケーターの例 プロセス最適化

バージョンクリーンアップのジョブをスケジュール

スケジュール済みスクリプト **ProminVersionCleanup** を実行して、古いバックアップバージョンを削除し、クラスター分析レコードをクリーンアップするジョブをスケジュールします。

始める前に

必要なロール：administrator

このタスクについて

プロジェクトを再生成すると、 **ProminVersionCleanup** ジョブはキャッシュされた古い統計情報を削除します。古い統計情報は前のバージョンに移動し、更新されたプロジェクトに対して新しいバージョンが作成されます。

プロジェクトを再生成または削除する場合、このジョブはクラスター分析中に作成されたレコードを消去します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > バックグラウンドジョブ.

2. スケジュール済みジョブ **ProminVersionCleanup** を選択します。

3. 以下をオンまたは設定します。

a. [アクティブ] チェックボックスをオンにします。

b. [実行] フィールドが [日次] かどうかを確認します。

c. 時間を時間単位で設定します。

4. [Execute Now (今すぐ実行)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
バックアップバージョンとクラスターレコードのクリーンアップは毎日実行されます。

根本原因分析プロパティ

根本原因分析のしきい値を決定するプロパティを設定します。

プロセス最適化根本原因分析しきい値のプロパティ

プロパティ	説明
表示する上位インフルエンサーの数 **promin.rca.result-count**	プロジェクトの根本原因分析を有効にするために必要なインフルエンサーの数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
主要なインフルエンサーのリストに表示するために必要なレコードの最小割合 % (1～100) **promin.rca.min_condition_and_effect**	主要なインフルエンサーのリストに表示されるレコードの最小割合を設定します。たとえば、指定された値が 10% で、合計レコード数が 100 件ある場合、10 件のレコードが表示されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
最低限必要なオッズ比 **promin.rca.min_odds_ratio**	根本原因分析を行う際の奇数比を決定する最小値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：1 • 場所：プロセス最適化 システム プロパティ

アナリストワークベンチのプロパティ

アナリストワークベンチに表示するデータの種類を決定するプロパティを設定します。

プロセス最適化根本原因分析しきい値のプロパティ

プロパティ	説明
アナリストワークベンチ**promin.primary_metric**のプライマリ測定基準	アナリストワークベンチで結果を表示する際に使用するプライマリメトリクスを指定します。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:一意の発生 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化根本原因分析しきい値のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
アナリストワークベンチ**promin.secondary_metric**のセカンダリメトリクス	アナリストワークベンチで結果を表示する際に使用するセカンダリメトリクスを指定します。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:平均期間 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

アクティビティに関する推奨事項のプロパティ

プロジェクトの作成時にアクティビティフィールドの推奨事項を有効または無効にするプロパティを設定します。

プロセス最適化根本原因分析しきい値のプロパティ

プロパティ	説明
プロセスマイニングでアクティビティフィールドの推奨事項を有効/無効にするプロパティ**promin.activity.recommendation.enabled**	プロジェクトのアクティビティ定義を設定するときに推奨事項を表示できるようにするには、このフィールドを選択します。 • タイプ：ブーリアン • デフォルト値：True • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

作業メモ分析プロパティ

作業メモ分析が利用可能になるタイミングを決定するプロパティを設定します。

プロセス最適化作業メモ分析のプロパティ

プロパティ	説明
作業メモ分析の対象となるユーザーの作業メモ分析を開始するために移行ごとに必要 Now Assist 最小レコード数**promin.work_notes.min_records_with_llm**	作業メモ分析の対象となるユーザーの作業メモ分析を開始するには、移行ごとに必要 Now Assist 最小レコードを設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
作業メモ分析**promin.worknotes.min_records**をトリガーする最小移行レコードを設定します	作業メモ分析をトリガーする最小移行レコードを設定します。移行レコードが指定された値を下回る場合、作業メモ分析は利用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化作業メモ分析のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：50 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
単一の LLM コールを実行する対象となる作業メモの最小数 **promin.work_notes.min_eligible_notes_for_single_llm_call**	単一の LLM コールを実行するための対象となる作業メモの最小数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
対象作業メモの最小移行割合しきい値 (X%) **promin.work_notes.min_percentage_transition_threshold**	対象作業メモのしきい値として最小パーセンテージを設定します。たとえば、指定された値が 10% で、合計レコード数が 100 件ある場合、10 件のレコードが表示されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ
対象となる作業メモの最小数 **promin.work_notes.min_eligible_records**	対象となる作業メモの最小限度を設定します。作業メモは、プロセス構成の作成時に設定された基準 (作業メモの時間範囲、作業メモ分析の長さの範囲など) を満たしている場合に対象となります。詳細については、「調査機能の構成」を参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロセス最適化 システムプロパティ

ブロックされたテーブル

プロセス最適化 のプロジェクトに使用しないテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化ブロックされたテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
マイニング、アクティビティ定義、およびブレークダウンからブロックする必要があるテーブルを定義 します **promin.blocked.tables**	プロセス最適化での使用をブロックする必要があるテーブルを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：なし • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

改善の機会のハイライトプロパティ

改善の機会のためにページごとに生成されるハイライトの数を設定するプロパティを設定します。

改善の機会のハイライト プロセス最適化 プロパティ

プロパティ	説明
promin.highlights.analysis.findings.pageSize	改善の機会のためにページごとに生成されるハイライトの数を設定できます。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：5 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

プレイブックの作成プロパティ

プロジェクトをプレイブックにエクスポートする方法を決定するプロパティを設定します。

プロセス最適化 プレイブックを生成するためのプロパティ

プロパティ	説明
プレイブックを生成するバリアントの最大数を設定する **promin.playbook.max_variants**	プレイブックを生成するバリアントの最大数を設定します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10 • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

アクセス制御プロパティ

プラットフォームアナリティクスダッシュボードから プロセス最適化 にアクセスできるユーザーを決定するプロパティを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化アクセス制御のプロパティ

プラットフォームアナリティクス ダッシュボード/インジケーター **promin.pa_integration_required_roles**からプロセスマイニングを起動できるロールを定義する	プラットフォームアナリティクスダッシュボード/インジケーターからプロセスマイニングを起動できるロールを定義します。 • タイプ：文字列 • デフォルト:プロパティに追加されるデフォルトのロールは次のとおりです。 ○ itil ○ sn_sd.success_dashboard_read ○ sn_sd.success_dashboard_details_read ○ business_stakeholder ○ sn_process_optimization_analyst ○ sn_customerservice_manager ○ sn_customerservice_agent ○ pa_threshold_admin ○ sn_hr_pa.admin ○ sn_hr_core.report_creator ○ sn_hr_core.manager ○ sn_hr_core.admin ○ sn_hr_onboarding.admin • 場所: プロセス最適化 > システム > プロパティ

自動翻訳

PAR ダッシュボードでのマップ プロセス最適化 構成

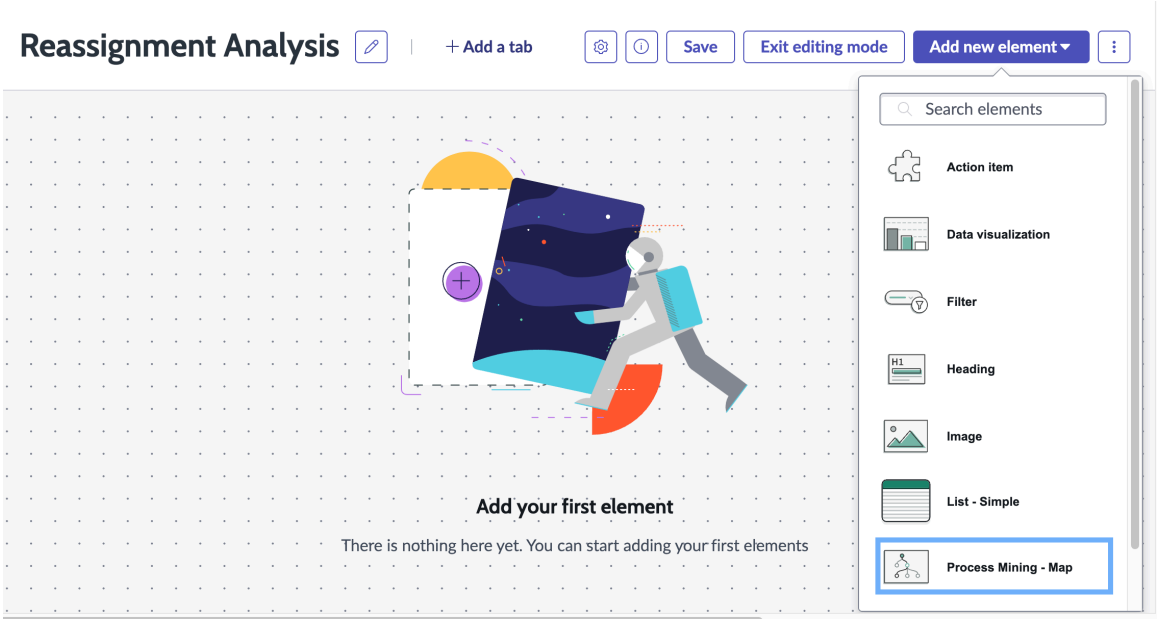
プロセス最適化マップを構成して、PAR ダッシュボードにプロセスグラフを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

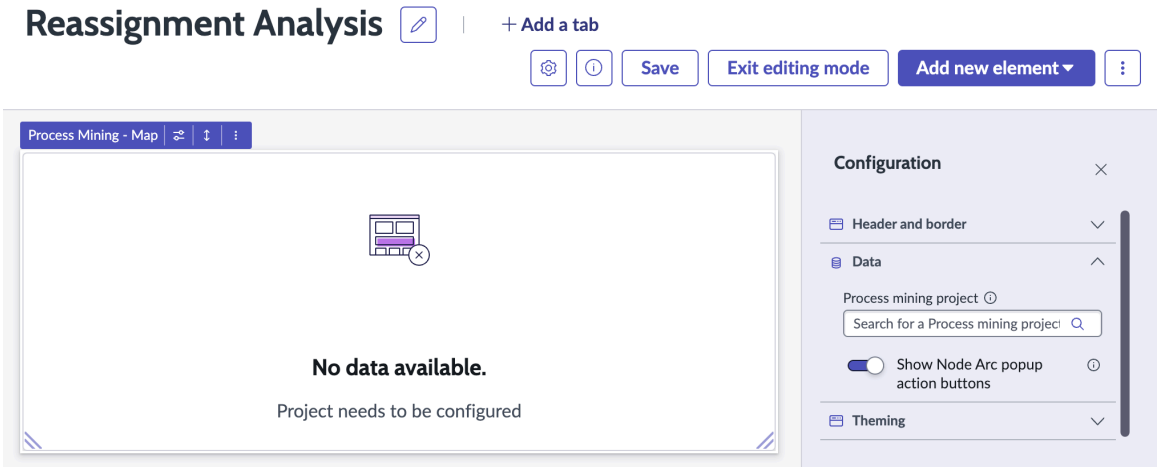
手順

1. PAR ダッシュボードに移動します。
2. プロセス最適化マップを構成します。
   a. [新しい要素を追加] を選択します。
   b. リストから [プロセスマイニング - マップ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



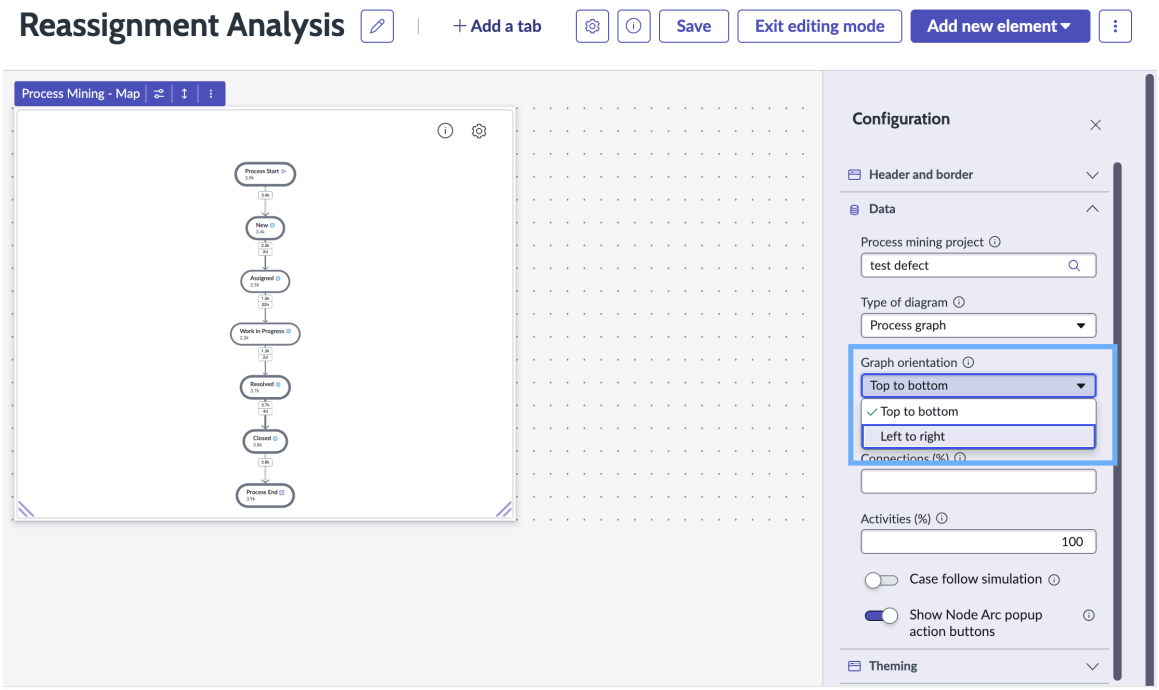
3. マップの プロセス最適化 プロジェクトを構成します。
   a. [構成] 領域の [プロセスマイニングプロジェクト] リストからプロセス最適化プロジェクトを選択します。



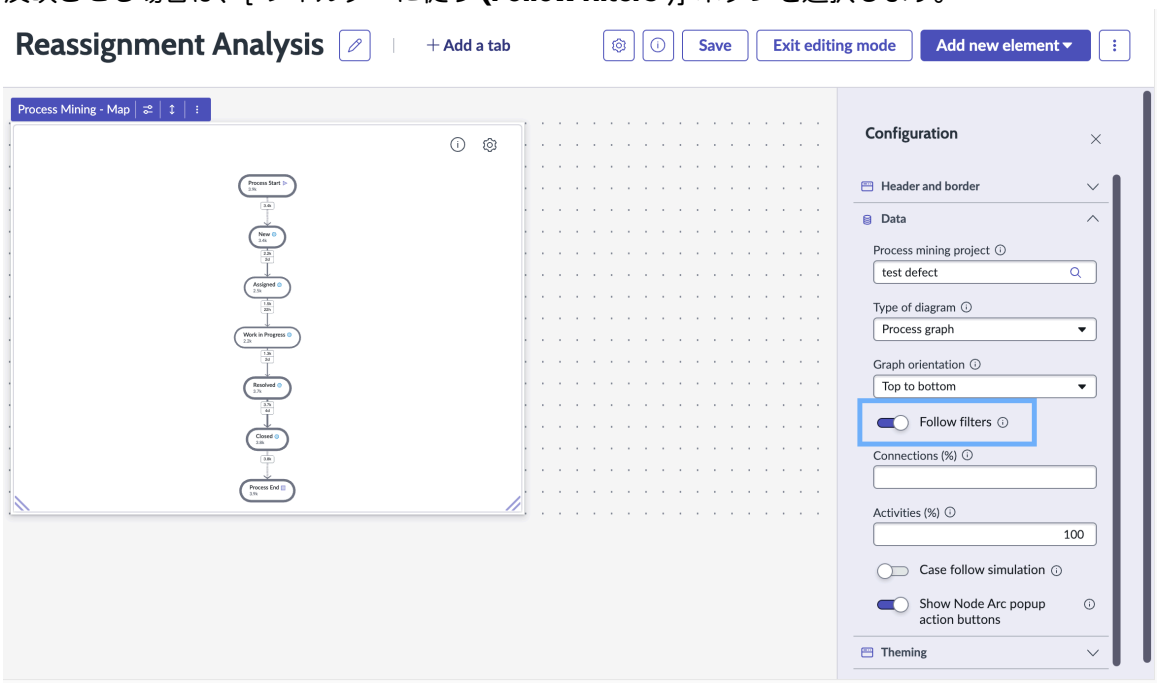
4. グラフ内にあるノードの現在のプロジェクトワークベンチに設定されたプロセスグラフのアウトラインの向きをカスタマイズします。
   たとえば、垂直方向のウィジェットを使用する場合、グラフと星形図を水平レイアウトではなく垂直レイアウトで表示したい場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ダッシュボードでフィルターを構成していて、適用されたフィルターを プロセス最適化 マップに反映させる場合は、[フィルターに従う **(Follow filters**)] ボタンを選択します。

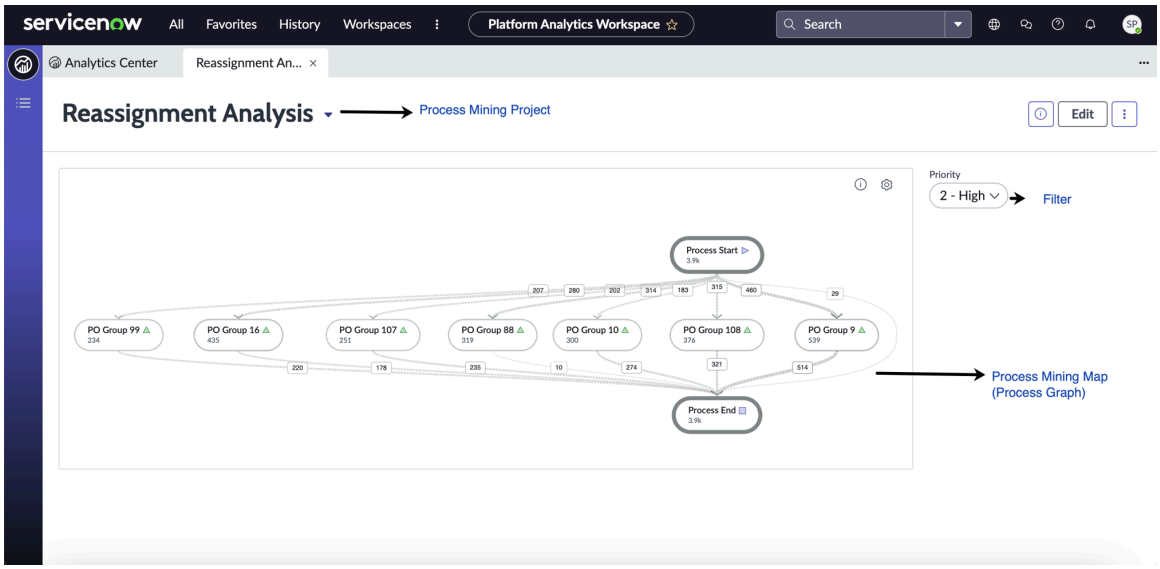


6. [保存 して 編集モードを終了] を選択します。
プラットフォームアナリティクス (PAR) ダッシュボードの詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細」を参照してください。

結果
プロセス最適化マップは PAR ダッシュボードで利用できます。

自動翻訳

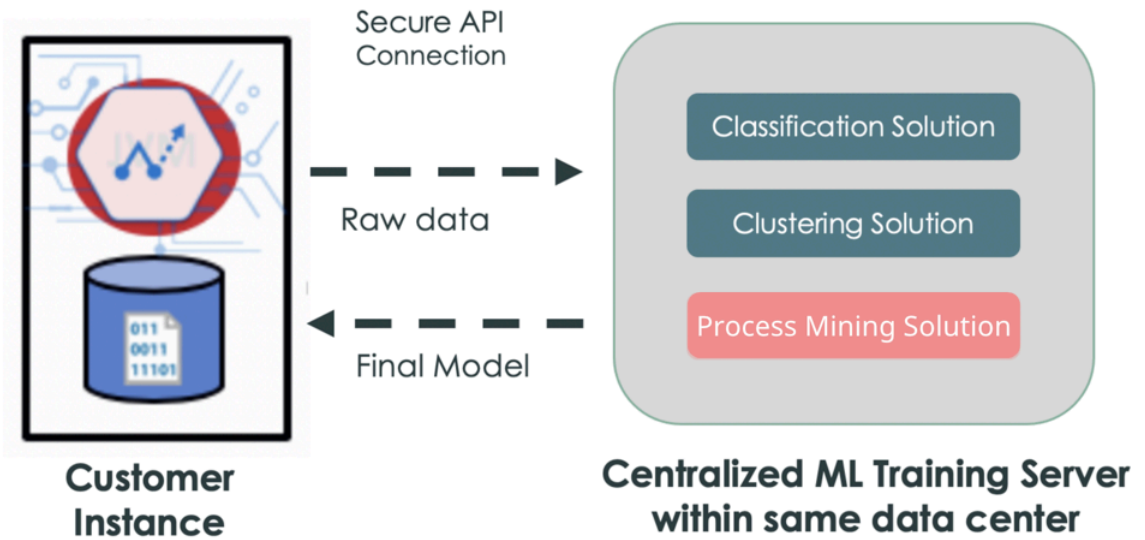
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセス最適化 アーキテクチャ

プロセス最適化アーキテクチャの基本属性を理解します。

- プロセス最適化マイニングエンジンは、プロジェクト設定に基づいて監査履歴からデータを抽出します。その後、データ ファイルは集中型トレーニング サーバー (ServiceNow® 予測インテリジェンス) を同じデータセンター内で使用します。一元化されたトレーニングサーバーにより、新しいメトリクスの高度なコンピューティングが可能になります。一元化されたサーバーは、インスタンスにパフォーマンスの負荷をかけることなく、拡張性のためにより多くのデータをサポートします。
- プロセス最適化プロジェクトの準備ができると、トレーニングサーバーは最終プロジェクトをインスタンスに送り返し、サーバーからすべてのプロジェクトデータを削除します。データは、保護され暗号化された API を使用して転送されます。
- プロジェクトの最新バージョンは、インスタンスの Analyst Workbench UI でビジュアル化されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

予測インテリジェンス

プロセス最適化 の使用

最適化するプロセスを選択し、プロセスデータを生成してから、可視化されたアクション可能なインサイトを取得します。

冗長性の排除、変更の予測、ワークフローの簡素化などの分野でビジネスプロセスの改善を目指すプロセス最適化 、これらの目標の達成を支援します。 プロセス最適化 、エンドツーエンドの可視性の向上、リスクの軽減、市場コンプライアンスの維持などに役立ちます。

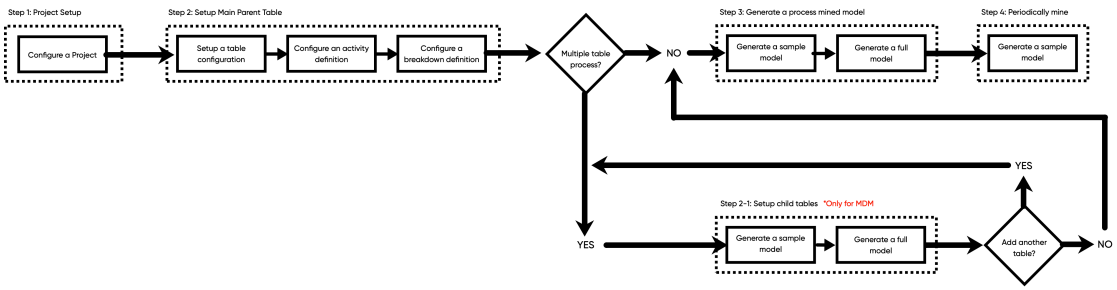
実装の計画

プロセス最適化工数を最大化するには、次の手順を計画します。

- 特定:最適化が必要な問題のあるプロセス領域を特定します。
- 可視化:プロセスに含める必要がある重要な要素を特定します。目標、開始と終了、アクティビティ、およびプロセスに含める必要があるユーザーを理解します。
- 分析:最適化が必要な領域を分析して、目的の目標を達成できない場所と理由を特定します。
- 最適化: プロセスに必須ではないステップを削除します。
- 監視:プロセスのパフォーマンスを継続的に監視し、領域が目的の目標を達成するまで改善します。

プロセス最適化 ワークフロー

次のフローチャートは、 プロセス最適化用にプロジェクトを設定するために使用する手順を示しています。これらの手順の一部はオプションであるか、多次元マイニング機能を利用するかどうかによって異なります。



プロセス構成を作成しています

プロセス構成には、 プロセス最適化 ワークスペースの機能をアクティブ化し、プロジェクトの作成を支援するプロセス設定が含まれます。完全なプロセス構成があれば、プロセスマイニングの知識がなくても、プロジェクトを独自に作成し、迅速にインサイトを得ることができます。これにより、組織全体でのプロセスマイニングのスケーラビリティが向上します。

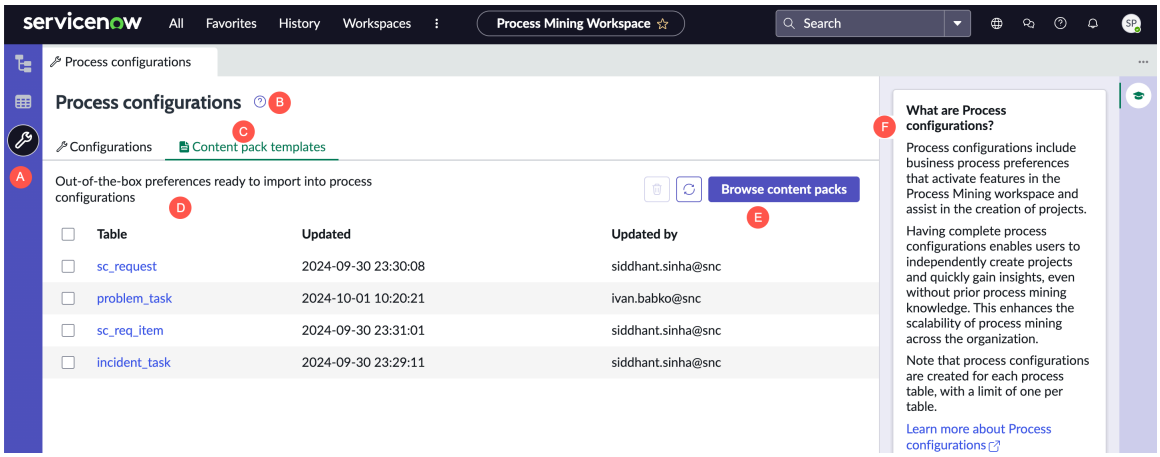
プロセス最適化のさまざまな場所からプロセス構成を作成できます。

コンテンツパックテンプレートを使用したプロセス構成の作成

コンテンツパックテンプレートを使用してプロセス構成を作成します。コンテンツパックを選択すると、デフォルト構成を使用してプロジェクトを作成するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このページには、次の情報が表示されます。

- A:Pプロセスの構成アイコン
- B:プロセスの構成のヘルプアイコン
- C:コンテンツパックアプリケーションからの読み取り専用プロセス構成テンプレート
- D:構成が作成されるテーブルのリスト
- E:新しい構成を作成できるボタン
- F:情報アイコンを選択した後に表示される情報(B)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

コンテンツパック プロセス最適化 インストール

コンテンツパックをインストールして、コンテンツパックに設定されたプロセス構成をプロセス構成にコピーします。

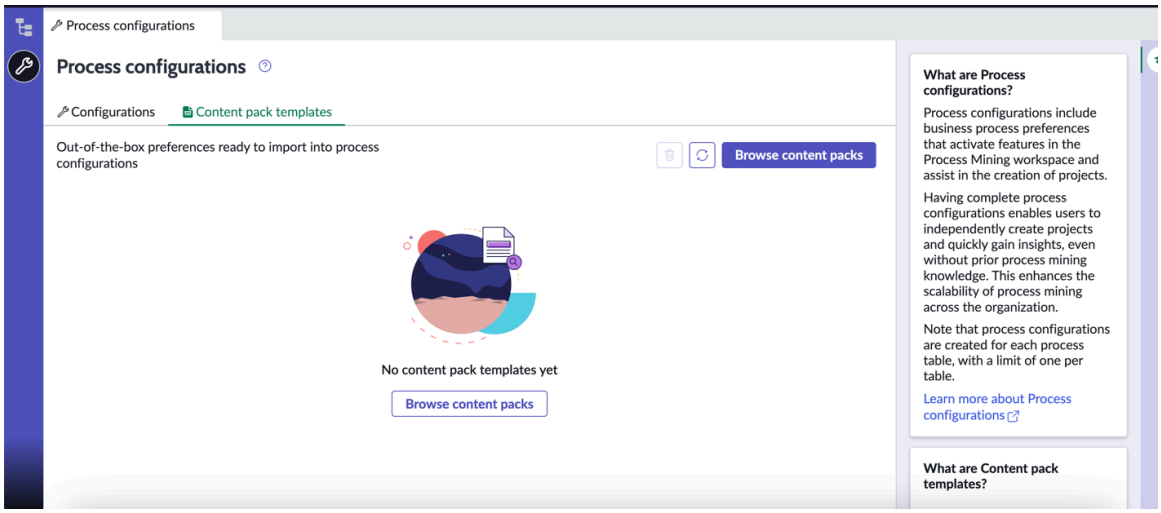
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

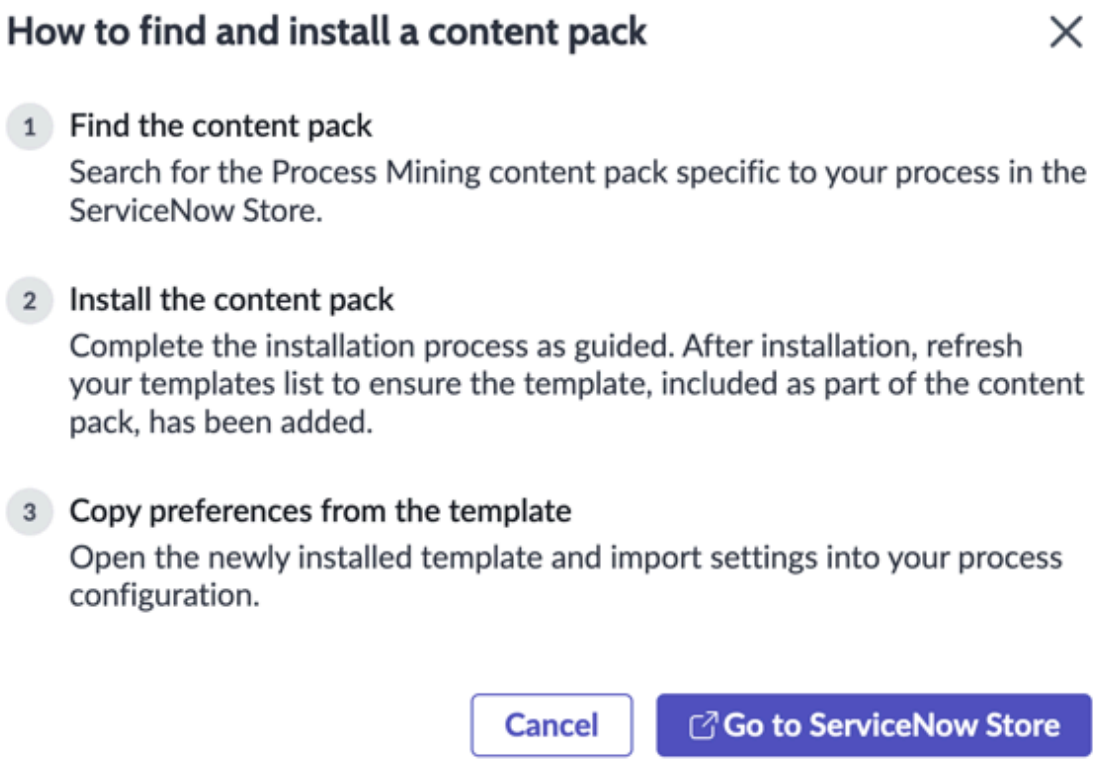
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側にある [プロセス構成] アイコン (プロセス) を選択します。
3. [コンテンツパックテンプレート] タブを選択します。
4. コンテンツパックテンプレートをインストールする場合は 、[コンテンツパックを参照] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [**ServiceNow Store** に移動] を選択します。



6. 必要なコンテンツパックを見つけてインストールし、テンプレートから設定をコピーします。
[コンテンツパックテンプレート] タブにテーブル名が表示されます。ここに表示されるテーブルは、コンテンツパックの基になっているテーブルです。

コンテンツパックを使用してプロセス構成を作成する

コンテンツパック用に既に作成されている構成を使用するには、コンテンツパックを使用してプロセスの構成を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

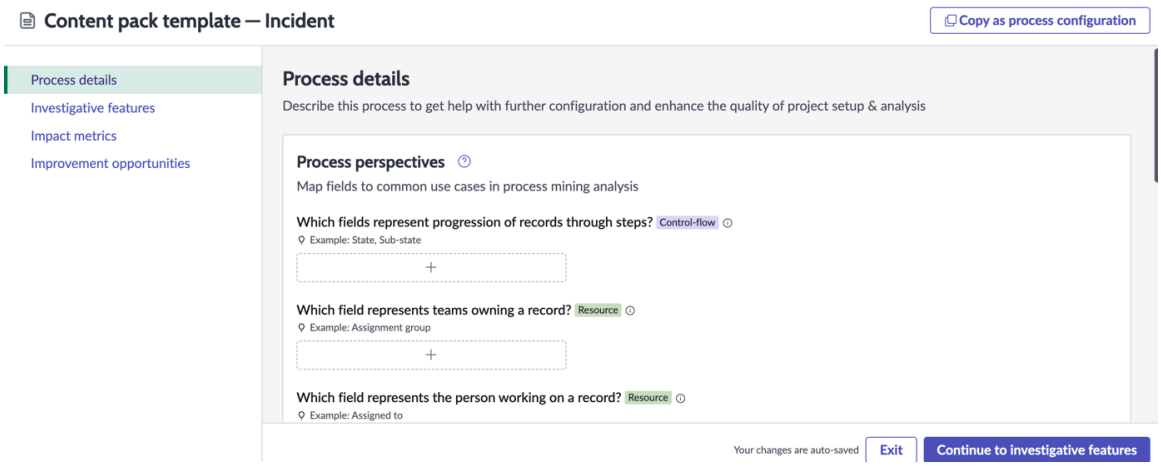
手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側にある [プロセス構成] アイコン (プロセス) を選択します。
3. [コンテンツパックテンプレート] タブを選択します。

   注: 構成を使用するコンテンツパックがインストールされていることを確認します。

4. リストからテーブルを開きます。

   注: インストールされているすべてのコンテンツパックのコンテンツパックが作成されるテーブルのリストが表示されます。



5. [プロセス構成としてコピー] ボタンを選択します。

   注: コンテンツパック構成は編集できません。それらをプロセス構成にコピーすることはできますが、コンテンツパック自体は編集できません。

6. 表示されるダイアログボックスで [作成] を選択します。
7. インポートボタン を選択します。
   コンテンツパックに構成がある場合は、インポートされます。インポートボタンを選択すると、その特定のフィールドの元の構成を最初に削除するように指示されます。これを作成して初めて、コンテンツパックテンプレートから構成をインポートできます。ただし、そのセクションに一部のフィールドが入力されている場合と入力されていないフィールドがある場合は、インポートする値が明確に示されます。

   注: コンテンツパックテンプレートは、そのテーブルの以前の構成を自動的に上書きしません。

8. プロセス構成ビルダーのコンテンツパックテンプレートを使用して、プロセステーブルを構成します。

   詳細については、「プロセス構成ビルダーを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。

プロセス構成ビルダーを使用してプロセス構成を作成

プロセス構成には、 プロセス最適化 ワークスペースの機能をアクティブ化し、プロジェクトの作成を支援するプロセス設定が含まれます。完全なプロセス構成があれば、プロセスマイニングの知識が

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

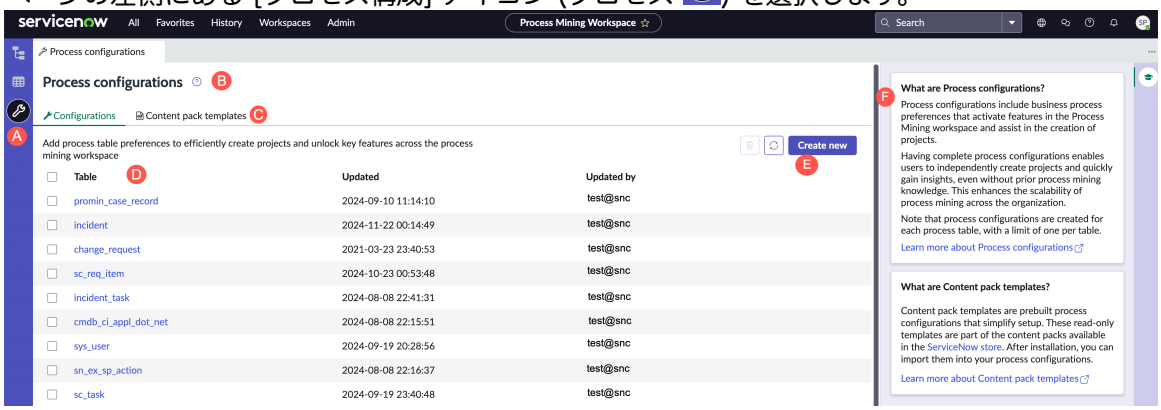
自動翻訳

なくても、プロジェクトを独自に作成し、迅速にインサイトを得ることができます。これにより、組織全体でのプロセスマイニングのスケーラビリティが向上します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側にある [プロセス構成] アイコン (プロセス) を選択します。

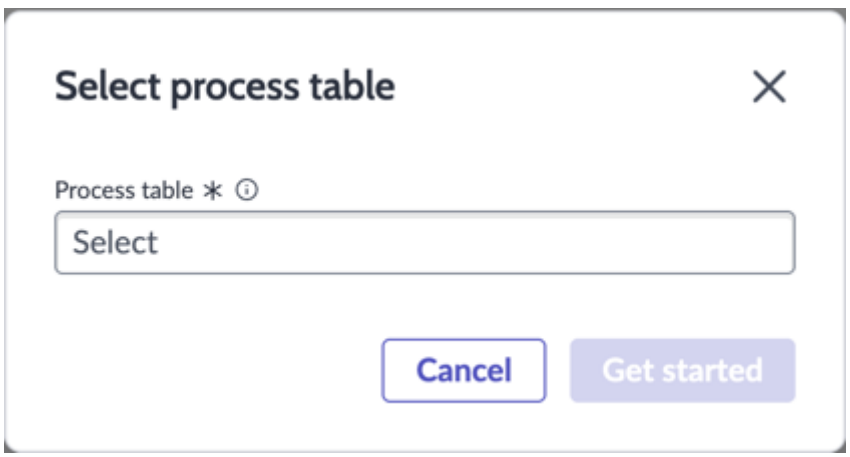


このページには、次の情報が表示されます。

- A:プロセスの構成アイコン
- B:プロセスの構成のヘルプアイコン
- C:コンテンツパックアプリケーションからの読み取り専用プロセス構成テンプレート
- D:構成が作成されるテーブルのリスト
- E:新しい構成を作成できるボタン
- F:情報アイコンを選択した後に表示される情報(B)

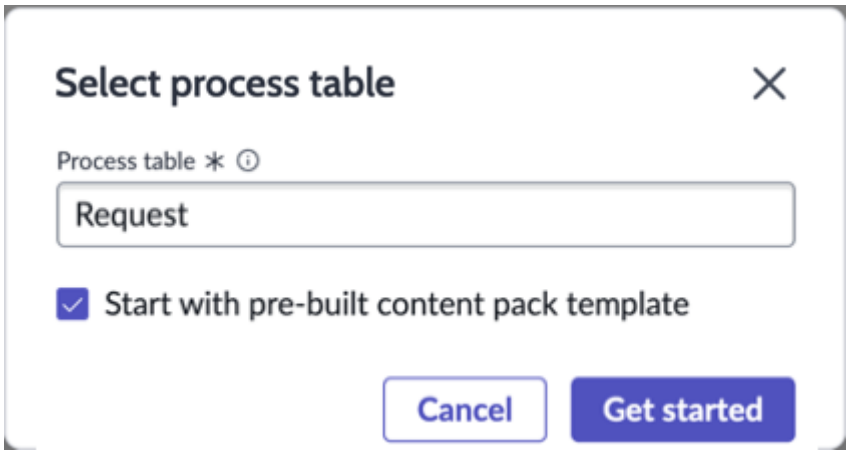
3. [新規作成] を選択します。

[新しいプロセスの構成] ダイアログボックスが表示されます。



プロセスにコンテンツパックアプリケーションがインストールされている場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. テーブルを選択します。
5. オプション: コンテンツパックテンプレートを使用する場合は、[構築済みコンテンツパックテンプレートから開始] オプションを選択します。

   注: このオプションは、プロセスにコンテンツパックアプリケーションがインストールされている場合にのみ使用できます。

   コンテンツパックを使用したプロセス構成の詳細については、「 コンテンツパックを使用してプロセス構成を作成する」を参照してください。
6. [開始する] を選択します。

   重要:

   テーブルごとに許可されるプロセス構成は 1 つだけです。テーブルのプロセス構成を作成する前に、そのテーブルのプロセス構成がまだ作成されていないことを確認してください。テーブルの構成が利用可能な場合は、その構成を使用します。構成を編集するには、[構成] リストからテーブルを開きます。

   [プロセスの詳細] ページが表示されます。

自動翻訳

プロセスの詳細を構成

詳細な構成を支援し、プロジェクトのセットアップと分析の品質を向上させるプロセスについて説明します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

[プロセスの詳細] ページで情報を入力すると、次の点で役立ちます。

- 分析するフィールドの推奨事項を提供することで、プロジェクトの作成をガイドします。ステータスおよびチームの定義に指定するフィールドは、プロジェクトの作成時にアクティビティ定義の推奨事項として提供されます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義を設定 」セクションの表を参照してください。
- アイドル時間などのさまざまな影響度メトリクスをロック解除します。ステークホルダーとのステータスのマッピングは、プロセスのアイドル時間を特定するのに役立ちます。
- プロセス構成の次のステップを構成するのに役立ちます。ここでの設定に基づいて、[自動化機会] ページに推奨事項が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

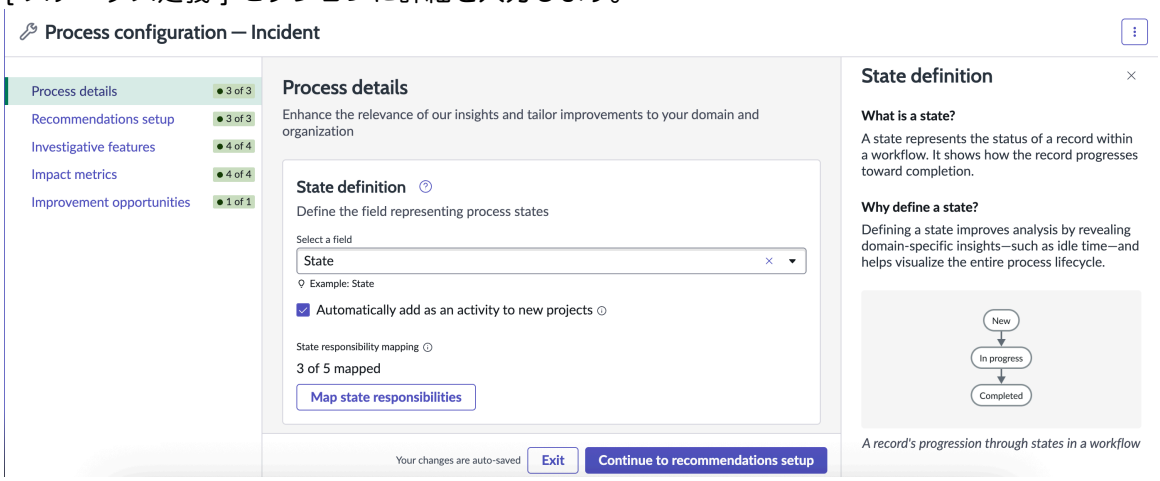
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. サイドパネルで、プロセス構成アイコン ( ) を選択します。
3. [構成] タブからテーブルを開きます。

   [プロセスの詳細] ページが表示されます。このページには次の 3 つのセクションがあります。

   - ステータスの定義
   - チームの定義
   - エージェントの定義

   注: ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

4. [ステータス定義] セクションに詳細を入力します。



状態は、ワークフロー内のレコードのステータスを表します。レコードが完了に向けてどの程度進んでいるかを示します。

a. フィールドを選択します。

ステータスを定義すると、アイドル時間などのドメイン固有のインサイトが明らかになり、分析が改善されます。また、プロジェクトの作成時にアクティビティ定義の推奨事項を提供することで役立ちます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義を設定 」セクションの表を参照してください。

このフィールドで [ステータス] を選択すると、レコードがあるステータスから別のステータスにどのように移行したかがプロセスグラフに表示されます。

b. 選択したフィールドをすべての新しいプロジェクトのアクティビティとして自動的に追加する場合は、[新しいプロジェクトにアクティビティとして自動的に追加] を選択します。
これにより、セットアップが簡素化されます。分析用のフィールドが必要ない場合は、削除できます。

c. [ステータスの責任をマッピング] を選択して、各ステータスを、レコードの次のプロセスステータスへの移行を担当するステークホルダーにマッピングします。
ステークホルダーとステータスをマッピングすることで、アイドル時間分析などの高度なプロセスマイニング機能を利用できます。

自動翻訳

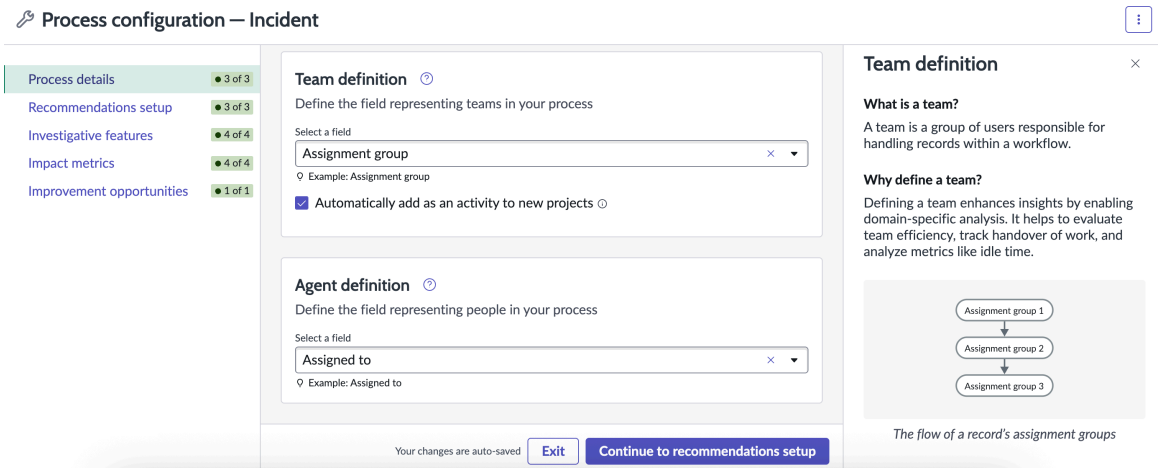
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 各プロセスステータスを適切なステークホルダーの責任にアサインします。
- 完全性を確保するために、アスタリスク (*) でマークされた必須フィールドを探します。
- ツールヒントには、役立つ詳細情報が表示されます。

d. [Save (保存)] を選択します。

5. [チーム定義] セクションに詳細を入力します。

注: promin.blocked.tables リストで選択されている [プロセスの詳細] ページのフィールドを選択した場合、アイドル時間メトリクスを設定できません。



チームは、ワークフロー内のタスクを担当する個人のグループを指します。

a. フィールドを選択します。

チームを定義すると、チームの効率を評価し、作業の引き継ぎを追跡し、アイドル時間などのメトリクスを分析するのに役立ちます。また、プロジェクトの作成時にアクティビティ定義の推奨事項を提供することで役立ちます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義を設定 」セクションの表を参照してください。

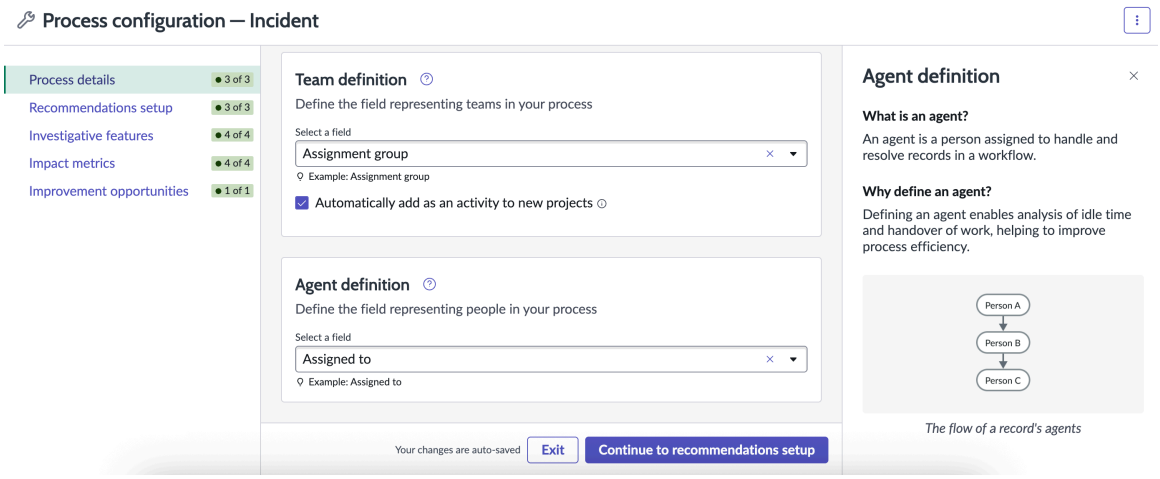
このフィールドで [アサイン先グループ] を選択すると、レコードがあるグループから別のグループにレコードがどのように移動したかがプロセスグラフに表示されます。

b. 選択したフィールドをすべての新しいプロジェクトのアクティビティとして自動的に追加する場合は、[新しいプロジェクトにアクティビティとして自動的に追加] を選択します。
これにより、セットアップが簡素化されます。分析でフィールドが不要な場合は削除できます。

6. [エージェントの定義] セクションに詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エージェントとは、ワークフロー内のタスクを担当する個人のことです。

a. フィールドを選択します。

エージェントを定義すると、アイドル時間と作業の引き継ぎを分析し、プロセスの効率を向上させることができます。また、プロジェクトの作成時にアクティビティ定義の推奨事項を提供することで役立ちます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義を設定 」セクションの表を参照してください。

このフィールドで [アサイン先] を選択すると、プロセスグラフにレコードがあるアサイニーから別のアサイニーにどのように移動したかが表示されます。

7. [推奨事項のセットアップに進む] を選択します。

推奨事項のセットアップを構成

推奨事項を設定して、プロジェクトの作成を簡素化し、分析の支援を得ることができます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. ページの横にある [プロセスの構成] アイコン (プロセス) を選択します。

3. [構成] タブからテーブルを開きます。
[プロセスの詳細] ページが表示されます。左側のバーから [推奨事項のセットアップ] を選択します。

[プロセスの詳細] ページから続行する場合は、このページが表示されます。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

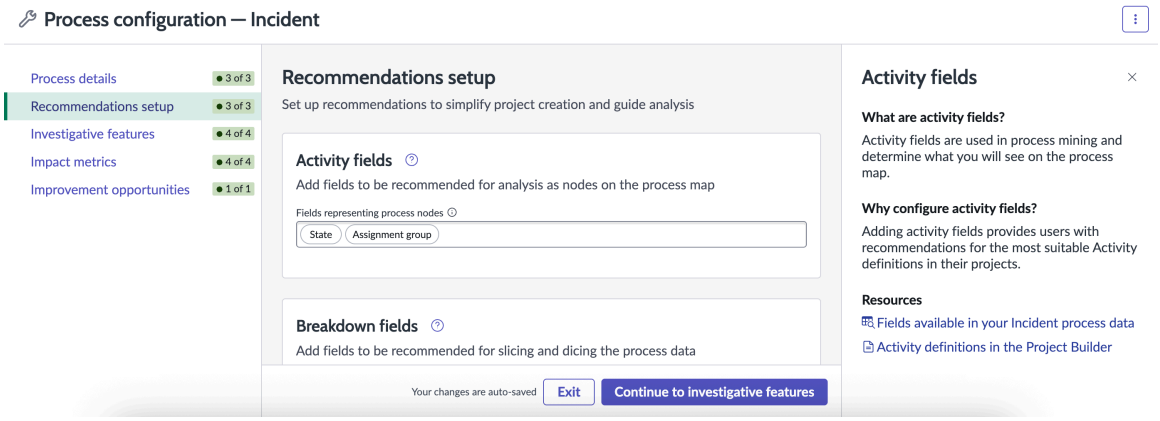
推奨事項のセットアップページには、次の 3 つのセクションがあります。

- アクティビティフィールド
- ブレークダウンフィールド
- 子テーブル

4. [アクティビティ] フィールド セクションに詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



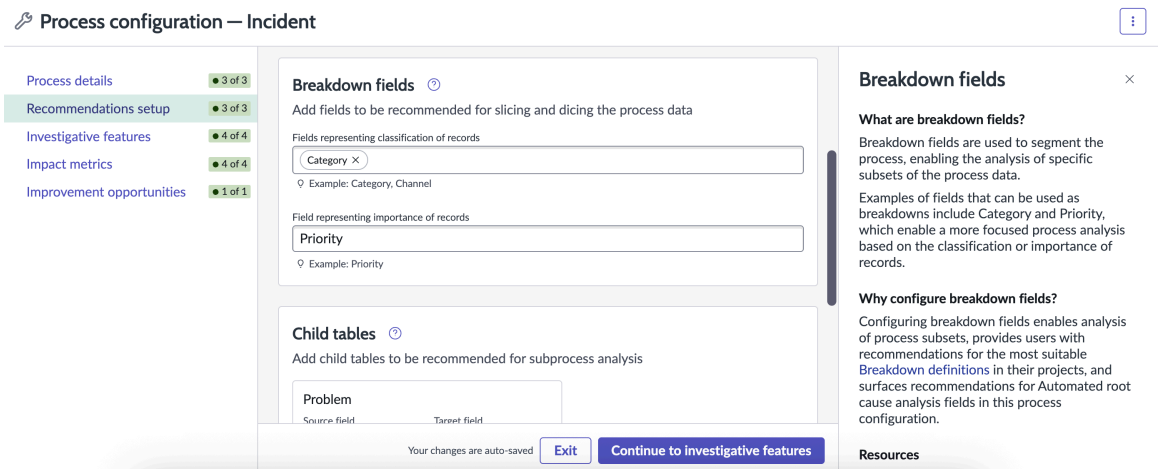
アクティビティフィールドは、プロジェクト内の最も重要なフィールドです。プロセスマップに表示されるデータの種類が決まります。

[プロセスノードを表すフィールド] フィールドに列を指定します。

[プロセスの詳細] タブの [ステータス定義] フィールドと [チーム定義] フィールドで選択した列は、[アクティビティフィールド] エリアに自動的に入力されます。プロセスにとって重要と思われる他の列を追加できます。

ここに示すフィールドは、このテーブルでプロジェクトを作成するときに、アクティビティ定義の推奨事項として使用できます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義を設定 」セクションの表を参照してください。

5. [ブレークダウンフィールド] セクションに詳細を入力します。



ブレークダウンフィールドを使用してプロセスをセグメント化し、プロセスデータの特定のサブセットを分析できるようにします。ブレークダウンフィールドを設定すると、プロセスサブセットの分析が可能になります。プロジェクトに最適なブレークダウンの推奨事項を提供し、このプロセス構成の自動根本原因分析フィールドの推奨事項を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

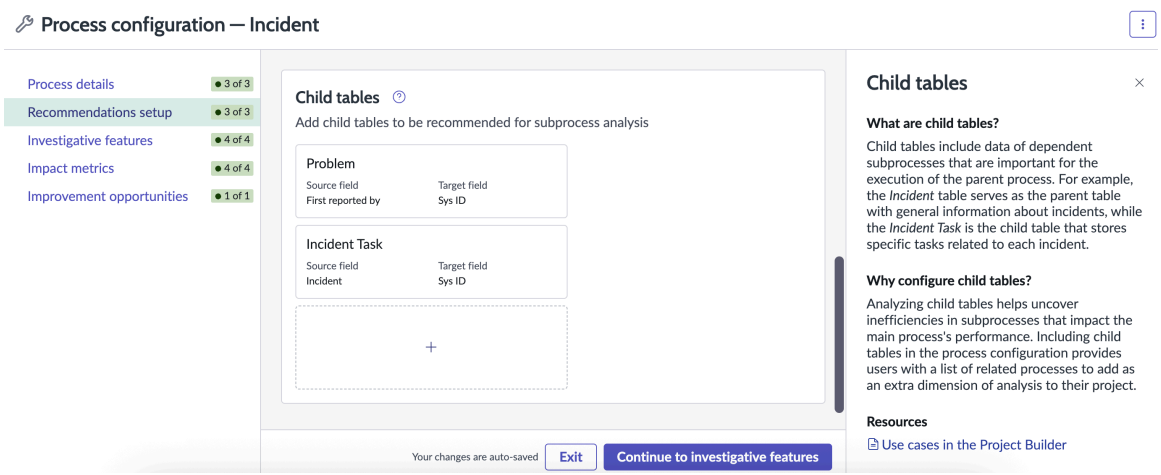
- 列の最大長が 250 文字のフィールドのみが許可されます。
- 親テーブル構成の場合、すべての文字列ブレークダウン (簡単な説明など) を組み合わせると、合計 6400 個の値が許可されます。
- 子テーブル構成の場合、制限を超えるブレークダウンは除外され、それらのブレークダウンの統計は生成されません。文字列ブレークダウンの場合、フィールドごとに 640 を超える一意の値がある場合、フィールドは除外されます。
- 子テーブル構成の場合、非文字列ブレークダウンの場合、フィールドごとに最大 5,000 個の一意の値が許可されます。
- すべての子エンティティ (文字列および非文字列) の一意のブレークダウン値の合計数が 10 万を超える場合、子テーブルのすべてのブレークダウンは、制限を超えているかどうかに関係なく除外されます。

プロジェクトでブレークダウン定義を設定するときにこれらの推奨事項がどのように提供されるかについては、「 ブレークダウン定義を設定」を参照してください。

ブレークダウンフィールド

フィールド	説明	例
レコードの分類を表すフィールド	レコードの分類方法を説明するフィールドを選択します。 ドット連結の制限は 3 レベルです。例:CI.ビジネスサービス.アサイン先グループ。 ここで選択したフィールドは、プロセスの構成中に自動根本原因分析の推奨事項として使用されます。	カテゴリ、チャネル
レコードの重要度を表すフィールド	レコードの重要性を説明するフィールドを選択します。	優先度

6. [子テーブル] セクションに詳細を入力します。



子テーブルには、親プロセスの実行にとって重要な依存サブプロセスのデータが含まれています。子テーブルを分析することで、メインプロセスのパフォーマンスに影響を与えるサブプロセスの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

非効率性を明らかにすることができます。プロセス構成に子テーブルを含めると、分析のディメンションとしてプロジェクトに追加する関連プロセスのリストが提供されます。

たとえば、インシデントテーブルは、インシデントに関する一般的な情報を含む親テーブルとして機能します。インシデントタスクは、各インシデントに関連する特定のタスクを格納する子テーブルです。

プロジェクトの作成時にこれらの設定を子テーブルで使用する方法の詳細については、「ユースケースを設定」を参照してください。

a. フィールドの **[+**] 記号を選択します。
[子テーブルを追加] ダイアログボックスが表示されます。

b. テーブルを選択します。

c. 関係を識別する ソースフィールド 値を選択します。

d. デフォルトでは、[ターゲット] フィールド が入力されています。

7. [調査機能を続行] を選択します。

調査機能の構成

調査機能を構成して、プロセスの高度なアナリティクス機能を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. ページの横にある [プロセスの構成] アイコン (プロセス) を選択します。

3. [構成] タブからテーブルを開きます。
[プロセスの詳細] ページが表示されます。サイドパネルから [調査機能] を選択します。

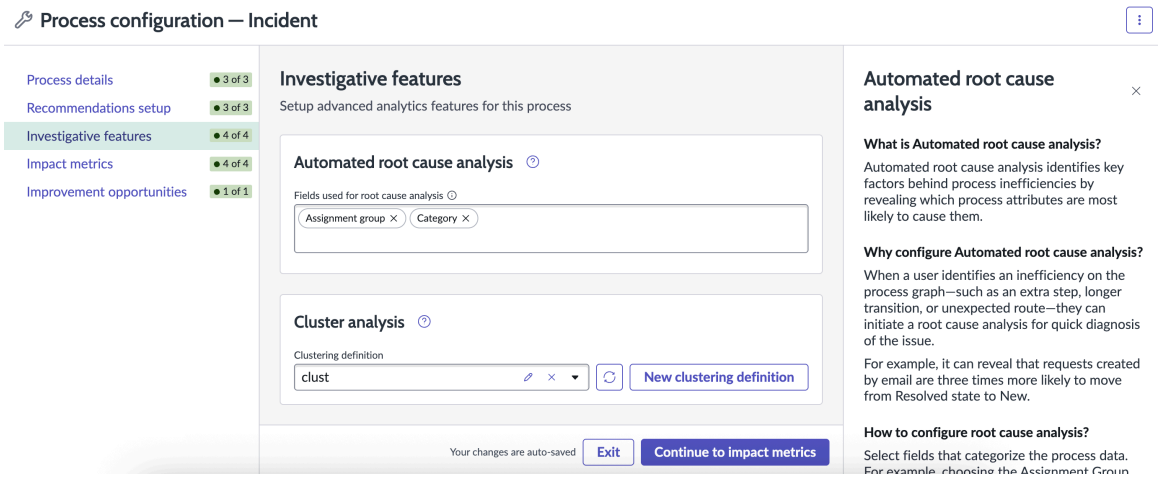
推奨事項のセットアップページから続行する場合は、このページが表示されます。詳細については、「推奨事項のセットアップを構成」を参照してください。

調査 機能ページ には、次の 4 つのセクションがあります。

- 自動化された根本原因分析
- クラスター分析
- 作業メモの分析
- オートメーションディスカバリー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [自動化された根本原因分析] フィールドに、自動化された根本原因分析を行うフィールドを追加します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

[プロセスの詳細] ページでの入力に基づいて、自動化された根本原因分析の推奨事項が表示されます。

自動化された根本原因分析を設定すると、このテーブルに基づいてプロジェクトで根本原因分析を開始できます。ルートケース分析の実行の詳細については、「 自動根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

注: 自動根本原因分析がプロセス構成に設定されていない場合、使用できません。

5. [クラスター分析] フィールドで既存のクラスタリング定義を選択します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

クラスター分析の実行の詳細については、「 クラスター分析の実行」を参照してください。

クラスタリング分析がない場合は、[新しいクラスタリング定義] を選択します。

クラスタリング分析の名前を指定し、クラスター分析に使用するフィールドを入力して、[構成] を選択します。

注: プロセス構成でクラスタリング定義が選択されていない限り、クラスター分析は利用できません。

詳細については、「クラスタリングソリューションのプロセスの構成」を参照してください。

6. オプション: クラスタリング分析が利用できない場合は、[新しいクラスタリング定義] を選択します。
[新しいクラスタリング定義] ダイアログが表示されます。

a. クラスタリング分析の名前を入力します。

b. クラスター分析に使用するフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードは、選択したフィールドのテキストの類似性に基づいてグループ化されることに注意してください。

c. [**Configure**] を選択します。

7. [作業メモ分析] セクションに詳細を入力します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

作業メモ分析の実行の詳細については、「 作業メモ分析の実行」を参照してください。

注: プロセス構成に設定されていない限り、作業メモ分析は利用できません。

対象となる作業メモが 5 ～ 50 件あっても、作業メモ分析に Now Assist 機能を使用できます。対象となる作業メモが 25 件未満の場合、クラスタリングは実行されません。すべての作業メモを 1 回の LLM コールにまとめます。それ以外の場合は、LLM を呼び出す前にクラスタリングが実行されます。

作業メモの分析

フィールド	説明	例
作業メモを含むフィールド	作業メモを含むフィールドを選択します。	作業メモ
これらのユーザーからのメモを除外する	メモを必要としないユーザーを選択します。	システムユーザーとボット
作業メモの時間範囲	作業メモが発生するとプロセスステップに関連付けられる期間を選択します。 デフォルト値は 120 です。	100
作業メモの最小長	分析で作業メモが無視される長さを選択します デフォルト値は 5 語です。	10
作業メモの最大長	分析で作業メモが無視される長さを選択します。 デフォルト値は 100 語です。	50

8. [オートメーションディスカバリー] セクションに詳細を入力します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

注: このセクションは、オートメーションディスカバリーが利用可能な場合にのみ使用できます。

オートメーションディスカバリー は、プロセス内の自動化機会を特定するのに役立ちます。オートメーションディスカバリーレポートを使用して、仮想エージェント (VA) やエージェントアシストなどの自動化ソリューションを実装または改善できます。これらのレポートは、プロセス最適化ワークスペースの [自動化機会] タブで利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オートメーションディスカバリーの構成の詳細については、「オートメーションディスカバリー の構成」を参照してください。

オートメーションディスカバリー

フィールド	説明
オートメーションディスカバリーを有効にする	オートメーションディスカバリー機能を使用する場合は、フィールドを選択します。
自動化機会を表示するために使用されるフィールド	自動化機会のフィールドを選択します。
分類	レコードをクラスターにグループ化するのではなく、事前に構築された自動化機会を使用してレコードを分類する分類を選択します。
マイニングによる自動実行	プロジェクトをマイニングするたびにオートメーションディスカバリージョブを自動的に実行する場合は、このフィールドを選択します。

9. [続行してメトリクスに影響を与える] を選択します。

影響度メトリクスの設定

このプロセスの重要業績評価指標 (KPI) を構成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. ページの横にある [プロセスの構成] アイコン (プロセス) を選択します。

3. [構成] タブからテーブルを開きます。
[プロセスの詳細] ページが表示されます。サイドパネルから [影響度メトリクス] を選択します。

調査 機能 ページから進む場合は、このページが表示されます。詳細については、「調査機能の構成」を参照してください。

[影響度メトリクス] ページには、次の 4 つのセクションがあります。

- アイドル時間分析:アイドル時間分析は、ケースがチームにアサインされているが、特定のリソースにまだアサインされていない期間に焦点を当てています。これは、ケースが非アクティブのままで、誰かがアクションを実行するのを待っている時間です。

  アイドル時間を分析することで、タスクアサインの遅延やワークフローのボトルネックなどの非効率性を特定できるため、チームはプロセス内の調整を改善し、待ち時間を短縮できます。

  > **注:** プロセス構成で構成しないとアイドル時間分析は利用できません。アイドル時間分析は、[プロセスの詳細] ページの [チーム定義] セクションで設定されたフィールドで使用できます。

- タッチポイント分析:タッチポイント分析では、プロセス内の特定のインタラクションを調査して、インタラクションの多い領域を特定します。特に、非効率、冗長、または過度なアクティビ

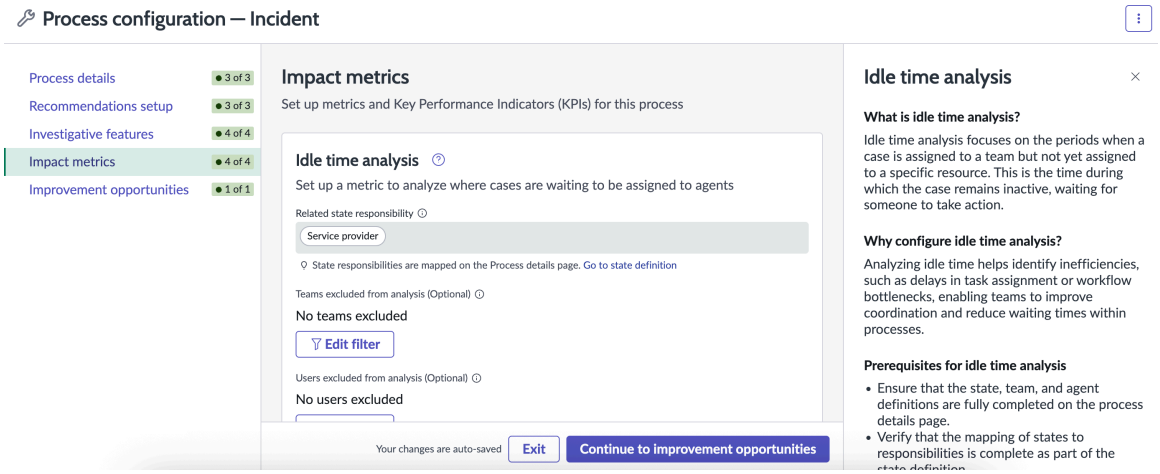
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ティに注目します。これらの領域を特定することで、自動化やその他の改善を通じてプロセスの最適化が可能になり、パフォーマンスが向上し、運用コストが削減されます。

注: プロセス構成で構成しないとタッチポイント分析は利用できません。

- **KPI** ダッシュボード:KPI ダッシュボードには、データの可視化、フィルター、およびプロセスの重要業績評価指標 (KPI) を追跡するためのその他のコンポーネントが含まれています。プラットフォームアナリティクスダッシュボードを活用して、プロセスマイニングプロジェクト内でインサイトを直接提供します。
- **KPI** カテゴリ:KPI カテゴリは、共通のプロセス目標に基づいて KPI をグループに編成する事前定義されたカテゴリです。



4. [アイドル時間分析] セクションに詳細を入力します。
詳細を入力する前に、次のことを確認してください。

- [プロセスの詳細] ページで、ステータス、チーム、およびエージェントの定義が完全に入力されます。
- ステークホルダーに対するステータスのマッピングは、ステータス定義の一部として完了します。

a. [関連するステータスの責任] フィールドでは、提供されるサービスがデフォルトで選択されています。

b. [選択から除外されたチーム] フィールドで、アイドル時間の計算から除外するチームをフィルタリングします。
[フィルターを編集] を選択し、フィルターを設定します。

c. ケースがこのユーザーにアサインされている場合、[分析から除外されたユーザー] フィールドのアイドル時間の計算から除外される任意のユーザーを選択します。
[フィルターを編集] を選択し、フィルターを設定します。

5. [タッチポイント分析] セクションに詳細を入力します。

a. [頻繁に更新されるフィールド] フィールドでフィールドを選択します。
選択したフィールド内の一意の更新はタッチポイントと見なされます。

推奨事項は、[プロセスの詳細] ページの [エージェントの定義] セクションの入力と [調査機能] ページの [作業メモ分析] 設定に基づいて提供されます。

注: 最大 5 つのフィールドを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ここで選択したフィールドがプロジェクトに自動的に追加されるようにする場合は、[新しいプロジェクトにデフォルトでタッチポイントメトリクスを含める] を選択します。

c. [これらのユーザーによる更新を除外] フィールドで、更新を除外するユーザーを選択します。分析を改善するために、システムユーザーを除外することをお勧めします。

d. [更新をグループ化する時間間隔 (秒)] フィールドの値を指定します。
同じレコードの複数の更新は、定義された時間間隔内で発生する場合、単一のタッチポイントにグループ化されます。グループ化をオフにするには、0 に設定します。

6. プラットフォームアナリティクス重要業績評価指標 (KPI) ダッシュボードを選択します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

KPI ダッシュボードを作成する場合は、[新しいダッシュボード] を選択します。詳細については、「インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。

7. 各 KPI カテゴリの値を指定します。

ヘルプアイコン (?) を選択すると、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細が表示されます。また、リソースのリストも表示されます。

> **注:** KPI カテゴリは動的であり、カテゴリの順序とヒント情報を含む sys_choice テーブルから取得されます。

8. [改善の機会に進む] を選択します。

改善の機会の構成

非効率性のライブラリを作成して、プロジェクトの改善の機会を特定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. ページの横にある [プロセスの構成] アイコン (プロセス) を選択します。

3. [構成] リストからテーブルを開きます。
[プロセスの詳細] ページが表示されます。サイドパネルから 改善の機会 を選択します。

[影響度メトリクス] ページから進む場合は、このページが表示されます。詳細については、「影響度メトリクスの設定」を参照してください。

[改善の機会] ページには、以下が表示されます。

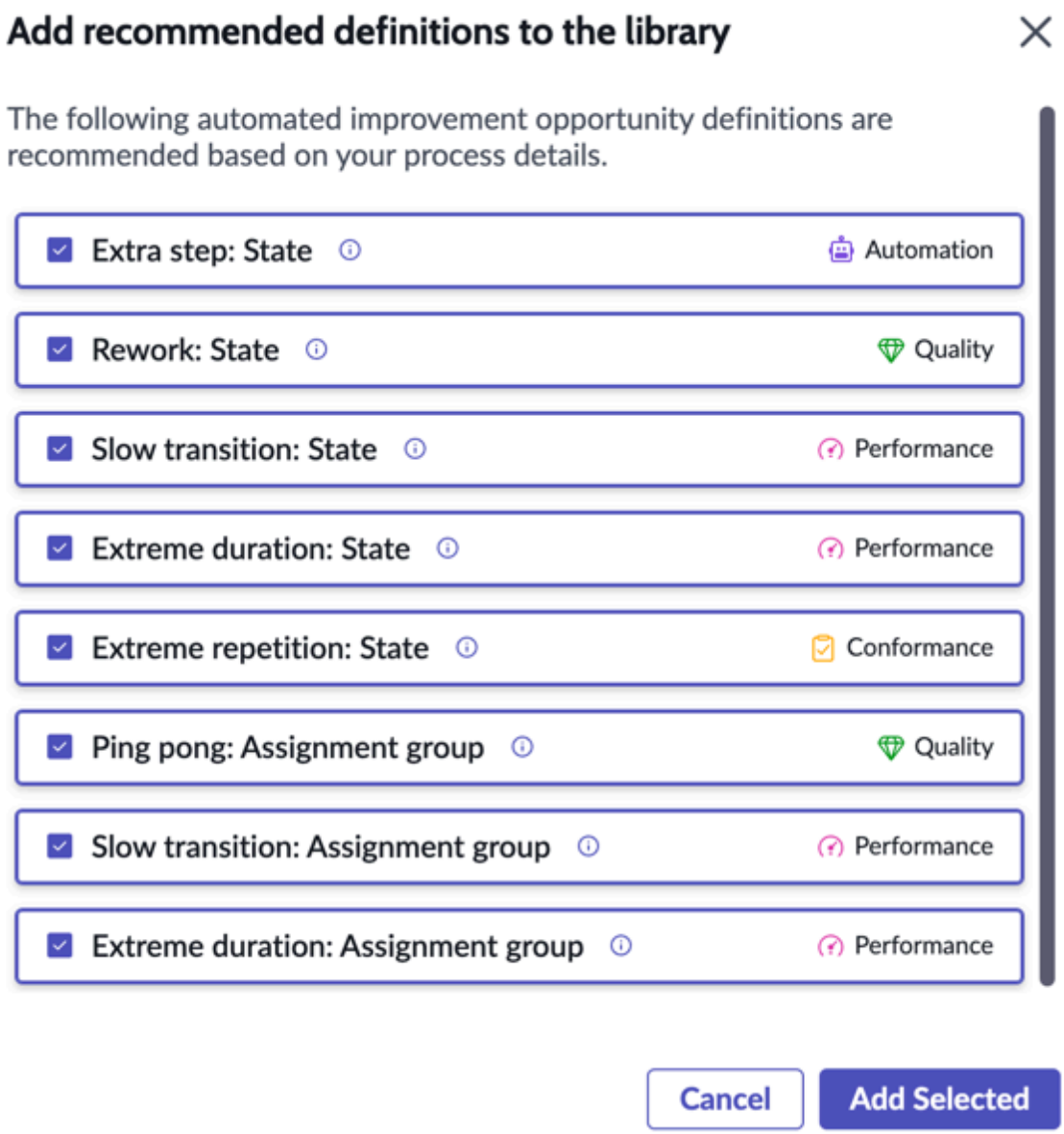
- 自動化された改善の機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。
- ルールベースの改善機会:これらの改善機会は、順番に実行される 1 つ以上のルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するレコードとして分類されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の定義では、一連のパターンに基づいて、プロセス最適化の潜在的な領域が強調表示されます。

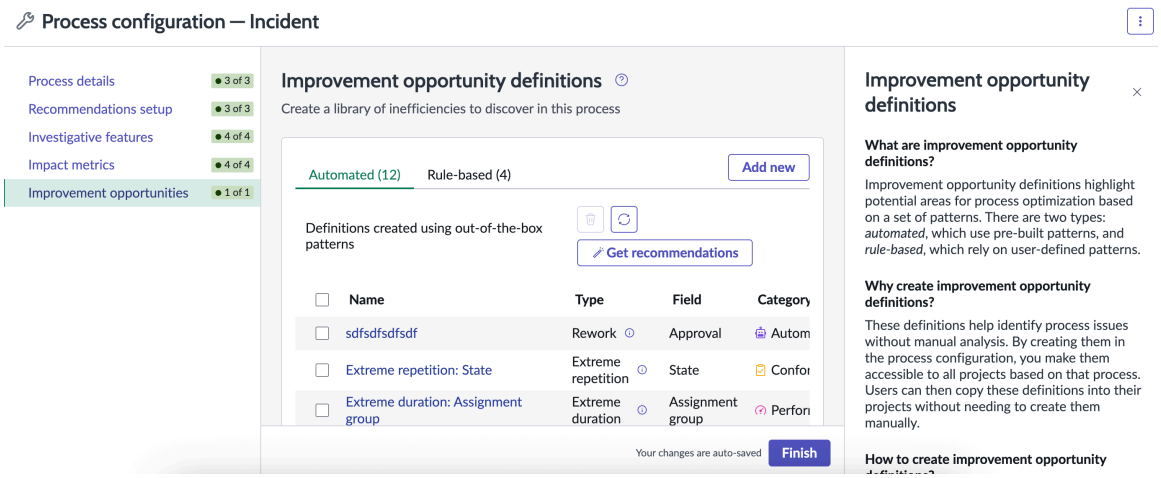
4. 推奨される自動改善の機会のリストから選択します。
推奨事項は、[プロセスの詳細] ページの入力に基づいて表示されます。プロセスパースペクティブの設定方法を理解するには、「 プロセスの詳細を構成」を参照してください。



5. プロセス構成に含める改善の機会を選択し、[選択項目を追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. オプション: [新規追加] を選択して改善を作成します。
   改善の機会の定義ページが表示されます。詳細については、「ルールベースの改善の機会の設定」と「自動化された改善の機会」を参照してください。

   [推奨事項を取得] ボタンを選択して、[プロセスの詳細] ページの [プロセスの表示セット] セクションで設定した構成に基づいて、自動化された改善の機会に関する推奨事項を取得します。

7. [完了] を選択します。
   プロセスの構成が完了しました。

クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成

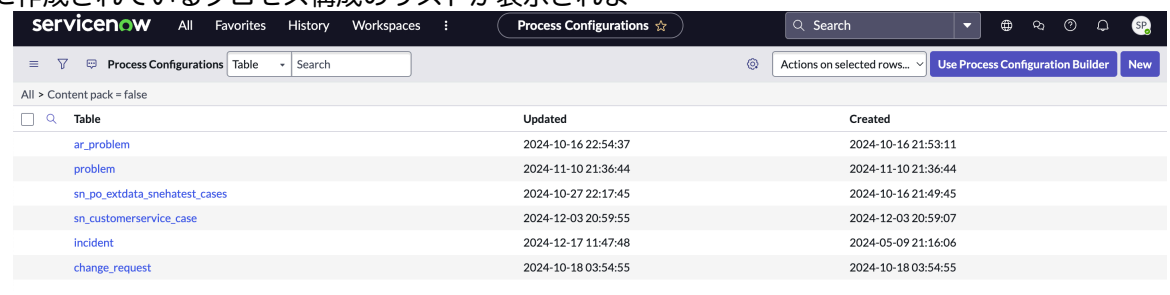
テーブルを使用してプロジェクトを作成するたびに同じデフォルト構成を使用するように、テーブルのプロセス構成を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成 > すべての構成.
   既に作成されているプロセス構成のリストが表示されま



   す。

2. [新規] を選択して、テーブルのプロセス構成を作成します。

   注: テーブルごとに設定できるプロセス構成は 1 つだけです。

   プロセス構成ビルダーを使用して追加機能を活用し、構成に関するガイダンスを取得してみてください。プロセス構成ビルダーを使用してプロセス構成を作成するには、[プロセス構成ビルダーを使用] を選択します。詳細については、「プロセス構成ビルダーを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。

3. フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスの構成フォーム

フィールド	説明
テーブル	構成を作成するテーブルを選択します。
KPI ダッシュボード	KPI ダッシュボードを選択します。
自動化された根本原因分析	自動根本原因分析を設定する場合に選択します。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
オートメーションディスカバリー	オートメーションディスカバリーを設定する場合に選択します。詳細については、「オートメーションディスカバリー の構成」を参照してください。
クラスター分析	クラスター分析を設定する場合に選択します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。
検索定義	ルールベースの改善の機会をクラシックビューまたは検索ビルダーから設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルに改善の機会を設定する」を参照してください。
自動検索定義	クラシックビューまたは検索ビルダーのいずれかから、自動化された改善の機会を設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルに改善の機会を設定する」を参照してください。

4. [更新] を選択します。

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

プロジェクトビルダーを使用してプロジェクトを作成およびマイニングし、ビジネスプロセスを分析および最適化します。同じプロジェクト条件を複数回使用する場合は、テンプレートを作成して再利用します。プロジェクトビルダーでは、プロセス全体が 3 つのセクションと概要に分割され、タスクをより簡単かつ効率的にします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトをマイニングするには、プロジェクトの親テーブルの 監査ログ が有効になっていることを確認します。

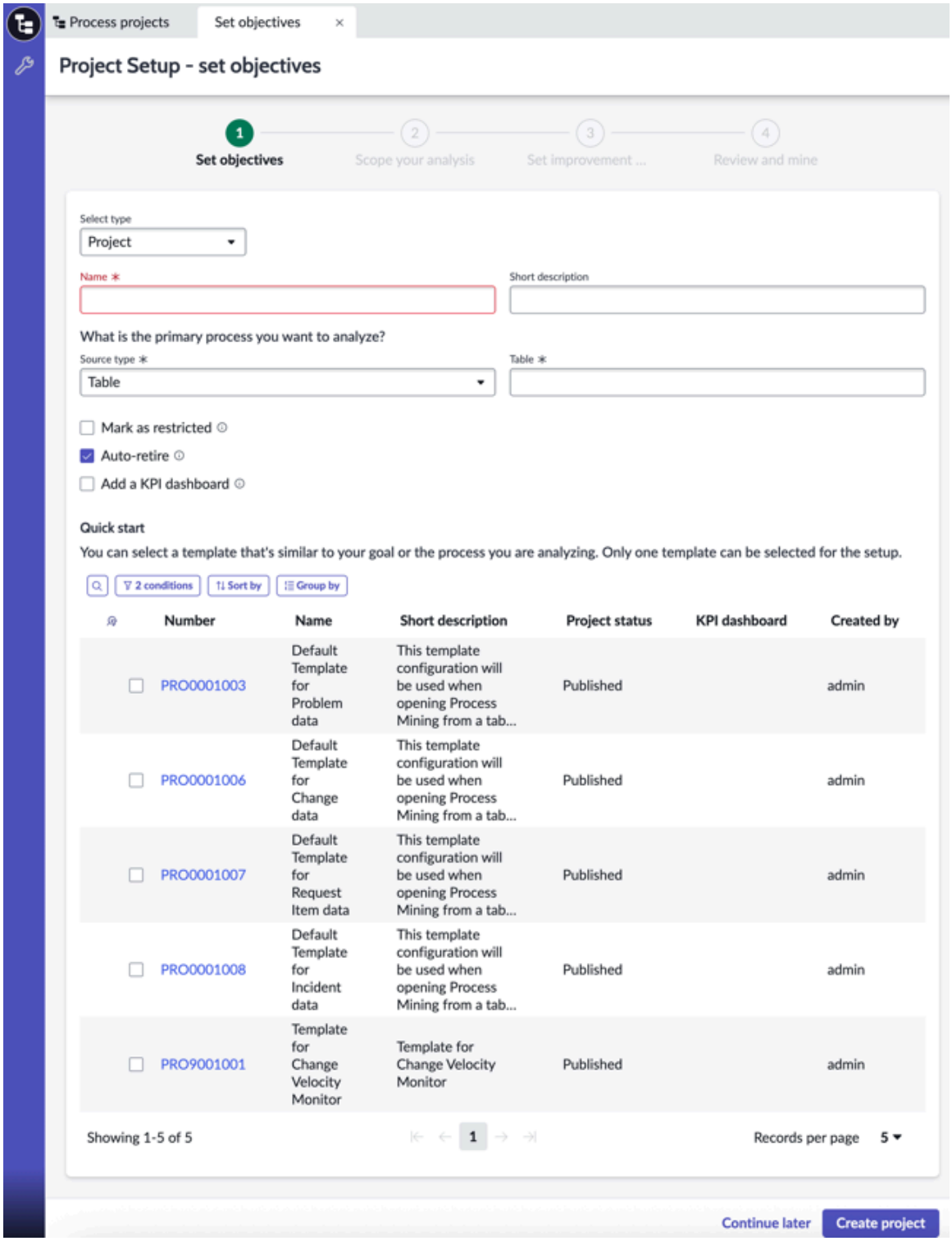
手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 右上隅の [新規プロジェクトの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プロジェクトのセットアップ] ページが表示されます。



プロセス最適化プロジェクトの目標を設定する

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [新規プロジェクトの作成] を選択すると、[目標の設定] タブに移動します。
2. 次の詳細を入力します。

フィールド	説明
タイプの選択	プロジェクトを作成するか、テンプレートを作成するかを選択します。
テンプレートタイプ	このフィールドは、[タイプ] を [テンプレート] として選択した場合にのみ使用できます。 次の 4 つの値を使用できます。 ○ デフォルト ○ WFO ○ ベンダー管理 ○ デジタルポートフォリオ管理 WFO、ベンダー管理、またはデジタルポートフォリオ管理の一部ではないテンプレートの場合は、[デフォルト] を選択します。たとえば、パフォーマンスアナリティクス テンプレートを作成するには、[デフォルト] を選択します。
名前	作成するプロジェクトまたはテンプレートのわかりやすい名前。
簡単な説明	作成するプロジェクトまたはテンプレートの簡単な説明。
ソースタイプ	作成しているプロジェクトまたはテンプレートのソース。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートがあるテーブルを選択します ○ 外部データ:インポートされたデータセットを含むテーブルを選択します。 ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブルを選択します。
テーブル	プロジェクトのベースにするテーブルを選択します。このリストは、選択したソースのタイプによって異なります。
制限付きとしてマーク	プロジェクトへのアクセスを所有者と所有者が明示的に共有するユーザーに制限する場合は、このチェックボックスをオンにします。アドミニストレーターとパワーユーザーは、プロジェクトが共有されない限り、マイニングされたデータにアクセスできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プロジェクトが制限付きとしてマークされると、所有者のみがこのフィールドをクリアできます。 機密データを扱い、アクセスを制限する必要がある場合は、このオプションを使用できます。
自動廃止	このフィールドは、[タイプ] を [プロジェクト] として選択した場合にのみ使用できます。 指定した日数 (デフォルト:90 日) の非アクティブに基づいてプロジェクトを自動的に廃止する場合は、[自動廃止] チェックボックスをオンにします。 廃止を延長するには、さらに 90 日後にバージョンがクリーンアップされる前に、公開済みまたはドラフトステータスに戻します (デフォルト)。 指定された日数以内に廃止ステータスを変更しない場合、マイニングされたバージョンは完全に削除されます。ただし、プロジェクト定義は削除されません。このチェックボックスをオフにすると、自動廃止をオプトアウトできます。 デフォルト値の 90 日は、アドミニストレーターがシステムのプロパティで変更できます。詳細については、「データクリーンアッププロパティ」を参照してください。
KPI ダッシュボードを追加	KPI ダッシュボードを追加する場合は、このチェックボックスをオンにします。次に、ダッシュボードを選択する必要があります。ダッシュボードを作成する場合は、[新しいダッシュボード] ボタンを選択します。自動的に パフォーマンスアナリティクス ワークスペースに移動します。

3. [プロジェクトの作成] を選択します。
   [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] タブが表示されます。
4. オプション: テンプレートを選択してプロジェクトを作成することもできます。

   (Optional) 必要に応じて、テンプレートをフィルタリング、ソート、またはグループ化できます。

   既存のテンプレートを選択した場合は、テンプレートを選択すると、[レビューとマイニング] ページに移動します。

分析をスコーピング

グラフに表示するデータを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データを表示するテーブルを選択しました。データの 1 つの側面に焦点を当てたいと思うかもしれません。グラフに表示するデータのみを表示するフィルターは、プロジェクトのスコープを設定します。

詳細については、次のセクションを参照してください。

フィルター条件を設定

フィルター条件を設定して分析の範囲を限定します。

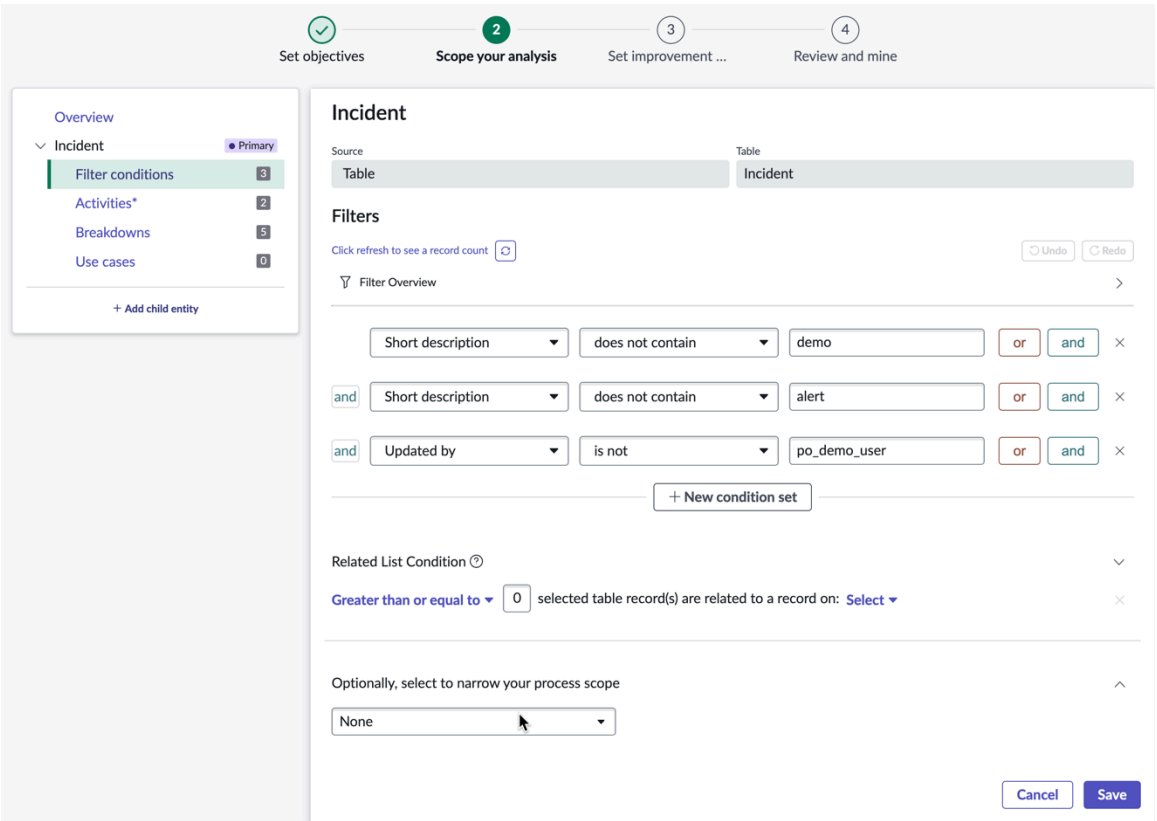
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
フィルターの設定は、プロジェクト作成のオプションのタスクです。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。
4. サイドパネルから [フィルター条件] を選択します。

   ヒント: クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅にある [詳細ビュー] を選択します。



5. フォームに詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] フォーム

ソース	[目標を設定する] タブでの選択に基づいて自動的に入力されます。
テーブル	[目標を設定する] タブで選択したテーブルに基づいて自動的に入力されます。
フィルター	データをフィルターする基準となるルートテーブルのフィールドを選択します。
関連リスト条件	表示するレコードの数を選択します。
必要に応じて、プロセススコープを絞り込むために選択します	このセクションには次のオプションがあります。 ○ なし:フィルターは適用されません。これがデフォルト値です。 ○ 切り取り:開始条件と終了条件を指定して、プロセスの特定の領域を表示するようにプロセスを切り取ります。開始条件の前と終了条件の後に発生したすべてのイベントは、プロセスグラフに表示されません。 注: アクティビティ定義として設定したフィールドで切り取りプロセスを指定できます。したがって、切り取りプロセスを設定する前に、プロジェクトのアクティビティ定義を設定してください。 [Start condition (開始条件)] と [End condition (終了条件)] の横にある [+] 記号を選択します。プロセスの開始条件とプロセスの終了条件を設定します。 例:プロジェクトがアクティビティ定義として [ステータス] に設定されている場合、次のようになります。 新規 -> オープン -> 対応中 -> 解決済み -> 対応中 -> 解決済み -> クローズ済み 「対応中」が最初に発生したときに開始条件が指定され、「解決済み」が最後に発生したときに停止条件が指定されている場合、モデルは次のようになります。 「対応中 -> 解決済み」 -> 「対応中」 -> 解決済み。 ○ 移行:移行フィルターは、選択したステップ間の特定の移行を含むプロセスパスに焦点を当てます。たとえば、[ステータス:対応中] から移行し、最終的に [ステータス:保留中] が続いたレコードをマイニングします。 移行フィルターを指定するには、ステップ 2 の開始条件を「最終的に続く」または「次が直接続く」でフィルター条件を設定する必要があります。 ここでは 2 つのステップのみを指定できます。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

アクティビティ定義を設定

アクティビティ定義を設定して、ステータス、アサイン先グループ、アサイン先など、プロセスグラフに表示される内容を決定します。これにより、ワークフローのボトルネック、逸脱、非効率性を視覚的に特定し、プロセスを検出、監視、改善できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 1 つのテーブルに最大 5 つのアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

このタスクについて
アクティビティ定義の設定は、プロジェクトを作成するために必要なタスクです。

プロセス最適化 は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。プロセス最適化プロジェクトを作成するには、少なくとも 1 つのアクティビティを設定します。

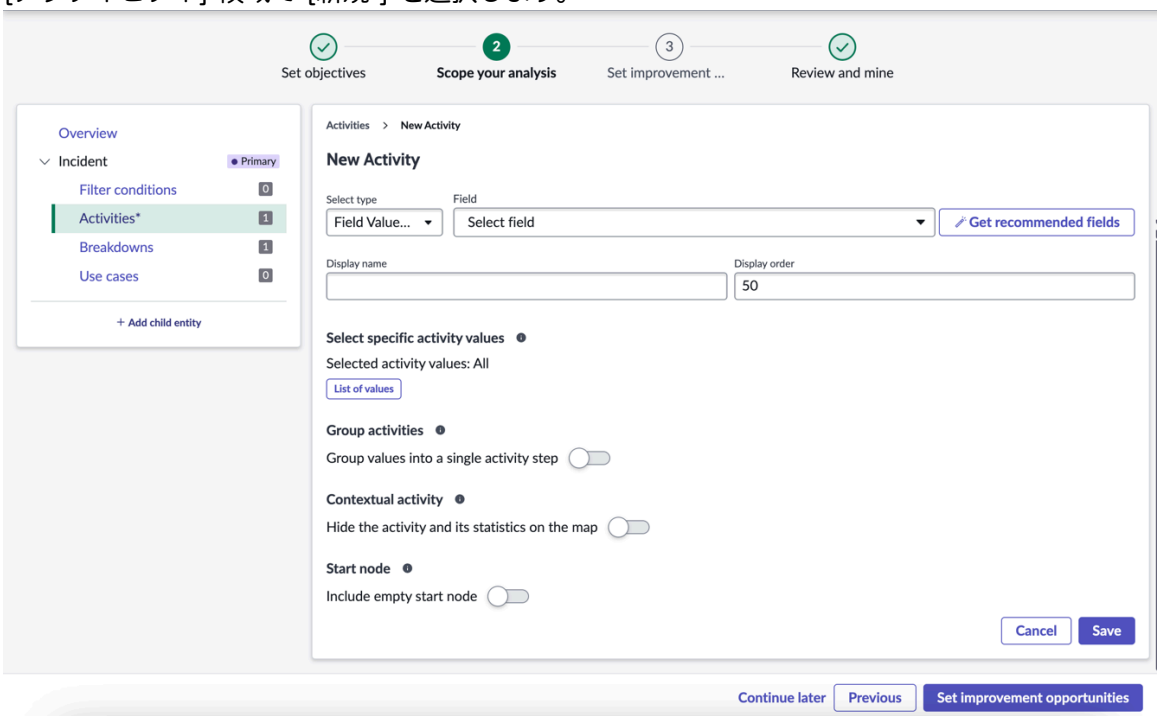
注: プロジェクトを構成するときは、まずメイン (親) テーブルを設定し、アクティビティとブレークダウンの定義を定義します。テーブルが 1 つだけ必要な場合は、データを使用してプロジェクト全体を生成します。複数のテーブルの場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それらをメインテーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。

   ヒント: クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅にある [詳細ビュー] を選択します。

4. 左のバーから [アクティビティ] を選択します。
5. [アクティビティ] 領域で [新規] を選択します。



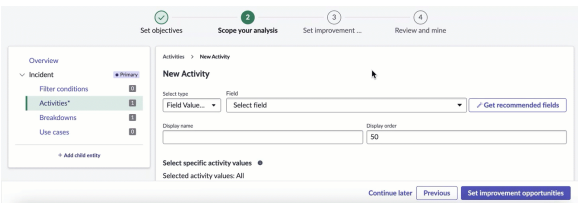
6. フォームに入力します。

新しいアクティビティフォーム

タイプの選択	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。

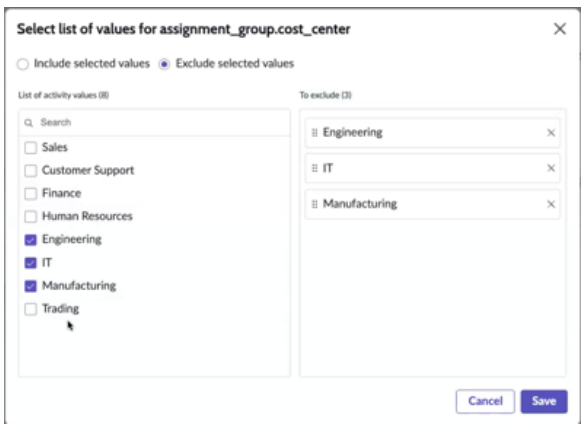
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

	○ フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 アクティビティ定義のジャーナルフィールドまたはテキストフィールドを選択すると、グループ化された値が「値を単一のアクティビティステップにグループ化」に設定されます。 ○ 添付された子:このオプションは、テーブル構成用に 2 つのテーブルを選択し、子親関係を設定している場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。グラフには、プロセスで子がいつ添付されたかが表示されます。 ○ 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 ○ 複合:営業、経理、セキュリティなどの特定のプロセスで任意の値に更新される 2 つ以上のアクティビティ定義の複合イベント。土壇場での変更により、別の承認プロセスが必要となり、追加の手順が必要となり、その結果、解決時間が長くなる可能性があります。また、コンプライアンス違反につながる可能性もあります。例:4 つのアクティビティ定義があり、1 つだけが更新された場合は、複合イベントにキャプチャする必要があります。 複合アクティビティ定義を使用するには、複合以外のタイプのアクティビティ定義が少なくとも 1 つ必要です。 作業メモやコメントなどのジャーナルまたはテキストフィールドに対して複合アクティビティを作成できます。
フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
推奨フィールドを取得	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このボタンは、プロジェクトのアクティビティ定義として設定するのに最適なフィールドの推奨事項を提供します。 これらの推奨事項は、プロジェクトの基になるテーブルに設定されたプロセス構成から取得されます。これらは、プロセス構成ビルダーの [プロセスの詳細] ページの [プロセスの視点] セクションから導出されます。 プロセスパースペクティブの詳細については、「 プロセスの詳細を構成」を参照してください。 テーブルのプロセス構成で何も指定しなくても、推奨事項が表示されます。[プロセスの詳細] ページで何も構成されていない場合は、変更頻度の高いフィールドをお勧めします。 ボタンを選択すると、推奨フィールドのリストから選択するためのダイアログボックスが表示されます。フィールドを選択し、[選択] を選択します。 推奨事項以外のフィールドを使用することもできます。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

添付されるテーブルの構成	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [添付された子] を選択した場合にのみ使用できます。 リストからテーブル名を選択します。ただし、子エンティティに使用されるテーブルのみが表示されます。
関連フィールドを表示	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] または [日時] を選択した場合にのみ使用できます。 関連フィールドのリストを表示するには、[関連フィールド] アイコン (関連) を選択し、フィールドを選択します。 このフィールドは、レコードのドット連結を設定するのに役立ちます。
表示名	このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、[表示名] には [フィールド] に指定された値が表示されます。
表示順序	[コンテキストアクティビティ] を選択した場合、このフィールドは使用できません。 このフィールドの値は、複数のアクティビティ定義のタイムスタンプが同じ場合に、プロセスグラフに最初に表示する必要があるイベントを決定します。 複数のアクティビティ定義の表示順序が同じ場合は、アルファベット順が適用されます。 任意の値 (整数のみ) を指定します。デフォルト値は 50 に設定されています。
特定のアクティビティを選択	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。分析する特定のアクティビティ値を選択します。 値を選択して、含めるか除外するかを選択できます。  たとえば、 インシデント テーブルを選択しました。次に、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループデータベースを通過したレコードを表示する必要があります。このデータを表示するには、[フィール

自動翻訳

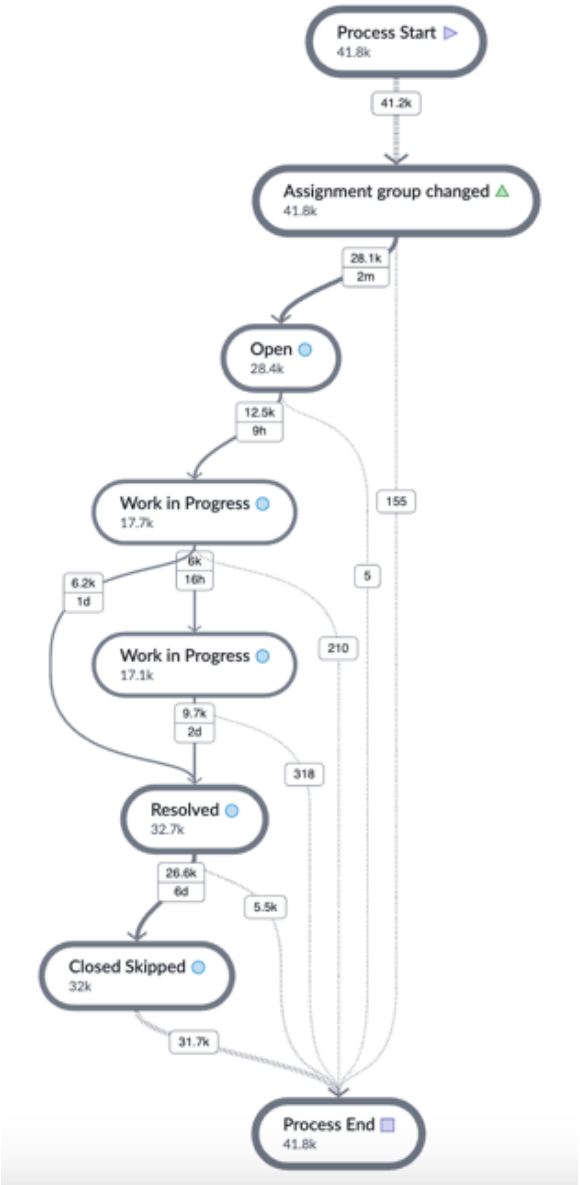
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	ド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリスト] から [サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	このフィールドでは、アクティビティ定義のすべての変更を 1 つのノードとしてグループ化して表示するか、アクティビティ定義の各変更を個別のノードとして表示するかを選択できます。 [フィールド値 (デフォルト)] タイプのジャーナルフィールドまたはテキストフィールドとしてフィールドを選択するか、[複合] タイプを選択すると、このフィールドは選択され、変更できなくなります。 このフィールドには次の 2 つのオプションがあります。 ○ 一意の値をそれぞれ個別のアクティビティステップとして表示:このオプションを選択すると、プロセスマップにアクティビティの変更グループが個別のアイテムとして反映されます。 注: これは、[フィールド値 (デフォルト)]、[添付された子]、[日時]、および [複合] に対してデフォルトで無効になっています。 ○ 一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示:このオプションを選択すると、プロセスマップにはアクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。 たとえば、レポートするアサイン先グループとステータスを構成します。[一意の値をグループ化し、アサイン先グループの単一のアクティビティステップとして表示する] を選択し、[一意の値をそれぞれステータスの個別のアクティビティステップとして表示する] を選択します。 アサイン先グループへの変更は、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つのノードとして表示されます。レコードを表示したり、詳細を表示したりして、どのレコードがどのように影響を受けるかを確認できます。ステータスに対するすべての変更は、個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更はグループ化されます



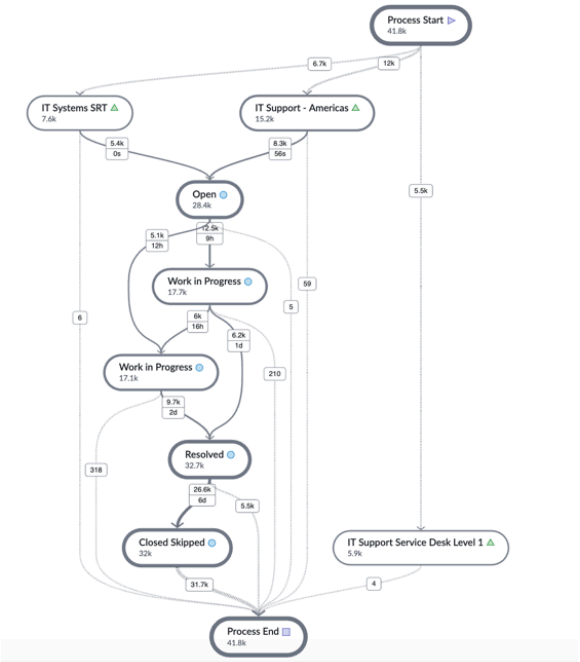
次のシナリオでは、レポートするアサイン先グループとステータスを構成し、[アサイン先グループ] と [ステータス] の 個別のアクティビティステップとして一意の値をそれぞれ表示するを選択します 。

アサイン先グループとステータスに対するすべての変更は、個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更はグループ化されません



グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティの名前。 [一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示] オプションを選択すると、[グループ化されたアクティビティ名] フィールドが表示されます。 デフォルトでは、表示される名前は <field-name changed> です。たとえば、「アサイン先グループが変更されました」などです。
コンテキストアクティビティ	このフィールドは、アクティビティをグループ化していない場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、アクティビティ定義はプロセスグラフに表示されませんが、検出結果と移行で使用できます。
開始ノード	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、レコード作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合に、プロセスグラフに空のノードが表示されます。

注: アクティビティ定義を編集するには、リストからアクティビティ定義を選択して編集します。アクティビティ定義を削除するには、リストからアクティビティ定義を選択し、削除アイコン ( ) を選択します。

7. **[Save** (保存)] を選択します。
   作成したアクティビティ定義のリストが表示されます。
8. オプション: これらのエンティティを追加する場合は、サイドパネルで [ブレークダウン]、[ユースケース]、または [子エンティティを追加] を選択します。
9. 改善の機会を選択して、改善の機会を設定します。
   詳細については、「改善の機会の設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連トピック

- ブレークダウン定義を設定
- ユースケースを設定
- 子エンティティを追加

ブレークダウン定義を設定

プロジェクトのフィルターとして機能するブレークダウン定義を設定します。ブレークダウン定義は、特定の基準または属性に基づいてデータをフィルタリングおよび分析するために使用されます。これらの定義により、分析をより小さなサブセットに分割し、プロセスの特定のディメンションまたはパースペクティブに焦点を当てることができます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

このタスクについて
これはオプションのタスクです。

注: 親テーブル構成には最大 10 個のブレークダウン定義を構成でき、任意の子テーブル構成には最大 5 個のブレークダウン定義を構成できます。親テーブルのすべてのブレークダウン定義に対して 20,000 を超えるブレークダウン値、各子テーブルのすべてのブレークダウン定義に対して 5,000 を超えるブレークダウン値を生成することはできません。

これはオプションのタスクです。

手順

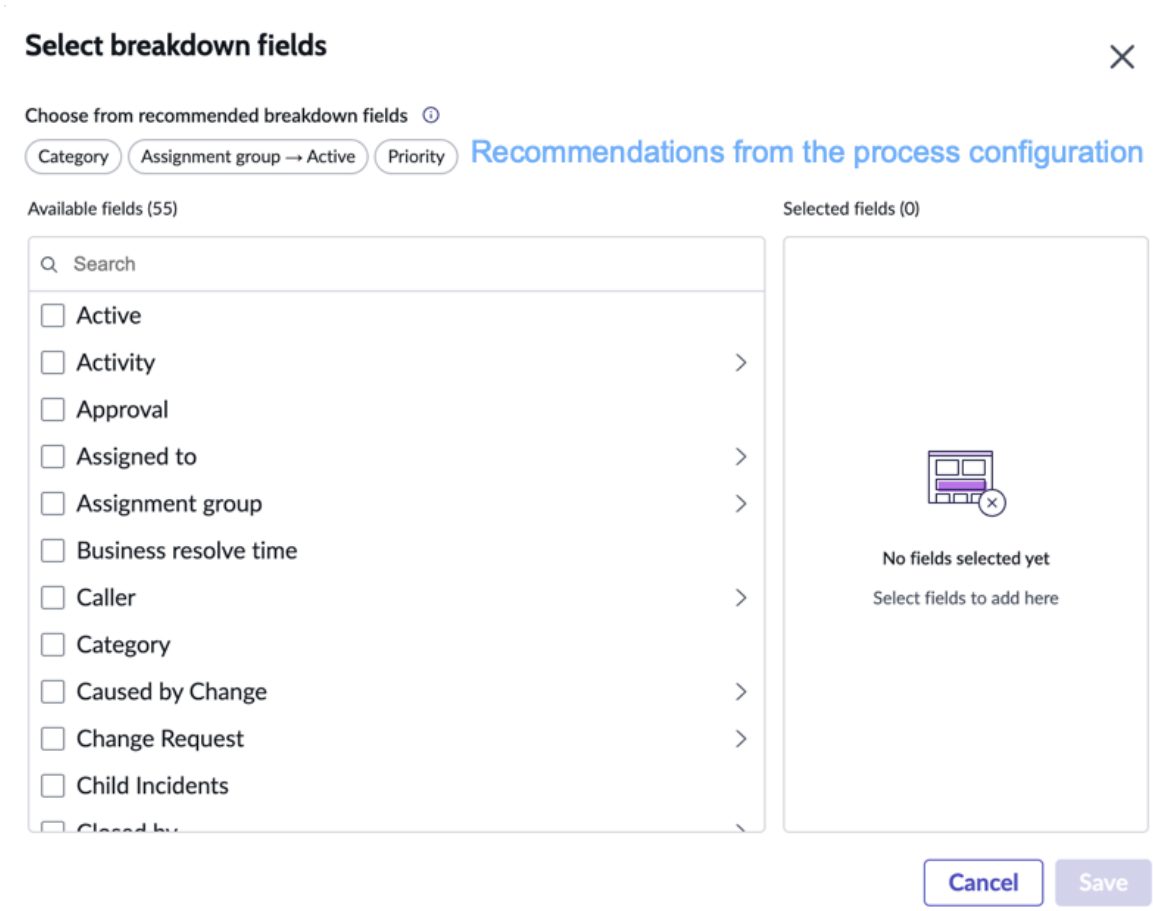
1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ブレークダウン] を選択します。

   ヒント: クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅にある [詳細ビュー] を選択します。

5. [ブレークダウン] 領域で [新規] を選択します。

自動翻訳

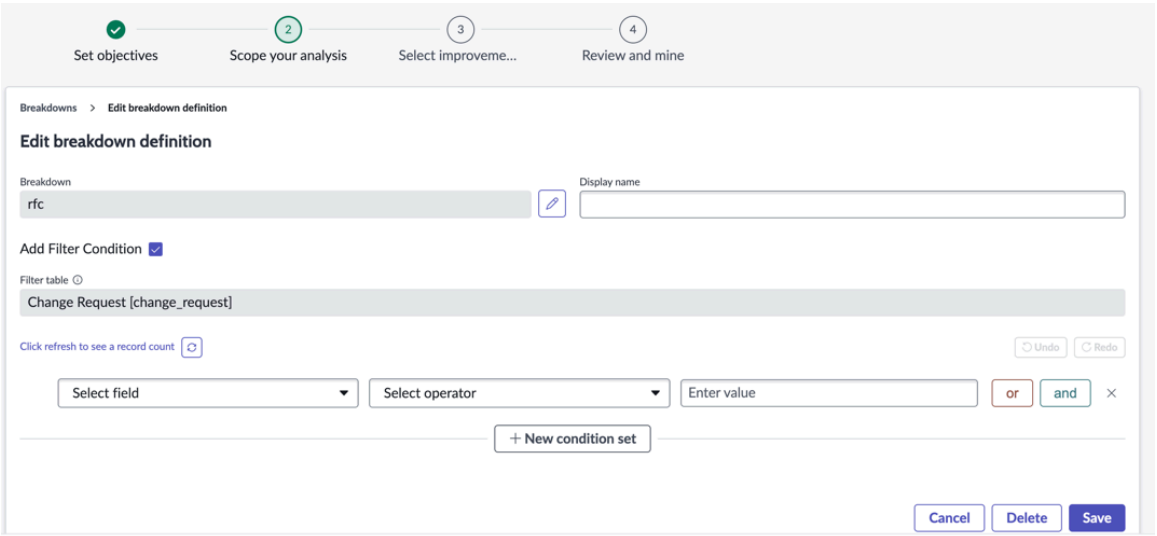
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. リストからブレークダウンを選択するか、推奨事項を選択します。
これらの推奨事項は、プロジェクトの基になるテーブルに設定されたプロセス構成から取得されます。これらは、プロセス構成ビルダーの [プロセスの詳細] ページの [ブレークダウンフィールド] セクションから導出されます。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

   プロセス構成ビルダーで値が設定されていない場合、推奨事項は提供されません。

7. **[Save** (保存)] を選択します。
ブレークダウンがプロジェクトに追加されます。
8. オプション: ブレークダウンを選択して編集します。



   ブレークダウンに表示名とフィルター条件を追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. [改善の機会を選択] を選択します。
   [分析のスコープ] ページで何かを追加または編集する場合は、[前へ] を選択します。

メトリクスを設定

メトリクスを設定して、プロセスをより適切に評価し、プロセスの効率を向上させます。

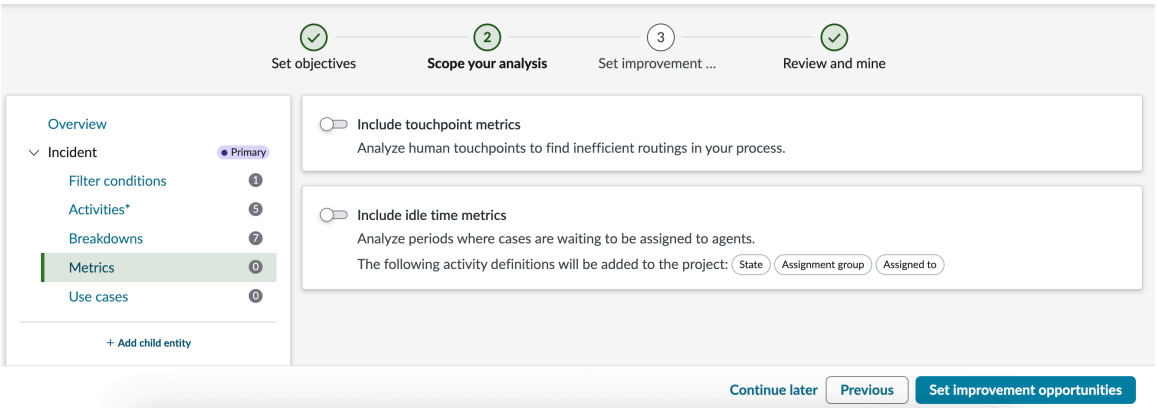
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [メトリクス] を選択します。

   注: タッチポイントとアイドル時間のメトリクスは、クラシックビューでは使用できません。



   メトリクスには次の 2 つのタイプがあります。

   - タッチポイントメトリクス:タッチポイントメトリクスは、プロセス内の特定のインタラクションを調査して、インタラクションの多い領域を特定するために使用されます。特に、非効率、冗長、または過度なアクティビティに注目します。これらの領域を特定することで、自動化やその他の改善を通じてプロセスの最適化が可能になり、パフォーマンスが向上し、運用コストが削減されます。
   - アイドル時間メトリクス:アイドル時間メトリクスは、ケースがエージェントへのアサインを待機しているが、プロバイダーによって進行することが予想される期間を追跡するのに役立ちます。これらのメトリクスは、アサインされていない期間の遅延を特定し、ケースがプロセスで停滞している非効率性を強調します。アイドル時間を分析することで、チームはタスク割り当てとリソース管理を改善し、遅延を減らし、スムーズなケースフローを確保し、最終的に生産性とサービスレベルアグリーメントのコンプライアンスを向上させることができます。

     注: promin.blocked.tables リストで選択されているフィールドが [プロセスの詳細] ページで選択されている場合、アイドル時間メトリクスは使用できません。

5. 各メトリクスを切り替えて有効にします。
   親テーブルのプロセス構成でこれらのメトリクスに設定したフィールドは、プロジェクトに含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: これら 2 つのメトリクスは、プロセス構成で構成しないと利用できません。

6. [改善の機会の設定] を選択します。

ユースケースを設定

ユースケースは、分析に関係がある可能性がある一般的なパターンです。有効にすると、プロジェクトに対して自動的に構成されます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ユースケース] を選択します。

   ヒント: クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅にある [詳細ビュー] を選択します。

5. プロセスに存在する承認の詳細を表示する場合は、[承認を含める] オプションを選択します。
   承認 [sysapproval_approver] テーブルは、子エンティティとしてプロジェクトの親テーブルに添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単にするために既に選択されています。要件に応じて、これらを確認および編集できます。

   注: [承認を含める] オプションが選択されている Xanadu より前のバージョンのプロジェクトがある場合、それらのマイニングされたプロジェクトは廃止されます。プロジェクトは現在の変更に自動的に更新されます。結果を表示するには、プロジェクトを再マイニングする必要があります。

6. プロセスに違反がある場所を表示する場合は、[**SLA** 違反を含める] オプションを選択します。
   タスク SLA [task_sla] テーブルは、プロジェクトの親テーブルに子エンティティとして添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単にするために既に選択されています。要件に応じて、これらを確認および編集できます。
7. 親テーブルに関連するテーブルを追加する場合は、[分析に子テーブルを含める] オプションを選択します。
   このフィールドは、プロセス構成の [プロセスの詳細] ページの [子テーブル] セクションを指定した場合にのみ使用できます。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

   子テーブルには、親プロセスの実行にとって重要な依存サブプロセスのデータが含まれています。子テーブルを分析することで、メインプロセスのパフォーマンスに影響を与えるサブプロセスの非効率性を明らかにすることができます。

   たとえば、インシデントテーブルはインシデントに関する一般的な情報を含む親テーブルとして機能し、インシデントタスクは各インシデントに関連する特定のタスクを格納する子テーブルです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 子テーブルを設定した後、[子エンティティを追加] タブでアクティビティ定義とその他の設定を構成する必要があります。

8. **[Save** (保存)] を選択します。

子エンティティを追加

子テーブルまたは関連テーブルを追加して、関連プロセスからのアクティビティを追跡します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

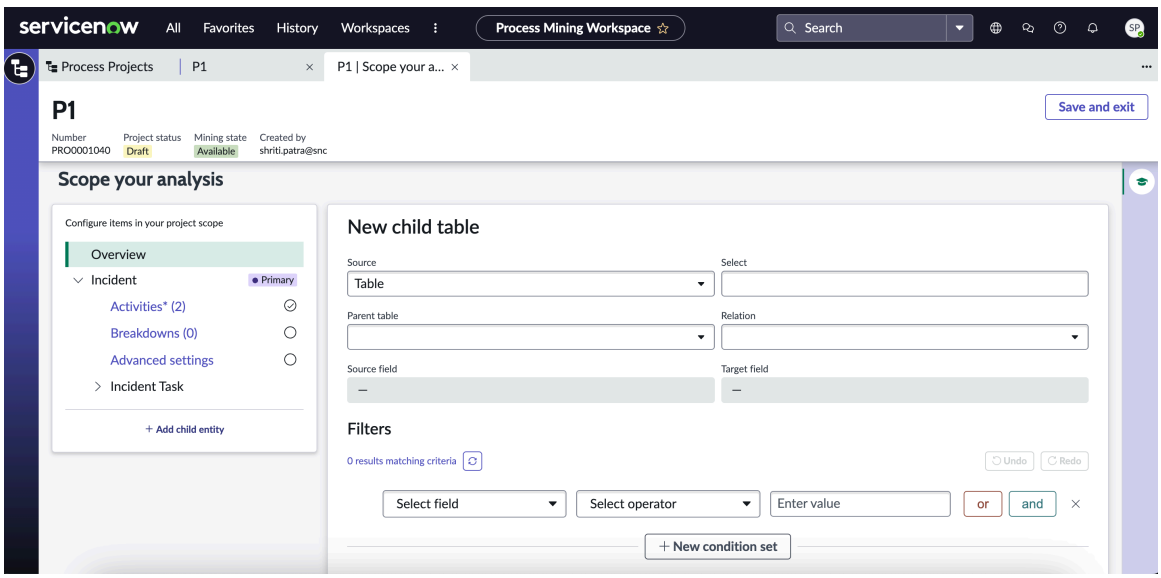
多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で行われます。これらの外部イベントの分析が役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「作成されたインシデントタスク」アクティビティとして表示されます。プロセスグラフには、「作成された」イベントまたは「クローズされた」イベントのみがアクティビティとして表示されます。

注: 定義された子テーブルからの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行する場合は、[分析をスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析をスコーピング **(Scope your analysis**)] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [子エンティティの追加] を選択します。

ヒント: クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅にある [詳細ビュー] を選択します。



5. フォームに詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい子テーブルフォーム

ソース	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
選択	プロジェクトの親テーブルと関係があるテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトのプライマリテーブルを選択します。
関連	テーブル間の関係は 、子 または 参照のいずれかになります。
ソースフィールド	子関係を選択した場合は、親テーブルと関係がある子テーブルからフィールドを選択します。 参照関係を選択すると、[ソース] フィールドが自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルと関係がある子テーブルからフィールドを選択します。 子関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動的に設定されます。
フィルター (オプション)	必要に応じて、子テーブルのフィルターを設定できます。
関連リスト条件 (オプション)	フィルターセットに対して選択した数の関連レコードを表示します。さらにフィルタリングできます。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

改善の機会の設定

改善の機会を設定し、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定することができます。自分が設定したルールに基づいて、改善が必要な領域を表示できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

設定できる改善の機会には、次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会:これらの改善の機会は、順番に実行される 1 つ以上の検索ルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するレコードとして分類されます。
- 自動化された改善の機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

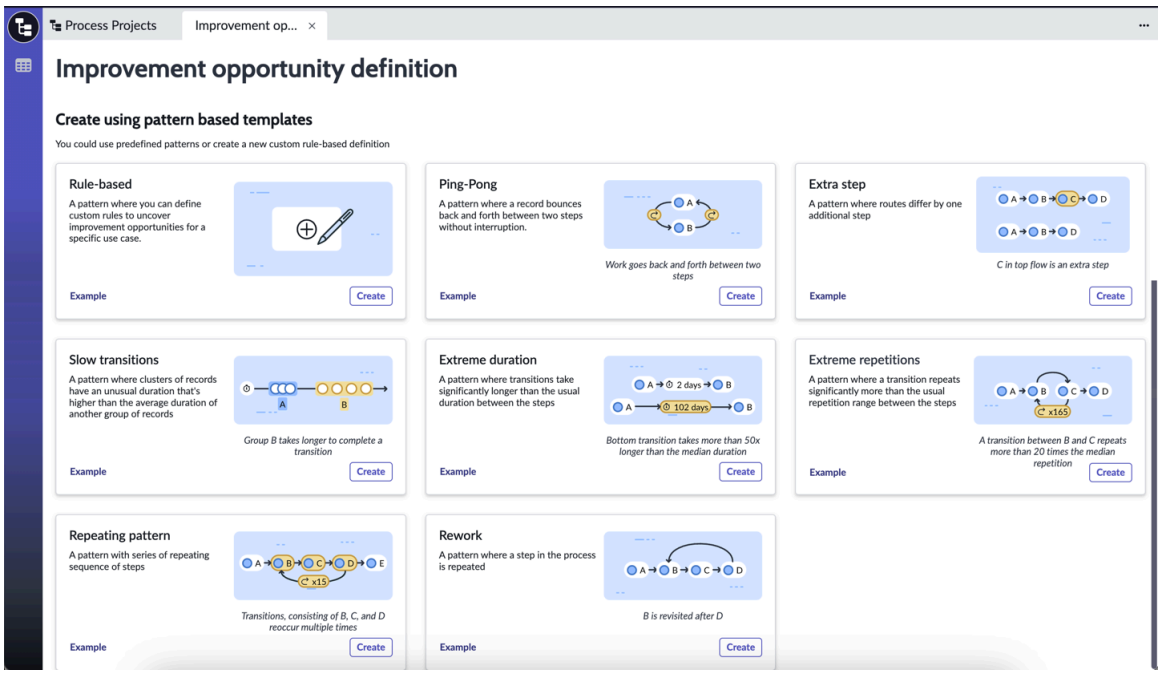
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [分析をスコーピング] ページから続行する場合は、[改善の機会の設定] タブを選択します。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [改善の機会] セクションの編集ボタンを選択します。
4. 改善の機会の選択 タブで、新規 を選択します。

   [改善の機会の定義] ページが表示されます。このページには、利用可能なすべての改善の機会の定義が表示されます。各改善機会の定義を図と例とともに表示できます。



5. いずれかのカードで [作成] を選択して、そのタイプの改善の機会を作成します。

   ルールベースの改善の機会の詳細については、「 ルールベースの改善の機会の設定」を参照してください。

   自動化された改善の機会の詳細については、「 自動化された改善の機会」を参照してください。

6. 改善の機会を編集するには、改善の機会を選択して詳細を編集します。
7. 改善の機会を削除するには、検索定義を選択し、[削除] を選択します。
8. オプション: ライブラリから改善の機会を選択するには、 ライブラリから追加 を選択し、改善の機会を選択します。
   これらのルールは、テーブル構成から使用できます。プロジェクト用に選択したテーブルに改善の機会が構成されている場合、それらの結果はライブラリに表示されます。テーブル構成の詳細については、「 クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成」を参照してください。

   注: 1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動改善の機会を設定できます。

9. [レビューしてマイニング **(Review and mine)]** を選択します。

プロジェクトのレビューとマイニング

目標を設定し、分析をスコーピングし、改善の機会を追加してプロジェクトを作成したら、プロジェクトをマイニングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

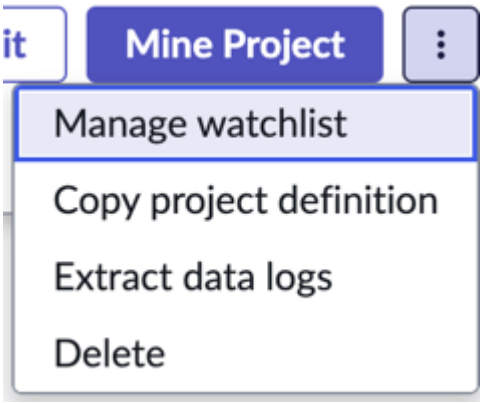
自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [改善の機会] ページから続行する場合は、[レビューとマイニング] ページが表示されます。
2. レビューしてマイニングするプロジェクトの [編集] を選択します。
   [レビューとマイニング] タブが表示されます。
3. [レビューとマイニング] タブで、プロジェクトをレビューします。

   このページでいくつかの追加の手順を実行できます。



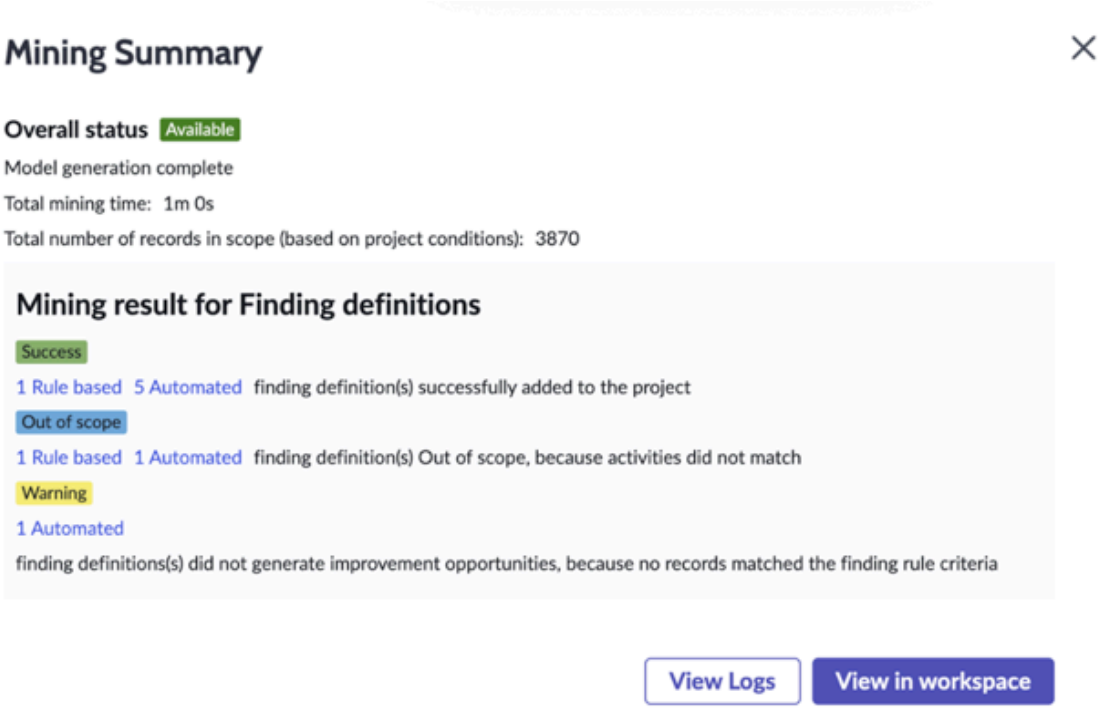
   - [ウォッチリストの管理] を選択して、マイニングされたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザーを追加します。
   - プロジェクトをコピーするには、[プロジェクト定義をコピー] を選択します。

     プロジェクトをコピーすると、関連する改善の機会もコピーされます。
   - [データログの抽出] を選択して、利用可能なログを表示します。
   - プロジェクトを削除するには 、[削除] を選択します。
4. [プロジェクトのマイニング] を選択して、プロジェクトをマイニングします。
5. [マイニング] ウィンドウで、[サンプル マイニング] または [フル マイニング] を選択し、[確認] **&** [マイニング] を選択します。

結果
[マイニングの進行状況] ページが表示されます。マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページでは、マイニングに関する追加の詳細を提供します。また、マイニングに含まれていなかった検索定義が一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも表示されます。ログを表示したり、 プロセス最適化 ワークスペースに移動してグラフを表示したりすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



クラシックビューを使用したプロジェクトの作成

分析するプロセスのプロジェクトステータスとアウトラインを構成および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトのモデルを生成するには、選択したテーブルの 監査ログ を有効にする必要があります。

このタスクについて

プロセス情報のフローの可視化されたインタラクティブなルートを表示するプロジェクト定義を構成します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「プロジェクト定義フォーム」を参照して ください。
4. **[Save** (保存)] を選択します。

   プロジェクト定義レコードが作成されます。

テーブル構成の設定

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

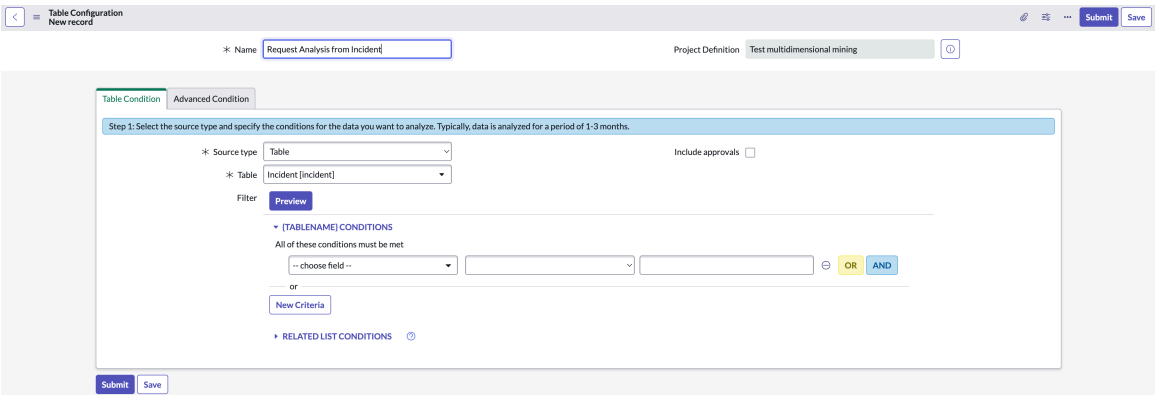
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトを開き、[テーブル構成] タブを選択します。
2. **[New** (新規)] を選択します。

   新しい [テーブル構成] ページが表示されます。



3. [名前] フィールドにテーブル構成の名前を入力します。
4. [テーブル条件] タブで、フィールドに入力します。

テーブル条件フィールド

フィールド	説明
ソース タイプ	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
承認を含める	承認を含めるかどうか。
テーブル	適切なテーブルを選択します。
フィルター	[フィルター] セクションの条件を使用して、分析するデータを選択します。 **注:** データを 1 か月から 3 か月に制限することで、長いトランザクション時間を回避します。 [プレビュー] を選択して、設定されたフィルターで使用可能なレコードの数を確認します。

5. [送信] を選択してテーブル構成を保存します。

   作成したテーブル構成を表示する [テーブル構成] ページが表示されます。テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

多次元マイニングの構成

多次元マイニングを使用して非効率性を特定し、複数の関連テーブルのデータを評価してパフォーマンスを向上させます。

始める前に

テーブルで多次元マイニングを構成する前に、 プロセス最適化 プラグインをインストールして構成する必要があります。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で行われます。これらの外部イベントの分析が役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「作成されたインシデントタスク」アクティビティとして表示されます。プロセスグラフには、「作成された」イベントまたは「クローズされた」イベントのみがアクティビティとして表示されます。

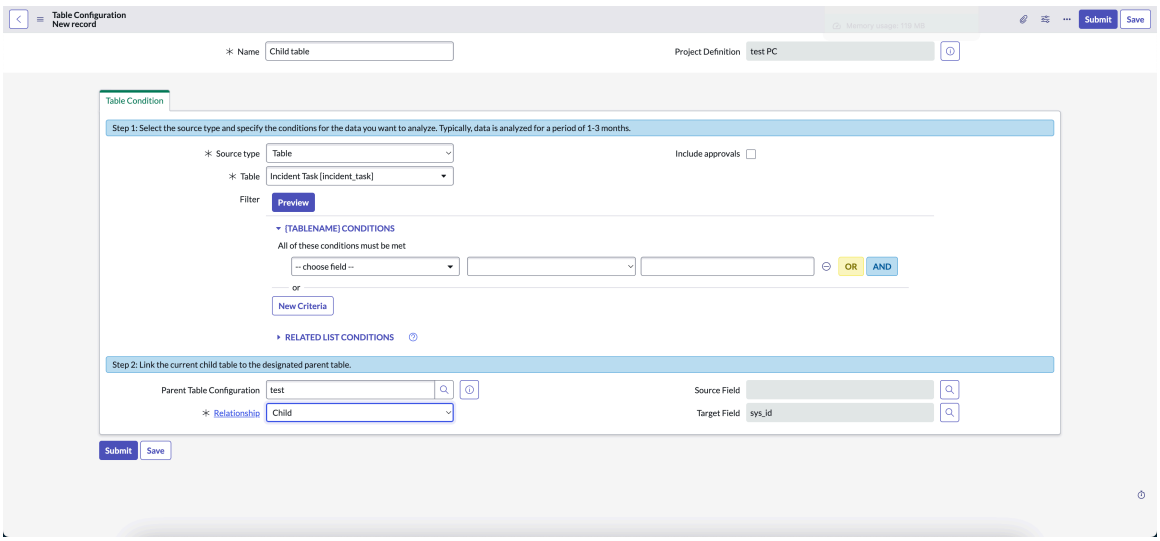
> **注:** 定義された子テーブルからの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 多次元マイニングを構成するプロジェクトを選択します。
2. [テーブル構成] タブに移動し、[新規] を選択します。

   > **注:** プロジェクトには、親テーブル構成が既に設定されている必要があります。

   新しいテーブル構成ページが表示されます。



3. [名前] フィールドに子テーブル構成の名前を入力します。
4. [ステップ **1**] セクションでは、テーブル構成の場合と同様に詳細を入力します。
   詳細については、「テーブル構成の設定」を参照してください。
5. 関係を設定するには、[ステップ **2**] セクションのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親テーブル構成	[親テーブル構成] の横にある検索アイコンを選択し、親テーブル構成を選択します。
関係性	関係タイプに応じて、[関係] のドロップダウンリストから [参照] または [子] を選択します。 参照フィールドには、別のテーブルのフィールドへの参照が格納されます。たとえば、インシデントテーブルの [問題] フィールドは [問題] テーブルへの参照です。子レコードは、特定の親レコードに関連付けられています。たとえば、要求アイテムにはサービスカタログタスクまたはインシデント、および SLA レコードがあります。
ソースフィールド	子関係を選択した場合は、親テーブルと関係がある子テーブルからフィールドを選択します。 参照関係を選択すると、[ソース] フィールドが自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルと関係がある子テーブルからフィールドを選択します。 子関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動的に設定されます。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

   新しい子テーブル構成が作成されます。

   テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

詳細条件の設定:切り取りプロセス

テーブル構成のカスタムの開始条件と終了条件を設定して、プロセスのどの部分を プロセス最適化プロジェクトに含めて分析に使用できるようにするかを定義します。

始める前に

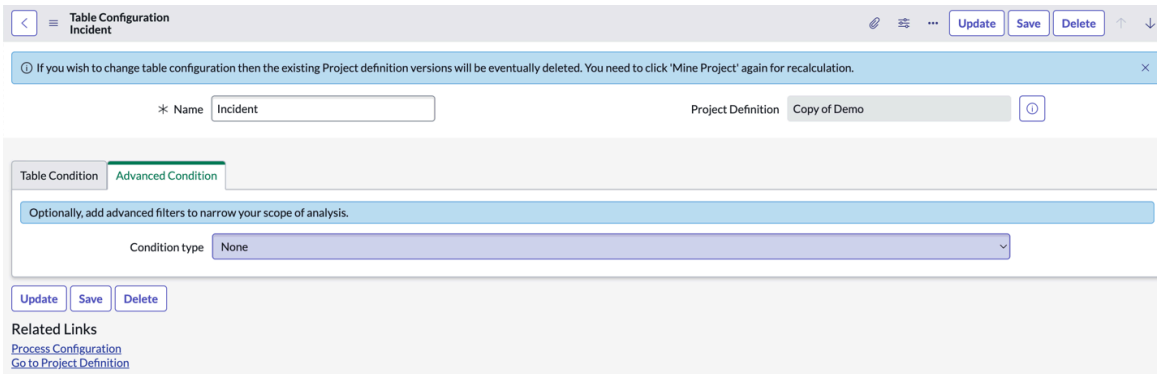
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. テーブル設定レコードの [詳細条件] タブに移動します。



2. [条件タイプ] リストから [切り取り] を選択します。

   切り取り条件を使用すると、プロセスマップから特定の開始条件と終了条件を設定できます。たとえば、[クローズ済み] ではなく [解決済み] を指定するなどです。別の例として、[新規] ステータスの最初の発生から [解決済み] の最後の発生までのプロセスのみを検出し、[クローズ済み] ステータスを分析から除外します。

3. [開始条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
4. [新規プロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)]** フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロセスの開始/終了条件を作成」を参照して ください。
5. [送信] を選択して条件を保存します。
6. 終了条件を作成するには、[終了条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
7. [新規プロセス終了条件の作成] フォームで、フィールドに入力します。

   注: フィールドと説明は、[新規プロセスの開始条件を作成 (Create a new process start condition)] フォームのものと同じです。

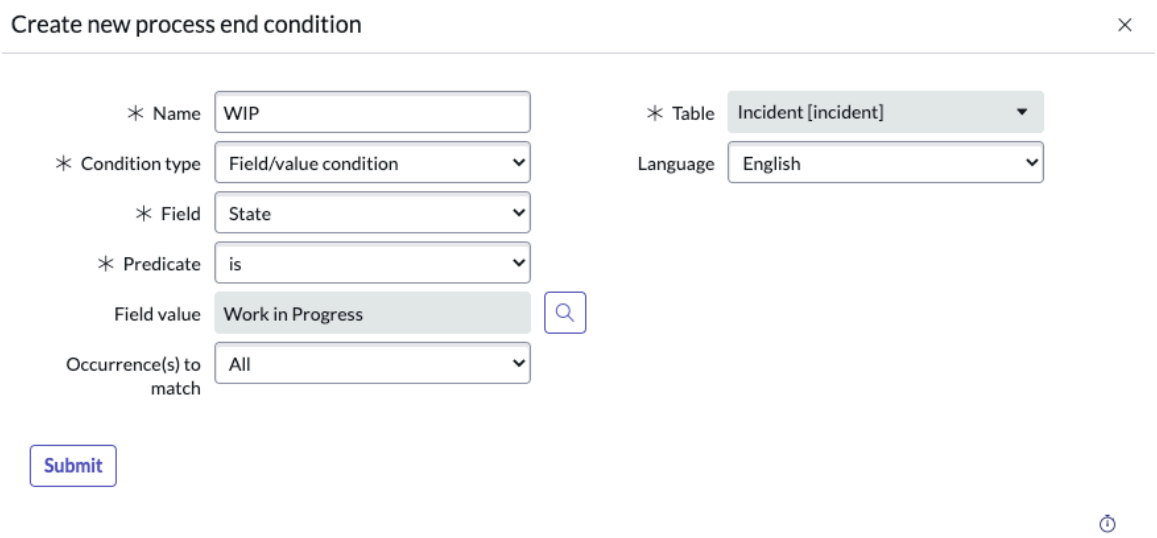
8. [送信] を選択して条件を保存します。

Example: 構成されたプロセス条件

この例では、インシデントレコードが [対応中] ステータスになったときにプロセス終了条件が構成されます。[一致する出現] フィールドは [最初のみ] に設定されているため、レコードのステータスが初めて [対応中] に変更されたときにのみ条件がトリガーされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティ定義の構成

ビジネスプロセス内で発生したステップに関するレポート。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

注: 親テーブル構成には最大 10 個のアクティビティ定義を構成でき、任意の子テーブル構成には最大 5 個のアクティビティ定義を構成できます。アクティビティ定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

このタスクについて
プロセス最適化 は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。特定のアクティビティを開始、終了、またはパススルーするプロセスマップレコードを抽出して表示するアクティビティを少なくとも 1 つ構成します。

注: プロジェクトを構成するときは、最初にメイン (親) テーブル構成を設定し、アクティビティ定義を定義し、ブレークダウン定義を設定する必要があります。テーブルが 1 つだけ必要な場合は、プロジェクト全体を生成し、定期的にデータをマイニングしてスケジュールすることができます。複数のテーブルが必要な場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それをメイン (親) テーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義する必要があります。子テーブルにブレークダウン定義を構成することもできます。

アクティビティにドット連結を設定して、追跡するあらゆる種類の変更にフラグを付けることができます。

大規模な組織では、特に法的エンティティや地理的なエンティティに関連付けられている場合、構成アイテム (CI) やビジネスサービスを変更することは非効率的または非準拠であると感じています。これに対処するために、これらの重要な属性を変更せずにインサイトを得るために、ドット連結フィールドでデータマイニングを実行します。

アクティビティ定義を追加するときに、参照フィールド (ドット連結フィールド) を追加して、そのような非準拠にフラグを付けることができます。例:Assigned_to。場所。マイニングが完了すると、グラフにさまざまな場所間のデータフローが表示されるため、コンプライアンス違反を簡単に追跡できます。

複数のアクティビティをグループ化して、各アクティビティに加えられた変更を追跡することもできます。このためには、「複合」タイプのアクティビティ定義を追加し、フィールドを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マイニングが完了すると、これらのフィールドが変更されたことがグラフに表示されます。これによりグラフが単純化されます。詳細を知るには、さらにフィルタリングできます。

手順

1. テーブル設定レコードの [アクティビティ定義] タブで、[新規] を選択します。
2. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[アクティビティ定義] フォーム」を参照してください。
3. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

ブレークダウンを構成するか、プロジェクトを生成します。

ブレークダウン定義の構成

ブレークダウンを追加してレコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成
- 多次元マイニングの構成

このタスクについて

注: 親テーブル構成には最大 10 個のブレークダウン定義を構成でき、任意の子テーブル構成には最大 5 個のブレークダウン定義を構成できます。ブレークダウン定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース をクリックし、プロジェクトレコードを選択します。
2. ブレークダウン定義を設定しているテーブルを特定し、[テーブル構成] タブから関連するテーブル設定レコードを開きます。
3. [ブレークダウン定義] タブで、[新規] を選択して新しいブレークダウン定義レコードを開きます。
4. [ブレークダウン定義] フォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

ブレークダウン定義フィールド

フィールド	説明
フィールド	ブレークダウンに使用するフィールドを選択します。
表示名	このブレークダウンに表示する名前。名前が入力されていない場合、ブレークダウンには [フィールド] フィールドの値が表示されます。

5. オプション: [フィルター条件の追加] を選択し、さらにブレークダウンをフィルタリングするための条件を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: フィルター条件は、[フィールド] フィールドで参照フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。

6. [Submit (送信)] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング。

改善の機会の構成

[サマリーとインサイト] ページにインサイトを表示する改善の機会を構成します。

改善の機会は、指定されたテーブルに基づくプロセスに関連するインサイトを検索するルールを作成します。定義を構成すると、関連するレコードが [サマリーとインサイト] ページの [インサイト] セクションに機会として表示されます。

改善の機会には、次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会
- 自動化された改善の機会

どちらの改善の機会も目的は同じですが、作成方法は異なります。

ルールベースの改善の機会が作成され、セカンダリテーブルに基づく開始条件と停止条件を持つようにテーブルを変更できます。検索ルールと検索制約があり、ユーザーが設定する必要があります。

自動化された改善の機会は簡単に作成できます。このプロセスは短く、いくつかの手順で完了できます。

検索定義の作成の詳細については、「 クラシックビューからの改善の機会の設定」を参照してください。

改善の機会をインポート

改善の機会をテンプレートとして、テーブルに関連付けられたプロジェクトにインポートします。アクティブステータスの親テーブルの改善の機会をインポートできます。プロセステーブルから改善の機会をインポートしないと、改善の機会はプロジェクトマイニング中に使用されません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.

2. 検索結果をコピーするプロジェクトを開きます。

3. [関連リンク] セクションで、[プロセス検索テンプレートのインポート] を選択します。

結果
プロジェクトにインポートされたルールベースの改善機会と自動改善機会の数を示すメッセージが表示されます。

プロジェクトのマイニング

可視化するデータを構成したら、プロジェクトのマイニングを開始できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:po_analyst

このタスクについて
プロセス最適化 1 つのテーブルに対して最大 500,000 件のレコードを抽出します。選択したテーブルがその制限に達した場合は、フィルターを追加してデータセットを絞り込みます。

この制限は、プロジェクトで構成したテーブルの数に応じて減少します。たとえば、親テーブル (インシデントなど) と子テーブル (Task_sla など) の 2 つのテーブルを設定した場合、インシデントテーブルで計算される制限は 250,000 レコードになります。

注:

- プロジェクトの最適化にはかなりの時間がかかる場合があります。プロジェクトの抽出の進行中は、そのプロセスマップを探索することはできません。
- 完全マイニングまたはサンプルマイニング中に、 プロセス最適化 監査ログを分析します。

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、次の場所に移動します プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのカードメニューから、次を選択します。
   - プロジェクト全体をマイニングするには、プロジェクトのマイニング (フル) を行います。
   - プロジェクトに適用可能なすべてのレコードをマイニングするのではなく、最大 3,600 件のレコードをマイニングするプロジェクト (サンプル) をマイニングします。

     注: サンプルをマイニングすると、アナリストはプロジェクトの完全なデータ抽出を実行する前に、プロジェクト構成設定を検証できます。

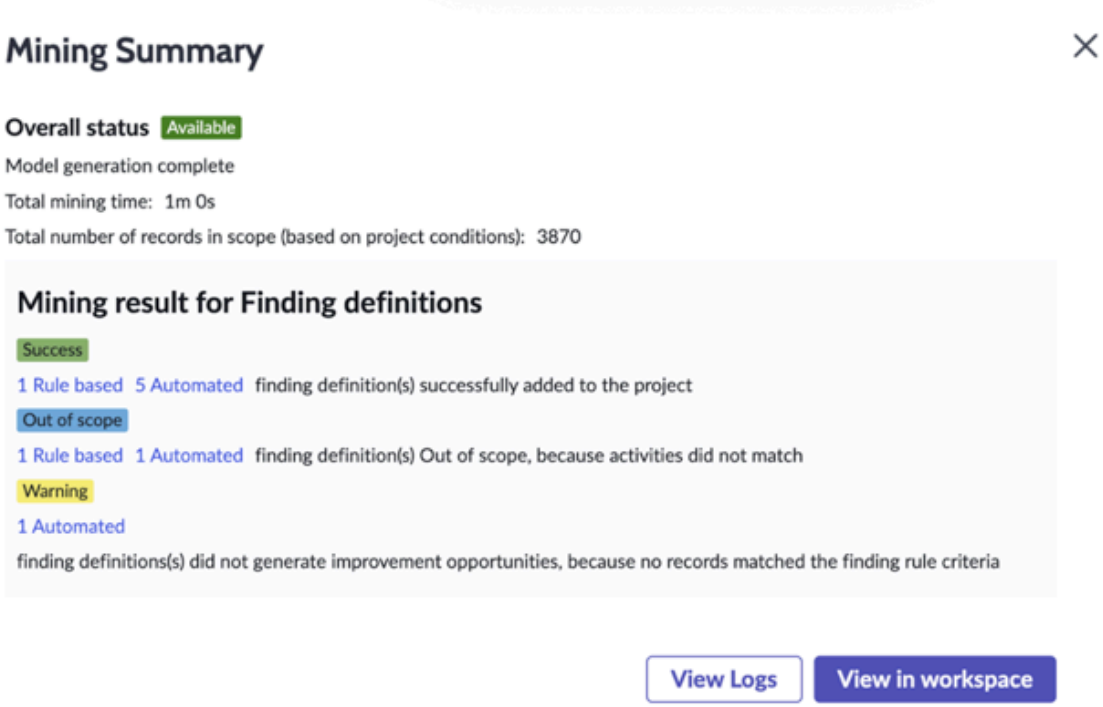
3. [**OK**] を選択して、プロジェクトのマイニングを開始することを確認します。
4. オプション: ウォッチリストに追加する場合は 、[完了したら通知] を選択します。
   マイニングが完了すると、メール通知が届きます。1 日あたりのジョブ制限はデフォルトで 50 に設定されています。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。
5. オプション: [進行状況の表示] を選択して、マイニングの詳細を表示します。

   (Optional) マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページでは、マイニングに関する追加の詳細を提供します。また、マイニングに含まれていなかった検索定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

義が一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも表示されます。ログを表示したり、 プロセス最適化 ワークスペースに移動してグラフを表示したりすることもできます。



結果
抽出が正常に完了すると、プロジェクトカードのマイニング状況が [利用可能] と表示されます。

マイニングジョブのキャンセル

アナリスト、パワーユーザー、またはアドミニストレーターは、現在処理中のマイニングジョブをキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：なし

手順

プロセスをキャンセルするには、プロジェクトのマイニング中に キャンセル を選択します。

キャンセルプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。マイニングのキャンセル時に進行中の作業の単位は、キャンセルが発生する前に完了する必要があります。

プロジェクト定義フォームのマイニング状況は [キャンセル] と表示されます。

マイニングステータス

プロジェクトをマイニングしようとすると、プロジェクトワークフローレコードに次のいずれかのステータスが表示されます。

ワークフローレコードのマイニングステータス

状況	説明
新規	プロジェクトデータに対してマイニングは試行されていません。
マイニングデータ	プロジェクトのマイニングが進行中です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローレコードのマイニングステータス (続く)

状況	説明
取り消し中	マイニングは、ユーザーが開始したキャンセルの処理中です。
キャンセル	ユーザーがプロジェクトで進行中のマイニングをキャンセルしました。
利用可能	データに対してマイニングが実行され、プロセスマップの可視化を表示できます。
エラー	マイニングが試行されましたが、正常に完了しませんでした。 • まだ正常にマイニングされていない新しいプロジェクトをアナリストワークベンチで開くことはできません。 • ワークフローレコードから正常にマイニングされたプロジェクトについて、アナリストワークベンチからデータの更新を試みることができます。プロジェクトデータが正常にリフレッシュされない場合、エラーアイコンの ⚠ が表示されます。詳細を調べるには、[プロジェクト定義] フォームの [データログの抽出] タブを表示します。
予約済み	指定された時間間隔でマイニングされるプロジェクトのジョブがスケジュールされています。 **注:** ジョブ内でマイニングするプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングし、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後にプロジェクト 2 のマイニングを開始します。

プロセス最適化ジョブをスケジュール

後で 1 つ以上のプロジェクトをマイニングする プロセス最適化 ジョブをスケジュールします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

注: プロジェクトごとに作成できるスケジュール済みジョブは 1 つだけです。ただし、複数のプロジェクトをジョブに関連付けることはできます。ジョブ内でマイニングするプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングします。次に、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後、プロジェクト 2 のマイニングを開始します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > 新規作成.
2. [スケジュール済み プロセス最適化 ジョブ] フォームで、作成するジョブの該当するフィールドに値を入力し、[送信] を選択します。
   スケジュール済みジョブレコードのフィールドの説明 を参照してください。
3. [プロジェクト定義] セクションで、[編集] を選択します。
4. [メンバーの編集] フォームで、マイニングするプロジェクトを [コレクション] 列で選択し、[プロジェクト定義リスト] 列に移動します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   スケジュール済みジョブは、設定した頻度で実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 正常に生成されたプロジェクトをアナリストワークベンチから表示します。
- 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > すべてのジョブ スケジュール済みプロセスマイニングジョブを表示します。

プロジェクトを編集

プロジェクト定義フォームからプロジェクトを編集して、更新されたプロセスマップを生成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

- sn_process_optimization_analystロールは、自分がプロジェクトを作成した場合、プロジェクトを編集できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、編集するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. **[Edit** (編集)] を選択します。
4. 目的のフィールドに変更を入力し、[更新] を選択します。
   アクティビティ、ブレークダウン、または子テーブルを定義した後にテーブルを変更することはできません。

次のタスク
更新されたプロジェクトでデータ抽出を実行して Analyst Workbench に表示し、関連するフィルターを適用します。

プロジェクトの削除

プロジェクトを使用しておらず、データをクリーンアップする場合は、プロジェクトを削除します。プロジェクトを削除すると、プロジェクトの構成とバージョン、または生成したプロジェクトが削除されます。プロセス最適化ワークスペースからプロジェクトを削除できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールを持っている場合は、自分が作成したプロジェクトのみを削除できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 削除するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. リストから [削除] を選択します。
4. 確認ダイアログボックスで [削除] を選択して、プロジェクトを削除します。

改善の機会を操作する

改善の機会を設定して、プロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定することができます。自分が設定したルールに基づいて、改善が必要な領域を表示できます。

次の改善の機会を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセステーブル:プロセステーブルの改善の機会がテーブルに設定されます。ライブラリからテーブルを追加することで、そのテーブルに基づくプロジェクトに追加できます。
- プロジェクト:プロジェクトの改善の機会は、プロジェクトに固有です。

改善の機会には、次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善機会:これらの改善機会は、順番に実行される 1 つ以上のルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するレコードとして分類されます。
- 自動化された改善の機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

改善の機会を作成できる UI の場所は 2 つあります。

- クラシックビュー
- 検索ビルダー

プロセステーブルに改善の機会を設定する

クラシックビューまたは検索ビルダーから、プロセステーブルのルールベースまたは自動化された改善の機会を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロセステーブルに設定された改善の機会は、ライブラリで利用できます。そのテーブルに基づく任意のプロジェクトに追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. まだリストされていないテーブルの改善の機会を作成する場合は、[新規] を選択します。
   リストからテーブルの改善の機会を作成する場合は、リストからテーブルを選択します。
3. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成」を参照してください。
4. クラシックビューからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。

   [検索定義] タブで、ルールベースの改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。

   [自動検索定義] タブで、自動化された改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。
5. 検索ビルダーからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [検索ビルダーを使用] を選択します。

   [改善の機会の定義] ページが表示されます。
6. ルールベースの改善の機会を作成するには、[ルールベース] カードで [作成] を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善の機会の設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで [作成] を選択します。
詳細については、「自動化された改善の機会」を参照してください。

プロジェクトの改善の機会の設定

プロジェクトの改善の機会を設定し、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定することができます。自分が設定したルールに基づいて、改善が必要な領域を表示できます。

次の場所から検索ビルダーまたはクラシックビューを使用して、改善の機会を設定できます。

- クラシックビューからのプロジェクトの作成または編集。
- プロジェクトビルダーからのプロジェクトの作成または編集。
- [サマリーとインサイト] ページからのプロジェクトの改善の機会の追加。

クラシックビューからの改善の機会の設定

クラシックビューから改善の機会を設定します。

クラシックビューからルールベースおよび自動化された改善の機会を設定します。

クラシックビューを使用してルールベースの検索定義を設定する

検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに配信するようにルールベースの検索定義を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [プロジェクト検索定義] で [新規] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

- 検索ルールを作成します。このプロセスの手順については、「 検索ルールを構成」を参照してください。
- 検索制約を作成します。このプロセスの手順については、「 検索制約の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索ルールを構成

検索定義の検索ルールを設定します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

始める前に

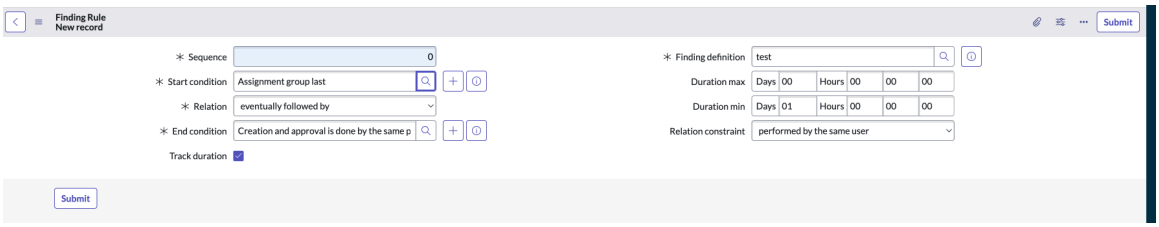
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索ルールを追加する検索定義レコードを開きます。
2. [検索ルール] タブで、[新規] を選択します。
3. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索ルールフォーム」を参照して ください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択して検索ルールレコードを保存します。
5. オプション: 同じチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールを作成 (同じチェーン)] を選択します。
   このオプションを選択すると、同じチェーン内に新しい検索ルールが開きます。シーケンス値は、現在のルールよりも 1 つ大きくなっています。
6. オプション: 新しいチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールを作成 (新しいチェーン)] を選択します。
   このオプションを選択すると、新しいチェーン内で新しい検索ルールが開きます。

Example:
この例では、誰かがインシデントレコードの承認を要求し、その承認が同じユーザーによって承認されているタイミングを検出するための検索ルールが作成されます。[最小期間] フィールドは 1 日に設定されているため、承認が要求されてから 24 時間以上経過してから承認された場合にのみルールがトリガーされます。

検索ルールレコードの例



次のタスク

- 望ましくないプロセス動作の根本原因を見つけるための自動根本原因分析を構成します。この機能の詳細については、こちらを参照してください。「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- ワークフローの自動化機会を特定するのに役立つ オートメーションディスカバリー を設定します。この構成の詳細については、「 オートメーションディスカバリー」を参照してください。
- パターンを識別できるように、類似したレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化するようにクラスター分析を構成します。この構成の詳細については、「 クラスター分析」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約の構成

検索定義の検索制約を設定します。検索制約は、検索ルールに加えて、期間や関係の制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索制約を追加する検索定義レコードを開きます。
2. [検索制約] タブで、[新規] を選択します。
3. フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索制約フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

ユースケースの例:a-**b-a** 移行

検索ルールを使用して、レコードがいつ前の状態に戻るのかを特定します。

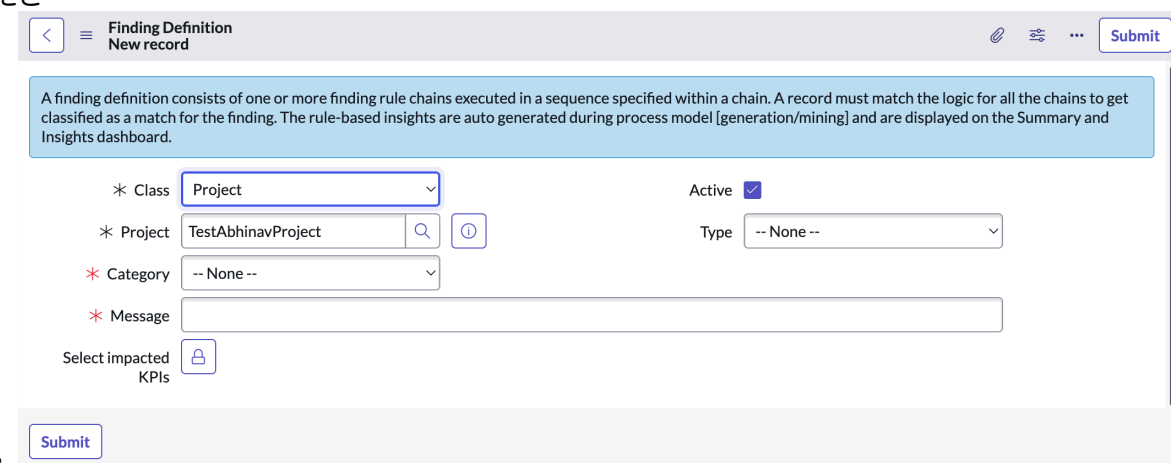
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

この例では、2 つの検索ルールと 1 つの検索制約を使用して、インシデントがグループ (この例ではデータベースグループ) にアサインされ、元のアサインに戻されたタイミングを識別する検索定義を作成します。このような検索定義を使用して、インシデントが誤ってアサインされている状況を特定します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクトをクリックし、この検出結果を含めるプロジェクトを開きます。
2. [プロジェクト検索定義] タブで、[新規] ボタンを選択して検索定義を作成します。
3. 検索定義レコードに詳細を入力します。
   詳細については、「クラシックビューを使用してルールベースの検索定義を設定する」を参照してくださ



   い。
4. フォームヘッダーを右クリックし、コンテキストメニューから [保存] を選択します。
   保存後、[検索ルール] タブと [検索制約] タブが表示されます。
5. [検索ルール] タブで、[新規] ボタンを選択して検索ルールを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

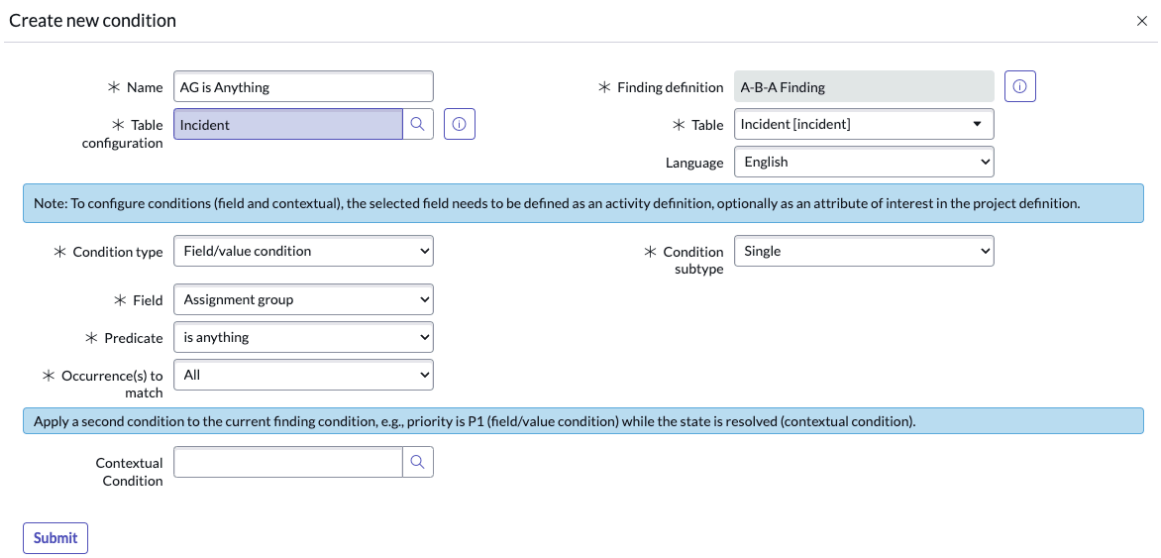
6. [開始条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、開始条件の作成を開始します。

   注: ルールごとに条件を作成する必要があります。既存のルールを選択するオプションはありません。

7. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、最初の条件を作成します。

   開始条件では、[アサイン先グループ] フィールドの任意の値を使用してインシデントが作成される条件を作成します。

フィールド	値
名前	AG は何でも
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	すべての値
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一



8. [送信] を選択して条件を保存します。
9. [関係] フィールドで、[最終的に続く] を選択します。
10. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、終了条件の作成を開始します。
11. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、2 つ目の条件を作成します。

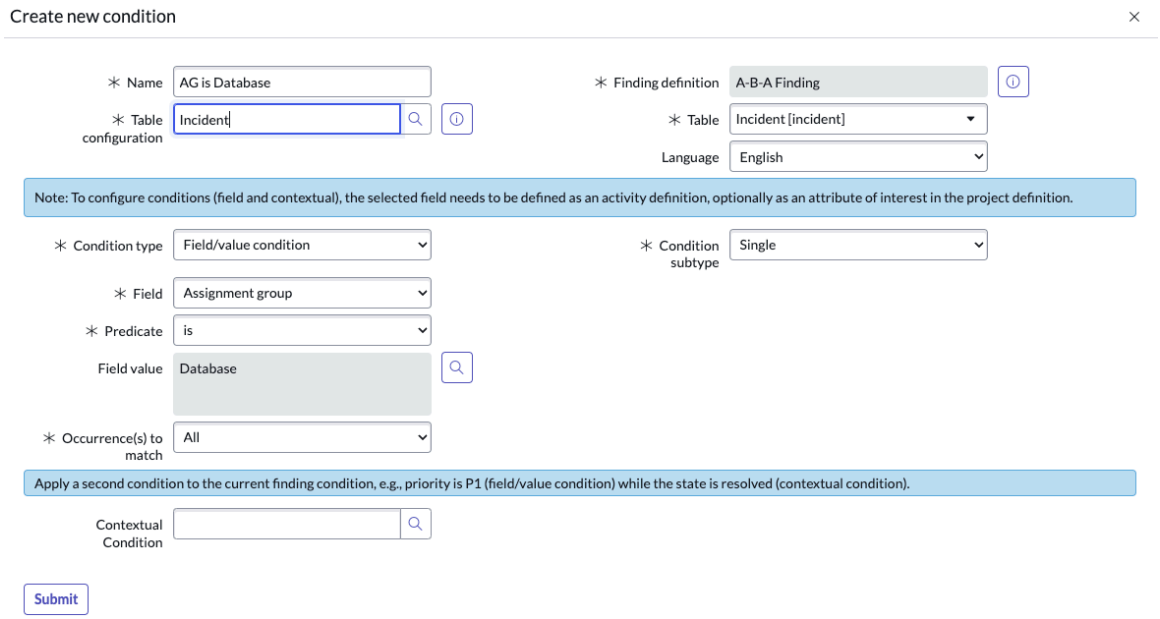
    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられる条件を作成します。

フィールド	値
名前	AG は何でも

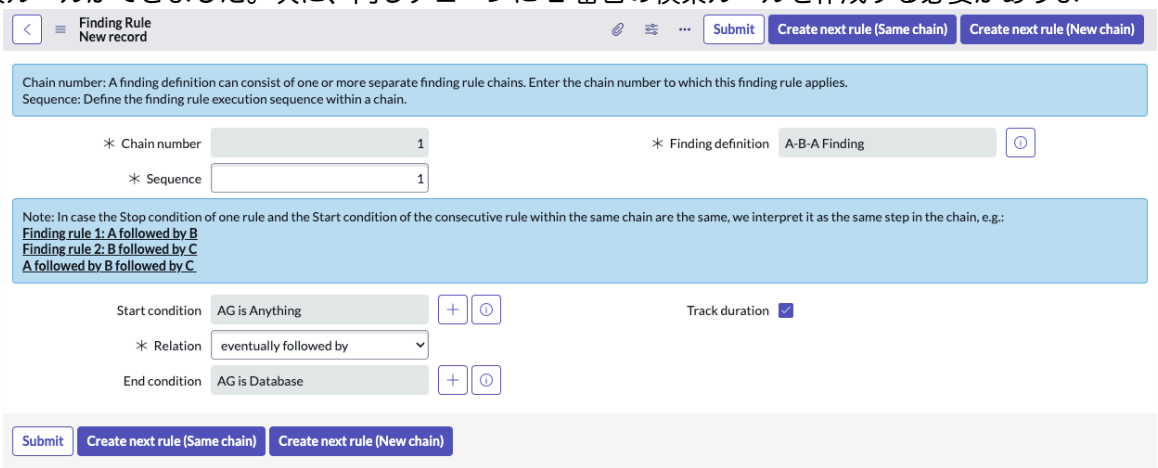
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	次の値に等しい
フィールド値	データベース
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一



12. [送信] を選択して条件を保存します。
これで、インシデントがデータベースグループにアサインされるタイミングを識別する最初の検索ルールができました。次に、同じチェーンに 2 番目の検索ルールを作成する必要がありま

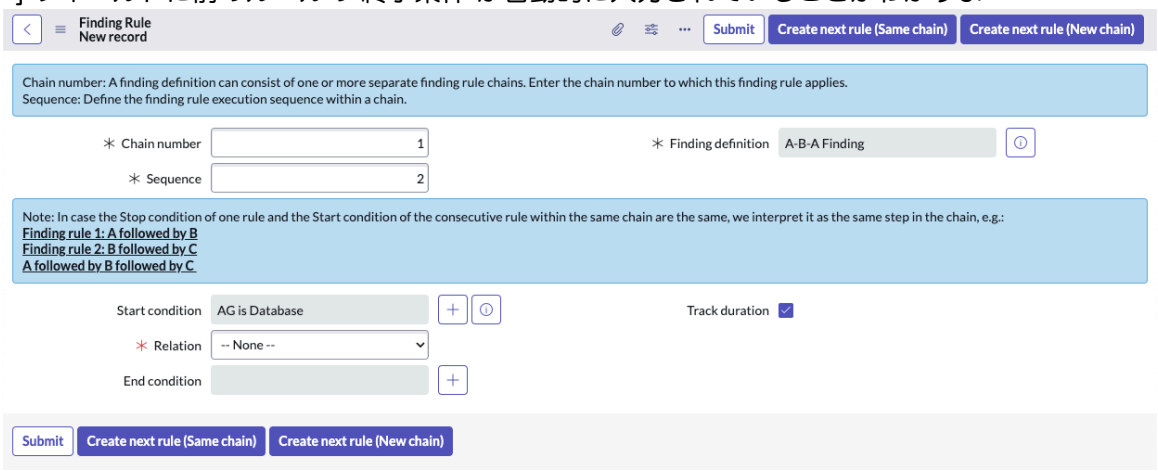


す。

13. [新しいルールを作成 (同じチェーン)] を選択する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

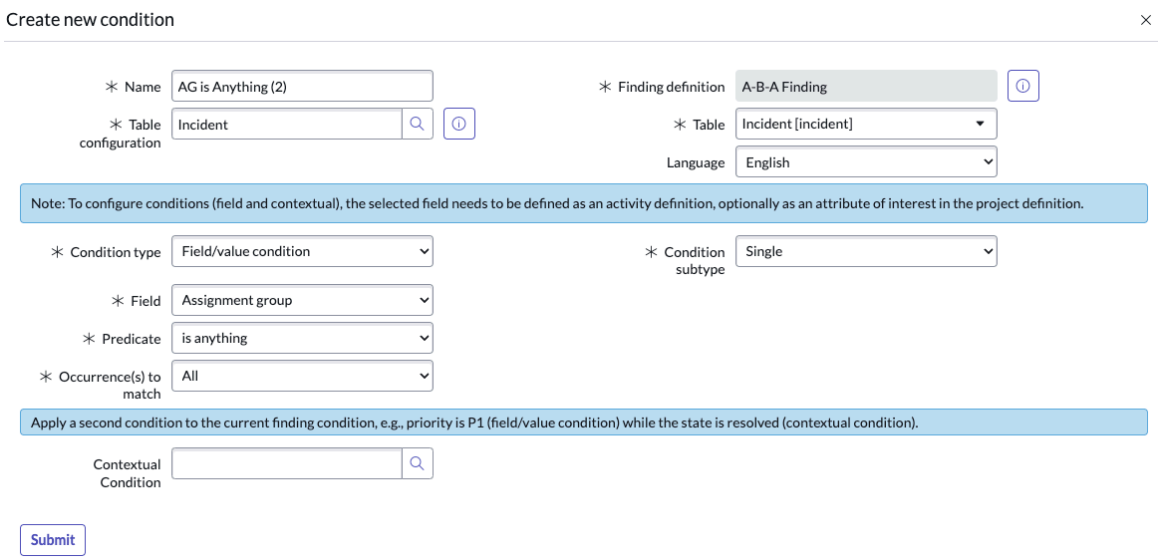
これは同じチェーン内の新しいルールです。[シーケンス] フィールドが 2 で、[開始条件] フィールドに前のルールの 終了条件 が自動的に入力されていることがわかります。



14. [関係] フィールドで、[最終的に続く] を選択します。
15. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、2 番目の終了条件の作成を開始します。
16. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、終了条件を作成します。

    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられる条件を作成します。

フィールド	値
名前	AG は何でも (2)
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	すべての値
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	単一



17. [送信] を選択して条件を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

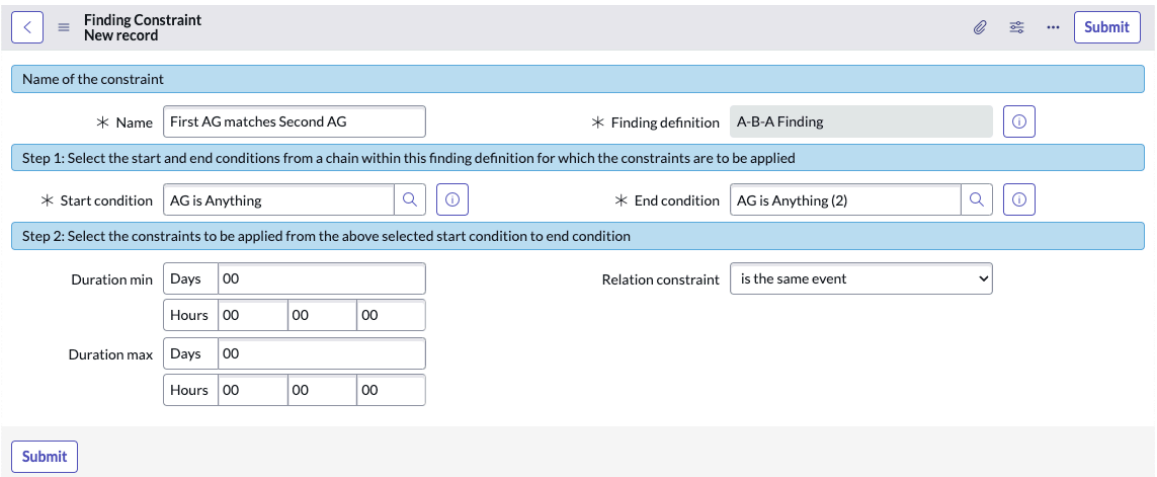
これで、2 番目の検索ルールが完成しました。

18. [送信] を選択して検索ルールを保存します。
19. プロジェクトレコードを再度開きます。
20. [プロジェクト検索定義] タブで、前のステップで作成した検索定義を開きます。

    注: これはステップ 3 で作成したものです。

21. [検索制約] タブで [新規] ボタンを選択します。
22. [検索制約] フォームのフィールドを使用して、制約を作成します。

フィールド	値
名前	最初の AG が 2 番目の AG に一致する
開始条件	AG は何でも
終了条件	AGは何でも(2)
関係制約	が同じイベントである



この検索制約により、検索ルールが絞り込まれます。たとえば、インシデントが ネットワークにアサインされ、 次にデータベースにアサインされ、さらに ネットワークに戻ると、この検索ルールによって検出されます。

23. **[Submit** (送信)] を選択します。

クラシックビューを使用した自動化された改善の機会の設定

自動検索定義を設定して、[サマリーとインサイト] ページで指定したインサイトを表示します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。
4. フォームで、フィールドに入力します。
   詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。

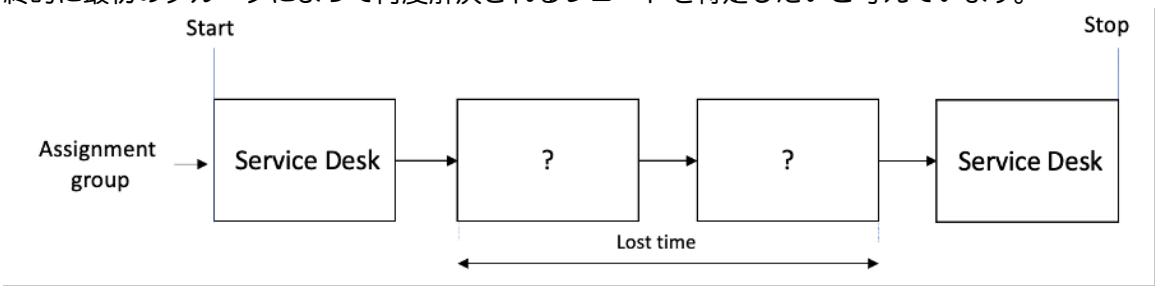
   注: 1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動改善の機会を設定できます。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。

改善の機会の例

検索定義のユースケースについては、以下で説明します。

ユースケース 1a:グループ間でのレコードのバウンス。アナリストは多くの場合、特定のグループ (サービスデスクなど) から送信され、別のグループに再アサインされ、最終的に最初のグループによって再度解決されるレコードを特定したいと考えています。



最初のグループがわかっている場合は、「メッセージとカテゴリ」という検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:グループ名 (サービスデスクなど)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の値に等しい
  - フィールド値 = サービスデスク
  - 一致する出現:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:グループ名 (例:サービスデスク)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = は
  - フィールド値 = サービスデスク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 一致する発生件数:最後のみ
- 追跡期間:true

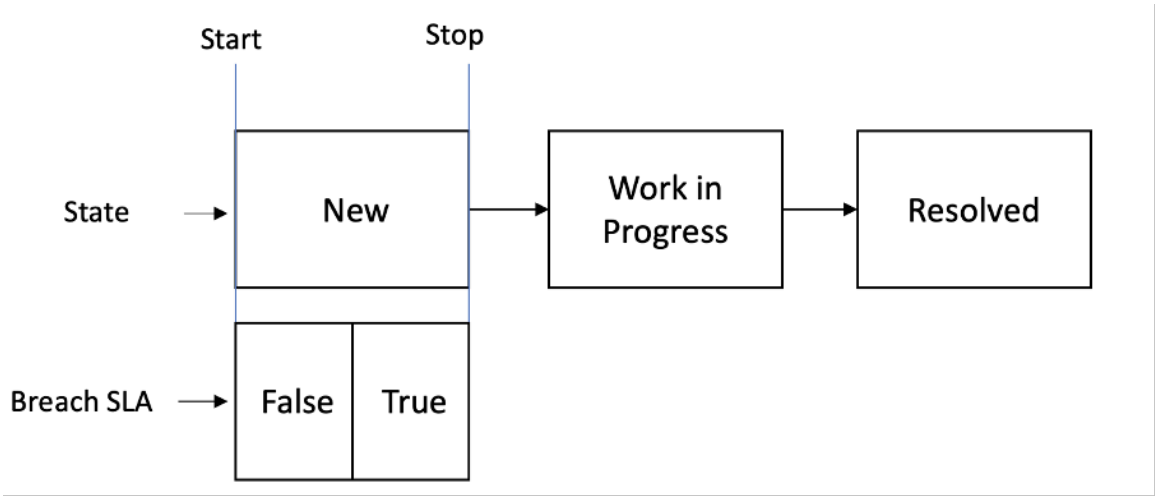
ユースケース 1b:初期グループが類似しているグループ間のすべてのバウンスレコードを特定する必要がある場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:アサイン先グループは何でも
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = すべての値
  - 一致する出現:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:アサイン先グループは何でも
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語=何でも
  - 一致する発生件数:すべて
  - 追跡期間:true
  - 関係制約:同じアサイン先グループがある

ユースケース 2:SLA 違反。SLA 違反が発生した間、ステータスが [新規] であったすべてのレコードを表示しま



す。

検索定義にメッセージとカテゴリを指定したら、検索ルールを次のように指定します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件

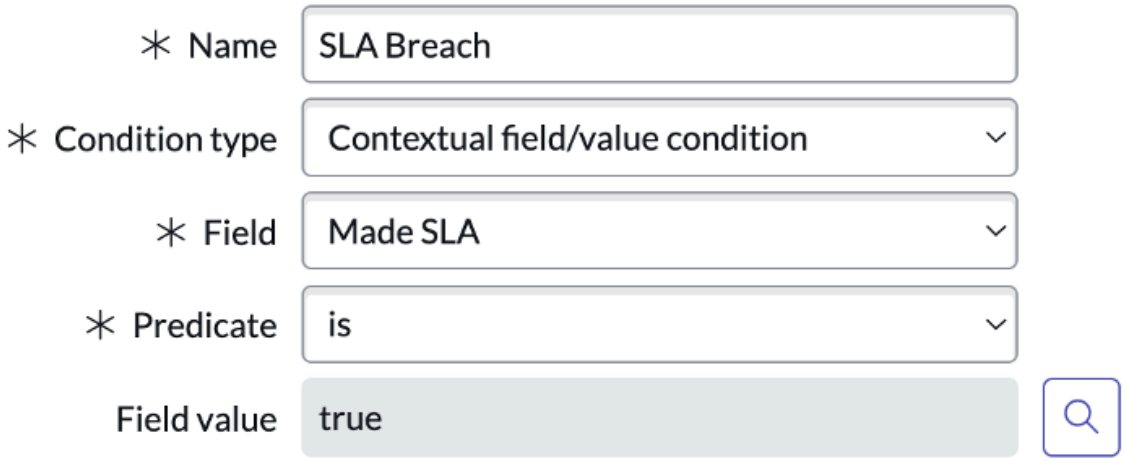
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

  - 名前 = ステータス
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = ステータス
  - 述語 = は
  - フィールド値=新規
  - 一致する発生 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 検索定義 = 検索定義メッセージを追加
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - フィールド = SLA 締結有無 (プロジェクトのアクティビティ定義として SLA 締結が定義されていることを確認してください)
  - 述語 = ではない
  - フィールド値 = true
- 関連:次が直接続く
- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:ステータス
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = ステータス
  - 述語 = は
  - フィールド値 = 対応中
  - 一致する発生 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - フィールド = SLA 締結有無 (プロジェクトのアクティビティ定義として SLA 締結が定義されていることを確認してください)
  - 述語 = は
  - フィールド値 = true
- 追跡期間:true

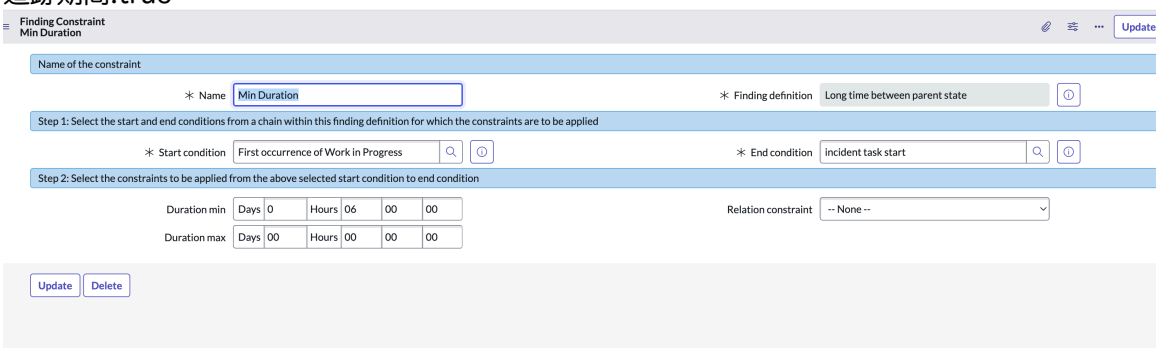
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



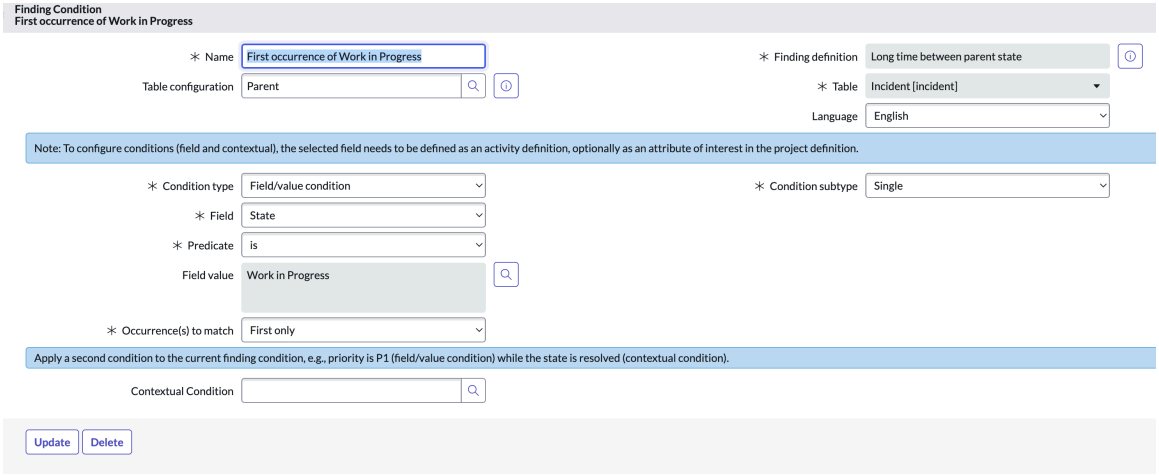
ユースケース 3:親ステータスの [対応中] からタスクの作成までの間に 6 時間を超える。多くの場合、解決時間またはレコードは、1 つ以上のタスクの完了に依存します。したがって、メインレコードの解決時間を短縮するには、メインレコードが [対応中] ステータスに達した後にできるだけ早くタスクを開始することが重要です。この例では、ユーザーは、メインレコードが [対応中] になった後に基になるタスクの作成に 6 時間以上かかったすべてのレコードを検索したいと考えています。検索定義にメッセージとカテゴリを指定した後、検索ルールを次のように指定します。

- 開始条件テーブル構成:親、インシデントなど
- 開始条件
  - 名前:[対応中] の最初の発生
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = ステータス
  - 述語 = は
  - フィールド値 = 対応中
  - 一致する出現:最初、のみ
    - 関係:最終的に次が続く
    - 終了条件テーブル構成:インシデントタスク
    - 終了条件
      - 名前 = インシデントタスク開始
      - 条件タイプ = プロセス開始
        - 制約:最小期間は 6 時間です
        - 追跡期間:true



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



検索ビルダーを使用して改善の機会を設定する

検索ビルダーを使用して、クラシックビューから改善の機会を設定します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [プロジェクト検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [検索定義を使用] を選択します。
   [改善の機会の定義] ページが表示されます。
4. ルールベースの改善の機会を作成するには、[ルールベース] カードで [作成] を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善の機会の設定」を参照してください。
5. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで [作成] を選択します。
   詳細については、「自動化された改善の機会」を参照してください。

プロジェクトビルダーからの改善の機会の設定

プロジェクトビルダーから改善の機会を設定します。

プロジェクトの作成中または編集中に、プロジェクトビルダーからルールベースで自動化された改善の機会を作成します。

ルールベースの改善の機会の設定

ルールベースの検索定義は、[サマリーとインサイト] ページにユースケースの改善の機会を表示するカスタムルールです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

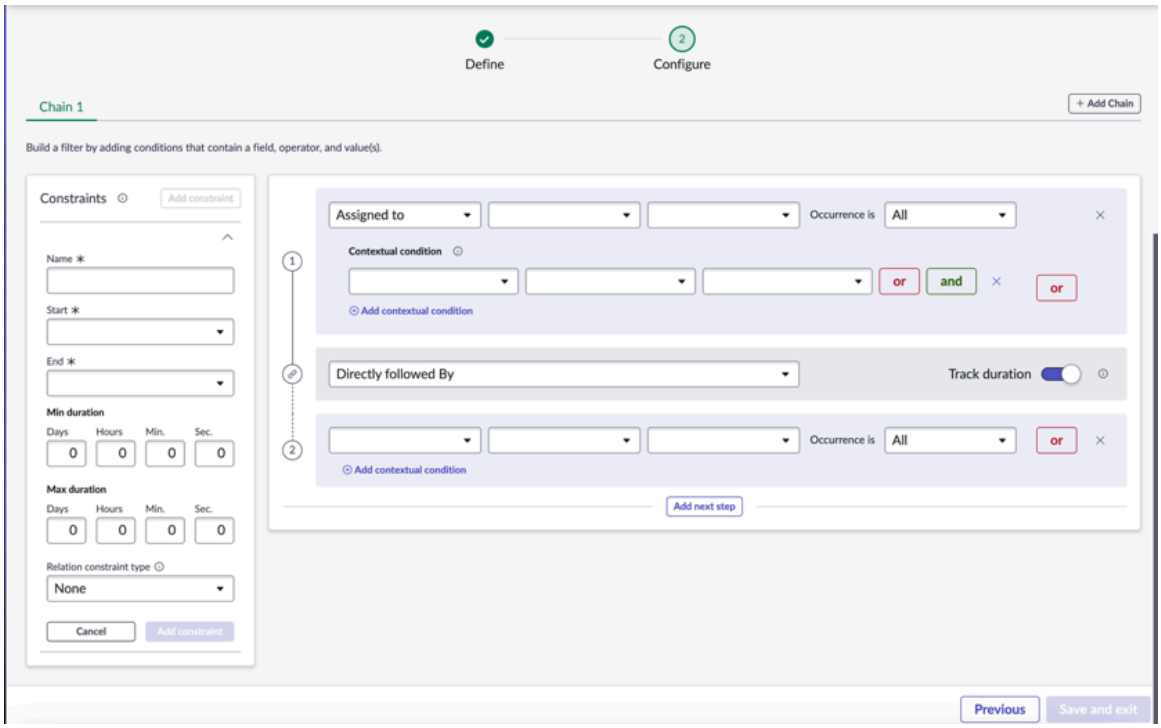
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

独自のルールを設定することで、詳細を知りたいプロセスの特定の領域に焦点を当てることができ、特定のユースケースの改善の機会を特定できます。

たとえば、[検証待ち] から [解決済み] まで 7 日以上かかったレコードを表示するルールを設定できます。

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [ルールベース] カードで [作成] を選択します。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。



5. フォームに詳細を入力します。
   a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、フィルターを定義します。

      [発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生にフィルターを適用するかどうかを定義します。

   b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このフィルターの追加のコンテキスト条件を定義します。

      [AND] および **[OR]** ボタンを使用して、必要な数のコンテキスト条件を作成します。

   c. [次のステップを追加] を選択して、このチェーン内に別のフィルターを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターを作成すると、2 つのフィルターの間に関係セクションが表示されます。このセクションでは、そのすぐ上とすぐ下のアクティビティ間の関係を定義します。

d. フィルター間の関係を選択します。

- 次が直接続く
- 最終的に次が続く
- 次が直接続かない
- 最終的に次が続かない

e. [追跡期間] フィールドを選択します。

このフィールドは、指定された検索ステップ間の時間を追跡して、改善の機会に表示される検索プロセスの合計期間を計算します。

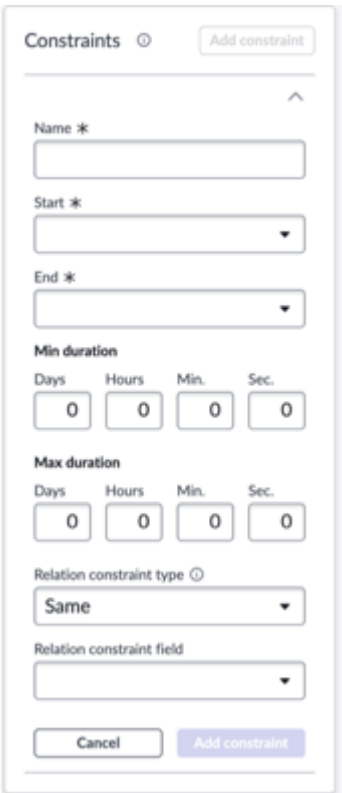
f. [**+** チェーンの追加] (右上) を選択して、フィルターの追加チェーンを作成します。

チェーンは、リンクされたフィルターのセットです。チェーンを作成して、true と評価される必要があるが、別のチェーンのフィルターとは関係がない、関連するフィルターの個別のセットを定義します。チェーンを作成した後、ウィンドウの上部にある [チェーン] **<**番号**>** タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. [制約を追加] を選択します。

制約パネルが右側に表示されます。検索制約を使用して、特定のステップ間の期間や関係の制約など、検索定義ステップ間の特定の条件を設定します。これにより、基本的な検索ルールを超えてスコープを絞り込むことができます。

h. [制約の追加] を選択し、すべての詳細を入力して、[制約の追加] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
名前	制約の名前
開始	検索制約をトリガーするイベント。使用可能なオプションは、フィルターに指定されているステップです。
終了	検索制約を終了するイベント。使用可能なオプションは、フィルターに指定されているステップです。
最小期間	[開始] フィールドで定義されたイベントと [終了] フィールドで定義されたイベントの間の最小期間を指定します。[終了] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間の後に発生する必要があります。
最大期間	[開始] フィールドで定義されたイベントから [終了] フィールドで定義されたイベントまでの最大期間。[終了] フィールドのイベントは、このフィールドに指定された時間よりも前に発生する必要があります。
関係制約タイプ	制約がトリガーされるタイミングをさらに詳細に定義するためのオプションの制約条件。 なし 関係制約なし 同じ レコードは特定のフィールドに同じ値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドで指定します。 異なる レコードは特定のフィールドに異なる値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドで指定します。 同じユーザー 開始条件と終了条件は同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザー 開始条件と終了条件は、異なるユーザーによってトリガーされる必要があります。 同じイベント 開始ステップと停止ステップは同じですが、中間ステップは異なることがあることを示し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ます。これは、最初と最後のステップのみが一致する必要がある A -> B -> A などのピンポンパターンを特定するのに役立ちます。 異なるイベント 開始ステップと停止ステップが互いに異なることを示しますが、中間ステップは異なる場合もあれば同じ場合もあります。これにより、A -> B -> C など、初期アクティビティと最終アクティビティが同じではないシーケンスを識別し、プロセスが異なるイベントで開始および終了するようにすることができます。
関係制約フィールド	関係制約タイプに関連付けられたフィールド。 このフィールドは、[関係制約タイプ] フィールドで [同じ] または [異なる] が選択されている場合に表示されます。 注: [開始条件] フィールドまたは [終了条件] フィールドに選択肢がない場合、使用可能な関係制約フィールドは空として表示されます。

自動翻訳

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

自動化された改善の機会

自動化された改善の機会は、 プロセス最適化 で利用可能な改善の機会です。プロセスの改善の機会を理解できるように設定します。

注: 1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動改善の機会を設定できます。

プロセス最適化では、次の改善の機会が利用可能です。

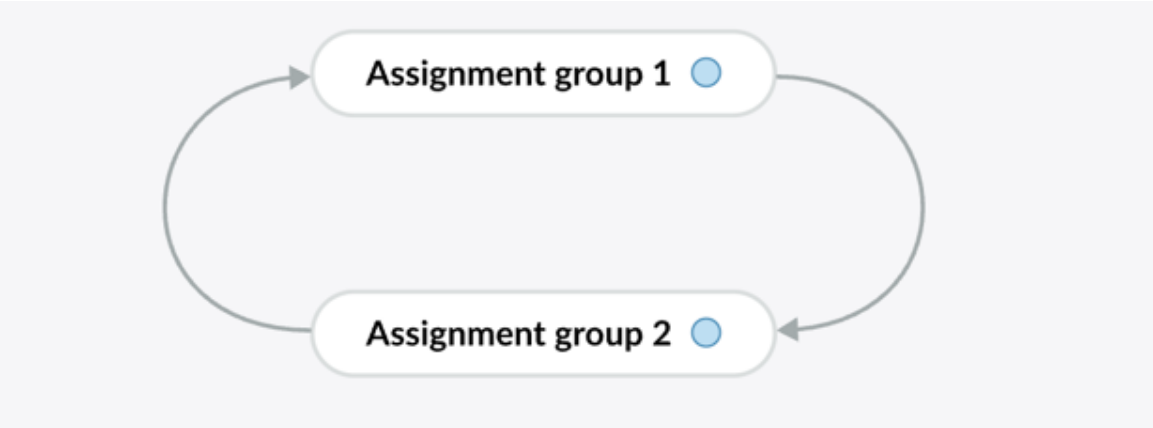
ピンポン検索定義の構成

ピンポン検索定義を構成して、レコードが中断なしに 2 つのステップ間で前後にバウンスするパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

ピンポン検索定義では、レコードが 2 つのステップ間で連続的にバウンスするプロセス内の領域が明らかになります。これらのループを特定することで、必要な改善点を判断できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Ping pong is seen here between both assignment groups, caused by continuous reassignment

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. ピンポンカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。

プロジェクト定義フォーム

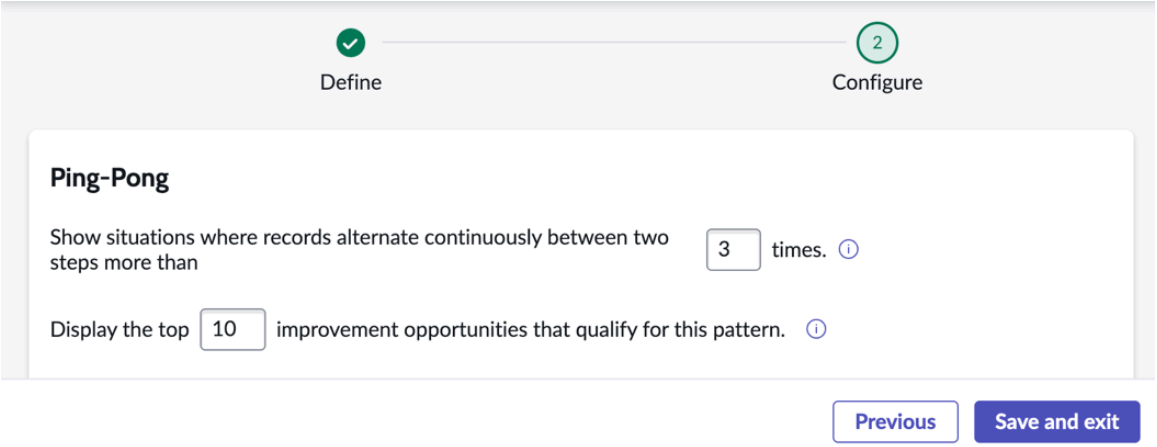
フィールド	説明
名前	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成するために選択した自動検索定義がここに表示されます。 必要に応じて変更できます。
パターンを検出するフィールド	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。検索定義全体がこのフィールドで機能します。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ 品質 ○ 自動化 ○ 適合率 ○ パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは、これが選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで表示できます。

4. [**Configure**] を選択します。
[構成] タブが表示されます。デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- レコードは、2 つのプロセス間で交互に繰り返される中断のない繰り返しが 3 回以上である必要があります。
- [サマリーとインサイト] ページには、最大 10 件の改善の機会が表示されます。

5. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

追加ステップ検索定義を構成

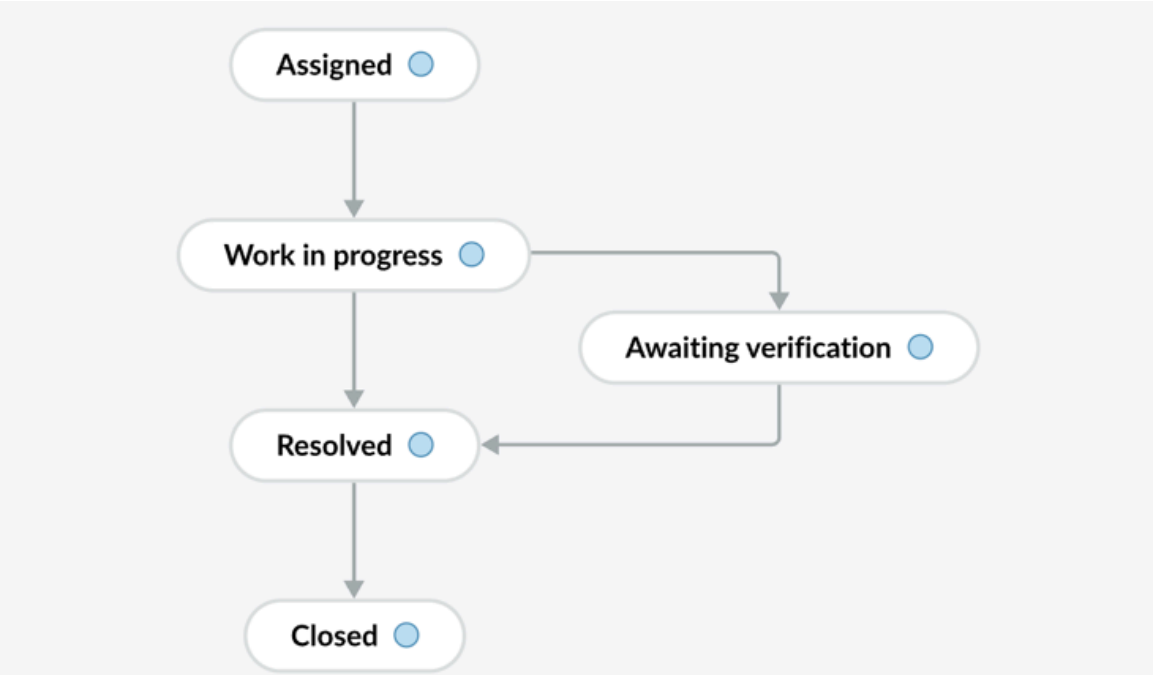
追加ステップ検索定義を構成して、ルートが追加の 1 ステップ異なるパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

追加ステップ検索定義では、1 つの追加ステップが異なるだけで、時間を節約するために自動化または削除できる可能性があるプロセス内のバリアント (ルート) が表示されます。

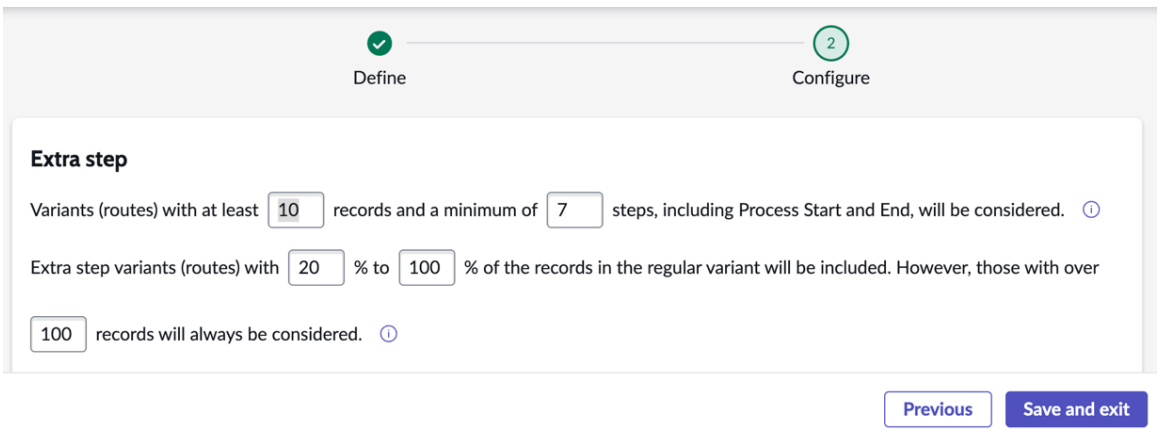
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [Extra step (追加ステップ)] カードで **[Create** (作成)] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 最低 7 つのステップでバリアント (ルート) をチェックし、追加のステップがある類似のバリアントを検索します。ステップには、 プロセスの開始 と プロセスの終了が含まれます。また、バリアントには最低 10 個のレコードが必要です。
- 効率的なルートの体積の20%から100%のバリアントのみが考慮されます。ただし、100 レコードのバリアントは、パーセンテージに関係なく常に考慮されます。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 10 個のバリアントのみが表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

遅い移行を構成

遅い移行の検索定義を構成して、レコードのクラスターが他のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つパターンを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

遅い移行の検索定義には、他のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つレコードのクラスターが表示されます。これは、かなりのレコードグループの遅い進行を特定するのに役立ちます。

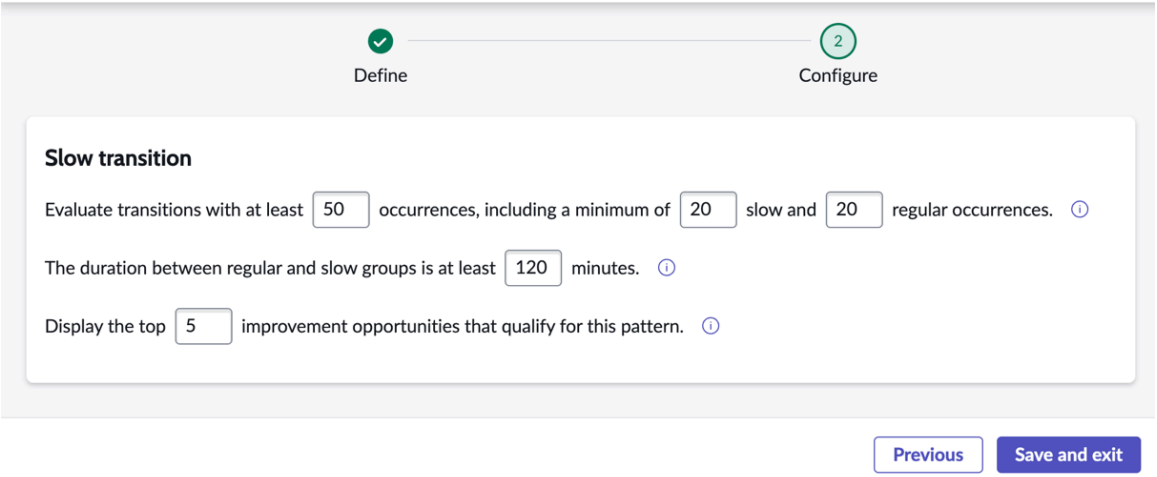
Group B takes longer to transition from "New" to "Assigned"

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義 ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [遅い移行] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- 移行は少なくとも 50 回発生し、最低 20 回の遅い移行と 20 回以上の通常の移行が必要です。
- 遅い移行グループの最短移行と通常の移行グループの最長移行の差は、少なくとも 120 分である必要があります。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの遅い移行のみが表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

極端持続期間検索定義の構成

極端期間検索定義を構成して、ステップ間で移行にかかる時間が通常の期間よりも大幅に長いパターンを表示します。

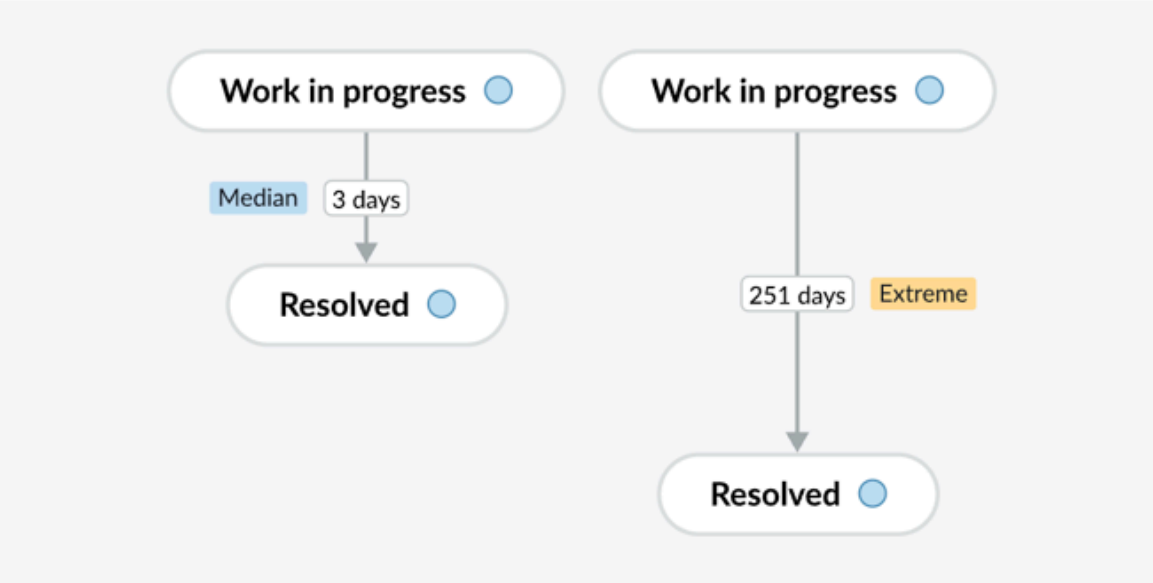
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

極端期間検索定義には、期間中央値よりも大幅に長い時間がかかる移行が表示されます。これにより、潜在的な期間の異常を発見できます。

自動翻訳

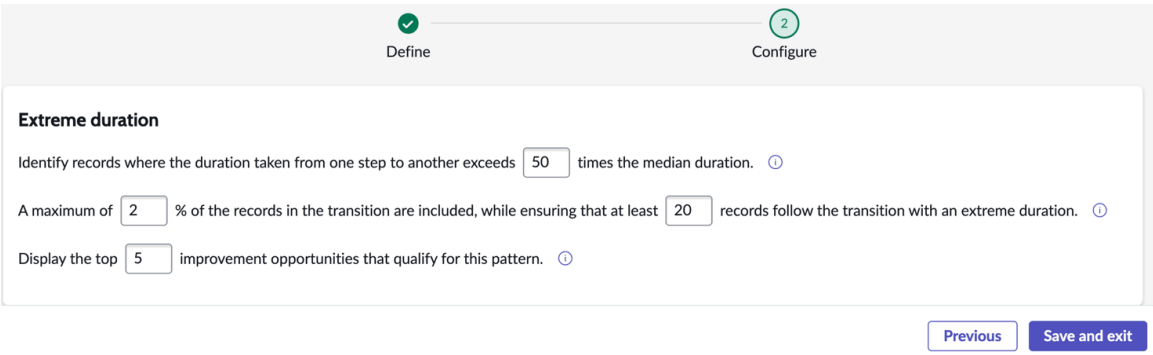
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Right-hand side transition takes significantly longer than the median duration (3 days) to complete

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義 ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [極端な期間] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた、最小時間がかかるレコード。
- 多数のレコードが表示されないように、全レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- [サマリーとインサイト (Summary and insights)] ページには、上位 5 つの極端な期間の移行のみが表示されます。

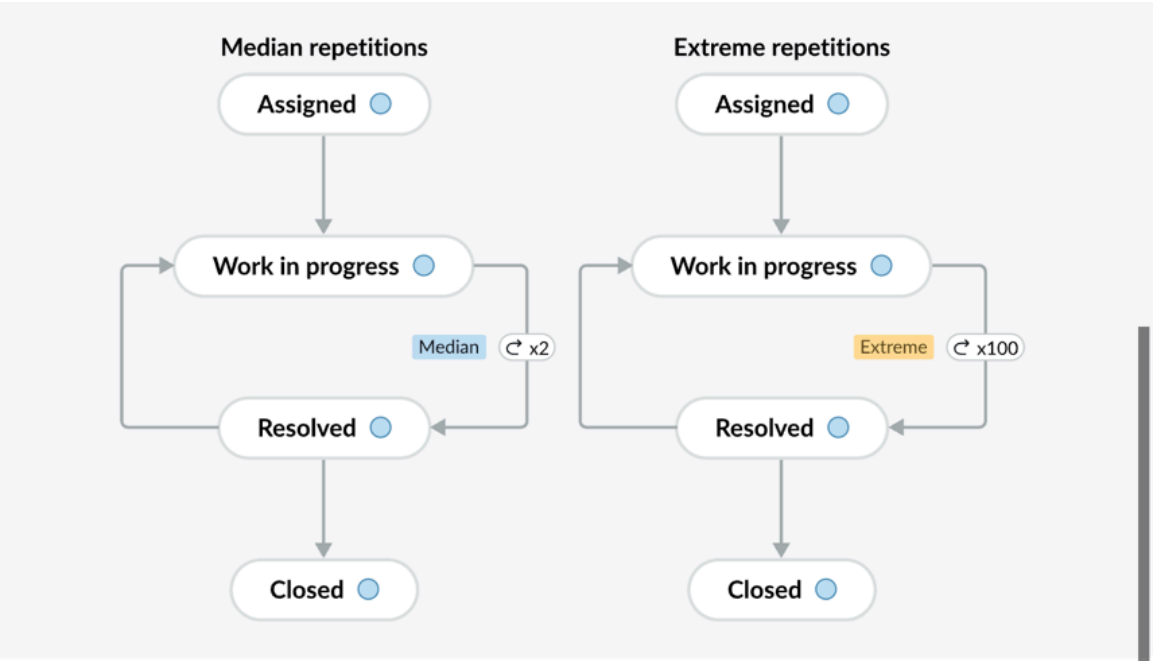
6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

極端な繰り返し検索定義の構成

ステップ間で移行が通常の繰り返し範囲を超えて繰り返されるパターンを表示するには、極端な繰り返し検索定義を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

極端な繰り返しの定義を見つけると、繰り返し中央値よりも大幅に多く繰り返される遷移が明らかになります。これにより、潜在的な繰り返しの異常を発見できます。



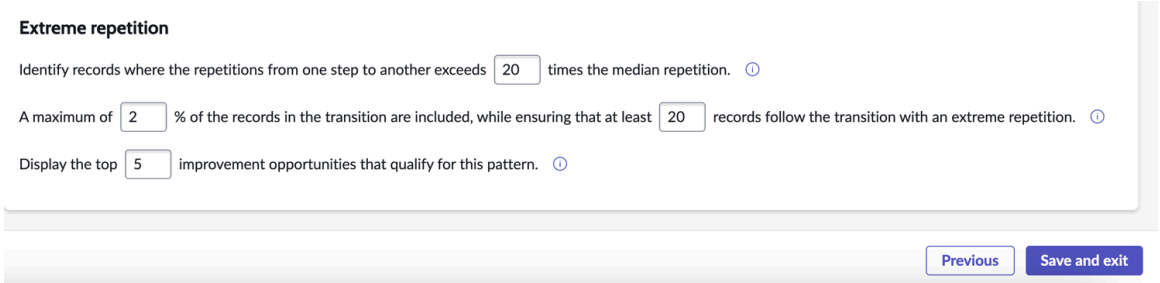
Right-hand side transition between "Work in progress" and "Resolved" occurred significantly more than the median repetition

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義 ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [極端な繰り返し] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた、最小時間がかかるレコード。この例では、期間中央値は 20 * です。
- 多数のレコードが表示されないように、全レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- [サマリーとインサイト] ページには、上位 5 つの極端な期間の移行のみが改善の機会として表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

繰り返しパターン検索定義の構成

一連のステップの繰り返しシーケンスを持つパターンを表示するには、繰り返しパターン検索定義を構成します。

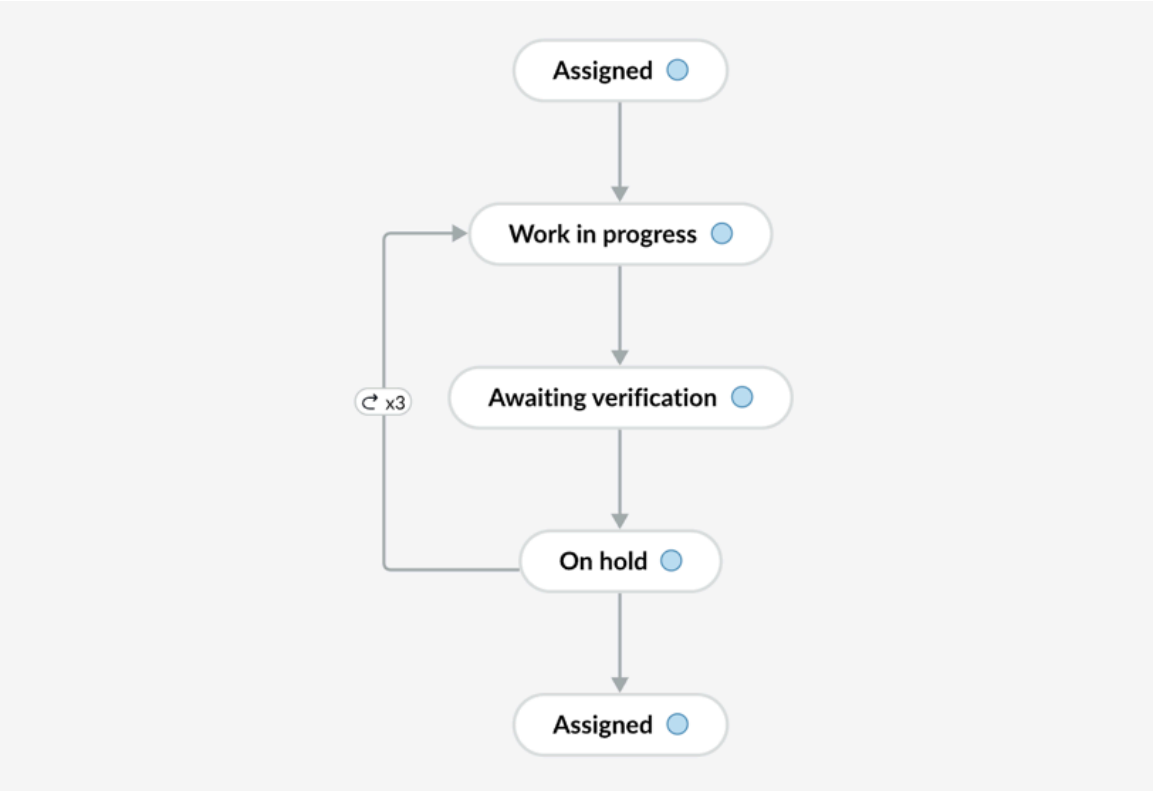
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

繰り返しパターン検索定義では、特定のステップ順序の繰り返しが表示されます。これにより、見直される特定の部品やプロセスを改善または自動化する必要がある領域に焦点が当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



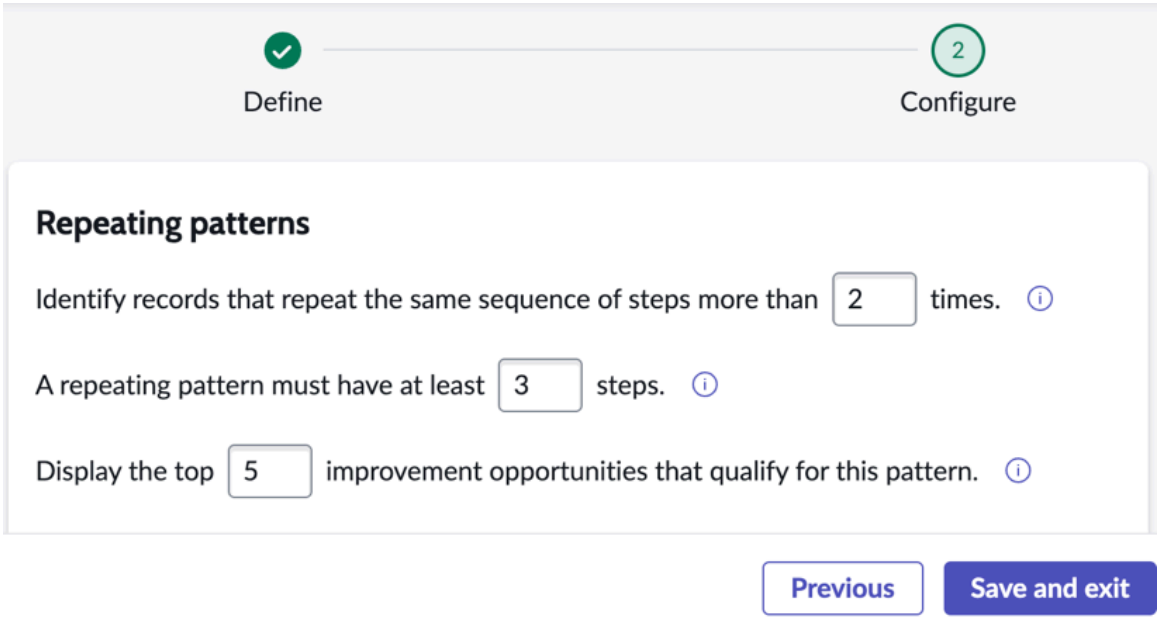
"Work in progress", "Awaiting verification", and "On hold" were executed multiple times

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義 ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. 繰り返しパターンカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

- レコードは少なくとも 2 回繰り返す必要があります。
- 繰り返しパターンには少なくとも 3 つのステップが必要です。
- [サマリーとインサイト (Summary and insights)] ページには、繰り返される上位 5 つのパターンのみが表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

やり直し検索定義を構成

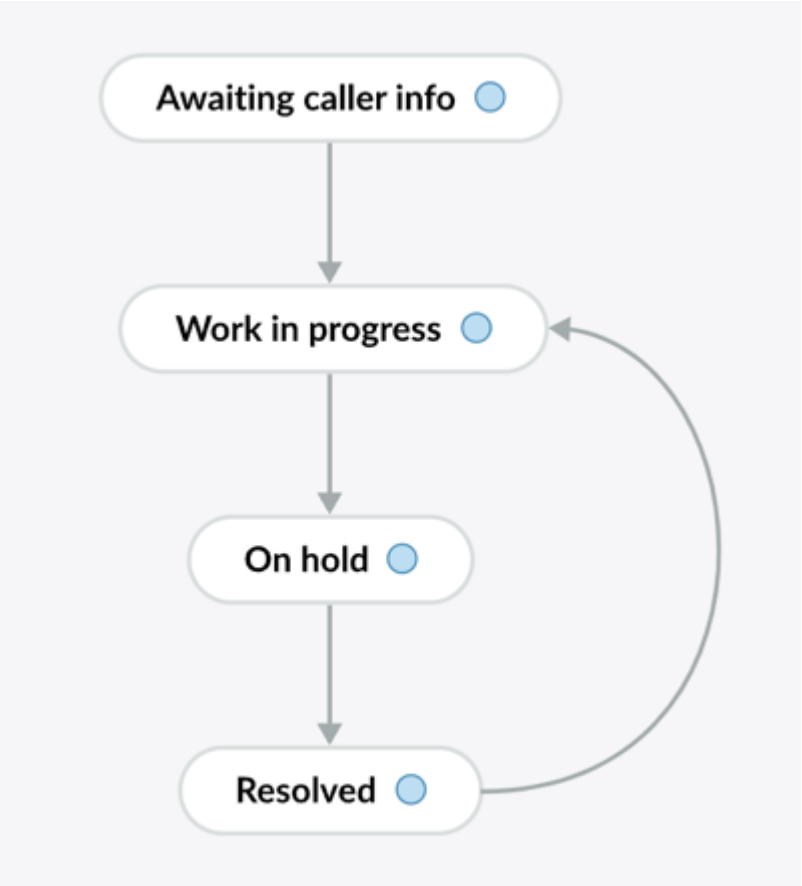
プロセス内の 1 つのステップが繰り返されるパターンを表示するように、やり直し検索定義を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

やり直し検索定義には、繰り返されるプロセスステップが表示されます。これは、作業が頻繁に繰り返される可能性がある状況を特定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



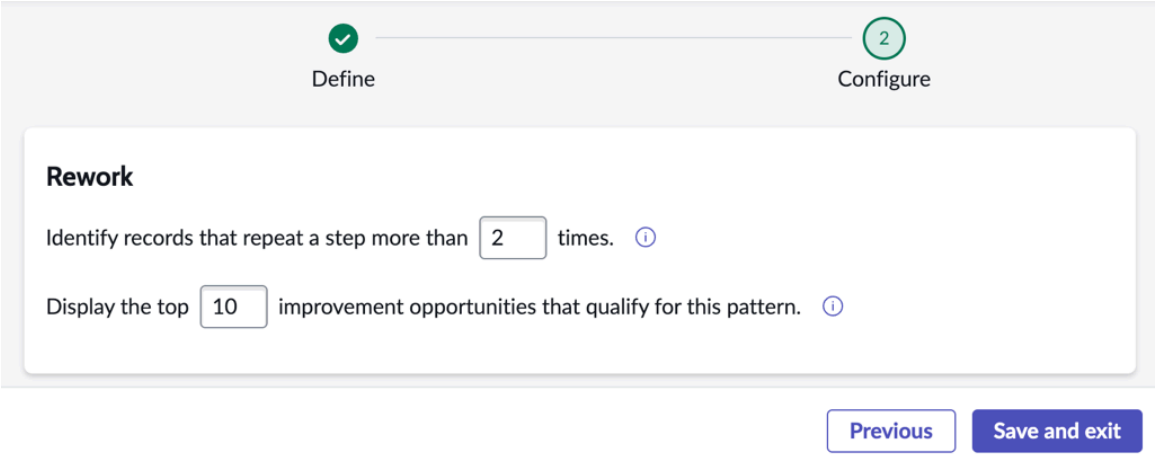
"Work in progress" has been revisited

手順

1. [改善の機会の定義] ページに移動します。
   改善の機会の定義 ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. やり直しカードで **[Create** (作成)] を選択します。
   特定のタイプの自動検索に対して、最大 2 つの自動検索を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が提供されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として使用できます。

- 1 つのステップが 2 回以上繰り返されるレコード。
- [サマリーとインサイト] ページには上位 10 件のレコードのみが表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

[サマリーとインサイト] ページからの改善の機会の設定

[サマリーとインサイト] ページから改善の機会を設定して、プロジェクトの改善の機会を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   プロジェクトに改善の機会が設定されていることを確認します。
3. [機会] セクションの [構成の変更] リンクを選択します。
   プロジェクトビルダーの [改善の機会] ページが表示されます。
4. **[New** (新規)] を選択します。
   [改善の機会の定義] ページが表示されます。
5. カードで [作成] を選択して、そのタイプの改善の機会を作成します。

   ルールベースの改善の機会の詳細については、「 ルールベースの改善の機会の設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化された改善の機会の詳細については、「 自動化された改善の機会」を参照してください。

注: 1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動改善の機会を設定できます。

プロセスインサイトの分析と取得

自動化されたプロセスデータからビジネスフローを可視化して分析し、それらのインサイトに基づいてアクションを実行します。

[サマリーとインサイト] ページ

プロセスを視覚化することに加えて、プロセスの改善に役立つ興味深い事実を確認することもできます。 プロセス最適化 は、接続、アクティビティ、およびルートのルールとクラスター分析を使用して、これらの計算されたインサイトを提供します。[サマリーとインサイト] ページから、速度、品質、ビジネスへのコストへの影響などのメトリクスに関する統計的に関連する検出結果にアクセスできます。改善の機会の概要と詳細なレポートを表示できます。ここからプロジェクトの新しい検索ルールを作成することもできます。

アナリストワークベンチページ

ビジネスプロセスをより適切に分析するために、プロジェクトデータから生成されたプロセスマップを絞り込みます。Analyst Workbench からマップを絞り込むことができます。ワークベンチから、2 つのプロジェクトを並べてさらに分析したり、改善イニシアチブでコラボレーションしたり、メトリクスを表示したりできます。

注: アナリストワークベンチにアクセスできるのは、プロジェクトが構成され、そのデータがプロセスマップに生成された後のみです。

ページまたはワークベンチから、クラスター分析やプロセス分析などのタスクを実行できます。

関連トピック

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

ビジネスインサイトの表示

[サマリーとインサイト] ページからビジネスプロセスに関する重要な情報を表示します。目標とパフォーマンスインジケーターを確認し、改善の機会に関するインサイトを取得します。

[サマリーとインサイト] ページには、プロセスを最適化する機会が表示されます。次のスナップショットを表示できます。

- プロセスの概要
- 改善の機会の概要と改善の機会のリスト
- バリアント
- 新しい改善の機会

ゴールと **KPI**

注: [目標と KPI] セクションは、 パフォーマンスアナリティクス の統合により利用できます。

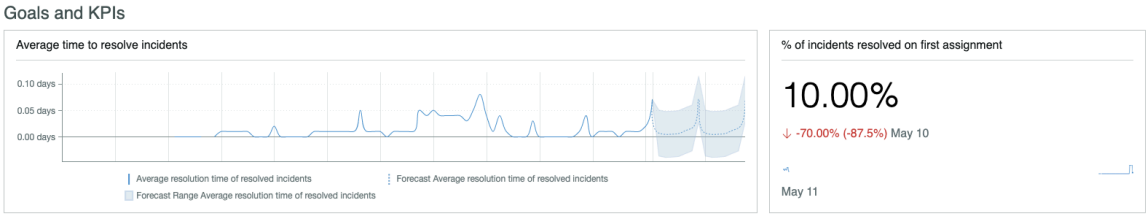
[目標と KPI] セクションは、 UI ビルダーから構成されます。

[目標と KPI] セクションで、 KPI 詳細 ビューからインジケーターの詳細をより詳細に分析するための可視化を選択します。KPI 詳細には、特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、およ

自動翻訳

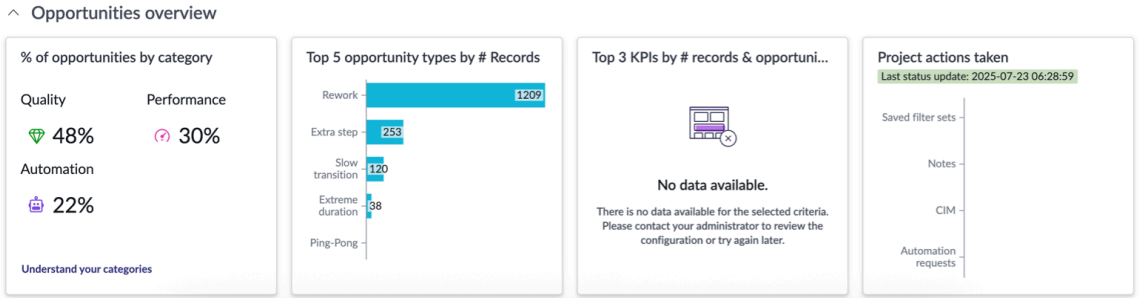
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

び関連レコードが表示されます。[KPI 詳細] ページには、重要業績評価指標の背後にあるより詳しい情報が表示されます。

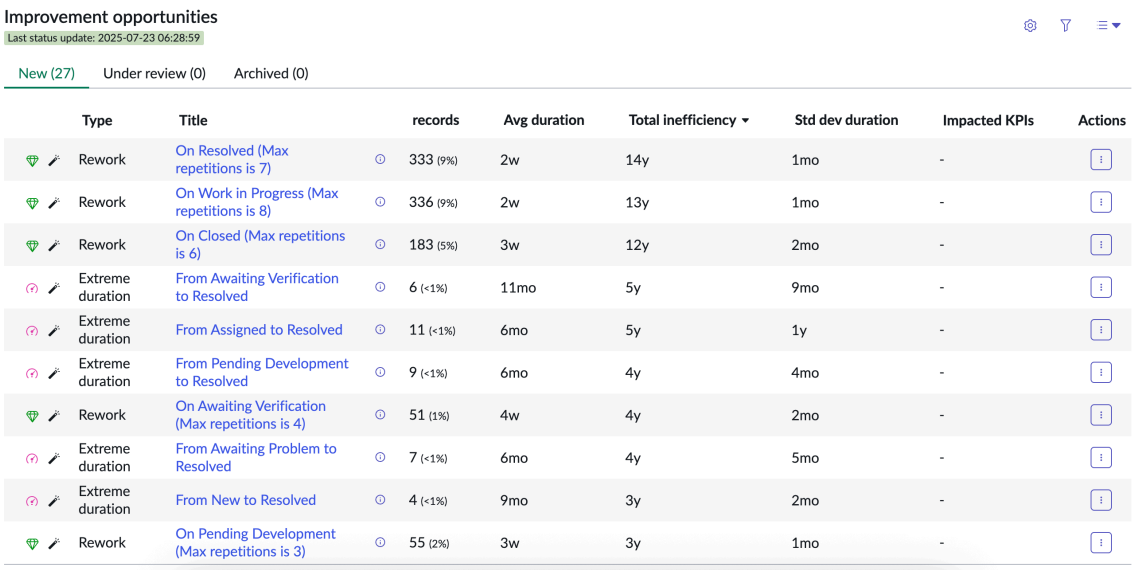


改善の機会の概要

[機会の概要] セクションでは、カテゴリ、タイプ、KPI、および実行されたプロジェクトアクション別にソートされた機会を 4 つの異なるカードで確認できます。



改善の機会リスト



Type	Title	records	Avg duration	Total inefficiency	Std dev duration	Impacted KPIs	Actions
Rework	On Resolved (Max repetitions is 7)	333 (9%)	2w	14y	1mo	-	
Rework	On Work in Progress (Max repetitions is 8)	336 (9%)	2w	13y	1mo	-	
Rework	On Closed (Max repetitions is 6)	183 (5%)	3w	12y	2mo	-	
Extreme duration	From Awaiting Verification to Resolved	6 (<1%)	11mo	5y	9mo	-	
Extreme duration	From Assigned to Resolved	11 (<1%)	6mo	5y	1y	-	
Extreme duration	From Pending Development to Resolved	9 (<1%)	6mo	4y	4mo	-	
Rework	On Awaiting Verification (Max repetitions is 4)	51 (1%)	4w	4y	2mo	-	
Extreme duration	From Awaiting Problem to Resolved	7 (<1%)	6mo	4y	5mo	-	
Extreme duration	From New to Resolved	4 (<1%)	9mo	3y	2mo	-	
Rework	On Pending Development (Max repetitions is 3)	55 (2%)	3w	3y	1mo	-	

構成したルールは、ビジネスに関する所見を検出します。たとえば、次のようなルールを設定できます。

- 直接 [クローズ済み] または [解決済み] ステータスになったレコード
- 顧客が受け入れなかったソリューション、またはステータスが「解決済み」から「対応中」に変更されたソリューションを含む、修正されたレコード。
- グループ割り当てが間違っている、またはが多い

ダッシュボードに表示するインサイトカテゴリの組み合わせを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

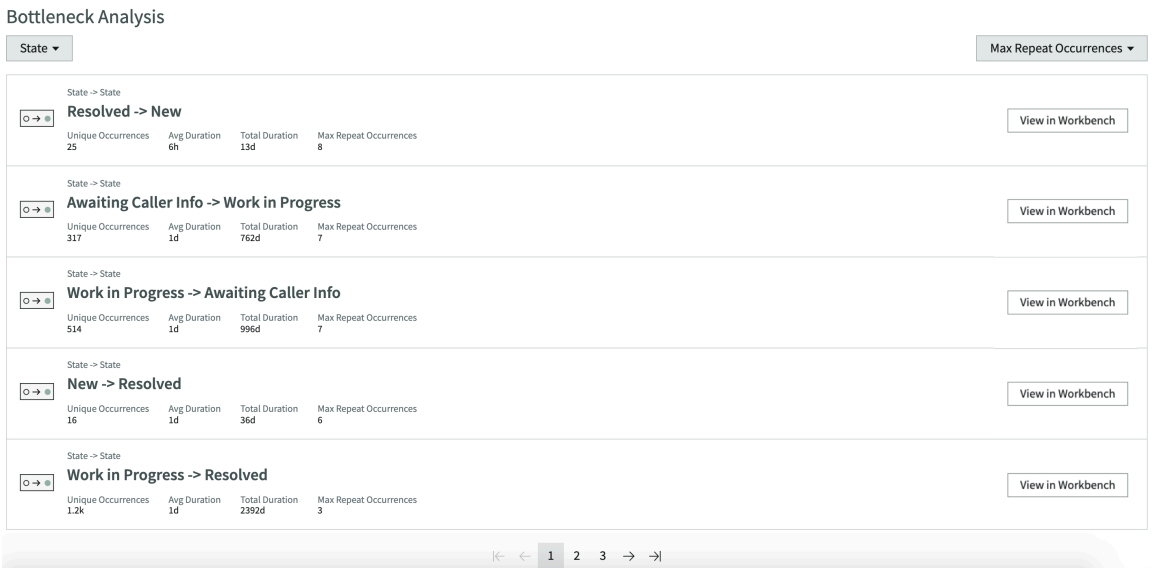
- 品質
- パフォーマンス
- 適合率

各インサイトから、完了したクラスターまたはプロセス分析を要求または表示し、完了したクラスターまたはモデルをワークベンチから表示できます。

選択したインサイトのプロジェクトを生成するには、カードを選択して、カードデータのアナリストワークベンチに移動します。プロジェクトを表示できるようになったら、[プロセス分析の表示] を選択します。

ボトルネック分析

[ボトルネック分析] セクションでは、プロセスレコードで検出された特定されたボトルネックソースを確認できます。

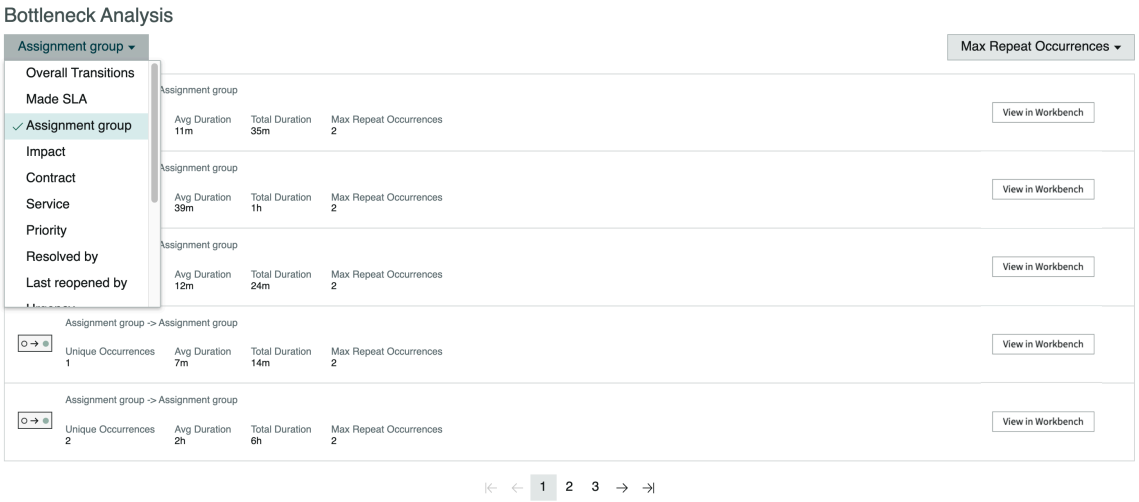


ブレークダウンを選択してルートリストを絞り込み、リストを次の条件でソートします。

- 一意の発生
- 合計時間
- 平均期間
- 最大繰り返し発生件数
- 合計発生件数

ボトルネック分析:ブレークダウン

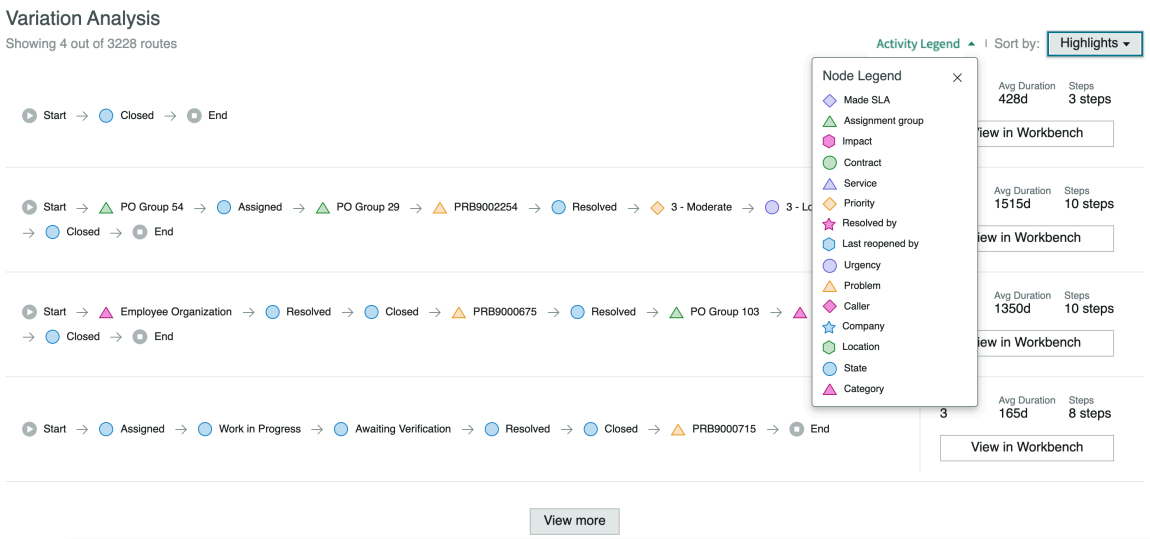
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ワークベンチで表示] を選択して、選択したトランジションのプロジェクトを表示します。

バリアント分析

プロセスのすべてのルートが [バリアント分析] セクションに表示されます。ハイライト、レコード数、平均期間、またはステップでルートの順序をソートできます。



[ワークベンチで表示] を選択して、個々のルートのプロジェクトを表示します。

関連トピック

KPI 詳細

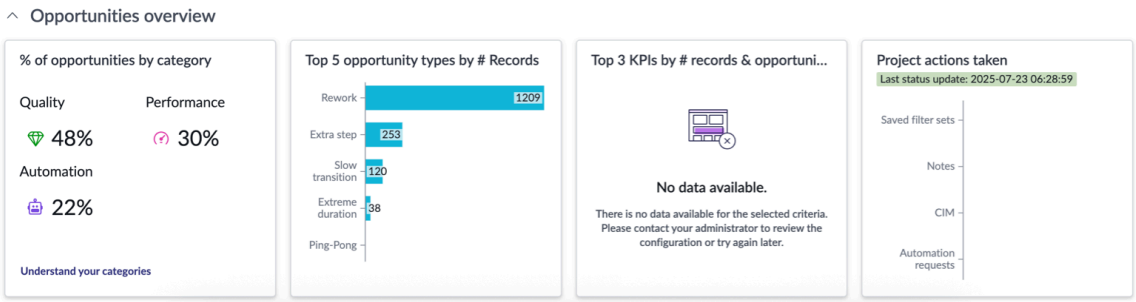
検索定義の操作

検索定義を使用して、検出されたインサイトをサマリーおよびインサイトダッシュボードに配信します。

検索定義には、 プロセス最適化 プロジェクトで収集された情報が表示されます。これらは [サマリーとインサイト] ページ内にリストとして表示されます。この情報を使用して、ビジネスプロセスに関する重要な情報を確認し、ボトルネックやルートのばらつきなどに関するインサイトを取得します。

自動翻訳

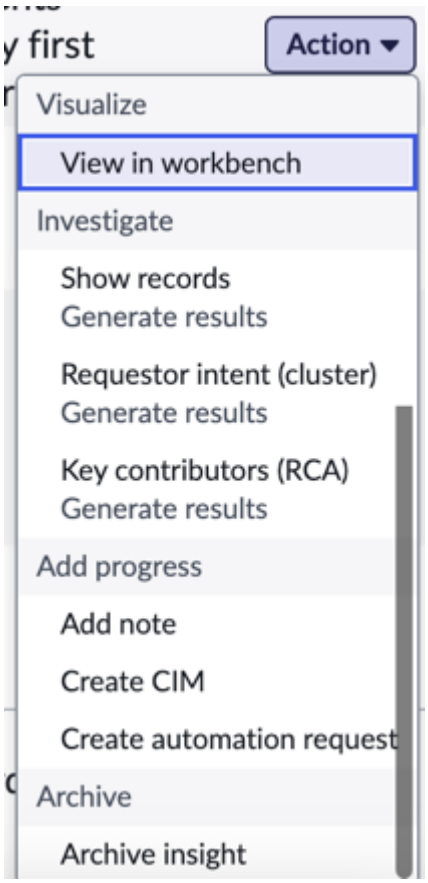
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- 新しい検索定義を作成するには、[構成を変更] リンクを選択します。

  検索定義の作成の詳細については、「 改善の機会の構成」を参照してください。

- 列を表示または非表示にするには、[⚙ を選択します。
- [⇅ を選択して列を並べ替えます。
- [▽] を選択して、結果のリストをフィルタリングします。
- [アクション] を選択し、リストから任意のアイテムを選択して詳細を表示します。



グラフのビューを選択

プロジェクトに設定された 1 つのアクティビティ定義またはすべてのアクティビティ定義の観点からグラフを表示するかどうかを選択します。

始める前に

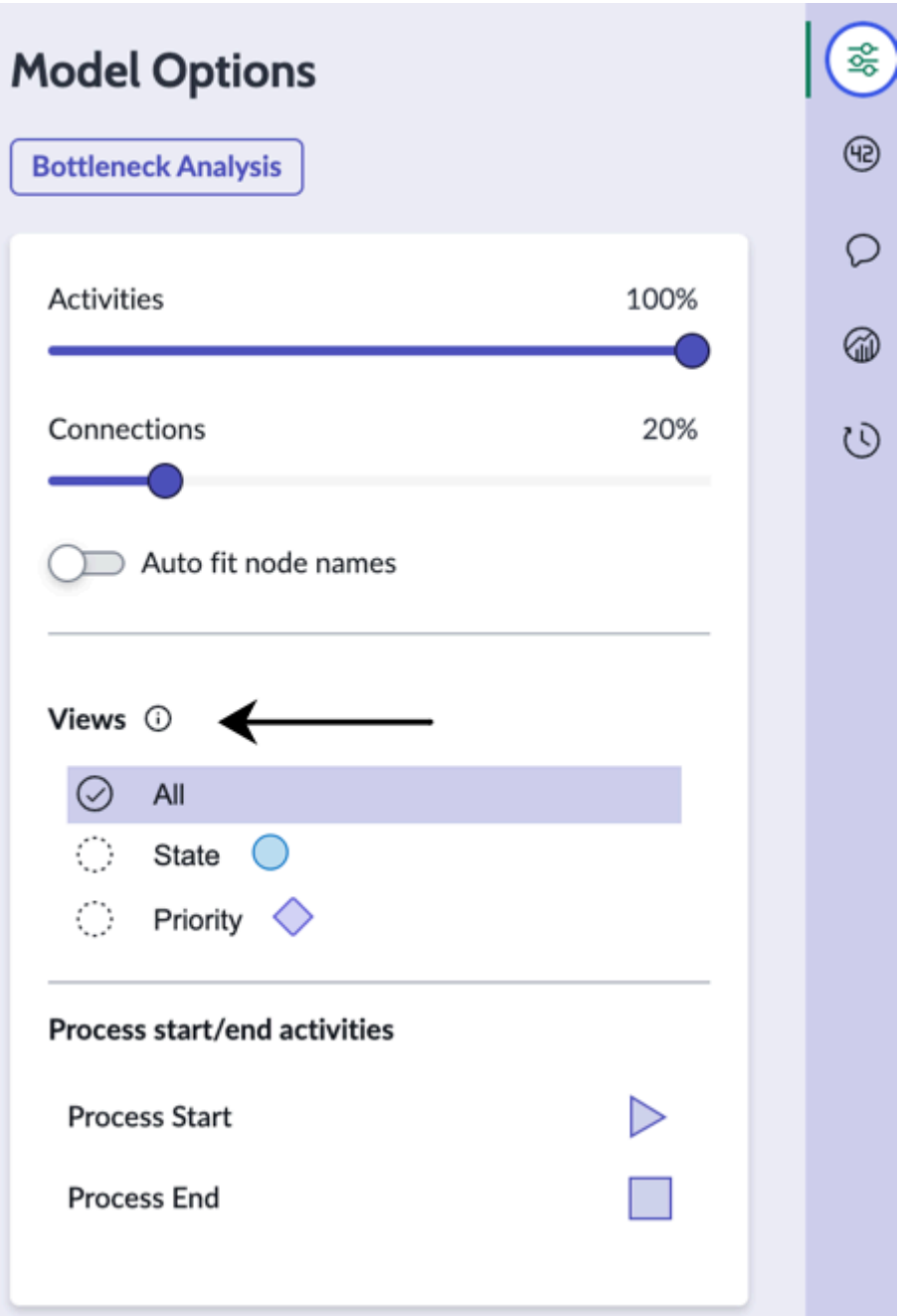
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [アナリストワークベンチ] タブを選択します。
4. 右側のバーから [モデルオプション]) を選択します。
5. [ビュー] 領域から、 すべて またはいずれかのアクティビティ定義を選択します。



6. スケジュール済みタスクの完了後に [結果を表示] を選択します。

結果
グラフには、選択したアクティビティ定義のすべてのデータが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマップの絞り込み

可視化されたワークフロープロジェクトを表示して、ビジネスプロセスのインサイトと改善の機会を確認します。

可視化されたプロセスマップは、問題に固有のデータを確認するのに役立ちます。マップ内で、ドリルダウンして根本原因を把握できます。また、表示または測定する KPI に応じたルートも表示します。

> **注:** 構成可能なワークスペースのダッシュボードで、プロセスマップのほとんどの機能を再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

- アクティビティスライダーと接続スライダーを使用して、最も頻繁に発生するプロセスステップにフォーカスします。頻度の低いステップを含めることもできます。
- アクティビティをマップワークスペース上の別の位置に移動します。
- 視覚的な表示を改善するために、接続に沿ってメトリクス番号をスライドさせます。
- アクティビティまたは接続を選択して 、メトリクス の詳細を表示します。

アクティビティと接続のスライダー

例	定義
	最小 1 つと最大 2 つのパフォーマンスメトリクスを示す通常のノード移行線。次のパフォーマンスメトリクスを表示できます。 • 合計発生件数 • 一意の発生 • 最小期間 • 最大期間 • 平均期間 • 合計時間 • 標準偏差 • 中央期間
	モデル間移行スライダーには、グラフで非表示になっている移行の数が表示されます。ユーザーはモデル間遷移線を選択して、グラフ表示内の遷移の割合を変更できます。親子関係ごとに 1 行表示されます。
	人工的な線は、ユーザーがプロセスがどのノードから終了するかを理解するのに役立ちます。エンティティごとに異なるノードからプロセス終了までの複数の人為的なラインが発生する可能性があります。
	破線は、エンティティが折りたたまれていることを示します。ユーザーが [+] アイコンを選択してエンティティを展開すると、線が消えます。
	円弧の方向は、アクティビティの発生順序を示します。たとえば、2,200 件のレコードの場合、ステータスが [アサイン済み] になる平均 10 か月前にステータスが [新規] になります。

プロジェクトデータのフィルタリング

フィルターを適用して、プロセスマップの特定の側面を絞り込み、ドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 には、プロセスマップを絞り込むためのフィルタリングツールがあり、[フィルター] タブとプロセスマップからアクセスできます。

[フィルター] タブ

- ブレークダウンフィルター:レコードをカテゴリ別にグループ化して表示します。
- 条件:条件ビルダーを使用して、テーブルフィールド条件でフィルタリングします。
- 移行フィルター:アクティビティ条件でフィルタリングして、アクティビティを介して移行したルートを表示します。

プロセスマップ

- メトリクスフィルター:選択したメトリクスをアクティビティと接続に表示します。
- アクティビティと接続のフィルター:スライダーを使用して、より多くのアクティビティまたは接続を表示します。

ブレークダウンフィルターを適用

作成した、自分と共有した、またはすべてのアナリストワークベンチプロジェクトをフィルタリングします。

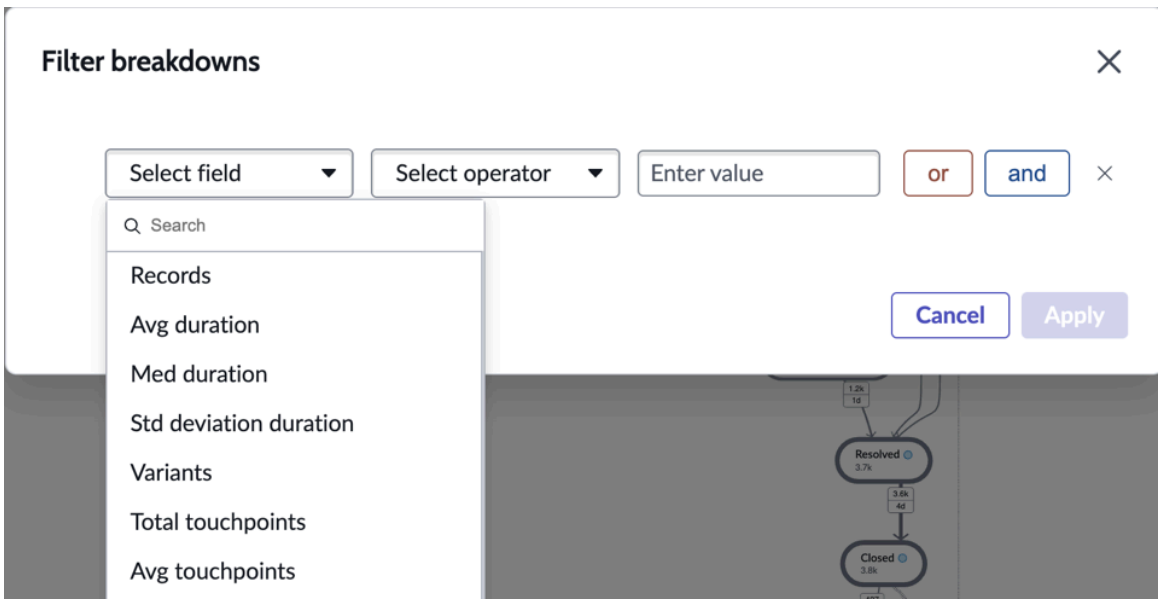
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [アナリストワークベンチ] タブを選択します。
4. [ブレークダウン] セクションで、フィルターアイコン を選択します。

   [ブレークダウンフィルター] ウィンドウが表示されます。



5. フィルターを指定し、[適用] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターセットの作成

現在のフィルター選択を後で同じプロセスマップに適用できるように、フィルターセットを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. ブレークダウンまたは詳細フィルターを適用します。
2. [フィルター] タブから [セットとして保存] を選択します。
3. フィルターセットに名前を付け、[保存] を選択します。

結果
[フィルターセット] リストに新しいフィルターセットが含まれています。

フィルターセットの更新

保存したフィルターを編集します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブから、[フィルターセット] リストを選択します。
2. プロセスマップに適用する保存済みフィルターセットを選択します。
3. ブレークダウンまたは詳細フィルターの変更を追加します。
4. 必要に応じて [適用] を選択し、[フィルターセットの更新] を選択します。
5. 表示される [フィルターセットの更新] ダイアログで、必要な変更を確認し、[保存] を選択します。

結果
フィルターセットが更新されます。

フィルターをクリア

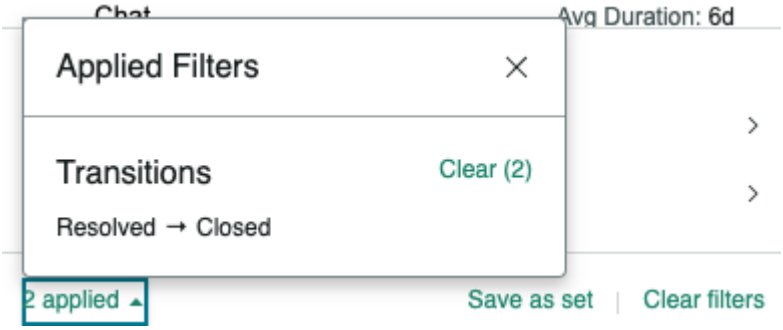
適用されているフィルターを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

[フィルター] タブからフィルターを追加すると、選択したフィルターのリストに、現在選択されているがまだ適用されていない新しい値が表示されます。[適用済みフィルター] リストには、現在適用されているフィルター値と、それらが追加されたパネルカテゴリも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. [フィルター] タブに移動します。
2. 適用されたフィルターリストを選択します。
3. 削除する個々の適用済みフィルターの横にある [クリア] を選択します。
   現在適用されているすべてのフィルターをクリアするには、[フィルターをクリア] を選択します。

結果
プロセスマップは自動的に更新され、以前に適用されたフィルターが削除されます。

フィルターセットの削除

プロジェクトにとって役に立たなくなったフィルターセットを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブから、[フィルターセット] リストを選択します。
2. 削除するフィルターセットの横にあるゴミ箱アイコンを選択します。
   フィルターセットが削除されます。

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティ移行フィルタリングを使用すると、レコードが通過するさまざまなルートをより詳細に表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

移行フィルターを使用して、指定されたアクティビティ間を移行する実行済みワークフローのレコードをフィルタリングします。これは、対応する値をより詳細に調査するのに役立ちます。

ヒント: プロセス最適化 完了した非アクティブなワークフローアイテムを分析します。ただし、データがマイニングされた時点でアクティブであった不完全なレコードで構成されている場合があります。プロジェクトの定義時に [クローズ日] などの日付関連の条件を選択するだけでなく、移行フィルターを使用して不完全なレコードを削除します。

このタスクについて
移行フィルターは、次の 2 つの方法で適用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 特定の条件を手動で作成する
- 事前定義フィルターに移行フィルターを適用する

移行フィルターを手動で作成する

ニーズを満たす移行フィルターを作成し、それを適用して結果をプロセスグラフに表示します。

始める前に

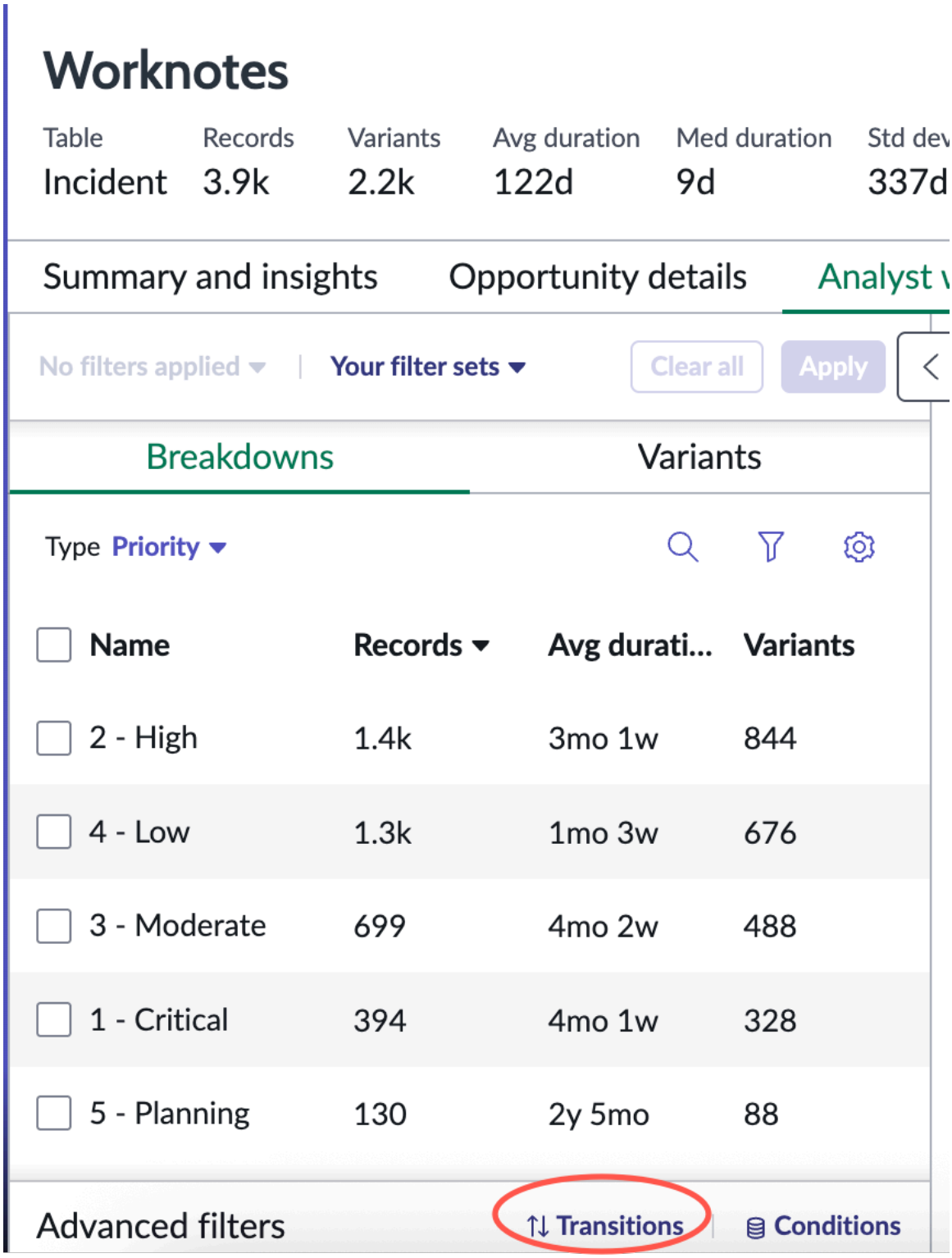
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [アナリストワークベンチ] タブに移動します。
4. [詳細フィルター] 領域から [移行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

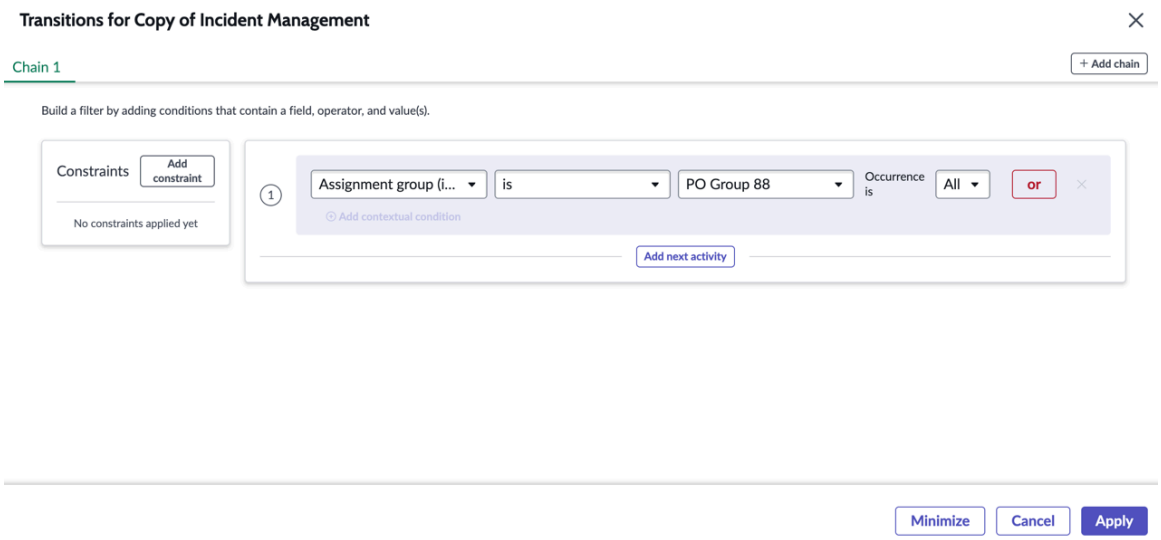


移行フィルターフォームが表示されます。

5. 移行フィルターフォームに必要な条件を入力します。

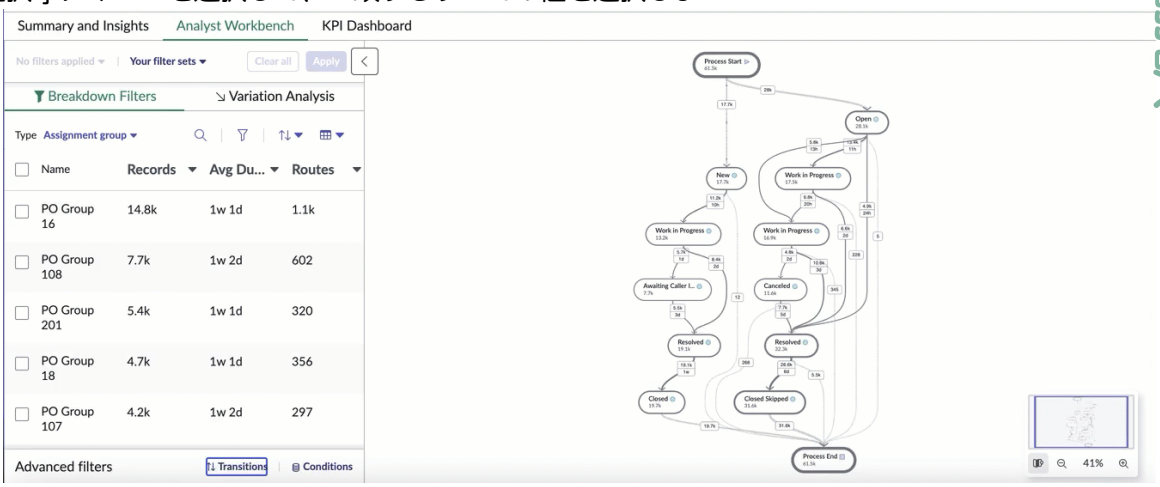
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



使用可能な述語は次のとおりです。

- 次の値に等しい
- 次の値と異なる (!=)
- は (空) である
- (空) でない
- すべての値
- のいずれか (is one of):[次のいずれか (is one of)] を選択すると、一度に複数の値を選択できます。最初の 2 文字を入力し、[すべて選択] アイコンを選択して、一致するすべての値を選択します。



> **注:** OR 条件は、同じエンティティ内の条件にのみ使用できます。(ステータス (インシデント) が対応中であるか、アサイン先グループ (インシデント) がデータベース)。

a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、アクティビティを定義します。
[発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生にフィルターを適用するかどうかを定義します。

b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このアクティビティの追加のコンテキスト条件を定義します。
[AND] および **[OR]** ボタンを使用して、必要な数のコンテキスト条件を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [次のアクティビティを追加] を選択して、このチェーン内の別のアクティビティを定義します。
新しいアクティビティを作成すると、2 つのアクティビティの間に [関係] セクションが表示されます。このセクションでは、そのすぐ上とすぐ下のアクティビティ間の関係を定義します。

d. アクティビティ間の関係を選択します。
- 次が直接続く
- 最終的に次が続く
- 次が直接続かない
- 最終的に次が続かない

e. [制約が追加されていません] の横にある ([ )] を選択して、この関係の制約を編集します。
制約を作成したら、 (Add) を選択して制約エディターを最小化できます。

f. [+ チェーンを追加] (右上) を選択して、アクティビティの追加チェーンを作成します。
チェーンは、リンクされた一連のアクティビティです。新しいチェーンを作成して、true と評価される必要があるが、別のチェーンのアクティビティとは関係のない関連アクティビティの個別のセットを定義します。新しいチェーンを作成したら、ウィンドウの上部にある [チェーン] <番号> タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. フィルターの作成が完了したら、[適用] を選択して保存し、 アナリストワークベンチに戻ります。
タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、アナリストワークベンチの [スケジュール設定済みタスク] パネルで [結果を表示] を選択します。

移行フィルターの編集

変更を加えたい場合は、移行フィルターを編集します。

始める前に

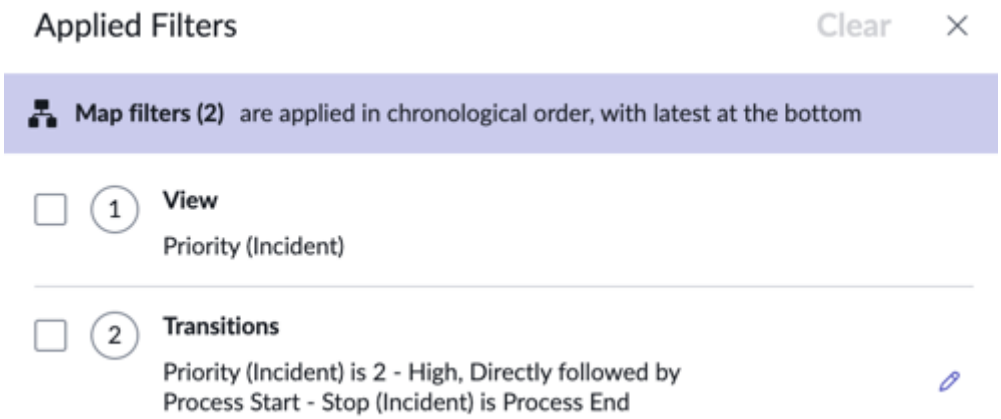
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [アナリストワークベンチ] タブに移動します。
4. 間に移行フィルターを含むフィルターを適用します。
フィルターの適用方法については、「 移行フィルターを手動で作成する」を参照してください。
5. [適用済みフィルター] リストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 移行フィルターの横にある編集アイコン (編集) を選択します。

   注: 移行フィルターは、フィルターが適用されているビューのフィールドのみを使用して編集できます。

   移行フィルターフォームが表示されます。フォームの詳細については、「 移行フィルターを手動で作成する」を参照してください。

7. 必要に応じてフィルターを編集します。

事前定義フィルターに移行フィルターを適用

選択したノードまたは接続に移行フィルターを適用します。

始める前に

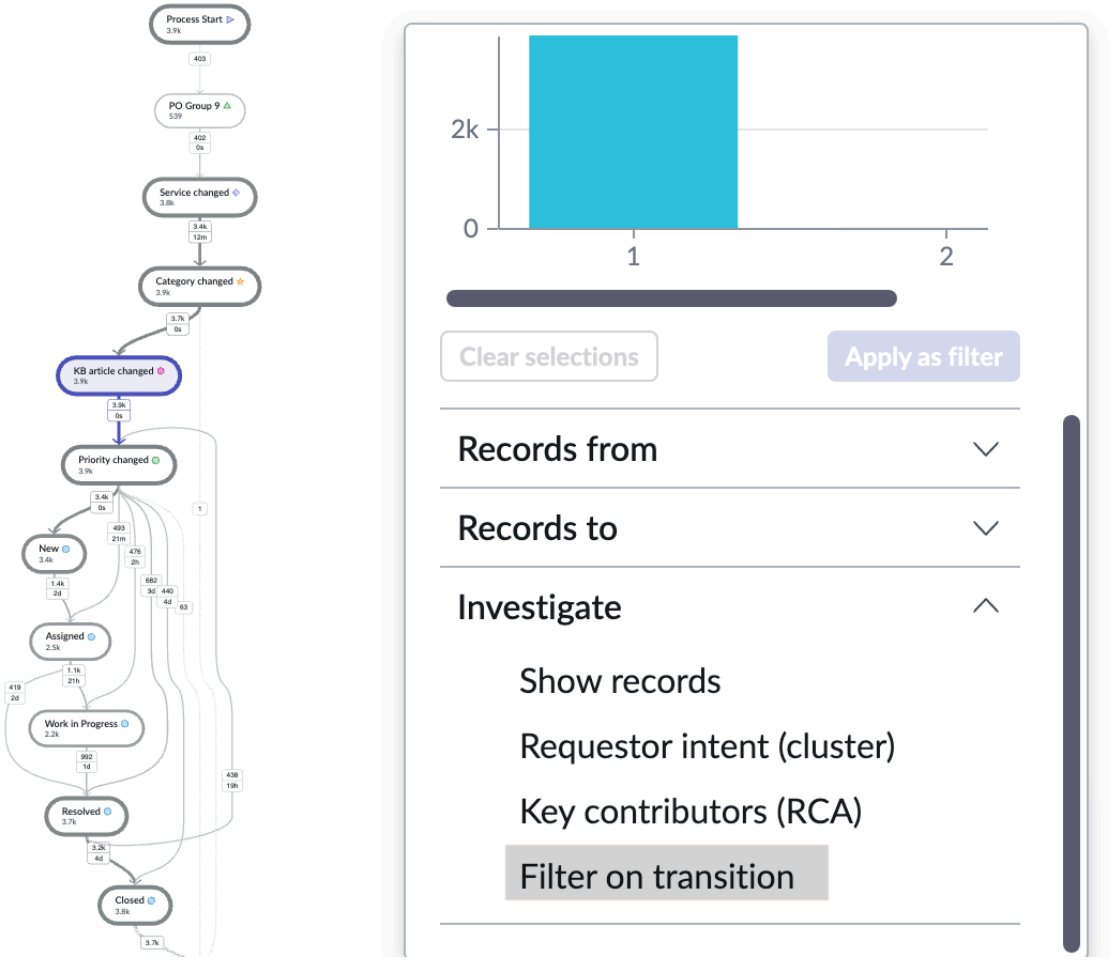
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [アナリストワークベンチ] タブに移動します。
4. グラフ上のノードまたは接続を選択します。
   [メトリクス] ウィンドウが表示されます。
5. [メトリクス] ウィンドウから 移行時に [調査] > [フィルター] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、アナリストワークベンチの [スケジュール設定済みタスク] パネルで [結果を表示] を選択します。

メトリクスを適用

プロジェクトの可視化を改良して、プロセス目標により関連性の高い KPI とメトリクスを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:** 期間メトリクスはアクティビティには適用されないため、アクティビティには表示されません。

手順

1. プロセスマップ画面で、マップに表示する プライマリメトリクス をリストから選択します。

メトリクス	説明
合計発生件数	ルートをたどるレコードの数 (繰り返しを含む)。デフォルトのオプション。
一意の発生	ルートをたどるレコードの数 (繰り返しを除く)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メトリクス	説明
最大繰り返し発生件数	アクティビティまたは接続が同じルートで繰り返される最大回数。
最小期間	レコードがルートを完了するまでにかかった最短時間。
最大期間	レコードがルートを完了するまでにかかった最長時間。
平均期間	レコードがオープンされてからクローズされるまでの、レコードがルートを完了するまでにかかった平均時間 (日数)。
合計時間	ルートをたどるすべてのレコードについて、最初のイベントから最後のイベントまでのすべての期間の合計時間。
標準偏差	ルート期間の平均値からの偏差。
期間中央値	期間の中央値、または中央の 2 つの値の平均。

2. オプション: 表示する セカンダリ測定基準 を選択します。

結果
プロセスマップが自動的に更新され、メトリクスの選択が表示されます。ルート上のメトリクスボックス ( ) の数値は、選択したメトリクスに対応しています。

アクティビティと接続のフィルタリング

アクティビティビューと接続ビューを絞り込むことで、アクティビティがプロセスにどのように関連しているかに焦点を当てます。

プロセスマップ画面で、[アクティビティ] スライダーと [接続] スライダーを移動することで、アクティビティに関連する差異の表示を増やすか減らすかを選択できます。

[アクティビティ] スライダーを使用して、特定のアクティビティが特定のしきい値よりも多いまたは少ない頻度で合格するレコードを拡大します。

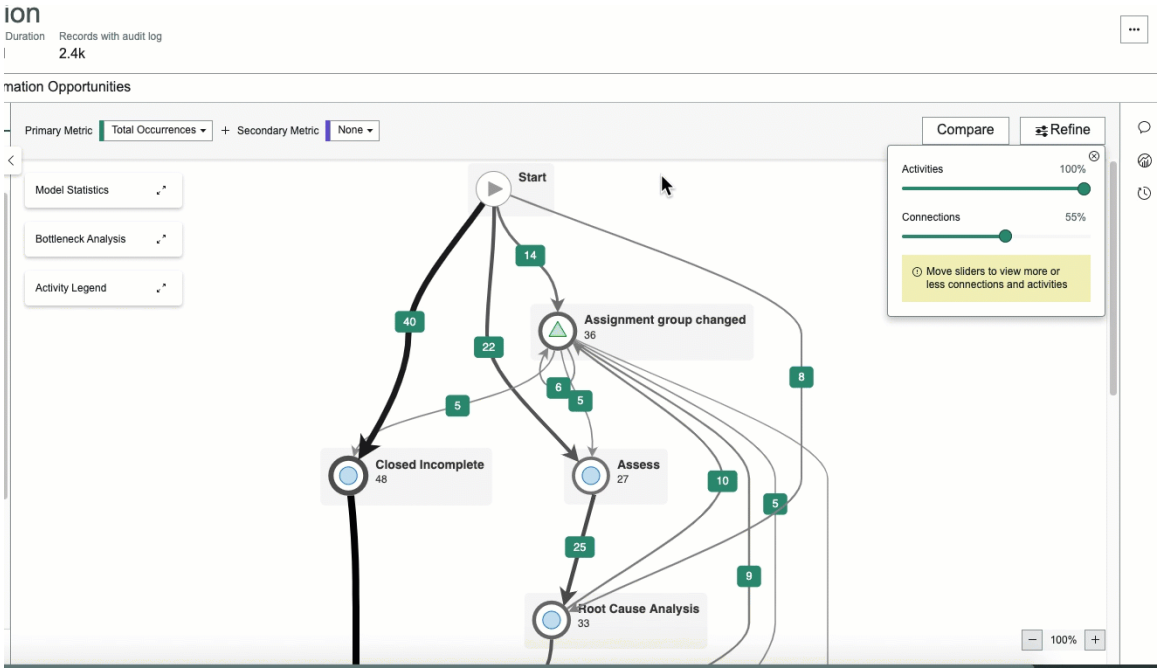
[接続] スライダーを使用して、ルート内のアクティビティシーケンスに従ったレコードの下限を拡大します。

注:

- プロセス最適化 定義されたアクティビティごとに 5000 要素の制限を生成します。
- [アクティビティ] スライダーと [接続] スライダーの両方を最大範囲までスライドすると、プロセスマップのレンダリングが影響を受ける可能性があります。マップのレンダリングを最適化するには、定義されているアクティビティをさらにグループ化するようにプロジェクトを構成します。「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマップ内のさまざまなルートの接続を比較すると、幅が異なる可能性があることがわかります。幅は、接続またはルートに従ったレコードの数の少なましくは多いかに対応します。

データフィルターとマップフィルターを設定

要件に応じてデータに焦点を当てるようにデータとマップフィルターを設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

フィルターには次の 2 つのタイプがあります。

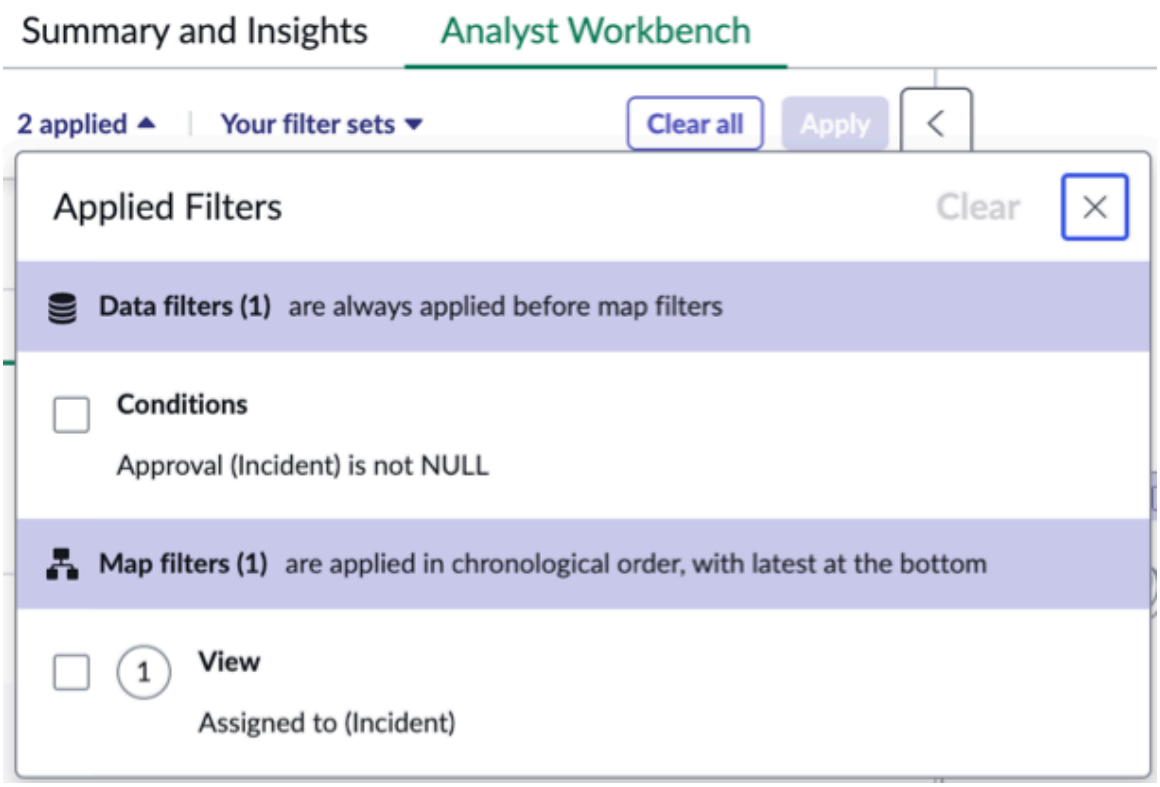
- データフィルター:データフィルターは常にマップフィルターの前に適用されます。これらは任意の順序で適用でき、結果は変わりません。それらは順序付けされていません。すべての詳細データフィルター、ブレークダウンフィルター、バリアントフィルター、検索結果、オートメーションディスカバリーフィルターがデータフィルターとしてリストされます。
- マップフィルター:マップフィルターは時系列で適用され、最新のものが一番下に表示されます。それらは注文されています。すべての移行フィルター、繰り返しフィルター、表示条件、および切り取り条件がマップフィルターとしてリストされます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [アナリストワークベンチ] タブを選択します。
4. フィルターリストに、プロジェクトに適用されているフィルターが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 任意のフィルターを選択し、[クリア] を選択してフィルターを削除します。

メトリクスとアクティビティ移行の表示

定義したメトリクスとアクティビティの移行を表示します。

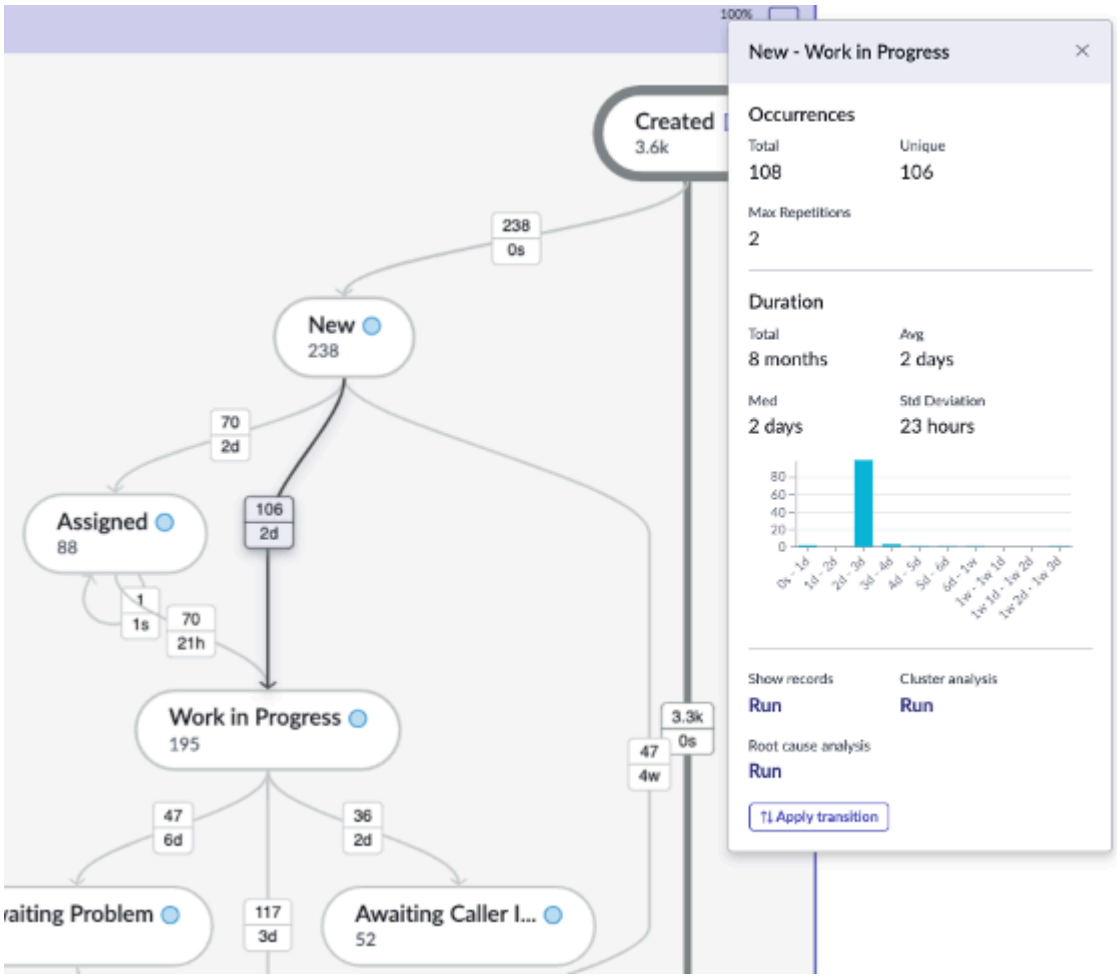
メトリクスを表示

選択したメトリクス、またはアクティビティまたは接続のメトリクスの完全なリストを表示します。ルート上のメトリクスボックス ( ) には、プロセスマップに表示するために選択されたプライマリメトリクスとセカンダリメトリクスが表示されます。

アクティビティまたは接続を選択すると、メトリクスの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティ移行の表示

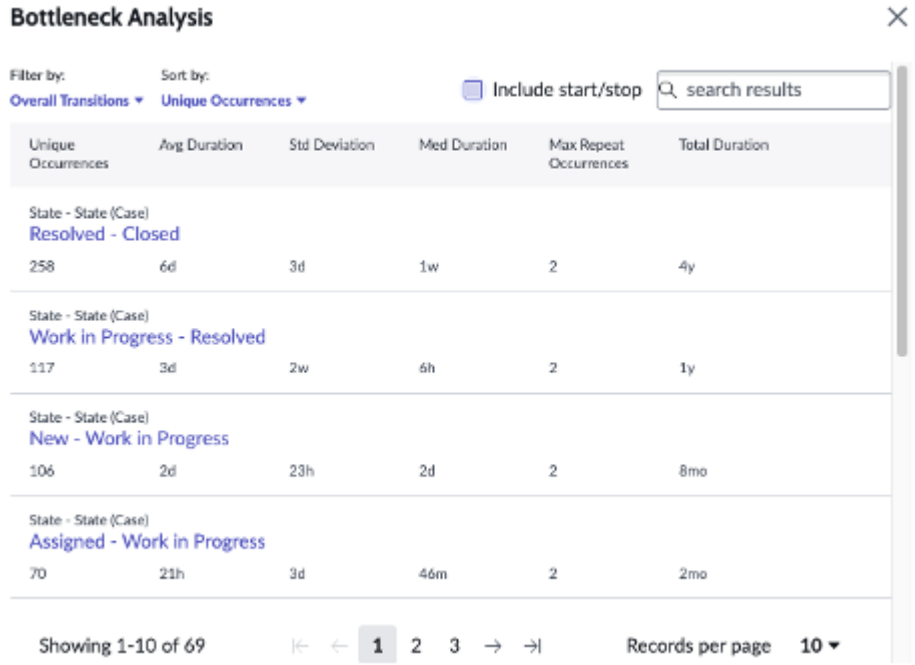
ボトルネック分析機能で定義したアクティビティ移行を表示します。

[ボトルネック分析] ボックスを展開すると、これらの特定のメトリクス全体および指定されたアクティビティ状況移行の上位 5 つが表示されます。

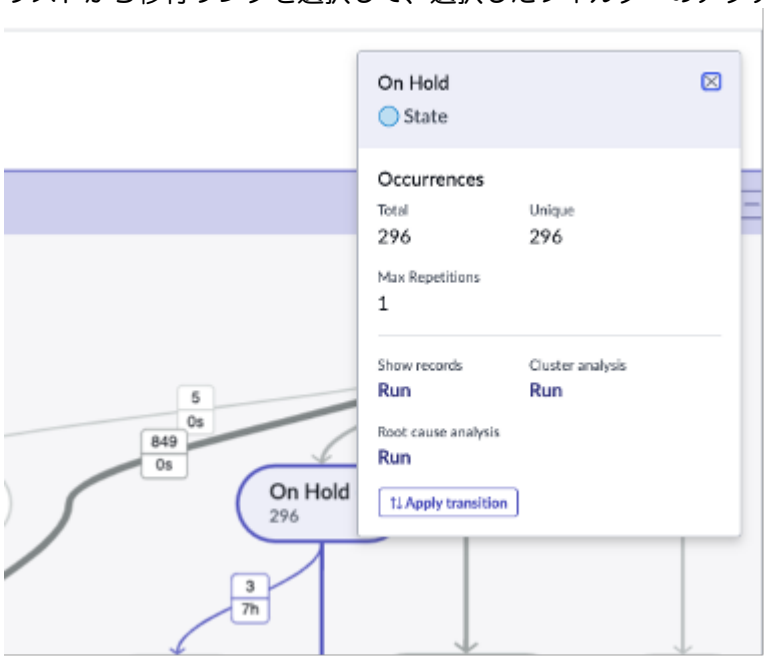
- 一意の発生
- 最大繰り返し発生件数
- 平均時間
- 合計時間
- 合計発生件数

リストから選択した移行とメトリクスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リストから移行リンクを選択して、選択したフィルターのアクティビティを編集します。



関連トピック

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティまたは接続のレコードの表示

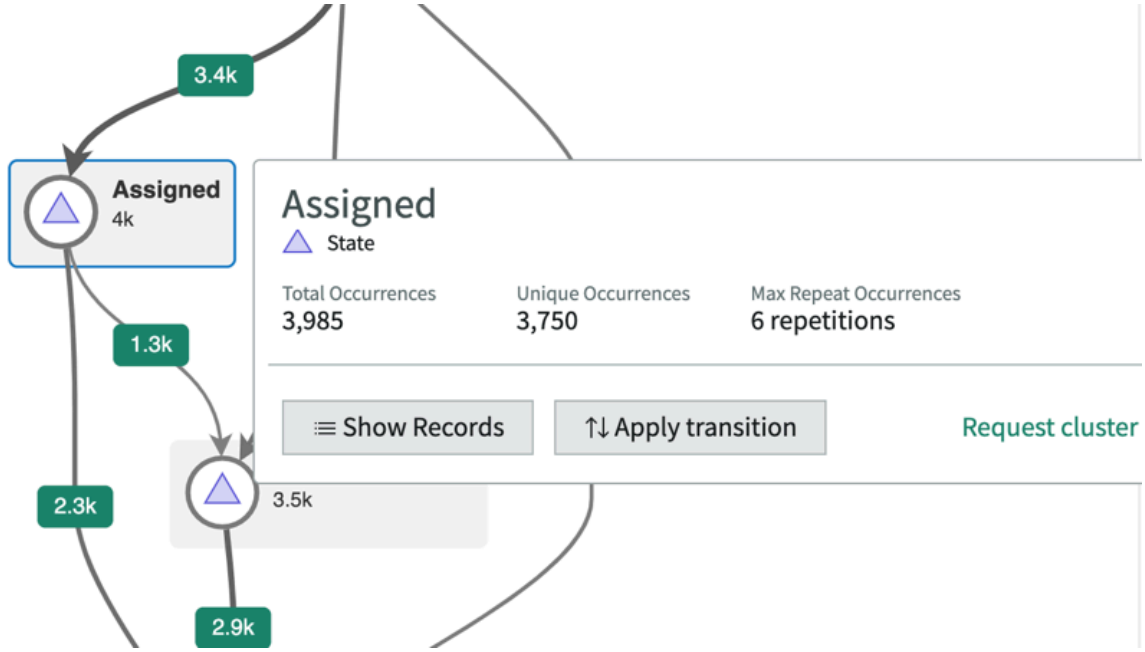
アクティビティまたは接続を経由したレコードリストを参照して、データをより詳細に分析します。

ルート上のアクティビティまたは接続を選択して、メトリクスボックスを表示します。次に、[レコードを表示] を選択して、それを通過したレコードのリストを開くこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: [レコードを表示] リンクは、アクティビティまたは接続に対して返された最大 100,000 件のレコードに対して表示されます。アドミニストレーターは、promin.show_records.limit システムプロパティを追加して、この制限を変更できます。sn_process_optimization_analyst ロールには、promin.show_records.limit システムプロパティへの読み取りアクセス権が必要です。プロパティを追加する手順については、「システムプロパティの追加」を参照してください。



プロジェクトへのメモの追加

プロジェクトのメモを追加、表示、削除して、タスク、アイデア、およびインサイトの管理に役立てます。他のユーザーにタグを付けて、メモを表示するように通知します。

プロジェクト概要パネルから、メモを追加したり、プロジェクトに関連付けられたメモのリストを表示したりできます。

注: メモを追加または削除するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin ロールが必要です。

メモの表示

プロジェクトに投稿されたメモをレビューします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

メモは、メインプロセスまたはリンクされたプロセスから表示できます。メモは、作成されたプロセスマップから編集または削除できます。

注: メモは比較ビューには表示されません。

手順

1. メモを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、[メモ] アイコン ( ) を選択して [メモ] パネルを開きます。
3. [表示] リストから、次のオプションを 1 つ以上表示するかどうかを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 現在のモデルメモ: 現在表示しているプロセスで作成されたメモを表示します。
- メインモデルメモ: リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたメモを表示します。
- すべてのリンクされたメモ: メインプロセスとすべてのリンクされたプロセスで作成されたすべてのメモを表示します。

メモを追加

後でレビューするためにメモをプロジェクトに追加します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. メモを追加するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、[メモ]) アイコンを選択して [メモ] パネルを開きます。
3. [新しいメモ] を選択し、ボックスにメモを入力します。
   メモで他のユーザーの注意を引くには、そのユーザーをメンションします。通知するユーザーごとに、そのユーザーの名前を含む@mentionを追加します。メモが保存されると、ユーザーはメール通知を受信します。
4. オプション: [スナップショットを添付] をオンにして、現在のプロセスマップビューのスナップショットを追加します。
   ビューをスクロールして、スナップショットを作成する領域を含めます。プロセスマップ画像のビューを拡大または縮小して追加するには、スナップショットとして追加する前にメイン画面でマップをズームします。
   - スナップショットを追加すると、後で設定を復元するのに役立ちます。たとえば、メモに再度アクセスするときに、添付されたスナップショットをプレビューし、スナップショットの追加時に構成された設定を確認できます。プロジェクトを同じ状態に複製する方法がわかります。
   - リンクされたプロセスを表示している場合、メインプロジェクトとリンクされたプロジェクトの両方のスナップショットがメモに追加されます。
5. [**Post** (投稿)] を選択します。

メモを編集

プロジェクトメモを更新します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

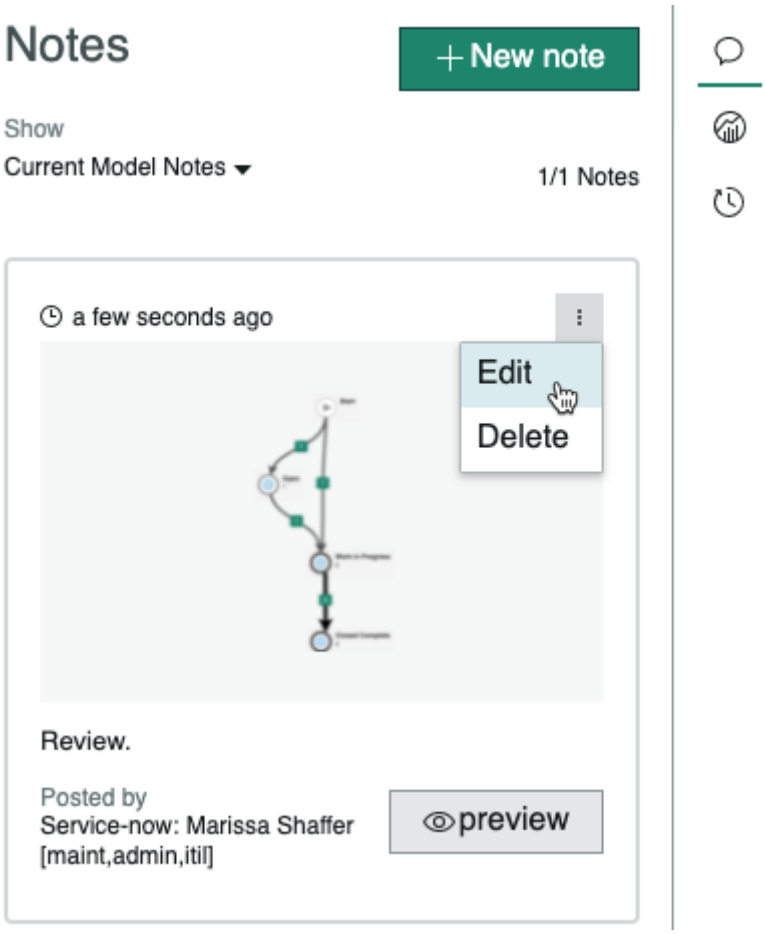
メモは、作成されたメインプロセスまたはリンクプロセスから編集できます。

手順

1. プロジェクトビューから、メモアイコン ( ) を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキストメニューを選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. メモを編集したら、[更新] を選択します。
   更新が更新されたリストに表示されます。

メモを削除

解決したプロジェクトメモ、または削除したい場合は削除します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メモは、作成されたメインプロセスまたはリンクプロセスから削除できます。メモを削除しても破棄されるのではなく、プロジェクトビューからのみ削除されます。メモのレコードには、[関連リスト] セクションの [メモ] タブから引き続きアクセスできます。

手順

1. プロジェクトビューから、メモアイコン ( ) を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキストメニューを選択し、[削除] を選択します。
3. [はい] を選択して確定します。
   メモが更新されたリストから削除されます。

スナップショットを表示

プロジェクトに投稿されたプロセスマップのスナップショットを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

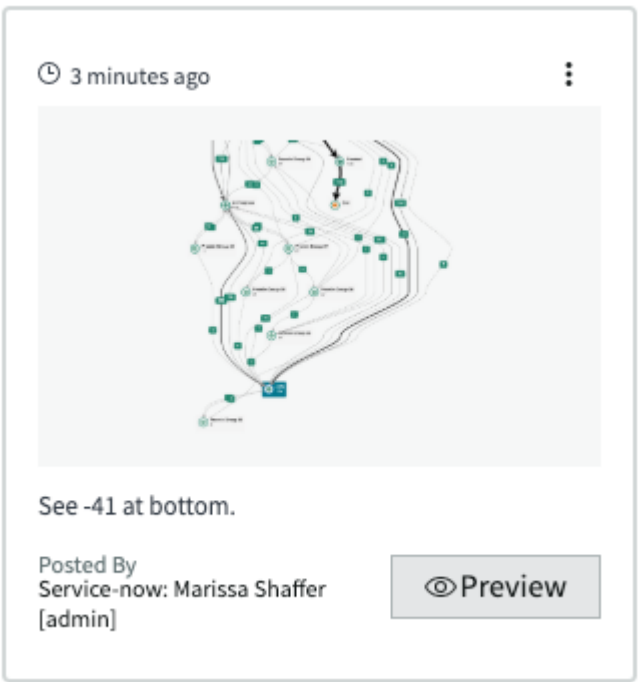
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
スナップショットは、スナップショットが追加された時点でのプロセスマップとその構成設定を確認するのに役立ちます。メインプロセスマップおよびリンクされたプロセスマップのスナップショットを表示できます。

> **注:** このタスクでは、メモが作成されたプロセスマップからスナップショットを表示する方法について説明します。[プレビュー] オプションは、別のモデルで作成されたメモには使用できません。

手順

1. スナップショットを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、[メモ] アイコン ( ) を選択して [メモ] パネルを開きます。
3. メモの [プレビュー] ボタンを選択します。
   スナップショットのメインマップウィンドウに、モデルの統計情報とともにプレビューが表示されます。



   - プレビューマップでは、プライマリメトリクスとセカンダリメトリクスのビューを調整したり、表示するアクティビティと接続を選択したり、ズームインおよびズームアウトしたりできます。ただし、スナップショットプレビューからフィルターとルートを表示することはできません。
   - スナップショットを更新できません。
4. スナップショット プレビューの表示が完了したら、[プレビューの停止] を選択して前のマップおよびフィルター ツールに戻るか、別のスナップショットをプレビューします。

プロセスをプレイブックにエクスポートする

プロセスを プロセスオートメーションデザイナー にエクスポートして、 ワークフロースタジオ から利用可能な高度な機能を使用してプロセスを改善します。この機能は Now Assistで動作します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、またはsn_process_optimization_admin now.assist.creator ロールと playbook.write ロールが必要です。

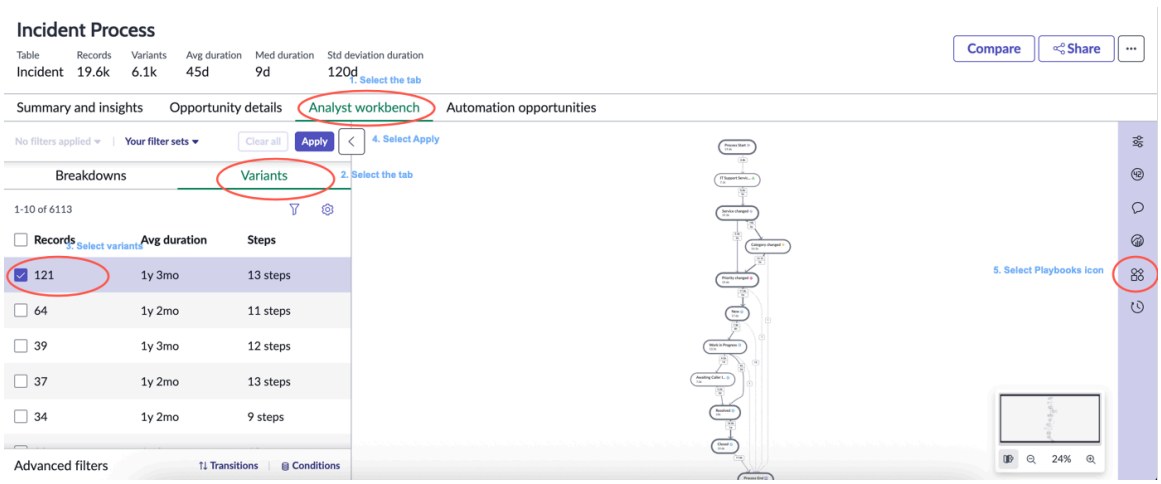
このタスクについて
このタスクを使用すると、プロセス内の任意のバリアントをプレイブックにエクスポートできます。これにより、プロセスの柔軟性が向上します。トリガーやサブフローをさらに追加したり、並列プロセスを添付したりできます。この機能は Now Assistによって有効になります。

注: プロセスグラフには、最大 10 個のバリアントをエクスポートできます。

プレイブックを生成するためのプロパティは、 プロセス最適化 システムプロパティで設定されます。詳細については、 「プレイブックの作成プロパティ」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. グラフを分析するプロジェクトを選択します。
3. アナリストワークベンチを選択します。
4. [バリアント] タブから分析するバリアントを選択します。
5. **[Apply** (適用)] を選択します。
6. [プレイブック] アイコン ([ ) を選択します。

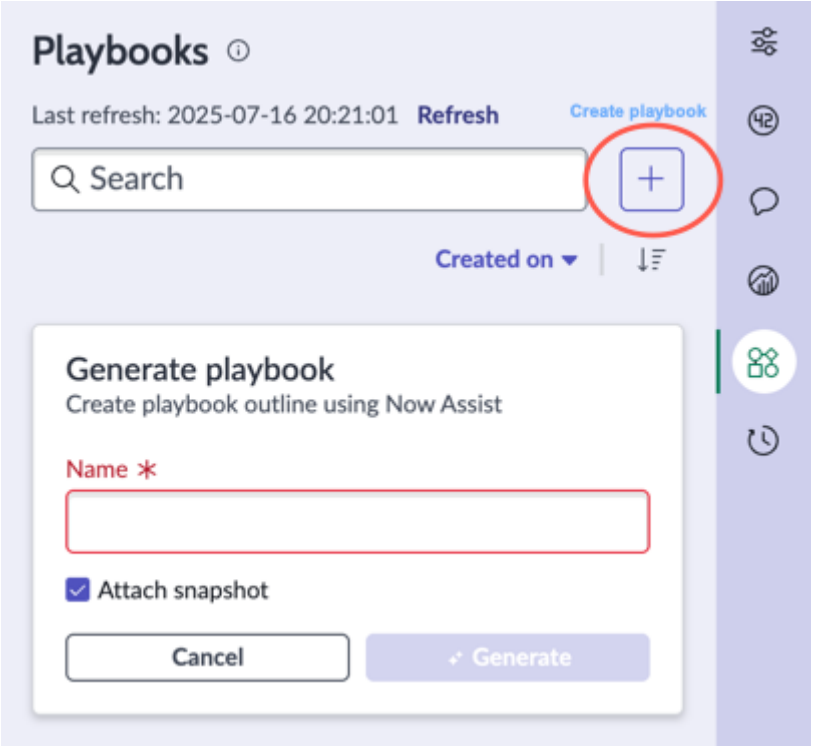


[プレイブック] パネルが表示されます。

7. [プレイブックを作成] を選択します。
[プレイブック] フォームが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. プレイブックフォームに入力します。

a. 生成するプレイブックの名前を指定します。
わかりやすい名前を付けます。

b. [スナップショットを添付] を選択します。
このオプションは、 プロセスオートメーションデザイナー にエクスポートするプロセスグラフのスナップショットを取得します。このスナップショットは、アナリストワークベンチのプレイブックレコードに添付されます。後でスナップショットを参照して、 プロセスオートメーションデザイナー にエクスポートされた内容を把握できます。

c. [生成] を選択します。
ワークフロースタジオ 選択したプロセスグラフのプレイブックが生成される場所を開きます。

9. ワークフロースタジオ で生成されたプレイブックを保存して編集します。
ワークフロースタジオで、名前とNow Assistプロンプトが表示されます。それらを編集してプレビューを再生成することを選択できます。

ワークフロースタジオでのプロセスオートメーションデザイナーについては、「プレイブックの探索」を参照してください。

プロジェクトの比較

プロジェクトを並べて比較することで、パフォーマンスの違いや理想的なルートからの逸脱を調査できます。

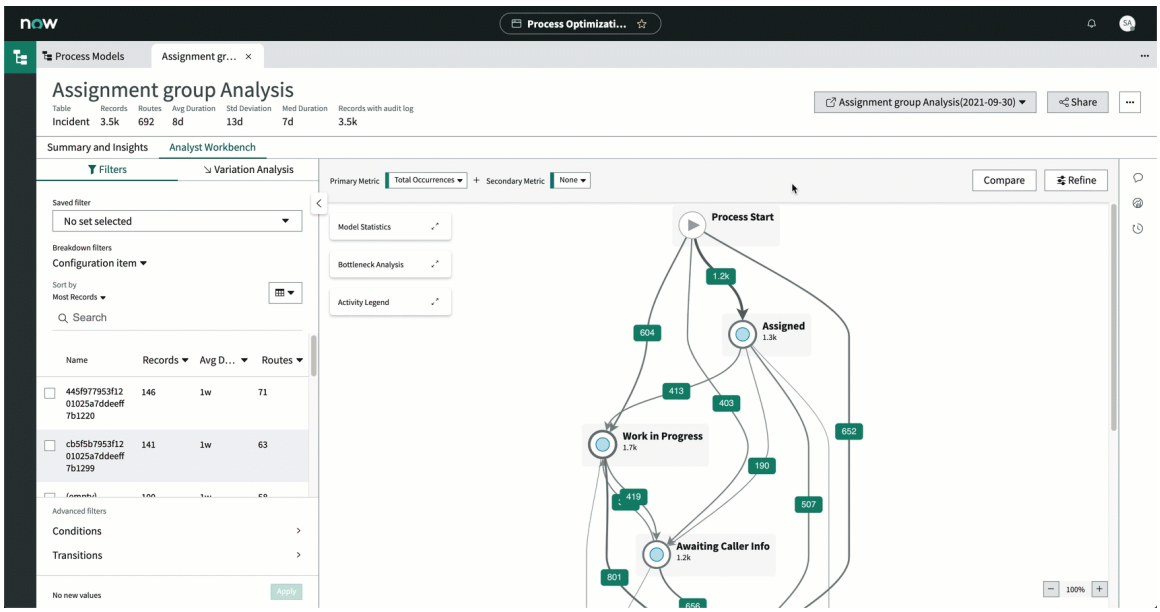
あるマネージャーは、地域チーム間のパフォーマンスを比較して、ある地域が他の地域よりも平均解決時間が大幅に短縮された理由を理解したいと考えています。マネージャーは、プロセス比較機能を使用して、プロセスマップにブレークダウンとフィルターを適用し、ボトルネックを調査します。マネージャーは以下を比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 場所および以前の期間全体のチームのパフォーマンス。
- アダプション率と逸脱に関するインサイトを得るための理想的なルートに対するリージョン。

プロジェクトを比較すると、同じプロジェクトの 2 つのバージョンまたはシナリオを同時に分析できます。比較するときは、プロジェクトのバージョンを選択したり、さまざまなフィルターを設定したり、表示するルートを選択したり、レコードを個別に表示したりできます。



プロジェクト比較ビューから、各マップのアクティビティと接続を絞り込むことができます。フィルターとルートを適用して、それらの間の統計を比較することもできます。

比較を開始

並べてプロジェクトの比較を開始します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メインプロジェクトまたはリンクされたプロジェクトの比較を実行できます。

手順

1. 比較するプロジェクトを選択します。
2. アナリストワークベンチ内のプロセスマップから、[比較] を選択します。
   メインプロセスまたはリンクされたプロセスから比較ビューにアクセスします。
3. 次のいずれかのルートを選択します。

   - [フィルターを適用] を選択して、比較するフィルターまたはルートを選択します。
   - [バージョンの比較] からプロジェクトのバージョンを選択します。

4. [フィルターを適用] を選択した場合は、次のいずれかのアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [フィルター] パネルから、比較するブレークダウンフィルターと詳細フィルターから選択します。

b. [変動分析] パネルから、比較するルートを選択します。

5. フィルターを選択した場合は [適用] を選択し、比較するルートを選択した場合は [ルートを表示] を選択します。
フィルターが適用された 2 番目のモデルがメインモデルの横に表示されます。ブ レークダウン 内のアイテムも、適用されたルートに従ってフィルタリングされます。

> **注:** フィルターを適用した後、ウィンドウの右上隅にあるセレクターを使用して、別のモデルバージョンを表示できます。

次のタスク
2 つのプロジェクト間の移行または統計情報を比較します。

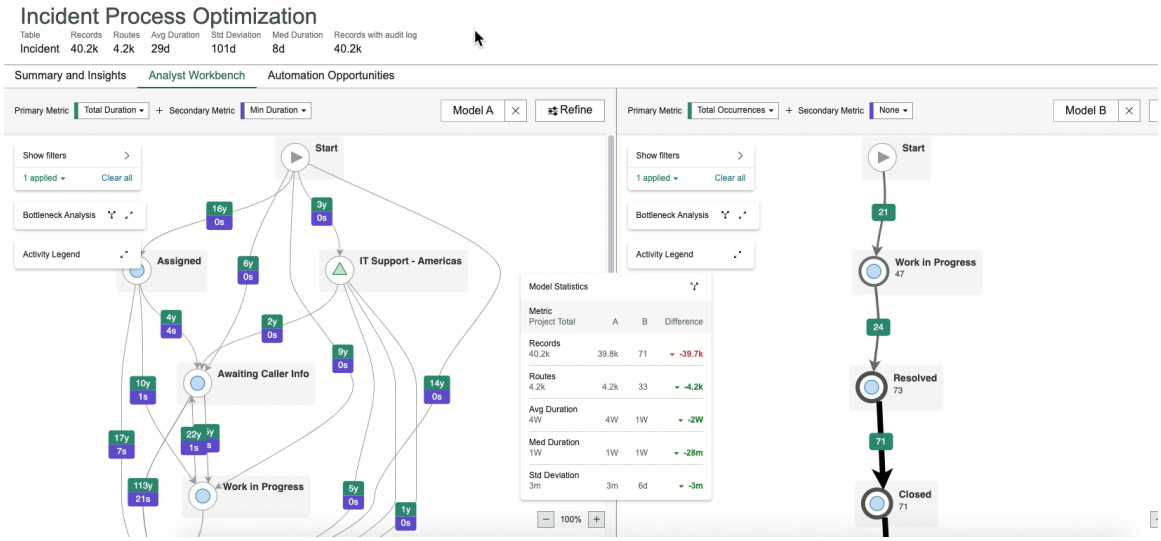
2 つのプロジェクト間の統計と移行を比較する

2 つの並べて表示されたプロジェクトのレコード、ルート、平均ケース期間、および移行を比較します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

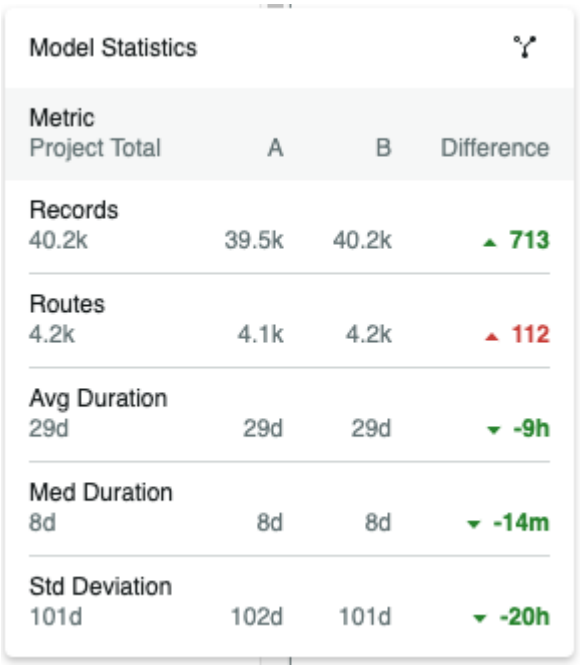
1. いずれかのプロジェクトで [ボトルネック分析] テーブルを展開し、[結合/分割] アイコン ( ) を選択して、両方のプロジェクトの統計または移行を結合されたテーブルに表示します。



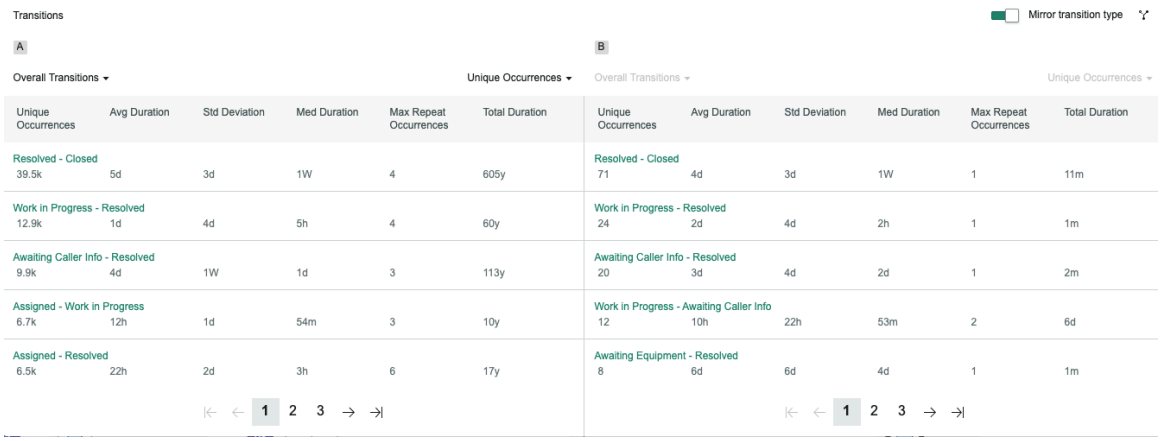
結合統計テーブルには、各プロジェクトのレコード数とルート、平均ケース期間の統計情報、およびそれらの間の差分統計情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結合された移行テーブルには、プロジェクトごとに表示するように指定した全体的な 移行 または 状況移行 が並べて表示されます。[移行タイプのミラー **(Mirror transition type**)] トグルを有効にすると、両方のプロジェクトが同じ移行タイプとメトリクスで自動的に表示されます。トグルを無効にすると、プロジェクト間でさまざまな移行タイプとメトリクスを選択できるようになります。



2. 各プロジェクトの統計テーブルを対応するマップに再配置するには、分割アイコン ( ) を選択します。

次のタスク

比較ビューからのレビューが終了したら、表示を停止するプロジェクトの [比較ビューを停止] アイコン ( ) を選択します。残りのプロジェクトは、適用したフィルターを使用してメインビューとして表示されます。

プロジェクトバージョン名の変更

表示および比較するときに簡単に参照できるように、プロジェクトバージョンの名前を変更します。

始める前に

必要なロール：administrator

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. 名前を編集するバージョンを含むプロジェクトを選択します。
3. 画面の右上隅にある省略記号 (省) メニューを選択し、[バージョンの編集] を選択します。
4. [バージョンを編集] リストで、名前を選択して変更するバージョンを選択します。
5. プロジェクト定義バージョンフォームで、[名前] フィールドにプロジェクトバージョンの新しい名前を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

自動化された根本原因分析

自動化された根本原因分析を使用して、プロセス内で非効率性が発生する場所と理由を見つけます。

自動化された根本原因分析は、特定のプロセスのパフォーマンスが発生する理由と場所を特定します。これにより、問題の根本原因を解決するための適切なアクションを実行できます。また、どの属性がそれらに影響を与えているかも理解できます。

注: 自動化された根本原因分析は、レコード数が 100 を超える場合にのみ使用できます。

Insights から、または Analyst Workbench 内の特定のマップ接続で根本原因分析を実行します。

プロセスオーナーとアドミニストレーターは、自動化された根本原因分析をカスタマイズして、分析するフィールドを指定し、オプションで分析を自動的に実行するように構成できます。

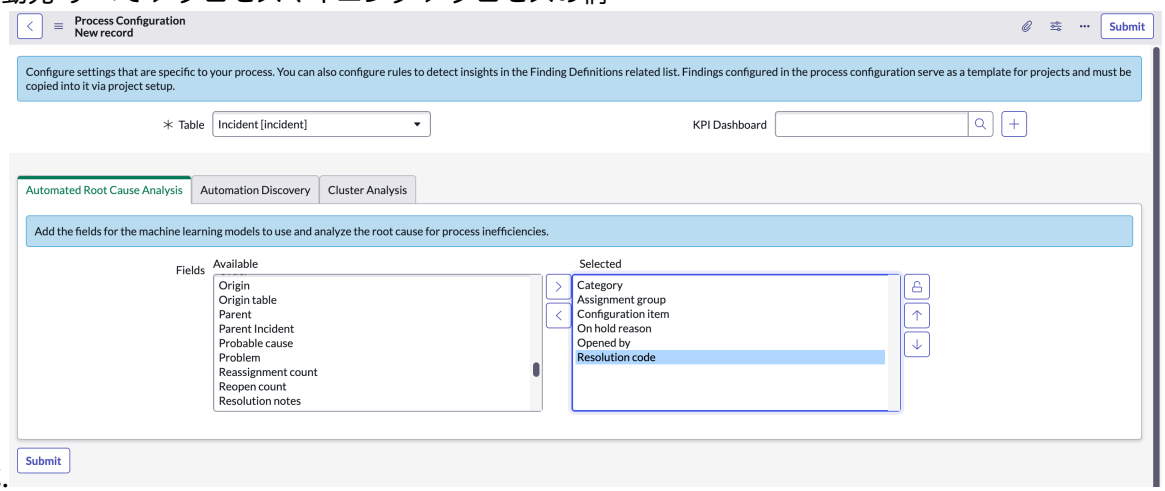
自動化された根本原因分析の構成

プロセス構成レコードから自動根本原因分析を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.



2. 自動根本原因分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「クラシックビューで設定する クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成 」を参照し、ガイド付きプロセス構成の設定から設定 調査機能の構成 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [自動根本原因分析] タブで、分析に含めるフィールドを選択します。

4. [送信] または [更新] を選択します。

結果
自動根本原因分析がテーブルに構成されています。

自動根本原因分析レポートの実行

自動化された根本原因分析を実行して、プロセスを最適化します。

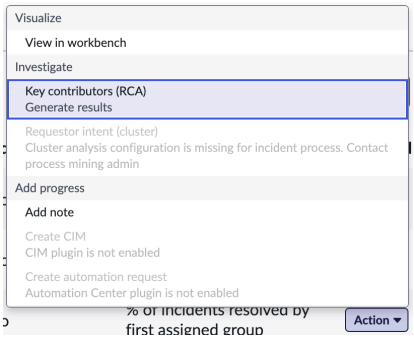
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 次のいずれかの場所から自動根本原因分析を実行します。

プロジェクトを開きます。

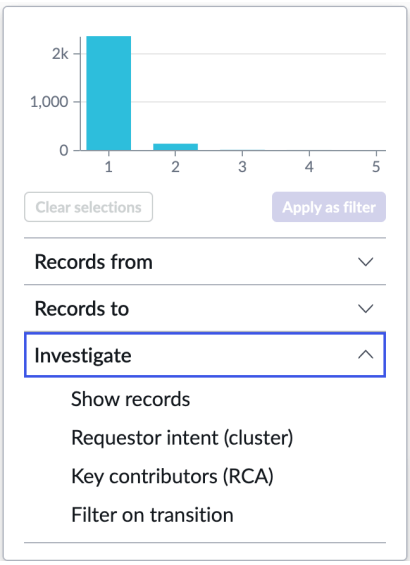
ページで、セクションに移動します。利用可能な改善の機会から、 サマリーとインサイト > 改善の機会 > アクション > 主要貢献者 **(RCA)**.



プロジェクトを開きます。

[アナリストワークベンチ] ページで、ノードまたはコネクタを選択します。

ポップアップウィンドウから、 調査 > 主要貢献者 **(RCA)**.



根本原因分析タスクの実行が開始されます。分析が完了すると、通知が表示されます。画面の右側にあるスケジュール設定済みタスクアイコン ( ) を選択すると、タスクの進捗状況に関する最新情報を確認できます。

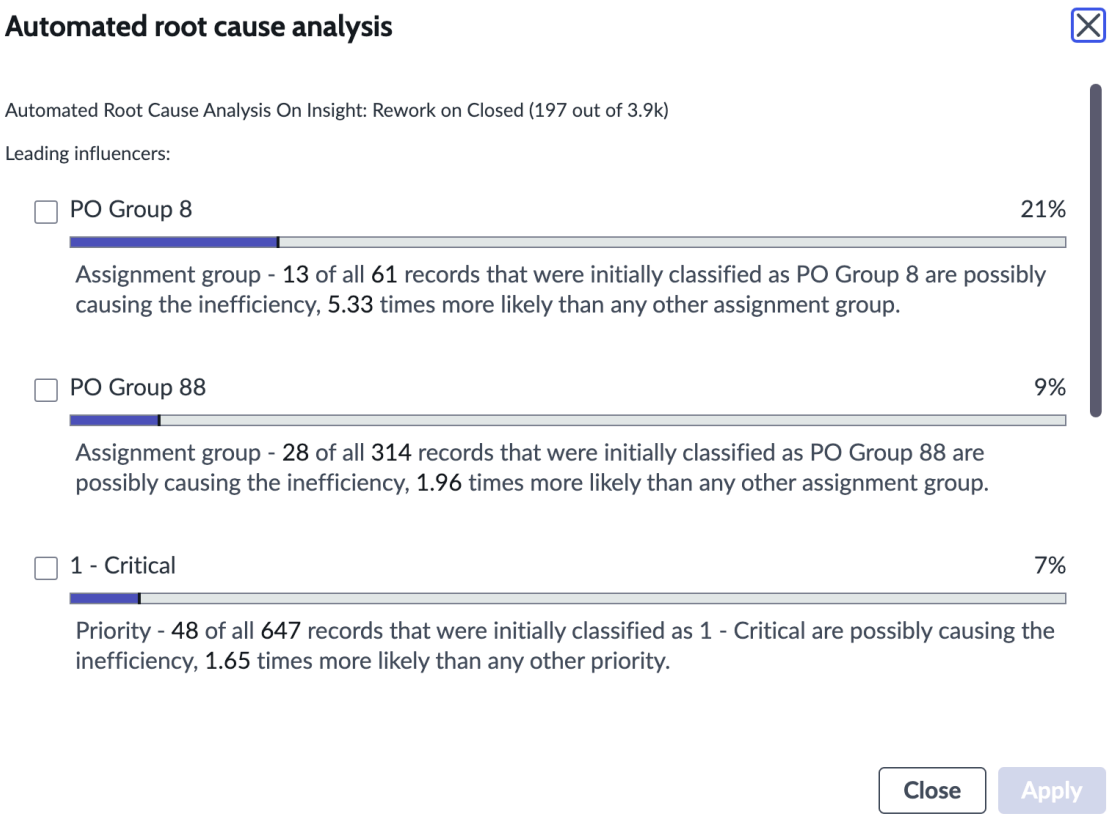
2. 根本原因分析が完了したら、アナリストワークベンチのスケジュール設定済みタスクパネルで [結果を表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[サマリーとインサイト] ページから [結果を表示] を選択することもできます。

根本原因分析の結果は次のようになります。



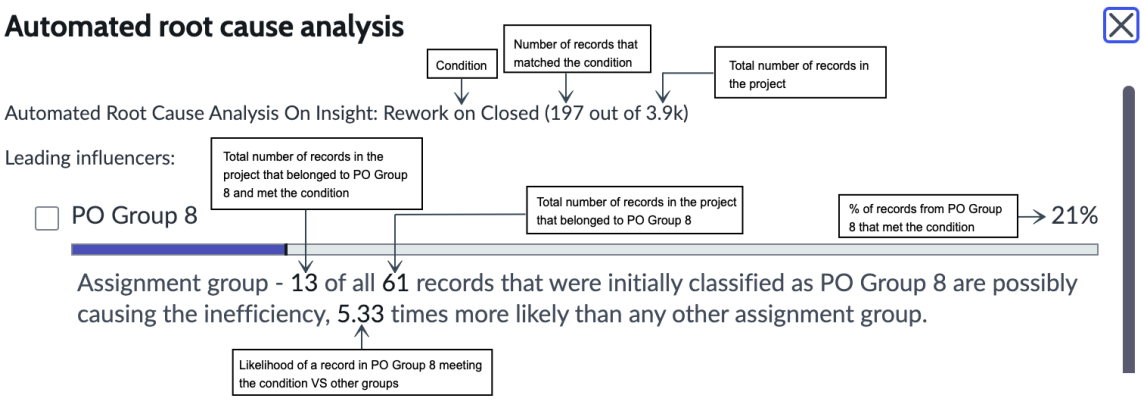
自動翻訳

自動化された根本原因分析のレビューと解釈

分析レポートを確認し、パフォーマンスの問題の根本原因を理解します。この情報を使用して、プロセスを最適化します。

注: 結果を確認して解釈するには、自動化された根本原因分析を実行しておく必要があります。詳細については、「自動根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

自動根本原因分析の結果は、次のように読んで理解する必要があります。



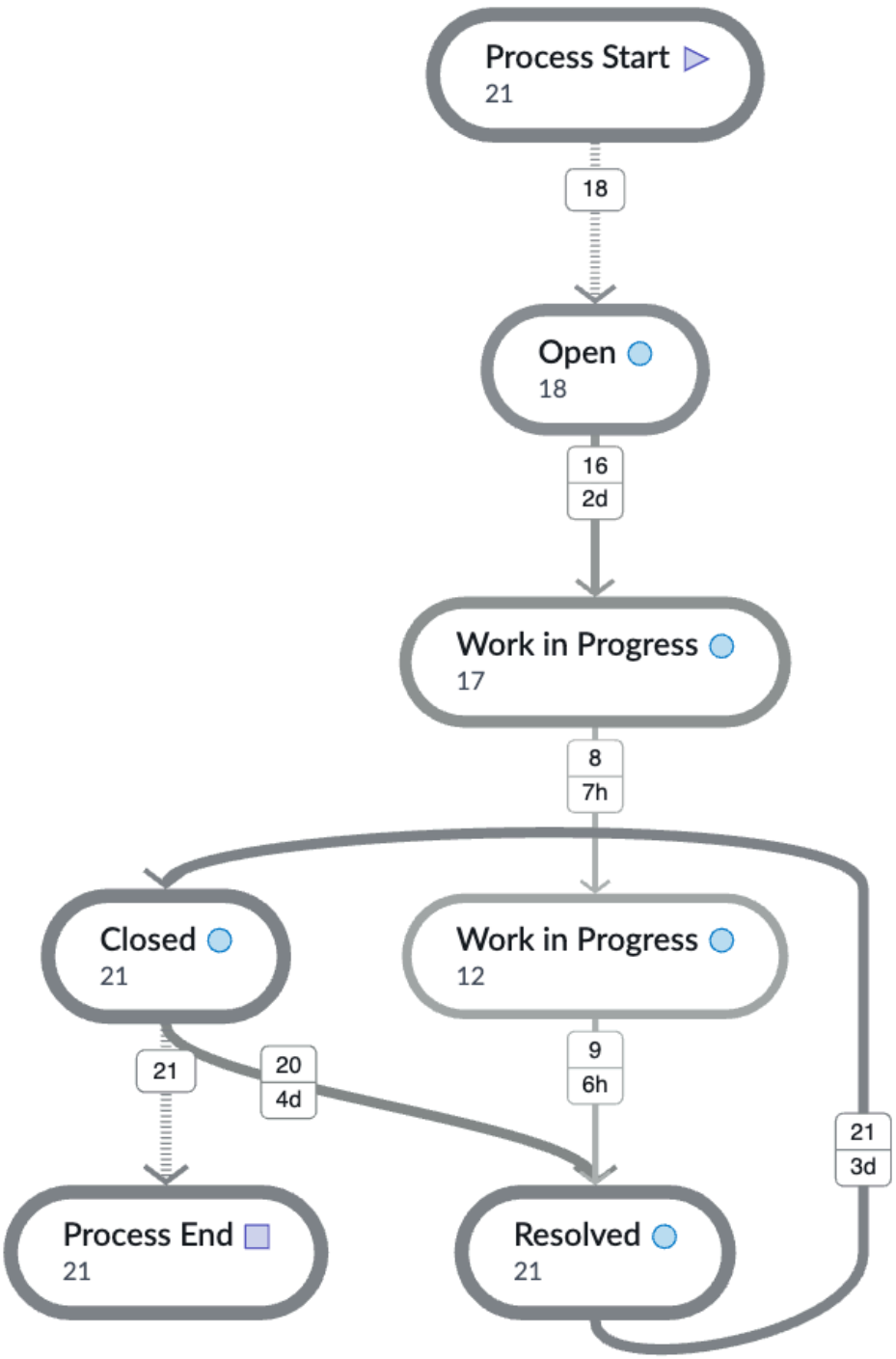
上記の例では、根本原因分析は [やり直し] タイプの検索定義で実行されています。レコードがクローズ済みステータスになった後にやり直しが行われたレコードを調べています。レコードが [クローズ済み] ステータスの後に [プロセス終了] に移行しない理由を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この分析によると、最初に PO グループ 8 にアサインされたインシデントのうち 13 件のやり直しステータスが [クローズ済み] でした。この数は、PO グループ 8 にアサインされ、このプロジェクトの一環としてマイニングされたインシデントの合計数の 21% に相当します。最初にこのグループにアサインされたインシデントは、[クローズ済み] ステータスでやり直しが発生する可能性が他のどのグループよりも 5.33 倍高くなります。

結果を解釈した後、特定のインフルエンサーを選択して、そのインフルエンサーの詳細を表示できます。インフルエンサーを選択し、[適用] を選択します。別のスケジュール済みタスクが開始され、[スケジュール済みタスク] パネルで進捗状況と結果を表示できます。

この例では、PO グループ 8 が適用されている場合、次のような結果が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このグラフから、プロセス終了に進む前に一部のレコードが [クローズ済み] から [解決済み] に移行する理由を分析できます。

クラスター分析

アクティビティ、接続、改善の機会、またはルートを潜在的なボトルネックとして特定する場合は、キーワードの説明とアサイン先グループのクラスターを表示してインサイトを取得します。

クラスター分析では、類似したレコードをクラスター (1 つのグループ) にまとめて、パターンを識別できるようにします。データセットは、指定されたラベルに基づくグループ化ではなく、さまざまな自然な類似性グループに分割されます。この教師なし機械学習手法により、関連のないケースやレコードがプロジェクトの一部になるのを防ぐことができます。

注: クラスタリングは 100 ～ 300,000 のレコード数で使用できます。

クラスタリングがどのように機能するかを示す概念的な例を使用しましょう。自動車修理工場では、お客様には多数のサービス オプションから選択できます。ゼネラルマネージャーは、どのサービスが最も使用されていないかを判断したいと考えています。マネージャーは、これらの分野で使用するスペシャリストを減らすことでコストを削減したいと考えています。マネージャーは、キーワードの説明とサービスカテゴリエリアのビューを生成するクラスター分析を開始します。類似したサービスアクティビティグループのクラスターが生成された後、マネージャーは、限られた数のサービスを使用する顧客グループのより小さく、よりパターン化されたデータセットを保持します。マネージャーは、より小さなデータセットにさらにフィルターを適用して、より詳細な分析を行います。

クラスタリングソリューションのプロセスの構成

クラスター分析を生成できるようにプロセスを構成します。

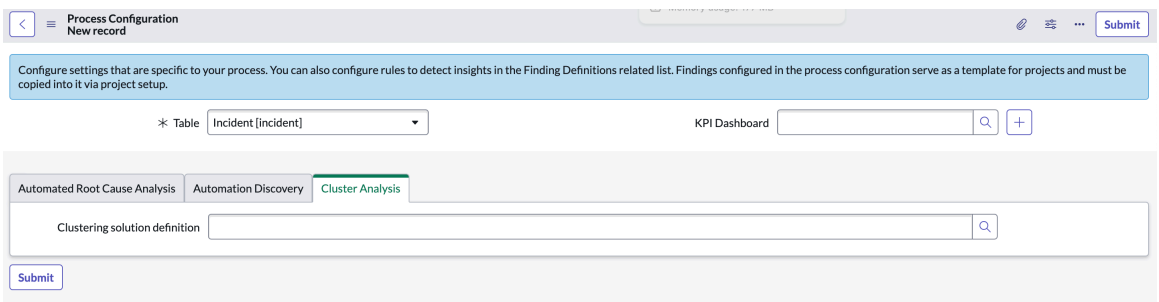
始める前に

注:

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_admin ロールと sn_process_optimization_power_user ロールは、クラスタリングソリューション定義をプロジェクトに関連付けることができますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analyst ロールは、クラスタリングソリューション定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. クラスター分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成」を参照してください。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [クラスター分析] タブで、[クラスターリングソリューション定義] フィールドから検索アイコンを選択します。
4. [クラスタリング定義] リストから既存の定義を選択するか、[新規] を選択して新しいクラスタリングソリューション定義フォームを作成します。
   - アドミニストレーターとml_adminロールは、新しいクラスタリングソリューション定義を作成できます。
   - 新しい定義を作成する場合は、 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング のガイダンスに従ってフィールドを構成します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。
   クラスタリングソリューション定義は、選択したテーブルのプロセスに関連付けられています。

次のタスク
クラスター分析の実行

クラスター分析の実行

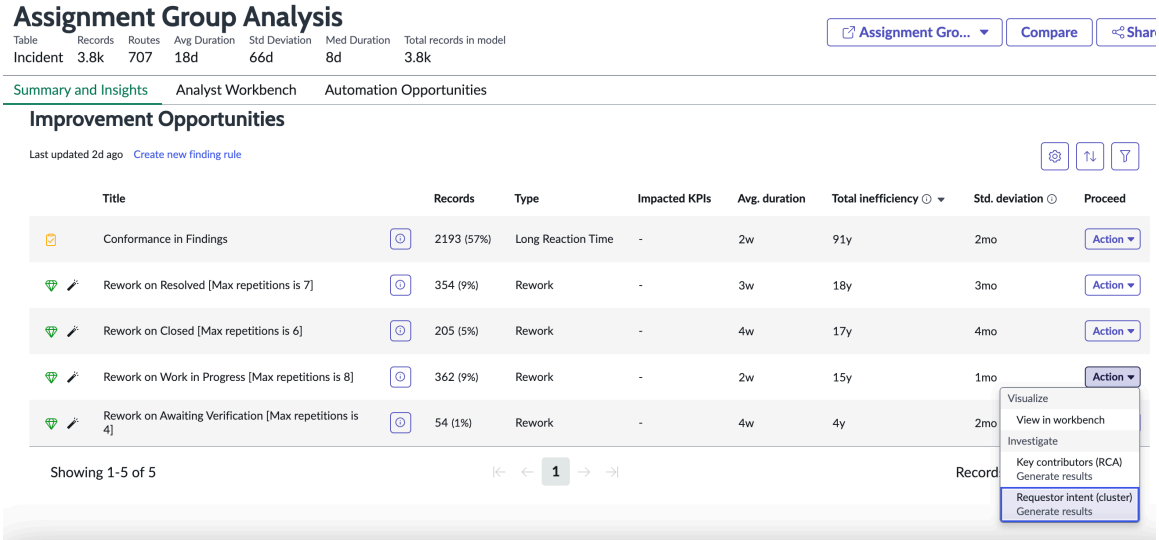
アクティビティ、アクティビティ間の接続、ルート、または改善の機会に関するクラスター分析を生成します。

事前準備

- クラスタリングソリューションのプロセスの構成に展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。クラスター分析を生成するには、関連するテーブルにクラスタリングソリューションを使用してプロセスが構成されている必要があります。
- 必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin
- 分析は、アクティビティ、接続、改善の機会、または組み合わせルートに対して実行でき、レコードは最小で 100、最大は 300,000 です。

次のいずれかの方法でクラスター分析を実行します。

- [サマリーとインサイト] ページから:
  1. [改善の機会] セクションから、結果を選択します。
  2. [アクション] リストで、[要求者インテント (クラスター)] を選択します。



す。

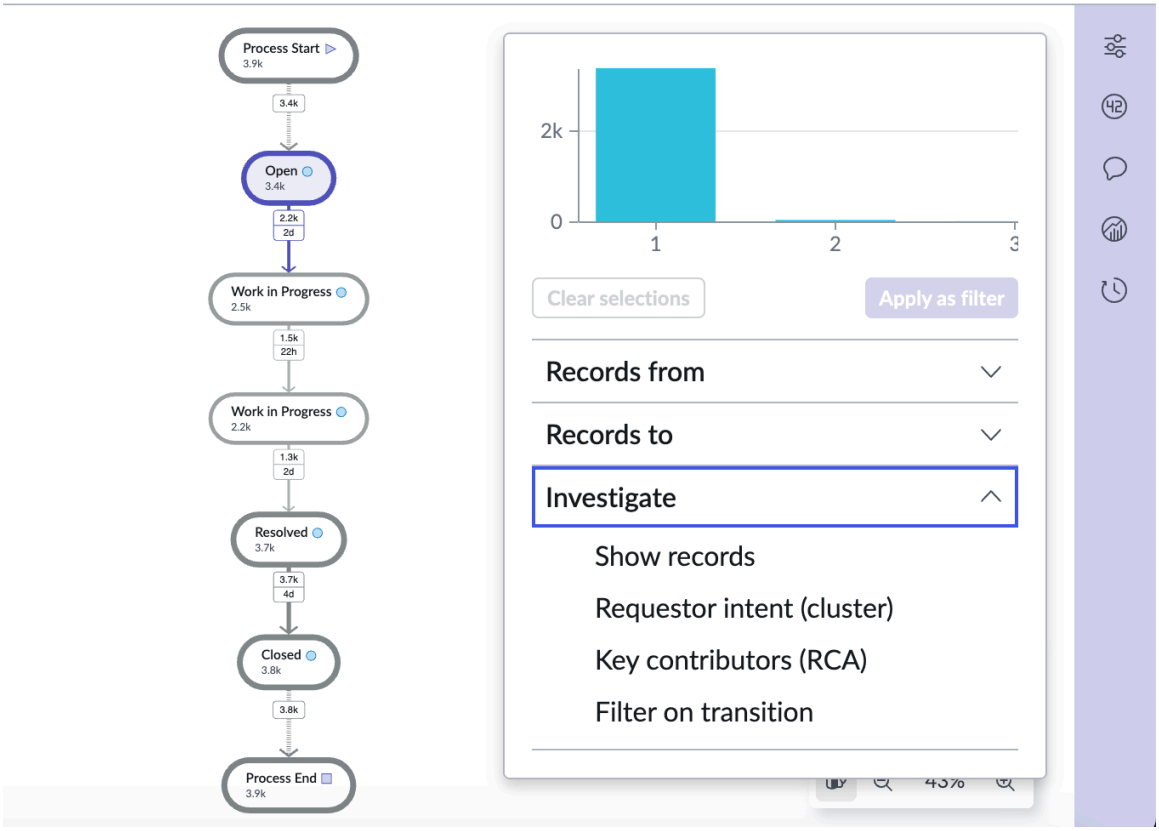
> **注:** タスクが完了するまで、要求のステータスは [対応中] と同じオプションに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセスマップ上のアクティビティまたは接続から:
  1. クラスター分析を実行するアクティビティまたは接続をプロセスマップから選択します。
  2. メトリクスボックスから、 調査 > 要求者のインテント (クラスター).

     タスクがバックグラウンドで実行されているという通知が届きます。通知を閉じることができます。タスクが完了すると、通知が送信されます。[スケジュール設定済みのタスク] ウィンドウで詳細を確認できます。



  3. [スケジュール設定済みタスク] パネルまたはクラスター分析が要求されたメトリクスボックスから、[生成完了後に 結果を表示] を選択します。

関連トピック

クラスター分析の表示

クラスター分析要求の再送信

構成の問題またはクラスタリングソリューションの変更が発生した場合は、フォローアップのクラスター分析をスケジュールできます。

始める前に

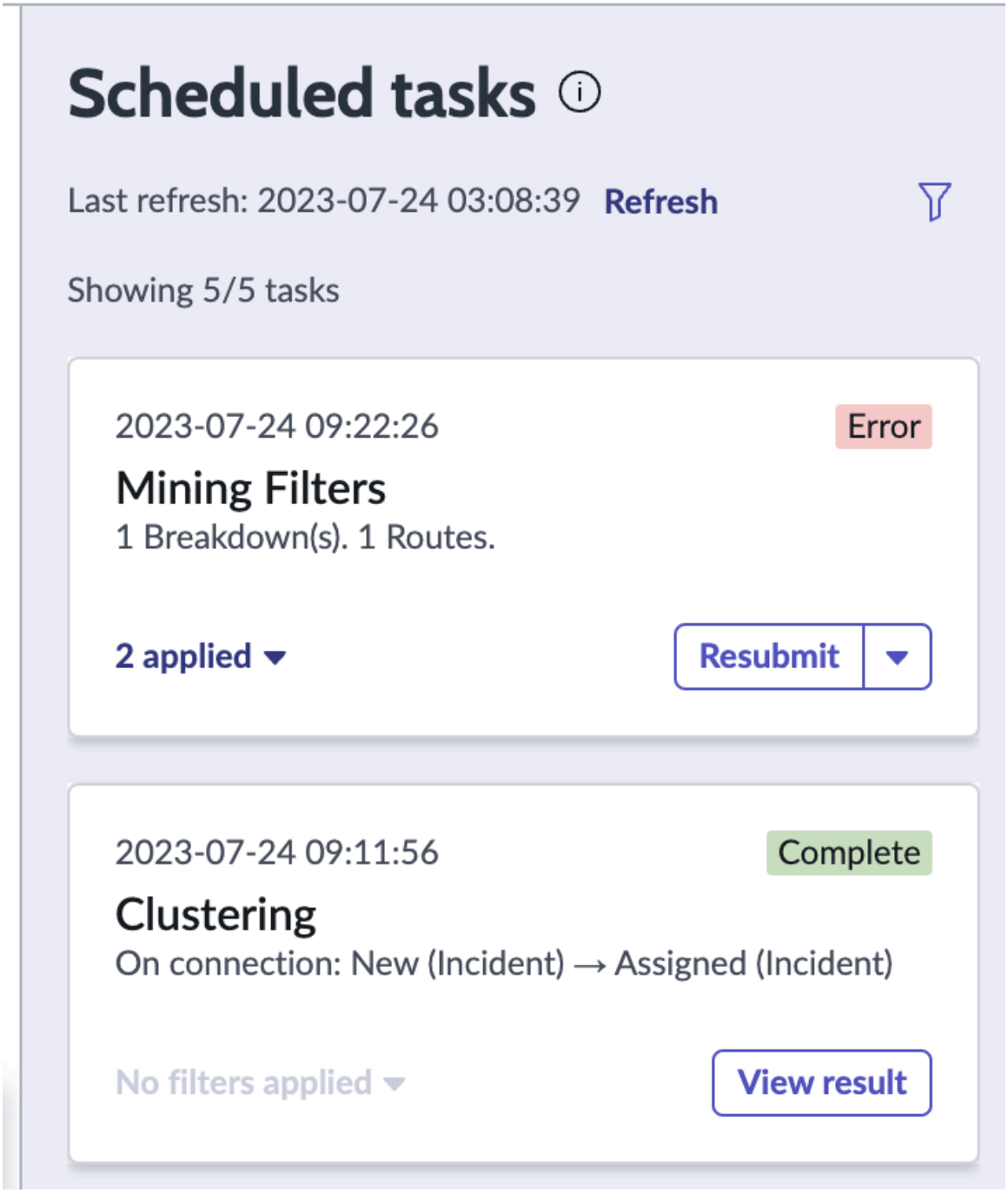
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [スケジュール設定済みタスク] パネルで、更新された分析を生成するアクティビティまたは改善の機会の [再送信] を選択します。



前のクラスター分析要求の詳細を表示するには、 [エラーの詳細を表示] を選択します。エラーの詳細を表示 失敗したタスクの ML ソリューションフォームに移動します。

2. タスクが完了したら、[結果を表示] を選択します。

次のタスク

ツリーマップでのクラスターの表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスター分析の表示

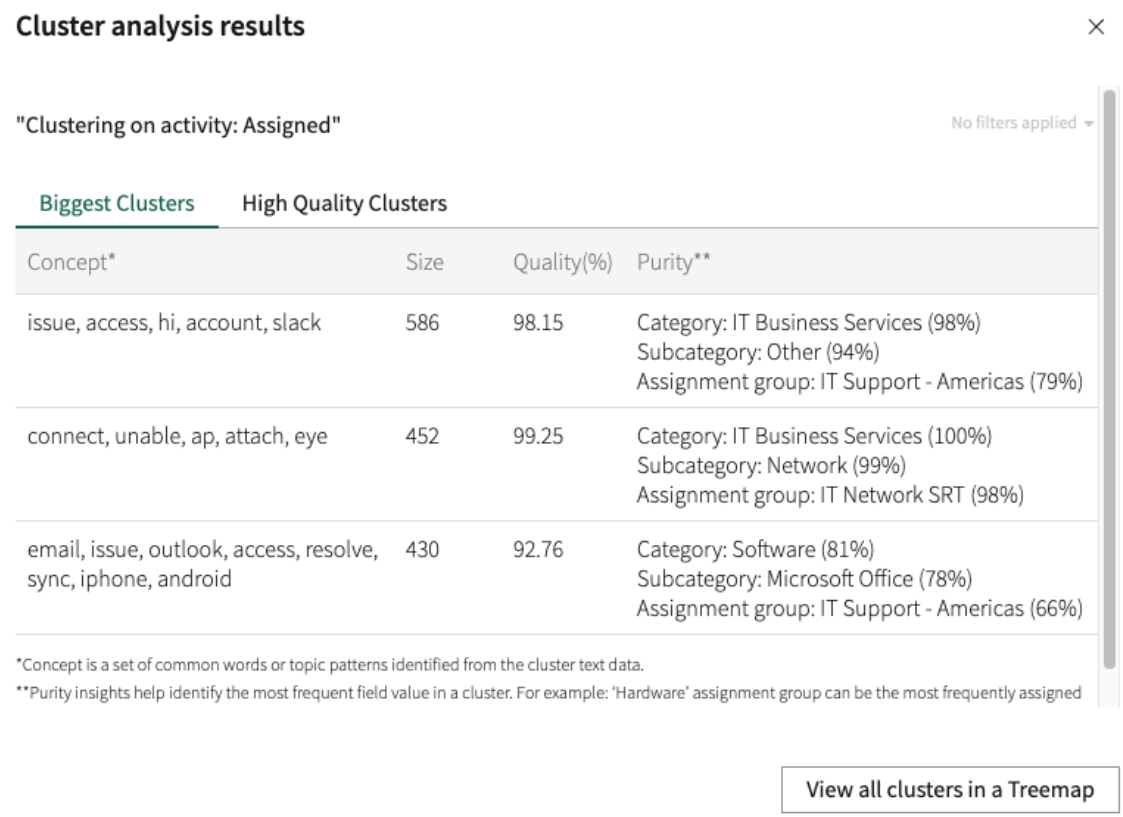
アクティビティ、アクティビティ間の接続、またはルートについて、上位 3 つのクラスターのクラスター分析を表示します。

次のいずれかの方法で、完了したクラスター分析を表示します。

- クラスター分析が実行されているプロセスマップから接続またはアクティビティを選択します。メトリクスボックスで、[表示] を選択します。
- [スケジュール設定済みタスク] パネルから、選択したクラスタータスクの結果 を表示 を選択します。
- [サマリーとインサイト] ページで、表示するインサイトのボックスで [要求者のインテント (クラスター)] を選択します。

クラスター分析結果

[クラスター分析結果] ダイアログには、最上位の最大クラスターと高品質クラスターが表示されます。



結果ダイアログには、接続またはアクティビティのタイトル、または分析が実行されたルートの数が表示されます。結果には、最上位の最大クラスターと高品質クラスターに関するこれらの統計情報が表示されます。

コンセプト	クラスター内で検出された最も目立つ単語またはコンテンツのリスト。クラスターに含めるレコードをシステムが識別するのに役立つ入力フィールドタイプとして、[簡単な説明] を使用しました。したがって、上記のクラスター分析結果には、レコードの簡単な説明に最も繰り返し登場する単語が表示されます。

自動翻訳

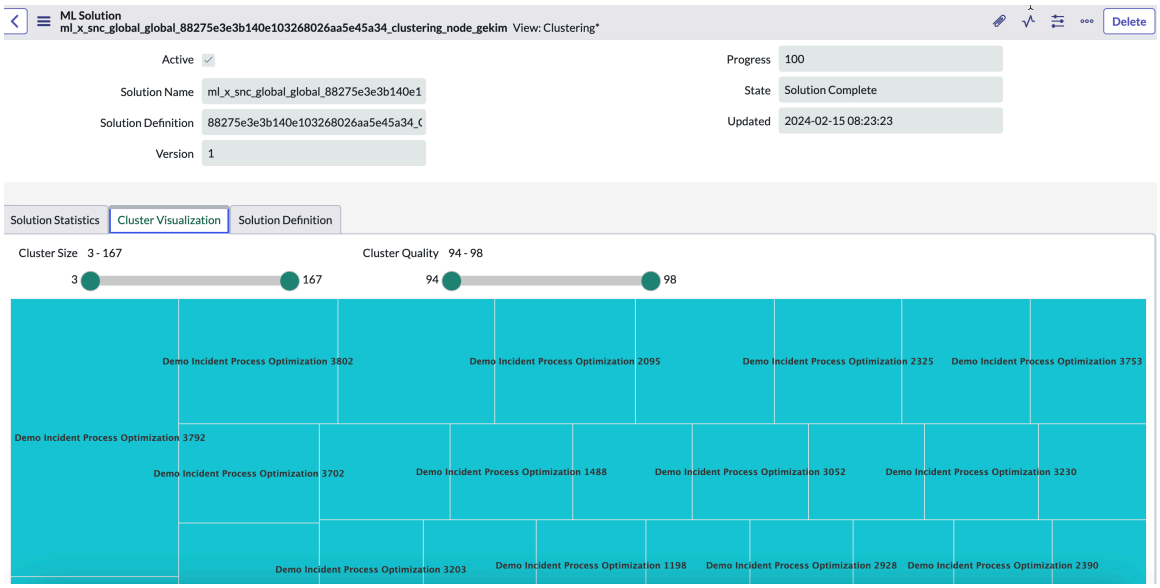
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ	クラスター内のレコードの数。
品質	ケースの類似度のパーセンテージ値。
純度	クラスター内で最も出現頻度が高いクラスのメトリクス (分布の有意性に基づく)。純度のインサイトは、クラスター内で最も頻繁に使用されるフィールド値を特定するのに役立ちます。

ツリーマップでのクラスターの表示

結果ダイアログにリストされている上位 3 つ以外のクラスター (存在する場合) を含む、クラスターの詳細を表示するには、[ツリーマップ内のすべてのクラスターを表示] を選択します。

ツリーマップ表示を使用すると、クラスターのさまざまな側面をよりよく理解し、最初にフォーカスするクラスターを決定できます。ツリーマッププロットが [クラスターの表示方法] タブに表示されます。



ツリーマップの使用の詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。

作業メモの分析

作業メモ分析は、作業メモやコメントに記録されているアクティビティ移行の背後にある運用上の理由を理解するのに役立ちます。典型的な例としては、「解決済み」から「対応中」への移行や、アサイン先グループの変更 (サービスデスクからスペシャリストグループなど) などがあります。

移行の背後にある理由をよりよく理解するために、エージェントと要求者の両方からの作業メモが分析されます。これには、移行イベントの直前と直後に記録されたメモの抽出が含まれます。これらのメモは、クラスタリング手法を使用してグループ化され、パターンを識別し、類似のレコードが分類されます。

作業メモの分析には 2 つのタイプがあります。クラスタリングは、 Now Assist 機能の有無にかかわらず実行できます。Now Assist機能で作業メモ分析を使用する方法については、「プロセス最適化 のNow Assistの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 作業メモ分析は、100 ～ 300,000 のレコード数で利用できます。

対象となる作業メモが 5 ～ 50 件あっても、作業メモ分析に Now Assist 機能を使用できます。対象となる作業メモが 25 件未満の場合、システムはクラスタリングを実行しませんが、すべての作業メモを 1 回の LLM 呼び出しにまとめます。それ以外の場合は、LLM を呼び出す前にクラスタリングが実行されます。

作業メモ分析の構成

プロセステーブルの作業メモ分析を構成して、そのプロセステーブルに基づいてプロジェクトの作業メモ分析を表示します。

始める前に

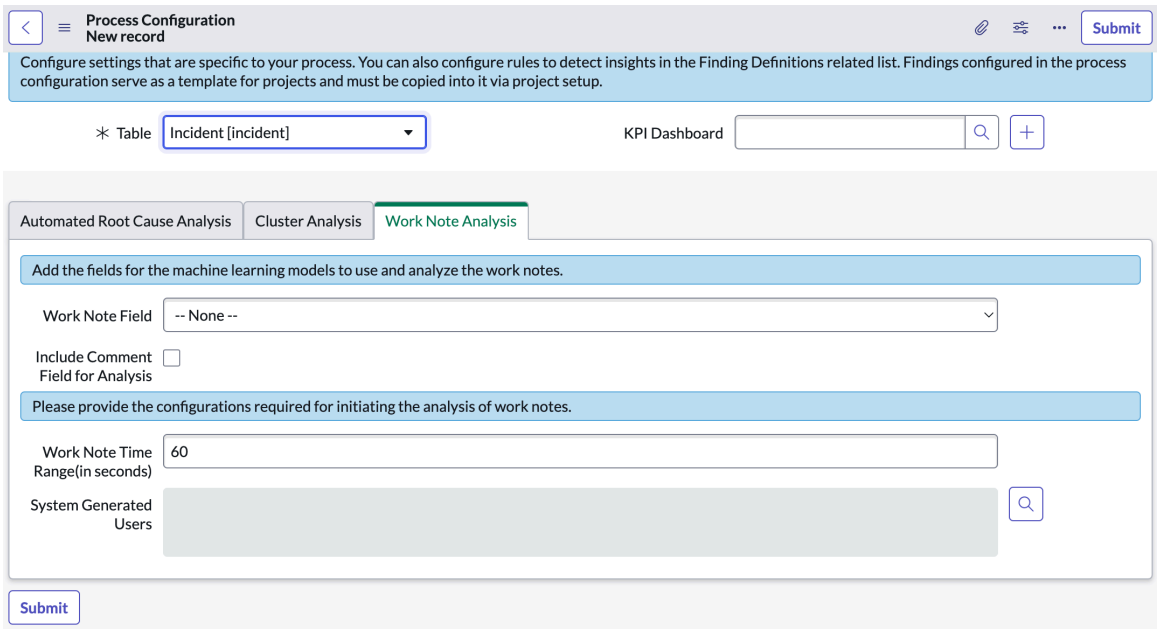
注:

- 1 つのプロセステーブルに対して 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、作業メモ分析定義をプロジェクトに関連付けることができますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analyst ロールは作業メモ分析定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. リストで利用可能なテーブルの作業メモ分析を構成する場合は、リストからテーブルを選択します。
   テーブルがリストされていない場合は、[新規] を選択します。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセスの構成を作成」を参照してください。

   注: プロセス構成ビルダーを使用して作業メモ分析を構成する方法については、「 調査機能の構成」を参照してください。



3. [作業メモ分析] タブで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモフィールド	分析対象として考慮する作業メモフィールドを選択します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ なし:分析は利用できません。 ○ 追加コメント:分析が利用可能になり、コメントは要求者に表示されます。 ○ 作業メモ:分析が利用可能であり、コメントは履行者にのみ表示されます。
アナリシスにコメントフィールドを含める	メモとともにコメントを分析する場合に選択します。
作業メモの時間範囲(秒)	移行前後の作業メモを取得する時間間隔を秒単位で入力します。たとえば、60 秒を指定すると、移行時間の前後 60 秒前に投稿された作業メモが分析でキャプチャされます。これは、分析のために最近の関連する作業メモをキャプチャするのに役立ちます。
システム生成のユーザー	システム生成作業メモに関連付けられているユーザー名を入力して、それらの特定のシステムユーザーによって作成された作業メモまたはコメントを除外します。システムで生成された作業メモには、移行の説明がないことがよくあります。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

作業メモ分析の実行

移行に関する作業メモ分析を生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> 注: 5 語を超え 50 語未満の作業メモは分析の対象と見なされます。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストからプロジェクトを選択します。
3. 任意の移行を選択します。
   すべての詳細を示すウィンドウが表示されます。

自動翻訳

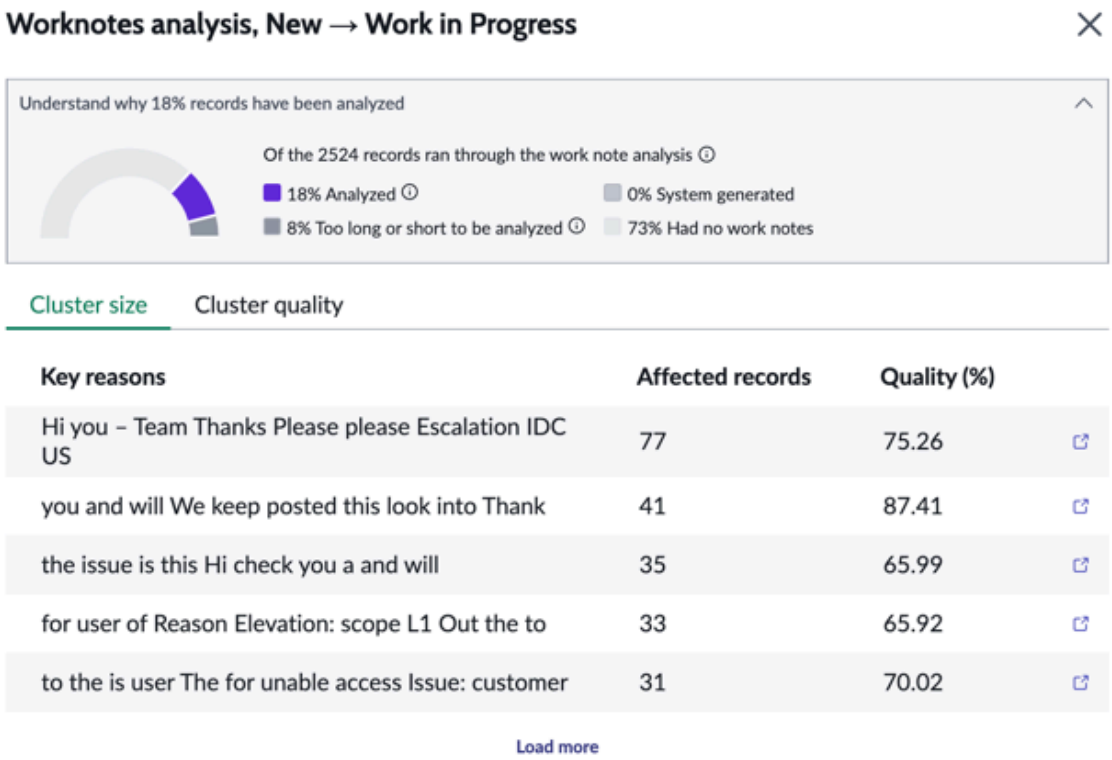
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [調査] セクションから、[作業メモ分析] を選択します。
   スケジュール設定済みタスクが開始されます。
5. スケジュール済みタスクが完了したら、[結果を表示] を選択します。

   結果が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ ] を選択すると、同じ理由のすべてのアイテムが表示されます。

作業メモ分析を再送信

何らかの理由で作業メモの分析に失敗した場合は、再送信できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

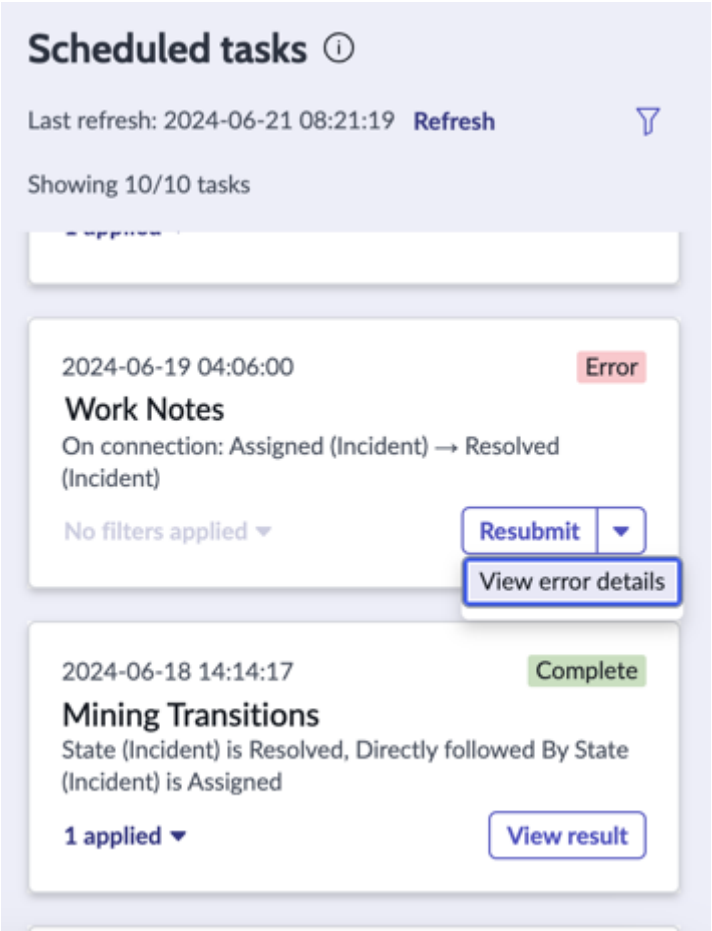
手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストからプロジェクトを選択します。
3. [スケジュール設定済みタスク] ペインで、失敗した作業メモ分析の [再送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラーの詳細を表示するには、[エラーの詳細を表示] を選択します。



アイドル時間分析

アイドル時間分析では、ケースがチームにアサインされているが、特定のリソースにまだアサインされていない期間に焦点を当てています。これは、ケースが非アクティブのままで、誰かがアクションを実行するのを待っている時間です。

プロジェクトのアイドル時間分析を有効にするには、テーブルのプロセス構成で設定します。プロセス構成でのアイドル時間分析の設定の詳細については、「 影響度メトリクスの設定」を参照してください。

プロジェクトのアイドル時間メトリクスを設定するには、「 メトリクスを設定」を参照してください。

プロセスマップからアイドル時間ケースを表示する方法の詳細については、 アナリストワークベンチページ の [プロセスマップ] セクションにあるアイドル時間分析のエントリを参照してください。

タッチポイント分析

タッチポイント分析では、プロセス内の特定のレコードの更新を調査して、インタラクションの高い領域を特定します。これにより、自動化の機会が明らかになることでプロセスの最適化が可能になり、最終的にパフォーマンスが向上し、運用コストが削減されます。

タッチポイント分析は、除外されていないユーザーからの「監査」更新を考慮した後に計算され、指定されたアクティビティ定義に焦点を当てます。

プロジェクトのタッチポイント分析を有効にするには、テーブルのプロセス構成で設定します。プロセス構成でのタッチポイント分析の設定の詳細については、「 影響度メトリクスの設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトでタッチポイントメトリクスを設定するには、「 メトリクスを設定」を参照してください。

プロセスマップからタッチポイントを表示する方法の詳細については、 アナリストワークベンチページ の [プロセスマップ] セクションのタッチポイント分析のエントリを参照してください。

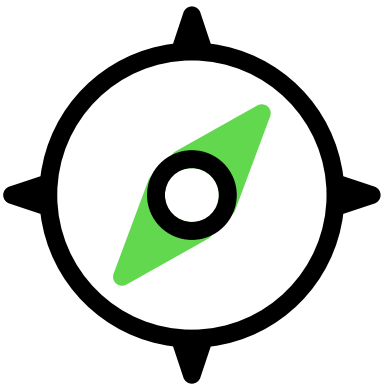
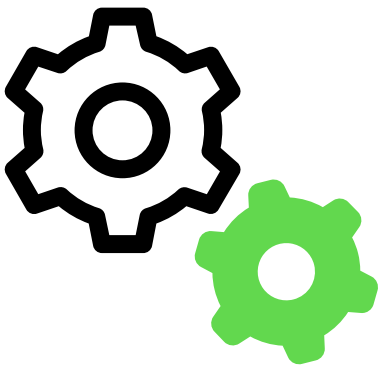
プロセス最適化 の **Now Assist**

ServiceNow Now Assist for プロセス最適化 を使用して、時間と労力を最大化し、プロジェクトセットアップの複雑さを軽減し、ボトルネックを特定し、プロセスの非効率性を解消します。

重要:

- 現在、 Now Assist 製品/機能の一部は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境ではご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は一部の地域の顧客のみが利用できます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

開始

探索	構成	使用方法
		
の Now Assist 機能について学ぶ プロセス最適化	プロセスマイニング向け Now Assist をアクティブ化し、スキルを構成します	作業メモを特定し、非効率性に関するインサイトを生成します

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

ServiceNow コミュニティ

ServiceNow コミュニティ

Customer Success Center

Customer Success Center

ディベロッパー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

developer.servicenow.com

Impact

http://impact.servicenow.com

ServiceNow University

ServiceNow University

NowCreate

Now Create

パートナー

https://www.servicenow.com/partners.html

支える

- https://support.servicenow.com/now
- 既知のエラーポータル

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに対する正確性、害、および適切性について、このアプリケーションの使用をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにするのは、ユーザーの責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。このポリシーは ServiceNow によって更新される場合があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは プロセスマイニングの作業メモに関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

プロセス最適化 の**Now Assist**の詳細

ServiceNow Now Assist for プロセス最適化 を使用して、時間と労力を最大化し、プロジェクトセットアップの複雑さを軽減し、ボトルネックを特定し、プロセスの非効率性を解消します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 の **Now Assist** の概要

非効率的な移行の根本原因を特定することは困難で時間がかかるため、移行ごとに多数のレコードを手動で調べる必要があります。プロセスに何千もの移行があるため、このタスクは負荷が大きくなり、機会を逃すことにつながります。

この機能は、プロセスマイニングと生成 AI の両方を使用するお客様が利用できます。

作業メモ分析スキル

Now Assist for プロセス最適化 には、作業メモ分析スキルが含まれています。プロセス最適化 が作業メモを分析するためにNow Assistを使用するには、このスキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「作業メモ分析スキルをアクティブ化」を参照してください。

> **注:** Now Assist機能を使用して、5～50 件の適格な作業メモを使用して作業メモを分析できます。対象となる作業メモが 25 件未満の場合、システムはクラスタリングを実行しませんが、すべての作業メモを 1 回の LLM 呼び出しにまとめます。それ以外の場合は、LLM を呼び出す前にクラスタリングが実行されます。

アクティブ化して構成されると、 Now Assist for プロセス最適化 は LLM を使用して次のことを行います。

- 非効率的な移行に関連するすべての作業メモを分析し、移行の最も重要な理由を提供します。この機能は、 プロセス最適化 ワークスペースおよびプラットフォームアナリティクス プロセス最適化 コンポーネントに表示されます。

  移行分析ジョブが開始されると、移行内のレコードから関連する作業メモが収集されます。作業メモはクラスターにグループ化され、移行が発生した理由を説明するためにクラスターごとに 1 つの LLM コールが使用されます。

- プロセスの非効率性の例外や逸脱を標準プロセスと比較して強調表示し、生成 AI を使用して詳細を提供します。

プロセスの非効率性のハイライトスキル

Now Assist for プロセス最適化 には、プロセスの非効率性のハイライトスキルが含まれています。プロセス最適化にNow Assistを使用して改善の機会のハイライトを生成するには、このスキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「[プロセスの非効率性のハイライト] スキルをアクティブ化」を参照してください。

次に探索する内容

Now Assist for プロセス最適化 の構成と使用の詳細については、以下を参照してください。

- プロセス最適化 向けNow Assistの設定
- プロセス最適化 のNow Assistの使用

プロセス最適化 向け**Now Assist**の設定

プロセス最適化がこの機能を使用できるようにNow Assistを設定します。

構成の概要

最初のスキルでプロセス最適化にNow Assistを使用する方法を構成します。

- 作業メモ分析スキルをアクティブ化
- での作業メモ分析の構成 プロセス最適化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistプロセス最適化 プラグインの場合

生成 AI 機能を使用するには、Creator 用の Now Assist が必要です。Now Assist for Creator のインストール方法については、「クリエーターの Now Assist をインストール」を参照してください。

Now Assist for Creator をインストールすると、プラグイン (プロセス最適化 用の Now Assist) と生成 AI コントローラーが自動的にインストールされます。

を使用した作業メモの操作 Now Assist

Now Assistを使用して作業メモ分析を効果的に行うには、作業メモ分析スキルをアクティブ化し、プロセステーブルの作業メモ分析を構成する必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

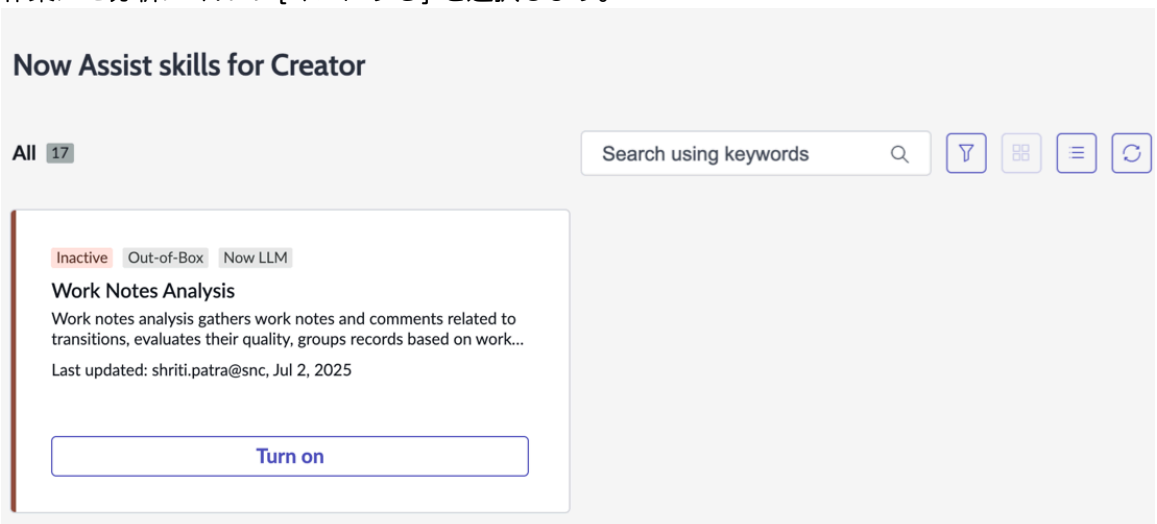
作業メモ分析スキルをアクティブ化

作業メモ分析スキルをアクティブ化して、 Now Assist for プロセス最適化 を使用して作業メモを分析できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Assist** アドミン > スキル.
2. **[Creator** (作成者)]を選択します。
3. Creator のNow Assistスキルのリストから [作業メモ分析] を選択します。
4. 作業メモ分析スキルの [オンにする] を選択します。



インスタンスのスキルがアクティブ化されています。

での作業メモ分析の構成 プロセス最適化

プロセステーブルの作業メモ分析を構成して、プロセステーブルに基づくすべてのプロジェクトに作業メモ分析が構成されるようにします。

作業メモ分析を構成する詳細な手順については、「 調査機能の構成」を参照してください。

作業メモ分析の動作方法を決定するシステムプロパティがあります。システムプロパティの詳細については、「 作業メモ分析プロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用したプロセスの非効率性の対処の特長 **Now Assist**

Now Assist を使用してプロセスの非効率性のハイライトを効果的に処理するには、プロセスの非効率性のハイライトスキルを有効にし、プロセステーブルとプロジェクトの改善の機会を設定する必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

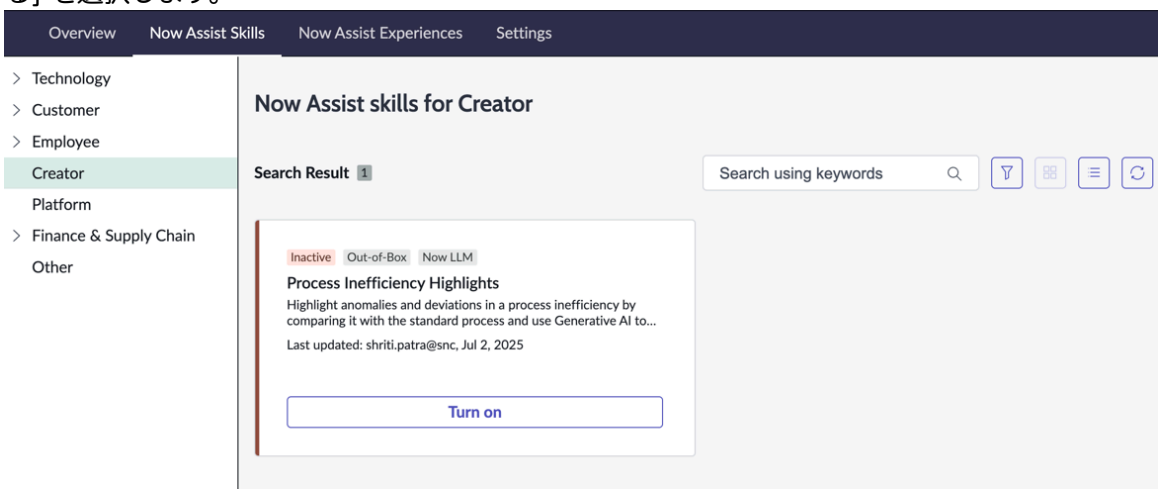
[プロセスの非効率性のハイライト] スキルをアクティブ化

プロセスの非効率性のハイライトスキルをアクティブ化して、プロセス最適化のNow Assistを使用して改善の機会のハイライトを生成できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Now Assist** アドミン > スキル.
2. **[Creator** (作成者)]を選択します。
3. クリエーターのNow Assistスキルのリストから [プロセスの非効率性のハイライト] を選択します。
4. [プロセスの非効率性のハイライト (Process Inefficiency Highlights Skills)] スキルで [オンにする] を選択します。



インスタンスのスキルがアクティブ化されています。

での改善の機会の構成 プロセス最適化

プロセステーブルに改善の機会を構成し、プロセステーブルに基づくすべてのプロジェクトに改善の機会が構成されるようにします。プロジェクトの改善の機会を設定する必要があります。

プロセステーブルの改善の機会を構成する詳細な手順については、「改善の機会の構成」を参照してください。

プロジェクトの改善の機会を構成する詳細な手順については、「改善の機会の設定」を参照してください。

改善の機会のハイライトを生成および表示する方法の詳細については、「オポチュニティの詳細ページ」を参照してください。

プロセスの非効率性がどのように作用するかを決定するシステムプロパティがあります。システムプロパティの詳細については、「改善の機会のハイライトプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 の**Now Assist**の使用

Now Assist for プロセス最適化 を使用して、移行時に作業メモ分析を実行し、改善の機会に関するハイライトを生成します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

作業メモ分析を実行

移行に関する作業メモ分析を生成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin、 now.assist.creator ロールが必要です。

注: 5 語を超え 100 語未満の作業メモは分析の対象と見なされます。

対象となる作業メモが 5 ～ 50 件あっても、作業メモ分析に Now Assist 機能を使用できます。対象となる作業メモが 25 件未満の場合、システムはクラスタリングを実行しませんが、すべての作業メモを 1 回の LLM 呼び出しにまとめます。それ以外の場合は、LLM を呼び出す前にクラスタリングが実行されます。

重要: アシストが動的に課金されるようになりました。

- クラスターベースの作業メモの場合、要求ごとに 250 の Now Assist が課金されます。要求ごとの作業メモに制限はありません。追加料金なしで、同じ要求に対してさらに多くの結果をロードできます。
- 非クラスタリング LLM コールの場合、要求ごとに 100 Now Assist が課金されます。
- 結果が表示されない場合は、料金は発生しません。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストからプロジェクトを選択します。
3. 任意の移行を選択します。
   すべての詳細を示すウィンドウが表示されます。

自動翻訳

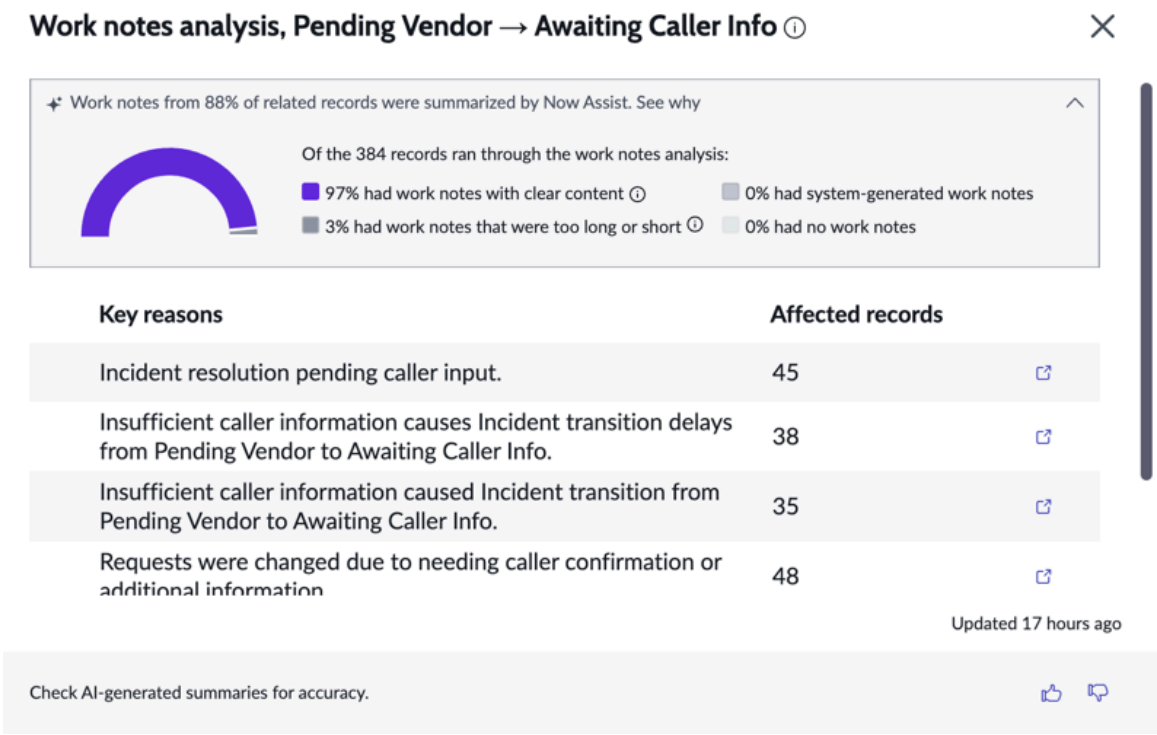
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [調査] セクションから、[作業メモの分析] を選択します。
   スケジュール設定済みタスクが開始されます。
5. スケジュール済みタスクが完了したら、[結果を表示] を選択します。

   結果が表示されます。



   賛成アイコンと反対アイコンを使用して、受け取った結果のフィードバックを提供します。

改善の機会のハイライトを生成する

プロセスを最適化するための改善された機会のハイライトを生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin、 now.assist.creator ロールが必要です。

重要: アシストが動的に課金されるようになりました。

- ハイライトの場合、改善の機会ごとに 50 の Now アシストが課金されます。追加料金なしで、同じ要求に対してさらに多くの結果をロードできます。
- 結果が表示されない場合は、料金は発生しません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. オポチュニティの詳細ページに移動します。
   オポチュニティの詳細ページの詳細については、「 オポチュニティの詳細ページ」を参照してください。
4. 右側のパネルで [改善の機会] アイコンを選択します。
   利用可能な改善の機会のリストが表示されます。
5. 詳細を表示する改善の機会を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果ごとのメトリクスは上部に表示されます。ハイライトを生成することもできます。

6. [ハイライトを生成] を選択します。

> **重要:**
> - [ハイライトを生成] ボタンは、インスタンスで [プロセスの非効率性のハイライト (Process Inefficiency Highlights)] スキルが有効になっている場合にのみ表示されます。
> - スキルがアクティブ化されていても、クリエーター向け Now Assist ロールがない場合、[ハイライトを生成] ボタンは使用できません。インスタンス上の他のユーザーによって生成されたハイライトのみを表示できます。ハイライトは生成できません。
> - 非効率性のレコードが 50 件を超える場合は、ハイライトを生成できます。それ以外の場合、[ハイライトを生成] ボタンは使用できません。
> - このプロジェクトに改善の機会がない場合、この領域は空です。

選択した改善の機会のハイライトが表示されます。

改善イニシアチブの作成と追跡

プロセス最適化アプリケーション内から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けます。

改善イニシアチブには、成功を測定するための目標と、フェーズが含まれます。フェーズには、改善を完了するための特定のアクションを持つタスクが含まれます。

改善イニシアチブを表示、作成、または関連付けるには、継続的改善管理プラグインが有効になっており、ユーザーがイニシアチブを表示または作成する権限を持っている必要があります。

イニシアチブリストを表示

プロセスプロジェクト用に作成された、またはプロセスプロジェクトに関連付けられている改善イニシアチブのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルでイニシアチブアイコン (イ アイコン) を選択します。
   イニシアチブリストが表示され、各イニシアチブの CIM ID、簡単な説明、作成の詳細、および現在のステータスが表示されます。以下のことを行うことができます。
   - 表示するかどうかを選択します。
     - 現在のモデルイニシアチブ:現在表示しているプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
     - メインモデルイニシアチブ:リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
     - すべてのリンクされたイニシアチブ:メインプロセスおよびすべてのリンクされたプロセスで作成されたすべてのイニシアチブを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オプションで、作成日、作成者、またはステータスによるリストを昇順または降順でソートします。
- 検索フィールドに簡単な説明または CIM 番号に後続の 3 文字以上を入力して、特定のイニシアチブを検索します。

3. オプション: イニシアチブのコンテキストメニューを選択して、詳細を表示したり、編集したり、削除したりします。

からの改善イニシアチブの作成 プロセス最適化

プロセス最適化で分析しているプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブを作成します。

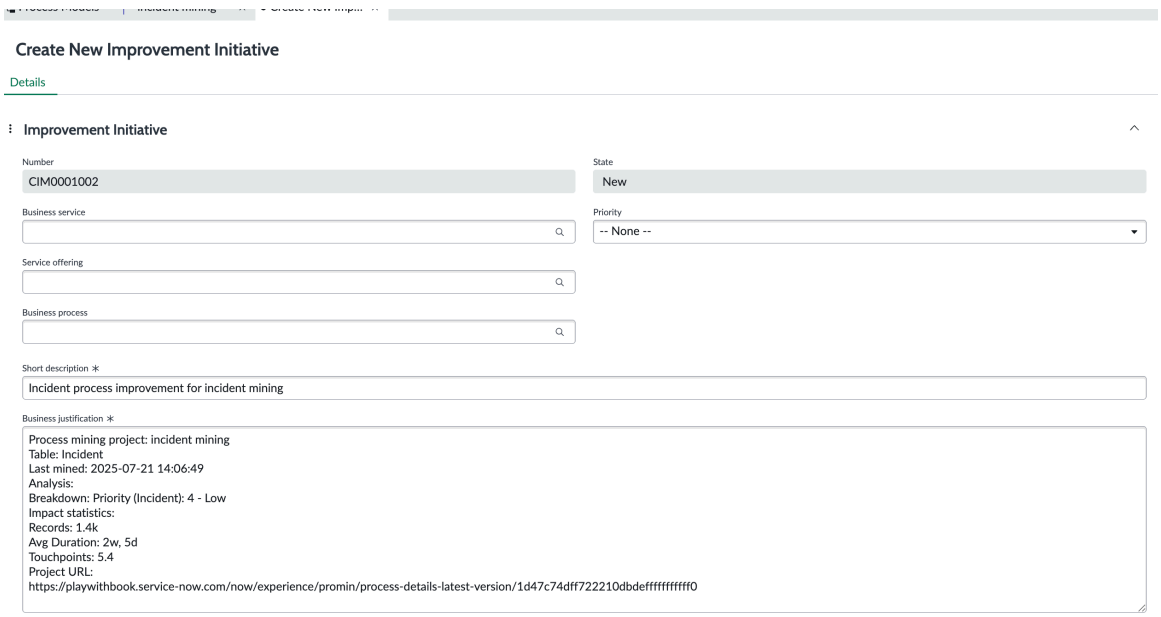
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. 次のいずれかの方法で新しい改善イニシアチブを開きます。
   - 概要パネルメニューの [ ] を選択し、[新しい改善イニシアチブ] を選択します。
   - [メモとイニシアチブ] パネルから:
     a. イニシアチブアイコン (イ) を選択します。
     b. 選択 作成 > 新しいイニシアチブ
     新しい改善イニシアチブフォームが別のタブに表示されます。
3. フォームフィールドに記入します。

   フォーム内のすべての必須フィールドは、使いやすさを考慮して事前に入力されています。



フィールドの詳細については、「 改善イニシアチブの作成 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: サポートドキュメントを添付する場合は、[参照] を選択してファイルを選択します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. プロジェクトビューから、[イニシアチブ] アイコンを選択してリストを更新します。

結果
プロジェクトに対して作成された改善イニシアチブを表示できます。

次のタスク
レコードを変更するには、CIM レコードから次の操作を行います。

- レコードの更新:レコードを変更し、[保存] を選択します。
- イニシアチブを削除する:レコードからメニューアイコンを選択し、[削除] を選択します。

イニシアチブを関連付ける

既存の改善イニシアチブをプロジェクトに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順
1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン (イ アイコン) を選択します。
3. プロジェクトに関連付ける 1 つ以上のイニシアチブを検索してチェックします。
4. [リンク] を選択します。

結果
関連する改善イニシアチブが、更新されたイニシアチブリストに表示されます。

イニシアチブを削除する

関連するタスクを完了するかキャンセルしたら、関連する改善イニシアチブをプロジェクトから削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
改善イニシアティブは、作成されたメインプロセスまたはリンクプロセスから削除できます。イニシアティブを削除しても削除されるのではなく、プロジェクトからイニシアチブのリンクが解除されます。

手順
1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン (イ アイコン) を選択します。
3. リストからイニシアチブのコンテキストメニューを選択し、[削除] を選択します。
4. [**OK]** を選択して、イニシアチブを削除することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
リフレッシュされたイニシアチブリストからイニシアチブが削除されます。

流入および流出分析:ノード星形図

ダッシュボードのプロセスマップコンポーネントで、プロセスグラフをノード星形図として表示します。ノードの星形図には、選択したノードに入るアクティビティと、選択したノードから出るアクティビティが明示的に表示されます。

ダッシュボードのプロセスマップコンポーネントでプロセスグラフを表示し、グラフ内の 1 つのノードの詳細を確認する場合は、ノードの星形図を使用する必要があります。

PAR ダッシュボードにプロセスグラフを表示するための プロセス最適化 マップの構成の詳細については、「 PAR ダッシュボードでのマップ プロセス最適化 構成」を参照してください。プラットフォームアナリティクス (PAR) ダッシュボードの詳細については、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細」を参照してください。

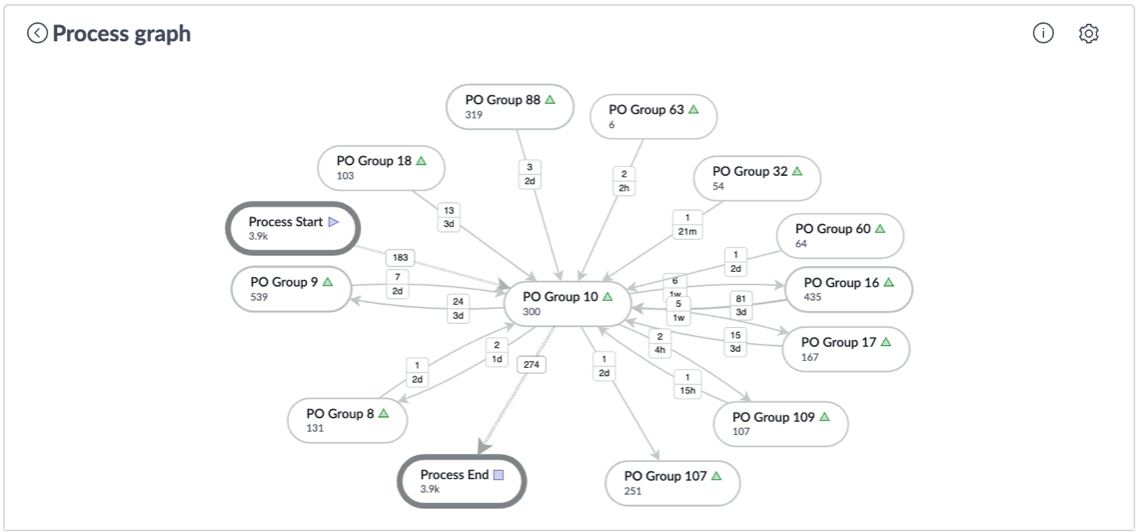
次のプロセスグラフには、再アサイン分析の詳細が表示されます。

プロセスグラフの任意のノードを選択すると、グラフがノード星形図に変わり、選択したノードからのすべての受信アークと送信アークが表示されます。[プロセスグラフ] ボタンをもう一度選択すると、グラフ全体がプロセスグラフとして表示されます。

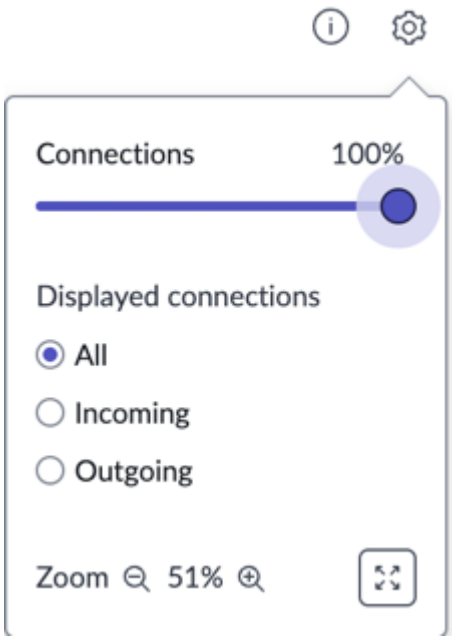
PO グループ 10 を選択すると、次の図のようなノードの星形図が表示されます。PO グループ 10 に割り当てられたレコードを表示できます。PO グループ 10 から他のグループにアサインされたレコードを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



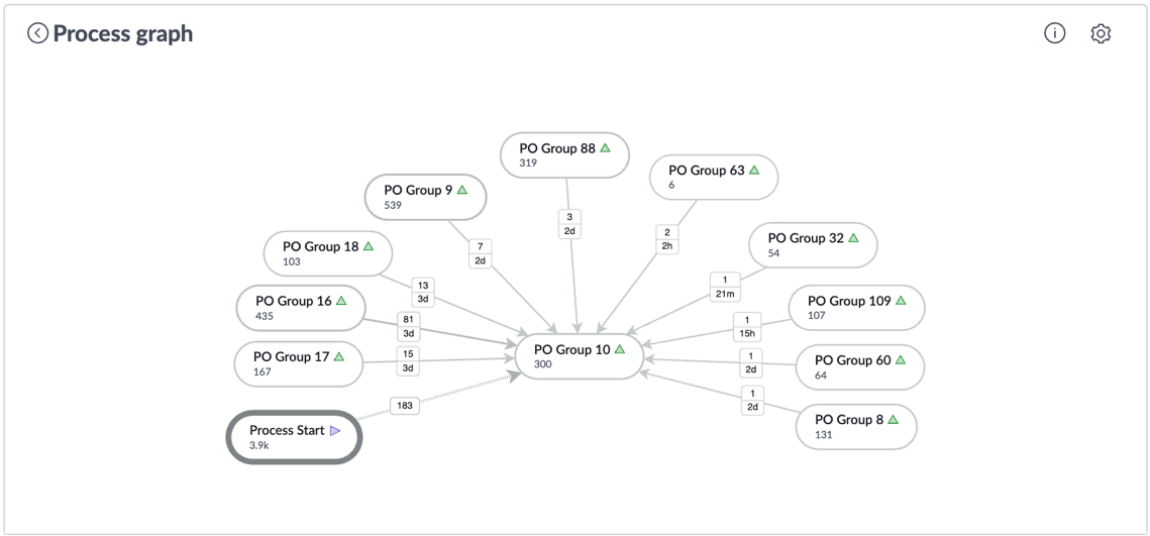
送信レコードまたは受信レコードのいずれかでフィルタリングできます。



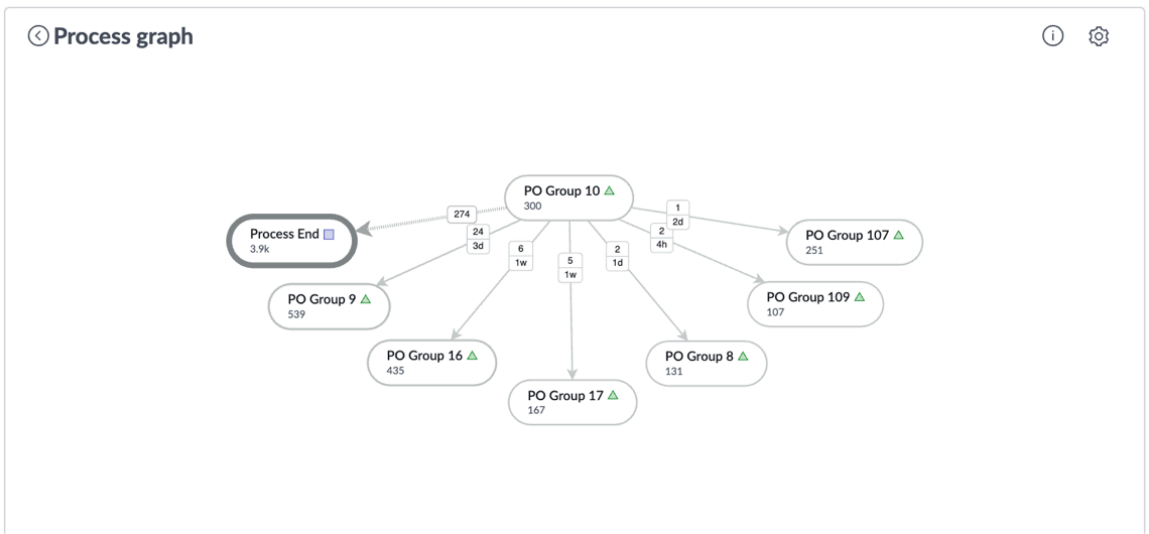
[受信] でフィルタリングすると、PO グループ 10 に割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、どのグループが自分のグループにレコード数を割り当てているかを確認できます。その後、見つかった問題の修正に集中できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

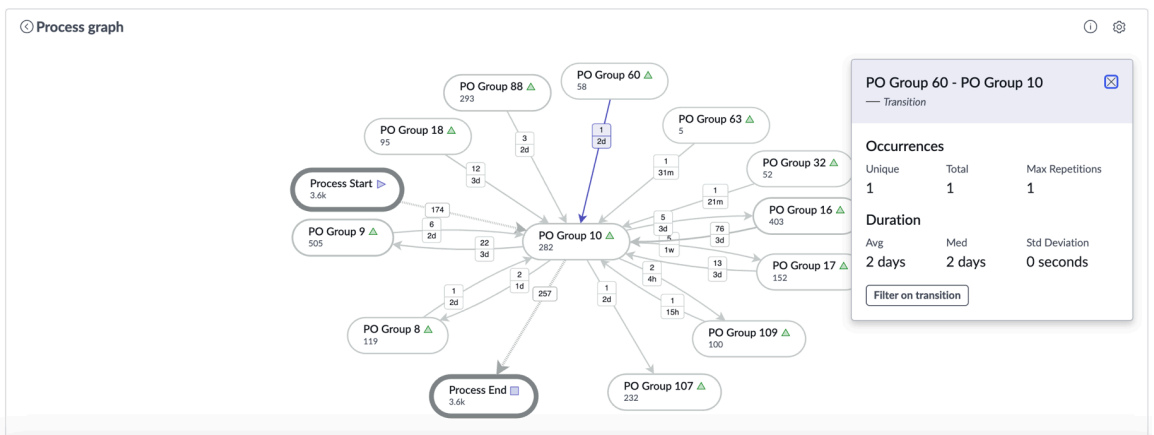


送信でフィルタリングすると、PO グループ 10 によって他のグループにアサインされたすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、PO グループ 10 からどのグループに再アサインされたレコード数を確認することができます。その後、見つかった問題の修正に集中できます。



移行をフィルタリングすることもできます。任意の円弧を選択すると、移行の詳細を示すウィンドウが表示されます。

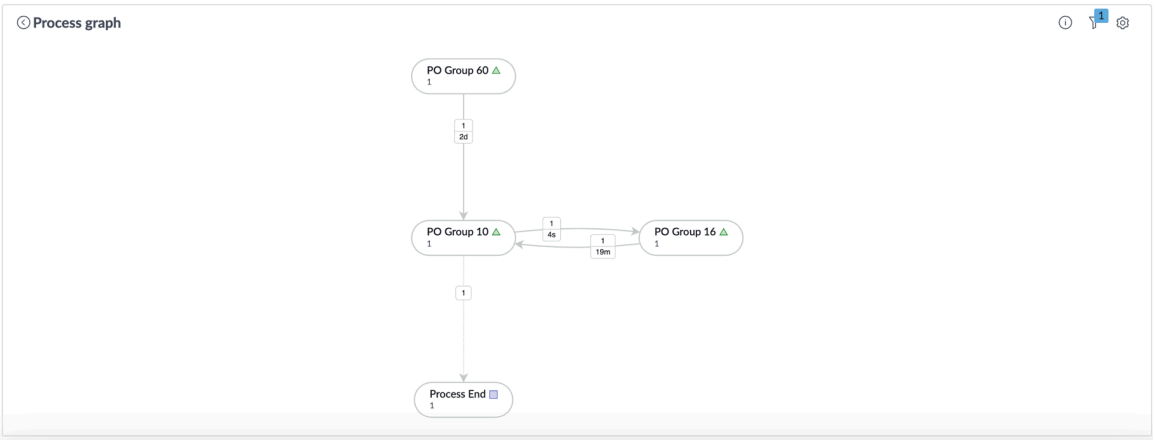
[PO Group 60] を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[移行時にフィルタリング] を選択します。ノードの星形図には、その 1 つの移行の結果のみが表示されます。画像が示すように、PO Group 60 が PO Group 10 にレコードを割り当てました。PO グループ 10 は、レコードを PO グループ 16 に割り当てます。PO グループ 16 は、レコードを PO グループ 10 に割り当てます。最後に、レコードがクローズされました。



任意のノードまたはアークを選択すると、[レコードを表示] ボタンが表示されます。[レコードを表示] ボタンを選択します。スケジュール設定済みタスクが開始されます。スケジュール済みタスクが完了したら、[スケジュール設定済みタスク] ペインで [結果を表示] を選択します。

スケジュール設定済みタスクの表示

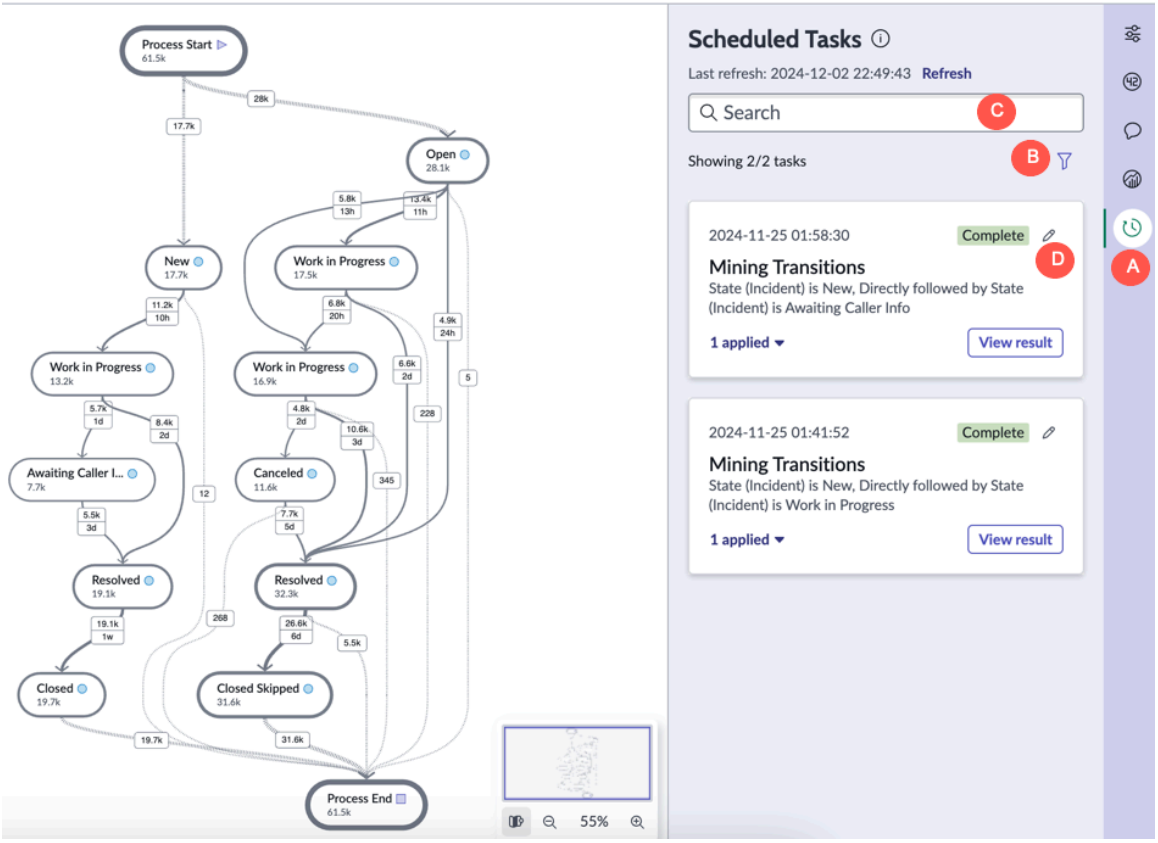
[スケジュール設定済みタスク] パネルから、ステータスを表示し、要求されたクラスター分析や適用されたフィルタービューなどのオンデマンドスケジュールマイニングタスクの結果にアクセスします。

[スケジュール設定済みタスク] パネルには、次のスケジュール済みマイニングタスクの [キューに格納]、[処理中]、[エラー]、または [完了] ステータスが表示されます。

- クラスター分析要求
- リンクされたプロセスマイニング
- フィルター、ブレークダウン、移行、およびルートの適用

[

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[スケジュール設定済みタスク] パネルから結果またはビューにさらにアクセスできます。

- A:(スケジュール設定済みタスクアイコン) このアイコンを選択すると、[スケジュール設定済みタスク] パネルが開きます。
- B:(フィルターアイコン) スケジュール済みタスクをフィルタリングするには、このアイコンを選択します。
- C:(検索フィールド) このフィールドを使用して、特定のスケジュールタスクを検索します。
- D:(名前の変更アイコン) スケジュール設定済みタスクの名前をデフォルト名から変更するには、このアイコンを選択します。名前は最大 100 文字です。

外部データセットの操作

プロセス最適化 の環境外で利用可能なデータを使用してServiceNow® プロセスを最適化し、ビジネス上の課題を解決します。外部データセットを使用するには、まず外部データセットを ServiceNow® 環境にインポートする必要があります。

注: 外部データサブスクリプションの プロセス最適化 については、アカウントチームにお問い合わせください。この機能の購入は ServiceNow® Storeから要求できます。詳細については、「 外部データの要求プロセス最適化」を参照してください。

外部データセットを ServiceNow® 環境にインポートすると、ソースを考慮せずに任意のデータで プロセス最適化 を使用できるため、作業が簡単になります。

外部データセットを ServiceNow® にインポートし、それを使用してプロジェクトを作成してマイニングするには、次の手順を実行する必要があります。

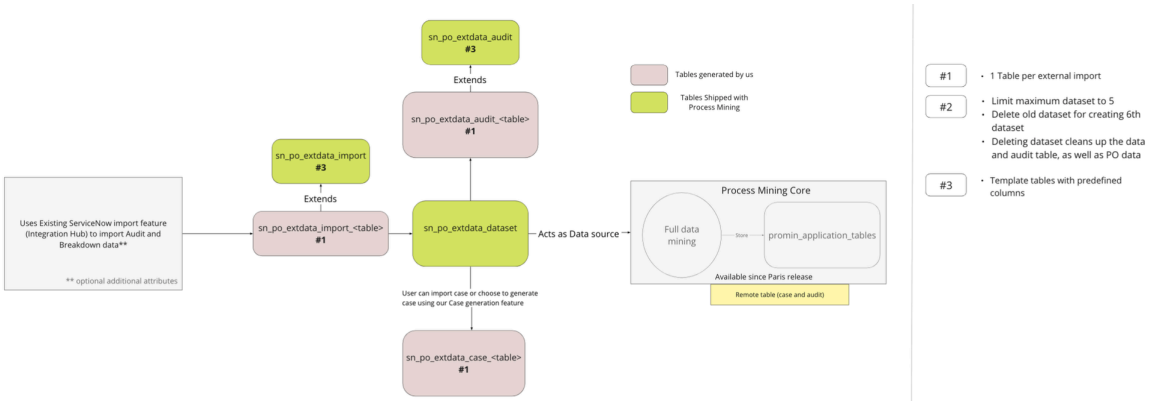
- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルへの外部データのインポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インポートされたデータを検証します
- レコードテーブルの作成
- プロジェクトを作成してマイニングする

外部データセットアーキテクチャ



監査テーブルの作成

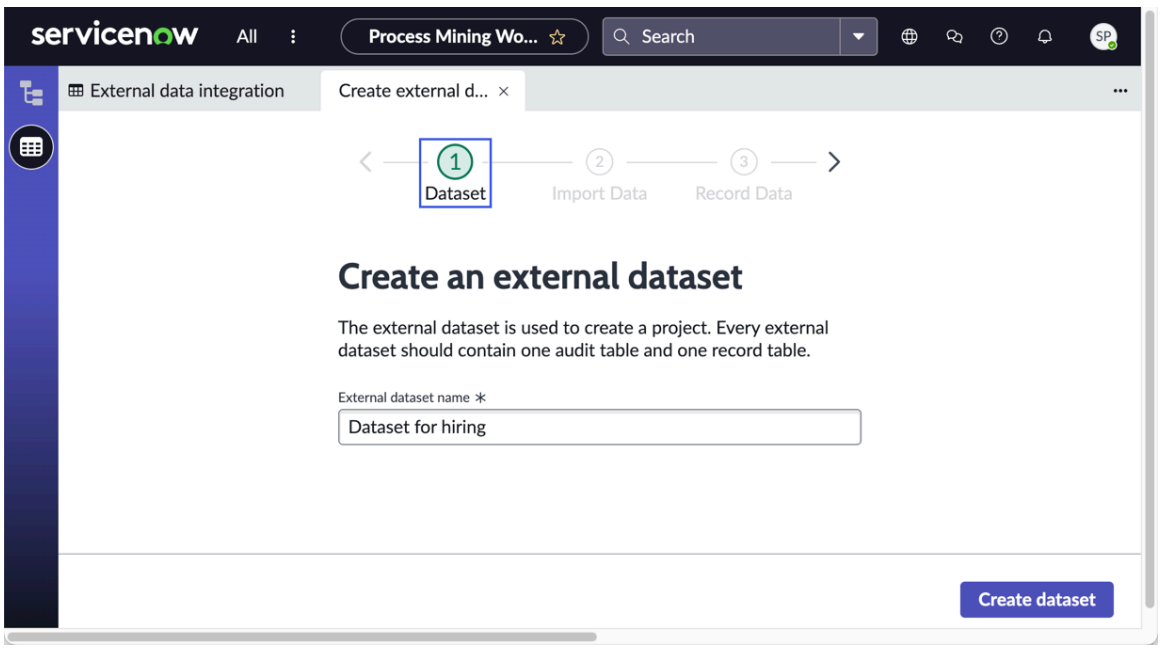
データを格納する監査テーブルを作成します。監査テーブルは、外部データを入力するために必要な列を使用して作成されるステージングテーブルです。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. [データセットを作成] を選択します。
   [外部データセットを作成] タブが開きます。
4. データセットの名前を指定します。



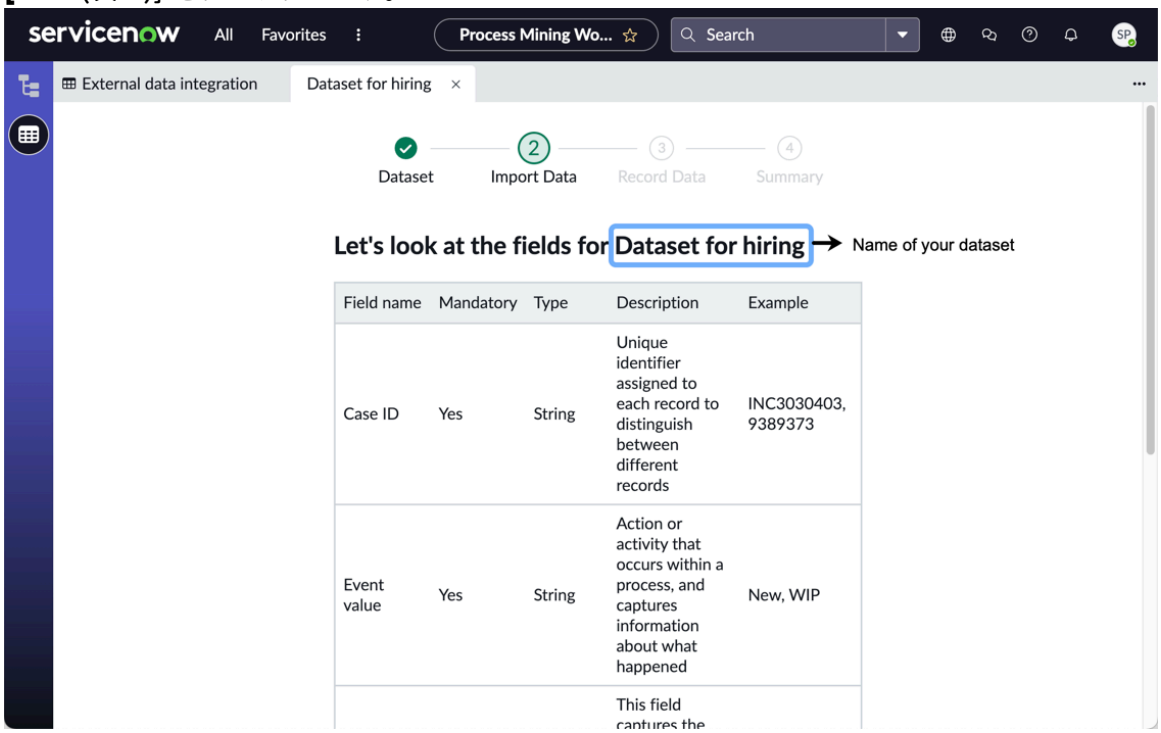
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: データセット名は一意である必要があります。後で使いやすくするために、データのタイプとソースを明確にするわかりやすい名前にしてください。

5. [データセットを作成] を選択します。
次の画面には、監査テーブルの列のリストとその説明および例が表示されます。

6. **[Next** (次へ)] をクリックします。



次の画面では、テーブルのカスタム列を追加できます。既に提供されている列よりも多くの列が必要な場合は、ここで実行できます。

テーブルに自動的に追加される列

列タイトル	説明
ケース ID	レコードを区別するために各レコードに割り当てられる一意の識別子を指します。
イベント値	プロセス内で発生するアクションまたはアクティビティを指し、発生した事象に関する情報を取得します。
タイムスタンプ	イベントが発生した日時をキャプチャします。
ユーザー	(オプション)アクションを実行したユーザーを指します。
イベントタイプ	(オプション)イベントログに記録されている特定の種類のアクティビティを指します。イベントタイプは、類似したタイプのイベントを 1 つの列にまとめるためによく使用されます。

7. **[Next** (次へ)] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査テーブルへのカスタムフィールドの追加

カスタムフィールドは、プロセスグラフを表示するときにブレークダウンフィルターとして形成されます。カスタムフィールドがないと、ブレークダウンフィルターはありません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィールドを追加] ページで、 カスタムフィールドの追加 を選択します。

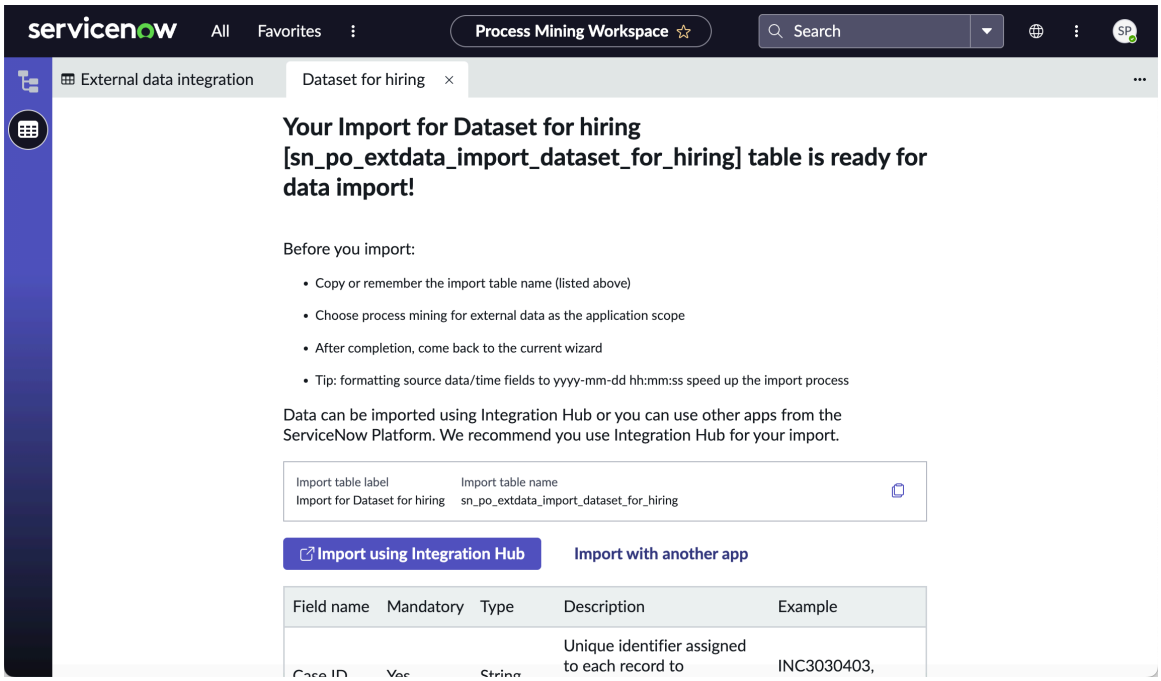
   注: 最大 10 個のカスタムフィールドを追加できます。

2. 名前を入力し、タイプを選択します。
   タイプには次のオプションがあります。
   - 文字列:サイズの場合、許容される最大長は 4000 文字です。デフォルト値は 80 です。
   - ブール
   - 日時
   - 日付
   - **10** 進数:サイズの場合、許容される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
   - 整数:サイズの場合、許容される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
   - 参照: [参照] を選択した場合は、参照テーブルと参照フィールドを選択する必要があります。これにより、外部データセットを使用して多次元マイニングを行うときに、ソースフィールドとターゲットフィールドを構成できます。
3. **[Next** (次へ)] をクリックします。
   次の画面には、作成している監査テーブルのすべての列が表示されます。
4. オプション: カスタムフィールドを変更する場合は、[戻って詳細を追加または削除] を選択します。
   変更を行った後、 [次へ] を選択します。
5. 列のリストを検証した後、[インポートテーブルの作成] を選択します。

   注: この画面には、作成されたテーブルの名前が表示されます。このテーブル名は、次のステップでデータをインポートするときに必要になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



監査テーブルの準備ができました。これで、テーブルにデータをインポートする準備ができました。

監査テーブルへのデータのインポート

外部データセットを監査テーブルにインポートして、 プロセス最適化内のデータの操作を開始します。

始める前に

- 監査テーブルの作成

ServiceNow 統合ハブまたは他のアプリケーションを使用してインポートできます。このセクションでは、 ServiceNow 統合ハブを使用してデータをインポートする方法について説明します。

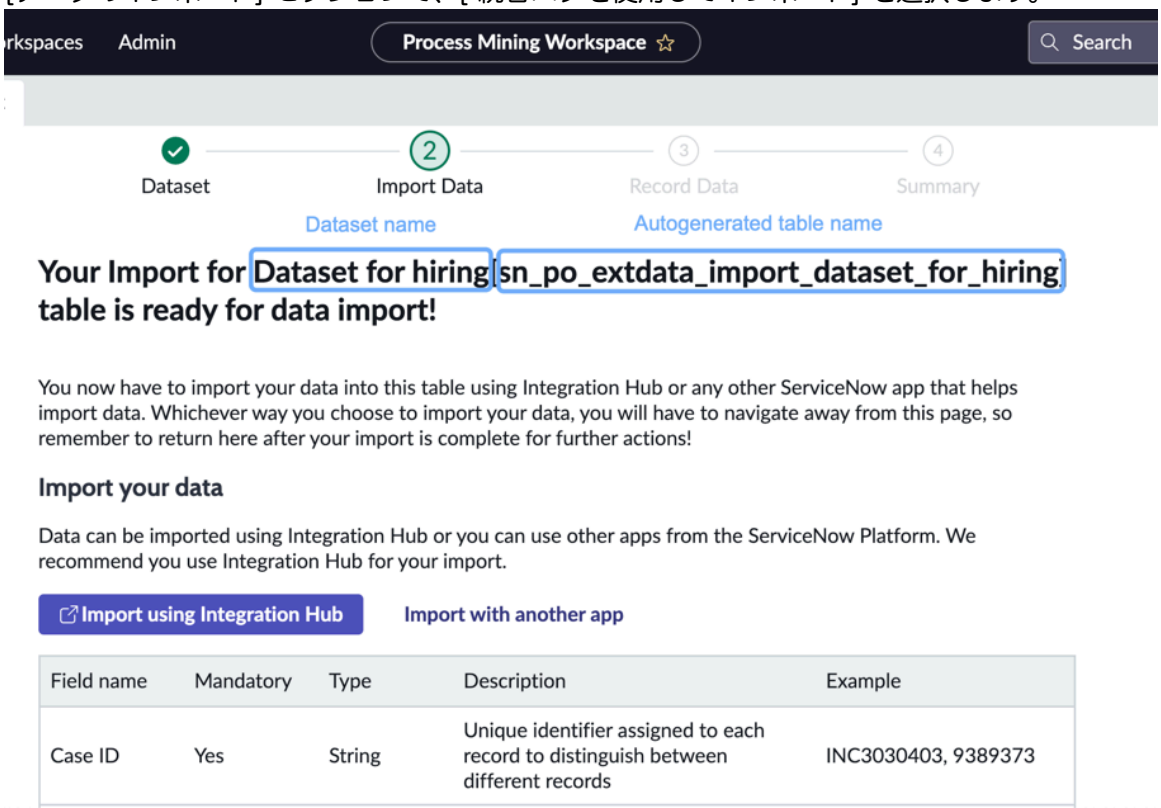
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データのインポート] セクションで、[統合ハブを使用してインポート] を選択します。



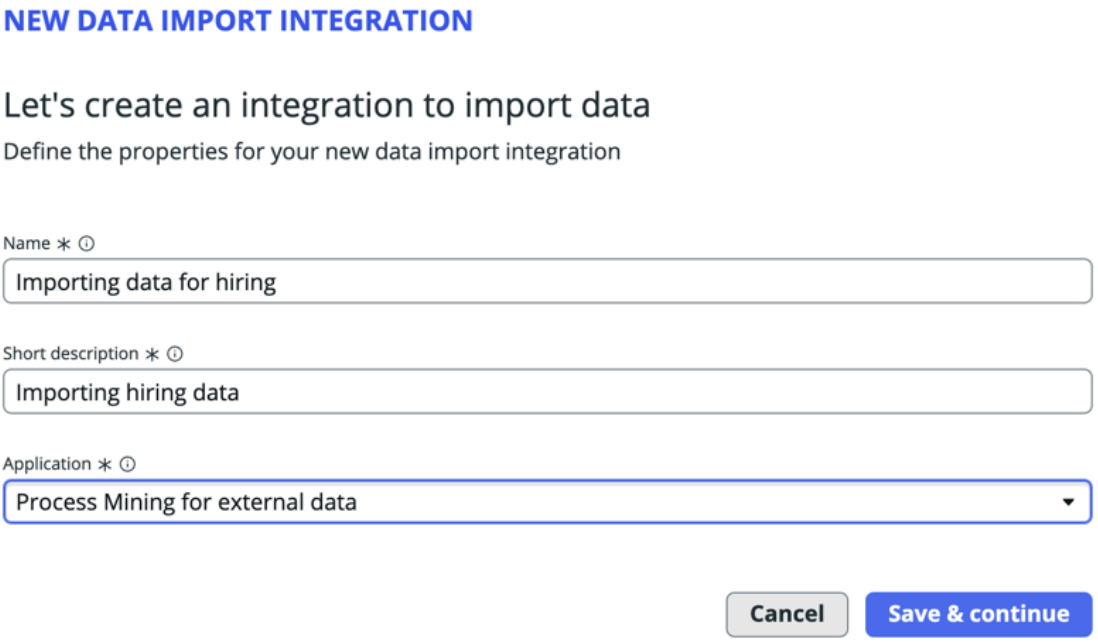
選択を確認するように求めるダイアログボックスが表示され、統合ハブからデータをインポートした後、このページに再度アクセスする必要があることを通知します。

2. [**Proceed to Integration Hub** (統合ハブに進む)] を選択します。
統合ハブ が新しいタブで開きます。
3. [新しい統合を作成] を選択します。
4. [新しいデータインポート統合] ページで、フィールドに入力します。

> **注:** [アプリケーション] フィールドで外部データのプロセスマイニングを指定していることを確認してください。

自動翻訳

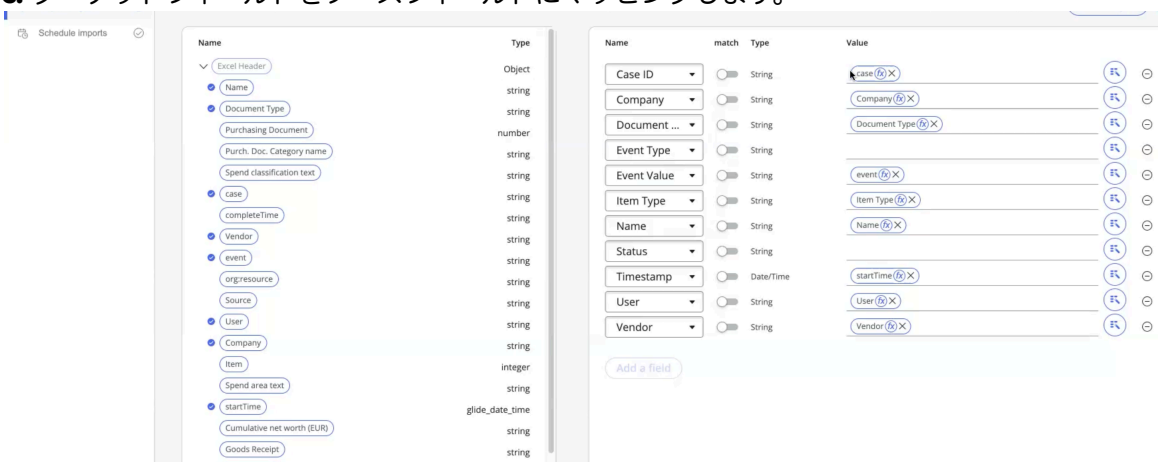
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存して続行] を選択します。
6. データソースを選択して構成します。
   a. ドロップダウンリストからソースタイプとして [ファイル] を選択します。
   b. データの保存方法に応じて、Excel または CSV を選択します。

      注: jjjj-mm-dd uu:mm:ss の形式の日付があると便利です。これにより、Integration Hub での変換時間が短縮されます。また、インポートしやすいように、CSV ファイルを使用することをお勧めします。

7. 次に、ソースをターゲットにマップする必要があります。
   a. [テーブルの追加] を選択します。
   b. ターゲットテーブルを選択します。これは、作成したものと同じテーブルである必要があります。
   c. ターゲットフィールドをソースフィールドにマッピングします。



8. インポートをスケジュールします。
   詳細については、「統合ハブ - インポート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートされたデータの確認

インポートされたデータを確認し、データが正確であることを検証します。データマイニングが成功するかどうかは、インポートされたデータの精度にかかっています。

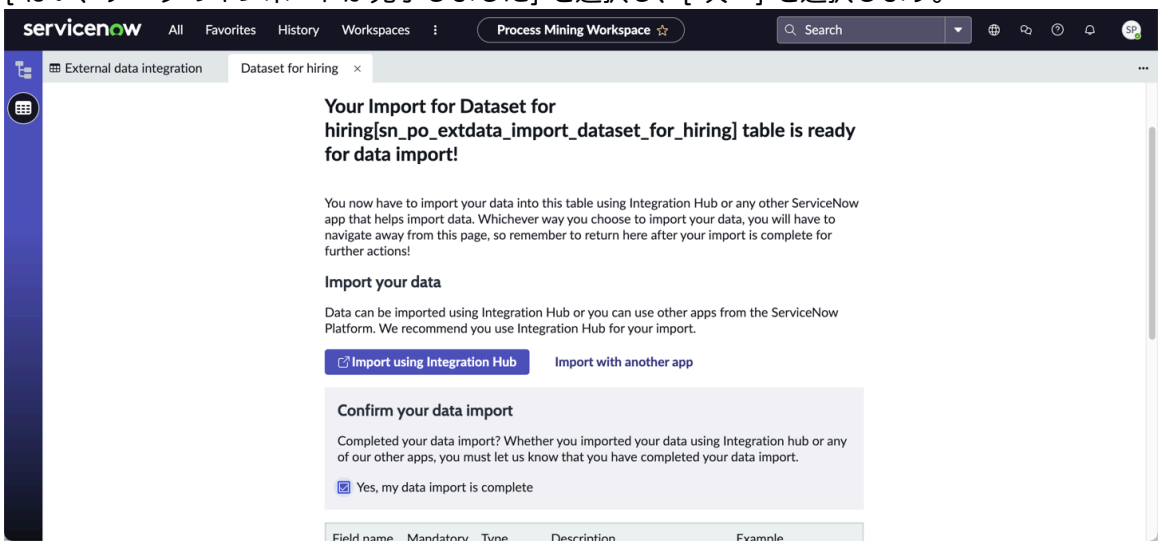
始める前に

- 監査テーブルの作成。
- 監査テーブルへのデータのインポートに展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [監査テーブルへのデータのインポート] セクションで [統合ハブを使用したインポート] を選択したステップに移動します。
2. [はい、データのインポートが完了しました] を選択し、[次へ] を選択します。



3. 次のページで、[プレビュー] を選択して、インポートしたデータを確認します。
必須フィールドとカスタムフィールドに、ソースファイルで指定した値が含まれていることを確認します。
4. オプション: データセットを再度インポートするか、インポートされたデータセットを編集する場合は、[データセットの編集] リンクを選択します。
5. データの検証後に [確認して続行] を選択します。

インポートされたデータのケースレコードを作成

インポートされたデータのケースレコードは、プロジェクトの作成とマイニングにとって重要であるため、作成します。レコードテーブルがないと、プロジェクトを作成できません。

始める前に

- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルへのデータのインポート
- インポートされたデータの確認

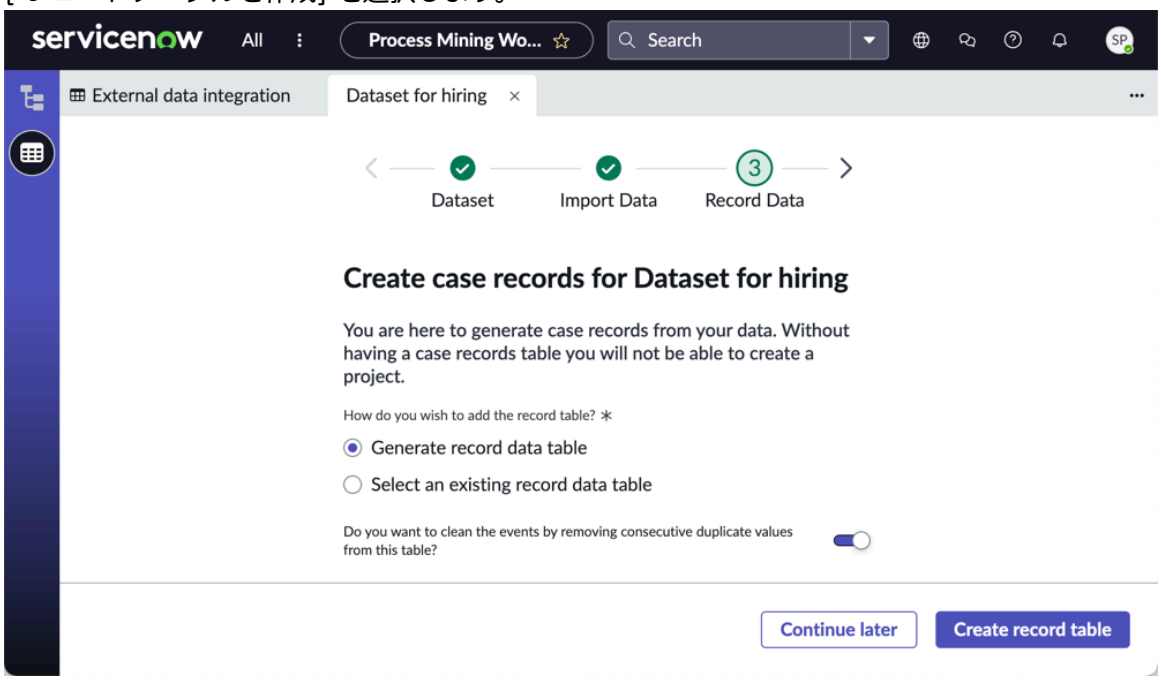
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

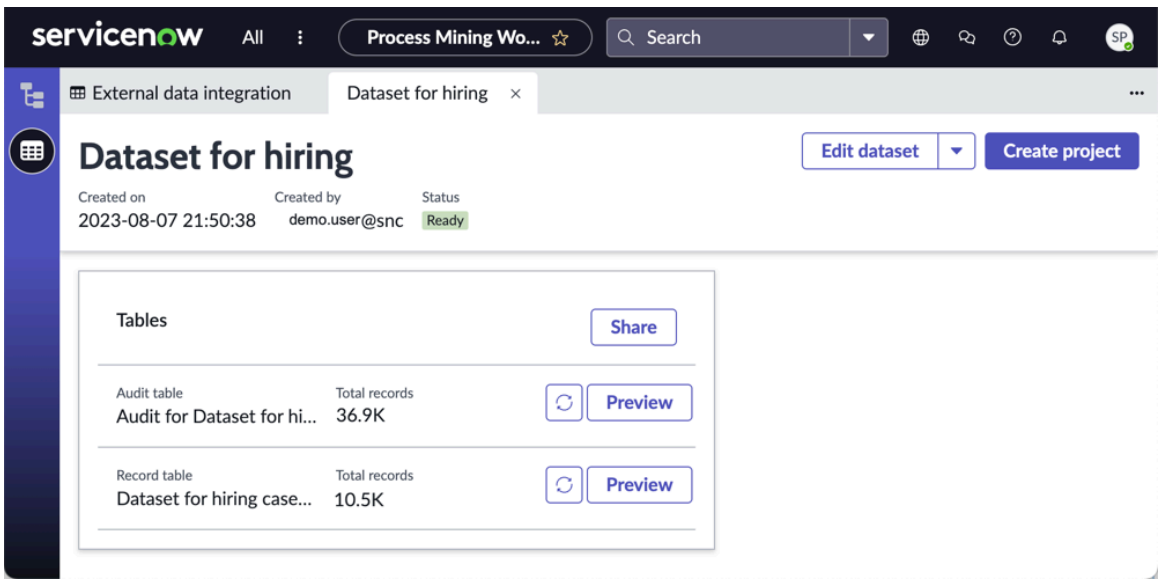
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インポートされたデータを検証した後、[レコードデータ] セクションからレコードテーブルを作成します。
2. [レコードテーブルをどのように追加しますか?] でオプションを選択します。
   監査テーブルにカスタムフィールドがある場合、2 つのオプションはグレー表示されます。デフォルトでは、[レコードデータテーブルを生成] が選択されています。
3. [レコードテーブルを作成] を選択します。



レコードテーブルが作成されると、監査テーブルとレコードテーブルの詳細を表示するタブが開きます。



プロジェクトを作成

インポートされた外部データを使用してプロジェクトを作成します。データを分析してプロセスを改善するには、プロジェクトをマイニングする必要があります。

始める前に

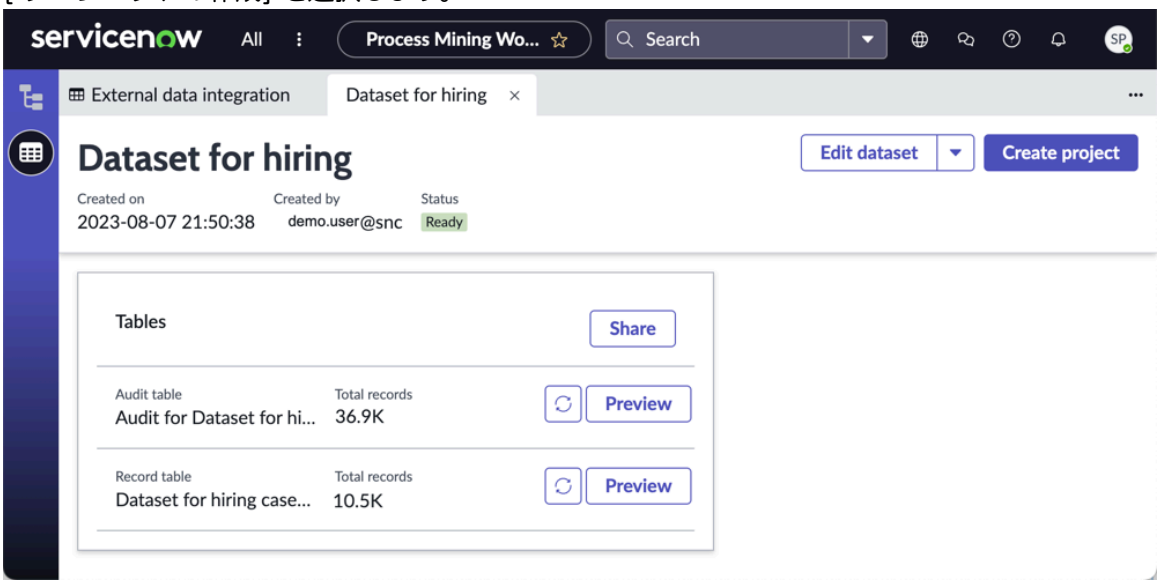
必要なロール:sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトを作成するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [プロジェクトの作成] を選択します。



プロジェクトビルダーの [分析をスコーピング] ページに自動的に移動します。

5. プロジェクトにアクティビティ定義を追加します。

   必要に応じて、ブレークダウンフィルターを追加できます。

   詳細については、「分析をスコーピング」を参照してください。

6. オプション: [子エンティティの追加] を選択します。

   注: 外部データを使用して多次元マイニングを実行する場合は、子エンティティを追加する必要があります。

7. オプション: フォームで、フィールドに入力します。

新しい子テーブルフォーム

フィールド	説明
ソース	次のいずれかのソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートがあるテーブルを選択します ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブルを選択します。
選択	外部データセットにリンクするテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトの作成に使用している外部データテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関連	これは参照フィールドになるため、[参照] を選択します。
ソースフィールド	これは自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	ターゲット参照フィールドを選択します。 注: このフィールドに値を指定するには、監査テーブル の作成時に参照 タイプのカスタムフィールドを作成する必要があります。これにより、ソースフィールドとターゲットフィールドを適宜構成できます。詳細については、「監査テーブルへのカスタムフィールドの追加」を参照してください。

注: 必要なアクティビティ定義またはブレークダウンフィルターを追加できます。

8. [Next (次へ)] を選択します。
9. 必要に応じて改善の機会を作成します。
   詳細については、「改善の機会の設定」を参照してください。
10. プロジェクトをレビューしてマイニングします。
    詳細については、「プロジェクトのレビューとマイニング」を参照してください。

監査テーブルの管理

インポートされたデータを使用して監査テーブルとレコードテーブルを作成したら、それらを使用してプロジェクトを作成できます。テーブルを共有、編集、空にしたり、削除したりすることもできます。

監査テーブルとレコードテーブルの共有

監査テーブルとレコードテーブルをアナリストと共有して、データを分析します。監査テーブルとレコードテーブルは、アドミニストレーターのみが使用できます。ただし、アドミニストレーターは、アナリストにテーブルを確認してプロジェクトを作成してもらいたい場合があります。

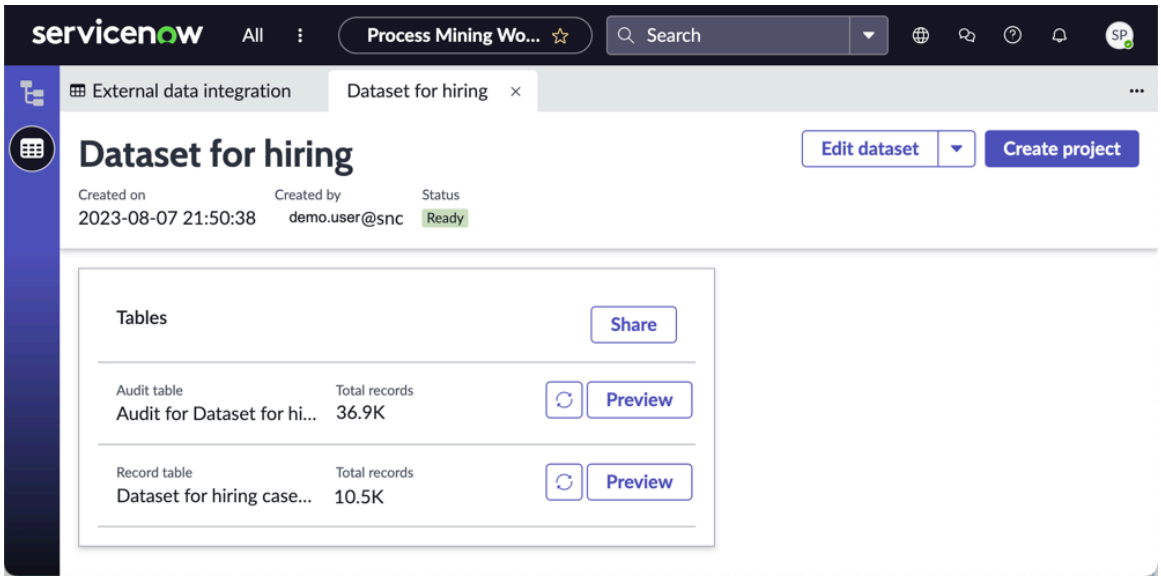
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 共有するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [**Share**] を選択します。

自動翻訳

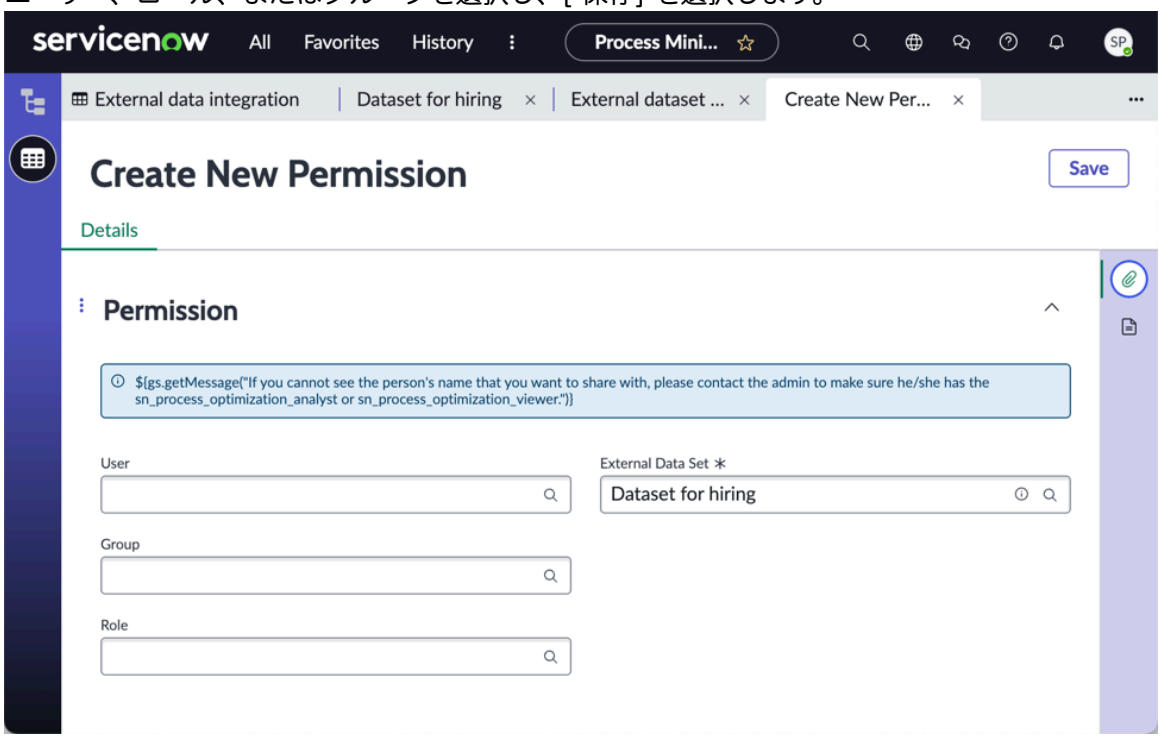
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[外部データセット権限 **(External dataset permissions**)] タブが表示されます。

5. **[New** (新規)] を選択します。
[新しい権限を作成] ページが表示されます。

6. ユーザー、ロール、またはグループを選択し、[保存] を選択します。



指定された権限を持つすべてのユーザーが、監査テーブルとレコードテーブルにアクセスできます。

データセットを編集

データセットを変更する場合は、現在のデータセットからデータを追加または削除するなど、データセットを編集します。

始める前に

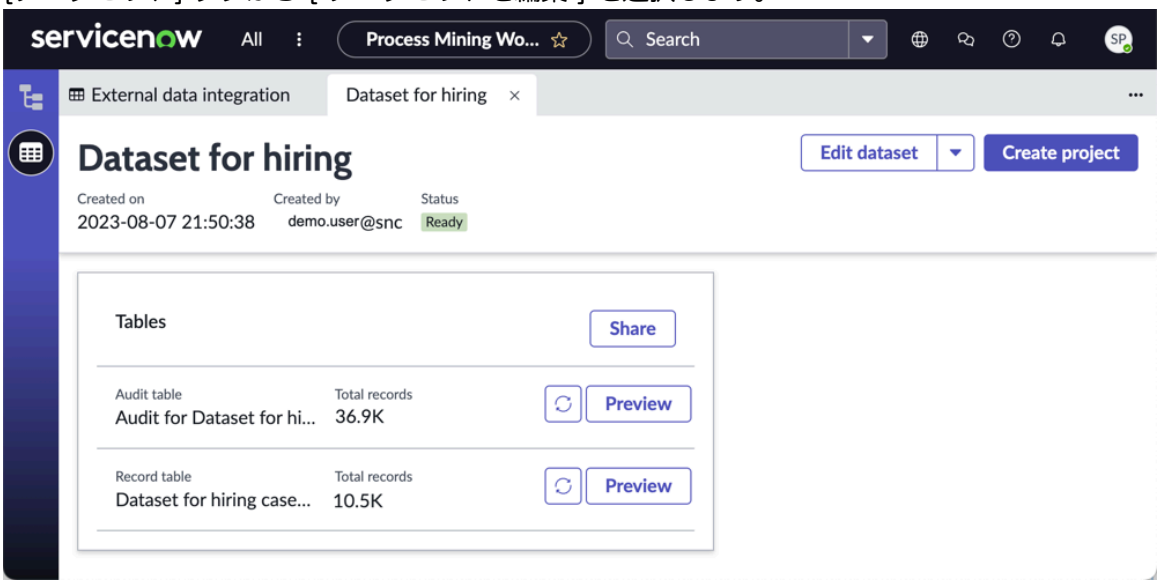
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 編集するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットを編集] を選択します。



[データのインポート] タブに戻ります。テーブルに入力する新しいデータをインポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルへのデータのインポート」を参照してください。

データセットを空にする

古いデータを削除し、同じ外部システムから同じテーブルに新しいデータをインポートする場合は、データセットを空にします。

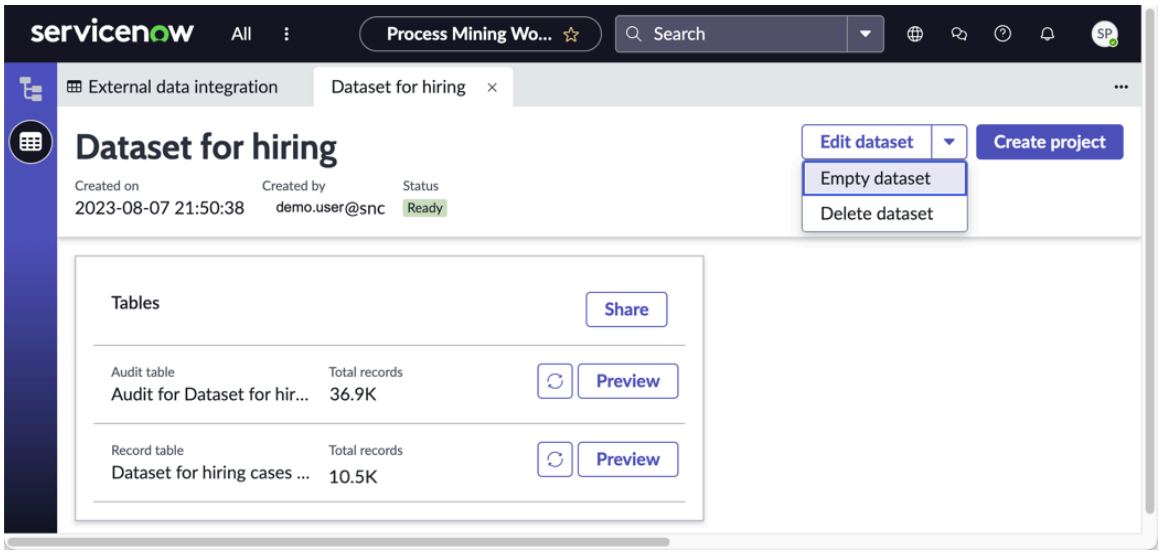
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 空にするデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットを空にする] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したデータセットを空にすることを確認するダイアログボックスが表示されます。

5. 確認エリアに「Empty」と入力し、[**Empty dataset]** を選択します。
監査テーブルとレコードテーブルのコンテンツが削除されます。データセットを空にした後、任意のデータセットを再度インポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルへのデータのインポート」を参照してください。

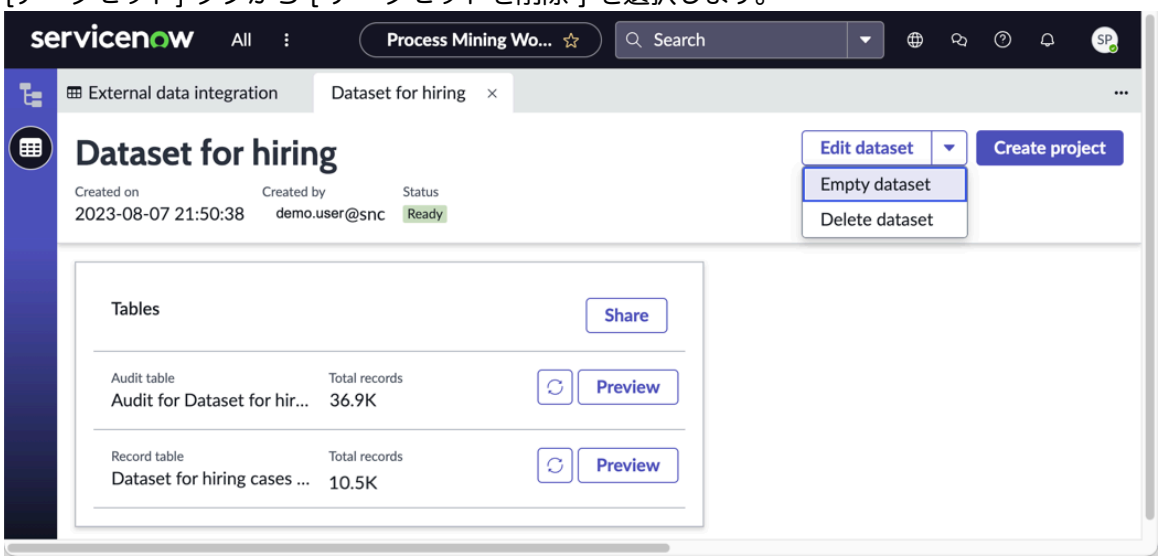
データセットを削除

データセットが不要になった場合は、データセットを削除します。分析が完了し、テーブル全体を削除する。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 削除するデータセットを選択します。
データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットを削除] を選択します。



選択したデータセットを削除するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 確認領域に「削除」と入力し、[データセットを削除] を選択します。
   監査テーブルとレコードテーブルのデータ、および関連する プロセス最適化 プロジェクトが削除されます。

   注: テーブルは削除されません。データのみが削除されます。テーブルを削除する場合は、アドミニストレーターが手動で削除する必要があります。アドミニストレーターは定期的にテーブルを削除する必要があります。

プロセス最適化プロジェクトの共有

プロジェクトを共有して他のユーザーがデータにアクセスできるようにし、プロセスオーナーがさらに分析できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注: ユーザーがテーブルへのアクセス権を持っていない場合、たとえプロジェクトを共有していても、そのユーザーはプロジェクトにアクセスできません。

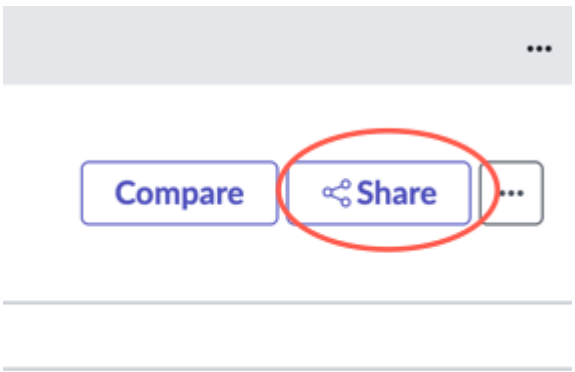
プロジェクトは次の 2 つの方法で共有できます。

- 共有リストへのユーザーの追加
- プロジェクトのリンクをユーザーと共有する

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロセスマイニングワークスペースの任意のタブから、[共有] ボタンを選択します。

   または、プロジェクトの作成後に [概要] ページからプロジェクトを共有することもできます。



   [プロジェクトの共有 (Share project)] ウィンドウが表示されます。

   a. ユーザーとリンクを共有する場合は、[リンクをコピー] ボタンを選択します。
      固定リンクがクリップボードにコピーされます。このリンクは、所有者によってプロジェクトが再マイニングされても期限切れになりません。ただし、非アクティブなバージョンは、非アクティブ状態が 90 日間続くとクリーンアップされます。テーブルにアクセスできるすべてのユーザーとリンクを共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. プロジェクトを共有するユーザー、ロール、またはグループを入力し、ユーザーを共有リストに追加する場合は、ドロップダウンリストから正確な名前を選択します。

c. **[Add** (追加)] を選択します。

d. [**Confirm** (確認)] を選択します。
このウィンドウには、プロジェクトが共有されているすべてのユーザー、ロール、およびグループが表示されます。このリストは、[対象者タイプ] リストで選択した値 ([すべて]、[ユーザー]、[ロール]、または [グループ]) によってフィルタリングされます。

e. オプション: プロジェクトへのアクセス権を付与するユーザー、グループ、またはロールを削除するには、そのユーザー、グループ、またはロールの [アクション] リストから [削除] を選択します。

プロジェクトデータをリフレッシュ

プロジェクトのデータを更新するには、Analyst Workbench からプロジェクトをマイニングします。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、次の場所に移動します すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. データを更新するプロジェクトのコンテキスト を選択します。
3. [プロジェクトのマイニング (フル)] を選択します。

   a. ヒストグラムの範囲と複数の検索ルールを選択します。
   最初のルールで繰り返しが選択されている場合、他の検索ルールは見つかりません。

4. [**OK]** を選択して、プロジェクトデータをマイニングすることを確認します。

   進行状況ウィンドウが開き、監査ログ分析とプロジェクトマイニングの進行状況が表示されます。

5. マイニングが正常に完了したら、[ワークスペースに表示] を選択して、更新されたプロジェクトデータを表示します。

プロジェクトをコピー

既存の定義をコピーして、関連する構成を新しいプロジェクト定義に適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、コピーするプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [コピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [**OK**] を選択して、構成をコピーし、そこからプロジェクト定義を作成することを確認します。
   新しいプロセスモデル定義は、次のように作成されます。
   - 同じ説明
   - ソースタイプ
   - フィルター条件
   - アクティビティ定義
   - ブレークダウン定義
   - 子テーブル定義
   - 改善の機会
5. 必要に応じて、名前、説明、フィルター条件、または定義を変更し、[更新] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング

プロセス最適化 に関する参照情報

参照トピックは、プロセス最適化 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

プロセス最適化とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) が、com.sn_po プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注: アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
ProminVersionCleanup	古いバックアップバージョンを削除します。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
プロセス最適化 定義 [ml_capability_definition_promin]	プロセスマイニングソリューションを識別するための識別子。
プロセス最適化 インタラクティブ定義 [ml_capability_definition_interactive]	プロセスマイニングをその場でソリューションとして識別するための識別子。
プロセス最適化 レコード定義 [ml_capability_definition_record]	プロセスマイニングビューレコードのソリューションを識別する識別子。
アクティビティ定義	プロセスグラフのフィールドに対する監査ログの変更を示すアクティビティを保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
[promin_activity_def]	
プロセスの接続 [promin_arc]	プロジェクトの接続統計情報を保存します。
ブレークダウン定義 [promin_breakdown_field]	プロセスマップが分類されるブレークダウンを保存します。
ブレークダウン統計情報 [promin_breakdown_stats]	プロジェクトのブレークダウン統計情報を保存します。
フィルターセット [promin_filter_set]	プロジェクト定義に適用される複数のフィルターセットを格納します。
データログの抽出 [promin_log]	プロジェクトバージョンのマイニング時に生成された抽出された監査ログデータエントリを保存します。
スケジュール済み プロセス最適化ジョブ [promin_job]	プロセス最適化スケジュール済みジョブを格納します。
プロセスモデル [promin_model]	プロジェクトバージョンの複数のモデル統計情報を保存します。
バージョン [promin_model_def_version]	マイニングされたプロジェクトのバージョン。
プロセスノード [promin_node]	プロジェクト定義のアクティビティを保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_node_stats]	アクティビティの統計情報を保存します。
注釈 [promin_note]	メモレコードを保存します。
権限 [promin_permission]	プロジェクト定義が共有されるユーザー/グループを格納します。
プロセスルート [promin_route]	特定のプロジェクトのルート統計情報を保存します。
ケースレコード	アクティビティ、接続、またはルートからのレコードの詳細を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[promin_case_record]	
プロセスマイニングトラッカー [promin_ua_mining_tracker]	以前の鉱山に関する情報を保存します。
フィルター設定条件 [promin_conditions]	プロジェクトに対応するフィルター条件を保存します。
プロセススケジュール済みタスク [promin_scheduled_task]	要求されたクラスター分析、データマイニング、および プロセス最適化 タスクを格納します。
プロセスの構成 [promin_process_def]	プロセス構成のデフォルトを格納します。
検索定義 [promin_finding_def]	検索定義レコードを保存します。
結果 [promin_finding]	プロジェクトで検出された結果を保存します。
検索ルール [promin_finding_def_rule]	検索ルールレコードを保存します。
検索条件 [promin_finding_def_condition]	検索条件を保存します。
検索制約 [promin_finding_def_constraint]	2 つの条件に作用する検索制約を格納します。
自動検索定義 [promin_automated_finding]	自動検出の定義を保存します。
自動検索構成 [promin_automated_finding_configuration]	自動検索の構成を保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_route_stats]	ルートの統計情報を保存します。
顕著なケースデータ [promin_case_data]	フルマイニング中に収集されたログを保存します。
ジョブプロセスマイニングプロジェクト	ジョブに添付されたプロジェクトに関する情報を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[promin_job_m2m_project]	

プロセス最適化 ロール

プロセス最適化 は、これらのロールを追加します。

ロールは、アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。

ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

プロセスマイニングアドミニストレーター **[sn_process_optimization_admin]**

すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクトの設定と構成を管理し、バックグラウンドとジョブをスケジュールします。

ロールを含む

プロセスマイニングアドミニストレーター [sn_process_optimization_admin] ロールには、sn_process_optimization_power_user ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

プロセス最適化 パワーユーザー **[sn_process_optimization_power_user]**

このロールにアサインされると、次のアクションを実行します。

- すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクトの設定と構成を管理できます。
- プロジェクトを作成して共有できます。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示できます。
- プロセス最適化ジョブをスケジュールできます。

ロールを含む

プロセス最適化パワーユーザー [sn_process_optimization_power_user] ロールには、sn_process_optimization_analyst ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングアナリスト **[sn_process_optimization_analyst]**

このロールにアサインされると、次のアクションを実行します。

- プロジェクトを作成して共有します。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示します。

ロールを含む

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、すべてのプロジェクトにアクセスできません。

プロセス最適化 のプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、 プロセス最適化 アプリケーションに固有のものです。

これらのプロパティはプロセス最適化で利用可能です。

注: システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロセス最適化 のプロパティ

プロパティ	説明
promin.limit.node_def	プロセス最適化プロセスマップ内の親ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10 **注:** この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題や UI の乱雑さを回避できます。
promin.limit.child_node_def	プロセス最適化プロセスマップの子ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.limit.breakdown_def	プロセス最適化プロセスマップ内の親ノードのブレークダウンの最大数を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ: 整数 • デフォルト値: 10 注: この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.limit.child_breakdown_def	プロセス最適化プロセスマップ内の子ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：5 注: この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.primary_metric	アナリストワークベンチで使用されるプライマリメトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:caseFreq • 使用可能な値 ○ 平均期間 = avgDuration ○ 最大期間 = maxDuration ○ 中央期間 = medianDuration ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計時間 = totalDuration ○ 総発生件数 = absoluteFreq ○ 一意の発生 = caseFreq
promin.rca.min_condition_and_effect	主要なインフルエンサーのリストに表示するために必要なレコードの最小割合。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10
promin.rca.min_odds_ratio	最低限必要なオッズ比。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：1
promin.rca.result_count	表示する上位インフルエンサーの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ: 整数 • デフォルト値：20
promin.secondary_metric	アナリストワークベンチで使用されるセカンダリメトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:avgDuration • 使用可能な値 ○ 平均期間 = avgDuration ○ 最大期間 = maxDuration ○ 中央期間 = medianDuration ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計時間 = totalDuration ○ 総発生件数 = absoluteFreq ○ 一意の発生 = caseFreq
promin.perf.result_page_size	マイニング結果ページを構成します デフォルト値は 700 です。
promin.pa_integration_required_roles	プラットフォームアナリティクスダッシュボード/インジケーターからプロセスマイニングを起動できるロールを定義します。 タイプ：文字列 デフォルト:プロパティに追加されるデフォルトのロールは次のとおりです。 • itil • sn_sd.success_dashboard_read • sn_sd.success_dashboard_details_read • business_stakeholder • sn_process_optimization_analyst • sn_customerservice_manager • sn_customerservice_agent • pa_threshold_admin • sn_hr_pa.admin • sn_hr_core.report_creator • sn_hr_core.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• sn_hr_core.admin • sn_hr_onboarding.admin

主要な プロセス最適化 用語

プロセス最適化で使用される主要な用語です。

プロセス最適化主要な用語

用語	説明
アクティビティ	プロジェクトの視覚化に使用される、監査ログからキャプチャされたタスクまたはアクションの選択 (追跡対象フィールドを含む)。アクティビティは、プロセス内の 1 つのステップ、またはルート内で発生したステップで構成されます。アクティビティ間には接続があります。
対象の属性	プロセスグラフ、ブレークダウン、または差異統計に表示されないアクティビティ。これらの定義は、引き続きルール検索ロジックで使用できます。
監査ログ	日付、時刻、アクティビティなど、タスクが実行されたときに発生する運用システムのイベントまたはアクティビティのレコード。
接続	マップ内の 2 つのアクティビティまたはプロセスステップを結合する線。接続は、2 つの連続した接続されたステップを持つプロセスの一部を反映しています。
結果	ビジネスプロセスに対して検出された重要業績評価指標。検出結果は、さらに注意が必要な領域を確認するのに役立ちます。
生成	運用システムのイベントログからデータを抽出またはマイニングし、傾向とビジネスプロセスのフローの詳細を明らかにするアルゴリズムを適用するプロセス。
リンクされたプロセス	メインプロセスに接続されたサブプロセス。
プロセスマップ	定義されたビジネスプロセスの一部であるシステムの監査ログから収集されたイベントを視覚的に表す、データ抽出の実行後に生成されるプロジェクト。マップは、定義された開始から終了までの一連のステップで構成される実際のイベントまたはルートを表します。プロセスマップは、実際のルートを定義されたターゲットルートと比較して、ビジネスプロセスのパフォーマンスのビューも提供します。
プロジェクト	プロセス最適化 構成されたプロセスモデルの用語。
レコード	ルートを通るプロセスサイクル (プロジェクト) のビジネスレコード。多くのレコードがルートを経由して実行できます。プロセス最適化 では、フィルターを適用するとレコード数が変化する可能性があります。
繰り返し	繰り返されるステップ (アクティビティ) またはステップセット (接続)。
ルーティング	一連のステップ内の少なくとも 1 つのアクティビティが、プロセスの他のすべてのオカレンスと異なるプロセスのオカレンス。ルートには、最適に定義された成功ルートのほか、代替の成功パスまたは不具合のある例外パスである可能性のあるバリアントまたは可能なルートを含めることができます。プロセスマップには複数のルートを同時に表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス最適化主要な用語 (続く)

用語	説明
スライダー	プロセスステップを表示するためのプロセスマップ画面のアクティビティおよび接続スライダーツール。スライダーを使用すると、それらの間の連続した接続を多かれ少なかれ詳細なビューで表示できます。
移行	アクティビティステータスの変更。

ドメインセパレーションと プロセス最適化

ドメインセパレーションは プロセス最適化 でサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。その後、どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

プロセス最適化 の概要

プロセス最適化 監査証跡の監視と有効性の分析からビジネスプロセスフローを生成する方法を提供するため、プロセスの非効率性をすばやく検出できます。これにより、結果を改善するためのビジネスプロセスの詳細な分析が可能になります。

プロセス最適化におけるドメインセパレーションの仕組み

プロジェクトは、プロセスフローを生成するように構成されます。アクティビティ定義、ブレークダウン定義、子テーブル定義、データログの抽出、フィルターセット、メモ、および CIM イニシアチブなど、プロセスモデル定義に関連するすべてのエンティティは、プロセスモデル定義と同じドメインに作成されます。

新しいプロジェクト定義を作成するときは、現在のユーザーのドメインにそのドメインを設定します。モデル定義のすべての関連エンティティを同じドメインに配置するため、ドメインセパレーションされたプロジェクト定義の関連エンティティを作成すると、エンティティはプロジェクト定義のドメインに割り当てられます。

プロジェクトは、独自のドメインまたはグローバルドメインユーザーと共有できます。

プロセス最適化スケジュール済みジョブには、対応するジョブのドメイン内のみのプロジェクト定義を含めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス KPI から起動されたプロジェクト定義が、現在のユーザーのドメインに作成されます。

プロセス最適化 ワークスペースから追加された新しい CIM イニシアチブが、プロジェクト定義のドメインに作成されます。

ユースケース

1. ACME ドメインで作成されたプロジェクト定義:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、プロジェクト定義を表示できます。
2. ACME ドメインで作成された プロセス最適化 スケジュール済みジョブ:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、 プロセス最適化 スケジュール済みジョブを表示できます。
3. ACME ドメインで作成された プロセス最適化 スケジュール済みジョブ:ユーザーは、ACME ドメインに属するプロジェクト定義のみを含めることができます。

> **注:** カスケードドメインの変更はサポートされていません。

関連トピック

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

プロジェクト定義フォーム

プロジェクト定義フォームを使用して、プロジェクトを作成します。

プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
番号	プロジェクト番号。この番号は、レコードの作成時に自動的に生成されます。
プロジェクトステータス	プロジェクトのステータス。 新規 プロジェクトは新規です。これは、新しく作成されたプロジェクトのデフォルトステータスです。 ドラフト まだ使用されていないセットアップフェーズのプロジェクト。 公開 プロジェクトは、資格を持つユーザーが使用できるようになりました。 廃止 プロジェクトの分析には使用しないでください。 プロセスのステータスを追跡するには、プロセスアナリストユーザーがこのフィールドを手動で更新する必要があります。これは、特定のプロセスに複数のプロジェクトがある場合に不可欠です。
名前	プロジェクトの名前
マイニング状況	このプロジェクトの現在のマイニング状況。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト定義フォーム (続く)

フィールド	説明
簡単な説明	プロジェクトの簡単な説明。
最終マイニング日	プロジェクトが最後にマイニングされた日付。
目標	既存の目標レコードから選択された、このプロジェクトに関連付けられた目標。
自動廃止	指定した日数 (デフォルトは 90 日) 非アクティブに基づいてプロジェクトを自動的に廃止する場合は、[自動廃止] チェックボックスをオンにします。 廃止を延長するには、さらに 90 日後にバージョンがクリーンアップされる前に、公開済みまたはドラフトステータスに戻します (デフォルト)。 指定された日数以内に廃止ステータスを変更しない場合、マイニングされたバージョンは完全に削除されます。ただし、プロジェクト定義は削除されません。このチェックボックスをオフにすると、自動廃止をオプトアウトできます。 デフォルト値の 90 日は、アドミニストレーターがシステムのプロパティで変更できます。詳細については、「データクリーンアッププロパティ」を参照してください。
テンプレート	デフォルトのテンプレートを作成するか、ワークフォース最適化テンプレートを作成するか。
ウォッチリスト	生成されたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザー。
KPI ダッシュボード	このプロジェクトに関連付けられた PAR ダッシュボード [par_dashboard]。既存のダッシュボードを選択するか、プラス (+) アイコンを使用してダッシュボードを作成します。 これらのダッシュボードの作成の詳細については、「ダッシュボードの作成と使用」を参照してください **注:** このフィールドにダッシュボードを追加すると、プロジェクトレベルでダッシュボードがリンクされます。プロセス構成レベルでダッシュボードを追加するには、プロセス構成 [promin_process_def] レコードで同じフィールドを使用します。

新しいプロセスの開始/終了条件を作成

新しいプロセスの開始条件と新しいプロセスの終了条件を設定して、プロセスを切り取ります。この構成では、プロセスのどの部分を プロセス最適化 プロジェクトに含めて分析に使用できるようにするかを定義します。[新しいプロセスの開始条件を作成] フォームと [終了条件] フォームのフィールドは同じです。

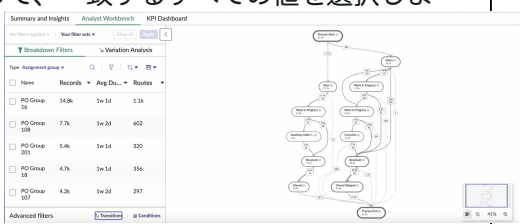
新しいプロセス開始条件フォームの作成

フィールド	説明
名前	条件の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいプロセス開始条件フォームの作成 (続く)

フィールド	説明
テーブル	条件のテーブル。このフィールドには、テーブル設定レコードで選択したテーブルが自動的に入力されます。
条件タイプ	この条件に使用される条件タイプ。 • フィールド/値条件 • コンテキストフィールド/値条件 • 実施者 • および • または • プロセス開始条件 • プロセス停止条件
言語	条件の言語。このフィールドには現在の言語が自動的に入力されます。
フィールド	条件に使用されるフィールド。これらは、[テーブル] フィールドのテーブルのフィールドです。指定された開始および停止フィールドをアクティビティ定義として設定して、開始または停止条件を機能させる必要があります。
述語	条件の修飾子。 • 次の値に等しい • 次の値と異なる (!=) • すべての値 • 次の値のいずれか • 次の値で始まる • 次の値で終わる • 次の値を含む • 次の値を含まない **注:** 「のいずれか」を選択すると、一度に複数の値を選択できます。最初の 2 文字を入力し、[すべて選択] アイコンを選択して、一致するすべての値を選択します。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいプロセス開始条件フォームの作成 (続く)

フィールド	説明
フィールド値	この条件を定義するために述語とともに使用する値。フィールドが参照フィールドの場合は、参照アイコン ( ) を使用して値を選択できます。
一致する出現	この条件に一致する発生件数を選択します。 • すべて • 最初のみ • 最後のみ
コンテキスト条件	現在の条件がトリガーされたときに true でなければならない追加の条件。 たとえば、レコードが [新規] ステータスのときにトリガーするように条件を設定します。優先度が高いことも指定する場合は、[コンテキスト条件] フィールドを使用して指定できます。

[アクティビティ定義] フォーム

[アクティビティ定義] フォームを使用して、ビジネスプロセス内で発生するステップについてレポートします。

[アクティビティ定義] フォーム

フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
タイプ	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 • フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 • 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 • 複合:監査履歴ではなく実際のレコードの複数フィールド値の変化を表す 1 つのノードまたはプロセスグラフ。 • 添付された子:このオプションは、テーブル構成用に 2 つのテーブルを選択し、子親関係を設定している場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。可視化では、プロセスで子がいつ添付されたかが表示されます。 • 添付された親:このオプションは、親レコードがいつ子に添付されたかを表すノードを子プロセスに作成します。
表示名 (オプション)	このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、アクティビティ名には [フィールド] に指定された値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

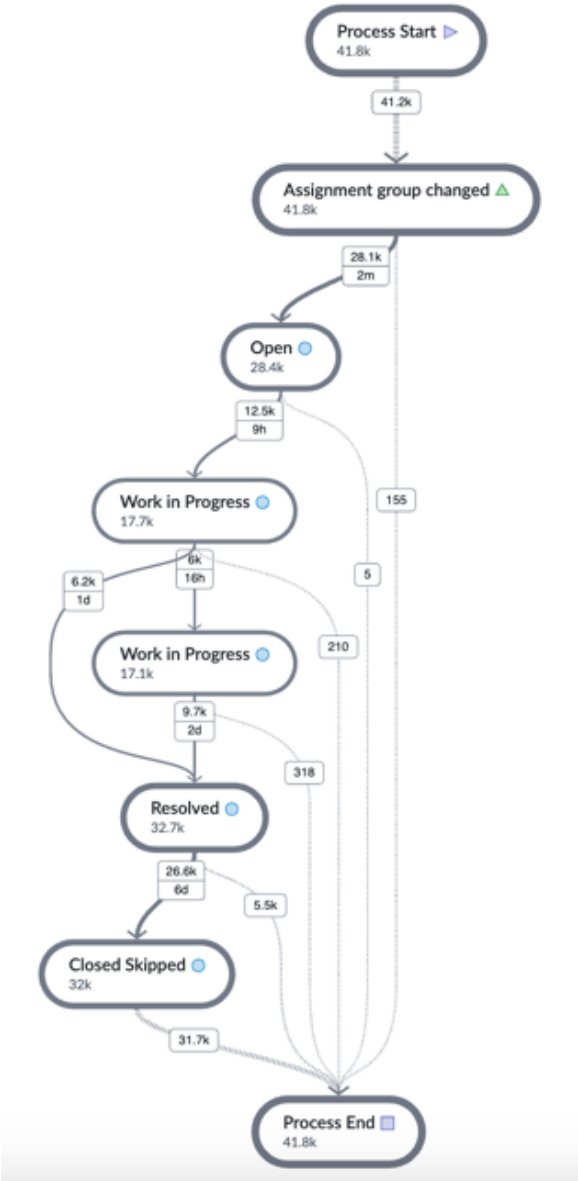
アクティビティ値を選択	選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。
アクティビティの値	このフィールドは、[アクティビティ値を選択] フィールドを選択した場合にのみ使用できます。 このフィールドには、マイニングする選択したフィールドの値のリストが表示されます。 たとえば、 インシデント テーブルを選択しました。次に、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループデータベースを通過したレコードを表示する必要があります。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリスト] から [サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	アクティビティのグループ化を選択すると、プロセスマップにはアクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。たとえば、アサイン先グループ を設定してグループアクティビティを報告して選択するとします。 • アサイン先グループの変更が発生し、監査ログにグループ A >グループ B >グループ C として表示されます。 • 結果:プロセスマップ内のデータは、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つの変更として反映されます。 このオプションをオフにすると、プロセスマップには各変更インスタンスのレコードが個別に反映されます。例:レポートする アサイン先グループ を構成したが、アクティビティをグループ化することは選択しない。 • アサイン先グループの変更が発生し、監査ログにグループ A >グループ B >グループ C として表示されます。 • 結果:プロセスマップには、行われた個々の変更が反映され、監査ログの標準である「変更:グループ A >変更:グループ B >変更:グループ C」の変更が引き続き反映されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

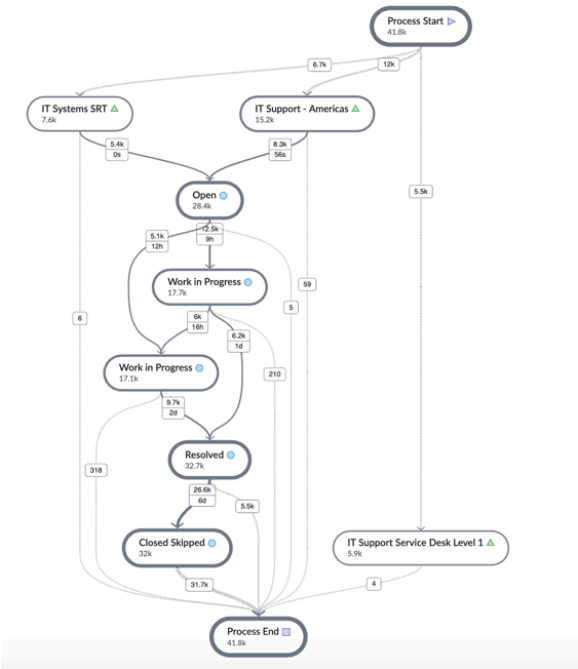
変更はグループ化されます



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

	標準として表示される変更 
グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティに自動生成された名前。または、ビジュアル化に反映されるフィールドへの変更に別の名前を入力することもできます。 **注:** このフィールドは、[グループアクティビティ] フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。
対象のアクティビティ	フィールドの変更をアナリストワークベンチに表示するかどうか。 **注:** このオプションを選択すると、フィールドの変更はアナリストワークベンチに表示されませんが、移行または検出結果のコンテキスト条件では引き続き使用できます。
空の開始ノードを含める	レコード作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合に、プロセスグラフに空のノードを含めます。

検索ビルダーの自動検索定義フォーム

[改善機会定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから自動検索定義を作成します。

改善機会定義の作成フォーム

フィールド	説明
名前	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成するために選択した自動検索定義がここに表示されます。 必要に応じて変更できます。
パターンを検出す	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。検索定義全体がこのフィールドで機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

改善機会定義の作成フォーム (続く)

フィールド	説明
るフィールド	
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは、これが選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで表示できます。

クラシックビューからの自動化検索定義フォーム

自動検索定義フォームを使用して、クラシックビューから検索定義を作成します。

自動検索定義フォーム

フィールド	説明
名前	改善の機会のタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。次の 3 つのオプションが利用可能です。 • やり直し:プロセス内のステップまたはアクティビティを繰り返すことを指します。これは、プロセスステップをやり直すか、再検討する必要がある場合に発生します。 • ピンポン:レコードが 2 つのプロセスステップまたはアクティビティの間で中断なしにバウンスする繰り返しパターン (ループ) を指します。 • 追加ステップ:各ルートを比較して、逸脱するのは 1 つのステップのみであるさまざまなルートの存在を識別し、不要な移行が発生したプロセスステップを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動検索定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 繰り返しパターン:不要なステップの繰り返しシーケンスを検出します。 • 極端な期間:他の移行レコードと比較して移行時間が非常に長いレコードを検索します。 • 極端な繰り返し (Extreme repetition):同じアークの他のレコードと比較してアークの繰り返し回数が非常に多いレコードを検索します。 • 遅い移行:同様の期間のレコードのクラスターがあり、このクラスターが他のレコードのグループと比較して平均期間が長い状況を識別します。この検出器は、特定されたクラスターの重要性のブレークダウンも提供し、根本原因のさらなるインサイトを提供します。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
フィールド	検索定義が使用されるフィールド。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	検索定義の作成対象として選択したプロセステーブルの名前。
テーブル	テーブルの名前。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで表示できます。

検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム

[改善の機会の定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから検索定義を作成します。

改善機会定義の作成フォーム

フィールド	説明
メッセージ	ルールベースの検索定義の説明を指定します。
プロセスの構成	このフィールドは、プロセステーブルのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

改善機会定義の作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	テーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロジェクト	このフィールドは、プロジェクトのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。 プロジェクト名が表示されます。このフィールドは編集できません。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
アクティブ	この検索定義をアクティブにする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは、これが選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセス/プロジェクトに適用	選択したテーブル名またはプロジェクト名を表示します。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセス最適化ワークスペースの [インサイト] パネルで表示できます。

クラシックビューからのルールベースの検索定義フォーム

[検索定義] フォームを使用してルールベースの検索定義を構成し、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに配信します。

[検索定義] フォーム

フィールド	説明
クラス	この検索定義が プロセス または プロジェクトに適用されるかどうか。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	この検索定義に関連付けられたプロセス構成。このフィールドは、自動的に入力されます。 注: このフィールドは、プロセステーブルの改善機会を作成する場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[検索定義] フォーム (続く)

フィールド	説明
プロジェクト	この検索定義に関連付けられたプロジェクト。 注: このフィールドは、プロジェクトの検索定義を作成する場合にのみ表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
メッセージ	インサイトのタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセス最適化 ワークスペースの [インサイト] パネルで表示できます。

検索ルールフォーム

[検索ルール] フォームを使用して、検索定義の検索ルールを設定します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

[検索ルール] フォーム

フィールド	説明
チェーン番号	この検索ルールが属するチェーン。 注: 検索ルールは複数のチェーンで構成できます。
検索定義	この検索ルールに関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
シーケンス	同じチェーン内のルールが実行される順序。値が小さいルールは、値が大きいルールよりも先に実行されます。
開始条件	検索ルールをトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[検索ルール] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 条件の作成の詳細については、「詳細条件の設定:切り取りプロセス」を参照してください。
関連	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベント間の接続。 • --何一つ-- • 次が直接続く • 最終的に次が続く • 次が直接続かない • 最終的に次が続かない 注: 選択した関係に関連するルールセットの実行方法に合わせて、ルールシーケンスを適切に並べ替えます。[なし] 以外のオプションを選択した場合は、目的の順序で式を完了するルールを作成する必要があります。
終了条件	検索ルールを終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「詳細条件の設定:切り取りプロセス」を参照してください。
追跡期間	開始条件と終了条件の間の期間を追跡するかどうか。

検索制約フォーム

[検索制約] フォームを使用して、検索定義の検索制約を構成します。検索制約は、検索ルールに加えて、期間や関係の制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

検索制約フォーム

フィールド	説明
名前	検索制約の名前
検索定義	この検索制約に関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
開始条件	検索制約をトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 条件の作成の詳細については、「詳細条件の設定:切り取りプロセス」を参照してください。
終了条件	検索制約を終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「詳細条件の設定:切り取りプロセス」を参照してください。
最小期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントから [終了条件] フィールドで定義されたイベントまでの最小期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間の後に発生する必要があります。
関係制約	制約がトリガーされるタイミングをさらに詳細に定義するためのオプションの制約条件。 -- なし -- 関係制約なし が同じ レコードは特定のフィールドに同じ値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドで指定します。 が異なる レコードは特定のフィールドに異なる値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドで指定します。 同じユーザーが実行 開始条件と終了条件は同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザーが実行 開始条件と終了条件は、異なるユーザーによってトリガーされる必要があります。 は同じイベントである が異なるイベントである
関係制約フィールド	関係制約に関連付けられたフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、関係制約フィールドで [同じ] または [異なる] が選択されている場合に表示されます。 注: [開始条件] フィールドまたは [終了条件] フィールドに選択肢がない場合、使用可能な関係制約フィールドは空として表示されます。
最大期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の最大期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドに指定された時間よりも前に発生する必要があります。
関係制約フィールド	注: このフィールドは、[関係制約] フィールドが [同じ] または [異なる] に設定されている場合にのみ表示されます。

タスクマイニング

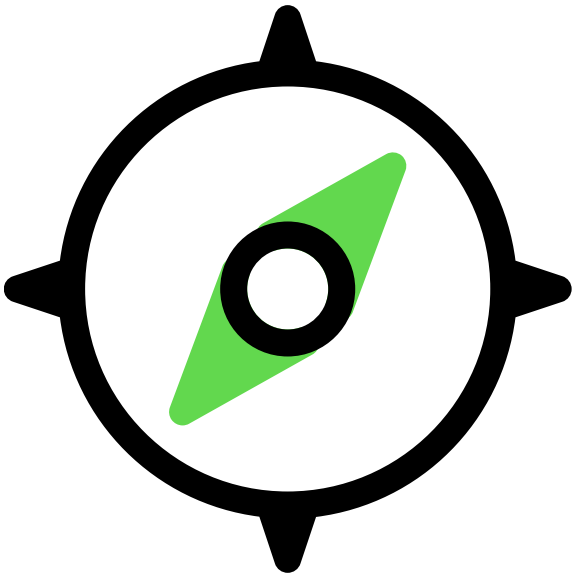
タスクマイニング は、プロセスオーナーがワークステーションのアクティビティを収集および分析して、タスクがどのように実行されているかを理解し、非効率性を特定し、データに基づく意思決定を行うのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

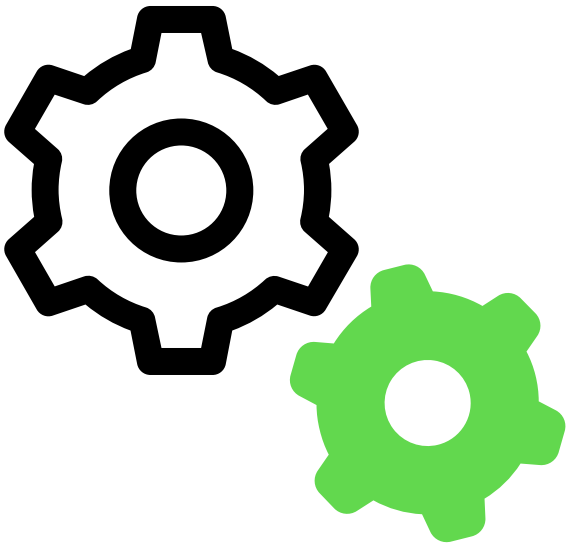
開始するには

探索



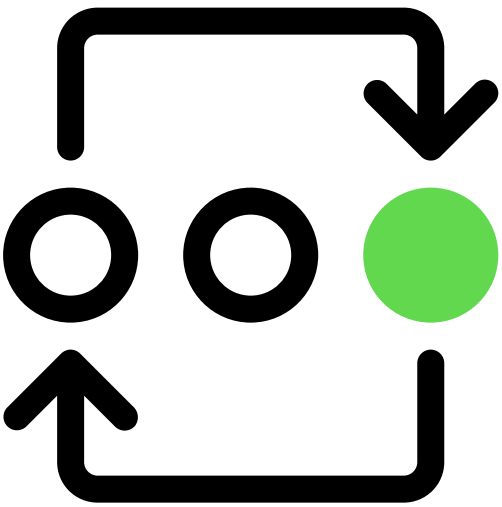
タスクマイニングの概念と機能について説明します

構成



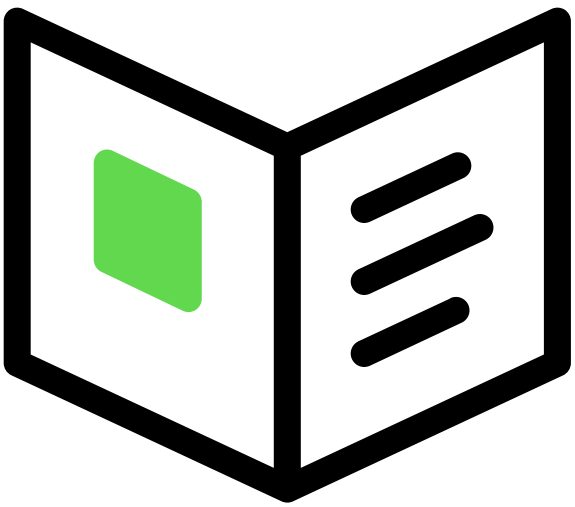
タスクマイニングの設定方法を学ぶ

使用中



タスクマイニングの使用方法を学ぶ

参照



タスクマイニングの重要な用語と背景情報の詳細を取得します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- について質問したり、他のリソースを調べたりする タスクマイニング の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

タスクマイニング の探索

タスクマイニングを使用して、作業タスクの非効率性を特定します。

タスクマイニングの概要

タスクマイニング は、デスクトップエージェント、ワークステーションのユーザーアクティビティ、およびダッシュボードを組み合わせて、データを処理し、整理された情報を提供します。特定の情報を抽出して、ビジネス上の質問に対する回答を提供できます。

タスクマイニングユーザー

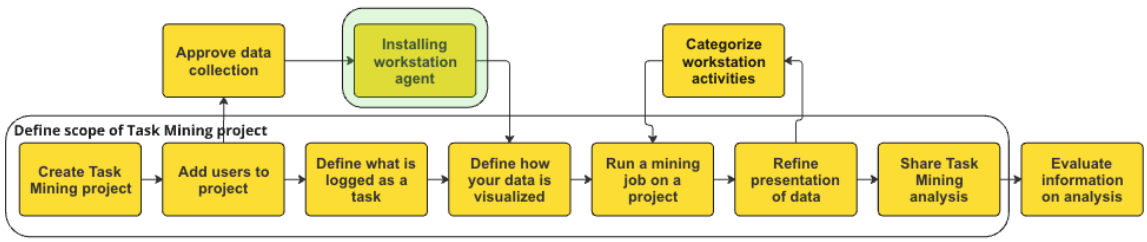
タスクマイニング ロール

ユーザーロール	説明
タスクマイニング アドミン	すべてのタスクマイニングシステム構成と設定にアクセスします。admin ロールには、パワーユーザーロールが含まれています。
タスクマイニング パワーユーザー	すべての タスクマイニング システム構成と設定にアクセスします。パワーユーザーロールには、アナリストロールが含まれています。
タスクマイニング アナリスト	タスクマイニングプロジェクトを作成して共有し、別のユーザーが共有したプロジェクトにアクセスします。ワークステーションユーザーに対してデータログを有効にするように要求します。

タスクマイニングワークフロー

次のワークフローは、 タスクマイニングを使用するための主要なアクティビティを示しています。

タスクマイニングワークフロー



1. アドミニストレーターは、通知、データ保持、イベントフィルターの変更など、 タスクマイニングを設定します。
2. タスクマイニングアナリストまたはパワーユーザーは、タスクマイニングプロジェクトを作成して、チームアクティビティを分析し、インサイトを特定し、ビジネス上の意思決定をサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. タスクマイニングアナリストは、プロジェクトとは別のデータ要求を送信して、将来の分析のためにデータを保存するデータプールを作成します。
4. ワークステーションユーザーのマネージャーは、データ要求を承認します。
5. ワークステーションユーザーのスーパーバイザーによって要求が承認されたら、パワーユーザーまたはアドミニストレーターとして、 タスクマイニング エージェントがユーザーのワークステーションにインストールされていることを確認します。
6. タスクマイニングアナリストは、プロジェクト内のタスクをグループ化する方法を定義し、タスクマイニングデータを集計する方法を選択します。
7. タスクマイニングアナリストは、プロジェクトでマイニングジョブを実行してデータを生成し、アクティビティを分類できるようにします。
8. タスクマイニングパワーユーザーは、タスクマイニング分析に表示されるときに、類似のワークステーションアクティビティを分かりやすいカテゴリ名でグループ化することで、アクティビティを分類してデータを整理し、コンテキストを追加します。
9. タスクマイニングアナリストは、プロジェクトでマイニングジョブを再度実行し、分類ルールに従ってプロジェクトデータの分析を生成します。
10. タスクマイニングアナリストは、関連するビジネスステークホルダーとインサイトを共有します。

タスクマイニング のメリット

タスクマイニング のメリット

利益	値	ユースケースの例
ITSM および CSM 分析	ワークステーションユーザーがプロセスにどのように関与しているかを分析することで、ワークステーションユーザーが時間をどのように費やしているかについての有効性と詳細に関するインサイトを得ることができます。	チームの運用分析と監視から正確な分析を明らかにします。 • タスク時間の分布 • アクティブ時間とアイドル時間 • アプリごとの時間分布 • 特定のアプリの使用 • 特定のアクティビティあたりの所要時間
IT ランドスケープ分析	会社の IT ランドスケープを表示して、ギャップ、課題、潜在的なコンプライアンスの脅威を明らかにします。	ServiceNow AI Platformを超えたアプリケーションの使用方法を調べて、組織全体でアプリケーションがどのように使用されているかを理解します。 • 同じ目的の複数のアプリ • アプリの監視 (時間分布) • ライセンス使用状況 • 未承認アプリの使用 • 不審な Web サイトの監視

次に探索する内容

タスクマイニングの設定と使用の詳細については、次のトピックを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タスクマイニングの構成
- タスクマイニング の使用
- タスクマイニング に関する参照情報

タスクマイニング ワークスペース

タスクマイニングインターフェイスを探索して、ワークステーションのアクティビティを収集して分析することで非効率性を特定し、データに基づく意思決定を行う方法を理解します。

ワークスペース タスクマイニング アクセス

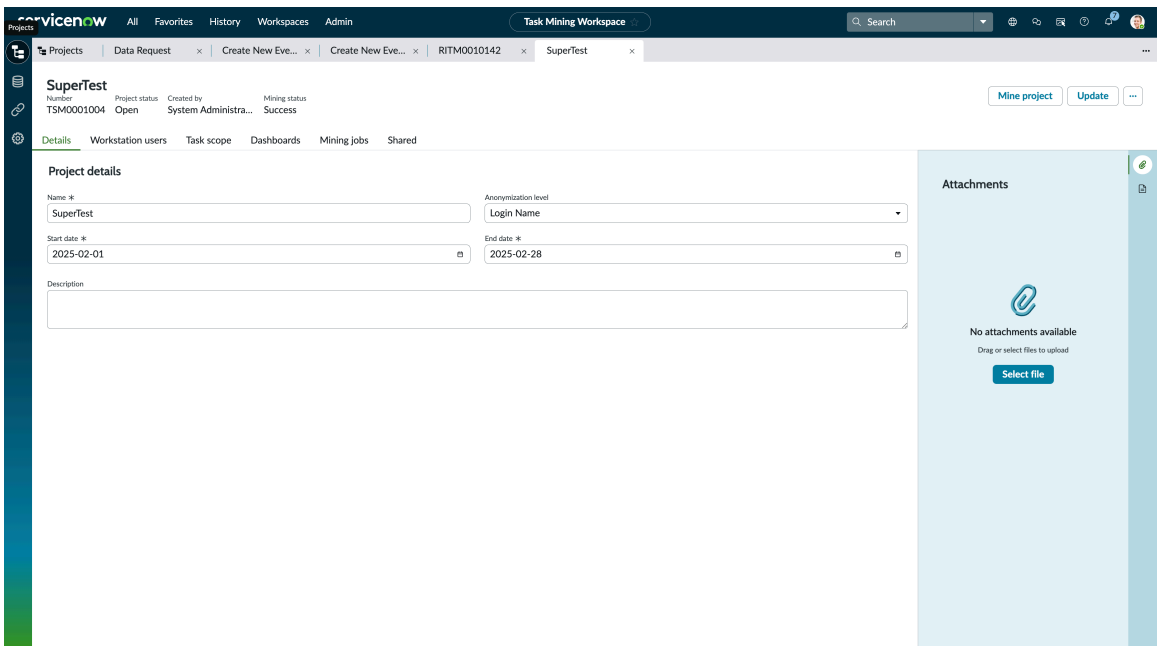
ワークスペース>タスクマイニングワークスペースに移動して、ワークスペースを開きます。

プロジェクトページ

[プロジェクト] ページにアクセスするには、[プロジェクト] アイコン ( ) を選択します。

プロジェクトを作成して、分析するアクティビティ、追跡するワークステーションユーザー、およびデータを収集する期間を定義します。プロジェクトの概要ページは、プロジェクトの日付とステータスの詳細を表示するホームページです。

プロジェクトを選択すると [プロジェクトの詳細] ページが開き、プロジェクトの詳細を確認し、プロジェクト設定を管理できます。詳細については、「タスクマイニングプロジェクトのスコープの定義」を参照してください。



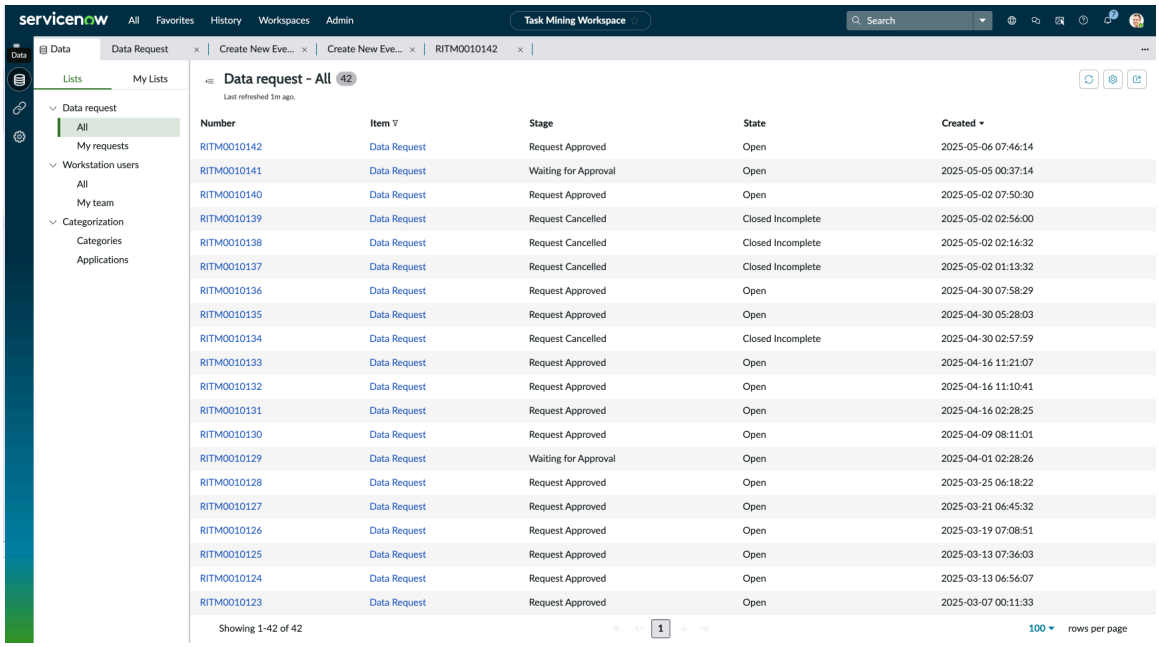
データページ

[データ] ページにアクセスするには、[データ] アイコン ( ) を選択します。

データ要求にアクセスして承認が完了したことを確認し、分類グループを管理してアクティビティを整理し、[データ] ページからワークステーションのユーザー情報を確認します。データ要求の管理の詳細については、「 データ要求の進捗状況をフォローする」を参照してください。

自動翻訳

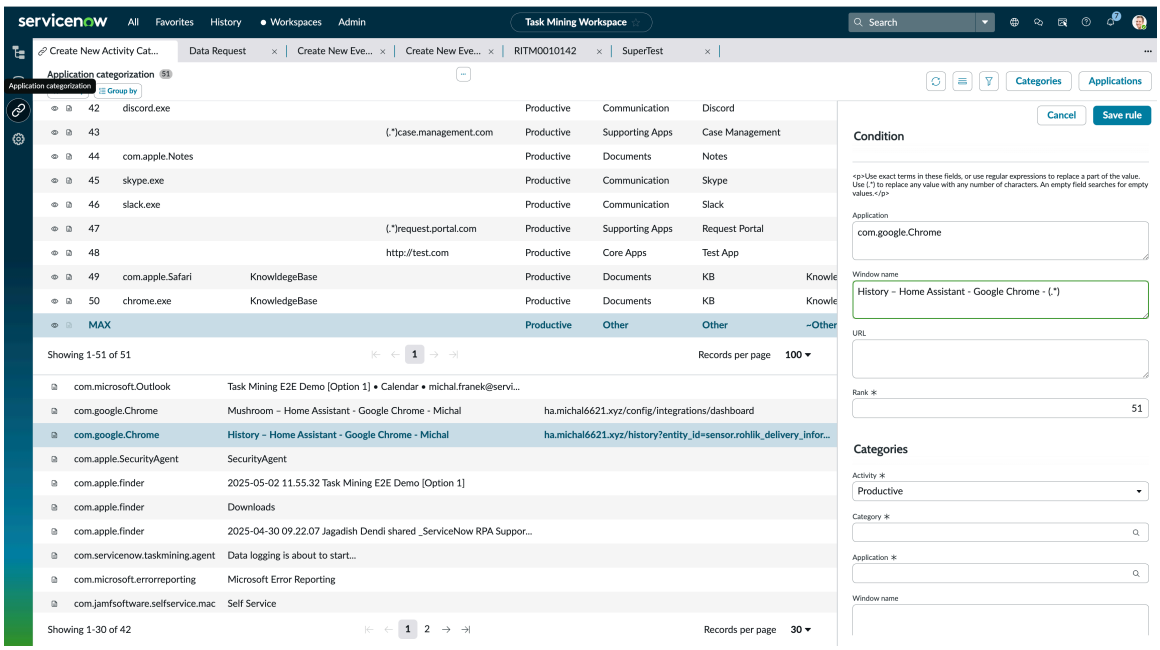
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[アプリケーションのカテゴリ設定] ページ

[アプリケーションの分類] ページにアクセスするには、[アプリケーションの分類] アイコン ( ) を選択します。

[アプリケーションのカテゴリ設定] ページからルールを作成し、類似のワークステーションアクティビティを分かりやすい名前でグループ化してデータを整理します。詳細については、「ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する」を参照してください。



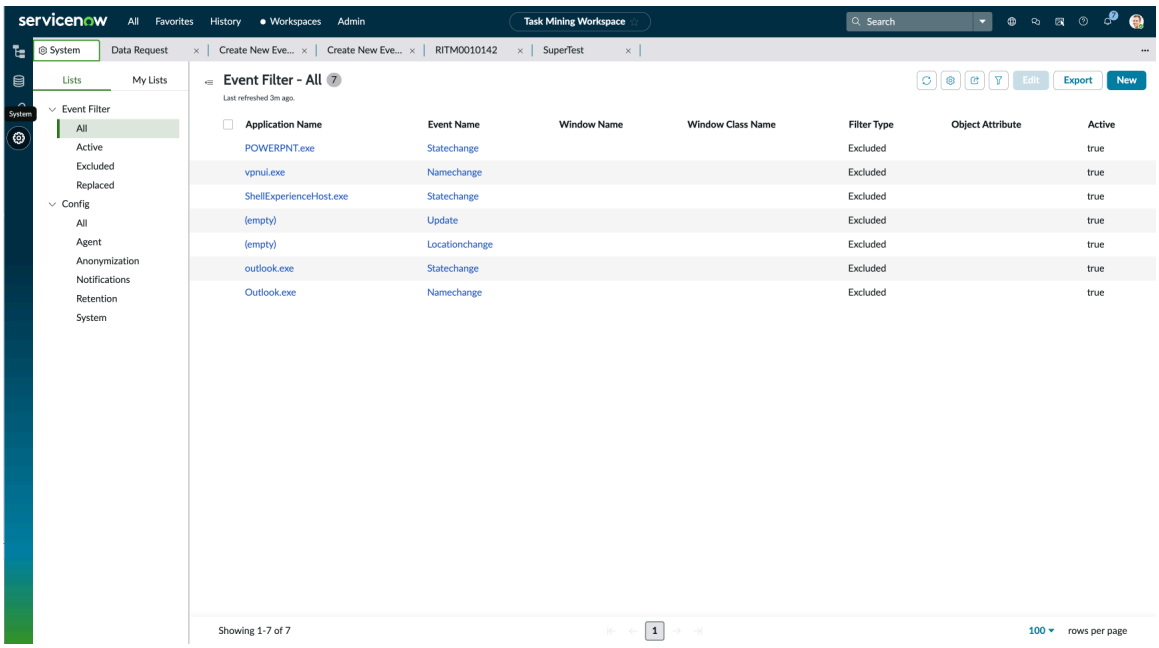
設定ページ

[構成] ページにアクセスするには、構成アイコン ( ) を選択します。

[構成] ページでシステム設定を構成し、イベントフィルターを作成します。リストは、イベントフィルターと設定レコードに分かれています。[イベントフィルター] リストから、イベントフィルターに一致するアプリケーションの詳細を置き換えることで、 タスクマイニング エージェントがアプリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーションの詳細を収集しないようにすることができます。[構成] リストから、システムレベルのタスクマイニング エージェントレコードの変更、個人識別可能情報の匿名化、ワークステーションユーザーへの通知の調整、保持ルールの変更を行うことができます。詳細については、「タスクマイニングの構成」を参照してください。



タスクマイニングデータモデル

タスクマイニング はワークステーションデータを収集して処理し、ワークステーションのユーザーアクティビティとインタラクションに関するインサイトを提供します。

タスクマイニング コンポーネントとデータフロー

タスクマイニングエージェントは、ユーザーのワークステーションにインストールされ、ワークステーション上のワークステーションユーザーからデータを収集するサービスです。このデータは、データファイルとしてデータ処理サーバーに送信されます。処理後、データは タスクマイニング アプリケーションに転送され、ユーザーデータテーブルに保存されます。その後、データはプロジェクトで使用され、分析のためにダッシュボードを介して承認されたユーザーに提示されます。

ワークステーションユーザー

ワークステーションユーザーは、 タスクマイニング エージェントによって毎日のワークステーションアクティビティが監視され、ログに記録される従業員です。ワークステーション ユーザーは通常、エージェントがバックグラウンドで動作してさまざまなアプリケーションやタスクとのやり取りに関するデータを収集するため、受動的に タスクマイニング システムとやり取りします。ワークステーションユーザーは、データ収集の一時停止など、エージェントが提供する特定の機能にアクセスできます。彼らの主なロールはタスク関連データのソースであり、データ主体です。つまり、個人データは適用されるデータ保護規制の下で処理されます。

「データプライバシー」セクションで説明されているように、プライバシーを保護し、コンプライアンスを促進するために、適切な保護手段を講じる必要があります。

重要: ワークステーションユーザーは、組織の ServiceNow インスタンスに登録されているのと同じログイン認証情報を使用してワークステーションにログインする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチユーザーサポート

タスクマイニング エージェントは、同じワークステーションで作業する複数のユーザーをサポートします。

- Windows エージェントは、複数のユーザーが一度に 1 つずつ同じワークステーションにアクセスできます。Windows エージェントは、リモート デスクトップ プロトコル (RDP)、仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI)、および仮想アプリケーションを介して、同じワークステーションで同時に作業する複数のユーザーもサポートします。
- macOS エージェントは、複数のユーザーが同じワークステーションに一度に 1 つずつアクセスすることをサポートします。

タスクマイニング エージェントによって収集されるデータ

タスクマイニングエージェントはさまざまなタイプのデータを収集します。収集されたデータに含まれる個人識別可能情報 (PII) については、このリストを確認します。

- ワークステーションユーザー識別子は、ユーザーのプライバシーを保護しながら、収集されたデータを特定のワークステーションユーザーに関連付けます。
- アプリケーション名、ウィンドウタイトル、および Web アプリの URL は、ワークステーションユーザーが操作するアプリケーションと Web ページを識別することで、コンテキストとダッシュボードデータを提供します。これらのアクティビティはインサイトを提供するために不可欠ですが、ウィンドウのタイトルと URL に含まれる PII は分析には必要ありません。このデータは慎重に管理し、セッショントークン、ユーザー名、メールアドレスなどの機密情報が意図せず公開されないようにしてください。
- タスクマイニングエージェントは、入力フィールド、ドロップダウンリスト、ボタンなどの特定の UI 要素とのユーザーインタラクションを追跡します。UI オブジェクト属性には、特に顧客名やフォームに入力された個人情報など、他のデータ主体に関連する場合に PII を含めることができます。

タスクマイニング は、タスクマイニング エージェントによって収集されたデータに加えて、システム監査 [sys_audit] テーブルから収集された監査記録データを使用します。この監査記録は、インシデント処理など、タスクの実行中に実行されたアクティビティを識別して追跡するために使用されます。このデータはタスクの全体像を提供し、アクティビティのシーケンスと性質をより詳細に把握できるようにします。詳細については、「タスクマイニング によって収集されたデータ」を参照してください。

タスクマイニングとともにインストールされるテーブルの完全なリストについては、「タスクマイニング とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

データ収集方法

タスクマイニング アナリストは、次の方法でワークステーションユーザーデータの収集を開始します。

- ワークステーションユーザーを タスクマイニング プロジェクトに追加して、特定のプロジェクトのスコープ内でデータを収集する
- 指定された時間データログ要求を送信して、将来のプロジェクトで後でプルできるデータプールを作成する

データプライバシー

これらのデータプライバシー対策は、収集されたデータを保護し、機密情報が公開されるリスクを軽減し、ユーザーがデータ収集を制御できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 送信中および保存中のすべてのデータのデータ暗号化。
- システムレベルで適用される、エージェントによる監視から除外するアプリケーションの事前定義されたリスト。
- 特定のタイプのイベントをキャプチャから除外し、置換値に置き換えるイベントフィルター。
- イベントを完全に除外するのではなく、イベントの特定の属性をマスクすることで機密情報を保護できるようにするイベントマスキング。
- ワークステーションユーザーによって制御される タスクマイニング エージェントのプライベートモードで、データ収集を一時的に停止し、ユーザーがアクティビティをログに記録せずに個人的なタスクや機密性の高いタスクを実行できるようにします。
- ワークステーションユーザーからのデータ収集には、ワークステーションユーザーのマネージャー (または同様のロール) による承認が必要です。このロールは、ケースバイケースでデータ収集をレビューおよび承認する責任があります。
- ワークステーションでデータ収集が有効になっている場合は、ワークステーションユーザーからの明示的な同意が必要です。
- データの作成元であるワークステーションユーザーの ID を隠し、システムアドミンのみがアクセスできる、制限付きワークステーションユーザーデータテーブル。
- 未使用のデータがシステムに無期限に残るのがないように、分析用のアクティブなプロジェクトにリンクされていないデータは、指定された時間が経過すると自動的に削除されます。
- アクセスが制限されているため、許可されたユーザーのみがプロジェクトを作成および変更したり、プロジェクトデータを表示または操作 タスクマイニング したりできます。
- アプリケーション名、ウィンドウタイトル、URL などの特定のアクティビティの詳細をマスクする機能。

における分類の概念 タスクマイニング

分類ルールは、類似のワークステーションアクティビティを分かりやすいカテゴリ名でグループ化することで、データを整理してコンテキストを追加します。

分類の目的

タスクマイニング 分類によって分析での情報の表示方法が決まり、いくつかのメリットがあります。

- アプリをカテゴリにグループ化すると、ダッシュボードが読みやすくなり、さまざまなタイプのアクティビティを区別できるようになります。
- 分類されたアプリのみを表示することで、不要な情報で分析が煩雑になるのを回避できます。
- 指定した置換テキストを使用した、特定のカテゴリのウィンドウ名内のクライアント名などの個人情報の匿名化。
- カテゴリとアプリケーショングループを使用して類似のアクティビティをグループ化し、ダッシュボードをより明確にします。

分類ワークフロー

アクティビティを分類するプロセスは次のとおりです。

1. タスクマイニング アナリストは、プロジェクトで使用されるアプリケーションとウィンドウのデータのサンプルをマイニングします。マイニングされたデータから開始すると、データで既に利用可能なアクティビティの分類に使用される正確な値があるため、分類が容易になります。

   詳細については、「プロジェクトデータ分析を生成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. タスクマイニングパワーユーザーは、アプリやウィンドウのデータがダッシュボードにどのように表示されるかを決定する固定順序値で分類ルールを作成します。

   詳細については、「ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する」を参照してください。

3. タスクマイニングアナリストは、分析をプレビューして、収集されたデータがどのように可視化され、要求を処理するかを確認します。

   詳細については、「データの表示を絞り込む」を参照してください。

4. タスクマイニングパワーユーザーが分類ルールを調整します。アプリケーションとアプリケーションカテゴリが追加および変更され、より詳細が提供されます。
5. タスクマイニングアナリストがプロジェクトデータを再度マイニングします。
6. アクティビティは、未分類のアクティビティが全データの約 10% 以下になるまで分類されます。この詳細レベルでは、包括的なビューが提供されます。この金額を超えてさらに精製すると、収益が減少します。

事前定義された分類ルール

ルールは、どのルールを最初に適用するかを定義するために順序付けされています。次の 4 つの分類ルールは変更できません。これらのルールは、1、2、3、および MAX の順序で並べられます。デフォルトでは、最初の 3 つのルールが最初に適用され、MAX ルールが最後に適用されます。

1. プライベート:アクティビティを非生産的として定義します。エージェントがプライベートモードのときに使用され、アクティビティがプライベートとして定義されている場合に使用されます。
2. ロック:アクティビティを休憩として定義し、ワークステーションがロックされているときに使用されます。
3. オフ:アクティビティをオフとして定義し、ワークステーションがオフになっているときに使用されます。
4. **MAX**:どのルールにも一致せず、デフォルトで匿名化されている未分類のアプリに適用されます。

カテゴリとアプリケーション名

カテゴリとアプリケーション名を使用してアクティビティを整理すると、類似のワークステーションアクティビティを分かりやすい名前でグループ化することで、データにコンテキストが追加されます。アクティビティのルールを作成する前に、分類ルールフォームで利用可能なリストに合理的なカテゴリ名とアプリケーション名を追加します。

カテゴリ

アプリケーションが関連する作業のタイプを説明します。その他は最大ルールで使用され、どのルールにも一致しない未分類のアプリを表すため、 その他の カテゴリは使用しないでください。たとえば、どのカテゴリにも当てはまらないアプリがある場合は、[その他] を使用するか、カテゴリをカテゴリ化ルールフォームで利用可能なリストに追加して、アプリケーションが関連する作業のタイプを記述します。

アプリケーション

分類ルールの作成に使用できるアプリケーション名について説明します。ツリーマップチャートが破損するので、複数のカテゴリのアプリケーション名を使用しないでください。たとえば、ユーザーにわかりやすいアプリケーション名 "Teams" を [通信] または [コア デスクトップ アプリ] のカテゴリと共に使用できます。ただし、ネイティブアプリケーションとブラウザでのアプリケーションへのアクセスの両方でアクティビティのルールを作成する場合は、2 つのルールに異なるカテゴリを使用しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する

タスクマイニング 解析

プロジェクト分析を使用すると、分類されたデータからインサイトを得ることができます。

タスクマイニングプロジェクトに対して、全体的なアクティビティとタスクアクティビティの 2 つのタイプの分析にアクセスできます。

- 全体的なアクティビティ分析では、ワークステーションユーザーが使用するすべての分類されたアプリケーションについて、完全かつ階層化された概要が提供されます。
- タスクアクティビティ分析では、インシデントの解決など、スコープ対象タスク中に使用されたアクティビティとアプリケーションの所要時間と頻度が示されます。ワークステーションのユーザーアクションは、タスクアクティビティ分析のデータを提供するためにログに記録できるタスクとしてグループ化する必要があります。タスクの定義の詳細については、「 タスクログ記録のユーザーアクションの定義」を参照してください。

どちらの分析タイプでも、いつ誰からデータが収集されるかが分析の上部セクションに表示されます。ドロップダウンセレクターを使用して、チャートに表示される時間、カテゴリ、アクティビティ、およびユーザーを調整します。

全体的なアクティビティ分析

全体的なアクティビティ分析では、ユーザーアクティビティの階層化されたビューが提供されます。アクティビティカテゴリ、アプリケーション、およびユーザー別にデータを表示し、さまざまな詳細レベルで使用傾向とユーザーエンゲージメントを分析します。

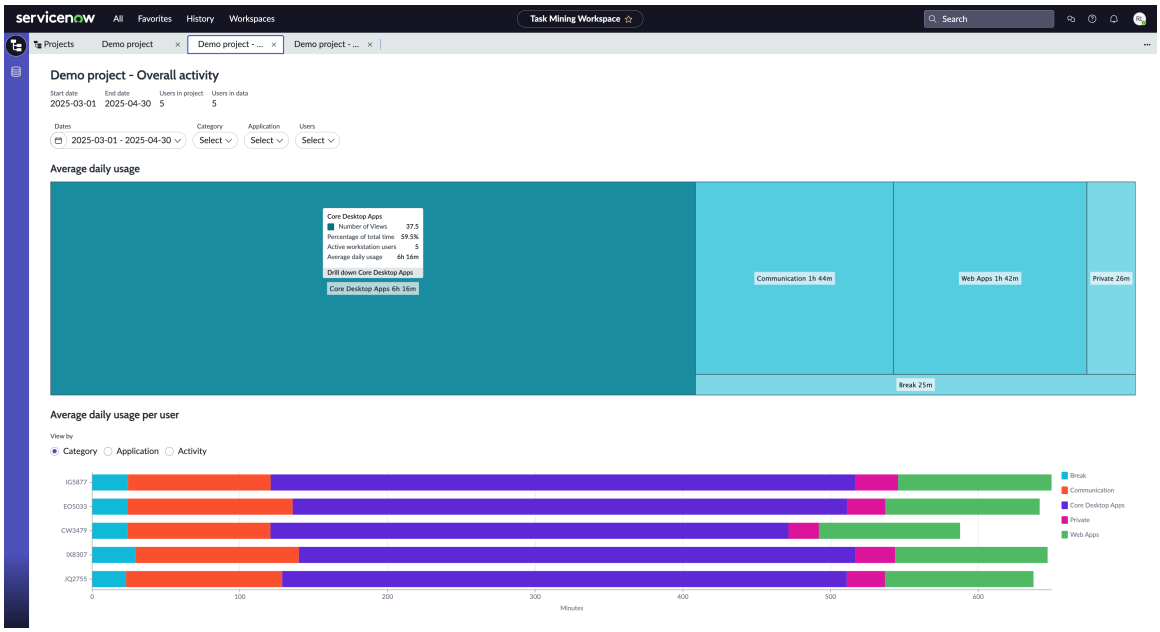
全体的なアクティビティ分析には、[日次平均使用量] チャートと [ユーザーごとの日次平均使用量] チャートが含まれます。

- 1 日の平均使用量:このツリーマップチャートには、 タスクマイニング パワーユーザーが設定した分類ルールに従ってプロジェクトデータが表示されます。タイルにカーソルを合わせると、ビュー数、合計時間の割合、アクティブなワークステーションユーザーの数、1 日の平均使用状況などの詳細が表示されます。

- ユーザーごとの日次平均使用量:積み上げ棒グラフには、ワークステーションユーザー別に分類されたプロジェクトデータが表示されます。
  - ビューを変更して、アプリケーションカテゴリ、アプリケーション、またはアクティビティに従ってワークステーションのユーザーデータを表示します。
  - ビューを変更して列バーにカーソルを合わせると、カテゴリ、アプリケーション、またはアクティビティに関する詳細情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



タスクアクティビティ分析

タスクアクティビティ分析では、タスクアクティビティ分析用のデータを提供するために定義されたタスク内のタスク関連アクティビティの所要時間と頻度が表示されます。タスクアクティビティ分析には、プロジェクト内のタスクの数と平均タスク期間が表示されます。

タスク、カテゴリ、アプリケーション、ユーザー別にデータを表示し、複数のレベルでタスク実行の詳細を分析します。ドロップダウンセレクターを使用して、チャートに表示されるタスクと、時間、カテゴリ、アクティビティ、およびユーザーを調整します。

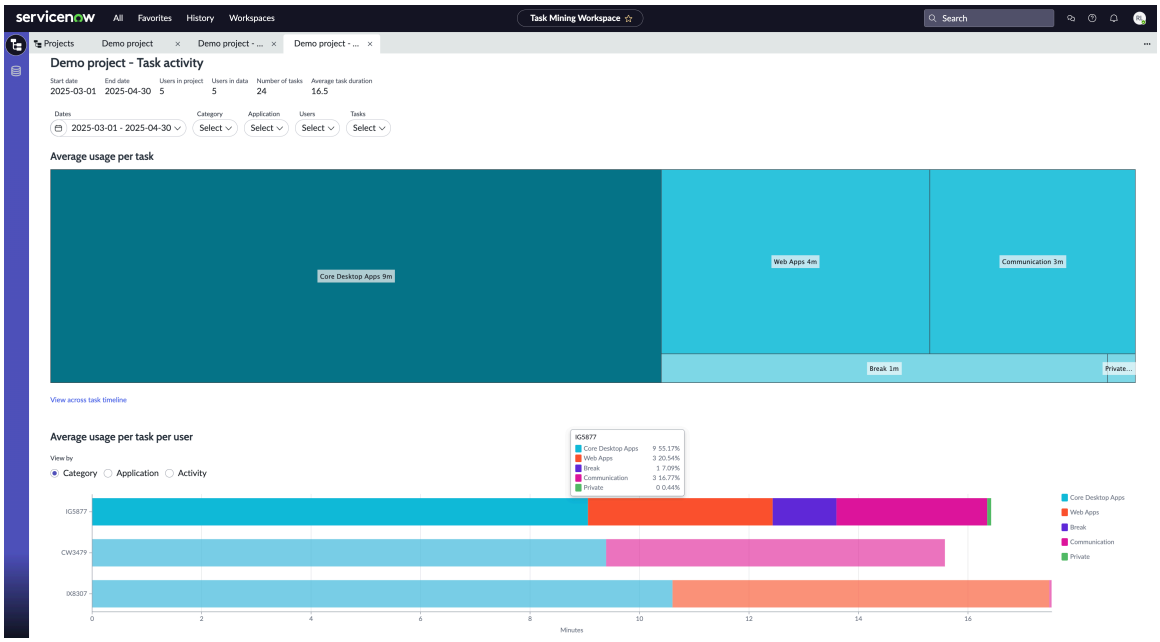
タスクアクティビティ分析には、[タスクあたりの平均使用量] チャートと [ユーザーごとのタスクごとの平均使用量] チャートが含まれます。

自動翻訳

- タスクあたりの平均使用量:このツリーマップチャートには、 タスクマイニング パワーユーザーが設定した分類ルールに従ってプロジェクトデータが表示されます。タイルにカーソルを合わせると、ビュー数、合計時間の割合、アクティブなワークステーションユーザーの数、1 日の平均使用状況などの詳細が表示されます。

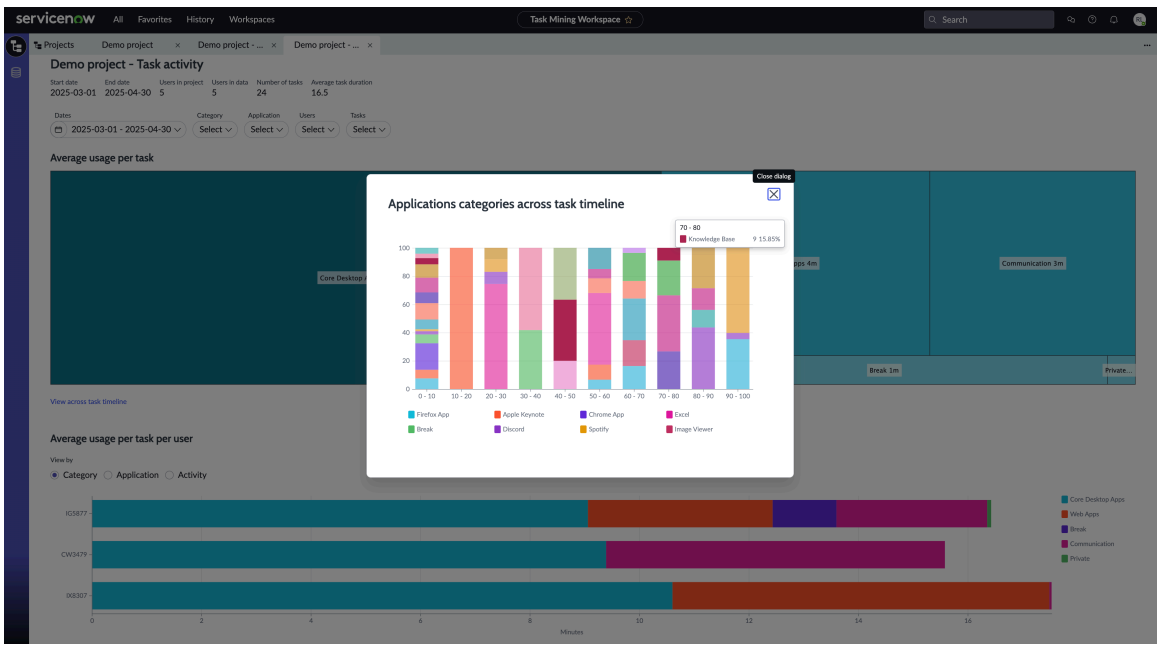
- ユーザーごとのタスクあたりの平均使用量:積み上げ棒グラフには、ワークステーションユーザー別に分類されたプロジェクトデータが表示されます。
  - ビューを変更して、アプリケーションカテゴリ、アプリケーション、またはアクティビティに従ってワークステーションのユーザーデータを表示します。
  - ビューを変更して列バーにカーソルを合わせると、カテゴリ、アプリケーション、またはアクティビティに関する詳細情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[タスクタイムライン全体を表示] リンクを選択すると、タスクタイムライン全体のアプリケーションカテゴリチャートが表示され、選択したワークステーションユーザーによってアプリケーションがどのように使用されているかが示されます。このチャートには、タスクアクティビティ分析からのみアクセスできます。

積み上げ縦棒グラフは、タスクの長さをパーセンテージで分割します。たとえば、タスクに 200 分かかる場合、最初のセクションには 20 分間のアクティビティが表示されます。



タスクマイニング エージェントのインストール

タスクマイニングエージェントは、デスクトップアプリケーションから特定のイベントをログに記録するワークステーションにインストールされるサービスです。

必要なロール: タスクマイニング エージェントのインストール

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: タスクマイニング エージェントをインストールするには、ロール itil、sn_tm_core.service_user、および agent_client_collector_admin を持つ タスクマイニング エージェントインストールグループの一員である必要があります。グループが存在しない場合は、その名前とロールを持つグループを手動で作成します。詳細については、「グループへのロールのアサイン」を参照してください。

タスクマイニング エージェントをインストールするプロセスは次のとおりです。

1. データログ要求は、 タスクマイニング アナリストまたはパワーユーザーによって送信されます。
2. マネージャーが要求を承認します。
3. インストールは、ターゲットワークステーションのアドミン権限を持つ タスクマイニング エージェントインストールグループの一員である IT またはセキュリティユーザーによって実行されます。

   詳細については、お使いのオペレーティングシステムの Now Support ナレッジベースの記事を参照してください。

   - macOS - MacOS 用タスクマイニングエージェントインストールガイド [KB2225974]
   - Windows - Windows 用タスクマイニングエージェントインストールガイド [KB2225869]

   注: このプロセスは、 タスクマイニング ロールを持つユーザーは実行しません。

4. ワークステーションのユーザーには、ワークステーションの監視について通知されます。

収集されるデータの詳細については、「 タスクマイニング によって収集されたデータ」を参照してください。

タスクマイニングの構成

タスクマイニングアナリストとパワーユーザーがタスクマイニングワークスペースにアクセスしてプロジェクトを作成および管理できるように、タスクマイニング実装を計画および構成します。

構成の概要

これらの構成タスクは、使用している各インスタンスで実行する必要があります。インストール後は、これらのアクティビティを特定の順序で実行する必要はありません。

警告: デフォルトの除外フィルターは変更しないでください。

タスクマイニング をインストール
: admin ロールを持っている場合は、 タスクマイニング アプリケーション (sn_tm_core) をインストールします。

エージェントパラメーター タスクマイニング 調整
: システムレベルの タスクマイニング エージェントとシステムレコードを変更します。

タスクマイニング匿名化の定義
: 個人を特定できる情報をエイリアスデータに置き換えて、機密性の高いユーザー情報を保護します。

ワークステーションユーザー向けの タスクマイニング 通知のカスタマイズ
: タスクマイニング通知を使用して、作業が監視されていることをワークステーションユーザーに通知し、同意を要求し、実行するアクションがあるかどうかを通知します。

タスクマイニングデータ保持期間の変更
: デフォルトの保持構成ルールを変更して、データを自動的に削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションの詳細のキャプチャと表示を避ける

イベントフィルターに一致するアプリケーションの詳細を置き換えることで、 タスクマイニング エージェントがアプリケーションの詳細を収集しなくてもタイムスタンプを収集します。

タスクマイニングユーザーへのロールのアサイン

タスクマイニング アプリケーションの機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします。

タスクマイニング をインストール

admin ロールをお持ちであれば、 タスクマイニング Core アプリケーション (sn_tm_core) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得する ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の タスクマイニング Core アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

タスクマイニング とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

詳細については、「タスクマイニング とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して タスクマイニング コア アプリケーション (sn_tm_core) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示される [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスに、アプリケーションとともにインストールされている依存関係が一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータは、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードです。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
6. **[Install** (インストール)] を選択します。

エージェントパラメーター タスクマイニング 調整

システムレベルの タスクマイニング エージェントレコードを変更します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをコア タスクマイニング 設定します。

必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて

注: 新しいエージェント設定レコードを追加することはできません。設定レコードの [値] フィールドのみを変更してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [構成] アイコン ([ ]) を選択します。
3. [構成] で、[エージェント] を選択します。
4. 変更する タスクマイニング エージェント設定レコードを選択します。
   エージェント設定レコードの詳細については、「 のエージェント設定レコード タスクマイニング」を参照してください。
5. [値] フィールドを変更します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクマイニング匿名化の定義

個人を特定できる情報をエイリアスデータに置き換えて、機密性の高いユーザー情報を保護します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをコア タスクマイニング 設定します。

必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて

注: 新しい匿名化設定レコードを追加することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [構成] アイコン ([ ]) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [構成] で [匿名化] を選択します。
4. 変更する匿名化設定レコードを選択します。
   使用可能なレコードは次のとおりです。

   イベントフィールド置換値

   置換されたイベントフィルターが適用されたときのイベントフィールドの置換用語を決定します。デフォルト値は **BLOCKLISTED** です。詳細については、「アプリケーションの詳細のキャプチャと表示を避ける」を参照してください。

   匿名化の最小レベル

   タスクマイニングプロジェクトを設定するときに利用可能な匿名化の最小レベルをシステムレベルで決定します。この値は、作成するプロジェクトでユーザーを識別する方法を定義します。デフォルト値は **LOGIN NAME** です。他の可能な値は、ユーザーのイニシャルの **INITIALS** または **ANONYMIZED CODE** です。

5. [値] フィールドを変更します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

ワークステーションユーザー向けの タスクマイニング 通知のカスタマイズ

タスクマイニング通知を使用して、作業が監視されていることをワークステーションユーザーに通知し、同意を要求し、実行するアクションがあるかどうかを通知します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをコア タスクマイニング 設定します。

必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて

注: 新しい通知設定レコードを追加することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [構成] アイコン ([ ]) を選択します。
3. [構成] で、[通知] を選択します。
4. 変更する通知設定レコードを選択します。
   使用可能なレコードは次のとおりです。

   同意テキスト

   プロジェクトにアサインされたときにユーザーに表示されるテキストを決定します。

   プライベートスタートアップテキスト

   プライベートモードに切り替えたときにユーザーに表示されるテキストを決定します。

   注: プライベートスタートアップテキストを空のままにすると、ワークステーションユーザーはプライベートタイムアウトを使用できません。

   プライベートタイムアウトテキスト

   プライベートモードのタイムアウト前にユーザーに表示されるテキストを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** プライベートタイムアウトのテキストを空のままにすると、ワークステーションユーザーはプライベートタイムアウトを延長できません。

5. [値] フィールドを変更します。
   [値] フィールドが空の場合、通知はワークステーションに表示されません。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクマイニングデータ保持期間の変更

デフォルトの保持構成ルールを変更して、データを自動的に削除します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをコア タスクマイニング 設定します。

必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて

> **注:** 新しいデータ保持構成レコードを追加することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [構成] アイコン ([ ]) を選択します。
3. [構成] で、[保持] を選択します。
4. 編集する保持レコードを選択します。

   タスクマイニング は、削除の可能性を毎日チェックします。

   使用可能なレコードは次のとおりです。

   ユーザーデータの保存期間

   ユーザーデータは、タスクマイニングに転送されるワークステーションデータです。ユーザーデータの保持期間は、レコードの開始日時の値に基づいています。デフォルト値は 30 日です。どのプロジェクトにも関連付けられていないレコードのみが削除されます。

   プロジェクト保存期間

   プロジェクト保持期間は、プロジェクトステータスが [クローズ済み] に設定されているタイミングに基づいています。保持期間中にクローズされたプロジェクトのみが削除されます。デフォルトの保存期間は 10 日間です。

   データマート保存期間

   データマートは、分類ルールが適用されたマイニングデータです。保存期間は、各プロジェクトの最終オープン日に基づきます。インタラクションのないプロジェクトに関連付けられたデータのみが削除されます。デフォルトの保存期間は 10 日間です。
5. [値] フィールドに、保存期間の日数を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

アプリケーションの詳細のキャプチャと表示を避ける

イベントフィルターに一致するアプリケーションの詳細を置き換えることで、 タスクマイニング エージェントがアプリケーションの詳細を収集しないようにします。アプリケーションの詳細には、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションの分類時およびダッシュボードに表示されるアプリケーション名、URL、およびウィンドウ名が含まれます。

始める前に
必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて
フィルターを適用する タスクマイニング プロジェクトを開始する前に、イベントフィルターを設定します。プロジェクト中にイベントフィルターを作成または変更するには、ワークステーションユーザーはワークステーションで タスクマイニング エージェントを手動で再起動する必要があります。

代替フィルターを使用して、ネイティブアプリケーションの詳細または任意のアプリケーションの特定のページの詳細の機密データを匿名化します。

- ネイティブアプリケーションの詳細を置き換えて、アクティビティの正しいタイムスタンプを収集しながら、 タスクマイニング エージェントが特定のアプリケーションから情報を収集しないようにします。たとえば、給与データをサポートするネイティブアプリで作業しているワークステーションユーザーからデータを収集したくない場合もあります。
- ページが発生したページを置き換えて、 タスクマイニング エージェントが任意のアプリケーションの特定のページから機密情報を収集しないようにします。たとえば、ユーザーが使用するブラウザーワークステーションを介して個人の給与明細書ページからデータを収集したくない場合などです。

[イベントフィールド置換値] の匿名化値は、このフィルターの出力に影響します。詳細については、「タスクマイニング匿名化の定義」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [構成] アイコン ([ ]) を選択します。
3. [イベントフィルター] を選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。

   注: 代替フィルターを作成するために [新しいイベントフィルターを作成] フォームのすべてのフィールドは必須ではありません。

5. [フィルタータイプ] フィールドで、[置換済み] を選択します。
6. ネイティブアプリケーションの詳細またはページが存在するすべてのアプリケーション内のいずれかに対して、置き換えられたフィルターを作成します。

オプション	アクション
ネイティブアプリケーションの詳細を置換する	アプリケーションの実行可能ファイル名を [アプリケーション名] フィールドに入力します。
ページが存在するすべてのアプリケーションでページを置き換える	[ウィンドウ名] フィールドにウィンドウ名を入力します。ウィンドウ名を見つけるには、Web ブラウザーでウィンドウのタブにカーソルを合わせます。

7. [オブジェクト属性] フィールドで、置換する生データのすべての属性を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 分類プロセスで公開される可能性のある URL を置き換えるには、[**URL**] を選択します。ほとんどの状況でこのオプションを使用します。たとえば、Workday アクティビティ URL に個人識別可能情報 (PII) を表示したくなくても、Workday アクティビティを分類したいとします。
- タスクマイニングエージェントが機密情報や個人を特定できる情報を収集して生データで転送できないようにするには、[すべて] を選択します。このオプションは引き続きアクティビティのタイムスタンプを収集し、分析でアクティビティを BLOCKLISTED として表示しますが、詳細はキャプチャしません。たとえば、匿名化に関する規制要件やセキュリティ要件がある場合などです。
- 生データで転送できるフィールド名を置き換えるには、[名前] を選択します。このオプションは引き続きアクティビティの詳細を収集しますが、データには BLOCKLISTED と表示されます。データに公開したくない機密フィールド名がある場合は、このオプションを使用します。
- 生データで転送できる PII が含まれている可能性があるフィールドの値を置き換えるには、[値] を選択します。このオプションは引き続きアクティビティの詳細を収集しますが、データには BLOCKLISTED と表示されます。データに公開したくない機密データを含むフィールドがある場合は、このオプションを使用します。

8. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクマイニングユーザーへのロールのアサイン

タスクマイニング アプリケーションの機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします。

始める前に
アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをコア タスクマイニング 設定します。

必要なロール:sn_tm_core.admin または admin

このタスクについて
タスクマイニングとともにインストールされるロールの詳細については、「タスクマイニング とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

ServiceNow AI Platform ユーザー管理機能を使用して、ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールをアサイン します。
- グループにロールをアサインします 。

次のタスク
タスクマイニングエージェントのインストールを担当するユーザーは、タスクマイニングエージェントをインストールするには、ロール itil、sn_tm_core.service_user、および agent_client_collector_admin を持つ タスクマイニング エージェントインストールグループの一員である必要があります。詳細については、「タスクマイニング エージェントのインストール」を参照してください。

タスクマイニング の使用

ワークステーションのアクティビティを収集および分析して、タスクがどのように実行されているかを理解し、非効率性を特定し、データに基づく意思決定を行います。

タスクマイニングを使用して次のプロセスを実行してワークステーションデータを収集し、従業員がどのように作業を遂行するかを分析してビジネス効率を高めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクマイニングプロジェクトのスコープの定義

タスクマイニングプロジェクトを開始して、特定の目的のためにデータを分析します。プロジェクトの継続時間、データの収集先、アクティビティのグループ化方法、およびデータの可視化方法を定義します。

ワークステーションユーザーデータの要求

従業員センター内のワークステーションユーザーに対するデータ要求を完了し、将来の分析で使用できるデータプールを作成します。

ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する

類似のワークステーションアクティビティを分かりやすい名前でグループ化することで、データを整理してコンテキストを追加します。

タスクマイニングプロジェクトのスコープの定義

タスクマイニングプロジェクトを作成して、分析するアクティビティ、ワークステーションユーザー、および期間を指定します。

ワークステーションのユーザーデータを要求するプロセスは次のとおりです。

1. 特定の目的のためにデータを分析する タスクマイニング プロジェクトを作成し、プロジェクトデータの収集期間を定義します。

   詳細については、「タスクマイニング プロジェクトの作成」を参照してください。

2. アクティビティデータを収集するワークステーションユーザーを選択し、データ要求を作成します。

   詳細については、「タスクマイニングプロジェクトへのワークステーションユーザーの追加」を参照してください。

3. ワークステーションのユーザーアクションをタスクとしてグループ化し、タスクアクティビティ分析のデータを提供するために記録できます。

   (Optional) 詳細については、「タスクログ記録のユーザーアクションの定義」を参照してください。

4. タスクマイニングプロジェクトがワークステーションデータを集計する方法を決定します。

   詳細については、「データの分析方法と可視化方法を定義します」を参照してください。

5. タスクマイニングプロジェクトでマイニングジョブを実行して、分類ルールに従ってプロジェクトデータの分析を生成し、データに基づく意思決定を行うことができます。

   詳細については、「プロジェクトデータ分析を生成」を参照してください。

6. プロジェクトを共有する前に、 タスクマイニング プロジェクトの分析を改善して、分類のギャップを特定します。変更を要求した場合は、マイニングジョブを再度実行して結果を確認できます。

   詳細については、「データの表示を絞り込む」を参照してください。

7. プロジェクトの分析にアクセスできるプロセスオーナーを決定します。

   詳細については、「タスクマイニング分析の共有」を参照してください。

タスクマイニング プロジェクトの作成

特定の目的のためにデータを分析する タスクマイニング プロジェクトを作成し、プロジェクトデータの収集期間を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. [新しいプロジェクト] を選択します。
3. フォームで、フィールドに入力します。

タスクマイニングプロジェクトの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	プロジェクトの名前。
匿名化レベル	プロジェクトでユーザーを識別する方法。使用可能なオプションは、匿名化設定レコードの最小レベルによって決まります。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • ログイン名:名前で識別されます。 • イニシャル:イニシャルで識別されます。 • 匿名化コード:ランダムな文字の文字列で識別されます。
開始日	ワークステーションユーザーデータの収集を開始する日付。
終了日	ワークステーションユーザーデータの収集を停止する日付。
説明	プロジェクトのオプションの説明。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
アクティビティデータを収集するワークステーションユーザーを選択し、データ要求を作成します。詳細については、「タスクマイニングプロジェクトへのワークステーションユーザーの追加」を参照してください。

タスクマイニングプロジェクトへのワークステーションユーザーの追加

アクティビティデータを収集するワークステーションユーザーを選択し、データ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて
プロジェクトのワークステーションユーザーのデータを収集するすべてのデータ要求は、プロジェクトを開始する前に承認される必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. ワークステーションユーザーを追加するプロジェクトの名前を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ワークステーションユーザー] タブを選択します。
   ワークステーションユーザーリストが空の場合、このプロジェクトにはワークステーションユーザーが追加されていません。
4. 以前にプロジェクトに関連付けられていたユーザーのうち、含めたくないユーザーを削除します。
   a. ワークステーションのユーザーを選択します。
   b. [その他のアクション] アイコン ([···]) を選択します。
   c. [削除] を選択します。
5. [ユーザーの追加] を選択します。
6. オプション: ユーザーリストを場所または部門でフィルタリングします。
7. このプロジェクトに追加するワークステーションユーザーを選択し、[追加] を選択します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. ワークステーションユーザーのデータ要求が承認されていない場合は、そのユーザーのデータを収集する権限を取得します。

   注:

   プロジェクトから独立した期間の要求が必要な場合は、従業員センターのデータ要求を通じてワークステーションのユーザーデータを要求します。詳細については、「ワークステーションユーザーデータの要求」を参照してください。

   a. ワークステーションユーザーのリストで、 データ要求ステータス が [必須] になっているユーザーを選択します。
      ワークステーションユーザーのデータ要求ステータスが [要求済み] の場合は、プロジェクトの開始に設定される前に、要求の詳細を確認し、承認者に連絡してデータ要求に対するアクションを促すことを検討してください。詳細については、「データ要求の進捗状況をフォローする」を参照してください。
   b. [要求データ] を選択します。

結果

データ要求は、すべてのワークステーション・ユーザーのすべてのマネージャーに送信されます。データ要求が承認されると、[データ要求ステータス] フィールドに [承認済み] が表示され、ワークステーションのユーザーデータを操作できます。

次のタスク

アクティビティ分析のタスクとしてアクションをグループ化します。詳細については、「タスクログ記録のユーザーアクションの定義」を参照してください。

タスクログ記録のユーザーアクションの定義

ワークステーションのユーザーアクションをタスクとしてグループ化し、タスクアクティビティ分析のデータを提供するために記録できます。

始める前に

必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. タスクをグループ化するプロジェクトの名前を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [タスクスコープ] タブを選択します。
   アクティブなタスクのリストが空の場合、このプロジェクトのタスクは定義されていません。
4. [タスクを作成] を選択します。
5. フォームで、フィールドに入力します。

[タスク定義] フォーム

フィールド	説明
名前	タスクの名前。
ソーステーブル	グループ化するアクションを選択するテーブル。
フィルター	必要なタスクを決定する、選択したソーステーブルに基づく条件。
アクティビティマッピング	グループ化するアクティビティで、タスクステータスの変更を取得するアクティビティ。
開始パターンポイント	タスクの開始点をトリガーするステータス。
終了パターンポイント	タスクのエンドポイントをトリガーするステータス。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

Example: P1 インシデントのタスク定義

P1 インシデントの作成からクローズまでのステータスを追跡するタスクを構成するには、次のテーブルの値を設定します。

例:P1 インシデント追跡タスク

フィールド	値
ソーステーブル	インシデント
アクティビティマッピング	状況
開始パターンポイント	新規
終了パターンポイント	クローズ済み

次のタスク

使用可能なテンプレートから分析を選択して、 タスクマイニング プロジェクトがワークステーションデータを集計する方法をカスタマイズします。詳細については、「データの分析方法と可視化方法を定義します」を参照してください。

データの分析方法と可視化方法を定義します

タスクマイニングプロジェクトがワークステーションデータを集計する方法を決定します。

始める前に

必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. 分析を選択するプロジェクトの名前を選択します。
3. [分析] タブを選択します。
4. [分析を選択] を選択します。
5. このプロジェクトに使用する分析を選択します。
   使用可能なオプションは、次のとおりです。

   全体的なアクティビティ

   ワークステーションユーザーが使用するすべての分類されたアプリケーションの階層化された概要を作成します。全体的なアクティビティ分析を使用して、ワークステーションユーザーが組織内でアプリケーションをどのように使用しているかを確認します。

   タスクアクティビティ

   インシデントの解決など、グループ化されたタスク中にワークステーションユーザーが使用するアクティビティとアプリケーションの所要時間と頻度を表示します。ワークステーションユーザーアクションは、データを提供するタスクとしてグループ化されます。タスクの定義の詳細については、次を参照してください。 タスクログ記録のユーザーアクションの定義

6. **[Add** (追加)] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのデータを分析します。詳細については、「プロジェクトデータ分析を生成」を参照してください。

プロジェクトデータ分析を生成

タスクマイニングプロジェクトでマイニングジョブを実行して、分類ルールに従ってプロジェクトデータの分析を生成し、データに基づく意思決定を行うことができます。

始める前に

注: マイニングジョブを実行するには、プロジェクト内のすべてのデータ要求を承認する必要があります。データ要求が承認待ちでジョブを実行する必要がある場合は、まずそのデータ要求をプロジェクトから削除できます。プロジェクトへのワークステーションユーザーの追加と削除の詳細については、「 タスクマイニングプロジェクトへのワークステーションユーザーの追加」を参照してください。

必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. 分析するプロジェクトの名前を選択します。
3. [プロジェクトのマイニング] を選択します。
   このオプションを使用できない場合は、プロジェクトのタイムラインが開始されており、すべてのデータ要求が承認されていることを確認してください。
4. オプション: [マイニングジョブ] タブを選択して、マイニングジョブの進行状況を監視します。

次のタスク
分析をレビューして、さらに改良が必要かどうかを確認します。詳細については、「データの表示を絞り込む」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの表示を絞り込む

プロジェクトを共有する前に、 タスクマイニング プロジェクトの分析を改善して、分類のギャップを特定します。

始める前に

必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. 分析するプロジェクトの名前を選択します。
3. [分析] タブを選択します。
4. 未分類のアクティビティを特定します。
   a. プレビューする分析の名前を選択します。
   分析が新しいタブで開きます。分析の読み取りの詳細については、「 タスクマイニング 解析」を参照してください。
   b. 時間、カテゴリ、アクティビティ、およびユーザーのドロップダウンセレクターを使用して、チャートのさまざまなビューを評価します。
   c. 分かりやすい分類を使用していないアクティビティの大部分に注意してください。分類することでメリットが得られる可能性があります。
5. 変更が必要な領域を見つけた場合は、 タスクマイニング パワーユーザーに連絡して、特定したグラフのデータギャップに基づいて分類を絞り込んでください。

次のタスク

共有ユーザーをプロジェクトに追加して、関心のあるプロセスオーナーと分析を共有します。詳細については、「タスクマイニング分析の共有」を参照してください。

タスクマイニング分析の共有

プロジェクトの分析にアクセスできるプロセスオーナーを決定します。

始める前に

必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. プロジェクトを選択してください。
3. [共有] を選択します。
4. プロジェクトが既に一部のユーザーと共有されている場合は、それらのユーザーにプロジェクトの分析権限を付与するかどうかを決定します。
   - ユーザーとユーザーの現在の権限を保持するには、ユーザー名をリストに残します。
   - ユーザーの現在のアクセス許可を変更するには、ユーザー名を選択し、[アクセス許可] ダイアログ ボックスでアクセス許可を変更して、[保存] を選択します。
   - ユーザーのすべての共有権限を削除するには、ユーザーのチェックボックスをオンにして [削除] を選択します。
5. プロジェクトの分析を共有する新しいユーザーを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [**Share**] を選択します。

b. [ユーザー] フィールドで、分析を共有するユーザーを選択します。

c. ユーザーに編集権限を付与するかどうかを選択します。

d. **[Save** (保存)] を選択します。

6. プロジェクトの分析にアクセスする権限を付与するすべてのユーザーに対して、ステップ 5 を繰り返します。

関連トピック

タスクマイニング 解析

ワークステーションユーザーデータの要求

ワークステーションのユーザーデータを要求すると、将来の分析のためにデータを収集して保存できます。

ワークステーションのユーザーデータを要求するプロセスは次のとおりです。

1. タスクマイニングアナリストが従業員センターでデータ要求を送信します。詳細については、「データ収集要求の送信」を参照してください。

   注:

   データを収集する日付を、承認された要求の日付を超えて延長する必要がある場合は、新しい日付でマネージャーの承認を求める新しい要求を作成する必要があります。

2. ワークステーションユーザーのマネージャーは、ワークステーションユーザーデータ収集を有効にするための タスクマイニング アナリストからの要求を承認します。

   詳細については、「ワークスペースユーザーデータ収集を承認」を参照してください。

3. タスクマイニングパワーユーザーは、タスクマイニングプロジェクトを開始する前にデータ要求を監視して、承認が完了していることを確認します。

   詳細については、「データ要求の進捗状況をフォローする」を参照してください。

データ収集要求の送信

従業員センターからデータ要求を完了することで、特定の時間範囲のワークステーションユーザーのデータ収集を有効にします。

始める前に
必要なロール:sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 従業員センター.
2. [データ要求] を検索して選択します。
3. フォームで、フィールドに入力します。

データ要求フォーム

フィールド	説明
名前	要求の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	要求の説明。
開始日	ワークステーションユーザーデータの収集を開始する日付。
終了日	ワークステーションユーザーデータの収集を停止するオプションの日付。
ワークステーションユーザー	ワークステーションデータを収集するワークステーションユーザーの名前。

4. [要求] を選択します。
5. オプション: 確認フォームで、[要求対象] メニューからユーザーを選択し、別のユーザーの代わりに要求を送信します。
6. [要求] を選択します。

結果
データ要求は、承認のために各ワークステーションユーザーのすべてのマネージャーに送信されます。

次のタスク
承認者の場合は、 ワークスペースユーザーデータ収集を承認。

データログ要求の進行状況を追跡する場合は、「 データ要求の進捗状況をフォローする」を参照してください。

ワークスペースユーザーデータ収集を承認

ワークステーションユーザーデータ収集を有効にするための タスクマイニング アナリストからの要求を承認します。

始める前に
必要なロール:approver_user、または タスクマイニング ロール (sn_tm_core.analyst、sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin) のいずれか

このタスクについて
承認要求は、データ収集が要求された各ワークステーション・ユーザーのすべてのマネージャーに送信されます。

手順
1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分の承認.
2. 要求を選択すると、その詳細が表示されます。
3. 要求を承認または却下します。
   - [承認] を選択して、指定されたワークステーションユーザーの定義された日付のデータログ記録を有効にします。
   - [コメント] フィールドに理由を入力し、[却下] を選択して、データログ要求を却下します。

     注: データ要求を却下する場合は理由が必要です。

データ要求の進捗状況をフォローする

データ要求を監視して、 タスクマイニング プロジェクトを開始する前に承認が完了していることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. データアイコン ( ) を選択します。
3. [データ要求] で [すべて] を選択します。
4. 詳細情報を必要とするデータログ要求を選択します。
5. [ステージ] 列で要求の承認の進捗状況を確認します。
   データ要求のステータスは次のとおりです。
   - 承認待ち:少なくとも 1 人のワークステーションユーザーのデータ要求が承認されていません。
   - 要求承認済み:すべてのワークステーションユーザーのデータ要求が承認されました。
   - 要求がキャンセルされました:データ要求が却下されました。
6. 承認待ちのデータ要求をフォローアップしたり、要求が却下された理由を調べたりします。

   a. [番号] 列で要求リンクを選択します。

   b. [承認者] タブを選択します。

   c. データ要求の詳細を確認します。
      - 承認者:データ要求に対応する必要があるマネージャー。
      - ステータス:データ要求のステータス。
      - コメント:データ要求に含まれるワークステーションユーザーの名前、または要求が却下された理由。

7. 処理待ちの要求の進捗を加速したい場合は、プロジェクトの開始が設定される前に承認者に連絡してアクションを促します。

ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する

類似のワークステーションアクティビティを分かりやすいカテゴリ名でグループ化することで、データを整理してコンテキストを追加します。

始める前に
サンプルプロジェクトをマイニングしてワークステーションのアクティビティデータを収集した後、アクティビティの分類を開始します。このサンプルアクティビティデータを使用すると、組織で使用されている正確なアプリケーションとウィンドウの値を使用できるため、分類が容易になります。

必要なロール:sn_tm_core.power_user、sn_tm_core.admin

このタスクについて
4 つの事前定義された分類ルールが提供されており、変更することはできません。最初の 3 つのルールは、非アクティブ時間を分類します。最後に適用される MAX ルールは、どのルールにも一致しない未分類のアクティビティを表し、アクティビティを分類するためのソースです。この未分類のデータは、デフォルトでは匿名化されます。

詳細については、「における分類の概念 タスクマイニング」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > タスクマイニング ワークスペース.
2. アプリケーション分類アイコン (アプリケーション) を選択します。
3. オプション: カテゴリをカテゴリ化ルールフォームで利用可能なリストに追加して、アプリケーションが関連する作業のタイプを記述します。
   たとえば、組織で多くのソーシャルメディアアプリケーションを使用している場合は、「ソーシャルメディア」という名前のカテゴリを作成できます。
   a. [カテゴリ] を選択します。
   b. [カテゴリの作成] を選択します。
   c. [名前] フィールドにカテゴリ名を入力します。
   d. **[Save** (保存)] を選択します。
4. オプション: 組織が分析するすべてのアプリケーションが分類ルールフォームにリストされているかどうかを確認し、不足しているものを追加します。
   このリストにより、分類ルールの作成に使用できるアプリケーション名が決まります。
   「Microsoft Teams」の場合は「Teams」など、わかりやすいアプリケーション名を指定できます。
   a. [アプリケーション] を選択します。
   b. [アプリケーションを追加] を選択します。
   c. [名前] フィールドにアプリケーション名を入力します。
      たとえば、ネイティブ Microsoft Teams アプリケーションのアクティビティとブラウザーでのアプリケーションへのアクセスの両方のアクティビティに「Teams」という分かりやすい名前を追加できます。
   d. **[Save** (保存)] を選択します。
5. 分類するアプリケーションを特定します。
   a. **[MAX]** カテゴリの [プレビュー) を選択します。
   b. [期間 (秒)] 列で最大値を見つけ、アプリケーション名の横にある [ルールの作成] アイコン ([ ) を選択します。
      たとえば、 Microsoft Teams ファイル名のアクティビティを検索するなどして、アプリケーションベースのルールを作成することもできます。

   分類ルールフォームの条件値は、選択したアクティビティレコードに基づいて入力されます。
6. [分類ルール] フォームのフィールドに入力します。

   アクティビティレコードを完全に一致させるには、デフォルトの条件をそのままにしておきます。より一般的なルールを作成するには、フィールドを空のままにして任意の値を許可するか、(.*) を使用して任意の文字数に置き換えます。

   フィールド値の説明については、「の分類ルールフォーム タスクマイニング」を参照して ください。
7. [ルールの保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: アプリケーションに対してより詳細なルールがより一般的なルールの前に適用されるようにするには、より詳細なルールをより一般的なルールの前に配置します。

8. 未分類のアクティビティが合計期間の約 10% 以下になるまで、分類アクティビティの再計算を続行します。

関連トピック

データの表示を絞り込む

タスクマイニング に関する参照情報

参照トピックには、 タスクマイニングに使用する用語、フォーム、および概念に関する追加情報が記載されています。

タスクマイニング とともにインストールされるコンポーネント

テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど、いくつかのタイプのコンポーネントがタスクマイニング アプリケーションとともにインストールされます。

インストールされるロール

タスクマイニングとともにインストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
タスクマイニング アドミン [sn_tm_core.admin]	すべての タスクマイニング システム構成と設定にアクセスします。admin ロールには、パワーユーザーロールが含まれています。	[sn_tm_core.power_user]
タスクマイニング パワーユーザー [sn_tm_core.power_user]	すべての タスクマイニング システム構成と設定にアクセスします。パワーユーザーロールには、アナリストロールが含まれています。	[sn_tm_core.analyst]
タスクマイニング アナリスト [sn_tm_core.analyst]	タスクマイニングプロジェクトを作成して共有し、別のユーザーが共有したプロジェクトにアクセスします。ワークステーションユーザーに対してデータログを有効にするように要求します。	• [canvas_user] • [workspace_user]

インストールされるテーブル

タスクマイニングとともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
タスクダッシュボード [sn_tm_core_dashboard]	ダッシュボードテンプレートの構成と表示される情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクマイニングとともにインストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
権限 [sn_tm_core_permission]	ユーザー、ユーザーグループ、ロール、またはドメインに適用されるプロジェクトの権限に関する情報。
ユーザー情報 [sn_tm_core_user_data]	ワークステーションユーザーにリンクされているワークステーションから収集されたアクティビティ。アプリケーション名、画面名、および URL で集計されたデータログから作成されます。
タスク定義 [sn_tm_core_task_definition]	開始点と終了点を含むタスクの定義。
イベントフィルター [sn_tm_core_event_filter]	エージェントによってフィルタリングされたイベント、アプリケーション名、ウィンドウ名、およびウィンドウクラス名の組み合わせのリスト。これらの組み合わせは、除外してイベントが保存されないようにすることも、ターゲットイベントをブロックリストに登録されたアプリケーションとして置き換えるように置き換えることもできます。
オブジェクト属性 [sn_tm_core_object_attribute]	変更できない置換可能なイベントフィルターオブジェクト属性。
プロジェクトユーザーデータ [sn_tm_core_project_user_data]	プロジェクトに関連する分類されたワークステーションユーザーアクティビティ。
タスクインスタンス [sn_tm_core_task_instance]	タイムスタンプ付きのタスクレコード。
タスクセグメントの割合 [sn_tm_core_task_segment_percentage]	データマイニングで使用されるタスクセグメント測定。
ユーザータスクデータ [sn_tm_core_user_task_data]	データマイニングプロセスで使用されるタスクインスタンスデータと組み合わされたワークステーションデータ。
アプリケーション [sn_tm_core_application]	タスクマイニングアプリケーションのカテゴリ。
タスクマイニングユーザー情報 [sn_tm_core_user]	ワークステーションデータログ要求にリストされているアクティブまたは非アクティブなワークステーションユーザー、およびエージェントが要求、イン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクマイニングとともにインストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
	ストール、またはアンインストールされているかどうかに関する次の情報が含まれています。
イベント翻訳 [sn_tm_core_event_translation]	UI に表示される変更できない単純な言語へのイベントの翻訳。
タスクマイニングプロジェクト [sn_tm_core_project]	タスクマイニングアナリストによって作成されたプロジェクト。
アプリケーションカテゴリ [sn_tm_core_application_category]	タスクマイニングアプリケーションカテゴリの既存のレコード。
タスクマイニング構成 [sn_tm_core_configuration]	アプリケーションで構成可能なパラメーター。
プロジェクトユーザーの匿名化 [sn_tm_core_project_user_anonymization]	関連するプロジェクトおよびワークステーションユーザーへの参照を含むすべてのユーザーエイリアス。
プロジェクトマイニングジョブ履歴 [sn_tm_core_project_mining_job]	マイニングやデータマートの削除など、プロジェクトマイニングジョブに関する情報。
アクティビティ分類ルール [sn_tm_core_activity_categorization_rule]	すべてのアクティビティ分類ルール。テーブルにはデフォルトの固定ルールが事前に設定されており、ユーザーが作成したルールが追加されます。

主要な タスクマイニング 用語

タスクマイニングで使用される主要な用語です。

主要な タスクマイニング 用語

期間	説明
タスクマイニングアプリケーション	データ収集設定とシステムの動作を管理するためのインターフェイス。収集されたデータの処理を処理し、ダッシュボードを提供します。
タスクマイニングエージェント	デスクトップアプリケーションからの特定のイベントをログに記録する、ユーザーのワークステーションにインストールされるサービス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

主要な タスクマイニング 用語 (続く)

期間	説明
データ処理サーバー	ユーザーワークステーションに展開された タスクマイニング エージェントからデータを受信するマルチテナントクラウドコンポーネント。
データ要求	ワークステーションユーザーの上司に対して、ワークステーションユーザーログ、ユーザーデータ、およびユーザーアクティビティの収集を承認する要求。
ワークステーションユーザーログ	ワークステーションユーザーデータ、ワークステーションユーザーアクティビティ、画面情報、画面コンテンツなど、タスクが実行されたときに発生するイベントとアクティビティのレコード。
ワークステーションユーザーデータ	データには、ワークステーションユーザーのログイン名、ドメイン名、IP アドレス、および ワークステーション名が含まれます。
ワークステーションのユーザーアクティビティ	データには、アクティビティのタイムスタンプと説明が含まれます。
画面情報	データには アプリに応じて画面の名前と個人情報が含まれます。
画面コンテンツ	データには GUI オブジェクトが含まれますが、パスワードフィールドは含まれません。
アプリケーションカテゴリ	アクティビティタイプ、アプリケーションカテゴリ、アプリケーション、アクティビティなど、収集されたワークステーションデータのブレークダウン。
マスク	フィールドの元の値を変更された値で置き換えるデータ処理手法。
匿名化	個人を特定できる情報を削除または変更するデータ処理技術。
カテゴリ化	分類ルールは、アプリとウィンドウの情報を分析でどのように表示するかを決定します。
データマート	データマートは、分類ルールが適用されたマイニングデータです。

タスクマイニング によって収集されたデータ

タスクマイニング ワークステーションとユーザーカテゴリのデータを収集します。

収集されるワークステーションユーザーデータのカテゴリ

データカテゴリ	収集される詳細情報
ワークステーションユーザーデータ	• ユーザーログイン名 • ドメイン名

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集されるワークステーションユーザーデータのカテゴリ (続く)

データカテゴリ	収集される詳細情報
	• IP アドレス • ワークステーション名
ワークステーションのユーザーアクティビティ	• タイムスタンプ • アクティビティの説明
画面情報	• 画面の名前 • アプリによって可能な個人情報
画面コンテンツ	• Web 画面に表示される情報 • GUI オブジェクト • 契約番号やクライアント名などの機密データの可能性 • **重要:** タスクマイニング はパスワードフィールドデータを収集しません。

のエージェント設定レコード タスクマイニング

エージェント設定レコードは、ワークステーションエージェントの動作を管理します。

エージェント構成の詳細については、「 エージェントパラメーター タスクマイニング 調整」を参照してください。

エージェント構成レコード

レコード	説明	デフォルト値
エージェント構成の更新頻度	ワークステーションエージェントが構成の更新を確認する頻度を決定します。	30
エージェントのデフォルトステータス	ユーザーがワークステーションにサインインした後のデフォルトのエージェントステータスを決定します。	standard
エージェントイベントプロパティのタイムアウト	GUI オブジェクトプロパティ検索のタイムアウトをミリ秒単位で決定します。	なし
エージェントの再起動チェック頻度	ワークステーションエージェントが再起動をチェックする頻度を秒単位で決定します。	30

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エージェント構成レコード (続く)

レコード	説明	デフォルト値
最大値の長さ	生データの処理中にシステムが受け入れる文字列の最大長を決定します。	1024
プライベートモード許可	エージェントをプライベートモードに切り替えることができるかどうかを決定します。	true
システムトレイアイコンを表示	メニューバーアイコンを表示するかどうかを決定します。	true

の分類ルールフォーム タスクマイニング

類似のワークステーションアクティビティを分かりやすいカテゴリ名でグループ化することで、データを整理してコンテキストを追加します。分類ルールには、アプリやウィンドウからの情報が分析でどのように表示されるかを決定する固定の順序値があります。

分類の詳細については、「 ワークステーションのアクティビティを分類して分析を簡素化する」を参照してください。

カテゴリ設定ルールフォームのフィールド

フィールド	説明
アプリケーション	アプリケーションのファイル名条件。
ウィンドウ名	ウィンドウのウィンドウ名条件。
URL	アプリケーションまたはウィンドウの URL 条件。
ランク	分類ルールが適用される順序を定義する順番。
アクティビティ	ダッシュボードでアプリとウィンドウの使用状況をどのように表示するかを決定します。アクティビティが作業関連かその他かを定義します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 生産的:仕事用アプリケーションに使用されます。 • 非生産的:エージェントがプライベートモードのとき、またはアクティビティがプライベートとして定義されている場合に使用されます。 • ブレーク:ワークステーションがロックされているときに使用されます。 • オフ:ワークステーションの電源がオフのときに使用されます。
カテゴリ	アプリケーションが関連する実行中の作業のタイプ。その他は最大ルールで使用され、どのルールにも一致しない未分類のアプリを表し、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ設定ルールフォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
	デフォルトでは匿名化されるため、[その他] カテゴリは使用しないでください。
アプリケーション	アプリケーションのわかりやすい名前。データを明確に保つために、アプリケーション名は 1 つのカテゴリにのみ関連付ける必要があります。
ウィンドウ名	アクティビティを説明する名前。値を使用して PII をマスクできます。たとえば、[] を使用してマスクし、括弧内で使用される用語に置き換えることができます。このフィールドが空の場合、ワークステーションのウィンドウ名が使用されます。

のシステム構成フォーム タスクマイニング

構成レコードを変更して タスクマイニングを設定します。構成レコードは変更できますが、追加することはできません。

タスクマイニングの構成の詳細については、「タスクマイニングの構成」を参照してください。

タスクマイニング 構成フォームのフィールド

フィールド	説明
構成グループ	設定レコードのタイプを決定します。使用可能なオプションは、[エージェント]、[匿名化]、[保持]、[システム]、または [通知] です。
名前	構成ルールの名前。
説明	構成ルールの説明。
値	構成レコードの値。

のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI

レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットを使用して、コア UIダッシュボードにアナリティクスを表示します。アナリティクスハブのパフォーマンスアナリティクスインジケーターを調べます。

開始

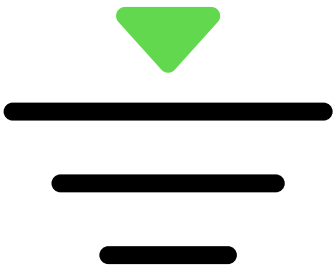
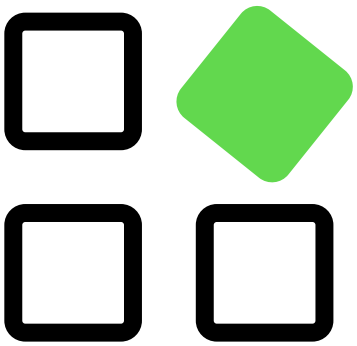
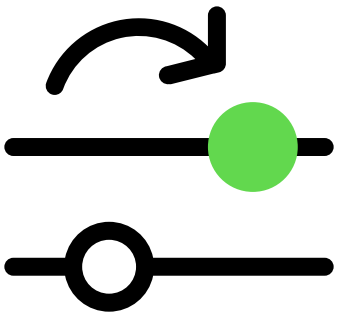
コア UIツールの可視化には、ダッシュボード、レポート、アナリティクスハブなどがあります。これらの可視化により、アドミニストレーターやその他のステークホルダーは、リアルタイムデータを使用してステータスに対処し、傾向を正しく評価できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: まったく新しいインスタンスの場合、コア UI内のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスは、Zurichリリースでプラットフォームアナリティクスエクスペリエンス機能に置き換えられます。

- でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- でのフィルター プラットフォームアナリティクス

レポート データの現在のステータスを可視化して、他のユーザーと共有します。	応答 ダッシュボード ダッシュボードを使用して、組織全体で共有できるデータを含むストーリーを作成します。	インタラクティブフィルター  ダッシュボードのすべてのレポートをまとめて動的にフィルタリングします。
パフォーマンスアナリティクス ウィジェット  重要業績評価指標スコアの可視化を定義して、ダッシュボードで共有するデータの進化を示します。	アナリティクスハブ  アナリティクスハブを使用して KPI の詳細を掘り下げます。	インタラクティブアナリシス テーブルレコードのリストビューで、フィルターされた列のデータを分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート

テーブルデータを可視化して、 ServiceNow インスタンス内の情報の現在のステータスを表示します。可視化をエクスポートするか、ダッシュボードに追加して他のユーザーと共有します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

重要業績評価指標 (KPI) データの視覚的表現を作成します。 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、インジケーターをトレンドライン、列のセット、円グラフなどの可視化に結び付けます。ブレークダウンを使用してインジケータースコアをフィルタリングし、時系列機能を適用してウィジェットを微調整します。

レスポンシブダッシュボード

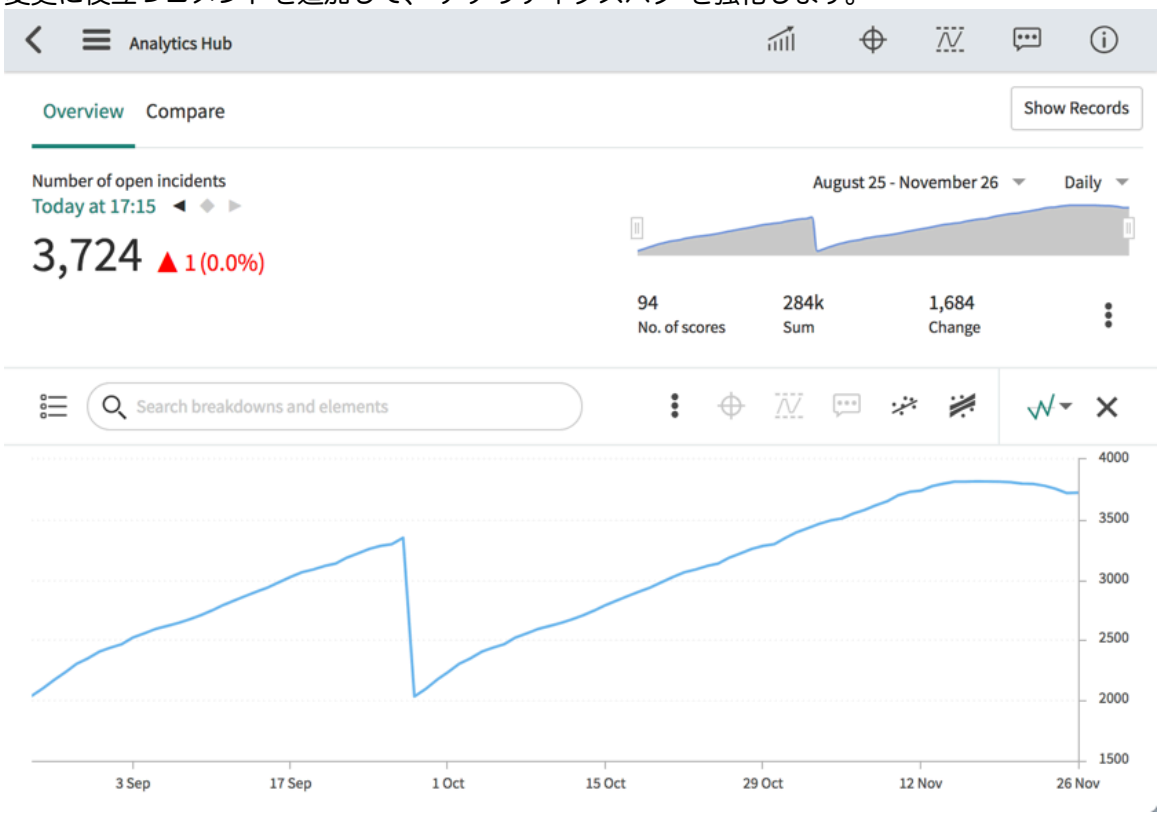
複数のレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを 1 つの画面に表示し、ステークホルダーと共有できるデータでストーリーを伝えます。

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

アナリティクスハブ

データの集計、スコアの比較、経時的な変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に役立つコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。



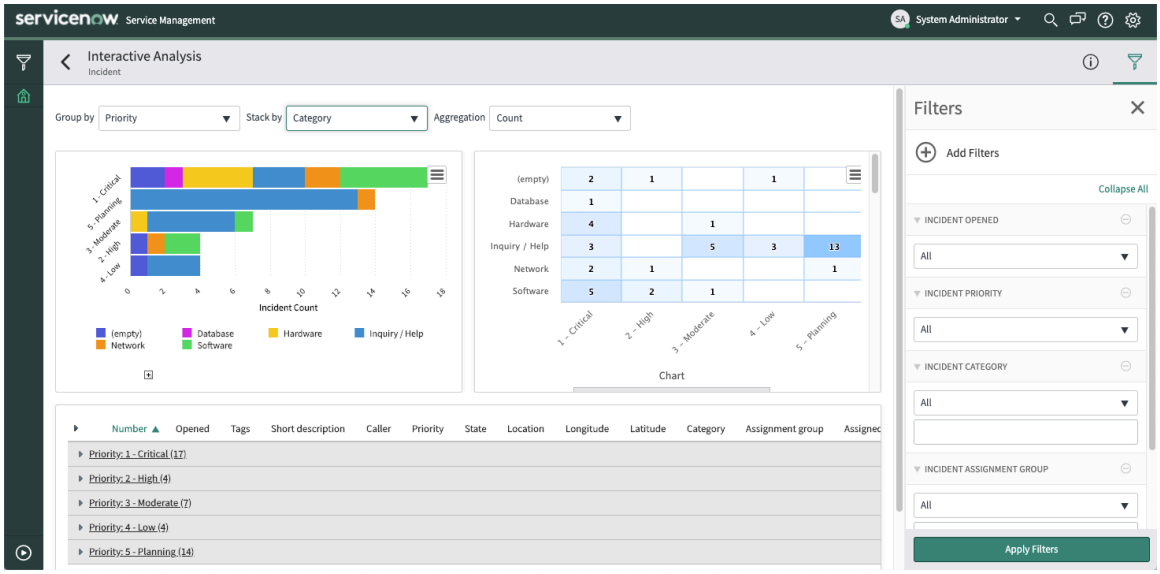
インタラクティブアナリシス

テーブルの複数のレコードにわたってフィールドのデータを動的に分析します。テーブル列のコンテキストメニューから、フィールド内のデータの棒グラフとヒートマップ表現を表示するインターフェ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イスを開きます。データをグループ化する値と、分析するデータをフィルタリングする方法をインタラクティブに選択します。



レポート

ServiceNow® レポート 各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示したレポートを作成して配布できます。デフォルトでは、レポート機能はシステムテーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

注: 新しい Zurich インスタンスとインスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されると、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

コア UI レポート機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

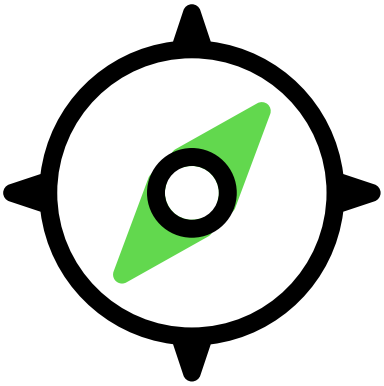
https://player.vimeo.com/video/995179717?h=babfb51a74

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始

探索



ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。

使用方法

レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法の基本を学びます。

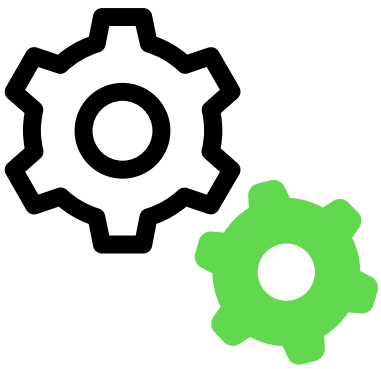
レポートタイプ

レポートタイプと、それぞれの特定のレポートの作成方法の詳細について説明します。

構成と高度な使用法

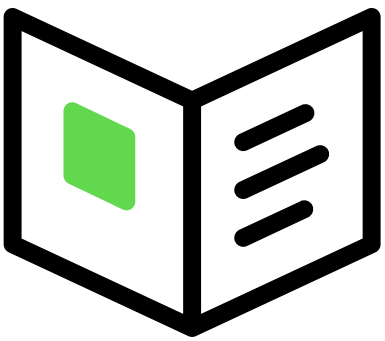
変数に関するレポート、ドリルダウンの構成、および admin ロールを必要としないその他の高度なトピックについて説明します。

管理



権限の設定、統計の設定、および admin または report_admin ロールを必要とするその他のオプションを設定します。

参照



データ集計タイプ、ロール、プロパティ、およびキーボードショートカットを表示します。

トラブルシューティングとサポート

- パフォーマンスアナリティクスとレポートコミュニティで質問する/質問に答える
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートの詳細

デフォルトでは、レポート機能はシステム テーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

レポート の概要

注: 新しい Zurich インスタンスとインスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されると、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ServiceNow® では、各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。

レポート ワークフロー

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

レポート メリット

メリット	機能	ユーザー
レポートを実行して、既存のレポートの現在のデータを表示します。	レポートの表示	itil、report_user、report_group、repo または admin
インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。	レポートの作成	
レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。	[レポート] リストの表示	アドミン
独自のグローバルレポートを作成できないユーザーは、グローバルレポートを変更してから、レポートの個人用バージョンを保存できます。	レポートのコピー	itil、report_user、report_group、repo または admin
使用しなくなったレポートを削除します。	レポートの削除	作成者、アドミニストレーター、または削除するレポートの管理ロールを持つ者
キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。	レポート デザイナーのキーボード ショートカット	

レポートとパフォーマンスアナリティクスの比較

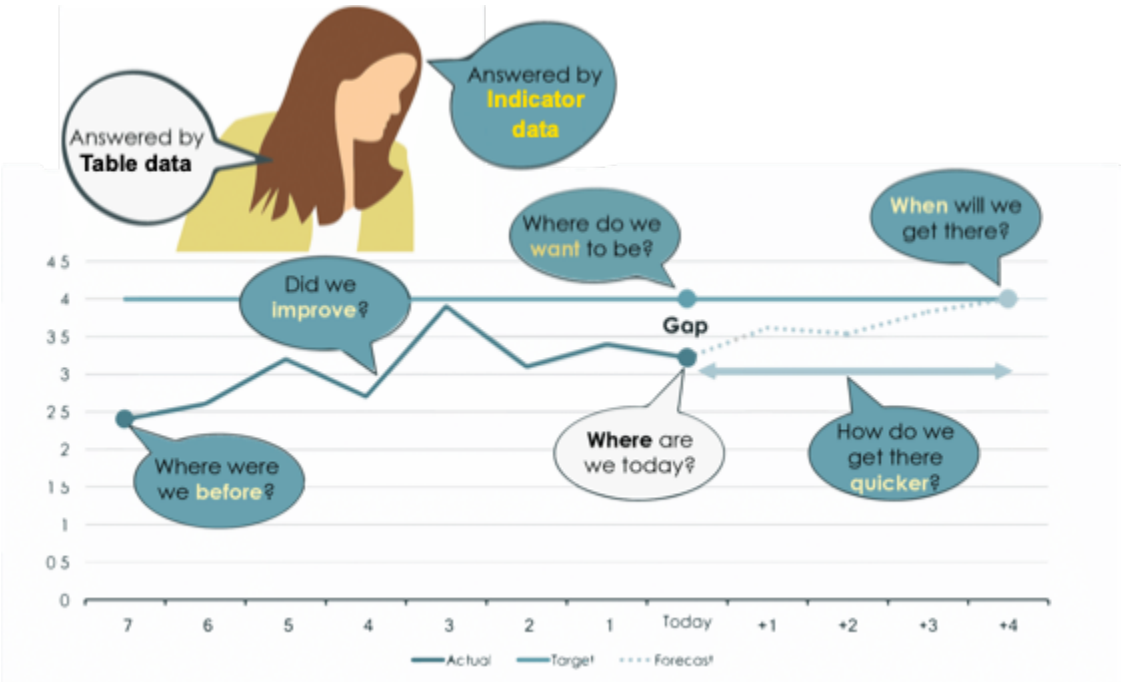
レポート と パフォーマンスアナリティクス は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで連続スナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、テーブルデータは「今日はどこにいるのか」という質問に答え、インジケーターは経時的に何が起こっているかという質問に答えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルデータと パフォーマンスアナリティクス インジケーターに関する一般的なプロセスインサイトの質問



スナップショットから傾向を計算するだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスのメトリクスを使用して価値実現までの時間を短縮します。

パフォーマンスアナリティクス の使用に関する詳細については、パフォーマンスアナリティクス の探索 を参照してください。

レポートの使用

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

注: ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、レポートデザイナーでレポートを作成し、分析センターでデータの可視化を作成できます。レポートデザイナーの詳細については、「レポートの作成」を参照してください。

新しい Zurich インスタンスとインスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されると、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 部下 > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

ServiceNow システムには、インシデント管理やサービスカタログ要求などのアプリケーションや機能に関するデータを提供する一連の定義済みレポートが含まれています。独自のレポートを作成する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

こともできます。ダッシュボードやランディングページにレポートを追加して、組織全体で情報を共有します。

関連トピック

レポートの管理

レポートの表示

レポートデザイナーでレポートを開いて、既存のレポートの現在のデータを表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

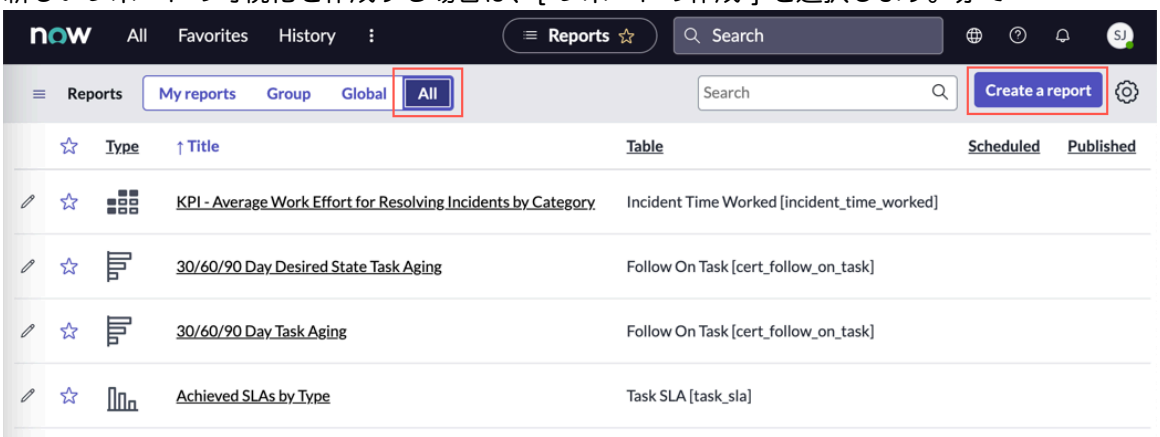
レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 部下 > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 データの可視化の表示」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行 既存のレポートのリストを表示します。
   表示するレポートが表示されない場合は、 [すべて] を選択してレポートの完全な一覧を表示します。

   統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
2. 実行するレポートのタイトルを選択します。
3. 新しいレポートの可視化を作成する場合は、[レポートの作成] を選択します。赤で



結果

レポートがレポートデザイナーに表示されます。

次のタスク

レポートの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

レポートの管理

リストからのレポートの実行

プラットフォームリストから円グラフまたは棒グラフレポートを直接作成できます。レポートのロールがある場合は、これらのレポートを保存、配布、およびエクスポートすることもできます。

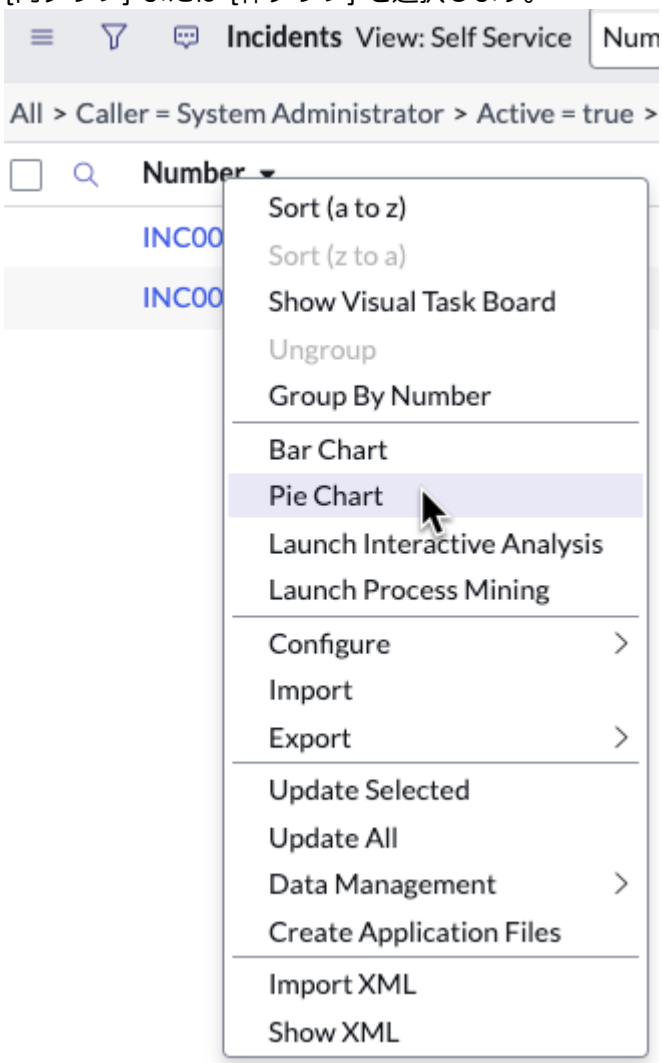
始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

別の種類のレポートを作成するには、「 レポートの作成」を参照してください。

手順

1. リスト (incidents.list など) に移動します。
2. レポートに棒またはスライスとして表示する値を含む列のヘッダーを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。



レポートが生成され、レポートデザイナーで開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート デザイナーを使用してレポートを共有します。
- 他のユーザーと共有するための URL を生成し、レポートを公開します。

関連トピック

円グラフ

縦棒グラフおよび横棒グラフレポート

レポートの作成

インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。

> **注:** まったく新しい Zurich インスタンスでは、report_admin ロールを持つユーザーのみがレポートを作成できます。これらのインスタンスの情報を可視化する場合、またはインスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行される場合は、「 データの可視化の作成」を参照してください。

このタスクについて

レポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

新しいレポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有、レポートのスケジュール設定を行う方法。

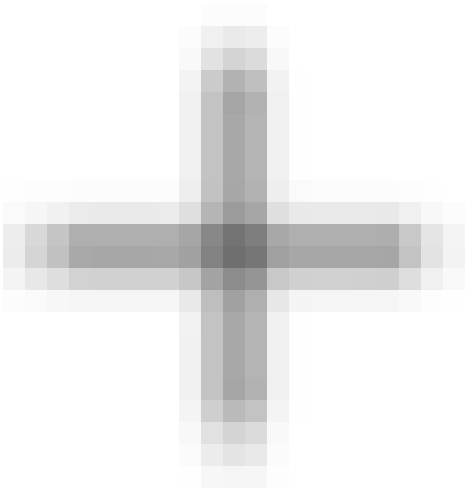
手順

1. 次のいずれかのパスに従います。

オプション	説明
レポートの作成	移動先 部下 > 新規作成.
既存のレポートの編集	移動先 部下 > 表示/実行 をクリックし、レポート名の横にある編集アイコン ( ) をクリックします。
ダッシュボードでのレポートの作成	レポートを追加するダッシュボードに移動し、[ウィジェットを追加] アイコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 ( ) を選択し、[レポート] を選択します。
ダッシュボードでのレポートの編集	レポートが存在するダッシュボードに移動し、[編集] をクリックします。レポートを編集するには、その編集アイコン ( ) をクリックします。

2. [設定] および [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力します。
3. [保存] をクリックします。

   レポートが生成されます。

   注: 特定のレポート タイプの作成の詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

アナリティクス **Q&A** を使用したレポートの作成

レポートデザイナーフォームに質問を入力すると、アナリティクス Q&A によってレポートが生成されます。アナリティクス Q&A では、データソースを選択でき、適切な可視化を選択できます。

始める前に
アナリティクス Q&A には 自然言語クエリー (NLQ) が必要です。

NLQ また、 レポートのプロパティーでレポートデザイナーで使用するためにも有効にする必要があります。アドミニストレーターに確認してください。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがエクスペリエンスに移行されている場合、この機能は使用できません プラットフォームアナリティクス 。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

Internet Explorer を使用している場合は、アナリティクス Q&A Microsoft 利用できません。

必要なロール：なし

このタスクについて
アナリティクス Q&A は次の言語をサポートしています。

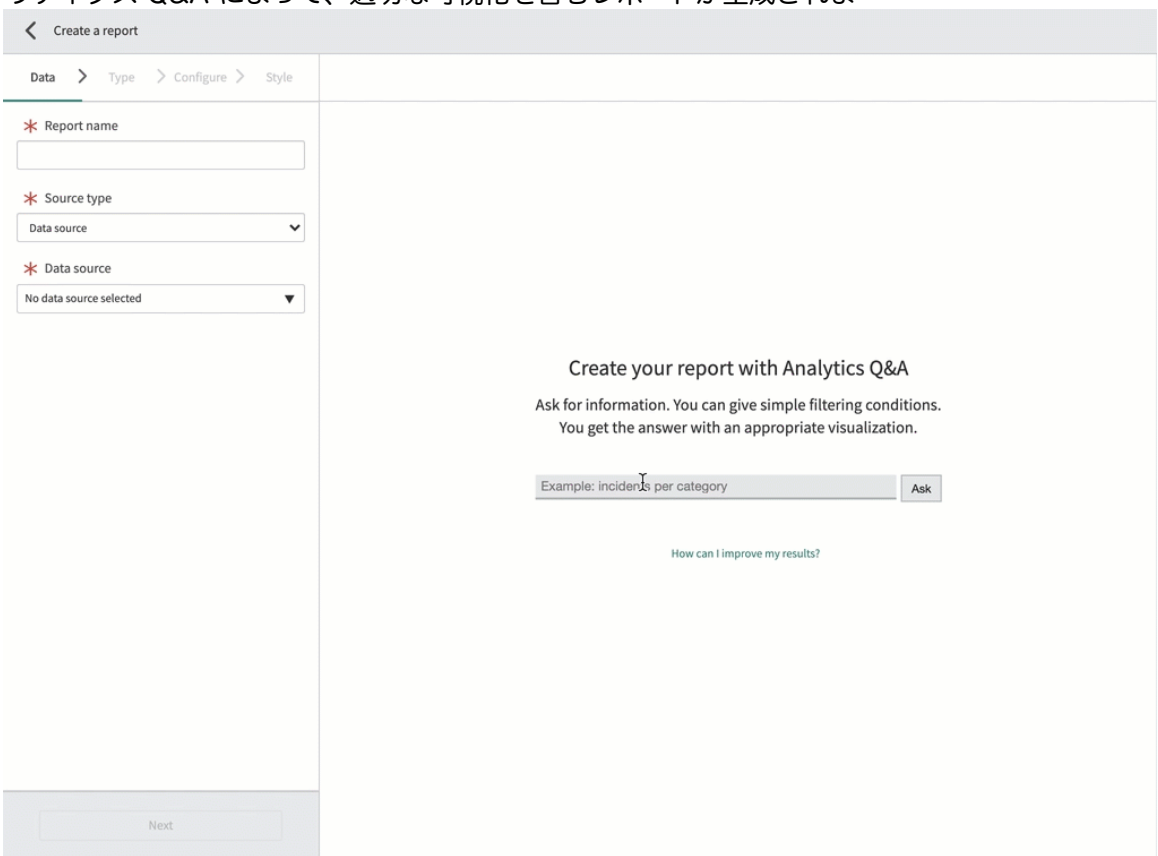
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 英語
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用しているセッションでは使用できません。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 新規作成.
2. レポートに必要な情報を [アナリティクス Q&A] フィールドに入力し始めます。
   アナリティクス Q&A では、クエリ内でキーワードを使用して、探している情報の種類を判断します。これらのキーワードに基づいて、入力中に提案が表示されます。キーワードとその使用方法の完全なリストを確認するには、[結果を改善する方法] をクリックします。
3. [**Ask**] を選択します。
   アナリティクス Q&A によって、適切な可視化を含むレポートが生成されます。



次のタスク

左マージンメニューで、可視化タイプの変更など、レポートを変更できます。新しいクエリを入力して [質問] を選択すると、新しいレポートが生成されます。追加したカスタム可視化はすべてクリアされますが、その他の設定は新しいレポートに保持されます。

関連トピック

アナリティクス Q&A

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

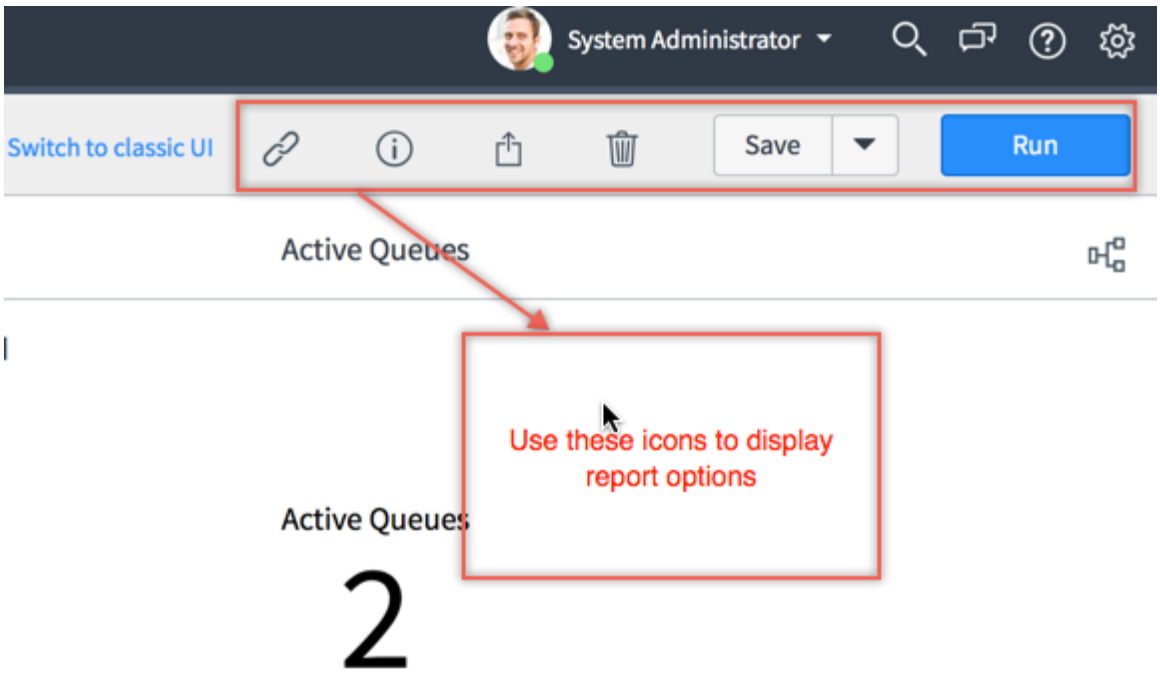
レポートのオプション

フォームの編集時には、レポートについて、保存、共有、実行、削除、または詳細情報を表示するように選択することもできます。

注:

新しい Zurich インスタンスとインスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されると、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

すべてのアクションは、フォームの右上にある [保存] と [共有] の各リスト、[情報]、[削除]、および [実行] の各ボタンから実行できます。使用可能なレポートのオプションは、レポートを操作するユーザーのロールによって異なります。



レポートのオプション

名前	説明
リンク ( )	他の文書にコピーできる保存済みレポートの URL を表示します。
情報 ( )	レポートの一般情報と統計情報を表示します。一般情報には、ベース テーブル、タイプ、作成者、ユーザー、グループ、およびレポートの最終更新日が含まれます。統計情報には、レポートが最後に実行された日時、実行回数、および実行時間が含まれます。
共有 ( )	レポートの出力を共有するための複数のオプションを表示します。
共有	レポートの表示を設定できます。オプションは、[自分]、[全員]、および [グループとユーザー] です。共有の詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。 このオプションは、[共有] アイコン ( ) から使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのオプション (続く)

名前	説明
スケジュール	レポートを実行するためのスケジュールを作成します。 注: カレンダー レポートをスケジュールすることはできません。
ダッシュボードに追加	現在のレポートをダッシュボードに追加します。レポートやその他のダッシュボードの内容を編集する方法の詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
PDF にエクスポート	ダウンロードやメールで送信できる PDF を生成します。このオプションは、カレンダー レポートでは使用できません。 注: ドリルダウン レポートは PDF へエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップレベルのレポートの PDF が生成されます。
公開	レポートの URL を作成し、レポート フォームの上に URL を表示します。この URL をメールで送信してレポートを共有できます。
削除	
削除 ( )	レポートを削除します。
保存	
保存	変更内容をレポートに保存し、フォームを開いたままにします。
更新	変更内容をレポートに保存し、[レポート] リストに戻ります。
挿入	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、[レポート] リストを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
挿入と維持	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、新しいレポートを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
データ ソースとして保存	[新しいレポートソースを作成します] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、レポート条件を他のレポートに再利用できるレポート ソースとして保存することができます。
実行	
実行	選択した条件とレイアウトに基づいてレポートを作成します。

関連トピック

レポートの管理

[レポート] リストの表示

レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。

標準プラットフォームのアクセス制御リスト (ACL) は、レポートリスト内のレポートへのアクセスを管理します。レポートへのアクセスを制御するために使用される ACL の詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

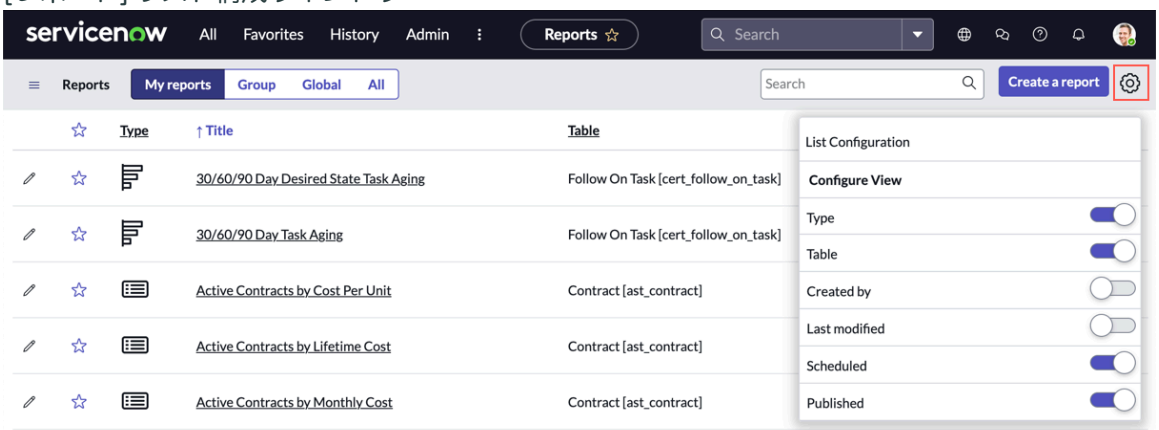
自動翻訳

注: 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。詳細については、「データ可視化ライブラリの詳細」を参照してください。

標準のレポートリストコントロールを使用して、タブ、列見出し、またはお気に入りアイコン (★) を選択することで、検索結果をソートおよびフィルタリングできます。

移動先 すべて > 部下 > 表示/実行 をクリックして [レポート] リストを開きます。[レポートの作成] ボタンの横にある歯車アイコン (⚙) を選択して、[レポート] リストに表示される列を構成します。

[レポート] リスト構成ウィンドウ



次のタブを使用して、[レポート] リストをフィルタリングできます。

[レポート] リスト

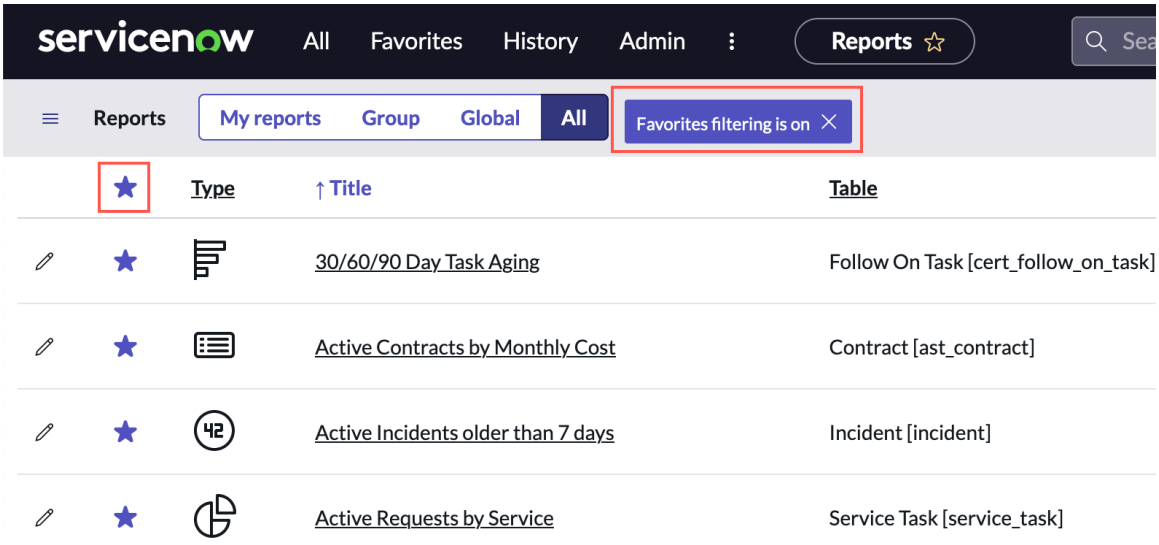
タブ	説明
自分のレポート	自分が作成したレポート。
グループ	自分と、自分がメンバーになっているグループに共有されたレポート。
グローバル	全員が利用できるレポート。
すべて	アクセスできるすべてのレポート (グローバル、グループ、および自分のレポート)。

星形アイコン (★) を選択すると、レポートリストにお気に入りのみが表示されます。[お気に入り] フィルタリングがオンになっている横 の [X] を選択すると、表示が許可されているすべてのレポートが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート リストの表示/作成



report_admin ロールまたは admin ロールを持っている場合は、これらの列が [レポート] リストにも表示されます。

追加の列

列	説明
予約済み	レポートが将来実行されるようにスケジュールされていることを示します。レポートの定期的なメール送信をスケジュールできます。
公開	レポートが公開されている場合、この列にはチェックマーク ( ) が表示されます。

お気に入りのレポートの表示

すべてのレポートを表示するか、またはお気に入りとしてマークしたレポートのみを表示できます。レポートには、自動と手動の両方でお気に入りをマークすることができます。

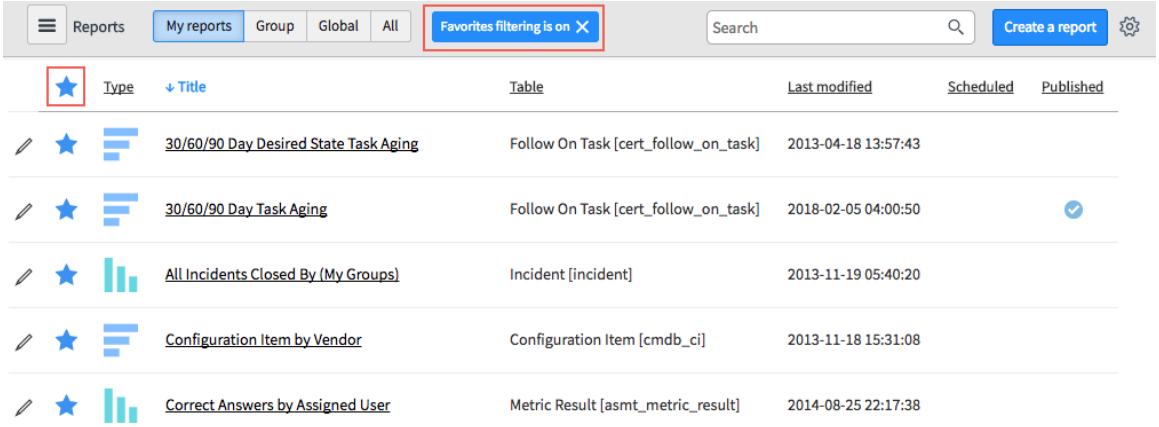
お気に入りのレポートのみを表示するか、すべてのレポートを表示するかを切り替えるには、リスト見出しのお気に入りアイコン ( ) をクリックします。

注: お気に入りのフィルタリングは有効なままになります。前回 [レポート] リストを表示したときにお気に入りだけを表示するように選択した場合は、次回もお気に入りのみが表示されます。お気に入りアイコンをクリックするか、または [お気に入りのフィルタリングはオンです] ボタンをクリックすると、選択したカテゴリで表示する権限を持っているすべてのレポートが表示されます。[自分のレポート] カテゴリは、[レポート] リストを開くとデフォルトで選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのお気に入り



レポートを開くと、レポートは自動的にお気に入りとしてマークされます。レポートのタイトルの横にある星形アイコンをクリックすると、レポートをお気に入りとして手動でマークできます。

レポートのお気に入りとしての自動マークをオフにするには、ユーザー設定 `glide.ui.nav.auto_favorite`を無効にします。詳細については、「 ユーザー設定 」を参照してください。

レポートオーナーを表示

デフォルトではレポートの所有者はレポートリストに表示されませんが、列を追加してレポートを作成したユーザーを示すことができます。通常、作成者は所有者です。

始める前に

必要なロール：admin

> **注:** 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化. 詳細については、「データ可視化ライブラリの詳細」を参照してください。

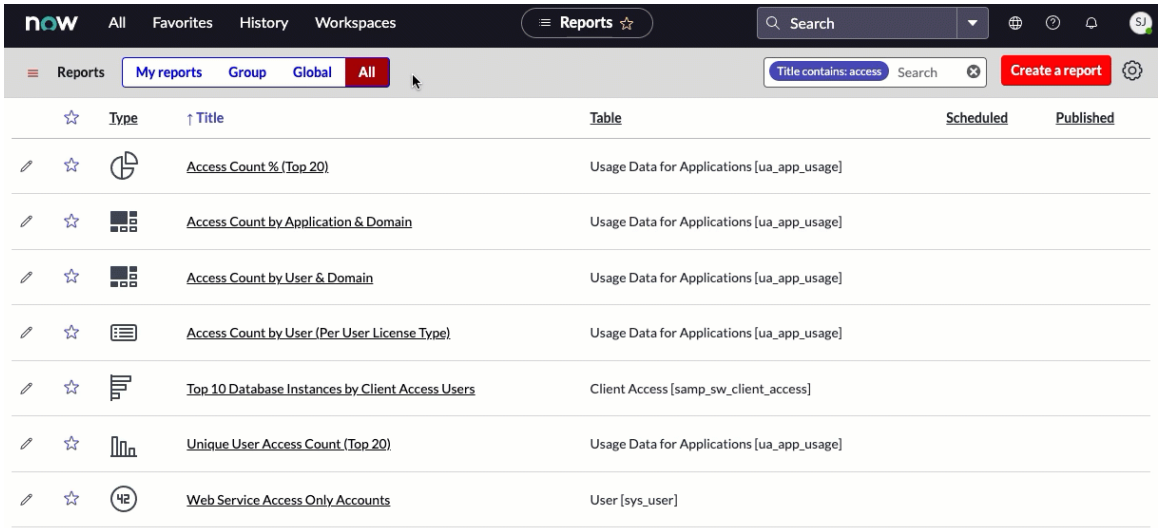
手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. [すべて] を選択すると、レポートの完全なリストが表示されます。
3. 歯車アイコン 歯 を選択して、[リスト構成] メニューを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [作成者] オプションをオンにします。



[レポート] リストの **URL** パラメータ

[レポート] リストの URL にパラメータを追加して、ロード前にリストをフィルタリングすることができます。

注: 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化. 詳細については、「データ可視化ライブラリの詳細」を参照してください。

[レポート] リストの **URL** 構造

URL の構造は、https://<instance-name>.service-now.com/report_home.do?<parameter_name>=<parameter-value> となります。

たとえば、URL https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=MyReports は、[自分のレポート] タブを選択した状態で [レポート] リストを返します。

パラメータ

[レポート] リストの URL では、次のパラメータを使用できます。

パラメータ	可能な値
jvar_selected_tab	指定されたタブが選択された [レポート] リストを表示します。次の値を使用します。 • マイレポート • グループレポート • globalReports • すべてのレポート
jvar_search_table	指定したテーブルに作成されたレポートをフィルタリングします。たとえば、パラメータ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメータ	可能な値
	jvar_search_table=incident は、インシデントテーブルで作成されたレポートのみを表示します。
jvar_list_order_by	次のいずれかの列で、リストをソートします。 • タイプ • タイトル • table • 変更日 • 予定 • 公開済み • createdBy たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_list_order_by=table は、レポートのソーステーブルでソートされたリストを返します。 注: 昇順または降順を指定するには、jvar_list_sort_direction を使用します。
jvar_list_sort_direction	ソートの方向を指定します。 • asc：リストを昇順でソートします • desc：リストを降順でソートします
sysparm_reportquery	指定した値を含む名前でレポートをフィルタリングします。たとえば、sysparm_reportquery=Active は、タイトルに文字列 Active を含むレポートを返します。
jvar_search_created_by	レポートを作成したユーザー。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=allReports&jvar_search_created_by=itil は、ユーザー名 itil のユーザーが作成したレポートを返します。
sysparm_query	プラットフォーム条件ビルダ形式の任意の条件をフィルタリングできます。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?sysparm_query=titleSTARTSWITHPRB&table!=incident です。 詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのコピー

独自のグローバルレポートを作成できないユーザーは、グローバルレポートを変更してから、レポートの個人用バージョンを保存できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

このタスクについて

グローバルレポートをグループレポートまたはパーソナルレポートとして保存すると、プラットフォームによってレポートがコピーされます。レポートのセキュリティステータスは変更されません。

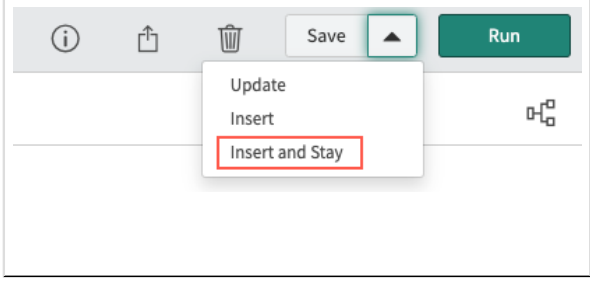
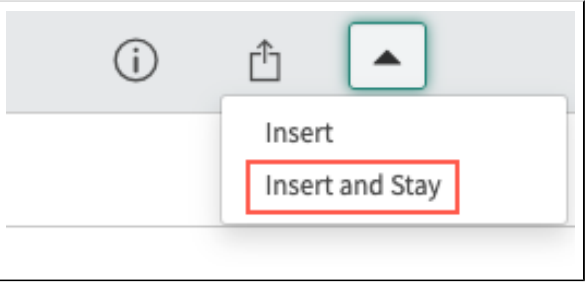
注:

- パーソナルレポートを開いてグループレポートまたはグローバルレポートとして保存すると、セキュリティステータスのみが変更されます。レポート自体はコピーされません。
- [挿入と維持] を選択してレポートをコピーすると、共有設定は新しいレポートにコピーされません。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスが新しい Zurich インスタンスである場合、またはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行された場合は、「 で可視化を複製する 可視化デザイナー」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
   統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
2. コピーするレポートを選択します。
3. [保存] ボタンの横または [共有] アイコン ([ ) の横にある矢印を選択します。
   レポートを変更する権限がある場合は、[保存] ボタンが表示されます。この矢印は、元のレポートを変更する権限がない場合にのみ表示されます。
4. [**Insert and Stay**] をクリックします。

[保存] ボタンを使用	[保存] ボタンなし
	

[挿入と維持] アクションでは、変更可能なレポートのコピーが作成されます。

5. レポートを変更します。
   「レポートタイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: レポートの可視化を変更します。
   レポートフォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[共有] を選択します。

関連トピック

コア UI レポートの共有

レポートの削除

使用しなくなったレポートを削除します。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、レポートの作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートを管理するロールがないユーザーにレポートが共有されている場合、そのユーザーがレポートを管理することはできません。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 での可視化の削除 可視化デザイナー」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
   統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
2. 削除するレポートを選択します。
3. レポートが開いたら、[削除] アイコン ( ) をクリックします。
4. レポートを削除することを確認します。

結果
選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示することはできなくなります。

関連トピック

レポートの管理

複数のレポートを削除

使用されなくなった複数のレポートを削除します。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、レポートの作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートが共有されていて、レポート管理ロールがない場合は、レポートを削除できません。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > すべて.
2. 削除するレポートの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除が許可されていないレポートを選択すると、メニューには削除されるレポートの数が少ないことが示されます。

4. レポートを削除することを確認します。

結果
選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示できなくなります。

関連トピック

レポートの管理

レポートの配布

レポートを配布して、他のユーザーにビジネス情報を提供します。

統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化. 詳細については、「データ可視化ライブラリの詳細」を参照してください。

レポートのアクセス制御

セキュリティ状態を適用し、レポートを表示するユーザーを制御できます。次のようなレポートを作成できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 つまたは複数のロールに表示
- 特定の 1 つまたは複数のユーザーまたはグループに表示

ユーザー、グループ、またはロール別での共有が、レポートを共有する主な方法です。アクセス制御リスト (ACL) を使用して、基礎となるテーブルまたは データベースビュー データへのアクセスを制御できます。ユーザーは、レポートのデータソースまたはソース テーブル内のデータ レコードへのアクセス権がない場合、レポートを表示できます。ただし、レコードをリスト ビューまたはドリルダウン ビューで表示することはできません。データベースビューリストのレポートでは、リスト内のレコードを表示するために、レポートを実行するユーザーがターゲット データの ACL を満たす必要があります。十分な権限がないユーザーには、フィルタリングされたリストのレポートが表示されます。

注: テーブルの ACL が、そのテーブルに基づくデータベース ビューを伝播するわけではありません。データベース ビューには個別の ACL が必要です。

円グラフや棒グラフなどの集計データを表示するレポートでは、レポートを表示するためにターゲット テーブルの ACL を満たす必要はありません。レポート表示方法の一部を選択する場合は、レコードリストを表示するために ACL が必要です。レポートへのアクセス権があってもレコードの一部にアクセスできない場合、そのレコードはレポートのデータのドリルダウン リストまたはリストビューに表示されません。ただし、データの表示方法には含まれます。

ユーザーがグローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存する場合、プラットフォームはセキュリティ状態を変更するのではなく、レポートをコピーします。レポートをコピーすると、独自のグローバル レポートを作成できないユーザーがグローバル レポートを変更して、レポートの個人用バージョンを保存できます。

ユーザーが個人レポートを開いてグループまたはグローバル レポートとして保存しようとすると、レポートをコピーするのではなく、セキュリティ状態が変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

ACL トラブルシューティングリファレンス

ロールの管理

グループの作成

コア **UI** レポートの共有

[レポート] リストでレポートを表示できるユーザーとグループを制御します。

始める前に
必要なロール:report_admin、report_global、または report_group。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスが Zurich リリースの場合、またはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行された場合は、「 でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートを共有できるロールは次のとおりです。

ロール	レポートの共有権限
report_admin	ユーザー、グループ、または全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象として共有できます。 • 任意のユーザー • 任意のグループ • everyone report_adminはレポートを編集することもできます。
report_global	• 全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。 • ユーザーまたはグループと共有されているレポートは共有できません report_globalユーザーは、全員と共有されているレポートを編集することもできます。
report_group	• ユーザーと共有されているレポート、またはユーザーが所属するグループと共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象としてレポートを共有できます。 ○ 任意のユーザー ○ 任意のグループ • 全員またはユーザーが属していないグループと共有されているレポートは共有できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	レポートの共有権限
	report_groupユーザーは、自分がメンバーであるグループと共有されているレポートを編集できます。
report_publisher	共有権限はありません。
report_scheduler	共有権限はありません。
report_user	共有権限はありません。

このタスクについて
次のようにして、レポートを表示するユーザーを制御できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 人または複数のユーザーに表示
- 特定の 1 つまたは複数のグループに表示

注: レポートの権限によって、レポートを共有できるユーザーまたはグループの数が制限されることがあります。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」を参照してください。

レポートを共有するときに、そのレポートに対する編集権限を付与することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行 をクリックし、制御するレポートを選択します。
   統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
2. レポートフォームの右上にある [共有]) をクリックし、[共有] を選択します。
3. [共有設定] ダイアログ ボックスで、フィールドに入力して **[OK]** をクリックします。

共有設定

フィールド	説明
表示対象	レポートを利用可能なユーザー。次のオプションを選択できます。 ○ 自分：ユーザーのみがレポートを表示できます。このオプションは、作成したレポートでのみ使用できます。 ○ 全員：すべてのユーザーがレポートを表示できます。ただし、必要なロールを選択することはできます。レポートを表示できるのは、これらのロールのうち少なくとも 1 つを持つユーザーのみです。 ○ グループとユーザー：特定のグループとユーザーだけがレポートを表示できます。 [グループとユーザー] オプションは、report_group ロールを持つユーザーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ロールが必要	(オプション)ロール [sys_user_role] テーブルのロール。ロールを選択する場合、レポートを表示するには、ユーザーが少なくとも 1 つのロールを持っている必要があります。ロールを選択しない場合は、すべてのユーザーがレポートを表示できます。 必要なロールは、他の方法では全員に表示されるレポートに対してのみ指定できます。特定のグループおよびユーザーと共有するようにレポートを変更すると、必要なロールは適用されなくなります。
グループ	メンバーがレポートを表示する権限を持つグループ。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。
ユーザー	レポートを表示する権限を持つユーザー。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。

4. [共有] ( ) をクリックし、[ダッシュボードに追加] または [公開] を選択します。
5. ダッシュボードを共有するか、公開されたレポートの URL を共有します。
   公開されたレポートの URL は、レポートを共有した任意のユーザー、ロール、またはグループと共有できます。

   レポートを公開するには、プロパティ *glide.report.published_reports.enabled*を有効にします。詳細については、「(従来)レポートの公開」を参照してください。

   レポートを共有するユーザーには、レポートのデータを表示する権限が必要です。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レポートの管理

コア **UI** レポートのメールのスケジュール設定

スケジュール済みレポートを生成し、メールで配布します。

始める前に
必要なロール:report_scheduler、report_admin、admin

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 での可視化の削除 可視化デザイナー」を参照してください。

このタスクについて
スケジュール済みレポートは、PDF、CSV、または XLS 形式で配布できます。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF 形式で配布することができます。マルチレベルピボットレポートは、PDF 形式でのみスケジュールすることができます。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 からデータの可視化をエクスポートする 可視化デザイナー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- カレンダー、マップ、単一スコアのレポートをスケジュールすることはできません。プラグイン *com.snc.whtp* が有効になっている場合にのみ、ピボットテーブルレポートをスケジュールできます。
- ユーザーアカウントが無効になっている個人が作成したレポートには、データが表示されない場合があります。目的のデータが表示されるようにするには、アクティブユーザーがスケジュール済みレポートを再作成する必要があります。
- Oracle DB インスタンスでは、レポートのフィルター条件の組み合わせが 4,000 文字を超えると、スケジュール設定済みメールは生成されません。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > スケジュール済みレポート.
   統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	スケジュールされているレポートの名前。
レポート	スケジュール設定しているレポートへの参照。検索アイコンを使用して、レポートを見つけることができます。 注: 自動メールサポートは、カレンダー、マップ、単一スコアレポートでは利用できません。
ユーザー	スケジュールされた日時にレポートを受信する個々のユーザー。レポートを受け取るためにユーザーレコードで [通知] が [有効] に設定されている必要があります。
グループ	スケジュールされた日時にレポートを受信するグループ。
メールアドレス	インスタンスのユーザーではないレポート受信者のメールアドレスのカンマ区切りリスト。
アプリケーション	レポートを含むスコープ対象のアプリケーションの名前。レポートがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
アクティブ	アクティブな場合、スケジュール済みレポートが配信されます。
実行	スケジュール済みジョブの実行に使用する時間間隔：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 ○ 年内の月および日付:毎年、特定の日と月 (7 月 14 日など) に、指定された時刻に実行されます。 ○ 年内の月、週、曜日:毎年、特定の月の特定の週、特定の曜日 (たとえば、10 月の第 2 月曜日) に、指定された時刻に実行されます。 ○ 月の週:毎月の特定の週 (毎月の第 3 週など) に、指定された日と指定された時刻に実行されます。 ○ 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 ○ 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 ○ 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 ○ **1**回：1 回のみ実行されます。 ○ オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレンダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)]** または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)]** を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。ビジネスカレンダーを選択し、そのすべてのビジネスカレンダースパンが過去のものである場合、それは無効な構成であるため、ジョブは実行されません。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)]** フィールドと [オフセット **(Offset)]** フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「ビジネスカレンダーの作成」および「ビジネスカレンダーエントリの定義」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 ○ なし：スケジュール済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 ○ システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 ○ 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
時刻	スケジュール済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
日	スケジュール済みジョブを実行する日。 ○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 ○ [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例： ○ 4 日ごとにスケジュール済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 ○ 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 ○ 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。
開始中	ジョブの実行を開始する開始期間を定義できます。ジョブは、[実行時間] で指定された時刻に実際に実行されます。カレンダー日時を選択します。[開始] フィールドは、[実行] フィールドで次のいずれかの実行タイプを選択した場合にのみ表示されます。 ○ **Daily** (日ごと) ○ 年内の月および日付 ○ 年内の月、週、および曜日 ○ 月ごと ○ **Once (1** 回) ○ 定期的 ○ 月中の週 ○ 週次 実行タイプが [定期的] の場合、[開始 時刻] は最初にスケジュールされたジョブ生成の日時です。
ビジネスカレンダー	スケジュール済みジョブのビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	で [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)**] または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)**] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 ○ 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ **--** なし **--**:このジョブをスケジュールするときに時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースのビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュール設定できます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。 ○ [オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [過去 **(Past)**] を選択します。 ○ [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 ○ [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)**] フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール済みジョブの数値の優先度： ○ 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 ○ 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 ○ すべてのスケジュール済みジョブの 70% 以上が 期限切れの場合、100 を超える値でマークされているジョブは実行されません。
条件付き	有効にすると、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
レコードがない場合は省略	有効にすると、空のレポートは配布されません。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow プラットフォームのスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	⚠ **警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	(オプション) レポートにメッセージを追加します。 レポート出力タイプが埋め込み PNG の場合 ○ メッセージ本文でタグ ${report:png} を使用して、メッセージ内にレポートを配置します。それ以外の場合、レポートはメッセージの下部に表示されます。 ○ タグ ${report:include_with} を使用して、メールに含まれる他のレポートを配置します。それ以外の場合、これらのレポートはメッセージの下部に表示されます。
タイプ	レポートの出力タイプ。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF ファイルにすることができます。リストレポートは、PDF、Excel、または CSV ファイルにすることができます。 グラフィカルレポートをスケジュールするときは、**[PDF]** または **[PDF - 横向き]** 出力タイプを選択し、チャートのグリッドデータを含めることができます。データレポートをスケジュールするときは、**[Excel]** または **[CSV]** 出力タイプを選択します。 レポート可視化をメールの本文に埋め込むには、[埋め込み **PNG**] を選択します。大きな画像はメールに合わせてスケールされます。 詳細については、「レポート出力形式」セクションを参照してください。 ℹ **注:** PDF 出力では、マルチレベルピボットのレポートをスケジュールすることのみが可能です。
Zip output	選択すると、レポートが zip ファイルの添付ファイルとしてメールに送信されます。
一緒に含める	メールに含める 1 つ以上の追加レポート。メール内でレポートを並び替えることはできません。検索アイコン🔍を使用して、他のレポートを見つけることができます。
ページサイズ (マルチレベルピボットのレポートのみ)	A3、A4、レター、リーガルサイズからお選びいただけます。別の用紙サイズを指定するには、[カスタム] を選択し、[ページの高さ] と [ページの幅] をピクセル単位で入力します。
ページの高さ (ピクセル) (マルチレベルピボットのレ	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの高さに 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ポートのみ)	
ページの幅 (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの幅に 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
スケジュール済みメールレポートを編集するには、[スケジュール済みレポート] リストからそれを開きます。レポートを削除するには、[スケジュール済みレポート] リストからその行を削除します。

レポート出力形式

特定の出力形式でレポートをエクスポートできます。これらのレポートを定期的にエクスポートするようにスケジュールできます。

レポート出力形式

レポート形式	説明
PDF	縦または横向きで PDF を生成します。PDF レポートには、チャートグリッドデータが含まれます。マップレポートは PDF 形式にエクスポートできません。 注: マルチレベル ピボット テーブル を PDF にエクスポートするには、Webkit HTML to PDF プラグイン (com.snc.whtp) を有効にする必要があります。
Excel	レポートの可視化は、Microsoft Excel (XLS) スプレッドシートとしてエクスポートされます。
PNG	レポートの表示方法は、ポータブルネットワークグラフィック (PNG) ファイルとしてエクスポートされます。スケジュール 済みレポートメールにレポートを画像として埋め込む方法 も参照してください。
CSV	カンマ区切り値 (CSV) プレーンテキストファイルとしてエクスポートされたレポートの表示方法。

「別のユーザーとして実行」ユーザーおよびスケジュール済みレポートのメール

ドメインセパレーションインスタンスを使用している場合、スケジュールレポートは「別のユーザーとして実行」ユーザーの権限を使用して生成されます。

デフォルトでは、スケジュール設定済みメールレポートを設定するユーザーは「別のユーザーとして実行」ユーザーです。このユーザーのドメインアクセスと report_view ACL 権限は、スケジュール済みレポートの生成時に適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みレポート内のデータが予想と異なる場合、スケジュール済みレポートを設定したユーザーは適切な「実行ユーザー」ではありません。アドミンまたは report_admin は、別の「実行ユーザー」を指定できます。

⚠ 警告: 「別のユーザーとして実行」ユーザーには、レポートをスケジュールするための適切な report_view ACL 権限が必要です。このユーザーの設定にはセキュリティ上のリスクがある可能性もあります。「別のユーザーとして実行」ユーザーを設定する場合は、カスタマーサービス & サポート に相談することを検討してください。

関連トピック

report_view のアクセス制御

レスポンシブダッシュボードへのレポートの追加

関連するレポートやウィジェットをダッシュボード上に組み合わせることで、アクション可能な意思決定が加速します。レポートやウィジェットに 1 つずつ移動すると時間がかかり、効率が良くありません。

始める前に

必要なロール:レポートを作成できるユーザーは誰でも、レスポンシブダッシュボードにレポートを追加できます。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスが新しい Zurich インスタンスである場合、またはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行された場合は、「 インラインエディターの一般的なダッシュボードタスク」を参照してください。

レポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。 新しいレポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有、レポートのスケジュール設定を行う方法。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. 追加するレポートを選択します。
3. [共有] アイコン ( ) をクリックし、[ダッシュボードに追加] を選択します。
4. レポートを追加する [ダッシュボード] および [タブ] を選択します。
5. **[Add** (追加)] を選択します。
   上側にあるダッシュボードにウィジェットが追加され、ダッシュボードが開きます。
6. オプション: [編集] を選択して、ウィジェットを移動またはサイズ変更します。

レポートを **PDF** にエクスポートする

レポートを PDF にエクスポートして、 ServiceNow インスタンスの外部で使用できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。エクスポートされたレポートの情報は、アクセス権を持つ情報のみです。

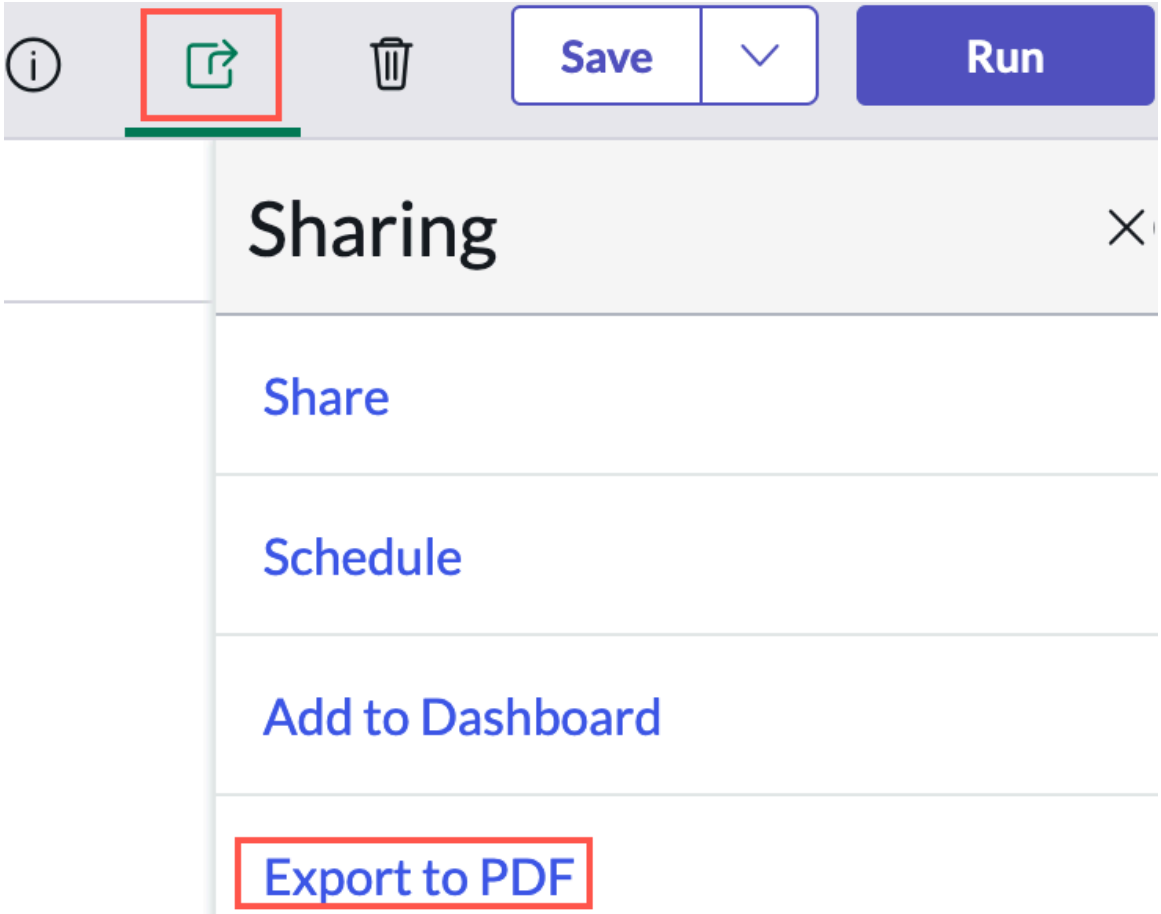
手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行 をクリックし、エクスポートするレポートを選択します。
   統一アナリティクスが有効になっているインスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータの可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 トピック からデータの可視化をエクスポートする 可視化デザイナーの指示に従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. [共有] アイコン ( ) を選択し、[**PDF** にエクスポート] を選択します。



   a. PDF の向き、 縦 向きまたは 横向きを選択します。

   b. PDF を生成するか、1 人の受信者にメールで送信するかを選択します。

3. 配送方法を選択します。

   [今すぐ生成] を選択して PDF を作成し、ダウンロードを受け取ります。

   PDF を 1 人の受信者に送信するには、[メールとして送信] を選択します。エクスポートされたレポートの複数のアドレスへの配信をスケジュールするには、「 コア UI レポートのメールのスケジュール設定」を参照してください。

4. **[Export** (エクスポート)] を選択します。

結果
エクスポートが完了すると、ダウンロードリンクまたはエクスポートが受信者に配信されることを示すメッセージが表示されます。

(従来)レポートの公開

レポートを公開して、ユーザー以外の人を含め、誰でもレポートにアクセスできる URL を作成します。誰かがその URL に移動すると、インスタンスから現在のデータでレポートが生成されます。レポートは公開が中止されるまで利用可能です。

始める前に

危険: 権限のないユーザーにデータが公開されるリスクがあるため、この機能はデフォルトで非アクティブになっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この機能を使用するには、システムプロパティ *glide.report.published_reports.enabled* を true に設定する必要があります。

必要なロール:report_publisher、report_admin、または admin

このタスクについて
ユーザーがレポートの公開 URL をたどったときに表示される内容には制限があります。

- グラフィック レポートとして表示され、ビジネスルールに制限されていないデータは、公開されたレポートに常に表示されます。リスト レポートを除くすべてのレポートは、グラフィック レポートです。
- 読み取り ACL はリスト レポートの内容を管理します。ユーザーは、アクセス権のないレコードを表示できません。
- 公開されたレポートへのアクセス権を持つ公開ロールでは、ログインしていないときにレポートに表示される元のデータのより小さなサブセットが表示される場合があります。予想されるすべてのデータを表示しない公開レポートの解決については、 KB 記事KB0736982 を参照してください。

admin または report_admin ロールを持つユーザーは、レポートが公開されているかどうかを確認できます。移動先 部下 > 表示/実行でレポートを開き、 共有 アイコン ( ) をクリックします。[共有] メニューに [公開] オプションがある場合、レポートはまだ公開されていません。[共有] メニューに [公開を中止] オプションがある場合、レポートは公開されています。

注: ログインしているユーザーのみがレポートを使用できるようにするには、[共有] 設定を [全員] に設定しますが、公開はしないでください。

手順
1. 移動先 部下 > 表示/実行.
2. 公開するレポートをクリックします。
3. レポートフォームの右上にある [共有]) をクリックし、[公開] を選択します。

   リンクアイコン ( ) が [レポートオプションアイコン (Report option icons)] メッセージとともに表示されます。このアイコンをクリックし、公開されたレポートへのリンクを表示します。このリンクは、レポートが公開されている限り利用できます。

   注: ビジネスルールは、公開レポートのレコード収集方法に影響を与える可能性があります。

レポートの公開中止
公開されたレポートは、公開を中止するまで公開されている URL で利用できます。

始める前に
必要なロール:report_publisher と report_user、report_admin、または admin の両方。

手順
1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. 公開を中止するレポートを選択します。
3. レポートフォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[非公開] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果

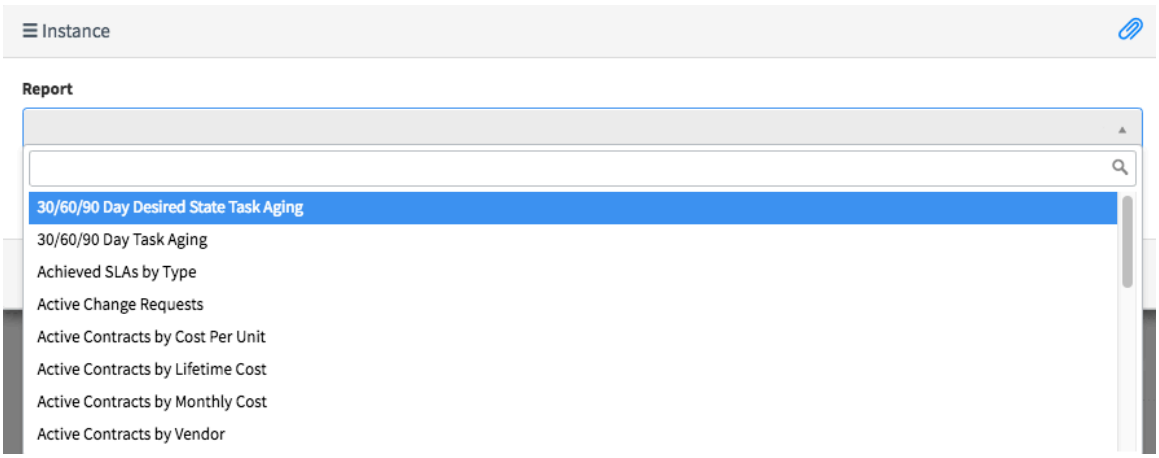
レポートは公開されなくなり、未公開のレポートのレポートデザイナーからリンクアイコン ( ) が削除されます。

サービスポータルに関するレポート

サービスポータルを使用してレポートを表示します。

ポータルを編集するときは、レポート ウィジェットを追加します。ウィジェットのオプションを使用して、サービスポータルに表示するレポートと、レポートのタイトルを表示するかどうかを指定します。

レポート ウィジェット



レポート ウィジェットを使用すると、リスト レポート以外のすべてのレポート タイプをポータルに表示できます。代わりに 簡易リストウィジェット を使用してください。

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットプラグインのアクティブ化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に

必須ロール：admin

このタスクについて

Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

パフォーマンスアナリティクスとレポートのプラグイン - サービスポータルウィジェット

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

> **注:** ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連トピック

プラグインのリスト

レポートタイプ

作成できるさまざまなタイプのレポート、作成するタイミングおよび作成方法について説明します。

レポートの可視化を作成および構成する方法については、この 4 分間のビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1107907024?h=7e0f8fc448&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

以下のタイプのレポートを生成してカテゴリ別に整理することができます。

- 棒グラフレポート：データ次元どうしでスコアを比較することができます。
- 円グラフレポートとドーナツグラフレポート は、1 つの丸い形状を使用して、データセットの部分と全体の関係を視覚化します。
- 時系列レポート：データの経時変化を可視化します。時系列レポートでは、インスタンス内のデータやインポートしたデータ ソース内のデータだけでなく、MetricBase のデータを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション 」を参照してください。
- マルチディメンション レポート：次元どうしでデータを 1 つの表またはグラフに可視化します。
- スコア：単一のデータ ポイントを、範囲全体にわたって、または単一の値として可視化します。
- 統計レポート：中央値や平均値などの統計値でデータを可視化します。
- その他のレポート：カレンダー、マップ、リストなどがあります。

レポートデザイナー内で自然言語クエリ (NLQ) を使用してレポートを生成することもできます。[NLQ] フィールドに質問を書き込むだけで、レポートデザイナーが適切なタイプのレポートを生成します。

棒グラフレポート

	レポート	説明
	縦棒グラフおよび横棒グラフレポート	垂直または水平の棒グラフが、それぞれの値に比例した長さで表示されます。
	パレート図レポート	棒グラフレポートと線グラフのレポートを組み合わせて、多数の要素の中で最も重要な要素を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフレポート (続く)

	レポート	説明
	ヒストグラム レポート	値の範囲内にあるデータ ポイントの数を示すことによって、数値データを視覚的に解釈します。

円およびドーナツグラフレポート

	レポート	説明
	円グラフ	全体を表す円を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	ドーナツ グラフ レポート	全体を表すドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	半ドーナツグラフレポート	全体を表す半ドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。半ドーナツグラフレポートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。

時系列レポート

	レポート	説明
	縦棒グラフ レポート	1 つまたは複数の値を割合を表す縦棒として表示し、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	線グラフ レポート	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	ステップ ライン レポート	一連のデータポイントを横線と縦線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	面グラフ レポート	線グラフに似ていますが、一般に軸と線の間の面を色付けして強調します。
	スプラインレポート	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプラインレポートでは、既知のデータポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。

マルチディメンションレポート

	レポート	説明
	マルチレベル ピボット テーブル	複数の測定基準で分割された集計データを 1 つのグラフに表示します。
	ヒートマップ レポート	色を使用してさまざまな値を表現し、集計データをマトリクスとして表示します。
	バブル レポート	1 つのグラフに複数の測定基準を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア

	レポート	説明
	スピードメーターレポート	現時点でのインジケーターのカウントの概要を円形のメーターの形で表示します。
	目盛りレポート	測定するインジケーターのカウントの概要を半円で表示します。スコアが表示される部分は色で塗りつぶされます。
	単一スコア レポート	ビジネスにとって重要な単一の集計値を表示します。

統計分析の可視化

	レポート	説明
	コントロール レポート	データを一連の点のつながりとして表示し、ビジネスプロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断して、外れ値を特定します([その他のレポート] セクションにあります)。
	傾向レポート	1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。傾向の直線または曲線によって、変化の一般的なパターンが明らかになります([その他のレポート] セクションにあります)。
	ボックス レポート	データセットの値の分布を示し、統計的な平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。
	Trendbox レポート	データセット内の値の分布を示し、指定した期間の統計平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。

その他のレポート

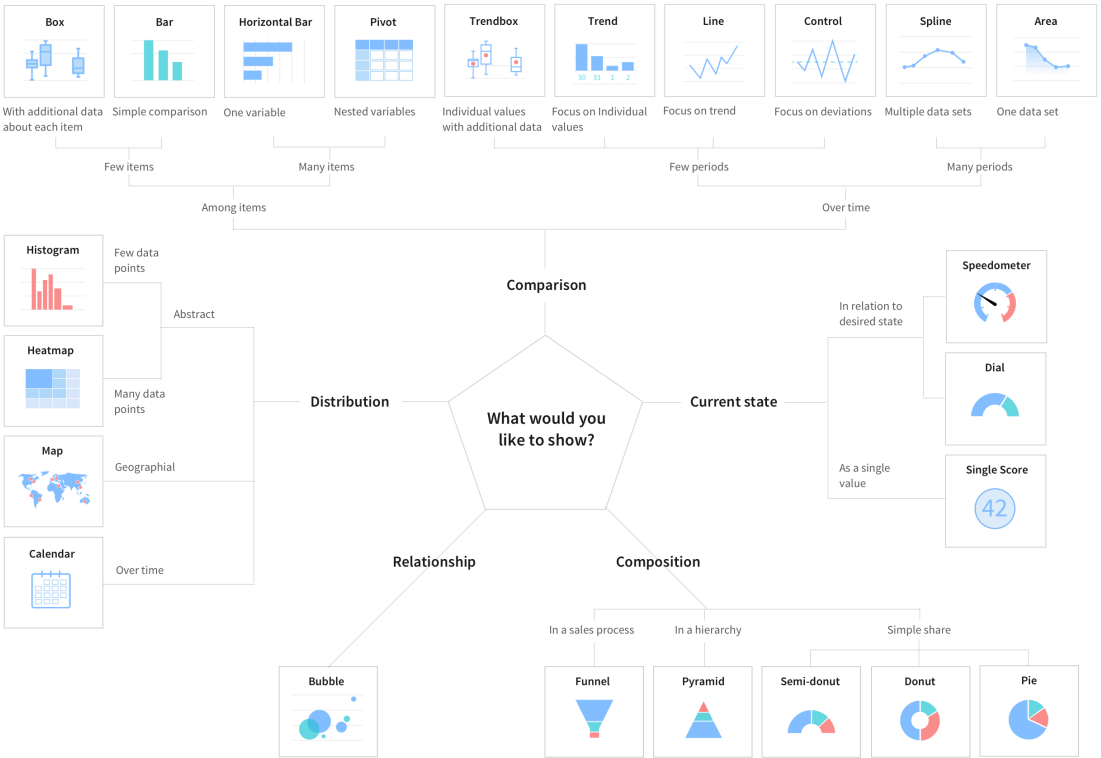
	レポート	説明
	じょうごグラフレポート	値を、段階的に減少する割合として表示します。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します
	リストレポート	標準のServiceNow リストコンポーネント に似た拡張可能なリストの形式でデータを表示します。
	カレンダー レポート	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。
	マップ レポート	データを地図画像に表示します。
	ピボットテーブル	表からデータを集計して、要約したデータのソースを表示します。この機能はマルチレベルピボットレポートに拡張されています。
	ピラミッドレポート	長方形の代わりにピラミッドの区分けを使用して、棒グラフレポート上での変動を可視化します([その他のレポート] セクションにあります)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートタイプの選択

データで伝えるストーリーに基づいてレポートタイプを選択します。



面グラフ レポートとスプライン レポート

面グラフ レポートは、関連する属性の時間経過による傾向を示します。スプラインレポートは、一連の既知のデータ ポイントを曲線で結び、1 つ以上の値がどのように変化するかを示して、個々のデータ ポイントの傾向を強調します。

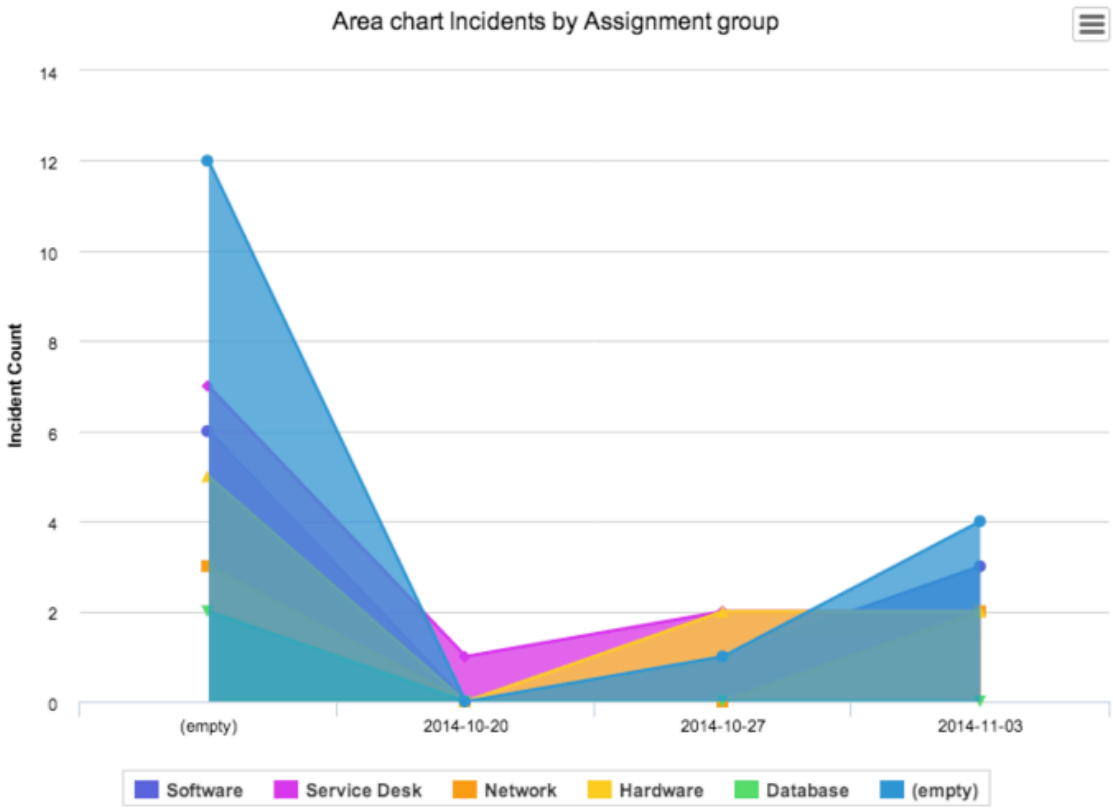
たとえば、インシデント数を表す面グラフ レポートやスプライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 さまざまな時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポート

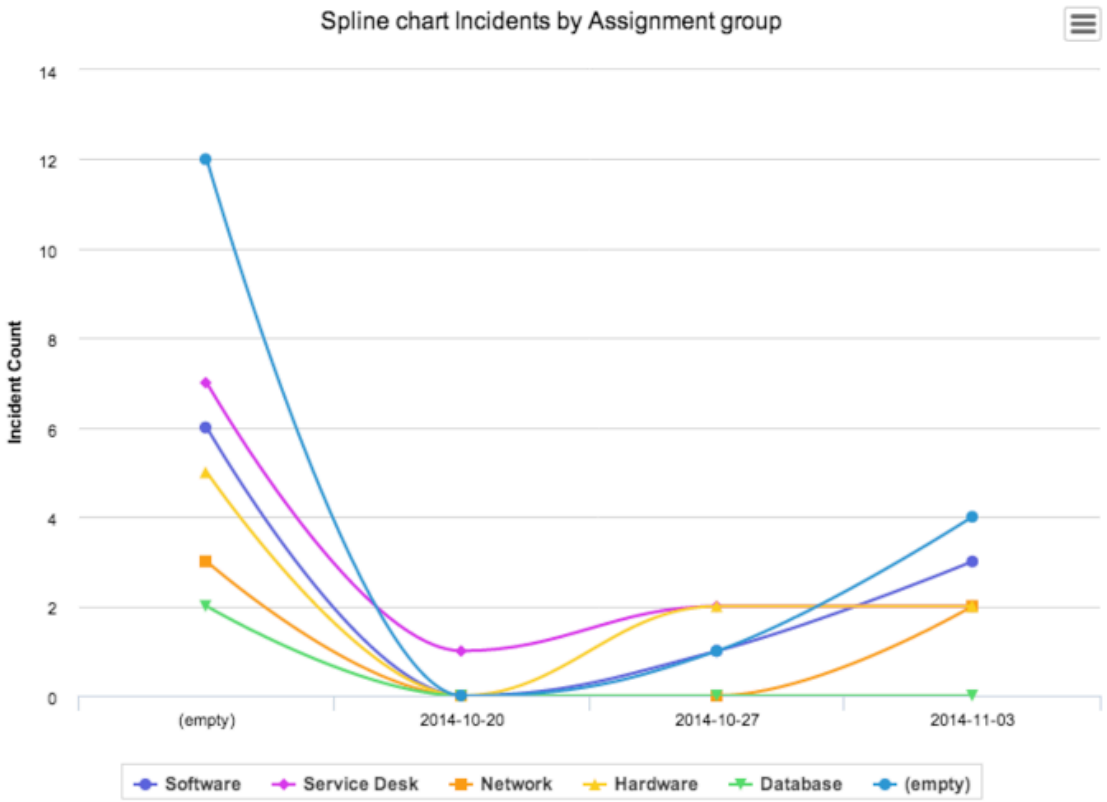


注:

複数のデータ セットを含む面グラフ レポートのセクションどうしが重なっている場合、個々のセクションにドリルダウンすることはできません。ドリルダウンするには、凡例内のアイテムをクリックしてレポートからクリアします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン レポート



注: このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの時系列レポート」と「モバイルダッシュボードプレビュー」を参照してください。

面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成する

関連する属性の経時変化を表示する面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成します。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

エリアレポートのユースケースの場合は、 時系列データの可視化の例。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「面」または「スプライン」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールド	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
を構成	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。、標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメントを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

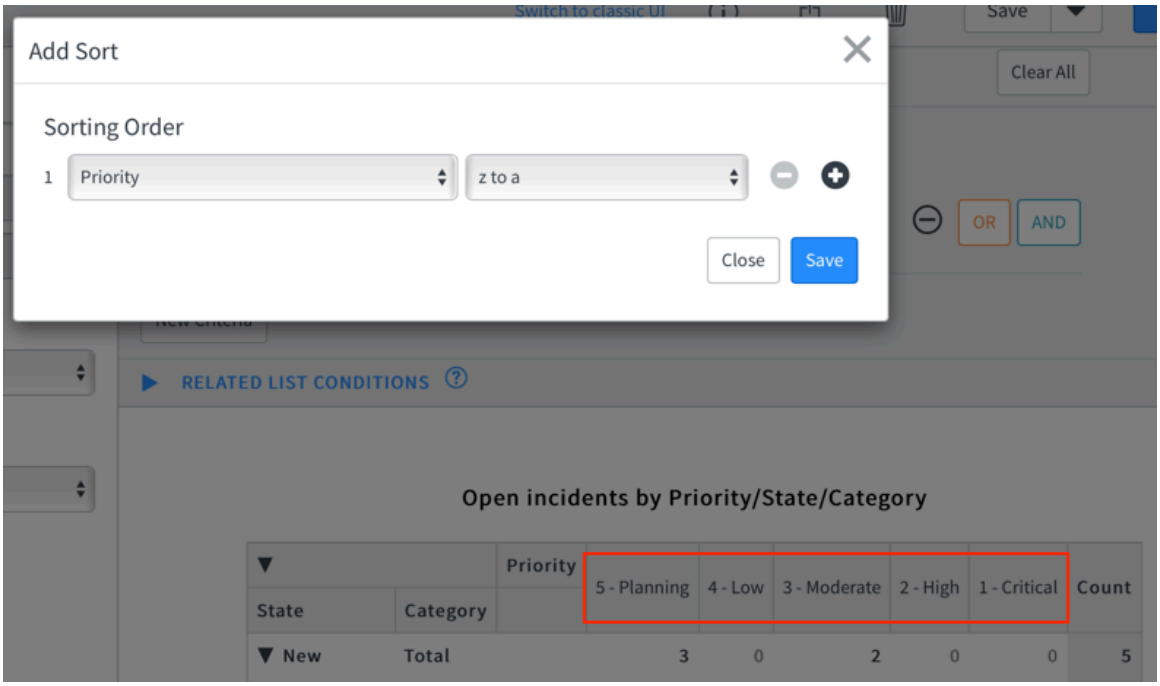
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

面グラフ レポートまたはスプライン レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステムカラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[チャートのカラースキーム] または [色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。
マーカーを表示	各データポイントに記号を表示するオプションを有効にします。
カスタムグラ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

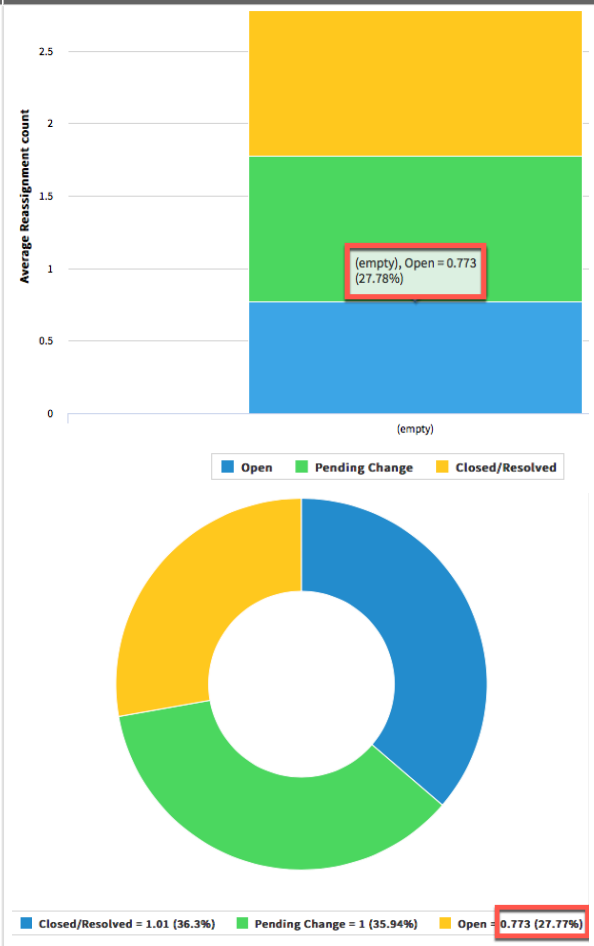
面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
フサイズ	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 **注:** • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ○ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ○ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

縦棒グラフおよび横棒グラフレポート

縦棒グラフおよび横棒グラフレポートでは、データディメンション全体で個々のスコアまたはアグリゲートスコアを比較します。縦棒グラフレポート列は x 軸を基準とし、横棒グラフレポート列は y 軸を基準としています。

棒グラフは、データを横棒または縦棒の形式で表示します。棒はそれぞれ特定のカテゴリのデータを表します。棒グラフでは、1 つの色ですべてのカテゴリのデータを表すことも、カテゴリごとに異なる色で表すこともできます。

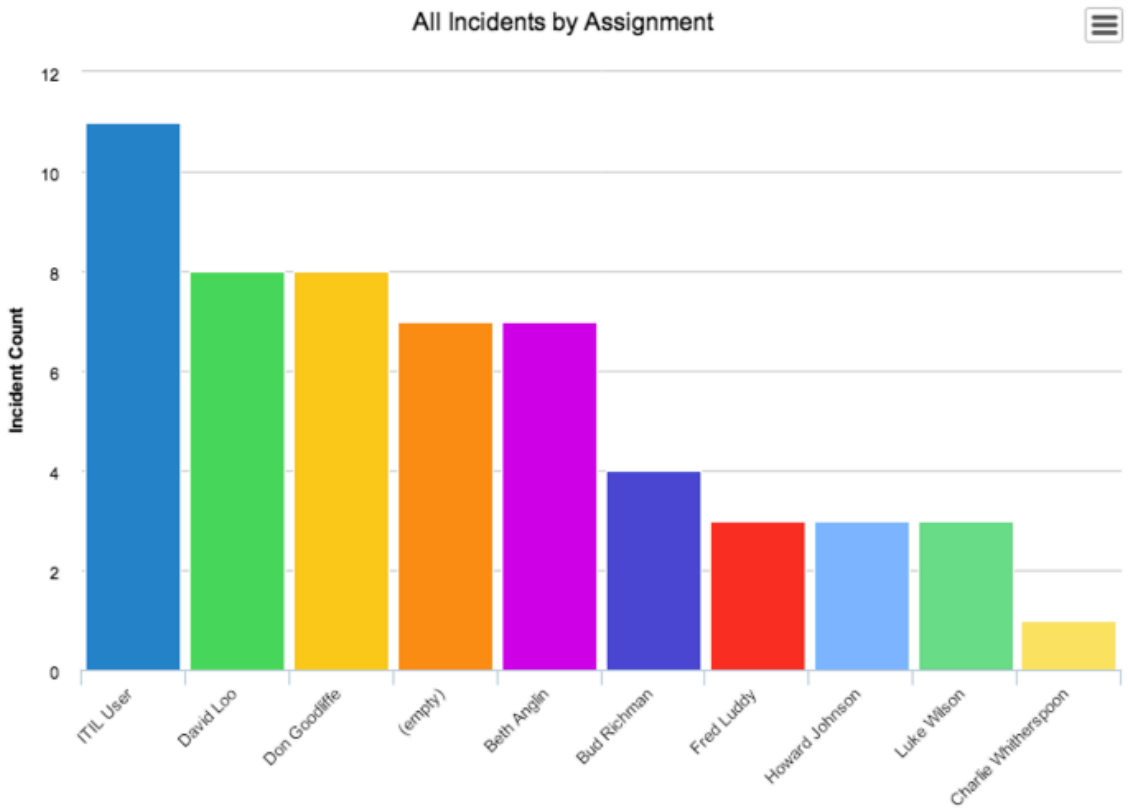
注: 垂直棒グラフレポートはモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの棒グラフレポート」と「モバイルダッシュボードプレビュー」を参照してください。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「水平または垂直バーのデータ可視化を作成」を参照してください。

次の図は、個別のカテゴリのデータを表示する棒グラフ レポートの例です。レポートには、レポートが生成されるまでに記録されたすべてのインシデントの「インシデント[incident]」テーブルのデータが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポート

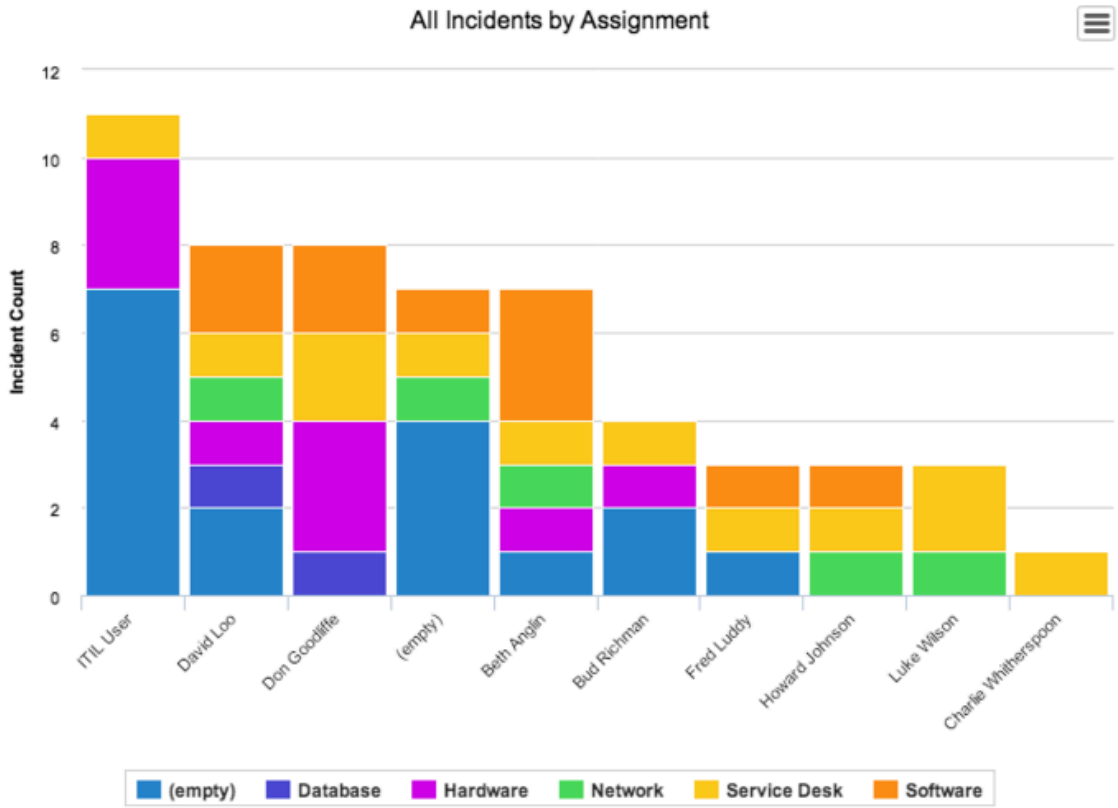


棒グラフ レポートを構成して、データを積み重ねて表示したり、棒の測定単位を変更したりすることができます。積み重ねバー グラフ レポートは、どの部分が合計に寄与しているか示します。次の図は、各ユーザーにアサインされたインシデントの数を示す棒グラフ レポートを示しています。また、このレポートでは各インシデントカテゴリからのインシデント数を積み重ねて表示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み重ねバー グラフ レポート



棒グラフ レポートを作成する

棒グラフ レポートを使用すると、それぞれの情報をその値に比例したセグメントに分けて表示できます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「棒」または「水平バー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
積み重ね基準	このフィールドの値を使用し、各棒を分割します。拡張テーブルのフィールドごとにスタックする方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。 カテゴリ別にソートされ、優先度で積み重ねられたインシデントの棒グラフでは、各カテゴリについての優先度の高、中、低の割合を見ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	積み重ねられたフィールドを慎重に選択すると、レポートが乱れるのを防ぐことができます。大量のデータを積み重ねるのではなく、これらの関係を示す別のレポートを作成する方が良い場合もあります。棒グラフは、積み重ねたフィールドが選択されている場合にのみ凡例を表示します。ブール、参照、および選択リストは、積み重ねフィールドとして使用できます。日付、日付/時刻、整数、ロング、文字列、テキスト フィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。 **注:** Report Charting v2 プラグインが導入されてからは、日付の種類が許可されなくなりました。 積み重ねたフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 レポート フォームで [グループ] フィールドを選択すると、グループ化された棒として棒を表示することを選択できます。この場合、棒は、積み重ねられるのではなく、[グループ] フィールド (インシデントの状態など) ごとに互いに隣接して表示されます。 [他のグループ化] のフィールドを選択すると、これらのフィールドはレポートの下部の [積み重ね基準] コントロールでも利用できます。詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

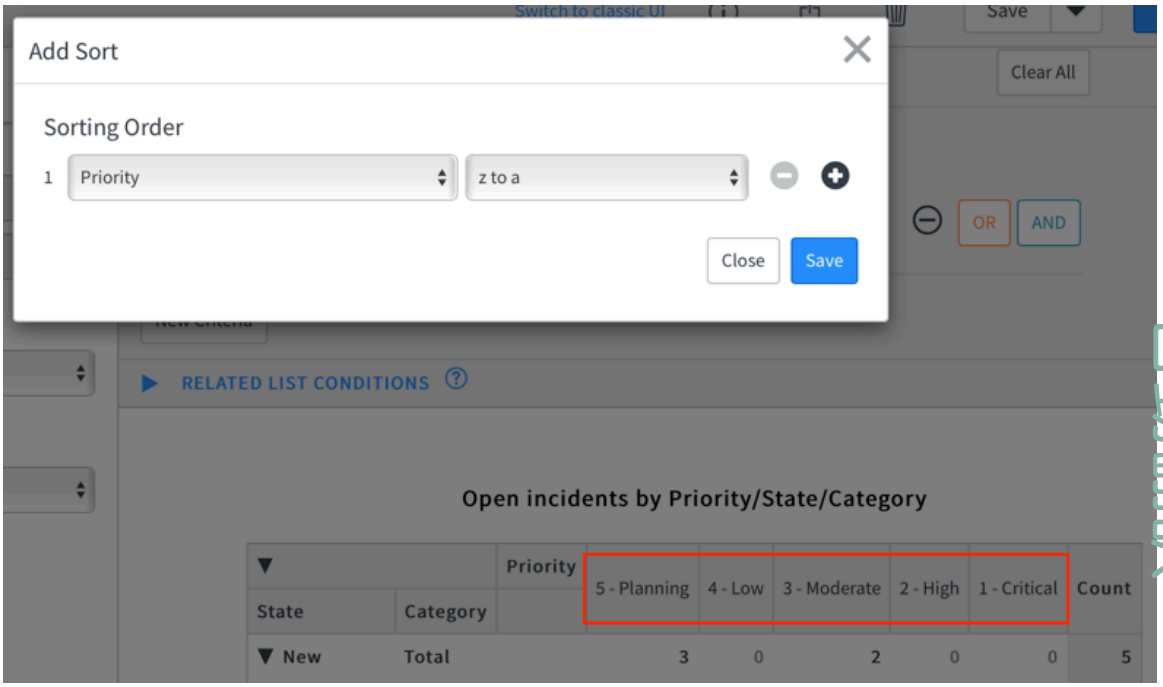
類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:** ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

c. [Save (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:** 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

棒グラフ レポートのスタイル オプション

棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで事前定義された色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

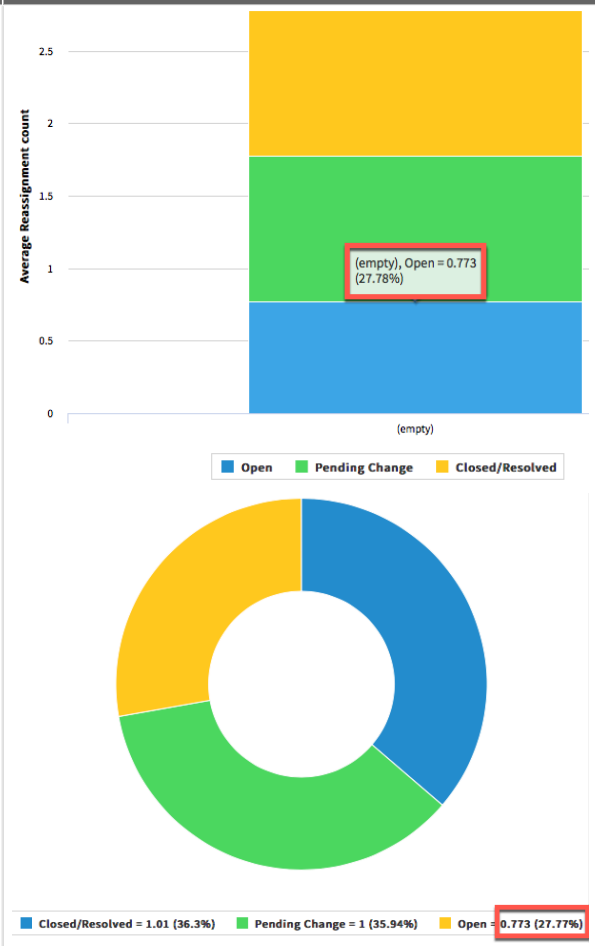
棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	• [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス レポート

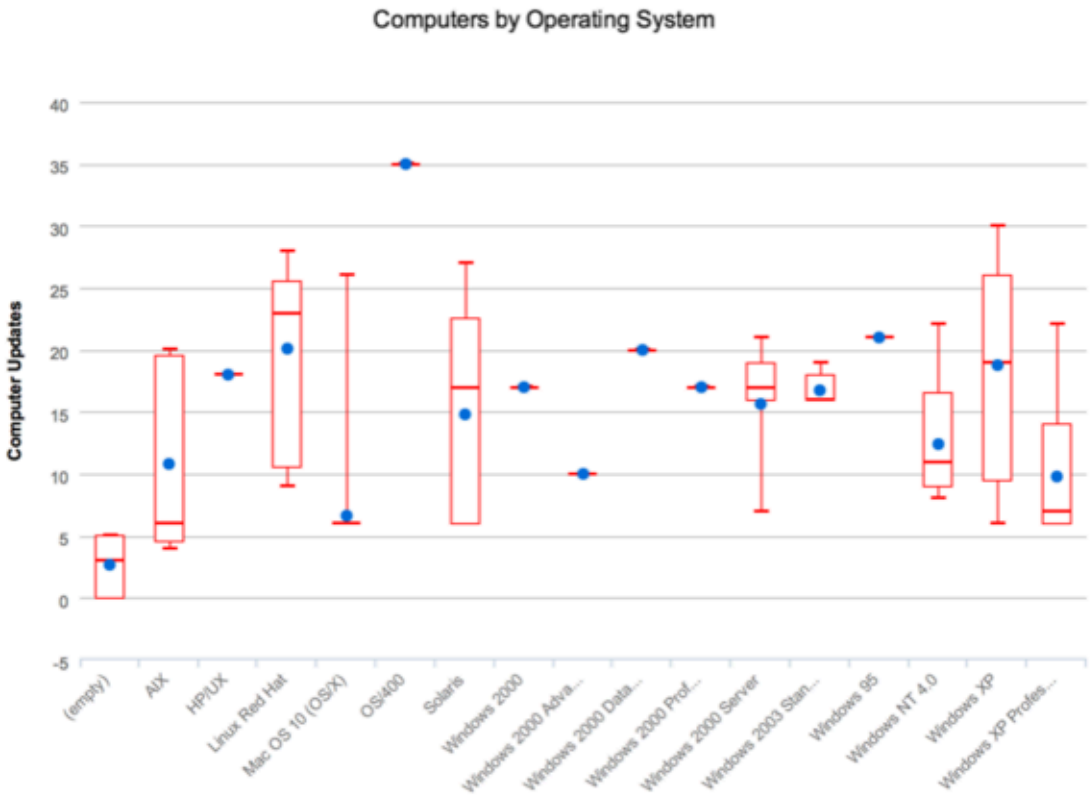
ボックス レポートはボックス プロットとも呼ばれ、データの分布 (最大、最小、四分位数、中央値、平均値など) を視覚化します。

ボックス チャートは、互いに関連するさまざまなソースから複数のデータ セットを抽出して表示する場合に使用します。

たとえば、ボックス チャートを使用して、コンベンションに参加したすべての顧客の年齢範囲を表示できます。ボックス チャートにより、最も多い年齢層を分類して特定できます。この結果を利用して、出席数の低い年齢層を広告のターゲットにし、それによって今後のイベントで出席数を増やすことができます。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 箱ひげ図データ可視化の作成」を参照してください。

ボックスチャート

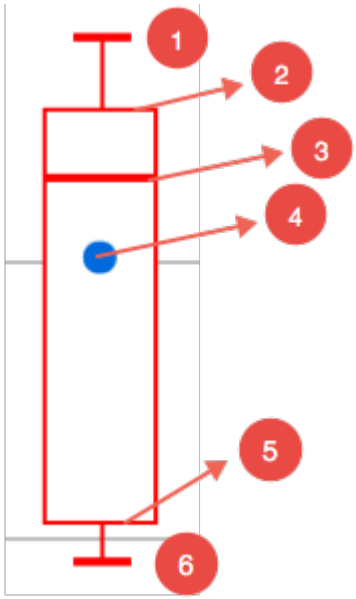


ボックス チャートでは、データ グループごとに次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1. サンプルの最大値
2. 上位四分位数
3. 中央値
4. 平均
5. 下位四分位数
6. サンプルの最小値

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

自動翻訳

ボックス レポートを作成する

ボックス レポートを作成して、データ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

ボックス レポートを使用すると、データを統計平均別に整理して表示できます。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。

3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ボックス」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
測定基準	データの測定値として使用するフィールド。ボックス チャートでは日付と時刻のフィールドはサポートされていません。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

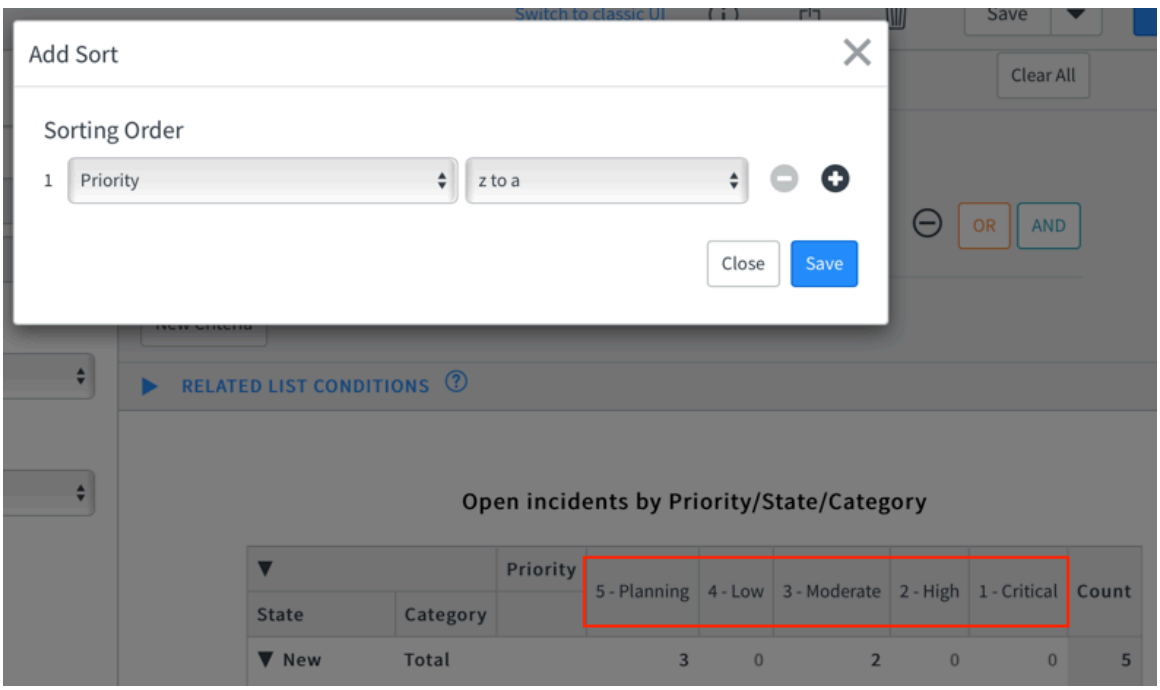
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ボックス レポートのスタイル オプション

ボックス レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

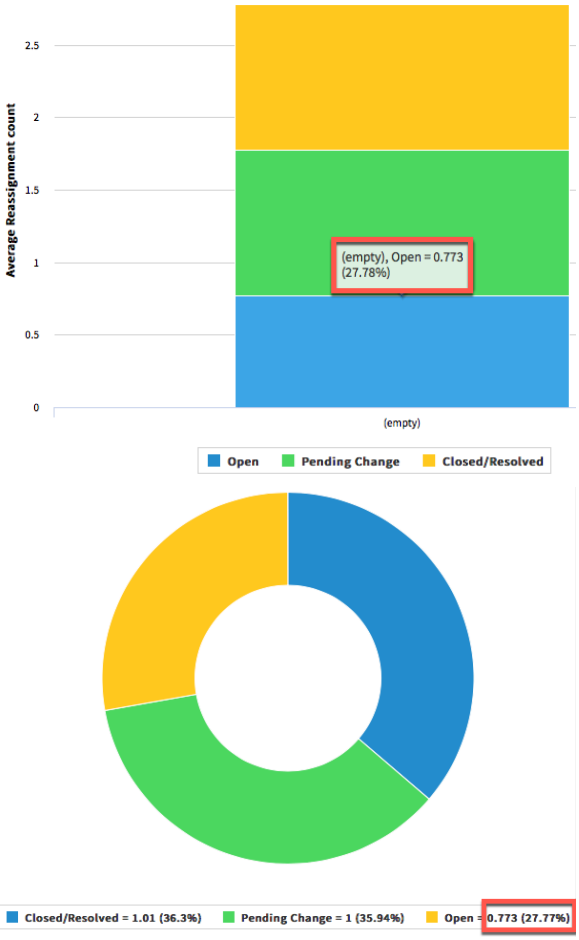
レポートのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 **注:** 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
X 軸/Y 軸のラベルサイズ	**[X 軸]** タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

バブル レポート

バブル レポートは、データ ポイントを x 軸と y 軸にプロットし、3 つ目の集計ディメンションを使用してバブルのサイズを定義します。

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

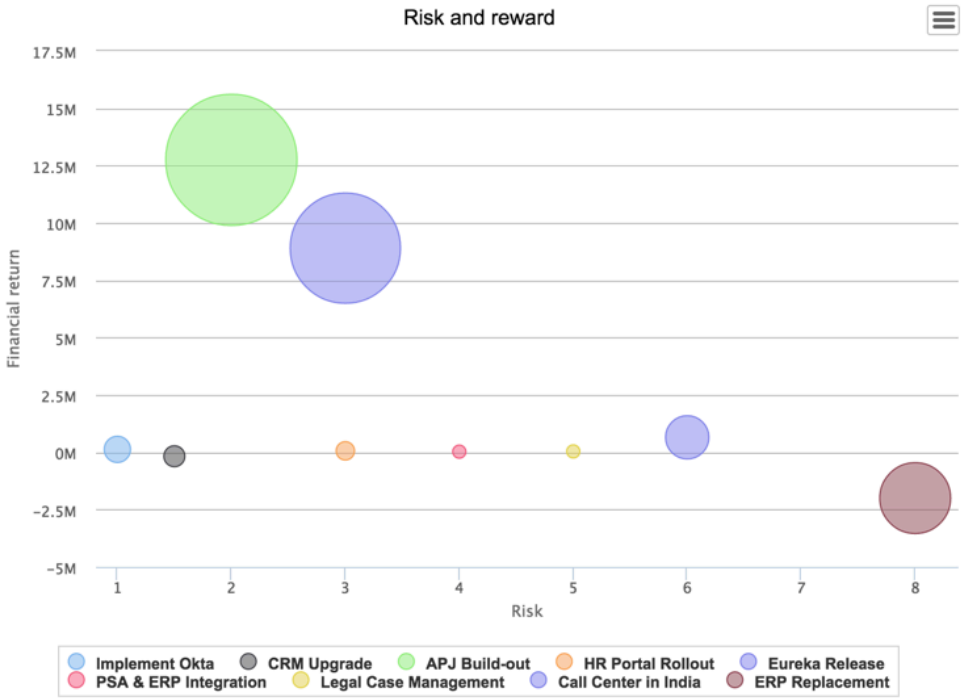
このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 でのバブルデータの可視化の作成 可視化デザイナー」を参照してください。

バブルレポートでは、数値を使用して X 軸と Y 軸を定義し、集計値を使用して各バブルの大きさを決定することができます。

たとえば、デマンド管理を使用する場合に、「要求」テーブルにバブル レポートを作成して、さまざまな要求に対するリスクと報酬を比較することができます。バブルはそれぞれ 1 つの要求を表します。それぞれのバブルの位置はリスクと金銭的見返りによって決まり、一方で、バブルの大きさは要求に対する金銭的見返りの合計によって決まります。レポートの左上に大きなバブルがあることから、これを利用して、リスクが小さく見返りが大きい要求をすばやく特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



バブル レポートを作成する

バブル レポートを作成して、1 つのチャートに複数の別々の評価指標を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

バブルレポートは、X 軸、Y 軸、バブルサイズを使用して、3 つの異なるメトリクスにわたる情報をアグリゲートします。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「バブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループ：	データをグループ化するための基準となるフィールド。値はそれぞれ、チャート上で一意のバブル カラーで表されます。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 注: レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
行	Y 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。
列	X 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

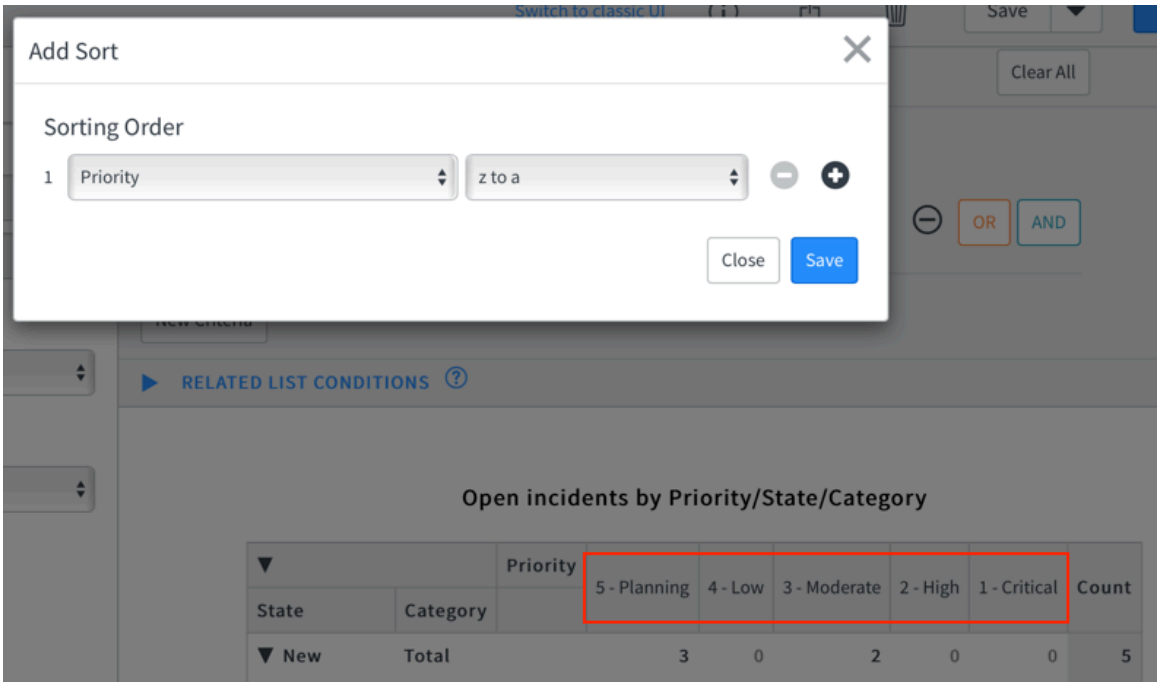
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

バブル レポートのスタイル オプション

バブル レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

バブル レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

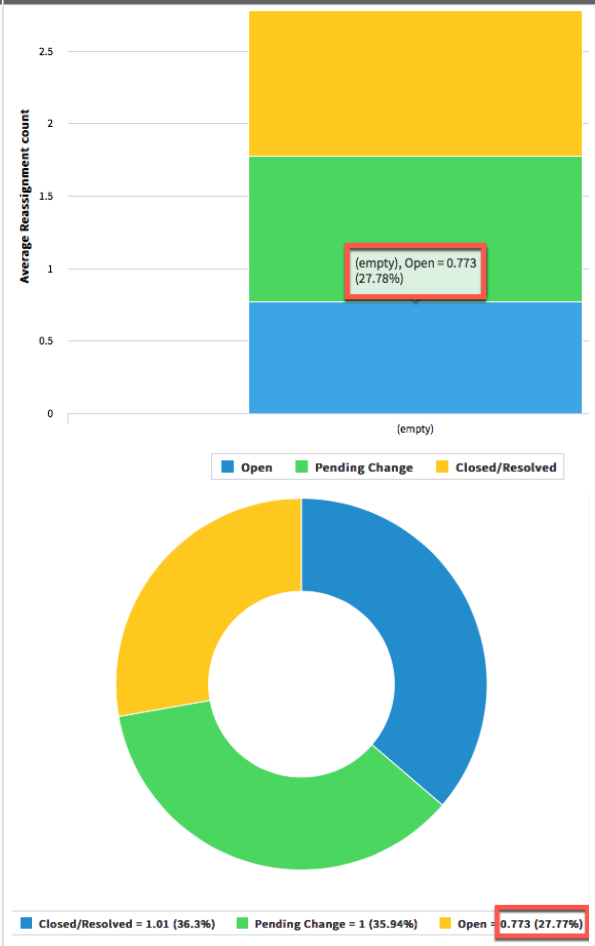
バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

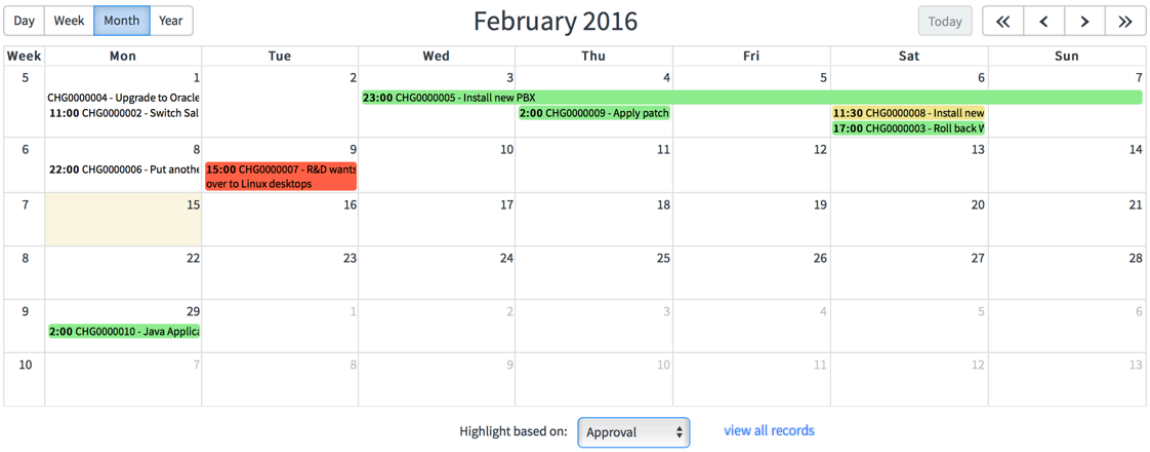
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カレンダー レポート

カレンダー レポートは、日付駆動型のイベントをカレンダーに表示します。

> **注:** このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 カレンダーレポートのデータ可視化を作成」を参照してください。

カレンダー レポート



カレンダーのイベントは、優先度、ステータス、エスカレーションなどの関連する基準で強調表示できます。終了日のないイベントの期間は 1 時間です。

制限事項

- カレンダーの可視化で逆方向を参照するときに返されるイベントの数を制限できます。現在のカレンダービューの最初の日から過去 30 日までの制限があります。カレンダーに表示される最初の日の 30 日以上前に開始されたイベントは表示されません。[年] を選択すると、前年の 12 月 1 日から今年の 12 月 31 日までに開始するイベントがカレンダーに含まれます。

  KB 記事 「週次カレンダービューにすべてのエントリが表示されない」 は、一部の想定されるエントリが表示されないシナリオをカバーしています。

  表示する日数を増やしたり減らしたりするには、 *glide.report.calendar.max_days_back* プロパティを編集します。「レポートのプロパティー」を参照してください。

  > **注:** この値が大きすぎるとパフォーマンスが低下することがあります。

- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。
- 開始日フィールドのカレンダーレポートには、開始日から終了日までのフィールドの範囲が表示されます。終了日フィールドのカレンダーレポートには、終了日のみが表示されます。

カレンダー レポートを作成する

日付駆動型のイベントを表示および強調表示するカレンダー レポートを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「カレンダー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

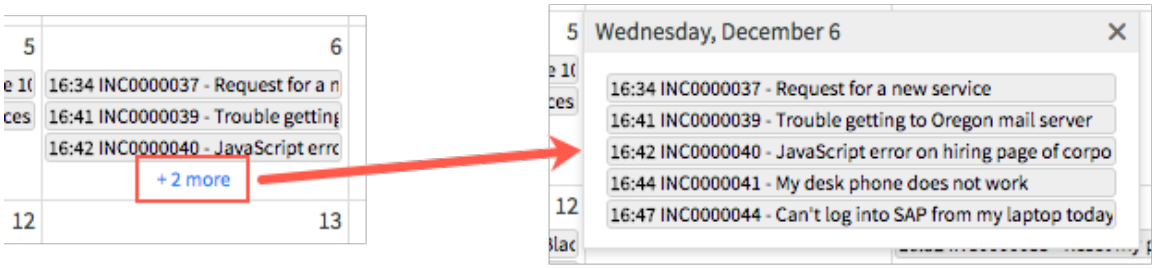
フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
次を表示するイベント：	カレンダーに表示する日付駆動型のイベント。このリストには、データ ソースまたはソース テーブルにある日付/時刻形式のフィールドが含まれています。選択したイベントの説明の情報アイコン (ⓘ) をクリックします。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

注: 対象の日付で、カレンダー セルに収まるよりも多くのイベントがある場合は、追加のイベントを表示するためのリンクが表示されます。



イベントが 30 件を超える場合、セルには [+ 多数] が表示されます。このリンクをクリックすると、その日付のリスト ビューにすべてのイベントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

縦棒グラフ レポート

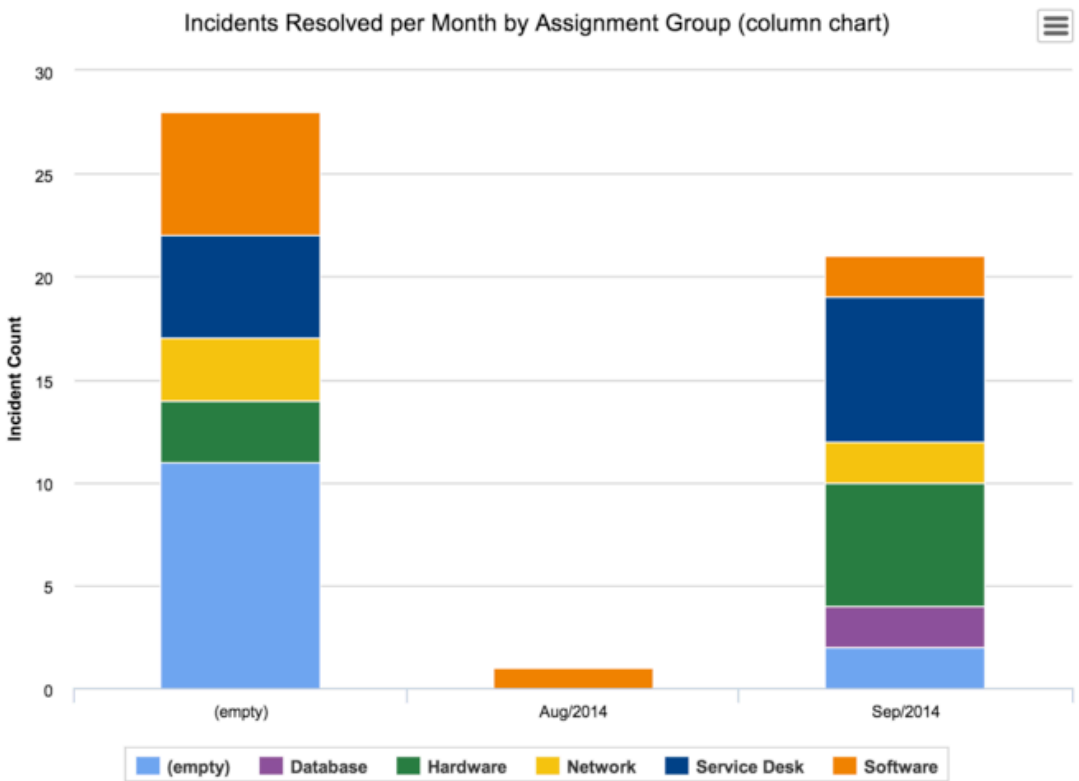
縦棒グラフのレポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するか縦の棒で示します。

縦棒グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、縦棒グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す縦棒グラフを作成して、インシデント数が時間の経過とともにどのように変化するかを表示できます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

この図は、カテゴリ別に積み上げられた解決済みのインシデントを示しています。凡例は、色が表しているカテゴリを示しています。

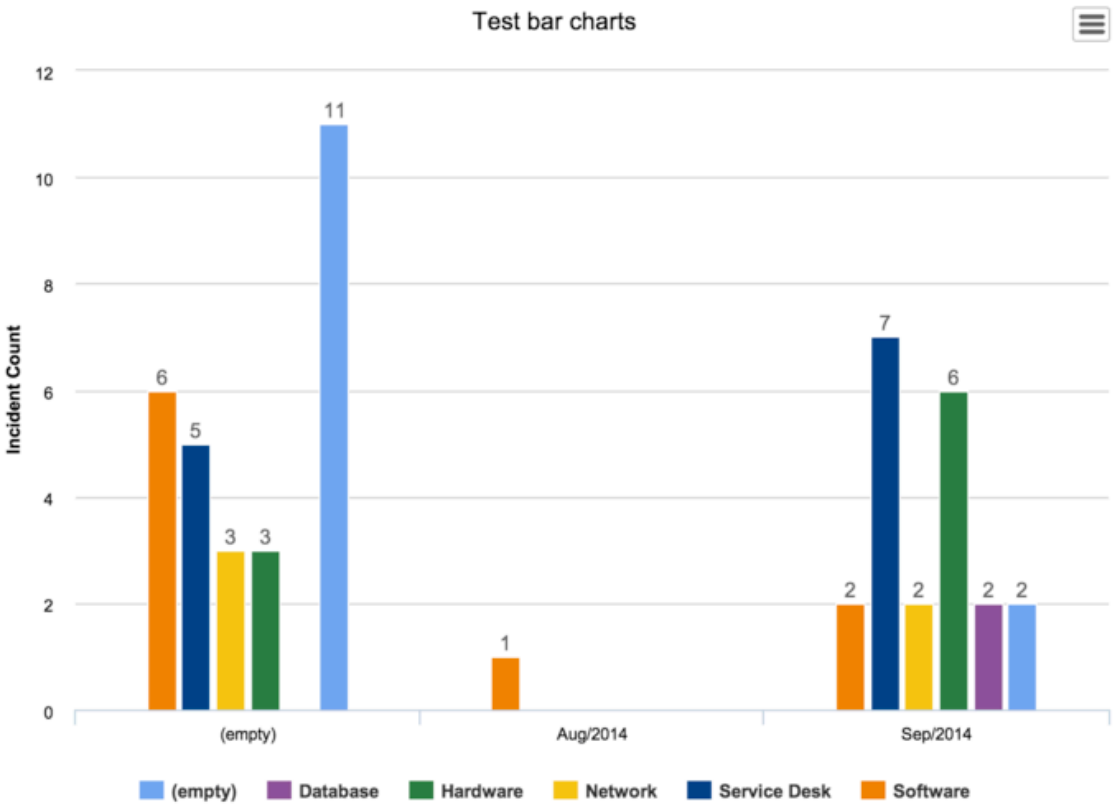
積み上げ縦棒グラフ



グループ化された縦棒グラフでは、1 本の棒に色を積み上げるのではなく、カテゴリを個々の棒として表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化された縦棒グラフ



縦棒グラフ レポートを作成する

縦棒グラフ レポートを作成し、1 つ以上のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

列レポートのユースケースの場合は、 時系列データの可視化の例。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「縦棒」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
棒 (積み上げ)/グループ化された棒	選択したフィールドから得られる個々のアイテムの全体に対する関係を表示する方法。 積み重ねフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 [棒 (積み上げ)/] を選択すると、グラフの各棒の全体に対する寄与部分が示されます。 [グループ化された棒] を選択すると、個々の棒の全体に対する寄与部分が示されます。積み上げではなく、[グループ：] フィールド (たとえば、インシデントの状態) に従って、棒が隣り合って表示されます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。、標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメントを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

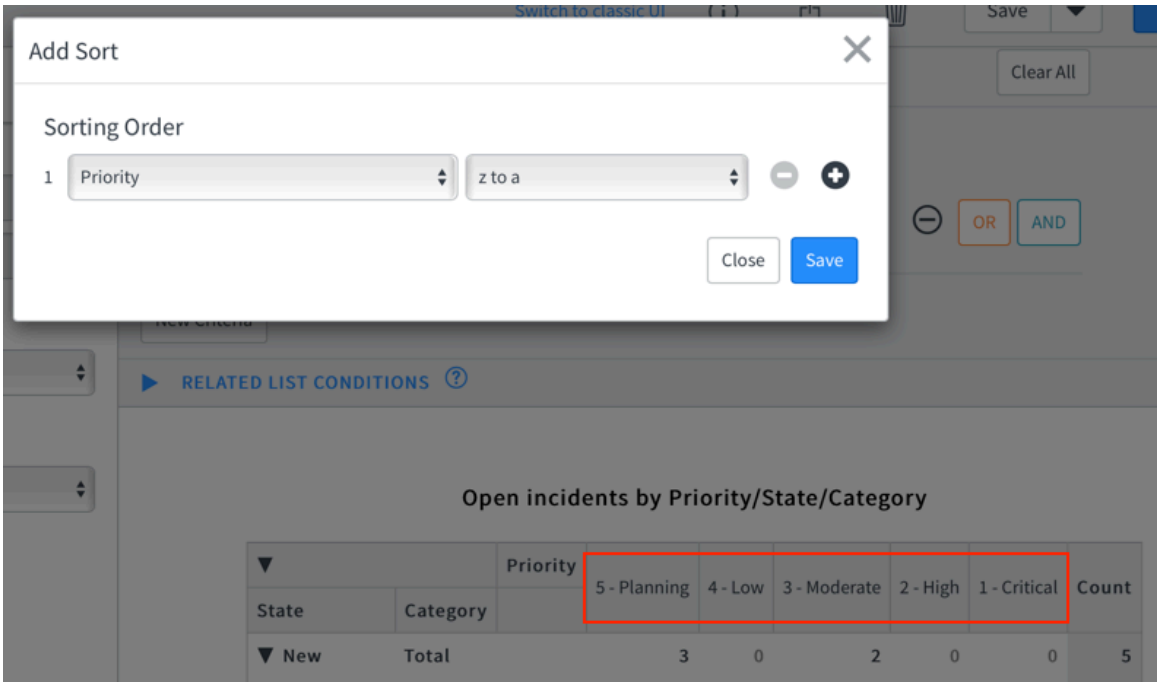
フィールド	説明
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。
   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

縦棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

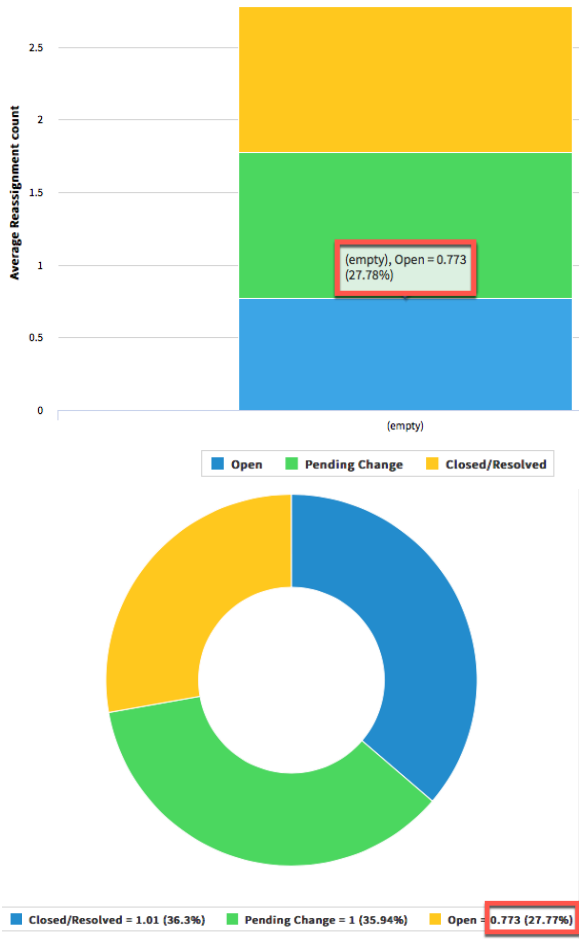
縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステムカラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

コントロール レポート

コントロール レポートは、データを経時的に可視化し、標準偏差を使用して統計尤度を示したり外れ値を特定したりします。

コントロール レポートは、データを一連の点のつながりとして表示します。レポートの中央にある青い線は平均値で描かれています。赤い線で表されるコントロールの上限および下限は、活動の可能性が統計的にほとんどないと考えられるしきい値を示しています。プロセスが管理下にある場合は、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての点がコントロール限界内にプロットされます。これらの限界の範囲外となる活動を調べることもできます。

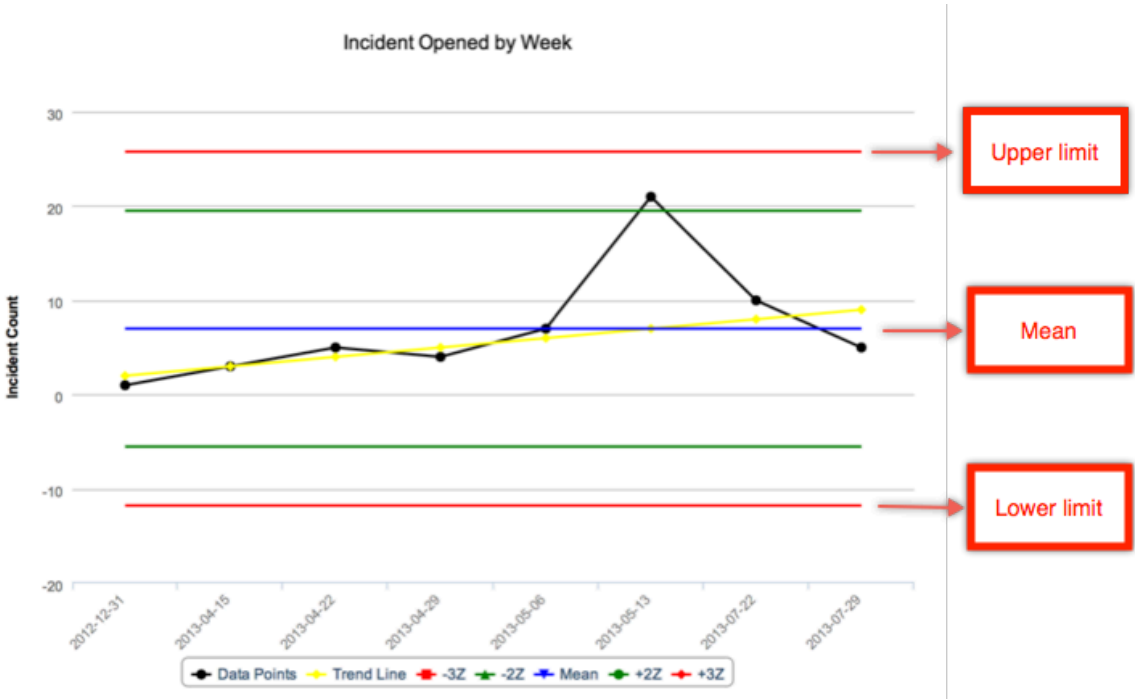
これらのレポートでは、Z スコアを使用して統計上の尤度を示します。

```
Z-score = (Observation - Mean) / Standard Deviation
```

上下の緑色の線は、Z スコアのプラスマイナスの 2 倍を示します。上下の赤い線は、Z スコアのプラスマイナスの 3 倍を示します。

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「アクセシビリティ機能の有効化」を参照してください。

コントロール レポート



注: 平均は、[データポイント] 線上のデータポイントの合計をポイント数で割った値です。これらの値は集計 (カウント、平均、合計、または個別のカウント) に依存します。この平均は、同じデータに基づく他のレポートが異なる集計を使用している場合、他のレポートの平均とは異なる場合があります。たとえば、1 か月あたりの平均インシデント数 (カウント) は、同じインシデントの平均期間とは異なります。

コントロール レポートを作成する

ビジネス プロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断するためのコントロール グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「コントロール」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

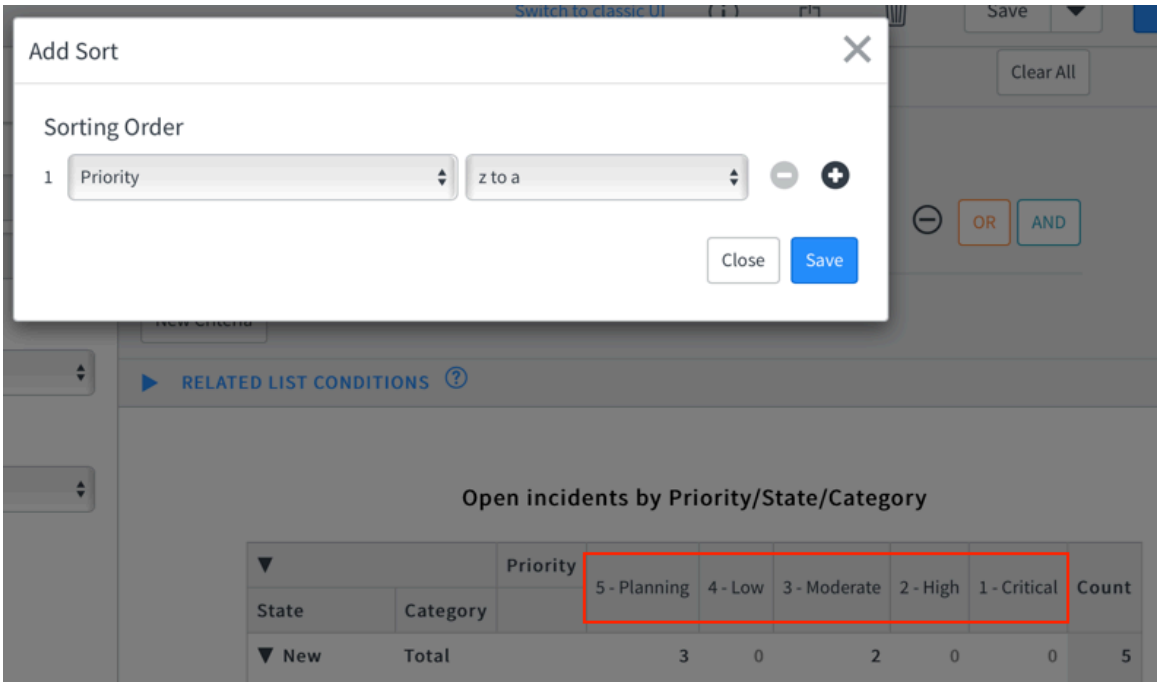
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] をクリックしてレポートを生成します。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

コントロール レポートのスタイル オプション

コントロール レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

コントロール グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

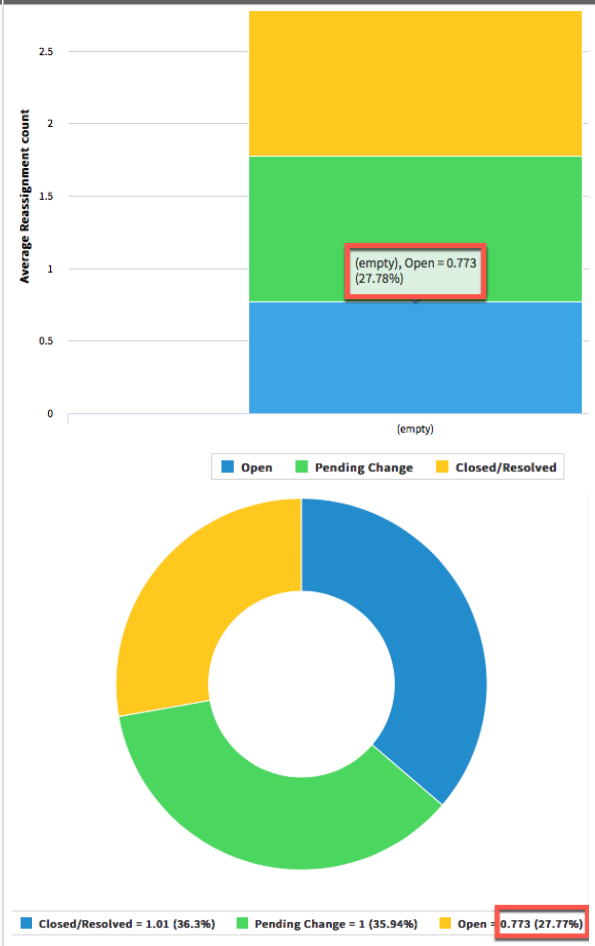
コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウン ビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X 軸]** タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y 軸**] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X 軸]** タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y 軸**] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X 軸]** タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

目盛りレポートとスピードメーター レポート

目盛りとスピードメーターでは、インジケーターのカウントがリアルタイムで提供されます。これらのグラフには比較データや履歴データを含めることはできません。値が指定の範囲内にあることをひと目で確認できるように色を構成できます。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「」を参照してください。

- 目盛りデータ可視化を作成
- ゲージデータの可視化を作成

レポート作成者は、許容できない値の範囲を示すために赤色を使用することがよくあります。月額売上では低い値の方が高い値より悪くなりますが、インシデント解決時間では低い値の方が高い値より良くなります。赤は月次売上の低い値に、赤はインシデント解決値の高さを設定できます。

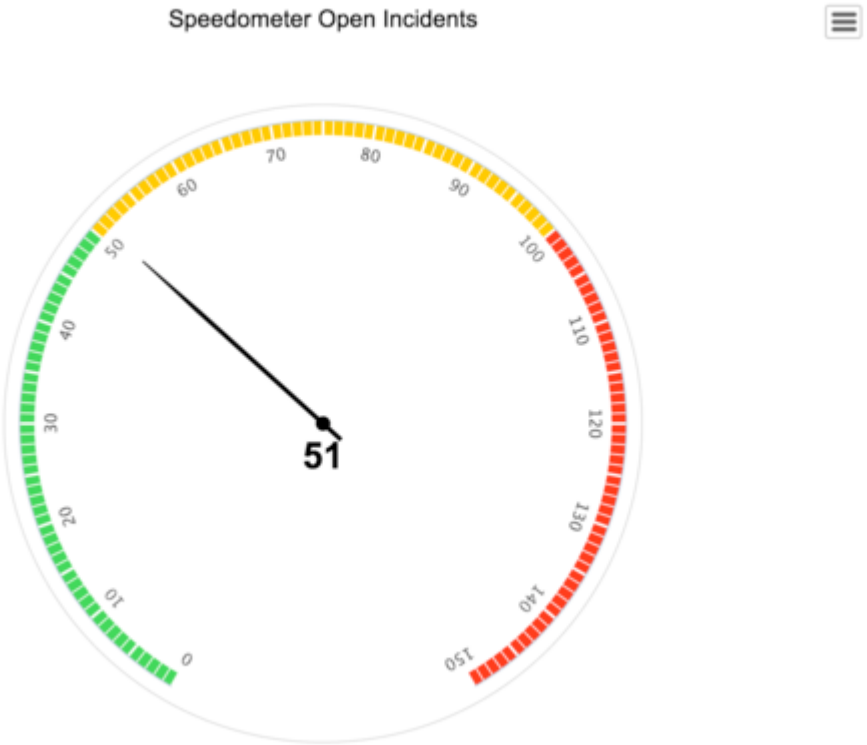
目盛りとスピードメーターは外観も異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スピードメーターには、定義された範囲を持つ円形のメーターの形で数字が表示されます。
- 目盛りには、範囲内に収まるスコアが半円の目盛りで表示されます。

Angular スピードメーター レポート



ソリッド ゲージ レポート

目盛りレポートまたはスピードメーター レポートを作成する

目盛りまたは角度ゲージを作成して、値の範囲を示す色付きのインジケーターのリアルタイムカウントを提供します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「スピードメーター」または「目盛り」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。例えば、与えられたロール リストの中で、ロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートが必要だとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。[集計] の基準となるフィールドをこのリストから選択します。たとえば、[優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数の数値で表されます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、拡張テーブルのフィールドでさらに集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 **注:** 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

目盛りレポートとスピードメーター レポートのスタイル オプション

目盛りレポートまたはスピードメーター レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

目盛りチャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色 (目盛りチャートのみ)	目盛りの定義済みのシステム カラー。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
方向	小さい方の値が好ましいか大きい方の値が好ましいかを選択します。小さい方の値が好ましい場合は、[最小化] を選択します。大きい方の値が好ましい場合は、[最大化] を選択します。この設定は [下限] および [上限] で有効です。これにより、目盛りまたはスピードメーターの領域の色が決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

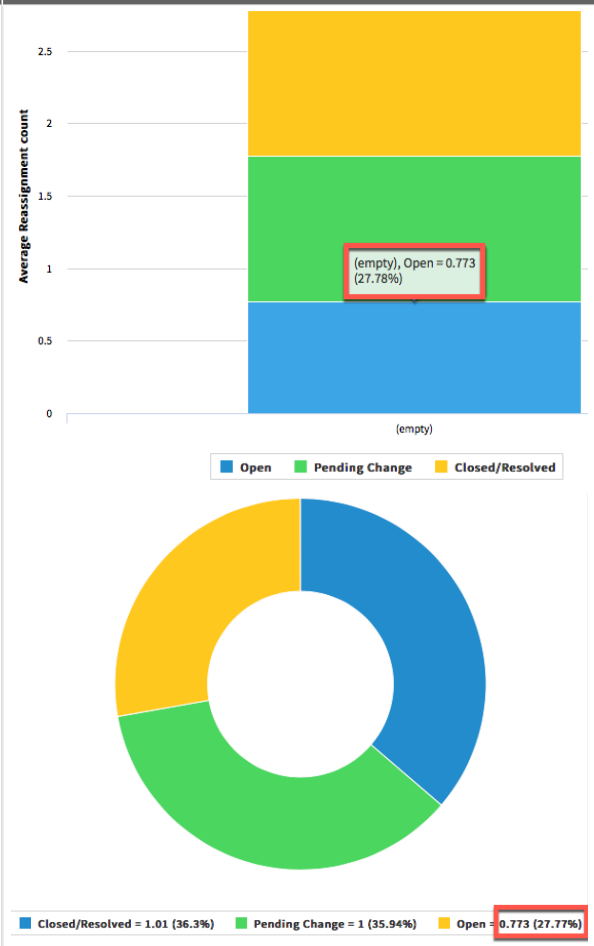
目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	• 緑色は、数字が許容範囲内にあることを示します。 • オレンジ色は、数字が変更されたが、依然として許容範囲内にあることを示します。 • 赤色は、数字が許容範囲ではないことを示します。
下限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の下限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。
上限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の上限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。 たとえば、目盛りに含まれる現在のスコアが 50 で、[目盛りオートスケール] を選択します。[下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最小化] とします。目盛りでは、0 ～ 50 の領域が緑色で、50 ～ 100 の領域がオレンジ色で、100 を超える領域が赤色で表示されます。 [下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最大化] とした場合は、色が逆になります。 上限と下限を設定しない場合は、視覚化に色が使用されません。2 つのセクションまたは色しか持たせない場合は、上限と下限を同じ数に設定できます。
目盛りオートスケール	チェック ボックスをオンにすると、選択したデータに基づいて目盛りまたはスピードメーターの開始値と終了値が自動的に生成されます。
開始	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最小値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
終了	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最大値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ドーナツ グラフ レポート

ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートには、全体を構成する各部分の割合が表示されます。

ドーナツ グラフ レポートは円グラフ レポートに似ていますが、中心に空白があります。ドーナツと半ドーナツの違いは、半ドーナツはドーナツを半分に切った形状であることです。表示される情報は同じです。ドーナツレポートと半ドーナツレポートをダッシュボードに配置できるため、ユーザーは表示された情報をすばやく解釈できます。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成」を参照してください。

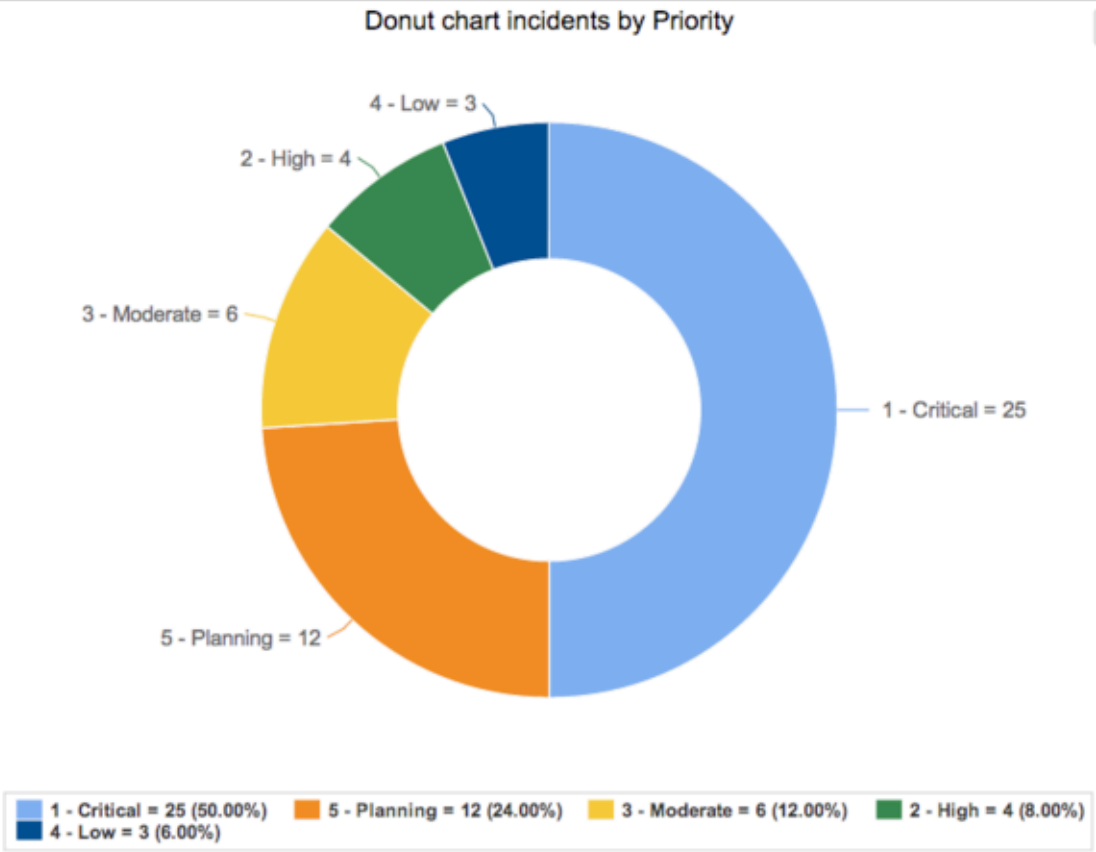
このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルのドーナツグラフレポート」と「モバイルダッシュボードプレビュー」を参照してください。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用すれば、さまざまな優先度のインシデント カウントが許容範囲内かどうかをすばやく確認できます。

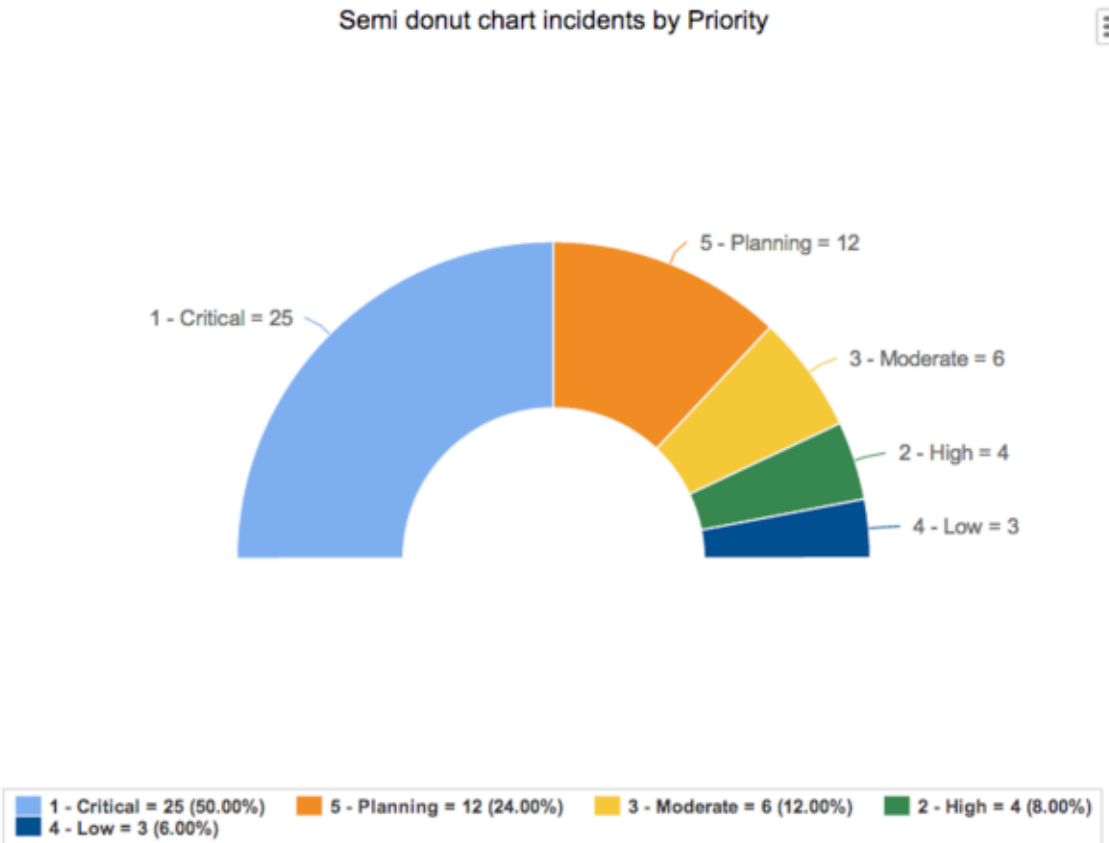
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したドーナツ グラフ レポート



インシデントを優先度別に表示した半ドーナツ グラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフ レポートを作成する

ドーナツ グラフ レポートを作成して、各部分が全体に占める大きさを比較します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートさ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	れた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ドーナツ」と入力し、[ドーナツ] または [半ドーナツ] を選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ 」を参照してください。 ○ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

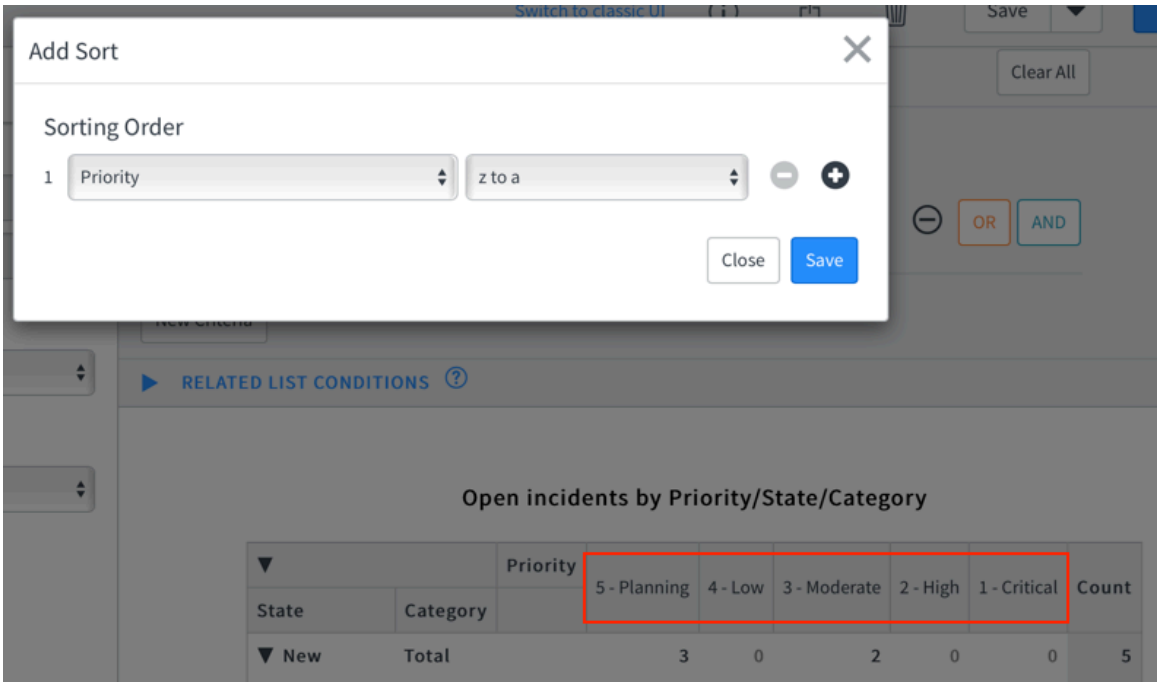
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

ドーナツ グラフまたは半ドーナツ グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

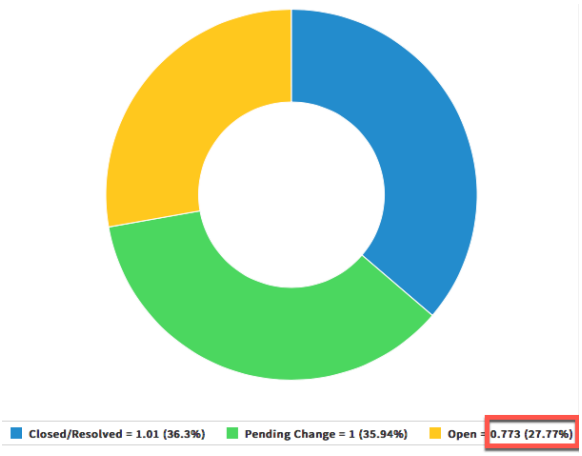
ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドーナツの幅	ドーナツまたは半ドーナツの幅の割合。範囲は 1 ～ 100% です。100% は円グラフと同じです。デフォルト値は 50 です。
合計を表示/凡例を非表示	チェック ボックスをオンにすると、ドーナツの中心に集計値の合計が表示されます。また、グラフの凡例が自動的に非表示になります。集計タイプが [平均] で、グループ化の基準となるフィールドを選択した場合、合計は各グループの平均の平均になります。
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 注: 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均アグリゲーションで使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポート

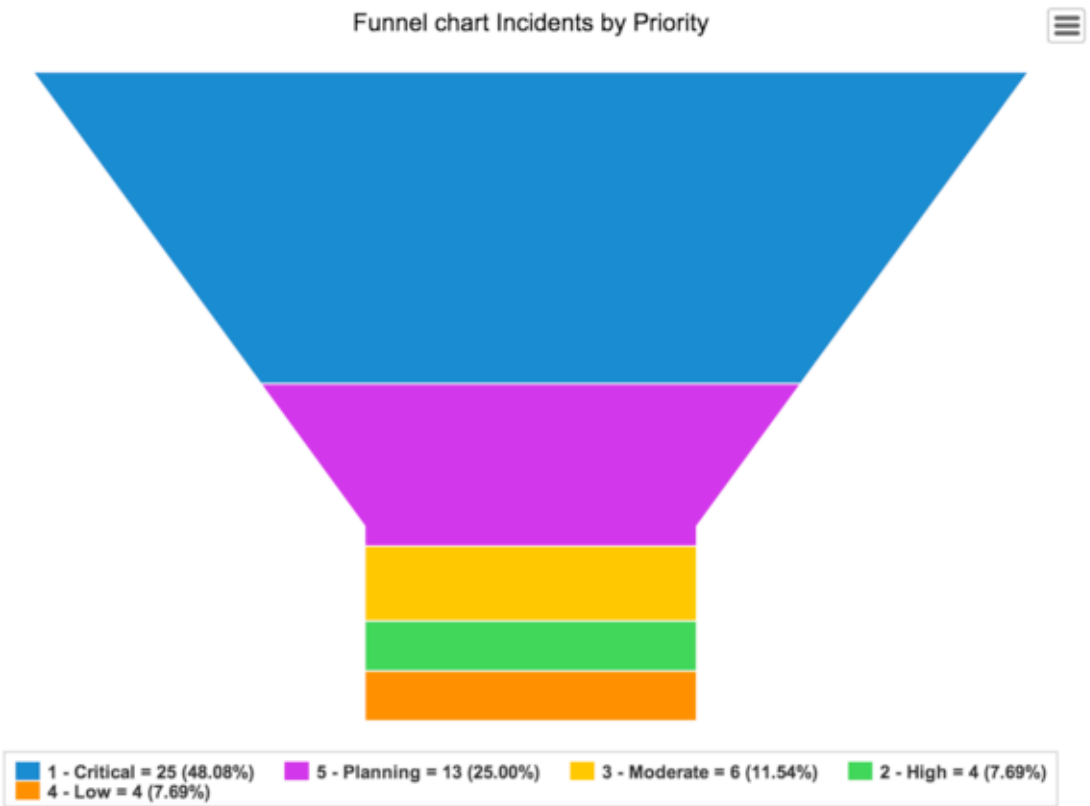
じょうごおよびピラミッド グラフ レポートは、データの分布を視覚化します。スライスまたはセクションのサイズは、すべての値の合計に占める割合を表します。

じょうごグラフ レポートは、セールス プロセスの各段階 (潜在顧客から取引成立まで) を表す場合や、プロセス内の潜在的な問題領域を特定する場合によく使用されます。じょうごグラフにネックを適用すると、合計値に占める割合が一定以下の値がすべてバーとして表されます。このバーは、それらの違いの重要度が同等であることを示します。

じょうごグラフ レポートは、割合が減少することでスライスが上から下に積み重なります。ピラミッド グラフは、割合が増加することでスライスが積み重なります。ピラミッド グラフ レポートは、組織の階層レベルを表現する場合によく使用されます。じょうごグラフおよびピラミッドレポートは、ユーザーが表示された情報をすばやく解釈できるダッシュボードに配置できます。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にじょうごおよびピラミッド グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。たとえば組織が、P1 というインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。じょうごやピラミッド グラフによって、インシデント カウントが許容範囲内かどうかが示されます。

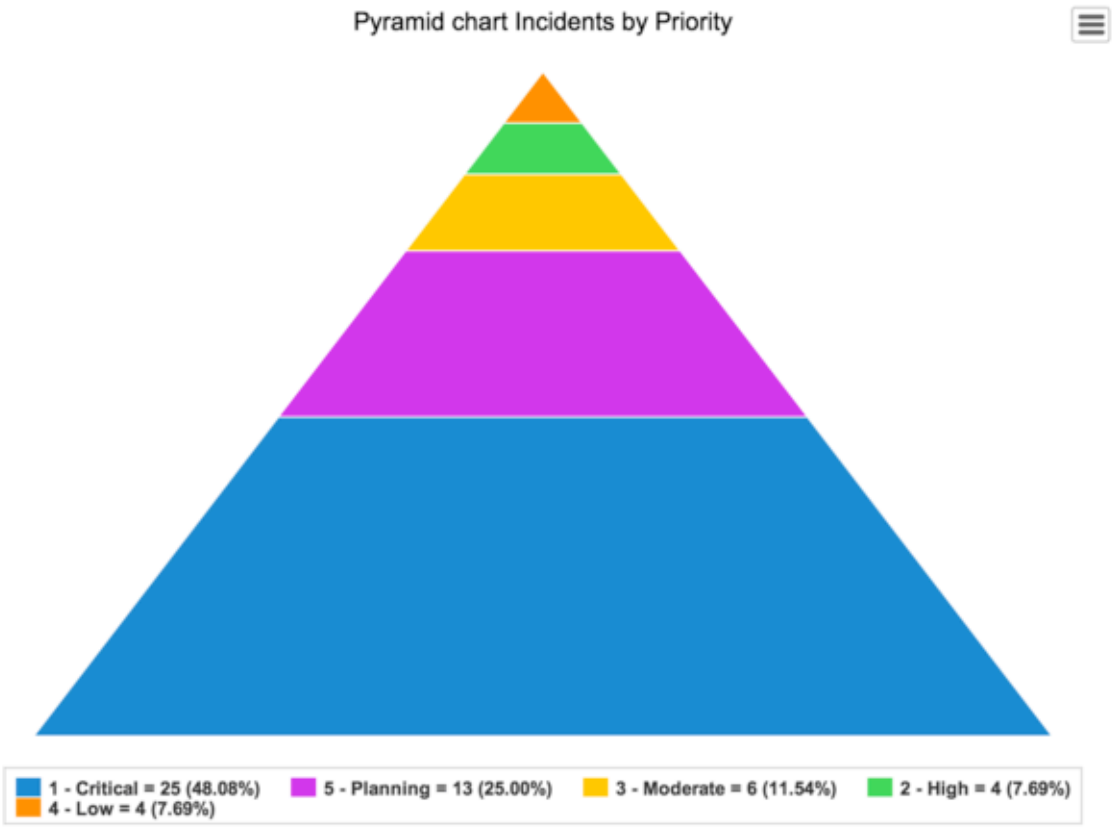
インシデントを優先度別に表示したじょうごグラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したピラミッド グラフ レポート



じょうごおよびピラミッド グラフ レポートを作成する

各スライスのサイズが全体のパーセンテージを表すじょうごグラフレポートを作成し、プロセス内のデータの分布を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.

   注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスについて、新しいじょうごグラフレポートまたはピラミッドレポートを作成することはできません。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピラミッド」または「じょうご」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

じょうごグラフ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン ( ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

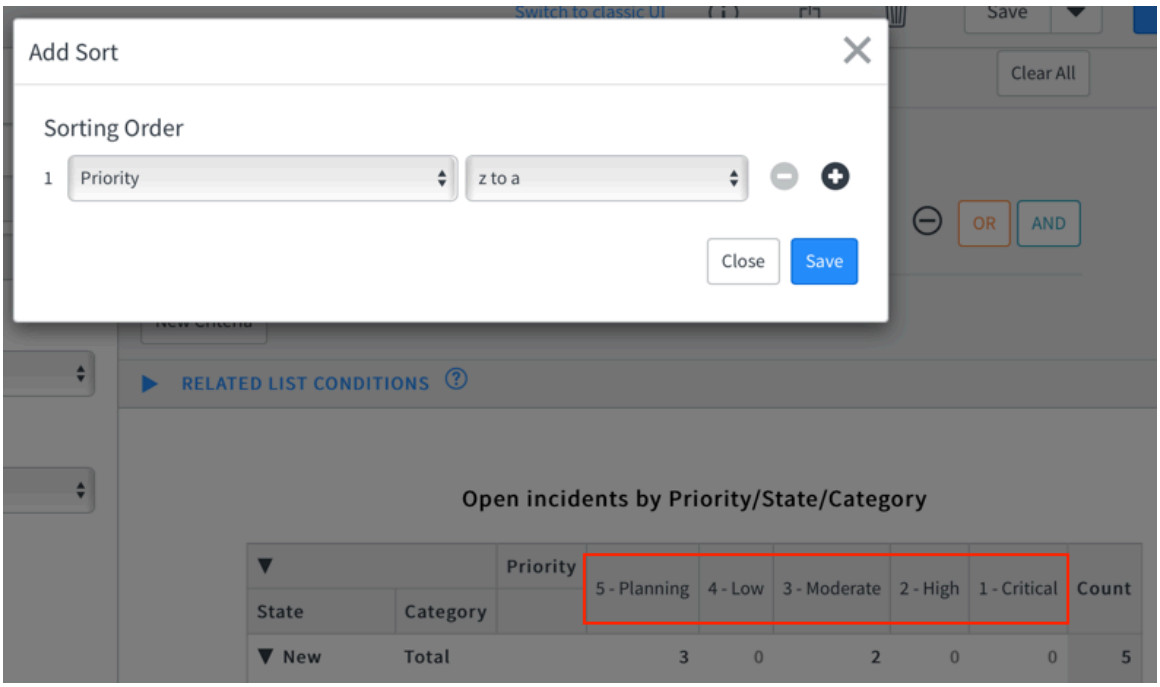
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートのスタイルオプション

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

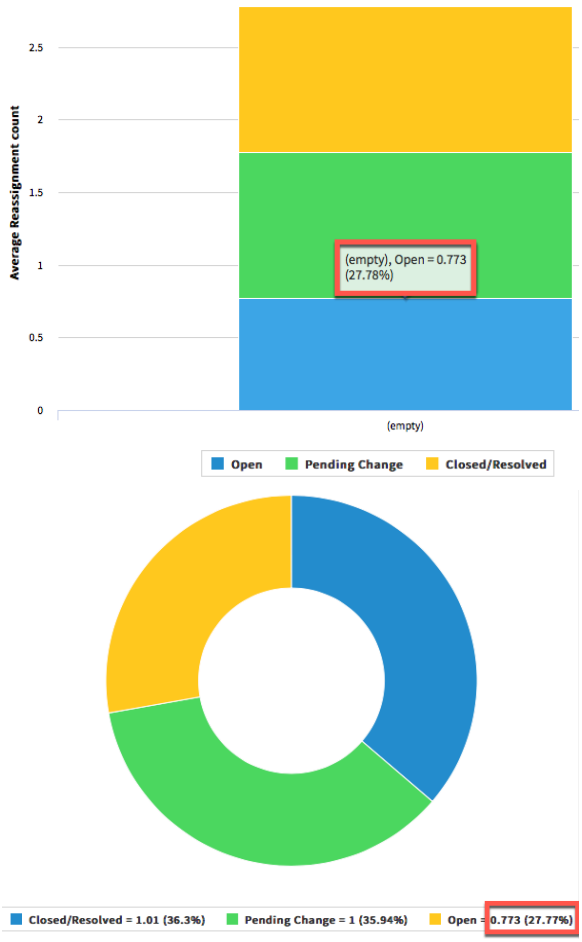
じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
じょうごネックのサイズ	じょうごグラフの幅のパーセンテージを 1 ～ 100% の範囲で入力します。1 パーセントは、じょうごネックの上に表すことができる最小値です。1% 未満の値は、設定された幅のバーとしてネックの下に積み重ねられます。 100% は棒グラフと同じです。デフォルト値は 30 です。
チャートの色	次のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 注: 透明度の 16 進数の値は使用できません。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

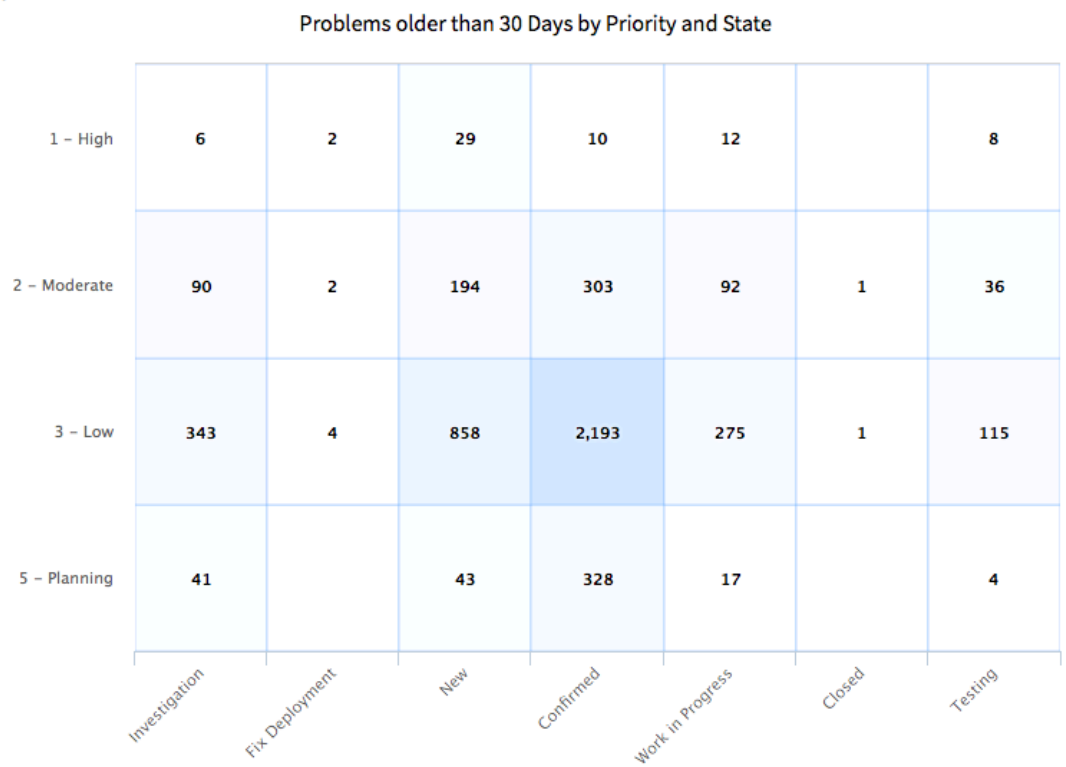
ヒートマップ レポート

ヒートマップ レポートは、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。ヒートマップ レポートで使用できるセルは最大 1000 個です。

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 ヒートマップデータの可視化を作成」を参照してください。

この図では、優先度の低い確認済みの問題のセルを塗りつぶし、大きな値をハイライト表示していま



す。

ヒートマップ レポートを作成する

ヒートマップレポートを作成し、色を使用してアグリゲートデータを視覚的に表示し、マトリクス上のさまざまな値を表します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて
注: 小さいサイズのヒートマップチャートでは、0 以外の値は表示されません。そうしないと、隣接する値と重複します。これらの値の行ラベルも表示されません。空白の値セルにカーソルを合わせてその値を表示したり、グラフのサイズを拡大して値を収容したりできます。この特定のグラフタイプの動作を理解すると、結果を解釈し、データの適切なサイズを決定するのに役立ちます。

手順
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ヒートマップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. 必要に応じて、フィールドに値を入力します (表を参照)。

フィールド

フィールド	説明
行	ヒートマップ内の行データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン ( ) を選択します。 注: 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。
列	ヒートマップ内の列データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン ( ) を選択します。 注: 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

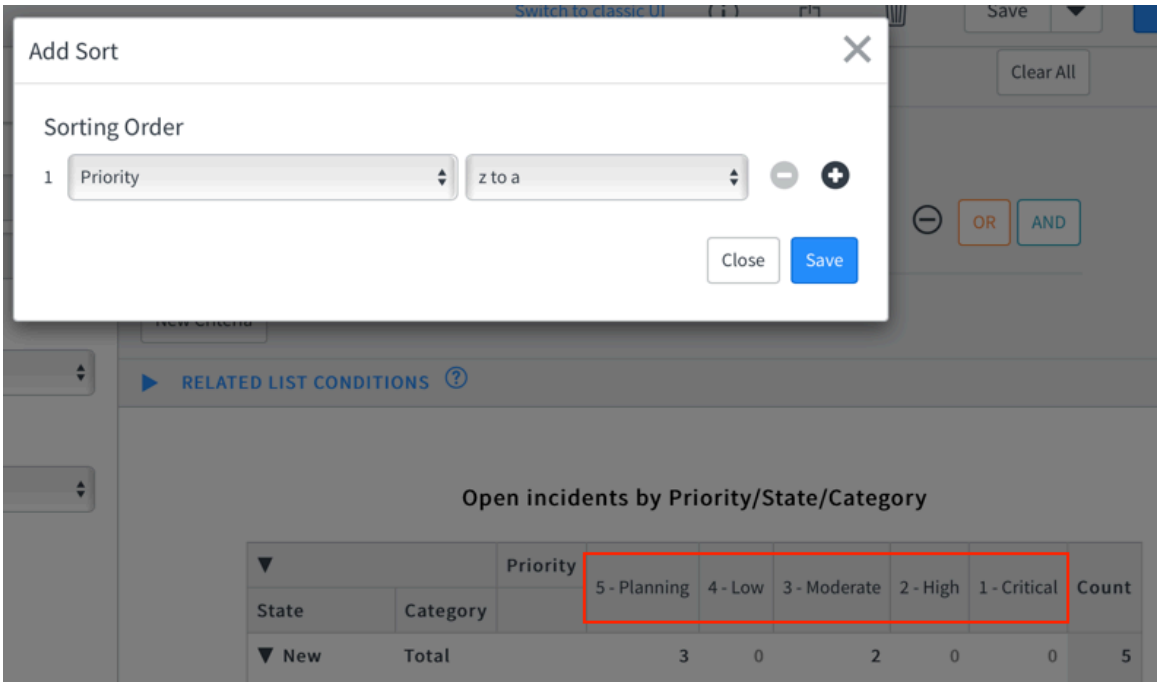
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ヒートマップ レポートのスタイル オプション

ヒートマップ チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション

全般	
ヒートマップ	チェック ボックスをオンにすると、値ごとに異なる色を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

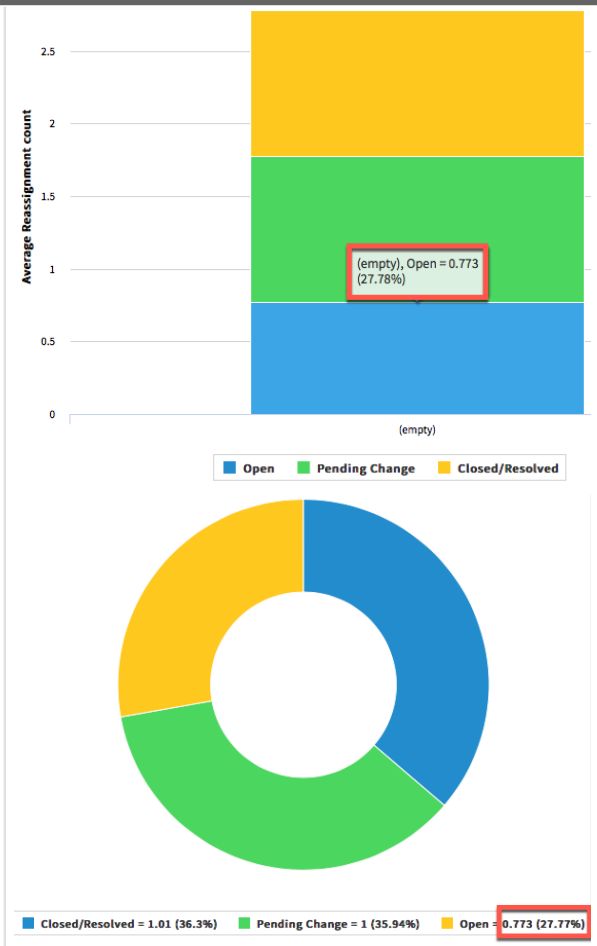
ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
カラーを使用	
高スコア用の色	チャート上で高い値を示すために使用する色。
低スコア用の色	チャート上で低い値を示すために使用する色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

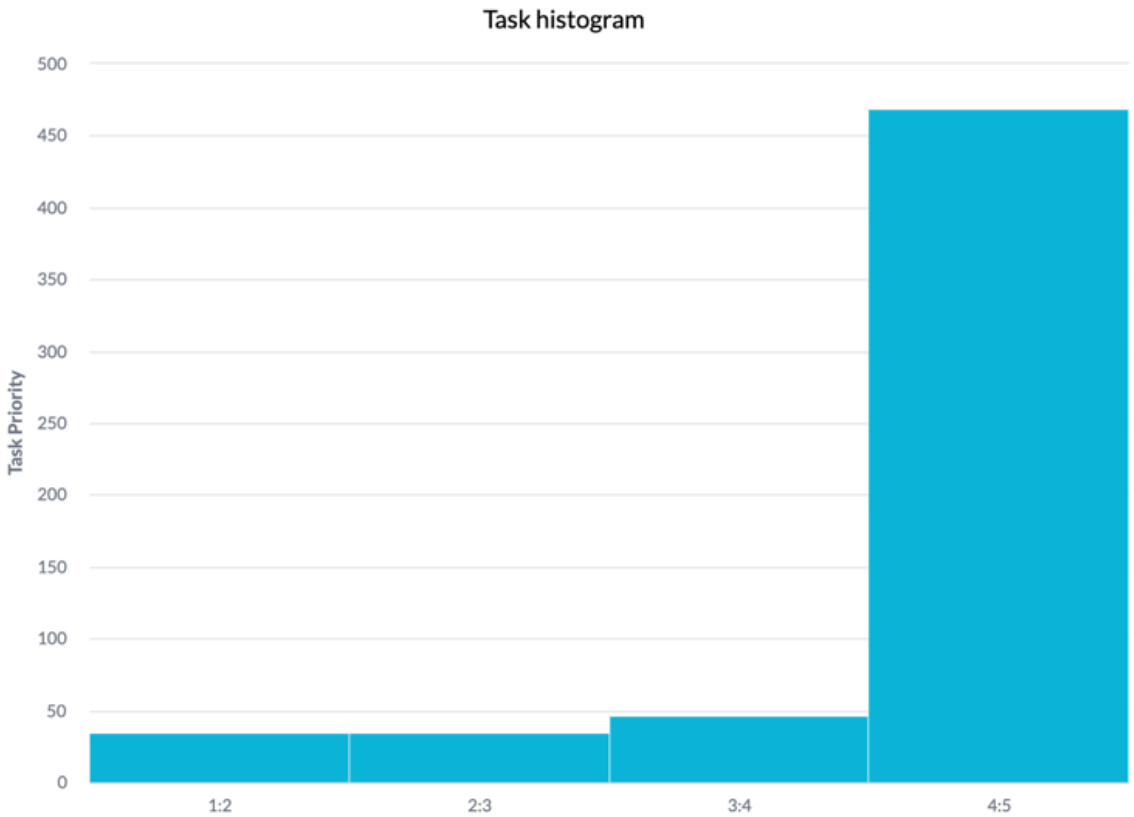
ヒストグラム レポート

ヒストグラムは、データ セット内の数値を範囲にグループ化します。ヒストグラムで使用するデータは連続するデータです。連続するデータを測定します。一方で、棒グラフで使用する離散データをカウントします。

たとえば、ヒストグラムを使用して、製品のリリース後 4 週間にわたって記録した P1 というインシデントのパターンを表示できます。製品がリリースされてから最初の 1 週間は、ユーザーがまだ製品を十分理解しておらず、使用が少ないため、P1 インシデントは低くなっています。2 週目では、より多くのユーザーが製品の使用を開始し、P1 の問題が増加します。3 週目では、さらに多くのユーザーが製品の使用を開始するにつれて、P1 の問題がいっそう増加します。4 週目では、P1 の問題は 3 週目と同じ状態を保っています。こうした情報は、製品がリリースされてから 3 週目まではサポート スタッフを増やす必要がないことを示しています。

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ヒストグラムレポート



ヒストグラム レポートを作成する

ヒストグラムにより、連続するデータ セット内の数値を範囲にグループ化します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ヒストグラム」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	レポートを作成する対象のフィールドを選択します。このフィールドの値は、ヒストグラムの X 軸に表示され、バーの幅を決定します。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポート

線グラフ レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つまたは複数のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。線グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、線グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。

自動翻訳

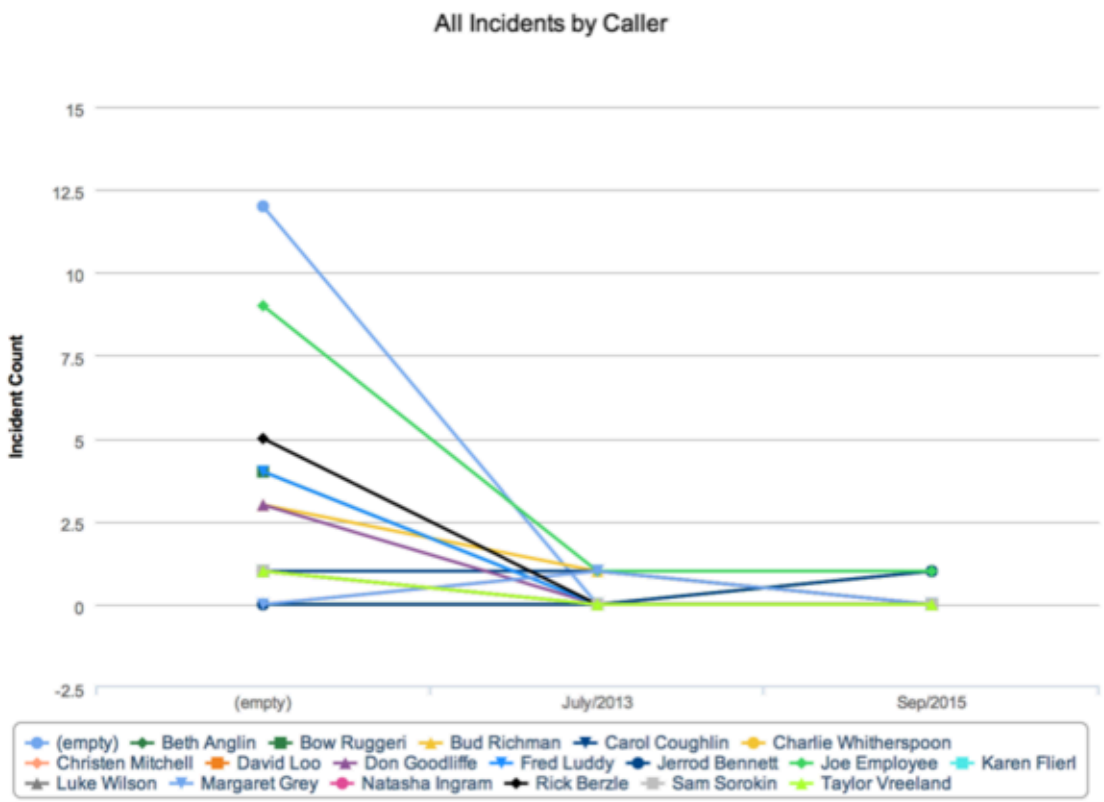
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 さまざまな時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの時系列レポート 」と「モバイルダッシュボードプレビュー 」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す線グラフ レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。この図は、問い合わせユーザーあたりのインシデント数の経時変化を示しています。

線グラフ レポート



線グラフ レポートを作成する

線グラフレポートを作成して、時間の経過に伴う 1 つ以上のアイテムの価値変化の傾向を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

線グラフレポートのユースケースの場合は、 時系列データの可視化の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「線」と入力し、[時系列] セクションで線グラフ レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ○ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データ	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブルを表示	glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。、標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメントを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

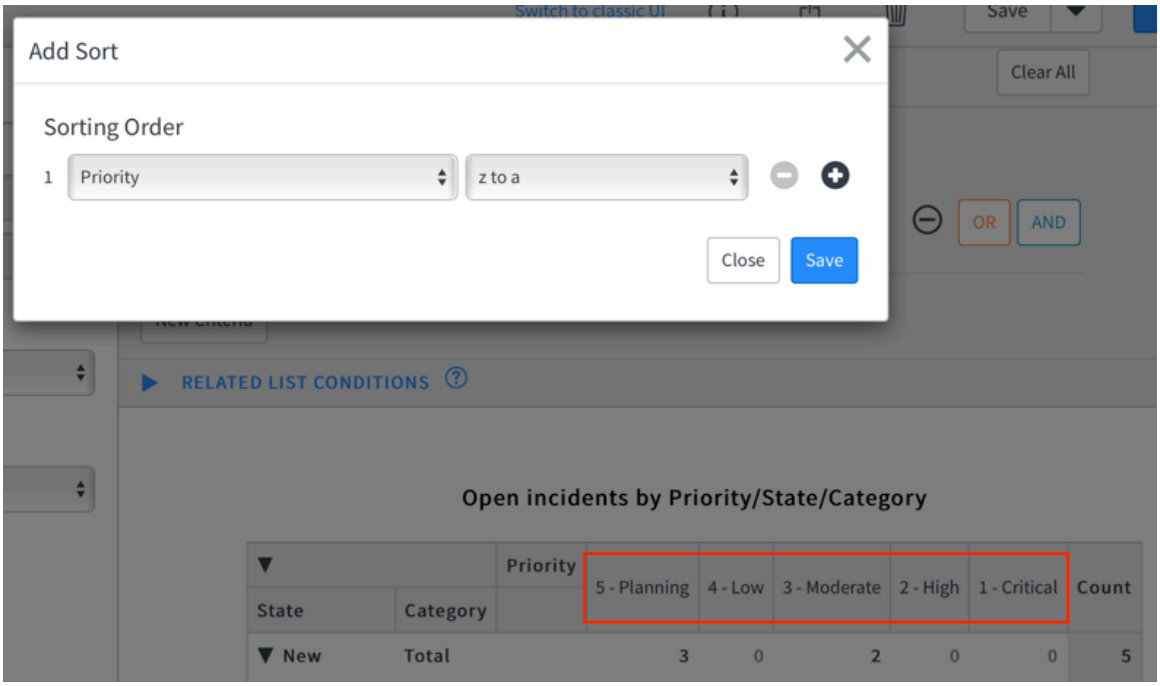
フィールド	説明
	FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。
   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポートのスタイル オプション

線グラフ レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

線グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステムカラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

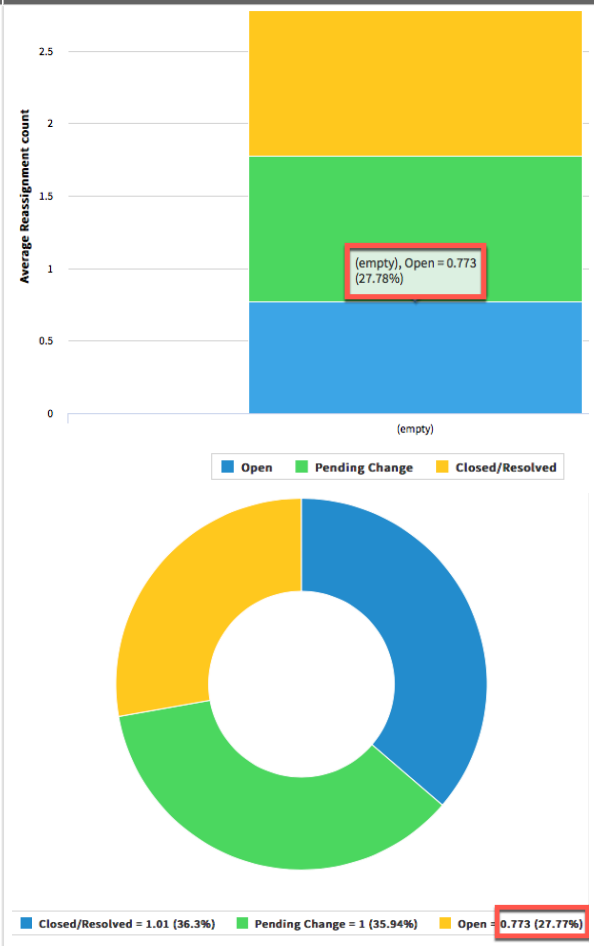
線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
スケール最大値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

リストレポート

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。リストは、インシデント数や変更数などの列挙によく使用されます。より詳細な情報 (簡単な説明、カテゴリ、ステータスなど) を表示する列が含まれています。

自動翻訳

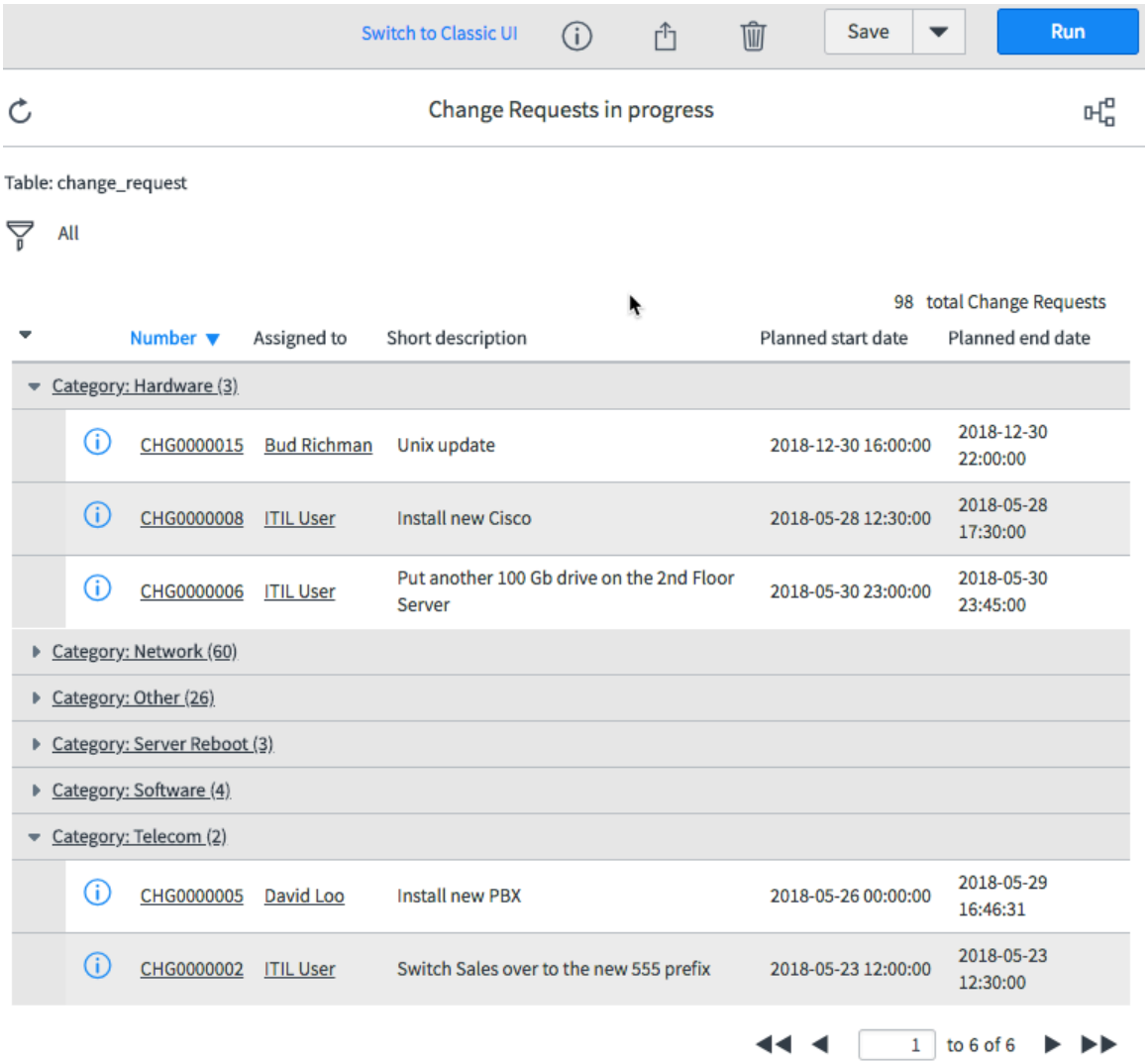
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 でリストの可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。
- リスト v3 を有効にしていても、リスト レポートはリスト v2 で表示されます。
- レコード数ボタンとページネーションボタンは、リストの下部にのみ表示されます。

このリストレポートの例では、インシデントを発信者別にソートして表示しています。

リストレポート



リストレポートのタイプ

リストレポートには 3 つのタイプがあります。

基本リストレポート

追加機能のないリストレポート

変数列を含むリストレポート

変数が関連付けられているデータソースまたはテーブル (サービスカタログデータソースなど) に基づいてレポートを一覧表示します。変数は、多くの場合、コンピューターのストレージ容量などの製品のバリエーションです。

質問列を含むリストレポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連する質問があるデータソースまたはテーブルに基づいてレポートを一覧表示します。たとえば、フォームでユーザーに問題の特定の性質を選択するよう求める場合は、回答の列を含むリストレポートを作成できます。

基本リストレポートでは、テーブル、データソース、インポートされた Excel スプレッドシート、または メトリックベース テーブルをレポートソースとして使用できます。変数列と質問列を含むリストレポートでは、テーブルとデータソースのみを使用します。

質問列と変数列を構成するには、追加の手順があります。

基本的なリストレポートの作成

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデント レポートには、優先度の名前と、ユーザーが優先度をクリックした場合に表示されるレコード数だけが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	リスト レポートに列として表示するフィールド。[列を選択] をクリックすると [列] ウィンドウが開きます。その中の [利用可能] リストで、レポートに表示するフィールドを選択し、[選択済み] リストに移動します。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

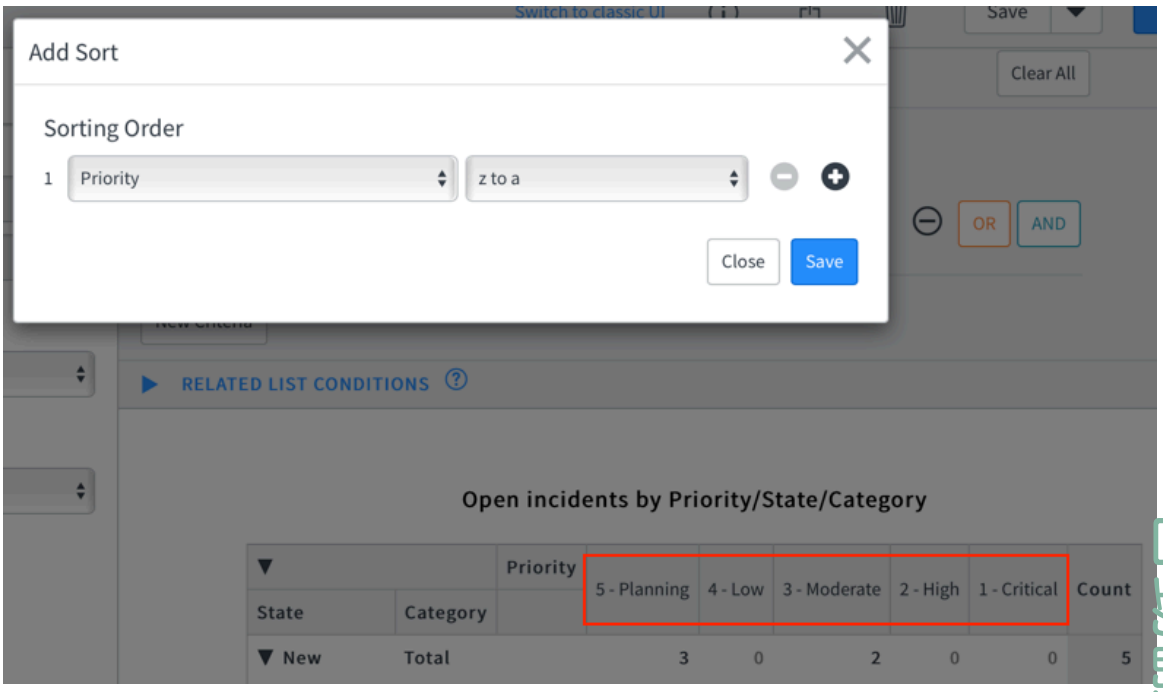
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス ⊕) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー ⊖) を選択します。)

c. [Save (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:** 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
「リストレポートスタイルオプション」を参照してください。

11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳細については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。
- リストのフィルタリングにもかかわらず、PDF 形式のエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限付きデータを表示できないロールに対しては空白として表示されます。

- リスト機能を構成して使用する

変数列を含むリスト レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、変数列を含むリスト レポートを作成できます。たとえば、**Storage** という変数を持つアイテムの場合、この変数の値を表示するための列を持つリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。

レポートソース	説明
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートの表示を促す通知が表示されます。
テーブル	フィルターが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

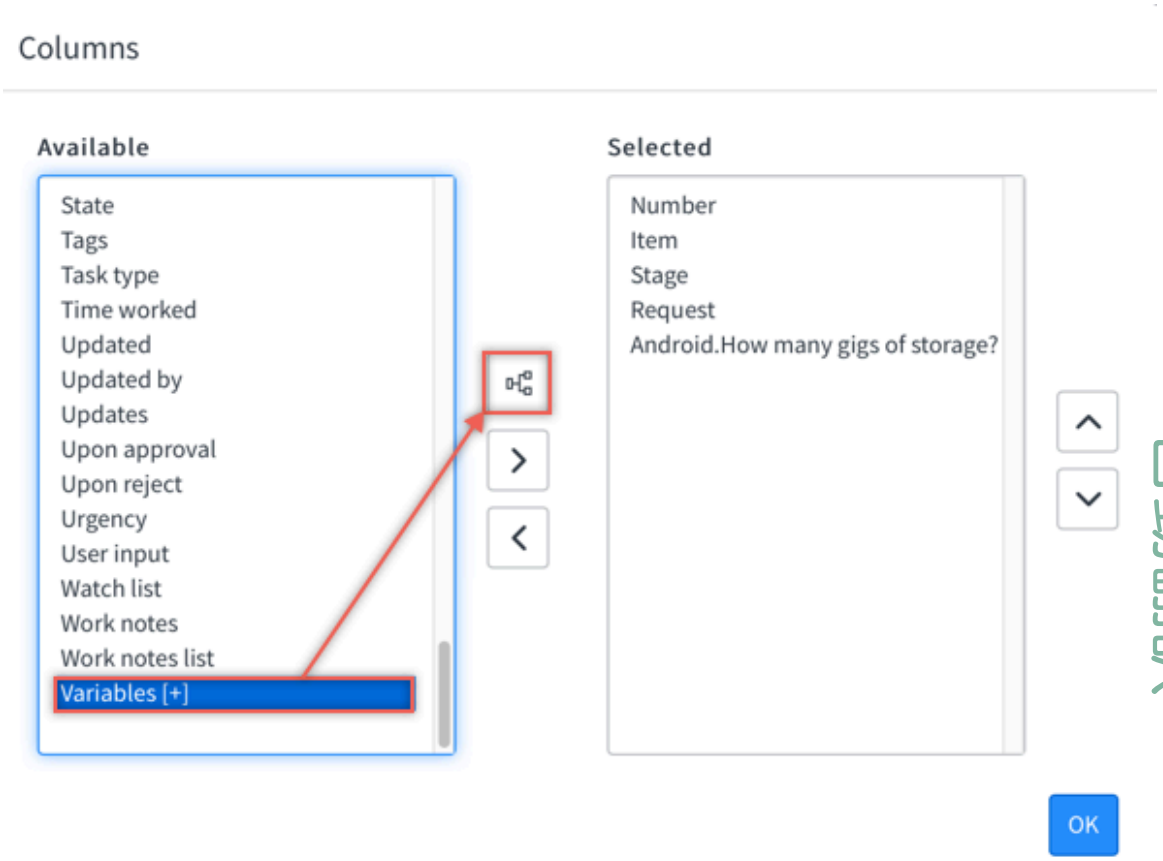
アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [変数 **[+]]** を選択します。

   [変数**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。

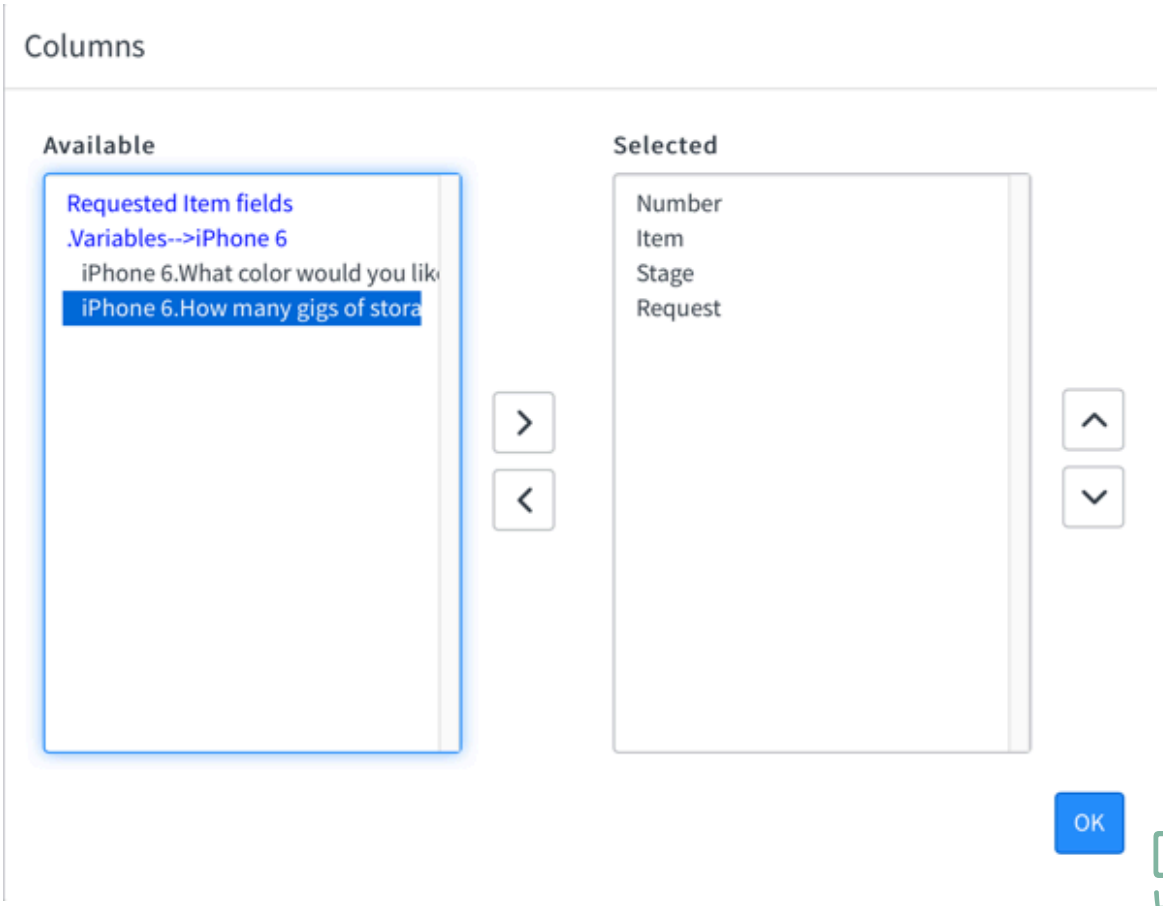
7. 構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
   選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 変数を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ○ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

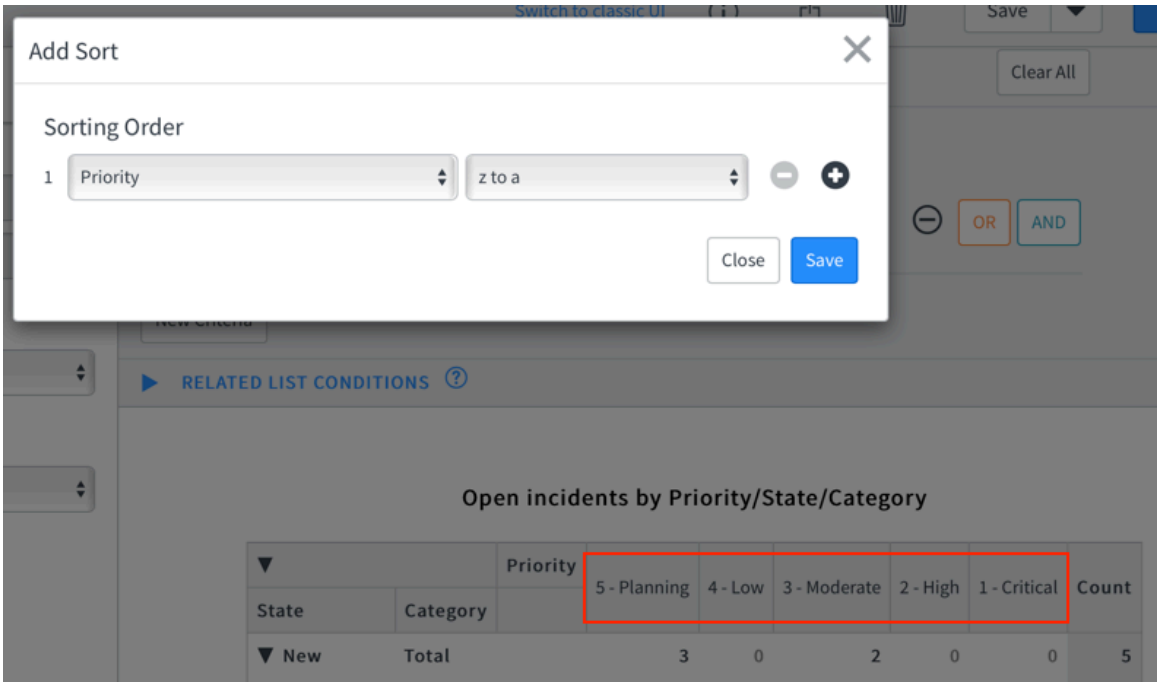
    注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

    b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
    c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
「リストレポートスタイルオプション」を参照してください。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。

  注:

  - PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳細については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。
  - リストのフィルタリングにもかかわらず、PDF 形式のエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限付きデータを表示できないロールに対しては空白として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問列のあるリスト レポートを作成する

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいた質問列を持つ、リスト レポートを作成することができます。たとえば、ユーザーに表示するフォームで、問題の特徴を選択するようユーザーに求める場合に、特徴に対応する値の列を一覧表示するリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。

レポートソース	説明
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートの表示を促す通知が表示されます。
テーブル	フィルターが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

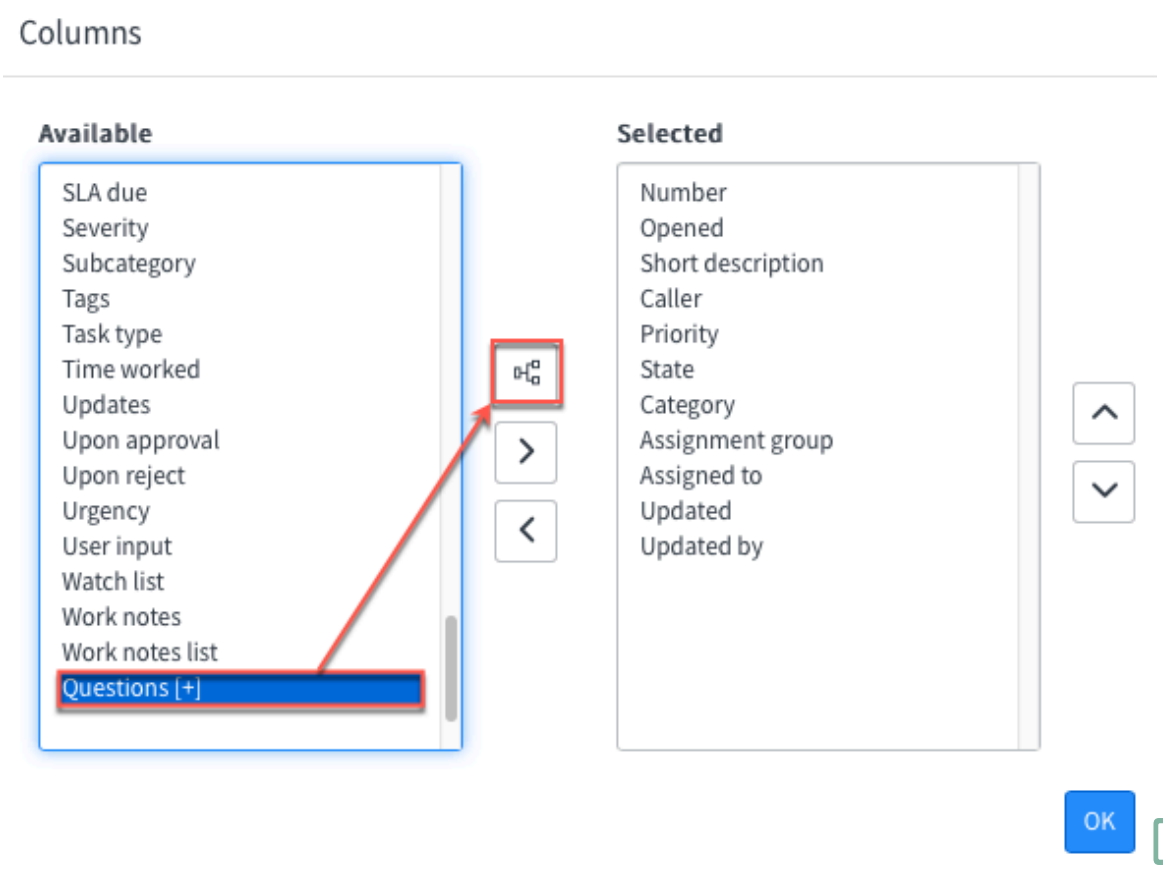
   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [質問 **[+]]** を選択します。

   [質問**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

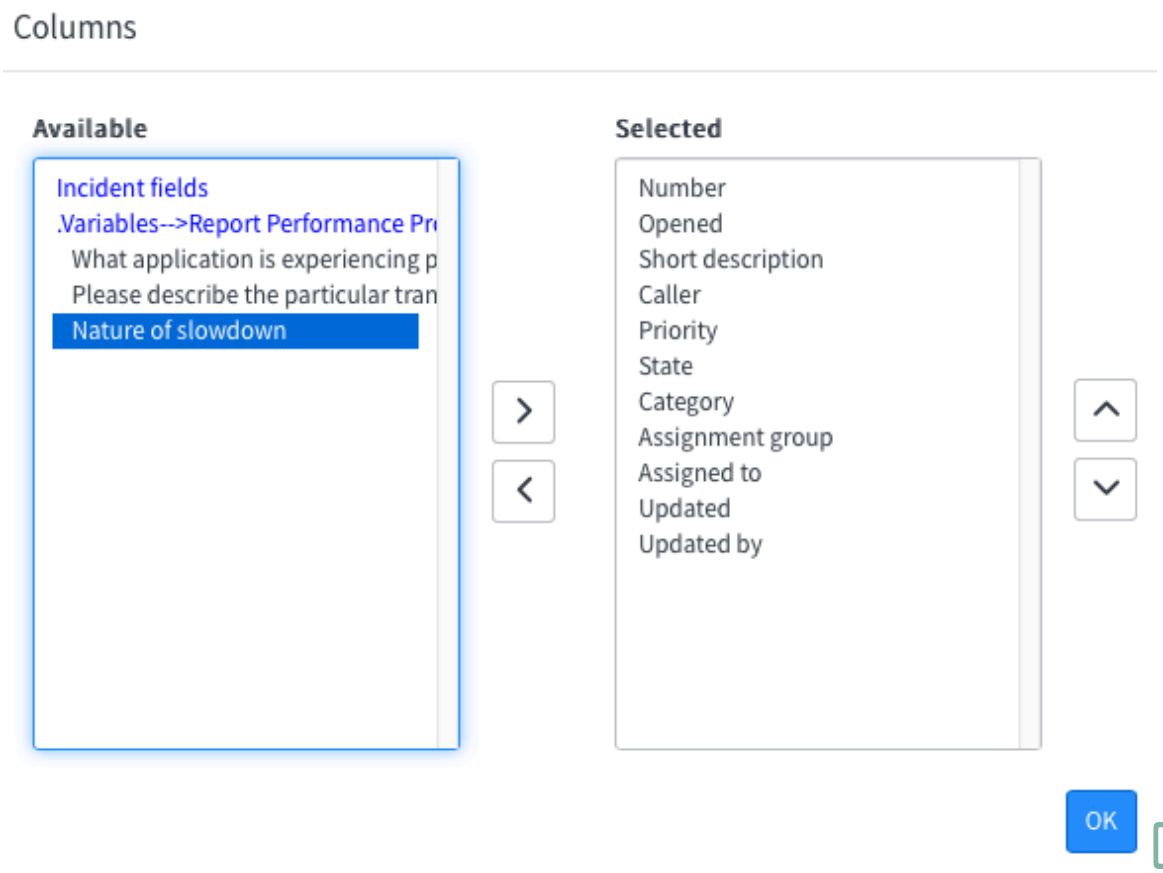
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 質問を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ○ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。

    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

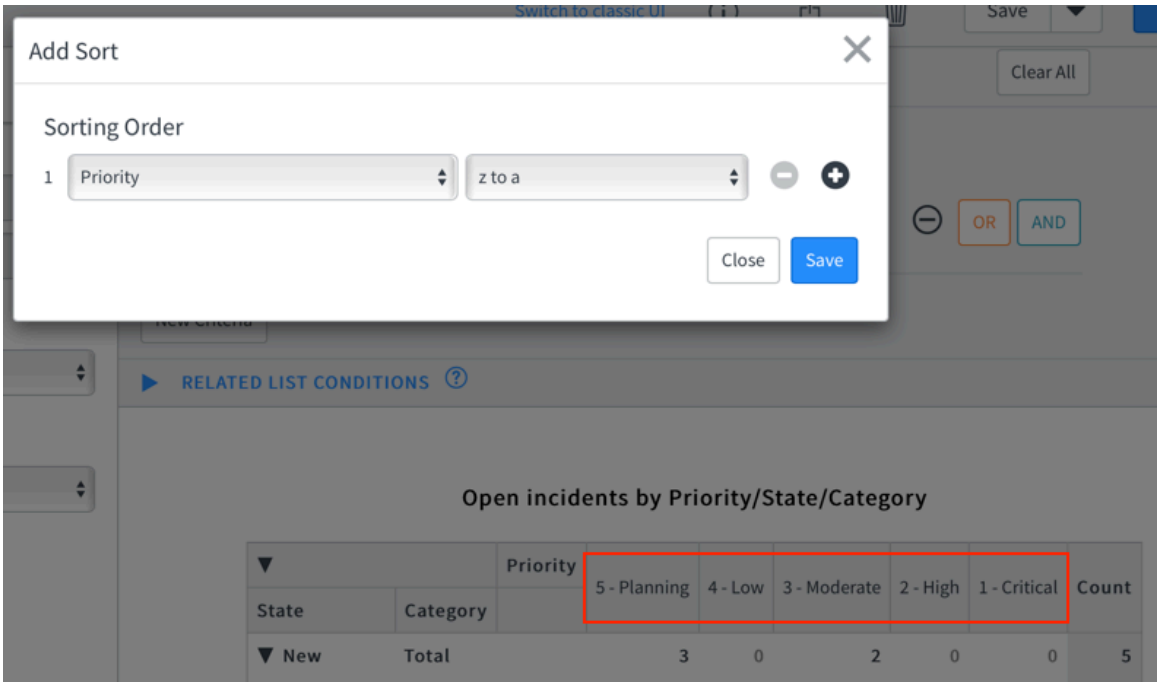
    b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

    c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートタイトルを追加して構成します。
「リストレポートスタイルオプション」を参照してください。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。

    注: PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳細については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。

リストレポートスタイルオプション

リストレポートにタイトルを追加し、タイトルのサイズ、色、配置を構成します。

リストレポートを作成または編集するときに、[データ] タブで指定したレポート名に代わるタイトルを追加できます。レポートを共有しているユーザーには、レポートの名前の代わりに新しいタイトルが表示されます。

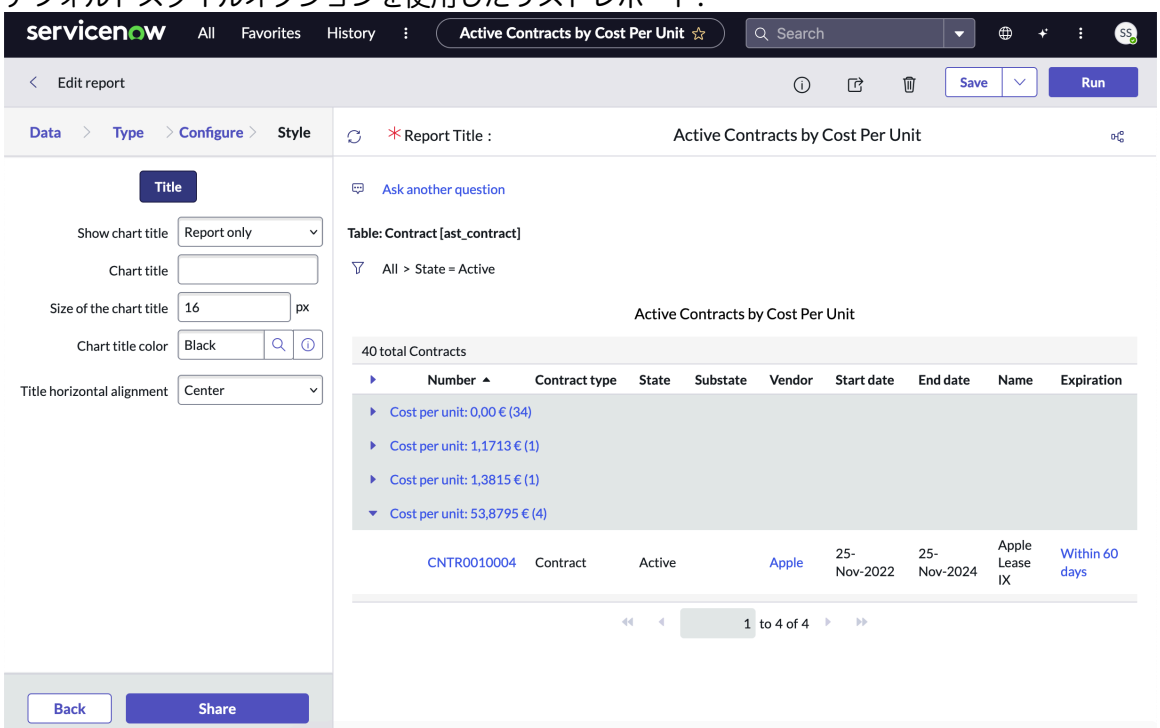
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストレポートスタイルオプション

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。

例

デフォルトスタイルオプションを使用したリストレポート:

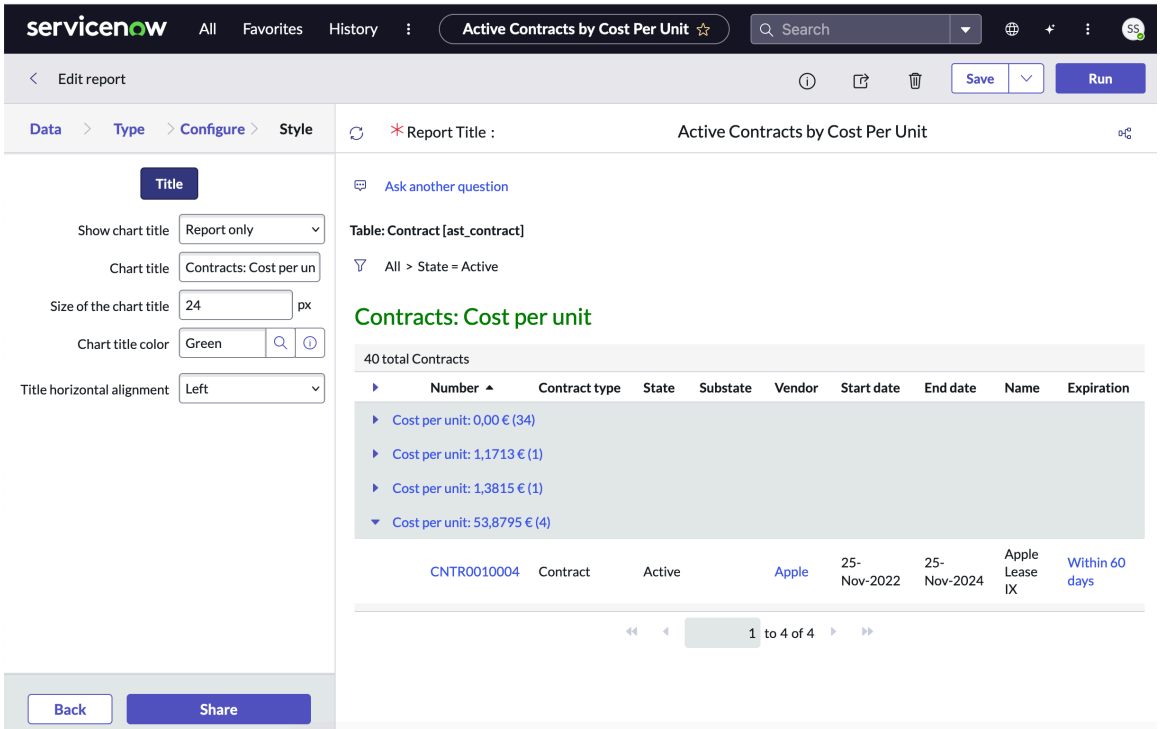


)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タイトル、タイトルサイズ、タイトルの色、および配置が構成されたリストレポート:



リストレポートのレコードをグループ化

グループ化されたリスト レポートでは、通常のリストに表示するように構成されたレコードのみを各グループに表示できます。リスト レポートの情報行を特定のフィールド別にグループ化できます。サービスカタログ変数別にリスト レポートをグループ化することはできません。

一度に 100 件のレコードを表示するように構成されたリストでは、そのグループ内のレコード数に関係なく、最初の 100 件のレコードのみを表示できます。グループ内でページングを使用することはできず、グループ化されたリストから離れずに残りのレコードにアクセスすることはできません。グループ内のすべてのレコードにアクセスするには、次のようにします。

- リストの表示サイズを大きくします。
- グループ ヘッダーをクリックして、そのグループでページングが有効になっている通常のリストに戻ります。

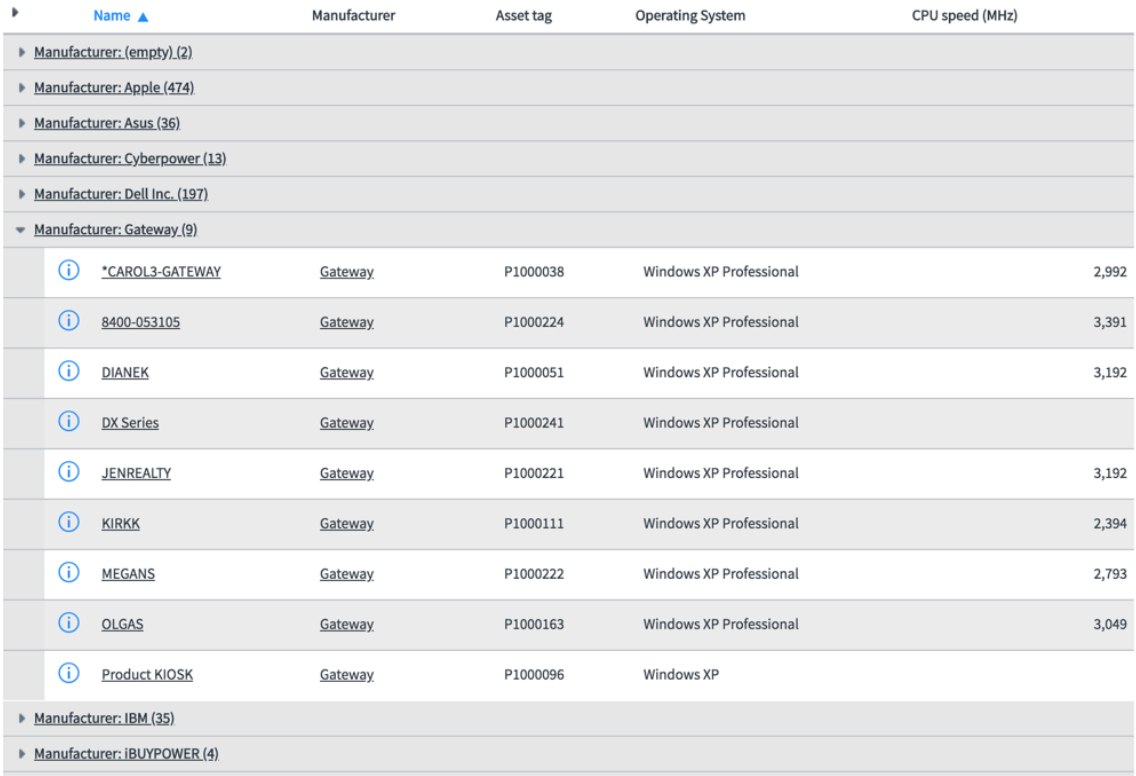
リスト レポートでは、グループ化されたレコードを自動的に展開するためのユーザー設定はサポートされていません。

デフォルトでは、レポートのセクションは折りたたまれています。この例では、製品のリストがメーカー別にグループ化され、ゲートウェイに関連付けられたアイテムが展開されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化されたリスト レポート



Name ▲	Manufacturer	Asset tag	Operating System	CPU speed (MHz)
Manufacturer: (empty) (2)				
Manufacturer: Apple (474)				
Manufacturer: Asus (36)				
Manufacturer: Cyberpower (13)				
Manufacturer: Dell Inc. (197)				
Manufacturer: Gateway (9)				
*CAROL3-GATEWAY	Gateway	P1000038	Windows XP Professional	2,992
8400-053105	Gateway	P1000224	Windows XP Professional	3,391
DIANEK	Gateway	P1000051	Windows XP Professional	3,192
DX Series	Gateway	P1000241	Windows XP Professional	
JENREALTY	Gateway	P1000221	Windows XP Professional	3,192
KIRKK	Gateway	P1000111	Windows XP Professional	2,394
MEGANS	Gateway	P1000222	Windows XP Professional	2,793
OLGAS	Gateway	P1000163	Windows XP Professional	3,049
Product KIOSK	Gateway	P1000096	Windows XP	
Manufacturer: IBM (35)				
Manufacturer: iBUYPOWER (4)				

リストレポートのエクスポート

レポートのエクスポートをスケジュール設定することで、リストレポートを Excel、PDF、または CSV にエクスポートできます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

注: アドミニストレーターが作成した制限により、これらのロールを持つユーザーに は [スケジュール] オプションが表示されない場合があります。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 からデータの可視化をエクスポートする 可視化デザイナー」を参照してください。

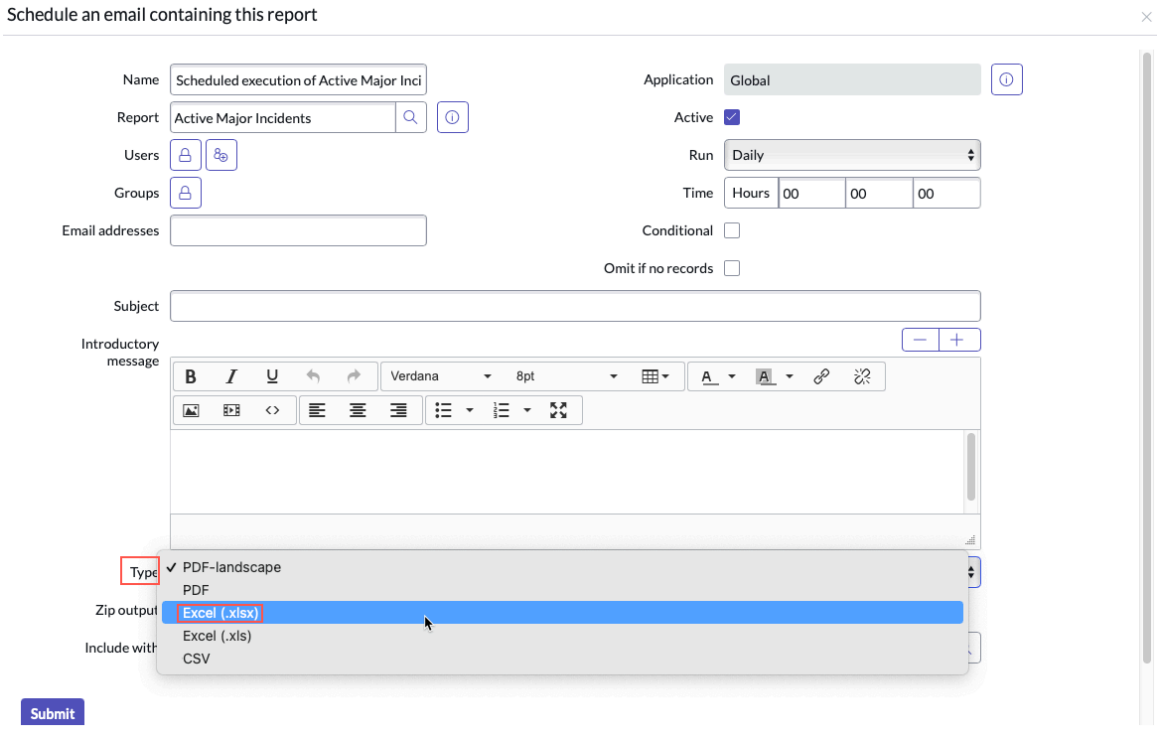
手順

1. 移動先 部下 > 表示/実行.
2. エクスポートするリストレポートを開きます。
3. [共有]) を選択し、[スケジュール] を選択します。
4. 保存されたリストレポートを希望の形式でエクスポートするようにスケジュールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイプ に **PDF** 、PDF (横向き)、Excel、または CSV を指定します。Excel ではレポートの期間がミリ秒で表示されます。「<x> 日 <y> 時間」という形式では表示されません。詳細については、「コア UI レポートのメールのスケジュール設定」を参照してください。



結果

スケジュール済みレポートの受信者は、指定されたフォームでレポートを受信します。

プラットフォームリストを **Excel** にエクスポート

リストには、テーブルのレコードセットが表示されます。クラシック環境のリストからスプレッドシートに情報をエクスポートできます。

始める前に

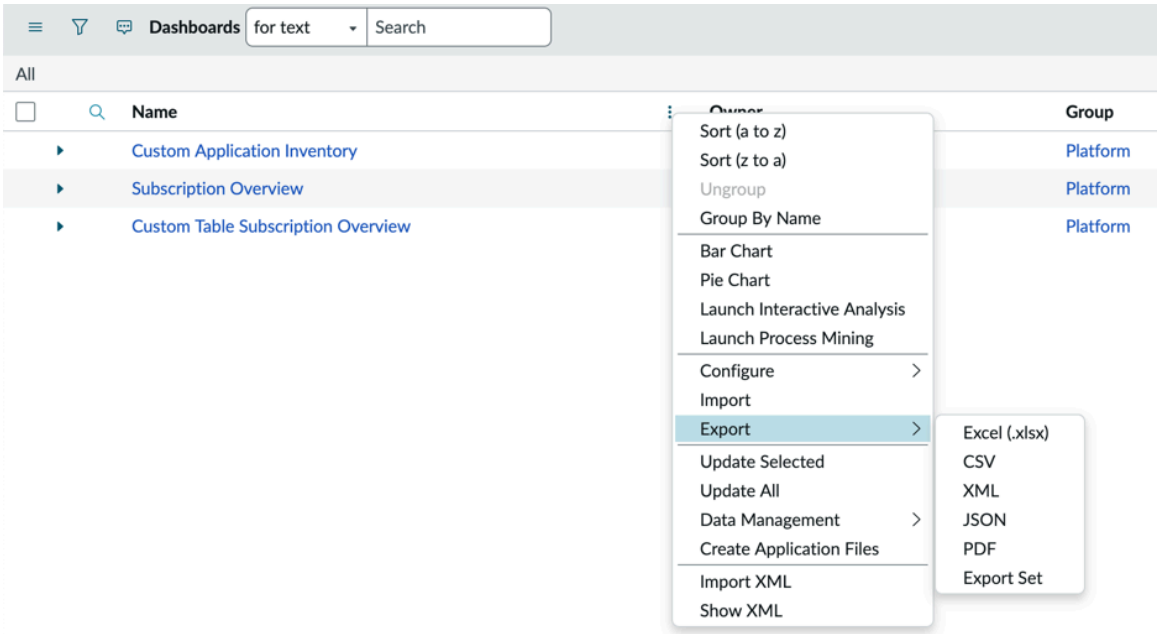
必要なロール:なし。ただし、リストを表示する権限が必要です。

詳細については、「クラシック環境のリスト」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エクスポートするリストに移動します。
2. 任意の列見出しを右クリックし、 エクスポート > **Excel**.



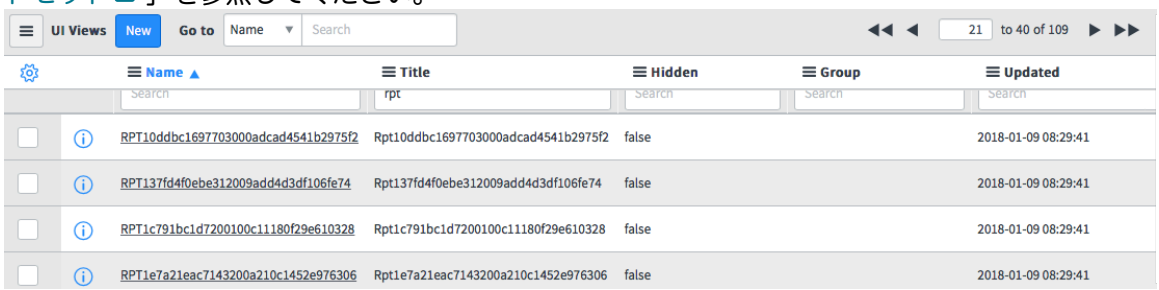
更新セットを使用したリストレポート列構成の適用

リストレポートの構成された列は、更新セットをコミットすることによって別のインスタンスに移動できます。

構成されたリストレポート列は、更新セットを収容するときにインスタンスに自動的には適用されません。リストレポートは、レポートを保存するたびに作成される UI ビューを使用してレンダリングされます。構成された列がリストレポートまたは別のインスタンスのダッシュボードウィジェットに表示されるようにするには、次の手順に従います。

1. UI ビューテーブルから、変更のレポート (RPT) ビューレコードのsys_idを検索します。
2. 更新セットに追加します。

カスタマイズされた構成を更新セットに追加して適用する方法については、「システムアップデートセット」を参照してください。



マップ レポート

マップ レポートは、データをマップ (地図) 上に表示します。データを地理的ヒートマップ ( ) として表示したり、特定のデータポイント ( ) を表示したりできます。

マップを拡大すると、より詳細な画面が表示されます。ヒートマップ モードでは、データが含まれているマップ上の任意の地域をクリックして、マップにドリル ダウンすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

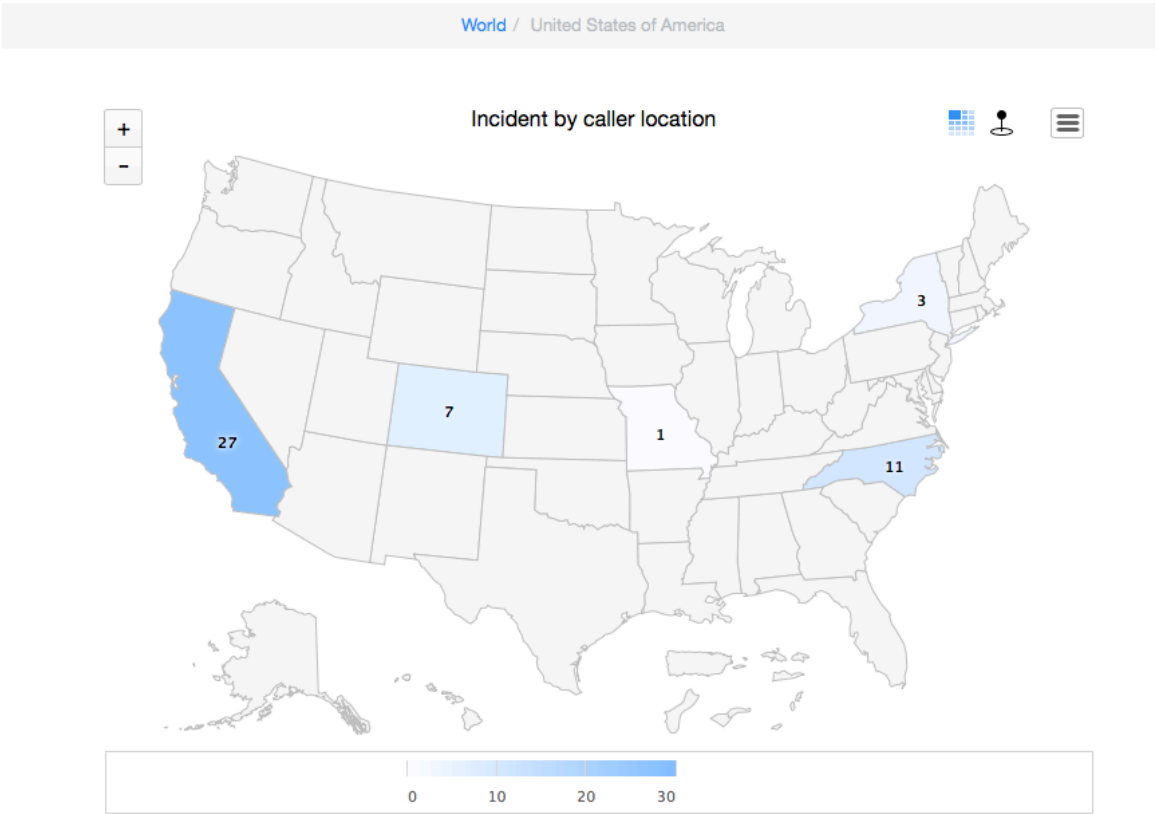
注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 ジオマップデータの可視化を作成」を参照してください。

マップ レポートにドリル ダウンする場合はマップ レポートを保存してください。未保存のレポートにドリル ダウンすることはできません。

マップ階層の最下層にはデータ ポイントのみ表示できます。この最下層のデータをクリックすると、データがリスト ビューまたはドリル ダウン ビュー (そのように構成している場合) に表示されます。

制限事項

- Internet Explorer バージョン 7 および 8 では、マップはサポートされていません。
- マップ レポートは、Internet Explorer バージョン 7 ～ 9、Firefox バージョン 31 ～ 37、Safari 5、またはすべてのバージョンの Edge ブラウザで、画像として保存することはできません。最良の結果を得るには、Chrome を使用してマップ レポートを操作してください。
- マップ レポートは PDF としてエクスポートすることはできませんが、画像として保存することはできます。
- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。



マップ レポートを作成する

マップ レポートを作成して、地理的なヒートマップ上にデータをプロットするか、特定のデータ ポイントのピン位置でデータをプロットします。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「マップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
このデータをマップ	マップにプロットするデータ。レポート管理者がマップ ソースとして準備したデータのみ使用できます。
マップを設定	レポートの開始マップ。ズームインができますが、このマップからズームアウトすることはできません。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、レポートの外観を構成します。
必要に応じてフィールドを入力します。

マップ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の値ごとに異なる色を使用します。このチェック ボックスをオフにすると、データのあるすべての地理的な場所が同じ色で表示されます。
高スコア用の色	高い値を示す色。
低スコア用の色	低い値を示す色。

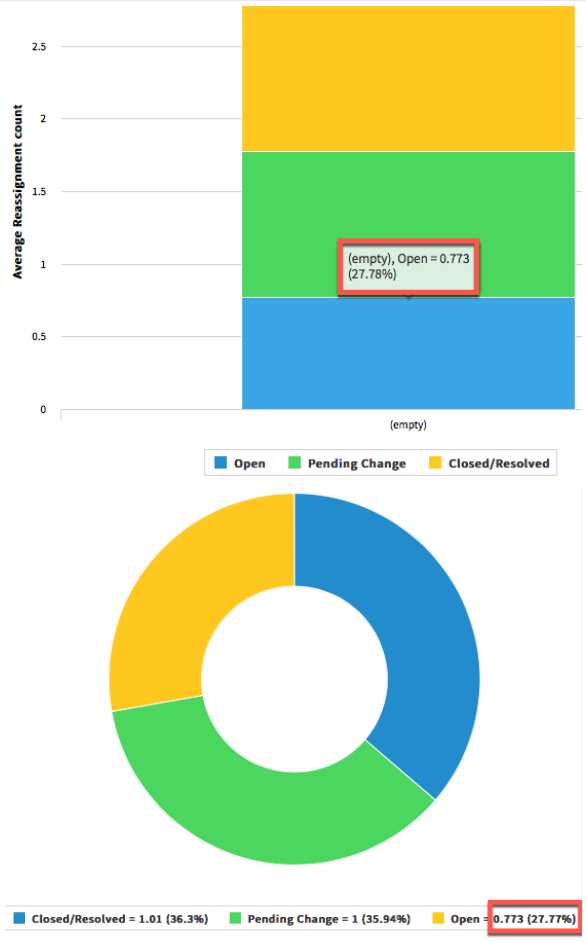
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
地理的ラベルを表示	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の国、地域、州などの地理的オブジェクトの名前が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 ○ 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 ○ レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 ○ 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルの	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
[凡例] タブのフィールド (レポートで色が使用されている場合のみ使用可能)	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

10. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

マルチレベル ピボット テーブル

マルチレベル ピボット テーブルでは、集計データが複数のディメンションに分類されて 1 つの表に表示されます。行と列の値の組み合わせごとに別々のセルが表示され、第 1 レベルの行には列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

また、変数を含む列と行を持つマルチレベル ピボット テーブルを作成することもできます。「レポートでのサービスカタログ変数の使用」を参照してください。

テーブルの行を展開したり折りたたんだりして、グラフの詳細を表示することも、小計のみを表示することもできます。マルチレベル ピボット レポートの一番上の行は常に表示されます。

注:

- このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 でピボットテーブルデータの可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。
- 行の構成によってはチャートに小計情報が表示されなくなります。たとえば、文字列の列のテキスト値が同じであっても文字の大文字と小文字が異なる場合などです。
- このレポートタイプは PDF としてのみスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

小計と展開された行が表示されたマルチレベル ピボット

Multilevel Pivot Report Example

▼		Active	false				true	Count
		State	Closed	New	In Progress	On Hold	Resolved	
Last name	Name							
▼ (empty)	Total			5		1		6
	(empty)			5		1		6
▼ Anglin	Total		1		5			6
	Sales		1		5			6
▼ Goodliffe	Total		4		4			8
	Development		4		4			8
▼ Johnson	Total		1		1	1		3
	Sales		1		1	1		3
▼ Loo	Total		6		1	1		8
	Development		6		1	1		8
▶ Luddy	Total				2	1		3
▶ Richman	Total		1		1		2	4
▶ User	Total		3		6	2		11
▶ Whitherspoon	Total		1					1
▶ Wilson	Total		3					3
Count			20	5	20	6	2	53

マルチレベル ピボット レポートを作成する

マルチレベル ピボット テーブルを作成して、集計データを複数の評価指標に分類して 1 つの表に表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

注: まったく新しい Zurich インスタンスでは、report_admin ロールを持つユーザーのみがレポートを作成できます。これらのインスタンスで情報を可視化するには、「データの可視化の作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	チャートの列として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 3 つの列を選択できます。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください 注: [タグ] フィールド別にグループ分けすることはできません。
行を選択	チャートの行として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 5 つの行を選択できます。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください 注: [タグ] フィールドはマルチレベル ピボット レポートではサポートされていません。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。

自動翻訳

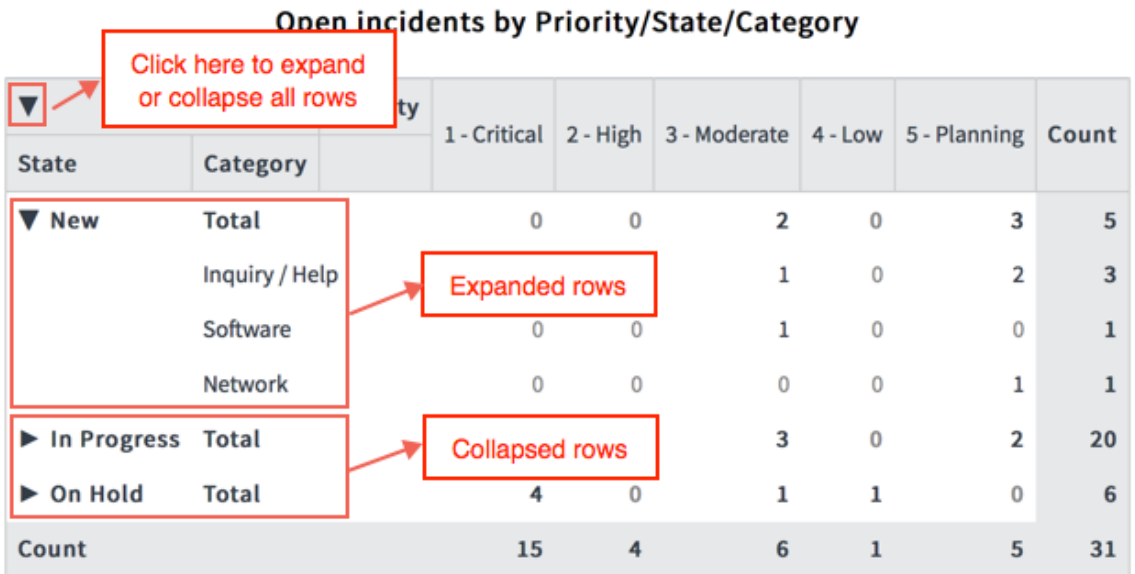
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注: 通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

8. オプション: 行が展開された状態のレポートを表示するには、[デフォルトで展開] を選択します。選択しない場合は、すべての行が折りたたまれた状態でレポートが表示されます。

折りたたまれた行と展開された行を含むマルチレベル ピボット レポート



9. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

10. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

    フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。

    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

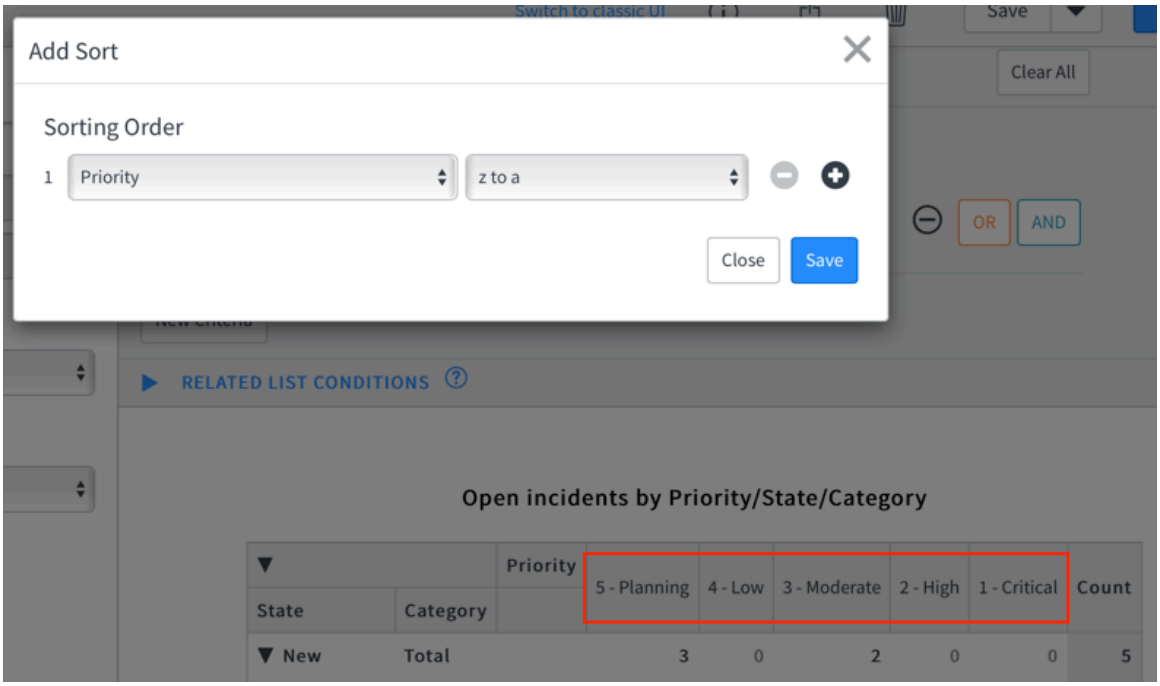
    b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

    c. **[Save** (保存)] を選択します。

    選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



11. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

12. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
13. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで、マルチレベルピボットレポートに関する詳細な情報やヘルプを検索してください。

変数の列と行を含むマルチレベルピボットレポートの作成

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、可変の列と行を含むマルチレベルピボット レポートを作成できます。変数はカタログ アイテムの説明です。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [設定] タブで、[列を選択] をクリックします。

   [マルチレベル ピボット列] ウィンドウの [利用可能] リストで、レポートで使用する列を選択し、[選択済み] リストに移動します。

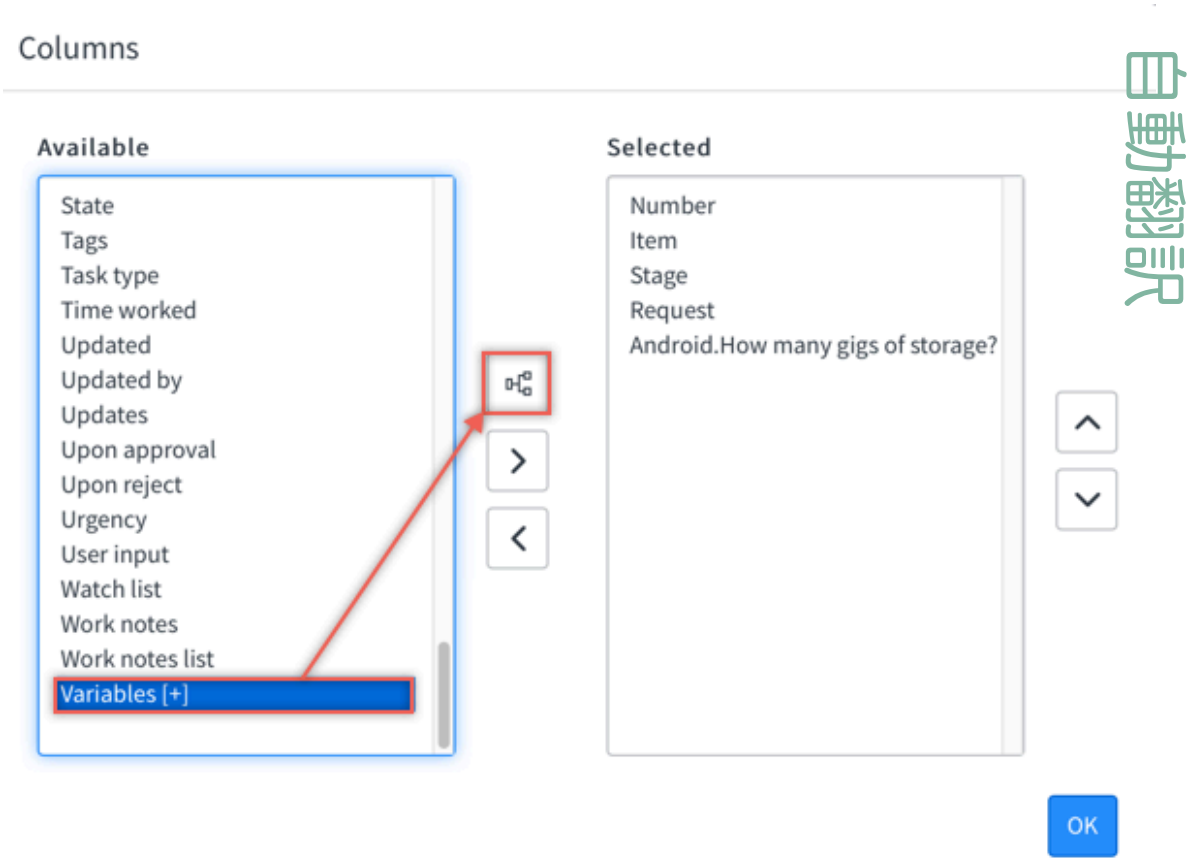
   注: レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

   システム構成によっては、レポート データ ソースとして選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。

7. 列として使用する変数を選択します。

   a. レポートの列として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。
   レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 3 つの列を選択できます。

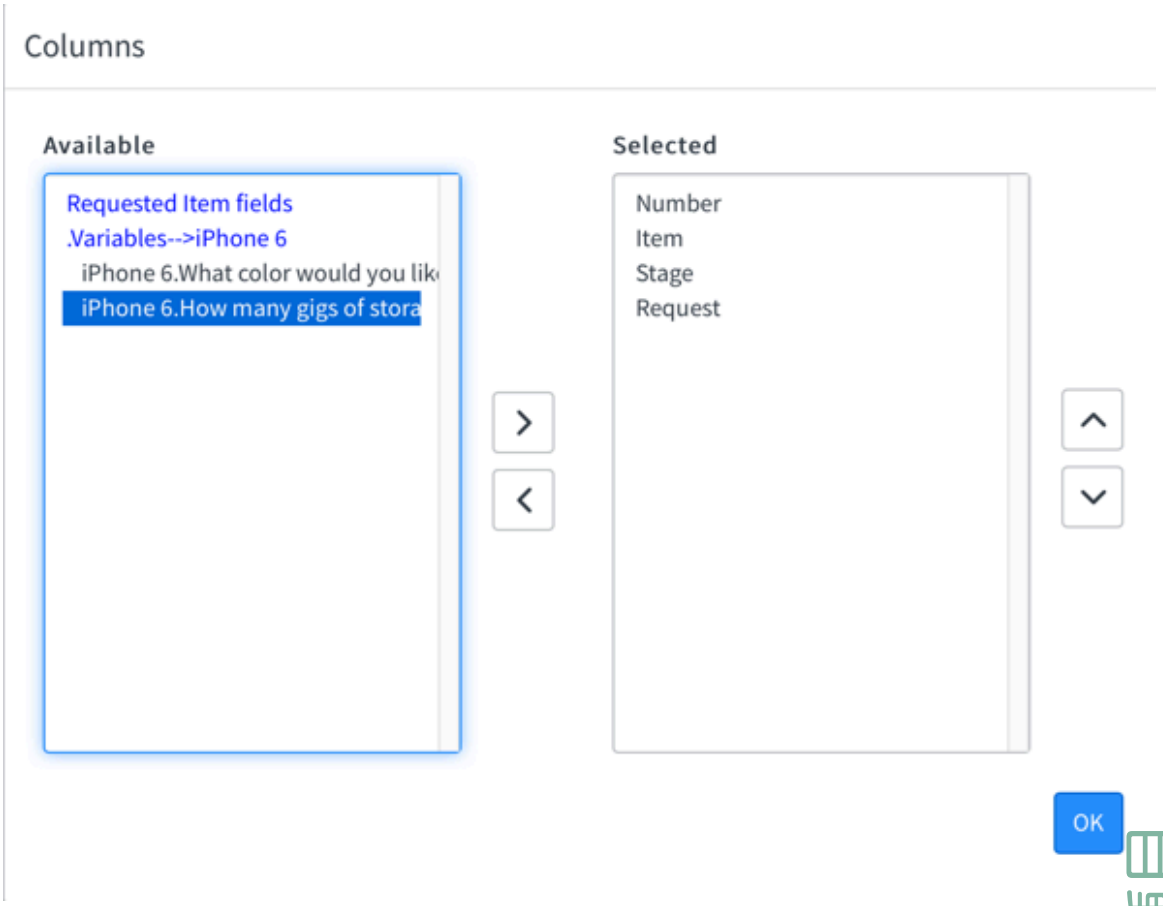
   b. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。



   c. ポップアップ ウィンドウから [カタログ アイテム] を選択します。
   アイテムに関連付けられた変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 選択した変数を [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください

8. [行を選択] をクリックし、レポートの行として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。

列の選択方法と同様に、行を選択します。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください。

レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 5 つの行を選択できます。

> **注:** レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

9. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注: 通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

10. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

    フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。

    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

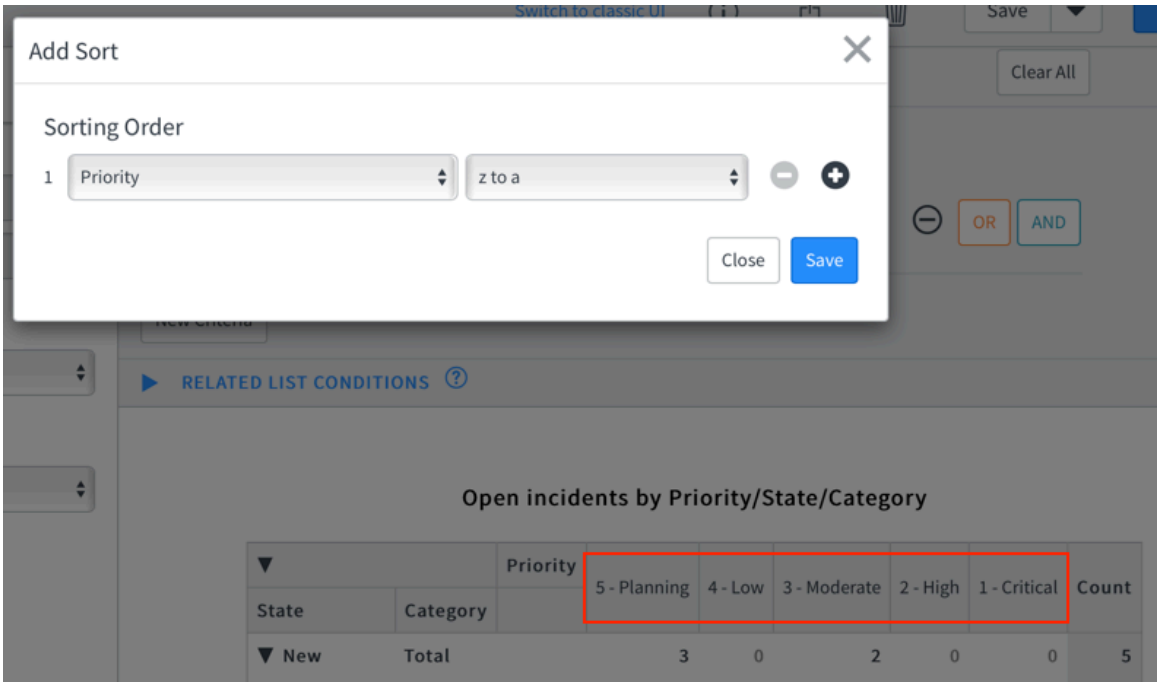
    b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

    c. **[Save** (保存)] を選択します。

    選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで、マルチレベルピボットレポートに関する詳細な情報やヘルプを検索してください。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

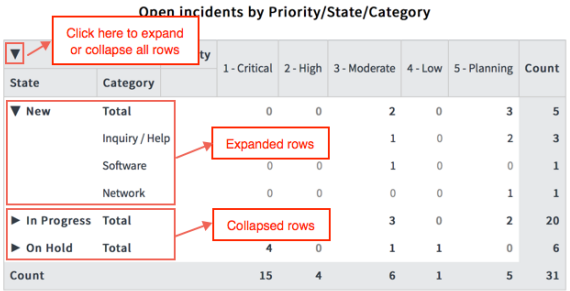
マルチレベル ピボット チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

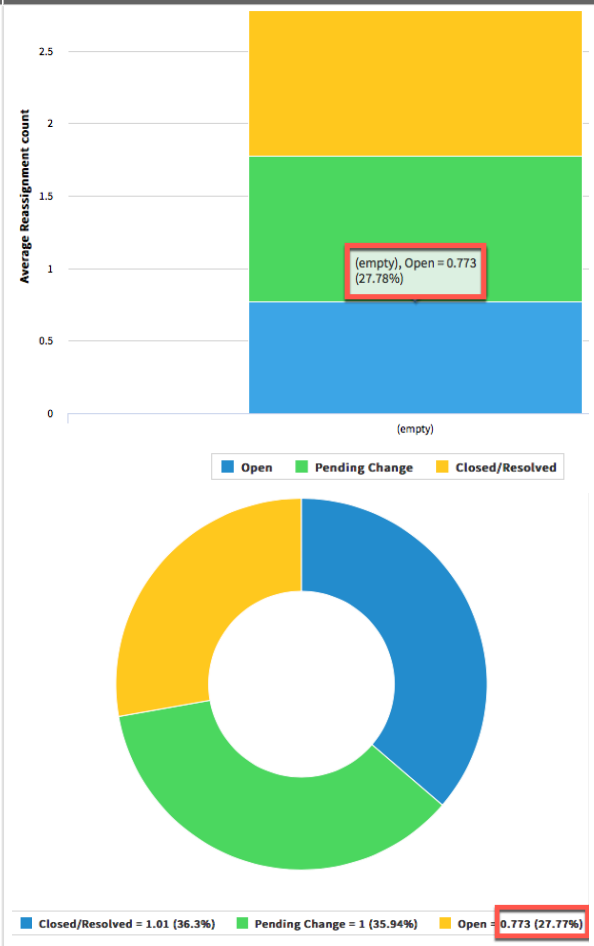
マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。[集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトで展開	レポートが表示されるときにすべての行を展開するには、このチェック ボックスをオンにします。レポートが表示されるときにすべての行を折りたたむには、このチェック ボックスをオフにします。 
行の線を表示	レポートの行間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
列の線を表示	レポートの列間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	セルまたは数値のセル テキストをレポートでどのように色付けするかを構成するには、このハイパーリンクをクリックします。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する」を参照してください。 **注:** マルチレベルピボットレポートの [合計] セルに色分けルールを適用することはできません。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

パレート図レポート

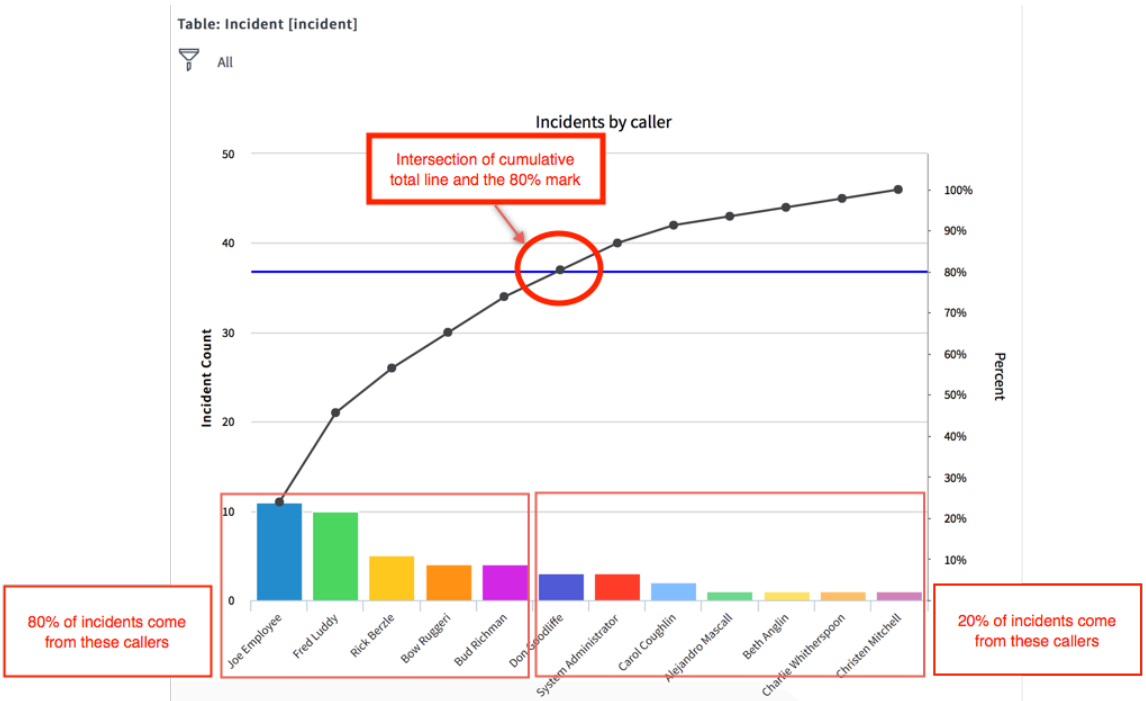
パレート図は、一連の大規模なディメンションの中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。

パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。80% のマークにある青い線は、どのデータがプロセスに最も影響を与えているかを判断するのに役立ちます。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「パレート棒グラフデータの可視化を作成」を参照してください。

下の図は、インシデント コールの 80% が 5 人の問い合わせユーザーで占められており、他の 20% が 7 人で占められていることを示しています。

パレート図レポートの例



パレート図レポートの作成

大規模な要因群の中で最も重要な要因を特定するパレート図レポートを作成します。棒グラフにはデータが降順で表示されます。曲線は累積のパーセンテージを示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「パレート図」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ 」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

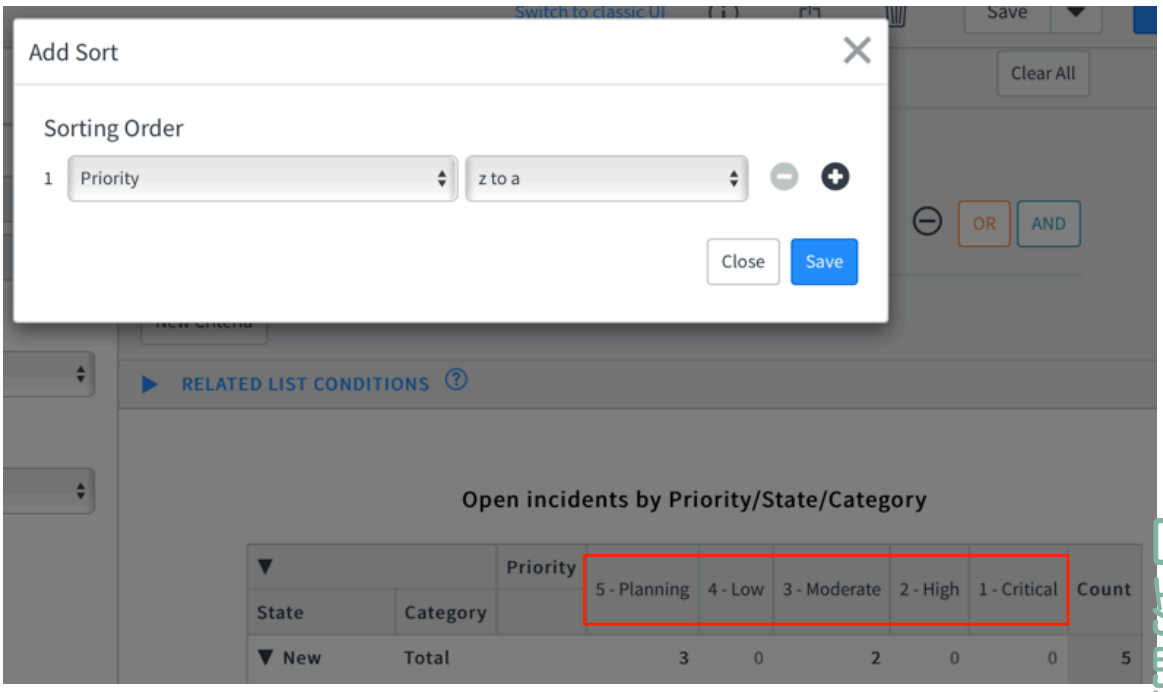
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス ⊕) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー ⊖) を選択します。)

c. [Save (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:** 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

パレート図レポートのスタイル オプション

パレート図レポートの外観を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

注: 累積合計パーセンテージラインは構成できません。無効にしたり、色を変更したりすることはできません。

パレート図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで事前定義された色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 注: 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	• [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

円グラフ

円グラフには、全体を構成する割合が表示されます。

円グラフを使用して、オープンのインシデントなどを優先度別に表示することができます。たとえば組織が、重要なインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。オープンのインシデントには常にさまざまな優先度レベルがあるという状況において、インシデント数が許容範囲を超えたときに、円グラフですばやく確認することができます。この図は、オープンのインシデントの 14.61% が重要であることを示しています。

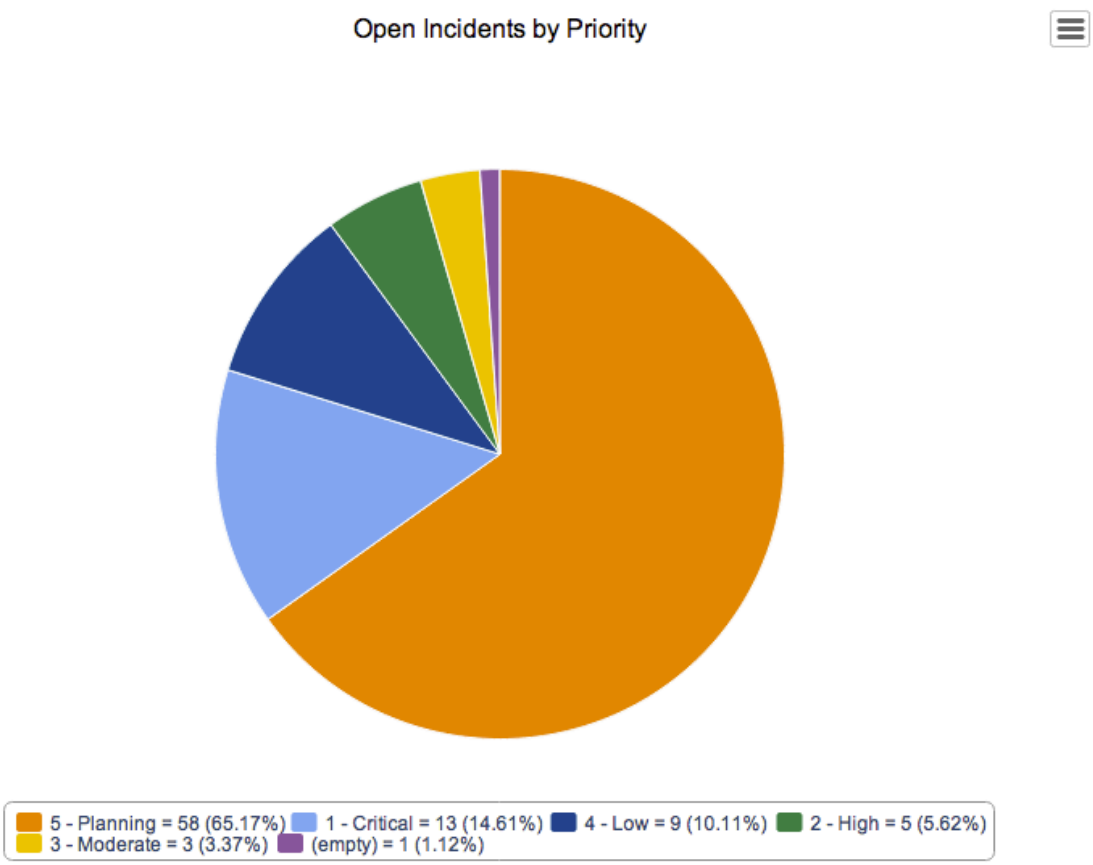
注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 円またはドーナツグラフのデータ可視化を作成」を参照してください。

このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの円グラフ 」と「モバイルダッシュボードプレビュー 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円グラフ



自動翻訳

円グラフを作成

個々のカテゴリのサイズを全体と比較する円グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「円グラフ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

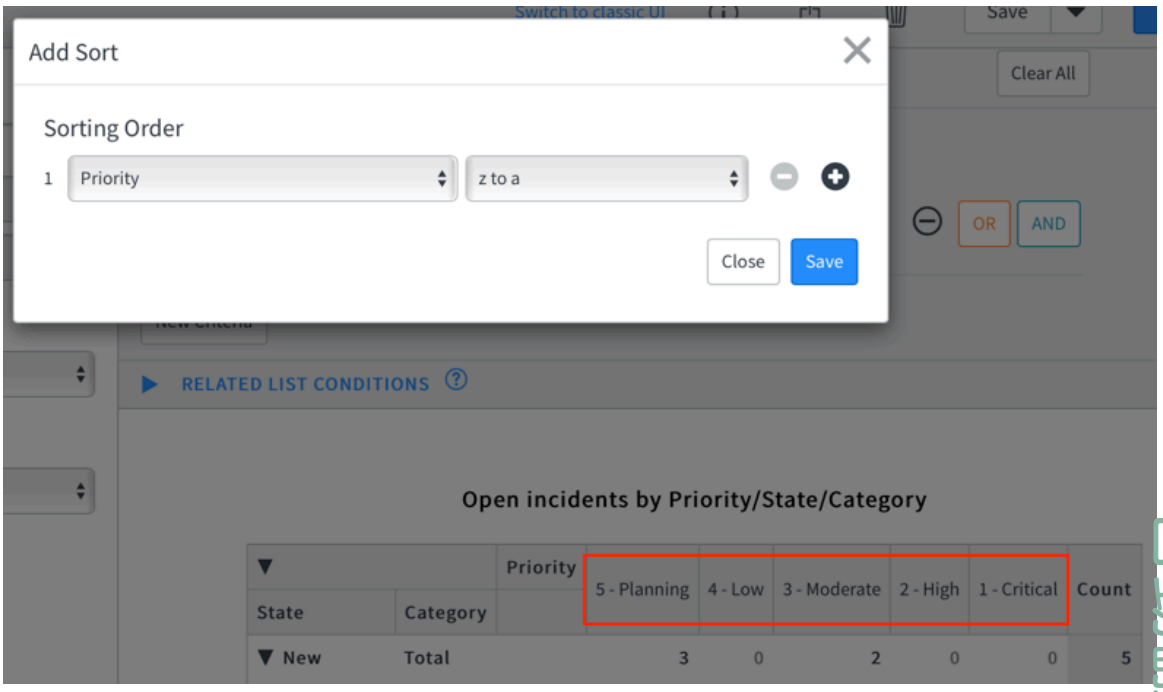
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス ⊕) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー ⊖) を選択します。)

c. [Save (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:** 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

円グラフのスタイル オプション

円グラフの外観を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

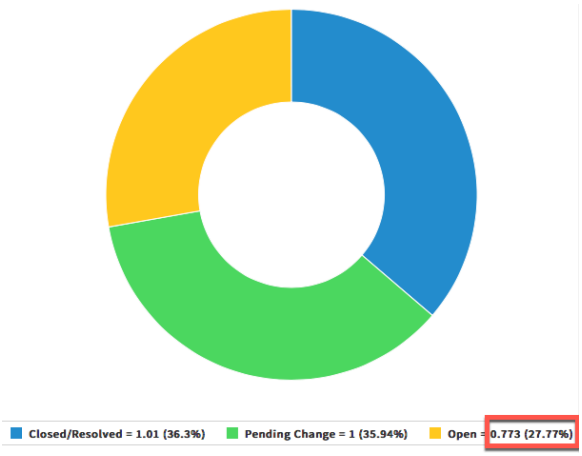
グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各スライスの値を表示するには、チェック ボックスをオンにします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均アグリゲーションで使用できます。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボットテーブル

ピボット テーブルは、表からデータを集計して、ユーザーが定義した列および行に配置します。ピボット テーブルは、要約されたデータのソースをすばやく調べるのに役立ちます。空でないセルには、セルが表すレコードの数を示すツールヒントが表示されます。空でないセルをクリックすると、それらのレコードの内訳が表示されます。

フィルターを設定してデータをさらに絞り込み、アグリゲーション値を選択できます。

注: ピボットテーブルレポートは引き続き使用できますが、このレポートの機能拡張は予定されておらず、制限は修正されていません。新しいレポートと問題のある古いレポートの場合は、マルチレベルピボットテーブルレポートを使用します。マルチレベルピボットテーブルはピボットテーブルよりも安定しており、多くの機能を備えており、継続的にメンテナンスされています。詳細については、「マルチレベルピボットテーブル」を参照してください。

ピボットテーブル

Incident Breakdown

	Category						
Assigned to	**Request**	**Inquiry / Help**	**Software**	**Hardware**	**Network**	**Database**	**Total**
(empty)	0	0	1	0	1	0	2
Beth Anglin	0	2	1	1	1	0	5
Bow Ruggeri	0	1	0	0	0	0	1
Bud Richman	1	0	1	0	0	0	2
Charlie Whitherspoon	0	0	1	0	1	0	2
David Loo	0	4	1	3	0	1	9
Don Goodliffe	0	3	2	1	0	1	7
Fred Luddy	0	0	1	0	0	0	1
Howard Johnson	0	0	2	1	0	0	3
ITIL User	0	8	5	2	0	0	15
Luke Wilson	0	2	1	0	0	0	3
Total	1	20	16	8	3	2	50

ピボットテーブルの作成

表からデータを集計して列と行に配置するピボット テーブルを作成します。ツールヒントは、値が何を表しているかを示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細につ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	いては、「メトリックベース」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ピボット」と入力し、[その他] セクションからピボット レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
行	チャートの行のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。
列	チャートの列のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

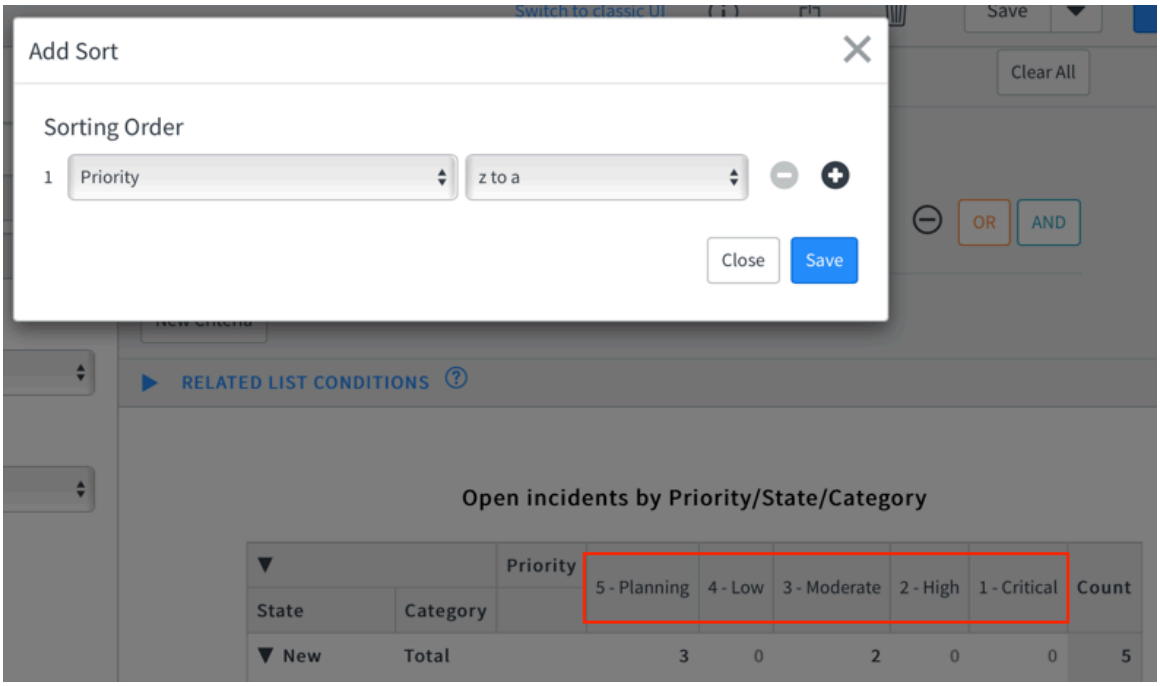
   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)

   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで、ピボットレポートに関する詳細なインサイトやヘルプを検索してください。

注: インポートエクスポートプロパティ glide.pdf.max_rows は、プラットフォーム製品の PDF データエクスポートの行制限に適用されますが、レポート製品から PDF にエクスポートされたピボットレポートの場合は、合計セルの最大数 (行と列の両方) を設定します。

ピボット レポートのスタイル オプション

ピボット レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。

単一スコア レポート

単一スコア レポートは、ビジネスにとって重要な単一の値を表示します。単一スコアレポートをダッシュボードに追加し、リアルタイムで更新するように構成します。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 単一スコアデータの可視化を作成」を参照してください。

レポートレベルで追加された 動的条件 を含む単一スコアレポートは、手動で更新するか、ページの更新時に更新しない限り、ダッシュボードにリアルタイムの更新を表示することはありません。リアルタイムダッシュボードウィジェットは、単一スコアウィジェットを自動更新するために、更新が行われたことを認識するレコード監視に依存しています。ただし、動的条件は Record Watcher の一部としてサポートされていません。詳細については、「 スコアウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成」を参照してください。

ダッシュボードに追加された単一スコア レポート

注: このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。

このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの単一スコアレポート 」と「モバイルダッシュボードプレビュー 」を参照してください。

単一スコア レポートを作成する

単一スコア チャートを作成して、ビジネスにとって重要な評価指標またはスコアを表示します。値はダッシュボードでリアルタイムで更新されます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「単一スコア」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [構成] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	レポート データを集計する計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: 単一スコアチャートには、集計値のみが表示されます。 [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択した場合は、選択した [テーブル] からのフィールドのリストが表示されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。例えば、[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間のフィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

   注: 通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。
8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

単一スコア レポートのスタイル オプション

単一スコア レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

単一スコア チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	このチェック ボックスをオンにすると、レポートの値がゼロの場合に数値 **0** が表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、セルの値が 0 の場合にエラー メッセージが表示されます。 [集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトの色	チャートのスコアの色。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	このハイパーリンクをクリックすると、レポートでの値の色付けを構成できます。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「単一スコア レポートの色付けルールを作成する」を参照してください。
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ステップ ライン レポート

ステップ ライン レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。ステップ レポートの横の線は変化の持続時間を示し、縦の線は変化の大きさを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。ステップ ライン レポートの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化の大きさを表します。report_admin ロールを持つユーザーは、ステップ ライン レポートで使用する範囲を定義できます。

たとえば、インシデント数を表すステップ ライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。

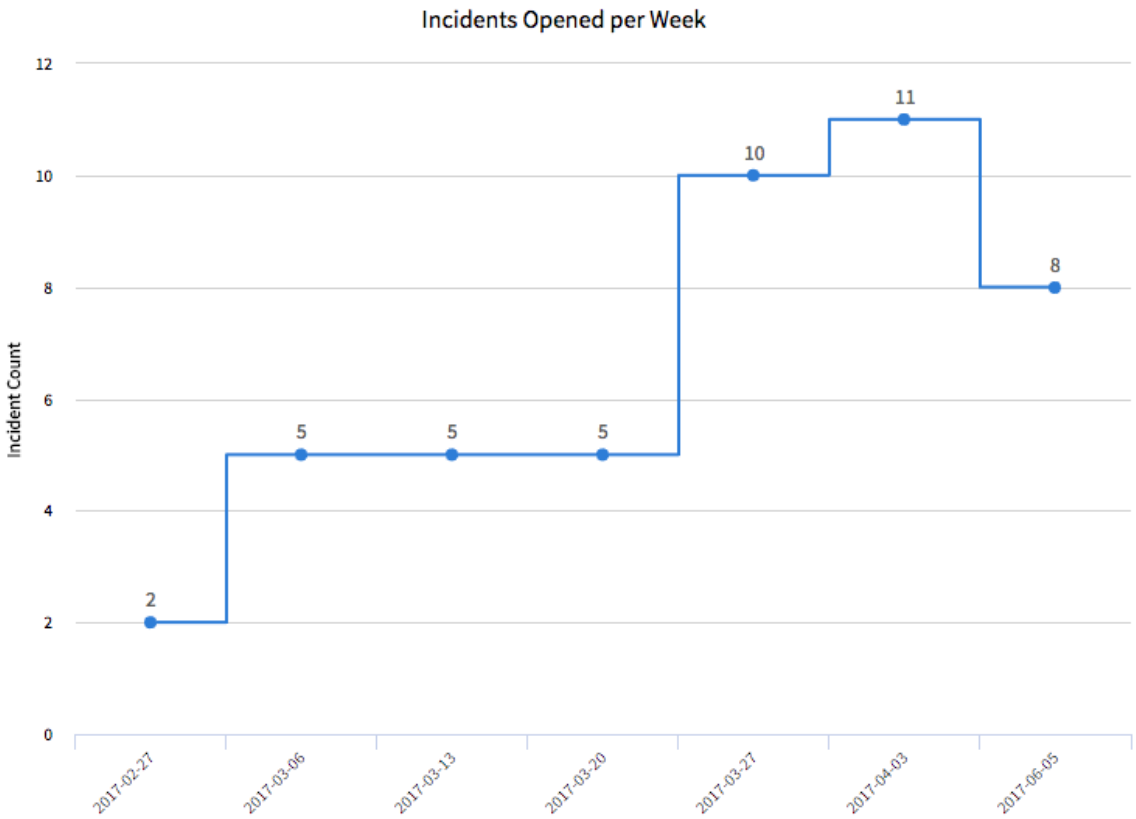
注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 さまざまな時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルの時系列レポート 」と「モバイルダッシュボードプレビュー 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポート



ステップ ライン レポートを作成する

ステップラインレポートを作成して、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。ステップラインレポートでは、変化の期間と大きさが強調されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

ステップラインレポートのユースケースについては、 時系列データの可視化の例。

このタスクについて

このタスクは、コア UI を使用してZurichリリースを参照します。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「ステップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールド	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
を構成	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。、標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメントを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

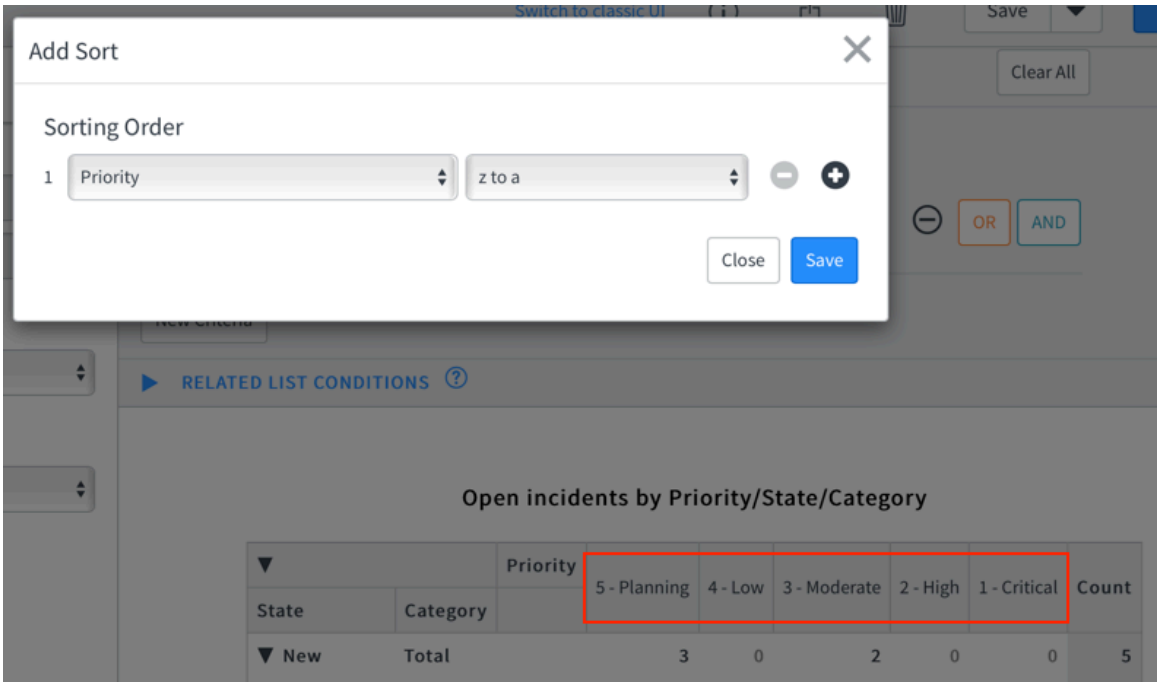
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

ステップ ライン レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステムカラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合、このプロパティは選択できません。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。オンにすると、ステップの中央とレポートの視覚化の端点にマーカーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

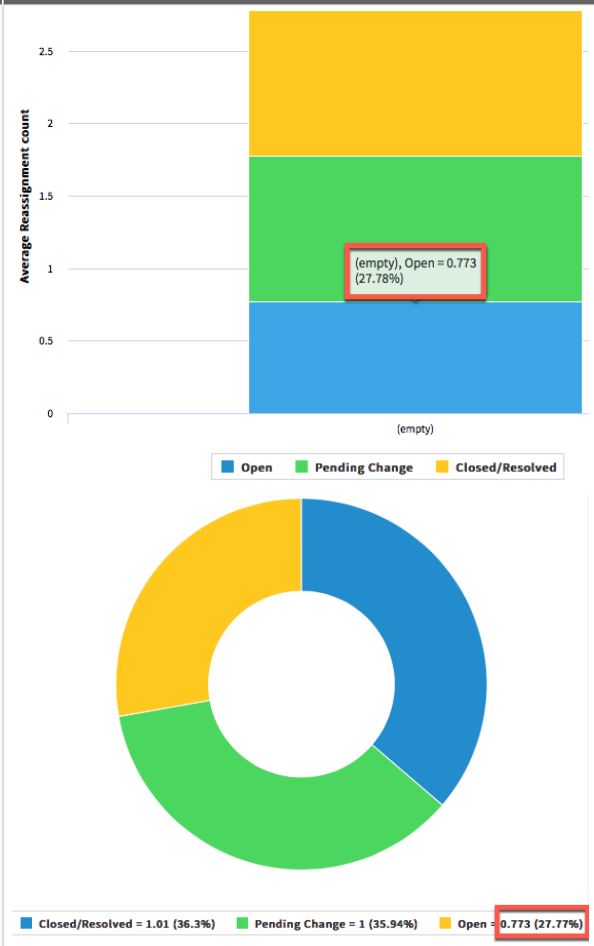
ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

傾向レポート

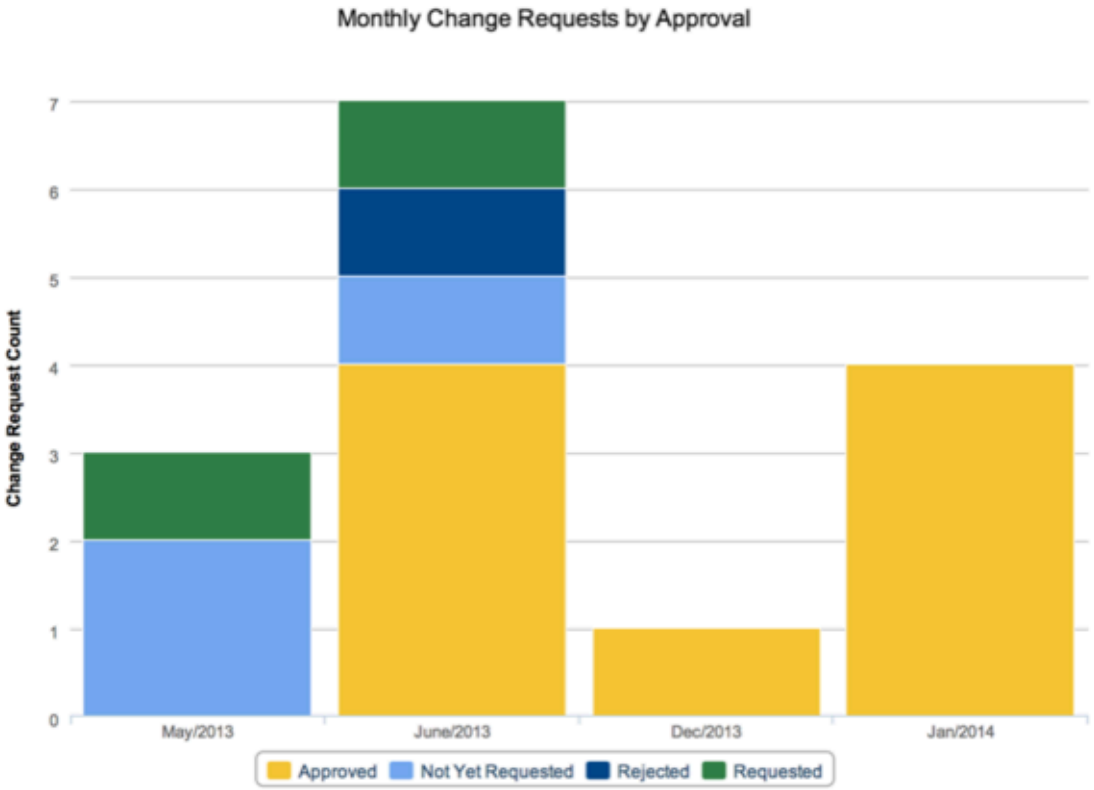
傾向レポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。

report_admin ロールを持つユーザーは、傾向図レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

時間の経過とともに変化するアイテムの例として、インシデント数があります。インシデント数は、製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加する可能性があります。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



傾向レポートを作成する

傾向レポートを作成して、1 つまたは複数のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。 傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「傾向」と入力し、[その他] セクションから傾向レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールド別、または特定の MySQL データベースフィールドタイプ (MEDIUMTEXT など) 別にレポートをグループ化または積み重ねることはできません。詳細については、「データベースのフィールドタイプ」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンド	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
の基準	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートに数値を表示する方法を設定できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数は機能しません。
グループの最大数	傾向 の 基準条件が返すグループの最大数。この制限は x 軸にのみ影響します。[グループ] 条件 が y 軸で返すグループの数は影響を受けません。 最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、グループ 別の最大 50 件の傾向が X 軸に表示されます。グループ数が 50 を超える場合、残りは [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

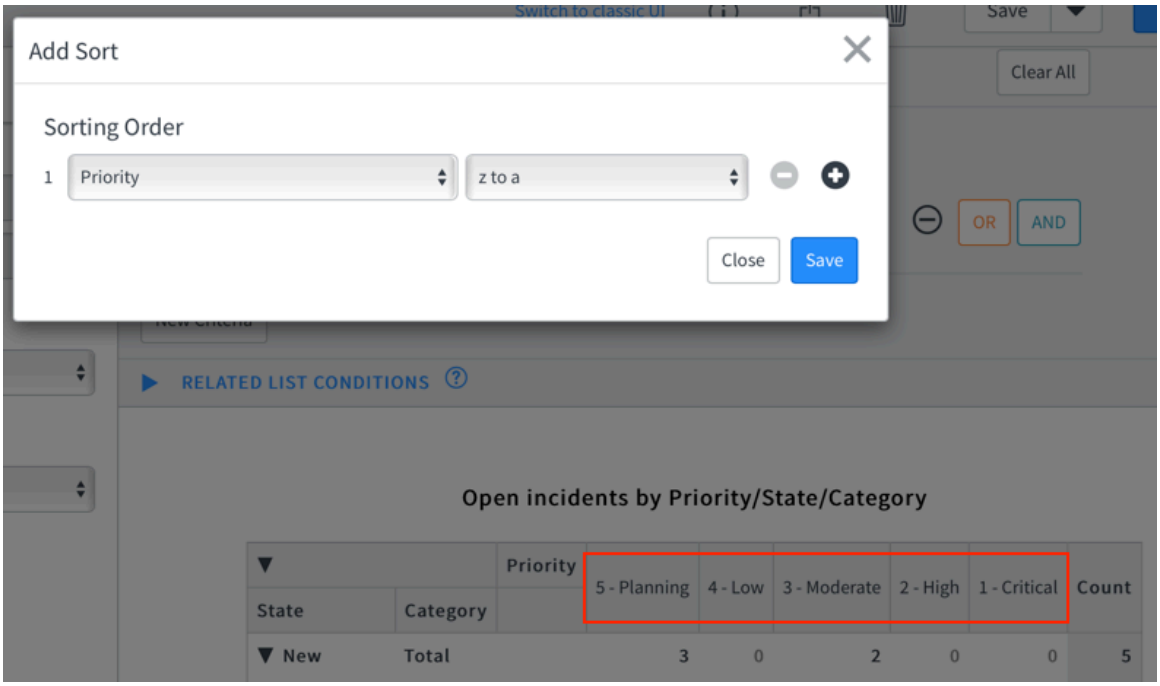
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

   選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

傾向レポートのスタイル オプション

傾向レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

傾向図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステムカラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用してカスタムの 色 のセットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用:で定義された色を使用します 部下 > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートの事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムカラーとは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

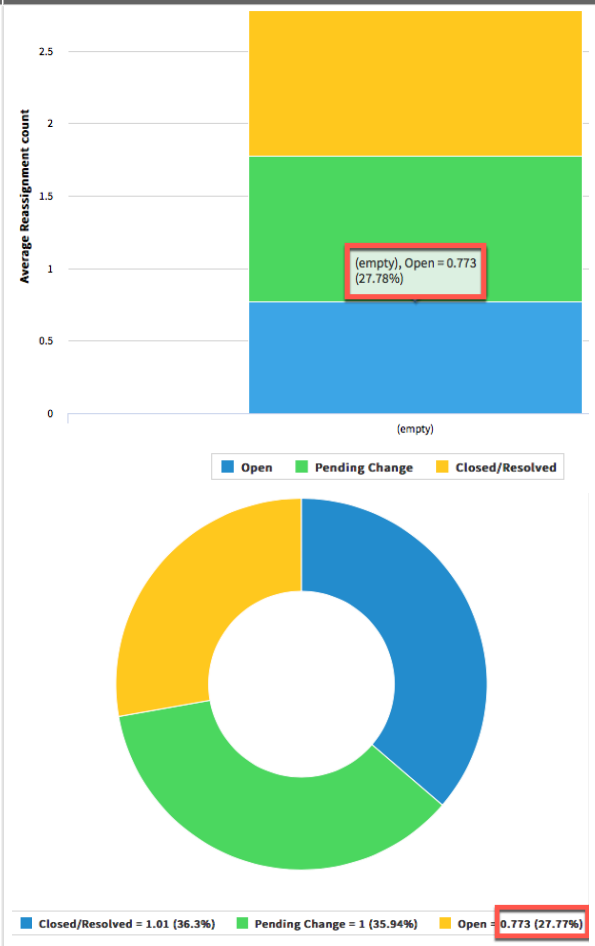
傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リスト レイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートのドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、凡例は切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を設定します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例の周囲に境界線を表示するには、このオプションを有効にします。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	レポートをブラウザーで表示するときに凡例テキストを左揃えにするには、このオプションを有効にします。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでないフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ○ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでないフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸) は秒単位です。可視化には、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) で、From/To (秒) の値に含まれるデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始] / [終了] フィールドに設定された対応する秒値内のデータを返します。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

Trendbox レポート

Trendbox レポートは、特定の期間におけるグループ間のデータの分布を視覚化します。

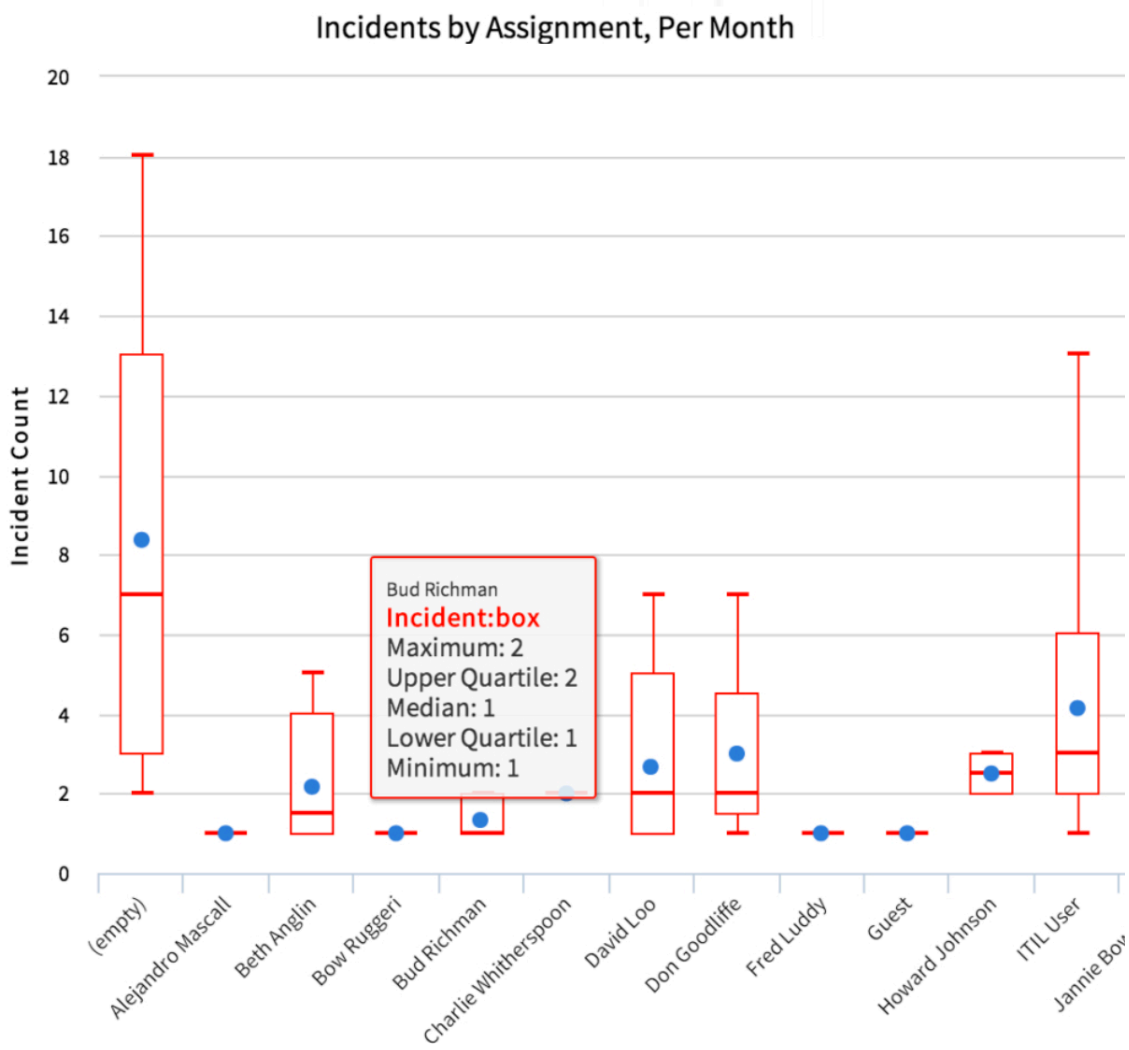
Trendbox レポートはボックス レポートに似ていますが、レポートの期間を指定することもできます。レポートを定義する際は、期間の使用を示すわかりやすいタイトルを使用します。互いに関連性のある異なるソースから複数の小さなデータ セットが得られる場合に、Trendbox レポートを使用します。例として、製品の機能ごとのインシデント解決時間、優先度が異なるインシデント解決時間などがあります。

たとえば、Trendbox レポートでは、サポートエージェントごとのインシデントを表示できます。Trendbox レポートでは、インシデントの数を従業員ごとに表示し、各エージェントが処理するインシデントの数を中央値と四分位数で表示できます。この情報を使用して、従業員ごとに処理されたインシデントを比較したり、この情報を使用して将来のサポートスタッフレベルを見積もったりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox レポート

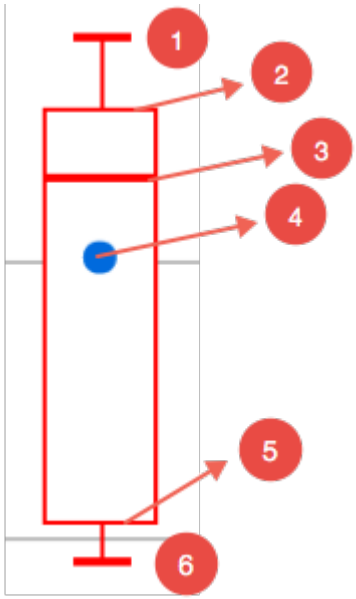


Trendbox レポートについて

Trendbox レポートのボックスにはそれぞれ、データ グループごとに次の情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1 - サンプル最大値	期間内に到達した最大数。
2 - 上位四分位数	データの上半分の中央値。
3 - 中央値	すべての間隔カウントが最小から最大の順に並べられている場合、中央値は中心の値を表します。
4:平均	平均値は青い点で表示されます。これは、すべてのデータポイントの平均、またはカウントの合計を間隔の数で割った値です。
5 - 下位四分位数	データの下半分の中央値。
6 - サンプルの最小値	期間内に到達した最小数。

ボックスグラフのスケールの読み方を理解するには、1 か月あたりの従業員にアサインされたインシデントをレポートする次の理論的な trendbox を参照してください。従業員は、月に次の数のインシデントに対応しました。

1 か月目	2 か月目	3 か月目	第 4 か月目	第 5 か月目	6 か月目
1 件のインシデント	3 件のインシデント	5 件のインシデント	2 件のインシデント	6 件のインシデント	5 件のインシデント

月ごとの傾向を示すこのレポートの例では、値は次のとおりです。

- 中央値: データセット 1、2、3、5、5、6 では、偶数データセット ((3+5)/2) であるため、中央値は 4 です。データセットが奇数の値の場合、中央値は正確な中心値になります。
- 上位四分位数:データを分割すると、5、5、6 は上半分のデータセットを表します。この例では、上位四分位数は 5 です。サンプルデータセットは偶数の値であるため、上位四分位が正確な値です。データセットの値が奇数の場合は、2 つの中心値を平均します。
- 最大値:従業員に最も多くのインシデントがアサインされた月、または 5 か月目に 6 つのインシデントがアサインされた月。
- 平均:(1+3+5+2+6+5)/6、または 3.66。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 下位四分位数:データを分割した場合、1、2、3 はデータの下半分の値のセットを表します。この例では、下位四分位数は 2 です。データセットには偶数の値があるため、下位四分位が正確な値です。データセットに奇数の値がある場合は、2 つの中心数を平均します。
- 最小:従業員がアサインされたインシデントの数が最も少ない月、この例では 1 つのインシデント。

注: アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

Trendbox レポートを作成する

Trendbox レポートを作成して、指定した期間におけるデータ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 統合アナリティクスが有効になっているインスタンスと新しい Zurich インスタンスでは、 コア UI レポートと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータ可視化の両方が プラットフォームアナリティクス ライブラリにあります。移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > データの可視化 をクリックし、[新規] を選択します。詳細については、「コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い」を参照してください。
3. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
4. 該当するレポートソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報ソースを提供するためのフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下にその簡単な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	傾向レポートの場合は、外部ソースから取得したデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[**Trend by field** (フィールド別の傾向)] オプションを選択して、データを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード]) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからコア UI レポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	メトリックベースを使用すると、 ServiceNow AI Platformのカスタム時系列データを収集、保持、分析、および可視化できます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

5. **[Next** (次へ)] をクリックします。
6. [タイプ] タブのフィルターに「**Trendbox**」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

Trendbox レポートの構成オプション

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明の情報アイコン ( ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ○ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックしてください レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループ化基準または積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明の情報アイコン (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

8. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン ( ) を選択し、[ソートを追加] を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順の場合は **a-z** または **z-a** を選択するか、アルファベット順を逆にします。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

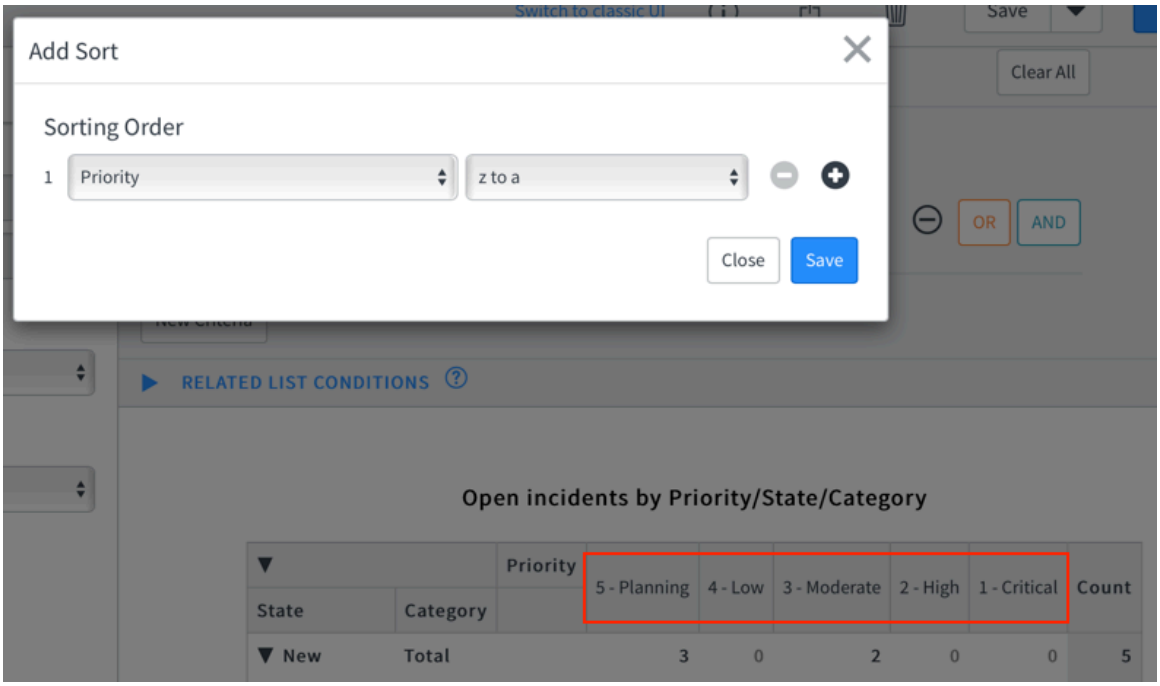
      注: ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. 追加のソート順条件を設定するには、ソートプラスアイコン (プラス) を選択します。(設定されたソート順条件を削除するには、ソートマイナスアイコン (ソー) を選択します。)
   c. **[Save** (保存)] を選択します。

選択リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの 値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
11. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

関連トピック

コア UI レポートの共有

Trendbox レポートのスタイル オプション

Trendbox レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

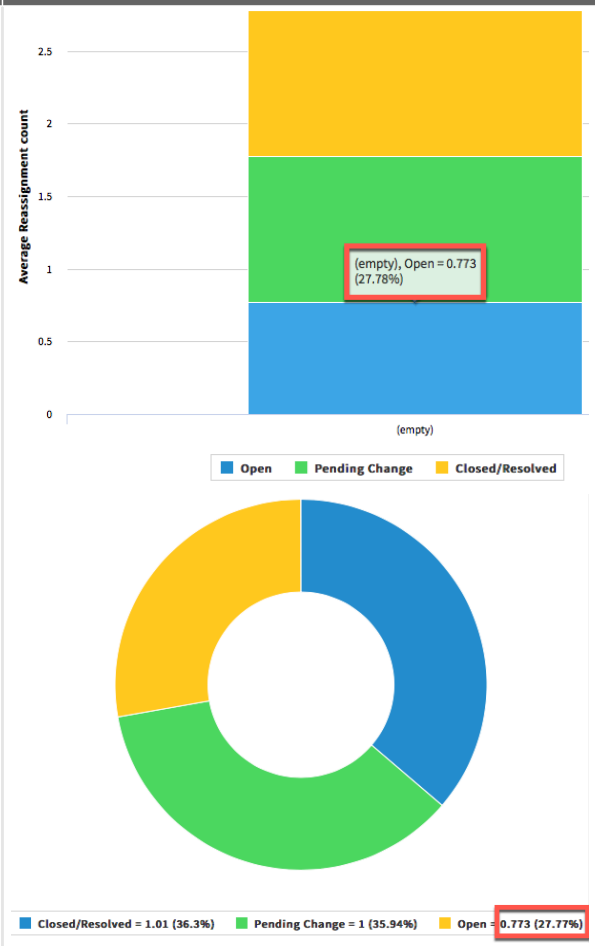
Trendbox チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタム グラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するオプションを有効にします。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[カスタムチャートタイトル位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	軸タイトルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。
反対側	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、代わりにレポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。[**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、Y 軸のタイトルがレポートの下部ではなく上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートに水平グリッド線が表示されます。 [**Y** 軸] タブで、このオプションを有効にすると、レポートの上部に垂直グリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線の代わりに点線のグリッド線を表示するには、このオプションを有効にします。
移動元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
移動先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: 構成された Highcharts 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定を変更する必要がある場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	レポートのラベルを太字で表示するには、このオプションを有効にします。

詳細コア **UI** レポートトピック

レポートの可視化とレポート対象のデータをカスタマイズする方法について説明します。

このセクションのトピックは、レポート作成の基本をすでによく知っているユーザーに適しています。ただし、このセクションで説明するようにレポートを構成するのにアドミンまたはreport_adminである必要はありません。

コア **UI** レポート内でのドリルダウン

レポート内をドリルダウンして、データのサブセットをビジュアル化することができます。たとえば、優先度別にソートされたレポートの重大セクションをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが表示されます。

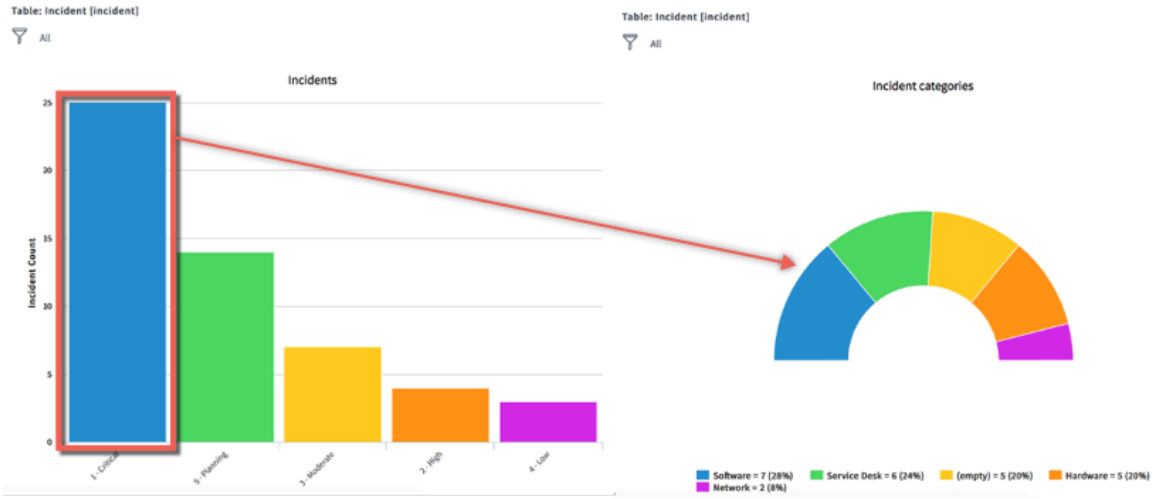
ドリルダウンが定義されているレポートの場合、チャートの一部をクリックしてデータのサブセットを表示します。サブセットは、異なるチャートのタイプを使用することがあります。この例では、ユーザーが棒グラフの重大インシデントをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが半ドーナツ グラフに表示されます。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスと新しい Zurich インスタンスについては、「 データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス チャート以外のすべてのタイプのチャートはドリルダウンをサポートします。フォームに追加されたチャートや iFrame として埋め込まれたチャートではドリルダウンは使用できません。レポートに任意の数のドリルダウン レベルを定義できます。

注: ドリルダウン レポートは PDF にエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップ レベルのレポートの PDF が生成されます。

レポートのドリルダウンの定義

レポートのドリルダウンを定義すると、レポートユーザーがレポートデータのサブセットを表示できるようになります。レポート ドリルダウンを定義すると、定義したレポートにのみ適用されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

ドリルダウンを定義するレポートが存在する必要があります。

注: レポートと同じテーブル内のデータだけにドリルダウンできます。次のレポート タイプでは、ドリルダウン機能はサポートされていません。リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス。

このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、構成しているデータ可視化タイプの「チャートのインタラクション」セクションを参照してください。

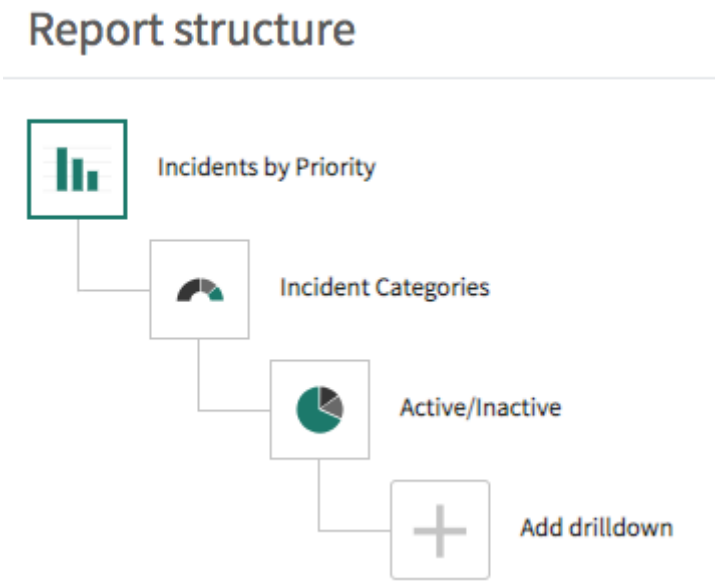
手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. ドリルダウンを追加するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。
   レポート構造アイコンのバッジは、定義されたドリルダウンの数を表示します。
4. [ドリルダウンを追加] アイコンをクリックします( )。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



5. ドリルダウンの [タイトル] を入力して、[次へ] をクリックします。
6. レポートタイプを選択してデータを選択し、[次へ] をクリックします。
   「レポートタイプ」を参照してください。ドリルダウンレポートタイプは、親レポートとは異なる場合があります。
7. 他のレポートを構成するのと同じ方法でドリルダウンレポートを構成します。
   構成オプションは、選択したドリルダウンレポートの タイプによって異なります。
8. [ドリルダウンを保存] をクリックします。

結果

ユーザーは、トップレベルのレポートから、指定したドリルダウンレポートの可視化にドリルダウンできます。

注: すべてのユーザーは、円グラフや縦棒グラフなどのビジュアル化されたレポートを表示できます。ただし、ドリルダウンの最後のレベルは常にリストです。プラットフォーム アクセス制御リストは、リスト情報へのユーザー アクセスを決定します。セキュリティ上の制約により、行がリストから削除されたことを示すメッセージが表示される場合があります。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

コア UI レポートのクリック時の動作を設定する

レポートのセクションを選択したときに開く URL を設定できます。

始める前に

必要なロール：

- レポート作成時：任意
- 他者が作成したレポートを編集する場合：report_admin、report_global、または report_group

このタスクについて

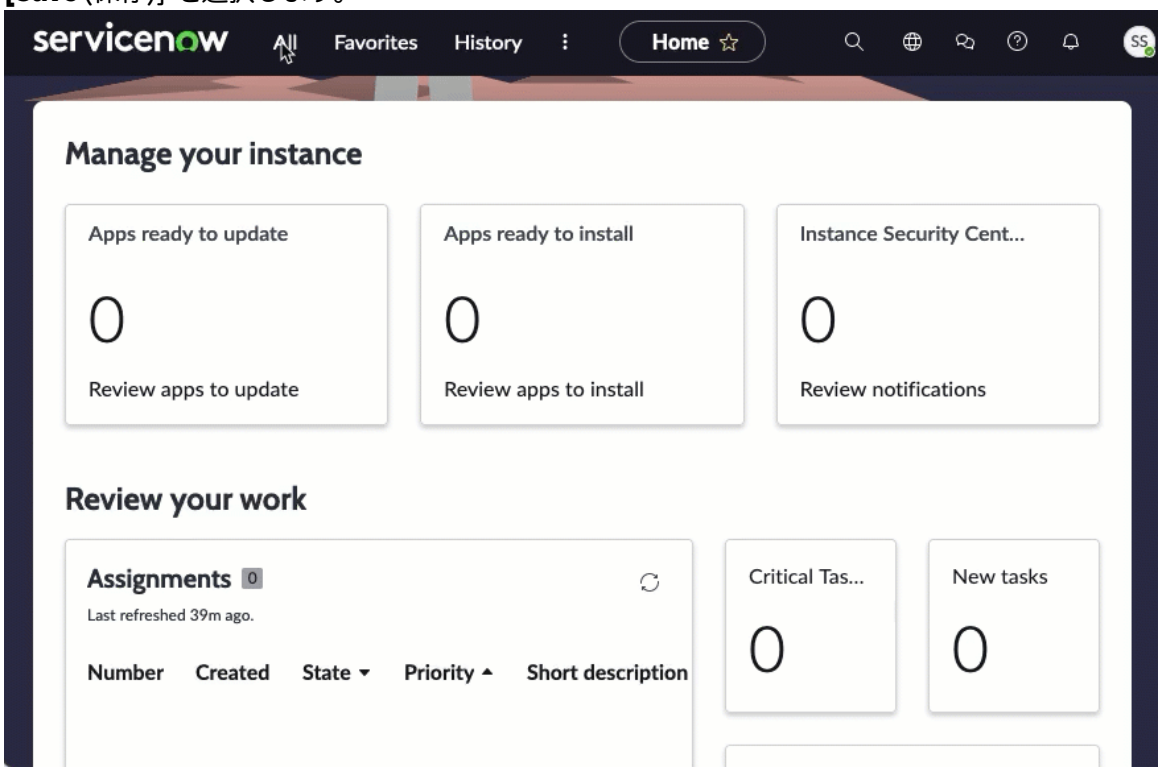
設定されたドリルダウンや、レポートの選択されたセクションの基礎となるリストではなく、URL にユーザーをリダイレクトします。

ドリルダウン機能をサポートしていないレポートタイプについては、「 レポートのドリルダウンの定義 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. 構成するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン (レポート) を選択します。
4. リンクアイコン ( ) を選択します。
5. [リダイレクト **URL** を設定 **(Set redirect URL**)] ダイアログボックスで、インスタンス内の相対リンク (例:/$knowledge.do?sys_id=123) を入力します。
   ユーザーがレポートをポインタすると、ツールヒントに「クリックして開く」というテキストが表示されます。
6. オプション: URL のラベルを入力します。
   ユーザーがレポートにポインタを合わせると、ツールヒントに「クリックして (ラベルのテキスト) を開く」と表示されます (例 : 「クリックしてナレッジ ベースを開く」)。
7. **[Save** (保存)] を選択します。



結果
レポートを選択すると、ドリルダウン機能がリダイレクト URL に置き換わります。

グループ化基準または積み重ね基準を追加

ユーザーがグループ化とスタッキングを調整できるようにレポートを設定できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

このタスクについて
ユーザーがグラフを表示するときに選択できる [追加のグループ化基準] と [積み重ね基準] の選択肢を設定します。グループをサポートする任意のレポート (棒グラフや円グラフなど) に別のグループを追加して、レポートを縦棒グラフとして一覧表示します。他のグループを棒グラフまたは水平棒グ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

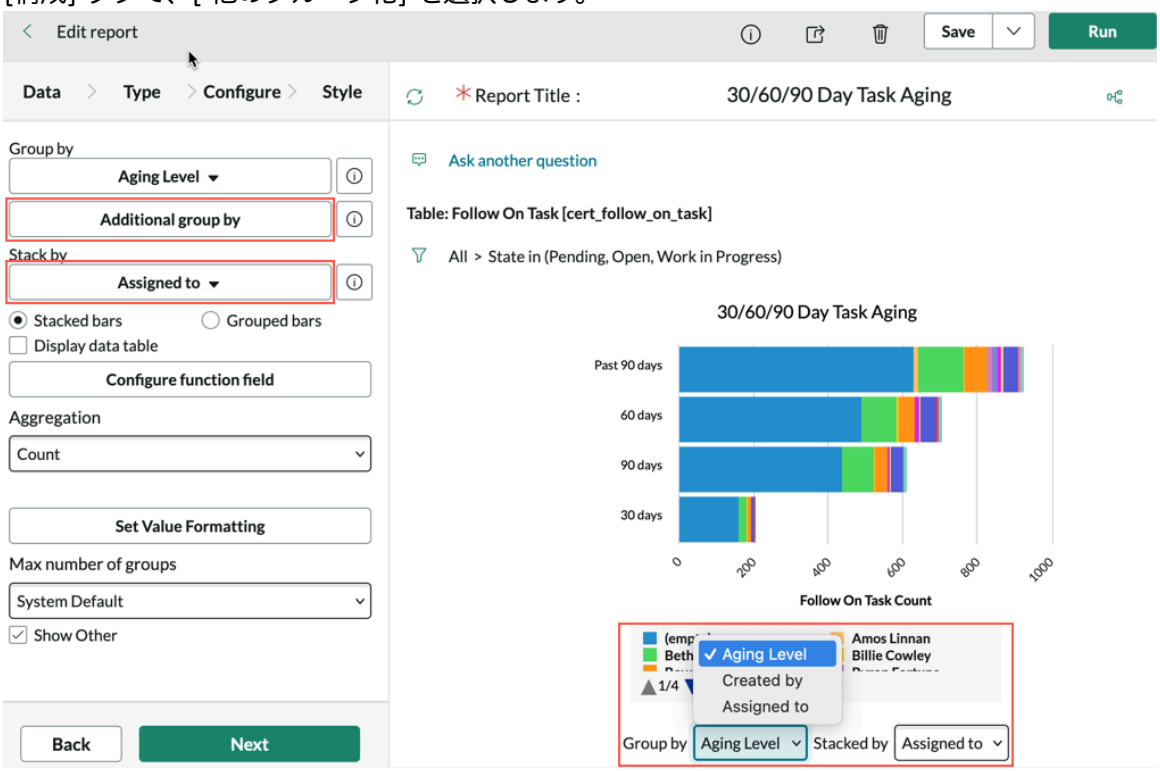
ラフに設定すると、追加の積み重ね基準としても追加されます。変数と変数グループを他のグループ化として追加できます。

注:

- 利用可能な [積み重ね基準] フィールドは、カタログ変数、参照フィールド、選択リスト、およびブール値に制限されています。日付/時刻、整数、長整数、文字列、リスト、およびテキストフィールドは、積み重ねフィールドとして使用できません。
- メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。
- レポートの [追加グループ] フィールドを選択してそのレポートをエクスポートすると、エクスポートでは、選択した追加のグループ化基準ではなく、レポートに設定された最初のグループのみが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. レポートを選択します。
3. [構成] タブで、[他のグループ化] を選択します。



4. 1 つまたは複数のフィールドを [選択済み] リストに移動します。
5. オプション: 選択されたフィールドから全体に対して個々のアイテムの関係を示すために使用される [積み重ね基準] フィールドを選択します。

   (Optional) たとえば、インシデントの棒グラフをカテゴリ別にグループ化し、優先度別にスタックします。これにより、各カテゴリにおいて優先度の高い問題、中程度の問題、低い問題の割合を一目で判断できます。

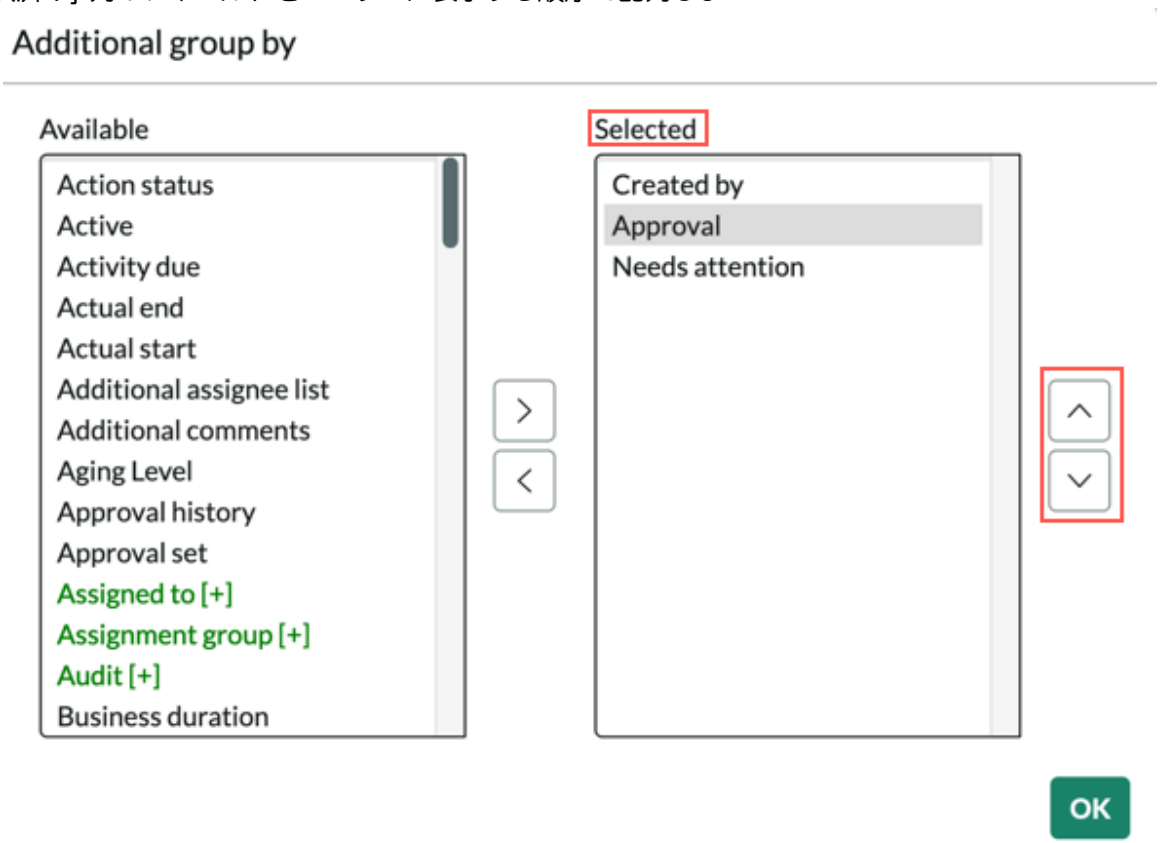
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートを表示するユーザーは、これらのフィールドの 1 つを選択して、レポート データをグループ化またはスタックできます。レポートの [グループ] および [積み重ね基準] フィールド値がデフォルトの選択肢です。

注: 棒グラフと水平棒グラフのレポートでのみ積み重ねデータを使用します。他のレポートタイプでは、グループ化のみが可能です。

6. [選択済み] 列のフィールドをユーザーに表示する順序で配列しま



す。

7. **[OK]** を選択します。
8. [保存] を選択します。

コア **UI** レポートでの複数のデータセットの使用

1 つのレポートで最大 5 つのテーブルのデータセットを使用するレポートを作成できます。

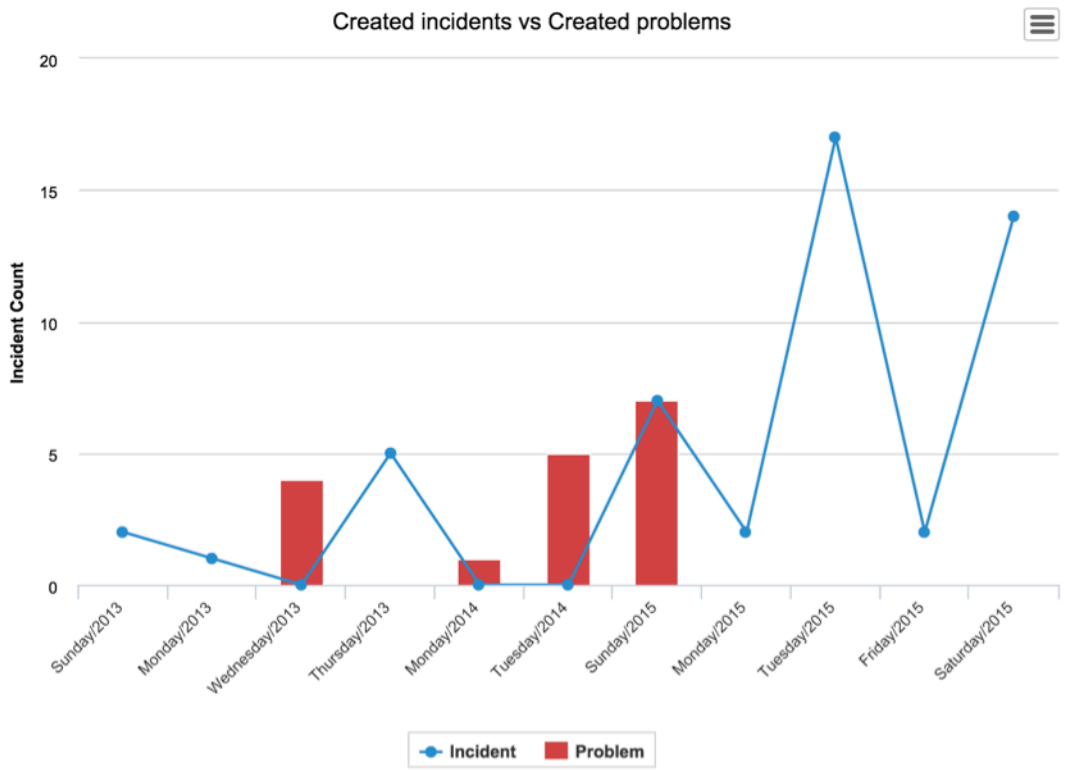
次のレポートタイプは、複数のデータセットをサポートしています:棒、水平棒、縦棒、折れ線、ステップライン、面、スプライン。

複数のグループ化は、複数のデータセットではサポートされていません。複数のデータセットを使用する場合、レポートの凡例が常に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントと問題のデータを **1** つのレポートにまとめる



制限

複数のデータセットを含むレポートを作成する場合は、次の制限事項に注意してください。

- 特定のレポートには、最大 5 つの追加データセットを追加できます。追加のデータセットごとにデータベースの追加の処理とクエリが必要になるため、特定のレポートでパフォーマンスの問題が発生している場合は、レポートに複数の関連データセットがあることが原因である可能性があることに注意してください。
- 親レポートに関連付けられているすべてのデータセットは、親レポートと同じタイプ (棒グラフ、ドーナツグラフ、円グラフなど) である必要があります。
- 時系列グラフに関連付けられた複数のデータセットの場合、すべての追加データセットの [**Per**] フィールドは親レポートと同じ設定にする必要があります。
- 棒グラフまたは水平棒グラフに複数のデータセットがある場合、関連付けられたすべてのデータセットの [グループ] 値が同じである必要があります。
- [凡例を表示] オプションは、親レポートでこのオプションが選択されていない場合でも、複数のデータセットを含むレポートには既定で常に表示されます。

レポートにデータセットを追加する

最大 5 つのデータセットを追加して、複数のソースからのデータを 1 つのレポートで可視化します。

始める前に

必要なロール:itil、report_user プロパティ *`glide.ui.doctype`* を有効にする必要があります。

自動翻訳

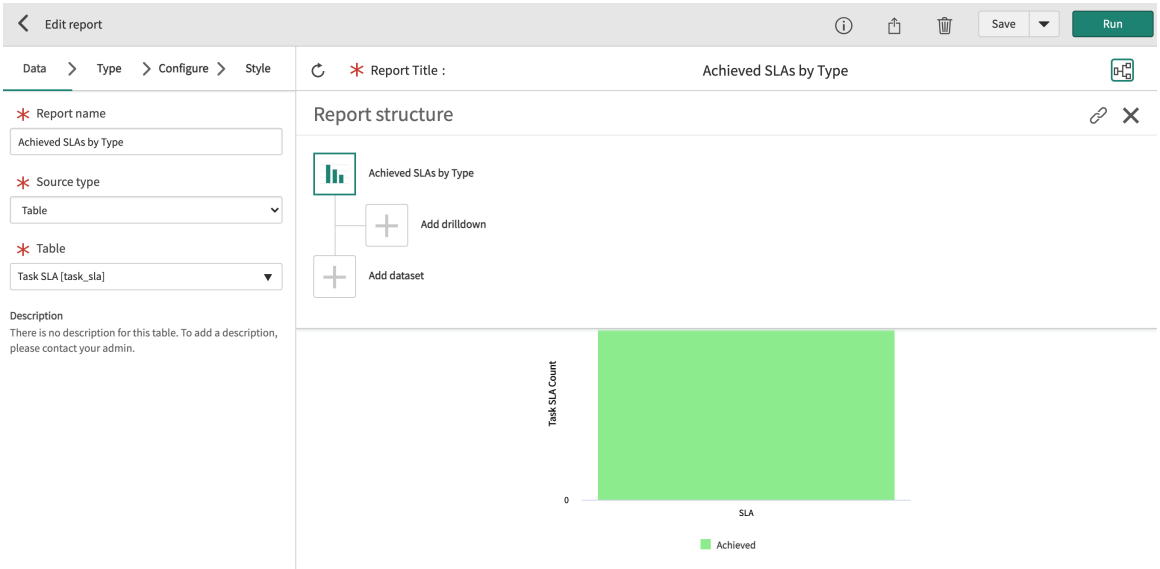
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

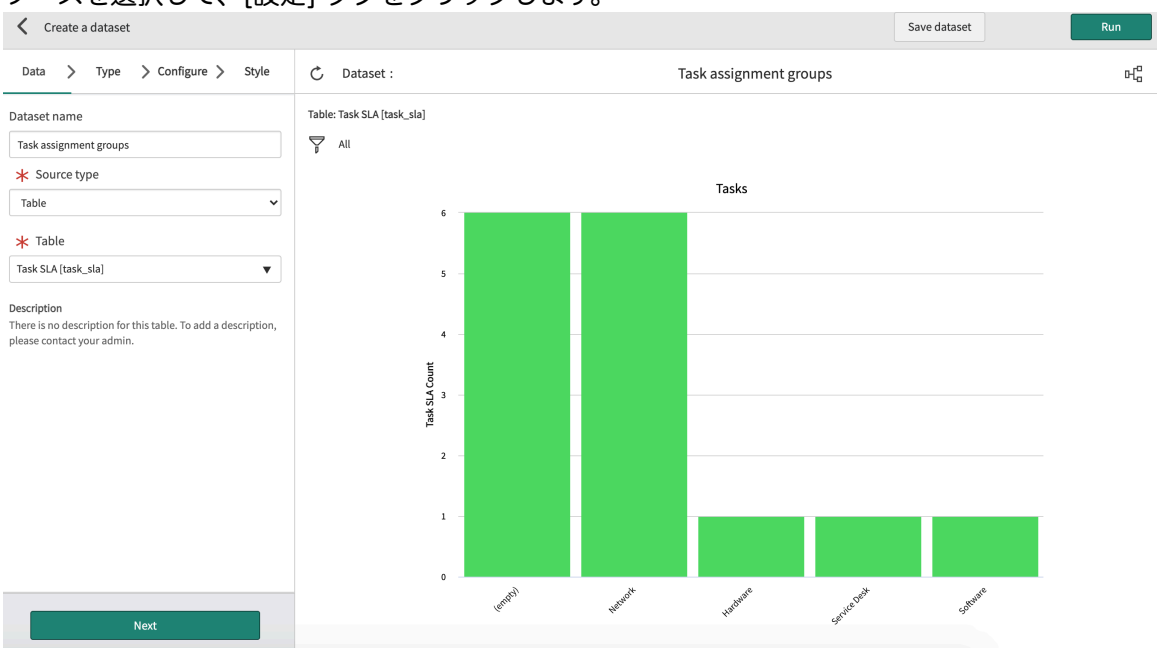
1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. 複数のデータセットをサポートするタイプのレポートを作成するか、これらのタイプの 1 つである既存のレポートを選択します。

   棒、水平棒、線、縦棒、面、スプラインなどのレポートにさらにセットを追加できます。

3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。



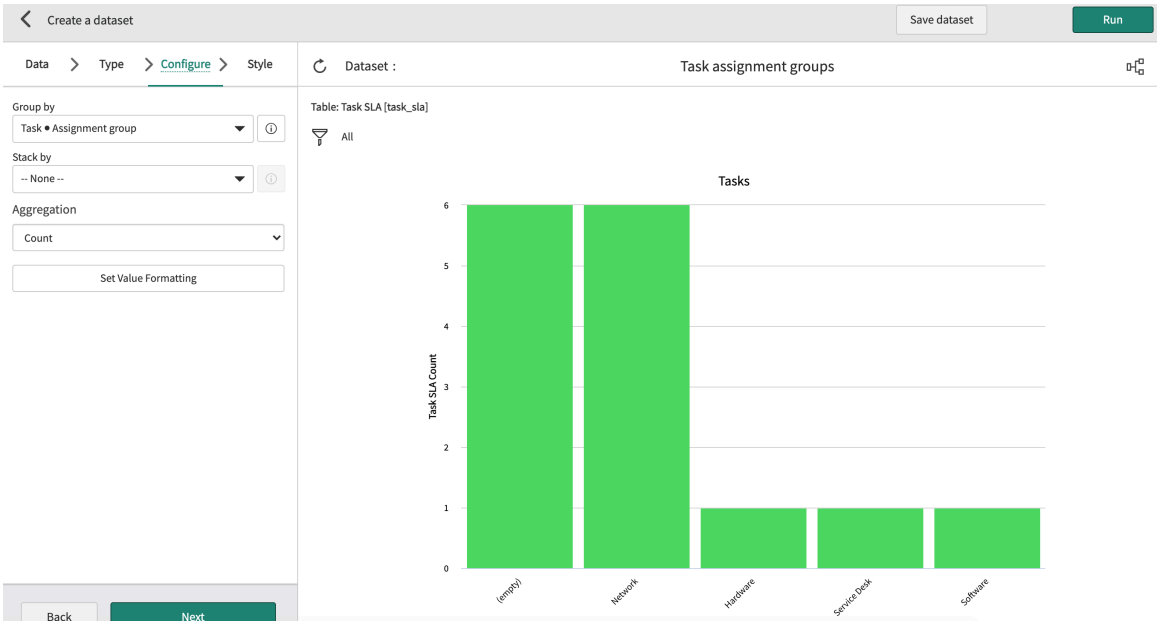
4. [データセットを追加] を選択します。
5. [データ] タブで、レポートの凡例に表示する追加データセットのカスタム名を指定し、データソースを選択して、[設定] タブをクリックします。



6. [設定] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で該当するフィールドを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データセットには、親レポートと同じ [グループ] および [積み重ね基準] の値が必要です。データセットの同じフィールドでも同じ集計が必要です。該当するレポート タイプの次のフィールドに注意してください。



> **注:** [データ テーブルの表示] オプションは、[データセットの追加] モジュールからは使用できませんが、メイン レポート デザイナーの [構成] タブからのみ使用できます。[データ テーブルを表示] オプションが選択されている場合、最初のデータセットのみがデータ テーブルに表示されます。

7. [スタイル] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で次のフィールドを指定します。
8. [データセットを保存] をクリックします。

結果
このレポートは、追加のデータセットからの情報で生成されます。

インポートされた **Microsoft Excel** ドキュメントからコア **UI** レポートを作成する

インスタンスの外部で維持されているデータの Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) をインポートし、それらのファイルからレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin、report_admin

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションバージョンが必要です。パフォーマンス アナリティクスサブスクリプションのアクティブ化を参照してください。

インポートされたデータには、次の制限が適用されます。

- 最大ファイル サイズは 2 MB です。
- 行の最大数は 10,000 です。列の最大数は 25 です。

  > **注:** .xlsx ファイルを最大 50,000 行までインポートできますが、最初の 10,000 行だけがデータセットに表示されます。

- .xlsx ファイルの複数のシートの内、最初のシートだけがインポートされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートされたファイルの最初の行と最初の列は空にできません。最初の行は、列名を識別するために使用されます。
- インポート後に列を結合したり、フィールドを計算したり、テーブルに他の変更を加えたりすることはできません。これらの変更は、インポートする前に行う必要があります。
- インポートされた .xlsx ファイルには、有効期限が指定されている必要があります。
- 所有者がインポート後にテーブルを削除すると、インポートされたテーブルに基づくレポートも削除されます。

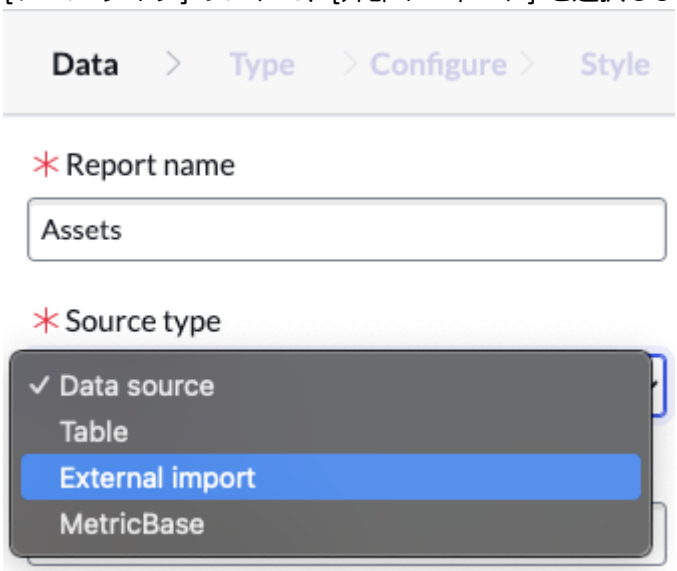
注: ユーザーがこれらのレポートを表示するには、Report_viewアクセス制御リスト (ACL) を定義する必要があります。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

インスタンスの外部で保持されている情報 (たとえば、定期的な第三者 データ) がある場合、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「 インポートセットを使用したデータのインポート 」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. [ソース タイプ] リストで、[外部インポート] を選択します。



注: [外部インポート] メニューオプションは、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

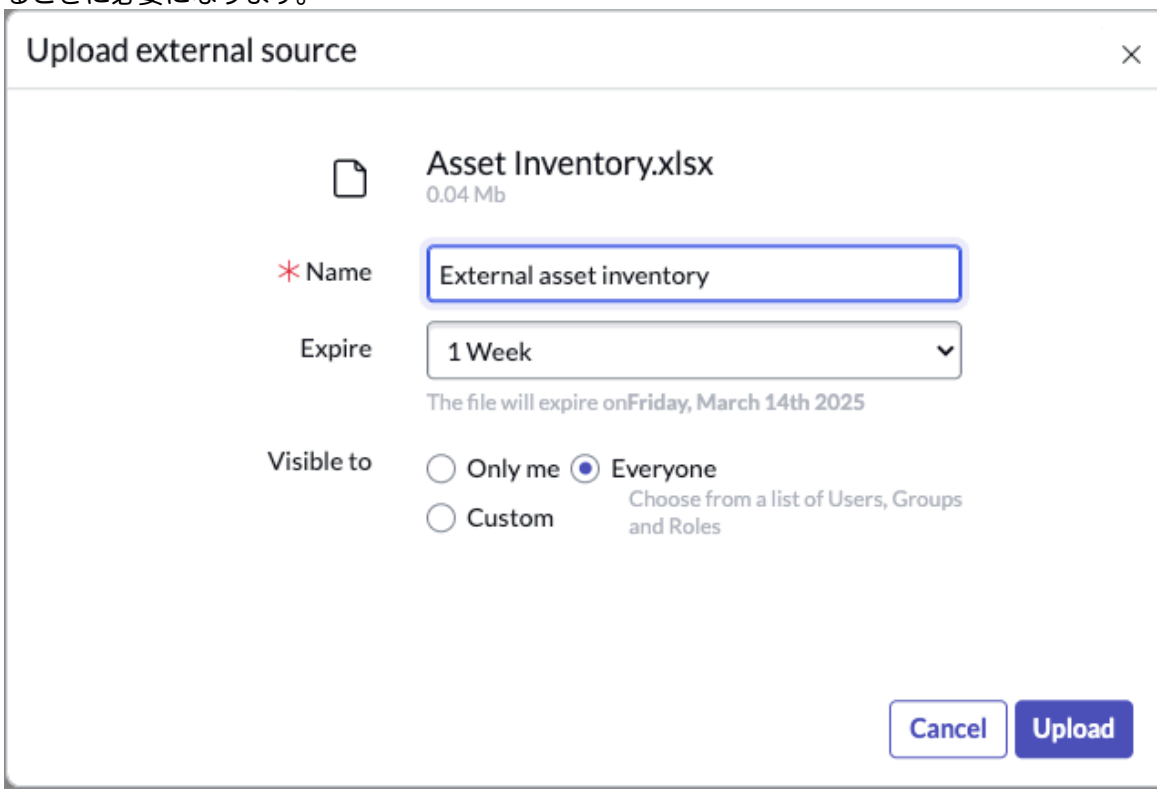
4. インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択してファイルをインポートします。
5. [アップロード] を選択した場合は、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. ファイルを選択して、開いたドロップゾーンにドラッグするか、[ファイルを参照] を選択してファイルシステムから選択します。

b. 開いた [外部ソースをアップロード] ダイアログで、アップロードされたファイルから作成するレポートソースの名前を指定します。
この名前に注意してください。これは、後で report_view アクセス制御リスト (ACL) を設定するときに必要になります。



c. レポートソースの有効期限を設定します。
この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

d. レポートソースを表示できるユーザーを選択します。

- あなただけ
- 全ユーザー
- 指定されたユーザー、ユーザーのグループ、またはロール

注: この設定は、report_view ACL には影響しません。

e. **[Upload** (アップロード)] を選択します。

f. **[Done** (完了)] を選択します。
ファイルは新しいテーブルとしてインスタンスに保存されます。

6. **[Next** (次へ)] をクリックします。

7. レポートの作成を通常どおり完了します。
特定のレポートタイプの詳細については、「 レポートタイプ」を参照してください。レポートの作成に関する一般的な情報については、「 レポートの作成」を参照してください。

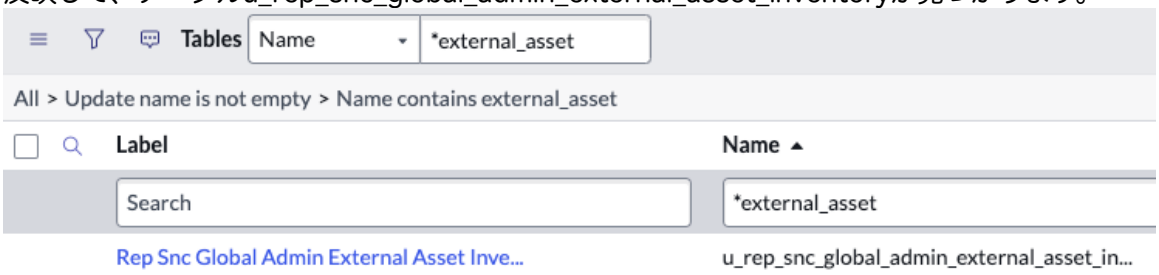
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。
9. ステップ 4 で外部データをアップロードしたときに作成したテーブルの report_view ACL を作成します。
   作成したレポートを表示するには、このテーブルへのreport_viewアクセス権が必要です。

   a. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.

   b. ステップ 4b で指定したレポートソースの名前が名前に含まれるテーブルを検索します。
   たとえば、「外部資産インベントリ」という名前のファイルをアップロードした場合、*external_asset を検索し、アドミンユーザーによってグローバルスコープで作成されたことを反映して、テーブルu_rep_snc_global_admin_external_asset_inventoryが見つかります。



   c. テーブル名をコピーします。

   d. 移動先 すべて > システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
   昇格された security_admin ロールを持つ admin ロールが必要です。アドミンでない場合は、必要なロールに読み取り権限を付与する要求とともに、テーブル名を ServiceNow AI Platform アドミニストレーターに渡すことを検討しreport_view。

   e. report_view のアクセス制御で説明されているように、レポートを読み込めるようにするロールの report_view ACL を作成します。

結果
レポートは外部ソースから作成されます。ダッシュボードには、このレポートが一時的であり、外部データソースの有効期限が切れると期限切れになることを示すアイコンがあります。

次のタスク
レポートの配布の説明に従ってレポートを共有します。

インポートされたデータソースを編集する

インスタンス外で保持されたデータを含むインポートされた Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) を編集できます。

始める前に
必要なロール:なし。ただし、データソースをインポートしたユーザーのみが編集できます。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. データソースのインポートに使用するレポートの名前をクリックして、レポート デザイナーでレポートを開きます。
3. [データ] タブで、外部インポートの名前の横にある鉛筆アイコン ( ) をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [外部インポートを編集] ダイアログ ボックスで、これらの変更を加えることができます：

   ファイルを変更

   このオプションを選択して、同じ名前と構造の新しい .xlsx ファイルをアップロードします。

   名前

   外部インポートの新しい名前を指定します。この名前は、[外部インポート] リスト内のレポート デザイナーの [データ] タブに表示されます。

   有効期限

   外部インポートの新しい有効期限を設定します。

   この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

   表示対象

   アップロードされたファイルの可視化 (自分のみ、すべてのユーザー、またはカスタム) を変更します。[カスタム] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールを指定します。

   [カスタム] を選択した場合 、[次へ] をクリックしてインポートしたファイルのデータを使用できるユーザーを選択し、[送信] をクリックします 。

5. [送信] をクリックします。

結果
ファイルを変更した場合、インポートされたファイルに基づくレポートで、新しいファイルのデータが古いファイルのデータを置き換えます。変更された名前、有効期限、可視化がインポートされたファイルに適用されます。

メトリックベース時系列データからコア **UI** レポートを作成する

メトリックベースアプリケーションを使用して、メトリックベースデータから時系列レポートを作成します。

始める前に
メトリックベース 製品が必要です。これを取得するには、「 メトリックベース製品の要求 」を参照してください。メトリックベースの詳細については、「メトリックベース 」を参照してください。

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

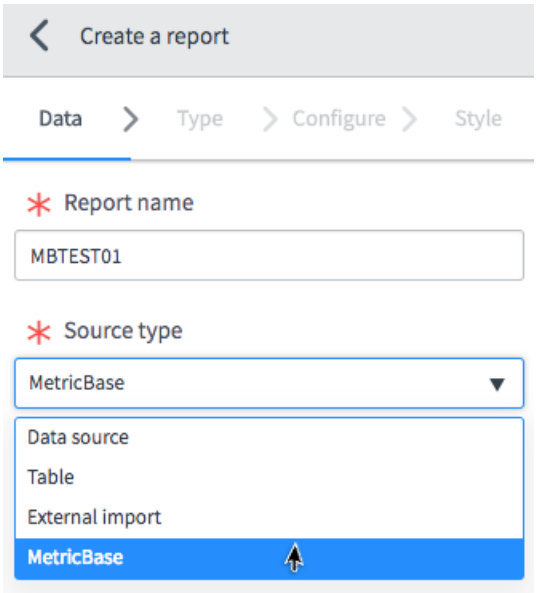
手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートの情報を反映するレポート名を入力します。
3. [ソース タイプ] リストで、**[MetricBase]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- [メトリックベース] メニューオプションは、インスタンスにメトリックベースがインストールされている場合にのみ使用できます。
- データセットあたりのデフォルトの最大系列数は 20 です。*glide.report.metric_max_series*システムプロパティを設定することで、最大値を 100 まで増やすことができます。ただし、10,000 データポイントの制限により、データセット内の系列数を増やすと、系列あたりのデータポイント数が少なくなります。
- 系列ごとに表示できるデータポイントの総数は、10,000 / (データセット内の実際の系列数 x データセット数) です。たとえば、次のようになります。
  - 20 系列で使用される 1 つのデータセット: 10K / (20*1) = 500
  - 20 系列で使用される 2 つのデータセット: 10K / (20*2) = 250
  - 100 系列で使用される 1 つのデータセット: 10K / (100*1) = 100
- 系列内のデータポイントの実際の数が制限を超えると、データはリサンプリングされます。



4. 既存の メトリックベース テーブルを選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. [タイプ] タブで、作成するレポートのタイプを選択し、[次へ] をクリックします。
   時系列レポートのみを使用できます。特定のレポート タイプの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。更新されたレポートを表示するには、[実行] をクリックします。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[タブを構成] フォーム

フィールド	説明
グループ	[メトリクス] テーブルの該当するフィールドのいずれかでグループ化したレポートデータ。
メトリクス	メトリックベースデータベースで決定されるメトリクス。プラス アイコン (+) をクリックして、複数の測定基準を追加します。メトリクスごとに、1 つ以上の変換を設定できます。マイナス アイコン (-) をクリックして、測定基準を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
変換	データが変更されます。 ○ レポートに生データを表示するには、変換なしを選択します。 ○ 変換を 1 つ選択します。 ○ 変換チェーンを作成するには、複数の変換を選択します。変換チェーンは、前の変換の結果に新しい変換を適用します。 詳細については、「MetricBase の変換」を参照してください。
時間範囲	レポートの対象期間。相対値は、現在時刻からの分、時間、日、月、または年の数です。絶対範囲では、レポートの開始時間と終了時間を指定できます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注: 集計レポートとリストレポートでは、言語依存のフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
詳細については、作成しているレポートの [スタイルオプション] セクションを参照してください。
   - 面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション
   - 線グラフ レポートのスタイル オプション
   - ステップ ライン レポートのスタイル オプション
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

結果
レポートはメトリック ベース ソースから作成されます。レポートの可視化が切り捨てられた場合は、メッセージが表示されます。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

MetricBase の変換

変換を使用すると、MetricBase データをさまざまな方法でビジュアル化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な変換

ラベル変換以外のすべての変換は、測定基準データに適用できる数学関数です。複数の変換を適用して変換チェーンを作成します。

変換	説明
追加	データセットのデータ ポイントに指定された値を加算して結果を計算します。
平均	現在選択されているすべての測定基準の算術平均を計算します。
下	測定基準データセットに指定された値の最低数のみを表示します。
カイ二乗	統計モデルがメトリクスデータセットにどの程度適合しているかを示します。
カウント	測定基準データセット内のデータ ポイントのカウントを示します。
分解する	予測モデルのコンポーネントを分離します。最小値と最大値の両方を分解して要求し、予測モデルの下限と上限を取得できます。
除算	データセット内のデータ ポイントを指定された値で除算して結果を計算します。
エンベロープ	測定基準データセットの最小値と最大値を表示します。
フィルター	指定された期間のスライドする時間枠中に、指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。スライドする 15 分の平均は、平均集計関数および 15 分の期間を活用して、フィルター変換を使用します。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
フィット	モデルベースのトリガーで使用できる予測モデルを生成します。
変位値	基になるデータの指定された百分位数を表す値を持つ新しい系列を返します。たとえば、90 パーセンタイルと 99 パーセンタイルの応答時間を照会するには、[0.9,0.99] の配列を指定します。
補間	結果を計算するために指定された期間の新しいデータ ポイントを構築します。
ラベル	変換のラベルを設定できます。
最後	期間ウィンドウで最後に定義された値を返します。
ログ	データセット内のすべての値の自然対数を計算します。
最大	測定基準データセットの各時点での最大値を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

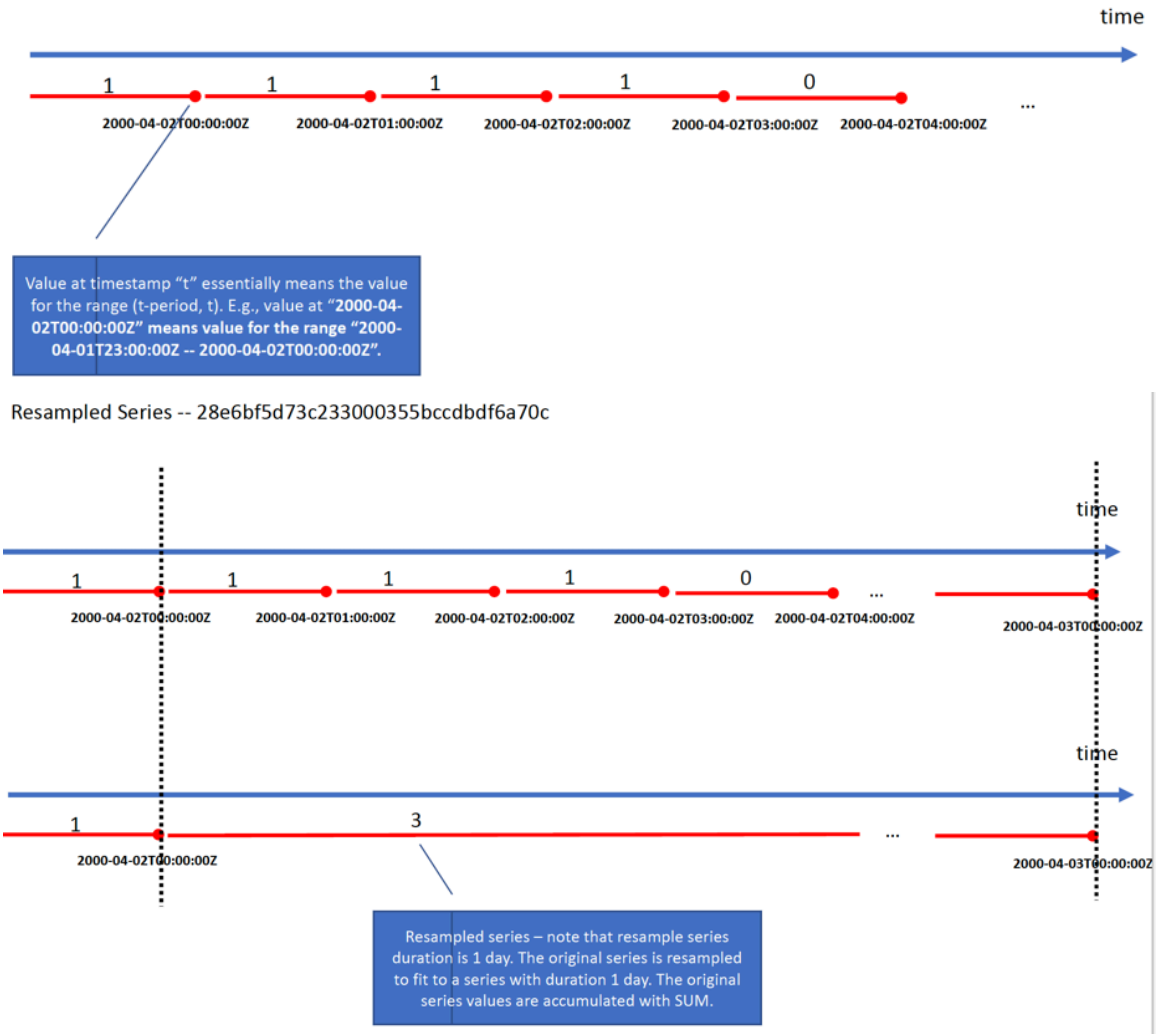
変換	説明
中央値	測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。
最小	測定基準データセットの各時点での最小値を示します。
乗算	データセット内のデータ ポイントに指定された値を乗算して結果を計算します。
パーティション	指定された期間の固定期間にわたり指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。[ベース] (タイムスタンプ) を指定して、パーティションウィンドウを配置します。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
予測	メトリックベースモデルテーブル (mb_model) で選択された予測モデルによって生成された予測時系列データを実際のデータと比較します。予測されたデータと実際のデータをグラフ化できます。予測トリガーは、予測値としきい値に基づいています。しきい値は、予測値を上回る値と下回る値です。これらのしきい値から外れる実際のデータは、予測トリガーを実行します。
配置	時系列メトリクスを別の メトリックベース 時系列メトリクス (`copyData('targetMetric').put()` など) にコピーします。
リサンプル	指定された期間に合わせてデータを展開または縮小します。期間を延長すると、集計関数が新しい期間に合わせてデータを結合するために使用されます。期間を短くすると、既存のデータが下位の期間に伝達されます。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
標準偏差	基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。
除算	データセット内のデータ ポイントから指定された値を減算して結果を計算します。
合計	測定基準データセット内のデータ ポイントの合計を計算します。詳細については、「 合計変換」 を参照してください。
トップ	測定基準データセットに指定された値の最高数のみを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計変換

タイムスタンプ「T」の値は、範囲の値 (T 期間、T) を示します。クエリでは、*sum()* は 入力系列を与えます。1つの系列があり、元の系列を期間= 1日の新しい系列にリサンプリングします。元の系列を期間にリサンプリングすると、2 つのデータポイント (2000-04-02T00:00:00Z と 2000-04-03T00:00:00Z) が作成されます。データポイントが 1 つあるため、2000-04-02T00:00:00Z の値は 1 です。2000-04-03T00:00:00Z の値は、(2000-04-02T00:00:00Z、2000-04-03T00:00:00Z) の範囲の値を集計することによって計算されます。値は 3 に等しい。



この例では、

```
var startTime = new GlideDateTime('2000-04-02 00:00:00');
var endTime = new GlideDateTime('2000-04-02 23:00:00');
transformer.metric('u_cost').sum().resample('SUM', GlideDuration('1 00:00:00'))
```

は [4] ではなく [1, 3] です。

```
====== rest api result for GET ======
{
  "seriesRef": {
    "subject": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c",
    "table": "sn_cld_intg_aws_cost_usage",
    "metric": "u_cost"
  },
  "label": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c:sn_cld_intg_aws_cost_usage|u_cost",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "values": [
  {
   "timestamp": "2000-04-02T00:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T01:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T02:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T03:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T04:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T05:00:00Z",
   "value": 0
  },
  ...
  {
   "timestamp": "2000-04-02T23:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-03T00:00:00Z",
   "value": 0
  }
 ]
}
```


自動翻訳

フォームでグラフを設定する

変更要求などのフォームにレポートを追加し、レポートのビジュアル化を設定してフォームのユーザーに関連する情報を表示できます。設定は、現在のビューにのみ適用されます。

始める前に

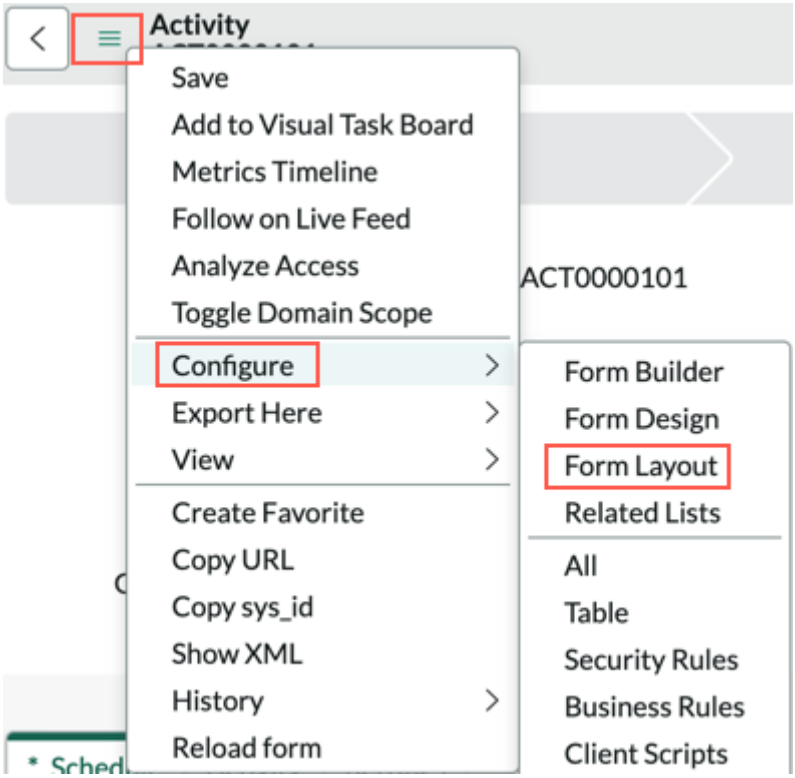
必要なロール：admin

フォームでは、リスト、ピボット、マルチレベル ピボット、カレンダー、シングル スコアなどのレポート タイプはサポートされていません。

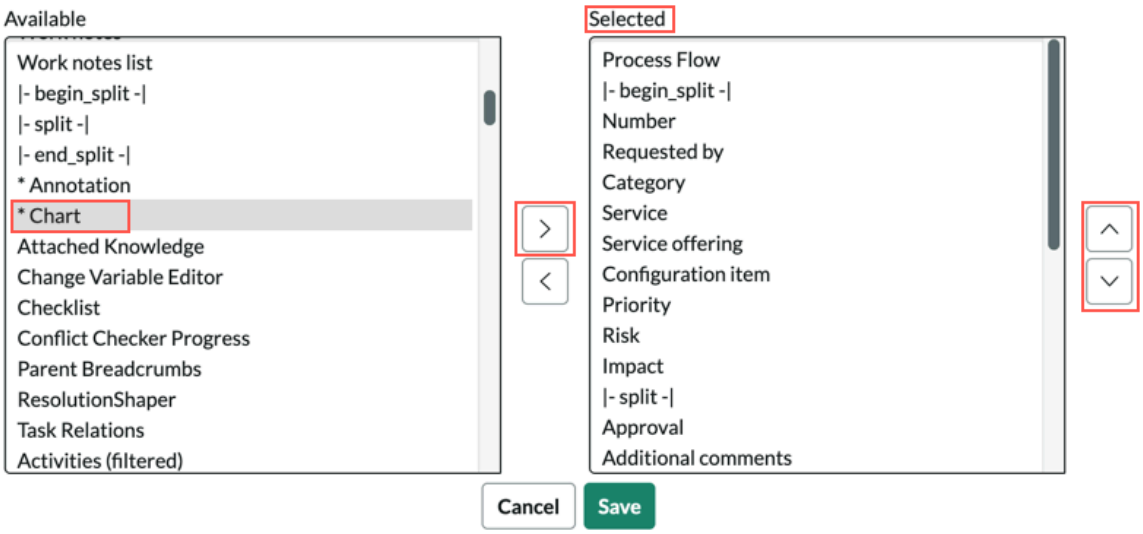
手順

1. フィルター ナビゲータのレポートでフォームを設定するテーブルを選択し、レコードを選択します。
   たとえば、task.list からレコードを選択します。
2. コンテキストメニュー ( ) から、 構成 > フォームレイアウト.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



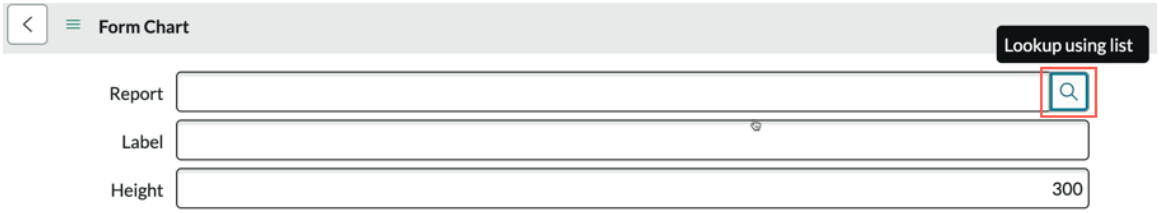
3. [利用可能] リストから、[選択済み] 列に *Chart を追加します。
上向き矢印と下向き矢印を使用して、フォームにレポートを配置します。



4. オプション: チャートのラベルを指定します。
このオプションは、上向き矢印または下向き矢印を選択してフォーム上のレポートの配置を指定すると表示されます。ラベルは、フォームのレポートの横に表示されます。ラベルを指定しない場合は、「New Chart」というラベルが使用されます。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
[チャートを構成] というテキストがフォームの指定された位置に表示されます。
6. [チャートを構成] を選択します。
7. 検索アイコン (🔍) を選択してレポートを選択します。

自動翻訳

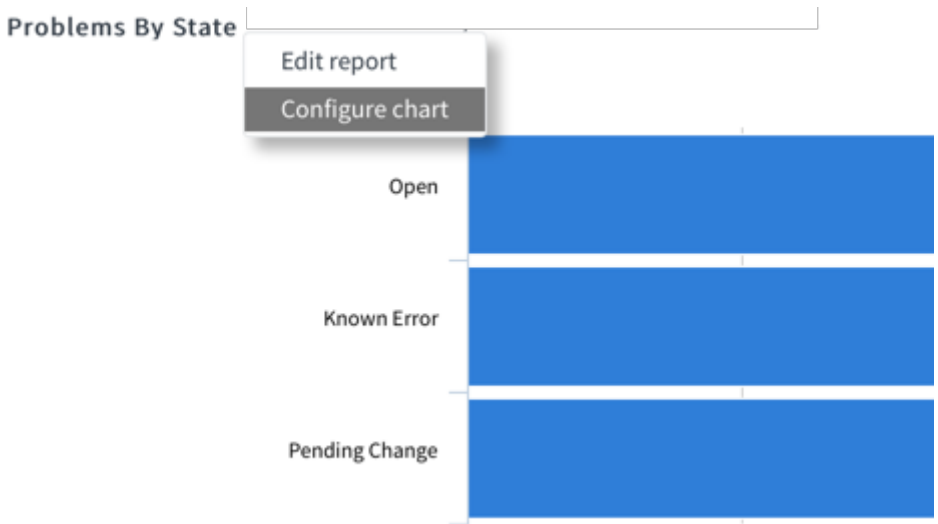
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: チャートの高さを指定します。
   デフォルト値は 300 ピクセルです。
9. オプション: 選択したフィールドに基づいて、またはスクリプト化されたフィルターやエンコードされたクエリに基づいて、レポートのデータをフィルタリングできます。
   最初のフィールドはフォーム上に表示する必要があります。フォームにフィールドを追加するには、次を選択します 構成 > フォームレイアウト フィールドを [利用可能] 列から [選択済み] に移動します。

   [レポート条件拡張] タブで、レポートが更新されるフォーム フィールドと、フォーム フィールドが比較されるレポート ソース テーブルのフィールドを選択します。

   スクリプト化されたフィルターまたはエンコードされたクエリを指定するには、[詳細条件 拡張] を選択し、スクリプトを [レポート品質] テキストボックスに貼り付けます。高度な条件拡張がある場合は、レポート条件拡張を上書きします。
10. **[Update** (更新)] を選択します。
11. 設定を変更するには、ラベルを右クリックして [チャートを構成] を選択します。



結果
選択したレポートは、選択したタイプと同じタイプのすべてのフォームに表示されます。これらのレポートは、レポート条件拡張に基づいてフィルタリングされます。

Jelly にレポートを埋め込む

UI ページなどの Jelly ベースの要素にレポートを埋め込むことができます。

埋め込みの有効化

Jelly にレポートを埋め込むには、次の要素を Jelly コードに追加します。

```
<g:inline template="reporting_includes.xml" />
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このコードを追加した後、既存のレポートを埋め込むか、Jelly コード内でレポートを生成することができます。

既存のレポートを埋め込む

embedReportById(targetSpan, reportId) 関数を呼び出すことで、既存のレポートを埋め込むことができます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに次を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

そして、UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<レポート sys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を jelly コードに埋め込む方法として、HTML/XML ブロック全体に埋め込むこともできます。次の間のクライアントスクリプトブロックからコードを追加します <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportById(div, <"report sys_id">);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

レポートの生成と埋め込み

embedReportByParams(targetSpan, parms) 関数を呼び出すことで、UI 内にレポートを埋め込むことができます。このようにレポートを埋め込む場合、パラメータを使用して新しいレポートを生成するか、レポート sys_id を指定してそのレポートを表示できます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに次を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

そして、UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに次を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category", sysparm_type:
 "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG", sysparm_sumfield:
 "rating"};
var div = $j("#report_stuff");
embedReportByParams(div, params);
```

または、Jelly コード内に JavaScript を埋め込むこともできます。次の間のクライアントスクリプトブロックからコードを追加します <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category",
 sysparm_type: "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG",
 sysparm_sumfield: "rating"};
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportByParams(div, params);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。
parms	レポートを定義する JSON オブジェクト。利用可能なパラメータは、レポート タイプによって異なります。

リストレポートの生成と埋め込み

既存のリストレポートを埋め込む場合、またはリストレポートを生成して埋め込む場合は、もう 1 行コードを入力する必要があります。

UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに次を追加します。<レポートsys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を jelly コードに埋め込み、HTML/XML ブロック全体に埋め込みます。次の間のクライアントスクリプトブロックからコードを追加します <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<div id="report_stuff" />
<script>
    var div = $j("#report_stuff");
    embedReportById(div, <"report sys_id">);
</script>
</j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

埋め込みレポート パラメータ

Jelly 要素にレポートを埋め込む場合、パラメータを渡すことによっていつでもレポートを定義できます。

共通パラメータ

特定のパラメータは、複数のレポート タイプで使用されます。

共通パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
jvar_report_id	レポート レコードの sys_id。このパラメーターを渡す場合、他のパラメーターを指定しないでください。すべての値は、レポート レコードから取得されます。	
sysparm_report_id	レポートに存在する他の sysparm パラメーターを上書きする場合は、jvar_report_id の代わりにこのパラメーターを使用します。	
sysparm_title	レポートのタイトル。	
sysparm_table	レポートするテーブル。この値または sysparm_report_source_id を指定しますが、両方を指定することはできません。	
sysparm_report_source_id	レポート ソースの sys_id。この値または sysparm_table を指定しますが、両方を指定することはできません。両方を渡すと、sysparm_table の代わりにこの値が使用されます。	
sysparm_type	作成するレポートのタイプ。 可能な値:リスト、折れ線、line_bar、面、スプライン、棒、horizontal_bar、パレート図、履歴、円グラフ、ドーナツグラフ、semi_donut、スピードメーター、ダイヤル、ピボット、pivot_v2、じょうごグラフ、カレンダー、ピラミッド、ボックス、トレンド、コントロール、トレンドボックス、ヒートマップ。	線

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_field	指定された表からデータをグループ化するためのフィールド。時系列、縦棒グラフ、棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ、じょうごグラフ、ピラミッドグラフ、ボックスグラフ、トレンドグラフ、および trendbox レポートに必要です。リストレポートのオプション。	
sysparm_query	レポートを生成する前にデータに適用するフィルター。この値にクエリ文字列を指定します。 特定のフィールドでクエリ結果をソートするには、 ^ORDERBY<field_name> または ^ORDERBYDES<field_name> をクエリ文字列の最後に追加します。ORDERBY は、昇順でクエリをソートします。ORDERBYDES は、クエリを降順でソートします。	
sysparm_aggregate	集計タイプ。 可能な値:AVG、COUNT、SUM、および COUNT_DISTINCT	総数
sysparm_sumfield	データを集計するフィールド。このパラメータは、総数集計タイプを使用する場合は適用されません。	
sysparm_display_grid	レポートにデータグリッドを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_show_other	その他のグループをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。このグループは、グループ数が sysparm_others パラメータで指定された数を超えた場合にのみ表示されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒートマップなどのレポートに適用されます。	true
sysparm_others	表示する個々のデータ グループの最大数。追加のデータ グループは、他のグループに結合されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒート マップなどのレポートに適用されます。	
sysparm_source_type	埋め込みレポートのソース。オプション。 可能な値:table、metricbase、source、import	table
sysparm_set_color	レポートの色設定。 可能な値:one_color、color_palette、several_colors	color_palette
sysparm_color_palette	レポートが使用するカラー パレット。このパラメータは、sysparm_set_color="color_palette" の場合に使用されます。	デフォルト UI14

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
	可能な値：カラー パレットの sys_id	
sysparm_color	レポートが使用する色。このパラメータは、sysparm_set_color="one_color" の場合に使用されます。 可能な値：色の sys_id	
sysparm_chart_colors	レポートが使用する一連のチャートの色。このパラメータは、sysparm_set_color="several_colors" の場合に使用されます。 可能な値：コンマで区切られた色の 16 進コードのリスト	
sysparm_show_marker	マーカーは、グラフ内の線または別のグラフィック要素のドットで表される値です。このパラメーターは、マーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値です。	true
sysparm_show_empty	空のグループ値または傾向値を持つレコードがレポートに表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_stack_field	棒グラフおよび列レポートのスタッキングを制御するために使用されるフィールド。	
sysparm_bar_unstack	積み重ねデータを単一の棒または列、または複数の棒として表示するかを制御する true/false 値。	false
sysparm_box_field	データを測定するために使用される数値フィールド。このパラメータは、ボックスおよびヒストグラムのレポートに必要です。	
sysparm_trend_field	傾向データを整理するために使用される日時フィールド。このパラメータは、時系列、トレンド、およびボックスのレポートに必要です。	
sysparm_trend_interval	トレンド値を測定する間隔。 可能な値:年、四半期、月、週、曜日、時間、および日付。	年
sysparm_compute_percent	レポートの割合を表示するときに使用する値。合計レコード数または指定された集計に基づいてパーセンテージを表示できます。 可能な値:aggregate と count	カウント
sysparm_funnel_neck_percent	1 ～ 100 の数字は、じょうごの首部であるじょうごレポートの割合を定義します。	30
sysparm_show_chart_data_label	データラベルがレポートに表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_zero	マルチレベルピボットおよびヒートマップレポートにゼロを表示するかどうかを制御する true/false 値。	
sysparm_ct_row	ヒート マップおよびバブル レポートで行を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_ct_column	ヒート マップおよびバブル レポートで列を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_y_axis_category_fields	マルチレベルピボットレポートの行を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 5 つ指定します。	
sysparm_x_axis_category_fields	マルチレベルピボットレポートの列を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 3 つ指定します。	
sysparm_list_ui_view	ユーザーがレポートにドリルダウンする場合に使用するリスト ビューの sys_id。	
sysparm_show_marker	レポートのプロットされたすべてのポイントにマーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_apply_alias	構成されたエイリアスを埋め込みレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	

サービス カタログ パラメータ

特定のパラメータは、要求アイテム [sc_req_item] テーブルなど、サービス カタログ テーブルで作成されたレポートにのみ適用されます。これらのパラメータは、リストまたはカレンダー タイプのレポートでは使用できません。

サービス カタログ レポート パラメータ

パラメータ	説明
sysparm_sc_groupby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。カタログ変数値に基づいてサービスカタログレポートをグループ化するには、このパラメーターを *sysparm_sc_groupby_variable_id* パラメーターとともに使用します。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数でグループ化するときに *sysparm_field* パラメーターに代わるものです。
sysparm_sc_groupby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*sysparm_sc_groupby_item_id* パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している必要があります。
sysparm_sc_stackby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。カタログ変数値に基づいてサービスカタログレポートを積み重ねるには、このパラメーターを *sysparm_sc_stackby_variable_id* パラメーターと併用します。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数でグループ化するときに*sysparm_stack_field* パラメーターに代わるもので

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス カタログ レポート パラメータ (続く)

パラメータ	説明
	す。棒グラフ レポートなどスタッキングをサポートするレポートのみがこれらのパラメータをサポートします。
sysparm_sc_stackby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*sysparm_sc_stackby_item_id* パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している必要があります。

MetricBase パラメータ

埋め込みレポートで MetricBase を使用するには、sysparm_source_type パラメータを「metricbase」に設定する必要があります。

MetricBase には次の構文を持つ sysparm_custom_configuration パラメータも必要です。

```
sysparm_custom_config:
 "{query_condition:\"\",transforms:[{transform:{transform:\"Reference\",name:\"chart-subje
cts\"},metric:\"mb_metricname\"}], group_by:\"\", table:\"mb_tablename\"}";
```

この構文では：

- 変換は、ネストされた一連の変換関数です。すべてのチェーンの最後の変換は、常に参照変換である必要があります。

  ```
  {transform:\"Reference\",name:\"chart-subjects\"}
  ```

- メトリクスは、メトリクステーブルのメトリクスフィールドです。
- グループ化フィールドは、時系列がグループ化される、選択したメトリクステーブルのフィールドです。
- テーブル はメトリクステーブルを参照します
- mb_... はプレースホルダー名です

グループ化を除くすべての属性が必要です。

グラフ固有のパラメータ

特定のパラメータは特定のレポート タイプに対してのみ使用できます。

ドーナツ レポート パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_chart_total	グループ化されたドーナツの合計スコアがレポートの中央に表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_donut_width_percent	ドーナツ レポートの幅を制御する 1 ～ 100 の数値。	50

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_use_color_heatmap	ヒートマップがグラデーションを使用してレポートに色付けするかどうかを制御する true/false 値。true の場合、sysparm_axis_max_color および sysparm_axis_min_color の値が使用されます。	true
sysparm_axis_max_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、高い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	UI14 青
sysparm_axis_min_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、低い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	白

ダイヤル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_gauge_autoscale	目盛りがレポートの最小スケールと最大スケールを自動的に計算するかどうかを制御する true/false 値。この値を false に設定する場合、sysparm_from および sysparm_to の値を指定する必要があります。	true
sysparm_from	軸のスケールの最小値を定義する数値。	
sysparm_to	軸のスケールの最大値を定義する数値。	
sysparm_upper_limit	ダイヤルの上限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには上限のしきい値がありません。	
sysparm_lower_limit	ダイヤルの下限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには下限しきい値がありません。	
sysparm_direction	レポートでどちらの値が正の値であるか、低い値か高い値かを制御する値。 可能な値:最小化と最大化。	最小化

グラフ サイズ パラメータ

特定のパラメータは、レポートの幅と高さを制御します。

サイズ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_chart_size	レポート内のグラフのサイズ。有効な値は、small、medium、および large です。	大
sysparm_custom_chart_size	このパラメーターを有効にすると、*sysparm_chart_size* パラメーターのサイズオプションを使用する代わりに、カスタムチャートの高さと幅の値を指定します。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_custom_chart_height	レポート内のグラフの高さ (ピクセル単位)。	
sysparm_custom_chart_width	レポート内のチャートの幅（ピクセル単位）。	

グラフ タイトル パラメータ

特定のパラメータは、タイトルを表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒、縦棒、円、ドーナツ、ダイヤル、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒストグラム、ピラミッド、ヒートマップ、じょうご、およびコントロールのレポートが含まれます。

タイトル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_report_title_size	タイトルのフォント サイズを定義する数値。	16
sysparm_report_title_color	タイトル テキストの色。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	黒
ysparm_title_horizontal_alignment	タイトルはレポートに対して水平に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値は、left、center、および right です。	中心
sysparm_title_vertical_alignment	タイトルはレポートに対して垂直に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値:top、middle、および bottom。	top
sysparm_custom_report_title_position	相対的な配置ではなく、x 座標と y 座標がレポートタイトルの位置を定義するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_title_x_position	レポート上のタイトルの X 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0
sysparm_report_title_y_position	レポート上のタイトルの Y 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0

グラフの境界線のパラメータ

特定のパラメータは、境界線を表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒、縦棒、円グラフ、ドーナツグラフ、目盛り、トレンド、ボックス、トレンド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス、ヒストグラム、ピラミッドグラフ、ヒートマップ、じょうごグラフ、コントロールレポートが含まれます。

境界線パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_report_border	レポートに境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_border_width	境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_report_border_radius	境界線の角の半径サイズをピクセル単位で定義する数値。	0

凡例パラメータ

特定のパラメータは、凡例を表示するレポートでのみ使用できます。これらのレポートタイプには、円、ドーナツ、積み重ね棒、積み上げ縦棒、時系列、トレンド、ボックス、ヒストグラム、ピラミッド、コントロール、およびヒートマップのレポートが含まれます。

凡例パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_legend	レポートに凡例を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_horizontal_alignment	凡例はレポートに対して水平に配置されます。 可能な値:left、center、right。	center
sysparm_legend_vertical_alignment	凡例は、レポートに対して垂直に配置されます。 可能な値:top、middle、および bottom。	下
sysparm_show_legend_border	凡例に境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_border_width	凡例の境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_legend_border_radius	凡例境界線の角の半径のサイズをピクセル単位で定義する数値。	0

X 軸パラメータ

特定のパラメータは、X 軸を使用するレポートでのみ使用できます。これらのレポート タイプには、棒、水平棒、パレート、列、ライン エリア、スプライン、ボックス、トレンド ボックス、コントロール、およびトレンドのレポートが含まれます。

X 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title	X 軸に表示する名前。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

X 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title_size	X 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_x_axis_title_bold	x 軸のタイトルテキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_x_axis_opposite	x 軸がレポートの上部に表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_display_grid	垂直グリッド線が x 軸から表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_grid_dotted	垂直グリッド線を点線で囲むかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_label_size	X 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	11
sysparm_x_axis_label_bold	x 軸の増分ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false

Y 軸パラメータ

特定のパラメータは、Y 軸を使用するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、棒、水平棒、パレート図、縦棒、折れ線領域、スプライン、ボックス、トレンドボックス、コントロール、およびトレンドレポートが含まれます。

Y 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_title	Y 軸に表示する名前。	レポート集計の自動生成された説明
sysparm_y_axis_title_size	Y 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_y_axis_title_bold	Y 軸のタイトルテキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_opposite	y 軸がレポートの左側に表示されるかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_display_grid	水平グリッド線が y 軸から表示されるかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_grid_dotted	水平グリッド線を点線で囲むかどうかをコントロールする true/false 値。	false
sysparm_y_axis_label_size	Y 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	12

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Y 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_label_bold	y 軸の増分ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_from	Y 軸に表示される最小値を定義する数値。	
sysparm_y_axis_to	Y 軸に表示される最高値を定義する数値。	

拡張テーブルに関するレポート

単一のレポートでタスク テーブルを拡張するテーブルからのフィールドを含める方法を学びます。たとえば、インシデントと問題の両方を単一のレポートに含めることができます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。拡張テーブルに固有の列をレポートに含めるには、admin ロールを持つユーザーがシステムプロパティ [glide.ui.list.allow_extended_fields] を有効にする必要があります。

1. 移動先 システムプロパティ > **UI** プロパティ.
2. [ベーステーブルリスト (タスク、cmdb_ciなど) に拡張テーブルフィールド (incident_state、os_versionなど) を含め、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可するプロパティ を有効にします。
3. ページの下部にある [保存] をクリックします。

必要なロール:report_admin

このタスクについて

親テーブルから始めて、レポートに拡張テーブルのフィールドを含める方法については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

ドット連結では利用できないフィールドを拡張テーブルに含める方法

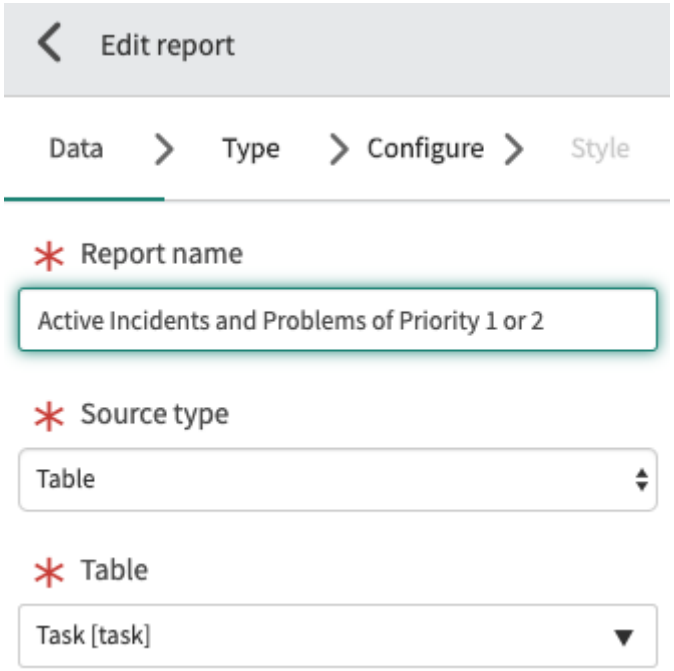
このビデオでは、レポートデザイナーを使用して複数のテーブルのデータを含むレポートを作成する方法を示しています。レポートには、タスクテーブルの子テーブルであるインシデントと問題の両方が含まれます。レポートの作成方法、[優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題] は次のとおりです。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、レポートに 「優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題」という名前を付け、ソースタイプ [テーブル] を選択して、テーブルタスク [task] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

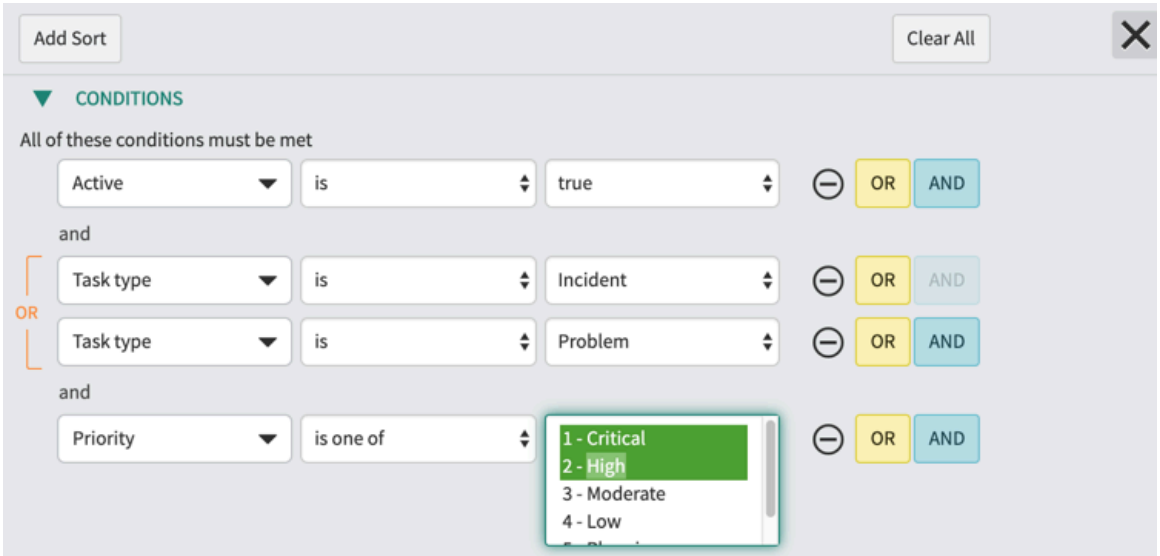
   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

4. [構成] タブで、[タスクタイプ別にグループ化] をクリックし、[保存] をクリックします。
   リストレポートが更新され、すべてのタスクがそれぞれのタイプに折りたたまれます。

5. フィルターアイコン ( ) をクリックして、条件ビルダーを開きます。
   条件ビルダーを使用して、レポートの表示内容を必要な情報のみに制限します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題のみを表示するには、これらの条件を設定して [保存] をクリックします。
   - アクティブが true です。
   - タスクタイプがインシデントであるか、タスクタイプが問題である。
   - 優先度は [1 - 重大] または [2 - 高] のいずれかです。

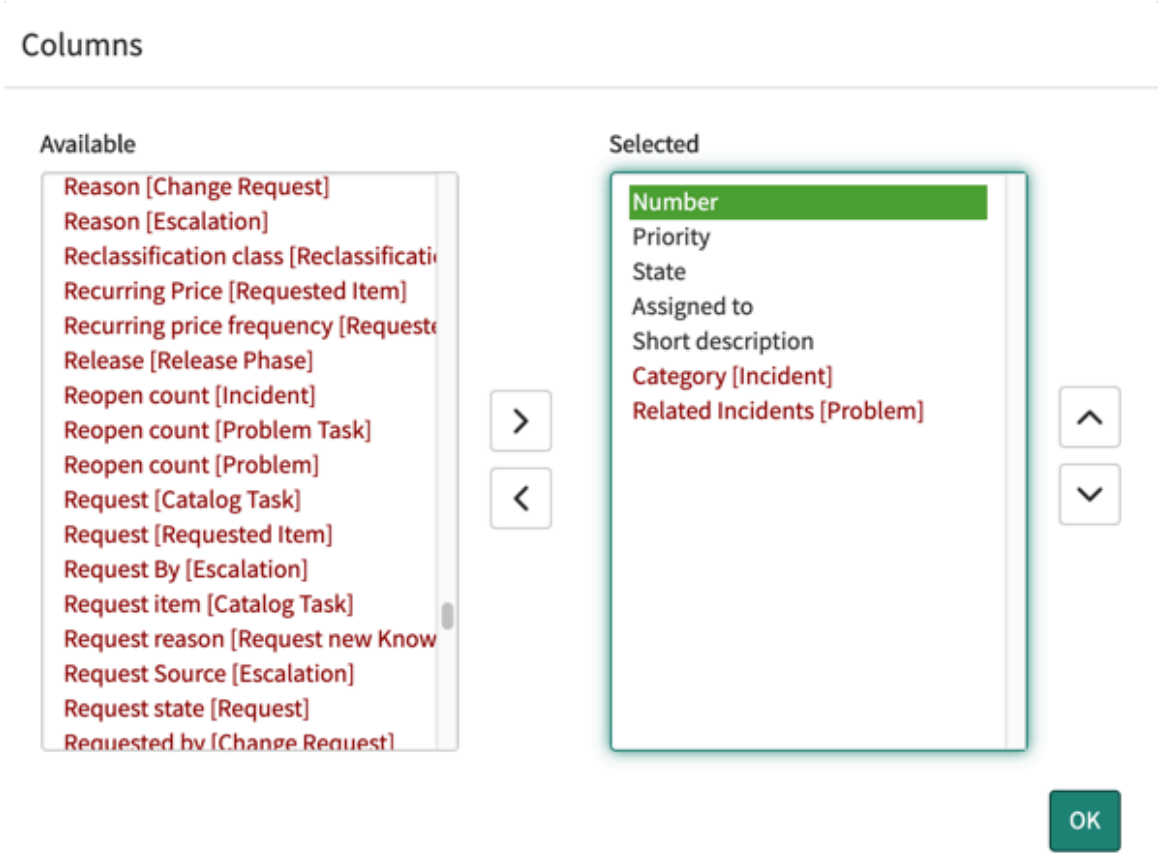


新しいレポートには、2 つのタスクタイプのみがあります。アクティブなタスクのみを選択したため、各カテゴリのタスクの数も少なくなります。

7. 拡張テーブルフィールドのカテゴリ [インシデント] や関連インシデント [問題] など、レポートに表示する列を選択し、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



カテゴリ [インシデント] および関連インシデント [問題] フィールドは、拡張テーブル (インシデントおよび問題) に固有です。これらは、タスクテーブルから使用可能な列のリストの一番下に表示されます。これらの 2 つのフィールドは、[ベーステーブルリストに拡張テーブルフィールドを含めることを許可し、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可する] プロパティを有効にしているためです。
レポートには、オープンインシデントとそのカテゴリ、および未解決の問題とその関連インシデントの数が表示されます。

レポートの関連テーブル

ビデオを見て、ドット連結、動的フィルター、およびデータベース ビューを使用して拡張または関連テーブルのデータにアクセスする方法を学んでください。

ドット連結を使用して、拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。このビデオでは、レポートでの動的フィルターの使用とデータベースビューのレポートについても説明します。 ドット連結ビューとデータベースビューを使用して、拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法。

ドット連結を使用した拡張テーブル フィールドのレポート

ドット連結は、拡張または関連テーブルのフィールドへのアクセスを提供します。これにより、それらのテーブルのフィールドをレポートすることができます。

レポートを作成または編集するときに、[構成] タブの [グループ]/[積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向] フィールドから拡張テーブルの参照にアクセスできます。[ソートを追加] オプションを使用すると、拡張テーブルで適用可能な参照フィールドのソート順を構成することもできます。他のテーブルを参照するテーブルは、矢印 ( ) アイコンで示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

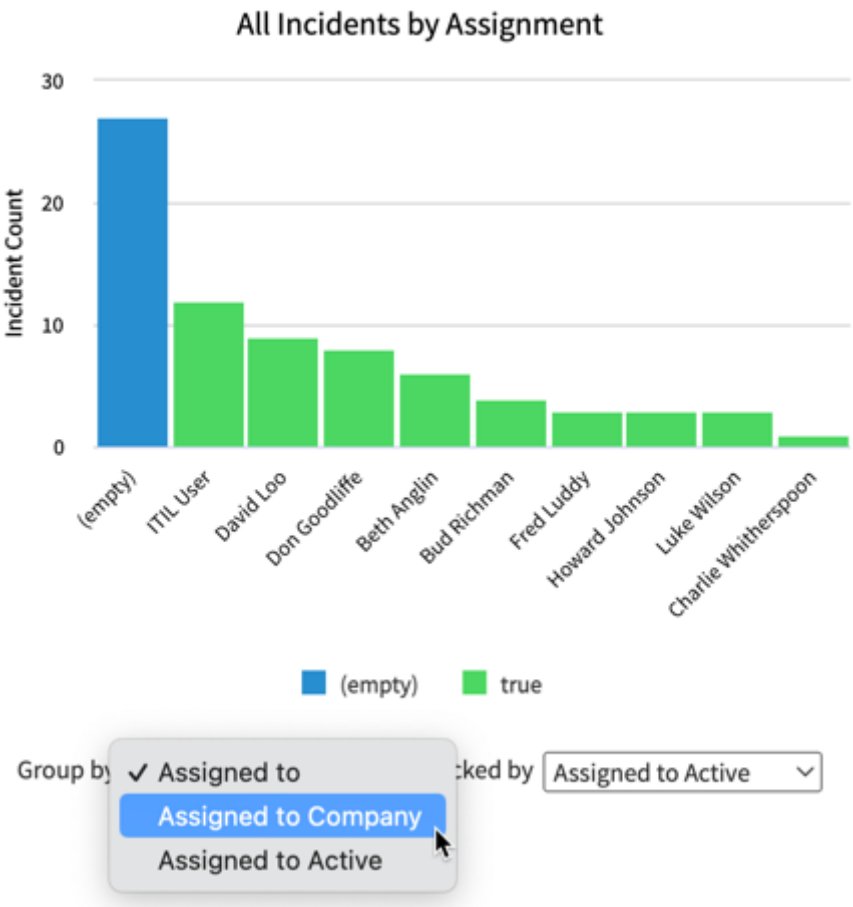
自動翻訳

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* はインシデントにアサインされたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

1. インシデントテーブルのレポートで、[構成] タブの [他のグループ化] を選択します。
2. [アサイン先 [+]]を選択し、構造アイコン ( ) を選択します。

   これで、ユーザーテーブルに関連フィールドが表示されます。
3. 会社 [+] を [選択済み] 列に移動し、[**OK]** を選択します。
4. レポートを保存します。

   [会社にアサイン済み] は、レポートの [グループ] リストのオプションです。この例では、[アクティブ] フィールドが構成された [スタック基準] オプションであるため、[アクティブにアサイン済み] と表示されます。



関連トピック

ドット連結の例

レポートの **FX** 通貨値

FX (外国為替) 通貨を使用して複数の通貨でプロジェクトを管理します。プロジェクトについて、ユーザーが入力した通貨値、参照通貨、またはその両方でレポートできます。

> **注:** FX 通貨機能を使用するためにプラグインをインストールする必要はありません。この機能は、デフォルトで有効になっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FX 通貨機能の詳細については、「」を参照してください。レポートのコンテキストでは、他の通貨が換算される参照通貨で集計することが重要です。

注: 複数の通貨がある場合は、計算できない場合があります。レポートを表示する集計ソースまたはフィルター条件を変更します。

FX 通貨フィールドで 平均 または 合計 で集計する場合は、[集計ソース] を選択します。

FX 通貨構成の使用

FX 通貨構成テーブルに基づいて、値を計算します。詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

入力値として

ユーザーが入力した通貨値に基づいて値を計算します。

注: このオプションを選択すると、異なる通貨で入力された金額を適切に集計できない場合があります。たとえば、米ドル、円、およびユーロの通貨金額がある場合などです。一度に 1 つの通貨でしか値を集計できません。異なる通貨でレコードをアグリゲートすると、次のエラーが表示されます:「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。」「 通貨の不一致の例」を参照してください。

参照値

参照通貨に基づいて値を計算します。

FX 通貨フィールドのレポート

FX 通貨フィールドについてレポートする場合、エラーが発生する可能性がある特定の制限があります。これらのエラーは集計に関連付けられています。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートに名前を付け、FX 通貨フィールドを含むソーステーブルを選択して、[次へ] をクリックします。
   ソースには FX 通貨フィールドが必要です。「 FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください 。
3. [タイプ] タブで、使用する可視化タイプを選択します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
4. [構成] タブで、レポートをグループ化、積み重ね、および集計する方法を選択します。
   一度に 1 つの通貨でしか値を集計できません。FX 通貨フィールドで異なる通貨のレコードをアグリゲートすると、次のエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致していません。」

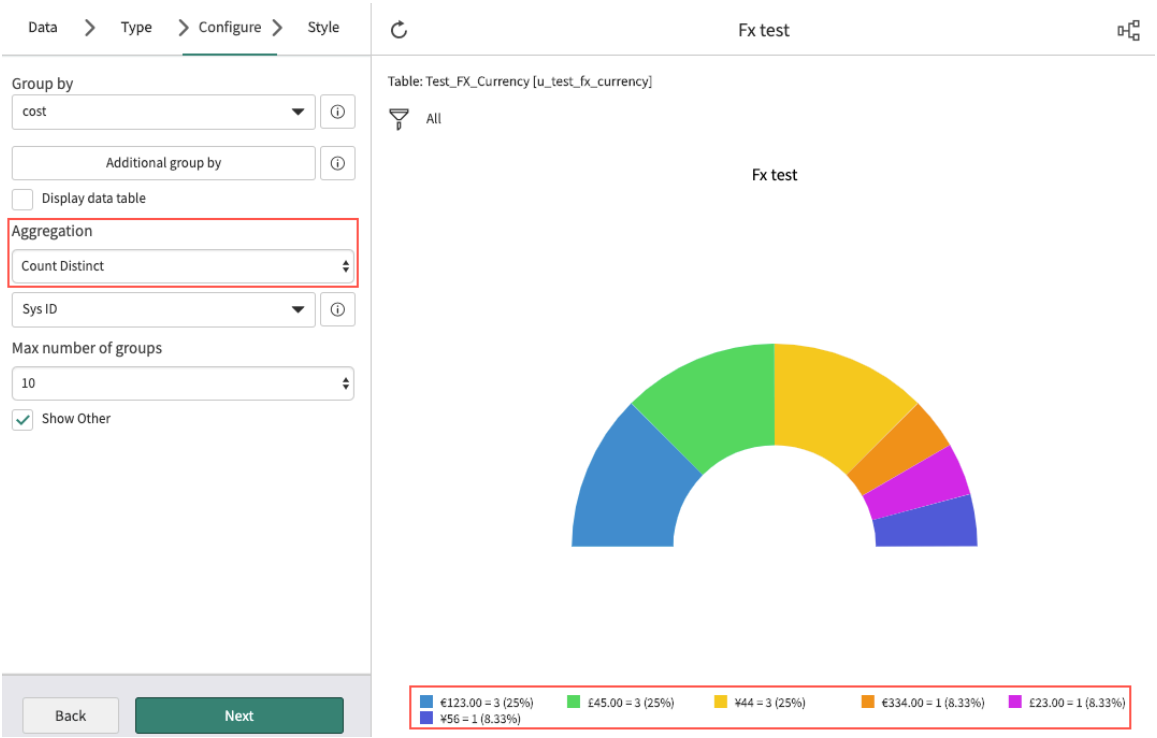
通貨の不一致の例

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせを計算できません。これらの組み合わせは、「レポートを生成できません。不一致の通貨コードがあります。アグリゲーションソースまたはフィルター条件を変更してください。

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドでのコストがあります。この可視化では、個別のカウントごとにコストが集計されます。つまり、個々の値は独自のセグメントを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



複数の通貨で合計または平均でコストを集計しようとすると、いくつかの結果が考えられます。

集計ソースは FX 通貨構成の使用

通貨が一致していないため、計算を実行できません。

集計ソースは入力値と同様

通常、入力した値は複数の通貨であるため、計算を実行することはできません。

集計ソースは参照値である

この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「 フォームの FX 通貨値について 」を参照してください。

サービス カタログ変数のレポート

選択したサービス カタログ アイテムの変数別にグループ化されたレポートを作成します。同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで役立つかどうかを判断するのに役立ちます。

さらに、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データベースビューでのカタログ変数へのドット連結、フィルタリング、および使用に関する概要ビデオは、「 カタログ変数のレポート」 を参照してください。

- 変数別にグループ化するには、「サービスカタログ変数別にレポートをグループ化する」を参照してください。
- フィールドのレポートをグループ化し、変数別にグループ化するには、「 他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する」を参照してください。
- 変数フィールドをリスト レポートに追加するには、「変数列を含むリスト レポートを作成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変数の質問に関するレポートについては、以下を参照してください。 質問に関するレポート

レポートでのサービスカタログ変数の使用

サービスカタログデータ、積み重ねおよびグループ化変数に関するレポートでは、変数をリストレポートの列として、およびマルチレベルピボットテーブルの列および行として使用します。

始める前に
必要なロール:itil、report_user、グローバルレポートの場合は report_global、グループレポートの場合は report_group

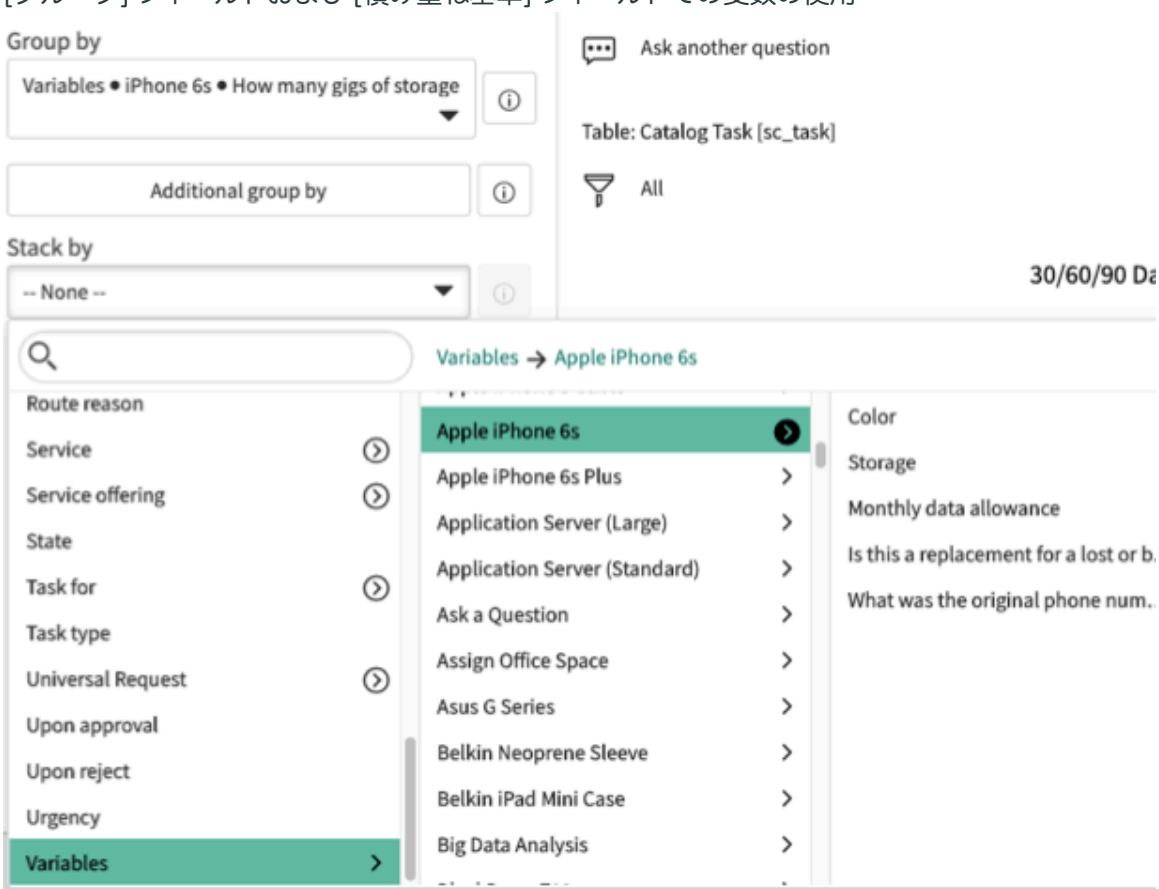
report_admin ロールを持つユーザーは、サービスカタログ変数についてレポートすることができます。オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルの ACL にreport_adminロールを追加します。

注:

- 変数を使用するレポートは、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle データベースの CLOB フィールドには、レポート内の変数データを取得する機能がありません。4000 バイト未満の列文字列フィールドの場合は、列タイプを varchar2 に変更できます。小さいサイズの CLOB 列を比較するには、to_char() 関数を使用します。より大きなサイズの CLOB の場合は、dbms_lob.substr 関数を使用して比較用のサブ文字列を取得する必要があります。

このタスクについて
プライマリの [グループ] および[積み重ね基準] の場合、これらの手順は直感的に操作できます。

[グループ] フィールドおよび [積み重ね基準] フィールドでの変数の使用



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: リスト、ボックス、トレンドボックス、およびピボットの各レポートは、サービス カタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用できません 。シングル スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも [グループ] をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

変数は、追加の [グループ] として、リストレポートの列として、またはマルチレベルピボットテーブルの列または行として使用します。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/作成 をクリックし、変数を追加するレポートを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
リスト レポートに列として追加する	[構成] タブで、[変数**+**] を [選択済み] 列に移動します。
追加グループとして追加	[構成] タブで、[他のグループ化] をクリックし、[他のグループ化] リストの [選択済み] の一番下にある [変数**+**] を移動します。
マルチレベルピボットテーブルの列または行として追加	[列の選択] または [行の選択] をクリックし、リストの一番下にある [変数**+**] を選択します。 **注:** ○ 最初に変数をメインの [グループ] としてレポートを作成すると、常に内部結合として動作します。 ○ プライマリグループ用の通常のフィールドと、変数のセカンダリグループを使用して最初にレポートを作成すると、外部結合として機能します。

3. 構造アイコン ( ) をクリックしてから、表示されるプラス記号をクリックします。
サービス カタログ アイテムのリストが表示されます。
4. 変数を持つカタログアイテムを選択します。
そのアイテムの変数が [利用可能] リストに表示されます。
5. 使用する変数を [選択済み] 列に移動します。
6. **[Save** (保存)] を選択してレポートを保存します。

サービスカタログ変数別にレポートをグループ化する

選択したサービス カタログ アイテムで変数別にグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージが 32 GB の携帯電話のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数が含まれていない場合、[変数] オプションは [グループ] フィールド と [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

注: リストレポート、ボックスレポート、Trendbox レポート、およびピボットレポートでは、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの グループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップレポートは、どのフィールドでも グループ化をサポートし ていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

手順

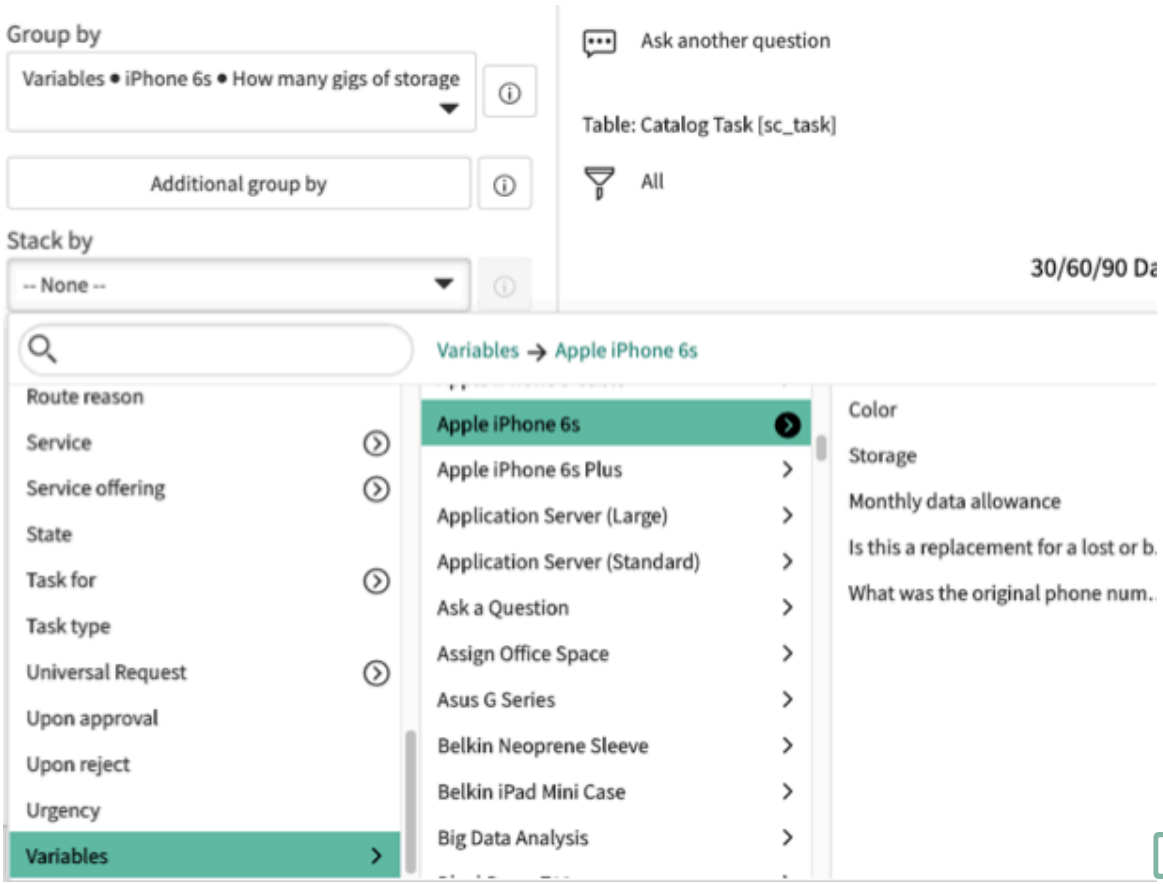
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。

レポートソース	説明
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブでレポートタイプを選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから [変数] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. グループ化または積み重ねる基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
8. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する

選択したサービス カタログ アイテムでは、他の変数別のグループを持つ任意のフィールドによりグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、ストレージが 32 GB の携帯電話のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[変数] オプションは [他のグループ化基準] フィルターに表示されません。

自動翻訳

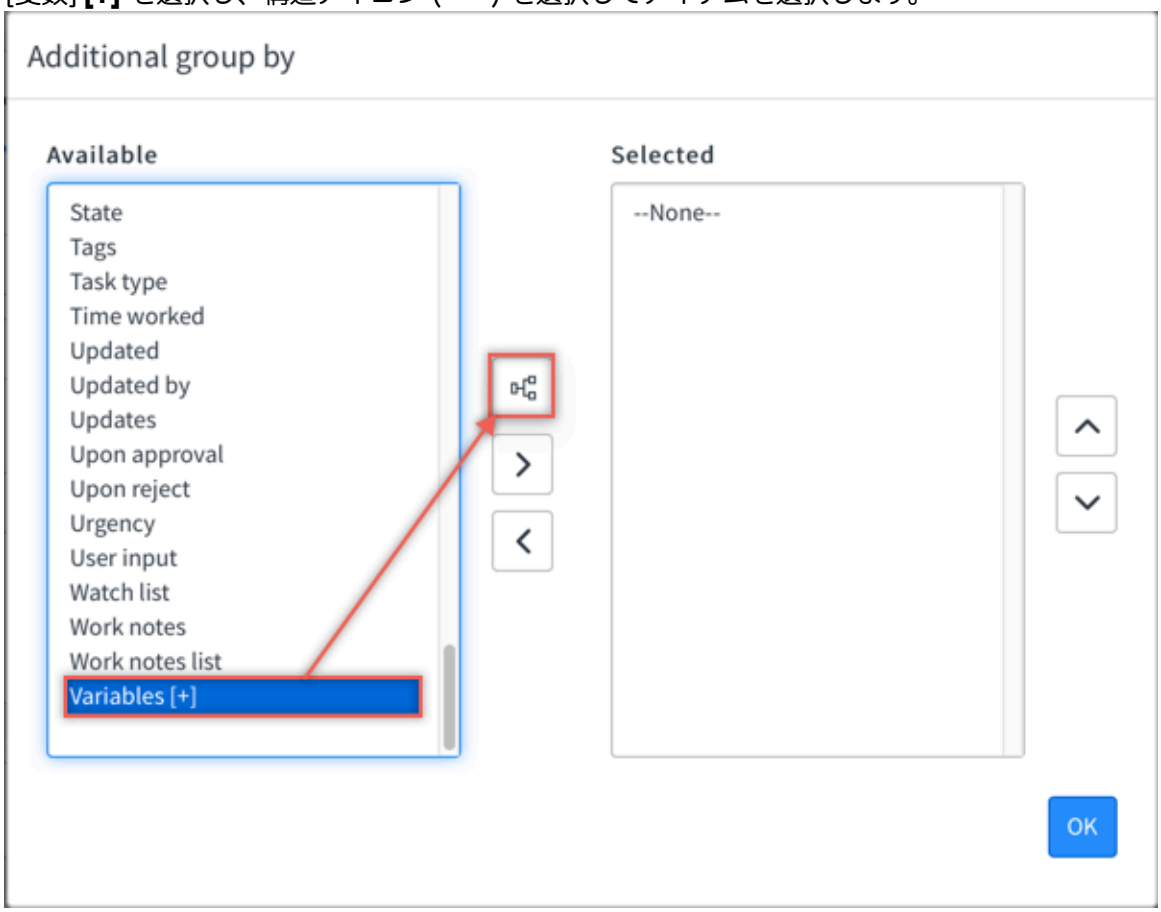
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。

レポートソース	説明
データソース	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

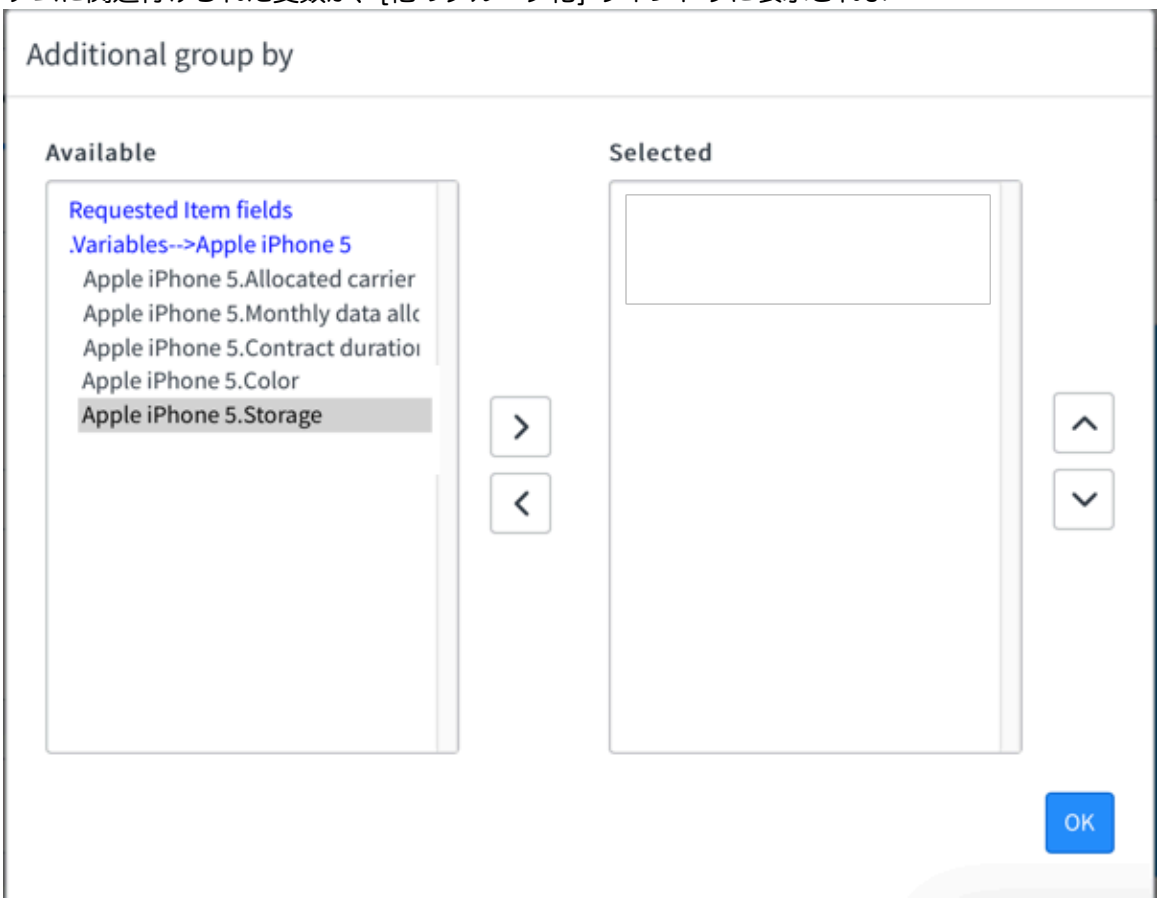
4. **[Next** (次へ)] をクリックします。
5. [タイプ] タブでレポートタイプを選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
7. [**Additional group by**] をクリックします。
8. [変数] **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) を選択してアイテムを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [カタログ アイテム] を選択します。
   アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

10. [選択済み] 列に目的の変数を追加し、[**OK]** を選択します。

11. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
    「レポートタイプ」を参照してください。

関数フィールドに関するレポート

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートやデータの可視化で使用できます。

関数フィールドの作成、編集、非アクティブ化の責任は、function_field_admin ロールを持つユーザーにあります。アップグレード時に、このロールを持つユーザーはいません。アドミンは、このロールをアドミン以外のユーザーに付与する必要があります。「ロールを作成する」を参照してください。

関数フィールドの詳細については、「関数フィールド」を参照してください。

関数フィールドの操作

機能フィールドでは、`glidefunction:<operation>` 構文を使用して次の操作を実行できます。

注: 定数は一重引用符または二重引用符で囲んで指定します。`concat()`、`dayofweek()`、`position()`、および `substring()` 操作の例は、関数フィールドでの定数の使用を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

操作	説明	例
`add()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、これらを加算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:add(child_incidents, parent_incident)` インシデントに 5 つの子インシデントと 1 つの親インシデントがある場合は、6 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`subtract()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値から 2 つ目の数値を減算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:subtract(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 2 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`multiply()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、乗算を実行して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:multiply(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 48 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`divide()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値を 2 つ目の数値で除算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:divide(u_num2,u_num1)` num2 = 10 および num1 = 2 の場合は 5 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`concat()`	任意の数のカンマ区切りフィールドと定数を入力として取得し、入力を連結して、単一の文字列をフィールド値として返します。	`glidefunction:concat(incident_number, '/', short_description)` 数値フィールドの値が「INC0001」で、short_description が「クライアントに新しいラップトップが必要」である場合には、「INC0001 /クライアントに新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
		しいラップトップが必要」を返します。 戻り値の型：テキスト
`datediff()`	2 つの日時フィールドを入力として取得し、日時の差を日、分、および秒の単位で計算して、結果を期間フィールド値として返します。	`glidefunction:datediff(closed_at, sys_created_on)` 作成日からクローズ日までのインシデントの期間を返します。結果の例：10 日、8 時間 23 分 11 秒 戻り値の型：期間
`dayofweek()`	日付フィールドと `'1'` (日曜日に週が開始) または `'2'` (月曜日に週が開始) の定数の、2 つの引数を取得します。曜日を表す整数値として結果を返します。 dayofweek() 関数は UTC 日付を使用しますが、インスタンスのタイムゾーンに基づいて比較値を調整します。	`glidefunction:dayofweek(resolved_at, '1')`. resolved_at が水曜日に発生した場合、整数が 1 の場合は 4 を返し、整数が 2 の場合は 3 を返します。 戻り値の型：整数
`length()`	文字列フィールドを入力として取得し、フィールド長を文字数単位で計算して、結果をフィールド値として返します。	`glidefunction:length(short_descriptio` short_description =「This application is performing a test」の場合は 37 を返します。 戻り値の型：整数
`coalesce()`	任意の数のカンマ区切りフィールドを入力として取得し、最初の空でない値を返します。	`glidefunction:coalesce(closed_at, resolved_at, sys_updated_on)` closed_at の値が空の場合、関数は値 [resolved_at] を返します。[resolved_at] の値も空の場合、関数は値 [sys_updated_on] を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
`position()`	2 つのテキストフィールド、または 2 つのテキストフィールドと 1 つの整数を入力として取得します。テキストフィールドの一方または両方を文字列にすることもできます。 **1.** 2 つ目のものの最初のテキストフィールドの最初の文字列の位置を返します。 **2.** 整数を指定した場合、この関数は整数の位置の後の 2 番目のテキストフィールドの位置を返します。 最初のテキストフィールドが 2 番目に存在しない場合は、0 を返します (指定されている場合は整数の位置の後)。	• `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、12 を返します。 • `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、19 を返します。 戻り値の型：整数
`substring()`	テキストフィールドと 2 つの整数を入力として取得します。最初の整数の位置から始まり、2 番目の長さである文字列の最初のインスタンスを返します。	`glidefunction:substring(short_descrip '7', '2')` short_description フィールドの値が「We're going to the store」の場合は、「go」を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

機能フィールドの構成

レポートデザイナーを使用すると、テーブルごとに最大 20 個のアクティブな機能フィールドを設定できます。テーブルで関数フィールドを設定するときに、関数計算の結果でグループ化または積み重ねることができます。

必要なロール:admin、function_field_admin

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートやデータの可視化で使用できます。

制限事項：

- レポートの機能フィールドはドット連結をサポートしていません。
- セキュリティは、機能のコンポーネントとフィールドの計算値で評価されます。可視化で使用する場合、ユーザーに表示が許可されていない情報を含むセクションは非表示になります。
- 機能フィールドの作成者またはプラットフォームアドミンのみが、そのフィールドを編集または非アクティブ化できます。プラットフォームアドミニストレーターは、任意の関数フィールドを非アクティブ化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド機能名は一意である必要があります。
- テーブルで一度にアクティブにできる機能フィールドは 20 個のみです。機能フィールドを追加するには、他の機能を非アクティブ化する必要があります。「関数フィールドの非アクティブ化」を参照してください。

関数フィールドの作成

フィールドの計算結果に基づいてレポートをグループ化および積み上げることができる機能フィールドを作成します。

始める前に

必要なロール:admin、function_field_admin

各機能フィールドには、ラベル、戻り値の型、および定義が必要です。定義は、操作と、操作が実行される 1 つ以上のフィールドで構成されます。

> **注:** 関数フィールドを保存した後にラベルまたは戻り値の型を変更することはできません。必要に応じて、機能フィールドを非アクティブ化して、やり直します。

手順

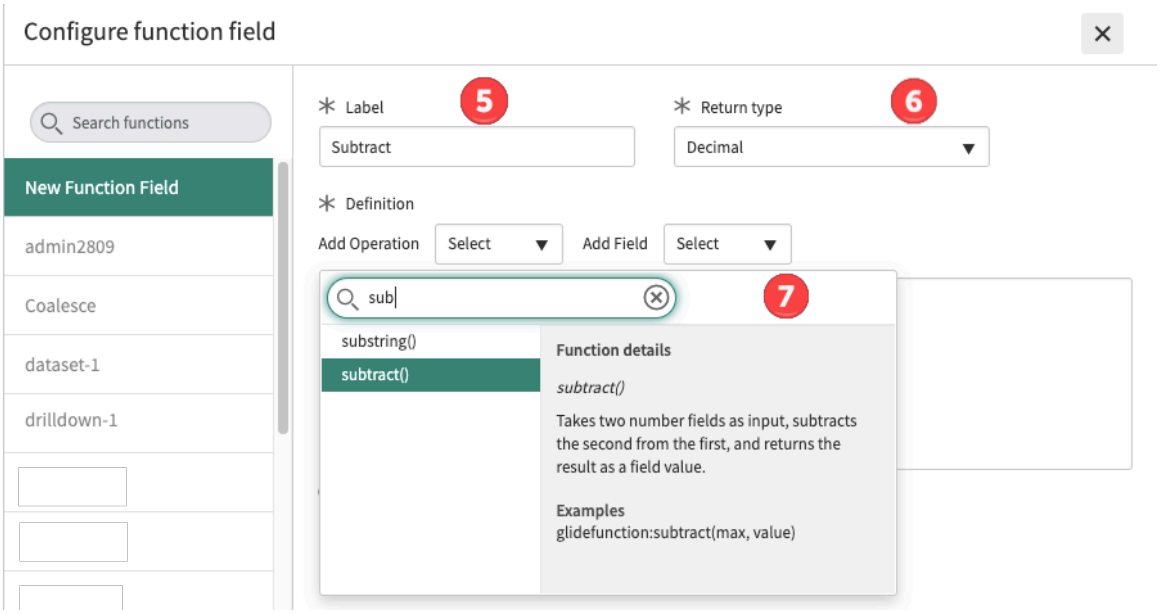
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 機能フィールドを追加するレポートを選択します。
   テーブルで関数フィールドを設定すると、同じテーブルのレポートを含め、 ServiceNow AI Platform上のテーブルを使用する場所ならどこでも使用できます。たとえば、オープンインシデントの経過時間を計算する関数フィールドは、インシデントテーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. [構成] タブを開き、[関数フィールドを構成] を選択します。
4. オプション: 検索バーにフィールド名を入力して、他のユーザーが既に機能フィールドを作成しているかどうかを確認します。
   検索結果にカーソルを合わせると、関数の定義が表示されます。
5. **[Create** (作成)] を選択します。
   レポートの基になるテーブルには、最大 20 個のアクティブな機能フィールドを指定できます。テーブルに既に 20 個の機能フィールドがある場合は、いずれかのフィールドの作成者または admin ロールを持つユーザーが、そのフィールドを非アクティブ化または削除する必要があります。
6. ラベルを指定します。
   ラベルは、ユーザーがレポートでデータをグループ化またはスタックするときに表示できる名前です。
7. 戻 り値の型を選択します。
   戻り値の型は、関数が生成する情報の種類です。たとえば、 `datediff()` 関数は 2 つの日付間の期間を計算するため、Duration 型を返します。

   > **注:** 戻り値の型が関数の論理結果でない場合は、メッセージは表示されません。

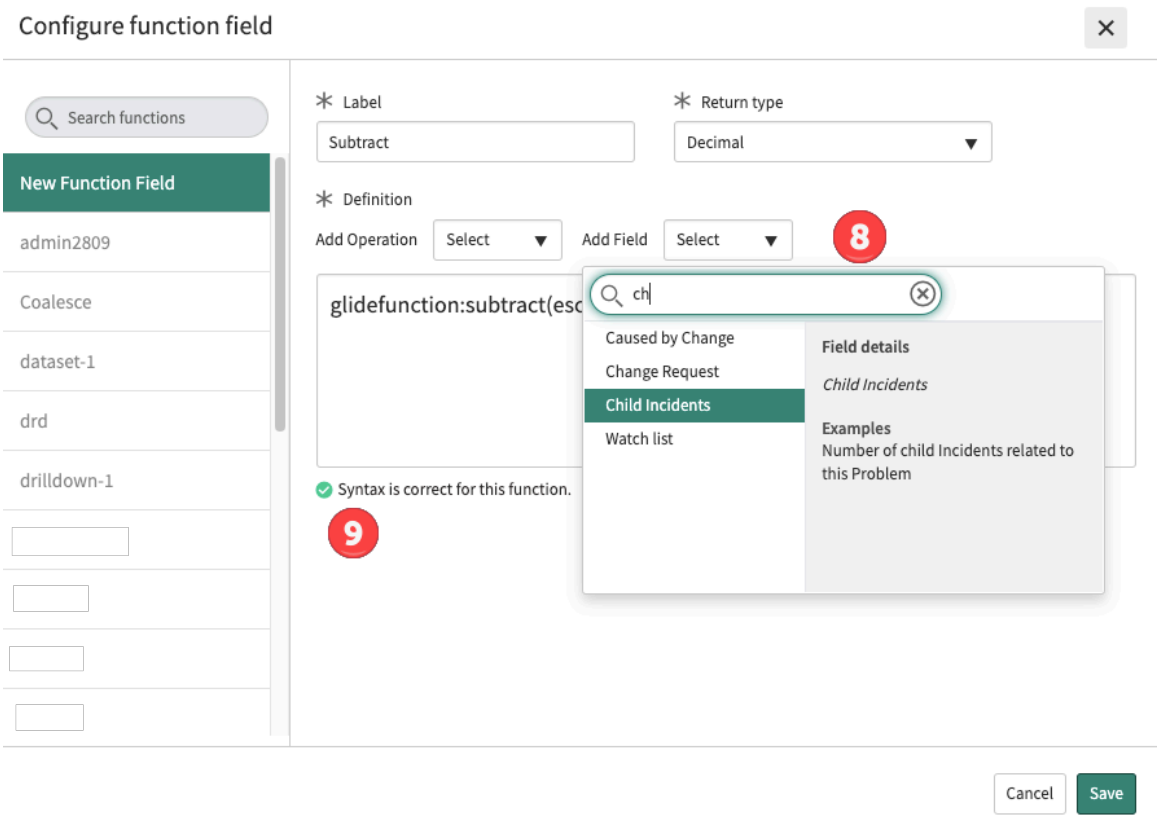
8. 操作を選択します。
   [構文] テキストボックスには、関数の名前の前に `glidefunction:` が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 関数が動作するフィールドを選択します。
一部の関数には 1 つのフィールドのみが必要です。2 つまたは 3 つのフィールドが必要な場合があります。「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。フィールドは必ずカンマで区切ってください。
10. 構文が正しい場合は、関数フィールドを保存できます。
構文が間違っている場合は、次のメッセージが表示されます。 構文エラー:無効な式です。他のメッセージが表示される場合もあります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

作成した関数フィールドをレポートまたはデータの可視化構成で使用します。ServiceNow AI Platformの他の場所で機能フィールドを使用する方法については、「機能フィールド」 を参照してください。

関数フィールドの編集

機能フィールドを作成したユーザー、または admin または function_field_admin ロールを持つユーザーは、保存された機能フィールドの定義を編集できます。保存された関数フィールドのラベルまたは戻り値の型は編集できません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 機能フィールドを追加するテーブルに基づいてレポートを選択します。
   関数フィールドを設定すると、同じテーブルの任意のレポートで使用できます。たとえば、インシデントがオープンになっている期間を計算する関数フィールドは、インシデントテーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. [構成] タブを開き、[関数フィールドを構成] を選択します。
4. オプション: [関数を検索] ボックスにテキストを入力して、編集する関数フィールドを見つけます。
   検索機能では、フィールドのラベル、フィールドの名前、および関数の定義を検索します。
5. 新しい操作、関数が動作する新しいフィールド、またはその両方を選択します。
   編集された関数を検証すると、無効な結果が返されることが示される場合があります。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
   1 つ以上のレポートが機能フィールドを使用している場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[保存] を選択するか、[キャンセル] を選択できます。

結果
編集した関数フィールドの結果は、関数フィールドが使用されているすべてのレポートの古い結果を置き換えます。

関数フィールドの非アクティブ化

機能フィールドを作成したユーザーまたは admin ロールを持つユーザーは、機能フィールドを非アクティブ化できます。テーブルに既に 20 個の機能フィールドがある場合は、別のフィールドを作成する前に、1 つ以上の既存のフィールドを非アクティブ化する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. 非アクティブ化する機能フィールドを含むレポートを選択します。
3. [構成] タブを開き、[関数フィールドを構成] を選択します。
4. オプション: [検索機能] ボックスにテキストを入力して、非アクティブ化する機能フィールドを見つけます。
5. 関数フィールドを選択し、[非アクティブ化] を選択します。
   1 つ以上のレポートが機能フィールドを使用している場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[非アクティブ化] を選択するか、[キャンセル] を選択できます。
6. 非アクティブ化またはキャンセルを確定します。

結果
非アクティブ化された機能フィールドは、基になっているテーブルのレポートで使用できなくなります。

注: フィールドを非アクティブ化すると、ユーザーリスト設定は削除されます。

関数フィールドを削除する

admin ロールを持つユーザーは、そのテーブルから関数フィールドを削除できます。機能フィールドの削除は、そのテーブルに存在する機能フィールドと同じ名前の機能フィールドを作成する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

機能フィールドは、それらを作成するテーブルの列として格納されます。関数フィールドを削除するには、関連する列を削除します。

重要: >削除時に機能フィールドが使用されている場所はチェックされません。また、関数フィールドの削除は元に戻せません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 削除する機能フィールドを含むテーブルを選択します。
3. 列を選択してフォームを開きます。
4. [列を削除] を選択します。
   列 名 が `u_` または `x_` で始まる場合にのみ、列を削除できます。列名が他のもので始まる場合は、*ServiceNow*サポートによって作成されています。削除するには、サポートにお問い合わせください。

結果
機能フィールドは削除され、データの可視化で使用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの作成を無効にする

システムプロパティを構成して、レポートデザイナーで関数フィールドを作成する機能を削除します。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. *glide.report.enable_function_field_ui* プロパティを検索します。
3. プロパティの名前を選択してフォームを開きます。
4. プロパティの値を false に設定します。
5. **[Update** (更新)] を選択します。

結果
機能フィールドを設定するオプションは、どのユーザーのユーザーに対してもレポートデザイナーに表示されません。

質問に関するレポート

選択した質問について、グループ化またはフィルタリングして報告します。

質問別にグループ化されたレポートを作成すると、次のことに役立ちます。

- 顧客の質問に回答が得られているかどうかを判断します。
- 要求プロセス中に顧客からより多くの情報を取得します。

レポートで質問を使用するには、データソースまたは非サービスカタログテーブルに質問が関連付けられている必要があります。タスク [task] テーブルから拡張されたテーブル ([incident] テーブルや [problem] テーブルなど) からの質問をグループ化またはフィルタリングすることができます。

データソースに適用する条件で質問を使用できます。次のフィールドでも質問を使用できます。

- グループ
- 積み重ね基準
- 他のグループ化
- 列を選択
- 行を選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

テーブルに関連付けられたレコードプロデューサーがある場合、そのレコードプロデューサーで定義された変数は、次の質問タイプを除き、データソースをフィルタリングするための条件ビルダーの質問として使用できます。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

レコードプロデューサー変数でグループ化することはできません。詳細については、「レコードプロデューサー」を参照してください。

質問別にレポートをグループ化または積み重ねる

質問別にグループ化または積み重ねられたレポートを作成したり、同じ質問に対するフィルターを作成したりすることができます。たとえば、顧客の応答、ヘルプを要求する理由、または問題の説明を示すレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

レポートソースに関連付けられた質問がある限り、これらの手順を任意のレポートタイプに適用できます。レポートソースに質問がない場合、[質問] オプションは [グループ] フィールド と [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

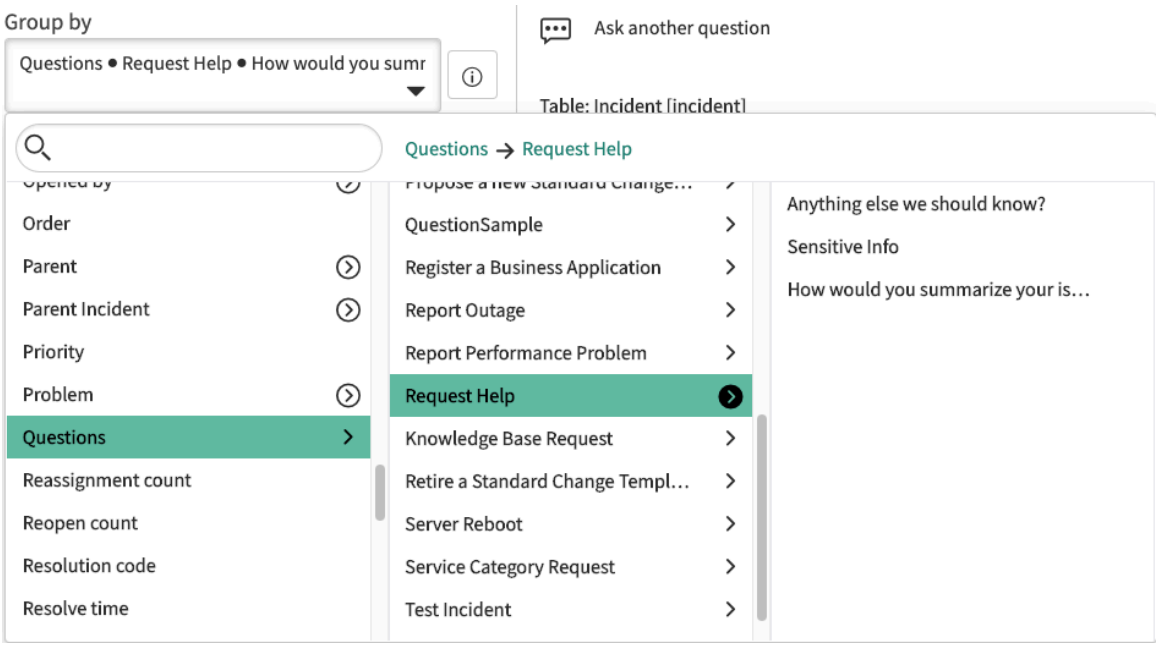
注: リストレポート、ボックスレポート、Trendbox レポート、およびピボットレポートでは、質問をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、ヒストグラム、およびマップレポートは、どのフィールドでも グループ化をサポートし ていません。リストレポートでは、質問を列として使用できます。マルチレベルピボットレポートでは、質問を列と行として使用できます。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポートソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [構成] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから質問を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. カテゴリに関連付けられた質問を検索して選択し、グループ化または積み重ねます。
7. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

レポートへのグループ別の質問の追加

選択した質問別に追加でグループ化されたレポートを作成します。同じ質問に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、顧客の応答、ヘルプを要求する理由、または問題の説明を示すレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

レポートソースに関連付けられた質問がある限り、これらの手順を任意のレポートタイプに適用できます。レポートソースに質問がない場合、[他のグループ化] フィルターに [質問] オプションは表示されません。

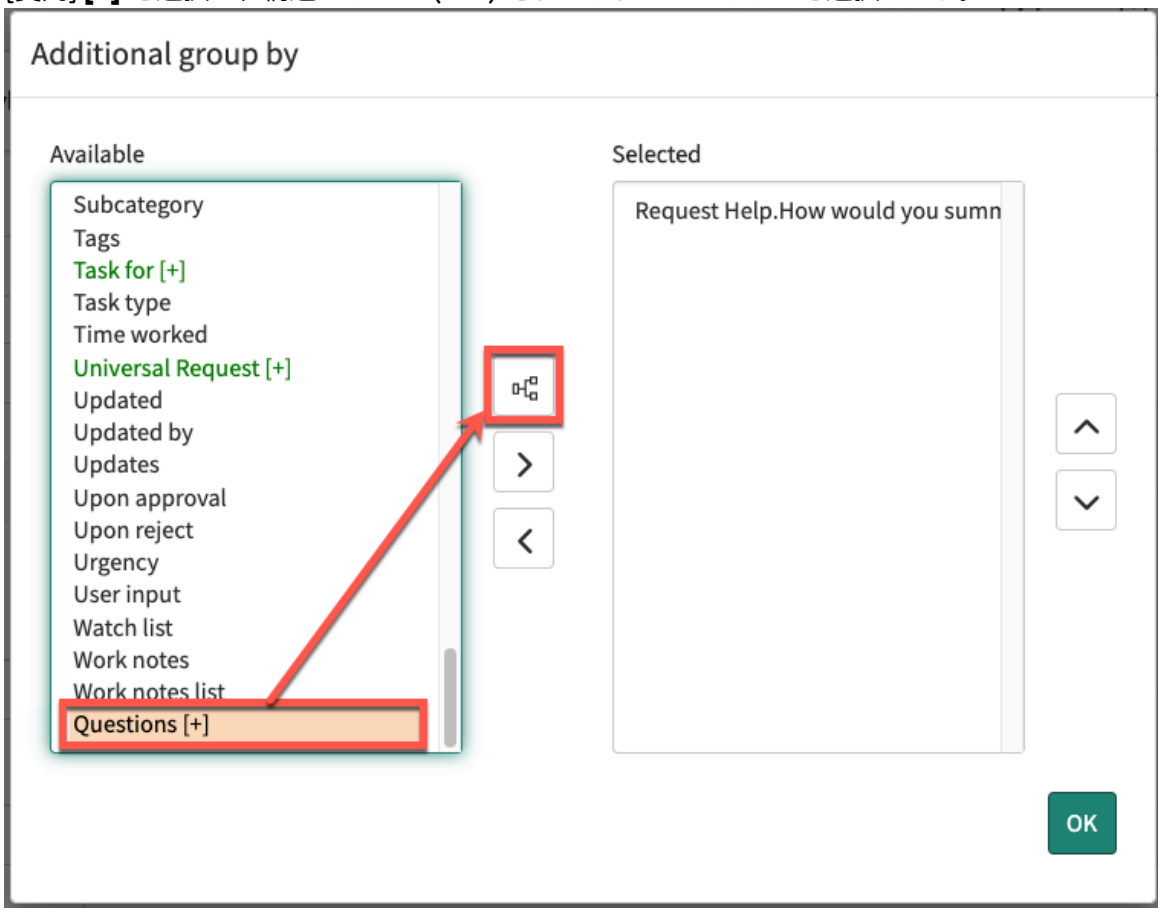
手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 新規作成.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポートソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [質問] **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

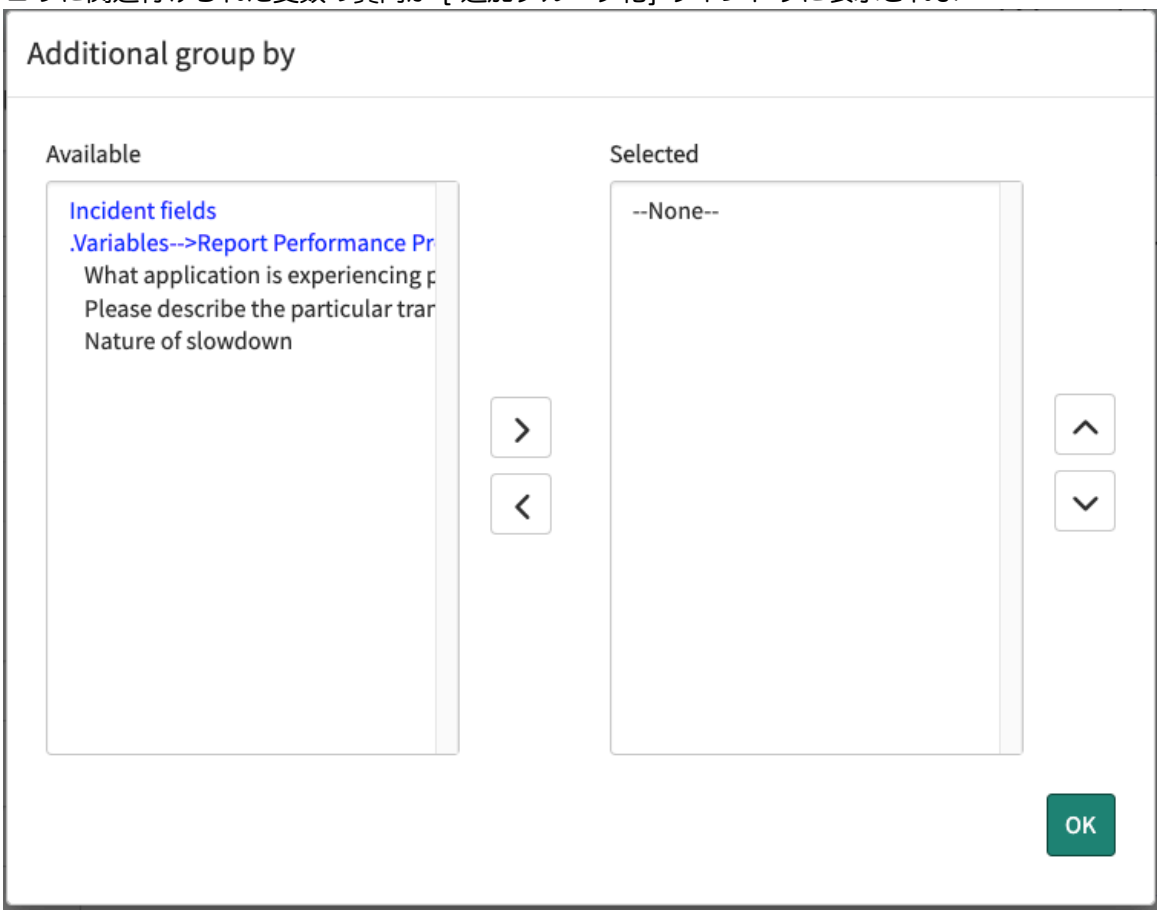


8. 質問カテゴリを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリに関連付けられた変数の質問が [追加グループ化] ウィンドウに表示されま



す。

9. 目的の質問を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** をクリックします。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
    レポート の作成を参照してください。

レポートの事前定義された色

レポートのタイプと構成に応じて、1 つの色、事前定義されたカラーパレット、または事前定義されたチャートの色を選択できます。3 つのオプションはすべて、カスタマイズ可能な個々の色のセットに基づいて構築されています。

レポート内のデータをグループ化または積み重ねない場合は、1 つの色を選択します。データを積み重ねたりグループ化したりする場合、色には主に 2 つの選択肢があります。

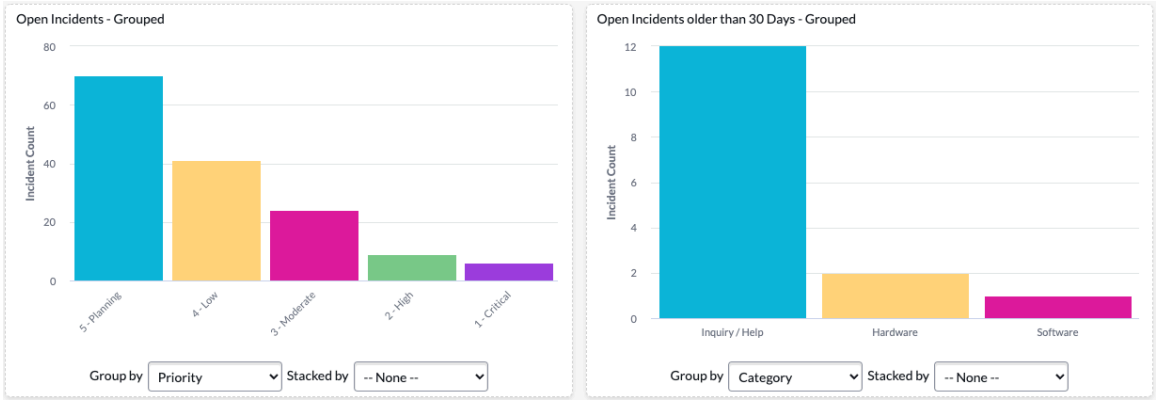
カラーパレット

グラフ内の要素に適用される一連の色。色は、最大値から最小値の順に繰り返されます。レポートの色で順序を示す場合は、レポートでカラーパレットを使用します。同じパレットを使用するレポートは、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

次の例では、インシデントに関する 2 つのレポートが [優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールド別にグループ化されています。どちらのレポートもデフォルトのカラーパレットを使用し、どちらも同じ色を表示します。

自動翻訳

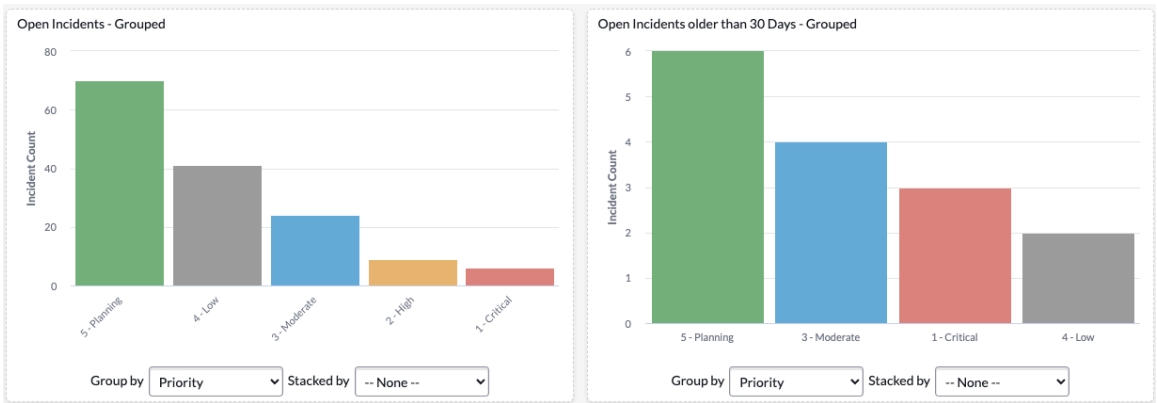
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チャートの色

グラフの色は、常に同じグループ化値または積み重ね値に適用されます。レポートごとに異なるグループ化値と積み重ね値が異なれば、色も異なります。たとえば、「優先度 > 1 - 重大」などの要素を常に同じ色にする場合は、チャートの色を使用します。

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもチャートの色を使用します。同じ優先度の値は、順序が異なっても同じ色になります。



次の例では、レポートがさまざまなフィールド別にグループ化され、チャートの色が使用されています。各要素には固有の色があるため、バーはさまざまな色になっています。

カラーパレットとグラフの色はどちらも、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義された色を使用します。レポートアドミンはさらに色を追加できます。

注: カラーパレットもグラフの色もレポートに適していない場合は、16 進数のカラーコードのセットを入力できます。これらのコードは、定義された色とは無関係です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カラーパレット

カラーパレットは、グラフ内の要素に、値の高いものから低いものの順に適用する一連の色です。同じパレットを使用するすべてのレポートは同じ色を使用します。

次のレポートでは、カラーパレットを使用できます。レポートデザイナーの [スタイル] タブでカラーパレットを選択します。

- 円グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ棒グラフと縦棒グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ線およびトレンド レポート

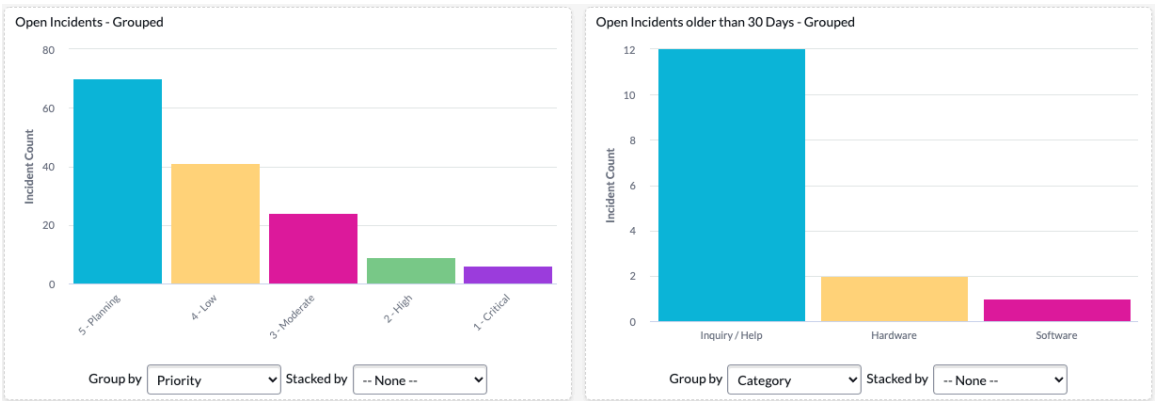
カラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。レポートアドミニストレーターには、このテーブルへの読み取りアクセス権があります。移動先すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > チャートのカラースキーム.

ヒント: ServiceNow AI Platform または パフォーマンスアナリティクス アドミンは、カスタムのコア UI カラーパレットを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

デフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色の色定義を使用します。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

Example: カラーパレット

次の例では、インシデントに関する 2 つのレポートが [優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールド別にグループ化されています。どちらのレポートもデフォルトのカラーパレットを使用し、どちらも同じ色を表示します。



チャートの色

チャートの色は、レポートのグループ化または積み重ね値に一貫した色を割り当てます。値の順序に関係なく、レポート間で色は変わりません。

注: このトピックでは、 コア UIのレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 データの可視化の色」を参照してください。

レポートでのチャートの色の使用

グラフの色は、定義されている場合は、レポート デザイナーの [スタイル] タブの [グラフの色] メニューで使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフの色の仕組み

チャートの色を使用するレポートにデータカテゴリが初めて表示されると、レコードがチャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルに自動的に追加されます。次のフィールドは、チャートの色レコードのデータカテゴリを定義します。

- データソース
- 要素の積み重ねまたはグループ化
- 要素値
- アプリケーションスコープ

チャートの色レコードでも色が指定されます。チャートの色レコードが自動的に作成されると、色は UI 14 色定義 [sys_report_color] レコードから割り当てられます。チャートの色を編集して、別の色定義または 16 進数のカラーコードを使用することができます。グラフの色の編集の詳細については、「データカテゴリの色を定義する」セクションを参照してください。

注:

- ベースシステムには、いくつかの事前定義されたグラフの色が含まれています。プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション、より多くのグラフの色を指定できます。
- UI 14 の色定義では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの Datavis - 定性的テーマ可能な色が使用されます。これらの色を使用するには、 ネクストエクスペリエンス を有効にする必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

グラフの色を使用し、同じデータカテゴリを表示する他のレポートは、同じグラフの色のレコードを参照します。レポートは同じレコードを参照しているため、同じデータカテゴリが同じ色で表示されます。たとえば、チャートの色を使用し、グローバルスコープの優先度 1 のインシデントを表示する最初のレポートを作成するとします。このようなインシデントを色に関連付けるために、チャートの色レコードが自動的に作成されます。チャートの色を使用し、グローバルスコープで優先度 1 のインシデントを表示する他のすべてのレポートは、同じ色で表示されます。

Example: チャートの色

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートも、レポート デザイナーの [スタイル] タブで設定されたグラフの色を使用します。同じ優先度の値は、順序が異なっても同じ色になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データカテゴリの色を定義

重要な優先度のインシデントなど、レポートのデータカテゴリのチャートの色を定義できます。事前定義された色を選択するか、16 進コードを指定できます。

始める前に

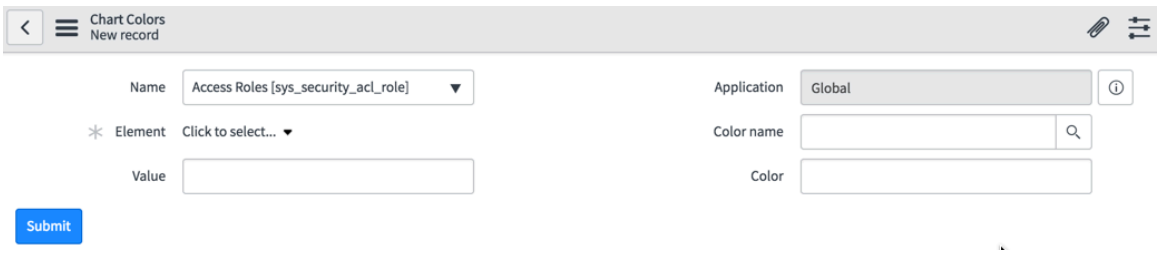
必要なロール:report_admin

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > チャートの色.

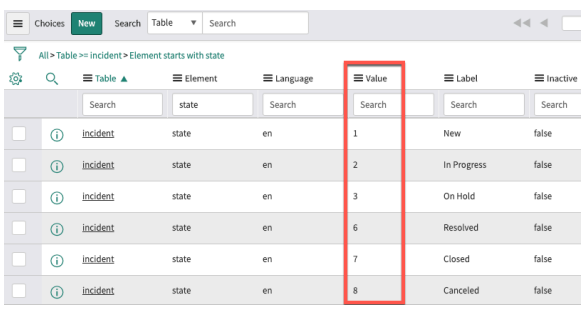
2. [**New**] をクリックします。

新しいチャートの色のフォーム



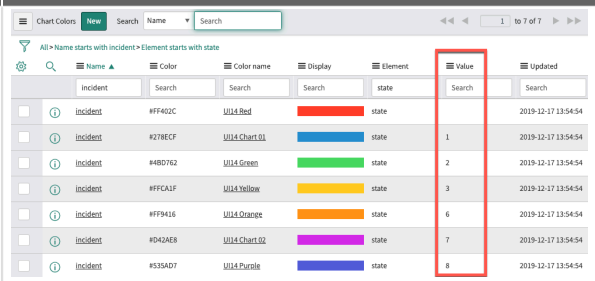
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

新しいチャートの色のフォーム

名前	説明
名前	レポートに使用されるテーブル。 注: このリストには、チャートの色のレコード と同じスコープ内 にあるテーブルビューとデータベースビューのみが表示されます。
要素	選択したテーブルに固有の列名。
値	指定した色が適用される要素の値。値では大文字と小文字が区別されます。 参照タイプのフィールドである要素の場合、値は指定された色が適用される値のsys_idです。 次の例は、選択肢 [sys_choice] レコードのステータス要素の値が、チャートの色 [sys_report_chart_color] レコードのステータス要素の値とどのように一致するかを示しています。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	 レコードのsys_idを取得するさまざまな方法については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。
色名	色定義 [sys_report_color] テーブルから選択された色。色定義を選択すると、[色] フィールドで指定した色が上書きされます。色定義の詳細については、「アナリティクスのシステムの色を定義する」を参照してください。
色	[色定義] テーブルで定義されていない色を指定するために使用される 16 進値。 注: [色名] フィールドに値が含まれる場合、[色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

結果
[名前] フィールドのテーブルのために [要素] フィールドで選択された値が、指定された色で表示されます。

これで、レポートデザイナーの [スタイル] タブのテーブルのレポートでグラフの色を使用できるようになりました。

アナリティクスのシステムの色を定義する

レポートおよび パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで使用する色定義を作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin

このタスクについて
次の可視化では、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義した色を使用します。

- 1 色のレポート
- カラーパレットを含むレポート
- チャートの色を使用したレポート
- パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットインジケーター付きの時系列ウィジェット
- 単色、カラーパレット、または固定要素の色 (チャートの色) を使用するデータ可視化ネクストエクスペリエンスのコンポーネント
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットのカラースキーム

カラーパレットを使用したレポートと可視化、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの場合、これらの色はチャートのカラースキームを介して使用されます。チャートの色は、色定義を直接参照します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > 色定義.
2. [**New**] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

新しい色の定義フォーム

名前	説明
名前	新しい色の一意の名前を入力します。
色	「#003366」のように、16 進数の値を入力します。
テーマ可能な色	UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの代替色を適用して、テーマが適用されるときに使用します。UX テーマプロパティテーブルの色は、UX テーマ [sys_ux_theme] テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されているかに応じて異なる値を持つ場合があります。テーマ設定の詳細については、次を参照してください。 のテーマ ネクストエクスペリエンス . テーマをオンにすると、データビジュアル化コンポーネントによって作成されたクラシックレポートと可視化にこの色が適用されます。テーマ可能な色が定義されていない場合は、[色] フィールドで定義された色が使用されます。 テーマをオフにすると、データ可視化コンポーネントによって作成された可視化にのみこの色が適用されます。[色] フィールドで定義された色はクラシックレポートに適用され、[テーマ可能な色] フィールドは無視されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

スコープ レポート

現在のスコープとは異なるアプリケーション スコープからレポートを編集する場合、元のレポートを変更するアクションは実行できません。

元のレポートを変更するには、現在のアプリケーション スコープをレポートのスコープに変更し、それからレポートを変更します。

レポートデザイナーで別のアプリケーションスコープからレポートを開いた後、[保存] メニューから次のアクションを使用できます。更新などの他のアクションは実行できません。

- 挿入
- 挿入と維持
- スケジュール
- ダッシュボードに追加
- PDF にエクスポート
- レポート履歴

既存のレポートに基づいて新しいレポートを作成できますが、[挿入] または [挿入と維持] オプションを使用する現在のアプリケーション スコープ内に限られます。

関連トピック

アプリケーションスコープ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの値の書式設定

ほとんどのレポートでは、レポートを公開するときに数値がどのように表示されるかを設定できます。

サポートされている値の形式

限られた数の可視化タイプが値の書式設定をサポートしています。

可視化タイプ	サポートされている値の形式
単一スコア	数値と期間の両方の書式設定
マルチレベルピボット	数値と期間の両方の書式設定
水平および垂直バー	期間のみの書式設定
円グラフ	期間のみの書式設定
時系列の可視化 (面、縦棒、折れ線、スプライン、ステップライン)	期間のみの書式設定
ジオマップ	期間のみの書式設定

書式設定は集計値に適用されます。

値の書式設定のタイプ

単位形式

時間フィールドの形式を d/h/m/s または日/時間/分/秒として表示します。

最大/最小期間単位

表示する最大単位または最小単位 (日、時、分、秒) を選択します。

単位が 1 分を超える場合は秒を非表示

期間値が 1 分を超える場合、秒の表示を削除します。最小期間単位として [秒] を選択した場合にのみ使用できます。

小数点以下桁数

表示する小数点以下の桁数 (小数点以下 0 桁から 4 桁まで)。

注: 通貨フィールドでは小数点以下桁数はサポートされていません。

端数処理

1 分を超える値の場合は、数値をその値に近づけながら丸めることによって単純化します。「丸めオプション」を参照してください。

3 桁ごとの区切り文字を使用

1,00 以上の値はカンマまたはピリオドで区切ります。

略語を有効化

1 文字で 1,00 以上の値を表示します。

注: 通貨、価格、または FX 通貨値の省略形はサポートされていません。

ツールヒントの値を非表示

丸められていない省略されていない値は、ツールヒントに表示しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

丸めオプション

1 分を超える値の場合、丸めオプションを使用すると数値が簡略化されますが、その値に近い値に保たれます。次の丸めオプションから選択します。

- 最大 - 正の場合は次に大きい整数まで、負の場合は次に小さい整数まで。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は -2 の値を返します
- 下 - 正の場合は次に小さい整数に、負の場合は次に大きい整数にします。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は -1 の値を返します
- 天井 - 次に大きい整数に、正に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は -1 の値を返します
- フロア - 次に小さい整数に向かって、負に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は -2 の値を返します
- 半分まで - 最も近い近接する整数まで。両方の近傍が等距離である場合、次に大きい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 3 を返します
- 半分以下切り捨て - 最も近い近接整数まで。両方の近傍が等距離である場合、次に小さい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 2 を返します
- 半偶数 - 最も近い整数。両方の近傍が等距離である場合、最も近い偶数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -2.5 は -2 の値を返します

丸めオプションの概要:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定された丸めモードで入力を **1** 桁に丸めた結果

入力番号	上	下	天井関数	フロア	四捨五入	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
5.5	6	5	6	5	6	5	6
2.5	3	2	3	2	3	2	2
1.6	2	1	2	1	2	2	2
1.1	2	1	2	1	1	1	1
1.0	1	1	1	1	1	1	1
-1.0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1.1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-1
-1.6	-2	-1	-1	-2	-2	-2	-2
-2.5	-3	-2	-2	-3	-3	-2	-2
-5.5	tinyint	-5	-5	tinyint	tinyint	-5	tinyint

レポートの書式設定された値の構成

既存のレポートでは、レポートデザイナーの [構成] タブで書式設定された値を構成できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

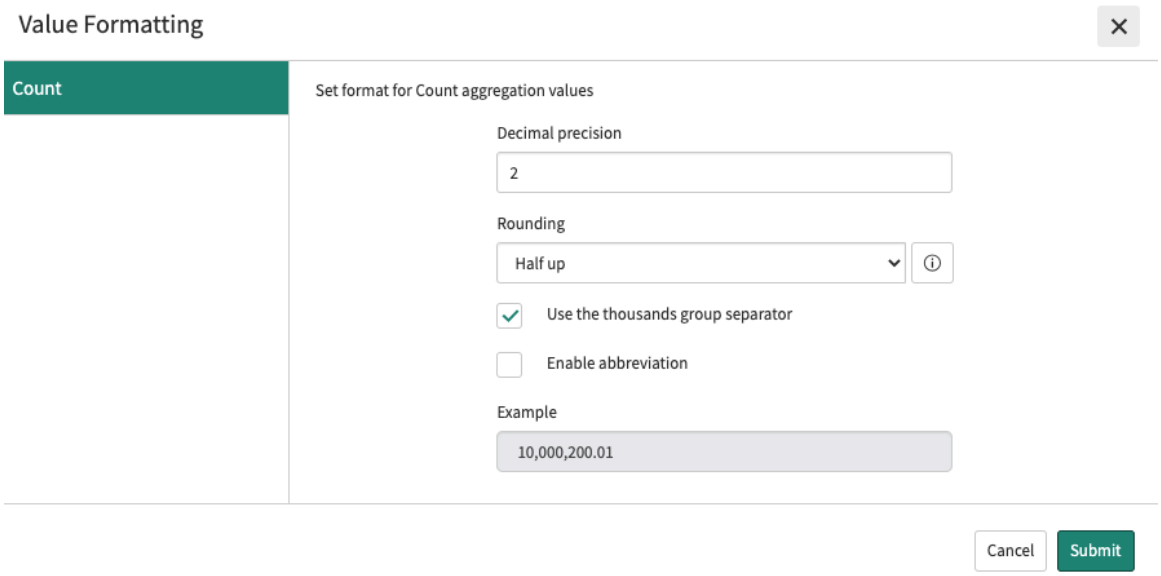
手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. 書式を設定する値を含むレポートを選択します。
3. [**Configure** (構成)] タブを選択します。
4. [Set Value Formatting] をクリックします。
5. [値の書式設定] ウィンドウで、期間、小数点以下桁数、丸めオプション、単位区切り文字、および略語を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カウントアグリゲーションを使用した単一スコアレポートの値の書式設定オプション:



レポートの管理

レポート管理者が通常実行する作業、操作するオブジェクト、および適用されるロールとルールについて学習します。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、 部下 > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

システムパフォーマンスに影響を与えることなく、意図した値を実現するためのレポートの管理プラクティスを提供します。

レポート ロール

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するにはユーザーにreport_userロールが必要です。
- レポートロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示されているすべてのレポートについて、[挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポートオプションにアクセスできます。
- 次のテーブルで、「 管理 」という用語は、[設定の更新 (編集)]、[削除]、および [エクスポート] の各レポートオプションへのアクセスを示しています。

レポート ロール

ロールのタイトル [名前]	説明
ロールなし	共有済みのレポートを表示できます。
ACL ベース	テーブルとフィールドに対するreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成が制限されます。アドミニストレーターは他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象となるデータへのアクセス権を持つロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ロール (続く)

ロールのタイトル [名前]	説明
レポートユーザー [report_user]、itil	レポートを作成でき、共有済みのレポートを表示できます。共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。
レポート スケジューラー [report_scheduler]	自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートについて、それらのメール送信をスケジュール設定できます。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。
グループ レポート ユーザー [report_group]	自分がメンバーであるグループ ([グループ] にリストされている) と共有されているレポートを管理および共有できます。
グローバル レポート ユーザー [report_global]	全員と共有しているレポート ([グローバル] に表示) を管理できます。
レポート管理者 [report_admin]	すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を実行できます。アクセス可能 部下 > アドミニストレーション およびすべてのレポート関連オブジェクトを管理します。report_admin ロールは、他のすべてのレポート ロールを継承します。
レポートの説明 アドミニストレーター [report_description_admin]	レポートのテーブルとフィールドの説明を読み込み、更新できます。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス ロール

ダッシュボード権限

ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する

アクセス制御リスト ルールを作成して、テーブル、データ ソース、またはデータベース ビューでレポートを作成できるユーザーを制限します。

始める前に

必要なロール：security_admin

注: 特定のテーブルの report_on ACL に加えて、[sys_report] テーブルの書き込み ACL は、すべてのレポートの書き込みアクセスを制御します。この ACL によって現在のレポートを保存できない場合、レポートデザイナーの [保存] ボタンは無効になります。たとえば、別のユーザーと共有しているレポートを表示する場合、正しいセキュリティ設定がある場合は、 保存 > 挿入 をクリックして、レポートの編集可能なコピーを保存します。

手順

1. 移動先 システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
2. 次の情報を含むアクセス制御レコードを追加します。

オプション	説明
タイプ	レコード
操作	report_on

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
[名前] (テーブル)	<select the table name>

3. ユーザーがテーブルのレポートを作成できるかどうかを決めるルールを定義します。
ユーザーがテーブルへの report_on アクセス権を持っていない場合、そのテーブルは、ユーザーがレポートを作成するときに [テーブル] フィールドに表示されません。ユーザーが report_on ACL に合格していないテーブルに基づくデータソースは、レポートデザイナーの [データソース] リストに表示されません。1 人または複数のユーザーに対して [レポート ソース] にデータソースが表示されないように制限するには、それらのユーザーを除外する新しい読み取り ACL を [sys_report_source] テーブルに作成します。

   注:

   - report_on ACL の制約のためにレポートを作成できない場合でも、ユーザーはテーブルでレポートを表示および実行できます。
   - デフォルトでは、システム テーブルではレポートを作成できません。システムテーブルに対するレポートを許可するために、アドミニストレーターは *glide.ui.permitted_tables* プロパティを設定できます。詳細については、「システム テーブルのレポート」を参照してください。
   - ACL report_on 操作により、ターゲットテーブルでレポートする権限が付与されます。
   - データベースビュー には独自の ACL があります。ユーザーがデータベースビュー内のすべてのテーブルに対する report_on 権限を持っている場合でも、そのデータベースビューに関するレポートを作成するには、データベースビューに対するreport_on権限が必要です。「 データベースビュー」 を参照してください。

関連トピック

ACL ルールを作成する

アクセス制御ルール

report_view のアクセス制御

report_view 操作はレポートへのアクセスを制限するレコードタイプのアクセス制御リスト (ACL) です。必要なロールのいずれかを持つユーザーのみが制限付きリソースを含むレポートを表示できます。

report_view ACL を作成するには、 ACL ルールを作成する一般的な手順 に従いますが、次の点に注意してください。

report_view のアクセス制御リスト (ACL) には、report_view テーブル ACL と report_view フィールド ACL の 2 種類があります。Report_viewテーブル ACL により、ユーザーは ACL で指定されたテーブルに基づくレポートまたはデータの可視化コンテンツを表示できなくなります。Report_viewフィールド ACL では、ユーザーは、グループ、行、列、または集計設定の ACL で指定されたフィールドを使用するレポートまたはデータの表示方法を表示できません。

たとえば、report_view フィールド ACL は report_admin ロールに HR テーブルの給与フィールドへの表示アクセス権を付与します。itil または report_user ロールを持つユーザーが給与フィールドでグループ化されたレポートにアクセスすると、「report_view フィールド ACL に基づいて、このコンテンツへのアクセスが拒否されました」というメッセージが表示されます。

report_view 操作のデザインの検討

独自の report_view 操作のアクセス制御を作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

必要なロールによるレポートへのアクセス制限

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

report_view 操作は必要なロールに基づくアクセス制限のみをサポートしています。report_view アクセス制御はスクリプトまたは詳細条件をサポートしていません。

読み取り操作によるリストレポートへのアクセス制限

リストレポートは通常のレコードアクセス制御を使用して、テーブルまたはフィールドのデータにアクセスできるユーザーを決定します。report_view アクセス制御では、ユーザーが読み取りアクセス権を持つリストを非表示にすることはできません。リストおよびフォームのレコードデータへのアクセスを制限するには、読み取り操作アクセス制御を作成します。レコードのアクセス制御の詳細については、「アクセス制御リストのルール」を参照してください。

関連トピック

ACL ルールのタイプ

ACL ルールの作成

レポート実行のセキュリティ

レポートが実行されると、report_viewアクセス制御リスト (ACL) がレポートの基になるテーブルとテーブルフィールドで評価されます。report_view ACL が存在しない場合は、テーブルレベルの読み取り ACL ロールに対するフォールバックチェックが行われます。

フォールバック読み取り ACL は、システムプロパティ *glide.report.report_view.read_acl* によって制御されます。

このプロパティには 3 つの値を使用できます。デフォルト値は [強制] です。

無視

読み取った ACL に対して評価は行われず、すべてのユーザーがレポートを表示できます。

enforce

そのテーブルまたはテーブルフィールドのreport_view ACL が存在しない場合は、読み取られた ACL に対して評価が実行されます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。

ログ

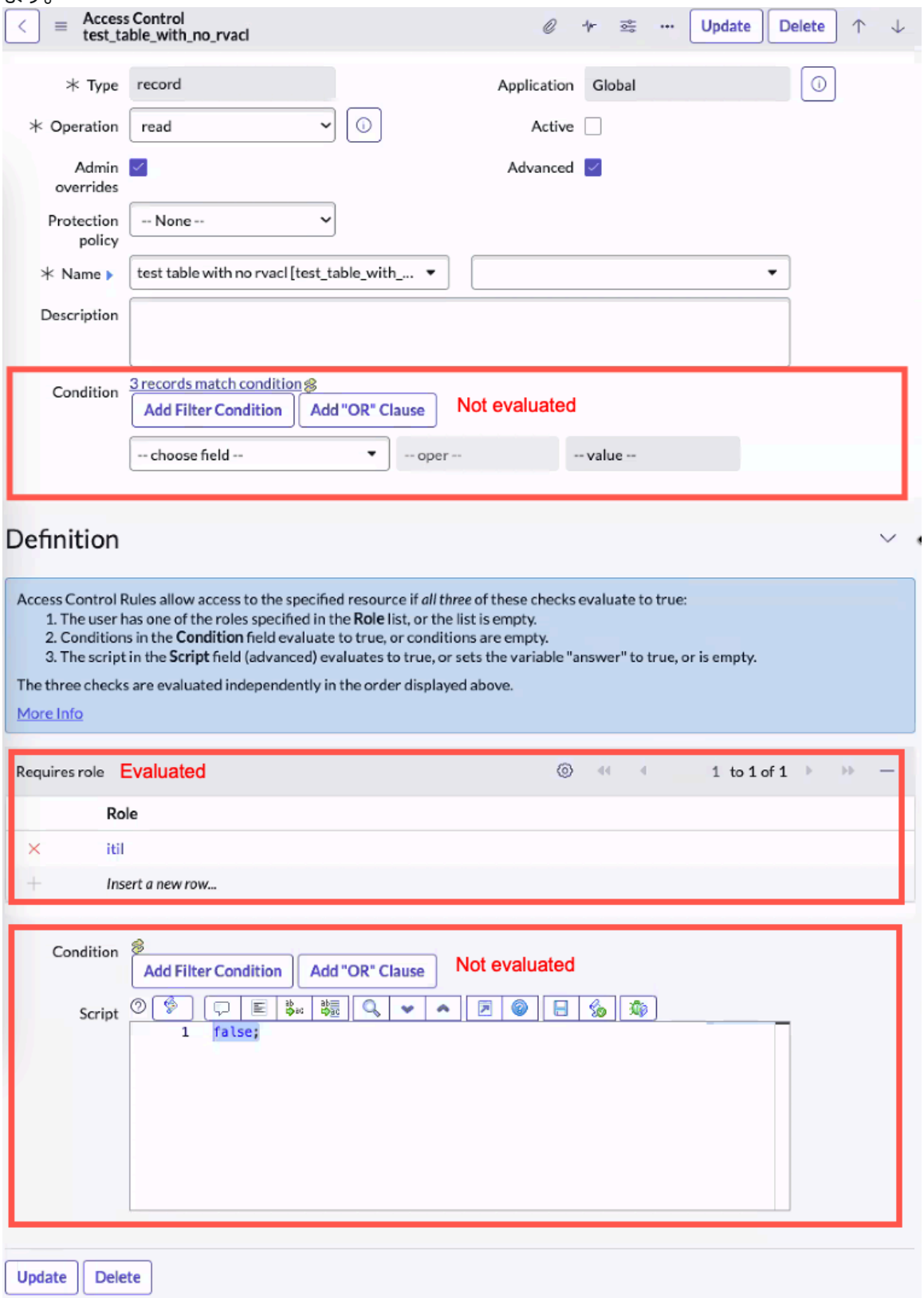
そのテーブルまたはテーブルフィールドにreport_view ACL がない場合、読み取り ACL チェックは適用されませんが、アドミニストレーターは、セキュリティチェックが適用された場合にブロックされていたであろうユーザーをログで確認できます。

読み取り ACL フォールバックはレポートを表示するときに保護のレベルが強化されるため、システムプロパティを無視またはログに変更することはお勧めしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: フォールバックテーブルレベルの読み取り ACL チェックはロールにのみ適用され、スクリプトや条件には適用されません。テーブルレベルの読み取り ACL にロールとスクリプト、またはロールと条件、またはロールとスクリプトと条件がある場合は、ロールのみが評価されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの ACL® アセスメント

ServiceNow レポートの ACL アセスメントを使用して、report_view ACL (アクセス制御リスト) でブロックされるレポートを特定します。

アプリケーションコンポーネント

レポート ACL ダッシュボードを使用して、ユーザーが表示できないレポートを特定します。所有者が ACL の制約を満たしていない場合、ACL はレポート作成者を自身のレポートからブロックすることもできます。すべての ITIL ユーザーと共有されるレポートを考えてみます。レポートの基になるテーブルまたはテーブル列では、admin ロールを持つユーザーへのアクセスが制限されます。この場合、itil ロールを持つほとんどのユーザーはレポートを表示できません。アプリケーションは、ユーザーとレポートの両方を識別します。アセスメントの情報を使用して、ユーザーとレポートを無視し、後で対処することができます。

スキャンでは、インスタンスの report_view ACL に対してすべてのレポートが評価されます。また、report_view ACL のないテーブルを識別し、どのユーザーがテーブルの READ ACL に合格しないか評価します。その後、ACL アセスメントにより、両方のカテゴリのユーザー、つまり report_view ACL に合格しないユーザーと、report_view ACL のないレポートの READ ACL に合格しないユーザーに対処できるようになります。

アプリケーションの外部では、レポートまたは可視化デザイナーで共有を変更したり、ユーザー、グループ、およびロールのアクセス権を変更したりすることができます。

アプリケーションには、次の 3 つのコンポーネントがあります。

レポート ACL ダッシュボード
: ダッシュボード内からスキャンを実行します。

影響を受けるレポートのリスト
: 影響を受けるすべてのレポートをプラットフォームリストで表示します。プラットフォームフィルタリング機能を使用して、ここでレポートを修正できます。

無視されたレポートおよびユーザーのリスト
: 次回レポートをスキャンするときに表示されるように、このリストからユーザーとレポートを削除します。

注: ServiceNow プラットフォームの一部のテーブルには、デフォルトでアクセス制御リストが作成されています。

レポートの ACL アセスメントのインストール

レポートの ACL アセスメントを使用すると、レポートへのアクセス権がないユーザーを特定し、必要に応じてアクセスを有効にすることができます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

このタスクについて
レポートの ACL アセスメントはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「 ServiceNow Store アプリケーションのインストール 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. 検索バーに 「ACL アセスメント 」と入力します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求する必要がある場合があります。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

表示される [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスに、アプリケーションとともにインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示される [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスに、アプリケーションとともにインストールされている依存関係が一覧表示されます。

レポートビューアセスメントスキャンの実行

インスタンスをスキャンして、既存のアクセス制御リスト (ACL) に基づいてユーザーが表示できないレポートを探します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

このタスクについて
アセスメントスキャンは、影響を受けるレポートのリストを返します。report_view ACL のないテーブルに基づくレポートの場合、ユーザーが report_view ACL またはブロッキング READ ACL に基づいて表示できないレポートを表示すると、レポートが影響を受けます。

アセスメントスキャンにかかる時間は、インスタンス内のレコードの数によって異なります。アセスメントを夜間に実行することを検討してください。また、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングすることも検討してください。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルター」を参照してください。

手順

1. ロールを security_admin に昇格させます。
   詳細については、「 特権ロールへの昇格」 を参照してください。
2. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > レポート **ACL** ダッシュボード.
3. [アセスメントスキャンを実行] を選択します。
   多数のレポートを含むインスタンスでは、アセスメントスキャンに時間がかかることがあります。スキャンの進行中に部分的な結果を表示するか、スキャンの完了時に [結果を表示] を選択するかを選択できます。スキャンが完了すると、アセスメントの実行者と、アセスメントの開始時刻と終了時刻を示すメッセージが表示されます。

   > **注:** スキャンでは、影響を受ける各レポートの実行回数が計算されます。プロパティ *sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、[影響を受けるレポート] リストの [合計実行数] 列は常に空で、*process_reports_executed_within_X_days_ago* は無視されます。

   最初のスキャンでは次のことがわかります。
   - スキャンを実行したユーザー、およびスキャンの開始時刻と終了時刻
   - 影響を受けるレポートの数
   - 影響を受けるインスタンスに関するレポートの割合
   - report_viewアクセス制御リストを持つテーブルの数
4. オプション: 影響を受けるレポートリストが空の場合は、 **report_executions.list** に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. このテーブルが空の場合、ACL の問題はありません。

b. **report_executions.list** にエントリがある場合は、システムプロパティ*sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only*を false に変更してスキャンを再実行します。
今回は、実行されたレポートだけでなく、影響を受けるすべてのレポートがスキャンで表示されます。多くの場合、2 回目のスキャンの実行に時間がかかります。

5. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト をクリックして 、影響を受けるレポートのリストを表示します。
[影響を受けるレポート] リストには、ACL の影響を受けるレポートが表示されます。

影響を受けるレポートのリストの表示

レポートの ACL アセスメントによって特定された、影響を受けるすべてのレポートのリストを表示できます。このリストを使用して、影響を受けるレポートとユーザーを修復します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
リストレポートには、影響を受けるレポートが表示されます。

列	説明
レポート	フォームへのハイパーリンク付きのレポート名。
テーブル	レポートのソーステーブル。
DBView 参照 ACL テーブル	この列に値が入力されると、 データベースビュー の基になるテーブルのいずれかの ACL が原因でレポートが影響を受けます。 影響を受けるレポートは、ACL を含むデータベースビューに基づいている場合があります。この場合、データベースビューの名前は [テーブル] 列のテーブル名の下に表示されます。
ドット連結フィールド	この列に値が入力されると、拡張テーブルの ACL が原因でレポートが影響を受けます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
合計実行数	ユーザーがレポートを閲覧した回数。 プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、この列は空です。
前回の実行	レポートの最新の実行時間のタイムスタンプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	説明
	この列は、プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が true の場合に入力されます。
グローバル	True / False。true の場合、レポート所有者はすべてのユーザーと共有しています。false の場合、レポート所有者が特定のユーザー、グループ、またはロールと共有しています。
ロールに共有	レポート所有者がレポートを共有したロール (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルである場合、このフィールドは空です。
ユーザーに共有	レポート所有者がレポートを共有したユーザー (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルである場合、このフィールドは空です。
グループに共有	レポート所有者がレポートを共有したグループ (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルである場合、このフィールドは空です。
読み取り ACL によってブロックされているか	読み取り ACL がユーザーをブロックする場合、この列には true と表示されます。
読み取り ACL テーブル	ユーザーが読み取り ACL によってブロックされている場合にチェックされるテーブルの名前を表示します。
RVA または読み取り ACL なしでブロックされる	この列は、レポートの基になるテーブルに report_view ACL も読み取り ACL もないためにレポートがブロックされた場合に true と表示されます。
テーブル ACL によりブロック済み	テーブル ACL (またはテーブル内のすべての列に適用される列 ACL) がユーザーをブロックする場合、この列には ACL の名前が表示されます。
テーブル ACL によりブロック済み ロール	ACL に基づいてレポートを表示できるメンバーがそのテーブル ACL で定義されているロール。レポートを表示するには、これらのロールの少なくとも 1 つが必要です。
テーブル ACL リンク	リンクをクリックすると、影響を受けるレポートに適用されるテーブル ACL のリストが表示されます。リストの [ロール] フィールドには、必要なロールが表示されます。テーブルに基づいてレポートを表示するには、ユーザーにいずれかのロールが必要です。
列 ACL によりブロック済み	特定の列の ACL がユーザーをブロックしている場合、この列には ACL の名前が表示されます。
列 ACL によりブロック ロール	列 ACL で定義されているロールで、そのメンバーは列に基づいてレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	説明
	レポートを表示するには、これらのロールの少なくとも 1 つが必要です。
列 ACL リンク	リンクをクリックすると、影響を受けるレポートに適用される列 ACL が表示されます。リストの [ロール] フィールドには、必要なロールが表示されます。列に基づいてレポートを表示するには、ユーザーにいずれかのロールが必要です。

2. レポートの ACL アセスメントの管理で説明されているように、影響を受けるレポートとユーザーに対応します。

レポートの **ACL** アセスメントの管理

レポート ACL (アクセス制御リスト) アセスメントスキャンを実行すると、結果は影響を受けるレポートのリストになります。アセスメントには、レポート作成者を含め、レポートを表示したユーザーの詳細が記載されます。アセスメントには、レポートが制限されているロールと、それらのロールを含むグループも含まれます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

このタスクについて
テーブルレベルの読み取り ACL によってブロックされているレポートの場合、アセスメントにはブロック ACL を含むテーブルと、ブロックされているユーザーが表示されます。アセスメントアプリケーションには、これ以上の管理ツールは用意されていません。report_view ACL または読み取り ACL がないためにブロックされたレポートの場合、レポートは影響を受けるものとしてマークされますが、影響を受けるユーザーは表示されません。

重要: ブロッキングテーブルアクセス制御リスト (ACL) およびブロッキング列 ACL に関連付けられたロールは、sys_security_acl_roleテーブルから取得されます。このテーブルにロールレコードがない ACL は、レポートビュー ACL リストにも、影響を受けるテーブル、列、および読み込み ACL のリストにも表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
2. 対処するレポートの横にある [ⓘ) を選択し、[レコードを開く] を選択して、レポートに関連付けられているオプションを表示します。
   この結果には、次の情報が表示されます。
   a. レポート所有者が属し、レポートを共有しているユーザー、ロール、およびグループ。[グローバル] フィールドがオンになっている場合、レポートはすべてのユーザーと共有されます。それ以外の場合は、[ユーザーに共有]、[ロールに共有]、または [グループに共有] が選択されます。
   b. ユーザーがレポートを閲覧した回数。

      プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、このフィールドは空です。

   c. [読み取り **ACL** によってブロックされる] フィールドは、レポートの基になるテーブルに report_view ACL がない場合に選択されますが、読み取り ACL はアクセスをブロックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. レポートに適用される読み取り ACL を含むテーブル。

e. [**RVA** または読み取り **ACL** なしでブロックされる] フィールドは、ACL 以外の理由でレポートがブロックされている場合に選択されます。

f. レポートに適用されるテーブル ACL (およびテーブルのすべての列に適用される列 ACL)

g. ブロッキングテーブル ACL に関連付けられたロール

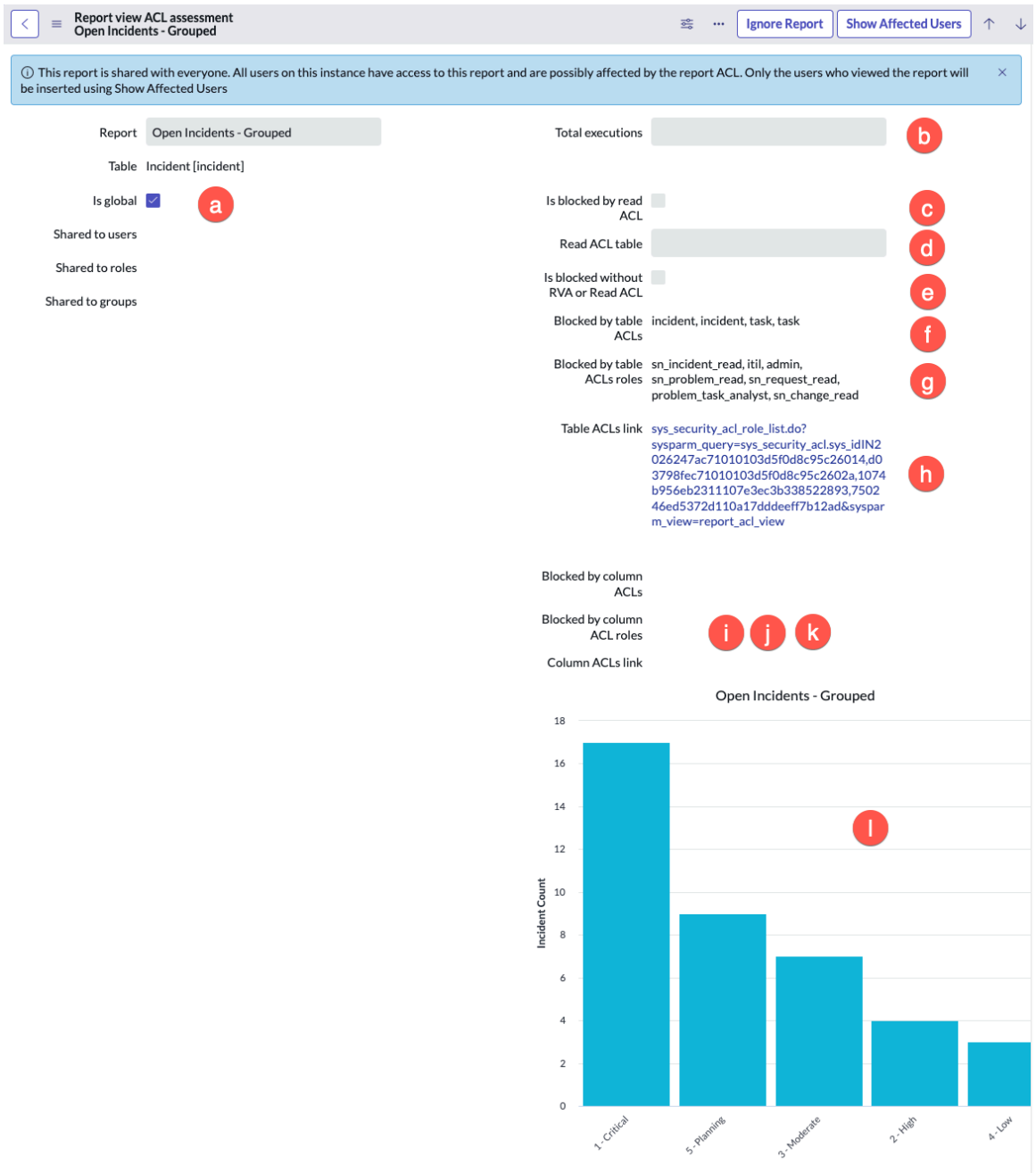
h. 関連するブロッキングテーブル ACL へのリンク

i. レポートに適用される列 ACL

j. ブロッキング列 ACL に関連付けられたロール

k. 関連するブロッキング列 ACL へのリンク

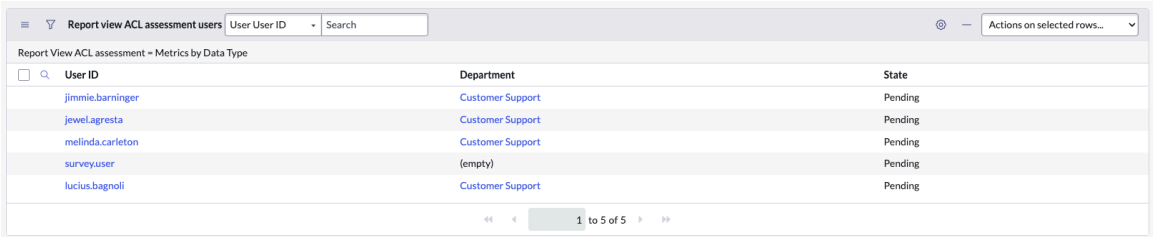
l. レポートのリアルタイムレンディション



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. オプション: 今後のアセスメントからこのレポートを削除するには、[レポートを無視] を選択します。
   これらのレポートを後で確認するには、「 無視されたレポートを再評価」を参照してください。
4. [影響を受けるユーザーを表示] を選択し、[結果を表示] を選択します。
   最初の数名の影響を受けるユーザーは、レポートアセスメントの下の関連リストに表示されます。影響を受けるユーザーは、レポート所有者がレポートを共有しているが、report_view ACL に基づいてレポートを表示できないユーザーです。

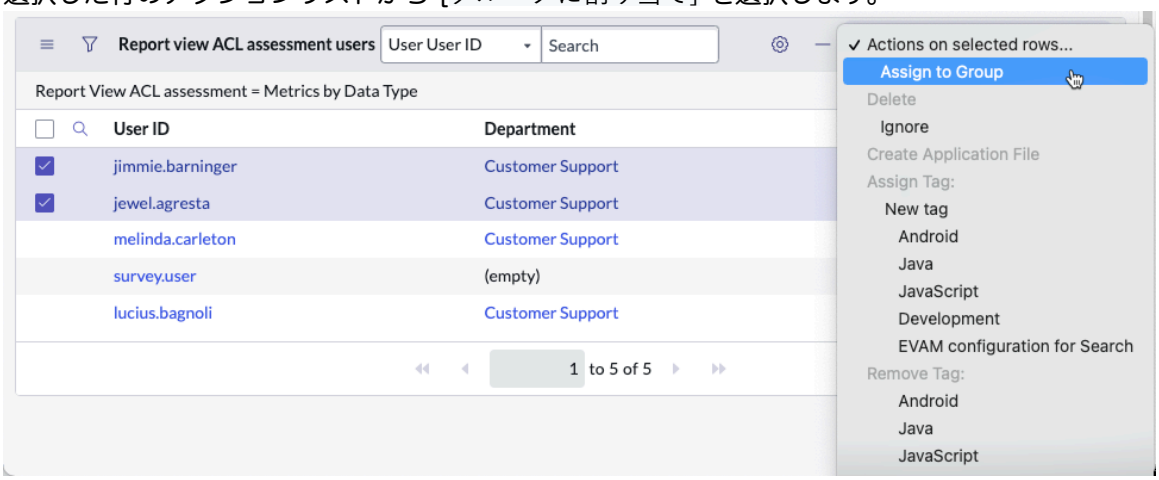
   デフォルトで表示される影響を受けるユーザーの数は 5 人です。さらに表示するには、プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users*を構成します。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルター」を参照してください。



5. オプション: 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択し、 選択した行のアクション > 無視 をクリックして、レポートへのユーザーのアクセス権を変更しません。
   選択したユーザーは引き続きレポートを表示できませんが、次回アセスメントスキャンを実行したときにその名前は表示されません。
6. グループにユーザーを追加します。

   a. 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択します。

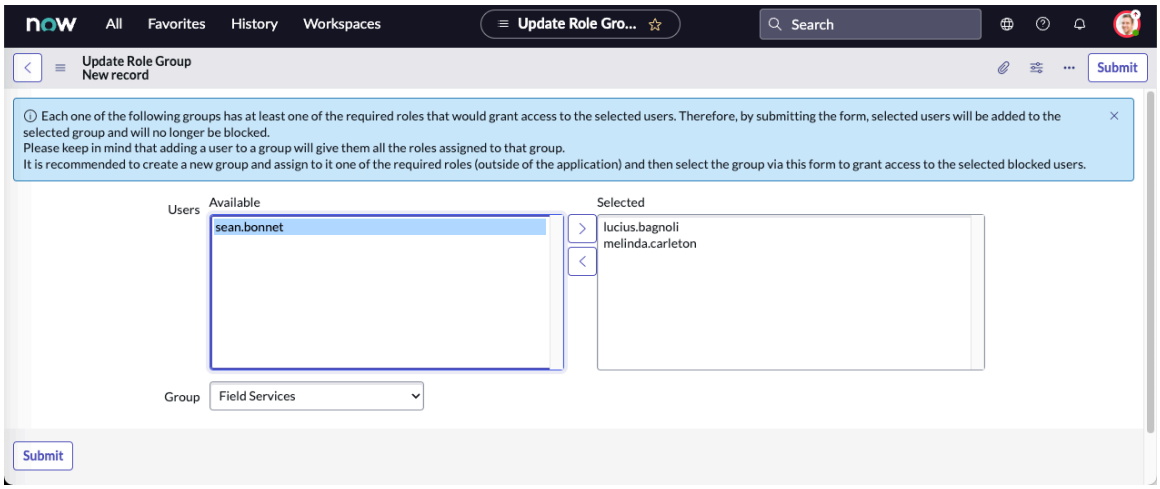
   b. 選択した行のアクションリストから [グループに割り当て] を選択します。



   c. 選択したユーザーを追加するグループとロール (利用可能な場合) を選択し、[送信] を選択します。
   同じグループに追加したくないユーザーを [利用可能] 列に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 少なくとも 1 つのブロックロールを持つグループがない場合は、適切なグループを選択し、いずれかのブロックロールを追加します。
ユーザーに適したグループがない場合は、グループを作成し、アプリケーションの外部で必要なロールの 1 つをアサインします。次に、アプリケーション内で、選択したブロックされたユーザーにアクセス権を付与します。グループの作成の詳細については、「ユーザーグループの作成」を参照してください。

e. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
[影響を受けるユーザー] リストで、アサインされたユーザーのステータスが [処理済み] に変わります。次回このリストを表示すると、これらのアサインされたユーザーは表示されなくなります。

関連トピック

グループへのロールのアサイン

拡張フィールドの **ACL** を使用してレポートを管理する

ドット連結フィールドで ACL report_view影響を受けるレポートを特定するシステムプロパティを追加します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

手順

1. システムプロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk* を作成し、 true に設定します。
システムのプロパティの作成については、「システムのプロパティを追加する」を参照してください。
2. レポートビューアセスメントスキャンの実行に展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。

結果
[影響を受けるレポート] リストに、ド ット連結フィールドという新しい列が追加されました。この列は、影響を受けるレポートが拡張テーブルのフィールドの ACL に基づいて特定された場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

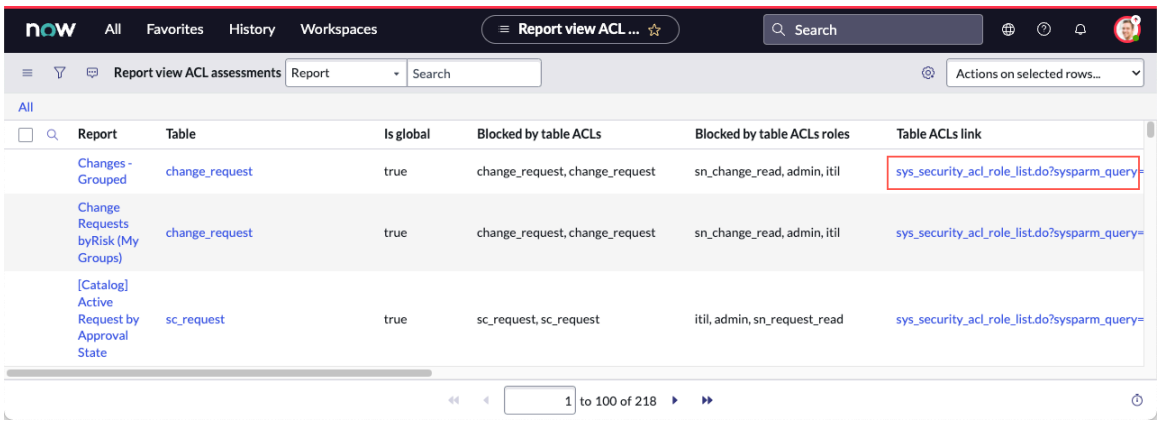
拡張テーブルに関するレポート

その他のレポート修復タスク

レポートアセスメントを実行した後、影響を受けるユーザーに対処できます。アクセス制御リスト (ACL) ロールを変更したり、レポートの共有オプションを変更したり、レポートユーザーをグループに追加してブロックロールを付与したりできます。

ACL ロールを編集

ロールを security_admin に昇格させ、ブロック ACL に 1 つ以上のロールを追加します。[影響を受けるレポート] フォームで [テーブル **ACL]** リンク、[列 **ACL]** リンク、または [読み取り **ACL]** リンク を選択して、関連する ACL ロールリストを開きます。



レポート共有オプションの編集

- クラシック環境で作成されたレポートの場合は、レポートデザイナーでレポートを開き、レポートを共有するユーザーを変更します。詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。
- 構成可能なワークスペースで作成されたレポートの場合は、可視化デザイナーでレポートを開き、レポートを共有するユーザーを変更します。詳細については、「でのデータの可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートアセスメントスキャンをフィルター

特に大規模なインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに時間がかかることがあります。アセスメント時間を短縮するために、システムプロパティを使用して、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングできます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

レポートの ACL アセスメントでは、次の 2 つを除くすべてのプロパティを使用できます。

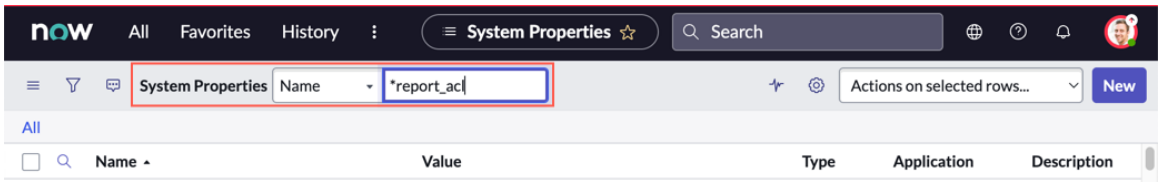
- `sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids`
- `sn_report_acl.glide.script.block.client.globals`

手順

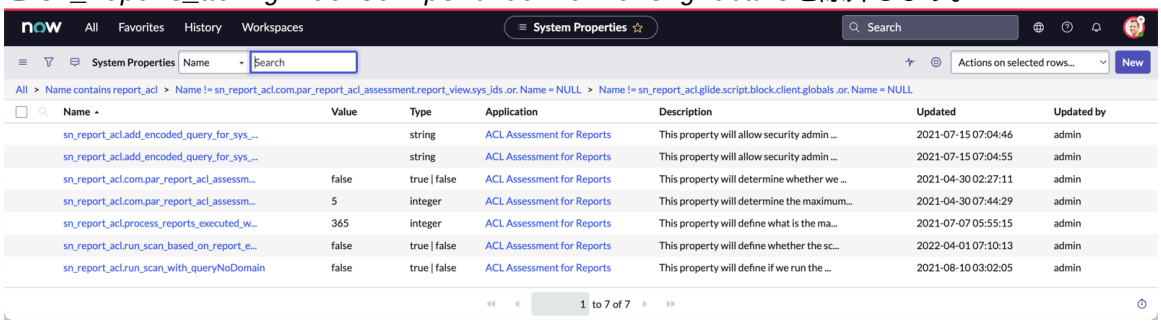
1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. リストをフィルタリングして、名前にreport_aclを含むプロパティのみを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids* と *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*を除外します。



4. 残りのプロパティを使用して、アセスメントスキャンを構成します。

レポートアセスメントシステムプロパティ

これらのプロパティを使用して、レポートスキャンの ACL アセスメントを構成します。

システムプロパティを設定するには、 sys_properties.list に移動し、プロパティ名でフィルタリングします。

プロパティ	説明
sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain	ドメインセパレーションされたインスタン効です。クエリを実行するときにアプリでメインを考慮するかどうかを定義します。合、security_adminは可視化を持つドメみを取得します。グローバルsecurity_adパティを true に設定し、インスタンス上メインの結果を取得できます。個々のsecは、自分のドメインについて収集された結ます。詳細については、「レポートアセスインセパレーション」を参照してくださいドメインセパレーションされていないインのプロパティを true に設定すると、アセ常のクエリとして実行されます。 このプロパティを削除すると、コードのテfalse になります。 タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_report_table	セキュリティアドミンユーザーが、アセスンが sys_report テーブルで実行している コードされた AND クエリ条件を追加でき す。たとえば、指定したテーブルのレポーするエンコードされたクエリを追加できま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	エンコードされたクエリの有効性について の責任です。パフォーマンス上の理由から 行前にコード内の追加のクエリを検証しま このプロパティを削除するか、値が空の場 ントスキャンは元の条件のみで実行されま タイプ: 文字列
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	影響を受けるレポートのドット連結フィー でチェックするかどうかを決定します。 false の場合、アプリのパフォーマンスは が、アプリは合計結果のサブセットのみを タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_user_table	セキュリティアドミンユーザーが、アセス ンが sys_user テーブルで実行するクエリ された AND クエリ条件を追加できるよう とえば、指定されたロールのみを評価する エリを追加できます。 エンコードされたクエリの有効性について の責任です。パフォーマンス上の理由から 行前にコード内の追加のクエリを検証しま このプロパティを削除するか、値が空の場 ントスキャンは元の条件のみで実行されま タイプ: 文字列
sn_report_acl.process_reports_executed_within_X_days_ago	アセスメントスキャンの実行時にアプリが ユーザーがレポートを最後に表示してから 定義します。 タイプ: 整数 デフォルト:365
sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only	スキャンでは、影響を受ける各レポートの 実行回数が計算されます。このプロパティ が false の場合、[影響を受けるレポート] リストの [合計実行数] 列は常に空で、 `process_reports_executed_within_` は無視されます。 タイプ：true/false デフォルト：true
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users	[影響を受けるユーザーを表示] をクリック 取得される影響を受けるユーザーの最大数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	ロールを持つユーザーが表示できるレポー べてのユーザーが表示できるレポートに適 グループが表示可能なレポートの場合、こ プごとに取得される影響を受けるユーザー す。 タイプ: 整数 デフォルト：5
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	レポートをブロックする原因となる拡張テ レポートフィールドをキャプチャします。 ティは、影響を受けるレポートテーブルに フィールド を追加します (これらのフィー る場合)。 タイプ：true/false デフォルト：true

report_view ACL リスト

report_view ACL とそれに関連するロールのリスト全体を表示して、インスタンスのアクセス制御の概要を表示します。

各インスタンスには、異なる数の report_view ACL があります。この数は、インスタンスでアクティブ化されているプラグインによって異なります。

report_view ACL リストを表示するには、 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > レポートビュー **ACL** リスト.

report_view ACL リストの列

ACL は一度に 1 つのロールにのみ適用されます。適用されるロールが複数ある場合、ACL のインスタンスは複数存在する可能性があります。たとえば、同じ ACL で、itil ユーザーよりもアドミンに多くのレポートアクセス権が付与されます。

列	説明
ACL	report_view ACL の名前。
アクティブ	ACL がアクティブかどうかを示します。True/False。
アプリケーション	ACL が適用されるアプリケーション。
パッケージ	ACL に関連付けられているプラグイン。
説明	ACL が関連付けられているロールに対して防止するもの、または許可するもの。
ロール	ACL が適用されるロールの名前。
説明	ロールの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

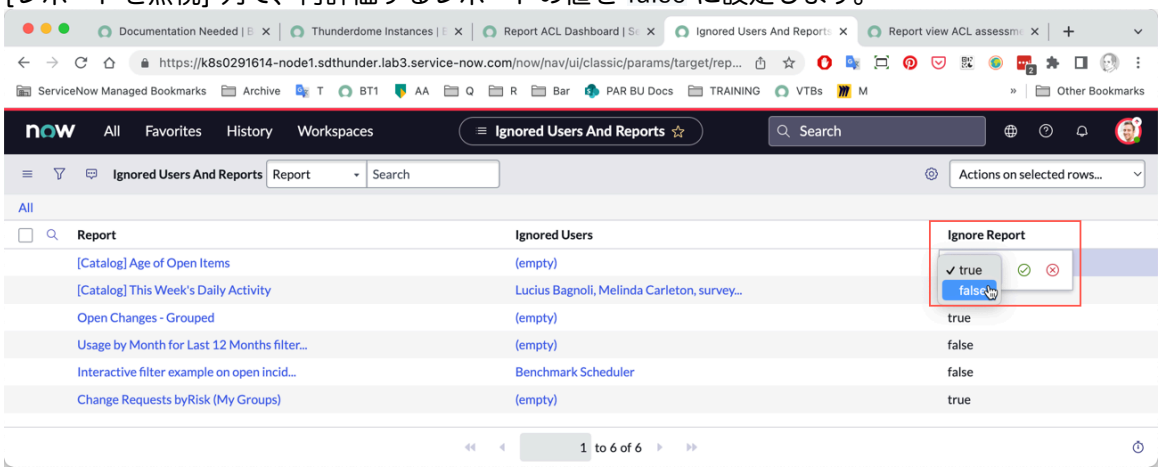
無視されたレポートを再評価

レポートの ACL アセスメントに対処するときは、レポートを無視できます。これらのレポートを表示して、ステータスを再度検討してください。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. [レポートを無視] 列で、再評価するレポートの値を false に設定します。



結果
レポートの ACL アセスメントは、次回アセスメントを実行するときに 誤った レポートを評価します。

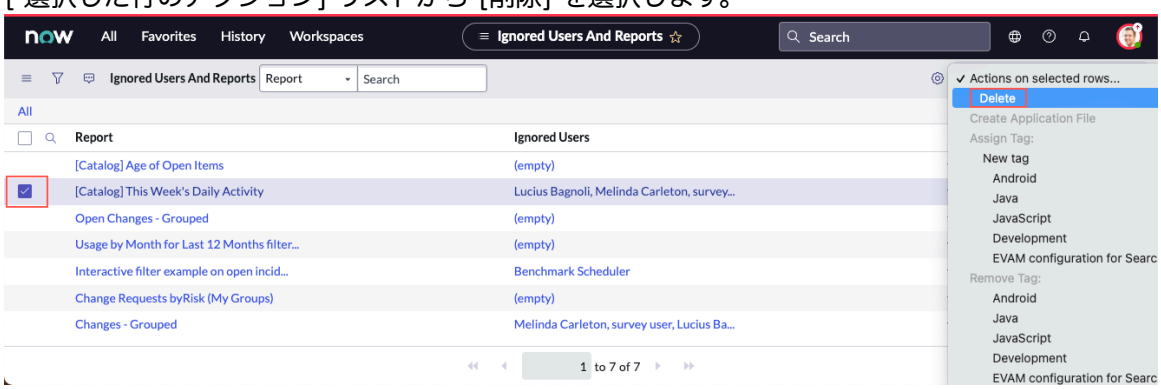
無視されたユーザーの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処するときは、個々のユーザーを無視できます。これらのユーザーを表示して、ステータスをもう一度検討します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. 無視されたユーザーがある行を選択します。
3. [選択した行のアクション] リストから [削除] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
レポートの ACL アセスメントアプリケーションには、次回アセスメントを実行するときにこのレポートから削除したユーザーが含まれます。

レポートアセスメントとドメインセパレーション

ドメインセパレーションされたインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに一定の制限があります。

ドメインセパレーションプロパティ

[true/false] プロパティ *sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain* を設定して、アセスメントをインスタンス全体に適用するか、個々のドメインに適用するかを指定します。

このプロパティは、ドメインセパレーションされたインスタンスでのみ有効です。クエリを実行するときにアプリがユーザードメインを考慮するかどうかを定義します。false の場合、security_adminsは可視化を持つドメインの結果のみを取得します。

グローバルsecurity_adminでは、プロパティを true に設定し、インスタンス上のすべてのドメインの結果を表示できます。個々のsecurity_adminsは、自分のドメインに対して収集された結果を取得できます。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルター」を参照してください。

単一のドメインインスタンスでこのプロパティが true に設定されている場合、アセスメントは通常のクエリとして実行されます。プロパティが削除された場合、アプリケーションはアセスメントをプロパティが false であるものとして扱います。

注: アセスメントをグローバルsecurity_adminとして実行する場合は、必ずプロパティを false に戻してください。true の場合、任意のsecurity_adminがインスタンス全体をクエリできます。他のsecurity_adminsには、表示する権限のないデータは表示されませんが、収集されたデータは上書きされます。

リストレポートの列ビューのアクセス制御

リストレポートの場合、 **glide.report.add_to_list_supported** システムプロパティはadd_to_listアクセス制御リストを有効にします。このアクセス制御リスト (ACL) により、ユーザーは機密データを含むリストレポート列でレポートできなくなります。

たとえば、マネージャーは、レポートの作成時にユーザーが [アサイン先] 列でレポートできないようにすることができます。テーブルフィールドがユーザーに対して制限されている場合、[利用可能] 列には表示されません。したがって、ユーザーは作成するレポートでこれを選択できません。

注: プロパティが有効な場合:列のadd_to_listアクセス制御リストを渡さないユーザーには、[選択済み] 列にレポートに既に含まれている制限付き列が表示されます。このユーザーには、これらの列のデータもレポートに表示されます。ユーザーが [選択済み] 列から列を削除すると、その列は [利用可能] 列に表示されなくなります。ユーザーは、レポートに含めるために再度選択することはできません。

add_to_list ACL は、レポートの基になっているトップレベルのテーブルにのみ適用されます。

このプロパティは、デフォルトでは無効になっています。これを有効にするには、 **sys_properties.list** (システムプロパティテーブル) に移動し、**glide.report.add_to_list_supported** を **true** に設定します。admin ロールが必要です。

このプロパティを有効にすると、既存のレポートは影響を受けなくなります。列は、制限付きとして指定したフィールドを含む新しく作成されたリストレポートでのみ非表示になります。

関連トピック

ACL ルールのタイプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

権限の問題を報告

レポートに表示される情報が予想よりも少ない、またはデータがまったく表示されない理由はいくつかあります。これには、レポートに対する十分な権限がないことや、レポートが共有されていないことが含まれます。

レポートが共有されていません

レポートが表示されない一般的な理由は、レポートにアクセスしようとしているユーザーとレポートが共有されていないことです。デフォルトでは、新しく作成されたレポートは共有されないため、レポート作成者または admin ロールを持つユーザー以外は誰もアクセスできません。レポートは、個々のユーザー、1 つ以上のグループと共有することも、1 つ以上のロールにアサインすることもできます。

共有されていないレポートは、ユーザーがアクセスできるレポートのリストや、レポートを開いたり選択したりできる他のオプションには表示されません。レポートが追加されたダッシュボードを表示できるが、レポート自体は表示できない場合、「レポートは特定のユーザーまたはグループにのみ表示されます」というメッセージが表示されます。

この問題を修正するために、レポートの所有者 (または管理者) は、そのレポートを表示およびアクセスする必要がある個人とレポートを共有できます。レポートの共有アイコンから直接レポートを共有できます。詳細については、「コア UI レポートの共有」を参照してください。

リストレポートに表示される行数が予想よりも少ない

もう 1 つのよくある問題は、リストレポートに表示される行がビューアーの予想よりも少ないことです。たとえば、あるユーザーにはリストレポートに 100 行が表示されますが、別のユーザーは同じレポートを表示していると表示される行数が少なくなったり、まったく行が表示されなかったりします。レポートから 1 つ以上の行が削除されると、セキュリティ上の制約により削除された行数がメッセージに表示されます。

通常、原因は、リストレポートの各行が、最初にレポートのソーステーブルで定義されている読み取りアクセス制御リスト (ACL) と比較されることです。

ACL は、レポートに表示される可能性があるリスト行ごとに考慮されます。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

リスト以外のレポートに不完全なデータが表示される

グラフィカルなレポート (リスト以外のレポートとして定義されます) では、同じレポートをレビューしている別のユーザーと比較して、あるユーザーの不完全なデータセットが表示される場合があります。

この問題は、レポートが生成およびレンダリングされる前に、ソーステーブルのデータに対してクエリ前ビジネスルールが実行されるために発生します。レポートのソーステーブルにあるビジネスルールは、権限または同様の基準に基づいてデータを制限します。ルールの基準を満たさないレコードはレポートに含まれません。したがって、(主にグループまたはロールの権限が原因で) 異なる権限レベルを持つユーザーには、同じレポートに異なる結果が表示されます。詳細については、「「クエリー前」ビジネスルール (Before Query business rules) 」を参照してください。

レポート統計情報

[レポート統計情報] リストでは、各コア UIレポートの実行頻度とレポートの実行にかかる時間を確認できます。

レポート統計情報を表示するには、 すべて > 部下 > アドミニストレーション > レポート統計情報. admin または report_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[レポート統計情報] リストには、実行されたすべてのレポートが表示されます。実行されていないレポートを表示するには、コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[未使用レポートの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: インスタンスに多数のレポートがある場合は、特に未使用のレポートをこのリストに追加するのに時間がかかります。

ServiceNow 環境におけるレポートの管理方法の概要と推奨事項

[レポート統計情報] リストには次の列があります。

列	説明
レポート	レポートの名前。ハイパーリンクを選択すると、レポートのプロパティが表示されます。
前回の実行	レポートが最後に実行された日時。
実行	レポートがこれまでに実行された回数。
ページで実行	ダッシュボードでレポートが実行された回数。
最新の実行時間	直前の 25 回の実行に基づくレポートの平均実行時間 (ミリ秒)。*glide.report.recent_executions_number*プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
実行時間	レポートのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。
最新の実行回数	レポートが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。

- 実行に最も時間がかかるレポートを表示するには、[最近の実行時間] を z-a 順にソートします。
- 使用されたレポートを表示するには、フィルターで [実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も使用頻度の高いレポートを表示するには、[実行] 列を z-a 順にソートします。

レポートの使用率ダッシュボード

レポートの使用率ダッシュボードには、ServiceNow のインスタンスまたはドメインにおけるレポートの使用率の概要が表示されます。

レポート統計情報を表示するには、 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール をクリックし、[使用状況] タイルで [レポート使用状況] を選択します。

注: report_admin ロールはこのコンソールを表示できません。admin または pa_admin ロールが必要です。

レポートの使用率ダッシュボードには次のウィジェットが表示されます。

ウィジェット	タイプ	説明
レポートの数	単一のスコアと月別の割合の変化	インスタンス内のレポートの数。スコアをクリックするとダッシュボードが表示され、チャート、およびブレークダウン/レコード/スコアのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	タイプ	説明
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	単一のスコアと月別の割合の変化	過去 6 か月間に表示されなかったドメインまたはインスタンス内のレポートの割合。スコアをクリックすると詳細ダッシュボードにチャートが表示されます。チャートでは、期間、使用された計算、およびレポートに関する追加情報を調整できます。
上位 10 件のレポート テーブル	リスト	レポートで使用されている上位 10 件のテーブルのリスト。テーブルの名前をポイントするとその説明が表示されます。テーブルの名前またはレポートの数をクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。
表示方法タイプ別のレポート	棒グラフ (オプションで、他のいくつかのレポート タイプの 1 つに視覚化を変更可能)	ダッシュボードでレポートが実行された回数。レポートのセグメントをクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。

自動翻訳

レポートソース

レポート ソースは、レポートを作成するための事前定義されたデータ セットです。

レポート ソースは、レポートに同じ条件が含まれている場合に使用します。そのため、条件を何度も定義する必要はありません。レポート ソースを使用して、組織全体で同じ定義を実装することもできます。

可視化デザイナーでは、事前定義された条件でテーブルをフィルタリングすると、レポートソースを使用できます。

レポート ソースは、常にテーブルといくつかの条件で構成されます。新しいレポートを作成するときは、レポート ソースを使用するか、またはテーブルを選択することができます。レポート ソースの例としては、オープンのインシデント、クローズ済みの問題などがあります。

レポート ソースの作成。関連するテーブルのフィールドからのレポート データを使用する。関連するリストを使用する。

このオプションを使用して、既存のレポートの条件に基づいてレポートソースを作成するか、追加した新しい条件に基づいてソースを作成する方法については、次の手順を参照してください。

レポート ソースの使用に関するその他のヒントについては、「 レポート ソースを使用して時間を節約する方法 」を参照してください。

レポート ソースを作成する

レポートの作成に使用できるカスタムデータセットを作成します。 レポート デザイナーでは、レポート ソースはデータ ソースと呼ばれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:report_admin

このタスクについて
レポート ソースの条件を更新すると、そのレポート ソースをベースとするすべてのレポートに、それらの条件が自動的に反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > レポートソース.
   既存のレポートからレポート ソースを作成するには、レポートを開き、[保存] メニューから [データ ソースとして保存] を選択します。テーブルとタスクの条件は、レポートソースレコードに入力されます。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 必要に応じて、フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	レポート ソースの名前。たとえば、オープン インシデントなどです。
テーブル	レポート ソースのベースとなるテーブル。たとえば、インシデント **[incident]** などです。
説明	レポート ソースの動作や目的の詳細な説明。
フィルター	レポートソースに含めるテーブルレコードの条件。たとえば、オープン インシデントを含めるには、[インシデント] テーブルで「[ステータス] [は] [アクティブ]」を選択します。 **注:** 一部のレポートタイプでは、データフィールドのソートはレポート内からアクセスできます。アクセス方法については、データをソートするレポートタイプのレポートタイプトピックで「ソートフィールドの追加」の説明を検索してください。 ○ OR 条件を含むレポートにレポート ソースを使用する場合は、レポートとレポート ソース条件の両方に一致するレコードのみが含まれます。 ○ レポートソースで 関連リスト条件 が指定されている場合、レポートソースに基づくレポートは、レポート内から指定された追加の関連リスト条件を無視します。 ○ レポートが 関連リスト条件 を指定するレポートソースに基づいており、ドット連結条件を含む追加の関連リスト条件も含まれている場合、レポートはエラーを生成します。

4. レポートソースに基づいてレポートを表示するには、レポートソースレコードの [このレポートソースを使用するレポート] 関連リンクを選択します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
レポート ソースを使用してレポートを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: レポートソースはアクティブなレポートで使用されていますが、削除することはできません。

レポート範囲

レポート範囲を使用して、テーブルフィールドの連続タイムスパンデータを分割する間隔を定義します。このデータを目立たないチャンクに分割して表示する必要があります。

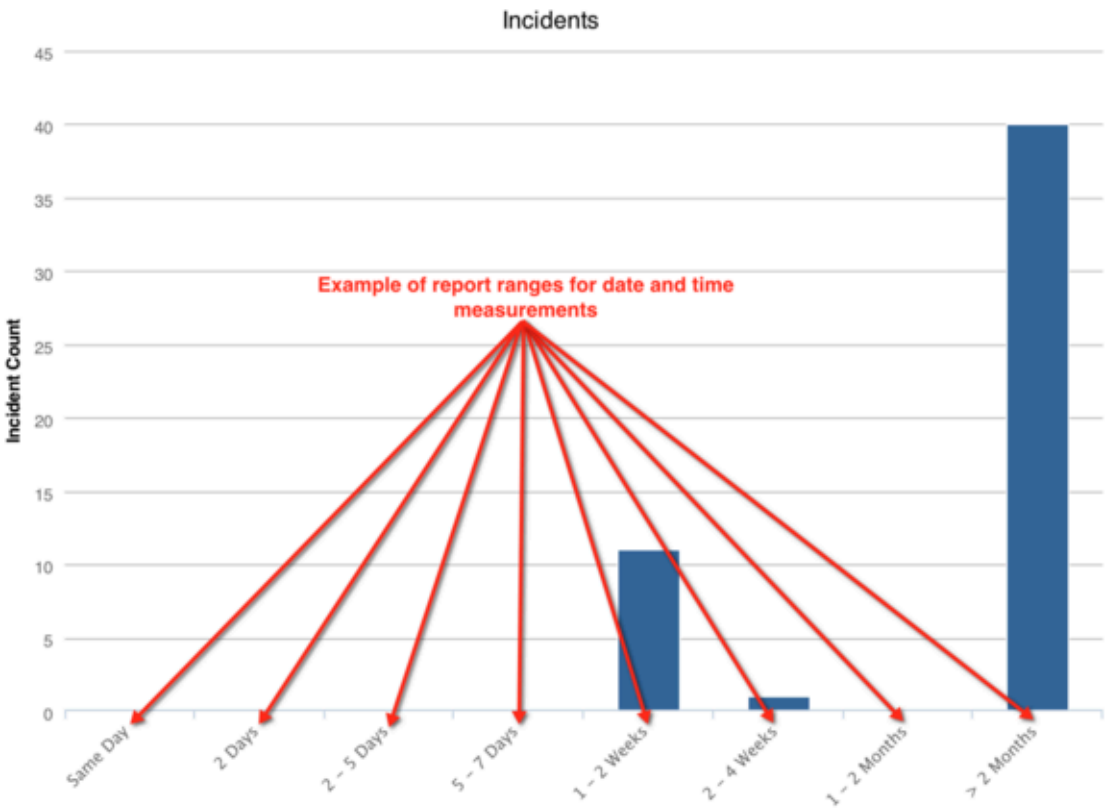
すべての結果を個別のスコアとして表示するのではなく、結果を範囲またはバケットにグループ化したほうが便利な場合があります。インシデントのビジネス期間を示す棒グラフまたは円グラフを考えてください。デフォルトでは、個々の値は個別のスライスになり、不必要に密集した外観のビジュアルが作成されます。ただし、結果をスコアの論理グループに分割すると、コンテキストが追加され、どの範囲が良いか、悪いか、または懸念されるかを聴衆が理解するのに役立ちます。レポート範囲は、次のチャートのデータ間隔を定義するために使用されます。

- コア UI:棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフのレポート
- プラットフォームアナリティクス:データソースがテーブルの場合、ヒートマップや時系列を含む関連するすべてのデータ可視化タイプ。

ユースケースの例:企業で SLA に違反するたびに、ビジネスに多大なコストが発生します。サービスマネージャーは、SLA 内で十分に完了したタスクの数と SLA の間に経過したタスクの数を確認することで、どの SLA が簡単に満たされているか、どの SLA が違反しているか、または違反しそうになっているかを把握できます。この情報は、調整が必要な SLA を特定するのに役立ちます。

注: 未来の日付のレポート範囲を設定することはできません。

範囲によるインシデント作成日



レポート範囲の仕組み

レポート範囲は、日付、リスト、または整数のみを保持する要素で有効です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲の要素の一覧

タイプ	例
日付	インシデントテーブルの [作成済み] フィールドの使用:同日、2 日間、2 ～ 5 日間、5 ～ 7 日間、1 ～ 2 週間、2 ～ 4 週間、1 ～ 2 か月、> 2 か月
リスト	インシデントテーブルの [優先度] フィールドの使用:低、中、高、重大、計画
整数	インシデントテーブルの [カウント] フィールドの使用:過負荷、最適化、不十分な使用

レポート範囲は、すべての日付タイプ フィールド (日付、期日、期間、日時、日付時刻) にグローバルに適用することも、特定のテーブルに制限することもできます。

すべてのレポート範囲を表示する

現在構成されているすべてのレポート範囲を表示するには、 すべて > 部下 > アドミニストレーション > レポート範囲. インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、代わりに次の場所に移動します すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > レポート範囲.

レポート範囲リスト

Ranges | Order | Search | Actions on selected rows... | New

All

Name	Color	Color name	Element	Label	Order ▲	Upper value duration	Upper value int	Value list
global		(empty)		2 - 5 Days		4 Days 23 Hours 59 Minutes		
global		(empty)		5 - 7 Days		6 Days 23 Hours 59 Minutes		
global		(empty)		1 - 2 Weeks		13 Days 23 Hours 59 Minutes		
global		(empty)		2 - 4 Weeks		27 Days 23 Hours 59 Minutes		
global		(empty)		1 - 2 Months		59 Days 23 Hours 59 Minutes		
global		(empty)		> 2 Months		9999 Days 23 Hours 59 Minutes		
asmt_metric_result		Orange	actual_value	N/A	10		-1	
asmt_metric_result		Green	actual_value	0-20%	20		20	
asmt_metric_result		Red	actual_value	20-40%	40		40	
task_sla	#E42338	SOW Color Alert - Critical 2	time_left	Breached	50	1 Minute		
asmt_metric_result		MediumPurple	actual_value	40-60%	60		60	
asmt_metric_result		Gold	actual_value	60-80%	80		80	
asmt_metric_result		DodgerBlue	actual_value	80-100%	100		100	
task_sla	#FF5730	SOW Datavis Color - Orange 5	time_left	Less than an hour	100	1 Hour		
task_sla	#E27918	SOW Color Presence - Away	time_left	1 to 8 hours	200	8 Hours		

重要な列と関連するデータタイプは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲リストのフィールド

フィールド	対応するデータ タイプ
名前	指定されている場合はテーブルの名前、またはグローバル。グローバル範囲は、インスタンスで該当するすべてのフィールドに適用されます。
要素	テーブルが指定されている場合は、レポート範囲が適用されるテーブル上のフィールド。
期間最高値	日付 - 日付を格納する要素で有効です。
整数最高値	整数 - 数値を格納する要素で有効です。
値リスト	値リスト:テーブル sysId のリストを格納する要素と連携します。

レポート範囲を作成する

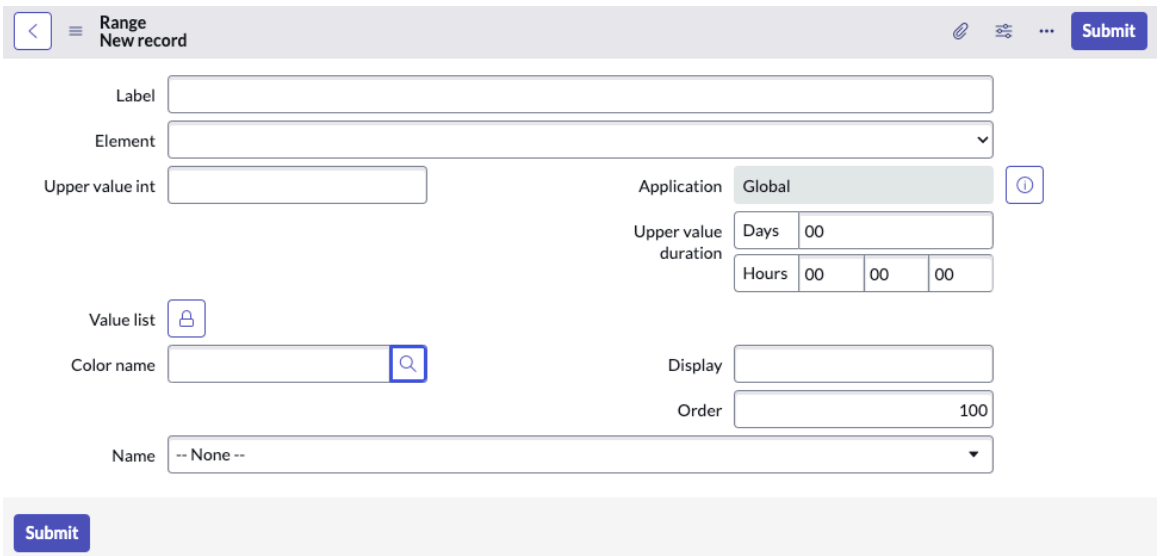
棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔を定義するレポート範囲を作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > レポート範囲.
   インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > レポート範囲.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームに記入します (表を参照) :



次のフィールドを使用して、レポートに表示されるデータを絞り込み、レポートの可視化の外観を設計します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	値を引き出すテーブルの名前、またはすべてのテーブルのすべての関連フィールドに適用するグローバル [global]。 注: [要素] リストから選択する場合は先にこのフィールドが必要です。
要素	値を抽出するテーブルのフィールド。グローバル [global] 範囲には指定できません。
ラベル	レポートに表示されるレポート範囲の名前。
値リスト	リスト要素の場合、このフィールドは範囲内となる値を定義します。 範囲が保存されると、値リストに要素の選択肢が入力されます。
色名	このレポート範囲を表示する際の色。 色は [表示] フィールドに表示されます。色名を入力する場合は、色値を入力する必要はありません。 注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
色	このレポート範囲のレポートを表示する際の色を表す 16 進値。 色は [表示] フィールドに表示されます。色値を入力する場合は、色名を入力する必要はありません。 注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
整数最高値	整数型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。最初のレポートには、この範囲で指定された書式設定で 6 から 10 までの値が表示されます。2 番目のレポートには 5 以下の値が表示されます。
期間最高値	期間型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
表示	読み取り専用。特定のレポート範囲で使用される色を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
順番	レポート範囲が使用される順番。値が複数のラベルの中で定義されている場合は、最も低い順番のレポート範囲で表示されます。

注: 設定後、レポートに利用可能なデータがない場合、レポート範囲は空として表示されます。構成されたレポート範囲に関連するデータラベルや凡例などのコンテキストフィールドは引き続き表示され、強調表示されます。

レポート範囲モジュールを有効にする

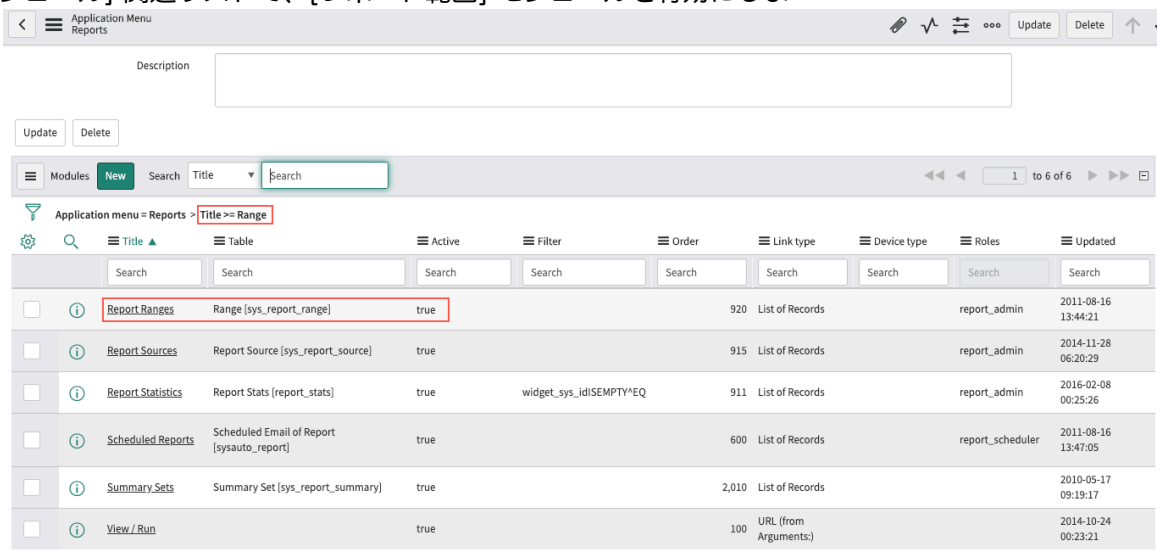
棒グラフと円グラフでレポート範囲を使用するには、レポート範囲モジュールを有効にする必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > アプリケーションメニュー.
2. レポートアプリケーションメニューを開きます。
3. [モジュール] 関連リストで、[レポート範囲] モジュールを有効にします。



モジュール関連リストには 100 を超えるエントリがある場合があります。単語範囲でフィルタリングすると、検索時間が短縮されます。

結果

円グラフと棒グラフのレポート範囲を定義できます。

インポートされたレポート データを使用する

インポートされた Excel スプレッドシートを使用すると、インスタンスの外部で管理されているデータに基づいてレポートを生成でき、それらのレポートを配布できます。

admin、sys_admin、report_admin、pa_admin、および pa_power_user のロールを持つユーザーは、.xlsx ファイルをアップロードできます。アップロードされたデータは一時的です。指定された有効期限があり、期限後は、それらのファイルに基づくレポートは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションバージョンが必要です。パフォーマンス アナリティクスサブスクリプションのアクティブ化を参照してください。

注: インスタンスの外部で情報が保持されている場合は、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「簡単インポート」を参照してください。

システム テーブルのレポート

デフォルトでは、システムテーブルはレポートから除外されます。ただし、システムテーブルを禁止対象外にすることはできます。一部のシステムテーブルは、デフォルトで制限から除外されています。これらのシステムテーブルでレポートを作成するときは十分注意してください。

禁止されているシステムテーブルには、次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- ログ [syslog]
- トランザクションログ [syslog_transaction]
- 添付ファイル [sys_attachment]
- メール [sys_email]

システムテーブルについてレポートする必要がある場合は、それを *glide.ui.permitted_tables* システムプロパティに追加できます。デフォルトでは、いくつかのシステムテーブルがこのプロパティに一覧表示されます。アドミンユーザーのみが、このプロパティで許可されているテーブルに関するレポートを作成できます。

システムテーブルでレポートまたはデータの可視化を作成する場合は、十分に注意してください。レポートとデータの可視化でデフォルトで許可されている監査 [sys_audit] テーブルについて考えてみましょう。通常、このテーブルはどのインスタンスでも最大のテーブルです。中規模のインスタンスであっても、監査テーブルが数ギガバイトになることは珍しくありません。大規模な環境では、このテーブルが 50 GB 以上に及ぶこともあります。

プログラムで Audit などのテーブルにアクセスすると、クエリパターンがどのようになるかがわかるため、クエリに一致する適切なデータインデックスを追加できます。たとえば、インシデントの履歴などを表示するときに、データベースでインデックスを使用することで、そのクエリに必要な数十行を効率的に取り出すことができます。

ただし、レポートやデータの可視化では、クエリパターンがどのようになるかを予測することはできません。フィールド名でグループ化したり、古い値でソートしたりしたい場合があります。したがって、クエリーがインデックス付きクエリーでない可能性があります。データベースに数ギガバイトのファイルをテーブルスキャンするように指示することになりますが、これは次の理由で不十分です。

- 速度が遅いため、レポートやデータの可視化の実行に許容できないほどの時間がかかります。
- データベースがテーブルをスキャンしている間、他のクエリーが必要なリソースを取得できないため、インスタンスの速度が低下したり、インスタンスが使用できなくなることもあります。

マップ レポートの管理

マップ レポートで使用するさまざまなオブジェクトと、それらを作成および変更する方法について説明します。

マップ レポートのオブジェクト

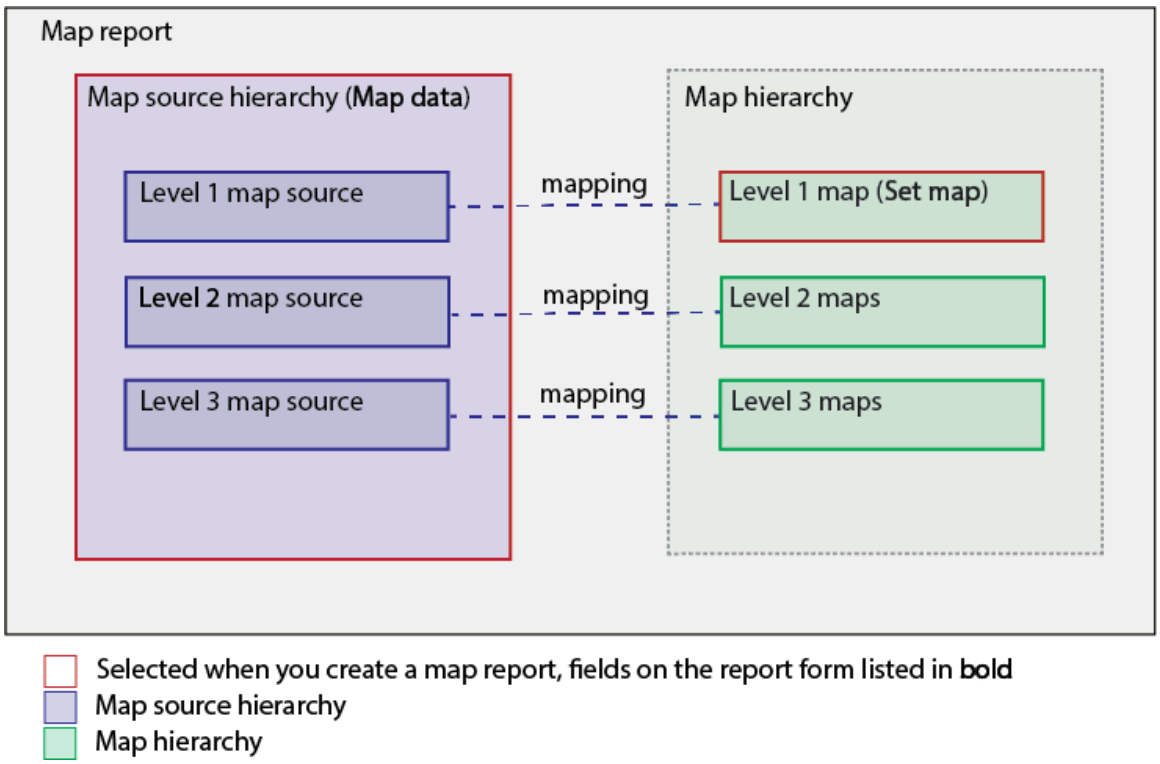
マップ オブジェクトは、ユーザーがマップレポートでドリル ダウンできるさまざまなレベルと、それらのレベルで表示されるデータを定義します。これらのオブジェクトは、アドミニストレーターが作成および管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ レポートにはそれぞれ、マップ レベルのデータを構成するマップ ソース階層が含まれています。また、マップのドリル ダウン レベルを定義するマップ階層も含まれています。これらの階層のレベルは、[レベル] フィールドによって結び付けられます。たとえば、レベル 1 のマップのデータは、レベル 1 のマップ オブジェクトに表示されます。

注: デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。



マップ オブジェクト

オブジェクト	説明
マップ ソース	マップ レポートに表示するデータのセットを定義します。 ユーザーがマップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドで選択するマップ ソースは、実際にはマップ ソース階層です。マップ上のドリル レベルごとにマップ ソース レベルが 1 つずつあります。階層内の最上位のマップ ソースはレベルではなく、他の階層レベルをまとめるラッパーです。マップ ソースにはそれぞれ、1 つのマップ階層ドリル レベルのデータが含まれており、どちらも同じレベルです。 どちらもレポートで使用されるデータを指定するため、マップ ソースはレポート ソースに似ています。ただし、マップ ソースではテーブルの代わりに、レポートを作成するためのフィールドを選択します。
マップ	データを表示するマップ。マップは、親子関係で定義された階層の中で設定されます。階層レベルはそれぞれ、マップ レポートのドリル レベルです。実際のマップ レイアウトは JSON 定義 (地図の場合は geoJSON 定義) により定義されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ オブジェクト (続く)

オブジェクト	説明
	既存のマップを選択するか、新しいマップを作成します。必要に応じてマップの条件を定義し、マップに表示するデータをフィルターでさらに絞り込むことができます。
マッピング	マップ ソース内のデータをマップ上に表示できる値に変換します。 マッピングは、国および都道府県のマッピング グループに整理されます。マップ ソースの構成時に、ソースのデータを変換するためのマッピング グループを選択します。選択するマッピング グループは、すでに選択したフィールドに合わせる必要があります。 たとえば、マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：国] の場合は、[国のマッピング] グループが使用されます。マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：都道府県] の場合は、[地域と都道府県のマッピング] マッピング グループが使用されます。

マップ ソース階層を自動的に生成します。

マップ ソース階層は、マップ レポートの作成に使用されるデータ ソースです。最上位のラッパーを除いて、階層内のマップ ソース レベルはそれぞれ、1 つのマップ ドリル レベルのデータを定義します。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて
注: デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > マップソース.
2. [**New**] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。たとえば、場所別のインシデントなどです。ユーザーは、マップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドでこの名前でマップ ソースを選択します。
テーブル	マップするフィールドが含まれているテーブルを選択します。階層内のすべてのマップ ソース レベルがこのテーブルを使用します。
フィールド	マップ レポートに表示するデータを持つフィールドを選択します。このフィールドは場所テーブルを参照する必要があります。たとえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ば、**incident.caller.location**、**incident.location** などです。このフィールドへのドット連結ができます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップ ソースを使用できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。

4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [マップ ソース レベルを生成] をクリックします。
   3 つのマップ ソース レベルが作成されます。レベル 1 のマップ ソースのみが [マップ ソース] 関連リストに表示されます。

   注: マップ ソースは最大 4 つのレベルを持つことができますが、自動的に生成されるのは 3 つのみです。使用するマップ階層で追加のドリル レベルが必要な場合は、4 つ目のレベルのマップ ソースを作成できます。

次のタスク
これで、マップ ソースをマップ レポートで使用する準備ができました。

マップ ソース レベルをカスタマイズする

マップ ソースでは、マップ レポートに表示するデータを構成します。 必要に応じて既存のマップ ソースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて
注: デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順
1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > マップソース.
2. レベルをカスタマイズするマップ ソースを開き、[マップ ソース] 関連リストを使用して該当するレベルまで移動します。
   たとえば、レベル 1 のマップ ソース名をクリックしてマップ ソース フォームを再度開き、関連リストでレベル 2 のマップ ソースを選択するなどの操作を行います。
3. 必要に応じて以下のフィールドを変更します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。たとえば、「場所別インシデント - レベル 2」などとします。
テーブル	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フィールド	マップ上に表示するデータを持つフィールドを選択します。他のフィールドへのドット連結ができます。データを表示するマップよりも詳細度が 1 レベル高いフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。 **注:** 市ラベルは、マップ レポートにドリル ダウンするときに表示できる最も細かいレベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。 ほとんどのマップ ソースでは、場所テーブルのフィールドを使用します。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。レベルはそれぞれ、必ず階層内に 1 回だけ出現します。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

4. [データ変換] セクションで、必要に応じて以下のフィールドを変更します。

フィールド	説明
データ	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ [テーブルのデータを使用]：ServiceNow プラットフォームのデータを無変換で使用します。データがすでにマッピング先の JSON キー値と一致している場合は、このオプションを選択します。 ○ [マッピングを使用]：マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 ○ [緯度と経度を使用]：緯度と経度の座標を使用してデータをプロットします。このオプションは、レベル 3 などの下位のマップ レベルでは常に選択してください。データに緯度と経度の値があることを確認してください。 **警告:** [緯度と経度を使用] オプションでは、このマップ ソースを使用しているマップのヒートマップとドリルが無効になります。そのため、階層の最下位であるマップ ソース レベルでのみ、このオプションを選択してください。
次のマップピングを使用	[マッピングを使用] を選択した場合は 、使用するマッピング グループを選択します。マッピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマッピングの集まりです。マッピング グループ内のマッピングを確

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	認するには、[場所マッピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **[USA]** を hc キー値 **[us]** に変換する場合は、[国のマッピング] を選択します。これには、関連するキーと値のペアのマッピングが含まれています。

5. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   レポート マップにはすべて JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマッピングは、geoJSON hc-key および ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。

キーと値のペアのマッピングを作成する

キーと値のペアのマッピングは、ServiceNow プラットフォームのデータを、マップ上にプロットできる値に変換するものです。データの変換が必要な場合は、マップ ソースの構成時にマッピングが使用されます。マッピングはそれぞれマッピング グループに存在します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

このタスクについて
デフォルトのシステムのキーと値のペアでは、データが geoJSON hc キー値にマップされます。hc キー値はすべて ISO 3166 規格に準拠しています。デフォルトのマッピングは、最も一般的に使用されるデータ値のために用意されています。データで異なる値を使用する場合は、キーと値のペアのマッピングを作成する必要があります。

たとえば、アメリカ合衆国のデフォルトマッピングでは、キー USA を ISO 値 us にマップします。データの値が USA ではなく United States の場合は、新しいキーと値のペアを作成して、 United States を ISO 値 us にマッピングする必要があります。

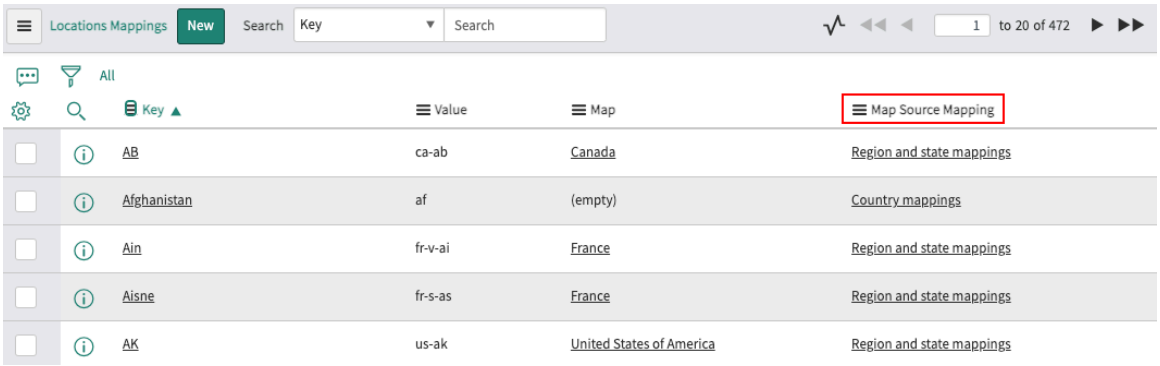
手順

1. 場所マッピング [sys_report_map_source_mappings] テーブルに移動します。
2. [マップソースマッピング] 列で、マッピングを追加するマッピンググループを選択します。
   マッピングを作成する対象のオブジェクトのタイプに対応したマッピング グループを選択します。たとえば、フィールド値 United States のマッピングを作成する場合は、[国のマッピング] グループを選択します。マッピングのある行の [キー] と [マップ] の値は考慮されないことに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップソースマッピングを選択



3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フィールドに入力します。

場所マッピング

フィールド	説明
キー	変換するフィールド値。たとえば、USA などです。
値	キーの変換先となる値。たとえば、us などです。この値は、通常は ISO 3166 規格の値です。値はそれぞれマップごとに 1 回のみ使用できます。
マップ	このマップングに関連付けるマップ。このフィールドに記入しない場合、このマッピングは任意のマップで使用できます。

5. [送信] を選択して変更を保存します。

次のタスク

マッピングをレポート ソースに追加すると、マッピングを使用してそのソースからマップにデータをマップすることができます。

マップを作成する

マップ階層で使用できるマップを作成します。

始める前に

必要なロール:report_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > マップをクリックし、[新規] をクリックします。
2. 必要に応じて次のフィールドに入力します。

レポート マップ フォーム

フィールド	説明
キー	このマップを他のマップにリンクする一意のキーを指定します。デフォルトのマップの場合、キーは hc キー値です。キーは親マップの geoJSON に含める必要があります。
名前	マップの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レベル	マップ階層におけるこのマップのレベルを指定します。
JSON 定義	マップの geoJSON を定義します。事前定義されたマップは、Highcharts からダウンロードできます。
親	このマップの親マップを選択します。親子関係によって、マップ階層内のドリル レベルが定義されます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。
地理的地図	マップが地理的でない場合は、このチェック ボックスをオフにします。たとえば、フロア マップではこのチェック ボックスをオフにします。

3. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
4. マップのデータをフィルタリングする条件を追加するには：

   a. [マップ条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. フィールドに入力します。

   マップ条件フォーム

フィールド	説明
アクティブ	この条件を適用するには、このチェック ボックスをオンにします。
テーブル	これらの条件を適用するテーブルを指定します。テーブル間で条件を共有することはできません。
マップ ソース	条件を適用するマップ ソースを選択します。
条件	このマップに適用するフィルター条件を追加します。

   c. [送信] をクリックします。

5. オプション: [レポート マップ] 関連リストで、マップ階層を拡張する子マップを作成します。
6. [更新] をクリックしてマップを保存します。

マップ レポートのデフォルトのマップを設定する

マップ レポートの作成時にデフォルトで [マップを設定] フィールドに表示されるマップを作成します。

始める前に

必要なロール：admin または report_admin

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > プロパティ.
2. [「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します] フィールドに、デフォルトとして設定するマップのキーを入力します。
   マップのリストは次にあります 部下 > アドミニストレーション > マップ.
3. **[Save** (保存)] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

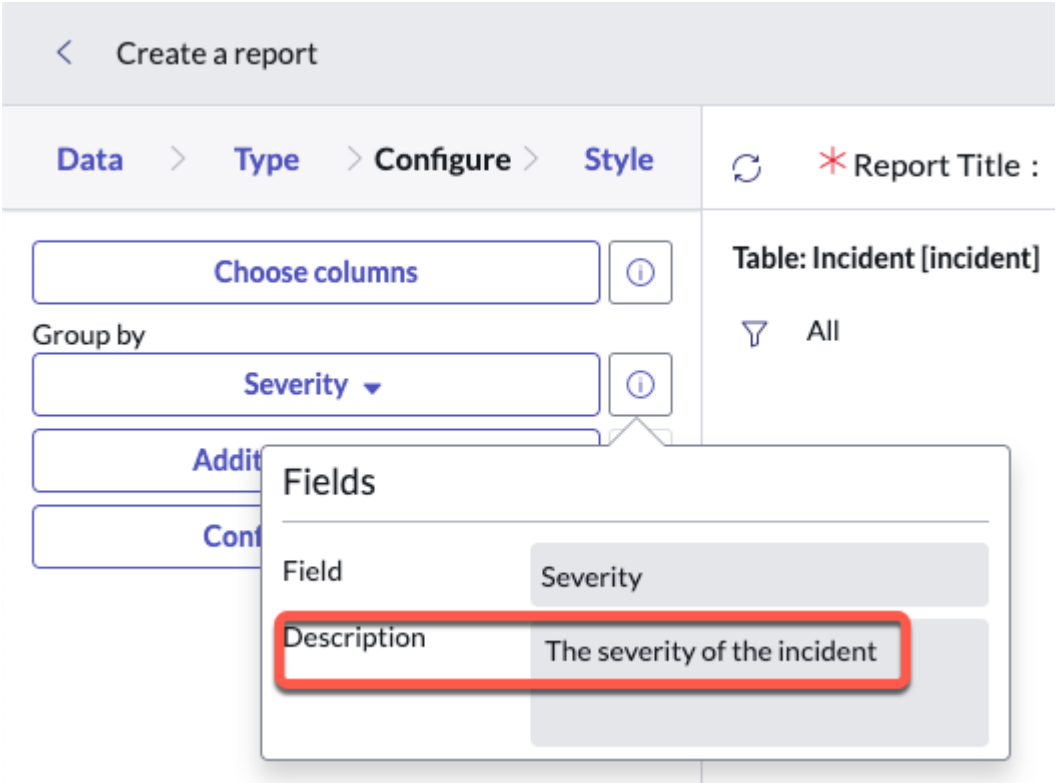
自動翻訳

テーブルとフィールドの説明を管理する

report_description_admin ロールを持つユーザーは、レポートの作成時に表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

admin ロールを持つユーザーがreport_description_adminロールを有効にする必要があります。report_description_adminロールを持つユーザーは、フィールドとテーブルの説明を編集できます。このロールがアクティブ化されると、レポートアドミニストレーターはデフォルトでこのロールを継承します。

レポートデザイナーの [データ] タブにテーブルの説明が表示されます。必要に応じて、[構成] タブにフィールドの説明が表示されます。



自動翻訳

レポートの説明の **admin** ロールを有効にする

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にできます。このロールを持つユーザーは、テーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

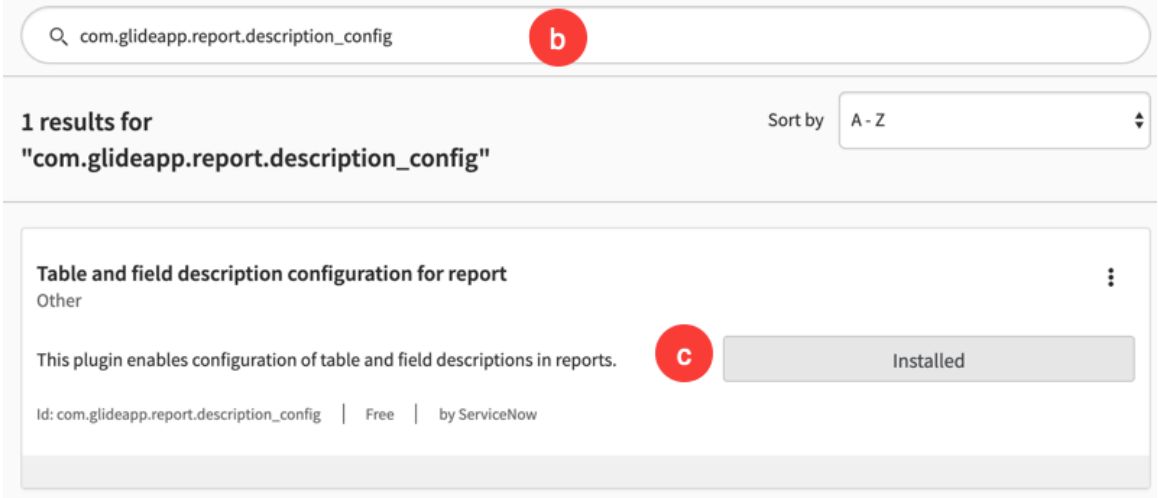
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. 検索バーに com.glideapp.report.description_config を入力します。
3. レポートプラグインのテーブルとフィールドの説明の構成をインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このプラグインを使用すると、レポートのテーブルとフィールドの説明を構成できま



す。

4. report_description_adminロールをアサインします。

   詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」および「グループへのロールのアサイン」を参照してください

   report_adminロールを持つユーザーには、自動的に新しいロールが付与されます。

結果
レポートデザイナーでは、[データ] タブにテーブルの説明が表示され、必要に応じて [構成] タブにフィールドの説明が表示されます。

テーブルとフィールドの説明を編集

report_description_admin ロールを持つユーザーは、レポートの作成時に表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

始める前に
必要なロール:report_description_admin

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > フィールドの説明.
   [フィールドラベル] リストには次の 4 つの列があります。

   テーブル

   要素が関連付けられているテーブルを一覧表示します。この列には、テーブル内のすべてのフィールドに対して 1 つのエントリーと、テーブル自体に対して 1 つのエントリーがあります。

   要素

   説明が適用されるテーブル内のフィールド。[要素] の値が空の場合、説明はテーブルに適用されます。

   言語

   フィールドがローカライズされている言語の 2 文字のコード。読み取り専用です。

   注: 説明を追加する言語のコードを右クリックし、[この値で絞り込み] を選択します。このようにして、テーブルをこのタスクに必要なフィールドのみに制限します。

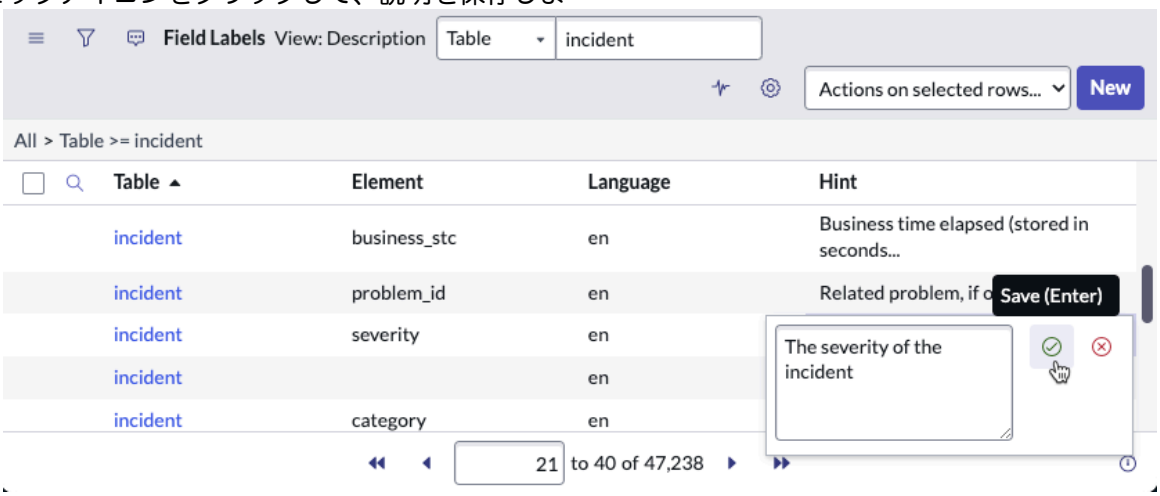
   ヒント

自動翻訳

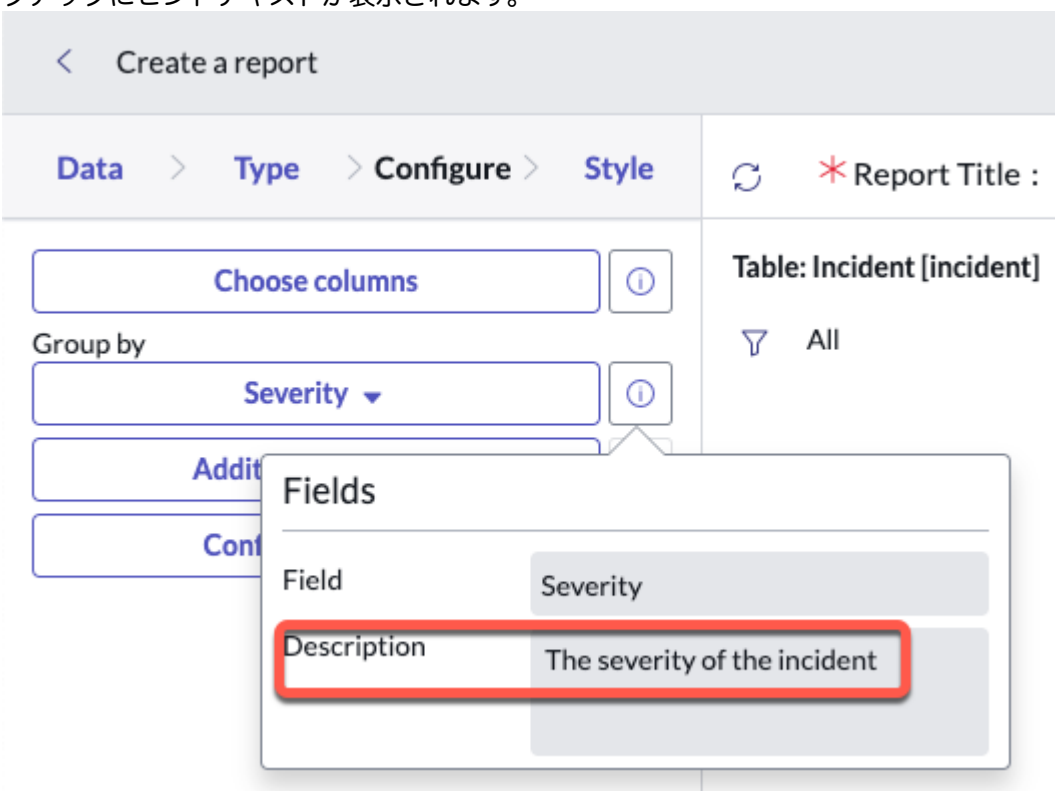
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートデザイナーでユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明が含まれています。

2. [ヒント] 列のセルをダブルクリックし、説明を追加または編集します。
チェックアイコンをクリックして、説明を保存します。



結果
レポートデザイナーでヒントを追加したフィールドでグループ化すると、そのフィールドの情報ポップアップにヒントテキストが表示されます。



マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する

マルチレベルピボットテーブルレポートに数値を表示する方法に関するルールを設定します。色分けルールを使用すると、より重要な値を簡単に強調表示できます。カラー ルールは、ピボット レポートのセルの内容に適用されます。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: マルチレベルピボットレポートの [合計] セルに色分けルールを適用することはできません。

手順

1. レポートデザイナーの [スタイル] タブで、[色分けルールの編集] を選択します。
「セキュリティ上の制約により、要求されたページにアクセスできません」というエラーメッセージが表示された場合は、アクセス制御リストによってアクセスが妨げられています。必要に応じて、security_admin ロールを持つユーザーは、マルチレベルピボットルール [sys_report_mpivot_rule] テーブルに読み取りおよび書き込みアクセス制御リスト (ACL) を作成する必要があります。
2. [マルチレベルピボットルール] ダイアログボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

マルチレベルピボットルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	セルの値を評価するときに使用する演算子 ([次の値を超える]、[次の間] など)。たとえば、セルのスタイルを 5 未満の値に設定するには、[未満] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 注: 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致するためにセルに含めることができる最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致するセルに適用するフォントの色。
背景色	このルールに一致するセルに適用する背景色。このオプションは、マルチレベルピボットテーブルレポートにのみ適用されます。
ルール注文	ルールが適用される順序を決定する数値。ルール オーダーが高いルールほど後で適用され、オーダーが低いルールほどオーバーライド (無効化) されます。 たとえば、あるルールは 140 より大きい値のセルと照合し、別のルールは 150 より小さい値のセルと照合します。それらより高いオーダーのルールは 141 ～ 149 の値を持つセルに適用されます。

4. [送信] を選択してルールを保存し、別のルールを作成するか、[**OK**] を選択してルールを保存してレポートデザイナーに戻ります。

単一スコア レポートの色付けルールを作成する

単一スコアレポートに数値を表示する方法に関するルールを設定して、値が重要である理由を強調表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

この作業は、単一スコア レポートのスタイル オプションを構成する作業の一部です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

色分けルールを実装する手順の例については、「 単一スコアデータ可視化の例 」を参照してください。

手順

1. レポートデザイナーの [スタイル] タブで、[色分けルールの編集] をクリックします。
2. マルチレベルピボットルールの [単一スコアの色ルールビュー] ダイアログボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

単一スコアの色ルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	値を評価するときに使用される演算子 (「大なり」 や 「間」など)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[低く] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 **注:** ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。検索アイコン ( ) を選択して既存のリストから色を選択するか、16 進数の色の値を入力します。
ルールの順序 (オプション)	色ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、あるルールでは値 7 に青を適用し、2 番目のルールでは 1 ～ 10 の値に赤を適用します。7 を青色で表示する場合は、最初のルールの [ルールの順序] の値を大きくして、2 番目のルールが上書きされないようにします。 ルールの順序を指定しない場合、色分けルールは作成された順に適用されます。

4. [送信] をクリックしてルールを保存し、新しいルールを作成するか、[**OK**] をクリックしてルールを保存し、レポートデザイナーに戻ります。

結果

ルールで指定した色は、編集中の単一スコアレポートに適用されます。

ドメインセパレーションとレポート

ドメインセパレーションはレポートでサポートされており、レポートの作成と管理に関連しています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

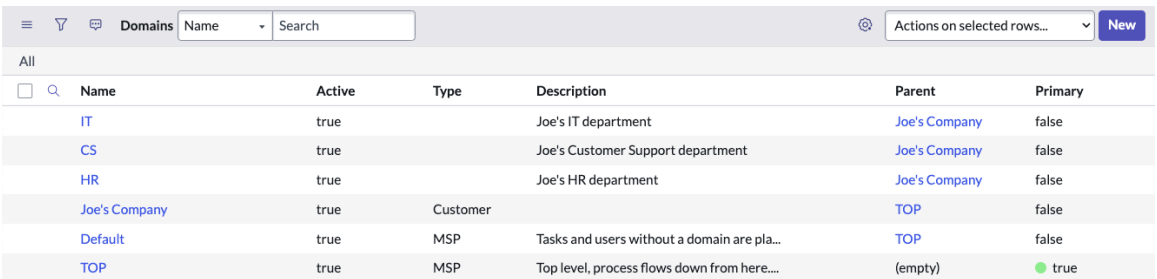
アクティベーション

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

レポートでのドメインセパレーションの仕組み

レポートでは、分離されたデータにはレポートデザインとレポートコンテンツが含まれます。グローバル レベルで定義されたレポートは、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。

- TOP ドメインで作成されたレポートは、Joe's Company ドメインのユーザーに表示されますが、Joe's Company の HR、CS、および IT の子ドメインには表示されません。
- IT、CS、または HR の子ドメインで作成されたレポートは、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親 Joe's Company ドメインのユーザーに表示されます。
- 親 (Joe's Company) ドメインで作成されたレポートは、そのドメイン内のユーザーのみが使用できますが、子ドメインのユーザーは使用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

あるドメインでレポートを作成して別のドメインにコピーする場合、レポート構造は変わりませんが、レポートデータはドメインに合わせて調整されます。たとえば、アクティブなインシデントレポートには、親ドメイン内のユーザーのすべてのアクティブなインシデントが表示されますが、IT ドメイン内のユーザーの IT インシデントのみが表示されます。

関連トピック

- アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート
- ドメインセパレーションの概要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートでドメインセパレーションを有効にする

ドメインセパレーションプラグインを有効にして、ログオンしたユーザー ドメインのデータ、ルール、および設定に基づいてレポートにコンテンツを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：security_admin

このタスクについて
デフォルトでは、ドメイン サポート プラグインによって特定のテーブルのデータがドメイン別に分離されます。ただし、MSP 拡張プラグインがインストールされていない限り、レポートはドメイン別に分離されません。レポートにはユーザーのドメインのデータのみ表示されますが、ユーザーはすべてのレポートを表示できます。

MSP 拡張プラグインがインストールされていない場合は、次の手順に従ってレポートのドメインセパレーションを有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション をクリックし、ドメイン別に区切るレポートを選択します。
2. ヘッダーを右クリックし、 構成 > ディクショナリ.
3. [sys_domain] フィールドで辞書を設定し、[参照] フィールドにこのレポートのドメインを入力します。
   空白のままにすると、レポートはグローバルになります。
   [ドメイン] フィールドがレポートに表示され、このフィールドからテーブルが参照されます。
   フォームにドメイン フィールドが表示された後、テーブル内のすべてのレコードのドメイン フィールドが有効になります。デフォルトでは、これらのレコードはすべてグローバルです。

関連トピック

ドメインセパレーションを要求する

レポート のクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、 レポート が変わらず 動作 ことを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

レポート クイックスタートテスト自動テストフレームワーク (ATF) - レポートプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.report) は、デフォルトまたはインスタンスの再起動時にアクティブ化されます。

> **注:** レポート クイックスタートテストはダッシュボードからのレポートアクセスをテストしません。ダッシュボードをテストするには、「ダッシュボードのクイックスタートテスト」を参照してください。

レポート クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レポートの可視化	レポートを共有しているユーザーにレポートが表示されるかどうかを確認します。	Madrid

関連トピック

クイックスタートテスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートヴィジビリティのテストステップ

これらの事前設定されたテストステップの例をカスタマイズできます。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
レポートヴィジビリティテストには、次の 2 種類のステップが含まれています。

代理操作

このステップを設定するときは、次の「確認」ステップを実行するときに代理操作するユーザーを選択します。アクセス権をテストするロールを持つユーザーを選択します。

レポートヴィジビリティ

このステップを設定するときは、テストするレポートを選択します。また、テストが成功して肯定的な結果になるか、否定的な結果で成功するかを選択します。つまり、ユーザーがレポートを表示できる場合にレポートの可視化が成功するか、またはレポートを表示できない場合に成功するかを設定します。

プラグインに含まれるサンプルテストには、次の 3 つのステップが含まれています。

手順

1. ユーザーの代理操作を行います。
2. テストユーザーがテストレポートを表示できることを確認します。
3. テストユーザーがテストレポートを表示できないことを確認します。

次のタスク
ただし、テストをカスタマイズする場合は、2 つのタイプのステップを追加して設定することで、任意の論理シーケンスでステップを組み合わせることができます。たとえば、レポートヴィジビリティテストを次のように設定できます。

1. 「ユーザーの代理操作」を参照してください。
2. このユーザーがレポートを表示できることを確認します。
3. このユーザーが別のレポートを表示できることを確認します。
4. このユーザーが 3 番目のレポートを表示できないことを確認します。

カレンダー レポートをカスタマイズする

カレンダー タスクに表示されるフィールドを指定できます。

デフォルトでは、 番号と **short_description** のフィールドが表示されますが、この動作は構成可能です。さまざまなフィールドに対してレポートのラジオ ボタンを構成し、優先度や承認ステータスなどのプロパティーによってカレンダー エントリーをハイライト表示することができます。タスクプロパティーごとに固有のハイライト表示カラーを選択できます。

カレンダー エントリーの表示方法を構成する

テーブルのカレンダー エントリーの表示方法を構成するには、そのテーブルの「システム辞書」エントリーに calendar_elements 属性を追加します。

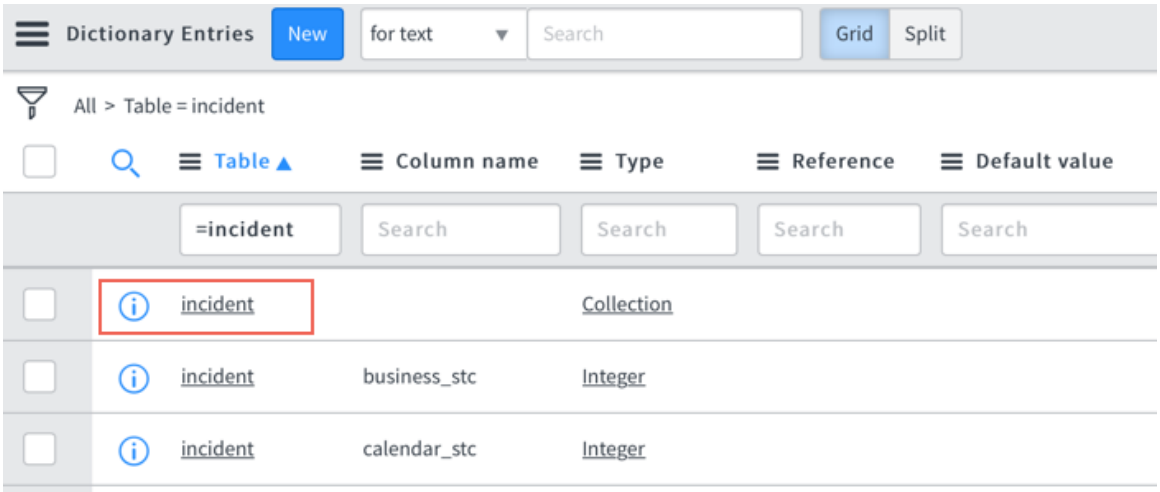
始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

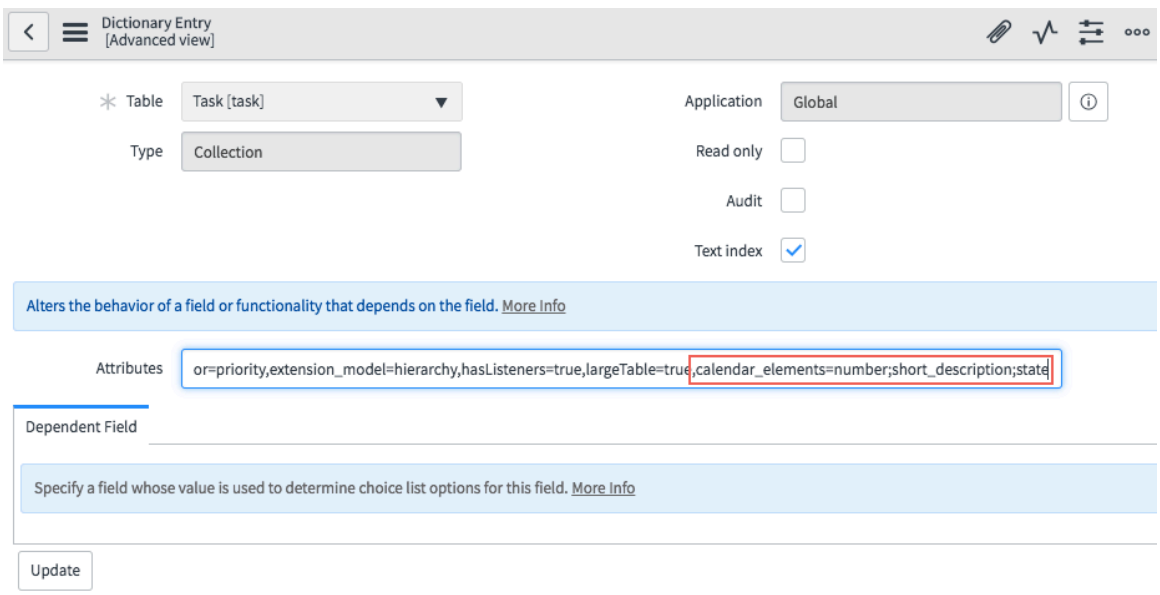
1. レポートの基になるテーブル (incident.list など) に移動します。
2. テーブル内の任意のレコードのフォームを開きます。
3. [他のアクション] メニュー ( ) を選択し、 構成 > ディクショナリ.
4. 表示されるレコード リストで、[列名] フィールドに値が存在しない最初のレコードを選択します。



5. [辞書エントリー] フォームを詳細ビューに切り替えます。
6. [属性] フィールドに、カレンダーレポートの各エントリに表示するフィールドをセミコロンで区切ってリストする *calendar_elements=<field name>;<field name>*を追加します。

> **注:** カレンダー要素の属性を定義すると、デフォルトの表示要素である **number** フィールドと **short_description** フィールドが、このフィールドに列挙した属性に置き換えられます。カレンダー エントリーにさらに属性を追加し、変更された番号と簡単な説明を保持するには、 **number** フィールドと **short_description** フィールドを属性に含めます。たとえば、タスク カレンダーにステータス情報を追加するには、タスク テーブルに次の属性を追加します。

```
calendar_elements=number;short_description;state
```



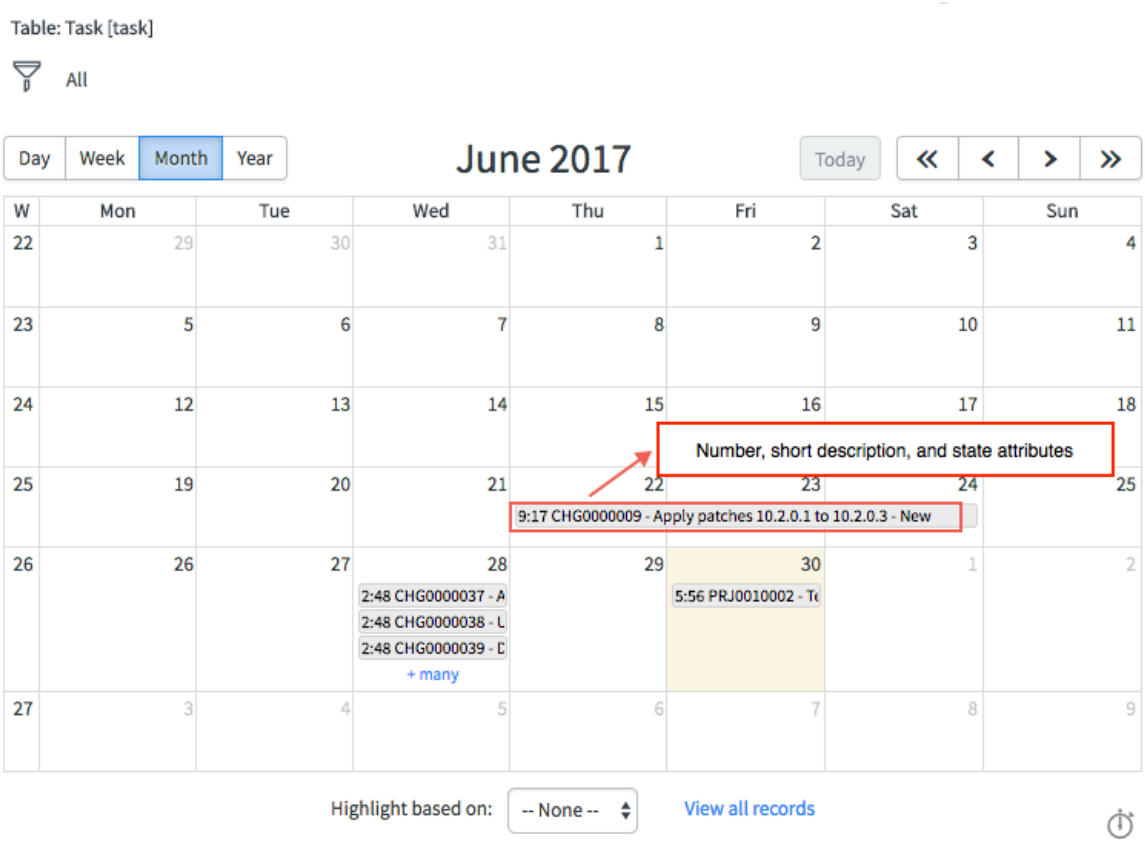
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. テーブルにすでに属性が存在する場合は、次の例のように、追加する属性をカンマで区切ります。

```
reference_index_include=active,calendar_elements=number;short_description;state
```

8. **[Update** (更新)] を選択します。

結果
選択したテーブルに対して追加した属性が、カレンダー エントリーに表示されます。



カレンダーレポートシステムプロパティの変更と追加

システム プロパティーの値を指定して、カレンダー イベントでのタスク テーブルのハイライト表示を無効にしたり、カレンダー セル内のイベント数を制限したり、カレンダー週の開始日を変更したりすることができます。

カレンダー イベントがハイライト表示されるようにタスク テーブルのフィールド スタイルを上書きする

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、特定のテーブルに対して定義されるフィールド スタイルで構成されます。カレンダー レポートで、テーブルのフィールド スタイルを使用するか、またはレポートのベースになっているレポート ソースのフィールド スタイルを使用するかを構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、タスク [task] テーブルのフィールド スタイルがカレンダー レポートに適用されます。カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク テーブルのスタイルが上書きされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: カレンダーの強調表示はコア UI レポートにのみ適用され、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスデータの可視化には適用されません。

手順

1. フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. カレンダーのハイライト表示中に使用するフィールドスタイルを指定するには、*glide.ui.report.extend_calendar_choices* プロパティを選択します。
   - False の場合、カレンダー レポートでは、カレンダーのハイライト表示のオプションを決定するときに、タスク テーブルのスタイルのみ使用されます。たとえば、変更要求 [change_request] のカレンダー レポートでは、タスク [task] テーブルのスタイルのみが使用され、2 つのテーブルの組み合わせによるスタイルは使用されません。
   - True の場合、カレンダー レポートでは、カレンダー レポートのベースになっているテーブルのフィールド スタイルが使用されます。
3. [更新] をクリックします。

カレンダー日に表示されるイベントの数を制限する

カレンダーレポートでは、一部のカレンダービューに表示されるイベントの最大数を設定できます。

始める前に
必要なロール:report_admin、admin

このタスクについて
イベントの最大数を超えると、 **+ <数字>** リンクが表示され、追加のイベントを示すポップアップ ウィンドウが開きます。このポップアップ ウィンドウに表示されるイベントの最大数を構成することもできます。この最大値を超えると **[+** 多数] リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウの代わりにイベントのリストが開きます。

次のカレンダー ビューに対してこれらの設定を構成できます。

- カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときのカレンダー日
- カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているときのカレンダー日の一番上の「終日」セクション

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell*プロパティと*glide.report.calendar.max_more_events_per_day*プロパティを設定します。
3. **[Update** (更新)] をクリックします。

カレンダーの週の開始日を変更する

デフォルトでは、カレンダー レポートの週は月曜日から開始されます。代わりに、日曜日または別の日に週を開始するシステム プロパティーを追加できます。

始める前に
必要なロール：admin
*glide.ui.date_format.first_day_of_week*システムプロパティは、クエリで使用される生成された日付/時刻の値を変更し、レンダリングされたカレンダーに週の開始日を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

glide.ui.filter.first_day_of_week また、設定された日を正しく表示するには、*glide.ui.date_format.first_day_of_week* と同じ値に設定する必要があります。

パフォーマンスアナリティクススコアデータを収集した後に*glide.ui.filter.first_day_of_week*プロパティを変更すると、週次インジケーターのスコアを表示できなくなります。これらにアクセスするには、 スコアを再度収集 する必要があります。

手順

1. *glide.ui.date_format.first_day_of_week*システムプロパティを追加します。
2. 次のいずれかの整数値を設定します。

オプション	説明
日曜日を週の開始日にする	[値] を 1 に設定します。
月曜日を週の開始日にする	[値] を 2 に設定します。
週を火曜日に開始	値を3 に設定
週を水曜日に開始	値を4 に設定
木曜日に週を開始	値を5 に設定
週を金曜日に開始	値を6 に設定
土曜日に週を開始	値を7 に設定

注: 日曜日と月曜日のみが明示的にサポートされています。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
週の計算方法を指定するシステムプロパティ *glide.db.week_numbering* を設定します。詳細については、「カレンダー週をカスタマイズ」を参照してください。

カレンダー週をカスタマイズ

システムプロパティを設定して、暦週番号の決定方法を指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. *glide.db.week_numbering*システムプロパティを追加します。
   詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。
3. 次のいずれかの文字列値を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
iso_week	第 1 週は、1 月 4 日、最初の営業日、または最初の木曜日を含む週です。(これらは相互に同等です。第 00 週はありません。
sunday_week	第 1 週は、その年の第 1 日曜日がある週です。その前日が第 0 週です。
monday_week	第 1 週は、その年の第 1 月曜日がある週です。その前日が第 0 週です。
jan1_week	第 1 週は 1 月 1 日から 7 日です。次の 7 日間が第 2 週で、以下同様に続きます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

カレンダー レコードの上限を設定する

デフォルトでは、カレンダー レポートには最大 10,000 件のレコードが保存されます。この制限を変更するには、 *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを設定します。取得されるレコードの数がこの制限を超える場合は、データをフィルタリングしてレポートを再実行するよう求められます。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. *glide.ui.max_calendar_records*システムプロパティを追加します。
2. フォームに次の値を入力します。

オプション	説明
名前	*glide.ui.max_calendar_records*
説明	プロパティーの機能を説明するフレーズ (「保存されたレンダー レコードの最大数」など) を入力します。
タイプ	整数
値	プラットフォームで保持されるレコード数の望ましい値を入力します。このプロパティーを構成しない場合のデフォルト値は 10,000 です。

3. [送信] をクリックします。

関連トピック

システムプロパティを追加する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示を変更する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、フィールド スタイルによって制御されます。ハイライト表示の方法を変更するフィールド スタイルを管理します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
カレンダーに対して、カレンダーのベースになっているテーブルのフィールド スタイルを適用するか、またはタスク [task] テーブルのフィールド スタイルを適用できます。カレンダーの強調表示に適用されるフィールドスタイルは、 *glide.ui.report.extend_calendar_choices* システムプロパティによって異なります。

変更できるのはカレンダー イベントの背景色のみです。その他の CSS はすべて無視されます。フィールド スタイルが定義されていないイベントには、カレンダー レポートにハイライトが適用されるときに白い背景が表示されます。

注:

適切なテーブルのフィールドスタイルを定義 します。

- すべてのカレンダー レポートのフィールド スタイルを定義するには、タスク [task] テーブルでスタイルを定義します。
- 特定のテーブルまたはレポート ソースに基づくカレンダーにのみ適用されるフィールド スタイルを定義するには、そのテーブルのフィールド スタイルを定義します。

カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク [task] テーブルのスタイルが上書きされます。

手順

1. 移動先 システム **UI** > フィールドスタイル.
2. リストをフィルタリングして対処するテーブルを表示し、結果をフィールド名でグループ化します。

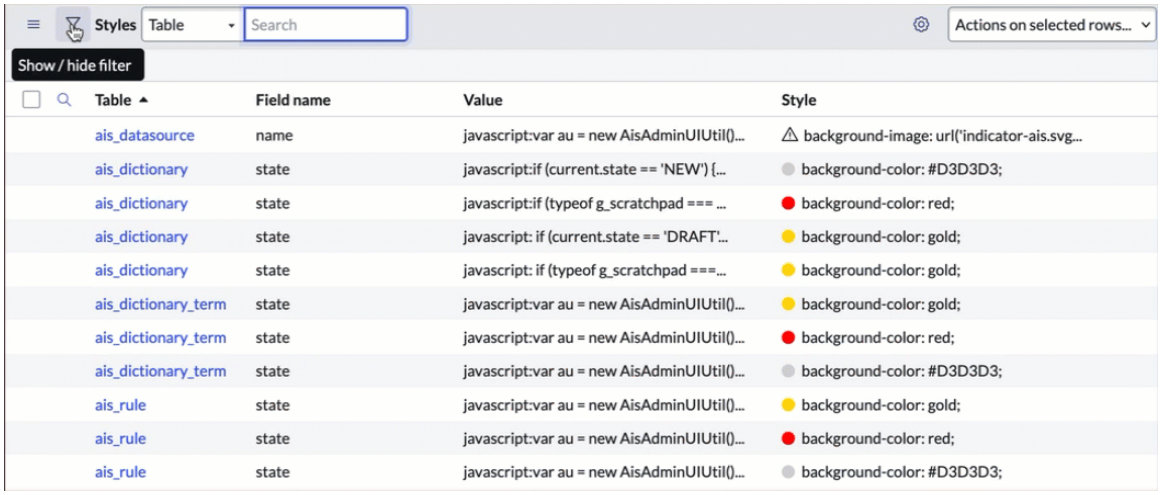


Table	Field name	Value	Style
ais_datasource	name	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-image: url('indicator-ais.svg...
ais_dictionary	state	javascript:if (current.state == 'NEW') {...	background-color: #D3D3D3;
ais_dictionary	state	javascript:if (typeof g_scratchpad === ...	background-color: red;
ais_dictionary	state	javascript: if (current.state == 'DRAFT'...	background-color: gold;
ais_dictionary	state	javascript: if (typeof g_scratchpad ===...	background-color: gold;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: gold;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: red;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: #D3D3D3;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: gold;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: red;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: #D3D3D3;

3. ハイライト表示するフィールドと値の横にあるテーブルの名前を選択します。

4. 必要に応じて background-color の値を変更します。
色名と RGB 値はどちらも有効です。
5. **[Update** (更新)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始日と終了日のカスタマイズ

複数日のイベントが複数のカレンダー セルにわたるように、カレンダー レポートを構成することができます。

始める前に

必要なロール:辞書アドミニストレーターまたはアドミニストレーター。

このタスクについて

[作業開始日時] が月曜日で [作業終了日時] が火曜日の変更要求は、[カレンダー] フィールドに表示されるときに両方の日に表示されます。ただし、[初日] と [最終日] という 2 つのカスタムフィールドが使用されている場合、同じ動作は発生しません。

コードでは、開始日時フィールドと同じ名前の終了フィールドが検索されますが、「開始」ではなく「終了」という語が使用されます。カスタム フィールドが [自分の開始日時] および [自分の終了日時] の場合には、「開始」と「終了」の語を除いて名前が同じであるため、これらのフィールドの意味は正しく解釈されます。

手順

1. 「 テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズ する」の手順に従います。
2. フォームに次の値を入力して、開始日のスパン フィールドを作成します。

フィールド	値
名前	カレンダー開始日のスパン
データベース列名	u_first_date → u_my_start_date
タイプ	日付

3. 終了日のスパン フィールドについて、次の値を使用して別のフィールドを追加します。

フィールド	値
名前	カレンダー終了日のスパン
データベース列名	u_last_date → u_my_end_date
タイプ	日付

レポートのグループ化ラベルを翻訳する

翻訳されたテキストフィールドで結果をグループ化するレポートを実行する場合、個々のフィールドのラベルと値が翻訳済みとして表示されるようにするには、translated_textタイプを使用します。

注: レポートでは、translated_textタイプの列のみがサポートされます。

結果を [翻訳されたテキスト] フィールドでグループ化するレポート (マルチレベルピボットレポートや棒グラフレポートなど) を実行する場合、インスタンス言語が英語から別の言語に変更されたときに、すべてのラベルが翻訳済みとして表示されない場合があります。これらのフィールドラベルは、翻訳名/フィールドテーブル からのエントリです。

翻訳エラーは、レポートの最初の行または列よりも多くを翻訳する場合、またはグループ化用のカスタムフィールドを作成するときに発生する可能性があります。個々の フィールドラベルと値を翻訳 するには、translated_textタイプを使用します。特定のレポートタイプの [構成] タブで利用可能なグループ化オプションについては、「 レポートタイプ 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのカスタムフィールドを作成しても、ラベルは自動的に追加されません。[フィールドラベル] テーブル にラベルを追加し、 フィールドラベルを手動で翻訳 する必要があります。

関連トピック

- 翻訳テーブル
- テキストフィールドを翻訳する
- インターナショナリゼーションサポート

レポート管理モジュール

を使用して ServiceNow プラットフォームでレポートを管理する方法を学びます。 部下 > アドミニストレーション 移動します

このモジュールはデフォルトでは有効になっておらず、有効にする必要があります。ServiceNow プラットフォームで提供されるレポートロールのリストについては、「レポート ロール」を参照してください。

注: レポートをロール別に制限すると、レポートを表示できるユーザーが制限されます。管理者ロールを持たないユーザーは、グローバル レポートを編集することはできません。管理者以外のユーザーがグローバル レポートを編集した場合、そのレポートを保存すると、そのユーザーに属するカスタマイズ バージョンが作成されます。

標準のレコード リスト コントロールのいずれかを使用してレポートをフィルタリング、表示、または変更するには、レコード リスト ビューを使用します。[新規] をクリックしてレポートを作成するか、または任意のレコードを選択してレポートをフォームとして表示します。ServiceNow のすべての標準のフォーム コントロールが適用されます。

レポートするテーブルとフィールド、およびレポート形式の特性を選択することができます。[フィルター] フィールドに条件を作成して、レポートに表示されるデータをさらに限定し、レポートを使用できるロールを選択します。

レポートのセキュリティー

レポートのセキュリティーのアクセス制御チェックの適用プラグインを使用すると、管理者はアクセス制御リスト (ACL) ルールを使用してレポート アクセスを制限できます。この機能により、権限のないユーザーは、UI または URL 構成を使用してレポートを編集、更新、または削除することができなくなります。詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

利用可能なレポート フィールド

次のフィールドを操作できます。

フィールド	入力値
タイトル	一意でわかりやすいレポートの名前。
テーブル	このレポートが実行される対象の ServiceNow テーブル。
フィールド名	group-by フィールドの名前。
タイプ	このレポートのレポート タイプ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
チャート サイズ	大、中、または小。
表示対象	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
ユーザー	グラフを表示できるユーザー。すべての人がレポートにアクセスできるようにするには、「GLOBAL」と入力します。
フィルター	レポート データに適用されるフィルター。
ロール	レポートの表示に必要なロール。
以下のフィールドは、フォームに追加された場合に使用できます。	
集計	レポートでのデータの集計方法を決定します。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、データの集計に使用する値を持つ追加のフィールドのリストから選択できます。平均または合計として使用する典型的な値としては、[ビジネス継続時間] (日単位、時単位、分単位) や [解決時間] (秒単位) などの時間測定値があります。その他の [優先度] などのフィールドでは、数値がそのレベルに関連付けられており、集積者として使用することができます。 **注:** 平均は、すべてのフィールドの合計を、値を含むフィールドの数で除算することによって計算されます。空のフィールド、または明るい灰色のゼロを含むフィールドは、合計を除算する際に使用されるフィールド数には含まれません。
コンテンツ	レポートの内容を記述する HTML フィールド。レポートの生成では処理されません。
グリッドを表示	グラフの下に、要求されたデータの内訳を含むテーブルを表示する場合に選択します。集計単位は、[カウント]、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] です。それぞれの個別の部分によって表される合計データの割合が表示されます。
グループ	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
間隔	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、グラフに沿って測定する時間間隔。
グループはありません	グラフに表示される棒の数を制限するには、このリストの値を使用します。デフォルトでは、高い値から低い値までの 12 本の棒を表示し、残りのデータを [その他] カテゴリーに置きます。10 本、12 本、15 本、20 本、またはすべての棒を表示することを選択できます。
その他	レポートに [その他] グループを追加するには、このチェック ボックスをオンにします。
リストのフィールドを選択	リストレポートに表示するフィールド。
orderByのフィールドを選択	レポートに表示されるフィールドの順序。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
空を表示	空のカテゴリーを表示するかどうか。
合計フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、合計を実行する対象のフィールド。
傾向フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、時間の経過とともに追跡するフィールド。

レポート参照

ロール、プロパティ、およびその他の情報のその他のテーブル。

このセクションには、レポートのデータ集計タイプ、レポート ロール、プロパティ、およびレポート デザイナーのキーボード ショートカットを説明する表があります。

レポートの集計

集計を使用すると、レポートに表示されるデータに計算を適用できます。

- カウントアグリゲーションは、レポートの各要素のレコード数を示します。
- 個別のカウントは、指定されたフィールドの一意の値の数を提供します。
- [平均] には、指定されたフィールドの値の算術平均が表示されます。
- [合計] には集計値の合計が表示されます。
- [最小] と [最大] には、表示される各カテゴリの最小値または最大値が表示されます。
- 標準偏差は、特定のフィールドの平均値とのデータ偏差を示します。

[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大]、または [標準偏差] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

注: 集計は、ヒストグラム、パレート図、単一スコア、ボックス、カレンダー、およびリスト レポートではサポートされていません。

カウントに関するレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。カウントアグリゲーションは、可視化の各要素のレコード数を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

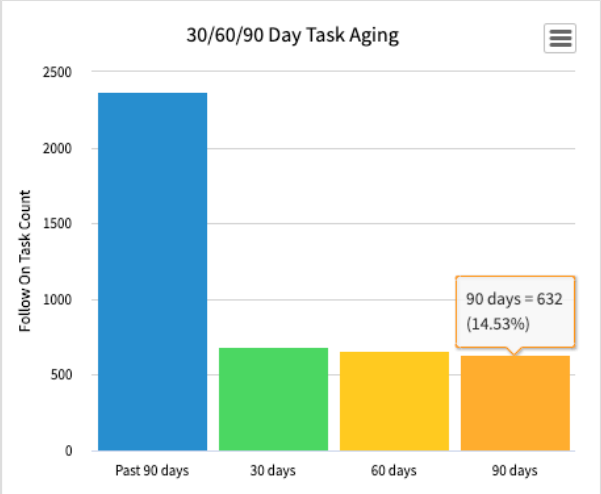
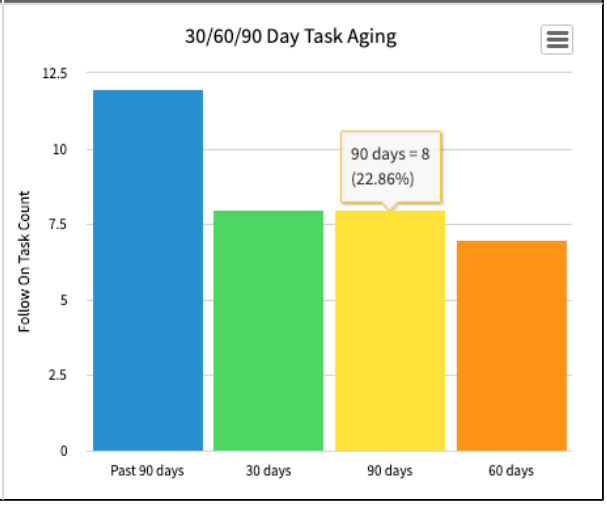
デフォルトの集計は **[Count** (カウント)] です。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示したいとします。[個別のカウント] を使用しない限り、複数の顧客に対して実行されているタスクタイプは、複数回カウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの画像は、Count と Count Distinct を比較します。1 つ目は、1 列の生のカウントが 632 であることを示しています。2 つ目は、同じ列の個別のカウントがわずか 8 であることを示しています。

カウント	個別のカウント
	

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. アグリゲートするレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [カウント] または [個別のカウント] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

結果
可視化のセクションはレコード数でグループ化されます。

レポートを平均で集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。集計の合計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

平均アグリゲーションには、アグリゲートするフィールドの算術平均が表示されます。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時、分、秒で表されます。(期間を設定して、必要な詳細レベルを表示できます)。[優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数値で表されます。

平均アグリゲーションを選択するときは、[パーセンテージの計算] を選択すると、[データテーブルを表示] を選択すると、パーセンテージの計算が表示されます。

集約を使用

平均の合計量の一部として、パーセンテージを [平均の割合] という列に表示します。たとえば、このデータテーブルでは、照会、ネットワーク、およびソフトウェアインシデントの平均期間は約 1 日と 16 時間、つまり合計平均ビジネス時間の 30% 程度でした。ハードウェアインシデントの平均所要時間は 12 時間で、これはインシデントの合計平均ビジネス時間の約 9% です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Average
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	30.63%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	30.48%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	29.91%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	8.99%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

レコード数を使用

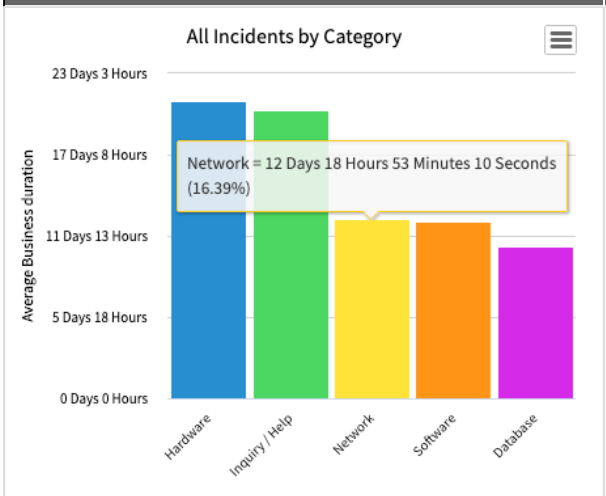
各カテゴリのレコード数を、可視化の合計レコード数に対する割合として、[インシデントの割合] という列に表示します。このデータテーブルでは、各カテゴリで同じ平均ビジネス時間が表示されますが、パーセンテージはそのカテゴリのインシデント数に対する割合です。たとえば、照会インシデントは全インシデントの約 17%、ソフトウェアインシデントは全インシデントの約 77% ですが、これらのインシデントを解決するための平均時間はまだ 30% 程度です。一方、ハードウェアインシデントは全インシデントの 1% 未満ですが、平均期間は解決までの合計平均時間の 9% です。

Aggregation

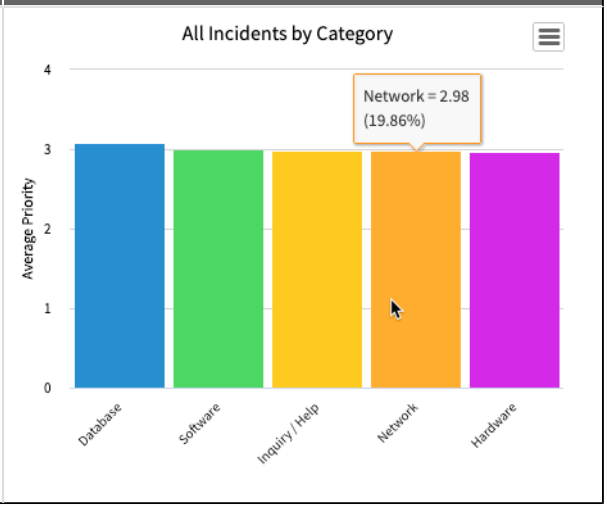
Category	Average Business duration	Percentage of Incidents
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	16.69%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	6.58%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	76.67%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	0.06%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

自動翻訳

平均時間



平均優先度



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. アグリゲートするレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[アグリゲーション] リストから [平均] を選択します。
4. アグリゲートするフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] を選択します。

結果
可視化のセクションは、選択したレコードの平均によってグループ化されます。

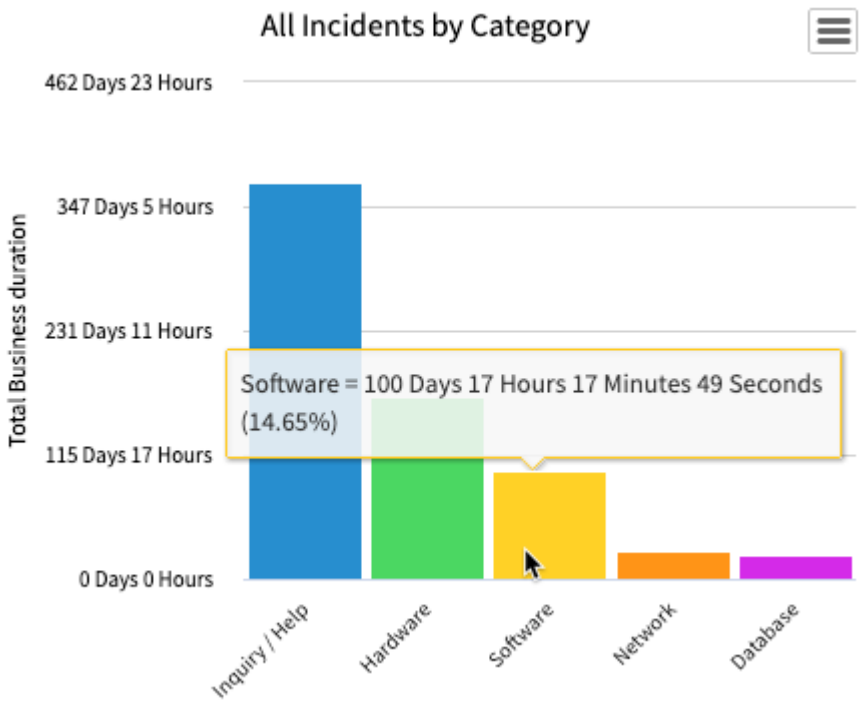
合計でレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。集計の合計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

合計

集計するフィールドの合計を表示するには、[合計] を選択します。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時、分、秒で表されます。(期間を設定して、必要な詳細レベルを表示できます)。[優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。



手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. アグリゲートするレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[アグリゲーション] リストから [合計] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. アグリゲートするフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] を選択します。

結果
可視化のセクションは、選択したレコードの合計によってグループ化されます。期間フィールドを選択すると、集計データは日、時、分、秒で表されます。[優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

最小値または最大値に関するレポートをアグリゲート

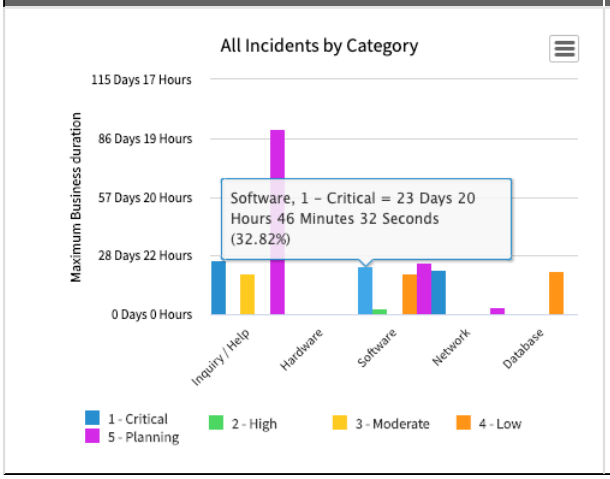
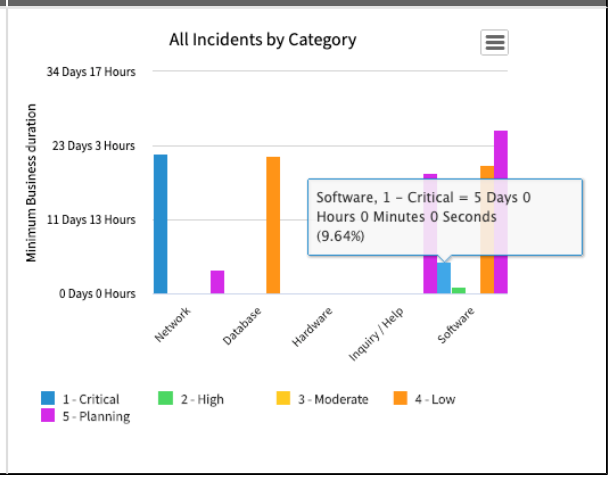
レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。最大集計と最小集計には、可視化の各セグメントの最大値または最小値が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

最小と最大

[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントに [最大集計] を適用します。レポートには、ビジネス期間が最も長い各優先度のインシデントのバーが表示されます。

これらの画像は、最大期間と最小期間を示しており、グループ化されたバーを使用して、インシデントの各カテゴリのさまざまな優先度を並べて表示しています。積み重ねバーは、スタックの一番上の要素の値が大きいかのように錯覚させます。実際、バーには 2 つの要素の相対値のみが表示されています。

最大期間	最小期間
	

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. アグリゲートするレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[アグリゲーション] リストから [最大] または [最小] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値でグループ化されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

標準偏差に関するレポートのアグリゲート

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。標準偏差アグリゲーションでは、可視化の期間または数値フィールドの平均値からの偏差を示します。

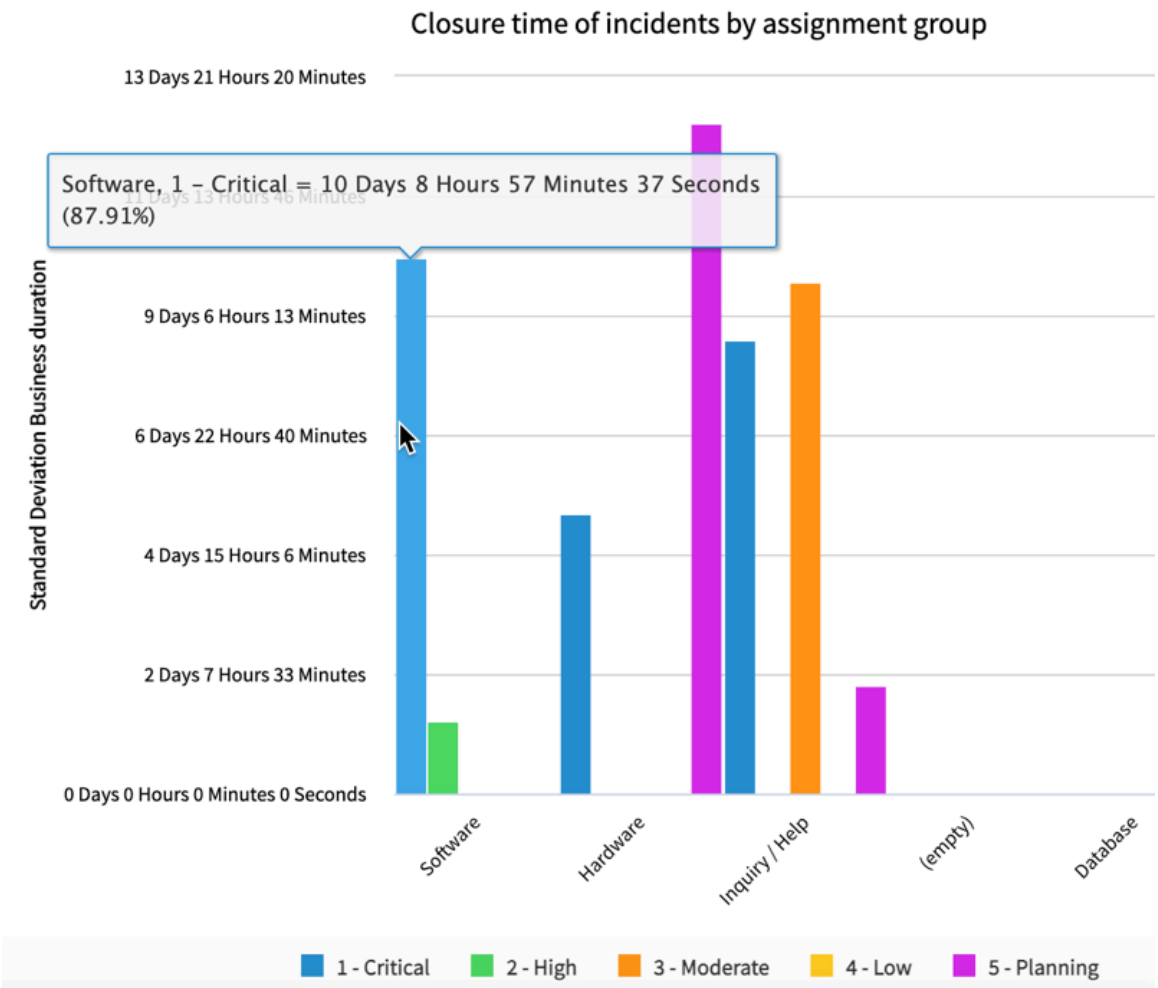
始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

標準偏差

期間または数値フィールドの平均値との偏差を表示するには、[標準偏差 (SD)] を選択します。たとえば、インシデントのビジネス時間に標準偏差アグリゲーションを適用します。レポートには、各優先度のインシデントの平均ビジネス期間からの偏差が表示されます。

標準偏差は常にデータと同じ単位で表されます。次の例では、データは時間単位であり、集計も時間単位です。



手順

1. 移動先 すべて > 部下 > 表示/実行.
2. アグリゲートするレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[アグリゲーション] リストから [標準偏差] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値でグループ化されます。

レポート ロール

レポート は、レポートの作成を制限するロールとともにインストールされます。アクセス制御リスト (ACL) によって、レポートの表示と作成が制限されることもあります。

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するにはユーザーにreport_userロールが必要です。
- レポートロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示されているすべてのレポートについて、[挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポートオプションにアクセスできます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

次の表で、「 管理 」という用語は、[更新]、[削除]、および [エクスポート] 設定のレポートオプションへのアクセスを示します。

ロールなしのアクセス

共有済みのレポートを表示できます。

ACL を使用したレポートアクセス

テーブルとフィールドに対するreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成が制限されます。アドミニストレーターは他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象となるデータへのアクセス権を持つロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

注: レポート公開者 [report_publisher] およびレポートエイリアス管理者 [report_alias_admin] ロールも存在しますが、非アクティブ化された機能をサポートします。

レポートユーザー **[report_user]**

共有されているレポートを作成および表示します。共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。itil ロールを持つユーザーには、これらの制限もあります。

ロールを含む

レポートユーザー [report_user] ロールには、可視化作成者 [viz_creator] ロールが含まれています。 viz_creator ロールでは、ユーザーはレポートを作成することもできます。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートスケジューラー **[report_scheduler]**

管理できないレポートを含む、ユーザーが表示できるすべてのレポートのメール送信をスケジュールします。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。

ロールを含む

レポートスケジューラー [report_scheduler] ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グループレポートユーザー **[report_group]**

自分がメンバーであるグループ ([グループ] にリストされている) と共有されているレポートを管理および共有できます。

ロールを含む

report_groupロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グローバルレポートユーザー **[report_global]**

全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。ユーザーまたはグループと共有されているレポートは共有できません。

ロールを含む

report_globalロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートアドミニストレーター **[report_admin]**

すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を行います。アクセス 部下 > アドミニストレーション およびすべてのレポート関連オブジェクトを管理します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- report_scheduler
- analytics_filter_admin
- report_global
- report_group
- gauge_maker
- viz_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

レポートの説明 アドミニストレーター **[report_description_admin]**

レポートのテーブルとフィールドの説明を読み、更新します。レポート [com.glideapp.report.description_config] のプラグインテーブルとフィールドの説明構成に含まれています。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

詳細については、「テーブルとフィールドの説明を管理する」を参照してください。

レポートのプロパティー

プロパティーを使用して、レポートの動作と外観を詳細に調整します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

導入

移動先 部下 > アドミニストレーション > プロパティ メインのレポートプロパティを設定します。他のレポート プロパティーを構成するには、フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。

レポートのプロパティー

プロパティー	説明
レポートデザイナーでの自然言語クエリ (NLQ) を有効にします com.snc.par.nlq.report_designer.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ
X 軸ラベルを 20 文字に切り捨てます。(グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフにのみ適用されます) glide.chart.truncate.x_axis_labels	• タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。
グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフについてアニメーションのオンとオフを切り替えます glide.chart.animation	アニメーションをサポートするレポートおよびパフォーマビジュアライゼーションで、アニメーションを有効にしま 注: マップ レポートはアニメーションをサポートしてため、このプロパティーは無効です。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ
切り捨てられた値のデフォルトの切り捨てを設定します。 glide.chart.data_labels.remove_leading	有効にすると、デフォルトの切り捨ては左側になります。ると、デフォルトは右側の切り捨てです。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値：false • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーは、glide.chart.truncate.data_labels ている場合にのみ適用されます。
ヒストグラム チャートのビンの数 (最小 1、最大 20)	ヒストグラムの Y 軸に表示されるセクションの数を指定し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.chart.histogram.bins	• タイプ：整数 • デフォルト値：10 (値の許容範囲は 1 ～ 20) • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーはヒストグラム レポートに適用されます
ボックス チャートおよび trendbox グラフの平均値の色。 glide.chart.box.mean.color	ボックス レポートまたは Trendbox レポートの平均値ド 設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#2f7ed8 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーはボックス レポートおよび Trendbox 適用されます。
glide.chart.drill.open_new_win	有効にすると、ドリルダウンが定義されていない場合にデ のリストドリルダウンが新しいタブで開きます。リスト以 プのレポートにのみ適用されます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：false • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ
ボックス チャートのボックスおよびウィスカーの色。 glide.chart.box.color	ボックス レポートの色を設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#FF0000 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーはボックス レポートに適用されます。
各データセットのデフォルトの色リスト名 glide.ui.report.datasets.default_colors	1 つのグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用 フォルトの色を設定します。これらの値は、 [チャートの **[1** つの色を使用] の場合に使用されます。 チャートの色の [色名] の値のリストをカンマで区切って入 す。チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルで、 な色を確認でき、新しい色を定義することができます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれの色がデ のチャートの色として順番に使用されます。デフォルトの 多くのデータ セットがある場合は、色が繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの色 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
各データセットのデフォルト カラー パレットとして使用されるカラー パレット名のリスト glide.ui.report.datasets.default_palettes	単一のグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用フォルトのパレットを設定します。これらの値は、 [チャの値が [カラー パレットを使用] の場合に使用されます。 チャートのカラー スキームの [名前] の値のリストをカンマで区切って入力します。チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで利用可能なパレットし、新しいパレットを定義できます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれのパレフォルトのチャート パレットとして順番に使用されます。トのパレットよりも多くのデータ セットがある場合は、繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの UI14 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーは、円グラフ、棒グラフ、水平棒、ドードーナツの各レポートに適用されます。
「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します glide.ui.report.map.default_map	マップ タイプのレポートを作成する場合に使用するデフォマップを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：世界 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーはマップ レポートに適用されます。
glide.ui.chart.color	グラフの色を指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#006DDA • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルにプロパティを追加します 。
glide.ui.chart.use_full_color_palette	棒グラフとパレート図に棒ごとに異なる色の棒を生成するのプロパティを有効にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：#False • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ このプロパティーは、棒グラフ、水平棒グラフ、パレートポートに適用されます。
glide.chart.label.legend.truncate_to	大規模なグラフを除くすべてのサイズのグラフで、凡例のたは右揃えでの凡例のラベルを切り捨てます。ラベルが長合にグラフが縮小するのを防ぎます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.chart.label.legend.truncate_to.large	大規模なグラフのグラフで、凡例の左揃えまたは右揃えで ラベルを切り捨てます。ラベルが長すぎる場合にグラフが のを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.new_calendar	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.calendar.max_days_back	カレンダー レポートで前後にブラウズしたときに返される の日数を指定できます。レポート作成の [カレンダー担当者 ルドで評価されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.default_event_duration	指定された終了日のないイベントのデフォルトの期間。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：01:00:00 (1 時間 0 分 0 秒) • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.max_more_events_per_day	次の + <数字> ポップアップウィンドウに表示できるカレ ベントの最大数を定義します。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっていると ンダー日の一番上の「終日」セクション この数を超えると、+ 多数リンクが表示され、 ポップアップの代わりにイベントのリストが開 きます。詳細については、「システムプロパティ *glide.report.calendar.max_events_displayed_* を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。
glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell	以下のカレンダーレポートに表示できるイベントの最大数 ます。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっていると ンダー日の一番上の「終日」セクション この値を超えるイベントは、カレンダーセルの リンクを介して表示されます。詳細については、 「*glide.report.calendar.max_more_events_per_* 参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。
glide.ui.report.extend_calendar_choices	カレンダーの強調表示の際に適用されるフィールド スタイ ントロールします。このプロパティが false に設定されて は、[タスク] テーブルのフィールド スタイルが使用されま のプロパティが true に設定されている場合、カレンダー レポートの基になるテーブルのフィールドスタイルを使用 該当するスタイルがそのテーブルに存在しない場合、カレ [タスク] テーブルのフィールド スタイルを使用します。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.ui.filter.first_day_of_week	会社の暦週の最初の日を示します。デフォルトでは週 の開始は月曜日なので、暦週は月曜日から始まり日曜 日で終わります。この動作を変更するには、プロパティ *glide.ui.filter.first_day_of_week* を整数プロパ てインスタンスに追加します。カレンダーの開始曜日に対 数を入力します。1 は日曜日、2 は月曜日などです。この り曜日がパラメーターとして使用されているすべてのグラ に影響を及ぼします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーは水平棒グラフ レポートに適用されます
glide.ui.chart.pie.labels	円グラフのスライスのラベルを有効 (true) または無効 (fa ます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.ui.chart.pie.labels.max_items	ラベルを表示するために返すことができる円グラフのスラ 大値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：8 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.chart.data.label.truncate_to	グラフのデータ ラベルの最大長を設定します。これより長 ラベルは切り捨てられ、末尾に省略記号 (...) が付きます。 注: このプロパティは、積み上げ棒グラフレポートに れません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：13 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.pivot.fixed_headers	無効にすると、マルチレベル ピボット テーブルのヘッダー 定が解除され、ユーザーがテーブルをスクロールすると枠 ロールします。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーはマルチレベル ピボット テーブルに適用 す。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.report.metric_max_data_points	MetricBase レポートごとの最大データ ポイント数を構成 通常、この制限を必要とするだけの多くのデータが表示さ は、MetricBase の時系列レポートのみです。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2000 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.metric_max_series	メトリックベースレポートのデータセットあたりの系列数 ます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 最大値:100 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.report_view.read_acl	レポート実行時に読み取りレベルのセキュリティを設定し • タイプ: 文字列 • デフォルト値:強制 • 可能な値： 無視 読み取られた ACL に対して評価は行われず、す てのユーザーが ACL に合格したかのようにレポ トを表示できます。 enforce 読み取った ACL に対して評価が実施されます。 ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみ レポートを表示できます。 ログ 読み取り ACL チェックは強制されませんが、ア ミニストレーターは、セキュリティチェックが適 された場合にブロックされていたであろうユーザ を確認できます。 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。

自動翻訳

インタラクティブ フィルターのプロパティー

プロパティー	説明
glide.homepage_interactivity.ui_ctrls_max_display_options	ラジオボタンとチェックボックスのインタラクティブフィルターの選択肢の最大数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所： 部下 > アドミニストレーション > プロパティ カテゴリー：選択リスト、参照フィールド、日付、グループ

レポート デザイナーのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。

次のキーボード ショートカットを使用できます。

機能	ショートカット
現在のレポートを実行する	Control + Alt (Option) + R
現在のレポートを保存する	Control + Alt (Option) + S
ドメインピッカーを開きます。(このショートカットは、ドメインセパレーションが有効になっている場合にのみ機能します。	Control + Alt (オプション) + D
[データ] タブを開く	Control + Alt (オプション) + 1

関連トピック

キーボードショートカット

コア UI のレスポンシブダッシュボード

レスポンシブダッシュボードでは、1 つの画面に複数の Performance Analytics、レポート、およびその他ウィジェットを表示できます。ダッシュボードを使用して、複数のユーザーと共有できるデータを用いてストーリーを作成できます。

開始

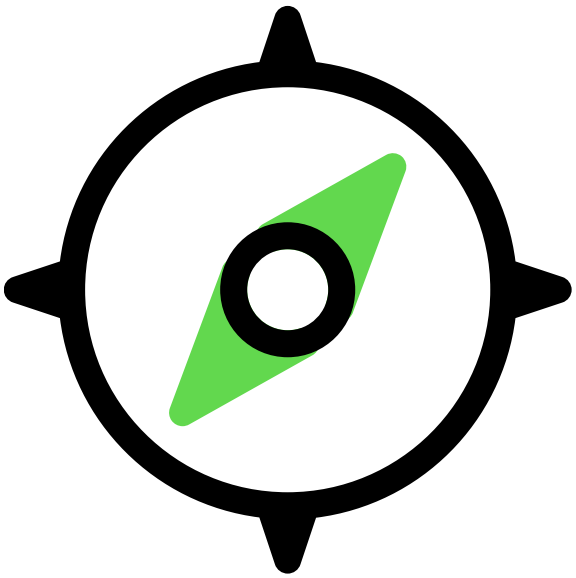
注: コア UIダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

コア UI ダッシュボード機能はメンテナンスモードであり、拡張も変更も行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

自動翻訳

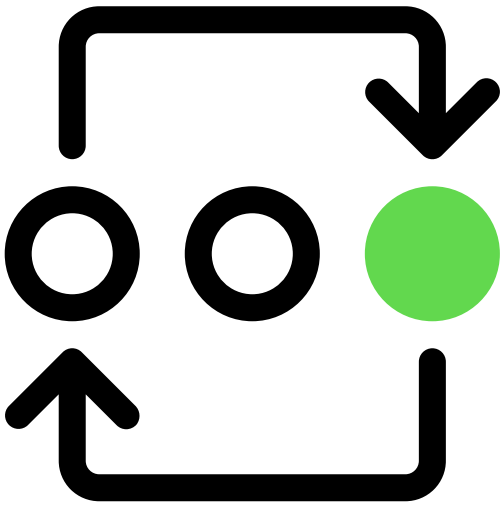
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



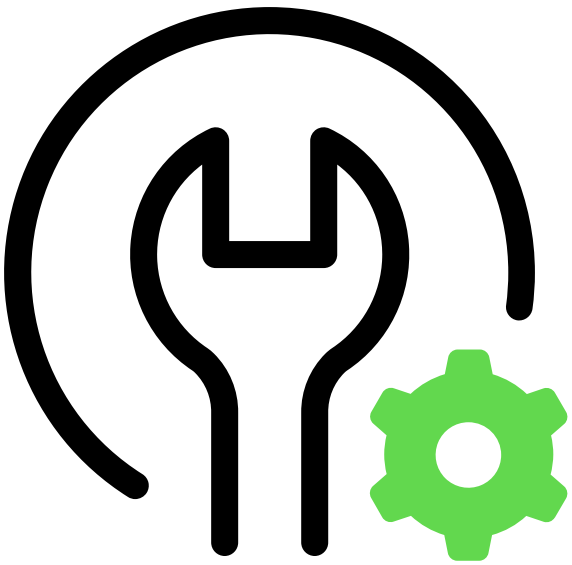
ServiceNow レスポンシブダッシュボードを使用すると、レポートやその他のデータの可視化、および組織全体でユーザーが使用するためのフィルターを共有できます。

作成



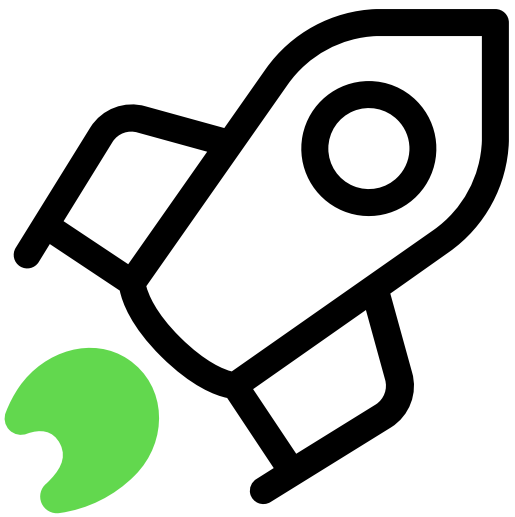
ダッシュボードを作成、編集、表示、および共有することで、データのストーリーを伝える方法を学びます。

管理



ダッシュボードのグループ化、更新セットを含むダッシュボードの移動、権限のトラブルシューティングを行う方法などについて説明します。

移行



ダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブダッシュボードの詳細

サンプルワークフローを使用したダッシュボードの詳細と、ダッシュボードがさまざまなユーザーにもたらすメリットについて説明します。

ダッシュボードの概要

コア UI レスポンシブ ダッシュボード では、レポート、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターウィジェット、インタラクティブフィルター、およびインスタンス上のデータストーリーのその他の コア UI コンポーネントを表示します。

コア UIレスポンシブダッシュボードの所有者には、これらのダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行するオプションがあります。詳細については、「所有しているダッシュボードを移行する」を参照してください。

重要: レスポンシブダッシュボードでは、データの可視化などの プラットフォームアナリティクス コンポーネントを表示することはできません。詳細については、「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス」を参照してください。

レスポンシブのメリット ダッシュボード

利益	機能	ユーザー
ダッシュボードのリストを表示し、ダッシュボードを選択して、関連データのコンテキストでインスタンスに関する最新情報を表示します。	レスポンシブダッシュボードを見つける	ダッシュボードの操作に特定の権限は必要ありません。ダッシュボードの概要とダッシュボードピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。
共有可能な現在のインスタンスデータでストーリーを伝えるダッシュボードを作成します。	レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成	
ユーザーアクセスの削除、コピー、編集など、ダッシュボードを管理します。	レスポンシブ ダッシュボードの管理	ダッシュボードの権限をコピー、削除、または管理するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。
ダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。	レスポンシブ ダッシュボードの共有	ダッシュボードを共有するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。

ダッシュボードを作成および使用する

さまざまなタイプのダッシュボードとその使用方法について説明します。

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 インラインエディターの一般的なダッシュボードタスク」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードを使用して、レポートやその他のデータの可視化、フィルター、およびその他のコンテンツを組織全体のユーザーと共有します。詳細については、「レポート」、「インタラクティブフィルター」、および「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

ダッシュボードの概要

レスポンシブダッシュボードを作成するには、「レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、レポート、タブなどのダッシュボードのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 ダッシュボード プラットフォームアナリティクス 編集」を参照してください。

コア UIレスポンシブダッシュボードの所有者には、これらのダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行するオプションがあります。詳細については、「所有しているダッシュボードを移行する」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスが有効になっている場合、ダッシュボードピッカーにはコア UI ダッシュボードとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの両方が表示されます。

必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

注: レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

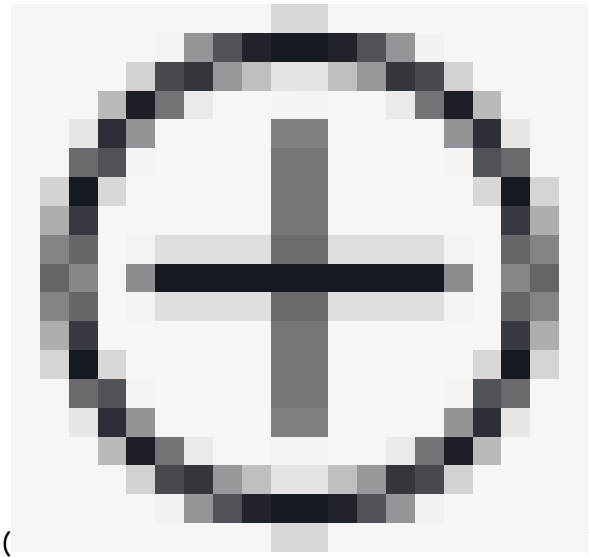
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

アクション	ステップ
ウィジェットの追加	**a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** リストから、追加するウィジェットのタイプ (パフォーマンスアナリティクス、レポート、コンテンツブロックなど) を選択します。 **c.** ウィジェットを選択します。ウィジェットのプレビューが表示されます。 **d.** [追加] をクリックします。ウィジェットは、ダッシュボードの上部に表示されます。 **e.** ウィジェットをドラッグして移動するか、サイズを変更します。

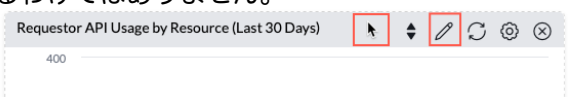
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	注: データ可視化タイトルは、ローカライズされた ServiceNow インスタンスでは自動的に翻訳されません。
ダッシュボードからのウィジェットの削除	**a.** プラス記号  ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** ウィジェットの上部をポイントし、表示される [⊗) をクリックします。 注: 確認メッセージはありません。ウィジェットがダッシュボードに表示されなくなります。
ウィジェット レイアウトの構成	ウィジェットの外観とレイアウトを変更し、ウィジェットヘッダーを表示および非表示にするには、「 レスポンシブダッシュボードのレイアウトの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
ウィジェットの編集	**a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** ウィジェットのヘッダーをポイントし、鉛筆アイコン ( ) を選択します。このアイコンは、ロールがウィジェットのソースへのアクセス権を付与されている場合にのみ使用できます。ダッシュボードの編集権限は、必ずしもそのダッシュボードのウィジェットに対する編集権限を付与するわけではありません。  ウィジェットが作成されたツールで開きます。たとえば、レポートウィジェットを編集すると、ソースレポートがレポートデザイナーで開きます。
クイック レイアウトをダッシュボードに適用	構成アイコン ( ) をクリックして [構成] ペインを開き、ウィジェットをスナップさせるレイアウトをクリックします。必要に応じてレイアウトを変更します。
ダッシュボードにタブを追加	構成アイコン ( ) をクリックして [構成] ペインを開き、[タブの作成] をクリックします。ダッシュボードで作成されたパネルが、ダッシュボードの最初のタブになります。タブのデフォルト名は、ダッシュボードの名前の後に「新しいタブ」と「新しいタブ 2」が続きます。デフォルト名を変更するには、この表のタブの名前を変更するを参照してください。 **注:** 既存のタブをダッシュボードにリンクすることはできません。
ダッシュボード タブの順序変更	**a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** ダッシュボード タブを選択して、目的の位置にドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	または、 **a.** コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。 **b.** [ダッシュボード タブ] 関連リストで、 [順番] 列に番号を入力して、タブ順序を指定します。タブは左から右に表示され、小さい番号から先に表示されます。
ダッシュボードタブの削除	タブをクリックしてアクティブにします。タブ名をポイントし、表示されるごみ箱アイコンをクリックします。 **注:** ダッシュボードタブは、表示されていたダッシュボードに表示されなくなります。ダッシュボードには、複数のダッシュボードに表示されるタブが含まれている場合があります。
タブ名の変更	**a.** タブをクリックしてアクティブにします。 **b.** タブ名をポイントし、表示される鉛筆アイコンをクリックします。 **c.** 新しい名前を入力して Enter キーを押します。 **注:** 翻訳されたダッシュボードのタブの名前を変更すると、翻訳は新しい英語のタブ名に置き換えられます。新しい名前を翻訳するには、以下を実行します。 **a.** 移動先 ユーザーメニュー > 設定. **b.** [表示] タブで、ターゲット言語を選択します。 **c.** 翻訳されたダッシュボードで、タブの名前を新しい名前の翻訳に変更します。
レポート ウィジェットのデータのフィルタリングの有効化	インタラクティブフィルターを使用すると、ダッシュボード上にあるすべてのレポートウィジェットに対して、そのフィルターに従ってデータをフィルタリングできます。 **a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** リストから、 [インタラクティブ フィルター] を選択します。 **c.** 追加するフィルターに移動します。 **d.** [追加] をクリックします。 詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
インタラクティブ フィルターに従うようにレポート ウィジェットを構成	**a.** レポート ウィジェットをポイントし、ギア アイコン ( ) をクリックします。 **b.** [ウィジェットを編集] ウィンドウで、[インタラクティブ フィルターに従う] チェック ボックスをオンにします。 **c.** インタラクティブ フィルターに従っているレポートにフィルター アイコン ( ) を表示するには、 [フィルターに従う場合に表示] チェック ボックスをオンにします。 注: パフォーマンス分析ウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従えません。
パフォーマンス分析ウィジェットのデータのフィルタリングの有効化	**a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** ユーザーがダッシュボード上のすべてのパフォーマンス分析ウィジェットのデータをフィルタリングできるように、ダッシュボードにブレークダウンを追加します。pa_admin または pa_power ユーザーロールを持つユーザーのみがブレークダウンを処理できます。 「ダッシュボードにブレークダウンソースを追加する」を参照してください。
ウィジェットの説明の表示	ウィジェットをポイントし、疑問符 ( ) をクリックします。ウィジェットに説明がない場合、疑問符アイコンは表示されません。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブダッシュボードのレイアウトの構成

ウィジェットの外観を変更できます。ウィジェットのレイアウトを変更する。ウィジェットのタイトル、ヘッダー、背景の色を変更します。ウィジェットヘッダーを表示または非表示にします。

始める前に

必要なロール:ユーザー。 dashboard_admin、自分が所有するダッシュボードまたは編集権限が付与されているダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

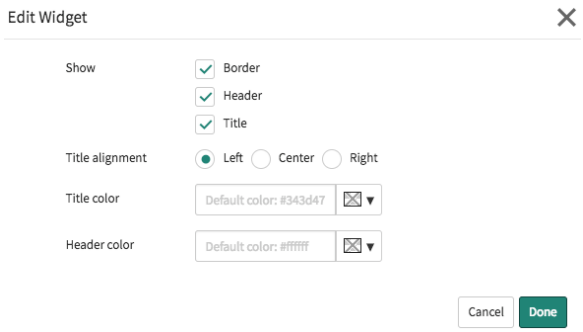
注: レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクション	ステップ
ウィジェットの境界線、ヘッダー、およびタイトルの表示または非表示	**a.** ウィジェットをポイントし、歯車アイコン (⚙) をクリックします。 **b.** [ウィジェットを編集] ウィンドウで、境界線、ヘッダー、およびタイトルを表示または非表示にするように、ボックスをオンまたはオフにします。 ℹ 注: ヘッダーを非表示にする場合は、ウィジェットの上部にあるハンドルバーをポイントして、アイコンを表示します。 **c.** タイトルの位置を調整するには、[左]、[中心]、または [右] を選択します。  ウィジェットヘッダーを非表示にすると、ウィジェットにインタラクティブフィルターを適用したことを示すアイコンを含むヘッダーアイコンは表示されません。 ダッシュボード内からウィジェットのタイトルを変更することはできません。タイトルは、ウィジェットの基になっている可視化から取得されます。可視化自体を編集してタイトルを変更します。
ウィジェットのタイトル色とヘッダー色の変更	**a.** ウィジェットをポイントし、歯車アイコン (⚙) をクリックします。 **b.** [ウィジェットの編集] ウィンドウで、[タイトルの色] または [ヘッダーの色] のカラーピッカーアイコン (▾) をクリックします。 **c.** カラー ピッカーで、スライダーを使用して色相を選択し、色を選択します。また、[タイトル色] または [ヘッダーの色] フィールドに色の 16 進コードを入力することもできます。16 進コードを削除すると、デフォルトのタイトル色またはヘッダー色に戻ります。 ℹ 注: 濃いヘッダー色を選択すると、ヘッダーのアイコンが白色に変わります。薄いヘッダー色を選択すると、ヘッダーのアイコンが黒色に変わります。
ウィジェットのレイアウトのサイズ変更または変更	ウィジェットをドラッグして移動し、サイズを変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	○ ウィジェットを大きくするには、ウィジェットヘッダーをポイントしてから、サイズ変更アイコン ( ) をクリックします。 ○ ウィジェットを縮小するには、ウィジェットのヘッダーをポイントし、Shift を押しながらサイズ変更アイコンをクリックします。
ダッシュボードの背景色の適用	**a.** 構成アイコン ( ) をクリックして [構成] ペインを開きます。 **b.** ダッシュボード背景のカラーピッカーアイコン ( ) をクリックし、使用する色を選択します。スライダーを使用して色相を選択し、色をクリックして選択します。また、[ダッシュボードの背景] フィールドに色の 16 進コードを入力することもできます。16 進コードを削除すると、デフォルトの背景色に戻ります。 **注:** 背景色がダッシュボード上のすべてのタブに適用されます。
クイック レイアウトをダッシュボードに適用	**a.** 構成アイコン ( ) をクリックして [構成] ペインを開きます。 **b.** ウィジェットをスナップさせるレイアウトをクリックします。必要に応じて、ウィジェットのレイアウトをサイズ変更または変更します。
ダッシュボードからのウィジェットの削除	**a.** プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。 **b.** ウィジェットの上部をポイントし、表示される [X] アイコン ( ) をクリックします。 **注:** 確認メッセージはありません。ウィジェットがダッシュボードに表示されなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: コンテンツブロックを追加して、ダッシュボードのコンテンツを分割したり、他のコンテンツを提供したりします。
[ウィジェットを追加] リストから [コンテンツブロック] を選択します。静的コンテンツブロックの詳細については、「 静的 HTML ブロックの構成 」を参照してください。

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードを使用すると、クラシック環境でレポートなどのウィジェットや パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化を共有できます。使いやすいドラッグアンドドロップキャンバスを使用して、コンテンツを作成、編集、整理し、それを同僚と共有できます。

ダッシュボードを使用すると、次のことが可能です。

- パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化やその他のウィジェットを、ダッシュボードから直接作成および編集できます。
- [ウィジェットを追加] ペインを使用して、ウィジェットをすばやく見つけてプレビューし、それをダッシュボードに追加できます。
- 統合された [共有] ペインから、ダッシュボードを他のユーザーと簡単に共有できます。
- ウィジェットを事前定義されたレイアウトにスナップし、必要に応じてレイアウトを調整します。
- 頻繁に使用する情報に簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをホームとして設定できます。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページからダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 3 分間のビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1107466335?h=9947e73bf0&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

利点

- 構成可能なウィジェットのロードにより、パフォーマンスを最適化できます。 構成可能なウィジェットをロードすることの利点についての詳細は、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
- [ロールに制限] フィールドを使用して、 ダッシュボードへのアクセスに必要なロールを指定します。指定されたロールのいずれかを持つユーザーは、ダッシュボードの 共有 パネルへのアクセス権が付与されている場合、ダッシュボードにアクセスできます。
- レスポンシブダッシュボードは、他のツールでは提供できない情報を提供します。

制限事項

ServiceNow ダッシュボードはモバイル画面サイズに合わせて最適化されていないため、モバイルアプリではダッシュボードへのアクセス権が付与されません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用してダッシュボードにアクセスできます。レポートや パフォーマンスアナリティクス 可視化を表示するモバイルアプリを作成することはできますが、これらは完全なレスポンシブダッシュボードではありません。詳細については、「アナリティクス UI セクションの構成 」を参照してください。

関連トピック

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、データの可視化、および頻繁に使用するその他のコンテンツを追加できるダッシュボードを作成します。作成したダッシュボードは、他のユーザーと共有できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ダッシュボードを初めて使用する場合は、ServiceNow University Performance Analytics Essentials トレーニング の「ダッシュボード」セクションと「ウィジェット」セクションでこれらの機能の概要を説明しています。(登録・登録が必要です。

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 インラインエディターを使用したダッシュボードの作成」を参照してください。

コア UIレスポンシブダッシュボードの所有者には、これらのダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行するオプションがあります。詳細については、「所有しているダッシュボードを移行する」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスが有効になっている場合、ダッシュボードピッカーにはコア UI ダッシュボードとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの両方が表示されます。

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [**Create a dashboard**] を選択します。
3. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ダッシュボードに名前を付けます。
順序	ダッシュボードピッカーでのダッシュボードの表示順序を示す 順序 番号を入力します。番号が小さいダッシュボードが最初に表示されます。
アクティブ	このフィールドをクリアすると、ダッシュボードが非アクティブとしてマークされます。 非アクティブなダッシュボードは、[最近] タブ (最近アクセスした 9 つのダッシュボード) に表示される場合、またはユーザーがダッシュボードへの直接リンクを持っている場合にのみアクセスできます。 注: レスポンシブダッシュボードを有効にすると、アクティブおよび非アクティブな非レスポンシブダッシュボードの両方に関連付けられた権限がレスポンシブバージョンに引き継がれます。
所有者	ダッシュボード オーナー。管理者ロールを持つユーザーのみが、この値を変更できます。

4. オプション: [ロールに制限] 編集アイコン ( ) を選択して、ユーザーがこのダッシュボードにアクセスするために必要なロールを指定します。
詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
5. オプション: admin、pa_admin、および pa_power_user ロールを持つユーザーは、次の追加フィールドを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループ	虫眼鏡アイコンをクリックして、ダッシュボードを グループに追加します。グループによって、ダッシュボード ピッカー リスト内のダッシュボードを整理します。グループ化されたダッシュボードがリストの上部に表示されます。グループ化されていないダッシュボードは、[その他] のリストに表示されます。
ブレークダウンソース	[ブレークダウン ソース] 関連リストで、1 つ以上のブレークダウン ソースを選択します。ブレークダウンを使用すると、ユーザーはダッシュボードでパフォーマンスアナリティクス データをフィルタリングできます。[ブレークダウンソース] 関連リストは、ダッシュボードを作成した後、ダッシュボードフォームで使用できます。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。
公開者として機能	ダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを、ダッシュボード上のレポートのインタラクティブフィルターとして機能するように構成することができます。ダッシュボードは、ブレークダウンダッシュボードとして構成する必要があります。 このブレークダウンソースを機能させるインタラクティブフィルターを選択します。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
ダッシュボードはコンテンツなしで作成されます。最初のコンテンツを追加するには、ウィジェットタイプとウィジェットを選択して [追加] をクリックします。

次のタスク
新しいダッシュボードにコンテンツを追加します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。

関連トピック
- インジケーターブレークダウン
- ダッシュボードへのブレークダウンの追加
- ダッシュボードをグループに整理する

ダッシュボードが空の問題を解決

ダッシュボードに空のページと空のダッシュボードセレクターが表示される場合、ダッシュボード名に特殊文字が含まれることがあります。

始める前に
この問題は、ダッシュボード名にタブ文字や改行文字、または文字や数字ではない ASCII 文字が含まれている場合に発生します。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. pa_dashboards_list.do に移動します。
2. 問題ダッシュボードのタイトルフィールドを編集して、特殊文字を削除します。

結果
ダッシュボードページには、予想されるコンテンツと入力されたダッシュボードセレクターが表示されます。

ダッシュボードの概要

ダッシュボードの概要では、自分がアクセスできるダッシュボード、単一のグループに関連付けられたダッシュボード、またはすべてのダッシュボードのリストから選択できます。カードをクリックすると、ダッシュボードが開きます。

[ダッシュボードの概要] の概要

ダッシュボードの概要の使用の詳細については、この短いビデオをご覧ください。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.

ダッシュボードの概要では、次のいずれかのカテゴリのダッシュボードを表示できます。デフォルトでは、[ダッシュボードの概要] にアクセスすると [最近] カテゴリが選択されます。

- [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
- [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

注: 選択するカテゴリによって、[グループ] リストと [ダッシュボードピッカー] 検索ボックスから選択したときに表示されるダッシュボードグループと個々のダッシュボードが制限されます。選択したグループに共有されているダッシュボードがない場合、概要は次のように示します 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスが有効になっている場合、ダッシュボードピッカーにはコア UI ダッシュボードとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの両方が表示されます。

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

1. ダッシュボードグループ - 注文

   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

2. ダッシュボードグループ - 名前
3. ダッシュボード - 注文

   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

4. ダッシュボード - 名前

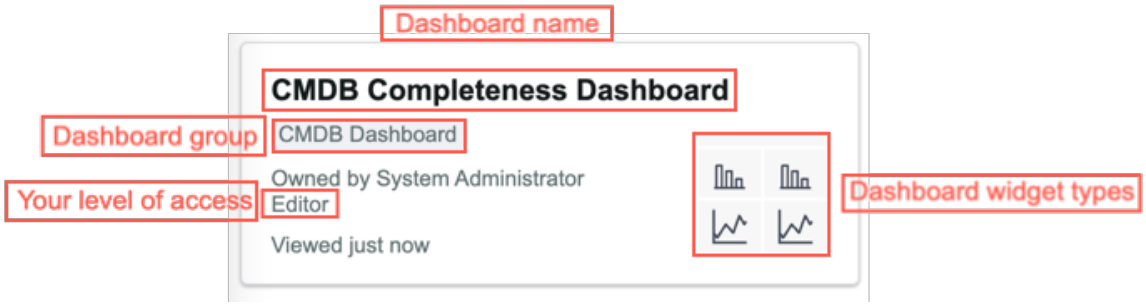
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの概要タイル

概要のタイルには、ダッシュボードのウィジェットのサムネイル、ダッシュボードグループ、アクセスレベル、ダッシュボード名、およびダッシュボードの所有者が表示されます。ダッシュボードのアクセスレベルには、オーナー、エディター、およびビューアがあります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

ダッシュボードの概要タイルの例

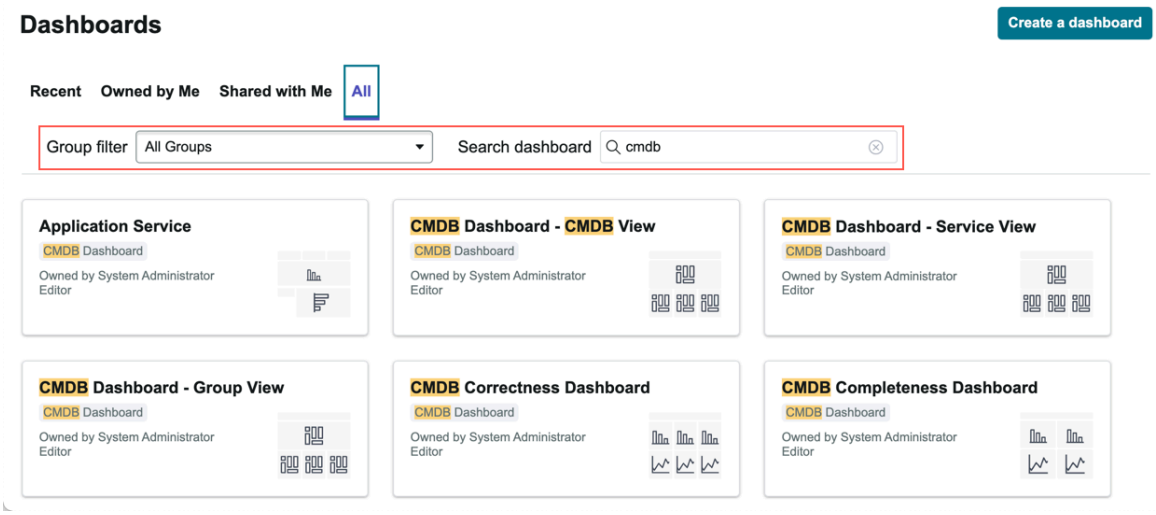


注: 何らかの理由でダッシュボードウィジェットを表示できない場合は、エラーに固有のメッセージが表示され、アドミニストレーターに連絡するように求められます。

ダッシュボードの概要グループリスト

[グループ] リストを使用して、1 つのグループ内のダッシュボードのみを表示します。グループが指定されていないダッシュボードは、 その他グループに分類されます。

ダッシュボードの概要グループの例



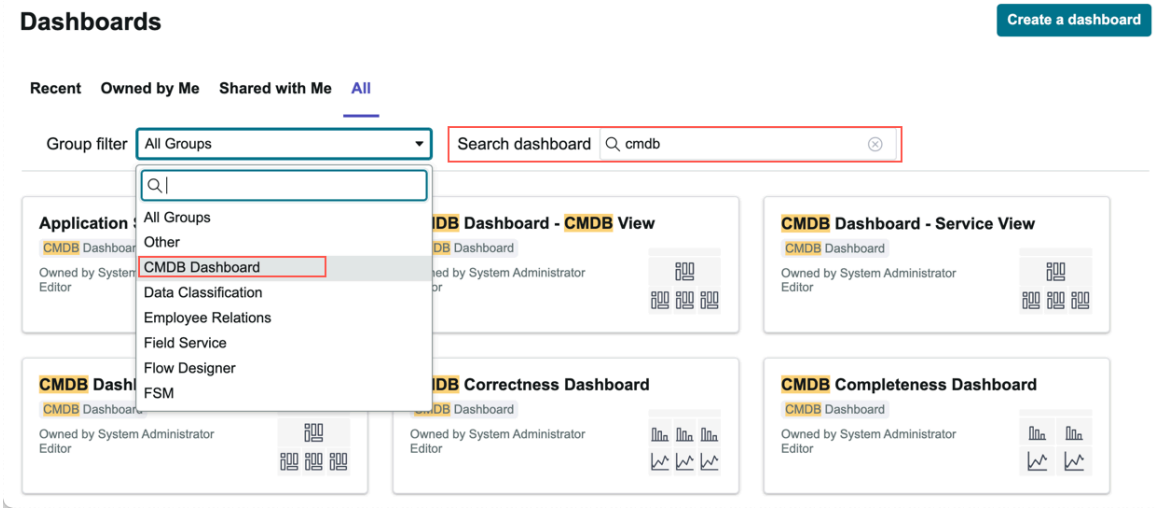
ダッシュボードの概要検索ボックス

検索ボックスを使用して、ダッシュボードを名前またはグループで検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの概要の検索例



[新規] をクリックして、レスポンシブダッシュボードを作成します。

関連トピック

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードを見つける

使用するダッシュボードを見つけるには、ダッシュボードカテゴリ、ダッシュボードグループ、およびダッシュボードリストを使用します。

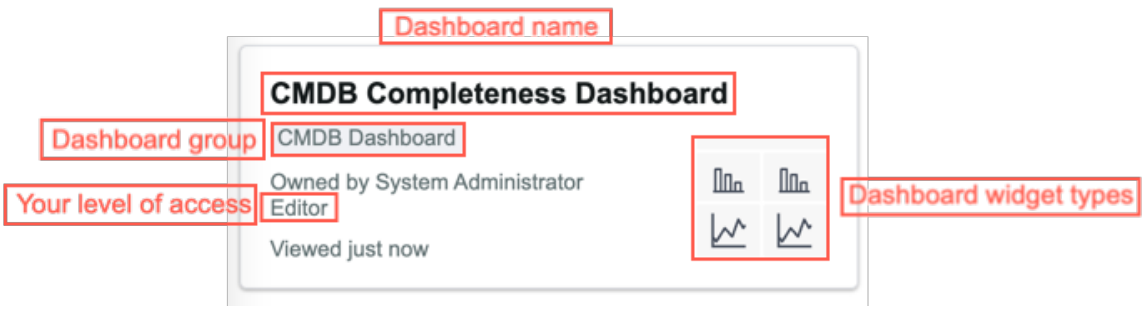
始める前に

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 ライブラリ内のダッシュボード」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードを表示するために必要な特定の権限はありません。ただし、ダッシュボードの概要とダッシュボードピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。ダッシュボードの権限の詳細については、「 レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決」を参照してください。

このタスクについて

[ダッシュボードの概要] の各タイルには、それが表すダッシュボードに関する情報 (ダッシュボード上のウィジェットのサムネイル、ダッシュボードグループ、ダッシュボードでのロール、ダッシュボードの名前、およびダッシュボードの所有者) が含まれています。作成者によってグループがアサインされていないダッシュボードには、 グループ「その他」がアサインされます。



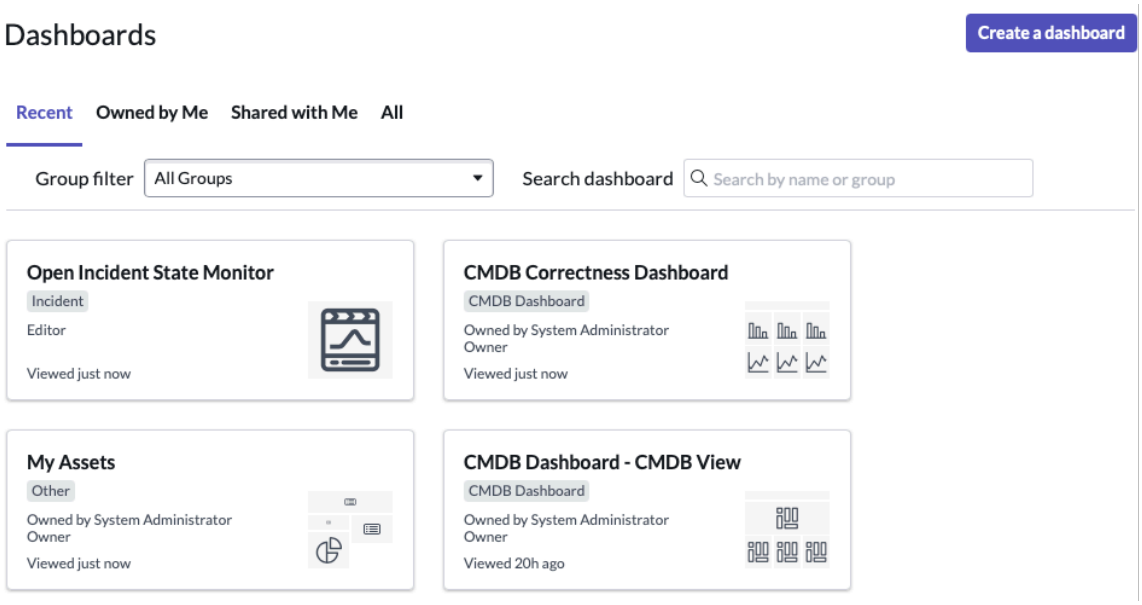
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード. [ダッシュボードの概要] には、最近アクセスしたダッシュボードを表すタイルが表示されます。

   プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスが有効になっている場合、ダッシュボードピッカーにはコア UI ダッシュボードとプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードの両方が表示されます。



2. カテゴリを選択:
   - [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
   - [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
   - [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
   - [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

   [最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

   a. ダッシュボードグループ - 注文

      ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

   b. ダッシュボードグループ - 名前

   c. ダッシュボード - 注文

      ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

   d. ダッシュボード - 名前

3. [グループ] リストからグループを選択して、ダッシュボードグループに表示されるタイルをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリとグループの組み合わせに一致するダッシュボードがない場合は、「 検索に一致するダッシュボードは共有されていません」などのメッセージが表示されます。

4. ダッシュボードをさらにフィルタリングするには、[ダッシュボードを検索] ボックスに文字列を入力します。
   - 完全一致を見つけるには、検索文字列を二重引用符で囲んでください。「オープンインシデント」を検索すると、「オープンインシデント」という名前のダッシュボードが返されますが、「オープンインシデント経過時間モニター」は返されません。
   - 二重引用符なしで検索文字列を入力すると、その文字列を含むすべての一致が返されます。オープンインシデントを検索すると、[オープンインシデント]、[オープンインシデントレポート]、および [オープンインシデント状況モニター] の各ダッシュボードが返されます。

   注: これらの検索文字列はどちらも、異なる順序でキーワードを返しません。たとえば、どちらもダッシュボード [今週オープンされたインシデント] を返しません。

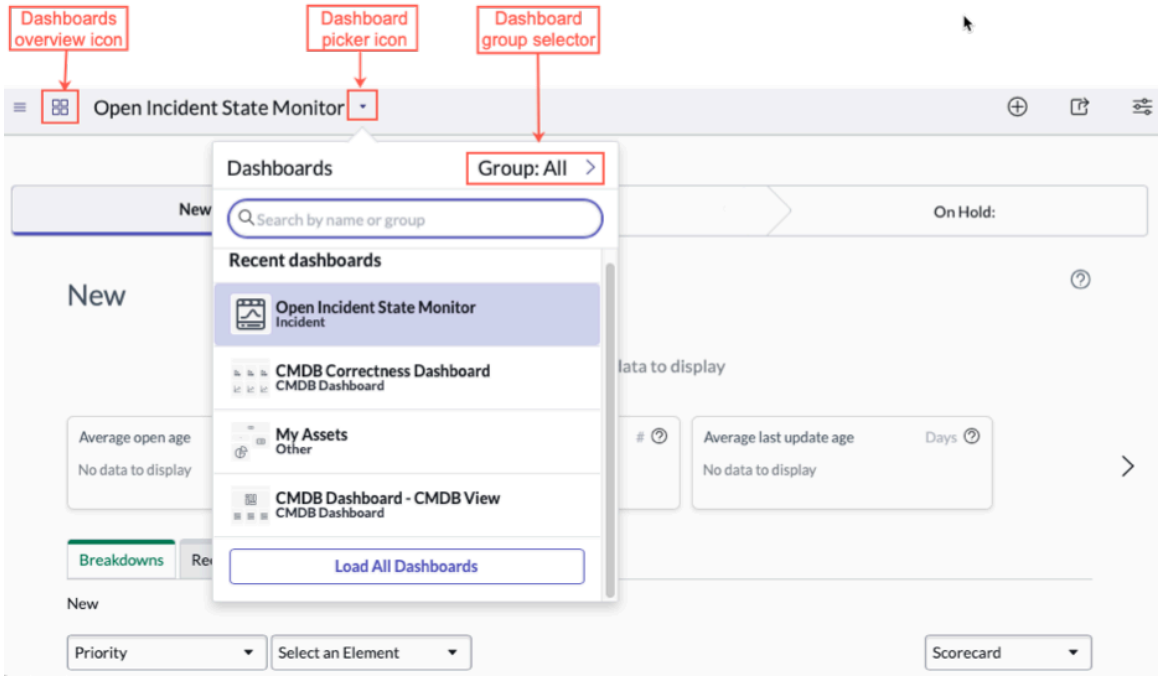
   検索結果は、カテゴリごとに 100 件に制限されています。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.cms.dashboards.sharing.search.maxRecords*を作成して設定します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

5. ダッシュボードタイルを選択して、そのダッシュボードを開きます。
6. 開いているダッシュボードで、[ダッシュボードの概要] アイコン ( ) を選択して、[ダッシュボードの概要] に戻ります。
7. 別のダッシュボードを検索するには、ダッシュボード名の横にある矢印をクリックしてダッシュボードピッカーを開きます。
   以下のことを行うことができます。
   - [名前またはグループで検索] ボックスに入力して、リストをフィルタリングします。
   - [グループフィルター] を選択して、特定のダッシュボードグループでリストをフィルタリングします。

     グループフィルターには、インスタンス内のすべてのダッシュボードグループが表示されます。選択したグループのダッシュボードを表示する権限がない場合は、次のメッセージが表示されます。 検索に一致するダッシュボードは共有されていません
   - 開く権限を持つすべてのダッシュボードを、最近表示したものから順にスクロールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. ダッシュボードの名前を選択して、現在のダッシュボードを新しいダッシュボードに置き換えます。

レスポンシブ ダッシュボードの共有

他のユーザーとダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。

始める前に

必要なロール：

- 所有しているダッシュボードを他のグループやユーザーと共有できます。
- admin、dashboard_admin、pa_admin、または pa_power_user ロールを持つユーザーのみが、共有 パネルにロールを表示できます。
- pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるダッシュボードを共有できます。
- admin ロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードを共有できます。

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードを共有する」を参照してください。

スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールは、スコープ対象のアプリケーション内で作成されたダッシュボードに適用されます。スコープ対象アプリ内のダッシュボードにpa_dashboard ACL を適用するには、「 スコープ対象のアプリケーションで pa_dashboardレコードを有効にする」を参照してください。

ダッシュボード上のレポートやその他のデータ可視化は report_view ACL の対象であり、ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに表示されるとは限りません。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

アドミニストレーターは、レスポンシブダッシュボードの共有方法に影響を与える 2 つのプロパティを設定できます。

glide.cms.share_dashboards.role

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このシステムプロパティで、アドミンは自分のダッシュボードを共有できるロールのコンマ区切りリストを指定できます。

> **注:** このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search

このシステムプロパティで、アドミンは、ユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するように指定できます。これらのロールのいずれかを持つユーザーのみが、[共有] パネル内でロールを見ることができます：アドミン、dashboard_admin、pa_admin、および pa_power_user

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

このタスクについて

一般に、ダッシュボードを共有する場合、そのダッシュボードのウィジェットに権限を付与することはありません。ただし、ほとんどのパフォーマンスアナリティクスウィジェットは、セキュリティルールが追加されたダッシュボードからセキュリティルールを継承します。ダッシュボードを表示できる場合は、そのダッシュボード上のパフォーマンス分析ウィジェットを表示できます。

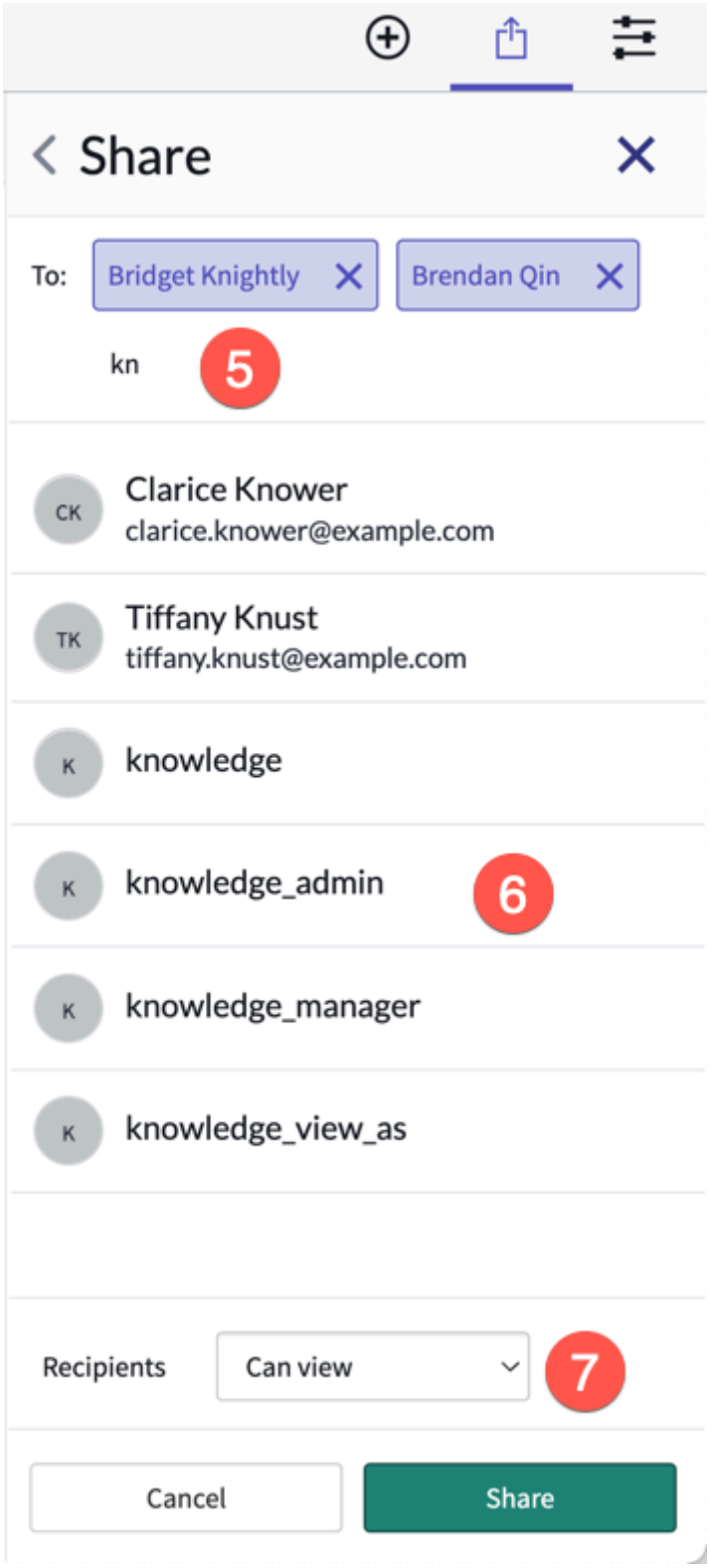
> **注:** パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。ダッシュボード権限は パフォーマンスアナリティクス リストウィジェット全体に適用されますが、ウィジェット内の個々のインジケーターはそれらのインジケーターの権限に従います。インジケーター権限の詳細については、「 インジケーターへのアクセスの制御」を参照してください。

ドメインセパレーションが有効になっていて、システムプロパティ *glide.security.admin.override.accessterm* が選択されていない場合、アドミニストレーターはダッシュボードと同じドメインにいなければなりません。詳しくは、 アクセスレベルでアドミン優先を評価する を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [ダッシュボードを検索] ボックスを使用して、共有するダッシュボードを見つけます。
3. [共有] アイコン ( ) を選択して [共有] パネルを開きます。
4. [グループとユーザーを追加 ( )] を選択します。 アドミン、pa_admin、dashboard_admin、または pa_power_user のロールを持つユーザーは、[共有] パネルのロールを見ることもできます。
5. [宛先] フィールドに、名前の入力を開始します。
6. 表示されたリストからユーザー、グループ、またはロールを選択します。
7. [受信者] リストから、[表示可能] または [編集可能] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールがダッシュボードに対して持つ権限を指定します。
   ダッシュボードを共有しているユーザーが [ダッシュボードの概要] に移動すると、ダッシュボード上のロールとしてビューアーまたはエディターのいずれかが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: 共有ダッシュボードを編集するには、ユーザーがダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。書き込みアクセス権 (編集可能) でダッシュボードを共有しても、状況は変わりません。[編集可能] オプションは、ダッシュボードがダッシュボードと同じドメイン内のユーザーと共有されている場合にのみ機能します。詳細については、「ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード」を参照してください。

8. オプション: [招待メールを送信] チェック ボックスをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール メッセージを送信しないように選択できます。たとえば、受信者がダッシュボードが共有されていることを受信者がすでに知っている場合などです。

注: インスタンス内からメールを送信するには、メールサーバーの設定が必要です。詳細については、「基本メールセットアップ」を参照してください。

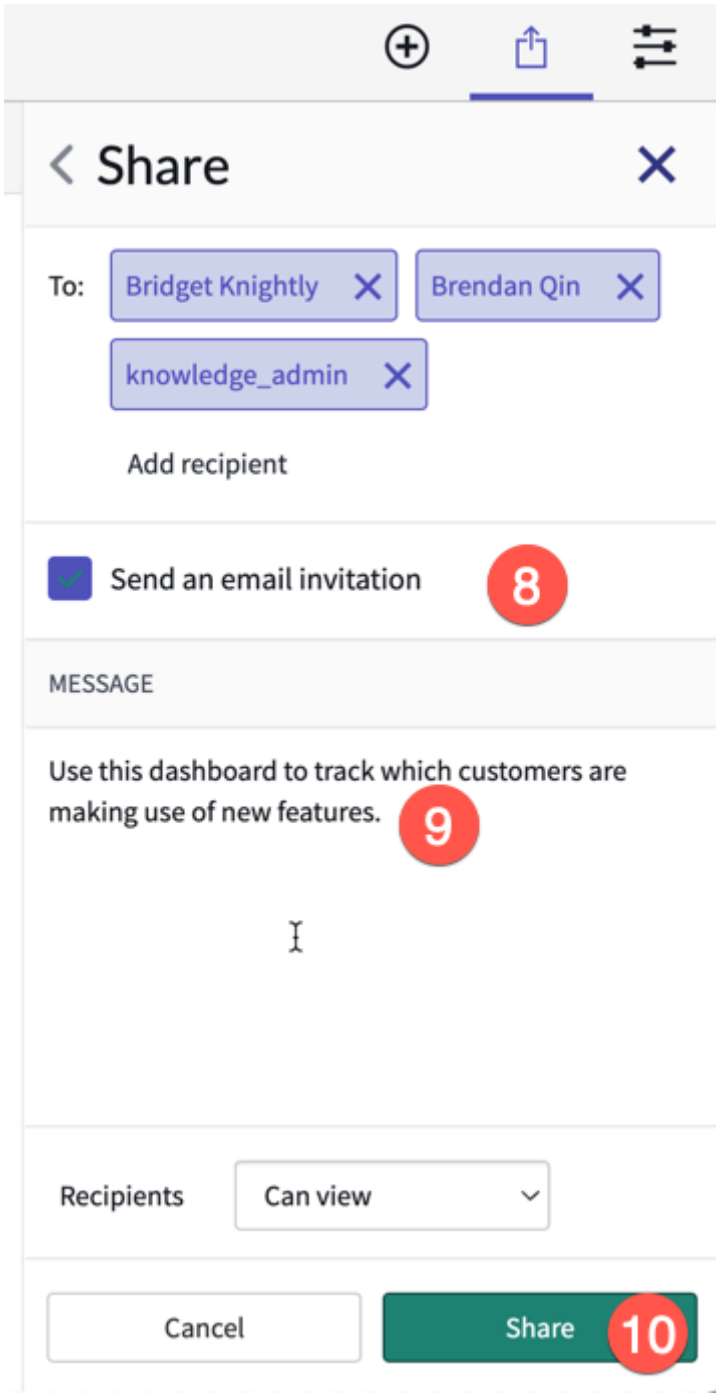
9. オプション: デフォルトのメール招待メッセージへの追加を記述します。
デフォルトのメール メッセージは、[The dashboard <Name of Dashboard> has been shared with you by <user role>.] (<ユーザー ロール> によって <ダッシュボード名> ダッシュボードが共有されています。) です。

(Optional) admin ロールを持つユーザーは、デフォルトのメール メッセージを編集できます。移動先 システム通知 > メール > 通知 をクリックし、ダッシュボード共有通知を開きます。詳細については、「メール通知を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [**Share**] を選択します。



結果
ダッシュボードが共有され、指定した場合は、招待されたユーザーに招待状が送信されます。

スコープ対象のアプリケーションで**pa_dashboard**レコードを有効にする

スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールが適用されます。スコープ対象アプリから [pa_dashboards] テーブルで定義された ACL をスコープで使用できるようにするには、[pa_dashboards] ACL を継承します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なスコープ:アプリケーションのスコープ。

手順

1. システムプロパティ *glide.security.scoped_administration.honor_global_acl* を [true] に設定します。
   多くの場合、このプロパティは既に true に設定されているため、追加の更新は必要ありません。
   詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。
2. ダッシュボードが作成されるスコープにスコープを切り替えます。
   ユーザーは、そのスコープのアプリケーションアドミニストレーターである必要があります。
3. sys_scoped_admin_acl_inheritance_list.do に移動します。
4. PA ダッシュボード [pa_dashboards] テーブルのレコードを作成し、[送信] を選択します。
5. 次の各テーブルのレコードを作成します。
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]
6. オプション: 複数のレポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルごとにレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - レポートユーザーおよびグループ [sys_report_users_groups]

レスポンシブ ダッシュボードの管理

ユーザーは、ロールに応じて、レスポンシブ ダッシュボードを削除または複製したり、ダッシュボードからユーザーを削除することができます。すべてのユーザーは、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

レスポンシブ ダッシュボードの削除

使用しなくなったダッシュボードを削除します。削除したダッシュボードは復元できません。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin、admin、またはダッシュボード オーナー。

ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。ユーザーがダッシュボードをブックマークしたり、お気に入りとしてマークしたりしている可能性があります。これらのユーザーが削除されたダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードを削除」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) をクリックし、[ダッシュボードを削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
ダッシュボードを削除すると、他のダッシュボードで使用されていないダッシュボードタブも削除されます。

ダッシュボードタブの削除

ダッシュボードのタブが役に立たなくなった場合、そのタブを削除できます。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin または admin ダッシュボードの所有者であるか、ダッシュボードの編集権限がある場合は、ダッシュボードタブを削除することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するタブを含むダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボード タブを削除するには、タブをポイントし、ごみ箱アイコンをクリックします。

結果
ダッシュボード タブを削除すると、タブはダッシュボードから削除されます。他のダッシュボードで使用されていなければ、そのタブは完全に削除されます。

レスポンシブダッシュボードのコピー

レスポンシブダッシュボードを複製すると、そのウィジェットレイアウトは保持されます。ただし、共有権限は保持されません。複製したダッシュボードに加えた変更は、元のダッシュボードには影響しません。

始める前に
注: このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードの複製」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードを共有できるすべてのユーザーがダッシュボードをコピーできます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) を選択し、[ダッシュボードの複製] を選択します。
   自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。コピーの名前は、[[元のダッシュボード名] のコピー] です。
4. オプション: ダッシュボードの名前を変更するには、コンテキストメニュー (≡) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択して、[名前] フィールドを編集します。

結果
自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。

次のタスク
ダッシュボードを変更し、他のユーザーと共有します。

レスポンシブダッシュボードの名前変更

ダッシュボードの名前を変更して、ダッシュボードにわかりやすい名前を付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、名前を変更するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [名前] フィールドに、ダッシュボードの新しい名前を入力します。
5. **[Update** (更新)] を選択します。

> 注: [オーナー] フィールドは必須です。このフィールドが空の場合は、このタスクを完了するためのダッシュボードの所有者の名前を入力します。

ダッシュボードからのユーザーの削除

特定のユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有したくない場合は、ダッシュボードへのアクセス権を削除できます。

始める前に
必要なロール：ダッシュボード オーナーは、自分が所有するダッシュボードからユーザーまたはグループを削除できます。

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。

pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。これらのダッシュボードには、ユーザーが所有するダッシュボードや、ユーザーが編集権限を付与されたダッシュボードが含まれます。

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

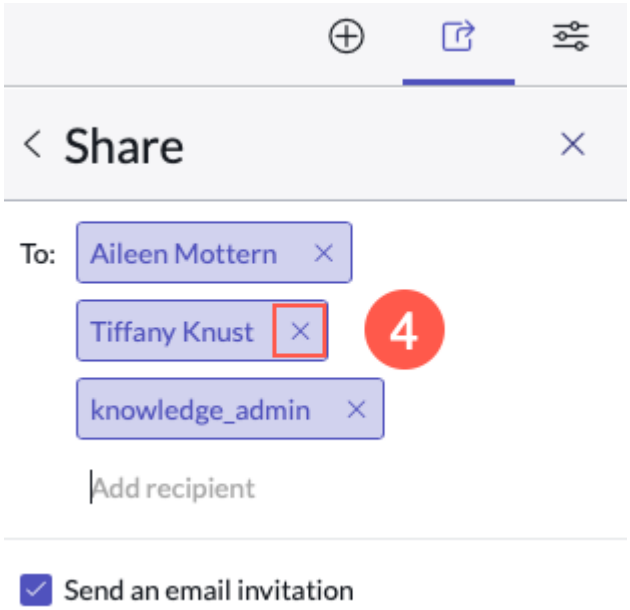
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 変更するダッシュボードを選択します。
3. 共有アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [共有] パネルで、削除するユーザー、グループ、またはロールの名前の横にある [X] を選択します。



結果
削除されたユーザーには、共有ダッシュボードを表示する権限がなくなります。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

レスポンシブ ダッシュボードをお気に入りとしてマークする

ナビゲーション ペインから簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

始める前に
ダッシュボードにアクセスできるユーザーはいずれも、ダッシュボードをお気に入りとして設定できます。

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボード ピッカーから、お気に入りとしてマークするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) を選択し、[お気に入りの作成] を選択します。

結果
お気に入りのダッシュボードは、アプリケーションナビゲーターのお気に入りタブに表示されます。

ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリング

一部のダッシュボードでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン要素を適用して、ダッシュボード全体をフィルタリングできます。たとえば、優先度の高い重要なアイテムのみを表示することも、特定のマネージャーの直属のチームのみを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウン要素でフィルタリングする パフォーマンスアナリティクス でダッシュボードが既に作成されている必要があります。このように構成されたダッシュボードは、 ブレークダウンダッシュボードと呼ばれます。

必要なロール：なし

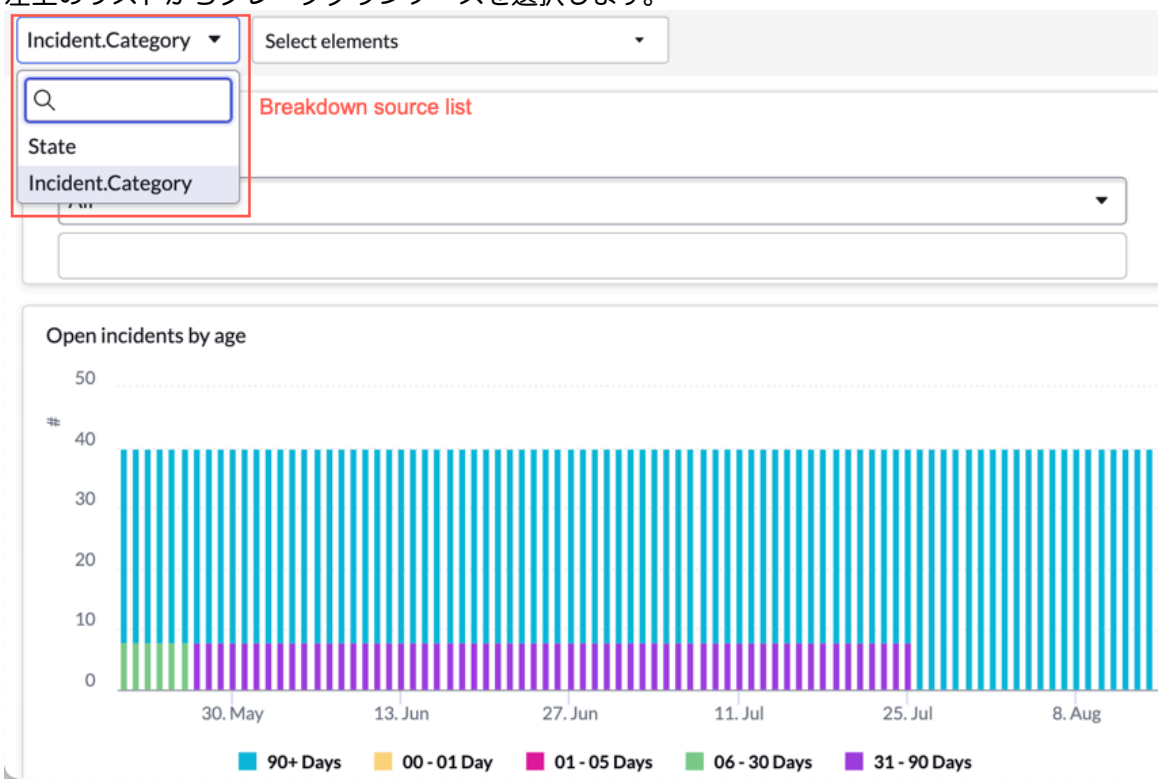
このタスクについて
優先度やカテゴリなどのブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングするには、ブレークダウンソースを選択してから、そのブレークダウンソース内の要素を選択します。レポートおよび適切に構成された パフォーマンスアナリティクス ウィジェットには、フィルターが適用されるとそれが反映されます。複数の要素を選択した場合、各パフォーマンスアナリティクスウィジェットの構成方法に応じて、それらの要素に関連付けられた値パフォーマンスアナリティクス集計または個別の要素として表示されます。ブレークダウンダッシュボードとそのウィジェットの構成の詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

パフォーマンス上の理由から、すべてのブレークダウン要素を選択するオプションはありません。

注: ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

手順

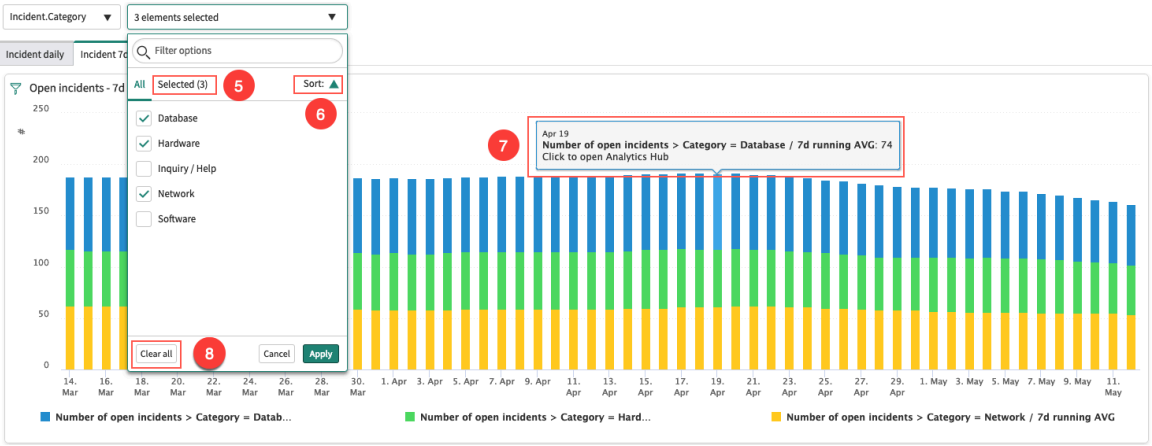
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ブレークダウン要素でフィルタリングするダッシュボードを選択します。
3. 左上のリストからブレークダウンソースを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [要素の選択] リストで、フィルターを適用する要素を選択し、[適用] をクリックしま



す。
フィルタリング可能なダッシュボードのウィジェットは、選択した要素でフィルタリングされます。フィルタリングされたウィジェットには、タイトルの横にフィルターアイコンが表示されますフィ 。

注: 要素のセキュリティ設定により、選択した 1 つ以上の要素が表示されない場合は、警告が表示されます。

5. 選択したブレークダウン要素のみを表示するには、[選択済み] をクリックします。
[すべて] をクリックすると、リスト内のすべてのブレークダウン要素が表示されます。

6. [ソート] をクリックすると、要素のリストがアルファベット順にソートされます。
三角形の方向は、a-zまたはz-aを示します。

7. データポイントを選択して、 アナリティクスハブ にインジケーター要素とブレークダウン要素を表示します。
アナリティクスハブ にアクセスするには、pa_viewer ロールが必要です。

アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。 ウィジェット内の複数の要素のアグリゲートビューと個別ビューの詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. [すべてクリア] を選択して選択した要素を削除し、すべての要素を含むブレークダウンウィジェットを表示します。

ダッシュボードでの複数要素の選択を無効にする

ダッシュボード所有者には、ブレークダウンダッシュボード全体で複数の要素の選択を無効にするオプションがあります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ブレークダウンダッシュボードで複数要素の選択を無効にすると、そのダッシュボードのユーザーは、ブレークダウンの 1 つの要素でのみダッシュボードのウィジェットをフィルタリングできます。

自動翻訳

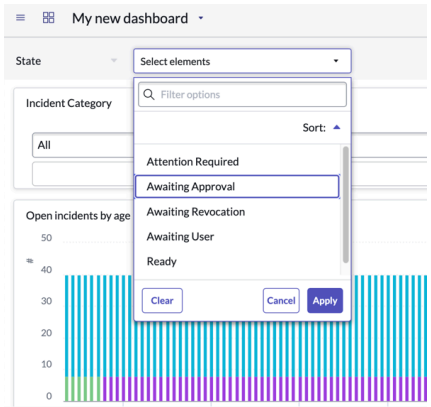
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

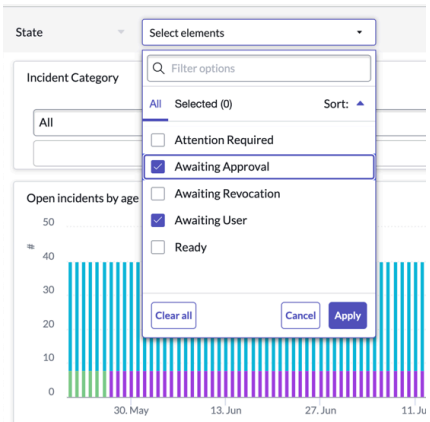
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 一度に 1 つのブレークダウン要素のみでフィルタリングするブレークダウンダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニューから、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [複数要素の選択を無効にする] を選択します。
   このオプションは、ダッシュボードの [ブレークダウンソース] 関連リストに少なくとも 1 つのブレークダウンソースがある場合に使用できます。
5. **[Update** (更新)] をクリックします。

結果
ダッシュボードをブレークダウン要素でフィルタリングする場合、選択できるブレークダウン要素は 1 つだけです。ダッシュボードのウィジェットは、選択した単一のブレークダウン要素に従います。要素を選択するか、選択した要素をクリアする場合は、[適用] をクリックしてこの選択を行う必要があります。

ブレークダウン要素のリスト:複数要素の選択が無効です



ブレークダウン要素のリスト:複数要素の選択が有効



レスポンシブ ダッシュボードを **PDF** にエクスポート

ダッシュボードを PDF としてエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できるようにします。

始める前に
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行される場合は、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート」を参照してください。

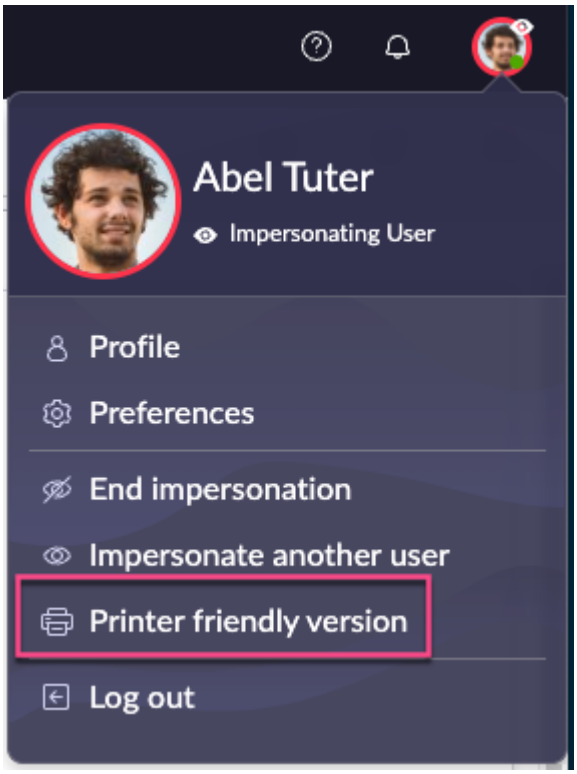
必要なロール:ダッシュボードを PDF にエクスポートするためにロールは必要ありませんが、アドミンが PDF エクスポート用にインスタンスを構成する必要があります。詳細については、「ダッシュボードの PDF エクスポートを有効にする」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードに適用されたインタラクティブ フィルターは、PDF にも適用されます。ただし、適用されたブレークダウンはエクスポートには含まれません。

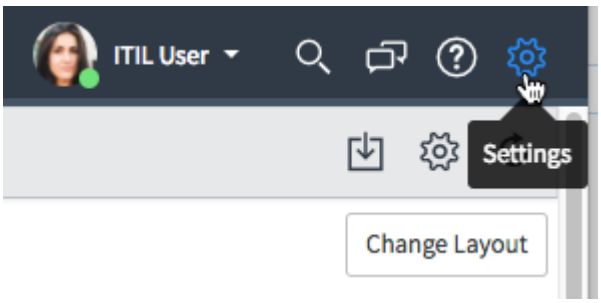
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: PDF をローカルで生成するには、インタラクティブフィルターを設定し、ユーザーアイコンをクリックして、[プリンター対応バージョン] を選択します。ダッシュボードが新しいウィンドウまたはタブで開きます。ブラウザーの印刷設定を使用して、ダッシュボードをエクスポートします。



ネクストエクスペリエンスを有効にしていない場合は、[設定] メニューから [プリンター対応バージョン] を選択します。



制限事項：

- PDF にエクスポートしたカスタム コンテンツは、予測どおりに生成されないことがあります。詳細については、「カスタム コンテンツの PDF エクスポートに関する制限事項」を参照してください。
- PDF にエクスポートされたダッシュボードには、ダッシュボードのレイアウトは含まれません。各ウィジェットは上下に重ねて表示され、全ページ幅を占めます。
- ウィジェットは、一定の高さにエクスポートされます。ワークベンチやリスト ウィジェットなどの大きなウィジェットは、切り捨てられます。
- カレンダーレポートの PDF へのエクスポートがサポートされていないため、ダッシュボードからエクスポートされたカレンダーレポートが切り捨てられることがあります。
- ダッシュボードに適用されたブレークダウンは、PDF には含まれません。
- ウィジェットは、ダッシュボードとは異なる順序で表示されることがあります。

自動翻訳

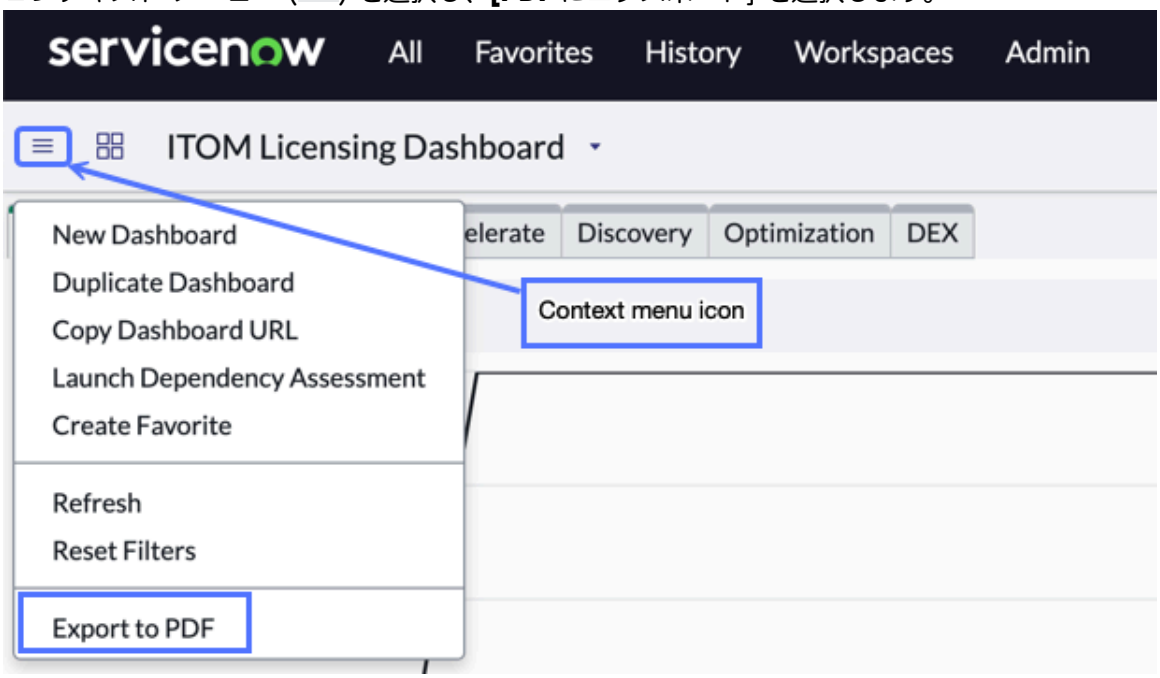
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットの凡例は表示されないことがあります。
- エクスポートには、レポートの可視化に関連付けられたデータテーブルは含まれません。個々のレポート (データテーブルを含む) を個別にエクスポートできます。スケジュール済みレポートにデータテーブルを含めるには、レポートデザイナーのレポートの [構成] タブで [データテーブルを表示する] にチェックを入れます。
- 単一スコア レポート ウィジェットのデルタ テキストの色設定は、保持されません。
- ウィジェットレベルで [日付範囲セレクターを表示] を選択すると、選択した期間が PDF に反映されません。
- レスポンシブダッシュボードをテンプレートとしてエクスポートすることはできません。

注: メールで送信される PDF は、すぐに生成されないことがあります。

手順

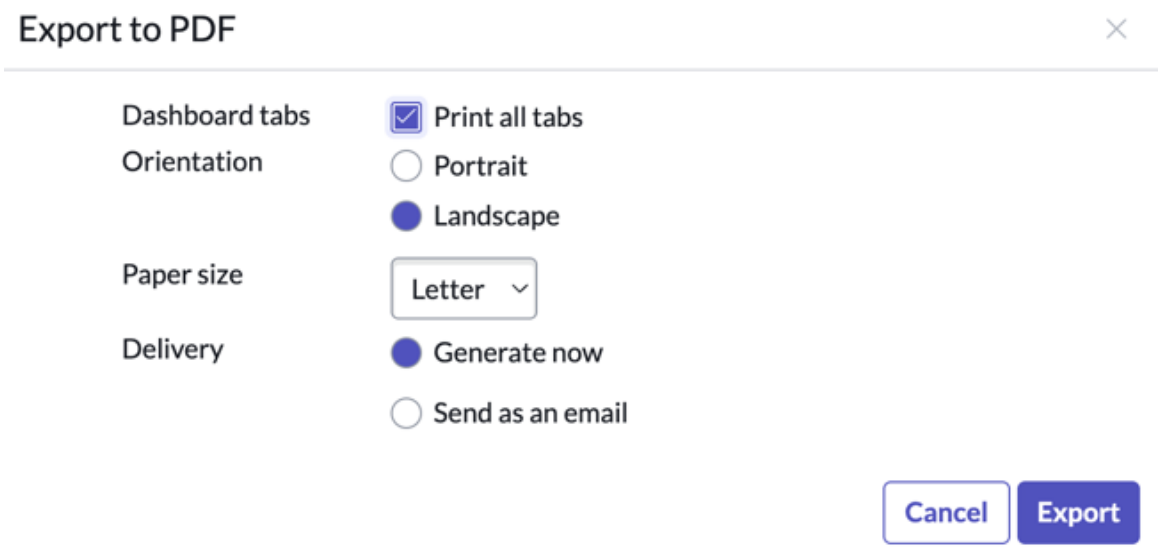
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 左上のダッシュボード ピッカーから、エクスポートするダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー (☰) を選択し、**[PDF** にエクスポート] を選択します。



4. 印刷と配送のオプションを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



5. [エクスポート] をクリックします。

結果
コンテンツは、印刷および配送のオプションに従って PDF にエクスポートされます。PDF が生成されない場合は、JavaScript エラーを特定して解決してください。

ブラウザの印刷機能を使用したダッシュボードのエクスポート

ブラウザの印刷機能を使用して、ダッシュボードやホームページを PDF にエクスポートできます。

始める前に
必要なロール:ブラウザーの印刷機能を使用してダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、ロールは必要ありません。

このタスクについて
ブラウザーの印刷機能を使用して、オンデマンドで PDF をエクスポートしたり、ブレークダウンが適用された PDF をエクスポートしたりできます。スケジュール設定済み PDF では、ブレークダウンはデータに適用されません。

手順

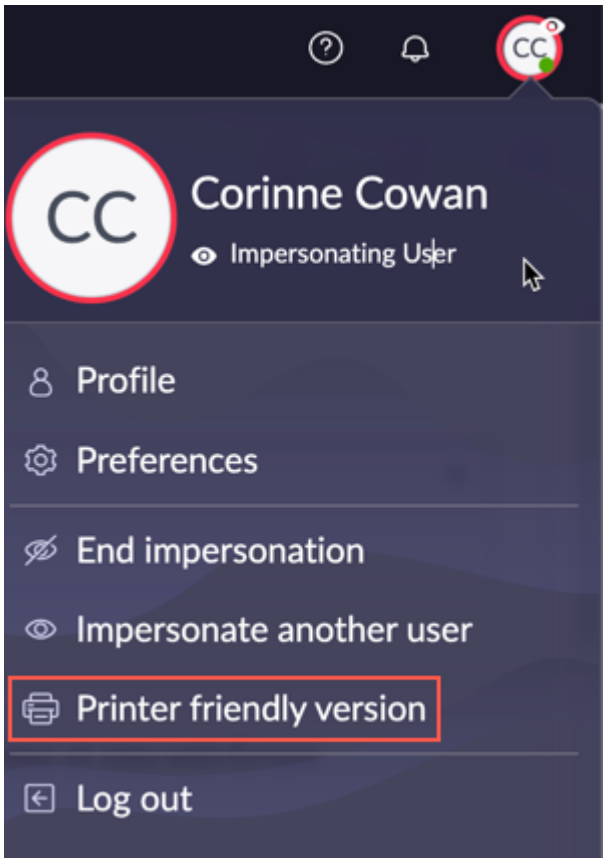
1. エクスポートするダッシュボードを開きます。

2. インタラクティブフィルターを設定します。

3. ユーザーアイコンを選択して、[設定] メニューを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブラウザータブが開き、ダッシュボードのウィジェットが重ねられます。

4. 新しいブラウザータブで、印刷するタブ、ページサイズ、およびページの向きを選択します。
5. [印刷] を選択します。
6. ブラウザーの [印刷] ダイアログで、印刷先または出力として [PDF] を選択します。

結果
ダッシュボードタブは、選択したページサイズと向きで PDF にエクスポートされます。

レスポンシブ ダッシュボード **URL** のコピー

ブラウザからダッシュボード URL をコピーすることはできません。ただし、タブや ブレークダウン要素を含むダッシュボードの現在のビューを開く URL を作成することはできます。リンクに続く場合、ServiceNow ダッシュボード周囲のプラットフォームフレームは含まれません。

始める前に
必要なロール:ダッシュボードにアクセスできる必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. コピーする URL を含むレスポンシブダッシュボードを選択します。
3. オプション: タブ、ブレークダウン、およびブレークダウン要素を選択します。
4. コンテキストメニュー (☰) を選択し、[ダッシュボード **URL** をコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
ダッシュボード URL がクリップボードにコピーされます。ブラウザによっては、URL をクリップボードにコピーするように求められます。

次のタスク
URL を他のユーザーと共有します。

ダッシュボードの URL 形式

インスタンスから パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードにリンクできます。いくつかの URL パラメーターを使用すると、リンクをクリックしたときのダッシュボードのアスペクトを指定できます。

すべてのダッシュボード URL は次の形式に従います。

```
https://<instance>.service-now.com/$dashboards.do?
```

.

注: ダッシュボードはパフォーマンスアナリティクスのユーザーに限定されないため、

```
$dashboards.do
```

置換

```
$pa_dashboard
```

、どちらの文字列もダッシュボード URL で機能します。

このベース URL の後に、いくつかのオプションの URL クエリパラメーターが続きます。

URL パラメーター

パラメーター	説明
sysparm_dashboard=<sys_id>	表示するダッシュボードの sys_id。
sysparm_tab=<sys_id>	表示するダッシュボード タブの sys_id。タブを指定しない場合、一番左のタブが表示されます。このパラメーターは、 *sysparm_dashboard* が存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_breakdown_source=<sys_id>	表示するダッシュボード ブレークダウンの sys_id。
sysparm_element=<値>	表示する ブレークダウン要素 のsys_idまたは値。このパラメーターは、 *sysparm_breakdown_source* も存在する場合にのみ適用されます。値の大文字と小文字は区別されます。
sysparm_element_value=<値>	選択された要素値。この値は、参照されるレコードの sys_id、または選択リストの選択肢のデータベース値です。データベース値の大文字と小文字は区別されます。このパラメーターは、 *sysparm_element* と *syspartm_breakdown_source* also が存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_header=<値>	ダッシュボード ヘッダーを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：完全なヘッダーが表示されます。 • 非表示：完全なヘッダーは非表示になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	• Embedded (埋め込み)：ヘッダーは表示されますが、[リフレッシュ]、[フィルターをリセット]、および **[PDF** にエクスポート] の各オプションのみが表示されます。
sysparm_breakdown=<値>	ダッシュボード ブレークダウンを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：ソースと要素の両方を含む完全なブレークダウンが表示されます。 • 非表示：完全なブレークダウンは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ブレークダウン要素のみが表示されます。 • Readonly (読み込み専用)：ブレークダウンは表示されますが、ユーザーはフィルターの構成方法を変更できません。

単一スコア レポート ウィジェットのリアルタイム更新の有効化

リアルタイム更新により、レスポンシブダッシュボードを表示しているユーザーには常に最新の情報が表示されます。

始める前に
必要なロール:ウィジェットが追加されたダッシュボードに対する編集権限が必要です。

単一スコア レポートでは、[カウント]、[平均]、[合計]、[個別のカウント] の 4 つのタイプの集計を使用できます。リアルタイム更新は、[カウント] 集計を使用する単一スコア ウィジェットでのみ使用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 次の状況では、レスポンシブダッシュボードの単一スコアレポートではリアルタイム更新が機能しません。

- レポートソースが データベースビューの場合、ユーザーはウィジェットの [ ] をクリックしてスコアを更新する必要があります。詳細については、「データベースビュー」を参照してください。
- ドメインの可視化は、リアルタイムレポートではサポートされていません。ユーザーのアサインされたドメインとそのドメイン階層、およびグローバルドメインのみがサポートされます。
- 可視化にドット連結条件がある場合、拡張テーブルに関連する変更があっても単一スコアレポートは更新されません。Record Watcher は、レポートのベーステーブルでのみ更新を送信します。詳細については、 KB 記事KB0868215 を参照してください。
- current.update() メソッドを使用するビジネスルールが挿入/更新時に実行されると、単一スコアレポートは 1 つではなく 2 つずつインクリメントします。詳細については、 KB 記事 KB0693812 を参照してください。
- クエリビジネスルールによって追加または変更された条件は、リアルタイムレポートでは考慮されません。

  クエリビジネスルールは特定のユーザーのクエリ条件を臨機応変に変更するため、リアルタイム更新に使用される Record Watcher フレームワークはクエリビジネスルールをトリガーしません。

- ウィジェットでフィルター [アサイン先グループ - 次の条件に一致 (動的) - 自分のグループの 1 つ] が使用されている場合、ウィジェットはリアルタイムで更新されません。
- 単一スコアレポートのリアルタイム更新は、ローテーションテーブルワークフローデータファブリックテーブル、およびリモートテーブルではサポートされていません。

このタスクについて
ダッシュボードの単一スコアウィジェットのリアルタイム更新を有効にすることができます。

手順
1. 単一スコア ウィジェットが追加されたダッシュボードに移動します。
2. [ウィジェットを追加] アイコン ([ ]) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
3. ウィジェットをポイントし、ギア アイコン ( ) をクリックします。
4. [リアルタイム更新を表示] を選択し、[完了] をクリックします。
5. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードの編集モードを終了します。
   リアルタイムアイコン ( ) がウィジェットに追加されます。このアイコンは、スコアが変更されていないときでも永続的に表示されます。

結果
単一スコアの可視化の値が変更されると、その変更がダッシュボードに反映されます。

レスポンシブ ダッシュボードのオーナーの変更

ダッシュボードのオーナーは、ダッシュボードを編集し、他のユーザーと共有できます。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードオーナーを変更できます。

自動翻訳

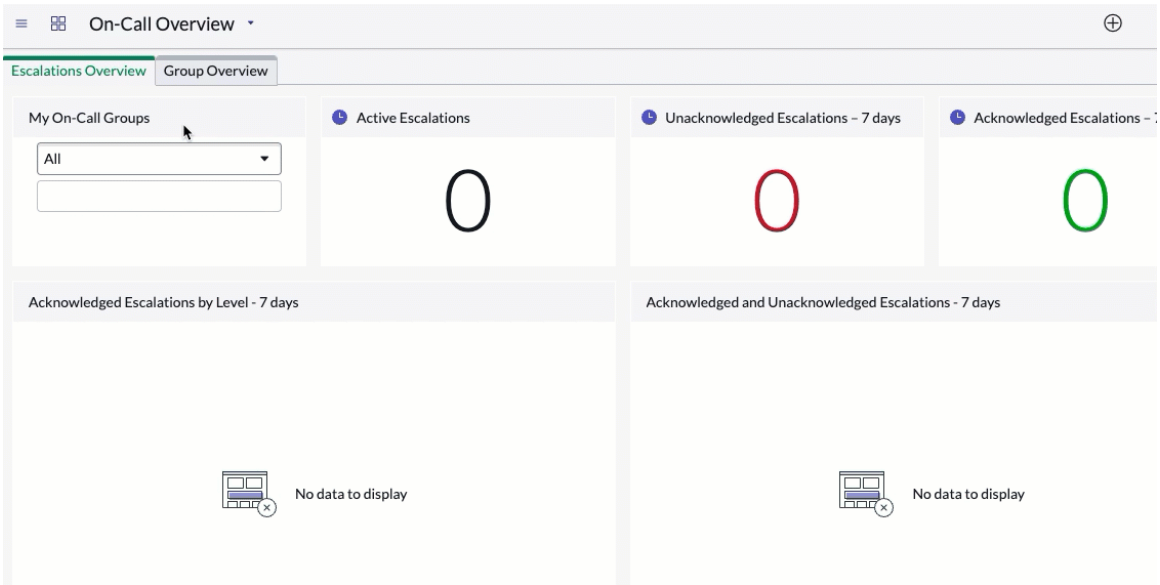
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ダッシュボードの所有者を確認するには、pa_dashboards_list.do に移動してダッシュボードを検索します。

このトピックでは、コア UI ダッシュボードの所有者について説明します。プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでダッシュボードの所有者を変更するには、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 所有者を変更するダッシュボードを開きます。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [オーナー] フィールドで、新しいオーナーを選択します。



5. **[Update** (更新)] をクリックします。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

ダッシュボードを ホームとして設定できます。この設定では、プラットフォームの左上隅にあるロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

始める前に

注: ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合、このページの手順は適用されません。ネクストエクスペリエンスランディングページの詳細については、次を参照してください。

- デフォルトのランディングページの探索
- ネクストエクスペリエンスのスタートページのオプションの構成
- ユーザーが選択したスタートページの構成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

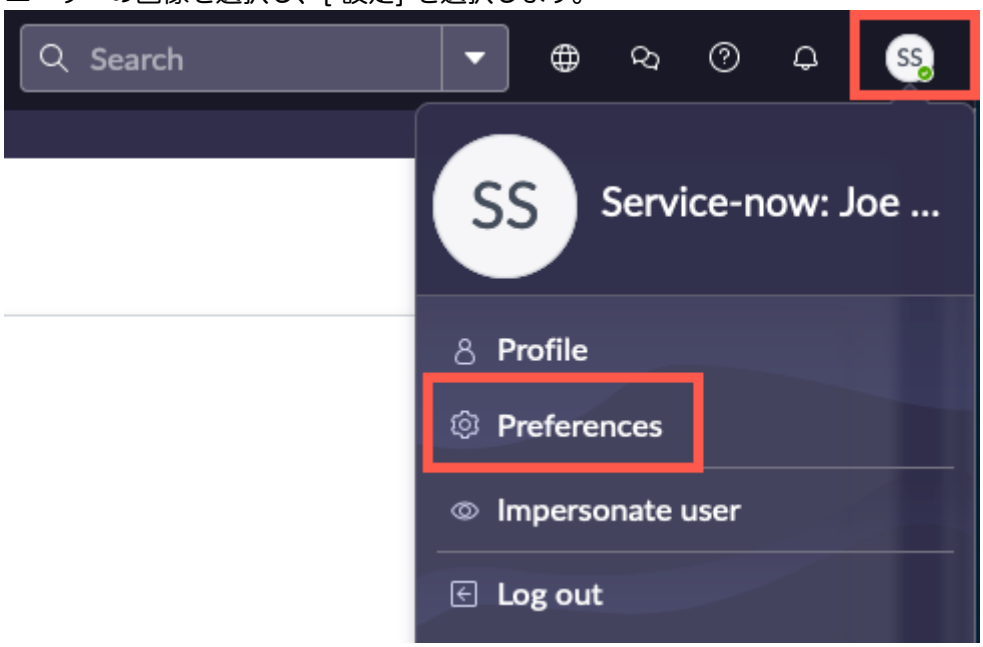
必要なロール:ユーザー

> **重要:**
>
> インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。
>
> ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。
>
> 詳細については、以下を参照してください。
>
> - アナリティクスセンターでのダッシュボード
> - レスポンシブダッシュボードの操作。

ダッシュボードが ホームとして設定されている場合、最後に選択したダッシュボードが常にロードされます。ダッシュボードを ホームとして指定することはできません。ダッシュボードに簡単に移動できるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークします。

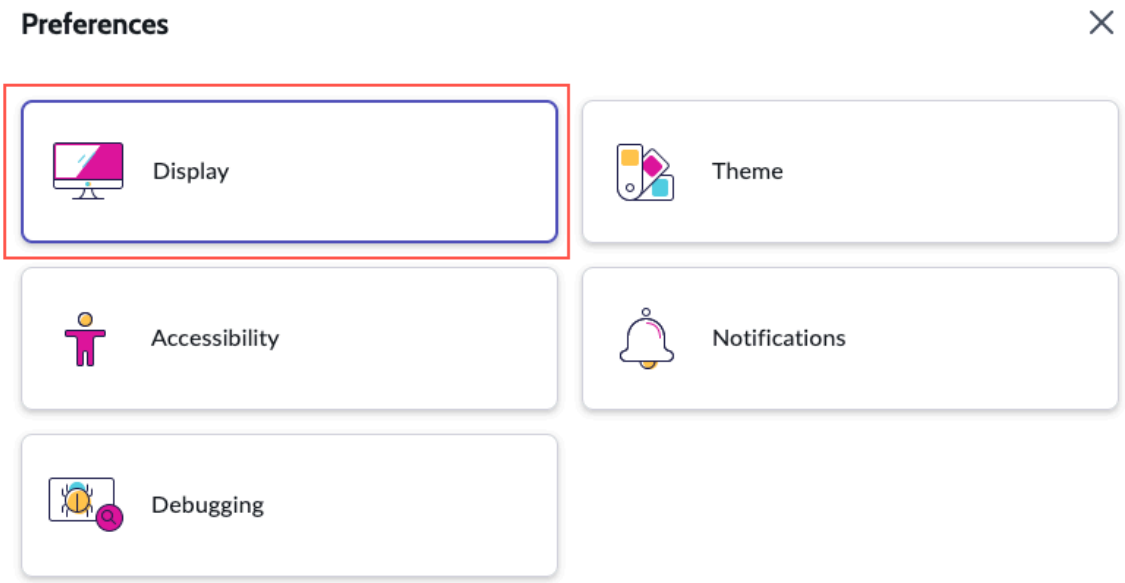
手順

1. ユーザーの画像を選択し、[設定] を選択します。

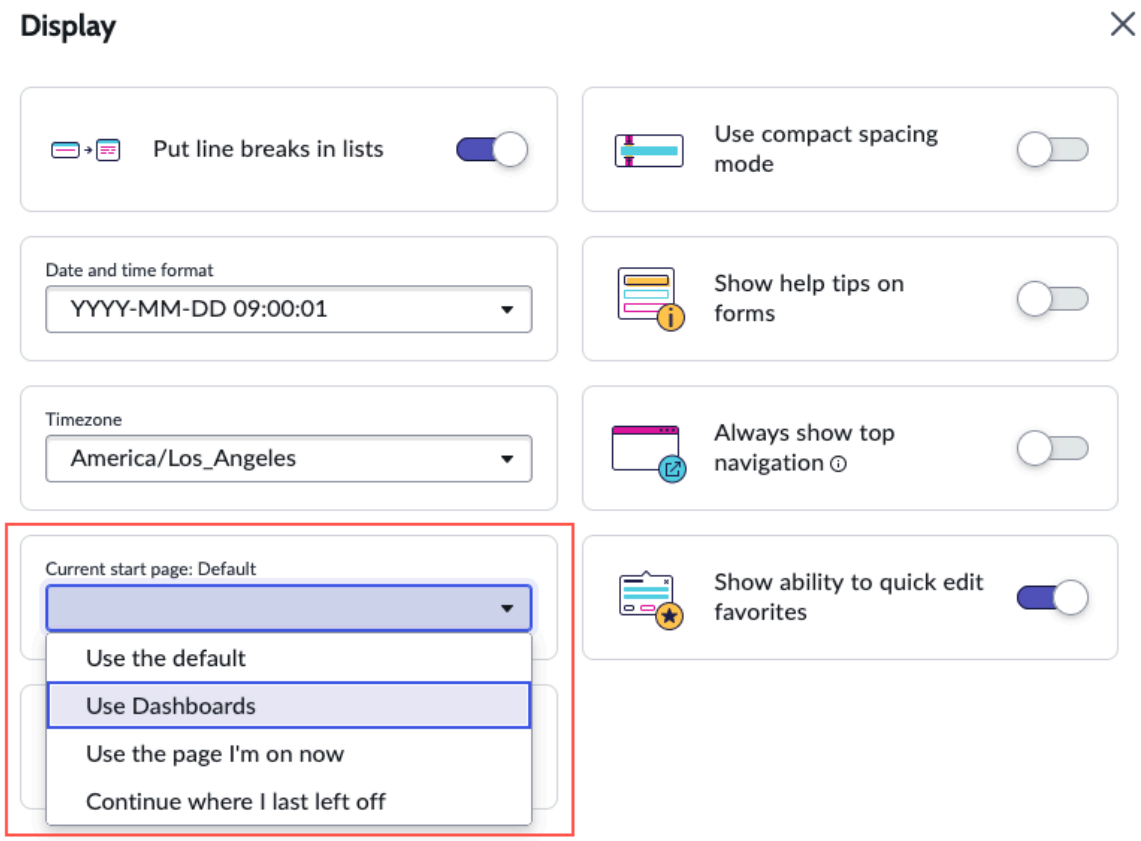


2. [表示] タイルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [表示] タブで、[ダッシュボードを開始 ページとして使用] を選択します。



結果
移動すると セルフサービス > ダッシュボード または会社のロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

分析サービスの要求

新しいダッシュボードの要求、既存のダッシュボードへのアクセスなど、ダッシュボードに関連するサービスを要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. いずれかの場所に移動 すべて > セルフサービス > サービスカタログ または サービスポータル > サービスポータルホーム.
2. [サービス ポータル] に移動した場合は、[注文する] を選択します。
3. [何かお困りですか？] カテゴリーを選択します。
4. [分析要求] を選択します。
5. [要求タイプ] ([ダッシュボードへのアクセスを要求]、[ダッシュボードを編集]、[問題の報告] など) を選択します。
6. オプション: 別のユーザーの要求を送信する場合は、 **[Request on behalf of another user]** (別のユーザーの代わりに要求) チェック ボックスをオンにして、自分が代わりに要求するユーザーを選択します。
7. ダッシュボードの名前や変更の説明など、要求に関する追加の詳細を入力します。
   使用可能なフィールドは、要求タイプによって異なります。
   要求したユーザーに、通知が自動的に送信されます。

次のタスク
要求を送信した後は、分析チームが、要求された変更のレビューと実装を担当します。

分析要求の履行

分析サービス要求は、要求をレビューおよび履行できる分析グループにアサインされます。

始める前に
少なくとも 1 人のユーザーが分析グループのメンバーである必要があります。

必要なロール：

- 履行者：itil および pa_admin。履行者であるユーザーは、これらのロールを自動的に付与する分析グループのメンバーである必要があります。
- 承認者：itil および approver_user

手順

1. 移動先 すべて > サービスデスク > 自分のグループ作業.
2. 要求を選択します。
3. ダッシュボードへのアクセス権の付与を要求する場合は、この要求を適用するダッシュボードを選択します。
4. [要求承認者] として、1 人以上のユーザーを選択します。
   この承認者は、分析グループのメンバーでない人にする必要があります。

   注: 要求タイプが [問題の報告] の場合、承認は必要ありません。

5. 承認者が要求を承認できるようになります。
   a. 移動先 セルフサービス > 自分の承認.
   b. [承認リクエスト] を選択します。
   c. [承認] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認者が承認を拒否した場合、要求は自動的にクローズします。承認者が [承認済み] または [却下] 以外のオプションを選択した場合、履行者ユーザーは、[状態] を [スキップしてクローズ] または [未完了でクローズ] に設定することによって要求をクローズできます。
要求が承認された場合、または承認の必要がなかった場合は、分析チームに対してタスクが作成されます。要求レコードの [タスク] 関連リストに移動して、タスクを表示します。メール通知が分析チームに送信されます。

6. 承認者が要求を承認した後、要求された変更を実行して、要求を履行します。
ダッシュボードおよびダッシュボード権限の変更手順については、ダッシュボードのドキュメントを参照してください。
7. タスクの [状態] を [完了してクローズ] に更新します。
タスクがクローズされると、要求の [状態] が自動的に更新されます。要求したユーザーに、要求された変更が完了したことを知らせるメール通知が送信されます。

関連トピック

ダッシュボードを作成および使用する

レスポンシブ ダッシュボードの共有

分析用セルフサービス ポータル プラグインの有効化

admin ロールがある場合、分析用セルフサービス ポータル プラグイン (com.snc.pa.bi_service) を有効化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
分析用セルフサービス ポータルは、これらの関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

分析用セルフサービス ポータルのプラグイン

プラグイン	説明
パフォーマンス分析 [com.snc.pa]	コア パフォーマンス分析機能

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連トピック

プラグインのリスト (Zurich)

ダッシュボードの管理

ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティングなど、ダッシュボードの管理について学びます。

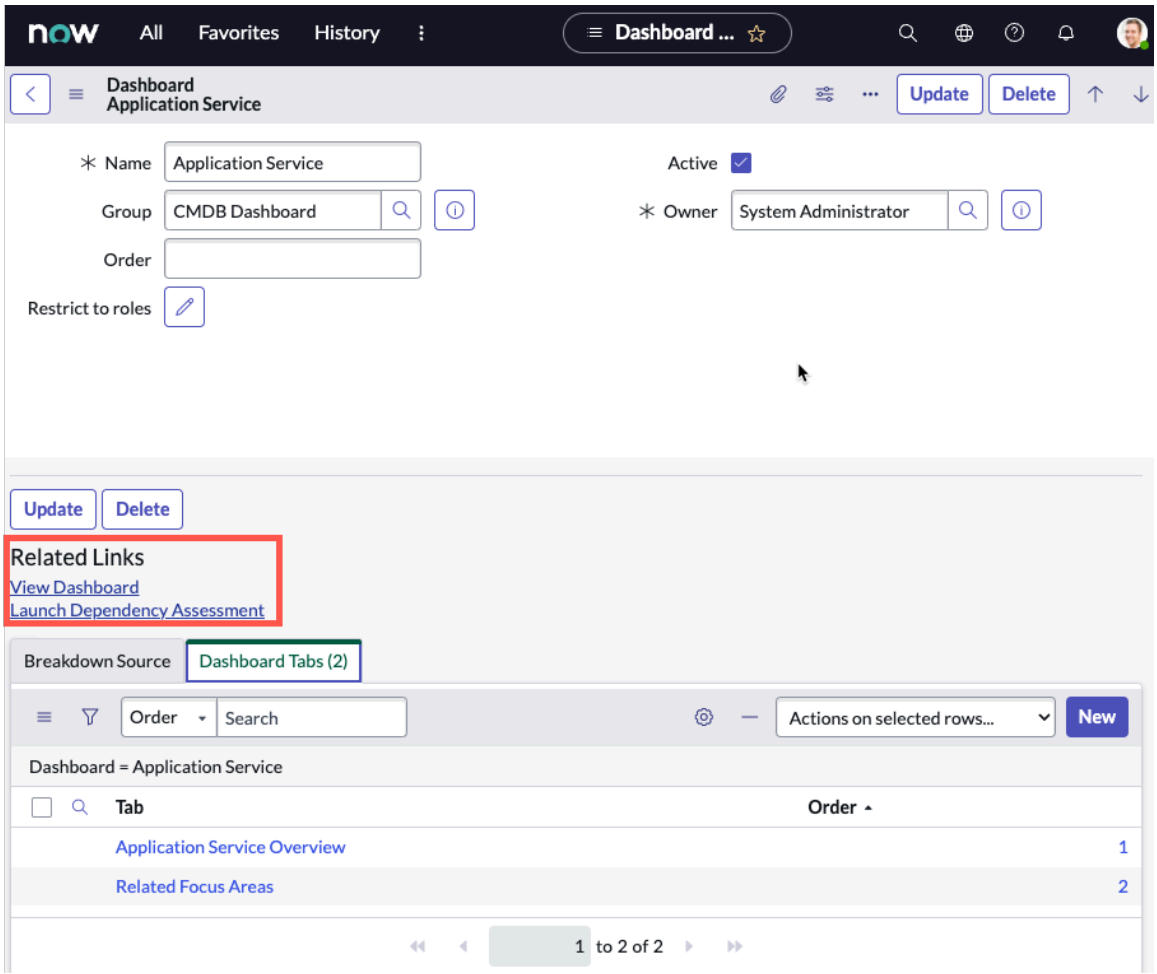
dashboard_admin ロールを持つユーザーは、インスタンス内のすべてのダッシュボード (すべての非アクティブ ダッシュボードを含む) に対する表示、編集、削除、および共有の権限を含む完全アクセス権を持ちます。インスタンス内のすべてのダッシュボードのリストを表示するには、 パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理. ダッシュボードの名前をクリックすると、そのフォームが表示されます。

ダッシュボードのフォームのフィールドについては、 レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成で説明されています。関連リンクを使用して、次の操作を行います。

- ダッシュボードを表示する
- 依存関係アセスメントを起動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの探索および管理

ダッシュボード、レポート、インジケーターなどのパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定します。各ダッシュボードタブにはカスタマイズされたインタラクティブフィルターがあり、ダッシュボードに表示される情報を絞り込むことができます。

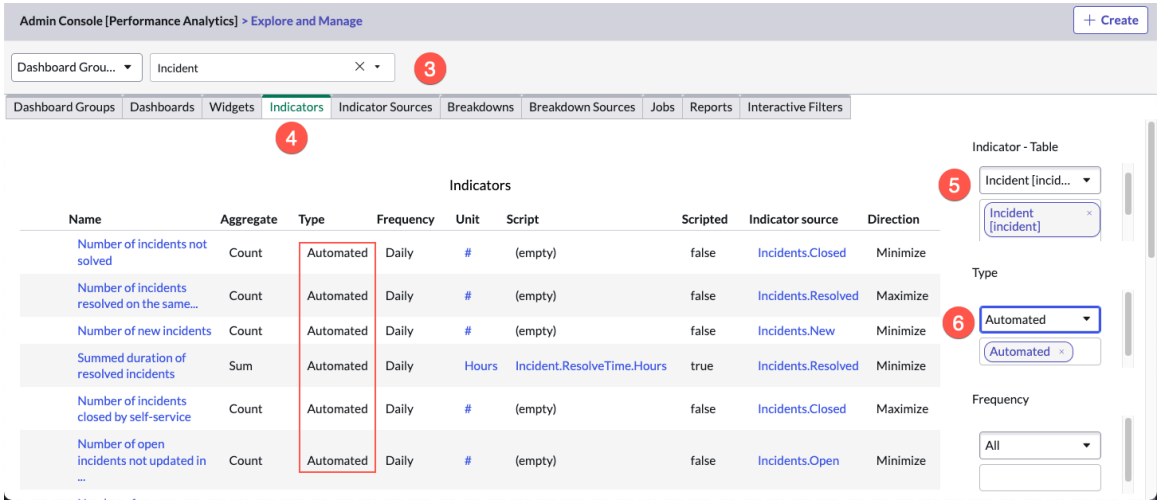
ダッシュボードの探索の例

インシデントテーブルに基づいてインシデントダッシュボードグループに関連する すべての自動インジケーター を表示するには、次の手順に従います。

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール
2. [探索して管理] タイルで [ダッシュボード] を選択します。
3. 最初の 2 つのリストから、[ダッシュボード グループ] と [インシデント] を選択します。
4. [インジケーター] タブを選択します。
5. **[Indicator - Table]** (インジケーター - テーブル) リストから [インシデント] を選択すると、インシデント テーブルのインジケーターのみが表示されます。
6. [タイプ] リストから [自動] を選択すると、インシデント テーブルの自動インジケーターのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードおよびダッシュボード グループ

[ダッシュボード] または [ダッシュボードグループ] をクリックして、インスタンス内のすべてのパフォーマンスアナリティクスの基本事項に関する情報を提供するダッシュボードを表示します。

ダッシュボードグループ

インスタンス内のすべてのダッシュボードグループのリスト。管理コンソールで [ダッシュボード グループ] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。グループが指定されていないダッシュボードは、 その他グループに分類されます。

ヴィジビリティフィルターを使用して、すべてのダッシュボードグループ、全員に表示されるダッシュボードグループ、または指定されたグループとユーザーに制限されたダッシュボードグループを表示します。

ダッシュボード

インスタンス内のすべてのダッシュボードをグループ別にソートしたリスト。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。ダッシュボード名をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。管理コンソールで [ダッシュボード] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。

フィルタ：

- アクティブ：[すべて]、[Active=**True**]、または [Active=**False**] を選択します。
- ダッシュボードオーナー: [すべて] を選択するか、リストから 1 人以上のオーナーを選択します。

ウィジェット

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのウィジェットのリスト。

フィルタ：

- タイプ：[すべて] を選択するか、1 つ以上のウィジェット タイプでフィルタリングします。「パフォーマンスアナリティクス」ウィジェットを参照してください。
- ビジュアライズ：[すべて] を選択するか、リスト内の 1 つ以上のレポート ビジュアライズ タイプでフィルタリングします。

インジケーター

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのインジケーターのリスト。フィルター: [インジケーターテーブル]、[タイプ]、[頻度]、[インジケーターソース]、[単位]、[方向]、[スクリプト化]、および [集計タイプ] でリストをフィルタリン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グできます。[インジケーター] または [インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

インジケーターソース

インスタンス内のすべてのインジケーターソースのリスト。[インジケーターテーブル] と [頻度] でリストをフィルタリングできます。[インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 インジケーターソース」を参照してください。

ブレークダウン

インスタンス内のすべてのブレークダウンのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウンとブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン」を参照してください。

ブレークダウンソース

インスタンス内のすべてのブレークダウンソースのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 ブレークダウンソースの定義」を参照してください。

ジョブ

インスタンスで作成されたすべてのジョブのリスト。[実行] 列には、ジョブの実行頻度が表示されます。[時間] 列には、ジョブが最後に実行された時間が表示されます。また、リストには、ジョブがアクティブかどうかも示されます。ジョブの名前をクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 ジョブインジケーターの設定」を参照してください。

部下

インスタンスで作成されたすべてのレポートのリスト。1 つ以上のレポートテーブルと 1 つ以上のレポートタイプでリストをフィルタリングできます。レポートのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 レポートの視覚化の作成」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インスタンスで構成されているすべてのインタラクティブフィルターのリスト。インタラクティブフィルターの基になっているテーブルとフィールド、および 1 つ以上の UI コントロールタイプをフィルタリングできます。[ルックアップ名] をクリックすると、インタラクティブ フィルターの詳細を表示して編集できます。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください。

関連トピック

ツリー ビュー ナビゲーション

パフォーマンスアナリティクス用語

ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定

ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定できます。デフォルトでは、ユーザーがServiceNowにログインしたときに表示されるダッシュボードは、ユーザーが最後にアクセスしたダッシュボードです。

始める前に

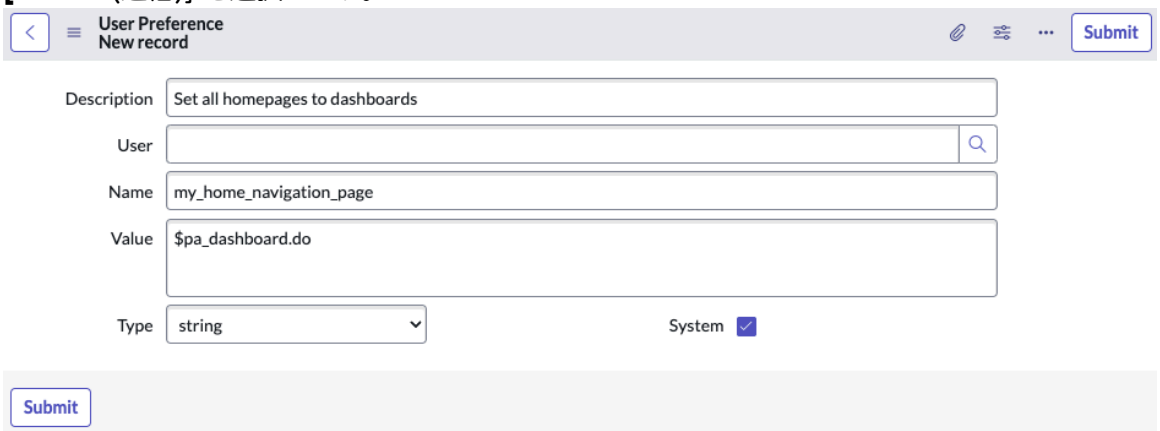
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定.
2. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
3. 設定に説明を付ける すべてのホームページをダッシュボードに設定します。
4. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
5. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 4 と 5 では、設定をユニバーサルにします。
6. [タイプ] を 文字列に設定します。
7. 値を $pa_dashboard.do に設定します。
8. **[Submit** (送信)] を選択します。



結果
すべてのユーザーには、 ServiceNow にログインしたときに最後にアクセスしたダッシュボードが表示されます。

次のタスク
特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

ログイン時にすべてのユーザーに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を設定します。

始める前に
必要なロール：admin

注: ホームとして設定するダッシュボードに移動し、URL からsys_idをコピーします。sys_id は、最後のスラッシュの後の最後の要素です。たとえば、この URL では、sys_idは 456CBA: https://my-instance.service-now.com/now/platform-analytics-workspace/dashboards/params/edit/false/sys-id/456CBA です。作成したシステム環境設定にコピーできるように、sys_idをテキストファイルに貼り付けます。

このタスクについて
構成したダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できるようにする必要があります。

手順

1. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
2. 設定に説明を付ける すべてのホームページをダッシュボードに設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
4. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 3 と 4 では、設定をユニバーサルにします。
5. 検索できるわかりやすい説明を設定に付けます。
6. [タイプ] を 文字列に設定します。
7. [値] フィールドに「 $pa_dashboard.do?sysparm_dashboard=dashboard_sys_id」と入力しますが、開始する前にコピーしたsys_id dashboard_sys_id に置き換えます。
8. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
すべてのユーザーが ServiceNowを開くと、同じダッシュボードが表示されます。

特定のダッシュボードを特定のユーザーのホームとして設定する

指定したユーザーがログインしたときに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を設定します。

始める前に
必要なロール：admin

> **注:** ホームとして設定するダッシュボードに移動し、URL からsys_idをコピーします。sys_idは、最後のスラッシュの後の最後の要素です。たとえば、この URL では、sys_idは 456CBA: https://my-instance.service-now.com/now/platform-analytics-workspace/dashboards/params/edit/false/sys-id/456CBA です。作成したシステム環境設定にコピーできるように、sys_idをテキストファイルに貼り付けます。

このタスクについて
構成したダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できるようにする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定.
2. my_home_navigation_page という名前のユーザー設定を作成します。
3. ユーザーが検索できる ITIL ユーザーのホームダッシュボードを設定する など、設定にわかりやすい説明を入力します。
4. [ユーザー] フィールドで、このダッシュボードをホームとするユーザーを 1 人指定します。
5. [タイプ] を 文字列に設定します。
6. [値] フィールドに「 $pa_dashboard.do?sysparm_dashboard=dashboard_sys_id」と入力しますが、開始する前にコピーしたsys_id dashboard_sys_id に置き換えます。
7. **[Submit** (送信)] を選択します。
8. オプション: コンテキストメニュー ( ) を選択し、[挿入と維持] を選択します。
   このアクションにより、このダッシュボードのホームとなる別のユーザーを指定できるように、ユーザー設定が複製されます。重複レコードに別のsys_IDを指定することもできます。

結果
指定されたユーザーが ServiceNow を開くか会社のロゴを選択すると、指定されたダッシュボードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードをグループに整理する

ダッシュボードをグループにアサインして、ユーザーが必要なダッシュボードをより簡単に見つけられるようにします。ダッシュボードグループによって、移動時にダッシュボードピッカーでのダッシュボードの表示方法が決まります セルフサービス > ダッシュボード. ダッシュボードグループに表示権限を追加することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、pa_admin、または pa_power_user

このタスクについて
ダッシュボード グループに対する権限は、そのグループ内のすべてのダッシュボードに適用されます。

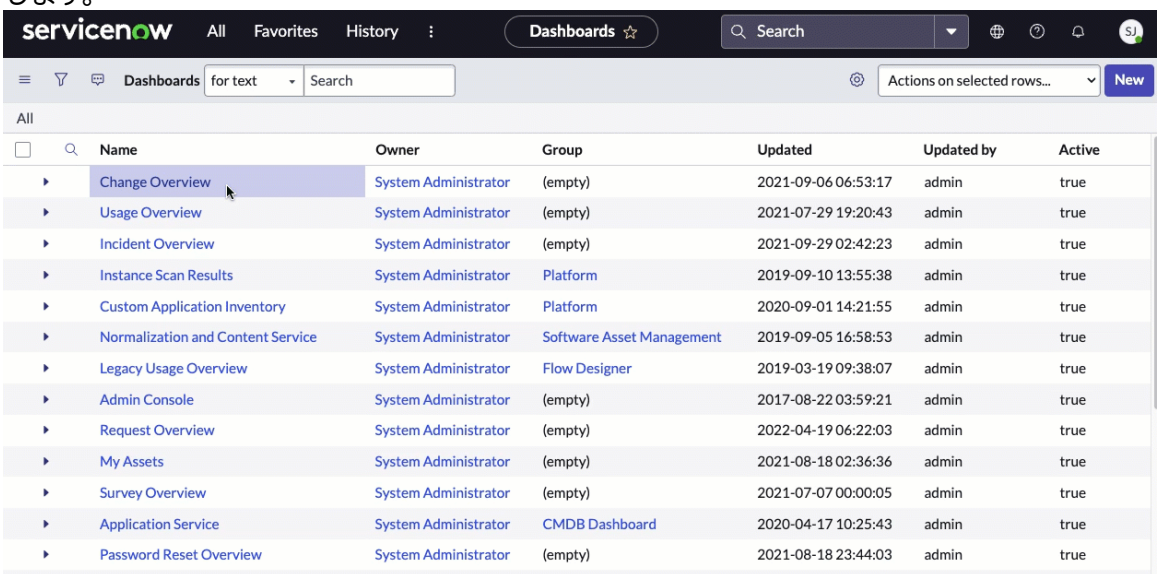
注:

- 個々のダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループ レベルで設定された権限を上書きします。
- ダッシュボードの編集権限は、ダッシュボードグループ権限に影響を与えたり、上書きしたりする可能性があります。
- ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

ダッシュボード ピッカーに単一のグループを表示するには、ダッシュボード URL にパラメーター sysparm_group= を追加し、その後にグループ名を追加します。たとえば、incident という名前のダッシュボードグループのみを表示するには、URL https://<instance>/$dashboards.do?sysparm_group=incident を使用します。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理.
   [グループ] 列を使用して、現在のダッシュボード グループ設定をレビューします。グループがアサインされていないダッシュボードは、[グループ] 列に (空の) 表示されます。ダッシュボードの概要では、これらのダッシュボードは [その他] としてグループ化されています。
2. グループに追加するダッシュボードの名前を選択して、そのフォームを開きます。
3. [グループ] フィールドで、ルックアップアイコン (ルックアップ) を使用して、ダッシュボードを追加するグループを選択します。
   既存のダッシュボードグループを選択するか、[新規] を選択してダッシュボードグループを作成します。



Name	Owner	Group	Updated	Updated by	Active
Change Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-06 06:53:17	admin	true
Usage Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-29 19:20:43	admin	true
Incident Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-29 02:42:23	admin	true
Instance Scan Results	System Administrator	Platform	2019-09-10 13:55:38	admin	true
Custom Application Inventory	System Administrator	Platform	2020-09-01 14:21:55	admin	true
Normalization and Content Service	System Administrator	Software Asset Management	2019-09-05 16:58:53	admin	true
Legacy Usage Overview	System Administrator	Flow Designer	2019-03-19 09:38:07	admin	true
Admin Console	System Administrator	(empty)	2017-08-22 03:59:21	admin	true
Request Overview	System Administrator	(empty)	2022-04-19 06:22:03	admin	true
My Assets	System Administrator	(empty)	2021-08-18 02:36:36	admin	true
Survey Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-07 00:00:05	admin	true
Application Service	System Administrator	CMDB Dashboard	2020-04-17 10:25:43	admin	true
Password Reset Overview	System Administrator	(empty)	2021-08-18 23:44:03	admin	true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: ダッシュボード グループのフォームを開いて、その権限を変更します。

   (Optional) ダッシュボード グループに対する表示権限のみを設定できます。

   ダッシュボード グループでは、標準のプラットフォーム権限が使用されます。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

5. **[Update** (更新)] を選択します。

レスポンシブ ダッシュボードでのダッシュボード権限とダッシュボード グループの権限のインタラクション

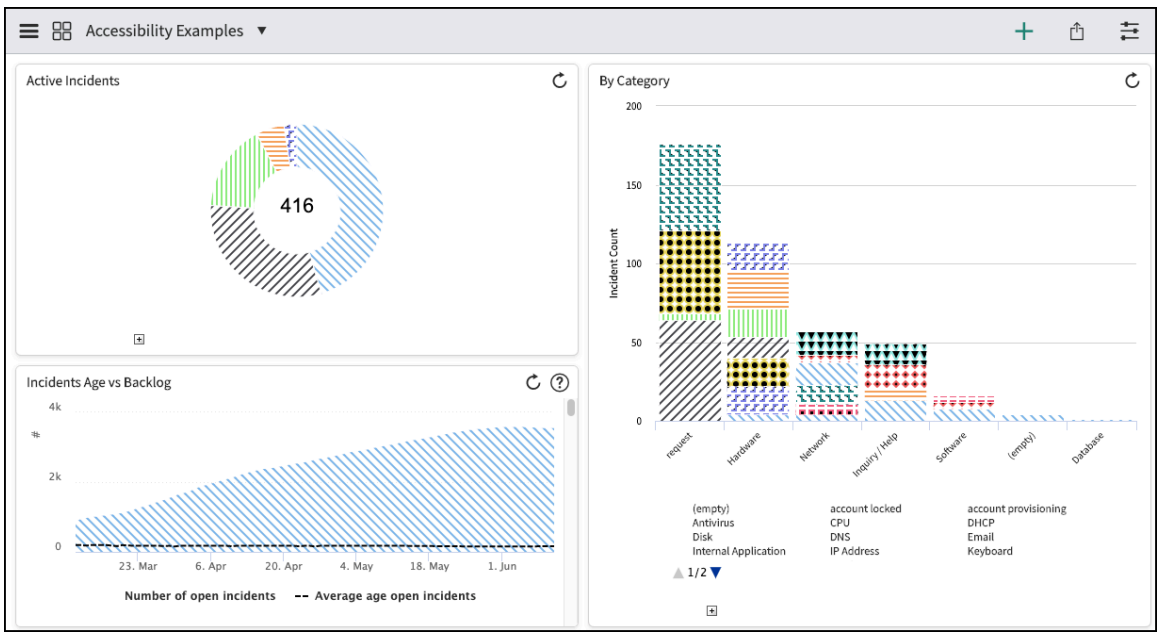
ダッシュボード グループ権限とダッシュボード権限は相加的ではありません。ダッシュボードの権限の定義によっては、ダッシュボード グループ権限が適用されないことがあります。

ダッシュボードがダッシュボード グループに属している場合、そのダッシュボードで定義された表示権限が、ダッシュボード グループのすべての表示権限を上書きします。ダッシュボード グループ レベルで定義された権限は、ダッシュボードの [共有] パネルには表示されません。グループ内のダッシュボードの表示権限を変更する場合は、ダッシュボードグループの権限を常に確認して、ユーザーがアクセス権を失わないようにしてください。詳細については、「ダッシュボード権限のシナリオ」を参照してください。

たとえば、ダッシュボード グループ Support Dashboards に、Open Incidents および Incident Metrics というダッシュボードが含まれているとします。このダッシュボード グループには、グループ Support に対する表示権限があります。Incident Metrics というダッシュボードに対する表示権限をユーザー John Dee に付与した場合、グループ Support にはこのダッシュボードが表示されなくなります。ダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループに対するすべての表示権限を上書きします。

ダッシュボードのアクセシビリティオプション

アクセシビリティ設定がダッシュボードのレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにどのように影響するかを理解します。ワークスペースのデータの可視化も影響を受けます。



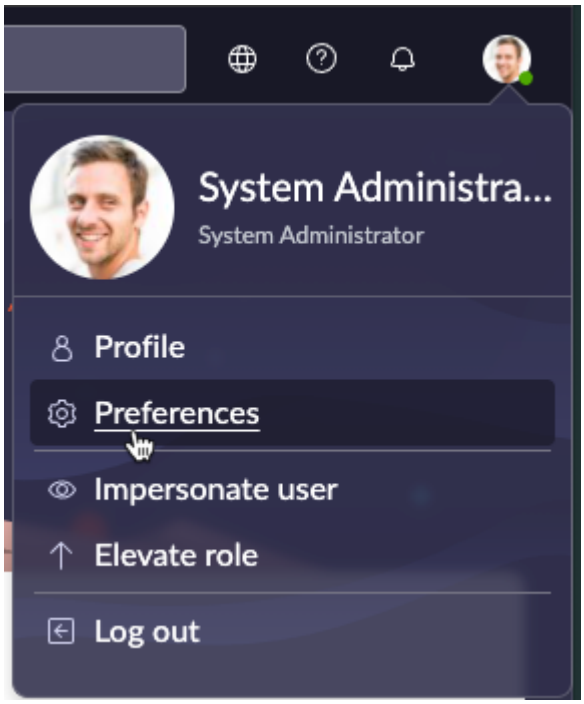
次のアクセシビリティオプションを有効または無効にして、インスタンスでのエクスペリエンスを利用しやすくすることができます。

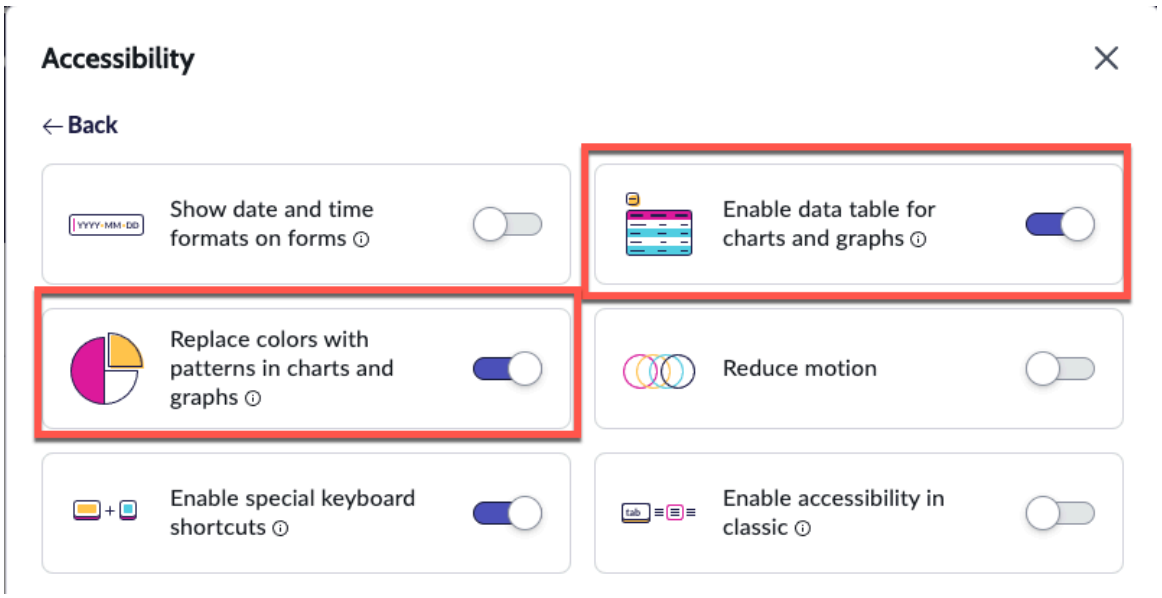
- チャートやグラフの色やパターンを置換する
- チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] を開いて、[アクセシビリティ] オプションにアクセスします。詳細については、「ネクストエクスペリエンスアクセシビリティ設定を構成する」を参照してください。





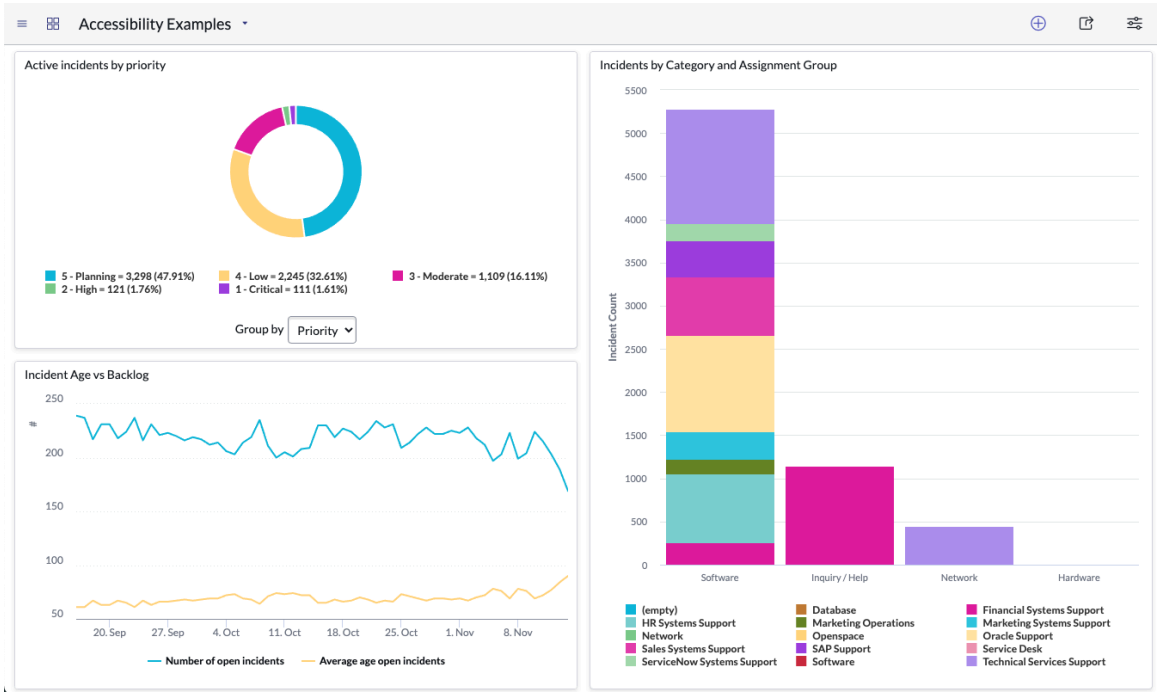
データ可視化パターンを有効にする

以下は、アクセシビリティが有効になっていない可視化を表示するダッシュボードの例です。ダッシュボードには、次の可視化が表示されます。

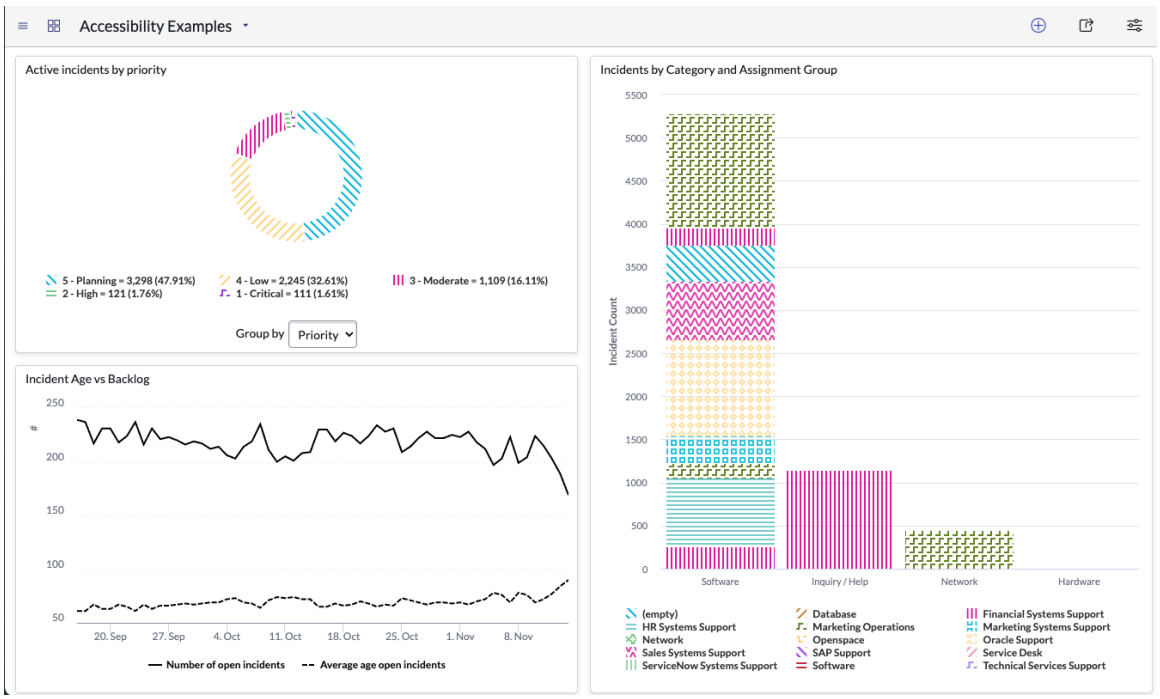
- ドーナツグラフレポート
- 棒グラフレポート
- 時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



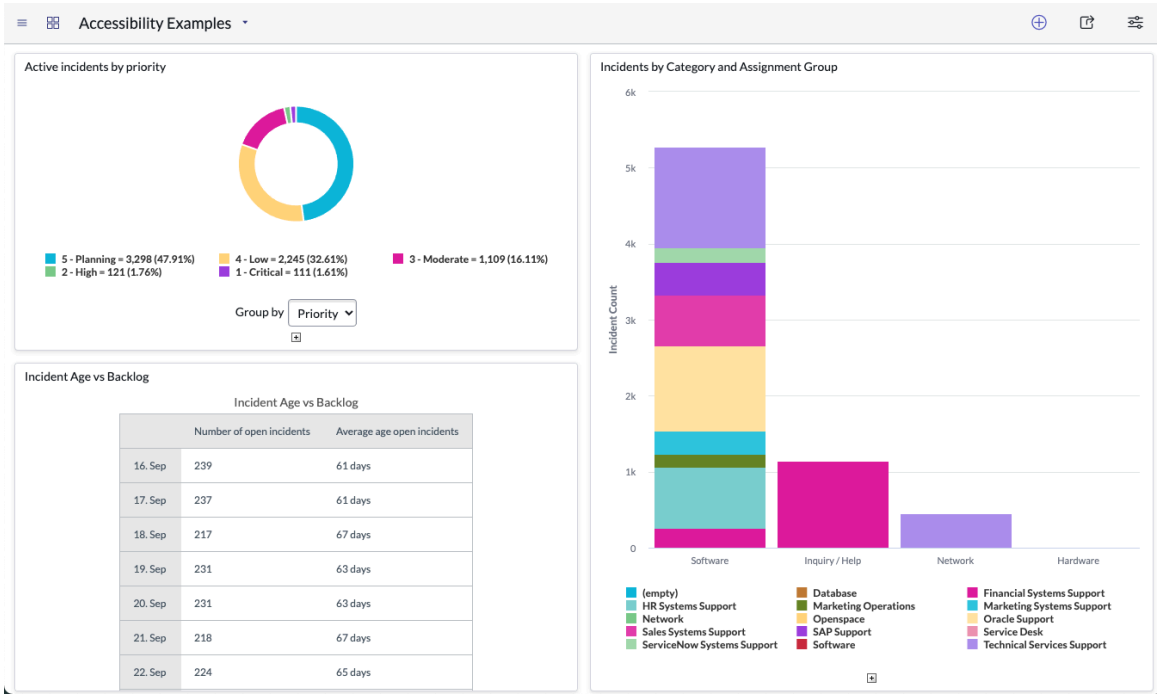
[色をパターンに置き換える **(Replace colors with patterns with charts and graphs)**] を選択すると、視覚化の単色のパターンがどのように異なり、より分かりやすく表示されるかを確認できます。



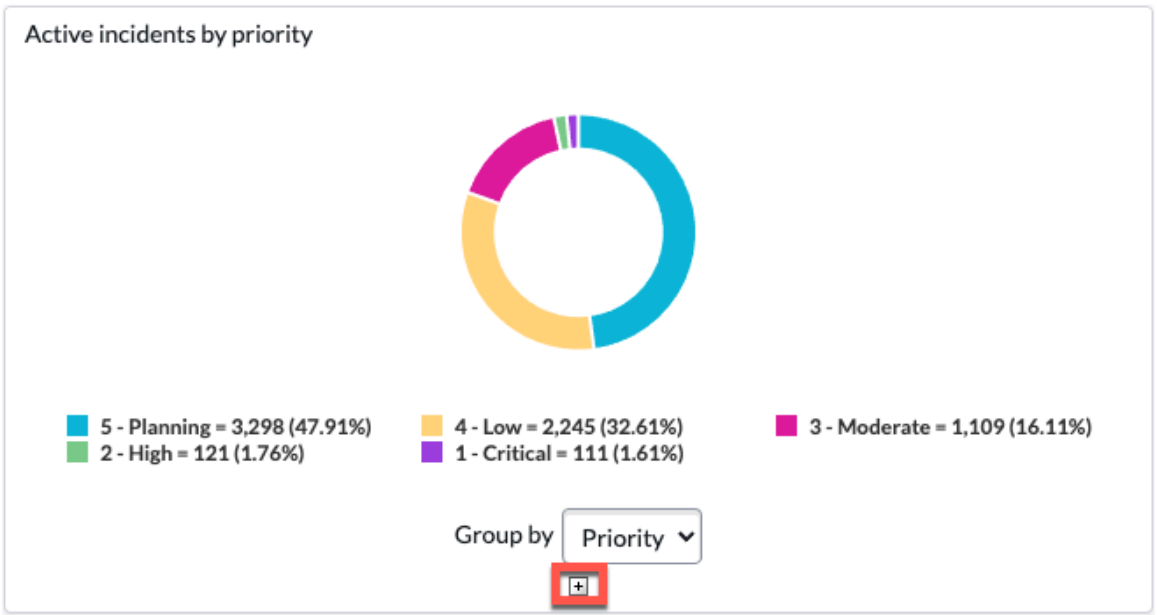
データテーブルが有効

[チャートとグラフのデータテーブルを有効にする] を選択すると、パフォーマンスアナリティクスウィジェットのチャートがデータテーブルに置き換わります。レポートには、プラス + アイコンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



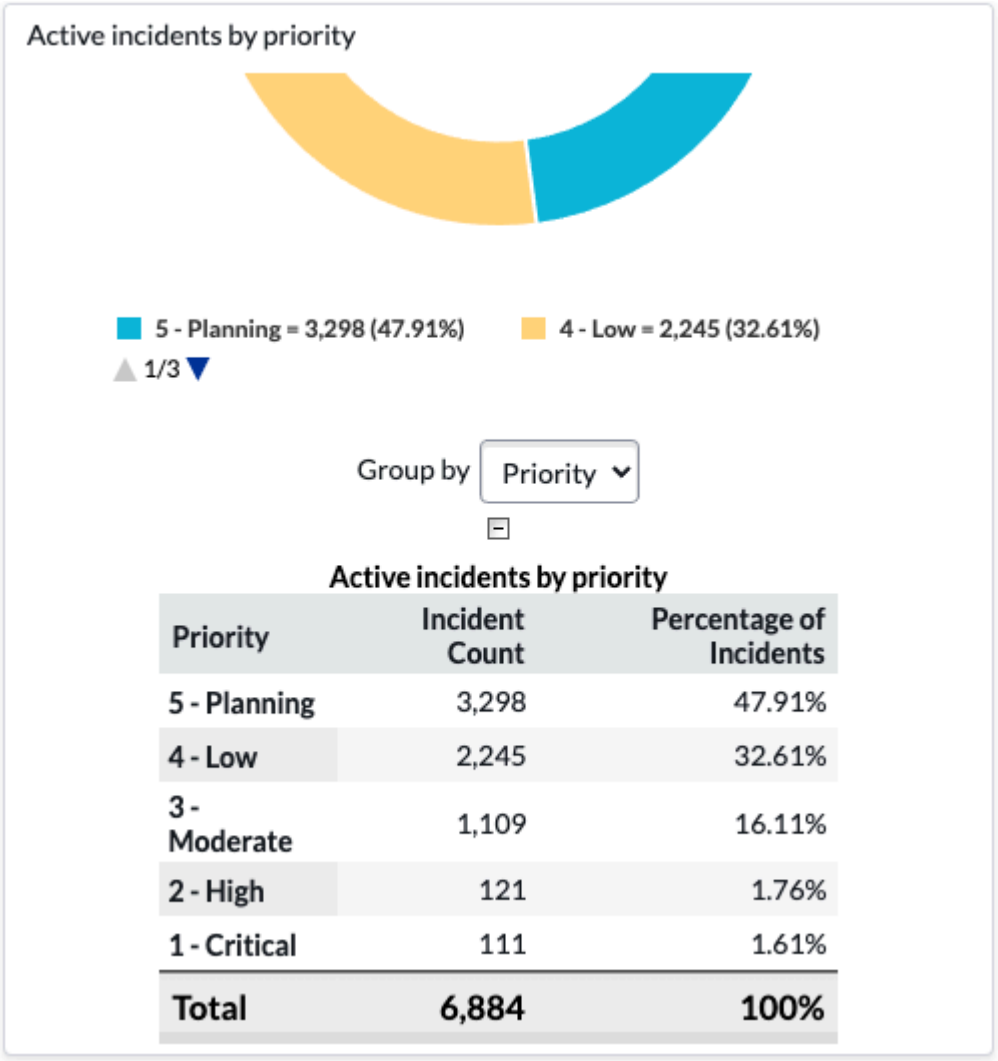
これは、個々のレポートに設定されているデータテーブル設定に関係なく、有効にすると表示されるプラスアイコンの詳細なビューです。



プラスアイコンをクリックすると、対応するデータテーブルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Active incidents by priority

Priority	Incident Count	Percentage of Incidents
5 - Planning	3,298	47.91%
4 - Low	2,245	32.61%
3 - Moderate	1,109	16.11%
2 - High	121	1.76%
1 - Critical	111	1.61%
Total	**6,884**	**100%**

自動翻訳

更新セットを使用したコア **UI** ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットでは自動的に転送されません。[ダッシュボードのアンロード] 機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。[ダッシュボードのアンロード] 機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボードの構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、更新セットにダッシュボードコンテンツを追加できます。

重要: ダッシュボードのコンテンツが、ダッシュボードレコードと同じ更新セットにあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になる場合があります。詳細については、「更新セット ID「グローバル」は更新セットスコープ ID とは異なります」を参照してください。

ヒント: この手順が難しい場合は、 カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

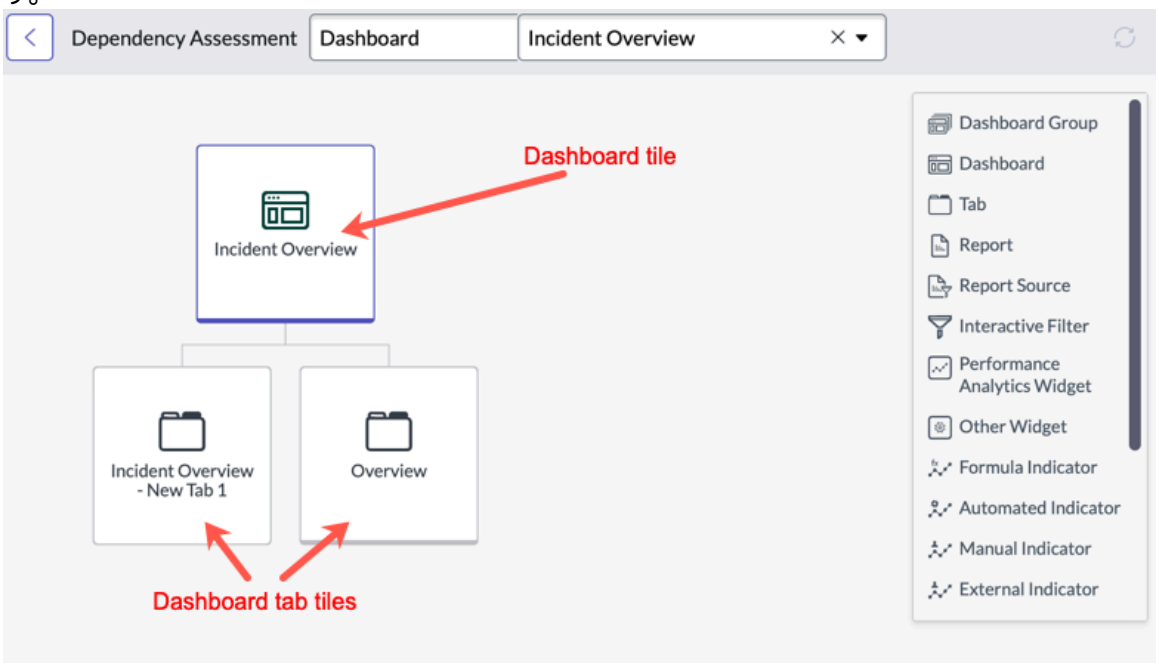
手順

1. ソースインスタンスで、アンロードするダッシュボードの場所に移動します (例: セルフサービス > ダッシュボード.
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
3. 各タブに関連付けられたポータルページレコードがあることを確認します。

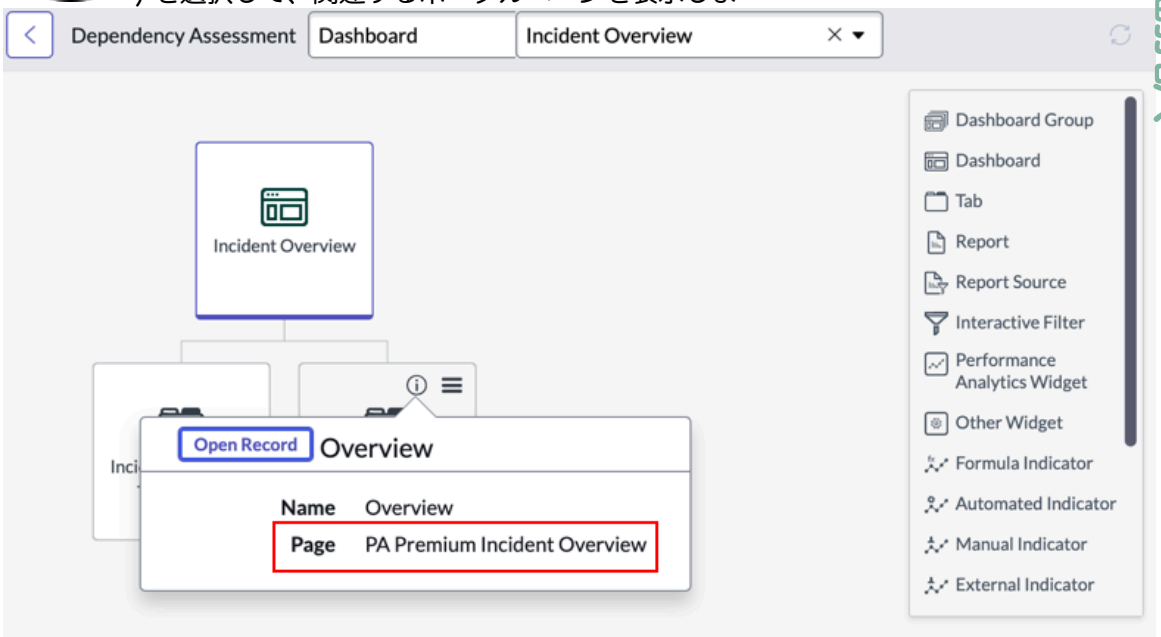
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテキストメニューアイコン (≡) を選択し、[依存関係アセスメントを起動] を選択します。



b. 各ダッシュボードタブのタイルの隅をポイントし、情報アイコン (ⓘ) を選択して、関連するポータルページを表示します。



4. ダッシュボードのタイルの隅をポイントし、情報アイコン (ⓘ) を選択します。

[レコードを開く] を選択してダッシュボードフォームを開きます。

ダッシュボードのタイルには、ダッシュボード自体と同じ名前が付いています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができてから、つまりすべてのコンテンツをタブに追加してから実行してください。
6. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。
7. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
[リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得したすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがないかどうかを確認します。エラーは、[取得済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] と呼ばれる関連リストに表示されます。「更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決」を参照してください。
8. ターゲット インスタンスで、ダッシュボードのすべてのタブに、関連付けられたポータル ページが含まれることを確認します。

   タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証 の手順に従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

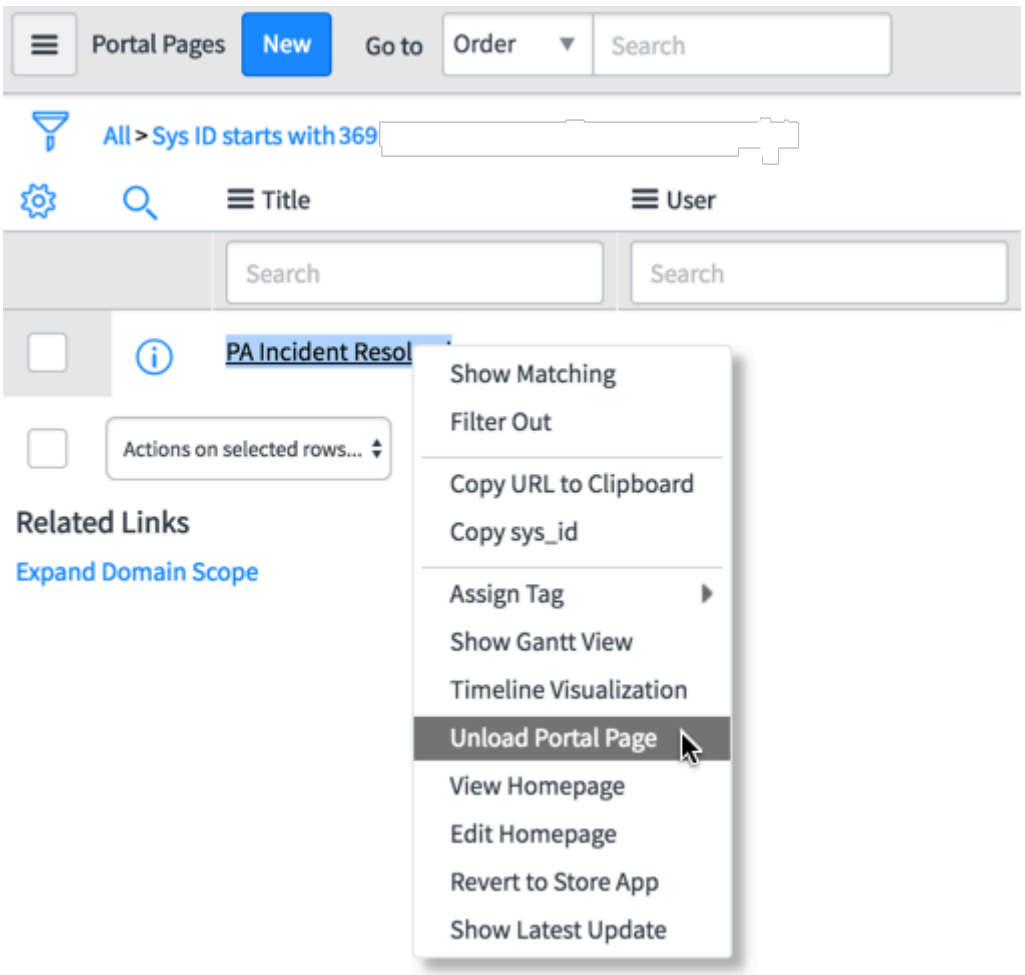
タブフォームにポータルページがない場合は、[ページ] フィールドの横にある検索アイコン ( ) を選択して、関連するポータルページを検索します。

注: ターゲットインスタンスに関連付けられたポータルページが見つからない場合は、次の手順に従って、欠落している各ポータルページを更新によって移動します。

a. 移動先 ホームページアドミン > ページ.

b. リストをフィルタリングして、 タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証の手順に従ってコピーしたsys_idを含むポータルページのみを表示します。

c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択します。



現在のタブのポータルページが現在の更新セットに追加されます。

d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証

更新セットを含むダッシュボードを移動する場合は、タブがターゲットインスタンスに移動し、入力されていることを検証します。

始める前に
必要なロール：admin。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ダッシュボードを異なるインスタンス間で移動するには、ダッシュボード タブの sys_id の値を、関連付けられたポータル ページの sys_id の値に関連付ける必要があります。このタスクでは、ダッシュボードの移動に関する問題がある場合に、これらの値を見つけて相互にマップする方法について説明します。このタスクは、 更新セットを使用したコア UI ダッシュボードの移動の後で実行してください。

手順

1. ターゲット インスタンスで、移動したばかりのダッシュボードに移動します。
2. コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. タブフォームのタブごとに、必須フィールド の [ページ (sys_portal_page参照)] が存在することを確認します。
   すべてのタブに関連付けられたポータルページがある場合は、ダッシュボードが正常に移動されています。
4. いずれかのタブフォームにターゲットインスタンスのポータルページがない場合は、次の手順を実行します。

   a. タブフォームでコンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[**sys_id**をコピー] を選択します。

   b. ソース インスタンスのフィルター ナビゲーターで、`pa_tabs.list` と入力します。

   c. 手順 a でコピーした sys_id のタブのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

   d. タブの名前を選択して、そのフォームを開きます。

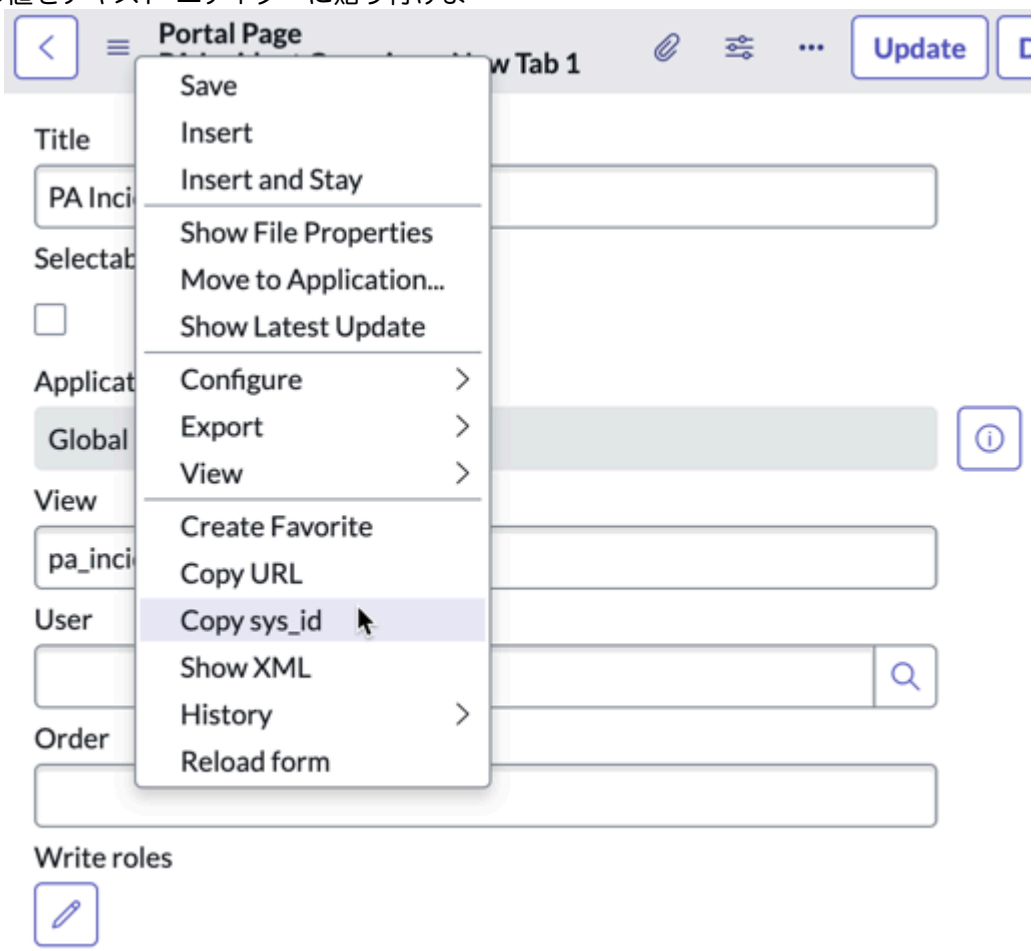
   e. そのタブの [ページ] 値の情報アイコン ( ) を選択します。

   f. ポータルページで、コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[**sys_id**をコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値をテキスト エディターに貼り付けま



す。

この値は、ポータル ページの sys_id です。これは、すでに使用した、関連付けられたタブの sys_id とは異なります。これらの値は、タブをポータル ページにマップするために一緒に使用されます。

g. [ページ] フィールドに関連付けられた検索アイコン ( ) を選択します。

h. ポップアップ ウィンドウで、ポータル ページ sys_id でフィルタリングし、返されたクエリー結果を選択します。

i. [タブ] フォームで [更新] を選択して、変更を保存します。

5. ウィジェット、データの可視化、コンテンツブロックなど、ダッシュボードで使用されるすべてのオブジェクトがターゲットインスタンスに移行されていることを確認します。
関連付けられたポータル ページが、ターゲット インスタンス内に表示されるはずです。

6. ターゲット内にポータル ページが見つからない場合は、次の手順を実行します。

a. ステップ 4 a-f に従って、ソースインスタンスのポータルページのsys_idを取得します。

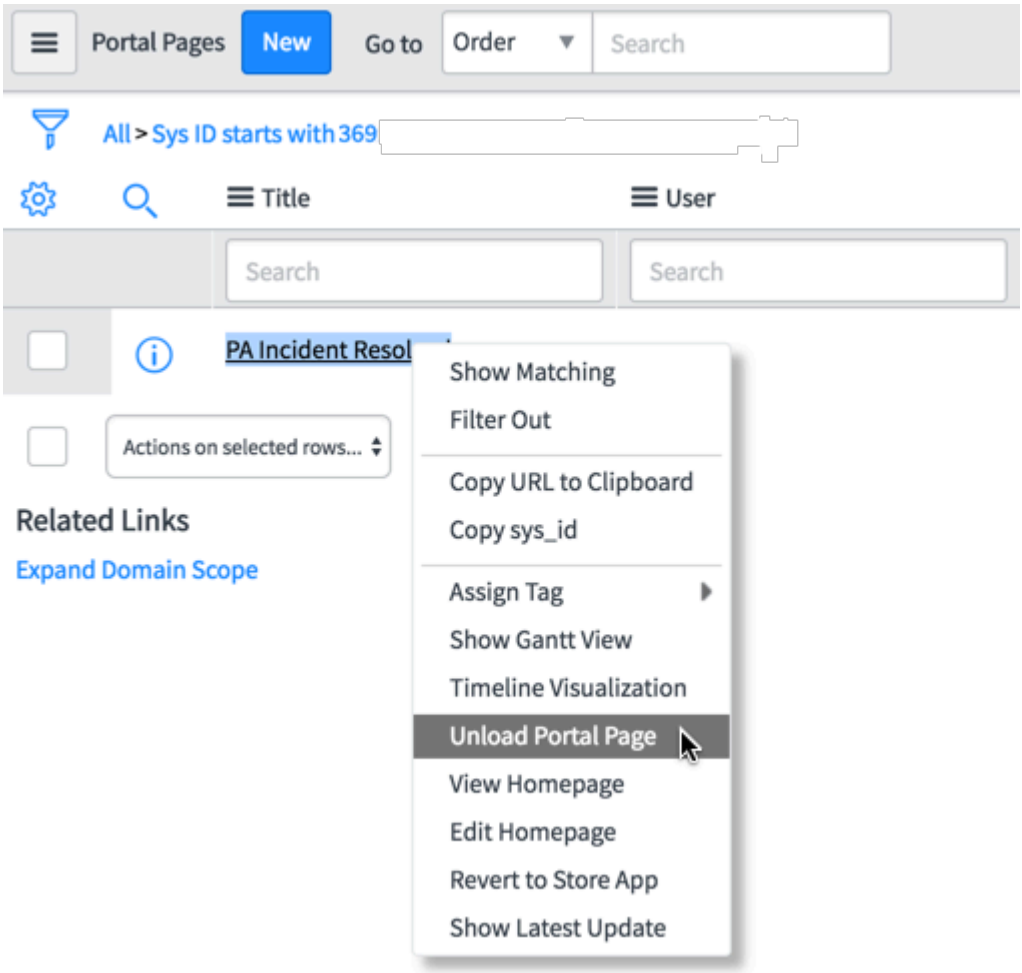
b. ソースインスタンスで、 ホームページアドミン > ページ.

c. コピーした sys_id のポータル ページのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択しま



す。

e. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決

更新セットを含むダッシュボードを移動するときに、[取得した更新セット] ページの [更新セットプレビューの問題] タブにエラーが表示された場合は、各エラーの指示に従ってこれらの問題を解決してください。

この更新で参照されている列**canvas_page**の**sys_grid_canvas**にレコードが見つかりませんでした

更新セットを含むダッシュボードを移動すると、「この更新で参照されている列canvas_pageのsys_grid_canvasにレコードが見つかりませんでした」というエラーが発生する場合があります。このエラーを解決するには、キャンバスページをソースインスタンスからターゲットインスタンスに移動します。

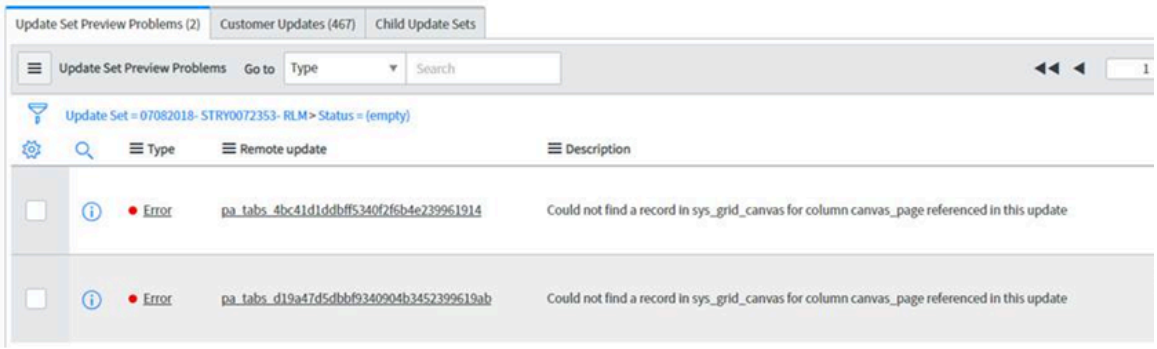
始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

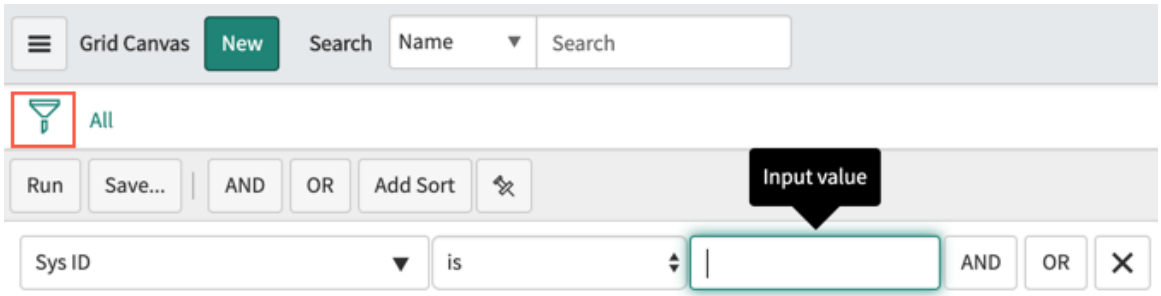
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [更新セットプレビューの問題] 関連リストで、エラーの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。



2. pa_tabsレコードペイロードで、[canvas_page] フィールドに関連付けられているsys_idをコピーします。



3. ソースインスタンスで、sys_grid_canvas.list に移動します。
4. 手順 2 でコピーしたsys_idでリストをフィルタリングします。
5. 返されたレコードを右クリックし、[キャンバスページのアンロード] を選択して、このレコードを現在の更新セットに追加します。
6. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットをターゲットインスタンスに転送します。詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
7. このエラーが発生したすべての更新セットプレビューの問題に対して、このタスクを繰り返します。

結果
欠落しているダッシュボードタブのコンテンツがターゲットインスタンスに移動されます。

更新セット ID「グローバル」は更新セットスコープ **ID** とは異なります

スコープ対象のアプリでダッシュボードを移動しようとすると、更新セットを取得しようとすると移動が失敗します。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ダッシュボードは複数のテーブルで構成されています。ServiceNow AI Platform® はこれらのテーブルをすべて追跡するわけではありません。未追跡のテーブルは常にグローバルスコープ内にあります。グローバルスコープでダッシュボードを移動する場合、これらのテーブルは問題になりません。ただし、これらのテーブルは、更新セット内のすべてのコンポーネントのスコープが同じでなければならないため、他のスコープ内のダッシュボードの移動をブロックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. グローバルな顧客アップデートレコード sys_update_xml をグローバル更新セットに配置します。
2. この更新を独自の更新セットとして収容するか、元の更新セットの親にして両方を同時に収容します。

   1つの更新セットには非グローバルスコープのすべての顧客アップデートレコードが含まれ、もう1つの更新セットにはグローバルスコープのsys_portal顧客アップデートレコードが含まれます。
3. 両方をエクスポートし、同時にターゲットインスタンスで取得します。
4. 最初に非グローバル顧客アップデートレコードを含む更新セットを収容し、次にグローバル顧客更新レコードを含む更新セットを収容します。

ダッシュボード権限

ダッシュボードには、特殊で詳細な表示と編集の権限があり、これらは [共有] ペインから管理します。アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードに追加されたほとんどのウィジェットに適用されます。

- いずれのロールを持つユーザーも、ダッシュボードを作成し、自分が所有するダッシュボードをユーザーやグループと共有し、編集権限が付与されていればダッシュボードを編集できます。いずれのロールを持つユーザーも、自分が作成したダッシュボードに対して、ロールごとにアクセス権を制限できます。また、ユーザーには、ダッシュボード上の特定のデータにアクセスするために必要なロールも必要です。
- ロールを持たないユーザーは、共有しているダッシュボードを表示できますが、ダッシュボードの作成や編集はできません。
- pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。詳細については、「パフォーマンス アナリティクス ロール」を参照してください。
- dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードのユーザー、グループ、ロールを編集および管理できます。また、admin および dashboard_admin ユーザーは、いつでもダッシュボード オーナーを変更できます。
- ダッシュボード オーナーと、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、そのダッシュボードを削除できます。
- ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。
- 明示的ロールが有効化されている場合、ダッシュボードは内部リソースとして扱われます。snc_external ロールを持つユーザーは、デフォルトではダッシュボードを表示できません。詳細については、「 明示的なロール 」を参照してください。
- ドメインセパレーションは、ユーザーが共有されているダッシュボードを編集する機能に影響を与える可能性があります。詳細については、「ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード」を参照してください。

ダッシュボードの権限とロール

	表示	作成	編集	共有	削除
ロールなし	それらのユーザーと共有されているダッシュボードのみ。	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
任意のロール	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。少なくともpa_power_user権限がないと、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加または削除することはできません。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
dashboard_admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
pa_admin	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加または削除できます。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
				については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	
pa_power_user	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加または削除できます。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
ダッシュボードオーナー	あり	適用外	あり	はい。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが作成したダッシュボードのみ。

ウィジェットの ACL は、そのウィジェットがダッシュボードに追加されると適用されます (パフォーマンスアナリティクスウィジェットを除く)。ユーザーがダッシュボードを表示できるが、そのウィジェットの 1 つを表示するための ACL を持っていない場合は、空のウィジェット プレースホルダーが表示されます。ACL は、円グラフや棒グラフのレポートなど、データを集計するデータ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示には適用されません。ACL は常に、ウィジェットに表示されたリストデータに適用されます。ユーザーがアクセス権を持たないリスト内の行は、表示されません。

> **注:** ACL は、ダッシュボードに追加されたパフォーマンスアナリティクスウィジェットには適用されません。ダッシュボードを表示できるユーザーはいずれも、そのすべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを表示できます。パフォーマンスアナリティクスウィジェットをダッシュボードに追加できるのは、pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーのみです。
>
> ただし、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットがリアルタイムスコアを表示する場合、ログインしている各ユーザーに表示されるスコアは、ユーザーのロールとファクトテーブルの ACL によって異なります。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

[ダッシュボード プロパティー] フォームの [ロールに制限] フィールドと、ダッシュボード グループ権限は、ダッシュボード権限に影響を与える場合があります。ダッシュボード オーナーと、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードのプロパティーを変更できます。pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボード グループ権限を変更できます。

たとえば、36 件のレコードを持つ円グラフ レポート ウィジェットを追加すると、そのダッシュボードおよびそのレポートにアクセスできるユーザーは、36 件すべてのレコードのレポートを表示できます。ただし、ユーザーがそのウィジェットのリスト ビューにドリルダウンすると、ユーザーがアクセスを許可されているレコードのみが表示されます。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限
- ダッシュボードをグループに整理する
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- レポートの管理

レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決

ダッシュボード権限は、いくつかの異なる場所で設定できます。

始める前に

レスポンシブダッシュボードの権限に関する問題を見つけた場合は、ダッシュボード共有パネル、グループ権限、およびダッシュボードプロパティの権限を確認できます。

必要なロール:dashboard_admin、pa_admin

手順

- [Dashboard Sharing] (ダッシュボード共有) ペインで、権限を確認します。
  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボードが属するグループの権限を確認します。

  ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

  dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボード権限とダッシュボード グループ権限を比較します。

  ダッシュボードに対する権限が指定された場合、ダッシュボード グループに対する権限は上書きされ、適用されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。

- [ダッシュボード プロパティー] フォームで、 [ロールに制限] フィールドで指定されているロールをレビューします。

  このフィールドで指定されたロールの 1 つを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。

  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。ダッシュボードを編集できる他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、編集できません。

ダッシュボード権限のシナリオ

ダッシュボードに対する権限は、複雑になることもあります。たとえば、ダッシュボード グループに対する権限を設定した場合、その権限は、そのグループ内のダッシュボードに対して設定された権限によって上書きされます。このマトリクスは、権限のさまざまに組み合わせに基づいて表示される内容を示しています。

ダッシュボード権限のシナリオの表では、次の略語を使用しています。

- DB = ダッシュボード
- DG = ダッシュボード グループ
- RTR = ロールに制限

  詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限」を参照してください。

- X = 未指定

注: admin および dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードに対する完全な権限を持ちます。

ダッシュボード権限のシナリオ

シナリオ	DG	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTR	DB を表示できるユーザー
DG なし、DB 権限なし	X	X	X	X	X	オーナーのみ
RTR のみ	X	X	X	X	資産	オーナーのみ
DB 権限のみ	X	X	itil	X	X	itil ロールを持つユーザー
DB 権限および RTR	X	X	itil	X	資産	itil ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
権限のない DG のみ	存在する	X	X	X	X	pa_admin ロールまたは pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード権限のシナリオ (続く)

シナリオ	DG	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTR	DB を表示できるユーザー
						ロールのいずれかを持つユーザー
権限のない DG および RTR	存在する	X	X	X	資産	資産ロールと、pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールの両方を持つユーザー
DG および DG 権限のみ	存在する	itil	X	X	X	itil ロールまたは pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および RTR	存在する	itil	X	X	資産	資産ロールと、itil ロール、pa_admin ロール、pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および DB 権限	存在する	itil	itil_admin	X	資産	itil_admin ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
DG、DG 権限、DB 権限、および RTR	存在する	itil	itil_admin	X	X	itil_admin ロールを持つユーザー

ダッシュボード グループのデフォルトの権限は、pa_admin と pa_power_user です。ダッシュボード グループに itil などの権限が指定されている場合、この権限がデフォルト権限に追加されます。個々のダッシュボードに対する権限は、ダッシュボード グループの権限を上書きします。

レスポンシブダッシュボードの編集権限に関する問題の解決

レスポンシブダッシュボードの編集権限を持つユーザーには、そのタブが使用されている別のダッシュボードの編集権限も必要です。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ダッシュボードは編集権限を持つユーザーと共有されます。一部のタブでは、ユーザーがウィジェットを追加できません。ユーザーが [ウィジェットを追加] を選択しても、何も起こりません。同じユーザーが他のタブやダッシュボードにウィジェットを追加できます。問題の原因は、影響を受けるダッシュボードタブの作成方法に関連しています。

手順

1. 影響を受けるダッシュボードに移動します。
2. コンテキストメニュー から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. [依存関係アセスメントの起動] を選択します。
   結果には、ダッシュボードと、ダッシュボードで使用されるすべてのタブが表示されます。
4. 影響を受けるタブを選択します。
5. コンテキストメニュー から、[使用者を表示] を選択します。
   結果には、タブが表示されるダッシュボードが表示されます。
6. 影響を受けるタブを使用している他のダッシュボードを開きます。
7. そのダッシュボードの共有権限を編集し、影響を受けるユーザーに編集アクセス権を付与します。

結果
感染したユーザーは、レスポンシブダッシュボードのダッシュボードタブを編集できるようになりました。

非グローバルスコープの共有ダッシュボードに関する問題の解決

スコープ対象のアプリケーションのダッシュボードは、アドミン以外のユーザーには表示されない場合があります。アドミン以外のユーザーがダッシュボードを表示できないか、ダッシュボードのウィジェットがロードされない場合があります。

始める前に
必要なロール:関連付けられたスコープ対象アプリケーションのアドミン。

このタスクについて
ユーザーには、ロールのリストがない「ダッシュボードがユーザーと共有されていません」または「このダッシュボードは次のロールに制限されています」というメッセージが表示される場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. システムプロパティ glide.security.scoped_administration.honor_global_acl を true に設定します。
   このプロパティが既に true に設定されている場合、更新する必要はありません。
3. アプリケーションアドミニストレーターとして、スコープをダッシュボードが作成されたスコープに切り替えます。
4. ナビゲート すべて > **sys_scoped_admin_acl_inheritance.list**.
5. オプション: レポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルのレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - レポートユーザーおよびグループ [sys_report_users_groups]
6. 次のテーブルのレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ダッシュボード [pa_dashboards]
- ポータルページ [sys_portal_page]
- タブ [pa_tabs]
- ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

指定したユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有する場合、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。ダッシュボードを共有され、指定されたいずれかのロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、admin、またはダッシュボード オーナー。ダッシュボードを編集する他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、変更できません。

注: ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限することは、ダッシュボードをそれらのロールと共有することとは異なります。アクセス権を指定のロールに制限する前に、ダッシュボードを共有しておく必要があります。ただし、ベスト プラクティスは、[共有] パネルを使用して、ユーザー、グループ、ロールと共有することです。ロールに制限することはお勧めしません。

[ロールに制限] フィールドは、レスポンシブ ダッシュボードが有効化された後に使用可能になります。レスポンシブ ダッシュボードが有効化されてから無効化されると、[ロールに制限] フィールドは使用可能なままですが、ダッシュボード アクセスに影響はありません。

このタスクについて

異なるリリース間でダッシュボードが移行された場合、移行前にダッシュボードにアクセスできていたユーザーのみが以降もダッシュボードにアクセスできるように、このフィールドには、pa_viewer ロールと pa_contributor ロールが自動的に入力されます。

手順

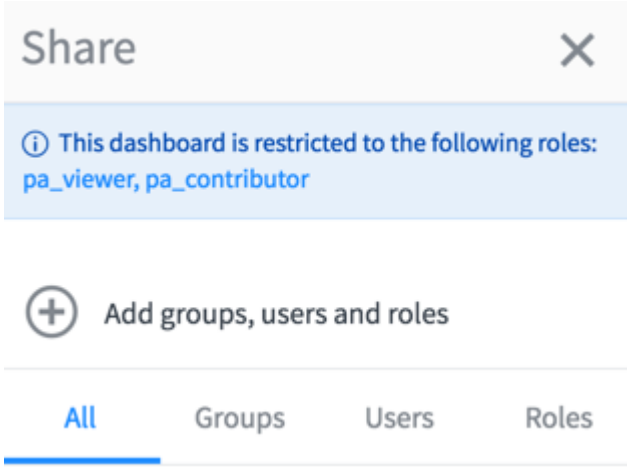
1. ダッシュボードに移動して、特定のロールに制限します。
2. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. [ロールに制限] フィールドで、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。指定されたロールのいずれかを持つユーザーは、 共有 パネルから最初に共有されている場合にのみ、ダッシュボードにアクセスできます。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

結果

制限されたロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。[共有] パネルのメッセージに、どのロールにアクセス権があるかが示されます。このメッセージに示されたロールをクリックすると、ダッシュボードのプロパティーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

ロールによるレスポンシブダッシュボードの共有を制限する

レスポンシブダッシュボードのプロパティを設定して、どのユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有できるようにするかを制限できます。

始める前に

必要なロール：admin。

このタスクについて

ダッシュボードプロパティを構成して、独自のダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。これらのロールを持つユーザーは、レスポンシブダッシュボードで 共有 アイコン ( ) を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. [独自のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り形式)] というラベルの付いたフィールドに、ロールを入力します。

   たとえば、itil、asset、および pa_admin ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを共有できる場合は 、「itil」、「asset」、「pa_admin」と入力します。このフィールドが空の場合、ユーザーは任意のロールを持つユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。

   注: このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

結果

指定されたロールを持つユーザーは、自分が所有するダッシュボードを表示するときに [共有] パネルを表示できます。他のロールを持つユーザーは、 共有 パネルを表示できません。

注: ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
[共有] パネルに表示されているものにセキュリティルールを適用するには、[ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] というラベルの付いたボックスを選択します。詳細については、「セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボードの共有を制限する」を参照してください。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードの共有

セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボードの共有を制限する

レスポンシブダッシュボードを共有しているときに[共有]パネルに表示できるユーザー、ロール、およびグループを設定できます。

始める前に
必要なロール：admin。アクセス制御リストを変更するには、アドミニストレーターがsecurity_adminロールに昇格する必要があります。詳細については、「 特権ロールへの昇格」 を参照してください。

このタスクについて
自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り形式) の構成に基づいて [共有] アイコンを表示できるユーザーには、プロパティ [ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用] の構成に基づいて、[共有] パネルにコンテンツが表示されない場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. ダッシュボードを共有すると表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するというラベルの付いたボックスを選択して、[共有] パネルに表示されているものにセキュリティルールを適用します。
   ユーザー、ユーザーグループ、およびロールの既存のセキュリティルール構成は、プラットフォームレベルで関連付けられた読み取りアクセス制御リストに記載されています。詳細については、「アクセス制御リストルール 」を参照してください。

結果
[自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] というラベルの付いたフィールドにロールが指定されているユーザーのみが、ダッシュボードを共有できます。このプロパティが構成されていて、ユーザーのロールがプロパティで指定されていない場合、ユーザーに は [共有] パネルが表示されません。[ダッシュボードの共有時に表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] が有効になっている場合、ユーザーが [共有] パネルでダッシュボードを共有できるユーザー、グループ、およびロールのリストにセキュリティルールが適用されます。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブダッシュボードロールの例

ダッシュボードを作成、編集、表示、または共有できるかどうかは、ロールによって異なります。これらの例は、ロールに基づいてダッシュボードで何ができるかを示しています。

ダッシュボードロールのこれらの説明は、ベースシステムの機能を想定しています。ロールを作成し、この機能を上書きする権限を割り当てることができます。

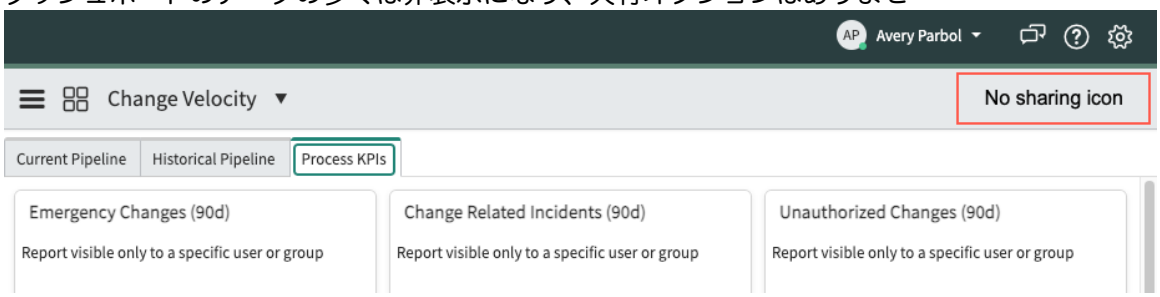
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールなし

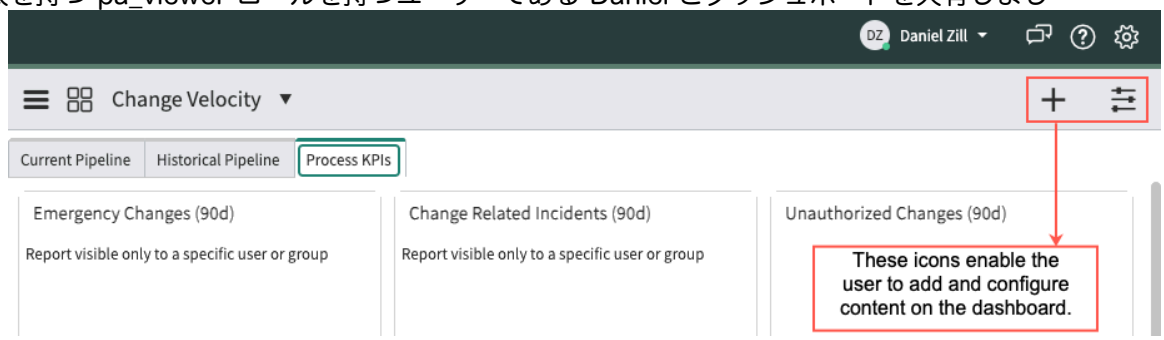
ロールを持たないユーザーには、別のユーザーが共有したダッシュボードのみが表示されます。ダッシュボードの情報 (特にリストの可視化) は、ACL に基づいてユーザーに表示されない場合があります。

ロールのないユーザーは、ダッシュボードを作成または共有できません。アドミンがこのダッシュボードを、ロールのないユーザーである Avery と共有しました。ダッシュボードのデータの多くは非表示になり、共有オプションはありません。

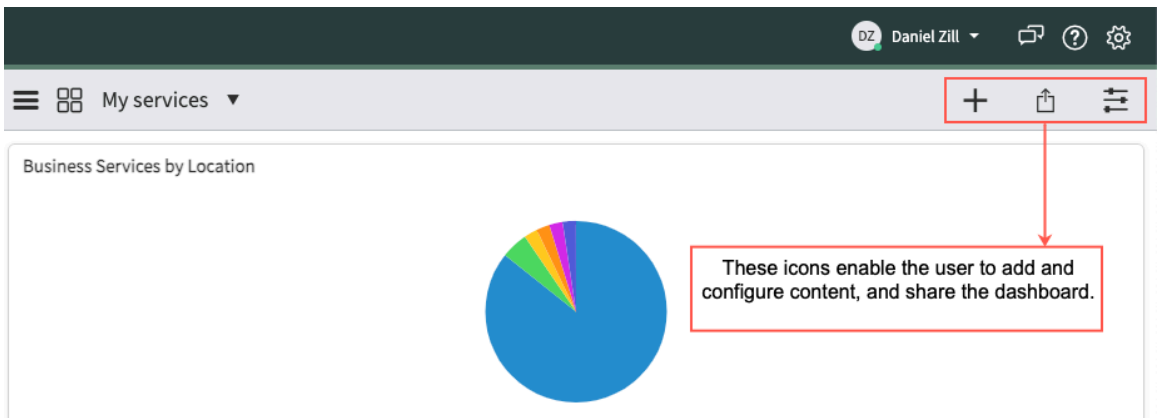


任意のロール

ユーザーは、任意のロールを持つダッシュボードを作成し、作成したダッシュボードを共有できます。編集 可能 権限で共有されているダッシュボードを表示、表示、および編集できます。ACL は、ダッシュボードで表示できる内容に引き続き適用されます。アドミンが、編集権限を持つ pa_viewer ロールを持つユーザーである Daniel とダッシュボードを共有しました。



Daniel がこのダッシュボードを作成したため、ダッシュボードを共有、構成、編集、および削除できます。



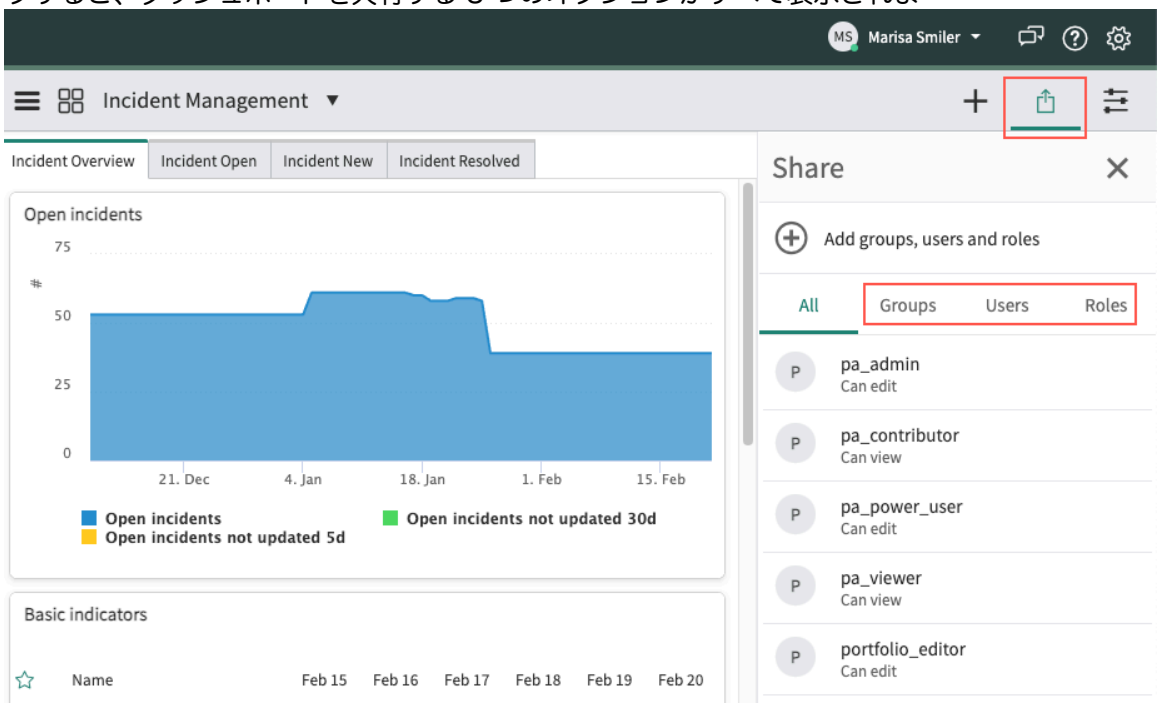
pa_adminとpa_power_user

pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。マリサはpa_power_userの役割を担っています。共有アイコン ( ) をク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リックすると、ダッシュボードを共有する 3 つのオプションがすべて表示されま



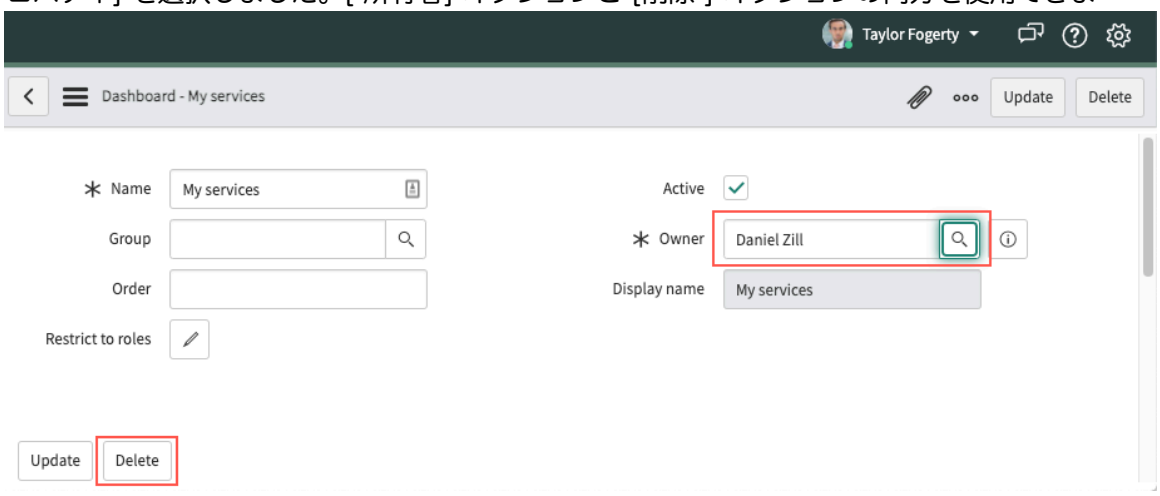
す。

dashboard_admin またはアドミン

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーには、次の機能があります。

- 任意のダッシュボードのユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します
- ダッシュボードの所有者を変更
- すべてのダッシュボードを削除

Taylor はdashboard_adminロールを持ち、コンテキストメニュー ( ) から [ダッシュボードのプロパティ] を選択しました。[所有者] オプションと [削除] オプションの両方を使用できま



す。

ダッシュボード統計情報

[ダッシュボード統計情報] リストを使用すると、各 コア UI ダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。

ダッシュボードの統計情報を表示するには、 すべて > **dashboard_stats.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[ダッシュボード統計情報] リストには、表示されたすべてのダッシュボードが表示されます。このテーブルには、少なくとも 1 回表示された

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンスのダッシュボードごとに 1 つのエントリがあります。エントリーは、エントリーが削除されるか、ダッシュボード自体が削除されるまで増加します。

- [ダッシュボード統計情報] リストでは、各 コア UI ダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。
- ダッシュボードの実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間がリストされます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動について 1 つのエントリが含まれています。

[ダッシュボード統計情報] リストには、次の列があります。

列	説明
実行時間	ダッシュボードのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。(実行を実行時間で除算したもの)
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行	ダッシュボードが実行された合計回数。
最新の実行時間	直近の 25 回の実行に基づくダッシュボードの平均実行時間 (ミリ秒)。`glide.dashboard.recent_executions_number` プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
最近の実行回数	最近の実行時間の計算に使用される値の数 (最大 `glide.dashboard.recent_executions_number` の値)。
実行時間	ダッシュボードのすべての実行における実行時間の合計。

- 実行に最も時間がかかっているダッシュボードを表示するには、[最近の実行時間] を z-a からソートします。
- 表示されているダッシュボードを表示するには、[実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も閲覧されているダッシュボードを表示するには、[実行] 列を Z から A 順にソートします。

ダッシュボードの実行

[ダッシュボードの実行] リストでは、 コア UI ダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID を表示できます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動について 1 つのエントリが含まれています。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、 すべて > **dashboard_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加するのに時間がかかります。
- [ダッシュボードの実行] リストは、ダッシュボードごとのユーザーごとの最新の 10 回の実行をサポートしています。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.dashboard.log.max_user_executions_x_dashboard* を編集します。

- ダッシュボード統計情報リストを使用すると、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間がリストされます。リストには、ユーザーごとに各ダッシュボードの最新の起動について 1 つのエントリが含まれています。

デフォルトでは、[ダッシュボードの実行] リストに次の列があります。

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行にかかった時間 (ミリ秒)。一意のユーザーごとに 1 つのエントリがあります。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。
ユーザー Sys ID	ダッシュボードを起動した Sys ID に関連付けられたユーザー。ユーザーを選択して情報を表示します。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a からソートします。

ダッシュボードの実行統計

[ダッシュボード統計の実行] リストでは、 コア UI ダッシュボードのロードにかかる時間を確認できます。このリストには、ダッシュボードを起動するたびに 1 つのエントリが含まれます。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、 すべて > **dashboard_stats_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加するのに時間がかかります。
- [ダッシュボード統計の実行] リストは、ダッシュボードごとのプロパティ *glide.dashboard.recent_executions_number* の値をサポートします。このプロパティのデフォルト値は 25 です。

- ダッシュボード統計情報リストを使用すると、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。

デフォルトでは、[ダッシュボード統計の実行] リストには次の列があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行にかかった時間 (ミリ秒)。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a からソートします。

ダッシュボードの **PDF** エクスポートを有効にする

ダッシュボードを PDF にエクスポートするには、プラグインとプロパティが必要です。

始める前に
必要なロール：admin。

WebKit HTML から PDF へのプラグインをアクティブ化し、ホームページ、ダッシュボード、および一部のレポートを PDF ドキュメントとしてエクスポートするようにプラグインを設定します。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. **WebKit HTML to PDF** を検索します。
   プラグインを選択してフォームを開きます。
3. [アクティブ化/修復] をクリックします。
   OAuth 2.0 プラグインがまだ有効でない場合、WebKit HTML To PDF プラグインはこのプラグインも有効にします。詳細については、「プラグインをアクティブ化する」を参照してください。

結果
ユーザーは、 ダッシュボードを PDF にエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できます。

翻訳されたダッシュボードのガイドライン

ユーザーは、特定の構成で翻訳されたダッシュボードのみを検索できます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。言語プラグインを使用する場合は、これらのガイドラインを参照して、ユーザーが翻訳されたダッシュボードを見つけられることを確認してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

翻訳されたダッシュボードの概要

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションはインスタンスのデータベースが MySQL であることを確認し、ユーザーのセッション言語を検索して、翻訳されたダッシュボードを検索します。このトピックでは、少なくとも 1 つの追加の言語プラグインがアクティブ化されていることを前提としています。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合にのみ、翻訳されたダッシュボードに対して機能します。

詳細: 言語を有効にする 。

ダッシュボードのタイトルを翻訳

ダッシュボードを開き、設定でターゲット言語を選択し、ダッシュボードのプロパティにダッシュボードの翻訳名を入力します。他のユーザーは、ローカライズされた名前を使用してダッシュボードを検索できるようになりました。

詳細：翻訳されたダッシュボードの問題の解決

翻訳されたダッシュボードの問題の解決

ユーザーは、特定の構成で翻訳されたダッシュボードのみを検索できます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。

始める前に

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションは最初にインスタンスの背後にあるデータベースを決定します。データベースが MySQL の場合、ユーザーのセッション言語を検索し、翻訳されたダッシュボードを検索します。言語プラグインの詳細については、「 言語のアクティブ化 」を参照してください。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合にのみ、翻訳されたダッシュボードに対して機能します。

必要なロール：admin

手順

1. ソース言語でインスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
3. 翻訳するダッシュボードを開きます。
4. ユーザーアイコンを選択し、[設定] を選択します。
5. [言語 & 地域] タイルを選択します。
6. [言語] メニューからターゲット言語を選択し、ダイアログを閉じます。
   インスタンスで有効な言語プラグインがある場合は、追加の言語を使用できます。
7. コンテキストメニュー (≡) から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
8. ダッシュボード名をターゲット言語に翻訳し、[更新] をクリックします。

結果

システムがターゲット言語に設定されている場合、ユーザーは翻訳された名前を使用してダッシュボードを検索できます。

ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード

ドメインセパレーションは、ダッシュボードの作成と管理でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれます。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

重要: 子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメインセパレーションと委任管理の両方を有効にする必要があります。

子ドメインのユーザーはダッシュボードを上書きできません。子ドメインユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメインセパレーションの仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

ドメインセパレーションされたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメインセパレーションによって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。このレポートは、IT ドメインのユーザーには表示されませんが、ウィジェットコンテナーは表示されます。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

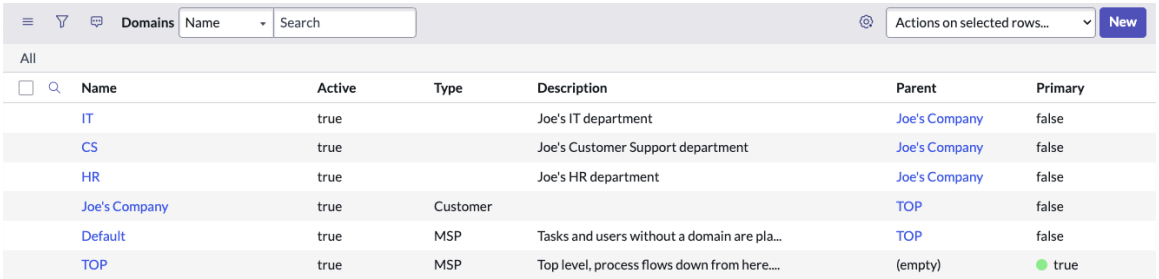
- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図では、IT、CS、および HR ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



重要: ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメインセパレーションされたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連トピック

- ドメインセパレーションの概要
- サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス

ダッシュボード のクイックスタートテスト

アップグレード適用などの構成変更を行った後も、ダッシュボードが変わらず正常に動作するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ダッシュボード クイックスタートテストでは、自動テストフレームワーク - レスポンシブダッシュボードプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.dashboards) を有効にする必要があります。このプラグインはインスタンスの zBoot で有効になります。

ダッシュボード クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レスポンシブダッシュボードの共有	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの共有を確認します。	Madrid
レスポンシブダッシュボードの可視化	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの可視化を確認します。	Madrid

関連トピック

- クイックスタートテスト

ダッシュボードの **URL** パラメーター

ダッシュボードの URL パラメーターを使用すると、アプリケーション ページで使用されるダッシュボードのヘッダーおよびブレークダウン ソースの表示を制御できます。

ダッシュボード ヘッダー

この sysparm_header URL システム パラメーターは、ダッシュボードのヘッダーの表示を制御します。次の値があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- hidden：アプリケーション ページにヘッダーは表示されません。
- embedded：ダッシュボード ヘッダーは表示されますが、オプションに制限があります。コンテキスト メニューで、リフレッシュ、フィルターのリセット、および PDF へのエクスポートのオプションが使用可能です。
- visible (デフォルト)：アプリケーション ページに完全なヘッダーが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_header=embedded
```

ダッシュボード ブレークダウン

sysparm_breakdown URL システム パラメーターは、ダッシュボード ブレークダウンの表示を制御します。次の値があります。

- visible (デフォルト)：ソースと要素を含む完全なブレークダウンが表示されます。
- hidden：完全なブレークダウンは非表示になります。
- embedded：ブレークダウン要素のみが表示されます。
- readonly：ブレークダウン要素は表示されますが、読み込み専用です。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_breakdown=hidden
```

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システムパラメーターを使用すると、[ダッシュボードの概要] ページのダッシュボードピッカーに単一のダッシュボードグループを含めることができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_group=incident
```

その他のダッシュボード **URL** パラメーター

sysparm_active_panel
: 編集パネルを表示するかどうかを示します。

sysparm_editable
: 編集パネルを表示できるかどうかを示します。

ダッシュボードの概要 **URL** パラメーター

sysparm_group パラメーターを使用して、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページのダッシュボード グループのデフォルト値を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページ (pa_dashboards_overview.do) のすべてのタブを、指定したダッシュボード グループによりフィルタリングした状態で開くことができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

注: URL に指定したダッシュボード グループが存在しない場合、URL は、[最近] タブが選択された [Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページを戻します。

この URL の例では、グループ CMDB Overview 内のダッシュボードのみが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>nav_to.do?uri=%2F
$pa_dashboards_overview.do?sysparm_group=CMDB Overview
```

レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化

大きなダッシュボードでは、特にウィジェットが複雑なクエリや大きなテーブルに対するクエリに依存している場合、レンダリングに時間がかかることがあります。システム プロパティーを使用して、ウィジェットのロード方法を最適化できます。

始める前に
必要なロール：admin

注: ウィジェットの表示は、レスポンシブ ダッシュボードでのみ最適化できます。

手順

1. これら 2 つのシステムプロパティを使用して、ダッシュボードウィジェットのレンダリングを最適化します。

名前	説明
glide.canvas.grid.widget_performance_threshold	ウィジェットがダッシュボードに表示される際の最大秒数を定義します。この時間を超えるウィジェットはレンダリングされず、警告メッセージが表示されます。ユーザーはメッセージを選択してレンダリングを再開できます。遅いウィジェットが他のウィジェットのロードをブロックしないようにするには、このしきい値を設定します。 ○ タイプ：整数 ○ デフォルト値：-1 ○ 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ デフォルト値の -1 はしきい値を無効にし、ウィジェットのパフォーマンスは評価されません。ウィジェットは、1 以上の値に対して評価されます。
glide.canvas.grid.widget_render_concurrent_max	ダッシュボードに同時に表示されるウィジェットの最大数を定義します。値が小さいほど、サーバーへの要求が多くなります。値が大きいほど、サーバーへの要求が少なくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	注: このプロパティは、サーバーの負荷を軽減します。個々のダッシュボードのパフォーマンスが必ずしも向上するわけではありません。 画面の外側にあるウィジェットは、スクロールして通り過ぎるまでまったくロードされません。 ○ タイプ：整数 ○ デフォルト値:プロパティが手動で設定されていない場合は 3。プロパティを手動で設定した場合、最小値は 2 です。このプロパティを手動で 1 以下に設定すると、ダッシュボード上のすべてのウィジェットが同時にロードされます。 ○ 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ

これらのプロパティーに使用する値は、インスタンスのパフォーマンスおよびそのダッシュボードのコンテンツによって異なります。

2. トランザクションクォータのルールを設定する こともできます。
トランザクションクォータのルールを使用すると、ウィジェットまたはダッシュボードの最大実行時間を設定できます。

注:

ロードに時間がかかるウィジェットには、次の 2 つのシナリオがあります。

トランザクションクォータの値がパフォーマンスしきい値未満です

トランザクションクォータに達する前にウィジェットがロードされない場合、ウィジェットはロードされません。次のメッセージが表示されます: ウィジェットがキャンセルされました:最大実行時間が超過しました。

パフォーマンスしきい値がトランザクションクォータを下回っています

動作は、トランザクションクォータが存在しない場合と同じです。ウィジェットのロードが停止し、メッセージが表示されます。ウィジェットを選択して再ロードできます。ただし、トランザクション割り当ては引き続き適用され、レンダリングが停止する場合があります。

関連トピック

利用可能なシステムプロパティ

のアドミンコンソール ダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス管理コンソールには、ダッシュボード管理用のいくつかの機能が含まれています。

探索および管理

移動先 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[探索および管理] ダッシュボードには、ダッシュボードとインジケーター関連のレコードを検索、変更、作成するためのツールが含まれています。ダッシュボード グループとダッシュボードを管理するためのリンクをクリックします。

詳細設定

移動先 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.

管理コンソールの [詳細設定] タイルに、[ダッシュボード プロパティー] へのリンクが表示されます。

ツリー ビュー

アドミンコンソールのツリービューを使用すると、階層内のパフォーマンスアナリティクスとレポートエンティティ間の関係を識別して表示できます。ツリービューでは、複数のページをふるいにかけて、それらのページが互いにどのように関連しているかを判断する必要はありません。詳細については、「依存関係アセスメント」を参照してください。

アドミンコンソールの機能の詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティーを使用して、ダッシュボードの動作と外観を微調整します。

移動先 システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ メインのレスポンシブダッシュボードプロパティを設定するには。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティ	説明
統合アナリティクスワークスペースエクスペリエンスを有効にします。これにより、すべてのレスポンシブダッシュボードとネクストエクスペリエンスダッシュボードがアナリティクスセンターの同じ概要に表示されます。 com.glide.par.unified_analytics.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効にすると、アナリティクスセンターにプラットフォームアナリティクス UI とコア UI (レスポンシブ) ダッシュボードの両方が表示されます。ユーザーは、レスポンシブダッシュボードのインジケーターの可視化から KPI 詳細にドリルダウンすることもできます。
セキュリティルールを、ダッシュボードを共有すると表示されるユーザーのリスト、ユーザーグループ、およびロールに適用します。 glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効になっている場合、共有パネルに表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストが制限されます。この制限は、sys_user、sys_user_group、および

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	sys_user_role ACL の構成に基づいています。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。 このプロパティの有効化に関連付けられているパフォーマンスのペナルティがあります。パフォーマンスのデグレードは、インスタンスのビジネスルールと ACL の数と複雑さに基づいている場合があります。
所有するダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。 glide.cms.share_dashboards.role	• タイプ：文字列 • デフォルト値：空 このプロパティが空白の場合、すべてのユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 注: ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。
レスポンシブ ダッシュボードにウィジェットを表示する最大秒数 glide.canvas.grid.widget_performance_threshold	• タイプ：整数 • デフォルト値：なし • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
レスポンシブ ダッシュボードに同時に表示できるウィジェットの最大数 glide.canvas.grid.widget_render_concurrent_max	• タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
レスポンシブダッシュボードウィジェットがブラウザーにキャッシュされる秒数。 glide.canvas.grid.widget_cache_ttl	• タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ
レスポンシブダッシュボードの [共有] パネルで名前を検索するときに返されるユーザー、グループ、およびロールの数。 このプロパティの値はカテゴリごとの値であるため、デフォルト値の 100 では、100 人のユーザー、100 のグループ、および 100 のロールの 300 件の結果が得られる可能性があります。 glide.cms.dashboards.sharing.search.maxRecords	• タイプ：整数 • デフォルト値：100 • 場所:sys_properties.list 値の設定が小さすぎると、期待する結果が見つからなくなる可能性があります。最小値は 5 です。設定が大きすぎると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタム コンテンツの **PDF** エクスポートに関する制限事項

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。

ServiceNow サポートの対象外

他のカスタム実装と同様に、 ServiceNow の制御が及ばない場合、いくつかのアクションはサポートが制限されるか、まったくサポートされません。

- カスタムコンテンツブロック:ベースシステムにもプラグインにも含まれていないコンテンツブロック。
- カスタムコンテンツブロック:レポートの可視化を含むコンテンツブロックの数は、エクスポートの成功に影響する可能性があります。エクスポートの成功が断続的に発生する場合もあります。
- カスタムインタラクティブフィルター (動的コンテンツブロック)。
- 既存の UI ページおよびスクリプトに戻る Iframe を含む、カスタムの Iframe
- カスタム ウィジェット：ServiceNow によって作成されていないウィジェット
- カスタムグローバル UI スクリプト:ベースシステムに含まれていない UI スクリプト。
- カスタム UI ページ:ベースシステムに含まれていない UI ページ。
- カスタムスクリプトインクルード:ベースシステムに含まれていないスクリプトインクルード。

PDF エクスポート エンジンでのページの表示方法は、ブラウザーでの表示方法とは異なります。PDF エクスポート機能では、Web テクノロジーとして HTML 4、CSS2、および JavaScript 1.5 がサポートされています。コンテンツ ブロックの開発者は、PDF エクスポートに対してコードをテストし、その実装をこれらの制限事項に基づいて調整する責務があります。

ホームページの廃止

ホームページ機能のサポートは段階的に廃止されました。ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合、ホームページを作成または編集することはできません。

Zurich にアップグレードすると、アクティブなホームページはコア UI レスポンシブダッシュボードに変換されますが、次の例外があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [アクティブ] フィールドを持たないホームページは変換されません。
- 非アクティブなユーザーが所有する個人ホームページは自動的に廃止されます。
- 読み取りロールを持たないホームページは自動的に廃止されます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、未変換のすべてのホームページを 1 か所で検索し、ダッシュボードに変換したり廃止したり、廃止されたホームページをダッシュボードとして復元したりできます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用すると、システム管理者とダッシュボード管理者が、ワークフローを使用してホームページを廃止したり、ホームページをレスポンシブダッシュボードに変換したりできます。移行ステータスを追跡し、ユーザーやグループにタスクを割り当てることができます。個人ホームページの廃止には、承認を得るために所有者に送信される要求が含まれます。ホームページ廃止ヘルプツールは、admin ロールと dashboard_admin ロールを持つユーザー向けのストアアプリです。このアプリケーションの使用方法については、「 ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする」を参照してください。

変換されたホームページのダッシュボードバージョンを見つけるには、 すべて > プラットフォームアナリティクス > ライブラリー > ダッシュボード.

ホームページの廃止ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページ廃止ヘルプツール

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、すべてのホームページを 1 か所で検索し、ダッシュボードに変換したり廃止したり、廃止されたホームページをダッシュボードとして復元したりできます。

ホームページの廃止ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページ廃止ヘルプツールを使用する前に、次の 2 つの手順を実行します。admin ロールを持つユーザーは、システムプロパティを変更する必要があります。admin ロールを持つユーザー、または dashboard_admin ロールと flow_designer ロールの両方を持つユーザーは、ホームページ移行ステータステーブルに入力できます。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *com.glideapp.home.deprecate_homepages* を true に設定します。

   重要: このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

ホームページの廃止ダッシュボードには、次の 4 つのタブがあります。

概要
: 概要を使用すると、廃止プロセスを開始し、インスタンスのホームページの一般的なステータスを表示できます。

パーソナルホームページ
: 非アクティブな、またはインスタンスからロックアウトされている個人が所有するすべてのホームページのリスト。パーソナルホームページは、すべてのユーザーがアクセスできるグローバルホームページとは異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

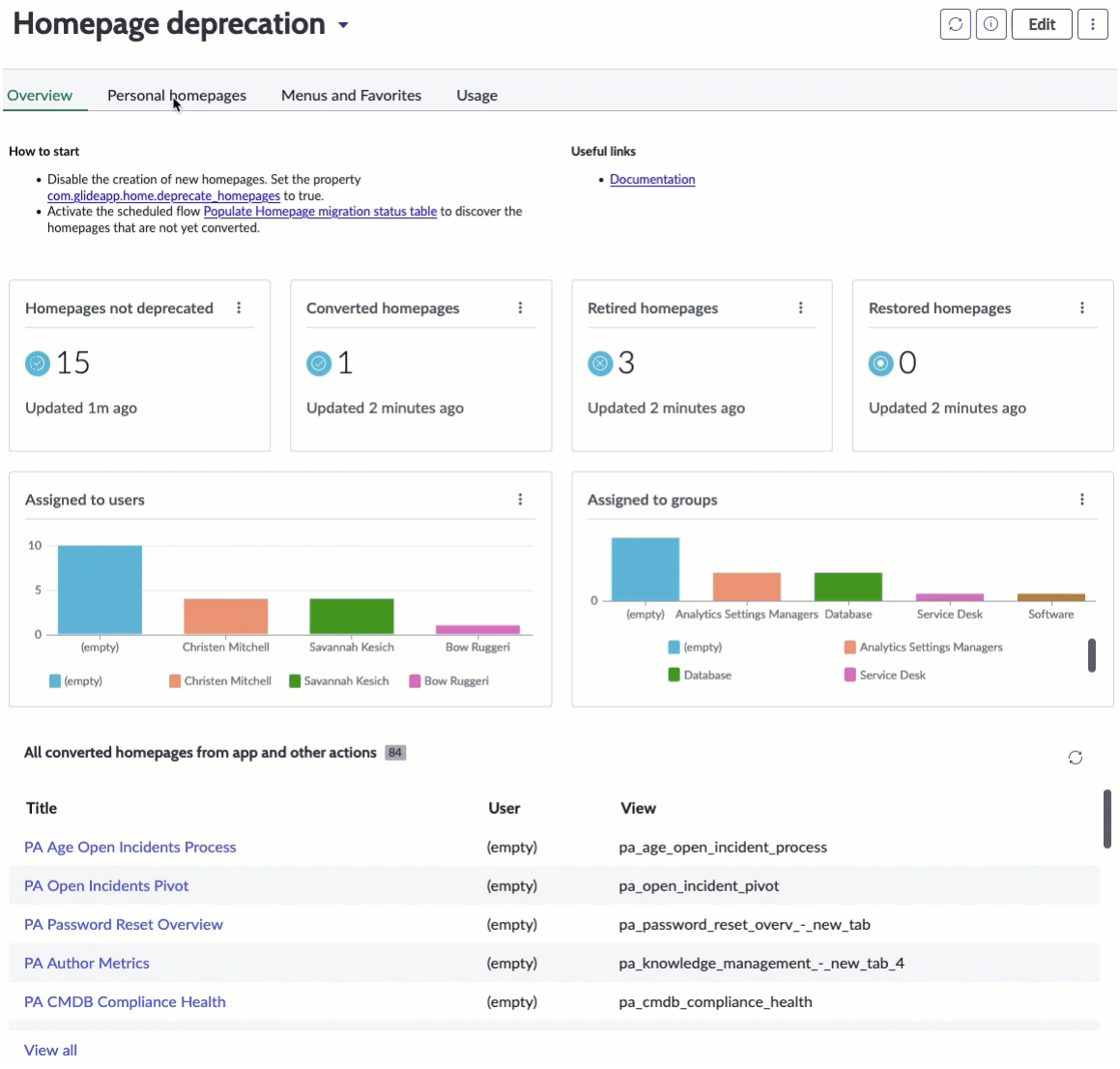
メニューとお気に入り

構成されたメニューに表示されるホームページと、ユーザーによってお気に入りとしてマークされたホームページのリスト。最初のケースでは、変換されたダッシュボードを指すようにメニューアイテムを再構成する必要があります。2 番目のケースでは、新しく変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークするようにユーザーに警告する必要があります。

使用状況

過去 30 日間表示されていないすべてのホームページのリスト。

ホームページ廃止ダッシュボード



[概要] タブ

[概要] タブには、使用を開始するためのリンクと、注意が必要なホームページを選択できるいくつかのレポートが含まれています。

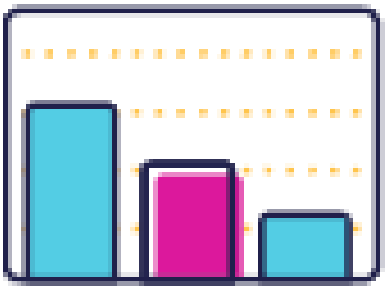
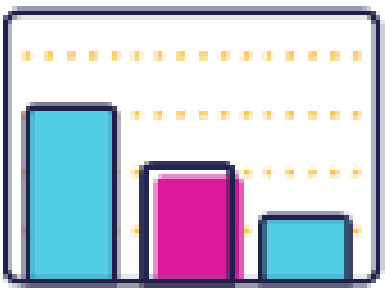
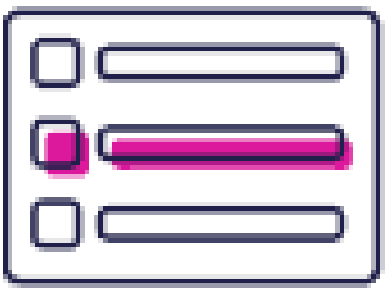
[開始方法] セクションには、新しいホームページの作成を無効にし、ホームページ移行ステータステーブルに入力するためのリンクがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	タイプ	説明
ホームページは廃止されていません	単一スコア	変換も廃止もしていないホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
変換されたホームページ	単一スコア	レスポンシブダッシュボードに変換したホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
廃止されたホームページ	単一スコア	廃止したホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
復元されたホームページ	単一スコア	レスポンシブダッシュボードとして復元した廃止されたダッシュボードの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	タイプ	説明
ユーザーにアサイン済み	 棒グラフレポート	ユーザーにアサインされているホームページ。ユーザーがアサインされていないホームページの 空 のアカウントとラベル付けされたバー。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポート内の任意のバーを選択します。
グループにアサイン	 棒グラフレポート	グループにアサインされているホームページ。グループがアサインされていないホームページの 空 のアカウントとラベル付けされたバー。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポート内の任意のバーを選択します。
アプリとその他のアクションから変換されたすべてのホームページ	 リストレポート	ヘルプツールであろうと他の方法であろうと、ホームページから変換されたすべてのダッシュボード。

自動翻訳

パーソナルホームページ

このタブには、所有者が非アクティブまたはロックアウトされているホームページのリストが表示されます。これらのホームページは廃止の良い候補かもしれません。リンクを選択すると、廃止または変換する個人のホームページのみを含むフィルター済みリストが開きます。

メニューとお気に入り

[メニューとお気に入り] タブには 3 つのリストがあります。

メニューに接続されたホームページ

フィルターナビゲーターのメニューに接続されているホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、変換されたダッシュボードをメニューアイテムに指定するか、メニューアイテムを削除する必要があります。

お気に入りに接続されているホームページ

ユーザーがお気に入りとして識別するホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止するときは、変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークするように指示します。

ホームページに接続されたメニューとモジュール

フィルターナビゲーターにメニューアイテムまたはモジュールとして表示されるホームページを表示します。メニューとモジュールアイテムを編集して、変換されたダッシュ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボードを開きます。廃止されたホームページを開くメニューまたはモジュールアイテムを削除します。

使用状況

[使用状況] タブには、過去 30 日間表示されていないすべてのホームページのリストが表示されます。これらのホームページは廃止の良い候補かもしれません。

ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする

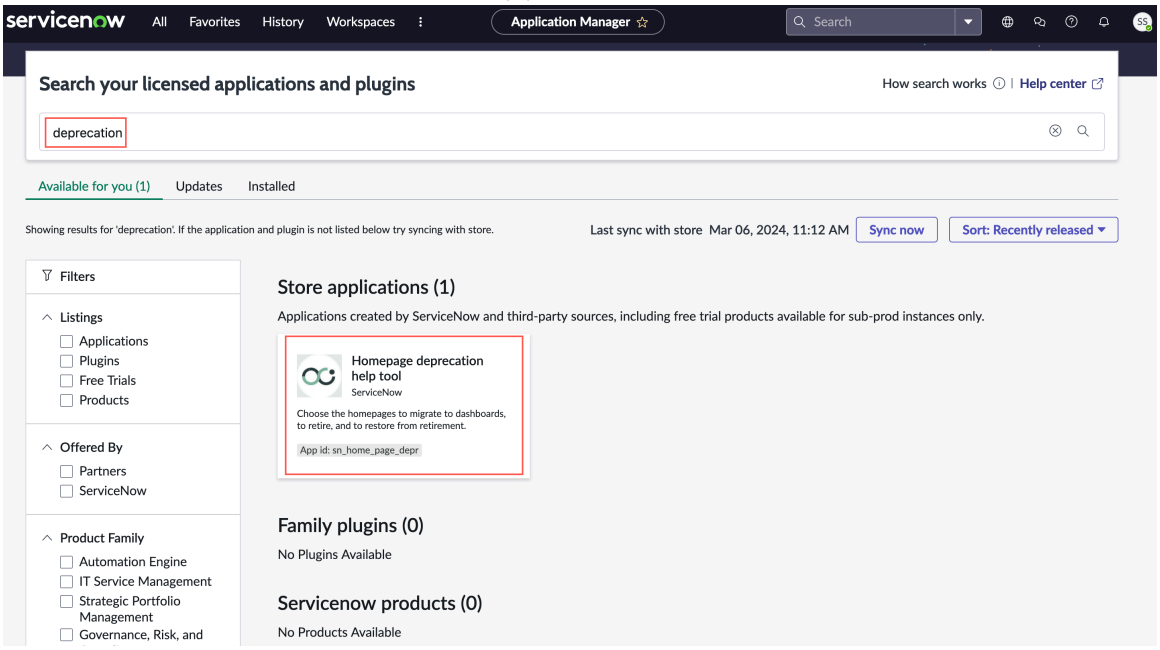
ホームページを変換、廃止、復元するには、ホームページ廃止ヘルプツールをインストールします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ホームページ廃止ヘルプツールはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「 ServiceNow Store アプリケーションのインストール 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、ホームページ廃止ヘルプツールアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Storeからのリクエストが必要になることもあります。



3. ヘルプツールのボタンを選択して、アプリケーションの概要ページを開きます。
4. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示される [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスに、アプリケーションとともにインストールされている依存関係が一覧表示されます。

5. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示される [インストールの詳細を確認] ダイアログボックスに、アプリケーションとともにインストールされている依存関係が一覧表示されます。

ホームページを個々のダッシュボードに変換する

ホームページ移行ステータステーブルに入力し、ダッシュボードに変換するホームページを決定します。ホームページを個々のダッシュボードに変換することも、複数のホームページを同じダッシュボード上のタブに変換することもできます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
   アドレス未指定のすべてのホームページのステータスは [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [変換] を選択します。

   変換フローは、スクリプトをトリガーして別のダッシュボードを作成し、canRead と canWrite の権限をダッシュボードの権限に移動します。

   廃止フローは個人のホームページを自動的に廃止し、[選択可能] フィールドを false に設定して、アドミンユーザーに読み取り/書き込み権限を割り当てます。

   このフローは、非個人用のホームページの所有者に、ホームページを廃止する許可を求めます。権限フローには、権限の 14 日間の待機期間が含まれています。

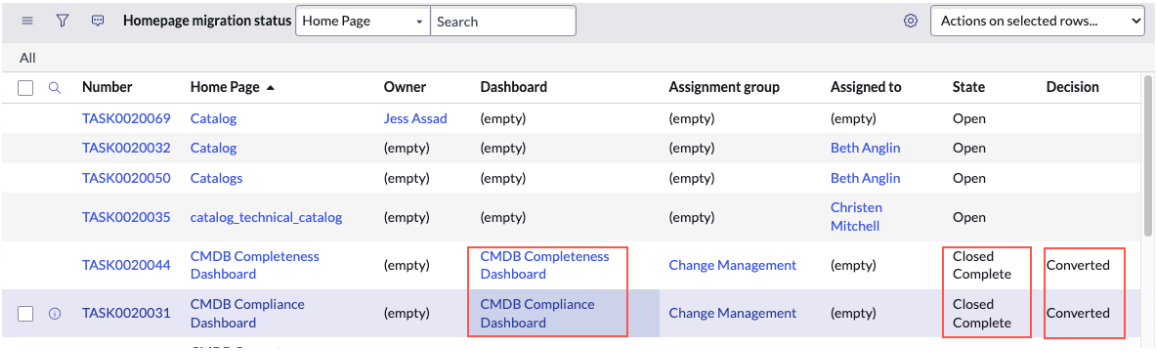
結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択して、自分が表示する権限を持つすべてのダッシュボードを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [ステータス] 列のエントリーが [完了してクローズ] に変更されます。
- [意思決定] 列のエントリは [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページを開くメニューを更新して、新しいダッシュボードを開きます。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを表示します。

ホームページの廃止に展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。

ホームページをダッシュボードタブに変換

ホームページ移行ステータステーブルに入力した後、1 つ以上のホームページを新規または既存のダッシュボードのタブに変換できます。

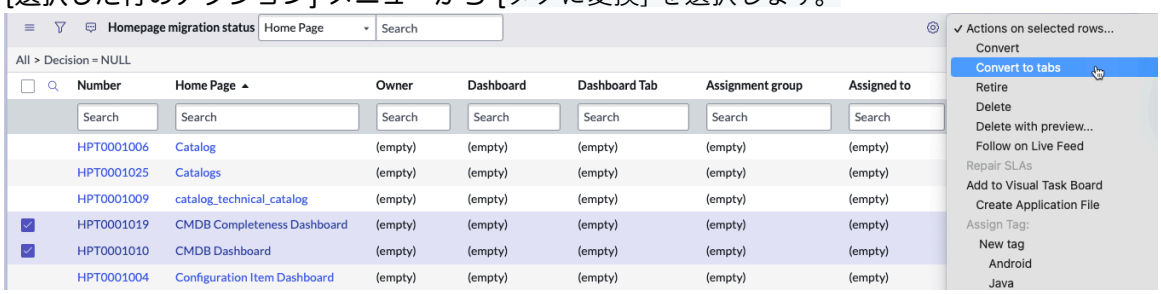
始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

> **注:** 1 つ以上のホームページをダッシュボードタブに変換するには、ホームページの所有者が同じである必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
   アドレス未指定のすべてのホームページのステータスは [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [タブに変換] を選択します。



4. 既存のダッシュボードを選択するか、新しいダッシュボードのタイトルを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

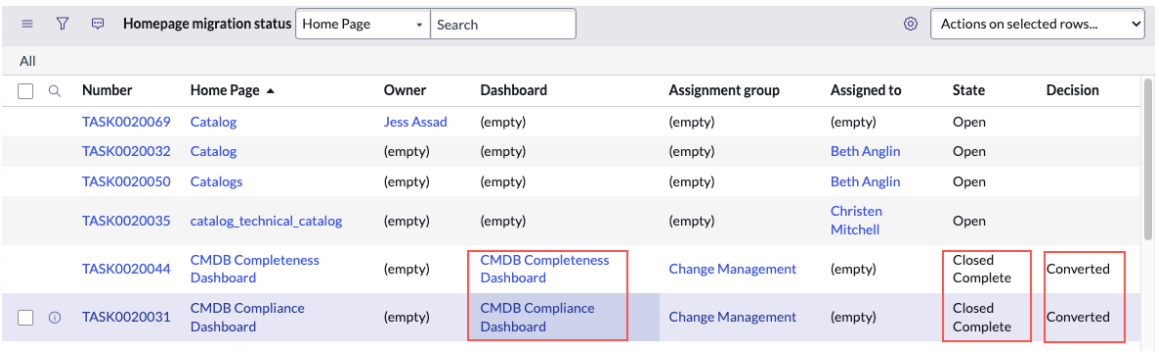
既存のダッシュボードを選択すると、ホームページは既存のタブの後にタブとして追加されます。新しいダッシュボードのタイトルを設定すると、新しいダッシュボードには、追加した各ホームページのタブが含まれます。

変換フローは、スクリプトをトリガーして新しい独立したダッシュボードを作成し、canRead 権限と canWrite 権限をダッシュボードの権限に移動します。

結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択して、自分が表示する権限を持つすべてのダッシュボードを表示します。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- [ダッシュボードタブ] 列には、新しいダッシュボードタブの名前とダッシュボードタブのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [ステータス] 列のエントリーが [完了してクローズ] に変更されます。
- [意思決定] 列のエントリは [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページを指すメニューを更新して、新しいダッシュボードを指すようにします。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを表示します。

ホームページの廃止に展開したカスタムモバイルアプリケーションを使用して管理しました。

ホームページの廃止

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページを廃止します。ホームページを廃止すると、アドミン以外のすべてのユーザーから表示オプションと編集オプションが削除されます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *com.glideapp.home.deprecate_homepages* を true に設定します。

   重要: このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

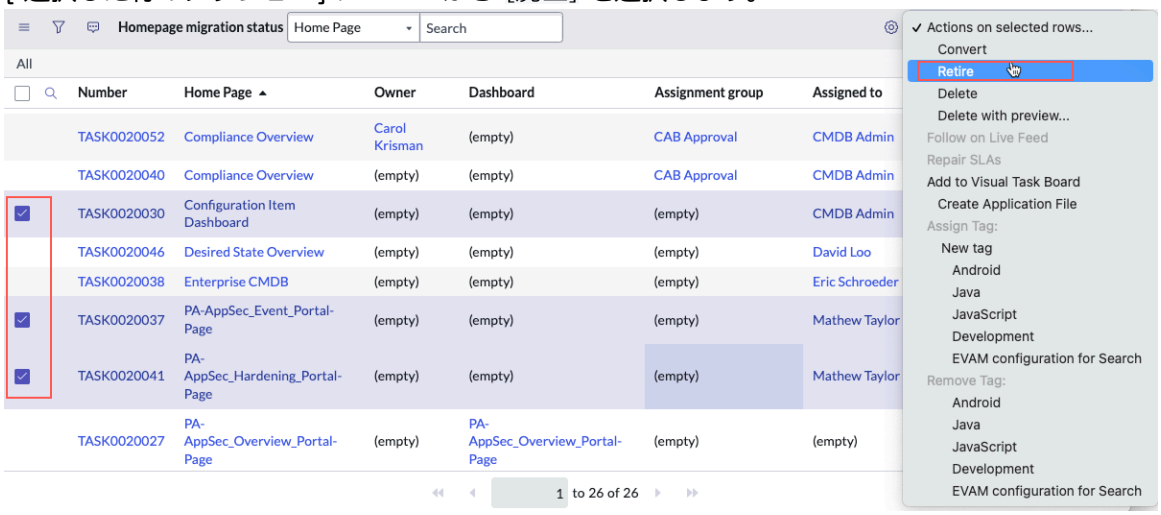
注:

ホームページを廃止すると、ユーザーは関連するポータルページを選択できなくなり、アドミンのみがページの読み取りおよび書き込み権限を持ちます。

退職要求に応答する時間制限を設定するには、システムプロパティ *sn_home_page_depr.approval_due_date*を編集します。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス.
2. 廃止するホームページの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [選択した行のアクション] メニューから [廃止] を選択します。



   - ホームページがグローバルホームページ、つまり所有者が指定されていないホームページの場合、そのホームページは廃止され、タスクステータスはすぐに [完了してクローズ] に設定されます。
   - 制限時間内に個人ホームページの所有者からの応答がない場合、そのホームページは廃止され、タスクステータスは [完了してクローズ] に設定されます。
   - 所有者が廃止要求を却下した場合、ホームページはダッシュボードに変換されます。

結果
ホームページ移行ステータステーブルが変更されます。

- 変換されたホームページの [ステータス] 列のエントリは [完了してクローズ] に変更されます。
- 廃止されたホームページの [意思決定] 列のエントリは [廃止] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 所有者が廃止を却下したホームページの [意思決定] 列のエントリは、[変換済み] に変更されます。
- 非アクティブまたはロックアウトされたユーザーの個人ホームページは、ホームページ廃止ダッシュボードの [個人ホームページ] タブに表示されなくなります。
- 廃止されたホームページの読み取りおよび書き込み権限は、アドミンに制限されています。

次のタスク
ホームページを復元

ホームページを復元

廃止されたホームページをダッシュボードとして復元します。

始める前に
廃止されたホームページのステークホルダーが依然としてその情報を必要とする場合があります。廃止されたホームページをレスポンシブダッシュボードとして復元できます。

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > サービスカタログ.
2. [何かお困りですか] を選択します。
3. [ホームページの復元] を選択します。
4. 廃止されたホームページの名前を入力するか、検索アイコン ( ) を使用して廃止されたホームページを検索します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
廃止されたホームページがダッシュボードに変換されます。[ホームページ移行ステータス] テーブルには、これらの変更が表示されます。

- [ダッシュボード] 列に新しいダッシュボードの名前が入力されます。
- 復元されたホームページの [ステータス] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリが [復元済み] に変更されます。

ホームページ移行ステータステーブル

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページの廃止と変換に対処します。

ホームページ移行ステータステーブルには、ダッシュボードまたはダッシュボードタブに関連付けられていないインスタンスのホームページが一覧表示されます。また、それぞれのステータスについて管理者が行った決定も表示されます。ホームページの移行ステータステーブルには、[概要] タブのほとんどの可視化からアクセスするか、次の場所に移動できます すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページの移行ステータス. 詳細については、「ホームページの廃止」を参照してください。

このテーブルには次の列が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	説明
タスク	ホームページの移行に関連するタスクの番号を表示します。ハイパーリンクを選択してタスクフォームを表示します。
ホームページ	ホームページのタイトルとそのフォームへのリンクを表示します。
所有者	ホームページが個人向けの場合、このフィールドには所有者の名前が入力されます。それ以外の場合、このフィールドは空になります。
ダッシュボード	ホームページのダッシュボードバージョンがある場合に入力されます。
アサイン先グループ	ツールで対処するために 1 つ以上のホームページがグループにアサインされている場合に入力されます。
担当者	ツールで対処するために 1 つ以上のホームページが単一ユーザーにアサインされている場合に入力されます。
ステータス	可能なステータスは 2 つあります。 • 管理者がホームページに対応していない場合は、[オープン]。 • ホームページが変換、廃止、または復元されている場合は、[完了してクローズ]。
決定	[変換済み]、[廃止済み]、または [復元済み]

自動翻訳

ホームページ移行ステータステーブルの入力

ホームページ移行ステータステーブルを使用すると、ホームページの廃止と変換に対処できます。スケジュール済みワークフローを実行して、インスタンスのホームページに関する情報をホームページ移行ステータステーブルに入力します。

始める前に

必要なロール：admin

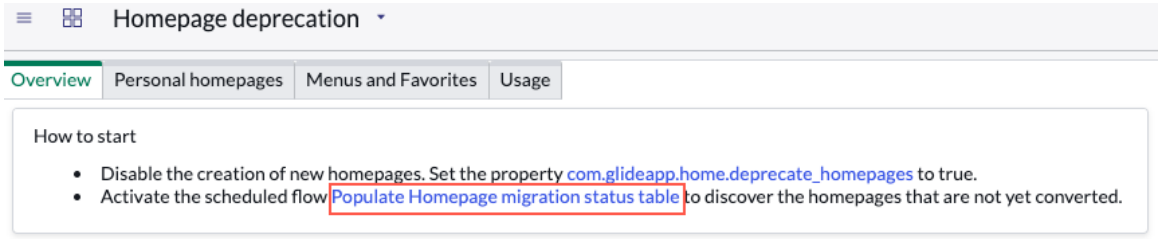
入力フローには、実行ごとに 1000 sys_portal_pages の制限があります。入力フローは数日間実行しておくことができます。フローでは、ホームページ移行ステータステーブルにレコードを 1000 単位で追加します。

> **注:** ドメインセパレーションされたインスタンスでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルインスタンスでのみ実行されます。

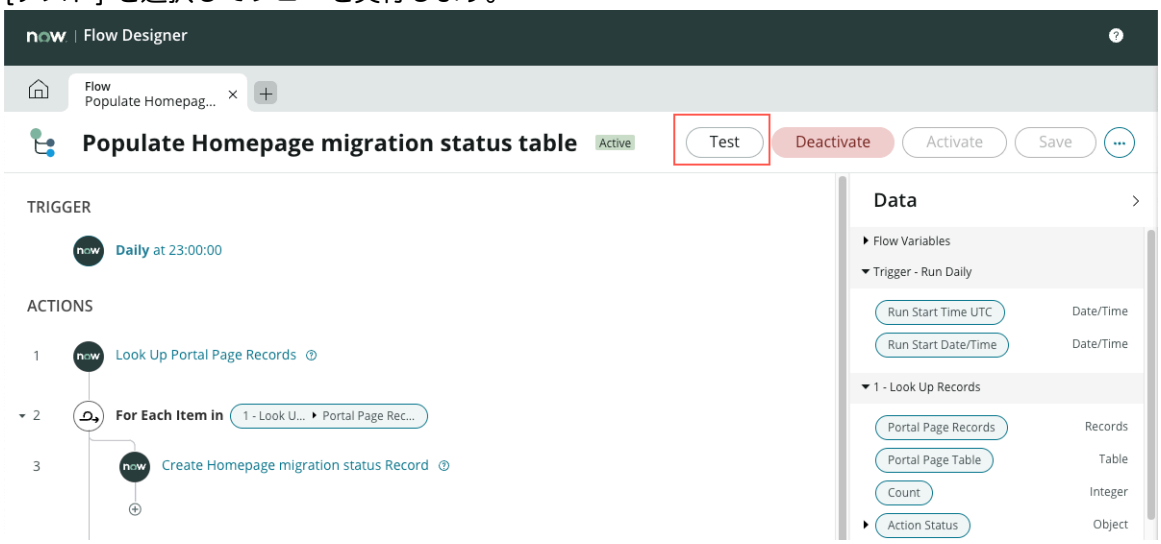
手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.
2. [ホームページ移行ステータステーブルを入力] というラベルの付いたリンクを選択して、テーブルに入力するフローを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. Flow Designer で、入力フローを実行するタイミングを指定するトリガーを選択します。
   デフォルトのトリガーは毎日 23:00:00 です。
4. [アクティブ化] を選択します。
5. [テスト] を選択してフローを実行します。

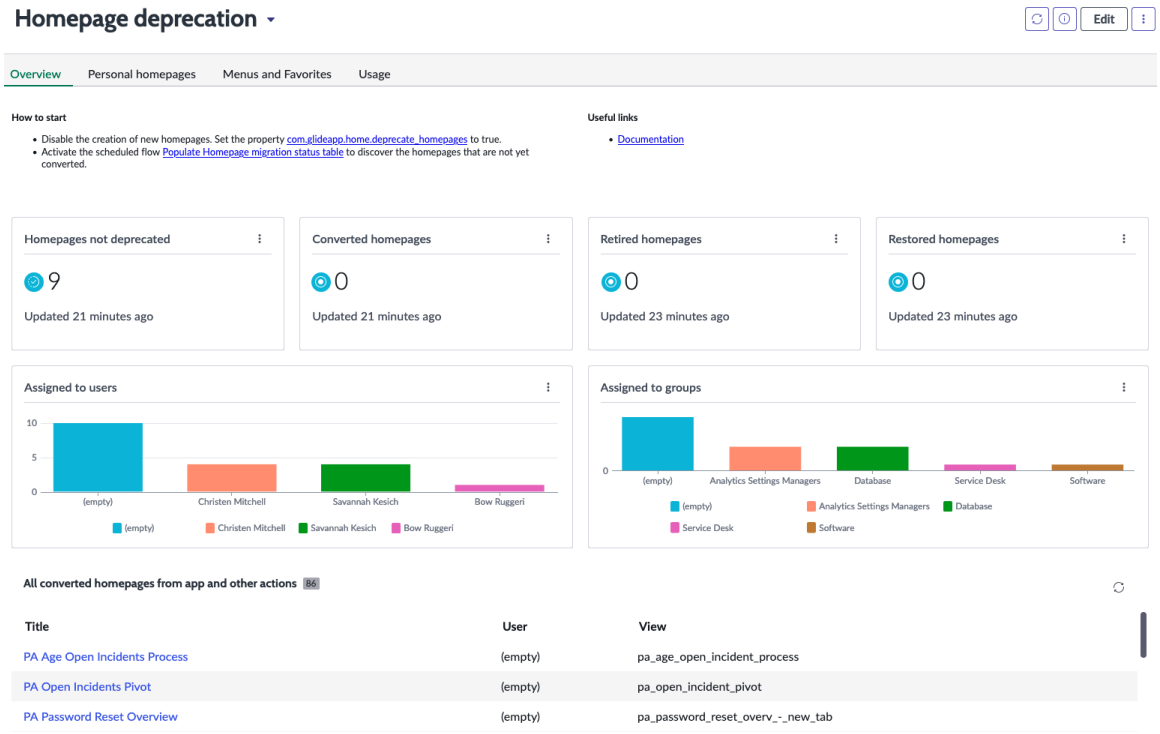


6. [テストを実行] を選択します。
   [テストの実行が終了しました] というメッセージが表示されたら、[テストフロー] ウィンドウを閉じて [概要] タブに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
ホームページ廃止ヘルプツールの [概要] タブには、廃止されていないホームページの数が表示されていま



す。

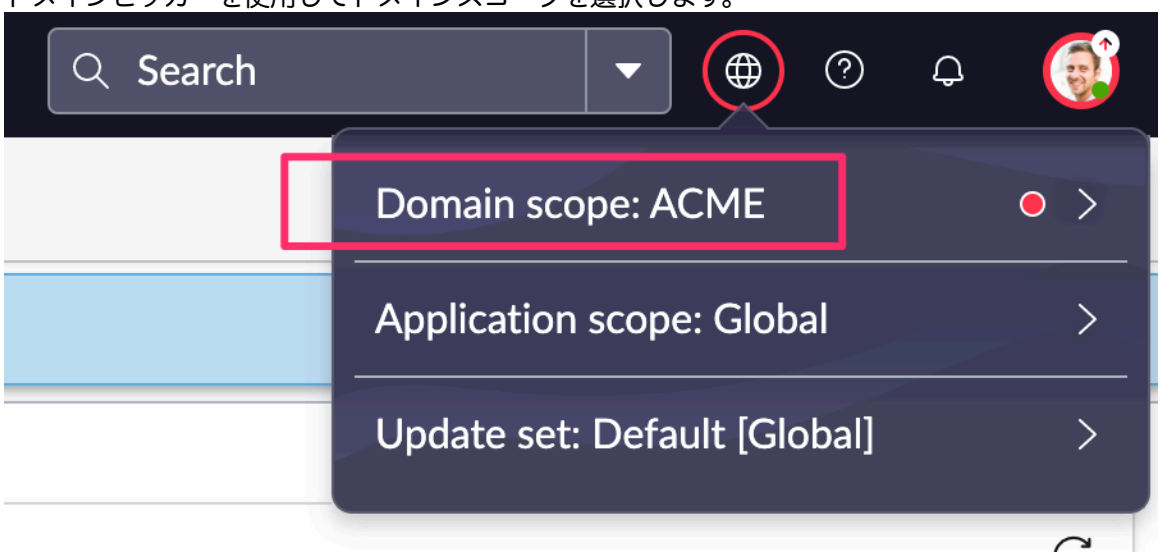
複数ドメインのホームページ移行ステータステーブルへの入力

デフォルトでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルドメインにのみ適用されます。インスタンス内の他のドメインに適用するフローを作成できます。

始める前に
必要なロール：admin

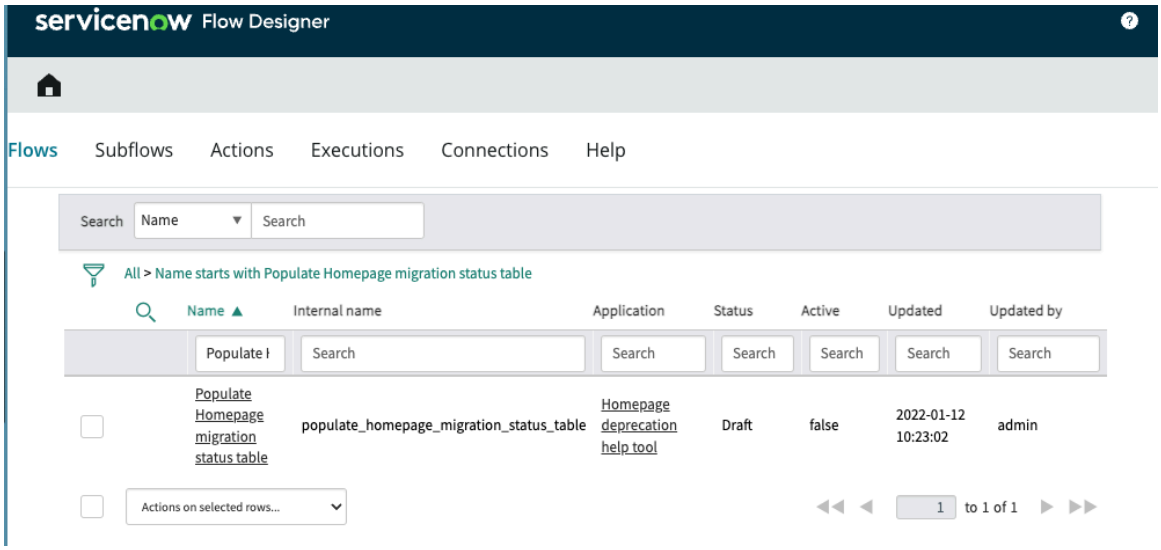
手順

1. ドメインピッカーを使用してドメインスコープを選択します。

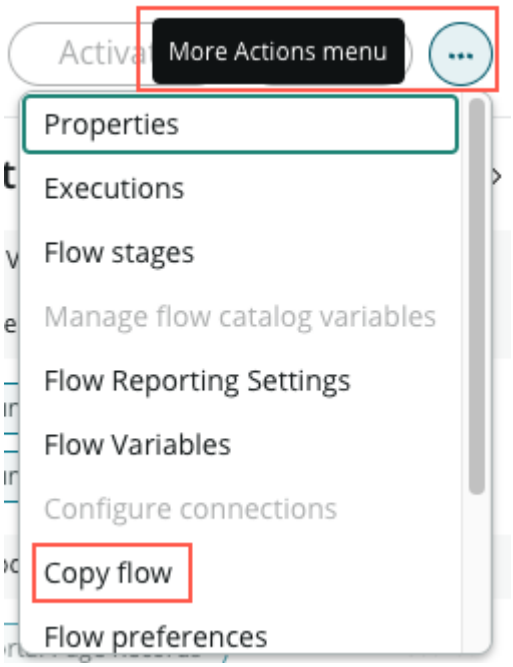


2. 移動先 すべて > フローデザイナー.
3. [ホームページ移行ステータスの入力 (Populate Homepage migration status)] テーブルのフローを見つけて開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [その他のアクション] メニューを選択し、[コピーフロー] を選択します。



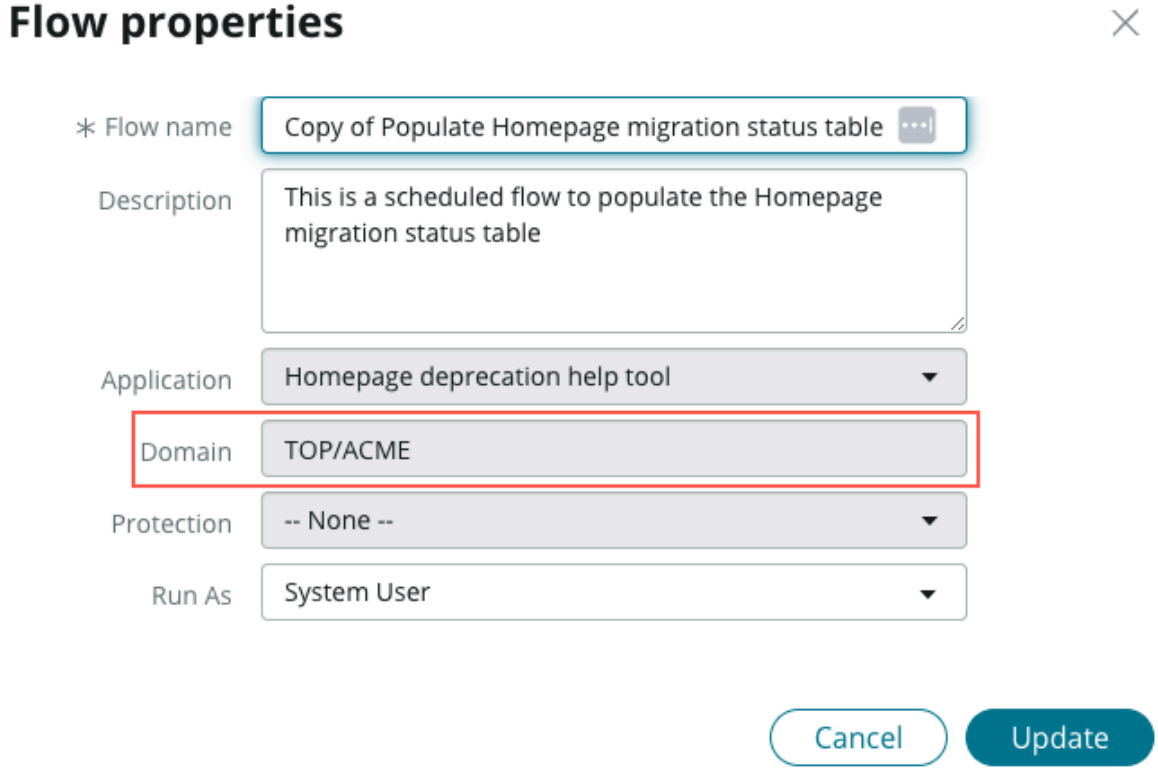
5. アプリケーションの ホームページ廃止ヘルプツール を選択し、[コピー] を選択します。

6. [その他のアクション] メニューを選択し、[フローのプロパティ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フローは選択したドメインスコープを指します。



ウィジェット

コア UI のダッシュボードに追加されたオブジェクトは、ウィジェットと呼ばれます。ウィジェットを作成および管理できます。多くのアプリケーションは、独自のウィジェットを持ちます。アプリケーションに含まれるウィジェットの詳細については、アプリケーションのドキュメントを参照してください。

ウィジェットタイプごとに、ダッシュボードで異なる処理を行うことができます。各タイプのリンクをたどって、ダッシュボードでウィジェットを作成および編集する方法を確認してください。

ウィジェットは プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスダッシュボードでは使用できません。ウィジェットは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されたコア UI ダッシュボードで iframe 化されます。

注: レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

ウィジェットタイプは次のとおりです。

部下

レポートの可視化は、情報の状態をリアルタイムで表示するデータのスナップショットです。詳細については、「レポート」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、経時的に収集されたインジケーターデータに基づいて情報を可視化します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツブロック

コンテンツブロックは、インスタンス全体で再利用できる情報です。詳細については、「 コンテンツブロックの構成 」を参照してください。

ServiceNow UI ページを表示するウィジェットの作成

Web ページを表示する ServiceNow UI ページを作成できます。その後、その UI ページをウィジェットに追加して、ダッシュボードに追加できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
UI ページとは、リストでもフォームでもない ServiceNowページのことです。すべての UI ページがウィジェットに収まるわけではありません。外部サイトのウィジェットやガジェットなどの一部の UI ページは、ダッシュボードに配置したときに正しく表示されません。

フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する方法については、ServiceNow コミュニティーの開発者による「フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する 」というブログ投稿を参照してください。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

手順

1. ウィジェットとして表示する ServiceNow UI ページを作成または検索します。
   ステップ 4 で使用するために、この UI ページの名前をメモします。UI ページ名は、UI ページのコンテンツを定義するフォームの [名前] フィールドの値です。
2. 移動先 システム **UI** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   ウィジェット レコードは、個々のウィジェットのレコードではなく、ウィジェット カテゴリーのレコードです。ウィジェットをダッシュボードに追加する際は、まずカテゴリーを選択してから、ウィジェットを選択します。手順 4 で指定する JavaScript には、そのカテゴリに含めるウィジェットのリストが含まれています。
3. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	このウィジェット カテゴリーの名前。ウィジェットをダッシュボードに追加する場合は、このカテゴリを選択します。
レンダラタイプ	JavaScript を選択します。
アクティブ	ウィジェットをダッシュボードに追加できないようにするには、このフィールドをクリアします。
ロール	ダッシュボードにウィジェットを追加するときに、このカテゴリを表示できるロールを選択します。ロールを選択しない場合は、すべてのロールがカテゴリを表示できます。

4. [スクリプト] フィールドに次の JavaScript を追加し、指定どおりに置換します。
   return ステートメントには、このウィジェットカテゴリにリストされているウィジェットが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このステップのコードスニペットは、スコープ外のアプリケーションでも機能します。スコープ対象のアプリケーションには、ステップ 5 のコードスニペットを使用します。

widget_name	ウィジェットをダッシュボードに追加するときに、ユーザーがウィジェットピッカーで選択するウィジェットの名前。この文字列は、ウィジェット ヘッダーにも表示されます。この値は、ステップ 3 で構成する名前です。
UI_page_name	ウィジェットに表示するステップ 1 の UI ページの名前。

```
function sections() {
   return {
      'widget_name': { 'uiPageName' : 'UI_page_name'},
      'widget_name2': {'uiPageName': 'UI_page_name_2'}
   };
}

function render() {
   var uiPageName = renderer.getPreferences().get("uiPageName");
   return renderer.getRenderedPage(uiPageName);
}

function getEditLink() {
   var uiPageName = renderer.getPreference('uiPageName');
   return 'sys_ui_page.do?sysparm_query=' + encodeURIComponent('name=' +
 uiPageName);
}
```

5. オプション: スコープ対象のアプリケーションの場合は、次のコード例を使用します。

```
function sections() {
   return {
   'Widget': {
   'type': 'widgetname'
   }
   };
}

function render() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return renderer.getRenderedPage(scope + page);
}

function getEditLink() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return "sys_ui_page.do?sysparm_query=name=" + scope + page;
}
```

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
レスポンシブダッシュボードの編集

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

インタラクティブフィルターを作成し、ウィジェットとしてダッシュボードに追加できます。インタラクティブフィルターウィジェットで値を選択すると、ダッシュボード上のレポートのデータがフィルタリングされます。ダッシュボードでは、選択したフィルターがユーザーごとに保存され、次回ユーザーがダッシュボードを表示するときに自動的に適用されます。

コア UI インタラクティブフィルター機能はメンテナンスモードであり、拡張も変更も行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。更新されたフィルタリング機能については、「 でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

インタラクティブフィルターを作成するには、「 さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成 」を参照してフィルタータイプを選択します。

ホームページの対話型フィルターは、デフォルト値を保持したり、ログインやページの更新をまたいで値を保持したりしません。この機能はダッシュボードで利用できます。詳細については、「ホームページを個々のダッシュボードに変換する」を参照してください。

重要:

- パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じ ブレークダウンソース でこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」と「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。
- インタラクティブフィルターは、 メトリックベース ソースに基づくレポートではサポートされていません。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスの統合フィルターの詳細については、「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成

複数のフィールドタイプのインタラクティブフィルターを作成して構成できます。

インタラクティブフィルターを作成する前に、作成するフィルターのタイプを選択します。

インタラクティブ フィルターのタイプ

タイプ	説明
選択リスト	特定の選択肢リストの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと選択リストのフィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
参照	1 つ以上の参照フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。参照先のテーブルと、他のテーブルの参照フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定した参照フィールドを持つテーブルのレポートに影響を与えます。 **注:** 参照インタラクティブフィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ フィルターのタイプ (続く)

タイプ	説明
日付	1 つ以上の日付フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと日付フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
ブール	特定の True/False フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと True/False フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
グループ	ダッシュボードの単一のウィジェットに複数のインタラクティブフィルターを表示できます。ダッシュボードを表示しているユーザーは、適用するグループ化されたフィルターを選択できます。
空/空でない	フィールドに値が含まれているかどうかに基づいてフィルターで絞り込みます。
カスケード	地域、国、都市など、階層内の複数の値に基づいてフィルターで絞り込むことができます。

選択リスト インタラクティブ フィルターを作成する

選択リスト インタラクティブ フィルターを使用すると、選択リストの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

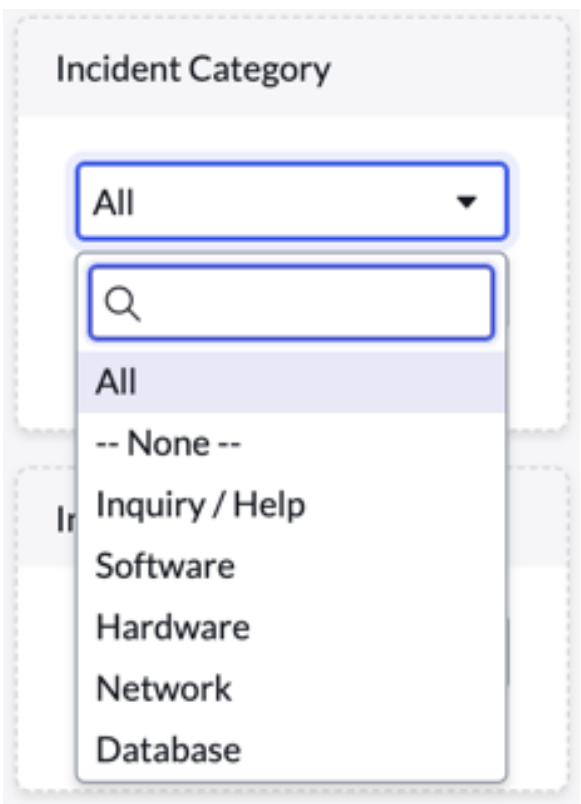
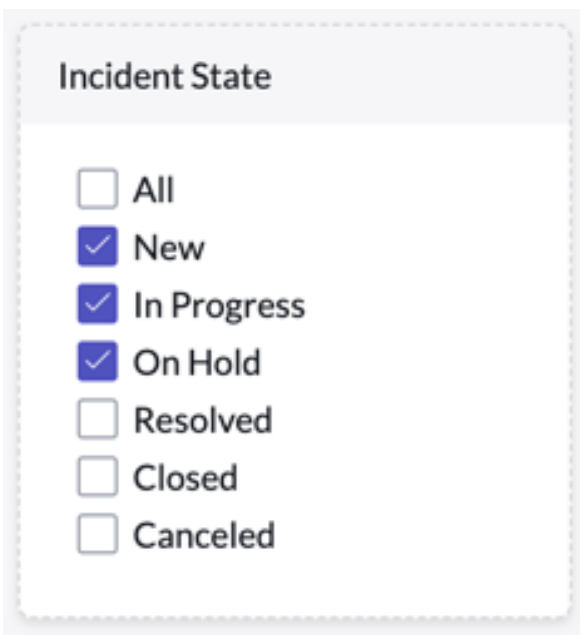
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

選択リストに含まれる指定された値は限られており、その中から選択できます。ステータスと優先度は、選択リストの 2 つの例です。通常、ユーザーと場所は選択リストの選択肢ではありません。詳細については、「 選択リストフィールドタイプ」 を参照してください。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択リストフィルター:単一選択	選択リストフィルター:チェックボックス
	

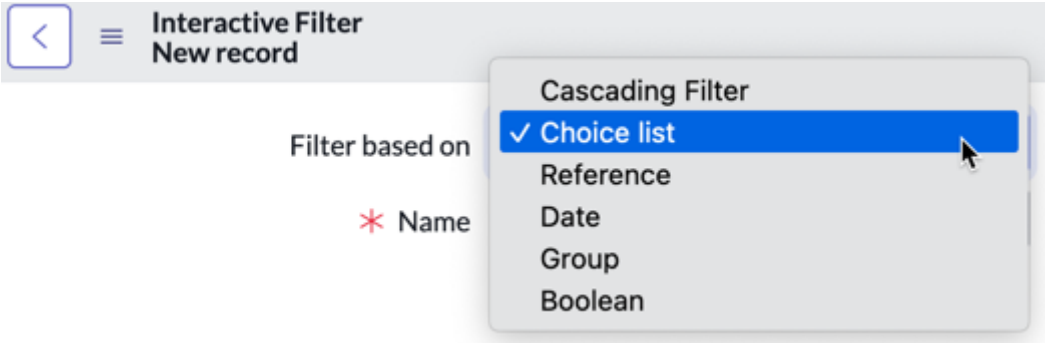
注: インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[選択リスト] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[データベースビューとテーブルにフィルターを適用] を選択します。

   注: データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. オプション: フィルターで特定の要素の表示を除外するには、[除外リスト] を使用します。ただし、インタラクティブ フィルターで [すべて] を選択するときは、除外された選択肢のデータも含まれます。
9. [テーブル] リストで、フィルターを適用する選択リストを含むテーブルを選択します。
10. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
11. オプション: フィルターから除外するリスト要素を [除外リスト] フィールドに追加します。
12. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

13. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

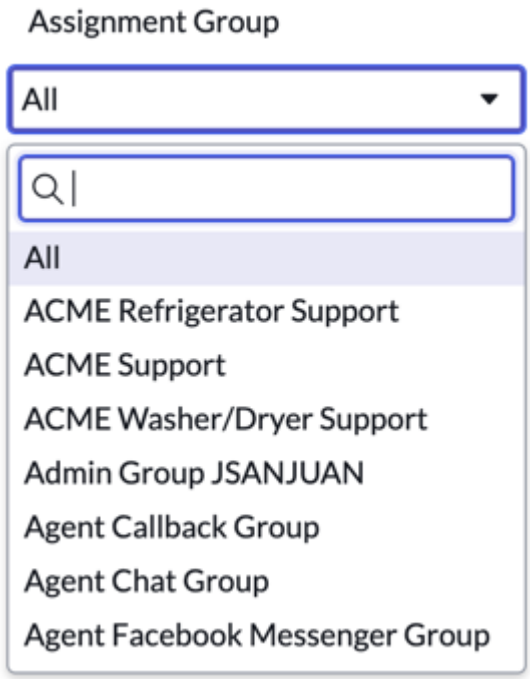
1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

参照フィールド インタラクティブ フィルターを作成する

参照フィールド インタラクティブ フィルターを使用すると、参照フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この参照フィルターの例では、グループ [sys_user_group] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドのフィルターオプションを提供します。



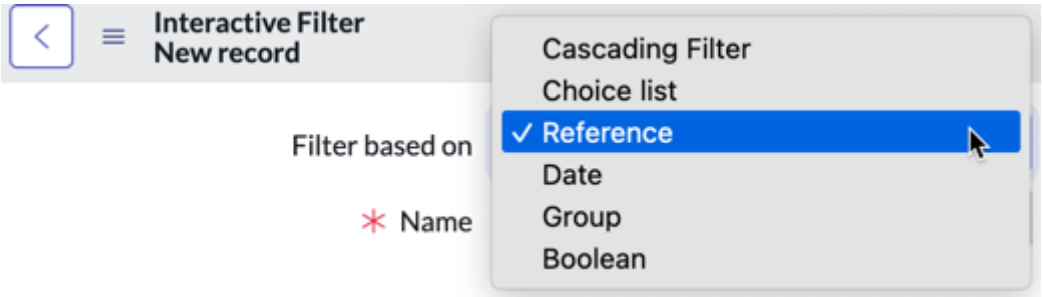
注: インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)**] を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. [**New**] をクリックします。
4. [フィルター基準] リストで、[参照] を選択します。



5. [参照テーブル] リストで、フィルターを適用する参照レコードを格納しているテーブルを選択します。
6. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注: 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

7. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
キーワードで始まる検索結果のみを表示	選択すると、検索はその検索用語で始まる結果のみを返します。それ以外の場合、検索では、どこかに検索用語を含む結果が返されます。 非常に大きなテーブル (たとえば、数百万のレコードを持つテーブル) に参照フィルターを設定する場合は、このオプションを検討してください。一般的な用語を検索すると、管理するレコードが多すぎる可能性があります。

8. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[データベースビューとテーブルにフィルターを適用] を選択します。

   注: データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

9. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
10. オプション: UI コントロールタイプが [単一入力を選択] の場合は、[すべてを削除] オプションを選択して、[すべて] オプションなしでインタラクティブフィルターを構成します。
    ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。
11. [インタラクティブフィルター参照] 関連リストで、[新規] を選択します。
    この関連リストは、フィルターを保存するまで表示されません。
12. [参照テーブル] フィールドで、フィルタリングするレポートを含むテーブルを選択します。
13. フィルターを適用する [参照フィールド] を選択します。

    フィールドは、親フィルターの [参照テーブル] フィールドで指定されたテーブルを参照する必要があります。

    他のテーブルを参照するフィールドからドット連結することができます。たとえば、親フィルターの [参照テーブル] が部門 [cmn_department] の場合、参照の [参照テーブル] として [インシデント] を選択し、[参照フィールド] として [問い合わせユーザーの部門] を選択できます。

    注: 参照インタラクティブフィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

14. オプション: 関連リスト条件を追加します。
    1 つの関連テーブルのレコードに基づいてフィルターに条件を追加できます。

    a. [**1**以上] というラベルの付いたリンクをクリックします。
       リストから、ターゲットテーブルのレコードに関連付ける必要があるソーステーブルのレコード数を選択します。

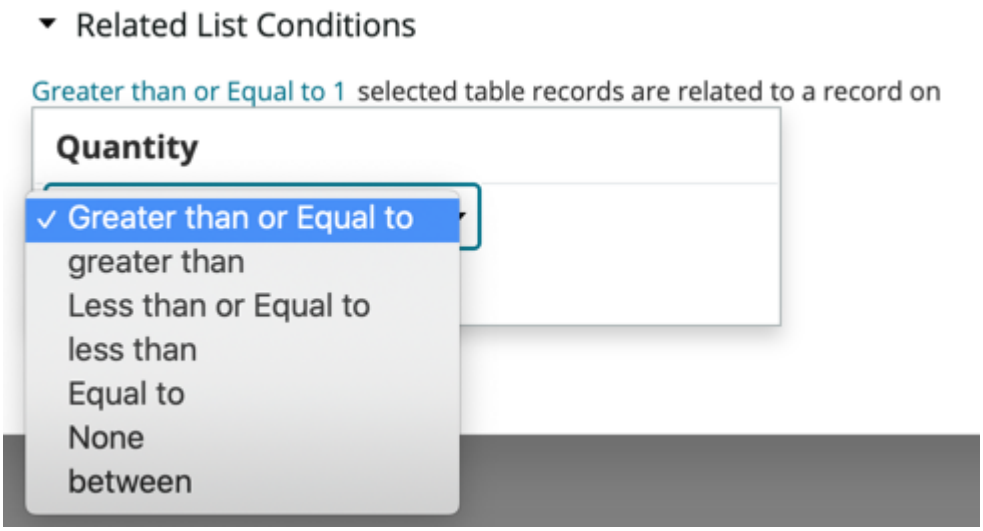
       オプションは次のとおりです。

       - 次の値以上
       - 次の値を超える
       - 次の値以下
       - 次の値未満
       - 次の値に等しい (=)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- なし
- 次の間



b. 関連テーブルを選択します。

c. フィルターを有効にするために満たす必要があるテーブルの条件を指定します。

15. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
必要に応じて、フィルターを適用する参照フィールドごとに手順 10 ～ 13 を繰り返します。フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

注: パフォーマンス上の理由から、フィルターは [チェックボックス] コントロールタイプから [複数の入力を選択] コントロールタイプに変換される場合があります。

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

関連トピック

[参照] フィールドタイプ

さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成

関連リスト条件を追加

日付インタラクティブ フィルターを作成する

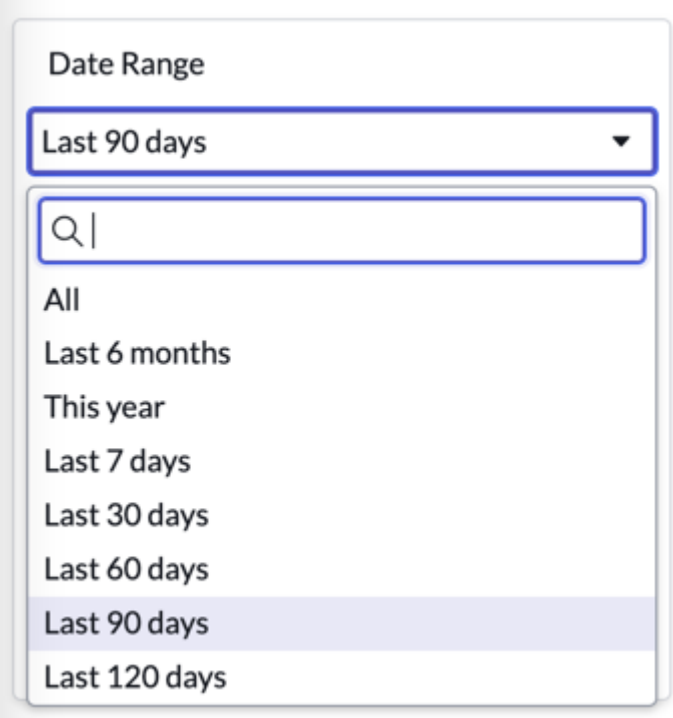
日付インタラクティブ フィルターを使用すると、日付フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

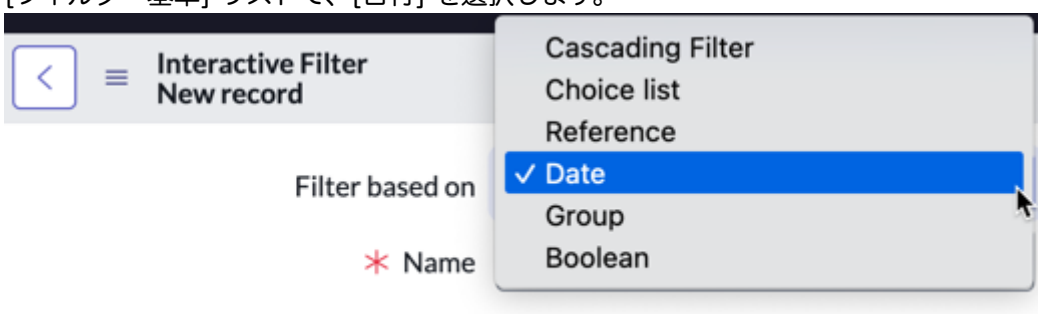
ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この日付フィルターの例では、フィルターを適用できるいくつかの日付範囲を示しています。



注: インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[日付] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[データベースビューとテーブルにフィルターを適用] を選択します。

   注: データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [日付] セクションで、スラッシュバケットを使用して、ユーザーがフィルターを適用できる 1 つ以上の日付範囲を選択します。
   使用可能な日付フィルターは、 *Get Date Filter options for Date Filters* ビジネス ルールで定義されます。このビジネス ルールをカスタマイズして、フィルター オプションを追加または削除します。
9. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロール タイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注: 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

10. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
11. [インタラクティブフィルター 日付] 関連リストで、[新規] を選択します。
12. [テーブル] フィールドで、フィルターを適用するレポートがあるテーブルを選択します。
13. [フィールド] フィールドで、フィルターを適用する日付フィールドを選択します。
14. [送信] をクリックします。

次のタスク
フィルターを適用する日付フィールドごとに、必要に応じて手順 8 ～11 を繰り返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

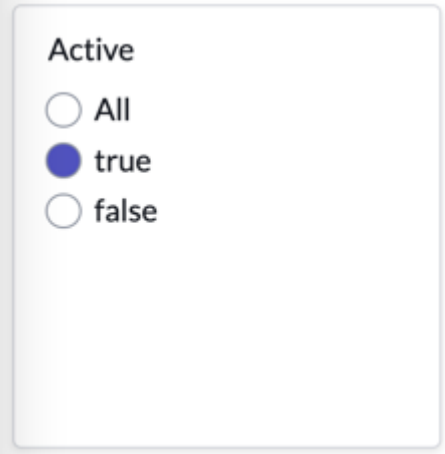
ブーリアンインタラクティブフィルターの作成

ブーリアンインタラクティブフィルターを使用すると、ユーザーは true/false フィールドの値に基づいてレポートウィジェットをフィルタリングできます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 このブーリアンフィルターの例では、フィルターを適用できる 3 つのオプション (true、false、およびすべて) を示します。



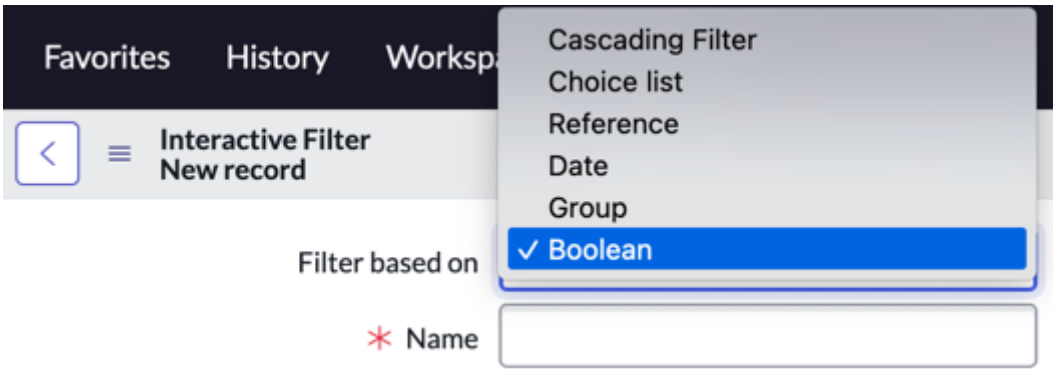
注: インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[データベースビューとテーブルにフィルターを適用] を選択します。

   注: データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [テーブル] リストで、フィルターを適用する true/false フィールドを含むテーブルを選択します。
9. [フィールド] リストで、フィルターを適用する True/False フィールドを選択します。
10. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
    このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが別の値を選択した場合、その値はユーザーのデフォルトとして保存され、グローバルのデフォルト値よりも優先されます。
11. **[Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

グループ インタラクティブ フィルターを作成する

グループインタラクティブフィルターを使用すると、ユーザーはダッシュボード上のレポートに適用する複数のインタラクティブフィルターを選択できます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

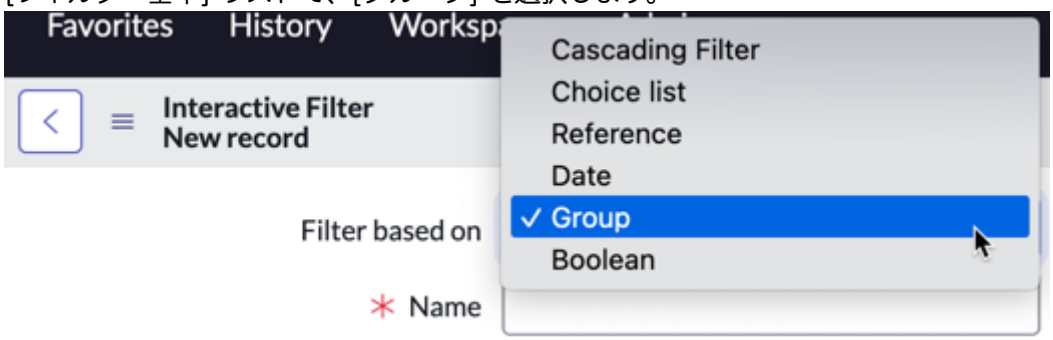
> **注:** インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

この手順を開始する前に、グループ化する複数の選択リスト、参照フィールド、ブール、または日付フィルターを作成します。

子フィルター用に選択したデフォルト値は、グループ フィルターを使用するときに適用されません。グループ フィルターで選択した値は、ダッシュボードを再読み込みするときに保存されません。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[グループ] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。

6. [グループ] セクションで、[新しい行の挿入] を選択します。
7. このグループに追加するインタラクティブ フィルターを選択します。
   グループ フィルターを別のグループ フィルターに追加することはできません。
8. 必要に応じて、グループ化するフィルターごとに前の 2 つの手順を繰り返します。
9. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

フィールドが空であるか設定されているかを示すインタラクティブ フィルターを作成する

ブール インタラクティブ フィルターを作成して、特定のフィールドが空であるか設定されているかに基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

> **注:** インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

このタスクについて

指定されたフィールドが設定されているレコードの場合は [はい] フィルターを作成し、フィールドが空のレコードの場合は [いいえ] フィルターを作成します。フィルターには、この論理関係を表す名前を付けます。たとえば、インシデント テーブルと問題フィールドに基づくフィルタの場合、「インシデントから問題を生成」などの名前を使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > インタラクティブフィルター.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。
4. 次のフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

5. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
6. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[データベースビューとテーブルにフィルターを適用] を選択します。

   注: データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

7. [テーブル] リストで、フィルターを適用するフィールドを含むテーブルを選択します。
8. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
9. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

カスケード フィルターを作成する

カスケード フィルターを使用すると、階層内の複数の値 (地域、国、都市など) に基づいてフィルターを適用できます。下位レベルの選択肢は、上位レベルで選択された値によってフィルタリングされます。

始める前に
ユーザーがマネージャーのリストから選択し、そのマネージャーに報告するグループから選択できるカスケードフィルターを作成できます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのグループにアサインされたレコードのみが表示されます。または、マネージャーのみを選択し、グループは選択しないなど、フィルターの下位レベルを未選択のままにすることもできます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのマネージャーによって管理されているグループにアサインされたレコードが表示されます。カスケード フィルターでは、ダッシュボードで最後に選択した要素が保持されます。

フィルターの作成に使用するデータの構造に一貫性があることを確認してください。たとえば、場所に基づくカスケードフィルターでは、最上位の選択肢がすべて地域で、第 2 レベルの選択肢がすべて国であることを確認します。レベルごとに該当する選択肢のみを使用できるようにするフィルター条件を定義できます。

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラット

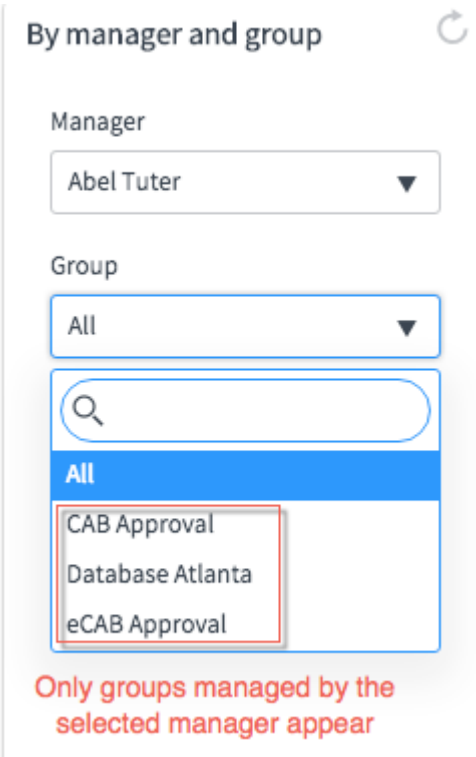
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

このタスクについて
この手順の例は、マネージャーとグループを使用するカスケードのインタラクティブ フィルターに基づいています。この例でユーザーは、最上位の選択肢ではマネージャーを選択でき、第 2 レベルの選択肢では、そのマネージャーによって管理されるユーザー グループを選択できます。

カスケード フィルターの例



注: 参照フィールドの値のみに基づいてレポートをフィルターで絞り込むことができます。カスケード フィルターでサポートされているのは、 単一選択 **UI** コントロール タイプのみです。

手順

1. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
2. [**New**] をクリックします。
3. [フィルター基準] リストで、[カスケード フィルター] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. カスケード フィルターの第 1 レベルを定義します。

   a. [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの最上位の選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとマネージャーが管理するグループに基づいて階層の最上位レベルを定義するには、[テーブル] として [グループ] **[sys_user_group]**、[表示] フィールドとして [マネージャー] を選択します。

   c. オプション: [フィルター] フィールドを使用して、ユーザーが使用できる選択肢を制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルター条件は、場所 [cmn_location] などの自己参照テーブルに基づいてカスケード フィルターを作成する場合に特に便利です。カスケードフィルターの各レベルにそのレベルに適したオプションのみが含まれるようにデータをフィルタリングします。

d. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。

6. 階層の次のレベルを定義します。
カスケード フィルターでは、上位のフィルターと下位のフィルターの間で 1 対多の関係が使用されます。1 つの上位フィルターが、任意の数の下位フィルターで使用できる選択肢に影響を与える可能性があります。

a. マネージャーのフィルターの [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. [テーブル] と、フィルターの第 2 レベルの選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
マネージャーとグループの例では、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]]** を選択し、[表示フィールド] として [名前] を選択します。

c. [親参照フィールド] フィールドで、上位のフィルターから選択した値を含むフィールドを選択します。
たとえば、グループ フィルターを作成する場合、[親参照フィールド] の値は [マネージャー] です。この例では、最初のフィルターで選択したマネージャーを使用し、各グループの [マネージャー] フィールドの値に基づいて、使用可能なグループのリストをフィルターで絞り込みます。

d. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

e. 追加するフィルターごとに、前述の下位の手順を繰り返します。
フィルター階層に別のレベルを追加するには、最下位レベルのフィルターの [カスケードフィルター] 関連リストに新しいレコードを追加します。たとえば、マネージャーフィルターなどのトップレベルのフィルターの代わりにグループフィルターを追加します。

7. それぞれのフィルター レベルでダッシュボード上のレポートにフィルターを適用する方法を定義します。

a. [ターゲット テーブル] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. フィルターを適用するデータが含まれている [ターゲット テーブル] を選択します ([インシデント] など)。

c. フィルターを適用する [フィールド] を選択します。
フィールドは、フィルターで指定されたテーブルを参照する必要があります。たとえば、インシデント データにフィルターを適用する場合、最上位のマネージャー フィルターの [フィールド] は **[Assignment group.Manager]** です。この例では、第 2 レベルのグループ フィルターの [フィールド] は [アサイン先グループ] です。

d. [送信] をクリックします。

e. 前述の下位の手順を繰り返して、フィルタの各レベルのターゲットを追加します。

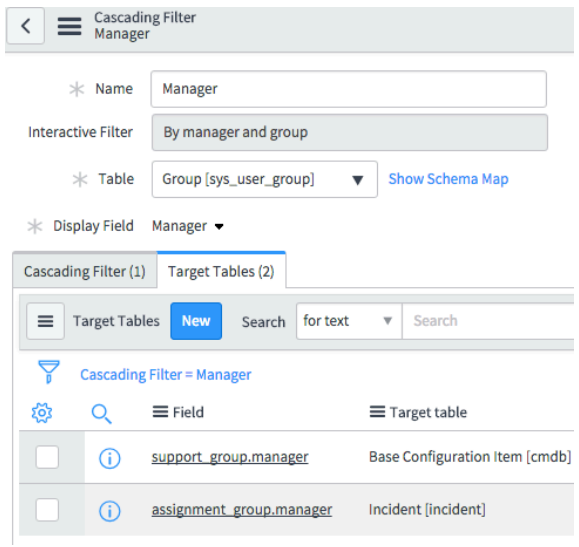
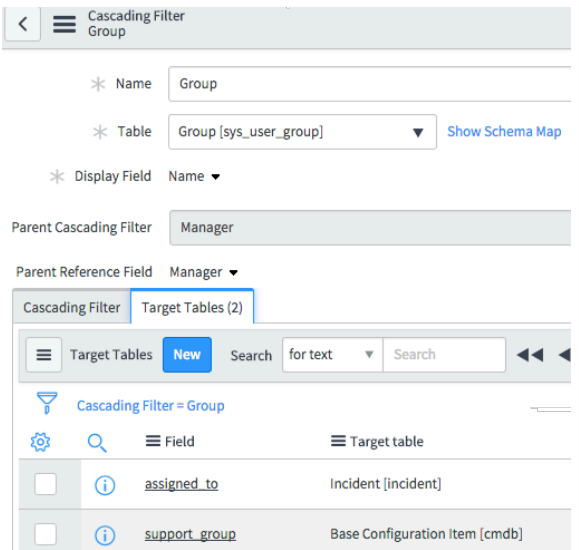
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターレベルごとに複数のターゲットを定義できます。たとえば、同じグループ [sys_user_group] フィルターを使用して、インシデントデータをアサイン先グループ別にフィルタリングしたり、CMDB CI をサポートグループ別にフィルタリングしたりします。

> **注:** カスケード フィルター階層ではターゲットを少なくとも 1 つ指定する必要があります。階層内のレベルをスキップするカスケード フィルターを定義したり、階層内の特定のレベルのターゲットのみを指定するカスケード フィルターを定義したりできます。たとえば、グループレベルのフィルターに対してのみターゲットを定義し、マネージャーレベルのフィルターに対しては定義しません。この例では、ユーザーがマネージャーのみではなく特定のグループを選択した場合にのみ、レポートがフィルターで絞り込まれます。

次の図は、カスケード フィルターの例の詳細な構成を示しています。最上位のフィルターの [カスケード フィルター] 関連リスト (図示せず) には、第 2 レベルのフィルターが含まれています。

最上位のフィルター	第 2 レベルのフィルター
	

次のタスク

1. フィルターのすべてのレベルを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボードの各可視化にある [ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブフィルターに従う] を選択します。

カスケード フィルターの重複排除

[フィルター] パネルをクリーンアップする必要がないように、重複したフィルターは自動的に削除されます。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じ場合は、最後に編集したフィルタが保持されます。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。

- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター

拡張テーブルに適用するインタラクティブ フィルターを作成する場合は、フィルターをデータベース ビューと階層内の他のテーブルに適用することもできます。階層には、すべての親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルが含まれます。

インタラクティブ フィルターを作成すると、次のことを実行できます。

階層内のすべてのテーブルを選択する

ソーステーブルがインシデントの場合、インタラクティブフィルターはインシデントに適用されます。その親テーブル、タスク。そして、問題や変更を含むすべての兄弟テーブルに。

この選択が優先されるように、[インタラクティブフィルター参照] セクションで可能なターゲットを指定します。

[データベースビューとテーブルの両方にフィルターを適用] を選択します。

ソース テーブルがインシデントの場合、インタラクティブ フィルターは、インシデントと [incident_sla] などのデータベース ビューの両方に適用されます。

この選択が優先されるように、[インタラクティブフィルター参照] セクションで可能なターゲットを指定します。

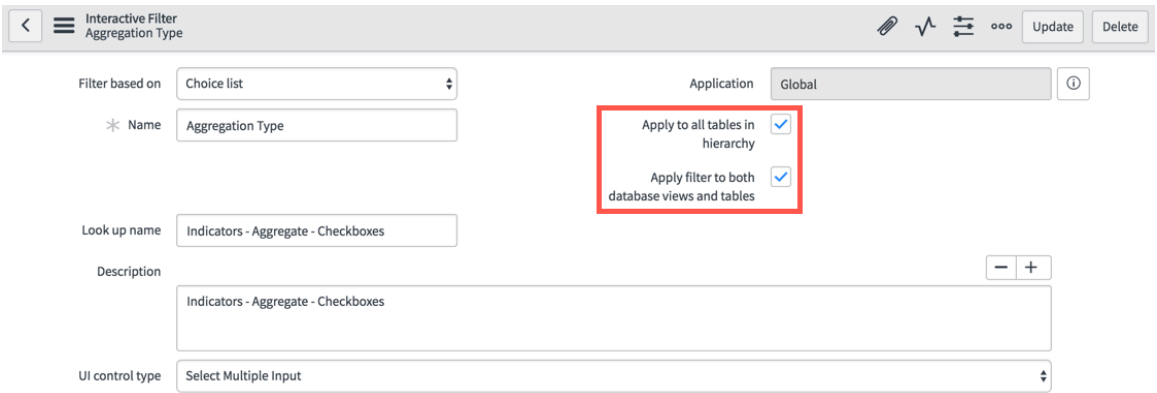
両方のチェック ボックスをオンにする

インタラクティブ フィルターは、階層内のすべてのテーブルとデータベース ビューに適用されます。

どちらのチェック ボックスもオンにしない

インタラクティブ フィルターは、インシデントなどのソース テーブルにのみ適用されます。

注: これは、インタラクティブ フィルター作成時のデフォルト設定です。



拡張テーブルに適用されるインタラクティブ フィルターは、階層内の他のテーブルにも適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: データベース ビューに適用されるインタラクティブ フィルターは、データベース ビューのソース テーブルの兄弟テーブルに自動的には適用されません。たとえば、[problem_sla] が、[task_problem] テーブルに基づいて作成されたデータベース ビューの場合、[problem_sla] に適用されるインタラクティブ フィルターは、両方のオプションをオンにしている場合でも、[task_problem] の兄弟テーブルである [task_change] テーブルに基づくウィジェットに自動的には適用されません。

利用可能なインタラクティブ フィルターの **UI** コントロール タイプ

インタラクティブ フィルターの **[UI** コントロール タイプ] フィールドには、フィルターを表示するためのいくつかのオプションがあります。

利用可能な **UI** コントロール タイプ

UI コントロール タイプ	説明
ラジオ ボタン	各フィルター オプションをラジオ ボタンとして表示します。ユーザーはラジオ ボタンを一度に 1 つだけ選択できます。
チェック ボックス	各フィルター オプションをチェック ボックスとして表示します。ユーザーは一度に任意の数のチェック ボックスを選択できます。
単一の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは選択肢を一度に 1 つだけ選択できます。
複数の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは一度に任意の数の選択肢を選択できます。選択した選択肢の横にある X をクリックすると、その選択肢の選択が解除されます。

注:

[チェック ボックス] または [複数の入力を選択] コントロール タイプを使用して複数の値を選択する場合、フィルターの動作はフィルターのタイプによって異なります。選択フィルターでは AND クエリが使用されます。つまり、レコードはすべての条件に一致する必要があります。日付および参照フィルターでは OR クエリが使用されます。つまり、レコードは指定された条件のうち少なくとも 1 つに一致する必要があります。

パフォーマンスに問題がある場合は、フィルターのコントロール タイプを [チェックボックス] から [複数の入力を選択] に変換することもできます。

ダッシュボードのインタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加することで、ユーザーがインタラクティブフィルターを利用できるようにすることができます。

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じブレークダウンソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ フィルター ウィジェットをレスポンシブ ダッシュボードに追加する

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加して、そのダッシュボードのレポートにフィルターを適用します。

始める前に

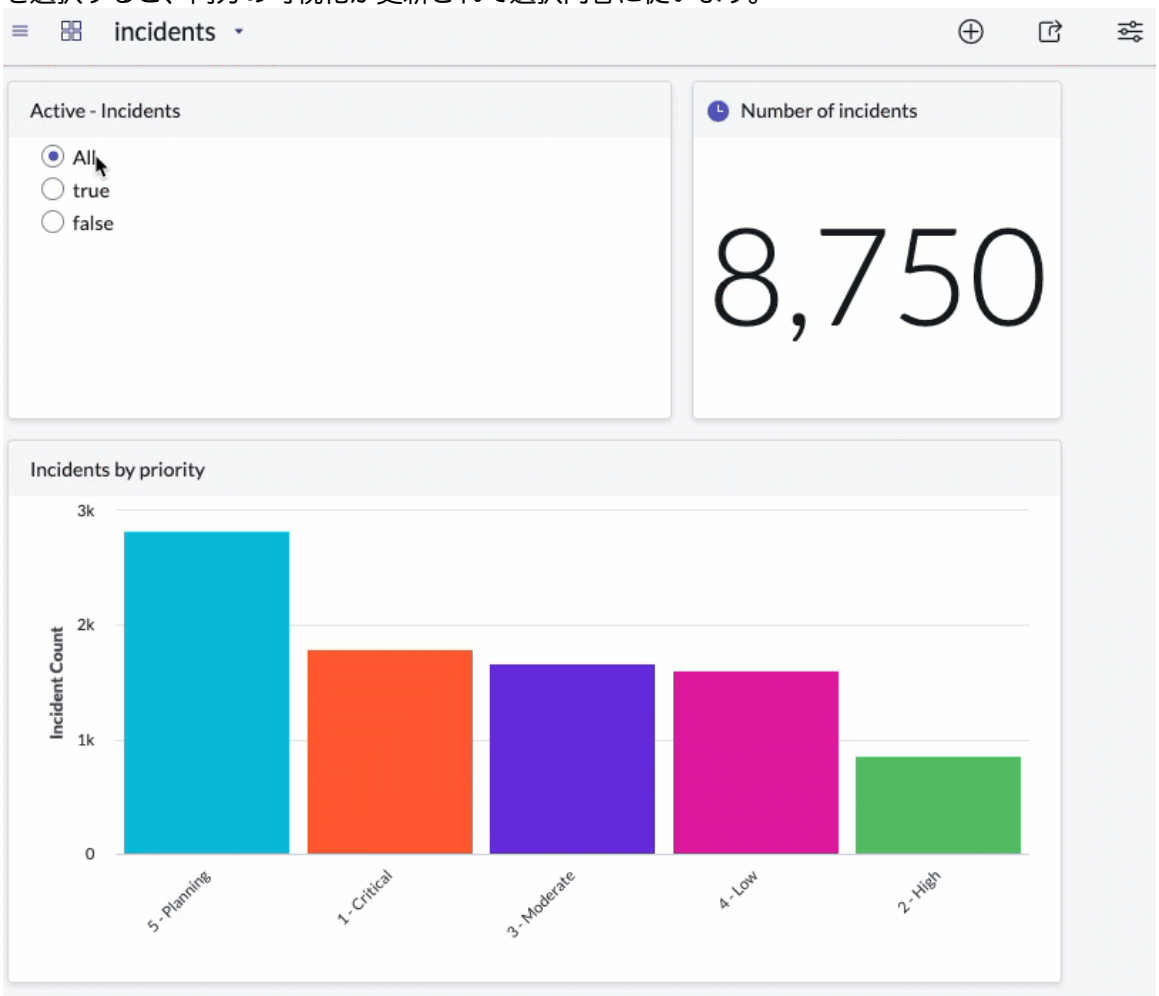
必要なロール：pa_power_user ウィジェットを追加するダッシュボードへの編集アクセス権が必要です。

このタスクについて

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

使用可能なインタラクティブフィルターの詳細については、「 さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成」を参照してください。このトピックでは、さまざまなフィルターの作成と構成について詳しく説明します。

このアニメーションでは、2 つの可視化とインタラクティブフィルターはすべてインシデントテーブルに基づいています。どちらの可視化もフィルターに従うように構成されています。いずれかのフィルターオプション (この場合は [アクティブ] が true、[アクティブ] が [False]、または [すべて]) を選択すると、両方の可視化が更新されて選択内容に従います。

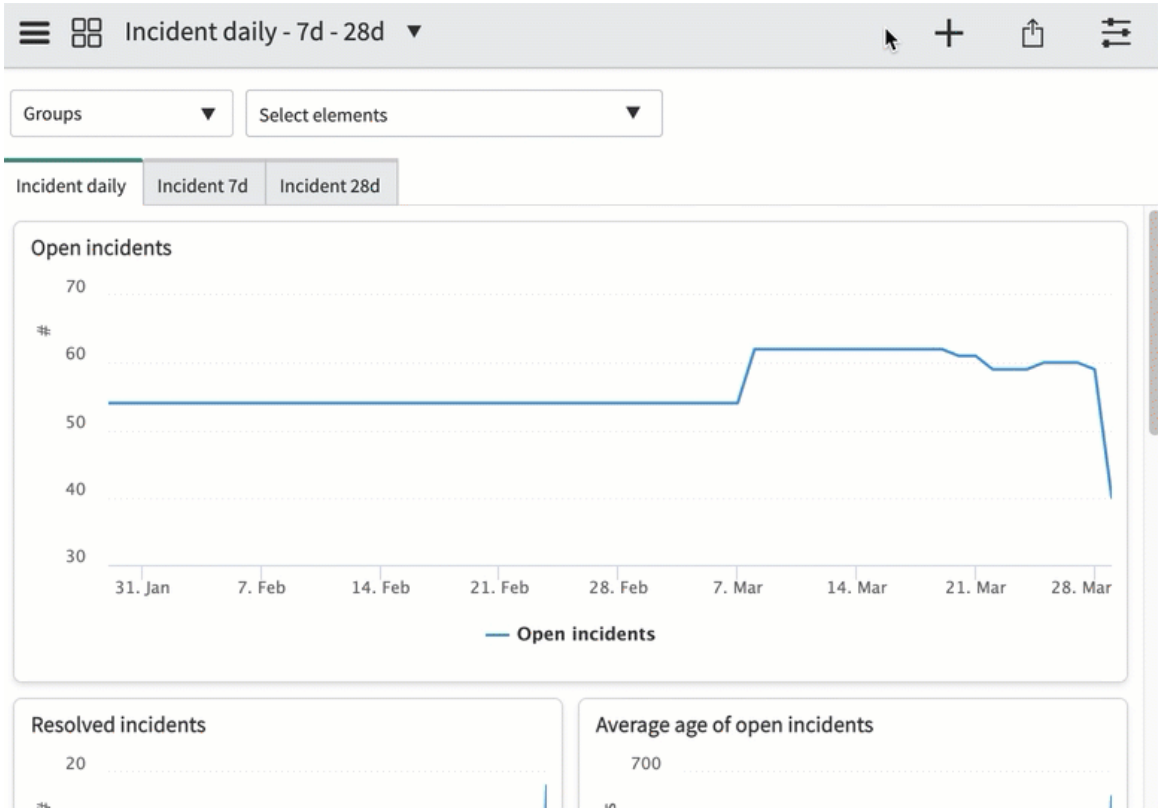


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. コンテンツの追加アイコン (コンテンツ ＋) をクリックします。
3. [インタラクティブ フィルター] を選択します。
4. 追加するフィルターのタイプ ([選択リスト]、[参照]など) を選択します。
   新しいフィルターを追加することもできます。詳細については、「さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成」を参照してください。
5. 追加するフィルターを選択します。
6. [追加] をクリックするか、フィルターをダッシュボードにドラッグします。



ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを、ダッシュボード上のレポートのインタラクティブフィルターとして機能するように構成することができます。ダッシュボードは、ブレークダウンダッシュボードとして構成する必要があります。

始める前に

ダッシュボードは、レポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの両方で構成する必要があります。ダッシュボードにブレークダウンソースを追加するで説明されているように、ダッシュボードは、パフォーマンスアナリティクスウィジェットがフォローできるように少なくとも 1 つのブレークダウンソースで構成されている必要があります。最後に、ダッシュボードには、ブレークダウンソースの 1 つと同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

ダッシュボードで ブレークダウン とブレークダウンの要素を選択すると、その要素を使用して、インタラクティブフィルターで定義されたフィルタリングルールに基づいてダッシュボード上のレポートをフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. インタラクティブフィルターとして機能させるブレークダウンを含むダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニューアイコン をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [ブレークダウンソース] 関連リストで、インタラクティブフィルターとして使用するブレークダウンソースを見つけます。
5. 各ブレークダウンソースの [フィルターとして機能] フィールドで、そのブレークダウンソースを使用するインタラクティブフィルターを選択します。

   注: [ブレークダウンソース] リストに [フィルターとして機能] 列がない場合は、リストをカスタマイズして追加します。詳細については、「 パーソナルリスト 」を参照してください。

   ブレークダウン ソースの [ファクト テーブル] は、インタラクティブ フィルターのベースとなっているテーブルに合わせる必要があります。

   たとえば、HR.Groups.Active というブレークダウン ソースの場合は、グループ [sys_user_group] テーブルの参照フィールドのインタラクティブ フィルターを使用します。ブレークダウン ソース HR.Groups.Active からのブレークダウン要素は、他のテーブルのインタラクティブ フィルター (選択肢や日付フィールドに基づくインタラクティブ フィルターなど) では有効な選択肢にはなりません。

   注: バケット グループに基づくブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用することはできません。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。
7. ダッシュボードのレコードで、[ダッシュボードを表示] をクリックします。
8. [+] アイコンをクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
9. インタラクティブフィルターに従うレポートごとに、次の手順を実行します。
   a. 歯車アイコン をクリックして、[ウィジェットの編集] ウィンドウを開きます。
   b. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   c. オプション: [フィルターに従うときに表示] を選択すると、ウィジェットがインタラクティブフィルターに従っているときにウィジェットタイトルの横にフィルターアイコンが表示されます。
10. [完了] をクリックします。

結果
選択したブレークダウンは、ダッシュボードのレポートのインタラクティブフィルターとして機能します。

注: パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットは、インタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じブレークダウンソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加すると、インタラクティブフィルターからの入力を受け入れるようにダッシュボード上のレポートを設定できます。たとえば、インシデントテーブ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルの [アクティブ] フィールドにフィルターを追加します。インシデントテーブルのレポートでは、そのフィルターからユーザーの選択を反映させることができます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

このタスクについて
インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. レポートウィジェットで、[ウィジェットの編集] アイコン ([ ) を選択します。
4. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   このオプションは、すべてのレポートウィジェットで使用できます。[インタラクティブフィルターに従う **(Follow interactive filter**)] オプションが表示されない場合、ウィジェットはリスト、PA、またはその他の非レポートウィジェットです。
5. レポートがインタラクティブフィルターに従っているときに、レポートの左上隅にフィルターアイコン ( ) を表示するには、[フォロー時に表示] を選択します。
6. **[Done** (完了)] を選択します。
7. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク
1 つまたは複数のインタラクティブフィルターをダッシュボードに追加します。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レポートをインタラクティブ フィルターとして機能させる

既存のレポートウィジェットを構成して、同じダッシュボード上の他のレポートウィジェットをフィルタリングできます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user
[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツグラフ、半ドーナツグラフ、じょうごグラフ、またはピラミッドグラフのレポートのみをインタラクティブフィルターとして機能できます。

注:

- レポートがインタラクティブフィルターとして機能している場合、レポートのセグメントにドリルダウンすることはできません。
- このドキュメントは、 コア UI レポートとインタラクティブダッシュボードを参照します。プラットフォームアナリティクスデータの可視化をダッシュボードのフィルターとして機能させる方法については、「データの可視化をフィルターとして機能させる」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
   - レスポンシブでないダッシュボードで、[編集] を選択します。
   - レスポンシブダッシュボードで、共有アイコン ( ) をクリックします。
3. レポートウィジェットの上部をポイントし、[ウィジェットの編集] アイコン ( ) をクリックします。
4. [インタラクティブ フィルターとして機能] を選択します。
   このフィールドは、フィルターとして機能するレポートでのみ使用できます。[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツグラフ、半ドーナツグラフ、じょうごグラフ、またはピラミッドグラフのレポートのみをフィルターとして使用できます。

   注: レスポンシブキャンバス機能が非アクティブな場合、インタラクティブフィルターを立て続けに機能するレポートのセグメントをユーザーがクリックしても、フィルタリングに遅延はありません。

5. **[Done** (完了)] を選択します。
6. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク
同じテーブルのすべての登録者レポートをフィルタリングするには、円グラフの円グラフのスライスなど、レポート内のデータのサブセットを選択します。同じテーブルに基づくダッシュボードのすべてのレポートには、そのデータのサブセットに関する情報のみが表示されます。

ダッシュボード タブですべてのインタラクティブ フィルターをリセットする

ダッシュボードタブで適用されているすべてのフィルターをリセットして、デフォルト値またはフィルタリングされていないデータを表示します。

始める前に
必要なロール：なしダッシュボードへのアクセス権が必要です。

このタスクについて
注:

フィルターにデフォルト値がある場合、フィルターをリセットすると、そのフィルターを完全にクリアするのではなく、デフォルト設定に戻ります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード.
2. リセットするダッシュボードとタブを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[フィルターをリセット] を選択します。

カスタムの インタラクティブ フィルター

管理者は、スクリプトによるインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボード レポートに高度なフィルター オプションを提供することができます。

カスタムインタラクティブフィルターを使用すると、フィルターインターフェイスとフィルタリングロジックの側面を制御できます。特定のニーズに合ったフィルターを作成します。カスタムインタ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラクティブフィルターには、1 回のクリックで複数の一般的なフィルタリング操作を実行するフィルターが含まれています。

カスタムフィルターは、`DashboardMessageHandler` JavaScript クラスを使用してレポートフィルターを定義および公開するスクリプト化されたシステム **UI** ウィジェットです。

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのロール analytics_filter_adminが含まれています。

> **注:** カスタムインタラクティブフィルターの公開 API は制限されており、標準インタラクティブフィルターとのパリティを提供しません。カスタムインタラクティブフィルターを実装する前に、 カスタムインタラクティブフィルターの制限事項を確認してください。
>
> テーブル API のアクセス制御リストにより、ダッシュボードがフィルタリングされたときに表示されるレコードが制限される場合があります。この問題を軽減するには、テーブル API アクセス制御リストにユーザーまたはロールを追加します。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

フィルターを公開するコードは、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` メソッドを呼び出す必要があり、フィルターを公開するには `dashboardMessageHandler.publishFilter()` メソッドを呼び出す必要があります。

Jelly を使用して、使用可能なボタンなどのウィジェットの外観を定義します。

同じダッシュボードに複数のカスタムインタラクティブフィルターを追加できます。フィルターには、フィルターオブジェクト内の一意の ID と ダッシュボードメッセージハンドラーの一意の ID が必要です。

カスタムインタラクティブフィルターの例

管理者は、カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供することができます。

ユースケース

この例では、タスクテーブルまたはその子テーブルのレポートをフィルタリングするカスタムフィルターを作成する方法について詳しく説明します。フィルターには、現在のユーザーが発信者であるレコードのみが表示されます。フィルターにより、2 つのボタンがユーザーに公開されます。1 つはフィルターを追加するボタンで、1 つはフィルターを削除するボタンです。

関連トピック

- コンテンツブロックを構成する
- UI スクリプト
- Jelly のタグ
- ダッシュボードメッセージハンドラー

カスタムインタラクティブフィルターウィジェットの作成

カスタムインタラクティブフィルターウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルタリングオプションを提供します。

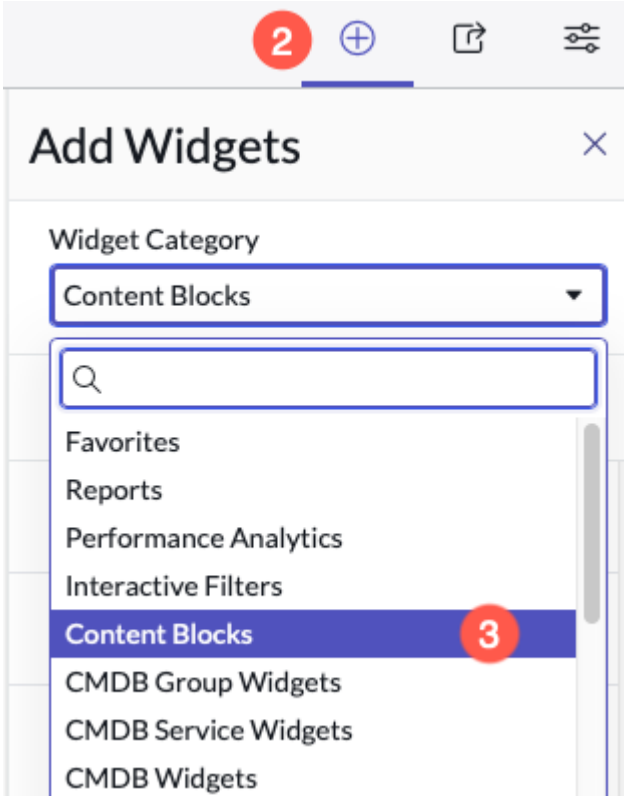
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

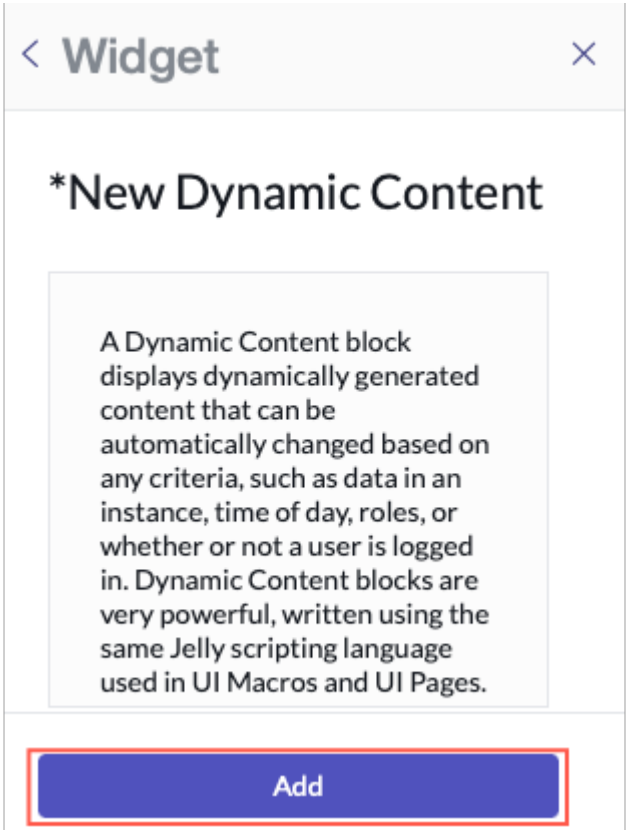
1. カスタムインタラクティブフィルターを追加するダッシュボードを開きます。
2. コンテンツの追加アイコン (⊕) をクリックします。
3. [ウィジェットカテゴリ] リストから [コンテンツブロック] を選択します。



4. コンテンツブロックのリストから、[新しいダイナミックコンテンツ] を選択します。
5. [新規ダイナミックコンテンツ] パネルで、[追加] をクリックします。

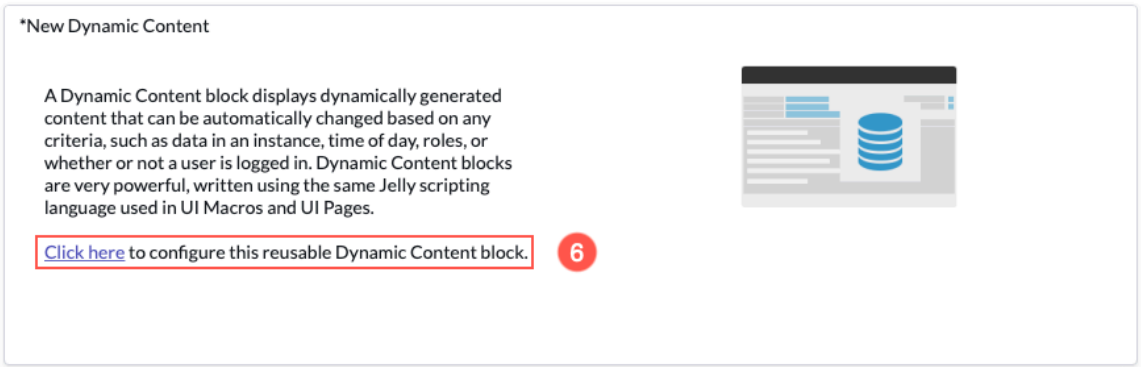
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

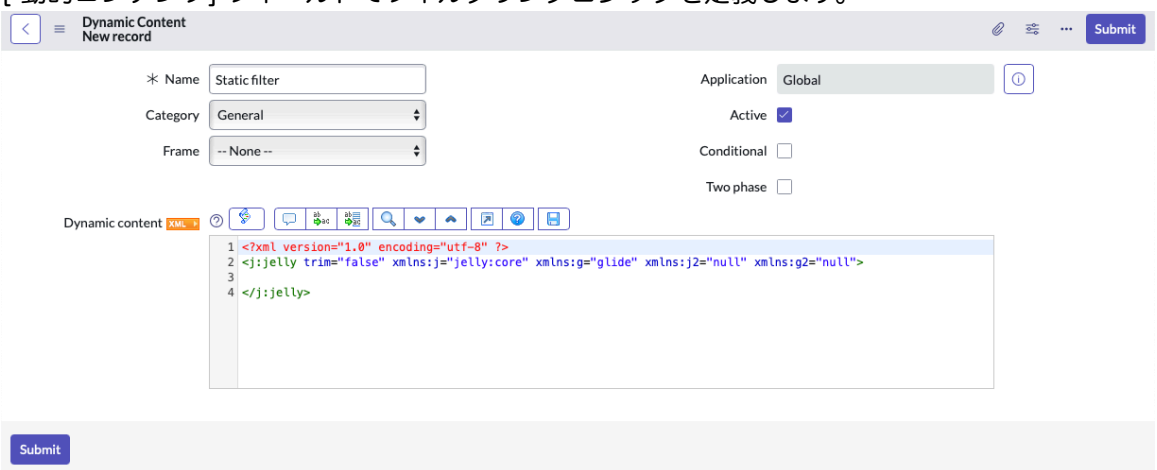


新しいダイナミックコンテンツブロックがダッシュボードに追加されます。

6. ダッシュボードで、[この再利用可能なダイナミックコンテンツブロックを設定するには、ここをクリックしてください **(Click here to configure this reusable Dynamic Content)**] というリンクをクリックします。



7. [動的コンテンツ] フィールドでフィルタリングロジックを定義します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
フィルタリングロジックを定義します。

フィルタリングロジックの定義 - 例

インタラクティブフィルターを作成したら、フィルタリングロジックを追加します。

始める前に
必要なロール：admin

フィルターは、 `DashboardMessageHandler` クラスを使用してアクティブなフィルターを管理します。一意の値で `DashboardMessageHandler` をインスタンス化します。

> **注:** カスタムインタラクティブフィルターの ID は一意である必要があります。別のインタラクティブフィルターまたはカスタムインタラクティブフィルターと同じ ID を持つ場合、フィルタリングロジックは正しく機能します。

手順

1. 動的コンテンツレコードで、フィルタリングロジックを動的コンテンツ XML ブロックに追加します。
2. [マイニングのみ] ボタンは、エンコードされたクエリ caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477feを使用してタスクテーブルレポートにフィルターを公開します。
   [すべてのタスク] ボタンは、フィルターを削除します。
3. その後、ボタンやその他のインターフェイス要素をダイナミックコンテンツに追加できます。この例では、 clearFilter() 関数のコードとフィルターのボタンが publishFilter() 関数の下に追加されています。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
 <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

   function publishFilter () {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";

   <!--     Add your own filter query logic here -->
      filter_message.filter = "assigned_toDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.publishFilter(filter_message.table, filter_message.filter);
   }

   function clearFilter() {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";
      filter_message.filter = "";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
  }
</script>

Example of a filter that generates a static filter on 'task' table reports, or removes it <br/>
  <input id="allTasks" type="button" value="All tasks" onclick="clearFilter();" />
  <input id="onlyMine" type="button" value="Only mine" onclick="publishFilter();" />

</j:jelly>
```

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

結果
カスタムインタラクティブフィルターは、ダイナミックコンテンツブロックを追加したダッシュボードに表示されます。これは、[ウィジェットを追加] パネルのコンテンツブロックのリストにも表示されます。

カスタム日付/時刻フィルターオプションの作成

日付/時刻フィルターオプションの標準選択がニーズに合わない場合は、カスタムオプションを作成できます。

始める前に
次の手順に従って、ダッシュボードで使用するために日付/時刻ベースのインタラクティブフィルターに含めることができるカスタムの日付/時刻フィルターオプションを作成します。この例では、2 週間、つまり 2 週間の期間のフィルターオプションを作成します。

必要なロール：admin。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. 日付フィルターのビジネスルール [日付フィルターオプションを取得 (Get Date Filter Options)] を開きます。
   このルールは、新規または既存の日付タイプインタラクティブフィルターのフォームで選択可能なオプションのリストを入力します。
3. [詳細] タブで、[スクリプト] フィールドを変更して、新しいオプションの追加に必要な JavaScript を含めます。
   次の行を追加します。

```
answer.add('<Time_Period_Name>@javascript:<Beginning_Time_Period>@javascript:<Ending_Time_Period>', gs.getMessage('<Textual_Representation_Of_Time_Period>'));
```

4. 追加した行で、次の置換を行います。

オプション	説明
<Time_Period_Name>	選択した期間の一意の名前。この文字列は、オプションを識別するためにシステムによって内部的に使用され、記述された期間を表すことができるものに設定されます。 「2週間112_Last値を入力します。
<Beginning_Time_Period>	このフィルターが開始される特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用できます。JavaScript URL 構文を使用する相対値を使用する方がはるかに一般的です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	値 gs.daysAgoStart(14) を入力して、この選択の時間間隔が正確に 2 週間前であることを示します。
<Ending_Time_Period>	このフィルターオプションの期間が終了する特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用することもできます。*Beginning_Time_Period* と同様に、この値は通常、JavaScript URL 構文を使用する相対期間です。 期間が現在の日時に終了することを示す値 gs.daysAgoStart(0) を入力します。
<Textual_Representation_Of_Time_Period>	日付/時刻フィルターオプションのリストに表示される短いテキスト文字列。アルファベットの昇順で表示されます。 「 過去 2 週間」と入力すると、この選択で現在の日時の 1 週間前の期間が指定されることを示します。

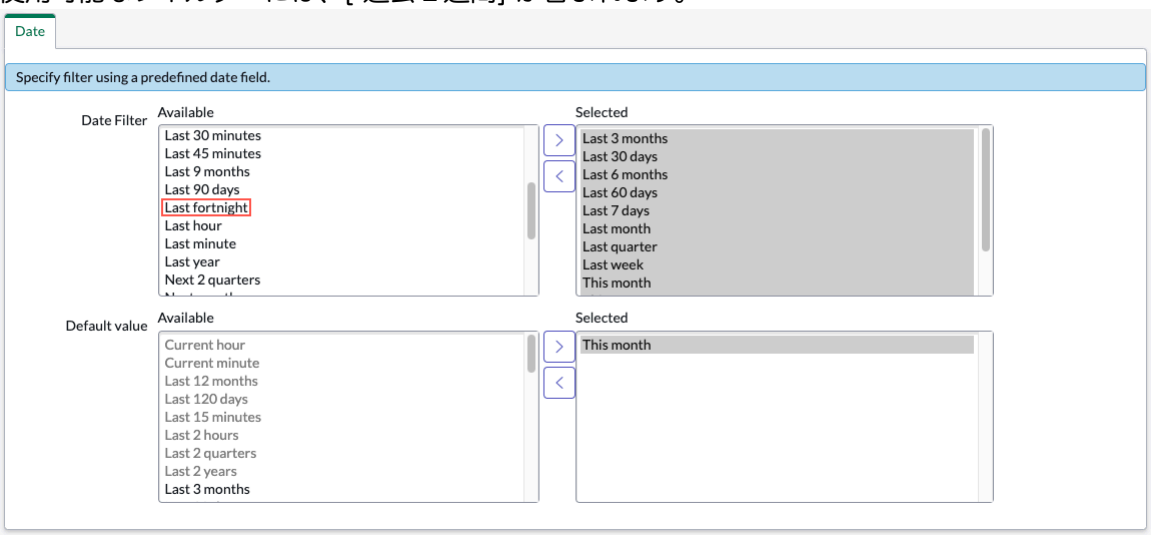
完全な声明は次のようになります。

```
answer.add('112_Last
 Fortnight@javascript:gs.daysAgoStart(14)@javascript:gs.daysAgoEnd(0)',
 gs.getMessage('Last fortnight'));
```

5. [更新] を選択して、ビジネスルールへの変更を保存します。
6. 日付/時刻フィルターを編集または作成するときに、新しいオプションが利用可能であることを確認します。

   a. 移動先 すべて > 部下 > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.

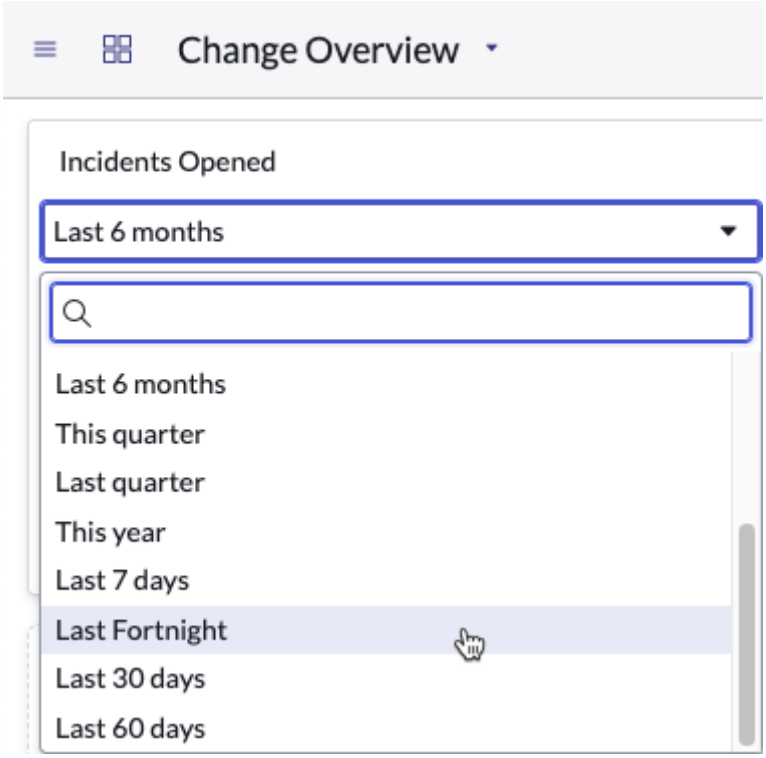
   b. [日付] フィルターを選択します。
   使用可能なフィルターには、[過去 **2** 週間] が含まれます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 日付フィルターを編集して新しい値を含め、フィルターをダッシュボードに追加します。



カスタムインタラクティブフィルターの例 - 複数のレポート

カスタムインタラクティブフィルターを使用して、異なるテーブルを使用して複数のレポートをフィルタリングできます。単一のテーブルまたは複数のテーブルのインタラクティブフィルターを公開するには、2 つの異なる API があります。この例では、カスタムインタラクティブフィルターを使用して、インシデントテーブルと問題テーブルのレポートをアサイン先グループ別にフィルタリングします。

複数テーブルのカスタムインタラクティブフィルターについて

カスタムインタラクティブフィルターを作成するときは、次の点にご注意ください。

- 1 つのテーブルにのみ適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、関数 `DashboardMessageHandler.publishFilter()` を使用します。
- 複数のテーブルに適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、関数 `DashboardMessageHandler.publishMessage()` を使用します。
- 公開する前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` 関数へのインタラクティブなフィルター呼び出しが必要です。
- フィルターをリセットする前に、`SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue()` 関数または `DashboardMessageHandler.removeFilter()` 関数のいずれかを呼び出す必要があります。

`publishFilter()` メソッドを複数回呼び出すカスタムインタラクティブフィルターは、関連するレポートを同じ回数だけリフレッシュします。このメソッドを繰り返し呼び出すと、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

複数のテーブルにカスタムインタラクティブフィルターを適用する方法

次の例では、インシデント [incident] テーブルと問題 [problem] テーブルのアサイン先グループ別にレポートをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`DashboardMessageHandler.publishMessage()` は、複数のフィルターをアレイとして受け入れます。フィルターアレイをビルドし、`DashboardMessageHandler.publishMessage([filters])` を呼び出す `DashboardMessageHandler` の単一のインスタンスを作成します。このメソッドは、ウィジェットを 1 回だけ更新します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<j:jelly xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:g2="null" xmlns:j2="null" trim="false">
  <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

function publishMultipleFilter() {
    <!-- Mutliple filters can be passed as an array -->
    var finalFilter =
 [{"table":"incident","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"},
 {"table":"problem","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"}];
    <!-- call setDefaultValue first -->
    SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
id: my_dashboardMessageHandler._unique_id,
filters: finalFilter,
}, false);
    <!-- then call Publishmessage to publish filters-->
    my_dashboardMessageHandler.publishMessage(finalFilter);
}

function clearFilter() {
SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue(my_dashboardMessageHandler._unique_id,
 false);
my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
}
  </script>

Example of a filter that filters incident and problem table where the assignment group is
 Problem solving
  <input id="allTasks" type="button" value="All" onclick="clearFilter();" />
  <input id="onlyMine" type="button" value="Assignment group is [Problem solving]"
 onclick="publishMultipleFilter();" />
</j:jelly>
```

デバッグフィルターの使用

デバッグインタラクティブフィルターは、カスタムフィルターを作成するのに役立ちます。このフィルターは、ダッシュボード上のすべてのアクティブなフィルターの JSON アレイ表現を表示します。

始める前に

必要なロール：admin

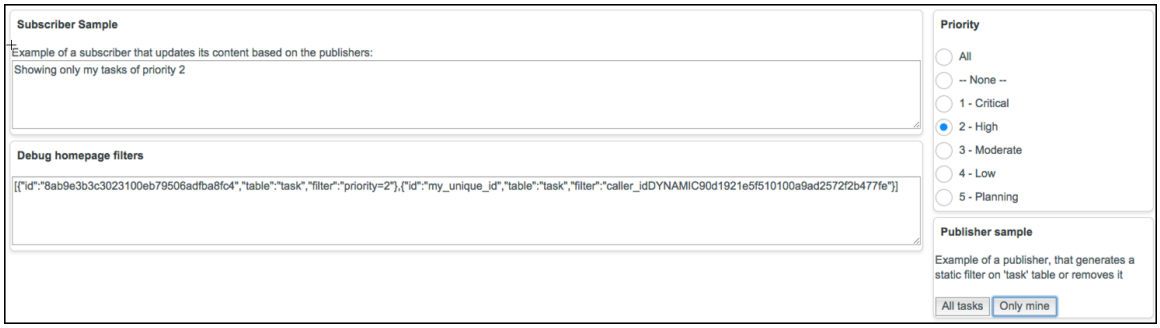
このタスクについて

デバッグフィルターを使用するには、ダッシュボードに追加します。デバッグ フィルターは読み取り専用で、カスタムのインタラクティブ フィルターの設計と実装を支援するためのものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のフィルターがあるデバッグ フィルター



手順

1. ダッシュボードで、[ウィジェットを追加] ( ) アイコンをクリックします。
2. [ウィジェットを追加] パネルで、ウィジェットカテゴリの [インタラクティブフィルター] とウィジェット {デバッグ} を選択します。
3. [フィルターのデバッグ] リストで、[ホームページフィルターのデバッグ] を選択し、[追加] をクリックします。

結果

デバッグウィジェットがダッシュボードに追加されます。

カスタムインタラクティブフィルターの制限事項

カスタムインタラクティブフィルターは、標準のインタラクティブフィルターでは特定の機能が提供されない場合に使用するための代替です。

注: カスタムインタラクティブフィルター用に公開されている DashboardMessageHandler API は制限されており、標準インタラクティブフィルターとのパリティを提供しません。API はこれらの機能をサポートしていません。

サポートされていないカスタムインタラクティブフィルター機能

デフォルトのフィルター値の設定

カスタムインタラクティブフィルターの作成者は、デフォルトのフィルター値を選択することはできません。

ウィジェットのリフレッシュ時にフィルター値を保持

ウィジェットのリフレッシュアイコン ( ) をクリックしてコンテンツをリフレッシュするか、コンテキストメニュー ( ) から [リフレッシュ] を選択しても、カスタムインタラクティブフィルター値は保持されません。

カスタムフィルター値/すべてのフィルター値のリセット

コンテキストメニュー ( ) から [フィルターをリセット] を選択しても、カスタムインタラクティブフィルターは変更されず、引き続き適用されます。

ページのロードまたはタブ切り替え時のフィルター値の設定

ユーザーがタブを切り替えたり、新しいダッシュボードを開いて最初のダッシュボードまたはダッシュボードタブに戻ったりしても、カスタムインタラクティブフィルター値は保持されません。

同じカスタムインタラクティブフィルターの複数のインスタンスをタブに追加する

同じカスタムインタラクティブフィルターのインスタンスが 1 つのタブに複数ある場合、予期しない動作が発生する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** カスタムインタラクティブフィルター値は、タブ間で保持されません。同じダッシュボードの複数のタブで値をフィルタリングするには、各タブにカスタムインタラクティブフィルターを追加する必要があります。

カスタムインタラクティブフィルターの削除に関するレポートの登録解除

ダッシュボードのカスタムインタラクティブフィルターに従うレポートは、フィルターがダッシュボードから削除されても、引き続きそのフィルターに従います。

PDF エクスポートのウィジェットのフィルタリング

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。 エクスポートされた PDF では、カスタムインタラクティブフィルターを使用してフィルタリングされたレポートウィジェットが空白の正方形として表示されたり、ウィジェットのコンテンツがフィルターに従わなかったりすることがあります。

カスタムインタラクティブフィルターをブレークダウンダッシュボードでは使用できません

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウン自体を使用して、すべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットデータをフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

ダッシュボードメッセージハンドラー

インタラクティブフィルターのカスタムフィルタリングロジックを定義するメソッドを提供します。

インタラクティブフィルターの詳細については、「 レポート と インタラクティブフィルター」を参照してください。

DashboardMessageHandler:DashboardMessageHandler (文字列 ID)

特定の一意の ID を使用して、DashboardMessageHandler オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	フィルターの一意の ID。レポートウィジェットでこの ID を使用して、どのフィルターがどのフィルターに適用されたのかを追跡できます。ID はすべてのダッシュボードで一意である必要はありませんが、各ダッシュボードで同じ ID を持つ複数のフィルターを使用することはできません。

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
```

DashboardMessageHandler - publishFilter(文字列テーブル, 文字列 encodedQuery)

DashboardMessageHandler オブジェクトは、それぞれ 1 つずつフィルターを公開できます。

同じオブジェクトから新しいフィルターを公開すると、元のフィルターが上書きされます。複数のフィルターを公開するには、複数の DashboardMessageHandler オブジェクトを使用します。

パラメータ

名前	タイプ	説明
table	文字列	フィルターを適用するテーブル (タスクなど)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメータ (続く)

名前	タイプ	説明
encodedQuery	文字列	公開するフィルターを指定するエンコードされたクエリー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="onlyMine" type="button" value="Only mine"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.publishFilter('task','caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe');"/>
```

DashboardMessageHandler - publishMessage (アレイフィルター)

カスタムインタラクティブフィルターを複数のテーブルに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィルター	アレイ	フィルタリングするテーブルとフィルター基準を定義するフィルターオブジェクトのアレイ。 `[ { "table": String, "filter": String } ]`
filters.table	文字列	フィルタリングするテーブルの名前。
filters.filter	文字列	テーブルに適用するフィルター基準を含むエンコードクエリ。

戻り値

タイプ	説明
なし	

この Jelly スクリプトは、インシデントテーブルと問題テーブルをフィルタリングして、アサイン先グループが問題解決であるレコードを返します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
<script>
 var dmh = new DashboardMessageHandler("aha_dmh");
 var filter = "cmdb_ci.sys_idINcdafbfc9db8f570466e0a345ca96198a";
 //this is the encoded query string
 var fullFilter = dmh.getFilterMessage('change_request',filter);
 //creates a JSON object

 SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({id: dmh.aha_dmh, filters:[fullFilter],}, false);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 var published = dmh.publishMessage([fullFilter]);
</script>

</j:jelly>
```

DashboardMessageHandler - removeFilter()

この DashboardMessageHandler オブジェクトによって公開されている現在のフィルターを、ダッシュボード上のすべてのレポートから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="removeFilter" type="button" value="Remove filter"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.removeFilter();"/>
```

自動翻訳

動的 JavaScript フィルター

指定された値の代わりにレポートの可視化の基準の一部として構成できる動的条件を JavaScript で作成します。

動的条件ステートメントを使用してレポートを作成するには、フィルターの条件値ステートメントに JavaScript URL を配置します。JavaScript コマンドをフィールドに直接入力できますが、1 つ以上のステートメントの長さのスクリプトの場合は、スクリプトを独自のレコードに配置する必要があります。次に、レポート条件の値フィールドで、そのレコードから関数を呼び出します。

動的 JavaScript フィルターの追加

レポート可視化のフィルター基準の一部として、評価用の動的 JavaScript ステートメントを追加します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

JavaScript フィルターは、1 行のステートメント、またはより長いスクリプトにすることができます。長い JavaScript ステートメントの場合は、正しい形式とデータ型を返し、レポートでフィルタリングする必要がある特定のデータに準拠し、クライアント呼び出し可能なスクリプトインクルードを作成します。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクス に完全に移行されていないアップグレード済みインスタンスでは、 すべて > 部下 > 表示/実行.
   - 新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスでは、 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > 部下.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 動的フィルターを追加するレポート可視化を開きます。
3. フィルターアイコン ( ) を選択して、条件ビルダーを展開します。
4. フィルター条件を作成します。
フィールドタイプと演算子のこれらの組み合わせを使用すると、動的 JavaScript ステートメントを指定できます。

注:

- 「between」演算子は、同じまたは異なる JavaScript URL をサポートできる 2 つのフィールドを提供します。
- 「is」演算子は、想定されるタイプのデータ要素の配列を返すことができます。この場合、演算子は「is one of」演算子として扱われます。
- リストフィールドは動的 JavaScript フィルターをサポートしていません。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
Sys ID (GUID)	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の間」、「次の値以上」、「次の値以下」。	完全または部分的なsys_id値のテキスト表現。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、sys_id値のカンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各sys_idを含む配列のいずれかです。
フリーテキスト文字列	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合、予想される結果は、文字列値のカンマ区切りリストか、「is one of」検索値フィールドに含める各値を含むアレイのいずれかになります。
参照	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
文字列 (別のテーブルを参照)	「含む」、「次で始まる」、「次の値で終わる」、「含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザー入力	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テーブルまたはデータソース内のこのフィールドの一部のレコードの完全な値を表すことができるテキスト文字。
テーブル名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次	システム内の完全または一部のテーブル名のテキスト表現。「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、テーブル名値のカンマ区切りリストか、結果に含める

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
	の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	必要がある各テーブル名を含むアレイのいずれかです。
テンプレート値	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	インスタンスで見つかったテンプレートに従って値を満たすテキスト文字。
ドメイン ID	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのドメインフィールドで見つかった値または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザーロール	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	ユーザーロール文字列値のテキスト表現。
ドメインパス	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「含む」、「含まない」、「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれか」、「次の値以下」、または「次の値以上」、「次の間」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合は、テキスト値のカンマ区切りリストまたは含める必要がある各値を含むアレイオブジェクトのいずれかです。
翻訳されたテキスト 翻訳 (変換) 済みフィールド	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	テキスト値。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、カンマ区切りのテキスト値のリストまたはテキスト値の配列のいずれかです。
HTML HTML テンプレート	「含む」、「含まない」	このレポート基準で選択したフィールドのデータに対応する可能性があるテキスト値。
Email スクリプト	「含む」、「含まない」	[メールスクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めるべきでない) 値を表すテキスト値。
スクリプト (平文) スクリプト (サーバー側) スクリプト	「含む」、「含まない」	[スクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めるべきでない) 値を表すテキスト値。
短いテーブル名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テキスト値 (40 文字未満)。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、カンマ区切りのテキスト値のリストか、短いテーブル名を表す各テキスト文字を含む配列のいずれかです。
フィールド名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値の	完全または部分的なフィールド名値のテキスト表現。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	予想される戻り値のデータタイプ
	いずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、フィールド名値のカンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各フィールド名を含むアレイのいずれかです。

5. フィールドタイプと演算子を選択し、JavaScript ステートメントを入力します。
   - 1 行の JavaScript ステートメントの場合は、 `javascript:<JavaScript_Statement>;` という形式を使用します。
   - スクリプトインクルードを呼び出す JavaScript ステートメントの場合は、 `javascript:new <Record_Name>().<Function_Name>();` という形式を使用します。 この 形式では、Record_Name はスクリプトインクルードのレコード名に対応し、 Function_Name はフィルターで比較された値を返すスクリプトインクルード内の関数です。

   注: Javascript URL には、計算を実行して結果を返す関数に渡される 1 つ以上のパラメーターを含めることもできます。たとえば、スクリプトインクルードレコードに 2 つのパラメーターを渡す JavaScript 関数は、 `javascript:new TextJSFilter().getGroupIDs("Professional Services","Sales");` と記述できます。

次のタスク
必要な JavaScript ステートメントと条件を追加し、レポートの残りの部分を設定したら、レポートをテストして、期待どおりの結果が返されて表示されることを確認します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

ウィジェットを使用すると、インジケータースコアの可視化を定義できます。ウィジェットはダッシュボードに表示されます。

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットは、トレンドライン、一連の列、円グラフなどの可視化にインジケーターを関連付けます。ウィジェット内では、インジケータースコアをブレークダウンでフィルターまたはグループ化できます。また、7 日間の合計などの時系列関数をスコアに適用することもできます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成または編集するには、pa_admin または pa_power_user ロールが必要です。これらのロールは、ウィジェットをダッシュボードに追加するためにも必要です。ただし、どのユーザーであってもダッシュボードに追加されたウィジェットを表示できます。

注: ユーザーが可視化を表示できない場合は、アドミニストレーターに連絡するようにユーザーに警告メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードがそのように構成されている場合は、ダッシュボード上のすべてのウィジェットに適用されるダッシュボードのブレークダウン要素を選択できます。ダッシュボードのウィジェットでスコアをクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされたアナリティクスハブが開きます。

> **注:** 時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

丸め

10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

ウィジェットのタイプと作成の詳細

ウィジェットを作成する最初のステップは、作成するウィジェットのタイプを選択することです。この決定は、ウィジェットで達成しようとしているビジネスゴールに基づきます。

ウィジェットタイプ	目的	一般的な可視化
時系列ウィジェット	インジケータースコアの経時変化を示します。	線グラフによる可視化が最も一般的です。他の可視化は、スプライン、ステップ、縦棒、積み上げ縦棒、面、および相対比較です。
ブレークダウンウィジェット	ブレークダウンの要素によってインジケータースコアをグループ化します。	スコアカード、円と類似のグラフ、じょうごとピラミッド、縦棒と類似のグラフ、相対比較、線、パレート図、ピボット スコアカード、およびツリーマップ。
スコアウィジェット	集計インジケータースコアを表示します。ターゲットに対してインジケータースコアを表示できます。	最新スコア、角度ゲージ、リアルタイム スコア。
リストウィジェット	複数のインジケーターのメトリクスをリストします。	スコアカード、スパイダー ウェブ。
ピボットウィジェット	1 つのインジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンの要素でグループ化します。	ヒートマップ
テキストアナリティクス	ユーザーがフォームに入力するテキストの単語の頻度とグループ化をチャート化します	ワードクラウド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットタイプ	目的	一般的な可視化
ワークベンチウィジェット	ワークフローやその他のプロセスを監視するために、複数のインジケーターとその関係を示します。	ワークベンチ

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

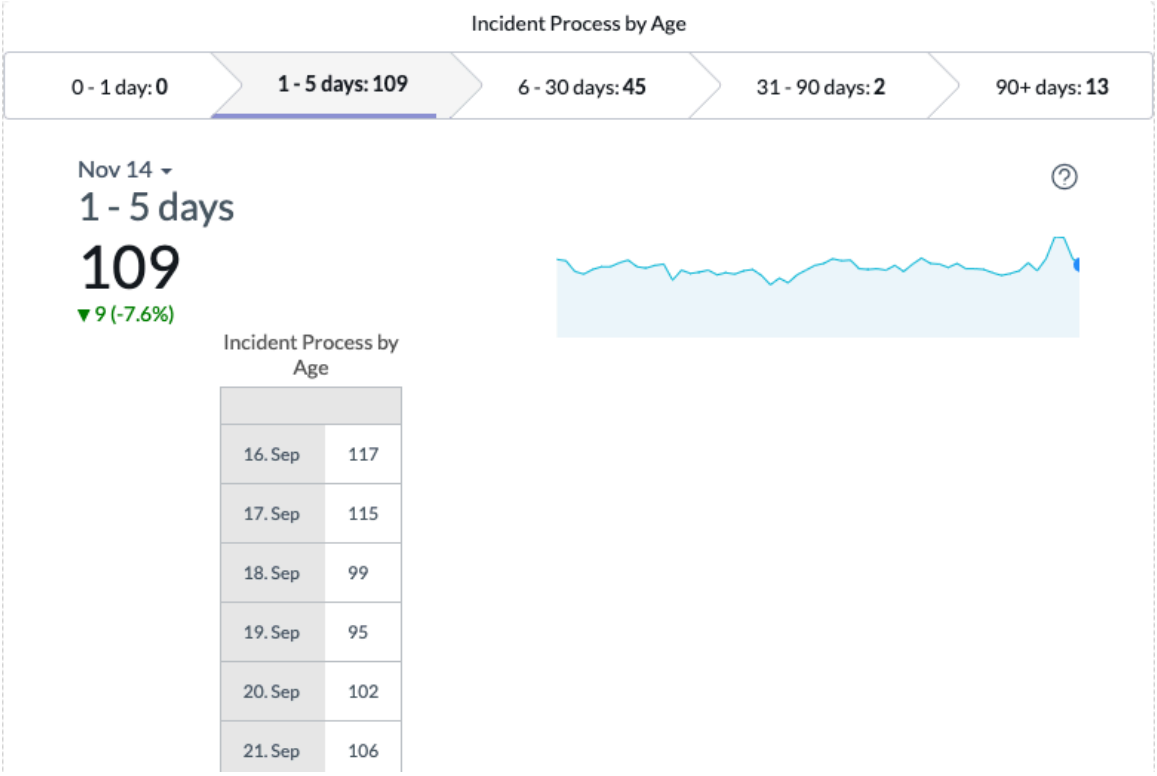
ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

ウィジェットのアクセシビリティのデータテーブル

[設定] で有効にした場合 アクセシビリティ > チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にするでは、インスタンス上のすべての パフォーマンスアナリティクス ウィジェットのグラフィカルチャートがテーブルに置き換わります。ワークスペースウィジェットはチャートとテーブルの両方を表示するため、例外です。色をパターンに置き換える方法など、アクセシビリティとウィジェットの詳細については、「ダッシュボードのアクセシビリティオプション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



時系列ウィジェット

時系列ウィジェットは、インジケーター スコアの経時変化を示します。さまざまなチャート化によって、スコアの傾向またはスコアそのものを強調します。1 つのインジケーターを表示したり、複数のインジケーターを比較したりすることができます。

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。インジケーター スコアは、一定の間隔で経時測定され、時系列ウィジェットの適切な対象にします。以下のビジネス ケースは時系列ウィジェットを使用する一例です。

- インジケーター スコアの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- インジケーター間の関係を評価する。

時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。

注: 他のウィジェット タイプでも一部のチャート化には時系列が含まれます。たとえば、ブレークダウン ウィジェットのチャート化である [積み上げ縦棒] と [列と合計] には、インジケーター スコアの時系列が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットのチャート化

	可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する		
	Line	一連のデータ ポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによるチャート化を使用して、スコアの傾向を強調します。 時系列を表示するときは、線グラフによるチャート化をデフォルトの選択としてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
	スプライン	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプライン グラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
インジケーターのスコアを比較する		
	Column (列)	割合を表す縦棒として変化を表示し、スコアが時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのインジケーターのスコア変化をチャート化するか、インジケーターを比較します。縦棒グラフによるチャート化でインジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、複数の縦棒グラフによるチャート化ウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。
	ステップ	分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調します。特に線グラフによるチャート化ではデータがはっきりしなくなる場合に、スコアの小さな増分変化を表示するために使用します。
インジケーター間のスコアまたは傾向を比較する		
	積み上げ縦棒	各縦棒は、さまざまなインジケーターを表すスライスに分割されて、スライスが積み上げられた状態になっています。複数のインジケーターを累積した結果を表示する場合に使用します。
	面グラフ	線グラフによるチャート化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のインジケーターを使用して、各インジケーターが全体に占める相対的な割合を強調します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のインジケーターがどのように発散するかを表示します。

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ビジネス目標を遂行する時系列ウィジェットを作成するには、いくつかの点に留意してください。

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

時系列ウィジェットを作成するときは、次の点を考慮してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 時系列ウィジェットでフィルタされた一連のスコアを表示するには、ウィジェットにブレークダウンを適用します。ブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。
- 集計されたスコア (7 日間の平均値または合計など) を表示するには、ウィジェットに時系列を適用します。
- 同じタイム ラインでセカンダリ インジケーターのスコアを表示するには、既存のウィジェットにウィジェット インジケーターを追加します。詳細については、「ウィジェット インジケーターの追加」を参照してください。
- 時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。
- 平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

インジケーター スコアの経時傾向を示すには、線グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

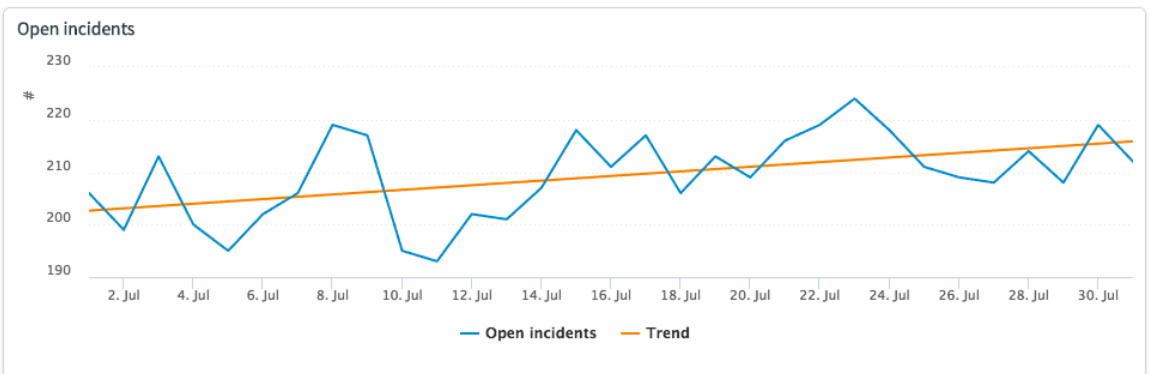
注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

線グラフによるチャート化は、1 つのインジケーターのスコアの傾向を時間の経過とともに示す最も簡単な方法です。時系列のデフォルトのチャート化としてください。時系列に使用するチャート化が不明な場合は、線グラフを使用してください。

次の例は、7 月 1 か月のオープン インシデント数を線グラフでチャート化したものです。オプションの [トレンドを含める] 表示設定が有効になっています。

線グラフによるチャート化 - 時系列



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細につ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	いては、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに示すには、縦棒グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。縦棒グラフによるチャート化を使用してインジケーターを比較することもできます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

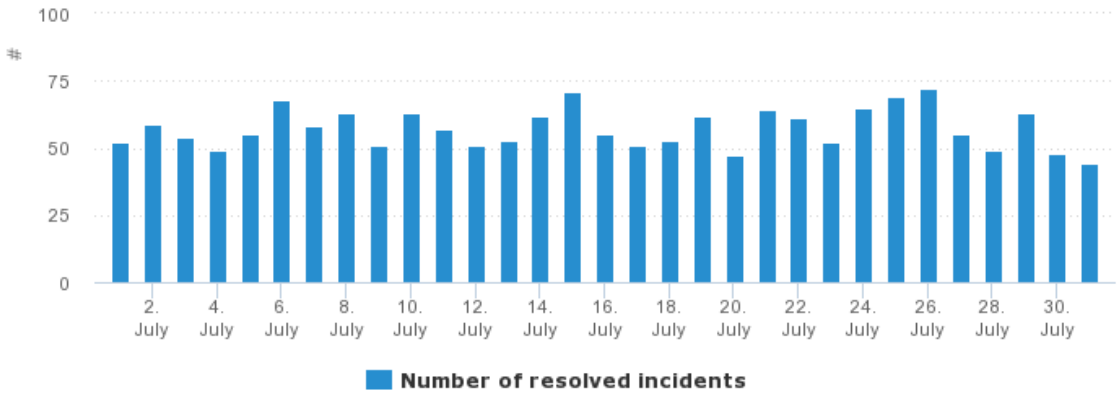
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

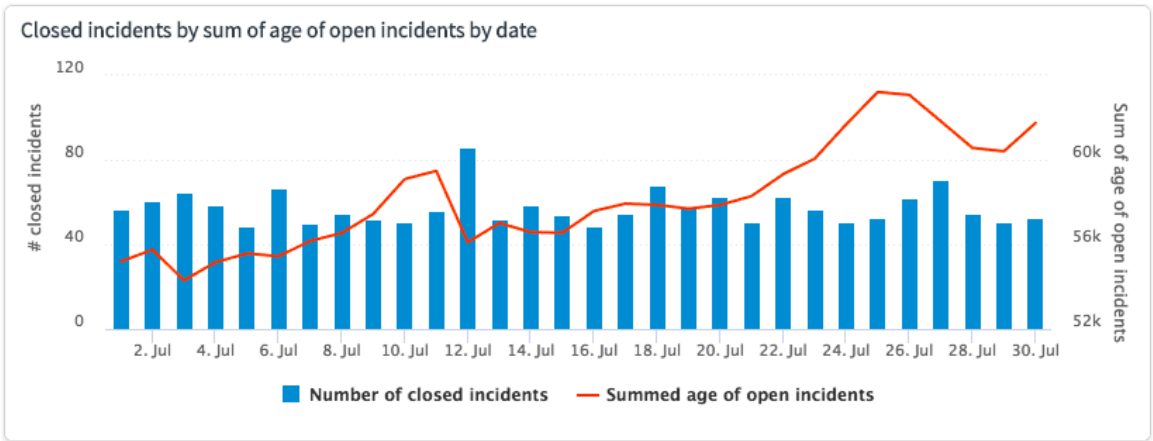
スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに協調するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、複数のインジケーターのスコアを比較するのにも役立ちます。インジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、縦棒グラフによるチャート化を使用した複数のウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

縦棒グラフによるチャート化



2 つのインジケーターの間に相関があるかどうかを確認するには、ウィジェットに 2 番目のインジケーターを追加します。最善の結果を得るには、主要なインジケーターとして離散値を持つインジケーター、セカンダリ インジケーターとして連続したデータ セットを持つインジケーターを選択します。

相関を調べる縦棒グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

インジケーターと他のインジケーターを比較するには、次のいずれかの操作を実行します。

- インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [列] のチャート化を使用します。
- 他の各インジケーターに [列] のチャート化を使用してウィジェットを作成します。これらのウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成

1 つ以上のインジケーターの合計インジケーターに占める割合を調べるには、面グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

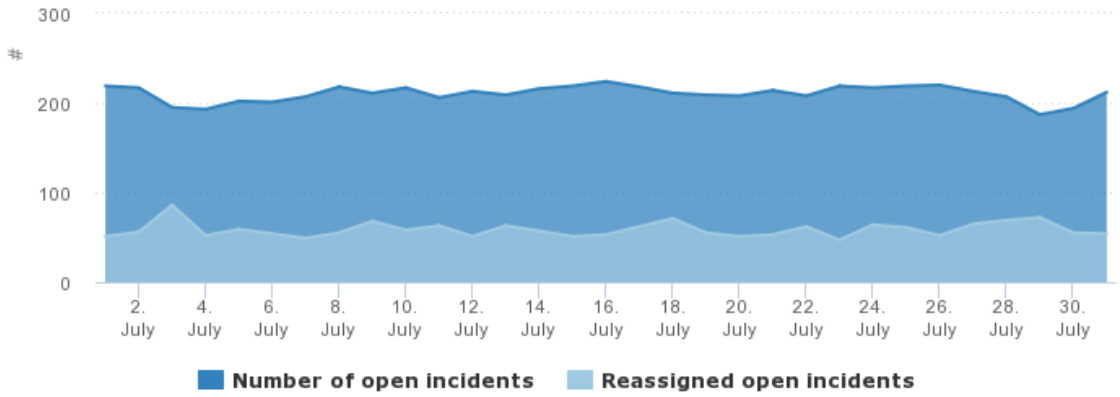
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

1 つまたは複数のインジケーターがより包括的なインジケーターに与える影響を調べる場合は、面グラフによるチャート化を使用します。面グラフによるチャート化は、1 つ以上のコンポーネント インジケーターが全体的な傾向に対して相対的に占める割合を強調することができます。それと同時に、個々の傾向を見ることもできます。積み上げ縦棒グラフによるチャート化と比較してください。積み上げ縦棒グラフでは、インジケーター スコアを合計し、各スコアが合計に対する対して占める割合を強調します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[エリア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

   重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 選択したインジケーターを他のインジケーターを比較するには、インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [エリア] のチャート化を使用します。
- ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ウィジェット インジケーターの追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成

曲線調整を適用する必要があるときにインジケーター スコアの経時傾向を示すには、スプライン グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

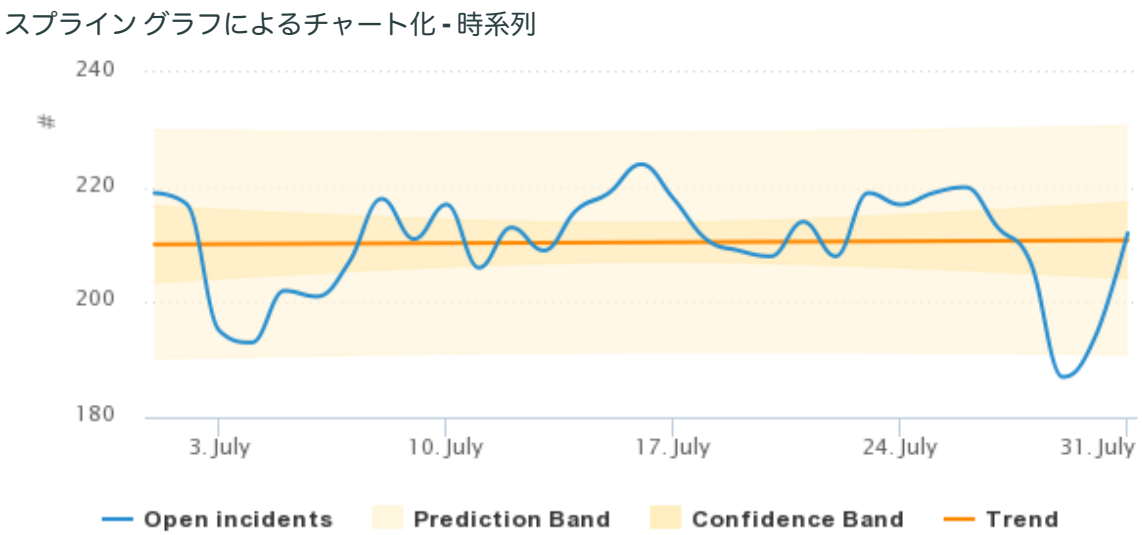
このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

スプライン グラフによるチャート化は、線グラフによるチャート化の直線を曲線に置き換えます。線グラフによるチャート化の場合と同様に、スプライン グラフによるチャート化を使用してインジケーター スコアの経時変化を表示します。インジケーター スコアに曲線を合わせる必要がある場合は、線の代わりにスプラインを使用します。

次の例では、オープン インシデント数のスプライン グラフによるチャート化を使用してトレンド ラインと 95% 信頼区間が表示されます。



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スプライン] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成

分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調するには、ステップ グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

次の状況でステップ グラフによるチャート化を使用することを検討してください。

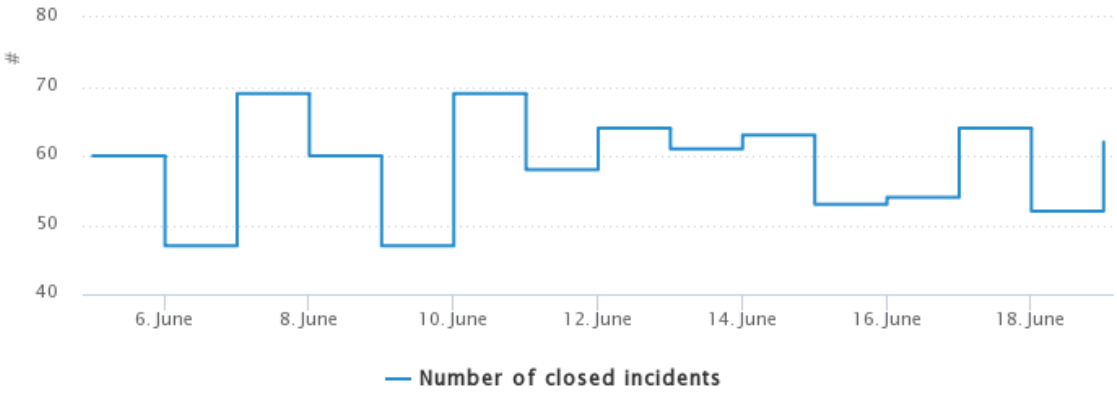
- 時間経過に伴う傾向ではなく、特定の時点間のインジケーター スコアの変化を強調する場合。
- インジケーター スコアの変化が小さすぎて、線グラフによるチャート化では識別しにくい場合。

ステップ グラフによるチャート化のユース・ケースは、スプライン グラフによるチャート化のユース・ケースとは逆です。時間の経過によるデータの傾向や曖昧さを強調する場合はスプライン グラフを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ステップ] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

   重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアを比較および合計するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化による時系列としてウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

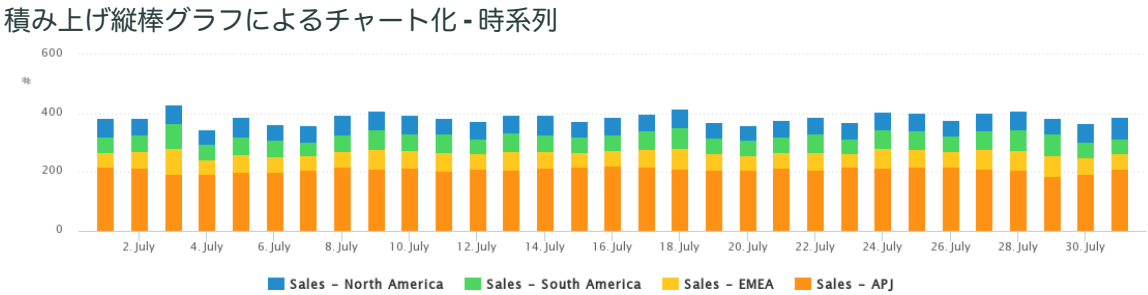
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

> **注:** この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。
>
> この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

時間の経過に伴う複数のインジケーターのスコアの合計を表示したり、各インジケーターが合計に占める相対割合を表示するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

次の例では、各地域の販売センターに関するインジケーターが積み上げ縦棒グラフとなって、販売合計と各地域の相対割合の両方を示しています。



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されたデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

   重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
10. [ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加し、各インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

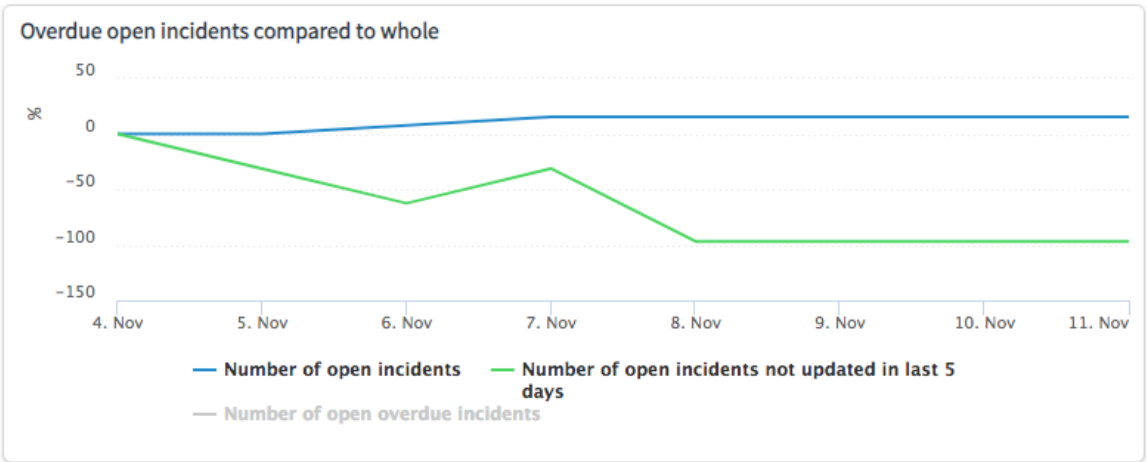
複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえば、この可視化は、オープンインシデントの合計数の変化と、5 日以上更新されていないオープンインシデントの数の変化と比較したものです。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

時系列の相対比較の可視化の例



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [タイプ] リストから [時系列] を選択します。
4. [チャート化] リストで、[相対比較] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを使用して、チャート化に含めるインジケーターを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	注意
インジケーターグループ	インジケーター グループを選択した場合は、単一のインジケーターを選択することはできません。 **警告:** このオプションは現在機能していません。単一のインジケーターと追加のウィジェットインジケーターを指定します。
インジケーター	単一のインジケーターを選択する場合は、[ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを手動で追加する必要があります。

6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. 単一のインジケーターを選択する場合は、[ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加します。
   インジケーターグループを選択した場合、追加のインジケーターは必要ありません。
9. [日付の設定] タブで [範囲セレクタの表示] チェック ボックスをオンにします。
   この設定により、ユーザーはチャート化で表示される時間を動的に変更できます。
10. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

    a. [要素をフォロー] を選択します。

    このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

    b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
    ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

    (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

重要: ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択されたすべての要素を上書きします。

11. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
12. **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの追加設定
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの追加設定

時系列ウィジェットには、表示、日付範囲、および軸ラベルについて次のオプション設定があります。これらの設定を使用して、第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを選択することもできます。

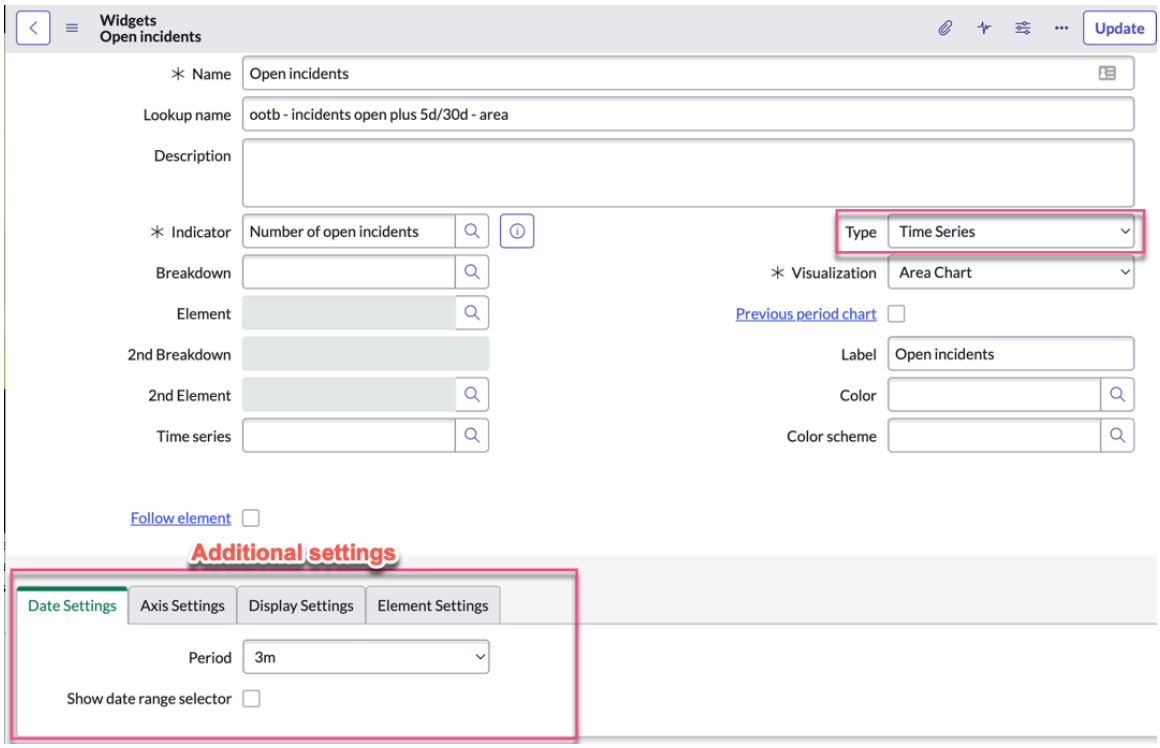
重要: このトピックは、時系列ウィジェットを作成するためのガイドではありません。これは、時系列ウィジェットタイプに共通する追加のオプション設定のガイドです。時系列ウィジェットの作成手順については、該当する「作成」トピックを参照してください。

- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、面グラフの可視化です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



日付設定

日付の設定は、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、次の可視化でのみ使用できます。 • 線グラフ • スプライン • 列 • エリア • ステップ • 積み上げ縦棒 • 相対比較
日付範囲セレ	ウィジェットに日付範囲セレクターを表示します。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに選択した期間を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
クタの表示	注: • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月ごとの合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに予想よりも期間が 1 つ多くなることがあります。インスタンスは、3 m などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示する場合があります。 • 日付範囲セレクターは、ビジネスカレンダーに基づくインジケーターではサポートされていません。

軸設定

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常限られた範囲間を移動する場合に使用できますが、そうしないとグラフが歪む例外がいくつかあります。たとえば、スコアは通常 40 ～ 60 ですが、1000 の例外があります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを含める	円グラフの各スライスなど、各データ ポイントのスコアを表示します。
トレンドを含める	トレンド ラインを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
信頼帯を含める	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼範囲を表示します。[予測の選択] が有効な場合にのみ利用できます。
コメントを含める	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	第 1 レベルの ブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを指定します。要素フィルターを使用して、ビューアーの特性に従って表示される要素をカスタマイズします。たとえば、アサイン先グループブレークダウンの要素をフィルタリングして、ビューアーが属するグループのみを表示できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

前の期間の設定

前の期間の設定は、[前期のチャート] が選択されている場合にのみ利用できます。

注: しきい値、傾向、信頼帯、および予測は、 前の期間のチャート が選択されている場合には機能しません。

設定	説明
期間の範囲	現在の期間と比較する期間の範囲を選択します。
期間の数	表示する前の期間の数を指定します。

ウィジェットの信頼帯

信頼帯の計算には、トレンド ラインの可視点が使用されます。日付範囲を広げると、新しい日付範囲のトレンドを使用して信頼帯が再計算されます。

はじめに、トレンドの標準的なエラーを使用して信頼帯が算出されます。信頼帯の幅は、計算に含まれるポイントの数とスコアの平均によって異なります。標準的なエラーが低い場合は、トレンドラインが正確であることが示されます。ポイントの数が減少するか外れ値が記録されると、信頼帯が広がります。トレンドの信頼性は、データ ポイントが少ない場合やスコアが変わりやすい場合は確度が低くなります。

スコア ウィジェット

スコア ウィジェットは集計インジケーター スコアを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	最新スコア	単一のインジケーター スコアと、前の期間と比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。
	スピードメーター	ラウンド メーターのフォームでインジケーターの最新の収集スコアを表示します。インジケーターのターゲットとそのカラー スキームが目盛りに表示されます。
	目盛り	直近に収集されたインジケーターのスコアの概要を半円で表示します。
	リアルタイム スコア	現在のインジケーター スコアと、最後にスケジュールされた収集でのスコアと比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。

スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

最新のスコアと前のスコアの変更を確認するには、スコア ウィジェットで最新スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

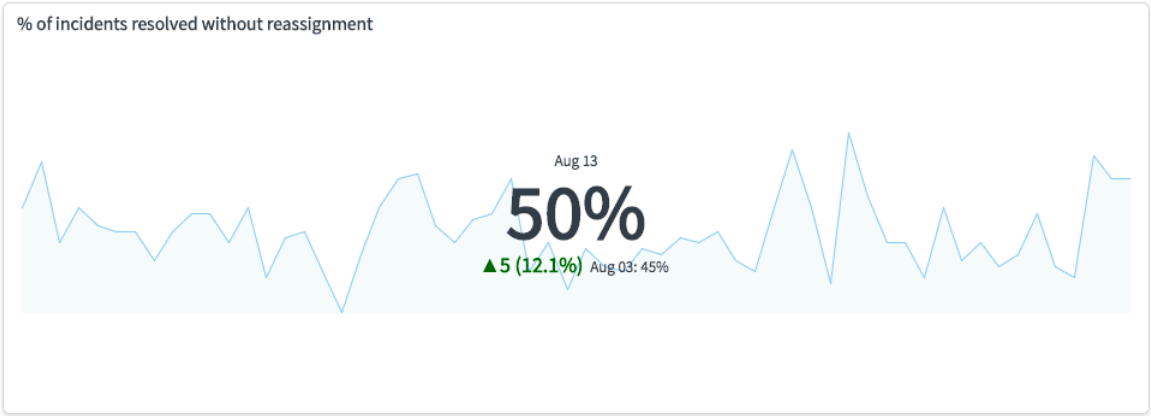
最新スコアによるチャート化では、最新のスコアと、このスコアと前のスコアの間の絶対値およびパーセンテージでの変更が表示されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャートビューに似ています。最新のスコアと比較するために遡るスコアの数を選択できます。また、スコアの変化の絶対値またはパーセンテージのトレンド ラインを表示することもできます。

注: このデータの可視化はモバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「モバイルダッシュボードの KPI 詳細 の表示」と「モバイルダッシュボードプレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新スコアによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映する名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[最新スコア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注: ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合は、要素の集計値のみを表示できます。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: テンプレートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレート名	説明
テンプレート 1	線はスコアの絶対値の変更を表示します。
テンプレート 2	線はスコアのパーセンテージの変更を表示します。
テンプレート 3	線は表示されません。

パーセンテージ値を返す式インジケーターは、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。他のインジケーターは、デフォルトでテンプレート 1 を使用します。

9. [最新のスコア設定] タブの [スコアの比較対象] フィールドで、最新のスコアと比較する以前のスコアを選択します。

前回スコア	前回のデータ収集のスコア。この設定がデフォルトです。
期間を遡る	比較するスコアの、最新のスコアから遡るデータ収集期間の数を指定します。

10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じてどのブレークダウンを表示するかをカスタマイズします。要素フィルターを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- スコアと統計情報の表示

スコア ウィジェットでの角度ゲージまたは目盛りによるチャート化の作成

スコアの範囲と比較したインジケーターの最新のスコアを表示するには、スコアウィジェットで角度ゲージまたは目盛りによるチャート化を使用します。角度ゲージには、インジケーターのターゲットも表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

自動翻訳

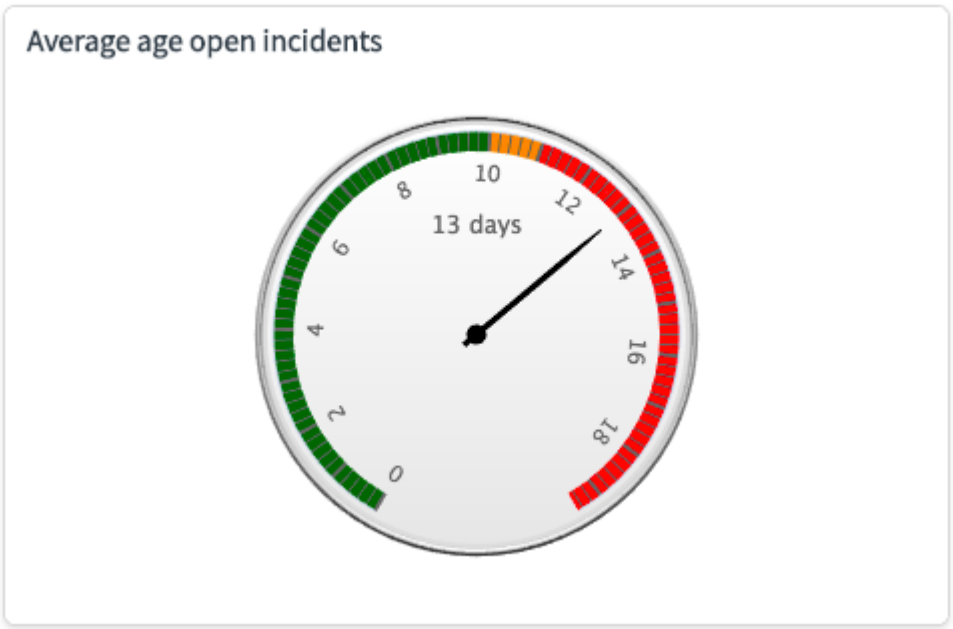
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

角度ゲージによるチャート化では、最新のスコアが角度ゲージの針で表示されます。目盛りによるチャート化では、最新のスコアが半円形のセクションに色分けして表示されます。デフォルトでは、角度ゲージまたは目盛りには可能なスコアの範囲が表示されますが、独自の範囲を作成することもできます。

角度ゲージは、インジケーターにターゲットが設定されているときに特に便利です。インジケーターに方向が設定されている場合 (最小化または最大化)、チャート化によりターゲットとインジケーターに設定されている 3 色または 5 色の信号が再現されます。たとえば、次の角度ゲージでは、オープン インシデントの平均経過時間インジケーターが、最小化方向、ターゲット 10、3 色の信号で表示されています。

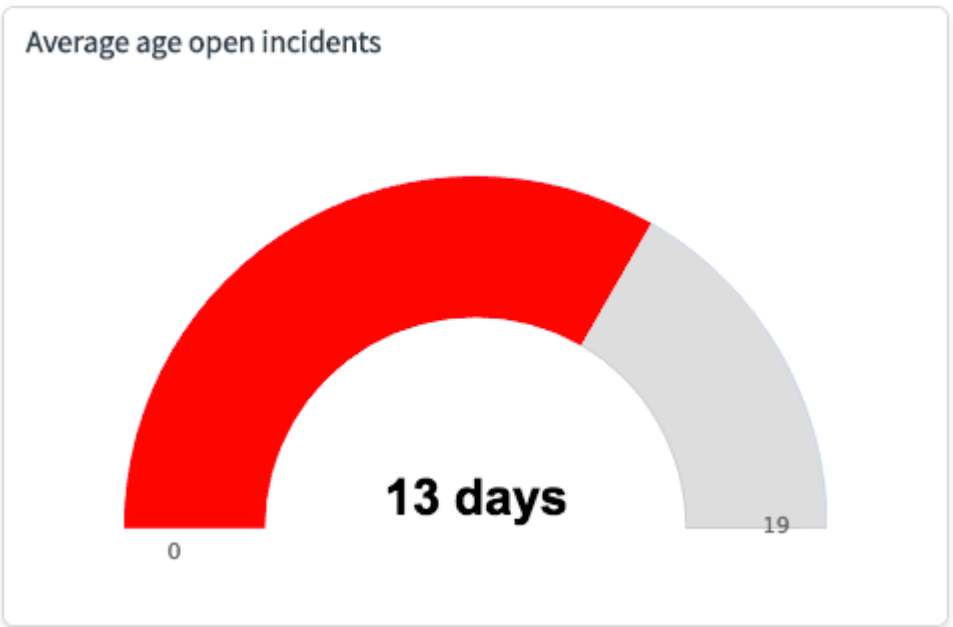
ターゲットのカラースキームを作成するには、「インジケーター ターゲット」を参照してください。

角度ゲージによるチャート化 - スコア ウィジェット



目盛りの可視化では、インジケーター ターゲットは表示されません。

目盛りによるチャート化 - スコア ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スピードメーター] または [目盛り] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細につ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	いては、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注: ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合は、要素の集計値のみを表示できます。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: [スピードメーター/目盛り設定] タブで、角度ゲージに実際のスコアの範囲を表示する [自動スケール] を選択するか、別のスケールを指定します。
9. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに要素フィルターを選択できます。
   このアプローチを使用して、ビューアーに応じてどのブレークダウンを表示するかをカスタマイズします。要素フィルターを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- インジケーター ターゲット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成

現在のスコアを表示するには、スコア ウィジェットでリアルタイム スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

- リアルタイム スコアが必要なインジケーターでは、[リアルタイムスコアを表示] プロパティを有効にする必要があります。
- 必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

リアルタイム スコアによるチャート化では、現在のスコアと、このスコアと直前にスケジュールされたデータ収集時のスコアの間の絶対値およびパーセンテージ両方での変更が表示されます。スコアは、ダッシュボードユーザーがウィジェットを含むダッシュボードを開いたときに計算されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャートビューに似ています。また、スコアの絶対値またはパーセンテージの変化のトレンド ラインを表示することもできます。

詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

警告:

- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- ウィジェットのデータ要素が多すぎると、リアルタイムで更新することはできません。この場合、ウィジェットを手動で更新するようにビューアーに指示するメッセージが表示されます。

リアルタイム スコアによるチャート化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映する名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
4. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[リアルタイムスコア] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
7. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な可視化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   注:
   - ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合は、要素の集計値のみを表示できます。
   - ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコアウィジェットでは Record Watcher はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

9. オプション: テンプレートを選択します。

テンプレート名	説明
テンプレート 1	線はスコアの絶対値の変更を表示します。
テンプレート 2	線はスコアのパーセンテージの変更を表示します。
テンプレート 3	線は表示されません。

   リアルタイム スコアによるチャート化は、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。

10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに要素フィルターを選択できます。
    このアプローチを使用して、ビューアーに応じてどのブレークダウンを表示するかをカスタマイズします。要素フィルターを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- リアルタイムスコア
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 自動インジケーターの作成

リストウィジェット

リストウィジェットには、複数のインジケーターのスコアが表示されます。

リスト ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	スコアカード	いくつかのインジケーターには、次のいずれかの属性が表示されます。 • 複数の時点のスコア • 最後の 2 つのスコア間の変化 • % の変更 • トレンド • ブレットグラフ
	スパイダー	各インジケーターの最新スコアのプロットを、中心を 0 として始まる独自の軸に表示します。

インジケーターを表示する権限

アップグレードされたインスタンスで、リストウィジェットを表示するには pa_viewer ロールが必要な場合があります。さらに、リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。

リスト ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

複数のインジケーターの測定基準を一覧表示するには、リスト ウィジェットでスコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

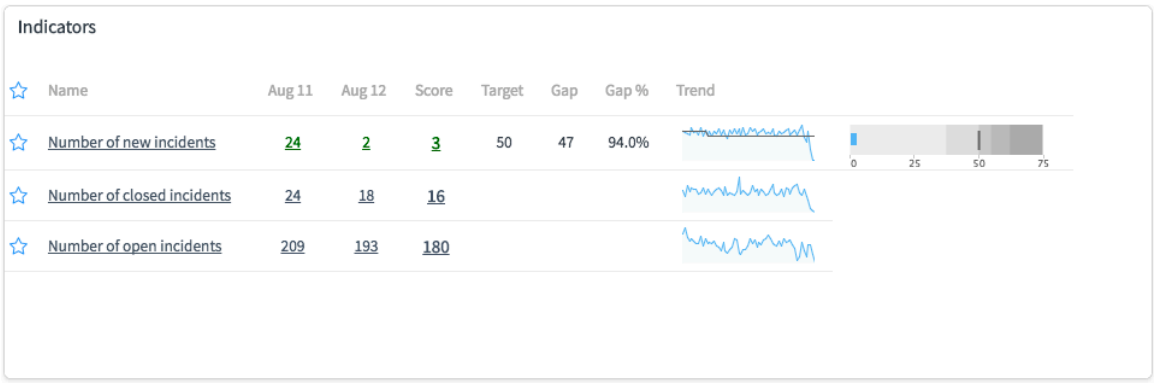
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

このチャート化を使用すると、スコア、スコアのトレンド、およびターゲットのコンプライアンスに関する複数の類似するインジケーターを比較するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアカードによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

8. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。
10. [列の設定] タブで、表示するスコアと測定基準を選択します。

列の設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。デフォルトで選択されています。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。デフォルトで選択されています。
ブレットグラフ	最新のスコアが最新のターゲット スコアにどれくらい近いかを示すグラフを表示します。このグラフは、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
複数のスコア	[期間の数] フィールドに定義されているスコアの数を表示します。このフィールドは [複数のスコア] が選択されている場合に表示されます。 [現在のスコア] も選択されている場合、最新の期間に [スコア] と表示されます。それ以外の場合は、最新の期間に日付が表示されます。
期間の数	ウィジェットに含める追加期間の数を選択します。
期間のステップ	[期間の数] > 1 の場合、各期間の長さを選択します。単位は、最初のインジケーターの頻度に基づいています。 **注:** 日次、週次などの異なる頻度のインジケーターを含めると、インジケーターごとに異なる期間数が表示されます。たとえば、最初のインジケーターの頻度が日次で、別のインジケーターの頻度が週次である場合、週次インジケーター 1 スコアごとに、日次インジケーターは 7 つのスコアを表示します。
前回比	前のスコアからの値の変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変更を表示します。
ターゲット	インジケーターのターゲットを表示します。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。ターゲットと現在のスコアは、[ブレットグラフ] にグラフィカルに表示されます。
ギャップ	現在のスコアとターゲットの差を表示します。最大化方向のインジケーターの場合、ギャップはスコア – ターゲットで計算されます。最小化方向のインジケーターの場合、計算はターゲット - スコアです。したがって、正の値は常に良い値であり、負の値は常に悪い値です。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の設定	説明
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップと同様に、インジケーターの方向に関係なく、常に正のギャップ % は望ましく、負のギャップ % は常に悪いです。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。

11. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカードオプション	[すべての インジケーター]、[キーとマークされたインジケーター]、または [お気に入りの インジケーター] を選択して、それらのインジケーターのみをダッシュボードに表示します。
ページサイズ	リスト スコアカードに表示する行数を選択します。
フィルタ	[パフォーマンスが最高]、[パフォーマンスが最低]、[改善]、[拒否]、または [悪化] のスコアカード リストをフィルタリングします。フィルタと一致するインジケーター スコアのみが表示されます。

12. **[Submit** (送信)] または **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

リスト ウィジェットでのスパイダーによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアをプロットするには、リスト ウィジェットでスパイダーによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

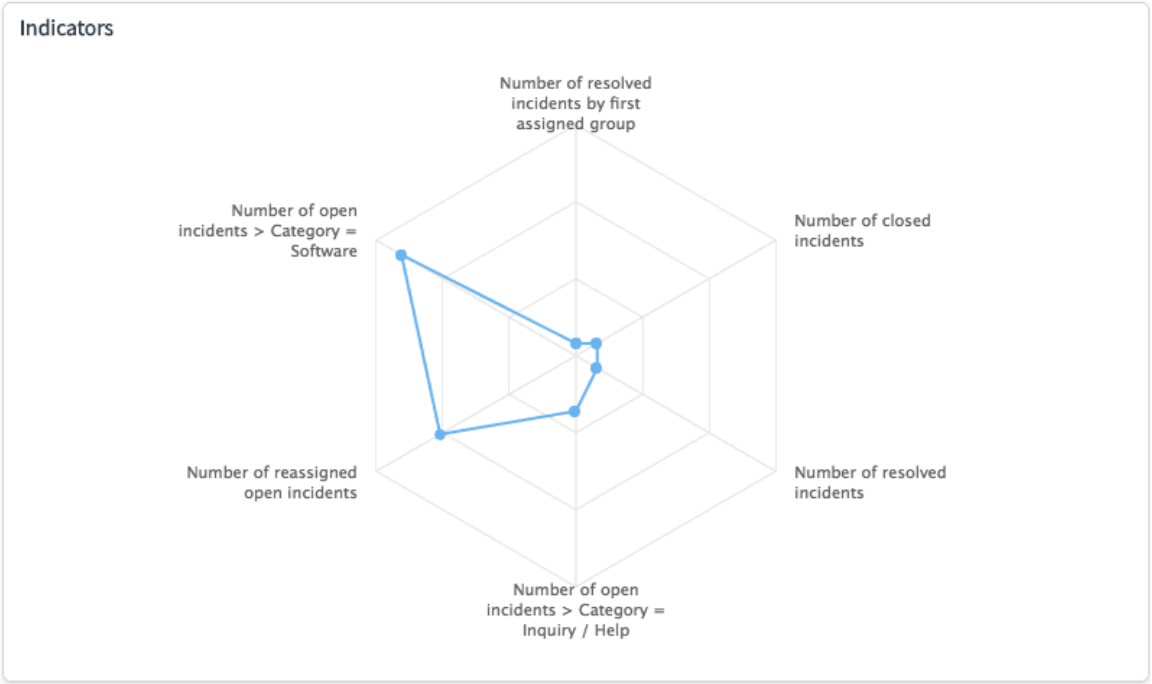
このチャート化を使用すると、複数の類似するインジケーターのスコアを比較するのに役立ちます。

注: スパイダーの可視化では、最大 10 個のインジケーターを比較できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スパイダーによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スパイダー] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

8. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターアグリゲーションに基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみです。COUNT DISTINCT と AVG は含まれません。詳細については、「複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。

10. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカードオプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、または [お気に入り] インジケーターを選択します。
ページサイズ	効果はありません。インジケーターの最大数は 10 です。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

ブレークダウンウィジェット

ブレークダウン ウィジェットは、ブレークダウン要素別にグループ化されたインジケーター スコアを表示します。異なるチャート化を使用して、ブレークダウン要素の比率またはこれらの比率のトレンドを比較することができます。

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ブレークダウン ウィジェットでのチャート化を選択するときは、ブレークダウン要素のトレンドと比率のどちらを比較するか検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのか、1 つのブレークダウンを表示するのか 2 つのブレークダウンを表示するのかも検討します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
ブレークダウン要素別に、インジケーターのスコアのトレンドをチャート化する		
	スコアカード	単一のインジケーターの 1 つのブレークダウンのトレンドを表示します。
ブレークダウン要素の比率をチャート化する		
	Column (列)	ブレークダウン要素の比率を、比例する垂直列として表示することによって比較することができます。円グラフやじょうごグラフなどのチャート化が適切ではない場合に使用します。
	円グラフ	全体を表す円を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	ドーナツグラフ	全体を表すドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	半ドーナツ	全体を表す半ドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。半ドーナツ チャートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。
	じょうご	値を漸進的に減少する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
	ピラミッド	値を漸進的に増加する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
スコアのトレンドとブレークダウン要素の比率の両方をチャート化する		
	積み上げ縦棒	時系列とブレークダウン ウィジェットの機能を組み合わせます。X 軸は時間軸であり、チャート化で経時的なインジケーター スコアの開発を表示します。また、各列は、ブレークダウン要素に応じて積み上げられたスライスに分割されます。したがって、このチャート化は、時間の経過とともにブレークダウン要素の比率を表示します。
	列と合計	ブレークダウン要素の比率とインジケーター スコアのトレンドの両方を表示します。時間の経過とともに、ブレークダウン値ごとに個別の列とすべての値の合計を表す線を表示します。
	線	一連のデータ ポイントを直線で結ぶことによって、インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化を表示します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のブレークダウンがどのように発散するかを表示します。
その他のチャート化		
	パレート図	列と線のチャート化を組み合わせて、多数の係数の中で最も重要な係数を特定します。
	ピボット スコアカード	複数のインジケーターに適用された 1 つのブレークダウンのブレークダウン要素を比較できるようにします。Y 軸は、インジケーターまたはブレークダウン要素にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明
	ツリーマップ	ネストされた四角形をグラデーションで色付けしてツリーのように表示して、ポジティブからネガティブまでのスコアまたはスコアのトレンドを示します。

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでは、グループまたはフィルタ インジケーターのスコアをブレークダウンします。ウィジェットを作成すると、ブレークダウンのこの 2 つの目的がブレークダウン フィールドの機能に影響します。

ウィジェット フォームの [ブレークダウン] および [ブレークダウンレベル **2**] フィールドには、他のウィジェット タイプとは異なるブレークダウン ウィジェットの機能があります。他のほとんどのウィジェット タイプでは、これらのフィールドでフィルターを指定します。指定されたブレークダウン要素に対応するインジケーター スコアのみが表示されます。ただし、ブレークダウンウィジェットを作成するときは、ブレークダウンをフィルタリングするのではなく、ブレークダウンでスコアをグループ化します。ブレークダウン要素は、円グラフによるチャート化の異なる扇形、縦棒グラフによるチャート化の個別の列などとして表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウンウィジェットにはブレークダウンのすべての要素が表示されます。ただし、要素フィルターを適用することで、表示する要素を制限できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

第 1 レベルのブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングし、第 2 レベルのブレークダウンの要素を表示できます。これを行うには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでブレークダウンと要素を指定します。次に、データをグループ化するために使用するブレークダウンを [第 **2** ブレークダウン] フィールドに指定します。第 **2** ブレークダウンを指定しない場合、[要素] フィールドは無視され、最初のブレークダウンは、インジケータースコアをフィルタリングする代わりにグループ化するために使用されます。

ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

パフォーマンス分析のユーザーは、ダッシュボードで個々のブレークダウン ウィジェットとやり取りして、チャート化またはブレークダウンを変更できます。

タイプが [ブレークダウン**]** のウィジェットを使用すると、ユーザーはダッシュボードでウィジェットを表示するときに可視化を選択できます。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに [チャート化] 選択リストから、ウィジェット タイプの任意のチャート化を選択できます。

注: ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成します。

ブレークダウン ウィジェットを使用すると、複数のブレークダウンが利用可能な場合にユーザーにブレークダウンを選択させることもできます。ダッシュボードでウィジェットを表示すると、[ブレークダウン] 選択リストに [インジケーター] ウィジェットのすべての利用可能なブレークダウンが表示されます。インジケーターに関連付けられたブレークダウンが 1 つしかない場合、[ブレークダウン] 選択リストはウィジェットに表示されません。

注: ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードに追加されていて、ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

デフォルトでは、インタラクティブなブレークダウンが第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。ただし、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードにあり、ウィジェット フォームで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[要素をフォロー] が選択されている場合、インタラクティブ ブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンとして適用されます (第 2 レベルのブレークダウンを適用するにはインジケーターで [ブレークダウンマトリクスを収集] が設定されている必要があります)。ウィジェットを含むダッシュボードに設定されているすべてのブレークダウンは、第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。

特定のウィジェットのこの機能を無効にするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] または [ブレークダウンセレクタを表示] チェックボックスをオフにします。

ウィジェット レコードで選択されているチャート化またはブレークダウンがデフォルトとして使用されます。

関連トピック

- インジケーターブレークダウン
- ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素のトレンドを表示するには、スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

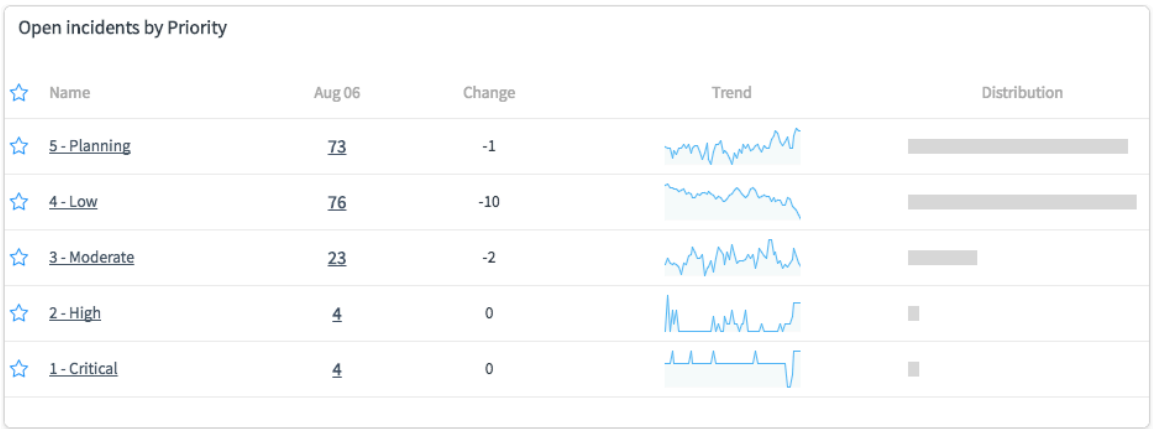
このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

スコアカードによるチャート化では、1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素別のトレンドを表示します。

スコアカードによるチャート化 - ブレークダウン



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

   重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

d. オプション: [フォローしているブレークダウンの関連付け] でブレークダウンの関連付けを選択します。
ウィジェットは、指定されたブレークダウンの関連付けをフォローするブレークダウン要素のみを表示します。ブレークダウン ダッシュボードで、関連するブレークダウン要素を選択する必要があります。それ以外の場合、ウィジェットはデータを表示しません。詳細な例については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

注:

- 両方を指定することはできませんが、フォローされているブレークダウンまたはフォローされているブレークダウンの関係性のいずれかを指定することができます。
- 複数の要素の選択は、ブレークダウンの関連付けに続くウィジェットではサポートされていません。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- アナリティクスハブ

ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用できます。特定のウィジェットにどれが最適かを確認するために、3 つすべてを検討してください。

これらのチャート化は、以下の場合には不明瞭になります。

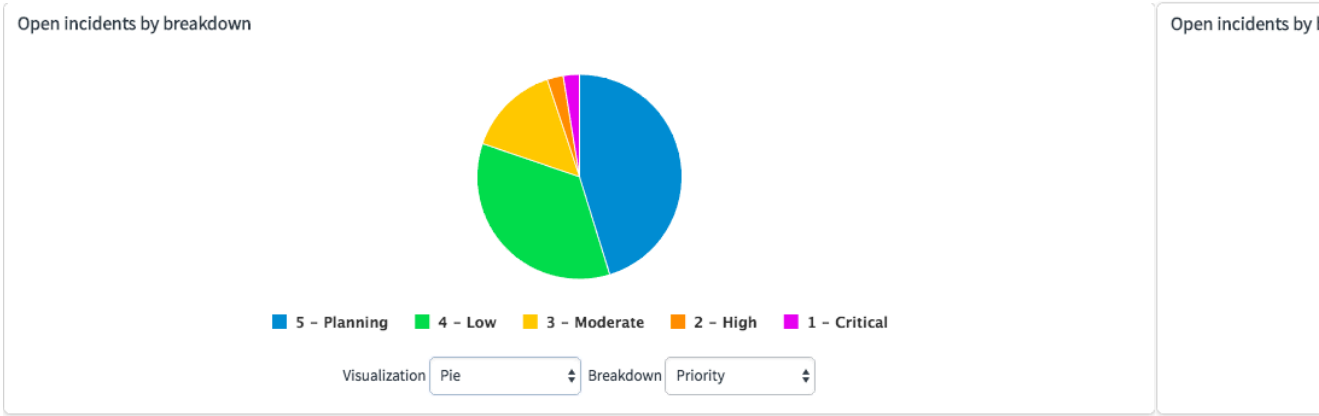
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンに含まれる要素が多すぎる。
- ブレークダウンのいくつかの要素が他の要素よりずっと小さい。

これらの場合、または割合ではなくスコアを比較するには、縦棒グラフによるチャート化の使用を検討してください。

円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[円グラフ]、[ドーナツグラフ]、または [半ドーナツグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

○ ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

注: [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。イ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ンジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、特に要素がプロセスのステージを表すときは、ピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

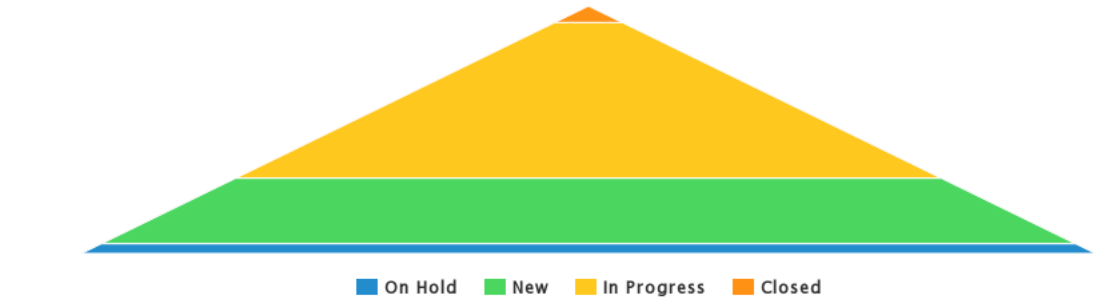
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

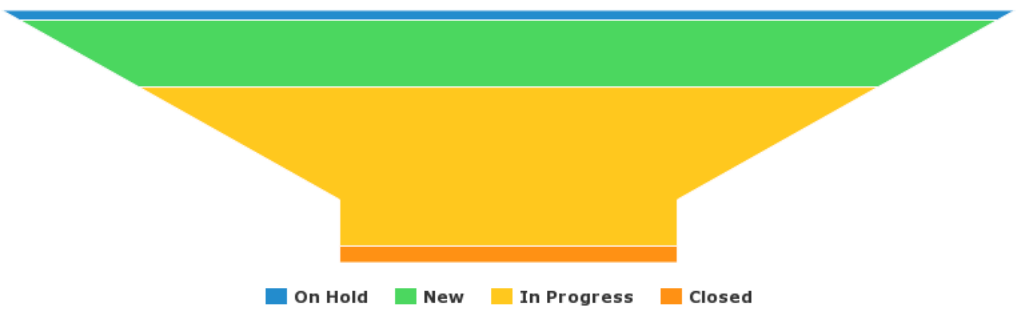
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフによるチャート化の代わりにじょうごグラフまたはピラミッド グラフによるチャート化を使用することを検討してください。じょうごグラフおよびピラミッド グラフによるチャート化は、ブレークダウンの要素がプロセスのステージ (営業プロセスのリードから商談成立までなど) を表す場合に特に適しています。

じょうごグラフはパーセンテージを減少させることで、ピラミッド グラフはパーセンテージを増加させることで、上から下にスライスを積み重ねます。ピラミッド グラフは、組織の階層レベルを表すためによく使用されます。

ピラミッド グラフおよびじょうごグラフによるチャート化 - ブレークダウン

次の例では、オープン インシデントがそのステージに応じて表示されています。





手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

4. [チャート化] フィールドで、[ピラミッドグラフ] または [じょうごグラフ] を選択します。
ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。

6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

注: [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの縦棒グラフによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素を比較するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

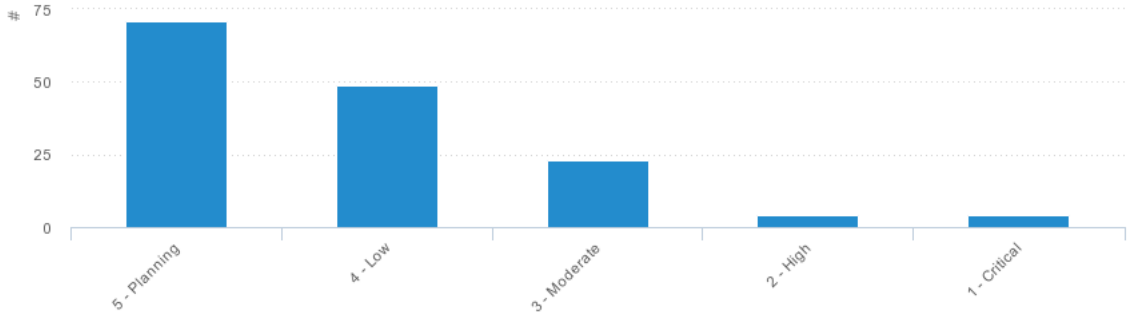
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ブレークダウン要素別にインジケーター スコアの比率を比較する場合で、円グラフによるチャート化が不適切な場合は、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、多くの要素がある場合、いくつかの要素が他の要素よりもはるかに小さい場合、またはいくつかの要素の値が互いに近い場合に、明確になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

   注:

   - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
   - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

> **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:** [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのパレート図によるチャート化の作成

ブレークダウンに多くの要素が含まれているときに最も重要なブレークダウン要素を特定するには、パレート図によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

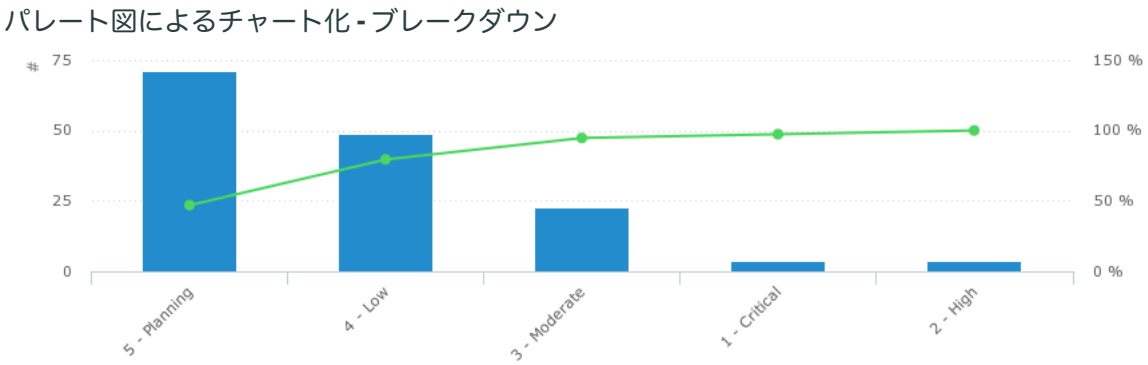
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

パレート図によるチャート化には棒グラフと線グラフの両方が含まれます。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[パレート図] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

注: [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで線グラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

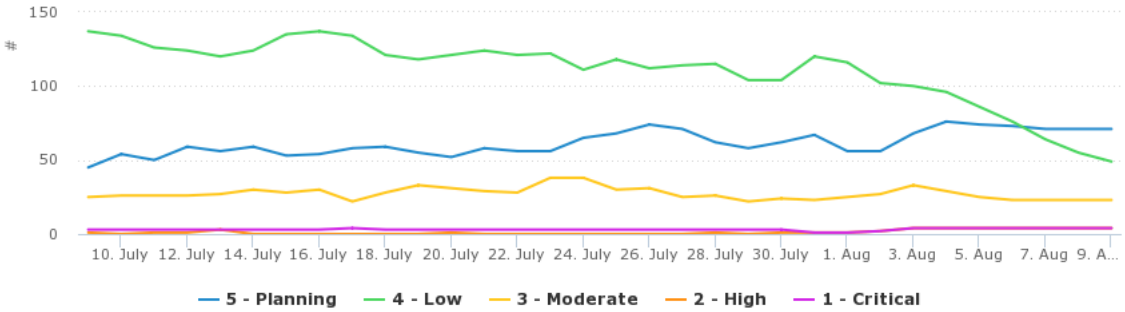
このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ブレークダウン ウィジェットの線グラフによるチャート化では、異なるブレークダウン要素に属するインジケーター スコアの割合の経時変化を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。

線グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

- あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:** [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの列と合計によるチャート化の作成

インジケーターのスコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率の両方の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで列と合計によるチャート化を使用します。

始める前に

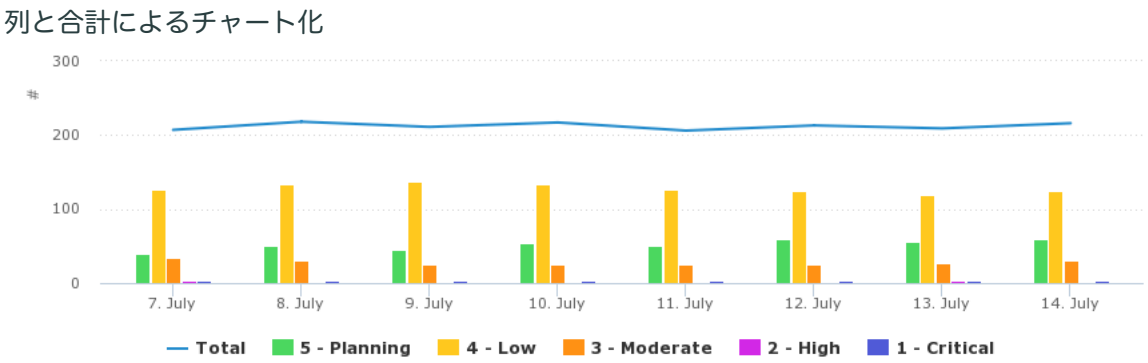
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

このチャート化は、時系列とブレークダウン ウィジェットを組み合わせます。インジケーター スコアには、線グラフによるチャート化によって従来の時系列が表示されます。この線は、インジケーター スコアが収集された各時点のブレークダウンの縦棒グラフによるチャート化と組み合わされます。このウィジェットを使用して、インジケーター スコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率との関係を調べます。



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列と合計] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

   重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:** [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。

10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

ブレークダウン ウィジェットでの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

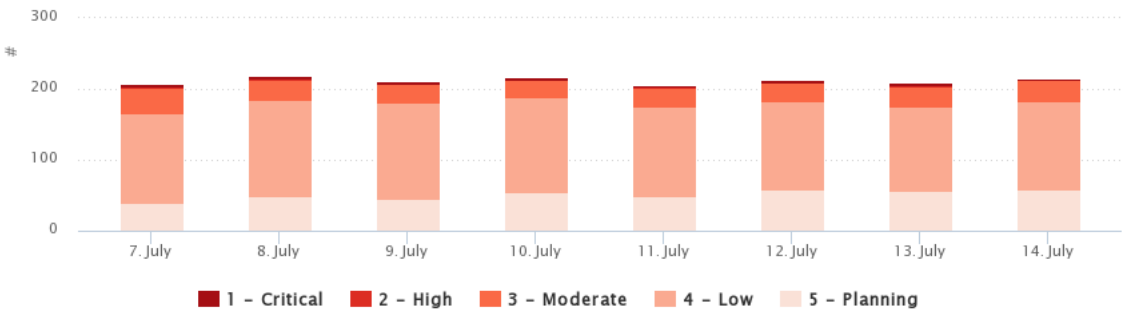
このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

このチャート化は、単一の列でブレークダウン要素の比率を表示し、インジケーター スコアが収集される各時点の列を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。

積み上げ縦棒グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。

6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

注: [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

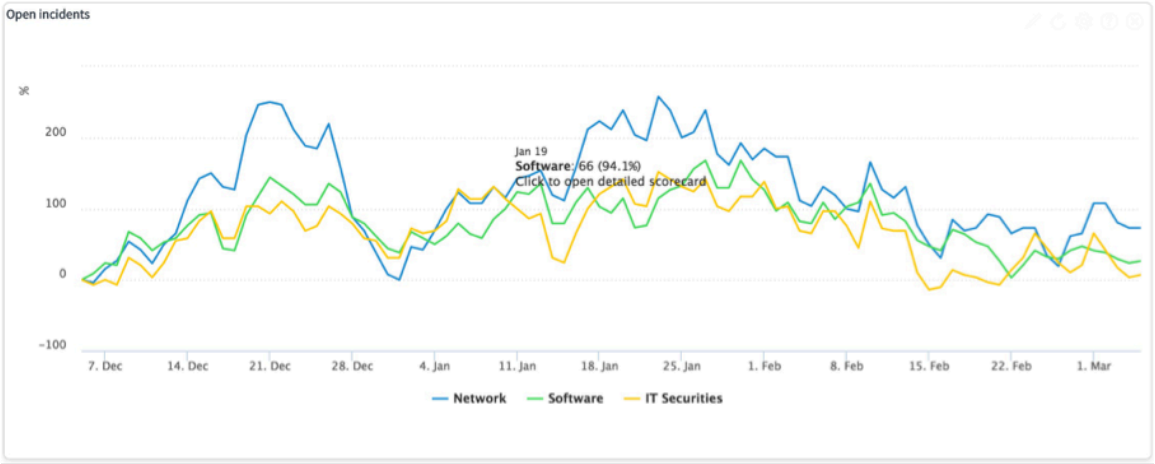
円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえばこのチャート化は、3 つの異なるインシデント タイプに対して、12 月から 3 月までのオープン インシデント数を示しています。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相対比較によるチャート化の例



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[相対比較] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

   注:
   - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
   - 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

> **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットにフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは最初のブレークダウンの要素ごとにグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。ウィジェットに、ブレークダウンの [アサイン先] 要素の個別の値を表示させる必要があります。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素を表示 **(Show multiple elements as)]** では、[集計 ビュー] のみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:** [フォローしているブレークダウン関係] メニューは、スコアカードの可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. [日付の設定] タブで、[日付範囲インジケーターを表示] を選択します。
10. [設定] タブをレビューして、必要に応じて他の設定を調整します。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピボット スコアカードによるチャート化の作成

多くのインジケーター間でブレークダウン要素の比率を比較するには、ブレークダウン ウィジェットでピボット スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

同じウィジェットの複数のインジケーターに同じブレークダウンを適用して表示する場合は、ピボット スコアカードを使用します。スコアカードを旋回させて、ブレークダウン要素とインジケーターの軸を逆にすることができます。

ピボット スコアカード - ブレークダウン

Priority of all open incidents

	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning
Number of open incidents	4	4	23	43	71
Number of open incidents not updated in last 5 days	2	0	5	0	10
Number of open incidents not updated in last 30 days	0	0	1	0	2

ピボット スコアカード (Y 軸がブレークダウン)

Priority of all open incidents

	Number of open incidents	Number of open incidents not updated in last 5 days	Number of open incidents not updated in last 30 days
1 - Critical	4	2	0
2 - High	4	0	0
3 - Moderate	23	5	1
4 - Low	43	0	0
5 - Planning	71	10	2

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピボットスコアカード] を選択します。
5. [ピボットブレークダウン] フィールドで、複数のインジケーターにまたがって要素を表示するブレークダウンを選択します。
6. [保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
8. 表示されるメニューで、ブレークダウン要素を比較するインジケーターを選択します。
9. **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク

- ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。
- ウィジェットがダッシュボードに入ったら、ウィジェットを編集して [ブレークダウンを **Y** 軸に表示] 表示設定を試します。

関連トピック

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでのツリーマップによるチャート化の作成

ブレークダウン要素の階層を表示するには、ツリーマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power-user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

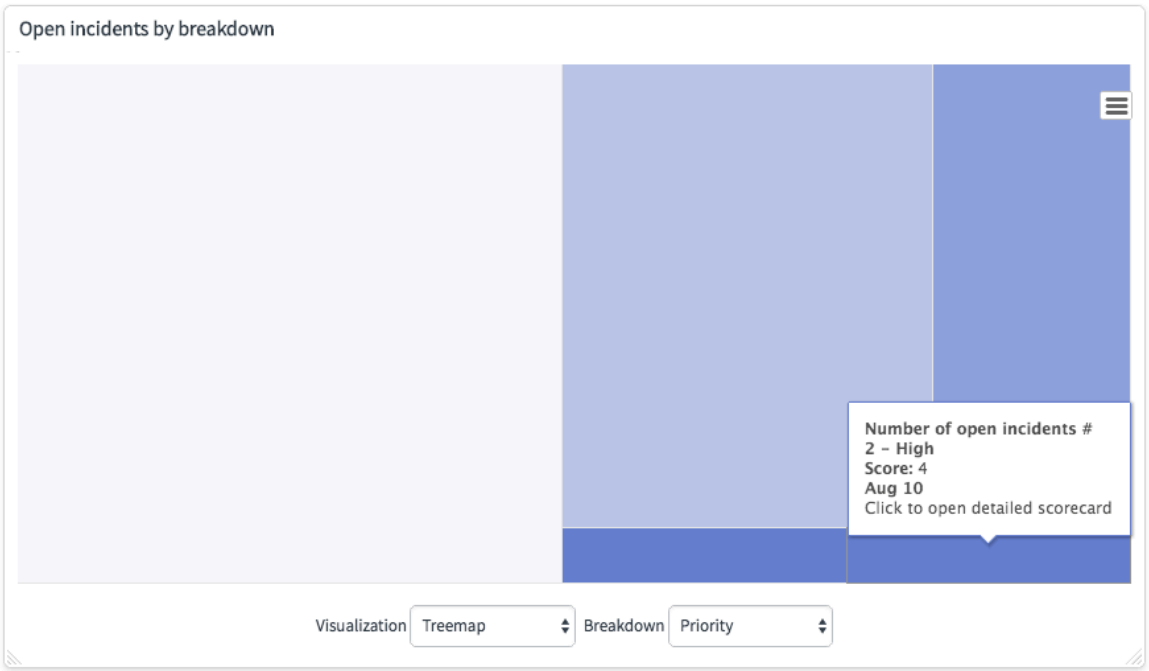
この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ブレークダウンの要素が好感度で異なる場合、または各ブレークダウン要素とインジケーター ターゲットを比較する場合は、ツリーマップを使用できます。ツリーマップでは、要素の比率を表すサイズと好感度を表す色のネストされた四角形を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツリーマップによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ツリーマップ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. スコアをグループ化するブレークダウンを選択します。
   ブレークダウンと要素を設定してスコアをフィルタリングすることもできます。
   - ウィジェットにブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアを表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンは選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドで要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素によってフィルタリングされてから別のブレークダウンの要素によってグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目の [ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素に一致する場合に限ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 つ目のブレークダウンを作成するには、[要素をフォロー] を 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

◦ ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化のブレークダウンを選択します。次に、後のステップで説明するように [要素をフォロー **(Follow element**)] を選択します。

重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合は、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。そうしないと、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. [色分けの方法] フィールドで、好感度をスコア、スコアの変化、変化の割合、インジケーターターゲットのいずれに基づいてランク付けするかを選択します。
8. [正の色] フィールドで、肯定的であることを示す色を選択します。
9. [色分けの方法] によっては、[負の色] を選択する必要があります。
10. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート日] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソート日] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトル。ブレークダウンが 1 つだけ表示されている場合は、最初の色のみが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	(Optional) 配色を指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用 `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

11. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
    詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加設定」を参照してください。
12. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連トピック

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウンウィジェットの追加設定

ブレークダウン ウィジェットには、日付範囲、表示、グループ化ブレークダウン、および列の内容に関する次のオプション設定があります。すべてのオプションがすべてのチャート化で利用できるわけではありません。

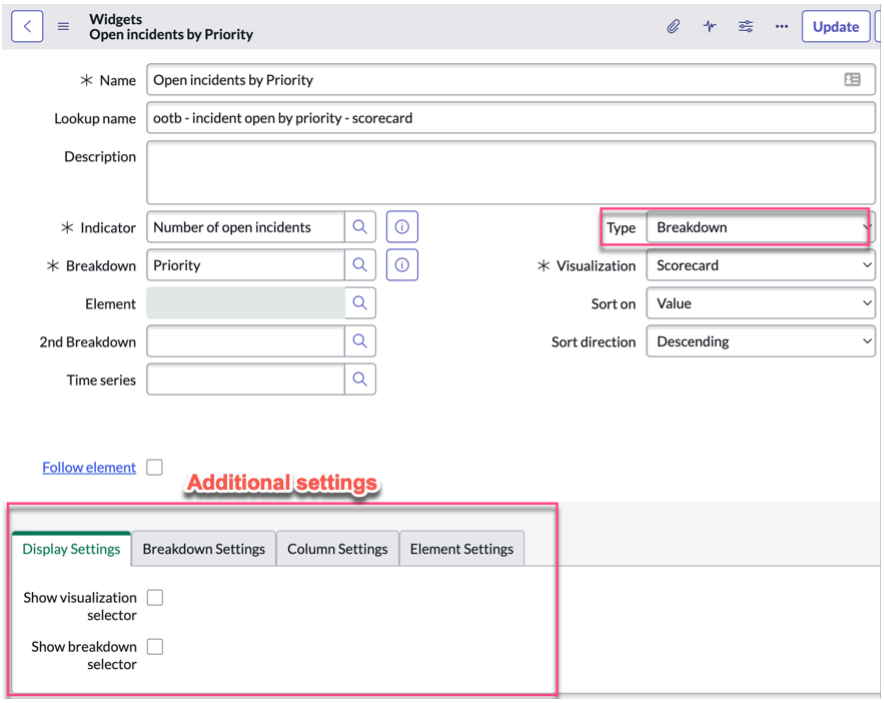
重要: このトピックは、ブレークダウンウィジェットを作成するためのガイドではありません。これは、ブレークダウンウィジェットタイプに共通する追加のオプション設定のガイドです。時系列ウィジェットの作成手順については、該当する「作成」トピックを参照してください。

- ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでのピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの縦棒グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでのパレート図によるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの列と合計によるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでの相対比較によるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでのピボット スコアカードによるチャート化の作成
- ブレークダウン ウィジェットでのツリーマップによるチャート化の作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、スコアカードの可視化です。



日付設定

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、[チャート化] として [線]、[列と合計]、または [積み上げ縦棒] を選択した場合にのみ利用できます。
範囲セレクタの表示	ダッシュボードにウィジェットを表示しているときに、選択した期間をユーザーが変更できるウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。 **注:** • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月ごとの合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに予想よりも期間が 1 つ多くなることがあります。インスタンスは、3m などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示する場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

軸設定

注: 積み上げ縦棒が可視化の場合、軸の設定は使用できません。

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常は限られた範囲内を移動する場合に使用できますが、それ以外の場合はチャートを歪ませる例外があります。たとえば、40 ～ 60 の範囲で 1000 は例外になります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを表示	円グラフの各スライスなど、チャートの各部分のスコアを表示します。
トレンドを表示	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
信頼帯を表示	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「 ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
コメントを表示	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。
表示方法セレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したチャート化を変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。 注: ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成する必要があります。
ブレークダウンセレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したブレークダウンを変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。ウィ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	ジェットにブレークダウン選択リストを表示するには、利用できるブレークダウンが 1 つ以上存在する必要があります。
正の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、目的の方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、正の色はターゲットにより近い値を示します。
負の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、誤った方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、負の色はターゲットからより遠い値を示します。このフィールドは、[色基準] が [スコア] であるときは利用できません。
凡例を表示	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、このオプションを選択すると、正の色と負の色の凡例が表示されます。
凡例にデータのない要素を含める	ブレークダウンの要素に一致するレコードがない場合でも、ウィジェットの凡例にブレークダウン名を表示します。

ブレークダウン設定

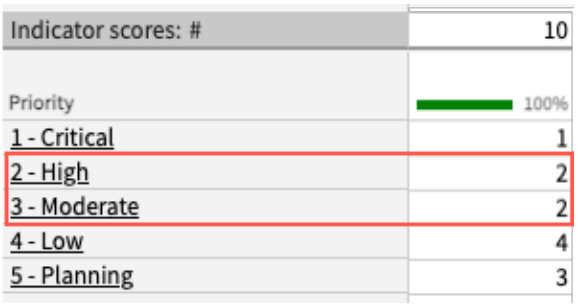
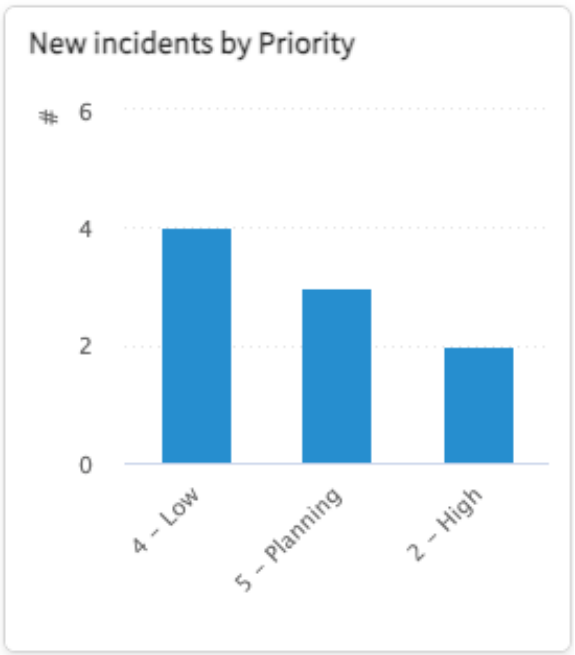
設定	説明
ブレークダウンを Y 軸に表示	ピボット アナリティクスハブ ブレークダウン ウィジェットは、デフォルトで ブレークダウン要素 を X 軸として、インジケーターを Y 軸として表示します。ブレークダウン要素を Y 軸として、インジケーターを X 軸として表示するには、このチェックボックスをオンにします。
合計の表示	[チャート化] フィールドで [スコアカード] を選択した場合、ブレークダウン チャートにすべての選択されたブレークダウンの合計を示す追加の行を含めることができます。
バーの表示	各インスタンスのスコアをバーで表します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	このウィジェットで特定のサブセットのブレークダウン要素のみを利用できるかどうかを指定します。デフォルトでは、すべての要素が利用可能です。 たとえば、ブレークダウン要素 [優先度] の要素は、[最重要]、[高]、[中]、[低]、または [計画] にすることができます。
手動の要素	ブレークダウン要素は自動または手動で選択できます。追加する要素の [ウィジェット要素] 関連リストを表示するには、[手動の要素] チェックボックスをオンにします。ブレークダウンに属す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	る要素を自動的に使用するには、[手動の要素] チェックボックスをオフにします。
トップ X の表示	グラフを読みやすくするために、[ソート基準] フィールドに従って、スコアが最も高い x 個の要素のみを表示します。 同点の場合は、スコアシートにリストされている最初の要素が表示されます。たとえば、[上位 **x** を表示] が 3 で、[優先度] ブレークダウンの 3 番目に高い値が [高] と [中] の間で並んでいるウィジェットがある場合、ウィジェットには [中] ではなく [高] が表示されます。   スコアシートに要素がリストされる順序は、要素を含むテーブルによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルの要素の場合、この順序は [順序] フィールドの値に従います。グループ [sys_group] テーブルの要素の場合、順序は [名前] フィールドに基づくアルファベット順です。 **注:** 上位の要素は、最新のスコアから選択されます。ウィジェットに線グラフによる可視化がある場合は、表示されているタイムスパン全体で他の要素の平均スコアが高くなっても、上位の要素は最新のスコアから選択されます。
パーセンテージ	[割合なし] を選択した場合、インスタンスのスコア パーセンテージは表示されません。[要素の割合] を選択した場合、各イン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	スタンスのスコア パーセンテージが表示されます。たとえば、インシデントの総数の 6.4% が最重要、11.8% が高などです。

列の設定

設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
複数のスコア	アナリティクスハブにスコアを追加します。[期間の数] で、表示する追加スコアの数を選択します。[期間のステップ] で、各期間の長さを選択します。[現在のスコア] も選択されている場合、スコア列が最新の期間としてカウントされ、N-1 期間が追加されます。
前回比	前のスコアからの変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変化を表示します。
ターゲット	ターゲットが定義されている場合は、インジケーターのターゲットを表示します。
ギャップ	現在のスコアとターゲット スコアの差を表示します。ギャップは正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップ % は正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。

最新のスコア設定

設定	説明
比較するスコア	このタブは、可視化タイプが [最新スコア] の場合に表示されます。前のスコアまたは遡る期間を選択します。前の期間はいくつでも指定できます。

パーソナライズされたビジュアル

ダッシュボード、サービスポータル、またはワークスペースキャンバスでビジュアルを見るユーザーにのみ適用される情報を表示するように、動的要素を使用してビジュアルを構成します。

ビジュアルには、サポートエージェントにアサインされたチケットや、マネージャーのチームにアサインされたタスクの数などを表示できます。パーソナライズされたビジュアルから アナリティクスハブ に移動すると、アナリティクスハブ もパーソナライズされます。

パーソナライズされたビジュアルを使用して、パフォーマンスアナリティクス をマネージャーとライン作業者にプッシュします。これは、パーソナライズされたビジュアルのウィジェットをサービスポータルに追加するために特に便利です。ポータルにログインするマネージャーが、自分が所有するグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。ポータルにログインしたライン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業者が、自分または自分のグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。パフォーマンスアナリティクス には、[自分のグループの 1 つ]、[自分が管理するグループ]、および [自分] の要素フィルターがあり、このようなパーソナライズされたビジュアルを作成できます。

パーソナライズは、時系列、スコア、およびブレークダウンの各ウィジェットに適用されます。パーソナライズされたビジュアルを構成すると、ウィジェットが表示される場所 (ダッシュボード、ランディングページ、または Service Portal) にパーソナライズが適用されます。

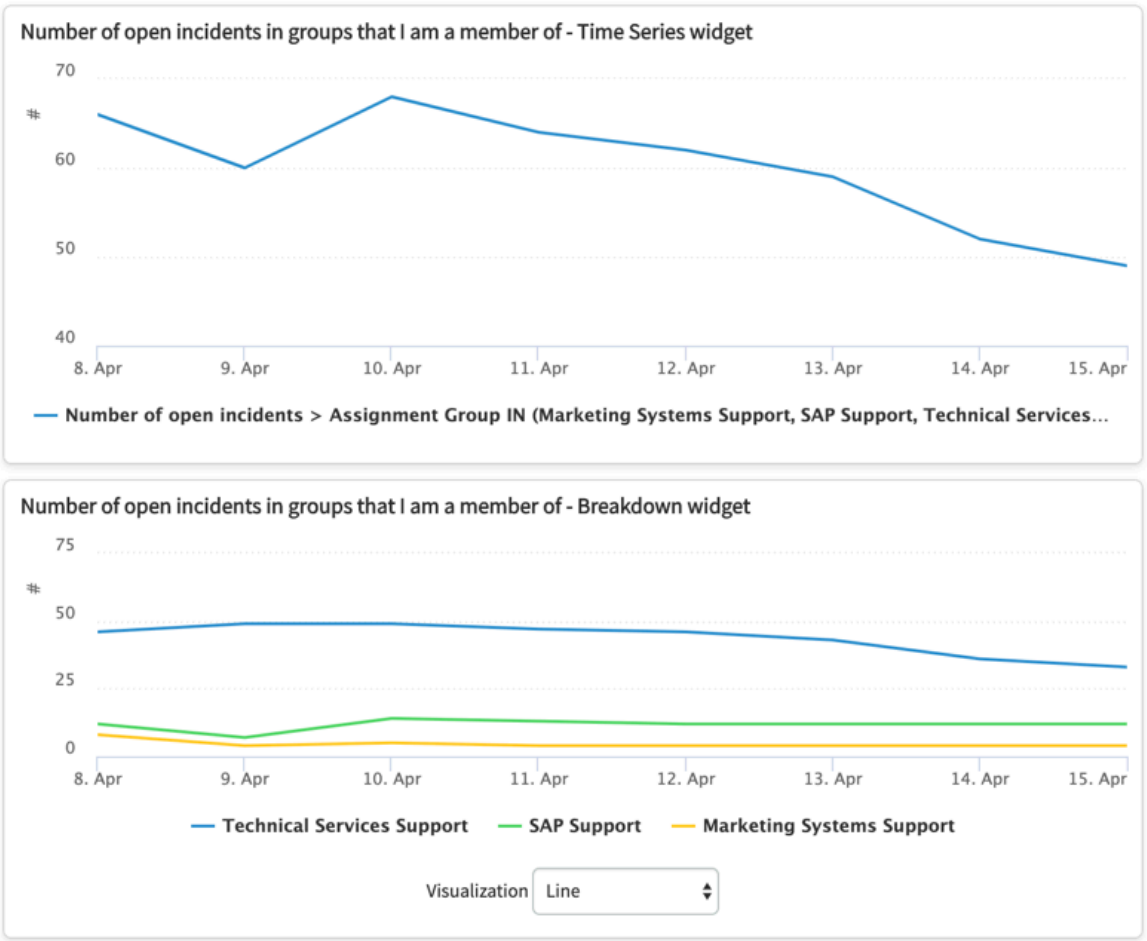
技術的には、 ブレークダウン要素を指定する代わりに、要素フィルターをウィジェットに適用することでビジュアルをカスタマイズします。パーソナライズは、[次の条件に一致] [自分] などのフィルターの動的条件を使用して行われます。

注: パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

複数の要素を表示する

要素フィルターが複数の要素を返す場合、これらの要素のスコアはスコアウィジェットと時系列ウィジェットに集計値として表示されます。ただし、これらのスコアはブレークダウンウィジェットでは個別に表示されます。次の例は、同じパーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェットを示しています。ログインビューアーは、テクニカルサービスサポート、SAP サポート、およびマーケティングシステムサポートグループのメンバーです。上部の時系列ウィジェットにはこれらのグループの集計ビューが表示され、その下の [ブレークダウン] ウィジェットには個別のビューが表示されます。

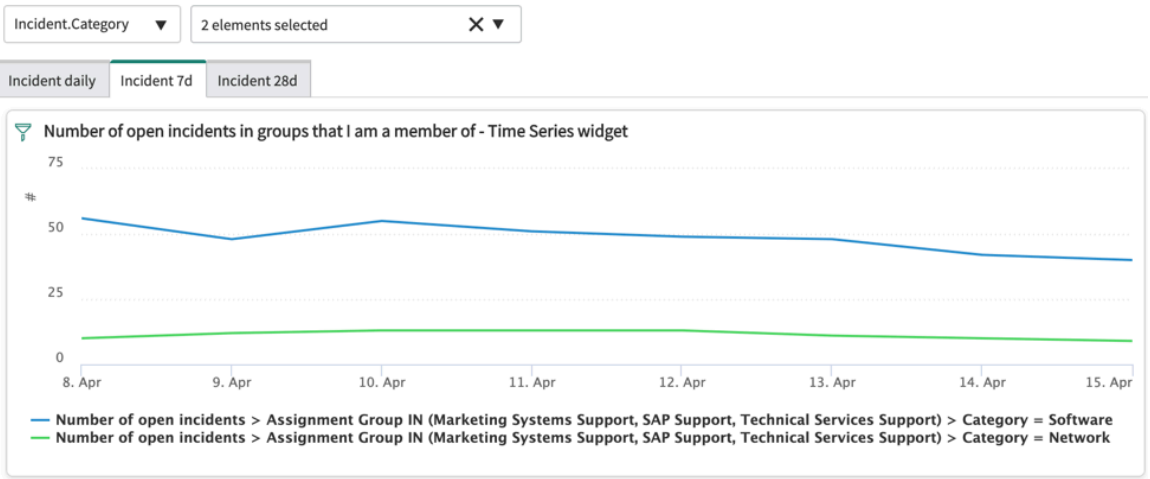
パーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするようにウィジェットを設定する場合は、複数の要素の [集計] または [独立] のビューを選択しても、パーソナライズされたビジュアルには影響しません。たとえば、ブレークダウンダッシュボードの次の時系列ウィジェットは、複数の要素を個別に表示するように構成されています。この構成は、ダッシュボード上のカテゴリブレークダウンの要素に適用されます。ただし、ウィジェットには、パーソナライズされたビジュアルのアサイン先グループの要素が集計として表示されます。

ブレークダウンダッシュボードのパーソナライズされたビジュアルを備えたウィジェット



詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

パーソナライズされたビジュアルを使用したウィジェットの構成

カスタマイズされたビジュアルを使用すると、ダッシュボードまたはキャンバスでビジュアルを使用するユーザーに最も関連性の高い情報を共有できます。要素フィルターを適用して、ウィジェットのビジュアルをカスタマイズします。

始める前に

注: パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

必要なロール:pa_admin、pa_power_user

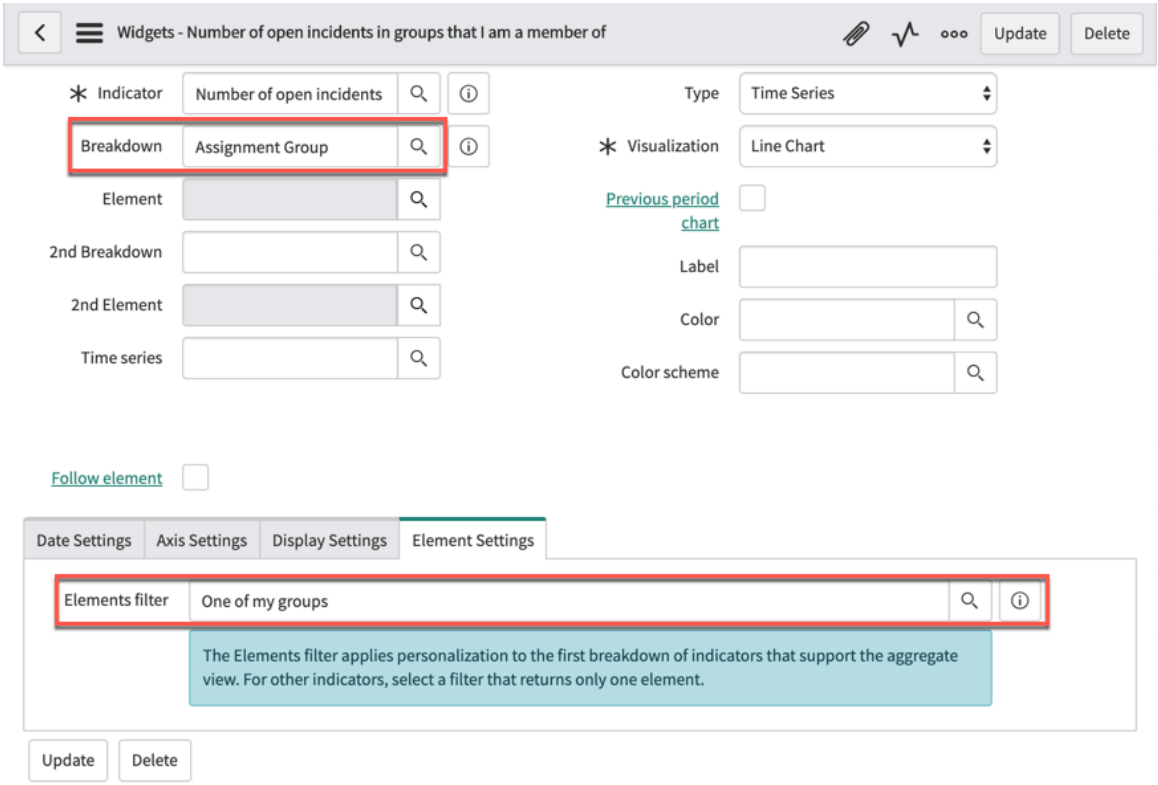
手順

1. 動的条件 ([is (dynamic)] [me] など) を 1 つ以上の ブレークダウン要素フィルター を作成します。
   要素フィルターを作成する前に、既存のフィルターを使用できるかどうかを確認してください。
2. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
3. カスタマイズするウィジェットを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ウィジェット] フォームで、[アサイン先] や [アサイン先グループ] など、カスタマイズに適用するブレークダウンを選択します。



5. [要素設定] タブで、虫眼鏡をクリックして、ブレークダウンに適用する要素フィルターを選択し、ウィジェットをカスタマイズします。
6. **[Update** (更新)] をクリックします。

結果

このウィジェットを含むダッシュボード、サービスポータル、またはキャンバスのウィジェットには、ビューアー用にフィルタリングされたブレークダウン要素が表示されます。

パーソナライズされたビジュアルの例

ビジュアルをカスタマイズするには、要素フィルターを作成し、同じフィルターを使用してパフォーマンスアナリティクスウィジェットを構成します。この例では、ユーザーに属するインシデントのみを表示するフィルターを作成してから、作成したフィルターを使用してスコアウィジェットを構成します。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_power_user
要素フィルターは永続的です。要素フィルターを作成したら、それを複数のビジュアルに適用できます。

このタスクについて

この例では、 Users.Active ブレークダウンソースを使用して、ウィジェットを表示しているユーザーをフィルタリングする要素フィルターを作成します。次に、新しい要素フィルターを使用するようにウィジェットを構成し、ダッシュボードにウィジェットを表示します。

手順

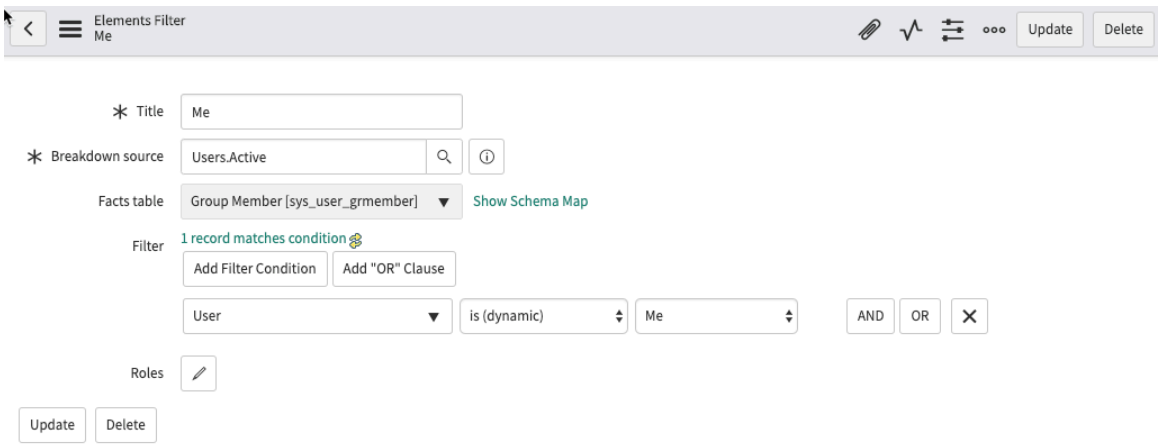
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 要素フィルター をクリックし、[要素フィルターフィールド] テーブルの詳細を使用して新しい要素フィルターを作成します。
詳細については、「要素フィルターを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	拡大鏡をクリックし、[ユーザー] [アクティブ] を選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	ブレークダウンソースファクトテーブルを選択します。Users.Active のファクトテーブルはグループメンバー **[sys_user_grmember]** です。
フィルター	使用可能な要素を制限するフィルタ条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 この要素フィルターには、[ユーザー][次の条件に一致 (動的)][Me] を指定します。 パーソナライズされたビジュアル の場合、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。 この例では、フィルターを選択できるユーザーを制限しません。



2. ウィジェットフィールドテーブルの詳細を使用してスコアウィジェットを作成します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。知っておくべき重要なことは、要素フィルターはインジケーターの第 1 レベルのブレークダウンに適用されるということです。

ウィジェットフィールド

フィールド	説明
名前	自分のオープンインシデント (My open incidents)

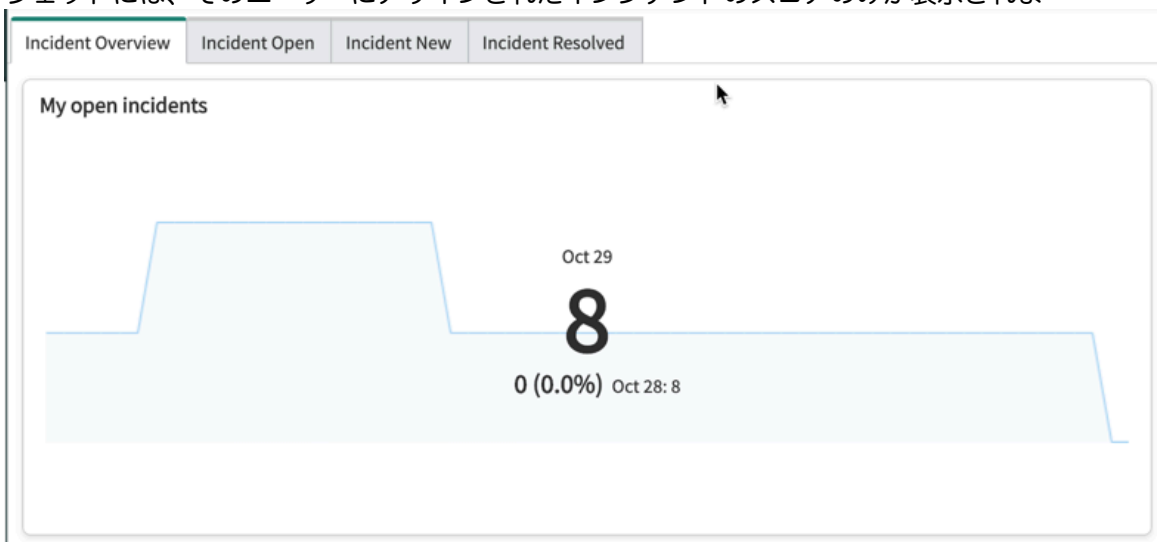
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
インジケーター	オープン中のインシデントの数
ブレークダウン	[アサイン先] を選択します。このブレークダウンが利用できない場合は、インジケーターに追加します。詳細については、「ブレークダウンのアサインとマッピング」を参照してください。
タイプ	スコア
可視化	最新スコア

3. ウィジェットの [要素設定] タブで、手順 1 で作成した要素フィルターである [自分] を選択します。
   ウィジェット [自分のオープンインシデント] を表示できるユーザーには、自分にアサインされたインシデントのスコアのみが表示されます。
4. [自分のオープンインシデント] ウィジェットをダッシュボードに追加します。

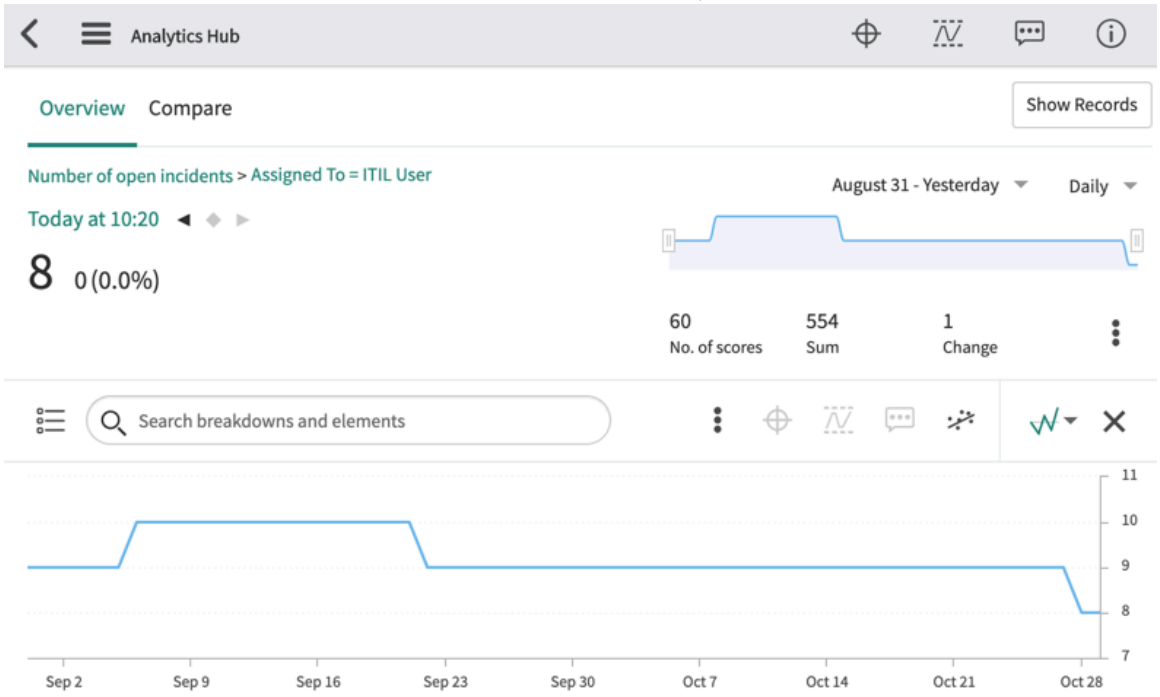
次のタスク
インシデントがアサインされたユーザーとしてログインし、[自分のオープンインシデント] ウィジェットを使用してダッシュボードを開きます。[自分のオープンインシデント] ウィジェットには、そのユーザーにアサインされたインシデントのスコアのみが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアをクリックすると、ダッシュボードを見ているユーザーでフィルタリングされたこのインジケーターのアナリティクスハブが開きます。



ピボット ウィジェットでのヒートマップによるチャート化の作成

インジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンでグループ化するには、ピボット ウィジェットでヒートマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

インジケーターに 2 つのブレークダウンを適用する場合は、ブレークダウンをピボット テーブルの 2 つの軸として持つピボット ウィジェットを作成します。両方のスコアが高いときに色のグラデーションを使用して強調表示するヒートマップは、ピボット ウィジェットで使用できる唯一のチャート化です。

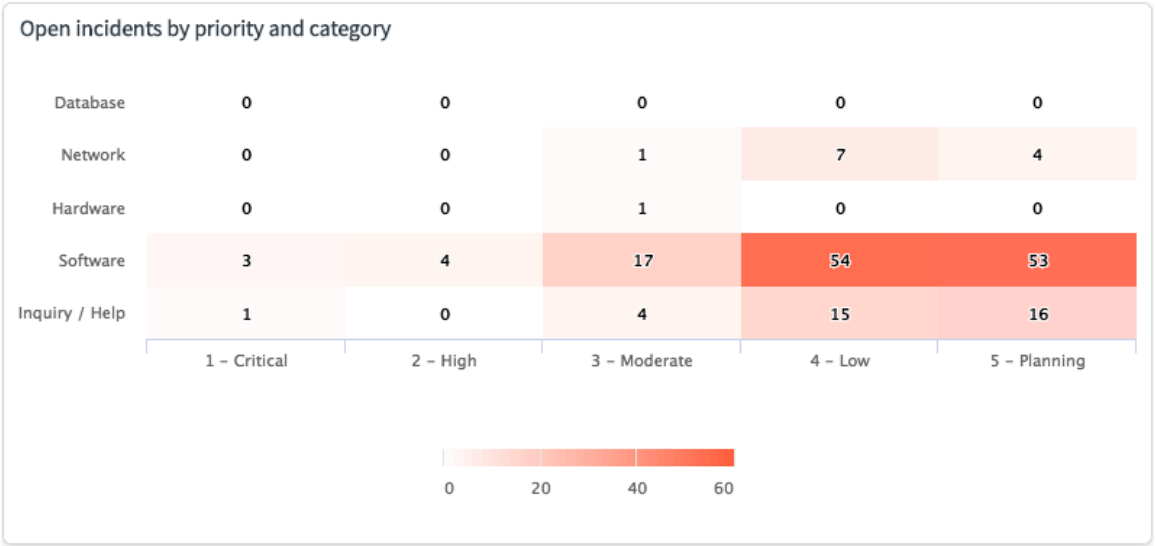
注:

- ピボット ウィジェット は、[要素をフォロー] 機能をサポートしていません。ダッシュボードのブレークダウンは、これらのウィジェットには適用できません。
- ヒートマップには 1000 を超えるセルを表示することはできません。2 つのブレークダウンの要素の合計数が 1000 を超える場合、ヒートマップは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップによるチャート化 - ピボット ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[ピボット] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[ヒートマップ] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、分割するインジケーターを選択します。
7. [ブレークダウン] フィールドで、X 軸にするブレークダウンを選択します。
8. [ブレークダウンレベル **2**] フィールドで、Y 軸にするブレークダウンを選択します。
9. オプション: [表示設定] で、カラー スキームと、データ ラベルと凡例を表示するかどうかを設定します。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ダッシュボードまたはポータルに追加します。

テキスト分析とテキスト ウィジェット

テキスト分析では、ユーザーが入力したテキスト フィールドに存在するパターンを明らかにします。

> **注:** この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。
>
> この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

テキスト分析では、ユーザーがフォームに入力したテキストを分析する視覚的なツールを使用できます。このような分析の利点として、顧客が苦痛と思っている点の早期警告、不正なアクティビティの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

発見、営業レポートやインシデント レポートに集められている特定のエンティティや概念の抽出などが考えられます。この構造化されていない、定性的なデータに含まれている有用な情報は、他のツールでは見つけられないことがあります。

注:

- テキスト分析は、ライセンス版のパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。
- プラットフォームアナリティクス データの可視化はテキストアナリティクスをサポートしていません。

テキスト分析は、テキストのインデックスを作成することから始まります。テキストのインデックス作成は、多くのインジケーターが 1 つのインデックス構成を再利用できるように、インジケーター ソースに定義します。

テキスト分析を設定するときは、次の項目を決定します。

- インデックスを作成するインジケーター ソースのフィールド。
- テキスト インデックス構成を適用するインジケーター。
- 分析から除外するストップワード。
- 単一の単語以外の検索フレーズ。
- デフォルト フィルタリングのキーワード。

テキスト分析を設定したら、テキストをチャート化するウィジェットを作成して、そのウィジェットをダッシュボードに組み込みます。

次のビデオは、テキスト分析の設定と表示のプロセスを示しています。

非構造化データまたは定性的データを分析するパフォーマンスアナリティクステキストアナリティクスワードクラウドウィジェットの作成方法。また、テキストアナリティクスウィジェットのデータを設定および収集する方法も説明します。

テキスト分析の設定

分析するテキスト フィールドと分析するインジケーターを選択します。

始める前に

テキストアナリティクスは、 データ収集ジョブの特定のステップに依存しています。テキスト分析を収集するには、関連するジョブの [収集] パラメータを設定する必要があります。ジョブは、テキスト分析の対象となる同じインジケーターのデータを収集する場合、関連します。「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

注:

ドメインセパレーションについて:特定のドメインのテキストアナリティクスを収集するには、それらのドメインごとにテキストアナリティクスを設定します。各ドメインの収集ジョブで、そのドメインへのアクセス権を持つ 実行 ユーザーを指定します。収集ジョブのドメイン構成を指定しないでください。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ」を参照してください。ハイブリッドアプローチを使用しています。

必要なロール：pa_power_user または pa_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > セットアップ.
   - 新しいテキストアナリティクス構成を作成するには、 [新規] を選択します。
   - 既存のテキストアナリティクス構成を編集するには、その行の情報アイコンを選択し、[レコードを開く] を選択します。インジケーターソース名を選択して、テキストアナリティクス構成ではなく、そのインジケーターソースのレコードを開きます。
2. 入力テキストを分析する [インジケーターソース] を選択します。
3. [分析するフィールド] のロックを解除して、入力テキストを分析するフィールドを選択します。
   少なくとも 1 つのフィールドを選択する必要があります。通常は、[簡単な説明] フィールドを含めます。

   次のフィールドは選択できません。
   - ドット連結フィールド
   - [翻訳されたテキスト] フィールド
   - 文字列以外のタイプのその他のフィールド
4. オプション: Zing ストップワードを含めるには、[システムのストップワードを使用] を選択します。
   デフォルトで選択されています。Zing グローバル ストップワードはインジケーター ソースに適用されます。Zing ストップワードを使用しない場合は、すべてのストップワードを自分で選択する必要があります。
5. テキスト インデックス構成を保存します。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
6. [インジケーター] リストで、[編集] をクリックし、分析するインジケーターを選択します。
7. 関連する履歴データ収集ジョブを実行して、初期データを収集します。
   このフォームからジョブを実行できることがありますが、履歴データ収集ジョブを実行する必要があることもあります。詳細については、次のトピックを参照してください。

関連トピック

Zing によるクエリからのストップワードの削除

初期テキスト分析データの収集

インジケーター ソースのテキスト分析を構成するときは、関連するデータ コレクタ ジョブが実行されるまで、データは使用できません。テキスト分析構成を新しく作成した場合は、特別な収集ジョブを実行します。既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを実行して、テキスト分析のみを収集します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

手順

- [設定フィールド] フォームで、[保存]、[更新]、 および [削除] の横にボタンがある場合は、[履歴収集を実行] をクリックします。
  このボタンは、テキスト インデックスのみを収集する 1 回限りの履歴ジョブを起動します。これは、テキスト分析構成を作成する場合にのみ利用できます。

  このジョブは、分析に含まれるいずれかのインジケーターのデータがある最短期間に等しい期間のデータを収集します。たとえば、5 つのインジケーターでテキスト分析を実行していて、そのうちの 4 つは 1 年分のデータがあり、5 つ目のインジケーターは 4 か月分のデータしかない場合、5 つのインジケーターすべてについて 4 か月分のテキスト分析が収集されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを構成して実行します。

1. 移動先 データコレクション > ジョブ.
2. 「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」で説明されているとおりに、以下の特性で、履歴データ収集ジョブを作成または編集します。
   - [収集] ジョブ パラメータを [テキストインデックスのみ] に設定します。
   - [実行] ジョブ パラメータを [オンデマンド] に設定します。
   - [開始日（相対）]、[開始日指定（相対）]、[終了日（相対）]、および [終了日指定（相対）] にテキスト分析を実行するインジケーターに適した値を設定します。
   - テキスト分析を実行するインジケーターが、収集ジョブのインジケーターと一致していることを確認します。
3. ジョブを実行します。

次のタスク
テキスト分析が構成され、初期データが収集されたので、選択したインジケーターのテキスト分析ウィジェットを作成できます。まず、テキスト分析のストップワードを設定することを検討してください。これらのストップワードと Zing ストップワードの両方を適用できます。

テキスト分析ストップワードの選択

テキスト分析から除外する単語を選択します。インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかで単語を除外できます。

始める前に
必要なロール：pa_analyst または pa_admin

このタスクについて
インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかに適用するストップワードを選択します。インジケーターのストップワードを選択すると、ストップワードが適用されるスコアをブレークダウンおよびブレークダウン要素でフィルタリングできます。インジケーター ソースのストップワードを選択すると、それらをデータ収集から除外します。その結果、インデックスに無駄がなくなります。

デフォルトでは、このフォームで選択したストップワードに加えて、Zing グローバル ストップワードが適用されます。この動作はテキスト インデックス構成で無効にすることができます。現在のストップワードのリストを見つけるには、インスタンスで次の場所に移動します システム定義 > テキストインデックスのストップワード.

手順

1. 移動先 テキストアナリティクス > ストップワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [タイプ] フィールドで、[インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
   インジケーターを指定すると、1 つまたは 2 つのレベルのブレークダウンでテキストをフィルタリングできます。

   インジケーターソースを指定すると、無駄のないインデックスを維持するために、ストップワードがデータ収集から削除されます。ただし、これらのストップワードは、[ストップワード] フィールドから削除しても、すぐにウィジェットに戻すことはできません。次のデータ収集まで表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターで指定されたストップワードは、インデックスに残ります。これらのストップワードは、[ストップワード] リストから削除することですぐにウィジェットに戻すことができますが、インデックスのサイズがパフォーマンスに影響する可能性があります。

3. ストップワードの適用先として [インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
4. オプション: ブレークダウンでテキストをフィルタリングするには、[ブレークダウン] フィールドと最初の [要素] フィールドで値を選択します。
   ブレークダウンを選択しても要素を選択しなかった場合、ウィジェットはブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみを分析します。
5. オプション: ブレークダウンを選択し、2 番目のブレークダウンでテキストをフィルタリングする場合は、[ブレークダウンレベル **2]** フィールドと 2 番目の [要素] フィールドで値を選択します。
6. [ストップワード] フィールドで、テキスト分析から除外する単語をカンマで区切って入力します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

フレーズのテキスト検索

最も頻繁に出現する個々の単語だけを検索するのではなく、テキスト分析が検索するフレーズを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_analyst、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > フレーズ をクリックし、[新規] をクリックします。
   既存のテキスト インデックス フレーズ フォームを編集するには、そのフォームの情報アイコンをクリックしてから、プレビュー ウィンドウで [レコードを開く] を選択します。
2. フレーズを検索する [インジケーター] を選択します。
   このインジケーターに対してテキスト分析を設定する必要があります。
3. オプション: [ブレークダウン] または [要素] フィールドで、フレーズを検索するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。
4. カンマ区切りの一連のフレーズを [フレーズ] フィールドに入力します。
   たとえば、「can't access, don't see」と入力します。

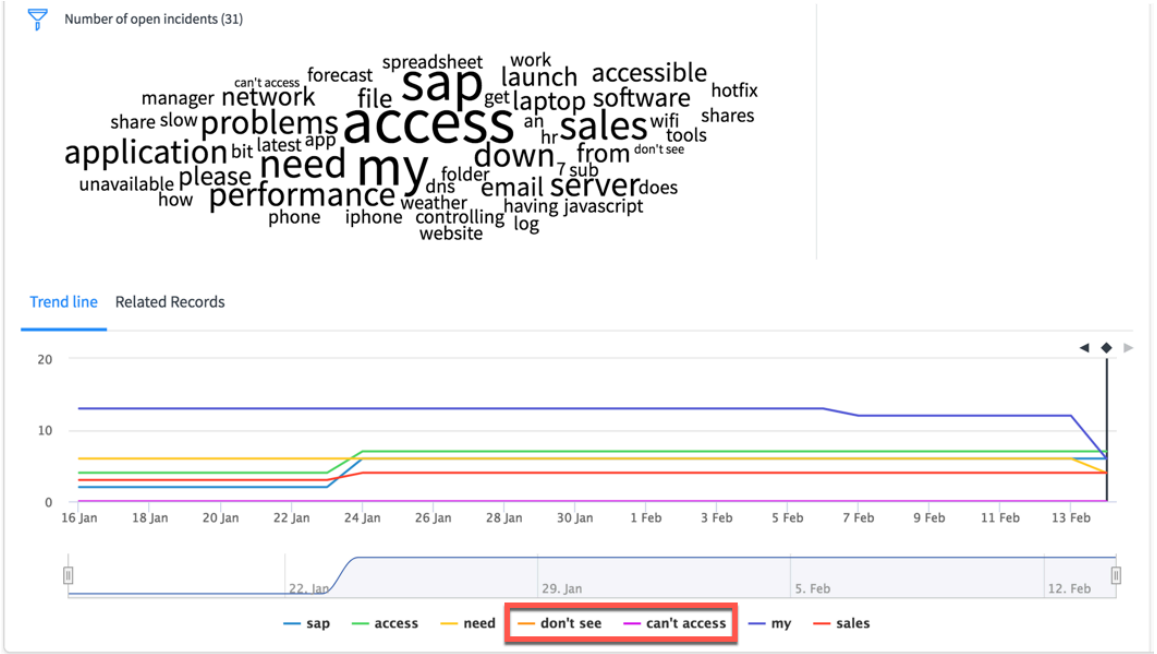
結果

このインジケーターのテキスト ウィジェットをダッシュボードに含めると、指定したフレーズがトレンド ラインに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「don't see」と「can't access」のフレーズが設定されたテキスト ウィジェット



テキスト ウィジェットの作成

アナリストがインジケーターのユーザー入力テキストのパターンをチャート化しやすいようにするには、テキスト ウィジェットでワード クラウドによるチャート化を作成します。

始める前に

テキストのインデックス作成は、関連するインジケーター ソースに対して構成する必要があります。この構成には、関連するインジケーターが含まれている必要があります。

テキスト分析は、ライセンス バージョンのパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

必要なロール：pa_power_user または admin

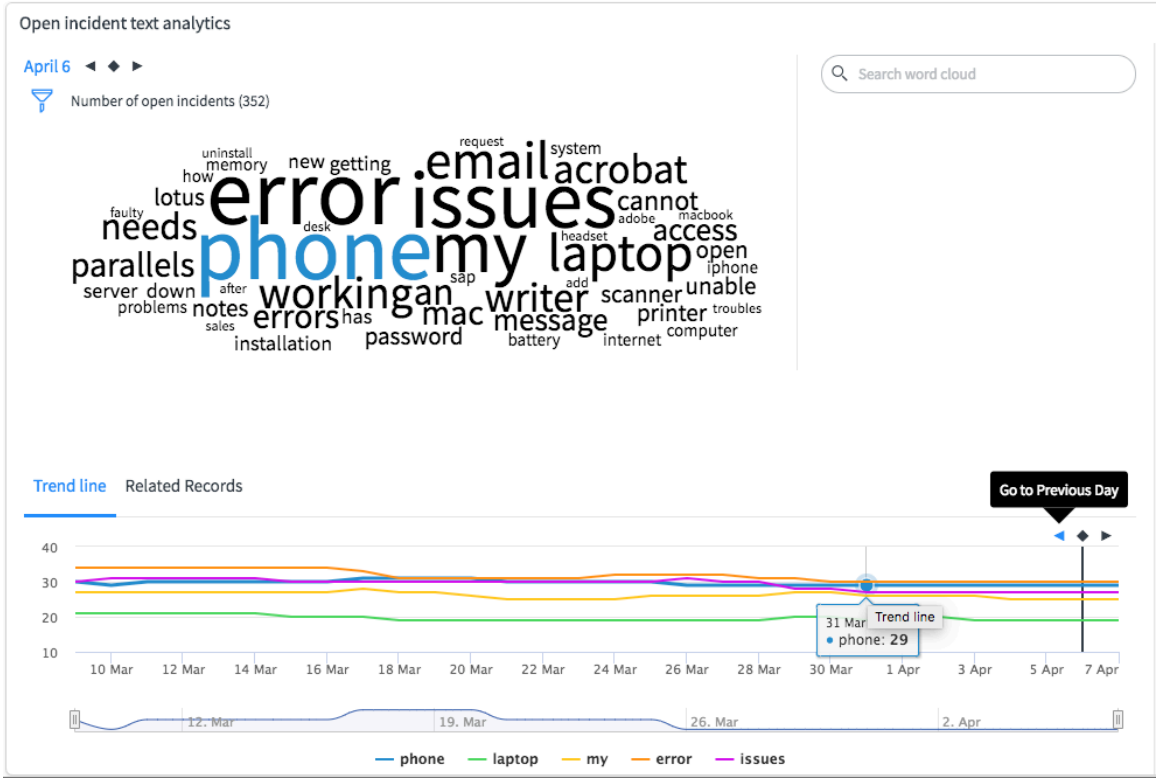
このタスクについて

テキスト ウィジェットは、単語やフレーズの頻度をチャート化するためのワード クラウドを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワード クラウドによるチャート化 - テキスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[テキスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
   [チャート化] として [ワードクラウド] が自動的に選択されています。
4. [インジケーター] フィールドで、テキストを分析するメイン インジケーターを選択します。
5. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	指定されたブレークダウンの指定された要素に関連付けられているテキストのみが分析されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうしないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

6. ウィジェットでブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   注: このウィジェットタイプは、複数要素の選択をサポートしていません。このウィジェットを使用してブレークダウンダッシュボードで複数の要素を選択すると、ウィジェットは選択したすべての要素を無視します。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

7. カットオフ値を設定します。これにより、フィールド内の単語またはフレーズの頻度に基づいて、ウィジェットに表示される単語やフレーズがフィルタリングされます。

   a. [カットオフ] フィールドで、カットオフ値が数値または相対パーセンテージのいずれであるかを選択します。

      - カウント は、フィールド内の単語またはフレーズの出現回数です。たとえば、カットオフ設定が [[カウント][次の値以上][10]] の場合、ウィジェットには 10 回以上出現する単語やフレーズのみが表示されます。
      - パーセンテージとは 、フィールド内のすべての単語が単語またはフレーズの出現であるものの出現率を指します。たとえば、フィールド内のすべての単語が合計で 30 回出現し、カットオフ設定が [[パーセンテージ][次の値以上][10]] の場合、ウィジェットには 3 回以上出現する単語またはフレーズのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [カットオフ条件] フィールドで、カットオフ値が最小値か最大値かを選択します。

- [次の値以上] では、少なくともカットオフ値と同じくらい一般的な単語またはフレーズがウィジェットに表示されます。
- [次の値以下] では、カットオフ値より一般的でない場合に、ウィジェットに単語またはフレーズが表示されます。

c. [カットオフ値] フィールドに整数値を指定します。

8. オプション: 残りの表示設定のいずれかを行います。

フィールド	説明
デフォルトフィールド	テキスト インデックスの構成で複数のフィールドが選択されている場合、デフォルトでこのフィールドが表示されます。
単語の最大数	ワードクラウドに表示される単語の最大数
トレンドラインの最大数	ワードクラウドの下に表示するトレンドラインの最大数

次のタスク

- ダッシュボードにウィジェットを追加します。
- アドミンまたはダッシュボード所有者は、ウィジェットを含むダッシュボードをこれらのユーザーと共有します。
- テキスト分析では、 データ収集ジョブで特別なステップを使用します。ウィジェット用のデータがない場合は、関連するデータ収集ジョブが実行され、ジョブがテキスト インデックスを収集していることを確認します。「初期テキスト分析データの収集」を参照してください。
- キーワードでワード クラウドをフィルタリングします。

テキスト分析用キーワードの保存

テキスト分析ウィジェットを常にフィルタリングするキーワードを保存することができます。ワード クラウドの単語から選択して、ダッシュボードのウィジェットに直接保存することができます。また、保存したキーワードのレコードを作成または編集することもできます。

始める前に

必要なロール：pa_analyst または admin

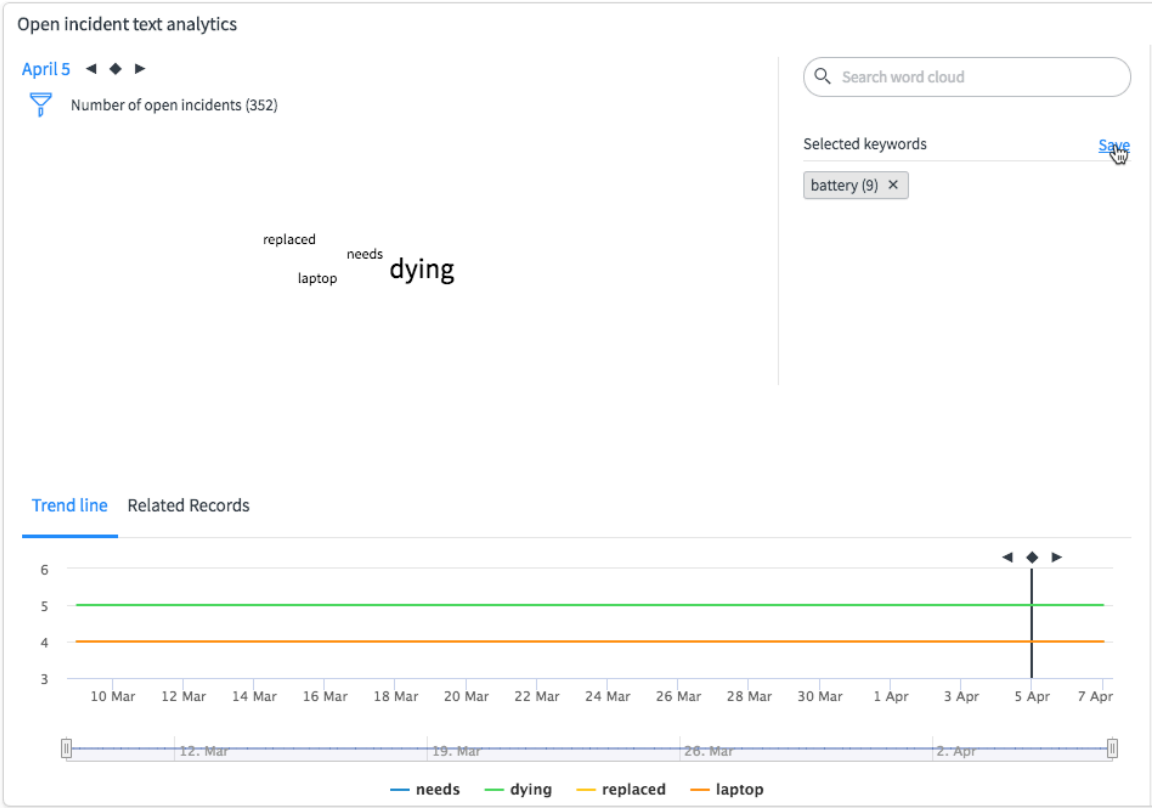
このタスクについて

キーワードでワード クラウドをフィルタリングするには、クラウドの中の単語をクリックします。誰かがウィジェットを表示するたびに使用されるキーワードのリストを保存することができます。キーワードの各リストは、1 つのウィジェット内のインジケーターの 1 つのブレークダウンと要素の組み合わせに適用されます。次の例では、「battery」という単語がキーワードとして指定されています。[保存] をクリックすると、すべてのビューアに、このウィジェットが「battery」でフィルタリングされて表示されます。必要なロールを持つユーザーは、後で保存されたキーワードを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キーワード「battery」でフィルタリングされたワード クラウド



また、キーワードが保存されたレコードを作成または編集することもできます。この方法では、選択するキーワードが既にワード クラウドに出現しているキーワードに限定されません。

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > キーワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ウィジェット] フィールドに、キーワードを適用するウィジェットを指定します。
3. [インジケーター] フィールドに、キーワードを適用するインジケーターを指定します。
4. [フィールド] フィールドで、キーワードを適用するインジケーター フィールドを選択します。
5. オプション: [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでは、ブレークダウン要素によってキーワードを適用するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。

   ブレークダウンと要素の組み合わせを指定すると、その組み合わせがウィジェットで選択されたときにのみ、キーワードが適用されます。ブレークダウンと要素の組み合わせを指定しないと、キーワードが特に選択されていないすべてのブレークダウンと要素の組み合わせに、キーワードが適用されます。
6. [キーワード] フィールドに、カンマ区切りのキーワード リストを入力します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

ワークベンチプロセスウィジェットは、ストーリーを伝えるインジケーターのコレクションです。ウィジェットを使用すると、ドリルダウンすることなく、1 つの画面で複数のインジケーターの複数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のファセットを分析できます。このウィジェットは、ワークフローを持つプロセスまたはサービスを監視する場合に便利です。

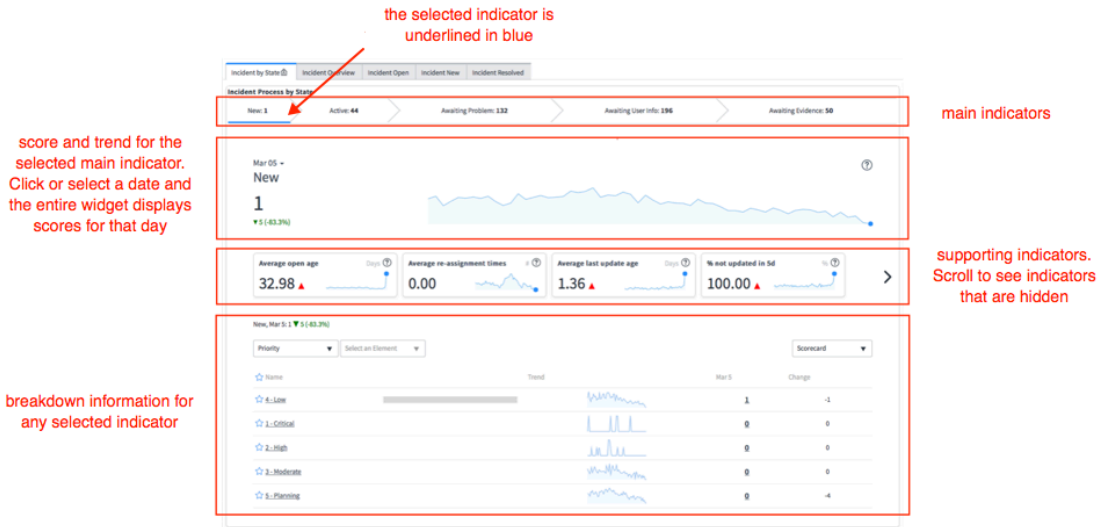
> **注:** この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。
>
> この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

ウィジェット上部のメイン インジケーターを選択します。オプションで、各メインインジケーターは、独自のサポート インジケーターセットを持つことができます。

ウィジェットには、動的に更新される 4 つの相互接続されたセクションがあります。たとえば、メインインジケーターをクリックすると、そのスコア、トレンド、サポートインジケーター、およびブレークダウンの情報が表示されます。いずれかのチャート化の日付をクリックまたは選択すると、ウィジェット全体がその日のデータを表示します。

> **注:**
>
> - メインインジケーターとその適用されたブレークダウンでリアルタイムスコアがサポートされている場合は、リアルタイムスコアを表示できます。リアルタイムスコアを表示するには、日付セレクターで [リアルタイム] を選択します。リアルタイムスコアは、ワークベンチの上部ペインにのみ表示されます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。
> - ウィジェットが各スコア傾向に対して表示するタイムスパンは、インジケーターの頻度によって異なります。タイムスパンは、日次が 60 日、週次および月次が 1 年、四半期が 3 年、年次が 12 年です。このタイムスパンは設定できません。ただし、ウィジェットで時系列集計を適用すると、それに応じて時間スパンが変更されます。

ワークベンチ プロセス ウィジェット



ワークベンチプロセスウィジェットの下部セクションには、選択したインジケーターの利用可能なブレークダウンまたは収集されたレコードが表示されます。[ブレークダウン] または [レコード] タブをクリックして、どちらか一方を表示します。オープン インシデントの平均経過時間などの集計を指定するサポートインジケーターを選択している場合、[レコード] タブは表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチ ウィジェットを作成するときは、メインおよびサポートインジケーターのみを選択します。ウィジェットのスコア、傾向、およびブレークダウンのセクションは自動的に構成され、変更することはできません。ただし、ウィジェットのインジケーターの順番と外観は変更できます。

ワークベンチ プロセス ウィジェットの作成

複数のインジケーターを使用してプロセスを監視するためのワークベンチ ウィジェットを作成します。

始める前に

- ワークベンチ ウィジェットの構造を理解している
- 含めるメインおよびサポート インジケーターを決めておく
- 必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンス分析 > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   新しいウィジェット レコードが表示されます。
2. ウィジェットに名前を付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[ワークベンチ] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   メイン ウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。
5. ワークベンチ ウィジェットにメイン インジケーターを追加します。
   メイン インジケーターがウィジェットの上部に表示されます。追加可能なインジケーターの最大数は、com.snc.pa.widget.max_widget_indicators で指定します。ウィジェット インジケーターのデフォルトの最大数は 7 です。

   a. メイン ウィジェット インジケーター関連リストで [新規] をクリックします。

   b. [インジケーター] を選択します。

   c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

   d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

追加インジケーター構成オプション

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	ブレークダウン要素で、インジケーターに表示されるデータをフィルタリングします。ブレークダウンを選択する場合は、要素を選択する必要があります。 たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、[状態] に [ブレークダウン]、[要素] に [有効] を選択した場合、有効状態のインシデントのスコアのみがウィジェットに含まれます。
ブレークダウン レベル 2 と要素	インジケーターに表示されるデータをフィルタリングする 2 つ目のブレークダウン要素を追加します。ブレークダウン レベル 2 を選択する場合は、要素を選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、1 つ目のブレークダウン フィルタは有効状態に設定されているとします。そこで、[ブレークダウンレベル **2]** に [カテゴリ]、[要素] に [ソフトウェア] を選択します。インジケーターに、有効でソフトウェア カテゴリに含まれるオープン インシデントのスコアのみが表示されるようになります。
時系列	指定された期間と集計をウィジェットのトレンド チャート化に追加します。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターの時系列アグリゲーションを設定することはできません。
要素をフォロー	ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用されたブレークダウン要素をインジケーターにも適用することを指定します。 [ブレークダウンレベル 2] を指定すると、[要素をフォロー] は無視されます。 **警告:** ワークベンチウィジェットは、ブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択をサポートしていません。このウィジェットを使用してブレークダウンダッシュボードで複数の要素を選択すると、ウィジェットでは選択内容が無視されます。 詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。
フォローしているブレークダウン	このブレークダウンのみを [要素をフォロー] としてインジケーターに適用することを指定します。ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用された他のすべてのブレークダウンは無視されます。 [ブレークダウンをフォロー] を指定しない場合は、ダッシュボードに適用されたすべてのブレークダウンがインジケーターに適用されます。
ラベル	ウィジェットでのインジケーターの名前を指定します。ラベルを指定しない場合は、インジケーターの名前が使用されます。

e. サポートインジケーターを追加するには、フォームヘッダーを右クリックして [保存] を選択します。
[送信] ボタンの代わりに [保存] をクリックすると、ウィジェットインジケーターは保存されますが、フォームは開いたままになります。保存後に、サポートウィジェットインジケーターのリストがフォームの下部に表示されます。

6. オプション: メインインジケーターにサポートインジケーターを追加します。
メイン インジケーターをクリックすると、そのサポート インジケーターがウィジェットの中央に表示されます。サポート インジケーターは無制限に追加できます。

a. [ウィジェット] フォームを表示している場合は、[メインウィジェットインジケーター] 関連リストに移動し、サポートウィジェットが必要なメインインジケーターの [ウィジェットインジケーター] フォームを開きます。
ウィジェットインジケーターフォームを開くには、情報アイコン メインインジケーターの ⓘ を選択すると、プレビューが開きます。次に、プレビューで [レコードを開く] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [サポートウィジェットインジケーター] 関連リストで [新規] をクリックします。

c. [インジケーター] を選択します。

d. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

e. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
サポート インジケーターは、メイン インジケーターと同じ方法で構成できます。「設定オプション」のステップ 5 を参照してください。

f. [送信] をクリックして、メイン インジケーター レコードに戻ります。

g. すべてのサポート インジケーターを追加するまで、ステップ 6 を繰り返します。

7. [更新] をクリックしてウィジェットレコードに戻ります。
8. すべてのインジケーターを追加するまで、ステップ 5 ～ 7 を繰り返します。
9. オプション: メイン インジケーターの 1 つを [デフォルトインジケーター] として選択します。
このデフォルトのインジケーターは、ユーザーがウィジェットを表示すると自動的に表示されます。デフォルトのインジケーターを指定しないと、ウィジェットには [順番] の値が最小のメイン インジケーターが最初に表示されます。
10. [更新] をクリックして、ウィジェットを保存します。

次のタスク
ウィジェットをレビューして、新しいインジケーターが正しいことを確認します。ウィジェットをまだ追加していない場合は、ダッシュボードにウィジェットを追加して表示します。

ウィジェット インジケーターの追加

既存の時系列またはリスト ウィジェットに任意の数のセカンダリ インジケーターを追加します。

始める前に
ウィジェットが存在する必要があります。作成しているウィジェットにインジケーターを追加する場合は、ウィジェットを送信せずに保存します。フォームは開いたままになり、下部にウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注: この機能は コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限定的な場合を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「でのフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

この機能はメンテナンスモードであり、拡張または変更は行われなくなりました。この機能に対するセキュリティ修正のみに対処します。

時系列ウィジェットを作成するときは、それを単一のメイン インジケーターに関連付けます。このインジケーターを同じウィジェットの別のインジケーターと比較する場合は、追加のインジケーターを既存のウィジェットに追加します。この手順は、時系列の積み上げ縦棒グラフによるチャート化を作成する場合に必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リスト ウィジェットを作成するときは、インジケーター グループを指定するか、ウィジェット インジケーターを追加する必要があります。

注: 時系列ウィジェットに異なる頻度のメインインジケーターとウィジェットインジケーターを含める場合は、ウィジェットで X 軸に時間値がどのように表示されるかに注意してください。この動作の詳細については、「 KB0755757」 を参照してください。

ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に続く場合、[複数の要素を表示] の値は、メインウィジェットとウィジェットインジケーターの両方に適用されます。[集計] が選択されていても、いずれかのウィジェットインジケーターが 集計 ビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従いません。代わりに、インジケーターはウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウンダッシュボードの要素に従い、それらの値の集計を示します。詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

警告: 前の期間のチャートとウィジェットインジケーターを同じ時系列ウィジェットに表示することはできません。既にウィジェットインジケーターが指定されている時系列で前の期間チャートを有効にすると、ウィジェットインジケーターリストはクリアされます。

ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

手順

1. 作成しているウィジェットを保存するか、既存のウィジェットを開いて編集します。
   ウィジェットは、次のいずれかから開くことができます パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット またはダッシュボードから。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
2. フォームの一番下までスクロールし、[ウィジェットインジケーター] というラベルの関連リストを探します。
3. [新規] をクリックします。
4. [インジケーター] フィールドで、ウィジェットのセカンダリ インジケーターを選択します。
   選択したインジケーターが多すぎると、ウィジェットが読みにくくなる可能性があります。
5. [チャートの種類] フィールドで、インジケーターのチャート化を選択します。
   プライマリ インジケーターのチャート化とマッチするチャート化を選択します。たとえば、プライマリ インジケーターを列として表示し、セカンダリ インジケーターを線として表示します。時系列ウィジェットのプライマリ インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を使用している場合は、すべてのセカンダリ インジケーターでも [積み上げ縦棒] を使用するように設定します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	(Optional) このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択しま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	す。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** ウィジェットインジケーターが時系列ウィジェットにある場合は、第 1 レベルの要素の代わりに要素フィルターを指定できます。ステップ 8 を参照してください。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ 要素をフォローする **(Follow element)** を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットで時系列集計を設定することはできません。
順序	ウィジェットに複数のセカンダリインジケーターがある場合に、このインジケーターが表示される順序。2 と 3 の代わりに 200 と 300 とするなど、余分な桁を追加することを検討します。この方法で、後でインジケーターを追加する場合に、新しいインジケーターの順番を指定するだけですみます。すべてのセカンダリ インジケーターの順番を再指定する必要はありません。
グラフのタイプ	ウィジェットインジケーターを表示するためのグラフのタイプ
第 2 Y 軸	このインジケーターの Y 軸を追加します。 (Optional) 1 つのセカンダリ インジケーターの Y 軸のみが表示されます。複数のセカンダリ インジケーターで第 2 Y 軸が選択されている

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	場合、元々順番が先頭のインジケーターの軸だけが表示されます。
色	このインジケーターのスコアにのみ適用される単色。
ラベル	このインジケーターのカスタムラベル。

7. ウィジェットインジケーターをブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素に従わせるには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: フォロー しているブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、[オープンインシデントの数] インジケーターは、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンを使用します。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするケースを考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素について、ウィジェットに個別の値を表示するとします。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   ブレークダウンダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

8. 時系列ウィジェットのみ: [要素フィルター] タブでは、[要素] フィールドで第 1 レベルの要素を選択する代わりに、使用する要素フィルターを選択できます。

   「要素フィルタ」を参照してください。

   このアプローチを使用して、ビューアーに応じてどのブレークダウンを表示するかをカスタマイズします。要素フィルターを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

   注: ダッシュボードでは、要素フィルターが渡すすべての要素の名前が、ウィジェットインジケーターのインジケーター名またはラベルに追加されます。

9. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

これらの設定を後で編集するには、[ウィジェットインジケーター] リストを表示して、インジケーターの名前ではなく情報アイコンをクリックします。

関連トピック

関連リスト

KB0724552:時系列またはリストウィジェットにセカンダリインジケーターを追加する方法

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットのクリック時の動作の設定

ユーザーがウィジェットをクリックしたときの処理を構成できます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

デフォルトでは、ユーザーがウィジェットをクリックすると、ウィジェットインジケーターの詳細 アナリティクスハブ が表示されます。代わりに別の URL にユーザーを誘導するようにウィジェットを構成することができます。

> **注:** プラットフォームアナリティクスデータの可視化における同等の機能については、「データ可視化でのグラフのインタラクション」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. 構成するウィジェットを選択します。
3. [クリック時の動作] 関連リストで、[新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
   1 つのウィジェットに対して複数のクリック時の動作レコードを作成した場合、[順番] の値が最小のレコードのみが使用されます。

   a. [ラベル] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにこのオプションに表示されるテキストを入力します。

   b. [タイプ] フィールドで、**[URL]** を選択します。

   c. [値] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにユーザーを誘導する URL を入力します。
   インスタンス URL の相対 URL のみを入力できます。値は、/incident.do のように、/ 文字で始める必要があります。

   d. [**Submit** (送信)] を選択します。

カラースキーム

データの可視化で複数のインジケーター、ブレークダウン、またはテーブルフィールドが表示される場合、さまざまな値の色をカラースキームに従うことができます。

カラースキームは、次の可視化に適用できます。

- 複数のインジケーターまたはブレークダウンを表示する時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット
- 複数の要素が個別に表示される場合のブレークダウンダッシュボードのウィジェット
- テーブルフィールドごとにグループ化または積み重ねるレポート
- プラットフォームアナリティクス テーブルフィールドでグループ化または積み重ねるデータビジュアル化コンポーネント

ウィジェットを作成するときに、[カラースキーム] フィールドでカラースキームを選択できます。例については、「ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成」を参照してください。独自の配色をデザインすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カラースキームを指定する必要はありません。この場合、必要に応じて、プロパティ *com.snc.pa.chart_default_color_schema* で指定されたデフォルトのカラースキームが適用されます。ベースシステムでは、この配色はデフォルトの UI14 です。

すべてのカラースキームは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルにあります。 パフォーマンスアナリティクス > システム > チャートのカラースキーム.

デフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色の色定義を使用します。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

関連トピック

- レポートの事前定義された色
- レポートタイプ

カラースキームの作成

レポート、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、および プラットフォームアナリティクス データ可視化コンポーネントで使用できる再利用可能な色のセットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または pa_admin

このタスクについて

ヒント: ServiceNow AI Platformまたはレポートアドミンは、配色で使用するカスタム色を作成できます。詳細については、「アナリティクスのシステムの色を定義する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > チャートのカラースキーム.
2. [**New**] をクリックします。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. [色 **1**] および [色 **2**] フィールドで色を選択します。
   カラー スキームには少なくとも 2 つの色を設定する必要があります。さらに使用できます。
5. オプション: カラー スキームに含める色を最大 32 色選択します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

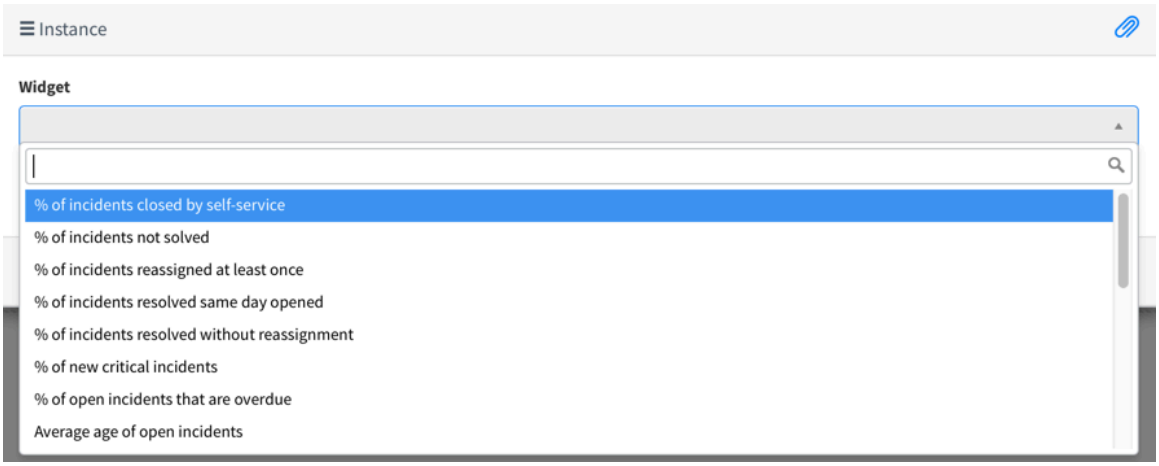
パフォーマンスアナリティクスのインジケーターとブレークダウンはサービスポータルを使用して表示することができます。

ポータルを編集するときに、[パフォーマンス分析] ウィジェットを追加します。ウィジェット オプションを使用して、ポータルに表示する既存のパフォーマンスアナリティクスポータルと、そのタイトルを表示するかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンス分析ウィジェット



ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

関連トピック

サービスポータル デザイナを使用したページの作成および編集

サービスポータルに関するレポート

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットプラグインのアクティブ化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスとレポートのプラグイン - サービスポータルウィジェット

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連トピック

プラグインのリスト

ウィジェット統計情報の表示

パフォーマンス分析ウィジェットの統計情報を表示して、ダッシュボードでのウィジェットのロードが遅いかどうかなどの、問題の特定と解決に役立てることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット統計情報.
2. 統計情報を表示するウィジェットを選択します。
3. 次のフィールドをレビューします。

レポート統計情報フィールド

フィールド	説明
ウィジェット	統計情報が示すウィジェット。
合計実行数	ウィジェットがサーバーからロードされた合計回数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
平均実行時間	このウィジェットのすべての実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。
最新の実行回数	ウィジェットが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
最新の平均実行期間	最近の実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
合計実行時間	ウィジェットのすべての実行の合計経過時間。

ウィジェット統計情報のプロパティ

次のプロパティで、ウィジェット統計情報の追跡および管理方法をコントロールします。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.report.recent_executions_number	最近の平均経過時間の計算のために、最近と見なされるウィジェット実行数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロパティを追加

アナリティクスハブ

アナリティクスハブ は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。アナリティクスハブはスコアカードに置き換わります。

注: プラットフォームアナリティクスでは、アナリティクスハブ機能がKPI 詳細されています。移動先 プラットフォームアナリティクス > インジケーター.プラットフォームアナリティクス に移行すると、[KPI 詳細] オプションのみを使用できます。

アナリティクスハブの使用方法の概要。

アナリティクスハブを使用してパフォーマンスアナリティクスインジケーターデータを分析、探索、および比較する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

アナリティクスハブでは、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に役立つコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。

インジケーターフォームでは、インジケーターが自動的に アナリティクスハブ に含まれるように設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

アナリティクスハブ インジケーターのリスト

アナリティクスハブには、インジケーターのリスト、それらのスコア、およびその他の分析のカスタマイズ可能な選択が表示されます。インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターの詳細が表示されます。アナリティクスハブ はスコアカードを置き換えます。

アナリティクスハブリストにアクセスするには、次の場所に移動します パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.

インジケーターリストコントロール

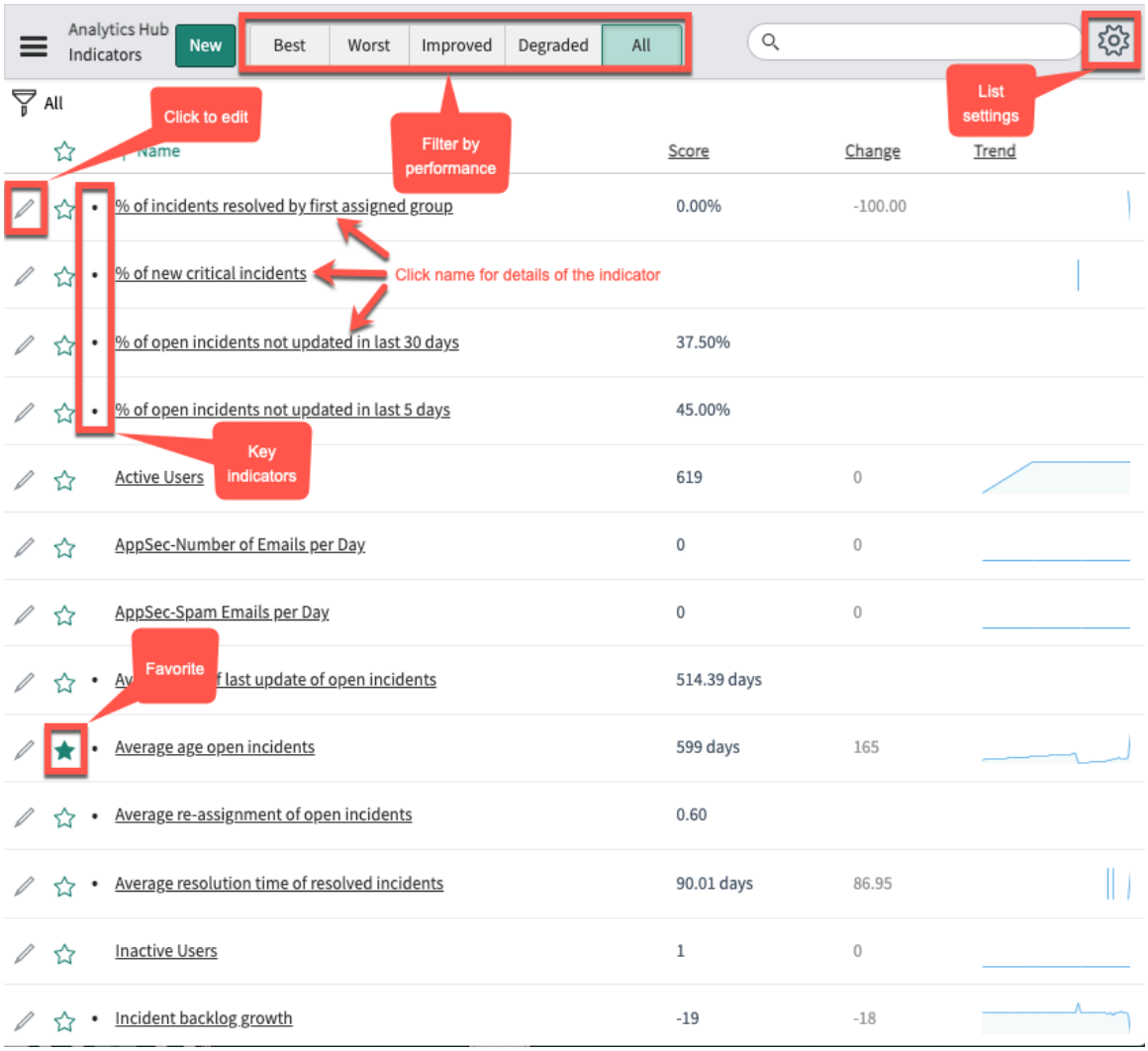
インジケーターのリストには、次のコントロールが含まれています。

- インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされている アナリティクスハブ のビューが開きます。このビューでは、拡張された分析ツール セットを使用できます。
- インジケーターの横にある鉛筆アイコンをクリックして、編集するインジケーターレコードを開きます。このアイコンは、ロールにインジケーターレコードへのアクセス権がある場合にのみ使用できます。
- インジケーター名の横にある緑色の星は、お気に入りであることを示します。インジケーターの横にある星をクリックして、お気に入りとしてマークします。
- インジケーター名の横にある黒い点は、キー インジケーターであることを示します。インジケーターをキーとしてマークするには、インジケーターを作成するときに [キー] チェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

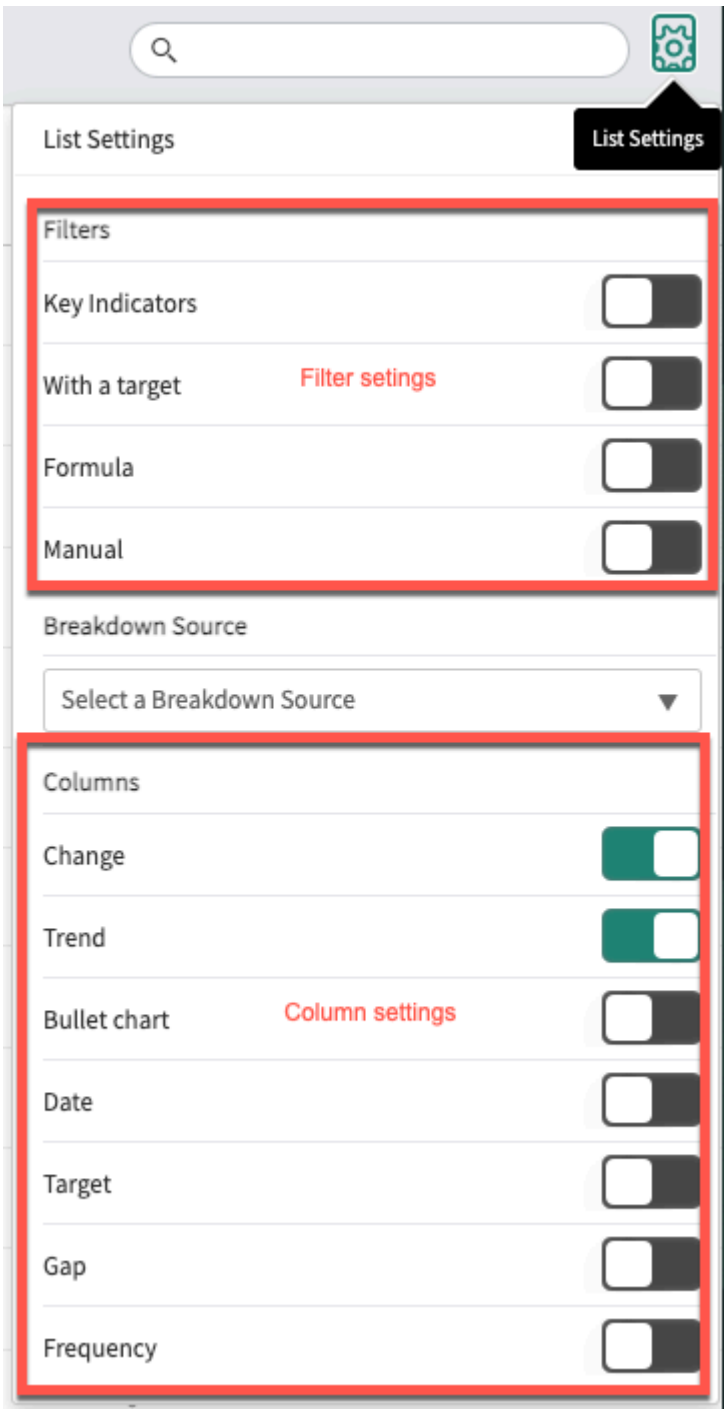
インジケーターのリスト



アナリティクスハブの表示内容をカスタマイズするには、検索ボックスの横にあるリスト設定アイコン ( ) をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターリストの設定



リストの設定には、次のセクションが含まれています。

- フィルター設定
- ブレークダウンソースと要素の設定
- 列の設定

フィルター設定

次の設定で、表示するインジケーターをフィルタリングできます。

キーインジケーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターレコードでキーインジケーターとして定義されているインジケーターのみが表示されます。

ターゲットあり

ターゲットが定義されているインジケーターのみが表示されます。

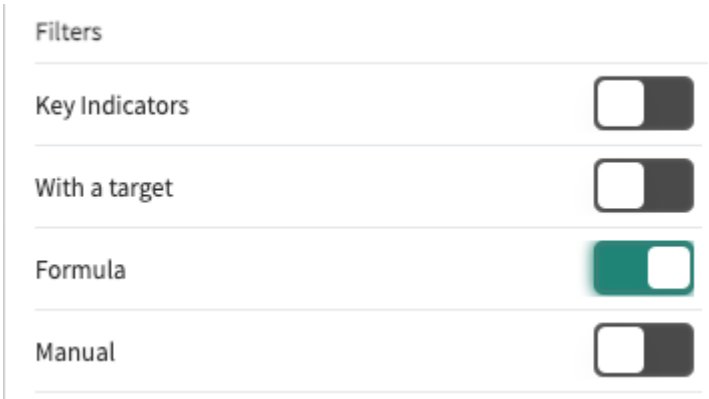
計算式

式インジケーターのみが表示されます。

マニュアル

手動インジケーターのみが表示されます。

式インジケーターのみを表示するフィルター設定



ブレークダウンソースと要素の設定

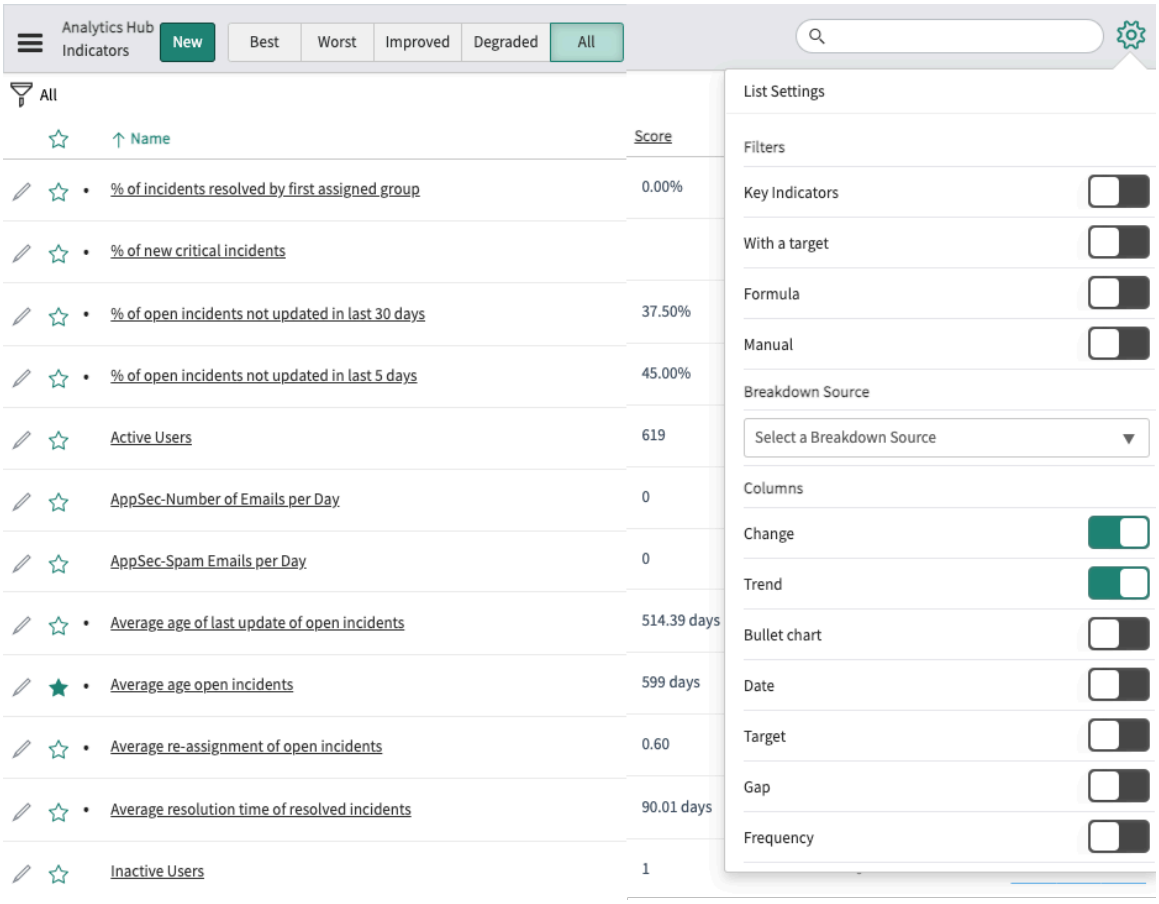
設定内で、ブレークダウンソースを選択することもできます。そのブレークダウンソースを使用するインジケーターのみが表示されます。ブレークダウンソースを選択した後、ブレークダウン要素を選択してインジケーターのリストをさらにフィルタリングできます。その要素が適用されるインジケーターのみが表示されます。

次の例では、リストが Indicator.Priority ブレークダウンソースでフィルタリングされてから [1 - 重大] 要素でフィルタリングされたときに、スコアがどのように変化するかがわかります。

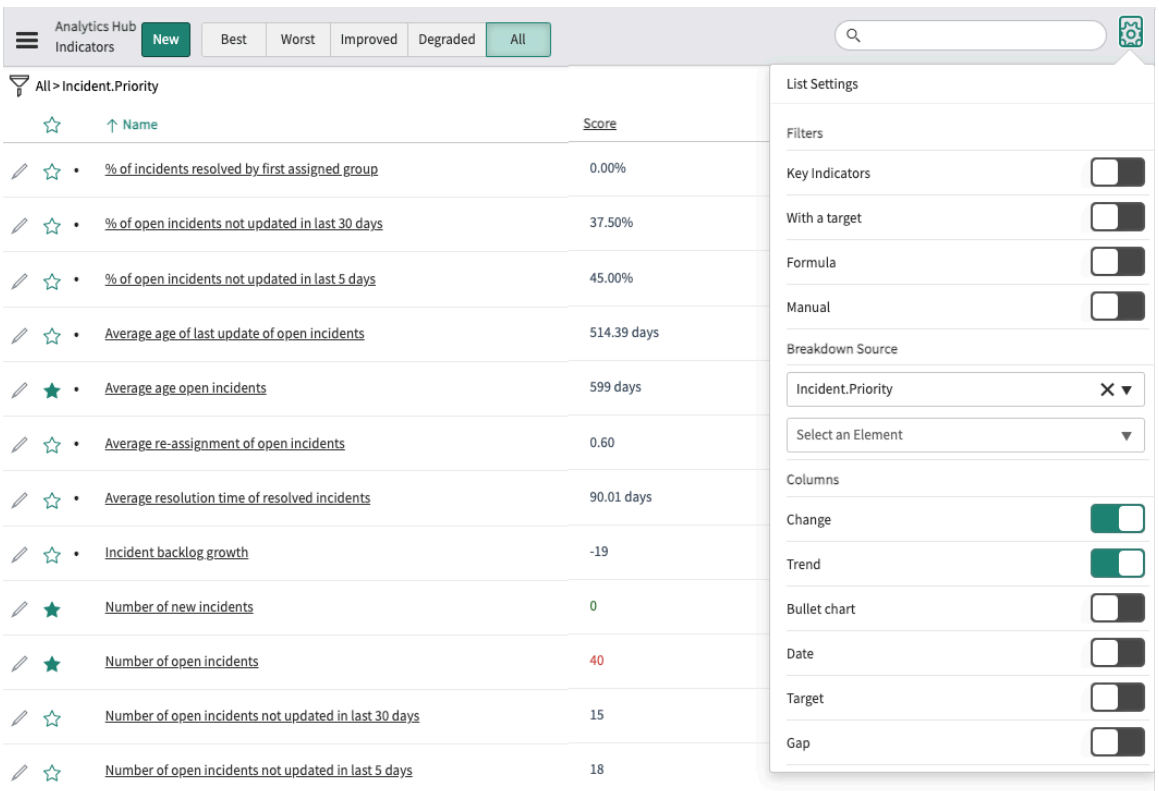
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルターが適用されていないインジケーターリスト



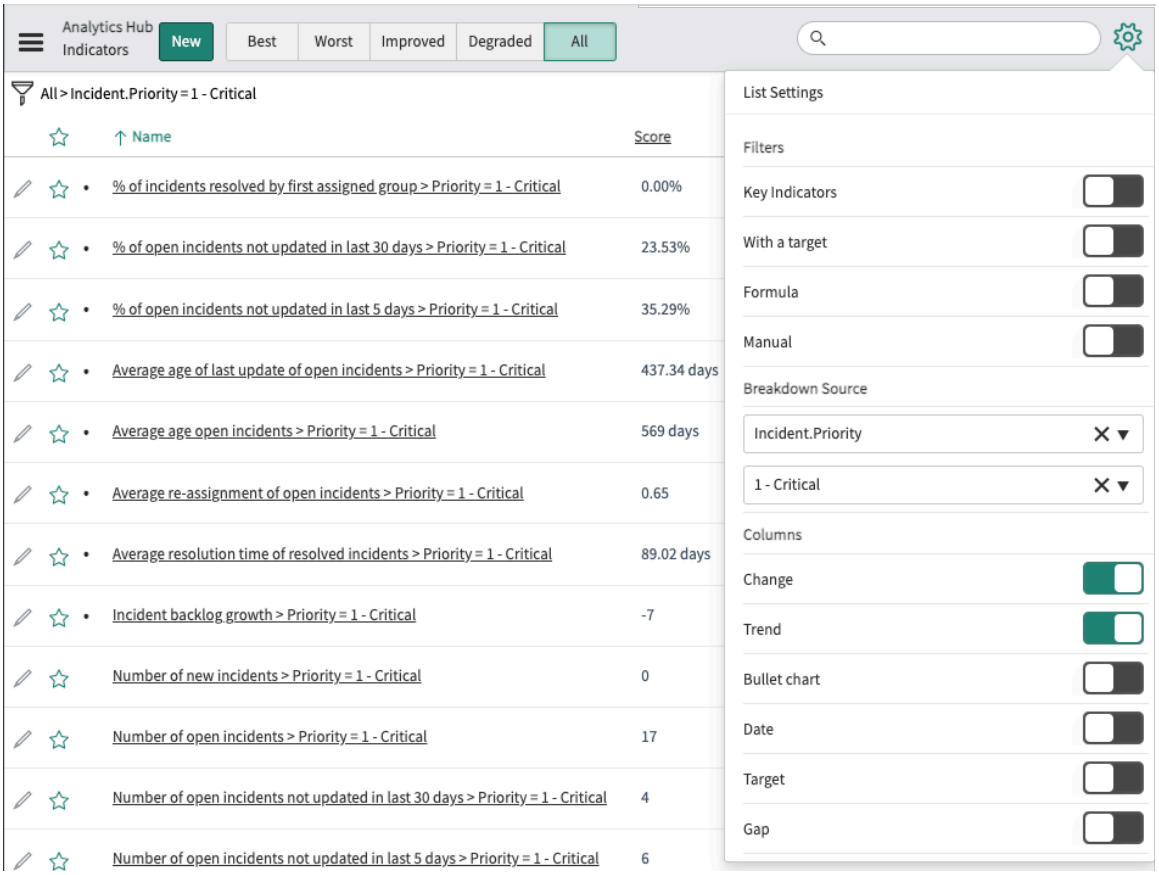
ブレークダウンソースフィルターが適用されたインジケーターリスト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンソースと要素フィルターが適用されたインジケーターリスト



列の設定

インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。インジケータースコアは常に表示されます。

変更

最新のデータ収集と先行するデータ収集の間のスコアの変化 (絶対値)。

傾向図

データ収集の過程におけるスコアの傾向ライン。このトレンドラインは、 アナリティクスハブ が特定のインジケーターに焦点を合わせたときに見られるトレンドラインを小型化したものです。

ブレットグラフ

現在のスコアとターゲットを比較するグラフ。このチャートは、そのインジケーターにターゲットが設定されている場合にのみ表示されます。

日付

最新のスコアが収集された日付。

ターゲット

インジケーターのターゲット (設定されている場合)。

ギャップ

最新スコアとターゲットとのギャップ。値は、インジケーターにターゲットが設定されている場合にのみ表示されます。

周期

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターに対してスコアが計算される頻度。

方向

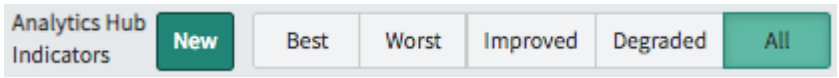
インジケーターのスコアを最小化するか、最大化するか、またはどちらでもしないか。

パーセンテージで表示

有効にすると、スコアの変化が絶対値ではなくパーセンテージで表示されます。

パフォーマンスでフィルター

設定でリストをフィルタリングするだけでなく、インジケーターのパフォーマンスに基づいてインジケーターのリストをフィルタリングできます。



- [最高]：ターゲット (緑) のパフォーマンスを上回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します。(最も優れたものを一番上に表示)。
- [最低]：ターゲット (赤) のパフォーマンスを下回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します (最も低いものを一番上に表示)。
- [改善]：以前のデータ収集と比較して改良されたインジケーターをすべて表示します (適切な方向に移動)。
- [悪化]：以前のデータ収集と比較してデグレードされたインジケーターをすべて表示します (不適切な方向に移動)。

アナリティクスハブ 特定のインジケーター用

アナリティクスハブを使用して、データの集計、スコアの比較、経時的な変化の表示などにより、インジケーターデータを詳細に分析します。

インジケーターの アナリティクスハブ にアクセスするには、次のいずれかの方法を選択します。

- 移動先 パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブをクリックし、インジケーターを選択します。
- 関連するインジケーターレコードの [インジケーターを探索] 関連リンクをクリックします。
- レスポンシブダッシュボードから、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの値を選択します。

注:

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードからインジケーターデータの値を選択すると、アナリティクスハブではなくKPI 詳細にアクセスします。これはデフォルトの動作です。データの可視化は、さまざまなドリルダウン動作で構成できます。
- ブレークダウンダッシュボードのインジケータースコアが複数の要素で集計されている場合、 アナリティクスハブ は同じ要素で集計されます。詳細については、「複数の要素のアグリゲートスコアの表示」を参照してください。
- 時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

制限事項

アナリティクスハブはモバイル画面サイズ用に最適化されていません。標準の Web インターフェイスを使用して、タブレットで アナリティクスハブ にアクセスできます。

自動翻訳

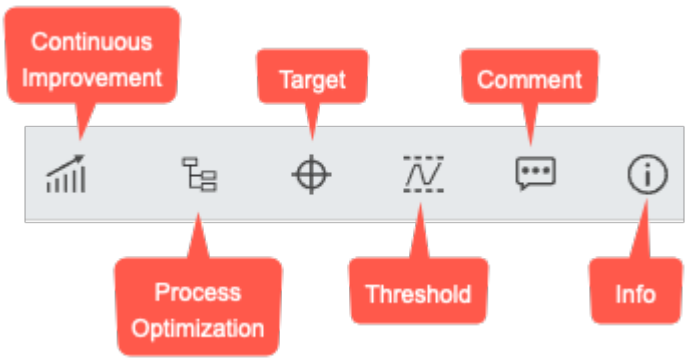
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット、しきい値、コメント、および改善イニシアチブの追加

アナリティクスハブ内のすべてのタブの上部には、次のアクションを実行するツールバーがあります。

- ターゲット
- しきい値
- コメントを追加
- 情報
- 改善イニシアチブを作成 (継続的改善管理アプリケーションが必要)

ツールヒントによって、ツールバーの各アイコンが識別されます。



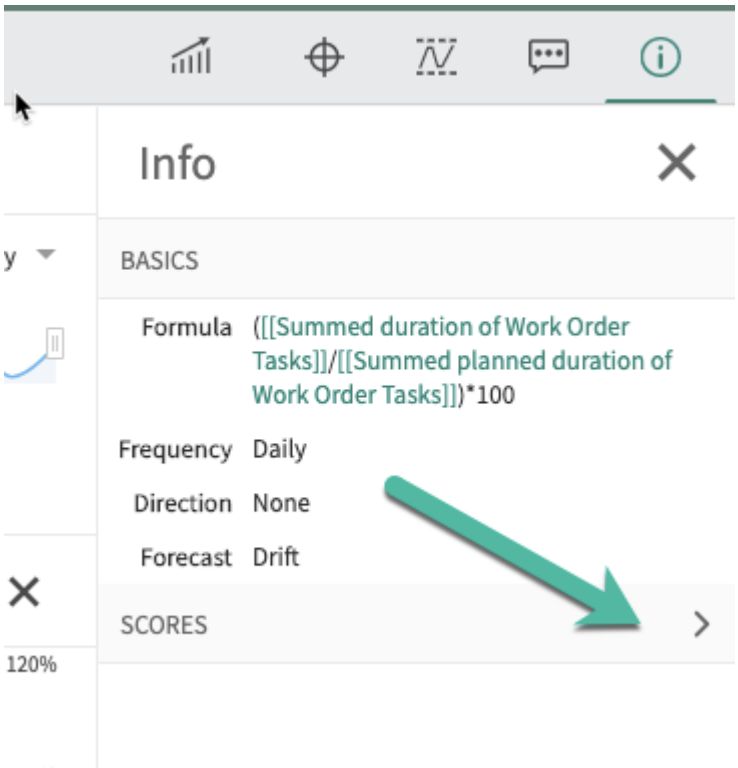
ツールバーには常にスクリーンショットの右端の 4 つのアイコンがあります。これらのアイコンのいずれかをクリックすると、ターゲット、しきい値、またはコメントを表示または作成できるペインが開きます。このペインからインジケーターに関する基本情報を表示することもできます。

> **注:** インジケータースコアが複数の要素で集計されている場合、 アナリティクスハブ では ターゲット、しきい値、およびコメントはサポートされません。

式インジケーターの場合、この基本情報には式が含まれます。[情報] パネルでは、インジケーターの日次スコアのリストを展開することもできます。式インジケーターの各コンポーネントインジケーターのスコアを表示するには、式内のインジケーター名をクリックします。これにより、そのインジケーターに アナリティクスハブ が再び焦点を当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

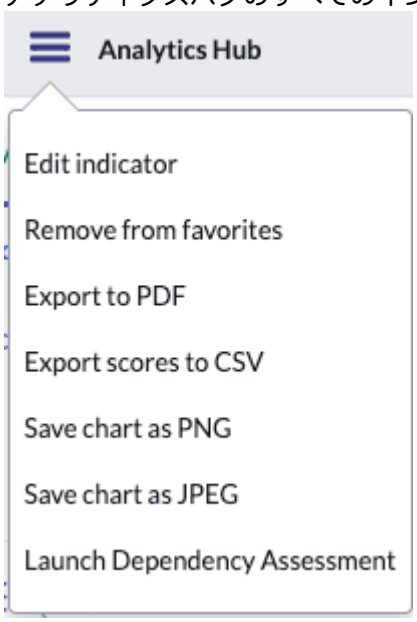


継続的改善管理アプリケーションと sn_cim.improvement_requester ロールを持っている場合は、改善イニシアチブを作成できます。[改善イニシアチブを作成] アイコン ([ ) をクリックして、改善イニシアチブフォームを開きます。このフォームには、インジケーターと アナリティクスハブの詳細が自動的に入力されます。タイムラインでイニシアチブの開始日と終了日を確認するには、[概要] タブのチャートオプションで改善イニシアチブアイコンをクリックします。

プロセス最適化 アプリケーションと プロセス最適化 ロールがある場合は、プロセス最適化 ダッシュボードでインジケーターを開くことができます。移動アイコン **(**プロセス最適化) をクリックします。

インジケーターとスコアの編集、PDF または **CSV** へのエクスポート、グラフィックの生成

アナリティクスハブのすべてのインジケーターにはコンテキストメニューがあります。コンテキスト



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメニューのオプションは、インジケーターのタイプとスコアがあるかどうかによって異なります。

オプション	存在する場合
インジケーターを編集	すべてのインジケーター
スコアを編集	スコア付き自動インジケーター
お気に入りに追加/お気に入りから削除	すべてのインジケーター
PDF にエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
CSV にスコアをエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
グラフを PNG/JPEG として保存	スコアのあるすべてのインジケーター
依存関係アセスメントを起動	すべてのインジケーター

コンテキストメニューをもう一度クリックすると、選択せずに閉じます。

のさまざまなタブ アナリティクスハブ

特定のインジケーターの アナリティクスハブ には、[概要] タブと [比較] タブがあり、それぞれ「スコアと統計情報の表示 」と「 スコアを比較」で説明されています。

関連トピック

- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値
- 依存関係アセスメント
- 継続的改善管理

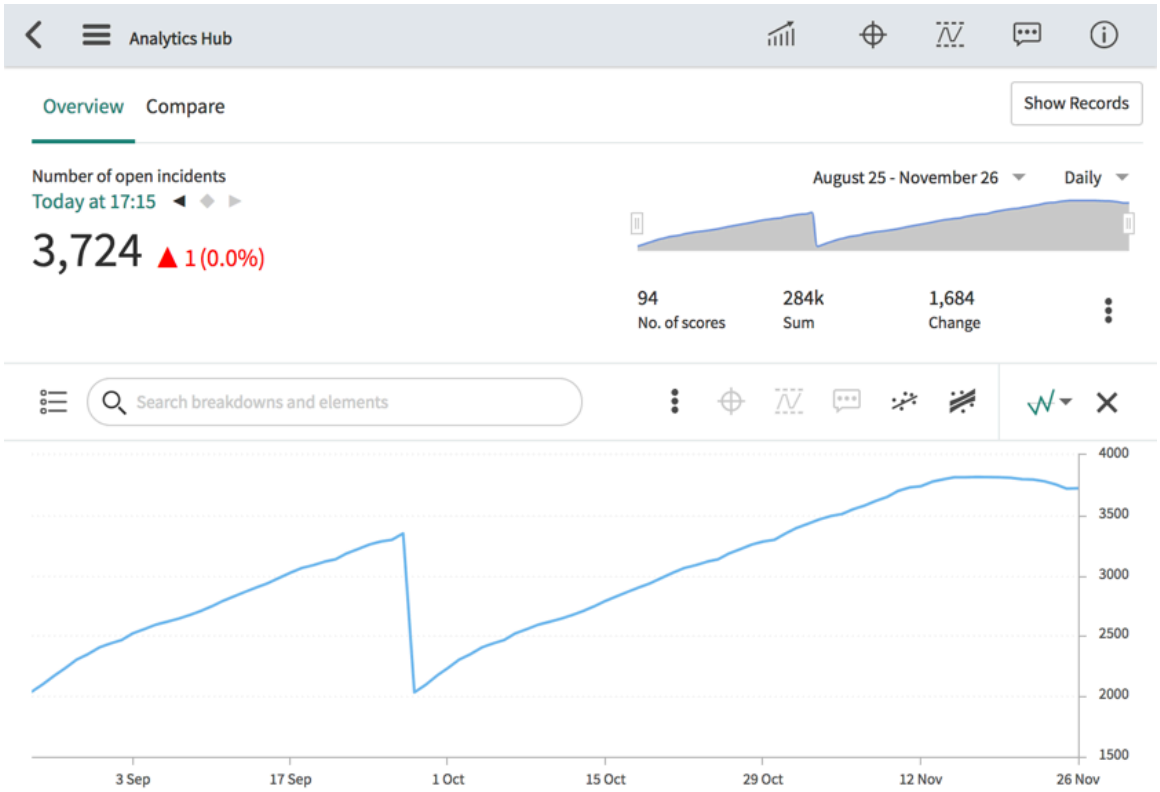
スコアと統計情報の表示

[アナリティクスハブ の概要] タブには、期間のスコア、統計情報、および時系列が表示されます。統計情報と時系列の期間を設定できます。ブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



注: Madrid 以前の詳細スコアカードで利用可能だった式インジケーター計算を表示する機能は、 アナリティクスハブ ではサポートされていません。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「パフォーマンスアナリティクス:アナリティクスハブ [KB0783438] のスコアに計算式の計算が表示されない」を参照してください。

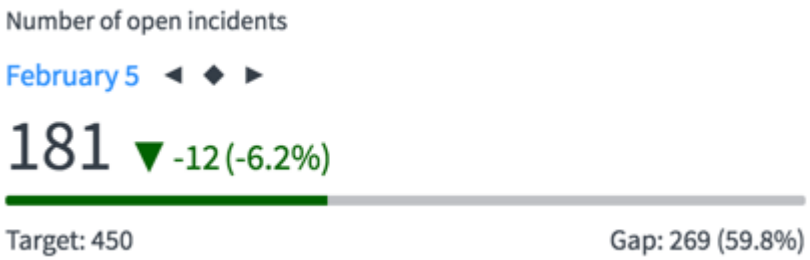
インジケーターのサマリー

[ビュー] タブの上部には、表示されているインジケーターに関する情報が要約されています。

タブの上部に、次の情報が表示されます。

- 選択した期間のスコア
- そのスコアと前の期間のスコアとの間の絶対値とパーセンテージの両方の変化
- ターゲットが設定されている場合は、スコアとそのターゲットの差
- 前、次、または最後の期間に切り替えるためのコントロール
- 期間またはリアルタイムスコアを選択するためのカレンダー

ターゲットへの準拠を示すスコアセクション



結果は色分けされて好感度を示します。インジケーターの方向が [最大化] の場合、スコアの増加は緑で表示され、減少は赤で表示されます。インジケーターの方向が [最小化] の場合、スコアの増加は赤で表示され、減少は緑で表示されます。同様に、カラーバーはターゲットが達成されたかどうか

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

を示します。色は、ターゲットに設定されているカラースキームによって異なります。詳細については、「ターゲットのカラー スキームの作成」を参照してください。

スコアに関連付けられている期間はスコアの上に表示されます。コントロールを使用すると、次の期間、前の期間、または最後の期間に移動できます。ここで選択した日付は、統計情報と時系列グラフに反映されます。選択した期間は、別のタブに切り替えたときに引き継がれます。期間の長さ (日、月、四半期など) は、インジケーターの周期と同じです。

時系列グラフに沿ってをクリックして日付を選択することもできます。さらに、ウィジェットからこの アナリティクスハブ に移動すると、 アナリティクスハブを開いてもウィジェットで選択した日付が保持されます。

アナリティクスハブでのリアルタイムスコアの表示

最後のスコアの代わりにリアルタイムスコアを選択して表示できます。

リアルタイムスコアは、次の状況で表示できます。

- インジケーターは 自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースは データベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

⚠ 警告:

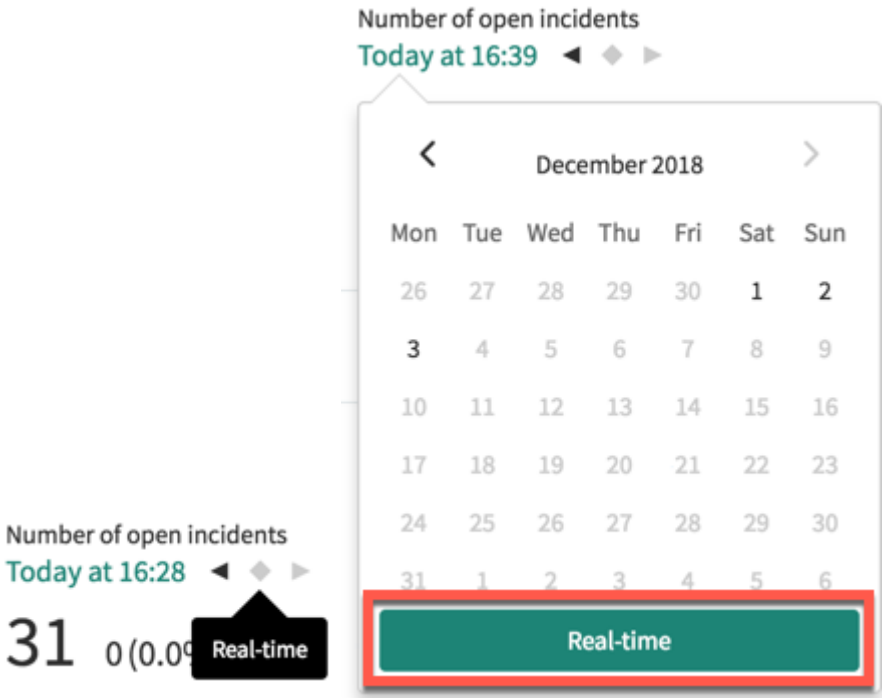
- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- アナリティクスハブ はリアルタイムスコアを自動的に更新しません。最新のスコアを取得するには、ブラウザーページを更新します。

リアルタイムスコアを選択できる場合は、日付セレクターで選択するか、[レコード] ビューで現在の期間を選択して選択します。ただし、リアルタイムスコアを表示する場合、 レコード ビューのブレークダウン要素に一致しないレコードは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リアルタイムスコアを表示する場合に選択



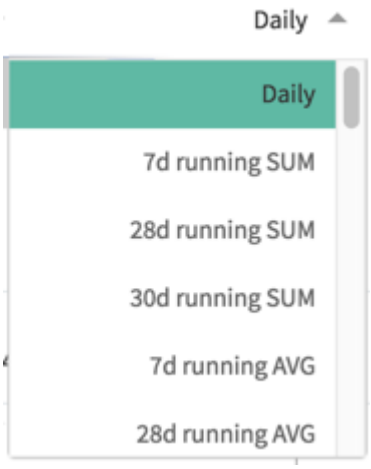
注: 一部のウィジェットでは、リアルタイムスコアをダッシュボードユーザーに表示できます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

アナリティクスハブでの時系列集計

アナリティクスハブでは、インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。

右上隅で、 アナリティクスハブの時系列アグリゲーションを設定できます。

日次時系列アグリゲーションのメニュー



時系列アグリゲーションは、スコア、統計、時系列グラフ、および他のタブのチャートに反映されます。使用可能な時系列は、インジケーターの頻度によって異なります。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、このパフォーマンスアナリティクス Academy のビデオをご覧ください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

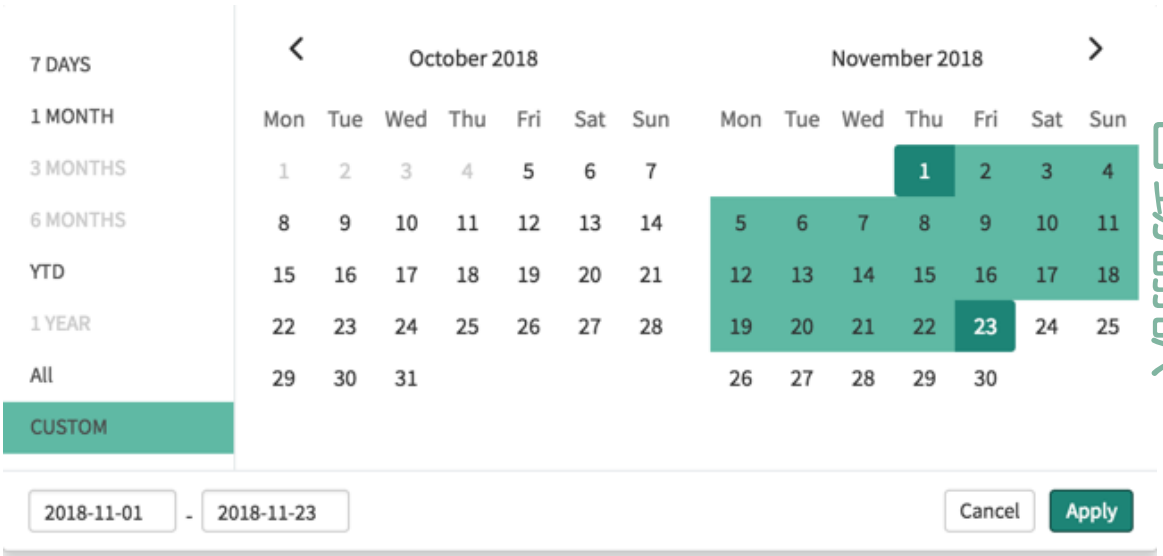
- ビジネスカレンダーと会計カレンダーでは、時系列の集計はサポートされていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターの時系列アグリゲーションを設定することはできません。
- 時系列アグリゲーションを選択すると、インジケーターに設定されている [実線をレンダリング] オプションが上書きされます。このオプションを使用すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ にこのインジケーターのデータ行が途切れることなく表示されます。
- 時系列アグリゲーションを設定している場合、[比較] タブでレコードを比較することはできません。集計されたスコアを比較できます。

アナリティクスハブのスコアの日付範囲

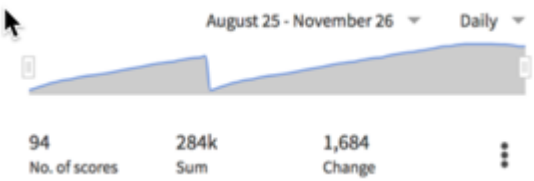
アナリティクスハブ が示すスコアの期間を設定できます。

日付範囲を選択するためのコントロールは、統計情報の上、時系列アグリゲーションの左側にあります。選択した期間は、統計情報と時系列グラフに反映されます。期間を設定するには、次の 2 つのコントロールオプションがあります。

- 日付範囲カレンダー



- ナビゲーションバー付きのスライダー:



注: [月別合計] などの時系列集計で 3 か月などの日付範囲を指定すると、予想よりも期間が 1 つ多くなることがあります。インスタンスは、3 か月などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示する場合があります。

アナリティクスハブの統計情報

アナリティクスハブの [ビュー] タブでは、インジケータースコアに適用するさまざまな統計情報を設定できます。

アナリティクスハブの統計情報の表示をカスタマイズすることはできません。ただし、すべての統計がすべてのインジケーターに関連するわけではないため、インジケーターレコードの統計を除外でき

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。たとえば、スコアがパーセンテージで表されるインジケーターの変化 % を除外できます。詳細については、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウン、要素、要素フィルター

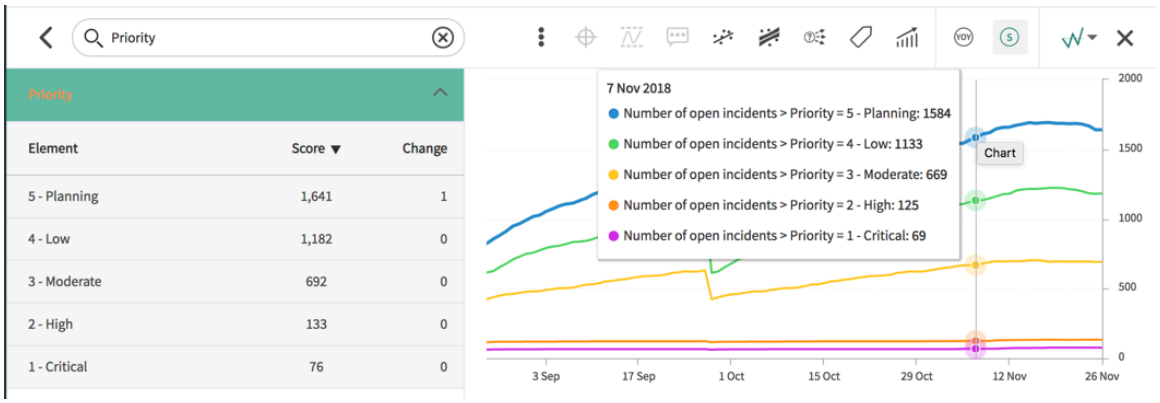
アナリティクスハブには、ブレークダウンとブレークダウン要素を表示するためのオプションがいくつかあります。

ブレークダウンのすべての要素について、チャートに個別の線または列を表示できます。ブレークダウンと要素を選択して、スコアをフィルタリングすることもできます。名前でブレークダウンと要素を検索することも、ブレークダウンと要素の選択ダイアログを開くこともできます。

ブレークダウンメニューと検索フィールド

要素ではなくブレークダウンを選択した場合、グラフにはブレークダウンの各要素が表示されます。

ブレークダウンのすべての要素を含むグラフ

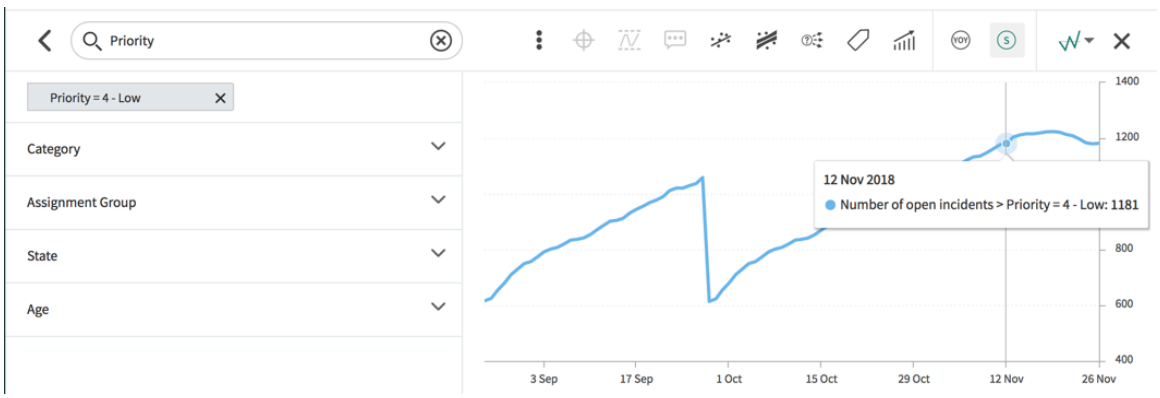


注:

- ブレークダウンの要素が適用されない場合、スコアは表示されません。このルールは、NULL_OVERRIDE で定義されたラベルが none の値に置き換わる場合に、選択肢 [sys_choice] テーブルのブレークダウンにも適用されます。
- 式インジケーターにブレークダウンを適用しようとしても、すべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしているわけではない場合、ブレークダウンは適用されません。代わりに、ブレークダウンのない式インジケーターのスコアが表示されます。これが発生したことを知らせるメッセージが表示されます。

ブレークダウンと要素を選択すると、 アナリティクスハブ 全体がフィルタリングされ、そのブレークダウンと要素の値のみが表示されます。

アナリティクスハブ 優先度の低いインシデントのみを表示するようにフィルタリングされています

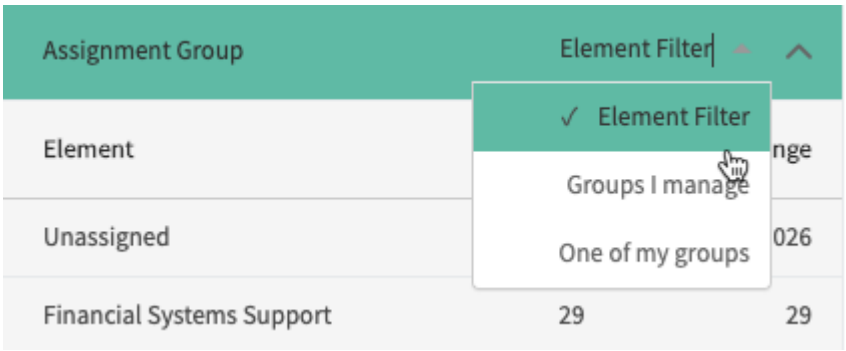


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

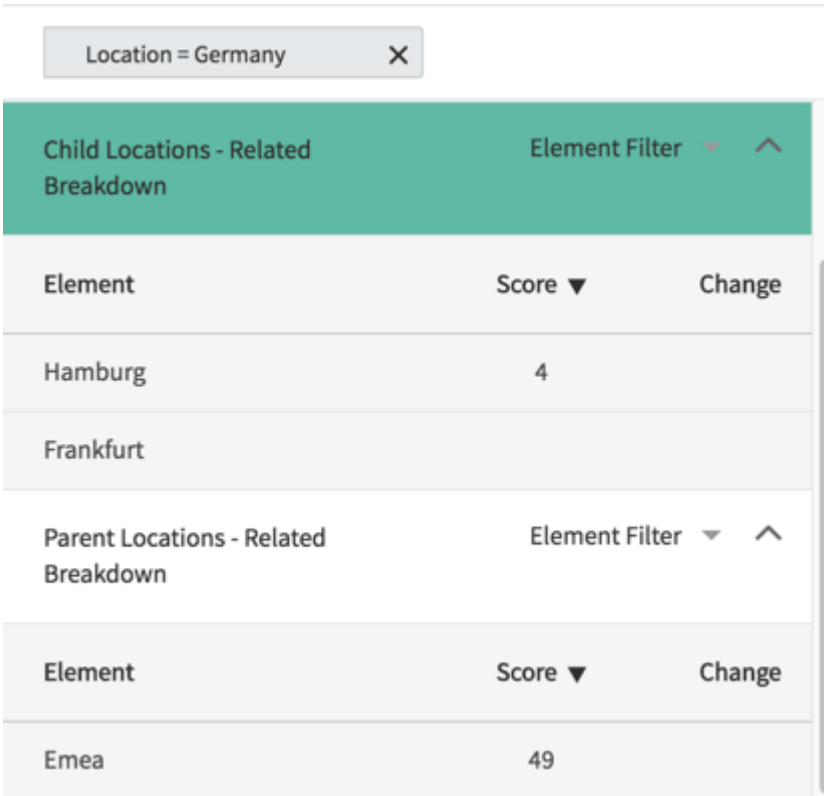
ブレークダウンのブレークダウンソースに要素フィルターが定義されている場合は、それらの要素フィルターのいずれかを選択できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

要素フィルタ



インジケーターにブレークダウンの関連付けが定義されている場合は、第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、関連する要素に移動できます。要素は、同じブレークダウンの親子関係にある場合もあれば、別のブレークダウンにある場合もあります。ブレークダウンの関連付けとブレークダウンの関連付けの作成手順の詳細については、「 ブレークダウン関連のあるブレークダウン要素の移動」を参照してください。

ブレークダウンの関連付け

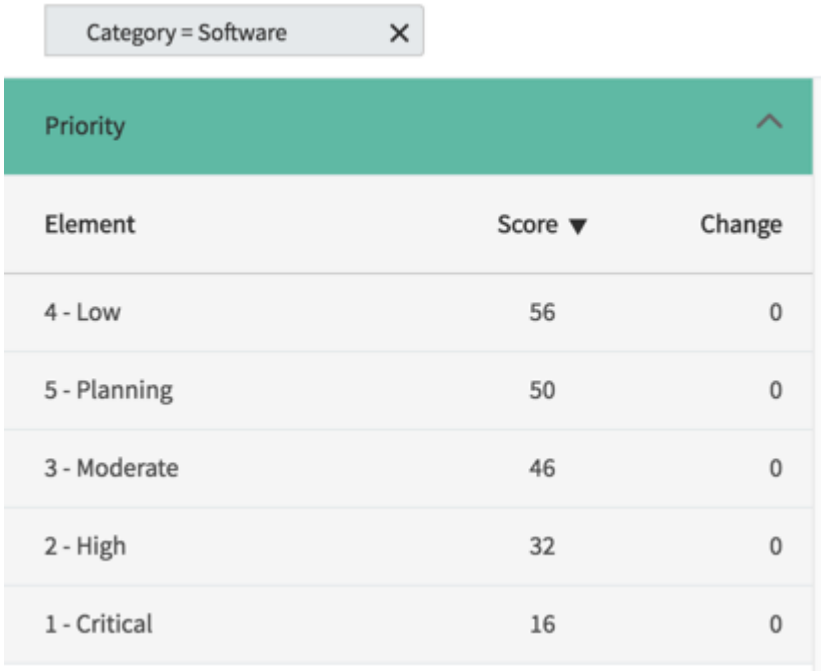


第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択できます。合計で 2 つ以上のレベルのブレークダウンを選択することはできません。

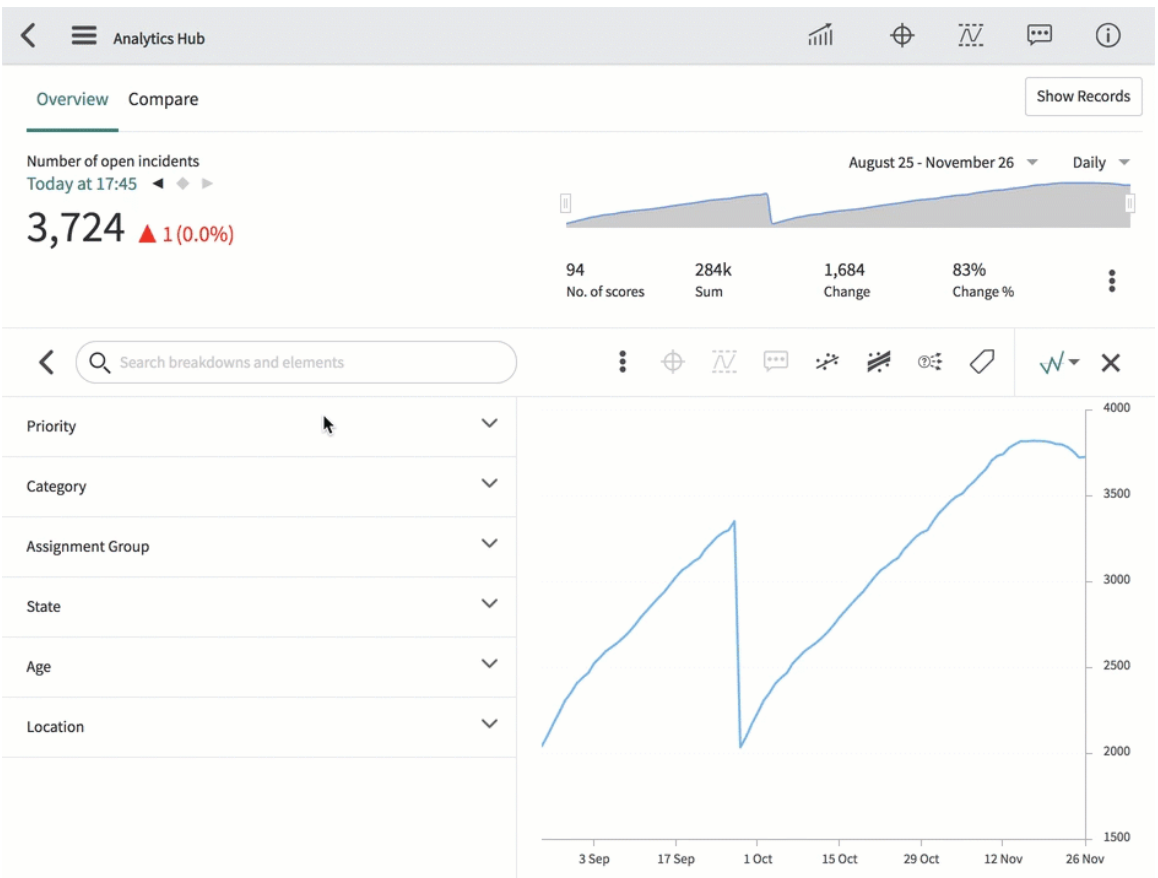
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンと要素の選択



次のアニメーションは、第 1 レベルと第 2 レベルのブレークダウンと要素の選択とクリアを示しています。



第 1 レベルまたは第 2 レベルのブレークダウンと要素の組み合わせをクリアするには、そのブレークダウンと要素のペアのタイルで [X] をクリックします。第 1 レベルのブレークダウン/要素をクリアすると、第 2 レベルのブレークダウン/要素が第 1 レベルのブレークダウン/要素になります。スコアの上にあるブレッドクラムに従って、選択をクリアすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

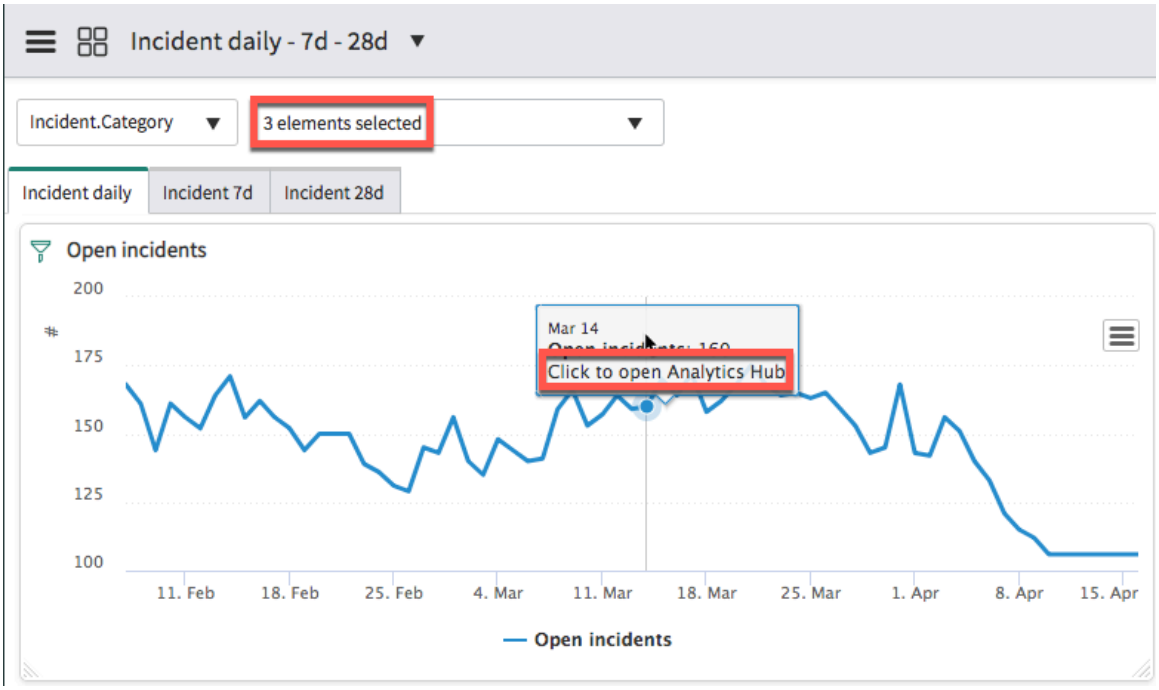
自動翻訳

複数の要素のアグリゲートスコアの表示

ダッシュボードのウィジェットでチャートの値をクリックすると、そのインジケーターの アナリティクスハブ が開きます。ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されており、ウィジェットにそれらの要素の集計が表示される場合、 アナリティクスハブ にはそれらの要素の集計も表示されます。

ダッシュボードで選択された複数の要素のアグリゲートビューの詳細については、「 複数の要素を個別に表示する、または集計して表示する」を参照してください。

3 つの要素のアグリゲートスコアを持つアナリティクスハブ

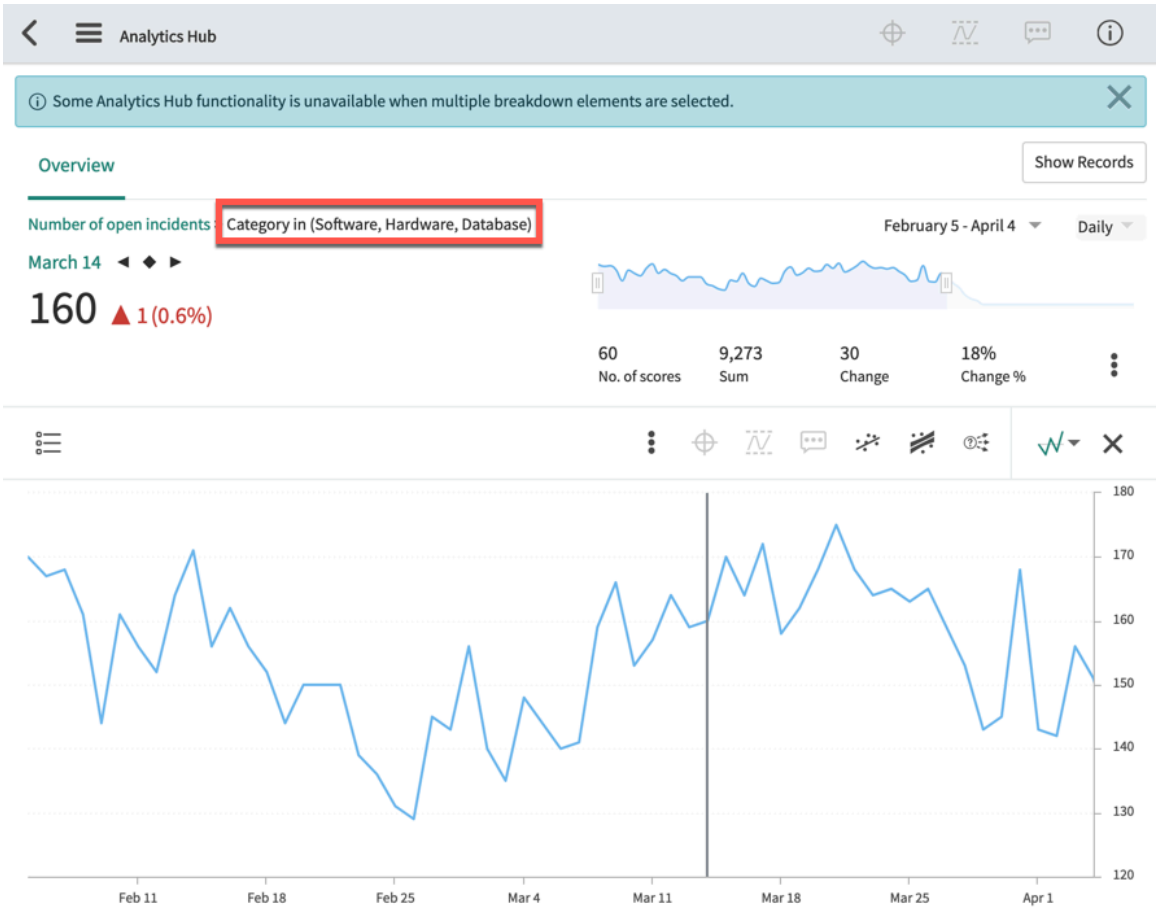


ウィジェットで選択した日付に アナリティクスハブ が開きます。複数の要素は 、(element_1、element_2、element_3、+x **more)** で **{Breakdown}** の形式で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素を含むアナリティクスハブ



注: アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。アナリティクスハブで [レコードを表示] を選択すると、ダッシュボードで選択したいずれかの要素に一致するレコードが表示されます。

アナリティクスハブでのレコードの表示

インジケータースコアの時系列の表示と、それらのスコアの計算に使用されるレコードのリストの表示を切り替えることができます。

右上隅の [レコードを表示] または [レコードを非表示] をクリックして切り替えます。いずれの場合も、選択した期間のスコアまたはレコードがタブの上部に表示されます。スコアまたはレコードは、選択したブレークダウン/要素のペアによってもフィルタリングされます。

複数の要素が選択されたブレークダウンダッシュボードから アナリティクスハブ を開いた場合、表示される内容はダッシュボードウィジェットによって異なります。ウィジェットに各要素値が個別に表示される場合は、選択した要素に一致するレコードが表示されます。ウィジェットに要素の集計スコアが表示されている場合は、それらの要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

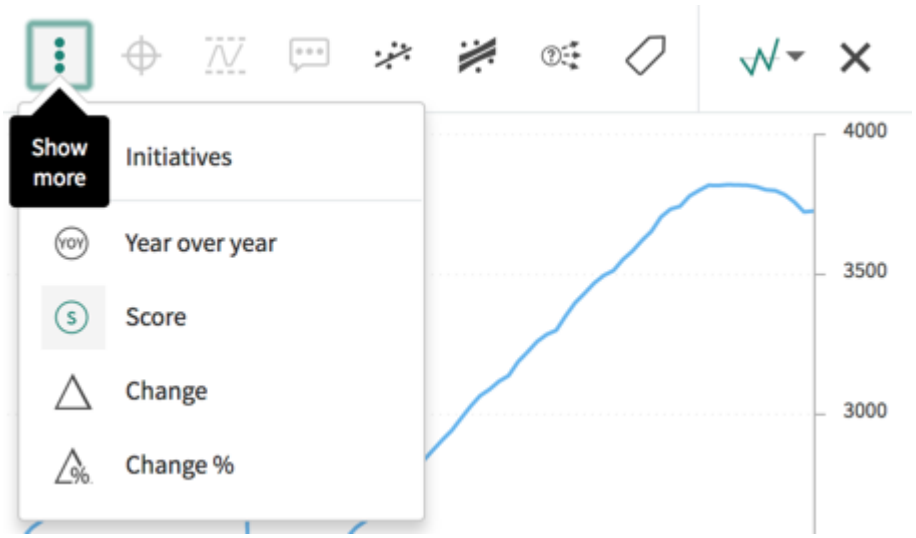
- レコードは自動インジケーターに対してのみ表示されます。
- [レコードを表示] 機能は、一致しないブレークダウン要素のリアルタイムスコアではサポートされていません。リアルタイムでスコアを表示している場合、どのブレークダウン要素にもアサインされていないレコードは表示されません。
- ファクトテーブルで使用できるビューに応じて、[レコード] リストのコンテキストメニューでレコードリストのビューを変更できます。デフォルトのビューはインジケーターソースに設定されます。
- 第 2 レベルのブレークダウンを収集したときに、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。

アナリティクスハブのグラフオプション

アナリティクスハブの [ビュー] タブでのチャートの表示内容を変更できます。

[さらに表示] アイコンをクリックすると、追加のアイコンのツールバーが表示されます。

チャートオプションアイコン



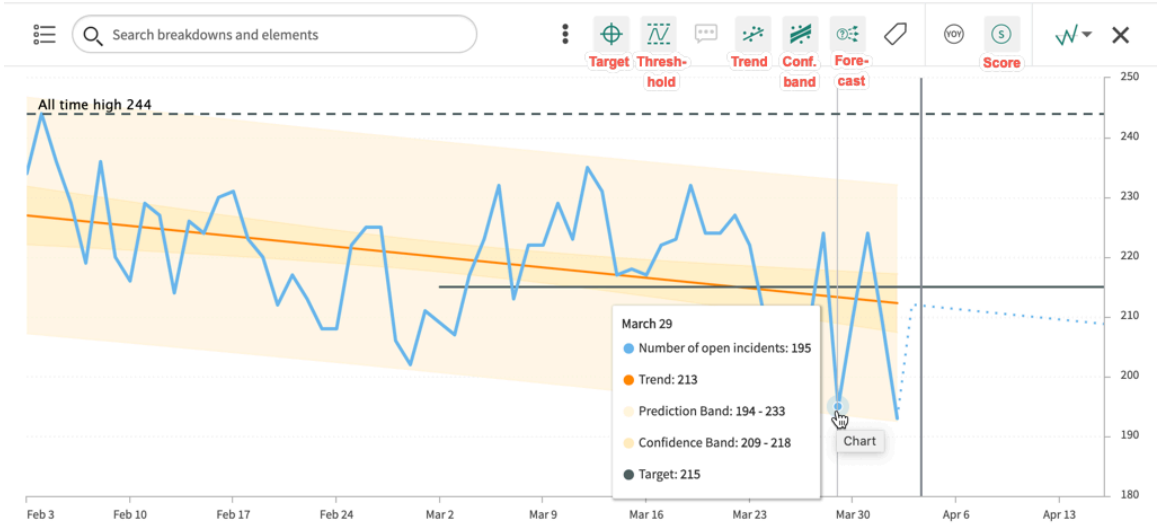
各アイコンのツールヒントは、アイコンがオンとオフを切り替えるチャートオプションを識別します。グラフのオプションは次のとおりです。

- 表示される測定のタイプ。
- ラベルの表示
- インジケーターでの予測の設定方法に応じて、将来のスコアの予測を表示します。
- 信頼帯の表示
- 傾向ラインの表示
- コメントの表示
- しきい値の表示
- ターゲットの表示
- チャート可視化の選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のオプションが選択されたチャート



継続的管理改善アプリケーションがインストールされている場合は、改善イニシアチブ ( ) を表示または非表示にするアイコンもあります。sn_cim.improvement_requester ロールも持っている場合は、「 アナリティクスハブ 特定のインジケーター用」で説明されているように、ツールバーにある同じアイコンをクリックして改善イニシアティブを作成できます。

利用可能な測定値は次のとおりです。

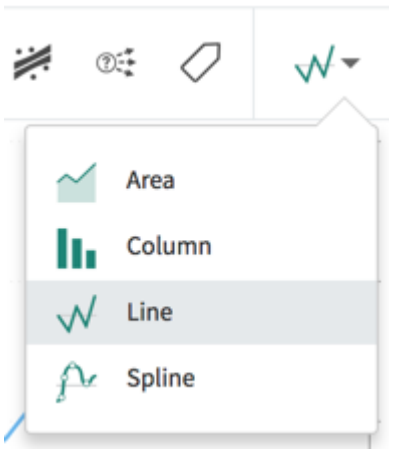
- 前年比
- 変更
- 変更割合
- スコア

デフォルトの測定値はスコアです。前年比を除くすべての測定タイプをまとめて表示できます。前年比は、スコアや変更など、一度に 1 つの他の測定にのみ適用できますが、両方には適用できません。前年比を意味のあるものにするには、通年のデータが必要です。

アナリティクスハブの可視化

グラフに使用する可視化を変更するには、リストメニューから可視化を選択します。面、縦棒、折れ線、およびスプラインによる可視化を利用できます。

利用可能なチャートの可視化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブのユーザー設定

表示設定をインジケーターごとに設定し、そのインジケーターを表示するたびに保持することができます。

アナリティクスハブは、次のユーザー設定を追跡します。

- すべての表示設定
- チャートの可視化
- 期間

すべての設定はインジケーターとユーザーごとに保存されるため、各ユーザーは各アナリティクスハブを優先どおりに表示するように構成できます。

> **注:** アナリティクスハブではなくスコアカードを含むバージョンからアップグレードする場合、古いユーザー設定のテーブルは保持されます。ユーザーがインジケーターの アナリティクスハブ を初めて開くと、設定は古いテーブルからインポートされます。ユーザーがアナリティクスハブを開く前に、そのユーザーとインジケーターの設定が PA アナリティクスハブ設定 [pa_ds_preference] テーブルで手動で設定されている場合、このインポートは上書きされます。

アナリティクスハブでのドメインセパレーション

アナリティクスハブは、[システムの設定] で選択したドメインに従います。そのドメインで収集されたスコアのみが表示されます。

追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

システム設定に加えて、一部のダッシュボードは、ダッシュボードでドメインを選択できるように構成されています。このようなダッシュボードのウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、そのドメインに対して収集されたスコアのみが表示されます。詳細については、「ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

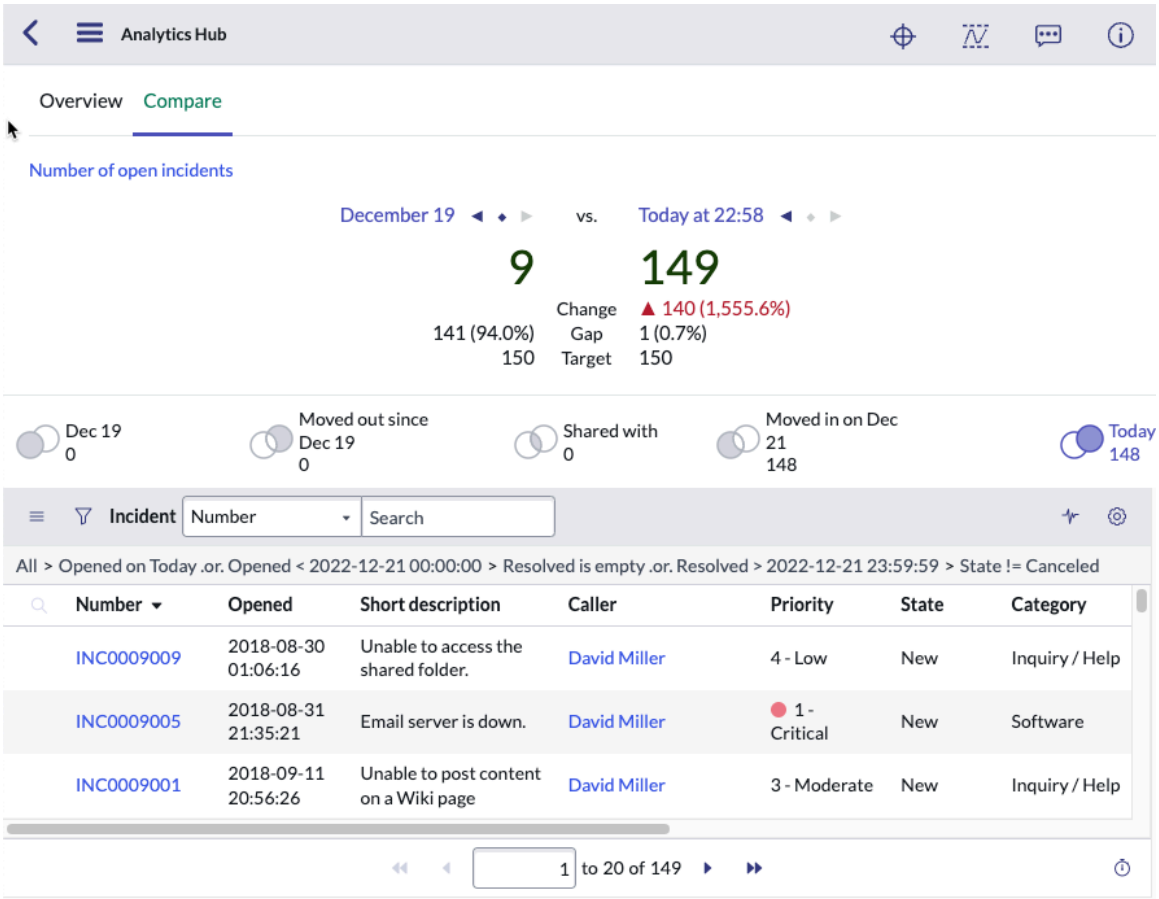
スコアを比較

[アナリティクスハブ 比較] タブで、任意の 2 つの日付のスコアを比較するか、リンクされたベンチマークスコアとスコアを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[比較] タブ



注: [比較] タブは、自動インジケーターでのみ使用できます。

自動インジケーターのスコアを 2 つの日付で比較できます。日付の選択は、[概要] タブと同じように機能します。さらに、あるタブで選択した日付は、別のタブに変更しても保持されます。

スコアがカウントを参照している場合は、スコアの下に左から右に次の情報が表示されます。

- 以前の日付のスコア
- 以前の日付以降に移動したレコード、またはインジケーターから離れたレコードの数
- 両方の日付でインジケーターによって共有されているレコードの数。つまり、レコードは早い日付と後の日付の両方でインジケーターに含まれていることを意味します
- 後日にインジケーターに移動したレコードの数、またはインジケーターに追加されたレコードの数
- 最新の日付のレコード数

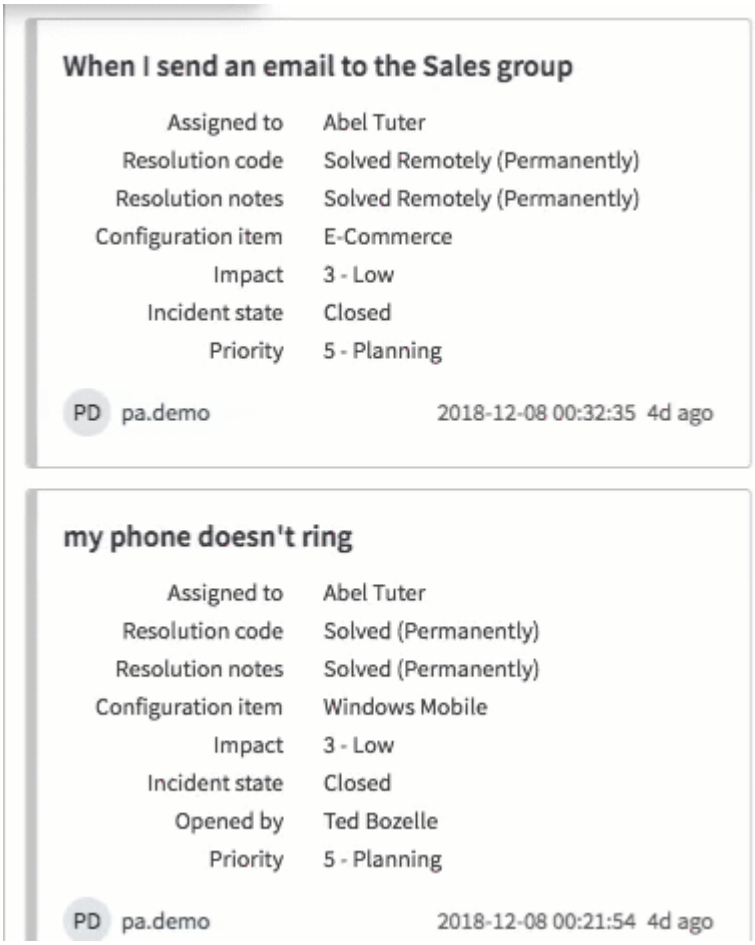
インジケーターのレコードリストが下部ペインにあります。日付を比較する場合は、グラフアイコン (アクティビティ) をクリックしてアクティビティストリームを開きます。アクティビティストリームには、各レコードについて、レコードの最新のアクティビティとその現在のステータスに最も関連性の高いフィールドが表示されます。アクティビティのタイムスタンプの上にカーソルを合わせると、[コメント] リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、追加コメントまたは作業メモを残すことができるダイアログが開きます。

注: 時系列アグリゲーションをインジケーターに適用すると、レコードを比較することはできません。スコアは集計されますが、基になるレコードは集計されません。集計されたスコアを比較できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティストリーム



インジケーターがベンチマークインジケーターにリンクされている場合は、[ベンチマーク] を選択して 2 つのインジケーターを比較します。[概要] タブの場合と同じように、インジケーターを比較するための日付範囲を選択します。

インジケーターとリンクされたベンチマークインジケーターとの比較

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連トピック

自動インジケーターのベンチマークへのリンク

アナリティクスハブ **UUID**

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインのすべての組み合わせには、一意の識別子 (UUID) があります。スクリプトを作成するため、または アナリティクスハブ がどのように機能するかを理解するには、これらの UUID がどのように構築されるかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ およびワークスペースの KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (スコアをアグリゲート)
- 時系列アグリゲーション
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターのsys_IDsとこれらの指定子のいずれかから次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

*indicator_sys_id*以外のすべての指定子はオプションですが、1 つの例外があります:*breakdown_sys_id*が指定されている場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*である必要があります。ブレークダウンを指定し、要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idは別のパラメーターに入力されます。例については、 この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定したブレークダウンのどの要素にも一致しないスコアを参照するには、文字列 unmatched が *element_sys_id*の代わりに使用されます。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ と KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列アグリゲーション、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、完全に指定された各インジケーターを UUID ごとに個別に監視します。

関連トピック

パフォーマンスアナリティクス の統合

KPI 詳細

インタラクティブアナリシス

インタラクティブアナリシスを使用すると、レコードリストのデータをすばやく探索できます。

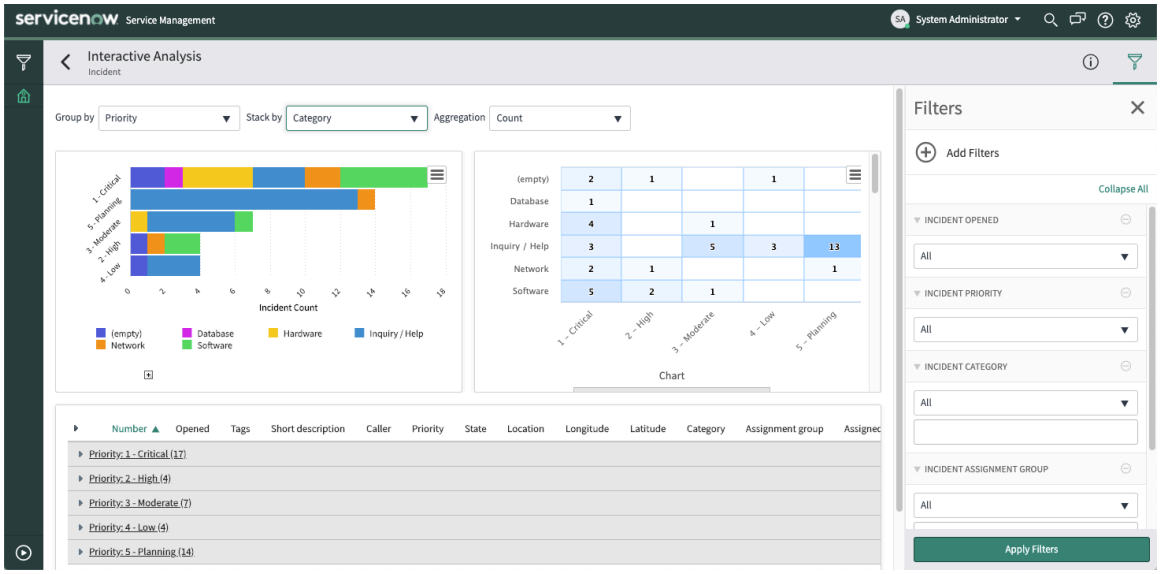
注: プラットフォームアナリティクス はインタラクティブアナリティクスをサポートしていません。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン ( ) をクリックし、ソース フィルタを編集して、適用されたフィルタのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブールフィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブアナリシスの起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

インタラクティブ分析情報パネル

[フィルタ情報] パネルでは、現在のフィルタの概要が表示されます。また、ソース フィルタ条件の編集、インタラクティブ分析のブックマーク、同僚とのインタラクティブ分析の共有を行うことができます。

インタラクティブアナリシスでは、作業しているテーブルにインタラクティブフィルターがあることを前提としています。フィルターを作成するには、「 さまざまなタイプのインタラクティブフィルターの作成」を参照してください。

情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報パネルには次の機能があります。

ソースフィルタ

フィルタに適用される条件を表示します。星をクリックして、このインタラクティブ分析をお気に入りに追加します。

ソースフィルタの編集

[ソースフィルタの編集] ボタンをクリックして条件ビルダを開きます。ソース フィルタは、インタラクティブ フィルタの定義ページを再度開かずにここで編集できます。

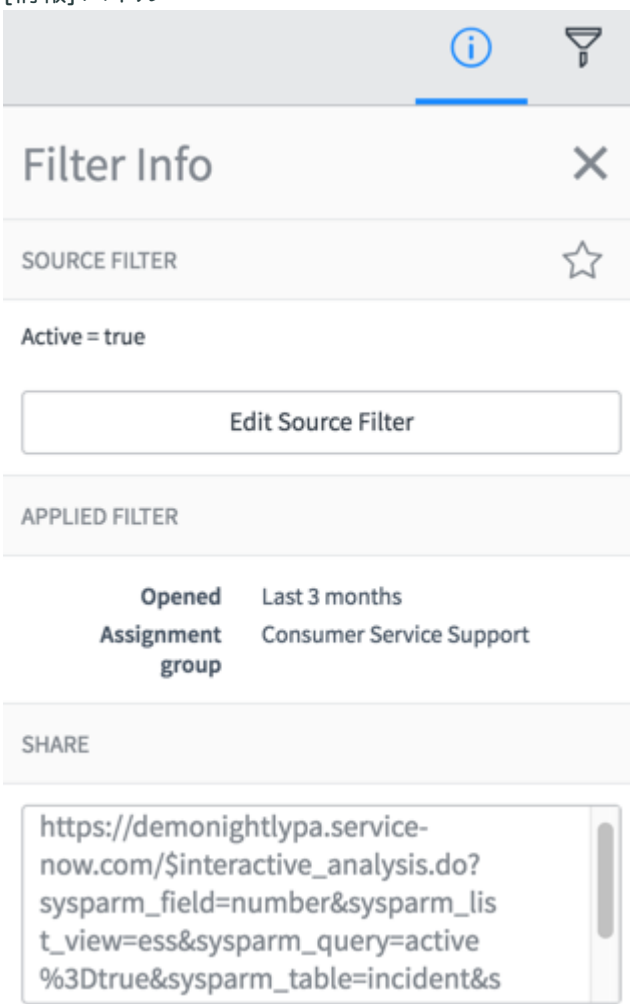
適用済みフィルタ

現在のインタラクティブ分析に適用されるフィルタの概要が表示されます。

共有

分析の完全な URL が表示されます。URL をクリックして強調表示します。詳細については、次のリンクを参照してください。

[情報] パネル



インタラクティブ分析のブックマーク

後で使用できるようにインタラクティブ分析を保存するには、お気に入りに追加してください。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして [フィルター情報] パネルを開きます。
4. インタラクティブ分析にフィルタを適用し、[フィルタを適用] をクリックします。
5. 星型のアイコンをクリックして、インタラクティブ分析をお気に入りに追加します。

結果
ナビゲーション パネルのお気に入りリストは、現在のインタラクティブ分析のブックマークで更新されます。

インタラクティブ分析の共有

インタラクティブ分析の URL は他のユーザーと共有することができます。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

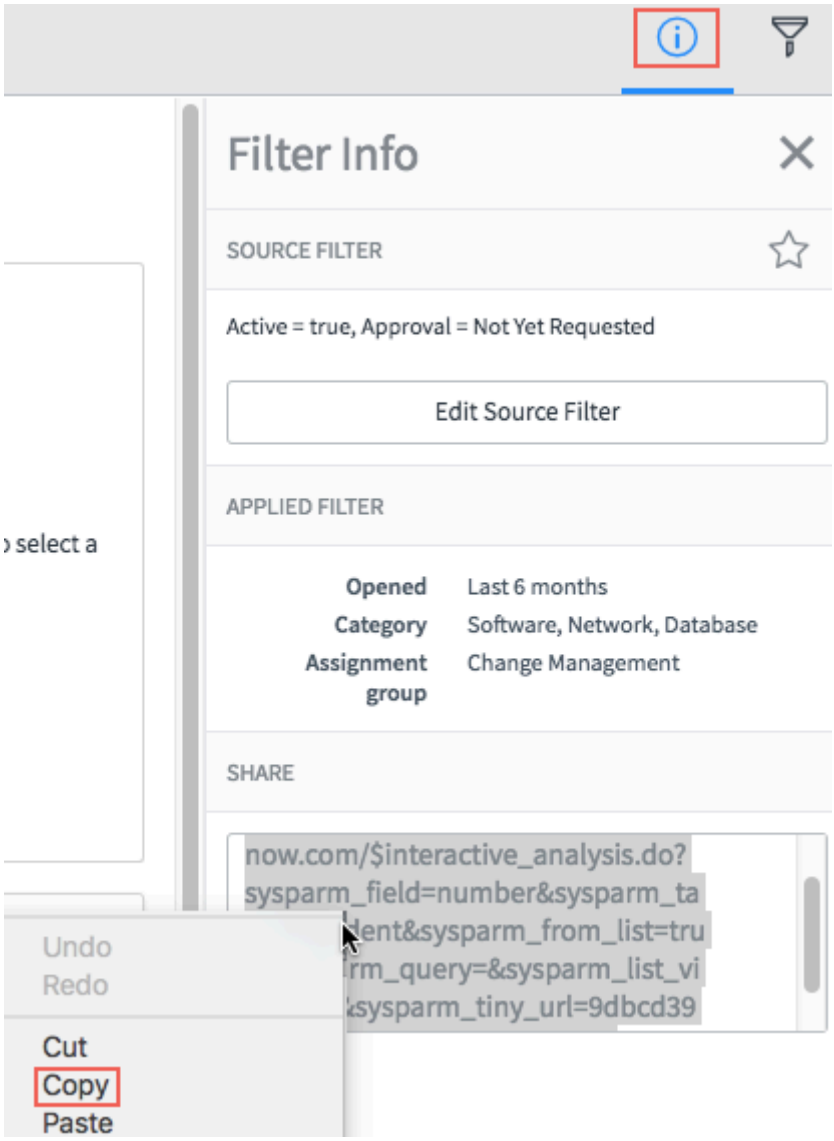
手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルターアイコン ( ) をクリックして、インタラクティブフィルターを表示します。
4. フィルタを目的通りに変更し、 [フィルタを適用] をクリックします。
5. 情報アイコン ( ) をクリックして [フィルター情報] パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [共有] セクションの URL を右クリックし、[コピー] を選択します 。



結果
インタラクティブ分析の URL は、分析の情報にアクセスできるユーザーとメールで共有できます。

インタラクティブ分析へのフィルタの追加

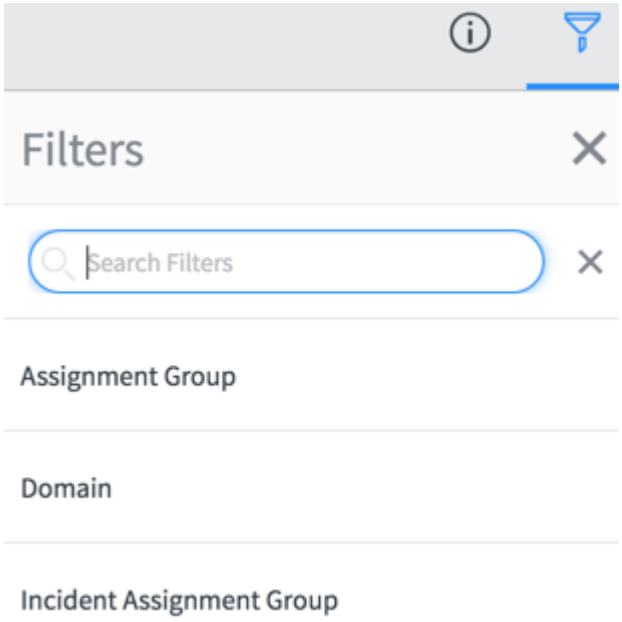
フィルタを追加して、より絞り込んだ情報をインタラクティブ分析に表示します。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルタ アイコン ( ) をクリックして [フィルタを追加] をクリックします。
   [検索フィルタ] バーを使用して、表示されるフィルタの数を制限します。

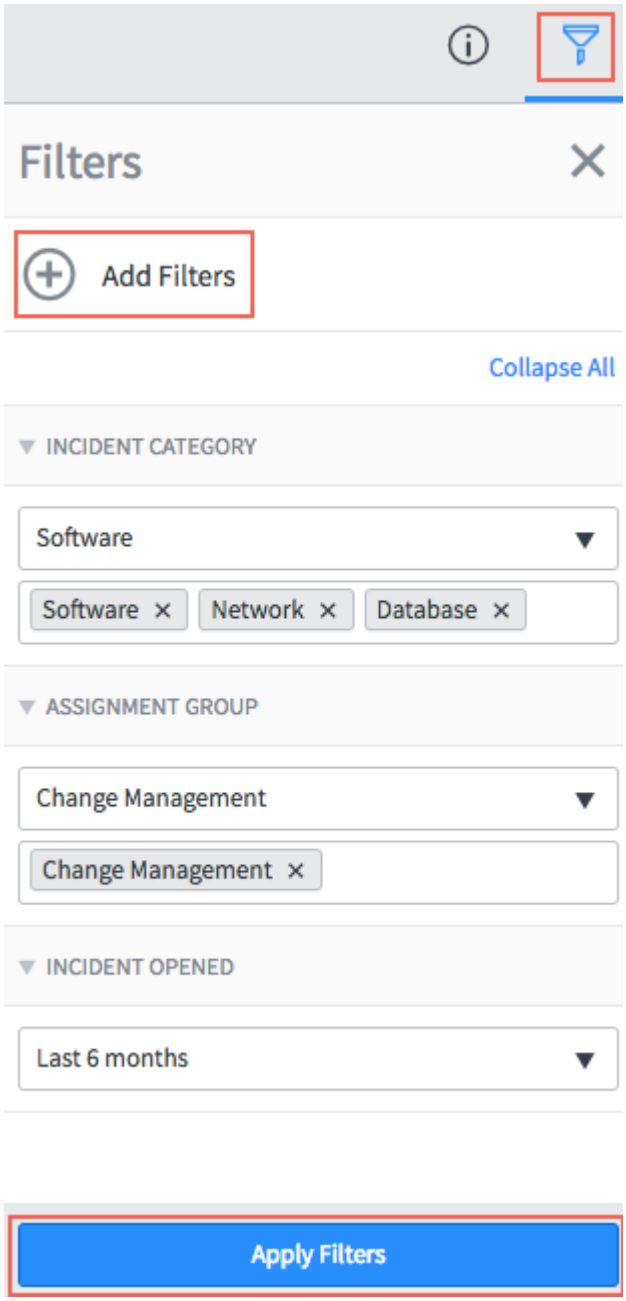
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 追加するフィルタを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [フィルタを適用] をクリックします。



結果

新しいフィルタがインタラクティブ分析に適用されます。情報アイコン ( ) をクリックして、ソースフィルターの概要にフィルターを表示します。

インタラクティブ分析からのフィルタの削除

インタラクティブ分析からフィルタを削除し、分析内のグループリストと積み重ね基準リストからフィルタ要素を削除するかどうか指定できます。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 列見出しを右クリックして [インタラクティブ分析の起動] を選択するか、自分が所有するダッシュボードを開いてインタラクティブ フィルタを表示します。
3. フィルタ アイコン ( ) をクリックし、インタラクティブ フィルタを表示します。
4. 削除するフィルタをポイントし、 [フィルタを削除] アイコンをクリックします。

結果
フィルタがインタラクティブ分析から削除されます。

ソース フィルタの編集

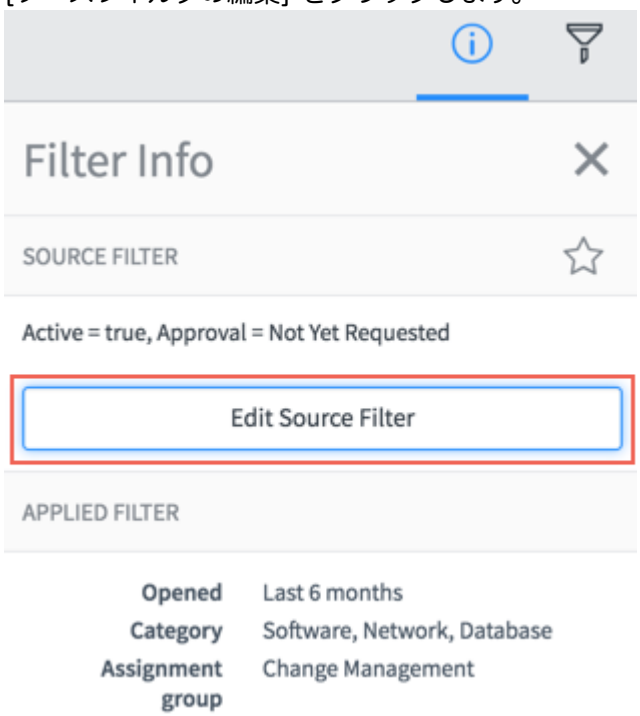
インタラクティブ分析の [フィルタ情報] パネルでソース フィルタを編集できます。

始める前に
必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。
4. [ソースフィルタの編集] をクリックします。



5. [フィルタのロード] をクリックし、編集するフィルターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 既存の条件を編集し、新しい条件を追加します。
7. [変更内容の保存] をクリックします。

結果
インタラクティブ分析が新しいソース フィルタで更新されます。[フィルタ情報] パネルに、更新された条件が表示されます。

関連トピック

条件ビルダー

インタラクティブアナリシスフィルターの重複排除

インタラクティブアナリシスを起動すると、重複するフィルターが [フィルター] パネルから自動的に削除されます。フィルターパネルをクリーンアップする必要はありません。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じである場合は、UI コントロールにより初期起動時に表示されるフィルタが決まります。優先度は複数の入力フィルタが最も高く、単一入力、チェック ボックス、ラジオ ボタンと続きます。フィルタを表示するための利用可能な UI コントロール タイプ フィールド オプションについては、「」を参照してください。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成と UI コントロールの両方が同じである場合は、最新のフィルタが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

インタラクティブ分析の永続化

選択するフィルタは、各ビューとユーザーごとのインタラクティブ分析の使用において永続します。

ビュー (テーブルの特定の列) でインタラクティブ分析を初めて起動すると、すべてのフィルタがデフォルト値に設定されます。次回、同じビューでインタラクティブ分析を起動すると、フィルタ、フィルタの順番、グループ、積み重ね基準、集計パラメータは、前回使用したものが引き継がれます。

また、 [グループ] と [積み重ね基準] 要素は、フィルタが分析に追加されると更新されます。例えば、インタラクティブ分析ページにマネージャ フィルタを追加します。するとすぐに、マネージャ別にウィジェットをグループ化し、積み重ねできます。

フィルタの [グループ] と [積み重ね要素] の同期

フィルタを [フィルタ] パネルに追加した時、および [フィルタ] パネルから削除した時は、インタラクティブ分析で [グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期します。[グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期せずに、フィルタを削除することもできます。

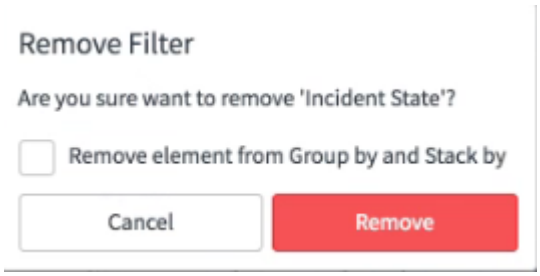
始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. [フィルタ] パネルで、[フィルタを追加] をクリックして新しいフィルタを追加します。
4. [フィルタを適用] をクリックします。
   新しいフィルタ要素が [グループ] と [積み重ね基準] リストに表示されます。
5. インタラクティブ分析からフィルタを削除して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除します。



6. オプション: [[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除] を選択します。
   オプションの「[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除」は、次の場合には表示されません。
   - 削除するフィルタと同じターゲット フィールドを持つ [フィルタ] パネルに、別のフィルタが存在する場合。
   - インタラクティブ分析を起動する前にソース リストをカスタマイズした場合。列がカスタマイズされたリストの一部である場合は、フィルタの追加または削除による [グループ] と [積み重ね基準] の要素の同期はできません。

インタラクティブ分析の集計

インタラクティブ分析を使用すると、レコード カウントや、合計、平均、別個のカウントの観点でデータを表示できます。

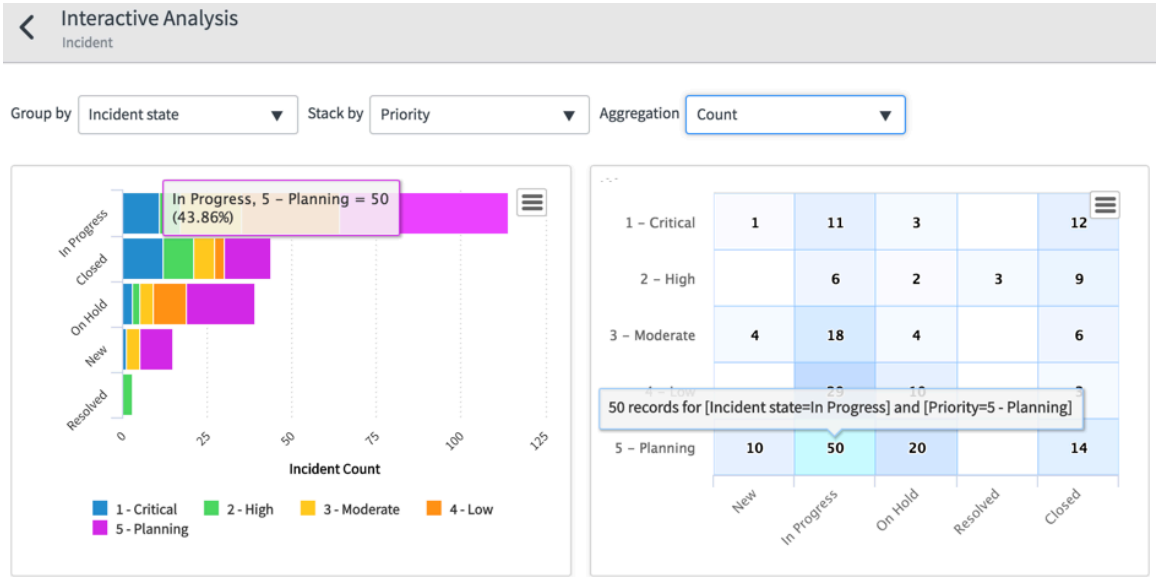
集計タイプ

カウント

カウントはデフォルトの集計で、インタラクティブ分析を起動した際に表示されます。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。例えば、状態ごとにグループ化されたインシデント、優先度別に積み重ねられたインシデント、カウント別に集計されたインシデントの分析は、ヒントの各カテゴリやマルチディメンションレポートのセルのインシデント数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

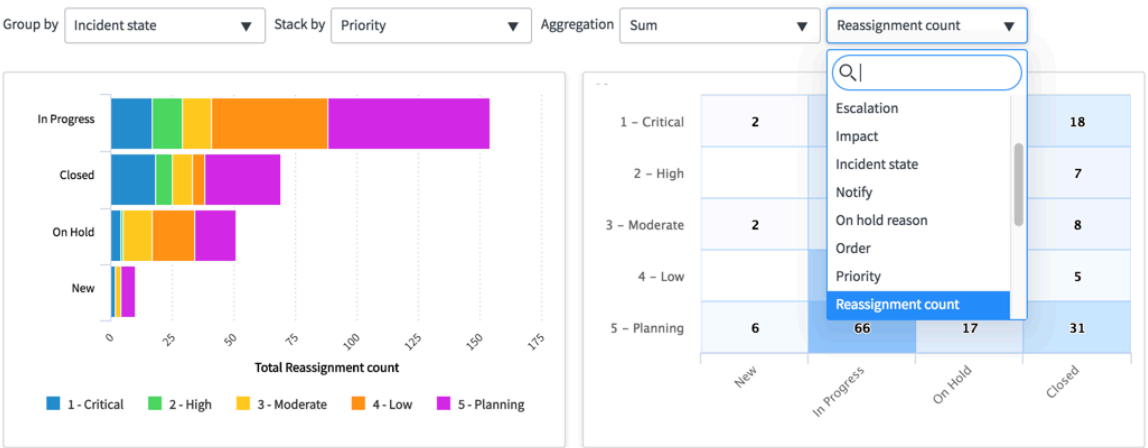


平均、合計、個別のカウント

選択したテーブルからフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、[個別のカウント] を選択します。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「 拡張テーブルでレポートする方法」を参照してください。このリストから集計するフィールドを選択します。例えば、[再アサイン回数] などの整数フィールドを選択すると、データは 10 進数で表示されます。詳細については、「縦棒グラフ レポート」を参照してください。

> **注:** 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

[個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。



プラットフォームアナリティクスソリューション

データの可視化とパフォーマンスアナリティクスインジケーター (KPI) を備えたプラットフォームアナリティクスダッシュボードを備えたパッケージ済みソリューションは、多くのServiceNow 製品で利用できます。これらのソリューションを使用して簡単に始めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: ここで説明するパッケージ済みソリューションは、ほとんどが コア UI でビルドされており、 ネクストエクスペリエンス ワークスペースやその他の プラットフォームアナリティクス コンポーネントに置き換えられようとしています。

ソリューション内の パフォーマンスアナリティクス

プラットフォームアナリティクス データの可視化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーター データを使用してデータを経時的に表示し、ビジネスプロセスを分析して改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション には、デフォルトアプリケーションの分析に必要なすべての設定レコードが用意されています。本番環境で使用するために、これらのレコードをカスタマイズします。詳細については、次のリンクを参照してください。

必要な パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメント

プラットフォームアナリティクスソリューションを有効にするには、関連するServiceNow製品でプラットフォームアナリティクスを使用するエンタイトルメントが必要な場合があります。適切なエンタイトルメントがないと、パッケージがアクティブ化できないか、パッケージのデータ範囲が制限される可能性があります。たとえば、すぐに利用可能なカスタマーサービス管理 (CSM) -アドバンスト パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション ソリューションを有効にするには、パフォーマンスアナリティクスカスタマーサービス管理 (CSM) を使用する資格が必要です。

パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを含まない プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション には パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントは必要ありません。

利用可能な プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

以下のプラットフォームアナリティクスとレポートソリューションは、対応する ServiceNow パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントで利用可能です。ソリューションには追加料金はかかりませんが、基盤となるアプリケーションには適切なライセンスが必要です。

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションは、ダッシュボードと基礎となる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを提供します。これらのダッシュボードは、 パフォーマンスアナリティクスを活用して、それぞれのパフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションがサポートする製品の価値を高めます。

一般的な パフォーマンスアナリティクス ソリューション

次の パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、有料の パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントで有効になります。

- 構成管理 (CMDB) (com.snc.pa.cmdb)
- ガイド付きツアーダッシュボード
- ナレッジ管理 (com.snc.pa.knowledge_v2)
- サービスデスク チャット (com.snc.pa.chat)

APM 向け パフォーマンスアナリティクス ソリューション

APM エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- プリケーションポートフォリオ管理と変更管理 (com.snc.pa.apm.change_request)
- アプリケーションポートフォリオ管理と 問題管理 (com.snc.pa.apm.problem)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションは プロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

カスタマーサービスソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

Customer Service エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションを有効にします。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- Communities (com.snc.pa.communities)
- カスタマーサービス (com.snc.pa.customer_service)
- カスタマーサービス管理 (CSM) - Advanced (com.snc.pa.customer_service_advanced) - カスタマーサービス管理 (CSM) の事前設定済みパフォーマンスアナリティクスインジケーターとブレークダウン。旧 OOTB カスタマーサービスパフォーマンスアナリティクスソリューションのコンテンツを備え、次の機能もサポートしています。
  - ケース管理
  - 重大な問題管理
  - カスタマーサービスケースアクションステータス
  - 要求管理によるカスタマーサービス
  - サービス管理によるカスタマーサービス
  - エージェントチャット
  - CSM 向け高度なワークアサインメント
  - パフォーマンスアナリティクス - Content Pack - 高度なワークアサインメント
- フィールド サービス管理(com.snc.work_management_pa)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

  注: インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス (com.snc.pa.self_service_analytics_csm)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** パフォーマンスアナリティクス をセルフサービスアナリティクスでカスタマーサービス管理 (CSM) 以外のアプリケーションで使用するには、「セルフサービスアナリティクス」を参照してください 。

- 仮想エージェントコンテンツパック：この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション は、Quebec リリースから廃止されました。代わりに対話型アナリティクスダッシュボードを使用します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

GRC エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、まず GRC：パフォーマンスアナリティクス プレミアム統合プラグインをアクティブ化します。次のソリューションをアクティブ化します。

- GRC: Audit Management
- GRC：ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: Risk Management

人事リソース管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

人事リソース管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- コンテンツアナリティクス
- ヒューマンリソース (HR) 従業員ドキュメント管理スコープ対象アプリ (com.sn_hr_employee_files_pa)
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ (com.sn_hr_pa)

> **注:** ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンのソリューション (com.snc.pa.hr_core) は不使用になりました。ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンを使用していて、そのソリューションプラグインを有効にする場合は、カスタマーサポートカスタマーサービス & サポート に連絡してください。

- ヒューマンリソース (HR) ライフサイクルイベントスコープ対象アプリ (com.sn_hr_lifecycle_pa)

ビジネス管理、ファイナンシャルマネジメント、およびサービス戦略ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

ビジネス管理向け パフォーマンスアナリティクス、財務管理向け パフォーマンスアナリティクス、サービス戦略向け パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントがある場合は、次のソリューションを有効にします。

- Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard オン ServiceNow Store)
- Essential SaFE
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- Application Portfolio Management の Financial Management (com.snc.pa.apm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Financial Services Operations (sn_bom_pa)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションはプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

ITOM ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

IT 運用スイート向け パフォーマンスアナリティクス または IT Operations Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- ディスカバリ (com.snc.pa.discovery)
- イベント管理 (com.snc.pa.em)
- オペレーショナルインテリジェンス (com.snc.sa.metric.pa.content)
- サービスマッピング (com.snc.service-mapping.pa.content)

プロジェクトポートフォリオ管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

プロジェクトポートフォリオ管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションを有効にします：ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.financial_planning_pmo) 。New York 以降、このソリューションは、Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

セキュリティインシデントと **Vulnerability Response** ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

セキュリティインシデントレスポンスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- セキュリティインシデントレスポンス (com.snc.security_incident.analytics - in ServiceNow Store)
- 脆弱性対応 (com.snc.vulnerability.analytics - in ServiceNow Store)

サービス管理 ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理 エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

  注: インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) ソリューションをアクティブ化します。

[セルフサービスアナリティクス] ウィジェットをダッシュボードまたはサービスポータルに追加

セルフサービスアナリティクスをインスタンスでアクティブ化してある場合は、セルフサービスアナリティクスウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードまたはサービスポータルに追加できます。インジケーターとブレークダウンの既製セットを取得するには、セルフサービスアナリティクス PA (*com.snc.pa.self_service_analytics*) プラグインをアクティブ化してください。セルフサービスインジケーターを パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールで検索して、ウィジェットを作成してダッシュボードまたはポータルに追加します。[SSA] セルフサービスアナリティクスデータコレクションジョブもアクティブ化します。

注: カスタマーサービス管理 (CSM) カスタマーは、カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスの パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション をインストールできます。このソリューションには、追加のカスタマーサービス固有のインジケーターとブレークダウンに加えて、ウィジェットとダッシュボードが含まれています。詳細については、「カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス」を参照してください。

ITSM ダッシュボードソリューション

ITSM ダッシュボードプラグイン (com.snc.pa.itsm_dashboards) は、以下のソリューションと、一連の追加ダッシュボードをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 固定費 (fixed_costs snc)

ServiceNow Store パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション

ServiceNow® Storeの次のアプリケーションには、インジケーターのウィジェットを表示するダッシュボードなどのパフォーマンスアナリティクスコンポーネントが含まれています。

プラットフォームアナリティクスソリューションとは異なり、これらのアプリケーションにはスタンドアロンの機能が含まれています。アプリケーションに含まれる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントはこの機能をサポートしています。

パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターは、これらのアプリケーションで提供されるデータ収集ジョブを再スケジュールする必要がある場合があります。ほとんどのアプリケーションには履歴データ収集ジョブがなく、スケジュール済みジョブはデフォルトでアクティブになっています。

注: これらのアプリケーションにはライセンス要件がある場合があることに注意してください。ServiceNow Storeでアプリのエントリを確認します。

構成管理データベースアプリケーション

CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマーサービスアプリケーション

- 対話型アナリティクスダッシュボード
- カスタマーサービス管理 (CSM) のワークフォース最適化

DevOps アプリケーション

DevOps Insights

Employee Service Management (従業員サービス管理 **(ESM)**)

セーフワークプレイスダッシュボード

IT Asset Management アプリケーション

クラウドインサイト

戦略的ポートフォリオ管理 **(SPM)** アプリケーション

Strategic Spend Tracking for PPM

IT Operations Management (ITOM) アプリケーション

Firewall Audits and Reporting

IT Service Management アプリケーション

- コーチング
- Continual Improvement Management (継続的改善管理)
- オンコールスケジューリング
- サービスポートフォリオ管理プレミアム版 (Service Owner Workspace)

AI エクスペリエンスアプリケーション

NLU ワークベンチ

ダッシュボードのインストール

ソリューションライブラリを使用して、ダッシュボードとそれに関連するすべての可視化 (ウィジェットやレポートなど) をインストールし、既存のダッシュボードを構成します。

始める前に

必要なロール:pa_admin

このタスクについて

パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

同じダッシュボードで使用されている他のレコードに影響を与えずに、ウィジェットなどのダッシュボードからソリューションメタデータレコードを再インストールするには、「 単一のソリューションメタデータレコードをインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
2. インストールするダッシュボードを選択します。

   ソリューションライブラリで提供されるダッシュボードは、インジケーター、インジケーターソース、またはその他の設定レコードに依存する場合があります。ソリューションライブラリのコンテンツには、関連する可視化および構成コンテンツが常に含まれます。

3. [インストール] をクリックします。
4. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。
   確認後、インストールが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のインストールは停止されません。
   インストールが完了すると、確認ウィンドウが消え、[インストール済みメタデータ] 関連リストにインストール済みのレコードが入力されます。

次のタスク
ダッシュボードに移動して、データの分析を開始します。

関連トピック

プラグインを有効にする

ダッシュボードのアップグレード

ダッシュボードをアップグレードすると、ダッシュボードに追加された新しいレコードを含む、利用可能な更新があるソリューションメタデータがインストールされます。カスタマイズしたソリューションメタデータレコードは、それらのレコードが新しいリリースで更新されても影響を受けません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
   [更新可能] フィールドが true のレコードはアップグレードできます。
2. アップグレードするダッシュボードを選択します。
3. [ソリューション メタデータ] 関連リストをレビューします。
   [アップグレード] をクリックすると、update_available = true のソリューションメタデータレコードがインストールされます。以前にカスタマイズしたレコードは上書きされません。
4. [アップグレード] をクリックします。
   [アップグレード] ボタンは、少なくとも 1 つのソリューションメタデータレコードに利用可能な更新があり、ソリューションコンテンツが少なくとも 1 回インストールされている場合に使用できます。
5. 確認ウィンドウで、[アップグレード] をクリックします。
   確認後、アップグレードが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウが閉じますが、進行中のアップグレードは停止しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果
新しいダッシュボードレコードがダッシュボードに追加されます。カスタマイズされていないダッシュボードレコードの更新が適用されます。カスタマイズしたダッシュボードレコードは変更されません。

次のタスク
ソリューションコンテンツをインストールした後にダッシュボードが期待どおりに表示されない場合は、アンインストールされたレコードが顧客アップデートテーブルに表示されるかどうかを確認してください。このテーブルのアンインストールされたレコードは、以前にカスタマイズされています。顧客アップデートテーブルを表示するには、フィルターナビゲーターに「 sys_update_xml.list 」と入力します。

単一のソリューションメタデータレコードをインストール

ウィジェットなどのダッシュボードで使用される単一のソリューションメタデータレコードをインストールして、同じダッシュボードで使用される他のレコードに影響を与えることなく、レコードの最新バージョンと一致させます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボード全体と関連するすべてのレコードをインストールするには、「 ダッシュボードのインストール」を参照してください。

> **注:** レコードをインストールしても、そのレコードに加えたカスタマイズは上書きされません。

利用可能なソリューションメタデータタイプ:

- ブレークダウン
- ブレークダウンソース
- バケットグループ
- ダッシュボード
- ダッシュボードグループ
- フィルター
- インジケーター
- インジケーターのソース
- 権限
- レポート
- レポートソース
- スケジュールされたデータ収集
- スクリプト
- タグ
- ウィジェット

手順
1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
2. インストールするレコードを使用するダッシュボードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ソリューションメタデータ] 関連リストで、インストールするレコードを選択します。

4. [インストール] をクリックします。

5. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。

アナリティクスおよびレポートソリューションダッシュボードの複製

タブ、ポータルページ、キャンバスレコードを含む パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション ダッシュボードをコピーします。ダッシュボードのウィジェットは複製されません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボードを複製することで、一方のコピーを変更またはアップグレードできますが、他のコピーに影響を与えることはありません。

> **注:** ダッシュボードを複製しても、ダッシュボードに表示されるウィジェットは複製されません。他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのダッシュボード コピーからウィジェットを再配置または削除できます。ただし、ウィジェット レコードを変更すると、元のダッシュボードと複製の両方が影響を受けます。

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションに含まれていないダッシュボードをコピーするには、「レスポンシブ ダッシュボードの管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.

2. [ソリューション] リストで、コピーするダッシュボードの名前をクリックします。

3. [ソリューション] フォームで、[ダッシュボードの複製] アイコン ( ) をクリックします。

4. ダッシュボードを複製することを確認します。

結果
ダッシュボードのコピーが、「(元のダッシュボード名) のコピー」という名前で作成されます。これは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション の構成

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション は、 ServiceNow AI Platform データを標準的なテーブルとフィールドのセットに保持することを想定して構成されています。別のフィールドを使用している場合は、正しい場所を指すようにソリューションを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント: パフォーマンスアナリティクス管理コンソールをプラットフォームアナリティクスとレポートソリューション構成の開始点として使用すると便利な場合があります。アドミンコンソールから、次のアクションを実行できます。

- プラグインリストから、またはガイド付きセットアップ (利用可能な場合) を使用してソリューションをアクティブ化します。(ServiceNow Store でのみ利用可能なソリューションは、管理コンソールからアクティブ化できません。)
- このインスタンスで パフォーマンスアナリティクス が完全にアクティブ化されているかどうかを確認します。
- 診断を実行します。
- 構成する KPI を検索します。
- 依存関係アセスメントを使用して、ソリューションに関連する インジケーター、 ブレークダウン、およびソースを検索します。

詳細については、「パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

診断を実行

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションをインストールした後、「すべてのレコードの診断を実行」の説明に従って、すべてのレコードに対してすべての診断を実行します。これらの診断では、プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション とテーブルの構成間の不一致が多数検出される可能性があります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

デフォルトでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション内のデータ収集ジョブの実行ユーザーです。このユーザーがインスタンスに存在し、このユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認します。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。ドメインセパレーションを有効にしている場合は、各ドメインに適切な 実行 ユーザーを設定してください。

インジケーターソースをレビュー

パフォーマンスアナリティクスを有効にする各アプリケーションで探しているデータを含むフィールドを決定します。

始める前に

エンタイトルメントに応じて パフォーマンスアナリティクス を有効にしました。また、関連するアナリティクスおよびレポートソリューションをインストールし、診断を実行しています。

必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて

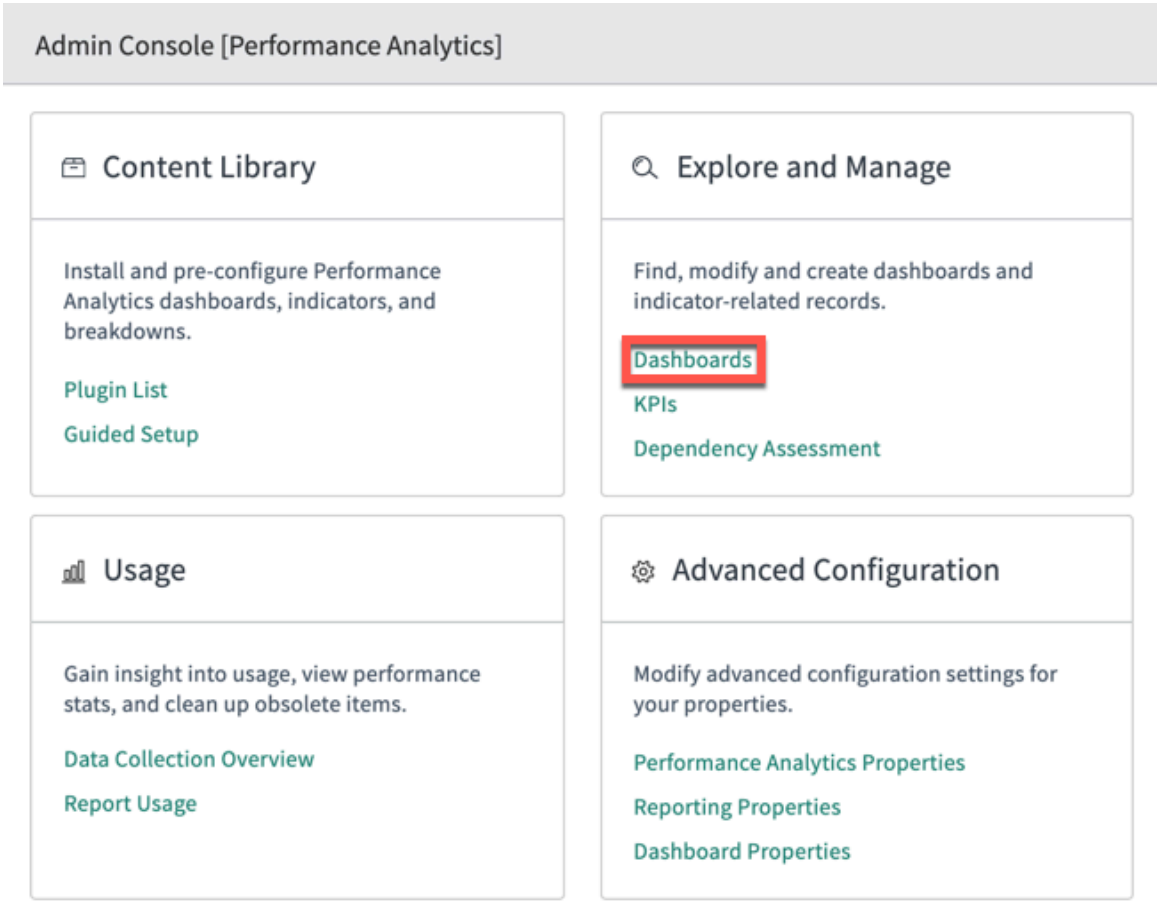
プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション含まれているインジケーターソースが、プロセスのパフォーマンスを測定するための正しいフィールドを指していることを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.
2. [探索および管理] タイルの [ダッシュボード] リンクをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



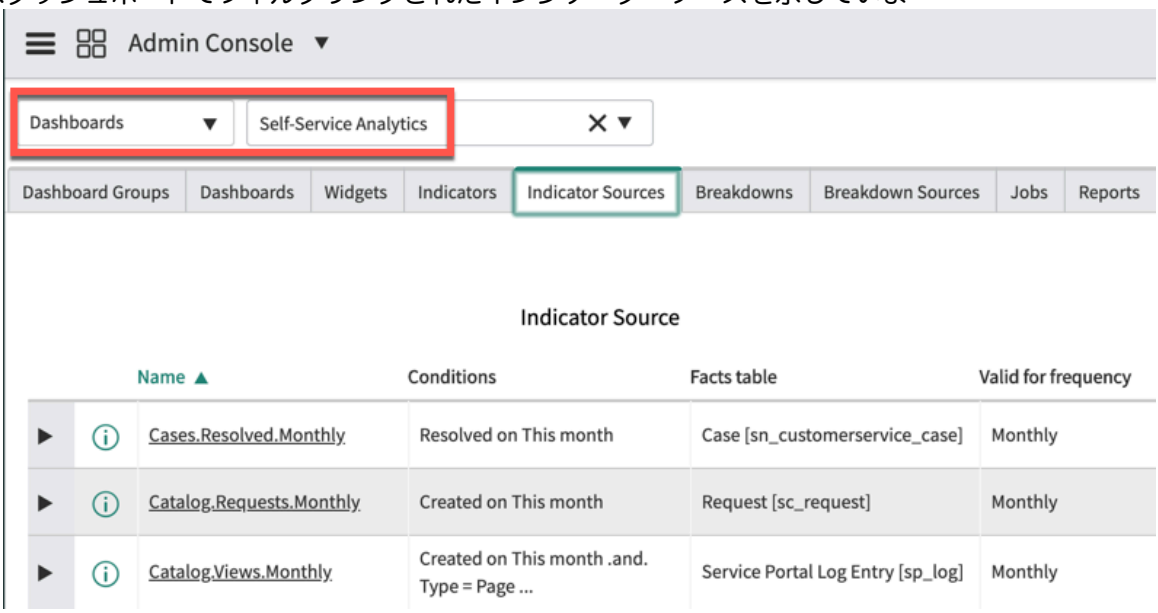
3. このパフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションとともにインストールされているダッシュボードの名前を確認します。
4. [インジケーターソース] タブを開きます。
5. この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション に含まれる各ダッシュボードで、以下のことを行います。

   a. ダッシュボード名のインジケーターソースをフィルタリングします。

   Example
   このスクリーンショットは、CSM のセルフサービスアナリティクス パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションからセルフサービスアナリティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クスダッシュボードでフィルタリングされたインジケーターソースを示していま


す。

b. インジケーターソースのファクトテーブル、条件、および頻度を、使用中のインスタンスのデータ構造と比較して確認します。

重要: 条件の [解決済み]、[オープン]、[作成済み] などのタイムスタンプフィールドに特に注意してください。別のタイムスタンプフィールドを使用することが必要になる場合があります。

c. 必要に応じて、インジケーターソースを開き、修正します。

d. インジケーターソースレコードを編集している場合は、[インジケーター] 関連リストに移動し、各インジケーターの [条件] フィールドを確認します。
インジケーターソースを変更すると、個々のインジケーターの追加条件にも影響を与える可能性があります。

e. [更新] をクリックして変更を保存します。

関連トピック

インジケーターソース

パフォーマンスアナリティクススクリプトを更新

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション レコードに対して計算を実行するための パフォーマンスアナリティクス スクリプトを含めます。これらのスクリプトは、インジケーターソースのタイムスタンプフィールドを使用します。インジケーターソースのタイムフィールドスタンプを変更する場合は、関連するスクリプトも変更します。

始める前に

重要: プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションでインジケーターソースを更新しなかった場合は、このタスクをスキップします。

必要なロール：pa_admin、admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

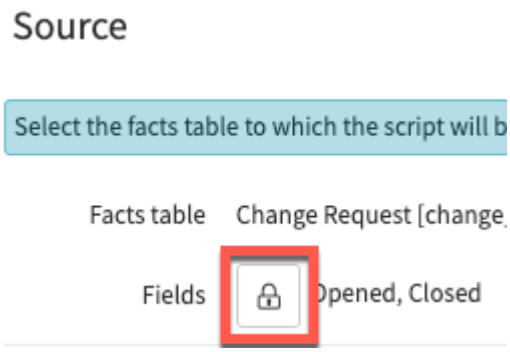
手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > 自動化 > スクリプト.
2. スクリプトをクリックすると、その詳細が開きます。

Example
たとえば、Change.CloseTime.Hours スクリプトレコードには次のスクリプトが含まれています。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
hours(current.opened_at, current.closed_at);
```

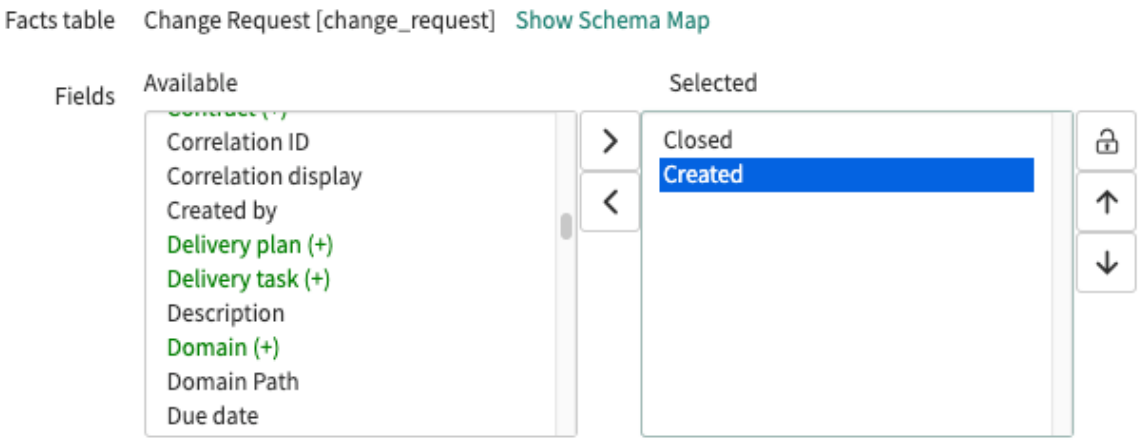
3. [ソース] セクションで、フィールドのリストの横にあるロックアイコンをクリックします。



フィールドセレクターが開きます。

4. 目的のフィールドをスクリプト用に 選択されている フィールドに移動し、適切でないフィールドを削除します。

Example
たとえば、組織で [作成済み タイムスタンプ] フィールドを使用して新しい変更を定義する場合は、[オープン] を [作成済み] に置き換えます。



5. [スクリプト] フィールドで、使用されていないフィールドへの参照を、選択したフィールドへの参照に置き換えます。

Example
この例では、[オープン] フィールドへの参照が [作成済み] への参照に置き換えられています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
hours(current.opened_atcurrent.sys_created_on, current.closed_at);
```

6. [更新] をクリックして変更を保存します。

ブレークダウンソースをレビュー

ブレークダウンソースは、KPI をより詳細に調べるために使用する要素を表します。ブレークダウンソースを変更して、要素リストをデータ分析にとって意味のあるアイテムのみに制限します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて
たとえば、アサイン先グループの自動ブレークダウンは、グループブレークダウンソースを使用します。このブレークダウンソースは、インスタンス内のすべてのアクティブなグループを返し、システムはこれらすべてのグループを使用してデータを調べます。[オープン変更の数] インジケーターを確認し、アサイン先グループのブレークダウンを確認すると、実際に変更要求に取り組んでいるグループだけでなく、インスタンス内のすべてのグループが表示されます。

ブレークダウンソースが返す要素の数を制限すると、次の利点があります。

- 要素リストを小さくすると、コンシューマーが必要なデータを見つけやすくなります。特定のプロセスに関連付けられた 25 のグループのリストをソートする方が、数千のグループをソートするよりも簡単です。
- 要素リストが小さいほど、データ収集が少なくなり、データの効率的な使用が可能になります。データコレクターが 1,000 の異なるグループを処理する代わりに、データコレクターはプロセスにとって意味のある 25 のグループを分析できます。

> **注:** おそらく、 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションでブレークダウンソースを変更する必要はありません。ただし、プロセスで何が測定されているかを正確にレビューして理解することが役立つ場合があります。

手順

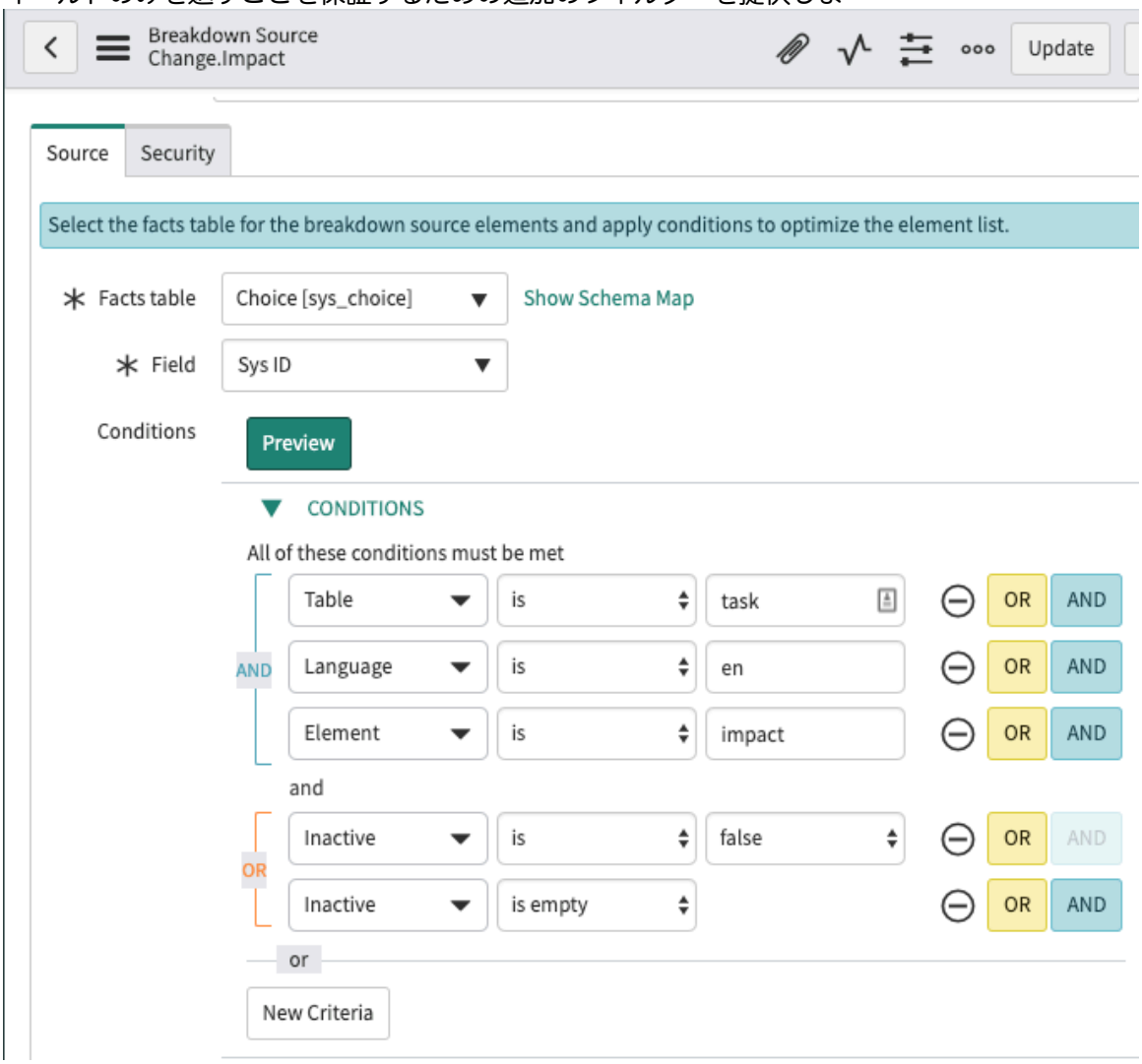
1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ソース > ブレークダウンソース.
2. ブレークダウンソースをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. [ソース] タブで、一意のsys_idsリストを含むテーブルを含むブレークダウン要素の定義を調べます。

Example
たとえば、Change.Impact ブレークダウンソースでは、[変更要求の影響度] フィールドに含まれる一意の値は選択肢 [sys_choice] テーブルから取得されます。条件は、クエリが選択肢 [sys_choice] テーブルからの変更の影

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

響フィールドのみを返すことを保証するための追加のフィルターを提供しま



す。

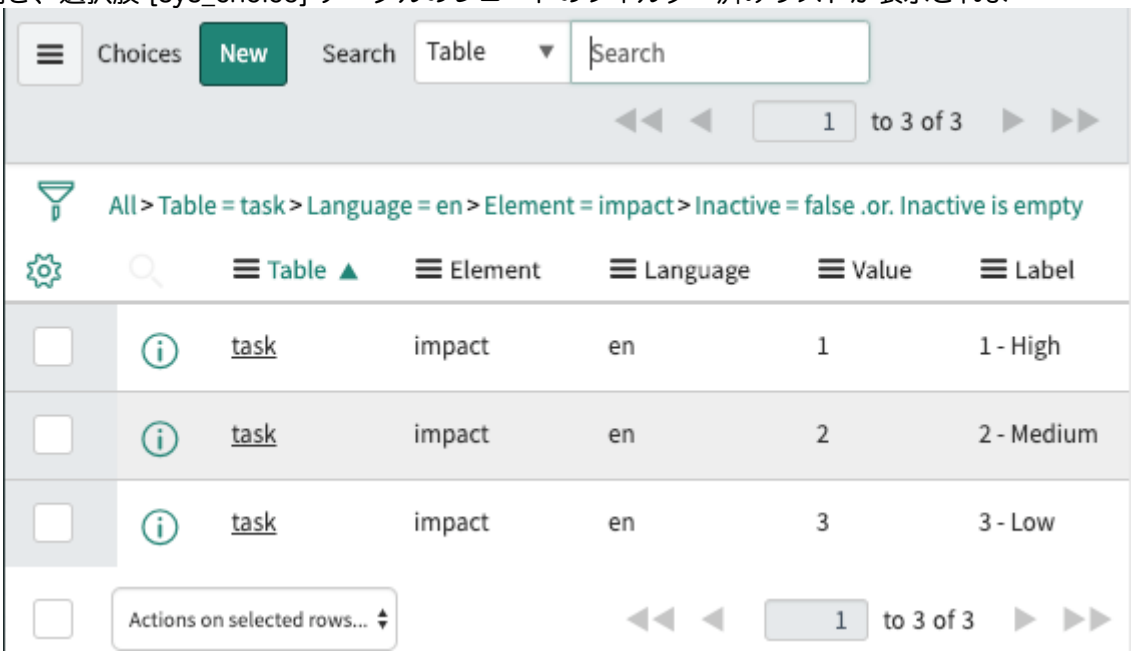
4. [プレビュー] をクリックして、クエリが返す要素の数を確認します。

Example
この例では、クエリは 3 つの影響要素を返します。

5. [x レコードが条件に一致] をクリックすると、クエリが返した特定の値が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、 条件に一致する **3** つのレコード をクリックすると、新しいブラウザータブが開き、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードのフィルター済みリストが表示されます。



6. レコードリストが、ブレークダウン要素リストに表示されると予想される内容と一致していることを確認します。
7. レコードが期待通りではなかった場合は、ブレークダウンソースの [ソース] タブの条件を環境に合わせて変更し、満足するまで手順 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [更新] をクリックして変更を保存します。

次のタスク
これで、 のデータを収集 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションの説明に従ってデータを収集する準備ができました。

関連トピック

ブレークダウン ソースの定義

のデータを収集 プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションをインストールし、インスタンス内の正しいデータ構造を指していることを確認したら、インジケーターとブレークダウンのデータを収集します。

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションをアクティブ化するたびに、そのソリューションのデータコレクタージョブが自動的にインストールされます。これらのデータコレクタージョブは、ソリューション内のインジケーターとブレークダウンのアナリティクス情報を収集します。ジョブが実行されると、ソリューションのウィジェットとダッシュボードでデータを確認できます。技術的には、データコレクタージョブは次のアクションを実行します。

- 定期的に、通常は毎日実行します
- 運用テーブルの読み取り
- インジケーターとブレークダウンで指定された定義に対して、期間 (通常は 1 日) のデータを測定します
- 結果の測定スコアと (オプションで) 生データを パフォーマンスアナリティクス テーブルに保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション のプラグインまたは ServiceNow Store アプリケーションは、通常、次の 2 つのジョブをインストールします。

履歴データ収集

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションを初めてインストールするときに、履歴データコレクタージョブを実行します。デフォルトでは、履歴データコレクタージョブは、ジョブで指定されたインジケーターの過去 60 日間のデータを収集します。さらに時間をさかのぼる場合は、より多くの履歴データを収集するようにジョブを構成できます。履歴データコレクタージョブは、収集期間のすべてのデータを上書きします。したがって、最初に パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションをインストールするときには、一度だけ実行してください。後続のすべてのデータに対して定期的なデータコレクタージョブを実行します。

定期的なデータ収集 (通常は毎日)

このジョブにより、 パフォーマンスアナリティクス テーブルに今後のデータが入力されます。定期的なデータコレクターを、データ収集の対象となるインジケーターの頻度と同じ周期で実行するようにスケジュールします。ほとんどのインジケーターには日次頻度があるため、ほとんどのデータコレクタージョブも毎日実行されます。ジョブをスケジュールした後、ジョブがアクティブかどうかを確認します。指定しないと実行されません。

関連トピック

インジケータースコアの収集

の履歴データ収集の実行 パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションを有効にした後、履歴データコレクションジョブを実行します。このジョブにより、既存のデータからすぐにインサイトを得ることができます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. ジョブのリストをフィルタリングして、「履歴」という語を含むジョブを探します。
3. 新しい パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションに対応する履歴ジョブを見つけて開きます。
4. [収集パラメーター] セクションに移動し、[相対開始 日] フィールドと [相対開始日間隔] フィールドを設定して、必要なだけ遡ってデータを収集します。
   データコレクターは、フォームで指定された日数 (またはその他の収集期間) と同じ回数実行されます。たとえば、デフォルト構成の 60 日では、データコレクターは 60 回連続して実行されます。データコレクターは T-60 日に開始され、日付が 60 日前であるかのようにすべてのレコードを調べます。これらのレコードを処理した後、データコレクターは T-59 日後に再度実行されます。データコレクターは、現在の日付になるまでこのプロセスを繰り返します。

   テーブルのサイズによっては、各日の収集が完了するまでに 1 分から 2 分かかる場合があります。複数か月にわたる履歴データ収集が完了するまでに時間がかかる場合があります。

   パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションをインストールした製品またはアプリケーションが新しい場合、履歴データがあまり多くない可能性があります。この場合、相対開始間隔を短くすることができます。製品またはアプリケーションをまだ使用していない場合は、履歴データの収集を完全にスキップできます。
5. [実行方法] フィールドに指定されたユーザーが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションを使用している場合は、[実行方法] ユーザーが表示できるドメインからのレコードのみを収集します。ただし、[実行ユーザー] ユーザーの ACL 権限はデータ収集には影響しません。

6. 実行時のタイムゾーンが会社に適切であることを確認します。
このインジケーターソースに基づくデータベースクエリは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、データ収集ジョブのタイムスタンプに影響します。このタイムゾーンは、[[作成日][on][今日]] などの条件に対して「今日」の日も定義します。
7. [今すぐ実行] をクリックして、スケジュール設定済みジョブを実行します。
8. 移動先 データコレクター > ジョブ履歴.
9. 実行しているジョブの ステータス を確認します。
ジョブが完了するまで、ビューを定期的に更新します。ジョブが成功すると、[ステータス] が [収集済み] に変わります。

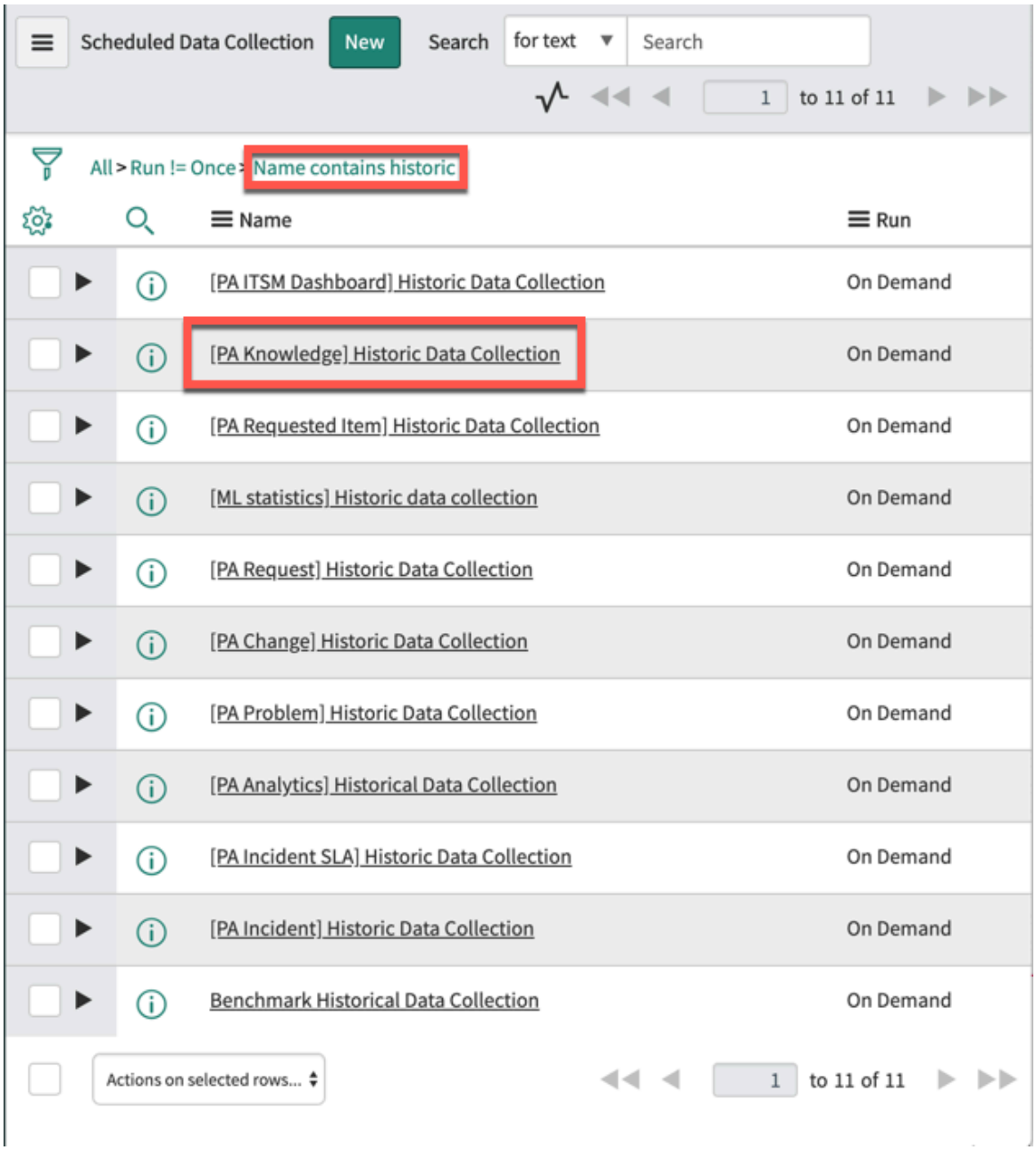
Example: 新しくインストールされた履歴データの収集 パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション

一連の プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションをインストールしました。それらに対して最初の履歴データ収集ジョブを実行する必要があるため、 パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.プラットフォームアナリティクスとレポートソリューションの履歴ジョブを検索するには、[[名前][次を含む][履歴]] でリストをフィルタリングします。

ヒント: 独自の履歴データコレクタージョブの作成を開始する場合は、その名前に「履歴」という単語を含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

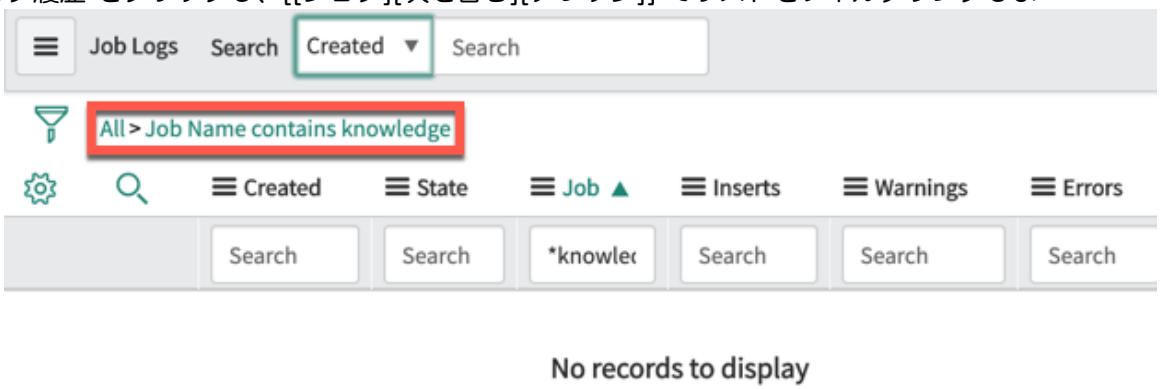


最初にナレッジ管理ソリューションのジョブを実行することにします。ナレッジ管理履歴ジョブをまだ実行していないことを確認するには、次に移動します データコレクター >

自動翻訳

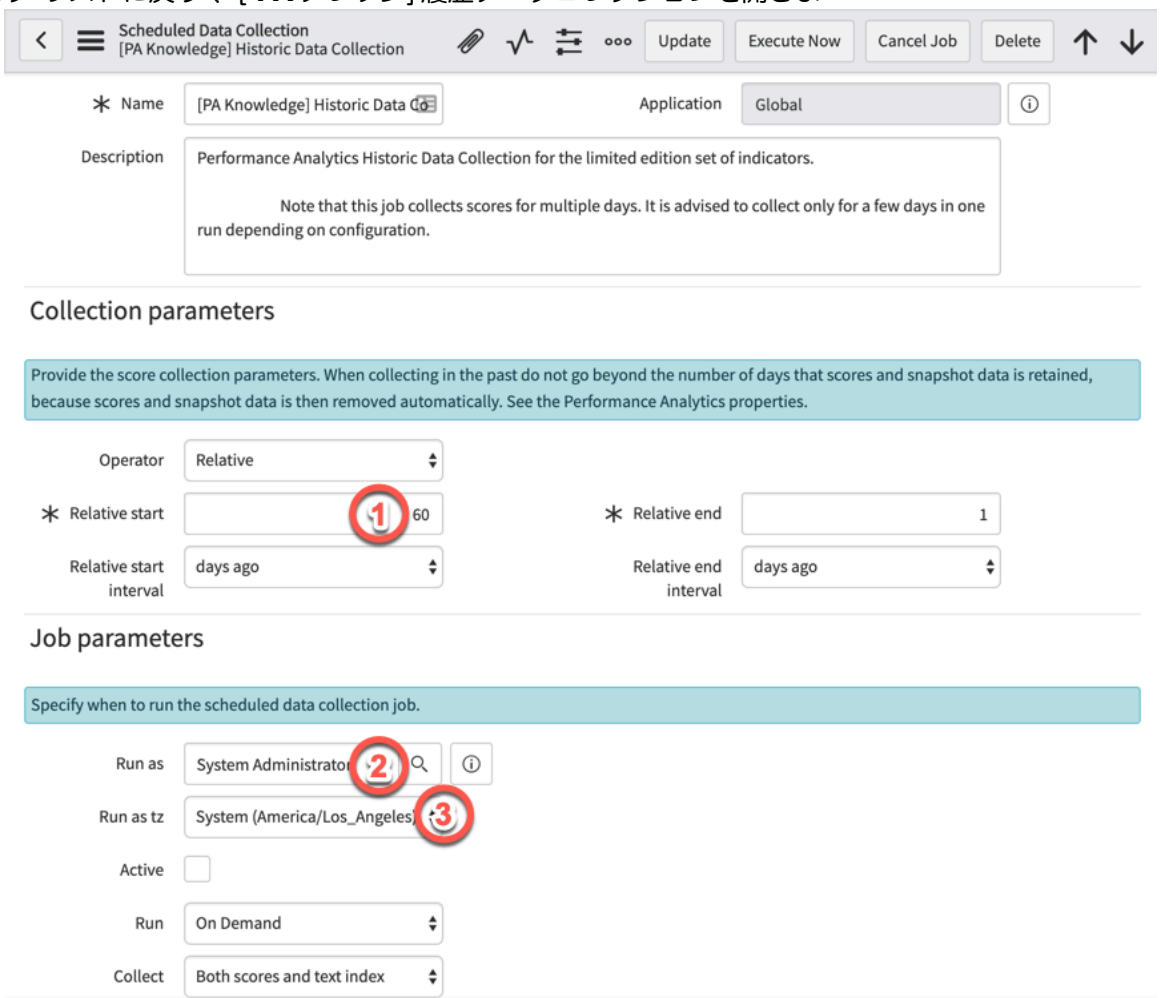
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ履歴 をクリックし、[[ジョブ][次を含む][ナレッジ]] でリストをフィルタリングしま



す。

この場合、ジョブは前回の zBoot 以降実行されていないことがわかります。
ジョブ リストに戻り 、[**PA** ナレッジ] 履歴データコレクションを開きま



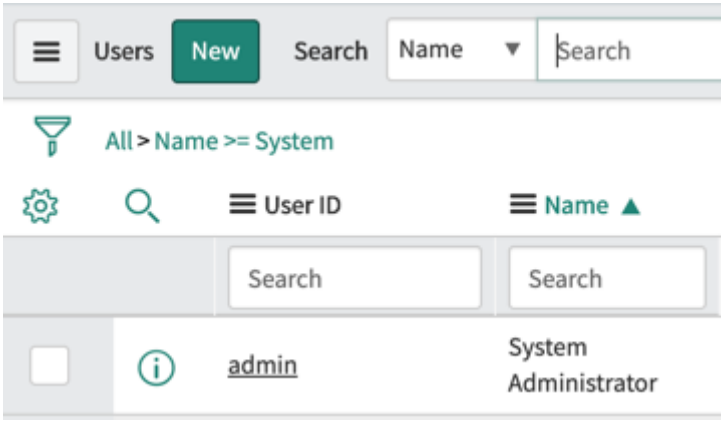
す。

フォームで、次の詳細を確認します。

1. [開始日 (相対開始日)] フィールドはデフォルトの 60 日間に設定されていますが、これでもかまいません。
2. [実行ユーザー] ユーザーがインスタンスに存在します。それ以外の場合は、別のユーザーを選択する必要があります。

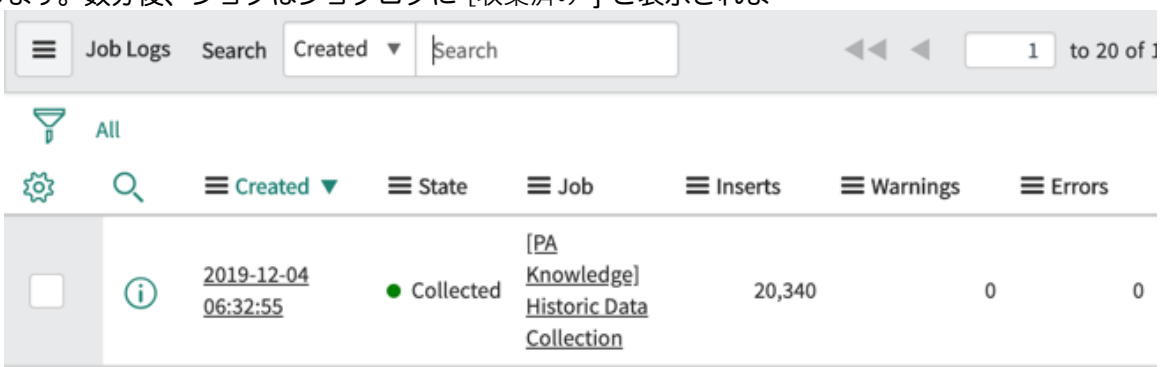
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. 会社に適したタイムゾーンです。

履歴ジョブの設定に問題がなければなったら、[今すぐ実行] をクリックします。数分後、ジョブはジョブログに [収集済み] と表示されます。



関連トピック

履歴データの収集

のデータ収集をスケジュールする パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションの定期的なデータ収集ジョブを有効にします。実行時刻が正しいことを確認します。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて

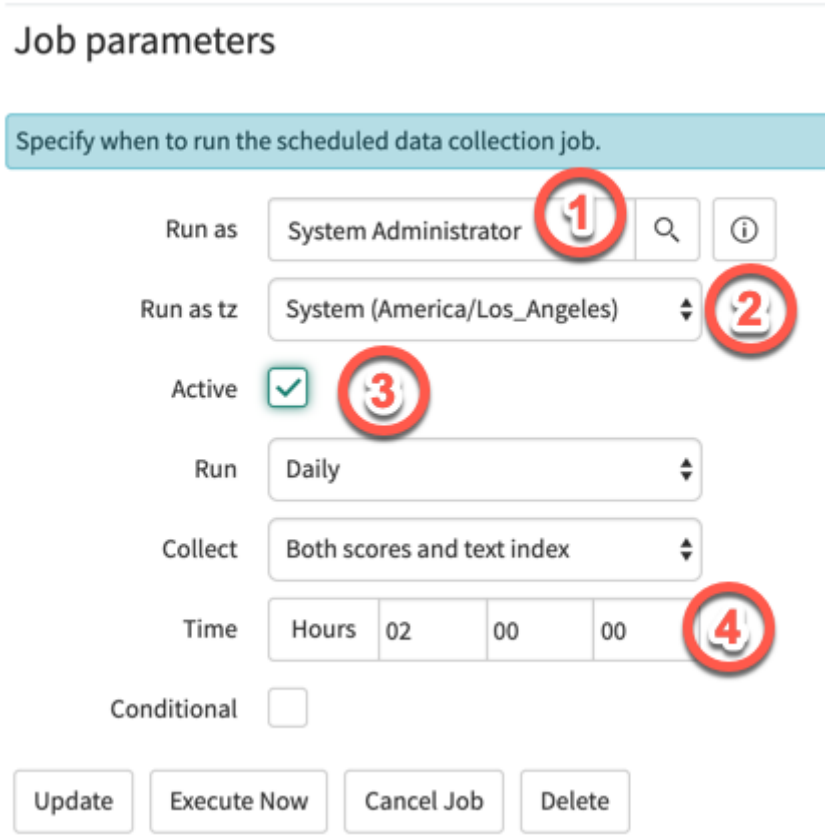
すべての パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション には、定期的な データ収集ジョブが含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. ジョブリストを [[[実行][次のいずれでもない][1 回 |オンデマンド]] AND [[アクティブ][次の値に等しい][false]]]。
   これで、アクティブ化していない定期的なデータ収集ジョブのみが表示されるようになりました。
3. パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューションの定期的なデータ収集ジョブを開きます。
   次の手順は、ジョブレコードの [ジョブパラメーター] セクションを参照します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [実行方法] フィールドに指定されたユーザーが存在することを確認します。
   ドメインセパレーションを使用している場合は、[実行方法] ユーザーが表示できるドメインからのみレコードを収集します。ただし、[実行ユーザー] ユーザーのアクセス制御リスト権限は、データ収集には影響しません。
5. 実行時のタイムゾーンが会社に適切であることを確認します。
   このジョブに対して作成されたデータベースクエリは、このジョブのログに反映されるこのタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、[[作成日][on][今日]] などのインジケーター条件の「今日」の日も決定します。
6. [アクティブ] を選択して、ジョブのスケジュールされた実行を有効にします。
   スケジュールオプションが利用可能になりました。
7. ジョブの実行時間が会社のダウンタイム中であることを確認します。
   - [時間] の値は、[実行時のタイムゾーン] ではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づいています。
   - 1 日の正確な測定値を取得するには、その日が完了している必要があります。日次ジョブの場合、 前日の時間 値を収集するには、実行 時のタイムゾーン の午前 0 時から 06:00 の間でなければなりません。たとえば、ニューヨークからログインしていて、システム/ロサンゼルスのタイムゾーンの 05:00 にジョブを実行する場合は、[時刻] を 08:00:00 に設定します。
   - 月次ジョブの場合は、ジョブを実行する日も設定します。通常は、 実行時のタイムゾーン で毎月の初日の午前 0 時過ぎに実行するように設定します。この設定では、月の長さに関係なく、前月のすべてのデータが取得されます。

結果
次の収集期間の後、ダッシュボードとウィジェットにはその期間のスコアが表示されます。

次のタスク
ジョブログをチェックして、次の期間後にジョブが正常に実行されたかどうかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連トピック

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

Automation Discovery

ServiceNow® オートメーションディスカバリー は、ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。Discovery レポートを使用して、仮想エージェント (VA)、エージェントアシスト などの自動化ソリューションを実装または改善します。

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このモデルは、レコードから 180 を超える自動化の機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

インストール

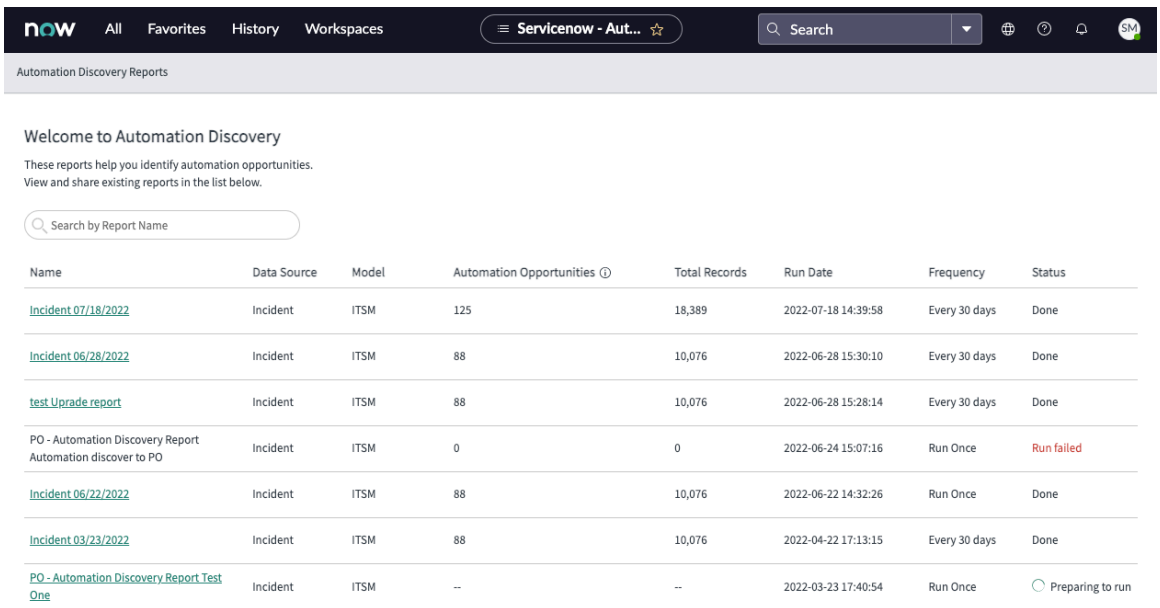
オートメーションディスカバリー は ServiceNow Store から利用できます。詳細については、「オートメーションディスカバリーをインストール」を参照してください。

言語サポート

オートメーションディスカバリーは、 **ITSM** 分類を使用して作成されたレポートに対して、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、および日本語のインスタンスをサポートしています。

予測 **AIOps** 分類を使用して作成されたレポートは、そのモデルのトレーニングデータが英語のログメッセージで構成されているため、英語のみをサポートします。

Discovery レポート



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Automation Discovery レポート] ページに、作成したレポートが一覧表示されます。レポートごとに、次の情報が表示されます。

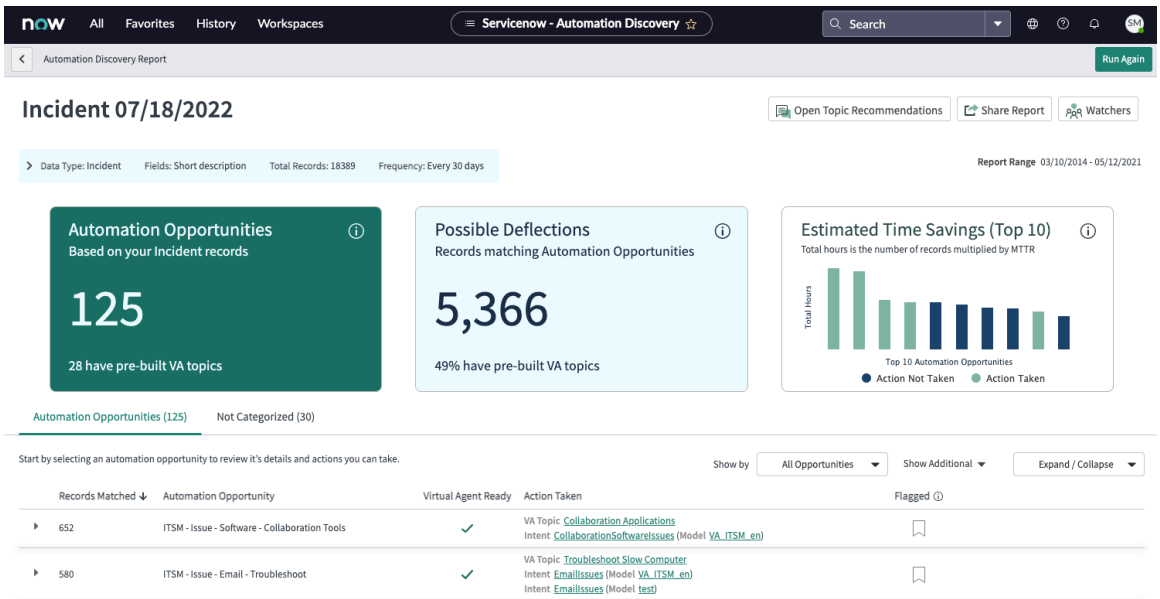
列	説明
名前	作成時にレポートに付けられた名前。
データソース	分析されたレコードのソース。
モデル	レポートを実行するための分類。
自動化機会	レコードと一致するさまざまな構築済みインテントの数。
未分類	構築済みのトピックと一致しない発言を含むクラスター化されたグループの数。
合計レコード	レポートで分析されたレコードの数。
実行日	最新の実行日時。
周期	レポートを実行する回数。
ステータス	レポートのステータス。

新しいレポートを作成するには、「オートメーションディスカバリーレポートの作成」を参照してください。

結果を表示するには、レポートの名前を選択します。

レポートのブレークダウン

成功したレポートごとに、レポートページに自動化機会に関する情報が表示されます。

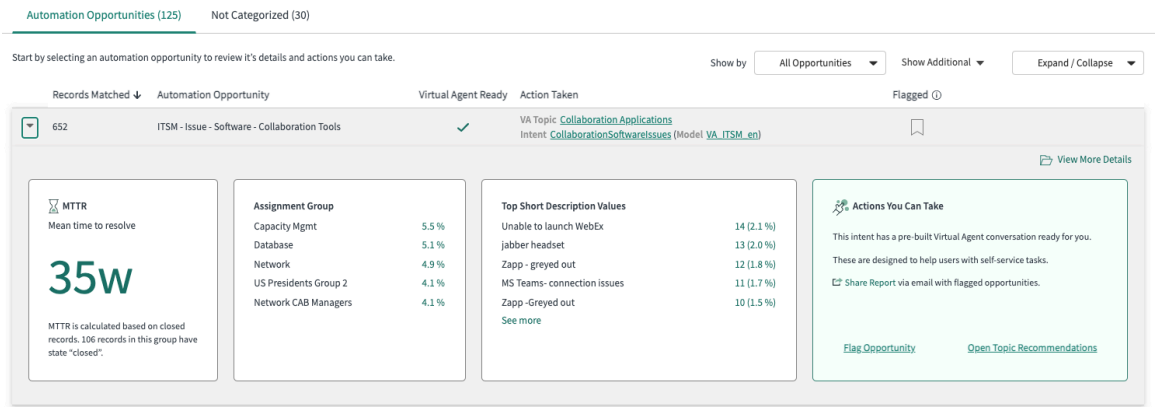


レポートは、一致するレコードを機会別にグループ化します。この例では、オートメーションディスカバリー が分析した数千件のインシデントから 125 件の自動化機会を見つけました。インシデントが同じインテントに一致するため、複数のレコードが同じ機会にグループ化されます。

回避は、自動化によってすぐに解決できた可能性のあるインシデントを参照します。オートメーションディスカバリー は、自動化機会に一致するすべてのレコードを合計して、[可能な回避] 数を取得します。一部の機会には、[仮想エージェント準備完了] としてマークされた、一致する構築済みの VA トピックがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MTTR または平均解決時間は、インシデントの解決にかかる平均時間を参照します。このレポートは、一致するレコードの数に MTTR を掛けて、上位 10 件の機会の [推定削減時間] を取得します。



[自動化機会] タブには、データに一致する自動化機会が一覧表示されます。各行のリストアイコンを選択すると、そのオポチュニティのレコードに関する詳細情報が表示されます。

[未分類] タブには、事前構築されたインテントと一致しないレコードのクラスターが表示されます。レポートは、類似性に基づいて未分類のレコードをクラスターにグループ化しようとします。各行のリストアイコンをクリックすると、そのクラスター内のレコードに関する詳細情報が表示されます。

トピックの推奨事項 への機会の追加

仮想エージェント トピックの推奨事項 は 仮想エージェント の自動化の改善に役立ちます。オートメーションディスカバリー レポートから トピックの推奨事項 に自動化機会を追加できます。

[実行できるアクション] カードには、レポートの自動化機会で実行できる内容が表示されます。**VA** 対応のオポチュニティの場合は、[オープントピックの推奨事項] を選択してオポチュニティをトピックの推奨事項に追加します。

トピックの推奨事項 では、自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルと仮想エージェントにトピックを追加できます。モデルに機会を追加すると、[実行されたアクション] に対応するインテントまたはモデルが表示されます。

詳細については、「 仮想エージェントトピックの推奨事項 と NLU モデル の使用」を参照してください。

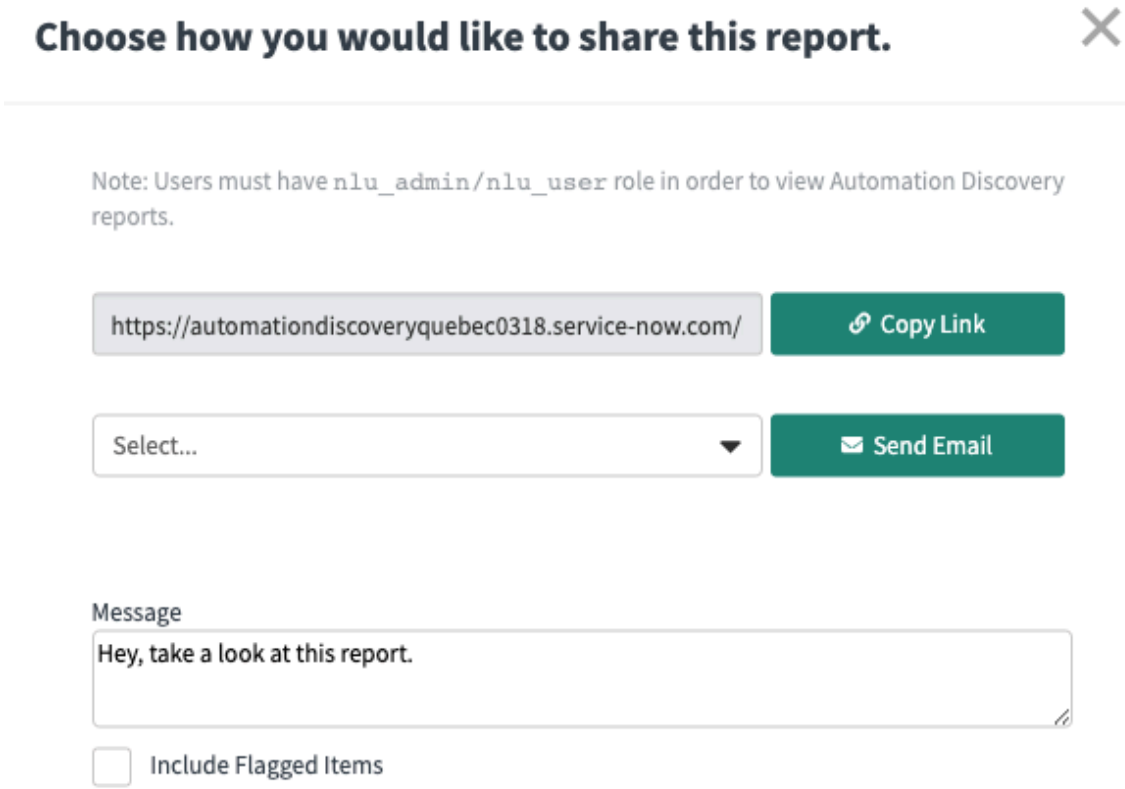
VA の準備ができていない機会のカスタムトピックを作成することもできます。カスタムトピックの作成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「Creating Virtual Agent Topics (仮想エージェントトピックの作成) 」を参照してください。

共有とフラグ付け

検出レポートをチームの他のメンバーと共有できます。レポートページで、[レポートの共有] をクリックしてレポート共有ポップアップを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



提供されたリンクを使用するか、メールでレポートを共有できます。

注: オートメーションディスカバリー レポートを表示するには、nlu_admin または nlu_user ロールが必要です。

強調表示する特定の自動化機会にフラグを設定することもできます。機会にフラグを設定するには、フラグアイコンをクリックします。レポートを共有するときにフラグ付きアイテムを含めるには、[フラグ付きアイテムを含める] チェックボックスをオンにします。

プロパティ

Automation Discovery の [プロパティ] ページでは、Discovery レポートの設定を制御できます。

レコードの最小数と最大数を設定すると、分析するデータの量を制御できます。クラスタリングがレポートで機能するように、一意の一致しないレコードの数を設定することもできます。

クラスタリングを実行する前にデータのサンプリングをアクティブ化すると、レポートの生成を高速化できます。ただし、レポートは少量の一致しないレコードをクラスター化します。

関連トピック

仮想エージェント

オートメーションディスカバリーをインストール

admin ロールを使用して オートメーションディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールできます。アプリケーションは、関連プラグインがまだアクティブ化されていない場合は、それらをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得する ServiceNow 製品またはアプリケーション .

必要なロール：admin

このタスクについて
オート メーションディスカバリーとともにインストールされるアイテムは、プラグイン、ロール、およびテーブルです。

詳細については、「オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してオート メーションディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、次からのリクエストが必要になる場合があります ServiceNow Store .
3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、リストされたアプリケーションの依存関係を確認します。

   オートメーションディスカバリー は、 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) および NLU ワークベンチ (com.glide.nlu) プラグインに依存します。これらのプラグインは、まだアクティブ化されていない場合は、 オートメーションディスカバリー のインストール時にアクティブ化されます。
4. **[Install** (インストール)] を選択します。

次のタスク
予測インテリジェンスのアクティブ化によって、次のロールを持つ *sharedservice.worker* ユーザーが正常にインストールされていることを確認します。

- platform_ml_create
- platform_ml_read
- platform_ml_write

詳細については、Now Support ナレッジベースの予測インテリジェンス をインストール または記事KB1641602 を参照してください。

最良の結果を得るには、ITSM の VA Conversations (sn_itsm_va) および NLU model builder (com.snc.nlu_studio) プラグインをインストールします。詳細については、「仮想エージェントおよびの有効化 NLU ワークベンチ の追加プラグイン 」を参照してください。

オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント

テーブルとロールは、オートメーションディスカバリープラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
オートメーションディスカバリーで処理されたメッセージ [sn_auto_discovery_processed_message]	元のデータソースレコードへの参照 (例:インシデント)。重複レコードは含まれません。
オートメーションディスカバリーパラメーター [sn_auto_discovery_param]	レポートのパラメーターを含むテーブル。
オートメーションディスカバリーラベル [sn_auto_discovery_labelled_message]	レポートレコードへの参照。
オートメーションディスカバリーインテント [sn_auto_discovery_intent]	オートメーションディスカバリーレポートを含むテーブル。処理されたメッセージとレポートトレースによって参照されます。
オートメーションディスカバリーグループ [sn_auto_discovery_group]	レポート内の自動化機会を含むテーブル。
オートメーションディスカバリーメッセージコンテンツ [sn_auto_discovery_message_content]	元のデータソースレコードへの参照 (例:インシデント)。重複レコードが含まれます。
オートメーションディスカバリーレポート [sn_auto_discovery_report]	オートメーションディスカバリーを使用して以前に作成されたレポート。
オートメーションディスカバリージョブ [sn_auto_discovery_job]	オートメーションディスカバリーレポートジョブの実行を管理するテーブル。
オートメーションディスカバリーレポートトレース [sn_auto_discovery_report_trace]	レポートのインテントまたはクラスターによって追加された自然言語理解 (NLU) インテントの履歴。
オートメーションディスカバリーレポート定義 [sn_auto_discovery_report_definition]	レポートの実行方法とレポートステータスを定義するテーブル。単一のレポート定義から複数のレポートを実行できます。
オートメーションディスカバリークラスター [sn_auto_discovery_cluster]	レポートのレコードの未分類のクラスター。処理されたメッセージとレポートトレースによって参照されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール

ディスカバリー作成者 **[sn_auto_discovery.**[ディスカバリー作成者]

オートメーションディスカバリーレポートを作成し、自動化機会にフラグを立てて、それらに対してアクションを実行します。

ロールを含む

ディスカバリー作成者 [sn_auto_discovery.[DiscoveryAuthor] ロールにはnlu_userロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

オートメーションディスカバリーレポートの作成

オートメーションディスカバリーレポートを作成して、レコードを分析して自動化機会を探します。

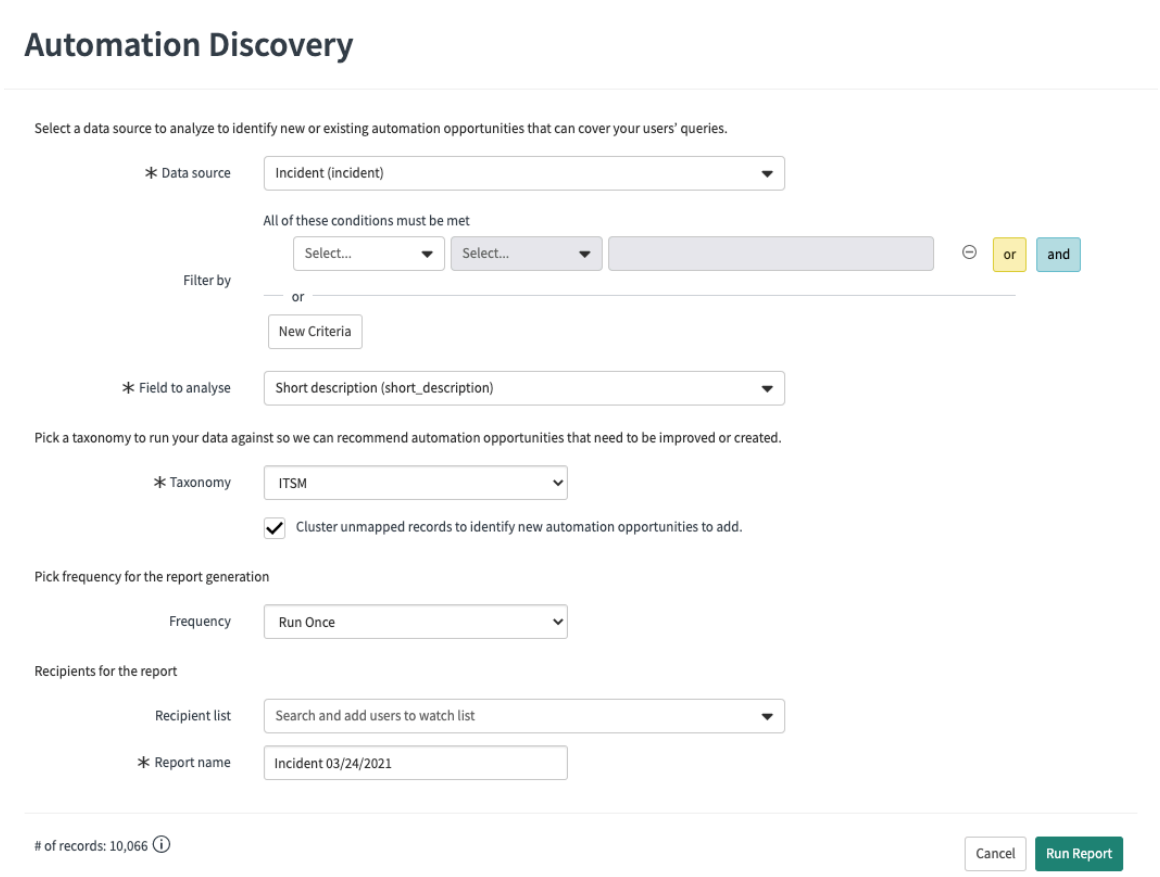
始める前に
必要なロール:admin、nlu_admin、または sn_auto_discoveryディスカバリー作成者

手順

1. 移動先 すべて > オートメーションディスカバリー > オートメーションディスカバリーレポート.
2. [新しいレポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームフィールドに記入します。

フィールド	説明
データソース	分析するレコードのタイプ。 デフォルトは [インシデント **(incident)]** です。
フィルター基準	分析するレコードを選択するための基準。
分析するフィールド	オートメーションディスカバリーで分析するデータテーブルのフィールド。
分類	データを実行するモデル。デフォルトは **ITSM** で、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語をサポートしています。予測 **AIOps** 分類は英語のみをサポートしています。 一致しないレコードをグループ化するために同じ分類を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
頻度	指定された条件でレポートを実行する頻度。 デフォルトは **[1** 回実行] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	改善を確認する機会をモデルに追加した後、レポートを継続的に実行することを選択できます。
受信者リスト	メールでレポートを受け取るユーザー。
レポート名	レポートの名前。

注: **# of records** の数は、基準を満たすレコード数の推定数を示します。

4. [レポートを実行] を選択します。
   レポートは、[ディスカバリーレポート] ページのリストの上部に表示されます。このページには、レポートの ステータス が一覧表示されます。分析が完了したら、レポートを選択して結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。